2025年度

シラバス 外国語学部

Faculty of Languages and Cultures

明海大学

2025年度

シラバス

外国語学部

Faculty of Languages and Cuotures

共通科目（基礎教育・人間力形成教育・キャリア形成教育・特別科目）

専門科目（専門基礎・ILP・日本語学科・英米語学科・中国語学科・グローバル・スタディーズ関連科目）

教職課程科目

目　次

共通科目

基礎教育

学修の基礎Ⅰ …… 別途指示 12
遠藤　信一 14
佐々木文彦 14
学修の基礎Ⅱ …… 小野寺樹璃 16
髙橋　眞人 16
髙橋亜里沙 16
中部　直之 16
藤本　陽子 16
堀内　貴子 16
柳井まどか 16
山口　真葵 16
小野寺樹璃 18
中部　直之 18
山口　真葵 18
学修の基礎Ⅲ-a（データリテラシー　数理・推論）… 相川野々香 20
遠藤　恵祐 20
中島　達洋 20
中村　元紀 20
萩尾由貴子 20
前田新太郎 20
茂木　誠拓 20
学修の基礎Ⅲ-b（情報リテラシー）… 相川野々香 22
遠藤　恵祐 22
遠藤　信一 22
高橋　奈佳 22
中村　元紀 22
萩尾由貴子 22
前田新太郎 22
茂木　誠拓 22
渡部　綾子 22

人間力形成教育

人間存在の課題 …… 中根　弘之 24
社会生活と倫理 …… 中根　弘之 26
文学の世界 …… 川勝　麻里 28
森　晴彦 30
人類と文化 …… 山本早良紗 32
美とは何か …… 髙久　馨 34
記号と論理 …… 土屋　真一 36
コミュニケーション論 …… 山口　真葵 38
海谷　千波 40
心理学 …… 中嶋　一恵 42
林　哲也 44
からだと健康 …… 宮澤　慶 46
日本人の生活意識 …… 中根　弘之 48
堀内　貴子 50
性格とは何か …… 樋口　倫子 52
生命と遺伝子 …… 桑山　秀一 54
スポーツ科学講義Ａ …… 杉浦　雄策 56
矢島ますみ 58
スポーツ科学講義Ｂ …… 杉浦　雄策 60
矢島ますみ 62
スポーツ科学演習Ａ …… 杉浦　雄策 64
矢島ますみ 66
矢島ますみ 68
スポーツ科学演習Ｂ …… 杉浦　雄策 70
矢島ますみ 72
矢島ますみ 74
ボランティア講義 …… 小川　正純 76
人間形成ゼミナール …… 伊藤　直樹 78
杉浦　雄策 80
樋口　倫子 80
矢島ますみ 82
矢島ますみ 84
ボランティア活動Ａ …… 単位認定科目 86
ボランティア活動Ｂ …… 単位認定科目 88
日本の歴史 …… 野田有紀子 90
国際関係論 …… 東　夢子 92
国際貢献論 …… 小川　正純 94
民族と宗教 …… 岩田　成就 96
異文化コミュニケーション論 …… 岡田　麻唯 98
日本語と日本文化Ａ …… 川勝　麻里 100
日本語と日本文化Ｂ …… 川勝　麻里 102
フランス語とフランス文化Ａ …… 馬越　洋平 104
西村　美穂 106
フランス語とフランス文化Ｂ …… 馬越　洋平 108
西村　美穂 110
ドイツ語とドイツ文化Ａ …… 諏佐ランカ 112
ﾘｰｽﾅｰ ﾌﾗﾝｶ ﾍﾞｰﾀｰ 114
ドイツ語とドイツ文化Ｂ …… 諏佐ランカ 116
ﾘｰｽﾅｰ ﾌﾗﾝｶ ﾍﾞｰﾀｰ 118
スペイン語とスペイン文化Ａ …… ｺﾝｻﾚｽ ｶﾞﾌﾞﾘｴﾙ 120
スペイン語とスペイン文化Ｂ …… ｺﾝｻﾚｽ ｶﾞﾌﾞﾘｴﾙ 122
韓国語と韓国文化Ａ …… 全　イジョング 124
韓国語と韓国文化Ｂ …… 全　イジョング 126
中国語と中国文化Ａ …… 中島　祝 128
南　勇 130
余　瀾 132

中国語と中国文化Ｂ …… 王　丹 134
南　勇 136
余　瀾 138
英語文化研究Ａ …… 小野　雅子 140
英語文化研究Ｂ …… 小野　雅子 142
国際理解ゼミナール …… 小川　正純 144
異文化実地研修Ａ・Ｂ …… 単位認定科目 146
法学…… 櫻井　博子 147
日本国憲法…… 吉田　成利 149
経済のしくみ…… 野口　尚洋 151
社会と生活…… 櫻井　博子 153
田川　麻央 155
政治のしくみ…… 河野　武司 157
社会思想史…… 上野　大樹 159
日本企業論…… 粟沢　尚志 161
地理と環境…… 池田　和子 163
木山　三佳 165
自然環境論…… 磯田　尚子 167
都市と生活…… 中嶋　久人 169
生活と安全…… 笠嶋　義夫 171
行動科学…… 樋口　倫子 173
データのまとめ方 …… 新井　啓 175
数理の世界…… 中島　達洋 177
身近な物理…… 中島　達洋 179
現代物理のはなし …… 中島　達洋 181
身近な化学…… 藤井　大輔 183
笠嶋　義夫 185
科学技術と社会 …… 遠藤　信一 187
社会生活ゼミナール …… 新井　啓 189
中島　達洋 191

キャリア形成教育

キャリアプランニングⅠ …… 阿方由紀枝 193
下地　信也 193
濱﨑あゆみ 193
門田　薫 193
門田　薫 195
小野寺樹璃 197
行田　悦子 197
髙橋亜里沙 197
キャリアプランニングⅡ …… 阿方由紀枝 199
下地　信也 199
濱﨑あゆみ 199
門田　薫 199
大道　和夫 201
中部　直之 203
範　弘宇 203
林　苗 203
キャリアプランニングⅢ…… 阿方由紀枝 205
下地　信也 205
濱﨑あゆみ 205
門田　薫 205
大道　和夫 207
髙橋亜里沙 209
範　弘宇 209
林　苗 209
キャリアデザイン …… 阿方由紀枝 211
下地　信也 211
濱﨑あゆみ 211
門田　薫 211
大道　和夫 213
範　弘宇 215
インターンシップ Ａ・Ｂ・Ｃ・Ｄ…… 単位認定科目 217
特別聴講科目 Ａ・Ｂ・Ｃ・Ｄ …… 単位認定科目 219
ビジネススキル Ａ・Ｂ・Ｃ・Ｄ…… 単位認定科目 220
ツーリズム概論 …… 松山　豊浩 221
エアライン概論 …… 松山　豊浩 223
航空サービス論 …… 大嵜史眞子 225
フライトアテンダント・グランドスタッフ研究… 青地　香里 227
ホスピタリティ論Ⅰ（ホスピタリティ基礎・マナー演習）… 大嵜史眞子 229
ホスピタリティ論Ⅱ（ホスピタリティと産業）… 井元　千穂 231
ビジネスコミュニケーション Ａ・Ｂ … 安部　桂子 233
資本市場の役割と証券投資…… 廣部　恒忠 234
ビジネス実務における AI データサイエンスⅠ … 内苑　孝美 236
ビジネス実務における AI データサイエンスⅡ … 内苑　孝美 238

特別科目

アカデミック日本語Ⅰ …… 中部　直之 240
山口　真葵 242
髙橋亜里沙 244
範　弘宇 244
アカデミック日本語Ⅱ …… 山口　真葵 246
髙橋亜里沙 248
小野寺樹璃 250
行田　悦子 250

アカデミック日本語Ⅲ …… 範　弘宇 252
堀内　貴子 254
小野寺樹璃 256
田川　麻央 256
アカデミック日本語Ⅳ …… 小野寺樹璃 258
藤本　陽子 260
行田　悦子 262
範　弘宇 262

専門科目

専門基礎・ILP

フレッシュパーソンセミナーⅠ …… 田鍋　桂子 266
西川　寛之 266
柳井まどか 266
フレッシュパーソンセミナーⅡ …… 田鍋　桂子 268
西川　寛之 268
柳井まどか 268
課題探求セミナーⅠ（日本語専攻）… 田川　麻央 270
田鍋　桂子 272
課題探求セミナーⅠ（グローバル・スタディーズ専攻）… 柳井まどか 274
課題探求セミナーⅡ（日本語専攻）… 田川　麻央 276
田鍋　桂子 278
課題探求セミナーⅡ（グローバル・スタディーズ専攻）… 柳井まどか 280
日本語基礎演習 …… 佐々木文彦 282
田鍋　桂子 282
柳井まどか 282
柳井まどか 284
英語Ⅲ -a …… ｷｰﾈﾝ ﾃｨﾅ ｸﾘｽﾁｬﾝｾﾝ 286
ﾃｨﾓｼｰ ｵﾋﾟﾂ 286
ﾋﾟｴｰﾙ ｱﾚｯｸ 286
英語Ⅲ -b …… ｷｰﾈﾝ ﾃｨﾅ ｸﾘｽﾁｬﾝｾﾝ 288
ﾃｨﾓｼｰ ｵﾋﾟﾂ 288
ﾋﾟｴｰﾙ ｱﾚｯｸ 288
フレッシュパーソンセミナーⅠ …… 鍛治　広真 290
小谷　哲男 290
中井　延美 290
横山竜一郎 290
フレッシュパーソンセミナーⅡ …… 鍛治　広真 292
小谷　哲男 292
中井　延美 292
横山竜一郎 292
課題探求セミナーⅠ（英米語専攻）… 鍛治　広真 294
嶋田　珠巳 294
課題探求セミナーⅠ（グローバル・スタディーズ専攻）… 小谷　哲男 296
ｹｲｺ ﾅｶﾑﾗ 296
課題探求セミナーⅡ（英米語専攻）…. 鍛治　広真 298
嶋田　珠巳 298
課題探求セミナーⅡ（グローバル・スタディーズ専攻）… 小谷　哲男 300
ｹｲｺ ﾅｶﾑﾗ 300
英米語基礎演習 …… 川成　美香 302
河原　伸一 302
ｹｲｺ ﾅｶﾑﾗ 302
辰己　雄太 302
Integrated English Ⅰ …… ｷｰﾈﾝ ﾃｨﾅ ｸﾘｽﾁｬﾝｾﾝ 304
ｺﾏﾝﾄﾞｭﾘ ｼﾘｰｼｬ 304
ﾀｲｿﾝ ﾛｰﾄﾞ 304
ﾃｨﾓｼｰ ｵﾋﾟﾂ 304
ﾊﾄﾘﾂｨｱ ﾊﾔｼ 304
ﾊﾙﾌﾞﾄﾞ ﾌﾞﾙﾒﾙ ｴｽﾃｨｵｺ 304
ﾘｶﾙﾄﾞ ﾊﾙﾑ 304
ﾛﾊﾞｰﾄ ﾓﾘｱｰﾃｨ 304
Integrated English Ⅱ …… ｷｰﾈﾝ ﾃｨﾅ ｸﾘｽﾁｬﾝｾﾝ 306
ｺﾏﾝﾄﾞｭﾘ ｼﾘｰｼｬ 306
ﾀｲｿﾝ ﾛｰﾄﾞ 306
ﾃｨﾓｼｰ ｵﾋﾟﾂ 306
ﾊﾄﾘﾂｨｱ ﾊﾔｼ 306
ﾊﾙﾌﾞﾄﾞ ﾌﾞﾙﾒﾙ ｴｽﾃｨｵｺ 306
ﾘｶﾙﾄﾞ ﾊﾙﾑ 306
ﾛﾊﾞｰﾄ ﾓﾘｱｰﾃｨ 306
Integrated English Ⅲ …… ｷｰﾈﾝ ﾃｨﾅ ｸﾘｽﾁｬﾝｾﾝ 308
ｺﾏﾝﾄﾞｭﾘ ｼﾘｰｼｬ 308
ﾀｲｿﾝ ﾛｰﾄﾞ 308
ﾃｨﾓｼｰ ｵﾋﾟﾂ 308
ﾊﾄﾘﾂｨｱ ﾊﾔｼ 308
ﾊﾙﾌﾞﾄﾞ ﾌﾞﾙﾒﾙ ｴｽﾃｨｵｺ 308
ﾋﾟｴｰﾙ ｱﾚｯｸ 308
ﾛﾊﾞｰﾄ ﾓﾘｱｰﾃｨ 308
Integrated English Ⅳ …… ｷｰﾈﾝ ﾃｨﾅ ｸﾘｽﾁｬﾝｾﾝ 310
ｺﾏﾝﾄﾞｭﾘ ｼﾘｰｼｬ 310
ﾀｲｿﾝ ﾛｰﾄﾞ 310
ﾃｨﾓｼｰ ｵﾋﾟﾂ 310
ﾊﾄﾘﾂｨｱ ﾊﾔｼ 310
ﾊﾙﾌﾞﾄﾞ ﾌﾞﾙﾒﾙ ｴｽﾃｨｵｺ 310
ﾋﾟｴｰﾙ ｱﾚｯｸ 310
ﾛﾊﾞｰﾄ ﾓﾘｱｰﾃｨ 310
Grammar a …… 河原　伸一 312
篠塚　勝正 312
辰己　雄太 312
長谷川奈緒美 312

Grammar b …… 河原　伸一　314
篠塚　勝正　314
辰己　雄太　314
長谷川奈緒美　314
Reading Ⅰ -a …… 海谷　千波　316
長谷川奈緒美　316
松堂　啓子　316
ﾛﾊﾞｰﾄ ﾓﾘｱｰﾃｨ　316
Reading Ⅰ -b …… 海谷　千波　318
長谷川奈緒美　318
松堂　啓子　318
ﾛﾊﾞｰﾄ ﾓﾘｱｰﾃｨ　318
Reading Ⅱ -a …… ｸﾘｽﾄﾌｧ ﾏﾀﾞｽｷｰ　320
ｼﾞｪﾗﾙﾄﾞ ﾗｲﾄ　320
ﾃｨﾓｼｰ ｵﾋﾟﾂ　320
ﾛﾊﾞｰﾄ ﾓﾘｱｰﾃｨ　320
Reading Ⅱ -b …… ｸﾘｽﾄﾌｧ ﾏﾀﾞｽｷｰ　322
ｼﾞｪﾗﾙﾄﾞ ﾗｲﾄ　322
ﾃｨﾓｼｰ ｵﾋﾟﾂ　322
ﾛﾊﾞｰﾄ ﾓﾘｱｰﾃｨ　322
Reading Ⅲ -a …… 河原　伸一　324
ｸﾘｽﾄﾌｧ ﾏﾀﾞｽｷｰ　324
長谷川奈緒美　324
横山竜一郎　324
Reading Ⅲ -b …… 河原　伸一　326
ｸﾘｽﾄﾌｧ ﾏﾀﾞｽｷｰ　326
長谷川奈緒美　326
横山竜一郎　326
Writing Ⅰ -a …… 河原　伸一　328
篠塚　勝正　328
中井　延美　328
ﾊﾙﾌﾞﾄ ﾌﾞﾙﾒﾙ ｴｽﾃｨｵｺ　328
Writing Ⅰ -b …… 河原　伸一　330
篠塚　勝正　330
中井　延美　330
ﾊﾙﾌﾞﾄ ﾌﾞﾙﾒﾙ ｴｽﾃｨｵｺ　330
Writing Ⅱ -a …… ｺﾏﾝﾄﾞｭﾘ ｼﾘｰｼｬ　332
ﾀｲｿﾝ ﾛｰﾄﾞ　332
ﾃｨﾓｼｰ ｵﾋﾟﾂ　332
ﾊﾙﾌﾞﾄ ﾌﾞﾙﾒﾙ ｴｽﾃｨｵｺ　332
ﾋﾟｴｰﾙ ｱﾚｯｸ　332
ﾘｶﾙﾄﾞ ﾊﾙﾑ　332
ﾛﾊﾞｰﾄ ﾓﾘｱｰﾃｨ　332
Writing Ⅱ -b …… ｺﾏﾝﾄﾞｭﾘ ｼﾘｰｼｬ　334
ﾀｲｿﾝ ﾛｰﾄﾞ　334
ﾃｨﾓｼｰ ｵﾋﾟﾂ　334
ﾊﾙﾌﾞﾄ ﾌﾞﾙﾒﾙ ｴｽﾃｨｵｺ　334
ﾋﾟｴｰﾙ ｱﾚｯｸ　334
ﾘｶﾙﾄﾞ ﾊﾙﾑ　334
ﾛﾊﾞｰﾄ ﾓﾘｱｰﾃｨ　334
Listening Ⅰ -a …… ｴｳﾞｧﾝ ｶﾞﾙｼｱ　336
梶浦　恭平　336
ﾊﾄﾘﾂｨｱ ﾊﾔｼ　336
ﾘｶﾙﾄﾞ ﾊﾙﾑ　336
Listening Ⅰ -b …… ｴｳﾞｧﾝ ｶﾞﾙｼｱ　338
梶浦　恭平　338
ﾃｨﾓｼｰ ｸﾚｲｼﾝｶﾞｰ　338
ﾘｶﾙﾄﾞ ﾊﾙﾑ　338
Listening Ⅱ -a …… ｼﾞｪﾗﾙﾄﾞ ﾗｲﾄ　340
ﾋﾟｴｰﾙ ｱﾚｯｸ　340
ﾏｯﾄ ﾋﾟｰﾀｰｾﾝ　340
Listening Ⅱ -b …… ﾃｨﾓｼｰ ｸﾚｲｼﾝｶﾞｰ　342
ﾋﾟｴｰﾙ ｱﾚｯｸ　342
ﾏｯﾄ ﾋﾟｰﾀｰｾﾝ　342
フレッシュパーソンセミナーⅠ …… 宇賀神秀一　344
河村　昌子　344
神崎　龍志　344
中嶋　諒　344
フレッシュパーソンセミナーⅡ …… 宇賀神秀一　346
河村　昌子　346
神崎　龍志　346
中嶋　諒　346
課題探求セミナーⅠ（中国語専攻）…. 于　明明　348
王　丹　348
曹　泰和　348
余　瀾　348
課題探求セミナーⅠ（グローバル・スタディーズ専攻）… 高田　誠　350
張　先煜　350
課題探求セミナーⅡ（中国語専攻）…. 于　明明　352
王　丹　352
曹　泰和　352
余　瀾　352
課題探求セミナーⅡ（グローバル・スタディーズ専攻）… 高田　誠　354
張　先煜　354
中国語基礎演習Ａ …… 馬場　将三　356
中国語基礎演習Ｂ …… 河村　昌子　358
漢語基礎Ⅰ …… 宇賀神秀一　360
河村　昌子　360
曹　泰和　360
中嶋　諒　360

漢語基礎Ⅱ …… 宇賀神秀一 362
河村 昌子 362
曹 泰和 362
中嶋 諒 362
漢語基礎Ⅲ …… 宇賀神秀一 364
曹 泰和 364
段 威 364
中嶋 諒 364
漢語基礎Ⅳ …… 宇賀神秀一 366
曹 泰和 366
段 威 366
中嶋 諒 366
漢語会話Ⅰ …… 劉 智顕 368
漢語会話Ⅱ …… 劉 智顕 370
漢語会話Ⅲ …… 翁 璟 372
段 威 372
漢語会話Ⅳ …… 翁 璟 374
段 威 374
中級漢語Ⅰ …… 張 先煜 376
中島 祝 376
馬場 将三 376
余 瀾 376
中級漢語Ⅱ …… 張 先煜 378
中島 祝 378
馬場 将三 378
余 瀾 378
漢語実践Ⅰ …… 王 丹 380
神崎 龍志 380
高田 誠 380
馬場 将三 380
漢語実践Ⅱ …… 王 丹 382
神崎 龍志 382
高田 誠 382
馬場 将三 382
漢語実践Ⅲ …… 神崎 龍志 384
高田 誠 384
南 勇 384
馬場 将三 384
漢語実践Ⅳ …… 神崎 龍志 386
高田 誠 386
南 勇 386
馬場 将三 386
漢語作文Ⅰ …… 張 先煜 388
中桐 典子 388
劉 磊 388
漢語作文Ⅱ …… 張 先煜 390
中桐 典子 390
劉 磊 390
中国語Ⅰ -a …… 于 明明 392
中島 祝 392
馬場 将三 392
劉 磊 392
中国語Ⅰ -b …… 于 明明 394
中島 祝 394
馬場 将三 394
劉 磊 394
中国語Ⅱ -a …… 王 丹 396
高田 誠 396
南 勇 396
劉 磊 396
中国語Ⅱ -b …… 王 丹 398
高田 誠 398
南 勇 398
劉 磊 398
外国語研究概論 …… 宇賀神秀一 400
辰己 雄太 400
中川 仁 400
現代社会事情 …… 宮崎 礼二 402
日本語Ⅰ -a …… 髙橋亜里沙 404
日本語Ⅰ -b …… 範 弘宇 406
日本語Ⅱ -a …… 山口 真葵 408
日本語Ⅱ -b …… 小野寺樹璃 410
英語Ⅰ -a …… エヴァン ガルシア 412
ｸﾘｽﾄﾌｧ ﾏﾀﾞｽｷｰ 412
ｺﾏﾝﾄﾞｭﾘ ｼﾘｰｼｬ 412
ﾃｨﾓｼｰ ｵﾋﾞﾂ 412
英語Ⅰ -b …… エヴァン ガルシア 414
ｸﾘｽﾄﾌｧ ﾏﾀﾞｽｷｰ 414
ｺﾏﾝﾄﾞｭﾘ ｼﾘｰｼｬ 414
ﾃｨﾓｼｰ ｸﾚｲｼﾝｶﾞｰ 414
ﾃｨﾓｼｰ ｵﾋﾞﾂ 414
英語Ⅱ -a …… エヴァン ガルシア 416
小山田幸永 416
ｷｰﾈﾝ ﾃｨﾅ ｸﾘｽﾁｬﾝｾﾝ 416
ﾃﾞﾋﾞｯﾄﾞ ﾏｸﾞﾇｿﾝ 416
ﾏｯﾄ ﾋﾟｰﾀｰｾﾝ 416
松堂 啓子 416

英語Ⅱ -b …… エヴァン ガルシア 418
小山田幸永 418
ｷｰﾈﾝ ﾃｨﾅ ｸﾘｽﾁｬﾝｾﾝ 418
ﾃﾞﾋﾞｯﾄﾞ ﾏｸﾞﾇｿﾝ 418
ﾏｯﾄ ﾋﾟｰﾀｰｾﾝ 418
松堂 啓子 418

日本語学科

日本語学概論 …… 田鍋 桂子 422
日本語表現研究Ⅰ …… 山本 聖志 424
日本語表現研究Ⅱ …… 浅田 勉 426
日本語学基礎演習 …… 佐々木文彦 428
日本語学講義Ⅰ …… 佐々木文彦 430
日本語学講義Ⅱ …… 佐々木文彦 432
日本語方言学 …… 田鍋 桂子 434
日本語学演習Ⅰ …… 佐々木文彦 436
日本語学演習Ⅱ …… 佐々木文彦 438
日本語講読Ⅰ …… 菊地 明範 440
日本語講読Ⅱ …… 菊地 明範 442
日本語史Ⅰ …… 田鍋 桂子 444
日本語史Ⅱ …… 田鍋 桂子 446
音声学概論 …… 片桐 史尚 448
日本語音声学 …… 片桐 史尚 450
日本語文法論Ⅰ …… 田鍋 桂子 452
日本語文法論Ⅱ …… 田鍋 桂子 454
敬語表現法 …… 髙橋 眞人 456
表記法概論 …… 田鍋 桂子 458
言語学概論 …… 中川 仁 460
応用言語学 …… 中川 仁 462
社会言語学 …… 片桐 史尚 464
対照言語学 …… 土屋 真一 466
言語研究法／コンピュータ言語学Ⅰ … 田川 麻央 468
コンピュータ言語学 …… 田川 麻央 470
日本文学概論 …… 柳井まどか 472
日本文学史 …… 長谷川哲夫 474
近現代文学 …… 柳井まどか 476
古典概説 …… 長谷川哲夫 478
古典演習 …… 長谷川哲夫 480
漢文学概論 …… 橘 和久 481
漢文学講義 …… 橘 和久 483
漢文学演習Ⅰ …… 橘 和久 485
漢文学演習Ⅱ …… 橘 和久 487
日本語教育概論 …… 木山 三佳 489
日本語教育演習 …… 西川 寛之 491
日本語教授法 …… 田川 麻央 493
日本語教材論 …… 田川 麻央 495
検定対策Ⅰ …… 西川 寛之 497
検定対策Ⅱ …… 髙橋 眞人 499
検定対策Ⅲ …… 片桐 史尚 501
検定対策Ⅳ …… 西川 寛之 503
音声指導法研究／音声指導法研究Ⅰ … 片桐 史尚 505
文型指導法研究／文型指導法研究Ⅰ … 片桐 史尚 507
評価法研究 …… 西川 寛之 509
教案作成研究 …… 田川 麻央 511
日本語教育事情 …… 片桐 史尚 513
第二言語習得論 …… 木山 三佳 515
日本語教育実習 …… 木山 三佳 517
年少者日本語教育概説 …… 木山 三佳 520
児童生徒のための日本語教育論 …… 西川 寛之 522
日本語学習支援・実地研究 …… 田川 麻央 524
専門領域研究講座 …… 片桐 史尚 526
木山 三佳 528
佐々木文彦 530
田川 麻央 532
田鍋 桂子 534
中川 仁 536
西川 寛之 538
柳井まどか 540
卒業研究 …… 片桐 史尚 542
木山 三佳 544
佐々木文彦 546
田川 麻央 548
田鍋 桂子 550
中川 仁 552
西川 寛之 554
柳井まどか 556
田鍋 桂子 558

英米語学科

異文化コミュニケーション概論 a …… 鍛治 広真 562
川成 美香 564
異文化コミュニケーション概論 b …… 鍛治 広真 566
川成 美香 568
英語学概論 a …… 嶋田 珠巳 570
辰己 雄太 572
英語学概論 b …… 嶋田 珠巳 574
辰己 雄太 576
英米文学概論 a …… 佐藤 亨 578
英米文学概論 b …… 佐藤 亨 580
英語教育学概論 a …… 金子 義隆 582
英語教育学概論 b …… 金子 義隆 584
TOEFL 対策講座 …… ﾊﾙﾌﾞﾄﾞ ﾌﾞﾙﾒﾙ ｴｽﾃｨｵｺ 586

英語音声学 a …… 鍛治　広真　588
松井　順子　590
英語音声学 b …… 鍛治　広真　592
松井　順子　594
英語史 …… 横山竜一郎　596
対照言語研究 a …… 辰己　雄太　598
対照言語研究 b …… 辰己　雄太　600
英文法研究 a …… 辰己　雄太　602
英文法研究 b …… 辰己　雄太　604
Interpreting Skills a …… 松井　順子　606
Interpreting Skills b …… 松井　順子　608
Translation Skills a …… 篠塚　勝正　610
Translation Skills b …… 篠塚　勝正　612
Advanced Writing Skills a …… ｹｲｺ ﾅｶﾑﾗ　614
Advanced Writing Skills b …… ｹｲｺ ﾅｶﾑﾗ　616
Advanced Reading Skills a …… 梶浦　恭平　618
松井　順子　620
Advanced Reading Skills b …… 梶浦　恭平　622
松井　順子　624
Advanced Listening Skills a …… 梶浦　恭平　626
ﾊﾄﾘﾂｨｱ ﾊﾔｼ　628
Advanced Listening Skills b …… 梶浦　恭平　630
ﾊﾄﾘﾂｨｱ ﾊﾔｼ　632
Discussion & Debate a …… ﾀｲｿﾝ ﾛｰﾄﾞ　634
Discussion & Debate b …… ﾀｲｿﾝ ﾛｰﾄﾞ　636
Advanced Research & Presentation Skills … ｹｲｺ ﾅｶﾑﾗ　638
ｹｲｺ ﾅｶﾑﾗ　640
コミュニケーション特講Ⅰ -a …… 川成　美香　642
コミュニケーション特講Ⅰ -b …… 川成　美香　644
コミュニケーション特講Ⅱ -a …… 中井　延美　646
コミュニケーション特講Ⅱ -b …… 中井　延美　648
英語学特講Ⅰ -a …… 嶋田　珠巳　650
英語学特講Ⅰ -b …… 嶋田　珠巳　652
英語学特講Ⅱ -a …… 鍛治　広真　654
英語学特講Ⅱ -b …… 鍛治　広真　656
文学特講Ⅰ -a …… 佐藤　亨　658
文学特講Ⅰ -b …… 佐藤　亨　660
文学特講Ⅱ -a …… 横山竜一郎　662
文学特講Ⅱ -b …… 横山竜一郎　664
英語教育特講Ⅰ -a …… 金子　義隆　666
英語教育特講Ⅰ -b …… 金子　義隆　668
特殊研究Ⅰ …… 単位認定科目　670
特殊研究Ⅱ …… 単位認定科目　671
海外実地研修 …… 単位認定科目　672
専門領域研究講座 …… 鍛治　広真　673
金子　義隆　675
川成　美香　677
河原　伸一　678
ｹｲｺ ﾅｶﾑﾗ　680
小谷　哲男　682
嶋田　珠巳　684
辰己　雄太　686
中井　延美　688
松井　順子　690
横山竜一郎　693
米村　珠子　695
卒業研究 …… 鍛治　広真　697
金子　義隆　699
川成　美香　701
河原　伸一　702
ｹｲｺ ﾅｶﾑﾗ　704
小谷　哲男　706
嶋田　珠巳　708
辰己　雄太　710
中井　延美　712
松井　順子　714
横山竜一郎　717
米村　珠子　719

中国語学科

中国語検定対策講座Ⅰ …… 中島　祝　722
南　勇　722
中国語検定対策講座Ⅱ …… 中島　祝　724
南　勇　724
文章表現演習Ⅰ …… 段　威　726
文章表現演習Ⅱ …… 段　威　728
口頭表現演習Ⅰ …… 劉　智顗　730
口頭表現演習Ⅱ …… 劉　智顗　732
日中通訳基礎演習Ⅰ …… 神崎　龍志　734
日中通訳基礎演習Ⅱ …… 神崎　龍志　736
日中翻訳基礎演習Ⅰ …… 中桐　典子　738
日中翻訳基礎演習Ⅱ …… 中桐　典子　740
中国方言基礎演習Ⅰ …… 郭　文ホー　742
中国方言基礎演習Ⅱ …… 郭　文ホー　744
中国語文法Ⅰ …… 曹　泰和　746
中国語文法Ⅱ …… 曹　泰和　748
中国語史Ⅰ …… 曹　泰和　750
中国語史Ⅱ …… 曹　泰和　752
現当代文学Ⅰ …… 河村　昌子　754
現当代文学Ⅱ …… 河村　昌子　756

古典文学Ⅱ …… 宇賀神秀一 758
東アジア比較思想論Ⅰ …… 南　勇 760
東アジア比較思想論Ⅱ …… 南　勇 762
中国宗教・文化論Ⅰ …… 中嶋　諒 764
中国宗教・文化論Ⅱ …… 中嶋　諒 766
中国語圏実地研修 …… 単位認定科目 768
中国現代史Ⅰ …… 中島　祝 769
中国現代史Ⅱ …… 中島　祝 771
中国社会研究入門 …… 高田　誠 773
中国現代史研究入門 …… 中島　祝 775
中国思想研究入門 …… 中嶋　諒 777
中国文学研究入門 …… 宇賀神秀一 779
中国歴史研究入門 …… 中嶋　諒 781
中国語学研究入門 …… 中桐　典子 783
専門領域研究講座 …… 宇賀神秀一 785
河村　昌子 787
神崎　龍志 788
曹　泰和 790
高田　誠 792
中嶋　諒 794
卒業研究 …… 宇賀神秀一 796
河村　昌子 798
神崎　龍志 799
曹　泰和 801
高田　誠 802
中嶋　諒 804

グローバル・スタディーズ関連科目

ビジネス経済学 …… 中澤　栄一 808
経営学総論 …… 岡村　龍輝 810
会計学総論 …… 蟹澤　啓輔 812
社会統計学 …… 高田　誠 814
マーケティング論 …… 飯田　信一 816
日本研究 …… 西川　寛之 818
北アメリカ研究 …… 小谷　哲男 820
南アメリカ研究 …… 工藤　由美 822
ヨーロッパ研究 …… 小谷　哲男 824
オセアニア研究 …… 大石　隆介 826
東アジア研究 …… 中川　仁 828
ASEAN 研究 …… 高田　誠 830
中東研究 …… 都甲　裕文 832
国際関係概論 …… 小谷　哲男 834
ビジネスキャリア特講 a …… 河原　伸一 836
ビジネスキャリア特講 b …… 河原　伸一 838
中国ビジネス入門 …… 高田　誠 840
中国経済Ⅰ …… 高田　誠 842
中国経済Ⅱ …… 高田　誠 844
時事中国語演習Ⅰ …… 段　威 846
時事中国語演習Ⅱ …… 段　威 848
通訳の基礎 a …… 松井　順子 850
通訳の基礎 b …… 松井　順子 852
時事英語 a …… 小谷　哲男 854
ケイコ　ナカムラ 856
時事英語 b …… 小谷　哲男 858
ケイコ　ナカムラ 860
Advanced Business English a … 小谷　哲男 862
中井　延美 864
Advanced Business English b … 小谷　哲男 866
中井　延美 868
文化講義Ⅰ（日本）…… 菊地　明範 870
文化講義Ⅱ（異文化理解）…… 髙橋　眞人 872
Preparation for TOEIC Ⅰ -a …… 長谷川奈緒美 874
Preparation for TOEIC Ⅰ -b …… 長谷川奈緒美 876
Preparation for TOEIC Ⅰ -a …… 青木　輝 878
小山田幸永 878
川成　美香 878
篠塚　勝正 878
松井　順子 878
Preparation for TOEIC Ⅰ -b …… 青木　輝 880
小山田幸永 880
川成　美香 880
篠塚　勝正 880
松井　順子 880
Preparation for TOEIC Ⅱ -a …… 青木　輝 882
中井　延美 882
長谷川奈緒美 882
横山竜一郎 882
Preparation for TOEIC Ⅱ -b …… 青木　輝 884
中井　延美 884
長谷川奈緒美 884
横山竜一郎 884
Preparation for TOEIC Ⅰ -a …… 長谷川奈緒美 886
Preparation for TOEIC Ⅰ -b …… 長谷川奈緒美 888
Preparation for TOEIC Ⅱ -a …… 篠塚　勝正 890
Preparation for TOEIC Ⅱ -b …… 篠塚　勝正 892
GSM 海外留学 …… 単位認定科目 894
GSM 海外研修 …… 単位認定科目 895
GSM インターンシップⅠ …… 単位認定科目 896
GSM インターンシップⅡ …… 単位認定科目 897
GSM ボランティアⅠ …… 単位認定科目 898
GSM ボランティアⅡ …… 単位認定科目 899

教職課程科目

書道Ⅰ …… 春田賢次朗 902
書道Ⅱ …… 春田賢次朗 904
教職基礎セミナーⅠ（国語科）…… 山本　聖志 906
教職基礎セミナーⅡ（国語科）…… 山本　聖志 908
教職基礎セミナーⅢ（国語科）…… 浅田　　勉 910
教職基礎セミナーⅣ（国語科）…… 浅田　　勉 912
国語科教育法Ⅰ …… 浅田　　勉 914
国語科教育法Ⅱ …… 浅田　　勉 916
国語科教育法Ⅲ …… 山本　聖志 918
国語科教育法Ⅳ …… 山本　聖志 920
教職基礎セミナーⅠ（英語科）…… 遠藤　哲也 922
教職基礎セミナーⅡ（英語科）…… 遠藤　哲也 924
教職基礎セミナーⅢ（英語科）…… 米村　珠子 926
教職基礎セミナーⅣ（英語科）…… 米村　珠子 928
英語科教育法Ⅰ …… 金子　義隆 930
英語科教育法Ⅱ …… 金子　義隆 932
英語科教育法Ⅲ …… 西貝　裕武 934
英語科教育法Ⅳ …… 西貝　裕武 936
教育原理…… 遠藤　哲也 938
教師論…… 山本　聖志 940
教育行政学…… 藤井　大輔 942
教育心理学…… 樋口　倫子 944
特別支援教育論 …… 杉野　　学 946
教育課程論…… 遠藤　哲也 948
道徳教育の理論と実践 …… 山本　聖志 950
「総合的な学習の時間」の指導法 …… 遠藤　哲也 952
特別活動論…… 西貝　裕武 954
教育方法論…… 遠藤　信一 956
生徒指導・進路指導論 …… 浅田　　勉 958
教育相談…… 樋口　倫子 960
教育実習Ⅰ …… 浅田　　勉 962
教育実習Ⅱ …… 浅田　　勉 964
教育実習Ⅰ …… 米村　珠子 966
教育実習Ⅱ …… 米村　珠子 968
教職実践演習（中・高）…… 西貝　裕武 970
藤井　大輔 970
教職インターンシップ …… 浅田　　勉 972
Four Skills for Teaching a …… ﾀｲｿﾝ　ﾛｰﾄﾞ 974
ﾊﾄﾘﾂｨｱ　ﾊﾔｼ 974
米村　珠子 974
Four Skills for Teaching b …… ﾀｲｿﾝ　ﾛｰﾄﾞ 976
ﾊﾄﾘﾂｨｱ　ﾊﾔｼ 976
米村　珠子 976
小学校英語基礎概論Ⅰ …… 遠藤　哲也 978
小学校英語基礎概論Ⅱ …… 遠藤　哲也 980

［共通科目］

○基礎教育

○人間力形成教育

○キャリア形成教育

○特別科目

学修の基礎Ⅰ

開講学科等：日英中経 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：2025 年度入学生のみ履修可能

別途指示

▌授業の概要

この科目は、自己を理解し、大学を理解し、大学 4 年間でどのような自己を創り出すかを明確にデザインするための授業です。
わたしたちを取り巻く社会には解決すべきさまざまな課題があります。その解決策を提案し、有為な人材として社会に貢献するためには、「建学の精神」である「社会性」「創造性」「合理性」を身につけ、自らの考えを表現する方法を学ぶ必要があります。
この授業を通じて、自分自身を知り、明海大学に対する理解を深め、学生主体のグループワークを展開する中で課題解決力を身につけ、有為な人材として活躍するための力を身につけましょう。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：明海大学の建学の精神が掲げる「社会性」「創造性」「合理性」が、社会に貢献するための課題解決の鍵であることを理解する。大学 4 年間で社会課題解決策の提案が出来るようになるために、自己の特性を理解し、大学での学び方を身につけ、グループワークを通じて課題解決を図るスキルを身につける。

個別目標：①明海大学を理解し、建学の精神について説明することができる
②自らの考えを他人に理解してもらえるように説明することができる
③自らを理解し、自分の特性を活かした「なりたいじぶん」を描くことができる
④大学生活を通じて「なりたいじぶん」になるためのロードマップをデザイン(設計)することができる

▌履修条件

特になし

▌評価基準・方法

①提出物，プレゼンテーションスライドなどの作成　40 %
②発表など　40 %
③授業中の活動などアクティブラーニングの評価　20 %
（提出日時，所定のルールを守らないものは評価しない）
発表資料などが間に合わない場合は，「事前学修」「振り返り」が出来ていないものと判断し，減点する
※なお，5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする

▌フィードバック方法

学修支援システム manaba を通して行う

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （授業回によって協働ワークを実施）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （授業回によって使用する）

▌教科書

『学修の基礎Ⅰ』(教科書)

▌参考書

特になし

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション 1（この授業の目的、manaba の使い方、ノートテイキング）** 授業内容：①この授業の目的について理解する ②大学 HP ログイン、manaba ログイン、respon 試行、start ログイン等の方法を理解する ③ノートテイキングの方法を理解し、学長講話・副学長講話を聴く準備をする 事前学修 2.0hr：大学 HP ログイン、manaba ログイン、respon 試行、G メールの設定などを確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
2回	**授業テーマ：大学からのメッセージ 1　学長講話 /オリエンテーション 2（時間管理）** 授業内容：①学長講話 ②ノートテイキングの確認 ③時間管理の課題と方法を知る 事前学修 2.0hr：講話を聴き、それをただの体験で終わらせない準備を行う 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
3回	**授業テーマ：大学からのメッセージ 2　副学長講話「ホスピタリティは人のためならず」/オリエンテーション 3（メール管理）** 授業内容：①副学長講話 ②ノートテイキングの確認 ③ G メール(@meikai.ac.jp)の設定(PROG のメール受信確認、連絡を取る際の礼儀など) 事前学修 2.0hr：講話を聴き、それをただの体験で終わらせない準備を行う 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
4回	**授業テーマ：自己を知る 1　PROG テスト受験** 授業内容：自らを知るために PROG テストを受験する 事前学修 2.0hr：自らの特徴について考えておく 事後学修 2.0hr：テストを振り返り、自らについて改めて考える
5回	**授業テーマ：大学での学びの方法 1　学修ポートフォリオ　問題解決のためのメソッドの解説、プレゼン企画準備** 授業内容：①学修ポートフォリオのログインと活用方法 ②問題解決のためのメソッド解説(プレゼンテーション・ディスカッション指導) 事前学修 2.0hr：情報収集の手順などを調べておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り，学修ポイントを復習する
6回	**授業テーマ：大学での学びの方法 2　身近なものを比較しよう (準備・発表 1)** 授業内容：複数のものを比較し何を選ぶべきか、自分の考えを理解し、賛同してもらうためにはどのようなプレゼンテーションが必要なのか、協働によるアクティブラーニングを実施する。後半には発表を開始する。 事前学修 3.0hr：自分が担当するプレゼンテーションスライドの作成をしておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する

7回	**授業テーマ：大学での学びの方法３　身近なものを比較しよう (発表2)、振り返り** 授業内容：発表，プレゼンテーション資料の作成方法や発表態度について評価を受ける 事前学修 3.0hr：グループとしてのプレゼンテーションの作成 (各人の成果物を合成)、発表準備 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
8回	**授業テーマ：大学での学びの方法４　社会課題に取り組もう (準備) (自大学に関する学修、図書館の活用)** 授業内容：大学生活を快適で楽しく過ごすためには現状の問題をどのように解決すれば良いのか (学問や大学教育全般に対する動機付け、自大学に関する学修を含む)情報収集として、図書館のデータベースなども活用 事前学修 3.0hr：情報収集の準備として、図書館のデータベースなどの活用方法を理解しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
9回	**授業テーマ：大学での学びの方法５　インタビュー (アクティブラーニング)、評価** 授業内容：グループの提案を説明し、教員の意見・感想などをインタビューする 事前学修 3.0hr：教員に説明するためのスライド作成 事後学修 3.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
10回	**授業テーマ：大学での学びの方法６　発表 (クラスでの発表)** 授業内容：社会課題の解決方法の提案、インタビュー結果を含め小クラスで発表する 事前学修 3.0hr：事前に発表できるようにスライドを作成する 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
11回	**授業テーマ：大学での学びの方法７　コーチングスキルを身につけよう (カードゲームの実践)** 授業内容：コーチングスキル＝人の話を聞く・相手から引き出す能力を身につけることは、就職・会社においても有益であり、自主性、問題解決能力、モチベーションを高めることに有効と言われる。また、グループ活動にも有益であり、大学生同士の学び合いに効果が期待できる。そのために作成した教育用カードゲームを実践する。 事前学修 2.0hr：コーチングスキルとは何か、事前に調べておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
12回	**授業テーマ：自己を知る２　PROG テストの返却とフィードバック** 授業内容：PROG テストの返却とその見方を解説する。これにより、自らの強みとその活かし方、課題とその克服方法などを考える。 事前学修 2.0hr：PROG テストの振り返りが出来るように準備しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
13回	**授業テーマ：大学での学びを考える１　どうしたら幸せになれるのか 1** 授業内容：幸せとはどういう状態なのか、いま何が問題なのか、改善すべき問題を探る。 幸せを細分化し、ターゲットを決める。ゴールを設定する。発表のためのプレゼンテーションスライドを作成 事前学修 2.0hr：どのような内容を提案するか、グループ内で調整する 事後学修 3.0hr：発表するためのプレゼンテーションスライドを作成する
14回	**授業テーマ：大学での学びを考える２　どうしたら幸せになれるのか 2** 授業内容：前回および家で作成したプレゼンテーションスライドを発表する 事前学修 2.0hr：教科書「ロードマップを考える」を読み、学修内容を確認する 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
15回	**授業テーマ：大学での学びを考える３　ポートフォリオ、ロードマップの記入** 授業内容：本授業のまとめとして、ポートフォリオ、ロードマップを記入する。 自分自身の特性を理解し、目標を持って大学生活を充実させる。 事前学修 2.0hr：ポートフォリオ、ロードマップが書けるように情報等を準備する 事後学修 2.0hr：ポートフォリオ、ロードマップを完成させる

学修の基礎Ⅰ

開講学科等：日英中 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後 ｜ 備考：再履修クラス

遠藤　信一（えんどう　しんいち）**・佐々木　文彦**（ささき　ふみひこ）

▌授業の概要

この科目は、主体的・対話的・深い学びの実践によって、自己を理解し、大学を理解し、大学 4 年間でどのような自己を創り出すかを明確にデザインするための授業です。「自己を知る」「情報整理術」「学修計画やロードマップの作成」等さまざまな課題について考えます。明海大学での「自分さがし、自分づくり」を再スタートさせましょう。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：明海大学について理解を深め、自分自身の特性を理解し、目標を持って大学生活を再スタートすることができる
個別目標：①自分自身の特性を理解し、わかりやすく伝えることができる
②明海大学を理解し、わかりやすく伝えることができる
③大学生活でどのような自分を創り出すか、明確に描くことができる

▌履修条件

授業は毎回必ず受講し、内容をしっかり理解すること

▌評価基準・方法

①毎回の「事前学修」および「振り返りシート」(提出および内容）60 %
②提出物　40 %
（提出日時、所定のルールを守らないものは評価しない）
※なお、5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （授業回によってペアワークを実施）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （授業回によって使用する場合がある）

▌教科書

『学修の基礎Ⅰ』(入学年度に購入した教科書）

▌参考書

特になし

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：学修の基礎Ⅰの授業方法を知る。 事前学修 2.0hr：シラバス及び教科書を読み、授業全体の流れを確認する 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
2回	**授業テーマ：大学での学びの方法(1)メールと LMS** 授業内容：大学での学びの準備として、大学のメールと manaba の利用方法を確認する。 事前学修 2.0hr：「メールの書き方」について、HP などで調べる 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
3回	**授業テーマ：自己を知る(1)ポートフォリオの作成** 授業内容：Google スプレッドシートを利用して、e ポートフォリオを作成する。 事前学修 2.0hr：e ポートフォリオ・ポートフォリオについて、HP などで調べる 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
4回	**授業テーマ：大学での学びの方法(2)大学での学び方を知る** 授業内容：大学の理解を深めるため、教員・職員のこと、学内施設について改めて確認する。 事前学修 2.0hr：明海大学の HP で、学内の施設について調べる 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
5回	**授業テーマ：自己を知る(2)時間管理** 授業内容：自分の特性を理解した上で、目標を持った大学生活を送るために自分のスケジュール管理を見直す。 事前学修 2.0hr：「スケジュール管理」について、HP などで調べる 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、スケジュール帳などにこれからの計画を記入する
6回	**授業テーマ：大学での学びの方法(3)ノートテイキング** 授業内容：大学でのノートテイキングの重要性を知る。 事前学修 2.0hr：これまでの受講した授業のノートを見直し、良い点と問題点を考える 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
7回	**授業テーマ：情報整理術　アイディアの発想と情報の整理** 授業内容：大学で必要な思考の 1 つである「発想」と、それを整理する方法を知る。 事前学修 2.0hr：教科書「情報整理術」を読み、学修内容を確認する 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
8回	**授業テーマ：大学での学びの方法(4)情報検索** 授業内容：図書館の利用、Web での検索を通した情報検索の基本を知る。 事前学修 2.0hr：明海大学メディアセンターについて、HP などで調べる 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
9回	**授業テーマ：大学での学びの方法(5)大学での学び方を考える** 授業内容：自分の学部・学科での学修内容・学修方法を知る。 事前学修 2.0hr：履修ガイドや HP で、自分の学科について調べる 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
10回	**授業テーマ：自己を知る(3)マインドマップの作成** 授業内容：自分自身を多方面から見つめるために、マインドマップを作成する。 事前学修 2.5hr：マインドマップについて、HP などで調べる 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する

11回	**授業テーマ：自己を知る(4)マインドマップから自己を見る** 授業内容：マインドマップから、好きなことや特性を見出し、自分自身の強みを見つける。 事前学修 2.0hr：作成したマインドマップの中から「キーワード」を探す 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
12回	**授業テーマ：自己を知る(5)自分自身の特性を客観的にみる** 授業内容：ジェネリックスキルについて知る。セルフチェックし、自分の特性を客観的にみる 事前学修 2.0hr：ジェネリックスキルについて、HP などで調べる 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
13回	**授業テーマ：学修計画を立てる　ポートフォリオの記入** 授業内容：自分自身の特性を再確認し、大学生活でどのような自分を創り出すかを考える。 事前学修 2.0hr：教科書「学修計画を立てる」を読み、学修内容を確認する 事後学修 2.0hr：記入したポートフォリオを見直し、修正する
14回	**授業テーマ：ロードマップを考える　ロードマップの作成** 授業内容：大学生活でどのような自分を創り出すかを明確に描く。 事前学修 2.0hr：教科書「ロードマップを考える」を読み、学修内容を確認する 事後学修 2.0hr：記入したロードマップを見直し、修正する
15回	**授業テーマ：大学での学びを考える　ロードマップ実行のための指針** 授業内容：自分自身の特性を理解し、目標を持って改めて大学生活をスタートさせる。 事前学修 2.0hr：教科書「大学での学びを考える」を読み、学修内容を確認する 事後学修 2.0hr：記入したロードマップを見直し、修正する

学修の基礎Ⅱ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後 ｜ 備考：2025 年度入学生のみ履修可能

小野寺　樹璃（おのでら　じゅり）・**髙橋　眞人**（たかはし　まさと）・**髙橋　亜里沙**（たかはし　ありさ）・**中部　直之**（なかべ　なおゆき）・**藤本　陽子**（ふじもと　ようこ）・**堀内　貴子**（ほりうち　たかこ）・**柳井　まどか**（やない　まどか）・**山口　真葵**（やまぐち　まき）

▌授業の概要

日本語の運用能力の向上をめざし、論理的な思考力、表現力の育成をはかる。また、漢字・語句練習による語彙力の育成、談話完成練習による会話力の育成をはかる。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：論理的で分かりやすい文章で意見を述べることができる。
その際に、基本的な漢字・語句を正しく使い、正しい引用方法で先行研究やデータを利用することができる。
また、適切な対面コミュニケーションができる。

個別目標：基本的な漢字・語句について正しく理解、表現できるようになる。
論理的な思考により、伝えたい内容を分かりやすく表現できるようになる。
入門書レベルの文章を読んで大意を把握できるようになる。
場面情報、言語情報を正確に把握したうえで、適切な対面コミュニケーションができるようになる。

▌履修条件

期限までに課題の提出を行うこと。授業内の活動に積極的に参加すること。遅刻や欠席をしないこと。

▌評価基準・方法

4/5 以上の出席を評価の前提条件とする。
課題提出(小テスト・事前学修・事後学修・授業内課題・学修のふりかえり）60%、最終レポート 10 %、最終試験 30 %で評価する。

▌フィードバック方法

学修支援システム manaba および対面授業を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （プロセスライティングで文章作成を学ぶ。その中で、ピアレビュー、自己点検、発表を行う。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （文章作成にワードを、テーマ決めや主張を支える証拠を探すために Web 検索をし、発表資料作成にパワーポイントを使用する。）

▌教科書

『学生のコミュニケーション・スキルの学び　グローバル社会を生きるためのレッスン』実教出版

▌参考書

特になし

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス：コミュニケーションとは** 授業内容：本授業の概要についての説明を行う。また、事前テストを実施する。 事前学修 2.0hr：自分の経験から、良いコミュニケーション(文章・会話)には何が必要かを考える。 事後学修 2.0hr：コミュニケーション(文章・会話)について自分の考えを整理し、まとめる。
2回	**授業テーマ：情報を調整する** 授業内容：文章作成では、情報を調整する方法を学ぶ。会話では、感謝の伝え方を学ぶ。漢字・語句では、送り仮名のつけ方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」第１回 事後学修 2.0hr：テキスト「会話」第１回
3回	**授業テーマ：段落の構成を理解する** 授業内容：文章作成では、段落構成について学ぶ。会話では、延期の依頼の伝え方を学ぶ。漢字・語句では、送り仮名のつけ方２を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」第２回 事後学修 2.0hr：テキスト「会話」第２回
4回	**授業テーマ：要約する** 授業内容：文章作成では、要約の方法を学ぶ。会話では、書類の提出時の会話を学ぶ。漢字・語句では、敬語の基本の形を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」第３回 事後学修 2.0hr：テキスト「会話」第３回
5回	**授業テーマ：文章の構造と理解する** 授業内容：文章作成では、文章の構造を学び、文章の構造が理解できることを目指す。会話では、手順の質問の場面の会話を学ぶ。漢字・語句では、敬語の特別な形を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」第４回 事後学修 2.0hr：テキスト「会話」第４回
6回	**授業テーマ：プランニング１(アイディアの抽出と整理)** 授業内容：文章作成では、文章の構想を練るプランニングを学ぶ。会話では、会議の場面で司会の話し方について学ぶ。漢字・語句では、ウチとソトを意識した敬語について学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」第５回 事後学修 2.0hr：テキスト「会話」第５回
7回	**授業テーマ：プランニング２(アイディアの構造化)** 授業内容：文章作成では、自分の文章のプランニングを行う。会話では、遅刻の連絡場面での話し方を学ぶ。漢字・語句では、間違えやすい敬語について学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」第６回 事後学修 2.0hr：テキスト「会話」第６回
8回	**授業テーマ：主張を検討する** 授業内容：文章作成では、自分の作成したプランニングの検討として、自分とは異なる主張の立場から見る方法を学ぶ。会話では、会議の場面で、自分の意見の適切な述べ方を学ぶ。漢字・語句では、改まった表現について学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」第７回 事後学修 2.0hr：テキスト「会話」第７回
9回	**授業テーマ：理由を検討する** 授業内容：文章作成では、自分の作成したプランニングの主張を支える理由の妥当性を考える。会話では、仕事などの進捗状況を責任者等に報告する際の伝え方を学ぶ。漢字・語句では、熟語の構成について学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」第８回 事後学修 2.0hr：テキスト「会話」第８回

10回	**授業テーマ：証拠となる客観的資料を探す** 授業内容：文章作成では、自分のプランニングを見て、主張を支える理由の証拠となる資料を探す方法を学ぶ。会話では、会議の場面で結論を導くための話し方を学ぶ。漢字・語句では、漢字の構成について学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」第９回 事後学修 2.0hr：テキスト「会話」第９回
11回	**授業テーマ：原稿を作成する** 授業内容：文章作成では、自分の文章のプランニングを見て、主張、理由、証拠となるデータが論理的に適切につながっているかを検討する。会話では、企画について話し合う場面で、建設的な相談の話し方を学ぶ。漢字・語句では、四字熟語について学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」第１０回 事後学修 2.0hr：テキスト「会話」第１０回
12回	**授業テーマ：資料を作成する** 授業内容：文章作成では、自分のプランニングに基づいて、意見文の文章作成を行う。会話では、その場にいない人に対する伝言を残す際の話し方を学ぶ。漢字・語句では、四字熟語について学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」第１１回 事後学修 2.0hr：テキスト「会話」第１１回
13回	**授業テーマ：発表する** 授業内容：文章作成では、自分の意見を発表する際の資料を作成する。会話では、就職活動等で自己 PR を述べる際の話し方を学ぶ。漢字・語句では、対義語と誤字訂正を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」第１２回 事後学修 2.0hr：テキスト「会話」第１２回
14回	**授業テーマ：コメントをする** 授業内容：文章作成では、自分の意見を発表する。また他者の発表を聞いて改善のための建設的なコメントを行う。会話では、就職活動等で志望動機を述べる際の話し方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」第１３回 事後学修 2.0hr：テキスト「会話」第１３回
15回	**授業テーマ：論理的な思考力・表現力とは** 授業内容：最終試験を行う。コース全体の振りかえりをする。文章作成ではライティングプロセスを振り返り、工夫した点や改善をした点について再度検討を行う。また、会話や漢字・語句で学んだことをまとめる。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」巻末問題 事後学修 2.0hr：これまでの復習をする。

学修の基礎Ⅱ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後 ｜ 備考：再履修クラス

小野寺　樹璃（おのでら　じゅり）・**中部　直之**（なかべ　なおゆき）・**山口　真葵**（やまぐち　まき）

▌授業の概要

日本語の運用能力の向上をめざし、論理的な思考力、表現力の育成をはかる。また、漢字・語句練習による語彙力の育成、談話完成練習による会話力の育成をはかる。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：論理的で分かりやすい文章で意見を述べることができる。
その際に、基本的な漢字・語句を正しく使い、正しい引用方法で先行研究やデータを利用することができる。
また、適切な対面コミュニケーションができる。

個別目標：基本的な漢字・語句について正しく理解、表現できるようになる。
論理的な思考により、伝えたい内容を分かりやすく表現できるようになる。
入門書レベルの文章を読んで大意を把握できるようになる。
場面情報、言語情報を正確に把握したうえで、適切な対面コミュニケーションができるようになる。

▌履修条件

期限までに課題の提出を行うこと。授業内の活動に積極的に参加すること。遅刻や欠席をしないこと。

▌評価基準・方法

4/5 以上の出席を評価の前提条件とする。
課題提出(小テスト・事前学修・事後学修・授業内課題・学修のふりかえり) 60%、最終レポート 10 %、期末試験 30 %で評価する。

▌フィードバック方法

学修支援システム manaba および対面授業を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （プロセスライティングで文章作成を学ぶ。その中で、ピアレビュー、自己点検、発表を行う。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （文章作成にワードを、テーマ決めや主張を支える証拠を探すために Web 検索をし、発表資料作成にパワーポイントを使用する。）

▌教科書

『学生のコミュニケーション・スキルの学び　グローバル社会を生きるためのレッスン』実教出版

▌参考書

特になし

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス：コミュニケーションとは** 授業内容：本授業の概要についての説明を行う。また、事前テストを実施する。 事前学修 2.0hr：自分の経験から、良いコミュニケーション(文章・会話)には何が必要かを考える。 事後学修 2.0hr：コミュニケーション(文章・会話)について自分の考えを整理し、まとめる。
2回	**授業テーマ：情報を調整する** 授業内容：文章作成では、情報を調整する方法を学ぶ。会話では、感謝の伝え方を学ぶ。漢字・語句では、送り仮名のつけ方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」第１回 事後学修 2.0hr：テキスト「会話」第１回
3回	**授業テーマ：段落の構成を理解する** 授業内容：文章作成では、段落構成について学ぶ。会話では、延期の依頼の伝え方を学ぶ。漢字・語句では、送り仮名のつけ方２を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」第２回 事後学修 2.0hr：テキスト「会話」第２回
4回	**授業テーマ：要約する** 授業内容：文章作成では、要約の方法を学ぶ。会話では、書類の提出時の会話を学ぶ。漢字・語句では、敬語の基本の形を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」第３回 事後学修 2.0hr：テキスト「会話」第３回
5回	**授業テーマ：文章の構造と理解する** 授業内容：文章作成では、文章の構造を学び、文章の構造が理解できることを目指す。会話では、手順の質問の場面の会話を学ぶ。漢字・語句では、敬語の特別な形を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」第４回 事後学修 2.0hr：テキスト「会話」第４回
6回	**授業テーマ：プランニング１(アイディアの抽出と整理)** 授業内容：文章作成では、文章の構想を練るプランニングを学ぶ。会話では、会議の場面で司会の話し方について学ぶ。漢字・語句では、ウチとソトを意識した敬語について学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」第５回 事後学修 2.0hr：テキスト「会話」第５回
7回	**授業テーマ：プランニング２(アイディアの構造化)** 授業内容：文章作成では、自分の文章のプランニングを行う。会話では、遅刻の連絡場面での話し方を学ぶ。漢字・語句では、間違えやすい敬語について学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」第６回 事後学修 2.0hr：テキスト「会話」第６回
8回	**授業テーマ：主張を検討する** 授業内容：文章作成では、自分の作成したプランニングの検討として、自分とは異なる主張の立場から見る方法を学ぶ。会話では、会議の場面で、自分の意見の適切な述べ方を学ぶ。漢字・語句では、改まった表現について学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」第７回 事後学修 2.0hr：テキスト「会話」第７回
9回	**授業テーマ：理由を検討する** 授業内容：文章作成では、自分の作成したプランニングの主張を支える理由の妥当性を考える。会話では、仕事などの進捗状況を責任者等に報告する際の伝え方を学ぶ。漢字・語句では、熟語の構成について学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」第８回 事後学修 2.0hr：テキスト「会話」第８回

10回	**授業テーマ：証拠となる客観的資料を探す** 授業内容：文章作成では、自分のプランニングを見て、主張を支える理由の証拠となる資料を探す方法を学ぶ。会話では、会議の場面で結論を導くための話し方を学ぶ。漢字・語句では、漢字の構成について学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」第９回 事後学修 2.0hr：テキスト「会話」第９回
11回	**授業テーマ：原稿を作成する** 授業内容：文章作成では、自分の文章のプランニングを見て、主張、理由、証拠となるデータが論理的に適切につながっているかを検討する。会話では、企画について話し合う場面で、建設的な相談の話し方を学ぶ。漢字・語句では、四字熟語について学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」第１０回 事後学修 2.0hr：テキスト「会話」第１０回
12回	**授業テーマ：資料を作成する** 授業内容：文章作成では、自分のプランニングに基づいて、意見文の文章作成を行う。会話では、その場にいない人に対する伝言を残す際の話し方を学ぶ。漢字・語句では、四字熟語について学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」第１１回 事後学修 2.0hr：テキスト「会話」第１１回
13回	**授業テーマ：発表する** 授業内容：文章作成では、自分の意見を発表する際の資料を作成する。会話では、就職活動等で自己 PR を述べる際の話し方を学ぶ。漢字・語句では、対義語と誤字訂正を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」第１２回 事後学修 2.0hr：テキスト「会話」第１２回
14回	**授業テーマ：コメントをする** 授業内容：文章作成では、自分の意見を発表する。また他者の発表を聞いて改善のための建設的なコメントを行う。会話では、就職活動等で志望動機を述べる際の話し方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」第１３回 事後学修 2.0hr：テキスト「会話」第１３回
15回	**授業テーマ：論理的な思考力・表現力とは** 授業内容：コース全体の振りかえりをする。文章作成ではライティングプロセスを振り返り、工夫した点や改善をした点について再度検討を行う。また、会話や漢字・語句で学んだことをまとめる。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」巻末問題 事後学修 2.0hr：これまでの復習をする。

学修の基礎Ⅲ-a（データリテラシー　数理・推論）

開講学科等：日英中経不 HT 保　｜　1 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前/後

相川　野々香（あいかわ　ののか）・**遠藤　恵祐**（えんどう　けいすけ）・**中島　達洋**（なかじま　たつひろ）・**中村　元紀**（なかむら　げんき）・**萩尾　由貴子**（はぎお　ゆきこ）・**前田　新太郎**（まえだ　しんたろう）・**茂木　誠拓**（もぎ　ともひろ）

▌授業の概要

これからの時代は「AI・データサイエンス」が基盤教養です。この講義では、「数字データリテラシー」と「データに基づく推論力」といったデータサイエンスの基礎を身につけるため、以下の項目を学びます：

・「数字データ」の加工法、解釈法、使用法（元データ・割合・率・確率・平均値など）

・正しい推論に必要な考え方と基本ツール（マトリクス・ロジックツリー・演繹的推論・帰納的推論）

担当教員によって授業運営方法は若干異なります。また、学修支援システム manaba を利用した反転授業が行われる場合もあります。各クラスの担当教員の指示に従って学習を進めてください。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：① 物事を数字化して捉える「数字データリテラシー」の基礎的素養を身につける。

② 得たデータから、適切な結論を論理的に導出することを可能とする「推論力（ロジカル・シンキング）」の基礎的素養を身につける。

個別目標：① 日常生活や仕事で目にする様々な数値データの意味を正しく読み取り、説明できる。

② 与えられたデータから、必要かつ適切な数値を計算し、その思考過程を適切にアウトプットできる。

③ 自分、あるいは他人（AI も含む）がデータから得た結論の妥当性を（簡単な場合には）判断できる。

▌履修条件

必修科目につき特にありません。

▌評価基準・方法

到達度確認テスト（2 回）50 %、授業時の課題（レポート& ドリル）50 %で評価します。

また、全授業数の 80 %以上の出席を評価の前提条件とします。

▌フィードバック方法

課題やテストのフィードバックは、学修支援システム manaba を通じて行い、各課題の成績は manaba で参照できるようにします。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （できるだけ反転授業（基本事項は動画、問題演習は教室）の形に近づけます。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし （ただし、PC があると課題に取り組むときに便利です。）

▌教科書

中島達洋『数字データリテラシーのトレーニング』（開成出版、2025）

▌参考書

テキストの参考文献欄を参照してください。また、必要に応じて授業中に提示します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス & プレイスメントテスト** 授業内容：ガイダンスで授業内容、成績評価方法について説明する。その後で、現時点での実力把握のためのプレイスメントテストを実施する。 事前学修 1.0hr：講義概要やテキストを読んで、授業内容のイメージを作っておく。 事後学修 3.0hr：プレイスメントテストの結果を見て「計算力」に問題があるときは、テキストの Lesson 0 を自習すること。
2 回	**授業テーマ：基本的な計算【Lesson 1】** 授業内容：分数の計算方法と一次方程式の解法について復習する。簡単に事前学習内容をさらった後に、manaba のドリルとレポート課題に取り組む。 事前学修 2.0hr：テキストの「解説」を読む。manaba 上に動画や教材がアップされているときは、教員の指示に従って取り組む。 事後学修 2.0hr：テキスト練習問題の復習をする。教員の指示があるときは、manaba のドリルや補助プリントの問題に取り組む。
3 回	**授業テーマ：データリテラシー（数値データの加工と解釈）① 1 単位あたりの数値と"新しい量"の表現【Lesson 2】** 授業内容：異なる単位の割り算で求めることができる「1 あたり量」の意味を理解する。また、様々な文章題が同一の構造であることに気づく。簡単に事前学習内容をさらった後に、manaba のドリルとレポート課題に取り組む。 事前学修 2.0hr：テキストの「解説」を読む。manaba 上に動画や教材がアップされているときは、教員の指示に従って取り組む。 事後学修 2.0hr：テキスト練習問題の復習をする。教員の指示があるときは、manaba のドリルや補助プリントの問題に取り組む。
4 回	**授業テーマ：データリテラシー（数値データの加工と解釈）② 割合計算の基本・割合が良いケース／実数が良いケース【Lesson 3】** 授業内容：割合の意味と計算方法について理解する。さらに割合が入れ子になった「内訳の内訳」の問題の解法を学ぶ。簡単に事前学習内容をさらった後に、manaba のドリルとレポート課題に取り組む。 事前学修 2.0hr：テキストの「解説」を読む。manaba 上に動画や教材がアップされているときは、教員の指示に従って取り組む。 事後学修 2.0hr：テキスト練習問題の復習をする。教員の指示があるときは、manaba のドリルや補助プリントの問題に取り組む。
5 回	**授業テーマ：データリテラシー（数値データの加工と解釈）③ 増加率と減少率【Lesson 4】** 授業内容：「○%増」とか「○%減」という言葉の正しい意味を理解する。また、その応用として、「損益算」の問題へのアプローチ方法を学ぶ。簡単に事前学習内容をさらった後に、manaba のドリルとレポート課題に取り組む。 事前学修 2.0hr：テキストの「解説」を読む。manaba 上に動画や教材がアップされているときは、教員の指示に従って取り組む。 事後学修 2.0hr：テキスト練習問題の復習をする。教員の指示があるときは、manaba のドリルや補助プリントの問題に取り組む。
6 回	**授業テーマ：データサイエンスの基礎① データの種類とクロス集計表【Lesson 5】** 授業内容：質的変数と量的変数、尺度などデータの種類を理解する。さらに、質的変数の分析ツールであるクロス集計表の作成方法や、それを使った「集合の問題」の解法について学ぶ。簡単に事前学習内容をさらった後に、manaba のドリルとレポート課題に取り組む。 事前学修 2.0hr：テキストの「解説」を読む。manaba 上に動画や教材がアップされているときは、教員の指示に従って取り組む。 事後学修 2.0hr：テキスト練習問題の復習をする。教員の指示があるときは、manaba のドリルや補助プリントの問題に取り組む。
7 回	**授業テーマ：到達度確認テスト 1 対策講座** 授業内容：講義前半の内容を総括する「到達度確認テスト 1」に備え、重要事項の確認や、必須問題の解法の復習を行う。 事前学修 2.0hr：これまでのレポート問題を復習し、疑問点をピックアップしておく。 事後学修 2.0hr：到達度確認テスト 1 模試（manaba）を受験し、苦手ポイントを把握する。レポート問題の復習を繰り返す。
8 回	**授業テーマ：到達度確認テスト 1** 授業内容：第 2 回授業～第 7 回授業（Lesson 0 ～ Lesson 5）の内容を総括した到達度確認テスト 1 を実施する。テスト終了後、いくつかの注意すべき問題について解説する。 事前学修 3.0hr：Lesson 0 ～ Lesson 5 で学んだ内容を復習し、テストに備える。 事後学修 1.0hr：テスト問題（特にできなかった問題）を解き直してみる。友人と教え合うのも良い。

9回	**授業テーマ：データサイエンスの基礎② 記述統計量について知る【Lesson 6】** 授業内容：平均値・中央値・分散・標準偏差といったデータの特徴を表す量について学ぶ。簡単なデータからこれらの量を計算できるようにする。簡単に事前学習内容をさらった後に、manaba のドリルとレポート課題に取り組む。 事前学修 2.0hr：テキストの「解説」を読む。manaba 上に動画や教材がアップされているときは、教員の指示に従って取り組む。 事後学修 2.0hr：テキスト練習問題の復習をする。教員の指示があるときは、manaba のドリルや補助プリントの問題に取り組む。
10回	**授業テーマ：データに基づく推論と分析① 正しい場合分けをする方法(ロジックツリー)【Lesson 7】** 授業内容：数え上げの問題を題材に、問題をモレなくダブリなく(MECE)場合分けし、それをツリー(樹形)状に整理する方法を学ぶ。簡単に事前学習内容をさらった後に、manaba のドリルとレポート課題に取り組む。 事前学修 2.0hr：テキストの「解説」を読む。manaba 上に動画や教材がアップされているときは、教員の指示に従って取り組む。 事後学修 2.0hr：テキスト練習問題の復習をする。教員の指示があるときは、manaba のドリルや補助プリントの問題に取り組む。
11回	**授業テーマ：データリテラシー(数値データの加工と解釈)④ 確率の計算と期待値【Lesson 8】** 授業内容：確率について学習する。ツリーを使って問題を整理し、「積の法則」と「和の法則」の意味と使えるようになることを目標とする。さらに、確率変数の平均値「期待値」について学び、期待値が意思決定や金融商品の価値計算などに応用できることを、練習問題を通じて理解する。簡単に事前学習内容をさらった後に、manaba のドリルとレポート課題に取り組む。 事前学修 2.0hr：テキストの「解説」を読む。manaba 上に動画や教材がアップされているときは、教員の指示に従って取り組む。 事後学修 2.0hr：テキスト練習問題の復習をする。教員の指示があるときは、manaba のドリルや補助プリントの問題に取り組む。
12回	**授業テーマ：データに基づく推論と分析② 推論のトレーニング(演繹的推論)【Lesson 9】** 授業内容：「P ならば Q」という命題がどんなときに成立するのかを理解する。さらに、命題の同値変形である対偶について学び、三段論法の使い方をトレーニングする。簡単に事前学習内容をさらった後に、manaba のドリルとレポート課題に取り組む。 事前学修 2.0hr：テキストの「解説」を読む。manaba 上に動画や教材がアップされているときは、教員の指示に従って取り組む。 事後学修 2.0hr：テキスト練習問題の復習をする。教員の指示があるときは、manaba のドリルや補助プリントの問題に取り組む。
13回	**授業テーマ：データに基づく推論と分析③ 推論のトレーニング(帰納的推論・規則性の発見)【Lesson 10】** 授業内容：問題に対して、自分でデータを集め、そこから帰納的に考えて一般法則を見い出して解決する考え方を学習する。簡単に事前学習内容をさらった後に、manaba のドリルとレポート課題に取り組む。 事前学修 2.0hr：テキストの「解説」を読む。manaba 上に動画や教材がアップされているときは、教員の指示に従って取り組む。 事後学修 2.0hr：テキスト練習問題の復習をする。教員の指示があるときは、manaba のドリルや補助プリントの問題に取り組む。
14回	**授業テーマ：到達度確認テスト 2 対策講座** 授業内容：講義後半の内容を総括する「到達度確認テスト 2」に備え、重要事項の確認や、必須問題の解法の復習を行う。 事前学修 2.0hr：これまでのレポート問題を復習し、疑問点をピックアップしておく。 事後学修 2.0hr：到達度確認テスト 2 模試(manaba)を受験し、苦手ポイントを把握する。レポート問題の復習を繰り返す。
15回	**授業テーマ：到達度確認テスト2** 授業内容：第 9 回授業～第 14 回授業(Lesson 6 ～ Lesson 10)の内容を総括した到達度確認テストを実施する。テスト終了後、いくつかの注意すべき問題について解説する。 事前学修 3.0hr：第 9 回授業～第 14 回授業(Lesson 6 ～ Lesson 10)で学んだ内容を復習し、テストに備える。 事後学修 1.0hr：テスト問題(特にできなかった問題)を解き直してみる。友人と教え合うのも良い。

学修の基礎Ⅲ-b（情報リテラシー）

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

相川　野々香（あいかわ　ののか）・**遠藤　恵祐**（えんどう　けいすけ）・**遠藤　信一**（えんどう　しんいち）・**高橋　奈佳**（たかはし　なか）・**中村　元紀**（なかむら　げんき）・**萩尾　由貴子**（はぎお　ゆきこ）・**前田　新太郎**（まえだ　しんたろう）・**茂木　誠拓**（もぎ　ともひろ）・**渡部　綾子**（わたべ　あやこ）

▌授業の概要

生成 AI の登場により、データサイエンスの分野も大きく変革を遂げようとしている。本学の学生として身につけるべき基礎教養として、Society5.0 社会・ビッグデータ・IoT・AI・ロボットなどについて学ぶ。なお、本科目では、データサイエンスの基礎として、

・生成 AI の利活用とその前提として必要な情報モラルについて理解すること
・データの利活用に関わる安全対策、情報モラルについて理解すること
・データの利活用のための分析スキルの基礎知識を習得すること
・データの利活用し、建学の精神を柱とした問題解決学習・プレゼンテーション技法を身につけること

を目指す。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：データサイエンス・生成 AI に関する知識、情報モラル・セキュリティの知識、「データを読む、説明する、扱う」能力などを踏まえて情報・データの利活用ができるようになること。

個別目標：1. データの利活用、AI(生成 AI を含む) 利活用の役割と事例を具体的に説明することができる。
2. データ利活用の倫理、セキュリティについて的確に説明することができる。
3. 文字入力や、ファイル操作、ネットワーク利用などの基本操作ができる。
4.Excel による実データの分析と可視化ができる。
5.PowerPoint を用いたプレゼンテーション資料の作成と適切な発表ができる。

▌履修条件

授業は毎回必ず出席して課題を提出し、事前事後学修もしっかり行うこと。
Microsoft の Excel、PowerPoint を授業外でも使えることが望ましい。

▌評価基準・方法

課題（85%）、タイピング試験（15 %）の合計点で評価する。
なお、5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

提出物の評価および、フィードバックは授業内、もしくは manaba で行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （授業回によって異なるが実施）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （情報処理演習室を利用する）

▌教科書

保本正芳『基礎から始めるデータサイエンス』noa 出版（2022）
ISBN：978-4-908434-76-1

▌参考書

参考となる図書やウェブページがある場合は別途指示する。
担当教員によって授業方法・進行がことなります。詳細は担当教員に確認してください。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス：講義の概要と進め方・インターネットの利活用** 授業内容：学修の基礎Ⅲ-b での授業の目的を理解する。また、大学のメール設定をし、大学や社会で必要なメールの書き方を学修する。合わせて、大学で利用している LMS である「manaba」の利用方法を確認する。タイピング練習方法を確認する。 現在進行中の社会変化（第４次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等）について学ぶ。 事前学修 2.0hr：シラバスを読む。 事後学修 2.0hr：シラバスおよび担当教員の指示内容を確認する。タイピング練習を行う。
2回	**授業テーマ：Windows の基礎：Windows の概要とウィンドウやファイルなどの操作方法・データサイエンスの役割** 授業内容：Windows の概要と基本的な操作方法を確認する。合わせて、データや AI の活用によって起きている社会の環境の変化について確認する。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って参考資料などを確認する。タイピング練習を行う。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習する。タイピング練習を行う。
3回	**授業テーマ：情報モラルと情報セキュリティ：データを扱う上での留意事項** 授業内容：データ・生成 AI を扱う際の留意事項や、それらに対する取り組みについて学修する。また、データの中には機密情報や個人情報も多く含まれていることから、データを守るための原則と方法を確認する。 事前学修 2.0hr：データの扱いについて調べる。タイピング練習を行う。 事後学修 2.5hr：授業内容を復習する。タイピング練習を行う。
4回	**授業テーマ：ビッグデータと生成 AI(1)：ビッグデータと生成 AI の活用領域と利活用のための技術** 授業内容：データ・生成 AI が利活用される領域・分野は広がりを見せている。そこで、データ・生成 AI が利活用される領域について学修する。また、生成 AI などを利活用する上で必要な留意点について学ぶ。 収集したデータを活用するために、データを解析する方法や技術について学ぶ。 事前学修 2.0hr：ビッグデータ・生成 AI の活用事例を調べる。タイピング練習を行う。 事後学修 2.5hr：授業内容を復習する。タイピング練習を行う。
5回	**授業テーマ：ビッグデータと生成 AI(2)：ビッグデータと AI の課題解決への活用場面と最新動向** 授業内容：人がどのようにデータ・生成 AI を利活用しているのかについて具体的な例を確認し、利活用の方法や可能性について学修する。また、データ・生成 AI が活用されている最新のビジネスモデルや用語、技術を確認する。中でも生成 AI 等を活用した新しいビジネスモデル (シェアリングエコノミー、商品のレコメンデーションなど) などについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：ビッグデータ・生成 AI の活用したビジネスモデルを調べる。タイピング練習を行う。 事後学修 2.5hr：授業内容を復習する。タイピング練習を行う。

6回	**授業テーマ：Excel（1）：Excel の基本** 授業内容：ビッグデータ、IoT 、生成 AI などによる社会の変化とデータ量の増加、計算機の処理性能の向上、AI の最新技術の活用例などを学び、データ解析と推論や流通システム、金融等におけるデータ・生成 AI 利活用事例などについて学ぶ。 データ分析には Excel を用いる。その前段階として、Excel の基本であるデータ入力、セル操作、ワークシート操作・計算式について説明し、実際に操作し、理解する。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。タイピング練習を行う。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習する。タイピング練習を行う。
7回	**授業テーマ：Excel（2）：相対参照と絶対参照・基本の関数** 授業内容：Excel でデータを分析するときに利用する「関数」と、セル参照を使った計算方法について演習形式で説明し、実際に操作し、理解する。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書を確認する。タイピング練習を行う。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習する。タイピング練習を行う。
8回	**授業テーマ：Excel（3）：「データを説明する、扱う」方法（顧客分析）** 授業内容：データ分析の練習として、データの集計（和、平均、代表値を計算したのち、グラフを作成する。グラフ作成では、優れた可視化と不適切なグラフ表現があるため、これについて理解し、「データを説明する、扱う」ための演習を実施する。。 事前学修 2.0hr：データの種類について調べておく。タイピング練習を行う。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習する。タイピング練習を行う。
9回	**授業テーマ：Excel（4）：「データを読む」方法・タイピング試験（仕入れ体験）** 授業内容：データの種類（量的変数、質的変数）・データの分布 (ヒストグラム)、代表値・代表値の性質の違い・データのばらつき、データに含まれる誤差の扱い、相関関係・相関係数について理解する。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。タイピング練習を行う。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習する。これまでの課題の修正をする。
10回	**授業テーマ：Excel（5）：データを用いたデータ分析（公的統計データ・POS データの利用 1）** 授業内容：POS データや公的統計データから実践的なデータ分析の演習を行う。タイピング試験を実施する。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。タイピングテスト結果を提出する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習する。
11回	**授業テーマ：Excel（6）：データを用いたデータ分析（公的統計データ・POS データの利用 1）** 授業内容：POS データや公的統計データを用いて、実践的なデータの集計の演習を行う。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習する。
12回	**授業テーマ：Excel（7）：実データを用いたデータの可視化と考察（公的統計データ・POS データの活用 2）** 授業内容：第 11 回授業で集計したデータを可視化し、これまで学修した内容を踏まえてデータ分析の結果を考察する。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習する。
13回	**授業テーマ：PowerPoint（1）：プレゼンテーションの概要、スライド作成・編集** 授業内容：学修の基礎 I に関連させ、明海大学独自の問題解決メソッドによりながら、プレゼンテーションで利用する PowerPoint の基本的な操作を学修したのち、スライドのレイアウト、わかりやすいプレゼンの展開、色の表現方法などについて理解する。 その際、建学の精神との関連に留意する。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習する。
14回	**授業テーマ：PowerPoint（2）：プレゼンテーションの適切な準備** 授業内容：第 15 回授業で発表するためのスライドを作成する。スライド作成には、第 13 回の授業で学修した内容を活用する。 なお、スライド作成にあたっては、建学の精神との関連に留意する。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習する。発表練習をする。
15回	**授業テーマ：PowerPoint（3）：プレゼンテーションの適切な実行・まとめ：ルーブリックを用いた到達度の自己評価** 授業内容：第 14 回で作成したプレゼンテーションをグループで発表し、相互評価を行う。授業の最後に、授業全体のまとめと、この授業の到達度について評価する。 事前学修 2.5hr：発表練習をする。本科目の到達・個別目標を再確認し、これまでの学修内容を復習する。 事後学修 2.0hr：学修内容を復習する。

人間存在の課題

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

中根　弘之（なかね　ひろゆき）

▌授業の概要

現代は様々な物質的発達の影で人間のあり方が問われている時代であると言うことができる。なぜなら「生きるために物質的に豊かになる」という本来の手段と目的が逆転し、「物質的に豊かになるために生きる」という状況に、人間性が押しつぶされるような状況が生じているからである。本講義では、西洋哲学・思想を中心に学習しながら、自己と世界のあり方を反省し、生きるの意味を自ら問いただすために必要な事項について講義する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：　西洋哲学の基礎的概念や諸問題について把握し、かつ、自己の存在と向き合う実存思想について深く理解することで自らの人生を反省することができることを目標とする。

個別目標：(1)西洋哲学の基礎的術語や諸命題について説明することができる。
(2)実存思想に属する哲学者の思想の特徴を説明することができる。

▌履修条件

主体的に自己のあり方、世界のあり方を考え、哲学思想を学ぶ意志のある学生であること。

▌評価基準・方法

中間テスト点３０点
まとめテスト点７０点
このほか、自主学習のため manaba を用いて、課題を３回出すので、２回以上の提出を求める。

▌フィードバック方法

学期進行中に実施する中間テストの点数は、要望に従い学生に公開する。
同様に課題についても全体コメントを公表し、要望があれば学生個々に manaba を用いて指導する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

指定しない。資料は教室で配布する。

▌参考書

指定しない。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：西洋哲学思想とは何か　導入** 授業内容：単位取得の条件の確認、および西洋哲学の学問範囲、分類などの全体を概括する。 事前学修 2.0hr：哲学と呼ばれている学問について自分なりに調べる 事後学修 2.0hr：講義で学習した内容の確認と自身が調べた内容の違いをノート学習する
2回	**授業テーマ：哲学入門　認識論１** 授業内容：真理判断に用いられる基準について学ぶ。具体的には対応説、整合説、有用説、合意説の 4 つであり、それぞれの該当する真理概念について検討する。 事前学修 2.0hr：「真理」と呼ばれるものの成立条件は何かを考える 事後学修 2.0hr：「真理」に関する様々な立場を説明できるようにノート整理を行う
3回	**授業テーマ：哲学入門　認識論２** 授業内容：認識の起源論として合理論と経験論、そしてカントの認識論雄それぞれについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：「物を知る」条件とは何かを考える 事後学修 2.0hr：経験論の限界について自分なりにまとめる
4回	**授業テーマ：哲学入門　認識論３** 授業内容：認識の妥当範囲について学ぶ。また実在論の中から、哲学の歴史的論争となった「普遍論争」について検討する。 事前学修 2.0hr：「何を知る」のかその対象となる範囲について考える 事後学修 2.0hr：実在論と観念論の違いについて自分なりに答えられるようにしておく
5回	**授業テーマ：哲学入門　存在論１　アリストテレスのカテゴリー論** 授業内容：アリストテレスの『形而上学』を中心として、「存在」の条件について検討する。 事前学修 2.0hr：アリストテレスの存在論について調べておく 事後学修 2.0hr：カテゴリーについて全て答えられるように自主学習する
6回	**授業テーマ：哲学入門　存在論２　存在の量について** 授業内容：一元論や多元論といった存在の量的差異の検討を行う。また、二元論から生じる「機会原因論」についても取り上げて検討する。 事前学修 2.0hr：一元論と多元論についてあらかじめ事典等で調べておく 事後学修 2.0hr：種々の立場の主張の問題点をノート学習で自分なりに整理する
7回	**授業テーマ：哲学入門　存在論３　存在の質について** 授業内容：存在の質についても門愛代から唯物論とその批判、そして観念論と唯心論について検討する。 事前学修 2.0hr：唯物論と唯心論について事典等で調べておく 事後学修 2.0hr：種々の立場の主張の問題点をノート学習で自分なりに整理する
8回	**授業テーマ：中間まとめとテスト** 授業内容：ここまで講義で扱ってきた西洋哲学の基本的な考えについて要点をまとめ、中間テストを実施する。 事前学修 2.0hr：これまで講義で扱った認識論と存在論雄範囲について自分で復習しておく 事後学修 2.0hr：中間テストの出来を自分で思い出し、理解度の足りなかった部分を確認する
9回	**授業テーマ：人間存在の学としての実存思想…サルトルの問題提起** 授業内容：実存思想、実存主義について、これまで学んだ認識論的、存在論的な前提からどの点で変更がなされたか、サルトルの思想を軸に検討する。 事前学修 2.0hr：実存思想について事典等で調べておく 事後学修 2.0hr：講義で習った要点を復習し、参考図書を読む
10回	**授業テーマ：パスカルの思想** 授業内容：パスカルの『パンセ』を軸に、実存思想の先駆けとなったモラリストの思想的特徴を紹介し、検討する。 事前学修 2.0hr：Ｂ. パスカルについて事典等で調べておく 事後学修 2.0hr：講義で習った要点を復習し、参考図書を読む

11回	**授業テーマ：ニーチェの思想** 授業内容：「神は死んだ」に代表される「ニヒリズム」の思想とそこから生じる実存的な価値世界について紹介し、検討する。 事前学修 2.0hr：F. ニーチェについて事典等で調べておく 事後学修 2.0hr：講義で習った要点を復習し、参考図書を読む
12回	**授業テーマ：キェルケゴールの思想** 授業内容：実存思想の代表的人物であるキェルケゴールの思想について「不安」「絶望」の概念を軸に紹介し、検討する。 事前学修 2.0hr：S. キェルケゴールについて事典等で調べておく 事後学修 2.0hr：講義で習った要点を復習し、参考図書を読む
13回	**授業テーマ：ヤスパースの思想** 授業内容：ヤスパースの「実存哲学」を軸に、「限界状況」などよく知られているヤスパースの思想について紹介し、検討する。 事前学修 2.0hr：K. ヤスパースについて事典等で調べておく 事後学修 2.0hr：講義で習った要点を復習し、参考図書を読む
14回	**授業テーマ：ハイデガーの思想** 授業内容：ハイデガーの主張する「死に臨む存在」としての人間のあり方を「頽落」いているとされる「世人」のあり方から検討する。 事前学修 2.0hr：M. ハイデガーについて事典等で調べておく 事後学修 2.0hr：講義で習った要点を復習し、参考図書を読む
15回	**授業テーマ：まとめと平常テスト** 授業内容：実存思想、実存主義の思想について要点をまとめ、期末テストを平常テストで実施する。 事前学修 2.0hr：１４回までの講義で習ったことをノート整理して学習する 事後学修 2.0hr：講義全体から人間存在のあるべき姿について考え、自分なりにまとめる。

社会生活と倫理

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

中根　弘之（なかね　ひろゆき）

▌授業の概要

今日、価値観が多様化し、「善」について確固とした意見を持つことが困難になってきている。しかし、そんな状況にあっても我々は、生きている限り「どのように生きるべきか」考え、自ら「よい生」を選びとらなければならない。成熟した人格を持つ個人として社会生活をよりよく生きるため、本講義では西洋倫理学で用いられる概念を講じ、受講者の求める「よい生」へのヒントを提示したいと考える。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：　西洋倫理学の基本的な知識の習得と、自分の置かれた状況に、習得した知識を活かして自分で分析し、立ち向かうことのできるような学生を育成することを目的とする。

個別目標：(1)倫理学の問題領域についての基礎知識を身に付け、説明することができる。
(2)「良心」について複数の視点から説明することができる。
(3)「他者」認識について複数の視点から説明することができる。
(4)「徳」について現代的意義を踏まえながら説明することができる。
(5)「幸福」について個人的「幸福」と社会的「幸福」の違いと関係性を説明することができる。

▌履修条件

主体的に善と悪を考え、倫理思想を学ぶ意志のある学生であること。講義時のノート作成に加え、日々の生活に対する洞察と反省を必要とするので、積極的に「よく生きること」について考える学生が望ましい。

▌評価基準・方法

中間テスト点３０点
まとめテスト点７０点
このほか、自主学習のため manaba を用いて、課題を３回出すので、２回以上の提出を求める。

▌フィードバック方法

学期進行中に実施する中間テストの点数は、要望に従い学生に公開する。
同様に課題についても全体コメントを公表し、要望があれば学生個々に manaba を用いて指導する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

教室で講義資料を配布する。

▌参考書

指定しない

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：倫理思想への導入…「よさ」と「よい人生」について** 授業内容：単位取得の条件の確認、および西洋倫理学の対象、範囲、分類などの全体を概括する。 事前学修 2.0hr：「倫理的」と形容される事件、事故、事象について考えておく 事後学修 2.0hr：講義で扱った事例と身の回りのことを照らしてノートを整理する
2回	**授業テーマ：良心について(1)…現象としての良心の分析** 授業内容：「良心」の働きを概括し、東洋思想と西洋思想に由来する概念としての「良心」の検討する。 事前学修 2.0hr：「良心」と呼ばれるものについて自分なりに考えておく 事後学修 2.0hr：講義で習った術語をノートの整理を通して行う
3回	**授業テーマ：良心について(2)…良心の働き方の諸相** 授業内容：石川文康の『良心論』に基づき、「共知」の構造と法則性を検討する。 事前学修 2.0hr：「良心」の働き方について、自身の経験を通して考えておく 事後学修 2.0hr：良心のあり方、働きの法則について復習する
4回	**授業テーマ：良心について(3)…良心を中心にした倫理思想について** 授業内容：良心を中心にしたデカルトとカントの倫理思想について概括する。 事前学修 2.0hr：先週まで学んだことを整理し、良心を巡る議論の問題点を考えておく 事後学修 2.0hr：デカルトとカントの倫理思想についてまとめておく
5回	**授業テーマ：他者について(1)…他者問題の諸相について** 授業内容：「他者認識」にまつわる問題性と他者の把握についての方法論の整理を行う。 事前学修 2.0hr：他者の存在について、自分の人間関係の諸相を反省しておく 事後学修 2.0hr：他者問題について学んだ術語についてノート整理を通して行う
6回	**授業テーマ：他者について(2)…「人格」の要件と「同感」について** 授業内容：一般的な「人格」概念として 4 つのポイントを紹介し、「感情移入」理論とヒュームとスミスの「同感」に基づく道徳感覚理論を紹介、検討する。 事前学修 2.0hr：「人格」存在の必要要件を自分なりに列挙してみる 事後学修 2.0hr：「人格」存在と「同感」について学んだことを自分の生活に当てはめて検討する
7回	**授業テーマ：他者について(3)…「関係」概念にもとづく他者理解について** 授業内容：自我と他者の「関係」概念に注目したブーバーとレヴィナスの「間主観性」理論を紹介、検討する。 事前学修 2.0hr：抽象的な他者と具体的他者の違いについて自分なりに整理する 事後学修 2.0hr：ブーバーとレヴィナスの思想について自分の考えをまとめておく
8回	**授業テーマ：中間まとめとテスト** 授業内容：「良心」と「他者」概念を中心に、これまで学習した理論のまとめと習熟度を測る中間テストを実施する。 事前学修 2.0hr：これまで講義で扱った良心と他者の範囲を自分なりにまとめておく 事後学修 2.0hr：中間テストの出来を自分で思い出し、理解度の足りなかった部分を確認する
9回	**授業テーマ：徳について(1)…徳倫理学の歴史と諸相について** 授業内容：「徳」概念の基本をおさえ、東洋思想上の「徳」と「卓越性」を指す西洋的「徳」について紹介し、検討する。 事前学修 2.0hr：「徳」と呼ばれる語について自分なりに調べておく 事後学修 2.0hr：社会に望まれる人間諸性質の共通点についてまとめておく

10回	**授業テーマ：徳について（2）…具体的な徳目の理解** 授業内容：具体的な「徳目」を東洋思想と西洋思想、そして我が国の古典的な「徳目」を挙げて検討する。 事前学修 2.0hr：「徳」に数え入れるものが何かを具体的に考えておく 事後学修 2.0hr：講義で扱われた様々な徳目を整理し、現代日本の徳目を自分なりにまとめる
11回	**授業テーマ：徳について（3）…ギリシアの徳倫理学について** 授業内容：ソクラテス、プラトン、アリストテレスの「徳倫理学」について、紹介し、検討する。 事前学修 2.0hr：ソクラテス、プラトン、アリストテレスについて事典等で調べておく 事後学修 2.0hr：徳倫理学の特徴についてノートを整理し、自身が身についている道徳観との差をまとめる
12回	**授業テーマ：幸福について（1）…幸福の定義とその諸相** 授業内容：前回のアリストテレスの主張から「幸福主義」の倫理学を紹介し、「快楽主義」との違いを明示したうえで、「快楽主義」について紹介する。 事前学修 2.0hr：「幸福」と呼ばれる事項について公共概念と合わせて考えておく 事後学修 2.0hr：「幸福」中身について自身の定義をはっきりさせておく
13回	**授業テーマ：幸福について（2）…個人の快楽主義** 授業内容：キュレネ派の倫理思想からエピクロス派の独自の倫理まで個人を軸にした「快楽主義」の展開を概括する。 事前学修 2.0hr：個人を軸にした幸福追求にまつわる問題を検討しておく 事後学修 2.0hr：ヘゲシアスの「識見」について、自分ならどのようなものが当てはまるかを考えておく
14回	**授業テーマ：幸福について（3）…公共の福祉と功利主義** 授業内容：「功利主義」を中心に社会規模で考えられる「快楽主義」について、その問題を含めて検討する。 事前学修 2.0hr：個人の幸福追求の限界について考えておく 事後学修 2.0hr：「社会の幸福」という概念について功利主義の主張を吟味しておく
15回	**授業テーマ：まとめと平常テスト** 授業内容：「徳倫理学」と「功利主義」を軸にした倫理思想の特徴点をまとめ、期末テストを平常テストで実施する。 事前学修 2.0hr：テストに備え、これまで学習したないようについてまとめておく 事後学修 2.0hr：テスト後に、自身の解答から社会生活と倫理の全体像を構築する

文学の世界

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 ｜ 備考：留学生クラス

川勝　麻里（かわかつ　まり）

▌授業の概要

海外でも高く評価されるノーベル賞作家・川端康成について学ぶ。日本人で初めてノーベル文学賞を受賞できたのはなぜなのか。孤児としての生い立ちや、数々の仰天エピソードも交えながら、作家像を知る。また、代表作『伊豆の踊子』を、映画を理解の補助として、映画→小説→映画→小説の順に読み進め、松本清張の短編小説と比較しながら、川端の名作がいかに読み継がれていくのか考えていく。その他、短編もいくつか取り上げ、それまでの文学にない、独特の擬人法や、映画的表現を学ぶことで、今なお新しさを失わない新感覚派小説の面白さを味わい、川端作品の幅広さを知る。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：日本を代表する作家について、簡単な言葉で他者にも説明できるようになる。川端康成という作家を通して、日本の文学史の一端を学ぶ。
個別目標：原作をより深く理解し、名作が読み継がれていく過程を知る。実際の作家の生い立ちと、作中に描かれた事柄を区別しつつ、小説ならではの構造を読み解くことが出来るようにする。

▌履修条件

くわしくは授業で指示する。なお、この授業で扱う松本清張は『日本語と日本文化B』(担当：川勝麻里)でも扱っているので、あわせて受講すると理解が深まる。

▌評価基準・方法

授業内の作業 40%、試験 60%の結果に基づき総合的に評価する。授業内の作業にはリアクションペーパーの提出が含まれる。
課題等のフィードバックは、教室内での質疑応答の形で行う。

▌フィードバック方法

manaba を使った課題の実施をおこない、その場で講評をおこなう。また、リアクションペーパーに対してのコメントや回答を授業内でフィードバックする。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （パソコンはあれば便利だが、スマートフォンがあればよい。）

▌教科書

詳細は授業内で指示する。

▌参考書

授業で指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：はじめに** 授業内容：授業のガイダンスと、川端康成についての簡単な紹介。 事前学修 2.0hr：シラバスをよく読み、授業目的を理解して参加。 事後学修 2.0hr：授業内で示したキーワードをもとに半期の学習計画を立てる。
2回	**授業テーマ：川端康成について(生い立ち、ユニークな人物像、文壇状況、交友関係など)** 授業内容：孤児の生い立ち、無口、動物好き、読書の名人、文壇政治家、ゴーストライターによる代作、そして、川端を取り巻く人間関係について説明する。まずは作家に興味を持ち、これから読んでいく小説にさらに興味を持って取り組めるようにする。 事前学修 2.0hr：川端康成の年譜事項について見ておく。 事後学修 2.0hr：プリントや授業の話をまとめておく。
3回	**授業テーマ：川端康成と『伊豆の踊子』：実在モデルと小説の違い** 授業内容：『伊豆の踊子』のモデルとなった少女とその兄の実際の姿は、小説にえがかれている姿とは、ことなっている。そこで、その違いを読み解きながら、小説では何が描かれているのかを考える。 事前学修 2.0hr：プリントを読んでくる。 事後学修 2.0hr：モデルと実像の違いについて理解する。
4回	**授業テーマ：『伊豆の踊子』を読む(１)旧制高等学校と踊り子について** 授業内容：『伊豆の踊子』の主人公の学生は、エリート学生であり、踊り子たちのような社会的に差別されている。そうした社会の中での違いをふまえて、小説を読んでいく。 事前学修 2.0hr：プリントを読んでくる。 事後学修 2.0hr：差別される踊り子とエリート学生主人公の格差を理解する。
5回	**授業テーマ：『伊豆の踊子』を読む(２)主人公の金銭感覚について** 授業内容：主人公は茶屋で大金を支払っているが、それが当時の日本で、どれくらいの高額だったのか、同時代の資料から考える。また、そうした多くのお金を払ったのはなぜなのかを、読み解く。 事前学修 2.0hr：プリントで小説を音読できるようにしておく。 事後学修 2.0hr：学習内容を箇条書きにしてまとめておく。
6回	**授業テーマ：『伊豆の踊子』を読む(３)踊り子への差別について** 授業内容：踊り子たちが、どのような差別を受けているのか考える。小説を読む補助として、映画の DVD も視聴。 事前学修 2.0hr：小説を細かいところまで理解できるようにする。 事後学修 2.0hr：学習内容を箇条書きにしてまとめておく。
7回	**授業テーマ：『伊豆の踊子』を読む(４)踊子のモデルと小説の違い** 授業内容：モデルと小説の違いを理解し、純文学として、この小説がどのように理想的につくられているのかを考える。 小説は現実をそのまま描いているわけではないので、その点について考える。 事前学修 2.0hr：『伊豆の踊子』を再度、読んでくる。 事後学修 2.0hr：モデルと実像の違いについて理解する。
8回	**授業テーマ：『伊豆の踊子』を読む(５)孤児根性について** 授業内容：孤児根性を持って伊豆の旅に出てきた主人公は、孤児であることに必要以上にこだわっていた気持ちを捨てて、素直に自分と向き合うことができるようになる。孤児根性から癒されていく心の動きについて考える。 事前学修 2.0hr：プリントを読んでくる。 事後学修 2.0hr：孤児根性という言葉の意味を理解し、小説内でそれが解消されていく様子を理解する。
9回	**授業テーマ：『伊豆の踊子』を読む(６)風景描写について** 授業内容：景色と主人公の感情が、どのように連動してうごいているのかを考える。 事前学修 2.0hr：再度、『伊豆の踊子』全体を読んでくる。 事後学修 2.0hr：主人公が孤児根性から癒されていく過程を、風景と結びつけて理解する。

10回	**授業テーマ：『伊豆の踊子』を読む(7)リメイク小説：松本清張『天城越え』の風景描写** 授業内容：『天城越え』は『伊豆の踊子』を意識しながら書かれた小説なので、2作品を比べながら、風景描写を読んでいく。 同じ伊豆半島を舞台とし、同じ大正15年が背景となっているにもかかわらず、風景の描き方がちがっていることがわかる。主人公の心の変化と風景には関係があるということを学ぶ。 事前学修 2.0hr：プリントで『天城越え』の一場面を読んでくる。 事後学修 2.0hr：『天城越え』が『伊豆の踊子』をどのように意識して書かれたか共通点を理解する。
11回	**授業テーマ：『伊豆の踊子』を読む(8)リメイク小説：松本清張『天城越え』の金銭感覚** 授業内容：2つの小説を比較しながら、金銭感覚の違いが、純文学かミステリーかで、異なることに注目して、読み解く。 事前学修 2.0hr：プリントで『天城越え』の一場面を読んでくる。 事後学修 2.0hr：金銭感覚その他、『天城越え』と『伊豆の踊子』の正反対な部分を理解し、作品を深く学ぶ。
12回	**授業テーマ：『伊豆の踊子』を読む(9)リメイク小説：松本清張『天城越え』の心理的動機** 授業内容：松本清張が、川端康成をのりこえようとして、名作『伊豆の踊子』に対して、『天城越え』を執筆したということについて考える。 事前学修 2.0hr：プリントで『天城越え』の一場面を読んでくる。 事後学修 2.0hr：『天城越え』の犯行動機を理解し、小説全体の読解をまとめる。
13回	**授業テーマ：もう1つの『伊豆の踊子』を読む―西河克己の2つめの『伊豆の踊子』(吉永小百合版)** 授業内容：授業前半では、DVD で西河克己監督の映画「伊豆の踊子」(山口百恵版) を見たが、後半からは、この監督がまったく同じタイトルで、別の女優をつかって撮影した映画「伊豆の踊子」(吉永小百合版) を見ていく。 事前学修 2.0hr：西河克己の『伊豆の踊子』(山口百恵版)を復習しておく。 事後学修 2.0hr：踊り子一行に対する差別について理解する。
14回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：まとめ。 事前学修 2.0hr：プリントを読んでくる。 事後学修 2.0hr：これまでのプリントをまとめておく。
15回	**授業テーマ：試験** 授業内容：試験。 事前学修 2.0hr：試験に備えた学習。 事後学修 2.0hr：試験問題の不明点の復習。

文学の世界

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

森　晴彦（もり　はるひこ）

▌授業の概要

文学は国内・外を通じ多様な形で存在し、研究されているが、本授業では身近にある広告等の表現技巧とその源泉を古典文学に求め、そこから文学的表現の世界に分け入り、本文批評や文学研究の諸方法を俯瞰した上で、物語の話型を学び、それがドラマにまで通底する点を見たい。童話の改変・分析の問題に触れ、次に引用の美学を確認、さらにリアリティ獲得の方法を、歴史小説や自然主義、私小説と非私小説に見、作品生成の背景や成立の場を考える。対立する作家論・テクスト論の方法を自在に用いて作品を追究、言語・思想・社会の影響下に織りなされる文学に言及する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：(1)広告表現のしくみ、物語の話型・しくみ、創作過程のしくみ、など「文学のしくみ (構造)」を知ることができる
　　(2)文学の果たす機能や役割を説明できる
個別目標：(1)文学作品について説明できる
　　(2)著名な作品・作家について説明できる

▌履修条件

特になし。
※第 1 回から学修支援システム manaba を使用できるスマホを含む電子機器を持参してください。

▌評価基準・方法

定期試験 60 %、課題として前半 7 回後に manaba から提出する学修内容振り返りシート（前半まとめ）30%、授業内における参加姿勢及び発言等 10 % 及び到達目標・一般目標の達成度に基づき、総合的に評価する。また、原則として５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

課題等の提出やフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

授業で毎回プリントを配布する。

▌参考書

必要に応じて授業内で掲示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：広告言語の構造～身近にある表現技巧の源泉** 授業内容：第 1 回は、広告言語と呼ばれるコマーシャルのコピーについてです。コマーシャルの言葉の使い方はレトリックと呼ばれる技巧が施されています。そのため、その使い方を含めてポスターのコピーや商品名のネーミングなども含め、日本古典文学の技法が活用されています。そのあたりを紐解いていきます。 事前学修 2.0hr：身近にある CM で言語的技法と思うものを 1 つピックアップしておく。 事後学修 2.0hr：本時を踏まえ、技法的な CM を探してみる。
2回	**授業テーマ：文学作品の生成と本文批評** 授業内容：第 2 回は、文学作品の生成と本文批評(ほんもんひひょう)です。初めての用語でしょうから丁寧に解説します。作者自身で書きかえる場合もあれば、時代を経て作品が改変されてしまう場合もあります。それを文献学や本文批評によって、より古い形はどのようなものだったのか、が探索できるわけです。皆さんの知る著名な作品の結末が違うなど例に見ていきます。 事前学修 2.0hr：書誌学・文献学について調べておく。 事後学修 2.0hr：配布プリントを再読する。
3回	**授業テーマ：物語の生成～竹取物語を例に** 授業内容：第 3 回は、日本で最古の物語 (900 年頃か) といわれる『竹取物語』を例にして、作品の生成過程を追うことで物語の構造 (しくみ) を学びます。同時に、第 2 回の本文批評を用いて、「思想の作品への影響」についても考えてみます。 事前学修 2.0hr：竹取物語のストーリーについて調べておく。 事後学修 2.0hr：配布プリントを読んでおく。
4回	**授業テーマ：物語の変容～グリム童話初版から第 7 版に至る改変** 授業内容：第 4 回は、皆さんが「知っている」『グリム童話』を取り上げ、皆さんが「知らない」『グリム童話』の元の姿をお見せします。今回も第 2 回の本文批評を用いて、「作品の原初の形」(最初の姿、元の姿)を学びます。私たちの読んだテキストは物語が変容したものであることが判ります。 事前学修 2.0hr：グリム童話について簡潔に調べておく。 事後学修 2.0hr：配布プリント(明治時代刊行のシンデレラ)を読む。
5回	**授業テーマ：童話分析の諸問題～歴史社会・神話解釈・精神分析の問題点** 授業内容：第 5 回は、前回で読んだ『グリム童話』の作品や、読んではいませんが皆さんが知っている『グリム童話』を取り上げ、テキストの変容(本文批評／テキストクリティーク)をないがしろにすると分析も変わってしまう例を、歴史社会・神話解釈・精神分析の各方法と問題点を見ていきます。 事前学修 2.0hr：前回配布のストーリーを確認してくる。 事後学修 2.0hr：本時で扱った方法を整理しておく。
6回	**授業テーマ：物語の構造～プロップの 31 機能を中心に現代に及ぶ** 授業内容：今回は、「話型学」という、物語や小説の、「話しの骨格」について学びます。話型とは服を脱がせれば人間の骨格は同じです。服によって見え方が違います。水戸黄門も浅見光彦も、骨格は同じ一「同じ話型」となる例です。著名な話型の形を紹介した後、プロップの 31 分類について説明し、物語の形の構造があることを学びます。 事前学修 2.0hr：プロップについて調べておく。 事後学修 2.0hr：物語や映画やゲームの展開と比較してみる。
7回	**授業テーマ：引用の織物～本歌取から芭蕉・漱石、啄木と谷村、長渕とあいだの場合** 授業内容：第 7 回は、「文学における引用という技法」を取り上げます。引用が当たり前の時代から、博学主義などといわれる近代を経て、現代ではオマージュとかリスペクトと呼ばれる類のものです。しかし、著作権やプライオリティの確保から、現代では、引用は出典を明記して断らないと盗作です。今回はその「引用」に関わる文学の世界を見ていきます。 事前学修 2.0hr：オマージュ、インスパイアという単語を調べておく。 事後学修 2.0hr：本時で出てきた概念を時代別に整理しておく。7 回終了後 manaba から前半振り返りのまとめを出してもらいます。

8回	**授業テーマ：歴史小説の構造〜高瀬舟執筆の目的** 授業内容：第 8 回は明治の二大文豪(夏目漱石と森鷗外)の一人、森鷗外の『高瀬舟』という小説について学びます。『高瀬舟』の執筆目的とはなにか、考えていきます。資料にそって解説していきます。 事前学修 2.0hr：歴史小説、森鷗外について調べておく。 事後学修 2.0hr：本時配布のプリントを精読する。
9回	**授業テーマ：原話に付加される近代的自我〜芥川龍之介の作品を中心に** 授業内容：第 9 回は、原作を利用しながら、単なる脚色に終わらず、近代的な自我によって新たな「文学」となった芥川龍之介の作品を見たいと思います。芥川の苦悩が原話を変えた、というのが結論となります。また、一度書いた結末を書き換えている点についても言及します。それらを資料で確認しながら追究します。 事前学修 2.0hr：芥川について調べておく。 事後学修 2.0hr：本時配布のプリントを精読する。
10回	**授業テーマ：原作を改変する内面的世界〜中島敦・太宰治 1** 授業内容：中島敦の『山月記』について考えます。唐代の伝奇説話『人虎伝』を原作に書かれた小説です。『高瀬舟』も『羅生門』も『山月記』も原作のある小説です。それらの「新たな読み直し」をこの授業では志向しています。『山月記』には独自の運命観が出ているところがあります。その生成の背景と独自性について考察します。後半は、来週読む太宰治の生涯についても言及します。 事前学修 2.0hr：中島敦、太宰治について調べておく。 事後学修 2.0hr：本時配布のプリントを精読しておく。太宰治について調べておく。
11回	**授業テーマ：自伝脚色を駆使する私小説的装置〜太宰治 2、事実と虚構と自立するテクストと** 授業内容：多くの読者は、太宰の小説は太宰の実人生が書かれている、と思っているところです。私小説と多くの人は理解しています。太宰自身は、作品を自分の伝記のように読ませたい、という点をねらっています。そこでこの太宰の方法を、私小説的装置と名付け、事実と虚構の対比から、太宰ワールドに迫ってみようとします。 事前学修 2.0hr：太宰治について調べておく。 事後学修 2.0hr：本時を踏まえて『富嶽百景』を構築された作品として読みを更新する。
12回	**授業テーマ：自然主義小説・私小説とアンチ私小説〜柳美里・福島次郎 VS 村上春樹・江國香織等** 授業内容：日本の自然主義と呼ばれる小説は、現実をそのままリアルに描写し、実際に起きたことをそのまま小説化することでリアリティを持たせるスタイルで、現代の私小説に繋がっています。他方、すべて想像から創る小説、すべてを零から作り上げる小説があります。小説世界は、この両極の間を、どちらに近づくか、になりますが、そのあたりを具体的に学びます。 事前学修 2.0hr：日本の自然主義とは何かしらべておく。 事後学修 2.0hr：小説の二潮流を念頭に作品を読み分ける。
13回	**授業テーマ：作品の詩と真実 短編の長編化〜蛍とノルウェイの森、事実と虚構** 授業内容：村上春樹の『ノルウェイの森』と『螢』を比較し、村上の初期の創作方法を探求します。『螢』は村上作品の繰り返す青年期のノスタルジックな世界の断片であり、その世界に触発され、その後を書き加えようと、『ノルウェイの森』を執筆するあたりを見ていきます。 事前学修 2.0hr：村上春樹について調べておく。 事後学修 2.0hr：配布プリントを精読する。
14回	**授業テーマ：著名な翻案小説〜その原作の存在** 授業内容：知らない人は少ないはず、という皆さんが読んだことのある著名な小説には、外国文学の原作があり、原作とほぼ同じストーリーなのはあまり知られていません。誘発する事件も作品の背景にあります。それらを皆さんが知ることが難しい、しかし、作品成立の根幹に当たりますから、ぜひ知っておいてほしいと強く思いまして取り上げます。 事前学修 2.0hr：過去に読んだ感動や美談の小説はないか考えておく。 事後学修 2.0hr：配布のプリントを精読する。翻案小説とは何か理解する。
15回	**授業テーマ：翻訳文学の世界〜翻訳文学の基礎的諸問題／授業のまとめ** 授業内容：翻訳文学の基礎的諸問題として、訳者の文体とは、にこだわってみます。ひいては訳した人の感覚というものにまで言及します。　村上春樹訳『キャッチャー・イン・ザ・ライ』(サリンジャー作、2006 年) を「窓」(入り口)として話を進めます。また、授業の総まとめについても行います。 事前学修 2.0hr：上田敏、村上春樹翻訳小説を調べておく。今までの授業内容を総復習しておく。 事後学修 2.0hr：文学について各自切り込み方が深化したか考え直してみる。

人類と文化

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

山本　早良紗（やまもと　さらさ）

▌授業の概要

本授業では、「文化人類学」にかんする基礎的な知識を学びます。文化人類学とは、「文化」という概念を手がかりに、さまざまな人間の行動や思考、制度などの差異に注目し、それらを多様性と普遍性という観点からとらえ、「人間とは何か」について考える学問です。そうした文化人類学の研究手法や視点を用いて、ものごとや世界について、これまでとはちがったとらえ方や切り取り方を学んでいきます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：私たちにとって身近な問題関心である、人間の〈生〉の営みに関連するさまざまなテーマをとりあげながら、文化人類学の考え方を学びます。さらに、それらの知識をもとに、個別の事例に照らし合わせて比較検討する視座を養います。具体的には、既存の考え方や自身の価値観を相対化する視点を獲得するとともに、現代を生き抜く術として、〈他者〉との共生のあり方について、みずから考える力を養うことを目標とします。

個別目標：知識を習得するだけでなく、授業から離れた日々の生活の場においても、文化人類学的な考え方を用いて、これまでとはちがったものの見方ができるよう、実践につなげていくことを目指します。また、普段は「当たり前のこと」として気に留めないような事柄についても、改めて主題化し、問い直していく視座を身に付けることを目標とします。

▌履修条件

履修条件は、講義を聞き、学ぶ意思のある者。出席回数を稼ぐためだけに在室し、授業中にスマホ操作や私語、居眠りを繰り返すといった、講義を聞く意思のない者の受講はお断りします（常習者には注意喚起のうえ、開講途中であっても、受講をお断りする場合があります）。本授業は、「出席した回数」よりも、受講態度や授業への関心の高さ、授業内容の理解度を重視した評価を行います。そうした本授業の主旨を十分理解・了承したうえでの受講をお願いします。

▌評価基準・方法

【試験（5 割）＋平常点（5 割）】により評価を行います。平常点には、①毎授業後に manaba に提出されたコメントの内容から、理解度・関心の高さ・取り組みの姿勢を判断し算出する「コメント点」、および②授業の受講態度の２点が含まれます。出席するだけで得られる「出席点」は設けません。学期末に行う試験は、半期の講義内容すべての総まとめとなり、持ち込みは不可とします。また、試験を無断で欠席した場合、不正行為が行われた場合には、評価の対象外となります。

▌フィードバック方法

授業内容について質問や不明点があった場合には、教室で直接教員にたずねるか、manaba で提出するコメントに記載してください。内容によって、コメントに返信するかたちで回答、もしくは翌週の授業内でとりあげ、解説します。授業内容以外のことについて質問や相談がある場合には、manaba の個別指導コレクションを利用してください。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

指定しない。

▌参考書

授業内で適宜指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：授業の概要、予定、進め方、評価方法など、授業内容および授業運営にかんする基本的事項について解説します。 事前学修 2.0hr：シラバスを読み、本授業に期待する内容、学びたいことについて考え、まとめる。 事後学修 2.0hr：興味をもったテーマに関連する書籍を探し、読んでみる。
2回	**授業テーマ：イントロダクション** 授業内容：文化人類学とはどのような学問かについて、近接する学問分野との比較などを通して、まずはざっくりと解説します。 事前学修 2.0hr：文化人類学とはどのような学問か、みずから調べ予習する。 事後学修 2.0hr：文化人類学がどのような学問なのかについての理解を定着させるため、授業内容の要点および重要箇所をまとめる。
3回	**授業テーマ：文化人類学におけるものの見方・考え方（1）** 授業内容：文化人類学が得意とするものの見方や研究手法、学問の特徴などについて解説していきます。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容をふり返り、疑問点や問題意識をまとめる。 事後学修 2.0hr：文化人類学に特徴的なものの見方についての理解を定着させるため、授業内容の要点および重要箇所をまとめる。
4回	**授業テーマ：文化人類学におけるものの見方・考え方（2）** 授業内容：身近な事例をとりあげながら、文化人類学のものの見方・考え方について、より具体的に考える機会を設け、文化人類学という学問のあり方、特徴をしっかりと理解することを目指します。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容をふり返り、疑問点や問題意識をまとめる。 事後学修 2.0hr：文化人類学に特徴的なものの見方についての理解を定着させるため、授業内容の要点および重要箇所をまとめる。
5回	**授業テーマ：文化人類学におけるものの見方・考え方（3）** 授業内容：文化人類学がめざす〈他者理解〉のあり方について解説するとともに、さらに身近な問題に引きつけて、〈他者〉との接合の仕方について考えます。 事前学修 2.0hr：文化人類学にかんする諸理論について、みずから調べ予習する。 事後学修 2.0hr：文化人類学が目指す自己と他者とのあり方についての理解を定着させるため、授業内容の要点および重要箇所をまとめる。また、文化人類学のものの見方を身近な事例に当てはめ、自分なりに問い直してみる。
6回	**授業テーマ：文化人類学の理論（1）** 授業内容：文化人類学にとって、最初の体系的な理論となった「文化進化論」について解説します。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容をふり返り、疑問点や問題意識をまとめる。 事後学修 2.0hr：今日の授業内容をふり返り、要点および重要箇所をまとめる。
7回	**授業テーマ：文化人類学の理論（2）** 授業内容：文化進化論の衰退後から現在にいたるまで、文化人類学を支える理論となっている「文化相対主義」について、文化進化論とのちがいをおさえながら、この理論の概要を解説します。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容をふり返り、疑問点や問題意識をまとめる。 事後学修 2.0hr：今日の授業内容をふり返り、要点および重要箇所をまとめる。

8回	**授業テーマ：文化相対主義（1）** 授業内容：文化人類学を理解するうえで欠かせない「文化相対主義」の考え方について、しっかりと理解を定着させるために、この回では、映像像資料を用い、具体的な事例をもとに解説していきます。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容をふり返り、疑問点や問題意識をまとめる。 事後学修 2.0hr：今日の授業内容をふり返り、要点および重要箇所をまとめる。
9回	**授業テーマ：文化相対主義（2）** 授業内容：前回の映像像資料の内容をふまえて、文化相対主義の考え方を実践する方法について解説していきます。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容をふり返り、疑問点や問題意識をまとめる。 事後学修 2.0hr：今日の授業内容をふり返り、要点および重要箇所をまとめる。また第５～９回全体を通して復習し、文化人類学の理論の通時的な流れを理解する。
10回	**授業テーマ：フィールドワーク（1）** 授業内容：文化人類学にとって欠かせない研究手法である「フィールドワーク」について、その歴史、および特徴や方法について解説します。 事前学修 2.0hr：人類学的フィールドワークとはどのようなものか、みずから調べ予習する。 事後学修 2.0hr：今日の授業内容をふり返り、要点および重要箇所をまとめる。
11回	**授業テーマ：フィールドワーク（2）** 授業内容：実際のフィールドワークの様子を、教員自身のフィールドワークの事例を用いて紹介します。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容をふり返り、疑問点や問題意識をまとめる。 事後学修 2.0hr：今日の授業内容をふり返り、要点および重要箇所をまとめる。また第８～９回全体を通して復習し、人類学的フィールドワークの主眼および特徴を理解する。第１０～１１回全体を通して復習し、要点および重要箇所をまとめる。また、授業でとりあげた事例以外で、「結婚」にかんして自身のなかにどのような「あたりまえ」があるか改めて問い直し、相対化してみる。
12回	**授業テーマ：フィールドワーク（3）** 授業内容：前回の授業で紹介した、教員のフィールドワークの事例をふまえて、文化人類学的な問いの立て方やものごとの捉え方について、具体的に解説していきます。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容をふり返り、疑問点や問題意識をまとめる。 事後学修 2.0hr：今日の授業内容をふり返り、要点および重要箇所をまとめる。
13回	**授業テーマ：「死」の人類学（1）** 授業内容：最後は、具体的なテーマをもとに、文化人類学のものの見方・考え方を実践してみることを目的として、「死」という現象をテーマに挙げます。「死」をめぐって、自分自身のなかにある「あたりまえ」に気付き、あらためて主題化することを目指します。この回では、わが国における「死」のとらえ方・考え方、「死」をめぐる事象や葬送・葬儀の方法について考えます。 事前学修 2.0hr：文化人類学において、これまで「死」というテーマがどのように扱われてきたかを調べ、それをふまえて自身の問題意識を醸成させる。 事後学修 2.0hr：今日の授業内容をふり返り、要点および重要箇所をまとめる。
14回	**授業テーマ：「死」の人類学（2）** 授業内容：前回の内容をふまえ、こんどは諸外国における「死」をめぐるさまざまな事例を紹介し、比較の視点を用いて、自分自身の「あたりまえ」を相対化し、人間の〈生〉の営みの多様性を学びます。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を振り返り、疑問点や問題意識をまとめる。 事後学修 2.0hr：第１３～１４回全体を通して復習し、要点および重要箇所をまとめる。また、授業でとりあげた事例以外で、「死」にかんして自身のなかにどのような「あたりまえ」があるか改めて問い直し、相対化してみる。
15回	**授業テーマ：総括** 授業内容：授業全体の理解度をはかるため、まとめのテストを実施します。 事前学修 4.0hr：これまでの授業内容をふり返り、重要なポイントを整理してまとめ、理解を深めておく。 事後学修 1.0hr：テストを振り返り、理解が不足していた点を補う。また全授業をふり返り、人類学的なものの見方を用いて、社会におけるさまざまな問題や身近な出来事をとらえ直してみる。

美とは何か

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

髙久　馨（たかく　かおる）

▌授業の概要

芸術家たちは真に迫ったリアルな表現を目指して顔や人体を研究してきたが、同時に、芸術的、美的効果をあげるために、解剖学的正確さをあえて無視して、顔や人体をさまざまに誇張、変形、省略してきた。本講義ではまず第 10 回まで、顔や人体が人種、年齢、性別によってどのように違うか、それらの違いが古今東西の絵画、彫刻の中でどのように表現され、どのような印象、効果を見る者に与えているかを考察する。第 11 回目からは、美の諸問題について、西洋美術史や美学、精神分析などさまざまな観点から講義していく。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：(1)顔や人体の人種、年齢、性別による違いを知り、それらの違いが美術作品ではどのように表現されているかについて自ら観察する姿勢を身に着け、感じたことを言語化できるようになる。
(2)芸術作品を通じて、主に日本文化やヨーロッパ文化のエッセンスを学び、同時に芸術的感性の涵養と異文化の理解に努める。

個別目標：(1) 顔や人体の性差・人種差・年齢差について説明することができる。
(2) 芸術理論や作品に接したとき、常に自分の経験や美意識に引き付けて考えていく習慣を身に着け、美的感受性を練磨していく。

▌履修条件

(1) 授業中の居眠り、携帯・スマホの使用は厳禁。
(2) 思ったことや感じたことを臆せず発言しようという気持ちがある者。授業内容に関係することであれば、どのような意見、発言も歓迎します。

▌評価基準・方法

・期末試験 (50 %)、授業態度(授業に参加、協力しようとする姿勢) (20 %)、manaba の事前学修とリアクションペーパーの内容 (30 %) で評価する。また、授業回数の 5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。
・授業態度や manaba の事前学修の出来も重要な評価対象となる。

▌フィードバック方法

・課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （口頭発表、ディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

使用せず。適宜プリントを配布し、美術作品はスライドで紹介する。

▌参考書

中尾喜保「生体の観察」、メヂカルフレンド社。 村澤博人「顔の文化を考える」(新潟大学ブックレット「顔から学ぶ」所収)。
宮下規久朗「ウォーホルの芸術」、光文社新書。 鈴木晶「図説フロイト」、河出書房新社。
その他の西洋近現代美術関連の参考文献については授業内で紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション：授業の内容、進め方、評価方法等について詳しく説明。** 授業内容：授業の内容、進め方、評価方法等について詳しく説明する。 事前学修 1.5hr：シラバスを読み、本講義に期待する内容や興味をひかれたことを考えておく。 事後学修 1.5hr：もう一度シラバスに目を通し、特に本講義の到達目標を強く意識する。
2回	**授業テーマ：顔と人体の美(1)性差について** 授業内容：主に顔、頸の男女の性差について詳しく説明する。また、あまり知られていない身体における性差についても述べる。 事前学修 2.0hr：顔と人体における性差にどのようなものがあるか調べておく。 事後学修 2.0hr：顔と人体(特に頸)の性差について具体的に説明できるようにする。
3回	**授業テーマ：顔と人体の美(2)顔の経年変化について(前半)** 授業内容：頭部と目もとの経年変化について、乳幼児期から老年期にいたるまでどのように変化していくのか詳述する。 事前学修 2.0hr：頭部と目もとにおける年齢差にどのような特徴があるか調べておく。 事後学修 2.0hr：頭部と目もとの経年変化について具体的に説明できるようにする。
4回	**授業テーマ：顔と人体の美(3)顔の経年変化について(後半)** 授業内容：口もとや顔の輪郭の経年変化について、乳幼児期から老人期にいたるまでどのように変化していくのか詳述する。 事前学修 2.0hr：顔の輪郭と口もとにおける年齢差にどのような特徴があるか調べておく。 事後学修 2.0hr：顔の輪郭と口もとの経年変化について具体的に説明できるようにする。
5回	**授業テーマ：顔と人体の美(4)魅力的な顔とは？** 授業内容：顔面における子どもの特徴、大人の特徴をふまえつつ、多くの人が魅力的と感じる顔の特徴とは何かについて述べる。 事前学修 2.0hr：自分はどのような顔が魅力的だと思うか、具体例をあげて述べられるようにしておく。 事後学修 2.0hr：多くの人が魅力的に感じる顔とはどのような顔か、また顔における幼児性と成熟さの特徴について説明できるようにする。
6回	**授業テーマ：顔と人体の美(5)「かわいらしさ」(幼児性)について** 授業内容：動物行動学者 K・ローレンツのベビー図式を紹介して、「かわいらしさ」とは何かについて述べる。また、日本人を理解するうえで重要なキーワードの一つとなって久しい「ネオテニー」についても紹介する。 事前学修 2.0hr：ヒトや動物のどのような形態的特徴をわれわれは「かわいらしい」と捉えるのか、事前に考えておく。 事後学修 2.0hr：ベビー図式の応用例を具体的に身近なものから探し出してみる。授業でとりあげた以外のネオテニーの例を調べる。
7回	**授業テーマ：顔と人体の美(6)目もとにおける上瞼の重要性** 授業内容：目と眉の間が広いか狭いかで目もとの印象はまったく違う。それぞれどのような印象を与えるのか、美術作品にはどのように利用、表現されているのかを詳述する。 事前学修 2.0hr：目と眉の間の長短でどのように目もとの印象が違うか、述べることができるようにしておく。 事後学修 2.0hr：目もとにおける上瞼の重要性について、具体例をあげて説明できるようにする。
8回	**授業テーマ：顔と人体の美(7)人種差、あるいは日本人の成り立ちについて** 授業内容：人種によって顔や身体にどのような違いがあるのか、その違いの理由は何かを詳述する。あわせて、現代日本人はどのような人種的特徴があるのか、どのような顔を「いい顔」ととらえてきたのかについても述べる。 事前学修 2.0hr：人種による体形、顔だちの違いについて、簡単に述べられるようにしておく。 事後学修 2.0hr：人種による体形や顔だちの違い、特に北方アジア系、南方アジア系のそれらの違いを説明できるようにする。

9回	**授業テーマ：顔と人体の美(8)左右対称・非対称の美** 授業内容：顔の造りや表情、身体だけでなく、広く建築物、庭園、衣服をも例にとりあげながら、左右対称・非対称がどのような印象を見る者に与えるのかを考察する。 事前学修 2.0hr：身の周りにあるもの(建築物、工業製品、衣服 etc)で左右対称・非対称のものを見出す。 事後学修 2.0hr：左右対称・非対称の美点・マイナス点について説明できるようにする。
10回	**授業テーマ：顔と人体の美：まとめ(ディスカッション)** 授業内容：9 回までの講義とはまた別の観点から顔と人体の美についての考察を深めてくれるようなエッセイを選び、それを受講者全員で読み、各自疑問に思ったことを出しあう。その後、それらのいくつかについて全員でディスカッションを行う。 事前学修 2.5hr：あらかじめ指定されたエッセイを事前に読んでおく。 事後学修 2.0hr：人間にとって顔とは何なのか、他者との関係において顔はどのように機能するのかについて考察を深める。
11回	**授業テーマ：美の追求にひそむ危険(口頭発表、ディスカッション)** 授業内容：美に追求にひそむ危険に関する小論文を読み、その具体例を、実在の人物や小説、マンガ等の登場人物からさがし出し、受講者の前でそれについて各自口頭発表(5-10 分程度)してもらう。その後、受講者全員でディスカッションを行う。 事前学修 3.0hr：美の追求にひそむ危険に関する小論文を熟読し、それにあてはまる具体例をさがし、口頭発表にまとめる。 事後学修 2.0hr：美の追求において特に問題になりうる点とは何かについて理解を深める。
12回	**授業テーマ：個性とオリジナリティ(１)** 授業内容：芸術家や芸術作品における個性とオリジナリティについて、近代とそれ以前ではどのように変わったか、主に西洋美術を例に詳述する。 事前学修 2.0hr：キリスト教やギリシャ神話を題材にした西洋美術の古典的な傑作をいくつか紹介するので、そのテーマについて調べる。 事後学修 2.0hr：スライドで見た作品の中で、特に印象に残ったものについて感じたこと、思ったことを言語化する。
13回	**授業テーマ：個性とオリジナリティ(２)** 授業内容：芸術家や芸術作品における個性とオリジナリティについて、ポップアートを例に、それ以前とどのように変わったか、また現代にどのような影響を及ぼしたか詳述する。 事前学修 2.0hr：宮下規久朗「ウォーホルの芸術」の指定された箇所を読んでおく。 事後学修 2.0hr：スライドで見た作品の中で、特に印象に残ったものについて感じたこと、思ったことを言語化する。
14回	**授業テーマ：美と精神分析** 授業内容：フロイトの夢と無意識についての理論を紹介し、それらがシュルレアリスムという芸術運動にどのような影響を与えたのかについて述べる。あわせて、現代におけるシュルレアリスムの影響についても考察する。 事前学修 2.0hr：鈴木晶「図説フロイト」の特に夢と無意識に関する箇所を読んでおく。ダリ、マグリット、キリコの画集に目を通しておく。 事後学修 2.0hr：スライドで見た作品の中で、特に印象に残ったものについて感じたこと、思ったことを言語化する。
15回	**授業テーマ：まとめと試験対策** 授業内容：どのような問題が試験で問われるのか、またその意義は何かについて詳述する。そうすることであわせて、これまでの講義のおさらいとする。 事前学修 2.0hr：全講義のノートと配布物に目を通し、それらを持参して講義に臨むこと。 事後学修 4.0hr：試験対策授業でふれた箇所をいま一度重点的に復習して試験に備える。

記号と論理

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

土屋　真一（つちや　しんいち）

▌授業の概要

本授業では接続表現の使い方、さまざまな論法を組み立てる方法、議論の構成の仕方などの事例を通して、論理学の基礎を養うことを目的としている。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：基礎的な論理の知識を身につけ、自分の思考を論理的に表現することを目標とする。

個別目標：・議論・論文の基本構成（接続表現・パラグラフ・アウトライン・論法・反論など）を理解し、説明することができる。
・記号論理の基礎的な知識を理解することができる。

▌履修条件

・遅刻や欠席をしないこと。（但し、やむを得ない場合は、事前に manaba で理由等を連絡すること。）
・期限までに課題の提出を行うこと。
・授業内の活動に積極的に参加すること。
・リーディングタスク等、授業の準備を怠らないこと。

▌評価基準・方法

4/5 以上の出席を評価の前提条件とする。
課題等提出物による評価 40%、授業への参加・協力度 20%、最終試験 40%の割合で評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba 或いは対面授業を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループディスカッション、授業内発表、コメントシート）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （manaba による資料参照、課題等提出（スマホでも対応可））

▌教科書

篠澤和久、松浦明宏、信太光郎、文景楠（2020）『はじめての論理学 – 伝わるロジカル・ライティング入門』有斐閣

▌参考書

参考書等については、必要に応じて適宜紹介していく。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：シラバスや配布資料をもとに、概要、目標、評価基準、授業および課題提出などについての説明を行う。 事前学修 2.0hr：シラバスに目を通し、講義概要を把握する。 事後学修 2.0hr：シラバスとテキストの内容を照らし合わせ、今後の事前学修に備える。
2回	**授業テーマ：論理とはなにか** 授業内容：論理を言葉の作法の一種と捉え、人間にとって普遍的な知を求める姿勢が、論理につながることを考察する。 事前学修 2.0hr：①自分自身にとって、身近な作法やマナーとは何か考えておく。②リーディングタスク：テキストを読み、わからない箇所を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業の内容を振り返ったうえで、演習問題を解く。
3回	**授業テーマ：日本語と論理** 授業内容：普段使っている日本語のなかで、どのような場面で論理という作法（マナー）が要求されるかを明らかにする。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク：テキストを読み、わからない箇所を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業の内容を振り返ったうえで、演習問題を解く。
4回	**授業テーマ：文と文のつながり**(1) 授業内容：議論における接続表現の重要性および、前提と結論の関係を示す接続表現（順接）について。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク：テキストを読み、わからない箇所を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業の内容を振り返りつつ、テキストを見直しておく。
5回	**授業テーマ：文と文のつながり**(2) 授業内容：与えられた内容を明瞭に理解する接続表現および、議論の構造を複雑化する接続表現について。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク：テキストを読み、わからない箇所を調べておく。 事後学修 2.0hr：前回と今回の授業内容を振り返ったうえで、演習問題を解く。
6回	**授業テーマ：パラグラフと論文のしくみ** 授業内容：パラグラフと論文の構成ならび、論文の仕組みについて。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク：テキストを読み、わからない箇所を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業の内容を振り返ったうえで、演習問題を解く。
7回	**授業テーマ：アウトラインの活用** 授業内容：論文やレポートを作成する手順および、アウトラインの活用について。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク：テキストを読み、わからない箇所を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業の内容を振り返ったうえで、演習問題を解く。
8回	**授業テーマ：論証の典型的パターン**(1) 授業内容：論証の一般的な型（単純論証、合流論証、結合論証）および、三段論法について。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク：テキストを読み、わからない箇所を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業の内容を振り返りつつ、テキストを見直しておく。
9回	**授業テーマ：論証の典型的パターン**(2) 授業内容：説得のための論法および、条件文による論法について。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク：テキストを読み、わからない箇所を調べておく。 事後学修 2.0hr：前回と今回の授業内容を振り返ったうえで、演習問題を解く。
10回	**授業テーマ：反論の典型的パターン** 授業内容：論争の要素が含まれる議論のなかで、必要とされる反論の仕方について。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク：テキストを読み、わからない箇所を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業の内容を振り返ったうえで、演習問題を解く。
11回	**授業テーマ：反論の実践**(1) 授業内容：適切に反論するための３つの視点について。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク：テキストを読み、わからない箇所を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業の内容を振り返りつつ、テキストを見直しておく。

12回	**授業テーマ：反論の実践**(2) 授業内容：検証型反論をおこなう方法について。第 8 回から 11 回までの授業の総括。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク：テキストを読み、わからない単語を調べておく。 事後学修 2.0hr：前回と今回の授業内容を振り返ったうえで、演習問題を解く。
13回	**授業テーマ：記号論理**(1) 授業内容：論証の型と論理語、論理語としての「ない」、「または」、「ならば」、「そして」について。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク：テキストを読み、わからない箇所を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業の内容を振り返りつつ、テキストを見直しておく。
14回	**授業テーマ：記号論理**(2) 授業内容：論証の記号化について。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク：テキストを読み、わからない箇所を調べておく。 事後学修 2.0hr：前回と今回の授業内容を振り返ったうえで、第 9 章の演習問題を解く。10 章の部分は授業の内容を振り返りつつ、テキストを見直しておく。
15回	**授業テーマ：記号論理**(3) 授業内容：三段論法による議論について。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク：テキストを読み、わからない箇所を調べておく。 事後学修 2.0hr：前回と今回の授業内容を振り返ったうえで、演習問題を解く。

コミュニケーション論

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：留学生クラス

山口　真葵（やまぐち　まき）

▌授業の概要

大学生活で人間関係や活動の範囲を広げるために、重要な役割が果たすのがコミュニケーション能力である。
授業前半では、自己理解、他者理解、社会的スキル、異文化理解の観点からコミュニケーションの基礎的知識について学ぶと同時に、アクティビティを通して自らのコミュニケーション能力について客観的に捉え、今後、どのように磨いていけばよいのかを考える。後半では、オンライン上や、マーケティング、災害時におけるコミュニケーションの特徴や内容について学ぶ。最後に、「日本人学生と留学生の初対面」場面の実際の「会話」の映像やスクリプトを観察、分析することでコミュニケーションに対する理解を深める。授業では、発表やディスカッション、意見交換などの活動を積極的に取り入れ、論理的、客観的に思考できる力や、日本語を「話す力」「聞く力」の向上も目指す。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：コミュニケーション学とはどのようなものかを理解し、それが現実社会でどのように反映されるかを分析する力を身につける。
自らのコミュニケーション能力向上のために何が必要かを客観的に考察できる力を習得する。
コミュニケーションに必要な日本語力を向上させ、批判的にそれを評価できる力を身につける。
授業活動を他者と協力して成しとげる重要性を認識し、協働する力を身につける。
個別目標：コミュニケーション学に関する基本的な文章を日本語で理解し、その内容をまとめて説明できる。
コミュニケーション学の基礎を理解した上で、現実場面にどのように生かせるかを分析できる。
自らの日本語によるコミュニケーション能力を理論に照らし合わせて客観的に判断できる。
日本語によるコミュニケーション能力を高め、学び考えたことを的確に表現できる。
他者の意見を的確に理解し、柔軟に異なる意見を認めることができる。

▌履修条件

この科目は留学生を対象とした科目です。全員が必ず事前にテキストの指定されたところを読んでくること。授業では、積極的に発言し、活動に参加することが要求されます。

▌評価基準・方法

振り返りレポート(20 %)、授業内活動(30 %)、発表(20 %)、まとめレポート(30 %)

▌フィードバック方法

授業や manaba を通してフィードバックを行います

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （指示があった場合、ノートパソコンかタブレットを持参すること。）

▌教科書

『大学 1 年生からのコミュニケーション入門』ナカニシヤ出版

▌参考書

『コミュニケーション論をつかむ』有斐閣
『会話データ分析の実際●身近な会話を分析してみる』ナカニシヤ出版
＊その他、適宜授業内でお知らせします。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション：大学生の学びとコミュニケーション** 授業内容：自己紹介をする。自分のコミュニケーションについて考える。 事前学修 2.0hr：テキスト 1 － 1 を読み検討・議論したいことについて考えてくる 事後学修 2.0hr：自分のコミュニケーションについて分析をする
2回	**授業テーマ：コミュニケーションとは** 授業内容：コミュニケーションの基本概念／　実際の場面を取り上げコミュニケーションを分析 事前学修 2.0hr：1 － 2 を読み検討・議論したいことについて考えてくる 事後学修 2.0hr：身の回りのコミュニケーションを分析する
3回	**授業テーマ：自己理解を深める** 授業内容：自己とは何か。 どうすれば自分を客観的に捉えられるのか、自分とのコミュニケーションの方法を学ぶ 事前学修 2.0hr：1 － 3,1 － 4 を読み検討・議論したいことについて考えてくる 事後学修 2.0hr：自分の今の状況を分析する。
4回	**授業テーマ：自分の考えを整理し、伝える** 授業内容：伝え方、見せ方に注意して伝えてみよう 事前学修 2.0hr：1 － 5, 1 － 6 を読み検討・議論したいことについて考えてくる 事後学修 2.0hr：授業での意見交換を踏まえて、どのような伝え方、内容、見せ方が効果的かまとめる(振り返りレポート)
5回	**授業テーマ：様々なコミュニケーション　①社会スキル②アサーション** 授業内容：１社会スキルについて基本的な知識を学び、自分のスキルを分析把握する ２自分のことを考えながら、他者についても配慮する方法について学び、自分のスキルを分析把握する。 事前学修 2.0hr：1 － 7, 1－8を読み検討・議論したいことについて考えてくる 事後学修 2.0hr：自分の社会スキル、アサーションスキルについて評価し、今後の課題を考える(振り返りレポート)
6回	**授業テーマ：コミュニケーションと異文化理解** 授業内容：１異文化理解をキーワードに文化とコミュニケーションについて考える ２立場によって見方が異なることについて考える 事前学修 2.0hr：1 － 9, 1 － 10 を読み検討・議論したいことについて考えてくる 事後学修 2.0hr：異文化理解について、考えをまとめて書く(振り返りレポート)
7回	**授業テーマ：社会関係とコミュニケーション** 授業内容：社会とコミュニケーションの関係について基本的に理解し、議論をする 事前学修 2.0hr：配布資料を読み、議論ができるように準備 事後学修 2.0hr：授業の振り返りレポート

8回	**授業テーマ：情報社会とコミュニケーション** 授業内容：情報社会とコミュニケーションについて基本的な内容を確認し、議論をする 事前学修 2.0hr：配布資料を読み、議論ができるように準備(担当者は発表準備) 事後学修 2.0hr：授業の振り返りレポート
9回	**授業テーマ：マーケティング・コミュニケーション** 授業内容：マーケティングとコミュニケーションについて基本的な内容を確認し、議論する 事前学修 2.0hr：配布資料を読み、議論ができるように準備(担当者は発表準備) 事後学修 2.0hr：授業の振り返りレポート
10回	**授業テーマ：災害とコミュニケーション** 授業内容：災害時におけるコミュニケーションの特徴と内容を確認し、議論をする 事前学修 2.0hr：配布資料を読み、議論ができるように準備(担当者は発表準備) 事後学修 2.0hr：授業の振り返りレポート
11回	**授業テーマ：バーチャル空間のコミュニケーション** 授業内容：バーチャル空間におけるコミュニケーションの特徴と内容を確認し、議論する 事前学修 2.0hr：配布資料を読み、議論ができるように準備(担当者は発表準備) 事後学修 2.0hr：授業の振り返りレポート
12回	**授業テーマ：初対面会話(接触場面)の二者会話の比較分析①** 授業内容：接触場面における初対面会話の映像・会話スクリプト 1 を見て、特徴を分析する 事前学修 2.0hr：配布資料を読み、基本を理解し、議論ができるように準備 事後学修 2.0hr：授業の振り返りレポート
13回	**授業テーマ：初対面会話(接触場面)の二者会話の比較分析②** 授業内容：接触場面における初対面会話の映像・会話スクリプト 2 を見て、特徴を分析し、１と比較する 事前学修 2.0hr：配布資料を読み、基本を理解し、議論ができるように準備 事後学修 2.0hr：授業の振り返りレポート
14回	**授業テーマ：初対面会話(接触場面)の三者会話の比較分析** 授業内容：接触場面における初対面会話の映像・会話スクリプト 3 を見て、特徴を分析し、１、２と比較する 事前学修 2.0hr：配布資料を読み、基本を理解し、議論ができるように準備 事後学修 2.0hr：授業の振り返りレポート
15回	**授業テーマ：授業の振り返りと総括** 授業内容：本授業の学びを総括する／まとめレポートの説明および作成 事前学修 2.0hr：自分の学びについてまとめてくる 事後学修 2.0hr：まとめレポート完成

コミュニケーション論

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

海谷　千波（かいや　ちなみ）

▌授業の概要

1．対象：「コミュニケーション」に疑問を持つ者、あるいは疑問を持ってみたい者。
2．目的：「コミュニケーション」に関する現象・言説を批判的に捉え、実践できる。
3．内容：(ア)「コミュニケーション」や諸問題に関する「常識」・「当然」・「当たり前」と、(イ)これらのこと「に／を」コミュニケートする可能性について学習する。
4．授業形式：(ア)概念・定義・構成要素・課題等を［再］整理し、(イ)グループやクラス全体で議論する。
ただし、履修登録者数や学生の学修状況に応じて、学修内容や活動に修正が加えられることもある。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：「コミュニケーション」現象からのメッセージや問いかけに向き合い、その意味を見出し、応答できるようになる。
個別目標：1．知識・技能：「コミュニケーション」に関連する基本的な考え方を知り、説明できる。
2．思考・判断・表現：「コミュニケーション」に関連する諸問題について自ら考え、判断し、表現したり行動したりできる。
3．主体性・多様性・協働性：他者と関わる(コミュニケートする)ことで、多様性を認め合い、人間性を高め合おうとする。

▌履修条件

1．初回授業へ参加すること(※　班編成と座席表作成のため)。
2．初回授業で交わされた約束を守ること。
3．ノート PC、又はタブレット(※ キーボードを準備)を持参すること。

▌評価基準・方法

評価基準・方法
1．講義・議論(70 %：授業外学修 50 %を含む)
2．グループ発表(30 %：準備や他グループ発表評価も含む)
以上、1及び2により総合的に評価する。
【※単位修得の条件として、12 回以上の「出席」が必要。遅刻2回で欠席1回とする。】

▌フィードバック方法

必要に応じて、授業や manaba で課題を点検したり、コメントしたりする。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッションとプレゼンテーション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （manaba 入力(レポート：授業の振り返り、発表の評価・コメント；プロジェクト：発表資料の作成)）

▌教科書

教員が編集する資料を使用する。

▌参考書

板場良久・池田理知子編(2011)．『よくわかるコミュニケーション学』．ミネルヴァ書房.
池田理知子編(2010)．『よくわかる異文化コミュニケーション』．ミネルヴァ書房.
鈴木敏恵(2012)．『課題解決力と論理的思考力が身につくプロジェクト学習の基本と手順』．教育出版株式会社.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション：授業方針と課題・評価等** 授業内容：(1)シラバスと補足資料にしたがい、授業方針・内容・方法・評価の要点について理解するとともに、授業外学修の具体的な方法を知る。(2)「何のためにコミュニケーションを学びたいか」について考えたり、意見交換したりする。 事前学修 2.0hr：講義概要、とりわけ「授業の概要」、「履修条件」、「評価基準・方法」を熟読し、理解するとともに、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：講義概要とオリエンテーションを振り返り、「何のためにコミュニケーションを学びたいのか」についてまとめる。
2回	**授業テーマ：コミュニケーション(1)：コミュニケーション、コード、意味づけ** 授業内容：(1)そもそも「コミュニケーション」とはどのような現象なのか、その要点を理解する。(2)学生自ら提起する関連課題について話し合ったり、発表したりする。 事前学修 2.0hr：教科書や参考資料等を熟読し、理解するとともに、議論の準備として要点や意見をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義や議論の内容をまとめるとともに、グループ発表に向けて情報を収集する。
3回	**授業テーマ：コミュニケーション(2)：フィードバック、コンテクスト、コミュニケーション・レベル** 授業内容：(1)コミュニケーション現象にはどのような影響力が働くのか、その要点を理解する。(2)学生自ら提起する関連課題について話し合ったり、発表したりする。 事前学修 2.0hr：教科書や参考資料等を熟読し、理解するとともに、議論の準備として要点や意見をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義や議論の内容をまとめるとともに、グループ発表に向けて情報を収集する。
4回	**授業テーマ：言語コミュニケーション：言語メッセージ、レトリック、ロゴス・パトス・エトス** 授業内容：(1)言語メッセージはどのように説得力を持ちえるのか、その要点を理解する。(2)学生自ら提起する関連課題について話し合ったり、発表したりする。 事前学修 2.0hr：教科書や参考資料等を熟読し、理解するとともに、議論の準備として要点や意見をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義や議論の内容をまとめるとともに、グループ発表に向けて情報を収集する。
5回	**授業テーマ：非言語コミュニケーション(1)：非言語メッセージ、身振り言語、視線** 授業内容：(1)非言語メッセージはどのように伝達されるのか、身振り言語や視線を例に要点を理解する。(2)学生自ら提起する関連課題について話し合ったり、発表したりする。 事前学修 2.0hr：教科書や参考資料等を熟読し、理解するとともに、議論の準備として要点や意見をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義や議論の内容をまとめるとともに、グループ発表に向けて情報を収集する。
6回	**授業テーマ：非言語コミュニケーション(2)：近接学、身体接触行動、周辺言語** 授業内容：(1)非言語メッセージはどのように伝達されるのか、近接学や身体接触行動、そして周辺言語を例に要点を理解する。(2)学生自ら提起する関連課題について話し合ったり、発表したりする。 事前学修 2.0hr：教科書や参考資料等を熟読し、理解するとともに、議論の準備として要点や意見をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義や議論の内容をまとめるとともに、グループ発表に向けて情報を収集する。

7回	**授業テーマ：文化：文化、宗教、倫理観** 授業内容：(1)文化の三層構造を通じて文化とは何なのか、その要点を理解する。(2)学生自ら提起する関連課題について話し合ったり、発表したりする。 事前学修 2.0hr：教科書や参考資料等を熟読し、理解するとともに、議論の準備として要点や意見をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義や議論の内容をまとめるとともに、グループ発表に向けて情報を収集する。
8回	**授業テーマ：社会：グローカリゼーション、マイノリティ、外国人就労者** 授業内容：(1)変化が激しく、予測不可能なこの時代に起こる様々な問題に関する要点を理解する。(2)学生自ら提起する関連課題について話し合ったり、発表したりする。 事前学修 2.0hr：教科書や参考資料等を熟読し、理解するとともに、議論の準備として要点や意見をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義や議論の内容をまとめるとともに、グループ発表に向けて情報を収集する。
9回	**授業テーマ：教育：コミュニケーション能力、外国語教育、日本語教育** 授業内容：(1)コミュニケーションや言語に関する教育はどのようにあるべきか、その要点を理解する。(2)学生自ら提起する関連課題について話し合ったり、発表したりする。 事前学修 2.0hr：教科書や参考資料等を熟読し、理解するとともに、議論の準備として要点や意見をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義や議論の内容をまとめるとともに、グループ発表に向けて情報を収集する。
10回	**授業テーマ：グループ発表準備(1)：テーマ設定** 授業内容：(1)グループ発表の方針、内容、方法等について理解する。(2)グループで解決すべきテーマを設定し、マインド・マップを使ってキーワードを考えながら、発表の全体像を想像する。 事前学修 2.0hr：トピックや関連情報について調べ、要点や自分の意見をまとめる。 事後学修 2.0hr：グループで検討した文献や情報を調べ、熟読し、要点・概要をまとめる。
11回	**授業テーマ：グループ発表準備(2)：現状把握・課題設定** 授業内容：(1)グループで持ち寄った情報を整理する。(2)テーマに関する現状を把握し、課題を設定する。(3)現状と課題に関する発表資料を作成する。 事前学修 2.0hr：グループで決めたテーマについて、現状や課題に関する情報を収集する。 事後学修 2.0hr：授業での議論に基づき、発表原稿を推敲する。
12回	**授業テーマ：グループ発表準備(3)：原因追及と改善案提示** 授業内容：(1)テーマに関する現状と課題を整理する。(2)原因・理由・背景を突き止め、改善案を考える。(3)原因・理由・背景と改善案に関する発表資料を作成する。 事前学修 2.0hr：原因や改善案に関する情報を収集する。 事後学修 2.0hr：授業での議論に基づき、発表原稿を推敲する。
13回	**授業テーマ：グループ発表(1)：第1グループの発表と評価** 授業内容：第1グループが発表を実演する。聴衆はメモをとりながら発表を聞いた後、評価シートに評価やコメントを書き込む。 事前学修 3.0hr：発表原稿を完成させ、リハーサルを行う。 事後学修 1.0hr：他のグループ発表について振り返り、今後、自分がどのように「コミュニケーション」を図るかをまとめる。
14回	**授業テーマ：グループ発表(2)：第2グループの発表と評価** 授業内容：第2グループが発表を実演する。聴衆はメモをとりながら発表を聞いた後、評価シートに評価やコメントを書き込む。 事前学修 3.0hr：発表原稿を完成させ、リハーサルを行う。 事後学修 1.0hr：他のグループ発表について振り返り、今後、自分がどのように「コミュニケーション」を図るかをまとめる。
15回	**授業テーマ：まとめ：グループ発表に関する講評と講義の振り返り** 授業内容：(1)教員によるグループ発表の講評を理解するとともに、発表の改善点についてグループで検討する。(2)講義全体を振り返り、「コミュニケーション」に関する批判的思考や日常的実践の理解を深める。 事前学修 2.0hr：グループ発表全体を振り返り、今後の「コミュニケーション」に関するコメントを準備する。 事後学修 2.0hr：「何のためにコミュニケーションは学ばれるのか」をまとめ、他のコミュニケーション関連科目履修に活かせるようにする。

心理学

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

中嶋　一恵（なかしま　かずえ）

▌授業の概要

人の心は、知覚、記憶、思考、言語など、様々な機能を持っている。心の働きを科学的に解明する心理学は、それに応じて様々な専門分化した研究がなされている。

本講義では、心理学の成り立ち、人の心の仕組み及び働き、その概観について理解し、周囲の人との関わりの中で活用していくことができる力を養うことを目的とする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：基礎的な心理学に関する諸理論を学ぶことにより、人の心や行動の基盤を理解する。また、心理学で学んだ内容を、日常生活で生かせる力を身につける。

個別目標：1)基礎的な心理学の理論や知識を習得し、人の心の動きを科学的に理解できる。
2)日常生活において起こる諸問題に対して、心理学の知識を応用できる。
3)自己・他者の多様性を理解し、穏やかで円滑な人間関係の形成に関与できる。

▌履修条件

1)初回のガイダンスで説明する履修条件を理解し、順守できること。
2)授業では個別指導とアクティブラーニングの手法も取り入れていくため、自主的・積極的に学ぶ意欲があること。
3)授業方法の特性上、第 1 回授業後に受講動機・受講意欲を記述するレポートを提出していただき、履修者を 50 名に制限する予定である。

▌評価基準・方法

※原則として 5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。
1)授業内で提示する課題作成(60 %)
2)最終レポート(40 %)
以上をもとに、総合的に評価する。

▌フィードバック方法

毎回の課題、質問や意見共有などに対してのフィードバックは、翌週以降の授業内または学習支援システム manaba を通じて行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （学習支援システム manaba、respon を使用しての意見共有、グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （学習支援システム manaba、ewspon を使用した意見共有、フィードバック、レポート作成 など）

▌教科書

指定なし

▌参考書

丹野義彦他著　「初めて出会う心理学」　有斐閣 2020
ジョエル・レビー著　「心理学の基礎講座」　NEWTON PRESS 2022

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：本講座の目的、授業の進め方、課題の取組み方、評価基準についてガイダンスを行う。また、心理学の位置づけについて概説を行う。 事前学修 2.0hr：履修動機を明確にし、心理学についての関心があることをまとめる。 事後学修 2.0hr：心理学についての自分の考えをまとめる。
2回	**授業テーマ：心理学入門** 授業内容：心理学とは何か、人の心を研究する意味、歴史的背景などを概説する。 事前学修 2.0hr：心理学の歴史について、関心をもっていることを調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、心理学の概要について自分の考えをまとめる。
3回	**授業テーマ：遺伝的気質特性** 授業内容：自身の遺伝的気質を理解し、特徴について概説する。 事前学修 2.0hr：遺伝的気質について、関心をもっていることを調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、自身の遺伝的特性をまとめる。
4回	**授業テーマ：心理的発達** 授業内容：遺伝と環境との関係、新生児や子どもの能力・発達について学ぶ。 事前学修 2.0hr：遺伝と環境の関係について、関心をもっていることを調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、遺伝と環境との関係、自身の特性と発達との関係をまとめる。
5回	**授業テーマ：感覚** 授業内容：心と関係の深い脳や感覚器官のはたらき、仕組みについて概説する。 事前学修 2.0hr：脳機能について、関心をもっていることを調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、心と脳の関係についてまとめる。
6回	**授業テーマ：感情** 授業内容：感情が生じるメカニズムや社会的機能について概説する。 事前学修 2.0hr：感情について、関心をもっていることを調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り、自身の特性との関係についてまとめる。
7回	**授業テーマ：記憶** 授業内容：記憶研究についての流れや、記憶のメカニズムについて概説する。 事前学修 2.0hr：記憶について、関心のあることを調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、自身の特性との関係についてまとめる。
8回	**授業テーマ：心理的ストレス** 授業内容：心理的ストレスについて、ストレス状態のメカニズムについて概説する。 事前学修 2.0hr：ストレスについて、関心のあることを調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、自身の特性との関係についてまとめる。
9回	**授業テーマ：性格と遺伝的気質の違い** 授業内容：性格とは何か、構造や役割を概説する。また、遺伝的気質との違いを、前半の講義で習得した理論や知識と照らし合わせて考えていく。 事前学修 2.0hr：性格について、関心のあることを調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、自身の性格と特性についてまとめる。

10回	**授業テーマ：社会的認知①** 授業内容：コミュニケーションの入口としての印象形成の理論について概説する。 事前学修 2.0hr：印象形成の理論について、関心のあることを調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、自身の特性との関係についてまとめる。
11回	**授業テーマ：社会的認知②** 授業内容：コミュニケーションとは何かを概説する。 事前学修 2.0hr：コミュニケーションについて、関心のあることを調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、自身の特性との関係についてまとめる。
12回	**授業テーマ：社会的認知③** 授業内容：コミュニティ形成における、自己・他者理解について概説する。 事前学修 2.0hr：コミュニティ心理学について、関心のあることを調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、自身の特性との関係についてまとめる。
13回	**授業テーマ：社会的認知④** 授業内容：パーソナリティ理論について概説する。 事前学修 2.0hr：パーソナリティ理論について、関心のあることを調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、自身の特性との関係についてまとめる。
14回	**授業テーマ：様々な心理学** 授業内容：各分野における心理学の特徴を紹介する。 事前学修 2.0hr：関心のある心理学分野について調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、興味のある分野についてまとめる。
15回	**授業テーマ：復習とまとめ** 授業内容：全講義内容を振り返り、心理学の知識と理論をまとめる。また、今後、自分の生活にどのように活かしていくのかを考える。 事前学修 2.0hr：本講義の内容を振り返り、疑問点などを明確にする。 事後学修 3.0hr：本講義の内容を振り返り、最終レポートにまとめる。

心理学

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

林　哲也（はやし　てつや）

▌授業の概要

人間の歴史は多様性を知る歴史でもある。交通、通信の発達などにより、人間はより多様な価値観や社会現象との遭遇を繰り返してきた。現代社会はインターネットという技術を得て、その多様性との遭遇はさらに高速化、日常化している。そうした背景の中で、私たち一人ひとりの心も動揺させられやすく、健康との関連がより深まる時代となっている。一方人間は古くから「心とは何か」への探求を行ってきた。近年は心理学という学問領域が成立し、多くの知見から、複雑化する社会における私たちの心のあり方への応用も盛んに議論されている。

本講義では、心理学の理論を紹介しつつ、現代社会の捉え方や私たちの健康へいかに応用させていくかについての理解を深め、実践していける力を養うことを目的とする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：心理学の基礎的な理論を参照しながら、心と現代社会との関係、健康との関係について、生活実感をともなった理解をする。

個別目標：1) 自らの心理に影響を与えている身体の機能や社会との関係について理解を深め、説明することができる。
2) 日常生活における、自らの心理的特性や行動傾向についての理解を深め、説明することができる。
3) 健康で充実した生活を過ごすための、心理的なセルフケア行動を実践することができる。

▌履修条件

1）初回の授業に必ず出席し、履修上の諸注意を順守できること（特に不要な授業途中の入退室、私語は慎むこと）。2）授業ではアクティブラーニングの手法も取り入れていくため、自主的、積極的に学ぶ意欲があること。3）アクティブラーニングの実効性の観点から履修者が多数の場合は履修動機、履修意欲を記述するレポートをもとに履修者を選抜する可能性がある。

▌評価基準・方法

1) 授業への取り組みと、授業内で提示する質問や理解度チェックへの応答、授業ごとの小課題の作成（60 %）　2) 最終課題（レポート）（40 %）をもとに総合的に評価する。

※原則として５分の４以上の出席を評価の前提条件とするが出席のみでの評価点は設けない。あくまで授業内での取り組み、提出された課題の内容を踏まえて評価をする。

▌フィードバック方法

毎回の小課題、授業中に行った respon による意見共有などに対するフィードバックを、学習支援システム manaba を通じて、あるいは翌週以降の授業内でのコメントによって行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （学習支援システム manaba、respon を使用した意見共有、フィードバック、ディスカッションを中心に行う。受講人数、受講生の理解度も参考にしながらグループワーク、PBL（課題解決型学習）を用いることもある。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （学習支援システム manaba、respon を使用した意見共有、フィードバック、ディスカッションを行う。スマホ、タブレットでも可。）

▌教科書

授業内でレジュメを配布。

▌参考書

無藤隆（他著）「新版　心理学」有斐閣　2018

下山晴彦（編）「よくわかる臨床心理学［改訂新版］」ミネルヴァ書房 2009

宗像恒次（他著）「ＳＡＴ法を学ぶ」金子書房 2007

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス・心理学とは―本講義の目的―** 授業内容：履修にあたっての諸注意と講義の進め方についてのガイダンスを行う。また心理学の学術的な位置づけについて概説を行い、自身がもつ心理学のイメージとの対比について考える。 事前学修 2.0hr：履修動機と意欲、心理学について自分自身が持っている関心についてまとめる。 事後学修 2.0hr：自身がもつ心理学のイメージと学術的な心理学の位置づけについて、重なる点、異なる点についてまとめる。
2回	**授業テーマ：心理学の全体像―心理学の歴史とさまざまな分野―** 授業内容：心に対する探求は古代から哲学や宗教を中心に行われ、近年では実験、調査などの科学を中心とした心理学が発展している。その心理学の歴史と研究対象とするさまざまな分野の広さについて概説し、身近な問題との関連を考える。 事前学修 2.0hr：事前資料を読み、関心をもった項目や疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：心理学の歴史的・社会的な位置づけと研究対象となるさまざまな分野などについてまとめる。
3回	**授業テーマ：感覚と知覚－脳・神経の働きと環境の認識―** 授業内容：心と不可分の関係にある脳や周囲の環境の安全や危険を認識する感覚器官のはたらき、仕組みについての概説を行い、身近な心理的問題を取り上げて、身体機能の視点も踏まえた多角的な解釈を試みる。 事前学修 2.0hr：事前資料を読み、関心をもった項目や疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：心と脳の関係、環境を認識する感覚器官のはたらきについてまとめる。
4回	**授業テーマ：感情と社会―喜怒哀楽の機能と制御―** 授業内容：感情が生じるメカニズムや社会的な機能について概説を行い、身近な問題を取り上げて多角的に自己理解、他者理解を試みる。また自分の心のコントロール、他者との良好なコミュニケーションについても考える。 事前学修 2.0hr：事前資料を読み、関心をもった項目や疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：感情の心理学的基礎理論と現代社会における感情の問題についてまとめる。
5回	**授業テーマ：心理的ストレスとは何か** 授業内容：思い通りに進まない事柄や突発的な出来事などから生じるストレス状態のメカニズムについて概説し、ストレス社会と言われる現代社会の構造から受ける影響、自身の健康を維持するための対処法について考える。 事前学修 2.0hr：事前資料を読み、関心をもった項目や疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：心理的ストレスの概念と、関連する社会問題についてまとめる。
6回	**授業テーマ：心理学と日常生活―身近な問題への応用―** 授業内容：第２回から第６回の内容を復習し、その理解をもとに日常生活で起こりがちな心理的問題を考える。教員から提示する事例、ケースに対してどのように思考し対処するか、セルフワークまたはグループワークを通じて学ぶ。 事前学修 2.0hr：ここまでの授業の内容を踏まえ、自身の日常生活に応用して新たな理解を得られる場面があるか考える。 事後学修 2.0hr：第 6 回の授業を踏まえて、自身の日常生活場面について、さらに多角的な理解を試み、まとめる。

7回	**授業テーマ：社会的認知ー印象形成の理論ー** 授業内容：コミュニケーションの入口ともいうべき他者に対する印象形成のメカニズム、行動から他者の特性を推論する帰属のバイアスなどについて概説を行い、その理解を踏まえて自身が経験してきた人間関係を振り返る。また今後の他者理解について考える。 事前学修 2.0hr：事前資料を読み、関心をもった項目や疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：印象形成、帰属バイアスについての理論を自身の経験と関連づけてまとめる。
8回	**授業テーマ：社会的影響①ー他者・集団との関係ー** 授業内容：人が個人として選択しているように思える思考、行動も、他者や文化といった社会的影響を受けており、また何らかの影響を他者や文化に与えてもいる。社会心理学の観点を踏まえた心の理解について概説し、身近な問題と関連させて自身の心の経験を考える。 事前学修 2.0hr：事前資料を読み、関心をもった項目や疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：心理学的理論を応用させながら、他者、集団、組織、規範など、個人に及ぼす社会的影響についてまとめる。
9回	**授業テーマ：社会的影響②ー人間関係とコミュニケーションー** 授業内容：人生の豊かさや楽しみをもたらす一方で、葛藤や嫌悪が生じてしまうこともある人間関係。親密さや攻撃性を生み出すメカニズム、良好なコミュニケーションの構成要素について概説し、自身の人間関係やコミュニケーション傾向について考える。 事前学修 2.0hr：事前資料を読み、関心をもった項目や疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：心理学的理論を応用させながら身近な人間関係について考察し、現代社会の問題も踏まえてまとめる。
10回	**授業テーマ：ライフサイクルと心理的問題** 授業内容：人間は生まれてから死ぬまで常に変化している。その中で生じる一定の時期に応じた発達段階ごとの心理的課題について、特に青年期、高齢期を取り上げて概説する。その理解を踏まえて自身の現在の心理的な発達課題、将来的に直面するであろう発達課題について考える。 事前学修 2.0hr：事前資料を読み、関心をもった項目や疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：生涯発達の視点から、各ライフステージにおける心理的問題についてまとめる。
11回	**授業テーマ：心理学と社会生活ー社会との関係への応用ー** 授業内容：第７回から第１０回の内容を復習し、その理解をもとに社会との関連で自身が抱える心理的問題を考える。教員から提示する事例、ケースに対してどのように思考し対処するか、セルフワークまたはグループワークを通じて学ぶ。 事前学修 2.0hr：ここまでの授業の内容を踏まえ、自身が感じる社会との関係の問題に応用して、新たな理解を得られる場面があるか考える。 事後学修 2.0hr：第 11 回の授業を踏まえて、自身がもつ社会と関連した心理的課題について、さらに多角的な理解を試み、まとめる。
12回	**授業テーマ：自己と社会ー自分とは何かー** 授業内容：「自分のことなのによく分からない」といった現象のように、社会心理学の主要なテーマとして扱われる「自己」に関する理論について概説を行い、その理解を踏まえて自身の経験を重ね、自己理解の基礎づくりを試みる。 事前学修 2.0hr：事前資料を読み、関心をもった項目や疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：自己に関する理論について整理し、自身を対象として「自己」についての新たな気づきについてまとめる。
13回	**授業テーマ：パーソナリティ理論** 授業内容：同じ人間であっても一人ひとりに無意識に行いがちな思考や行動の傾向がある。人格、性格を探究するパーソナリティ理論の概説と質問紙を使ったセルフワークを通して自己理解を深め、健康な生活に資する自分らしいセルフケアについて考える。 事前学修 2.0hr：事前資料を読み、関心をもった項目や疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：パーソナリティ理論と自らのパーソナリティーについての気づきをまとめる。
14回	**授業テーマ：気質と本質的欲求** 授業内容：生まれもった遺伝的、生得的な要因である気質に基づく個性と、行動の基となる根源的な欲求についての理論を概説し、質問紙を使ったセルフワークを通して自己理解を深め、健康な生活に資する自分らしいセルフケアについて考える。 事前学修 2.0hr：事前資料を読み、関心をもった項目や疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：気質、本質的欲求についての理論と気質コーチングを通じた自身の特性の気づきをまとめる。
15回	**授業テーマ：心理学と学生生活ー復習とまとめー** 授業内容：学生生活における心理的課題の理論について概説を行うとともに、これまでの授業の復習を行う。シラバスの個別目標について、各自の到達度を自己評価する。 事前学修 2.0hr：第 14 回までの内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業の内容と自らの生活を重ねて総合的に振り返る。

からだと健康

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

宮澤　慶（みやざわ　けい）

▌授業の概要

現代社会に生きる人間にとって健康は大切なものであり、かけがえのない財産である。自己実現のためにも、健康の保持・増進は重要である。本講義は、学生がからだの仕組みを理解し、健康に関する基本的知識を有する事を目的として、講義を行う。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：学生が健康的な生活を送るための基本的な知識を持ち、自己の健康を管理でき、健康に関して科学的又は医学的な考え方ができるようになることを到達目標とする。

個別目標：(1) 各臓器の機能、役割について説明できる。
(2) 健康問題にかかわる要因について説明できる。
(3) 健康維持増進および病気の予防について説明でき、実践することができる。

▌履修条件

健康や栄養について興味をもつもの。

授業中の私語、入退室及び携帯電話の使用等の授業妨害行為、並びに不適切な行為を慎める者。問題のある行為が認められた受講停止を求める。原則遅刻・早退を認めない。

▌評価基準・方法

中間テストの成績、出席ペーパー、学修態度に基づき総合的に評価する。5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。(欠席事由等については『履修の手引』を参照すること。

▌フィードバック方法

出席ペーパーの回答が十分でない部分は講義時もしくは manaba 上で追加説明を行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （課題(出席ペーパー)等を用いて実施する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （パワーポイントを使用して講義を行なう。）

▌教科書

適宜、資料を配布する。

▌参考書

今村裕行ら他 8 名著　「健康増進科学概論 －運動・栄養・休養－」(東京教学社) 2015

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：人体・医学・倫理・健康科学** 授業内容：講義に臨む態度について。 医学の進歩と払われた犠牲について。 事前学修 2.0hr：現代生活の特徴と QOL(生活の質)について考察しておく。未来にむけた医療のあり方について考える。 事後学修 2.0hr：医学の進歩とその意義について理解する。受講ルールをよく理解して遵守できるようにする。
2 回	**授業テーマ：人体と健康(肺)** 授業内容：呼吸について。 呼吸運動について。 喫煙と関連疾患について。 COPD について。 肺がんについて。 禁煙方法について。 事前学修 2.0hr：COPD と肺の健康について調べる。 事後学修 2.0hr：エネルギーを引き出す呼吸の仕組みやその調節機構および肺の健康について復習する。
3 回	**授業テーマ：人体と健康(心臓)** 授業内容：心臓について。 血液循環について。 血液の成分と働きについて。 循環調節について。 血圧について。 事前学修 2.0hr：心臓の役割や血液の循環について復習する。 事後学修 2.0hr：全身に栄養や酸素をめぐらす心臓のポンプ作用や血管の構造について復習する。
4 回	**授業テーマ：人体と健康(脳)　栄養と健康** 授業内容：神経について。 脳の構造について。 自律神経について。 脳卒中について。 神経系の病気について。 アルツハイマー症について。 事前学修 2.0hr：脳卒中・脳出血・脳梗塞について調べる。認知症について調べる。 事後学修 2.0hr：情報をコントロールする脳・神経系の働きや記憶・学習の仕組みについて復習する。
5 回	**授業テーマ：中間テスト 1　　1 回から 4 回の講義内容確認** 授業内容：第 1 回から第 4 回までの授業内容をテストする。 事前学修 3.0hr：中間テスト 1 を行なうので第 1 回から第 4 回までの授業内容を復習する。 事後学修 3.0hr：テストの内容を復習する。
6 回	**授業テーマ：応急手当と健康** 授業内容：心肺蘇生法について。 AED の使用法について。 RICE 処置などさまざまな救急法について。 歯の脱臼時の対応について。 バイタルサインについて。 事前学修 2.0hr：救急蘇生法と AED について調べる。 事後学修 2.0hr：心肺蘇生の方法や AED の使い方、および簡単な応急手当法について復習する。

7回	**授業テーマ：人体と健康(消化器)** 授業内容：消化器官について。 唾液について。 胃の構造と働きについて。 小腸について。 大腸について。 急性虫垂炎について。 大腸がんについて。 事前学修 2.0hr：食生活の飽食化・欧米化・簡便化について調べる。 事後学修 2.0hr：胃・腸の役割について復習する。
8回	**授業テーマ：人体と健康(肝臓)** 授業内容：栄養の消化について。 肝臓の構造と働きについて。 胆嚢の役割について。 膵臓の構造と働きについて。 肝炎とその種類について。 飲酒について。 事前学修 2.0hr：日本人の肝疾患のリスクファクターについて調べる。 事後学修 2.0hr：肝臓の役割、肝疾患について復習する。
9回	**授業テーマ：食事と健康** 授業内容：五大栄養素について。 ビタミンについて。 ビタミン欠乏症について。 食塩摂取と高血圧や脳血管疾患との関係について。 BMI について。 食事バランスガイドについて。 事前学修 2.0hr：五大栄養素について調べる。ビタミン欠乏症について調べる。食育について調べる。 事後学修 2.0hr：生命を維持するための栄養素がどのようにエネルギーや生体成分に変換されるかを復習する。
10回	**授業テーマ：中間テスト 2　 6 回から 9 回の講義内容** 授業内容：第 6 回から第 9 回までの授業内容をテストする。 事前学修 3.0hr：中間テスト 2 を行なうので第 6 回から第 9 回までの授業内容を復習する。 事後学修 3.0hr：テスト内容を復習する。
11回	**授業テーマ：人体と健康(腎臓)** 授業内容：腎臓の構造と働きについて。 泌尿器系にみられる疾患の種類について。 人工透析について。 糖尿病について。 事前学修 2.0hr：糖尿病の自覚症状と合併症について調べる。人工透析について調べる。 事後学修 2.0hr：腎臓の構造と尿を作る仕組みについて復習する。
12回	**授業テーマ：生活習慣病と健康** 授業内容：日本人の死因について。 メタボリックシンドロームについて。 特定健診について。 骨粗しょう症について。 痛風について。 事前学修 2.0hr：日本人の死亡原因について調べる。ヘルスプロモーションについて調べる。 事後学修 2.0hr：生活習慣病の種類や発症および予防対策について復習する。
13回	**授業テーマ：感染症予防と健康** 授業内容：感染について。 感染源と感染経路について。 ワクチンについて。 性感染症について。 動物や節足生物からの感染症について。 手洗いについて。 事前学修 2.0hr：新興感染症と再興感染症について調べる。STD について調べる。 事後学修 2.0hr：感染症対策について復習する。
14回	**授業テーマ：高齢化社会と健康** 授業内容：健康について。 生活習慣病予防について。 ヘルスプロモーションについて。 国際生活機能分類(ICF)について。 事前学修 2.0hr：日本の人口の問題点について調べる。 事後学修 2.0hr：ノーマライゼーションとバリアフリーについて復習する。
15回	**授業テーマ：テスト対策　歯科疾患と健康　まとめ** 授業内容：う蝕について。 歯周病について。 顎顔面領域の外傷について。 マウスガードについて。 期末テスト対策を行なうので第 1 回から第 14 回までの授業内容を復習する。 事前学修 3.0hr：第 1 回から第 14 回までの講義を復習する。 事後学修 3.0hr：全ての講義内容を復習し、期末テストに臨む。　からだの仕組みを理解し、自分の健康管理ができるようにする。

日本人の生活意識

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

中根　弘之（なかね　ひろゆき）

▌授業の概要

我々人間は、ほぼ意図することなく一定の世界観・価値観に従って日々の生活を送っている。この世界観・価値観は日常生活において顧みられることなく、広義の「世間知」として習得されてきたものである。本講義はカントの人間学的な観点から、さまざまな現代日本の生活にまつわる「世間知」についてより深く反省を加え、成熟した人間になるために必要なことは何かを考える。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：　自分の人生のあり方について、現代日本を取り巻く現状について学びながら反省し、自らの生き方について考えを深めることができるようになる。

個別目標：1）現代日本が直面している誕生と死にまつわる現状とその問題点について説明することができる
2）コミュニケーション能力の定義を理解し、日本のコミュニケーション空間の変質と現状について説明することができる
3）日本の宗教意識の特徴点を列挙し、説明することができる
4）価値の諸相について理解し、使用価値と交換価値の違いについて日本の現状から説明することができる

▌履修条件

新聞やニュースなどに関心を持ち、主体的に世の中の動きや自分自身のあり方について考える意志のある学生であること。

▌評価基準・方法

中間テスト点３０点
まとめテスト点７０点
このほか、自主学習のため manaba を用いて、課題を３回出すので、２回以上の提出を求める。

▌フィードバック方法

学期進行中に実施する中間テストの点数は、要望に従い学生に公開する。
同様に課題についても全体コメントを公表し、要望があれば学生個々に manaba を用いて指導する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

教科書は指定しない。
資料は教室で配布する

▌参考書

ＮＨＫ放送文化研究所『現代日本人の意識構造』[第九版]、２０２０他、必要に応じて提示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：導入　人間学と日本人の意識** 授業内容：単位取得の条件の確認、およびこの講義で扱う日本を取り巻く問題圏とカントの「人間学」の視点を紹介し検討する。 事前学修 2.0hr：自分の人生のあり方を死ぬ瞬間まで考えてみる 事後学修 2.0hr：身の回りの「世間知」について考えて列挙する
2回	**授業テーマ：誕生と死　誕生にまつわる現状と意識** 授業内容：少子化の現状を様々なデータから紹介し、それにまつわる意識調査の情報を共有する。 事前学修 2.0hr：人間の誕生に関してどのようなことが問題になるのか考える 事後学修 2.0hr：誕生にまつわる現状と課題を整理し、望ましい誕生のあり方をまとめる
3回	**授業テーマ：誕生と死　死にまつわる現状** 授業内容：高齢、長寿化の現状について様々なデータを紹介し、それにまつわる意識調査の情報を共有する。 事前学修 2.0hr：自身の経験したあるいは想像する死にまつわることがらについて列挙する 事後学修 2.0hr：死にまつわる現状と課題を整理し、望ましい死のありかたをまとめる
4回	**授業テーマ：誕生と死　死に向かうということ** 授業内容：尊厳死や安楽死といった新しい形の死についての紹介とそれにまつわる意識調査のデータを共有し、人間学的な視点から少子高齢化問題をまとめる。 事前学修 2.0hr：死に直面した時の状況について考えてみる 事後学修 2.0hr：死に直面した時の自身の心の動きと命の重みを重ね合わせ、人間の生について思うところをまとめてみる
5回	**授業テーマ：孤独と仲間　孤独と仲間をめぐる現状** 授業内容：コミュニケーションの現状とそれに伴う意識調査の内容を紹介し、情報を共有する。 事前学修 2.0hr：現代のコミュニケーション状況の特徴について自分の考えをまとめておく 事後学修 2.0hr：コミュニケーション不調の場合にみられる諸特徴について列挙しておく
6回	**授業テーマ：孤独と仲間　コミュニケーション能力の定義とコミュニケーション空間の変質について** 授業内容：コミュニケーション能力についていくつか具体的な定義を紹介し、スマートフォンを用いた SNS の各種サービスの使用現状を概括する。 事前学修 2.0hr：コミュニケーション能力と呼ばれているものについて自分の考えをまとめておく 事後学修 2.0hr：コミュニケーション能力の様々な定義についてまとめておく
7回	**授業テーマ：孤独と仲間　孤独病と承認要求について** 授業内容：片田珠美『孤独病』を軸に孤独感が強すぎてコミュニケーション不調について検討する。 事前学修 2.0hr：孤独感が強すぎることによって生じるコミュニケーション障害について列挙しておく 事後学修 2.0hr：孤独感と承認欲求の関係について自分なりにまとめておく
8回	**授業テーマ：孤独と仲間　仲間と呼べるものは誰か** 授業内容：鴻上尚志『世間と空気』を軸に日本的集団意識の問題点や特徴を取り上げ、検討する。 事前学修 2.0hr：仲間集団についてその必要条件について自分なりにまとめておく 事後学修 2.0hr：「世間」集団を形成する時に守られるべきルールを自分なりにまとめておく
9回	**授業テーマ：中間まとめとテスト** 授業内容：これまで講義で扱った「誕生と死」、「孤独と仲間」の内容をまとめ、習熟度の確認のために中間テストを実施する。 事前学修 2.0hr：これまで学習した内容のポイントを自分なりにまとめ、テストに備える。 事後学修 2.0hr：中間テストの出来を自分で思い出し、理解度の足りなかった部分を確認する

10回	**授業テーマ：神と仏　宗教をめぐる現状について** 授業内容：日本の宗教意識の現状について、各種の意識調査のデータを紹介し、共有する。 事前学修 2.0hr：日本の宗教の現状について自分なりに調べておく 事後学修 2.0hr：諸宗教のデータをまとめ、日本の宗教の動向をまとめておく
11回	**授業テーマ：神と仏　神道と仏教** 授業内容：日本の宗教において中心を占める神道と仏教について簡単に歴史をまとめ、自身の宗教理解を反省する。 事前学修 2.0hr：自分の身の回りの宗教的儀礼や行為について考え、ノートに列挙する 事後学修 2.0hr：自身が行ってきた宗教儀礼、宗教的行為を分類し整理する
12回	**授業テーマ：神と仏　日本的宗教意識について** 授業内容：日本の宗教意識を特徴づける「神仏習合」、「現世利益」、「祖先崇拝」の 3 つを軸に日本的宗教意識のあり方について検討する。 事前学修 2.0hr：超越的な存在について自分の考えをノートにまとめておく 事後学修 2.0hr：現世利益、祖先崇拝、神仏習合などの大事な概念についてまとめておく
13回	**授業テーマ：お金と価値　交換価値と使用価値** 授業内容：使用価値と交換価値の違いを具体的に検討した後、日本の平均収入の変化や経済的な豊かさについての意識調査を紹介し、情報共有する。 事前学修 2.0hr：お金で買えるものと買ってはいけないものの違いについて考えておく 事後学修 2.0hr：講義内容をまとめ、お金の歴史について調べておく
14回	**授業テーマ：お金と価値　資本主義の精神と疎外 -S. ゲゼルの思想-** 授業内容：ヴェーバーの『プロテスタンティズムの倫理と資本主義』の末尾に見られる未来図と、ゲゼルの価値を減じる貨幣システムについて学び、人間学的にまとめる。 事前学修 2.0hr：ヴェーバーの主張と地域通貨について調べておく 事後学修 2.0hr：理想的な交換価値と使用価値のあり方について考えておく
15回	**授業テーマ：まとめのテストと振り返り** 授業内容：「人間的な生き方」を軸にこれまで扱ってきた諸問題をまとめ、まとめのテストと振り返りを行う。 事前学修 2.0hr：テストに備え、１４回までの講義内容をまとめておく 事後学修 2.0hr：これまでの講義内容を踏まえ、人間学的に自分自身の生活の「世間知」について考える

日本人の生活意識

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：留学生クラス

堀内　貴子（ほりうち　たかこ）

▌授業の概要

日本人の生活意識（留学生クラス）では、日常の会話でなにげなく使われる言葉について書かれた文章を読む。そして、その内容を、自分の経験や自国の文化と比較しながら、日本人の感じ方や考え方について理解する。
また、理解したことを言語化し、クラスメートと話し合ったり、文章にまとめたりする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：日本人の言動に内在する価値観を理解し、それに対し、自らの考えを述べることができる。
個別目標：・日本語の文章を読んで、内容を正確に読み取ることができる。
・日常の会話でなにげなく使われる言葉に内在する日本人の考えや価値観を捉えることができる。
・日本人の考えや価値観に対する自分の考えを論理的に説明したり、文章にまとめたりすることができる。
・他者と意見交換をしながら、さらに自分の考えを深めることができる。

▌履修条件

留学生対象のクラスである。
事前事後課題を必ず行い、授業活動に積極的に参加すること。

▌評価基準・方法

試験 40 %・授業内評価 (小テスト、授業課題、振り返り)50 %、態度（授業への参加姿勢及び発言等）10 %。

▌フィードバック方法

授業内または manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション、グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

森田六郎『改訂新版　日本人の心が分かる日本語』アスク出版　ISBN：9784866393773

▌参考書

授業内で随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーションと事前テスト** 授業内容：オリエンテーション、事前テスト 事前学修 2.0hr：テキストを読む 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えをまとめ、記述する。
2回	**授業テーマ：内と外を分ける：内と外、世間** 授業内容：「内と外」「世間」について、事前学習で読んできたことをクラスで確認したあと、グループディスカッションを行い、理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の単語をチェックし、本文を読む。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えをまとめ、記述する。
3回	**授業テーマ：内と外を分ける：しつけ、けじめ** 授業内容：「しつけ」「けじめ」について、事前学習で読んできたことをクラスで確認したあと、グループディスカッションを行い、理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の単語をチェックし、本文を読む。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えをまとめ、記述する。
4回	**授業テーマ：内と外を分ける：素直、甘える** 授業内容：「素直」「甘える」について、事前学習で読んできたことをクラスで確認したあと、グループディスカッションを行い、理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の単語をチェックし、本文を読む。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えをまとめ、記述する。
5回	**授業テーマ：他人の目を意識する：人目、恥、照れる** 授業内容：「人目」「恥」「照れる」について、事前学習で読んできたことをクラスで確認したあと、グループディスカッションを行い、理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の単語をチェックし、本文を読む。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えをまとめ、記述する。
6回	**授業テーマ：周囲に配慮する：遠慮、気をつかう** 授業内容：「遠慮」「気をつかう」について、事前学習で読んできたことをクラスで確認したあと、グループディスカッションを行い、理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の単語をチェックし、本文を読む。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えをまとめ、記述する。
7回	**授業テーマ：周囲に配慮する：人並み、空気を読む** 授業内容：「人並み」「空気を読む」について、事前学習で読んできたことをクラスで確認したあと、グループディスカッションを行い、理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の単語をチェックし、本文を読む。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えをまとめ、記述する。
8回	**授業テーマ：人間関係を大切にする：つきあい、愛想、礼儀** 授業内容：「つきあい」「愛想」「礼儀」について、事前学習で読んできたことをクラスで確認したあと、グループディスカッションを行い、理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の単語をチェックし、本文を読む。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えをまとめ、記述する。
9回	**授業テーマ：人間関係を大切にする：本音と建て前、おかげさま** 授業内容：「本音と建て前」「おかげさま」について、事前学習で読んできたことをクラスで確認したあと、グループディスカッションを行い、理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の単語をチェックし、本文を読む。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えをまとめ、記述する。
10回	**授業テーマ：表現を押さえる：控えめ、ほのめかす、角を立てない** 授業内容：「控えめ」「ほのめかす」「角を立てない」について、事前学習で読んできたことをクラスで確認したあと、グループディスカッションを行い、理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の単語をチェックし、本文を読む。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えをまとめ、記述する。

11回	**授業テーマ：精神主義を好む：がんばる、根性、無理** 授業内容：「がんばる」「根性」「無理」について、事前学習で読んできたことをクラスで確認したあと、グループディスカッションを行い、理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の単語をチェックし、本文を読む。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えをまとめ、記述する。
12回	**授業テーマ：精神主義を好む：修行、武士道** 授業内容：「修行」「武士道」について、事前学習で読んできたことをクラスで確認したあと、グループディスカッションを行い、理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の単語をチェックし、本文を読む。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えをまとめ、記述する。
13回	**授業テーマ：日本人の価値観：品、やまとなでしこ、派手・地味** 授業内容：「品」「やまとなでしこ」「派手・地味」について、事前学習で読んできたことをクラスで確認したあと、グループディスカッションを行い、理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の単語をチェックし、本文を読む。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えをまとめ、記述する。
14回	**授業テーマ：日本人の価値観：恩・義理、いさぎよい、もったいない** 授業内容：「恩・義理」「いさぎよい」「もったいない」について、事前学習で読んできたことをクラスで確認したあと、グループディスカッションを行い、理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の単語をチェックし、本文を読む。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えをまとめ、記述する。
15回	**授業テーマ：総まとめ** 授業内容：今まで学んできたことについて、総復習を行う。 事前学修 2.0hr：今まで学んだことを確認する。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えをまとめ、記述する。

性格とは何か

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

樋口　倫子 (ひぐち　のりこ)

▌授業の概要

性格(パーソナリティ)は、「人となり」や「その人らしさ」を指します。言動に現れるものから、内面に隠されたものまで、その人の人間性のすべてが、パーソナリティに含まれます。多くの人々は、自分自身のパーソナリティに関して悩んだり、自分と相手のパーソナリティの違いによって人間関係障害を体験したりします。本講義では、自分のパーソナリティについての理解を深め、前向きなライフキャリアにつながるパーソナリティの熟成と、自他のパーソナリティの違いを受け止め、互いを活かしあう人間関係構築につながる学びを深めます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：パーソナリティについての理解を深め、前向きなライフキャリアにつながるパーソナリティの成長や成熟を図ります。さらに、ニューロダイバーシティー(脳多様性)の概念の理解し、自他のパーソナリティの違いを受け止め、補完し合える人間関係構築につながる能力を涵養します。

個別目標：1)性格(パーソナリティ)の概念、を説明できる。
2)ニューロダイバーシティ(脳多様性)の概念を理解し、適切な対人関係を身につける。
3)自らの性格(パーソナリティ)について理解し、前向きなライフキャリアにつながるセルフコーチングを身につける。
4)自他の性格(パーソナリティ)の違いを把握し、補完しあうヒューマンスキルを身につける。

▌履修条件

授業は、ピア・インストラクションやグループによるダイアローグなどのクリエイティブ・ラーニングの手法で行われる。
そのため、仲間と共に学習し合う雰囲気を心がけてほしい。不得意な場合は、必ず相談のこと(一緒に考えます)。
履修者多数の場合、履修動機を基に履修者を決定する(最大受講人数 70 名程度)ため、第 1 回の講義に必ず出席すること(第一次募集 65 名)。第 2 回目に、第二次募集(5 名)を行う。

▌評価基準・方法

1)講義内での質問や応答(20%)と　学習の成果物①:講義ごとの小課題(60%)、学習の成果物②:最終課題(レポート)(20 %)によって総合的に評価します。

▌フィードバック方法

講義終了時の質疑応答、次回講義冒頭での課題についての全体コメント、manaba 上での個別コメントで行います。
個別指導は、ワークブックへのコメントを以って行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Think-Pair-Share Think-Group-Share　Dialogue　Reflecting-Talk）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （レスポンの質問への回答　デジタル資料閲覧　データ共有）

▌教科書

①性格とは何かワークブック(￥600)
　購入方法については、講義内や manaba で案内いたします。
②配布資料

▌参考書

岡田康伸・他：パーソナリティの心理学　有斐閣

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス　パーソナリティ心理学入門** 授業内容：1．このコースの学習の進め方をイメージする。 2．この講義では何を学ぶのかを理解する。 3．自分の性格や周りの人の性格の悩みなど、身近な問題を考える。 事前学修 2.0hr：履修動機と自分自身の性格について理解していることをまとめておく。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ視点から、自分自信の性格に関する気づきをまとめる。
2回	**授業テーマ：パーソナリティの把握(TAT)** 授業内容：TAT という投影法を用いた性格検査を実施して、自己分析を行う。 その結果を、Think-Pair-Share によって共有し、気づきを深める。 事前学修 2.0hr：ワークブック「TAT を使った自己イメージの理解」を読み、セルフチェックを実施し、疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：自己イメージに関する気づきをまとめ、考察する。
3回	**授業テーマ：パーソナリティと自己効力感** 授業内容：行動と自己効力感について理解する。 自らの自己効力感について把握する。 自己効力感を高めること、成長型マインドセットについて話し合う。 安易に自己効力感を高めることのデメリットについて、話し合う。 事前学修 2.0hr：ワークブック「3．自己効力感」を読み、疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：成長型マインドセットがパーソナリティ形成に与える影響についてまとめる。
4回	**授業テーマ：パーソナリティの諸理論(類型論と特性論)** 授業内容：パーソナリティの諸理論を理解する。 類型論タイプと特性論タイプのパーソナリティチェックを実施する。 Think-Pair － Share で気づきを深める。 事前学修 2.0hr：ワークブック 4 章「遺伝的気質　あるがままの自分を活かす」を読み、疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：類型論と特性論、それぞれのパーソナリティのとらえ方についてまとめる。
5回	**授業テーマ：類型論①　遺伝的気質で知るあるがままの自分** 授業内容：類型論の一つである、遺伝的気質の自己チェックを行う。 人格気質とストレス気質の特徴やセルフケアについて理解する。 Think-Pair-Share で、人格気質の違いについて理解を深める。 事前学修 2.0hr：ワークブック 4 章「遺伝的気質　あるがままの自分を活かす」を読み、疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：気質の特徴から自らの強みと弱点を理解し、自らの能力を生かすセルフケアをまとめる。

6回	**授業テーマ：類型論②　気質コーチング（あるがままの自分と相手を生かすためのマネジメント）** 授業内容：6 つの気質の組み合わせのパターン毎の重複気質について理解する。 気質コーチングチャートに従って、ペアワークで重複気質の特徴とセルフケアを説明し合う。 Think-Pair-Share で、気質の違いについて理解を深める。 事前学修 2.0hr：ワークブック 4 章「遺伝的気質　あるがままの自分を活かす」を読み、疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：気質コーチングチャートを活用し、協力者を得てコーチングを実施する。
7回	**授業テーマ：ニューロダイバーシティー（脳多様性を尊重する）** 授業内容：ADHA 特性と自閉スペクトラム特性について理解する。 ２つ特性のチェックシートを実施し、自らの特性を理解する。 講義や Think-Pair-Share によって、気づきを深める。 事前学修 2.0hr：ワークブック 5 章 「ニューロダイバーシティ（脳多様性）を活かしあう」を読み、疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：それぞれのニューロダイバーシティの特徴とセルフケアについてまとめる。
8回	**授業テーマ：前半の内容についてのまとめ** 授業内容：コースの前半で実施した内容（自己効力感・気質・ストレス行動特性）について、総合的に振り返る。 ポートフォリオを参照しながら、自らがこのコース前半で学んだ重要なことを３つ選択する。 「それはなぜ重要と考えたのか」「今後どのように活用するのか」について、Think-group-share によって、気づきを深める。 事前学修 2.0hr：第 1〜7 回までの講義内容を復習するし、ポートフォリオのレポートを振り返る。 事後学修 2.0hr：ポートフォリオを参照しながら、自らがこのコース前半で学んだ重要なことを３つ選択する。それはなぜ重要と考えたのか、今後どのように活用するのかについて、レポートをまとめる。
9回	**授業テーマ：パーソナリティとストレス①（ストレス行動特性）** 授業内容：ストレスを生み出しやすい特性と、ストレスを活用できる特性について理解する。 ストレス行動特性を実施し、自らの特性を理解する。 講義や Think-Pair-Share によって、気づきを深める。 事前学修 1.0hr：ワークブック 6 章「ストレス行動特性からレジリエンス型特性へ」をよく読み、疑問点を明確にする。 事後学修 3.0hr：自分自身のストレスパーソナリティの特徴をまとめ、考察する。理解が不十分であった内容を、再度復習する。
10回	**授業テーマ：パーソナリティとストレス②　（メンタルヘルスコーチング）** 授業内容：メンタルヘルスコーチングをガイドラインを参考に、相手のストレス行動特性について、説明する。 相手に対し、どのようなストレス反応が生じやすく、それはどのようなストレス行動特性が関連しているのかについて説明する。 事前学修 2.0hr：ワークブック 8 章「メンタルヘルスティーチング＆コーチング」をよく読み、疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：メンタルヘルスコーチングを協力者 2 名に実施し、その結果を考察する。
11回	**授業テーマ：ストレス反応とストレスコーピング** 授業内容：ストレス反応の種類、よいストレスと悪いストレス、ストレスコーピングについて理解する。 自分自身のストレスコーピングは、問題解決型か否か、情動コントロール型か否かについて振り返る。 ストレスコーピングの気づきを、Think-Pair-Share で深める。 事前学修 2.0hr：ワークブック 7 章 「ストレス反応とストレスコーピング」を読み、疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：実行可能な積極的対処型のストレスコーピングを具体的に考えて、レポートにまとめる。
12回	**授業テーマ：タイムマネジメントによるストレスマネジメント** 授業内容：なりたい自分、ありたい自分について考えてみる。 有限な時間を、何を大事に生きるかに見通しを持つ。 ストレス関数によるストレスマネジメント理論を理解する。 具体的なストレスマネジメントを考え、Think-Pair-Share で気づきを深める。 事前学修 1.5hr：ワークブック９章 「タイムマネジメントによるストレスマネジメント」を読み、疑問点を明確にする。 事後学修 2.5hr：レジリエンスを高める対処を復習し、実践する。
13回	**授業テーマ：Well-being のためのストレスマネジメント** 授業内容：気分が落ち込んだ時やストレスを抱えた時のセルフマネジメントの理論を理解する。 4 種類のストレスマネジメントシートを、セルフワークで実施する。 セルフワークでの気づきを、Think-Pair-Share によって深める。 事前学修 1.5hr：ワークブック 10 章 「Well-being のためのストレスマネジメント」を読み、疑問点を明確にする。 事後学修 2.5hr：講義内で実施したワークを再度実施し、その気づきを得たのかをまとめる。
14回	**授業テーマ：Healthy Personality を育む** 授業内容：どのような要素が Healthy Personality につながるかを理解する。 自分自身のサヴァイヴァル型のパーソナリティ特性を振り返る。 なりたい自分・ありたい自分に必要な共生型パーソナリティ特性を考える。 気づきを Think-Group-Share によって深める。 事前学修 1.5hr：ワークブック 11 章「Healthy Personality を育む」を読み、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.5hr：なりたい自分・ありたい自分に必要な共生型パーソナリティ特性に関する気づきをまとめる。
15回	**授業テーマ：コース全体のまとめ** 授業内容：コース全体の内容を振り返る。 ポートフォリオを参照しながら、自らがこのコースで学んだ重要なことを３つ選択する。それはなぜ重要と考えたのか、今後どのように活用するのかについて、Think-group-share によって、気づきを深める。 事前学修 2.0hr：ポートフォリオに目を通し、自らがこのコースで学んだ重要なことを３つ選択し、まとめてくる。 事後学修 3.0hr：前向きなライフキャリアにつながるパーソナリティの成長についての最終課題（レポート）を仕上げる。

生命と遺伝子

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

桑山　秀一（くわやま　ひでかず）

▌授業の概要

すべての生物には遺伝子が含まれています。遺伝子の構造は同じであることから、遺伝子の機能はすべての生物の存続にとって必須であることがわかります。本講義の前半では、まず生命の基本単位である細胞の構造や機能を学びます。さらに遺伝子の構造と機能について理解し、「遺伝子と生命」について学修します。中盤では、生命の誕生や進化の歴史を俯瞰しながら、単細胞からヒトのような高度な多細胞体の特徴に至るまでを順を追って学修します。終盤においては、「遺伝子と病気」や「遺伝子と地球環境」をテーマに遺伝子と社会の接点について学修します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：どのような学問においてもそれを行う主体が人間であるかぎり、生物に関する理解は必須です。本講義では、生命の営みに必須である遺伝子の構造や機能、その重要性について理解します。遺伝子を理解することにより、「生命とは何か？」という基本的かつ根源的な問いに対して自分なりの考察できるようになることを一般的な目標にします。

個別目標：授業を理解することにより、まず「生命とは何か？」という問いに興味を持つことを目標とします。本授業を履修することにより、「遺伝子と自分」との接点について考察し、今後自らの専攻する学問分野における諸問題を生物学的視点で考察できるようになることを個別目標とします。

個別目標：授業を理解することにより、まず「生命とは何か？」という問いに興味を持つことを目標とします。本授業を履修することにより、「遺伝子と自分」との接点について考察し、今後自らの専攻する学問分野における諸問題を生物学的視点で考察できるようになることを個別目標とします。

▌履修条件

生物や生命現象に興味があることを履修条件とする。

▌評価基準・方法

成績は、定期試験（70 %）とその他（出席、事後学修（レポート、授業態度）（30 %）の結果に基づき総合的に判断する。

単位取得の最低条件は、講義の 5 分の 4 以上（15 回の講義中 12 回）の出席（講義の出席と学習支援システム『manaba』によるレポートの提出により完結）と定期試験（『manaba』上で行う）の参加とする。

▌フィードバック方法

講師への質問や要望、欠席連絡等は、講師への電子メールや学習支援システム『manaba』の個別指導コレクションを通じて行うことができる。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （授業中における講師から聴講生への質問や学生間における討論）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

なし

▌参考書

Biology: A Global Approach、Global Edition、Molecular Biology of the Cell 第７版、ゲノム（Genomes）第４版等

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：イダンス、および「生命」とは何か？ という問いに対する最初の考察** 授業内容：ガイダンス（本講義の目的と概要） 本講義の目的と概要についての説明。 「生命とはなにか？」について一緒に考察する。 事前学修 2.0hr：自分が知っている生命現象をまとめておく。 事後学修 2.0hr：講義内容の復習と理解
2 回	**授業テーマ：細胞の構造** 授業内容：細胞の構造について学修する。 事前学修 2.0hr：細胞とは何かについて、自分の知識を整理しておく。 事後学修 2.0hr：講義内容の復習と理解
3 回	**授業テーマ：細胞の機能** 授業内容：細胞の機能について学修する。 事前学修 2.0hr：細胞内では一体何が起こっているのかを自分なりに考察しておく。 事後学修 2.0hr：講義内容の復習と理解
4 回	**授業テーマ：遺伝子とは何か？** 授業内容：遺伝子とは何か？ ついて一緒に考察する。 事前学修 2.0hr：現在の遺伝子に関する知識を整理しておく。 事後学修 2.0hr：講義内容の復習と理解
5 回	**授業テーマ：遺伝子 DNA の構造** 授業内容：遺伝子 DNA の構造について学修する。 事前学修 2.0hr：自身の DNA に関する知識を整理しておく。 事後学修 2.0hr：講義内容の復習と理解
6 回	**授業テーマ：遺伝子 DNA の機能** 授業内容：遺伝子 DNA の機能について学修する。 事前学修 2.0hr：DNA の働きに関する知識を整理しておく。 事後学修 2.0hr：講義内容の復習と理解
7 回	**授業テーマ：タンパク質の構造** 授業内容：タンパク質の構造について学修する。 事前学修 2.0hr：タンパク質の構造に関する知識について整理しておく。 事後学修 2.0hr：講義内容の復習と理解
8 回	**授業テーマ：タンパク質の機能** 授業内容：タンパク質の機能について学修する。 事前学修 2.0hr：タンパク質の機能に関する知識を整理しておく。 事後学修 2.0hr：講義内容の復習と理解

9回	**授業テーマ：細胞が環境を感じるしくみ** 授業内容：細胞が環境を感じるしくみについて学修する。 事前学修 2.0hr：細胞が環境を感じるしくみについてまとめておく。 事後学修 2.0hr：講義内容の復習と理解
10回	**授業テーマ：細胞が動くしくみ** 授業内容：細胞が動くしくみについて学修する。 事前学修 2.0hr：細胞が運動するためには何が必要かを考察しておく。 事後学修 2.0hr：講義内容の復習と理解
11回	**授業テーマ：がん細胞** 授業内容：がん細胞について学修する。 事前学修 2.0hr：がんとは何かを生物学的に考察しておく。 事後学修 2.0hr：講義内容の復習と理解
12回	**授業テーマ：幹細胞とは何か？** 授業内容：幹細胞や iPS 細胞とは何か？ とそれらの医学的、社会的意義について学修する。 また、これらの事を理解するために細胞分化についても学修する。 事前学修 2.0hr：幹細胞や iPS 細胞について事前に調べておく。 事後学修 2.0hr：講義内容の復習と理解
13回	**授業テーマ：多細胞体生物の特徴と構造** 授業内容：多細胞体生物の特徴と構造について学修する。 また、単細胞から多細胞への生物進化に必要な細胞機能とその意義を学修する。 事前学修 2.0hr：単細胞と多細胞の違いをまとめておく。 事後学修 2.0hr：講義内容の復習と理解
14回	**授業テーマ：遺伝子と地球環境** 授業内容：遺伝子と地球環境との関わりについて討論する。 事前学修 2.0hr：遺伝子と地球環境についてまとめておく。 事後学修 2.0hr：講義内容の復習と理解
15回	**授業テーマ：「生命と遺伝子」についての討論** 授業内容：各人の専門分野と「生命と遺伝子」との関連についての討論 事前学修 2.0hr：自身の興味や専攻分野と生命あるいは遺伝子との関わりを考察しておく。 事後学修 2.0hr：講義前と講義後で自身の遺伝子に対する考え方の変化をまとめる。

スポーツ科学講義 A

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

杉浦　雄策（すぎうら　ゆうさく）

▌授業の概要

＜アスリートの科学＞
世界で活躍するアスリートの心・技・体に焦点を当てる。実在するアスリートやその実話をもとに「競技スポーツ」の知られざる全貌に迫る。いまや、トップアスリートにとってスポーツ科学の導入は、必要不可欠である。試合の結果のみならず、そこに辿りつくまでのプロセスも実に興味深い。これを知れば、スポーツを「みる」ときの楽しさが倍増するだろう。授業では、動画、スライド、資料を存分に活用し、「アスリートの科学」を学ぶ。授業は、アカディミックアプローチによる interacitve な対話形式で行なう。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：競技スポーツを「みる」ことで「人生を歩んでいくためのヒントを得る」ことができるようになる。
個別目標：正解のない問いに挑む。

▌履修条件

履修登録修正期間の登録は、原則認めない。
但し、特段の事情のある者は、担当教員に直接コンタクトをとること。
教科書の購入を必須とする。

▌評価基準・方法

5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。
授業への参加姿勢・課題レポート・教科書の活用度・アカディミックアプローチ (50%) および最終アカディミックアプローチ or 最終レポート (50%) の結果に基づき、総合的に判断する。

▌フィードバック方法

講義時の質疑応答、次回講義冒頭での全体コメントによる。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （教科書・授業資料を活用した対話(アカディミックアプローチ)）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

杉浦 雄策 日常生活に活かすスポーツ科学リテラシー（ライフ出版社）

▌参考書

特になし。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：授業の具体的な進め方および留意点 事前学修 2.0hr：講義概容を読み、その内容について、理解する。 事後学修 2.0hr：教科書　1 章・6 章・7 章・8 章・9 章を読み、授業内容の総論について、理解する。
2 回	**授業テーマ：スポーツを考える** 授業内容：競技スポーツとは 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解を深める。 事後学修 2.0hr：「スポーツの力」について、自分の意見や考えをまとめる。
3 回	**授業テーマ：スポーツとアスリート** 授業内容：競技スポーツにおける science and art 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解を深める。 事後学修 2.0hr：「競技スポーツにおける science and art」について、自分の意見や考え、想いをまとめる。
4 回	**授業テーマ：スポーツリテラシー** 授業内容：体育とスポーツの連続体 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解を深める。 事後学修 2.0hr：「体育とスポーツの連続体」について、自分の意見や考え、想いをまとめる。
5 回	**授業テーマ：アスリートの驚異の肉体** 授業内容：アスリートの心を探る 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解を深める。 事後学修 2.0hr：「アスリートの心を」について、自分の意見や考え、想いをまとめる。
6 回	**授業テーマ：アスリートの驚異の肉体** 授業内容：アスリートの技を探る 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解を深める。 事後学修 2.0hr：「アスリートの技」について、自分の意見や考え、想いをまとめる。
7 回	**授業テーマ：アスリートの驚異の肉体** 授業内容：アスリートの体力・運動能力を探る 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解を深める。 事後学修 2.0hr：「アスリートの体力・運動能力」について、自分の意見や考え、想いをまとめる。
8 回	**授業テーマ：アスリートの驚異の肉体** 授業内容：アスリートの才能を考える 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解を深める。 事後学修 2.0hr：「アスリートの才能」について、自分の意見や考え、想いをまとめる。
9 回	**授業テーマ：人類の進化と科学の進歩、その光と影** 授業内容：走高跳びのイノベーション 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解を深める。 事後学修 2.0hr：「走高跳びのイノベーション」について、自分の意見や考え、想いをまとめる。
10 回	**授業テーマ：人類の進化と科学の進歩、その光と影** 授業内容：水着のイノベーション 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解を深める。 事後学修 2.0hr：「水着のイノベーション」について、自分の意見や考え、想いをまとめる。

11回	**授業テーマ：人類の進化と科学の進歩、その光と影** 授業内容：陸上競技アンダーハンドパスのイノベーション 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解を深める。 事後学修 2.0hr：「陸上競技アンダーハンドパスのイノベーション」について、自分の意見や考え、想いをまとめる。
12回	**授業テーマ：人類の進化と科学の進歩、その光と影** 授業内容：ドーピングとアンチドーピング 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解を深める。 事後学修 2.0hr：「ドーピングとアンチドーピング」について、自分の意見や考え、想いをまとめる。
13回	**授業テーマ：人類の進化と科学の進歩、その光と影** 授業内容：テクノロジーの発達と人間の真価 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解を深める。 事後学修 2.0hr：「テクノロジーの発達と人間の真価」について、自分の意見や考え、想いをまとめる。
14回	**授業テーマ：スポーツの未来学** 授業内容：スポーツ文化を知る 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解を深める。 事後学修 2.0hr：「スポーツ文化」について、自分の意見や考え、想いをまとめる。
15回	**授業テーマ：スポーツ科学リテラシー** 授業内容：人生を歩くヒントを得る 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解を深める。 事後学修 2.0hr：スポーツ科学・アスリートから、人生を学ぶ

スポーツ科学講義 A

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

矢島　ますみ（やじま　ますみ）

▌授業の概要

◆講義授業◆【映像に学ぶメディアとしての身体】～社会とともに変化する身体～（前学期 月１）
本講義では、人文・社会科学的な観点から、「医科学の発達、価値観の変化とともに多様化する身体の様相」に関して、”身体の現在”を考察していきます。主たる視点は、ネット時代の身体、人工化する身体、男としての身体・女としての身体、ジェンダー、生命の尊厳とは等。豊富なビデオ資料を見ていただきます。＃授業内容は進行状況・クラスの状況により前後・変更します。
＃この授業テーマは、2024 年度（後学期月曜１）の「スポーツ科学講義 B」と同じですので履修の際にはお気を付けください。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：人生の中で「身体」を広く豊かにとらえていく”柔らかい感性と思考力”を身につけることを目標にします。自分が考えたことを文章で表したり、他人の考えを理解することによって改めて自分で考えを深め、課題を追及する力を高めていきます。
個別目標：①現代社会における医療や人権等の社会的課題について注目することができる。
②自分を取り巻く環境において、身体と社会的課題をみつけることができる。
③多様な課題に対して、自ら考え、まとめ記述することができる。

▌履修条件

「考える」ことが好きな方、授業に積極的に参加してくださる方、お待ちしています。

▌評価基準・方法

評価は、毎回の授業時の記述（60 %）manaba 利用による事前・事後学修（40 %）を基礎に、相対的に成績をつけます。評価対象（D～S）となるには４/５（12 回）の出席が必要です。定期テスト期間のテストは予定しないので、毎回の授業課題にしっかり取り組んでください。

▌フィードバック方法

授業内容への意見や感想を授業メンバーと manaba のプロジェクト欄や manaba の小テスト欄を有効に利用しながら互いにコメントすることによって、授業課題や授業のフィードバックをしていきます。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （授業中に manaba を利用しますので、スマホ、タブレット、PC 等をご持参ください。）

▌教科書

適宜、提示いたします。

▌参考書

適宜、提示いたします。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：イントロダクション：授業の進め方　ネット時代　SNS　誹謗中傷** 授業内容：学習の進め方の説明。現代社会が抱える身体をめぐる課題の視点を説明し、授業全体を概観する授業です。身体は、科学技術の進歩によっていよいよ変化し、新しい生活スタイルが創造されていく可能性を持っています。さて、これからの身体と社会は？ 事前学修 2.0hr：シラバスを確認する。 事後学修 2.0hr：授業中に記入したメンバーの全記述を読み、意見、評価を行う。
2回	**授業テーマ：ネット社会１：性の欲望　デジタル技術“解放”か“堕落”か** 授業内容：ネットの時代。AI の技術によっても“性欲のバーチャル化”が進み、新たな幸福感が生み出されつつあります。ネット社会と人間特有の「性の欲望」について考えてまいります。 事前学修 2.0hr：関連するニュース＆話題をチェックする。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
3回	**授業テーマ：ネット社会２：オンラインカジノ 底知れぬ闇** 授業内容：オンラインカジノは、インターネットを通じて賭け事を楽しむことができる場所ですが、日本ではオンラインカジノは法律で禁止されています。無意識に巻き込まれてしまうネット社会の闇。考えてまいりましょう。 事前学修 2.0hr：関連するニュース＆話題をチェック。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
4回	**授業テーマ：身体を知る１：「テストステロンの真実～謎多き男性ホルモン～」** 授業内容：AI やデジタル化によって身体をめぐる環境はいよいよ変わってきています。しかしながら、生身の体は、そうは簡単にコントロールできません。特に男性の生活様式に大きな影響を与えている、男性ホルモンといわれるテストステロンについて、理解していきます。 事前学修 2.0hr：関連するニュース＆話題をチェック。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
5回	**授業テーマ：身体を知る２：「生殖レース：受精までの闘い」** 授業内容：”精子と卵子”の出会いは、意外に大変。現在、結婚希望年齢は「29.4 才」、出産希望年齢は「30.9 才」とのこと。最近では、妊娠を望んでいてもなかなか妊娠できず、不妊に悩んでいる話も多くなっています。受精という視点から人って何だろう？ と改めて考えてみます。 事前学修 2.0hr：関連するニュース＆話題をチェック。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
6回	**授業テーマ：身体を知る３：「女性の生殖メカニズム」を知る** 授業内容：男性と女性の体の違い。一般的には、生殖のメカニズムが大きく異なります。今回は、女性の身体と生活について、理解してみましょう。同時に、「社会的な性」という視点でジェンダーという言葉があります。多様性についても考えてまいりましょう。 事前学修 2.0hr：関連するニュース＆話題をチェック。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
7回	**授業テーマ：生命の意味１：「幸せのかたち　出生前診断の現場で」** 授業内容：出生前診断は、妊娠中におなかの赤ちゃんについて先天性の病気や形態の異常がないかを調べる検査です。最近は簡便に検査ができるようにもなってきました。女性の体に宿った命、赤ちゃんの命、命の選別への懸念。多面的に考えてまいりましょう。 事前学修 2.0hr：関連するニュース＆話題をチェック。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
8回	**授業テーマ：生命の意味２：性と人権：性加害、性的同意を考える** 授業内容：近年　社会の話題となっている性加害。事例を紐解きながら、互いの存在の尊厳について考えてまいりしょう。 事前学修 2.0hr：関連するニュース＆話題をチェック。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。

9回	**授業テーマ：生命の意味３：人の命を守る方法：こうのとりのゆりかご　アメリカの政治と中絶** 授業内容：望まれる妊娠、望まれない妊娠、生む女性の権利、赤ちゃんの人権。日本では、妊娠 21 週 6 日までは、医師の同意があれば中絶が合法的に行われていますが、中絶は多くの国で非常に議論の多い問題となっており、政治的な課題とも言えます。考えてまいりましょう。 事前学修 2.0hr：関連するニュース＆話題をチェック。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
10回	**授業テーマ：生きる価値観をめぐって１：尊厳死　安楽死(日本の場合)** 授業内容：人は自分の最後を決めることができるのか？ その１。現在の日本では、安楽死は認められていませんが、安楽死(または医師補助自殺)が合法とされている国や地域にはいくつかあります。基本的な知識を身に着けてまいりましょう。 事前学修 2.0hr：関連するニュース＆話題をチェック。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
11回	**授業テーマ：生きる価値観をめぐって２：尊厳死　安楽死 (海外の場合)** 授業内容：人は自分の最後を決めることができるのか？ その２。 世界では、安楽死の合法化に関して大きな動きがあります。オランダ, ベルギー(2002 年), ルクセンブルク:(2009 年) に安楽死が合法化されました。スイスでは、安楽死は明確には認められていませんが、自殺幇助は広く行われそのため、終末期の医療を考慮する日本人がスイスでその選択を求めることがあるようです。考えてまいりましょう。 事前学修 2.0hr：関連するニュース＆話題をチェック。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
12回	**授業テーマ：生きる価値観をめぐって３：脳死　移植医療** 授業内容：日本では脳死に関する認識によって、臓器提供者が少ない現状があります。人の死の定義について考えてみましょう。海外では臓器移植は自国の自給自足に務め、移植ツーリズムを禁止するといった流れもあります。移植医療について考えてみましょう。 事前学修 2.0hr：関連するニュース＆話題をチェック。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
13回	**授業テーマ：生きる価値観をめぐって４：死刑　生きること、生きる権利、そして法整備** 授業内容：人は人を裁くことができるのか？ 考えていきます。多くの諸外国が、死刑を実施しない傾向にあります。日本と世界の死刑制度とを比較しながら考えてまいりましょう。 事前学修 2.0hr：関連するニュース＆話題をチェック。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
14回	**授業テーマ：生きる価値観をめぐって５：サイボーグと人間、オーダーメイド・ベビー** 授業内容：ゲノム編集ってなにをすることでしょう。CRISPR-Cas 9(クリスパー・キャス・ナイン)とは？ どこまで人は人の身体を操作・改造してよいのでしょうか？ 考えてまいりましょう。 事前学修 2.0hr：関連するニュース＆話題をチェック。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
15回	**授業テーマ：まとめ－身体は 21 世紀に何が求められているのか？ 生きること、生きる権利　差別** 授業内容：人の命、生活、法律、、、多様性社会における人の存在について考えていきます。 事前学修 2.0hr：関連するニュース＆話題をチェック。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。

スポーツ科学講義 B

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

杉浦　雄策（すぎうら　ゆうさく）

▌授業の概要

＜健康スポーツの科学＞
スポーツの魅力は、「する」ことにあるといってよい。もともとスポーツには、遊び感覚で身体を動かすこと、それ自体に楽しさがある。また、体力年齢の低下を緩やかにしたり、生活習慣病も予防できる。実際にスポーツを実践している人たちは、心身共に健康な生活を送るために、日常生活の限られた時間の中で、真剣に楽しみ一所懸命に遊んでいる。授業ではスライド、資料を存分に活用し、「健康スポーツ科学」を学ぶ。なお、本授業は、社会の情勢を鑑み、学生対応(対面・遠隔)を機動的に行なう。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：健康スポーツを「する」ことで、人生を歩んでいくときに欠かせない健康と体力をキープしていくことの重要性が理解できる。また、生涯を通じて実践するスポーツ種目の KNOW HOW と、身体とスポーツとの関係についても考えることができる。そして、「わたしの健康スポーツ(種目)」について、まとめられる。
個別目標：正解のない問いに挑む。

▌履修条件

履修登録修正期間の登録は、原則認めない。
但し、特段の事情のある者は、担当教員にコンタクトをとること。
教科書の購入を必須とする。

▌評価基準・方法

5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。
授業への参加姿勢・課題レポート・教科書の活用度 (50%) および最終レポート (50%) の結果に基づき、総合的に判断する。

▌フィードバック方法

講義時の質疑応答、次回講義冒頭での全体コメントによる。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （教科書・授業資料を活用した対話）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

杉浦 雄策 日常生活に活かすスポーツ科学リテラシー（ライフ出版社）

▌参考書

特になし。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：授業の具体的な進め方と留意点 事前学修 2.0hr：講義概容を読み、その内容について、理解する。 事後学修 2.0hr：教科書　1 章・2 章・3 章・4 章・5 章・9 章を読み、授業内容の総論について、理解する。
2 回	**授業テーマ：スポーツと健康・体力** 授業内容：運動不足と生活習慣病　健康と体力を考える 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解を深める。 事後学修 2.0hr：「運動不足と生活習慣病　健康と体力を考える」について、自分の意見や考え、思いをまとめる。
3 回	**授業テーマ：身体をつくる** 授業内容：スタミナのある身体 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解する。 事後学修 2.0hr：「スタミナのある身体」について、自分の意見や考えをまとめる。
4 回	**授業テーマ：身体をつくる** 授業内容：力強い身体 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解する。 事後学修 2.0hr：「力強い身体」について、自分の意見や考えをまとめる。
5 回	**授業テーマ：身体をつくる** 授業内容：しなやかな身体 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解する。 事後学修 2.0hr：「しなやかな身体」について、自分の意見や考えをまとめる。
6 回	**授業テーマ：身体を都整える** 授業内容：骨・筋肉　女性の「やせすぎ」にご用心 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解をする。 事後学修 2.0hr：「骨・筋肉　女性のやせすぎ」について、自分の意見や考えをまとめる。
7 回	**授業テーマ：身体を整える** 授業内容：脂肪　肥満を考える 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解をする。 事後学修 2.0hr：「脂肪　肥満を考える」について、自分の意見や考えをまとめる。
8 回	**授業テーマ：身体を整える** 授業内容：水分　熱中症を予防する 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解をする。 事後学修 2.0hr：「水分　熱中症を予防する」について、自分の意見や考えをまとめる。
9 回	**授業テーマ：身体を動かす** 授業内容：代表的な有酸素系・フィットネススポーツ 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解をする。 事後学修 2.0hr：「代表的な有酸素系・フィットネススポーツ」について、自分の意見や考えをまとめる。
10 回	**授業テーマ：身体を動かす** 授業内容：楽しくスポーツをする 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解をする。 事後学修 2.0hr：「楽しくスポーツをする」について、自分の意見や考えをまとめる。

11回	**授業テーマ：スポーツの未来学** 授業内容：スポーツは文化　スポーツと健康寿命社会　スポーツとまちづくり 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解をする。 事後学修 2.0hr：「スポーツは文化　スポーツと健康寿命社会」について、自分の意見や考えをまとめる。
12回	**授業テーマ：スポーツの未来学** 授業内容：フィジカル・リテラシー 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解をする。 事後学修 2.0hr：「フィジカル・リテラシー」について、自分の意見や考えをまとめる。
13回	**授業テーマ：スポーツの未来学** 授業内容：スポーツの未来を育てる① 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解をする。 事後学修 2.0hr：「スポーツの未来を育てる①」について、自分の意見や考えをまとめる。
14回	**授業テーマ：スポーツの未来学** 授業内容：スポーツの未来を育てる② 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解する。 事後学修 2.0hr：「スポーツの未来を育てる②」について、自分の意見や考えをまとめる。
15回	**授業テーマ：科学知を生活知へ** 授業内容：わたしの健康スポーツ(種目)の実践を考える 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解をする。 事後学修 2.0hr：「わたしの健康スポーツ(種目)の実践を考える」について、自分の意見や考えをまとめる。

スポーツ科学講義 B

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

矢島　ますみ（やじま　ますみ）

▌授業の概要

◆講義授業◆【映像に学ぶエンターテイメントの世界】～ステージとエンターテイメント産業～（後学期 月 1）

本講義は、ショービジネスやエンターテイメント産業の発展を社会の変遷（歴史）とともに理解していきます。ダンス、ミュージカルの発展、ウォルト・ディズニーの人生と偉業、ミュージックビデオの発展の歴史、伝統芸能、巨大なエンタメイベント（グラディエーター、オリンピック等）について取り扱います。エンタメ産業、その将来を考えてまいりましょう。

＃この授業内容は、2024 年度 (前学期月曜１)の「スポーツ科学講義 A」と同テーマですので、履修の際にはお気を付けください。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：舞台表現やエンターテイメントの発展の歴史を理解することによって、人間の「遊び」「欲望」「楽しさ」とは何かを考え,「今後、流行るエンターテイメントの要素とは？」の答えを求めていきます。多くの歴史的な映像から過去を学び、そして未来を見つけていきます。

個別目標：①古代ギリシャから現代までのエンターテイメント産業の歴史の概略を述べることができる。
②ウォルト・ディズニーの人生と偉業について語ることができる。
③人々の欲求と社会の関係を「楽しさ」「Play」の視点から考えることができる。

▌履修条件

舞台やパフォーマンスを楽しむ心をお持ちの方、お待ちしています。

▌評価基準・方法

評価は、毎回の授業時の記述（60 %）、manaba を利用した事前・事後学修（40 %）を基礎に、相対的に成績をつけます。評価対象（D～S）となるには 4/5（12 回）の出席が必要です。定期テスト期間のテストは予定しないので、毎回の授業課題にしっかり取り組んでください。

▌フィードバック方法

授業内容への意見や感想を授業メンバーと manaba のプロジェクト欄を使って共有し、manaba の小テスト欄を有効に利用しながら互いにコメントすることによって、授業課題や授業のフィードバックをしていきます。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （授業中に manaba を利用しますので、スマホ、タブレット、PC 等をご持参ください。）

▌教科書

特段にありません。

▌参考書

適宜、ご紹介します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：授業の説明、エンタメ産業、そして映像の世界** 授業内容：エンターテイメント産業とは？ どんなジャンルがあるのか？ 授業の全体を概観します。 事前学修 2.0hr：シラバスを理解してくる。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
2 回	**授業テーマ：ウォルト・ディズニーの生涯を知る「ミッキーマウスの誕生」と 1920 年代** 授業内容：ウォルト・ディズニー（1901-1966）の生涯を理解してまいりましょう。その１　ミッキーマウスが誕生する 1920 年代。 事前学修 2.0hr：1920 年代のアメリカ社会を理解してくる。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
3 回	**授業テーマ：ウォルト・ディズニーの生涯を知る「アニメーションのパイオニア」と 1930 年代** 授業内容：ウォルト・ディズニー（1901-1966）の生涯を理解してまいりましょう。その２　ディズニーといえばアニメーション！「白雪姫」誕生。 事前学修 2.0hr：1930 年代のアメリカ社会を理解してくる。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
4 回	**授業テーマ：授業テーマ：ウォルト・ディズニーの生涯を知る「戦争と混乱の時代」と 1940・50 年代** 授業内容：ウォルト・ディズニー（1901-1966）の生涯を理解してまいりましょう。その３　ウォルトも社会も戦争に影響され混とんとした年代。 事前学修 2.0hr：1940 年代　50 年代のアメリカ社会を理解してくる。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
5 回	**授業テーマ：ウォルト・ディズニーの生涯を知る「"夢の国" ディズニーランド」と 1960 年代** 授業内容：ウォルト・ディズニー（1901-1966）の生涯を理解してまいりましょう。その４　夢の国の完成（1955）、そして、、、。 事前学修 2.0hr：1960 年代のアメリカを理解してくる。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
6 回	**授業テーマ：エンターテイメントを創る！　東京ディズニーランド開園とディズニー作品の成長の秘密** 授業内容：東京ディズニーランドがどのように浦安の地に存在するようになったのか？、ディズニーの作品の成長の秘密も考えてまいりましょう。 事前学修 2.0hr：ディズニー作品がヒットする秘密を考えてみる。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
7 回	**授業テーマ：アート・芸術表現者の歴史を理解する** 授業内容：アート・芸術表現にかかわった人の歴史を紐解く。現代のアーティストのメッセージとは？ 事前学修 2.0hr：芸術表現者は社会にどのようなメッセージを残してきたのか考えてみる。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
8 回	**授業テーマ：ダンスの歴史を知る「ザッツ・ダンシング！」と映画産業** 授業内容：映像産業の歴史を理解する。ダンスはいつごろからはじまった？ ダンスの発展について理解します。 事前学修 2.0hr：今流行っているダンスはどんなダンス？ ダンスの発展について考えてくる。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
9 回	**授業テーマ：ミュージックｖｉｄｅｏの登場：KING OF POP マイケル・ジャクソンと音楽の表現者たち** 授業内容：アーティスト（歌手・俳優等）の社会へのメッセージを読み解く：マイケル・ジャクソンは何を残したのか？ 事前学修 2.0hr：ご自身の好きなアーティスト（歌手・俳優等）の社会へのメッセージとは何か考えてくる。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
10 回	**授業テーマ：ミュージカル　ブロードウェイの展開とアメリカ社会** 授業内容：アメリカ社会でどのようにミュージカルが発展していくか？ 社会変化と表現・エンタメ産業の発展について理解します。 事前学修 2.0hr：代表的なミュージカル映画の名作を調べておく。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。

11回	**授業テーマ：エンターテイメント産業とアニメ：アメコミの世界と日本のアニメ** 授業内容：アメリカンコミックスはどのように発展したのか？　社会状況の変化とともに理解していきます。 事前学修 2.0hr：日本におけるアニメの発展について調べてみる。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
12回	**授業テーマ：近代オリンピックの歴史、そして東京オリンピック　そして。** 授業内容：エンターテイメントとしての大規模イベントの意義を考える：オリンピック・パラリンピックの社会的意義は？ 事前学修 2.0hr：オリンピック・パラリンピックの歴史をざっくり調べてくる。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
13回	**授業テーマ：新しいエンタメの方向性を模索する　コラボレーション企画** 授業内容：コロナ禍を経て、新しいエンタメの在り方はあるでしょうか？ その可能性に考えてまいりましょう。 事前学修 2.0hr：いま注目しているエンターテイメントとは？ 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
14回	**授業テーマ：古典の伝承：歌舞伎　市川團十郎　そして新作歌舞伎** 授業内容：日本には、多くの古典芸能・伝統芸能があります。能(のう)・狂言(きょうげん)歌舞伎(かぶき)等々。特に日本の代表的な舞台作品として「歌舞伎」があります。近年では、アニメの題材を用いたり。変化する歌舞伎世界についても理解していきます。 事前学修 2.0hr：歌舞伎の映像を見てくる。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
15回	**授業テーマ：将来に残したい記憶・記録・出来事　まとめのテスト** 授業内容：後世に残したい記憶・記録・映像・出来事ってどんなことでしょう。過去を理解し、そして未来を紡ぐ。エンタメ世界の視点からまとめてまいります。 事前学修 2.0hr：将来に残したい記憶・記録・出来事をあげてみましょう。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。

スポーツ科学演習 A

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

杉浦　雄策（すぎうら　ゆうさく）

▌授業の概要

＜ビギナーズ ゴルフ＞

10～20 歳代のプロゴルファーの活躍によって、ゴルフのイメージは大きく変わりつつある。ウェアーも華やかになり、ゴルフ場でプレーする女性も増えている。「紳士の社交場」としての景色も変わり、いまや性別・年齢を問わず、多くの人々が、健康スポーツとしてゴルフを楽しむようになった。ゴルフは基礎からきちんと習うと、意外にも短時間で上達する。まずはクラブを握り、振ってみることから、ゴルフの面白さ体験してみる。なお本授業は、社会情勢を鑑み、授業内容に対して機動的な対応を行なう。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：ゴルフが教養や趣味として、あるいは将来のために、役立つようにする。これから経験するであろうさまざまな場面(余暇、仕事の一環“つきあい・接待”としてなど)、ゴルフ場でプレーできる基本的なマナーや、技術などの初歩的な実践能力が身につく。また授業を通じて、相互の協働関係を築いていくことができる。

個別目標：ゴルフを健康スポーツとし実践するために、個々のレベルに応じた楽しみ方およびコミュニケーション能力を習得する。

▌履修条件

ガイダンスに出席し、教員の指示に従うこと(人数調整を行なうので必ず出席すること)。集合教室は、別途指示する。

履修登録修正期間の登録は、原則認めない。但し、特段の事情のある者は、担当教員にコンタクトをとること。

▌評価基準・方法

4/5 以上の出席を評価の前提条件とする。

ゴルフに関する基本的な知識や技能の習得とそれに基づく実践の完成度 (50%) およびコミュニケーション能力 (50%) を総合的に判断する。

▌フィードバック方法

演習時の質疑応答、次回演習

冒頭での全体コメントによる。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （授業資料を活用した対話）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

適宜、資料を配布する。

▌参考書

Lecture ゴルフの基礎

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：授業の具体的な進め方および留意点 事前学修 2.0hr：講義概要を読み、その内容について、理解する。 事後学修 2.0hr：授業計画について、確認する。
2回	**授業テーマ：「ゴルフとのつきあい方」を考える。** 授業内容：健康・趣味。社交・仕事など 事前学修 2.0hr：「ゴルフ」について、興味をもち、調べる。 事後学修 2.0hr：「ゴルフのつきあい方」について、自分の目標を明確にする。
3回	**授業テーマ：「ドライバー・アイアン・パターの性能」について、学ぶ。** 授業内容：道具の特性について 事前学修 2.0hr：「ゴルフの用具」について、調べる。 事後学修 2.0hr：「ドライバー・アイアン・パターの性能」について、理解し、まとめる。
4回	**授業テーマ：クラブ(アイアン)を正しく握って、とりあえず振ってみる。** 授業内容：身体感性を高める 事前学修 2.0hr：クラブ(アイアン)を正しく握れるよう、調べる。 事後学修 2.0hr：スイング動作を模倣する。＊イメージ・トレーニング
5回	**授業テーマ：スイング動作を学習する(正面・背後)。** 授業内容：思考脳と作業脳の活用① 事前学修 2.0hr：スイング動作における身体の動かし方を模倣する。＊イメージ・トレーニング 事後学修 2.0hr：スイング動作を模倣する。＊イメージ・トレーニング
6回	**授業テーマ：スイング動作を学習する(正面・背後)。** 授業内容：思考脳と作業脳の活用② 事前学修 2.0hr：まちがいのないスイング動作を模倣する。＊イメージ・トレーニング 事後学修 2.0hr：スイング動作を模倣する。＊イメージ・トレーニング
7回	**授業テーマ：スイング動作を撮影する(正面・背後)** 授業内容：思考脳と作業脳の活用③ 事前学修 2.0hr：まちがいのないスイング動作を模倣する。＊イメージ・トレーニング 事後学修 2.0hr：スイング動作を模倣する。＊イメージ・トレーニング
8回	**授業テーマ：スイング動作を分析する(エラーの発見および矯正)。** 授業内容：思考脳と作業脳の活用④ 事前学修 2.0hr：撮影された動画を繰り返し、再生する。 事後学修 2.0hr：スイング動作のエラーを理解する。
9回	**授業テーマ：スイング動作を完成する。** 授業内容：思考脳と作業脳の活用⑤ 事前学修 2.0hr：スイング動作を模倣する。＊イメージ・トレーニング 事後学修 2.0hr：スイング動作を模倣する。＊イメージ・トレーニング
10回	**授業テーマ：学内のグリーンで、“パター動作”経験する(パター)。** 授業内容：思考脳と作業脳の活用⑥ 事前学修 2.0hr：パター動作を模倣する。＊イメージ・トレーニング 事後学修 2.0hr：パター動作を模倣する。＊イメージ・トレーニング

11回	**授業テーマ：ゴルフ練習場で、“打ち放し”を経験する(アイアン・ドライバー)。** 授業内容：思考脳と作業脳の活用⑦ 事前学修 2.0hr：スイング動作を模倣する。＊イメージ・トレーニング 事後学修 2.0hr：スイング動作を模倣する。＊イメージ・トレーニング
12回	**授業テーマ：ゴルフ独特の「ルールやマナー」を学ぶ。** 授業内容：ルールとレギュレーション 事前学修 2.0hr：試合の進行に関するルールやマーナーについて、理解する。 事後学修 2.0hr：試合の進行に関するルールやマーナーについて、まとめる。
13回	**授業テーマ：宿泊形式で、ゴルフを実践する(ショート・コース)** 授業内容：コミュニケーション能力を養う① 事前学修 2.0hr：スイング/パター動作を模倣する。＊イメージ・トレーニング 事後学修 2.0hr：スイング/パター動作を模倣する。＊イメージ・トレーニング
14回	**授業テーマ：宿泊形式で、ゴルフを実践する(ショート・コース)** 授業内容：コミュニケーション能力を養う② 事前学修 2.0hr：スイング/パター動作を模倣する。＊イメージ・トレーニング 事後学修 2.0hr：スイング/パター動作を模倣する。＊イメージ・トレーニング
15回	**授業テーマ：「ゴルフ・人とのつきあい方」** 授業内容：非認知能力の向上 事前学修 2.0hr：ゴルフに関する知識・技能の確認、コミニュケーション能力とは 事後学修 2.0hr：ゴルフ・人とのつきあい方をまとめる

スポーツ科学演習 A

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

矢島　ますみ（やじま　ますみ）

▌授業の概要

◆実技授業◆【リズムダンス＆コアトレーニング(基礎)】前学期 火 4 /水 3

ダンスしたい人、動ける身体を獲得したい人向けの講座。コアトレーニングで身体を刺激し、リズムに乗りながら多様な動きを学びます。特に、ダンスではタップダンスやカスタネットの技術を習得し巧みな身体を創っていきます。授業は「ストレッチ」→「コアトレーニング」→「ダンスムーブメント」→「リラクゼーション」と展開します。クラスのメンバーの状況に合わせた授業運営(内容)を行いますので、ダンスが苦手な方も安心して履修してください。お時間があれば後期もご受講ください。

●初回火曜 4（4/8)あるいは水曜 3（4/9)に、指定の【教室】で人数調整し名簿を作成いたします(10 名～15 名程度)。授業風景は manaba をご覧ください。初回時に、2 回目の持ち物や集合場所等をご案内します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：リズムの学習を基礎に、多様なダンスの身体の動かし方を習得し、コアトレーニングの方法を学ぶことによって、個々のライフスタイルに合った、健康で美しい身体づくりと意識の向上を目標とします。仲間とコミュニケーションを図りながら、クラス全体でスキルアップしていきます。

個別目標：①基本的なリズムの取り方(動き)や、コア(体の中心軸)に焦点を当てた身体の動かし方ができる。
②身体の機能を知り、自らのボディーイメージを作り、活動することができる。
③クラスのメンバーと一緒に協力して、効果的な学習活動ができる。

▌履修条件

定員 10 名～15 名程度。希望者は、必ず初回授業、火曜 4（4/8)あるいは、水曜 3（4/9)に出席のこと。
初回に人数調整と明海クラブの入館名簿を作成いたします。
技術を習得する実技授業ですので、お休みすることなく一歩一歩積み重ねていきましょう。

▌評価基準・方法

評価は授業への参加姿勢(70 %)、クラス仲間とのコミュニケーション(20 %)や達成度(10 %)の比重を基本に総合的に評価します。

▌フィードバック方法

manaba も有効に利用しながら　授業時の実技映像を共有して(フードバックして)、課題達成を進めていきます。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （実際にスタジオで仲間同士支えあって課題の身体技術を習得する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

適宜、資料配布いたします

▌参考書

適宜、資料紹介いたします

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション：教室でのガイダンス(人数調整)** 授業内容：中心課題：授業内容を確認し、明海クラブの収容人数に合わせて人数調整。名簿を作成。タップシューズサイズ合わせ。リズムの取り方の基礎を実施します。 事前学修 1.0hr：シラバスを確認する 事後学修 3.0hr：自分の目標課題を見つける。
2回	**授業テーマ：1：自分の体と向かい合うエクササイズ理論を習得** 授業内容：Ｕｐ(準備運動)→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック(タップダンス、カスタネットを鳴らしてのダンス)→ down（クールダウン)。 中心課題：明海クラブを利用して実際に動いてみる。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
3回	**授業テーマ：2：ストレッチの理論とストレッチポールの使い方を習得** 授業内容：Ｕｐ→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック→(タップダンス、カスタネットを鳴らしてのダンス) down。 中心課題：ストリートダンスのリズムの基礎を学ぶ。用具を使ったコアトレーニングの方法を学ぶ(チューブ)。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
4回	**授業テーマ：3：リズムを身体で刻む方法や身体のパーツの動かし方を習得** 授業内容：Ｕｐ→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック(タップダンス、カスタネットを鳴らしてのダンス)→ down。 中心課題：ジャズのリズムの基礎を学ぶ。用具を使ったコアトレーニングの方法を学ぶ(ステップ台)。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
5回	**授業テーマ：4：シンプルなリズムで、乗り方と踊り方を学習１：カスタネット技術基礎** 授業内容：Ｕｐ→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック(タップダンス、カスタネットを鳴らしてのダンス)→ down。 中心課題：カスタネットおよびタップダンスの基礎を学ぶ１。用具を使ったコアトレーニングの方法を学ぶ(スライドボード)。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
6回	**授業テーマ：5：シンプルなリズムで、乗り方と踊り方を学習２：タップ技術基礎** 授業内容：Ｕｐ→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック(タップダンス、カスタネットを鳴らしてのダンス)→ down。 中心課題：カスタネットおよびタップダンスの基礎を学ぶ２。用具を使ったコアトレーニングの方法を学ぶ(チューブ 2)。 事前学修 2.0hr：ストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
7回	**授業テーマ：6：シンプルなリズムで、乗り方と踊り方を学習３：連続した動き** 授業内容：Ｕｐ→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック(タップダンス、カスタネットを鳴らしてのダンス)→ down。 中心課題：カスタネットおよびタップダンスの基礎を学ぶ３。用具を使ったコアトレーニングの方法を学ぶ(ステップ台 2)。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。

8回	**授業テーマ：7：一連のダンスムーブメントを習得する１：シャッフルステップからサイドステップへ** 授業内容：Ｕｐ→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック（タップダンス、カスタネットを鳴らしてのダンス）→ down。 中心課題：カスタネットおよびタップダンスの一連の動きを学ぶ１。用具を使ったコアトレーニングの方法を学ぶ（チューブ 3）。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
9回	**授業テーマ：8：一連のダンスムーブメントを習得する２：セビジャーナス 1 番** 授業内容：Ｕｐ→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック（タップダンス、カスタネットを鳴らしてのダンス）→ down。 中心課題：カスタネットおよびタップダンスの一連の動きを学ぶ２。用具を使ってコアトレーニング（ステップ台 3）。 事前学修 2.0hr：ストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
10回	**授業テーマ：9：一連のダンスムーブメントを習得する３：K-pop 曲で踊る** 授業内容：Ｕｐ→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック（タップダンス、カスタネットを鳴らしてのダンス）→ down。 中心課題：カスタネットおよびタップダンスの一連の動きを学ぶ３。用具を使ってコアトレーニング（スライドボード 3）。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
11回	**授業テーマ：10：ダンススキルを高める１：カスタネットテクニック** 授業内容：Ｕｐ→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック（タップダンス、カスタネットを鳴らしてのダンス）→ down。 中心課題：カスタネットおよびタップダンスの作品を学ぶ 1。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
12回	**授業テーマ：11：ダンススキルを高める２：タップテクニック** 授業内容：Ｕｐ→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック（タップダンス、カスタネットを鳴らしてのダンス）→ down。 中心課題：カスタネットおよびタップダンスの作品を学ぶ２。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
13回	**授業テーマ：12：ダンススキルを高める３：良い音を出すということ** 授業内容：Ｕｐ→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック（タップダンス、カスタネットを鳴らしてのダンス）→ down。 中心課題：カスタネットおよびタップダンスの作品を学ぶ３。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
14回	**授業テーマ：13：仲間と踊る１：K-pop 曲とセビジャーナス** 授業内容：Ｕｐ→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック（タップダンス、カスタネットを鳴らしてのダンス）→ down。 中心課題：ダンス作品のクオリティを高める。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：できなかった動きのポイントを復習。
15回	**授業テーマ：14：仲間と踊る２：お互いに見せ合う** 授業内容：Ｕｐ→コアトレ→発表会→ down。 中心課題：ダンス作品を見せ合い、評価する。 事前学修 1.5hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 3.5hr：自分の課題を確認し、今後の目標をみつける。

スポーツ科学演習 A

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

矢島　ますみ（やじま　ますみ）

▌授業の概要

◆実技授業◆【ダンス＆ストレッチ（基礎）】前学期 水 4

リズミカルなダンステクニックを学び、ストレッチでしなやかで強いボディづくりを目指す講座。

ヒップホップ、タップダンス、フラメンコ（カスタネット技術）等の多様なダンステクニックの基礎を習得し、および、身体を整えるストレッチの方法を学習します。授業は「ストレッチ」→「ダンスムーブメント」→「リラクゼーション」と展開します。お時間があれば後期もご受講ください。

●初回水曜 4（4/9）に指定の【教室】で、人数調整し名簿を作成いたします（10 名〜15 名程度）。授業風景は manaba をご覧ください。初回時に、2 回目の持ち物や集合場所等をご案内します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：自分の身体のイメージを創って、しなやかで強い身体づくりの基礎を学びます。特にこのクラスでは、多様なダンスの基本のテクニックを学ぶことを重視します。仲間とコミュニケーションを図りながら、スキルアップしていきましょう。

個別目標：①基本的なダンスのリズムを理解し、乗ることができる（カスタネットを奏でながら踊るテクニックも身に付ける。タップダンスの基礎を身につける）。

②体のストレッチやリラクゼーションの方法を理解し、実践できる。

③クラスのメンバーと一緒に協力して、効果的な学習活動ができる。

▌履修条件

定員 10 名程度。希望者は、必ず初します。回授業、水曜 4（4/9）に指定教室に出席のこと。

初回に人数調整と明海クラブの入館名簿を作成いたします。

技術を習得する実技授業ですので、お休みすることなく一歩一歩積み重ねていきましょう。

▌評価基準・方法

評価は授業への参加姿勢（70 %）、クラス仲間とのコミュニケーション（20 %）や達成度（10 %）の比重を基本に総合的に評価します。

▌フィードバック方法

manaba も有効に利用しながら　授業時の実技映像を共有して（フードバックして）、課題達成を進めていきます。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （実際にスタジオで仲間同士支えあって課題の身体技術を習得する）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

適宜、資料配布いたします。

▌参考書

適宜、資料紹介いたします。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：0：オリエンテーション：教室でのガイダンス（人数調整）** 授業内容：中心課題：授業内容を確認し、明海クラブの収容人数に合わせて人数調整。名簿を作成。タップシューズサイズ合わせ。リズムの取り方の基礎を実施します。 事前学修 2.0hr：シラバスを確認する。 事後学修 2.0hr：自分の目標を設定する。
2回	**授業テーマ：1：身体のパーツとストレッチ（1）足首・足・腰　骨盤の位置を正してしっかりした姿勢に** 授業内容：Up（準備運動）→ダンスバリエーション→ダンステクニック（タップダンス、カスタネットを鳴らしてのダンス）→ down(クールダウン) 中心課題：明海クラブを利用して実際に動いてみる。 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！。 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
3回	**授業テーマ：2：身体のパーツとストレッチ（2）引き上がったおしりをつくる・おなかを引き上げる** 授業内容：Up →ダンスバリエーション→ダンステクニック（タップダンス、カスタネットを鳴らしてのダンス）→ down。 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
4回	**授業テーマ：3：身体のパーツとストレッチ（3）ももの内側と下腹部を引き締める・すっきりした背中に 。** 授業内容：Up →ダンスバリエーション→ダンステクニック（タップダンス、カスタネットを鳴らしてのダンス）→ down。 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
5回	**授業テーマ：4：ヒップホップ、ジャズ＆バレエ等のムーブメントで軽やかに（1）リズムにのって** 授業内容：Up →ダンスバリエーション→ダンステクニック（タップダンス、カスタネットを鳴らしてのダンス）→ down。 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
6回	**授業テーマ：5：ヒップホップ、ジャズ＆バレエ等のムーブメントで軽やかに（2）ステップを使って** 授業内容：Up →ダンスバリエーション→ダンステクニック（タップダンス、カスタネットを鳴らしてのダンス）→ down。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
7回	**授業テーマ：6：ヒップホップ、ジャズ＆バレエ等のムーブメントで軽やかに（3）バランスを使って** 授業内容：Up →ダンスバリエーション→ダンステクニック（タップダンス、カスタネットを鳴らしてのダンス）→ down。 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！。 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
8回	**授業テーマ：7：タップ＆カスタネットで軽やかに（1）リズムにのって** 授業内容：Up →ダンスバリエーション→ダンステクニック（タップダンス、カスタネットを鳴らしてのダンス）→ down。 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
9回	**授業テーマ：8：タップダンス＆カスタネットで軽やかに（2）ステップを覚えて** 授業内容：Up →ダンスバリエーション→ダンステクニック（タップダンス、カスタネットを鳴らしてのダンス）→ down。 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。

10回	**授業テーマ：9：タップダンス＆カスタネットで軽やかに（3）動きをつないで** 授業内容：Up →ダンスバリエーション→ダンステクニック（タップダンス、カスタネットを鳴らしてのダンス）→ down。 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
11回	**授業テーマ：10：タップダンス＆カスタネットで軽やかに（4）簡単な一連の動きで踊って** 授業内容：Up →ダンスバリエーション→ダンステクニック（タップダンス、カスタネットを鳴らしてのダンス）→ down。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
12回	**授業テーマ：11：ダンス・コンビネーション（1）音楽を通して踊る** 授業内容：Up →ダンスバリエーション→ダンステクニック（タップダンス、カスタネットを鳴らしてのダンス）→ down。 事前学修 2.0hr：ストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
13回	**授業テーマ：12：ダンス・コンビネーション（2）友達と合わせて踊る** 授業内容：Up →ダンスバリエーション→ダンステクニック（タップダンス、カスタネットを鳴らしてのダンス）→ down。 事前学修 2.0hr：ストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
14回	**授業テーマ：13：ダンス・コンビネーション（3）演技を見せあう。** 授業内容：Up →ダンスバリエーション→ダンステクニック（タップダンス、カスタネットを鳴らしてのダンス）→ down。 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
15回	**授業テーマ：14：リズム感が良くなりましたか？ 表現力がつきましたか？** 授業内容：Up →発表会→ down。 中心課題：ダンス作品を見せ合い、評価する。 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：自分の目標を再度確認する。

スポーツ科学演習 B

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

杉浦　雄策（すぎうら　ゆうさく）

▌授業の概要

（Sport in Life に挑戦）
健康管理の手段および生涯スポーツとしての身体活動について、考え実践する。身体活動（スポーツ）を、日常生活の中に採り入れる工夫を個々で行なう。「いかに楽しんで、身体を動かすか」によって、意外なほど簡単に身体活動（スポーツ）を実践できることを体得し、今後の健康・体力づくりに活かしていく。なお授業は、アカディミックアプローチによる interactive な対話形式で行なう。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：健康・体力づくりのひとつの手段として、自分に合った運動種目を選定し、実践する。身体を動かすことの達成感や新しい自分とので出会いを経験する。また授業を通じて、相互の協働関係を築いていく。
個別目標：個々に応じた「運動習慣の確立」を目指す。

▌履修条件

ガイダンスに出席し、教員の指示に従うこと（人数調整を行なうので必ず出席すること）。集合教室は、別途指示する。
履修登録修正期間の登録は、原則認めない。但し、特段の事情のある者は、担当教員に直接コンタクトをとること。

▌評価基準・方法

4/5 以上の出席を評価の前提条件とする。
健康スポーツに関する基本的な知識や技能の習得とそれに基づく実践の完成度 (50%) およびコミュニケーション能力 (50%) を総合的に判断する。

▌フィードバック方法

演習時の課題に対する指導、次回演習冒頭での全体コメントによる。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （授業資料を活用した対話）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

杉浦 雄策 日常生活に活かすスポーツ科学リテラシー（ライフ出版社）

▌参考書

必要に応じて資料を配付する

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：授業の具体的な進め方 事前学修 2.0hr：講義概要を読み、その内容について、理解する。 事後学修 2.0hr：授業計画について、確認する。
2回	**授業テーマ：「健康スポーツ」について考える。** 授業内容：健康体力 事前学修 2.0hr：「健康・体力」について、興味をもち、調べる。 事後学修 2.0hr：「スポーツとのつきあい方」について、自分の目標を明確にする。
3回	**授業テーマ：「運動種目①」について、学ぶ。** 授業内容：一人で実践するスポーツとは 事前学修 2.0hr：「一人で実践するスポーツ」について、調べる。 事後学修 2.0hr：「運動種目の特性」について、理解し、まとめる。
4回	**授業テーマ：「運動種目②」ついて、学ぶ。** 授業内容：複数で実践するスポーツとは 事前学修 2.0hr：「複数で実践するスポーツ」について、調べる。 事後学修 2.0hr：「運動種目の特性」について、理解し、まとめる。
5回	**授業テーマ：「日常における活動量」を知る。** 授業内容：身体活動とは 事前学修 2.0hr：「身体活動」について、調べる。 事後学修 2.0hr：「スポーツ・運動」を実践する。
6回	**授業テーマ：「日常における活動量」を知る。** 授業内容：生活活動とは 事前学修 2.0hr：「生活活動」について、調べる。 事後学修 2.0hr：「スポーツ・運動」を実践する。
7回	**授業テーマ：「健康スポーツ種目の実践①」を考える。** 授業内容：適切な強度・時間・頻度とは 事前学修 2.0hr：「スポーツ種目」について、調べる。 事後学修 2.0hr：「スポーツ・運動」を実践する。
8回	**授業テーマ：「健康スポーツ種目の実践②」を考える。** 授業内容：適切な強度・時間・頻度とは 事前学修 2.0hr：「スポーツ種目」について、調べる。 事後学修 2.0hr：「スポーツ・運動」を実践する。
9回	**授業テーマ：「積極的に、動く①」を考える。** 授業内容：アプリケーションソフトを使って個人の記録をとる① 事前学修 2.0hr：「身体活動量」について、調べる。 事後学修 2.0hr：「スポーツ・運動」を実践する。
10回	**授業テーマ：「積極的に、動く②」を考える。** 授業内容：アプリケーションソフトを使って個人の記録をとる② 事前学修 2.0hr：「身体活動量」について、調べる。 事後学修 2.0hr：「スポーツ・運動」を実践する。
11回	**授業テーマ：「アプリケーションソフトを使って、動く①」を考える。** 授業内容：アプリケーションソフトを使って、グループで記録をとる① 事前学修 2.0hr：「身体活動量」について、調べる。 事後学修 2.0hr：「「アプリケーションソフトを使って、スポーツ・運動」を実践する。

12回	**授業テーマ：「アプリケーションソフトを使って、動く②」を考える。** 授業内容：アプリケーションソフトを使って、グループで記録をとる② 事前学修 2.0hr：「身体活動量」について、調べる。 事後学修 2.0hr：「アプリケーションソフトを使って、スポーツ・運動」を実践する。
13回	**授業テーマ：「フィジカルリテラシー①」を考える。** 授業内容：体育とは 事前学修 2.0hr：「フィジカルリテラシー」について、調べる。 事後学修 2.0hr：「フィジカルリテラシー」を実践する。
14回	**授業テーマ：「フィジカルリテラシー②」を考える** 授業内容：スポーツとは 事前学修 2.0hr：「フィジカルリテラシー」について、深める 事後学修 2.0hr：「フィジカルリテラシー」を実践する。
15回	**授業テーマ：「スポーツとのつきあい方」について学ぶ。** 授業内容：Sport in Life に挑戦 事前学修 2.0hr：「スポーツの意義」「健康・体力」について、再考する。 事後学修 2.0hr：スポーツと健康について、まとめる。

スポーツ科学演習 B

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

矢島　ますみ（やじま　ますみ）

▌授業の概要

◆実技授業◆【リズムダンス＆コアトレーニング（基礎プラスα）】後学期 火 4 /水 3

ダンスしたい人、動ける身体を獲得したい人向けの講座。コアトレーニングで身体の中心軸（コア）を鍛え、リズムに乗りながら多様な動きを学び、身体のバランスを整えます。特にダンスではタップダンスやカスタネットの技術の習得を行います。前期の基礎とプラスαの内容となりますが、クラスのメンバーの技術状況に合わせた授業運営（内容）を行いますので、安心して履修してください。授業は、「ストレッチ」→「コアトレーニング」→「ダンスムーブメント」→「リラクゼーション」と進みます。

●後期初回授業火曜 4（9/16）、水曜 3（9/17）に指定教室（別途掲示）で人数調整と名簿作り（10 名～15 名程度）をいたします。授業風景は manaba をご覧ください。初回時に、2 回目の持ち物や集合場所等をご案内します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：リズムの学習を基礎に、多様なダンスの身体の動かし方を習得し、コアトレーニングの方法を学ぶことによって、個々のライフスタイルに合った、健康で美しい身体づくりと意識の向上を目標とします。仲間とコミュニケーションを図りながら、クラス全体でスキルアップしていきます。

個別目標：①基本的なリズムの取り方（動き）や、コア（体の中心軸）に焦点を当てた身体の動かし方ができる。
②身体の機能を知り、自らのボディーイメージを作り、活動することができる。
③クラスのメンバーと一緒に協力して、効果的な学習活動ができる。

▌履修条件

定員 10 名～15 名程度。希望者は、必ず初回授業火曜 4（9/16）あるいは水曜 3（9/17）に出席のこと。
初回に人数調整と明海クラブの入館名簿を作成いたします。
技術を習得する実技授業ですので、お休みすることなく一歩一歩積み重ねていきましょう。

▌評価基準・方法

評価は授業への参加姿勢（70 %）、クラス仲間とのコミュニケーション（20 %）や達成度（10 %）の比重を基本に総合的に評価します。

▌フィードバック方法

manaba も有効に利用しながら　授業時の実技映像を共有して（フードバックして）、課題達成を進めていきます。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （実際にスタジオで仲間同士支えあって課題の身体技術を習得する）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

適宜、資料配布いたします。

▌参考書

適宜、資料紹介いたします。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：0 ＋α：オリエンテーション：教室でのガイダンス（人数調整）** 授業内容：中心課題：授業内容を確認し、明海クラブの収容人数に合わせて人数調整。名簿を作成。タップシューズサイズ合わせ。リズムの取り方の基礎を実施します。 事前学修 2.0hr：シラバスを確認する。 事後学修 2.0hr：自分の目標課題を見つける。
2回	**授業テーマ：1：自分の体と向かい合うエクササイズ理論を習得** 授業内容：Ｕｐ（準備運動）→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック（基礎のタップダンス、カスタネットを鳴らしてのダンス）→down(クールダウン)。 中心課題：明海クラブを利用して実際に動いてみる。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
3回	**授業テーマ：2：ストレッチの理論とストレッチポールの使い方を習得** 授業内容：Ｕｐ→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック（基礎のタップダンス、カスタネットを鳴らしてのダンス）→ down。 中心課題：ストリートダンスのリズムの基礎と応用を学ぶ。用具を使ったコアトレーニングの方法を学ぶ（チューブ）。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
4回	**授業テーマ：3：リズムを身体で刻む方法や身体のパーツの動かし方を習得** 授業内容：Ｕｐ→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック（基礎のタップダンス、カスタネットを鳴らしてのダンス）→ down。 中心課題：ジャズのリズムの基礎＆応用を学ぶ。用具を使ったコアトレーニングの方法を学ぶ（ステップ台）。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
5回	**授業テーマ：4：シンプルなリズムで、乗り方と踊り方を学習１：シャッフルステップとフラップ** 授業内容：Ｕｐ→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック（基礎のタップダンス、カスタネットを鳴らしてのダンス）→ down。 中心課題：カスタネットおよびタップダンスの基礎＆応用を学ぶ１。用具を使ったコアトレーニングの方法を学ぶ（スライドボード）。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
6回	**授業テーマ：5：シンプルなリズムで、乗り方と踊り方を学習２：連続ターン** 授業内容：Ｕｐ→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック（プラスα技術：タップダンス、カスタネットを鳴らしてのダンス）→ down。 中心課題：カスタネットおよびタップダンスの基礎＆応用を学ぶ２。用具を使ったコアトレーニングの方法を学ぶ（チューブ 2）。 事前学修 2.0hr：ストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
7回	**授業テーマ：6：シンプルなリズムで、乗り方と踊り方を学習３：タイムステップ** 授業内容：Ｕｐ→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック（プラスα技術：タップダンス、カスタネットを鳴らしてのダンス）→ down。 中心課題：カスタネットおよびタップダンスの基礎＆応用を学ぶ３。用具を使ったコアトレーニングの方法を学ぶ（ステップ台 2）。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。

8回	**授業テーマ：7：一連のダンスムーブメントを習得する１：セビジャーナス 1 番** 授業内容：Ｕｐ→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック（プラスα技術：タップダンス、カスタネットを鳴らしてのダンス）→ down。 中心課題：カスタネットおよびタップダンスの一連の動き (基礎＆応用)を学ぶ１。用具を使ったコアトレーニングの方法を学ぶ（チューブ 3）。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
9回	**授業テーマ：8：一連のダンスムーブメントを習得する２：セビジャーナス 2 番** 授業内容：Ｕｐ→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック（プラスα技術：タップダンス、カスタネットを鳴らしてのダンス）→ down。 中心課題：カスタネットおよびタップダンスの一連の動き (基礎＆応用)を学ぶ２。用具を使ってコアトレーニング（ステップ台 3）。 事前学修 2.0hr：ストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
10回	**授業テーマ：9：一連のダンスムーブメントを習得する３：K-pop 曲で** 授業内容：Ｕｐ→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック（プラスα技術：タップダンス、カスタネットを鳴らしてのダンス）→ down。 中心課題：カスタネットおよびタップダンスの一連の動き (基礎＆応用)を学ぶ３。用具を使ってコアトレーニング（スライドボード 3）。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
11回	**授業テーマ：10：ダンススキルを高める１：コンパクトに動く** 授業内容：Ｕｐ→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック（応用技術：タップダンス、カスタネットを鳴らしてのダンス）→ down。 中心課題：カスタネットおよびタップダンスの作品 (基礎＆応用)を学ぶ 1。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
12回	**授業テーマ：11：ダンススキルを高める２：動きの繋ぎに気を付けて** 授業内容：Ｕｐ→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック（プラスα技術：タップダンス、カスタネットを鳴らしてのダンス）→ down。 中心課題：カスタネットおよびタップダンスの作品 (基礎＆応用)を学ぶ２。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
13回	**授業テーマ：12：ダンススキルを高める３：全体の動きの流れに抑揚をつける** 授業内容：Ｕｐ→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック（プラスα技術：タップダンス、カスタネットを鳴らしてのダンス）→ down。 中心課題：カスタネットおよびタップダンスの作品 (基礎＆応用)を学ぶ３。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
14回	**授業テーマ：13：仲間と踊る１：K-pop 曲とミュージカル曲で踊る** 授業内容：Ｕｐ→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック（プラスα技術：タップダンス、カスタネットを鳴らしてのダンス）→ down。 中心課題：ダンス作品のクオリティを高める。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：できなかった動きのポイントを復習。
15回	**授業テーマ：14：仲間と踊る２：チームごとにお互い見せ合う** 授業内容：Ｕｐ→コアトレ→発表会→ down。 中心課題：ダンス作品を見せ合い、評価する。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：自分の課題を確認し、今後の目標をみつける。

スポーツ科学演習 B

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

矢島　ますみ（やじま　ますみ）

▌授業の概要

◆実技授業◆【ダンス＆ストレッチ（基礎プラスα）】後学期 水 4

リズミカルなダンステクニックを学び、しなやかで強いボディづくりを目指す講座。ヒップホップ、バレエ、タップダンス、フラメンコ（カスタネット技術）等の多様なダンステクニックを習得し、および、身体を整えるストレッチの方法を学習します。授業は「ストレッチ」→「ダンスムーブメント」→「リラクゼーション」と展開します。前期の基礎とプラスαの内容となりますが、クラスのメンバーの技術状況に合わせた授業運営（内容）を行いますので、安心して履修してください。

●後期初回水曜 4（9/17）に指定の【教室】で、人数調整し名簿を作成します。（10 名～15 名程度）。授業風景は manaba をご覧ください。初回時に、２回目の持ち物や集合場所等をご案内します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：自分の身体のイメージを創って、しなやかで強い身体づくりの基礎を学びます。特にこのクラスでは、多様なダンスの基本のテクニックを学ぶことを重視します。仲間とコミュニケーションを図りながら、スキルアップしていきましょう。

個別目標：①基本的なダンスのリズムを理解し、乗ることができる（カスタネットを奏でながら踊るテクニックも身に付ける。タップダンスの基礎を身につける）。
②体のストレッチやリラクゼーションの方法を理解し、実践できる。
③クラスのメンバーと一緒に協力して、効果的な学習活動ができる。

▌履修条件

定員 10 名～15 名程度。希望者は、必ず初回授業水曜４（9/17）に指定教室に出席のこと。
初回に人数調整と明海クラブの入館名簿を作成いたします。
技術を習得する実技授業ですので、お休みすることなく一歩一歩積み重ねていきましょう。

▌評価基準・方法

評価は授業への参加姿勢（70 %）、クラス仲間とのコミュニケーション（20 %）や達成度（10 %）の比重を基本に総合的に評価します。

▌フィードバック方法

manaba も有効に利用しながら　授業時の実技映像を共有して（フードバックして）、課題達成を進めていきます。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （実際にスタジオで仲間同士支えあって課題の身体技術を習得します）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

適宜、資料配布いたします。

▌参考書

適宜、資料紹介いたします。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：0：オリエンテーション：教室でのガイダンス（人数調整）** 授業内容：中心課題：授業内容を確認し、明海クラブの収容人数に合わせて人数調整。名簿を作成。タップシューズサイズ合わせ。リズムの取り方の基礎を実施します。 事前学修 2.0hr：シラバスを確認する。 事後学修 2.0hr：自分の目標を設定する。
2回	**授業テーマ：1：身体のパーツとストレッチ（1）足首・足・腰　骨盤の位置を正してしっかりした姿勢に** 授業内容：Up（準備運動）→ダンスバリエーション→ダンステクニック（基礎のタップダンス、カスタネットを鳴らしてのダンス）→ down（クールダウン）。 中心課題：明海クラブを利用して実際に動いてみる。 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
3回	**授業テーマ：2：身体のパーツとストレッチ（2）引き上がったおしりをつくる・おなかを引き上げる** 授業内容：Up →ダンスバリエーション→ダンステクニック（基礎のタップダンス、カスタネットを鳴らしてのダンス）→ down。 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
4回	**授業テーマ：3：身体のパーツとストレッチ（3）ももの内側と下腹部を引き締める・すっきりした背中に** 授業内容：Up →ダンスバリエーション→ダンステクニック（基礎のタップダンス、カスタネットを鳴らしてのダンス）→ down。 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
5回	**授業テーマ：4：ヒップホップ、ジャズ＆バレエ等のムーブメントで軽やかに（1）リズムにのって** 授業内容：Up →ダンスバリエーション→ダンステクニック（基礎のタップダンス、カスタネットを鳴らしてのダンス）→ down。 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
6回	**授業テーマ：5：ヒップホップ、ジャズ＆バレエ等のムーブメントで軽やかに（2）ステップを使って** 授業内容：Up →ダンスバリエーション→ダンステクニック（プラスα技術：タップダンス、カスタネットを鳴らしてのダンス）→ down。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
7回	**授業テーマ：6：ヒップホップ、ジャズ＆バレエ等のムーブメントで軽やかに（3）バランスを使って** 授業内容：Up →ダンスバリエーション→ダンステクニック（プラスα技術：タップダンス、カスタネットを鳴らしてのダンス）→ down。 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
8回	**授業テーマ：7：タップ＆カスタネットで軽やかに（1）リズムにのって** 授業内容：Up →ダンスバリエーション→ダンステクニック（プラスα技術：タップダンス、カスタネットを鳴らしてのダンス）→ down。 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。

9回	**授業テーマ：8：タップダンス＆カスタネットで軽やかに(2)ステップを覚えて** 授業内容：Up →ダンスバリエーション→ダンステクニック(プラスα技術：タップダンス、カスタネットを鳴らしてのダンス)→ down。 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
10回	**授業テーマ：9：タップダンス＆カスタネットで軽やかに(3)動きをつないで** 授業内容：Up →ダンスバリエーション→ダンステクニック(プラスα技術：タップダンス、カスタネットを鳴らしてのダンス)→ down。 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
11回	**授業テーマ：10：タップダンス＆カスタネットで軽やかに(4)簡単な一連の動きで踊って** 授業内容：Up →ダンスバリエーション→ダンステクニック(プラスα技術：タップダンス、カスタネットを鳴らしてのダンス)→ down。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
12回	**授業テーマ：11：ダンス・コンビネーション(1)音楽を通して踊る** 授業内容：Up →ダンスバリエーション→ダンステクニック(プラスα技術：タップダンス、カスタネットを鳴らしてのダンス)→ down。 事前学修 2.0hr：ストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
13回	**授業テーマ：12：ダンス・コンビネーション(2)友達と合わせて踊る** 授業内容：Up →ダンスバリエーション→ダンステクニック(プラスα技術：タップダンス、カスタネットを鳴らしてのダンス)→ down。 事前学修 2.0hr：ストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
14回	**授業テーマ：13：ダンス・コンビネーション(3)演技を見せあう。** 授業内容：Up →ダンスバリエーション→ダンステクニック(プラスα技術：タップダンス、カスタネットを鳴らしてのダンス)→ down。 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
15回	**授業テーマ：14：リズム感が良くなりましたか？ 表現力がつきましたか？** 授業内容：Up →発表会→ down。 中心課題：ダンス作品を見せ合い、評価する。 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：自分の目標を再度確認する。

ボランティア講義

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

小川 正純（おがわ まさずみ）

▌授業の概要

身近にできるボランティアから海外で活動するボランティアにどのようなものがあるかについ学ぶとともに、ボランティアの意義について考える。災害ボランティア、障がい者支援、地方創成・地域活性化や在日外国人への支援、国際的な活動をするボランティについて理解する。また、日本が開発途上国に協力した事例として取り上げ、ボランティアとして支援する活動を考える。本授業では、講義を基にグループワーク、プレゼンテーション(グループごと)を通じて、ボランティアのあり方について理解を向上させる。この授業は「国際貢献論」の内容と一部関連・重複する部分がある。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：ボランティアのあり方と意義、実際にボランティアをする際に自分が考えて行うべき知識・スキルを身につける。

個別目標：1．ボランティアの意義や役割を説明できる。
2．どのようなボランティア活動が必要とされ、ボランティア自身が活動から何を得られるか理解する。
3．グループワーク、プレゼンテーション(グループごと)で他者と協力して課題に取り組み、気づきを得るとともに、自分の考えを説明できる。

▌履修条件

1．国内および海外で行うボランティアについて関心があること。
2．グループワーク、プレゼンテーションに積極的に参加できること。
3．毎回簡潔な課題レポートを提出できること。

▌評価基準・方法

グループワーク、プレゼンテーションへの関与度合い 45 %、毎回のふりかえりレポート 45 %、授業内における参加姿勢及び発言など 10 %の結果及び到達目標の達成度に基づき総合的に評価する。

▌フィードバック方法

授業時間内での総評及び manaba の個別指導(コレクション)などでフィードバックする。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク 、グループディスカッション、プレゼンテーション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （毎回 PC を利用してグループディスカッションで発表するメモとレポートを作成するので、PC を持参してください。 第 12 回、13 回の授業ではグループワークのまとめ、プレゼンテーション資料を、PC を利用して作成し、第 14 回、15 回の授業では、PC を用いたプレゼンテーションを行います。）

▌教科書

使用しない。

▌参考書

特になし。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：イントロダクションとスーパーボランティアについて** 授業内容：講義の目的、授業、グループワーク、プレゼンテーションの進め方、到達目標、評価方法とともに、スーパーボランティア尾畠春夫さんについて解説した後、グループディスカッションを行い、グループごとに発表する。 事前学修 2.0hr：シラバスをよく読むとともに、尾畠春夫さんについて関連情報を見ておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
2回	**授業テーマ：ボランティアとは何か** 授業内容：ボランティアの定義、必要条件、どのような活動があるかについて解説した後、授業テーマについてグループディスカッションを行い、グループごとに発表する。 事前学修 2.0hr：関連情報に目を通す。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
3回	**授業テーマ：ボランティアの歴史と社会との関わり** 授業内容：日本におけるボランティアの歴史とボランティアと社会の関わり、大学生としてできるボランティアの活動について解説した後、授業テーマについてグループディスカッションを行い、グループごとに発表する。 事前学修 2.0hr：関連情報に目を通す。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
4回	**授業テーマ：援助する前に考えよう** 授業内容：ワークショップを通して、開発途上国でものやお金を送る援助、援助が現地に与える影響等について考える。その後、授業テーマについてグループディスカッションを行い、グループごとに発表する。 事前学修 2.0hr：関連情報に目を通す。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
5回	**授業テーマ：阪神・淡路大震災と東日本大震災のボランティア** 授業内容：阪神・淡路大震災と東日本大震災を契機とした日本におけるボランティア活動の広がりについて解説した後、授業テーマについてグループディスカッションを行い、グループごとに発表する。 事前学修 2.0hr：阪神・淡路大震災と東日本大震災の関連情報を調べておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
6回	**授業テーマ：障がい者とボランティア** 授業内容：障がい者とボランティアの関係、障がい当事者主体によるボランティア、バリアフリー化について解説した後、授業テーマについてグループディスカッションを行い、グループごとに発表する。 事前学修 2.0hr：障がい者とボランティアの関連情報を調べておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
7回	**授業テーマ：ナホトカ号事故重油流出処理ボランティア** 授業内容：ナホトカ号事故重油流出処理の際のボランティア活動に関する課題と教訓について解説した後、授業テーマについてグループディスカッションを行い、グループごとに発表する。 事前学修 2.0hr：ナホトカ号事故重油流出事故の関連情報に目を通す。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。

8回	**授業テーマ：国際ボランティアについて** 授業内容：JICA 海外協力隊をはじめ海外で活動する国際ボランティアについて解説する。授業の中で、協力隊経験者の体験談を含む海外協力隊セミナーを実施する(予定)。 事前学修 2.0hr：関連情報を調べておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
9回	**授業テーマ：地方創成・地方活性化のボランティア** 授業内容：地域・地方の現状と課題、地方創成・地方活性化の事例、地域おこし協力隊の活動について解説した後、授業テーマについてグループディスカッションを行い、グループごとに発表する。 事前学修 2.0hr：地方創成・地方活性化の関連情報に目を通す。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
10回	**授業テーマ：ボランティア・コーディネーション** 授業内容：ワークショップを通してボランティア・コーディネーションの重要性と、「される側から見たボランティア」について考える。その後、授業テーマについてグループディスカッションを行い、グループごとに発表する。 事前学修 2.0hr：ボランティア・コーディネーションについての関連情報に目を通す。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
11回	**授業テーマ：在日外国人を支援するボランティア** 授業内容：日本にいる外国人を支援するボランティアに関する課題及び支援の必要性と意義について解説した後、授業テーマについてグループディスカッションを行い、グループごとに発表する。 事前学修 2.0hr：在日外国人の現状についての関連情報に目を通す。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
12回	**授業テーマ：グループワーク：プレゼンテーションの準備①** 授業内容：開発途上国でボランティア活動をする際の支援内容について学ぶ。グループワークにより支援内容と裨益効果を考え、第 14 回、15 回の授業で発表するプレゼンテーションの準備を行う。 事前学修 2.0hr：関連情報を調べておく。 事後学修 2.0hr：プレゼンテーション作成の準備。講義の復習。レポート作成。 13 回
13回	**授業テーマ：グループワーク：プレゼンテーションの作成②** 授業内容：グループワークによりプレゼンテーション資料を作成する。 事前学修 2.0hr：それぞれが自分の担当するプレゼンテーション資料の案を考えておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。プレゼンテーション資料の作成、発表の準備。
14回	**授業テーマ：プレゼンテーション①** 授業内容：プレゼンテーションは第 14 回と第 15 回の授業で分けて行う。プレゼンテーションを行い、全員で意見交換を行う。プレゼンテーション資料の発表は PC を利用し、パワーポイント、キャンバなどで行う。 事前学修 2.0hr：プレゼンテーション資料の作成、発表の準備。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
15回	**授業テーマ：プレゼンテーション②** 授業内容：第 14 回授業に続き、プレゼンテーションを行い、全員で意見交換を行う。プレゼンテーション資料の発表は PC を利用し、パワーポイント、キャンバなどで行う。 事前学修 2.0hr：プレゼンテーション資料の作成、発表の準備。 事後学修 2.0hr：授業全体のふりかえり。レポート作成。

人間形成ゼミナール

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

伊藤　直樹 (いとう　なおき)

▌授業の概要

本講義は、対話し、議論し、発表する授業です。映画や漫画や自分たちで決めたテーマを題材にして、それについてグループでディスカッションし、その結果をプレゼンテーションしたり、文章にしたりします。
受講生は最初は初対面ですが、他学部であっても、だんだんと知り合いになり、テーマをとおしての議論も深まります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：対話する力を養うことです。他人の話しを聞き、それに対して自分の考えを話す。そして自分の考え方を相対化し、深めてゆくことです。
そしてそれを文章にする。
個別目標：質問する力をつけることです。人の話を聞くときに、ただ聞くのではなく、質問するつもりで聞く。
そしてその質問を自分にも振り向けます。すると、考え方が深まります。そしてそれを文章にする。それが「考えること」になるのです。
この作業をあるテーマでおこなったり、「映画」でおこなったりします。

▌履修条件

ディスカッションし、対話し、プレゼンテーションすることが授業内容です。言語は日本語を用いますので、それに十分な日本語力があることが条件です。また人前で話すことになりますので、それができることも条件です。ただ、人前で話すのがあまり得意でない人は、この授業をとおして、それを身に付けるというふうに考えてもよいでしょう。

▌評価基準・方法

グループ討議報告レポート 60 %、授業貢献度 40 %です。
レポートは、課題として出されたものの 2 ／ 3 以上を提出しなければ、カウントされません。
「授業貢献度」とは、出席や授業での討論への自発的参加などです。「聞く」だけの受け身的態度では評価は下がってしまいます。
また、4／5以上の出席がないと単位は取れません。
課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行います。

▌フィードバック方法

manaba を用いておこないます。
適宜、前回の授業を取り上げて、再び議論をします。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループ討議・発表）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （文章は PC での作成を推奨しています。）

▌教科書

教科書として使用しませんが、次の書籍を参考にします。
梶谷真司『考えるとはどういうことか』幻冬舎新書
梶谷真司『書くとはどういうことか』飛鳥新社

▌参考書

関連する書籍、作品などは授業中に紹介します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：講義内容の説明** 授業内容：講義内容について説明します。単位の取得の条件、授業の展開、心構えなどについての説明です。 事前学修 2.0hr：講義概要を読んで、本講義に期待する内容を考えておく。 事後学修 2.0hr：議論することなどについて、自分なりのイメージをつくる。
2回	**授業テーマ：自己紹介と質問ゲーム：自己紹介を質問ゲームを使って行います。** 授業内容：自己紹介を、質問ゲームで行います。紹介者に質問をしますが、よりよい質問のみが、紹介者によって答えられます。どのような質問をすれば、答えてもらえるかを考えながら質問します。 事前学修 2.0hr：自己紹介する内容を考えておく 事後学修 2.0hr：コメントを書く
3回	**授業テーマ：哲学対話についての説明：哲学対話とはどのようなものかを説明します。またレポートの書き方についても説明します。** 授業内容：哲学対話について、紹介ビデオを観ながら説明します。哲学対話のテーマを決めます。 残った時間で、レポートの書き方についても説明します。 事前学修 2.0hr：哲学対話について、自分なりに調べておく 事後学修 2.0hr：講義内容を復習する。
4回	**授業テーマ：第 1 回「哲学対話」：設定されたテーマについて、みなで議論します。** 授業内容：前回決めた哲学対話のテーマを、問いのかたちにし、それについて議論します。 事前学修 2.0hr：テーマについて予め、自分なりの考えをまとめておく 事後学修 2.0hr：議論したテーマについてエッセイ・レポートを書く
5回	**授業テーマ：前回の哲学対話の内容を文章にします。** 授業内容：文章を書くとはどういうことかを説明した上で、前回の哲学対話の内容を文章にする作業をします。 事前学修 2.0hr：テーマについて予め、自分なりの考えをまとめておく 事後学修 2.0hr：テーマについてのレポートを仕上げます。
6回	**授業テーマ：あるテーマについてレポートを作成する** 授業内容：課されたテーマについてレポートを作成します。 事前学修 2.0hr：テーマについてあらかじめ自分なりの考えをまとめておく 事後学修 2.0hr：テーマについてのレポートを仕上げる
7回	**授業テーマ：映画を観て、議論する　第 1 回：議論の題材となる映画を観ます。** 授業内容：映画を観て議論する作業をおこないます。 第 1 回目は、議論するテーマを示したうえで、映画鑑賞をおこないます。 事前学修 2.0hr：映画についての自分なりのイメージをもっておく 事後学修 2.0hr：感想シートの記入

8回	**授業テーマ：映画を観て、議論する第１回続き：映画の続きを観ます。** 授業内容：前回の映画鑑賞の続きです。 すこし時間が余りますので、映画の内容についておさらいします。 事前学修 2.0hr：前回までの映画内容の確認 事後学修 2.0hr：設定されたテーマについて考えておく
9回	**授業テーマ：映画を観て、議論する。第１回の続きです。：設定されたテーマについて議論します。** 授業内容：予め与えられていたテーマに沿って、映画について議論します。 事前学修 2.0hr：議論するテーマについて考えておく 事後学修 2.0hr：議論内容についての報告レポート作成
10回	**授業テーマ：ディベート：議論をディベート形式で行います。** 授業内容：ディベートを行います。 ディベートは、予め、賛成／反対の立場を決めたうえで、その立場から議論するものです。 事前学修 2.0hr：設定されたテーマについて考えておく 事後学修 2.0hr：議論内容についての報告レポート作成
11回	**授業テーマ：映画を観て、議論する第２回：映画鑑賞** 授業内容：映画を観て議論する作業をおこないます。 今回も、議論するテーマを示したうえで、映画鑑賞をおこないます。 事前学修 2.0hr：映画について自分なりのイメージをもっておく 事後学修 2.0hr：感想シートの記入
12回	**授業テーマ：映画を観て、議論する第２回続き：前回の映画の続きを観る** 授業内容：前回の映画鑑賞の続きです。 すこし時間が余りますので、映画の内容についておさらいします。 事前学修 2.0hr：設定されたテーマについて考えておく 事後学修 2.0hr：感想シートの記入
13回	**授業テーマ：映画を観て、議論する第２回：設定されたテーマについて議論する** 授業内容：予め与えられていたテーマに沿って、映画について議論します。 すこし時間を残して、次回の哲学対話のテーマを決めます。 事前学修 2.0hr：設定されたテーマについて考えておく 事後学修 2.0hr：テーマについてのレポート
14回	**授業テーマ：第２回「哲学対話」：設定されたテーマについてみなで議論します。** 授業内容：決めてあったテーマについて議論をします。 事前学修 2.0hr：あらかじめテーマについて考えておきます 事後学修 2.0hr：テーマについてのレポートを書く
15回	**授業テーマ：レポート講評会：前回書いたレポートを発表し、みなで講評します。** 授業内容：前回のテーマについてのレポートをみんなでもちより、講評会をします。 事前学修 2.0hr：前回書いたレポートを発表できるようにしておきます 事後学修 2.0hr：感想シートの提出

人間形成ゼミナール

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

杉浦　雄策（すぎうら　ゆうさく）・**樋口　倫子**（ひぐち　のりこ）

▌授業の概要

この授業では、ウェルネスに焦点を当て、受講生が健康的な生活を送るための知識とスキルを身につけることを目指します。身体的、精神的、社会的な健康に関する理論や実践的なアプローチを学び、個人と社会のウェルネスを向上させるための戦略や戦術 (スキル)を探求します。また、最新のウェルネスに関する研究についてもダイアローグし、受講生の豊かな生き方の実践に役立てられる学びをします。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：からだとこころと社会のウェルネスを理解し、日常生活に活かす実践力を身につける。

個別目標：・ウェルネスの基本概念を理解する。
・前向きな自己成長行動をとりながら、価値観の異なる他者とかかわるコミュニケーションを身につける。
・トータルウェルネスを実現しようとする前向きな生き方(生活態度・行動)を試行する。
・心身の関係を見直し、より豊かな人生のマネジメント能力を身につける。

▌履修条件

他者と共に学習し合う雰囲気を工夫できること。不得意な場合は、必ず相談のこと(一緒に考えます)。
履修者多数の場合、履修動機を基に履修者を決定する(最大受講人数 20 名程度)ため、第 1 回の講義に必ず出席すること (
人数調整を行う)。課外活動(フィールドワーク)に参加できること。

▌評価基準・方法

4/5 以上の出席を評価の前提条件とする。質問や発言による講義への参加度(25 %)と、学習の成果物①講義ごとの小課題(50 %)、学習の成果物②最終レポート課題(25 %)により総合的に評価する。

▌フィードバック方法

講義終了時の質疑応答、次回講義冒頭での課題についての全体コメントによる。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Think-Pair-Share Think-Group-Share　フィールドワーク　ダイアローグ　リフレクティング）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

なし

▌参考書

講義内で、適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：1．このコースの学習の進め方をイメージする。 2．この講義では何を学ぶのかを理解する。 3．ウェルネスの基本的な概念を紹介する。 事前学修 2.0hr：シラバスを読む。 事後学修 2.0hr：豊かな生き方について、イメージしてみる。
2 回	**授業テーマ：ウェルネス入門** 授業内容：ウェルネスの定義と基本的な原則について、理解する。 ウェルネスの多次元性(身体的・精神的・社会的)について理解し、気づきを Think-Group-Share で共有する。 事前学修 2.0hr：事前配布資料を読む。 事後学修 2.0hr：ウェルネスの基本概念について、考えたことをまとめる。
3 回	**授業テーマ：大学生のウェルネス** 授業内容：・大学生の客観的健康観と主観的健康観について、理解を深める。 ・大学生のウェルネスの現状と課題について、理解を深める。 ・大学生のウェルネスに関する気づきを Think-Group-Share で共有する。 事前学修 2.0hr：事前配布資料を読む。 事後学修 2.0hr：大学生のウェルネスについて、考えたことをまとめる。
4 回	**授業テーマ：自己理解と自己熟達①** 授業内容：ありのままで自分らしく生きる 事前学修 2.0hr：事前配布資料を読む。 事後学修 2.0hr：自らの戦術と戦略について、考えたことをまとめる。
5 回	**授業テーマ：自己理解と自己熟達②** 授業内容：目標や夢は、自分知り、自分らしく生きる”緒(いとぐち)” 事前学修 2.0hr：事前配布資料を読む。 事後学修 2.0hr：自らの目標や夢について、考えたことをまとめる。
6 回	**授業テーマ：ウェルネスダイアローグ①** 授業内容：前半の学びを Think-Pair-Share で、言語化する。 スモールグループでリフレクティング・トークにより、印象に残ったテーマについて、深める。 リフレクティング・トークの気づきを、全体でシェアする。 事前学修 1.5hr：ポートフォリオから、前半の学びを振り返り、気づきをまとめてくる。 事後学修 2.5hr：ウェルネスダイアローグでの気づきをまとめる。
7 回	**授業テーマ：からだのウェルネス①** 授業内容：豊かに生きるために欠かせない(自己実現の基盤となる)健康・体力 事前学修 2.0hr：事前配布資料を読む。 事後学修 2.0hr：自らの健康・体力について、考えたことをまとめる。
8 回	**授業テーマ：からだのウェルネス②** 授業内容：健康的生活デザイン能力の獲得 事前学修 2.0hr：事前配布資料を読む。 事後学修 2.0hr：フィジカルリレラシーについて、考えたことをまとめる。

9回	**授業テーマ：こころのウェルネス①** 授業内容：こころのセルフケア(レジリエンスとストレスマネジメント)の理論と実践を学ぶ。 セルフワークやペアワークで、ストレスマネジメントを体験する。 事前学修 1.5hr：これまでに、こころのセルフケアとして、自分なりにどのようなことをやってきたかを振り返る。 事後学修 2.5hr：こころのセルフケアを 1 週間続けてみる(トライアル)。その結果について、まとめる。
10回	**授業テーマ：こころのウェルネス②** 授業内容：・2 種類の問題対処力(ポジティヴ・ケイパビリティとネガティヴ・ケイパビリティ)について理解する。 ・ポジティヴ・ケイパビリティによる問題対処法について、セルフワークを通して身に着ける。 ・ネガティヴ・ケイパビリティによる問題対処法について、ダイアローグを通して、考える。 事前学修 1.5hr：ポジティヴ・ケイパビリティとネガティヴ・ケイパビリティに関する資料を事前に詠み、疑問点を明らかにしてくる。 事後学修 2.5hr：ポジティヴ・ケイパビリティとネガティヴ・ケイパビリティを日常の中で活用し、その事例についてまとめる。
11回	**授業テーマ：社会のウェルネス①** 授業内容：共生・協働は、自分のみならず、他者をも成長・進化させる 事前学修 2.0hr：事前配布資料を読む。 事後学修 2.0hr：自由と他者への理解、協力者の存在意義について、考えたことをまとめる。
12回	**授業テーマ：社会のウェルネス②** 授業内容：・公正な社会(差別や抑圧のない社会)と多様性尊重社会について考える。 ・新しい社会における障害支援やピア・サポートを考える。 事前学修 1.5hr：日本や世界の多様性尊重社会の取り組みや背景について調べてくる。 事後学修 2.5hr：新しい社会における障害支援やピア・サポートに関する考えをまとめる。
13回	**授業テーマ：トータルウェルネス(ウェルネスのまちを探索する)** 授業内容：・ウェルネスのまちを探索する(フィールドワーク) ・フィールドワークを通して、からだとこころと社会のウェルネスを実感する。 事前学修 2.0hr：ウェルネスのまちのコンセプトを調べる。 事後学修 2.0hr：フィールドワークでの気づきをまとめる。
14回	**授業テーマ：ウェルネスダイアローグ②** 授業内容：後半の学びを Think-Pair-Share で、言語化する。 スモールグループでリフレクティング・トークにより、印象に残ったテーマについて、深める。 リフレクティング・トークの気づきを、全体でシェアする。 事前学修 2.0hr：ポートフォリオによって後半の学びを振り返り、気づきをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：ウェルネスダイアローグでの気づきをまとめる。
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：コース全体の内容を振り返る。 ポートフォリオを参照しながら、自らがこのコースで学んだ重要なことを 1 つ選択する。それはなぜ重要と考えたのか、今後どのように活用するのかについて、ダイアローグによって、気づきを深める。 事前学修 1.5hr：ポートフォリオを振り返り、自らがウェルネスについて学んだ重要なテーマを 1 つ選択する。それはなぜ重要と考えたのか、今後どのように活用するのかについてまとめてくる。 事後学修 2.5hr：ダイアローグでの気づきを踏まえて、自分にとってのウェルネスに関するレポートを仕上げる。

人間形成ゼミナール

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

矢島　ますみ（やじま　ますみ）

▌授業の概要

◆少人数トークゼミ◆【エンターテイメント文化研究ゼミ～米ディズニーの経営学を中心に～】(前学期 月2　/後学期 月2)

　このゼミでは、書籍「ディズニーが教えるお客様を感動させる最高の方法 (日経ビジネス人文庫) 」や「どんな人も活躍できる ディズニーのしくみ大全」を通じて米ディズニーの経営学の考え方を理解しながら、遊び文化の現在とエンターテイメント産業のこれからの可能性を、仲間とともにディスカッションしていきます。ディズニーに興味のある方、大歓迎します。初回に人数調整(12 名～15 名程度)を実施しますので必ず出席してください。初回授業　4 月 7 日 (月 2)、後期は、9 月 15 日 (月 2)。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：ゼミナール【Seminar】とは、 大学で、小人数の学生が集まり、教師の指導の下に自ら研究し、発表・討論を行う形式の授業のことです。書籍「ディズニーが教えるお客様を感動させる最高の方法」を紐解きエンターテイメントのマネジメントを理解し、同時に、催事・イベントを on-line 調査やフィールドワークすることによって、物事の分析力をつけ視野を広げてまいります。

個別目標：①アミューズメント産業やエンターテイメント産業の現状を述べることができる。
②米ディズニーの経営システムを理解し、応用の視点をもつことができる。
③仲間とともにテーマに沿って対話・ディスカッションし、プレゼンテーションができる。

▌履修条件

12 名～15 名程度。ディスニーが好きな方、エンタメ産業の経営について興味・関心が強い方、研究心が旺盛な方、大歓迎です。履修希望者は初回前期は、4 月 7 日 (月 2)、後期は、9 月 15 日 (月 2) に必ず出席してください。
少人数のメンバーで運営する授業ですので、お休みすることなく一歩一歩積み重ねていきましょう。

▌評価基準・方法

評価は授業への参加姿勢(60 %)、クラス仲間とのコミュニケーション(30 %)や達成度(10 %)の比重を基本に総合的に評価します。

▌フィードバック方法

個人やグループでの発表を予定しているので、manaba のプロジェクトや小テスト機能を有効に利用しながら情報・意見交換や授業内容のフィードバックをしていきます。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （毎回メンバー同士のディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし （発表担当者はプレゼン資料を作成し、プレゼンしていただきます）

▌教科書

適宜

▌参考書

「ディズニーが教えるお客様を感動させる最高の方法 (日経ビジネス人文庫) 」ディズニー・インスティチュート (著)
「どんな人も活躍できる ディズニーのしくみ大全」大住 力 (著)

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：セレクション(人数調整)とミーティング** 授業内容：授業内容について確認します。人数が多い場合(12 名～15 名程度)は、志望動機などうかがって、適正な人数にいたします。メンバーが決定後、お互いの興味関心の情報交換をし、授業の展開について確認します。 事前学修 2.0hr：シラバスを理解してくる。 事後学修 2.0hr：自分の好きな分野の遊び文化の状況をリサーチする。
2回	**授業テーマ：遊びの文化とはなにか？ アミューズメント産業・エンターテイメント産業とはなにか？** 授業内容：「遊びの文化とは何か？ アミューズメント産業・エンターテイメント産業とはなにか？」についてディスカッションします。 平行して、テキスト「ディズニーが教えるお客様を感動させる最高の方法 (日経ビジネス人文庫) 」を配布しますので、テキストの勉強をスタートします。 事前学修 2.0hr：遊び(Play) の定義について考えてくる。 事後学修 2.0hr：遊びの定義をまとめる。
3回	**授業テーマ：ウォルト・ディズニーを知る　その 1 (ミッキーマウスの誕生)** 授業内容：ディズニー研究には、ウォルト・ディズニーについて理解することが大切です。その 1 回目。ウォルト・ディズニー(Walt Disney、1901 年- 1966 年)とミッキーの誕生について。 平行してテキスト「ディズニーが教えるお客様を感動させる最高の方法 (日経ビジネス人文庫) 」の発表分担を決める。 事前学修 2.0hr：興味のある遊びネタ・話題を調べる。 事後学修 2.0hr：アミューズメント産業・エンターテイメント産業の広がりをまとめる(発表担当はプレゼン資料を作成)。
4回	**授業テーマ：ウォルト・ディズニーを知る　その 2 (アニメーションの創造)** 授業内容：ディズニー研究には、ウォルト・ディズニーについて理解することが大切です。その 2 回目。ディズニーのアニメーション創造の卓越さについて。 平行してテキスト【第一章　サービスこそディズニーのすべて】の発表＆ディスカッション。 事前学修 2.0hr：ウォルト・ディズニーの実績(作品)について調べてくる。 事後学修 2.0hr：ウォルト・ディズニーの作品を観てくる(発表担当はプレゼン資料を作成)。
5回	**授業テーマ：ウォルト・ディズニーを知る　その 3 (混乱の社会で)** 授業内容：ディズニー研究には、ウォルト・ディズニーについて理解することが大切です。その 3 回目。戦争と表現。社会の混乱とウォルトの生きざまについて。 平行してテキスト【第一章　サービスこそディズニーのすべて】(つづき)の発表＆ディスカッション。 事前学修 2.0hr：ディズニー社の歴史的展開を調べてくる。 事後学修 2.0hr：ウォルトが残した格言について調べておく(発表担当はプレゼン資料を作成)。
6回	**授業テーマ：ウォルト・ディズニーを知る　その4(ディズニーランドの建設)** 授業内容：ディズニー研究には、ウォルト・ディズニーについて理解することが大切です。その４回目。1955 年　いよいよ夢の国が開幕です 平行してテキスト【第二章　ゲストを知ることがマジックのはじまり】の発表＆ディスカッション。 事前学修 2.0hr：本日の授業で取り扱うテキスト(章)を読んでくる。 事後学修 2.0hr：ウォルトの人となりをまとめておく(発表担当はプレゼン資料を作成)。

7回	**授業テーマ：「ディズニーが教えるお客様を感動させる最高の方法」を読み解く(1)ゲストロジーとゲストとの約束** 授業内容：ディズニーリゾートの強みはなにか？ ユニバーサル・スタジオ・ジャパンの強みはなにか？ について比較研究。 平行してテキスト【第二章　ゲストを知ることがマジックのはじまり】(つづき)の発表＆ディスカッション。 事前学修 2.0hr：本日の授業で取り扱うテキスト(章)を読んでくる。 事後学修 2.0hr：本日の部分をまとめる(発表担当はプレゼン資料を作成)。
8回	**授業テーマ：「ディズニーが教えるお客様を感動させる最高の方法」を読み解く(2)第一印象** 授業内容：ディズニーに関する話題、イベントの話題等、メンバー同士で共有。 平行してテキスト【第三章　キャストが起こすディズニー・マジック】の発表＆ディスカッション。 事前学修 2.0hr：本日の授業で取り扱うテキスト(章)を読んでくる。 事後学修 2.0hr：本日の部分をまとめる(発表担当はプレゼン資料を作成)。
9回	**授業テーマ：「ディズニーが教えるお客様を感動させる最高の方法」を読み解く(3)サービスのカスタマイズ** 授業内容：ディズニーに関する話題、イベントの話題等、メンバー同士で共有。 平行してテキスト【第三章　キャストが起こすディズニー・マジック】(つづき)の発表&。ディスカッション。 事前学修 2.0hr：本日の授業で取り扱うテキスト(章)を読んでくる。 事後学修 2.0hr：本日の部分をまとめる(発表担当はプレゼン資料を作成)。
10回	**授業テーマ：「ディズニーが教えるお客様を感動させる最高の方法」を読み解く(4)セットとは** 授業内容：ディズニーに関する話題、イベントの話題等、メンバー同士で共有。 平行してテキスト【第四章　感動を体感してもらう空間づくり】の発表＆ディスカッション。 事前学修 2.0hr：本日の授業で取り扱うテキスト(章)を読んでくる。 事後学修 2.0hr：本日の部分をまとめる(発表担当はプレゼン資料を作成)。
11回	**授業テーマ：「ディズニーが教えるお客様を感動させる最高の方法」を読み解く(5)効果と五感** 授業内容：ディズニーに関する話題、イベントの話題等、メンバー同士で共有。 平行してテキスト【第四章　感動を体感してもらう空間づくり】(つづき)の発表＆ディスカッション 事前学修 2.0hr：本日の授業で取り扱うテキスト(章)を読んでくる。 事後学修 2.0hr：本日の部分をまとめる(発表担当はプレゼン資料を作成)。
12回	**授業テーマ：「ディズニーが教えるお客様を感動させる最高の方法」を読み解く(6)ゲストの不満** 授業内容：ディズニーに関する話題、イベントの話題等、メンバー同士で共有。 平行してテキスト【第五章　ディズニー・マジックは入口から】の発表＆ディスカッション。 事前学修 2.0hr：本日の授業で取り扱うテキスト(章)を読んでくる。 事後学修 2.0hr：担当するフィールドワーク研究対象の調査方法・段取りを考えてくる。
13回	**授業テーマ：「ディズニーが教えるお客様を感動させる最高の方法」を読み解く(7)不満を解消する** 授業内容：ディズニーに関する話題、イベントの話題等、メンバー同士で共有。 平行してテキスト【第五章　ディズニー・マジックは入口から】(つづき)の発表＆ディスカッション。 事前学修 2.0hr：本日の授業で取り扱うテキスト(章)を読んでくる。 事後学修 2.0hr：本日の部分をまとめる(発表担当はプレゼン資料を作成)。
14回	**授業テーマ：「ディズニーが教えるお客様を感動させる最高の方法」を読み解く(8)クオリティ・サービス** 授業内容：ディズニーに関する話題、イベントの話題等、メンバー同士で共有。 平行してテキスト【第六章　魔法のサービスを実現させる】の発表＆ディスカッション。 事前学修 2.0hr：本日の授業で取り扱うテキスト(章)を読んでくる。 事後学修 2.0hr：本日の部分をまとめる(発表担当はプレゼン資料を作成)。
15回	**授業テーマ：まとめ：ディズニー社はどこにいくのか？** 授業内容：全体を通じたまとめ。ウォルト・ディズニー(Walt Disney、1901 年- 1966 年)がなした功績と、ディズニー社が今後どのように発展していくのかについて、およびエンターテインメント産業の将来像についてディスカッション。 事前学修 2.0hr：ウォルト・ディズニーとディズニー社の歴史・功績についてまとめてくる。 事後学修 2.0hr：アミューズメント＆エンターテイメント産業についてまとめる。

人間形成ゼミナール

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

矢島　ますみ（やじま　ますみ）

▌授業の概要

◆少人数トークゼミ◆【劇場文化研究ゼミ】ミュージカルを見に行こう！（前学期 火3 /後学期 火3）

　このゼミは、ミュージカルや 2.5 次元舞台、歌舞伎等の舞台表現を題材に、実際に舞台鑑賞を実践することによって、東西劇場文化の特徴や面白さを”語る”クラスです。昨年は「美女と野獣」「アナと雪の女王」「進撃の巨人」等の作品を鑑賞しました。書籍「2.5 次元舞台へようこそ ミュージカル『テニスの王子様』から『刀剣乱舞』へ」も読み進めながら、現在の舞台表現について考えていきます。演劇やミュージカル舞台・芸能・芸術等の表現が好きな方、大歓迎です。初回に人数調整（12 名〜15 名程度）を実施しますので必ず出席してください。前期初回は、4 月 8 日（火 3）、後期は、9 月 16 日 (火 3)。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：ゼミナール【Seminar】とは、 大学で、小人数の学生が集まり、教師の指導の下に自ら研究し、発表・討論を行う形式の授業のことです。ゼミ仲間と舞台や表現について語り、西洋と日本の舞台の特徴について理解し説明できる力、日本＆世界の文化を語る力を身につけます。

個別目標：①日本と西洋の舞台表現の歴史を知り、特徴を述べることができる。
②日本の文化と西洋の文化の発展の歴史を比較し、概略を述べることができる。
③仲間と協調して、フィールドワークを実施し、有効なプレゼンテーションができる。

▌履修条件

定員 12〜15 名程度。舞台・芸能・ダンスの経験者、好きな方、大歓迎！ です。
履修希望者は初回の人数調整に必ず出席してください。少人数のメンバーで運営する授業ですので、お休みすることなく一歩一歩積み重ねていきましょう。ゼミの中心であるフィールドワーク（観劇活動）にお金（チケット代）がかかります。大学の活動助成金に申請しますが、ある程度の出費があることを心に留めておいてください。

▌評価基準・方法

評価は授業への参加姿勢（60 %）、クラス仲間とのコミュニケーション（30 %）や達成度（10 %）の比重を基本に総合的に評価します。

▌フィードバック方法

授業のほか、授業外で観劇活動をしていただきますので、manaba のプロジェクトや小テスト機能を有効に利用しながら情報・意見交換や授業内容のフィードバックをしていきます。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （毎回メンバー同士のディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし （発表担当者はプレゼン資料を作成し、プレゼンしていただきます）

▌教科書

2.5 次元舞台へようこそ ミュージカル『テニスの王子様』から『刀剣乱舞』へ (星海社新書) 新書 （教員が用意します）

▌参考書

適宜、資料紹介いたします

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：セレクション(人数調整)とミーティング** 授業内容：授業内容について確認します。人数が多い場合は、志望動機などうかがい、ディスカッションに適正な人数にいたします。メンバーが決定後、自己紹介および、どんな舞台（作品）を見に行きたいか意見交換。 事前学修 1.0hr：シラバスを確認する。 事後学修 3.0hr：鑑賞したい舞台情報を収集する。
2回	**授業テーマ：舞台の面白さとは** 授業内容：舞台にはどのような舞台があるのか？ 舞台の面白さとは何かをメンバー同士ディスカッション。どの舞台（作品）を見に行くかをそれぞれ仮決定する。 事前学修 2.0hr：最新の舞台情報を確認する。 事後学修 2.0hr：具体的に舞台鑑賞のスケジュールを確認する。
3回	**授業テーマ：西洋と日本の表現の特徴は？ 身体・思想・メッセージ** 授業内容：日本と西洋の舞台の違い、舞台表現の違いをメンバー同士ディスカッション。 平行して、テキスト「2.5 次元舞台へようこそ ミュージカル『テニスの王子様』から『刀剣乱舞』へ」を配布、勉強をスタート。 事前学修 2.0hr：最新の舞台情報を確認する。 事後学修 2.0hr：鑑賞したい舞台情報を集める（鑑賞作品が決定した人はチケットの手配を始める）。
4回	**授業テーマ：ミュージカルや 2.5 次元舞台が語る世界って？ 〜何を表現しているのだろう？** 授業内容：ミュージカル（歌、ダンス、演劇）の特徴や現在上演しているミュージカルについて理解し、作品テーマについてメンバー同士ディスカッション。 平行して、テキスト「2.5 次元舞台へようこそ ミュージカル『テニスの王子様』から『刀剣乱舞』へ」の発表担当を決める 事前学修 2.0hr：最新の舞台情報を確認する（発表担当者は発表資料を作成する）。 事後学修 2.0hr：鑑賞したい舞台情報を集める（鑑賞作品が決定した人はチケットの手配を始める）。
5回	**授業テーマ：ミュージカルや 2.5 次元舞台が語る世界って？ 〜今なにが上演されているのだろう？** 授業内容：ミュージカル（歌、ダンス、演劇）の特徴や現在上演しているミュージカルについて理解し、表現方法について考える。 平行して、テキスト「第 1 章　2.5 次元舞台とは」の発表とディスカッション。 ＃舞台鑑賞を終えた人から、随時　鑑賞活動プレゼンとレポート作成。 事前学修 2.0hr：鑑賞したい舞台情報を確認する（発表担当者は発表資料を作成する）。 事後学修 2.0hr：鑑賞したい舞台情報を集める（鑑賞作品が決定した人はチケットの手配を始める）。
6回	**授業テーマ：ミュージカルや 2.5 次元舞台が語る世界って？ 〜私たちは何を見に行こう？** 授業内容：実際に鑑賞するミュージカル（歌、ダンス、演劇）を決定し、作品（あらすじ、表現方法、見るべきシーン等）について考える。 平行して、テキスト「第 2 章　2.5 次元舞台の元祖であり最先端！ すべてはミュージカル『 テニスの王子様 』から始まった」の発表とディスカッション。 ＃舞台鑑賞を終えた人から、随時　鑑賞活動プレゼンとレポート作成。 事前学修 2.0hr：鑑賞したい舞台情報を確認する（発表担当者は発表資料を作成する）。 事後学修 2.0hr：発表担当は発表資料を作成する。鑑賞活動がある人は実施する。

7回	**授業テーマ：歌舞伎が語る世界って？ ～何を表現しているのだろう？** 授業内容：古典舞台である歌舞伎についてその歴史や世界観についての理解。 平行して　テキスト「纛 3 章　2.5 次元舞台誕生前夜　宝塚『 ベルサイユのばら 』とミュージカル『 テニスの王子様 』の間に」の発表とディスカッション。 ＃舞台鑑賞を終えた人は、随時　鑑賞活動プレゼンとレポート作成。 事前学修 2.0hr：歌舞伎の舞台情報を調べる(発表担当者は発表資料を作成する)。 事後学修 2.0hr：発表担当は発表資料を作成する。鑑賞活動がある人は実施する。
8回	**授業テーマ：歌舞伎が語る世界って？ ～今なにが上演されているのだろう？** 授業内容：現在、上演されている歌舞伎舞台の舞台、有名な作品についてご紹介。。。。 平行して　テキスト「第 4 章　2.5 次元舞台の発展と革命　劇場から飛び出した舞台『 弱虫ペダル 』の誕生」の発表とディスカション。 ＃舞台鑑賞を終えた人は、随時　鑑賞活動プレゼンとレポート作成。 事前学修 2.0hr：歌舞伎の舞台情報を調べる(発表担当者は発表資料を作成する)。 事後学修 2.0hr：発表担当は発表資料を作成する。鑑賞活動がある人は実施する。
9回	**授業テーマ：活動の中間まとめ** 授業内容：前半授業の活動のふりかえり(個人活動状況確認) 平行して　テキスト「第 5 章　2.5 次元舞台の可能性を信じる役者たち」の発表とディスカッション。 ＃舞台鑑賞を終えた人は、随時　鑑賞活動プレゼンとレポート作成。 事前学修 2.0hr：舞台批評を調べる(発表担当者は発表資料を作成する)。 事後学修 2.0hr：発表担当は発表資料を作成する。鑑賞活動がある人は実施する。
10回	**授業テーマ：鑑賞した舞台の報告と分析(１)観客について** 授業内容：テキスト「第 6 章　2.5 次元舞台を観てみませんか」の発表とディスカッション。 ＃舞台鑑賞を終えた人は、随時　鑑賞活動プレゼンとレポート作成。 事前学修 2.0hr：舞台批評を調べる(発表担当者は発表資料を作成する)。 事後学修 2.0hr：発表担当は発表資料を作成する。鑑賞活動がある人は実施する。
11回	**授業テーマ：鑑賞した舞台の報告と分析(２)作品構成について** 授業内容：テキスト「第 7 章　2.5 次元舞台だけじゃない「刀剣乱舞 」という 、全方位のコンテンツ　」の発表とディスカッション。 ＃舞台鑑賞を終えた人は、随時　鑑賞活動プレゼンとレポート作成。 事前学修 2.0hr：舞台批評を調べる(発表担当者は発表資料を作成する)。 事後学修 2.0hr：発表担当は発表資料を作成する。鑑賞活動がある人は実施する。
12回	**授業テーマ：鑑賞した舞台の報告と分析(３)舞台表現について** 授業内容：テキスト「第 8 章　2.5 次元舞台を愛する受け手の視点 」という 、全方位のコンテンツ　」の発表とディスカッション。 ＃舞台鑑賞を終えた人は、随時　鑑賞活動プレゼンとレポート作成。 事前学修 2.0hr：舞台批評を調べる(発表担当者は発表資料を作成する)。 事後学修 2.0hr：発表担当は発表資料を作成する。鑑賞活動がある人は実施する。
13回	**授業テーマ：ディスカッション：西洋と日本の舞台の特徴と作品の構造性について** 授業内容：実際にフィールドワークした経験、および学んだ知識を踏まて、古典作品、現代作品の特徴や構造についてディスカッション。 ＃舞台鑑賞を終えた人は、随時　鑑賞活動プレゼンとレポート作成。 事前学修 2.0hr：舞台批評を調べる(発表担当者は発表資料を作成する)。 事後学修 2.0hr：西洋・東洋の作品構造について比較してまとめる。
14回	**授業テーマ：ディスカッション：これから注目される舞台とは？** 授業内容：現代求められている作品テーマや技法はどのようなものでしょうか？ メンバーでディスカッション。 ＃舞台鑑賞を終えた人は、随時　鑑賞活動プレゼンとレポート作成。 事前学修 2.0hr：舞台批評を調べる(発表担当者は発表資料を作成する)。 事後学修 2.0hr：これから流行る作品テーマをまとめておく。
15回	**授業テーマ：まとめ：今、舞台で何が起こっている？** 授業内容：ここ数年、コロナ禍で、舞台やライブのエンターテイメント業界は、この数年、不安定な状況でしたが、新しい可能性として、ネット社会が広がり、ネットを通じた表現の場も広がっています。今後のこれからの舞台はどのように発展していくでしょうか？ 事前学修 2.0hr：活動の成果をまとめる。 事後学修 2.0hr：今後楽しみな舞台を確認する。

ボランティア活動 A

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 1 年次 ｜ 各 2 単位

単位認定科目

▌授業の概要

国内における社会貢献活動（ボランティア活動）の成果に対して単位を認定する科目である。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：自己実現に向け努力することができるよう、ボランティア活動という経験を通して、社会と向き合い、自分自身の今と将来を見極める能力を身につける。

個別目標：1　ボランティア活動を通じて、自ら考えて行動することができる。
2　ボランティア活動の経験から得た情報や意見を報告会等で積極的に交換し、自身の言葉で社会貢献活動の意義を説明できる。

▌履修条件

特になし

▌評価基準・方法

以下の 4 点の条件をすべて充たすこと。

1　ボランティア講習会（理論編・実践編）の受講
2　学外施設・団体等における 60 時間以上の活動
3　活動日誌と終了レポートの作成
4　ボランティア活動報告会への参加

▌フィードバック方法

必要に応じて適宜指示する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （フィールドワーク、プレゼンテーション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （活動日誌及び終了レポートの作成、活動報告会等で使用する。）

▌教科書

適宜指示する。

▌参考書

適宜指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ボランティア講習会(理論編)** 授業内容：ボランティアの理論を学ぶ 事前学修 2.0hr：ボランティアとは何かを調べる 事後学修 2.0hr：授業で学んだことを復習する
2回	**授業テーマ：ボランティア講習会(実践編)** 授業内容：ボランティアの実践を学ぶ 事前学修 2.0hr：ボランティアの心構えやマナーを調べる 事後学修 2.0hr：授業で学んだことを復習する
3回	**授業テーマ：ボランティア活動①** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者と打合せを行う 事後学修 2.0hr：打合せで確認した活動内容等をまとめる
4回	**授業テーマ：ボランティア活動②** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
5回	**授業テーマ：ボランティア活動③** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
6回	**授業テーマ：ボランティア活動④** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
7回	**授業テーマ：ボランティア活動⑤** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
8回	**授業テーマ：ボランティア活動⑥** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
9回	**授業テーマ：ボランティア活動⑦** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
10回	**授業テーマ：ボランティア活動⑧** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
11回	**授業テーマ：ボランティア活動⑨** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる

12回	**授業テーマ：ボランティア活動⑩** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
13回	**授業テーマ：ボランティア活動⑪** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
14回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：活動内容をレポートにまとめる 事前学修 2.0hr：活動内容を振り返り、レポート作成の準備をする 事後学修 2.0hr：作成したレポートを確認し、活動内容や活動を通じて感じたこと等が簡潔にまとめられているか確認する
15回	**授業テーマ：ボランティア活動報告会** 授業内容：これまでの活動成果についてプレゼンテーションする 事前学修 2.0hr：報告会に向けて発表の準備をする 事後学修 2.0hr：これまでの活動のまとめを行う

ボランティア活動 B

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 1 年次 ｜ 各 2 単位

単位認定科目

▌授業の概要

国外における社会貢献活動（ボランティア活動）の成果に対して単位を認定する科目である。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：自己実現に向け努力することができるよう、ボランティア活動という経験を通して、社会と向き合い、自分自身の今と将来を見極める能力を身につける。

個別目標：1　ボランティア活動を通じて、自ら考えて行動することができる。
2　ボランティア活動の経験から得た情報や意見を報告会等で積極的に交換し、自身の言葉で社会貢献活動の意義を説明できる。

▌履修条件

特になし

▌評価基準・方法

以下の 5 点の条件をすべて充たすこと。

1　国際ボランティア団体主催の事前オリエンテーション等への参加
2　事前・事後学修を含み総活動時間 90 時間以上の活動
3　活動日誌と終了レポートの作成
4　国際ボランティア団体が発行したプログラム修了証明書の提出
5　ボランティア活動報告会への参加

▌フィードバック方法

必要に応じて適宜指示する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （フィールドワーク、プレゼンテーション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （活動日誌及び終了レポートの作成、活動報告会等で使用する。）

▌教科書

適宜指示する。

▌参考書

適宜指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ボランティア活動①** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者と打合せを行う 事後学修 2.0hr：打合せで確認した活動内容等をまとめる
2回	**授業テーマ：ボランティア活動②** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
3回	**授業テーマ：ボランティア活動③** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
4回	**授業テーマ：ボランティア活動④** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
5回	**授業テーマ：ボランティア活動⑤** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
6回	**授業テーマ：ボランティア活動⑥** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
7回	**授業テーマ：ボランティア活動⑦** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
8回	**授業テーマ：ボランティア活動⑧** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
9回	**授業テーマ：ボランティア活動⑨** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
10回	**授業テーマ：ボランティア活動⑩** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる

11回	**授業テーマ：ボランティア活動⑪** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
12回	**授業テーマ：ボランティア活動⑫** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
13回	**授業テーマ：ボランティア活動⑬** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
14回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：活動内容をレポートにまとめる 事前学修 2.0hr：活動内容を振り返り、レポート作成の準備をする 事後学修 2.0hr：作成したレポートを確認し、活動内容や活動を通じて感じたこと等が簡潔にまとめられているか確認する
15回	**授業テーマ：ボランティア活動報告会** 授業内容：これまでの活動成果についてプレゼンテーションする 事前学修 2.0hr：報告会に向けて発表の準備をする 事後学修 2.0hr：これまでの活動のまとめを行う

日本の歴史

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

野田　有紀子（のだ　ゆきこ）

▌授業の概要

高校まで「歴史」の授業を受けてきた皆さんは、「歴史」というと昔の年号や用語の“暗記”ばかりの学問という印象を持っているかもしれませんが、実は「歴史」という学問は、歴史上の出来事や人物や物品を通して、現代までの流れを“考える”ための学問です。また、日本の歴史を考えるためには、日本のことだけでなく、日本と海外との“交流”や“比較”という視点も重要です。この講義では日本の歴史、とくに古代 (飛鳥時代・奈良時代・平安時代) のなかで、皆さんが身近に感じられるようないくつかの具体的テーマをとりあげて、国内外の文献や絵画、地図や系図、遺跡や文化財の写真など、さまざまな歴史資料を用いて、多角的・視覚的に解説します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：日本の歴史に関するさまざまな資料を観察し、その背景を知ることにより、現代の日本の姿は、過去の歴史の流れの上に形成されてきたものであることを理解できるようにしましょう。また、海外との交流や、外国人からの視点、日本と海外との比較といった、国際的な観点からも日本を見る姿勢を養いましょう。

個別目標：①日本の歴史を理解するために、さまざまな歴史資料を観察して、その背景や価値を理解できるようになる。
②日本と海外との交流や比較といった国際的視野を身につけられる。

▌履修条件

特にありませんが、日本の歴史や文化に興味をもって授業にのぞんでください。

▌評価基準・方法

定期試験は実施しません。
毎回、授業後に manaba から事後課題(小テスト)を提出してもらうことによって、内容理解を確認します。
全 15 回分の事後課題(小テスト)の提出率・合計点、授業への参加姿勢を合わせて、総合的に評価します(100 %)。
＊原則として、5 分の 4 以上の出席を評価対象とします。
＊授業を欠席した場合でも、事後課題(小テスト)は必ず提出してください。
＊欠席した場合は、事後課題(小テスト)に加え、manaba から【欠席者★追加課題】を提出してください。出席扱いとします。(公欠の場合をのぞく)

▌フィードバック方法

事後課題(小テスト)のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行います。
＊質問などがあれば、manaba から連絡してください。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

使用しません。
＊毎回の授業前に、manaba を通じて資料 pdf を配布しますので、各自ダウンロードして予習してください。

▌参考書

特に指定しません。
(ある場合は授業ごとに紹介します)

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：はじめに〜文化財の基礎知識①保存と活用** 授業内容：この講義では、「日本の歴史」を学習する上で「史跡」や「国宝」といった、文化財をたくさん紹介します。そこで第 1 回目の今回は、ガイダンスとして、文化財の基礎知識を学んでいきましょう。 事前学修 2.0hr：興味のある文化財の内容について調べておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み、興味をもった点やわからない箇所があれば調べる。
2回	**授業テーマ：文化財の基礎知識②飛鳥の史跡めぐり** 授業内容：前半は、「文化財保護法」での分類のうち「記念物」(史跡など)について説明します。後半では、飛鳥時代(592〜710)に宮都が置かれた「飛鳥」(奈良県明日香村)の史跡めぐりをしましょう。 事前学修 2.0hr：飛鳥時代のおもな舞台となった奈良県明日香村の地理や史跡について調べておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み、興味をもった点やわからない箇所があれば調べる。
3回	**授業テーマ：古代の遷都〜律令国家への道** 授業内容：「歴代遷宮」の時代から、藤原京まで、古代の都の史跡をたどりながら、律令国家が形成されていく過程について学びます。 事前学修 2.0hr：古墳時代から飛鳥時代までの遷都や歴史の流れについて調べておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み、興味をもった点やわからない箇所があれば調べる。
4回	**授業テーマ：平城京遷都〜律令国家の成立** 授業内容：日本古代の「遷都」は、「律令国家の形成」と深い関係があります。今回は奈良の都「平城京」の史跡めぐりと、遷都の理由を学びます。 事前学修 2.0hr：平城京への遷都や律令・戸籍の施行など、奈良時代の歴史の流れについて調べておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み、興味をもった点やわからない箇所があれば調べる。
5回	**授業テーマ：平安京遷都〜千年の都** 授業内容：いよいよ平安京に到着です!!まず平安京へ遷都した過程と理由について学習します。さらに、平安宮跡が現在どのように保存されているか確認しながら、史跡めぐりをしましょう。 事前学修 2.0hr：平安京への遷都や、京都の地理や史跡について調べておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み、興味をもった点やわからない箇所があれば調べる。
6回	**授業テーマ：〈計画都市〉平安京〜かたちとくらし** 授業内容：〈計画都市〉として建設された「平安京」が、遷都後しだいに、かたちを変えていった過程と理由について学びます。さらに、平安京での都市民のくらしをさぐりましょう。 事前学修 2.0hr：平安時代の歴史の流れについて調べておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み、興味をもった点やわからない箇所があれば調べる。
7回	**授業テーマ：日本古代の風俗と唐風化** 授業内容：『魏志倭人伝』や、人物埴輪に見える日本古代の風俗が、律令国家の形成とともに、どのように「唐風化」していったかを学びます。 事前学修 2.0hr：魏志倭人伝の内容や、遣隋使・遣唐使の役割について調べておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み、興味をもった点やわからない箇所があれば調べる。

8回	**授業テーマ：唐風文化から国風文化へ** 授業内容：９世紀までの唐風文化が、１０世紀から国風文化(かな文字・かな文学、衣装など)に発展していった過程を学習します。 事前学修 2.0hr：文学・衣装など、平安時代の国風文化について調べておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み、興味をもった点やわからない箇所があれば調べる。
9回	**授業テーマ：天皇と貴族～藤原道長の時代** 授業内容：今回と次回は、平安貴族社会における「天皇と貴族との関係」がテーマです。今回の前半は、「貴族」を説明します。後半では、「藤原氏」(北家)が、どうやって貴族トップになったかを学びます。 事前学修 2.0hr：平安初期から摂関期までの政治の流れについて調べておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み、興味をもった点やわからない箇所があれば調べる。
10回	**授業テーマ：古代の専門職～貴族社会をどう生きるか** 授業内容：平安時代中期までに、藤原氏北家本流が「公卿」の地位をほぼ独占していくなか、ほかの氏族や傍流はどうやって生き残っていったかを学習します。 事前学修 2.0hr：陰陽師や武士など、平安時代のさまざまな職業について調べておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み、興味をもった点やわからない箇所があれば調べる。
11回	**授業テーマ：日本古代の子ども～誕生から成人まで** 授業内容：現代日本で行う「誕生～成人までの通過儀礼」は、平安時代(９世紀)から記録されています。今回は平安貴族家庭の通過儀礼を学習しましょう。 事前学修 2.0hr：子どもの誕生や成長に関する儀礼について調べておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み、興味をもった点やわからない箇所があれば調べる。
12回	**授業テーマ：平安貴族女性の生活～教育と仕事** 授業内容：まず平安貴族家庭の男子と女子の教育の違いについて説明します。つぎに、貴族女性の仕事をテーマに、皇族・貴族に仕える侍女「女房」と、伊勢神宮の巫女「斎王」について習びましょう。 事前学修 2.0hr：紫式部や清少納言といった平安時代の女性について調べておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み、興味をもった点やわからない箇所があれば調べる。
13回	**授業テーマ：欧米から見た日本①日本事情の伝播** 授業内容：今回と次回は、これまで学んできた古代の「唐風化」と比較するため、中世～近代の「欧米化」について学習します。今回は中世～近世の日本事情を、欧米人がどのように記録・報告したかを学びましょう。 事前学修 2.0hr：宣教師の来日や、江戸時代の鎖国と出島について調べておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み、興味をもった点やわからない箇所があれば調べる。
14回	**授業テーマ：欧米から見た日本②文明開化と欧米化** 授業内容：１９世紀後半(江戸時代末期～明治時代初め)、訪日した欧米人が見た日本の風俗と、明治政府による風俗の欧米化政策を学びましょう。 事前学修 2.0hr：明治時代の文明開化について調べておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み、興味をもった点やわからない箇所があれば調べる。
15回	**授業テーマ：おわりに～海外に流出した日本文化財** 授業内容：１９世紀後半以降、日本の文化財が軽視・廃棄され、海外に流出した背景と、それを防ぐための文化財保護の法律や政策について学習します。 事前学修 2.0hr：文化財保護の法律や制度について調べておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み、興味をもった点やわからない箇所があれば調べる。

国際関係論

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

東　夢子（あずま　ゆめこ）

▌授業の概要

この授業の目的は多極化する世界に移行し、不確実性を増しつつある今日において、日本をめぐる国際関係を考え、日本の重要性を認識し、明日の国際関係を洞察する力を養うことにある。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：今まで日本にとって、一番重要な国際関係ー日米関係、日英関係、日露関係、日韓関係、日中関係、日本と東南アジアの関係などを顧みることによって、先人の英知を学び、危機の状況下における物事の見方、考え方を身に付けることができる。

個別目標：未来の国際社会で活躍する時に必要な先見性、合理性、国際関係に対する分析力を身に付けるということを目標とする。

▌履修条件

学習する意欲のある者。自己学習の習慣を有する者。特に自分で調べることがレポート作成の上で重要なので、自己学習能力が是非とも必要である。

▌評価基準・方法

①期末テストの代わりに、毎回(合わせて 15 回)のレポート 50 %、レポートに必要な予備知識のアンケート 10 %と授業への参加 40%等で総合的に評価する。また、原則として５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。

②レポートの提出が 12 回以上でなければ、不合格となる。

③毎回のレポートに字数の規定(毎回、3 問の課題があり、1 問は大体 300 文字～400 文字)があり、極端に字数が少ない場合、評価不能とされることがあるので、ご注意ください。

④レポートの提出と質問へのフィードバックは manaba を経由する。

▌フィードバック方法

授業中で説明します。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

岩下哲典著『近現代日本の国際関係』北樹出版 ISBN978-4-7793-0285-5 C3021

▌参考書

1、國史大辭典 /国史大辞典編集委員会編出版 東京：吉川弘文館 , 1979.3-1997.4

2、教科書の参考文献及び各授業中で流す DVD の内容に沿う学術論文と著作。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：江戸幕府の政治構造と授業スタイルについての説明。 事前学修 2.0hr：1820 年代から 1950 年までの日本をめぐる大事件について簡単に調べる。 事後学修 2.0hr：授業中で指示された歴史用語について調べる。
2回	**授業テーマ：日本とオランダの関係＝シーボルトと日本開国** 授業内容：シーボルトと日本開国 事前学修 2.0hr：シーボルトについて「國史大辭典」などで調べる。 事後学修 2.0hr：シーボルトの伝記を読む。
3回	**授業テーマ：日米関係(日米和親条約)** 授業内容：ペリー来航幕府が知っていた。 事前学修 2.0hr：ペリー来航前後の日本をめぐる世界情勢について調べる。 事後学修 2.0hr：老中阿部正弘について調べる。
4回	**授業テーマ：日米関係** 授業内容：(日米修好通商条約)＝通商か亡国か 。ハリスと幕府交渉の過程。 事前学修 2.0hr：ハリスについて調べる。 事後学修 2.0hr：安政の五か国条約について調べる。
5回	**授業テーマ：慶喜大政奉還ー松平春嶽の構想** 授業内容：立憲思想の日本に芽生える過程。 事前学修 2.0hr：松平春嶽と徳川慶喜について調べる。 事後学修 2.0hr：日本立憲制度導入の思想的な基盤と過程について調べる。
6回	**授業テーマ：外交立国いまだ死なず** 授業内容：函館政権と国際関係法 事前学修 2.0hr：榎本武揚について調べる。 事後学修 2.0hr：明治新政府と列強との関係について調べる。
7回	**授業テーマ：大久保利通暗殺の悲劇** 授業内容：廃藩置県と武士の反乱とその背景。 事前学修 2.0hr：大久保利通と明治新政府の課題について調べる。 事後学修 2.0hr：征韓論について調べる。
8回	**授業テーマ：銀行は人々のために 。** 授業内容：日本における銀行誕生の経緯 事前学修 2.0hr：渋沢栄一について調べる。 事後学修 2.0hr：日本の近代経済について調べる。また、前半 7 回分のレポートと 8 回分のコメントシートの提出を用意する
9回	**授業テーマ：日露関係と日英関係** 授業内容：日清戦争と日露戦争の背景 事前学修 2.0hr：日清戦争について調べる。 事後学修 2.0hr：当時の国際情勢と日韓関係について調べる。
10回	**授業テーマ：日中関係** 授業内容：満州事変及び日中戦争 事前学修 2.0hr：三国干渉について調べる。 事後学修 2.0hr：満州建国と日中戦争について調べる。

11回	**授業テーマ：日独関係** 授業内容：三国同盟の締結と当時の国際情勢 事前学修 2.0hr：松岡洋右と当時の国際情勢について調べる。 事後学修 2.0hr：当時の日独関係と日米関係について調べる。
12回	**授業テーマ：日米関係 ＝日米開戦を回避せよ** 授業内容：日米開戦前夜の国際情勢 事前学修 2.0hr：南進論について調べる。 事後学修 2.0hr：チャーチル及び蒋介石について調べる。
13回	**授業テーマ：日米関係＝ 現在日米関係の原点** 授業内容：マッカーサーと天皇との会見 事前学修 2.0hr：サンフランシスコ講和条約などについて調べる。 事後学修 2.0hr：戦後の占領政策とマッカーサーについて調べる。
14回	**授業テーマ：海上自衛隊はこうして生まれた。** 授業内容：海上自衛隊と戦前海軍 事前学修 2.0hr：日米安保条約の流れについて調べる。 事後学修 2.0hr：自衛隊の誕生と日本の軍事力について調べる。
15回	**授業テーマ：原爆の絵** 授業内容：原爆の投下について考える 事前学修 2.0hr：1 回目～14 回目のレポートを再確認する。 事後学修 2.0hr：戦争と原爆についての感想を書く。

国際貢献論

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

小川 正純（おがわ まさずみ）

▌授業の概要

国際貢献や国際協力について、日本が開発途上国を支援する政府開発援助 (ODA) や NGO、民間団体が行う支援、持続可能な開発目標 (SDGs) など様々な観点から考える。日本が支援する技術協力プロジェクトのケーススタディおよびワークショップを通して、技術協力プロジェクトの選定や計画策定の方法について学ぶ。本授業は、講義を基にグループワーク、プレゼンテーション(グループごと)を通じて、国際貢献や国際協力についての理解を向上させる。なお、この授業は「ボランティア講義」の内容と一部関連・重複する部分がある。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：開発途上国をはじめとする地球規模の問題と国際貢献の意義を理解し、国際貢献を実際に行うための知識・スキルを身につける。

個別目標：1．国際社会がどのような国際貢献や国際協力を行っているか説明できる。
2．開発途上国の様々な問題に最適な開発プロジェクトを選定し、計画を策定できる。
3．グループワーク、プレゼンテーション(グループごと)で他者と協力して課題に取り組み、自分の意見を説明できる。

▌履修条件

1. 開発途上国をはじめとする世界の国々がどのような問題を抱え、どのようにそれら問題を解決すべきかについて考えることに関心があること。
2. グループワーク、プレゼンテーションに積極的に参加できること。
3. 毎回簡潔な課題レポートを提出できること。

▌評価基準・方法

グループワーク、プレゼンテーションへの関与度合い 45 %、毎授業の課題レポート 45 %、授業内における参加姿勢及び発言等 10 %の結果及び到達目標の達成度に基づき総合的に評価する。
また、原則として５分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

授業時間内での総評及び manaba の個別指導(コレクション)などでフィードバックする。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク、グループディスカッション、プレゼンテーション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （毎回 PC を利用してグループディスカッションで発表するメモとレポートを作成するので、PC を持参してください。 第 12 回、13 回の授業ではグループワークのまとめ、プレゼンテーション資料を、PC を利用して作成し、第 14 回、15 回の授業では、PC を用いたプレゼンテーションを行います。）

▌教科書

使用しない。

▌参考書

特になし。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：イントロダクションと国際協力とは何かについて** 授業内容：講義の目的、授業、グループワーク、プレゼンテーションの進め方、到達目標、評価方法とともに、国際貢献とは何かについて解説する。授業テーマについてグループディスカッションを行い、グループごとに発表する。 事前学修 2.0hr：国際貢献や国際協力について関連情報を見ておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
2回	**授業テーマ：日本の国際協力** 授業内容：日本が国際機関や他国から受けた援助と日本が行っている政府開発援助 (ODA) について解説した後、授業テーマについてグループディスカッションを行い、グループごとに発表する。 事前学修 2.0hr：国際貢献や国際協力について関連情報を見ておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
3回	**授業テーマ：「地球にやさしい」とは？** 授業内容：開発途上国の問題についてクイズ形式のグループワークを行う。その後、授業テーマについてグループディスカッションを行い、グループごとに発表する。 事前学修 2.0hr：国際貢献や国際協力について関連情報を見ておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
4回	**授業テーマ：国連平和維持活動 (PKO) について** 授業内容：国連平和維持活動 (PKO) の内容、参加する意義は何か、PKO 参加に関する世論などについて解説した後、授業テーマについてグループディスカッションを行い、グループごとに発表する。 事前学修 2.0hr：PKO についての情報を調べておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
5回	**授業テーマ：持続可能な開発目標 (SDGs) について** 授業内容：持続可能な開発目標 (SDGs) の内容、特徴、目標、企業の SDGs の取り組み等について解説した後、授業テーマについてグループディスカッションを行い、グループごとに発表する。 事前学修 2.0hr：SDGs について関連情報を調べておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
6回	**授業テーマ：世界の状況を知る** 授業内容：グループワークにより、世界がどのように変化しているか理解する。また、国際社会の取り組みと成果を知り「持続可能」の意味を考える。その後、グループディスカッションの結果をグループごとに発表する。 事前学修 2.0hr：近年の国際会議と国際社会の取り組みについて関連情報を調べておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
7回	**授業テーマ：国際 NGO** 授業内容：日本及び海外の国際 NGO がどのような活動を行っているか、また NGO がどのように国際社会に貢献しているか解説した後、授業テーマについてグループディスカッションを行い、グループごとに発表する。 事前学修 2.0hr：NGO の関連情報を調べておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習、レポート作成。

8回	**授業テーマ：フェアトレードについて** 授業内容：フェアトレードとはどのようなものかと意義、認証ラベル、普及状況、今後のフェアトレードの方向性について解説した後、授業テーマについてグループディスカッションを行い、グループごとに発表する。 事前学修 2.0hr：フェアトレードについての関連情報を調べておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
9回	**授業テーマ：国際ボランティアについて** 授業内容：JICA 海外協力隊をはじめ海外で活動する国際ボランティアについて解説する。授業の中で、協力隊経験者の体験談を含む海外協力隊セミナーを実施する(予定)。 事前学修 2.0hr：関連情報を調べておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
10回	**授業テーマ：一村一品運動の世界への広がり** 授業内容：大分県発祥である一村一品運動に関する世界への広がりについて、キルギス一村一品プロジェクトについて解説した後、授業テーマについてグループディスカッションを行い、グループごとに発表する。 事前学修 2.0hr：キルギスと一村一品運動について関連情報を調べておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
11回	**授業テーマ：プロジェクトの選定と計画策定** 授業内容：グループワークにより、日本が協力する開発プロジェクトの種類や方法、計画策定の手法、評価する視点を養う。その後、授業テーマについてグループディスカッションを行い、グループごとに発表する。 事前学修 2.0hr：JICA や NGO が行う開発プロジェクトについて関連情報を見ておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
12回	**授業テーマ：グループワーク：プレゼンテーションの準備①** 授業内容：開発途上国で技術協力をする際の支援内容について学ぶ。グループワークにより支援内容と裨益効果を考え、第 14 回、15 回の授業で発表するプレゼンテーションの準備を行う。 事前学修 2.0hr：関連情報を調べておく。 事後学修 2.0hr：プレゼンテーション作成の準備。講義の復習。レポート作成。
13回	**授業テーマ：グループワーク：プレゼンテーションの作成②** 授業内容：グループワークによりプレゼンテーション資料を作成する。 事前学修 2.0hr：それぞれが自分の担当するプレゼンテーション資料の案を考えておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。プレゼンテーション資料の作成、発表の準備。
14回	**授業テーマ：プレゼンテーション①** 授業内容：プレゼンテーションは第 14 回と第 15 回の授業で分けて行う。プレゼンテーションを行い、全員で意見交換を行う。プレゼンテーション資料の発表は PC を利用し、パワーポイント、キャンバなどで行う。 事前学修 2.0hr：プレゼンテーション資料の作成、発表の準備。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
15回	**授業テーマ：プレゼンテーション②** 授業内容：第 14 回授業に続き、プレゼンテーションを行い、全員で意見交換を行う。プレゼンテーション資料の発表は PC を利用し、パワーポイント、キャンバなどで行う。 事前学修 2.0hr：プレゼンテーション資料の作成、発表の準備。 事後学修 2.0hr：授業全体のふりかえり。レポート作成。

民族と宗教

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

岩田　成就（いわた　しげなり）

▌授業の概要

「我々はどこから来たか？　我々は何者か？　我々はどこへ行くのか？」　このような問いに、現代の科学は必ずしも答えてはくれません。しかし、科学的知識をどう用い、この世界でどう生きていくかは、この問いにどう答えるかにかかっています。もし、この問いに答える営みを「宗教」ないしは「宗教性」と呼ぶなら、どのような「宗教」「宗教性」をもつかによって、現代の世界で私たちが出会うさまざまな取り組みは、大きな影響をうけるのではないでしょうか。科学技術の革新が飛躍的に進むこれからの社会で、生きる意味を問い、深みを持った生活を送るために、「宗教」について知り、「宗教性」への感受性を身につけていきたいと思います。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：自分の生まれ育った文化やその基盤となる宗教について意識し、自覚的にとらえなおすこと。以外の民族の文化や考え方を知り、人間の多様性を受け入れ、他者を受容するとともに、自分自身を理解すること。

個別目標：「宗教」についての偏見を取り除き、「宗教」がどんな人間にも関わりのある普遍的な営みであることを理解すること。世界の主要宗教（仏教、キリスト教、イスラム教など）や日本人の宗教性についての基本的な理解を持ち、信仰をもつ人の気持ちを理解できるようになること。今日の社会における宗教をめぐる様々な問題について理解し、自分の意見を述べることできるようになること。自分以外の民族の文化や考え方を知り、人間の多様性を受け入れ、他者を受容するとともに、人間の宗教性一般について理解し、自らの宗教性について自覚的になること。

▌履修条件

とくにありませんが、上記のような問いを考えたことがある人、宗教や宗教が関わる問題に関心がある人、世界の歴史や世界の現在の情勢に関心のある人に受講していただきたいと思います。

▌評価基準・方法

期授業への積極的な取り組み（リアペ、コメント、質問など）（40%）、および最終授業日に行う試験（60 %）により評価する。

▌フィードバック方法

授業内容へのコメント、質問などをリアクションペーパー、コメントとして提出してもらい次の授業で回答したり、必要に応じて簡単な課題を出したりする。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

授業で配布するプリントが教科書のかわりとなる。

▌参考書

授業で多くの文献を紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：世界の文明と宗教** 授業内容：オリエンテーション／宗教復興説／宗教衰退説／宗教変容説 事前学修 2.0hr：[宗教」という言葉で自分が何を思い浮かべているか考えておく。 事後学修 2.0hr：配布プリントをふりかえ
2回	**授業テーマ：日本人の宗教性** 授業内容：日本人は「無宗教」か／創唱宗教と自然宗教／神様と仏様（神仏習合） 事前学修 2.0hr：「初詣」に行ったことのある人は、それが「宗教」かどうかを考えておくといよい。行ったことのない人は、「墓参り」「お祭り」「クリスマス」などについてでもよい。 事後学修 2.0hr：配布プリントをふりかえる
3回	**授業テーマ：ヒンドゥー教** 授業内容：インド宗教史／ヒンドゥー教の神々／世界観と教え／生活規範／ショナリズム 事前学修 2.0hr：高校の世界史の教科書で、古代インドの歴史を復習しておく。 事後学修 2.0hr：配布プリントをふりかえる
4回	**授業テーマ：仏教①** 授業内容：釈迦の生涯と教え 事前学修 2.0hr：自分の苦しみの原因は何か？ 考えておく 事後学修 2.0hr：配布プリントをふりかえる
5回	**授業テーマ：仏教②** 授業内容：大乗仏教と密教 事前学修 2.0hr：「仏」と「菩薩」の違い、「成仏」と「往生」の違いについて調べておく。 事後学修 2.0hr：配布プリントをふりかえる
6回	**授業テーマ：仏教③** 授業内容：日本の仏教（国家仏教／鎌倉新仏教／江戸国家仏教） 事前学修 2.0hr：家の人に聞くなどして、自分の家の宗教が何かを調べ、自分がそれを受け継いでいくかどうかについて考えておく。 事後学修 2.0hr：配布プリントをふりかえる
7回	**授業テーマ：儒教と道教** 授業内容：中国人の死生観／儒教／道教／共産主義 事前学修 2.0hr：身の回りのもの、考え方、習慣などの中に、中国由来のものがないか考えておく。 事後学修 2.0hr：配布プリントをふりかえる
8回	**授業テーマ：神道** 授業内容：神道の原型／神話の原型／神道の教え／神仏習合／様々な神道 事前学修 2.0hr：近くにある神社にどんな神さが祀られており、どんな由来のある神社かを調べておく。 事後学修 2.0hr：配布プリントをふりかえる
9回	**授業テーマ：ユダヤ教** 授業内容：「ユダヤ人」の歴史／ユダヤ教の聖典（TNK）と「旧約聖書」／ユダヤ教の教え 事前学修 2.0hr：高校の世界史の教科書で古代オリエントや古代イスラエルの歴史について確認しておく 事後学修 2.0hr：配布プリントをふりかえる

10回	**授業テーマ：キリスト教①** 授業内容：イエスの教えとキリスト教信仰 事前学修 2.0hr：高校の歴史の教科書で古代ローマ帝国やキリスト教の発生などについて確認しておく。 事後学修 2.0hr：配布プリントをふりかえる
11回	**授業テーマ：キリスト教②** 授業内容：キリスト教の歴史(カトリック、オーソドックス、プロテスタント) 事前学修 2.0hr：高校の歴史の教科書で「宗教改革」について確認しておく 事後学修 2.0hr：配布プリントをふりかえっておく
12回	**授業テーマ：イスラム教①** 授業内容：ムハンマドの生涯／「イスラム世界」の展開／「イスラム世界」の現状 事前学修 2.0hr：高校の世界史の教科書で、イスラム世界のはじまりついて確認しておく 事後学修 2.0hr：配布プリントをふりかえっておく
13回	**授業テーマ：イスラム教②** 授業内容：イスラムの教えと規範 事前学修 2.0hr：ムスリム(イスラム教徒)の人たちの生活や習慣について調べておく。 事後学修 2.0hr：配布プリントをふりかえっておく
14回	**授業テーマ：宗教過激主義と現代社会** 授業内容：「オウム真理教」と「イスラム過激主義」 事前学修 2.0hr：「地下鉄サリン事件」(1995 年)や「9.11 同時多発テロ事件」について調べておく。 事後学修 2.0hr：配布プリントをふりかえっておく
15回	**授業テーマ：試験** 授業内容：授業内容への把握を問う試験を行う。 事前学修 2.0hr：プリントやノートを読み返し、授業内容を振り返っておく 事後学修 2.0hr：授業全体をふりかえる

異文化コミュニケーション論

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

岡田　麻唯（おかだ　まい）

▌授業の概要

異文化コミュニケーションの概念や理論を学び、理解する。それらを用いて、日常の出来事から異文化コミュニケーションについて考え、異なる文化背景の人々と、より良いコミュニケーションをするにはどうしたらよいかを考える。本クラスでは、講義だけでなく、個人ワーク、ペアワーク、グループワークを通して、学びを深めていくため、積極的な参加が求められる。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：異文化コミュニケーションの基礎概念を理解する
個別目標：①自己の価値観や考え方、コミュニケーションの取り方を理解し、異なる他者の世界を理解することができる
②社会的課題や身近な人間関係を振り返り、異文化コミュニケーションの理論を用いて分析できる

▌履修条件

①授業は毎回受講し、授業の終わりに振り返りシートを提出すること。
②授業中のペアワーク、グループワーク等に積極的に参加すること。

▌評価基準・方法

授業後の振り返りシート（40 %）、中間課題（30 %）、グループプロジェクト課題・プロジェクトの振り返りレポート（30 %）、
※なお、５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

manaba、または授業を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （回によってペアワークおよびグループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （発表準備に利用。毎回の振り返りシートは、Google form 使用のため、PC もしくは携帯から記入、提出すること。）

▌教科書

特定の教科書はありません。必要資料は授業で配布します。

▌参考書

授業内で紹介します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：シラバスの内容について説明する。学生同士の自己紹介と異文化コミュニケーションのケーススタディについて話し合う。 事前学修 2.0hr：講義概要を読み、授業全体の流れを確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
2回	**授業テーマ：コミュニケーションとは何か** 授業内容：コミュニケーションの定義と特徴について学ぶ。異文化コミュニケーションとは何か知識を深める。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
3回	**授業テーマ：文化とは何か** 授業内容：文化の定義と特徴について学び、日本文化の特徴について考える。文化とコミュニケーションの関係について知識を深める。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
4回	**授業テーマ：自己とアイデンティティ** 授業内容：自己の価値観や物の見方に影響を受けた文化について、ペアワークで振り返る。社会的アイデンティティとは何かを学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
5回	**授業テーマ：非言語コミュニケーション①** 授業内容：非言語コミュニケーションとは何か。表情、アイコンタクト、ジェスチャー、空間と対人距離、時間の感覚など、文化によって捉え方にどのような違いがあるのかを学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
6回	**授業テーマ：非言語コミュニケーション②** 授業内容：表情、アイコンタクト、ジェスチャー、空間と対人距離、時間の感覚など、文化によって捉え方にどのような違いがあるのかを学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
7回	**授業テーマ：コミュニケーション・スタイル①　コンテクスト、中間課題** 授業内容：ハイコンテクスト文化とローコンテクスト文化について知識を深め、コンテクストとコミュニケーションの関係性を理解する。中間課題を提出する。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
8回	**授業テーマ：コミュニケーション・スタイル②　３つのスタイル** 授業内容：アグレッシブ・パッシブ・アサーティブのコミュニケーション・スタイルの事例を学び、自己のコミュニケーション・スタイルの傾向を分析する。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
9回	**授業テーマ：カルチャーショックと異文化適応** 授業内容：カルチャーショックとは何か、その特徴と対処法について知識を深める。異文化適応プロセスについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
10回	**授業テーマ：異文化センシティビティモデル①** 授業内容：異文化センシティビティモデルについて学ぶ。自文化優越主義ステージの特徴について知識を深め、ケーススタディを用いてグループで話し合いを行う。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する

11回	**授業テーマ：異文化センシティビティモデル②** 授業内容：異文化センシティビティモデルの文化相対主義ステージの特徴について知識を深め、ケーススタディを用いてグループで話し合いを行う。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
12回	**授業テーマ：グループプロジェクトの準備①** 授業内容：グループに分かれて、プロジェクトの話しあいと資料作成の準備を行う。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
13回	**授業テーマ：グループプロジェクトの準備②** 授業内容：異文化コミュニケーション場面で誤解が起きた事例を紹介し、これまで学んだ異文化コミュニケーションの理論を使って分析したことを、パワーポイントを用いてまとめる。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
14回	**授業テーマ：グループプロジェクトの準備③、プロジェクト提出** 授業内容：異文化コミュニケーション場面で誤解が起きた事例を紹介し、これまで学んだ異文化コミュニケーションの理論を使って分析したことを、パワーポイントを用いてまとめて、授業内に提出する。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
15回	**授業テーマ：グループプロジェクトの振り返りレポート提出、異文化コミュニケーション・スキル(まとめ)** 授業内容：グループプロジェクトの自己評価と他者評価のレポート提出を行う。これまでの学びから、異文化コミュニケーションに必要な能力とは何か、また日常の人間関係において、それをどのように活かせるのかについて考える。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する

日本語と日本文化 A

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：留学生選択科目

川勝　麻里（かわかつ　まり）

▌授業の概要

宮崎駿（ジブリ）のアニメーションは、日本の文学と日本文化の背景を学べる宝庫です。アニメーションに引用されている「ダイダラボッチ」「笠地蔵」「猿蟹合戦」などの神話伝説や昔話を、リスニングとリーディングの力を育てることも意識しながら、学んでいきます。また、昔話や神話を読み解くことが、明治時代の日本になぜ民俗学として必要とされたのか、その後の高度経済成長期には、民俗学はどのように消費されていくのか。古来の画像をもとに水木しげるが作り出した妖怪のビジュアルや、神々が零落したものが妖怪だとする柳田國男の理解を通して、日本文化のありようも学びます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：柳田國男という日本を代表する民俗学者の仕事を、ひとつの日本文化の生成のあり方として捉え、世界各国との交流が日本の伝統文化の再発見につながったことを知る。

個別目標：妖怪とは何か、幽霊との違いを、日本文化のありようとして説明できるようになる。
また、日本の文学・文化を学びつつ、日本の古典や昔話・神話を読むことができるようになる。

▌履修条件

※当該言語（日本語）を母語とする学生は、履修できません。
同じ高度経済成長期の日本の文化を扱うので、「日本語と日本文化B（留）」とセットで受講することが望ましい。

▌評価基準・方法

授業内リアクションペーパー 40%と、期末テスト 60%で総合的に評価する。5 分の 4 以上の出席を評価の前提とする。
課題等のフィードバックは、教室内での質疑応答の形で行う。

▌フィードバック方法

manaba を使った課題の実施をおこない、その場で講評をおこなう。また、リアクションペーパーに対してのコメントや回答を授業内でフィードバックする。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （パソコンはあれば便利だが、スマートフォンがあればよい。）

▌教科書

毎回、プリントを配布する。

▌参考書

授業内で指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：はじめに（作業のためのガイダンス）** 授業内容：授業のガイダンス。 事前学修 1.0hr：シラバスをよく読み、授業目的を理解して参加。 事後学修 3.0hr：授業内で示したキーワードをもとに半期の学習計画を立てる。
2回	**授業テーマ：高度経済成長期の妖怪** 授業内容：日本の高度経済成長期の文化を学ぶ、というのがこの授業の目的なので、高度経済成長とは何かの説明、そして、そこに妖怪がどうかかわるのかを学ぶ。 事前学修 1.0hr：プリントを読んでくる。 事後学修 3.0hr：授業をふまえて、プリントをもう一度読み直す。
3回	**授業テーマ：水木しげると日本の妖怪** 授業内容：日本の妖怪研究の第一人者であり、妖怪というものに、私たちがよくしっているビジュアルを与えたのが、水木しげるなので、DVD をもとに、日本にはどういう妖怪がいるのか学ぶ。自分の国にいる妖怪とくらべながら、学んでもらう。 事前学修 1.0hr：自国の妖怪についてピックアップしてくる。 事後学修 3.0hr：プリントで妖怪のなりたちと時代背景を復習する。
4回	**授業テーマ：『となりのトトロ』と昔話(1)日本の高度経済成長で消えていく妖怪たち** 授業内容：日本の高度経済成長が、このアニメーションにどう反映しているのかを考えながら、高度経済成長で消えかかっている妖怪が、このアニメーションにでてくる意味について考える。 事前学修 1.0hr：妖怪とは何かを考えてくる。 事後学修 3.0hr：妖怪の民俗学的定義を踏まえて、トトロやマックロクロスケを理解する。
5回	**授業テーマ：『となりのトトロ』と昔話(2)柳田國男の『妖怪談義』** 授業内容：柳田國男による妖怪の学術的定義と、アニメーションに描かれている妖怪を比べてみる。柳田が定義したことを、しっかり守って、アニメーションが作られていることがわかる。「妖怪」と「幽霊」の違いは何かについても考える。 事前学修 1.0hr：プリントを読んでくる。 事後学修 3.0hr：「妖怪」と「幽霊」の違いを理解し、柳田民俗学が映画にどう反映されているかまとめる。
6回	**授業テーマ：『となりのトトロ』と昔話(3)「笠地蔵」「猿蟹合戦」と、中尾佐助の照葉樹林文化論** 授業内容：『となりのトトロ』には「笠地蔵」「猿蟹合戦」の２つの昔話が引用されています。私自身の研究ももとにしながら、昔話をまず読んで学び、そのうえで、アニメーションにそれらがどう生かされているのかを考える。 事前学修 1.0hr：自国の昔話を思い出してくる。 事後学修 3.0hr：アジア文化（照葉樹林文化）の中で昔話の話型を理解する。
7回	**授業テーマ：柳田國男と民俗学、授業の中間まとめ** 授業内容：中間まとめ。manaba による理解テスト (練習問題) なども取り入れる。※テスト実施回は授業進度の都合で、ずれることがある。 事前学修 2.0hr：これまでの授業を復習してくる。 事後学修 2.0hr：文明開化と民俗学の発展について、また、同じ話でも語り手によって異なる「語りの自由領域」について、理解する。
8回	**授業テーマ：『もののけ姫』と昔話・神話伝説(1)『古事記』** 授業内容：『もののけ姫』のなかに出てくる大和王権と蝦夷の関係について、『古事記』の漫画と現代語訳をプリントで読みながら、学ぶ。 事前学修 2.0hr：プリントで『古事記』の現代語訳を読んでくる。 事後学修 2.0hr：日本の昔話や神話のルーツを理解する。
9回	**授業テーマ：『もののけ姫』と昔話・神話伝説(2)「花咲爺さん」** 授業内容：『もののけ姫』のなかで引用されている昔話「花咲爺さん」を読む。 事前学修 2.0hr：必要があれば各国語の『もののけ姫』を予習してくる。 事後学修 2.0hr：「花咲爺さん」の話が製鉄民の民話であることを理解する。

10回	**授業テーマ：『もののけ姫』と昔話・神話伝説(3)ダイダラボッチ** 授業内容：『もののけ姫』のなかで引用されている「ダイダラボッチ」の伝説について、プリントを読み、日本の土地のなりたちと、ダイダラボッチの関係、製鉄をおこなっている土地 (タタラ場) とダイダラボッチの関係について、考える。 事前学修 1.0hr：巨人伝説について調べてくる。 事後学修 3.0hr：日本各地でダイダラボッチの語られ方が違うことを理解する。
11回	**授業テーマ：『もののけ姫』と昔話・神話伝説(4)リスニングとまとめ** 授業内容：『もののけ姫』を民俗学から読み解くまとめ。※リスニングの実施回は授業進度やコロナの感染状況によって変更することがある。 事前学修 1.0hr：リスニングの予習。 事後学修 3.0hr：リスニングの復習。
12回	**授業テーマ：『千と千尋の神隠し』(1)バブル崩壊** 授業内容：バブル崩壊について、アニメーションを通して学ぶ。 事前学修 2.0hr：必要があれば各国語の『千と千尋の神隠し』を予習してくる。 事後学修 2.0hr：物語の背景となるバブル崩壊について理解する。
13回	**授業テーマ：『千と千尋の神隠し』(2)神々の零落と、日本の神話** 授業内容：テーマパーク建設のために埋め立てられたり、信仰されなくなったことで力を失った神々が、アニメーションにどのように描かれているのか読み解くとともに、日本の神話がどのように反映されているのかも読み解く。また、「妖怪」とは何なのかについて考える。 事前学修 2.0hr：プリントを読んでくる。 事後学修 2.0hr：神が零落して妖怪になっていくこと、日本神話の反映などを理解する。
14回	**授業テーマ：『千と千尋の神隠し』(3)リスニングとまとめ** 授業内容：リスニングとまとめ。※リスニングの実施回は授業進度やコロナの感染状況によって変更することがある。 事前学修 2.0hr：リスニングの予習。 事後学修 2.0hr：リスニングの復習。プリントを整理しておく。
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：まとめ。 事前学修 3.0hr：試験に備えた学習。 事後学修 1.0hr：試験問題の不明点の復習。

日本語と日本文化Ｂ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 ｜ 備考：留学生選択科目

川勝　麻里（かわかつ　まり）

▌授業の概要

前期の「日本語と日本文化Ａ」で、高度経済成長期の日本文化を学んだことを生かし、後期は、映画を通して、高度経済成長期の文化を学ぶ。推理小説『点と線』、直木賞受賞作『江分利満氏の優雅な生活』、ＳＦ小説『日本沈没』を通して、〈日本人〉がどのような国民として描かれてきたかにも注目していく。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：映像も参考にしながら、高度経済成長期の文学や、高度経済成長期に新しく作り出された言葉について学ぶ。それとともに、終戦からオイルショックまでの日本の歴史や文化を知ることができる。

個別目標：日本を研究したり、日本を訪れたりした外国人が見た「日本人らしさ」とは何なのかを考えることができる。

▌履修条件

※当該言語（日本語）を母語とする学生は、履修できません。

「日本語と日本文化Ａ（留）」とセットで受講することが望ましいが、Ａを受講していなくても問題ない。

▌評価基準・方法

授業内の作業 40%とテスト 60%で総合的に評価する。授業内の作業のなかには、リアクションペーパーも含まれる。

5 分の 4 以上の出席を評価の前提とする。

課題等のフィードバックは、教室内での質疑応答の形で行う。

▌フィードバック方法

manaba を使った課題の実施をおこない、その場で講評をおこなう。また、リアクションペーパーに対してのコメントや回答を授業内でフィードバックする。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （パソコンはあれば便利だが、スマートフォンがあれば問題ない。）

▌教科書

毎回、プリントを配布する。

▌参考書

授業内で適宜、指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：はじめに** 授業内容：ガイダンス。 事前学修 1.0hr：シラバスをよく読み、授業目的を理解して参加。 事後学修 3.0hr：授業内で示したキーワードをもとに半期の授業計画を立てる。
2回	**授業テーマ：松本清張と芥川賞―『点と線』がブームを呼び起こすまでの軌跡** 授業内容：松本清張についての概説と、高度経済成長期より少し前の日本の文化が、『点と線』にどのようにかかわるのかを説明。 事前学修 1.0hr：新聞のドラマ欄で松本清張を探してみる。 事後学修 3.0hr：プリントで復習。
3回	**授業テーマ：1950 年代(1)松本清張『点と線』(昭和 32 年)―映画と単語ノート** 授業内容：分からない言葉を調べながら一緒にミステリー小説を読む。授業内で答え合わせする。小説に対応する場面の映画を見て、さらに理解を深める。 事前学修 2.0hr：プリントで小説を読み、分からない単語をピックアップしてくる。 事後学修 2.0hr：単語ノートの復習。
4回	**授業テーマ：1950 年代(2)『点と線』―映画とクイズ** 授業内容：犯人を推理しながら、manaba の機能を使いながら理解度クイズをおこなう。※クイズの実施回は進度などによって変更することがある。 事前学修 2.0hr：プリントを読み、犯人は誰か推理してくる。 事後学修 2.0hr：東京駅「４分間の空白」のトリックを復習。
5回	**授業テーマ：1950 年代(3)『点と線』―まとめ** 授業内容：『点と線』では、犯人がなぜ犯罪を犯したのかという心理的な動機が描かれる。その動機を理解するとともに、そうした動機を描こうとすることじたいが、当時のミステリーでは新しく、松本清張によって新しい文学が作られたことを文学史的に理解できるようにする。 事前学修 2.0hr：プリントを読み、犯人がなぜ犯罪をおかしたのか、動機を考えてくる。 事後学修 2.0hr：文学史のなかの清張の役割を復習。
6回	**授業テーマ：団地とマイホームの時代(附：ニュース映像ＤＶＤ)** 授業内容：ニュース映像 DVD を見ながら、高度経済成長期の日本文化を理解できるようにする。サラリーマン人口が増えて専業主婦が誕生すること、光化学スモッグなどの公害が車社会の到来によって始まり、核家族が多数となり、団地が郊外につくられ、海外旅行が自由化され、パンダブームが到来し、万博開催に合わせて新幹線が開通し、電化製品をそろえてマイホームを作ることが理想とされ、特に庭つきの住宅が憧れとなるといった時代背景を理解できるようにする。 事前学修 2.0hr：６０～７０年代日本で普及した電化製品を調べてくる。 事後学修 2.0hr：高度経済成長の復習(サラリーマンと専業主婦誕生、公害、団地、核家族、交通戦争等)。
7回	**授業テーマ：山口瞳と直木賞―『江分利満氏の優雅な生活』が出来るまで** 授業内容：『江分利満氏の優雅な生活』の概説。エブリマン(everyman)という名前であり、平均的でどこにでもいるような日本人として描かれた主人公を通して、高度経済成長期の日本人の生活を学ぶ。電化製品の普及、サントリーという会社が海外旅行自由化に合わせて広告で発信していた情報や、文化的に果たした意義なども考える。 事前学修 2.0hr：直木賞について調べてくる。 事後学修 2.0hr：主人公(東西電機社員)と山口瞳の実際(サントリー社員)の違いを理解する。
8回	**授業テーマ：1960 年代(1)山口瞳『江分利満氏の優雅な生活』(昭和 37 年)―映画と単語ノート** 授業内容：映画「江分利満氏の優雅な生活」を見て理解を深めながら、サラリーマンと主婦、社宅、核家族として構成された小説のなかの家族像を、読み解いていく。 事前学修 2.0hr：プリントで小説を読んで、分からない単語をピックアップしてくる。 事後学修 2.0hr：サラリーマン＋主婦、社宅、核家族等の同時代的要素を理解する。

9回	**授業テーマ：1960 年代(2)『江分利満氏の優雅な生活』―映画とクイズ** 授業内容：プリントを読み映画で内容を確認。manaba の機能を利用して理解度クイズをおこなう。※クイズの実施回は進度などによって変更することがある。 事前学修 2.0hr：プリントで小説を読んでくる。 事後学修 2.0hr：公害、交通戦争、団地生活の弊害がどのように描かれているか理解する。
10回	**授業テーマ：1960 年代(3)『江分利満氏の優雅な生活』―『菊と刀』の日本人論** 授業内容：アメリカ人による日本人理解として全世界で有名になった『菊と刀』を読みながら、日本人の平均的サラリーマンであり、なおかつ日本人論の典型的特徴をそなえた人物として江分利が描かれていることを理解する。キリスト教世界では人間の弱さを示す飲酒が日本では人間らしさとして許容されており、勤勉に生きる日本人の努力は、個人ではなく村や社会や国家のためのものであって、期待される人間であろうとするのが日本人だとするなど、『菊と刀』は鵜呑みに出来ない部分もあるが、小説にはそうした日本人論のステレオタイプがそっくり反映されていると思われるので、それを読み解いていくことで、当時の日本人の理想的な生活や憧れが何だったのかを考える。 事前学修 2.0hr：プリントで小説を読んでくる。 事後学修 2.0hr：江分利満(everyman)が日本人の典型として描かれていることを日本人論から理解する。
11回	**授業テーマ：オイルショックと『日本沈没』** 授業内容：オイルショックについての説明をしたあと、オイルショックと『日本沈没』をめぐる世紀末ブームとの関係を考える。 事前学修 2.0hr：オイルショックについて調べてくる。 事後学修 2.0hr：オイルショックと『日本沈没』ブームの関係を理解し、７０年代日本をキーワードで記憶する。
12回	**授業テーマ：1970 年代(1)小松左京『日本沈没』―小松左京の紹介** 授業内容：高度経済成長期になぜこの小説が書かれたのか、万国博覧会のテーマ企画との関係や、田中角栄の『日本列島改造論』との関係について説明する。 事前学修 2.0hr：プリントで小説を読んで、分からない単語をピックアップしてくる。 事後学修 2.0hr：小松左京の仕事の総体を理解する。単語ノートを復習。
13回	**授業テーマ：1970 年代(2)小松左京『日本沈没』―映画と原作** 授業内容：小説公開当時に作られた特撮映画「日本沈没」を DVD で補助として見ながら、『日本沈没』を読む。国土を失った日本人が、外交上、文化上、どのように生きていけるのか、地球人として生きていくために何が必要かを小説から考えるとともに、そうしたテーマが、東京オリンピックや万国博覧会で世界に活躍し始めた日本人の世界的地位に関係があることを読み解いていく。また、国土開発と自然破壊のテーマについても考察する。 事前学修 2.0hr：プリントで小説を読んでくる。 事後学修 2.0hr：『日本列島改造論』(国土開発)、万博の未来学、などのキーワードを理解して復習する。
14回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：50 年代、60 年代、70 年代、と 10 年ごとに授業を進めてきた。そのまとめと試験対策。 事前学修 2.0hr：これまでの授業をキーワードでまとめる復習作業をする。 事後学修 2.0hr：高度経済成長の様子が、授業で取り上げた小説にどのように描かれていたかをまとめておく。
15回	**授業テーマ：テストと振り返り** 授業内容：テストと振り返り。 事前学修 3.0hr：テストに備えた学習。 事後学修 1.0hr：テストの不明点の復習。

フランス語とフランス文化 A

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

馬越　洋平（うまこし　ようへい）

▌授業の概要

フランス語やフランス文化を学ぶ授業になります。フランス語については、発音や文法などの基礎的な学習から始めてゆきます。フランス語入門者のための授業です。グループワーク(アクティブラーニング)として、教科書を用いながら学生同士でフランス語の会話の練習なども実施します。この授業を受けることで、フランスを旅行するのに十分な語学力を身に着けることができるでしょう。また、いくつかのテーマに分けてフランス文化の講義も行います。フランス文化を様々なテーマから取り上げる予定です。半期で一区切りとなります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：・発音、文法などの初歩的なフランス語を身につけて、平易な表現を使えるようにする。
　　・文化、歴史、生活などの面から、フランスという国の特色を理解する。異文化への理解を育む。
個別目標：・フランス語の仕組みを理解し、あいさつ、自己紹介、注文など、簡単な日常会話ができる。
　　・フランスという国の特徴を、文化、歴史、生活などの面から理解し、説明できる。

▌履修条件

フランス語を母語とする学生、及びそれと同等の語学力(フランス語)を有する学生は履修できません。

▌評価基準・方法

試験(６０%)、授業の参加度(２０%)、課題提出(２０%)。これらを総合的に判断して成績が決まります。原則として５分の４以上の出席を前提条件とします。

▌フィードバック方法

授業や manaba を通して伝える。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

カフェ・フランセ<新装版>、ニコラ・ガイヤール (著), 加藤豊子 (著), 中川高行 (著), フロランス・容子・シュードル (著), 柳嶋周 (著)、朝日出版社、(初版２０１６年)

▌参考書

必須ではないが、フランス語の辞書を手に入れていることが望ましい。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、アルファベ** 授業内容：授業のガイダンスから始める。フランス語のアルファベの読み方を確認する。フランスの地理や、日本語のなかに溶け込んだフランス語を取り上げる。 事前学修 2.0hr：フランスについてイメージしておく 事後学修 2.0hr：フランス語のアルファベの復習
2回	**授業テーマ：母音の発音、子音の発音、リエゾン、アンシェヌマン** 授業内容：フランス語の発音の勉強をする。母音、子音をフランス語の単語を例に確認する。リエゾンやアンシェヌマンと言った発音上の現象を学ぶ。 事前学修 2.0hr：フランス語のアルファベの復習 事後学修 2.0hr：「これは何ですか？」などの確認した表現の復習
3回	**授業テーマ：発音のまとめ、「フランスのカフェ文化」** 授業内容：前回の授業で学んだ発音の規則を復習する。「フランスのカフェ文化」の講義を行う。フランス文化がカフェという場所を中心に育まれていった経緯を学ぶ。 事前学修 2.0hr：発音の復習 事後学修 2.0hr：確認した会話の練習
4回	**授業テーマ：第１課　自己紹介と挨拶、主語人称代名詞と動詞「です」** 授業内容：自己紹介と挨拶の表現を学ぶ。そのために主語人称代名詞や動詞「～です」などの文法の確認から始める。具体的に会話文で練習する。 事前学修 2.0hr：発音の復習 事後学修 2.0hr：確認した会話の練習、確認した表現を覚える
5回	**授業テーマ：第１課　国籍、数字、「フランスの年中行事」** 授業内容：引き続き、自己紹介と挨拶の表現を学ぶ。国籍や数字もフランス語で言えるようにする。「フランスの年中行事」を知ることで、フランス人の一年の営みを学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の会話の復習 事後学修 2.0hr：主語人称代名詞、動詞「です」の復習
6回	**授業テーマ：第２課　はいといいえ、職業・身分の表現、住んでいる場所を言う** 授業内容：フランス語で職業や身分を言えるようにする。はいといいえを用いた応答を学ぶ。「住む」という動詞を確認する。 事前学修 2.0hr：主語人称代名詞、動詞「です」の復習 事後学修 2.0hr：確認した会話の練習、動詞「住む」の復習
7回	**授業テーマ：第２課　er 動詞、「フランスの美術」** 授業内容：er 動詞の活用を確認する。前回の授業で学んだ表現を用いて、学生同士で会話の練習をする。「フランスの美術」を、映像で主要美術館をめぐりながら学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の会話の復習 事後学修 2.0hr：er 動詞の活用を覚える
8回	**授業テーマ：第３課　否定文、不定冠詞、注文する** 授業内容：名詞の性と数、否定文、不定冠詞などの文法の確認から始める。フランスのカフェで注文するのに必要な表現を学ぶ。学生同士で会話の練習をする。 事前学修 2.0hr：er 動詞の活用の復習 事後学修 2.0hr：確認した会話の練習、否定文、不定冠詞の復習
9回	**授業テーマ：第３課　注文する、「フランスの小説」** 授業内容：注文の表現の練習を引き続き行う。「フランスの小説」の主要作品を紹介する。 事前学修 2.0hr：前回の会話の復習 事後学修 2.0hr：確認した会話の練習

10回	**授業テーマ：第４課　動詞「持っている」、否定の de、疑問文** 授業内容：動詞「持っている」の活用を確認する。否定の de を学ぶ。フランス語の疑問文を学ぶ。身の回り品に冠詞をつけてみる。 事前学修 2.0hr：前回の会話の復習 事後学修 2.0hr：確認した会話の練習、動詞「持っている」の活用を覚える
11回	**授業テーマ：第４課　年齢やメールアドレスを聞く、「フランス映画」** 授業内容：例文を参考に、年齢やメールアドレスを聞けるようにする。フランス映画史をたどりながら、重要な「フランス映画」を紹介する。 事前学修 2.0hr：動詞「持っている」の活用復習 事後学修 2.0hr：確認した会話の練習
12回	**授業テーマ：第５課　所有形容詞、疑問詞、形容詞の性と数、人物を描写する** 授業内容：「私の」「君の」などの所有形容詞を覚える。「誰」、「どこ」などの疑問詞を学ぶ。形容詞を用いて人物を描写してみる。 事前学修 2.0hr：前回の会話の復習 事後学修 2.0hr：所有形容詞、形容詞の性と数、疑問詞の復習
13回	**授業テーマ：第５課　人物を描写する、国名、「シャンソンを聴くⅠ」** 授業内容：前回の授業で学んだ文法を思い出しながら、人物を問い、人物を描写する練習をする。「シャンソン」の名曲を、フランス語で歌詞を読みながら聴く。 事前学修 2.0hr：前回の文法の復習 事後学修 2.0hr：確認した会話の練習
14回	**授業テーマ：前期のフランス語の復習** 授業内容：フランス語の練習問題を解いて、前期に習ったフランス語の復習を行う。授業時間内に答え合わせと解説を行う。 事前学修 2.0hr：前回の会話の復習 事後学修 2.0hr：確認した問題の復習
15回	**授業テーマ：「シャンソンを聴くⅡ」、まとめ** 授業内容：フランス語の歌詞を読みながら、シャンソンの名曲を聴く。前期の授業のまとめを行う。 事前学修 2.0hr：前回確認した問題の復習 事後学修 2.0hr：全体の復習

フランス語とフランス文化 A

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

西村　美穂（にしむら　みほ）

▌授業の概要

テクストの題名『 En tandem ！』は、ふたりで一緒に！ という意味です。フランス語会話、シャンソン(歌)、ポエム(詩)、映画などを鑑賞しながら、フランス語の音をたくさん聞き、みんなで一緒に、フランス語の音やフレーズを何度も何度も声に出し、友達と協力しながら、使えるフランス語を身につけていきましょう。まずは、Alphabet（アルファベ)から。

フランス語と英語の似ているところと違うところを考えながら、フランスの文化、そしてフランス語圏の文化についても理解を深めていきましょう。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：フランス語圏の人に、フランス語で簡単な自己紹介ができるようにする。

個別目標：①フランス語の母音を理解し、フランス語圏の人に理解してもらえる発音を目指す。
②綴り字の規則を覚え、フランス語が読めるようにする。
③友達と協力しながら、使えるフランス語を覚える。
④フランスやフランス語圏の文化に触れてみる。

▌履修条件

フランス語を母語とする学生は履修不可。

▌評価基準・方法

評価基準・方法：平常点(小テスト課題等) 40 %、評価テスト 60 %

評価テスト：最終回 15 回目に行う。詳しくは授業中に指示する。

▌フィードバック方法

授業内、または学修支援システム manaba を使用。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

Takenori Yogo ” En tandem! ”, Hakusuisya,2022.

▌参考書

教室にて指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Salut! Ça va?** 授業内容：①ガイダンス　②フランス語の簡単な挨拶　③アルファベ　 La chanson de l’Alphabet 事前学修 2.0hr：フランス、フランス語圏について知っていることを、書き留めてくる。 事後学修 2.0hr：課題に取り組み、Manaba に提出
2回	**授業テーマ：発音記号の読み方＆綴り字の読み方** 授業内容：①フランス語母音字の発音記号の読み方＆綴り字の読み方　②発音記号を見ながら正しい発音で、Alphabet　を発音する 事前学修 2.0hr：パリについて知ってることを、書き留めてくる。 事後学修 2.0hr：課題に取り組み、Manaba に提出
3回	**授業テーマ：Bonjour. Un café, s’il vous plaît. ①　カフェで注文してみよう！** 授業内容：①挨拶　②名詞の性と数　③不定冠詞　④提示表現 事前学修 2.0hr：パリの成り立ちについて調べる。 事後学修 2.0hr：課題に取り組み、Manaba に提出
4回	**授業テーマ：Bonjour. Un café, s’il vous plaît. ②　 En tandem ！** 授業内容：①聞き取り　②数字 事前学修 2.0hr：フランス人とは何か考えてくる。 事後学修 2.0hr：課題に取り組み、Manaba に提出
5回	**授業テーマ：Je suis étudiant. ①　自分のことについて話してみよう！** 授業内容：①動詞être, avoir　②国名、国籍、言語 事前学修 2.0hr：テクスト予習 事後学修 2.0hr：課題に取り組み、Manaba に提出
6回	**授業テーマ：Je suis étudiant. ②　 En tandem ！** 授業内容：①否定文　②疑問文 事前学修 2.0hr：テクスト予習 事後学修 2.0hr：課題に取り組み、Manaba に提出
7回	**授業テーマ：Mon grand frère habite à Paris. ①　家族のことを話そう！** 授業内容：①-er 動詞　habiter, porter　②形容詞 事前学修 2.0hr：テクスト予習 事後学修 2.0hr：課題に取り組み、Manaba に提出
8回	**授業テーマ：Mon grand frère habite à Paris. ②　 En tandem ！** 授業内容：①所有形容詞　②場所の表現 事前学修 2.0hr：テクスト予習 事後学修 2.0hr：課題に取り組み、Manaba に提出
9回	**授業テーマ：J’aime beaucoup le cinéma. ①　趣味や好きなことについてやりとりしよう！** 授業内容：①-er regarder manger　②定冠詞 事前学修 2.0hr：テクスト予習 事後学修 2.0hr：課題に取り組み、Manaba に提出
10回	**授業テーマ：J’aime beaucoup le cinéma. ②　 En tandem ！** 授業内容：①どうして？ 尋ねる、答える表現　②好き嫌い表現 事前学修 2.0hr：テクストの予習 事後学修 2.0hr：課題に取り組み、Manaba に提出

11回	**授業テーマ：Vous avez votre carte d'étudiant? ①　年齢や持ち物についていってみよう！** 授業内容：①体調を伝える表現　②年齢を伝える表現 事前学修 2.0hr：テクスト予習 事後学修 2.0hr：課題に取り組み、Manaba に提出
12回	**授業テーマ：Vous avez votre carte d'étudiant? ②　En tandem ！** 授業内容：①数字　②疑問形容詞 事前学修 2.0hr：テクストの予習 事後学修 2.0hr：課題に取り組み、Manaba に提出
13回	**授業テーマ：Je vais au musée du Louvre à vélo. ①　交通手段や行き先を伝えよう** 授業内容：① aller, venir, prendre　②位置を示す表現　③疑問代名詞 事前学修 2.0hr：テクストの予習 事後学修 2.0hr：課題に取り組み、Manaba に提出
14回	**授業テーマ：Je vais au musée du Louvre à vélo. ②　En tandem ！** 授業内容：①非人称構文 Il y a　②前置詞の縮約 事前学修 2.0hr：テクストの予習 事後学修 2.0hr：課題に取り組み、Manaba に提出
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：自己紹介をしてみる。 事前学修 2.0hr：学習内容総復習 事後学修 2.0hr：課題に取り組み、Manaba に提出

フランス語とフランス文化 B

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

馬越　洋平 (うまこし　ようへい)

▌授業の概要

フランス語やフランス文化を学ぶ授業になります。前期に引き続き、文法を中心にフランス語の基礎を学んでゆきます。フランス語は入門レベルの授業です。グループワーク(アクティブ・ラーニング)として、教科書を用いて学生同士でフランス語の会話の練習なども行います。比較級など前期の授業よりもより発展した内容になります。この授業を受けることで、フランスを旅行するのに十分な語学力を身に着けることができるでしょう。また、様々なテーマから、フランス文化の講義も行います。半期で一区切りとなります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：・発音、文法などの初歩的なフランス語を身につけて、平易な表現を使えるようにする。
　　・文化、歴史、生活などの面から、フランスという国の特色を理解する。異文化への理解を育む。
個別目標：・フランス語の仕組みを理解し、あいさつ、自己紹介、尋ねる、注文など、簡単な日常会話ができる。
　　・フランスという国の特徴を、文化、歴史、生活などの面から理解し、説明できる。

▌履修条件

フランス語を母語とする学生、及びそれと同等の語学力(フランス語)を有する学生は履修できません。

▌評価基準・方法

試験(６０%)、授業参加度(２０%)、課題提出(２０%)。これらを総合的に判断して成績が決まります。原則として５分の４以上の出席を前提条件とします。

▌フィードバック方法

授業や manaba を通して伝える。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

カフェ・フランセ<新装版>、ニコラ・ガイヤール (著), 加藤豊子 (著), 中川高行 (著), フロランス・容子・シュードル (著), 柳嶋周 (著)、朝日出版社、(初版２０１６年)

▌参考書

必須ではないが、フランス語の辞書を手に入れておくことが望ましい。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、前期の内容の復習** 授業内容：授業についてのガイダンスを行う。教科書とプリントを用いて、前期に習ったフランス語の文法のおさらいをする。 事前学修 2.0hr：発音、動詞の活用などの復習 事後学修 2.0hr：確認した文法の復習
2回	**授業テーマ：第６課　これは何ですか？　物の位置を言う** 授業内容：定冠詞や場所を表す語句を学んで、物の位置を表せるようにする。「これは何ですか」というフレーズを使って会話してみる。 事前学修 2.0hr：前回の文法の復習 事後学修 2.0hr：「これは何ですか？」などの確認した表現の復習
3回	**授業テーマ：第６課　定冠詞、場所を表す語句、「フランスのことわざと名言」** 授業内容：前回に引き続き、場所の表現を応用して会話の練習を行う。場所の表現と定冠詞に親しむ。フランスの「ことわざ」と「名言」を取り上げて考察する。 事前学修 2.0hr：前回確認した表現の復習 事後学修 2.0hr：確認した会話の練習
4回	**授業テーマ：第７課　好みを言う、形容詞の位置、～があります** 授業内容：「～が好きです」という表現を学ぶ。好きなこと、その程度も言えるようにする。「～があります」などの重要表現も学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回確認した表現の復習 事後学修 2.0hr：確認した会話の練習、確認した表現を覚える
5回	**授業テーマ：第７課　様々な好みを言う、「パリについて」** 授業内容：フランス語で好みを聞き、好みを言ってみる。文化講義として「パリ」について歴史や文化などの観点から学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の会話の復習 事後学修 2.0hr：好みの表現や形容詞の位置について復習
6回	**授業テーマ：第８課　天気の表現、比較級、非人称構文** 授業内容：フランス語の天気を表す表現を学ぶ。非人称構文、比較級などの文法知識も習得する。学生同士で、フランス語で天気や洋服について話してみる。 事前学修 2.0hr：前回の会話の復習 事後学修 2.0hr：確認した会話の練習
7回	**授業テーマ：第８課　色と洋服、「フランスの地方について」** 授業内容：洋服や色に関する表現に親しむ。実際に人・物を比較級で比べてみる。「フランス地方」の魅力を、様々な都市を取り上げて学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の会話の復習 事後学修 2.0hr：比較級の復習
8回	**授業テーマ：第９課　部分冠詞、中性代名詞、動詞「取る」と「する」** 授業内容：部分冠詞や中性代名詞を学ぶ。頻出動詞「取る」と「する」の活用を覚える。それらを会話文のなかで実際に使ってみる。 事前学修 2.0hr：比較級の復習 事後学修 2.0hr：確認した会話の練習
9回	**授業テーマ：第９課　～をします、朝食をとる、「フランスの世界遺産」** 授業内容：「朝食に～をとる」などをフランス語で言えるようにする。パリから地方まで、「フランスの世界遺産」を中心に、映像などを用いて学ぶ。 事前学修 2.0hr：動詞「取る」、「する」の活用の復習 事後学修 2.0hr：朝食をとるなどの確認した表現の復習
10回	**授業テーマ：第１０課 ～に行く、中性代名詞 y** 授業内容：動詞「行く」を学ぶ。他の頻出動詞も学ぶ。動詞「行く」や中性代名詞 y を使って会話する。 事前学修 2.0hr：前回の会話の復習 事後学修 2.0hr：確認した会話の練習

11回	**授業テーマ：第１０課　乗り物、曜日や場所、招待する、「ワインについて」** 授業内容：乗り物を使った表現や、曜日、場所を組み合わせて文を作ってみる。フランス語で招待できるようにする。フランス文化における「ワイン」の重要性を講義する。 事前学修 2.0hr：前回の会話の復習 事後学修 2.0hr：動詞「行く」など確認した表現の復習
12回	**授業テーマ：第１１課　日常生活と時間の表現、代名動詞** 授業内容：フランス語の時間の表現について学ぶ。代名動詞を使えるようにする。日常生活を語るための表現を覚える。 事前学修 2.0hr：動詞「行く」などの確認した表現の復習 事後学修 2.0hr：時間・代名動詞などの確認した表現の復習
13回	**授業テーマ：第１１課　時間の言い方、代名動詞、「シャンソンを聴くⅢ」** 授業内容：前回覚えた時間の表現や代名動詞などを用いて、一日を描写してみる。「シャンソンを聴くⅢ」では、前期と同様で、歌詞を確認しながらシャンソンの名曲を聴く。 事前学修 2.0hr：前回の文法の復習 事後学修 2.0hr：時間の表現、代名動詞の復習
14回	**授業テーマ：後期のフランス語の復習** 授業内容：後期のフランス語の内容をおさらいするために練習問題を解く。授業時間内に答え合わせと解説を行う。 事前学修 2.0hr：前回の会話の復習 事後学修 2.0hr：確認した問題の復習
15回	**授業テーマ：「シャンソンを聴くⅣ」、まとめ** 授業内容：後期の授業のまとめを行う。「シャンソンを聴くⅣ」では、引き続き歌詞を確認しながら、シャンソンの名曲を聴く。 事前学修 2.0hr：前回確認した問題の復習 事後学修 2.0hr：全体の復習

フランス語とフランス文化 B

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

西村　美穂（にしむら　みほ）

▌授業の概要

フランス語とフランス文化Ａで使用したテクスト『 En tandem ！』を引き続き勉強します。この題名は、ふたりで一緒に！ という意味のフランス語です。フランス語会話、シャンソン(歌)、ポエム(詩)、映画などを鑑賞しながら、フランス語の音をたくさん聞き、みんなで一緒に、フランス語の音やフレーズを何度も何度も声に出し、友達と協力しながら、使えるフランス語を身につけていきましょう。まずは、フランス文化Ａで学習したフランス語の読みから。

フランス語と英語の似ているところと違うところを考えながら、フランスの文化、そしてフランス語圏の文化についても理解を深めていきましょう。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：習得したフランス語を使って、フランス語圏を旅行できるようにする。フランス語圏文化への理解も深めたい。
個別目標：①フランス語圏の人に理解してもらえる発音を目指す。
②綴り字の規則を覚え、フランス語が読めるようにする。
③友達と協力しながら、フランス語を覚える。
④フランスやフランス語圏の文化に触れてみる。

▌履修条件

フランス語を母語とする学生は履修不可。
フランス語とフランス文化Ａを受講していることが望ましい。

▌評価基準・方法

評価基準・方法：平常点(小テスト課題等) 40 %、評価テスト 60 %
評価テスト：最終回 15 回目に行う。詳しくは授業中に指示する。

▌フィードバック方法

授業内、または学修支援システム manaba を使用。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

Takenori Yogo ” En tandem! ”, Hakusuisya,2022.

▌参考書

ドラ・トーザン　『パリジェンヌのパリ 20 区散歩』　ポプラ社
S. リキエル　『ソニア・リキエルのパリ散歩』　集英社

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：フランス語の読み方** 授業内容：①ガイダンス　②フランス語母音字の発音記号の読み方 事前学修 2.0hr：フランス語圏について知っていることを書き出す。 事後学修 2.0hr：課題に取り組み、Manaba に提出
2 回	**授業テーマ：発音記号＆綴り字の読み方** 授業内容：①フランス語の綴り字の読み方　②発音記号を見ながら正しい発音 事前学修 2.0hr：ヨーロッパのフランス語について調べてみる。 事後学修 2.0hr：課題に取り組み、Manaba に提出
3 回	**授業テーマ：D'habitude, je me couche à 1 heure. ①　毎日の習慣について話そう！** 授業内容：①題名動詞　②毎日の習慣 事前学修 2.0hr：北米のフランス語について調べてみる。 事後学修 2.0hr：課題に取り組み、Manaba に提出
4 回	**授業テーマ：D'habitude, je me couche à 1 heure. ②　 En tandem ！** 授業内容：①時刻の表現　②天候の表現 事前学修 2.0hr：カリブ海地域のフランス語圏について調べてみる。 事後学修 2.0hr：課題に取り組み、Manaba に提出
5 回	**授業テーマ：On va aller au café près de la gare!　①　人を誘ってみよう** 授業内容：①近接未来　②近接過去　③部分冠詞 事前学修 2.0hr：マグレブのフランス語圏について調べてみる。 事後学修 2.0hr：課題に取り組み、Manaba に提出
6 回	**授業テーマ：On va aller au café près de la gare! ②　 En tandem ！** 授業内容：①不定代名詞　②時をあらわす表現 事前学修 2.0hr：ブラックアフリカのフランス語圏について調べてみる。 事後学修 2.0hr：課題に取り組み、Manaba に提出
7 回	**授業テーマ：Il est moins cher que cette robe. ①　複数のものを比べよう！** 授業内容：①形容詞の比較級　②形容詞の最上級 事前学修 2.0hr：東南アジアのフランス語圏について調べてみる。 事後学修 2.0hr：課題に取り組み、Manaba に提出
8 回	**授業テーマ：Il est moins cher que cette robe. ②　 En tandem!** 授業内容：①可能、許可、依頼の表現　②四季 事前学修 2.0hr：東南アジアのフランス語圏について調べてみる。 事後学修 2.0hr：課題に取り組み、Manaba に提出
9 回	**授業テーマ：Alors,je la prends. ①　買い物をしよう** 授業内容：①直接目的語代名詞　②間接目的語代名詞 事前学修 2.0hr：太平洋のフランス語圏について調べてみる。 事後学修 2.0hr：課題に取り組み、Manaba に提出

10回	**授業テーマ：Alors,je la prends. ②　En tandem ！** 授業内容：①好みを表す表現　②数字 事前学修 2.0hr：フランコフォニー組織について調べてみる。 事後学修 2.0hr：課題に取り組み、Manaba に提出
11回	**授業テーマ：Qu'est-ce que tu as fait demanche dernier?　①　自分の体験や過去のことを話そう！** 授業内容：①西暦　②時をあらわす表現 事前学修 2.0hr：テクスト予習 事後学修 2.0hr：課題に取り組み、Manaba に提出
12回	**授業テーマ：Qu'est-ce que tu as fait demanche dernier? ②　En tandem ！** 授業内容：①複合過去　②過去分詞 事前学修 2.0hr：テクストの予習 事後学修 2.0hr：課題に取り組み、Manaba に提出
13回	**授業テーマ：Écoutez et parlez beaucoup français! ①　アドバイスができるようになろう** 授業内容：①「〜から〜まで」の表現　②「どうやって」「どんな」を尋ねる表現 事前学修 2.0hr：テクストの予習 事後学修 2.0hr：課題に取り組み、Manaba に提出
14回	**授業テーマ：Écoutez et parlez beaucoup français! ②　En tandem!** 授業内容：①序数　②非人称構文 Il faut ③　命令法 事前学修 2.0hr：テクストの予習 事後学修 2.0hr：課題に取り組み、Manaba に提出
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：自分のことをフランス語で話してみよう！ 事前学修 2.0hr：テクスト総復習 事後学修 2.0hr：課題に取り組み、Manaba に提出

ドイツ語とドイツ文化 A

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

諏佐　ランカ（すさ　らんか）

▌授業の概要

ドイツと聞いて初めに何を想像しますか？ まずは誰もがビールにソーセージ、自動車産業にサッカーなどを連想するでしょう。そして第二次世界大戦や冷戦期の東西ドイツの分断なども思い出すことでしょう。しかしそれだけではありません。日本では明治時代以降、ドイツの様々な文化や社会制度を手本として取り入れて来ました。この授業では、ドイツの歴史、社会や文化、法律、そしてドイツ語の基礎を学ぶことを通じて、同時に私たちが住んでいる日本という国についての理解も深めていきます。前期の「ドイツ語とドイツ文化A」では歴史を中心に学ぶ予定ですが、授業テーマは随時変更することがあります。各テーマについて積極的に考えてもらうため、授業中の発言や意見交換、プレゼンをする機会を定期的に作ります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：日本の社会システムや問題点について理解するためには、海外の状況と比較することが有効です。外国の制度とそれに至るまでの歴史的過程を知ることで、日本とは異なった視点があることを知ることができ、日本の制度の特色や問題点に気づくことができます。日本の価値観や考え方だけにとらわれず、多面的でバランスのとれた見方ができるようになることがこの授業の到達目標です。また、ドイツ語の基礎知識を織り交ぜることで、新たな言語に対する理解を深めます。

個別目標：1. ドイツの歴史を中心に、社会制度や文化など、様々な特徴や問題について考え、日本との違いを説明できるようになる。
2. ドイツ語という言語の基礎知識を知って知的視野を広げる。

▌履修条件

ドイツという国およびドイツ語への興味関心、日本と異なる文化や考え方を学ぶ探求心、そして主体的に課題に取り組める方をお待ちしています。
※当該言語（ドイツ語）を母語とする学生及び母語同等に堪能な学生は履修できません。

▌評価基準・方法

授業中の課題（グループワーク、発言・報告、小テスト等）：30 %
中間試験：30%
期末試験：40%
※期末試験は公欠を除いた 5 分の 4 以上（15 回授業の場合は 12 回以上）出席した場合のみ受験資格を認める
※ manaba や respon アプリを通して課題提出を行うため、事前に使える準備をしておくこと

▌フィードバック方法

質問がある場合、授業後に担当者に直接聞いて下さい。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （必要に応じてプレゼンテーションを課したり、ディベートやディスカッションを行う）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （必要に応じてプレゼンテーションの際に使用する）

▌教科書

特定の教科書は使用しない。担当者が作成したレジュメやパワーポイント資料を使用する。

▌参考書

各テーマごとに参考書を履修者に提示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：はじめに：ドイツについて** 授業内容：数ある外国の中でなぜドイツに関心できたのかを考える。 ドイツという国とその制度や文化について、なぜ自分が学びたい、どう学びたいか説明をする。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
2 回	**授業テーマ：歴史①ドイツの成り立ち** 授業内容：18 世紀頃までのドイツの歴史を概観する。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
3 回	**授業テーマ：歴史②第二次世界大戦前までのドイツ** 授業内容：19～20 世紀初頭までのドイツの歴史を概観する。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
4 回	**授業テーマ：日本におけるドイツ法の影響** 授業内容：明治期以降の日独関係の歴史を概観しながら、日本がドイツから受けた影響（法律分野など）について説明する。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
5 回	**授業テーマ：消えない過去：ナチスドイツ** 授業内容：ナチスドイツの台頭、ヒトラー政権、当時の市民の状況について触れる。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
6 回	**授業テーマ：ＥＵとドイツ** 授業内容：ＥＵができるまでの歴史的発展を概説する。ＥＵ組織の基礎知識と制度やシステムについて説明する。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
7 回	**授業テーマ：まとめ：中間の復習** 授業内容：これまで学んできたテーマについて、さらに考えて、深堀をしていく時間とする。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
8 回	**授業テーマ：ドイツとジェンダー①憲法の母たち** 授業内容：ドイツ基本法 3 条 2 項「男女は同権である」という一文の導入に関する歴史を振り返る。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。

9回	**授業テーマ：ドイツとジェンダー②選択的夫婦別姓** 授業内容：ドイツがいかにして選択的夫婦別姓制度を取り入れるようになったかを説明する。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
10回	**授業テーマ：ドイツとジェンダー③専業主婦** 授業内容：ドイツの専業主婦事情と、日本との専業主婦に対する考え方の違いを説明する。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
11回	**授業テーマ：旧東ドイツ①社会状況と日常生活** 授業内容：旧東ドイツ(ＤＤＲ)時代の人々の日常生活について学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
12回	**授業テーマ：旧東ドイツ②オスタルギー** 授業内容：東西ドイツ再統一とその後の旧東ドイツの状況について学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
13回	**授業テーマ：ドイツの政治** 授業内容：ドイツの政治、選挙システム、政党について概説する。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる
14回	**授業テーマ：ドイツの移民について** 授業内容：ドイツの移民に関する歴史や政策、現在の課題について概説する。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる
15回	**授業テーマ：まとめ：総復習** 授業内容：全体の復習と今後の展望について説明する。 この授業を通じて何を学んだか、そしてこれから何をどう学んでいくか考える。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。

ドイツ語とドイツ文化 A

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

リースナー　フランク　ペーター

▌授業の概要

ドイツ語については、発音をしっかり身につけ、やさしい日常会話に必要な文法を習得してもらい、初歩的な日常会話を練習します。
文化については、履修者は文化的なトピックについて特別な課題に取り組み、先生からフィードバックを受けます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：日本の社会の仕組みやそこに生起する問題について深く理解するための 1 つの方法は、外国の状況と比較することである。外国の制度や問題解決を参照することにより、日本におけるのとは異なった方法があることを知ることができる。また、外国の状況を知ることによりはじめて、日本の制度や文化のもつ際立った特色や問題点について気づくこともできる。こうした比較のためにドイツはきわめて適している。履修者がこうした、多面的でバランスのとれた見方ができるようになるための一助とすることを授業の到達目標としたい。

個別目標：日本とドイツのそれぞれの社会制度や文化、言語について、それぞれの特色や問題点を指摘し、相互に比較しながらそれぞれの利害得失について説明できるようになること、である。この授業を通して履修者が、ドイツ語という言語と、その言語が使われているドイツ社会に大いに関心をもち、知的視野を広げてくれることを願っている。
「ドイツ語検定 5 級」に合格できる。

▌履修条件

当該言語（ドイツ語）を母語とする学生及び母語同等に堪能な学生は履修できません。主体的に課題に取り組み、自分にとって未知の問題でも、積極的に取り組もうという気持ちをもった学生に履修してほしい。

▌評価基準・方法

授業への参加度（授業への参加姿勢＋課題の提出の有無・出来具合）50 %、期末試験 50 %の結果に基づき、総合的に評価します。

▌フィードバック方法

期末試験の具体的内容については、試験の 1,2 週間前に、説明します。
尚、課題および定期試験のフィードバックは、授業中行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （必要に応じて、プレゼンテーションを課したり、ディベートを行ってもらう。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

森公正・Frank Riesner『ドイツ語の泉』、同学社　ISBN 978-4-8102-0977-8

▌参考書

特になし

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：アルファベット、発音（母音、子音）** 授業内容：ドイツ語ではどれだけの文字を使うのかを説明します（英語で使用する文字に、さらに 4 文字余計に使用します）。 それらの文字が、語のなかでどのように発音されるかが、発音の問題です。初回の授業では、発音について、説明・練習をします。 事前学修 2.0hr：シラバスをもう一度確認し、テキストの発音部分を眺めておく。 事後学修 2.0hr：ドイツ語の文字の確認と、母音や子音の発音の復習。
2 回	**授業テーマ：発音（母音, 子音）、動詞の現在人称変化** 授業内容：発音の説明・練習の続きです。発音を終らせます。動詞、動詞の現在人称変化を導入します。 ドイツ語では、主語の人称（1 人称単数（「私は」）・2 人称単数（「君は」）……）に応じて、動詞が変化するという現象があります。それを人称変化と言います。 事前学修 2.0hr：テキストの今回の発音の部分を眺めておく。 事後学修 2.0hr：英語と比較しての、ドイツ語の動詞の確認する。
3 回	**授業テーマ：定動詞の位置、動詞の現在人称変化の練習** 授業内容：規則動詞の現在人称変化を練習し、文中の動詞の位置に注意すること。口調上注意すべき動詞の現在人称を導入すること。 「ドイツ文化」のテーマは歴史です。 事前学修 2.0hr：テキストの口調上注意すべき動詞の現在人称変化や文中の動詞の位置の部分を予習しておく。 事後学修 2.0hr：口調上注意すべき動詞の現在人称変化や文中の動詞の位置の部分の復習しておく。
4 回	**授業テーマ：sein (である) の現在人称変化、動詞の現在人称変化の練習** 授業内容：sein 動詞の不規則現在人称変化の練習・規則現在人称変化復習です。 「ドイツ文化」のテーマは歴史です。 事前学修 2.0hr：テキストの動詞の現在人称変化の部分を予習しておく。 事後学修 2.0hr：動詞の現在人称変化の復習しておく。
5 回	**授業テーマ：名詞の性** 授業内容：名詞の性、男性名詞、女性名詞、中性名詞の特徴を導入すること。 「ドイツ文化」のテーマは歴史です。 事前学修 2.0hr：テキストの第 2 課を予習しておく。 事後学修 2.0hr：男性名詞、女性名詞、中性名詞の復習しておく。
6 回	**授業テーマ：名詞の性、冠詞の格変化（1）** 授業内容：名詞の性、冠詞の格変化の 1,4 格を導入すること。 「ドイツ文化」のテーマは歴史です。 事前学修 2.0hr：冠詞の格変化を予習しておく。 事後学修 2.0hr：冠詞の格変化の 1,4 の復習しておく。
7 回	**授業テーマ：名詞の性、冠詞の格変化 (2)** 授業内容：名詞の性、冠詞の格変化の 2,3 格を導入すること。 「ドイツ文化」のテーマは旧東西ドイツです。 事前学修 2.0hr：冠詞の格変化を予習しておく。 事後学修 2.0hr：冠詞の格変化の 2,3 の復習しておく。

8回	**授業テーマ：不規則動詞 sein を復習、haben の導入** 授業内容：ドイツ語で圧倒的に使われる”sein”と、2 番目によく使われる”haben”という動詞の現在人称変化、および、発音の都合上、規則的な現在人称変化と若干変化が異なる動詞を扱います。 「ドイツ文化」のテーマは旧東西ドイツです。 事前学修 2.0hr：テキストの 2 課を予習しておく。 事後学修 2.0hr：不規則動詞 sein や haben の現在人称変化の復習しておく。
9回	**授業テーマ：複数形** 授業内容：複数形の形が紹介されています。どのような語尾がありますか。 「ドイツ文化」のテーマはベルリンの壁崩壊です。 事前学修 2.0hr：複数形を予習しておく。 事後学修 2.0hr：複数形の復習しておく。
10回	**授業テーマ：複数形の格変化** 授業内容：複数形の格変化の導入 「ドイツ文化」のテーマは連邦州 (1) です。 事前学修 2.0hr：3 課の文法事項を予習しておく。 事後学修 2.0hr：複数形の格変化の復習しておく。
11回	**授業テーマ：男性弱変化名詞** 授業内容：複数形の使い方と特殊な形を紹介します。。 「ドイツ文化」のテーマは連邦州 (2) です。 事前学修 2.0hr：3 課の文法事項を予習しておく。 事後学修 2.0hr：授業で完了した課題をさらに数回繰り返しておく。
12回	**授業テーマ：教科書の第 1、第 2、第 3 課の復習** 授業内容：動詞の現在人称変化、名詞の 1,2,3,4 格 「ドイツ文化」のテーマは連邦州 (3) です。 事前学修 2.0hr：テキストで第 1、第 2、第 3 課を予習しておく。 事後学修 2.0hr：テキストで第 1、第 2、第 3 課を復習しておく。
13回	**授業テーマ：定冠詞の格変化の復習** 授業内容：定冠詞の使い方 「ドイツ文化」のテーマは政治体制 (1) です。 事前学修 2.0hr：定冠詞の格変化を予習しておく。 事後学修 2.0hr：授業で完了した課題をさらに数回繰り返しておく。
14回	**授業テーマ：不定冠詞の格変化の復習** 授業内容：不定冠詞のの練習 「ドイツ文化」のテーマは政治体制 (2) です。 事前学修 2.0hr：不定冠詞の格変化を予習しておく。 事後学修 2.0hr：授業で完了した課題をさらに数回繰り返しておく。
15回	**授業テーマ：第 1 課から第 3 課までの繰り返し** 授業内容：前期にやったことのまとめ 事前学修 2.0hr：これまでにやったことを確認しておく。 事後学修 2.0hr：これまでにやったことを確実に身につけておく。

ドイツ語とドイツ文化Ｂ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

諏佐　ランカ（すさ　らんか）

▌授業の概要

日本では明治時代以降、ドイツの様々な文化や社会制度を手本として取り入れて来ました。この授業では、ドイツ社会や文化、法律、そしてドイツ語の基礎を学ぶことを通じて、同時に私たちが住んでいる日本という国についての理解も深めていきます。履修者には各テーマについて積極的に考えてもらうため、授業中の発言や意見交換、プレゼンをする機会を定期的に作ります。なお、この科目は、前期「ドイツ語とドイツ文化Ａ」の後半部分です。歴史にまつわるテーマが中心だった前期に比べて、後期はドイツの社会問題やドイツの文化に関する割合が多くなっています。※授業内容は随時変更されることがあります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：日本の社会システムや問題点について理解するためには、外国の状況と比較することが有効です。外国の制度を知ることで、日本とは異なった視点があることを知ることができ、さらに日本の制度・文化の特色・問題点に気づくこともできます。日本の価値観や考え方だけにとらわれず、多面的でバランスのとれた見方ができるようになることがこの授業の到達目標です。また、ドイツ語の基礎知識を織り交ぜることで、新たな言語に対する理解を深めます。

個別目標：1. 日本とドイツの社会制度や文化・考え方など、様々な特徴や問題点を指摘し、相互を比較して違いを説明できるようになる。
2. ドイツ語という言語の基礎知識を知って知的視野を広げる。

▌履修条件

ドイツという国およびドイツ語への興味関心、日本と異なる文化や考え方を学ぶ探求心、そして主体的に課題に取り組める方をお待ちしています。
※当該言語（ドイツ語）を母語とする学生及び母語同等に堪能な学生は履修できません。

▌評価基準・方法

授業中の課題（グループワーク、発言・報告、小テスト等）：30 %
中間試験：30%
期末試験：40%
※期末試験は公欠を除いた 5 分の 4 以上（15 回授業の場合は 12 回以上）出席した場合のみ受験資格を認める
※ manaba や respon アプリを通して課題提出を行うため、事前に使える準備をしておくこと

▌フィードバック方法

質問がある場合、授業後に担当者に直接聞いて下さい。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （必要に応じて、プレゼンテーションを課したり、ディベートやディスカッションを行う）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （必要に応じて、プレゼンテーションの際に使用する）

▌教科書

特定の教科書は使用しない。担当者が作成したレジュメやパワーポイント資料を使用する。

▌参考書

各テーマごとに参考書を履修者に提示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：はじめに：ドイツについて** 授業内容：前期の授業を振り返りながら、ドイツという国とその制度や文化について、どのように知識を深めていきたいかを考える。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
2回	**授業テーマ：ドイツの教育制度** 授業内容：ドイツの教育システムを学びながら、日本の教育システムとの違いを考える。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
3回	**授業テーマ：ドイツの大学制度** 授業内容：ドイツの大学制度を学びながら、日本の大学制度との違いを考える。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
4回	**授業テーマ：ドイツの職業訓練と仕事観** 授業内容：ドイツ人の職業に対する意識と仕事観について学びながら、日本との違いを考える。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
5回	**授業テーマ：ドイツの産業と企業** 授業内容：ドイツの産業やドイツを代表とする企業について学び、日本との違いを考える。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
6回	**授業テーマ：ドイツと貧困** 授業内容：ドイツにおける人々の経済事情や貧困について学び、日本との違いを考える。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
7回	**授業テーマ：まとめ：中間の復習** 授業内容：これまで学んできたテーマについて、さらに考えて、深堀をしていく時間とする。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
8回	**授業テーマ：ドイツとＥＵ法** 授業内容：ＥＵ法と加盟国であるドイツとの関係について学び、日本の立法制度との違いを考える。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
9回	**授業テーマ：ドイツ人の働き方** 授業内容：ドイツにおける仕事事情（給与、休暇、残業、労働組合、職場におけるジェンダー）について学び、日本との違いを考える。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。

10回	**授業テーマ：ドイツの税金と社会保険** 授業内容：ドイツの税金制度や社会保険システムを学び、日本との違いを考える。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
11回	**授業テーマ：ドイツの宗教と祭り** 授業内容：ドイツのキリスト教文化と代表的な祭り(カーニバル、オクトーバーフェスト、クリスマスマーケット)について学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
12回	**授業テーマ：ドイツに留学しよう①各地域の特色** 授業内容：ドイツ留学を検討する際に考えるべき、選ぶべき地域の特色について学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
13回	**授業テーマ：ドイツに留学しよう②食文化や生活習慣** 授業内容：ドイツ留学を検討する際に考えるべき、ドイツ人の食文化や生活習慣について学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる
14回	**授業テーマ：ドイツに留学しよう③外国人として生活する** 授業内容：ドイツ留学を検討する際、自身が「外国人」として生活することについて考えてみる。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる
15回	**授業テーマ：まとめ：総復習** 授業内容：全体の復習と今後の展望について説明する。 この授業を通じて何を学んだか、そしてこれから何をどう学んでいくか考える。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。

ドイツ語とドイツ文化 B

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

リースナー　フランク　ペーター

▌授業の概要

ドイツ語については、『ドイツ語とドイツ文化 A』に引き続き、やさしい日常会話に慣れ親しんでもらうことを目指します。
文化については、履修者は文化的なトピックについての特別な課題に取り組み、先生からフィードバックを受けます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：日本の社会の仕組みやそこに生起する問題について深く理解するための 1 つの方法は、外国の状況と比較することである。外国の制度や問題解決を参照することにより、日本におけるのとは異なった方法があることを知ることができる。また、外国の状況を知ることによりはじめて、日本の制度や文化のもつ際立った特色や問題点について気づくこともできる。こうした比較のためにドイツはきわめて適している。履修者がこうした、多面的でバランスのとれた見方ができるようになるための一助とすることを授業の到達目標としたい。

個別目標：日本とドイツのそれぞれの社会制度や文化、言語について、それぞれの特色や問題点を指摘し、相互に比較しながらそれぞれの利害得失について説明できるようになること、である。この授業を通して履修者が、ドイツ語という言語と、その言語が使われているドイツ社会に大いに関心をもち、知的視野を広げてくれることを願っている。
「ドイツ語検定 5 級」に合格できる。

▌履修条件

当該言語（ドイツ語）を母語とする学生及び母語同等に堪能な学生は履修できません。
尚、ドイツ語に関しては、『ドイツ語とドイツ文化 A』のレベルの内容（具体的には、ドイツ語の発音、現在人称変化、名詞の性・格の知識）を前提とすることを、承知しておいてください。

▌評価基準・方法

・授業への参加度（授業への参加姿勢＋課題の提出の有無・出来具合）50 %、期末試験 50 %の結果に基き、総合的に評価します。期末試験の具体的内容については、試験の 1,2 週間前に、説明します。

▌フィードバック方法

課題および定期試験のフィードバックは、授業中行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （必要に応じて、プレゼンテーションを課したり、ディベートを行ってもらう。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

森公正・Frank Riesner『ドイツ語の泉』、同学社 ISBN 978-4-8102-0977-8

▌参考書

特になし

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ドイツとドイツ語の基本情報** 授業内容：ドイツ語については、「ドイツ語とドイツ文化 A」で勉強した内容の復習 事前学修 2.0hr：これまでに学習したことを予習しておく。 事後学修 2.0hr：初回の授業の内容を復習しておく。
2 回	**授業テーマ：動詞の現在人称変化(不規則)** 授業内容：不規則動詞の現在人称変化の導入。 「ドイツ文化」のテーマは政治体制 (1) です。 事前学修 2.0hr：動詞の現在人称変化の予習をしておく。 事後学修 2.0hr：不規則動詞の現在人称変化の復習をしておく。
3 回	**授業テーマ：命令形** 授業内容：命令形の導入。 「ドイツ文化」のテーマは政治体制 (2) です。 事前学修 2.0hr：命令形の予習をしておく。 事後学修 2.0hr：授業で完了した課題をさらに数回繰り返しておく。
4 回	**授業テーマ：nicht の位置** 授業内容：否定文の導入 「ドイツ文化」のテーマは政治体制 (3) です。 事前学修 2.0hr：否定文の予習をしておく。 事後学修 2.0hr：授業で完了した課題をさらに数回繰り返しておく。
5 回	**授業テーマ：定冠詞類** 授業内容：定冠詞類の導入 「ドイツ文化」のテーマは政治体制 (4) です。 事前学修 2.0hr：冠詞の格変化を予習しておく。(１格、２格、３格、４格) 事後学修 2.0hr：授業で完了した課題をさらに数回繰り返しておく。
6 回	**授業テーマ：不定冠詞類** 授業内容：不定冠詞類んの導入、所有代名詞の使い方 「ドイツ文化」のテーマは政治体制 (5) です。 事前学修 2.0hr：不冠詞の格変化を予習しておく。(１格、２格、３格、４格) 事後学修 2.0hr：授業で完了した課題をさらに数回繰り返しておく。
7 回	**授業テーマ：人称代名詞　１格、３格、４格** 授業内容：人称代名詞の導入、定冠詞類や不定冠詞類の練習 「ドイツ文化」のテーマは政治体制 (6) です。 事前学修 2.0hr：テキストの第５課を予習しておく。(２９ページ) 事後学修 2.0hr：授業で完了した課題をさらに数回繰り返しておく。

8回	**授業テーマ：文法的否定形 nicht , kein** 授業内容：nicht, kein の使い分け 「ドイツ文化」のテーマは 法制度 (1) です。 事前学修 2.0hr：nicht, kein を予習しておく。 事後学修 2.0hr：授業で完了した課題をさらに数回繰り返しておく。
9回	**授業テーマ：２、３，４格支配の前置詞** 授業内容：２、３，４格支配の前置詞の導入。 「ドイツ文化」のテーマは 法制度 (2) です。 事前学修 2.0hr：冠詞の格変化を予習しておく。(２格、３格、４格) 事後学修 2.0hr：授業で完了した課題をさらに数回繰り返しておく。
10回	**授業テーマ：２、３，４格支配の前置詞の復習** 授業内容：３格、４格、スイッチ型前置詞のを復習しておく。 「ドイツ文化」のテーマは経済 (1) です。 事前学修 2.0hr：３格、４格の前置詞と冠詞類を予習しておく。 事後学修 2.0hr：授業で完了した課題をさらに数回繰り返しておく。
11回	**授業テーマ：前置詞の融合形** 授業内容：前置詞と冠詞の組み合わせ方 「ドイツ文化」のテーマは経済 (2) です。 事前学修 2.0hr：冠詞の格変化を予習しておく。 事後学修 2.0hr：授業で完了した課題をさらに数回繰り返しておく。
12回	**授業テーマ：縦続接続詞と副文** 授業内容：主文と副文の特徴の説明、副文の構造の導入。 「ドイツ文化」のテーマは経済 (３) です。 事前学修 2.0hr：動詞の位置を予習しておく。 事後学修 2.0hr：授業で完了した課題をさらに数回繰り返しておく。
13回	**授業テーマ：第 4 の復習** 授業内容：第 4 の復習 「ドイツ文化」のテーマは教育 (1) です。 事前学修 2.0hr：命令形と動詞の現在人称不規則変化を予習しておく。 事後学修 2.0hr：授業で完了した課題をさらに数回繰り返しておく。
14回	**授業テーマ：第 5、第 6 の復習** 授業内容：第 5、第 6 の復習 「ドイツ文化」のテーマは教育 (2) です。 事前学修 2.0hr：前置詞と冠詞類を予習しておく。 事後学修 2.0hr：授業で完了した課題をさらに数回繰り返しておく。
15回	**授業テーマ：第課 4 から第 6 課までの繰り返し** 授業内容：後期にやったことのまとめ 事前学修 2.0hr：これまでにやったことを確認しておく。 事後学修 2.0hr：授業で完了した課題をさらに数回繰り返しておく。

スペイン語とスペイン文化 A

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

ゴンサレス　ガブリエル

▌授業の概要

スペイン語は、使用人口が世界で 3 番目に多く、20 を超える国々で話されています。
本講座の中心目標は、スペイン語の基本を習得することです。それを通じて、スペイン語文化圏の理解にも努めます。
スペイン語圏を紹介するビデオも数回見ます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：スペイン語の基本を身に付けること。
　　スペイン語で最低限の会話のやり取りができるようになること。
個別目標：スペインとスペイン語圏の国の文化や習慣など理解できること。
　　スペイン語圏、スペイン語圏のビジネス界を理解する。

▌履修条件

1 年次からの開講科目。
スペイン語を母語とする学生は履修できません。

▌評価基準・方法

授業への参加度と宿題: 20%
学期中の小テスト: 20%
期末試験: 60%

▌フィードバック方法

Manaba の個別指導。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （授業で積極的な参加）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Manaba）

▌教科書

スペイン語とわたし
－日本とスペイン語圏、くらべてコミュニケーション！ －
El español y yo. スペイン語教材研究会編者、2025 年 (改訂版)、朝日出版社

▌参考書

「本気で学ぶスペイン語」菅原昭江著、2011 年、同学社
「スペイン語ワークブック」小川雅美編著、2007 年、同学社
「先生と学ぶスペイン語」山下好孝、森淳子共著、2009 年、同学社

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：スペイン語のアルファベット** 授業内容：授業の進め方について　2と3ページスペイン語のアルファベット、発音について 事前学修 2.0hr：2と3ページを読む 事後学修 2.0hr：スペイン語のアルファベット、発音について
2回	**授業テーマ：スペイン語の国際言葉** 授業内容：ユニットすでに知っているスペイン語の言葉4－7ページ. Preliminar: Tú ya sabes cosas 事前学修 2.0hr：4－7ページを読む 事後学修 2.0hr：固有名詞、教室で役に立つ表現、数字(0－10)
3回	**授業テーマ：スポーツ I** 授業内容：ユニット1スポーツとわたし　8－10ページ　Unidad 1: Los deportes y yo 事前学修 2.0hr：8－10ページを読む 事後学修 2.0hr：名詞の性、名詞の数、定冠詞、主語代名詞を勉強する
4回	**授業テーマ：スポーツ　II** 授業内容：ユニット1スポーツとわたし　11-13ページ　Unidad 1: Los deportes y yo 事前学修 2.0hr：11-13ページを読む 事後学修 2.0hr：「ser」動詞の現在形、疑問文、否定文を勉強する
5回	**授業テーマ：食べ物と料理　I** 授業内容：ユニット2食べ物とわたし14-16ページ 事前学修 2.0hr：14-16ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(名詞、定冠詞、主語)を勉強する
6回	**授業テーマ：食べ物と料理　II** 授業内容：ユニット2食べ物とわたし17-19ページ.　Unidad 2: Las comidas y yo 事前学修 2.0hr：17-19ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(「ser」動詞、疑問文、否定文)を勉強する
7回	**授業テーマ：レビュー** 授業内容：ユニット1、2の中の小テストトレーニング 事前学修 2.0hr：ユニット1と2を小テストトレーニングする 事後学修 2.0hr：小テストトレーニングの振り返りをする
8回	**授業テーマ：旅行 I** 授業内容：ユニット旅行とわたし20-22ページ. Unidad 3: Los viajes y yo 事前学修 2.0hr：20-22ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(数字) を勉強する
9回	**授業テーマ：旅行 II** 授業内容：ユニット旅行とわたし23-25ページ. Unidad 3: Los viajes y yo 事前学修 2.0hr：23-25ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(職業、国籍) を勉強する

10回	**授業テーマ：音楽 I** 授業内容：ユニット音楽とわたし２６- ２８ページ. Unidad 4: La música y yo 事前学修 2.0hr：２６- ２８ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(不定冠詞、品質形容詞)を勉強する
11回	**授業テーマ：音楽 II** 授業内容：ユニット音楽とわたし２９- ３１ページ. Unidad 4: La música y yo 事前学修 2.0hr：２９- ３１ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(所有詞前置形)を勉強する
12回	**授業テーマ：趣味と仕事** 授業内容：ユニット趣味対仕事３２- ３３ページ. Unidad 5: Aficiones vs. Trabajo 事前学修 2.0hr：３２- ３３ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(「tener」動詞、疑問詞)を勉強する
13回	**授業テーマ：仕事** 授業内容：ユニット趣味対仕事３４- ３５ページ. Unidad 5: Aficiones vs. Trabajo 事前学修 2.0hr：３４- ３５ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(指示の形容詞と代名詞)を勉強する
14回	**授業テーマ：趣味** 授業内容：ユニット趣味対仕事３６- ３７ページ. Unidad 5: Aficiones vs. Trabajo 事前学修 2.0hr：３６- ３７ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(「estar」動詞、「haber」動詞)を勉強する
15回	**授業テーマ：レビュー** 授業内容：まとめ　ユニット３、４と５の試験のトレーニング 事前学修 2.0hr：ユニット３、４と５を勉強トレーニングする 事後学修 2.0hr：前期の復習を勉強する

スペイン語とスペイン文化 B

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

ゴンサレス　ガブリエル

▌授業の概要

スペイン語は、使用人口が世界で 3 番目に多く、20 を超える国々で話されています。
本講座の中心目標は、スペイン語の基本を習得することです。それを通じて、スペイン語文化圏の理解にも努めます。
スペイン語圏を紹介するビデオも数回見ます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：スペイン語の基本を身に付けること。
　　スペイン語で最低限の会話のやり取りができるようになること。
個別目標：スペインとスペイン語圏の国の文化や習慣など理解できること。
　　スペイン語圏、スペイン語圏のビジネス界を理解する。

▌履修条件

1 年次からの開講科目。
スペイン語を母語とする学生は履修できません。

▌評価基準・方法

授業への参加度と宿題: 20%
学期中の小テスト: 20%
期末試験又は小テスト: 60%

▌フィードバック方法

Manaba の個別指導。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （授業で積極的な参加）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Manaba）

▌教科書

スペイン語とわたし
－日本とスペイン語圏、くらべてコミュニケーション！ －
El español y yo. スペイン語教材研究会編者、2025 年 (改訂版)、朝日出版社

▌参考書

「本気で学ぶスペイン語」菅原昭江著、2011 年、同学社
「スペイン語ワークブック」小川雅美編著、2007 年、同学社
「先生と学ぶスペイン語」山下好孝、森淳子共著、2009 年、同学社

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：イントロダクション** 授業内容：授業の進め方について 事前学修 2.0hr：前期の復習 事後学修 2.0hr：前期の復習を勉強する
2 回	**授業テーマ：ショーとエンターテイメント I** 授業内容：ユニット６ユニット映画　演劇等とわたし３８-４０ページ Unidad 6: Los espect ´ aculos y yo 事前学修 2.0hr：３８-４０ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容（GUSTAR 動詞）を勉強す
3 回	**授業テーマ：ショーとエンターテイメント II** 授業内容：ユニット６ユニット映画　演劇等とわたし４１-４３ページ Unidad 6: Los espectáculos y yo 事前学修 2.0hr：４１-４３ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容（GUSTAR と同じように用いられる動詞、比較表現 II）を勉強する
4 回	**授業テーマ：伝統 I** 授業内容：ユニット７色々な習慣４４-４５ページ Unidad 7: Costumbres diferentes 事前学修 2.0hr：４４-４５ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容（語幹母音変化動詞）を勉強する
5 回	**授業テーマ：伝統 II** 授業内容：ユニット７色々な習慣４６-４７ページ Unidad 7: Costumbres diferentes 事前学修 2.0hr：４６-４７ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容（ 再帰動詞）を勉強する
6 回	**授業テーマ：伝統 III** 授業内容：ユニット７色々な習慣４８- ４９ページ Unidad 7: Costumbres diferentes 事前学修 2.0hr：４８-４９ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容（居間、天候表現）を勉強する
7 回	**授業テーマ：レビュー** 授業内容：ユニット６と７の中の小テスト 事前学修 2.0hr：ユニット６と７を小テストトレーニングする 事後学修 2.0hr：小テストの振り返りをする
8 回	**授業テーマ：買い物に行く I** 授業内容：ユニット８買い物に行く５０-５１ページ Unidad 8: Ir de compras 事前学修 2.0hr：５０-５１ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容（食べ物と飲み物）を勉強する
9 回	**授業テーマ：買い物に行く II** 授業内容：ユニット８買い物に行く５２-５３ページ Unidad 8: Ir de compras 事前学修 2.0hr：５２- ５３ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容（レシピ）を勉強する

10回	**授業テーマ：買い物に行く III** 授業内容：ユニット8買い物に行く５４- ５５ページ Unidad 8: Ir de compras 事前学修 2.0hr：５４- ５５ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(衣服とアクセサリー、品質形容詞、色)を勉強する
11回	**授業テーマ：家族と友達 I** 授業内容：ユニット9家族と友人５６-５８ページ Unidad 9: Familia y amigos 事前学修 2.0hr：５６- ５８ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(体の部分の名称)を勉強する
12回	**授業テーマ：家族と友達 II** 授業内容：ユニット9家族と友人５９-６１ページ Unidad 9: Familia y amigos 事前学修 2.0hr：５９-６１ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(状態、体調・感情表現)を勉強する
13回	**授業テーマ：祭り I** 授業内容：ユニット１０行事　お祭り等とわたし６２-６４ページ Unidad 10: Las fiestas y yo 事前学修 2.0hr：６２- ６４ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(日常生活を表す動詞)を勉強する
14回	**授業テーマ：祭り II** 授業内容：ユニット１０行事　お祭り等とわたし６５-６８ページ Unidad 10: Las fiestas y yo 事前学修 2.0hr：６５- ６８ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(曜日、頻度を表す副詞表現)を勉強する
15回	**授業テーマ：レビュー** 授業内容：まとめ　ユニット8、9と１０の試験のトレーニング 事前学修 2.0hr：ユニット8、9と１０を勉強する 事後学修 2.0hr：後期の復習を勉強する

韓国語と韓国文化 A

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

全 イジョング（じょん いじょんぐ）

▌授業の概要

韓国の言葉と文化に対する理解を深め、音声や文字、語彙、表現、文構造などについて、日本語との違いに気付き、これらの知識を理解するとともに、読み書きに慣れ親しみ、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、活用できる基礎的な技能を身につけていく授業です。また、ハングルキーボード使用法の習熟なども行われます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：(1) 自然なイントネーションや正確な発音を身につける。
(2) 綴り字と発音の違いについて習得し、単語やフレーズを正しく発音できるようになる。
(3) 積極的なコミュニケーション能力の素地を養う。
(4) ハングルキーボード使用法の習熟を図り、ハングルワードの作成やネット検索ができるようになる。

個別目標：(1) 正しく発音できて、音声を聴き正しく書き取れる。
(2) 発話練習を繰り返し、簡単な挨拶、自己紹介ができる。
(3) パソコンを使った検索やハングルワードの作成ができる。

▌履修条件

・韓国語や朝鮮語を母語とする学生及びそれと同等に堪能な学生は履修できない。
・授業は毎回必ず受講し、内容をしっかり理解すること。
・グループワークを行うので遅刻や欠席をしないこと。
・教科書は必ず購入すること。
・履修者の抽選を行うので第 1 回目の授業に出席すること。(出席できない事情がある場合は事前にご相談ください。)

▌評価基準・方法

・学期末試験 (40%)、授業時の小テスト及び「振り返りシート」(30%)、課題・学習態度 (30%) によって総合的に評価する。
・5 分の４以上の出席を評価の前提条件とする。
・課題などのフィードバックは学修支援システム manaba を通して行う。
＊再試験は行わない。

▌フィードバック方法

課題をはじめ「小テスト」、授業後の質疑応答などは大学の学修支援システム (manaba) を利用し行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （ワードソフトを搭載したノートパソコンを持参すること）

▌教科書

ジョン・イジョング著 『一人でできる韓国語発音トレーニング』(ask 出版)

▌参考書

適宜資料を紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：オリエンテーション、「ハングルとは何か」** 授業内容：ハングルができる前の朝鮮半島の文字生活に身て、それからハングルの制字原理や制字思想など、ハングル誕生に関わるいくつかの事柄について触れて行く。 事前学修 2.0hr：シラバスを読み、授業の概要を理解する。 事後学修 2.0hr：配布された資料を読み直し「確認問題」に取り組む。講義動画を閲覧する。
2 回	**授業テーマ：「短母音、半母音Ⅰ」** 授業内容：短母音 8 つと半母音 (ヤ系) 6つの習得する (書き方、発音方法などをしっかり覚える)。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読む。講義動画を閲覧しハングル母音について学修する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、課題に取り組む。
3 回	**授業テーマ：「半母音Ⅱ、二重母音、基本子音字」/小テスト** 授業内容：半母音 (ワ系) 6つと二重母音 1 つの書き方、発音方法を覚え、発音の練習を行う。また、14 個の基本子音字の書き方、発音方法などを覚え、母音と組み合わせて読む練習を行う。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読む。講義動画を閲覧し予習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、課題に取り組む。
4 回	**授業テーマ：「二重子音字、ハングル字母表の読み練習」** 授業内容：基本子音字と二重子音字の音の違いを理解し発音練習に取り組む。ハングル字母表をつくり、読みの練習をする。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、講義動画を閲覧し予習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、課題に取り組む。
5 回	**授業テーマ：「パッチム、聞き取り小テスト」** 授業内容：前回の課題と動画のフィードバックを行う。パッチムの仕組み、読み方などの説明。パッチムのついた単語の聞き分け、言い分けの練習を行う。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読む。講義動画を閲覧しバッチムについて予習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、課題に取り組む。
6 回	**授業テーマ：「バッチムの読み練習、ハングルキーボード使用法」** 授業内容：前回の課題と動画のフィードバックを行う。パッチムがついた単語を読む練習。書き取りテスト実施。ハングルキーボード使用法を習熟に取り組む。ワード入力練習やハングルでネット検索を行う。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読む。講義動画を閲覧する。読みながら書く練習をする。 事後学修 2.0hr：バッチムを繰り返し音読する。ワードの打ち方を習熟させる。
7 回	**授業テーマ：「読み書き練習、仮名のハングル表記/小テスト」** 授業内容：前回の課題と動画のフィードバックを行う。単語を聴き正確に書き取る練習を繰り返し行う。日本語の仮名をハングル表記法を覚え、人名や地名を使い書き方の練習を行う。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を声に出して数回読み予習する。 事後学修 2.0hr：声の上がり下がりの調子や息の出し方に注意し発話練習をする。

8回	**授業テーマ：「発音のルール」(連音化、弱音化)/小テスト」** 授業内容：綴りと発音について把握し発音のルールを覚える。歌の歌詞を使い、連音化と弱音化を身につける。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読む。講義動画を閲覧し予習する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を読み直し、課題に取り組む。
9回	**授業テーマ：「発音のルール」(濃音化、激音化、流音化)/小テスト」** 授業内容：前回の課題と動画のフィードバックを行う。歌の歌詞、簡単な語彙を使い、濃音化、激音化、流音化を身につける。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読む。講義動画を閲覧し予習する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を読み直し、課題に取り組む。
10回	**授業テーマ：「発音のルール」(鼻音化、口蓋音化 、添加)** 授業内容：前回の課題と動画のフィードバックを行う。歌の歌詞、簡単な語彙を使い、鼻音化、口蓋音化 、添加を身につける。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読む。講義動画を閲覧し予習する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を読み直し課題に取り組む。
11回	**授業テーマ：「韓国語の文法の仕組み、品詞について」** 授業内容：前回の課題と動画のフィードバックを行う。日本語と韓国語の文章を比較しながら共通点と違いを把握する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読む。講義動画を閲覧し予習する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を読み直し、「確認問題」に取り組む。
12回	**授業テーマ：「日常の挨拶の言葉」** 授業内容：前回の課題と動画のフィードバックを行う。簡単な挨拶言葉の発音をチェックし、発話の練習に取り組む。 事前学修 2.0hr：音声教材を聴き何度も音読する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を読み直し、課題に取り組む。
13回	**授業テーマ：「体言の叙述」** 授業内容：前回の課題と動画のフィードバックを行う。体言の叙述表現について習得する。作文に取り組む。発話練習を行う。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読む。講義動画を閲覧し予習する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を読み直し、「確認問題」に取り組む。
14回	**授業テーマ：「体言の否定形、自己紹介発表/小テスト」** 授業内容：フィードバックを行う。体言の否定形表現について習得する。作文に取り組む。発話練習を行う。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読む。講義動画を閲覧し予習する。自己紹介文を作成しておく。 事後学修 2.0hr：学習した内容を読み直し、課題に取り組む。
15回	**授業テーマ：まとめ、各自発表 (品物や人物、場所などを紹介する)** 授業内容：前回の課題と動画のフィードバックを行う。学習してきた内容をおさらいする。グループ別に発表する。 事前学修 2.0hr：試験に備えてまとめをする。 事後学修 2.0hr：学習した内容を読み直し、課題に取り組む。

韓国語と韓国文化 B

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

全 イジョング（じょん いじょんぐ）

▌授業の概要

授業の進め方は、初級・中級レベルの実用的な表現やよりネイティブに近い言い回しを覚え、韓国語で発信するための準備運動(作文作り、内容をコンパクトにまとめる) をし、話すステップへ移行していきます。誰かに説明する時に求められる語彙力や要約力を高め、上手に話せる力をしっかり磨きます。また、K-POP や韓国ドラマ等にも触れ、自然で伝わりやすい表現方法を丁寧に説明します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：基礎文法を固めながら語彙力や要約力を高め、読解力を養うとともにプレゼンテーションに役立つ能力を身に付ける。
個別目標：・文章を読む上で必要な読解力を高めていく。
・文章の要点を掴んで簡潔にまとめる力を養う。
・韓国語の TOPIK2-３級の合格を目指す。

▌履修条件

・「韓国語と韓国文化 A」を履修ずみであることが望ましい。(履修済みでない場合は担当教員へご相談ください)。
・授業は毎回必ず受講し、内容をしっかり理解すること。
・グループワークを行うことが多いので遅刻や欠席をしないこと。
・履修者の抽選を行いますので必ず第１回目の授業にご出席ください。

▌評価基準・方法

・学期末試験 (40%)、授業時の小テスト及び「振り返りシート」(30%)、課題・学習態度 (30%) によって総合的に評価する。
・5 分の４以上の出席を評価の前提条件とする。
・課題などのフィードバックは学修支援システム manaba を通して行う。
＊再試験は行わない。

▌フィードバック方法

課題のフィードバックをはじめ「レポート提出」、「小テスト」、「授業後の質疑応答」などは大学の学修支援システム (manaba) を利用し行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （ワードソフトを搭載したノートパソコンを持参すること）

▌教科書

テキストは学修支援システム manaba に掲載する。

▌参考書

Never 検索辞書
ジョンイジョング著『一人でできる韓国語トレーニング』(ask 出版)

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：用言の叙述表現** 授業内容：用言の叙述表現につて学習する。作文づくりあり。発話練習に取り組む。 事前学修 2.0hr：講義概要を理解する。講義動画を閲覧する。 事後学修 2.0hr：講義動画を閲覧し学習した内容を復習し、課題に取り組む。
2回	**授業テーマ：不規則用言について/小テスト** 授業内容：課題や講義動画のフィードバックを行う。不規則用言活用をする用例を確認し、作文づくりに取り組む。 事前学修 2.0hr：講義動画を閲覧し、理解できなかったところをチエックしメモしてくる。 事後学修 2.0hr：学習した内容を復習し、課題に取り組む。
3回	**授業テーマ：指示詞と疑問詞/小テスト** 授業内容：課題や講義動画のフィードバックを行う。指示詞と疑問詞を学習する。グループ別に発表する。 事前学修 2.0hr：疑問詞と指示詞の講義動画を閲覧し、理解できなかったところをチエックしメモしてくる。 事後学修 2.0hr：学習したものを復習し、課題に取り組む。
4回	**授業テーマ：動詞・形容詞の否定形/小テスト** 授業内容：課題や講義動画のフィードバックを行う。用言の否定形について学習する。文章作りに取り組む。発話練習を行う。 事前学修 2.0hr：講義動画を閲覧し、理解できなかったところをチエックしメモしてくる。 事後学修 2.0hr：学習した内容を復習し、課題に取り組む。
5回	**授業テーマ：漢数字/小テスト** 授業内容：課題や講義動画のフィードバックを行う。漢数字を学習しテキストの「練習問題」に取り組む。会話練習を行う。 事前学修 2.0hr：講義動画を閲覧し、理解できなかったところをチエックしメモしてくる。 事後学修 2.0hr：学習した内容を復習し、課題に取り組む。
6回	**授業テーマ：存在詞/小テスト** 授業内容：課題や講義動画のフィードバックを行う。存在詞の言い回しをまとめる。日本語の文章を韓国語に替えて話す練習を行う。 事前学修 2.0hr：講義動画を閲覧し、理解できなかったところをチエックしメモしてくる。 事後学修 2.0hr：学習した内容を復習し、課題に取り組む。
7回	**授業テーマ：固有数字/小テスト** 授業内容：課題や講義動画のフィードバックを行う。固有数字について学習。日本語の文章から韓国語に替えて話す練習を行う。 事前学修 2.0hr：講義動画を閲覧し、理解できなかったところをチエックしメモしてくる。 事後学修 2.0hr：学習した内容を復習し、課題に取り組む。
8回	**授業テーマ：過去形/小テスト** 授業内容：課題や講義動画のフィードバックを行う。過去形を学習した後、テキストの「練習問題」に取り組む。 事前学修 2.0hr：講義動画を閲覧し、理解できなかったところをチエックしメモしてくる。 事後学修 2.0hr：学習した内容を復習し、課題に取り組む。
9回	**授業テーマ：文の接続 (状態・動作の羅列)** 授業内容：課題や講義動画のフィードバックを行う。文の接続表現について学習する。テキストの「練習問題」に取り組む。 事前学修 2.0hr：講義動画を閲覧し、理解できなかったところをチエックしメモしてくる。 事後学修 2.0hr：学習した内容を復習し、課題に取り組む。

10回	**授業テーマ：仮定・条件表現/小テスト** 授業内容：課題や講義動画のフィードバックを行う。仮定・条件表現叙述表現について学習する。テキストの「練習問題」に取り組む。 事前学修 2.0hr：講義動画を閲覧し、理解できなかったところをチエックしメモしてくる。 事後学修 2.0hr：学習した内容を復習し、課題に取り組む。
11回	**授業テーマ：許可・不許可表現/小テスト** 授業内容：課題や講義動画のフィードバックを行う。許可・不許可表現について学習する。テキストの「練習問題」に取り組む。発話練習を行う。 事前学修 2.0hr：講義動画を閲覧し、理解できなかったところをチエックしメモしてくる。 事後学修 2.0hr：学習した内容を復習し、課題に取り組む。
12回	**授業テーマ：勧誘形表現/小テスト** 授業内容：課題や講義動画のフィードバックを行う。勧誘表現について学習する。テキストの「練習問題」に取り組む。発話練習を行う。 事前学修 2.0hr：講義動画を閲覧し、理解できなかったところをチエックしメモしてくる。 事後学修 2.0hr：学習した内容を復習し、課題に取り組む。
13回	**授業テーマ：連体形/小テスト** 授業内容：課題や講義動画のフィードバックを行う。連体形について学習する。連体形を使った文章作りをし発話練習に取り組む。 事前学修 2.0hr：講義動画を閲覧し、理解できなかったところをチエックしメモしてくる。 事後学修 2.0hr：学習した内容を復習し、課題に取り組む。
14回	**授業テーマ：可能・不可能表現/小テスト** 授業内容：課題や講義動画のフィードバックを行う。可能・不可能表現について学習する。日本語の文章から韓国語に替えて話す練習を行う。 事前学修 2.0hr：講義動画を閲覧し、理解できなかったところをチエックしメモしてくる。 事後学修 2.0hr：学習した内容を復習し、課題に取り組む。
15回	**授業テーマ：基本文法のまとめ。振り返りシート完成** 授業内容：課題や講義動画のフィードバックを行う。前期の授業で学習された内容を確認し、「振り返りシート」を完成する。 事前学修 2.0hr：基礎文法のまとめ、振り返りシートを作成する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を復習する。

中国語と中国文化 A

開講学科等：日英経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

中島　祝（なかじま　はじめ）

▌授業の概要

初学者を対象が中国語「普通話」の基礎を学ぶ科目である。中国および中国語の概要に始まり、発音、文法、表現などについて、講義および演習を通じて理解を促す。さらに中国文化についても紹介する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：中国の現状を知るとともに、中国語で簡単な文章を理解し、聴き取り、話し、読み、書くことができる。

個別目標：1. 中国と中国文化について知る。
2. ピンインを読むことができる。
3. 基本文型を用いて表現できる。

▌履修条件

中国語を母語とする学生は履修できない。

▌評価基準・方法

学期末試験もしくはそれに代わる課題を主とする。必要に応じて中間試験や追加課題等を課し、授業成果と併せて成績を評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは教場またはオンラインで行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

中国語ポイント 55（白水社）

▌参考書

授業中に指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：中国と中国語の概要** 授業内容：中国がどのような国であり、中国語がどのような言語であるか説明する。 事前学修 2.0hr：中国について文献等の資料を読む。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、さらに自ら資料を精読して理解を深める。
2回	**授業テーマ：普通話、ピンイン、簡体字** 授業内容：普通話がどのようなものであるか説明し、普通話と不可分のピンインや簡体字を紹介する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
3回	**授業テーマ：文の構造** 授業内容：中国語の文を構成するには主語、述語、目的語などを適切な語順で配列する必要があることを説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
4回	**授業テーマ：人称代名詞、是** 授業内容：一人称、二人称、三人称、単数、複数などの人称代名詞を紹介し、動詞「是」を用いた文の構成方法を説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
5回	**授業テーマ：疑問文、名前** 授業内容：疑問文の作り方、および氏名の名乗り方を説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
6回	**授業テーマ：動詞述語文、指示代名詞** 授業内容：近称や遠照の指示代名詞を紹介し、それらを用いて動詞述語文を構成する方法を説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
7回	**授業テーマ：疑問詞、的** 授業内容：疑問詞を用いた疑問文のつくり方、および「的」を用いた定語の用法を説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
8回	**授業テーマ：形容詞述語文、有** 授業内容：形容詞述語文のつくり方、および動詞「有」の用法について説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
9回	**授業テーマ：反復疑問文、也、都** 授業内容：反復疑問文を紹介するとともに、状語として副詞を用いる方法を説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
10回	**授業テーマ：場所代名詞、在** 授業内容：場所を指示する代名詞を紹介し、さらに動詞「在」を用いて文を構成する方法を説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
11回	**授業テーマ：動詞の重ね型、省略疑問文** 授業内容：動詞の重ね型について説明し、さらに語気助詞を用いた省略疑問文を紹介する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。

12回	**授業テーマ：数詞、量詞** 授業内容：数の発音を練習し、1 個のりんご、3 冊の本などをどう表現するか説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
13回	**授業テーマ：幾と多少、語気助詞** 授業内容：疑問詞を用いて数量を尋ねる方法を紹介し、さらに語気助詞について詳説する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
14回	**授業テーマ：存在、連動文** 授業内容：動詞「有」を用いて存在を表現する方法を説明し、さらに連動文という型を紹介する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
15回	**授業テーマ：月日、時刻** 授業内容：月日、曜日、時刻などの表現方法を説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。

中国語と中国文化 A

開講学科等：日英経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

南　勇（なん　ゆう）

▌授業の概要

この授業は、中国語を学ぼうとする初心者を対象とする基礎科目である。まず「四声」を特徴とする中国語発音をしっかり身につけて、はじめの段階から中国語をきれいに発音できるように力を入れる。また、基本単語、基本文型と文法知識をマスターして、簡単な会話ができることを目指す。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：学習者が中国語の発音と基本文法をマスターして、実際に中国人と簡単な会話ができるようになることによって、中国語を勉強する意欲とモチベーションを高める。

個別目標：中国語の国家試験にあたる「漢語レベル試験」(HSK)の 1 級に挑む自信と実力を身につける。

▌履修条件

中国語を母語とする学生及び母語同等に堪能な学生は履修できない。

▌評価基準・方法

定期試験 70 %、宿題と確認小テスト 20 %、授業内における参加姿勢及び発言など 10 %の結果及び到達目標の達成度に基づき総合的に評価する。

▌フィードバック方法

宿題、課題小テストと理解度確認のフィードバックは、学習支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （各課の宿題などはスマートフォン& PC、試験の時は PC で行う。）

▌教科書

『新 HSK にチャレンジ！ 一年生の中国語』　南勇著　朝日出版社

▌参考書

特になし。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス。発音編 1 四声と単母音** 授業内容：授業の特徴、進み方、勉強法など。そして体験授業として発音編 1「四声」と単母音を勉強する。 事前学修 2.0hr：YouTube から中国語の短い映像を視聴して、中国語を体験してみる。 事後学修 2.0hr：中国語発音の基本「四声」と単母音を熟練して暗記する。
2 回	**授業テーマ：発音編 2 子音** 授業内容：子音の発音を勉強する。 事前学修 2.0hr：教科書付き CD から子音の音声を聞き、発音してみる。分からない箇所はメモして授業で先生に聞く。 事後学修 2.0hr：繰り返し音声を聞き、暗記する。
3 回	**授業テーマ：発音編 3 複母音** 授業内容：複母音の発音を勉強する 事前学修 2.0hr：複母音を予習する。 事後学修 2.0hr：複母音を暗記し、宿題を提出する。
4 回	**授業テーマ：発音編 4 鼻母音** 授業内容：鼻母音の発音を勉強する。 事前学修 2.0hr：鼻母音の発音を予習する。 事後学修 2.0hr：鼻母音を暗記する。特に-n と-ng の区別を理解する。
5 回	**授業テーマ：発音編 5 発音編のまとめ** 授業内容：発音編の全体をまとめて、体系化する。小テストを行う 事前学修 3.0hr：発音編全体を復習し、小テストの準備をしっかりする。 事後学修 2.0hr：小テストの結果を踏まえて、問題点と弱点をピンポイントで復習する。
6 回	**授業テーマ：第 1 課** 授業内容：人称代名詞。動詞「是」。名前の言い方。 事前学修 2.0hr：第 1 課の内容を予習する。 事後学修 2.0hr：日本語の「～は」、英語の b 動詞と「是」との区別をしっかり理解する。
7 回	**授業テーマ：第 2 課** 授業内容：動詞述語文。語気助詞「吧」。疑問詞疑問文。 事前学修 2.0hr：第 2 課を予習する。 事後学修 2.0hr：日本語の基本語順と中国語の語順を比較して理解を深める。
8 回	**授業テーマ：第 3 課** 授業内容：指示代名詞 1 こそあど。「的」。省略疑問文。 事前学修 2.0hr：第 3 課を予習する。 事後学修 2.0hr：日本語の指示代名詞と比較して理解を深める。
9 回	**授業テーマ：第 4 課** 授業内容：形容詞述語文。助動詞「想」。動詞の重ね型。 事前学修 2.0hr：第 4 課を予習する。 事後学修 2.0hr：第 1 回目の確認小テスト(1 課～４課)を提出する。
10 回	**授業テーマ：第 5 課** 授業内容：時間の表現 1。所有を表す「有」。反復疑問文。 事前学修 2.0hr：第 5 課を予習する。 事後学修 2.0hr：日本語の時間表現と比較して、中国語の時間表現を覚える。
11 回	**授業テーマ：第 6 課** 授業内容：数の数え方。量詞。数量の疑問表現。 事前学修 2.0hr：中国語で 1 ～ 100 を数えてみる。 事後学修 2.0hr：数え方をしっかりマスターする。
12 回	**授業テーマ：第 7 課** 授業内容：指示代名詞 2 場所。方位詞。存在を表す「有」と「在」。 事前学修 2.0hr：第 7 課を予習する。 事後学修 2.0hr：日本語と比較しながら、場所、位置、時間の表現をしっかりまとめてみる。

13回	**授業テーマ：第８課** 授業内容：時間の表現 2 年月日・曜日。変化を表す「了」。年齢の言い方。 事前学修 2.0hr：第 8 課を予習する。 事後学修 2.0hr：「了」は重点と難点。しっかり理解する。第 2 回目の確認小テスト（第 5 課～第 8 課）を提出する。
14回	**授業テーマ：総復習** 授業内容：前期の第 1 課～第 8 課を復習する。模擬テストを行う 事前学修 3.5hr：まず自分流で復習し、不明なところをメモして授業で先生に聞く。 事後学修 3.0hr：模擬テストをもう一回やってみて、弱点を徹底的にクリアする。
15回	**授業テーマ：理解度の確認と解説** 授業内容：出された課題を解答、提出する。その結果を検証する。 事前学修 3.5hr：前期の学習内容を全面的に復習し、体系的に理解する。 事後学修 3.0hr：解答を間違った問題を中心に、レベルアップを図る。

中国語と中国文化 A

開講学科等：日英経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

余　瀾（よ らん）

▌授業の概要

初心者を対象に中国語の基礎を学ぶ科目です。テキストに沿って、中国語の発音、会話と文法の基礎を学びます。また、中国社会や文化についても紹介します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：中国のことを知るとともに、中国語の基礎文法を理解し、日常会話（日付、曜日、誕生日、年齢、金額、食事の注文、ペット、好きな、色、果物など 12 場面）を聴き取り、話し、読み、書くことができる。

個別目標：到達目標は次です。

①中国語の「高」、「低」、「上昇」、「下降」の四つの声調の感覚を身につけます。
②中国語の発音表記「ピンイン」を識別し、正しく発音することができます。
③簡単な日常会話ができます。
④中国語の初級文法について理解することができます。
⑤中国の社会と文化について理解します。

▌履修条件

中国語の初修者。中国語を母語とする学生及び母語同等に堪能な学生は履修できません。

▌評価基準・方法

成績評価は 100 点満点とし、60 点以上が合格となります。
配分は、毎回行なう会話の発表が 20 %、単語テストが 20 %、期末テストが 60 %です。

▌フィードバック方法

授業中学生に指導します。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （役を決め、短い会話を寸劇で演じながら覚えます。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

あなたが主役演じる入門中国語　朝日出版社

▌参考書

授業中に指示します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：教科書の「発音」。中国、中国語、普通話、ピンイン、四声・単母音** 授業内容：中国はどんな国なのか、中国語はどのような言語なのかを簡単に説明します。普通話とピンインについて説明します。単母音と四声の発音を練習します。 事前学修 2.0hr：中国についての資料を読む。 事後学修 2.0hr：単母音と四声を練習します。
2 回	**授業テーマ：教科書の「発音」。複母音・子音** 授業内容：複母音・子音を練習します。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
3 回	**授業テーマ：教科書の「発音」。鼻母音・ピンインのつづりのルール** 授業内容：鼻母音を練習します。ピンインのつづりのルールを説明します。 中国の社会と文化①中国の大学生活 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
4 回	**授業テーマ：教科書の第 1 課　会話・文法ポイント・口頭の置き換え練習・書く練習** 授業内容：「会話本文」（曜日と日付）を練習します。 「文法ポイント」で「数字」・「日付」・「曜日」を学習します。 口頭の「置き換え練習」をします。これにより、文法ポイントを理解し、定着します。 書く「練習 A」をします。音声を聞き漢字で書き取り問題、ピンインから漢字へ変換する問題、中国語から日本語への翻訳問題を解きます。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
5 回	**授業テーマ：教科書の第 2 課　会話・文法ポイント・口頭の置き換え練習・書く練習** 授業内容：「会話本文」（年齢と誕生日）を練習します。 「文法ポイント」で「人称代名詞」と「A 的 B」を学習します。 口頭の「置き換え練習」をします。これにより、文法ポイントを理解し、定着します。 書く「練習 A」をします。音声を聞き漢字で書き取り問題、ピンインから漢字へ変換する問題、中国語から日本語への翻訳問題を解きます。 中国の社会と文化②中国人の名付け方 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
6 回	**授業テーマ：教科書の第 3 課　会話・文法ポイント・口頭の置き換え練習・書く練習** 授業内容：「会話本文」（時刻）を練習します。 「文法ポイント」で「時刻」と変化を表す「～了」を学習します。 口頭の「置き換え練習」をします。これにより、文法ポイントを理解し、定着します。 書く「練習 A」をします。音声を聞き漢字で書き取り問題、ピンインから漢字へ変換する問題、中国語から日本語への翻訳問題を解きます。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。

7回	**授業テーマ：教科書の第 4 課　会話・文法ポイント・口頭の置き換え練習・書く練習** 授業内容：「会話本文」(チケットは一枚いくら？)を練習します。 「文法ポイント」で「動詞述語文」、「数詞＋量詞＋名詞」を学習します。 口頭の「置き換え練習」をします。これにより、文法ポイントを理解し、定着します。 書く「練習 A」をします。音声を聞き漢字で書き取り問題、ピンインから漢字へ変換する問題、中国語から日本語への翻訳問題を解きます。 中国の社会と文化③中国の「鬼」と日本の「鬼」 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
8回	**授業テーマ：教科書の第 5 課　会話・文法ポイント・口頭の置き換え練習・書く練習** 授業内容：「会話本文」(あなたの携帯番号は？)を練習します。 「文法ポイント」で判断文「A 是 B」を学習します。 口頭の「置き換え練習」をします。これにより、文法ポイントを理解し、定着します。 書く「練習 A」をします。音声を聞き漢字で書き取り問題、ピンインから漢字へ変換する問題、中国語から日本語への翻訳問題を解きます。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
9回	**授業テーマ：教科書の第 6 課　会話・文法ポイント・口頭の置き換え練習・書く練習** 授業内容：「会話本文」(何名様ですか？)を練習します。 「文法ポイント」で「指示代名詞」と疑問詞「什麽」を学習します。 口頭の「置き換え練習」をします。これにより、文法ポイントを理解し、定着します。 書く「練習 A」をします。音声を聞き漢字で書き取り問題、ピンインから漢字へ変換する問題、中国語から日本語への翻訳問題を解きます。 中国の社会と文化④中国人のお酒の飲み方 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
10回	**授業テーマ：教科書の第 7 課　会話・文法ポイント・口頭の置き換え練習・書く練習** 授業内容：「会話本文」(入国審査)を練習します。 「文法ポイント」で選択疑問文判断文「～還是～」、「連動文」、「在＋場所＋動作」を学習します。 口頭の「置き換え練習」をします。これにより、文法ポイントを理解し、定着します。 書く「練習 A」をします。音声を聞き漢字で書き取り問題、ピンインから漢字へ変換する問題、中国語から日本語への翻訳問題を解きます。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
11回	**授業テーマ：教科書の第 8 課　会話・文法ポイント・口頭の置き換え練習・書く練習** 授業内容：「会話本文」(買い物)を練習します。 「文法ポイント」で「喜歓」、「這・那・哪＋量詞＋名詞」、「動詞の重ね型」を学習します。 口頭の「置き換え練習」をします。これにより、文法ポイントを理解し、定着します。 書く「練習 A」をします。音声を聞き漢字で書き取り問題、ピンインから漢字へ変換する問題、中国語から日本語への翻訳問題を解きます。 中国の社会と文化⑤中国人の挨拶時の身体動作 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
12回	**授業テーマ：教科書の第 9 課　会話・文法ポイント・口頭の置き換え練習・書く練習** 授業内容：「会話本文」(肩をもんであげましょう)を練習します。 「文法ポイント」で「形容詞述語文」を学習します。 口頭の「置き換え練習」をします。これにより、文法ポイントを理解し、定着します。 書く「練習 A」をします。音声を聞き漢字で書き取り問題、ピンインから漢字へ変換する問題、中国語から日本語への翻訳問題を解きます。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
13回	**授業テーマ：教科書の第 10 課　会話・文法ポイント・口頭の置き換え練習・書く練習** 授業内容：「会話本文」(ワンちゃんが可愛いね！)を練習します。 「文法ポイント」で「形容詞の比較文」を学習します。 口頭の「置き換え練習」をします。これにより、文法ポイントを理解し、定着します。 「書く練習」をします。音声を聞き漢字で書き取り問題、ピンインから漢字へ変換する問題、中国語から日本語への翻訳問題を解きます。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
14回	**授業テーマ：教科書の第 11 課　会話・文法ポイント・口頭の置き換え練習・書く練習** 授業内容：「会話本文」(飲み物を注文する)を練習します。 「文法ポイント」で注文する時「来～」、 省略疑問文「～呢」を学習します。 口頭の「置き換え練習」をします。これにより、文法ポイントを理解し、定着します。 書く「練習 A」をします。音声を聞き漢字で書き取り問題、ピンインから漢字へ変換する問題、中国語から日本語への翻訳問題を解きます。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
15回	**授業テーマ：教科書の第 12 課　会話・文法ポイント・口頭の置き換え練習・書く練習** 授業内容：「会話本文」(お昼何を食べるの？)を練習します。 「文法ポイント」で判断文「主述述語文」を学習します。 口頭の「置き換え練習」をします。これにより、文法ポイントを理解し、定着します。 書く「練習 A」をします。音声を聞き漢字で書き取り問題、ピンインから漢字へ変換する問題、中国語から日本語への翻訳問題を解きます。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。

中国語と中国文化 B

開講学科等：日英経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

王　丹（おう　たん）

▌授業の概要

初心者を対象に、中国語を学ぶ楽しさを知り、文化として中国語を学ぶ意味を主眼に置きながら、初級中国語を習得する。具体的に、発音の表記記号ピンインから始まり、初級文法を系統的に学び、日常会話を習得していく。また、中国の生活、社会、歴史など文化的な要素に触れ、中国語を学ぶ意味を深めていく。中国語学習をメインとする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：中国語の発音については、仕組みの特徴を理解し、読み書きできる。
中国語の文字については、日本語漢字との違いを区別することができ、書けるようになる。
中国語の基礎文法については、その仕組みを理解し、運用することができる。
中国の文化については、中国の生活、社会などに関することを概略的に言える。

個別目標：「中国語と中国文化 B」の学習を通じ、日常挨拶、買い物、レストランでの注文、道尋ね、家族構成の紹介、旅行や留学など日常生活についての表現ができる。また、初級文法を一通り学習でき、中国語検定試験４級の合格を目指せる。

▌履修条件

初学者を対象とする。当該言語（中国語）を母語とする学生及びそれと同等に堪能な学生は履修不可。

▌評価基準・方法

❶　試験 80 %：学習到達度を測定するため、授業内で小テストを実施する。テストの成績によって、以降の授業の進み方を見直し、改善していくことができる。

❷　受講状況 20 %：授業内容によって、課題提出や口頭発表等のこともある。また、しっかり出席することも重要。

＊原則として５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

manaba 実施。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （対話練習）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

教科書：「しゃべっていいとも中国語　トータル版」
著者：陳淑梅　劉光赤
朝日出版社

▌参考書

特になし

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：「中国語」の仕組みと発音の慣らし** 授業内容：「中国語」の仕組みと発音記号ピンインの構造についての説明及び数字の発音の慣らし。 事前学修 2.0hr：シラバスを読み、授業概要を理解する。 事後学修 2.0hr：本日学習した内容の復習。
2 回	**授業テーマ：授業テーマ:「発音編」第 1 課～第４課、基本挨拶の学習** 授業内容：・単母音、声調、子音 ・日常の挨拶を学習する。 事前学修 2.0hr：中国語を学ぶ意味について考え、数字の発音を練習する。 事後学修 2.0hr：「発音編」第１課～第４課の内容の復習。
3 回	**授業テーマ：名前について** 授業内容：名前の言い方、名前の尋ね方。 人称代名詞 ピンイン（発音）の小テスト実施。（第 1 課～第４課） 事前学修 2.0hr：ピンイン、数字と基本の挨拶の暗唱。 事後学修 2.0hr：第５課　初対面挨拶の仕方の確認。
4 回	**授業テーマ：歓迎パーティー** 授業内容：動詞、助詞、疑問詞の学習。 肯定文、否定文、疑問文の学習。 事前学修 2.0hr：第５課　人称代名詞の復習。 事後学修 2.0hr：第 6 課の「文法要点」について理解できているかの確認。
5 回	**授業テーマ：タクシーに乗る** 授業内容：基本語順、連動文の学習。 指示代名詞の導入。 小テストの実施。（第 5 課～第 6 課） 事前学修 2.0hr：第 5 課～第 6 課の内容の復習。 事後学修 2.0hr：第 7 課の単語を覚え、会話文を熟読する。
6 回	**授業テーマ：宿泊する** 授業内容：助動詞、所有と存在を表す動詞、指示代名詞の学習。 事前学修 2.0hr：第 7 課の内容の復習。 事後学修 2.0hr：第８課の単語を覚え、会話文を熟読し、ホテルでチェックインする時の言い方を覚える。
7 回	**授業テーマ：道を尋ねる** 授業内容：所在を表す動詞、方位詞、前置詞の学習。 事前学修 2.0hr：第 8 課の内容の復習。 事後学修 2.0hr：道の尋ね方を確認すること。第７課～第９課の内容を復習する。

8回	**授業テーマ：ショッピングをする** 授業内容：数字、価格の言い方。 形容詞、副詞、形容詞述語文の学習。 小テストの実施(第７課～第９課)。 事前学修 2.0hr：第７課～第９課の内容の復習。 事後学修 2.0hr：第 10 課　買い物の場面の会話確認。
9回	**授業テーマ：おしゃべりをする** 授業内容：年月日、曜日、年齢の言い方。 年齢の尋ね方。 事前学修 2.0hr：第 10 課の内容の復習。 事後学修 2.0hr：第 11 課の単語を覚え、会話文を熟読する。
10回	**授業テーマ：料理を注文する** 授業内容：量詞、動詞の重ね型。 料理の名前、注文の仕方。 事前学修 2.0hr：第 11 課の内容の復習。 事後学修 2.0hr：第 12 課の単語を覚え、会話文を熟読する。第 10 課～第 12 課の内容の復習。
11回	**授業テーマ：サッカーのチケットを買う** 授業内容：時刻の言い方。 文末の「了」について。 小テストの実施(第 10 課～第 12 課)。 事前学修 2.0hr：第１ 2 課の内容の復習。 事後学修 2.0hr：第 13 課単語を覚え、会話文を熟読する。
12回	**授業テーマ：足裏マッサージ** 授業内容：時間詞。 動作の完了を表す「了」について。 事前学修 2.0hr：第 13 課の内容の復習。 事後学修 2.0hr：第 14 課の単語を覚え、会話文を熟読する。
13回	**授業テーマ：フロントで** 授業内容：前置詞「給」、助動詞「可以」、「能」の学習。 事前学修 2.0hr：第 14 課の内容の復習。 事後学修 2.0hr：第 15 課の単語を覚え、会話文を熟読する。ホテルフロントでの様々な頼みことができるかの確認。
14回	**授業テーマ：電話をかける** 授業内容：動詞の現在進行形。 助動詞「会」 小テストの実施(第 13 課～第 15 課)。 事前学修 2.0hr：第 13 課～第 15 課の内容の復習。 事後学修 2.0hr：第１課～第 16 課の内容の復習。
15回	**授業テーマ：授業のまとめ** 授業内容：試験の詳細は別途告知する。 事前学修 2.0hr：第１課～第 15 課の内容の復習。 事後学修 2.0hr：特に無し

中国語と中国文化 B

開講学科等：日英経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

南　勇（なん　ゆう）

▌授業の概要

前期と同じく発音を重視する。毎課の会話文を朗読することによって、きれいな発音を身につける。また、基本単語、基本文型と文法知識をマスターして、簡単な会話ができることを目指す。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：学習者が中国語の発音と基本文法をマスターして、実際に中国人と簡単な会話ができるようになることによって、中国語を勉強する意欲とモチベーションを高める。

個別目標：中国語の国家試験にあたる「漢語レベル試験」(HSK)の 2 級に挑む自信と実力を身につける。

▌履修条件

中国語を母語とする学生及び母語同等に堪能な学生は履修できない。

▌評価基準・方法

定期試験 70 %、宿題と確認小テスト 20 %、授業内における参加姿勢及び発言など 10 %の結果及び到達目標の達成度に基づき総合的に評価する。

▌フィードバック方法

宿題、課題小テストと理解度確認のフィードバックは、学習支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （各課の宿題などはスマートフォン& PC、試験の時は PC で行う。）

▌教科書

『新 HSK にチャレンジ！ 一年生の中国語』　南勇著　朝日出版社

▌参考書

特になし。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：前期内容の復習** 授業内容：前期の試験問題をもう一回やって、前期に勉強した内容を復習・整理する。 事前学修 2.0hr：前期の学習内容(ピンインと 1 課～8 課)を復習する。 事後学修 2.0hr：前期の長所と短所を分析し、後期の学習計画を立てる。
2 回	**授業テーマ：第 9 課** 授業内容：完了を表す「了」。前置詞「給」。主述述語文。 事前学修 2.0hr：第 9 課を予習する。 事後学修 2.0hr：日本語の「～た」と中国語の「了」を比較して理解を深める。
3 回	**授業テーマ：第 10 課** 授業内容：時間の表現 3 時刻。連動文。疑問詞「怎么」。 事前学修 2.0hr：第 10 課を予習する。 事後学修 2.0hr：時間の表現 1・２・3 をまとめて体系的に整理してみる。
4 回	**授業テーマ：第 11 課** 授業内容：前置詞「在」。二重目的語。前置詞「跟」。 事前学修 2.0hr：第 11 課を予習する。 事後学修 2.0hr：前期勉強した動詞「在」とこの課で勉強した前置詞「在」の違いを理解する。
5 回	**授業テーマ：第 12 課** 授業内容：経験を表す「過」。動作量補語。お金の言い方。 事前学修 2.0hr：第 12 課を予習する。 事後学修 3.0hr：第 9 課～第 12 課の確認小テストを提出する。
6 回	**授業テーマ：第 13 課** 授業内容：時間量。時間量補語。「从・到・离」。 事前学修 2.0hr：第 13 課を予習する。 事後学修 2.0hr：すでに勉強した時間の表現 123 と時間量の違いを考える。
7 回	**授業テーマ：第 14 課** 授業内容：助動詞「会・能・可以」。 事前学修 2.0hr：第 14 課を予習する。 事後学修 2.0hr：３つの助動詞の共通点と相違点を理解する。
8 回	**授業テーマ：第 15 課** 授業内容：比較の表現。「是～的」構文。様態補語。 事前学修 2.0hr：第 15 課を予習する。 事後学修 2.0hr：日本語の比較表現と比較して中国語の比較文をより深く理解する。
9 回	**授業テーマ：第 16 課** 授業内容：「快～了」。方向補語。持続を表す「着」。 事前学修 2.5hr：第 16 課を予習する。 事後学修 3.0hr：第 13 課～ 16 課の確認小テストを提出する。
10 回	**授業テーマ：第 17 課** 授業内容：結果補語。処置を表す「把」。使役を表す「讓」。 事前学修 2.0hr：第 17 課を予習する。 事後学修 2.0hr：難易度の高い「把」の使い方をしっかり理解する。
11 回	**授業テーマ：第 18 課** 授業内容：進行を表す「在」。可能補語。禁止を表す「別」。 事前学修 2.0hr：第 18 課を予習する。 事後学修 2.0hr：この課の文法項目をしっかりまとめる。
12 回	**授業テーマ：第 19 課** 授業内容：方向を表す前置詞「往」。対象を表す前置詞「対」。選択疑問文「還是」。 事前学修 2.0hr：第 19 課を予習する。 事後学修 2.0hr：この課の文法をしっかりまとめる。

13回	**授業テーマ：第 20 課** 授業内容：因果関係を表す「因為～所以」。疑問詞の不定用法。疑問詞の任意用法。 事前学修 2.0hr：第 20 課を予習する。 事後学修 3.0hr：第 17 課~20 課の確認小テストを提出する。
14回	**授業テーマ：総復習** 授業内容：後期全体を復習する。 事前学修 3.0hr：復習して、まだ充分理解していないところを見つけて、授業でみなと一緒に解決する。 事後学修 3.0hr：模擬テストをやってみる。
15回	**授業テーマ：理解度の確認と解説** 授業内容：課題を出して理解度を検証する。 事前学修 3.0hr：後期全般を復習する。 事後学修 3.0hr：本物の HSK 試験(過去問)に挑戦して、自分の実力を試す。

中国語と中国文化 B

開講学科等：日英経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

余　瀾（よ らん）

▌授業の概要

初心者を対象に中国語の基礎を学ぶ科目です。テキストに沿って、中国語の発音、会話と文法の基礎を学びます。また、中国社会や文化についても紹介します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：中国のことを知るとともに、中国語の基礎文法を理解し、日常会話（日付、曜日、誕生日、年齢、金額、食事の注文、ペット、好きな、色、果物など 12 場面）を聴き取り、話し、読み、書くことができる。

個別目標：到達目標は次です。

①中国語の「高」、「低」、「上昇」、「下降」の四つの声調の感覚を身につけます。
②中国語の発音表記「ピンイン」を識別し、正しく発音することができます。
③簡単な日常会話ができます。
④中国語の初級文法について理解することができます。
⑤中国の社会と文化について理解します。

▌履修条件

中国語の初修者。中国語を母語とする学生及び母語同等に堪能な学生は履修できません。

▌評価基準・方法

成績評価は 100 点満点とし、60 点以上が合格となります。
配分は、毎回行なう会話の発表が 20 %、単語テストが 20 %、期末テストが 60 %です。

▌フィードバック方法

授業中学生に指導します。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （役を決め、短い会話を寸劇で演じながら覚えます。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

あなたが主役演じる入門中国語　朝日出版社

▌参考書

授業中に指示します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：教科書の「発音」。中国、中国語、普通話、ピンイン、四声・単母音** 授業内容：中国はどんな国なのか、中国語はどのような言語なのかを簡単に説明します。普通話とピンインについて説明します。単母音と四声の発音を練習します。 事前学修 2.0hr：中国についての資料を読む。 事後学修 2.0hr：単母音と四声を練習します。
2 回	**授業テーマ：教科書の「発音」。複母音・子音** 授業内容：複母音・子音を練習します。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
3 回	**授業テーマ：教科書の「発音」。鼻母音・ピンインのつづりのルール** 授業内容：鼻母音を練習します。ピンインのつづりのルールを説明します。 中国の社会と文化①中国の大学生活 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
4 回	**授業テーマ：教科書の第 1 課　会話・文法ポイント・口頭の置き換え練習・書く練習** 授業内容：「会話本文」（曜日と日付）を練習します。 「文法ポイント」で「数字」・「日付」・「曜日」を学習します。 口頭の「置き換え練習」をします。これにより、文法ポイントを理解し、定着します。 書く「練習 A」をします。音声を聞き漢字で書き取り問題、ピンインから漢字へ変換する問題、中国語から日本語への翻訳問題を解きます。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
5 回	**授業テーマ：教科書の第 2 課　会話・文法ポイント・口頭の置き換え練習・書く練習** 授業内容：「会話本文」（年齢と誕生日）を練習します。 「文法ポイント」で「人称代名詞」と「A 的 B」を学習します。 口頭の「置き換え練習」をします。これにより、文法ポイントを理解し、定着します。 書く「練習 A」をします。音声を聞き漢字で書き取り問題、ピンインから漢字へ変換する問題、中国語から日本語への翻訳問題を解きます。 中国の社会と文化②中国人の名付け方 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
6 回	**授業テーマ：教科書の第 3 課　会話・文法ポイント・口頭の置き換え練習・書く練習** 授業内容：「会話本文」（時刻）を練習します。 「文法ポイント」で「時刻」と変化を表す「～了」を学習します。 口頭の「置き換え練習」をします。これにより、文法ポイントを理解し、定着します。 書く「練習 A」をします。音声を聞き漢字で書き取り問題、ピンインから漢字へ変換する問題、中国語から日本語への翻訳問題を解きます。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。

7回	**授業テーマ：教科書の第 4 課　会話・文法ポイント・口頭の置き換え練習・書く練習** 授業内容：「会話本文」(チケットは一枚いくら？)を練習します。 「文法ポイント」で「動詞述語文」、「数詞＋量詞＋名詞」を学習します。 口頭の「置き換え練習」をします。これにより、文法ポイントを理解し、定着します。 書く「練習 A」をします。音声を聞き漢字で書き取り問題、ピンインから漢字へ変換する問題、中国語から日本語への翻訳問題を解きます。 中国の社会と文化③中国の「鬼」と日本の「鬼」 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
8回	**授業テーマ：教科書の第 5 課　会話・文法ポイント・口頭の置き換え練習・書く練習** 授業内容：「会話本文」(あなたの携帯番号は？)を練習します。 「文法ポイント」で判断文「A 是 B」を学習します。 口頭の「置き換え練習」をします。これにより、文法ポイントを理解し、定着します。 書く「練習 A」をします。音声を聞き漢字で書き取り問題、ピンインから漢字へ変換する問題、中国語から日本語への翻訳問題を解きます。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
9回	**授業テーマ：教科書の第 6 課　会話・文法ポイント・口頭の置き換え練習・書く練習** 授業内容：「会話本文」(何名様ですか？)を練習します。 「文法ポイント」で「指示代名詞」と疑問詞「什麽」を学習します。 口頭の「置き換え練習」をします。これにより、文法ポイントを理解し、定着します。 書く「練習 A」をします。音声を聞き漢字で書き取り問題、ピンインから漢字へ変換する問題、中国語から日本語への翻訳問題を解きます。 中国の社会と文化④中国人のお酒の飲み方 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
10回	**授業テーマ：教科書の第 7 課　会話・文法ポイント・口頭の置き換え練習・書く練習** 授業内容：「会話本文」(入国審査)を練習します。 「文法ポイント」で選択疑問文判断文「～還是～」、「連動文」、「在＋場所＋動作」を学習します。 口頭の「置き換え練習」をします。これにより、文法ポイントを理解し、定着します。 書く「練習 A」をします。音声を聞き漢字で書き取り問題、ピンインから漢字へ変換する問題、中国語から日本語への翻訳問題を解きます。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
11回	**授業テーマ：教科書の第 8 課　会話・文法ポイント・口頭の置き換え練習・書く練習** 授業内容：「会話本文」(買い物)を練習します。 「文法ポイント」で「喜歓」、「這・那・哪＋量詞＋名詞」、「動詞の重ね型」を学習します。 口頭の「置き換え練習」をします。これにより、文法ポイントを理解し、定着します。 書く「練習 A」をします。音声を聞き漢字で書き取り問題、ピンインから漢字へ変換する問題、中国語から日本語への翻訳問題を解きます。 中国の社会と文化⑤中国人の挨拶時の身体動作 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
12回	**授業テーマ：教科書の第 9 課　会話・文法ポイント・口頭の置き換え練習・書く練習** 授業内容：「会話本文」(肩をもんであげましょう)を練習します。 「文法ポイント」で「形容詞述語文」を学習します。 口頭の「置き換え練習」をします。これにより、文法ポイントを理解し、定着します。 書く「練習 A」をします。音声を聞き漢字で書き取り問題、ピンインから漢字へ変換する問題、中国語から日本語への翻訳問題を解きます。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
13回	**授業テーマ：教科書の第 10 課　会話・文法ポイント・口頭の置き換え練習・書く練習** 授業内容：「会話本文」(ワンちゃんが可愛いね！)を練習します。 「文法ポイント」で「形容詞の比較文」を学習します。 口頭の「置き換え練習」をします。これにより、文法ポイントを理解し、定着します。 「書く練習」をします。音声を聞き漢字で書き取り問題、ピンインから漢字へ変換する問題、中国語から日本語への翻訳問題を解きます。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
14回	**授業テーマ：教科書の第 11 課　会話・文法ポイント・口頭の置き換え練習・書く練習** 授業内容：「会話本文」(飲み物を注文する)を練習します。 「文法ポイント」で注文する時「来～」、 省略疑問文「～呢」を学習します。 口頭の「置き換え練習」をします。これにより、文法ポイントを理解し、定着します。 書く「練習 A」をします。音声を聞き漢字で書き取り問題、ピンインから漢字へ変換する問題、中国語から日本語への翻訳問題を解きます。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
15回	**授業テーマ：教科書の第 12 課　会話・文法ポイント・口頭の置き換え練習・書く練習** 授業内容：「会話本文」(お昼何を食べるの？)を練習します。 「文法ポイント」で判断文「主述述語文」を学習します。 口頭の「置き換え練習」をします。これにより、文法ポイントを理解し、定着します。 書く「練習 A」をします。音声を聞き漢字で書き取り問題、ピンインから漢字へ変換する問題、中国語から日本語への翻訳問題を解きます。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。

英語文化研究 A

開講学科等：日中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

小野　雅子（おの　まさこ）

▌授業の概要

翻訳者・トラベルライターとして活躍する著者が、興味深いトピックについて書いた平易な英文をよみ、米国社会が現状抱えている問題の一端を知る。米国の社会問題を知ることで、米国のみならず日本、ひいては世界の社会問題について考える姿勢を養う。
同時に英語力の向上にも力を入れる。教科書各チャプター冒頭の説明文読解を通して読解力の強化・語彙の増強に取り組む。時間が許せば、教科書掲載の会話と各チャプターのトピックに関連した動画（英語で発信されているもの）の視聴を通し、聴く力も養う。
毎回の授業では小テストを行う。授業前には、教科書の指定箇所の内容把握が求められる。また動画については授業前後の視聴が求められる場合もある。授業外で取り組む課題が出された場合は必ず提出しなければならないし、学期末のまとめテストは必ず受けなければならない。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：1．米国の社会問題を知ることで、他国の社会について自ら興味を持って学んでいく姿勢を身につける。
　　2．平易な英文を読み、その英文に関連した会話を聴くことで、読解力と語彙力を高める。
　　3．英語で発信された動画を視聴し、広く現代社会の問題に触れ、視野を広げる。
個別目標：1．教科書で紹介されたトピックについて一通り理解し、日本語で説明できる。
　　2．教科書で紹介されたトピックについて、日本語で自分の考えを述べることができる。
　　3．教科書で紹介されたトピックについて、米国以外の外国や日本の状況を知り、比較できる。
　　4．視聴した動画の内容を一通り理解し、教科書との関連において日本語で説明できる。

▌履修条件

1．英語を母語とする学生及び母語同等に堪能な学生は履修できません。
2．教科書を購入し、毎回持参すること。（教科書を購入しない場合は単位の取得は出来ません。）
3．十分な日本語運用能力があること。特に十分な読み書きの能力があること。
4．指定された課題に授業内外で取り組み、締め切り厳守で提出できること。（出席しているだけでは単位の取得は出来ません。）
5．欠席のみならず遅刻・早退に対し相応の減点があることを予め承知していること。

▌評価基準・方法

学期末のまとめテスト 30%、平常授業中の小テスト・課題、授業外の課題等 70%、
（評価割合に変更が生じる場合は、速やかに周知する。）

▌フィードバック方法

授業時間内に口頭で、また授業時間外に学修支援システム manaba 及び Google Classroom を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ペアで教科書の会話練習、グループで教科書のトピックについて意見交換）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （manaba 及び Google Classroom を用いて授業時間内で課題・小テストに取り組む）

▌教科書

著者：Alexander Farrell
書名：America Today: Culture, Society and History（米国の今：文化・社会・歴史）
出版社：松柏社
本体価格：1,980 円

▌参考書

英和・和英辞書（紙の辞書・電子辞書共に可。大学入学までに使用してきたもので構わない。）

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction** 授業内容：授業の概要説明、履修動機の共有、教科書の紹介 事前学修 2.0hr：シラバスを読み、出来れば書店で教科書を手に取って斜め読みしてみる。（履修が確定している場合は購入する。） 事後学修 2.0hr：教科書を購入したら目次に目を通し、各チャプターがどのような内容であるか想像してみる。
2回	**授業テーマ：授業の進め方詳細及び Chapter 1:ブラック・ライブズ・マター運動（第 1 回）** 授業内容：教科書の各チャプター内容紹介、使い方説明、Google Classroom の使い方を説明する。テキストの reading passage 部分を分担して和訳し、教科書掲載の内容理解確認問題に答えながら理解を深める。 事前学修 2.0hr：ブラック・ライブズ・マター運動がどのようなものか調べる。テキストの指定箇所を読み、未習表現については調べてた上で内容を大まかに理解する。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習をして、日本国内の人種差別問題について考える。
3回	**授業テーマ：Chapter 1:ブラック・ライブズ・マター運動（第 2 回）** 授業内容：引き続き教科書掲載の内容理解確認問題に答えながら理解を深める。チャプターテーマに沿った会話の内容を理解するため教科書掲載の練習問題に答えた後、音読練習を行う。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、練習問題をやっておく。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識、興味を持った点をまとめておく。
4回	**授業テーマ：Chapter 2:女子サッカーの世界（第 1 回）** 授業内容：テキストの reading passage 部分を分担して和訳し、教科書掲載の内容理解確認問題に答えながら理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、未習表現については調べてた上で内容を大まかに理解する。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識をまとめておく。
5回	**授業テーマ：Chapter 2:女子サッカーの世界（第 2 回）** 授業内容：引き続き教科書掲載の内容理解確認問題に答えながら理解を深める。チャプターテーマに沿った会話の内容を理解するため教科書掲載の練習問題に答えた後、音読練習を行う。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、練習問題をやっておく 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識、興味を持った点をまとめておく。
6回	**授業テーマ：Chapter 4:ネイティブ・アメリカンの居留地（第 1 回）** 授業内容：テキストの reading passage 部分を分担して和訳し、教科書掲載の内容理解確認問題に答えながら理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、未習表現については調べてた上で内容を大まかに理解する。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識をまとめておく。

7回	**授業テーマ：Chapter 4:ネイティブ・アメリカンの居留地(第 2 回)** 授業内容：引き続き教科書掲載の内容理解確認問題に答えながら理解を深める。チャプターテーマに沿った会話の内容を理解するため教科書掲載の練習問題に答えた後、音読練習を行う。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、練習問題をやっておく。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識、興味を持った点をまとめておく。
8回	**授業テーマ：Chapter 8:人工知能(AI)が偏見？(第 1 回)** 授業内容：テキストの reading passage 部分を分担して和訳し、教科書掲載の内容理解確認問題に答えながら理解を深める 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、未習表現については調べてた上で内容を大まかに理解する。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識をまとめておく。
9回	**授業テーマ：Chapter 8:人工知能(AI)が偏見？(第 2 回)** 授業内容：引き続き教科書掲載の内容理解確認問題に答えながら理解を深める。チャプターテーマに沿った会話の内容を理解するため教科書掲載の練習問題に答えた後、音読練習を行う。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、練習問題をやっておく。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識、興味を持った点をまとめておく。
10回	**授業テーマ：Chapter 11:米国のドリーマーたち(第 1 回)** 授業内容：テキストの reading passage 部分を分担して和訳し、教科書掲載の内容理解確認問題に答えながら理解を深める 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、未習表現については調べてた上で内容を大まかに理解する。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識をまとめておく。
11回	**授業テーマ：Chapter 11:米国のドリーマーたち(第 2 回)** 授業内容：引き続き教科書掲載の内容理解確認問題に答えながら理解を深める。チャプターテーマに沿った会話の内容を理解するため教科書掲載の練習問題に答えた後、音読練習を行う。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、練習問題をやっておく。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識、興味を持った点をまとめておく。
12回	**授業テーマ：TED Talk (第 1 回)** 授業内容：翌週視聴する TED Talk に関連した英文を読み、和訳した後、内容理解確認問題に答えながら理解を深める。 事前学修 2.0hr：配布された文書の指定箇所を読み、和訳する。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識をまとめておく。
13回	**授業テーマ：TED Talk (第 2 回)** 授業内容：TED Talk を視聴し、内容理解確認問題に答えながら理解を深める。 事前学修 2.0hr：指定された TED Talk を見ておく。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識、興味を持った点をまとめておく。
14回	**授業テーマ：前期授業の総括と学期末のまとめテスト(1)** 授業内容：前期授業で取り上げた問題について振り返り、自分の考えをまとめる。教科書の内容について試験で理解度を確認する。 事前学修 2.0hr：これまでの授業を振り返って疑問点を確認し、試験の準備をする。 事後学修 2.0hr：前期の授業全般と試験の復習をする。
15回	**授業テーマ：前期授業の総括と学期末のまとめテスト(2)** 授業内容：前期授業で取り上げた問題について振り返り、自分の考えをまとめる。教科書の内容について試験で理解度を確認する。 事前学修 2.0hr：これまでの授業を振り返って疑問点を確認し、試験の準備をする。 事後学修 2.0hr：前期の授業全般と試験の復習をする。

英語文化研究 B

開講学科等：日中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

小野　雅子（おの　まさこ）

▌授業の概要

翻訳者・トラベルライターとして活躍する著者が、興味深いトピックについて書いた平易な英文をよみ、米国社会が現状抱えている問題の一端を知る。米国の社会問題を知ることで、米国のみならず日本、ひいては世界の社会問題について考える姿勢を養う。
同時に英語力の向上にも力を入れる。教科書各チャプター冒頭の説明文読解を通して読解力の強化・語彙の増強に取り組む。時間が許せば、教科書掲載の会話と各チャプターのトピックに関連した動画(英語で発信されているもの)の視聴を通し、聴く力も養う。
毎回の授業では小テストを行う。授業前には、教科書の指定箇所の内容把握が求められる。また動画については授業前後の視聴が求められる場合もある。授業外で取り組む課題が出された場合は必ず提出しなければならないし、学期末のまとめテストは必ず受けなければならない。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：1．米国の社会問題を知ることで、他国の社会について自ら興味を持って学んでいく姿勢を身につける。
　　2．平易な英文を読み、その英文に関連した会話を聴くことで、読解力と語彙力を高める。
　　3．英語で発信された動画を視聴し、広く現代社会の問題に触れ、視野を広げる。
個別目標：1．教科書で紹介されたトピックについて一通り理解し、日本語で説明できる。
　　2．教科書で紹介されたトピックについて、日本語で自分の考えを述べることができる。
　　3．教科書で紹介されたトピックについて、米国以外の外国や日本の状況を知り、比較できる。
　　4．視聴した動画の内容を一通り理解し、教科書との関連において日本語で説明できる。

▌履修条件

1．英語を母語とする学生及び母語同等に堪能な学生は履修できません。
2．教科書を購入し、毎回持参すること。(教科書を購入しない場合は単位の取得は出来ません。)
3．十分な日本語運用能力があること。特に十分な読み書きの能力があること。
4．指定された課題に授業内外で取り組み、締め切り厳守で提出できること。(出席しているだけでは単位の取得は出来ません。)
5．欠席のみならず遅刻・早退に対し相応の減点があることを予め承知していること。

▌評価基準・方法

学期末のまとめテスト 30%、平常授業中の小テスト・課題、授業外の課題等 70%、
(評価割合に変更が生じる場合は、速やかに周知する。)

▌フィードバック方法

授業時間内に口頭で、また授業時間外に学修支援システム manaba 及び Google Classroom を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ペアで教科書の会話練習、グループで教科書のトピックについて意見交換）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （manaba 及び Google Classroom を用いて授業時間内で課題・小テストに取り組む）

▌教科書

著者：Alexander Farrell
書名：America Today: Culture, Society and History（米国の今：文化・社会・歴史）
出版社：松柏社
本体価格：1,980 円

▌参考書

英和・和英辞書(紙の辞書・電子辞書共に可。大学入学までに使用してきたもので構わない。)

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction（ただし後期から新たに履修する学生不在の場合は別内容）** 授業内容：授業の概要説明、履修動機の共有、教科書の紹介 事前学修 2.0hr：シラバスを読み、出来れば書店で教科書を手に取って斜め読みしてみる。(履修が確定している場合は購入する。) 事後学修 2.0hr：教科書を購入したら目次に目を通し、各チャプターがどのような内容であるか想像してみる。
2回	**授業テーマ：授業の進め方詳細及び Chapter 5:チップの払い方(第 1 回)** 授業内容：教科書の各チャプター内容紹介、使い方説明、Google Classroom の使い方を説明する。テキストの reading passage 部分を分担して和訳し、教科書掲載の内容理解確認問題に答えながら理解を深める。 事前学修 2.0hr：ブラック・ライブズ・マター運動がどのようなものか調べる。テキストの指定箇所を読み、未習表現については調べてた上で内容を大まかに理解する。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習をして、日本国内の人種差別問題について考える。
3回	**授業テーマ：Chapter 5: Chapter 5:チップの払い方(第 2 回)** 授業内容：引き続き教科書掲載の内容理解確認問題に答えながら理解を深める。チャプターテーマに沿った会話の内容を理解するため教科書掲載の練習問題に答えた後、音読練習を行う。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、練習問題をやっておく。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識、興味を持った点をまとめておく。
4回	**授業テーマ：Chapter 7:セサミストリート(第 1 回)** 授業内容：テキストの reading passage 部分を分担して和訳し、教科書掲載の内容理解確認問題に答えながら理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、未習表現については調べてた上で内容を大まかに理解する。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識をまとめておく。
5回	**授業テーマ：Chapter 7:セサミストリート(第 2 回)** 授業内容：引き続き教科書掲載の内容理解確認問題に答えながら理解を深める。チャプターテーマに沿った会話の内容を理解するため教科書掲載の練習問題に答えた後、音読練習を行う。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、練習問題をやっておく 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識、興味を持った点をまとめておく。
6回	**授業テーマ：Chapter 10:米国のユニークな食文化の融合(第 1 回)** 授業内容：テキストの reading passage 部分を分担して和訳し、教科書掲載の内容理解確認問題に答えながら理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、未習表現については調べてた上で内容を大まかに理解する。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識をまとめておく。

7回	**授業テーマ：Chapter 10:米国のユニークな食文化の融合(第 2 回)** 授業内容：引き続き教科書掲載の内容理解確認問題に答えながら理解を深める。チャプターテーマに沿った会話の内容を理解するため教科書掲載の練習問題に答えた後、音読練習を行う。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、練習問題をやっておく。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識、興味を持った点をまとめておく。
8回	**授業テーマ：Chapter 12:ビリー・アイリッシュ(第 1 回)** 授業内容：テキストの reading passage 部分を分担して和訳し、教科書掲載の内容理解確認問題に答えながら理解を深める 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、未習表現については調べてた上で内容を大まかに理解する。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識をまとめておく。
9回	**授業テーマ：Chapter 12:ビリー・アイリッシュ(第 2 回)** 授業内容：引き続き教科書掲載の内容理解確認問題に答えながら理解を深める。チャプターテーマに沿った会話の内容を理解するため教科書掲載の練習問題に答えた後、音読練習を行う。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、練習問題をやっておく。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識、興味を持った点をまとめておく。
10回	**授業テーマ：Chapter 6:米国が抱える薬物問題の現在(第 1 回)** 授業内容：テキストの reading passage 部分を分担して和訳し、教科書掲載の内容理解確認問題に答えながら理解を深める 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、未習表現については調べてた上で内容を大まかに理解する。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識をまとめておく。
11回	**授業テーマ：Chapter 6:米国が抱える薬物問題の現在(第 2 回)** 授業内容：引き続き教科書掲載の内容理解確認問題に答えながら理解を深める。チャプターテーマに沿った会話の内容を理解するため教科書掲載の練習問題に答えた後、音読練習を行う。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、練習問題をやっておく。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識、興味を持った点をまとめておく。
12回	**授業テーマ：TED Talk (第 1 回)** 授業内容：翌週視聴する TED Talk に関連した英文を読み、和訳した後、内容理解確認問題に答えながら理解を深める。 事前学修 2.0hr：配布された文書の指定箇所を読み、和訳する。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識をまとめておく。
13回	**授業テーマ：TED Talk (第 2 回)** 授業内容：TED Talk を視聴し、内容理解確認問題に答えながら理解を深める。 事前学修 2.0hr：指定された TED Talk を見ておく。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識、興味を持った点をまとめておく。
14回	**授業テーマ：前期授業の総括と学期末のまとめテスト(1)** 授業内容：前期授業で取り上げた問題について振り返り、自分の考えをまとめる。教科書の内容について試験で理解度を確認する。 事前学修 2.0hr：これまでの授業を振り返って疑問点を確認し、試験の準備をする。 事後学修 2.0hr：前期の授業全般と試験の復習をする。
15回	**授業テーマ：前期授業の総括と学期末のまとめテスト(2)** 授業内容：前期授業で取り上げた問題について振り返り、自分の考えをまとめる。教科書の内容について試験で理解度を確認する。 事前学修 2.0hr：これまでの授業を振り返って疑問点を確認し、試験の準備をする。 事後学修 2.0hr：前期の授業全般と試験の復習をする。

国際理解ゼミナール

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

小川　正純（おがわ　まさずみ）

▌授業の概要

人種や民族、性に関する多様性、多文化共生、難民問題、宗教が世界情勢に及ぼす影響、気候変動などの国際問題について学ぶ。また、世界には多様な言語や文化を持つ人びとが住んでおり、大きな貧富の差があることをワークショップで体験し、私たちが暮らす日本は世界のどこに位置するのか考える。これらを通して受講者の国際問題を理解する力、異なる宗教や人種を越えて多様な人々と共生できる人間力の醸成を目指す。本授業では、講義を基にグループワーク、プレゼンテーション(グループごと)を通じて、国際問題についての理解を向上させる。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：世界情勢、異文化、宗教、人種問題などの多様性と多文化共生、気候変動などについて理解し、世界を正しく読み解く知識・スキルを身につける。

個別目標：1．世界の情勢とその背景、宗教が世界に及ぼす影響、多様性や多文化共生、気候変動などについて説明できる。
2．グループワーク、プレゼンテーション(グループごと)で他者と協力して課題に取り組み、気づきを得るとともに、自分の考えを説明できる。

▌履修条件

1．世界情勢や異文化、人種・性などの多様性、気候変動など地球規模の問題について関心があること。
2．グループワーク、プレゼンテーションに積極的に参加できること。
3．毎回簡潔な課題レポートを提出できること。

▌評価基準・方法

グループワーク、プレゼンテーションへの関与度合い 45 %、毎回のふりかえりレポート 45 %、授業内における参加姿勢及び発言など 10 %の結果及び到達目標の達成度に基づき総合的に評価する。
また、原則として５分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

授業時間内での総評及び manaba の個別指導(コレクション)などでフィードバックする。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク、グループディスカッション、プレゼンテーション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （毎回 PC を利用してグループディスカッションで発表するメモとレポートを作成するので、PC を持参してください。 第 13 回、14 回の授業ではグループワークのまとめ、プレゼンテーション資料を、PC を利用して作成し、第 15 回の授業では、PC を用いたプレゼンテーションを行います。）

▌教科書

使用しない。

▌参考書

特になし。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：イントロダクションと日本を取り巻く世界情勢** 授業内容：講義の目的、授業、グループワーク、プレゼンテーションの進め方、到達目標、評価方法とともに、日本を取り巻く情勢について解説した後、グループディスカッションを行い、グループごとに発表する。 事前学修 2.0hr：日本を取り巻く世界情勢などについてのニュースを見ておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
2回	**授業テーマ：世界情勢①　アメリカ、ヨーロッパの動向** 授業内容：アメリカ、ヨーロッパの動向、ウクライナ情勢について解説した後、授業テーマについてグループディスカッションを行い、グループごとに発表する。 事前学修 2.0hr：日本と世界の状況についてのニュースを見ておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
3回	**授業テーマ：世界情勢②　アジア・中東の動向** 授業内容：近隣諸国の動向、ミャンマー情勢、IT 大国としてのインド、パレスチナ紛争について解説した後、授業テーマについてグループディスカッションを行い、グループごとに発表する。 事前学修 2.0hr：日本を取り巻く情勢について関連のニュースを見ておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
4回	**授業テーマ：世界を正しく読み解く** 授業内容：クイズとグループワークにより、先入観や思い込みでなく、事実やデータに基づき正しく世界を読み解く視点を身につける。授業テーマについてグループディスカッションを行い、グループごとに発表する。 事前学修 2.0hr：世界情勢についての関連情報を見ておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
5回	**授業テーマ：多文化共生について** 授業内容：ヘイトスピーチ、入管施設問題、日本の難民受け入れ状況、技能実習生の問題について解説した後、授業テーマについてグループディスカッションを行い、グループごとに発表する。 事前学修 2.0hr：多文化共生の関連情報を調べておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
6回	**授業テーマ：難民問題について** 授業内容：難民問題に関するワークショップを実施し、難民問題に対する基礎的な事実を把握するとともに、日本の難民受け入れをめぐる状況について考える。その後、グループディスカッションを行い、グループごとに発表する。 事前学修 2.0hr：難民問題の関連の情報を調べておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
7回	**授業テーマ：宗教が世界に及ぼす影響** 授業内容：イスラム教、キリスト教、ユダヤ教が世界に及ぼす影響について解説した後、授業テーマについてグループディスカッションを行い、グループごとに発表する。 事前学修 2.0hr：世界情勢と宗教の関連情報を調べておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。

8回	**授業テーマ：世界情勢と宗教について** 授業内容：パレスチナ問題、ロヒンギャ問題、カシミール問題、北アイルランド問題と宗教の関連について解説した後、授業テーマについてグループディスカッションを行い、グループごとに発表する。 事前学修 2.0hr：世界情勢と宗教の関連情報を調べておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
9回	**授業テーマ：「世界がもし 100 人の村だったら」ワークショップ** 授業内容：世界には、多様な言語や文化を持つ人びとが住んでおり、そこには大きな貧富の差があることを、シミュレーション(疑似体験)のワークショップで体験し、私たちが暮らす日本は世界のどこに位置するのか考える。 事前学修 2.0hr：世界情勢についてのニュースなどを見ておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
10回	**授業テーマ：ダイバーシティ(多様性)について** 授業内容：ダイバーシティ(多様性)とは何か、人種、民族、性の多様性について解説した後、授業テーマについてグループディスカッションを行い、グループごとに発表する。 事前学修 2.0hr：ダイバーシティ(多様性)について関連情報を調べておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
11回	**授業テーマ：気候変動について** 授業内容：クイズとワークショップを通して、気候変動の原因やその影響について学び、身近な問題として捉えなおす。その後、授業テーマについてグループディスカッションを行い、グループごとに発表する。 事前学修 2.0hr：気候変動について関連情報を調べておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
12回	**授業テーマ：世界と日本の観光の動向** 授業内容：世界と日本の観光動向、オーバーツーリズムの問題、日本の観光戦略について解説した後、授業テーマについてグループディスカッションを行い、グループごとに発表する。 事前学修 2.0hr：世界と日本の観光についての関連情報を見ておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
13回	**授業テーマ：グループワーク：プレゼンテーションの準備①** 授業内容：各グループで関心がある国際問題を選定し、テーマとプレゼンテーションをする内容について話し合う。ディスカッションを基に第 15 回に発表するプレゼンテーションの資料作成の準備を行う。 事前学修 2.0hr：プレゼンテーションを行う国際問題を考えておく。 事後学修 2.0hr：プレゼンテーション作成の準備。講義の復習。レポート作成。
14回	**授業テーマ：グループワーク:プレゼンテーションの準備②** 授業内容：グループワークによりプレゼンテーション資料を作成する。 事前学修 2.0hr：それぞれが自分の担当するプレゼンテーション資料の案を考えておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。プレゼンテーション資料の作成、発表の準備。
15回	**授業テーマ：プレゼンテーション** 授業内容：プレゼンテーションを行い、全員で意見交換を行う。プレゼンテーション資料の作成及び発表は PC を利用し、パワーポイント、キャンバなどで行う。 事前学修 2.0hr：プレゼンテーション資料の作成、発表の準備。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。

異文化実地研修 A・B

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 1 年次 ｜ 各 2 単位

単位認定科目

▌授業の概要
本学と協定を締結している海外の大学等において、特定の分野について集中的な研修を行うとともに、異なる文化社会の側面に触れることにより、より高度な知識や技能を備えた国際社会に活躍する人材を育成することを目的とする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）
一般目標：学部・学科、派遣先によって異なる。
詳細については、当該年度の募集要項及びオリエンテーション等で確認すること。
個別目標：学部・学科、派遣先によって異なる。
詳細については、当該年度の募集要項及びオリエンテーション等で確認すること。

▌履修条件
GPA 及び修得単位等による出願資格を設ける。
詳細については、当該年度の募集要項及びオリエンテーション等で確認すること。

▌評価基準・方法
学部・学科、派遣先によって異なり、国内における事前・事後研修への参加及び派遣先での研修期間を修了することにより単位認定する。
詳細については、当該年度の募集要項及びオリエンテーション等で確認すること。

▌フィードバック方法
必要に応じて適宜指示する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）
あり （フィールドワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）
あり （報告書の作成）

▌教科書
派遣大学等で別途指示する。

▌参考書
派遣大学等で別途指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

授業テーマ
異文化実地研修

授業内容
60 時間相当分の研修内容とする。
派遣先、研修時期・期間及び認定される単位数等詳細については、履修の手引を参照すること。

事前学修
15 時間相当分の事前学修とする。
事前のオリエンテーション等で指示する。

事後学修
15 時間相当分の事後学修とする。
事前のオリエンテーション等で指示する。

法学

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

櫻井　博子 (さくらい　ひろこ)

▌授業の概要

社会のルールの一つである法は、私たちの生活の様々な場面で関わっている。そのため、法律に関する基礎的な知識や考え方を学ぶことは、社会生活を送るうえでも有用である。
この授業では、私たちの生活に身近な法制度に関する基礎的知識を理解するし、現実の社会の具体的問題を「法的」に検討することを目的とする。
また、法を学ぶことを通じ、法律の規定にも様々な解釈の仕方があること、物事の解決に「唯一の正解」は存在しないことを知り、物事を多面的にとらえることを意識し、自分自身で考えてみるための基礎となる力を涵養する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：将来社会人となった際、直面し得る問題を、自身で処理できる能力を涵養するために、法の論理的なものの考え方の重要性を理解した上で、基礎的な法律の知識を身につける。
個別目標：(1) 社会のなかで法が果たす役割や法の意義を、具体的な事例とともに説明できる。
(2) 具体的な法制度の機能を、その制度の成り立ちや社会での現実的な意義等を踏まえて評価できる。

▌履修条件

特になし。

▌評価基準・方法

各回の講義内容を復習する確認問題(小テスト)と期末試験の結果の合計(90 %)、授業内における参加姿勢等(10 %)、
到達目標の達成度に基づき総合的に評価する。
また、原則として５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。
なお、講義ごとの課題は、学修支援システム manaba を通して行い、次回の授業で解説を行う。

▌フィードバック方法

課題及び定期試験のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （レスポンの入力(スマートフォンで可能)）

▌教科書

使用しない。

▌参考書

初回講義と講義中に適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：イントロダクション、私たちの生活にかかわる法の種類とその分類** 授業内容：法とは何か、法の種類、法の分類 事前学修 1.5hr：ニュースや新聞等で、「法」に関わるものがどれくらいあるのか確認してみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
2回	**授業テーマ：ルールとその「適用」** 授業内容：法の適用による紛争の解決、解釈の必要性、条文の構造、法の解釈、解釈の技術 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
3回	**授業テーマ：国の仕組みに関する法(1)** 授業内容：憲法の役割と構造、人権(人権の種類、人権の制約、精神的自由、経済的自由、社会権) 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
4回	**授業テーマ：国の仕組みに関する法(2)** 授業内容：統治(三権分立、立法権(国会)の役割、行政権と議院内閣制、司法権の役割) 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
5回	**授業テーマ：取引社会と法(1)** 授業内容：日常生活を取り巻く契約と民法、契約と債権の発生、自由で健全な意思が結ぶ契約関係 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
6回	**授業テーマ：取引社会と法(２)** 授業内容：意思表示の構造、意思表示の瑕疵と意思の不存在、消費者保護のための特別法 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
7回	**授業テーマ：取引社会と法(３)** 授業内容：契約の意義、契約成立後の法律関係、履行遅滞、履行不能、その他の債務不履行、損害賠償 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
8回	**授業テーマ：取引社会と法(４)** 授業内容：住まいをめぐる法律関係、不法行為に基づく責任 (契約によらない債権債務の発生)、製造物責任法による消費者の保護 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
9回	**授業テーマ：家族にかかわる法(１)** 授業内容：夫婦間の法律関係、親子関係、離婚 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
10回	**授業テーマ：家族にかかわる法(２)** 授業内容：相続、法定相続人と法定相続分、相続の承認と放棄、遺産分割 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。

11回	**授業テーマ：犯罪にかかわる法** 授業内容：刑法とは、犯罪の成立と構成要件、犯罪の成立を阻却する事由 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
12回	**授業テーマ：責任と裁判制度** 授業内容：裁判と裁判手続の種類、裁判所と審級、民事裁判、刑事裁判 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
13回	**授業テーマ：企業に関する法** 授業内容：法人制度、法人に関する法律、法人の活動、会社 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
14回	**授業テーマ：雇用と労働関係に関する法** 授業内容：労働契約、労働者を保護する様々な制度、派遣労働における労働形態 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
15回	**授業テーマ：講義のまとめ** 授業内容：これまでの授業内容の総括 事前学修 1.5hr：これまでの講義内容を復習する。 事後学修 2.5hr：これまで学んできた内容を復習し、課題に解答する。

日本国憲法

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

吉田　成利 (よしだ　なるとし)

▌授業の概要

日本国憲法に関する身近な事例を素材とし、日本国民の権利義務や国家統治について学ぶ。
毎回の講義後、小レポートを条件に従い Manaba へ期限内に提出することが求められる。体育会の活動や就活、インターンなどで講義に出席できない場合や、履修修正などで遅れて履修を開始した場合には、必ず Manaba かメールで担当教員に連絡すること。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：日本国憲法に関する知識を習得し、客観的で公正な法的思考を会得する。
個別目標：(1) 日本国憲法が日本の国益を守り、国際未来社会における「この国のかたち」を描けていけるのか、各人が合理的な意見を創造する。
(2) 偏りのある意見や報道に惑わされることなく、日本の現実に即した憲法のあるべき姿について、各人が説明できる。
(3) 日々のニュースを憲法の観点からとらえ、自分なりの説明ができる。

▌履修条件

(1) 必ず指定された教科書を購入すること。教科書がないと、レポートが作成できません。
(2) 毎回の小レポートを、期限までに条件を守って本講義の Manaba の指定された提出先へ提出すること。

▌評価基準・方法

各自が所有する指定された教科書のみ持込可能である期末試験(60 %)、
毎回の講義終了後に提出する小レポート(30%)、
授業内の発言・姿勢(10%。講義内で教員により指名された際に真摯に回答しないと加点されない。)
毎回の講義冒頭に、前回の講義内容および小レポートについてフィードバックがなされる。

▌フィードバック方法

毎回の小レポート提出後に講義内でフィードバックを行います。必ず期限までに小レポートを提出してください。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （毎回または 2 回に一度、教員にあてられ自分の意見を求められる）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （毎回の講義資料を Manaba にアップし、レポート作成も PC で行う。）

▌教科書

吉田 成利著『大学生のための日本国憲法入門』(慶應義塾大学出版会、2020 年)

▌参考書

適宜指定する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：法学における憲法の位置づけ** 授業内容：序論とオリエンテーション。 事前学修 2.0hr：憲法改正のニュースについて調べておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
2回	**授業テーマ：日本国憲法の基本原理と基本構造** 授業内容：日本国憲法の核となる原理と構造について学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
3回	**授業テーマ：天皇と譲位** 授業内容：我が国の象徴である天皇について、憲法はどのように規定しているのかを学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
4回	**授業テーマ：人権保障とその限界** 授業内容：人権や自由は人としての当然の権利である一方、絶対ではないことを学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
5回	**授業テーマ：信教の自由と靖国神社参拝** 授業内容：宗教を信じる自由と信じなくても良い自由について学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
6回	**授業テーマ：表現の自由とプライヴァシー侵害** 授業内容：言いたいことを言う自由について学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
7回	**授業テーマ：婚姻の自由と同性婚** 授業内容：結婚とは男女の合意に基づくものであると日本国憲法が規定していることについて、LGBTQ の問題について、憲法が果たすべき役割について学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
8回	**授業テーマ：学問の自由と教育無償化** 授業内容：教育について憲法はどのように規定しているのか学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
9回	**授業テーマ：社会権と勤労の義務** 授業内容：我々が労働するという行為について憲法はどのように規定しているのか学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
10回	**授業テーマ：国会と参政権** 授業内容：立法府こそが国家権力の最高機関であることを学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。

11回	**授業テーマ：内閣と行政機構** 授業内容：内閣総理大臣は日本で最強の権力者なのか？ 学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
12回	**授業テーマ：司法府と裁判員制度** 授業内容：裁判所と国民の司法参加について学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
13回	**授業テーマ：地方自治と地方創生** 授業内容：地方分権を進めれば日本はより活性化するのだろうか？ 学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
14回	**授業テーマ：憲法９条と集団的自衛権** 授業内容：憲法 9 条と平和主義、自衛隊、そして日米安保条約の存在意義について学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
15回	**授業テーマ：憲法改正とその必然性** 授業内容：憲法改正の歴史的・社会的必然性について学び、結論付ける。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。

経済のしくみ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

野口　尚洋 (のぐち　なおひろ)

▌授業の概要

本講義では、経済の仕組みについて理論と現実の両面から説明していきます。経済学の理論はミクロ経済学とマクロ経済学に大きく分けることが出来ます。前半はミクロ経済学の分野で市場の話を中心に説明していきます。後半はマクロ経済学の分野で日本の国全体の経済について説明していきます。「経済のしくみ」という講義名にあるように、経済学の理論だけでなく、経済学の理論を使って現実の経済のしくみを理解することを主眼に置き、なるべく身近な例を用いて説明していきます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：身の回りに起こっている経済の問題について、自分で考えを持てるようにことができるようになります。経済の話は、アルバイトなど普段の生活から、就職活動や就職後も常に関係するものです。そのときの判断の基礎となるものだと考えています。また、現実のデータやグラフを多く紹介する予定です。一般常識としての知識も得ることができます。

個別目標：身の回りに現実に起きている経済問に興味をもち，その理由を自分で考え，行動判断の基礎とできる。

▌履修条件

5 分の 4 (80 %)以上出席することが履修条件です。また、経済学はグラフを多用しますので、自分で手を動かしながら自分で頭で考えることが重要です。したがって、主体的に授業に参加できる学生の履修を望みます。また、授業中に静粛を保てない学生の履修は遠慮下さい。

▌評価基準・方法

小テスト (30%)、期末試験 (70%) で評価します。学生の履修状況、講義の進度によっては中間試験を課すこともあります。また、原則 5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件としますが、成績評価の対象にはしません。

▌フィードバック方法

小テストと期末試験のフィードバックは学習支援システム manaba を通して行いますので、必ず確認してください。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

特に指定しません。プリントにより授業を行います。授業で使用したプリントは manaba のコースコンテンツにもアップロードいたしますので、欠席した回の授業に関するプリントは、各自ダウンロードし、プリント・アウトして下さい。

▌参考書

参考書は適宜指定します。代表的な参考書として以下を挙げておきます。

前半のミクロ経済学分野：安藤至大『ミクロ経済学の第 1 歩』有斐閣 2013 年

後半のマクロ経済学分野：柴田章久・宇南山卓『マクロ経済学の第一歩』有斐閣　2013 年

全体の参考書：伊藤元重 『入門　経済学　第４版』日本評論社

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス・履修に当たっての諸注意と授業内容全体の説明・経済学独特の考え方(インセンティブ)** 授業内容：授業内容の全体と注意事項等、履修にあたり必要と思われる内容を説明します。その後に授業を行います。また、授業中に DVD を視聴します。 事前学修 1.0hr：繰り返し，シラバスをよく読んでくること 事後学修 3.0hr：この授業の履修に当たっての約束事項と授業の全般的内容を確認すること．経済学独特の考え方に触れる。manaba のアンケートの答える。
2 回	**授業テーマ：経済学独特の考え方(トレード・オフ、交換の利益、機会費用)** 授業内容：貿易の比較優位の理論を例に、トレード・オフ、交換の利益、機会費用について説明していきます。具体的な数値例を用いて説明していきます。 事前学修 2.0hr：前回配布のプリントを読み、インセンティブについて復習しておく。 事後学修 2.0hr：トレード・オフ、機会費用について現実の実例を考える。期限までに、manaba の小テストを受験する。
3 回	**授業テーマ：企業の諸費用費用と利潤最大化** 授業内容：企業の費用についてグラフを描きながら解説していきます。特に「限界」の概念は経済学で必須の概念ですので丁寧に説明していきます。その後に企業の利潤最大化行動を考えます。最後にオリエンタルランドを例にとり損益分岐点における入場者数を求めていきます。 事前学修 2.0hr：前回配布のプリントにある問題を解き、間違えた問題は考え方をまとめておく。 事後学修 2.0hr：各費用の図を自分で導出し、自分で描いてみる。期限までに、manaba の小テストを受験する。
4 回	**授業テーマ：市場の均衡と価格調整** 授業内容：市場についてみていきます。財の種類と需要曲線、供給曲線の変化の関係を分析していきます。また、次回の導入として、余剰の基本的な概念まで説明します。 事前学修 2.0hr：前回配布のプリントにある問題を解き、間違えた問題は考え方をまとめておく。 事後学修 2.0hr：非常に大事な「余剰」の概念を復習する。期限までに、manaba の小テストを受験する。
5 回	**授業テーマ：余剰分析** 授業内容：余剰の概念について説明し、その後に課税の効果について説明します。内容的には「経済のしくみ」の中で最も難しい内容だと思いますが、経済学の独特の考え方につながりますので、しっかり授業を聞いてください。 事前学修 2.0hr：供給曲線と需要曲線の導出をもう 1 度確認する。 事後学修 2.0hr：配布プリントの問題に関して、余剰の図を自分で描き、消費者余剰・生産者余剰・総余剰について確認する。期限までに、manaba の小テストを受験する。
6 回	**授業テーマ：保険のしくみ** 授業内容：消費者の効用最大について簡単に触れ、その後、保険のしくみと情報の非対称性について説明していきます。 事前学修 2.0hr：限界の概念をもう一度復習しておく。 事後学修 2.0hr：配布プリントの問題を解く。情報の非対称性があるときの対策をまとめる。期限までに、manaba の小テストを受験する。
7 回	**授業テーマ：ゲーム理論について理解する** 授業内容：色々な例を交えながらゲーム理論について説明していきます。具体的にはナッシュ均衡をメインに説明していきます。 事前学修 2.0hr：第４回の配布プリントの問題を解きながら、企業の利潤最大化をもう 1 度確認する 事後学修 2.0hr：配布プリントの問題を解く。期限までに、manaba の小テストを受験する。

8回	**授業テーマ：経済をマクロからとらえる** 授業内容：この回からはマクロ経済学の分野に入ります。GDP など一般常識として知っておくべき言葉の説明と戦後の日本経済の歩みについて説明していきます。 事前学修 2.0hr：配布プリントの GDP 成長率の図の指定の年に何があったか調べておく。 事後学修 2.0hr：戦後、日本の GDP の動きと、GDE と GDI の各構成要素のデータを調べる。期限までに、manaba の小テストを受験する。
9回	**授業テーマ：財市場の分析** 授業内容：財市場を分析し、GDP の大きさがどのように決まるのかを説明する。その後、財政政策の効果について説明する。 事前学修 2.0hr：公共事業の具体例や減税についての近年の各党の主張を調べておく。 事後学修 2.0hr：配布プリントの問題をとき、財政政策の有効性を確認する。期限までに、manaba の小テストを受験する。
10回	**授業テーマ：貨幣市場の分析** 授業内容：貨幣とは何かから始まり、貨幣市場の説明をしていきます。実際に日本銀行のホームページを見ながら貨幣の歴史も振り返ります。 事前学修 2.0hr：日本銀行のホームページから貨幣博物館のサイトへいき、貨幣の歴史について調べる。 事後学修 2.0hr：配布プリントの問題をとき、貨幣の需要と供給、金融政策についてまとめる。期限までに、manaba の小テストを受験する。
11回	**授業テーマ：物価の変動と失業を理解する** 授業内容：物価とインフレについて実際のデータを見ながら解説していきます。また、労働市場についても説明していきます。 事前学修 2.0hr：第 8 回のプリントから物価の上昇した時期と低下した時期にどのような経済的出来事があったかを調べておく。 事後学修 2.0hr：インフレとデフレの仕組みと影響，労働市場について復習しておく。期限までに、manaba の小テストを受験する。
12回	**授業テーマ：利子、債券、株についての理解する。** 授業内容：複利計算を説明していきます。また、債権と株の違いを説明し債券価格と株価の決まり方を説明していきます。 事前学修 2.0hr：第 6 回講義の余剰を復習しておく。 事後学修 2.0hr：配布プリントの問題を解く。期限までに、manaba の小テストを受験する。
13回	**授業テーマ：為替レートの決定と貿易の関係を理解する。** 授業内容：為替レートの決定を短期と長期に分けて説明します。また、為替レートの変動が貿易に与える影響についてもみていきます。さらに、国際収支統計を確認し、現在に日本の貿易状況を説明します。 事前学修 2.0hr：第 2 回のプリントから、絶対優位・比較優位の理論を復習する。 事後学修 2.0hr：配布プリントの問題を解く。期限までに、manaba の小テストを受験する。
14回	**授業テーマ：日本の財政と社会保障制度** 授業内容：現実の日本財政を予算、税、国債、プライマリー・バランスに分けて解説していきます。また、年金を中心に社会保障制度についても触れていきます。 事前学修 2.0hr：第 7 回講義の保険のしくみを復習しておく。 事後学修 2.0hr：配布プリントの問題を解く。期限までに、manaba の小テストを受験する。
15回	**授業テーマ：これまでの復習と授業内試験** 授業内容：これまでの復習を行い、授業内試験を実施後その解説を行う。 事前学修 3.0hr：manaba で受験した小テストをもう一度復習する。manaba で配布する昨年度の問題を解いて答え合わせを行う。 事後学修 2.0hr：授業内試験で間違えた問題をもう一度解き直し、理解を深める。

社会と生活

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

櫻井　博子 (さくらい　ひろこ)

▌授業の概要

私たちが生活している社会の仕組みは、そのほとんどが「法律」によって作られている。この授業では、私たちの生活に身近な法制度に関する基礎的知識を理解し、現実の社会の具体的問題を「法的」に検討する。履修者が社会生活を送るなかでかかわる法律の仕組みを正確に、またより深く理解することができるようになるという「社会人基礎力」と、法を学ぶことを通じ、法律の規定にも様々な解釈の仕方があること、物事の解決に「唯一の正解」は存在しないことを知り、物事を多面的にとらえることができるようになる「論理力」を身に着けることを目的とする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：将来社会人となった際、直面し得る問題を、自身で処理できる能力を涵養するために、法の論理的なものの考え方の重要性を理解した上で、基礎的な法律の知識を身につける。

個別目標：(1) 社会のなかで法が果たす役割や法の意義を、具体的な事例とともに説明できる。
(2) 具体的な法制度の機能を、その制度の成り立ちや社会での現実的な意義等を踏まえて評価できる。

▌履修条件

特になし。

▌評価基準・方法

各回の講義内容を復習する確認問題（小テスト）と期末試験の結果の合計（90 %）、授業内における参加姿勢等（10 %）、
到達目標の達成度に基づき総合的に評価する。
また、原則として５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。
なお、講義ごとの課題は、学修支援システム manaba を通して行い、次回の授業で解説を行う。

▌フィードバック方法

課題及び定期試験のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （レスポンの入力(スマートフォンで可能)）

▌教科書

使用しない。

▌参考書

初回講義と講義中に適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：イントロダクション、私たちの生活にかかわる法の種類とその分類** 授業内容：法とは何か、法の種類、法の分類 事前学修 1.5hr：ニュースや新聞等で、「法」に関わるものがどれくらいあるのか確認してみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
2回	**授業テーマ：ルールとその「適用」** 授業内容：法の適用による紛争の解決、解釈の必要性、条文の構造、法の解釈、解釈の技術 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
3回	**授業テーマ：取引社会と法(1)** 授業内容：日常生活を取り巻く契約と民法、契約と債権の発生、自由で健全な意思が結ぶ契約関係 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
4回	**授業テーマ：取引社会と法(2)** 授業内容：意思表示の構造、意思表示の瑕疵と意思の不存在、 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
5回	**授業テーマ：取引社会と法(3)** 授業内容：消費者を保護するための法、制限行為能力者制度 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
6回	**授業テーマ：取引社会と法(4)** 授業内容：契約の意義、契約成立後の法律関係、履行遅滞、履行不能、その他の債務不履行、損害賠償 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
7回	**授業テーマ：取引社会と法(5)** 授業内容：住まいをめぐる法律関係、不法行為に基づく責任 (契約によらない債権債務の発生)、 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
8回	**授業テーマ：「物に対する権利** 授業内容：所有権、占有権、知的財産権 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
9回	**授業テーマ：金銭の貸借に関する法** 授業内容：人的担保、物的担保、割賦販売法 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
10回	**授業テーマ：企業に関する法** 授業内容：法人制度、法人に関する法律、法人の活動、会社 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。

11回	**授業テーマ：家族にかかわる法(2)** 授業内容：夫婦間の法律関係、親子関係、離婚 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
12回	**授業テーマ：家族にかかわる法(2)** 授業内容：相続、法定相続人と法定相続分、相続の承認と放棄、遺産分割 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
13回	**授業テーマ：企業に関する法** 授業内容：法人制度、法人に関する法律、法人の活動、会社 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
14回	**授業テーマ：雇用と労働関係、社会保障に関する法** 授業内容：労働契約、労働者を保護する様々な制度、派遣労働における労働形態、社会保障制度 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
15回	**授業テーマ：講義のまとめ** 授業内容：これまでの授業内容の総括 事前学修 1.5hr：これまでの講義内容を復習する。 事後学修 2.5hr：これまで学んできた内容を復習し、課題に解答する。

社会と生活

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：留学生クラス

田川　麻央（たがわ　まお）

▌授業の概要

絶えず変化し複雑な日本社会の特徴を探ることを目的とする。なぜそうなっているのか、どうしたらよいのかを考える。毎回、特定の社会領域に焦点を当てて、資料を読み解きながら進めていく。その際、日本語で自分の意見をまとめたりクラスメートと意見を交換したりする。コース前半には基礎知識に関する小テストがある。後半にはグループや個人で行った学習の成果を発表し、質疑応答をして学習を深める。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：日本の現代社会におけるさまざまな問題について正しく理解し、適切な判断、提言ができる。

個別目標：(1) 現代社会における問題を取り上げた資料を正確に読み取ることができる。
(2) 現代社会における問題について資料を集め、因果関係、取り組みなどを体系的に整理できる。
(3) 集めた資料をもとに、倫理性に配慮しながら他者に向けて自分の言葉で説明したり自分の立場でできることを提言したりできる。
(4) 他者との意見交換を通じて自分とは異なる価値観や考え方について比較対照し、一定の理解ができる。

▌履修条件

留学生である。
manaba の情報を漏らさず確認し、課題の提出期限を守る。
積極的に授業に参加する。

▌評価基準・方法

テスト 40%、課題提出 30%、発表 20 %、授業参加度 10%で評価する。

▌フィードバック方法

フィードバックは対面授業および manaba から行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （毎回グループワークがある。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （発表準備の回で利用する。また、manaba、respon を使用する（スマートフォン対応可）。）

▌教科書

開講時に提示する。

▌参考書

随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、テスト** 授業内容：授業目標、授業の進め方を伝える。現在の社会の中で自分はどのような立場でどのような役割を担っているのか考え、社会的自我について学習する。 事前学修 2.0hr：日本の新聞を読んで現代社会の問題をみつける。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
2回	**授業テーマ：家族の捉え方** 授業内容：社会集団の一つである「家族」の定義や範囲が複雑であることを押さえたうえで、日本の家族構成の変化と少子高齢化の影響について資料を読んで、家族の多様化に関する理解を深めていく。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
3回	**授業テーマ：家族関係** 授業内容：核家族化が進んだ日本では、家族のメンバー間の関係にどのような特徴があるか、なぜそうなっているのか、家族に何が期待されているのか資料を読み、履修者の国の状況と比較する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
4回	**授業テーマ：ジェンダー** 授業内容：性別による社会的格差を取り上げ、なぜそうなってしまっているのかいくつかの概念とデータから読み解く。社会において平等や公平性が保たれていない場面を調べて報告する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
5回	**授業テーマ：学校** 授業内容：日本の学校と自国の学校を比較し、教え方や指導の仕方など日本の学校の特徴を見つけ出す。また、日本の学校が生み出している問題とその背景について学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
6回	**授業テーマ：教育制度** 授業内容：義務教育を終えたあと教育段階である高校に焦点を当て、受験など日本の教育制度の特徴を読み解く。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
7回	**授業テーマ：孤独と孤立** 授業内容：日本の子どもや若者にとっての「友達」の実情を、友だちの数や「スクールカースト」などに焦点を当てて他国と比較しながら検討する。そのうえで学校における友達の在り方について考える。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
8回	**授業テーマ：人間関係** 授業内容：大人にとっての「友達」の数や偏りについて論じたうえで「友達」以外の幅広い対象も含めて「人間関係」に関する日本の特性、および問題状況について話し合う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
9回	**授業テーマ：格差社会** 授業内容：日本人の階層意識が一億総中流社会から格差社会へと変化してきた経緯を学習したうえで、格差拡大について調べる。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

10回	**授業テーマ：経済・働き方** 授業内容：日本の経済的活力の長期的な推移をあらわす資料を読んだうえで、働くことへの考え方について他国と比較した資料を読み解き、働き方に対する日本の特徴をまとめる。職場の事例をもとに将来の働き方について議論する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
11回	**授業テーマ：政治・社会参加** 授業内容：「民主主義」とはどのようなものかいくつかの議論を参照する。日本の若者の政治意識を検討し、なぜ若者の政治意識が低調になっているのかいくつかの仮説を読んで、意見をまとめる。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
12回	**授業テーマ：発表準備①データ収集** 授業内容：これまで学習してきたテーマの中から掘り下げたいことを調査し、資料を集める。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
13回	**授業テーマ：発表準備②資料作成** 授業内容：集めた資料を整理し、発表原稿を書く。その後、ポスターとしてまとめる。原稿、ポスターをもとに話し方の練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
14回	**授業テーマ：発表** 授業内容：質問にはどのようなタイプがあるか、質問のタイミングとマナーについて学習したあと、ポスター発表会を行う。発表会では質疑応答を取り入れ議論をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
15回	**授業テーマ：学習の振り返り、テストとフィードバック** 授業内容：第 1 回から第 14 回までの学習をふりかえり、ノートを整理する。テストを受けて、自らの成長を実感する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

政治のしくみ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

河野　武司 (こうの　たけし)

▌授業の概要

本講義では、政治のしくみ(制度と過程)について、理論と現実の両面から説明します。具体的には、日本政治を前提に、選挙制度など代議制民主主義を支える様々な制度や、政・官・財の「鉄の三角関係」、メディア、インターネットなどが政策決定に及ぼす影響を中心に、政策決定における現実について紹介していく予定です。その際、必要に応じて、政治に関する専門用語や理論を解説します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：日本政治の現実を理解し、他者に対してどうしてそうなのかを理論的に説明できる力を身に付けていただければと思っています。
個別目標：選挙において、主体的に選び、投票することができる情報を持った有権者となることを目指していただければと思っています。

▌履修条件

私が話したこと、板書したことを要領よくまとめ、自らの手でこの講義を受講したことの証としてのノートを作って、それを教科書の代わりとしてください。試験にあたっては、「すべて持込可」を予定していますので、自らがまとめたノートが非常に重要となります。聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥。不明な点があったら、授業の途中で構いませんから質問して、ノートを充実させてください。

▌評価基準・方法

期末試験 (80 %)、平常点(20 %：私からの質問に対する回答や疑問点に対する問題の提起といった普段の受講態度、場合によっては小テストも実施し、その結果も含める場合があります)で評価します。

▌フィードバック方法

定期試験等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

特に指定しません。

▌参考書

授業中に適宜指示します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス(インセンティブ)** 授業内容：・履修に当たっての諸注意と授業内容の説明。 事前学修 2.0hr：シラバスを繰り返し読んでおいてください。 事後学修 2.0hr：この授業の履修に当たっての約束事項と授業の全般的内容を確認してください。
2 回	**授業テーマ：政治とは何か** 授業内容：・政治と国家→政治概念論争、様々な政治の定義の紹介 事前学修 2.0hr：アリストテレスによる「ポリスを必要としない者は、神か野獣に違いない」という言葉を調べましょう。 事後学修 2.0hr：自らの政治に関する定義について考えてください。
3 回	**授業テーマ：民主主義とは何か** 授業内容：・プラトンが理想とした哲人王による政治は民主主義か、直接民主制と間接民主制の長短 事前学修 2.0hr：民主主義とは何かについて考えておいてください。 事後学修 2.0hr：民主主義に関する説明を整理してください。
4 回	**授業テーマ：民主主義を支えるしくみ①** 授業内容：・立憲主義、三権分立、様々な政治システム(大統領制、半大統領制、議院内閣制)、議会における一院制と二院制 事前学修 2.0hr：「絶対的権力は絶対的に腐敗する」という言葉を調べましょう。 事後学修 2.0hr：日本に首相公選制が相応しいか否か考えてみましょう。
5 回	**授業テーマ：民主主義を支えるしくみ②　様々な選挙制度** 授業内容：・代表の意味(国民代表、地域代表、職能代表)、様々な選挙制度(小選挙区制、大選挙区制、比例代表制、混合システム) 事前学修 2.0hr：日本の衆議院の選挙制度(小選挙区比例代表並立制)について調べておいてください。 事後学修 2.0hr：日本の衆議院に相応しい選挙制度について、自身の考えをまとめましょう。
6 回	**授業テーマ：日本の選挙の諸問題** 授業内容：・政治的景気循環と政治的波乗り(7 条解散の是非)、一強多弱、重複立候補の是非 事前学修 2.0hr：自身が特に感じる日本政治における問題点を一つ挙げてみましょう。 事後学修 2.0hr：自身が挙げた日本政治の問題点の解決策について考えましょう。
7 回	**授業テーマ：民主主義を支えるしくみ③　政党** 授業内容：・政党システム論とデュヴェルジェの法則、日本の政党システムとしての 55 年体制 事前学修 2.0hr：55 年体制について調べておきましょう。 事後学修 2.0hr：日本の政党システムにおける問題点についてまとめましょう。
8 回	**授業テーマ：民主主義を支えるしくみ④　民主的選挙の 5 原則** 授業内容：・普通選挙、平等選挙、直接選挙、秘密選挙、投票の自由 事前学修 2.0hr：間接投票を採用しているアメリカの大統領選挙のしくみについて調べておきましょう。 事後学修 2.0hr：義務投票制の是非について考察してみましょう。
9 回	**授業テーマ：民主主義を支えるしくみ⑤　投票参加** 授業内容：・投票参加の計算式(期待効用モデル)、投票率の向上策 事前学修 2.0hr：投票参加の計算式について調べておきましょう。 事後学修 2.0hr：自身のオリジナルな投票率の向上策について考えましょう。
10 回	**授業テーマ：民主主義を支える仕組み⑥　投票方向の決定** 授業内容：・選挙における選択の基準(支持政党、争点、業績評価、選挙区に利益をもたらす政治家か否か) 事前学修 2.0hr：自身の過去の選挙における投票を振り返っておいてください。 事後学修 2.0hr：どのような基準で投票を行うのがよいかについて考えてみましょう。
11 回	**授業テーマ：政策決定における諸問題①　メディアの役割** 授業内容：・メディアは政府の活動を監視する番犬か、政府の飼い犬か、選挙におけるアナウンスメント効果 事前学修 2.0hr：メディアの報道によって自身の考えや行動が変わったことがあるか否かについて思い出してください。 事後学修 2.0hr：メディアの政治的役割について自身の考えをまとめましょう。

12回	**授業テーマ：政策決定における諸問題②　選挙政治と利益団体政治** 授業内容：・圧力団体政治と鉄の三角形、利益団体自由主義（多元主義と労働抜きのコーポラティズム） 事前学修 2.0hr：アメリカで最大の利益団体として知られる全米ライフル協会について調べておきましょう。 事後学修 2.0hr：政策を巡る自由市場が機能するか否かについて考えましょう。
13回	**授業テーマ：政策決定における諸問題③　利益の集中とコストの分散** 授業内容：・市民における合理的無知と政策決定における反消費者生産者支持の偏向、利益の組織化と政治的企業家 事前学修 2.0hr：孔子の「民は之に由らしむべし、知らしむべからず」という言葉を調べておきましょう。 事後学修 2.0hr：政治現象を合理的選択という観点から説明することの妥当性について考えましょう。
14回	**授業テーマ：インターネットと民主主義** 授業内容：・インターネットは民主主義の敵か、インターネットが可能とする新しい民主主義の形（陪審制デモクラシー、カウンターデモクラシー） 事前学修 2.0hr：キャス・サンスティーンが書いた『民主主義はインターネットの敵か』の内容について調べておきましょう。 事後学修 2.0hr：インターネットを利用した 21 世紀にふさわしい新たな民主主義のしくみについて自身で考えてみましょう。
15回	**授業テーマ：授業の総括と質疑応答** 授業内容：まとめとして、これまでの授業内容を振り返るとともに、受講生からの質問に答えます。 事前学修 3.0hr：自らがまとめたノートを確認し、疑問点を抽出しておいてください。 事後学修 3.0hr：自らがまとめたノートを試験に備えて完成させ、繰り返し確認してください。

社会思想史

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

上野　大樹 (うえの　ひろき)

▌授業の概要

経済学をはじめとする社会科学を学ぶ上で必須となるのが、近代社会についての思想・理論についての理解である。本講義では、社会思想・社会理論・経済思想・政治思想について歴史的な視点から学んでいく。今日われわれが生きている複雑な社会をトータルに理解するためには、表層的な現象面だけでなく、その背景にある構造を把握する必要がある。しかし、経済学を含む社会科学は専門分化が著しく、個々の専門科目を修めていくだけでは社会の全体像をつかみ取ることは容易ではない。本講義では、社会について総合的・学際的な視点から分析を重ねた思想家たちの考えを、その歴史的背景とも関連づけながら詳しく紹介していく。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：(1) 社会を総合的な視点から理解するための思想・理論について理解を深める。
(2) 人類社会の歴史的・段階的な発展について、俯瞰的な視座から把握することができる。
(3) 経済や政治など機能分化した諸領域と全体社会との関係について、歴史的な観点から説明することができる。

個別目標：(1) 古代ギリシア・ローマ世界の思想・文化がその後の世界にどのような影響を与えたのかを理解し、説明できる。
(2) ヨーロッパで出現した近代社会の基本的な特徴について、歴史的な観点から把握し説明することができる。
(3) 近代社会の経済面での大きな特徴である資本主義・産業化について、アダム・スミスやカール・マルクスといった社会思想家がどのように分析を行ったのかを理解し、説明できる。
(4) 20 世紀以降の人類社会・地球社会が直面するさまざまな課題について、本授業で学ぶ社会思想家の考え方や理論を用いて自分なりの見解を提示することができる。

▌履修条件

高校世界史(あるいは歴史総合)の教科書を復習しておくことが望ましい。特に 15・16 世紀から現代史まで。

▌評価基準・方法

期末試験 60 %、授業内容を振り返るための小レポート(3〜4 回程度) 30%、授業時の積極的な参加や発言 10 %

▌フィードバック方法

小レポートの内容や授業後に受けた質問について各回の授業冒頭等で全体と(匿名で)共有して答えるとともに、以降の授業内容にも適宜フィードバックを行っていく。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

・大澤真幸『社会学史』(講談社現代新書、2019 年)【前期】
・北垣徹『社会学の問い』(中川書店、2022 年)【後期】

▌参考書

山脇直司『ヨーロッパ社会思想史　新版』(東京大学出版会、2024 年)

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：社会思想史・概論** 授業内容：社会思想史とはなにか？　なぜ社会思想史を学ぶのか？ 事前学修 2.0hr：インターネットの検索エンジンなどを使って、「社会思想史」についての事典上の定義を複数(3 つ以上)調べてきてください。 事後学修 2.0hr：教科書を入手し、まずは序と目次を熟読する。本書序文の内容と授業で説明したこととがどのように関連するか、あるいは異なる部分があるとすればどこか、考えてくること。
2回	**授業テーマ：現代の社会問題と社会思想の視点** 授業内容：現代社会における医療・福祉に関する諸問題を取り上げ、社会思想の歴史からみたときに何が言えるのかを考える。それを通じて、社会思想史を学ぶことのアクチュアリティを理解する。 事前学修 2.0hr：現代日本の医療・福祉や社会政策について昨今どのようなことが問題となっているか、調べてくる。 事後学修 2.0hr：授業内容を踏まえて、あらためて現代日本の医療福祉の課題や将来像について考えてみる。
3回	**授業テーマ：古代ギリシア・ローマの政治思想** 授業内容：政治や国家の語源ともなったポリス(都市国家)で展開された民主主義・共和主義とその思想的基盤について学ぶ。 事前学修 2.0hr：『社会学史』第１部・１「古代の社会理論　アリストテレス」を読んでくる。理解できた点と分からなかった点を腑分けしておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を踏まえてもう一度教科書の該当箇所を読み、理解の進展を確認する。
4回	**授業テーマ：古代ギリシア・ローマの経済思想と社会思想** 授業内容：公的領域で展開された政治に比して、大家族を中心とした私的領域で営まれた経済活動への評価は低かったが、現代の家政学や経営学にも通じる理論を展開した古代の思想家を概観する。 事前学修 2.0hr：前回登場したキーワードについて事典類で調べてくる。 事後学修 2.0hr：配布資料を読む。
5回	**授業テーマ：中世の社会思想** 授業内容：宗教(特にキリスト教)と世俗社会の関係について学ぶとともに、キリスト教世界のもとでの政治と経済の位置づけについて理解を深める。 事前学修 2.0hr：前回登場したキーワードについて事典類で調べてくる。 事後学修 2.0hr：今回登場したキーワードについて事典類で調べてくる。
6回	**授業テーマ：社会契約論 (1)：ホッブズ・ロック** 授業内容：近代社会の理論的・思想的基礎を構築した社会契約説について学ぶ。 事前学修 2.5hr：『社会学史』第１部２「社会契約の思想」を読んでくる。 事後学修 2.0hr：授業内容を踏まえてもう一度教科書の該当箇所を読み、理解の進展を確認する。
7回	**授業テーマ：社会契約論 (2)：ルソーとフランス革命** 授業内容：近代社会の理論的・思想的基礎を構築した社会契約説について学ぶ。 事前学修 2.5hr：『社会学史』第１部２「社会契約の思想」を再読してくる。 事後学修 2.0hr：高校世界史の教科書をもとに市民革命(英米仏の諸革命)と産業革命について復習する。
8回	**授業テーマ：社会契約説批判と歴史社会学の誕生** 授業内容：スコットランド啓蒙について学ぶ。 事前学修 2.0hr：配布資料を読む。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習。

9回	**授業テーマ：アダム・スミスと経済学の生誕** 授業内容：ヒュームとアダム・スミスの社会思想・歴史叙述・政治経済学について概観する。 事前学修 2.0hr：配布資料を読む。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習。
10回	**授業テーマ：社会科学の誕生と初期社会主義の潮流** 授業内容：フランス革命以降の産業社会・労働社会をめぐる思想と実践について概観する。 事前学修 2.5hr：『社会学史』第１部３「社会科学の誕生」を読んでくる。 事後学修 2.0hr：授業内容を踏まえて、もう一度教科書の該当箇所を再読する。
11回	**授業テーマ：スミスからマルクスへ** 授業内容：労働価値説と古典派経済学に対する 19 世紀産業革命以降の批判的展開について、ドイツを中心に理解する。 事前学修 2.5hr：『社会学史』第１部４「マルクス」を読んでくる。 事後学修 2.0hr：従業内容の復習。
12回	**授業テーマ：ヴェーバーとジンメルにおける社会学の誕生** 授業内容：18 世紀の啓蒙思想や 19 世紀前半の社会主義・産業主義の思想を踏まえて、近代知としての社会学がどのように出現してきたかを 19 世紀後半以降のドイツに焦点を当てて理解する。 事前学修 3.0hr：『社会学史』第２部３「ジンメル」、４「ヴェーバー」を読んでくる。 事後学修 2.0hr：従業内容の復習。
13回	**授業テーマ：ヴェーバー、フロイト、デュルケーム** 授業内容：社会学と精神分析の関係について、世紀末の時代背景を把握しつつ理解を深める。 事前学修 3.0hr：『社会学史』第２部１「フロイト」、２「デュルケーム」を読んでくる。 事後学修 2.0hr：従業内容の復習。
14回	**授業テーマ：社会システム論の誕生** 授業内容：20 世紀の社会学、特にパーソンズの構造機能主義と、現象学を基盤とするミクロ社会学の展開について学ぶ。 事前学修 3.0hr：『社会学史』第３部１「パーソンズ」、２「〈意味〉の社会学」を読んでくる。 事後学修 2.0hr：従業内容の復習。
15回	**授業テーマ：社会システム論の発展** 授業内容：フランス現代思想の基礎を学び、さらにルーマンによる社会システム論の「転回」についてポストモダンの時代状況と関連づけながら理解を深める。 事前学修 3.0hr：『社会学史』第３部３「意味構成的なシステムの理論」、４「社会学の未来に向けて」を読んでくる。 事後学修 2.0hr：従業内容の復習。

日本企業論

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

粟沢　尚志（あわさわ　たかし）

▌授業の概要

本科目は教育目標「人間力形成」達成のための科目です。日本企業の過去・現在・未来に関心をもつ学生を対象に、経済学と経営学の二つの分析視点から、日本企業の組織・行動・成果を体系的に理解するために必要な幅広い教養的知識・技能のほかに、主体的に学ぶ態度を含む能力の養成を目指しています。授業で探究する主な課題は、日本企業の取引慣行（雇用・生産・流通）の特徴、グローバル市場での外国企業との競争と協調の実態、組織と戦略の独自性がもたらすイノベーションという日本企業が直面する課題です。毎回、授業内課題を課して理解を深めるとともに、受講生の能動的授業参加を求めます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：(1) 日本企業の活動（組織・行動・成果）を理解するために必要となる経済学と経営学の基本的な考え方の基礎を身につけることができる。
(2) 日本の企業・取引システムの歴史と現代日本企業の課題を理解するために必要な基礎的な知識と技能を修得することができる。

個別目標：(1) 日本企業に特徴的な雇用・生産・流通慣行を理解するのに必要となる制度的・戦略的補完性の重要性を説明できる。
(2) 日本企業の組織と戦略とイノベーションの相互関係を解明する複数の仮説モデルを説明できる。
(3) 日本に強く見られる経営倫理観（渋沢栄一の道徳経済合一説）を理解し、その今日的な実践（たとえばＳＤＧｓ）を卒業後に可能にする。

▌履修条件

履修に必要な予備的知識として「経済のしくみ」を履修することが望ましい。

▌評価基準・方法

manaba のレポート機能を使った毎週の課題（60 %）と、manaba の小テスト機能を使った最終試験（40 %）の合計点から評価する。

▌フィードバック方法

模範解答やコメントを提示します。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （動画を使った視覚的な理解をはかります。）

▌教科書

指定なし。

▌参考書

加護野忠雄・山田幸三編『日本のビジネスシステム』有斐閣、2016 年.
丸山雅祥『経営の経済学　第 3 版』有斐閣、2017 年.
加藤健太・大石直樹『ケースに学ぶ日本の企業』有斐閣、2013 年.
橘川武郎・平野創・板垣暁編『日本の産業と企業』有斐閣、2014 年.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：イントロダクション：日本型経営とアメリカ型経営** 授業内容：教材（レジュメ）と動画を使って、経済学と経営学の双方からわかりやすく学びます。 事前学修 2.0hr：日経新聞記事を教材とした予習 事後学修 2.0hr：授業の理解を深めるための課題作成
2回	**授業テーマ：「ダイキン」のブルーオーシャン戦略** 授業内容：教材（レジュメ）と動画を使って、経済学と経営学の双方からわかりやすく学びます。 事前学修 2.0hr：日経新聞記事を教材とした予習 事後学修 2.0hr：授業の理解を深めるための課題作成
3回	**授業テーマ：「コマツ」の極限ブランド戦略** 授業内容：教材（レジュメ）と動画を使って、経済学と経営学の双方からわかりやすく学びます。 事前学修 2.0hr：日経新聞記事を教材とした予習 事後学修 2.0hr：授業の理解を深めるための課題作成
4回	**授業テーマ：「アサヒビール」が業界トップになるまでの戦略ストーリー** 授業内容：教材（レジュメ）と動画を使って、経済学と経営学の双方からわかりやすく学びます。 事前学修 2.0hr：日経新聞記事を教材とした予習 事後学修 2.0hr：授業の理解を深めるための課題作成
5回	**授業テーマ：「村田製作所」のオープンイノベーション戦略** 授業内容：教材（レジュメ）と動画を使って、経済学と経営学の双方からわかりやすく学びます。 事前学修 2.0hr：日経新聞記事を教材とした予習 事後学修 2.0hr：授業の理解を深めるための課題作成
6回	**授業テーマ：「公文」による教育のモジュール化** 授業内容：教材（レジュメ）と動画を使って、経済学と経営学の双方からわかりやすく学びます。 事前学修 2.0hr：日経新聞記事を教材とした予習 事後学修 2.0hr：授業の理解を深めるための課題作成
7回	**授業テーマ：「伊那食品工業」による《年輪経営》** 授業内容：教材（レジュメ）と動画を使って、経済学と経営学の双方からわかりやすく学びます。 事前学修 2.0hr：日経新聞記事を教材とした予習 事後学修 2.0hr：授業の理解を深めるための課題作成
8回	**授業テーマ：幸せの量産をパーパスとする「トヨタ自動車」** 授業内容：教材（レジュメ）と動画を使って、経済学と経営学の双方からわかりやすく学びます。 事前学修 2.0hr：日経新聞記事を教材とした予習 事後学修 2.0hr：授業の理解を深めるための課題作成
9回	**授業テーマ：「ルミネ」のコーペティション戦略** 授業内容：教材（レジュメ）と動画を使って、経済学と経営学の双方からわかりやすく学びます。 事前学修 2.0hr：日経新聞記事を教材とした予習 事後学修 2.0hr：授業の理解を深めるための課題作成

10回	**授業テーマ：機会を活用した「ベネッセ」の多角化戦略** 授業内容：教材(レジュメ)と動画を使って、経済学と経営学の双方からわかりやすく学びます。 事前学修 2.0hr：日経新聞記事を教材とした予習 事後学修 2.0hr：授業の理解を深めるための課題作成
11回	**授業テーマ：「ヤマト運輸」の先義後利(せんぎこうり)の経営** 授業内容：教材(レジュメ)と動画を使って、経済学と経営学の双方からわかりやすく学びます。 事前学修 2.0hr：日経新聞記事を教材とした予習 事後学修 2.0hr：授業の理解を深めるための課題作成
12回	**授業テーマ：「スバル自動車」の共通善に向けた差別化戦略** 授業内容：教材(レジュメ)と動画を使って、経済学と経営学の双方からわかりやすく学びます。 事前学修 2.0hr：日経新聞記事を教材とした予習 事後学修 2.0hr：授業の理解を深めるための課題作成
13回	**授業テーマ：弱者の経営戦略で生き残る「銚子電鉄」** 授業内容：教材(レジュメ)と動画を使って、経済学と経営学の双方からわかりやすく学びます。 事前学修 2.0hr：プリントを用いた予習 事後学修 2.0hr：授業の理解を深めるための課題作成
14回	**授業テーマ：「パナソニック」と経営の神様と呼ばれた松下幸之助の経営哲学** 授業内容：教材(レジュメ)と動画を使って、経済学と経営学の双方からわかりやすく学びます。 事前学修 2.0hr：日経新聞記事を教材とした予習 事後学修 2.0hr：授業の理解を深めるための課題作成
15回	**授業テーマ：日本企業と渋沢栄一の経営哲学** 授業内容：教材(レジュメ)と動画を使って、経済学と経営学の双方からわかりやすく学びます。 事前学修 2.0hr：日経新聞記事を教材とした予習 事後学修 2.0hr：授業の理解を深めるための課題作成

地理と環境

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

池田　和子（いけだ　かずこ）

▌授業の概要

本講義は、人文地理学のなかでも環境と人との相互作用に焦点を当てる。本講義での「環境」は、自然環境にとどまらずそれまでに蓄積された地域の資源や既存の産業、人々の行動様式などを含む。

講義は 2 つの柱からなり、1 つは事例研究を通じて変化の具体的なプロセスとその背景にある地理的な考え方を学習する。もう 1 つは地図の技能に関わるもので、地域の特徴やその変化を地図からよみとる。また作図から、効果的な図とは何かを学んでいく。

前期と後期は学びの目標と毎回のテーマは同じであるが、事例研究と地図技能の配分が異なる。前期は事例研究に重点を置き、後期は地図技能を中心とする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：地域を観察し、地域の個性が多様な要素の絡み合いから生じ、変化し続けている様子を捉えられるようになる。地域をよみとくための基礎知識を習得する。
地図、特に地形図を読むための基礎知識を習得する。また主題図の作図に関する基礎知識を習得し、効果的な作図について工夫できるようになる。

個別目標：・地理的スケールを意識しながら地域を観察することができる。
・地図や統計などの資料を読みとることができる。
・書かれた内容を適切に理解し、自分の考えを述べることができる。
・与えられたテーマについてグループディスカッションができる。

▌履修条件

高校で地理を履修していなくても構いませんが、積極的に学ぶ姿勢を求めます。

▌評価基準・方法

平常評価（講義中の課題）40%、最終試験（教場）60%の割合で評価する。

▌フィードバック方法

講義での課題に対するフィードバックは翌週の講義中に行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループディスカッション、地図の作図・読図）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （統計検索、ウェブ GIS の活用）

▌教科書

なし。配付資料にて行う。

▌参考書

適宜指示する。

高校生向けの地図帳や参考書があれば理解を助ける。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：イントロダクション** 授業内容：(大学の)地理学とは、本講義の内容や評価方法について理解する。 事前学修 2.0hr：これまでに学校で学んだ「地理」のイメージや印象を考えてみる。 事後学修 2.0hr：「地理」のイメージが変化したかや、授業の内容から考えたことを文章にまとめてみる。
2回	**授業テーマ：浦安を知る①／地形図の基本** 授業内容：地形図の基礎を学び、実際に浦安の地形図を読みとる。また低地の土地利用について学ぶ。 事前学修 2.0hr：「地形図」とは何かを確認する。 事後学修 2.0hr：地理院地図で関心のある場所を見てみる。機能のいくつかを利用してみる。
3回	**授業テーマ：浦安を知る②／「地図感覚」をやしなう** 授業内容：時期の異なる浦安の地形図を比較し、浦安がどのように変化してきたかを読みとる。また、感覚的に地形図を理解することについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：指示された文献を読んでおく。 事後学修 2.0hr：地形図に関する課題に取り組む。
4回	**授業テーマ：農林水産業の盛んな地域①／山地の地形図** 授業内容：実証研究論文を用いて、事例地域の特徴とその変化を読みとる。 山地の地形図で、等高線の読み方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指示された文献を読んでおく。 事後学修 2.0hr：地形図に関する課題に取組む。
5回	**授業テーマ：農林水産業の盛んな地域②** 授業内容：農業立地の基礎と、事例となる品目の特徴について学ぶ。これを踏まえて論文を精読する。 事前学修 2.0hr：指示された文献を読んでおく。 事後学修 2.0hr：身近な農業生産の場について、授業の内容があてはまるか異なるかを考える。
6回	**授業テーマ：農林水産業の盛んな地域③／自然環境の利用と災害リスク** 授業内容：扱う実証研究論文に関係する、発展的な知識について学ぶ。環境と人間との関わりとその変化について、より抽象的に理解する。また自然の恩恵と災害リスクが表裏一体であることを学ぶ。 事前学修 2.0hr：指示された文献を読んでおく。 事後学修 2.0hr：4〜6 回目を通して、考えたことをまとめておく。
7回	**授業テーマ：製造業の盛んな地域①／統計データの利用** 授業内容：実証研究論文を用いて、事例地域の特徴とその変化を読みとる。論文で扱われている統計にはどのようなものがあるかを学ぶ。 事前学修 2.0hr：指示された文献を読んでおく。 事後学修 2.0hr：関心のある事柄について、統計情報を探してみる。
8回	**授業テーマ：製造業の盛んな地域②／統計データの分析** 授業内容：工業立地の基礎と、事例となる産業の特徴、戦後日本の工業発展について学ぶ。これを踏まえて改めて論文の内容を理解する。また論文で扱われている統計データを実際に分析してみる。 事前学修 2.0hr：指示された文献を読んでおく。 事後学修 3.0hr：7〜8 回目を通して、考えたことをまとめておく。

9回	**授業テーマ：主題図と GIS（地理情報システム）の利用** 授業内容：主題図および、GIS による作図と分析について理解するとともに、実際にウェブ GIS を使うなどして主題図を作成する。 事前学修 2.0hr：主題図とは何か調べてみる。 事後学修 3.0hr：主題図作成の課題に取り組む。
10回	**授業テーマ：第三次産業の盛んな地域①／主題図の重ね合わせ** 授業内容：実証研究論文を用いて、事例地域の特徴とその変化を読みとる。また、主題図を重ね合わせることについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：指示された文献を読んでおく。 事後学修 2.0hr：身近なサービス業の場について、授業の内容があてはまるか異なるかを考える。
11回	**授業テーマ：第三次産業の盛んな地域②** 授業内容：事例となる産業の、立地の基礎や産業史、近年の動向について理解する。これを踏まえて論文を精読する。 事前学修 2.0hr：指示された文献を読んでおく。 事後学修 2.0hr：これまで学んだ事例の、産業としての違いを考える。
12回	**授業テーマ：第三次産業の盛んな地域③** 授業内容：扱う実証研究論文に関係する、発展的な知識について学ぶ。環境と人間との関わりとその変化について、より抽象的に理解する。 事前学修 2.0hr：指示された文献を読んでおく。 事後学修 2.0hr：10～12 回目を通して、考えたことをまとめておく。
13回	**授業テーマ：時計の歴史①と地図・緯度・経度** 授業内容：時計の歴史をたどりながら、地図や特に緯度・経度との関わりについて理解する。 事前学修 2.0hr：指示された文献を読んでおく。 事後学修 2.0hr：関心を持った事柄について調べる。
14回	**授業テーマ：時計の歴史②と地球・標準時・暦** 授業内容：時計の歴史をたどりながら、地球を知ることや標準時・暦との関わりについて理解する。 事前学修 2.0hr：指示された文献を読んでおく。 事後学修 2.0hr：関心を持った事柄について調べる。
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：全体のまとめ、試験について 事前学修 3.0hr：これまでの復習をしておく。 事後学修 3.0hr：これまでに学んだことへの理解を深める。

地理と環境

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 ｜ 備考：留学生クラス

木山　三佳（きやま　みか）

▌授業の概要

地理と環境(留学生クラス)では、文章、図版、データ、写真など様々な情報を統合し、様々な現代的なテーマのシステム的な理解をすることで、現実世界の諸事象の観察や洞察を行う力を養う。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：自然と人文環境の両者を理解できるような複眼的な思考ができる。

個別目標：①様々なスケールごとに人と環境の関わりについて、情報を深く読み取り、課題の解決方法を理論的に表現できる。
②文章、地図、図表、写真、統計データなどの資料を集め、倫理性に配慮し、活用できる。
③地図、統計データ等の情報を処理し文章と統合して、内容を正確に理解する
④課題達成のために他者との協働作業を行うことができる。
⑤地理と環境に対するシステム的な思考力を適切に評価し、計画をたて、能動的に学習し、正しく振り返ることができる。

▌履修条件

毎回出席する。manaba のコースニュースでの連絡を読むこと。提出期限を守ること。授業活動に積極的に参加する。使えるリソースを適切に利用する。

▌評価基準・方法

平常評価（通常週の課題提出による評価）50%、最終試験 50%の割合で評価する。詳細は第 1 回授業で説明をする。

▌フィードバック方法

毎回、コメントシートで質問等を受け付ける。
課題及び試験のフィードバックは manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （コンセプトテスト・ピアインストラクション・コメントシート・ジグソー活動）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （地図、データなどの検索に利用する。）

▌教科書

高橋伸夫ほか　『改定新版ジオグラフィー入門』古今書院

▌参考書

授業で指示する

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：科目の概要、目標、評価基準、授業および課題提出などについての説明を行い、事前テストを行う。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク・アンケート 事後学修 2.0hr：事後確認タスク・コンセプトマップを作成する。
2回	**授業テーマ：人間環境と人間社会** 授業内容：地形、気候などの自然環境と政治、経済活動などの社会環境との関わりを複眼的に分析する、という地理学の本質的な考え方を理解する。高知県を例にとって日本の産業構造の変化を自然条件、社会条件から分析する。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク　テキストを読み、わからない単語を調べる 事後学修 2.0hr：事後確認タスク・コンセプトマップを作成する。
3回	**授業テーマ：日本を縮める新幹線** 授業内容：日本の新幹線の延伸を年代別の地図から読み解く。時間距離という概念を理解し、新幹線の延伸の背景にある、日本の人口分布の変化、鉄道を用いた物流システムの変化などから日本経済の発展を分析する。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク　テキストを読み、わからない単語を調べる 事後学修 2.0hr：小テスト・コンセプトマップを作成する。
4回	**授業テーマ：分布図で見るオーストラリア** 授業内容：オーストラリアの人口分布と耕地の分布を比較する。鉱業、畜産業などの分布図と地域ごとの産業構造を比較した表を対照させてオーストラリアの自然条件と産業構造を理解する。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク　テキストを読み、わからない単語を調べる 事後学修 2.0hr：小テスト・コンセプトマップを作成する。
5回	**授業テーマ：選挙にみる地理学** 授業内容：衆議院総選挙結果と人口指標の推移、地域別投票率、政党別獲得議席数などから日本の政治の地域性を理解する。一票の格差、ゲリマンダー選挙区など選挙制度上の問題について考える。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク　テキストを読み、わからない単語を調べる 事後学修 2.0hr：小テスト・コンセプトマップを作成する。
6回	**授業テーマ：人々の行動を分析する** 授業内容：社会生活基本調査による生活時間の増減と男女有業者の週平均活動時間から日本人の生活活動の分析を時間の側面から把握する。それにパーソントリップ調査を加えて、子どもを持つ夫婦の生活を時間移動から分析し、日本の少子化問題を考える。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク　テキストを読み、わからない単語を調べる 事後学修 2.0hr：小テスト・レポート・コンセプトマップを作成する。
7回	**授業テーマ：頭のなかの地図** 授業内容：人間が頭の中に持つ認知地図の要素、構造を理解し、いかに形成されるか、どのような要因で認知地図の歪みが生じるかを事例から理解する。認知地図がサーベイマップなのかルートマップなのかという議論を学ぶ。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク　テキストを読み、わからない単語を調べる 事後学修 2.0hr：レポート・コンセプトマップを作成する。
8回	**授業テーマ：地図は語る** 授業内容：縮尺、地図記号など地形図の見方の基本を学ぶ。1961 年、1970 年、1994 年の浦安市の地形図を比較し、漁師町から住宅・文教・レジャー施設を持つ海浜ニュータウン地域へと変容した浦安の都市化を理解する。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク　テキストを読み、わからない単語を調べる 事後学修 2.0hr：レポート・コンセプトマップを作成する。
9回	**授業テーマ：地形図の読み取り** 授業内容：同じ地域の年代の異なる地形図を読み取り、その地域における産業の変遷などを推測する。ジグソー活動によって、他の学習者と協力してタスクシートを完成させる。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク　テキストを読み、わからない単語を調べる 事後学修 2.0hr：小テスト・コンセプトマップを作成する。

10回	**授業テーマ：人はいかに分布するか** 授業内容：人が居住する範囲であるエクメーネにおける人の分布を表す方法として、人口密度、一人あたり面積、人口接近度などの用語を学び、各国のデータを用いて実態を分析する。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク　テキストを読み、わからない単語を調べる 事後学修 2.0hr：小テスト　・コンセプトマップを作成する。
11回	**授業テーマ：人は移動する** 授業内容：移動者数の推移や地域ごとの人口変動のタイプから、地方の中心県が周辺県からの流入と東京への転出を行うという都市システムを理解する。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク　テキストを読み、わからない単語を調べる 事後学修 2.0hr：小テスト
12回	**授業テーマ：都市の内部に構造をみる** 授業内容：都市地理学における古典的内部構造モデル、同心円地帯モデル、セクターモデル、多核心モデルを理解し、都市の内部構造が形成される要因とプロセスを理解する。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク　テキストを読み、わからない単語を調べる 事後学修 2.0hr：レポート・コンセプトマップを作成する。
13回	**授業テーマ：東京一極集中は進む** 授業内容：日本の地域別人口の歴史的変化から東京一極集中の背景を理解する。主要都市の経済的中枢管理機能を比較し東京にある行政的中枢管理機能の集中と首都機能移転を巡る議論を考える。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク　テキストを読み、わからない単語を調べる 事後学修 2.0hr：レポート・コンセプトマップを作成する。
14回	**授業テーマ：都市は気候を変える** 授業内容：環八雲やヒートアイランドなどの現象を通して都市気候が発生する仕組みを学ぶ。人口集中によって地表面の特性が変わり、代謝熱によるエアロゾルの発生が都市気候の背景にあることを理解する。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク　テキストを読み、わからない単語を調べる 事後学修 2.0hr：小テスト・コンセプトマップを作成する。
15回	**授業テーマ：最終試験とフィードバック** 授業内容：最終試験を行いフィードバックを行う。コース全体の振り返りを行う。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク　テキストを読み、わからない単語を調べる 事後学修 2.0hr：アンケート

自然環境論

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

磯田　尚子（いそだ　しょうこ）

▌授業の概要

現代社会における最も重要な課題のひとつである環境問題について、その原因や発生のメカニズムは何か、何が問題となっているか、そして解決のためにどのようなしくみを構築すべきかを学ぶ。環境法政策学をに中心として、自然保護に関する環境倫理学・環境哲学の知見をも取り入れながら、法的なしくみの現状と課題について学ぶ。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：環境問題に関する法的なしくみについて、基本的な知識を習得するとともに、持続可能な社会、自然と人間の共生に向けて何が必要かを理解する。

個別目標：環境問題に関する法的な制度やしくみについて、専門用語とその内容を、自分の言葉できちんと説明できるようになる。

▌履修条件

学問に対する誠実な姿勢を有し、自主的、積極的に学ぶ学生を歓迎する。

▌評価基準・方法

筆記試験９０%、レポートまたは授業中の発表・発言１０%を総合して成績評価を行う。
原則として、授業回数１５回のうち５分の４以上の出席を評価の前提基準とする。

▌フィードバック方法

レポートのフィードバックは、授業内で行い、筆記試験のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （プレゼンテーション、ディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

柳憲一郎・森永由紀・磯田尚子(編著)『多元的環境問題論(増補改訂版)』(ぎょうせい)
ISBN978-4-324-08009-2

▌参考書

講義において適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、環境問題の歴史 1（公害問題）** 授業内容：初めに、授業の概要・進め方や評価方法、留意事項について説明する。続いて、日本の公害の歴史を概観した後、戦前の公害問題の典型例である足尾鉱毒事件を取り上げ、この時代の公害問題の原因や背景を考える。 事前学修 2.0hr：教科書第２章２．１．１を熟読する。 事後学修 2.0hr：足尾鉱毒事件について調べる。
2回	**授業テーマ：環境問題の歴史 2（四大公害訴訟）** 授業内容：戦後高度経済成長期に起こった四大公害事件から学びを得るとともに、四大公害訴訟を通じて形成された法理論の内容と意義を理解する。 事前学修 2.0hr：教科書第 2 章２．１．２～２．１．４を熟読する。 事後学修 2.0hr：四大公害訴訟を通して形成された法理論を４つ挙げて、それぞれについて説明する。
3回	**授業テーマ：環境問題の歴史 3（公害の未然防止）** 授業内容：高度経済成長後の公害裁判において課題となった公害の未然防止に関し、差止訴訟の事例を紹介しながら、裁判で用いられた論理を理解する。 事前学修 2.0hr：教科書第 2 章２．１．５を熟読する。 事後学修 2.0hr：受忍限度論について説明する。
4回	**授業テーマ：環境基本法の制定と環境基本計画** 授業内容：公害問題と環境問題の根本的な違いを知るとともに、環境基本法と環境基本計画の内容を学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書第 2 章２．１．６および２．２．１を熟読する。 事後学修 2.0hr：環境基本法の特徴を述べる。
5回	**授業テーマ：環境保全手法** 授業内容：公害問題の時代から有効であった規制的手法と、環境問題の解決のために新たに導入されてきている経済的手法の２つを中心に、協定的手法、情報的・教育的手法その他を学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書第２章２．２．３～２．２．４を熟読する。 事後学修 2.0hr：規制的手法と経済的手法を比較する。
6回	**授業テーマ：環境保全のための理念と基本原則** 授業内容：環境問題の解決のために採用されている理念や基本原則のうち、持続可能な開発/発展(SD)と汚染者負担原則(PPP)について学ぶ。 事前学修 2.0hr：持続可能な開発/発展、汚染者負担原則について調べる。 事後学修 2.0hr：環境と経済の同時達成について具体例を調べる。
7回	**授業テーマ：大気環境１（大気汚染、酸性雨、オゾン層破壊）** 授業内容：大気汚染、国境を越えて被害が生ずる酸性雨、さらに地球規模で影響があるオゾン層破壊について、その発生メカニズムと影響と法的な対策を学ぶ。 事前学修 2.0hr：酸性雨とオゾン層破壊のそれぞれについて、発生メカニズムと影響について説明する。 事後学修 2.0hr：大気汚染、酸性雨、オゾン層破壊のそれぞれについて、どんな対策が取られているか説明する。
8回	**授業テーマ：大気環境２（気候変動）** 授業内容：今世紀最大の環境問題である気候変動について、その発生メカニズム、影響、法的な対策の歴史と現状(気候変動枠組条約、京都議定書、パリ協定)を学ぶ。 事前学修 2.0hr：気候変動(地球温暖化)の発生メカニズムと影響について説明する。 事後学修 2.0hr：京都議定書とパリ協定の内容を説明する。
9回	**授業テーマ：土壌環境（土壌汚染）** 授業内容：土壌汚染の特徴を理解するとともに、土壌汚染問題のタイプと対策の歴史、土壌汚染対策法の内容を意義を理解する。 事前学修 2.0hr：教科書第１章１．４を熟読する。 事後学修 2.0hr：土壌汚染対策法の内容について説明する。
10回	**授業テーマ：廃棄物 1（廃棄物法制度の概要）** 授業内容：廃棄物関連の法律の全体像をつかんだ後、廃棄物処理法、資源有効利用促進法、リサイクル関連の法律の内容と意義を理解する。 事前学修 2.0hr：教科書第１章１．６を熟読する。 事後学修 2.0hr：廃棄物処理法、リサイクル関連の法律、グリーン購入法の内容について説明する。

11回	**授業テーマ：廃棄物 2（循環型社会形成に向けて）** 授業内容：リサイクル関連の法律の進展を知るとともに、循環型社会形成推進基本法で定める理念や原則を学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書第１章１．６を熟読する。 事後学修 2.0hr：循環型社会形成推進基本法の内容について説明する。
12回	**授業テーマ：生物環境 1（自然の権利）** 授業内容：自然を原告として提訴する自然の権利訴訟について、日本の訴訟とそのモデルとなったアメリカの訴訟を通して、ある地域の開発について地域住民以外の者が法的に意見を述べることについて考えるとともに、自然に権利を付与する法政策的な意義を論じる。 事前学修 2.0hr：教科書第 1 章１．５．４及び第４章 4.2.3 を熟読する。 事後学修 2.0hr：自然の権利を主張する意義について論じる。
13回	**授業テーマ：生物環境 2（自然保護思想史）** 授業内容：２０世紀初めに誕生した自然保護に当初から２つの異なる潮流(保全、保存)があったこと、その後の展開として、土地倫理、ディープ・エコロジー、さらに、現在の社会派、女性派、生命地域主義への分化を学び、自然保護の目的、手法を考える。 事前学修 2.0hr：教科書第４章４．２～４．３を熟読する。 事後学修 2.0hr：自然保護する目的と方法について、２つの異なる思想を比較する。
14回	**授業テーマ：生物環境 3（自然環境保全制度）** 授業内容：日本の自然環境保全のための法律４つ(自然公園法、自然環境保全法、種の保存法、鳥獣保護法)の内容を理解し、国法レベルでの自然保護手法の特徴について考える。 事前学修 2.0hr：教科書第１章１．５．３を熟読する。 事後学修 2.0hr：自然環境保全のための４つの法律の内容について説明する。
15回	**授業テーマ：生物環境 4（里山の保全）、総括** 授業内容：近年の里山保全についての政策転換、地方自治体の条例の内容を学ぶ。そして、これまでの授業を振り返る。 事前学修 2.0hr：これまでの授業のノートを振り返る。 事後学修 2.0hr：関心のある自然地域または生物がどのように保護されているか調べる。

都市と生活

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

中嶋　久人 (なかじま　ひさと)

▌授業の概要

20 世紀後半以降の世界は、都市化が進展し、都市的な生活が村落地域でも浸透しているようになっている。それでも、大都市の中心地域は、他地域とは違った様相を示している。本授業では、大都市の中心地域の一例として東京中心部を把握し、微視的に住民それぞれによる都市における生活の様相をとらえ、さらに巨視的に都市全体を俯瞰して経営の対象としての都市を歴史的に考察し、生活と都市という二つの契機が結びついている状況を検討したい。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：それぞれの住民にとって大都市において生活することのあり方を把握し、その上で、そのような住民の生活をもとに都市全体を経営することを歴史的に検討する。このことは、学問的課題であると同時に、それぞれにとっての生活的課題であり、さらには都市全体の社会的課題である。この授業で学習したことをもとに、新たな学問的課題に取り組むとともに、都市で生活することの基礎知識を習得し、都市全体を経営する視点を展望することができる。

個別目標：①東京北部を主要な対象としている吉見俊哉『東京裏返し』を教科書にして、講師が「街歩き」＝フィールドワークにおいて撮影した写真や講師自身の生活体験などを交えて、都心部で生活するということについて、地理的環境や前近代の伝統などの影響もふまえて、イメージを形成することができる。

②「破壊と復興が築いた都市」「帝都・首都圏とインフラの拡大」「近代都市を生きる民衆」など七つのテーマで東京全体の近現代都市を考察した源川真希『東京史』を教科書にして、都市全体を俯瞰した都市経営を構想することができる。

③コメントペーパー作成、討論、教場レポート提出、論述試験などを通じて、論理的に自己の考え方を表現することに習熟することができる。

▌履修条件

履修条件は特にない。他用の折でもよいので「街歩き」＝フィールドワークを行い、さらに、教科書や講師の提示した参考文献に目を通すという積極的な姿勢が望まれる。

▌評価基準・方法

評価基準は、試験 60 %平常点 40 %とする。定期試験については五分の四以上の出席を条件とする。平常点は、授業中に教場にてレポートを提出してもらい、それを中心として、コメントペーパーの提出・記入や授業態度なども総合して評価する。

▌フィードバック方法

授業でコメントペーパーをもとに討論を行い、それによってフィードバックする。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （コメントペーパーを配布し授業中にそれをもとに討論する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

吉見俊哉『東京裏返し一社会学的街歩きガイド』(集英社新書 1033B 2020 年　980 円＋税)

源川真希『東京史一七つのテーマで巨大都市を読み解く』(ちくま新書 1727 2023 年　900 円＋税)

▌参考書

東京の地理に詳しくないものは東京の地図を持参することが望ましい。その他、教科書に挙げられている文献を中心に授業の進行に合わせて必要に応じ適宜指定する予定である。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス：本授業の運営方法、講師・学生の自己紹介、教科書の概要説明** 授業内容：本授業の運営についてガイダンスを行う。講師の自己紹介の後、学生が自身の自己紹介と本授業に期待することを述べる。その後、本授業の到達目標・運営方法などを説明し、吉見『東京裏返し』と源川『東京史』について、序章にあたる部分を中心にそれぞれの概要を述べる。 事前学修 2.0hr：『東京裏返し』の「はじめに」と『東京史』の「プロローグ」を中心に目を通すこと。本授業に期待することを検討しておくこと。 事後学修 2.0hr：本日の講義内容を把握しておくこと。教科書の序章部分で挙げられた文献に目を通すこと。
2回	**授業テーマ：「都電荒川線に乗って東京を旅する」(『東京裏返し』第一日)** 授業内容：「都電荒川線に乗って東京を旅する」(『東京裏返し』第一日)について、当該地域の写真をもとに、当該地域で生活していた講師の生活経験も交えて説明し、都市生活のイメージを形成する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書の参考文献に目を通すこと。可能なら当該箇所をフィールドワークすること(事後でも可)。 事後学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書・講師の提示した参考文献に目を通すこと。可能なら当該箇所をフィールドワークすること。
3回	**授業テーマ：「秋葉原ー上野ー浅草間に路面電車を復活させる」(『東京裏返し』第二日)** 授業内容：「秋葉原ー上野ー浅草間に路面電車を復活させる」(『東京裏返し』第二日)(『東京裏返し』第一日)について、当該地域の写真をもとに、当該地域で生活していた講師の生活経験も交えて説明し、都市生活のイメージを形成する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書の参考文献に目を通すこと。可能なら当該箇所をフィールドワークすること(事後でも可)。 事後学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書・講師の提示した参考文献に目を通すこと。可能なら当該箇所をフィールドワークすること。
4回	**授業テーマ：「動物園を開放し、公園を夜のミュージアムパークに」(『東京裏返し』第三日)** 授業内容：「動物園を開放し、公園を夜のミュージアムパークに」(『東京裏返し』第三日)について、当該地域の写真をもとに、当該地域で生活していた講師の生活経験も交えて説明し、都市生活のイメージを形成する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書の参考文献に目を通すこと。可能なら当該箇所をフィールドワークすること(事後でも可)。 事後学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書・講師の提示した参考文献に目を通すこと。可能なら当該箇所をフィールドワークすること。
5回	**授業テーマ：「都市にメリハリをつけながら、古い街並みを守る」(『東京裏返し』第四日)** 授業内容：「都市にメリハリをつけながら、古い街並みを守る」(『東京裏返し』第四日)について、当該地域の写真をもとに、当該地域で生活していた講師の生活経験も交えて説明し、都市生活のイメージを形成する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書の参考文献に目を通すこと。可能なら当該箇所をフィールドワークすること(事後でも可)。 事後学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書・講師の提示した参考文献に目を通すこと。可能なら当該箇所をフィールドワークすること。
6回	**授業テーマ：「都心北部で大学街としての東京を再生させる」(『東京裏返し』第五日)** 授業内容：「都心北部で大学街としての東京を再生させる」(『東京裏返し』第五日)について、当該地域の写真をもとに、当該地域で生活していた講師の生活経験も交えて説明し、都市生活のイメージを形成する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書の参考文献に目を通すこと。可能なら当該箇所をフィールドワークすること(事後でも可)。 事後学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書・講師の提示した参考文献に目を通すこと。可能なら当該箇所をフィールドワークすること。
7回	**授業テーマ：「武蔵野台地東端で世界の多様な宗教が連帯する」(『東京裏返し』第六日)** 授業内容：「武蔵野台地東端で世界の多様な宗教が連帯する」(『東京裏返し』第六日)について、当該地域の写真をもとに、当該地域で生活していた講師の生活経験も交えて説明し、都市生活のイメージを形成する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書の参考文献に目を通すこと。可能なら当該箇所をフィールドワークすること(事後でも可)。 事後学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書・講師の提示した参考文献に目を通すこと。可能なら当該箇所をフィールドワークすること。

8回	**授業テーマ：「未来都市東京を江戸にする」(『東京裏返し』第七日)** 授業内容：「未来都市東京を江戸にする」(『東京裏返し』第七日)について、当該地域の写真をもとに、当該地域で生活していた講師の生活経験も交えて説明し、都市生活のイメージを形成する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書の参考文献に目を通すこと。可能なら当該箇所をフィールドワークすること(事後でも可)。 事後学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書・講師の提示した参考文献に目を通すこと。可能なら当該箇所をフィールドワークすること。
9回	**授業テーマ：「破壊と復興が築いた都市」(『東京史』第１章)** 授業内容：「破壊と復興が築いた都市」(『東京史』第１章)について、『東京裏返し』の知見や講師・学生の生活経験もふまえて学習する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書の参考文献に目を通すこと。 事後学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書・講師の提示した参考文献に目を通すこと。可能なら関係箇所をフィールドワークすること。
10回	**授業テーマ：「帝都・首都圏とインフラの拡大」(『東京史』第２章)** 授業内容：「帝都・首都圏とインフラの拡大」(『東京史』第２章)について、『東京裏返し』の知見や講師・学生の生活経験もふまえて学習する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書の参考文献に目を通すこと。 事後学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書・講師の提示した参考文献に目を通すこと。可能なら関係箇所をフィールドワークすること。
11回	**授業テーマ：「近代都市を生きる民衆」(『東京史』第３章)** 授業内容：「近代都市を生きる民衆」(『東京史』第３章)について、『東京裏返し』の知見や講師・学生の生活経験もふまえて学習する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書の参考文献に目を通すこと。 事後学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書・講師の提示した参考文献に目を通すこと。可能なら関係箇所をフィールドワークすること。
12回	**授業テーマ：「自治と政治」(『東京史』第４章)** 授業内容：「自治と政治」(『東京史』第４章)について、『東京裏返し』の知見や講師・学生の生活経験もふまえて学習する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書の参考文献に目を通すこと。 事後学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書・講師の提示した参考文献に目を通すこと。可能なら関係箇所をフィールドワークすること。
13回	**授業テーマ：「工業化と脱工業化のなかで」(『東京史』第５章)** 授業内容：「工業化と脱工業化のなかで」(『東京史』第５章)について、『東京裏返し』の知見や講師・学生の生活経験もふまえて学習する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書の参考文献に目を通すこと。 事後学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書・講師の提示した参考文献に目を通すこと。可能なら関係箇所をフィールドワークすること。
14回	**授業テーマ：「繁華街・娯楽と都市社会」(『東京史』第６章)** 授業内容：「繁華街・娯楽と都市社会」(『東京史』第６章)について、『東京裏返し』の知見や講師・学生の生活経験もふまえて学習する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書の参考文献に目を通すこと。 事後学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書・講師の提示した参考文献に目を通すこと。可能なら関係箇所をフィールドワークすること。
15回	**授業テーマ：「高いところ低いところ」(『東京史』第７章)** 授業内容：「高いところ低いところ」(『東京史』第７章)について、「エピローグ　東京を通して見た近現代」も含めて、『東京裏返し』の知見や講師・学生の生活経験もふまえて学習する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書の参考文献に目を通すこと。 事後学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書・講師の提示した参考文献に目を通すこと。可能なら関係箇所をフィールドワークすること。

生活と安全

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

笠嶋　義夫 (かさしま　よしお)

▌授業の概要

人間が生活をしていく上で、「安全」は最も重要な要素である。しかし、その範囲はあまりに広いので、本講義では、「地球温暖化とエネルギー問題」「食糧問題」「水問題」「廃棄物問題」に焦点をあてる。国連が SDG ｓを提唱してから、世界的に注目され、最も重要でかつ解決しなければならない分野と位置づけされている問題ばかりである。これらの問題から、現代における人間社会の「安全」とは何かを考えてみる。なお、社会情勢と密接に関係している科目のため、社会情勢の変化により、講義の進行順序を入れ替えたり、少し内容を変更することがあります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：人間が「生活」していくうえで、避けることのできない問題である、「地球温暖化とエネルギー問題」、「食糧問題」、「水問題」、「廃棄物問題」のかかえている重要な要素を理解する。

個別目標：(1)「地球温暖化とエネルギー問題」、「食糧問題」、「水問題」、「廃棄物問題」それぞれについて、概略を説明できる。
(2)これらの問題について、どのように対応すべきか、個別に説明できる。
(3)これらの問題が身近に差し迫ったとき、どのように、人間が「安全に」生活していけるのか、その道筋を判断できる。

▌履修条件

特になし。

▌評価基準・方法

4 回の大きなレポート(講義の振り返りを含む)で 64 点満点(16 点満点× 4 回)、講義の振り返りシート(前述の「大きなレポート」以外)が 36 点満点(4 点満点× 9 回)で、合計 100 点満点とします。レポートは、提出したからといって、「満点」が与えられるのではありませんので、くれぐれも注意のこと。レポートは、ほぼ毎回出ることになります。

▌フィードバック方法

レポートのフィードバックは、講義または manaba で行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （講義の振り返りシートの提出とそのフィードバック）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （レポートは、ワードファイルで提出してもらいます。）

▌教科書

「新版(第３版)　環境の科学」中田昌宏・笠嶋義夫　著　(三共出版)

あと、必要に応じてプリントを pdf または jpeg、パワーポイントで manaba にアップします。manaba を見れるものを持参してください(講義でプリントは配布しません)。

▌参考書

「森が消えれば海も死ぬ」第 2 版　松永勝彦　著　(講談社)

「地球の限界」オーウェン・ガフニー/ヨハン・ロックストローム　著　戸田早紀　訳　(河出書房新社)

「世界で最初に飢えるのは日本」鈴木宣弘　著　(講談社)

「牡蠣養殖 100 年　汽水の匂いに包まれて」畠山重篤著(株式会社マガジンランド)

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンスと本講義の概略** 授業内容：ガイダンスで講義内容・学習方法・評価方法について解説する。その後、本講義の概略を解説し、現代社会の抱えている問題を提起する。 事前学修 2.0hr：インターネットなどで、地球上の環境問題でどんなことが起きているかをしらべてみてください。 事後学修 2.0hr：事前学修と講義を聴いたうえで、自分なりに再度環境問題について考えてみてください。
2回	**授業テーマ：地球温暖化の現況** 授業内容：地球の成り立ちから振り返り、IPCC 報告書をもとに、地球温暖化とはどのような状態であるかを説明する。 事前学修 1.5hr：地球温暖化によって、どのようなことが地球上で起こっているかを自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義振り返りシートの作成。
3回	**授業テーマ：パリ協定** 授業内容：温暖化対策の世界的な取り組みである「パリ協定」について、その成り立ちと中身について解説する。 事前学修 1.5hr：「京都議定書」と「パリ協定」について自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義振り返りシートの作成。
4回	**授業テーマ：原子力発電** 授業内容：地球温暖化対策の一番手といわれる「原子力発電」。その利点と欠点を探る。あわせて、福島原発の事故についてと、現況についても触れる。 事前学修 1.5hr：原子力発電のしくみと、福島原発の事故と現況について自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義振り返りシートの作成。
5回	**授業テーマ：再生可能エネルギー** 授業内容：再生可能エネルギーについて、風力発電と、太陽光発電を中心に、その原理と、先進事例について学ぶ。 事前学修 1.5hr：再生可能エネルギー導入事例として、ヨーロッパではどのようなことが行われているかを調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義振り返りシートの作成。
6回	**授業テーマ：世界の森林問題** 授業内容：世界の森林のあり方について、アマゾンを中心に考える。あわせて、世界各地の森林保護運動にも触れる。 事前学修 1.5hr：世界各地の森林保護運動について、自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義振り返りシートの作成。
7回	**授業テーマ：日本の森林問題** 授業内容：日本の森林のあり方について考える。森林が荒廃している現況、森林がどのように人類の営みに影響を与えているかを考える。 事前学修 1.5hr：日本の森林は、なぜ荒廃しているのか、自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義振り返りシートの作成。
8回	**授業テーマ：電気自動車(EV)** 授業内容：CO2 排出が制限されていく中で、次世代自動車として注目されている電気自動車の利点と欠点をみる。 事前学修 1.5hr：電気自動車について自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義振り返りシートの作成。

9回	**授業テーマ：世界の食糧問題** 授業内容：途上国では深刻な食糧問題が、世界で見ると見方が大きく変わる。その点を解説する。 事前学修 1.5hr：現在の世界の食糧事情について、自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義振り返りシートの作成。
10回	**授業テーマ：日本の食糧問題** 授業内容：食料自給率が、先進国の中では最も低い日本。その食糧事情と、食品ロスについて考える。 事前学修 1.5hr：日本の食品ロスについて、自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義振り返りシートの作成。
11回	**授業テーマ：水問題** 授業内容：人間が生きていくうえで最も必要なもの。日本でも世界でも、水を得るためにどのような問題点があるかを考える。 事前学修 1.5hr：日本の食料事情で、どのような問題が起こっているか、自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義振り返りシートの作成。
12回	**授業テーマ：オゾン層と紫外線** 授業内容：オゾン層がどのように「有害紫外線」から、地球上の生き物を守っているか、またオゾンホールを中心にオゾン層破壊の問題について考える。 事前学修 1.5hr：オゾン層破壊のメカニズムを、自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義振り返りシートの作成。
13回	**授業テーマ：代替フロンの問題** 授業内容：オゾン層を破壊しないで、フロンの性質を持つ「代替フロン」。その問題点と、解決方法を探る。 事前学修 1.5hr：代替フロンについて、自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義振り返りシートの作成。
14回	**授業テーマ：廃棄物問題** 授業内容：国土が狭いゆえに抱える日本のアキレス腱。その実態と、世界と日本の新しい取り組みについて説明する。あわせて、「海洋プラスチックゴミ(マイクロプラスチック)」の問題にも触れる。 事前学修 1.5hr：日本と世界の「廃棄物」の処理方法と、有効活用について、自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義振り返りシートの作成。
15回	**授業テーマ：日本はどうあるべきか** 授業内容：今までの講義を振り返りながら、「日本はどうあるべきか」について考える。 事前学修 1.5hr：今までの講義(１４回分)の内容を見返してみてください。 事後学修 3.0hr：講義振り返りシートの作成。

行動科学

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

樋口　倫子 (ひぐち　のりこ)

▌授業の概要

行動科学という学問は、学際的な研究分野で人間の行動を総合的に解明し、予測・制御しようとする実証的経験科学です。ビジネス領域では、どのようにしたら人はやる気が高まり行動を起こし、パフォーマンス向上につながるのか、また保健医療領域では、どのようにしたら、人は不健康行動を変容させ健康行動を継続することができるかなどが研究され、日常的に応用活用されている学問です。
本講義では、新しい時代に必要とされるヒューマニティに根差した人間の行動にかかわる諸理論を学びます。特に、Well-being(人と共に、こころ豊かに生きる) につながる理論に関する理解を深め、日常生活での実践に還元できることを目的としています。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：人間の行動にかかわる諸理論を理解し、その理論を基盤とした「人と共に、こころ豊かに生きる」ために何ができるかを考える力を涵養する。社会において、互いの多様性を尊重しあい Well-being を実現する態度とコミュニケーション(社会性・合理性・創造性)を身につける。
個別目標：1)人間の行動にかかわる諸理論を説明できる。
2)様々な場面における人間の行動を、多角的視点から考える。
3)自他共に活かし、前向きに生きるためのヒューマン・スキルを習得し、日常生活に応用できる。
4)前向きな自己成長行動をとりながら、価値観の異なる他者とかかわるコミュニケーションを身につける。

▌履修条件

授業は、対話的にピア・エデュケーション、クリエーティブ・ラーニングの手法で行われます。
そのため、仲間と共に学習し合う雰囲気を一緒につくりましょう。
履修者多数の場合、履修動機を基に履修者を決定する(最大受講人数 80 名程度)ため、第 1 回の講義に必ず出席してください。

▌評価基準・方法

4/5 以上の出席を評価の前提条件とする。質問や発言による講義への参加度(25 %)と、学習の成果物①講義ごとの小課題(50 %)、学習の成果物②最終レポート課題(25 %)により総合的に評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、翌週以降の講義の冒頭や学修支援システム manaba で、全体に対して行う。
理解が不十分な場合には、補習を実施する。
個別指導は、ワークブックへのコメントを以って行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Think-Pair-Share Thik-Group-Share　Dialogue　Refrecing-Talk）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （レスポンの質問への回答　デジタル資料閲覧　データ共有）

▌教科書

1）Well-being の行動科学ワークブック(￥600)
登校日にワークブックを購入してください。購入方法は、講義内や manaba で案内します。
2)配布資料

▌参考書

授業内で、適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：行動科学入門** 授業内容：1．このコースの学習の進め方をイメージする。 2．この講義では何を学ぶのかを理解する。 3．人々の行動に関する多様な考え方を、身近な事例から考える。 事前学修 2.5hr：行動科学を履修する目的を 400 文字程度でまとめる(manaba で提出を求めます)。 事後学修 1.5hr：タイプ A 行動特性のチェックから、自分の行動のパターンを分析、考察する。
2回	**授業テーマ：Well-being と自己理解(エゴグラムを活用した自己理解)** 授業内容：エゴグラムのワークシートを活用し、自己理解を深める。 エゴグラム特徴と頃の行動パターンをセルフワークで考察する。 Think-Pair-Share により、自己理解・他者理解を深める。 事前学修 2.0hr：ワークブック第 1 章「Well-being と自己理解」を読み、エゴグラムのチェックを実施する。 事後学修 2.0hr：エゴグラムから、自分の行動のパターンや人間関係を分析、考察する。
3回	**授業テーマ：Well-being と自己理解②(エゴグラムを活用した他者理解)** 授業内容：エゴグラム特徴と、人間関係の特徴をセルフワークで考察する。 人間関係の改善のために、どの領域を高める必要があるかを考える。 Think-Pair-Share により、自己理解・他者理解を深める。 事前学修 2.0hr：ワークブック第２章「Well-being のコミュニケーション」を読み、疑問点を明らかにしておく。 事後学修 2.0hr：ワークブックに体験から得た気づきをまとめ、日常の非言語コミュニケーションの改善について考察する。
4回	**授業テーマ：安心できる人間関係をつくる①　非言語コミュニケーション・アクティブ・リスニング** 授業内容：気持ちの交流に不可欠な非言語領域(表情、声、視線、姿勢と動作)について理解する。 人間関係に効果的に働く非言語について考える。 気づきを Think-Pair-Share で深める。 事前学修 2.0hr：ワークブック 2 章「Well-being の非言語コミュニケーション」を読み、疑問点を明らかにしておく。 事後学修 2.0hr：ワークブックに体験から得た気づきをまとめ、非言語コミュニケーションの改善について考察する。
5回	**授業テーマ：安心できる人間関係をつくる③　沈黙と傾聴** 授業内容：「話す」と「きく」からなるコミュニケーションの半分を占めている「きく」について考える。 沈黙のゲームを通して、「きく」ことの影響力を確かめる。 気づきを Think-Pair-Share で深める。 事前学修 2.0hr：ワークブック３章 「Well-being とリスニング」を読み、疑問点を明らかにしておく。 事後学修 2.0hr：効果的な沈黙姿勢とブロッキングリストをまとめ、これまでの自分の聴き方を分析し、改善策を検討する。

6回	**授業テーマ：自己イメージとグループダイナミクス** 授業内容：自己抑制型行動特性と対人依存型行動特性の視点から、自らのコミュニケーションを振り返る。 価値交流のグループワークを体験する。 体験学習から得たコミュニケーションの気づきを、Think-Group-Share で深める。 事前学修 2.0hr：ワークブック第 1 章「1.5 パーソナリティチェック」を読み、疑問点を明らかにしておく。 事後学修 2.0hr：ワークブックに体験から得た気づきをまとめ、自他の能力を引き出すコミュニケーションを考察する。
7回	**授業テーマ：共感の時代の Well-being** 授業内容：なぜ共感の時代なのかを考える。 共感的な聴き方を、ペアで体験する。 気づきを Think-Pair-Share で深める。 事前学修 2.0hr：ワークブック第 3 章「Well-being のリスニングスキル」を読み、疑問点を明らかにしておく。 事後学修 2.0hr：協力者を得て、共感的な聴き方を再度行ってみる。その結果や気づきをまとめる。
8回	**授業テーマ：コース前半のまとめ** 授業内容：コース前半の内容を振り返る。 ポートフォリオを参照しながら、自らがこのコースで学んだ重要なことを３つ選択する。それはなぜ重要と考えたのか、今後どのように活用するのかについて、Think-group-share によって、気づきを深める。 事前学修 2.0hr：ポートフォリオを参照しながら、自らがこのコース前半で学んだ重要なことを３つ選択する。 事後学修 2.0hr：ポートフォリオを参照しながら、自らがこのコース前半で学んだ重要なことを３つ選択する。それはなぜ重要と考えたのか、今後どのように活用するのかについて、レポートをまとめる。
9回	**授業テーマ：Well-being のアサーション①　アサーション入門** 授業内容：自他を尊重したコミュニケーションとしてのアサーションについて知る。 自らの表現型(アサーティヴ、ノンアサーティヴ、アグレッシヴ)を、セルフチェックを通して振り返る。 アサーティヴに、「謝る」「励ます」を、ペアで体験学習し、Think-Pair-Share によって、気づきを深める。 事前学修 2.0hr：ワークブック 4 章 Well-being のアサーションを読み、疑問点を明らかにしておく。 事後学修 2.0hr：共感のワークを、2 名の協力者を得て復習する。
10回	**授業テーマ：Well-being のアサーション②　アサーティヴにお願いする・断る** 授業内容：アサーティヴに「お願いする・断る」ための伝え方を理解する。 アサーティヴに「お願いする・断る」をグループで体験学習し、Think-Group-Share によって、気づきを深める。 事前学修 2.0hr：ワークブック 4 章 Well-being のアサーションを読み、疑問点を明らかにしておく。 事後学修 2.0hr：アサーションを日常会話に取り入れ、自己観察した結果を、分析及び考察する。
11回	**授業テーマ：Well-being を実現する支援スキル①　基本姿勢とコーチング法** 授業内容：援助者コンピテンシー・セルフアセスメントを実施する。 援助の基本姿勢と行動段階ごとの支援法について理解する。 コーチングの理論を理解する。 コーチングのガイドラインを活用し、ペアで体験学習する。 体験からの気づきを Think-Pair-Share によって深める。 事前学修 1.5hr：ワークブック 6 章 「Well-being の対人援助」を読み、疑問点を明らかにしておく。 事後学修 2.5hr：協力者を得てコーチングを実施し、そのプロセスを記録し考察する。
12回	**授業テーマ：Well-being を実現する支援スキル②　―カウンセリング法** 授業内容：カウンセリングの理論を理解する。 カウンセリングのガイドラインを活用し、ペアでカウンセリング体験をする。 体験からの気づきを Think-Pair-Share によって深める。 事前学修 1.5hr：ワークブック 6 章 「Well-being の対人援助」を読み、疑問点を明らかにしておく。 事後学修 2.5hr：協力者を得てカウンセリングを実施し、そのプロセスを記録し考察する。
13回	**授業テーマ：Well-being のダイアローグ①　対話姿勢と外在化の姿勢** 授業内容：対話と会話の違いについて理解する。 オープンダイアローグの理論と実践について理解する。 オープンダイアローグの動画をみて、モデル学習する。 気づきを Think-Pair-Share によって深める。 事前学修 1.5hr：ワークブック 5 章 「Well-being のダイアローグ」を読み、疑問点を明らかにしておく。 事後学修 2.5hr：身近な人との会話の中で、対話(ダイアローグ)の基本姿勢を試し、その結果をまとめる。
14回	**授業テーマ：Well-being のダイアローグ②　リフレクティング・トーク** 授業内容：リフレクティング・トークの理論と実践を理解する。 ガイドラインを活用し、グループでリフレクティング・トークを体験をする。 体験からの気づきを Think-Pair-Share によって深める。 事前学修 2.0hr：5 章の 5.2 オープンダイアローグの講を読んで、疑問点を明らかにしておく。 事後学修 2.0hr：リフレクティング・トークの体験を振り返り、今後どのように生かせるかを考えてまとめる。
15回	**授業テーマ：コース全体のまとめ** 授業内容：コース全体の内容を振り返る。 ポートフォリオを参照しながら、自らがこのコースで学んだ重要なことを３つ選択する。それはなぜ重要と考えたのか、今後どのように活用するのかについて、Think-group-share によって、気づきを深める。 事前学修 2.0hr：ポートフォリオに目を通し、自らがこのコースで学んだ重要なことを３つ選択し、まとめてくる。 事後学修 2.0hr：このコースでの学びの活用に関する最終課題に取り組む。

データのまとめ方

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

新井　啓（あらい　けい）

▌授業の概要

各学部に設置されている統計関連の専門科目の基礎となる統計学の基礎的な考え方を学ぶ授業です。2018 年ころから GAFA による個人情報の利用が世界的に問題になっており、データの分析技術以前にデータを収集する前の段階において個人情報保護法を理解しなければならない世界になりました。そこでこの授業でも個人情報保護法の基礎的な考え方も説明します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：平均や標準偏差などの統計学の基礎的な知識と個人情報保護法の基礎的な考え方とプライバシー権を理解できること。
個別目標：プライバシー権と個人情報保護法の基礎的な考え方を理解できる。

▌履修条件

統計学に関心があること。

▌評価基準・方法

毎回の授業時に行う manaba の小テスト（50%）、事前・事後学修（50 %）

▌フィードバック方法

小テストや定期試験などの結果は学習支援システムの manaba を通じて行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

新井啓『プロ野球と経済　２０１８』開成出版。

▌参考書

特に指定しない。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：統計とは？** 授業内容：統計と経済の関係。統計に法律の知識が必要なのはなぜ？ 事前学修 2.0hr：教科書の 1 から 3 ページをよく読むこと。 事後学修 2.0hr：授業ノートの復習
2 回	**授業テーマ：標本と母集団** 授業内容：標本とは？　母集団とは？ 事前学修 2.0hr：教科書の 4 から 6 ページを読むこと。 事後学修 2.0hr：第 2 回目の授業ノートの復習
3 回	**授業テーマ：個人のデータと個人情報保護法。** 授業内容：個人の情報はなぜ重要なのか？　個人情報の保護はなぜ必要なのか？　フェイスブックと個人情報の経済問題。バックアップデータはどんなデータになるのか？ 事前学修 2.0hr：教科書の 7 から 8 ページを読むこと。 事後学修 2.0hr：第 3 回目の授業ノートの復習
4 回	**授業テーマ：データをどうまとめるのか？** 授業内容：データの中心の尺度とばらつきの尺度。ヒストグラム。標準偏差の意味。 事前学修 2.0hr：教科書の 9 から 11 ページを読むこと。 事後学修 2.0hr：第 4 回目の授業ノートの復習
5 回	**授業テーマ：著作権と肖像権** 授業内容：著作権とは？　YouTube を利用する際の注意点　肖像権 事前学修 2.0hr：教科書の 65 から 68 ページを読むこと。 事後学修 2.0hr：第 5 回目の授業ノートの復習
6 回	**授業テーマ：インターネットの利用で損害を被った場合** 授業内容：民事訴訟法の基礎 事前学修 2.0hr：教科書 69 ページから 71 ページを読むこと。 事後学修 2.0hr：第 6 回目の授業ノートの復習
7 回	**授業テーマ：インターネットの利用で犯罪に巻き込まれてしまったら** 授業内容：刑事訴訟法の基礎 事前学修 2.0hr：教科書 67 ページから 72 ページを読むこと。 事後学修 2.0hr：第 7 回目の授業ノートの復習
8 回	**授業テーマ：個人情報保護法と憲法の基礎。** 授業内容：憲法におけるプライバシー権とは？　SNS を利用する上での表現の自由（憲法 21 条）。 事前学修 2.0hr：教科書 99 ページから 100 ページ読むこと 事後学修 2.0hr：第 8 回目の授業ノートの復習
9 回	**授業テーマ：企業法の基礎** 授業内容：商法と会社法。内部統制制度と企業の情報の管理。 事前学修 2.0hr：教科書 101 ページから 103 ページを読むこと 事後学修 2.0hr：第 9 回目の授業ノートの復習
10 回	**授業テーマ：情報法の基礎** 授業内容：モノとしての放映権の経済問題。匿名加工データと深層学習。 事前学修 2.0hr：教科書 115 ページから 118 ページを読むこと 事後学修 2.0hr：第 10 回目の授業ノートの復習
11 回	**授業テーマ：情報刑法の基礎** 授業内容：刑法とは？　アメリカの経済とヨーロッパの経済の違い。 事前学修 2.0hr：教科書 110 ページから 113 ページを読むこと 事後学修 2.0hr：第 11 回目の授業ノートの復習
12 回	**授業テーマ：SPI の基礎的問題** 授業内容：数学を中心にして、国語・英語・地理歴史。 事前学修 2.0hr：教科書 145 ページから 148 ページを読むこと 事後学修 2.0hr：第 12 回目の授業ノートの復習

13回	**授業テーマ：個人情報保護法と民法の基礎。** 授業内容：民法とは？　契約とは？　学籍番号は個人情報？　オプトアウトとオプトインの違い 事前学修 2.0hr：教科書 119, 135 ページを読むこと。 事後学修 2.0hr：第 13 回目の授業ノートの復習
14回	**授業テーマ：個人情報保護法と行政法の基礎。** 授業内容：行政法とは？　行政法と憲法の関係。行政機関が保有する個人情報とは？　仮名加工データ。 事前学修 2.0hr：教科書 86 ページから 90 ページを読むこと。 事後学修 2.0hr：第 14 回目の授業ノートの復習
15回	**授業テーマ：セイバーメトリックス** 授業内容：プロ野球と統計学の関係。日本のプロ野球のドラフト制度。収益分配制度。 事前学修 2.0hr：教科書 136, 144 ページを読むこと。 事後学修 2.0hr：第 15 回目の授業ノートの復習

数理の世界

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

中島　達洋（なかじま　たつひろ）

▌授業の概要

私たちの身の回りでは、速さや成長、面積や確率など、変化し続けるものや果てしなく広がるものがたくさんあります。一見複雑に見えるこうした現象も、微分と積分を使えば驚くほどすっきりと説明できます。この授業では、「そもそも微分や積分は何をとらえようとしているのか」という根本に立ち返り、無限や極限の感覚を養いながら、数学的にものごとを捉える力を身につけます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：数学的にものごとを考える力をつける。

個別目標：① 微分・積分の概念を直感的・論理的に理解する。
② 簡単な関数について微分や積分を計算し、現象の理解に活用できるようになる。
③ 微分や積分の計算結果の意味を理解して、利用できるようになる。

▌履修条件

少なくとも 2 回目の授業からは必ず出席してください。履修修正で 1，2 回目の授業に出ていない場合の措置は行わず欠席とします。

▌評価基準・方法

毎回の授業中や事後学習にて提出する課題の得点の合計を 100 点満点に換算して評価します。
課題としては、manaba のドリルや小テスト、レポート（manaba を通じて提出します）が用意されています。
中間試験や定期試験はありません。詳しくは第 1 回授業の「ガイダンス」で説明します。

▌フィードバック方法

課題やテストのフィードバックは、主に学習支援システム manaba を通じて行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （学んだことや演習問題を学生同士で説明しあう時間を設けるなど。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし （ただし、PC があると課題に取り組むときに便利です）

▌教科書

教科書は使用しません。必要に応じてプリント教材を manaba にて配布します。

▌参考書

小林俊行「地力をつける微分と積分」（岩波書店）
【購入する必要はありませんが、事実上のテキストで、この本に沿って講義を進める予定です。】

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：ガイダンスにて、講義内容の紹介、受講に際しての注意事項、成績評価方法について説明する。その後で、簡単なミニ講義（2 桁のかけ算を楽にする方法紹介）をして、課題提出の練習（この課題も成績評価対象）をする。 事前学修 1.0hr：この講義概要を読んで、講義内容についてのイメージを作っておく。 事後学修 3.0hr：注意事項を頭に入れる。練習用の課題に取り組み、提出する。
2 回	**授業テーマ：単項式・多項式・一般の関数** 授業内容：単項式 x^n を組み合わせて様々な形の関数が作れることを見る。関数の主要な項を取り出す方法として「2 項展開」を用いる。 事前学修 2.0hr：manaba で配布された教材で講義内容を予習する。 事後学修 2.0hr：授業中に取り組んだ課題の復習をする。
3 回	**授業テーマ：複利のはなし** 授業内容：複利計算と音律が同じ理屈で構成されていることを説明する。また、複利計算の極限としてネイピア数が導かれることを見る。 事前学修 2.0hr：manaba で配布された教材で講義内容を予習する。 事後学修 2.0hr：授業中に取り組んだ課題の復習をする。
4 回	**授業テーマ：微分の定義** 授業内容：微分の定義と意味を学習し、単項式 x^n の微分公式を導出する。 事前学修 2.0hr：manaba で配布された教材で講義内容を予習する。 事後学修 2.0hr：授業中に取り組んだ課題の復習をする。
5 回	**授業テーマ：指数関数の性質** 授業内容：微分しても変わらない関数の性質を調べ、これが指数関数 $y=ex$ であることを見る。 事前学修 2.0hr：manaba で配布された教材で講義内容を予習する。 事後学修 2.0hr：授業中に取り組んだ課題の復習をする。授業の振り返りレポートに回答する。
6 回	**授業テーマ：微分を感じる** 授業内容：大地の傾斜、速度、加速度、さらに経済学の効用を通じて、日常生活の中で微分を感じる場面を紹介する。 事前学修 2.0hr：manaba で配布された教材で講義内容を予習する。 事後学修 2.0hr：授業中に取り組んだ課題の復習をする。
7 回	**授業テーマ：微分に関するいくつかの公式** 授業内容：微分に関するいくつかの公式を、身近な例を使って導出する。 事前学修 2.0hr：manaba で配布された教材で講義内容を予習する。 事後学修 2.0hr：授業中に取り組んだ課題の復習をする。
8 回	**授業テーマ：微分方程式と指数関数** 授業内容：簡単な微分方程式を解いて得られる指数関数が、自然界のいろいろなところに登場することを具体的に見る。 事前学修 2.0hr：manaba で配布された教材で講義内容を予習する。 事後学修 2.0hr：授業中に取り組んだ課題の復習をする。
9 回	**授業テーマ：三角関数の微分と指数関数** 授業内容：三角関数の微分について考察する。指数関数の変数を複素数まで拡張することで、指数関数と三角関数を繋げる「オイラーの公式」が得られることを見る。 事前学修 2.0hr：manaba で配布された教材で講義内容を予習する。 事後学修 2.0hr：授業中に取り組んだ課題の復習をする。
10 回	**授業テーマ：2 階微分を感じる** 授業内容：微分して得られた導関数をもう 1 度微分して得られる 2 階微分を感じる例として、ニュートンの運動方程式を取り上げる。 事前学修 2.0hr：manaba で配布された教材で講義内容を予習する。 事後学修 2.0hr：授業中に取り組んだ課題の復習をする。

11回	**授業テーマ：多変数関数と偏微分** 授業内容：多変数関数がどんなものか説明し、偏微分という操作を定義する。 事前学修 2.0hr：manaba で配布された教材で講義内容を予習する。 事後学修 2.0hr：授業中に取り組んだ課題の復習をする。
12回	**授業テーマ：偏微分を幾何学的に理解する** 授業内容：2 変数関数を 3D グラフや等高線を使って「見る」ことによって、偏微分の公式の幾何学的側面を体感する。 事前学修 2.0hr：manaba で配布された教材で講義内容を予習する。 事後学修 2.0hr：授業中に取り組んだ課題の復習をする。
13回	**授業テーマ：制約条件がある場合の極大・極小** 授業内容：制約条件がある場合の最適化の基本的な考え方である「ラグランジュの未定乗数法」について説明する。 事前学修 2.0hr：manaba で配布された教材で講義内容を予習する。 事後学修 2.0hr：授業中に取り組んだ課題の復習をする。
14回	**授業テーマ：一変数関数の積分** 授業内容：「細かく分けて積み上げる」ことで面積や体積を求める作業を通じて、積分という計算の意味を知る。さらに一変数関数の積分を定義する。 事前学修 2.0hr：manaba で配布された教材で講義内容を予習する。 事後学修 2.0hr：授業中に取り組んだ課題の復習をする。
15回	**授業テーマ：一変数関数の積分で表される様々な量** 授業内容：面積、体積、密度と重さの関係、力のモーメント、確率など、一変数の積分で表すことができる量を具体的に見る。 事前学修 2.0hr：manaba で配布された教材で講義内容を予習する。 事後学修 2.0hr：授業中に取り組んだ課題の復習をする。

身近な物理

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

中島　達洋（なかじま　たつひろ）

▌授業の概要

この講義では、私たちの身のまわりの感覚や常識を反映した物理学である「古典物理学」に焦点を当てます。具体的には、ニュートンの法則による物体の運動、電気と磁気の関係、光や音を表す波動、そして熱エネルギーの法則などを取り上げます。これらの概念を通じて、日常の出来事や技術の原理を理解し、身近な物理現象に対する興味と洞察力を高めることを目指します。なお、「自然の書物は数学の言葉によって書かれている（ガリレオ）」以上、数学は必須ですが、その使用は最低限に留め、物理学初心者に優しい内容での提供を予定しています。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：日常生活で経験するさまざまな物理現象について理解を深め、科学的な視点から説明できる能力を身につける。
個別目標：① 古典物理学で取り扱う物理法則を説明できる。
② 数少ない基本法則から、身近な現象を科学的に分析できる。
③ 物理学の歴史を通じ、物理学がどんな学問かを理解する。

▌履修条件

1 回目の授業から参加すること。なお、履修変更（補正）で 1，2 回目の授業に出ていない場合の調整はしません（単純に欠席になります）。

▌評価基準・方法

授業ごとに実施する課題（授業前に実施する復習テスト、授業中の理解確認のための理解確認テストやレポート）の合計得点のみで評価します。定期試験はありません。

▌フィードバック方法

課題やテストのフィードバックは、学修支援システム manaba を通じて行い、各課題の成績は manaba で参照できるようにします。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （話し合いながら演習問題を解く、講義内容を学生同士で説明し合うなど。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし （ただし、PC があると課題に取り組むときに便利です）

▌教科書

特定の教科書は使いません。

▌参考書

朝永振一郎「物理学とは何だろうか 上下」（岩波新書）
西成活裕「東大の先生！　文系の私に超わかりやすく物理を教えてください！」（かんき出版）
鎌田浩毅・米田誠「一生モノの物理学―文系でもわかるビジネスに効く教養」（祥伝社）
松尾泰監修「東京大学の先生伝授　文系のためのめっちゃやさしい物理」（株式会社ニュートンプレス）

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：講義内容の概要紹介・受講に際しての注意事項や成績評価方法の説明 事前学修 2.0hr：シラバスをよく読んでおく。気になる身のまわりの物理現象を考えておく。 事後学修 2.0hr：概要で述べられていた物理法則や人物について調べ、次回の授業前実施の「復習テスト」に備える。
2 回	**授業テーマ：力学 ― 位置と速さを記述する ―** 授業内容：速度と加速度の定義・ニュートンの運動方程式・等加速度直線運動 事前学修 2.0hr：manaba の授業資料ページに掲載されたプリントを使って、授業内容を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で実施した理解確認のための課題（小テスト・レポート）を復習し、次回の授業前実施の「復習テスト」に備える。
3 回	**授業テーマ：平面上の運動** 授業内容：速度ベクトル・加速度ベクトル・放物線軌道 事前学修 2.0hr：manaba の授業資料ページに掲載されたプリントを使って、授業内容を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で実施した理解確認のための課題（小テスト・レポート）を復習し、次回の授業前実施の「復習テスト」に備える。
4 回	**授業テーマ：円運動と万有引力** 授業内容：等速円運動・遠心力・万有引力の法則 事前学修 2.0hr：manaba の授業資料ページに掲載されたプリントを使って、授業内容を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で実施した理解確認のための課題（小テスト・レポート）を復習し、次回の授業前実施の「復習テスト」に備える。
5 回	**授業テーマ：力学的エネルギー保存則** 授業内容：仕事・運動エネルギーと位置エネルギー・力学的エネルギー保存則と一般のエネルギー保存則 事前学修 2.0hr：manaba の授業資料ページに掲載されたプリントを使って、授業内容を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で実施した理解確認のための課題（小テスト・レポート）を復習し、次回の授業前実施の「復習テスト」に備える。
6 回	**授業テーマ：熱力学とは？** 授業内容：熱の定義・熱力学が扱うもの・理想気体の状態方程式・熱力学第一法則 事前学修 2.0hr：manaba の授業資料ページに掲載されたプリントを使って、授業内容を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で実施した理解確認のための課題（小テスト・レポート）を復習し、次回の授業前実施の「復習テスト」に備える。
7 回	**授業テーマ：カルノーサイクルと熱力学第 2 法則** 授業内容：カルノーサイクル・カルノーの定理・熱力学第 2 法則 事前学修 2.0hr：manaba の授業資料ページに掲載されたプリントを使って、授業内容を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で実施した理解確認のための課題（小テスト・レポート）を復習し、次回の授業前実施の「復習テスト」に備える。
8 回	**授業テーマ：熱力学の応用** 授業内容：雲ができる仕組み・エアコンの仕組み 事前学修 2.0hr：manaba の授業資料ページに掲載されたプリントを使って、授業内容を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で実施した理解確認のための課題（小テスト・レポート）を復習し、次回の授業前実施の「復習テスト」に備える。
9 回	**授業テーマ：波とは何か？** 授業内容：波を記述するときの基本量（波長・周期・振動数・振幅・速度）・波の基本公式・音の正体 事前学修 2.0hr：manaba の授業資料ページに掲載されたプリントを使って、授業内容を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で実施した理解確認のための課題（小テスト・レポート）を復習し、次回の授業前実施の「復習テスト」に備える。
10 回	**授業テーマ：波の諸性質① ―重ね合わせの原理・屈折・散乱 ―** 授業内容：ノイズキャンセリングの仕組み・シャボン玉が虹色に光る理由・空はどうして青いのか 事前学修 2.0hr：manaba の授業資料ページに掲載されたプリントを使って、授業内容を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で実施した理解確認のための課題（小テスト・レポート）を復習し、次回の授業前実施の「復習テスト」に備える。

11回	**授業テーマ：波の諸性質② ―回折・ドップラー効果 ―** 授業内容：屋内で電波が届く理由・サイレンの音の高さが変化する理由 事前学修 2.0hr：manaba の授業資料ページに掲載されたプリントを使って、授業内容を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で実施した理解確認のための課題(小テスト・レポート)を復習し、次回の授業前実施の「復習テスト」に備える。
12回	**授業テーマ：電気の歴史** 授業内容：電気の発見からコンピュータ誕生までの歴史 事前学修 2.0hr：manaba の授業資料ページに掲載されたプリントを使って、授業内容を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で実施した理解確認のための課題(小テスト・レポート)を復習し、次回の授業前実施の「復習テスト」に備える。
13回	**授業テーマ：電磁気の理論** 授業内容：電場と磁場・クーロン力とローレンツ力・電磁誘導・Maxwell 方程式・モーターと発電機の仕組み 事前学修 2.0hr：manaba の授業資料ページに掲載されたプリントを使って、授業内容を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で実施した理解確認のための課題(小テスト・レポート)を復習し、次回の授業前実施の「復習テスト」に備える。
14回	**授業テーマ：電磁気学の応用** 授業内容：ラジオ受信の仕組み・MRI（Magnetic Resonance Imaging）の原理 事前学修 2.0hr：manaba の授業資料ページに掲載されたプリントを使って、授業内容を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で実施した理解確認のための課題(小テスト・レポート)を復習し、次回の授業前実施の「復習テスト」に備える。
15回	**授業テーマ：古典物理学(相対性理論を除く)の総まとめ** 授業内容：第 2 回から第 14 回までの授業内容の振り返り・古典物理学の体系的まとめ 事前学修 2.0hr：manaba の授業資料ページに掲載されたプリントを使って、授業内容を予習する。 事後学修 2.0hr：授業でこれまでに実施した理解確認のための課題を復習し、最後の「総復習テスト」を受験・提出する。

現代物理のはなし

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

中島　達洋（なかじま　たつひろ）

▌授業の概要

この講義では 20 世紀に生まれた相対性理論と量子力学に焦点を当てます。相対性理論では、巨大な物体や光速で移動する物体の挙動を理解し、時間や空間の新しい側面を開示します。一方、量子力学は、極小のスケールでの粒子やエネルギーの挙動を解明します。波動粒子二重性や不確定性原理など、古典物理学では説明できない現象に挑戦します。これらの理論は直感に反するかもしれませんが、現代科学や技術の基盤を築く鍵を握っています。なお、「自然の書物は数学の言葉によって書かれている（ガリレオ）」以上、数学は必須ですが、その使用は最低限に留め、物理学初心者に優しい内容での提供を予定しています。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：量子力学と相対性理論という現代物理学の基礎的な概念を探求し、私たちの日常的な常識や直感が通用しない物理現象について理解を深める。
個別目標：① 量子力学が示す粒子と波動の二重性や不確定性原理といった、不思議で新しい世界についての知識を得る。
② 相対性理論を通じて、時間や空間に対する「あたりまえ」の概念をアップデートする。
③ 量子力学が現代社会で必須のツールになっていることを理解する。

▌履修条件

1 回目の授業から参加すること。なお、履修変更（補正）で 1，2 回目の授業に出ていない場合の調整はしません（単純に欠席になります）。

▌評価基準・方法

授業ごとに実施する課題（授業前に実施する復習テスト、授業中の理解確認のための理解確認テストやレポート）の合計得点のみで評価します。定期試験はありません。

▌フィードバック方法

課題やテストのフィードバックは、学修支援システム manaba を通じて行い、各課題の成績は manaba で参照できるようにします。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （話し合いながら演習問題を解く、講義内容を学生同士で説明し合うなど。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし （ただし、PC があると課題に取り組むときに便利です）

▌教科書

特定の教科書は使いません。

▌参考書

ウォルター・ルーウィン「これが物理学だ！」（文藝春秋）
松尾泰（監修）「文系のためのめっちゃやさしい量子論」（ニュートンプレス）
南部陽一郎「クォーク 素粒子物理はどこまで進んできたか」（講談社）
ヨビノリたくみ「難しい数式はまったくわかりませんが、相対性理論を教えてください! 」（SB クリエイティブ）

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：講義内容の概要紹介・受講に際しての注意事項や成績評価方法の説明 事前学修 2.0hr：シラバスをよく読んでおく。相対性理論や量子力学について、ネット等で調べておく。 事後学修 2.0hr：概要で述べられていた物理法則や人物について調べ、次回の復習テストに備える。
2 回	**授業テーマ：光速の測定** 授業内容：光速測定の歴史・Maxwell 方程式と電磁波・電磁波＝光 事前学修 2.0hr：manaba の授業資料ページに掲載されたプリントを使って、授業内容を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で実施した理解確認のための課題（小テスト・レポート）を復習し、次回の授業前実施の「復習テスト」に備える。
3 回	**授業テーマ：特殊相対性理論①** 授業内容：光速度一定の原理・同時性の破綻・時間の遅れ・空間の収縮 事前学修 2.0hr：manaba の授業資料ページに掲載されたプリントを使って、授業内容を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で実施した理解確認のための課題（小テスト・レポート）を復習し、次回の授業前実施の「復習テスト」に備える。
4 回	**授業テーマ：特殊相対性理論②** 授業内容：双子のパラドックス・質量とエネルギーの等価性・$E = mc^2$ 事前学修 2.0hr：manaba の授業資料ページに掲載されたプリントを使って、授業内容を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で実施した理解確認のための課題（小テスト・レポート）を復習し、次回の授業前実施の「復習テスト」に備える。
5 回	**授業テーマ：一般相対性理論** 授業内容：等価原理・重力＝時空の幾何学・アインシュタインの重力方程式・GPS の正確さの秘密 事前学修 2.0hr：manaba の授業資料ページに掲載されたプリントを使って、授業内容を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で実施した理解確認のための課題（小テスト・レポート）を復習し、次回の授業前実施の「復習テスト」に備える。
6 回	**授業テーマ：ブラックホールと膨張する宇宙** 授業内容：ブラックホール・シュバルツシルト半径・膨張宇宙論・ハッブルの法則・重力波 事前学修 2.0hr：manaba の授業資料ページに掲載されたプリントを使って、授業内容を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で実施した理解確認のための課題（小テスト・レポート）を復習し、次回の授業前実施の「復習テスト」に備える。
7 回	**授業テーマ：「量子」概念の誕生 ― 前期量子論 ―** 授業内容：量子力学誕生前の歴史・黒体輻射とプランクの法則・アインシュタインの光電効果理論・ボーアの原子モデルと対応原理 事前学修 2.0hr：manaba の授業資料ページに掲載されたプリントを使って、授業内容を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で実施した理解確認のための課題（小テスト・レポート）を復習し、次回の授業前実施の「復習テスト」に備える。
8 回	**授業テーマ：量子力学の誕生** 授業内容：量子力学成立の歴史・ハイゼンベルクの行列力学・シュレーディンガーの波動力学・波動関数の確率解釈・EPR パラドックス 事前学修 2.0hr：manaba の授業資料ページに掲載されたプリントを使って、授業内容を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で実施した理解確認のための課題（小テスト・レポート）を復習し、次回の授業前実施の「復習テスト」に備える。
9 回	**授業テーマ：量子力学とは何か？** 授業内容：2 重スリットの実験・波と粒子の二重性・確率振幅とその意味・重ね合わせの原理 事前学修 2.0hr：manaba の授業資料ページに掲載されたプリントを使って、授業内容を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で実施した理解確認のための課題（小テスト・レポート）を復習し、次回の授業前実施の「復習テスト」に備える。

10回	**授業テーマ：スピン：ボソンとフェルミオン** 授業内容：真に量子力学的な量スピン・ボソンとフェルミオンの違い・パウリの排他原理・ボソン多体系の物理(ボース・アインシュタイン凝縮・超流動と超電導) 事前学修 2.0hr：manaba の授業資料ページに掲載されたプリントを使って、授業内容を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で実施した理解確認のための課題(小テスト・レポート)を復習し、次回の授業前実施の「復習テスト」に備える。
11回	**授業テーマ：スピン 1/2 ― 2 状態系の量子力学 ―** 授業内容：状態ベクトル・ベクトルの内積と行列の掛け算・固有値と固有ベクトル・状態の期待値とゆらぎの計算・固有状態と重ね合わせ 事前学修 2.0hr：manaba の授業資料ページに掲載されたプリントを使って、授業内容を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で実施した理解確認のための課題(小テスト・レポート)を復習し、次回の授業前実施の「復習テスト」に備える。
12回	**授業テーマ：パウリの排他原理がもたらすもの** 授業内容：原子の電子配置・元素の周期律表を説明する・固体のバンド理論・導体と半導体と絶縁体の構造的違い 事前学修 2.0hr：manaba の授業資料ページに掲載されたプリントを使って、授業内容を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で実施した理解確認のための課題(小テスト・レポート)を復習し、次回の授業前実施の「復習テスト」に備える。
13回	**授業テーマ：素粒子の標準模型** 授業内容：物質を作る粒子クォークとレプトン・力を伝えるゲージボソン・質量を生成するヒッグス粒子 事前学修 2.0hr：manaba の授業資料ページに掲載されたプリントを使って、授業内容を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で実施した理解確認のための課題(小テスト・レポート)を復習し、次回の授業前実施の「復習テスト」に備える。
14回	**授業テーマ：量子を使った最新技術** 授業内容：量子コンピュータとその仕組み・量子暗号 事前学修 2.0hr：manaba の授業資料ページに掲載されたプリント画を使って、授業内容を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で実施した理解確認のための課題(小テスト・レポート)を復習し、次回の授業前実施の「復習テスト」に備える。
15回	**授業テーマ：現代物理学(相対性理論と量子力学)を振り返ろう！** 授業内容：第 2 回から第 14 回までの授業内容の振り返り・現代物理学の体系的まとめ 事前学修 2.0hr：manaba の授業資料ページに掲載されたプリントを使って、授業内容を予習する。 事後学修 2.0hr：これまでの授業で実施した理解確認のための課題を復習し、最後の「復習テスト」を受験・提出する。

身近な化学

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

藤井　大輔（ふじい　だいすけ）

▌授業の概要

私たちの身の回りには、自然界で産出された物質や、人工的につくられた物質が数多く存在し私たちの生活と密接に結びついています。
本講義は、身の回りにある物質の性質に着目し様々な現象が発現する原理を物理的化学的に捉えるなど、現代を生きるために大切な科学知識を習得し、自らの生活において課題発見・解決を行う力を高めることを目的とします。
日常に着目するなかで様々な科学の法則や構造にも簡単に触れますが高校での化学の履修の有無は問いません。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：化学の面白さや重要性を知り、化学と現代社会の関係を理解するとともに、日常を科学的に見る目を養うなど科学リテラシーを身につける。
個別目標：①様々な物質の性質を理解しこれまでの技術の進歩とこれからの発展について大観できることができる。
②身の回りの現象について科学的に説明することができる。
③科学事象を自らの言葉で表現できるようになるなど、実社会の様々な場面で多面的なものの見方ができるようになり課題解決に必要な基礎力を身に付けることができる。

▌履修条件

特になし

▌評価基準・方法

manaba を活用した小テスト（５０%）やレポート（３０%）、調査研究報告（２０%）、授業への参加度（授業中に使用する教材ペーパーの完成提出　割合は小テストに含む）等を総合評価する。

▌フィードバック方法

小テスト、レポート等のフィードバックは、学修支援システム manabu を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （反転授業、グループワーク、講義の度に行う小テストの提出）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （個人所要のスマートフォンや PC（小テストや教材ペーパー等はワードで提出））

▌教科書

使用しない（毎回パワーポイントファイルを用意します。）

▌参考書

特になし　ただし高校で使用した理科・専門（化学関係）の教科書がある場合は適宜参考にしてください。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、科学技術の進歩について考えてみよう** 授業内容：講義の内容、評価方法について解説する。 科学と人間生活をテーマに科学技術全般について、その始まりから今後の活用について概説する。 事前学修 2.0hr：興味がある身の回りの化学現象について調べる。 事後学修 2.0hr：興味を持った化学現象が発現する原因を予測する。
2回	**授業テーマ：水について考えてみよう** 授業内容：水は人体を構成する主な成分です。水の構造や性質を知り、水がもたらす様々な現象の要因について理解する。 キーワード　分子構造、電気陰性度、水素結合、状態変化、浸透圧　超臨界流体、過熱水蒸気、硬水・軟水 事前学修 1.5hr：水について知っていることをまとめる。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートを作成する。
3回	**授業テーマ：発酵について考えてみよう** 授業内容：微生物の力を借りて製造する発酵食品について理解する。 キーワード 微生物の役割　アルコール発酵　酒の種類、味噌や醤油の製造 事前学修 1.5hr：発酵について知っていることをまとめる。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートを作成する。
4回	**授業テーマ：色と光の科学** 授業内容：色の見え方や化学反応における発色について理解する。 キーワード　光の 3 原則、波長、炎色反応、生物発光 事前学修 1.5hr：色について知っていることをまとめる。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートを作成する。
5回	**授業テーマ：栄養の化学について考えてみよう** 授業内容：私たちの体を作り健康を維持するために必要な５代栄養素が体の中でどのような役割を果たしているか理解する。 キーワード　炭水化物、タンパク質　必須アミノ酸　クエン酸回路　酵素 事前学修 1.5hr：栄養素について知っていることをまとめる。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートを作成する。
6回	**授業テーマ：薬と毒について考えてみよう** 授業内容：薬の効能と作用の仕方を理解する。また毒の特性を理解し日常生活における安全にむけた態度を養う。 キーワード　薬剤、ペニシリン、抗生物質、ウイルス、自然毒 事前学修 1.5hr：栄養素について知っていることをまとめる。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートを作成する。
7回	**授業テーマ：衣類で使われている様々な繊維の性質について考えてみよう** 授業内容：繊維には天然繊維と化学繊維がある。それぞれの特性を理解し繊維製品の上手な利用方法や管理方法について理解する。 キーワード　天然繊維　合成繊維　炭素繊維　機能性繊維 事前学修 1.5hr：衣類に使われている繊維について知っていることをまとめる。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートを作成する。
8回	**授業テーマ：衣類の汚れはどのように落とすのか考えてみよう** 授業内容：洗剤の分子構造や汚れが落ちるメカニズムを知り効率的に汚れを取り除く方法を理解する。 キーワード　石鹸　界面活性剤　疎水性　親水性　ミセル　漂白剤　コロナ　消せるボールペン 事前学修 1.5hr：汚れについて知っていることをまとめる。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートを作成する。

9回	**授業テーマ：日用品に使われている化学のしくみをについて考えてみよう** 授業内容：普段何気なく使用している電化製品に着目してどのような原理が応用されているのか理解する。 キーワード　カイロ　冷蔵庫　ヒートポンプ　調湿　液晶　電子レンジ　オーブン 事前学修 1.5hr：日用品に使われている化学の仕組みについて知っていることをまとめる。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートを作成する。
10回	**授業テーマ：金属の特徴を知り、産業における利用状況を考えてみよう** 授業内容：鉄や銅の性質を知り使用に係る時代変遷を理解する。 キーワード　鉄　銅　さび　合金　めっき 事前学修 1.5hr：金属について知っていることをまとめる。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートを作成する。
11回	**授業テーマ：石油からつくられる物質について考えてみよう** 授業内容：プラスチック製品は人間の生活を豊かにしてきたが、昨今は環境汚染問題にも言及されている。プラスチックの製法や種類、リサイクルについて理解する。 キーワード　石油　分留　熱可塑性樹脂　熱硬化性樹脂　マイクロプラスチック　接着剤 事前学修 1.5hr：石油から作られる物質について知っていることをまとめる。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートを作成する。
12回	**授業テーマ：生活に必要なエネルギー源の変遷について考えてみよう** 授業内容：人間が生きていくために必要なエネルギーの活用の変遷とその性質について理解し、今後の望ましいエネルギー利用について考える。 キーワード　石炭　石油　天然ガス　原子力発電　太陽光発電　電気　電池 事前学修 1.5hr：エネルギー源の変遷について知っていることをまとめる。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートを作成する。
13回	**授業テーマ：地球環境について考えてみよう** 授業内容：大気成分の変化と人間生活に着目し地球環境について考える。 キーワード　大気成分　二酸化炭素　フロン　オゾン層　酸性雨 事前学修 1.5hr：地球環境について知っていることをまとめる。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートを作成する。
14回	**授業テーマ：興味を持った身近な科学現象やそれが発現する原理について調べレポートする。**① 授業内容：４月から７月において話題になったことや、今後、発展が予想される技術等について自ら調べた内容をレポートする。 事前学修 3.0hr：題材を決める。 事後学修 1.0hr：他の人の発表を聞き自分の発表にいかす。
15回	**授業テーマ：興味を持った身近な科学現象やそれが発現する原理について調べレポートする。**② 授業内容：４月から７月において話題になったことや、今後、発展が予想される技術等について自ら調べた内容をレポートする。 事前学修 3.0hr：題材を決める。 事後学修 1.0hr：授業全体の振り返りシートを作成する。

身近な化学

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

笠嶋　義夫（かさしま　よしお）

▌授業の概要

本講義は、身近にある化学物質を通して、化学の成り立ち、化学の基礎知識、化学物質の応用例を学ぶとともに、「科学」の発展がいかなるものであったかを、「化学」を通して理解することを目的とする。文系の学生のみなさんにも、わかりやすいように、そこは意識して解説するつもりです。この講義では、化学の基本的な原理や、技術が生まれた背景、歴史的流れなどを中心に扱いますので、「元素記号を覚える」「化学反応式をつくる」というようなことはやりません。なお、講義の進行や社会情勢により、講義の順番を入れ替えることがあります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：「化学」を通して、社会の発展や現代の生活において、「科学」がどのような役割を担ってきたかを理解する。
個別目標：(1)「化学」が身近な生活にとって必要不可欠なものであることを、実例を挙げて説明することができる。
(2)「化学」の発展が、人間生活と密接につながってきたことを、実例により説明することができる。
(3) 「化学」を通して、「科学」と「人間生活」とのかかわりを説明することが出来る。

▌履修条件

特になし

▌評価基準・方法

2 回の大きなレポート(20 点満点レポート 1 回、10 点満点レポート 1 回)と、毎回課す講義の振り返りシート(5 点× 14 回＝ 70 点満点)で、合計 100 点満点として評価を行います。なお、すべてのレポートは、評価をつけます。提出したからといって、「満点」とは限りませんので、くれぐれも注意すること。

▌フィードバック方法

フィードバックは、manaba の評価欄または講義で行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （講義の振り返りシートの提出とそのフィードバック）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （講義の振り返りシートは、ワードで提出してもらいます。）

▌教科書

初回以外は、jpeg または pdf、パワーポイントファイルを用意します。manaba にアップしますので、manaba が見れるものを用意してください(講義でプリントは配布しませんので、注意のこと)。

▌参考書

特になし

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：この講義の内容、進め方、評価方法について解説する。あわせて、「化学」の持つイメージを確認する。 事前学修 3.0hr：「化学」が身近に使われている事例を自分なりに調べてみてください。 事後学修 1.0hr：講義を聴いて、事前学修で調べた内容が正しかったか、検証してみてください。
2 回	**授業テーマ：プルシアンブルー** 授業内容：プルシアンブルーは、「世界で最初に開発された顔料」であるが、これがどのような変遷を経て現代にあるか、また現代での利用法などについて解説する。 事前学修 1.5hr：「プルシアンブルー」とは何かを自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートの作成。
3 回	**授業テーマ：色** 授業内容：色の見え方には発光と補色の 2 通りがある。まず、この違いと、仕組みを学習し、ヒト以外の動物の色の認識、植物の色の認識を学習し、あわせて前回の講義とのつながりを考える。 事前学修 1.5hr：「色」の見え方を自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートの作成。
4 回	**授業テーマ：花火** 授業内容：化学の技術の「粋」といわれる花火。その原理と構造、歴史的流れについて解説する。 事前学修 1.5hr：打ち上げ花火の構造を自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートの作成。
5 回	**授業テーマ：古伊万里** 授業内容：日本における窯業の大きな変遷期の一つが、江戸時代の古伊万里の誕生である。窯業のそれまでの流れをみるとともに、古伊万里の製法と化学の関係について探る。 事前学修 1.5hr：「磁器」はどのようにつくられるかを自分なりに調べてください。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートの作成。
6 回	**授業テーマ：ファインセラミックス** 授業内容：現代の最先端で使われているセラミックとはどのようなものか、その製法と、前回の講義の古伊万里の製法との関係について、考察する。 事前学修 1.5hr：「ファインセラミックス」とはどのようなものか、自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートの作成。
7 回	**授業テーマ：イベルメクチン** 授業内容：抗寄生虫薬である、イベルメクチンの開発の流れと、現代社会に与えたインパクトについて解説する。 事前学修 1.5hr：「イベルメクチン」とはどういう薬か、自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートの作成
8 回	**授業テーマ：接着剤** 授業内容：現代社会では、もはや必須のものとなった接着剤。「ものがくっつく原理」と、接着剤の用途、接着剤がもたらした技術革新について解説する。 事前学修 1.5hr：「でんぷん」とはどのようなものか、自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートの作成。
9 回	**授業テーマ：カロザース** 授業内容：ナイロンと、合成ゴムを開発した、ウォーレス・カロザースの偉業について考えてみる。 事前学修 1.5hr：「ナイロン」はどのように発明されたかを自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートの作成。

10回	**授業テーマ：ダイヤモンド** 授業内容：天然から人工まで、宝飾用から産業用まで、発見の過程と意外な用途まで探る。 事前学修 1.5hr：「ダイヤモンド」はなぜきらきら光るのかを調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートの作成。
11回	**授業テーマ：ルビーとサファイア** 授業内容：ルビーとサファイアは、どこが同じで、どこが違うのか、を探るとともに、工業用用途についても考えてみる。 事前学修 1.5hr：サファイアとルビーの違いを自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートの作成。
12回	**授業テーマ：炭素繊維** 授業内容：炭素繊維の開発過程について学ぶとともに、炭素繊維が現代社会にどのような影響を及ぼしたかを考えてみる。 事前学修 1.5hr：炭素繊維はどこに使われているかを自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートの作成。
13回	**授業テーマ：でんぷん(1)でんぷんの種類** 授業内容：でんぷんの種類と、その用途(食品用から、他の用途まで)について解説する。 事前学修 1.5hr：でんぷんの種類について、自分なりに調べてみる。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートの作成
14回	**授業テーマ：でんぷん(2)「コメとでんぷん」** 授業内容：「コメ」を炊く過程でどのようにでんぷんが変化するか、でんぷんの種類の違いでコメの食味にどのような変化を与えるか、など、コメとでんぷんの関係について、考察する。 事前学修 1.5hr：コメの中に含まれているでんぷんについて調べておくこと。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートの作成。
15回	**授業テーマ：リチウムイオン電池** 授業内容：現代において、最も必要とされている 2 次電池の代表格。その原理と応用、そして問題点について考えてみる。 事前学修 1.5hr：リチウムイオン電池がどのようなところに使われているかを調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートの作成。

科学技術と社会

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

遠藤　信一（えんどう　しんいち）

▌授業の概要

本科目は，科学技術と社会との関わりをテーマとするが，様々な社会課題の解決に立ち向かえるようにするために，解決すべき目標を設定できること，必要な情報を収集し，加工できることなどを目指す。問題解決にあたっては，建学の精神を問題解決学習の柱と捉え，学修の基礎Ⅰ やⅢ b での学びを前提としながら，他人を説得できるレベルに到達してもらいたい。それゆえ「プレゼンテーションスキルを高めたい」，「どうやって情報収集すれば良いのかわからない」といった悩みを持つ学生諸君のニーズに応えたいと思う。自分のプレゼン力，問題解決力をつけたい諸君を歓迎する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：社会課題をどの側面から斬っていくのか，建学の精神を道しるべとして，問題解決の方法や手順を身につける。中でも，学修の基礎Ⅰ やⅢ b での学びに基づくデータの利活用は必須と考えている。
また，この授業では，科学技術と社会との関わりに注目し，プレゼンテーションスライドを作成し，発表できるようにする。各自が作成，発表の双方を行うことを必須とする (合理的配慮申請がある場合を除く)。

個別目標：①建学の精神を問題解決学習の柱とすることができる
②課題を自ら発見し，情報を分析し，解決の道筋を考えることができる
③主権者に必要な情報活用能力を身につける
④情報モラル，技術者倫理，企業倫理などについて理解している
⑤他人を説得するために必要なプレゼンテーション作成や発表ができる

▌履修条件

建学の精神に基づいて，プレゼンテーションスキルや問題解決能力を高めたいと考えていること
授業に出席し，発表，ファイルの提出などが出来ること

▌評価基準・方法

【評価基準】
1，授業内で指示する「Worksheet」(提出および内容)：20 %
2，協働学習によるプレゼンテーションスライドの作成および提出：40 %
3，プレゼンテーションの発表：40 %
※プレゼンテーションスライドのファイル提出を最終課題の提出とします

▌フィードバック方法

課題に対し全体に対する講評，発表など協働学習に対する授業時間内での講評，manaba のコンテンツへの掲載など

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （協働学習による発表）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （プレゼンスライドの作成などに使用）

▌教科書

指定しない
授業ごとに資料を提示

▌参考書

なし

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス　本授業の進め方** 授業内容：この授業の目的，授業方法・課題・評価について説明する。 建学の精神に基づいた明海大学独自の問題解決の手順について理解する。 事前学修 2.0hr：シラバスを読み，授業全体の流れを確認する。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り，学修ポイントを復習する。
2回	**授業テーマ：脳に汗をかく(１)心理学的アプローチ** 授業内容：「ハインツのジレンマ」や「カルディアネスの板」などのジレンマ問題について考える。 事前学修 2.0hr：「ハインツのジレンマ」や「カルディアネスの板」について検索する。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り，Worksheet を完成させ送信する。
3回	**授業テーマ：脳に汗をかく(2)功利主義からのアプローチ** 授業内容：功利主義の考え方について学び，得をすることが人間にとって最も大切なことなのか，考える。 事前学修 2.0hr：功利主義について予習しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り，Worksheet を完成させ送信する。
4回	**授業テーマ：脳に汗をかく(3)データを読む　情報を利用しない弁当屋が潰れる理由** 授業内容：平均 150 個売れる弁当屋が「今日は晴れて行楽日和だから 200 個作る」ということを繰り返していたら潰れてしまった。「間口を広げたら味が落ちた」とはどういうことなのか，その仕組みについてデータ解析の観点から考える。 事前学修 2.0hr：平均と何がわかれば売れる数を予測出来るのか，考える。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り，学修ポイントをまとめる。
5回	**授業テーマ：プレゼンテーションの基礎(1)明海大学独自の問題解決方法** 授業内容：プレゼンテーションの基礎を学び，自分たちが薦めるものの順位を合理的につける。そのための手法を示した上で協働学習を行う。 事前学修 2.0hr：グループを作っておく。また，ランキングをつけたいことを選んでおく。 事後学修 3.0hr：プレゼンスライドを完成させる。
6回	**授業テーマ：プレゼンテーションの基礎(2)明海大学独自の問題解決方法** 授業内容：(1)のスライドを作成し，提出する。 事前学修 3.0hr：発表のためのプレゼンテーションスライドで使用するデータを収集。 事後学修 3.0hr：プレゼンテーションスライドを完成させる。
7回	**授業テーマ：プレゼンテーションの基礎(3)明海大学独自の問題解決方法** 授業内容：(1)のスライドに基づき，発表する。 事前学修 3.0hr：発表のためのプレゼンテーションスライドを完成させ，発表練習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り，Worksheet を完成させ送信する。ファイルを提出する。

8回	**授業テーマ：企業人として必要な説得力　説明の理解と説得の違い** 授業内容：他人を説得することについて考える。どのような説得方法があるのか，データを示す必要はないのか，『今日の昼ご飯に何を食べるべきか』を説得出来る材料を用意し，受講者を説得する。 事前学修 2.0hr：他人を説得し，賛同してもらうには何が必要か，考えてくる。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り，学修ポイントをまとめる。
9回	**授業テーマ：科学技術からの国際交流(1)明海大学独自の問題解決方法の実践** 授業内容：国際交流では，エネルギー環境分野を交流テーマとする場合が多い。そのために必要なわが国の電力事情や東南アジアの電力事情について学ぶ。 事前学修 2.0hr：わが国の電力事情について調べておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り，学修ポイントを復習する。
10回	**授業テーマ：科学技術からの国際交流(2)明海大学独自の問題解決方法の実践** 授業内容：東南アジアの学校との交流を念頭に，お勧めする発電方法について提案するため，プレゼンテーションスライドの作成に着手する。 事前学修 3.0hr：プレゼンのテーマを考えておく。グループを作っておく。 事後学修 3.0hr：プレゼンテーションスライドの作成。
11回	**授業テーマ：科学技術からの国際交流(3)明海大学独自の問題解決方法の実践** 授業内容：(2)について，発表を行う。 事前学修 3.0hr：発表のためのプレゼンテーションスライドを完成させ，発表練習する。 事後学修 3.0hr：授業内容を振り返り，Worksheet を完成させ，送信する。
12回	**授業テーマ：魅力ある人とは？(1)明海大学独自の問題解決方法の応用** 授業内容：大学生であっても社会人であっても魅力ある人はいるものである。必ずしも容姿の問題ではなく，どのような人が魅力あると考えられるのか，プレゼンテーションスライドの作成を開始する。 事前学修 2.0hr：グループを作り，提案内容を考えてくる。 事後学修 3.0hr：発表するためのプレゼンテーションスライドの作成に着手する。
13回	**授業テーマ：魅力ある人とは？(2)明海大学独自の問題解決方法の応用** 授業内容：(1)のスライドを作成し，提出する。 事前学修 3.0hr：チームの仲間と十分話し合いをしておく。 事後学修 3.0hr：発表するためのプレゼンテーションスライドを作成し，班員と合成する
14回	**授業テーマ：魅力ある人とは？(3)明海大学独自の問題解決方法の応用** 授業内容：(1)の発表を行い，各チームの内容を検討する。それに基づきスライドを修正し提出する。 事前学修 3.0hr：プレゼンスライドを完成させ，発表練習をする。 事後学修 3.0hr：授業内容を振り返り，Worksheet を完成させ，送信する。修正したプレゼンのファイルを提出する。
15回	**授業テーマ：授業全体のまとめ　明海大学独自の問題解決方法のまとめ** 授業内容：これまでの学修内容をまとめ，他人を説得するためにはどのような説得方法があるのか，どのようなデータを示すことが効果的なのかまとめ，レポートを作成する。 事前学修 2.0hr：いままでのプレゼンスライドなどを振り返る。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り，Worksheet を完成させ，送信する。

社会生活ゼミナール

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

新井　啓（あらい　けい）

▌授業の概要
社会に出て役に立ついろいろな法律を勉強します。なお講義の理解力向上のため、SPI に対応するための基礎的問題を解くことと、経済や法律などの身近な長文の読解問題を解くことを毎回行います。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）
一般目標：社会人として最低限理解しておくべき法律の基礎知識を身につけることです。
個別目標：立憲主義の意味を理解できる。憲法と民法の関係を理解できる。

▌履修条件
データのまとめ方の授業を履修していることが望ましい。

▌評価基準・方法
毎回の授業時に行う manaba の小テスト(50%)、事前・事後学修(30 %)、授業に取り組む姿勢 (20%)。

▌フィードバック方法
小テストや定期試験などの結果は学習支援システムの manaba を通じて行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）
あり （グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）
なし

▌教科書
特になし

▌参考書
特になし

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：法学入門** 授業内容：法とは何か？　定義と趣旨。規則と法則の違い。法的安定性とは？　身近な法律である道路交通法 事前学修 2.0hr：道路交通法について調べてくること 事後学修 2.0hr：第 1 回目の授業課題の復習
2回	**授業テーマ：経済と労働法** 授業内容：経済とはどのようなものなのか？　マクロ経済学とミクロ経済学の考え方の違い。労働基準法。職業安定法 事前学修 2.0hr：気になる最近の経済ニュースについて調べてくること 事後学修 2.0hr：第 2 回目の授業課題の復習
3回	**授業テーマ：憲法(総論)** 授業内容：立憲主義とは？　憲法とはどのようなものなのか？ 事前学修 2.0hr：日本国憲法の前文と９条などの重要な条文を調べてくること 事後学修 2.0hr：第 3 回目の授業課題の復習
4回	**授業テーマ：憲法(基本的人権)** 授業内容：憲法１３条と基本的人権 事前学修 2.0hr：人権とはどのようなものなのかをしらべてくること 事後学修 2.0hr：第 4 回目の授業課題の復習
5回	**授業テーマ：憲法(統治機構)** 授業内容：三権分立は何のために必要なのか？ 事前学修 2.0hr：三権分立とはどのようなものなのかを調べてくること 事後学修 2.0hr：第 5 回目の授業課題の復習
6回	**授業テーマ：民法(総則)** 授業内容：パンデクテン方式とは？　総則とはどのようなものであるのか？　公共の福祉とはどのようなものであるのか？ 事前学修 2.0hr：第 5 回の授業内容の復習 事後学修 2.0hr：第 6 回目の授業課題の復習
7回	**授業テーマ：民法(債権)** 授業内容：人と人の関係ができるのは、どのような場合なのか？　契約と約束の違い。 事前学修 2.0hr：自分が結んでいる契約にはどのようなものがあるのかを調べてくること 事後学修 2.0hr：第 7 回目の授業課題の復習
8回	**授業テーマ：民法(物権)** 授業内容：不動産と民法。借地借家法。 事前学修 2.0hr：確率の意味を調べてくること 事後学修 2.0hr：第 8 回目の授業課題の復習
9回	**授業テーマ：SPI の一般教養問題** 授業内容：数学、国語(読めそうで読めない漢字が中心)、英語、地理・歴史。 事前学修 2.0hr：第 8 回の授業内容の復習 事後学修 2.0hr：第 9 回目の授業課題の復習
10回	**授業テーマ：民法(家族法)** 授業内容：婚姻、親子、相続。 事前学修 2.0hr：相続の時にはどのようなことをする必要があるのかを調べてくること 事後学修 2.0hr：第 10 回目の授業課題の復習
11回	**授業テーマ：個人情報保護法、著作権法** 授業内容：プライバシー権と憲法１３条 マイナンバー法、レポートを書く場合に、なぜ著作権を気にしなければならないのか？ 事前学修 2.0hr：著作権法とはどのようなものなのかを調べてくること 事後学修 2.0hr：第 11 回目の授業課題の復習
12回	**授業テーマ：刑法** 授業内容：SNS を利用する時の注意点(名誉毀損罪など)。犯罪に巻き込まれないために必要な刑法の知識。 事前学修 2.0hr：新聞などで気になった犯罪事件を調べてくること 事後学修 2.0hr：第 12 回目の授業課題の復習

13回	**授業テーマ：会社法** 授業内容：出資と株式。株式会社とは？　株式会社の取締役会とは？　株式売買の必要性　手形小切手法 事前学修 2.0hr：株式会社とはどのような会社なのかを調べてくること 事後学修 2.0hr：第 13 回目の授業課題の復習
14回	**授業テーマ：特定商品取引法　消費者契約法** 授業内容：訪問販売の注意点。 事前学修 2.0hr：第１３回までに学習した法律の知識の復習 事後学修 2.0hr：第 14 回目の授業課題の復習
15回	**授業テーマ：行政法** 授業内容：福祉国家という考えと行政法。行政法はなぜ必要なのか？ 事前学修 2.0hr：14 回目までの法律の問題の復習を行なってくること 事後学修 2.0hr：第 15 回目の授業課題の復習

社会生活ゼミナール

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

中島　達洋（なかじま　たつひろ）

▌授業の概要

SPI3 は，最も多くの企業が課している採用適性検査です。このゼミナールでは，社会人としての基本的な計算能力・論理的思考力・情報処理能力を測定する「SPI3 非言語能力検査」対策の学習を支援します。SPI3 の現状に合わせて「推論分野」の演習や解説に重点を置いた内容になっています。また，導入後間もない「構造的把握力検査」(数学の文章題において，問題の構造が似ているものを選ぶタイプの問題)の問題にも触れています。
毎回の授業は、manaba にアップした講義動画を視聴して基本事項を学んでもらい、教室では課題への取り組みを通じて学習内容を確認していく反転授業スタイルです。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：① SPI3 非言語問題の基本問題を自力で解けるようになる。
② 参考書の解説を自力で理解し，SPI3 対策を自習できるようになる。
個別目標：① 割合、速さ、損益算などの文章題や、場合の数、確率の基本問題を確実に解くことができる。
② 様々な出題形式の「推論問題」へのアプローチ方法を身につける。

▌履修条件

特にありません。

▌評価基準・方法

到達度テスト(2 回) 40 %、毎回の授業の課題(小テスト・ドリル・レポート) 60 %の割合で総合的に評価します。

▌フィードバック方法

課題やテストのフィードバックは、主に学習支援システム manaba を通じて行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （できるだけ反転授業(基本事項は動画、問題演習は教室)の形に近づけます）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし （ただし、PC があると課題に取り組むときに便利です）

▌教科書

教科書は使用しません。
教材として、教材の PDF ファイルを配布します。

▌参考書

市販の対策本など、必要に応じて授業内で紹介します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス・【SPI3 対策】割合のキホン** 授業内容：最初にこの授業のガイダンス。その後で、割合の問題のうち「内訳の内訳」と「変化率」の考え方を学ぶ。事前学習の内容を簡単に復習した後で、配布教材の問題に解答し、レポートとして提出する。 事前学修 2.0hr：SPI3 について簡単に調べておく。manaba の講義動画を試聴し、基本事項と例題の解法を理解しておく。 事後学修 3.0hr：manaba で出題される授業内容確認用のドリルに取り組み、提出する。
2 回	**授業テーマ：【SPI3 対策】損益算** 授業内容：モノの価格の変化をテーマとする「損益算」の解法を学ぶ。原価・定価・売価の違いや、利益率・割引率の扱い方を理解していく。事前学習の内容を簡単に復習した後で、配布教材の問題に解答し、レポートとして提出する。 事前学修 2.0hr：manaba の講義動画を試聴し、基本事項と例題の解法を理解しておく。 事後学修 2.0hr：manaba で出題される授業内容確認用のドリルに取り組み、提出する。
3 回	**授業テーマ：【SPI3 対策】表の活用** 授業内容：「集合」と「代金の清算」の問題を表を使って解くことを学ぶ。事前学習の内容を簡単に復習した後で、配布教材の問題に解答し、レポートとして提出する。 事前学修 2.0hr：manaba の講義動画を試聴し、基本事項と例題の解法を理解しておく。 事後学修 2.0hr：manaba で出題される授業内容確認用のドリルに取り組み、提出する。
4 回	**授業テーマ：【SPI3 対策】速さの問題** 授業内容：「速さの問題」の解法を学ぶ。速さの公式を用いるだけの基本問題だけでなく、速さを持つ対象が 2 つある「旅人算」も扱う。事前学習の内容を簡単に復習した後で、配布教材の問題に解答し、レポートとして提出する。 事前学修 2.0hr：manaba の講義動画を試聴し、基本事項と例題の解法を理解しておく。 事後学修 2.0hr：manaba で出題される授業内容確認用のドリルに取り組み、提出する。
5 回	**授業テーマ：【SPI3 対策】場合の数基礎編(順列と組み合わせ)** 授業内容：順列と組み合わせの公式を使う問題の解法をマスターする。合わせて、場合分けの方法、積の法則、和の法則を理解する。事前学習の内容を簡単に復習した後で、配布教材の問題に解答し、レポートとして提出する。 事前学修 2.0hr：manaba の講義動画を試聴し、基本事項と例題の解法を理解しておく。 事後学修 2.0hr：manaba で出題される授業内容確認用のドリルに取り組み、提出する。
6 回	**授業テーマ：【SPI3 対策】場合の数応用編** 授業内容：場合の数の典型問題である「円順列」、「同じものを含む順列」、「重複順列」、「重複組み合わせ」の考え方を学ぶ。事前学習の内容を簡単に復習した後で、配布教材の問題に解答し、レポートとして提出する。 事前学修 2.0hr：manaba の講義動画を試聴し、基本事項と例題の解法を理解しておく。 事後学修 2.0hr：manaba で出題される授業内容確認用のドリルに取り組み、提出する。
7 回	**授業テーマ：【SPI3 対策】確率** 授業内容：場合の数の考え方を使う問題の解法をマスターする。さらに、与えられた確率を積の法則や和の法則を組み合わせるタイプの解法も解説する。事前学習の内容を簡単に復習した後で、配布教材の問題に解答し、レポートとして提出する。 事前学修 2.0hr：manaba の講義動画を試聴し、基本事項と例題の解法を理解しておく。 事後学修 2.0hr：manaba で出題される授業内容確認用のドリルに取り組み、提出する。
8 回	**授業テーマ：到達度テスト 1 とその解説** 授業内容：第 1 回～第 7 回授業で学んだことのテストを実施。45 分～ 50 分程度のテスト時間で解答してもらい、終了後に正解解説を行なう。 事前学修 2.0hr：テストに向けて，2 回～ 7 回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：できなかった問題の解答を作ってみる。manaba で公開する「テスト正解・解説」をよく読んで復習する。

9回	**授業テーマ：【SPI3 対策】推論① P が正しければ Q も正しい・並び順** 授業内容：命題「P ならば Q」の成立条件について理解する。さらに、与えられた情報から考えられる並び順を全て書き下す方法を学ぶ。事前学習の内容を簡単に復習した後で、manaba のドリル問題に「合格」するまで取り組む。 事前学修 2.0hr：manaba の講義動画を試聴し、基本事項と例題の解法を理解しておく。 事後学修 2.0hr：manaba のドリルで取り組んだ問題、特に間違えた問題の復習をする。
10回	**授業テーマ：【SPI3 対策】推論② 平均・人口密度と食塩水** 授業内容：割り算で定義される平均・人口密度・食塩水の濃度について統一的に理解し、これらをテーマとする問題の解法を学ぶ。事前学習の内容を簡単に復習した後で、manaba のドリル問題に「合格」するまで取り組む。 事前学修 2.0hr：manaba の講義動画を試聴し、基本事項と例題の解法を理解しておく。 事後学修 2.0hr：manaba のドリルで取り組んだ問題、特に間違えた問題の復習をする。
11回	**授業テーマ：【SPI3 対策】推論③ 内訳** 授業内容：与えられた情報から考えられる内訳を全て書き下す方法を学ぶ。さらに、全て書き下さなくても良い解法にも触れる予定。事前学習の内容を簡単に復習した後で、manaba のドリル問題に「合格」するまで取り組む。 事前学修 2.0hr：manaba の講義動画を試聴し、基本事項と例題の解法を理解しておく。 事後学修 2.0hr：manaba のドリルで取り組んだ問題、特に間違えた問題の復習をする。
12回	**授業テーマ：【SPI3 対策】推論④ 複数選択問題** 授業内容：最も高難度である「複数選択問題」に取り組む。厳選した例題の解き方を解説し、その後で類題ドリルに取り組む。ドリルでは「合格」するまで頑張ってもらう。 事前学修 2.0hr：manaba の講義動画を試聴し、基本事項と例題の解法を理解しておく。 事後学修 2.0hr：manaba のドリルで取り組んだ問題、特に間違えた問題の復習をする。
13回	**授業テーマ：【SPI3 対策】表や資料の読み取り** 授業内容：表や資料を読み取って解く問題の解説をする。特に割合の問題が中心となる。事前学習の内容を簡単に復習した後で、manaba のドリル問題に「合格」するまで取り組む。 事前学修 2.0hr：manaba の講義動画を試聴し、基本事項と例題の解法を理解しておく。 事後学修 2.0hr：manaba のドリルで取り組んだ問題、特に間違えた問題の復習をする。
14回	**授業テーマ：【SPI3 対策】構造的把握力検査** 授業内容：設問の答えを求めるのではなく、解き方の構造が同じ設問を選ぶという独特なタイプの問題に取り組み、その考え方を学ぶ。事前学習の内容を簡単に復習した後で、manaba のドリル問題に「合格」するまで取り組む。 事前学修 2.0hr：manaba の講義動画を試聴し、基本事項と例題の解法を理解しておく。 事後学修 2.0hr：manaba のドリルで取り組んだ問題、特に間違えた問題の復習をする。
15回	**授業テーマ：到達度テスト 2 とその解説** 授業内容：第 9 回〜第 14 回授業で学んだことのテストを実施。45 分〜 50 分程度のテスト時間で解答してもらい、終了後に正解解説を行なう。 事前学修 2.0hr：テストに向けて，9 回〜 14 回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：できなかった問題の解答を作ってみる。manaba で公開する「テスト正解・解説」をよく読んで復習する。

キャリアプランニング Ⅰ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

阿方　由紀枝（あがた　ゆきえ）・**下地　信也**（しもじ　しんや）・**濱﨑　あゆみ**（はまさき　あゆみ）・**門田　薫**（もんでん　かおる）

▌授業の概要

社会で活躍する人材となるため、ジェネリックスキルの成長を目指す授業である。一般企業での就業経験がありキャリアコンサルタントの資格を有する教員が、実務経験とカウンセリングスキルを活かし主体的な学習に導く。この授業では、就業観の醸成に焦点をあて①自分を知る②社会を知る③自分と社会の接点を考えるという過程を、アクティビティによる体験と気付きで学ぶ。また、基礎学力向上と就職活動における筆記試験に備えるため、MEIKAI SPI を活用する。

【授業方法】講義

【実務家教員と当該授業科目との関連性】

一般企業での就業経験がありキャリアコンサルタントの資格を有する教員が、実務経験とカウンセリングスキルを活かし、就業観の醸成やジェネリックスキル(対人基礎力、対自己基礎力、対課題基礎力)の伸長を目的として、グループワーク及びディスカッションによる主体的な学習を実践している。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：①**就業観を醸成**するために自分の進路における選択肢となり得る職業や仕事について理解を深める。
②**ジェネリックスキル (対人基礎力、対自己基礎力、対課題基礎力)** の中身や重要性を理解しその力を伸ばす。

個別目標：【社会人インタビュー】①目的を理解し自分の将来像を意識してインタビューに取り組むことができる②他者のレポートと比較し自分のレポートの改善点を言語化することができる③将来を見据え大学生活で取り組む活動を探り実践できる【自己理解】①自分の強みを文章で伝えることができる②ジェネリックスキルを理解し自己評価できる。

▌履修条件

必修科目である。キャリア形成科目は、授業の目的上「社会」を基準とした授業ルールを採用している。

▌評価基準・方法

重要課題:40%、学修内容振り返り:40%、自己ＰＲ:10%、MEIKAI SPI 模擬試験 (マークシート):10% ※原則として５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。※成績評価の詳細は、初回授業で説明予定。

▌フィードバック方法

課題のフィードバックは授業で実施する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワークおよびディスカッション・毎回実施）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （インターネットを活用した情報収集や PowerPoint,Word ソフトによる課題の作成・指定授業回）

▌教科書

オリジナル教材を使用。自己 PR の添削にかかる費用として￥3,000(自己負担) を回収する。提出方法や期限については、授業での案内を確認すること。

▌参考書

授業内で随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：この授業の目的・ルール・内容・到達目標、MEIKAI SPI の目的と使い方について解説し、授業評価と受講ルールについて説明する。 事前学修 2.0hr：シラバス (特に受講ルールについて) を読んで理解し授業に取り組むイメージをする 事後学修 2.0hr：受講ルールや評価方法を読み直し間違いのないように理解する
2回	**授業テーマ：キャリアの理論** 授業内容：キャリアに関する理論を学び、自分の気づきや考えを言語化し、自分の将来を考えてみる。 事前学修 2.0hr：受講ルールやマニュアルを読み返し、MEIKAI SPI を操作し問題に取り組む 事後学修 2.0hr：キャリアに関する理論について、インターネット等で調べておく
3回	**授業テーマ：なりたいじぶんをイメージする** 授業内容：大学を卒業して社会で活躍するじぶんをイメージし言語化する。 事前学修 2.0hr：なりたい社会人像について考え整理しておく 事後学修 2.0hr：なりたいじぶんに近づくために必要な知識・スキルなどについて情報収集しておく
4回	**授業テーマ：アクションプランを考える** 授業内容：なりたいじぶんに近づくために現在の自分に必要な活動を考え、具体的なアクションプランを作成する。 事前学修 2.0hr：前学期に「学修の基礎Ⅰ」で受験した PROG の結果報告書と強化書を読み返しておく 事後学修 2.0hr：アクションプランを実行できるようにスケジューリングする
5回	**授業テーマ：「働く」ことについて考える** 授業内容：プロのライターが取材し作成した社会人のインタビュー記事を読み、仕事との向き合い方について考察する。 事前学修 2.0hr：就職ジャーナルやスタディサプリの記事を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業のワークを参考に就職ジャーナルなどの記事を読む
6回	**授業テーマ：ディスカッションの流れとポイント** 授業内容：ディスカッションの流れとポイントを学び、グループでディスカッションを体験する。 事前学修 2.0hr：参考にできるグループディスカッションの動画を探す 事後学修 2.0hr：グループディスカッションのテーマについて情報収集する
7回	**授業テーマ：ディスカッション実践** 授業内容：ディスカッションの流れとポイントを意識し、合意形成できるようディスカッションに取り組む。 事前学修 2.0hr：グループディスカッションのテーマについて自分の意見を考えておく 事後学修 2.0hr：グループディスカッションの動画を視聴し自分の課題を整理しておく
8回	**授業テーマ：ここまでの振り返り** 授業内容：ここまでの授業で学修した内容を振り返り、どのように実践していくかを考える。 事前学修 2.0hr：ここまでの授業内容や記録を見直しておく 事後学修 2.0hr：今後の活動について、具体的に考え言語化する
9回	**授業テーマ：社会人インタビューの共有と振り返り** 授業内容：自分の「社会人インタビュー」を伝え、他者の社会人インタビューを聞き、働くことについて考察する。 事前学修 2.0hr：社会人インタビューを完成させておく 事後学修 2.0hr：インタビューした社会人の職業について情報収集しておく

10回	**授業テーマ：自己理解** 授業内容：強み探索ワークを通じて、自分の強みを探索する。また、強みに関係する過去の出来事を言語化する。 事前学修 2.0hr：自分の強みを考え、これまでの出来事を思い出し書き出しておく 事後学修 2.0hr：自分の強みと裏付けるエピソードを文章にしてみる
11回	**授業テーマ：自己 PR 作成** 授業内容：自分の強みと裏付けとなるエピソードを 1 つ以上挙げ、他者に伝わるよう具体的な文章にする。 事前学修 2.0hr：自分の強みを明確にし裏付けるエピソードを見つけておく 事後学修 2.0hr：授業で書いた自己 PR を読み直し改善点を明確にしておく
12回	**授業テーマ：自己 PR 完成** 授業内容：自己 PR の結論となる強みとそれを裏付けるエピソードを 200 文字の文章にする。 事前学修 2.0hr：自分の強みと裏付けるエピソードを文章にしてみる 事後学修 2.0hr：自己 PR を完成させ提出できるようにする
13回	**授業テーマ：社会人に学ぶ** 授業内容：教員の経験や知識を基に「社会で働く」ことをイメージする。 事前学修 2.0hr：興味のある仕事について調べておく 事後学修 2.0hr：目指したい社会人像を言語化しておく
14回	**授業テーマ：キャリアプランニング Ⅰ 授業の振り返り** 授業内容：キャリアプランニング Ⅰ の学修を振り返り、学んだ内容と自分の気づきや考えについて言語化する。また、公務員クラスについての説明を行う。 事前学修 2.0hr：ここまでの授業内容や記録を見直しておく 事後学修 2.0hr：なりたいじぶんとアクションプランの振り返りをしておく
15回	**授業テーマ：授業と目標の振り返りと春季休暇のアクションプラン作成** 授業内容：授業 14 回の学びを振り返り、進級した後の姿を想像しながら、春季休暇の行動計画を作成する。 事前学修 2.5hr：第 1 回～第 14 回授業の資料を見直す 事後学修 2.5hr：今回の振り返りを基に、春季休暇に取り組むことをより具体的にする

キャリアプランニング I

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 ｜ 備考：MGO 留学生サポートプログラムクラス

門田　薫 (もんでん　かおる)

▌授業の概要

社会で活躍する人材となるため、ジェネリックスキルの成長を目指す授業である。一般企業での就業経験がありキャリアコンサルタントの資格を有する教員が、実務経験とカウンセリングスキルを活かし主体的な学習に導く。この授業では、就業観の醸成に焦点をあて①自分を知る②社会を知る③自分と社会の接点を考えるという過程を、アクティビティによる体験と気付きで学ぶ。また、基礎学力向上と就職活動における筆記試験に備えるため、MEIKAI SPI を活用する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：①**日本における就職および就職活動**について情報を収集・整理しながら理解を深める。
②**ジェネリックスキル (対人基礎力、対自己基礎力、対課題基礎力)** の中身や重要性を理解しその力を伸ばす。

個別目標：【社会環境理解】①日本における就職の知識を習得し、準備に必要な活動について理解する。【自己理解】①自分の強みを文章で伝えることができる②ジェネリックスキルを理解し自己評価できる。【プレゼンテーション】自分の将来についての考えなどをプレゼンテーション形式で伝えることができるようになる。

▌履修条件

必修科目である。キャリア形成科目は、授業の目的上「社会」を基準とした授業ルールを採用している。

▌評価基準・方法

重要課題:50%、学修内容振り返り:40%、自己ＰＲ:10%とする。※原則として５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。※成績評価の詳細は、初回授業で説明予定。

▌フィードバック方法

課題のフィードバックは授業で実施する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワークおよびディスカッション・毎回実施）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （インターネットを活用した情報収集や課題の作成・指定授業回）

▌教科書

オリジナル教材を使用。

▌参考書

授業内で随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：この授業の目的・ルール・内容・到達目標について解説し、授業評価と受講ルールについて説明する。 事前学修 2.0hr：シラバス (特に授業ルールについて) を読んで理解し授業に取り組むイメージをする 事後学修 2.0hr：受講ルールや評価方法を読み直し間違いのないように理解する
2回	**授業テーマ：自己紹介と MEIKAI SPI の活用** 授業内容：自己紹介ワークでクラスメンバーと交流する。MEIKAI SPI の目的と活用方法を理解し操作する。 事前学修 2.0hr：受講ルールやマニュアルを読み返し理解しておく 事後学修 2.0hr：MEIKAI SPI の練習問題を解く
3回	**授業テーマ：日本の就職と就職活動 (知識編)** 授業内容：日本における新卒採用の現状や採用環境について解説を聞き理解する。 事前学修 2.0hr：日本の就職について、関連サイトで探索しておく 事後学修 2.0hr：今後の目標や行動計画について考えを整理する
4回	**授業テーマ：日本の就職と就職活動 (キャリア形成編)** 授業内容：日本における新卒採用の現状や採用環境について理解した上で、自分の日本でのキャリアを考える。 事前学修 2.0hr：第 3 回授業の内容を振り返る 事後学修 2.0hr：日本でのキャリアをどう形成するか検討する
5回	**授業テーマ：MGO 探索とビジネスメール** 授業内容：MGO プログラムを理解し学内で情報収集できる場所を確認する。また、ビジネスメールの書き方を理解する。 事前学修 2.0hr：ビジネスメールについて関連資料を読む 事後学修 2.0hr：授業で確認した情報収集について振り返る
6回	**授業テーマ：なりたいじぶんとアクションプランの作成** 授業内容：卒業時点での目標を考え、1 年・半年・1 ヶ月単位で、具体的な行動計画を立てる。 事前学修 2.0hr：将来のキャリアに向かうための目標や具体的な行動について考えておく 事後学修 2.0hr：アクションプランを実行できるようにスケジューリングする
7回	**授業テーマ：「働く」ことについて考える** 授業内容：プロのライターが取材し作成した社会人のインタビュー記事を読み、仕事との向き合い方について考察する。 事前学修 2.0hr：就職ジャーナルやスタディサプリの記事を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業のワークを参考に就職ジャーナルなどの記事を読む
8回	**授業テーマ：自己理解** 授業内容：強み探索ワークを通じて、自分の強みを探索する。また、強みに関係する過去の出来事を言語化する。 事前学修 2.0hr：自分の強みを考えこれまでの出来事を思い出し書き出しておく 事後学修 2.0hr：自分の強みと裏付けるエピソードを文章にしてみる
9回	**授業テーマ：自己 PR 作成** 授業内容：自分の強みと裏付けとなるエピソードを 1 つ以上挙げ、他者に伝わるよう具体的な文章にする。 事前学修 2.0hr：自分の強みを明確にし裏付けるエピソードを見つけておく 事後学修 2.0hr：授業で書いた自己 PR を読み直し改善点を明確にしておく
10回	**授業テーマ：ここまでの学修を振り返る** 授業内容：ここまでに学修した内容を振り返り、今後必要な活動を整理する。 事前学修 2.0hr：前回までの授業を振り返っておく 事後学修 2.5hr：今後必要な活動について具体的に計画立案する

11回	**授業テーマ：プレゼンテーション理解** 授業内容：プレゼンテーションに必要な要素について学ぶ。 事前学修 2.0hr：インターネット等でプレゼンテーションに必要なことを調べておく 事後学修 2.0hr：授業の内容を基に、プレゼンテーションの内容を検討する
12回	**授業テーマ：プレゼンテーション作成** 授業内容：前回授業で学修したことを踏まえて、自分がプレゼンテーションする内容を決め、スライドを作成する。 事前学修 2.0hr：自分がプレゼンテーションしたい内容を決め情報収集しておく 事後学修 2.0hr：プレゼンテーションで使用するスライドを完成させる
13回	**授業テーマ：プレゼンテーション実践** 授業内容：準備してきた内容を、スライドを使用してプレゼンテーションする。 事前学修 2.0hr：本番での発表を意識しプレゼンテーションの練習をする 事後学修 2.0hr：自分のプレゼンテーションの改善点を明確にしておく
14回	**授業テーマ：なりたいじぶんとアクションプランの振り返り** 授業内容：START を活用し、なりたいじぶんとアクションプランを見直し、今後の活動計画を考える。 事前学修 2.0hr：START の記録を確認し、自分活動状況を整理しておく 事後学修 2.0hr：見直した内容と今後の活動計画を完成させ START に記録しておく
15回	**授業テーマ：授業の振り返りと夏季休暇のアクションプラン作成** 授業内容：第 14 回までの学びを振り返り、進級した後の姿を想像しながら、夏季休暇の行動計画を作成する。 事前学修 2.0hr：第 1 回～第 14 回授業の資料を見直しておく 事後学修 2.0hr：今回の振り返りを基に春季休暇に取り組むことをより具体的にしておく

キャリアプランニング I

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後 ｜ 備考：留学生クラス

小野寺　樹璃（おのでら　じゅり）・**行田　悦子**（こうだ　えつこ）・**髙橋　亜里沙**（たかはし　ありさ）

▌授業の概要

キャリアプランニングでは仕事など社会生活を営むうえで必要な「ジェネリックスキル」の一つであるコミュニケーション能力を育成する。
キャリアプランニング I では、日本社会で触れる話題を正確に理解し、自らの主張を表現するための日本語能力を身につける。授業外に事前学修、事後学修課題がある。ほぼ毎回授業内に小テストを行う。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：日本社会に関わる論理的でやや複雑な文章や抽象度の高い文章の内容を理解し、適切な表現や文体を産出できる。自分の日本語能力を適切に評価し、能動的に弱点を補う自己学習力を育てる。

個別目標：(1) 日本文化に関わる文章を読ん正確に理解できる。
(2) 論説、評論などに出てくる語彙・表現が正確に使うことができる。
(3) 論説、評論などの内容を要約し、他者と意見を交換することができる。
(4) 自分の日本語能力を適切に評価し、弱点を補うための計画を立て、能動的に学習を実行することができる。
(5) 学習成果を正しくふりかえることができる。

▌履修条件

(1) 留学生を対象とするクラスである。
(2) 日本語能力を測る資格試験を受験する。
(3) 毎回出席し、授業活動に積極的に参加する。
(4) 課題の提出日を守る。
(5) 自らの日本語能力を客観的に評価し、弱点を補う努力をする。
(6) 授業外の講座、模擬試験に積極的に参加する。

▌評価基準・方法

資格試験 40 %、課題提出 30 %、テスト 20%、授業外模擬試験 10%で評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba および対面授業を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワークをする。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （manaba、respon を利用する。）

▌教科書

目黒真実『中上級学習者のための日本語読解ワークブック』アルク

▌参考書

友松悦子・宮本淳・和栗雅子『新装版 どんなときどう使う 日本語表現文型辞典』アルク

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、日本語の世界①** 授業内容：授業概要や到達目標、履修条件等についてのガイダンスを行う。また、教科書『日本語の世界① (「低下する漢字能力」「漢字はお好き？」)』について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
2回	**授業テーマ：日本語の世界②** 授業内容：教科書『日本語の世界② (「日本語の乱れ」「ラッキョウ文化論」)』について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
3回	**授業テーマ：日本の文化** 授業内容：教科書『日本の文化』について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
4回	**授業テーマ：日本人の行動様式** 授業内容：教科書『日本人の行動様式』について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
5回	**授業テーマ：言語とコミュニケーション** 授業内容：教科書『言語とコミュニケーション』について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
6回	**授業テーマ：異文化理解** 授業内容：教科書『異文化理解』について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
7回	**授業テーマ：環境と人間** 授業内容：教科書『環境と人間』について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

8回	**授業テーマ：IT と情報社会** 授業内容：教科書『IT と情報社会』について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
9回	**授業テーマ：生物と自然** 授業内容：教科書『生物と自然』について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
10回	**授業テーマ：人生と生き方** 授業内容：教科書『人生と生き方』について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
11回	**授業テーマ：子どもと教育** 授業内容：教科書『子どもと教育』について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
12回	**授業テーマ：報道とマスコミ** 授業内容：教科書『報道とマスコミ』について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
13回	**授業テーマ：科学と技術** 授業内容：教科書『科学と技術』について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
14回	**授業テーマ：生命と倫理** 授業内容：教科書『生命と倫理』について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
15回	**授業テーマ：まとめとコース全体の振り返り、テストとフィードバック** 授業内容：これまで学修した内容を振り返り、学んだことや気付いたことについてまとめ、グループで意見交換を行う。テストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

キャリアプランニングⅡ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

阿方　由紀枝（あがた　ゆきえ）・**下地　信也**（しもじ　しんや）・**濱﨑　あゆみ**（はまさき　あゆみ）・**門田　薫**（もんでん　かおる）

▌授業の概要

社会で活躍する人材となるため、ジェネリックスキルの成長を目指す授業である。一般企業での就業経験がありキャリアコンサルタントの資格を有する教員が、実務経験とカウンセリングスキルを活かし主体的な学習に導く。この授業では、企業・団体および仕事の研究を通じて①自分を知る②社会を知る③自分と社会の接点を考えるという過程を、アクティビティによる体験と気付きで学ぶ。また、基礎学力向上と就職活動における筆記試験に備えるため、MEIKAI SPI を活用する。

【授業方法】講義

【実務家教員と当該授業科目との関連性】

一般企業での就業経験がありキャリアコンサルタントの資格を有する教員が、実務経験とカウンセリングスキルを活かし、企業や仕事を研究する観点を理解し、ジェネリックスキル(対人基礎力、対自己基礎力、対課題基礎力)の伸長を目的として、グループワーク及びディスカッションによる主体的な学習を実践している。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：①**企業や仕事を研究する観点**を理解し、進路選択において主体的に活用できるようになる。
②**ジェネリックスキル (対人基礎力、対自己基礎力、対課題基礎力)** を伸ばすための具体的な行動計画を立て実行することができる。

個別目標：【社会理解】①必要な情報を理解しその情報源を探索することができる②学修するフレームを活用することができる②自分の興味・関心と照らし合わせて考えることができる【自己理解】自分の強みと裏付ける出来事を文章で伝えることができる【目標設定】1 年次の「なりたい自分とアクションプラン」を振り返り改善した上で、実行できる行動計画を立案することができる。

▌履修条件

必修科目である。キャリア形成科目は、授業の目的上「社会」を基準とした授業ルールを採用している。

▌評価基準・方法

重要課題:40%、学修内容振り返り:40%、自己ＰＲ:10%、MEIKAI SPI 模擬試験 (Web テスティング):10%とする。※原則として５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。※成績評価の詳細は、初回授業で説明予定。

▌フィードバック方法

課題のフィードバックは授業で実施する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワークおよびディスカッション・毎回実施）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （インターネットを活用した情報収集や課題の作成・指定授業回）

▌教科書

オリジナル教材を使用。自己 PR の添削にかかる費用として￥3,000(自己負担) を回収する。提出方法や期限については、授業での案内を確認すること。

▌参考書

授業内で随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：この授業の目的・ルール・内容・到達目標について解説し、授業評価と受講ルールについて説明する。 事前学修 2.0hr：シラバスを読み授業の概要や評価について理解しておく 事後学修 2.0hr：受講ルールや評価方法を読み直し間違いのないように理解する
2回	**授業テーマ：キャリアの理論** 授業内容：進路の選択肢をイメージし、キャリア形成について考える。 事前学修 2.0hr：キャリアプランニングⅠで考えた自分のキャリアについての資料を見直しておく 事後学修 2.0hr：授業で得たアドバイスやヒントを参考に自分の将来について考える
3回	**授業テーマ：これまでの自分を振り返る** 授業内容：モチベーショングラフを作成し、これまでの自分を振り返る。 事前学修 2.0hr：モチベーショングラフについて検索し情報収集しておく 事後学修 2.0hr：モチベーショングラフで気づいた自分の価値観を整理しておく
4回	**授業テーマ：なりたいじぶんとアクションプランの作成** 授業内容：キャリアプランニングⅠで考えた「なりたいじぶんとアクションプラン」を基に、あらためて検討し作成してみる。 事前学修 2.0hr：1 年次に受験した PROG の結果報告書と強化書を読み返しておく 事後学修 2.0hr：アクションプランを実行できるようにスケジューリングする
5回	**授業テーマ：社会人に学ぶ** 授業内容：社会人の経験や知識を参考にし、今後の大学生活で取り組む活動を考える。 事前学修 2.0hr：大学在学中に取り組む活動をリストアップしておく 事後学修 2.0hr：大学在学中に取り組む活動を検討しスケジューリングする
6回	**授業テーマ：ディスカッションの復習** 授業内容：キャリアプランニングⅠで学修したディスカッションを復習し、グループディスカッションに取り組む。 事前学修 2.0hr：キャリアプランニングⅠのディスカッション関連の授業を復習しておく 事後学修 2.0hr：グループディスカッションの手本となる動画を探して視聴する
7回	**授業テーマ：ディスカッション実践** 授業内容：前回授業で実施したグループディスカッションを振り返り、改善できるように実践する。 事前学修 2.0hr：グループディスカッションにおける自分の課題を整理しておく 事後学修 2.0hr：授業で実践したグループディスカッションを振り返っておく
8回	**授業テーマ：企業や職業について知る** 授業内容：企業の扱う商品やサービスについて情報を収集し分析する。 事前学修 2.0hr：興味のある企業や仕事について就活サイトで調べておく 事後学修 2.0hr：授業で学修したことを復習しておく
9回	**授業テーマ：企業を比較する** 授業内容：同じような商品やサービスを提供している企業を比較し、それぞれの特徴を理解する。 事前学修 2.0hr：就活サイトや業界地図で同業 2 社を見つけておく 事後学修 2.0hr：授業で学修した内容を踏まえ、自分の興味がある企業を調べておく

10回	**授業テーマ：職業を比較する** 授業内容：様々な職業を調べ、企業によってどんな違いがあるのか理解する。 事前学修 2.0hr：就活サイト等でどのような職業 (職種) があるのかを調べておく 事後学修 2.0hr：自分の興味のある職業 (職種) について調べて記録しておく
11回	**授業テーマ：社会を知り自分との接点を探索する** 授業内容：学修してきた社会と自分について情報を整理し、社会とどう接点を持つか考える。 事前学修 2.0hr：これまでの学修内容と記録を見直しておく 事後学修 2.0hr：社会とどのように接点を持つか、現時点で考えられることを記録しておく
12回	**授業テーマ：自己理解** 授業内容：キャリアプランニングⅠで探索したストレングス、キャリアプランニングⅡで作成したモチベーショングラフを踏まえて、自分について発見したことや再確認したことを言葉にして伝える。 事前学修 2.0hr：ストレングスとモチベーショングラフを見直しておく 事後学修 2.0hr：自己理解した内容を文章にしてまとめておく
13回	**授業テーマ：自己 PR 作成** 授業内容：前回授業の学修を活用し、自分らしさを伝える自己 PR を作成する。 事前学修 2.0hr：キャリアプランニングⅠで返却された添削データを確認しておく 事後学修 2.0hr：自己 PR を完成させ提出する
14回	**授業テーマ：なりたいじぶんとアクションプランの振り返り** 授業内容：なりたいじぶんを確認し、必要であれば修正する。また、アクションプランを振り返り、今後の活動を検討する。 事前学修 2.0hr：なりたいじぶんとアクションプランの記録と進捗を確認しておく 事後学修 2.0hr：なりたいじぶんとアクションプランの修正版を完成させ記録しておく
15回	**授業テーマ：授業の振り返り** 授業内容：授業で学んだことを振り返り、今後の活用を想像し、夏季休暇の過ごし方を考える。 事前学修 2.0hr：第 1 回～第 14 回授業の資料を見直しておく 事後学修 2.0hr：今回の振り返りを基に夏季休暇に取り組むことをより具体的にしておく

キャリアプランニングⅡ

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：公務員クラス

大道　和夫（おおみち　かずお）

▌授業の概要

本授業では、公務員試験対策に特化した科目の知識を身につける事を目的とする。
公務員は全体の奉仕者として、国民の生活に密着した不可欠なサービスを提供する業務を執行するが、そのために必要な基礎的な知識を修得する事を支援する。教養科目と言われている 5 科目(数的処理・文章理解・社会科学・人文科学・自然科学)と SPI、面接・論文の対策も行う。オムニバス形式の授業である。
※授業の他、全 15 回の講座を実施する。講座の詳細内容は別途指示する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：①公務員試験の試験科目は一般知識・一般知能に分けられ、多岐にわたるが、教養科目には何があるのか、その対策として何をすればよいのかを身につけること。
②試験問題には、出題頻度・難易度が様々であるが、基礎的問題を解答出来る能力を身につけること。
個別目標：①一般知識は、中学・高校で学んだ知識が問われているので、各科目について高校までの知識を身につけること。
②一般知能は公務員試験独自の問題であるが、パターンがあるので、そのパターンの対応能力を身につけること。

▌履修条件

必修科目である。
2024 年度キャリアプランニング I の授業内アンケートで本クラスの履修を希望した者およびキャリアサポートセンター窓口で指定の期間に所定の手続きをした者。本授業の他に実施する講座(全 15 回)も必ず受講すること。

▌評価基準・方法

全授業の 4/5 の出席を成績評価の前提とする。本授業だけでなく継続時限で実施する講座も出席することで「授業に出席した」とみなされる。【評価】
授業内で学んだ科目の確認テスト：50 %、指定課題の期限内提出と内容：20 %、定期試験：30 %

▌フィードバック方法

対面授業で実施する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

オリジナル教材を使用。教材費として￥7,400(自己負担) を回収する。
管理・研究棟 2 階の証紙券売機で￥7,400 の証紙を購入し、第 1 回授業で教員に提出すること。

▌参考書

授業内で随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス・人文科学 1 回目** 授業内容：ガイダンス①公務員試験の概要(職種・試験科目・試験日程)②2年次の授業の目的・到達目標 人文科学　人文科学の各科目の概要(世界史・日本史・地理・思想・文学芸術)、世界史(基礎)：古代、中世、近世 事前学修 2.0hr：シラバスを読み理解しておく 事後学修 2.0hr：公務員試験の概要について復習し授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
2回	**授業テーマ：SPI・数的処理 1 回目** 授業内容：四則逆算、つるかめ算、n 進法、年齢算 事前学修 2.0hr：四則逆算、つるかめ算、n 進法、年齢算について予習をする 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする
3回	**授業テーマ：人文科学 2 回目** 授業内容：世界史(基礎)：近現代、中国史、日本史(基礎)：古代、中世 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
4回	**授業テーマ：SPI・数的処理 2 回目** 授業内容：濃度算、命題 事前学修 2.0hr：濃度算、命題について予習をする 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする
5回	**授業テーマ：SPI・数的処理 3 回目** 授業内容：場合の数、確率 事前学修 2.0hr：場合の数、確率について予習をする 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする
6回	**授業テーマ：社会科学 1 回目** 授業内容：社会科学のガイダンスと社会保障 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
7回	**授業テーマ：社会科学 2 回目** 授業内容：市場の仕組み・経済循環、国民所得と経済理論 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
8回	**授業テーマ：人文科学 3 回目** 授業内容：日本史(基礎)：近世、近現代 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
9回	**授業テーマ：人文科学 4 回目** 授業内容：地理(基礎)：自然地理、地誌／人文科学前期確認テスト 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく

10回	**授業テーマ：社会科学 3 回目** 授業内容：景気循環、財政・金融政策、国際経済、法律概論、日本国憲法で保障されている人権 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
11回	**授業テーマ：社会科学 4 回目** 授業内容：政治制度、補足・まとめ、問題演習、社会科学前期確認テスト 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
12回	**授業テーマ：SPI・数的処理 4 回目** 授業内容：旅人算、流水算、通過算 事前学修 2.0hr：旅人算、流水算、通過算 について予習をする 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする
13回	**授業テーマ：SPI・数的処理 5 回目** 授業内容：仕事算、推論(うそつき、席順、順序) 事前学修 2.0hr：仕事算、推論(うそつき、席順、順序)について予習をする 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする
14回	**授業テーマ：SPI・数的処理 6 回目** 授業内容：損益算、暗号 事前学修 2.0hr：損益算、暗号 について予習をする 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする
15回	**授業テーマ：SPI・数的処理 7 回目** 授業内容：サイコロ、図形、展開図/数的処理前期確認テスト 事前学修 2.0hr：サイコロ、図形、展開図について予習をする 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする

キャリアプランニングⅡ

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後 ｜ 備考：留学生クラス

中部　直之（なかべ　なおゆき）・**範　弘宇**（はん　こうう）・**林　苗**（りん　みょう）

▌授業の概要

キャリアプランニングでは仕事など社会生活を営むうえで必要な「ジェネリックスキル」の一つであるコミュニケーション能力を育成する。
キャリアプランニングⅡでは、日本社会で触れる話題を正確に理解し、自らの主張を表現するための日本語能力を身につける。授業外に事前学修、事後学修、課題を行う。ほぼ毎回、小テストがある。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：日本社会に関わる論理的でやや複雑な文章や抽象度の高い文章の内容を理解することを目指す。
　　自身の日本語能力を適切に評価し、能動的に弱点を補う自己学習力を育成する。
個別目標：(1) 幅広い分野に渡る抽象度の高い日本語の文章を読んで正確に理解できる。
　　(2) 正しい文法知識と語彙を増やし、正確に産出できる。
　　(3) 日本社会に関わる背景知識を増やす。

▌履修条件

留学生クラスである。
日本語能力を測る資格試験を受験する。
課題提出の期限を守る。
積極的に授業に参加する。
授業外の講座、模擬試験に積極的に参加する。

▌評価基準・方法

資格試験 40 %、テスト 20%、課題提出 20 %、スキルアップ講座 10%、授業外模擬試験 10%で評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba および対面授業を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ほぼ毎回グループワークをする。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （ほぼ毎回 manaba、respon を利用する。）

▌教科書

開講時に指示する。

▌参考書

授業時に随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、日本語の世界** 授業内容：教科書の「日本語の世界」に関する文章を読んで、内容を正確に理解する。それらの文章に使われる語彙・文法を学習する。さらに、日本語についての考えをあげ、グループワークを行い、意見交換をする。 事前学修 2.0hr：自身の日本語能力を適切に評価し、能動的に弱点を補うために必要な学習計画を立てる。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
2回	**授業テーマ：日本の文化** 授業内容：教科書の「日本の文化」に関する文章を読んで、内容を正確に理解する。それらの文章に使われる語彙・文法を学習する。さらに、日本の文化について意見交換をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
3回	**授業テーマ：日本人の行動様式** 授業内容：教科書の「日本人の行動様式」に関する文章を読んで、内容を正確に理解する。それらの文章に使われる語彙・文法を学習する。さらに、日本人の行動様式について意見交換をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
4回	**授業テーマ：言語とコミュニケーション** 授業内容：教科書の「言語とコミュニケーション」に関する文章を読んで、内容を正確に理解する。それらの文章に使われる語彙・文法を学習する。さらに、言語とコミュニケーションについて意見交換をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
5回	**授業テーマ：異文化理解** 授業内容：教科書の「異文化理解」に関する文章を読んで、内容を正確に理解する。それらの文章に使われる語彙・文法を学習する。さらに、異文化について意見交換をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
6回	**授業テーマ：環境と人間** 授業内容：教科書の「環境と人間」に関する文章を読んで、内容を正確に理解する。それらの文章に使われる語彙・文法を学習する。さらに、環境と人間について意見交換をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
7回	**授業テーマ：IT と情報社会** 授業内容：教科書の「IT と情報社会」の文章を読んで、内容を正確に理解する。それらの文章に使われる語彙・文法を学習する。さらに、IT と情報社会について意見交換をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
8回	**授業テーマ：生物と自然** 授業内容：教科書の「生物と自然」に関する文章を読んで、内容を正確に理解する。それらの文章に使われる語彙・文法を学習する。さらに、生物と自然について意見交換をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

9回	**授業テーマ：心理と哲学** 授業内容：教科書の「心理と哲学」に関する文章を読んで、内容を正確に理解する。それらの文章に使われる語彙・文法を学習する。さらに、心理と哲学について意見交換をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
10回	**授業テーマ：教育と学び** 授業内容：教科書の「教育と学び」に関する文章を読んで、内容を正確に理解する。それらの文章に使われる語彙・文法を学習する。さらに、教育と学びについて意見交換をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
11回	**授業テーマ：報道とマスコミ** 授業内容：教科書の「報道とマスコミ」に関する文章を読んで、内容を正確に理解する。それらの文章に使われる語彙・文法を学習する。さらに、報道とマスコミについて意見交換をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
12回	**授業テーマ：科学と技術** 授業内容：教科書の「科学と技術」に関する文章を読んで、内容を正確に理解する。それらの文章に使われる語彙・文法を学習する。さらに、科学と技術について意見交換をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
13回	**授業テーマ：現代の社会** 授業内容：教科書の「現代の社会」に関する文章を読んで、内容を正確に理解する。それらの文章に使われる語彙・文法を学習する。さらに、現代の社会について意見交換をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
14回	**授業テーマ：余暇と娯楽** 授業内容：教科書の「余暇と娯楽」に関する文章を読んで、内容を正確に理解する。それらの文章に使われる語彙・文法を学習する。さらに、余暇と娯楽について意見交換をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
15回	**授業テーマ：総まとめと振り返り、テストとフィードバック** 授業内容：これまで学習した内容を振り返り、学んだことや気づいたことについてまとめ、グループで意見交換を行う。テストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

キャリアプランニングⅢ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

阿方　由紀枝（あがた　ゆきえ）・**下地　信也**（しもじ　しんや）・**濱﨑　あゆみ**（はまさき　あゆみ）・**門田　薫**（もんでん　かおる）

▌授業の概要

社会で活躍する人材となるため、ジェネリックスキルの成長を目指す授業である。一般企業での就業経験がありキャリアコンサルタントの資格を有する教員が、実務経験とカウンセリングスキルを活かし主体的な学習に導く。この授業では、相手視点で課題解決に取り組み①自分を知る②社会を知る③自分と社会の接点を考えるという過程を、体験と気付きで学ぶ。また、基礎学力向上と就職活動における筆記試験に備えるため、MEIKAI SPI を使用する。

【授業方法】講義

【実務家教員と当該授業科目との関連性】

一般企業での就業経験がありキャリアコンサルタントの資格を有する教員が、実務経験とカウンセリングスキルを活かし、相手視点で課題解決に取り組み、ジェネリックスキル(対人基礎力、対自己基礎力、対課題基礎力)の伸長を目的として、グループワーク及びディスカッションによる主体的な学習を実践している。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：①相手視点を理解した上で課題解決に取り組むことができ、この体験を進路選択において主体的に活用できるようになる。
②ジェネリックスキル (対人基礎力、対自己基礎力、対課題基礎力) を伸ばすための具体的な行動計画を立て実行することができる。

個別目標：【課題解決】①課題を発見することができる②課題に対する適切な解決策を複数挙げることができる③②を実行するための具体的な行動を挙げ実行することができる④①～③について言語化しわかりやすく伝えることができる【自己理解】完成度の高い (採用選考通過を見据えた) 自己 PR を作成できる【目標設定】キャリアプランニングⅡの目標と行動計画を振り返り改善した上で、実行できる行動計画を立案することができる

▌履修条件

必修科目である。キャリア形成科目は、授業の目的上「社会」を基準とした授業ルールを採用している。

▌評価基準・方法

重要課題:40%、学修内容振り返り:40%、自己ＰＲ:10%、MEIKAI SPI 模擬試験 (テストセンター):10%とする。※原則として５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。※成績評価の詳細は、初回授業で説明予定。

▌フィードバック方法

課題のフィードバックは授業で実施する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワークおよびディスカッション・毎回実施）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （インターネットを活用した情報収集や PowerPoint,Word ソフトによる課題の作成・指定授業回）

▌教科書

オリジナル教材を使用。自己 PR の添削にかかる費用として￥3,000(自己負担) を回収する。提出方法や期限については、授業での案内を確認すること。

▌参考書

授業内で随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション (授業の目的・受講ルール・評価方法の理解、社会で求められる力の理解)** 授業内容：この授業の目的・ルール・内容・到達目標について解説し、授業評価と受講ルールについて説明する。 事前学修 2.0hr：シラバス (特に受講ルールについて) を読んで理解し授業に取り組むイメージをする 事後学修 2.0hr：受講ルールや評価方法を読み直し間違いのないように理解する
2回	**授業テーマ：キャリアの理論** 授業内容：キャリアの理論を学び、自分の今後のキャリア形成にどう活用するかを考える。 事前学修 2.0hr：キャリアの理論について、インターネットや書籍で調べておく 事後学修 2.0hr：授業で学修した内容を復習しておく
3回	**授業テーマ：なりたいじぶんととアクションプラン** 授業内容：なりたいじぶんを確認し、近づくために必要なアクションプランを作成する。 事前学修 2.0hr：キャリアプランニングⅡで記録したなりたいじぶんとアクションプランを見直しておく 事後学修 4.0hr：アクションプランを実行できるようにスケジューリングする
4回	**授業テーマ：自己 PR の作成** 授業内容：自分らしさを伝えることのできる自己 PR を、キャリアプランニングの集大成として完成させる。 事前学修 2.0hr：キャリアプランニングⅡで返却された添削済みの自己 PR を確認しておく 事後学修 2.0hr：自己 PR を完成させ提出する
5回	**授業テーマ：ディスカッション実践** 授業内容：キャリアプランニングⅠ、Ⅱで学修した内容を踏まえ、キャリアプランニングの集大成としてグループディスカッションに取り組む。 事前学修 2.0hr：キャリアプランニングⅠ、Ⅱのディスカッション関連の授業について復習しておく 事後学修 2.0hr：授業で実践したグループディスカッションについて、自己評価し改善点を明確にしておく
6回	**授業テーマ：求める人物像** 授業内容：人材採用において重要な求める人物像について、ワークを通じて理解する。 事前学修 2.0hr：企業のホームページや就活サイトで企業の求める人物像を確認しておく 事後学修 2.0hr：気になる企業を見つけ、求める人物像を調べておく
7回	**授業テーマ：企業についてイメージする** 授業内容：企業の情報について整理し、どのような社風・風土なのか、何を求められそうなのかをイメージし言語化する。 事前学修 2.0hr：就活サイトやホームページで企業の情報を収集し整理しておく 事後学修 2.0hr：興味のある企業について、情報収集しイメージしてみる
8回	**授業テーマ：職業についてイメージする** 授業内容：職業の情報について整理し、どんな環境でどんな人達と関わり、何を求められそうなのかをイメージし言語化する。 事前学修 2.0hr：就活サイト等で複数の職業を調べておく 事後学修 2.0hr：興味のある職業について、情報収集しイメージしてみる
9回	**授業テーマ：社会人に学ぶ** 授業内容：社会人の経験や知識から、自分のキャリアについて可能性を広げて感がる。 事前学修 2.0hr：これまで記録してきたなりたいじぶんについて確認しておく 事後学修 2.0hr：今後のキャリアについて言語化し記録しておく

10回	**授業テーマ：ワークバリュー** 授業内容：働く上で大事にしたい価値観を言語化する。 事前学修 2.0hr：これまでに記録した自己理解関連について確認しておく 事後学修 2.0hr：自分のワークバリューを整理して記録しておく
11回	**授業テーマ：自分史を作成する** 授業内容：キャリアプランニングで探索してきた自分について、総まとめとして自分史を作成し伝える。 事前学修 2.0hr：キャリアプランニングにおける自己理解関連の学修を振り返り、記録を確認しておく 事後学修 2.0hr：自分史の記録を完成させ提出する
12回	**授業テーマ：社会との接点を考える** 授業内容：前回まとめた自分史を踏まえ、どのように社会と接点を持つかを言語化し伝える。 事前学修 2.0hr：キャリアプランニングにおける社会理解の学修を振り返り、自分との接点を考えておく 事後学修 2.0hr：自分史に社会との接点を追記し提出する
13回	**授業テーマ：なりたいじぶんとアクションプランの振り返り** 授業内容：なりたいじぶんとアクションプランを見直し、今後の活動について考える。 事前学修 2.0hr：なりたいじぶんとアクションプランの記録を確認しておく 事後学修 2.0hr：今後の活動を具体的にしスケジューリングする
14回	**授業テーマ：キャリアプランニングⅢ授業の振り返り** 授業内容：キャリアプランニングⅠ～Ⅲまでを振り返り、何を学び、気づき、今後のキャリア選択に対する準備ができたのかを言語化し伝える。 事前学修 2.0hr：これまでの授業の資料を見直しておく 事後学修 2.0hr：今後の自分のキャリアを考え言語化し記録しておく
15回	**授業テーマ：自分史の共有と振り返り** 授業内容：作成した自分史をグループとクラスで共有し相互に学び合う。 事前学修 2.0hr：作成した自分史を確認しておく 事後学修 2.0hr：これまでの学修内容と記録を確認し、今後のキャリアに向けた活動を具体的に考え記録する

キャリアプランニングⅢ

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 ｜ 備考：公務員クラス

大道　和夫（おおみち　かずお）

▌授業の概要

本授業では、公務員試験対策に特化した科目の知識を身につける事を目的とする。
公務員は全体の奉仕者として、国民の生活に密着した不可欠なサービスを提供する業務を執行するが、そのために必要な基礎的な知識を修得する事を支援する。後期では、数的処理・社会科学・人文科学は演習問題を使用し解き方を身につけていく。文章理解は基礎から学習していく。オムニバス形式の授業である。
※授業の他、全 15 回の講座を実施する。講座の詳細内容は別途指示する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：前学期で修得した知識を基にして、新たな問題についても自分の力で正解にたどり着ける能力を身につけること。
個別目標：前学期に学習した問題は確実に解くことができ、新たな問題についても自分の力で解くことができるように、予習復習を繰り返す習慣を身につけること。

▌履修条件

必修科目である。
2025 年度前学期開講のキャリアプランニングⅡ (公務員クラス) の単位を取得していること。

▌評価基準・方法

全授業の 4/5 の出席を成績評価の前提とする。本授業だけでなく継続時限で実施する講座も出席することで「授業に出席した」とみなされる。【評価】
授業内で学んだ科目の確認テスト：50 %、指定課題の期限内提出と内容：20 %、定期試験：30 %

▌フィードバック方法

対面授業で実施する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

オリジナル教材を使用。教材費として￥4,700 円(自己負担)を回収する。管理・研究棟 2 階の証紙券売機で￥4,700 の証紙を購入し、第 1 回授業で担当教員に証紙を提出すること。

▌参考書

授業内で随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：数的処理 1 回目** 授業内容：n 進法、濃度算、命題の復習、及び約数と倍数、比 事前学修 2.0hr：n 進法、濃度算、命題の復習、及び約数と倍数、比について予習をする 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする
2回	**授業テーマ：社会科学 1 回目** 授業内容：消費者と生産者の行動、市場と経済厚生 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
3回	**授業テーマ：人文科学 1 回目** 授業内容：世界史(実践)：世界史問題演習(古代、中世、近世、近現代、中国史) 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
4回	**授業テーマ：人文科学 2 回目** 授業内容：日本史(実践)：日本史問題演習(古代、中世、近世、近現代) 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
5回	**授業テーマ：社会科学 2 回目** 授業内容：憲法；統治機構、日本国憲法の特徴 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
6回	**授業テーマ：社会科学 3 回目** 授業内容：選挙制度、国際政治 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
7回	**授業テーマ：人文科学 3 回目** 授業内容：地理(実践)：地理問題演習(自然地理、地誌) 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
8回	**授業テーマ：人文科学 4 回目** 授業内容：人文科学(総まとめ)：世界史、日本史、地理のポイントチェック、人文科学後期確認テスト 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
9回	**授業テーマ：文章理解 1 回目** 授業内容：文章理解解き方のポイント 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
10回	**授業テーマ：社会科学 4 回目** 授業内容：社会：環境・医療問題、科学技術、文化等 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく

11回	**授業テーマ：社会科学 5 回目** 授業内容：補足、まとめ、問題演習①、問題演習②、社会科学後期確認テスト 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
12回	**授業テーマ：数的処理 2 回目** 授業内容：場合の数、確率の復習、及び集合、試合の勝敗 事前学修 2.0hr：場合の数、確率の復習、及び集合、試合の勝敗について予習をする 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする
13回	**授業テーマ：数的処理 3 回目** 授業内容：速さ、仕事算の復習、及び軌跡、一筆書き 事前学修 2.0hr：速さ、仕事算の復習、及び軌跡、一筆書きについて予習をする 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする
14回	**授業テーマ：数的処理 4 回目** 授業内容：推論、損益算、暗号の復習、及び積み木、切断面 事前学修 2.0hr：推論、損益算、暗号の復習、及び積み木、切断面について予習をする 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする
15回	**授業テーマ：数的処理 5 回目** 授業内容：サイコロ、図形、展開図の復習、及び資料解釈/数的処理後期の確認テスト 事前学修 2.0hr：サイコロ、図形、展開図、資料解釈について予習をする 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする。

キャリアプランニングⅢ

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後 ｜ 備考：留学生クラス

髙橋　亜里沙（たかはし　ありさ）・**範　弘宇**（はん　こうう）・**林　苗**（りん　みょう）

▌授業の概要

キャリアプランニングは仕事など社会生活を営むうえで必要な「ジェネリックスキル」の一つであるコミュニケーション能力を育成する。
キャリアプランニングⅢでは、日本社会で成果をあげるためにビジネス日本語について学習する。授業外に事前学修、事後学修、課題がある。小テストはほぼ毎回、授業内に行う。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：日本社会、文化的な背景、心理的な状況を理解したうえで、ビジネス上の課題に対して適切に対応する力を育成する。限られたビジネス場面で日本語による適切なコミュニケーションができる。
個別目標：(1) 標準的な日本語で話されれば、社内で行われる議論等で担当領域の議論の流れを理解することができる。
(2) 担当領域の文書や記事、メールを読み解くことができる。
(3) 担当領域に関連するテーマについて、多様な選択肢の利点や不利な点を示しながら主張することができる。
(4) 担当領域に関する事柄を詳細に書くことができる。
(5) 自身の考えの根拠を示しながら説明する文章を書くことができる。

▌履修条件

留学生クラスである。
日本語能力を測る資格試験、ビジネス日本語能力を測る資格試験を受験する。
授業活動に積極的に参加する。
課題の提出日を守る。
授業外の講座、模擬試験等に積極的に参加する。

▌評価基準・方法

資格試験 40%、課題提出 20%、テスト 20%、講座 10%、授業外模擬試験 10%で評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba および対面授業を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワークで他者と協働する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （毎回 manaba、respon を使用する（スマートフォン対応可）。）

▌教科書

木山三佳・田川麻央『学生・留学生のためのキャリアプランニング』実教出版

▌参考書

授業の中で随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、事前テスト** 授業内容：ビジネスで必要な日本語能力とはどのようなものかを確認する。そのうえで、現時点でどの程度のビジネス日本語能力があるのか事前テストで測る。テストの成績をもとに、どのように能力を伸ばしていくか計画を立てる。 事前学修 2.0hr：BJT ビジネス日本語能力テストについて調べる。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
2回	**授業テーマ：就職活動** 授業内容：就職活動では選考の材料となる提出書類の作成や面接試験など重要なことがある。その中で、エントリーシートなどの書類の書き方、面接時の話し方を学ぶ。また、これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
3回	**授業テーマ：入社** 授業内容：入社後、新入社員は初対面の人とコミュニケーションをとる機会が多い。その一つとして自己紹介があり、話を聞いた人が記憶に残る一言が言えるよう練習する。また、これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
4回	**授業テーマ：基本的な業務** 授業内容：基本的な業務の一つとして伝言を取り上げる。また、稟議についても学ぶ。稟議は、社内で物品を購入するときなどに説明を書類に書いて、承認を受けることで一連の流れを学習する。また、これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
5回	**授業テーマ：報告** 授業内容：上司や先輩、同僚への報告を取り上げる。仕事は同じ目標を持つ人々とうまく連携できるよう、わかりやすく伝えられるよう学習する。これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
6回	**授業テーマ：謝罪** 授業内容：謝罪について取り上げる。仕事でミスがあったときに早い段階で上司に正確に事実を報告し、素直に謝罪できるよう学習する。また、これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
7回	**授業テーマ：インターンシップの受け入れ** 授業内容：インターンシップの受け入れ側の仕事について取り上げる。会社側の立場になって自社を紹介し、業務や職種を理解してもらうとともに、さまざまなリスク管理について学ぶ。また、これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

8回	**授業テーマ：会議の準備** 授業内容：会議の準備においては、会場の予約、機器の設置、会議議題の決定、前回の議事録の作成など、様々な資料を作成、配布する、欠席者への対応など一連の業務を学ぶ。また、これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
9回	**授業テーマ：会議** 授業内容：会議では、各種の報告と意志決定をおこなう審議が行われる。議長の指示に従い、発言したり反対意見を述べたりする。意見の述べ方、議事録の作成など一連のやりとりを学習する。これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
10回	**授業テーマ：取引** 授業内容：取引について取り上げる。良い関係を築くコミュニケーションを基本とし、正確な情報のやり取りを行う。不明な点がないように、お互いの話を引用した形で質問するなどの工夫も学習する。また、これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
11回	**授業テーマ：苦情** 授業内容：苦情について取り上げる。苦情の対応を誤ると大きな問題に発展することもあり、より良いコミュニケーションが求められるためその対応方法を学習する。また、関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
12回	**授業テーマ：商談** 授業内容：商談について取り上げる。相手に必要な情報を正確に伝えるとともに、相談や注文を受けた時の対応の仕方、不明慮な点があるときの聞き返しなどを学習する。また、関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
13回	**授業テーマ：社会貢献** 授業内容：企業が果たすべき社会的責任について学ぶ。社会貢献としてさまざまな活動を行うときに必要なコミュニケーションについて学習する。また、関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
14回	**授業テーマ：実力判定テスト、フィードバック** 授業内容：これまで学習した内容が身に付いたかどうか実力判定テストで測る。テストの結果より得られた強み、弱みをもとに学習を振り返る。また教師からもフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
15回	**授業テーマ：コース全体をふりかえり、改善点をみつける** 授業内容：コースの目標とこれまでの活動を照らし合わせて学習を振り返り、自身のビジネス日本語能力を的確に分析する。就職に向けて活動計画を立てる。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

キャリアデザイン

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 3 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通

阿方　由紀枝（あがた　ゆきえ）・**下地　信也**（しもじ　しんや）・**濱﨑　あゆみ**（はまさき　あゆみ）・**門田　薫**（もんでん　かおる）

▌授業の概要

一般企業での就業経験があり、キャリアコンサルタントの資格を有する教員が、実務経験を活かし就職活動において主体的に行動できることを目的として支援する。受講生が納得のいく進路を決定するために就職活動の準備をする。事前準備(企業・仕事研究、自己 PR・志望動機作成)と実践及び振り返りにより改善を重ね就活力を伸ばす。

【授業方法】講義

【実務家教員と当該授業科目との関連性】

一般企業での就業経験があり、キャリアコンサルタントの資格を有する教員が、実務経験を活かし、就職活動において主体的に行動できることを目的として、情報の収集や分析、計画立案及び振り返り等、就職活動に活用できる知識を与える。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：この授業の目的は、就職活動を乗り越え社会で活躍する人材となるために必要な力とスキルを伸ばすことである。キャリアデザインでは、就職活動準備を就職スキルの向上に焦点をあてる。また、日頃から意識できるよう「社会」を基準とした授業ルールを採用している。

個別目標：【企業・仕事研究】キャリアプランニングの学修を活用し就職活動における企業選択に十分な情報収集・分析をする【自己 PR】自分の強みと裏付けるエピソードを選考通過レベルで準備する【志望動機】企業・仕事研究で得た情報と自己 PR をつなげ入社後どう貢献できるかを伝えられる【グループディスカッション・面接】選考通過レベルのスキルを身に付ける【インターンシップ】インターンシップに参加し早期選考につなげる

▌履修条件

2 年生修了時に、60 単位以上取得していること(就職活動にある程度の時間が割ける状態)が望ましい。

留学生については、日本語能力試験で N1 を取得しており、MGO 留学生プログラムの要件を満たしていること。

▌評価基準・方法

重要課題:30%、学修内容振り返り:30%、インターンシップ参加：30%、MEIKAI SPI の模擬試験 (テストセンター):10% ※それ以外に、就活コーチとの面談実施・OBOG セミナー参加・学内業界研究セミナー参加を単位認定要件とする。また、原則として５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。詳細については第 2 回授業で説明する。

▌フィードバック方法

課題のフィードバックは授業で実施する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワークおよびディスカッション・毎回実施）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （インターネットを活用した情報収集や課題の作成・指定授業回）

▌教科書

オリジナル教材を使用。適職診断テスト受検の費用として￥6,000(自己負担) を回収する。提出方法や期限については、授業での案内を確認すること。

▌参考書

授業内で随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション(履修登録のルールを理解し正しく手続きする)** 授業内容：この授業の目的・ルール・内容・到達目標について解説し、授業評価と受講ルールについて説明する。 事前学修 2.0hr：シラバスを読み理解しておく 事後学修 2.0hr：資料を読み返し正しく履修登録の手続きをする	16回	**授業テーマ：PROG 受験** 授業内容：社会で求められる基礎力を測り、自分の強みを認識するという目的を理解し正しく PROG を受験する。 事前学修 2.0hr：1 年生で受験した PROG の結果を見直しておく 事後学修 2.0hr：ジェネリックスキルについて再確認しておく
2回	**授業テーマ：就活スケジュールと準備確認** 授業内容：就活スケジュール (カードゲームを実施予定) と必要な準備を確認する。 事前学修 2.0hr：就職活動の流れについて調べておく 事後学修 2.0hr：就活サイトで企業情報を見ておく	17回	**授業テーマ：コーチ支援に関する授業** 授業内容：就活コーチの支援を受ける手続き (求人 NAVI) を理解し実践する。 事前学修 2.0hr：求人 NAVI で就活に関する情報を確認する 事後学修 2.0hr：就活コーチの面談予約を確認しスケジュールに入れる
3回	**授業テーマ：就活サイトの使い方** 授業内容：就職活動において情報源となる就活サイトの使い方を説明し活用してみる。 事前学修 2.0hr：就活サイトで企業検索をしておく 事後学修 2.0hr：就活サイトで企業情報を検索し、イベント等の予約をしてみる	18回	**授業テーマ：オープンカンパニーを振り返る** 授業内容：参加したオープンカンパニーを振り返り経験について言語化する。 事前学修 2.0hr：オープンカンパニーを振り返る準備をしておく 事後学修 2.0hr：授業の内容を踏まえ、選考を受ける企業を検討する
4回	**授業テーマ：なりいたいじぶんとアクションプラン** 授業内容：就職活動におけるアクションプランを作成する。 事前学修 2.0hr：記録したなりたいじぶんとアクションプランを確認しておく 事後学修 2.0hr：就職活動におけるアクションプランをスケジューリングする	19回	**授業テーマ：就活の軸を言語化する** 授業内容：これまでの就職活動で得た経験を振り返り就活の軸を再検討する。 事前学修 2.0hr：就職活動の状況を共有できるよう準備しておく 事後学修 2.0hr：就活の軸を使い就活サイト等で選考を受ける企業を選ぶ
5回	**授業テーマ：応募準備：ガクチカ作成** 授業内容：キャリアプランニングで作成と改善を重ねてきた自己 PR を確認しガクチカを作成する。 事前学修 2.0hr：キャリアプランニングで作成した自己 PR をすべて見直しておく 事後学修 2.0hr：明海大学の履歴書に合わせて自己 PR とガクチカを完成させる	20回	**授業テーマ：PROG 結果活用** 授業内容：PROG の結果を参考に自分の強みを確認し、企業選択につなげる。また、1 年次より伸びた力やその要因について考える。 事前学修 2.0hr：PROG の結果を確認しジェネリックスキルを再確認しておく 事後学修 2.0hr：PROG の結果から自分の強みを確認し、紐づく経験を記録しておく
6回	**授業テーマ：応募準備：志望動機作成** 授業内容：自己 PR・ガクチカとつながりを意識して志望動機を書いてみる。 事前学修 2.0hr：志望動機の書き方について情報収集しておく 事後学修 2.0hr：明海大学の履歴書に合わせて志望動機を作成してみる	21回	**授業テーマ：就活進度別選考準備 (グループディスカッション)** 授業内容：本選考を見据え、グループディスカッションに取り組む。 事前学修 2.0hr：これまでに取り組んだグループディスカッションを振り返っておく 事後学修 2.0hr：グループディスカッションを振り返り改善点を明確にしておく
7回	**授業テーマ：R-CAP 結果解説** 授業内容：R-CAP の結果を正しく理解し就職活動への活用法を知る。 事前学修 2.0hr：PROG の結果を読み直し自己理解を深めておく 事後学修 2.0hr：R-CAP の結果をあらためて読み自分について言語化しておく	22回	**授業テーマ：就活進度別選考準備 (面接)** 授業内容：本選考を見据え、面接練習に取り組む。 事前学修 2.0hr：自己 PR やガクチカ、志望動機を伝えられるようにしておく 事後学修 2.0hr：授業で実践した面接練習を振り返り、改善点を整理しておく
8回	**授業テーマ：フセンゲーム** 授業内容：ジョブカタログの言葉と KJ 法を使い、自分の就活の軸を言語化する。 事前学修 2.0hr：これまでの授業を振り返り就活の軸を言語化しておく 事後学修 2.0hr：授業のワークを参考に就活の軸を再検討する	23回	**授業テーマ：OBOG セミナー参加準備** 授業内容：OBOG セミナーの目的や概要、必要な事前準備について理解する。 事前学修 2.0hr：OBOG セミナー参加予定企業について調べておく 事後学修 2.0hr：OBOG セミナー当日の動き方を検討する

9回	**授業テーマ：オープンカンパニーの選び方** 授業内容：オープンカンパニーの選択基準を考え実践する。 事前学修 2.0hr：就活サイトや企業のホームページで企業情報を収集する 事後学修 2.0hr：授業で得たアドバイスを活用しオープンカンパニーの情報を探し企業研究する	24回	**授業テーマ：OBOG セミナー参加** 授業内容：OBOG が参加する企業の説明を聞き、企業や仕事の理解を深める。 事前学修 2.0hr：身だしなみを整え OBOG セミナーに参加する企業について調べる 事後学修 2.0hr：OBOG セミナーで得た情報や気づきを振り返る
10回	**授業テーマ：グループディスカッション実践** 授業内容：グループディスカッションの練習をする。 事前学修 2.0hr：キャリアプランニングで学修した内容を復習しておく 事後学修 2.0hr：グループディスカッションを振り返り課題を明確にしておく	25回	**授業テーマ：OBOG セミナーの振り返り** 授業内容：OBOG セミナーで得られたことを言語化し、事前準備が妥当であったかを振り返る。 事前学修 2.0hr：OBOG セミナーで得た情報や気づきを振り返る 事後学修 2.0hr：企業や仕事について知りたいことを整理しておく
11回	**授業テーマ：オープンカンパニー参加体験** 授業内容：オープンカンパニーを模擬体験し参加する実感を持つ。また、選考準備の改善点を整理する。 事前学修 2.0hr：就活サイト等でオープンカンパニーのプログラムについて調べる 事後学修 2.0hr：就活サイト等でオープンカンパニーの情報を収集しエントリーする	26回	**授業テーマ：面接練習 (1) 会話のキャッチボール** 授業内容：採用選考に向けて企業の意図を理解し、会話のキャッチボールを意識して面接練習する。 事前学修 2.0hr：自己 PR・ガクチカ・志望動機など、応募書類の内容を確認しておく 事後学修 2.0hr：面接練習で改善が必要な点を明確にする
12回	**授業テーマ：先輩(内定した４年生)に学ぶ** 授業内容：パネルディスカッション形式で先輩の体験談を聞き就職活動の参考にする。 事前学修 2.0hr：これまでの就職活動を振り返り悩みや疑問を言語化しておく 事後学修 2.0hr：授業での学修をヒントにし今後の行動計画を立てる	27回	**授業テーマ：面接練習 (2) 自己 PR と志望動機** 授業内容：前回の面接練習を踏まえ改善すべき点を意識しながら、自己 PR と志望動機を伝える練習をする 事前学修 2.0hr：自己 PR・ガクチカ・志望動機など、応募書類の内容を確認しておく 事後学修 2.0hr：面接練習を振り返り、改善点を解決しておく
13回	**授業テーマ：仕事研究セミナー振り返り** 授業内容：仕事研究セミナーで収集した情報と自分の強みを照らし合わせ、マッチングポイントを考える。 事前学修 2.0hr：仕事研究セミナーを振り返り、情報を整理しておく 事後学修 2.0hr：仕事研究セミナーで経験を踏まえ、今後の就職活動を検討する	28回	**授業テーマ：面接練習 (3) 同窓生と模擬面接** 授業内容：社会人の代表として同窓生をゲストとして迎え、模擬面接を実践する。 事前学修 2.0hr：前回の面接練習で見つけた自分の改善点を意識しておく 事後学修 2.0hr：面接で伝える内容を準備し、自主的に伝える練習をする
14回	**授業テーマ：就職活動となりたいじぶんとアクションプラン** 授業内容：就職活動の現状を整理し、なりたいじぶんとアクションプランを見直す。 事前学修 2.0hr：なりたいじぶんとアクションプランを確認しここまでの就職活動を整理しておく 事後学修 2.0hr：今後の就職活動についてアクションプランをスケジューリングする	29回	**授業テーマ：就活進度別選考準備 (課題別編)** 授業内容：グループディスカッション、面接、応募書類など、採用選考において準備が必要な面をトレーニングする。 事前学修 2.0hr：自分の選考における課題を確認しておく 事後学修 2.0hr：授業での練習を踏まえ、さらに選考準備を進める
15回	**授業テーマ：夏季休暇の活動計画立案** 授業内容：夏季休暇中に取り組む、就職活動について具体的にしておく 事前学修 2.0hr：夏季休暇中の就職活動計画を整理しておく 事後学修 2.0hr：授業で検討した内容を夏季休暇中の就職活動計画に反映させる	30回	**授業テーマ：就職活動振り返りと今後の行動計画立案** 授業内容：今後の就活において、改善点や具体的な行動について言語化し伝え合う。 事前学修 2.0hr：就職活動の進捗を整理し伝えられるように準備する 事後学修 2.0hr：授業で明確になった現状を見直し今後の計画を再確認する

キャリアデザイン

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 3 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：公務員クラス

大道　和夫（おおみち　かずお）

▌授業の概要

本授業では、2 年次に学習した知識をもとに、公務員試験の多くの過去問を解くことにより、実戦力を身につけることを目的とする。
公務員試験においては、過去に出題した問題を、視点を少し変えて再度出題することが多いので、形式に惑わされないように過去問を丁寧に検討することにより、柔軟な対応力を修得する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：2 年次に身につけた知識をもとにして、様々な問題について、正誤を正しく判断できる能力を獲得すること。
個別目標：①不得意科目を克服すること。
②新しく加わる科目の自然科学・論文・面接の知識を身につけること。特に論文は、過去に出題された課題で出来るだけたくさん書いてみること。

▌履修条件

選択科目である。2024 年度キャリアプランニングⅡ・Ⅲ (公務員クラス) の単位を取得していること。

▌評価基準・方法

全授業の 4/5 の出席を成績評価の前提とする。本授業だけでなく継続時限で実施する講座も出席することで「授業に出席した」とみなされる。【評価】
授業内で学んだ科目の確認テスト：50 %、指定課題の期限内提出と内容：20 %、定期試験：30 %

▌フィードバック方法

授業内と学習支援システム manaba で実施。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

オリジナル教材を使用。教材費として前学期￥6,900・後学期￥8,700 を自己負担として回収する。それぞれ第 1 回授業で担当教員に証紙を提出すること。管理・研究棟 2 階の証紙券売機で購入すること。

▌参考書

授業内で随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：人文科学 1 回目** 授業内容：ガイダンス(試験内容の確認、合格に向けて取り組むべきこと)、人文科学：世界史の問題演習と解説講義 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく	16回	**授業テーマ：数的処理_後学期 1 回目** 授業内容：整数問題、不定方程式・場合の数、経路計算、速度計算 1 事前学修 2.0hr：整数、自然数、無理数、場合の数、速度の計算について予習する 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする
2回	**授業テーマ：自然科学 1 回目** 授業内容：ガイダンス・自然科学(地学) 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく	17回	**授業テーマ：自然科学_後学期 1 回** 授業内容：自然科学(生物)(数学)(物理)配布教材を使用して必要単元の演習と解説講義をする 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
3回	**授業テーマ：自然科学 2 回目** 授業内容：自然科学(数学)(生物)配布教材を使用して必要単元の演習と解説講義をする 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく	18回	**授業テーマ：自然科学_後学期 2 回目** 授業内容：自然科学(生物)(化学)配布教材を使用して必要単元の演習と解説講義をする/自然科学後学期確認テスト 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
4回	**授業テーマ：自然科学 3 回目** 授業内容：自然科学(化学)(物理)配布教材を使用して必要単元の演習と解説講義をする/自然科学前期確認テスト 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく	19回	**授業テーマ：社会科学_後学期 1 回目** 授業内容：民主政治の基本原則・選挙制度、費用曲線と供給曲線の導出・余剰分析 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
5回	**授業テーマ：社会科学 1 回目** 授業内容：行政国家に対する統制・選挙制度、市場全体の需要供給曲線と資源配分の最適化・不完全競争市場 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく	20回	**授業テーマ：時事_後学期 1 回目** 授業内容：社会で起こった出来事について学習する 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
6回	**授業テーマ：人文科学 2 回目** 授業内容：日本史の問題演習と解説講義 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく	21回	**授業テーマ：面接・論文_後学期 1 回目** 授業内容：前学期の授業内容を踏まえ、取り組みやすい課題を取り上げ、本試験に向けて論文作成を行う。また、公務員試験の面接について最新の情報をもとに、模擬面接(個人)を実施する。 事前学修 2.0hr：面接・論文試験について調べておく 事後学修 2.0hr：授業で習ったことをまとめて活用できるように整理しておく
7回	**授業テーマ：社会科学 2 回目** 授業内容：日本の戦後政治史・国際法と国際関係、財政・金融政策 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく	22回	**授業テーマ：社会科学_後学期 2 回目** 授業内容：主要国の政治制度・国際法と国際機関、国際貿易の基礎理論・財政政策と金融政策 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
8回	**授業テーマ：面接・論文 1 回目** 授業内容：論文 1 回目(基礎編)公務員試験の論文と最近の試験傾向などの説明 面接 1 回目(基礎編)公務員試験の面接と最近の試験傾向などの説明 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく	23回	**授業テーマ：社会科学_後学期 3 回目** 授業内容：日本国憲法が保障する人権・日本の統治制度、国際経済協力・戦後日本経済史・社会科学後期確認テスト 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく

9回	**授業テーマ：文章理解 1 回目** 授業内容：現代文・英文それぞれの解き方やより実践的な問題の解き方等 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく	24回	**授業テーマ：面接・論文_後学期 2 回目** 授業内容：論文：より発展的な課題を取り上げ、本試験に向けて実践的な授業を行う。 面接：１回目の授業を基に、模擬面接(個人及び集団)を行う。 事前学修 2.0hr：前回の面接・論文の授業で学んだ内容について復習しておく 事後学修 2.0hr：授業で習ったことをまとめて活用できるように整理しておく
10回	**授業テーマ：人文科学 3 回目** 授業内容：地理の問題演習と解説講義/人文科学前学期確認テスト 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく	25回	**授業テーマ：時事_後学期 2 回目** 授業内容：時事試験対策テキストに沿って解説授業を行う。 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
11回	**授業テーマ：社会科学 3 回目** 授業内容：日本国憲法の仕組み、戦後の日本の経済事情・社会科学前学期確認テスト 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく	26回	**授業テーマ：数的処理_後学期 2 回目** 授業内容：速度計算 2、ニュートン算、濃度計算、論理、ベン図の作成、線分図など 事前学修 2.0hr：速度計算 2、ニュートン算、濃度計算、論理、ベン図の作成、線分図について予習する 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする
12回	**授業テーマ：数的処理 1 回目** 授業内容：整数の性質、濃度計算・割合、速さの考え方 事前学修 2.0hr：整数の性質、濃度計算・割合、速さの考え方について予習する 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする	27回	**授業テーマ：数的処理_後学期 3 回目** 授業内容：対応、試合、順序、位置関係の問題など 事前学修 2.0hr：対応、試合、順序、位置関係の問題について予習する 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする
13回	**授業テーマ：数的処理 2 回目** 授業内容：速度計算、場合の数・確率、図形の性質 事前学修 2.0hr：速度計算、場合の数・確率、図形の性質について予習する 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする	28回	**授業テーマ：数的処理 4 回目** 授業内容：図形、求積の問題、空間把握のパズル、回転体の考え方など 事前学修 2.0hr：図形、求積の問題、空間把握のパズル、回転体の考え方について予習する 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする
14回	**授業テーマ：数的処理 3 回目** 授業内容：順序、論理、対応、試合の問題など 事前学修 2.0hr：順序、論理、対応、試合の問題について予習する 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする	29回	**授業テーマ：数的処理 5 回目** 授業内容：立体構成、展開図の問題、資料解釈など、後学期数的処理の確認テスト 事前学修 2.0hr：立体構成、展開図、資料解釈について予習する 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする
15回	**授業テーマ：数的処理 4 回目** 授業内容：真偽、位置関係の問題、空間把握の問題/前学期数的処理の確認テスト 事前学修 2.0hr：真偽、位置関係、空間把握について予習する 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする	30回	**授業テーマ：模擬試験** 授業内容：本番を意識した模擬試験を行う。 事前学修 2.0hr：各科目のまとめをしておく 事後学修 2.0hr：自己採点をもとに試験に向けて学習計画を立てておく

キャリアデザイン

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 3 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：留学生クラス

範　弘宇（はん　こうう）

▌授業の概要

キャリアデザインでは、就職活動及び就職後に必要な日本語能力を育成する。具体的には、日本の企業文化の理解を深めるとともに、ビジネス場面で求められる日本語表現やビジネスマナー、日本のしきたりなどを幅広く学ぶ。さらに、ビジネス文書の書き方、ビジネス場面の会話に使われる語彙と表現を学ぶ。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：就職活動を乗り切り、社会で活躍する人材となるために必要な日本語能力を習得する。

個別目標：(1) 日本のビジネスマナーやコミュニケーションに関する知識があり、状況に応じた適切な語彙・表現が支障なく使うことができる。
(2) 相手の発言に言葉どおりではない意図が暗示されている場合、その意図を的確に察知し、適切な対応をとることができる。
(3) 一般的な社内文書、ビジネス文書、および手紙やメールなどの文章を、それぞれの形式に則って書くことができる。
(4) ビジネス場面での文書による報告を、的確な情報を選択し、論理的な構成で、かつ簡潔な文章で書くことができる。

▌履修条件

・留学生を対象とするクラスである。
・課題の提出期限を守る。
・資格試験を積極的に受験する。

▌評価基準・方法

課題提出 40%、テスト 30%、資格取得 30%で評価する。
また、原則として 5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba 及び対面授業を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （反転授業、ロールプレイ、ペアワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （manaba、respon を使用する（スマートフォン対応可））

▌教科書

羽鳥美由紀『日本で働くための本　就活生から社会人まで』アスク出版
村野節子、向山陽子、山辺真理子『タスクで学ぶ日本語ビジネスメール・ビジネス文書』スリーエーネットワーク

▌参考書

白崎佐夜子『8 の基本ルールで学ぶ外国人のための仕事のメールの書き方』スリーエーネットワーク
ビジネス総合研究会『しっかり役立つビジネス文書実例集』法研
村野節子、山辺真理子、向山陽子『ロールプレイで学ぶビジネス日本語』スリーエーネットワーク

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、事前テスト、仕事中の心得** 授業内容：授業の概要と目的、学習の進め方、評価について理解する。そのうえで事前テストを受ける。学生と社会人との違い、就業時間に関するルールを理解する。遅刻・早退・欠勤の際のすべきことを学び、ロールプレイで応用練習をする。様々な事例から問題点と対応方法を考える。 事前学修 2.0hr：シラバスを読み、この授業について理解しておく。 事後学修 2.0hr：確認クイズを行う。	16回	**授業テーマ：前学期の復習、ビジネスメールの基本** 授業内容：前学期に学習したビジネス場面で求められる日本語表現やビジネスマナーの復習テストとフィードバックを受ける。社内メールと社外メールの違いを理解する。ビジネスメールの構成、基本マナー、よく使う表現を学び、状況に応じたメールを作成する。 事前学修 2.0hr：ビジネスメールで役に立つ表現の意味と使い方を調べておく。 事後学修 2.0hr：問題と解答例を見て、語彙・表現を理解し、覚える。
2回	**授業テーマ：仕事中の態度** 授業内容：話し方と聞き方、指示の受け方、依頼と謝罪の仕方を理解する。依頼と謝罪をする表現、依頼を断る表現を学び、ロールプレイで応用練習をする。様々な事例から問題点と対応方法を考える。 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を読み、わからない言葉を調べておく。 事後学修 2.0hr：確認クイズを行う。	17回	**授業テーマ：ビジネス文書の基本** 授業内容：社内文章と社外文章の違い、それぞれの種類と特徴を理解する。様々な種類のビジネス文書を読み、構成、書式、表現の共通点と相違点を学ぶ。ビジネス文書の目的、対象者、内容に応じた適切な構成、基本マナー、よく使う表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：ビジネス文書で役に立つ表現の意味と使い方を調べておく。 事後学修 2.0hr：問題と解答例を見て、語彙・表現を理解し、覚える。
3回	**授業テーマ：仕事中の進め方** 授業内容：情報共有の意義、仕事の優先順位のつけ方、情報管理の注意点を理解する。報告する際に、話の組み立て方、効果的な伝え方と表現を学び、ロールプレイで応用練習をする。様々な事例から問題点と対応方法を考える。 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を読み、わからない言葉を調べておく。 事後学修 2.0hr：確認クイズを行う。	18回	**授業テーマ：お知らせ(社内)** 授業内容：社内お知らせメールの作成のポイント、お知らせへの返信メールのポイントを理解する。社内お知らせメールの構成、書式、表現を学び、新入社員歓迎会のお知らせメールを作成する。届いたお知らせメールの返信を作成する。ペアワークで作成したメールをチェックし合い、修正する。 事前学修 2.0hr：「役に立つ表現」を読み、練習問題を解く。 事後学修 2.0hr：問題と解答例を見て、語彙・表現を理解し、覚える。
4回	**授業テーマ：人間関係** 授業内容：会社での上下関係、ハラスメントの種類と対処法を理解する。上司や先輩とのつき合い方と注意点、敬語の種類と使い分けを学び、ロールプレイで応用練習をする。様々な事例から問題点と対応方法を考える。 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を読み、わからない言葉を調べておく。 事後学修 2.0hr：確認クイズを行う。	19回	**授業テーマ：お知らせ(社外)** 授業内容：社外お知らせメールの作成のポイント、お知らせへの返信メールのポイントを理解する。社外お知らせメールの構成、書式、表現を学び、展示会のお知らせメールを作成する。展示会のお知らせへの返信・転送メールを作成する。ペアワークで作成したメールをチェックし合い、修正する。 事前学修 2.0hr：「役に立つ表現」を読み、練習問題を解く。 事後学修 2.0hr：問題と解答例を見て、語彙・表現を理解し、覚える。
5回	**授業テーマ：第一印象の大切さ、名刺交換** 授業内容：身だしなみのポイント、あいさつの基本、おじぎの基本と種類を理解する。名刺交換の基本と仕方を学び、ロールプレイで応用練習をする。様々な事例から問題点と対応方法を考える。 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を読み、わからない言葉を調べておく。 事後学修 2.0hr：確認クイズを行う。	20回	**授業テーマ：お礼(社外)、日報(社内)** 授業内容：お礼メールの作成のポイントを理解し、展示会への来訪のお礼メールを作成する。日報の構成、書式、表現を学び、営業日報を具体的な内容で作成する。ペアワークで作成した営業日報をチェックし合い、修正する。 事前学修 2.0hr：「役に立つ表現」を読み、練習問題を解く。 事後学修 2.0hr：問題と解答例を見て、語彙・表現を理解し、覚える。

6回	**授業テーマ：立ち居ふるまい、来客対応** 授業内容：美しい立ち居ふるまいの基本、物の受け渡し、ドアの開閉の基本を理解する。会議室、車、エレベーターなどの席次の基本、案内・お茶出しの流れと仕方を学び、ロールプレイで応用練習をする。様々な事例から問題点と対応方法を考える。 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を読み、わからない言葉を調べておく。 事後学修 2.0hr：確認クイズを行う。	21回	**授業テーマ：送付依頼** 授業内容：送付依頼メールの作成のポイント、送付依頼への返信メールのポイントを理解し、送付依頼メールと返信メールを作成する。発注と受注の違い、それぞれのポイントを理解し、発注メールを作成する。ペアワークで作成したメールをチェックし合い、修正する。 事前学修 2.0hr：「役に立つ表現」を読み、練習問題を解く。 事後学修 2.0hr：問題と解答例を見て、語彙・表現を理解し、覚える。
7回	**授業テーマ：企業訪問** 授業内容：企業訪問時の流れ、訪問・社外打ち合わせをする前に準備すべきことを理解する。訪問時の上司・取引先担当者の紹介の仕方を学び、ロールプレイで応用練習をする。様々な事例から問題点と対応方法を考える。 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を読み、わからない言葉を調べておく。 事後学修 2.0hr：確認クイズを行う。	22回	**授業テーマ：納期延長依頼** 授業内容：納期延長依頼メールの作成のポイント、納期延長依頼への返信メールのポイントを理解し、納期延長依頼メールと返信メールを作成する。代金振込通知メールの作成のポイントを理解し、通知メールを作成する。ペアワークで作成したメールをチェックし合い、修正する。 事前学修 2.0hr：「役に立つ表現」を読み、練習問題を解く。 事後学修 2.0hr：問題と解答例を見て、語彙・表現を理解し、覚える。
8回	**授業テーマ：電話対応** 授業内容：電話対応の基本、携帯電話のマナーを理解する。電話の受け方・かけ方の基本の流れ、取り次ぎ・用件伝達の表現を学び、ロールプレイで応用練習をする。様々な事例から問題点と対応方法を考える。 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を読み、わからない言葉を調べておく。 事後学修 2.0hr：確認クイズを行う。	23回	**授業テーマ：照会(在庫)** 授業内容：在庫照会メールの作成のポイント、在庫照会への回答メールのポイントを理解する。在庫照会メールと回答メールを作成する。ペアワークで作成したメールをチェックし合い、修正する。 事前学修 2.0hr：「役に立つ表現」を読み、練習問題を解く。 事後学修 2.0hr：問題と解答例を見て、語彙・表現を理解し、覚える。
9回	**授業テーマ：会議** 授業内容：会議の準備とマナー、プレゼンテーションの流れとテクニックを理解する。会議における意見・提案の方法と表現を学び、ロールプレイで応用練習をする。様々な事例から問題点と対応方法を考える。 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を読み、わからない言葉を調べておく。 事後学修 2.0hr：確認クイズを行う。	24回	**授業テーマ：照会(商品未着・数量不足)** 授業内容：問い合わせメールとお詫びメールの作成のポイントを理解する。商品未着についての問い合わせメールと商品未着のお詫びメールを作成する。納品と納入の違いを理解し、納品数量の照会メールと数量不足のお詫びメールを作成する。ペアワークで作成したメールをチェックし合い、修正する。 事前学修 2.0hr：「役に立つ表現」を読み、練習問題を解く。 事後学修 2.0hr：問題と解答例を見て、語彙・表現を理解し、覚える。
10回	**授業テーマ：ビジネスメール、ビジネス文書** 授業内容：ビジネスメールのマナー、ビジネス文書の種類とルールを理解する。メール・文書の基本構成、よく使う表現を学び、メール作成の応用練習をする。様々な事例から問題点と対応方法を考える。 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を読み、わからない言葉を調べておく。 事後学修 2.0hr：確認クイズを行う。	25回	**授業テーマ：社内会議１(クレームを受ける)** 授業内容：議事録の構成、書式、表現を学び、議事録を具体的な内容で作成する。ペアワークで作成した議事録をチェックし合い、修正する。議事録の送付メールを作成する。 事前学修 2.0hr：「役に立つ表現」を読み、練習問題を解く。 事後学修 2.0hr：問題と解答例を見て、語彙・表現を理解し、覚える。
11回	**授業テーマ：異文化理解、食事のマナー** 授業内容：日本の察しの文化、パーソナルスペース、朝礼・研修制度を理解する。和食の基本マナーを理解し、箸の使い方、乾杯時に使う表現を学び、ロールプレイで応用練習をする。様々な事例から問題点と対応方法を考える。 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を読み、わからない言葉を調べておく。 事後学修 2.0hr：確認クイズを行う。	26回	**授業テーマ：依頼(セミナーの講師)** 授業内容：依頼メールのポイント、依頼に対する断るメールのポイントを理解する。講師依頼メールと断るメールを作成する。ペアワークで作成したメールをチェックし合い、修正する。 事前学修 2.0hr：「役に立つ表現」を読み、練習問題を解く。 事後学修 2.0hr：問題と解答例を見て、語彙・表現を理解し、覚える。
12回	**授業テーマ：日本のしきたり、個人宅訪問の基本** 授業内容：冠婚葬祭の基本とマナー、贈る品物のポイントを理解する。お中元とお歳暮を送る際に使う表現、贈り物を受け取ったる際に使う表現を学び、ロールプレイで応用練習をする。様々な事例から問題点と対応方法を考える。 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を読み、わからない言葉を調べておく。 事後学修 2.0hr：確認クイズを行う。	27回	**授業テーマ：稟議書(伺い書)** 授業内容：稟議書の構成、書式、表現を学び、セミナー関連の稟議書を具体的な内容で作成する。ペアワークで作成した稟議書をチェックし合い、修正する。 事前学修 2.0hr：「役に立つ表現」を読み、練習問題を解く。 事後学修 2.0hr：問題と解答例を見て、語彙・表現を理解し、覚える。
13回	**授業テーマ：自己分析** 授業内容：自分を知ることの大切さを理解する。客観的な視点で自己分析を行うための手順を学ぶ。その手順に沿って自己分析を行い、自分の強みや弱み、興味関心などを明確にする。自分に合った就職先を具体的に考える。 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を読み、わからない言葉を調べておく。 事後学修 2.0hr：確認クイズを行う。	28回	**授業テーマ：社内会議２(新規顧客を開拓する)** 授業内容：議事録の構成、書式、表現を復習し、議事録を具体的な内容で作成する。注意するメールのポイントを理解し、後輩に議事録について注意するメールを作成する。ペアワークで作成した議事録とメールをチェックし合い、修正する。 事前学修 2.0hr：「役に立つ表現」を読み、練習問題を解く。 事後学修 2.0hr：問題と解答例を見て、語彙・表現を理解し、覚える。
14回	**授業テーマ：応募から内定まで①応募書類** 授業内容：就職活動の流れを理解する。エントリシートや履歴書の構成要素と記載事項、自己 PR や志望動機を効果的に表現するためのポイントを学ぶ。具体的なエピソードや実績を盛り込み、説得力のある履歴書を作成する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を読み、わからない言葉を調べておく。 事後学修 2.0hr：確認クイズを行う。	29回	**授業テーマ：出張報告** 授業内容：出張報告書の構成、書式、表現を学び、出張報告書を作成する。ペアワークで作成した報告書をチェックし合い、修正する。催促メールの作成のポイント、催促に対する返信メールの作成のポイントを理解する。出張経費精算書提出の催促メールと催促メールに対する返信を作成する。 事前学修 2.0hr：「役に立つ表現」を読み、練習問題を解く。 事後学修 2.0hr：問題と解答例を見て、語彙・表現を理解し、覚える。
15回	**授業テーマ：応募から内定まで②面接、まとめ・総復習** 授業内容：面接の種類と基本的な流れを理解する。面接時の注意点・自己 PR の方法と表現を学び、ロールプレイで応用練習をする。これまで学習した日本の企業文化とビジネス場面で求められる日本語表現やビジネスマナーを整理する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を読み、わからない言葉を調べておく。 事後学修 2.0hr：確認クイズを行う。	30回	**授業テーマ：まとめ・総合練習、始末書、最終テストとフィードバック** 授業内容：始末書の構成、書式、表現を学び、始末書を具体的な内容で作成する。ペアワークで作成した始末書をチェックし合い、修正する。これまで学習したビジネスメールとビジネス文書の構成や書き方を整理する。最終テストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：「役に立つ表現」を読み、練習問題を解く。 事後学修 2.0hr：問題と解答例を見て、語彙・表現を理解し、覚える。

インターンシップ A・B・C・D

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 1 年次 ｜ 各 2 単位

単位認定科目

▌授業の概要

本学が定める企業等における実習・研修的な就業体験（インターンシップ）の成果に対して単位を認定する科目である。
この単位認定制度は、学生が自らの専攻、将来のキャリアに関連した就業体験を行うことにより、学習意欲を喚起し、さらに、高い就業意識の涵養や自分の適性にあった職業について考える機会を提供することを目的とする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：将来のキャリア形成のために、働くこととは何かを理解する。
個別目標：①業種及び職種形態に対するイメージのギャップを解消し、進路の方向性を判断することができる。
②社会人のマナーを理解し、身につけることができる。
③自己の強みや弱みを見つけ、学修における個々の目標を明確にできる。

▌履修条件

目的意識を持って就業体験に臨める学生。
詳細については、当該年度の実施要項及びガイダンス等で確認すること。

▌評価基準・方法

各 5 日以上 40 時間以上の研修時間を要する。
本人レポート、派遣先からの報告書、事前研修会の出席及び報告内容等よって単位を認定する。

▌フィードバック方法

必要に応じて適宜指示する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （フィールドワーク、プレゼンテーション等）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （研修機関における資料、レポートの作成及び事後学修におけるレポートの作成等）

▌教科書

使用しない。

▌参考書

適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：エントリーシート、面接** 授業内容：エントリーシートの書き方、面接の受け方を学ぶ 事前学修 0.5hr：エントリーシートとは何かを調べる 事後学修 0.5hr：面接指導を受ける	16 回	**授業テーマ：就業体験⑬** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する
2 回	**授業テーマ：履歴書** 授業内容：履歴書の書き方を学ぶ 事前学修 0.5hr：履歴書とは何かを調べる 事後学修 0.5hr：履歴書を実際に書く	17 回	**授業テーマ：就業体験⑭** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する
3 回	**授業テーマ：ビジネスマナー** 授業内容：ビジネスマナー等を学ぶ 事前学修 0.5hr：事前研修資料を読み理解する 事後学修 0.5hr：事前研修で学んだことを復習する	18 回	**授業テーマ：就業体験⑮** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する
4 回	**授業テーマ：就業体験①** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：業界・企業等研究を行う 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する	19 回	**授業テーマ：就業体験⑯** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する
5 回	**授業テーマ：就業体験②** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する	20 回	**授業テーマ：就業体験⑰** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する
6 回	**授業テーマ：就業体験③** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する	21 回	**授業テーマ：就業体験⑱** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する
7 回	**授業テーマ：就業体験④** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する	22 回	**授業テーマ：就業体験⑲** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する
8 回	**授業テーマ：就業体験⑤** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する	23 回	**授業テーマ：就業体験⑳** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する
9 回	**授業テーマ：就業体験⑥** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する	24 回	**授業テーマ：就業体験㉑** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する
10 回	**授業テーマ：就業体験⑦** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する	25 回	**授業テーマ：就業体験㉒** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する
11 回	**授業テーマ：就業体験⑧** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する	26 回	**授業テーマ：就業体験㉓** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する

12回	**授業テーマ：就業体験⑨** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する	27回	**授業テーマ：就業体験㉔** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する
13回	**授業テーマ：就業体験⑩** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する	28回	**授業テーマ：就業体験㉕** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する
14回	**授業テーマ：就業体験⑪** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する	29回	**授業テーマ：就業体験㉖** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する
15回	**授業テーマ：就業体験⑫** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する	30回	**授業テーマ：報告会** 授業内容：これまでの活動成果についてプレゼンテーションする 事前学修 0.5hr：報告会に向けて発表の準備をする 事後学修 0.5hr：これまでの研修のまとめを行う

特別聴講科目 A・B・C・D

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 2 年次 ｜ 各 2 単位

単位認定科目

▌授業の概要

【①千葉県私立大学(短期大学を含む。)及び放送大学間の単位互換制度】
　専門領域にとらわれない幅広く深い教養を身につけ、豊かな人間性を養うことを目的とし、協定を締結している他の大学等において履修した授業科目について修得した単位を本学における授業科目の履修により修得したものとみなし、単位を認定する。
【②学内において実施する語学研修】
　学内において実施する語学研修の成果に対して単位を認定する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：①協定大学等における開放授業科目に準ずる。詳細については、協定大学等のシラバスを参照すること。
　　②募集要項、オリエンテーション及び掲示等で別途指示する。
個別目標：①協定大学等における開放授業科目に準ずる。詳細については、協定大学等のシラバスを参照すること。
　　②募集要項、オリエンテーション及び掲示等で別途指示する。

▌履修条件

①「派遣学生出願要項(本学)」及び協定大学等における募集要項で確認すること。
　なお、協定大学等については「履修の手引」又は「派遣学生出願要項(本学)」を参照すること。
②募集要項、オリエンテーション及び掲示等で別途指示する。

▌評価基準・方法

①協定大学等における開放授業科目の単位を修得した場合、所定の手続きを行うことにより本科目に置き換えて単位の認定をする。
　なお、単位認定方法(手続)等については、「履修の手引」又は「派遣学生出願要項(本学)」を参照すること。
②募集要項、オリエンテーション及び掲示等で別途指示する。

▌フィードバック方法

必要に応じて適宜指示する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

①協定大学等における開放授業科目に準ずる。詳細については、協定大学等のシラバスを参照すること。
②募集要項、オリエンテーション及び掲示等で別途指示する。

▌参考書

①協定大学等における開放授業科目に準ずる。詳細については、協定大学等のシラバスを参照すること。
②募集要項、オリエンテーション及び掲示等で別途指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

授業テーマ

特別聴講科目 A・B・C・D

授業内容

30 時間相当分の講義内容とする。
①協定大学等における開放授業科目に準ずる。詳細については、協定大学等のシラバスを参照すること。
②募集要項、オリエンテーション及び掲示等で別途指示する。

事前学修

30 時間相当分の事前学修とする。
①協定大学等における開放授業科目に準ずる。詳細については、協定大学等のシラバスを参照すること。
②募集要項、オリエンテーション及び掲示等で別途指示する。

事後学修

30 時間相当分の事後学修とする。
①協定大学等における開放授業科目に準ずる。詳細については、協定大学等のシラバスを参照すること。
②募集要項、オリエンテーション及び掲示等で別途指示する。

ビジネススキル A・B・C・D

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 1 年次 ｜ 各 2 単位

単位認定科目

▌授業の概要

TOEFL iBT、TOEIC Listening & Reading Test、実用英語技能検定などの技能審査や、各種資格取得等の成果を本大学における授業科目の履修により修得したものとみなし、単位を認定する科目である。この単位認定制度は、より実践的な技術・技能を身につけることを目的とする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：技能審査及び各種資格取得等の合格要件を満たす。
個別目標：技能審査及び各種資格取得等の合格要件に準ずる。

▌履修条件

単位認定科目のため特になし。

▌評価基準・方法

単位の認定には、申請手続きが必要となる。

▌フィードバック方法

必要に応じて適宜指示する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

特になし。

▌参考書

特になし。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

授業テーマ

ビジネススキル A・B・C・D

授業内容

30 時間相当分の講義内容とする。
単位認定制度及び単位認定を受けることのできる技能審査・各種資格等の詳細については、履修の手引等を参照すること。

事前学修

30 時間相当分の事前学修とする。

事後学修

30 時間相当分の事後学修とする。

ツーリズム概論

開講学科等：日英中経不 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：ＡＮＡツーリズム・ホスピタリティプログラム

松山　豊浩（まつやま　とよひろ）

▌授業の概要

人口減少社会の到来とともに日本のツーリズム (観光) は大きな転換期を迎え、産業全体もその裾野が益々広がっている。近年は訪日外国人旅行者 (インバウンド) が急増し、その大きな経済効果に期待が集まる一方で、低迷する国内旅行需要の底上げを含め、地域創生や新たな社会システム構築等の様々な動きも注目されている。

本講座では「概論」の主旨に基づき、ニュース記事や VTR 等も活用しながらツーリズム全般を身近にわかりやすく学ぶとともに、”after Corona”の時代にあらためて日本が目指す「観光立国」「観光先進国」への諸課題や将来の姿について多面的に考察する。

なお、本講座は ANA 総合研究所の企業人講師が担当する。

【授業方法】講義

【実務家教員と当該授業科目との関連性】

自身の職業選択や就職活動に活かすことができるよう、ANA 総合研究所の企業人講師が、日本のツーリズム（観光）全般、関連産業に関する基本知識及びその現状に関する知識を与える。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：・日本のツーリズム (観光) 全般および関連産業に関する基本知識、その現状と課題を理解し、経済的・社会的な観点から自身の考えとともに説明する能力を修得する。

個別目標：・「観光立国」への道を進む日本社会において自身が担う役割を明確にイメージでき、今後の職業や日常生活をとおして社会に貢献することができる。

・ツーリズム関連産業を志望する学生は、学修した知識を自身の職業選択や就職活動に活かすことができる。

▌履修条件

・日本のツーリズム (観光) 全般、ツーリズムにかかわる社会動向や関連産業に関心がある学生

・ツーリズム関連産業への就業に興味がある、志望業界として考慮している学生

ほか、学部・学科を問わず、「観光」そのものや「観光業界」に少しでも興味・関心がある学生の受講を歓迎する。

▌評価基準・方法

・期末試験もしくは期末レポート：40%

・課題の取組：グループワーク (2 回) 30%

・授業の取組：出欠状況 (5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする)、早退/遅刻の状況、授業参画姿勢、コメントシートの記述、TOPIC 発表 等 30%

以上、合計 100%にて総合的に評価する。

▌フィードバック方法

・課題等のフィードバックは、各回の授業もしくは学修システム上にて行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク/ディスカッション/プレゼンテーション 等を予定）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし （但し、事前/事後学修では観光関連情報やデータ等の閲覧、学修システムへのアクセス 等が必要）

▌教科書

使用しない。適宜、教材資料等を配付する。

▌参考書

適宜、参考書籍等を紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス　講座計画と授業の進め方** 授業内容：講座概要 (論点、進捗手法、到達目標等) の説明および講座構成要素 (履修者、講師、配布教材等) の相互確認を行う。講座概要の説明においては、今なぜ日本は「観光立国」を目指すのかについて、日常社会の現象面を紹介するとともに、15 回の授業計画の流れや各回のテーマ等と関連づけて理解することをとおして、講座全般への関心と学修意欲を高める。 事前学修 2.0hr：ツーリズム (観光) への関心を高め、自らのイメージを持つ。 事後学修 2.0hr：講座の目的や到達目標を理解するとともに、授業計画を把握する。
2回	**授業テーマ：観光の定義と意義** 授業内容：古典に由来する「観光」の語源をはじめ関連する語句の起源や意味を知り、その歴史的背景を理解する。その上で、基本となる観光の定義、構造、意義や観光資源の位置づけについて理解を深めることと併せ、「観光」が社会に与える様々な影響や効果を踏まえつつ、現在また将来の日本において「観光」に期待される役割を考える。 事前学修 2.0hr：ツーリズム (観光) への関心を高め、自らのイメージを持つ。 事後学修 2.0hr：授業内容をレビューし、新たに得た知識と自身の考えをまとめる。
3回	**授業テーマ：日本の旅行・観光に関する全体把握 Ⅰ　「観光立国」への道と政策ビジョン** 授業内容：現代社会において「観光」をどのように捉えるべきか、「観光立国」の意味とともに、その実現を支える観光政策とツーリズム産業が持つ意義と特徴を把握する。また、日本の観光政策の歴史を辿りながら、近年の観光政策と観光立国推進に向けた出来事や取組、日本の経済・社会動向との関連について流れを追って触れることで、現在の訪日外国人急増や全国の観光地域活性化が持つ意味を理解するなど、国の重要戦略を社会における身近な課題として捉え、考察する。 事前学修 2.0hr：授業テーマへの関心を高め、興味ある観光関連記事等を調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容をレビューし、新たに得た知識と自身の考えをまとめる。
4回	**授業テーマ：日本の旅行・観光に関する全体把握 Ⅱ　国内旅行・海外旅行・訪日外国人旅行等の動向** 授業内容：資料に集約した日本の旅行・観光の現状を具体的に示す各種図表やデータに幅広く触れ、それをもとに履修者自らが推察する演習等も行うことで、図表に関する読解力と内容の理解力を深めるとともに、各図表や数字から読み取ることができる「日本における旅行・観光の実態」を概括的に把握し、履修者自身の理解・考察につなげる。 事前学修 2.0hr：授業テーマへの関心を高め、興味ある観光関連記事等を調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容をレビューし、新たに得た知識と自身の考えをまとめる。

5回	**授業テーマ：グループワーク Ⅰ　日本の旅行・観光の現状と課題を考える** 授業内容：第 4 回までの講義で得た知識を踏まえながら「日本の旅行の現状」にかかわる身近なテーマ (課題) について考える。グループワークとして出題内容に応じてディスカッションを行ったうえでグループの考えや意見を取りまとめ、ワークシートに記述・提出また発表することにより、テーマ (課題) に関する考察力をはじめ課題探究力や明確なアウトプットを見出す力を高める。 事前学修 2.0hr：前回までの授業内容を参考に、ワークに向けて自身の考えを整理する。 事後学修 2.0hr：他者の意見も含めワークでの考察をまとめ、理解の幅を広げる。
6回	**授業テーマ：観光の歴史とツーリズムの広がり** 授業内容：日本と西洋の旅行の起源から現代に至る歴史をひもとき、各時代の社会背景や人々の生活、文化との関連性の違いや共通点を広い視野で理解するとともに、現代および今後の旅行・観光のあり方につながる経緯やトレンドを掴み、ツーリズム全般に関連する「観光立国実現」に向けた課題認識と考察力を高める。 事前学修 2.0hr：社会と観光のかかわりについて考え、興味ある観光関連記事等を調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容をレビューし、新たに得た知識と自身の考えをまとめる。
7回	**授業テーマ：観光資源と観光地 Ⅰ　分類と特徴** 授業内容：日本・世界の具体的な観光地や観光資源を取り上げ、それらの区分、特徴、価値等について理解を深めるとともに、観光資源保護の重要性に焦点を当て、魅力ある観光地は開発や集客のみでは成り立たず、観光地を構成する自然、文化、景観等の適切な維持や保全が求められることを理解する。また、その前提となる日本の法制度や国際的な条約等の知識を得るとともに、特に世界遺産について具体例をあげながらその種別、登録、意義等に関して考察する。 事前学修 2.0hr：社会と観光のかかわりについて考え、興味ある観光関連記事等を調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容をレビューし、新たに得た知識と自身の考えをまとめる。
8回	**授業テーマ：観光資源と観光地 Ⅱ　世界遺産と観光資源の保全①** 授業内容：日本・世界の具体的な観光地や観光資源を取り上げ、それらの区分、特徴、価値等について理解を深めるとともに、観光資源保護の重要性に焦点を当て、魅力ある観光地は開発や集客のみでは成り立たず、観光地を構成する自然、文化、景観等の適切な維持や保全が求められることを理解する。また、その前提となる日本の法制度や国際的な条約等の知識を得るとともに、特に世界遺産について具体例をあげながらその種別、登録、意義等に関して考察する。 事前学修 2.0hr：社会と観光のかかわりについて考え、興味ある観光関連記事等を調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容をレビューし、新たに得た知識と自身の考えをまとめる。
9回	**授業テーマ：観光資源と観光地 Ⅲ　世界遺産と観光資源の保全②** 授業内容：日本・世界の具体的な観光地や観光資源を取り上げ、それらの区分、特徴、価値等について理解を深めるとともに、観光資源保護の重要性に焦点を当て、魅力ある観光地は開発や集客のみでは成り立たず、観光地を構成する自然、文化、景観等の適切な維持や保全が求められることを理解する。また、その前提となる日本の法制度や国際的な条約等の知識を得るとともに、特に世界遺産について具体例をあげながらその種別、登録、意義等に関して考察する。 事前学修 2.0hr：社会と観光のかかわりについて考え、興味ある観光関連記事等を調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容をレビューし、新たに得た知識と自身の考えをまとめる。
10回	**授業テーマ：グループワーク Ⅱ　これからの観光立国推進を考える** 授業内容：第 9 回までの講義で得た知識を踏まえながら、日本が目指す観光先進国化に向けたテーマ (課題) について考える。グループワークとして自身の新しい感覚と自由な発想を基にディスカッションを行ったうえでグループの考えや意見を取りまとめ、ワークシートに記述・提出また発表することにより、テーマ (課題) に関する考察力をはじめ課題探究力や明確なアウトプットを見出す力を高める。 事前学修 2.0hr：前回までの授業内容を参考に、ワークに向けて自身の考えを整理する。 事後学修 2.0hr：他者の意見も含めワークでの考察をまとめ、理解の幅を広げる。
11回	**授業テーマ：ツーリズム業界研究 Ⅰ　エアライン①** 授業内容：旅行・観光を取り巻く環境は急速に変化を遂げつつあり、ICT 技術の進展や地方創生の役割も重視される中、社会全体に裾野が広がるツーリズム関連産業は各業界とも大きな変革期を迎えている。その中でも代表的な業界を取り上げ、その発展の歴史、特徴、実態、今後に向けて直面する課題等について幅広く触れることにより、各業界に関する理解とともに自身のキャリア形成や職業としての関心につなげる。(エアライン) 事前学修 2.0hr：各産業の役割やしくみについて考え、興味ある業界関連記事等を調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容から新たに得た知識を踏まえ、実体験等から自主考察を行う。
12回	**授業テーマ：ツーリズム業界研究 Ⅱ　エアライン②** 授業内容：旅行・観光を取り巻く環境は急速に変化を遂げつつあり、ICT 技術の進展や地方創生の役割も重視される中、社会全体に裾野が広がるツーリズム関連産業は各業界とも大きな変革期を迎えている。その中でも代表的な業界を取り上げ、その発展の歴史、特徴、実態、今後に向けて直面する課題等について幅広く触れることにより、各業界に関する理解とともに自身のキャリア形成や職業としての関心につなげる。(エアライン) 事前学修 2.0hr：各産業の役割やしくみについて考え、興味ある業界関連記事等を調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容から新たに得た知識を踏まえ、実体験等から自主考察を行う。
13回	**授業テーマ：ツーリズム業界研究 Ⅲ　旅行・宿泊・テーマパーク** 授業内容：旅行・観光を取り巻く環境は急速に変化を遂げつつあり、ICT 技術の進展や地方創生の役割も重視される中、社会全体に裾野が広がるツーリズム関連産業は各業界とも大きな変革期を迎えている。その中でも代表的な業界を取り上げ、その発展の歴史、特徴、実態、今後に向けて直面する課題等について幅広く触れることにより、各業界に関する理解とともに自身のキャリア形成や職業としての関心につなげる。(旅行業/宿泊業/テーマパーク 等) 事前学修 2.0hr：各産業の役割やしくみについて考え、興味ある業界関連記事等を調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容から新たに得た知識を踏まえ、実体験等から自主考察を行う。
14回	**授業テーマ：ツーリズム業界研究 Ⅳ　旅行・宿泊・テーマパーク** 授業内容：旅行・観光を取り巻く環境は急速に変化を遂げつつあり、ICT 技術の進展や地方創生の役割も重視される中、社会全体に裾野が広がるツーリズム関連産業は各業界とも大きな変革期を迎えている。その中でも代表的な業界を取り上げ、その発展の歴史、特徴、実態、今後に向けて直面する課題等について幅広く触れることにより、各業界に関する理解とともに自身のキャリア形成や職業としての関心につなげる。(旅行業/宿泊業/テーマパーク 等) 事前学修 2.0hr：各産業の役割やしくみについて考え、興味ある業界関連記事等を調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容から新たに得た知識を踏まえ、実体験等から自主考察を行う。
15回	**授業テーマ：講座レビュー　/　まとめ** 授業内容：講座全体を振り返り、各回のテーマやキーワードに関するポイントをレビューするとともに、日本の経済・社会全体の変革を意味する「観光立国実現」に向けた重要課題、ツーリズム関連各業界の位置づけと今後の展望に関する理解を確認する。また、本講座をとおして履修者各人が「観光立国」への積極的なかかわりや社会的役割を意識し、ツーリズム関連分野への関心やキャリア形成意欲の向上が図られたか、もしくは、自己成長に向けた目標や指針を得られたか、講座の総括としてあらためて考え、明確化する。 事前学修 2.0hr：各回授業テーマについて資料等をもとに振り返り、理解度を確認する。 事後学修 2.0hr：講座全体の流れを追ってあらためて復習し、自身のまとめを作成する。

エアライン概論

開講学科等：日英中経不 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：ＡＮＡツーリズム・ホスピタリティプログラム

松山　豊浩（まつやま　とよひろ）

▌授業の概要

本講義では、国際社会において国境を越える人々の交流や物流を支える交通インフラであり、世界各国の異文化交流やその発展に貢献する産業であり、また今後の日本の新しい姿を実現するツーリズム (観光) 分野の主要産業でもある『航空』をグローバルな視点から取り上げ、ニュース記事や VTR 等も活用しながら『エアラインビジネス』の全体像をわかりやすく学び、またその過程をとおしてビジネス全般にも通用する企業マネジメント戦略のヒントや実践的なビジネス知識 等の理解も深めていく。
なお、本講座は ANA 総合研究所の企業人講師が担当する。
【授業方法】講義
【実務家教員と当該授業科目との関連性】
自身の職業選択や就職活動に活かすことができるよう、ANA 総合研究所の企業人講師が、航空業 (エアライン) 全般に関する基本知識及びその現状に関する知識を与える。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：・民間航空の発展や航空自由化の経緯等をとおして、その展開や歴史的な流れ、社会・経済への影響などを理解する。
・エアラインビジネスの特性や経営戦略・動向等について、自身の考えと言葉で説明できる能力を修得する。
個別目標：・航空関連産業やツーリズム (観光) 産業への就業を志望する学生は、学修した知識を自身の職業選択や就職活動に活かすことができる。

▌履修条件

・「航空 (エアライン) 」全般、「エアラインビジネス」の基本や戦略等に関心がある学生
・「航空関連産業」や「ツーリズム (観光) 産業」への就業に興味がある、志望業界として考慮している学生
ほか、学部・学科を問わず、「航空」「観光」そのものや「航空関連産業」「ツーリズム (観光) 産業」に少しでも興味・関心がある学生の受講を歓迎する。

▌評価基準・方法

・期末試験もしくは期末レポート：50%
・課題の取組：小レポート、TOPIC 発表 等 20%
・授業の取組：出欠状況 (5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする)、早退/遅刻の状況、授業参画姿勢、
コメントシートの記述 等 30%
以上、合計 100%にて総合的に評価する。

▌フィードバック方法

・課題等のフィードバックは、各回の授業もしくは学修システム上にて行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （TOPIC 調査/発表 (プレゼンテーション) 等を予定）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし （但し、事前/事後学修では航空関連情報やデータ等の閲覧、学修システムへのアクセス 等が必要）

▌教科書

使用しない。適宜、教材資料等を配付する。

▌参考書

・(株)ANA 総合研究所 『航空産業入門(第 2 版)』 東洋経済新報社 (2017)
・(株)ANA 総合研究所 『エアラインオペレーション入門(改訂新版)』 イカロス出版 (2022)
ほか、適宜参考書籍等を紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス　講座計画と授業の進め方** 授業内容：講座概要 (論点、進捗手法、到達目標等) の説明および講座構成要素 (履修者、講師、配布教材等) の相互確認を行う。講座概要の説明においては、「航空 (エアライン) 」のあらましを紹介するとともに、15 回の授業計画の流れや各回のテーマ等と関連づけて理解することをとおして、講座全般への関心と学修意欲を高める。 事前学修 2.0hr：航空 (エアライン) への関心を高め、自らの正確なイメージを持つ。 事後学修 2.0hr：講座の目的や到達目標を理解するとともに、授業計画を把握する。
2 回	**授業テーマ：エアラインの基本** 授業内容：航空機の基本知識、航空管制の概要、新しい航空交通管理の考え方 等について。 事前学修 2.0hr：航空 (エアライン) への関心を高め、自らの正確なイメージを持つ。 事後学修 2.0hr：授業内容をレビューし、新たに得た知識と自身の考えをまとめる。
3 回	**授業テーマ：エアラインの特性** 授業内容：エアラインビジネス全般の特性、経営・経済面の特徴、イベントリスク 等について。 事前学修 2.0hr：航空 (エアライン) への関心を高め、自らの正確なイメージを持つ。 事後学修 2.0hr：授業内容をレビューし、新たに得た知識と自身の考えをまとめる。
4 回	**授業テーマ：エアラインの業務** 授業内容：運航乗務員・CA・空港スタッフ (グランドスタッフ/グランドハンドリング)・整備士 等のエアラインを支える各職種の役割について。 事前学修 2.0hr：航空 (エアライン) への関心を高め、自らの正確なイメージを持つ。 事後学修 2.0hr：授業内容をレビューし、新たに得た知識と自身の考えをまとめる。
5 回	**授業テーマ：民間航空の歴史** 授業内容：動力飛行機の発明から現在までの世界と日本の民間航空発展の歴史について。 事前学修 2.0hr：航空 (エアライン) への関心を高め、自らの正確なイメージを持つ。 事後学修 2.0hr：授業内容をレビューし、新たに得た知識と自身の考えをまとめる。
6 回	**授業テーマ：航空自由化の流れ** 授業内容：航空保護政策から世界的な航空政策の規制緩和への変革の流れについて。 事前学修 2.0hr：航空 (エアライン) への関心を高め、自らの正確なイメージを持つ。 事後学修 2.0hr：授業内容をレビューし、新たに得た知識と自身の考えをまとめる。
7 回	**授業テーマ：エアラインビジネスの概要Ⅰ　ネットワーク** 授業内容：航空ネットワーク構築の重要性、ハブ&スポークの考え方と効果、乗り継ぎ需要 等について。 事前学修 2.0hr：授業テーマへの関心を高め、興味ある航空関連記事 等を調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容をレビューし、新たに得た知識と自身の考えをまとめる。

8回	**授業テーマ：エアラインビジネスの概要Ⅱ　アライアンス** 授業内容：グローバルアライアンス結成の背景と歴史、アライアンスの意義と効果 等について。 事前学修 2.0hr：授業テーマへの関心を高め、興味ある航空関連記事 等を調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容をレビューし、新たに得た知識と自身の考えをまとめる。
9回	**授業テーマ：エアラインビジネスの概要Ⅲ　ブランド/プロダクト&サービス** 授業内容：エアラインのブランド向上と新規プロダクト開発の重要性 等について。 事前学修 2.0hr：授業テーマへの関心を高め、興味ある航空関連記事 等を調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容をレビューし、新たに得た知識と自身の考えをまとめる。
10回	**授業テーマ：エアラインビジネスの概要Ⅳ　CS とホスピタリティ** 授業内容：CS(顧客満足)・CX(顧客体験価値)、ホスピタリティの考え方、ES(従業員満足) 等について。 事前学修 2.0hr：授業テーマへの関心を高め、興味ある航空関連記事 等を調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容をレビューし、新たに得た知識と自身の考えをまとめる。
11回	**授業テーマ：エアラインビジネスの概要Ⅴ　LCC(ローコストキャリア)** 授業内容：LCC(ローコストキャリア) の登場と発展、新たなビジネスモデルの仕組みと特徴 等について。 事前学修 2.0hr：授業テーマへの関心を高め、興味ある航空関連記事 等を調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容をレビューし、新たに得た知識と自身の考えをまとめる。
12回	**授業テーマ：航空とツーリズム** 授業内容：航空がツーリズムや観光活性化に果たす役割、「観光立国」とインバウンドへの貢献 等について。 事前学修 2.0hr：授業テーマへの関心を高め、興味ある航空関連記事 等を調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容をレビューし、新たに得た知識と自身の考えをまとめる。
13回	**授業テーマ：航空貨物　/　エアラインビジネスの動向と展望** 授業内容：世界の物流を担う航空貨物、航空業界の最近の動向、エアラインビジネスの将来 等について。 事前学修 2.0hr：授業テーマへの関心を高め、興味ある航空関連記事 等を調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容をレビューし、新たに得た知識と自身の考えをまとめる。
14回	**授業テーマ：航空と安全** 授業内容：全てに優先する「航空安全」の考え方、安全運航を堅持するための実践的な対応や取組 等について。 事前学修 2.0hr：授業テーマへの関心を高め、興味ある航空関連記事 等を調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容をレビューし、新たに得た知識と自身の考えをまとめる。
15回	**授業テーマ：講座レビュー　/　まとめ** 授業内容：講座全体を振り返り、各回のテーマやポイントをレビューするとともに、本講座をとおして学修した「航空 (エアライン) 」および「エアラインビジネス」全般に関する各自の理解を確認する。また、航空関連分野への関心やキャリア形成意欲の向上が図られたかについてあらためて考え、明確化する。 事前学修 2.0hr：各回授業テーマについて資料等をもとに振り返り、理解度を確認する。 事後学修 2.0hr：講座全体の流れを追ってあらためて復習し、自身のまとめを作成する。

航空サービス論

開講学科等：日英中経不 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 ｜ 備考：ＡＮＡツーリズム・ホスピタリティプログラム

大嵜　史眞子（おおさき　しまこ）

▌授業の概要

当講義は航空機に関わる業務と空港業務の具体的な仕事内容を把握した上で、業務担当者の活躍に着目し、航空業界にとどまらない、就業における視野の拡大を目指す。また、航空会社が提供するサービスを多面的に研究することにより、業務に携わる人々のホスピタリティマインドとチームワーク、やりがいについて理解を深める。講義は事例研究、ディスカッション等の実践的な手法を取り入れて進める。
なお、本講座は ANA 総合研究所の企業人講師が担当する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：・航空運送事業の基礎知識を有し、業務やサービスの多様性について理解することができる。
・航空会社が提供するサービスや顧客ニーズを考察することができる。
・社会で求められるチームワークとコミュニケーションの重要性について理解することができる。
個別目標：・航空業界の中から興味のある分野を研究し、業務内容や取り組みについて独自の見解を述べることができる。
・発表やディスカッションに必要な情報を適切に収集し、わかりやすく整理することができる。

▌履修条件

・航空運送事業、並びに航空関連会社で働くスタッフ、空港で働くスタッフに興味と関心を持つ学生。
・航空業界への就職を希望する学生。

▌評価基準・方法

・各回の課題（小テスト・レポート・プレゼンテーションなど）40 %
・後期試験（筆記試験）40 %
・参加姿勢及びワークシート、振り返りシートの内容など　20 %
以上を総合的に判断し評価する。
また、5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

・課題のフィードバックは、各回の授業内において、あるいは学習支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション・グループワーク・振り返りシート）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （manaba 上の PDF の参照・レスポン入力・小テストとその他課題実施のため）

▌教科書

使用しない。必要に応じレジュメを配布する。
また DVD などの映像も使用する。

▌参考書

ANA 総合研究所編集　『エアラインオペレーション入門 改訂新版』イカロス出版（2022）
ANA 総合研究所著　『航空産業入門』東洋経済新報社（2017）

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：授業の流れと学ぶ目的、課題の取り組み方、評価について確認する。 事前学修 2.0hr：全 15 回の授業内容を確認し、授業テーマへの関心を深める。 事後学修 2.0hr：授業テーマと学ぶ範囲を理解し、授業への取り組み方について考える。
2 回	**授業テーマ：航空運送事業の特性** 授業内容：航空運送事業の構造的な特性と他業界との違いについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：航空運送事業とは何かについて調べる。 事後学修 2.0hr：航空運送事業の特性について振り返る。
3 回	**授業テーマ：航空会社の基盤「安全と保安」** 授業内容：安全運航と保安体制を支える姿勢や仕組みづくりについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：航空会社の安全対策とは何かについて調べる。 事後学修 2.0hr：安全運航のための取り組み、安全と保安の重要性について振り返る。
4 回	**授業テーマ：販売・予約・コンタクトセンター業務** 授業内容：コンタクトセンターでの業務について学び、対人サービスの意義を考える。 事前学修 2.0hr：航空券の販売、予約方法について調べる。 事後学修 2.0hr：販売部門、コールセンタースタッフに求められるサービスについて振り返る。
5 回	**授業テーマ：グランドスタッフ** 授業内容：グランドスタッフの業務と業務に必要なスキルについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：グランドスタッフの業務について調べる。 事後学修 2.0hr：グランドスタッフの業務と役割について振り返る。
6 回	**授業テーマ：グランドハンドリング** 授業内容：グランドハンドリングの業務と業務に必要なスキルについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：グランドハンドリング業務について調べる。 事後学修 2.0hr：グランドハンドリング業務と役割について振り返る。
7 回	**授業テーマ：航空機の運航をサポートする業務** 授業内容：機内食が顧客に提供されるまでの業務と機内清掃業務について学ぶ。 事前学修 2.0hr：ケータリング事業と機内清掃業務について調べる。 事後学修 2.0hr：ケータリング事業と機内清掃業務の内容と役割について振り返る。
8 回	**授業テーマ：航空オペレーションと運航管理者** 授業内容：航空機のオペレーション業務と運航管理者（ディスパッチャー）業務を学ぶ。 事前学修 2.0hr：航空オペレーション業務とはどのようなものかを調べる。 事後学修 2.0hr：運航管理者の業務と役割について振り返る。
9 回	**授業テーマ：客室乗務員** 授業内容：客室乗務員の業務と業務に必要なスキルについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：客室乗務員の業務について調べる。 事後学修 2.0hr：客室乗務員の業務と役割について振り返る。

10回	**授業テーマ：運航乗務員** 授業内容：運航乗務員の業務と業務に必要なスキルについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：運航乗務員の業務について調べる。 事後学修 2.0hr：運航乗務員の業務と役割について振り返る。
11回	**授業テーマ：航空機整備士** 授業内容：航空機整備士の業務と業務に必要なスキルについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：航空機整備士の業務について調べる。 事後学修 2.0hr：航空機整備士の業務と航空機整備業務の種類について振り返る。
12回	**授業テーマ：航空貨物事業** 授業内容：貨物運送業界について学び、これからの世界の輸送について考える。 事前学修 2.0hr：航空貨物事業で運送されるものについて調べる。 事後学修 2.0hr：航空貨物事業の特徴と役割について振り返る。
13回	**授業テーマ：エアラインの定時性・快適性・利便性** 授業内容：航空会社の定時性・快適性・利便性について学び、顧客ニーズを考える。 事前学修 2.0hr：航空会社の定時出発率について調べる。 事後学修 2.0hr：航空会社の安全性をベースにした定時性・快適性の提供について考える。
14回	**授業テーマ：エアライン研究の発表** 授業内容：航空業界の現状や未来について研究し、個人の見解を発表する。 事前学修 2.0hr：航空業界について関心のある分野のまとめ、発表のための準備をする。 事後学修 2.0hr：発表を聞いて新しく得たことについて振り返る。
15回	**授業テーマ：これまでの振り返りと後期試験** 授業内容：筆記試験の実施、採点、振り返り、総まとめを実施する。 事前学修 2.0hr：到達目標に対する個人的な振り返りを行う。 事後学修 2.0hr：学修した内容を今後どのように活かすかについて考える。

フライトアテンダント・グランドスタッフ研究

開講学科等：日英中経不 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 ｜ 備考：ＡＮＡツーリズム・ホスピタリティプログラム

青地　香里（あおち　かおり）

▌授業の概要

空のスペシャリスト、フライトアテンダントとグランドスタッフの業務内容を理解するとともに、事例や取り組みをあげて、求められる人材像、必要とされる能力などを理解する。また、変革と改革が進む航空業界で顧客戦略等の業界研究を行い求められる「おもてなし」について考え、研究する。
授業では、表現力向上を目指し、演習やディスカッション、1 分間スピーチ等アウトプットする機会を多く設ける。
なお、本講座は ANA 総合研究所の企業人講師が担当する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：フライトアテンダント・グランドスタッフの職種研究と基本的な接客スキルの習得を通し、「社会に出る」ことを見据えたコミュニケーション力を高める。
個別目標：・相手のために、と考えられる「おもてなし」力を養う。
・グループワークや意見交換を通じて、発信力を身に着ける。
・ビジネスシーンでのヒューマンスキル（接遇力、マナーなど）を習得する。

▌履修条件

・航空業界をはじめとするホスピタリティ業界に興味・関心を持つ学生
・ホスピタリティマインドを持ち合わせた社会人として活躍したい学生
・「受け身」ではなく「自ら学び、考え、表現する」というコミュニケーション力を発揮したい学生

▌評価基準・方法

・スピーチの準備、取り組み 35%
・振り返りシートの提出 30%
・グループプレゼンテーション 20%
・授業への参加姿勢及び授業内での発言など 15 %
以上を総合的に判断し評価する。5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、各回の授業において行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （体験学習・グループワーク・グループディスカッション・プレゼンテーション・振り返りシート・フィードバック）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （プレゼンテーションの作成）

▌教科書

使用しない。必要に応じレジュメを配布する。
また DVD などの映像を使用する。

▌参考書

『仕事も人間関係もうまくいく ANA の気づかい』ANA ビジネスソリューション (2015)
『さすが！ といわせる大人のマナー講座』日本マナー・プロトコール協会（2018）

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：授業の流れと学ぶ目的、課題の取り組み方、評価について確認する。 事前学修 2.0hr：シラバスに目を通し自分なりの授業のゴールを考える。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、振り返りシートを作成する。
2回	**授業テーマ：航空業界で求められる人材像** 授業内容：自己分析シート、グループでの他己分析などを通し自分のことを言語化する。 事前学修 2.0hr：自分の長所、短所について考え自己紹介文を考える。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、振り返りシートを作成する。
3回	**授業テーマ：業界・企業研究** 授業内容：業界の知識と航空業界の企業群についてグループワークで学ぶ。 事前学修 2.0hr：日本の航空会社について HP を参照し情報を集めておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、振り返りシートを作成する。
4回	**授業テーマ：フライトアテンダント職種研究** 授業内容：客室乗務員の業務について学び、対応事例などをグループで検討する。 事前学修 2.0hr：フライトアテンダントの業務について調べてくる。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、振り返りシートを作成する。
5回	**授業テーマ：グランドスタッフ職種研究** 授業内容：グランドスタッフの業務について学び、対応事例などをグループで検討する。 事前学修 2.0hr：グランドスタッフの業務について調べてくる。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、振り返りシートを作成する。
6回	**授業テーマ：お客様対応事例研究** 授業内容：動画視聴を行い客室乗務員・グランドスタッフのお客様対応についてグループ検討を行う。 事前学修 2.0hr：フライトアテンダントの業務について復習しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、振り返りシートを作成する。
7回	**授業テーマ：ホスピタリティ業界から学ぶ好印象を与える【第一印象と活舌】** 授業内容：フロントラインに立つスタッフの印象について学び、自分の印象について考える。また機内アナウンスを事例にあげ活舌の実践練習を行う。 事前学修 2.0hr：自分の第一印象を考えておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、表情のトレーニングを行う。振り返りシートの作成。
8回	**授業テーマ：フライトアテンダントの振る舞いから学ぶ【美しい立居振舞い】** 授業内容：フロントラインに立つスタッフの振る舞いについて学び、実践練習を行う。 事前学修 2.0hr：お辞儀について意味や歴史を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、立居振舞いのトレーニングを行う。振り返りシートの作成。

9回	**授業テーマ：接遇用語を学ぶ【美しい日本語】** 授業内容：フロントラインに立つスタッフの接遇用語について学び、実践練習を行う。 事前学修 2.0hr：接遇とは何か、言葉の意味を調べ自分の見解をまとめておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、敬語のトレーニングを行う。振り返りシートの作成。
10回	**授業テーマ：お客様に安心、共感を与えるための【コミュニケーション力：聴く力】** 授業内容：ペアワークを通してホスピタリティ業界で必要とされる【傾聴】とは何か、を体感する。 事前学修 2.0hr：コミュニケーション力はどのような場面で必要とされるか考えておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、振り返りシートを作成する。
11回	**授業テーマ：お客様と対等に会話をするための【コミュニケーション力：伝える力】** 授業内容：ペアワークを通して社会人として必要とされる説明力を学ぶ。 事前学修 2.0hr：自身のミスコミュニケーションの経験をまとめておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、振り返りシートを作成する。
12回	**授業テーマ：茶の湯からおもてなしを学ぶ【日本文化理解】** 授業内容：千利休の事例より、日本のおもてなし文化を学ぶ。 事前学修 2.0hr：ニュースなどから興味のあるおもてなしについて調べておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、振り返りシートを作成する。
13回	**授業テーマ：国際的に活躍するための【異文化コミュニケーション】** 授業内容：マナー・プロトコールの観点から、国際社会で求められるマナーとルールがあることを学ぶ。 事前学修 2.0hr：これまでの異文化経験をまとめておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、振り返りシートを作成する。
14回	**授業テーマ：プレゼンテーションスキル** 授業内容：グループプレゼンテーションの実施に向けて、準備を行う。 事前学修 2.0hr：プレゼンテーションの内容についてまとめておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、振り返りシートを作成する。
15回	**授業テーマ：プレゼンテーション** 授業内容：グループでプレゼンテーションの発表を行う。 事前学修 2.0hr：プレゼンテーションの内容作成と自己練習。 事後学修 2.0hr：プレゼンテーションの振り返り。

ホスピタリティ論Ⅰ (ホスピタリティ基礎・マナー演習)

開講学科等：日英中経不 ｜ 2年次 ｜ 2単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：ＡＮＡツーリズム・ホスピタリティプログラム

大嵜　史眞子（おおさき　しまこ）

▌授業の概要

当授業は、ANA 総合研究所が航空事業のもとで培ってきた「ホスピタリティ」に関する知見を活かし、「ホスピタリティの概念」をあらゆる視点で考察することにより、サービス業のみならず、日常生活において必要な「対人コミュニケーション能力」と「個人間の相互理解力」の向上を目指す。さらに、就活に向けて「ホスピタリティの概念」を基本に据えた「マナー演習」を行い、社会人基礎力を養います。授業はエアライン業界のみならず、ホスピタリティ業界全般の事例を用いて、ディスカッション、グループワーク等の実践的な手法で進める。
なお、本講座は ANA 総合研究所の企業人講師が担当する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：・ホスピタリティの意味とその役割を理解することができる
・ホスピタリティが生み出す価値の重要性を理解することができる
・ホスピタリティの発揮に必要なスキルを身につけることができる。
・ホスピタリティに関する自らの見解を形成することができる
個別目標：・ホスピタリティの価値を理解した上で、「ホスピタリティとは何か」について自分の言葉で表現することができる。
・ホスピタリティの発揮に向けて具体的な行動を示すことができる。

▌履修条件

・ホスピタリティに興味・関心を持つ学生
・ホスピタリティ産業への就職を希望する学生
・ホスピタリティマインドを持ち合わせた社会人として活躍したい学生

▌評価基準・方法

・各回の課題(小テスト・レポート・プレゼンテーションなど)　40 %
・前期試験（筆記試験）　40 %
・参加姿勢及び授業内での発言内容など　20 %
以上を総合的に判断し評価する。また、5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、各回の授業において、もしくは学習支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション・グループワーク・振り返りシート）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （manaba 上の PDF 参照・レスポン入力・小テストその他課題実施のため）

▌教科書

使用しない。必要に応じレジュメを配布する。

▌参考書

なし

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：授業の流れと学修の目的、課題の取り組み方、評価について確認する。 事前学修 2.0hr：全１５回の授業内容を確認し、授業テーマへの関心を深める。 事後学修 2.0hr：授業テーマと学ぶ範囲を理解し、授業への取り組み方を考える。
2回	**授業テーマ：ホスピタリティの原義** 授業内容：原義を確認し、サービスとの比較から「ホスピタリティ」の概念を学ぶ。 事前学修 2.0hr：ホスピタリティという言葉の意味を調べる。 事後学修 2.0hr：学修した内容について日常生活の中で実践し、理解を深める。
3回	**授業テーマ：ホスピタリティと文化Ⅰ(ホスピタリティの表出)** 授業内容：国や文化のちがいによるホスピタリティのとらえ方について考察する。 事前学修 2.0hr：ホスピタリティやサービスに関連する文化的差異の事例を調べる。 事後学修 2.0hr：学修した内容について日常生活の中で実践し、理解を深める。
4回	**授業テーマ：ホスピタリティと文化 Ⅱ(日本のホスピタリティの源泉)** 授業内容：「茶の湯」に見られる日本のホスピタリティを考える。 事前学修 2.0hr：「茶道の心得」とはどのようなものかについて調べる。 事後学修 2.0hr：学修した内容について日常生活の中で実践し、理解を深める。
5回	**授業テーマ：ホスピタリティと産業Ⅰ(産業構造の変化とホスピタリティ)** 授業内容：日本の産業構造におけるホスピタリティ産業の重要性について学ぶ。 事前学修 2.0hr：「日本標準産業分類」にはどのような業種があるかを確認する。 事後学修 2.0hr：学修した内容について日常生活の中で実践し、理解を深める。
6回	**授業テーマ：ホスピタリティと産業 Ⅱ(ホスピタリティ企業の研究)** 授業内容：企業におけるホスピタリティの発揮について研究したものを発表する。 事前学修 2.0hr：企業が発揮するホスピタリティの事例について調べる。 事後学修 2.0hr：学修した内容について日常生活の中で実践し、理解を深める。
7回	**授業テーマ：ホスピタリティとコミュニケーションⅠ(コミュニケーション能力とは)** 授業内容：コミュニケーションの重要性を学び、ワークを通して相手に伝える力を発揮する。 事前学修 2.0hr：自分の日頃のコミュニケーションの方法について振り返る。 事後学修 2.0hr：学修した内容について日常生活の中で実践し、理解を深める。
8回	**授業テーマ：ホスピタリティとコミュニケーションⅡ(コンテクストとは)** 授業内容：コミュニケーションにおけるコンテクストの重要性を理解する。 事前学修 2.0hr：コンテクストの意味を調べる。 事後学修 2.0hr：学修した内容について日常生活の中で実践し、理解を深める。

9回	**授業テーマ：ホスピタリティとコミュニケーションⅢ(チームワークを発揮する)** 授業内容：企業でどのようにチームワークが発揮されているかについて、事例を用いて考える。 事前学修 2.0hr：チームワークについての自分のエピソードをまとめる。 事後学修 2.0hr：学修した内容について日常生活の中で実践し、理解を深める。
10回	**授業テーマ：ホスピタリティとコミュニケーションⅣ(マナー①　挨拶・身だしなみ、敬語)** 授業内容：社会におけるマナーの効用を知り、社会人として適切なマナーを学ぶ。 事前学修 2.0hr：マナーや敬語についての疑問点や不明な点をまとめる。 事後学修 2.0hr：学修した内容について日常生活の中で実践し、理解を深める。
11回	**授業テーマ：ホスピタリティとコミュニケーションⅤ(マナー②　ビジネスメールの基本)** 授業内容：ビジネスで必要となるメールの使い方とビジネスマナーについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：ビジネスマナーについての疑問点や不明な点をまとめる。 事後学修 2.0hr：学修した内容について日常生活の中で実践し、理解を深める。
12回	**授業テーマ：ホスピタリティとコミュニケーションⅥ(マナー③　電話応対)** 授業内容：ビジネスで必要と電話の応対やマナーについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：電話応対や電話マナーについの疑問点や不明な点をまとめる。 事後学修 2.0hr：学修した内容について日常生活の中で実践し、理解を深める。
13回	**授業テーマ：ユニバーサルサービスⅠ(ユニバーサルサービスの概要と意義)** 授業内容：ユニバーサルサービスの概要と取り組む意義、サービスを必要とする人々について学ぶ。 事前学修 2.0hr：ユニバーサルサービスという言葉の意味を調べる。 事後学修 2.0hr：学修した内容について日常生活の中で実践し、理解を深める。
14回	**授業テーマ：ユニバーサルサービスⅡ(ユニバーサルサービス実践のための考え方)** 授業内容：ユニバーサルサービス実践のための具体的な行動と考え方についてディスカッションする。 事前学修 2.0hr：ユニバーサルサービスの具体的な実践方法について見解をまとめる。 事後学修 2.0hr：学修した内容について日常生活の中で実践し、理解を深める。
15回	**授業テーマ：これまでのまとめ(前期試験：筆記試験)** 授業内容：前期講義を振り返った後、筆記試験を実施する。 事前学修 2.0hr：これまでの授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：学修したホスピタリティマインドの活かし方について、個人的な見解をまとめる。

ホスピタリティ論Ⅱ (ホスピタリティと産業)

開講学科等：日英中経不 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 ｜ 備考：ＡＮＡツーリズム・ホスピタリティプログラム

井元　千穂 (いのもと　ちほ)

▌授業の概要

取り巻く環境の変化が激しい現代において、企業によるホスピタリティの発揮は顧客満足度向上にとどまらず、組織内の信頼関係構築や自身のやりがいにも直結することが認識されつつある。
本講義では、「産業や企業のホスピタリティに焦点を当て、ホスピタリティが生み出す価値と影響について理解する」と「企業は組織体として何を捉まえて、消費者にどう伝えるのかを考察する」をテーマに、エアライン、ホテル、テーマパーク、デパート等、認知度の高いホスピタリティ産業を取り上げ、ケーススタディ、グループワーク、ディスカッションを通じて、ホスピタリティとは何かを自分自身で定義する。
なお、本講座は ＡＮＡ 総合研究所の企業講師が担当する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：・ホスピタリティの意味を理解できる。
・各企業がホスピタリティをどのように捉え、発揮しているかを知る。
・企業活動で求められるホスピタリティを理解し、考え、立案できる。
個別目標：・ホスピタリティ産業について自ら意見を発信することができる。
・ホスピタリティ産業について、グループディスカッションができる。
・集めた情報を精査した上で、自身の考えと併せて発言できる

▌履修条件

・ホスピタリティに興味・関心を持つ学生
・ホスピタリティ産業への就職を希望する学生
・グループワークやディスカッションに積極的に参加できる学生

▌評価基準・方法

・授業、グループワークへの参加姿勢 30%
・最終プレゼンテーション　30%
・事前課題の提出　20%
・レポート　20%
以上を総合的に判断し評価する。5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、各回の授業において行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループディスカッション・プレゼンテーション・レポート）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （プレゼンテーションの作成）

▌教科書

使用しない。必要に応じレジュメ、ワークシートを配布する。
DVD などの映像を使用する。

▌参考書

必要に応じ、適宜授業の中で紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：授業の流れと学ぶ目的、課題の取り組み方、評価について確認する。 事前学修 2.0hr：全 15 回の授業内容について確認する。 事後学修 2.0hr：授業で学ぶ内容、自身の興味のある業界・企業について考える。
2回	**授業テーマ：ホスピタリティ産業とは** 授業内容：ホスピタリティとサービスの違いを理解し、ホスピタリティ産業について学ぶ。 事前学修 2.0hr：ホスピタリティとは何か、自分の見解をまとめておく。 事後学修 2.0hr：ホスピタリティのあり方について実社会の中で実践、理解する。
3回	**授業テーマ：ホスピタリティ産業における商品価値** 授業内容：ホスピタリティ産業の特徴を学び、ホスピタリティ産業における商品価値を考える。 事前学修 2.0hr：商品価値、付加価値について、調べておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、自分の意見をまとめる。
4回	**授業テーマ：企業における顧客満足度と従業員満足度** 授業内容：ホスピタリティ産業における顧客満足度と従業員満足度について学ぶ。 事前学修 2.0hr：ＣＳ、ＥＳとは何か、調べておく。 事後学修 2.0hr：ＣＳ、ＥＳについて自分の体験や経験から考える。
5回	**授業テーマ：ホスピタリティを発揮する組織とは** 授業内容：ホスピタリティ産業で活躍するために必要なことは何か、自分の学生生活を例に考える。 事前学修 2.0hr：ホスピタリティが高いと思う企業を調べておく。 事後学修 2.0hr：ホスピタリティを発揮するために学生生活の中で取り組むことを考える。
6回	**授業テーマ：1 杯のコーヒーから考える～ホスピタリティの比較①～** 授業内容：目に見えないホスピタリティは比較できるのか、グループワークで意見交換する。 事前学修 2.0hr：普段自分が利用するカフェについてまとめておく。 事後学修 2.0hr：ホスピタリティの比較について、自分の考えをまとめる。
7回	**授業テーマ：1 杯のコーヒーから考える～ホスピタリティの比較②～** 授業内容：事例をもとにグループでホスピタリティの比較検討を行う。 事前学修 2.0hr：グループワークに向けて情報を収集する。 事後学修 2.0hr：グループワークを振り返り、自分の考えをまとめる。
8回	**授業テーマ：ホスピタリティが評価される企業とは** 授業内容：ホスピタリティ産業における企業価値について、学ぶ。 事前学修 2.0hr：興味のある企業が取り組んでいる SDGs について調べておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、自分の意見をまとめる。

9回	**授業テーマ：中間プレゼンテーション** 授業内容：これまで学んだ内容を踏まえて、興味のある企業のホスピタリティについて発表する。 事前学修 2.0hr：興味のある企業が発揮するホスピタリティについて調べる。 事後学修 2.0hr：中間プレゼンテーションの振り返りを行う。
10回	**授業テーマ：事例研究【ホテル】** 授業内容：ホテルの事例を挙げて、顧客満足度についてグループディスカッションを行う。 事前学修 2.0hr：日本のホテル業界について気になるトピックスを調べてくる。 事後学修 2.0hr：事例の顧客満足度について自分の意見をまとめる。
11回	**授業テーマ：事例研究【レストラン】** 授業内容：レストランの事例を挙げて、商品価値についてグループディスカッションを行う。 事前学修 2.0hr：興味のある飲食店について気になるホスピタリティ関連のトピックスを調べてくる。 事後学修 2.0hr：事例の付加価値について自分の意見をまとめる。
12回	**授業テーマ：事例研究【旅行】** 授業内容：旅行業界の事例を挙げて、顧客満足度についてグループディスカッションを行う。 事前学修 2.0hr：日本の旅行業界について気になるトピックスを調べてくる。 事後学修 2.0hr：事例の顧客満足度の比較について自分意見をまとめる。
13回	**授業テーマ：事例研究【百貨店】** 授業内容：百貨店の事例を挙げて、ホスピタリティの発揮についてグループディスカッションを行う。 事前学修 2.0hr：日本の百貨店業界について気になるトピックスを調べてくる。 事後学修 2.0hr：事例のホスピタリティの発揮について自分の意見をまとめる。
14回	**授業テーマ：プレゼンテーション** 授業内容：中間プレゼンテーションのフィードバックを活かし、最終プレゼンテーションを行う。 事前学修 2.0hr：興味のある企業のホスピタリティについて調査、プレゼンテーション資料作成を行う。グループで意見をまとめておく。 事後学修 2.0hr：これまでの授業内容について振り返る。
15回	**授業テーマ：プレゼンテーション** 授業内容：中間プレゼンテーションのフィードバックを活かし、最終プレゼンテーションを行う。 事前学修 2.0hr：今までの授業内容を復習する、最終プレゼンテーション作成。 事後学修 2.0hr：グループワーク、発表について振り返る。

ビジネスコミュニケーション A・B

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：集中 ｜ 備考：ビジネスコミュニケーションプログラム

安部　桂子（あべ　けいこ）

▌授業の概要

企業が採用したい大学生に求める資質として、積極性、責任感、コミュニケーション能力等があげられます。とりわけ、マナーを含む「コミュニケーション能力」は、国内のみならずグローバルなビジネスの世界においても、円滑で信頼のある人間関係を構築するために欠かせない能力のひとつです。集中プログラムでは、主にマナーとコミュニケーションについて学びます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：実社会で必要となる正しい敬語遣いやビジネスマナーの基本を学習し自分自身の印象や表現力を向上させ、好印象を与える面接対応ができるようになる。

個別目標：相手に好印象を与える挨拶、表情、身だしなみ、敬語遣い、態度所作を身につけることができる。
自分自身が相手に与える印象を客観的に確認することができ、自らの課題を克服することができる。

▌履修条件

学事課（教務担当）で各自履修申請を行う。学事課（教務担当）の指示に従ってください。
また、1 クラス 10 名以内とし、受講者は先着順とします。

▌評価基準・方法

評価は S・A・B・C の評価ではなく N（認定）の判定とし、担当教員が下記の基準で判断します。
無遅刻、無欠席で受講した場合のみ単位を認定します。

▌フィードバック方法

最終講義内でコメントを行う

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （他の学生の前で、自己紹介や自分自身の考えを発表する）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

使用しません。

▌参考書

必要に応じ教室もしくはオンライン授業内で案内します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

授業テーマ

第 1 回：プレゼンテーション演習－(1)（自己紹介）
第 2 回：プレゼンテーション演習－(2)（自己分析）
第 3 回：ビジネスコミュニケーション－ 1（非言語）
第 4 回：ビジネスコミュニケーション－ 2（言語）
第 5 回：ビジネスコミュニケーション－ 3（ホスピタリティ）
第 6 回：ビジネスコミュニケーション－ 4（実技）
第 7 回：プレゼンテーション演習－(3)（総合演習）
第 8 回：プレゼンテーション演習－(4)（総合演習）

授業内容

第 1 回：一人一人が自分自身の目標や強み等を発表することによって、コミュニケーションの第一歩としての第一印象の重要性について学ぶ。
第 2 回：一人一人が自分自身の目標や強み等を発表することによって、自分自身の第一印象を確認し、課題を認識する。
第 3 回：非言語（表情、身だしなみ、立ち居振る舞い等）の重要性について理解し、演習によって実際に身につける。
第 4 回：正しく美しい敬語表現を学ぶ。
第 5 回：ホスピタリティの基礎を解説し、実生活や企業活動で実践されている事例を取り上げ、更に自分自身がどのように行動化するか考え発表する。
第 6 回：好印象を与える話し方や聴き方を学ぶ。
第 7 回：模擬面接を実施し（ビデオ録画）、自分自身の視覚情報・聴覚情報・言語情報の印象を確認し、今後の各種面接に役立てるよう課題を認識する。
第 8 回：模擬面接を実施し（ビデオ録画）、自分自身の視覚情報・聴覚情報・言語情報の印象を確認し、今後の各種面接に役立てるよう課題を認識する。

事前学修

第 1 回・第 2 回事前学修　2.0hr：自分自身の強みと弱みを整理し口頭表現できるよう準備しておく。
第 3 回・第 4 回事前学修　2.0hr：第一印象を決定づける視覚情報について考えておく。正しい敬語遣いについて予習しておく。
第 5 回・第 6 回事前学修　2.0hr：ホスピタリティを感じた体験を整理しておく。
第 7 回・第 8 回事前学修　2.0hr：時事関連の情報を収集し、自分自身の意見を自らの言葉で表現できるように準備しておく。

事後学修

第 1 回・第 2 回事後学修　2.0hr：好印象を与えるプレゼンテーションの要素について復習する。
第 3 回・第 4 回事後学修　2.0hr：視覚情報としての自分の課題を振り返り整理する。正しい敬語遣いについて振り返り日常的に声に出してみる。
第 5 回・第 6 回事後学修　2.0hr：日常生活の中で、相手に対する共感性を実際に行動化してみる。
第 7 回・第 8 回事後学修　2.0hr：自分自身のプレゼンテーション能力について反省点を整理し、実際の就職活動開始までに再度シミュレーションする。

資本市場の役割と証券投資

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：野村證券ファイナンスプログラム（寄附講座）

廣部　恒忠（ひろべ　つねただ）

▌授業の概要

野村證券株式会社派遣講師が本授業を通じ、資本市場と証券投資に関する知識を与えている。
少子高齢化や人口減少などの人口動態の変化、「金利のある世界」への移行、成年年齢の引き下げなど我々の日常生活を取り巻く環境が著しく変化している中、自己責任の原則の下、一般生活者・消費者或いは貯蓄・投資者として賢くふるまうためには、ファイナンスに関する実践的な知識が必要不可欠となってきている。このような社会情勢等を鑑み、明海大学と野村證券株式会社が、活力ある社会と経済を形成していくための人材を育成する社会的使命を共有しつつ、広く人類・社会のより豊かな発展に寄与するため、「野村證券ファイナンスプログラム（寄附講座）」を開設し、資本市場と証券投資に関して実践的に学んでいくものである。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：・経済ニュースがわかるようになる。
・自分で投資できる力が身につく。
・社会人基礎力が身につく。

個別目標：・リスクとリターンの関係がわかる。　・証券投資におけるリスクを理解できる。
・債券と株式における違いを理解できる。　・投資信託の種類がわかる。
・成長産業について理解できる。

▌履修条件

金融業界に興味のある者。1 クラス 50 名以内とし、これを超える場合は成績等を勘案し選抜する。事前の産学連携教育プログラムガイダンスに出席し、履修すること。

▌評価基準・方法

授業への取り組み（40 %）及び参加態度（60 %）に基づき総合的に評価する。

▌フィードバック方法

授業中に適宜、或いは manaba を通じて実施する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

特になし

▌参考書

「新・入門証券論」榊原茂樹、城下賢吾、岡村秀夫、山口聖、月岡靖智、北島孝博 著／有斐閣コンパクト

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：ガイダンス 事前学修 2.0hr：シラバスを読んでおくこと 事後学修 2.0hr：第 1 回目授業の復習
2 回	**授業テーマ：経済情報の捉え方** 授業内容：様々な経済情報を通じて、どのように「経済」というものが成り立っているのかを理解していく。企業、家計、国、海外と各項目に分けることによってその関連性を確認し、経済情報の捉え方を学習する。 事前学修 2.0hr：経済のニュースをみること 事後学修 2.0hr：第 2 回目授業の復習
3 回	**授業テーマ：金融資本市場の役割とその変化** 授業内容：金融市場への理解を深める意味で、金融の仕組み、我が国の資金循環の状況、経済と関連した最近の構造的変化などを解説し、今後の展望を交えながら金融市場の役割を学習する。 事前学修 2.0hr：前回授業の復習と経済のニュースをみること 事後学修 2.0hr：第 3 回目授業の復習
4 回	**授業テーマ：債券市場の役割と投資の考え方 (基礎編)** 授業内容：債券の基本、債券と株式の違い、債券と預金の違い、債券の種類について学習する。また、債券投資のリスク、利率と利回りの違い、利回り計算の具体例を示し、計算問題に取り組む。 事前学修 2.0hr：前回授業の復習と経済のニュースをみること 事後学修 2.0hr：第 4 回目授業の復習
5 回	**授業テーマ：債券市場の役割と投資の考え方 (応用編)** 授業内容：債券価格（＝金利）の変動と景気・政策・需給などとの関連について理解を深める。また、債券投資に伴う投資リスクについても学習し、グローバルな債券投資についても学習する。 事前学修 2.0hr：前回授業の復習と経済のニュースをみること 事後学修 2.0hr：第 5 回目授業の復習
6 回	**授業テーマ：外国為替相場とその変動要因** 授業内容：外国為替に関する基本的な用語、メカニズムを学び、経済の動きとの関連に関し学習することにより、日本経済と世界経済との連動に対する理解を深める。 事前学修 2.0hr：前回授業の復習と経済のニュースをみること 事後学修 2.0hr：第 6 回目授業の復習
7 回	**授業テーマ：株式市場の役割と投資の考え方 (基礎編)** 授業内容：株式の誕生からその意義、原則などの基礎知識と、株式投資の魅力や株式市場について学習する。 事前学修 2.0hr：前回授業の復習と経済のニュースをみること 事後学修 2.0hr：第 7 回目授業の復習
8 回	**授業テーマ：株式市場の役割と投資の考え方 (応用編)** 授業内容：株価の分析、評価方法を踏まえた銘柄選択の考え方などについて理解を深める。また、投資情報として投資に関するレポートなどを紹介する。 事前学修 2.0hr：前回授業の復習と経済のニュースをみること 事後学修 2.0hr：第 8 回目授業の復習

9回	**授業テーマ：投資信託の役割とその仕組み** 授業内容：「投資信託」という言葉の意味から、特徴、仕組みなどについて学習する。また、投資信託の選び方や最近注目されている投資信託についても、具体的に学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回授業の復習と経済のニュースをみること 事後学修 2.0hr：第 9 回目授業の復習
10回	**授業テーマ：リスク・リターンとポートフォリオ分析** 授業内容：「投資とは」、「リスクとは」、「リターンとは」という基礎知識について学習した後、リスクコントロールの基本的な考え方とその具体的な手法について学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回授業の復習と経済のニュースをみること 事後学修 2.0hr：第 10 回目授業の復習
11回	**授業テーマ：産業展望と投資の考え方** 授業内容：日本の成長産業についてや、コロナ後を見据えた世界と日本の成長戦略について学ぶ。 また現在の政権の政策と成長テーマについて、現在の新聞やニュースなど時事問題を理解できるように学習する。 事前学修 2.0hr：前回授業の復習と経済のニュースをみること 事後学修 2.0hr：第 11 回目授業の復習
12回	**授業テーマ：行動ファイナンス～投資家心理について～** 授業内容：証券投資を行なう際の心構えとして、私たちの投資判断に影響を与える様々な心理的バイアスについて理解するとともに、その具体例を通して対処法と投資行動への応用法や「行動ファイナンス」の基本を学習する。 事前学修 2.0hr：前回授業の復習と経済のニュースをみること 事後学修 2.0hr：第 12 回目授業の復習
13回	**授業テーマ：ライフプランニングと資産形成** 授業内容：なぜライフプランが必要なのか、充実した将来のために必要な「ライフプラン」についての考え方を学習する。将来に予想される環境の理解と、私たちの暮らしに影響を与える年金制度改革の概要についても学習する。 事前学修 2.0hr：前回授業の復習と経済のニュースをみること 事後学修 2.0hr：第 13 回目授業の復習
14回	**授業テーマ：資産形成制度について** 授業内容：社会人になるにあたり知っておくべき資産形成制度について、主な制度内容を学習する。また少額投資非課税制度（NISA）、確定拠出年金の詳細に触れていく。 事前学修 2.0hr：前回授業の復習と経済のニュースをみること 事後学修 2.0hr：第 14 回目授業の復習
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：まとめ 事前学修 2.0hr：前回授業の復習と経済のニュースをみること 事後学修 2.0hr：第 1～15 回目授業の復習

ビジネス実務における AI データサイエンス Ⅰ

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：Trip7 AI データサイエンスプログラム（寄附講座）

内苑　孝美（うちぞの　たかみ）

▌授業の概要

本講義の目標は、職場で活用される AI 技術を体験し、AI の基礎と最新技術について学び、テキスト生成 AI を活用した効率的なコンテンツ作成および AI プログラムの構築方法の基本を修得することである。また、Excel を用いたデータ操作を実践し、生成 AI を活用してホームページを作成することによって、AI 技術を実務とビジネスに応用できるスキルを身につける。講義の最終課題として、修得した AI データサイエンスの知識を活かして、各自でマイホームページの作成に取り組んでもらう。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：AI の基本概念と最新技術を理解し、テキスト生成および AI プログラム作成、データ操作、生成 AI を活用したマイホームページ作成を通じて、AI データサイエンス技術をビジネス実務に応用できる実践的なスキルを身につける。

個別目標：① AI データサイエンスの基本概念と最新技術の概要を説明できる。
② 様々なビジネス分野における具体的な AI データサイエンスの活用事例について理解できる。
③ 基本的な AI プログラムを構築し、その仕組みを理解できる。
④ Excel を用いてデータの操作と分析を効果的に伝えることができる。
⑤ 生成 AI を用いてマイホームページの作成ができる。

▌履修条件

AI データサイエンスに興味があり、AI を活用した実践的なデータ分析スキルを身につけたい方。

▌評価基準・方法

小テスト 30 %、成果物発表 70 %程度の割合で評価する。
また、全授業数の 4/5 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

提出物の評価およびフィードバックは授業内で行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （授業回によって異なる。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （授業内で PC を利用したデータ収集と分析等を行いますので毎回 PC を持参してください。）

▌教科書

教科書：特になし。
その他：レジュメを配布する。

▌参考書

適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：AI の概要(1)** 授業内容：AI とは。データ科学との関係。 事前学修 1.0hr：シラバスを読む。 事後学修 3.0hr：授業で学んだ内容を復習する。
2 回	**授業テーマ：AI の概要(2)** 授業内容：AI の実用例と社会的影響、将来の動向。 事前学修 1.0hr：AI の現状を調べておく。 事後学修 3.0hr：授業で学んだ内容を復習し、自ら AI の実用例を調べる。
3 回	**授業テーマ：テキスト生成 AI の活用(1)** 授業内容：生成 AI の主要な技術や学習方法を理解し、モデルの仕組みを把握する。 事前学修 1.0hr：前回の授業で学んだ内容を復習しておく。 事後学修 3.0hr：授業で学んだ内容を復習する。
4 回	**授業テーマ：テキスト生成 AI の活用(2)** 授業内容：生成 AI の活用事例。使用時のポイントと基本的な生成手法。 事前学修 1.0hr：生成 AI の活用事例を調べておく。 事後学修 3.0hr：授業で学んだ内容を復習する。
5 回	**授業テーマ：テキスト生成 AI の活用(3)** 授業内容：生成 AI で文章生成とやコンテンツ制作の方法。 事前学修 1.0hr：前回の授業で学んだ内容を復習しておく。 事後学修 3.0hr：授業で学んだ内容を復習し、練習を行う。
6 回	**授業テーマ：AI プログラムの作り方(1)** 授業内容：Python の基本構文、データ型、環境設定、プログラム作成の基礎。 事前学修 1.0hr：担当教員の指示に従って資料を確認する。 事後学修 3.0hr：授業で学んだ内容を復習する。
7 回	**授業テーマ：AI プログラムの作り方(2)** 授業内容：制御構造、関数、リスト内包表記。効率的にコードを書く方法。 事前学修 1.0hr：前回の授業で学んだ内容を復習しておく。 事後学修 3.0hr：授業で学んだ内容を復習する。
8 回	**授業テーマ：AI プログラムの作り方(3)** 授業内容：クラスの定義と継承。オブジェクト指向プログラミングの基礎。Python を使用してコンソール商品管理システムを開発する。 事前学修 1.0hr：前回の授業で学んだ内容を復習しておく。 事後学修 3.0hr：授業で学んだ内容を復習する。
9 回	**授業テーマ：Excel による実践的データ操作(1)** 授業内容：セルの使い方、数式の設定、基本的なデータ入力・編集、データ管理の基礎。 事前学修 1.0hr：担当教員の指示に従って資料を確認する。 事後学修 3.0hr：授業で学んだ内容を復習し、練習を行う。

10回	**授業テーマ：Excel による実践的データ操作(2)** 授業内容：データの並べ替え、フィルタリング、重複データの削除。Trip7 社のビジネスデータクリーニングをする。 事前学修 1.0hr：前回の授業で学んだ内容を復習しておく。 事後学修 3.0hr：授業で学んだ内容を復習し、練習を行う。
11回	**授業テーマ：Excel による実践的データ操作(3)** 授業内容：VLOOKUP、HLOOKUP、INDEX、MATCH 関数の使用。条件付き書式を含めた複雑なデータの操作。経営上の意思決定、実稼働データを仮説検証。 事前学修 1.0hr：前回の授業で学んだ内容を復習しておく。 事後学修 3.0hr：授業で学んだ内容を復習し、練習を行う。
12回	**授業テーマ：Excel による実践的データ操作(4)** 授業内容：ピボットテーブルやグラフ、ダッシュボードの作成。データ分析結果を効果的に伝える方法。 事前学修 1.0hr：前回の授業で学んだ内容を復習しておく。 事後学修 3.0hr：授業で学んだ内容を復習し、練習を行う。
13回	**授業テーマ：生成 AI でホームページの作成(1)** 授業内容：生成 AI を使ってビジネスイベントのウェブサイトをつくる。マルチ言語でスローガンや宣伝文を作成する。 事前学修 1.0hr：担当教員の指示に従って資料を確認する。 事後学修 3.0hr：授業で学んだ内容を復習し、練習を行う。
14回	**授業テーマ：生成 AI でホームページの作成(2)** 授業内容：ウェブサイトにインタラクティブな機能を加え、顧客意向情報を収集し分類する機能を実現。 事前学修 1.0hr：前回の授業で学んだ内容を復習しておく。 事後学修 3.0hr：授業で学んだ内容を復習し、練習を行う。
15回	**授業テーマ：生成 AI でホームページの作成(3)** 授業内容：最終的な成果物を発表し、フィードバックを行う。 事前学修 1.0hr：表を練習する。これまでの学修内容を復習する。 事後学修 3.0hr：学修内容を復習する。

ビジネス実務における AI データサイエンスⅡ

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 ｜ 備考：Trip7 AI データサイエンスプログラム（寄附講座）

内苑　孝美（うちぞの　たかみ）

▌授業の概要

本講義の目標は、AI（人工知能）とデータ分析の基礎から応用に至るまでの内容を学び、ビジネスシーンにおいて即戦力として活用できるスキルを修得することである。具体的には、画像生成 AI、Power BI を活用したデータ分析技術、Python プログラミングの基礎、そして生成 AI を活用した企業ホームページ作成技術に焦点を当てて、理論と実践のスキルを身につける。講義の最終課題として、修得した AI データサイエンスの知識を活かして、指定条件で企業ホームページの作成に取り組んでもらう。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：AI の基本知識とその歴史的背景を理解し、画像生成 AI と Python を活用でき、Power BI を用いてデータ分析と可視化を実現し、生成 AI を活かして企業ホームページとデザインを効率的に作成できる。

個別目標：① AI の歴史と背景を説明できる。
② AI を用いて画像生成ができる。
③ Python プログラミング基礎を理解できる。
④ Power BI を用いてレポート作成ができる。
⑤ 生成 AI で企業ホームページとデザイン生成ができる。

▌履修条件

AI データサイエンスに興味があり、AI を活用した実践的なデータ分析スキルを身につけたい方。

▌評価基準・方法

小テスト 30 %、成果物発表 70 %程度の割合で評価する。
また、全授業数の 4/5 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

提出物の評価およびフィードバックは授業内で行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （授業回によって異なる。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （授業内で PC を利用したデータ収集と分析等を行いますので毎回 PC を持参してください。）

▌教科書

教科書：特になし。
その他：レジュメを配布する。

▌参考書

適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：AI の歴史（1）** 授業内容：AI の定義、起源、初期の研究事例。AI 発展の歴史的背景とその影響。 事前学修 1.0hr：シラバスを読む。 事後学修 3.0hr：授業で学んだ内容を復習する。
2回	**授業テーマ：AI の歴史（2）** 授業内容：機械学習とディープラーニングの基礎。データサイエンスとの関連性、現代 AI の応用分野、将来の可能性。 事前学修 1.0hr：AI の応用分野を調べておく。 事後学修 3.0hr：授業で学んだ内容を復習する。
3回	**授業テーマ：画像生成 AI の活用（1）** 授業内容：画像生成 AI の基本概念、技術的基盤、代表的なモデルとその仕組み。 事前学修 1.0hr：前回の授業で学んだ内容を復習しておく。 事後学修 3.0hr：授業で学んだ内容を復習する。
4回	**授業テーマ：画像生成 AI の活用（2）** 授業内容：画像生成 AI の環境構築、テキストから画像を生成する方法、カスタマイズの基本。 事前学修 1.0hr：前回の授業で学んだ内容を復習しておく。 事後学修 3.0hr：授業で学んだ内容を復習する。
5回	**授業テーマ：画像生成 AI の活用（3）** 授業内容：画像生成 AI の応用分野を探求し、倫理的問題と法律的観点を理解しながら実践的な画像生成を行う。 事前学修 1.0hr：AI 技術の懸念と倫理的な問題を事前に調べておく。 事後学修 3.0hr：授業で学んだ内容を復習し、練習を行う。
6回	**授業テーマ：Python 基礎（1）** 授業内容：基本的なプログラミング概念、Python 開発環境の構築、最初のプログラムを作成する。 事前学修 1.0hr：担当教員の指示に従って資料を確認する。 事後学修 3.0hr：授業で学んだ内容を復習する。
7回	**授業テーマ：Python 基礎（2）** 授業内容：プログラムの構造、効率的で読みやすいコードの書き方。実践演習。 事前学修 1.0hr：前回の授業で学んだ内容を復習しておく。 事後学修 3.0hr：授業で学んだ内容を復習し、練習を行う。
8回	**授業テーマ：Python 基礎（3）** 授業内容：オブジェクト指向プログラミングの基礎。実践演習。Python Flask を使用して製品管理 Web サイトを開発する。 事前学修 1.0hr：前回の授業で学んだ内容を復習しておく。 事後学修 3.0hr：授業で学んだ内容を復習し、練習を行う。
9回	**授業テーマ：Power BI による実践的データ操作（1）** 授業内容：ビジネスインテリジェンス（BI）の基本概念、Power BI の概要、インストール方法、基本的な操作方法。 事前学修 1.0hr：担当教員の指示に従って資料を確認する。 事後学修 3.0hr：授業で学んだ内容を復習し、練習を行う。

10回	**授業テーマ：Power BI による実践的データ操作（2）** 授業内容：Power Query を活用したデータのクリーニング手法、簡単なデータモデリングの作成方法。株式会社 Trip7 の実際の売上金額時系列を分析する。 事前学修 1.0hr：前回の授業で学んだ内容を復習しておく。 事後学修 3.0hr：授業で学んだ内容を復習し、練習を行う。
11回	**授業テーマ：Power BI による実践的データ操作（3）** 授業内容：Power BI の可視化コンポーネント、ビジネスレポートの保管場所（ワークスペース）を作成する、会社レポートの管理と運用。 事前学修 1.0hr：前回の授業で学んだ内容を復習しておく。 事後学修 3.0hr：授業で学んだ内容を復習し、練習を行う。
12回	**授業テーマ：Power BI による実践的データ操作（4）** 授業内容：実際のケースを基に、Power BI を使ったデータ分析とレポート作成を実践する。株式会社 Trip7 の実際営業契約を分析、レポートを発行する。 事前学修 1.0hr：前回の授業で学んだ内容を復習しておく。 事後学修 3.0hr：授業で学んだ内容を復習し、練習を行う。
13回	**授業テーマ：生成 AI で企業ホームページの作成（1）** 授業内容：企業ホームページの重要性と構成要素。生成 AI を使って Trip7 社のホームページの HTML コードを生成する。 事前学修 1.0hr：担当教員の指示に従って資料を確認する。 事後学修 3.0hr：授業で学んだ内容を復習し、練習を行う。
14回	**授業テーマ：生成 AI で企業ホームページの作成（2）** 授業内容：ホームページの基本的なレイアウト設計、生成 AI を活用して Trip7 社のホームページのメディアデータを生成する。 事前学修 1.0hr：前回の授業で学んだ内容を復習しておく。 事後学修 3.0hr：授業で学んだ内容を復習し、練習を行う。
15回	**授業テーマ：生成 AI で企業ホームページの作成（3）** 授業内容：最終的な成果物を発表し、フィードバックを行う。 事前学修 1.0hr：発表を練習する。これまでの学修内容を復習する。 事後学修 3.0hr：学修内容を復習する。

アカデミック日本語 I

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：留学生クラス

中部　直之（なかべ　なおゆき）

▌授業の概要

アカデミック日本語では、大学での授業の理解および課題を行うために必要な日本語能力を育成する。アカデミック日本語 I の内容は「文法」である。専門分野の技術的な議論も含めて、具体的な話題でも抽象的な話題でも複雑なテクストの主要な内容を理解するために重要な文法・表現を学習する。授業外には事前学修、事後学修、課題に取り組み、授業内では毎回小テストがある。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：大学の授業で使う文法的表現の意味・機能・文法などの規則を、正しく理解して、適切な場面で正しく使うことができる。
自分の文法能力を適切に評価し、能動的に弱点を補う自己学習能力を育てる。

個別目標：(1) 一文レベル、談話レベルで文法的表現を正しく理解できる。
(2) それぞれの文法的表現がどのような場面で使われているかを理解し、一文レベル、および談話レベルで正しく使うことができる。
(3) オンラインリソースを活用し、それぞれの文法的表現がどのような場面でよく使われているか説明することができる。
(4) 自分の文法能力を適切に評価し、弱点を補うための計画を立て、補習等を利用して能動的に学習を実行し、正しくふりかえることができる。

▌履修条件

留学生クラスである。
課題の提出期限を守る。
manaba による連絡を確認する。
自分の能力を客観的に評価し、弱点を補う努力をする。

▌評価基準・方法

テスト 50%、課題提出 40%、スキルアップ講座 10%で評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは manaba および対面授業を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ほぼ毎回グループワークを実施する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （ほぼ毎回 manaba、respon を使用する（スマートフォン対応可）。）

▌教科書

福島佐知、友松悦子、中村かおり『新完全マスター文法 N1』スリーエーネットワーク

▌参考書

『新装版 どんなときどう使う 日本語表現文型辞典』アルク

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、事前テスト、時間関係** 授業内容：授業の概要、目的、学習の進め方、評価に関する説明を聞き、理解する。その後、事前テストを受ける。時間関係を表す文法表現「～が早いか」「～や否や」「～なり」「そばから」「てからというもの (は)」「～にあって」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 1 を練習する。	16回	**授業テーマ：結末・最終の状態、前学期の復習** 授業内容：結末・最終の状態を表す表現「～に至って」「～に至っては」「～始末だ」「～っぱなしだ」を練習する。第１回から第１５回の内容を復習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 16 を練習する。
2回	**授業テーマ：範囲の始まり・限度** 授業内容：範囲の始まり・限度を表す文法表現「～を皮切りに(して)」「～に至るまで」「～を限りに」「～をもって」「～といったところだ」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 2 を練習する。	17回	**授業テーマ：強調** 授業内容：強調を表す表現「～たりとも～ない」「～すら」「～だに」「～にして」「～あっての」「～からある」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 17 を練習する。
3回	**授業テーマ：限定・非限定・付加** 授業内容：限定・非限定・付加を表す文法表現「～をおいて」「～ならでは」「～にとどまらず」「～はおろか」「～もさることながら」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 3 を練習する。	18回	**授業テーマ：主張・断定** 授業内容：主張・断定を表す表現「～までもない」「～までだ」「～ばそれまでだ」「～には当たらない」「～でなくてなんだろう(か)」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 18 を練習する。
4回	**授業テーマ：例示** 授業内容：例示を表す文法表現「～なり～なり」「～であれ～であれ」「～といい～といい」「～といわず～といわず」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 4 を練習する。	19回	**授業テーマ：評価・感想** 授業内容：評価・感想を表す表現「～に足る」「～に堪える」「～といったらない」「～かぎりだ」「～極まる／極まりない」「～とは」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 19 を練習する。
5回	**授業テーマ：関連・無関係** 授業内容：関連・無関係を表す文法表現「～いかんだ」「～いかんにかかわらず」「～をものともせず(に)」「～をよそに」「～ならいざしらず」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 5 を練習する。	20回	**授業テーマ：心情・強制的思い** 授業内容：心情・強制的思いを表す表現「～てやまない」「～に堪えない」「～ないではすまない」「～ないではおかない」「～禁じ得ない」「～余儀なくされる」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 20 を練習する。
6回	**授業テーマ：様子** 授業内容：様子を表す文法表現「～ばかりだ」「～ばかり(に)」「～ともなく」「～ながらに(して)」「～きらいがある」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 6 を練習する。	21回	**授業テーマ：文の組み立て** 授業内容：文の組み立てルール「後に否定の言い方が来るもの」「疑問詞につくもの」「数字につくもの」、名詞を説明「後に名詞が来るもの」「名詞を説明する形式」「名詞につくもの」「名詞・動詞辞書形につながるもの」「動詞辞書形につながるもの」を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 21 を練習する。
7回	**授業テーマ：付随行動** 授業内容：付随行動を表す文法表現「～がてら」「～かたがた」「～かたわら」を練習する。第１回から第４回の復習をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 7 を練習する。	22回	**授業テーマ：時制** 授業内容：時制を表す用法「現在の文の特別な用法」「過去形の文の特別な用法」「動詞のている形の特別な用法」「名詞を説明する文の時制」を整理し、文章の中で使えるよう練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 22 を練習する。

8回	**授業テーマ：逆接** 授業内容：逆接を表す文法表現「～ところを」「～ものを」「～とはいえ」「～といえども」「～と思いきや」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 8 を練習する。	23回	**授業テーマ：条件を表す文** 授業内容：仮定か確定かの判断、反実仮想、前置き表現など条件を表す文法形式を整理し、文章の中で使えるよう練習する。第１回から第２０回の内容を復習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 23 を練習する。
9回	**授業テーマ：条件** 授業内容：条件を表す文法表現「～とあれば」「～たら最後」「～ようでは」「～なしに(は)」「～くらいなら」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 9 を練習する。	24回	**授業テーマ：視点を動かさない手段 1,2** 授業内容：文章にまとまりをもたせ、視点を動かさないようにするための表現「動詞の使い方」「自他動詞の使い分け」を整理し、練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 24 を練習する。
10回	**授業テーマ：逆接条件** 授業内容：逆接表現「～(よ)うと(も)」「～(よ)うと～まいと」「～であれ」「～たところで」「～ば～で」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 10 を練習する。	25回	**授業テーマ：視点を動かさない手段 3,4** 授業内容：文章にまとまりをもたせ、視点を動かさないようにするための表現「受け身・使役・使役受け身の使い分け」「～てあげる・～てもらう・～てくれるの使い分け」を整理し、練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 25 を練習する。
11回	**授業テーマ：目的・手段** 授業内容：目的・手段を表す文法表現「～べく」「～んがため(に)」「～をもって」を練習する。第１回～第８回の練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 11 を練習する。	26回	**授業テーマ：模擬試験とフィードバック** 授業内容：これまで学習した文法をどの程度理解しているか測定するテストを実施する。その後、フィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 26 を練習する。
12回	**授業テーマ：原因・理由** 授業内容：原因・理由を表す表現「～ばこそ」「～とあって」「～ではあるまいし」「～手前」「～ゆえ(に)」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 12 を練習する。	27回	**授業テーマ：指示表現「こ・そ・あ」の使い分け、「は・が」の使い分け** 授業内容：文章中に出てくる指示表現の使い分けと「は・が」の使い分けを整理し、練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 27 を練習する。
13回	**授業テーマ：可能・不可能・禁止** 授業内容：可能・不可能・禁止を表す表現「～にかたくない」「～に～ない」「～てはいられない」「～べくもない」「～べからず」「～まじき」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 13 を練習する。	28回	**授業テーマ：接続表現** 授業内容：文章の展開を助け、文章のまとまりをもたせる役割をもつ接続表現を整理し、練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 28 を練習する。
14回	**授業テーマ：話題・評価の基準** 授業内容：話題・評価の基準を表す表現「～ときたら」「～ともなると」「～ともあろう」「～たるもの」「～なりに」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 14 を練習する。	29回	**授業テーマ：省略・繰り返し・言い換え、文体の一貫性、話の流れを考える** 授業内容：文章中の省略、繰り返し、言い換えを理解する。文体の一貫性を保つための表現「硬い表現」「会話で使う表現」を整理し、練習する。話しの進め方にかかわる表現を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 29 を練習する。
15回	**授業テーマ：比較対照、中間テストとフィードバック** 授業内容：比較対照を表す表現「～にひきかえ」「～にもまして」「～ないまでも」を練習する。第１回～第１４回の内容をテストで復習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 15 を練習する。	30回	**授業テーマ：最終テストとフィードバック** 授業内容：第１回から第２９回までに学習した内容を最終テストする。その後、フィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 30 を練習する。

アカデミック日本語Ⅰ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：MGO 留学生サポートプログラム用クラス(留 H)

山口　真葵（やまぐち　まき）

▌授業の概要

留学生の社会的自立、職業的自立を促すため日本語能力に応じた日本語教育およびキャリア教育を行う「MGO 留学生サポートプログラム」の一環として実施する科目である。「アカデミックⅠ」は日本で仕事をするうえで必要なジェネリックスキルの一つである日本語コミュニケーション能力を育成する。事前学修、事後学修、課題を授業外に行い、授業では小テストを実施する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：背景の異なるさまざまな人と一緒に働くことを想定し、社内外の人と担当領域から一般的なものまで幅広い話題について、流暢に、正確に、そして効果的に言葉を用いて、言いたいことを概ね表現できる。その場にふさわしい丁寧さで自然なコミュニケーションをとることができる。

個別目標：(1) 日本語話者を相手に一般的な事柄についてストレスを感じさせることなく流暢に会話することができる。
(2) 日本のビジネスマナー、コミュニケーションスタイルに関する基本的な知識があり、状況に応じた表現を使い分けることができる。
(3) 相手の発言に言葉の内容とは異なる意図が含まれている場合、その意図を概ね理解して的確に対応することができる。

▌履修条件

MGO 留学生サポートプログラムに登録済みで、N1 取得者を対象とする。
日本語のコミュニケーション能力を測る資格試験を受験する。
授業への主体的な参加を求める。
課題提出の期限を守る。

▌評価基準・方法

資格試験 40%、テスト 30%、課題提出 30%で評価する。

▌フィードバック方法

フィードバックは manaba および対面授業で行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ほぼ毎回ペアおよびグループワークがある。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （ほぼ毎回 manaba、respon を使用する(スマートフォン対応可)。）

▌教科書

村野節子・山辺真理子・向山陽子『上級レベル　ロールプレイで学ぶビジネス日本語』スリーエーネットワーク
牧野成一 (監)『PJC 実践日本語コミュニケーション検定ガイドブック』ウィネット出版

▌参考書

JAL アカデミー株式会社『改訂新版 ビジネス日本語用例辞典』アスク
公益財団法人日本電信電話ユーザー協会編『もしもし検定電話対応技能検定３・４級公式問題集』日本経済新聞出版

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、事前テスト、自己紹介を行う(社内)** 授業内容：コースの概要と目的、学習の進め方、評価方法について理解する。そのあと、社内で自己紹介を行う場面の会話を聞いて語彙と表現を学習し、ロールカードの状況で会話の練習を行う。会話を発表し、より適切で自然な展開を学習する。 事前学修 2.0hr：ビジネスにおける日本語コミュニケーションにおいて必要な知識をまとめる。 事後学修 2.0hr：自身の日本語ビジネス日本語コミュニケーション能力について客観的に分析し、目標を立てる。	16回	**授業テーマ：私の言い分「私は能力のある人間です」異文化ロールプレイ「自慢話と自己アピール」、前学期の復習** 授業内容：私の言い分「私は能力のある人間です」で提示された問題点を把握し、問題を解決するためにはどのように行動すべきかを考える。「自慢話と自己アピール」をテーマとした異文化ロールプレイを行ない、問題点について話し合う。前学期の復習をする。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。前学期の復習をしておく。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。
2回	**授業テーマ：自己紹介を行う(社外)** 授業内容：社外で自己紹介を行う場面の会話を聞いて語彙と表現を学習したあとで、ロールカードの状況で会話の練習を行う。会話を発表し、より適切で自然な展開、表現を学習する。PJC の概要を学ぶ。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。PJC について調べる。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。	17回	**授業テーマ：私の言い分「お茶くみは誰の仕事？」異文化ロールプレイ「仕事の範囲」、会議・打ち合わせ、面接** 授業内容：私の言い分「お茶くみは誰の仕事？」で提示された問題点を把握し、問題を解決するためにはどのように行動すべきかを考える。「仕事の範囲」をテーマとした異文化ロールプレイを行ない、問題点について話し合う。「会議・打ち合わせ、面接」について学習する。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。
3回	**授業テーマ：電話を受ける、社会人としての心構え** 授業内容：電話を受ける場面の会話を聞いて語彙と表現を学習したあとで、ロールカードの状況で会話の練習を行う。会話を発表し、より適切で自然な展開を学習する。社会人としての心構えを学ぶ。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。	18回	**授業テーマ：私の言い分「家庭と仕事、どっちが大事？」異文化ロールプレイ「休暇の申請」** 授業内容：私の言い分「家庭と仕事、どっちが大事？」で提示された問題点を把握し、問題を解決するためにはどのように行動すべきかを考える。「休暇の申請」をテーマとした異文化ロールプレイを行ない、問題点について話し合う。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。
4回	**授業テーマ：アポイントを取る、人間関係の作り方①コミュニケーションを取る際の留意点、敬語** 授業内容：アポイントを取る場面の会話を聞いて語彙と表現を学習したあとで、ロールカードの状況で会話の練習を行う。会話を発表し、より適切で自然な展開を学習する。コミュニケーションを取る際の留意点、敬語を学ぶ。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。	19回	**授業テーマ：私の言い分「会議で使う資料はいつまでに作ればいい？」異文化ロールプレイ「指示の仕方」** 授業内容：私の言い分「会議で使う資料はいつまでに作ればいい？」で提示された問題点を把握し、問題を解決するためにはどのように行動すべきかを考える。「指示の仕方」をテーマとした異文化ロールプレイを行ない、問題点について話し合う。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。
5回	**授業テーマ：会議に参加する、人間関係の作り方②効果的な伝え方、話の組み立て方、ビジネスにおける指示の受け方、確認の仕方** 授業内容：会議に参加する場面の会話を聞いて語彙と表現を学習したあとで、ロールカードの状況で会話の練習を行う。会話を発表し、より適切で自然な展開を学習する。効果的な伝え方、話の組み立て方、ビジネスにおける指示の受け方、確認の仕方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。	20回	**授業テーマ：私の言い分「沈黙は金？」異文化ロールプレイ「ミーティングでの発言」** 授業内容：私の言い分「沈黙は金？」で提示された問題点を把握し、問題を解決するためにはどのように行動すべきかを考える。「ミーティングでの発言」をテーマとした異文化ロールプレイを行ない、問題点について話し合う。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。

6回	**授業テーマ：クレームを受ける、人間関係の作り方③あいづちの打ち方、依頼の断り方、日本文化特有のコミュニケーション** 授業内容：クレームを受ける場面の会話を聞いて語彙と表現を学習したあとで、ロールカードの状況で会話の練習を行う。会話を発表し、より適切で自然な展開を学習する。あいづちの打ち方、依頼の断り方、日本文化特有のコミュニケーションを学ぶ。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。	21回	**授業テーマ：私の言い分「どうして謝らなきゃいけないの？」異文化ロールプレイ「謝罪」** 授業内容：私の言い分「どうして謝らなきゃいけないの？」で提示された問題点を把握し、問題を解決するためにはどのように行動すべきかを考える。「謝罪」をテーマとした異文化ロールプレイを行ない、問題点について話し合う。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。
7回	**授業テーマ：クレームを報告する、効率的な仕事の進め方①報告連絡相談、PDCA、仕事の優先順位** 授業内容：クレームを報告する場面の会話を聞いて語彙と表現を学習したあとで、ロールカードの状況で会話の練習を行う。会話を発表し、より適切で自然な展開を学習する。報告連絡相談、PDCA、仕事の優先順位を学ぶ。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。	22回	**授業テーマ：私の言い分「もう解決したんじゃないの？」異文化ロールプレイ「報告ー解決済みの小さなトラブル」** 授業内容：私の言い分「もう解決したんじゃないの？」で提示された問題点を把握し、問題を解決するためにはどのように行動すべきかを考える。「報告ー解決済みの小さなトラブル」をテーマとした異文化ロールプレイを行ない、問題点について話し合う。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。
8回	**授業テーマ：クレームを処理する、効率的な仕事の進め方②来客対応** 授業内容：クレームを処理する場面の会話を聞いて語彙と表現を学習したあとで、ロールカードの状況で会話の練習を行う。会話を発表し、より適切で自然な展開を学習する。来客対応を学ぶ。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。	23回	**授業テーマ：私の言い分「報連相は大事？」異文化ロールプレイ「報告・連絡・相談」** 授業内容：私の言い分「報連相は大事？」で提示された問題点を把握し、問題を解決するためにはどのように行動すべきかを考える。「報告・連絡・相談」をテーマとした異文化ロールプレイを行ない、問題点について話し合う。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。
9回	**授業テーマ：会議で提案する、効率的な仕事の進め方③電話応対** 授業内容：会議で提案する場面の会話を聞いて語彙と表現を学習したあとで、ロールカードの状況で会話の練習を行う。会話を発表し、より適切で自然な展開を学習する。電話応対を学ぶ。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。	24回	**授業テーマ：私の言い分「情報の共有って？」異文化ロールプレイ「メールでの情報の共有」** 授業内容：私の言い分「情報の共有って？」で提示された問題点を把握し、問題を解決するためにはどのように行動すべきかを考える。「メールでの情報の共有」をテーマとした異文化ロールプレイを行ない、問題点について話し合う。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。
10回	**授業テーマ：新規顧客を開拓する、効率的な仕事の進め方④アポイントメント** 授業内容：新規顧客を開拓する場面の会話を聞いて語彙と表現を学習したあとで、ロールカードの状況で会話の練習を行う。会話を発表し、より適切で自然な展開を学習する。アポイントメントについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。	25回	**授業テーマ：私の言い分「人前で怒るなんて！」異文化ロールプレイ「メンツー人前での叱責」** 授業内容：私の言い分「人前で怒るなんて！」で提示された問題点を把握し、問題を解決するためにはどのように行動すべきかを考える。「メンツー人前での叱責」をテーマとした異文化ロールプレイを行ない、問題点について話し合う。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。
11回	**授業テーマ：新規顧客とアポイントをとる、効率的な仕事の進め方④名刺交換、E メール** 授業内容：新規顧客とアポイントをとる場面の会話を聞いて語彙と表現を学習したあとで、ロールカードの状況で会話の練習を行う。会話を発表し、より適切で自然な展開を学習する。名刺交換、E メールの活用方法について学ぶ。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。	26回	**授業テーマ：私の言い分「目標は高いほうがいいに決まっているじゃない？」異文化ロールプレイ「目標設定と評価」** 授業内容：私の言い分「目標は高いほうがいいに決まっているじゃない？」で提示された問題点を把握し、問題を解決するためにはどのように行動すべきかを考える。「目標設定と評価」をテーマとした異文化ロールプレイを行ない、問題点について話し合う。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。
12回	**授業テーマ：商品を売り込む、模擬問題①基礎知識編とフィードバック** 授業内容：商品を売り込む場面の会話を聞いて語彙と表現を学習したあとで、ロールカードの状況で会話の練習を行う。会話を発表し、より適切で自然な展開を学習する。基礎知識の習得を模擬問題で確認する。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。	27回	**授業テーマ：私の言い分「能力だけじゃいけないの？」異文化ロールプレイ「同僚の昇進と不満」** 授業内容：私の言い分「能力だけじゃいけないの？」で提示された問題点を把握し、問題を解決するためにはどのように行動すべきかを考える。「同僚の昇進と不満」をテーマとした異文化ロールプレイを行ない、問題点について話し合う。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。
13回	**授業テーマ：催促の電話をかける、他社訪問、接遇・接客、クレーム対応** 授業内容：催促の電話をかける場面の会話を聞いて語彙と表現を学習したあとで、ロールカードの状況で会話の練習を行う。会話を発表し、より適切で自然な展開を学習する。他社訪問、接遇・接客、クレーム対応を学習する。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。	28回	**授業テーマ：私の言い分「縁故採用のどこが問題？」異文化ロールプレイ「コネ縁故採用」** 授業内容：私の言い分「縁故採用のどこが問題？」で提示された問題点を把握し、問題を解決するためにはどのように行動すべきかを考える。「コネ縁故採用」をテーマとした異文化ロールプレイを行ない、問題点について話し合う。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。
14回	**授業テーマ：交渉を進める、模擬問題②事例編とフィードバック** 授業内容：交渉を進める場面の会話を聞いて語彙と表現を学習したあとで、ロールカードの状況で会話の練習を行う。会話を発表し、より適切で自然な展開を学習する。模擬問題②事例編を行い、フィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。	29回	**授業テーマ：私の言い分「残業は当たり前？」異文化ロールプレイ「残業」** 授業内容：私の言い分「残業は当たり前？」で提示された問題点を把握し、問題を解決するためにはどのように行動すべきかを考える。「残業」をテーマとした異文化ロールプレイを行ない、問題点について話し合う。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。
15回	**授業テーマ：受注に成功する、中間テストとフィードバック** 授業内容：受注に成功する場面の会話を聞いて語彙と表現を学習したあとで、ロールカードの状況で会話の練習を行う。会話を発表し、より適切で自然な展開を学習する。中間テストとフィードバックを受け、学習内容を整理する。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。	30回	**授業テーマ：私の言い分「最高の接待はお腹がすくもの？」、最終テストとフィードバック** 授業内容：私の言い分「最高の接待はお腹がすくもの？」で提示された問題点を把握し、問題を解決するためにはどのように行動すべきかを考える。最終テストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：自身の日本語ビジネス日本語コミュニケーション能力について客観的に分析し、１年間の成長をまとめる。

アカデミック日本語Ⅰ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：MGO 留学生サポートプログラム用クラス(留 S)

髙橋　亜里沙（たかはし　ありさ）・**範　弘宇**（はん　こうう）

▌授業の概要

留学生の社会的自立、職業的自立を促すため日本語能力に応じた日本語教育およびキャリア教育を行う「MGO 留学生サポートプログラム」の一環として実施する科目である。日本で仕事をするうえで必要なジェネリックスキルの一つである日本語コミュニケーション能力を育成する。アカデミック日本語Ⅰの内容は文法である。専門分野の技術的な議論も含めて、具体的な話題でも抽象的な話題でも複雑なテクストの主要な内容を理解するために重要な文法・表現を学習する。毎回、事前学修、事後学修、課題を授業外に行い、授業では小テストを実施する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：大学の授業で使う文法的表現の意味・機能・文法などの規則を、正しく理解して、適切な場面で正しく使うことができる。
文法的表現がどのような場面でよく使われているか説明することができる。
自分の文法能力を適切に評価し、能動的に弱点を補う自己学習能力を育てる。

個別目標：(1) 一文レベル、談話レベルで文法的表現を正しく理解できる。
(2) それぞれの文法的表現がどのような場面で使われているかを理解し、一文レベル、および談話レベルで正しく使うことができる。
(3) オンラインリソースを活用し、それぞれの文法的表現がどのような場面でよく使われているか説明することができる。
(4) 自分の文法能力を適切に評価し、弱点を補うための計画を立て、補習等を利用して能動的に学習を実行し、正しくふりかえることができる。

▌履修条件

MGO 留学生サポートプログラムに登録済みである。
課題の提出期限を守る。
manaba による連絡を確認する。
自分の能力を客観的に評価し、弱点を補う努力をする。

▌評価基準・方法

テスト 50%、課題提出 40%、スキルアップ講座 10%で評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは manaba および対面授業を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ほぼ毎回グループワークを実施する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （ほぼ毎回 manaba、respon を使用する(スマートフォン対応可)。）

▌教科書

福島佐知・友松悦子・中村かおり『新完全マスター文法 N1』スリーエーネットワーク

▌参考書

友松悦子・和栗 雅子・宮本 淳『新装版 どんなときどう使う 日本語表現文型辞典』アルク

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、事前テスト、時間関係** 授業内容：授業の概要、目的、学習の進め方、評価に関する説明を聞き、理解する。その後、事前テストを受ける。時間関係を表す文法表現「～が早いか」「～や否や」「～なり」「そばから」「てからというもの(は)」「～にあって」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 1 を練習する。	16回	**授業テーマ：結末・最終の状態** 授業内容：結末・最終の状態を表す表現「～に至って」「～に至っては」「～始末だ」「～っぱなしだ」を練習する。第１回から第１５回の内容を復習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 16 を練習する。
2回	**授業テーマ：範囲の始まり・限度** 授業内容：範囲の始まり・限度を表す文法表現「～を皮切りに(して)」「～に至るまで」「～を限りに」「～をもって」「～といったところだ」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 2 を練習する。	17回	**授業テーマ：強調** 授業内容：強調を表す表現「～たりとも～ない」「～すら」「～だに」「～にして」「～あっての」「～からある」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 17 を練習する。
3回	**授業テーマ：限定・非限定・付加** 授業内容：限定・非限定・付加を表す文法表現「～をおいて」「～ならでは」「～にとどまらず」「～はおろか」「～もさることながら」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 3 を練習する。	18回	**授業テーマ：主張・断定** 授業内容：主張・断定を表す表現「～までもない」「～までだ」「～ばそれまでだ」「～には当たらない」「～でなくてなんだろう(か)」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 18 を練習する。
4回	**授業テーマ：例示** 授業内容：例示を表す文法表現「～なり～なり」「～であれ～であれ」「～といい～といい」「～といわず～といわず」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 4 を練習する。	19回	**授業テーマ：評価・感想** 授業内容：評価・感想を表す表現「～に足る」「～に堪える」「～といったらない」「～かぎりだ」「～極まる／極まりない」「～とは」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 19 を練習する。
5回	**授業テーマ：関連・無関係** 授業内容：関連・無関係を表す文法表現「～いかんだ」「～いかんにかかわらず」「～をものともせず(に)」「～をよそに」「～ならいざしらず」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 5 を練習する。	20回	**授業テーマ：心情・強制的思い** 授業内容：心情・強制的思いを表す表現「～てやまない」「～に堪えない」「～ないではすまない」「～ないではおかない」「～禁じ得ない」「～余儀なくされる」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 20 を練習する。
6回	**授業テーマ：様子** 授業内容：様子を表す文法表現「～ばかりだ」「～ばかり(に)」「～ともなく」「～ながらに(して)」「～きらいがある」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 6 を練習する。	21回	**授業テーマ：文の組み立て** 授業内容：文の組み立てルール「後に否定の言い方が来るもの」「疑問詞につくもの」「数字につくもの」、名詞を説明「後に名詞が来るもの」「名詞を説明する形式」「名詞につくもの」「名詞・動詞辞書形につながるもの」「動詞辞書形につながるもの」を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 21 を練習する。

7回	**授業テーマ：付随行動** 授業内容：付随行動を表す文法表現「～がてら」「～かたがた」「～かたわら」を練習する。第１回から第４回の復習をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 7 を練習する。
8回	**授業テーマ：逆接** 授業内容：逆接を表す文法表現「～ところを」「～ものを」「～とはいえ」「～といえども」「～と思いきや」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 8 を練習する。
9回	**授業テーマ：条件** 授業内容：条件を表す文法表現「～とあれば」「～たら最後」「～ようでは」「～なしに(は)」「～くらいなら」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 9 を練習する。
10回	**授業テーマ：逆接条件** 授業内容：逆接表現「～(よ)うと(も)」「～(よ)うと～まいと」「～であれ」「～たところで」「～ば～で」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 10 を練習する。
11回	**授業テーマ：目的・手段** 授業内容：目的・手段を表す文法表現「～べく」「～んがため(に)」「～をもって」を練習する。第１回～第８回の練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 11 を練習する。
12回	**授業テーマ：原因・理由** 授業内容：原因・理由を表す表現「～ばこそ」「～とあって」「～ではあるまいし」「～手前」「～ゆえ(に)」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 12 を練習する。
13回	**授業テーマ：可能・不可能・禁止** 授業内容：可能・不可能・禁止を表す表現「～にかたくない」「～に～ない」「～て(は)いられない」「べくもない」「～べからず」「～まじき」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 13 を練習する。
14回	**授業テーマ：話題・評価の基準** 授業内容：話題・評価の基準を表す表現「～ときたら」「～ともなると」「～ともあろう」「～たるもの(は)」「～なりに」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 14 を練習する。
15回	**授業テーマ：比較対照、総合練習、中間テストとフィードバック** 授業内容：比較対照を表す表現「～にひきかえ」「～にもまして」「～ないまでも」を練習する。第１回～第１４回の内容を復習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 15 を練習する。
22回	**授業テーマ：時制** 授業内容：時制を表す用法「現在の文の特別な用法」「過去形の文の特別な用法」「動詞のている形の特別な用法」「名詞を説明する文の時制」を整理し、文章の中で使えるよう練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 22 を練習する。
23回	**授業テーマ：条件を表す文** 授業内容：仮定か確定かの判断、反実仮想、前置き表現など条件を表す文法形式を整理し、文章の中で使えるよう練習する。第１回から第２０回の内容を復習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 23 を練習する。
24回	**授業テーマ：視点を動かさない手段 1,2** 授業内容：文章にまとまりをもたせ、視点を動かさないようにするための表現「動詞の使い方」「自他動詞の使い分け」を整理し、練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 24 を練習する。
25回	**授業テーマ：視点を動かさない手段 3,4** 授業内容：文章にまとまりをもたせ、視点を動かさないようにするための表現「受け身・使役・使役受け身の使い分け」「～てあげる・～てもらう・～てくれるの使い分け」を整理し、練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 25 を練習する。
26回	**授業テーマ：模擬試験とフィードバック** 授業内容：これまで学習した文法をどの程度理解しているか測定するテストを実施する。その後、フィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 26 を練習する。
27回	**授業テーマ：指示表現「こ・そ・あ」の使い分け、「は・が」の使い分け** 授業内容：文章中に出てくる指示表現「こ・そ・あ」の使い分けと「は・が」の使い分けを整理し、練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 27 を練習する。
28回	**授業テーマ：接続表現** 授業内容：文章の展開を助け文章のまとまりをもたせる役割をもつ接続表現を整理し、練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 28 を練習する。
29回	**授業テーマ：省略・繰り返し・言い換え、文体の一貫性、話の流れを考える** 授業内容：文章中の省略、繰り返し、言い換えを理解する。文体の一貫性を保つための表現「硬い表現」「会話で使う表現」を整理し、練習する。話しの進め方にかかわる表現を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 29 を練習する。
30回	**授業テーマ：最終テストとフィードバック** 授業内容：第１回から第２９回までに学習した内容をテストする。その後、フィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 30 を練習する。

アカデミック日本語Ⅱ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：留学生クラス

山口　真葵（やまぐち　まき）

▌授業の概要

「アカデミック日本語」では大学での授業の理解および課題を行うために必要な日本語能力を育成する。「アカデミック日本語Ⅱ」の内容は読解である。さまざまな目的で書かれた長くて複雑な文章の中身を詳細に理解できるようになることを目指す。毎回、事前学修、事後学修、課題を授業外に行い、授業では小テストを実施する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：大学の授業で使う教科書や専門書、授業の課題を取り組むために必要な資料等を読んで、正しく内容を理解できる。
　　要点の把握を含め、理解のために多様な読解ストラテジーを駆使でき、文脈上の手がかりから理解の当否を確かめることができる。
　　自分の読解能力を適切に評価し、能動的に弱点を補う自己学習力を育てる。

個別目標：(1) 文章の構造を理解して、要旨を把握できる。
　　(2) 文章の論理的な構造（主張と根拠、事実と考察など）を正しく理解できる。
　　(3) 事実と意見を分けるなど文脈上の手がかりを見落とすことなく読むことができる。
　　(4) 読む目的に応じて適切な読解ストラテジーを選択し、使い分けることができる。
　　(5) 書き手の意図を読み取り、正確に別の言葉で言い換えることができる。
　　(6) 自分の読解能力を適切に評価し、弱点を補うための計画を立て、補習等を利用して能動的に学習し、正しくふりかえることができる。

▌履修条件

留学生クラスである。
各学期に日本語能力を測る資格試験を受験する。
課題の提出日を守る。
自分の能力を客観的に評価し、弱点を補う努力をする。

▌評価基準・方法

資格試験 40%、課題提出 30%とテスト 30%で評価する。

▌フィードバック方法

フィードバックは manaba と対面授業で行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ほぼ毎回ペアワークもしくはグループワークがある。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （ほぼ毎回 manaba、respon を使用する。）

▌教科書

奥山貴之、宇津木奈津子、東会娟『考える人の上級日本語読解』凡人社
上田暢美、内田嘉美、桑島卓男、糠野永未子、吉田歌織、若林佐恵里、安達万里江『とりあえず日本語能力試験対策 読解 N1』ココ出版

▌参考書

授業で随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、事前テスト** 授業内容：コースの概要と目的、学習の進め方、評価について理解し、事前テストを受ける。 事前学修 2.0hr：新聞等日本語の文章を読む。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	16回	**授業テーマ：貿易の基本原理－比較優位** 授業内容：文章「貿易の基本原理－比較優位」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
2回	**授業テーマ：ゲームの今と将来** 授業内容：文章「ゲームの今と将来」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	17回	**授業テーマ：グローバル化とどう向き合うか** 授業内容：文章「グローバル化とどう向き合うか」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
3回	**授業テーマ：ゲームは悪影響を及ぼすのか？** 授業内容：文章「ゲームは悪影響を及ぼすのか？」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	18回	**授業テーマ：ある熟年夫婦の関係性** 授業内容：文章「ある熟年夫婦の関係性」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
4回	**授業テーマ：私の名は。** 授業内容：文章「私の名は。」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	19回	**授業テーマ：女性の働き方** 授業内容：文章「女性の働き方」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
5回	**授業テーマ：多言語状況を考える** 授業内容：文章「多言語状況を考える」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	20回	**授業テーマ：第 4 回 N1 読解** 授業内容：『とりあえず日本語能力試験対策読解 N1』の第 4 回を行う。間違えた問題や分からなかった語彙や文法を確認する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
6回	**授業テーマ：第 1 回 N1 読解** 授業内容：『とりあえず日本語能力試験対策読解 N1』の第 1 回を行う。間違えた問題や分からなかった語彙や文法を確認する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	21回	**授業テーマ：いのちの『終わり』は誰が決めるのか** 授業内容：文章「いのちの『終わり』は誰が決めるのか」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
7回	**授業テーマ：幸福度の低い日本の子ども** 授業内容：文章「幸福度の低い日本の子ども」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	22回	**授業テーマ：いのちを“つくって”もいいですか** 授業内容：文章「いのちを“つくって”もいいですか」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

8回	**授業テーマ：『自尊感情を高めよう』を再考** 授業内容：文章「『自尊感情を高めよう』を再考」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	23回	**授業テーマ：科学は魔法？** 授業内容：文章「科学は魔法？」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
9回	**授業テーマ：第 2 回 N1 読解** 授業内容：『とりあえず日本語能力試験対策読解 N1』の第 2 回を行う。間違えた問題や分からなかった語彙や文法を確認する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	24回	**授業テーマ：科学と社会の関係が変わるとき** 授業内容：文章「科学と社会の関係が変わるとき」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
10回	**授業テーマ：高度経済成長期の日本** 授業内容：文章「高度経済成長期の日本」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	25回	**授業テーマ：第 5 回 N1 読解** 授業内容：『とりあえず日本語能力試験対策読解 N1』の第 5 回を行う。間違えた問題や分からなかった語彙や文法を確認する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
11回	**授業テーマ：高持続可能な社会** 授業内容：文章「高持続可能な社会」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	26回	**授業テーマ：研究とは―研究は勉強とまったく違う** 授業内容：文章「研究とは―研究は勉強とまったく違う」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
12回	**授業テーマ：第 3 回 N1 読解** 授業内容：『とりあえず日本語能力試験対策読解 N1』の第 3 回を行う。間違えた問題や分からなかった語彙や文法を確認する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	27回	**授業テーマ：フィールドワーク研究の意義** 授業内容：文章「フィールドワーク研究の意義」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
13回	**授業テーマ：人生の先輩が教えるキャリアのつくり方** 授業内容：文章「人生の先輩が教えるキャリアのつくり方」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	28回	**授業テーマ：レジュメ作成** 授業内容：レジュメ作成例を参考にしながらレジュメを作成する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
14回	**授業テーマ：変化するキャリア観―自分らしいキャリアとは** 授業内容：文章「変化するキャリア観―自分らしいキャリアとは」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	29回	**授業テーマ：レジュメ発表** 授業内容：作成したレジュメの発表を行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
15回	**授業テーマ：中間テストとフィードバック** 授業内容：これまで学習してきた内容を確認するための中間テストに取り組み、フィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	30回	**授業テーマ：最終テストとコース全体の振り返り** 授業内容：これまで学習してきた内容を確認するための最終テストに取り組み、フィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

アカデミック日本語Ⅱ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：MGO 留学生サポートプログラム用クラス(留 H)

髙橋　亜里沙（たかはし　ありさ）

▌授業の概要

留学生の社会的自立、職業的自立を促すため日本語能力に応じた日本語教育およびキャリア教育を行う「MGO 留学生サポートプログラム」の一環として実施する科目である。日本で仕事をするうえで必要なジェネリックスキルの一つである日本語コミュニケーション能力を育成する。アカデミック日本語Ⅱの内容は読解である。ビジネスにかかわる新聞記事によく見られる語彙・表現の習得、未知語への対応のしかたなどの練習を通じて正確な理解を身に付ける。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：日常的なビジネス文書、ビジネスに関する新聞の資料を読み、内容を正確に理解できる。
個別目標：(1)日本語で新聞記事を正確に読むことができる。
(2)ビジネスにかかわる資料を読んで、企画を提案するプレゼンテーションができる。
(3)他者と意見を交換し、さまざまな価値観、考え方について比較し、対照できる。

▌履修条件

MGO 留学生サポートプログラムに登録済みで N1 を取得している。
manaba からの連絡を漏らさず確認し、課題の提出期限を守る。
各学期にビジネス日本語能力を測る資格試験を受験する。
自分の読解能力を客観的に把握し、弱点を補う努力をする。

▌評価基準・方法

資格試験 40%、テスト 30%、課題提出 30%で評価する。

▌フィードバック方法

フィードバックは manaba と対面授業で行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ほぼ毎回グループワークで他者と協働する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （ほぼ毎回資料を集める際に PC を利用する。manaba、respon を使用する(スマートフォン対応可)。）

▌教科書

澁川晶・高橋紗弥子・庵功雄『留学生のためのジャーナリズムの日本語―新聞・雑誌で学ぶ重要語彙と表現―』スリーエーネットワーク
近藤彩・品田潤子・金孝卿・内海美也子『課題達成のプロセスで学ぶビジネスコミュニケーション〈改訂新版〉』ココ出版

▌参考書

授業の中で随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、事前テスト** 授業内容：授業の内容、進め方について説明を聞き、これからどんなことを学習するのかイメージし、目的意識を持って学習を進められるよう動機づけを行う。 事前学修 2.0hr：シラバスを読んでコースの内容を把握する。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	16回	**授業テーマ：企業の求める人材** 授業内容：仕事で成果を上げるためのスキルについて日本と自国の共通点を見出す。自分の専門分野や関心の範囲で企業ガイダンスや説明会資料を読み、企業の求める人材を理解する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
2回	**授業テーマ：体に関連のある語彙・表現** 授業内容：体に関連のある語彙・表現が含まれた文章を読み、学習項目を確認する。表記、意味、使い方を学習したあと、新聞記事を読んで実例に触れながら意味を推測する練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	17回	**授業テーマ：企業ガイダンス** 授業内容：企業ガイダンスを聞いて、重要事項を漏らさずノートをとる練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
3回	**授業テーマ：体に関連のある語彙・表現が含まれた読解** 授業内容：体に関連のある語彙・表現の知識を整理する。体に関連のある語彙・表現の知識、意味推測のストラテジーを生かして、長めの新聞記事を読む練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	18回	**授業テーマ：会社概要の調査** 授業内容：企業のパンフレット、企業のホームページ等ある程度長い文章にざっと目を通して読み、ポイントを理解する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
4回	**授業テーマ：背景知識が必要な語彙・表現(1)身近なものに関連のある語彙・表現** 授業内容：身近なものに関連のある語彙・表現が含まれた文章を読み、学習項目を確認する。表記、意味、使い方を学習したあと、新聞記事を読んで実例に触れながら意味を推測する練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	19回	**授業テーマ：就職のための提出書類** 授業内容：長所や短所をはじめ簡単な自己 PR 文を就職のための提出資料に書き、クラスメートと評価しあう。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
5回	**授業テーマ：身近なものに関連のある語彙・表現を含んだ読解** 授業内容：身近なものに関連のある語彙・表現の知識を整理する。体に関連のある語彙・表現の知識、意味推測のストラテジーを生かして、長めの新聞記事を読む練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	20回	**授業テーマ：会議の内容** 授業内容：参加した会議の内容を理解して、参加者から出たいろいろな情報や議論をまとめて議事録に書く練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
6回	**授業テーマ：背景知識が必要な語彙・表現(2)戦いに関連のある語彙・表現** 授業内容：戦いに関連のある語彙・表現語彙・表現が含まれた文章を読み、学習項目を確認する。表記、意味、使い方を学習したあと、新聞記事を読んで実例に触れながら意味を推測する練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	21回	**授業テーマ：図表の理解** 授業内容：社内会議などで企業の販売実績や市場の動向を示すグラフを見ながら、現状を理解する練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

7回	**授業テーマ：戦いに関連のある語彙・表現を含んだ読解** 授業内容：戦いに関連のある語彙・表現語彙・表現の知識を整理する。体に関連のある語彙・表現の知識、意味推測のストラテジーを生かして、長めの新聞記事を読む練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	22回	**授業テーマ：会議内容の整理と報告** 授業内容：参加した会議の内容を理解して、参加していない人に明瞭で簡潔なメールを書いて報告する練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
8回	**授業テーマ：背景知識が必要な語彙・表現(３)社会的背景を持つ語彙・表現** 授業内容：社会的背景を持つ語彙・表現が含まれた文章を読み、学習項目を確認する。表記、意味、使い方を学習したあと、新聞記事を読んで実例に触れながら意味を推測する練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	23回	**授業テーマ：SWOT 分析(１)手順** 授業内容：マーケティングにおける SWOT 分析の方法を学習し、ビジネスに関する記事を特定の視点から分析する練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
9回	**授業テーマ：社会的背景を持つ語彙・表現を含んだ読解** 授業内容：社会的背景を持つ語彙・表現の知識を整理する。体に関連のある語彙・表現の知識、意味推測のストラテジーを生かして、長めの新聞記事を読む練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	24回	**授業テーマ：SWOT 分析(２)資料の収集と分析** 授業内容：自らの関心に従って企業を一つ決め、新聞記事、雑誌記事、企業のホームページの情報を集める。そのうえで、ＳＷＯＴ分析を行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
10回	**授業テーマ：もとの形から変化している語彙・表現** 授業内容：もとの形から変化している語彙・表現が含まれた文章を読み、学習項目を確認する。表記、意味、使い方を学習したあと、新聞記事を読んで実例に触れながら意味を推測する練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	25回	**授業テーマ：戦略** 授業内容：ＳＷＯＴ分析の結果から、問題解決のための戦略を考える。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
11回	**授業テーマ：もとの形から変化している語彙・表現を含んだ読解** 授業内容：もとの形から変化している語彙・表現の知識を整理する。体に関連のある語彙・表現の知識、意味推測のストラテジーを生かして、長めの新聞記事を読む練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	26回	**授業テーマ：戦略の根拠** 授業内容：戦略の根拠を説明するための資料を集める。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
12回	**授業テーマ：今後の学習にむけて** 授業内容：これまで学習したことを振り返りながら長文を読み、「慣用表現」「時間を表す表現」「カギ括弧のついたことば」「筆者の価値観を表す表現」などにも注目して読む練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	27回	**授業テーマ：原稿の作成** 授業内容：プレゼンテーションで受け手に与える影響を考えイメージしながら、伝えること、その表現方法について準備する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
13回	**授業テーマ：総合練習** 授業内容：これまで学習してきたストラテジーを用いて比較的長い新聞記事を読む練習を行う。内容理解を確認する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	28回	**授業テーマ：プレゼンテーション資料の作成** 授業内容：集めた情報や企画のアイデアを整理し、わかりやすいプレゼンテーションの資料を作る。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
14回	**授業テーマ：現代社会ニュースの紹介** 授業内容：特別な立場や視点から取り上げた現代社会に関する複数の新聞記事を読む。共通点を見抜き、含意された意見や立場を比較しながら詳細に内容を報告する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	29回	**授業テーマ：発表と他者評価** 授業内容：用意したプレゼンテーションをはっきりとした声でわかりやすく伝える。プレゼンテーションで話し手の発話を正しく理解したかどうか確認するための質問をしたり説明が曖昧だった部分に対して指摘をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
15回	**授業テーマ：中間テスト・フィードバック** 授業内容：これまで学習したことをある程度長く複雑な文章の中でも理解できるかどうか中間テストを行う。その後、解答と解説等フィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	30回	**授業テーマ：コース全体のふりかえり・最終テストとフィードバック** 授業内容：コース全体を振り返り、自らの成長を実感する。これまで学習してきたことが定着しているかどうか最終テストで確かめたあと、解説を聞きフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

アカデミック日本語Ⅱ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：MGO 留学生サポートプログラム用クラス（留 S）

小野寺　樹璃（おのでら　じゅり）・**行田　悦子**（こうだ　えつこ）

▌授業の概要

留学生の社会的自立、職業的自立を促すため日本語能力に応じた日本語教育およびキャリア教育を行う「MGO 留学生サポートプログラム」の一環として実施する科目である。日本で仕事をするうえで必要なジェネリックスキルの一つである日本語コミュニケーション能力を育成する。アカデミック日本語Ⅱの内容は読解である。さまざまな目的で書かれた長くて複雑な文章の中身を詳細に理解できるようになることを目指す。毎回、事前学修、事後学修、課題を授業外に行い、授業では小テストを実施する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：大学の授業で使う教科書や専門書、授業の課題を取り組むために必要な資料等を読んで、正しく内容を理解できる。
　　要点の把握を含め、理解のために多様な読解ストラテジーを駆使でき、文脈上の手がかりから理解の当否を確かめることができる。
　　自分の読解能力を適切に評価し、能動的に弱点を補う自己学習力を育てる。

個別目標：(1) 文章の構造を理解して、要旨を把握できる。
　　(2) 文章の論理的な構造（主張と根拠、事実と考察など）を正しく理解できる。
　　(3) 事実と意見を分けるなど文脈上の手がかりを見落とすことなく読むことができる。
　　(4) 読む目的に応じて適切な読解ストラテジーを選択し、使い分けることができる。
　　(5) 書き手の意図を読み取り、正確に別の言葉で言い換えることができる。
　　(6) 自分の読解能力を適切に評価し、弱点を補うための計画を立て、補習等を利用して能動的に学習し、正しくふりかえることができる。

▌履修条件

MGO 留学生サポートプログラムに登録済みである。
各学期に日本語能力を測定する資格試験を受験する。
manaba からの連絡を漏らさず確認し、課題の提出期限を守る。
自分の読解能力を客観的に把握し、弱点を補う努力をする。

▌評価基準・方法

資格試験 40%、課題提出 30%とテスト 30%で評価する。

▌フィードバック方法

フィードバックは manaba と対面授業で行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ほぼ毎回ペアワークもしくはグループワークがある。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （ほぼ毎回 manaba、respon を使用する。）

▌教科書

奥山貴之、宇津木奈津子、東会娟『考える人の上級日本語読解』凡人社
上田暢美、内田嘉美、桑島卓男、糠野永未子、吉田歌織、若林佐恵里、安達万里江『とりあえず日本語能力試験対策 読解 N1』ココ出版

▌参考書

授業で随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、事前テスト** 授業内容：コースの概要と目的、学習の進め方、評価について理解し、事前テストを受ける。 事前学修 2.0hr：新聞等日本語の文章を読む。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	16回	**授業テーマ：貿易の基本原理−比較優位** 授業内容：文章「貿易の基本原理−比較優位」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
2回	**授業テーマ：ゲームの今と将来** 授業内容：文章「ゲームの今と将来」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	17回	**授業テーマ：グローバル化とどう向き合うか** 授業内容：文章「グローバル化とどう向き合うか」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
3回	**授業テーマ：ゲームは悪影響を及ぼすのか？** 授業内容：文章「ゲームは悪影響を及ぼすのか？」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	18回	**授業テーマ：ある熟年夫婦の関係性** 授業内容：文章「ある熟年夫婦の関係性」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
4回	**授業テーマ：私の名は。** 授業内容：文章「私の名は。」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	19回	**授業テーマ：女性の働き方** 授業内容：文章「女性の働き方」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
5回	**授業テーマ：多言語状況を考える** 授業内容：文章「多言語状況を考える」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	20回	**授業テーマ：第 4 回 N1 読解** 授業内容：『とりあえず日本語能力試験対策読解 N1』の第 4 回を行う。間違えた問題や分からなかった語彙や文法を確認する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
6回	**授業テーマ：第 1 回 N1 読解** 授業内容：『とりあえず日本語能力試験対策読解 N1』の第 1 回を行う。間違えた問題や分からなかった語彙や文法を確認する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	21回	**授業テーマ：いのちの『終わり』は誰が決めるのか** 授業内容：文章「いのちの『終わり』は誰が決めるのか」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

7回	**授業テーマ：幸福度の低い日本の子ども** 授業内容：文章「幸福度の低い日本の子ども」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	22回	**授業テーマ：いのちを“つくって”もいいですか** 授業内容：文章「いのちを“つくって”もいいですか」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
8回	**授業テーマ：『自尊感情を高めよう』を再考** 授業内容：文章「『自尊感情を高めよう』を再考」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	23回	**授業テーマ：科学は魔法？** 授業内容：文章「科学は魔法？」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
9回	**授業テーマ：第 2 回 N1 読解** 授業内容：『とりあえず日本語能力試験対策読解 N1』の第 2 回を行う。間違えた問題や分からなかった語彙や文法を確認する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	24回	**授業テーマ：科学と社会の関係が変わるとき** 授業内容：文章「科学と社会の関係が変わるとき」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
10回	**授業テーマ：高度経済成長期の日本** 授業内容：文章「高度経済成長期の日本」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	25回	**授業テーマ：第 5 回 N1 読解** 授業内容：『とりあえず日本語能力試験対策読解 N1』の第 5 回を行う。間違えた問題や分からなかった語彙や文法を確認する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
11回	**授業テーマ：高持続可能な社会** 授業内容：文章「高持続可能な社会」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	26回	**授業テーマ：研究とは―研究は勉強とまったく違う** 授業内容：文章「研究とは―研究は勉強とまったく違う」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
12回	**授業テーマ：第 3 回 N1 読解** 授業内容：『とりあえず日本語能力試験対策読解 N1』の第 3 回を行う。間違えた問題や分からなかった語彙や文法を確認する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	27回	**授業テーマ：フィールドワーク研究の意義** 授業内容：文章「フィールドワーク研究の意義」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
13回	**授業テーマ：人生の先輩が教えるキャリアのつくり方** 授業内容：文章「人生の先輩が教えるキャリアのつくり方」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	28回	**授業テーマ：レジュメ作成** 授業内容：レジュメ作成例を参考にしながらレジュメを作成する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
14回	**授業テーマ：変化するキャリア観―自分らしいキャリアとは** 授業内容：文章「変化するキャリア観―自分らしいキャリアとは」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	29回	**授業テーマ：レジュメ発表** 授業内容：作成したレジュメの発表を行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
15回	**授業テーマ：中間テストとフィードバック** 授業内容：これまで学習してきた内容を確認するための中間テストに取り組み、フィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	30回	**授業テーマ：最終テストとコース全体の振り返り** 授業内容：これまで学習してきた内容を確認するための最終テストに取り組み、フィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

アカデミック日本語Ⅲ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：留学生クラス

範　弘宇（はん　こうう）

▌授業の概要

アカデミック日本語では、大学での授業や課題を行うために必要な日本語能力を育成する。アカデミック日本語Ⅲの内容は「聴解」と「漢字」である。「聴解」はニュースを中心に学習する。「漢字」は大学生活、社会における言語活動で必要な文字を学習する。毎回、事前学修、事後学修、課題を授業外に取り組み、授業では小テストを実施する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：ニュースを正確に聞き取り、内容を正しく理解することができる。
聞いた内容をまとめて別の言葉で言い換え説明することができる。
大学生活で必要な日本語を理解するために必要な漢字を読んだり書いたりすることができる。

個別目標：(1)一般的なニュースを聞き、内容を正しく理解できる。
(2)聞いた内容をまとめて別の言葉で言い換えることができる。
(4)講義に必要な漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
(5)自分の聴解能力、漢字能力を適切に評価し、弱点を補うための計画を立て、補習等を利用して能動的に学習を実行し、正しくふりかえることができる。

▌履修条件

N2 を取得した留学生のクラスである。
課題の提出日を守る。
自分の能力を客観的に評価し、弱点を補う努力をする。

▌評価基準・方法

テスト 50%、課題提出 40%、授業外模擬試験 10%で評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba および対面授業を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ほぼ毎回グループワークで他者と協働する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （ほぼ毎回 manaba、respon を使用する。）

▌教科書

佐藤尚子、佐々木仁子『留学生のための漢字の教科書 上級 1000[改訂版] 』 国書刊行会
瀬川由美・紙谷幸子『改訂版 ニュースの日本語聴解 50 中級後半ー上級レベル 』 スリーエーネットワーク
藤田朋世、塩川絵里子、青木幸子『スピードマスター聴解 N1』 J リサーチ出版

▌参考書

授業の中で随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、事前テスト、経済・金融１シェアオフィス(聴解)、入国手続き(漢字)** 授業内容：授業の概要と目的、学習の進め方、評価について説明する。シェアオフィスをテーマとしたニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習をする。入国手続きにかかわる漢字を学習する。 事前学修 2.0hr：初級・中級で学習した漢字の上級での読み方を確認する。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１を練習する。	16回	**授業テーマ：社会・生活１ごみ拾い(聴解)、自然と災害(漢字)** 授業内容：聴解ではごみ拾いをテーマとしたニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。自然と災害にかかわる漢字を学習する。JLPT の課題理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１６を練習する。シャドーイング練習をする。
2回	**授業テーマ：経済・金融２お歳暮商戦(聴解)、在留カード(漢字)** 授業内容：聴解ではお歳暮商戦をテーマとしたニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。JLPT の課題理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。在留カードで使われる漢字を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２を練習する。シャドーイングをする。	17回	**授業テーマ：社会・生活２田んぼアート(聴解)(聴解)、事件(漢字)** 授業内容：聴解では田んぼアートをテーマとしたニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。事件にかかわる漢字を学習する。JLPT の課題理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１７を練習する。シャドーイング練習をする。
3回	**授業テーマ：経済・金融３冷凍食品専門店(聴解)、大学(漢字)** 授業内容：聴解では冷凍食品専門店をテーマとしたニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。JLPT の課題理解の練習をする。大学に関する漢字を学習する。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル３を練習する。シャドーイング練習をする。	18回	**授業テーマ：社会・生活３教師不足(聴解)、事故・裁判(漢字)** 授業内容：聴解では教師不足をテーマとしたニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。事故・裁判にかかわる漢字を学習する。JLPT のポイント理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１８を練習する。シャドーイング練習をする。
4回	**授業テーマ：経済・金融４ノンアルコール飲料(聴解)、学生生活(漢字)** 授業内容：聴解ではノンアルコース飲料をテーマとしたニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。学生生活に関わる漢字を練習する。ポイント理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル４を練習する。シャドーイング練習をする。	19回	**授業テーマ：社会・生活４グランピング施設(聴解)、政治・経済(漢字)** 授業内容：聴解ではグランピング施設をテーマとしたニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。政治・経済にかかわる漢字を学習する。ポイント理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１９を練習する。シャドーイング練習をする。
5回	**授業テーマ：経済・金融５食中毒(聴解)、就職活動Ⅰ(漢字)** 授業内容：聴解では就職活動で使われる漢字を学習する。聴解では勧誘の機能を中心に人間関係、話されている場面、重要表現を聞き取る練習をする。ポイント理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル５を練習する。シャドーイング練習をする。	20回	**授業テーマ：社会・生活５リモートワーク(聴解)、国際・スポーツ(漢字)** 授業内容：聴解ではリモートワークをテーマとしたニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。国際・スポーツに関わる漢字を学習する。概要理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２０を練習する。シャドーイング練習をする。
6回	**授業テーマ：経済・金融６機内食(聴解)、就職活動Ⅱ(漢字)** 授業内容：聴解では機内食をテーマとしたニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。就職活動に関する漢字を学習する。JLPT の概要理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル６を練習する。シャドーイング練習をする。	21回	**授業テーマ：社会・生活６ジョブ型雇用(聴解)、社会・産業(漢字)** 授業内容：聴解ではジョブ型雇用をテーマとしたニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。社会・産業にかかわる漢字を学習する。JLPT の概要理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２１を練習する。シャドーイング練習をする。

7回	**授業テーマ：経済・金融７農林水産物(聴解)、地名(漢字)** 授業内容：聴解では農林水産物をテーマとしたニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。地名に関わる漢字を練習する。JLPT の概要理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う 事後学修 2.0hr：漢字ドリル７を練習する。シャドーイング練習をする。	22回	**授業テーマ：社会・生活７結婚観(聴解と会話)、芸術(漢字)** 授業内容：聴解では結婚観をテーマとしたニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。芸術にかかわる漢字を学習する。JLPT の即時応答の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２２を練習する。シャドーイング練習をする。
8回	**授業テーマ：経済・金融８東京株式市場(聴解)、歴史(漢字)** 授業内容：聴解では東京株式市場をテーマとしたニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。町を紹介するときに必要な漢字を学習する。JLPT の即時応答の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル８を練習する。シャドーイング練習をする。	23回	**授業テーマ：社会・生活８ヤングケアラー(聴解)、農業(漢字)** 授業内容：聴解ではヤングケアラーをテーマとしたニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。農業に関わる漢字を学習する。JLPT の即時応答の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２３を練習する。シャドーイング練習をする。
9回	**授業テーマ：経済・金融９中間決算(聴解)、日本文化(漢字)** 授業内容：聴解では中間決算をテーマとしたニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。日本文化に関する漢字を学習する。JLPT の即時応答の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル９を練習する。シャドーイング練習をする。	24回	**授業テーマ：社会・生活９台風(聴解)、生物学Ⅰ(漢字)** 授業内容：聴解では台風をテーマとしたニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。生物学にかかわる漢字を学習する。JLPT の統合理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２４を練習する。シャドーイング練習をする。
10回	**授業テーマ：経済・金融 10 火災保険料(聴解)、世界遺産(漢字)** 授業内容：聴解では火災保険料をテーマとしたニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。世界遺産に関わる漢字を練習する。JLPT の統合理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１０を練習する。シャドーイング練習をする。	25回	**授業テーマ：社会・生活 10 地震(聴解)、生物学Ⅱ(漢字)** 授業内容：聴解では地震をテーマとしたニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。生物学にかかわる漢字を学習する。JLPT の統合理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２５を練習する。シャドーイング練習をする。
11回	**授業テーマ：経済・金融 10 火災保険料(聴解)、日常語彙Ⅰ(漢字)** 授業内容：聴解では建設業準大手をテーマとしたニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。日常語彙に関わる漢字を学習する。JLPT の統合理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１１を練習する。シャドーイング練習をする。	26回	**授業テーマ：社会・生活 11 地震の被害(聴解)、漢語の語構成(漢字)** 授業内容：聴解では地震の被害をテーマとしたニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。漢語の語構成に関わる漢字を学習する。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２６を練習する。シャドーイング練習をする。
12回	**授業テーマ：聴解の模擬試験とフィードバック、経済・金融 12 大型商業施設(聴解)、日常語彙Ⅱ(漢字)** 授業内容：聴解では大型商業施設をテーマとしたニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。日常語彙に関わる漢字を練習する。聴解能力がどのくらいあるか測るためのテストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１２を練習する。シャドーイング練習をする。	27回	**授業テーマ：社会・生活 12 コミケ(聴解)、熟語の読み方(漢字)** 授業内容：聴解ではコミケをテーマとしたニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。熟語の読み方にかかわる漢字を学習する。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２７を練習する。シャドーイング練習をする。
13回	**授業テーマ：経済・金融 13 秩父宮ラグビー場(聴解)、旅行(漢字)** 授業内容：聴解では秩父宮ラグビー場をテーマとしたニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。旅行に関する漢字を学習する。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１３を練習する。	28回	**授業テーマ：聴解の模擬試験とフィードバック、社会・生活 13 カプセルトイ(聴解)、様子・態度(漢字)** 授業内容：。聴解ではカプセルトイをテーマとしたニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。様子・態度にかかわる漢字を学習する聴解能力がどのくらいあるか測るためにテストを行ったあと、フィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２８を練習する。シャドーイング練習をする。
14回	**授業テーマ：経済・金融 14 外国為替市場(聴解)、人間の体(漢字)** 授業内容：聴解では外国為替市場をテーマとしたニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。人間の体に関わる漢字を練習する。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１４を練習する。シャドーイング練習をする。	29回	**授業テーマ：社会・生活 14 フィッシング詐欺(聴解と会話)、心情(漢字)** 授業内容：聴解ではフィッシング詐欺をテーマとしたニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。心情にかかわる漢字を学習する。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２９を練習する。
15回	**授業テーマ：経済・金融 15 円安(聴解)、医療(漢字)、中間テストとフィードバック** 授業内容：聴解では円安をテーマとしたニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。医療に関わる漢字を練習する。これまで学習した聴解の知識とスキルを整理し、中間テストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１５を練習する。	30回	**授業テーマ：まとめ・総合練習、社会・生活 15 痴漢逮捕(聴解)、状態(漢字)、最終テストとフィードバック** 授業内容：聴解では痴漢逮捕をテーマとしたニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。状態にかかわる漢字を学習する。これまで学習した聴解の知識とスキルを整理する。最終テストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル３０を練習する。

アカデミック日本語Ⅲ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：MGO 留学生サポートプログラム用クラス(留 H)

堀内　貴子（ほりうち　たかこ）

▌授業の概要

留学生の社会的自立、職業的自立を促すため日本語能力に応じた日本語教育およびキャリア教育を行う「MGO 留学生サポートプログラム」の一環として実施する科目である。日本で仕事をするうえで必要なジェネリックスキルの一つである日本語コミュニケーション能力を育成する。アカデミック日本語Ⅲの内容は聴解、聴読解である。スピーチ、講演会、顧客による説明などを理解したり、聞きながら資料を見て要求された課題を達成することを目指す。また、社内外の人との担当領域および一般的な話題について自然なコミュニケーションをとることを目指す。毎回、事前学修、事後学修がある。授業では小テストをほぼ毎回、実施する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：就労場面でのやりとり、独話を正確に聞き取ることができ、聞いた内容をまとめて別の言葉で言い換えて説明することができる。社内外の人とその場にふさわしい丁寧さで円滑にコミュニケーションをとることができる。

個別目標：(1) 標準的な日本語で特殊な慣用表現などが使われていなければ、講演会、スピーチ、顧客による説明などを理解することができる。
(2) 自社や競合他社のニュースを聞いて理解することができる。
(3) 社内外の人と担当領域から一般的なものまで幅広い話題について流暢かつ正確に、言いたいことを表現できる。
(4) その場にふさわしい丁寧さで自然なコミュニケーションをとることができる。

▌履修条件

MGO 留学生サポートプログラムに登録済みで N1 を取得している。
manaba からの連絡を漏らさず確認し、課題の提出期限を守る。
自分の読解能力を客観的に把握し、弱点を補う努力をする。

▌評価基準・方法

テスト 50%、課題提出 50%によって評価する。

▌フィードバック方法

対面授業および manaba でフィードバックを行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ほぼ毎回ペアもしくはグループワークがある。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （ほぼ毎回 manaba、respon を使用する(スマートフォン対応可)。）

▌教科書

木山三佳・田川麻央『学生・留学生のためのキャリアプランニング』実教出版
小野塚 若菜・篠﨑 佳子・島 恭子・吉沢 由香里『ビジネス日本語 オール・イン・ワン問題集』ジャパンタイムズ

▌参考書

随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、事前テスト** 授業内容：ビジネスで必要な日本語能力とはどのようなものかを確認する。そのうえで、現時点でどの程度のビジネス日本語能力があるのか事前テストで測る。テストの成績をもとに、どのように能力を伸ばしていくか計画を立てる。 事前学修 2.0hr：BJT ビジネス日本語能力テストについて調べる。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	16回	**授業テーマ：社内一斉メール、会議準備** 授業内容：メールを読んで、基本的な様式や独特の表現、言い回しを学習する。会議準備に関する話を聞き取り、公的場面での話し方、親しい同僚との話し方を学ぶ。書類を見ながら話を聞きとり要求された課題を処理する練習も行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
2回	**授業テーマ：就職活動** 授業内容：就職活動では選考の材料となる提出書類の作成や面接試験など重要なことがある。その中で、エントリーシートなどの書類の書き方、面接時の話し方を学ぶ。また、これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	17回	**授業テーマ：電話とお詫び** 授業内容：お詫びに関する文書を読んで、基本的な様式や独特の表現、言い回しを学習する。電話でのやりとりを聞き取り、公的場面での話し方、親しい同僚との話し方を学ぶ。書類を見ながら話を聞きとり要求された課題を処理する練習も行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
3回	**授業テーマ：入社** 授業内容：入社後、新入社員は初対面の人とコミュニケーションをとる機会が多い。その一つとして自己紹介があり、話を聞いた人が記憶に残る一言が言えるよう練習する。また、これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	18回	**授業テーマ：お知らせ文書** 授業内容：お知らせ文書を読んで、基本的な様式や独特の表現、言い回しを学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
4回	**授業テーマ：基本的な業務** 授業内容：基本的な業務の一つとして伝言を取り上げる。また、稟議についても学ぶ。稟議は、社内で物品を購入するときなどに説明を書類に書いて、承認を受けることで一連の流れを学習する。また、これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	19回	**授業テーマ：キャッチコピー、同僚との雑談** 授業内容：同僚との雑談を聞き取り、親しい同僚との話し方を学ぶ。キャッチコピーなど書類を見ながら話を聞き取って、要求された課題を処理する練習も行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
5回	**授業テーマ：報告** 授業内容：上司や先輩、同僚への報告を取り上げる。仕事は同じ目標を持つ人々とうまく連携できるよう、わかりやすく伝えられるよう学習する。これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	20回	**授業テーマ：値下げ交渉** 授業内容：値下げ交渉のやりとりを聞き取り、公的場面での話し方、親しい同僚との話し方を学ぶ。書類を見ながら話を聞きとり要求された課題を処理する練習も行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
6回	**授業テーマ：謝罪** 授業内容：謝罪について取り上げる。仕事でミスがあったときに早い段階で上司に正確に事実を報告し、素直に謝罪できるよう学習する。また、これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	21回	**授業テーマ：営業** 授業内容：営業のやりとりを聞き、公的場面での話し方を学ぶ。書類を見ながら話を聞きとり要求された課題を処理する練習も行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

7回	**授業テーマ：インターンシップの受け入れ** 授業内容：インターンシップの受け入れ側の仕事について取り上げる。会社側の立場になって自社を紹介し、業務や職種を理解してもらうとともに、さまざまなリスク管理について学ぶ。また、これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	22回	**授業テーマ：売り上げ** 授業内容：売り上げに関する話を聞き取り、公的場面での話し方、親しい同僚との話し方を学ぶ。書類を見ながら話を聞きとり要求された課題を処理する練習も行う。売上に関わる文書を読んで、基本的な様式や独特の表現、言い回しを学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
8回	**授業テーマ：会議の準備** 授業内容：会議の準備においては、会場の予約、機器の設置、会議議題の決定、前回の議事録の作成など、様々な資料を作成、配布する、欠席者への対応など一連の業務を学ぶ。また、これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	23回	**授業テーマ：個人情報** 授業内容：個人情報に関する話を聞き取り、公的場面での話し方、親しい同僚との話し方を学ぶ。書類を見ながら話を聞きとり要求された課題を処理する練習も行う。個人情報に関する文書を読んで、基本的な様式や独特の表現、言い回しを学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
9回	**授業テーマ：会議** 授業内容：会議では、各種の報告と意志決定をおこなう審議が行われる。議長の指示に従い、発言したり反対意見を述べたりする。意見の述べ方、議事録の作成など一連のやりとりを学習する。これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	24回	**授業テーマ：顧客満足調査** 授業内容：顧客満足調査に関する話を聞き取り、公的場面での話し方、親しい同僚との話し方を学ぶ。書類を見ながら話を聞きとり要求された課題を処理する練習も行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
10回	**授業テーマ：取引** 授業内容：取引について取り上げる。良い関係を築くコミュニケーションを基本とし、正確な情報のやり取りを行う。不明な点がないように、お互いの話を引用した形で質問するなどの工夫も学習する。また、これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	25回	**授業テーマ：出張** 授業内容：出張に関する話を聞き取り、話し方を学ぶ。書類を見ながら話を聞きとり要求された課題を処理する練習も行う。出張に関する文書を読んで、基本的な様式や独特の表現、言い回しを学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
11回	**授業テーマ：苦情** 授業内容：苦情について取り上げる。苦情の対応を誤ると大きな問題に発展することもあり、より良いコミュニケーションが求められるためその対応方法を学習する。また、関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	26回	**授業テーマ：販売員増員の提案、パッケージ案** 授業内容：販売員増員の提案に関する話を聞き取り、話し方を学ぶ。パッケージ案に関する書類を見ながら話を聞きとり要求された課題を処理する練習も行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
12回	**授業テーマ：商談** 授業内容：商談について取り上げる。相手に必要な情報を正確に伝えるとともに、相談や注文を受けた時の対応の仕方、不明慮な点があるときの聞き返しなどを学習する。また、関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	27回	**授業テーマ：インタビュー** 授業内容：インタビューに関する話を聞き取り、公的場面での話し方を学ぶ。インタビューを依頼する文書を読んで、基本的な様式や独特の表現、言い回しを学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
13回	**授業テーマ：社会貢献** 授業内容：企業が果たすべき社会的責任について学ぶ。社会貢献としてさまざまな活動を行うときに必要なコミュニケーションについて学習する。また、関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	28回	**授業テーマ：日程調整、衣料品業界** 授業内容：日程調整、衣料品業界に関するやりとりを聞き取り、公的場面での話し方を学ぶ。日程調整に関する文書を読んで、基本的な様式や独特の表現、言い回しを学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
14回	**授業テーマ：実力判定テスト、フィードバック** 授業内容：これまで学習した内容が身に付いたかどうか実力判定テストで測る。テストの結果より得られた強み、弱みをもとに学習を振り返る。また教師からもフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	29回	**授業テーマ：展示会、業界フローチャート** 授業内容：展示会に関わる資料、業界フローチャートを見ながら話を聞きとり、要求された課題を処理する練習も行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
15回	**授業テーマ：中間テストとフィードバック** 授業内容：中間テストとフィードバックを受け、現時点のビジネス能力を把握する。今後の学習計画を立てる。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	30回	**授業テーマ：最終テストとフィードバック** 授業内容：これまで学習してきた語彙表現、読解、聴解、聴読解のテストに取り組む。その後、フィードバックを受ける。コース全体を振り返り、社会生活にどう生かすかを考える。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

アカデミック日本語Ⅲ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：MGO 留学生サポートプログラム用クラス(留 S)

小野寺　樹璃（おのでら　じゅり）・**田川　麻央**（たがわ　まお）

▌授業の概要

留学生の社会的自立、職業的自立を促すため日本語能力に応じた日本語教育およびキャリア教育を行う「MGO 留学生サポートプログラム」の一環として実施する科目である。アカデミック日本語では、大学での授業や課題を行うために必要な日本語能力を育成する。アカデミック日本語Ⅲの内容は「聴解」と「漢字」である。「聴解」はニュースを中心に学習する。「漢字」は大学生活、社会における言語活動で必要な文字を学習する。毎回、事前学修、事後学修、課題を授業外に取り組み、授業では小テストを実施する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：ニュースを正確に聞き取り、内容を正しく理解することができる。
聞いた内容をまとめて別の言葉で言い換え説明することができる。
大学生活で必要な日本語を理解するために必要な漢字を読んだり書いたりすることができる。

個別目標：(1)一般的なニュースを聞き、内容を正しく理解できる。
(2)聞いた内容をまとめて別の言葉で言い換えることができる。
(4)講義に必要な漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
(5)自分の聴解能力、漢字能力を適切に評価し、弱点を補うための計画を立て、補習等を利用して能動的に学習を実行し、正しくふりかえることができる。

▌履修条件

MGO 留学生サポートプログラムに登録済である。
課題の提出日を守る。
自分の能力を客観的に評価し、弱点を補う努力をする。

▌評価基準・方法

テスト 50%、課題提出 40%、授業外模擬試験 10%で評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba および対面授業を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ほぼ毎回グループワークで他者と協働する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （ほぼ毎回 manaba、respon を使用する。）

▌教科書

佐藤尚子、佐々木仁子『留学生のための漢字の教科書 上級 1000[改訂版] 』 国書刊行会
瀬川由美・紙谷幸子『改訂版 ニュースの日本語聴解 50 中級後半ー上級レベル 』 スリーエーネットワーク
藤田朋世、塩川絵里子、青木幸子『スピードマスター聴解 N1』 J リサーチ出版

▌参考書

授業の中で随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、事前テスト、経済・金融１シェアオフィス(聴解)、入国手続き(漢字)** 授業内容：授業の概要と目的、学習の進め方、評価について説明する。シェアオフィスをテーマとしたニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習をする。入国手続きにかかわる漢字を学習する。 事前学修 2.0hr：初級・中級で学習した漢字の上級での読み方を確認する。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１を練習する。	16回	**授業テーマ：社会・生活１ごみ拾い(聴解)、自然と災害(漢字)** 授業内容：聴解ではごみ拾いをテーマとしたニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。自然と災害にかかわる漢字を学習する。JLPT の課題理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１６を練習する。シャドーイング練習をする。
2回	**授業テーマ：経済・金融２お歳暮商戦(聴解)、在留カード(漢字)** 授業内容：聴解ではお歳暮商戦をテーマとしたニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。JLPT の課題理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。在留カードで使われる漢字を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２を練習する。シャドーイングをする。	17回	**授業テーマ：社会・生活２田んぼアート(聴解)(聴解)、事件(漢字)** 授業内容：聴解では田んぼアートをテーマとしたニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。事件にかかわる漢字を学習する。JLPT の課題理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１７を練習する。シャドーイング練習をする。
3回	**授業テーマ：経済・金融３冷凍食品専門店(聴解)、大学(漢字)** 授業内容：聴解では冷凍食品専門店をテーマとしたニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。JLPT の課題理解の練習をする。大学に関する漢字を学習する。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル３を練習する。シャドーイング練習をする。	18回	**授業テーマ：社会・生活３教師不足(聴解)、事故・裁判(漢字)** 授業内容：聴解では教師不足をテーマとしたニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。事故・裁判にかかわる漢字を学習する。JLPT のポイント理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１８を練習する。シャドーイング練習をする。
4回	**授業テーマ：経済・金融４ノンアルコール飲料(聴解)、学生生活(漢字)** 授業内容：聴解ではノンアルコース飲料をテーマとしたニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。学生生活に関わる漢字を練習する。ポイント理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル４を練習する。シャドーイング練習をする。	19回	**授業テーマ：社会・生活４グランピング施設(聴解)、政治・経済(漢字)** 授業内容：聴解ではグランピング施設をテーマとしたニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。政治・経済にかかわる漢字を学習する。ポイント理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１９を練習する。シャドーイング練習をする。
5回	**授業テーマ：経済・金融５食中毒(聴解)、就職活動Ⅰ(漢字)** 授業内容：聴解では就職活動で使われる漢字を学習する。聴解では勧誘の機能を中心に人間関係、話されている場面、重要表現を聞き取る練習をする。ポイント理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル５を練習する。シャドーイング練習をする。	20回	**授業テーマ：社会・生活５リモートワーク(聴解)、国際・スポーツ(漢字)** 授業内容：聴解ではリモートワークをテーマとしたニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。国際・スポーツに関わる漢字を学習する。概要理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２０を練習する。シャドーイング練習をする。

6回	**授業テーマ：経済・金融６機内食(聴解)、就職活動Ⅱ(漢字)** 授業内容：聴解では機内食をテーマとしたニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。就職活動に関する漢字を学習する。JLPT の概要理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル６を練習する。シャドーイング練習をする。	21回	**授業テーマ：社会・生活６ジョブ型雇用(聴解)、社会・産業(漢字)** 授業内容：聴解ではジョブ型雇用をテーマとしたニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。社会・産業にかかわる漢字を学習する。JLPT の概要理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２１を練習する。シャドーイング練習をする。
7回	**授業テーマ：経済・金融７農林水産物(聴解)、地名(漢字)** 授業内容：聴解では農林水産物をテーマとしたニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。地名に関わる漢字を練習する。JLPT の概要理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う 事後学修 2.0hr：漢字ドリル７を練習する。シャドーイング練習をする。	22回	**授業テーマ：社会・生活７結婚観(聴解と会話)、芸術(漢字)** 授業内容：聴解では結婚観をテーマとしたニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。芸術にかかわる漢字を学習する。JLPT の即時応答の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２２を練習する。シャドーイング練習をする。
8回	**授業テーマ：経済・金融８東京株式市場(聴解)、歴史(漢字)** 授業内容：聴解では東京株式市場をテーマとしたニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。町を紹介するときに必要な漢字を学習する。JLPT の即時応答の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル８を練習する。シャドーイング練習をする。	23回	**授業テーマ：社会・生活８ヤングケアラー(聴解)、農業(漢字)** 授業内容：聴解ではヤングケアラーをテーマとしたニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。農業に関わる漢字を学習する。JLPT の即時応答の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２３を練習する。シャドーイング練習をする。
9回	**授業テーマ：経済・金融９中間決算(聴解)、日本文化(漢字)** 授業内容：聴解では中間決算をテーマとしたニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。日本文化に関する漢字を学習する。JLPT の即時応答の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル９を練習する。シャドーイング練習をする。	24回	**授業テーマ：社会・生活９台風(聴解)、生物学Ⅰ(漢字)** 授業内容：聴解では台風をテーマとしたニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。生物学にかかわる漢字を学習する。JLPT の統合理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２４を練習する。シャドーイング練習をする。
10回	**授業テーマ：経済・金融 10 火災保険料(聴解)、世界遺産(漢字)** 授業内容：聴解では火災保険料をテーマとしたニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。世界遺産に関わる漢字を練習する。JLPT の統合理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１０を練習する。シャドーイング練習をする。	25回	**授業テーマ：社会・生活 10 地震(聴解)、生物学Ⅱ(漢字)** 授業内容：聴解では地震をテーマとしたニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。生物学にかかわる漢字を学習する。JLPT の統合理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２５を練習する。シャドーイング練習をする。
11回	**授業テーマ：経済・金融 10 火災保険料(聴解)、日常語彙Ⅰ(漢字)** 授業内容：聴解では建設業準大手をテーマとしたニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。日常語彙に関わる漢字を学習する。JLPT の統合理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１１を練習する。シャドーイング練習をする。	26回	**授業テーマ：社会・生活 11 地震の被害(聴解)、漢語の語構成(漢字)** 授業内容：聴解では地震の被害をテーマとしたニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。漢語の語構成に関わる漢字を学習する。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２６を練習する。シャドーイング練習をする。
12回	**授業テーマ：聴解の模擬試験とフィードバック、経済・金融 12 大型商業施設(聴解)、日常語彙Ⅱ(漢字)** 授業内容：聴解では大型商業施設をテーマとしたニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。日常語彙に関わる漢字を練習する。聴解能力がどのくらいあるか測るためのテストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１２を練習する。シャドーイング練習をする。	27回	**授業テーマ：社会・生活 12 コミケ(聴解)、熟語の読み方(漢字)** 授業内容：聴解ではコミケをテーマとしたニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。熟語の読み方にかかわる漢字を学習する。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２７を練習する。シャドーイング練習をする。
13回	**授業テーマ：経済・金融 13 秩父宮ラグビー場(聴解)、旅行(漢字)** 授業内容：聴解では秩父宮ラグビー場をテーマとしたニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。旅行に関する漢字を学習する。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１３を練習する。	28回	**授業テーマ：聴解の模擬試験とフィードバック、社会・生活 13 カプセルトイ(聴解)、様子・態度(漢字)** 授業内容：。聴解ではカプセルトイをテーマとしたニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。様子・態度にかかわる漢字を学習する聴解能力がどのくらいあるか測るためにテストを行ったあと、フィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２８を練習する。シャドーイング練習をする。
14回	**授業テーマ：経済・金融 14 外国為替市場(聴解)、人間の体(漢字)** 授業内容：聴解では外国為替市場をテーマとしたニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。人間の体に関わる漢字を練習する。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１４を練習する。シャドーイング練習をする。	29回	**授業テーマ：社会・生活 14 フィッシング詐欺(聴解と会話)、心情(漢字)** 授業内容：聴解ではフィッシング詐欺をテーマとしたニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。心情にかかわる漢字を学習する。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２９を練習する。
15回	**授業テーマ：経済・金融 15 円安(聴解)、医療(漢字)、中間テストとフィードバック** 授業内容：聴解では円安をテーマとしたニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。医療に関わる漢字を練習する。これまで学習した聴解の知識とスキルを整理し、中間テストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１５を練習する。	30回	**授業テーマ：まとめ・総合練習、社会・生活 15 痴漢逮捕(聴解)、状態(漢字)、最終テストとフィードバック** 授業内容：聴解では痴漢逮捕をテーマとしたニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。状態にかかわる漢字を学習する。これまで学習した聴解の知識とスキルを整理する。最終テストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル３０を練習する。

アカデミック日本語Ⅳ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：留学生クラス

小野寺　樹璃（おのでら　じゅり）

▌授業の概要

アカデミック日本語では、大学での授業や課題を行うために必要な日本語能力を育成する。アカデミック日本語Ⅳの内容は語彙と作文である。複雑な話題について明確でしっかりとした構成の詳細なテクストを作る。自己の視点から意見を述べたり説明したりできるようになることを目指して、テクストを構成する字句、結束表現、文法表現等を学習する。毎回事前学修、事後学修、課題を授業外に行い、授業では小テストを実施する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：大学の学修に必要なレポートおよび文章を明瞭かつ論理的に書くことができる。
重要点を強調し、補助的事項、理由、関連する事例を付け加え、論点を展開し、適切な結論で終わることができる。
自分の語彙・文法表現能力を適切に評価し、能動的に弱点を補う自己学習力を育てる。

個別目標：(1) 文章の種類によって適切な構造を持つ文章を書ける。
(2) 文章を書くための準備で、倫理的な行動を選択し、レポートに必要な資料を集められる。
(3) 文章を書くための準備で、資料を読んで正しく理解できる。文章を書く過程で他者との意見交換を通じて他者の視点を取り入れ、文章に反映させられる。
(4) 自分の作文能力、語彙能力を適切に評価し、弱点を補うための計画を立て、補習等を利用して能動的に学習し、正しくふりかえることができる。

▌履修条件

留学生クラスである。
課題の提出期限を守る。
manaba による連絡を確認する。
自分の能力を客観的に評価し、弱点を補う努力をする。

▌評価基準・方法

テスト 50%、課題提出 50%で評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba および対面授業を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ほぼ毎回、グループワークで他者と協働する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （ほぼ毎回、manaba、respon を使用する。）

▌教科書

田中祐輔(編)『《書き込み式》表現するための語彙文法練習ノート〈上〉―語/コロケーション/慣用句/表現文型』 凡人社
田川麻央・德田恵『プロセス重視で学ぶ日本語ライティング』 DTP 出版

▌参考書

友松悦子・宮本淳・和栗雅子『どんなときどう使う日本語表現文型辞典』アルク

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、事前テスト、レッスン 1 文字・語彙・コロケーション** 授業内容：コースの概要と目的、学習の進め方、評価について理解する。事前テストを受ける。レッスン 1 の漢字、複合動詞の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：これまでに学んだ単語を復習しておく。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 1 を練習する。	16回	**授業テーマ：レッスン 8 文型・文法・類義表現** 授業内容：レッスン 8 の慣用的に使われる表現、類義表現の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 16 を練習する。
2回	**授業テーマ：レッスン 1 文型・文法・類義表現** 授業内容：レッスン 1 の慣用的に使われる表現、類義表現の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 2 を練習する。	17回	**授業テーマ：まずやってみよう** 授業内容：レポートを書くのに必要な知識は何か、どのようなレポートが求められているかを知り、学習意欲を高める。コース終了後のできるようになった自分をイメージする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 17 を練習する。
3回	**授業テーマ：レッスン 2 文字・語彙・コロケーション** 授業内容：レッスン 2 の漢字、複合動詞の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 3 を練習する。	18回	**授業テーマ：書き言葉** 授業内容：レポートに必要な「書き言葉」を学習する。話し言葉と書き言葉の使い分けについて学び、書き換え練習を通じてレポートに必要な表現、言い回しを身に付ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 18 を練習する。
4回	**授業テーマ：レッスン 2 文型・文法・類義表現** 授業内容：レッスン 2 の慣用的に使われる表現、類義表現の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 4 を練習する。	19回	**授業テーマ：段落** 授業内容：段落とは何か、段落内はどのような構成にするかを学習する。中心文と支持文を区別する練習や、中心文に対して支持文でどう具体的に書くかを練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 19 を練習する。
5回	**授業テーマ：レッスン 3 文字・語彙・コロケーション** 授業内容：レッスン 3 の漢字、複合動詞の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 5 を復習する。	20回	**授業テーマ：三段構成法** 授業内容：序論本論結論の三段構成法を学習する。序論、本論、結論の見分け方、それぞれどのようなことを書くのかを知ったうえで、書く練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 20 を復習する。

6回	**授業テーマ：レッスン 3 文型・文法・類義表現** 授業内容：レッスン 3 の慣用的に使われる表現、類義表現の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 6 を練習する。	21回	**授業テーマ：アイデアの抽出** 授業内容：レポートのテーマを考える。ブレーンストーミングの方法を学習し、アイデアを書き出す。そのうえで自分のレポートのテーマを決定する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 21 を練習する。
7回	**授業テーマ：レッスン 4 文字・語彙・コロケーション** 授業内容：レッスン 4 の漢字、複合動詞の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 7 を練習する。	22回	**授業テーマ：資料検索** 授業内容：図書館や新聞記事のデータベースなど資料の探し方、注意点を学習する。自分のテーマに関わる資料を探して読み、基礎知識を身に付ける。集めた資料を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 22 を練習する。
8回	**授業テーマ：レッスン 4 文型・文法・類義表現** 授業内容：レッスン 4 の慣用的に使われる表現、類義表現の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 8 を練習する。	23回	**授業テーマ：論理的つながりの検討** 授業内容：論理的なつながりのある文章とはどのようなものかを学習する。クラスメートにレポートの構成について説明し、論理的につながっているかどうか評価してもらう。必要があれば、資料を増やしたり減らしたりする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 23 を練習する。
9回	**授業テーマ：レッスン 5 文字・語彙・コロケーション** 授業内容：レッスン 5 の漢字、複合動詞の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 9 を練習する。	24回	**授業テーマ：資料の引用** 授業内容：資料の引用方法、注意点を学習する。集めた資料をもとに引用文を書く練習をして、クラスメートに正しく書けているかどうかチェックしてもらう。必要があれば修正する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 24 を練習する。
10回	**授業テーマ：レッスン 5 文型・文法・類義表現** 授業内容：レッスン 5 の慣用的に使われる表現、類義表現の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 10 を復習する。	25回	**授業テーマ：参考文献リストの書き方** 授業内容：参考文献の書き方、注意点を学習する。集めた資料をもとに参考文献リストを書く練習をして、クラスメートに正しく書けているかどうかチェックしてもらう。必要があれば修正する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 25 を復習する。
11回	**授業テーマ：レッスン 6 文字・語彙・コロケーション** 授業内容：レッスン 6 の漢字、複合動詞の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 11 を練習する。	26回	**授業テーマ：図表の説明** 授業内容：図や表の説明のしかた、注意点を学習する。集めた資料にある図や表を説明する文章を書き、クラスメートに正しく書けているかどうかチェックしてもらう。必要があれば修正する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 26 を練習する。
12回	**授業テーマ：レッスン 6 文型・文法・類義表現** 授業内容：レッスン 6 の慣用的に使われる表現、類義表現の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 12 を練習する。	27回	**授業テーマ：レポートの執筆** 授業内容：これまで学習したレポートの書き方を思い出し、適切な表現を用いて、論理的で説得力のある原稿を執筆する。必要があれば資料を追加したり省いたりする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 27 を練習する。
13回	**授業テーマ：レッスン 7 文字・語彙・コロケーション** 授業内容：レッスン 7 の漢字、複合動詞の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 13 を練習する。	28回	**授業テーマ：題名の決定** 授業内容：読み手に内容が伝わり読みたいと思わせるような題名の付け方を学習する。そのうえで、自分のレポートにふさわしい題名を付ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 28 を練習する。
14回	**授業テーマ：レッスン 7 文型・文法・類義表現** 授業内容：レッスン 7 の慣用的に使われる表現、類義表現の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 14 を練習する。	29回	**授業テーマ：課題レポートの評価** 授業内容：書き上げたレポートをクラスメートと交換して読み、質疑応答をする。互いに評価をする。必要があれば、レポートを修正し、最終版を作成する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 29 を練習する。
15回	**授業テーマ：レッスン 8 文字・語彙・コロケーション、中間テストとフィードバック** 授業内容：レッスン 8 の漢字、複合動詞の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。中間テストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 15 を復習する。	30回	**授業テーマ：まとめ・コース全体のふりかえり、最終テストとフィードバック** 授業内容：レポートを完成するまでのプロセスを思い出し、コンセプトマップを作成する。クラスメートに作成したコンセプトマップを披露し、不足していることがあれば書き足す。最終テストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 30 を練習する。

アカデミック日本語Ⅳ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：MGO 留学生サポートプログラム用クラス(留 H)

藤本　陽子（ふじもと　ようこ）

▌授業の概要

留学生の社会的自立、職業的自立を促すため日本語能力に応じた日本語教育およびキャリア教育を行う「MGO 留学生サポートプログラム」の一環として実施する科目である。日本で仕事をするうえで必要なジェネリックスキルの一つである日本語コミュニケーション能力を育成する。アカデミック日本語Ⅳの内容はビジネス文書の書き方、作成である。実務に役立つ文書作成技能について知識と技能の基本を身に付ける。毎回、事前学修、事後学修、課題を授業外に行い、授業では小テストを実施する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：日常的な社内文書、ビジネス文書、および手紙やメールなどを自然な言い回し、表現を使って、読み手に負担のないよう書くスキルを身に付ける。

個別目標：(1) 日常的な社内文書、ビジネス文書、および手紙やメールなどの文章を形式を整えて書くことができる。
(2) ビジネス場面での日常的な文書による報告を簡潔に書くことができる。
(3) ビジネス場面での文書にかかわる慣習、マナーなどの知識を獲得する。
(4) 自らのビジネス日本語能力を客観的に把握し、弱点を強化する。

▌履修条件

MGO 留学生サポートプログラムに登録済みで N1 を取得している。
manaba からの連絡を漏らさず確認し、課題の提出期限を守る。
自分のビジネス文書作成能力を客観的に把握し、弱点を補う努力をする。

▌評価基準・方法

課題提出 50%、テスト 50%で評価する。

▌フィードバック方法

フィードバックは manaba と対面授業で行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ほぼ毎回グループワークを実施する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （ほぼ毎回 manaba、respon を使用する(スマートフォン対応可)。）

▌教科書

『ビジネス文書検定第６６回～７１回実問題集３級』早稲田教育出版
『ビジネス文書検定第６６回～７１回実問題集１，２級』早稲田教育出版

▌参考書

随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、事前テスト** 授業内容：コースの概要と目的、学習の進め方、評価についての説明を理解する。その後、ビジネス文章の作成能力がどの程度あるか事前テストを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	16回	**授業テーマ：3 級第 66 回実務技能** 授業内容：簡単な社内文書の書き方、簡単な業務用社外文書の書き方、ビジネス文書の取り扱い方を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
2回	**授業テーマ：3 級第 71 回表記技能** 授業内容：文章の書き換えなどの総合、漢字や仮名遣いなどの用字、同音異義語や異字同訓語の使い分けなどの用語、横書き通信文の構成などの書式に関する表記技能を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	17回	**授業テーマ：2 級第 71 回表記技能** 授業内容：漢字や文字の正確さなどの総合、漢字や仮名遣いなどの用字、同音異義語や異字同訓語の使い分けなどの用語、通信文の構成などの書式に関する表記技能を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
3回	**授業テーマ：3 級第 71 回表現技能** 授業内容：正確でわかりやすい文章の書き方、礼儀正しい文章の書き方を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	18回	**授業テーマ：2 級第 71 回表現技能** 授業内容：やや長い文を正確でわかりやすく書く練習、敬称、敬語、丁寧な言い回しなど礼儀正しい文章の書き方を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
4回	**授業テーマ：3 級第 71 回実務技能** 授業内容：簡単な社内文書の書き方、簡単な業務用社外文書の書き方、ビジネス文書の取り扱い方を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	19回	**授業テーマ：2 級第 71 回実務技能** 授業内容：一般の社内文書の書き方、社外文書や社交文書を書く練習をする。日本の受発信事務等文書の取り扱いを学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
5回	**授業テーマ：3 級第 70 回表記技能** 授業内容：文章の書き換えなどの総合、漢字や仮名遣いなどの用字、同音異義語や異字同訓語の使い分けなどの用語、横書き通信文の構成などの書式に関する表記技能を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	20回	**授業テーマ：2 級第 70 回表記技能** 授業内容：漢字や文字の正確さなどの総合、漢字や仮名遣いなどの用字、同音異義語や異字同訓語の使い分けなどの用語、通信文の構成などの書式に関する表記技能を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
6回	**授業テーマ：3 級第 70 回表現技能** 授業内容：正確でわかりやすい文章の書き方、礼儀正しい文章の書き方を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	21回	**授業テーマ：2 級第 70 回表現技能** 授業内容：やや長い文を正確でわかりやすく書く練習、敬称、敬語、丁寧な言い回しなど礼儀正しい文章の書き方を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
7回	**授業テーマ：3 級第 70 回実務技能** 授業内容：簡単な社内文書の書き方、簡単な業務用社外文書の書き方、ビジネス文書の取り扱い方を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	22回	**授業テーマ：2 級第 70 回実務技能** 授業内容：一般の社内文書の書き方、社外文書や社交文書を書く練習をする。日本の受発信事務等文書の取り扱いを学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

8回	**授業テーマ：3 級第 69 回表記技能** 授業内容：文章の書き換えなどの総合、漢字や仮名遣いなどの用字、同音異義語や異字同訓語の使い分けなどの用語、横書き通信文の構成などの書式に関する表記技能を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	23回	**授業テーマ：2 級第 69 回表記技能** 授業内容：漢字や文字の正確さなどの総合、漢字や仮名遣いなどの用字、同音異義語や異字同訓語の使い分けなどの用語、通信文の構成などの書式に関する表記技能を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
9回	**授業テーマ：3 級第 69 回表現技能** 授業内容：正確でわかりやすい文章の書き方、礼儀正しい文章の書き方を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	24回	**授業テーマ：2 級第 69 回表現技能** 授業内容：やや長い文を正確でわかりやすく書く練習、敬称、敬語、丁寧な言い回しなど礼儀正しい文章の書き方を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
10回	**授業テーマ：3 級第 69 回実務技能** 授業内容：簡単な社内文書の書き方、簡単な業務用社外文書の書き方、ビジネス文書の取り扱い方を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	25回	**授業テーマ：2 級第 69 回実務技能** 授業内容：一般の社内文書の書き方、社外文書や社交文書を書く練習をする。日本の受発信事務等文書の取り扱いを学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
11回	**授業テーマ：3 級第 68 回表記技能** 授業内容：文章の書き換えなどの総合、漢字や仮名遣いなどの用字、同音異義語や異字同訓語の使い分けなどの用語、横書き通信文の構成などの書式に関する表記技能を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	26回	**授業テーマ：2 級第 68 回表記技能** 授業内容：漢字や文字の正確さなどの総合、漢字や仮名遣いなどの用字、同音異義語や異字同訓語の使い分けなどの用語、通信文の構成などの書式に関する表記技能を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
12回	**授業テーマ：3 級第 68 回表現技能** 授業内容：正確でわかりやすい文章の書き方、礼儀正しい文章の書き方を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	27回	**授業テーマ：2 級第 68 回表現技能** 授業内容：やや長い文を正確でわかりやすく書く練習、敬称、敬語、丁寧な言い回しなど礼儀正しい文章の書き方を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
13回	**授業テーマ：3 級第 68 回実務技能** 授業内容：簡単な社内文書の書き方、簡単な業務用社外文書の書き方、ビジネス文書の取り扱い方を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	28回	**授業テーマ：2 級第 68 回実務技能** 授業内容：一般の社内文書の書き方、社外文書や社交文書を書く練習をする。日本の受発信事務等文書の取り扱いを学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
14回	**授業テーマ：3 級第 66 回表記技能** 授業内容：文章の書き換えなどの総合、漢字や仮名遣いなどの用字、同音異義語や異字同訓語の使い分けなどの用語、横書き通信文の構成などの書式に関する表記技能を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	29回	**授業テーマ：2 級第 67 回表記技能** 授業内容：漢字や文字の正確さなどの総合、漢字や仮名遣いなどの用字、同音異義語や異字同訓語の使い分けなどの用語、通信文の構成などの書式に関する表記技能を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
15回	**授業テーマ：3 級第 66 回表現技能、中間テストとフィードバック** 授業内容：正確でわかりやすい文章の書き方、礼儀正しい文章の書き方を学習する。中間テストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	30回	**授業テーマ：2 級第 67 回表現技能、最終テストとフィードバック** 授業内容：やや長い文を正確でわかりやすく書く練習、敬称、敬語、丁寧な言い回しなど礼儀正しい文章の書き方を学習する。テストとフィードバックを受ける。コース全体を振り返り、整理する。最終テストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

アカデミック日本語Ⅳ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：MGO 留学生サポートプログラム用クラス(留 S)

行田　悦子（こうだ　えつこ）・**範　弘宇**（はん　こうう）

▌授業の概要

留学生の社会的自立、職業的自立を促すため日本語能力に応じた日本語教育およびキャリア教育を行う「MGO 留学生サポートプログラム」の一環として実施する科目である。日本で仕事をするうえで必要なジェネリックスキルの一つである日本語コミュニケーション能力を育成する。アカデミック日本語Ⅳの内容は語彙と作文である。複雑な話題について明確で、しっかりとした構成の、詳細なテクストを作り、自己の視点から説明できるようになることを目指して、テクストを構成する字句、結束表現、文法表現等を身に付ける。毎回、事前学修、事後学修、課題を授業外に行い、授業では小テストを実施する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1/M2/M3）

一般目標：大学の学修に必要なレポートおよび文章を明瞭かつ論理的に書くことができる。重要点を強調し、補助的事項、理由、関連する事例を付け加え、論点を展開し、適切な結論で終わることができる。
自分の語彙・文法表現能力を適切に評価し、能動的に弱点を補う自己学習力を育てる。

個別目標：(1) 文章の種類によって適切な構造を持つ文章を書ける。
(2) 文章を書くための準備で、倫理的な行動を選択し、レポートに必要な資料を集められる。
(3) 文章を書くための準備で、資料を読んで正しく理解できる。文章を書く過程で他者との意見交換を通じて他者の視点を取り入れ、文章に反映させられる。
(4) 自分の作文能力、語彙能力を適切に評価し、弱点を補うための計画を立て、補習等を利用して能動的に学習し、正しくふりかえることができる。

▌履修条件

MGO 留学生サポートプログラムに登録済みである。
課題の提出期限を守る。
manaba による連絡を確認する。
自分の能力を客観的に評価し、弱点を補う努力をする。

▌評価基準・方法

テスト 50%、課題提出 50%で評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba および対面授業を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ほぼ毎回グループワークで他者と協働する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （ほぼ毎回 manaba、respon を使用する(スマートフォン対応可)。）

▌教科書

田中祐輔(編)『《書き込み式》表現するための語彙文法練習ノート〈上〉―語/コロケーション/慣用句/表現文型』凡人社
田川麻央・德田恵『プロセス重視で学ぶ日本語ライティング』DTP 出版

▌参考書

友松悦子・宮本淳・和栗雅子『どんなときどう使う日本語表現文型辞典』アルク

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、事前テスト、レッスン 1 文字・語彙・コロケーション** 授業内容：コースの概要と目的、学習の進め方、評価について理解する。事前テストを受ける。レッスン 1 の漢字、複合動詞の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：これまでに学んだ単語を復習しておく。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 1 を練習する。	16回	**授業テーマ：レッスン 8 文型・文法・類義表現** 授業内容：レッスン 8 の慣用的に使われる表現、類義表現の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題演習を行なう。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 16 を練習する。
2回	**授業テーマ：レッスン 1 文型・文法・類義表現** 授業内容：レッスン 1 の慣用的に使われる表現、類義表現の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 2 を練習する。	17回	**授業テーマ：まずやってみよう** 授業内容：レポートを書くのに必要な知識は何か、どのようなレポートが求められているかを知り、学習意欲を高める。コース終了後のできるようになった自分をイメージする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 17 を練習する。
3回	**授業テーマ：レッスン 2 文字・語彙・コロケーション** 授業内容：レッスン 2 の漢字、複合動詞の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 3 を練習する。	18回	**授業テーマ：書き言葉** 授業内容：レポートに必要な「書き言葉」を学習する。話し言葉と書き言葉の使い分けについて学び、書き換え練習を通じてレポートに必要な表現、言い回しを身に付ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 18 を練習する。
4回	**授業テーマ：レッスン 2 文型・文法・類義表現** 授業内容：レッスン 2 の慣用的に使われる表現、類義表現の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 4 を練習する。	19回	**授業テーマ：段落** 授業内容：段落とは何か、段落内はどのような構成にするかを学習する。中心文と支持文を区別する練習や、中心文に対して支持文でどう具体的に書くかを練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 19 を練習する。
5回	**授業テーマ：レッスン 3 文字・語彙・コロケーション** 授業内容：レッスン 3 の漢字、複合動詞の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 5 を復習する。	20回	**授業テーマ：三段構成法** 授業内容：序論本論結論の三段構成法を学習する。序論、本論、結論の見分け方、それぞれどのようなことを書くのかを知ったうえで、書く練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 20 を復習する。

6回	**授業テーマ：レッスン 3 文型・文法・類義表現** 授業内容：レッスン 3 の慣用的に使われる表現、類義表現の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 6 を練習する。	21回	**授業テーマ：アイデアの抽出** 授業内容：レポートのテーマを考える。ブレーンストーミングの方法を学習し、アイデアを書き出す。そのうえで自分のレポートのテーマを決定する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 21 を練習する。
7回	**授業テーマ：レッスン 4 文字・語彙・コロケーション** 授業内容：レッスン 4 の漢字、複合動詞の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 7 を練習する。	22回	**授業テーマ：資料検索** 授業内容：図書館や新聞記事のデータベースなど資料の探し方、注意点を学習する。自分のテーマに関わる資料を探して読み、基礎知識を身に付ける。集めた資料を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 22 を練習する。
8回	**授業テーマ：レッスン 4 文型・文法・類義表現** 授業内容：レッスン 4 の慣用的に使われる表現、類義表現の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 8 を練習する。	23回	**授業テーマ：論理的つながりの検討** 授業内容：論理的なつながりのある文章とはどのようなものかを学習する。クラスメートにレポートの構成について説明し、論理的につながっているかどうか評価してもらう。必要があれば、資料を増やしたり減らしたりする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 23 を練習する。
9回	**授業テーマ：レッスン 5 文字・語彙・コロケーション** 授業内容：レッスン 5 の漢字、複合動詞の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 9 を練習する。	24回	**授業テーマ：資料の引用** 授業内容：資料の引用方法、注意点を学習する。集めた資料をもとに引用文を書く練習をして、クラスメートに正しく書けているかどうかチェックしてもらう。必要があれば修正する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 24 を練習する。
10回	**授業テーマ：レッスン 5 文型・文法・類義表現** 授業内容：レッスン 5 の慣用的に使われる表現、類義表現の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 10 を復習する。	25回	**授業テーマ：参考文献リストの書き方** 授業内容：参考文献の書き方、注意点を学習する。集めた資料をもとに参考文献リストを書く練習をして、クラスメートに正しく書けているかどうかチェックしてもらう。必要があれば修正する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 25 を復習する。
11回	**授業テーマ：レッスン 6 文字・語彙・コロケーション** 授業内容：レッスン 6 の漢字、複合動詞の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 11 を練習する。	26回	**授業テーマ：図表の説明** 授業内容：図や表の説明のしかた、注意点を学習する。集めた資料にある図や表を説明する文章を書き、クラスメートに正しく書けているかどうかチェックしてもらう。必要があれば修正する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 26 を練習する。
12回	**授業テーマ：レッスン 6 文型・文法・類義表現** 授業内容：レッスン 6 の慣用的に使われる表現、類義表現の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 12 を練習する。	27回	**授業テーマ：レポートの執筆** 授業内容：これまで学習したレポートの書き方を思い出し、適切な表現を用いて、論理的で説得力のある原稿を執筆する。必要があれば資料を追加したり省いたりする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 27 を練習する。
13回	**授業テーマ：レッスン 7 文字・語彙・コロケーション** 授業内容：レッスン 7 の漢字、複合動詞の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 13 を練習する。	28回	**授業テーマ：題名の決定** 授業内容：読み手に内容が伝わり読みたいと思わせるような題名の付け方を学習する。そのうえで、自分のレポートにふさわしい題名を付ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 28 を練習する。
14回	**授業テーマ：レッスン 7 文型・文法・類義表現** 授業内容：レッスン 7 の慣用的に使われる表現、類義表現の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 14 を練習する。	29回	**授業テーマ：課題レポートの評価** 授業内容：書き上げたレポートをクラスメートと交換して読み、質疑応答をする。互いに評価をする。必要があれば、レポートを修正し、最終版を作成する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 29 を練習する。
15回	**授業テーマ：レッスン 8 文字・語彙・コロケーション、中間テストとフィードバック** 授業内容：レッスン 8 の漢字、複合動詞の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。中間テストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 15 を復習する。	30回	**授業テーマ：まとめ・コース全体のふりかえり、最終テストとフィードバック** 授業内容：レポートを完成するまでのプロセスを思い出し、コンセプトマップを作成する。クラスメートに作成したコンセプトマップを披露し、不足していることがあれば書き足す。最終テストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 30 練習する。

［専門科目］

○ 専門基礎

○ ILP

フレッシュパーソンセミナーⅠ

開講学科等：日　｜　1 年次　｜　1 単位　｜　開講期：前

田鍋　桂子（たなべ　けいこ）・**西川　寛之**（にしかわ　ひろゆき）・**柳井　まどか**（やない　まどか）

▌授業の概要

日本語学科の学生として学生生活を始めるにあたって、高校までの基礎学力と知識を整理し、これから大学で学ぶための学習方法を身につける。大学の初年次教育は重要な位置づけにあり、大学で学ぶべきものをきちんと習得し、基礎的な学習習慣と広い教養及び思考能力を身につけなければならない。本学科では、進級要件として日本語検定３級に合格しなければならない。日本人学生は日本語検定３級以上の合格、留学生は日本語能力試験１級、および日本語検定３級の合格を目標に実力を養成していく。毎回、日本語検定に関する宿題は必ず課す。
なお、進級要件を満たすための試験は、必ず受検することを義務とする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ③、GSM J ①/J ②/J ③）

一般目標：高校までの基礎的な知識を整理し、各種試験を受験することによって、その基礎力の充実をはかり、各種の検定試験に合格できる。
個別目標：高校までに学んだ文法事項などを説明できる。語彙について語の関係性を説明できる。現代の敬語システムを理解し、それぞれの場面での適切な使い分けができる。それぞれの言語事象を言語学的なコンテクストに基づいてその項目を説明できる。

▌履修条件

指定されたクラスで受講すること。

▌評価基準・方法

宿題および毎回の課題・テストを 40 %とし、期末試験を 60 %とする。出席は 5 分の 4 以上を前提条件とし、欠席時の授業点および当該授業にかかる課題点を減点とする。遅刻 3 回で 1 回の欠席とする。

▌フィードバック方法

課題、テストのフィードバックはマナバおよび対面授業時に行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （(反転授業、ディスカッション・ディベート、グループワーク、プレゼンテーション)）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （文献調査、レポート作成）

▌教科書

プリントおよびテキストを配布する。

▌参考書

とくに定めた参考書はない。 その都度、紹介し指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：日本語学科で学ぶべきことを確認しつつ、大学生活を円滑におくるためのさまざまを確認する。シラバスや科目履修表を確認し、基礎科目と基礎専門科目のカリキュラムについて理解し、4 年間の見通しを立て、1 年の学習計画を立てる。 事前学修 2.0hr：履修の手引きをよみ、大学で何を学ぶか、どのように勉強していくかを考えておく。 事後学修 2.0hr：科目の進め方、大学生活の進め方を確認する。
2 回	**授業テーマ：文法・敬語・語彙・表記・意味・漢字の分野で目指すこと** 授業内容：進級要件である日本語検定について、その勉強の範囲と内容を理解する。 事前学修 2.0hr：日本語検定のホームページをみておく 事後学修 2.0hr：現在の自分の日本語力について分析する
3 回	**授業テーマ：品詞と動詞の活用** 授業内容：品詞のおおまかな復習をおこない、動詞の活用の種類と見分け方・音便を理解する。 事前学修 2.0hr：それぞれの文法構造には、品詞がある。その品詞について考えておく。(活用等も含める) 事後学修 2.0hr：文法的な特徴をまとめる。
4 回	**授業テーマ：ら抜き・さ入れ** 授業内容：ら抜きとさ入れについて、日本語学的観点からその構造を理解する。 事前学修 2.0hr：ら抜きとさ入れについての問題を解く。 事後学修 2.0hr：授業の復習を行う。
5 回	**授業テーマ：形容詞と形容動詞** 授業内容：日本語教育と国語教育の違いと、形容動詞の扱いについての諸説をふまえた上で、それぞれの区別と活用を理解する。 事前学修 2.0hr：形容詞と形容動詞の特徴について調べておく。 事後学修 2.0hr：形容詞と形容動詞の特徴を文法的な概念から理解し、まとめる。
6 回	**授業テーマ：文の成分** 授業内容：主語・述語・修飾語を確認し、文のねじれの現象の構造を理解する 事前学修 2.0hr：問題を解く 事後学修 2.0hr：授業の内容を踏まえながら問題を解き直す
7 回	**授業テーマ：敬語の枠組み** 授業内容：敬語と敬語行為を古語の枠組みと比較しながら、現代日本語の敬語の枠組みとその意義を考える。 事前学修 2.0hr：敬語の概念についてしらべておく 事後学修 2.0hr：授業の復習をする
8 回	**授業テーマ：尊敬語** 授業内容：尊敬語の枠組みと具体的語彙と運用法について学ぶ。 事前学修 2.0hr：問題を解く 事後学修 2.0hr：授業をふまえて復習する
9 回	**授業テーマ：謙譲語** 授業内容：謙譲語の枠組みと具体的語彙と運用法について学ぶ。 事前学修 2.0hr：問題を解く 事後学修 2.0hr：授業をふまえて復習する
10 回	**授業テーマ：謙譲語の変化と現在** 授業内容：謙譲語の二分法について文化庁の「現代の敬語」を読んで理解する 事前学修 2.0hr：「現代の敬語」のページを確認しておく 事後学修 2.0hr：問題を解いて復習する

11回	**授業テーマ：丁寧語** 授業内容：丁寧語の枠組みと具体的語彙と運用法について学ぶ。 事前学修 2.0hr：問題を解く 事後学修 2.0hr：授業を踏まえて復習する
12回	**授業テーマ：敬語の応用（1）** 授業内容：第三者を交えた敬語について、話題の人物に着目してその構造を理解し、運用の方法をまなぶ 事前学修 2.0hr：問題を解く 事後学修 2.0hr：授業を踏まえて復習する
13回	**授業テーマ：敬語の応用（2）** 授業内容：電話や書簡文における敬語についてまなぶ 事前学修 2.0hr：問題を解く 事後学修 2.0hr：授業を踏まえて復習する
14回	**授業テーマ：語の構造** 授業内容：類義・対義の意味構造および上位概念・下位概念等の基本的な語彙構造の捉え方をまなび、実際の運用ができるようになる。 事前学修 2.0hr：問題を解く 事後学修 2.0hr：授業を踏まえて復習する
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：文法・敬語・語彙について振り返りを行い、復習テストを行う。 事前学修 2.0hr：これまでの授業を復習しておく 事後学修 2.0hr：十五回授業での復習テストをふりかえり、フィードバックを通して誤りを確認する。

フレッシュパーソンセミナーⅡ

開講学科等：日　｜　1 年次　｜　1 単位　｜　開講期：後

田鍋　桂子（たなべ　けいこ）・**西川　寛之**（にしかわ　ひろゆき）・**柳井　まどか**（やない　まどか）

▌授業の概要

前期には日本語学科の学生として、高校までの日本語に関するまなびをふりかえった上で、日本語の構造を理解した、後期では日本語学および日本語教育の広範的な基礎知識を習得していく。日本語教育文法の概念と日本語の構造を理解し、言語学的な知識をも備え、日本語の本質を理解することをめざす。引き続き日本人学生は日本語検定３級または２級に合格するための実力を養成し、留学生は日本語能力試験１級及び日本語検定３級に合格するための準備を続ける。日本語検定に関する宿題は毎週課される。後学期にもこれらの試験を必ず受験することを義務とする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ③、GSM J ①/J ②/J ③）

一般目標：日本語教育文法の知識を習得し、日本語の構造面をも理解することができる。またそれに関連して、日本語の音声や発音の仕方についても同時に理解できるようになる。言語としての日本語の構造を、客観的に説明できるようになる。そして各種検定試験についても、継続的に勉強を続け、合格することができる。

個別目標：前期に学習した文法的なレベルを、より深く理解することができ、その項目の説明ができる。また学校文法と日本語教育文法との差異などを説明できる。

▌履修条件

指定されたクラスで受講すること。

▌評価基準・方法

毎回のテストを 40 %とし、期末試験を 60 %とする。出席は 5 分の 4 以上を前提条件とし、欠席時の授業点および当該授業にかかる課題点を減点とする。遅刻 3 回で 1 回の欠席とする。

▌フィードバック方法

課題、テストのフィードバックはマナバおよび対面授業時に行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （(反転授業、ディスカッション・ディベート、グループワーク、プレゼンテーション)）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （文献調査・データ調査・レポート記述）

▌教科書

プリント・テキストを配布する。

▌参考書

参考書はその都度、授業時に指示する。
クラスで配布されたテキスト類を準備すること。
『考えて、解いて、学ぶ日本語教育の文法』原沢伊都夫　スリーエーネットワーク

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：日本語学・日本語教育学の観点** 授業内容：言語研究としての日本語探究の視点を、研究分野や変遷、最近の研究の動向などから大枠を理解する 事前学修 2.0hr：日本語を一言語としてのカテゴリーから、どのように研究していくかを調べておく。 事後学修 2.0hr：日本語の研究方法を言語の構造という視点からまとめる。
2 回	**授業テーマ：日本語の構造** 授業内容：前期に学んだ日本語の文法・敬語・語彙・表記・意味について振り返り、検定の模擬試験を行い、現在の自分の実力について客観的に把握できるようにする。 事前学修 2.0hr：前期の復習を行う 事後学修 2.0hr：模擬試験の復習を行う
3 回	**授業テーマ：漢字表記** 授業内容：現代日本語の漢字について、現代漢字の運用の根拠について学ぶ。当用漢字・常用漢字表、そして教育漢字について理解する。 事前学修 2.0hr：常用漢字表のホームページをチェックしておく 事後学修 2.0hr：授業の復習を行う。
4 回	**授業テーマ：比喩表現と慣用句** 授業内容：比喩表現の基本的分類をおさえた上で、慣用句を理解する 事前学修 2.0hr：検定に出てくる慣用句を調べる 事後学修 2.0hr：授業でとりあつかったもの以外の慣用句について分類し、分析をする
5 回	**授業テーマ：漢字文化圏における四字熟語** 授業内容：中国古典から日本語に受容された語彙の中での四字熟語の日本での文化的受容を理解する 事前学修 2.0hr：検定に出てくる四字熟語を調べる 事後学修 2.0hr：授業の復習を行う
6 回	**授業テーマ：日本語の誤用の調査** 授業内容：文化庁の「国語に関する世論調査」の資料について、誤用が実際どのように行われているかを図表とコメントから読み取る 事前学修 2.0hr：各自三つの調査をピックアップしておく 事後学修 2.0hr：授業の復習を行う。一つを選び、基礎文献を探す。
7 回	**授業テーマ：日本語の誤用の背景** 授業内容：ら抜きの誤用の背景を理解した上で、各自が調査項目を資料から選び、それらの項目の基礎文献の探し方をおさえる 事前学修 2.0hr：前期のら抜きについて復習しておく。 事後学修 2.0hr：基礎文献の中の一つを入手しておく
8 回	**授業テーマ：日本語の誤用の分析** 授業内容：基礎文献について、辞典等を手がかりに大枠を理解し、各自コメントをまとめ、発表を行う。 事前学修 3.0hr：基礎文献について目を通しておく 事後学修 2.0hr：発表に関する振り返りシートを書く。
9 回	**授業テーマ：文法　主題化** 授業内容：日本語における主題化の意味と 4 つの主題化のパターンを理解する。格成分の主題化と格成分以外の主題化を理解する 事前学修 1.0hr：主題化について指摘された辞書で調べておく 事後学修 2.0hr：格成分の主題化と格成分以外の主題化について、そのプロセスをまとめる。

10回	**授業テーマ：文法　自動詞と他動詞** 授業内容：自動詞、他動詞の区別とその対応による分類を理解する。 事前学修 1.0hr：自動詞・他動詞について指定された辞書で調べておく 事後学修 2.0hr：自動詞、他動詞の区別のポイントを例文を通してまとめる。
11回	**授業テーマ：文法　ヴォイス** 授業内容：ヴォイスの枠組みと、その中でも受身文と使役文の種類を例文を通して理解する。 事前学修 1.0hr：ヴォイスについて指定された辞書で調べておく。 事後学修 2.0hr：受身文と使役文の例文を列挙し、具体的な用法と意味をまとめる。
12回	**授業テーマ：文法　テンス** 授業内容：動詞の種類と、絶対テンスと相対テンスについて理解する 事前学修 1.0hr：テンスについて指定された辞書で調べておく。 事後学修 2.0hr：テンスの特徴として、時間的関係を示す文法カテゴリーをまとめる。
13回	**授業テーマ：文法　アスペクト** 授業内容：テイルとテアルを中心に、述語の分類とその用法を例文を通して理解する。 事前学修 1.0hr：アスペクトについて指定された辞書で調べておく。 事後学修 2.0hr：「～ている」と「～てある」の例文を列挙し、その意味と用法をまとめる。
14回	**授業テーマ：文法　ムード** 授業内容：対事的ムードと対人的ムード、断定と意志のムードについて理解する。 事前学修 1.0hr：ムードについて指定された辞書で調べておく。 事後学修 2.0hr：ムードの種類のそれぞれを例文と通して解釈し、その意味用法をまとめる。
15回	**授業テーマ：授業の振り返り** 授業内容：これまでの授業の復習を行う 事前学修 2.0hr：これまでの授業の資料をみなおしておく 事後学修 2.0hr：授業内での小試験についてフィードバックを通して復習を行う。

課題探求セミナーⅠ（日本語専攻）

開講学科等：日　｜　2 年次　｜　1 単位　｜　開講期：前

田川　麻央（たがわ　まお）

▌授業の概要

日本語教育をとりまく社会状況を踏まえて、多様な背景をもつ学習者に対する日本語指導を行うのに必要となる体系的な知識・技能を身に付ける。国内外の日本語教育現場で定められた日本語教育プログラムに基づき日本語指導が行える実践力へとつないでいく。課題探求セミナーⅠでは「社会・文化・地域」「言語と社会」「言語と心理」を中心に学習し、「言語と教育」にも少し触れる。毎回の授業では前回の学習内容について小テストを実施し、定着を図る。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ③）

一般目標：(1) 日本語を正確に理解し的確に運用できる。
(2) 日本語教師に必要な基礎知識を自分の言葉で説明できる。
(3) 教育実践に必要な技能を身に付け、限定的な範囲で学習支援を行うことができる。

個別目標：（1）日本語教育の基礎的な用語の定義、特徴を述べることができる。
（2）基礎的な概念を教室や社会における状況と結びつけることができる。
（3）学習者のレディネスに配慮してコースデザインができる。
（4）限定的な範囲で授業を展開できる。
（5）自らの行動を客観的にふり返ることができる。

▌履修条件

manaba への連絡は漏らさず確認し、課題の提出期限を守る。
留学生で日本語能力試験 N1 をもっていない場合は合格するよう努力すること。
主体的に参加する。

▌評価基準・方法

テスト 40%、課題提出 40%、発表・授業への参加態度 20%で評価する。

▌フィードバック方法

フィードバックは対面授業および manaba で行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （毎回グループワークを実施する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （資料作成時に PC を利用する。manaba、respon を使用する（スマートフォン対応可）。）

▌教科書

開講時に指示する。

▌参考書

近藤安月子・小森和子 (編)『研究社日本語教育事典』研究社
佐々木泰子 (編)『ベーシック日本語教育』ひつじ書房

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス・世界と日本** 授業内容：課題探求セミナーⅠの目標、授業の進め方を説明する。必須の 50 項目とはどのようなものかを学ぶ。20 世紀末以降ますますグローバル化する社会において今後日本が果たしていくべき課題について検討する。 事前学修 1.0hr：1 年次に学習したことをノートに整理する。 事後学修 1.0hr：学習内容を整理し、重要事項を覚える。
2回	**授業テーマ：異文化接触と日本語教育** 授業内容：日本における異文化接触と日本語教育について取り上げる。特に、児童生徒の文化間移動とそれに伴うさまざまな問題について解説し、これからの年少者教育について議論する。 事前学修 1.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 1.0hr：学習内容を整理し、重要事項を覚える。
3回	**授業テーマ：日本語教育の歴史と現状** 授業内容：16 世紀後半のキリシタン宣教師の日本語学習と教育から戦前、戦後と日本語教育の歴史を振り返る。そのうえで、現在の日本語教育と国語教育を比較する。 事前学修 1.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 1.0hr：学習内容を整理し、重要事項を覚える。
4回	**授業テーマ：日本語教育の歴史と現状** 授業内容：16 世紀後半のキリシタン宣教師の日本語学習と教育から戦前、戦後と日本語教育の歴史を振り返る。そのうえで、現在の日本語教育と国語教育を比較する。 事前学修 1.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 1.0hr：学習内容を整理し、重要事項を覚える。
5回	**授業テーマ：言語と社会の関係** 授業内容：社会のグローバル化とともに異文化、異言語との接触が身近になったことをふまえ、異文化の接触にともなって起こる言語現象や各国の言語政策について学習する。 事前学修 1.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 1.0hr：学習内容を整理し、重要事項を覚える。
6回	**授業テーマ：言語使用と社会** 授業内容：言語はその言語が使用される社会と密接にかかわっていることから、文法だけでなく社会文化的背景、言語外のルールなどを視野に入れて言語行動を捉え直す。 事前学修 1.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 1.0hr：学習内容を整理し、重要事項を覚える。
7回	**授業テーマ：言語理解の過程** 授業内容：言語理解を情報処理のプロセスと考え、文章（談話）を理解するプロセスがどのようになっているかを検討する。予測・推測能力や記憶が言語理解にどのように関わっているのか学習する。 事前学修 1.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 1.0hr：学習内容を整理し、重要事項を覚える。

8回	**授業テーマ：言語習得・発達** 授業内容：母語習得と第二言語習得を比較しながら言語習得の仕組み、発達のメカニズムを学習する。第二言語習得研究の歴史をふりかえり、さまざまな理論が生まれた背景を押さえていく。 事前学修 1.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 1.0hr：学習内容を整理し、重要事項を覚える。
9回	**授業テーマ：第二言語学習の個人差要因** 授業内容：外国語学習にまつわる個人差要因に着目し、年齢要因、動機づけ、学習適性、性格、認知スタイル、学習ストラテジーなどについて学習する。 事前学修 1.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 1.0hr：学習内容を整理し、重要事項を覚える。
10回	**授業テーマ：異文化理解と心理** 授業内容：私たちの日常生活に文化がどうかかわっているのか、発達心理学、異文化間心理学の知見をもとに心と文化の問題について議論する。 事前学修 1.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 1.0hr：学習内容を整理し、重要事項を覚える。
11回	**授業テーマ：コースデザイン(調査分析段階)** 授業内容：実際の日本語の授業を計画し、実施する上で必要な事柄について考える。学習者のレディネス、ニーズを把握したうえでどう授業を組み立て実践していくか、その過程で必要となる知識や考え方を身に付ける。 事前学修 1.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 1.0hr：学習内容を整理し、重要事項を覚える。
12回	**授業テーマ：コースデザイン(計画段階)** 授業内容：さまざまなシラバスの特徴を把握したうえで、コース目標を設定し、具体的な学習項目、スケジュール、教え方、教材をデザインする。 事前学修 1.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 1.0hr：学習内容を整理し、重要事項を覚える。
13回	**授業テーマ：教授法** 授業内容：代表的な外国語教授法とその教授法に理論的な根拠を与えた言語理論について概観する。 事前学修 1.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 1.0hr：学習内容を整理し、重要事項を覚える。
14回	**授業テーマ：評価法** 授業内容：日本語能力の測定に使われるさまざまなテストの特徴を学習する。テストの良し悪しを測る尺度、テスト結果の分析方法を学んだうえで、テストを作成する。テストによらない評価法も学習する。 事前学修 1.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 1.0hr：学習内容を整理し、重要事項を覚える。
15回	**授業テーマ：まとめとふり返り** 授業内容：これまで学習してきた内容についてテストを実施し、振り返りをする。基礎知識を整理をする。専門用語を自分の言葉で説明できるようにする。 事前学修 1.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 1.0hr：学習内容を整理し、重要事項を覚える。

課題探求セミナーⅠ（日本語専攻）

開講学科等：日　｜　2 年次　｜　1 単位　｜　開講期：前

田鍋　桂子（たなべ　けいこ）

▌授業の概要

この授業では日本語力及び言語学・日本語学の基礎的なことがらを修得していくことを目的とする。とくに国語教員を目指す学生の基礎学力の向上に力点をおき、日本語・日本語学に関わる隣接分野の基本的知識とともに、日本語及び日本語学に関わる基礎的な知識を身につける。また3年以降の卒業論文制作に向けて、専門分野の文献の探し方と調べ方を身につける。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ③）

一般目標：日本語及び日本語学の問いを説くことによって、基本的な知識を身につけ、問いを解決する視座をもつ。
個別目標：さまざまな言語事象について、言語学的なコンテキストを基にした説明ができる。
周辺の学問的な分野への興味をもち、幅広い読書習慣を身につける。
隣接分野への繋がりをも考え、更なる問いをたて、言及することができる。
専門分野に関する文献の探し方、調べ方を身につける。

▌履修条件

国語教員を目指すことを目的としているため、つねに勉強するという姿勢を崩さないこと。また各種検定試験（日本語検定 3 級を含む）などに積極的に取り組み、その問題の解き方やその技法をも学ぶ。
提出物について、根拠が薄いインターネット記事、生成 AI を明示なくそのまま使用した場合はその時点で評価対象外とする。

▌評価基準・方法

毎回の授業時での課題（授業内容の振り返り及び課題への取り組み）を 60 %とし、テストを 40 %とする。（またテストを課題提出や小論文にすることもある）出席は 5 分の 4 以上とする。欠席時の授業点および課題点は減点とする。（欠席については事前に連絡をする。）

▌フィードバック方法

対面授業時、また学修支援システム manaba を通して行うこととする。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク及びプレゼンテーション等を行う。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （事前事後における学修及び小論文、課題作成においてパソコンを使用する。）

▌教科書

とくに指定はしない。（毎回プリントを配布する。）

▌参考書

とくに参考書はないが、その都度紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：国語と国語力について考えたあとに、現在の知識部分についての実力を把握する 事前学修 2.0hr：高校までの国語力の復習を各自で行っておくこと 事後学修 2.0hr：現状の知識部分について自己分析を行う
2回	**授業テーマ：国語と日本語の名称について理解する** 授業内容：近世末期から近代における国語の成り立ちを理解し、国際化、グローバル化による展開がもたらした名称の変遷とその様相を理解していく。 事前学修 2.0hr：国語と日本語の概念に目を通しておく。 事後学修 2.0hr：国語と日本語の概念を講義時の説明を参考としてまとめる。
3回	**授業テーマ：国語という教科のなりたち** 授業内容：国語という科目の持つ意味を考え、近代にどのような道筋で国語という科目が成立したかを理解する。 事前学修 2.0hr：国語という科目の成立について調べておく 事後学修 2.0hr：講義にもとづいて国語という科目の成立をまとめる
4回	**授業テーマ：国学と国語・日本語学（1）** 授業内容：江戸後期の歴史文化の中での賀茂真淵、本居宣長による国学の起こりと、学問について理解する。 事前学修 2.0hr：本居宣長について調べておく 事後学修 2.0hr：授業に基づいてさらに適切な資料を図書館で集める
5回	**授業テーマ：国学と国語・日本語学（2）** 授業内容：国学と日本語学の関わりとしての文法研究、係り結びの研究、古典の考証学について理解する。 事前学修 2.0hr：品詞分類と係り結びについて復習しておく 事後学修 2.0hr：授業に基づいてさらに適切な資料を図書館で集める
6回	**授業テーマ：漢学と国語・日本語学（1）** 授業内容：日本における漢学の歴史と、漢文訓読の成立を理解するとともに漢文脈と和文脈について学ぶ。 事前学修 2.0hr：漢文訓読について復習しておく 事後学修 2.0hr：授業に基づいてさらに適切な資料を図書館で集める
7回	**授業テーマ：漢学と国語・日本語学（2）** 授業内容：江戸時代から近代における白話小説の影響について学ぶ 事前学修 2.0hr：配布されたテキストに目を通しておく。 事後学修 2.0hr：授業に基づいてさらに適切な資料を図書館で集める
8回	**授業テーマ：蘭学と国語・日本語学（1）** 授業内容：蘭学の成立と展開について学ぶ 事前学修 2.0hr：配布されたテキストに目を通しておく。 事後学修 2.0hr：授業に基づいてさらに適切な資料を図書館で集める
9回	**授業テーマ：蘭学と国語・日本語学（2）** 授業内容：蘭学による辞書や文法学が近代日本語と日本語学にもたらした影響について学ぶ 事前学修 2.0hr：配布されたテキストに目を通しておく。 事後学修 2.0hr：授業に基づいてさらに適切な資料を図書館で集める
10回	**授業テーマ：言語遊戯と国語** 授業内容：字遊び、地口、いろはがるたといった日本語の言葉遊びの系譜について学ぶ 事前学修 2.0hr：配布されたテキストに目を通しておく。 事後学修 2.0hr：授業に基づいてさらに適切な資料を図書館で集める

11回	**授業テーマ：国語辞書の成立** 授業内容：近世末期から近代にかけての政治、文化の中で、国語辞書がどのように成立したのかを理解する 事前学修 2.0hr：指示されたテキストを読み、時代背景をおおまかにつかんでおく 事後学修 2.0hr：講義をもとに国語辞書の成立についてまとめる
12回	**授業テーマ：国語辞書の発展とそれぞれの特色と用途** 授業内容：現代の国語辞書について、版の違いと、主な国語辞書の特色を理解する 事前学修 2.0hr：これまで用いていた国語辞書を書き出しておく 事後学修 2.0hr：国語辞書の特色をまとめる
13回	**授業テーマ：国語辞書を活用する** 授業内容：調査語についていくつかの辞書を、表記、文法、意味記述、共起表現の点から引き比べ、その記述について検討する。 事前学修 2.0hr：指定された辞書について、前書きと凡例を読んでおく 事後学修 2.0hr：調べた事柄をまとめる
14回	**授業テーマ：さまざまな辞書** 授業内容：国語辞書以外の専門辞書、特殊辞書についてその分野の研究史を概観するとともに利用できるようにする。(なお、漢字・漢和辞典は省く) 事前学修 2.0hr：図書館の辞書コーナーでどのような辞書があるかを調べておく 事後学修 2.0hr：国立国会図書館の人文総合情報室などを利用する
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：これまでのトピックの中から興味があるものを一つ選び出し、ミニレポートを仕上げる。 事前学修 2.0hr：資料を整理しておく 事後学修 2.0hr：レポートを完成して提出する

課題探求セミナーⅠ（グローバル・スタディーズ専攻）

開講学科等：日　｜　2 年次　｜　1 単位　｜　開講期：前

柳井　まどか（やない　まどか）

▌授業の概要

この授業では、重要な社会的行為としてのコミュニケーションの概念を学習した上で、多様な価値観を持つ人々と様々な手段で円滑な交流が図れるよう、コミュニケーションの理論や論理的文章作成のための基本を学ぶ。報告文や意見文、書簡文作成、推敲等の実践的な演習を通して、コミュニケーション力や文章力を身につける。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GSM G ③）

一般目標：1 基本的なコミュニケーションの理論と意義を理解し、その具体的実践として、情報を正確に把握し、論理的に思考し表現する能力を身につける。
2 多様な文化と価値観が存在することを知り、他者視点の重要性を理解した上で、適切なコミュニケーションを取れる態度を身につける。
3 社会生活において重要な、文章作成の基本的ルールを習得する。

個別目標：(1) 基本的なコミュニケーションの概念と社会的意義について説明できる。
(2) 報告文や意見文において、論理的で分かりやすい文章を作成することができる。
(3) 正しい書式に則った、日本語の書簡文を作成することができる。

▌履修条件

授業課題に、積極的に取り組む意欲を備えていること。

▌評価基準・方法

課題提出 40 %、授業への参加姿勢 20 %、期末試験 40 %により、総合的に評価する。
なお、5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （意見発表や作成した文章の相互評価を実施する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

使用しない。授業内でプリントを配布する。

▌参考書

必要に応じて、授業中に紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス：グローバル社会とコミュニケーション** 授業内容：現代のグローバル社会におけるコミュニケーションの重要性について理解する。基本的なコミュニケーションの概念と社会的意義について学び、文化や社会的慣習によって、コミュニケーションの取り方が異なることを確認する。 事前学修 2.0hr：日本とそれ以外の国(地域)におけるコミュニケーションの特徴について考える。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、様々な価値観を持つ人々と円滑なコミュニケーションをとるために何が必要か考えをまとめる。
2回	**授業テーマ：コミュニケーションの理論とモデル** 授業内容：コミュニケーションの理論とモデルについて学ぶ。さまざまな場面や状況に応じたよりよいコミュニケーションとは何かを考え、円滑なコミュニケーションをとるために注意すべき点をまとめる。 事前学修 2.0hr：社会生活の場面や状況に応じて、コミュニケーションの取り方にどのような違いがあるか考えておく。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、コミュニケーション理論とよりよいコミュニケーションに関する課題に取り組む。
3回	**授業テーマ：コミュニケーション能力とは何か** 授業内容：コミュニケーション能力(communicative competence)の内容について学ぶ。具体的なコミュニケーション能力について理解し、より適切なコミュニケーションスキルの使用について考える。 事前学修 2.0hr：「コミュニケーション能力が高い」とはどういうことかについて自分の考えをまとめておく。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自身のコミュニケーションについて、「話し手」と「聞き手」のそれぞれの観点から注意点をまとめる。
4回	**授業テーマ：非言語的コミュニケーションの特徴** 授業内容：言語的コミュニケーションと比較しながら、非言語的コミュニケーションの特徴を理解し、その重要性について考える。また文化による違いも確認し、円滑なコミュニケーションの取り方について考える。 事前学修 2.0hr：自身の日常生活での非言語的コミュニケーションの実例について考えておく。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、非言語的コミュニケーションの特徴について考えをまとめる。
5回	**授業テーマ：説得のコミュニケーション** 授業内容：コミュニケーションスキルの効果的な実例として、説得のコミュニケーションについて学ぶ。説得コミュニケーションの主要理論や方法について理解し、文化による前提や価値観の違いについても考える。 事前学修 2.0hr：これまで自分が説得された・説得されなかったケースを振り返り、その理由について考えておく。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、効果的な説得の方法と注意点について考えをまとめる。
6回	**授業テーマ：書簡文の書き方 (1)：基本的なルール** 授業内容：文章によるコミュニケーションの実例として、縦書き書簡文の基本的なルールを学ぶ。日本の書簡文の構成や用語、注意点等、さまざまなルールを正しく理解する。 事前学修 2.0hr：資料プリントで書簡文の構成や用語について確認しておく。 事後学修 2.0hr：資料プリントで書簡文のルールや用語について再確認する。
7回	**授業テーマ：書簡文の書き方(2)：書簡文の作成と推敲** 授業内容：正しいルールで目的に沿った書簡文が書けるように、演習を行う。テーマに従って書簡文を作成し、書簡文の書式に正しくのっとっているか、用語は適切かなどの観点から推敲を加えた後、相互批評を行う。 事前学修 2.0hr：指示されたテーマで書簡文の構成を考えておく。 事後学修 2.0hr：授業中の批評をもとに、自身の書簡文を推敲する。
8回	**授業テーマ：論理的文章の書き方(1)：論理的文章の基本要素と構成**① 授業内容：文章によるコミュニケーションの実例として、論理的文章の書き方を学修する。論理的な思考力・表現力とは何かを確認した上で、おおまかな基本要素と構成について学ぶ。 事前学修 2.0hr：資料プリントで、文章の論理的な構成について確認しておく。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、資料プリントで論理的文章の基本要素に関する復習を行う。

9回	**授業テーマ：論理的文章の書き方(2)：論理的文章の基本要素と構成②** 授業内容：論理的文章の構成をより詳細に確認していく。論文のモデルを使って、序論、本論、結論の役割と必要な要素について学び、課題テーマに関する簡単な構成を作成してみる。 事前学修 2.0hr：資料プリントで、書かれている文章がそれぞれ構成上どのような役割を果たしているか考えておく。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、選択したテーマから簡単な構成を考える。
10回	**授業テーマ：論理的文章の書き方(3)：報告文(レポート)作成の手順と構成** 授業内容：報告文(レポート)の書き方について、作成の手順や構成、注意点等を学ぶ。レポート課題の目的の確認や、基本資料の集め方、構成と文章化の仕方や、参考文献の引用方法などについて確認していく。 事前学修 2.0hr：資料プリントでレポート作成の手順について確認しておく。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、課題テーマの構成を考え、参考文献を検索してみる。
11回	**授業テーマ：論理的文章の書き方(4)：テーマ設定と論証方法** 授業内容：レポートや論文におけるテーマ設定の方法と論証の方法について学ぶ。評価される具体的なテーマ設定の仕方や基本資料の集め方を確認し、論証に必要なデータは何か、それをどのように展開していくかについて考える。 事前学修 2.0hr：課題プリントを読んで、自分なりの仮テーマを設定し、構成を考えておく。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の選択したテーマについて、論証方法を考え、使用するデータを検索してみる。
12回	**授業テーマ：文章の推敲方法** 授業内容：課題プリントを使用しながら、全体的な構成の修正の仕方を学び、その後、用語や語彙、文法の誤り等の細かいチェックについて演習を行う。 事前学修 2.0hr：課題プリントを読んで、自分なりに構成の修正を行っておく。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、語彙や文法をチェックする課題プリントに取り組む。
13回	**授業テーマ：意見文の作成(1)：構成の組み立てと意見文演習** 授業内容：課題文について、分かりやすく効果的な意見文を作成するための構成を考え、実際に意見文を作成する。その後、推敲を行った後、構成や文章についての自己評価を行う。 事前学修 2.0hr：課題プリントを読み、作成する意見文の大まかな構成を考えておく。 事後学修 2.0hr：自身の意見文について、もう一度文章を見直しておく。
14回	**授業テーマ：意見文の作成(2)：文章の推敲と相互批評** 授業内容：意見文についての相互評価を行う。他の受講者 3 名以上の意見文について、文章の構成や日本語力、説得力等の評価やコメントを記入した後、自分の文章についての評価を確認し、改めて推敲を行う。 事前学修 2.0hr：資料プリントを読み、推敲のポイントについて確認しておく。 事後学修 2.0hr：他者の評価を読み、自分の意見文を修正して完成させる。
15回	**授業テーマ：コミュニケーションに関するまとめと小論文作成** 授業内容：多様な価値観や背景を持つ他者と適切なコミュニケーションをとるために重要だと考える点をまとめた上で、提示された課題についての小論文を作成する。 事前学修 2.0hr：これまでの授業を振り返り、自身のコミュニケーションで改善できた点をまとめておく。 事後学修 2.0hr：多様な文化や価値観を持つ人々と適切なコミュニケーションをとるために、必要な態度とスキルについて考えをまとめる。

課題探求セミナーⅡ（日本語専攻）

開講学科等：日　｜　2 年次　｜　1 単位　｜　開講期：後

田川　麻央（たがわ　まお）

▌授業の概要

日本語教育をとりまく社会状況を踏まえて、多様な背景をもつ学習者に対する日本語指導を行うのに必要となる体系的な知識・技能を身に付ける。国内外の日本語教育現場で定められた日本語教育プログラムに基づき日本語指導を行うための実践力へとつないでいく。課題探求セミナーⅡは「言語と教育」「言語」分野を中心に学習する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ③）

一般目標：(1) 日本語を正確に理解し的確に運用できる。
(2) 日本語教師に必要な基礎知識を自分の言葉で説明できる。
(3) 教育実践に必要な技能を身に付け、限定的な範囲で学習支援を行うことができる。

個別目標：(1) 日本語教育の基礎的な用語の定義、特徴を述べることができる。
(2) 基礎的な概念を教室や社会における状況と結びつけることができる。
(3) 学習者のレディネスに配慮してコースデザインができる。
(4) 限定的な範囲で授業を展開できる。
(5) 自らの行動を客観的にふり返ることができる。
(6) 非母語話者で N1 に到達していない場合、合格する。

▌履修条件

課題のしめきりを守る。
積極的に授業に参加する。
manaba 等による連絡を漏れなく確認する。

▌評価基準・方法

テスト 30%、発表 30%、課題提出 30%、授業参加度 10%で評価する。

▌フィードバック方法

manaba，対面授業でフィードバックをする。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （発表、模擬授業、グループワークがある。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （教材教具、資料作成のときにＰＣを利用する。manaba、respon を使用する。）

▌教科書

資料を配布する。

▌参考書

近藤安月子・小森和子 (編)『研究社日本語教育事典』研究社
佐々木泰子 (編)『ベーシック日本語教育』ひつじ書房

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：初級レベルの授業計画** 授業内容：初級の 1 回の授業をどのように計画し、実施すればよいか考える。学習目標の設定、シラバスの確認と整理、授業の流れを組み立てる。実際のコミュニケーションに近づけられるよう応用練習を設定する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
2回	**授業テーマ：初級レベルの教具作成** 授業内容：初級の授業を行うために教案を作成し、必要な教具、教材を用意する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
3回	**授業テーマ：初級レベルの模擬授業と授業分析** 授業内容：クラスメートを学習者に見立てて、模擬授業を行う。模擬授業の様子を撮影し、あとで冷静かつ客観的に自分の授業を分析し、点検する。クラスメートから評価を受ける。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
4回	**授業テーマ：中級レベルの授業計画** 授業内容：「作文」「読解」「聴解」「会話」など技能を中心とした中級の 1 回の授業をどのように計画し、実施すればよいか考える。学習目標の設定、シラバスの確認と整理、授業の流れを組み立てる。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
5回	**授業テーマ：中級レベルの教室活動** 授業内容：中級の授業を行うために教案を作成し、必要な教具、教材を用意する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
6回	**授業テーマ：中級レベルの模擬授業と授業分析** 授業内容：クラスメートを学習者に見立てて、模擬授業を行う。模擬授業の様子を動画撮影し、あとで冷静かつ客観的に自分の授業を分析し、点検する。クラスメートから評価を受ける。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
7回	**授業テーマ：異文化間教育** 授業内容：異文化間教育と普通の教育とを比較したうえで異文化間教育において起こる事例を取り上げ、複数の文化を体験しながら成長することの意味を考える。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

8回	**授業テーマ：異文化コミュニケーション** 授業内容：異文化間コミュニケーションになぜ問題が起こるのか把握したあとで文化によるコミュニケーションスタイルの違いや異文化間トレーニングを実際に体験しながら学んでいく。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
9回	**授業テーマ：言語の構造一般** 授業内容：世界の諸言語の中で日本語とはどのような特徴をもつ言語なのか考える。日本語学と日本語教育学との関係はどのようなものかについても触れる。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
10回	**授業テーマ：日本語の語彙** 授業内容：語学学習の中心的存在である語彙の特徴を語種、語構成の観点から分析する。日本語の語彙の特徴を他の言語と比較しながら探っていく。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
11回	**授業テーマ：日本語の文法(１)語** 授業内容：日本語教師が押さえておくべき最低限の語に関する知識を確認する。品詞、語構成などについて整理していく。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
12回	**授業テーマ：日本語の文法(２)文** 授業内容：教室で日本語の文法を指導するという観点から文法知識を確認する。主語と主題、テンス・アスペクト、ムード、ヴォイス、複文、視点、意味について整理していく。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
13回	**授業テーマ：語用論的規範** 授業内容：コミュニケーションをするときに求められている言外のメッセージの理解について学習する。文脈、場面状況を考え、発話の意図理解し、その言語に特有の語用論的規範に沿った言語活動とはどのようなものか、語用論の流れを概観し、日本語の規範について自然会話を収集して調べる。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
14回	**授業テーマ：文字と表記** 授業内容：漢字、ひらがな、カタカナ、ローマ字といった表記とその成り立ちと表記ルールについて学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
15回	**授業テーマ：学習のふり返り、テストとフィードバック** 授業内容：第１回から第１４回までに学習したことを整理し、振り返りをする。テストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

課題探求セミナーⅡ（日本語専攻）

開講学科等：日　｜　2 年次　｜　1 単位　｜　開講期：後

田鍋　桂子（たなべ　けいこ）

▌授業の概要

この授業では日本語力及び言語学・日本語学の基礎的なことがらを修得していくことを目的とする。とくに国語教員を目指す学生の基礎学力の向上に力点をおき、テキストをよみこなす日本語力と論理力の培養と同時に、言語学及び日本語学に関わる基礎的な知識を身につけ、その背景となる諸分野の学問にも言及する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ③）

一般目標：言語学及び日本語学の問いを読み説くことによって、基本的な知識を身につけ、問いを解決する視座をもつ。
　　言語学・日本語学を主軸とした知識に加え、背景となる文学、歴史などの基礎教養の広がりとその繋がりを理解できる。
個別目標：日本語学の専門的な内容についてテキストを論理的に構造化できる。
　　日本語のさまざまな事象について、概要を説明できる。
　　日本語の古典の敬語体系を理解し、古典の解釈に活かせる。
　　周辺の学問に興味関心をもち、そのつながりについて理解している。

▌履修条件

国語教員を目指すことを目的としているため、つねに勉強するという姿勢を崩さないこと。また各種検定試験（日本語検定 3 級を含む）に合格する。その問題の解き方やその技法を学び、積極的に取り組む。

▌評価基準・方法

毎回の授業時での課題（授業内容の振り返り及び課題への取り組み）を 60 %とし、テストを 40 %とする。（またテストを課題提出や小論文にすることもある）出席は 5 分の 4 以上とする。欠席時の授業点および課題点は減点とする。（欠席については事前に連絡をする。）

▌フィードバック方法

対面授業時、または学修支援システム manaba を通して行うこととする。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク及びプレゼンテーション等を行う。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （事前事後における学修及び小論文、課題作成においてパソコンを使用する。）

▌教科書

とくに指定はしない。（毎回プリントを配布する。）

▌参考書

とくに参考書はないが、その都度紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：課題探求セミナーⅠの振り返りとガイダンス** 授業内容：国語と国語力について、課題探求セミナーⅠの振り返りの後に、現在の知識部分についての実力を把握する 事前学修 2.0hr：前期の内容および高校までの知識部分について復習しておく 事後学修 2.0hr：現状の国語力について自己分析を行う
2 回	**授業テーマ：言語学と日本語学（1）** 授業内容：言語学の誕生と言語についての捉え方の変遷について理解する 事前学修 2.0hr：接続詞について調べておく 事後学修 2.0hr：ワークシートを行う
3 回	**授業テーマ：言語学と日本語学（2）** 授業内容：ソシュールについてのテキストの論理を構造化した上で、その業績と近代言語学に及ぼした影響についてまなぶ 事前学修 2.0hr：接続詞を考える課題を行う 事後学修 2.0hr：ワークシートを行う
4 回	**授業テーマ：言語・文化・思考** 授業内容：言語相対論についてのテキストの論理を構造化した上で、サピア・ウォーフの説について概要を理解する 事前学修 2.0hr：前回の課題を見直しておく 事後学修 2.0hr：ワークシートを行う
5 回	**授業テーマ：言語の学説および文章理解（1）** 授業内容：言語生得説についてのテキストを構造化した上で、ノーム・チョムスキーの論について概要を理解する 事前学修 2.0hr：担当の課題文について下調べをしておく 事後学修 2.0hr：ワークシートを行う
6 回	**授業テーマ：言語の学説および文章理解（2）** 授業内容：比喩についてのテキストを構造化した上で、認知言語学について概要を理解する 事前学修 2.0hr：担当の課題文について下調べをしておく 事後学修 2.0hr：ワークシートを行う
7 回	**授業テーマ：言語の分類と日本語および文章理解** 授業内容：日本語の系統についてのテキストを構造化した上で、言語の分類について理解する 事前学修 2.0hr：担当の課題文について下調べをしておく 事後学修 2.0hr：ワークシートを行う
8 回	**授業テーマ：音声・音韻および文章理解** 授業内容：日本語の音韻についてのテキストを構造化した上で、日本語の音声・音韻について理解する 事前学修 2.0hr：担当の課題文について下調べをしておく 事後学修 2.0hr：ワークシートを行う
9 回	**授業テーマ：日本語の語種と文章理解** 授業内容：日本語の語種についてのテキストを構造化した上で、日本語の語種について理解する 事前学修 2.0hr：グーグル問題を解いておく 事後学修 2.0hr：復習ワークを行う
10 回	**授業テーマ：日本語の歴史的変化** 授業内容：日本語の歴史的変化について人称代名詞をとりあげ、そのテキストを構造化した上で、通史的研究法を学ぶ 事前学修 2.0hr：グーグル問題を解いておく 事後学修 2.0hr：ワークシートを行う

11回	**授業テーマ：古典文学とことば（3）** 授業内容：古典の謙譲語の体系と変化を理解する 事前学修 2.0hr：グーグル問題を解いておく 事後学修 2.0hr：ワークシートを行う
12回	**授業テーマ：古典文学とことば（4）** 授業内容：『大鏡』『源氏物語』『紫式部日記』について敬語の観点から文体の違いを理解する 事前学修 2.0hr：担当のテキストについて、文学史的背景をまとめ、単語調べをしておく 事後学修 2.0hr：ワークシートを行う
13回	**授業テーマ：近代文学とことば（1）** 授業内容：言文一致運動について、文学史、芸能史を概観しながら近代の文学と文体を理解する 事前学修 2.0hr：担当の作家について調べておく 事後学修 2.0hr：ワークシートを行う
14回	**授業テーマ：近代文学とことば（2）** 授業内容：言文一致運動について、教育史、教科書史、メディア史を概観しながら近代の文学と文体を理解する 事前学修 2.0hr：担当の人物・団体について調べておく 事後学修 2.0hr：ワークシートを行う
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：これまでの後期の授業からトピックを一つとりあげ、卒業論文の型を踏まえながらミニレポートを仕上げる。 事前学修 2.0hr：資料を整理しておく 事後学修 2.0hr：ワークシートを行う

課題探求セミナーⅡ（グローバル・スタディーズ専攻）

開講学科等：日　｜　2 年次　｜　1 単位　｜　開講期：後

柳井　まどか（やない　まどか）

▌授業の概要

この授業では、まず、日本社会でのビジネスおいて情報伝達を円滑に進めるために必要な、ビジネス文書の基本的知識を学び、実務の様々なケースに応じた文書の書き方を習得する。
次に、プレゼンテーションの練習を行うことで、効果的に相手を説得する技術を身に付ける。グローバル化する社会において、様々な文化的背景や価値観を持つ人々と交流することを念頭に置き、相手を尊重しながら意見を述べることを学修する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GSM G ③）

一般目標：1 日本社会でのビジネスを円滑に進めるため、ビジネス文書の役割と基本的マナーを理解し、文書作成に必要な基本的知識と技能を修得する。
　　2 グローバル社会において必要とされる、相手を尊重しながら意見を述べる姿勢を身に付け、論理的で効果的な情報発信力を獲得する。
個別目標：(1) ビジネス実務でよく使われる漢字を書くことができ、ビジネス用語を正しく使うことができる。
　　(2) ビジネス文書の書式を理解し、正確で分かりやすい文書を作成することができる。
　　(3) プレゼンテーションにおいて、分かりやすく効果的で、説得力のある情報発信をすることができる。

▌履修条件

授業課題に、積極的に取り組む意欲を備えていること。

▌評価基準・方法

授業内課題 40 %、プレゼンテーション等における参加姿勢 20 %、期末試験 40 %により、総合的に評価する。
なお、5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （意見発表や、プレゼンテーション、相互評価等を実施。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （プレゼンテーション資料の作成。）

▌教科書

使用しない。授業内でプリントを配布する。

▌参考書

必要に応じて、授業中に紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ビジネス文書の役割と目的** 授業内容：現代社会におけるビジネス文書の在り方と役割について学ぶ。一般的な書簡文との違いや、ビジネス文書の特徴を確認するとともに、ビジネス文書の正しい書き方を身につけることの必要性を理解する。 事前学修 2.0hr：一般的な書簡文とビジネス文書の違いについて考える。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、ビジネス文書の特徴を確認する。
2 回	**授業テーマ：ビジネスメールの書き方** 授業内容：ビジネスメールの基本的事項を学ぶ。メールの文書と書簡文の書式との違いを確認したのち、メール文書で注意する点をいくつかのポイントから確認し、実際に作成してみる。 事前学修 2.0hr：メール文書と書簡文の書式の違いについて確認しておく。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、課題のメール文書を作成する。
3 回	**授業テーマ：ビジネス文書の基本書式** 授業内容：ビジネスメールとビジネス文書の違いについて理解したのち、ビジネス文書の基本的な書式を学ぶ。社外文書（取引・儀礼）と社内文書の種類や書き方について確認し、目的に合った文書を正しい書式で作成する重要性を理解する。 事前学修 2.0hr：配布資料を読み、ビジネス文書の大まかな書式を確認しておく。 事後学修 2.0hr：課題プリントでビジネス文書の種類と基本的な書式について復習を行う。
4 回	**授業テーマ：ビジネス実務の用語と表現** 授業内容：ビジネス文書で使用する用語や表現は、一般的な敬語表現と異なるものがあることを理解する。「自称と他称」「話し言葉と書き言葉」の観点から、ビジネス文書独特の用語や表現をピックアップし、学ぶ。 事前学修 2.0hr：配布資料を読み、ビジネスで使用する特徴的な用語や表現について確認しておく。 事後学修 2.0hr：課題プリントでビジネス文書の用語・表現に関する演習問題を解く。
5 回	**授業テーマ：社外文書の書き方 (1)：取引文書①** 授業内容：社外文書の中で、取引文書を取り上げ、正しい書き方を学ぶ。取引文書の構成と注意点を確認した後、通知状、照会状、依頼状、督促状、注文状、抗議状、断り状等の目的別の種類があることを理解し、その特徴を文例で学ぶ。 事前学修 2.0hr：配布資料を読み、取引文書の種類について確認しておく。 事後学修 2.0hr：課題プリントで、取り上げた取引文書の特徴を再確認する。
6 回	**授業テーマ：社外文書の書き方 (2)：取引文書②** 授業内容：前回に続き、社外文書の中で、取引文書の正しい書き方を学ぶ。文書の種類の後半を取り上げ、目的に応じて必要とされる内容や表現について、文例を確認しながら書き方を習得する。 事前学修 2.0hr：配布資料を読み、目的に応じた取引文書の書き方を確認しておく。 事後学修 2.0hr：実務を想定した、通知状を作成する。
7 回	**授業テーマ：社外文書の書き方 (3)：社交文書①** 授業内容：社外文書の中で、社交文書を取り上げ、正しい書き方を学ぶ。社交文書の目的と注意点を確認を確認した後、挨拶状、招待状、祝賀状、見舞状、礼状等の種類があることを理解し、その特徴を文例で学ぶ。 事前学修 2.0hr：配布資料を読み、社交文書の種類や書式、特徴的な用語を確認しておく。 事後学修 2.0hr：課題プリントで社交文書の書式や用語を再確認する。
8 回	**授業テーマ：社外文書の書き方(4)：社交文書②** 授業内容：前回に続き、社外文書の中で、社交文書の正しい書き方を学ぶ。文書の種類の後半を取り上げ、目的に応じて必要とされる内容や表現について、文例を確認しながら書き方を習得する。 事前学修 2.0hr：配布資料を読み、目的に応じた社交文書の書き方を確認しておく。 事後学修 2.0hr：実務を想定した、挨拶状を作成する。

9回	**授業テーマ：社内文書の書き方 (1)：社内文書の種類と書式** 授業内容：社内文書の正しい書き方を学ぶ。社内文書と社外文書の違いや、社内文書の構成と注意点を確認する。報告書、議事録、企画書、稟議書、届け出書類等の目的別の種類があることを理解し、その特徴を文例で学ぶ。 事前学修 2.0hr：配布資料を読み、社内文書の種類と書式を確認しておく。 事後学修 2.0hr：課題プリントで、取り上げた社内文書の書式を再確認する。
10回	**授業テーマ：社内文書の書き方 (2)：社内文書の作成** 授業内容：前回に続き、社内文書の正しい書き方を学ぶ。文書の種類の後半を取り上げ、目的に応じて必要とされる内容や表現について、文例を確認しながら書き方を習得する。 事前学修 2.0hr：配布資料を読み、目的に応じた社内文書の書き方を確認しておく。 事後学修 2.0hr：実務を想定した、報告書を作成する。
11回	**授業テーマ：プレゼンテーションの目的と方法** 授業内容：社会生活でプレゼンテーションが行われる場面を確認し、プレゼンテーション能力を磨くことの重要性を理解する。分かりやすく効果的なプレゼンテーションの構成や方法について学び、テーマを考える。 事前学修 2.0hr：身近な場面でプレゼンテーションが行われている例を探す。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、プレゼンテーションのポイントを確認するとともに、テーマを決定する。
12回	**授業テーマ：プレゼンテーションの発表資料作成：構成の立て方、情報収集と整理** 授業内容：プレゼンテーションの構成を考え、発表資料を作成する。自身が選んだテーマについて、どのような構成にすれば効果的にわかりやすく伝わるかを考え、情報を収集し、発表資料の作成に着手する。 事前学修 2.0hr：自身のプレゼンテーションに使用する資料を探しておく。 事後学修 2.0hr：プレゼンテーションの内容・構成を精査し、授業中に作成した発表原稿を手直しする。
13回	**授業テーマ：プレゼンテーション演習(1)** 授業内容：各自が発表資料に基づいてプレゼンテーションを行う。構成や情報の提示の仕方に注意するとともに、相手にわかりやすく説明する意識で話しているかどうかの振り返りを行う。相互評価をもとに、各自で改善点を確認する。 事前学修 2.0hr：プレゼンテーションの発表資料を確認する。 事後学修 2.0hr：プレゼンテーションを振り返り、改善点を確認する。
14回	**授業テーマ：プレゼンテーション演習 (2)** 授業内容：各自が発表資料に基づいてプレゼンテーションを行う。構成や情報の提示の仕方に注意するとともに、相手にわかりやすく説明する意識で話しているかどうかの振り返りを行う。相互評価をもとに、各自で改善点を確認する。 事前学修 2.0hr：プレゼンテーションの発表資料を確認する。前回の終了者は質問事項を準備する。 事後学修 2.0hr：プレゼンテーションを振り返り、改善点を確認する。
15回	**授業テーマ：コミュニケーションに関するまとめと総合問題演習** 授業内容：文章表現と口頭表現の両面からコミュニケーションについて学修してきたことを振り返り、分かりやすく正確かつ効果的に伝える方法についてまとめる。最後に総合問題演習を行う。 事前学修 2.0hr：これまでの授業を振り返り、相手に分かりやすい情報伝達の仕方について考えておく。 事後学修 2.0hr：効果的で説得力のあるコミュニケーションに必要な心構えとスキルについて考えをまとめる。

日本語基礎演習

開講学科等：日　｜　2 年次　｜　4 単位　｜　開講期：通

佐々木　文彦（ささき　ふみひこ）・**田鍋　桂子**（たなべ　けいこ）・**柳井　まどか**（やない　まどか）

▌授業の概要

日本語学科の３年次進級要件である「日本語検定」に取り組み、資格を取得することを目的とする授業である。「日本語検定」とは、日本語の総合的な運用能力を測るため検定試験であり、「敬語」「文法」「語彙」「言葉の意味」「表記」「漢字」の６つの領域から出題される。
日本語検定３級程度の実力を身につけることを目標とし、各領域の知識を習得するためのトレーニングを行う。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ③、GSM J ①/J ②/J ③）

一般目標：日本語の総合的な運用能力を身につける
個別目標：①日本語検定 3 級程度の能力を身につける
　　②日本語の敬語・文法・意味等について、十分な知識に基づいて分析的に説明することができる

▌履修条件

授業は毎回受講し、課題を提出すること。

▌評価基準・方法

①日本語検定の成績８０％
②授業内の「小テスト」および課題提出状況、出席状況２０％
課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。
※なお、５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

小テストの返却、manaba によるフィードバックを行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （授業回によってペアワーク、ディスカッション等）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （必要に応じて PC で情報検索、課題提出）

▌教科書

別途指示します

▌参考書

特になし

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：日本語検定とは** 授業内容：日本語検定は「漢字」「表記」「敬語」「言葉の意味」「語彙」「文法」の6分野にわたって日本語運用能力が身についているかを測定するテストである。6 月と 11 月に実施される試験に向けて学修計画を確認する。 事前学修 2.0hr：講義概要を読み、授業全体の流れを確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する	16回	**授業テーマ：敬語４** 授業内容：日本語検定の敬語問題の特徴をまとめる。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
2回	**授業テーマ：敬語１** 授業内容：敬語の基本的知識について確認する。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する	17回	**授業テーマ：文法４** 授業内容：巷間で行われている「文法的に正しくない表現」を確認し、日本語検定の示す「正しい文法」について確認する。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
3回	**授業テーマ：敬語２** 授業内容：間違えやすい敬語について整理し、問題演習を行う。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する	18回	**授業テーマ：語彙３** 授業内容：慣用句・四字熟語の知識を整理する。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
4回	**授業テーマ：文法１** 授業内容：文法の基本的知識について確認する。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する	19回	**授業テーマ：言葉の意味３** 授業内容：日本語のコロケーションについて考える。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
5回	**授業テーマ：文法２** 授業内容：間違えやすい文法事項について整理し、問題演習を行う。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する	20回	**授業テーマ：表記３** 授業内容：表記のミスをチェックする練習を通じて、間違いやすい表記について確認する。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
6回	**授業テーマ：語彙１** 授業内容：日本語検定の語彙問題の傾向を知る。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する	21回	**授業テーマ：漢字３** 授業内容：字形の似た漢字、書き間違えやすい漢字について整理する。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
7回	**授業テーマ：言葉の意味１** 授業内容：類義語・対義語について考える。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する	22回	**授業テーマ：総合問題１** 授業内容：グラフや図に関連づけながら文章を読み取る方法について考える。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
8回	**授業テーマ：表記１** 授業内容：漢字の変換ミスについて、どのような例があるかを確認する。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する	23回	**授業テーマ：総合問題２** 授業内容：グラフや図に関連づけながら文章を読み取る方法について考える(続き)。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
9回	**授業テーマ：漢字１** 授業内容：同音異義語を中心に、漢字の知識を整理する。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する	24回	**授業テーマ：総合問題３** 授業内容：総合問題で問われる語彙・漢字の知識について整理する。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
10回	**授業テーマ：敬語３** 授業内容：文化庁の「敬語の指針」を読み、問題点を考察する。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する	25回	**授業テーマ：総合問題４** 授業内容：接続詞に注目しながら文と文の関係について考える。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する

11回	**授業テーマ：文法３** 授業内容：ら抜き言葉についての知識を整理する。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する	26回	**授業テーマ：総合問題５** 授業内容：前後の文脈に注意しながら文章を読解する方法について考える。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
12回	**授業テーマ：語彙２** 授業内容：語構成、外来語について知識を確認する。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する	27回	**授業テーマ：総合問題６** 授業内容：前後の文脈に注意しながら文章を読解する方法について考える(続き)。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
13回	**授業テーマ：言葉の意味２** 授業内容：意味を取り違えやすい語について知識を確認する。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する	28回	**授業テーマ：総合問題７** 授業内容：文章の要旨を把握する方法について考える。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
14回	**授業テーマ：表記２** 授業内容：送り仮名の原則について確認する。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する	29回	**授業テーマ：総合問題８** 授業内容：文章の要旨を把握する方法について考える(続き)。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
15回	**授業テーマ：漢字２　前期のまとめ** 授業内容：同訓異義語を中心に、漢字の知識を整理する。 前期の学修を振り返り、夏休みの学修計画を確認する。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する	30回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：日本語検定における「正しい日本語」と実際に書いたり話したりされている日本語との違いについて考える。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する

日本語基礎演習

開講学科等：日 ｜ 2 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：前 2 ｜ 備考：9 月進級予定者のみ履修可能

柳井　まどか（やない　まどか）

▌授業の概要

日本語学科の３年次進級要件である「日本語検定」に取り組み、資格を取得することを目的とする授業である。「日本語検定」とは、日本語の総合的な運用能力を測るため検定試験であり、「敬語」「文法」「語彙」「言葉の意味」「表記」「漢字」の６つの領域から出題される。
日本語検定３級程度の実力を身につけることを目標とし、各領域の知識を習得するためのトレーニングを行う。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ③、GSM J ①/J ②/J ③）

一般目標：日本語の総合的な運用能力を身につける
個別目標：①日本語検定 3 級程度の能力を身につける
②日本語の敬語・文法・意味等について、十分な知識に基づいて分析的に説明することができる

▌履修条件

授業は毎回受講し、課題を提出すること。

▌評価基準・方法

①日本語検定の成績８０％
②授業内の「小テスト」および課題提出状況、出席状況２０％
課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。
※なお、５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

小テストの返却、manaba によるフィードバックを行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （授業回によってペアワーク、ディスカッション等）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （必要に応じて PC で情報検索、課題提出）

▌教科書

別途指示します

▌参考書

特になし

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：日本語検定とは** 授業内容：日本語検定は「漢字」「表記」「敬語」「言葉の意味」「語彙」「文法」の6分野にわたって日本語運用能力が身についているかを測定するテストである。6 月と 11 月に実施される試験に向けて学修計画を確認する。 事前学修 2.0hr：講義概要を読み、授業全体の流れを確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する	16回	**授業テーマ：敬語４** 授業内容：日本語検定の敬語問題の特徴をまとめる。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
2回	**授業テーマ：敬語１** 授業内容：敬語の基本的知識について確認する。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する	17回	**授業テーマ：文法４** 授業内容：巷間で行われている「文法的に正しくない表現」を確認し、日本語検定の示す「正しい文法」について確認する。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
3回	**授業テーマ：敬語２** 授業内容：間違えやすい敬語について整理し、問題演習を行う。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する	18回	**授業テーマ：語彙３** 授業内容：慣用句・四字熟語の知識を整理する。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
4回	**授業テーマ：文法１** 授業内容：文法の基本的知識について確認する。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する	19回	**授業テーマ：言葉の意味３** 授業内容：日本語のコロケーションについて考える。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
5回	**授業テーマ：文法２** 授業内容：間違えやすい文法事項について整理し、問題演習を行う。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する	20回	**授業テーマ：表記３** 授業内容：表記のミスをチェックする練習を通じて、間違いやすい表記について確認する。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
6回	**授業テーマ：語彙１** 授業内容：日本語検定の語彙問題の傾向を知る。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する	21回	**授業テーマ：漢字３** 授業内容：字形の似た漢字、書き間違えやすい漢字について整理する。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
7回	**授業テーマ：言葉の意味１** 授業内容：類義語・対義語について考える。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する	22回	**授業テーマ：総合問題１** 授業内容：グラフや図に関連づけながら文章を読み取る方法について考える。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
8回	**授業テーマ：表記１** 授業内容：漢字の変換ミスについて、どのような例があるかを確認する。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する	23回	**授業テーマ：総合問題２** 授業内容：グラフや図に関連づけながら文章を読み取る方法について考える(続き)。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
9回	**授業テーマ：漢字１** 授業内容：同音異義語を中心に、漢字の知識を整理する。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する	24回	**授業テーマ：総合問題３** 授業内容：総合問題で問われる語彙・漢字の知識について整理する。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
10回	**授業テーマ：敬語３** 授業内容：文化庁の「敬語の指針」を読み、問題点を考察する。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する	25回	**授業テーマ：総合問題４** 授業内容：接続詞に注目しながら文と文の関係について考える。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する

11回	**授業テーマ：文法３** 授業内容：ら抜き言葉についての知識を整理する。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
12回	**授業テーマ：語彙２** 授業内容：語構成、外来語について知識を確認する。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
13回	**授業テーマ：言葉の意味２** 授業内容：意味を取り違えやすい語について知識を確認する。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
14回	**授業テーマ：表記２** 授業内容：送り仮名の原則について確認する。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
15回	**授業テーマ：漢字２　前期のまとめ** 授業内容：同訓異義語を中心に、漢字の知識を整理する。 前期の学修を振り返り、夏休みの学修計画を確認する。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
26回	**授業テーマ：総合問題５** 授業内容：前後の文脈に注意しながら文章を読解する方法について考える。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
27回	**授業テーマ：総合問題６** 授業内容：前後の文脈に注意しながら文章を読解する方法について考える(続き)。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
28回	**授業テーマ：総合問題７** 授業内容：文章の要旨を把握する方法について考える。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
29回	**授業テーマ：総合問題８** 授業内容：文章の要旨を把握する方法について考える(続き)。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
30回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：日本語検定における「正しい日本語」と実際に書いたり話したりされている日本語との違いについて考える。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する

英語Ⅲ-a

開講学科等：日 ｜ 2 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：前

キーネン　ディナ　クリスチャンセン・ティモシー　オピツ・ピエール　アレック

▌授業の概要

English III-a builds on both English I and English II by expanding on the concepts and language previously learned. As English III is built on the skills learned in their first year, students will be expected to demonstrate a basic proficiency in English for the workplace. Active learning and interaction will be emphasized throughout the course as students develop their linguistic abilities further with attention to fluency, discussion, and presentation skills.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 G ①/G ②/G ③/G ④、GSM G ①）

一般目標：The goal of English III-a is to foster in students the practical communicative skills and confidence necessary to enter and excel in an increasingly globalized workplace and to engage in meaningful communication with success and enthusiasm. This is to be achieved through interesting language learning activities that promote the integration of the four skills of speaking, listening, reading, and writing, as well as through independent study.

個別目標：By the end of this course, students will be able to: socialize with confidence; discuss hobbies and other activities; make and receive a phone call, describe personality traits, write job applications, and take a job interview in English.

▌履修条件

It is recommended that students take English I and English II before undertaking this course.

▌評価基準・方法

Students are evaluated via Active Participation (30%), Homework (10%), Coursework Tasks (30%), and Tests (30%)

▌フィードバック方法

Students will receive both oral and written feedback in class and on Manaba. Feedback will also be given in the form of rubrics for performance assessments.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Pair work and group work）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

Shearn, R., Ferris, A., & Tackett, G. (2012). English at work 1. Taipei: Cengage Learning.

▌参考書

To Be Announced

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction to English III-a** 授業内容：Students learn about the syllabus and course schedule. Students participate in group and pair activities to build a positive communicative class atmosphere. 事前学修 1.0hr：Purchase the textbook 事後学修 1.0hr：Write your goals for this semester
2回	**授業テーマ：Module I Socializing with Confidence: Unit 2 Hobbies and Activities** 授業内容：Students take about hobbies and activities. Students learn new vocabulary and practice a dialogue. Students practice writing a postcard. Students personalize a conversation. 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English journal 事後学修 1.0hr：Record vocabulary in English journal
3回	**授業テーマ：Module I Socializing with Confidence: Unit 2 Adverbs of Frequency** 授業内容：Students study adverbs of frequency. Students interview a partner and make sentences about their partner. Students talk about how often they like to do things. Students read a blog post. 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English journal 事後学修 1.0hr：Record vocabulary in English journal
4回	**授業テーマ：Module I Socializing with Confidence Task** 授業内容：Students complete an integrated task through pair and group work. Students perform the task for assessment using the vocabulary and grammar studied in the unit. 事前学修 1.0hr：Prepare for Task 1 事後学修 1.0hr：Complete self-assessment worksheet
5回	**授業テーマ：Module II Communicating on the Phone: Unit 3 Receiving Calls** 授業内容：Students learn how to communicate on the phone. Students learn new vocabulary and practice a dialogue. Students practice taking messages. Students personalize a conversation. 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English journal 事後学修 1.0hr：Record vocabulary in English journal
6回	**授業テーマ：Module II Communicating on the Phone: Unit 3 Polite Requests and Responses** 授業内容：Students learn how to make polite requests and give responses on the phone. Students personalize a dialogue and practice leaving messages to a partner. 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English journal 事後学修 1.0hr：Record vocabulary in English journal
7回	**授業テーマ：Module II Communicating on the Phone Task** 授業内容：Students complete an integrated task through pair work and group work. Students perform the task for assessment using the vocabulary and grammar studied in the unit. 事前学修 1.0hr：Prepare for Task 2 事後学修 1.0hr：Complete self-assessment worksheet
8回	**授業テーマ：Module III Job Hunting: Unit 9 Getting Information** 授業内容：Students learn new vocabulary about describing people and practice a dialogue. Students perform the task for assessment using vocabulary and grammar studied in the unit. 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English journal 事後学修 1.0hr：Record vocabulary in English journal

9回	**授業テーマ：Module III Job Hunting: Unit 9 Contractions** 授業内容：Students learn about contractions and practice making sentences. Students practice writing questions about job skills. Students practice listening to an announcement. 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English journal 事後学修 1.0hr：Record vocabulary in English journal
10回	**授業テーマ：Module IV Job Interviews: Unit 1 Introductions** 授業内容：Students learn about different jobs in a company and related vocabulary. Students practice a dialogue. Students practice writing an application form. Students personalize a conversation. 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English journal 事後学修 1.0hr：Record vocabulary in English journal
11回	**授業テーマ：Module IV Job Interview: Unit 1 Wh- Questions** 授業内容：Students study how to make wh- questions. Students interview a partner and take notes about their partner. Students read an example CV and answer questions. 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English journal 事後学修 1.0hr：Record vocabulary in English journal
12回	**授業テーマ：Final Examination Review** 授業内容：Students review the vocabulary, grammar and speaking skills studied in units one, two, three and nine. Students prepare for the final examination. 事前学修 1.0hr：Prepare for task 3 事後学修 1.0hr：Complete self-assessment worksheet
13回	**授業テーマ：Final Examination: Individual Interviews** 授業内容：Students prepare information based on a task provided by their instructor. Students present this information either orally or in writing to the instructor for assessment. 事前学修 2.0hr：Prepare for a comprehensive speaking test by reviewing all of the materials covered in English III-a 事後学修 1.0hr：Make sure all of the entries in the English journal are complete.
14回	**授業テーマ：Final Examination: Group Interviews** 授業内容：Students interact with one another asking questions and collecting information. Students fill out answers on a task worksheet that must be submitted to the instructor for assessment. 事前学修 2.0hr：Prepare for a comprehensive speaking test by reviewing all of the materials covered in English III-a 事後学修 1.0hr：Make sure all of the entries in the English journal are complete.
15回	**授業テーマ：Final Class: Feedback and Reflection Session /Student Consultations** 授業内容：Students receive general feedback on their performance from the instructor. Students reflect on their performance and set goals for the summer and next ter.. 事前学修 1.0hr：Be ready to submit English journal 事後学修 1.5hr：Write one paragraph to describe what you did in summer vacation

英語Ⅲ-b

開講学科等：日　｜　2 年次　｜　1 単位　｜　開講期：後

キーネン　ディナ　クリスチャンセン・ティモシー　オピツ・ピエール　アレック

▌授業の概要

A continuation of the skills and abilities learned in English III-a, English III-b builds on both English I and English II by expanding on the concepts and language previously learned. As English III is built on the skills learned in their first year, students will be expected to demonstrate a basic proficiency in English for the workplace. Active learning and interaction will be emphasized throughout the course as students develop their linguistic abilities further with attention to fluency, discussion, and presentation skills. This course will alternate between on-demand and face-to-face classes. Please see Manaba for details.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 G ①/G ②/G ③/G ④、GSM G ①）

一般目標：The goal of English III-b is to foster in students the practical communicative skills and confidence necessary to enter and excel in a globalized workplace and to engage in meaningful communication with success. This is to be achieved through language learning activities that promote the integration of the four skills of speaking, listening, reading, and writing, as well as through independent study.

個別目標：By the end of this course, students will be able to: solve problems; make complaints; introduce companies and products in detail; describe various technologies; and, make well-organized presentations on professional topics.

▌履修条件

It is recommended that students take English I and English II before undertaking this course.

▌評価基準・方法

Students will be evaluated via Active Participation (30%), Homework (10%), Coursework Tasks (30%) and Tests (30%).

▌フィードバック方法

Students will receive both oral and written feedback in class and on Manaba. Feedback will also be given in the form of rubrics for performance assessments.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Pair work and group work）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

Shearn, R., Ferris, A., & Tackett, G. (2012). English at work 1. Taipei: Cengage Learning.

▌参考書

To Be Announced

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction to English III-b** 授業内容：Students review the syllabus and go over the course schedule. Students participate in a group and pair communication activities and discuss what they did during the summer. 事前学修 1.0hr：Purchase the textbook 事後学修 1.0hr：Write your goals for this semester
2回	**授業テーマ：Module V Solving Problems: Unit 8 Making Statements** 授業内容：Students talk about everyday items and learn how to make complaints. Students learn new vocabulary and practice a dialogue. Students practice reading a troubleshooting guide. 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English journal 事後学修 1.0hr：Record vocabulary in English journal
3回	**授業テーマ：Module V Solving Problems: Unit 8 Possessive Forms** 授業内容：Students study how to use the possessive form. Students work with a partner to make sentences. Students write a letter of complaint and practice a role play. 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English journal 事後学修 1.0hr：Record vocabulary in English journal
4回	**授業テーマ：Module V Solving Problems Task** 授業内容：Students complete an integrated task through pair work and group work. Students perform the task assessment using the vocabulary and grammar studied in the unit. 事前学修 1.0hr：Prepare for Task 1 事後学修 1.0hr：Complete self-assessment worksheet
5回	**授業テーマ：Module VI Introducing Companies and Products Unit 4 Descriptions I** 授業内容：Students talk about their favorite products and describe them using adjectives. Students learn new vocabulary and practice a dialogue. Students practice using the comparative. 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English journal 事後学修 1.0hr：Record vocabulary in English journal
6回	**授業テーマ：Module VI Introducing Companies and Products Unit 4 Questions with the Be Verb** 授業内容：Students study how to make questions with the verb ”to be.” Students compare countries. Students use adjectives to describe the companies they know. 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English journal 事後学修 1.0hr：Record vocabulary in English journal
7回	**授業テーマ：Module VI Introducing Companies and Products Task** 授業内容：Students complete an integrated task through pair work and group work. Students perform the task assessment using the vocabulary and grammar studied in the unit. 事前学修 1.0hr：Prepare for Task 2 事後学修 1.0hr：Complete self-assessment worksheet
8回	**授業テーマ：Module VII Technology Unit 7 Descriptions II** 授業内容：Students learn how to describe various technology items. Students learn new vocabulary and practice making sentences. Students read/listen about a new product. 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English journal 事後学修 1.0hr：Record vocabulary in English journal

9回	**授業テーマ：Module VII Technology Unit 7 Superlatives** 授業内容：Students study how to use and make superlatives. Students practice making sentences. Students write a product description. Students practice agreeing and disagreeing. 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English journal 事後学修 1.0hr：Record vocabulary in English journal
10回	**授業テーマ：Module VIII Powerful Presentations Unit 11 Organizational Structures** 授業内容：Students learn how to live powerful presentations. Students learn the language of presentations and how to effectively make them. Students learn about a company's organizational chart. 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English journal 事後学修 1.0hr：Record vocabulary in English journal
11回	**授業テーマ：Module VIII Powerful Presentations Unit 11 Coordinating Conjunctions** 授業内容：Students study how to use coordinating conjunctions. Students practice making sentences and learn useful phrases. Students outline their presentations. 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English journal 事後学修 1.0hr：Record vocabulary in English journal
12回	**授業テーマ：Final Examination Review** 授業内容：Students review the vocabulary, grammar and speaking skills studied in units four, seven, eight, and eleven. Students prepare for the final examination. 事前学修 1.0hr：Prepare for task 3 事後学修 1.0hr：Complete self-assessment worksheet
13回	**授業テーマ：Final Examination: Individual Interviews** 授業内容：Students prepare information based on a task provided by their instructor. Students present the information either orally or in writing to the instructor for assessment. 事前学修 2.0hr：Prepare for a comprehensive speaking test by reviewing all of the materials covered in English III-b 事後学修 1.0hr：Make sure all of the entries in the English journal are complete.
14回	**授業テーマ：Final Examination: Group Interviews** 授業内容：Students interact with one another asking questions and collecting information. Students fill out answers on a task worksheet that must be submitted to the instructor for assessment. 事前学修 2.0hr：Prepare for a comprehensive speaking test by reviewing all of the materials covered in English III-b 事後学修 1.0hr：Make sure all of the entries in the English journal are complete.
15回	**授業テーマ：Final Class: Feedback and Reflection Session /Student Consultations** 授業内容：Students receive general feedback on their performance from the instructor. Students reflect on their performance and set goals for future study. 事前学修 1.0hr：Be ready to submit English journal 事後学修 1.5hr：Develop independent English study plan

フレッシュパーソンセミナーⅠ

開講学科等：英 ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：前

鍛治　広真（かじ　ひろみ）・**小谷　哲男**（こたに　てつお）・**中井　延美**（なかい　のぶみ）・**横山　竜一郎**（よこやま　りゅういちろう）

▌授業の概要

この科目は、大学で学ぶために必要とされるアカデミック・スキルズを身に着けることを目的とします。大学での学びは高校までとは大きく異なります。例えば、高校までの課題は、習ったことを理解して問題を解くことが多かったでしょう。しかし大学では、与えられた問題を解くだけでなく、問題そのものを自分で発見する力が求められます。このような力の基礎となるのが学術的技法（アカデミック・スキルズ）です。

前期は、まず大学での学びを理解した上で、情報収集と情報整理の方法や、批判的に資料を読む方法について学びます。そして実際に文章を読んで理解するとともに、自分の意見をまとめてもらいます。アカデミック・スキルズは一朝一夕には身につきませんが、少しずつ努力することで必ず身につきます。焦らずに取り組んでください。

この科目では英語に関する勉強法についても扱います。また授業時間内で英検 IBA を実施します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：3）

一般目標：大学の学びの基礎となる客観的・論理的思考を身につける。

個別目標：（1）大学での学びの特徴を理解する。

（2）情報収集の方法を理解し、実際に用いることができる。

（3）批判的読解の方法を理解し、実践することができる。

（4）英語の勉強法を身につける。

▌履修条件

指定されたクラスで受講してください。

▌評価基準・方法

・提出物を含む授業への積極的な貢献（50 %）、期末レポート（50 %）で評価します。

・5 分の 4 以上の出席を評価対象の前提とします。

▌フィードバック方法

課題のフィードバックは授業内および manaba で行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク、プレゼン等を行います。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （資料の収集、リスニング試験の実施、プレゼン等で使います。）

▌教科書

佐藤望・湯川武・横山千晶・近藤明彦編（2020）『アカデミック・スキルズ――大学生のための知的技法入門（第 3 版）』（慶應義塾大学出版会）

▌参考書

・大出敦（2015）『クリティカル・リーディング入門――人文系のための読書レッスン』（慶應義塾大学出版会）。

・河野哲也（2018）『レポート・論文の書き方入門（第 4 版）』（慶應義塾大学出版会）。

・慶應義塾大学日吉キャンパス学習相談員（2014）『学生による学生のためのダメレポート脱出法』（慶應義塾大学出版会）。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：授業の進め方と評価方法を説明します。 事前学修 0.5hr：シラバスを確認し、授業の内容と計画を確認しておく。 事後学修 1.5hr：科目の進め方などを確認する。
2 回	**授業テーマ：アカデミック・スキルズとはなにか** 授業内容：客観的・論理的思考とは何かを学びます。 事前学修 1.5hr：教科書の該当箇所を読み、指示された課題に取り組む。 事後学修 1.5hr：授業の復習をする。
3 回	**授業テーマ：講義の受け方** 授業内容：主にノートの作成方法を学びます。 事前学修 1.5hr：教科書の該当箇所を読み、指示された課題に取り組む。 事後学修 1.5hr：授業の復習をする。
4 回	**授業テーマ：英検 IBA の練習問題** 授業内容：英検 IBA の練習問題を通じて、形式に慣れます。 事前学修 1.5hr：指定された課題の実施 事後学修 1.5hr：授業の復習をする。
5 回	**授業テーマ：英検 IBA　LR** 授業内容：英検 IBA のリーディングとリスニングを行います。 事前学修 1.5hr：指定された課題の実施 事後学修 1.5hr：授業の復習をする。
6 回	**授業テーマ：英検 IBA　WS** 授業内容：英検 IBA のライティングとスピーキングを行います。 事前学修 1.5hr：指定された課題の実施 事後学修 1.5hr：授業の復習をする。
7 回	**授業テーマ：情報収集の基礎** 授業内容：主に資料の収集方法について学びます。 事前学修 1.5hr：教科書の該当箇所を読み、指示された課題に取り組む。 事後学修 1.5hr：図書館の使い方の復習をする。
8 回	**授業テーマ：図書館ツアー** 授業内容：図書館で資料の収集を実践します。 事前学修 1.5hr：教科書の該当箇所を読み、指示された課題に取り組む。 事後学修 1.5hr：授業の復習をする。
9 回	**授業テーマ：本を読む** 授業内容：批判的な読解方法を学びます。 事前学修 1.5hr：これまでの授業内容をまとめる。 事後学修 1.5hr：授業の復習をする。

10回	**授業テーマ：本を読む** 授業内容：文章の全体像の把握を練習します。 事前学修 1.5hr：教科書の該当箇所を読み、指示された課題に取り組む。 事後学修 1.5hr：授業の復習をする。
11回	**授業テーマ：本を読む** 授業内容：文章の要約の仕方を学びます。 事前学修 1.5hr：教科書の該当箇所を読み、指示された課題に取り組む。 事後学修 1.5hr：授業の復習をする。
12回	**授業テーマ：本を読む** 授業内容：文章の批判的読解を実践します。 事前学修 1.5hr：教科書の該当箇所を読み、指示された課題に取り組む。 事後学修 1.5hr：授業の復習をする。
13回	**授業テーマ：英検 IBA　LR** 授業内容：英検 IBA のリーディングとリスニングを実施します。 事前学修 1.5hr：指示された課題の実施。 事後学修 1.5hr：授業の復習をする。
14回	**授業テーマ：レポートの発表** 授業内容：期末レポートの内容を発表します。 事前学修 1.5hr：発表の準備 事後学修 1.5hr：授業の復習をする。
15回	**授業テーマ：総括** 授業内容：前回のとりまとめを行います。 事前学修 1.5hr：指示された課題の実施。 事後学修 1.5hr：自分の課題を発見し、その解決方法を検討する。

フレッシュパーソンセミナーⅡ

開講学科等：英 ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：後

鍛治　広真（かじ　ひろみ）・**小谷　哲男**（こたに　てつお）・**中井　延美**（なかい　のぶみ）・**横山　竜一郎**（よこやま　りゅういちろう）

▌授業の概要

前期に引き続き、アカデミック・スキルズの習得を目指します。後期は、研究発表の意味を理解した後で、口頭発表やレポート執筆に取り組みます。実際に、自分で決めたテーマで研究し、それを発表するとともに、レポートを執筆することになります。アカデミック・スキルズは一朝一夕には身につきませんが、少しずつ努力することで必ず身につきます。焦らずに取り組んでください。

この科目では英語に関する勉強法についても扱います。また授業時間内で英検 IBA を実施します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：3）

一般目標：大学の学びの基礎となる客観的・論理的思考を、研究発表を中心に身につける。

個別目標：(1)研究発表の意義を理解する。
(2)研究発表の方法を学び、その方法を実践する。
(3)日本語だけでなく英語も用いながら、学びを実践する。

▌履修条件

指定されたクラスで受講してください。

▌評価基準・方法

・提出物を含む授業への積極的な貢献(50 %)、期末レポート(50 %)で評価します。
・5 分の 4 以上の出席を評価対象の前提とします。

▌フィードバック方法

課題のフィードバックは授業時内および manaba で実施します。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク、プレゼン等を行います。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （資料の収集やプレゼンで使います。）

▌教科書

佐藤望・湯川武・横山千晶・近藤明彦編(2020)『アカデミック・スキルズ――大学生のための知的技法入門(第 3 版)』(慶應義塾大学出版会)

▌参考書

・大出敦(2015)『クリティカル・リーディング入門――人文系のための読書レッスン』(慶應義塾大学出版会)。
・河野哲也(2018)『レポート・論文の書き方入門(第 4 版)』(慶應義塾大学出版会)。
・慶應義塾大学日吉キャンパス学習相談員(2014)『学生による学生のためのダメレポート脱出法』(慶應義塾大学出版会)。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：後学期の授業の進め方と評価方法について説明します。 事前学修 1.5hr：シラバスを確認し、授業の内容と計画を確認しておく。 事後学修 1.5hr：科目の進め方などを確認する。
2回	**授業テーマ：情報の整理** 授業内容：情報の整理方法について学びます。 事前学修 1.5hr：教科書の該当箇所を読み、指示された課題に取り組む。 事後学修 1.5hr：授業の復習をする。
3回	**授業テーマ：英検 IBA　LR** 授業内容：英検 IBA のリーディングとリスニングを実施します。 事前学修 1.5hr：指示された課題に取り組む。 事後学修 1.5hr：授業の復習をする。
4回	**授業テーマ：英検 IBA　WS** 授業内容：英検 IBA のライティングとスピーキングを実施します。 事前学修 1.5hr：指示された課題に取り組む。 事後学修 1.5hr：授業の復習をする。
5回	**授業テーマ：研究発表の方法** 授業内容：プレゼンとは何かについて学びます。 事前学修 1.5hr：教科書の該当箇所を読み、指示された課題に取り組む。 事後学修 1.5hr：授業の復習をする。
6回	**授業テーマ：研究課題の決め方** 授業内容：レポート課題の決め方を学びます。 事前学修 1.5hr：教科書の該当箇所を読み、指示された課題に取り組む。 事後学修 1.5hr：授業の復習をする。
7回	**授業テーマ：プレゼンテーションの方法** 授業内容：プレゼンのやり方について学びます。 事前学修 1.5hr：教科書の該当箇所を読み、指示された課題に取り組む。 事後学修 1.5hr：授業の復習をする。
8回	**授業テーマ：口頭発表の準備** 授業内容：プレゼンの準備を行います。 事前学修 1.5hr：これまでの授業内容をまとめる。 事後学修 1.5hr：授業の復習をする。
9回	**授業テーマ：口頭発表①** 授業内容：プレゼンを順番に行います。 事前学修 1.5hr：プレゼンの準備を行う。 事後学修 1.5hr：授業の復習をする。
10回	**授業テーマ：口頭発表②** 授業内容：プレゼンを順番に行います。 事前学修 1.5hr：プレゼンの準備を行う。 事後学修 1.5hr：授業の復習をする。

11回	**授業テーマ：口頭発表③** 授業内容：プレゼンを順番に行います。 事前学修 1.5hr：プレゼンの準備を行う。 事後学修 1.5hr：授業の復習をする。
12回	**授業テーマ：英検 IBA　LR** 授業内容：英検 IBA のリーディングとリスニングを行います。 事前学修 1.5hr：指示された課題に取り組む。 事後学修 1.5hr：授業の復習をする。
13回	**授業テーマ：レポートをまとめる①基礎** 授業内容：レポートの書き方の基礎を学びます。 事前学修 1.5hr：教科書の該当箇所を読み、指示された課題に取り組む。 事後学修 1.5hr：授業の復習をする。
14回	**授業テーマ：レポートをまとめる②発展** 授業内容：優れたレポートの書き方を学びます。 事前学修 1.5hr：教科書の該当箇所を読み、指示された課題に取り組む。 事後学修 1.5hr：授業の復習をする。
15回	**授業テーマ：総括** 授業内容：これまでの復習を行います。 事前学修 1.5hr：これまでの授業内容全体をまとめる。 事後学修 1.5hr：自分の課題を発見し、その解決方法を検討する。

課題探求セミナーⅠ（英米語専攻）

開講学科等：英 ｜ 2年次 ｜ 1単位 ｜ 開講期：前

鍛治　広真（かじ　ひろみ）・**嶋田　珠巳**（しまだ　たまみ）

▌授業の概要

英語で自由に話せるようになりたい、ふつうに英語が読めるようになりたいというのは英米語学科の多くの学生の思いである。どうすればそうなるのか。その思いと、語学に必要なある程度の努力、そこに、英語学あるいは言語学の知識が、英語技能の向上を根底から支える。本授業においては、英語の発想法を探求しながら、英米語専攻の学生が専門性を身につける過程で必要となる基礎力を養成する。

［英米語学科の英米語専攻（ELM）学生のための2年次前学期必修科目。３・４年次に、自らの専門として何を本格的に学ぶのかを深く考え、その方向性を探るための科目。特に「日英語を対象として言語や文化に関する本や文献を読むこと」を重視する］

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：3）

一般目標：(1) 英米語専攻に相応しい知識を身につけ、思考法・概念・文章スタイルなどに慣れ親しむ。
(2) 読んだ本や文献の内容について、自分の意見を構築し論理的に表明することができる。
(3) 自らの研究課題を見つける。

個別目標：・英語と日本語のさまざまな言語現象の違いや発想法について考察することができる
・テクストで述べられている例文に加えて、自らの読解で類例を見つけ、検討することができる

▌履修条件

受講クラス（担当者）が指定される。指定されたクラスで受講すること。

▌評価基準・方法

・学期末試験の成績 50 %、平常成績（小テストの成績、課題の提出状況、授業に対する貢献等）50 %を原則として、総合的に評価する。
・5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

学修支援システム manaba または面談により行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （プレゼンテーション、ディスカッション、グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

『英語の発想』安西徹雄　ちくま学芸文庫

▌参考書

適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション（履修上の注意、授業方針の説明）／テキストの「はじめに」** 授業内容：この授業で学ぶことの概説。英語を訳読するときにみなさんはどうしていますか。 事前学修 2.0hr：講義概要をよく読み、授業内容・授業方針を把握する。テキストの「はじめに」を読んでおく。 事後学修 2.0hr：各自の到達目標を具体的に設定する、テキストを全体的に目をとおしておく
2回	**授業テーマ：第１章　実例の研究＝二題（前半）** 授業内容：英文解釈の直訳と意訳について、テクストの文例とともに検討する。 事前学修 2.0hr：テキスト第１章を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業内に提示される課題に取り組む
3回	**授業テーマ：第１章　実例の研究＝二題（後半）** 授業内容：和文から英語に訳すときに工夫するポイントとは。日本語の特性、英語の特性を考えてみよう。 事前学修 2.0hr：テキスト第１章の指定箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業内に提示される課題に取り組む
4回	**授業テーマ：第２章　「もの」と見るか、「こと」と取るか（前半）** 授業内容：名詞中心と動詞中心というテクストで示された考えをもとに、日本語と英語の文例を検討する。 事前学修 2.0hr：テキスト第２章を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業内に提示される課題に取り組む
5回	**授業テーマ：第２章　「もの」と見るか、「こと」と取るか（後半）** 授業内容：関係代名詞を訳すにはどのようにするのがいいだろうか。文例をもとに検討する。 事前学修 2.0hr：テキスト第２章の指定箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業内に提示される課題に取り組む
6回	**授業テーマ：実例ディスカッションⅠ** 授業内容：受講生によるグループワークと発表。第１～２章で扱った文例の類例をさがし、その分析を紹介する。 事前学修 2.0hr：第３～５章を読み直す 事後学修 2.0hr：授業での考察を整理し、疑問点を解決する
7回	**授業テーマ：第３章　行動論理と情況論理（「無生物主語」の構文）** 授業内容：「無生物主語」の構文はどのように訳されるのか。文例とともに検討する。 事前学修 2.0hr：テキスト第３章を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業内に提示される課題に取り組む
8回	**授業テーマ：第３章　行動論理と情況論理（動作主としての人間・感受する人間）** 授業内容：動作主と環境の関わりの言語表現について、日本語と英語の違いを検討する。 事前学修 2.0hr：テキスト第３章の指定箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業内に課される課題に取り組む
9回	**授業テーマ：第３章　行動論理と情況論理（日本語に主語はいらない）** 授業内容：日本語の文法、とくに主語・主題について、考察を深める。 事前学修 2.0hr：テキスト第３章の指定箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業内に課される課題に取り組む
10回	**授業テーマ：第４章　客観話法か共感話法か（日本語では間接話法は不可能である）** 授業内容：話法をめぐる日本語と英語の違いについて考察する。 事前学修 2.0hr：テキスト第４章を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業内に提示される課題に取り組む

11回	**授業テーマ：第４章　客観話法か共感話法か(代名詞と時制の問題)** 授業内容：日本語と英語の代名詞、時制をめぐる問題について考察する。 事前学修 2.0hr：テキスト第４章の指定箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業内に提示される課題に取り組む
12回	**授業テーマ：第４章　客観話法か共感話法か(夢とうつつの合間を縫う)** 授業内容：「時制の移動」とよばれる現象について日英の相違を考察する。 事前学修 2.0hr：テキスト第４章の指定箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業内に提示される課題に取り組む
13回	**授業テーマ：第５章　受動態と受身(前半)** 授業内容：英語の受動態はどう訳されるのか。文例を見ながら検討する。 事前学修 2.0hr：テキスト第５章を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業内に提示される課題に取り組む
14回	**授業テーマ：第５章　受動態と受身(後半)** 授業内容：受動態の背景となるものの見方を中心として、日本語と英語の表現形態について考察する。 事前学修 2.0hr：テキスト第５章の指定箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業内に提示される課題に取り組む
15回	**授業テーマ：実例ディスカッション Ⅱ** 授業内容：受講生によるグループワークと発表。第３章～第５章で扱った文例の類例をさがし、その分析を紹介する。 事前学修 2.0hr：第３～５章を読み直す 事後学修 2.0hr：授業での考察を整理し、疑問点を解決する

課題探求セミナーⅠ（グローバル・スタディーズ専攻）

開講学科等：英 ｜ 2 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：前

小谷　哲男 (こたに　てつお)・ケイコ　ナカムラ

▌授業の概要

「世界の今」を知り、自らで考察を加えることを学ぶ、英米語学科学生のための 2 年次前学期必修科目。グローバル・スタディーズ専攻学生のためのこの授業では、グローバル社会で活躍できる有為な人材に成長することを目指し、自ら考える力、判断する力、そして表現する力を身に付けていく。現在、世界が共通に抱える「貧困と経済格差」「紛争と平和」「教育の機会均等」「健康と公衆衛生」「貿易と開発」「環境の持続可能性」などのグローバルな課題について学修を深め、長期的視野に立った自らの興味分野を探していく。下記の「授業内容」は、標準的な授業展開の例である。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：3）

一般目標：(1) グローバル人材に相応しい思考法・概念・文章スタイルなどを身につける。
(2) 読んだ本や文献の内容について、自分の意見を論理的に表明することができるようになる。
(3) 自らの興味分野を見つけ、専門領域研究講座の選択や就職活動への手がかりとすることができる。
(4) アクティブラーニングの結果として自らの意見を積極的に述べ、意見交換の場に寄与することができる。

個別目標：グローバル化に対応するための外国語能力とともに、課題を発見し解決する能力や論理的思考力、コミュニケーション能力、さらに日本の近現代史に関する知識を含む幅広い教養を育む（日本経済団体連合会）という要請に応えることができるグローバル人材へと成長する。

▌履修条件

専攻に応じて受講クラス（担当者）が指定される。指定されたクラスで受講すること。

▌評価基準・方法

学期末試験もしくはレポートの成績 60 %、平常成績（小テストの成績、課題の提出状況、授業に対する貢献等）40 %を原則として、総合的に評価する。五分の四以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

課題フィードバックについては対面返却、manaba での模範解答掲示、manaba でのコメントを行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （毎回のトピックについて積極的に意見交換をする、グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （授業内に様々な情報を検索、課題を manaba に提出）

▌教科書

毎週読む記事等を指定する。

▌参考書

必要に応じて指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：オリエンテーション(履修上の注意、授業方針の説明)** 授業内容：前期に学ぶ内容全体を見通す。各トピックについて世界の現状を概観する。トピックがどのような問題を取り上げているのか推論を立てる。 事前学修 1.0hr：講義概要をよく読み、授業内容・授業方針を把握する。 事後学修 1.0hr：指定テキストがある場合は、直ちに購入し、全体に目を通す。
2 回	**授業テーマ：グローバル・スタディーズとは何か 1 (全体像を把握する)** 授業内容：「国際」と「グローバル」との違いについて考える。「国際」の前提となっている国境の概念や「グローバル」の概念では前提としないことを想定していた国境の概念がかえって協調されている現状などについて考えてみる。 事前学修 1.0hr：グローバルスタディーズについて、自分なりに調べておく。 事後学修 1.0hr：授業終了時に課される課題に取り組む。
3 回	**授業テーマ：グローバル・スタディーズとは何か 2 (関連諸分野について理解する)** 授業内容：第二次世界大戦とはどのような戦争であったのかをグローバリズムの大前提として理解するために、ＮＨＫ制作の映像の 20 世紀シリーズの映像作品を視聴する。日本が第二次世界大戦でどのような存在として世界から認識されていたのかその現実を冷静にとらえてみる。 事前学修 1.0hr：国際関係論、地域研究などについて調べておく 事後学修 1.0hr：授業終了時に課される課題に取り組む。
4 回	**授業テーマ：基本文献を読む 1** 授業内容：トピック１ Poverty and hunger を学修します。タイトルからどのような事について取り扱っているのかを推論し、世界が抱える問題について自分の知識の範囲内で考えてみる。積極的に発言する。 事前学修 1.0hr：与えられた文献に目を通しておく。 事後学修 1.0hr：授業終了時に課される課題に取り組む。
5 回	**授業テーマ：基本文献を読む 2** 授業内容：トピック１　Poverty and hunger の続き。丁寧に学修していきます。掲載されている写真の一枚一枚が重要な意味を持っています。 事前学修 1.0hr：与えられた文献に目を通しておく。 事後学修 1.0hr：授業終了時に課される課題に取り組む。
6 回	**授業テーマ：基本文献を読む 3** 授業内容：トピック 1　Poverty and hunger の続き。貧困国の共通の問題点として政府の国家予算の配分に問題があるのではないかとの仮説のもと、考察を進めています。国家予算はどのように使われるべきなのか皆さんに考えてもらいます。 事前学修 1.0hr：与えられた文献に目を通しておく。 事後学修 1.0hr：授業終了時に課される課題に取り組む。
7 回	**授業テーマ：基本文献を読む 4** 授業内容：トピック 1　Poverty and hunger の続き。Ripple Effect について考察を深めます。何気ない行動が徐々に重大な結果を生じ、取り返しのつかない現実を生み出すことについて考察を深めます。地雷についても考えます。最も安価な兵器と言われる地雷が世界中に埋められ、現在では撤去に 1000 年以上かかると言われている現状について考察を深めます。 事前学修 1.0hr：与えられた文献に目を通しておく。 事後学修 1.0hr：授業終了時に課される課題に取り組む。
8 回	**授業テーマ：基本文献を読む 5** 授業内容：トピック 1　Poverty and hunger の続き。それぞれの国家は様々の異なる事情を抱えています。紛争国に囲まれている国の場合、長い間干ばつに見舞われ農業が困難になっている国家、長い間女性への教育が制限されており女性の活躍が期待できない国家などなど。それぞれの国家がどのような分野に予算を使ったらよいのでしょうか。事情に合わせた予算の使い方を皆さんに考えて頂きます。 事前学修 1.0hr：与えられた文献に目を通しておく。 事後学修 1.0hr：授業終了時に課される課題に取り組む。

9回	**授業テーマ：基本文献を読む 6** 授業内容：トピック 1　Poverty and hunger の総まとめ。この日本においてはどのように国家予算が使われているのでしょうか。予算の使途を変化させるべきでしょうか。あなたならどのように日本の国家予算が使われるべきであると考えますか。 事前学修 1.0hr：与えられた文献に目を通しておく。 事後学修 1.0hr：授業終了時に課される課題に取り組む。
10回	**授業テーマ：基本文献を読む 7** 授業内容：トピック２　Conflict and peace を学修します。国連の子供の権利憲章について学びます。なぜこのような憲章が生まれたのでしょうか。 事前学修 1.0hr：与えられた文献に目を通しておく。 事後学修 1.0hr：授業終了時に課される課題に取り組む。
11回	**授業テーマ：基本文献を読む 8** 授業内容：トピック２　Conflict and peace を学修します。少年兵問題は重大問題です。現在でも戦争が起き、成人男性の人数が不足すると 15 歳程度の子供が戦争に駆り出されます。これは他人ごとではなく、過去には日本でも同じことが行われ多くの若い命が失われています。日本でどのような戦争があったのか、特に第二次世界大戦の末期におきた沖縄戦について DVD を視聴します。 事前学修 1.0hr：与えられた文献もしくはテキストに目を通しておく。 事後学修 1.0hr：授業終了時に課される課題に取り組む。
12回	**授業テーマ：基本文献を読む 9** 授業内容：トピック２　Conflict and peace を学修します。どのような状態で少年兵が戦場に駆り出されていくのかそのメカニズムについて学修します。 事前学修 1.0hr：与えられた文献に目を通しておく。 事後学修 1.0hr：授業終了時に課される課題に取り組む。
13回	**授業テーマ：基本文献を読む 10** 授業内容：トピック２　Conflict and peace を学修します。 事前学修 1.0hr：与えられた文献もしくはテキストに目を通しておく。 事後学修 1.0hr：授業終了時に課される課題に取り組む。
14回	**授業テーマ：基本文献を読む 11** 授業内容：トピック２　Conflict and peace を学修します。元少年兵がどのように自我を取り戻し一般社会に戻っていくのかを実例をもとに学修します。どのようなサポートが必要なのか考えてみましょう。 事前学修 1.0hr：与えられた文献に目を通しておく。 事後学修 1.0hr：授業終了時に課される課題に取り組む。
15回	**授業テーマ：まとめ　前期に焦点を当てた問題について総復習を行う** 授業内容：トピック１およびトピック２の復習をします。キーワードを使いながら前学期に学んだ内容を自分の言葉でまとめましょう。 事前学修 2.0hr：前学期中に学んだ内容を振り返っておく。 事後学修 2.0hr：担当者の解説・指示に従い、試験の準備をする。

課題探求セミナーⅡ（英米語専攻）

開講学科等：英 ｜ 2 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：後

鍛治　広真（かじ　ひろみ）・**嶋田　珠巳**（しまだ　たまみ）

▌授業の概要

英米語学科の英米語専攻（ELM）学生のための 2 年次後学期必修科目。３・４年次に、自らの専門として何を本格的に学ぶのかを深く考え、その方向性を探るための科目。特に「日英語を対象として言語や文化に関する本や文献を読むこと」を重視する。受講生は、専攻に相応しい言語や文化に関する基本的な知識を得るとともに、基礎的な思考法、概念、文章スタイルなどを学ぶ。また、読んだ内容について、自分の意見を構築し、その意見の根拠を論理的に述べたり書き表したりする訓練も行う。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：3）

一般目標：(1) 英米語専攻に相応しい専門知識・思考法・概念・文章スタイルなどに慣れ親しむ。
(2) 読んだ本や文献の内容について、自分の意見を構築し論理的に表明することができる。
(3) 自らの研究課題を見つける。

個別目標：・世界の英語（World Englishes) の諸相を知り、その国々の言語・文化・社会・教育・歴史等について幅広く理解する
・母語話者の英語とその国々の文化と社会を学ぶ
・公用語または第２言語話者の英語とその国々の文化と社会を学ぶ
・国際語または外国語としての英語とその諸相を学ぶ

▌履修条件

受講クラス（担当者）が指定される。指定されたクラスで受講すること。

▌評価基準・方法

・学期末試験の成績 50 %、平常成績（小テストの成績、課題の提出状況、授業に対する貢献等）50 %を原則として、総合的に評価する。
・5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

学修支援システム manaba または面談により行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （プレゼンテーション、ディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

『World Englishes 入門ーグローバルな英語世界への招待』大石晴美編　昭和堂

▌参考書

『応用言語学事典』小池生夫他編　研究社
『世界の英語ができるまで』唐澤一友　亜紀書房
『英語という選択ーアイルランドの今』嶋田珠巳　岩波書店
その他適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション（履修上の注意、授業方針の説明など）／“World Englishes” とは何か** 授業内容：後期のテーマは、“World Englishes”。世界のさまざまな英語について学んでいこう。 事前学修 2.0hr：講義概要をよく読み、授業内容・授業方針を把握する。テキストの「序章」を読んでおく 事後学修 2.0hr：各自の到達目標を具体的に設定する、テキストを全体的に目をとおしておく
2回	**授業テーマ：英語の歴史を知る** 授業内容：そもそも英語とはどのような言語なのか。英語の歴史を少し見ておこう。 事前学修 2.0hr：事前配布の資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業内に提示される課題に取り組む授業
3回	**授業テーマ：母語としての英語（イギリスとケルトの英語（１））** 授業内容：大ブリテン島での主要な言語接触を、紀元前から歴史的変遷をたどる。イギリス英語の標準変種と諸方言の音声的特徴と社会的評価について学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業内に提示される課題に取り組む
4回	**授業テーマ：母語としての英語（イギリスとケルトの英語（２））** 授業内容：スコットランド・ウェールズ・アイルランドの英語について、歴史と現状、言語的特徴を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業内に提示される課題に取り組む
5回	**授業テーマ：母語としての英語（アメリカとカナダの英語）** 授業内容：アメリカ英語とカナダ英語の歴史的変遷と背景、言語的特徴を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業内に提示される課題に取り組む
6回	**授業テーマ：母語としての英語（オーストラリアとニュージーランドの英語）** 授業内容：オーストラリア英語とニュージーランド英語の歴史的変遷と特徴を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業内に提示される課題に取り組む
7回	**授業テーマ：公用語・第 2 言語としての英語（インドの英語）** 授業内容：インドが英語と接触した歴史的背景、英語教育の始まり、言語政策を概観し、英語使用の現状と言語的特徴を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業内に提示される課題に取り組む
8回	**授業テーマ：公用語・第 2 言語としての英語（東南アジアの英語）** 授業内容：シンガポールとマレーシアの英語について学ぶ。「新英語」（New English) の誕生とその特徴を見る。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業内に提示される課題に取り組む
9回	**授業テーマ：公用語・第 2 言語としての英語（アフリカの英語）** 授業内容：アフリカ大陸の西部・東部・南部の３つの地域におけるアフリカの英語の共通点と相違点を知る。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業内に提示される課題に取り組む

10回	**授業テーマ：公用語・第 2 言語としての英語(カリブ海の英語)** 授業内容：カリブ海域の地図を確認しその複雑な地理と、英語の変種について学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業内に提示される課題に取り組む
11回	**授業テーマ：国際語・外国語としての英語(ヨーロッパと中東の英語)** 授業内容：ヨーロッパと中東における英語の使用実態について学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業内に提示される課題に取り組む
12回	**授業テーマ：国際語・外国語としての英語(日本の英語)** 授業内容：日本の英語教育の歴史的変遷、日本人英語の特徴、そして日本の英語の現状と課題についてみていく。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業内に提示される課題に取り組む
13回	**授業テーマ：国際語・外国語としての英語(韓国と中華世界の英語)** 授業内容：韓国、中国・香港・台湾の言語事情と外国語としての英語の学校教育における現状について学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業内に提示される課題に取り組む
14回	**授業テーマ：国際語・外国語としての英語(モンゴルとミャンマーの英語)** 授業内容：モンゴルとミャンマーの歴史と教育事情、使われている英語の特徴を知る。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業内に提示される課題に取り組む
15回	**授業テーマ：総括と考察** 授業内容：「3 つの英語圏」の国々における英語の実態、歴史的背景、言語政策、言語的特徴について、復習し、日本における英語をめぐる問題などについて考察する。 事前学修 2.0hr：学んだ内容を振り返っておく 事後学修 2.0hr：最終課題に取りくみ、試験の準備をする

課題探求セミナーⅡ（グローバル・スタディーズ専攻）

開講学科等：英 ｜ 2 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：後

小谷　哲男 (こたに　てつお)・ケイコ　ナカムラ

▌授業の概要

グローバル・スタディーズ専攻のこの授業では、グローバル社会で活躍できる有為な人材に成長することを目指し、自ら考える力、判断する力、そして表現する力を深めます。世界が共通に抱える「貧困と経済格差」「紛争と平和」「教育の機会均等」「健康と公衆衛生」「貿易と開発」「環境の持続可能性」などのグローバルな課題について学修を深め、長期的視野に立った自らの興味分野を探していきます。下記の「授業内容」は、標準的な授業展開の例です。インターアクティブで積極的な発言を歓迎します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：3）

一般目標：(1) グローバル人材に相応しい思考法・概念・文章スタイルなどに慣れ親しむ。(2) 読んだ本や文献の内容について、自分の意見を論理的に表明することができる。(3) 自らの興味分野を見つけ、専門領域研究講座の選択や就職活動への手がかりとなる。(4) 実社会で通用する能力を自ら積極的に修得しようとするセルフスタディーマインドが身につく。(5) 社会の変化に柔軟に自ら対応する力が養われる。(6) 英語で書かれた文献を通し、多面的な価値観を学ぶことができる。

個別目標：グローバル化に対応する外国語運用能力とともに、課題を発見し解決する能力や論理的思考力、コミュニケーション能力、さらに日本の近現代史に関する知識を含む幅広い教養を育む（日本経済団体連合会）、という要請に応えるグローバル人材への成長を目指します。

▌履修条件

専攻に応じて受講クラス（担当者）が指定される。指定されたクラスで受講すること。

▌評価基準・方法

学期末試験もしくはレポートの成績 60 %、平常成績（小テストの成績、課題の提出状況、授業に対する貢献等）40 %を原則として、総合的に評価します。五分の四以上の出席を評価の前提条件とします。

▌フィードバック方法

課題フィードバックについては対面返却、manaba での模範解答掲示、manaba でのコメントを行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （積極的に意見交換をしながら世界の実像を学ぶ、グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （授業内に様々な情報を検索、課題を manaba に提出）

▌教科書

毎週読む記事等を指定する。

▌参考書

担当者が必要に応じて指示します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション（履修上の注意、授業方針の説明）** 授業内容：前学期の振り返り。前学期に学んだこと。提出物に関する総評。 事前学修 1.0hr：講義概要をよく読み、授業内容・授業方針を把握する。 事後学修 1.0hr：指定テキストがある場合は、直ちに購入し、全体に目を通す。
2回	**授業テーマ：グローバリズムがかかえる問題とはなにか (全体像を把握する)** 授業内容：夏休み中に関心を持った世界の出来事について、各自簡単に発表する。相互に行った発表についてメモを取りながら他の学生のコメントを書き留めて、自分の知らなかった情報を取り入れる練習を行う。それぞれが持つ様々な関心事の違いに気づくことが重要だることを知る。 事前学修 1.0hr：グローバリズムについて、自分なりに調べておく。 事後学修 1.0hr：授業終了時に課される課題に取り組む。
3回	**授業テーマ：グローバルな問題にはどのようなものがあるだろうか。** 授業内容：世界の食の問題について扱った DVD を視聴する。我々の生活の背景にある深い問題点を探る。少数企業が様々な分野で寡占状態であることを認識する。 事前学修 1.0hr：国際関係論、地域研究などについて調べておく。 事後学修 1.0hr：授業終了時に課される課題に取り組む。
4回	**授業テーマ：基本文献を読む 1（テキストの指定箇所）** 授業内容：トピック３　Education for all を学修する。デジタル化が進む世界の現状とデジタル化が進まない発展途上国の現状を分析する。 事前学修 1.0hr：与えられた文献に目を通しておく。 事後学修 1.0hr：授業終了時に課される課題に取り組む。
5回	**授業テーマ：基本文献を読む 2（テキストの指定箇所を読む）** 授業内容：トピック３　Education for all を学修する。デジタル化が進んでいる地域とほとんど進んでいない地域の現状を把握し、根底にある問題点をさぐる。 事前学修 1.0hr：与えられた文献に目を通しておく。 事後学修 1.0hr：授業終了時に課される課題に取り組む。関連文献を自ら探す。
6回	**授業テーマ：基本文献を読む 3（テキストの指定箇所）** 授業内容：トピック３　Education for all を学修する。デジタル化がもたらす優れた点、そしてデジタル化が生んだマイナスの側面があるのならばその問題点について考えてみよう。例えば、教科書のデジタル化、遠隔授業などはどのような影響を及ぼすと考えることができるだろうか。場合に分けて考えてみよう。(例えば離島、紛争地域) 事前学修 1.0hr：与えられた文献に目を通しておく。関連文献・記事を自ら探す。 事後学修 1.0hr：授業終了時に課される課題に取り組む。
7回	**授業テーマ：基本文献を読む 4（テキストの指定箇所を読む）** 授業内容：トピック４　Health and disease を学修する　世界的な大企業とはどのような分野なのだろうか。どのような分野の企業が巨大な利益をあげているのだろう。 事前学修 1.0hr：与えられた文献に目を通しておく。 事後学修 1.0hr：授業終了時に課される課題に取り組む。
8回	**授業テーマ：基本文献を読む 5（テキストの指定箇所を読む）** 授業内容：トピック４　Health and disease を学修する　　世界でベストセラーとなっている薬にはどのような特色があるのだろうか。先進国と発展途上国が抱える健康上の問題は何か違いがあるのだろうか。 事前学修 1.0hr：与えられた文献に目を通しておく。ニュースなどから関連分野の動向を調べておく。 事後学修 1.0hr：授業終了時に課される課題に取り組む。

9回	**授業テーマ：基本文献を読む 6（テキストの指定箇所を読む）** 授業内容：トピック４　Health and disease を学修する　　発展途上国が長年抱える保険医療上の問題とはどのようなものだろうか。先進国は積極的に発展途上国を支援しているのであろうか。 事前学修 1.0hr：与えられた文献に目を通しておく。関連ニュースを調べておく。 事後学修 1.0hr：授業終了時に課される課題に取り組む。
10回	**授業テーマ：基本文献を読む 7（テキストの指定箇所）** 授業内容：トピック４　Health and disease を学修する。巨大な世界的な製薬企業に対する賛否両論についてどのような反対意見賛成意見を考えることができるだろうか。 事前学修 1.0hr：与えられた文献に目を通しておく。関連文献を探して読む。 事後学修 1.0hr：授業終了時に課される課題に取り組む。
11回	**授業テーマ：基本文献を読む 8（テキストなどの指定箇所）** 授業内容：トピック５ Global trade and development の学修。How can you make a mountain out of a molehill?の意味について各自考えてみる。このセンテンスが象徴しているものが何だろう。自分はどのように解釈するのか書いてみよう。 事前学修 1.0hr：与えられた文献に目を通しておく。 事後学修 1.0hr：授業終了時に課される課題に取り組む。
12回	**授業テーマ：基本文献を読む 9（テキストなどの指定箇所）** 授業内容：トピック５ Global trade and development の学修。ノーベル平和賞を受賞したムハンマド　ヤヌス氏の行動について学んでみよう。GIve a man a fish and you feed him for a day. Teach a man to fish and you feed him for a lifetime　の意味についてじっくり考えてみよう。経済的側面だけではなく、トピック３で学んだ教育の重要性とあわせて考えてみよう 事前学修 1.0hr：与えられた文献に目を通しておく。 事後学修 1.0hr：授業終了時に課される課題に取り組む。
13回	**授業テーマ：基本文献を読む １０（テキストなどの指定箇所）** 授業内容：トピック５ Global trade and development の学修。世界の多くの人々の貧困問題を解決するためには何が必要なのであろうか。【募金をする】という単純な発想にとどまらず、継続性・持続性がある多くの人が自立できる仕組みを考えてみよう。 事前学修 1.0hr：与えられた文献に目を通しておく。興味分野に沿った資料を集めて読む。 事後学修 1.0hr：授業終了時に課される課題に取り組む。
14回	**授業テーマ：基本文献を読む １１（テキストなどの指定箇所）** 授業内容：トピック６　Environment and sustainability の学修。環境破壊、地球温暖化が進行する起点となった産業革命からこれまでの人類の産業構造の変化について考えてみよう。 事前学修 1.0hr：与えられた文献に目を通しておく。 事後学修 1.0hr：授業終了時に課される課題に取り組む。
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：環境問題に関して私達に求められる根本的な解決方法はあるのだろうか。与えられたキーワードを使って後学期の総まとめのレポートを書きます。教育問題、貧困問題、経済格差、巨大企業の寡占問題など多くのことを学びました。深く考察して纏めます。 事前学修 2.0hr：後学期の学修の全体をふりかえる。どの様な分野に最も興味が持てたのか再確認する。 事後学修 2.0hr：担当者の解説・指示に従い、試験の準備をする。

英米語基礎演習

開講学科等：英 ｜ 2 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通

川成　美香（かわなり　みか）**・河原　伸一**（かわはら　しんいち）**・ケイコ　ナカムラ・辰己　雄太**（たつみ　ゆうた）

▌授業の概要

英米語学科では、CEFR B レベルと見做しうる英語力を身につけることが「英語力に関する進級要件」になっている。そのため、この科目では、主として英検の試験問題形式に慣れながら、英検 2 級を越えて英検準 1 級に迫るような英語力を身につけることを主要な目標とする。授業の効果を高めるため、予習・復習は必須である。なお、この科目の合否により「英語力に関する進級要件」を満たしたか否かの判定を行うので、この科目の単位を取得することなしに 3 年次へ進級することはできない。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：3）

一般目標：CEFR の B レベル以上と判断できる英語力を身につける。

個別目標：・短文空所補充問題の特徴を理解する。
・長文空所補充問題の特徴を理解する。
・長文の内容一致問題の特徴を理解する。
・英文要約・英作文問題の特徴を理解する。
・リスニング問題の特徴を理解する。
・スピーキング問題の特徴を理解する。

▌履修条件

指定されたクラスで受講すること。

▌評価基準・方法

成績評価を受けるためには、実授業回数の 5 分の 4 以上の出席が必要である。成績評価を受ける資格のある学生の場合、その評価は、(i) 最終週に予定されている「理解度確認テスト」の結果、(ii) 英米語学科が主催するテストの結果、(iii) 授業への取り組み・課題提出状況などを考慮に入れ、決定される。CEFR B レベルの英語力を持っていることが、合格評価(S,A,B,C)を得るための必須条件である。

▌フィードバック方法

なお、課題及び定期試験のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク、協調学習など）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

『DAILY25 日間 英検準 1 級集中ゼミ』(7 訂版)(旺文社、2024 年 7 月発行)

▌参考書

必要に応じて指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション、授業方針説明** 授業内容：オリエンテーション：授業方針説明、進級要件に関する重要説明、英検 IBA の問題形式の振り返り；英検 IBA の練習問題 事前学修 2.0hr：講義概要を読み、授業全体の流れを確認しておく 事後学修 2.0hr：指定テキストを購入し、与えられた課題に取り組む。	16回	**授業テーマ：オリエンテーション、授業方針説明** 授業内容：オリエンテーション：授業方針説明、進級要件に関する重要説明の復習、英検 IBA の問題形式の振り返り；英検 IBA の練習問題 事前学修 2.0hr：テキストの後半部に目を通しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、与えられた課題に取り組む。
2回	**授業テーマ：英検準 1 級の問題形式について理解する** 授業内容：英検準 1 級の問題形式について理解する(英検準 1 級と英検 IBA の違いについて)；英検 IBA の練習問題、単語テスト 事前学修 2.0hr：テキストの指定されたページを読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修のポイントを復習する。	17回	**授業テーマ：１2日目：　応用、筆記１** 授業内容：１2日目：　応用、筆記１(pp.88-95)短文の語句空所補充問題③ 代表的なコロケーションの説明、過去に出題されたコロケーションの説明、練習問題、単語テスト 事前学修 2.0hr：テキストの指定範囲を読み、予習しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する。
3回	**授業テーマ：１日目：　筆記１** 授業内容：１日目：　筆記１短文の語句空所補充問題①(pp.12-17)出題形式、回答のポイントの説明、練習問題、単語テスト 事前学修 2.0hr：テキストの指定範囲を読み、予習しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する。	18回	**授業テーマ：１3日目：　応用、筆記　1** 授業内容：１3日目：　応用、筆記１　短文の語句空所補充問題④(pp.96-103)句動詞の意味の推測方法、過去に出題された句動詞の説明、練習問題、単語テスト 事前学修 2.0hr：テキストの指定範囲を読み、予習しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する。
4回	**授業テーマ：２日目：　筆記２(pp.18-23)** 授業内容：２日目：　筆記２　長文の語句空所補充問題①(pp.18-23)出題形式、回答のポイントの説明、練習問題、単語テスト 事前学修 2.0hr：テキストの指定範囲を読み、予習しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する。	19回	**授業テーマ：EIKEN IBA R/L (#3)；１4日目：　応用、筆記 2** 授業内容：EIKEN IBA R/L (#3)；１4日目：　応用、筆記 2　長文の語句空所補充問題②(pp.104-109)つなぎ言葉の説明、練習問題、単語テスト 事前学修 2.0hr：テキストの指定範囲を読み、予習しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する。
5回	**授業テーマ：EIKEN IBA R/L (#1)；３日目：筆記３(pp.24-29)** 授業内容：EIKEN IBA R/L (#1)；３日目：筆記３　長文の内容一致選択問題①(pp.24-29)出題形式、回答のポイントの説明、練習問題、単語テスト 事前学修 2.0hr：テキストの指定範囲を読み、予習しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する。	20回	**授業テーマ：EIKEN IBA W/S；１５日目：　応用、筆記３** 授業内容：EIKEN IBA W/S；１５日目：　応用、筆記３　長文の内容一致選択問題③(pp.110-115)パラグラフ・リーディングの説明、トピック・センテンスの説明、練習問題、単語テスト 事前学修 2.0hr：テキストの指定範囲を読み、予習しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する。
6回	**授業テーマ：EIKEN IBA S/W)(#1)；４日目：　筆記３** 授業内容：EIKEN IBA S/W (#1)；４日目：　筆記３ 長文の内容一致選択問題②(pp.30-35)設問のパターンと問われる内容、パラフレーズ(言い換え)の説明、単語テスト 事前学修 2.0hr：テキストの指定範囲を読み、予習しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する。	21回	**授業テーマ：１6日目　＆　１7日目：　応用、筆記３** 授業内容：英検 IBA（10 月)の結果報告と解説；１6日目：　応用、筆記３　長文の内容一致選択問題④(pp.116-121)フレーズ・リーディングの説明、練習問題、単語テスト＆１7日目：　応用、筆記３　長文の内容一致選択問題⑤(pp.122-127)スキャニングの説明、練習問題、単語テスト 事前学修 2.0hr：テキストの指定範囲を読み、予習しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する。
7回	**授業テーマ：５日目：　筆記４** 授業内容：５日目：　筆記４ 英文要約問題①(pp.36-43)出題形式、回答のポイントの説明、練習問題、単語テスト 事前学修 2.0hr：テキストの指定範囲を読み、予習しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する	22回	**授業テーマ：１8日目：　応用、筆記４** 授業内容：応用、筆記 4　英文要約問題② (pp.128-135)段落間の論理展開、パラフレーズを効果的に、練習問題、単語てすと 事前学修 2.0hr：テキストの指定範囲を読み、予習しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する。

8回	**授業テーマ：６日目：　筆記 5** 授業内容：６日目：　筆記 5 英作文問題①(pp.44-49)出題形式、回答のポイントの説明、練習問題、単語テスト 事前学修 2.0hr：テキストの指定範囲を読み、予習しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する。
9回	**授業テーマ：７日目：　筆記５** 授業内容：７日目：　筆記 5 英作文問題②(pp.50-55)採点の観点、全体の校構成の説明、練習問題、単語テスト 事前学修 2.0hr：テキストの指定範囲を読み、予習しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
10回	**授業テーマ：８日目：　リスニング Part 1** 授業内容：８日目：　リスニング Part 1　会話の内容一致選択問題(pp.56-63)出題形式、回答のポイントの説明、練習問題、単語テスト 事前学修 2.0hr：テキストの指定範囲を読み、予習しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する。
11回	**授業テーマ：９日目：　リスニング Part 2** 授業内容：９日目：　リスニング Part 2　文の内容一致選択問題(pp.64-71)出題形式、回答のポイントの説明、練習問題、単語テスト 事前学修 2.0hr：テキストの指定範囲を読み、予習しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する。
12回	**授業テーマ：EIKEN IBA R/L (#2)** 授業内容：EIKEN IBA R/L (#2) 事前学修 2.0hr：テキストの指定範囲を読み、予習しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
13回	**授業テーマ：１０日目：　リスニング Part 3** 授業内容：英検 IBA（7 月)の結果報告と解説; １０日目：　リスニング Part 3 Real-Life 形式の内容一致選択問題(pp.72-77)出題形式、回答のポイントの説明、練習問題、単語テスト 事前学修 2.0hr：テキストの指定範囲を読み、予習しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する。
14回	**授業テーマ：１１日目：　応用、筆記１** 授業内容：１１日目：　応用、筆記１　短文の語句空所補充問題②(pp.80-87)英単語の構成の説明、代表的な接頭辞・接尾辞の説明、練習問題、単語テスト 事前学修 2.0hr：テキストの指定範囲を読み、予習しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
15回	**授業テーマ：理解度確認テスト** 授業内容：理解度確認テスト、前学期のまとめと振り返り、夏季休業の過ごし方指導、単語テスト 事前学修 2.0hr：前学期に学んだ内容を振り返っておく。 事後学修 2.0hr：担当教員による総復習を参考に、自分の弱点を補強する。夏休みの課題に取り組む。
23回	**授業テーマ：１９日目　＆　２０日目：筆記⑤** 授業内容：１９日目＆２０日目：英作文問題を攻略③④(pp.136-147)つなぎ言葉の効果的な使い方の説明、知っている表現で工夫する説明、書きやすい立場・ポイント、単語テスト 事前学修 2.0hr：テキストの指定範囲を読み、予習しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する。
24回	**授業テーマ：２１日目　＆　２２日目：　リスニング Part 1** 授業内容：２１日目＆２２日目：リスニング　Part I　会話の内容一致選択問題②③　(pp. 148-163) 選択肢、パラフレーズ(言い換え)の説明、キーワードを聞き取る、練習問題、単語テスト 事前学修 2.0hr：テキストの指定範囲を読み、予習しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する。
25回	**授業テーマ：２３日目　＆　２４日：　リスニング Part 2** 授業内容：２３日目 & ２４日目：　リスニング Part 2　文の内容一致選択問題②③(pp.164-179)質問文、選択肢の先読みの説明、パッセージの構成の説明、つなぎ言葉の説明、練習問題、単語テスト 事前学修 2.0hr：テキストの指定範囲を読み、予習しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する。
26回	**授業テーマ：２５日目：　リスニング Part 3** 授業内容：２５日目：　リスニング Part 2　Real-Life 形式の内容一致選択問題②(pp.180-187)状況・質問文・選択肢の特徴の説明、練習問題、単語テスト 事前学修 2.0hr：テキストの指定範囲を読み、予習しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する。
27回	**授業テーマ：EIKEN IBA R/L (#4)** 授業内容：EIKEN IBA R/L (#4) 事前学修 2.0hr：テキストの指定範囲を読み、予習しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する。
28回	**授業テーマ：２６日目：　リスニング Part 3; 英検 IBA（12 月)の結果報告と解説** 授業内容：英検 IBA（12 月)の結果報告と解説、単語テスト; ２６日目：　リスニング Part 3 Real-Life 形式の内容一致選択問題③(pp.188-194)パラフレーズ(言い換え)の特徴の説明、練習問題、単語テスト 事前学修 2.0hr：それまでの自分の英検 IBA の成績を振り返っておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
29回	**授業テーマ：実力完成模擬テスト** 授業内容：実力完成模擬テスト(pp.195-247)、単語テスト 事前学修 2.0hr：テキストの指定範囲を読み、予習しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する。
30回	**授業テーマ：後学期の振り返り** 授業内容：後学期の振り返りと復習、試験範囲の説明・練習問題、単語テスト 事前学修 2.0hr：後学期で学んだ内容を振り返っておく。 事後学修 2.0hr：担当教員による試験範囲の説明を参考に、自分の弱点を補強する。

Integrated English Ⅰ

開講学科等：英 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 2

キーネン　ディナ　クリスチャンセン・コマンドュリ　シリーシャ・タイソン　ロード・ティモシー　オピツ・パトリツィア　ハヤシ・バルブド　プルメル　エスティオコ・リカルド　バルム・ロバート　モリアーティ

▌授業の概要

A compulsory first-semester course in the first year of the Intensive Language Program (ILP). This is an integrated four-skills English communication course with a focus on speaking and listening skills. English fluency is raised through extensive oral practice in which students are taught effective language-learning strategies and students are encouraged to become active and independent learners. Intensive discussion skills are developed through scaffolded, learner-centered materials. Class sizes are generally kept small.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：In this course, students will develop, expand, and strengthen skills that focus on general academic language, narrative and descriptive language, and opinion-stating/discussion language. Through a variety of integrated activities and topics, students will be encouraged to demonstrate their proficiency in these skills.

個別目標：By the end of this course, students will have achieved a solid foundation in their English communication skills that can be applied to academic and business settings. Students will be able to demonstrate the skills and abilities necessary to narrate events and participate in meaningful discussions on a variety of issues.

▌履修条件

There are no prerequisites for this course. Attendance at more than 80% of the classes is required.

▌評価基準・方法

Students are evaluated via a final speaking test (30%), mid-term speaking assessment (20%), and coursework and active participation [pair/group work, interactive discussion, English Zone visits, and workbook] (50%). Feedback and assessments will be given in class or on manaba. Please consult your instructor.

▌フィードバック方法

Students will be given oral and written feedback both in class and on manaba. Rubrics will be used to give feedback on performance assessments. Learner-centered self-assessment will also be emphasized throughout this course.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Pair work and group work）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

A-D classes: What Does Everyone Think?, 4th ed., Asahi Press, 2024.

▌参考書

Supplementary materials will be handed out by the instructor and available online.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Course Introductions** 授業内容：Students learn about the syllabus and course schedule. Students take part in group and pair activities to build a positive class atmosphere. Students visit the English Zone. 事前学修 0.5hr：Prepare information on yourself 事後学修 2.0hr：Review course materials and complete on demand active listening	16回	**授業テーマ：Lesson 5: Becoming Independent A** 授業内容：Students are introduced to Discussion Skill 9 and work through textbook activities, including vocabulary and speaking 事前学修 1.5hr：Review Discussion Skills 1-8 Preview Discussion Skill 9 事後学修 2.0hr：Review Discussion Skill 9 and complete assigned work
2回	**授業テーマ：Progress Check 1** 授業内容：Students will be given a progress check to measure their starting point for the four skills of speaking, listening, reading and writing. 事前学修 1.0hr：Preview textbook 事後学修 2.0hr：Complete assigned work	17回	**授業テーマ：Lesson 5: Becoming Independent B** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students are introduced to Discussion Skill 10 and work through textbook activities, including vocabulary and speaking exercises. 事前学修 1.0hr：Preview Discussion Skill 10 事後学修 2.0hr：Review Discussion Skill 10 and complete assigned work
3回	**授業テーマ：Communication Orientation & Introductions** 授業内容：Students will take part in various guided fluency activities to build the communicative skills needed for the Integrated English course. 事前学修 1.0hr：Preview assigned material 事後学修 2.0hr：Complete assigned work	18回	**授業テーマ：Lesson 6: Living Abroad A** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students are introduced to Discussion Skill 11 and work through textbook activities, including vocabulary and speaking exercises. 事前学修 1.0hr：Preview Discussion Skill 11 事後学修 2.0hr：Review Discussion Skill 11 and complete assigned work
4回	**授業テーマ：Lesson 1: Communication Skills A** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students are introduced to Discussion Skill 1 and work through textbook activities, including vocabulary and speaking exercises. 事前学修 1.0hr：Preview Discussion Skill 1 事後学修 2.0hr：Review Discussion Skill 1 and complete assigned work	19回	**授業テーマ：Lesson 6: Living Abroad B** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students are introduced to Discussion Skill 12 and work through textbook activities, including vocabulary and speaking exercises. 事前学修 1.0hr：Preview Discussion Skill 12 事後学修 2.0hr：Review Discussion skill 12 and complete assigned work
5回	**授業テーマ：Lesson 1: Communication Skills B** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students are introduced to Discussion Skill 2 and work through textbook activities, including vocabulary and speaking exercises. 事前学修 1.0hr：Preview Discussion Skill 2 事後学修 2.0hr：Review Discussion Skill 2 and complete assigned aork	20回	**授業テーマ：Merge Lesson 3** 授業内容：Instructors and students combine classes to practice the fourth set of discussions, applying the learned material actively in communicative discussions and activities. 事前学修 1.0hr：Review Discussion Skills 9-12 事後学修 2.0hr：Review Discussions Skills 1-12, vocabulary and content, and complete assigned work
6回	**授業テーマ：Lesson 2: The Importance of Communication A** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students are introduced to Discussion Skill 3 and work through textbook activities, including vocabulary and speaking exercises. 事前学修 1.0hr：Preview Discussion Skill 3 事後学修 2.0hr：Review Discussion Skill 3 and complete assigned work	21回	**授業テーマ：Lesson 7: The Globalization of Japanese Culture A** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students are introduced to Discussion Skill 13 and work through textbook activities, including vocabulary and speaking exercises. 事前学修 2.0hr：Preview Discussion Skill 13 事後学修 2.0hr：Review Discussion Skill 13 and complete assigned work

7回	**授業テーマ：Lesson 2: The Importance of Communication B** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students are introduced to Discussion Skill 4 and work through textbook activities, including vocabulary and speaking exercises. 事前学修 1.0hr：Preview discussion skill 4 事後学修 2.0hr：Review Discussion Skills 1-4 and complete assigned work	22回	**授業テーマ：Lesson 7: The Globalization of Japanese Culture B** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students are introduced to Discussion Skill 14 and work through textbook activities, including vocabulary and speaking exercises. 事前学修 1.0hr：Preview Discussion Skill 14 事後学修 2.0hr：Review Discussion Skill 14 and complete assigned work
8回	**授業テーマ：Merge Lesson 1** 授業内容：Instructors and students combine classes to practice the first set of discussions, applying the learned material actively in communicative discussions and activities. 事前学修 1.0hr：Review Discussion Skills 1-4 and review vocabulary 事後学修 2.0hr：Review Discussion Skills 1-4, vocabulary and content, and complete assigned work	23回	**授業テーマ：Lesson 8: Japanese and Foreign Customs A** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students are introduced to Discussion Skill 15 and work through textbook activities, including vocabulary and speaking exercises. 事前学修 1.0hr：Preview Discussion Skill 15 事後学修 1.5hr：Review Discussion Skill 15 and complete assigned work
9回	**授業テーマ：Lesson 3: Entering University A** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students are introduced to Discussion Skill 5 and work through textbook activities, including vocabulary and speaking exercises. 事前学修 1.0hr：Preview Discussion Skill 5 事後学修 2.0hr：Review Discussion Skill 5 and complete assigned work	24回	**授業テーマ：Lesson 8: Japanese and Foreign Customs B** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students are introduced to Discussion Skill 16 and work through textbook activities, including vocabulary and speaking exercises. 事前学修 1.0hr：Preview Discussion Skill 16 事後学修 2.0hr：Review Discussion Skills 1-16, vocabulary and content; Complete assigned work
10回	**授業テーマ：Lesson 3: Entering University B** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students are introduced to Discussion Skill 6 and work through textbook activities, including vocabulary and speaking exercises. 事前学修 1.0hr：Preview Discussion Skill 6 事後学修 2.0hr：Review Discussion Skill 6 and complete assigned work	25回	**授業テーマ：Merge Lesson 4** 授業内容：Instructors and students combine classes to practice the fourth set of discussions, applying the learned material actively in communicative discussions and activities. 事前学修 1.0hr：Review Discussion Skills 13-16 事後学修 2.0hr：Review all discussions skills studied and prepare for final speaking test
11回	**授業テーマ：Lesson 4: Life at University A** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students are introduced to Discussion Skill 7 and work through textbook activities, including vocabulary and speaking exercises. 事前学修 1.0hr：Preview Discussion Skill 7 事後学修 2.0hr：Review Discussions Skills 1-7, review vocabulary and course content	26回	**授業テーマ：Integrated English Speaking Test Review** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students review the discussion skills and practice the test format with their partner. Students practice giving opinions with reasons. 事前学修 3.0hr：Review all course materials 事後学修 4.0hr：Review all discussion skills, vocabulary, and content for Speaking Test 1
12回	**授業テーマ：Lesson 4: Life at University B** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students are introduced to Discussion Skill 8 and work through textbook activities, including vocabulary and speaking exercises. 事前学修 1.0hr：Preview Discussion Skill 8 事後学修 2.0hr：Review Discussion Skills 1-8; Complete assigned work	27回	**授業テーマ：I.E. Speaking Test (1)** 授業内容：In pairs or groups of 3, students give opinions supported by reasons about topics related to the units studied in the first term. The test is administered by two course instructors. 事前学修 3.0hr：Review all course materials 事後学修 4.0hr：Prepare and practice for final Speaking Test 2
13回	**授業テーマ：Merge Lesson 2** 授業内容：Instructors and students combine classes to practice the second set of discussions, applying the learned material actively in communicative discussions and activities. 事前学修 1.0hr：Review Discussion Skills 1-8 and vocabulary 事後学修 2.0hr：Review Discussion Skills 1-8, vocabulary and content. Prepare for mid-term speaking assessment	28回	**授業テーマ：I.E. Speaking Test (2)** 授業内容：In pairs or groups of 3, students must rank and discuss solutions about a topic related to the units studied in the first term. The test is administered by two course instructors. 事前学修 3.0hr：Review vocabulary, discussion skills and course content 事後学修 4.0hr：Complete self-reflection worksheet
14回	**授業テーマ：Mid-Term Speaking Assessment (1)** 授業内容：Students will be assessed on the discussion skills studied so far in relation to the themes/topics covered. 事前学修 2.0hr：Review Discussion Skills and vocabulary 事後学修 2.0hr：Reflect on speaking performance; Preview next lesson	29回	**授業テーマ：Progress Check 2** 授業内容：Students will be given a progress check to measure their end-of-term point for the four skills of speaking, listening, reading and writing. 事前学修 3.0hr：Review vocabulary, discussion skills and course content 事後学修 2.0hr：Complete goal worksheet
15回	**授業テーマ：Mid-Term Speaking Assessment (2)** 授業内容：Students will be assessed on the discussion skills studied so far in relation to the themes/topics covered.Students warm up with a fluency activity. exercises. 事前学修 2.0hr：Review Discussion Skills and vocabulary 事後学修 2.0hr：Reflect on speaking performance; Preview next lesson	30回	**授業テーマ：Student Consultations** 授業内容：Students receive individual feedback from the instructor on their performance in the course. Students are expected to reflect on their performance and set goals for the next term. 事前学修 2.0hr：Make sure all assignments are complete 事後学修 4.0hr：Complete assigned summer homework

Integrated English Ⅱ

開講学科等：英 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 2

キーネン　ディナ　クリスチャンセン・コマンドュリ　シリーシャ・タイソン　ロード・ティモシー　オピツ・パトリツィア　ハヤシ・バルブド　プルメル　エスティオコ・リカルド　バルム・ロバート　モリアーティ

▌授業の概要

A compulsory second-semester course in the first year of the Intensive Language Program (ILP). This is an integrated four-skills English communication course with a focus on speaking and listening skills. English fluency is raised through extensive oral practice in which students are taught effective language-learning strategies and students are encouraged to become active and independent learners. Intensive discussion skills are developed through scaffolded, learner-centered materials. Class sizes are generally kept small.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：In this course, students will develop, expand, and strengthen skills that focus on general academic language, narrative and descriptive language, and opinion-stating/discussion language. Through a variety of integrated activities and topics, students will be encouraged to demonstrate their proficiency in these skills.

個別目標：By the end of this course, students will have achieved a solid foundation in their English communication skills that can be applied to academic and business settings. Students will be able to demonstrate the skills and abilities necessary to narrate events and participate in meaningful discussions on global issues.

▌履修条件

It is recommended that students take Integrated English I before taking this course. Attendance at more than 80% of the classes is required.

▌評価基準・方法

Students are evaluated via a final speaking test (30%), mid-term speaking assessment (20%), and coursework and active participation [pair/group work, interactive discussion, English Zone visits, and workbook] (50%). Feedback and assessments will be given in class or on manaba. Please consult your instructor.

▌フィードバック方法

Students will be given oral and written feedback both in class and on manaba. Rubrics will be used to give feedback on performance assessments. Learner-centered self-assessment will also be emphasized throughout this course.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Pair work and group work）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

A-D classes: What Does Everyone Think?, 4th ed., Asahi Press, 2024.

▌参考書

Supplementary materials will be handed out by the instructor and available online.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Course Introductions** 授業内容：Students learn about the syllabus and course schedule. Students take part in group and pair activities to build a positive class atmosphere. Students present their summer homework. 事前学修 1.0hr：Prepare your summer homework presentation 事後学修 2.0hr：Review course materials and complete on demand active listening	16回	**授業テーマ：Lesson 13: Social Issues A** 授業内容：Students are introduced to Discussion Skill 9 and work through textbook activities, including vocabulary and speaking 事前学修 1.5hr：Review Discussion Skills 1-8, Preview Discussion Skill 9 事後学修 2.0hr：Review Discussion Skill 9 and complete assigned work
2回	**授業テーマ：Progress Check Feedback** 授業内容：Students will receive feedback on their first-term progress check performance. Students will set goals for the second term to improve their four skills. 事前学修 1.0hr：Reflect on skills and goals; Preview textbook 事後学修 2.0hr：Set measurable goals; Complete assigned work.	17回	**授業テーマ：Lesson 13: Social Issues B** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students review Discussion Skill 10 and work through textbook activities, including vocabulary and speaking exercises. 事前学修 1.0hr：Review Discussion Skill 10 事後学修 2.0hr：Review Discussion Skill 10 and complete assigned work
3回	**授業テーマ：First Term Review** 授業内容：Students will take part in various guided fluency activities that review the discussion skills covered in the first term. 事前学修 1.0hr：Review first-term discussion skills 事後学修 2.0hr：Complete assigned work	18回	**授業テーマ：Lesson 14: Music** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students review Discussion Skill 11 and work through textbook activities, including vocabulary and speaking exercises. 事前学修 1.0hr：Review Discussion Skill 11 事後学修 2.0hr：Review Discussion Skill 11 and complete assigned work
4回	**授業テーマ：Lesson 9: Learning a Foreign Language A** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students are review Discussion Skill 1 and work through textbook activities, including vocabulary and speaking exercises. 事前学修 1.0hr：Review Discussion Skill 1 事後学修 2.0hr：Review Discussion Skill 1 and complete assigned work	19回	**授業テーマ：Lesson 14: Art** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students review Discussion Skill 12 and work through textbook activities, including vocabulary and speaking exercises. 事前学修 1.0hr：Review Discussion Skill 12 事後学修 2.0hr：Review Discussion Skill 12 and complete assigned work
5回	**授業テーマ：Lesson 9: Learning a Foreign Language B** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students review Discussion Skill 2 and work through textbook activities, including vocabulary and speaking exercises. 事前学修 1.0hr：Review Discussion Skill 2 事後学修 2.0hr：Review Discussion Skill 2 and complete assigned aork	20回	**授業テーマ：Merge Lesson 3** 授業内容：Instructors and students combine classes to practice the fourth set of discussions, applying the learned material actively in communicative discussions and activities. 事前学修 1.0hr：Review Discussion Skills 9-12 事後学修 2.0hr：Review Discussions Skills 1-12, vocabulary and content, and complete assigned work
6回	**授業テーマ：Lesson 10: Entering the Workforce A** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students review Discussion Skill 3 and work through textbook activities, including vocabulary and speaking exercises. 事前学修 1.0hr：Review Discussion Skill 3 事後学修 2.0hr：Review Discussion Skill 3 and complete assigned work	21回	**授業テーマ：Lesson 15: Where do you want to live? A** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students review Discussion Skill 13 and work through textbook activities, including vocabulary and speaking exercises. 事前学修 2.0hr：Review Discussion Skill 13 事後学修 2.0hr：Review Discussion Skill 13 and complete assigned work

7回	**授業テーマ：Lesson 10: Entering the Workforce B** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students review Discussion Skill 4 and work through textbook activities, including vocabulary and speaking exercises. 事前学修 1.0hr：Review Discussion Skill 4 事後学修 2.0hr：Review Discussion Skills 1-4 and complete assigned work	22回	**授業テーマ：Lesson 15: Where do you want to live? B** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students review Discussion Skill 14 and work through textbook activities, including vocabulary and speaking exercises. 事前学修 1.0hr：Review Discussion Skill 14 事後学修 2.0hr：Review Discussion Skill 14 and complete assigned work
8回	**授業テーマ：Merge Lesson 1** 授業内容：Instructors and students combine classes to practice the first set of discussions, applying the learned material actively in communicative discussions and activities. 事前学修 1.0hr：Review Discussion Skills 1-4 and review vocabulary 事後学修 2.0hr：Review Discussion Skills 1-4, vocabulary and content, and complete assigned work	23回	**授業テーマ：Lesson 16: Job Skills A** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students review Discussion Skill 15 and work through textbook activities, including vocabulary and speaking exercises. 事前学修 1.0hr：Review Discussion Skill 15 事後学修 1.5hr：Review Discussion Skill 15 and complete assigned work
9回	**授業テーマ：Lesson 11: Social Media A** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students review Discussion Skill 5 and work through textbook activities, including vocabulary and speaking exercises. 事前学修 1.0hr：Preview Discussion Skill 5 事後学修 2.0hr：Review Discussion Skill 5 and complete assigned work	24回	**授業テーマ：Lesson 16: Job Skills B** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students review Discussion Skill 16 and work through textbook activities, including vocabulary and speaking exercises. 事前学修 1.0hr：Review Discussion Skill 16 事後学修 2.0hr：Review Discussion Skills 1-16, vocabulary and content; Complete assigned work
10回	**授業テーマ：Lesson 11: Social Media B** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students review Discussion Skill 6 and work through textbook activities, including vocabulary and speaking exercises. 事前学修 1.0hr：Review Discussion Skill 6 事後学修 2.0hr：Review Discussion Skill 6 and complete assigned work	25回	**授業テーマ：Merge Lesson 4** 授業内容：Instructors and students combine classes to practice the fourth set of discussions, applying the learned material actively in communicative discussions and activities. 事前学修 1.0hr：Review Discussion Skills 13-16 事後学修 2.0hr：Review all discussions skills studied and prepare for final speaking test
11回	**授業テーマ：Lesson 12: Public Behavior A** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students review Discussion Skill 7 and work through textbook activities, including vocabulary and speaking exercises. 事前学修 1.0hr：Review Discussion Skill 7 事後学修 2.0hr：Review Discussions Skills 1-7, review vocabulary and course content	26回	**授業テーマ：Integrated English Speaking Test Review** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students review the discussion skills and practice the test format with their partner. Students practice giving opinions with reasons. 事前学修 3.0hr：Review all course materials 事後学修 4.0hr：Review all discussion skills, vocabulary, and content for Speaking Test 1
12回	**授業テーマ：Lesson 12: Public Behavior A** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students review Discussion Skill 8 and work through textbook activities, including vocabulary and speaking exercises. 事前学修 1.0hr：Review Discussion Skill 8 事後学修 2.0hr：Review Discussion Skills 1-8; Complete assigned work	27回	**授業テーマ：I.E. Speaking Test (1)** 授業内容：In pairs or groups of 3, students give opinions supported by reasons about topics related to the units studied in the first term. The test is administered by two course instructors. 事前学修 3.0hr：Review all course materials 事後学修 4.0hr：Prepare and practice for final Speaking Test 2
13回	**授業テーマ：Merge Lesson 2** 授業内容：Instructors and students combine classes to practice the second set of discussions, applying the learned material actively in communicative discussions and activities. 事前学修 1.0hr：Review Discussion Skills 1-8 and vocabulary 事後学修 2.0hr：Review discussion Skills 1-8, vocabulary and content. Prepare for mid-term speaking assessment	28回	**授業テーマ：I.E. Speaking Test (2)** 授業内容：In pairs or groups of 3, students must rank and discuss solutions about a topic related to the units studied in the first term. The test is administered by two course instructors. 事前学修 3.0hr：Review vocabulary, discussion skills and course content 事後学修 4.0hr：Complete self-reflection worksheet
14回	**授業テーマ：Mid-Term Speaking Assessment (1)** 授業内容：Students will be assessed on the discussion skills studied so far in relation to the themes/topics covered. 事前学修 2.0hr：Review Discussion Skills 1-8 and vocabulary 事後学修 2.0hr：Reflect on speaking performance; Preview next lesson	29回	**授業テーマ：Progress Check 3** 授業内容：Students will be given a progress check to measure their end-of-term point for the four skills of speaking, listening, reading and writing. 事前学修 3.0hr：Review vocabulary, discussion skills and course content 事後学修 2.0hr：Complete goal worksheet
15回	**授業テーマ：Mid-Term Speaking Assessment (2)** 授業内容：Students will be assessed on the discussion skills studied so far in relation to the themes/topics covered. Students warm up with a fluency activity. exercises. 事前学修 2.0hr：Review Discussion Skills 1-8 and vocabulary 事後学修 2.0hr：Reflect on speaking performance; Preview next lesson	30回	**授業テーマ：Student Consultations** 授業内容：Students receive individual feedback from the instructor on their performance in the course. Students are expected to reflect on their performance and set goals for the next term. 事前学修 2.0hr：Make sure all assignments are complete 事後学修 4.0hr：Complete assigned work

Integrated English Ⅲ

開講学科等：英 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 2

キーネン　ディナ　クリスチャンセン・コマンドュリ　シリーシャ・タイソン　ロード・ティモシー　オピツ・パトリツィア　ハヤシ・バルブド　プルメル　エスティオコ・ピエール　アレック・ロバート　モリアーティ

▌授業の概要

A compulsory first-semester course in the second year of the ILP. This integrated English course aims to further improve and expand students' speaking and listening skills. Students will be expected to demonstrate a range of discussions skills learned in the first year to express opinions on a various topics with clearly supported examples and reasons as well as demonstrate active listening skills. Greater emphasis will be placed on critical reasoning and the use of evidence to support opinions. Class sizes are generally kept small.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：In this course, students will develop, expand, and strengthen skills that focus on general academic language, narrative and descriptive language, and opinion-stating/discussion language. Through a variety of integrated tasks, students will be encouraged to demonstrate their proficiency in these skills through logical reasoning and the use of evidence from outside sources.

個別目標：By the end of this course, students will have achieved a solid foundation in their English communicative skills that can be applied to academic and business settings. Students will be able to demonstrate the skills and abilities necessary to narrate events and participate in meaningful discussions on global issues.

▌履修条件

It is recommended that students take Integrated English Ⅰ and Ⅱ prior to taking this course. Attendance at more than 80% of the classes is required.

▌評価基準・方法

Students are evaluated via a speaking test (30%), module performance assessments (30%) and coursework and active participation [interactive discussions, English Zone visits, workbook] (40%). Feedback and assessments will be given in class or on manaba. Please consult your instructor.

▌フィードバック方法

Students will be given oral and written feedback both in class and on manaba. Rubrics will be used to give feedback on performance assessments. Learner-centered self-assessment will also be emphasized throughout this course.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Pair work and group work）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

A-D classes: materials will be provided by the instructor

▌参考書

Supplementary materials will be handed out by the instructor and available online.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Course Introductions** 授業内容：Students learn about the syllabus and course schedule. Students take part in group and pair activities to build a positive class atmosphere. Students visit the English Zone. 事前学修 0.5hr：Prepare information on yourself 事後学修 2.0hr：Review first-year course materials	16回	**授業テーマ：Module 2: Lesson 6** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students complete their task preparations and practice for the final performance. 事前学修 1.0hr：Preview lesson and prepare for fluency activity 事後学修 2.0hr：Review lesson and complete assigned work
2回	**授業テーマ：Progress Check 1** 授業内容：Students will be given a progress check to measure their starting point for the four skills of speaking, listening, reading and writing. 事前学修 1.0hr：Review first-year course material 事後学修 2.0hr：Complete assigned work.	17回	**授業テーマ：Integrated Task 2** 授業内容：Students perform the assigned task to all classes. Students receive oral and/or written feedback on their performance. 事前学修 1.0hr：Preview lesson and prepare for fluency activity 事後学修 2.0hr：Review lesson and complete assigned work
3回	**授業テーマ：Communication Orientation** 授業内容：Students will take part in various guided fluency activities to build the communicative skills needed for the Integrated English course. 事前学修 1.0hr：Review first-year discussion skills 事後学修 2.0hr：Complete assigned work	18回	**授業テーマ：Module 3: Introduction: Business and Entrepreneurship** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students are introduced to the topic and work through course materials, including vocabulary and speaking exercises. 事前学修 1.0hr：Preview lesson and prepare for fluency activity 事後学修 2.0hr：Review lesson and complete assigned work
4回	**授業テーマ：Module 1: Introduction: Healthy Living** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students are introduced to topic and work through course materials, including vocabulary and speaking exercises. 事前学修 1.0hr：Preview lesson and prepare for fluency activity 事後学修 2.0hr：Review lesson and complete assigned work	19回	**授業テーマ：Module 3: Lesson 2** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students deepen knowledge of the topic and work through course materials, including vocabulary and speaking exercises. 事前学修 1.0hr：Preview lesson and prepare for fluency activity 事後学修 2.0hr：Review lesson and complete assigned work
5回	**授業テーマ：Module 1: Lesson 2** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students deepen knowledge of the topic and work through course materials, including vocabulary and speaking exercises. 事前学修 1.0hr：Preview lesson and prepare for fluency activity 事後学修 2.0hr：Review lesson and complete assigned work	20回	**授業テーマ：Module 3: Lesson 3** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students deepen knowledge of the topic and work through course materials, including vocabulary and speaking exercises. 事前学修 1.0hr：Preview lesson and prepare for fluency activity 事後学修 2.0hr：Review unit content and prepare for task
6回	**授業テーマ：Module 1: Lesson 3** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students watch a video on the unit topic and discuss the topic in groups and pairs. 事前学修 1.0hr：Preview lesson and prepare for fluency activity 事後学修 2.0hr：Review lesson and complete assigned work	21回	**授業テーマ：Module 3: Lesson 4** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students deepen knowledge of the topic and work through course materials, including vocabulary and speaking exercises. 事前学修 2.0hr：Prepare for integrated task 2 事後学修 2.0hr：Complete assigned work

7回	**授業テーマ：Module 1: Lesson 4** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students continue to deepen knowledge of the topic and work through course materials, including vocabulary and speaking exercises. 事前学修 1.0hr：Preview lesson and prepare for fluency activity 事後学修 2.0hr：Review lesson and complete assigned work	22回	**授業テーマ：Module 3: Lesson 5** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students collaborate in groups to prepare for their ideas for the final task. 事前学修 2.0hr：Prepare news topic to share 事後学修 2.0hr：Review lesson and complete assigned work
8回	**授業テーマ：Module 1: Merge Lesson** 授業内容：Instructors and students combine classes and apply the learned material in communicative discussions and information-sharing activities. 事前学修 1.0hr：Review discussion skills and Module 1 content and vocabulary 事後学修 2.0hr：Review unit content and prepare for task	23回	**授業テーマ：Integrated Task 3** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students perform the assigned task. Students receive oral and/or written feedback on their performance. 事前学修 2.0hr：Prepare for Integrated Task 3 事後学修 2.0hr：Review lesson and complete assigned work
9回	**授業テーマ：Integrated Task 1** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students perform the assigned task. Students receive oral and/or written feedback on their performance. 事前学修 2.0hr：Prepare for Integrated Task 1 事後学修 2.0hr：Complete assigned work	24回	**授業テーマ：Integrated English Speaking Test Review (1)** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students review the discussion skills and practice the test format with their partner. Students practice giving opinions with reasons. 事前学修 2.0hr：Review all course materials 事後学修 2.0hr：Prepare and practice for the final Speaking Test (1)
10回	**授業テーマ：EIKEN Interview Practice Lesson** 授業内容：Students practice skills necessary to successfully take part in the interview section of the EIKEN exam. 事前学修 1.0hr：Preview opinion-stating and narrative language 事後学修 2.0hr：Complete assigned work	25回	**授業テーマ：Integrated English Speaking Test Review (2)** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students review the discussion skills and practice the test format with their partner. Students practice problem-solving activities. 事前学修 3.0hr：Review all course materials 事後学修 3.0hr：Prepare and practice for final Speaking Test (2)
11回	**授業テーマ：Module 2: Introduction: Learning from the Past** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students are introduced to the topic and work through course materials, including vocabulary and speaking exercises. 事前学修 1.0hr：Preview lesson and prepare for fluency activity 事後学修 2.0hr：Review lesson and complete assigned work	26回	**授業テーマ：I.E. Speaking Test (1)** 授業内容：In pairs, students give opinions supported by reasons about topics related to the units studied in the first term. The test is administered by another course instructor. 事前学修 3.0hr：Review vocabulary, discussion skills and course content 事後学修 4.0hr：Complete self-reflection worksheet
12回	**授業テーマ：Module 2: Lesson 2** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students watch a video on the unit topic and discuss the topic in groups and pairs. 事前学修 1.0hr：Preview lesson and prepare for fluency activity 事後学修 2.0hr：Review lesson and complete assigned work	27回	**授業テーマ：I.E. Speaking Test (2)** 授業内容：In pairs, students must rank and discuss solutions about a topic related to the units studied in the first term. The test is administered by another course instructor. 事前学修 3.0hr：Review vocabulary, discussion skills and course content 事後学修 4.0hr：Complete goal worksheet
13回	**授業テーマ：Module 2: Lesson 3** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students continue to deepen knowledge of the topic and work through course materials, including vocabulary and speaking exercises. 事前学修 1.0hr：Preview lesson and prepare for fluency activity 事後学修 2.0hr：Review lesson and complete assigned work	28回	**授業テーマ：Progress Check 2** 授業内容：Students will be given a progress check to measure their end-of-term point for the four skills of speaking, listening, reading and writing. 事前学修 3.0hr：Review all course materials 事後学修 2.0hr：Complete assigned work
14回	**授業テーマ：Module 2: Lesson 4** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students engage in research activities and collaborate on the task material. 事前学修 1.0hr：Preview lesson and prepare for fluency activity 事後学修 2.0hr：Review unit content and prepare for task	29回	**授業テーマ：Current Events (1)** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students prepare a news topic to share and discuss in pairs and groups with members from other classes. 事前学修 3.0hr：Review course vocabulary 事後学修 2.0hr：Complete assigned work
15回	**授業テーマ：Module 2: Lesson 5** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students collaborate in teams on their task project. 事前学修 2.0hr：Prepare for Integrated Task 2 事後学修 2.0hr：Complete assigned work	30回	**授業テーマ：Student Consultations** 授業内容：Students receive individual feedback from the instructor on their performance in the course. Students are expected to reflect on their performance and set goals for the next term. 事前学修 2.0hr：Make sure all assignments are complete 事後学修 4.0hr：Complete assigned summer homework

Integrated English Ⅳ

開講学科等：英 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 2

キーネン　ディナ　クリスチャンセン・コマンドュリ　シリーシャ・タイソン　ロード・ティモシー　オピツ・パトリツィア　ハヤシ・バルブド　プルメル　エスティオコ・ピエール　アレック・ロバート　モリアーティ

▌授業の概要

Building on the integrated language skills and abilities learned in Integrated English I-III, students will be able to actively express themselves through a broad spectrum of communicative forms. As this is the final course in a two-year program, students will be expected to research current issues in depth, present their findings with logical reasoning and supporting evidence, and then discuss their opinions and what they learned by articulating their viewpoints. Class sizes are generally kept small.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：In this course, students will develop, expand, and strengthen skills that focus on general academic language, narrative and descriptive language, and opinion-stating/discussion language. Through a variety of integrated tasks, students will be encouraged to demonstrate their proficiency in these skills.

個別目標：By the end of this course, students will have achieved a solid foundation in their English communicative skills that can be applied to academic and business settings. Students will be able to demonstrate the skills and abilities necessary to narrate events and participate in meaningful discussions on global issues.

▌履修条件

It is recommended that students take Integrated English Ⅰ and Ⅱ in the first year, and Integrated English III, prior to taking this course. Attendance at more than 80% of the classes is required.

▌評価基準・方法

Students are evaluated via a speaking test (30%), module performance assessments (30%) and coursework and active participation [pair/group work, interactive discussion, English Zone visits] (40%). Feedback and assessments will be given in class or on manaba. Please consult your instructor.

▌フィードバック方法

Students will be given oral and written feedback both in class and on manaba. Rubrics will be used to give feedback on performance assessments. Learner-centered self-assessment will also be emphasized throughout this course.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Pair work and group work）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

A-D classes: Materials will be provided by the instructor

▌参考書

Supplementary materials will be handed out by the instructor and available online.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Course Introductions** 授業内容：Students learn about the syllabus and course schedule. Students take part in group and pair activities to build a positive class atmosphere. Students present their summer homework. 事前学修 0.5hr：Prepare information on yourself 事後学修 2.0hr：Review course materials and complete assigned work	16回	**授業テーマ：Module 5: Global Issues 2: Lesson 3** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students engage in activities that apply discussion skills, vocabulary and content for active discussion and that raise critical thinking. 事前学修 1.0hr：Preview lesson and prepare for fluency activity 事後学修 2.0hr：Review lesson and complete assigned work
2回	**授業テーマ：Progress Check Feedback** 授業内容：Students will receive feedback on their first-term progress check performance. Students will set goals for the second term to improve their four skills. 事前学修 2.0hr：Review previous term skills 事後学修 2.0hr：Complete assigned work	17回	**授業テーマ：Module 5: Global Issues 2: Lesson 4** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students continue to deepen knowledge of the topic and work through course materials, including vocabulary and speaking exercises. 事前学修 1.0hr：Preview lesson and prepare for fluency activity 事後学修 2.0hr：Review lesson and complete assigned work
3回	**授業テーマ：Communication Orientation** 授業内容：Students will take part in various guided fluency activities to build the communicative skills needed for the Integrated English course. 事前学修 1.0hr：Preview assigned material 事後学修 2.0hr：Complete assigned work	18回	**授業テーマ：Module 5: Global Issues 2: Discussion** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students participate in in-depth discussions on the topic, employing various discussion skills strategies. 事前学修 1.0hr：Preview lesson and prepare for fluency activity 事後学修 2.0hr：Review lesson and complete assigned work
4回	**授業テーマ：Module 4: Global Issues 1: Introduction** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students are introduced to a global topic and work through course materials, including vocabulary and speaking exercises. 事前学修 1.0hr：Preview lesson and prepare for fluency activity 事後学修 2.0hr：Review lesson and complete assigned work	19回	**授業テーマ：Module 5: Global Issues 2: Critical Thinking Practice** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students learn about critical thinking and practice its applications. 事前学修 1.0hr：Preview lesson and prepare for fluency activity 事後学修 2.0hr：Review lesson and complete assigned work
5回	**授業テーマ：Module 4: Global Issues 1: Lesson 2** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students deepen knowledge of the topic and work through course materials, including vocabulary and speaking exercises. 事前学修 1.0hr：Preview lesson and prepare for fluency activity 事後学修 2.0hr：Review lesson and complete assigned work	20回	**授業テーマ：Module 5: Global Issues 2: Critical Thinking Activity** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students actively engage in activities that encourage them to build and expand their critical thinking skills. 事前学修 1.0hr：Preview lesson and prepare for fluency activity 事後学修 2.0hr：Review unit content and prepare for task
6回	**授業テーマ：Module 4: Global Issues 1: Lesson 3** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students watch a video on the unit topic and discuss the topic in groups and pairs. 事前学修 1.0hr：Preview lesson and prepare for fluency activity 事後学修 2.0hr：Review lesson and complete assigned work	21回	**授業テーマ：Module 5: Merge Lesson** 授業内容：Instructors and students combine classes and apply the learned material in communicative discussions and information-sharing activities. 事前学修 1.0hr：Preview lesson material 事後学修 2.0hr：Complete assigned work

7回	**授業テーマ：EIKEN Interview Practice Lesson** 授業内容：Students practice skills necessary to successfully take part in the interview section of the EIKEN exam. 事前学修 2.0hr：Review opinion-stating and narrative language 事後学修 2.0hr：Review lesson and complete assigned work	22回	**授業テーマ：Integrated Task 2** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students perform the assigned task. Students receive oral and/or written feedback on their performance. 事前学修 2.0hr：Prepare for integrated task 2 事後学修 2.0hr：Complete assigned work
8回	**授業テーマ：Module 4: Global Issues 1: Lesson 4** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students engage in activities that apply discussion skills, vocabulary and content for active discussion and that raise critical thinking. 事前学修 1.0hr：Preview lesson and prepare for fluency activity 事後学修 2.0hr：Review unit content and prepare for task	23回	**授業テーマ：Current Events (1)** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students prepare a news topic to share and discuss with members from other classes. Students build their critical thinking and media literacy. 事前学修 2.0hr：Prepare news topic to share 事後学修 2.0hr：Review lesson and complete assigned work
9回	**授業テーマ：Module 4: Global Issues 1: Discussion** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students participate in in-depth discussions on the topic, employing various discussion skills strategies. 事前学修 1.0hr：Preview lesson material 事後学修 2.0hr：Complete assigned work	24回	**授業テーマ：Current Events (2)** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students prepare a news topic to share and discuss with members from other classes. Students build their critical thinking and media literacy. 事前学修 2.0hr：Prepare news topic to share 事後学修 2.0hr：Review discussion skills, vocabulary, and content for speaking test
10回	**授業テーマ：Module 4: Global Issues 1: Critical Thinking Practice** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students learn about critical thinking and practice its applications. 事前学修 1.0hr：Preview lesson and prepare for fluency activity 事後学修 2.0hr：Review lesson and complete assigned work	25回	**授業テーマ：Integrated English Speaking Test Review (1)** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students review the discussion skills and practice the test format with their partner. Students practice giving opinions with reasons. 事前学修 3.0hr：Review all course materials 事後学修 3.0hr：Prepare and practice for final speaking test
11回	**授業テーマ：Module 4: Global Issues 1: Critical Thinking Activity** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students actively engage in activities that encourage them to build and expand their critical thinking skills. 事前学修 1.0hr：Preview lesson and prepare for fluency activity 事後学修 2.0hr：Review lesson and complete assigned work	26回	**授業テーマ：Integrated English Speaking Test Review (2)** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students review the discussion skills and practice the test format with their partner. Students practice giving opinions with reasons. 事前学修 3.0hr：Review all course materials 事後学修 4.0hr：Prepare and practice for final Speaking Test (1)
12回	**授業テーマ：Module 4: Global Issues 1: Merge Lesson** 授業内容：Instructors and students combine classes and apply the learned material in communicative discussions and information-sharing activities. 事前学修 1.0hr：Preview lesson materials 事後学修 2.0hr：Review lesson and complete assigned work	27回	**授業テーマ：I.E. Speaking Test (1)** 授業内容：In pairs, students give opinions supported by reasons about topics related to the units studied in the first term. The test is administered by another course instructor. 事前学修 3.0hr：Review all course materials 事後学修 4.0hr：Prepare and practice for final Speaking Test (2)
13回	**授業テーマ：Integrated Task 1** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students perform the assigned task. Students receive oral and/or written feedback on their performance. 事前学修 1.0hr：Preview lesson and prepare for fluency activity 事後学修 2.0hr：Review lesson and complete assigned work	28回	**授業テーマ：I.E. Speaking Test (2)** 授業内容：In pairs, students give opinions supported by reasons about topics related to the units studied in the first term. The test is administered by another course instructor. 事前学修 2.0hr：Review vocabulary, discussion skills and course content 事後学修 2.0hr：Complete self-reflection worksheet
14回	**授業テーマ：Module 5: Global Issues 2: Lesson 1** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students are introduced to a global topic and work through course materials, including vocabulary and speaking exercises. 事前学修 1.0hr：Preview lesson and prepare for fluency activity 事後学修 2.0hr：Review unit content and prepare for task	29回	**授業テーマ：Progress Check 2** 授業内容：Students will be given a progress check to measure their end-of-term point for the four skills of speaking, listening, reading and writing. 事前学修 2.0hr：Review vocabulary, discussion skills and course content 事後学修 2.0hr：Complete goal worksheet
15回	**授業テーマ：Module 5: Global Issues 2: Lesson 2** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students deepen knowledge of the topic and work through course materials, including vocabulary and speaking exercises. 事前学修 2.0hr：Prepare for integrated task 2 事後学修 2.0hr：Complete assigned work	30回	**授業テーマ：Student Consultations** 授業内容：Students receive individual feedback from the instructor on their performance in the course. Students are expected to reflect on their performance and set goals for their English study. 事前学修 2.0hr：Make sure all assignments are complete 事後学修 4.0hr：Make a plan for English study

Grammar a

開講学科等：英 ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：前

河原 伸一（かわはら しんいち）・**篠塚 勝正**（しのづか かつまさ）・**辰己 雄太**（たつみ ゆうた）・**長谷川 奈緒美**（はせがわ なおみ）

▌授業の概要

Intensive Language Program (ILP) を構成する 1 年次前学期必修科目の一つ。学生の文法知識を、コミュニケーション力の向上を目指す作業や課題を通して活性化または強化することによって、静的知識ではなく実際に使うことができる能動的技能に高めることを目的とする。そのため、一方的な知識の伝授とせず、学生たちの積極的な取り組みを重視する。進級要件の早期達成とともに、次の達成目標実現のため徹底的な問題演習を行い、4 技能の根幹をなす文法知識を涵養する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：中・高で学んだ基本的な英文法の項目を英語で理解することができる。
　　学んだ文法知識を、実際のコミュニケーションの場で活用することができる。
個別目標：・現在形、現在進行形等について理解する
　　・完了形について理解する
　　・未来表現について理解する
　　・仮定法について理解する

▌履修条件

指定されたクラスで受講すること。

▌評価基準・方法

５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。評点の内訳は、授業に対する貢献・小テストの成績・課題の提出状況等の総合評価 40 %、学期末定期試験の結果 60 %とする。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、対面授業時、または学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション・ディベート、グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

渡辺雅仁(翻訳) 2021.『マーフィーのケンブリッジ英文法(中級編)第 4 版』(ケンブリッジ大学出版局)

▌参考書

必要に応じて指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション(受講上の注意など)、English Grammar Self-Check Test 1 の実施** 授業内容：講義の計画、受講上の注意や評価基準などを説明する。また、現段階での文法知識を確認するためにテストを実施する。 事前学修 1.0hr：講義概要を読み、授業内容・授業方針を把握する。 事後学修 2.0hr：指定テキストを購入し、全体に目を通す。English Grammar Self-Check Test 1 の正解を確認する。
2回	**授業テーマ：Units 1-3（現在形、過去形、現在進行形、過去進行形１）** 授業内容：英語の時制について、現在形とそれに関連する文法項目を学習する。学習した内容を踏まえ、自身で適切な英文を作れるように演習問題に取り組む。 事前学修 2.0hr：テキストの対応範囲を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
3回	**授業テーマ：Units 4-6（現在形、過去形、現在進行形、過去進行形２）** 授業内容：英語の時制について、過去形とそれに関連する文法項目を学習する。また、進行形と組み合わせて、自身で適切な英文を作れるように演習問題に取り組む。 事前学修 2.0hr：テキストの対応範囲を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
4回	**授業テーマ：Units 7-9（現在完了形など）** 授業内容：英語の完了形について、現在時制の文法と組み合わせながら、文法項目を学習する。学習した内容を踏まえ、自身で適切な英文を作れるように演習問題に取り組む。 事前学修 2.0hr：テキストの対応範囲を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
5回	**授業テーマ：Units 10-13（現在完了進行形など）** 授業内容：英語の完了形を、進行形などの文法と組み合わせながら学習する。学習した内容を踏まえ、自身で適切な英文を作れるように演習問題に取り組む。 事前学修 2.0hr：テキストの対応範囲を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
6回	**授業テーマ：Units 14-17（過去完了形など）** 授業内容：英語の完了形を、過去形などの文法と組み合わせながら学習する。学習した内容を踏まえ、自身で適切な英文を作れるように演習問題に取り組む。 事前学修 2.0hr：テキストの対応範囲を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
7回	**授業テーマ：Units 18-21（未来表現１）** 授業内容：英語の未来表現についての文法を理解する。特に、will と be going to の文法的な違いを学習する。 事前学修 2.0hr：テキストの対応範囲を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
8回	**授業テーマ：Units 22-24（未来表現２）** 授業内容：これまでに学習してきた時制に関する文法項目と関係づけながら、英語の未来表現について学習する。 事前学修 2.0hr：テキストの対応範囲を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
9回	**授業テーマ：Units 25-27（法助動詞１）** 授業内容：can/could などを中心に、英語の法助動詞の文法を理解する。学習した内容を踏まえ、自身で適切な英文を作れるように演習問題に取り組む。 事前学修 2.0hr：テキストの対応範囲を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。

10回	**授業テーマ：Units 28-35（法助動詞2）、English Grammar Self-Check Test 1（中間）実施** 授業内容：may/might などを中心に、英語の法助動詞の文法を理解する。また、これまで学習してきた文法項目の理解度を確認するために、テストを実施する。 事前学修 2.0hr：テキストの対応範囲を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
11回	**授業テーマ：Units 36-37（仮定法過去など）** 授業内容：英語の仮定法についての文法を学習する。特に、仮定法で使用される時制や法助動詞に注目して、英文のより正確な文法的理解を目指す。 事前学修 2.0hr：テキストの対応範囲を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
12回	**授業テーマ：Units 38(仮定法過去完了), Unit 32(仮定法現在), Unit 115(D)（as if と仮定法）** 授業内容：英語の仮定法に関して、時制の違いに注目しながら文法を学習する。学習した文法知識を使い、それぞれの英文の細かな意味の違いを理解できるようになる。 事前学修 2.0hr：テキストの対応範囲を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
13回	**授業テーマ：仮定法の総まとめ（Units 32, 36, 37, 38, 115 (D) を中心に）** 授業内容：仮定法について、演習問題に取り組みながら、これまで学んだ文法項目の総合的な理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの対応範囲を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
14回	**授業テーマ：前学期授業の振り返り** 授業内容：これまで学習してきた文法項目を復習し、体系的な知識として理解を深める。また、学習した文法項目が身についているかを、演習を通して確認する。 事前学修 1.0hr：テキストの対応範囲を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
15回	**授業テーマ：English Grammar Self-Check Test 1（学期末）実施、総括** 授業内容：これまで学習してきた文法の知識が身についているかを確認するために、テストを実施する。またその結果を踏まえて、自身の弱点などを見直す。 事前学修 2.0hr：前学期に学んだ内容を振り返っておく。 事後学修 1.0hr：English Grammar Self-Check Test 1 の正解を確認する。担当教員による総復習を踏まえ、自分の弱点を補強する。

Grammar b

開講学科等：英 ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：後

河原 伸一（かわはら しんいち）・**篠塚 勝正**（しのづか かつまさ）・**辰己 雄太**（たつみ ゆうた）・**長谷川 奈緒美**（はせがわ なおみ）

▌授業の概要

Intensive Language Program (ILP) を構成する 1 年次後学期必修科目の一つ。学生の文法知識を、コミュニケーション力の向上を目指す作業や課題を通して活性化または強化することによって、静的知識ではなく実際に使うことができる能動的技能に高めることを目的とする。そのため、一方的な知識の伝授とせず、学生たちの積極的な取り組みを重視する。進級要件の早期達成とともに、次の達成目標実現のため徹底的な問題演習を行い、4 技能の根幹をなす文法知識を涵養する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：中・高で学んだ基本的な英文法の項目を英語で理解することができる。
　　学んだ文法知識を、実際のコミュニケーションの場で活用することができる。
個別目標：・受動態を理解する
　　・動名詞を理解する
　　・to 不定詞を理解する
　　・関係節を理解する

▌履修条件

指定されたクラスで受講すること。

▌評価基準・方法

５分の４以上の出席を評価の前提とする。評点の内訳は、授業に対する貢献・小テストの成績・課題の提出状況等の総合評価 40 %、学期末定期試験の結果 60 %とする。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、対面授業時、または学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション・ディベート、グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

渡辺雅仁(翻訳) 2021.『マーフィーのケンブリッジ英文法(中級編)第 4 版』(ケンブリッジ大学出版局)

▌参考書

必要に応じて指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション(受講上の注意など)、English Grammar Self-Check Test 2 の実施** 授業内容：講義の計画、受講上の注意や評価基準などを説明する。また、現段階での文法知識を確認するためにテストを実施する。 事前学修 1.0hr：講義概要を読み、授業内容・授業方針を把握する。 事後学修 2.0hr：指定テキストの後半部に目を通しておく。English Grammar Self-Check Test 2 の正解を確認する。
2回	**授業テーマ：Units 40-41（受動態１）** 授業内容：英語の受動態について、文法項目を学習する。学習した内容を踏まえて、能動態と受動態を適切に使い分けられるように演習問題に取り組む。 事前学修 2.0hr：テキストの対応範囲を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
3回	**授業テーマ：Units 42-44（受動態２）** 授業内容：英語の受動文について文法知識を学習し、関連する英語表現を適切に使いこなせるように演習問題に取り組む。 事前学修 2.0hr：テキストの対応範囲を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
4回	**授業テーマ：Units 45-46（間接話法）** 授業内容：英語の間接話法について文法を学習する。特に、直接話法との違いを正確に理解し、自身で使いこなせるように演習問題に取り組む。 事前学修 2.0hr：テキストの対応範囲を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
5回	**授業テーマ：Units 47-50（疑問文、間接疑問文、付加疑問など）** 授業内容：英語の疑問文について文法を学習する。特に、間接話法についての文法知識を踏まえて、適切な英文を作れるように演習問題に取り組む。 事前学修 2.0hr：テキストの対応範囲を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
6回	**授業テーマ：Units 51-53（動名詞と to 不定詞１）** 授業内容：英語の動名詞と to 不定詞についての文法知識を学ぶ。動詞によって適切な動名詞と to 不定詞を選択できるように、演習問題に取り組む。 事前学修 2.0hr：テキストの対応範囲を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
7回	**授業テーマ：Units 54-56（動名詞と to 不定詞２）** 授業内容：英語の動名詞と to 不定詞についての文法知識を学ぶ。特に、その意味の違いについて理解を深められるように、演習問題に取り組む。 事前学修 2.0hr：テキストの対応範囲を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
8回	**授業テーマ：Units 67-69（冠詞と名詞１）** 授業内容：英語の冠詞と名詞の組み合わせについての文法項目を学習する。名詞の種類、単数・複数の区別に注意しながら、適切な冠詞が使えるように演習問題に取り組む。 事前学修 2.0hr：テキストの対応範囲を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
9回	**授業テーマ：Units 70-73（冠詞と名詞２(a/an と the の用法)）** 授業内容：英語の冠詞と名詞に関連する文法項目を学習する。特に、定冠詞と不定冠詞の使い分けをきちんと身につけられるように、演習問題に取り組む。 事前学修 2.0hr：テキストの対応範囲を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。

10回	**授業テーマ：Units 90-92（関係詞節１）、English Grammar Self-Check Test 2（中間）実施** 授業内容：英語の関係詞節についての文法を学習する。また、これまで学習してきた文法項目の理解度を確認するために、テストを実施する。 事前学修 2.0hr：テキストの対応範囲を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
11回	**授業テーマ：Units 93-94（関係詞節２）** 授業内容：英語の関係詞節に関する文法知識を学習する。特に、関係詞節の意味の違いが判断できるように、演習問題に取り組む。 事前学修 2.0hr：テキストの対応範囲を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
12回	**授業テーマ：Units 95,96, 66（現在分詞と分詞構文）** 授業内容：英語の現在分詞と分詞を使った構文について、文法的な性質を学習する。特に名詞とどのような修飾関係になっているのかを正確に判断できるように、演習問題に取り組む。 事前学修 2.0hr：テキストの対応範囲を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
13回	**授業テーマ：Units 97-99（形容詞と副詞）** 授業内容：英語の形容詞と副詞について、文法的な性質を学習する。それぞれの品詞の文法的な特徴を理解し、適切に使い分けられるように演習問題に取り組む。 事前学修 2.0hr：テキストの対応範囲を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
14回	**授業テーマ：Units 118-125（様々な前置詞）** 授業内容：英語の前置詞について、文法的な性質を学習する。前置詞だけではなく、前置詞を含む熟語表現なども理解し、適切に使いこなせるようになることを目指す。 事前学修 2.0hr：テキストの対応範囲を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
15回	**授業テーマ：English Grammar Self-Check Test 2（学期末）実施、後学期の総括** 授業内容：これまで学習してきた文法の知識が身についているかを確認するために、テストを実施する。また、その結果を踏まえて、自身の弱点などを見直す。 事前学修 3.0hr：後学期に学んだ内容を振り返っておく。 事後学修 1.0hr：担当教員による総復習をふまえ、自分の弱点を補強する。

Reading Ⅰ-a

開講学科等：英 ｜ 1年次 ｜ 1単位 ｜ 開講期：前

海谷　千波（かいや　ちなみ）・**長谷川　奈緒美**（はせがわ　なおみ）・**松堂　啓子**（まつどう　ひろこ）・**ロバート　モリアーティ**

▌授業の概要

This course is a required course in the first semester of the first year of the Intensive Language Program (ILP). Of the four proficiencies, it focuses mainly on reading by developing basic reading skills and strengthening vocabulary and grammar skills. Through the selection of reading materials which cover a variety of topics (e.g., animals, music, space, city life) and stimulate intellectual curiosity, the course aims to enable students to acquire the reading skills necessary for intensive reading.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：To be able to use various reading strategies to understand various types of texts.

個別目標：The specific goals of the course are:

1. to learn multiple reading strategies (e.g., skimming, scanning, identifying main ideas and supporting details/reasons, summarizing).
2. to be able to infer meaning from context.
3. to be able to discuss and share one' s ideas and opinions with others, based on the text.
4. to attain a CEFR A2-B1 reading level.

▌履修条件

There are no prerequisites for this course.

▌評価基準・方法

Students will be evaluated for this course via Active Participation and Class Activities (30%), Quizzes (40%), and a Final Examination (30%). Feedback and assessments will be given in class or on manaba. Please consult your instructor.

▌フィードバック方法

Students will receive both oral and written feedback in class and on manaba. Feedback will be given on quizzes and other assignments.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Pair work and group work）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

A, B, C, & D Classes: Douglas, N. & Bohlke, D. (2020). Reading Explorer I (3rd edition). Cengage Learning.

Repeaters Class: Uemura, A. & Yamashina, M. (2011). Mystery Tour with Sherlock Holmes. Cengage Learning.

▌参考書

To be Announced

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Course Orientation & EIKEN Reading** 授業内容：Students learn about the syllabus and course schedule. Students participate in group and pair activities to build a positive communicative class atmosphere. Students complete an EIKEN reading. 事前学修 1.0hr：Preview Unit Course Syllabus 事後学修 1.0hr：Complete assigned work. Create a study plan.
2回	**授業テーマ：Chapter 1: Amazing Animals** 授業内容：Students read the passage silently and look up words they do not know. They practice reading the passage aloud and answer the reading comprehension questions and reading skills exercises. 事前学修 1.0hr：テキストの予習(新出単語の意味を調べる、音読、構文の確認、文章全体の要約等) 事後学修 1.0hr：Review the text, complete the assignments and prepare for the quiz.
3回	**授業テーマ：Chapter 1: Amazing Animals** 授業内容：Students review the reading passage for fluency. They complete the vocabulary exercises in the textbook. Then they watch the video and complete the video exercises. 事前学修 1.0hr：Preview text: look up new words, read aloud, check grammar, etc. 事後学修 1.0hr：Review the text, complete the assignments and prepare for the quiz.
4回	**授業テーマ：Chapter 2: Travel & Adventure** 授業内容：Students read the passage silently and look up words they do not know. They practice reading the passage aloud and answer the reading comprehension questions and reading skills exercises. 事前学修 1.0hr：Preview text: look up new words, read aloud, check grammar, etc. 事後学修 1.0hr：Review the text, complete the assignments and prepare for the quiz.
5回	**授業テーマ：Chapter 2: Travel & Adventure** 授業内容：Students review the reading passage for fluency. They complete the vocabulary exercises in the textbook. Then they watch the video and complete the video exercises. 事前学修 1.0hr：Preview text: look up new words, read aloud, check grammar, etc. 事後学修 1.0hr：Review the text, complete the assignments and prepare for the quiz.
6回	**授業テーマ：Chapter 3: The Power of Music** 授業内容：Students read the passage silently and look up words they do not know. They practice reading the passage aloud and answer the reading comprehension questions and reading skills exercises. 事前学修 1.0hr：Preview text: look up new words, read aloud, check grammar, etc. 事後学修 1.0hr：Review the text, complete the assignments and prepare for the quiz.
7回	**授業テーマ：Chapter 3: The Power of Music** 授業内容：Students review the reading passage for fluency. They complete the vocabulary exercises in the textbook. Then they watch the video and complete the video exercises. 事前学修 1.0hr：Preview text: look up new words, read aloud, check grammar, etc. 事後学修 1.0hr：Review the text, complete the assignments and prepare for the quiz.
8回	**授業テーマ：Chapter 4: Into Space** 授業内容：Students read the passage silently and look up words they do not know. They practice reading the passage aloud and answer the reading comprehension questions and reading skills exercises. 事前学修 1.0hr：Preview text: look up new words, read aloud, check grammar, etc. 事後学修 1.0hr：Review the text, complete the assignments and prepare for the quiz.

9回	**授業テーマ：Chapter 4: Into Space** 授業内容：Students review the reading passage for fluency. They complete the vocabulary exercises in the textbook. Then they watch the video and complete the video exercises. 事前学修 1.0hr：Preview text: look up new words, read aloud, check grammar, etc. 事後学修 1.0hr：Review the text, complete the assignments and prepare for the quiz.
10回	**授業テーマ：Chapter 5: City Life** 授業内容：Students read the passage silently and look up words they do not know. They practice reading the passage aloud and answer the reading comprehension questions and reading skills exercises. 事前学修 1.0hr：Preview text: look up new words, read aloud, check grammar, etc. 事後学修 1.0hr：Review the text, complete the assignments and prepare for the quiz.
11回	**授業テーマ：Chapter 5: City Life** 授業内容：Students review the reading passage for fluency. They complete the vocabulary exercises in the textbook. Then they watch the video and complete the video exercises. 事前学修 1.0hr：Preview text: look up new words, read aloud, check grammar, etc. 事後学修 1.0hr：Review the text, complete the assignments and prepare for the quiz.
12回	**授業テーマ：Chapter 6: Backyard Discoveries** 授業内容：Students read the passage silently and look up words they do not know. They practice reading the passage aloud and answer the reading comprehension questions and reading skills exercises. 事前学修 1.0hr：Preview text: look up new words, read aloud, check grammar, etc. 事後学修 1.0hr：Review the text, complete the assignments and prepare for the quiz.
13回	**授業テーマ：Chapter 6: Backyard Discoveries** 授業内容：Students review the reading passage for fluency. They complete the vocabulary exercises in the textbook. Then they watch the video and complete the video exercises. 事前学修 1.0hr：Preview text: look up new words, read aloud, check grammar, etc. 事後学修 1.0hr：Review the text, complete the assignments and prepare for the quiz.
14回	**授業テーマ：Eiken Reading** 授業内容：Students complete another EIKEN reading passage and answer comprehension questions about the passage. Students should review and use all of the reading strategies learned this semester. 事前学修 1.0hr：Preview text: look up new words, read aloud, check grammar, etc. 事後学修 1.0hr：Review the text, complete the assignments and prepare for the quiz.
15回	**授業テーマ：Review & Reflection** 授業内容：Students should review all of the passages in Chapter 1 to Chapter 6 of the textbook and review the accompanying exercises using all of the reading strategies learned this semester. 事前学修 1.0hr：Review Chapters 1-6 事後学修 1.0hr：Review the course material

Reading Ⅰ-b

開講学科等：英 ｜ 1年次 ｜ 1単位 ｜ 開講期：後

海谷　千波（かいや　ちなみ）・**長谷川　奈緒美**（はせがわ　なおみ）・**松堂　啓子**（まつどう　ひろこ）・**ロバート　モリアーティ**

▌授業の概要

This course is a required course in the second semester of the first year of the Intensive Language Program (ILP). The overview of the course is the same as that of Reading I-a. Additional reading skills will be learned, such as annotating, understanding quotations, inferring meaning from context, and summarizing). (Note: Reading I-a and Reading I-b are independent one-semester courses. Therefore, students who have not completed Reading I-a can take I-b.)

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：To be able to use various reading strategies to understand various types of texts.

個別目標：The specific goals of the course are:

1. to learn multiple reading strategies (e.g., skimming, scanning, identifying main ideas and supporting details/reasons, summarizing).
2. to be able to infer meaning from context.
3. to be able to discuss and share one's ideas and opinions with others, based on the text.
4. to attain a CEFR A2-B1 reading level.

▌履修条件

There are no prerequisites for this course.

▌評価基準・方法

Students will be evaluated for this course via Active Participation and Class Activities (30%), Quizzes (40%), and a Final Examination (30%). Feedback and assessments will be given in class or on manaba. Please consult your instructor.

▌フィードバック方法

Students will receive both oral and written feedback in class and on manaba. Feedback will be given on quizzes and other assignments.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Pair work and group work）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

A, B, C, & D classes: Douglas, N. & Bohlke, D. (2020). Reading Explorer I (3rd edition). Cengage Learning.

Repeaters Class: Uemura, A. & Yamashina, M. (2011). Mystery Tour with Sherlock Holmes. Cengage Learning.

▌参考書

To Be Announced

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Course Orientation & EIKEN Reading** 授業内容：Students learn about the syllabus and course schedule. Students participate in group and pair activities to build a positive communicative class atmosphere. Students complete an EIKEN reading. 事前学修 1.0hr：Preview Unit Course Syllabus 事後学修 1.0hr：Complete assigned work and create a study plan.
2回	**授業テーマ：Chapter 7: When Dinosaurs Ruled** 授業内容：Students read the passage silently and look up words they do not know. They practice reading the passage aloud and answer the reading comprehension questions and reading skills exercises. 事前学修 1.0hr：Preview text: look up new words, read aloud, check grammar, etc. 事後学修 1.0hr：Review the text, complete the assignments and prepare for the quiz.
3回	**授業テーマ：Chapter 7: When Dinosaurs Ruled** 授業内容：Students review the reading passage for fluency. They complete the vocabulary exercises in the textbook. Then they watch the video and complete the video exercises. 事前学修 1.0hr：Preview text: look up new words, read aloud, check grammar, etc. 事後学修 1.0hr：Review the text, complete the assignments and prepare for the quiz.
4回	**授業テーマ：Chapter 8: Stories & Storytellers** 授業内容：Students read the passage silently and look up words they do not know. They practice reading the passage aloud and answer the reading comprehension questions and reading skills exercises. 事前学修 1.0hr：Preview text: look up new words, read aloud, check grammar, etc. 事後学修 1.0hr：Review the text, complete the assignments and prepare for the quiz.
5回	**授業テーマ：Chapter 8: Stories & Storytellers** 授業内容：Students review the reading passage for fluency. They complete the vocabulary exercises in the textbook. Then they watch the video and complete the video exercises. 事前学修 1.0hr：Preview text: look up new words, read aloud, check grammar, etc. 事後学修 1.0hr：Review the text, complete the assignments and prepare for the quiz.
6回	**授業テーマ：Chapter 9: Unusual Jobs** 授業内容：Students read the passage silently and look up words they do not know. They practice reading the passage aloud and answer the reading comprehension questions and reading skills exercises. 事前学修 1.0hr：Preview text: look up new words, read aloud, check grammar, etc. 事後学修 1.0hr：Review the text, complete the assignments and prepare for the quiz.
7回	**授業テーマ：Chapter 9: Unusual Jobs** 授業内容：Students review the reading passage for fluency. They complete the vocabulary exercises in the textbook. Then they watch the video and complete the video exercises. 事前学修 1.0hr：Preview text: look up new words, read aloud, check grammar, etc. 事後学修 1.0hr：Review the text, complete the assignments and prepare for the quiz.
8回	**授業テーマ：Chapter 10: Uncovering the Past** 授業内容：Students read the passage silently and look up words they do not know. They practice reading the passage aloud and answer the reading comprehension questions and reading skills exercises. 事前学修 1.0hr：Preview text: look up new words, read aloud, check grammar, etc. 事後学修 1.0hr：Review the text, complete the assignments and prepare for the quiz.

9回	**授業テーマ：Chapter 10: Uncovering the Past** 授業内容：Students review the reading passage for fluency. They complete the vocabulary exercises in the textbook. Then they watch the video and complete the video exercises. 事前学修 1.0hr：Preview text: look up new words, read aloud, check grammar, etc. 事後学修 1.0hr：Review the text, complete the assignments and prepare for the quiz.
10回	**授業テーマ：Chapter 11: Plastic Planet** 授業内容：Students read the passage silently and look up words they do not know. They practice reading the passage aloud and answer the reading comprehension questions and reading skills exercises. 事前学修 1.0hr：Preview text: look up new words, read aloud, check grammar, etc. 事後学修 1.0hr：Review the text, complete the assignments and prepare for the quiz.
11回	**授業テーマ：Chapter 11: Plastic Planet** 授業内容：Students review the reading passage for fluency. They complete the vocabulary exercises in the textbook. Then they watch the video and complete the video exercises. 事前学修 1.0hr：Preview text: look up new words, read aloud, check grammar, etc. 事後学修 1.0hr：Review the text, complete the assignments and prepare for the quiz.
12回	**授業テーマ：Chapter 12: Vanished!** 授業内容：Students read the passage silently and look up words they do not know. They practice reading the passage aloud and answer the reading comprehension questions and reading skills exercises. 事前学修 1.0hr：Preview text: look up new words, read aloud, check grammar, etc. 事後学修 1.0hr：Review the text, complete the assignments and prepare for the quiz.
13回	**授業テーマ：Chapter 12: Vanished!** 授業内容：Students review the reading passage for fluency. They complete the vocabulary exercises in the textbook. Then they watch the video and complete the video exercises. 事前学修 1.0hr：Preview text: look up new words, read aloud, check grammar, etc. 事後学修 1.0hr：Review the text, complete the assignments and prepare for the quiz.
14回	**授業テーマ：EIKEN Reading** 授業内容：Students complete another EIKEN reading passage and answer comprehension questions about the passage. Students should review and use all of the reading strategies learned this semester. 事前学修 1.0hr：Preview text: look up new words, read aloud, check grammar, etc. 事後学修 1.0hr：Review the text, complete the assignments and prepare for comprehensive exercises.
15回	**授業テーマ：Comprehensive Exercises** 授業内容：Students should review all of the passages in Chapter 7 to Chapter 12 of the textbook and review the accompanying exercises using all of the reading strategies learned this semester. 事前学修 1.0hr：Review Chapters 7-12 事後学修 1.0hr：Review the course material

Reading Ⅱ-a

開講学科等：英 ｜ 2 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：前

クリストファ　マタズスキー・ジェラルド　ライト・ティモシー　オピツ・ロバート　モリアーティ

▌授業の概要

A required course in the first semester of the second year of the Intensive Language Program (ILP), this course aims to develop critical and reflective thinking skills through readings and authentic materials. It builds upon the reading skills obtained in the first year program and strengthens vocabulary and grammar skills. This course uses a content and language integrated learning (CLIL) approach from which students will explore current issues around the world, gain insight into various countries and cultures, and develop a global outlook.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：To gain knowledge about countries and current events around the world by reading a variety of texts, synthesizing and summarizing information, and formulating well-reasoned opinions.

個別目標：The specific goal of the course is to attain a CEFR B1 reading level as well as

1. develop critical and reflective thinking about global issues and perspectives;
2. demonstrate cultural awareness and content knowledge;
3. obtain digital literacy skills necessary to navigate various sources using English;
4. be able to read sources and summarize the contents concisely and effectively.

▌履修条件

Students should understand that this is an English-only class. Active participation is encouraged (e.g., in class activities such as discussions, debates, group projects). Attendance at more than 80% of the classes is required.

▌評価基準・方法

Active Participation & Other Coursework (30%), Global Modules and Country Report Records (45%), and Global Studies Project (25%). Feedback and assessments will be given in class or on manaba. Please consult your instructor.

▌フィードバック方法

On-going feedback will be given in each lesson. Rubrics incorporated into each module clearly define the expectations of the instructor and course to the students.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Pair work and group work）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

Course materials to be distributed by the instructor.

▌参考書

To be announced

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Course orientation** 授業内容：Students learn about the syllabus and course schedule. Students participate in group and pair activities to build a positive class atmosphere. 事前学修 0.5hr：Preview course syllabus 事後学修 2.0hr：Review course materials
2回	**授業テーマ：Module 1: Europe - Introduction** 授業内容：Students brainstorm knowledge of Europe. Students read and answer questions about a European country. Students complete vocabulary exercises and discuss questions related to the topic. 事前学修 2.0hr：Preview assigned material. 事後学修 2.0hr：Complete assigned work; Research a European country
3回	**授業テーマ：Module 1: Europe - Current Events** 授業内容：Students read about and answer questions on current events of a European country. Students complete vocabulary exercises and discuss questions related to the topic. 事前学修 2.0hr：Preview assigned material. 事後学修 2.0hr：Complete assigned work; Research current events
4回	**授業テーマ：Module 1: Europe - Culture** 授業内容：Students read about and answer questions on a cultural aspect of a European country. Students complete vocabulary exercises and discuss questions related to the topic. 事前学修 2.0hr：Preview assigned material 事後学修 2.0hr：Complete assigned work; Research a country's culture
5回	**授業テーマ：Module 1: Europe - Synthesize, Summarize and Reflect** 授業内容：Students present their country report, in which they have researched basic facts, as aspect of the culture and current events of a European country. Students complete a vocabulary quiz. 事前学修 2.0hr：Prepare country report 事後学修 2.0hr：Complete Module 1 and submit; complete quiz
6回	**授業テーマ：Module 2: Asia - Introduction** 授業内容：Students brainstorm knowledge of Asia. Students read and answer questions about an Asian country. Students complete vocabulary exercises and discuss questions related to the topic. 事前学修 2.0hr：Preview assigned material. 事後学修 2.0hr：Complete assigned work; Research an Asian country
7回	**授業テーマ：Module 2: Asia - Current Events** 授業内容：Students read about and answer questions on current events of an Asian country. Students complete vocabulary exercises and discuss questions related to the topic. 事前学修 2.0hr：Preview assigned material. 事後学修 2.0hr：Complete assigned work; Research current events

8回	**授業テーマ：Module 2: Asia - Culture** 授業内容：Students read about and answer questions on a cultural aspect of an Asian country. Students complete vocabulary exercises and discuss questions related to the topic. 事前学修 2.0hr：Preview assigned material. 事後学修 2.0hr：Complete assigned work; Research a country's culture
9回	**授業テーマ：Module 2: Asia - Synthesize, Summarize and Reflect** 授業内容：Students present their country report, in which they have researched basic facts, as aspect of the culture and current events of an Asian country. Students complete a vocabulary quiz. 事前学修 2.0hr：Preview assigned material. 事後学修 2.0hr：Complete Module 2 and submit; complete quiz
10回	**授業テーマ：Module 3: Australia/Oceania - Introduction** 授業内容：Students brainstorm. Students read and answer questions about a country in Australia/Oceania. Students complete vocabulary exercises and discuss questions related to the topic. 事前学修 2.0hr：Preview assigned material. 事後学修 2.0hr：Complete assigned work; Research a country
11回	**授業テーマ：Module 3: Australia/Oceania - Current Events** 授業内容：Students read about and answer questions on current events of a country in Oceania. Students complete vocabulary exercises and discuss questions related to the topic. 事前学修 2.0hr：Preview assigned material. 事後学修 2.0hr：Complete assigned work; Research current events
12回	**授業テーマ：Module 3: Australia/Oceania - Culture** 授業内容：Students read about and answer questions on a cultural aspect of a country in Oceania. Students complete vocabulary exercises and discuss questions related to the topic. 事前学修 2.0hr：Preview assigned material. 事後学修 2.0hr：Complete assigned work; Research a country's culture
13回	**授業テーマ：Module 3: Australia/Oceania - Synthesize, Summarize and Reflect** 授業内容：Students present their country report, in which they have researched basic facts, as aspect of the culture and current events of a country in Oceania. Students complete a vocabulary quiz. 事前学修 2.0hr：Preview assigned material. 事後学修 2.0hr：Complete Module 3 and submit; complete quiz
14回	**授業テーマ：Global Studies Project Presentations I** 授業内容：In groups, students research a location in one of the world areas studied to open an international campus. Students must appeal with statistics and facts. Students create a poster. 事前学修 2.0hr：Prepare presentation project 事後学修 2.0hr：Complete all modules; Prepare for project presentation
15回	**授業テーマ：Global Studies Project Presentations II** 授業内容：In groups, students present their recommended location to open an international campus. Students must appeal with statistics and facts. Students use a poster to support their speech. 事前学修 2.0hr：Prepare presentation project 事後学修 4.0hr：Submit all modules; Complete end-of-term survey and reflection

Reading Ⅱ-b

開講学科等：英 ｜ 2 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：後

クリストファ　マタズスキー・ジェラルド　ライト・ティモシー　オピツ・ロバート　モリアーティ

▌授業の概要

This course is a required course in the second semester of the second year. The purpose of this course is to develop critical and reflective thinking skills through readings and authentic materials. It focuses mainly on building upon the reading skills obtained in the first year program and strengthening vocabulary and grammar skills. This course uses a content and language integrated learning (CLIL) approach from which students will explore current issues around the world, gain insight into various countries and cultures, and develop a global outlook.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：To gain knowledge about countries and current events around the world by reading a variety of texts, synthesizing and summarizing information, and formulating well-reasoned opinions.

個別目標：The specific goal of the course is to attain a CEFR B1 reading level as well as

1. develop critical and reflective thinking about global issues and perspectives;
2. demonstrate cultural awareness and content knowledge;
3. obtain digital literacy skills necessary to navigate various sources using English;
4. be able to read sources and summarize the contents concisely and effectively.

▌履修条件

Students should understand that this is an English-only class. Active participation is encouraged (e.g., in class activities such as assignments and projects). It is recommended that students take Reading II-a. Attendance at more than 80% of the classes is required.

▌評価基準・方法

Active Participation & Other Coursework (30%), Global Modules and Country Report Records (45%), and Global Studies Project (25%). Feedback and assessments will be given in class or on manaba. Please consult your instructor.

▌フィードバック方法

On-going feedback will be given in each lesson. Rubrics are incorporated into the modules defining the expectations of the instructor and the course.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Pair work and group work）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

Materials will be distributed by the instructor

▌参考書

To be announced

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Course Introduction** 授業内容：Students review the syllabus and go over the course schedule. Students participate in activities to generate interest in second semester subject areas. 事前学修 0.5hr：Preview course syllabus 事後学修 2.0hr：Review course materials
2回	**授業テーマ：Module 4: Africa - Introduction** 授業内容：Students brainstorm knowledge of Africa. Students read and answer questions about an African country. Students complete vocabulary exercises and discuss questions related to the topic. 事前学修 2.0hr：Preview assigned material 事後学修 2.0hr：Complete assigned work; Research an African country
3回	**授業テーマ：Module 4: Africa - Current Events** 授業内容：Students read about and answer questions on current events of an African country. Students complete vocabulary exercises and discuss questions related to the topic. 事前学修 2.0hr：Preview assigned material 事後学修 2.0hr：Complete assigned work; Research current events
4回	**授業テーマ：Module 4: Africa - Culture** 授業内容：Students read about and answer questions on a cultural aspect of an African country. Students complete vocabulary exercises and discuss questions related to the topic. 事前学修 2.0hr：Preview assigned material 事後学修 2.0hr：Complete assigned work; Research a country's culture
5回	**授業テーマ：Module 4: Africa - Synthesize, Summarize and Reflect** 授業内容：Students present their country report, in which they have researched basic facts, an aspect of the culture and current events of an African country. Students complete a vocabulary quiz. 事前学修 2.0hr：Prepare country report 事後学修 2.0hr：Complete Module 1 and submit; Complete vocabulary quiz
6回	**授業テーマ：Module 5: South America - Introduction** 授業内容：Students brainstorm. Students read and answer questions about a South American country. Students complete vocabulary exercises and discuss questions related to the topic. 事前学修 2.0hr：Preview assigned material 事後学修 2.0hr：Complete assigned work; Research a South/Central American country
7回	**授業テーマ：Module 5: South America - Current Events** 授業内容：Students read about and answer questions on current events of a South American country. Students complete vocabulary exercises and discuss questions related to the topic. 事前学修 2.0hr：Preview assigned material 事後学修 2.0hr：Complete assigned work; Research current events

8回	**授業テーマ：Module 5: South America - Culture** 授業内容：Students read about and answer questions on a cultural aspect of a South American country. Students complete vocabulary exercises and discuss questions related to the topic. 事前学修 2.0hr：Preview assigned material 事後学修 2.0hr：Complete assigned work; Research a country's culture
9回	**授業テーマ：Module 5: South America - Synthesize, Summarize and Reflect** 授業内容：Students present their country report, in which they have researched basic facts, an aspect of the culture and current events of a South American country. Students complete a vocabulary quiz. 事前学修 2.0hr：Preview assigned material. 事後学修 2.0hr：Complete Module 2 and submit; Complete vocabulary quiz
10回	**授業テーマ：Module 6: North America - Introduction** 授業内容：Students brainstorm. Students read and answer questions about a North American territory. Students complete vocabulary exercises and discuss questions related to the topic. 事前学修 2.0hr：Preview assigned material 事後学修 2.0hr：Complete assigned work; Research a North American country
11回	**授業テーマ：Module 6: North America - Current Events** 授業内容：Students read about and answer questions on current events of a North American territory. Students complete vocabulary exercises and discuss questions related to the topic. 事前学修 2.0hr：Preview assigned material. 事後学修 2.0hr：Complete assigned work; Research a country's culture
12回	**授業テーマ：Module 6: North America - Culture** 授業内容：Students read about and answer questions on a cultural aspect of a North American territory. Students complete vocabulary exercises and discuss questions related to the topic. 事前学修 2.0hr：Preview assigned material 事後学修 2.0hr：Complete assigned work; Research current events
13回	**授業テーマ：Module 6: North America - Synthesize, Summarize and Reflect** 授業内容：Students present their country report, in which they have researched basic facts, an aspect of the culture and current events of a North American territory. Students complete a vocabulary quiz. 事前学修 2.0hr：Preview assigned material 事後学修 2.0hr：Complete Module 3 and submit; Complete vocabulary quiz
14回	**授業テーマ：Global Studies Project Presentations I** 授業内容：In pairs or small groups students a theme and research the topic in relation to the areas studied in the term. Students will prepare a short presentation on their theme. 事前学修 2.0hr：Prepare Project Presentation 事後学修 2.0hr：Complete all modules; Prepare for project presentation
15回	**授業テーマ：Global Studies Project Presentations II** 授業内容：Students give a short presentation on a theme that relates to the various areas of the world studied during the term. Listeners take notes and ask questions. 事前学修 2.0hr：Prepare Project Presentation 事後学修 4.0hr：Submit all modules; Complete end-of-term survey and reflection

Reading Ⅲ-a

開講学科等：英 ｜ 2 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：前

河原　伸一（かわはら　しんいち）**・クリストファ　マタズスキー・長谷川　奈緒美**（はせがわ　なおみ）**・横山　竜一郎**（よこやま　りゅういちろう）

▌授業の概要

This course is a required course in the first semester of the second year of the Intensive Language Program (ILP). Of the four proficiencies, it focuses mainly on reading by further developing the basic reading skills acquired in Reading I-a/I-b through the use of more challenging reading materials. Through the selection of reading materials which cover a variety of topics (e.g., business, society, environment) and stimulate intellectual curiosity, the course aims to enable students to master the reading skills necessary for intensive reading.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：To be able to use various reading strategies to understand various types of texts.

個別目標：The specific goals of the course are:

1. to learn multiple reading strategies (e.g., skimming, scanning, identifying main ideas and supporting details/reasons, annotating text, summarizing).
2. to be able to infer meaning from context.
3. to be able to discuss and share one's ideas and opinions with others, based on the text.
4. to attain a CEFR B1 reading level.

▌履修条件

It is highly recommended that students take Reading I-a/b before undertaking this course. Attendance at more than 80% of the classes is required.

▌評価基準・方法

Students will be evaluated for this course via Active Participation and Class Activities (30%), Quizzes (40%), and a Final Examination (30%). Feedback and assessments will be given in class or on manaba. Please consult your instructor.

▌フィードバック方法

Students will receive both oral and written feedback in class and on manaba. Feedback will be given on quizzes and other assignments.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Pair work and group work）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

A, B, C, D, and Repeaters classes: Ackert, P., Lee, L., Haynes, H., & Kostarelis, S. (2020). Reading and Vocabulary Development 3: Cause and Effect (4th Ed.). National Geographic Learning.

▌参考書

To Be Announced

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Course Orientation & EIKEN Reading** 授業内容：Students learn about the syllabus and course schedule. Students participate in group and pair activities to build a positive communicative class atmosphere. Students complete an EIKEN reading. 事前学修 1.0hr：Preview Unit Course Syllabus 事後学修 1.0hr：Complete assigned work and create a study plan.
2回	**授業テーマ：Unit 1 Explorers: Lesson 1 A Deep Dive with Archana Anand (A)** 授業内容：Students read the passage silently and look up words they do not know. They practice reading the passage aloud and answer reading comprehension questions in the textbook. Students also complete the vocabulary, grammar, and critical thinking exercises. 事前学修 1.0hr：Preview text: look up new words, read aloud, check grammar, etc. 事後学修 1.0hr：Review the text, complete the assignments and prepare for the quiz.
3回	**授業テーマ：Unit 1 Explorers: Lesson 1 A Deep Dive with Archana Anand (B)** 授業内容：Students complete any remaining reading exercises as guided by their instructor. 事前学修 1.0hr：Review the passage and vocabulary. 事後学修 1.0hr：Review the text, complete the assignments and prepare for the quiz.
4回	**授業テーマ：Unit 1 Explorers: Lesson 2 Robert Scott: A Race to the South Pole (A)** 授業内容：Students read the passage silently and look up words they do not know. They practice reading the passage aloud and answer reading comprehension questions in the textbook. Students also complete the vocabulary, grammar, and critical thinking exercises. 事前学修 1.0hr：Preview text: look up new words, read aloud, check grammar, etc. 事後学修 1.0hr：Review the text, complete assignments and prepare for quiz.
5回	**授業テーマ：Unit 1 Explorers: Lesson 2 Robert Scott: A Race to the South Pole (B)** 授業内容：Students complete any remaining reading exercises as guided by their instructor. Students take Quiz #1 on Unit 1. 事前学修 1.0hr：Review passages and vocabulary 事後学修 1.0hr：Review the text and complete assigned work.
6回	**授業テーマ：Unit 2 Business and Finance: Lesson 1 Tulip Mania and Bubble Economies (A)** 授業内容：Students read the passage silently and look up words they do not know. They practice reading the passage aloud and answer reading comprehension questions in the textbook. Students also complete the vocabulary, grammar, and critical thinking exercises. 事前学修 1.0hr：Preview text: look up new words, read aloud, check grammar, etc. 事後学修 1.0hr：Review the text and complete assigned work.
7回	**授業テーマ：Unit 2 Business and Finance: Lesson 1 Tulip Mania and Bubble Economies (B)** 授業内容：Students complete any remaining reading exercises as guided by their instructor. 事前学修 1.0hr：Review passage and vocabulary. 事後学修 1.0hr：Review the text and complete assigned work.
8回	**授業テーマ：Unit 2 Business and Finance: Lesson 2 Prices Must Go Up! (A)** 授業内容：Students read the passage silently and look up words they do not know. They practice reading the passage aloud and answer reading comprehension questions in the textbook. Students also complete the vocabulary, grammar, and critical thinking exercises. 事前学修 1.0hr：Preview text: look up new words, read aloud, check grammar, etc. 事後学修 1.0hr：Review the text, complete assigned work and prepare for quiz.

9回	**授業テーマ：Unit 2 Business and Finance: Lesson 2 Prices Must Go Up! (B) & Quiz** 授業内容：Students complete any remaining reading exercises as guided by their instructor. Students take Quiz #2 on Unit 2. 事前学修 1.0hr：Review passages and vocabulary. 事後学修 1.0hr：Review the text and complete assigned work.
10回	**授業テーマ：Unit 3 Society: Lesson 1 World Population Growth (A)** 授業内容：Students read the passage silently and look up words they do not know. They practice reading the passage aloud and answer reading comprehension questions in the textbook. Students also complete the vocabulary, grammar, and critical thinking exercises. 事前学修 1.0hr：Preview text: look up new words, read aloud, check grammar, etc. 事後学修 1.0hr：Review the text and complete the assignments.
11回	**授業テーマ：Unit 3 Society: Lesson 1 World Population Growth (B)** 授業内容：Students complete any remaining reading exercises as guided by their instructor. 事前学修 1.0hr：Review passage and vocabulary. 事後学修 1.0hr：Review the text and complete assigned work.
12回	**授業テーマ：Unit 3 Society: Lesson 2 The Golden Age (A)** 授業内容：Students read the passage silently and look up words they do not know. They practice reading the passage aloud and answer reading comprehension questions in the textbook. Students also complete the vocabulary, grammar, and critical thinking exercises. 事前学修 1.0hr：Preview text: look up new words, read aloud, check grammar, etc. 事後学修 1.0hr：Review the text, complete assigned work and prepare for the quiz.
13回	**授業テーマ：Unit 3 Society: Lesson 2 The Golden Age (B) & Quiz #3** 授業内容：Students complete any remaining reading exercises as guided by their instructor. Students take Quiz #3 on Unit 3. 事前学修 1.0hr：Preview text: look up new words, read aloud, check grammar, etc. 事後学修 1.0hr：Review the text and complete the assignment.
14回	**授業テーマ：Final Review and EIKEN Reading** 授業内容：Students complete another EIKEN reading passage and answer comprehension questions about the passage. Students should review passages, vocabulary and use all of the reading strategies learned this semester. 事前学修 2.0hr：Solve the reading comprehension questions in the designated Eiken past papers. 事後学修 3.0hr：Preparation for the comprehensive assessment.
15回	**授業テーマ：Comprehensive Final Reading Assessment** 授業内容：Students should review all of the passages covered in Units 1 to Units 4 of the textbook and review the accompanying exercises using all of the reading strategies learned this semester. 事前学修 3.0hr：Read aloud the text from Unit 1 to Unit 4, paying attention to the phrases and words in context. 事後学修 2.0hr：Review course material and choose reading material for the summer break.

Reading Ⅲ-b

開講学科等：英 ｜ 2 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：後

河原　伸一（かわはら　しんいち）・クリストファ　マタズスキー・長谷川　奈緒美（はせがわ　なおみ）・横山　竜一郎（よこやま　りゅういちろう）

▌授業の概要

This course is a required course in the second semester of the second year of the Intensive Language Program (ILP). The overview of the course is the same as that of Reading III-a. (Note: Reading III-a and Reading III-b are independent one-semester courses. Therefore, students who have not completed Reading III-a can take III-b.)

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：To be able to use various reading strategies to understand various types of texts.

個別目標：The specific goals of the course are:

1. to learn multiple reading strategies (e.g., skimming, scanning, identifying main ideas and supporting details/reasons, annotating text, summarizing).
2. to be able to infer meaning from context.
3. to be able to discuss and share one's ideas and opinions with others, based on the text.
4. to attain a CEFR B1 reading level.

▌履修条件

It is highly recommended that students take Reading I-a/b before undertaking this course. Attendance at more than 80% of the classes is required.

▌評価基準・方法

Students will be evaluated for this course via Course Work and Active Participation (40%), Quizzes (30%), and a Final Examination (30%). Feedback and assessments will be given in class or on manaba. Please consult your instructor.

▌フィードバック方法

Students will receive both oral and written feedback in class and on manaba. Feedback will be given on quizzes and other assignments.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Pair work and group work）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

A, B, C, D, and Repeaters classes: Ackert, P., Lee, L., Haynes, H., & Kostarelis, S. (2020). Reading and Vocabulary Development 3: Cause and Effect (4th Ed.). National Geographic Learning.

▌参考書

To Be Announced

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Course Orientation & EIKEN Reading** 授業内容：Students learn about the syllabus and course schedule. Students participate in group and pair activities to build a positive communicative class atmosphere. Students complete an EIKEN reading. 事前学修 1.0hr：Preview Unit Course Syllabus 事後学修 1.0hr：Complete assigned work and create a study plan.
2回	**授業テーマ：Unit 5 Human Beings: Lesson 1 Languages and Language Diversity (A)** 授業内容：Students read the passage silently and look up words they do not know. They practice reading the passage aloud and answer reading comprehension questions in the textbook. Students also complete the vocabulary, grammar, and critical thinking exercises. 事前学修 1.0hr：Preview text: look up new words, read aloud, check grammar, etc. 事後学修 1.0hr：Review the text, complete the assignments and prepare for the quiz.
3回	**授業テーマ：Unit 5 Human Beings: Lesson 1 Languages and Language Diversity (B)** 授業内容：Students complete any remaining reading exercises as guided by their instructor. 事前学修 1.0hr：Review the passage and vocabulary. 事後学修 1.0hr：Review the text, complete the assignments and prepare for the quiz.
4回	**授業テーマ：Unit 5 Explorers: Lesson 2 A Good Sign (A)** 授業内容：Students read the passage silently and look up words they do not know. They practice reading the passage aloud and answer reading comprehension questions in the textbook. Students also complete the vocabulary, grammar, and critical thinking exercises. 事前学修 1.0hr：Preview text: look up new words, read aloud, check grammar, etc. 事後学修 1.0hr：Review the text, complete assignments and prepare for quiz.
5回	**授業テーマ：Unit 5 Explorers: Lesson 2 A Good Sign (B) & Quiz** 授業内容：Students complete any remaining reading exercises as guided by their instructor. Students take Quiz #1 on Unit 5. 事前学修 1.0hr：Review passages and vocabulary 事後学修 1.0hr：Review the text and complete assigned work.
6回	**授業テーマ：Unit 6 Urban Planning: Lesson 1 Green Buildings for a Better Future (A)** 授業内容：Students read the passage silently and look up words they do not know. They practice reading the passage aloud and answer reading comprehension questions in the textbook. Students also complete the vocabulary, grammar, and critical thinking exercises. 事前学修 1.0hr：Preview text: look up new words, read aloud, check grammar, etc. 事後学修 1.0hr：Review the text and complete assigned work.
7回	**授業テーマ：Unit 6 Urban Planning: Lesson 1 Green Buildings for a Better Future (B)** 授業内容：Students complete any remaining reading exercises as guided by their instructor. 事前学修 1.0hr：Review passage and vocabulary. 事後学修 1.0hr：Review the text and complete assigned work.
8回	**授業テーマ：Unit 6 Urban Planning: Lesson 2 Cities in the Clouds (A)** 授業内容：Students read the passage silently and look up words they do not know. They practice reading the passage aloud and answer reading comprehension questions in the textbook. Students also complete the vocabulary, grammar, and critical thinking exercises. 事前学修 1.0hr：Preview text: look up new words, read aloud, check grammar, etc. 事後学修 1.0hr：Review the text, complete assigned work and prepare for quiz.

9回	**授業テーマ：Unit 6 Urban Planning: Lesson 2 Cities in the Clouds (B) & Quiz** 授業内容：Students complete any remaining reading exercises as guided by their instructor. Students take Quiz #2 on Unit 6. 事前学修 1.0hr：Review passages and vocabulary. 事後学修 1.0hr：Review the text and complete assigned work.
10回	**授業テーマ：Unit 7 Science: Lesson 1 Surviving Earthquakes (A)** 授業内容：Students read the passage silently and look up words they do not know. They practice reading the passage aloud and answer reading comprehension questions in the textbook. Students also complete the vocabulary, grammar, and critical thinking exercises. 事前学修 1.0hr：Preview text: look up new words, read aloud, check grammar, etc. 事後学修 1.0hr：Review the text and complete the assignments.
11回	**授業テーマ：Unit 7 Science: Lesson 1 Surviving Earthquakes (B)** 授業内容：Students complete any remaining reading exercises as guided by their instructor. 事前学修 1.0hr：Review passage and vocabulary. 事後学修 1.0hr：Review the text and complete assigned work.
12回	**授業テーマ：Unit 7 Science: Lesson 2 You're One in a Million (A)** 授業内容：Students read the passage silently and look up words they do not know. They practice reading the passage aloud and answer reading comprehension questions in the textbook. Students also complete the vocabulary, grammar, and critical thinking exercises. 事前学修 1.0hr：Preview text: look up new words, read aloud, check grammar, etc. 事後学修 1.0hr：Review the text, complete assigned work and prepare for the quiz.
13回	**授業テーマ：Unit 7 Science: Lesson 2 You're One in a Million (B) & Quiz** 授業内容：Students complete any remaining reading exercises as guided by their instructor. Students take Quiz #3 on Unit 7. 事前学修 1.0hr：Preview text: look up new words, read aloud, check grammar, etc. 事後学修 1.0hr：Review the text and complete the assignment.
14回	**授業テーマ：Final Review and EIKEN Reading** 授業内容：Students complete another EIKEN reading passage and answer comprehension questions about the passage. Students should review passages, vocabulary and use all of the reading strategies learned this semester. 事前学修 2.0hr：Solve the reading comprehension questions in the designated Eiken past papers. 事後学修 3.0hr：Preparation for the comprehensive assessment.
15回	**授業テーマ：Comprehensive Final Reading Assessment** 授業内容：Students should review all of the passages covered in Units 1 to Units 4 of the textbook and review the accompanying exercises using all of the reading strategies learned this semester. 事前学修 3.0hr：Read aloud the text from Unit 1 to Unit 4, paying attention to the phrases and words in context. 事後学修 2.0hr：Review course material and choose reading material for the summer break.

Writing Ⅰ-a

開講学科等：英 ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：前

河原　伸一（かわはら　しんいち）**・篠塚　勝正**（しのづか　かつまさ）**・中井　延美**（なかい　のぶみ）**・バルブド　プルメル　エスティオコ**

▌授業の概要

This course will focus on the writing of sentences and paragraphs, reviewing the structure of sentences and learning how to write a wide variety of paragraphs. Students will also become familiar with the writing process of prewriting, writing, revising and editing in academic writing.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：The main objective of this course is for students to acquire and master fundamental writing skills, so that they can express themselves in well-written sentences and paragraphs. Students will learn, step-by-step, the organizational principles that will help them express themselves effectively in writing in English while applying these principles to a variety of types of writing.

個別目標：The specific objectives of this course are for students: To learn fundamental writing skills, using basic vocabulary and grammar. To learn how to organize paragraphs (e.g., topic sentences, supporting sentences, concluding sentences). To learn how to write different types of paragraphs (e.g., by time order, order of importance, spatial order). To learn about the process of writing (e.g., prewriting-＞ writing -＞ revising). To compile a writing portfolio of their best examples of corrected writing.

▌履修条件

This course is a compulsory first-semester course in the first year of the Intensive Language Program (ILP). Students will be expected to participate actively in classroom activities.

▌評価基準・方法

Students will be evaluated for this course via Active Participation and Class Activities (40%) and a Writing Portfolio (60%). Plagiarism will not be tolerated. Feedback and assessments will be given in class or on manaba. Please consult your instructor.

▌フィードバック方法

Students will receive both oral and written feedback in class and on manaba. Feedback will be given on quizzes and other assignments.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Pair work and group work）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

Blanchard, K. & Root, C. (2017). Ready to Write 2 (5th edition). Hoboken, NJ: Pearson.

▌参考書

Supplementary materials will be provided as necessary. Students should bring an electronic dictionary (J/E, E/J, E/E) to class.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Course orientation + Chapter 1: Getting organized I** 授業内容：Students learn about the syllabus and course schedule. Students engage in writing activities designed to enable them to get to know one another. Students begin the first unit. 事前学修 1.0hr：Preview course syllabus 事後学修 2.0hr：Review course materials & complete assigned work
2回	**授業テーマ：Chapter 1: Getting organized II** 授業内容：Students learn how to identify irrelevant information. Students review the rules for capitalization and punctuation. Students complete the textbook exercises and do an autoscore quiz. 事前学修 2.0hr：Read text(s) in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Complete assigned work and do autoscore quiz
3回	**授業テーマ：Chapter 2: Understanding paragraphs I** 授業内容：Students learn about the different parts of a paragraph. Students read a model paragraph and identify the topic sentence, supporting sentences and concluding sentences. 事前学修 2.0hr：Read text(s) in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Review text & do assignments
4回	**授業テーマ：Chapter 2: Understanding paragraphs II** 授業内容：Students focus more in detail on supporting sentences and concluding sentences. Students complete the textbook activities and do an autoscore quiz. 事前学修 2.0hr：Read text(s)in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Complete assigned work and do autoscore quiz
5回	**授業テーマ：Chapter 2: Understanding paragraphs III** 授業内容：Students will write a well-organized paragraph about one aspect of themselves. Students should follow the rules of a paragraph. Students should proofread and revise their draft. 事前学修 2.0hr：Read text(s) in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Assignment: Write a paragraph
6回	**授業テーマ：Chapter 3: Organizing information by time order I** 授業内容：Students study time order by learning signal words that show time order. Students practice recognizing time order through written exercises. Students learn about prepositions of time. 事前学修 2.0hr：Read text(s) in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Review text & do assignments
7回	**授業テーマ：Chapter 3: Organizing information by time order II** 授業内容：Students study complex sentences using ”before” and ”after.” Students practice writing a time order paragraph of a historical figure. Students complete an autoscore quiz. 事前学修 2.0hr：Read text(s) in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Complete assigned work and do autoscore quiz
8回	**授業テーマ：Chapter 3: Organizing information by time order III** 授業内容：Students review the time order signal words and the use of dependent and independent clauses. Students write a time order paragraph about the life of a famous person. 事前学修 2.0hr：Read text(s) in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Assignment: Write a paragraph organized by time order

9回	**授業テーマ：Chapter 4: Organizing information by order of importance I** 授業内容：Students learn about writing topic sentences for order of importance paragraphs. Students study order of importance signal words. Students complete writing exercises. 事前学修 2.0hr：Read text(s) in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Review text & do assignments
10回	**授業テーマ：Chapter 4: Organizing information by order of importance II** 授業内容：Students read their partners paragraph and give feedback. Students study how to correct comma splices. Students discuss supporting points of a topic and write a paragraph. 事前学修 2.0hr：Read text(s) in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Review text & do assignments
11回	**授業テーマ：Chapter 4: Organizing information by order of importance III** 授業内容：Students will write an order of importance paragraph using an EIKEN-style structure. Students should use the signal words studied in the unit and have supporting points for the main idea. 事前学修 2.0hr：Read text(s) in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Assignment: Write a paragraph listing the supporting ideas in order of importance
12回	**授業テーマ：Chapter 5: Organizing information by spatial order I** 授業内容：Students study about spatial organization by reading an example paragraph. Students learn prepositions of place and practice their usage through exercises. 事前学修 2.0hr：Read text(s) in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Review text & do assignments
13回	**授業テーマ：Chapter 5: Organizing information by spatial order II** 授業内容：Students practice writing paragraphs using spatial order. Students should exchange their paragraphs with a partner for feedback. Students complete the autoscore quiz. 事前学修 2.0hr：Read text(s) in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Complete assigned work and do autoscore quiz
14回	**授業テーマ：Chapter 5: Organizing information by spatial order III** 授業内容：Students write a spatial order paragraph that describes their favorite place. Students should use prepositions of place to describe where things are located. 事前学修 2.0hr：Read text(s) in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Assignment: Write a paragraph describing a place using spatial order
15回	**授業テーマ：Writing Portfolio Workshop** 授業内容：Students receive general feedback from the instructor. Students should reflect on their performance and set goals for the summer and next term. 事前学修 2.0hr：Prepare for Writing Portfolio Workshop 事後学修 2.0hr：Submit writing portfolio

Writing Ⅰ-b

開講学科等：英 ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：後

河原　伸一（かわはら　しんいち）・**篠塚　勝正**（しのづか　かつまさ）・**中井　延美**（なかい　のぶみ）・**バルブド　プルメル　エスティオコ**

▌授業の概要

In Writing I-b, students will continue to build upon the skills developed in Writing I-a. By the end of the second semester, students will be familiar with the writing of various types of paragraphs, such as process, describing, and expressing opinions, leading to more advanced writing in the form of longer written compositions.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：The main objective of this course is for students to acquire and master fundamental writing skills, so that they can express themselves in well-written paragraphs and longer written compositions. Students will learn, step-by-step, the organizational principles that will help them express themselves effectively in writing in English while applying these principles to different types of writing.

個別目標：The specific objectives of this course are for students: To learn fundamental writing skills, using basic vocabulary and grammar. To learn how to organize paragraphs (e.g., topic sentences, supporting sentences, concluding sentences). To learn how to write different types of paragraphs (e.g., process, description, expressing opinions) leading to longer written compositions. To learn about the process of writing (e.g., prewriting-> writing -> revising). To compile a writing portfolio of their best examples of corrected writing.

▌履修条件

This course is a compulsory second-semester course in the first year of the ILP. Writing I-a and Writing I-b are two independent half-year courses (i.e., Writing I-b is available to students who have not completed Writing I-a).

▌評価基準・方法

Students will be evaluated for this course via Active Participation and Class Activities (40%) and a Writing Portfolio (60%). Plagiarism will not be tolerated. Feedback and assessments will be given in class or on manaba. Please consult your instructor.

▌フィードバック方法

Students will receive both oral and written feedback in class and on manaba. Feedback will be given on quizzes and other assignments.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Pair work and group work）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

Blanchard, K. & Root, C. (2018). Ready to Write 2 (5th ed.). Hoboken, NJ: Pearson Education (required textbook)

▌参考書

Supplementary materials will be provided as necessary.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Course orientation & Chapter 6: Understanding the Writing Process I** 授業内容：Students review the syllabus and course schedule. Students engage in a writing exercise about their summer break. Students work in the textbook and practice brainstorming. 事前学修 4.0hr：Preview course syllabus; preview Ch. 6 事後学修 2.0hr：Complete assigned work and autoscore quiz
2回	**授業テーマ：Chapter 6: Understanding the Writing Process II** 授業内容：Students choose a topic and create a cluster based on it. Students then develop an outline about one aspect of the cluster. Students write a paragraph based on their outline. 事前学修 2.0hr：Read text in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Practice Activity: Write a paragraph using the three steps of the writing process
3回	**授業テーマ：Chapter 7: Supporting the Main Idea I** 授業内容：Students complete textbook exercises about sentence fragments. Students then complete an EIKEN-style paragraph with two reasons and supporting details. 事前学修 2.0hr：Read text in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Complete assigned work and do autoscore quiz
4回	**授業テーマ：Chapter 7: Supporting the Main Idea II** 授業内容：Students complete textbook exercises that focus on using facts and statistics for support. Students learn how to write information about graphs and charts. 事前学修 2.0hr：Read text in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Review text & do assignments
5回	**授業テーマ：Chapter 7: Supporting the Main Idea III** 授業内容：Students write a paragraph that should include details, examples, facts and statistics to support the main idea. Students have a choice of topics and should include a chart or graph. 事前学修 2.0hr：Read text in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Assignment: Write a paragraph using supporting details
6回	**授業テーマ：Chapter 8: Explaining a Process I** 授業内容：Students learn how to explain a process. Students practice writing topic sentences and study signal words. Student practice using the imperative tense and learn how to order sentences. 事前学修 2.0hr：Read text(s) in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Review text & do assignments
7回	**授業テーマ：Chapter 8: Explaining a Process II** 授業内容：Students read and write about the steps in a scientific experiment. Students should review the exercises completed in the previous lesson and take the autoscore quiz. 事前学修 2.0hr：Read text(s) in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Complete assigned work and do autoscore quiz
8回	**授業テーマ：Chapter 8: Explaining a Process III** 授業内容：Students write a process paragraph that is used to inform readers about how to do something or to describe the order of steps in a process. Students should use order signal words. 事前学修 2.0hr：Read text(s) in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Assignment: Write a paragraph describing the steps in a process

9回	**授業テーマ：Chapter 9: Writing Descriptions I** 授業内容：Students learn about writing descriptions of people. Students practice writing topic sentences for descriptive paragraphs and write a short paragraph describing someone they know. 事前学修 2.0hr：Read text(s) in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Complete assigned work and do autoscore quiz
10回	**授業テーマ：Chapter 9: Writing Descriptions II** 授業内容：Students learn about describing things and study common sensory adjectives. Students learn the order of adjectives and the importance of adding descriptive details to their writing. 事前学修 2.0hr：Read text(s) in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Review text & do assignments
11回	**授業テーマ：Chapter 9: Writing Descriptions III** 授業内容：Students write a descriptive paragraph about an important place. Students should describe the place in detail using a variety of sensory and descriptive adjectives. 事前学修 2.0hr：Read text(s) in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Assignment: Write a descriptive paragraph
12回	**授業テーマ：Chapter 10: Expressing Your Opinion I** 授業内容：Students learn about opinion paragraphs by reading example paragraphs and identifying their main arguments. Students practice writing topic sentences that express their opinions. 事前学修 2.0hr：Read text(s) in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Review text & do assignments
13回	**授業テーマ：Expressing Your Opinion II** 授業内容：Students learn to identify and correct run-on sentences through textbook exercises. Students brainstorm various topics for opinion paragraphs. 事前学修 2.0hr：Prepare for Writing Portfolio Workshop I 事後学修 2.0hr：Complete assigned work and do autoscore quiz
14回	**授業テーマ：Expressing Your Opinion III** 授業内容：Students write an opinion paragraph with a clear topic sentence and supported by at least three logical reasons. Students should use signal words. 事前学修 2.0hr：Prepare for Writing Portfolio Workshop II 事後学修 2.0hr：Assignment: Write an opinion paragraph
15回	**授業テーマ：Writing Portfolio Workshop** 授業内容：Students receive general feedback from the instructor. Students should reflect on their performance and set goals for the summer and next term. 事前学修 2.0hr：Prepare for Writing Portfolio Workshop 事後学修 2.0hr：Complete writing portfolio (e.g., revision, submit final drafts)

Writing Ⅱ-a

開講学科等：英 ｜ 2 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：前

コマンドュリ　シリーシャ・タイソン　ロード・ティモシー　オピツ・バルブド　プルメル　エスティオコ・ピエール　アレック・リカルド　バルム・ロバート　モリアーティ

▌授業の概要

A compulsory first-semester course in the second year of the Intensive Language Program (ILP). Building upon the basic writing skills acquired during Writing I-a and I-b (i.e., at the sentence and paragraph level), students will further develop their writing skills by learning how to write well-organized essays. Students will be taught the fundamental basics of essay writing, such as introductory paragraphs, thesis statements, body paragraphs, and concluding paragraphs.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：Based on the skills learned in Writing I, students will develop the ability to write well-organized paragraphs, which include topic, supporting, and concluding sentences. Students will learn how to engage with the process of writing, working on prewriting, writing, and rewriting (editing), resulting in a portfolio of work at the end of the semester.

個別目標：By the end of this course, students will be able to: write well-organized paragraphs with topic, supporting, and concluding sentences; properly format essays with basic elements such as a creative title, paragraph indentation, and double-spacing; and, compose a short essay with an introduction, body, and conclusion.

▌履修条件

It is recommended that students take Writing I-a/b before undertaking this course.

▌評価基準・方法

Students will be evaluated for this course via Active Participation and Class Activities (40%) and a Writing Portfolio (60%). Plagiarism will not be tolerated. Feedback and assessments will be given in class or on manaba. Please consult your instructor.

▌フィードバック方法

Students will receive both oral and written feedback in class and on manaba. Feedback will be given on quizzes and other assignments.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Pair work and group work）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Word processing software skills）

▌教科書

Blanchard, K. & Root, C. (2017). Ready to Write 3 (4th ed.). Hoboken, NJ: Pearson Education.

▌参考書

To Be Announced

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction to Writing II-a and EIKEN Paragraph 1** 授業内容：Students learn about the syllabus and course schedule. Students engage in writing activities designed to enable them to get to know one another. Student work on EIKEN Paragraph 1. 事前学修 1.0hr：Write a paragraph about your spring vacation 事後学修 1.0hr：Write your goals for this semester and complete EIKEN Paragraph 1
2回	**授業テーマ：Writing I-a/b Review and About Me Paragraph** 授業内容：Students review the writing process of pre-writing, writing, and revising and essential elements of paragraph writing (topic, supporting, concluding sentences). Students write an About Me paragraph. 事前学修 1.0hr：Preview lesson materials and complete relevant textbook exercises 事後学修 2.0hr：Complete About Me Paragraph
3回	**授業テーマ：Descriptive Essay Outine** 授業内容：Students work on their descriptive essay outlines in their writing notebooks. Students will be assigned relevant textbook exercises by their instructors. 事前学修 1.0hr：Preview lesson materials and complete relevant textbook exercises 事後学修 2.0hr：Complete Descriptive Essay Outline
4回	**授業テーマ：Descriptive Essay Introduction** 授業内容：Students work on their descriptive essay introductions in their writing notebooks. Students will be assigned relevant textbook exercises by their instructors. 事前学修 1.0hr：Preview lesson materials and complete relevant textbook exercises 事後学修 2.0hr：Finish Descriptive Essay Introduction
5回	**授業テーマ：Descriptive Essay Body** 授業内容：Students work on their descriptive essay body paragraphs in their writing notebooks. Students will be assigned relevant textbook exercises by their instructors. 事前学修 1.0hr：Preview lesson materials and complete relevant textbook exercises 事後学修 2.0hr：Complete Descriptive Essay Body
6回	**授業テーマ：Descriptive Essay Conclusion** 授業内容：Students work on their descriptive essay conclusions in their writing notebooks. Students will be assigned relevant textbook exercises by their instructors. 事前学修 1.0hr：Preview lesson materials and complete relevant textbook exercises 事後学修 2.0hr：Complete Descriptive Essay Conclusion
7回	**授業テーマ：Descriptive Essay Typing Lesson and EIKEN Paragraph 2** 授業内容：Students type their essays in the computer lab. Students will be assigned relevant textbook exercises by their instructors. Students work on EIKEN Paragraph 2. 事前学修 1.0hr：Preview lesson materials and complete relevant textbook exercises 事後学修 2.0hr：Students complete EIKEN Paragraph 2
8回	**授業テーマ：Descriptive Essay Final Version and EIKEN Paragraph 3** 授業内容：Students revise their typed drafts in the computer lab and submit their final versions to their instructors. Students work on completing EIKEN Paragraph 3. 事前学修 1.0hr：Preview lesson materials and complete relevant textbook exercises 事後学修 2.0hr：Submit Descriptive Essay Final Version and complete EIKEN Paragraph 3

9回	**授業テーマ：Process Essay Outline** 授業内容：Students work on their process essay outlines in their writing notebooks. Students will be assigned relevant textbook exercises by their instructors. 事前学修 1.0hr：Preview lesson materials and complete relevant textbook exercises 事後学修 2.0hr：Complete Process Essay Outline
10回	**授業テーマ：Process Essay Introduction** 授業内容：Students work on their process essay introductions in their writing notebooks. Students will be assigned relevant textbook exercises by their instructors. 事前学修 1.0hr：Preview lesson materials and complete relevant textbook exercises 事後学修 2.0hr：Complete Process Essay Introduction
11回	**授業テーマ：Process Essay Body** 授業内容：Students work on their process essay body paragraphs in their writing notebooks. Students will be assigned relevant textbook exercises by their instructors. 事前学修 1.0hr：Preview lesson materials and complete relevant textbook exercises 事後学修 2.0hr：Complete Process Essay Body
12回	**授業テーマ：Process Essay Conclusion** 授業内容：Students work on their process essay conclusions in their writing notebooks. Students will be assigned relevant textbook exercises by their instructors. 事前学修 1.0hr：Preview lesson materials and complete relevant textbook exercises 事後学修 2.0hr：Complete Process Essay Conclusion
13回	**授業テーマ：Process Essay Typing Lesson and EIKEN Paragraph 4** 授業内容：Students type their essays in the computer lab. Students will be assigned relevant textbook exercises by their instructors. Students work on EIKEN Paragraph 4. 事前学修 1.0hr：Preview lesson materials and complete relevant textbook exercises 事後学修 2.0hr：Students complete EIKEN Paragraph 4
14回	**授業テーマ：Process Essay Final Version and EIKEN Paragraph 5** 授業内容：Students revise their typed drafts in the computer lab and submit their final versions to their instructors. Students work on completing EIKEN Paragraph 5. 事前学修 1.0hr：Preview lesson materials and complete relevant textbook exercises 事後学修 2.0hr：Submit Process Essay Final Version and complete EIKEN Paragraph 5
15回	**授業テーマ：Portfolio Day** 授業内容：Students revised and submit any work as necessary to add to their writing portfolios. Instructors conduct feedback consultations with students and then students complete a course survey. 事前学修 1.0hr：Prepare writing portfolio; be ready to submit 事後学修 4.0hr：Keep a writing journal over the summer break to submit in the second semester

Writing Ⅱ-b

開講学科等：英 ｜ 2 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：後

コマンドュリ　シリーシャ・タイソン　ロード・ティモシー　オピツ・バルブド　プルメル　エスティオコ・ピエール　アレック・リカルド　バルム・ロバート　モリアーティ

▌授業の概要

A compulsory second-semester course in the second year of the Intensive Language Program (ILP). Students will continue to build upon the skills developed in Writing II-a. By the end of the second semester, students will be able to write a well-organized essay with a minimum of 5 paragraphs. (Note: Writing II-a and Writing II-b are two independent half-year courses. Writing II-b therefore is available to students who have not completed Writing II-a.)

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：Based on the skills learned in Writing II-a, students will work on writing longer three to five paragraph essays. Students will be able to write essays of various genres (i.e. comparison and contrast, problem-solution, opinion, etc.) and to organize them with a clear introductory paragraph, thesis statement, body paragraphs, concluding paragraph and references, etc. Students will learn how to engage with the process of writing, working on prewriting, writing, and rewriting (editing), resulting in a portfolio of work at the end of the semester.

個別目標：In addition to the goals of Writing II-a, by the end of this course students will be able to recognize the stylistic elements of various essay genres and structure their own essays accordingly.

▌履修条件

It is recommended that students take Writing I-a/b before undertaking this course.

▌評価基準・方法

Students will be evaluated via Active Participation and Class Activities (40%) and a Writing Portfolio (60%) Plagiarism will not be tolerated. Feedback and assessments will be given in class or on manaba. Please consult your instructor.

▌フィードバック方法

Students will receive both oral and written feedback in class and on manaba. Feedback will be given on quizzes and other assignments.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Pair work and group work）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし （Word processing software skills）

▌教科書

Blanchard, K. & Root, C. (2017). Ready to Write 3 (4th ed.). Hoboken, NJ: Pearson Education.

▌参考書

To Be Announced

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction to Writing II-b & Plagiarism Workshop** 授業内容：Students learn about the syllabus and course schedule. Student learn about plagiarism and why it is important not to do it. Students work on EIKEN Paragraph 1. 事前学修 1.0hr：Watch videos on avoiding plagiarism and properly citing sources 事後学修 2.0hr：Complete assignment on avoiding plagiarism and properly citing sources
2回	**授業テーマ：Using Sources to Cite Work** 授業内容：Students study about how to cite credible sources to support their ideas and opinions in this lesson. Students will be introduced to the basics of using websites as sources and APA-style citations and references. 事前学修 1.0hr：Preview lesson materials and complete relevant textbook exercises 事後学修 2.0hr：Complete Citations Quiz
3回	**授業テーマ：Compare and Contrast Essay Outline** 授業内容：Students work on their compare and contrast essay outlines in their writing notebooks. Students will be assigned relevant textbook exercises by their instructors. 事前学修 1.0hr：Preview lesson materials and complete relevant textbook exercises 事後学修 2.0hr：Complete Compare and Contrast Essay Outline
4回	**授業テーマ：Compare and Contrast Essay Introduction** 授業内容：Students work on their compare and contrast essay introductions in their writing notebooks. Students will be assigned relevant textbook exercises by their instructors. 事前学修 1.0hr：Preview lesson materials and complete relevant textbook exercises 事後学修 2.0hr：Finish Compare and Contrast Essay Introduction
5回	**授業テーマ：Compare and Contrast Essay Body** 授業内容：Students work on their comparison and contrast essay body paragraphs in their writing notebooks. Students will be assigned relevant textbook exercises by their instructors. 事前学修 1.0hr：Preview lesson materials and complete relevant textbook exercises 事後学修 2.0hr：Complete Compare and Contrast Essay Body
6回	**授業テーマ：Compare and Contrast Essay Conclusion** 授業内容：Students work on their compare and contrast essay conclusions in their writing notebooks. Students will be assigned relevant textbook exercises by their instructors. 事前学修 1.0hr：Preview lesson materials and complete relevant textbook exercises 事後学修 2.0hr：Complete Compare and Contrast Essay Conclusion
7回	**授業テーマ：Comparison and Contrast Essay Typing Lesson and EIKEN Paragraph 2** 授業内容：Students type their essays in the computer lab. Students will be assigned relevant textbook exercises by their instructors. Students work on EIKEN Paragraph 2. 事前学修 1.0hr：Preview lesson materials and complete relevant textbook exercises 事後学修 2.0hr：Students complete EIKEN Paragraph 2
8回	**授業テーマ：Comparison and Contrast Essay Final Version and EIKEN Paragraph 3** 授業内容：Students revise their typed drafts in the computer lab and submit their final versions to their instructors. Students work on completing EIKEN Paragraph 3. 事前学修 1.0hr：Preview lesson materials and complete relevant textbook exercises 事後学修 2.0hr：Submit Compare and Contrast Essay Final Version and complete EIKEN Paragraph 3

9回	**授業テーマ：Opinion Essay Outline** 授業内容：Students work on their opinion essay outlines in their writing notebooks. Students will be assigned relevant textbook exercises by their instructors. 事前学修 1.0hr：Preview lesson materials and complete relevant textbook exercises 事後学修 2.0hr：Complete Opinion Essay Outline
10回	**授業テーマ：Opinion Essay Introduction** 授業内容：Students work on their opinion essay introductions in their writing notebooks. Students will be assigned relevant textbook exercises by their instructors. 事前学修 1.0hr：Preview lesson materials and complete relevant textbook exercises 事後学修 2.0hr：Complete Opinion Essay Introduction
11回	**授業テーマ：Opinion Essay Body** 授業内容：Students work on their opinion essay body paragraphs in their writing notebooks. Students will be assigned relevant textbook exercises by their instructors. 事前学修 1.0hr：Preview lesson materials and complete relevant textbook exercises 事後学修 1.0hr：Complete Opinion Essay Body
12回	**授業テーマ：Opinion Essay Conclusion** 授業内容：Students work on their opinion essay conclusions in their writing notebooks. Students will be assigned relevant textbook exercises by their instructors. 事前学修 1.0hr：Preview lesson materials and complete relevant textbook exercises 事後学修 2.0hr：Complete Opinion Essay Conclusion
13回	**授業テーマ：Opinion Essay Typing Lesson and EIKEN Paragraph 4** 授業内容：Students type their essays in the computer lab. Students will be assigned relevant textbook exercises by their instructors. Students work on EIKEN Paragraph 4. 事前学修 1.0hr：Preview lesson materials and complete relevant textbook exercises 事後学修 2.0hr：Students complete EIKEN Paragraph 4
14回	**授業テーマ：Opinion Essay Final Version and EIKEN Paragraph 5** 授業内容：Students revise their typed drafts in the computer lab and submit their final versions to their instructors. Students work on completing EIKEN Paragraph 5. 事前学修 1.0hr：Preview lesson materials and complete relevant textbook exercises 事後学修 2.0hr：Submit Opinion Essay Final Version and complete EIKEN Paragraph 5
15回	**授業テーマ：Portfolio Day** 授業内容：Students revise and submit any work as necessary to add to their writing portfolios. Instructors conduct feedback consultations with students and then students complete a course survey. 事前学修 1.0hr：Prepare writing portfolio; be ready to submit 事後学修 4.0hr：Review material from Writing II-b

Listening Ⅰ-a

開講学科等：英 ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：前

エヴァン　ガルシア・梶浦　恭平（かじうら　きょうへい）・パトリツィア　ハヤシ・リカルド　バルム

▌授業の概要

Listening I-a is a compulsory first-semester course in the first year of the Intensive Language Program (ILP). This course is designed to strengthen and expand students' listening skills and their scope of language. The main goal of the first semester is to build students' bottom-up listening skills through a variety of listening exercises and tasks that encourage active learning in the classroom and independent study.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：While this course mainly focuses on listening, integrating the four skills will be a key component of each class. Students will concentrate on a number of skills, including pronunciation and rhythm. Pre-task and post-task activities will be an essential part of the lessons. Through active participation and independent study, students will draw on the lessons learned and apply them in targeted tasks.

個別目標：By the end of the first semester, students will be able to listen for main ideas, take notes on details, and predict content from visuals.

▌履修条件

There are no prerequisites for this course. Attendance at more than 80% of the classes is required.

▌評価基準・方法

Students are evaluated via active participation (20%), listening logs (20%), quizzes (15%), unit tasks (45%). Feedback and assessments will be given in class or on manaba. Please consult your instructor.

▌フィードバック方法

On-going feedback will occur during the lessons. Four unit tasks and other course work will be evaluated to check student understanding of main ideas, inference, and listening for details.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Pair work and group work）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

A-D classes: Dimond-Bayir, S., & Russell, K. (2017). Prism, Listening and Speaking 1, Singapore: Cambridge University Press

▌参考書

Supplementary materials will be handed out by the instructor and available online.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Course Introduction** 授業内容：Students will learn about the syllabus and course schedule. Students will take part in group and pair activities to build a positive class atmosphere. Students will complete Elllo 1a. 事前学修 1.0hr：Prepare information on yourself 事後学修 1.5hr：Review course materials; Preview the first unit
2回	**授業テーマ：Unit 1 Part I** 授業内容：Students warm up with Elllo 1b. Students complete Activate Your Knowledge, and do all the Listening video activities. 事前学修 2.0hr：Preview topic questions and listening 事後学修 2.0hr：Review listening; Complete assigned textbook work
3回	**授業テーマ：Unit 1 Part II** 授業内容：Students warm up with listening activity Elllo 16a. Students complete textbook exercises related to vocabulary, grammar, and listening strategies. 事前学修 2.0hr：Preview language and pronunciation 事後学修 2.0hr：Complete assigned textbook work
4回	**授業テーマ：Unit Review and Mini Test** 授業内容：Students warm up with Elllo 16b. Students complete textbook exercises related to vocabulary, grammar, and listening strategies. Students complete a listening quiz. 事前学修 2.0hr：Review Unit 1 listening strategies 事後学修 2.0hr：Review listening and vocabulary; complete assigned textbook work
5回	**授業テーマ：Unit Task 1** 授業内容：Students will watch a video on a topic related to the unit's theme. Students answer questions and check answers in pairs. Students individually and in a group write advantages and disadvantages.; 事前学修 2.5hr：Review Unit 1 事後学修 2.0hr：Prepare Listening Log for presentation
6回	**授業テーマ：Listening Log 1** 授業内容：Students warm up with Elllo 13a. Based on the audio/video material chosen, students prepare a 3 question quiz. Students present listening log in a group and actively take notes. 事前学修 2.0hr：Preview language and pronunciation 事後学修 2.0hr：Complete assigned textbook work
7回	**授業テーマ：Unit 2 Part I** 授業内容：Students warm up with Elllo 13b. Students complete Activate Your Knowledge, and do all the Listening video activities. 事前学修 2.0hr：Review Unit 1 listening strategies 事後学修 2.0hr：Complete assigned textbook work
8回	**授業テーマ：Unit 2 Part II** 授業内容：Students warm up with Elllo 17a. Students complete the selected textbook listening activities. 事前学修 2.0hr：Preview the language; review the previous class notes 事後学修 2.0hr：Complete assigned textbook work
9回	**授業テーマ：Unit Review and Mini Test** 授業内容：Students warm up with Elllo 17b. Students complete textbook exercises related to vocabulary, grammar, and listening strategies. Students complete a listening quiz. 事前学修 2.0hr：Review Units 1 & 2 listening strategies 事後学修 2.0hr：Review listening and vocabulary; complete assigned textbook work

10回	**授業テーマ：Unit Task 2** 授業内容：Students watch a video on a topic related to the unit's theme. Students answer questions and check answers in pairs. Students individually write on a festival's positive and negative points. 事前学修 2.0hr：Review Unit 2 material 事後学修 2.0hr：Preview the next unit and complete assigned material
11回	**授業テーマ：Unit 3 Part I** 授業内容：Students warm up with Elllo 2a. Students complete Activate Your Knowledge, and do all the Listening video activities. 事前学修 2.0hr：Review Unit 2 listening strategies 事後学修 2.0hr：Review listening and vocabulary
12回	**授業テーマ：Unit 3 Part 2** 授業内容：Students warm up with Elllo 2b. Students complete the selected textbook listening activities. 事前学修 2.0hr：Review Units 1-2 listening strategies 事後学修 2.0hr：Review listening; Complete assigned textbook work
13回	**授業テーマ：Unit Review and Mini Test** 授業内容：Students warm up with listening activity Elllo 18a. Students complete textbook exercises related to vocabulary, grammar, and listening strategies. Students complete a listening quiz. 事前学修 2.0hr：Preview language and pronunciation 事後学修 2.0hr：Review listening and vocabulary; complete assigned textbook work
14回	**授業テーマ：Unit Task 3** 授業内容：Students watch a video on a topic related to the unit's theme. Students answer questions and write reasons about advantages and disadvantages. 事前学修 3.0hr：Review Units 1-3 listening strategies 事後学修 2.0hr：Review all course materials; Complete Unit Task 3; Prepare Listening Log
15回	**授業テーマ：Listening Log 2** 授業内容：Students warm up with Elllo 18b. Based on the audio/video material chosen, students prepare a 3 question quiz. Students present listening log in a group and actively take notes. 事前学修 1.5hr：Check that all task materials have been completed and submitted; Prepare Listening Log 事後学修 4.0hr：End-of-term survey; Submit all work; Complete summer homework

Listening Ⅰ-b

開講学科等：英 ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：後

エヴァン　ガルシア・梶浦　恭平（かじうら　きょうへい）・ティモシー　クレイシンガー・リカルド　バルム

▌授業の概要

Listening I-b is a compulsory second-semester course in the first year of the Intensive Language Program (ILP). Building upon the skills learned in the first semester, students will further expand and strengthen their listening skills and scope of language. The main goal of the second semester is the development of students' top-down processing though the practice of applying various listening skills and strategies that encourage active learning in the classroom and independent study.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：While this course mainly focuses on listening, integrating the four skills will be a key component of each class. Students will concentrate on a number of skills, including pronunciation and rhythm. Pre-task and post-task activities will be an essential part of the lessons. Through active participation and independent study, students will draw on the lessons learned and apply them in targeted tasks.

個別目標：By the end of the second semester, students will have acquired the skills and strategies to understand main ideas, make inferences, synthesize information, and be able to apply these skills to various situations.

▌履修条件

It is recommended that students take Listening I-a before undertaking this course. Attendance at more than 80% of the classes is required.

▌評価基準・方法

Students are evaluated via active participation (20%), listening logs (20%), quizzes (15%), unit tasks (45%). Feedback and assessments will be given in class or on manaba. Please consult your instructor.

▌フィードバック方法

On-going feedback will occur during the lessons. Four unit tasks and other course work will be evaluated to check student understanding of main ideas, inference, and listening for details.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Pair work and group work）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

A-D classes: Dimond-Bayir, S., & Russell, K. (2017). Prism, Listening and Speaking 1, Singapore: Cambridge University Press

▌参考書

Supplementary materials will be handed out by the instructor and available online.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Course Introduction** 授業内容：Students will learn about the syllabus and course schedule. Students will take part in group and pair activities to build a positive class atmosphere. Students will complete Elllo 20a. 事前学修 1.0hr：Prepare information on yourself 事後学修 1.5hr：Review course materials; Preview the first unit
2回	**授業テーマ：Unit 5 Part I** 授業内容：Students warm up with Elllo 20b. Students complete Activate Your Knowledge, and do all the Listening video activities. 事前学修 2.0hr：Preview topic questions and listening 事後学修 2.0hr：Review listening; Complete assigned textbook work
3回	**授業テーマ：Unit 5 Part II** 授業内容：Students warm up with listening activity Elllo 10a. Students complete textbook exercises related to vocabulary, grammar, and listening strategies. 事前学修 2.0hr：Preview language and pronunciation 事後学修 2.0hr：Complete assigned textbook work
4回	**授業テーマ：Unit Review and Mini Test** 授業内容：Students warm up with Elllo 10b. Students complete textbook exercises related to vocabulary, grammar, and listening strategies. Students complete a listening quiz. 事前学修 2.0hr：Review Unit 5 listening strategies 事後学修 2.0hr：Review listening and vocabulary; complete assigned textbook work
5回	**授業テーマ：Unit 5 Task 1** 授業内容：Students will watch a video on a topic related to the unit's theme. Students answer questions and check answers in pairs. Students individually and in a group write advantages and disadvantages.; 事前学修 2.5hr：Review Unit 5 事後学修 2.0hr：Prepare Listening Log for presentation
6回	**授業テーマ：Listening Log 1** 授業内容：Students warm up with Elllo 15a. Based on the audio/video material chosen, students prepare a 3 question quiz. Students present listening log in a group and actively take notes. 事前学修 2.0hr：Preview language and pronunciation 事後学修 2.0hr：Complete assigned textbook work
7回	**授業テーマ：Unit 7 Part I** 授業内容：Students warm up with Elllo 6a. Students complete Activate Your Knowledge, and do all the Listening video activities. 事前学修 2.0hr：Review Unit 5 listening strategies 事後学修 2.0hr：Complete assigned textbook work
8回	**授業テーマ：Unit 7 Part II** 授業内容：Students warm up with Elllo 6b. Students complete the selected textbook listening activities. 事前学修 2.0hr：Preview the language; review the previous class notes 事後学修 2.0hr：Complete assigned textbook work
9回	**授業テーマ：Unit 7 Review and Mini Test** 授業内容：Students warm up with Elllo 15b. Students complete textbook exercises related to vocabulary, grammar, and listening strategies. Students complete a listening quiz. 事前学修 2.0hr：Review Units 5 & 7 listening strategies 事後学修 2.0hr：Review listening and vocabulary; complete assigned textbook work

10回	**授業テーマ：Unit 7 Task 2** 授業内容：Students watch a video on a topic related to the unit's theme. Students answer questions and check answers in pairs. Students individually write on a festival's positive and negative points. 事前学修 2.0hr：Review Unit 7 material 事後学修 2.0hr：Preview the next unit and complete assigned material
11回	**授業テーマ：Unit 8 Part I** 授業内容：Students warm up with Elllo 14a. Students complete Activate Your Knowledge, and do all the Listening video activities. 事前学修 2.0hr：Review Unit 5 & 7 listening strategies 事後学修 2.0hr：Review listening and vocabulary
12回	**授業テーマ：Unit 8 Part II** 授業内容：Students warm up with Elllo 14b. Students complete the selected textbook listening activities. 事前学修 2.0hr：Review Units 5,7 & 8 listening strategies 事後学修 2.0hr：Review listening; Complete assigned textbook work
13回	**授業テーマ：Unit 8 Review and Mini Test** 授業内容：Students warm up with listening activity Elllo 9a. Students complete textbook exercises related to vocabulary, grammar, and listening strategies. Students complete a listening quiz. 事前学修 2.0hr：Preview language and pronunciation 事後学修 2.0hr：Review listening and vocabulary; complete assigned textbook work
14回	**授業テーマ：Unit 8 Task 3** 授業内容：Students watch a video on a topic related to the unit's theme. Students answer questions and write reasons about advantages and disadvantages. 事前学修 3.0hr：Review Units 5,7 & 8 listening strategies 事後学修 2.0hr：Review all course materials; Complete Unit Task 3; Prepare Listening Log
15回	**授業テーマ：Listening Log 2** 授業内容：Students warm up with Elllo 9b. Based on the audio/video material chosen, students prepare a 3 question quiz. Students present listening log in a group and actively take notes. 事前学修 1.5hr：Check that all task materials have been completed and submitted; Prepare Listening Log 事後学修 4.0hr：End-of-term survey; Submit all work

Listening Ⅱ-a

開講学科等：英 ｜ 2 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：前

ジェラルド　ライト・ピエール　アレック・マット　ピーターセン

▌授業の概要

A compulsory first-semester course in the second year of the Intensive Language Program (ILP). Building on the skills learned in Listening I-a/b, Listening II-a requires students to listen to and comprehend more challenging academic listening formats. In Listening II-a, it is essential that listening activities be integrated with other language skills (e.g., spoken production and interaction, reading, vocabulary learning) and important academic skills (e.g., critical thinking, note-taking strategies, summarizing key information etc.).

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：While this course mainly focuses on listening, integrating the four skills will be a key component of each class. Students will concentrate on a number of skills; however, vocabulary acquisition and critical thinking will be particularly emphasized. Pre-task and post-task activities will be an essential part of the lessons. Through active participation and independent study, students will draw on the lessons learned and apply them in targeted listening tasks.

個別目標：By the end of the first semester, students will be able to listen to and comprehend a variety of current topics.

▌履修条件

It is recommended that students take Listening I-a/b before undertaking this course. Attendance at more than 80% of the classes is required.

▌評価基準・方法

Students are evaluated via active participation (20%), listening logs (20%), practical listening tasks (15%) and unit tasks (45%). Feedback and assessments will be given in class or on manaba. Please consult your instructor.

▌フィードバック方法

On-going feedback will occur during the lessons. Three unit tasks, three practical listening tasks and other course work are evaluated to check students' understanding of main ideas, inference, and listening for details.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Pair work and group work）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

A-D classes: Ostrowska, S., & Jordan, N. (2017). Prism, Listening and Speaking 2, Singapore: Cambridge University Press

▌参考書

Supplementary materials will be handed out by the instructor and available online.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Course Introduction** 授業内容：Students learn about the syllabus and course schedule. Students take part in group and pair activities to build a positive class atmosphere. Students complete listening activity Elllo 3a. 事前学修 1.0hr：Prepare a self-introduction 事後学修 2.0hr：Review course materials and preview first unit
2回	**授業テーマ：Animals** 授業内容：Students warm up with Elllo 3b. Students complete Activate Your Knowledge, and do all the Listening I activities. Students complete a quiz based on the content covered in the class. 事前学修 2.0hr：Preview topic questions and listening 事後学修 2.0hr：Review listening; Complete assigned textbook work
3回	**授業テーマ：Practical Listening Task 1** 授業内容：Students warm up with Elllo 36a. Check textbook work. Students complete a practical listening task focused on understanding inference. Students discuss their opinion on the topic. 事前学修 2.0hr：Preview language and pronunciation; Preview listening 事後学修 2.0hr：Complete assigned textbook work; Complete Practical Listening Task 1
4回	**授業テーマ：Present Human Threats to Polar Bears** 授業内容：Students warm up with Elllo 36b. Students complete all the Listening 2 activities. Students complete a quiz based on the content covered in the class. 事前学修 2.0hr：Preview listening and vocabulary 事後学修 2.0hr：Review listening; Complete assigned textbook work
5回	**授業テーマ：Unit Task 1** 授業内容：Students watch a video on a topic related to the unit's theme. Students answer questions and research about an endangered animal. Students actively listen to their classmates. 事前学修 2.0hr：Preview listening and take notes 事後学修 2.0hr：Review unit; Complete Unit Task 1; Preview the next unit
6回	**授業テーマ：The Environment** 授業内容：Students warm up with Elllo 32a. Students complete Activate Your Knowledge, and do all the Listening I activities. Students complete a quiz based on the content covered in the class. 事前学修 2.0hr：Preview topic questions and listening 事後学修 2.0hr：Review listening; Complete assigned textbook work; Prepare Listening Log 1
7回	**授業テーマ：Listening Log 1** 授業内容：Students warm up with Elllo 32b. Based on the audio/video material chosen, students prepare a 3 question quiz for classmates. Students present their listening log in a group and actively take notes. 事前学修 2.0hr：Preview listening and vocabulary 事後学修 2.0hr：Review listening; Complete assigned textbook work
8回	**授業テーマ：Debate about Nuclear Power** 授業内容：Students warm up with Elllo 35a. Students complete all the Listening 2 activities. Students complete a quiz based on the content covered in the class. 事前学修 2.0hr：Preview language development, listening and vocabulary 事後学修 2.0hr：Review listening; Complete assigned textbook work

9回	**授業テーマ：Unit Task 2** 授業内容：Students watch a video on a topic related to the unit's theme. Students answer questions and prepare a reading dictation activity with their classmates. Students work on asking for clarification. 事前学修 2.0hr：Preview listening and take notes 事後学修 2.0hr：Review unit; Complete Unit Task 2; Preview the next unit
10回	**授業テーマ：Transportation** 授業内容：Students warm up with Elllo 35b. Students complete Activate Your Knowledge, and do all the Listening I activities. Students complete a quiz based on the content covered in the class. 事前学修 2.0hr：Preview topic questions and listening 事後学修 2.0hr：Review listening; Complete assigned textbook work.
11回	**授業テーマ：Practical Listening Task 2** 授業内容：Students warm up with Elllo 28a. Check textbook work. Students complete a practical listening task focused on understanding inference. Students discuss their opinion on the topic. 事前学修 2.0hr：Preview listening and vocabulary 事後学修 2.0hr：Review listening; Complete Practical Listening 2
12回	**授業テーマ：A Presentation about Biking to Work** 授業内容：Students warm up with Elllo 28b. Students complete all the Listening 2 activities. Students complete a quiz based on the content covered in the class. 事前学修 2.0hr：Preview language development, listening and vocabulary 事後学修 2.0hr：Review listening; Complete assigned textbook work
13回	**授業テーマ：Unit Task 3** 授業内容：Students watch a video on a topic related to the unit's theme. Students answer questions and build their vocabulary. Students focus on speculation and follow-up questions. 事前学修 2.0hr：Preview Preparation for Speaking; Make a list of transportation problems 事後学修 2.0hr：Review unit; Complete Unit Task 3; Prepare Listening Log 2
14回	**授業テーマ：Listening Log 2** 授業内容：Students warm up with Elllo 38a. Based on the audio/video material chosen, students prepare a 3 question quiz for classmates. Students present their listening log in a group and actively take notes. 事前学修 2.0hr：Review all units covered in the term 事後学修 2.0hr：Review all course materials; Complete any remaining work
15回	**授業テーマ：Practical Listening 3** 授業内容：Students warm up with Elllo 38b. Students complete a practical listening task focused on understanding inference. Students discuss their opinion on the topic. 事前学修 2.0hr：Check that all task materials have been completed and submitted 事後学修 4.0hr：End-of-term-survey; Complete summer homework

Listening Ⅱ-b

開講学科等：英 ｜ 2 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：後

ティモシー　クレイシンガー・ピエール　アレック・マット　ピーターセン

▌授業の概要

A compulsory second-semester course in the second year of the ILP. Students will continue to expand and strengthen their listening and academic skills. Through listening to a range of current topics, students will be expected to think critically about various social issues and conditions, utilizing the vocabulary and language learned through listening excerpts, vocabulary exercises and speaking tasks.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：While this course mainly focuses on listening, integrating the four skills will be a key component of each class. Students will concentrate on a number of skills; however, vocabulary acquisition and critical thinking will be particularly emphasized. Pre-task and post-task activities will be an essential part of the lessons. Through active participation and independent study, students will draw on the lessons learned and apply them to targeted listening tasks.

個別目標：By the end of the second semester, students will have acquired the skills and strategies to understand main ideas, make inferences, listen for details, and be able to apply these skills to in order to think critically about the topics under discussion.

▌履修条件

It is recommended that students take Listening I-a/b and Listening II-a before undertaking this course. Attendance at more than 80% of the classes is required.

▌評価基準・方法

Students are evaluated via active participation (20%), listening logs (20%), practical listening tasks (15%), and unit tasks (45%). Feedback and assessments will be given in class or on manaba. Please consult your instructor.

▌フィードバック方法

On-going feedback will occur during the lessons. Three unit tasks, two practical listening tasks and other course work are evaluated to check students' understanding of main ideas, inference, and listening for details.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Pair work and group work）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

A-D classes: Ostrowska, S., & Jordan, N. (2017). Prism, Listening and Speaking 2, Singapore: Cambridge University Press

▌参考書

Supplementary materials will be handed out by the instructor and available online.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Course Introduction** 授業内容：Students review the syllabus and go over the course schedule. Students warm up with listening activity Elllo 25a. Students present their summer homework in pairs or a group. 事前学修 3.0hr：Review first term; Check that all summer homework is ready 事後学修 2.0hr：Preview first unit
2回	**授業テーマ：Health and Fitness** 授業内容：Students warm up with listening activity Elllo 25b. Students complete Activate Your Knowledge, and do the Listening 1 activities. Students complete a quiz based on the content covered in the class. 事前学修 2.0hr：Review first term; Preview topic questions 事後学修 2.0hr：Review listening; Complete assigned textbook work
3回	**授業テーマ：Practical Listening Task 1** 授業内容：Students warm up with listening activity Elllo 21a. Check textbook work. Students complete a video listening activity on real world issues. Students discuss their opinion on the topic. 事前学修 2.0hr：Preview listening and vocabulary 事後学修 2.0hr：Complete assigned textbook work and Practical Listening Task 1
4回	**授業テーマ：Programs to Improve Your Health** 授業内容：Students warm up with listening activity Elllo 21b. Students complete all Listening 2 activities. Students complete a quiz based on the content covered in the class. 事前学修 2.0hr：Preview and complete Language Development and vocabulary 事後学修 2.0hr：Review listening; Complete assigned textbook work
5回	**授業テーマ：Unit Task 1** 授業内容：Students watch a video on a topic related to the unit's theme. Students answer questions and do a listening activity with their classmates. Students work on asking for clarification. 事前学修 2.0hr：Preview Mind Maps and Preparation for Speaking 事後学修 2.0hr：Review unit; Complete Unit Task 1; Preview the next unit
6回	**授業テーマ：Discovery and Invention** 授業内容：Students warm up with listening activity Elllo 37a. Students complete Activate Your Knowledge, and do the Listening 1 activities. Students complete a quiz based on the content covered in the class. 事前学修 2.0hr：Preview topic questions and listening 事後学修 2.0hr：Review listening; Complete assigned textbook work; Prepare Listening Log 1
7回	**授業テーマ：Listening Log 1** 授業内容：Students warm up with listening activity Elllo 37b. Based on their audio/video material, students prepare a 3 question quiz. Students present their listening log in a group and actively take notes. 事前学修 2.0hr：Preview listening and vocabulary 事後学修 2.0hr：Review listening; Complete assigned textbook work
8回	**授業テーマ：History of Smartphone Apps** 授業内容：Students warm up with listening activity Elllo 22a. Students complete all Listening 2 activities. Students complete a quiz based on the content covered in the class. 事前学修 2.0hr：Preview and complete Language Development and vocabulary 事後学修 2.0hr：Review listening; Complete assigned textbook work

9回	**授業テーマ：Unit Task 2** 授業内容：Students watch a video on a topic related to the unit's theme. Students answer questions and consider which invention is more important. Students discuss their choices. 事前学修 2.0hr：Preview Preparation for Speaking 事後学修 2.0hr：Review unit; Complete Unit Task 2
10回	**授業テーマ：Fashion** 授業内容：Students warm up with listening activity Elllo 22b. Students complete Activate Your Knowledge, and do the Listening 1 activities. Students complete a quiz based on the content covered in the class. 事前学修 2.0hr：Preview topic questions and listening 事後学修 2.0hr：Preview listening; Complete assigned textbook work
11回	**授業テーマ：Practical Listening Task 2** 授業内容：Students warm up with listening activity Elllo 28a. Check textbook work. Students complete a video listening activity on real world issues. Students discuss their opinion on the topic. 事前学修 2.0hr：Preview listening and vocabulary 事後学修 2.0hr：Review listening: Complete Practical Listening 2
12回	**授業テーマ：An Interview with a Fashion Designer** 授業内容：Students warm up with listening activity Elllo 22a. Students complete all Listening 2 activities. Students complete a quiz based on the content covered in the class. 事前学修 2.0hr：Preview and complete Language Development 事後学修 2.0hr：Review listening; Complete assigned textbook work
13回	**授業テーマ：Unit Task 3** 授業内容：Students watch a video on a topic related to the unit's theme. Students summarize the video and report its contents to their classmates. Students take notes and ask for clarification. 事前学修 2.0hr：Preview asking good interview questions 事後学修 3.0hr：Review unit; Complete Unit Task 3; Prepare Listening Log 2
14回	**授業テーマ：Listening Log 2** 授業内容：Students warm up with listening activity Elllo 23a. Based on their audio/video material, students prepare a 3 question quiz. Students present their listening log in a group and actively take notes. 事前学修 2.0hr：Review all units covered in the term 事後学修 4.0hr：Review all course materials; Complete Listening Log Presentation 2
15回	**授業テーマ：Practical Listening 3** 授業内容：Students warm up with listening activity Elllo 23b. Students complete a practical listening task focused on understanding inference. Students discuss their opinion on the topic. 事前学修 2.0hr：Check that all task materials have been completed and submitted 事後学修 4.0hr：End-of-term survey; Create a plan of independent listening study and implement it

フレッシュパーソンセミナーⅠ

開講学科等：中　｜　1年次　｜　1単位　｜　開講期：前

宇賀神　秀一（うがじん　しゅういち）・**河村　昌子**（かわむら　しょうこ）・**神崎　龍志**（かんざき　たつし）・**中嶋　諒**（なかじま　りょう）

▌授業の概要

中国語学科１年生を対象に、初年度教育をおこないます。中国語学科の学生として大学生活を送る上で必要な情報を確認し、落ち着いて授業に臨む心構えを養います。講義内容には、図書館の利用方法、中国語学習アプリの活用方法、留学生との交流会、中国語の検定試験の概説などが含まれます。また、グループ活動を通じて、学生間ならびに教員と学生間の親睦を深めます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2）

一般目標：学生間および教員と学生間の信頼関係を構築し、中国語学科の学生として４年間学んでいくための心構えを形成する。さらに、中国語や中国文化を学ぶ意義やその学び方等についても理解を深める。

個別目標：①本学の中国語学科で中国語や中国に関して学ぶ意義を説明できる。
②適切にコミュニケーションし、良好な人間関係を築くことができる。

▌履修条件

特になし。

▌評価基準・方法

①授業への取り組み（７０%）
②レポートの内容に対する評価（３０%）
なお、原則として５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （留学生との交流等の授業において実施する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （中国語学習アプリを利用する。）

▌教科書

『中国から考える合理性　中国を深く知るための８の論考』（河村昌子／中嶋諒編著、東方書店、２０２４年）

▌参考書

必要に応じて指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス（履修上の注意点など）** 授業内容：授業の概要を説明する。 事前学修 1.5hr：シラバスを事前に読んでおく 事後学修 1.5hr：授業の概要を確認し、今後の見通しを立てる
2回	**授業テーマ：チームビルディング（１）** 授業内容：チームを作り、関係を構築する。 事前学修 1.5hr：グループ活動の意義を考える 事後学修 1.5hr：今後のグループ活動に期待することを考える
3回	**授業テーマ：チームビルディング（２）** 授業内容：チームごとの課題を決める。 事前学修 1.5hr：課題の案を考える 事後学修 1.5hr：課題の意義について考える
4回	**授業テーマ：チームビルディング（３）** 授業内容：チームごとに課題を完成させる。 事前学修 1.5hr：課題の進め方をイメージする 事後学修 1.5hr：課題の内容とチームの取り組み方を振り返る
5回	**授業テーマ：中国語学習アプリの活用方法** 授業内容：各自のスマホなどを使いながら、中国語学科中国語学習アプリの利用方法を学ぶ。 事前学修 1.5hr：中国語学習アプリについて事前に調べておく 事後学修 1.5hr：中国語学科中国語学習アプリを実際に使って、利用可能なツールとする
6回	**授業テーマ：多言語コミュニケーションセンターの活用方法を学ぶ　※第１回レポート課題指示** 授業内容：多言語コミュニケーションセンター MLACC、MLACC 中国語ゾーンを訪れ、実地でその活用方法を学ぶ。 事前学修 1.5hr：多言語コミュニケーションセンターについて事前に調べておく 事後学修 1.5hr：MLACC 及び MLACC 中国語ゾーンの利用方法を確認し、実際に利用する
7回	**授業テーマ：図書館の活用方法を学ぶ** 授業内容：本学図書館を訪れ、実地でその活用方法を学ぶ。 事前学修 1.5hr：図書館の概況と利用の手順について事前に調べておく 事後学修 1.5hr：図書館の活用方法について確認し、実際に利用する
8回	**授業テーマ：検定試験について** 授業内容：中国語検定試験、HSK について概説する。 事前学修 1.5hr：中国語の検定試験について事前に調べておく 事後学修 1.5hr：中国語検定試験受験に向けてスケジュールを整理する
9回	**授業テーマ：前半の振り返り　※第１回レポート提出** 授業内容：第 8 回までに学んだことを振り返る。 事前学修 1.5hr：第 8 回までに学んだことを確認する 事後学修 1.5hr：中国語学科での学びについて考える
10回	**授業テーマ：専門講義～中国語の文法について** 授業内容：中国語の介詞について 事前学修 1.5hr：これまでに学んだ中国語の文法事項を復習しておく 事後学修 1.5hr：授業で得られた知見についてまとめる
11回	**授業テーマ：専門講義～中国の古典文学について** 授業内容：中国の古典文学の世界を紹介する。 事前学修 1.5hr：漢詩について事前に調べておく 事後学修 1.5hr：授業で得られた知見についてまとめる

12回	**授業テーマ：専門講義～中国の近現代文学について** 授業内容：中国の作家巴金について紹介する。 事前学修 1.5hr：現代中国の文学者について事前に調べておく 事後学修 1.5hr：授業で得られた知見についてまとめる
13回	**授業テーマ：専門講義～中国経済について** 授業内容：高度成長から安定成長へと転換する中国経済。 事前学修 1.5hr：中国経済について事前に調べておく 事後学修 1.5hr：授業で得られた知見についてまとめる
14回	**授業テーマ：留学生との交流　※第２回レポート課題指示** 授業内容：中国人留学生とともに与えられたテーマに沿って交流をおこなう。 事前学修 1.5hr：留学生と中国語で交流する際に必要な用語、会話文や内容について事前に調べる 事後学修 1.5hr：留学生との交流を通じて得られた知見および感想をまとめる
15回	**授業テーマ：第２回レポートの提出および授業の全体総括** 授業内容：これまでの授業内容について総括し、レポートを提出する。 事前学修 1.5hr：レポート作成 事後学修 1.5hr：フレッシュパーソンセミナーⅠで学んだことについてまとめる

フレッシュパーソンセミナーⅡ

開講学科等：中　｜　1年次　｜　1単位　｜　開講期：後

宇賀神　秀一（うがじん　しゅういち）・**河村　昌子**（かわむら　しょうこ）・**神崎　龍志**（かんざき　たつし）・**中嶋　諒**（なかじま　りょう）

▌授業の概要

フレッシュパーソンセミナーⅠに引き続き、初年度教育をおこないます。言語、文学、歴史、思想、経済、コミュニケーションなどの角度から、中国語と中国文化に関する専門講義を行います。「知へのステップ」と題した連続講義、また学科内の留学経験者による報告会も実施します。中国語と中国文化への興味を養い、中国語学科でさらに学びを深めていくための基礎を固めます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2）

一般目標：中国語学習へのモチベーションを高め、中国に関する知識を身につけ、今後の学びのための基盤を築く。中国語学科の学生として４年間学んでいくための心構えを形成する。さらに、中国語や中国文化を学ぶ意義やその学び方等についても理解を深める。

個別目標：①本学の中国語学科で中国語や中国に関して学ぶ意義を説明できる。
②講義から得られた知見を説明できる。

▌履修条件

特になし。

▌評価基準・方法

①講義への取り組み（５０%）
②ガイダンス、講演等への取り組み（２０%）
③レポート２本（３０%）
なお、原則として５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

レポート課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （質疑応答、通訳体験等。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

『中国から考える合理性　中国を深く知るための８の論考』（河村昌子／中嶋諒編著、東方書店、２０２４年）

▌参考書

特になし。必要な場合は、担当教員が適宜、指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス（履修、中検等）** 授業内容：授業の概要と中国語検定試験受験について説明する。 事前学修 1.5hr：事前にシラバスを読み、疑問点等を整理しておく 事後学修 1.5hr：授業の概要を確認し、今後の見通しを立てる
2回	**授業テーマ：健やかな大学生活を送るために** 授業内容：外部講師による講演をおこなう。 事前学修 1.5hr：健康について考える 事後学修 1.5hr：講演で得られた知見についてまとめる
3回	**授業テーマ：留学経験者報告会** 授業内容：留学体験をした本学科学生に、現地での学修、文化体験プログラムについて報告してもらう。質疑応答も併せておこなう。 事前学修 1.5hr：留学について事前に知りうる情報を調べておく 事後学修 1.5hr：授業で得られた知見についてまとめる
4回	**授業テーマ：専攻について** 授業内容：中国語学科の専攻（グローバルスタディーズ専攻と中国語専攻）について説明する。 事前学修 1.5hr：専攻について事前に調べておく 事後学修 1.5hr：専攻選択に向けて、自分の学びたいことについて考える
5回	**授業テーマ：「知へのステップ①～リーディングと要約作成のスキル」** 授業内容：よい読解とはなにか、要約作成にはどんなコツが必要か、そのスキルを学ぶ。 事前学修 1.5hr：リーディングと要約作成について事前に調べておく 事後学修 1.5hr：授業内容を確認し、定着を図る。
6回	**授業テーマ：「知へのステップ②～アカデミック・ライティング」** 授業内容：授業レポートや卒業研究で必要となる学術的文章とはどのようなものか、その基本的ルールを学ぶ。 事前学修 1.5hr：アカデミック・ライティングについて事前に調べておく 事後学修 1.5hr：授業内容を確認し、定着を図る。
7回	**授業テーマ：論文講義「中国における合理性と経済発展」　※第１回レポート課題提示** 授業内容：『中国から考える合理性 中国を深く知るための８の論考』掲載の「中国における合理性と経済発展」に関する講義。 事前学修 1.5hr：事前に論文に目を通しておく 事後学修 1.5hr：授業で得られた知見についてまとめる
8回	**授業テーマ：論文講義「武漢は新型コロナウイするとどう遭遇したか」　※第１回レポート課題提出** 授業内容：『中国から考える合理性 中国を深く知るための８の論考』掲載の「武漢は新型コロナウイするとどう遭遇したか」に関する講義。 事前学修 1.5hr：事前に論文に目を通しておく 事後学修 1.5hr：授業で得られた知見についてまとめる
9回	**授業テーマ：論文講義「医三世ならざれば、其の薬を服さず」** 授業内容：『中国から考える合理性 中国を深く知るための８の論考』掲載の「医三世ならざれば、其の薬を服さず」に関する講義。 事前学修 1.5hr：事前に論文に目を通しておく 事後学修 1.5hr：授業で得られた知見についてまとめる
10回	**授業テーマ：論文講義「汎用化された“老師”の使用をめぐって」** 授業内容：『中国から考える合理性 中国を深く知るための８の論考』掲載の「汎用化された“老師”の使用をめぐって」に関する講義。 事前学修 1.5hr：事前に論文に目を通しておく 事後学修 1.5hr：授業で得られた知見についてまとめる

11回	**授業テーマ：論文講義「中国語ネイティブ会議通訳者の日本語運用能力について」** 授業内容：中国から考える合理性 中国を深く知るための８の論考』掲載の「中国語ネイティブ会議通訳者の日本語運用能力について」に関する講義。 事前学修 1.5hr：事前に論文に目を通しておく 事後学修 1.5hr：授業で得られた知見についてまとめる
12回	**授業テーマ：論文講義「中国を学ぶための合理的な方法」** 授業内容：中国から考える合理性 中国を深く知るための８の論考』掲載の「中国を学ぶための合理的な方法」に関する講義。 事前学修 1.5hr：中国の近現代文学について事前に調べておく 事後学修 1.5hr：事前に論文に目を通しておく
13回	**授業テーマ：日中通訳について** 授業内容：日中通訳の体験的パフォーマンスを通じて、「通訳するとはどういう行為なのか」について理解を深める。 事前学修 1.5hr：中国語通訳について事前に調べておく 事後学修 1.5hr：授業で得られた知見についてまとめる
14回	**授業テーマ：就職、進路について　※第２回レポート課題指示** 授業内容：進路の決め方、就職活動の進め方について説明する。 事前学修 1.5hr：進路について考える 事後学修 1.5hr：講義内容を踏まえて、進路について考える
15回	**授業テーマ：総括　※第２回レポート課題提出** 授業内容：これまでの授業における成果と課題についてまとめる。レポートを提出する。 事前学修 1.5hr：レポート作成 事後学修 1.5hr：フレッシュパーソン・セミナーⅡで学んだことを整理する

課題探求セミナーⅠ（中国語専攻）

開講学科等：中 ｜ 2年次 ｜ 1単位 ｜ 開講期：前

于　明明（う　めいめい）・王　丹（おう　たん）・曹　泰和（そう　たいわ）・余　瀾（よ　らん）

▌授業の概要
中国語による作文およびプレゼンテーションを通して、中国語能力の向上とコミュニケーション能力の強化をはかります。はじめは中国語の文章の効果的な読み方、伝達方法について学び、その後自分の専攻を踏まえて自分で作文した内容のプレゼンテーションを行います。多人数の前で話すときの注意点や抑揚の付け方など総合的に学んでいきます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）
一般目標：中国語を用いて自分の意見をまとめ、多人数の前で効果的なプレゼンテーションができるようになることを目標とします。
個別目標：プレゼンテーションの短期目標を設定し、問題解決能力を磨きます。

▌履修条件
特になし。

▌評価基準・方法
受講時の積極性、プレゼンテーションの実施とその完成度によって評価。

▌フィードバック方法
課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）
あり （履修生の前で発表。）

▌授業での PC の利用（利用内容）
なし

▌教科書
使用しない。

▌参考書
適宜プリントを配布する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス(授業の進め方について)** 授業内容：スピーチコンテスト及びそれに向けた授業運営の説明。 事前学修 1.0hr：カリキュラムを確認する。 事後学修 1.0hr：授業スケジュールを確認する。
2回	**授業テーマ：中国語の発音、イントネーションの訓練** 授業内容：音声のチェック、確認、練習。 事前学修 1.0hr：発音の練習を事前に行う。 事後学修 1.0hr：明確な発音、イントネーションの復習をする。
3回	**授業テーマ：効果的に相手に情報を伝えるための演習** 授業内容：抑揚の付け方や間の取り方など。 事前学修 1.0hr：発声の強弱や表情、動作について予習する。 事後学修 1.0hr：効果的に情報を伝えられるよう復習する。
4回	**授業テーマ：プレゼンテーションに必要な技能を学ぶ** 授業内容：アイコンタクト、プレゼン時のボディーランゲージなど。 事前学修 1.0hr：前回講義の復習をしておく。 事後学修 1.0hr：プレゼンテーション技能のまとめと復習をする。
5回	**授業テーマ：中国語によるプレゼンテーション演習** 授業内容：中国語を暗記し、プレゼンテーションを練習。 事前学修 1.0hr：プレゼンテーションの内容を十分に把握する。 事後学修 1.0hr：プレゼンテーションの結果をまとめ、今後の課題を整理する。
6回	**授業テーマ：中国語によるプレゼンテーション原稿の作成** 授業内容：プレゼンテーション用の原稿の修正、完成。 事前学修 1.0hr：プレゼンテーション原稿の内容を予習する。 事後学修 1.0hr：原稿のチェック、内容の復習をする。
7回	**授業テーマ：中国語の発音、イントネーションの演習** 授業内容：発音のチェック、声調の確認など。 事前学修 1.0hr：発音、イントネーションを予習する。 事後学修 1.0hr：明確な発音、イントネーションの復習をする。
8回	**授業テーマ：効果的に相手に情報を伝えるための演習** 授業内容：抑揚の付け方、間の取り方など。 事前学修 1.0hr：発声の強弱や表情、動作について予習する。 事後学修 1.0hr：効果的に情報を伝えられるよう復習する。
9回	**授業テーマ：プレゼンテーションに必要な技能演習** 授業内容：アイコンタクト、プレゼン時のボディーランゲージなど。 事前学修 1.0hr：前回学んだ内容を復習しておく。 事後学修 1.0hr：本番に備えたプレゼンテーション練習をする。
10回	**授業テーマ：中国語によるプレゼンテーション演習** 授業内容：中国語を暗記し、プレゼンテーションを練習。 事前学修 1.0hr：プレゼンテーションの内容を十分に把握する。 事後学修 1.0hr：プレゼンテーションの結果をまとめ、今後の課題を整理する。
11回	**授業テーマ：中国語によるプレゼンテーション原稿の作成** 授業内容：プレゼンテーション用の原稿の修正、完成。 事前学修 1.0hr：プレゼンテーション原稿の内容を予習する。 事後学修 1.0hr：原稿のチェック、内容の復習をする。
12回	**授業テーマ：中国語の発音、イントネーションの演習** 授業内容：発音のチェック、声調の確認など。 事前学修 1.0hr：発音、イントネーションを予習する。 事後学修 1.0hr：明確な発音、イントネーションの復習をする。

13回	**授業テーマ：効果的に相手に情報を伝えるための演習** 授業内容：抑揚の付け方、間の取り方など。 事前学修 1.0hr：発声の強弱や表情、動作について予習する。 事後学修 1.0hr：効果的に情報を伝えられるよう復習する。
14回	**授業テーマ：プレゼンテーションに必要な技能演習** 授業内容：アイコンタクト、プレゼン時のボディーランゲージなど。 事前学修 1.0hr：前回学んだ内容を復習しておく。 事後学修 1.0hr：本番に備えたプレゼンテーション練習をする。
15回	**授業テーマ：中国語によるプレゼンテーション演習** 授業内容：中国語を暗記し、プレゼンテーションを練習。 事前学修 1.0hr：プレゼンテーションの内容を十分に把握する。 事後学修 1.0hr：プレゼンテーションの結果をまとめ、今後の課題を整理する。

課題探求セミナーⅠ（グローバル・スタディーズ専攻）

開講学科等：中 ｜ 2年次 ｜ 1単位 ｜ 開講期：前

高田　誠（たかだ　まこと）・**張　先煜**（ちょう　せんいく）

▌授業の概要
中国語による作文およびプレゼンテーションを通して、中国語能力の向上とコミュニケーション能力の強化をはかります。はじめは中国語の文章の効果的な読み方、伝達方法について学び、その後自分の専攻を踏まえて自分で作文した内容のプレゼンテーションを行います。多人数の前で話すときの注意点や抑揚の付け方など総合的に学んでいきます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）
一般目標：中国語を用いて自分の意見をまとめ、多人数の前で効果的なプレゼンテーションができるようになることを目標とします。
個別目標：プレゼンテーションの短期目標を設定し、問題解決能力を磨きます。

▌履修条件
特になし。

▌評価基準・方法
受講時の積極性、プレゼンテーションの実施とその完成度によって評価。

▌フィードバック方法
課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）
あり （履修生の前で発表。）

▌授業での PC の利用（利用内容）
なし

▌教科書
使用しない。

▌参考書
適宜プリントを配布する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス(授業の進め方について)** 授業内容：授業の進め方に関する説明。 事前学修 1.0hr：カリキュラムを確認する。 事後学修 1.0hr：授業スケジュールを確認する。
2回	**授業テーマ：中国語の発音、イントネーションの訓練** 授業内容：発音の練習、声調、イントネーションの訓練。 事前学修 1.0hr：発音の練習を事前に行う。 事後学修 1.0hr：明確な発音、イントネーションの復習をする。
3回	**授業テーマ：効果的に相手に情報を伝えるための演習** 授業内容：抑揚の付け方、間の取り方など。 事前学修 1.0hr：発声の強弱や表情、動作について予習する。 事後学修 1.0hr：効果的に情報を伝えられるよう復習する。
4回	**授業テーマ：プレゼンテーションに必要な技能を学ぶ** 授業内容：アイコンタクトやボディランゲージなど。 事前学修 1.0hr：前回講義の復習をしておく。 事後学修 1.0hr：プレゼンテーション技能のまとめと復習をする。
5回	**授業テーマ：中国語によるプレゼンテーション演習** 授業内容：中国語を暗記し、プレゼンテーション練習。 事前学修 1.0hr：プレゼンテーションの内容を十分に把握する。 事後学修 1.0hr：プレゼンテーションの結果をまとめ、今後の課題を整理する。
6回	**授業テーマ：中国語によるプレゼンテーション原稿の作成** 授業内容：中国語原稿の作成、修正。 事前学修 1.0hr：プレゼンテーション原稿の内容を予習する。 事後学修 1.0hr：原稿のチェック、内容の復習をする。
7回	**授業テーマ：中国語の発音、イントネーションの演習** 授業内容：発音の練習、声調、イントネーションの訓練。 事前学修 1.0hr：発音、イントネーションを予習する。 事後学修 1.0hr：明確な発音、イントネーションの復習をする。
8回	**授業テーマ：効果的に相手に情報を伝えるための演習** 授業内容：抑揚の付け方、間の取り方など。 事前学修 1.0hr：発声の強弱や表情、動作について予習する。 事後学修 1.0hr：効果的に情報を伝えられるよう復習する。
9回	**授業テーマ：プレゼンテーションに必要な技能演習** 授業内容：アイコンタクトやボディランゲージなど。 事前学修 1.0hr：前回学んだ内容を復習しておく。 事後学修 1.0hr：本番に備えたプレゼンテーション練習をする。
10回	**授業テーマ：中国語によるプレゼンテーション演習** 授業内容：中国語を暗記し、プレゼンテーション練習。 事前学修 1.0hr：プレゼンテーションの内容を十分に把握する。 事後学修 1.0hr：プレゼンテーションの結果をまとめ、今後の課題を整理する。
11回	**授業テーマ：中国語によるプレゼンテーション原稿の作成** 授業内容：中国語原稿の作成、修正。 事前学修 1.0hr：プレゼンテーション原稿の内容を予習する。 事後学修 1.0hr：原稿のチェック、内容の復習をする。
12回	**授業テーマ：中国語の発音、イントネーションの演習** 授業内容：発音の練習、声調、イントネーションの訓練。 事前学修 1.0hr：発音、イントネーションを予習する。 事後学修 1.0hr：明確な発音、イントネーションの復習をする。

13回	**授業テーマ：効果的に相手に情報を伝えるための演習** 授業内容：抑揚の付け方、間の取り方など。 事前学修 1.0hr：発声の強弱や表情、動作について予習する。 事後学修 1.0hr：効果的に情報を伝えられるよう復習する。
14回	**授業テーマ：プレゼンテーションに必要な技能演習** 授業内容：アイコンタクトやボディランゲージなど。 事前学修 1.0hr：前回学んだ内容を復習しておく。 事後学修 1.0hr：本番に備えたプレゼンテーション練習をする。
15回	**授業テーマ：中国語によるプレゼンテーション演習** 授業内容：中国語を暗記し、プレゼンテーション練習。 事前学修 1.0hr：プレゼンテーションの内容を十分に把握する。 事後学修 1.0hr：プレゼンテーションの結果をまとめ、今後の課題を整理する。

課題探求セミナーⅡ（中国語専攻）

開講学科等：中 ｜ 2年次 ｜ 1単位 ｜ 開講期：後

于　明明（う　めいめい）・王　丹（おう　たん）・曹　泰和（そう　たいわ）・余　瀾（よ　らん）

▌授業の概要
中国語による作文およびプレゼンテーションを通して、中国語能力の向上とコミュニケーション能力の強化をはかります。はじめは中国語の文章の効果的な読み方、伝達方法について学び、その後自分の専攻を踏まえて自分で作文した内容のプレゼンテーションを行います。多人数の前で話すときの注意点や抑揚の付け方など総合的に学んでいきます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）
一般目標：中国語を用いて自分の意見をまとめ、多人数の前で効果的なプレゼンテーションができるようになることを目標とします。
個別目標：プレゼンテーションの短期目標を設定し、問題解決能力を磨きます。

▌履修条件
特になし。

▌評価基準・方法
受講時の積極性、プレゼンテーションの実施とその完成度によって評価。

▌フィードバック方法
課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）
あり （履修生の前で発表。）

▌授業での PC の利用（利用内容）
なし

▌教科書
使用しない。

▌参考書
適宜プリントを配布する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス(授業の進め方について)** 授業内容：授業の進め方について説明。 事前学修 1.0hr：カリキュラムを確認する。 事後学修 1.0hr：授業スケジュールを確認する。
2回	**授業テーマ：中国語の発音、イントネーションの訓練** 授業内容：発音の練習、声調、イントネーションの訓練。 事前学修 1.0hr：発音の練習を事前に行う。 事後学修 1.0hr：明確な発音、イントネーションの復習をする。
3回	**授業テーマ：効果的に相手に情報を伝えるための演習** 授業内容：抑揚の付け方、間の取り方など。 事前学修 1.0hr：発声の強弱や表情、動作について予習する。 事後学修 1.0hr：効果的に情報を伝えられるよう復習する。
4回	**授業テーマ：プレゼンテーションに必要な技能を学ぶ** 授業内容：アイコンタクトやボディランゲージなど。 事前学修 1.0hr：前回講義の復習をしておく。 事後学修 1.0hr：プレゼンテーション技能のまとめと復習をする。
5回	**授業テーマ：中国語によるプレゼンテーション演習** 授業内容：中国語を暗記し、プレゼンテーション練習。 事前学修 1.0hr：プレゼンテーションの内容を十分に把握する。 事後学修 1.0hr：プレゼンテーションの結果をまとめ、今後の課題を整理する。
6回	**授業テーマ：中国語によるプレゼンテーション原稿の作成** 授業内容：中国語原稿の作成、修正。 事前学修 1.0hr：プレゼンテーション原稿の内容を予習する。 事後学修 1.0hr：原稿のチェック、内容の復習をする。
7回	**授業テーマ：中国語の発音、イントネーションの演習** 授業内容：発音の練習、声調、イントネーションの訓練。 事前学修 1.0hr：発音、イントネーションを予習する。 事後学修 1.0hr：明確な発音、イントネーションの復習をする。
8回	**授業テーマ：効果的に相手に情報を伝えるための演習** 授業内容：抑揚の付け方、間の取り方など。 事前学修 1.0hr：発声の強弱や表情、動作について予習する。 事後学修 1.0hr：効果的に情報を伝えられるよう復習する。
9回	**授業テーマ：プレゼンテーションに必要な技能演習** 授業内容：アイコンタクトやボディランゲージなど。 事前学修 1.0hr：前回学んだ内容を復習しておく。 事後学修 1.0hr：本番に備えたプレゼンテーション練習をする。
10回	**授業テーマ：中国語によるプレゼンテーション演習** 授業内容：中国語を暗記し、プレゼンテーション練習。 事前学修 1.0hr：プレゼンテーションの内容を十分に把握する。 事後学修 1.0hr：プレゼンテーションの結果をまとめ、今後の課題を整理する。
11回	**授業テーマ：中国語によるプレゼンテーション原稿の作成** 授業内容：中国語原稿の作成、修正。 事前学修 1.0hr：プレゼンテーション原稿の内容を予習する。 事後学修 1.0hr：原稿のチェック、内容の復習をする。
12回	**授業テーマ：中国語の発音、イントネーションの演習** 授業内容：発音の練習、声調、イントネーションの訓練。 事前学修 1.0hr：発音、イントネーションを予習する。 事後学修 1.0hr：明確な発音、イントネーションの復習をする。

13回	**授業テーマ：効果的に相手に情報を伝えるための演習** 授業内容：抑揚の付け方、間の取り方など。 事前学修 1.0hr：発声の強弱や表情、動作について予習する。 事後学修 1.0hr：効果的に情報を伝えられるよう復習する。
14回	**授業テーマ：プレゼンテーションに必要な技能演習** 授業内容：アイコンタクトやボディランゲージなど。 事前学修 1.0hr：前回学んだ内容を復習しておく。 事後学修 1.0hr：本番に備えたプレゼンテーション練習をする。
15回	**授業テーマ：中国語によるプレゼンテーション演習** 授業内容：中国語を暗記し、プレゼンテーション練習。 事前学修 1.0hr：プレゼンテーションの内容を十分に把握する。 事後学修 1.0hr：プレゼンテーションの結果をまとめ、今後の課題を整理する。

課題探求セミナーⅡ（グローバル・スタディーズ専攻）

開講学科等：中 ｜ 2年次 ｜ 1単位 ｜ 開講期：後

高田　誠（たかだ　まこと）・**張　先煜**（ちょう　せんいく）

▌授業の概要
中国語による作文およびプレゼンテーションを通して、中国語能力の向上とコミュニケーション能力の強化をはかります。はじめは中国語の文章の効果的な読み方、伝達方法について学び、その後自分の専攻を踏まえて自分で作文した内容のプレゼンテーションを行います。多人数の前で話すときの注意点や抑揚の付け方など総合的に学んでいきます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）
一般目標：中国語を用いて自分の意見をまとめ、多人数の前で効果的なプレゼンテーションができるようになることを目標とします。
個別目標：プレゼンテーションの短期目標を設定し、問題解決能力を磨きます。

▌履修条件
特になし。

▌評価基準・方法
受講時の積極性、プレゼンテーションの実施とその完成度によって評価。

▌フィードバック方法
課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）
あり （履修生の前で発表。）

▌授業での PC の利用（利用内容）
なし

▌教科書
使用しない。

▌参考書
適宜プリントを配布する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス(授業の進め方について)** 授業内容：授業の進め方について説明。 事前学修 1.0hr：カリキュラムを確認する。 事後学修 1.0hr：授業スケジュールを確認する。
2回	**授業テーマ：中国語の発音、イントネーションの訓練** 授業内容：中国語発音の練習、イントネーションの訓練等。 事前学修 1.0hr：発音の練習を事前に行う。 事後学修 1.0hr：明確な発音、イントネーションの復習をする。
3回	**授業テーマ：効果的に相手に情報を伝えるための演習** 授業内容：抑揚の付け方、間の取り方など。 事前学修 1.0hr：発声の強弱や表情、動作について予習する。 事後学修 1.0hr：効果的に情報を伝えられるよう復習する。
4回	**授業テーマ：プレゼンテーションに必要な技能を学ぶ** 授業内容：アイコンタクトやボディランゲージなど。 事前学修 1.0hr：前回講義の復習をしておく。 事後学修 1.0hr：プレゼンテーション技能のまとめと復習をする。
5回	**授業テーマ：中国語によるプレゼンテーション演習** 授業内容：中国語を暗記し、プレゼンテーション練習。 事前学修 1.0hr：プレゼンテーションの内容を十分に把握する。 事後学修 1.0hr：プレゼンテーションの結果をまとめ、今後の課題を整理する。
6回	**授業テーマ：中国語によるプレゼンテーション原稿の作成** 授業内容：中国語の原稿の作成、修正。 事前学修 1.0hr：プレゼンテーション原稿の内容を予習する。 事後学修 1.0hr：原稿のチェック、内容の復習をする。
7回	**授業テーマ：中国語の発音、イントネーションの演習** 授業内容：中国語発音の練習、イントネーションの訓練等。 事前学修 1.0hr：発音、イントネーションを予習する。 事後学修 1.0hr：明確な発音、イントネーションの復習をする。
8回	**授業テーマ：効果的に相手に情報を伝えるための演習** 授業内容：抑揚の付け方、間の取り方など。 事前学修 1.0hr：発声の強弱や表情、動作について予習する。 事後学修 1.0hr：効果的に情報を伝えられるよう復習する。
9回	**授業テーマ：プレゼンテーションに必要な技能演習** 授業内容：アイコンタクトやボディランゲージなど。 事前学修 1.0hr：前回学んだ内容を復習しておく。 事後学修 1.0hr：本番に備えたプレゼンテーション練習をする。
10回	**授業テーマ：中国語によるプレゼンテーション演習** 授業内容：中国語を暗記し、プレゼンテーション練習。 事前学修 1.0hr：プレゼンテーションの内容を十分に把握する。 事後学修 1.0hr：プレゼンテーションの結果をまとめ、今後の課題を整理する。
11回	**授業テーマ：中国語によるプレゼンテーション原稿の作成** 授業内容：中国語の原稿の作成、修正。 事前学修 1.0hr：プレゼンテーション原稿の内容を予習する。 事後学修 1.0hr：原稿のチェック、内容の復習をする。
12回	**授業テーマ：中国語の発音、イントネーションの演習** 授業内容：中国語発音の練習、イントネーションの訓練等。 事前学修 1.0hr：発音、イントネーションを予習する。 事後学修 1.0hr：明確な発音、イントネーションの復習をする。

13回	**授業テーマ：効果的に相手に情報を伝えるための演習** 授業内容：抑揚の付け方、間の取り方など。 事前学修 1.0hr：発声の強弱や表情、動作について予習する。 事後学修 1.0hr：効果的に情報を伝えられるよう復習する。
14回	**授業テーマ：プレゼンテーションに必要な技能演習** 授業内容：アイコンタクトやボディランゲージなど。 事前学修 1.0hr：前回学んだ内容を復習しておく。 事後学修 1.0hr：本番に備えたプレゼンテーション練習をする。
15回	**授業テーマ：中国語によるプレゼンテーション演習** 授業内容：中国語を暗記し、プレゼンテーション練習。 事前学修 1.0hr：プレゼンテーションの内容を十分に把握する。 事後学修 1.0hr：プレゼンテーションの結果をまとめ、今後の課題を整理する。

中国語基礎演習Ａ

開講学科等：中　｜　2 年次　｜　4 単位　｜　開講期：通

馬場　将三（ばば　しょうぞう）

▌授業の概要

中国語検定３級に合格するレベルの中国語力を習得することを目指し、「長文読解」と「和文中訳」の対策を中心に、学習を行っていく。外国語学習に欠かせない「単語」および「基本文型」については、自宅での暗記を課す。なお、この授業の単位を取得しないと３年生に進級することができないので、注意すること。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：中国語検定３級に合格するレベルの中国語の力を習得することを目標とする。
個別目標：1. 中国語検定３級レベルの長文が読み取れる。
　　2. 中国語検定３級レベルの和文中訳ができる。

▌履修条件

特になし。

▌評価基準・方法

中国語検定試験の成績を参照して評価する。

▌フィードバック方法

フィードバック方法は、課題等の返却を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

『中検 3 級試験問題 2023［第 106・107 回］解答と解説』日本中国語検定協会編　白帝社　ISBN：9784863985506
『中検 3 級試験問題 2024［第 108・109・110 回］解答と解説』日本中国語検定協会編　白帝社　ISBN：9784863985834
☆ 2 冊とも用意して下さい。

▌参考書

適宜指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス・実力確認のための小テスト** 授業内容：過去問を解いてもらいます。 事前学修 2.0hr：授業概要を読んで、本授業の到達目標を理解する。 事後学修 2.0hr：実力確認テストの問題を見直す。	16回	**授業テーマ：実力確認テスト** 授業内容：過去問を解いてもらいます。 事前学修 2.0hr：前回の模擬問題を復習し、確実に解答できるようにする。 事後学修 2.0hr：実力確認テストの問題を見直す。
2回	**授業テーマ：前回の復習と模擬問題の解答** 授業内容：過去問を解いてもらいます。 事前学修 2.0hr：実力確認テストを復習し、確実に解答できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ模擬問題を復習し、習熟していない単語を覚える。	17回	**授業テーマ：実力確認テストの解説** 授業内容：過去問を解いてもらいます。 事前学修 2.0hr：これまでの模擬問題を復習し、確実に解答できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ問題を復習し、習熟していない単語を覚える。
3回	**授業テーマ：模擬問題の解説と実力確認テスト** 授業内容：過去問を解いてもらいます。 事前学修 2.0hr：前回の模擬問題を復習し、確実に解答できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ模擬問題を復習し、習熟していない単語を覚える。	18回	**授業テーマ：実力確認テスト** 授業内容：過去問を解いてもらいます。 事前学修 2.0hr：これまでの模擬問題を復習し、確実に解答できるようにする。 事後学修 2.0hr：実力確認テストの問題を復習する。
4回	**授業テーマ：前回の復習と模擬問題の解答** 授業内容：過去問を解いてもらいます。 事前学修 2.0hr：前回の模擬問題を復習し、確実に解答できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ模擬問題を復習し、習熟していない単語を覚える。	19回	**授業テーマ：前回の復習と過去問題の解答** 授業内容：過去問を解いてもらいます。 事前学修 2.0hr：前回の問題を復習し、確実に解答できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ過去問題を復習し、習熟していない単語を覚える。
5回	**授業テーマ：前回の復習と模擬問題の解答** 授業内容：過去問を解いてもらいます。 事前学修 2.0hr：前回の模擬問題を復習し、確実に解答できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ模擬問題を復習し、習熟していない単語を覚える。	20回	**授業テーマ：前回の復習と過去問題の解答** 授業内容：過去問を解いてもらいます。 事前学修 2.0hr：前回の過去問題を復習し、確実に解答できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ過去問題を復習し、習熟していない単語を覚える。
6回	**授業テーマ：前回の復習と模擬問題の解答** 授業内容：過去問を解いてもらいます。 事前学修 2.0hr：前回の模擬問題を復習し、確実に解答できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ模擬問題を復習し、習熟していない単語を覚える。	21回	**授業テーマ：前回の復習と過去問題の解答** 授業内容：過去問を解いてもらいます。 事前学修 2.0hr：前回の過去問題を復習し、確実に解答できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ過去問題を復習し、習熟していない単語を覚える。
7回	**授業テーマ：前回の復習と模擬問題の解答** 授業内容：過去問を解いてもらいます。 事前学修 2.0hr：前回の模擬問題を復習し、確実に解答できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ模擬問題を復習し、習熟していない単語を覚える。	22回	**授業テーマ：前回の復習と過去問題の解答** 授業内容：過去問を解いてもらいます。 事前学修 2.0hr：前回の過去問題を復習し、確実に解答できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ過去問題を復習し、習熟していない単語を覚える。
8回	**授業テーマ：前回の復習と模擬問題の解答** 授業内容：過去問を解いてもらいます。 事前学修 2.0hr：前回の模擬問題を復習し、確実に解答できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ模擬問題を復習し、習熟していない単語を覚える。	23回	**授業テーマ：前回の復習と過去問題の解答** 授業内容：過去問を解いてもらいます。 事前学修 2.0hr：前回の過去問題を復習し、確実に解答できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ過去問題を復習し、習熟していない単語を覚える。
9回	**授業テーマ：前回の復習と模擬問題の解答** 授業内容：過去問を解いてもらいます。 事前学修 2.0hr：前回の模擬問題を復習し、確実に解答できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ模擬問題を復習し、習熟していない単語を覚える。	24回	**授業テーマ：前回の復習と過去問題の解答** 授業内容：過去問を解いてもらいます。 事前学修 2.0hr：前回の過去問題を復習し、確実に解答できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ過去問題を復習し、習熟していない単語を覚える。
10回	**授業テーマ：模擬問題の解説と実力確認テスト** 授業内容：過去問を解いてもらいます。 事前学修 2.0hr：前回の模擬問題を復習し、確実に解答できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ模擬問題を復習し、習熟していない単語を覚える。	25回	**授業テーマ：前回の復習と過去問題の解答** 授業内容：過去問を解いてもらいます。 事前学修 2.0hr：前回の過去問題を復習し、確実に解答できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ過去問題を復習し、習熟していない単語を覚える。
11回	**授業テーマ：前回の復習と模擬問題の解答** 授業内容：過去問を解いてもらいます。 事前学修 2.0hr：前回の模擬問題を復習し、確実に解答できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ模擬問題を復習し、習熟していない単語を覚える。	26回	**授業テーマ：前回の復習と過去問題の解答** 授業内容：過去問を解いてもらいます。 事前学修 2.0hr：前回の過去問題を復習し、確実に解答できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ過去問題を復習し、習熟していない単語を覚える。

12回	**授業テーマ：模擬問題の解説と実力確認テスト** 授業内容：過去問を解いてもらいます。 事前学修 2.0hr：前回の模擬問題を復習し、確実に解答できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ模擬問題を復習し、習熟していない単語を覚える。	27回	**授業テーマ：実力確認テスト** 授業内容：過去問を解いてもらいます。 事前学修 2.0hr：前回の過去問題を復習し、確実に解答できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ問題を復習し、習熟していない単語を覚える。
13回	**授業テーマ：前回の復習と模擬問題の解答** 授業内容：過去問を解いてもらいます。 事前学修 2.0hr：前回の模擬問題を復習し、確実に解答できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ模擬問題を復習し、習熟していない単語を覚える。	28回	**授業テーマ：前回の復習と過去問題の解答** 授業内容：過去問を解いてもらいます。 事前学修 2.0hr：前回の問題を復習し、確実に解答できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ過去問題を復習し、習熟していない単語を覚える。
14回	**授業テーマ：模擬問題の解説と実力確認テスト** 授業内容：過去問を解いてもらいます。 事前学修 2.0hr：前回の模擬問題を復習し、確実に解答できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ模擬問題を復習し、習熟していない単語を覚える。	29回	**授業テーマ：実力確認テスト** 授業内容：過去問を解いてもらいます。 事前学修 2.0hr：前回の過去問題を復習し、確実に解答できるようにする。 事後学修 2.0hr：実力確認テストの問題を復習し、習熟していない単語を覚える。
15回	**授業テーマ：前回の復習と模擬問題の解答** 授業内容：過去問を解いてもらいます。 事前学修 2.0hr：前回の模擬問題を復習し、確実に解答できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ模擬問題を復習し、習熟していない単語を覚える。	30回	**授業テーマ：実力確認テストの解答と解説・これまで学習したことの総復習** 授業内容：過去問を解いてもらいます。 事前学修 2.0hr：つまずきやすい問題を確実に解答できるように復習する。 事後学修 2.0hr：これまで学習した問題を見直し、弱点を克服するようにする。

中国語基礎演習B

開講学科等：中 ｜ 2年次 ｜ 4単位 ｜ 開講期：通

河村　昌子（かわむら　しょうこ）

▌授業の概要

中国語検定 4 級/HSK4 級程度の中国語力が身につくように、検定試験の過去問題を用いて学習する。解説を踏まえて過去問題の内容に習熟し、応用できるようにする。GSM 学生は、中国語基礎演習 A の単位を修得しないと、3 年生に進級できないことに注意を要する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：グローバル・スタディーズ専攻　1）

一般目標：中国語検定 4 級および HSK4 級程度の中国語力が身につく。
個別目標：①検定合格に必要な語彙力が身につく。
②検定合格に必要な作文力が身につく。
③検定合格に必要な読解力が身につく。
④検定合格に必要なリスニング力が身につく。

▌履修条件

グローバルスタディーズ専攻であること。

▌評価基準・方法

中国語検定試験もしくは HSK の成績を参照して評価する。

▌フィードバック方法

課題等へのフィードバックは授業時もしくは manaba を用いて行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （中国語学習アプリ、manaba ドリル）

▌教科書

『中検準 4 級・4 級試験問題 2023［第 106・107 回］解答と解説』白帝社
『中検 4 級試験問題 2024［第 108・109・110 回］解答と解説』白帝社

▌参考書

『改訂版　合格奪取! 中国語検定 4 級 トレーニングブック』アスク出版

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンスと実力確認テスト** 授業内容：授業の概要と中国語検定試験の対策について説明する。実力確認テストを実施する。 事前学修 2.0hr：授業の概要を読み、到達目標を理解する。 事後学修 2.0hr：実力確認テストを復習し、習熟していない単語を覚える。	16回	**授業テーマ：実力確認テスト** 授業内容：中国語検定試験の対策について説明する。実力確認テストを実施する。 事前学修 2.0hr：前期の授業を復習する。 事後学修 2.0hr：実力確認テストを復習し、習熟していない単語を覚える。
2回	**授業テーマ：前回の復習と過去問題の解答** 授業内容：過去問題に解答する。正答を確認し、受講者が間違えた箇所を詳しく説明する。 事前学修 2.0hr：実力確認テストを復習し、確実に解答できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ過去問題を復習し、習熟していない単語を覚える。	17回	**授業テーマ：前回の復習と過去問題の解答** 授業内容：過去問題に解答する。正答を確認し、受講者が間違えた箇所を詳しく説明する。 事前学修 2.0hr：実力確認テストを復習し、確実に解答できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ過去問題を復習し、習熟していない単語を覚える。
3回	**授業テーマ：前回の復習と過去問題の解答** 授業内容：過去問題に解答する。正答を確認し、受講者が間違えた箇所を詳しく説明する。 事前学修 2.0hr：前回の授業の過去問題を復習し、確実に解答できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ過去問題を復習し、習熟していない単語を覚える。	18回	**授業テーマ：前回の復習と過去問題の解答** 授業内容：過去問題に解答する。正答を確認し、受講者が間違えた箇所を詳しく説明する。 事前学修 2.0hr：前回の授業で学んだ過去問題を復習し、確実に解答できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ過去問題を復習し、習熟していない単語を覚える。
4回	**授業テーマ：前回の復習と過去問題の解答** 授業内容：過去問題に解答する。正答を確認し、受講者が間違えた箇所を詳しく説明する。 事前学修 2.0hr：前回の授業の過去問題を復習し、確実に解答できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ過去問題を復習し、習熟していない単語を覚える。	19回	**授業テーマ：前回の復習と過去問題の解答** 授業内容：過去問題に解答する。正答を確認し、受講者が間違えた箇所を詳しく説明する。 事前学修 2.0hr：前回の授業で学んだ過去問題を復習し、確実に解答できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ過去問題を復習し、習熟していない単語を覚える。
5回	**授業テーマ：前回の復習と過去問題の解答** 授業内容：過去問題に解答する。正答を確認し、受講者が間違えた箇所を詳しく説明する。 事前学修 2.0hr：前回の授業の過去問題を復習し、確実に解答できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ過去問題を復習し、習熟していない単語を覚える。	20回	**授業テーマ：前回の復習と過去問題の解答** 授業内容：過去問題に解答する。正答を確認し、受講者が間違えた箇所を詳しく説明する。 事前学修 2.0hr：前回の授業で学んだ過去問題を復習し、確実に解答できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ過去問題を復習し、習熟していない単語を覚える。
6回	**授業テーマ：前回の復習と過去問題の解答** 授業内容：過去問題に解答する。正答を確認し、受講者が間違えた箇所を詳しく説明する。 事前学修 2.0hr：前回の授業の過去問題を復習し、確実に解答できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ過去問題を復習し、習熟していない単語を覚える。	21回	**授業テーマ：前回の復習と過去問題の解答** 授業内容：過去問題に解答する。正答を確認し、受講者が間違えた箇所を詳しく説明する。 事前学修 2.0hr：前回の授業で学んだ過去問題を復習し、確実に解答できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ過去問題を復習し、習熟していない単語を覚える。
7回	**授業テーマ：前回の復習と過去問題の解答** 授業内容：過去問題に解答する。正答を確認し、受講者が間違えた箇所を詳しく説明する。 事前学修 2.0hr：前回の授業の過去問題を復習し、確実に解答できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ過去問題を復習し、習熟していない単語を覚える。	22回	**授業テーマ：前回の復習と過去問題の解答** 授業内容：過去問題に解答する。正答を確認し、受講者が間違えた箇所を詳しく説明する。 事前学修 2.0hr：前回の授業で学んだ過去問題を復習し、確実に解答できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ過去問題を復習し、習熟していない単語を覚える。
8回	**授業テーマ：前回の復習と過去問題の解答** 授業内容：過去問題に解答する。正答を確認し、受講者が間違えた箇所を詳しく説明する。 事前学修 2.0hr：前回の授業の過去問題を復習し、確実に解答できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ過去問題を復習し、習熟していない単語を覚える。	23回	**授業テーマ：前回の復習と過去問題の解答** 授業内容：過去問題に解答する。正答を確認し、受講者が間違えた箇所を詳しく説明する。 事前学修 2.0hr：前回の授業で学んだ過去問題を復習し、確実に解答できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ過去問題を復習し、習熟していない単語を覚える。

9回	**授業テーマ：前回の復習と過去問題の解答** 授業内容：過去問題に解答する。正答を確認し、受講者が間違えた箇所を詳しく説明する。 事前学修 2.0hr：前回の授業の過去問題を復習し、確実に解答できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ過去問題を復習し、習熟していない単語を覚える。	24回	**授業テーマ：前回の復習と過去問題の解答** 授業内容：過去問題に解答する。正答を確認し、受講者が間違えた箇所を詳しく説明する。 事前学修 2.0hr：前回の授業で学んだ過去問題を復習し、確実に解答できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ過去問題を復習し、習熟していない単語を覚える。
10回	**授業テーマ：前回の復習と過去問題の解答** 授業内容：過去問題に解答する。正答を確認し、受講者が間違えた箇所を詳しく説明する。 事前学修 2.0hr：前回の授業で学んだ過去問題を復習し、確実に解答できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ過去問題を復習し、習熟していない単語を覚える。	25回	**授業テーマ：前回の復習と過去問題の解答** 授業内容：過去問題に解答する。正答を確認し、受講者が間違えた箇所を詳しく説明する。 事前学修 2.0hr：前回の授業で学んだ過去問題を復習し、確実に解答できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ過去問題を復習し、習熟していない単語を覚える。
11回	**授業テーマ：前回の復習と過去問題の解答** 授業内容：過去問題に解答する。正答を確認し、受講者が間違えた箇所を詳しく説明する。 事前学修 2.0hr：前回の授業で学んだ過去問題を復習し、確実に解答できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ過去問題を復習し、習熟していない単語を覚える。	26回	**授業テーマ：前回の復習と過去問題の解答** 授業内容：過去問題に解答する。正答を確認し、受講者が間違えた箇所を詳しく説明する。 事前学修 2.0hr：前回の授業で学んだ過去問題を復習し、確実に解答できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ過去問題を復習し、習熟していない単語を覚える。
12回	**授業テーマ：前回の復習と過去問題の解答** 授業内容：過去問題に解答する。正答を確認し、受講者が間違えた箇所を詳しく説明する。 事前学修 2.0hr：前回の授業で学んだ過去問題を復習し、確実に解答できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ過去問題を復習し、習熟していない単語を覚える。	27回	**授業テーマ：前回の復習と過去問題の解答** 授業内容：過去問題に解答する。正答を確認し、受講者が間違えた箇所を詳しく説明する。 事前学修 2.0hr：前回の授業で学んだ過去問題を復習し、確実に解答できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ過去問題を復習し、習熟していない単語を覚える。
13回	**授業テーマ：前回の復習と過去問題の解答** 授業内容：過去問題に解答する。正答を確認し、受講者が間違えた箇所を詳しく説明する。 事前学修 2.0hr：前回の授業で学んだ過去問題を復習し、確実に解答できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ過去問題を復習し、習熟していない単語を覚える。	28回	**授業テーマ：前回の復習と過去問題の解答** 授業内容：過去問題に解答する。正答を確認し、受講者が間違えた箇所を詳しく説明する。 事前学修 2.0hr：前回の授業で学んだ過去問題を復習し、確実に解答できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ過去問題を復習し、習熟していない単語を覚える。
14回	**授業テーマ：前回の復習と過去問題の解答** 授業内容：過去問題に解答する。正答を確認し、受講者が間違えた箇所を詳しく説明する。 事前学修 2.0hr：前回の授業で学んだ過去問題を復習し、確実に解答できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ過去問題を復習し、習熟していない単語を覚える。	29回	**授業テーマ：前回の復習と過去問題の解答** 授業内容：過去問題に解答する。正答を確認し、受講者が間違えた箇所を詳しく説明する。 事前学修 2.0hr：前回の授業で学んだ過去問題を復習し、確実に解答できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ過去問題を復習し、習熟していない単語を覚える。
15回	**授業テーマ：実力確認テスト** 授業内容：実力確認テストを実施する。 事前学修 2.0hr：前回の授業で学んだ過去問題を復習し、確実に解答できるようにする。 事後学修 2.0hr：実力確認テストを復習し、習熟していない単語を覚える。	30回	**授業テーマ：実力確認テスト** 授業内容：実力確認テストを実施する。 事前学修 2.0hr：前回の授業で学んだ過去問題を復習し、確実に解答できるようにする。 事後学修 2.0hr：実力確認テストを復習し、習熟していない単語を覚える。

漢語基礎 I

開講学科等：中 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 2

宇賀神　秀一（うがじん　しゅういち）・**河村　昌子**（かわむら　しょうこ）・**曹　泰和**（そう　たいわ）・**中嶋　諒**（なかじま　りょう）

▌授業の概要

中国語の発音、基礎的文法、基礎語彙を学習します。文法説明、本文解釈は「漢語基礎」で行い、発音練習は「漢語会話」、実践的な応用練習を「漢語実践」で行います。また、同じ進度で、文章作成力の養成を「漢語作文」で行います。なお、Kクラスの教材、講義内容については、履修者の状況に応じて変更されることがあります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：中国語の基礎を身につけることを目標にします。
個別目標：①基礎的な文法が理解できる。
②基本構文を使った文を理解できる。
③ピンインを読むことができる。
④基礎的な語彙が身につく。

▌履修条件

授業に必ず出席すること。
学習した課を復習すること。

▌評価基準・方法

授業内テスト、平常点(70 %)と、定期試験期間中に行われる中国語統一試験(30 %)の結果によります。
原則として 5 回以上欠席の者は、試験の受験を認めません。

▌フィードバック方法

授業における解説およびテスト返却によりフィードバックを行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （ドリル）

▌教科書

明海大学外国語学部中国語学科編『シリーズで学ぶ中国語　漢語基礎(上)』東方書店

▌参考書

『中日辞典』小学館、『講談社中日辞典』講談社

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：発音の基礎(単母音、声調、二重母音、子音)** 授業内容：教科書の発音編 1 を学び、発音の基礎を身につける。 事前学修 1.0hr：授業の概要を読み、到達目標を理解する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	16回	**授業テーマ：介詞構造／状語(介詞構造)** 授業内容：教科書の第 12 課を学び、介詞構造の文法を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
2回	**授業テーマ：発音の基礎(鼻韻母、子音、三重母音)** 授業内容：教科書の発音編 2 を学び、発音の基礎を身につける。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	17回	**授業テーマ：目的語(動・動目)／疑問代詞** 授業内容：教科書の第 13 課を学び、「～するのが好き」などの表現や疑問代詞のある文の文法を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
3回	**授業テーマ：発音の基礎(鼻韻尾、そり舌母音、 r 化音)** 授業内容：教科書の発音編 3 を学び、発音の基礎を身につける。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	18回	**授業テーマ：助動詞** 授業内容：教科書の第 14 課を学び、助動詞の用法を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
4回	**授業テーマ：発音の基礎(ピンイン綴りのルール)** 授業内容：教科書の発音編 4 を学び、発音の基礎を身につける。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	19回	**授業テーマ：二重目的語／100 ～の数／金銭** 授業内容：教科書の第 15 課を学び、二重目的語を取る動詞や金銭などの数の表現を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
5回	**授業テーマ：是／不／是不是** 授業内容：教科書の第 1 課を学び、「是」の用法を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	20回	**授業テーマ：動態助詞の了** 授業内容：教科書の第 16 課を学び、動態助詞の「了」の用法を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
6回	**授業テーマ：有／没有／有没有** 授業内容：教科書の第 2 課を学び、「有」の用法を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	21回	**授業テーマ：語気助詞の了** 授業内容：教科書の第 17 課を学び、語気助詞の「了」の用法を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
7回	**授業テーマ：動詞述語文** 授業内容：教科書の第 3 課を学び、動詞述語文の文法を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	22回	**授業テーマ：経験／動作量／時間量** 授業内容：教科書の第 18 課を学び、経験の表現や動作量・時間量について理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
8回	**授業テーマ：形容詞述語文／程度副詞／主述述語文** 授業内容：教科書の第 4 課を学び、形容詞述語文・程度副詞・主述述語文の文法を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	23回	**授業テーマ：動作の進行** 授業内容：教科書の第 19 課を学び、動作の進行を表す文法を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
9回	**授業テーマ：目的語／疑問代詞** 授業内容：教科書の第 5 課を学び、目的語のある文、疑問代詞のある文の文法を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	24回	**授業テーマ：着** 授業内容：教科書の第 20 課を学び、動作・状態の持続を表す「着」の用法を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。

10回	**授業テーマ：定語(形容詞)／疑問代詞** 授業内容：教科書の第 6 課を学び、定語のある文、疑問代詞のある文の文法を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	25回	**授業テーマ：快要～了** 授業内容：教科書の第 21 課を学び、変化を表す「了」の用法を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
11回	**授業テーマ：状語(副詞)／主語(動目)** 授業内容：教科書の第 7 課を学び、状語のある文、動詞＋目的語が主語となる文の文法を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	26回	**授業テーマ：早口言葉** 授業内容：教科書の第 22 課を学び、早口言葉を通して発音や文法を復習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
12回	**授業テーマ：10 ～ 99 の数／名詞述語文／日付・曜日／年齢** 授業内容：教科書の第 8 課を学び、数字・日付・曜日・年齢の言い方や名詞述語文の文法を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	27回	**授業テーマ：前期の復習(第 1 課～第 7 課)** 授業内容：教科書第 1 課から第 7 課の文法・語彙を復習する。 事前学修 1.0hr：第 1 課～第 7 課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
13回	**授業テーマ：時間を表すことば／序数／状語(時点)** 授業内容：教科書の第 9 課を学び、時間や序数の表現を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	28回	**授業テーマ：前期の復習(第 8 課～第 14 課)** 授業内容：教科書第 8 課から第 14 課の文法・語彙を復習する。 事前学修 1.0hr：第 8 課～第 14 課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
14回	**授業テーマ：連動文／疑問代詞／選択疑問** 授業内容：教科書の第 10 課を学び、連動文・選択疑問文・疑問代詞のある文の文法を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	29回	**授業テーマ：前期の復習(第 15 課～第 21 課)** 授業内容：教科書第 15 課から第 21 課の文法・語彙を復習する。 事前学修 1.0hr：第 15 課～第 21 課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
15回	**授業テーマ：場所を表すことば／存在** 授業内容：教科書の第 11 課を学び、場所や存在を表す文法を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	30回	**授業テーマ：全体の復習、授業内テスト** 授業内容：前期に習得した文法や語彙の理解度を確認する。 事前学修 1.0hr：前期の内容を復習する。 事後学修 1.0hr：前期を振り返り、今後の学修計画を立てる。

漢語基礎Ⅱ

開講学科等：中 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 2

宇賀神　秀一（うがじん　しゅういち）・**河村　昌子**（かわむら　しょうこ）・**曹　泰和**（そう　たいわ）・**中嶋　諒**（なかじま　りょう）

▌授業の概要

中国語の発音、基礎的文法、基礎語彙を学習します。文法説明、本文解釈は「漢語基礎」で行い、発音練習は「漢語会話」、実践的な応用練習を「漢語実践」で行います。また、同じ進度で、文章作成力の養成を「漢語作文」で行います。なお、Kクラスの教材、講義内容については、履修者の状況に応じて変更されることがあります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：中国語の基礎的な文法、基本構文に習熟することを目標にします。
個別目標：①基礎的な文法が理解できる。
②基本構文を使った文の意味を理解できる。
③基礎的な語彙が身につく。

▌履修条件

授業に必ず出席すること。
学習した課を復習すること。

▌評価基準・方法

授業内テスト、平常点(70 %)と、定期試験期間中に行われる中国語統一試験(30 %)の結果によります。
原則として 5 回以上欠席の者は、試験の受験を認めません。

▌フィードバック方法

授業における解説およびテスト返却によりフィードバックを行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （ドリル）

▌教科書

明海大学外国語学部中国語学科編『シリーズで学ぶ中国語　漢語基礎(下)』東方書店

▌参考書

『中日辞典』小学館、『講談社中日辞典』講談社

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：定語(動詞句＋的)／定語(主述＋的)** 授業内容：教科書第 23 課を学び、「的」の用法を理解する。 事前学修 1.0hr：授業の概要を読み、到達目標を理解する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	16回	**授業テーマ：越A越B／越来越～** 授業内容：教科書第 38 課を学び、「越 A 越 B」構文について理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
2回	**授業テーマ：是～的／程度補語** 授業内容：教科書第 24 課を学び、「是～的」構文や程度補語について理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	17回	**授業テーマ：受身** 授業内容：教科書第 39 課を学び、受身表現の文法を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
3回	**授業テーマ：動詞の重ね型** 授業内容：教科書第 25 課を学び、動詞の重ね型の文法を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	18回	**授業テーマ：使役** 授業内容：教科書第 40 課を学び、使役表現の文法を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
4回	**授業テーマ：状語(形容詞)／形容詞の重ね型／地** 授業内容：教科書第 26 課を学び、形容詞の重ね型の文法を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	19回	**授業テーマ：概数／分数と%／倍数／小数** 授業内容：教科書第 41 課を学び、数の表現について理解を深める。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
5回	**授業テーマ：結果補語／方向補語** 授業内容：教科書第 27 課を学び、補語の概要を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	20回	**授業テーマ：反語** 授業内容：教科書第 42 課を学び、反語文について理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
6回	**授業テーマ：結果補語** 授業内容：教科書第 28 課を学び、結果補語について理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	21回	**授業テーマ：総合的内容(短文)** 授業内容：短文読解を通じて総復習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
7回	**授業テーマ：方向補語** 授業内容：教科書第 29 課を学び、方向補語について理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	22回	**授業テーマ：総合的内容(短文続き)** 授業内容：短文読解を通じて総復習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
8回	**授業テーマ：可能補語** 授業内容：教科書第 30 課を学び、可能補語について理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	23回	**授業テーマ：後期の復習(第 23 課～第 25 課)** 授業内容：教科書第 23 課から第 25 課の文法・語彙を復習する。 事前学修 1.0hr：第 23 課～第 25 課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
9回	**授業テーマ：把(述語部分が動補構造のもの)** 授業内容：教科書第 31 課を学び、把構文について理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	24回	**授業テーマ：後期の復習(第 26 課～第 28 課)** 授業内容：教科書第 26 課から第 28 課の文法・語彙を復習する。 事前学修 1.0hr：第 26 課～第 28 課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
10回	**授業テーマ：把(述語部分が状語・動作量・時間量を持つもの)** 授業内容：教科書第 32 課を学び、把構文について理解を深める。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	25回	**授業テーマ：後期の復習(第 29 課～第 30 課)** 授業内容：教科書第 29 課から第 30 課の文法・語彙を復習する。 事前学修 1.0hr：第 29 課～第 30 課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
11回	**授業テーマ：状態補語** 授業内容：教科書第 33 課を学び、状態補語について理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	26回	**授業テーマ：後期の復習(第 31 課～第 33 課)** 授業内容：教科書第 31 課から第 33 課の文法・語彙を復習する。 事前学修 1.0hr：第 31 課～第 33 課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。

12回	**授業テーマ：存現文(存在)** 授業内容：教科書第 34 課を学び、存現文(存在)について理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
13回	**授業テーマ：存現文(出現・消失)** 授業内容：教科書第 35 課を学び、存現文(出現・消失)について理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
14回	**授業テーマ：比較(比)／分量** 授業内容：教科書第 36 課を学び、「比」を用いた比較表現の文法を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
15回	**授業テーマ：比較(有・没有)** 授業内容：教科書第 37 課を学び、「有」を用いた比較表現の文法を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
27回	**授業テーマ：後期の復習(第 34 課～第 36 課)** 授業内容：教科書第 34 課から第 36 課の文法・語彙を復習する。 事前学修 1.0hr：第 34 課～第 36 課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
28回	**授業テーマ：後期の復習(第 37 課～第 39 課)** 授業内容：教科書第 37 課から第 39 課の文法・語彙を復習する。 事前学修 1.0hr：第 37 課～第 39 課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
29回	**授業テーマ：後期の復習(第 40 課～第 42 課)** 授業内容：教科書第 40 課から第 42 課の文法・語彙を復習する。 事前学修 1.0hr：第 40 課～第 42 課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
30回	**授業テーマ：全体の復習，授業内テスト** 授業内容：後期に習得した文法や語彙の理解度を確認する。 事前学修 1.0hr：後期の内容を復習する。 事後学修 1.0hr：後期を振り返り、今後の学修計画を立てる。

漢語基礎Ⅲ

開講学科等：中 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 2

宇賀神　秀一（うがじん　しゅういち）・**曹　泰和**（そう　たいわ）・**段　威**（だん　い）・**中嶋　諒**（なかじま　りょう）

▌授業の概要

1 年次において習得した基礎的な文法、基本構文や語彙の知識を前提に、さらに語彙を拡充し、より高度な文法、構文、語句の用法を学びます。
「漢語基礎」「漢語会話」では、会話体の文、記述式の文章を使い、「漢語基礎」では文法説明、解釈を、「漢語会話」では発音および口頭による練習を行います。「漢語実践」では、シャドウイングを中心に、実践的な応用練習を行います。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：複文関連語句をはじめとする重要な構文、文法、語句の用法を学習し、実用的な中国語運用能力を習得するための基礎を固めます。
個別目標：①複文関連語句をはじめとする、ステップアップ時期に習熟すべき構文、文法、語句の用法を理解する。
②複文関連語句をはじめとする、ステップアップ時期に習熟すべき構文、文法、語句を使った文を理解できる。
③ステップアップ時期に習熟すべき語彙を身につける。

▌履修条件

無断欠席をしないこと。
授業で学んだことを繰り返し復習すること。

▌評価基準・方法

受講クラスでの授業内テスト、平常点(70 %)と、定期試験期間中に行われる中国語統一試験(30 %)の結果によります。
原則として 5 回以上欠席の者は、試験の受験を認めません。

▌フィードバック方法

授業における解説およびテスト返却によりフィードバックを行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

明海大学中国語学科編『漢語楽園―漢語基礎Ⅲ・漢語会話Ⅲ―』東方書店

▌参考書

『中日辞典』小学館、『講談社中日辞典』講談社

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：第 1 課(語彙説明、本文解釈)** 授業内容：教科書第 1 課を学び、内容および学習のポイントを理解する。 事前学修 1.0hr：授業の概要を読み、到達目標を理解する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	16回	**授業テーマ：第 12 課(語彙説明、本文解釈)** 授業内容：教科書第 12 課を学び、内容および語彙を理解する。 事前学修 1.0hr：辞書をひいて単語の意味を調べる。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
2回	**授業テーマ：第 2 課(語彙説明、本文解釈)** 授業内容：教科書第 2 課を学び、内容および学習のポイントを理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	17回	**授業テーマ：第 9 課～第 12 課の復習** 授業内容：教科書第 9 課から第 12 課の語彙・文法を復習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
3回	**授業テーマ：第 3 課(語彙説明、本文解釈)** 授業内容：教科書第 3 課を学び、内容および学習のポイントを理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	18回	**授業テーマ：第 9 課～第 12 課のまとめ** 授業内容：教科書第 9 課から第 12 課の総復習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
4回	**授業テーマ：第 4 課(語彙説明、本文解釈)** 授業内容：教科書第 4 課を学び、内容および語彙を理解する。 事前学修 1.0hr：辞書をひいて単語の意味を調べる。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	19回	**授業テーマ：第 13 課(語彙説明、本文解釈)** 授業内容：教科書第 13 課を学び、内容および学習のポイントを理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
5回	**授業テーマ：第 1 課～第 4 課の復習** 授業内容：教科書第 1 課から第 4 課の語彙・文法を復習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	20回	**授業テーマ：第 14 課(語彙説明、本文解釈)** 授業内容：教科書第 14 課を学び、内容および学習のポイントを理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
6回	**授業テーマ：第 1 課～第 4 課のまとめ** 授業内容：教科書第 1 課から第 4 課の総復習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	21回	**授業テーマ：第 15 課(語彙説明、本文解釈)** 授業内容：教科書第 15 課を学び、内容および学習のポイントを理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
7回	**授業テーマ：第 5 課(語彙説明、本文解釈)** 授業内容：教科書第 5 課を学び、内容および学習のポイントを理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	22回	**授業テーマ：第 16 課(語彙説明、本文解釈)** 授業内容：教科書第 16 課を学び、内容および語彙を理解する。 事前学修 1.0hr：辞書をひいて単語の意味を調べる。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
8回	**授業テーマ：第 6 課(語彙説明、本文解釈)** 授業内容：教科書第 6 課を学び、内容および学習のポイントを理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	23回	**授業テーマ：第 13 課～第 16 課の復習** 授業内容：教科書第 13 課から第 16 課の語彙・文法を復習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
9回	**授業テーマ：第 7 課(語彙説明、本文解釈)** 授業内容：教科書第 7 課を学び、内容および学習のポイントを理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	24回	**授業テーマ：第 13 課～第 16 課のまとめ** 授業内容：教科書第 13 課から第 16 課の総復習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
10回	**授業テーマ：第 8 課(語彙説明、本文解釈)** 授業内容：教科書第 8 課を学び、内容および語彙を理解する。 事前学修 1.0hr：辞書をひいて単語の意味を調べる。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	25回	**授業テーマ：第 17 課(語彙説明、本文解釈)** 授業内容：教科書第 17 課を学び、内容および学習のポイントを理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
11回	**授業テーマ：第 5 課～第 8 課の復習** 授業内容：教科書第 5 課から第 8 課の語彙・文法を復習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	26回	**授業テーマ：第 18 課(語彙説明、本文解釈)** 授業内容：教科書第 18 課を学び、内容および学習のポイントを理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。

12回	**授業テーマ：第 5 課～第 8 課のまとめ** 授業内容：教科書第 5 課から第 8 課の総復習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	27回	**授業テーマ：第 19 課（語彙説明、本文解釈）** 授業内容：教科書第 19 課を学び、内容および学習のポイントを理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
13回	**授業テーマ：第 9 課（語彙説明、本文解釈）** 授業内容：教科書第 9 課を学び、内容および学習のポイントを理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	28回	**授業テーマ：第 20 課（語彙説明、本文解釈）** 授業内容：教科書第 20 課を学び、内容および語彙を理解する。 事前学修 1.0hr：辞書をひいて単語の意味を調べる。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
14回	**授業テーマ：第 10 課（語彙説明、本文解釈）** 授業内容：教科書第 10 課を学び、内容および学習のポイントを理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	29回	**授業テーマ：第 17 課～第 20 課の復習** 授業内容：教科書第 17 課から第 20 課の語彙・文法を復習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
15回	**授業テーマ：第 11 課（語彙説明、本文解釈）** 授業内容：教科書第 11 課を学び、内容および学習のポイントを理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	30回	**授業テーマ：第 17 課～第 20 課のまとめ** 授業内容：教科書第 17 課から第 20 課の総復習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：前期を振り返り、今後の学修計画を立てる。

漢語基礎Ⅳ

開講学科等：中 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 2

宇賀神　秀一（うがじん　しゅういち）・**曹　泰和**（そう　たいわ）・**段　威**（だん　い）・**中嶋　諒**（なかじま　りょう）

▌授業の概要

1 年次において習得した基礎的な文法、基本構文や語彙の知識を前提に、さらに語彙を拡充し、より高度な文法、構文、語句の用法を学びます。
「漢語基礎」「漢語会話」では、会話体の文、記述式の文章を使い、「漢語基礎」では文法説明、解釈を、「漢語会話」では発音および口頭による練習を行います。「漢語実践」では、シャドウイングを中心に、実践的な応用練習を行います。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：複文関連語句をはじめとする重要な構文、文法、語句の用法を学習し、実用的な中国語運用能力を習得するための基礎を固めます。
個別目標：①複文関連語句をはじめとする、ステップアップ時期に習熟すべき構文、文法、語句の用法を理解する。
②複文関連語句をはじめとする、ステップアップ時期に習熟すべき構文、文法、語句を使った文を理解できる。
③ステップアップ時期に習熟すべき語彙を身につける。

▌履修条件

無断欠席をしないこと。
授業で学んだことを繰り返し復習すること。

▌評価基準・方法

受講クラスでの授業内テスト、平常点(70 %)と、定期試験期間中に行われる中国語統一試験(30 %)の結果によります。
原則として 5 回以上欠席の者は、試験の受験を認めません。

▌フィードバック方法

授業における解説およびテスト返却によりフィードバックを行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

明海大学中国語学科編『漢語楽園―漢語基礎Ⅳ・漢語会話Ⅳ―』東方書店

▌参考書

『中日辞典』小学館、『講談社中日辞典』講談社

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：第 1 課(語彙説明、本文解釈)** 授業内容：教科書第 1 課を学び、内容および学習のポイントを理解する。 事前学修 1.0hr：授業の概要を読み、到達目標を理解する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	16 回	**授業テーマ：第 12 課(語彙説明、本文解釈)** 授業内容：教科書第 12 課を学び、内容および語彙を理解する。 事前学修 1.0hr：辞書をひいて単語の意味を調べる。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
2 回	**授業テーマ：第 2 課(語彙説明、本文解釈)** 授業内容：教科書第 2 課を学び、内容および学習のポイントを理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	17 回	**授業テーマ：第 9 課～第 12 課の復習** 授業内容：教科書第 9 課から第 12 課の語彙・文法を復習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
3 回	**授業テーマ：第 3 課(語彙説明、本文解釈)** 授業内容：教科書第 3 課を学び、内容および学習のポイントを理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	18 回	**授業テーマ：第 9 課～第 12 課のまとめ** 授業内容：教科書第 9 課から第 12 課の総復習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
4 回	**授業テーマ：第 4 課(語彙説明、本文解釈)** 授業内容：教科書第 4 課を学び、内容および語彙を理解する。 事前学修 1.0hr：辞書をひいて単語の意味を調べる。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	19 回	**授業テーマ：第 13 課(語彙説明、本文解釈)** 授業内容：教科書第 13 課を学び、内容および学習のポイントを理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
5 回	**授業テーマ：第 1 課～第 4 課の復習** 授業内容：教科書第 1 課から第 4 課の語彙・文法を復習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	20 回	**授業テーマ：第 14 課(語彙説明、本文解釈)** 授業内容：教科書第 14 課を学び、内容および学習のポイントを理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
6 回	**授業テーマ：第 1 課～第 4 課のまとめ** 授業内容：教科書第 1 課から第 4 課の総復習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	21 回	**授業テーマ：第 15 課(語彙説明、本文解釈)** 授業内容：教科書第 15 課を学び、内容および学習のポイントを理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
7 回	**授業テーマ：第 5 課(語彙説明、本文解釈)** 授業内容：教科書第 5 課を学び、内容および学習のポイントを理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	22 回	**授業テーマ：第 16 課(語彙説明、本文解釈)** 授業内容：教科書第 16 課を学び、内容および語彙を理解する。 事前学修 1.0hr：辞書をひいて単語の意味を調べる。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
8 回	**授業テーマ：第 6 課(語彙説明、本文解釈)** 授業内容：教科書第 6 課を学び、内容および学習のポイントを理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	23 回	**授業テーマ：第 13 課～第 16 課の復習** 授業内容：教科書第 13 課から第 16 課の語彙・文法を復習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
9 回	**授業テーマ：第 7 課(語彙説明、本文解釈)** 授業内容：教科書第 7 課を学び、内容および学習のポイントを理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	24 回	**授業テーマ：第 13 課～第 16 課のまとめ** 授業内容：教科書第 13 課から第 16 課の総復習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
10 回	**授業テーマ：第 8 課(語彙説明、本文解釈)** 授業内容：教科書第 8 課を学び、内容および語彙を理解する。 事前学修 1.0hr：辞書をひいて単語の意味を調べる。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	25 回	**授業テーマ：第 17 課(語彙説明、本文解釈)** 授業内容：教科書第 17 課を学び、内容および語彙を理解する。 事前学修 1.0hr：辞書をひいて単語の意味を調べる。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
11 回	**授業テーマ：第 5 課～第 8 課の復習** 授業内容：教科書第 5 課から第 8 課の語彙・文法を復習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	26 回	**授業テーマ：第 18 課(語彙説明、本文解釈)** 授業内容：教科書第 18 課を学び、内容および語彙を理解する。 事前学修 1.0hr：辞書をひいて単語の意味を調べる。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。

12回	**授業テーマ：第 5 課〜第 8 課のまとめ** 授業内容：教科書第 5 課から第 8 課の総復習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	27回	**授業テーマ：第 19 課(語彙説明、本文解釈)** 授業内容：教科書第 19 課を学び、内容および語彙を理解する。 事前学修 1.0hr：辞書をひいて単語の意味を調べる。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
13回	**授業テーマ：第 9 課(語彙説明、本文解釈)** 授業内容：教科書第 9 課を学び、内容および学習のポイントを理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	28回	**授業テーマ：第 20 課(語彙説明、本文解釈)** 授業内容：教科書第 20 課を学び、内容および語彙を理解する。 事前学修 1.0hr：辞書をひいて単語の意味を調べる。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
14回	**授業テーマ：第 10 課(語彙説明、本文解釈)** 授業内容：教科書第 10 課を学び、内容および学習のポイントを理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	29回	**授業テーマ：第 17 課〜第 20 課の復習** 授業内容：教科書第 17 課から第 20 課の語彙・文法を復習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
15回	**授業テーマ：第 11 課(語彙説明、本文解釈)** 授業内容：教科書第 11 課を学び、内容および学習のポイントを理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	30回	**授業テーマ：第 17 課〜第 20 課のまとめ** 授業内容：教科書第 17 課から第 20 課の総復習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：後期を振り返り、今後の学修計画を立てる。

漢語会話 I

開講学科等：中 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 2

劉　智顕（りゅう　ちえい）

▌授業の概要

中国語の発音、基礎的文法、基礎語彙を学習します。文法説明、本文解釈は「漢語基礎」で行い、発音練習は「漢語会話」、実践的な応用練習を「漢語実践」で行います。また、同じ進度で、文章作成力の養成を「漢語作文」で行います。なお、Kクラスの教材、講義内容については、履修者の状況に応じて変更されることがあります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：中国語の基礎を身につけることを目標にします。
個別目標：①中国語を正しく発音できる。
　　②中国語で簡単なやりとりができる。

▌履修条件

授業に必ず出席すること。
学習した課を復習しておくこと。

▌評価基準・方法

授業内テスト、平常点(70 %)と、定期試験期間中に行われる中国語統一試験(30 %)の結果によります。
原則として 5 回以上欠席の者は、試験の受験を認めません。

▌フィードバック方法

授業における解説によりフィードバックを行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （中国語会話）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

明海大学外国語学部中国語学科編『シリーズで学ぶ中国語　漢語会話』東方書店

▌参考書

『中日辞典』小学館、『講談社中日辞典』講談社

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：発音の基礎(単母音、声調、二重母音、子音)** 授業内容：教科書の発音編 1 を学び、発音の基礎を身につける。 事前学修 1.0hr：授業の概要を読み、到達目標を理解する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	16回	**授業テーマ：介詞構造／状語(介詞構造)** 授業内容：教科書の第 12 課を学び、中国語会話を通じて介詞構造の文を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
2回	**授業テーマ：発音の基礎(鼻韻母、子音、三重母音)** 授業内容：教科書の発音編 2 を学び、発音の基礎を身につける。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	17回	**授業テーマ：目的語(動・動目)／疑問代詞** 授業内容：教科書の第 13 課を学び、中国語会話を通じて「～するのが好き」などの表現や疑問代詞のある文を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
3回	**授業テーマ：発音の基礎(鼻韻尾、そり舌母音、 r 化音)** 授業内容：教科書の発音編 3 を学び、発音の基礎を身につける。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	18回	**授業テーマ：助動詞** 授業内容：教科書の第 14 課を学び、中国語会話を通じて助動詞の用法を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
4回	**授業テーマ：発音の基礎(ピンイン綴りのルール)** 授業内容：教科書の発音編 4 を学び、発音の基礎を身につける。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	19回	**授業テーマ：二重目的語／100 ～の数／金銭** 授業内容：教科書の第 15 課を学び、中国語会話を通じて二重目的語を取る動詞や金銭などの数の表現を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
5回	**授業テーマ：是／不／是不是** 授業内容：教科書の第 1 課を学び、中国語会話を通じて「是」の用法を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	20回	**授業テーマ：動態助詞の了** 授業内容：教科書の第 16 課を学び、中国語会話を通じて動態助詞の「了」の用法を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
6回	**授業テーマ：有／没有／有没有** 授業内容：教科書の第 2 課を学び、中国語会話を通じて「有」の用法を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	21回	**授業テーマ：語気助詞の了** 授業内容：教科書の第 17 課を学び、中国語会話を通じて語気助詞の「了」の用法を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
7回	**授業テーマ：動詞述語文** 授業内容：教科書の第 3 課を学び、中国語会話を通じて動詞述語文を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	22回	**授業テーマ：経験／動作量／時間量** 授業内容：教科書の第 18 課を学び、中国語会話を通じて経験の表現や動作量・時間量について理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
8回	**授業テーマ：形容詞述語文／程度副詞／主述述語文** 授業内容：教科書の第 4 課を学び、中国語会話を通じて形容詞述語文・程度副詞・主述述語文を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	23回	**授業テーマ：動作の進行** 授業内容：教科書の第 19 課を学び、中国語会話を通じて動作の進行を表す文を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
9回	**授業テーマ：目的語／疑問代詞** 授業内容：教科書の第 5 課を学び、中国語会話を通じて目的語のある文、疑問代詞のある文を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	24回	**授業テーマ：着** 授業内容：教科書の第 20 課を学び、中国語会話を通じて動作・状態の持続を表す「着」の用法を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。

10回	**授業テーマ：定語(形容詞)／疑問代詞** 授業内容：教科書の第 6 課を学び、中国語会話を通じて定語のある文、疑問代詞のある文を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	25回	**授業テーマ：快要～了** 授業内容：教科書の第 21 課を学び、中国語会話を通じて変化を表す「了」の用法を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
11回	**授業テーマ：状語(副詞)／主語(動目)** 授業内容：教科書の第 7 課を学び、中国語会話を通じて状語のある文、動詞＋目的語が主語となる文を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	26回	**授業テーマ：早口言葉** 授業内容：教科書の第 22 課を学び、早口言葉を通して発音や文法を復習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
12回	**授業テーマ：10 ～ 99 の数／名詞述語文／日付・曜日／年齢** 授業内容：教科書の第 8 課を学び、中国語会話を通じて数字・日付・曜日・年齢の言い方や名詞述語文を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	27回	**授業テーマ：前期の復習(第 1 課～第 7 課)** 授業内容：教科書第 1 課から第 7 課の発音・会話を復習する。 事前学修 1.0hr：第 1 課～第 7 課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
13回	**授業テーマ：時間を表すことば／序数／状語(時点)** 授業内容：教科書の第 9 課を学び、中国語会話を通じて時間や序数の表現を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	28回	**授業テーマ：前期の復習(第 8 課～第 14 課)** 授業内容：教科書第 8 課から第 14 課の発音・会話を復習する。 事前学修 1.0hr：第 8 課～第 14 課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
14回	**授業テーマ：連動文／疑問代詞／選択疑問** 授業内容：教科書の第 10 課を学び、中国語会話を通じて連動文・選択疑問文・疑問代詞のある文を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	29回	**授業テーマ：前期の復習(第 15 課～第 21 課)** 授業内容：教科書第 15 課から第 21 課の発音・会話を復習する。 事前学修 1.0hr：第 15 課～第 21 課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
15回	**授業テーマ：場所を表すことば／存在** 授業内容：教科書の第 11 課を学び、中国語会話を通じて場所や存在を表す文を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	30回	**授業テーマ：全体の復習、授業内テスト** 授業内容：前期に習得した発音・文法・語彙の理解度を確認する。 事前学修 1.0hr：前期の内容を復習する。 事後学修 1.0hr：前期を振り返り、今後の学修計画を立てる。

漢語会話Ⅱ

開講学科等：中 ｜ 1年次 ｜ 2単位 ｜ 開講期：後2

劉　智顗（りゅう　ちえい）

▌授業の概要

中国語の発音、基礎的文法、基礎語彙を学習します。文法説明、本文解釈は「漢語基礎」で行い、発音練習は「漢語会話」、実践的な応用練習を「漢語実践」で行います。また、同じ進度で、文章作成力の養成を「漢語作文」で行います。なお、Kクラスの教材、講義内容については、履修者の状況に応じて変更されることがあります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：中国語で簡単な会話を行う能力を身につけることを目標にします。
個別目標：①中国語を正しく発音できる。
②簡単な中国語を聞いて理解できる。
③中国語で簡単な会話ができる。

▌履修条件

授業に必ず出席すること。
学習した課を復習しておくこと。

▌評価基準・方法

授業内テスト、平常点(70 %)と、定期試験期間中に行われる中国語統一試験(30 %)の結果によります。
原則として 5 回以上欠席の者は、試験の受験を認めません。

▌フィードバック方法

授業における解説によりフィードバックを行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （中国語会話）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

明海大学外国語学部中国語学科編『シリーズで学ぶ中国語　漢語会話』東方書店

▌参考書

『中日辞典』小学館、『講談社中日辞典』講談社

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：定語(動詞句＋的)／定語(主述＋的)** 授業内容：教科書の第 23 課を学び、中国語会話を通じて「的」の用法を理解する。 事前学修 1.0hr：授業の概要を読み、到達目標を理解する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	16回	**授業テーマ：越A越B／越来越～** 授業内容：教科書の第 38 課を学び、中国語会話を通じて「越 A 越 B」構文を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
2回	**授業テーマ：是～的／程度補語** 授業内容：教科書の第 24 課を学び、中国語会話を通じて「是～的」構文を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	17回	**授業テーマ：受身** 授業内容：教科書の第 39 課を学び、中国語会話を通じて受身表現を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
3回	**授業テーマ：動詞の重ね型** 授業内容：教科書の第 25 課を学び、中国語会話を通じて動詞の重ね型の用法を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	18回	**授業テーマ：使役** 授業内容：教科書の第 40 課を学び、中国語会話を通じて使役表現を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
4回	**授業テーマ：状語(形容詞)／形容詞の重ね型／地** 授業内容：教科書の第 26 課を学び、中国語会話を通じて形容詞の重ね型の用法を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	19回	**授業テーマ：概数／分数と%／倍数／小数** 授業内容：教科書の第 41 課を学び、中国語会話を通じて数の表現について理解を深める。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
5回	**授業テーマ：結果補語／方向補語** 授業内容：教科書の第 27 課を学び、中国語会話を通じて補語の概要を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	20回	**授業テーマ：反語** 授業内容：教科書の第 42 課を学び、中国語会話を通じて反語表現を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
6回	**授業テーマ：結果補語** 授業内容：教科書の第 28 課を学び、中国語会話を通じて結果補語の用法を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	21回	**授業テーマ：総合的内容(短文)** 授業内容：短文音読を通じて総復習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
7回	**授業テーマ：方向補語** 授業内容：教科書の第 29 課を学び、中国語会話を通じて方向補語の用法を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	22回	**授業テーマ：総合的内容(短文続き)** 授業内容：短文音読を通じて総復習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
8回	**授業テーマ：可能補語** 授業内容：教科書の第 30 課を学び、中国語会話を通じて可能補語の用法を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	23回	**授業テーマ：後期の復習(第 23 課～第 25 課)** 授業内容：第 23 課から第 25 課の発音・会話を復習する。 事前学修 1.0hr：第 23 課～第 25 課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
9回	**授業テーマ：把(述語部分が動補構造のもの)** 授業内容：教科書の第 31 課を学び、中国語会話を通じて把構文を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	24回	**授業テーマ：後期の復習(第 26 課～第 28 課)** 授業内容：第 26 課から第 28 課の発音・会話を復習する。 事前学修 1.0hr：第 26 課～第 28 課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
10回	**授業テーマ：把(述語部分が状語・動作量・時間量を持つもの)** 授業内容：教科書の第 32 課を学び、中国語会話を通じて把構文について理解を深める。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	25回	**授業テーマ：後期の復習(第 29 課～第 30 課)** 授業内容：第 29 課から第 30 課の発音・会話を復習する。 事前学修 1.0hr：第 29 課～第 30 課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。

11回	**授業テーマ：状態補語** 授業内容：教科書の第 33 課を学び、中国語会話を通じて状態補語の用法を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	26回	**授業テーマ：後期の復習(第 31 課～第 33 課)** 授業内容：第 31 課から第 33 課の発音・会話を復習する。 事前学修 1.0hr：第 31 課～第 33 課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
12回	**授業テーマ：存現文(存在)** 授業内容：教科書の第 34 課を学び、中国語会話を通じて存現文(存在)を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	27回	**授業テーマ：後期の復習(第 34 課～第 36 課)** 授業内容：第 34 課から第 36 課の発音・会話を復習する。 事前学修 1.0hr：第 34 課～第 36 課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
13回	**授業テーマ：存現文(出現・消失)** 授業内容：教科書の第 35 課を学び、中国語会話を通じて存現文(出現・消失)を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	28回	**授業テーマ：後期の復習(第 37 課～第 39 課)** 授業内容：第 37 課から第 39 課の発音・会話を復習する。 事前学修 1.0hr：第 37 課～第 39 課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
14回	**授業テーマ：比較(比)／分量** 授業内容：教科書の第 36 課を学び、中国語会話を通じて「比」を用いた比較表現を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	29回	**授業テーマ：後期の復習(第 40 課～第 42 課)** 授業内容：第 40 課から第 42 課の発音・会話を復習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
15回	**授業テーマ：比較(有・没有)** 授業内容：教科書の第 37 課を学び、中国語会話を通じて「有」を用いた比較表現を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	30回	**授業テーマ：全体の復習、授業内テスト** 授業内容：後期に習得した発音・文法・語彙の理解度を確認する。 事前学修 1.0hr：後期の内容を復習する。 事後学修 1.0hr：後期を振り返り、今後の学修計画を立てる。

漢語会話Ⅲ

開講学科等：中 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 2

翁　璟（おう　けい）・段　威（だん　い）

▌授業の概要

1 年次において習得した基礎的な文法、基本構文や語彙の知識を前提に、さらに語彙を拡充し、より高度な文法、構文、語句の用法を学びます。
「漢語基礎」「漢語会話」では、会話体の文、記述式の文章を使い、「漢語基礎」では文法説明、解釈を、「漢語会話」では発音および口頭による練習を行います。「漢語実践」では、シャドウイングを中心に、実践的な応用練習を行います。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：複文関連語句をはじめとする重要な構文、文法、語句の用法を学習し、実用的な中国語運用能力を習得するための基礎を固めます。
個別目標：①複文関連語句をはじめとする、ステップアップ時期に習熟すべき構文、文法、語句を使った文を、聴いて理解できる。
②複文関連語句をはじめとする、ステップアップ時期に習熟すべき構文、文法、語句を使って、センテンスが話せるようになる。
③ステップアップ時期に習熟すべき語彙を身につける。

▌履修条件

無断欠席をしないこと。
授業で学んだことを繰り返し復習すること。

▌評価基準・方法

受講クラスでの授業内テスト、平常点（70 %）と、定期試験期間中に行われる中国語統一試験（30 %）の結果によります。
原則として 5 回以上欠席の者は、試験の受験を認めません。

▌フィードバック方法

授業における解説およびテスト返却によりフィードバックを行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （中国語会話）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

明海大学中国語学科編『漢語楽園―漢語基礎Ⅲ・漢語会話Ⅲ―』東方書店

▌参考書

『中日辞典』小学館、『講談社中日辞典』講談社

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：第 1 課（本文音読、会話練習）** 授業内容：教科書第 1 課の本文音読および会話練習を行う。 事前学修 1.0hr：授業の概要を読み、到達目標を理解する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	16 回	**授業テーマ：第 12 課（本文音読、会話練習）** 授業内容：教科書第 12 課の本文音読および会話練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
2 回	**授業テーマ：第 2 課（本文音読、会話練習）** 授業内容：教科書第 2 課の本文音読および会話練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	17 回	**授業テーマ：第 9 課～第 12 課の復習** 授業内容：教科書第 9 課から第 12 課の発音・文法を復習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
3 回	**授業テーマ：第 3 課（本文音読、会話練習）** 授業内容：教科書第 3 課の本文音読および会話練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	18 回	**授業テーマ：第 9 課～第 12 課のまとめ** 授業内容：教科書第 9 課から第 12 課の総復習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
4 回	**授業テーマ：第 4 課（本文音読、会話練習）** 授業内容：教科書第 4 課の本文音読および会話練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	19 回	**授業テーマ：第 13 課（本文音読、会話練習）** 授業内容：教科書第 13 課の本文音読および会話練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
5 回	**授業テーマ：第 1 課～第 4 課の復習** 授業内容：教科書第 1 課から第 4 課の発音・文法を復習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	20 回	**授業テーマ：第 14 課（本文音読、会話練習）** 授業内容：教科書第 14 課の本文音読および会話練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
6 回	**授業テーマ：第 1 課～第 4 課のまとめ** 授業内容：教科書第 1 課から第 4 課の総復習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	21 回	**授業テーマ：第 15 課（本文音読、会話練習）** 授業内容：教科書第 15 課の本文音読および会話練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
7 回	**授業テーマ：第 5 課（本文音読、会話練習）** 授業内容：教科書第 5 課の本文音読および会話練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	22 回	**授業テーマ：第 16 課（本文音読、会話練習）** 授業内容：教科書第 16 課の本文音読および会話練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
8 回	**授業テーマ：第 6 課（本文音読、会話練習）** 授業内容：教科書第 6 課の本文音読および会話練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	23 回	**授業テーマ：第 13 課～第 16 課の復習** 授業内容：教科書第 13 課から第 16 課の発音・文法を復習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
9 回	**授業テーマ：第 7 課（本文音読、会話練習）** 授業内容：教科書第 7 課の本文音読および会話練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	24 回	**授業テーマ：第 13 課～第 16 課のまとめ** 授業内容：教科書第 13 課から第 16 課の総復習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
10 回	**授業テーマ：第 8 課（本文音読、会話練習）** 授業内容：教科書第 8 課の本文音読および会話練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	25 回	**授業テーマ：第 17 課（本文音読、会話練習）** 授業内容：教科書第 17 課の本文音読および会話練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
11 回	**授業テーマ：第 5 課～第 8 課の復習** 授業内容：教科書第 5 課から第 8 課の発音・文法を復習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	26 回	**授業テーマ：第 18 課（本文音読、会話練習）** 授業内容：教科書第 18 課の本文音読および会話練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。

12回	**授業テーマ：第 5 課～第 8 課のまとめ** 授業内容：教科書第 5 課から第 8 課の総復習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みのテキストを音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
13回	**授業テーマ：第 9 課(本文音読、会話練習)** 授業内容：教科書第 9 課の本文音読および会話練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
14回	**授業テーマ：第 10 課(本文音読、会話練習)** 授業内容：教科書第 10 課の本文音読および会話練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
15回	**授業テーマ：第 11 課(本文音読、会話練習)** 授業内容：教科書第 11 課の本文音読および会話練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
27回	**授業テーマ：第 19 課(本文音読、会話練習)** 授業内容：教科書第 19 課の本文音読および会話練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
28回	**授業テーマ：第 20 課(本文音読、会話練習)** 授業内容：教科書第 20 課の本文音読および会話練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
29回	**授業テーマ：第 17 課～第 20 課の復習** 授業内容：教科書第 17 課から第 20 課の発音・文法を復習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
30回	**授業テーマ：第 17 課～第 20 課のまとめ** 授業内容：教科書第 17 課から第 20 課の総復習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：前期を振り返り、今後の学修計画を立てる。

漢語会話Ⅳ

開講学科等：中 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 2

翁　璟（おう　けい）・段　威（だん　い）

▌授業の概要

1 年次において習得した基礎的な文法、基本構文や語彙の知識を前提に、さらに語彙を拡充し、より高度な文法、構文、語句の用法を学びます。
「漢語基礎」「漢語会話」では、会話体の文、記述式の文章を使い、「漢語基礎」では文法説明、解釈を、「漢語会話」では発音および口頭による練習を行います。「漢語実践」では、シャドウイングを中心に、実践的な応用練習を行います。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：複文関連語句をはじめとする重要な構文、文法、語句の用法を学習し、実用的な中国語運用能力を習得するための基礎を固めます。
個別目標：①複文関連語句をはじめとする、ステップアップ時期に習熟すべき構文、文法、語句を使った文を、聴いて理解できる。
②複文関連語句をはじめとする、ステップアップ時期に習熟すべき構文、文法、語句を使って、センテンスが話せるようになる。
③ステップアップ時期に習熟すべき語彙を身につける。

▌履修条件

無断欠席をしないこと。
授業で学んだことを繰り返し復習すること。

▌評価基準・方法

受講クラスでの授業内テスト、平常点（70 %）と、定期試験期間中に行われる中国語統一試験（30 %）の結果によります。
原則として 5 回以上欠席の者は、試験の受験を認めません。

▌フィードバック方法

授業における解説およびテスト返却によりフィードバックを行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （中国語会話）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

明海大学中国語学科編『漢語楽園―漢語基礎Ⅳ・漢語会話Ⅳ―』東方書店

▌参考書

『中日辞典』小学館、『講談社中日辞典』講談社

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：第 1 課（本文音読、会話練習）** 授業内容：教科書第 1 課の本文音読および会話練習を行う。 事前学修 1.0hr：授業の概要を読み、到達目標を理解する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	16 回	**授業テーマ：第 12 課（本文音読、会話練習）** 授業内容：教科書第 12 課の本文音読および会話練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
2 回	**授業テーマ：第 2 課（本文音読、会話練習）** 授業内容：教科書第 2 課の本文音読および会話練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	17 回	**授業テーマ：第 9 課～第 12 課の復習** 授業内容：教科書第 9 課から第 12 課の発音・文法を復習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
3 回	**授業テーマ：第 3 課（本文音読、会話練習）** 授業内容：教科書第 3 課の本文音読および会話練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	18 回	**授業テーマ：第 9 課～第 12 課のまとめ** 授業内容：教科書第 9 課から第 12 課の総復習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
4 回	**授業テーマ：第 4 課（本文音読、会話練習）** 授業内容：教科書第 4 課の本文音読および会話練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	19 回	**授業テーマ：第 13 課（本文音読、会話練習）** 授業内容：教科書第 13 課の本文音読および会話練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
5 回	**授業テーマ：第 1 課～第 4 課の復習** 授業内容：教科書第 1 課から第 4 課の発音・文法を復習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	20 回	**授業テーマ：第 14 課（語彙説明、本文解釈）** 授業内容：教科書第 14 課の本文音読および会話練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
6 回	**授業テーマ：第 1 課～第 4 課のまとめ** 授業内容：教科書第 1 課から第 4 課の総復習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	21 回	**授業テーマ：第 15 課（本文音読、会話練習）** 授業内容：教科書第 15 課の本文音読および会話練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
7 回	**授業テーマ：第 5 課（本文音読、会話練習）** 授業内容：教科書第 5 課の本文音読および会話練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	22 回	**授業テーマ：第 16 課（本文音読、会話練習）** 授業内容：教科書第 16 課の本文音読および会話練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
8 回	**授業テーマ：第 6 課（本文音読、会話練習）** 授業内容：教科書第 6 課の本文音読および会話練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	23 回	**授業テーマ：第 13 課～第 16 課の復習** 授業内容：教科書第 13 課から第 16 課の発音・文法を復習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
9 回	**授業テーマ：第 7 課（本文音読、会話練習）** 授業内容：教科書第 7 課の本文音読および会話練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	24 回	**授業テーマ：第 13 課～第 16 課のまとめ** 授業内容：教科書第 13 課から第 16 課の総復習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
10 回	**授業テーマ：第 8 課（本文音読、会話練習）** 授業内容：教科書第 8 課の本文音読および会話練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	25 回	**授業テーマ：第 17 課（本文音読、会話練習）** 授業内容：教科書第 17 課の本文音読および会話練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
11 回	**授業テーマ：第 5 課～第 8 課の復習** 授業内容：教科書第 5 課から第 8 課の発音・文法を復習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	26 回	**授業テーマ：第 18 課（本文音読、会話練習）** 授業内容：教科書第 18 課の本文音読および会話練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。

12回	**授業テーマ：第 5 課～第 8 課のまとめ** 授業内容：教科書第 5 課から第 8 課の総復習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
13回	**授業テーマ：第 9 課(本文音読、会話練習)** 授業内容：教科書第 9 課の本文音読および会話練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
14回	**授業テーマ：第 10 課(本文音読、会話練習)** 授業内容：教科書第 10 課の本文音読および会話練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
15回	**授業テーマ：第 11 課(本文音読、会話練習)** 授業内容：教科書第 11 課の本文音読および会話練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
27回	**授業テーマ：第 19 課(本文音読、会話練習)** 授業内容：教科書第 19 課の本文音読および会話練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
28回	**授業テーマ：第 20 課(本文音読、会話練習)** 授業内容：教科書第 20 課の本文音読および会話練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
29回	**授業テーマ：第 17 課～第 20 課の復習** 授業内容：教科書第 17 課から第 20 課の発音・文法を復習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
30回	**授業テーマ：第 17 課～第 20 課のまとめ** 授業内容：教科書第 17 課から第 20 課の総復習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：後期を振り返り、今後の学修計画を立てる。

中級漢語 I

開講学科等：中 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 2

張　先煜（ちょう　せんいく）・**中島　祝**（なかじま　はじめ）・**馬場　将三**（ばば　しょうぞう）・**余　瀾**（よ　らん）

▌授業の概要

1、2 年次における中国語学習の成果をもとに、もう一段高い中国語運用能力の習得を目指します。
授業は週に 2 回あります。各課の 1 回目の授業では、テキスト本文を用いた語彙・文法の説明とパターンプラクティスを行います。第 2 回目は、徹底した対話練習を行います。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：実社会における話題にも対応できる中国語運用能力を身につける。
個別目標：①特定の話題についての、ある程度長い文を聴いて理解できる。
②特定の話題について、中国語である程度詳しく説明することができる。
③特定の話題に関わる、応用的な語彙力を身につける。

▌履修条件

無断欠席をしないこと。
授業で学習した内容を復習しておくこと。

▌評価基準・方法

授業内テスト、平常点によります。原則として 5 回以上欠席の者は、試験の受験を認めません。

▌フィードバック方法

授業における解説およびテスト返却によりフィードバックを行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （中国語会話）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （情報演習室で PC を利用して授業を行う場合がある。）

▌教科書

明海大学外国語学部中国語学科編『中級漢語 I 』東方書店

▌参考書

『中日辞典』小学館、『講談社中日辞典』講談社

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：第 1 課（語彙説明、本文解釈）** 授業内容：教科書第 1 課を学び、語彙、内容を理解する。 事前学修 1.0hr：授業の概要を読み、到達目標を理解する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	16 回	**授業テーマ：第 8 課（音読、対話練習）** 授業内容：教科書第 8 課の音読、対話練習を行う。 事前学修 1.0hr：第 8 課の単語と本文を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
2 回	**授業テーマ：第 1 課（音読、対話練習）** 授業内容：教科書第 1 課の音読、対話練習を行う。 事前学修 1.0hr：第 1 課の単語と本文を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	17 回	**授業テーマ：第 9 課（語彙説明、本文解釈）** 授業内容：教科書第 9 課を学び、語彙、内容を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
3 回	**授業テーマ：第 2 課（語彙説明、本文解釈）** 授業内容：教科書第 2 課を学び、語彙、内容を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	18 回	**授業テーマ：第 9 課（音読、対話練習）** 授業内容：教科書第 9 課の音読、対話練習を行う。 事前学修 1.0hr：第 9 課の単語と本文を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
4 回	**授業テーマ：第 2 課（音読、対話練習）** 授業内容：教科書第 2 課の音読、対話練習を行う。 事前学修 1.0hr：第 2 課の単語と本文を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	19 回	**授業テーマ：第 10 課(語彙説明、本文解釈)** 授業内容：教科書第 10 課を学び、語彙、内容を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
5 回	**授業テーマ：第 3 課（語彙説明、本文解釈）** 授業内容：教科書第 3 課を学び、語彙、内容を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	20 回	**授業テーマ：第 10 課(音読、対話練習)** 授業内容：教科書第 10 課の音読、対話練習を行う。 事前学修 1.0hr：第 10 課の単語と本文を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
6 回	**授業テーマ：第 3 課（音読、対話練習）** 授業内容：教科書第 3 課の音読、対話練習を行う。 事前学修 1.0hr：第 3 課の単語と本文を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	21 回	**授業テーマ：第 11 課(語彙説明、本文解釈)** 授業内容：教科書第 11 課を学び、語彙、内容を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
7 回	**授業テーマ：第 4 課（語彙説明、本文解釈）** 授業内容：教科書第 4 課を学び、語彙、内容を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	22 回	**授業テーマ：第 11 課(音読、対話練習)** 授業内容：教科書第 11 課の音読、対話練習を行う。 事前学修 1.0hr：第 11 課の単語と本文を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
8 回	**授業テーマ：第 4 課（音読、対話練習）** 授業内容：教科書第 4 課の音読、対話練習を行う。 事前学修 1.0hr：第 4 課の単語と本文を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	23 回	**授業テーマ：第 12 課(語彙説明、本文解釈)** 授業内容：教科書第 12 課を学び、語彙、内容を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
9 回	**授業テーマ：第 5 課（語彙説明、本文解釈）** 授業内容：教科書第 5 課を学び、語彙、内容を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	24 回	**授業テーマ：第 12 課(音読、対話練習)** 授業内容：教科書第 12 課の音読、対話練習を行う。 事前学修 1.0hr：第 12 課の単語と本文を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
10 回	**授業テーマ：第 5 課（音読、対話練習）** 授業内容：教科書第 5 課の音読、対話練習を行う。 事前学修 1.0hr：第 5 課の単語と本文を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	25 回	**授業テーマ：第 13 課(語彙説明、本文解釈)** 授業内容：教科書第 13 課を学び、語彙、内容を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
11 回	**授業テーマ：第 6 課（語彙説明、本文解釈）** 授業内容：教科書第 6 課を学び、語彙、内容を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	26 回	**授業テーマ：第 13 課(音読、対話練習)** 授業内容：教科書第 13 課の音読、対話練習を行う。 事前学修 1.0hr：第 13 課の単語と本文を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。

12回	**授業テーマ：第 6 課（音読、対話練習）** 授業内容：教科書第 6 課の音読、対話練習を行う。 事前学修 1.0hr：第 6 課の単語と本文を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	27回	**授業テーマ：復習(音読、対話練習)** 授業内容：教科書第 1 課から第 5 課の音読、対話練習を行い、重要表現を復習する。 事前学修 1.0hr：第 1-5 課を音読してくる。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
13回	**授業テーマ：第 7 課（語彙説明、本文解釈）** 授業内容：教科書第 7 課を学び、語彙、内容を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	28回	**授業テーマ：復習(音読、対話練習)** 授業内容：教科書第 6 課から第 9 課の音読、対話練習を行い、重要表現を復習する。 事前学修 1.0hr：第 6-9 課を音読してくる。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
14回	**授業テーマ：第 7 課（音読、対話練習）** 授業内容：教科書第 7 課の音読、対話練習を行う。 事前学修 1.0hr：第 7 課の単語と本文を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	29回	**授業テーマ：復習(音読、対話練習)** 授業内容：教科書第 10 課から第 13 課の音読、対話練習を行い、重要表現を復習する。 事前学修 1.0hr：第 10-13 課を音読してくる。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
15回	**授業テーマ：第 8 課（語彙説明、本文解釈）** 授業内容：教科書第 8 課を学び、語彙、内容を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	30回	**授業テーマ：復習、授業内テスト** 授業内容：前期に習得した中国語運用能力の到達度を確認する。 事前学修 1.0hr：前期の内容を復習する。 事後学修 1.0hr：前期を振り返り、今後の学修計画を立てる。

中級漢語Ⅱ

開講学科等：中 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 2

張　先煜（ちょう　せんいく）・**中島　祝**（なかじま　はじめ）・**馬場　将三**（ばば　しょうぞう）・**余　瀾**（よ　らん）

▌授業の概要

1、2 年次における中国語学習の成果をもとに、もう一段高い中国語能力の習得を目指します。
授業は週に 2 回あります。各課の 1 回目の授業では、テキスト本文を用いた語彙・文法の説明とパターンプラクティスを行います。第 2 回目は、徹底した対話練習を行います。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：実社会における話題にも対応できる中国語運用能力を身につける。
個別目標：①特定の話題についての、ある程度長い文を聴いて理解できる。
②特定の話題について、中国語である程度詳しく説明することができる。
③特定の話題に関わる、応用的な語彙力を身につける。

▌履修条件

無断欠席をしないこと。
授業で学習した内容を復習しておくこと。

▌評価基準・方法

授業内テスト、平常点によります。原則として 5 回以上欠席の者は、試験の受験を認めません。

▌フィードバック方法

授業における解説およびテスト返却によりフィードバックを行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （中国語会話）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （情報演習室で PC を利用して授業を行う場合がある。）

▌教科書

明海大学外国語学部中国語学科編『中級漢語Ⅱ』東方書店

▌参考書

『中日辞典』小学館、『講談社中日辞典』講談社

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：第 1 課（語彙説明、本文解釈）** 授業内容：教科書第 1 課を学び、語彙、内容を理解する。 事前学修 1.0hr：授業の概要を読み、到達目標を理解する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	16 回	**授業テーマ：第 8 課（音読、対話練習）** 授業内容：教科書第 8 課の音読、対話練習を行う。 事前学修 1.0hr：第 8 課の単語と本文を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
2 回	**授業テーマ：第 1 課（音読、対話練習）** 授業内容：教科書第 1 課の音読、対話練習を行う。 事前学修 1.0hr：第 1 課の単語と本文を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	17 回	**授業テーマ：第 9 課（語彙説明、本文解釈）** 授業内容：教科書第 9 課を学び、語彙、内容を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
3 回	**授業テーマ：第 2 課（語彙説明、本文解釈）** 授業内容：教科書第 2 課を学び、語彙、内容を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	18 回	**授業テーマ：第 9 課（音読、対話練習）** 授業内容：教科書第 9 課の音読、対話練習を行う。 事前学修 1.0hr：第 9 課の単語と本文を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
4 回	**授業テーマ：第 2 課（音読、対話練習）** 授業内容：教科書第 2 課の音読、対話練習を行う。 事前学修 1.0hr：第 2 課の単語と本文を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	19 回	**授業テーマ：第 10 課(語彙説明、本文解釈)** 授業内容：教科書第 10 課を学び、語彙、内容を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
5 回	**授業テーマ：第 3 課（語彙説明、本文解釈）** 授業内容：教科書第 3 課を学び、語彙、内容を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	20 回	**授業テーマ：第 10 課(音読、対話練習)** 授業内容：教科書第 10 課の音読、対話練習を行う。 事前学修 1.0hr：第 10 課の単語と本文を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
6 回	**授業テーマ：第 3 課（音読、対話練習）** 授業内容：教科書第 3 課の音読、対話練習を行う。 事前学修 1.0hr：第 3 課の単語と本文を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	21 回	**授業テーマ：第 11 課(語彙説明、本文解釈)** 授業内容：教科書第 11 課を学び、語彙、内容を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
7 回	**授業テーマ：第 4 課（語彙説明、本文解釈）** 授業内容：教科書第 4 課を学び、語彙、内容を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	22 回	**授業テーマ：第 11 課(音読、対話練習)** 授業内容：教科書第 11 課の音読、対話練習を行う。 事前学修 1.0hr：第 11 課の単語と本文を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
8 回	**授業テーマ：第 4 課（音読、対話練習）** 授業内容：教科書第 4 課の音読、対話練習を行う。 事前学修 1.0hr：第 4 課の単語と本文を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	23 回	**授業テーマ：第 12 課(語彙説明、本文解釈)** 授業内容：教科書第 12 課を学び、語彙、内容を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
9 回	**授業テーマ：第 5 課（語彙説明、本文解釈）** 授業内容：教科書第 5 課を学び、語彙、内容を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	24 回	**授業テーマ：第 12 課(音読、対話練習)** 授業内容：教科書第 12 課の音読、対話練習を行う。 事前学修 1.0hr：第 12 課の単語と本文を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
10 回	**授業テーマ：第 5 課（音読、対話練習）** 授業内容：教科書第 5 課の音読、対話練習を行う。 事前学修 1.0hr：第 5 課の単語と本文を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	25 回	**授業テーマ：第 13 課(語彙説明、本文解釈)** 授業内容：教科書第 13 課を学び、語彙、内容を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
11 回	**授業テーマ：第 6 課（語彙説明、本文解釈）** 授業内容：教科書第 6 課を学び、語彙、内容を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	26 回	**授業テーマ：第 13 課(音読、対話練習)** 授業内容：教科書第 13 課の音読、対話練習を行う。 事前学修 1.0hr：第 13 課の単語と本文を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。

12回	**授業テーマ：第 6 課（音読、対話練習）** 授業内容：教科書第 6 課の音読、対話練習を行う。 事前学修 1.0hr：第 6 課の単語と本文を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	27回	**授業テーマ：復習(音読、対話練習)** 授業内容：教科書第 1 課から第 5 課の音読、対話練習を行い、重要表現を復習する。 事前学修 1.0hr：第 1-5 課を音読してくる。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
13回	**授業テーマ：第 7 課（語彙説明、本文解釈）** 授業内容：教科書第 7 課を学び、語彙、内容を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	28回	**授業テーマ：復習(音読、対話練習)** 授業内容：教科書第 6 課から第 9 課の音読、対話練習を行い、重要表現を復習する。 事前学修 1.0hr：第 6-9 課を音読してくる。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
14回	**授業テーマ：第 7 課（音読、対話練習）** 授業内容：教科書第 7 課の音読、対話練習を行う。 事前学修 1.0hr：第 7 課の単語と本文を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	29回	**授業テーマ：復習(音読、対話練習)** 授業内容：教科書第 10 課から第 13 課の音読、対話練習を行い、重要表現を復習する。 事前学修 1.0hr：第 10-13 課を音読してくる。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
15回	**授業テーマ：第 8 課（語彙説明、本文解釈）** 授業内容：教科書第 8 課を学び、語彙、内容を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	30回	**授業テーマ：復習、授業内テスト** 授業内容：後期に習得した中国語運用能力の到達度を確認する。 事前学修 1.0hr：後期の内容を復習する。 事後学修 1.0hr：後期を振り返り、今後の学修計画を立てる。

漢語実践Ⅰ

開講学科等：中 ｜ 1年次 ｜ 2単位 ｜ 開講期：前2

王　丹（おう　たん）・神崎　龍志（かんざき　たつし）・高田　誠（たかだ　まこと）・馬場　将三（ばば　しょうぞう）

▌授業の概要

中国語の発音、基礎的文法、基礎語彙を学習します。文法説明、本文解釈は「漢語基礎」で行い、発音練習は「漢語会話」、実践的な応用練習を「漢語実践」で行います。また、同じ進度で、文章作成力の養成を「漢語作文」で行います。なお、Kクラスの教材、講義内容については、履修者の状況に応じて変更されることがあります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：中国語の基礎を身につけることを目標にします。
個別目標：①基本構文を使って話すことができる。
　　②場面に応じた語彙力を身につける。

▌履修条件

授業に必ず出席すること。
学習した課を復習しておくこと。

▌評価基準・方法

授業内テスト、平常点(70 %)と、定期試験期間中に行われる中国語統一試験(30 %)の結果によります。
原則として 5 回以上欠席の者は、試験の受験を認めません。

▌フィードバック方法

授業における解説およびテスト返却によりフィードバックを行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （ドリル）

▌教科書

明海大学外国語学部中国語学科編『シリーズで学ぶ中国語　漢語実践　第 2 版』東方書店

▌参考書

『中日辞典』小学館、『講談社中日辞典』講談社

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：発音の基礎(単母音、声調、二重母音、子音)** 授業内容：教科書の発音編 1 を学び、発音の基礎を身につける。 事前学修 1.0hr：授業の概要を読み、到達目標を理解する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	16回	**授業テーマ：介詞構造／状語(介詞構造)** 授業内容：教科書の第 12 課を学び、場面設定の下で介詞構造の文を練習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
2回	**授業テーマ：発音の基礎(鼻韻母、子音、三重母音)** 授業内容：教科書の発音編 2 を学び、発音の基礎を身につける。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	17回	**授業テーマ：目的語(動・動目)／疑問代詞** 授業内容：教科書の第 13 課を学び、場面設定の下で「～するのが好き」などの表現や疑問代詞のある文を練習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
3回	**授業テーマ：発音の基礎(鼻韻尾、そり舌母音、 r 化音)** 授業内容：教科書の発音編 3 を学び、発音の基礎を身につける。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	18回	**授業テーマ：助動詞** 授業内容：教科書の第 14 課を学び、場面設定の下で助動詞の用法を練習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
4回	**授業テーマ：発音の基礎(挨拶を用いた総復習)** 授業内容：教科書の発音編 4 を学び、発音の基礎を身につける。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	19回	**授業テーマ：二重目的語／100 ～の数／金銭** 授業内容：教科書の第 15 課を学び、場面設定の下で二重目的語を取る動詞や金銭などの数の表現を練習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
5回	**授業テーマ：是／不／是不是** 授業内容：教科書の第 1 課を学び、場面設定の下で「是」の用法を練習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	20回	**授業テーマ：動態助詞の了** 授業内容：教科書の第 16 課を学び、場面設定の下で動態助詞の「了」の用法を練習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
6回	**授業テーマ：有／没有／有没有** 授業内容：教科書の第 2 課を学び、場面設定の下で「有」の用法を練習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	21回	**授業テーマ：語気助詞の了** 授業内容：教科書の第 17 課を学び、場面設定の下で語気助詞の「了」の用法を練習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
7回	**授業テーマ：動詞述語文** 授業内容：教科書の第 3 課を学び、場面設定の下で動詞述語文を練習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	22回	**授業テーマ：経験／動作量／時間量** 授業内容：教科書の第 18 課を学び、場面設定の下で経験の表現や動作量・時間量について練習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
8回	**授業テーマ：形容詞述語文／程度副詞／主述述語文** 授業内容：教科書の第 4 課を学び、場面設定の下で形容詞述語文・程度副詞・主述述語文を練習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	23回	**授業テーマ：動作の進行** 授業内容：教科書の第 19 課を学び、場面設定の下で動作の進行を表す文を練習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
9回	**授業テーマ：目的語／疑問代詞** 授業内容：教科書の第 5 課を学び、場面設定の下で目的語のある文、疑問代詞のある文を練習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	24回	**授業テーマ：着** 授業内容：教科書の第 20 課を学び、場面設定の下で動作・状態の持続を表す「着」の用法を練習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。

10回	**授業テーマ：定語(形容詞)／疑問代詞** 授業内容：教科書の第 6 課を学び、場面設定の下で定語のある文、疑問代詞のある文を練習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	25回	**授業テーマ：快要～了** 授業内容：教科書の第 21 課を学び、場面設定の下で変化を表す「了」の用法を練習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
11回	**授業テーマ：状語(副詞)／主語(動目)** 授業内容：教科書の第 7 課を学び、場面設定の下で状語のある文、動詞＋目的語が主語となる文を練習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	26回	**授業テーマ：語彙の拡充(地名、時間、方位詞)** 授業内容：教科書の第 22 課を学び、場面設定の下で語彙を拡充する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
12回	**授業テーマ：10 ～ 99 の数／名詞述語文／日付・曜日／年齢** 授業内容：教科書の第 8 課を学び、場面設定の下で数字・日付・曜日・年齢の言い方や名詞述語文を練習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	27回	**授業テーマ：前期の復習(第 1 課～第 7 課)** 授業内容：教科書第 1 課から第 7 課を総合的に復習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
13回	**授業テーマ：時間を表すことば／序数／状語(時点)** 授業内容：教科書の第 9 課を学び、場面設定の下で時間や序数の表現を練習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	28回	**授業テーマ：前期の復習(第 8 課～第 14 課)** 授業内容：教科書第 8 課から第 14 課を総合的に復習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
14回	**授業テーマ：連動文／疑問代詞／選択疑問** 授業内容：教科書の第 10 課を学び、場面設定の下で連動文・選択疑問文・疑問代詞のある文を練習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	29回	**授業テーマ：前期の復習(第 15 課～第 22 課)** 授業内容：教科書第 15 課から第 22 課を総合的に復習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
15回	**授業テーマ：場所を表すことば／存在** 授業内容：教科書の第 11 課を学び、場面設定の下で場所や存在を表す文を練習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	30回	**授業テーマ：全体の復習、授業内テスト** 授業内容：前期に習得した文法や語彙の理解度を確認する。 事前学修 1.0hr：前期の内容を復習する。 事後学修 1.0hr：前期を振り返り、今後の学修計画を立てる。

漢語実践Ⅱ

開講学科等：中 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 2

王　丹（おう　たん）・**神崎　龍志**（かんざき　たつし）・**高田　誠**（たかだ　まこと）・**馬場　将三**（ばば　しょうぞう）

▌授業の概要

中国語の発音、基礎的文法、基礎語彙を学習します。文法説明、本文解釈は「漢語基礎」で行い、発音練習は「漢語会話」、実践的な応用練習を「漢語実践」で行います。また、同じ進度で、文章作成力の養成を「漢語作文」で行います。なお、Kクラスの教材、講義内容については、履修者の状況に応じて変更されることがあります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：与えられた場面に応じて、簡単な会話ができる能力を身につけることを目標にします。
個別目標：①場面に応じて基本構文を使って話すことができる。
②場面に応じた発展的な語彙力を身につける。
③場面に応じて中国語で簡単な会話ができる。

▌履修条件

授業に必ず出席すること。
学習した課を復習しておくこと。

▌評価基準・方法

授業内テスト、平常点(70 %)と、定期試験期間中に行われる中国語統一試験(30 %)の結果によります。
原則として 5 回以上欠席の者は、試験の受験を認めません。

▌フィードバック方法

授業における解説およびテスト返却によりフィードバックを行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （ドリル）

▌教科書

明海大学外国語学部中国語学科編『シリーズで学ぶ中国語　漢語実践　第 2 版』東方書店

▌参考書

『中日辞典』小学館、『講談社中日辞典』講談社

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：定語(動詞句＋的)／定語(主述＋的)** 授業内容：教科書第 23 課を学び、場面設定の下で「的」の用法を練習する。 事前学修 1.0hr：授業の概要を読み、到達目標を理解する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	16回	**授業テーマ：越A越B／越来越～** 授業内容：教科書第 38 課を学び、場面設定の下で「越 A 越 B」構文を練習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
2回	**授業テーマ：是～的／程度補語** 授業内容：教科書第 24 課を学び、場面設定の下で「是～的」構文や程度補語を練習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	17回	**授業テーマ：受身** 授業内容：教科書第 39 課を学び、場面設定の下で受身表現を練習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
3回	**授業テーマ：動詞の重ね型** 授業内容：教科書第 25 課を学び、場面設定の下で動詞の重ね型を練習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	18回	**授業テーマ：使役** 授業内容：教科書第 40 課を学び、場面設定の下で使役表現を練習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
4回	**授業テーマ：状語(形容詞)／形容詞の重ね型／地** 授業内容：教科書第 26 課を学び、場面設定の下で形容詞の重ね型を練習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	19回	**授業テーマ：概数／分数と%／倍数／小数** 授業内容：教科書第 41 課を学び、場面設定の下で数の表現を練習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
5回	**授業テーマ：結果補語／方向補語** 授業内容：教科書第 27 課を学び、場面設定の下で補語を練習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	20回	**授業テーマ：反語** 授業内容：教科書第 42 課を学び、場面設定の下で反語表現を練習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
6回	**授業テーマ：結果補語** 授業内容：教科書第 28 課を学び、場面設定の下で結果補語を練習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	21回	**授業テーマ：量詞** 授業内容：教科書第 43 課を学び、場面設定の下で量詞の用法を練習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
7回	**授業テーマ：方向補語** 授業内容：教科書第 29 課を学び、場面設定の下で方向補語を練習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	22回	**授業テーマ：副詞、複文** 授業内容：教科書第 44 課を学び、場面設定の下で複文を練習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
8回	**授業テーマ：可能補語** 授業内容：教科書第 30 課を学び、場面設定の下で可能補語を練習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	23回	**授業テーマ：後期の復習(第 23 課～第 25 課)** 授業内容：教科書第 23 課から第 25 課を総合的に復習する。 事前学修 1.0hr：第 23 課～第 25 課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
9回	**授業テーマ：把(述語部分が動補構造のもの)** 授業内容：教科書第 31 課を学び、場面設定の下で把構文を練習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	24回	**授業テーマ：後期の復習(第 26 課～第 28 課)** 授業内容：教科書第 26 課から第 28 課を総合的に復習する。 事前学修 1.0hr：第 26 課～第 28 課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
10回	**授業テーマ：把(述語部分が状語・動作量・時間量を持つもの)** 授業内容：教科書第 32 課を学び、場面設定の下で把構文を練習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	25回	**授業テーマ：後期の復習(第 29 課～第 31 課)** 授業内容：教科書第 29 課から第 31 課を総合的に復習する。 事前学修 1.0hr：第 29 課～第 31 課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。

11回	**授業テーマ：状態補語** 授業内容：教科書第 33 課を学び、場面設定の下で状態補語を練習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	26回	**授業テーマ：後期の復習(第 32 課～第 34 課)** 授業内容：教科書第 32 課から第 34 課を総合的に復習する。 事前学修 1.0hr：第 32 課～第 34 課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
12回	**授業テーマ：存現文(存在)** 授業内容：教科書第 34 課を学び、場面設定の下で存現文(存在)を練習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	27回	**授業テーマ：後期の復習(第 35 課～第 37 課)** 授業内容：教科書第 35 課から第 37 課を総合的に復習する。 事前学修 1.0hr：第 35 課～第 37 課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
13回	**授業テーマ：存現文(出現・消失)** 授業内容：教科書第 35 課を学び、場面設定の下で存現文(出現・消失)を練習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	28回	**授業テーマ：後期の復習(第 38 課～第 40 課)** 授業内容：教科書第 38 課から第 40 課を総合的に復習する。 事前学修 1.0hr：第 38 課～第 40 課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
14回	**授業テーマ：比較(比)／分量** 授業内容：教科書第 36 課を学び、場面設定の下で「比」を用いた比較表現を練習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	29回	**授業テーマ：後期の復習(第 41 課～第 44 課)** 授業内容：教科書第 41 課から第 44 課を総合的に復習する。 事前学修 1.0hr：第 41 課～第 44 課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
15回	**授業テーマ：比較(有・没有)** 授業内容：教科書 37 課を学び、場面設定の下で「有」を用いた比較表現を練習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	30回	**授業テーマ：全体の復習、授業内テスト** 授業内容：後期に習得した文法や語彙の理解度を確認する。 事前学修 1.0hr：後期の内容を復習する。 事後学修 1.0hr：後期を振り返り、今後の学修計画を立てる。

漢語実践Ⅲ

開講学科等：中 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 2

神崎　龍志（かんざき　たつし）・**高田　誠**（たかだ　まこと）・**南　勇**（なん　ゆう）・**馬場　将三**（ばば　しょうぞう）

▌授業の概要

1 年次において習得した基礎的な文法、基本構文や語彙の知識を前提に、さらに語彙を拡充し、より高度な文法、構文、語句の用法を学びます。
「漢語基礎」「漢語会話」では、会話体の文、記述式の文章を使い、「漢語基礎」では文法説明、解釈を、「漢語会話」では発音および口頭による練習を行います。「漢語実践」では、シャドウイングを中心に、実践的な応用練習を行います。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：平易な日常会話からビジネス現場での表現まで、作文を導入として、シャドウイングを中心に、実践的な応用練習を行い、実用的な中国語運用能力を習得することを目指します。

個別目標：①平易な文を、一定のスピードで作文できるようになる。
②平易な文をシャドウイングで話せるようになる。
③ビジネス現場で用いる表現を組み立てることができる。
④ビジネス現場で用いる表現をシャドウイングで話せるようになる。

▌履修条件

無断欠席をしないこと。
授業で学んだことを繰り返し復習すること。

▌評価基準・方法

受講クラスでの授業内テスト、平常点(70 %)と、定期試験期間中に行われる中国語統一試験(30 %)の結果によります。
原則として 5 回以上欠席の者は、試験の受験を認めません。

▌フィードバック方法

授業における解説およびテスト返却によりフィードバックを行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （口頭発表等）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （中国語学習アプリを利用することがある）

▌教科書

明海大学外国語学部中国語学科編『漢語自在 大学生のためのシャドウイング　漢語実践Ⅲ・漢語実践Ⅳ』東方書店

▌参考書

『中日辞典』小学館、『講談社中日辞典』講談社

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：第 1 課（作文、音読）** 授業内容：教科書第 1 課の作文、音読により文法事項を理解する。 事前学修 1.0hr：授業の概要を読み、到達目標を理解する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	16 回	**授業テーマ：第 8 課（シャドウイング）** 授業内容：教科書第 8 課のシャドウイングと応用練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの本文を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
2 回	**授業テーマ：第 1 課（シャドウイング）** 授業内容：教科書第 1 課のシャドウイングと応用練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの本文を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	17 回	**授業テーマ：第 9 課（作文、音読）** 授業内容：教科書第 9 課の作文、音読により文法事項を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
3 回	**授業テーマ：第 2 課（作文、音読）** 授業内容：教科書第 2 課の作文、音読により文法事項を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	18 回	**授業テーマ：第 9 課（シャドウイング）** 授業内容：教科書第 9 課のシャドウイングと応用練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの本文を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
4 回	**授業テーマ：第 2 課（シャドウイング）** 授業内容：教科書第 2 課のシャドウイングと応用練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの本文を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	19 回	**授業テーマ：第 10 課(作文、音読)** 授業内容：教科書第 10 課の作文、音読により文法事項を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
5 回	**授業テーマ：第 3 課（作文、音読）** 授業内容：教科書第 3 課の作文、音読により文法事項を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	20 回	**授業テーマ：第 10 課(シャドウイング)** 授業内容：教科書第 10 課のシャドウイングと応用練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの本文を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
6 回	**授業テーマ：第 3 課（シャドウイング）** 授業内容：教科書第 3 課のシャドウイングと応用練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの本文を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	21 回	**授業テーマ：第 11 課(作文、音読)** 授業内容：教科書第 11 課の作文、音読により文法事項を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
7 回	**授業テーマ：第 4 課（作文、音読）** 授業内容：教科書第 4 課の作文、音読により文法事項を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	22 回	**授業テーマ：第 11 課(シャドウイング)** 授業内容：教科書第 11 課のシャドウイングと応用練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの本文を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
8 回	**授業テーマ：第 4 課（シャドウイング）** 授業内容：教科書第 4 課のシャドウイングと応用練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの本文を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	23 回	**授業テーマ：第 12 課(作文、音読)** 授業内容：教科書第 12 課の作文、音読により文法事項を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
9 回	**授業テーマ：第 5 課（作文、音読）** 授業内容：教科書第 5 課の作文、音読により文法事項を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	24 回	**授業テーマ：第 12 課(シャドウイング)** 授業内容：教科書第 12 課のシャドウイングと応用練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの本文を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
10 回	**授業テーマ：第 5 課（シャドウイング）** 授業内容：教科書第 5 課のシャドウイングと応用練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの本文を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	25 回	**授業テーマ：第 13 課(作文、音読)** 授業内容：教科書第 13 課の作文、音読により文法事項を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。

11回	**授業テーマ：第 6 課（作文、音読）** 授業内容：教科書第 6 課の作文、音読により文法事項を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	26回	**授業テーマ：第 13 課(シャドウイング)** 授業内容：教科書第 13 課のシャドウイングと応用練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの本文を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
12回	**授業テーマ：第 6 課（シャドウイング）** 授業内容：教科書第 6 課のシャドウイングと応用練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの本文を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	27回	**授業テーマ：復習(シャドウイング)** 授業内容：教科書第 1 課から第 5 課のシャドウイングと復習を行う。 事前学修 1.0hr：第 1-5 課を音読してくる。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
13回	**授業テーマ：第 7 課（作文、音読）** 授業内容：教科書第 7 課の作文、音読により文法事項を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	28回	**授業テーマ：復習(シャドウイング)** 授業内容：教科書第 6 課から第 9 課のシャドウイングと復習を行う。 事前学修 1.0hr：第 6-9 課を音読してくる。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
14回	**授業テーマ：第 7 課（シャドウイング）** 授業内容：教科書第 7 課のシャドウイングと応用練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの本文を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	29回	**授業テーマ：復習(シャドウイング)** 授業内容：教科書第 10 課から第 13 課のシャドウイングと復習を行う。 事前学修 1.0hr：第 10-13 課を音読してくる。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
15回	**授業テーマ：第 8 課（作文、音読）** 授業内容：教科書第 8 課の作文、音読により文法事項を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	30回	**授業テーマ：復習、授業内テスト** 授業内容：前期に習得した中国語運用能力の到達度を確認する。 事前学修 1.0hr：前期の内容を復習する。 事後学修 1.0hr：前期を振り返り、今後の学修計画を立てる。

漢語実践Ⅳ

開講学科等：中 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 2

神崎　龍志（かんざき　たつし）・**高田　誠**（たかだ　まこと）・**南　勇**（なん　ゆう）・**馬場　将三**（ばば　しょうぞう）

▌授業の概要

1 年次において習得した基礎的な文法、基本構文や語彙の知識を前提に、さらに語彙を拡充し、より高度な文法、構文、語句の用法を学びます。
「漢語基礎」「漢語会話」では、会話体の文、記述式の文章を使い、「漢語基礎」では文法説明、解釈を、「漢語会話」では発音および口頭による練習を行います。「漢語実践」では、シャドウイングを中心に、実践的な応用練習を行います。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：平易な日常会話からビジネス現場での表現まで、作文を導入として、シャドウイングを中心に、実践的な応用練習を行い、実用的な中国語運用能力を習得することを目指します。

個別目標：①平易な文を、一定のスピードで作文できるようになる。
②平易な文をシャドウイングで話せるようになる。
③ビジネス現場で用いる表現を組み立てることができる。
④ビジネス現場で用いる表現をシャドウイングで話せるようになる。

▌履修条件

無断欠席をしないこと。
授業で学んだことを繰り返し復習すること。

▌評価基準・方法

授業内テスト、平常点(70 %)と、定期試験期間中に行われる中国語統一試験(30 %)の結果によります。
原則として 5 回以上欠席の者は、試験の受験を認めません。

▌フィードバック方法

授業における解説およびテスト返却によりフィードバックを行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （口頭発表等）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （中国語学習アプリを利用することがある）

▌教科書

明海大学外国語学部中国語学科編『漢語自在 大学生のためのシャドウイング　漢語実践Ⅲ・漢語実践Ⅳ』東方書店

▌参考書

『中日辞典』小学館、『講談社中日辞典』講談社

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：第 14 課(作文、音読)** 授業内容：教科書第 14 課の作文、音読により文法事項を理解する。 事前学修 1.0hr：授業の概要を読み、到達目標を理解する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	16 回	**授業テーマ：第 21 課(シャドウイング)** 授業内容：教科書第 21 課のシャドウイングと応用練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの本文を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
2 回	**授業テーマ：第 14 課(シャドウイング)** 授業内容：教科書第 14 課のシャドウイングと応用練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの本文を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	17 回	**授業テーマ：第 22 課(作文、音読)** 授業内容：教科書第 22 課の作文、音読により文法事項を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
3 回	**授業テーマ：第 15 課(作文、音読)** 授業内容：教科書第 15 課の作文、音読により文法事項を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	18 回	**授業テーマ：第 22 課(シャドウイング)** 授業内容：教科書第 22 課のシャドウイングと応用練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの本文を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
4 回	**授業テーマ：第 15 課(シャドウイング)** 授業内容：教科書第 15 課のシャドウイングと応用練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの本文を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	19 回	**授業テーマ：第 23 課(作文、音読)** 授業内容：教科書第 23 課の作文、音読により文法事項を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
5 回	**授業テーマ：第 16 課(作文、音読)** 授業内容：教科書第 16 課の作文、音読により文法事項を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	20 回	**授業テーマ：第 23 課(シャドウイング)** 授業内容：教科書第 23 課のシャドウイングと応用練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの本文を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
6 回	**授業テーマ：第 16 課(シャドウイング)** 授業内容：教科書第 16 課のシャドウイングと応用練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの本文を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	21 回	**授業テーマ：第 24 課(作文、音読)** 授業内容：教科書第 24 課の作文、音読により文法事項を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
7 回	**授業テーマ：第 17 課(作文、音読)** 授業内容：教科書第 17 課の作文、音読により文法事項を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	22 回	**授業テーマ：第 24 課(シャドウイング)** 授業内容：教科書第 24 課のシャドウイングと応用練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの本文を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
8 回	**授業テーマ：第 17 課(シャドウイング)** 授業内容：教科書第 17 課のシャドウイングと応用練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの本文を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	23 回	**授業テーマ：第 25 課(作文、音読)** 授業内容：教科書第 25 課の作文、音読により文法事項を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
9 回	**授業テーマ：第 18 課(作文、音読)** 授業内容：教科書第 18 課の作文、音読により文法事項を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	24 回	**授業テーマ：第 25 課(シャドウイング)** 授業内容：教科書第 25 課のシャドウイングと応用練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの本文を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
10 回	**授業テーマ：第 18 課(シャドウイング)** 授業内容：教科書第 18 課のシャドウイングと応用練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの本文を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	25 回	**授業テーマ：第 26 課(作文、音読)** 授業内容：教科書第 26 課の作文、音読により文法事項を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。

11回	**授業テーマ：第 19 課(作文、音読)** 授業内容：教科書第 19 課の作文、音読により文法事項を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	26回	**授業テーマ：第 26 課(シャドウイング)** 授業内容：教科書第 26 課のシャドウイングと応用練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの本文を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
12回	**授業テーマ：第 19 課(シャドウイング)** 授業内容：教科書第 19 課のシャドウイングと応用練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの本文を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	27回	**授業テーマ：復習(シャドウイング)** 授業内容：教科書第 14 課から第 18 課のシャドウイングと復習を行う。 事前学修 1.0hr：第 14-18 課を音読してくる。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
13回	**授業テーマ：第 20 課(作文、音読)** 授業内容：教科書第 20 課の作文、音読により文法事項を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	28回	**授業テーマ：復習(シャドウイング)** 授業内容：教科書第 19 課から第 22 課のシャドウイングと復習を行う。 事前学修 1.0hr：第 19-22 課を音読してくる。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
14回	**授業テーマ：第 20 課(シャドウイング)** 授業内容：教科書第 20 課のシャドウイングと応用練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの本文を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	29回	**授業テーマ：復習(シャドウイング)** 授業内容：教科書第 23 課から第 26 課のシャドウイングと復習を行う。 事前学修 1.0hr：第 23-26 課を音読してくる。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
15回	**授業テーマ：第 21 課(作文、音読)** 授業内容：教科書第 21 課の作文、音読により文法事項を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	30回	**授業テーマ：復習、授業内テスト** 授業内容：後期に習得した中国語運用能力の到達度を確認する。 事前学修 1.0hr：後期の内容を復習する。 事後学修 1.0hr：後期を振り返り、今後の学修計画を立てる。

漢語作文Ⅰ

開講学科等：中 ｜ 1年次 ｜ 2単位 ｜ 開講期：前2

張　先煜（ちょう　せんいく）・**中桐　典子**（なかぎり　のりこ）・**劉　磊**（りゅう　らい）

▌授業の概要

中国語の発音、基礎的文法、基礎語彙を学習します。文法説明、本文解釈は「漢語基礎」で行い、発音練習は「漢語会話」、実践的な応用練習を「漢語実践」で行います。また、同じ進度で、文章作成力の養成を「漢語作文」で行います。なお、Kクラスの教材、講義内容については、履修者の状況に応じて変更されることがあります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：中国語の基礎を身につけることを目標にします。
個別目標：①簡体字を正しく書くことができる。
②ピンインを正しく書くことができる。
③基本構文を使った文を書くことができる。

▌履修条件

授業に必ず出席すること。
学習した課を復習しておくこと。

▌評価基準・方法

授業内テスト、平常点(70 %)と、定期試験期間中に行われる中国語統一試験(30 %)の結果によります。
原則として 5 回以上欠席の者は、試験の受験を認めません。

▌フィードバック方法

授業における解説およびテスト返却によりフィードバックを行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

明海大学外国語学部中国語学科編『シリーズで学ぶ中国語　漢語作文』東方書店

▌参考書

『中日辞典』小学館、『講談社中日辞典』講談社

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：発音の基礎(単母音、声調、二重母音、子音)** 授業内容：教科書の発音編 1 を学び、発音表記を理解する。 事前学修 1.0hr：授業の概要を読み、到達目標を理解する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	16回	**授業テーマ：介詞構造／状語(介詞構造)** 授業内容：教科書の第 12 課を学び、筆記を通じて語彙・文法を定着させる。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
2回	**授業テーマ：発音の基礎(鼻韻母、子音、三重母音)** 授業内容：教科書の発音編 2 を学び、発音表記を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	17回	**授業テーマ：目的語(動・動目)／疑問代詞** 授業内容：教科書の第 13 課を学び、筆記を通じて語彙・文法を定着させる。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
3回	**授業テーマ：発音の基礎(鼻韻尾、そり舌母音、ｒ化音)** 授業内容：教科書の発音編 3 を学び、発音表記を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	18回	**授業テーマ：助動詞** 授業内容：教科書の第 14 課を学び、筆記を通じて語彙・文法を定着させる。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
4回	**授業テーマ：発音の基礎(ピンイン綴りのルール)** 授業内容：教科書の発音編 4 を学び、発音表記を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	19回	**授業テーマ：二重目的語／100 ～の数／金銭** 授業内容：教科書の第 15 課を学び、筆記を通じて語彙・文法を定着させる。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
5回	**授業テーマ：是／不／是不是** 授業内容：教科書の第 1 課を学び、筆記を通じて語彙・文法を定着させる。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	20回	**授業テーマ：動態助詞の了** 授業内容：教科書の第 16 課を学び、筆記を通じて語彙・文法を定着させる。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
6回	**授業テーマ：有／没有／有没有** 授業内容：教科書の第 2 課を学び、筆記を通じて語彙・文法を定着させる。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	21回	**授業テーマ：語気助詞の了** 授業内容：教科書の第 17 課を学び、筆記を通じて語彙・文法を定着させる。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
7回	**授業テーマ：動詞述語文** 授業内容：教科書の第 3 課を学び、筆記を通じて語彙・文法を定着させる。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	22回	**授業テーマ：経験／動作量／時間量** 授業内容：教科書の第 18 課を学び、筆記を通じて語彙・文法を定着させる。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
8回	**授業テーマ：形容詞述語文／程度副詞／主述述語文** 授業内容：教科書の第 4 課を学び、筆記を通じて語彙・文法を定着させる。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	23回	**授業テーマ：動作の進行** 授業内容：教科書の第 19 課を学び、筆記を通じて語彙・文法を定着させる。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
9回	**授業テーマ：目的語／疑問代詞** 授業内容：教科書の第 5 課を学び、筆記を通じて語彙・文法を定着させる。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	24回	**授業テーマ：着** 授業内容：教科書の第 20 課を学び、筆記を通じて語彙・文法を定着させる。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
10回	**授業テーマ：定語(形容詞)／疑問代詞** 授業内容：教科書の第 6 課を学び、筆記を通じて語彙・文法を定着させる。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	25回	**授業テーマ：快要～了** 授業内容：教科書第 21 課を学び、筆記を通じて語彙・文法を定着させる。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
11回	**授業テーマ：状語(副詞)／主語(動目)** 授業内容：教科書の第 7 課を学び、筆記を通じて語彙・文法を定着させる。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	26回	**授業テーマ：前期の復習(発音編)** 授業内容：発音表記の総復習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。

12回	**授業テーマ：10 ～ 99 の数／名詞述語文／日付・曜日／年齢** 授業内容：教科書の第 8 課を学び、筆記を通じて語彙・文法を定着させる。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	27回	**授業テーマ：前期の復習（第 1 課～第 7 課）** 授業内容：教科書第 1 課から第 7 課の表記・語彙・文法を復習する。 事前学修 1.0hr：第 1 課～第 7 課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
13回	**授業テーマ：時間を表すことば／序数／状語（時点）** 授業内容：教科書の第 9 課を学び、筆記を通じて語彙・文法を定着させる。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	28回	**授業テーマ：前期の復習（第 8 課～第 14 課）** 授業内容：教科書第 8 課から第 14 課の表記・語彙・文法を復習する。 事前学修 1.0hr：第 8 課～第 14 課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
14回	**授業テーマ：連動文／疑問代詞／選択疑問** 授業内容：教科書の第 10 課を学び、筆記を通じて語彙・文法を定着させる。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	29回	**授業テーマ：前期の復習（第 15 課～第 21 課）** 授業内容：教科書第 15 課から第 21 課の表記・語彙・文法を復習する。 事前学修 1.0hr：第 15 課～第 21 課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
15回	**授業テーマ：場所を表すことば／存在** 授業内容：教科書の第 11 課を学び、筆記を通じて語彙・文法を定着させる。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	30回	**授業テーマ：全体の復習、授業内テスト** 授業内容：前期に習得した表記・語彙・文法の理解度を確認する。 事前学修 1.0hr：前期の内容を復習する。 事後学修 1.0hr：前期を振り返り、今後の学修計画を立てる。

漢語作文Ⅱ

開講学科等：中 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 2

張　先煜（ちょう　せんいく）・**中桐　典子**（なかぎり　のりこ）・**劉　磊**（りゅう　らい）

▌授業の概要

中国語の発音、基礎的文法、基礎語彙を学習します。文法説明、本文解釈は「漢語基礎」で行い、発音練習は「漢語会話」、実践的な応用練習を「漢語実践」で行います。また、同じ進度で、文章作成力の養成を「漢語作文」で行います。なお、Kクラスの教材、講義内容については、履修者の状況に応じて変更されることがあります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：ピンインを習得し、中国語で簡単な文を作る能力を身につけることを目標にします。
個別目標：①簡体字を正しく書くことができる。
②ピンインを正しく書くことができる。
③基本構文を使った文を書くことができる。

▌履修条件

授業に必ず出席すること。
学習した課を復習しておくこと。

▌評価基準・方法

授業内テスト、平常点(70 %)と、定期試験期間中に行われる中国語統一試験(30 %)の結果によります。
原則として 5 回以上欠席の者は、試験の受験を認めません。

▌フィードバック方法

授業における解説およびテスト返却によりフィードバックを行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

明海大学外国語学部中国語学科編『シリーズで学ぶ中国語　漢語作文』東方書店

▌参考書

『中日辞典』小学館、『講談社中日辞典』講談社

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：定語(動詞句＋的)／定語(主述＋的)** 授業内容：教科書の第 23 課を学び、筆記を通じて語彙・文法を定着させる。 事前学修 1.0hr：授業の概要を読み、到達目標を理解する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	16回	**授業テーマ：越A越B／越来越～** 授業内容：教科書の第 38 課を学び、筆記を通じて語彙・文法を定着させる。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
2回	**授業テーマ：是～的／程度補語** 授業内容：教科書の第 24 課を学び、筆記を通じて語彙・文法を定着させる。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	17回	**授業テーマ：受身** 授業内容：教科書の第 39 課を学び、筆記を通じて語彙・文法を定着させる。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
3回	**授業テーマ：動詞の重ね型** 授業内容：教科書の第 25 課を学び、筆記を通じて語彙・文法を定着させる。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	18回	**授業テーマ：使役** 授業内容：教科書の第 40 課を学び、筆記を通じて語彙・文法を定着させる。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
4回	**授業テーマ：状語(形容詞)／形容詞の重ね型／地** 授業内容：教科書の第 26 課を学び、筆記を通じて語彙・文法を定着させる。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	19回	**授業テーマ：概数／分数と%／倍数／小数** 授業内容：教科書の第 41 課を学び、筆記を通じて語彙・文法を定着させる。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
5回	**授業テーマ：結果補語／方向補語** 授業内容：教科書の第 27 課を学び、筆記を通じて語彙・文法を定着させる。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	20回	**授業テーマ：反語** 授業内容：教科書の第 42 課を学び、筆記を通じて語彙・文法を定着させる。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
6回	**授業テーマ：結果補語** 授業内容：教科書の第 28 課を学び、筆記を通じて語彙・文法を定着させる。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	21回	**授業テーマ：総合的内容(短文)** 授業内容：短文読解を通じて総復習を行います。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
7回	**授業テーマ：方向補語** 授業内容：教科書の第 29 課を学び、筆記を通じて語彙・文法を定着させる。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	22回	**授業テーマ：総合的内容(短文続き)** 授業内容：短文読解を通じて総復習を行います。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
8回	**授業テーマ：可能補語** 授業内容：教科書の第 30 課を学び、筆記を通じて語彙・文法を定着させる。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	23回	**授業テーマ：後期の復習(第 23 課～第 25 課)** 授業内容：教科書第 23 課から第 25 課の表記・語彙・文法を復習する。 事前学修 1.0hr：第 23 課～第 25 課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
9回	**授業テーマ：把(述語部分が動補構造のもの)** 授業内容：教科書の第 31 課を学び、筆記を通じて語彙・文法を定着させる。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	24回	**授業テーマ：後期の復習(第 26 課～第 28 課)** 授業内容：教科書第 26 課から第 28 課の表記・語彙・文法を復習する。 事前学修 1.0hr：第 26 課～第 28 課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
10回	**授業テーマ：把(述語部分が状語・動作量・時間量を持つもの)** 授業内容：教科書の第 32 課を学び、筆記を通じて語彙・文法を定着させる。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	25回	**授業テーマ：後期の復習(第 29 課～第 30 課)** 授業内容：教科書第 29 課から第 30 課の表記・語彙・文法を復習する。 事前学修 1.0hr：第 29 課～第 30 課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
11回	**授業テーマ：状態補語** 授業内容：教科書の第 33 課を学び、筆記を通じて語彙・文法を定着させる。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	26回	**授業テーマ：後期の復習(第 31 課～第 33 課)** 授業内容：教科書第 31 課から第 33 課の表記・語彙・文法を復習する。 事前学修 1.0hr：第 31 課～第 33 課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。

12回	**授業テーマ：存現文(存在)** 授業内容：教科書の第 34 課を学び、筆記を通じて語彙・文法を定着させる。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	27回	**授業テーマ：後期の復習(第 34 課～第 36 課)** 授業内容：教科書第 34 課から第 36 課の表記・語彙・文法を復習する。 事前学修 1.0hr：第 34 課～第 36 課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
13回	**授業テーマ：存現文(出現・消失)** 授業内容：教科書の第 35 課を学び、筆記を通じて語彙・文法を定着させる。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	28回	**授業テーマ：後期の復習(第 37 課～第 39 課)** 授業内容：教科書第 37 課から第 39 課の表記・語彙・文法を復習する。 事前学修 1.0hr：第 37 課～第 39 課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
14回	**授業テーマ：比較(比)／分量** 授業内容：教科書の第 36 課を学び、筆記を通じて語彙・文法を定着させる。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	29回	**授業テーマ：後期の復習(第 40 課～第 42 課)** 授業内容：教科書第 40 課から第 42 課の表記・語彙・文法を復習する。 事前学修 1.0hr：第 40 課～第 42 課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
15回	**授業テーマ：比較(有・没有)** 授業内容：教科書の第 37 課を学び、筆記を通じて語彙・文法を定着させる。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	30回	**授業テーマ：全体の復習、授業内テスト** 授業内容：後期に習得した表記・文法・語彙の理解度を確認する。 事前学修 1.0hr：後期の内容を復習する。 事後学修 1.0hr：後期を振り返り、今後の学修計画を立てる。

中国語Ⅰ-a

開講学科等：日英 ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：前

于　明明（う　めいめい）・中島　祝（なかじま　はじめ）・馬場　将三（ばば　しょうぞう）・劉　磊（りゅう　らい）

▌授業の概要

明海大学のディプロマ・ポリシーにあるように、社会性を養い合理的な精神で課題を解決していくためには、言語によるコミュニケーションが欠かせない。本学外国語学部における複言語・複文化の考え方に基づき、中国語の発音、基礎的文法、基礎語彙を学習し、はじめて学ぶ学生でも日常会話による意思疎通ができるよう、実践的な練習を通して初級中国語を学ぶ。中国語Ⅱ-a と連携して講義を進める。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語学科〔日本語専攻 G ①/G ②/G ③/G ④、GSM G ①〕、英米語学科 3）

一般目標：基礎的な単語を修得し、基本となる日常会話ができ、簡単な文章を読み書きできることを目標とする。
個別目標：基礎となる単語を習得し、基本文型を理解し使えるようになることを目標とする。HSK2 級程度を目標とする。

▌履修条件

指定された教科書を必ず購入すること。再履修の学生を除き、日本語学科の学生は選択科目となります。中国語を母語とする学生は履修できません。

▌評価基準・方法

試験 80 %、授業内における参加姿勢及び発言等 20 %に基づき総合的に評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

相原茂・朱怡穎著『ニーハオ！ ニッポンーふりむけば、中国語』朝日出版社。

▌参考書

講義中に適宜指摘する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：中国語の特徴について** 授業内容：中国語の特徴や共通語について。 事前学修 0.5hr：テキスト発音第１課の単語を予習する。 事後学修 0.5hr：テキスト発音第１課の単語の復習。
2回	**授業テーマ：テキスト発音第１課の学習。** 授業内容：声調、単母音、複母音など。 事前学修 0.5hr：テキスト発音第１課の単語を再度予習する。 事後学修 0.5hr：テキスト発音第１課の復習。
3回	**授業テーマ：テキスト発音第２課の学習。** 授業内容：無気音と有気音、そり舌音など。 事前学修 0.5hr：テキスト発音第２課の単語を予習する。 事後学修 0.5hr：テキスト発音第２課の復習。
4回	**授業テーマ：テキスト発音第３課の学習。** 授業内容：鼻音を伴う母音など。 事前学修 0.5hr：テキスト発音第３課の単語を予習する。 事後学修 0.5hr：テキスト発音第３課の復習。
5回	**授業テーマ：テキスト発音第４課の学習。** 授業内容：声調変化、軽声等。 事前学修 0.5hr：テキスト発音第４課の単語を予習する。 事後学修 0.5hr：テキスト発音第４課の復習。
6回	**授業テーマ：テキスト第５課の学習(文法)。** 授業内容：人称代名詞、動詞述語文など。 事前学修 0.5hr：テキスト第５課の単語を予習する。 事後学修 0.5hr：テキスト第５課の文法復習。
7回	**授業テーマ：テキスト第５課の学習(課文)。** 授業内容：空港での会話練習。 事前学修 0.5hr：テキスト第５課の課文を予習する。 事後学修 0.5hr：テキスト第５課の復習。
8回	**授業テーマ：テキスト第６課の学習(文法)。** 授業内容：助動詞、指示代名詞など。 事前学修 0.5hr：テキスト第６課の単語を予習する。 事後学修 0.5hr：テキスト第６課の文法復習。
9回	**授業テーマ：テキスト第６課の学習(課文)。** 授業内容：ホテルチェックインでの会話。 事前学修 0.5hr：テキスト第６課の課文を予習する。 事後学修 0.5hr：テキスト第６課の復習。
10回	**授業テーマ：テキスト第７課の学習(文法)。** 授業内容：疑問詞、形容詞述語文など。 事前学修 0.5hr：テキスト第７課の単語を予習する。 事後学修 0.5hr：テキスト第７課の文法復習。
11回	**授業テーマ：テキスト第７課の学習(課文)。** 授業内容：夜景に関する会話。 事前学修 0.5hr：テキスト第７課の課文を予習する。 事後学修 0.5hr：テキスト第７課の復習。
12回	**授業テーマ：テキスト第８課の学習(文法)。** 授業内容：連動文、時間量の言い方について。 事前学修 0.5hr：テキスト第８課の単語を予習する。 事後学修 0.5hr：テキスト第８課の文法復習。

13回	**授業テーマ：テキスト第８課の学習(課文)。** 授業内容：交通機関における会話。 事前学修 0.5hr：テキスト第８課の課文を予習する。 事後学修 0.5hr：テキスト第８課の復習。
14回	**授業テーマ：テキスト第９課の学習(文法)。** 授業内容：疑問詞、通貨の単位。 事前学修 0.5hr：テキスト第９課の単語を予習する。 事後学修 0.5hr：テキスト第９課の文法復習。
15回	**授業テーマ：テキスト第９課の学習(課文)。** 授業内容：店舗での会話。 事前学修 0.5hr：テキスト第９課の課文を予習する。 事後学修 0.5hr：テキスト第９課の復習。

中国語Ⅰ-b

開講学科等：日英 ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：後

于　明明（う　めいめい）・中島　祝（なかじま　はじめ）・馬場　将三（ばば　しょうぞう）・劉　磊（りゅう　らい）

▌授業の概要

明海大学のディプロマ・ポリシーにあるように、社会性を養い合理的な精神で課題を解決していくためには、言語によるコミュニケーションが欠かせない。本学外国語学部における複文化・複言語の考え方に基づき、中国語の発音、基礎的文法、基礎語彙を学習し、はじめて学ぶ学生でも日常会話による意思疎通ができるよう、初級中国語を学ぶ。中国語Ⅱ-b と連携して講義を進める。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語学科〔日本語専攻 G ①/G ②/G ③/G ④、GSM G ①〕、英米語学科 3）

一般目標：基礎的な単語を修得し、基本となる日常会話ができ、簡単な文章を読み書きできることを目標とする。
個別目標：基礎となる単語を習得し、基本文型を理解し使えるようになることを目標とする。HSK3 級程度を目標とする。

▌履修条件

指定された教科書を必ず購入すること。中国語Ⅰ-a を履修していることが望ましい。再履修の学生を除き、日本語学科の学生は選択科目となります。中国語を母語とする学生は履修できません。

▌評価基準・方法

試験(小テストを含む)などにより 80 %、課題への積極性等 20 %に基づき総合的に評価します。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

相原茂・朱怡穎著『ニーハオ！ ニッポンーふりむけば、中国語』朝日出版社。

▌参考書

講義中に適宜指摘する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：テキスト第１０課の学習(文法)。** 授業内容：年月日、曜日、年齢の言い方。 事前学修 0.5hr：テキスト第１０課の単語を予習する。 事後学修 0.5hr：テキスト第１０課の文法復習。
2回	**授業テーマ：テキスト第１０課の学習(課文)。** 授業内容：花火大会における会話。 事前学修 0.5hr：テキスト第１０課の課文を予習する。 事後学修 0.5hr：テキスト第１０課の復習。
3回	**授業テーマ：テキスト第１１課の学習(文法)。** 授業内容：副詞および一部の前置詞。 事前学修 0.5hr：テキスト第１１課の単語を予習する。 事後学修 0.5hr：テキスト第１１課の文法復習。
4回	**授業テーマ：テキスト第１１課の学習(課文)。** 授業内容：日本の雑貨に関する会話。 事前学修 0.5hr：テキスト第１１課の課文を予習する。 事後学修 0.5hr：テキスト第１１課の復習。
5回	**授業テーマ：テキスト第１２課の学習(文法)。** 授業内容：時刻の言い方、反復疑問文、動詞の重ね型。 事前学修 0.5hr：テキスト第１２課の単語を予習する。 事後学修 0.5hr：テキスト第１２課の文法復習。
6回	**授業テーマ：テキスト第１２課の学習(課文)。** 授業内容：食事に関する会話。 事前学修 0.5hr：テキスト第１２課の課文を予習する。 事後学修 0.5hr：テキスト第１２課の復習。
7回	**授業テーマ：テキスト第１３課の学習(文法)。** 授業内容：進行形、選択疑問文など。 事前学修 0.5hr：テキスト第１３課の単語を予習する。 事後学修 0.5hr：テキスト第１３課の文法復習。
8回	**授業テーマ：テキスト第１３課の学習(課文)。** 授業内容：デザートに関する会話。 事前学修 0.5hr：テキスト第１３課の課文を予習する。 事後学修 0.5hr：テキスト第１３課の復習。
9回	**授業テーマ：テキスト第１４課の学習。** 授業内容：持続を表す言い方、能願動詞。 事前学修 0.5hr：テキスト第１４課の単語を予習する。 事後学修 0.5hr：テキスト第１４課の復習。
10回	**授業テーマ：テキスト第１５課の学習。** 授業内容：結果補語、方向補語。 事前学修 0.5hr：テキスト第１５課の単語を予習する。 事後学修 0.5hr：テキスト第１５課の復習。
11回	**授業テーマ：テキスト第１６課の学習。** 授業内容：様態補語。 事前学修 0.5hr：テキスト第１６課の単語を予習する。 事後学修 0.5hr：テキスト第１６課の復習。

12回	**授業テーマ：テキスト第１７課の学習。** 授業内容：可能補語、主述述語文など。 事前学修 0.5hr：テキスト第１７課の単語を予習する。 事後学修 0.5hr：テキスト第１７課の復習。
13回	**授業テーマ：テキスト第１８課の学習。** 授業内容：強調構文など。 事前学修 0.5hr：テキスト第１８課の単語の予習。 事後学修 0.5hr：テキスト第１８課の復習。
14回	**授業テーマ：テキスト第１９課の学習。** 授業内容：反語文など。 事前学修 0.5hr：テキスト第１９課の単語の予習。 事後学修 0.5hr：テキスト第１９課の復習。
15回	**授業テーマ：テキスト第２０課の学習。** 授業内容：近い未来、受け身の言い方など。 事前学修 0.5hr：テキスト第２０課の単語の予習。 事後学修 0.5hr：テキスト第２０課の復習。

中国語Ⅱ-a

開講学科等：日英 ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：前

王　丹（おう　たん）・高田　誠（たかだ　まこと）・南　勇（なん　ゆう）・劉　磊（りゅう　らい）

▌授業の概要

明海大学のディプロマ・ポリシーにあるように、社会性を養い合理的な精神で課題を解決していくためには、言語によるコミュニケーションが欠かせない。本学外国語学部における複言語・複文化の考え方に基づき、中国語の発音、基礎的文法、基礎語彙を学習し、はじめて学ぶ学生でも日常会話による意思疎通ができるよう、実践的な練習を通して初級中国語を学ぶ。中国語Ⅰ-a と連携して講義を進める。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語学科〔日本語専攻 G ①/G ②/G ③/G ④、GSM G ①〕、英米語学科 3）

一般目標：基礎的な単語を修得し、基本となる日常会話ができ、簡単な文章を読み書きできることを目標とする。
個別目標：基礎となる単語を習得し、基本文型を理解し使えるようになることを目標とする。HSK2 級程度を目標とする。

▌履修条件

指定された教科書を必ず購入すること。再履修の学生を除き、日本語学科の学生は選択科目となります。中国語を母語とする学生は履修できません。

▌評価基準・方法

試験 80 %、授業内における参加姿勢及び発言等 20 %に基づき総合的に評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

相原茂・朱怡穎著『ニーハオ！ ニッポンーふりむけば、中国語』朝日出版社。

▌参考書

講義中に適宜指摘する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：中国語の特徴について** 授業内容：中国語の特徴、共通語について。 事前学修 0.5hr：テキスト発音第１課の単語を予習する。 事後学修 0.5hr：テキスト発音第１課の単語の復習。
2回	**授業テーマ：テキスト発音第１課の学習。** 授業内容：声調、単母音、複母音など。 事前学修 0.5hr：テキスト発音第１課の単語を再度予習する。 事後学修 0.5hr：テキスト発音第１課の復習。
3回	**授業テーマ：テキスト発音第２課の学習。** 授業内容：無気音と有気音、そり舌音など。 事前学修 0.5hr：テキスト発音第２課の単語を予習する。 事後学修 0.5hr：テキスト発音第２課の復習。
4回	**授業テーマ：テキスト発音第３課の学習。** 授業内容：鼻音を伴う母音など。 事前学修 0.5hr：テキスト発音第３課の単語を予習する。 事後学修 0.5hr：テキスト発音第３課の復習。
5回	**授業テーマ：テキスト発音第４課の学習。** 授業内容：声調変化、軽声など。 事前学修 0.5hr：テキスト発音第４課の単語を予習する。 事後学修 0.5hr：テキスト発音第４課の復習。
6回	**授業テーマ：テキスト第５課の学習(文法)。** 授業内容：人称代名詞、動詞述語文など。 事前学修 0.5hr：テキスト第５課の単語を予習する。 事後学修 0.5hr：テキスト第５課の文法復習。
7回	**授業テーマ：テキスト第５課の学習(課文)。** 授業内容：空港での会話。 事前学修 0.5hr：テキスト第５課の課文を予習する。 事後学修 0.5hr：テキスト第５課の復習。
8回	**授業テーマ：テキスト第６課の学習(文法)。** 授業内容：助動詞、指示代名詞など。 事前学修 0.5hr：テキスト第６課の単語を予習する。 事後学修 0.5hr：テキスト第６課の文法復習。
9回	**授業テーマ：テキスト第６課の学習(課文)。** 授業内容：ホテルチェックインでの会話。 事前学修 0.5hr：テキスト第６課の課文を予習する。 事後学修 0.5hr：テキスト第６課の復習。
10回	**授業テーマ：テキスト第７課の学習(文法)。** 授業内容：疑問詞、形容詞述語文など。 事前学修 0.5hr：テキスト第７課の単語を予習する。 事後学修 0.5hr：テキスト第７課の文法復習。
11回	**授業テーマ：テキスト第７課の学習(課文)。** 授業内容：夜景に関する会話。 事前学修 0.5hr：テキスト第７課の課文を予習する。 事後学修 0.5hr：テキスト第７課の復習。
12回	**授業テーマ：テキスト第８課の学習(文法)。** 授業内容：連動文、量詞、時間量の言い方。 事前学修 0.5hr：テキスト第８課の単語を予習する。 事後学修 0.5hr：テキスト第８課の文法復習。

13回	**授業テーマ：テキスト第８課の学習(課文)。** 授業内容：交通機関における会話。 事前学修 0.5hr：テキスト第８課の課文を予習する。 事後学修 0.5hr：テキスト第８課の復習。
14回	**授業テーマ：テキスト第９課の学習(文法)。** 授業内容：疑問詞、通貨の単位。 事前学修 0.5hr：テキスト第９課の単語を予習する。 事後学修 0.5hr：テキスト第９課の文法復習。
15回	**授業テーマ：テキスト第９課の学習(課文)。** 授業内容：店舗での会話。 事前学修 0.5hr：テキスト第９課の課文を予習する。 事後学修 0.5hr：テキスト第９課の復習。

中国語Ⅱ-b

開講学科等：日英 ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：後

王　丹（おう　たん）・**高田　誠**（たかだ　まこと）・**南　勇**（なん　ゆう）・**劉　磊**（りゅう　らい）

▌授業の概要

明海大学のディプロマ・ポリシーにあるように、社会性を養い合理的な精神で課題を解決していくためには、言語によるコミュニケーションが欠かせない。本学外国語学部における複文化・複言語の考え方に基づき、中国語の発音、基礎的文法、基礎語彙を学習し、はじめて学ぶ学生でも日常会話による意思疎通ができるよう、初級中国語を学ぶ。中国語Ⅰ-b と連携して講義を進める。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語学科〔日本語専攻 G ①/G ②/G ③/G ④、GSM G ①〕、英米語学科 3）

一般目標：基礎的な単語を修得し、基本となる日常会話ができ、簡単な文章を読み書きできることを目標とする。
個別目標：基礎となる単語を習得し、基本文型を理解し使えるようになることを目標とする。HSK3 級程度を目標とする。

▌履修条件

指定された教科書を必ず購入すること。中国語Ⅱ-a を履修していることが望ましい。再履修の学生を除き、日本語学科の学生は選択科目となります。中国語を母語とする学生は履修できません。

▌評価基準・方法

試験(小テストを含む)などにより 80 %、課題への積極性等 20 %に基づき総合的に評価します。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

相原茂・朱怡穎著『ニーハオ！ ニッポンーふりむけば、中国語』朝日出版社。

▌参考書

講義中に適宜指摘する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：テキスト第１０課の学習(文法)。** 授業内容：年月日、曜日、年齢の言い方。 事前学修 0.5hr：テキスト第１０課の単語を予習する。 事後学修 0.5hr：テキスト第１０課の文法復習。
2回	**授業テーマ：テキスト第１０課の学習(課文)。** 授業内容：花火大会に関する会話。 事前学修 0.5hr：テキスト第１０課の課文を予習する。 事後学修 0.5hr：テキスト第１０課の復習。
3回	**授業テーマ：テキスト第１１課の学習(文法)。** 授業内容：副詞、場所を表す前置詞など。 事前学修 0.5hr：テキスト第１１課の単語を予習する。 事後学修 0.5hr：テキスト第１１課の文法復習。
4回	**授業テーマ：テキスト第１１課の学習(課文)。** 授業内容：日本の雑貨に関する会話。 事前学修 0.5hr：テキスト第１１課の課文を予習する。 事後学修 0.5hr：テキスト第１１課の復習。
5回	**授業テーマ：テキスト第１２課の学習(文法)。** 授業内容：時刻表現、反復疑問文、動詞の重ね型。 事前学修 0.5hr：テキスト第１２課の単語を予習する。 事後学修 0.5hr：テキスト第１２課の文法復習。
6回	**授業テーマ：テキスト第１２課の学習(課文)。** 授業内容：食事に関する会話。 事前学修 0.5hr：テキスト第１２課の課文を予習する。 事後学修 0.5hr：テキスト第１２課の復習。
7回	**授業テーマ：テキスト第１３課の学習(文法)。** 授業内容：進行表現、選択疑問文など。 事前学修 0.5hr：テキスト第１３課の単語を予習する。 事後学修 0.5hr：テキスト第１３課の文法復習。
8回	**授業テーマ：テキスト第１３課の学習(課文)。** 授業内容：デザートに関する会話。 事前学修 0.5hr：テキスト第１３課の課文を予習する。 事後学修 0.5hr：テキスト第１３課の復習。
9回	**授業テーマ：テキスト第１４課の学習。** 授業内容：持続の表現、能願動詞など。 事前学修 0.5hr：テキスト第１４課の単語を予習する。 事後学修 0.5hr：テキスト第１４課の復習。
10回	**授業テーマ：テキスト第１５課の学習。** 授業内容：結果補語、方向補語。 事前学修 0.5hr：テキスト第１５課の単語を予習する。 事後学修 0.5hr：テキスト第１５課の復習。
11回	**授業テーマ：テキスト第１６課の学習。** 授業内容：様態補語、比較文など。 事前学修 0.5hr：テキスト第１６課の単語を予習する。 事後学修 0.5hr：テキスト第１６課の復習。

12回	**授業テーマ：テキスト第１７課の学習。** 授業内容：可能補語、主述述語文など。 事前学修 0.5hr：テキスト第１７課の単語を予習する。 事後学修 0.5hr：テキスト第１７課の復習。
13回	**授業テーマ：テキスト第１８課の学習。** 授業内容：強調構文など。 事前学修 0.5hr：テキスト第１８課の単語の予習。 事後学修 0.5hr：テキスト第１８課の復習。
14回	**授業テーマ：テキスト第１９課の学習。** 授業内容：反語文など。 事前学修 0.5hr：テキスト第１９課の単語の予習。 事後学修 0.5hr：テキスト第１９課の復習。
15回	**授業テーマ：テキスト第２０課の学習。** 授業内容：近い未来、受け身の表現。 事前学修 0.5hr：テキスト第２０課の単語の予習。 事後学修 0.5hr：テキスト第２０課の復習。

外国語研究概論

開講学科等：日英中 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

宇賀神　秀一（うがじん　しゅういち）・**辰己　雄太**（たつみ　ゆうた）・**中川　仁**（なかがわ　ひとし）

▌授業の概要

外国語を学ぶ目的は何であろうか。また外国語を学ぶことで、どのような世界が広がっていくのか。本講義では、これから本格的に外国語を学ぶ学生を対象とし、外国語の修得を通して広がるさまざまな可能性を、本学部の教員及び外部の講師の方々から、お話しをうかがい、ともに考えていくことに力点をおく。そして外国語学部として、SDGs への取り組みなども視野に入れた講義もおこなっていく。(尚、下記の「授業内容」は、スケジュールとして提示するものであり、先生方の都合により、日程が変更されることもある。(詳細は第一回目の講義時に配布する。)

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語学科〔日本語専攻 G ①/G ②/G ③/G ④、GSM G ①〕、英米語学科 3、中国語学科 3）

一般目標：外国語を修得することの意義を明確に意識し、自らが進んで学ぶこと、積極性をもつことを目標とする。
個別目標：外国語に関わるそれぞれの分野や題材に対して、その周辺にある領域をも理解し、自らの見解と意見を述べることができるようになる。

▌履修条件

外国語学部において、1 年生の必修科目であるため、それにふさわしい授業態度で、尚且つ、講義を聞く姿勢を要求するものである。

▌評価基準・方法

レポート 40 %、学修内容の振り返りシート 40%、授業内における参加姿勢、そして発言なども 20 %として含める。到達目標の達成度に基づき総合的に評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク及びプレゼンテーション等を行う。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （事前事後における学修、課題作成などにおいてパソコンを使用する。）

▌教科書

教科書は使用しない。

▌参考書

講義中において、適宜指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：講義及び講義進行に関する説明。** 授業内容：本講義の意図と全体の進行に関わる説明をする。 事前学修 2.0hr：外国語を学ぶ意義について自分なりに考えておく。 事後学修 2.0hr：講義スケジュールを確認し、各テーマについての自分の意見をまとめる。
2 回	**授業テーマ：語学学習の魅力と意義①(複言語・複文化の視点から)** 授業内容：語学を専門とする先生による講義。(「ことば」の研究や方策、どのように「ことば」が生成されてきたのか。) 事前学修 2.0hr：「ことば」とは、どのようなものか、自分なりの意見を考えておく。 事後学修 2.0hr：講義を参考として、「ことば」に関わる自分の意見をまとめる。
3 回	**授業テーマ：語学学習の魅力と意義②(複言語・複文化の視点から)** 授業内容：語学を専門とする先生による講義。(言語教育の方策などを理解する。) 事前学修 2.0hr：言語教育の意義と課題について自分の考えをまとめておく。 事後学修 2.0hr：講義を参考に言語教育の持つ可能性と意義について自分の意見をまとめる。
4 回	**授業テーマ：語学学習の魅力と意義③(複言語・複文化の視点から)** 授業内容：語学を専門とする先生による講義。(文学と語学との接点を考えていく。) 事前学修 2.0hr：文学と言語の関係について、自分の考えをまとめておく。 事後学修 2.0hr：講義を参考に文学と言語のもつ相関性について自分の意見をまとめる。
5 回	**授業テーマ：語学学習の魅力と意義④(複言語・複文化の視点から)** 授業内容：語学を専門とする先生による講義。(海外で仕事をする方策などを考えていく。) 事前学修 2.0hr：海外で仕事をするときの課題について考えておく。 事後学修 2.0hr：講義を参考に海外で仕事をすることの意味をまとめる。
6 回	**授業テーマ：語学学習の魅力と意義⑤(複言語・複文化の視点から)** 授業内容：語学を専門とする先生による講義。(前回のことがらについて、理解を深める。) 事前学修 2.0hr：海外で仕事をするときの課題について、前回の講義を参考に整理する。 事後学修 2.0hr：講義を参考にグローバル社会で仕事をすることの意味をまとめる。
7 回	**授業テーマ：グローバル社会の現場から見えてくるもの①** 授業内容：語学とグローバル社会に関わる専門講義。(国際化・グローバル化についてを考えていく。) 事前学修 2.0hr：講義にもとづき、そのことがらを整理する。 事後学修 2.0hr：講義を参考にグローバル社会における海外勤務の課題をまとめる。
8 回	**授業テーマ：グローバル社会の現場から見えてくるもの②** 授業内容：語学とグローバル社会に関わる専門講義。(国際化・グローバル化についてを考えていく。) 事前学修 2.0hr：日本の国際化について考えをまとめておく。 事後学修 2.0hr：講義を参考に日本が国際化するうえでの課題をまとめる。
9 回	**授業テーマ：日本の国際化とその課題①** 授業内容：日本の国際化に向けた課題についての専門講義。 事前学修 2.0hr：前回の講義を参考に日本の国際化に必要な課題を整理する。 事後学修 2.0hr：講義を参考にグローバル社会への課題をまとめる。
10 回	**授業テーマ：日本の国際化とその課題②** 授業内容：日本の国際化に向けた課題についての専門講義。 事前学修 2.0hr：講義にもとづき、日本の国際化における課題を考えておく。 事後学修 2.0hr：講義を参考に日本の国際化に必要な課題について自分の意見をまとめる。
11 回	**授業テーマ：言語研究という視点** 授業内容：「ことば」の研究をどのよう視点で、捉えてみていくのか、その方法論などを紹介していく。 事前学修 2.0hr：「ことば」の研究とはどのようなものか、その捉え方なども含め、自分の考えをまとめておく。 事後学修 2.0hr：講義の内容を参考として、その考え方、捉え方などを自分の考え方としてまとめる。

12回	**授業テーマ：文学研究という視点** 授業内容：「文学」研究をどのような視点で、捉えてみていくのか、その方法論などを紹介していく。 事前学修 2.0hr：「文学」の研究とはどのようなものか、その捉え方なども含め、自分の考えをまとめておく。 事後学修 2.0hr：講義の内容を参考として、その考え方、捉え方などを自分の考え方としてまとめる。
13回	**授業テーマ：SDGs における社会貢献。** 授業内容：グローバル社会における SDGs への取り組みについての理解を深める。 事前学修 2.0hr：SDGs とはどのようなことか、自分の考えをまとめておく。 事後学修 2.0hr：講義を参考に SDGs で、何ができるのかをまとめる。
14回	**授業テーマ：SDGs における社会貢献。** 授業内容：グローバル社会における SDGs への取り組みについての理解を深める。 事前学修 2.0hr：SDGs とはどのようなことか、自分の考えをまとめておく。 事後学修 2.0hr：講義を参考に SDGs で、何ができるのかをまとめる。
15回	**授業テーマ：SDGs における社会貢献。** 授業内容：グローバル社会における SDGs への取り組みについての理解を深める。 事前学修 2.0hr：SDGs とはどのようなことか、自分の考えをまとめておく。 事後学修 2.0hr：講義を参考に SDGs で、何ができるのかをまとめる。

現代社会事情

開講学科等：日英中 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

宮崎　礼二（みやざき　れいじ）

▌授業の概要

本講義は、私たちを取り巻く社会で起こっている多岐に渡る諸問題（政治・経済を含む）をテーマに、問題理解と考察を通じて社会現象や社会事情の本質把握の能力を高め、社会に対する問題意識の醸成を目的とする。

講義では、日本だけでなく世界で起こっている社会事象を取り上げ、まず映像、新聞・雑誌記事を素材にして問題認識から始める。次に、各自が最初に抱いた問題認識や印象を、他の受講生と議論・共有し、自分の認識を相対化する。さらに、その相対化した認識を、理論的・論理的、歴史的な側面から検証を加えることによって、問題の背後にある本質を把握することを目指す。

授業テーマについてはあくまもで現時点での予定であり、実際のテーマについては受講者の関心や進行状況に応じて変更・調整する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語学科〔日本語専攻 J ③、GSM J ①/J ②/J ③〕、英米語学科 3、中国語学科 3）

一般目標：1．現代社会の諸問題を多角的に洞察する能力を身につける。
2．相対的に思考することできる。
3．社会事情や事象に対して、自分の意見を論理的に表明することができる。
4．現代社会で「透明化」されている矛盾や問題を可視化することができる。

個別目標：1．ノートテーキング能力を向上させる。
2．ディスカッションおよびプレゼンテーション・スキルを向上させる。
3．個別的・具体的な事象を理論的・論理的に構成する能力を獲得する。

▌履修条件

必修であるため、履修者に選択の余地はないが、人間は社会的動物であり、社会からは逃れては生きていけないことを自覚して、身の回りで起こっている社会事象を自らの問題として認識しようとの意識をもって講義に挑むことが条件である。

▌評価基準・方法

授業内でのテーマ課題（50 %）、期末課題（40 %）、Peer Assessement （10 %）で評価する。
また、グループワークや授業に対する貢献度に応じて、エクストラ・ポイントの付与もある。

▌フィードバック方法

manaba を通じてフィードバックを行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション、プレゼンテーション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （manaba の利用）

▌教科書

とくに指定しない。

▌参考書

講義内で適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス&イントロダクション** 授業内容：講義の進行方針の説明。 事前学修 2.0hr：新聞や雑誌などメディアを利用して今何が起こっているのかを知る 事後学修 2.0hr：講義で触れた社会問題をさらにリサーチして、次回講義での議論の準備をする。
2回	**授業テーマ：前回提示のテーマの議論・共有・検証（Nike ”Just Do It”）** 授業内容：課題の共有。 「メッセージを読みとくため」の指導。 事前学修 2.0hr：課題の準備 事後学修 2.0hr：宿題
3回	**授業テーマ：前回提示のテーマの議論・共有・検証（Nike ”Just Do It”のメッセージとは？）** 授業内容：課題の共有。 事前学修 2.0hr：課題の準備 事後学修 2.0hr：宿題
4回	**授業テーマ：前回提示のテーマの議論・共有・検証（アメリカで何が起こっている BLM とは何か？　Pt. 1）** 授業内容：人権としての差別問題。 事前学修 2.0hr：課題の準備 事後学修 2.0hr：宿題
5回	**授業テーマ：前回提示のテーマの議論・共有・検証（アメリカで何が起こっている BLM とは何か？　Pt.2）** 授業内容：人権としての差別問題。 事前学修 2.0hr：課題の準備 事後学修 2.0hr：宿題
6回	**授業テーマ：前回提示のテーマの議論・共有・検証（”Just Do It” の学びから日本社会を見る　Pt. 1）** 授業内容：日本社会からアメリカでの出来事を捉えなおす。 事前学修 2.0hr：課題の準備 事後学修 2.0hr：宿題
7回	**授業テーマ：前回提示のテーマの議論・共有・検証（”Just Do It” の学びから日本社会を見る　Pt. 2）** 授業内容：日本社会からアメリカでの出来事を捉えなおす。 事前学修 2.0hr：課題の準備 事後学修 2.0hr：宿題
8回	**授業テーマ：前回提示のテーマの議論・共有・検証（日本における外国人の位置づけを考える　Pt. 1）** 授業内容：日本における差別と人権。 事前学修 2.0hr：課題の準備 事後学修 2.0hr：宿題
9回	**授業テーマ：前回提示のテーマの議論・共有・検証（日本における外国人の位置づけを考える　Pt. 2）** 授業内容：日本における差別と人権。 事前学修 2.0hr：課題の準備 事後学修 2.0hr：宿題

10回	**授業テーマ：前回提示のテーマの議論・共有・検証(格差拡大・貧困化　Pt. 1)** 授業内容：日本の社会問題・格差と貧困 事前学修 2.0hr：課題の準備 事後学修 2.0hr：宿題
11回	**授業テーマ：前回提示のテーマの議論・共有・検証(格差拡大・貧困化　Pt. 2)** 授業内容：課題の共有。 事前学修 2.0hr：課題の準備 事後学修 2.0hr：宿題
12回	**授業テーマ：前回提示のテーマの議論・共有・検証(格差拡大・貧困化　Pt. 3)** 授業内容：課題の共有。 事前学修 2.0hr：課題の準備 事後学修 2.0hr：宿題
13回	**授業テーマ：前回提示のテーマの議論・共有・検証(今、世界と日本で起こっていること Pt. 1)** 授業内容：リアルタイムの報道から現代社会の問題をピックアップし、共有する。 事前学修 2.0hr：課題の準備 事後学修 2.0hr：宿題
14回	**授業テーマ：前回提示のテーマの議論・共有・検証(今、世界と日本で起こっていること Pt. 2)** 授業内容：リアルタイムの報道から現代社会の問題をピックアップし、共有する。 事前学修 2.0hr：課題の準備 事後学修 2.0hr：宿題
15回	**授業テーマ：前回提示のテーマの議論・共有・検証** 授業内容：課題の共有。 総括。 事前学修 2.0hr：総括のディスカッションのための準備 事後学修 3.0hr：期末レポート作成

日本語Ⅰ-a

開講学科等：日英中 ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：前

髙橋　亜里沙（たかはし　ありさ）

▌授業の概要

日本語 I-a では、日本語の「書く」の能力の養成を目的とし、400 字以上の作文を書く練習をする。授業活動では、作文を書くだけでなく、レポートのピアチェックやグループワークがある。授業外には、授業内で書いた作文の清書などを行う。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語学科〔日本語専攻 G ①/G ②/G ③/G ④、GSM G ①〕、英米語学科 3、中国語学科 3）

一般目標：日本語で文章を書く際の基本を学び、読み手にわかりやすい構成でレポートを書くことができる。

個別目標：・読み手のことを考えて、わかりやすい文章を書くことができる。
・テーマについて、まとまりのある文章を日本語で書くことができる。
・読み手に自分の考えを伝えることができる。

▌履修条件

毎回出席する。

授業への主体的な参加を求める。

▌評価基準・方法

作文(清書)課題 20 %・発表 10 %・授業活動 30 %・宿題(毎回の作文) 40 %で評価する。

▌フィードバック方法

対面、manaba 等で、提出物のフィードバックを行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （毎回ではないが、グループワークを実施する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

『学ぼう！ にほんご　作文練習帳　中級』専門教育出版

▌参考書

授業の中で随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス・わかりやすく相手に伝える** 授業内容：本授業の概要について説明を行う。あなたの家族や友だちの紹介文を書く。 事前学修 2.0hr：シラバスを読んでコースの内容を把握する。 事後学修 2.0hr：授業中に書いた作文を清書し、提出する。
2 回	**授業テーマ：感情を豊かに表現する** 授業内容：好きなことや趣味をわかりやすく説明する文を書く。 事前学修 2.0hr：テキストを読み、テキストの読解問題を行う。 事後学修 2.0hr：授業中に書いた作文を清書し、提出する。
3 回	**授業テーマ：否定の意味をやわらかく表現する** 授業内容：今の勉強方法を考え直して、解決方法を書く。 事前学修 2.0hr：テキストを読み、テキストの読解問題を行う。 事後学修 2.0hr：授業中に書いた作文を清書し、提出する。
4 回	**授業テーマ：時間の経過を伝える** 授業内容：大人になってやめてしまったことや始めたことを書く。 事前学修 2.0hr：テキストを読み、テキストの読解問題を行う。 事後学修 2.0hr：授業中に書いた作文を清書し、提出する。
5 回	**授業テーマ：2 つの物事を比較する** 授業内容：あなたの国と日本のサービスの違いについて書く。 事前学修 2.0hr：テキストを読み、テキストの読解問題を行う。 事後学修 2.0hr：授業中に書いた作文を清書し、提出する。
6 回	**授業テーマ：さまざまな角度から物事を考える** 授業内容：日本について紹介したいことを、経験や体験をもとに書く。 事前学修 2.0hr：テキストを読み、テキストの読解問題を行う。 事後学修 2.0hr：授業中に書いた作文を清書し、提出する。
7 回	**授業テーマ：発表とコメント** 授業内容：第 6 回で書いた作文をもとに発表を行う。クラスメートの発表に対してコメントを行う。 事前学修 2.0hr：テキストを読み、テキストの読解問題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示した課題を行う。
8 回	**授業テーマ：場面を仮定して意見を述べる** 授業内容：ロボットが仕事をするようになったらどうするか書く。 事前学修 2.0hr：テキストを読み、テキストの読解問題を行う。 事後学修 2.0hr：授業中に書いた作文を清書し、提出する。
9 回	**授業テーマ：将来を予測する** 授業内容：経済発展と環境問題に対する考えを書く。 事前学修 2.0hr：テキストを読み、テキストの読解問題を行う。 事後学修 2.0hr：授業中に書いた作文を清書し、提出する。
10 回	**授業テーマ：自分の経験をもとに主張する** 授業内容：紙の本と電子書籍とどちらがいいか考えを書く。 事前学修 2.0hr：テキストを読み、テキストの読解問題を行う。 事後学修 2.0hr：授業中に書いた作文を清書し、提出する。
11 回	**授業テーマ：物事を比べながら主張する** 授業内容：情報化社会の問題点について対策を書く。 事前学修 2.0hr：テキストを読み、テキストの読解問題を行う。 事後学修 2.0hr：授業中に書いた作文を清書し、提出する。

12回	**授業テーマ：グループワーク・コメント** 授業内容：第 11 回で書いた作文をグループで読みあい、コメントやアドバイスをしあう。 事前学修 2.0hr：テキストを読み、テキストの読解問題を行う。 事後学修 2.0hr：クラスメートからのアドバイスをもとに作文を清書し、提出する。
13回	**授業テーマ：時事問題について考えを書く** 授業内容：男女の仕事に関する意見に対して、考えを書く。 事前学修 2.0hr：テキストを読み、テキストの読解問題を行う。 事後学修 2.0hr：授業中に書いた作文の下書きを完成させる。
14回	**授業テーマ：グループワーク・コメント** 授業内容：第 13 回で書いた作文をグループで読みあい、コメントやアドバイスをしあう。 事前学修 2.0hr：テキストを読み、テキストの読解問題を行う。 事後学修 2.0hr：クラスメートからのアドバイスをもとに作文を清書し、提出する。
15回	**授業テーマ：作文の清書・まとめ** 授業内容：教師のコメントをもとに、清書を行う。本授業のまとめを行う 事前学修 2.0hr：テキストを読み、テキストの読解問題を行う。 事後学修 2.0hr：これまでの復習を行う。

日本語Ⅰ-b

開講学科等：日英中 ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：後

範　弘宇 (はん　こうう)

▌授業の概要

日本語 1-b では、大学でのレポート・論文作成に必要な日本語の「読む」「要約する」「書く」能力を育成する。まず、要約力を高めるために、文章の内容の関係性を整理するポイントを学び、文、短い文章、長い文章の順に段階的に要約練習をする。次に、新聞記事、説明文、論説文など様々な種類と幅広い分野の文章を題材に要約練習をする。さらに、アカデミックライティングにふさわしい言語表現を学び、レポート・論文の引用部分を作成する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語学科〔日本語専攻 G ①/G ②/G ③/G ④、GSM G ①〕、英米語学科 3、中国語学科 3）

一般目標：大学でレポート・論文を作成するための基礎的な日本語能力を習得する。

個別目標：・レポート・論文の引用方法を理解し、適切な日本語で作成することができる。
・様々な分野の文章を正確に理解し、使用領域に合った適切な表現で正確に要約することができる。
・読み手を意識して日本語で書くことができる。

▌履修条件

・留学生を対象とするクラスである。
・毎回出席する。
・課題の提出期限を守る。
・授業内活動に積極的に参加する。

▌評価基準・方法

課題提出 50%、テスト 50%で評価する。
また、原則として 5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba 及び対面授業を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （反転授業、グループワーク、ディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （manaba、respon を使用する（スマートフォン対応可））

▌教科書

授業内でプリントを配布する。

▌参考書

福嶋隆史『全教科の成績アップに直結! ふくしま式「本当の要約力」が身につく問題集』大和出版
近藤裕子、由井恭子、春日美穂 『失敗から学ぶ大学生のレポート作成法　第 2 版』ひつじ書房
宮弘美『NIE 実践ワークブック 新聞で身につく日本語力』国書刊行会

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、事前テスト、レポートとは、レポートにふさわしい表現** 授業内容：授業の概要と目的、学習の進め方、評価について理解する。そのうえで事前テストを受ける。レポートと感想文の違いを理解し、大学の授業で提出するレポートの種類が分かる。レポートにふさわしい表現・表記を学び、応用練習をする。 事前学修 2.0hr：シラバスを読み、この授業について理解しておく。 事後学修 2.0hr：問題と解答例を見て、語彙・表現を理解し、覚える。
2回	**授業テーマ：引用とは** 授業内容：引用の目的、基本的なルールを理解する。効果的な引用方法を学び、様々な種類の資料で引用の応用練習をする。 事前学修 2.0hr：配布したプリントを読み、内容を理解しておく。 事後学修 2.0hr：問題と解答例を見て、語彙・表現を理解し、覚える。
3回	**授業テーマ：要約とは、主題と述部で要約** 授業内容：要約の目的と意義を理解する。主語、述語、主題の引き出し方、文のパターンを意識しながら主題＋述部で要約する方法を学び、具体的な文で要約の応用練習をする。グループワークで作成した要約文をチェックし合い、改善点を洗い出し修正する。 事前学修 2.0hr：配布したプリントを読み、内容を理解しておく。 事後学修 2.0hr：問題と解答例を見て、語彙・表現を理解し、覚える。
4回	**授業テーマ：具体を言い換えて要約** 授業内容：具体的表現と抽象的表現の違いを理解する。具体例、セリフ調の表現、比喩的表現を抽象化する方法を学び、様々な種類の具体的な文で要約の応用練習をする。やや長めの文の要約を通して、文字数感覚をトレーニングする。グループワークで作成した要約文をチェックし合い、改善点を洗い出し修正する。 事前学修 2.0hr：配布したプリントを読み、内容を理解しておく。 事後学修 2.0hr：問題と解答例を見て、語彙・表現を理解し、覚える。
5回	**授業テーマ：文と文の関係を維持して要約** 授業内容：対比関係、因果関係の基本的な型を理解する。文と文の関係を崩さずに短くする方法を学び、様々な種類の短い文章で要約の応用練習をする。グループワークで作成した要約文をチェックし合い、改善点を洗い出し修正する。 事前学修 2.0hr：配布したプリントを読み、内容を理解しておく。 事後学修 2.0hr：問題と解答例を見て、語彙・表現を理解し、覚える。
6回	**授業テーマ：複数の文で要約** 授業内容：文章の骨組みをとらえて整理する方法、逆説的な主張の型を活用する方法、字数に応じて内容を調整する方法を学び、様々な種類の短い文章で要約の応用練習をする。グループワークで作成した要約文をチェックし合い、改善点を洗い出し修正する。 事前学修 2.0hr：配布したプリントを読み、内容を理解しておく。 事後学修 2.0hr：問題と解答例を見て、語彙・表現を理解し、覚える。
7回	**授業テーマ：部分要約** 授業内容：要約の範囲を的確に見定める方法、具体と抽象のバランスをとってまとめる方法を学び、様々な種類の短い文章で要約の応用練習をする。グループワークで作成した要約文をチェックし合い、改善点を洗い出し修正する。 事前学修 2.0hr：配布したプリントを読み、内容を理解しておく。 事後学修 2.0hr：問題と解答例を見て、語彙・表現を理解し、覚える。
8回	**授業テーマ：主張の具体例の要約** 授業内容：文章の構造と論理展開を理解する。対比を構造的に整理し、論理的な主張と理由を見抜く方法を学び、様々な種類の長い文章で主張の具体例の要約練習をする。グループワークで作成した要約文をチェックし合い、改善点を洗い出し修正する。 事前学修 2.0hr：配布したプリントを読み、内容を理解しておく。 事後学修 2.0hr：問題と解答例を見て、語彙・表現を理解し、覚える。

9回	**授業テーマ：逆説の文章の要約** 授業内容：逆説的な文章の構造を理解する。具体例の中から抽象的メッセージを引き出す方法を学び、複雑な構造を持つ長い逆説の文章で要約練習をする。グループワークで作成した要約文をチェックし合い、改善点を洗い出し修正する。 事前学修 2.0hr：配布したプリントを読み、内容を理解しておく。 事後学修 2.0hr：問題と解答例を見て、語彙・表現を理解し、覚える。
10回	**授業テーマ：政治や法律に関する新聞記事の要約** 授業内容：政治や法律に関する新聞記事の構成と内容を正確に理解し、記事の要約を作成する。グループワークで作成した要約文をチェックし合い、改善点を洗い出し修正する。 事前学修 2.0hr：配布したプリントを読み、内容を理解しておく。 事後学修 2.0hr：問題と解答例を見て、語彙・表現を理解し、覚える。
11回	**授業テーマ：経済に関する新聞記事の要約** 授業内容：経済に関する新聞記事の構成と内容を正確に理解し、記事の要約を作成する。グループワークで作成した要約文をチェックし合い、改善点を洗い出し修正する。 事前学修 2.0hr：配布したプリントを読み、内容を理解しておく。 事後学修 2.0hr：問題と解答例を見て、語彙・表現を理解し、覚える。
12回	**授業テーマ：社会生活に関する新聞記事の要約** 授業内容：社会生活に関する新聞記事の構成と内容を正確に理解し、記事の要約を作成する。グループワークで作成した要約文をチェックし合い、改善点を洗い出し修正する。 事前学修 2.0hr：配布したプリントを読み、内容を理解しておく。 事後学修 2.0hr：問題と解答例を見て、語彙・表現を理解し、覚える。
13回	**授業テーマ：科学に関する新聞記事の要約** 授業内容：科学に関する新聞記事の構成と内容を正確に理解し、記事の要約を作成する。グループワークで作成した要約文をチェックし合い、改善点を洗い出し修正する。 事前学修 2.0hr：配布したプリントを読み、内容を理解しておく。 事後学修 2.0hr：問題と解答例を見て、語彙・表現を理解し、覚える。
14回	**授業テーマ：定義・説明的文章の要約** 授業内容：定義・説明的文章の構成と内容を正確に理解し、文章の要約を作成する。グループワークで作成した要約文をチェックし合い、改善点を洗い出し修正する。 事前学修 2.0hr：配布したプリントを読み、内容を理解しておく。 事後学修 2.0hr：問題と解答例を見て、語彙・表現を理解し、覚える。
15回	**授業テーマ：まとめ・総合練習、論説的文章の要約、最終テストとフィードバック** 授業内容：論説的文章の構成と内容を正確に理解し、文章の要約を作成する。グループワークで作成した要約文をチェックし合い、改善点を洗い出し修正する。これまで学習した要約、引用の仕方を整理する。最終テストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：配布したプリントを読み、内容を理解しておく。 事後学修 2.0hr：問題と解答例を見て、語彙・表現を理解し、覚える。

日本語Ⅱ-a

開講学科等：日英中 ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：前

山口　真葵（やまぐち　まき）

▌授業の概要

本授業では、日本語の読解力を伸ばし、専門分野の論文を独力で読める基礎的な力を身につけることを目的とする。前半は、論文読解の基礎となる文章構成や文法を学びながら、①大意の把握、②筆者の意見の正確な理解、③批判的読解の練習を行う。後半は実際の論文を読み、「序論・本論・結論」の内容・構成・表現を分析し、論文を深く理解する力を養う。授業全体を通してグループ活動を頻繁に取り入れながら読解及び分析を進めることで、理解の深化を図るとともに、「コミュニケーション能力」「協調性」「批判的思考力」を養成する。また、本授業で培う読解力が、今後のレポート作成や論文執筆の土台となることも目指す。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語学科〔日本語専攻 G ①/G ②/G ③/G ④、GSM G ①〕、英米語学科 3、中国語学科 3）

一般目標：各自の専門分野のレポートや論文を独力で読むために、「論説文」や「論文」読解に必要な「構成」「文法」に関する知識を身に着けるとともに、批判的読解力を習得すること。

個別目標：・報告書や論説文から大意や必要な情報を読み取り、説明することができる
・報告書や論説文から筆者の主張や考察を正確に読み取り、説明することができる
・報告書や論説文の内容を批判的に検討し、自らの考えを説明することができる
・論文の序論・本論・結論について内容を要約することができる
・論文の分析結果、考察を批判的に検討したうえで、自らの考えを述べることができる
・他者と協働して課題を達成することができる

▌履修条件

留学生対象のクラスです。事前事後課題を行い、授業活動に積極的に取り組む必要があります。
グループワークやディスカッションを頻繁に行いますので、休まないようにしてください。

▌評価基準・方法

小テスト 20 %・まとめテスト 20 %・期末課題(書評) 20 %・授業内課題 20 %・授業活動 20 %
出席が 5 分の 4 以上の学生を評価対象とする

▌フィードバック方法

※課題等のフィードバックは、授業、または学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション、グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （(グループワークの書き込み、共有で使用します)）

▌教科書

『改訂版大学・大学院留学生の日本語③論文読解編』アカデミックジャパニーズ研究会

▌参考書

授業内でお知らせします

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：オリエンテーション／ L1 異文化適応** 授業内容：オリエンテーション L1：①異文化適応に関する論説文の速読／精読、グループ活動を通して、内容を理解する ②段落内の構造／書き言葉の特徴について学ぶ 事前学修 1.5hr：L1「読むための文法」を読み内容を理解してくる 事後学修 1.5hr：L1「言葉の練習」をやる／ L1 文章整理ノートを作成する
2 回	**授業テーマ：L2 いじめ** 授業内容：L2：①いじめに関する論説文にの速読／精読、グループ活動を通して、内容を理解する ②話題とメインアイデア／助詞相当語について学ぶ 事前学修 1.5hr：L2「読むための文法」を読み内容を理解してくる(授業内で確認小テストを実施します) 事後学修 1.5hr：L2「言葉の練習」をやる／ L2 文章整理ノートを作成する
3 回	**授業テーマ：L 3衝動買いを誘導する** 授業内容：L3：①衝動買いに関する論説文の速読／精読、グループ活動を通して、内容を理解する ②アウトライン／複文について学ぶ 事前学修 1.5hr：L3「読むための文法」を読み内容を理解してくる(授業内で確認小テストを実施します) 事後学修 1.5hr：L3「言葉の練習」をやる／ L3 文章整理ノートを作成する
4 回	**授業テーマ：L4 おいしい食感の理由** 授業内容：L4：①食に関する論説文の速読／精読、グループ活動を通して、内容を理解する ②文章構成／指示表現について学ぶ 事前学修 1.5hr：L4「読むための文法」を読み内容を理解してくる(授業内で確認小テストを実施します) 事後学修 1.5hr：L4「言葉の練習」をやる／ L4 文章整理ノートを作成する
5 回	**授業テーマ：L5 日本人の意識―結婚と家庭に関する 40 年の変容** 授業内容：L5：①結婚と家庭に対する日本人の意識の変容に関する論説文の速読／精読、グループ活動を通して、内容を理解する ②論の展開Ⅰ事実と筆者の考察／文の構造分析について学ぶ 事前学修 1.5hr：L5「読むための文法」を読み内容を理解してくる(授業内で確認小テストを実施します) 事後学修 1.5hr：L5「言葉の練習」をやる／ L5 文章整理ノートを作成する
6 回	**授業テーマ：L6 フリーター問題** 授業内容：L6：①フリーター問題に関する論説文の速読／精読、グループ活動を通して、内容を理解する ②論の方向を示す表現・論の構造／文末表現Ⅰについて学ぶ 事前学修 1.5hr：L6「読むための文法」を読み内容を理解してくる(授業内で確認小テストを実施します) 事後学修 1.5hr：L6「言葉の練習」をやる／ L6 文章整理ノートを作成する
7 回	**授業テーマ：L7 安全でおいしい水を飲むために** 授業内容：L7：①水の安全性に関する論説文の速読／精読、グループ活動を通して、内容を理解する ②論の展開②反論と主張／文末表現②について学ぶ 事前学修 1.5hr：L7「読むための文法」を読み内容を理解してくる(授業内で確認小テストを実施します) 事後学修 1.5hr：L7「言葉の練習」をやる／ L7 文章整理ノートを作成する

8回	**授業テーマ：L8「まじめ」という言葉** 授業内容：L8：①「まじめ」という言葉に関する論説文の速読／精読、グループ活動を通して、内容を理解する ②引用／文末表現について学ぶ 事前学修 1.5hr：L8「読むための文法」を読み内容を理解してくる(授業内で確認小テストを実施します) 事後学修 1.5hr：L8「言葉の練習」をやる／ L8 文章整理ノートを作成する
9回	**授業テーマ：L9 がん告知** 授業内容：L9：①がん告知に関する論説文の速読／精読、グループ活動を通して、内容を理解する ②要約について学ぶ 事前学修 1.5hr：L9「読むための文法」を読み内容を理解してくる(授業内で確認小テストを実施します) 事後学修 1.5hr：L9「言葉の練習」をやる／ L9 文章整理ノートを作成する
10回	**授業テーマ：L10 論文を読む①序論の分析** 授業内容：L10:「企業内研修にみる文化摩擦」という論文の序論を読み「内容」「構成」「表現」の分析を行う 事前学修 1.5hr：L10「言葉の練習」をやる(授業内で確認小テストを実施します) 事後学修 1.5hr：L10 文章整理ノートを作成する
11回	**授業テーマ：L11 論文を読む②本論の分析Ⅰ** 授業内容：L11：「企業内研修にみる文化摩擦」という論文の本論を読み、先行研究の整理／理論の提示／調査方法の記述について「内容」「構成」「表現」の分析を行う 事前学修 1.5hr：L11「言葉の練習」をやる(授業内で確認小テストを実施します) 事後学修 1.5hr：L11 文章整理ノートを作成する
12回	**授業テーマ：L12 論文を読む③本論の分析Ⅱ** 授業内容：l12：企業内研修にみる文化摩擦」という論文の本論を読み、結果／考察の記述について「内容」「構成」「表現」の分析を行う 事前学修 1.5hr：L12「言葉の練習」をやる(授業内で確認小テストを実施します) 事後学修 1.5hr：L12 文章整理ノートを作成する
13回	**授業テーマ：L13 論文を読む④結論の分析** 授業内容：L10:「企業内研修にみる文化摩擦」という論文の結論を読み「内容」「構成」「表現」の分析を行う 事前学修 1.5hr：L13「言葉の練習」をやる(授業内で確認小テストを実施します) 事後学修 1.5hr：L13 文章整理ノートを作成する
14回	**授業テーマ：L14 論文を読む⑤総合練習Ⅰ** 授業内容：L14：「なぜ人は道に迷うのか」という論文の序論／本論／結論を通して読み「内容」「構成」「表現」の分析を行う 事前学修 1.5hr：L14「言葉の練習」をやる(授業内で確認小テストを実施します) 事後学修 1.5hr：L14 文章整理ノートを作成する
15回	**授業テーマ：L14 論文を読む⑤総合練習Ⅱ／まとめテスト／期末課題の説明** 授業内容：L14：「なぜ人は道に迷うのか」の「内容・構成」分析、及び文章整理ノートを参考にして、「書評」を作成す まとめテストの実施 事前学修 1.5hr：まとめテストに向けての準備 事後学修 1.5hr：期末課題(書評)の完成

日本語Ⅱ-b

開講学科等：日英中 ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：後

小野寺　樹璃（おのでら　じゅり）

▌授業の概要

日本語Ⅱ-b では、大学で接する文章がしっかりと理解できるように、日本語の読む力を育成することを目的とし活動を行う。活動では文章を読み、全体把握、言語タスク、認知タスクの３種類のタスクを行い、その後、クリティカル・リーディングに取り組む。課題は、ディスカッションやグループワークも入れながら進めていく。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語学科〔日本語専攻 G ①/G ②/G ③/G ④、GSM G ①〕、英米語学科 3、中国語学科 3）

一般目標：抽象的な内容の文章や専門分野の入門書、新聞記事などの様々な文章を読み、問題提起や論点、筆者の主張を把握できるようになる。また、問題意識を持って文章が読めるようになる。

個別目標：(1) 大学で必要とされるアカデミックな読み方ができる。
(2) 根拠をあげて自分の意見や考えを述べることができる。
(3) 異なる考え方も受け入れ、より深く豊かにテキストを読むことができる。

▌履修条件

留学生を対象とするクラスである。
毎回出席し、授業内活動に積極的に参加する。
事前・事後課題に取り組み、提出日を守る。

▌評価基準・方法

期末課題 40 %、授業内課題 30%、毎回の小テスト 10%、授業活動 10 %、授業の振り返り 10%で評価する。
また、原則として 5 分の 4 以上の出席を評価対象とする。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、授業中、または学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （課題学修、グループワーク、ペアワーク、ディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

奥田純子、竹田悦子、九次優子、丸山友子、八塚祥江、尾上正紀、矢田まり子『読む力 中上級』くろしお出版

▌参考書

授業内で随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス・プロローグ** 授業内容：授業概要や履修条件、評価基準等についてのガイダンスを行う。さらに、クリティカル・リーディングについて理解する。 事前学修 2.0hr：シラバスを読み、この授業について理解しておく。 事後学修 2.0hr：新聞記事を読み、その記事について問いを立て自分の意見をまとめる。
2回	**授業テーマ：第 1 課「私のニュースの読み方」** 授業内容：「私のニュースの読み方」を読んで全体把握をし、言語タスク、認知タスク、クリティカル・リーディングを行う。 事前学修 2.0hr：該当箇所を読み、語彙リストを作成する。 事後学修 2.0hr：授業で学習した内容を復習し、第 1 課のクリティカル・リーディングをする。
3回	**授業テーマ：第 2 課「価値の一様性」** 授業内容：「価値の一様性」を読んで全体把握をし、言語タスク、認知タスク、クリティカル・リーディングを行う。 事前学修 2.0hr：該当箇所を読み、語彙リストを作成する。 事後学修 2.0hr：授業で学習した内容を復習し、第 2 課のクリティカル・リーディングをする。
4回	**授業テーマ：第 3 課「言葉の起源をもとめて」** 授業内容：「言葉の起源をもとめて」を読んで全体把握をし、言語タスク、認知タスク、クリティカル・リーディングを行う。 事前学修 2.0hr：該当箇所を読み、語彙リストを作成する。 事後学修 2.0hr：授業で学習した内容を復習し、第 3 課のクリティカル・リーディングをする。
5回	**授業テーマ：第 4 課「経済学とは何か」** 授業内容：「経済学とは何か」を読んで全体把握をし、言語タスク、認知タスク、クリティカル・リーディングを行う。 事前学修 2.0hr：該当箇所を読み、語彙リストを作成する。 事後学修 2.0hr：授業で学習した内容を復習し、第 4 課のクリティカル・リーディングをする。
6回	**授業テーマ：第 5 課「思いやり」** 授業内容：「思いやり」を読んで全体把握をし、言語タスク、認知タスク、クリティカル・リーディングを行う。 事前学修 2.0hr：該当箇所を読み、語彙リストを作成する。 事後学修 2.0hr：授業で学習した内容を復習し、第 5 課のクリティカル・リーディングをする。
7回	**授業テーマ：第 6 課「住まい方の思想」** 授業内容：「住まい方の思想」を読んで全体把握をし、言語タスク、認知タスク、クリティカル・リーディングを行う。 事前学修 2.0hr：該当箇所を読み、語彙リストを作成する。 事後学修 2.0hr：授業で学習した内容を復習し、第 6 課のクリティカル・リーディングをする。
8回	**授業テーマ：第 7 課「決まった道はない。ただ行き先があるのみだ」** 授業内容：「決まった道はない。ただ行き先があるのみだ」を読んで全体把握をし、言語タスク、認知タスク、クリティカル・リーディングを行う。 事前学修 2.0hr：該当箇所を読み、語彙リストを作成する。 事後学修 2.0hr：授業で学習した内容を復習し、第 7 課のクリティカル・リーディングをする。
9回	**授業テーマ：第 8 課「メディアがもたらす環境変容に関する意識調査」** 授業内容：「メディアがもたらす環境変容に関する意識調査」を読んで全体把握をし、言語タスク、認知タスク、クリティカル・リーディングを行う。 事前学修 2.0hr：該当箇所を読み、語彙リストを作成する。 事後学修 2.0hr：授業で学習した内容を復習し、第 8 課のクリティカル・リーディングをする。
10回	**授業テーマ：第 9 課「改訂 介護概論」** 授業内容：「改訂 介護概論」を読んで全体把握をし、言語タスク、認知タスク、クリティカル・リーディングを行う。 事前学修 2.0hr：該当箇所を読み、語彙リストを作成する。 事後学修 2.0hr：授業で学習した内容を復習し、第 9 課のクリティカル・リーディングをする。

11回	**授業テーマ：第 10 課「ことばの構造、文化の構造」** 授業内容：「ことばの構造、文化の構造」を読んで全体把握をし、言語タスク、認知タスク、クリティカル・リーディングを行う。 事前学修 2.0hr：該当箇所を読み、語彙リストを作成する。 事後学修 2.0hr：授業で学習した内容を復習し、第 10 課のクリティカル・リーディングをする。
12回	**授業テーマ：第 11 課「観光で行きたい国はどこ」** 授業内容：「観光で行きたい国はどこ」を読んで全体把握をし、言語タスク、認知タスク、クリティカル・リーディングを行う。 事前学修 2.0hr：該当箇所を読み、語彙リストを作成する。 事後学修 2.0hr：授業で学習した内容を復習し、第 11 課のクリティカル・リーディングをする。
13回	**授業テーマ：第 12 課「化粧する脳」** 授業内容：「化粧する脳」を読んで全体把握をし、言語タスク、認知タスク、クリティカル・リーディングを行う。 事前学修 2.0hr：該当箇所を読み、語彙リストを作成する。 事後学修 2.0hr：授業で学習した内容を復習し、第 12 課のクリティカル・リーディングをする。
14回	**授業テーマ：クリティカル・リーディングを磨こう！** 授業内容：取り上げた新聞記事を、問題意識を持ちながら読み、立てた問いやそれに対する意見をグループで共有する。 事前学修 2.0hr：該当箇所を読み、語彙リストを作成する。 事後学修 2.0hr：授業で学習した内容を復習し、新聞記事のクリティカル・リーディングをする。
15回	**授業テーマ：まとめと振り返り** 授業内容：本授業で学んだことを振り返り、全体で共有する。 事前学修 2.0hr：授業で行った課題を振り返っておく。 事後学修 2.0hr：今後の学修計画を立てる。

英語Ⅰ-a

開講学科等：日中 ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：前

エヴァン　ガルシア・クリストファ　マタズスキー・コマンドュリ　シリーシャ・ティモシー　オピツ

▌授業の概要

English I-a is a foundational language course which focuses on giving students the language needed to interact with the world around them in English. By the end of this course students will be able to initiate, sustain, and end spoken conversation on a variety of topics for practical use in daily life.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語学科〔日本語専攻 G ①/G ②/G ③/G ④、GSM G ①〕、中国語学科 3）

一般目標：In English I-a, practical language competencies (skills and abilities) are fostered in students so that students become more confident in and develop positive attitudes towards communicating in English. These competencies include, but are not limited to: socializing; working with numbers; asking and answering a variety of conversation questions; and, participating in basic discussions.

個別目標：By the end of this course, students will be able to give greetings in formal and casual situations; introduce themselves and others; ask for, give, and spell names; exchange email addresses, phone numbers, etc.; complete a basic application form; talk about famous people; describe people's personalities; describe and ask about family members; talk about one' s favorite things and show interest in conversation; describe daily routines; and, talk about one's free time.

▌履修条件

There are no prerequisites for this course.

▌評価基準・方法

Students will be evaluated via Active Participation (30%), Homework (10%), Coursework Tasks (30%) and Tests (30%).

▌フィードバック方法

Students will receive both oral and written feedback in class and on Manaba. Feedback will also be given in the form of rubrics for performance assessments.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Pair work and group work）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

Hendra, L.A., Ibbotson, M. & O' Dell, K. (2019). Evolve student's book 1. New York: Cambridge University Press.

▌参考書

To Be Announced

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction to English I-a** 授業内容：Students learn about the syllabus and course schedule. Students participate in group and pair activities to build a positive communicative class atmosphere. 事前学修 1.0hr：Purchase textbook 事後学修 1.0hr：Write your goals for this semester
2回	**授業テーマ：Unit 1 I Am...: Lesson 1.1 and Lesson 1.2** 授業内容：Students learn to say where they are from and the names of various nationalities. Students ask for and give personal information, including name and job. 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English journal 事後学修 1.0hr：Complete extra practice exercises in student book and record vocabulary in English journal
3回	**授業テーマ：Unit 1 I Am...: Lesson 1.3 and Lesson 1.4** 授業内容：Students learn language for checking into a hotel and practice by role playing the conversation. Students study vocabulary related to jobs and read various profiles of people. 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English journal 事後学修 1.0hr：Complete extra practice exercises in student book and record vocabulary in English journal
4回	**授業テーマ：Unit 1 I Am... Task** 授業内容：Students complete an integrated task through pair work and group work. Students perform the task for assessment using the grammar and vocabulary studied in the unit. 事前学修 1.0hr：Prepare for Task 1 事後学修 1.0hr：Complete self-assessment worksheet
5回	**授業テーマ：Unit 2 Great People: Lesson 2.1 and Lesson 2.2** 授業内容：Students talk about family members and learn how to say numbers. Students learn to describe their friends and family, using various adjectives about appearance and personality. 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English Journal 事後学修 1.0hr：Complete extra practice exercises in student book and record vocabulary in English journal
6回	**授業テーマ：Unit 2 Great People: Lesson 2.3 and Lesson 2.4** 授業内容：Students study the months and dates, and then talk about birthdays. Students read a blog post and answer questions. Students write their own blog post. 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English journal 事後学修 1.0hr：Complete extra practice exercises in student book and record vocabulary in English journal
7回	**授業テーマ：Unit 4 I Love It: Lesson 4.1 and Lesson 4.2** 授業内容：Students talk about their favorite things and learn vocabulary related to electronic possessions. Students study the simple present tense and practice making sentences. 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English journal 事後学修 1.0hr：Complete self-assessment worksheet
8回	**授業テーマ：Unit 4 I Love It: Lesson 4.3 and Lesson 4.4** 授業内容：Students talk about how they communicate. Students practice making questions to ask one another. Students read a product review and practice writing one. 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English journal 事後学修 1.0hr：Complete extra practice exercises in student book and record vocabulary in English journal

9回	**授業テーマ：Unit 4 I Love It Task** 授業内容：Students complete an integrated task through pair work and group work. Students perform the task for assessment using the vocabulary and grammar studied in the unit. 事前学修 1.0hr：Prepare for task 2 事後学修 1.0hr：Complete extra practice exercises in student book and record vocabulary in English journal
10回	**授業テーマ：Unit 5 Mondays and Fun Days: Lesson 5.1 and Lesson 5.2** 授業内容：Students learn to talk about weekday and weekend activities. Students talk about their schedules and learn adverbs of frequency. Students learn how to tell time and talk about routines. 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English journal 事後学修 1.0hr：Complete extra practice exercises in student book and record vocabulary in English journal
11回	**授業テーマ：Unit 5 Mondays and Fun Days: Lesson 5.3 and Lesson 5.4** 授業内容：Students learn simple agreement and talk about things they have in common. Students practice short answers with adverbs of frequency. Students write a report about their activities. 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English journal 事後学修 1.0hr：Complete extra practice exercises in student book and record vocabulary in English journal
12回	**授業テーマ：Final Examination Review** 授業内容：Students review the vocabulary and grammar studied in the first four units. Students begin preparation for the final task-based oral and written examination. 事前学修 1.0hr：Review units 1, 2, 4, and 5 事後学修 1.0hr：Complete self-assessment worksheet
13回	**授業テーマ：Final Examination: Individual Interviews** 授業内容：Students prepare information based on a task provided by their instructor. Students present this information either orally or in writing to the instructor for assessment. 事前学修 2.0hr：Prepare for a comprehensive speaking test by reviewing all of the materials covered in English I-a 事後学修 1.0hr：Make sure all of the entries in the English journal are complete
14回	**授業テーマ：Final Examination: Group Interviews** 授業内容：Students interact with one another asking questions and collecting information. Students fill out answers on a task worksheet that must be submitted to the instructor for assessment. 事前学修 2.0hr：Prepare for a comprehensive speaking test by reviewing all of the materials covered in English I-a 事後学修 1.0hr：Make sure all of the entries in the English journal are complete
15回	**授業テーマ：Final Class: Feedback and Reflection Session /Student Consultations** 授業内容：Students receive general feedback on their performance from the instructor. Students reflect on their performance and set goals for the summer and next term. 事前学修 1.0hr：Be ready to submit English journal 事後学修 1.0hr：Write one paragraph to describe what you did in summer vacation

英語Ⅰ-b

開講学科等：日中 ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：後

エヴァン　ガルシア・クリストファ　マタズスキー・コマンドュリ　シリーシャ・ティモシー　クレイシンガー・ティモシー　オピツ

▌授業の概要

A continuation of the skills and abilities learned in English I-a, English I-b is a foundational language course which focuses on giving students the language needed to interact with the world around them in daily life situations through the medium of the English language. The language skills learned in English I-a and I-b form the basis of the rest of the Non-English Majors program, and therefore, these skills will be recycled continuously throughout English II and English III as well. Please see Manaba for details.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語学科〔日本語専攻 G ①/G ②/G ③/G ④、GSM G ①〕、中国語学科 3）

一般目標：Similar to the goals of English I-a, in English I-b, practical language competencies (skills and abilities) are fostered in students so that students become more confident in and develop positive attitudes towards communicating in English.

個別目標：By the end of this course, students will be able to describe places in a neighborhood; give sightseeing information; talk about nature in one's area; ask for and give directions; describe one's skills and abilities; ask and answer questions in a job interview; talk about a place one likes or wants to visit; and, talk about food, restaurants, and eating habits.

▌履修条件

It is recommended that students take English I-a before undertaking this course.

▌評価基準・方法

Students will be evaluated via Active Participation (30%), Homework (10%), Coursework Tasks (30%) and Tests (30%).

▌フィードバック方法

Students will receive both oral and written feedback in class and on Manaba. Feedback will also be given in the form of rubrics for performance assessments.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Pair work and group work）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

Hendra, L.A., Ibbotson, M. & O' Dell, K. (2019). Evolve student's book 1. New York: Cambridge University Press.

▌参考書

To Be Announced

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction to English I-b** 授業内容：Students review the syllabus and go over the course schedule. Students participate in group and pair communication activities and discuss what they did during the summer. 事前学修 0.5hr：Prepare summer homework 事後学修 1.0hr：Write your goals for this semester
2回	**授業テーマ：Unit 6 Zoom In, Zoom Out: Lesson 6.1 and Lesson 6.2** 授業内容：Students learn the vocabulary necessary to talk about places in the city. Students practice making sentences using "There is" and "There are." Students talk about their neighborhoods and nature. 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English journal 事後学修 1.0hr：Complete extra practice exercises in student book and record vocabulary in English journal
3回	**授業テーマ：Unit 6 Zoom In, Zoom Out: Lesson 6.3 and Lesson 6.4** 授業内容：Students practice asking for and giving directions. Students role play a conversation. Students read a fact sheet and then write a fact sheet about a place in nature 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English journal 事後学修 1.0hr：Complete extra practice exercises in student book and record vocabulary in English journal
4回	**授業テーマ：Unit 6 Zoom In, Zoom Out Task** 授業内容：Students complete an integrated task through pair work and group work. Students perform the task for assessment using the vocabulary and grammar studied in the unit. 事前学修 1.0hr：Prepare for Task 1 事後学修 1.0hr：Complete self-assessment worksheet
5回	**授業テーマ：Unit 8 You're Good!: Lesson 8.1 and Lesson 8.2** 授業内容：Students learn language to talk about their skills and abilities. Students ask and answer questions using "can." Students talk about what they can and can't do at work and school. 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English journal 事後学修 1.0hr：Complete extra practice exercises in student book and record vocabulary in English journal
6回	**授業テーマ：Unit 8 You're Good!: Lesson 8.3 and Lesson 8.4** 授業内容：Students learn how to say why they are the right person for a job. Students learn to ask and give opinions. Students read an interview and write an online comment with their opinion. 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English journal 事後学修 1.0hr：Complete extra practice exercises in student book and record vocabulary in English journal
7回	**授業テーマ：Unit 9 Places to Go: Lesson 9.1 and Lesson 9.2** 授業内容：Students talk about travel and vacations and learn related vocabulary. Students practice making sentences using "this" and "these." Students practice making travel plans. 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English journal 事後学修 1.0hr：Complete self-assessment worksheet
8回	**授業テーマ：Unit 9 Places to Go: Lesson 9.3 and Lesson 9.4** 授業内容：Students learn to ask for information in a store. Students role play a conversation asking for and giving information. Students practice asking for repetition. Students write about a place. 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English journal 事後学修 1.0hr：Complete extra practice exercises in student book and record vocabulary in English journal

9回	**授業テーマ：Unit 9 Places to Go Task** 授業内容：Students complete an integrated task through pair work and group work. Students perform the task for assessment using the vocabulary and grammar studied in the unit. 事前学修 1.0hr：Prepare for task 2 事後学修 1.0hr：Complete extra practice exercises in student book and record vocabulary in English journal
10回	**授業テーマ：Unit 12 Stop, Eat, Go: Lesson 12.1 and Lesson 12.2** 授業内容：Students talk about snacks and small meals. Students study food vocabulary. Students practice making sentences using the simple past. Students talk about meals they had. 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English journal 事後学修 1.0hr：Complete extra practice exercises in student book and record vocabulary in English journal
11回	**授業テーマ：Unit 12 Stop, Eat, Go: Lesson 12.3 and Lesson 12.4** 授業内容：Students learn how to offer and accept food and drink. Student role play offering, requesting, and responding to requests for food and drink. Students write a restaurant review. 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English journal 事後学修 1.0hr：Complete extra practice exercises in student book and record vocabulary in English journal
12回	**授業テーマ：Final Examination Review** 授業内容：Students review the vocabulary and grammar studied in the second term. Students begin preparation for the final task-based oral and written examination. 事前学修 1.0hr：Review units 6,8, 9 and 12 事後学修 1.0hr：Complete self-assessment worksheet
13回	**授業テーマ：Final Examination: Individual Interviews** 授業内容：Students prepare information based on a task provided by their instructor. Students present this information either orally or in writing to the instructor for assessment. 事前学修 2.0hr：Prepare for a comprehensive speaking test by reviewing all of the materials covered in English I-b 事後学修 1.0hr：Make sure all of the entries in the English journal are complete
14回	**授業テーマ：Final Examination: Group Interviews** 授業内容：Students interact with one another asking questions and collecting information. Students fill out answers on a task worksheet that must be submitted to the instructor for assessment. 事前学修 2.0hr：Prepare for a comprehensive speaking test by reviewing all of the materials covered in English I-b 事後学修 1.0hr：Make sure all of the entries in the English journal are complete
15回	**授業テーマ：Final Class: Feedback and Reflection Session /Student Consultations** 授業内容：Students receive general feedback on their performance from the instructor. Students reflect on their performance and set goals for future study. 事前学修 0.5hr：Be ready to submit English journal 事後学修 1.0hr：Create a plan for independent English study

英語Ⅱ-a

開講学科等：日中 ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：前

エヴァン　ガルシア・小山田　幸永（おやまだ　ゆきひさ）・キーネン　ディナ　クリスチャンセン・デビッド　マグヌソン・マット　ピーターセン・松堂　啓子（まつどう　ひろこ）

▌授業の概要

Whereas English I-a and I-b focus on students' daily lives and English III-a and III-b concentrate on English for the global workplace, English II-a and II-b seek to complement and build on the practical English covered throughout English I-a and I-b. By focusing primarily on reading and writing skills with a secondary focus on discussion, students will be provided with ample opportunities to engage in both language practice and language use through meaningful and contextualized content delivered thematically.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語学科〔日本語専攻 G ①/G ②/G ③/G ④、GSM G ①〕、中国語学科 3）

一般目標：In English II-a, practical language competencies (skills and abilities) are fostered in students so that students become more confident in and develop their confidence towards analyzing a variety of text types and communicating their ideas in both written and spoken English in preparation for their future careers.

個別目標：By the end of this course, students will be able to demonstrate the ability to sequence, classify and categorize a rich variety of information while actively engaging with language structures such as prepositions of place, verb conjugations, modals of obligation and necessity and future tense. Students will also work to synthesize information while engaging with literary elements and cause and effect for writing.

▌履修条件

There are no prerequisites for this course.

▌評価基準・方法

Students will be evaluated via Active Participation (30%), Homework (10%), Coursework Tasks (30%), and Final Examination Task (30%).

▌フィードバック方法

Students will receive both oral and written feedback in class and on Manaba. Feedback will also be given in the form of rubrics for performance assessments.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Pair work and group work）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

Forster, L. (2017). Integrate reading and writing basic 1. Korea: Compass Publishing.

▌参考書

To Be Announced

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Course Introduction to English II-a** 授業内容：Students review the syllabus and go over the course schedule. Students participate in group and pair activities and discuss what they did in the summer. 事前学修 1.0hr：Purchase textbook 事後学修 1.0hr：Write your goals for this semester
2回	**授業テーマ：Unit 1 Farm to Store (Lesson A)** 授業内容：Students talk about where the food they buy comes from and how it get to the store. Students learn new vocabulary and read a traditional passage. Students answer reading comprehension questions. 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English journal 事後学修 1.0hr：Record vocabulary in English journal
3回	**授業テーマ：Unit 1 Farm to Store (Lesson B)** 授業内容：Students review the vocabulary. Students work on improving their reading fluency by tracking their speed. Students complete a writing plan and discuss questions about the topic. 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English journal 事後学修 1.0hr：Record vocabulary in English journal
4回	**授業テーマ：Unit 2 City Jobs (Lesson A)** 授業内容：Students talk about what people do at work. Students learn new vocabulary and read a comic strip. Students answer reading compressions questions and classify information. 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English journal 事後学修 1.0hr：Record vocabulary in English journal
5回	**授業テーマ：Unit 2 City Jobs (Lesson B)** 授業内容：Students review the vocabulary. Students work on improving their reading fluency by tracking their reading speed. Students complete a writing plan and discuss questions about the topic. 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English journal 事後学修 1.0hr：Record vocabulary in English journal
6回	**授業テーマ：Integrative Task 1** 授業内容：Students complete an integrated task through pair work and group work. Students perform the task for assessment using vocabulary and grammar studied in the unit. 事前学修 1.0hr：Practice for performance task 事後学修 1.0hr：Complete performance task worksheet
7回	**授業テーマ：Unit 3 Giraffes (Lesson A)** 授業内容：Students talk about giraffes and how they eat. Students learn new vocabulary and read a magazine article. Students answer reading comprehension questions and categorize information. 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English journal 事後学修 1.0hr：Record vocabulary in English journal
8回	**授業テーマ：Unit 3 Giraffes (Lesson B)** 授業内容：Students review the vocabulary. Students work on improving their reading fluency by tracking their reading speed. Students complete a writing plan and discuss questions about the topic. 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English journal 事後学修 1.0hr：Record vocabulary in English journal

9回	**授業テーマ：Unit 4 Safari Tours (Lesson A)** 授業内容：Students talk about what a safari is. Students learn new vocabulary and read a postcard. Students answer reading comprehension questions and learn about sequencing information. 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English journal 事後学修 1.0hr：Record vocabulary in English journal
10回	**授業テーマ：Unit 4 Safari Tours (Lesson B)** 授業内容：Students review the vocabulary. Students work on improving their reading fluency by tracking their reading speed. Students complete a writing plan and discuss questions about the topic. 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English journal 事後学修 1.0hr：Record vocabulary in English journal
11回	**授業テーマ：Integrative Task 2** 授業内容：Students complete an integrated task through pair work and group work. Students perform the task for assessment using vocabulary and grammar studied in the unit. 事前学修 1.0hr：Practice for performance task 事後学修 1.0hr：Complete performance task worksheet
12回	**授業テーマ：Final Examination Review (Units 1-2)** 授業内容：Students review the vocabulary, grammar and reading skills studied in units one and two. Students begin preparation for the final examination. 事前学修 1.0hr：Review contents and target language from Units 1-4 事後学修 1.0hr：Review contents and target language from Units 1-4
13回	**授業テーマ：Final Examination Review (Units 3-4)** 授業内容：Students review the vocabulary, grammar and reading skills studied in units one and two. Students begin preparation for the final examination. 事前学修 2.0hr：Prepare for a comprehensive examination task 事後学修 1.0hr：Complete final examination task worksheet
14回	**授業テーマ：Final Examination** 授業内容：Students take a final examination that assesses their reading skills and vocabulary knowledge. All four units will be included in the final examination. 事前学修 1.0hr：Prepare for a comprehensive examination task 事後学修 1.0hr：Complete final examination task worksheet
15回	**授業テーマ：Final Class: Feedback and Reflection Session /Student Consultations** 授業内容：Students receive general feedback on their performance from the instructor. Students reflect on their performance and set goals for the summer and next term. 事前学修 1.0hr：Be ready to submit English journal 事後学修 1.0hr：Prepare a plan for independent English study

英語Ⅱ-b

開講学科等：日中 ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：後

エヴァン　ガルシア・小山田　幸永（おやまだ　ゆきひさ）・キーネン　ディナ　クリスチャンセン・デビッド　マグヌソン・マット　ピーターセン・松堂　啓子（まつどう　ひろこ）

▌授業の概要

A continuation of the skills and abilities learned in English II-a, in English II-b, through meaningful and contextualized practice, students will develop confidence in their understanding of a variety of English texts. The skills and concepts covered in both English II-a and II-b combined with the skills and concepts covered in English I-a and I-b will prepare students for the more advanced content covered in English III.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語学科〔日本語専攻 G ①/G ②/G ③/G ④、GSM G ①〕、中国語学科 3）

一般目標：Similar to the goals of English II-a, in English II-b, practical language competencies (skills and abilities) are fostered in students so that students become more confident in and develop positive attitudes towards communicating in English for their future careers.

個別目標：In addition to the skills and elements encountered in English II-a, students will also demonstrate their ability to utilize sequencing, examples and story mapping in writing while encountering irregular verbs and modals of ability.

By the end of this course, students will be able to demonstrate the range of analytical and communicative competencies covered in both English II-a and English II-b. This will lead students to completing a final culminating task in a semi-autonomous fashion in which their ability to utilize the variety of skills developed throughout English II-a and II-b will be demonstrated in a cumulative fashion.

▌履修条件

There are no prerequisites for this course.

▌評価基準・方法

Students will be evaluated via Active Participation (30%), Homework (10%), Coursework Tasks (30%), and Final Examination Task (30%).

▌フィードバック方法

Students will receive both oral and written feedback in class and on Manaba. Feedback will also be given in the form of rubrics for performance assessments.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Pair work and group work）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

Forster, L. (2017). Integrate reading and writing basic 1. Korea: Compass Publishing.

▌参考書

To Be Announced

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Course Introduction to English II-b /Review of English II-a contents (Units 1-4)** 授業内容：Students review the syllabus and go over the course schedule. Students participate in group and pair activities and discuss what they did in the summer. 事前学修 0.5hr：Review Units 1-4 事後学修 1.0hr：Reflect on 1st semester goals and write your goals for this semester
2回	**授業テーマ：Unit 5 Pitching Power (Lesson A)** 授業内容：Students talk about how pitchers throw the ball so fast. Students learn new vocabulary and read a magazine article. Students answer reading comprehension questions. 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English journal 事後学修 1.0hr：Record vocabulary in English journal
3回	**授業テーマ：Unit 5 Pitching Power (Lesson B)** 授業内容：Students review the vocabulary. Students work on improving their reading fluency by tracking their speed. Students complete a writing plan and discuss questions about the topic. 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English journal 事後学修 1.0hr：Record vocabulary in English journal
4回	**授業テーマ：Unit 6 The Home Run (Lesson A)** 授業内容：Students talk about how far they think a home run ball flies. Students learn new vocabulary and read a text message. Students answer reading comprehension questions. 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English journal 事後学修 1.0hr：Record vocabulary in English journal
5回	**授業テーマ：Unit 6 The Home Run (Lesson B)** 授業内容：Students review the vocabulary. Students work on improving their reading fluency by tracking their speed. Students complete a writing plan and discuss questions about the topic. 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English journal 事後学修 1.0hr：Record vocabulary in English journal
6回	**授業テーマ：Integrative Task 1** 授業内容：Students complete an integrative task through pair work and group work. Students perform the task for assessment using vocabulary and grammar studied in the unit. 事前学修 1.0hr：Practice for performance task 事後学修 1.0hr：Complete performance task worksheet
7回	**授業テーマ：Unit 7 A Special Dance (Lesson A)** 授業内容：Students talk about dancing and how dancers move. Students learn new vocabulary and read a magazine article. Students answer reading comprehension questions. 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English journal 事後学修 1.0hr：Record vocabulary in English journal
8回	**授業テーマ：Unit 7 A Special Dance (Lesson B)** 授業内容：Students review the vocabulary. Students work on improving their reading fluency by tracking their speed. Students complete a writing plan and discuss questions about the topic. 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English journal 事後学修 1.0hr：Record vocabulary in English journal

9回	**授業テーマ：Unit 8 Talent Show (Lesson A)** 授業内容：Students talk about music and talent events. Students learn new vocabulary and read a story. Students answer reading comprehension questions. 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English journal 事後学修 1.0hr：Record vocabulary in English journal
10回	**授業テーマ：Unit 8 Talent Show (Lesson B)** 授業内容：Students review the vocabulary. Students work on improving their reading fluency by tracking their speed. Students complete a writing plan and discuss questions about the topic. 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English journal 事後学修 1.0hr：Record vocabulary in English journal
11回	**授業テーマ：Integrative Task 2** 授業内容：Students complete an integrative task through pair work and group work. Student perform the task for assessment using vocabulary and grammar studied in the unit. 事前学修 1.0hr：Practice for performance task 事後学修 1.0hr：Complete performance task worksheet
12回	**授業テーマ：Final Examination Review (Units 5-6)** 授業内容：Students review the vocabulary, grammar and reading skills studied in units five and six. Students begin preparation for the final examination. 事前学修 1.0hr：Review contents and target language from Units 5-8 事後学修 1.0hr：Review contents and target language from Units 5-8
13回	**授業テーマ：Final Examination Review (Units 7-8)** 授業内容：Students review the vocabulary, grammar and reading skills studied in units seven and eight. Students begin preparation for the final examination. 事前学修 2.0hr：Preparation for final examination task 事後学修 1.0hr：Complete final examination task worksheet
14回	**授業テーマ：Final Examination** 授業内容：Students take a final examination that assesses their reading skills and vocabulary knowledge. All four units will be included in the final examination. 事前学修 1.0hr：Preparation for final examination task 事後学修 1.0hr：Complete final examination task worksheet
15回	**授業テーマ：Final Class: Feedback and Reflection Session /Student Consultations** 授業内容：Students receive general feedback on their performance from their instructor. Students reflect on their performance and set goals for future study. 事前学修 0.5hr：Be ready to submit English journal 事後学修 1.0hr：Prepare a plan for independent English study

［専門科目］

○日本語学科

日本語学概論

開講学科等：日　｜　1 年次　｜　2 単位　｜　開講期：後

田鍋　桂子（たなべ　けいこ）

▌授業の概要

近年日本語への関心の高まりとともに、ことばの問題がマスメディア等で取り上げられるのを多く目にするようになった。しかし、一方で日本語の基本的な性質を体系的に概観する機会は少ないと思われる。それらの問題は日本語を体系として見た場合、どのような現象として捉えられるだろうか。この講義では＜言語とは＞＜類型・系統＞＜音韻＞＜文字・表記＞＜語彙＞＜意味＞というテーマを中心に、日本語のもっとも基本的な面について、言語理論や歴史的変遷、他言語との比較といった視点も交えながら日本語を観察・分析し、日本語教育・国語教育に生かすための知見についても解説する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ②、GSM J ①/J ②/J ③）

一般目標：日本語学の基本的な考え方を習得し、身の回りの日本語を観察し、事象を知識に繋げて基礎的な事柄に関する日本語の例を自分で分析説明することができる。

個別目標：1 日本語の特色を言語の系統論および類型論、音声、文字、語種、語彙、意味の分野から説明できる。

2 日本語そのものに関する知識を学習者に正確に伝えるために、日本語の形態論と語構成を理解し、語彙指導に必要となる知識を理解している。〈42〉

3 日本語そのものに関する知識を学習者に正確に伝えるために、日本語教育のための意味体系に関する知識を体系的に学び、指導上必要となる分析方法について理解している。〈44〉

▌履修条件

特になし。

▌評価基準・方法

授業時の取り組みおよび小テスト及び小レポート(50%)、期末試験(50%)及び到達目標の達成度に基づき総合的に評価する。欠席時の授業点および課題点は減点とする。90%以上の成績が S 評価、89 %から 80 %が A 評価、79 %から 70 %が B 評価、69%から 60 %が C 評価で単位修得とする。59 %以下は D 評価、出席不良(5 分の 4 に満たない場合)は E 評価とし、単位修得不可とする。

▌フィードバック方法

課題、テストのフィードバックはマナバおよび対面授業時に行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （反転授業、対話、グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし （コーパス、語彙調査を閲覧する、レポート記述）

▌教科書

沖森卓也ほか『図解日本語』三省堂

▌参考書

授業時にプリントにて紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：授業の目的、到達目標、成績評価の方法等の説明及び日本語学と教育学との関係と位置付け** 授業内容：日本語学という学問とその位置付け、本学科で、日本語の運用能力及び専門的知識、日本語教育・国語教育に関する知識と能力を身につけるためにこの授業でまなぶ事柄について理解する 事前学修 2.0hr：シラバスを読む 事後学修 2.0hr：配布資料・指定された文献を読んでおく
2回	**授業テーマ：言語学と日本語学** 授業内容：言語の捉え方としてソシュールと彼の理論をとりあげ、恣意性その他の近代の言語学の言語の概念を理解する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該セクションを読む 事後学修 2.0hr：まとめシートの記入
3回	**授業テーマ：世界の言語** 授業内容：世界の言語の現状を見渡した上で、系統論と類型論についてまなぶ 事前学修 2.0hr：教科書の当該セクションを読む 事後学修 2.0hr：まとめシートの記入
4回	**授業テーマ：世界の言語と日本語** 授業内容：系統論と類型論からみた日本語の特徴と他類型の言語と日本語の違いについて理解する 事前学修 2.0hr：教科書の当該セクションを読む 事後学修 2.0hr：まとめシートの記入
5回	**授業テーマ：日本語の音声・音韻(1)** 授業内容：言語の音声の概念と音声器官、音韻の概念について学ぶ 事前学修 2.0hr：教科書の当該セクションを読む 事後学修 2.0hr：まとめシートの記入
6回	**授業テーマ：日本語の音声・音韻(2)** 授業内容：日本語の母音の構造、および調音点、調音法をおさえた上で子音の構造について学ぶ 事前学修 2.0hr：教科書の当該セクションを読む 事後学修 2.0hr：まとめシートの記入
7回	**授業テーマ：日本語の音声・音韻(3)** 授業内容：音節とモーラについてその概念の違いと実際の区切り方、その問題点について理解する 事前学修 2.0hr：教科書の当該セクションを読む 事後学修 2.0hr：まとめシートの記入
8回	**授業テーマ：日本語の文字・表記　日本語表記としての漢字** 授業内容：日本語の表記法について、漢字、ひらがな、カタカナ、ローマ字の 4 種類の特徴を理解する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該セクションを読む 事後学修 2.0hr：まとめシートの記入
9回	**授業テーマ：日本語の語種** 授業内容：日本語の語種について、和語・字音語・外来語・混種語の区別と、その区別の歴史的由来および、現代日本語における表現効果について学ぶ 事前学修 2.0hr：教科書の当該セクションを読む 事後学修 2.0hr：まとめシートの記入

10回	**授業テーマ：日本語の語構成** 授業内容：意味の最小単位としての語と日本語の語構成および造語法について学ぶ 事前学修 2.0hr：教科書の当該セクションを読む 事後学修 2.0hr：まとめシートの記入
11回	**授業テーマ：日本語の語彙(1)** 授業内容：日本語の語彙という概念と、日本語における語彙の量的側面について、理解語彙、使用語彙、延べ語と異なり語等について学ぶ 事前学修 2.0hr：教科書の当該セクションを読む 事後学修 2.0hr：まとめシートの記入
12回	**授業テーマ：日本語の語彙(2)** 授業内容：語彙調査の方法を学んだ上で、コーパス、語彙調査を使用して、日本語の語彙の特徴を理解する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該セクションを読む 事後学修 2.0hr：まとめシートの記入
13回	**授業テーマ：日本語の語彙(3)** 授業内容：基本語彙・基礎語彙の概念および、「やさしい日本語」を学んだ上で、日本語教育・国語教育における語彙の問題について考える 事前学修 2.0hr：教科書の当該セクションを読む 事後学修 2.0hr：まとめシートの記入
14回	**授業テーマ：日本語の意味** 授業内容：日本語の意味記述について、意義素や前提的意味、本来的意味などを理解し、国語辞書の意味記述を検討し、日本語の意味記述の問題点を理解する 事前学修 2.0hr：教科書の当該セクションを読む 事後学修 2.0hr：まとめシートの記入
15回	**授業テーマ：日本語の意味構造** 授業内容：類義語、対義語等の意味構造にかかわる概念を理解し、用例を比較して類義語の分析を行えるようにする 事前学修 2.0hr：教科書の当該セクションを読む 事後学修 2.0hr：まとめシートの記入

日本語表現研究 I

開講学科等：日 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

山本　聖志 (やまもと　せいし)

▌授業の概要

言葉によるコミュニケーションのためには、自分の考えをきちんとまとめて伝える能力や、言葉のやりとりを通して他人と理解し合う能力が必要となる。コミュニケーションの基幹をなすのは「話す」ことと「書く」ことであるが、ここでは「書く」ことを中心に講義を進める。高度な情報化、技術化社会の出現で「書く」ことがより重要な意味を持つ時代になってきているが、それは自分の考えやメッセージを正確に伝えられるかどうかにより、時代を生き抜く適性を判断されるということを意味しているとも言える。本講義では、まず学生の「書く力」を把握し、講義、読解、作文演習、添削、小テスト等を通じて国語表現力(文章表現力)を身につけることを目的とする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ②、GSM J ①/J ②/J ③）

一般目標：1　簡潔でわかりやすい文章で伝えることができる。
　　2　資料を正しく読解・分析し、自分の意見を論理的な文章で表現することができる。
　　3　論理的な文章を書くために、適切な語彙・表記・表現を用いることができる。
個別目標：1　日本語の運用能力及び専門的知識、日本語教育・国語教育に関する知識と能力を身につけることができるようになる。
　　2　日本語を媒介のツールとして、情報を適切に集約・分析・表現することができるようになる。
　　3　コミュニケーションを通じて、自己の主張を的確に表現し、他者の思考を理解できるようになる。

▌履修条件

指示された課題に取り組み、提出物を必ず提出すること。

▌評価基準・方法

毎回の実践練習の成果物 (50 %) 、レポート実践の成果物 (30 %) 、小テスト (20 %)

▌フィードバック方法

成果物等返却の際の評価、manaba を通じたアドバイス等

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （文章作成・論文資料の検索）

▌教科書

市販のテキストは使用しない。適宜授業資料を配布する。

▌参考書

適宜授業の中で配布もしくは指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション　講義の概要と進め方** 授業内容：本講義で何を学ぶかを確認する。「ことば」の「伝え方」を学ぶということについて再確認する 事前学修 2.0hr：講義概要を読んで本講義の概要をつかむ 事後学修 2.0hr：文章を読んで「伝えること」についてまとめる
2回	**授業テーマ：文章のわかりやすさ１** 授業内容：ねじれの文の構造について学ぶ 事前学修 2.0hr：先の授業内容を振り返り、指定された課題を検証する 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り指定された問題に取り組む
3回	**授業テーマ：文章のわかりやすさ２** 授業内容：修飾語と被修飾語の連結と文の意味の解釈について学ぶ 事前学修 2.0hr：指定された課題を検討し、小テストのための準備をする 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り指定された問題に取り組む
4回	**授業テーマ：日本語の表記１** 授業内容：漢字、送り仮名について現代日本語の表記法を学ぶ 事前学修 2.0hr：指定された課題を検討し、小テストのための準備をする 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り指定された問題に取り組む
5回	**授業テーマ：日本語の表記２** 授業内容：仮名遣いについて現代日本語の表記法を学ぶ 事前学修 2.0hr：次回小テストのための準備をする 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り指定された問題に取り組む
6回	**授業テーマ：要約１** 授業内容：事実と意見、及び中心文について理解する 事前学修 2.0hr：指定された課題を検討し、小テストのための準備をする 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り指定された問題に取り組む
7回	**授業テーマ：要約２** 授業内容：文と文をつなぐ接続詞と論理を理解する 事前学修 2.0hr：指定された課題を検討し、小テストのための準備をする 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り指定された問題に取り組む
8回	**授業テーマ：文の構造(１)** 授業内容：短い文章を用いて、論理的文章の型を理解する 事前学修 2.0hr：指定された課題を検討し、小テストのための準備をする 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り指定された問題に取り組む
9回	**授業テーマ：文の構造(２)** 授業内容：接続詞・中心文・序論の構成から科学的説明文の要約(序論)を行う 事前学修 2.0hr：指定された課題を検討し、小テストのための準備をする 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り指定された問題に取り組む
10回	**授業テーマ：文の構造(３)** 授業内容：接続詞・中心文・序論の構成から科学的説明文の要約(研究のきっかけ)を行う 事前学修 2.0hr：指定された課題を検討し、小テストのための準備をする 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り指定された問題に取り組む

11回	**授業テーマ：文章の説得力１** 授業内容：前回の文章を用いて、資料を批判的に読むために、段落の意味づけを検証することで論理のつながりの妥当性を判断する 事前学修 2.0hr：指定された課題を検討し、小テストのための準備をする 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り指定された問題に取り組む
12回	**授業テーマ：文章の説得力２** 授業内容：資料を批判的に読むために、論理のユニークネスと消去法について学ぶ 事前学修 2.0hr：授業内容を振り返り指定された問題をする 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り指定された問題に取り組む
13回	**授業テーマ：文章の説得力３** 授業内容：結論の書き方、文全体の論理構成、目的による文章の違いについて学ぶ 事前学修 2.0hr：指定された課題を検討し、小テストのための準備をする 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り指定された問題に取り組む
14回	**授業テーマ：レポートをまとめる１** 授業内容：自分の興味がある分野の研究論文を検索して、論文の概要部分から目的と結論を理解したうえで、テーマについて賛成か反対かを考え、その根拠をまとめる 事前学修 2.0hr：指定された課題を検討し、小テストのための準備をする 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り指定された問題に取り組む
15回	**授業テーマ：レポートをまとめる２** 授業内容：前回の課題のクラスの根拠を検討し、その根拠に関する客観的なエビデンスの示し方、まとめ方について学ぶ 事前学修 2.0hr：指定された課題を検討し、小テストのための準備をする 事後学修 2.0hr：レポートをまとめて提出する

日本語表現研究Ⅱ

開講学科等：日　｜　1 年次　｜　2 単位　｜　開講期：後

浅田　勉（あさだ　つとむ）

▌授業の概要

1　この授業では、コミュニケーション能力の向上に必要な知識を能動的に学修するとともに、実際にさまざまなスタイルのコミュニケーションを経験することで、コミュニケーションの基礎力をつける。

2　グループによるプレゼンテーションを中心として、ディスカッションやグループワークなど、主体的・対話的な学びを多用して受講学生の質を向上させる。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ②、GSM J ①/J ②/J ③）

一般目標：1　大学生活及びこれからの社会生活で必要となる「話す・聞く」能力が向上し、相手・目的・場面を意識した対応ができるようになる。
　　2　将来、社会に出た時に通用できるように様々な表現技法をコミュニケーション能力の基礎としてを身に付けることができる。

個別目標：1　日本語の運用能力及び専門的知識、日本語教育・国語教育に関する知識と能力を身につけることができるようになる。
　　2　日本語を媒介のツールとして、情報を適切に集約・分析・表現ができるようになる。
　　3　コミュニケーションを通じて、自己の主張を的確に表現し、他者の思考を理解できるようになる。
　　4　多様な文化を理解し自らの文化を発信できるようになる。
　　5　対話を通じて他者と協力して目標実現の方向性を示すことができるようになる。

▌履修条件

1　毎回、実際にコミュニケーション活動を行うので、毎回出席し、積極的に授業に参加する。

2　大学生活及びこれからの社会生活で必要となる「話す・聞く」能力を向上させようという強い意欲を有している。

▌評価基準・方法

プレゼンテーションの完成度を 30 %、ディスカッションやグループワークなど、講義への参画姿勢を 70 %として評価の対象とする。講義への参加が学修内容の中心となるため、欠席・遅刻については減点の対象とするなど、厳格に対応する。５分の４以上の出席者のみを評価の対象とする。

▌フィードバック方法

学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （プレゼンテーション、ディスカッション、グループワークなどを行う。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Microsoft office 搭載のモバイル PC を必要とする。）

▌教科書

適宜授業の中で配付もしくは指示する。

▌参考書

適宜授業の中で配付もしくは指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション(授業の概要と進め方)・社会的な課題をテーマとする「話す・聞く」能力の向上１** 授業内容：オリエンテーションを通じて授業の概要と進め方を理解する。 グループによるプレゼンテーションの在り方、実施する上での留意事項等について理解する。 事前学修 2.0hr：シラバスを読んで本授業の概要をつかむ。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修を深める。次回以降のプレゼンテーションの計画・準備について見通しを立てる。
2回	**授業テーマ：社会的な課題をテーマとする「話す・聞く」能力の向上２** 授業内容：話し合いを通じて、プレゼンテーションを実施するグループ分けを行い、班長を決定する。 グループごとに話し合い、プレゼンテーションのテーマとして取り上げる社会的な課題を決定する。 事前学修 2.0hr：先の授業内容を振り返り、学修を深める。次回以降のプレゼンテーションの計画・準備をする。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修を深める。次回以降のプレゼンテーションの計画・準備をする。
3回	**授業テーマ：社会的な課題をテーマとする「話す・聞く」能力の向上３** 授業内容：グループごとに、担当する社会的な課題についてのプレゼンテーションを実施する準備をする。 事前学修 2.0hr：先の授業内容を振り返り、学修を深める。次回以降のプレゼンテーションの計画・準備をする。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修を深める。次回以降のプレゼンテーションの計画・準備をする。
4回	**授業テーマ：社会的な課題をテーマとする「話す・聞く」能力の向上４** 授業内容：社会的な課題をテーマとし、グループによるプレゼンテーションを実施する。 プレゼンテーションについて相互評価を行うとともに、内容について各グループで協議し、その結果を全体に発表する。 事前学修 2.0hr：先の授業内容を振り返り、学修を深める。次回以降のプレゼンテーションの計画・準備をする。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修を深める。次回以降のプレゼンテーションの計画・準備をする。
5回	**授業テーマ：社会的な課題をテーマとする「話す・聞く」能力の向上５** 授業内容：社会的な課題をテーマとし、グループによるプレゼンテーションを実施する。 プレゼンテーションについて相互評価を行うとともに、内容について各グループで協議し、その結果を全体に発表する。 事前学修 2.0hr：先の授業内容を振り返り、学修を深める。次回以降のプレゼンテーションの計画・準備をする。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修を深める。次回以降のプレゼンテーションの計画・準備をする。
6回	**授業テーマ：社会的な課題をテーマとする「話す・聞く」能力の向上６** 授業内容：社会的な課題をテーマとし、グループによるプレゼンテーションを実施する。 プレゼンテーションについて相互評価を行うとともに、内容について各グループで協議し、その結果を全体に発表する。 事前学修 2.0hr：先の授業内容を振り返り、学修を深める。次回以降のプレゼンテーションの計画・準備をする。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修を深める。次回以降のプレゼンテーションの計画・準備をする。
7回	**授業テーマ：社会的な課題をテーマとする「話す・聞く」能力の向上７** 授業内容：社会的な課題をテーマとし、グループによるプレゼンテーションを実施する。 プレゼンテーションについて相互評価を行うとともに、内容について各グループで協議し、その結果を全体に発表する。 事前学修 2.0hr：先の授業内容を振り返り、学修を深める。次回以降のプレゼンテーションの計画・準備をする。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修を深める。次回以降のプレゼンテーションの計画・準備をする。
8回	**授業テーマ：社会的な課題をテーマとする「話す・聞く」能力の向上８** 授業内容：社会的な課題をテーマとし、グループによるプレゼンテーションを実施する。 プレゼンテーションについて相互評価を行うとともに、内容について各グループで協議し、その結果を全体に発表する。 事前学修 2.0hr：先の授業内容を振り返り、学修を深める。次回以降のプレゼンテーションの計画・準備をする。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修を深める。次回以降のプレゼンテーションの計画・準備をする。

9回	**授業テーマ：社会的な課題をテーマとする「話す・聞く」能力の向上9・自らが選んだテーマについて「話す・聞く」能力の向上1** 授業内容：社会的な課題をテーマとし、グループによるプレゼンテーションを実施する。 プレゼンテーションについて相互評価を行うとともに、内容について各グループで協議し、その結果を全体に発表する。 グループごとに、自らが選んだテーマについてのプレゼンテーションを実施する準備をする。 事前学修 2.0hr：先の授業内容を振り返り、学修を深める。次回以降のプレゼンテーションの計画・準備をする。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修を深める。次回以降のプレゼンテーションの計画・準備をする。
10回	**授業テーマ：自らが選んだテーマについて「話す・聞く」能力の向上2** 授業内容：自らが選んだテーマについて、グループによるプレゼンテーションを実施する。 プレゼンテーションについて相互評価を行うとともに、内容について各グループで協議し、その結果を全体に発表する。 事前学修 2.0hr：先の授業内容を振り返り、学修を深める。次回以降のプレゼンテーションの計画・準備をする。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修を深める。次回以降のプレゼンテーションの計画・準備をする。
11回	**授業テーマ：自らが選んだテーマについて「話す・聞く」能力の向上3** 授業内容：自らが選んだテーマについて、グループによるプレゼンテーションを実施する。 プレゼンテーションについて相互評価を行うとともに、内容について各グループで協議し、その結果を全体に発表する。 事前学修 2.0hr：先の授業内容を振り返り、学修を深める。次回以降のプレゼンテーションの計画・準備をする。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修を深める。次回以降のプレゼンテーションの計画・準備をする。
12回	**授業テーマ：自らが選んだテーマについて「話す・聞く」能力の向上4** 授業内容：自らが選んだテーマについて、グループによるプレゼンテーションを実施する。 プレゼンテーションについて相互評価を行うとともに、内容について各グループで協議し、その結果を全体に発表する。 事前学修 2.0hr：先の授業内容を振り返り、学修を深める。次回以降のプレゼンテーションの計画・準備をする。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修を深める。次回以降のプレゼンテーションの計画・準備をする。
13回	**授業テーマ：自らが選んだテーマについて「話す・聞く」能力の向上5** 授業内容：自らが選んだテーマについて、グループによるプレゼンテーションを実施する。 プレゼンテーションについて相互評価を行うとともに、内容について各グループで協議し、その結果を全体に発表する。 事前学修 2.0hr：先の授業内容を振り返り、学修を深める。次回以降のプレゼンテーションの計画・準備をする。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修を深める。次回以降のプレゼンテーションの計画・準備をする。
14回	**授業テーマ：自らが選んだテーマについて「話す・聞く」能力の向上6** 授業内容：自らが選んだテーマについて、グループによるプレゼンテーションを実施する。 プレゼンテーションについて相互評価を行うとともに、内容について各グループで協議し、その結果を全体に発表する。 事前学修 2.0hr：先の授業内容を振り返り、学修を深める。次回以降のプレゼンテーションの計画・準備をする。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修を深める。次回の発表者はプレゼンテーションの計画・準備をする。
15回	**授業テーマ：自らが選んだテーマについて「話す・聞く」能力の向上7・まとめ(授業の振り返り)** 授業内容：自らが選んだテーマについて、グループによるプレゼンテーションを実施する。 プレゼンテーションについて相互評価を行うとともに、内容について各グループで協議し、その結果を全体に発表する。 これまでの授業を振り返り、自己評価をする。 事前学修 2.0hr：先の授業内容を振り返り、学修を深める。発表者はプレゼンテーションの計画・準備をする。 事後学修 2.0hr：全授業の内容を振り返り、学習を深める。

日本語学基礎演習

開講学科等：日　｜　2 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前/後

佐々木　文彦（ささき　ふみひこ）

▌授業の概要

「国語辞典を読む」ということをテーマに、日本語学を学ぶための基礎的能力を身につける。
辞書の記述では説明しきれない言葉の細かい意味や用法について考える作業を通して、言葉をあつかう際の基礎的な考え方を身につけていく。 具体的には、
1)各自言葉を一つ選び、その辞書記述を吟味する 2)問題点を発見し、それについて調べたり考えたことを全員の前で発表する 3)発表の段階で明らかになった課題について再調査し、レポートにまとめて提出するという課題を課す。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ③）

一般目標：言葉の用例を採集し、分析し、整理することができる
　　発表・質疑応答を参考にして自身の分析・考察に活かすことができる
個別目標：自分が選んだ言葉の用例を採集し、用法を的確に分析し、分析結果を明確に説明できる
　　授業の発表時における質疑応答を参考にして調査を追加し、レポートとしてまとめることができる

▌履修条件

インターネットを利用して用例検索をするので、インターネット検索、エクセル・ワードの基本的技能が必要である。苦手な学生は開講時に相談すること。

▌評価基準・方法

発表：40 % レポート：40 % 質疑応答への参加：20 %
５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （発表、ディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （エクセルを使った用例分析・パワーポイントを使ったプレゼンテーション）

▌教科書

なし

▌参考書

授業時に指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス 1：言葉の意味・辞書の記述について** 授業内容：言葉の意味をどうやって説明するのか。辞書の記述を参考にしながら、言葉の意味を必要十分に説明する方法について考える。 事前学修 2.0hr：シラバスを熟読して言葉の意味記述について知識を整理し、ノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：言葉の意味について実例を元に考察し、ノートにまとめる。
2回	**授業テーマ：ガイダンス 2：発表の仕方** 授業内容：どのような手順で発表をするのかを確認し、この授業の各自のゴールを設定する。 各自が発表する言葉を選び、その語の意味・用法を説明するのにどのような課題があるかを確認する。 事前学修 2.0hr：発表する言葉を選ぶ。 事後学修 2.0hr：自分の選んだ言葉について、問題点を整理し、ノートにまとめる。
3回	**授業テーマ：ガイダンス 3：言葉の選び方・調べ方** 授業内容：前回の授業で選んだ語について、どのような問題があるかを整理し、用例を観察する。 KOTONOHA「少納言」の使い方を確認する。 事前学修 2.0hr：インターネット検索で言葉について下調べをし、ノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：インターネット検索で用例を採集して分析し、ノートにまとめる。
4回	**授業テーマ：発表・討議 1 例：「うれしい」と「たのしい」** 授業内容：「うれしい」と「たのしい」はどのように意味が異なるのか、発表し、ディスカッションを行う。 事前学修 2.0hr：問題とする語について辞書および用例を元に考察し、ノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：発表内容の振り返りと追加の調査をし、ノートにまとめる。
5回	**授業テーマ：発表・討議 2 例：「鑑定」の意味** 授業内容：「鑑定」とは、どのようなものについてどのようなことをすることを指すのか、用例観察をもとに発表し、ディスカッションを行う。 事前学修 2.0hr：問題とする語について辞書および用例を元に考察し、ノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：発表内容の振り返りと追加の調査をし、ノートにまとめる。
6回	**授業テーマ：発表・討議 3 例：「温存」の意味** 授業内容：「温存」とは、どのようなものについてどのようなことをすることを指すのか、用例観察をもとに発表し、ディスカッションを行う。 事前学修 2.0hr：問題とする語について辞書および用例を元に考察し、ノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：発表内容の振り返りと追加の調査をし、ノートにまとめる。
7回	**授業テーマ：発表・討議 4 例：「わざと」の意味** 授業内容：「わざと」とは、どのような意図に基づいてどのような行動をすることを指すのか、用例観察をもとに発表し、ディスカッションを行う。 事前学修 2.0hr：問題とする語について辞書および用例を元に考察し、ノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：発表内容の振り返りと追加の調査をし、ノートにまとめる。
8回	**授業テーマ：発表・討議 5 例：「強いて」の意味** 授業内容：「強いて」とは、どのような意図に基づいてどのような行動をすることを指すのか、用例観察をもとに発表し、ディスカッションを行う。 事前学修 2.0hr：問題とする語について辞書および用例を元に考察し、ノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：発表内容の振り返りと追加の調査をし、ノートにまとめる。
9回	**授業テーマ：発表・討議 6 例：「あえて」の意味** 授業内容：「あえて」とは、どのような意図に基づいてどのような行動をすることを指すのか、用例観察をもとに発表し、ディスカッションを行う。 事前学修 2.0hr：問題とする語について辞書および用例を元に考察し、ノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：発表内容の振り返りと追加の調査をし、ノートにまとめる。
10回	**授業テーマ：発表・討議 7 例：「守護神」の意味** 授業内容：「守護神」の比喩的な意味は、どのような広がりを持っているのか、用例観察をもとに発表し、ディスカッションを行う。 事前学修 2.0hr：問題とする語について辞書および用例を元に考察する。 事後学修 2.0hr：発表内容の振り返りと追加の調査をする。

11回	**授業テーマ：発表・討議 8 例：「震源地」の意味** 授業内容：「震源地」の比喩的な意味は、どのような広がりを持っているのか、用例観察をもとに発表し、ディスカッションを行う。 事前学修 2.0hr：問題とする語について辞書および用例を元に考察し、ノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：発表内容の振り返りと追加の調査をし、ノートにまとめる。
12回	**授業テーマ：発表・討議 9 例：「難航」の意味** 授業内容：「難航」の比喩的な意味は、どのような広がりを持っているのか、用例観察をもとに発表し、ディスカッションを行う。 事前学修 2.0hr：問題とする語について辞書および用例を元に考察し、ノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：発表内容の振り返りと追加の調査をし、ノートにまとめる。
13回	**授業テーマ：レポートの作成について** 授業内容：各自が発表した内容に基づいてレポートを作成する。作成にあたっての留意点を確認する。 事前学修 2.0hr：問題とする語について辞書および用例を元に考察し、ノートにまとめる。 事後学修 2.5hr：レポート作成
14回	**授業テーマ：まとめ　レポート提出** 授業内容：各自が発表した内容をレポートにまとめて提出する。 事前学修 2.0hr：レポート作成 事後学修 2.0hr：レポートのフィードバックを元に修正。
15回	**授業テーマ：レポート内容についての振り返り** 授業内容：レポートについてのフィードバックを参考にしながら、言葉の意味・用法の記述について考えたことについてディスカッションする。 事前学修 2.0hr：レポート修正。 事後学修 2.0hr：授業の成果についてノートにまとめる。

日本語学講義 I

開講学科等：日　｜　3 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前

佐々木　文彦（ささき　ふみひこ）

▌授業の概要

普段何気なく使っている言葉なのに、日本語には考えてみるとよくわからないことが多い。「今さら人に聞けない日本語のなぜ」を考えることによって、日本語というものをさらに深く知るのがこの授業の目的である。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ②、GSM J ①/J ②/J ③）

一般目標：日本語についての深い知識を身につけ、日本語に関する問題を解決することができる
個別目標：①日本語について問題提起をし、解決することができる
　　②日本語の問題とその解決方法について、わかりやすく説明することができる

▌履修条件

①授業は毎回受講し、課題を提出すること。
②欠席や遅刻をしないこと。

▌評価基準・方法

①期末レポート８０%
②提出物および授業への参加状況２０%
※なお、５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （回によってペアワークおよびディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （PC を利用しての課題提出）

▌教科書

別途指示します。

▌参考書

特になし

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：今さら人に聞けない日本語のなぜ１　日本語に関する疑問点をピックアップする** 授業内容：「なぜ方言があるのか？」「ニホン・ニッポン、どちらが正しい？」など、日本語には謎が多い、各自が思いつく「なぜ？」を書き出して、どのような問題があるのかを確認する。 事前学修 2.0hr：講義概要を読み、授業全体の流れを確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
2回	**授業テーマ：今さら人に聞けない日本語のなぜ２　疑問点を分類する** 授業内容：前回の授業で出された「なぜ？」を情報共有して分類し、日本語学の各分野がどのような問題を扱っているかを考える。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
3回	**授業テーマ：今さら人に聞けない日本語のなぜ３　疑問点の解決の仕方を考える** 授業内容：前回までの考察をもとに、それぞれの疑問をどうやって解決するか、その方法について考える。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
4回	**授業テーマ：なぜ５０音図には音が５０の仮名がないのか？** 授業内容：５０音図において欠けている文字が何かを確認し、なぜ欠けているのかを考え、「文字」「音韻」についての知識を確認する。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
5回	**授業テーマ：なぜコンニチハと書いてコンニチワと読むのか？** 授業内容：文字表記と音韻との関係について理解を深める。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
6回	**授業テーマ：なぜ日本語には漢字とひらがなとカタカナがあるのか？** 授業内容：言語と表記の関係について考える。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
7回	**授業テーマ：なぜ言葉は変化するのか？** 授業内容：言葉の意味・用法について考え、なぜそれが変化するのかを用例観察を通して考える。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
8回	**授業テーマ：なぜ漢字には読み方が複数あるのか？** 授業内容：漢字と意味との関係について深く考察する。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
9回	**授業テーマ：なぜ外来語をたくさん使うのか？** 授業内容：日本語の語彙について考察し、外来語の必要性についてディスカッションする。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
10回	**授業テーマ：なぜ日本語には敬語があるのか？** 授業内容：日本語に敬語は必要か。もしなかったらどうなるか。グループワークでディスカッションする。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
11回	**授業テーマ：なぜ言葉にはたくさんの意味があるのか？** 授業内容：多義語を集めて観察し、なぜ多義なのか、考える。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する

12回	**授業テーマ：英語に訳せない日本語の謎1** 授業内容：英語に訳せない日本語の語彙をピックアップし、語彙の特徴を確認する。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
13回	**授業テーマ：英語に訳せない日本語の謎2** 授業内容：前回の授業でピックアップした日本語がなぜ英語に訳せないのか、グループでディスカッションする。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
14回	**授業テーマ：なぜ日本語には縦書きと横書きがあるのか？** 授業内容：縦書きと横書きの特徴について考察し、歴史的な変遷を確認する。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：この授業で考えたことをまとめ、日本語について問題提起して解決する方法について考察する。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する

日本語学講義Ⅱ

開講学科等：日　｜　3 年次　｜　2 単位　｜　開講期：後

佐々木　文彦（ささき　ふみひこ）

▌授業の概要

国語辞典の記述について考えることを通じて、言葉の意味、言葉の変化について深く考えることを目的とする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ②、GSM J ①/J ②/J ③）

一般目標：辞書についての知識を深め、日本語の意味記述について説明することが出来る

個別目標：①日本語の辞書について、タイプと特徴を説明することができる
②日本語の意味記述についてわかりやすく説明することができる
③辞書を通じて日本語の問題をわかりやすく説明することができる

▌履修条件

授業は毎回受講し、課題を提出すること

▌評価基準・方法

①期末の提出物８０%

②提出物および授業の参加状況２０%

※なお、５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ペアワーク・ディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （PC を利用しての情報収集、課題提出）

▌教科書

なし

▌参考書

必要に応じて紹介する

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：日本語の辞書のタイプ１** 授業内容：国語辞典、漢和辞典、英和辞典、和英辞典など、日本語に関わる辞書のタイプと用途について考える。 事前学修 1.0hr：講義概要を読み、授業全体の流れを確認しておく 事後学修 3.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
2回	**授業テーマ：日本語の辞書のタイプ２** 授業内容：国語辞典について、どのような種類の辞書が出版されているのか確認し、それぞれの特徴について考える。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
3回	**授業テーマ：辞書の記述とは** 授業内容：辞書の記述はその語の意味を十分に説明しているか、用例を観察しながら考える。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
4回	**授業テーマ：多義語か同音異義語か** 授業内容：「打つ」という動詞は「心を打つ」「頭を打つ」「脈を打つ」のように多義的であり、ひとつの語が多くの意味を持っていると言えるが、「(手を)挙げる」と「(天ぷらを)揚げる」は多義語だろうか、それともたまたま同じ「あげる」という音を持った同音異義語だろうか？ 考えてみよう。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
5回	**授業テーマ：なぜ辞書によって記述が異なるのか** 授業内容：辞書の記述を比較して違いについて考察する。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
6回	**授業テーマ：類義語の違いをどう記述し分けるか１** 授業内容：類義語の意味・用法を用例観察を通じて考察する。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
7回	**授業テーマ：類義語の違いをどう記述し分けるか２** 授業内容：前回の考察をもとにディスカッションを行う。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
8回	**授業テーマ：同義語とは？** 授業内容：「母」「ママ」「おかあさん」などは同義語と呼ばれるが、本当に「同義」と言って良いのかを考察する。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
9回	**授業テーマ：語源１** 授業内容：民間語源説について考察する。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
10回	**授業テーマ：語源２** 授業内容：語源説の信憑性をどう判断するか考える。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
11回	**授業テーマ：語誌１** 授業内容：ある言葉がいつ頃から使われるようになり、どのように変化したのかを考察する。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する

12回	**授業テーマ：語誌２** 授業内容：外来語の語彙について、いつ頃から日本で使われるようになったのか、原語の意味とどのように違うのかを考察する。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
13回	**授業テーマ：言語変化と辞書１** 授業内容：言葉の意味・用法がどのように変化しているのかを考察し、辞書の記述がどのように変化しているかを確認する。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
14回	**授業テーマ：言語変化と辞書２** 授業内容：辞書の記述は言語変化にどのように対応すべきなのか、問題点を整理してディスカッションする。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：日本語研究における辞書の役割について考察を深め、各自がこの授業において学んだことに基づいてディスカッションする。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する

日本語方言学

開講学科等：日　｜　2 年次　｜　2 単位　｜　開講期：後

田鍋　桂子（たなべ　けいこ）

▌授業の概要

この授業では、日本語の方言について、方言研究の各分野を概観しながら、基礎的な事項を学ぶことを目的とする。まず、伝統的な方言学と方言の理論について扱い、次に、各地の伝統的方言の様相を理解する。また、歴史的、社会的観点から方言を探る。最後に現代方言の様相や方言に対する意識について、文化的な観点から現代の用いられ方と受け止められ方を考察する。
現代人にとっての方言とは何かを見つめ直し、方言の文化的意味について考えられることを目的とする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ②）

一般目標：多角的な視点で方言を見ることにより、自己の方言に関する興味を学問的な観点から深め、方言学の分野に位置づけることができる。
個別目標：現代方言の特徴を説明できる。
　　方言の歴史的位置付けを説明できる。

▌履修条件

特になし。

▌評価基準・方法

毎回の授業課題と小テスト (30 %)、発表とまとめ(30 %)、レポート類(40 %)。
欠席時の授業点および課題点は減点とする。

▌フィードバック方法

課題、テストのフィードバックはマナバおよび対面授業時に行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション・プレゼンテーション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （資料検索、資料閲覧、プレゼンテーション）

▌教科書

プリントを使用する。

▌参考書

授業時に指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：方言と方言学** 授業内容：方言とはなにかについて、言語の違いと方言の違い、社会言語学としての方言の位置付け、俚言と方言の違いを学ぶ 事前学修 2.0hr：シラバスを読んで、これまでの学習や経験から「方言」についてまとめてくる。 事後学修 2.0hr：与えられた課題に取り組み、結果をプリントにまとめる。
2 回	**授業テーマ：方言の研究方法** 授業内容：言語地理学が発展させてきた日本の方言研究と東西方言の区分についてその歴史的経緯や様相を理解する。 事前学修 2.0hr：東西方言の区分について調べてくる。 事後学修 2.0hr：東西方言の区分についてまとめる
3 回	**授業テーマ：方言の分布と形成 (1)** 授業内容：方言周圏論と、その歴史的経緯や様相を理解する。 事前学修 2.0hr：方言周圏論を調べる。 事後学修 2.0hr：方言周圏論についてまとめる。
4 回	**授業テーマ：方言の分布と形成 (2)** 授業内容：音韻、文法それぞれの分野からの方言の区画を理解する。周圏論および区画論から、類型論的方言研究と通時的方言研究の違いと、方言圏等の方言形成についての理論を理解する。 事前学修 2.0hr：方言区画論を調べてくる。 事後学修 2.0hr：資料について要約しレポートをまとめる。
5 回	**授業テーマ：各地の方言①** 授業内容：各地域の方言について、総論、音韻、文法の観点から基本資料を読み込み、構成をつくる 事前学修 2.0hr：資料に目を通して、希望の地域と事項を選んでおく 事後学修 2.0hr：不明な用語、解説を洗い出しておく。
6 回	**授業テーマ：各地の方言②** 授業内容：各地域の方言について、総論、音韻、文法の観点からポスターを作成する 事前学修 2.0hr：不明な用語、解説について辞典で解決しておく 事後学修 2.0hr：ポスター資料について完成させる
7 回	**授業テーマ：各地の方言③** 授業内容：総論、音韻、文法の観点から適切な資料を探し、プレゼン資料に加える 事前学修 2.0hr：図書館、国立国語研究所のホームページなど紹介した中から適切な資料をさがしてくる 事後学修 2.0hr：プレゼン資料を修正する
8 回	**授業テーマ：各地の方言のプレゼンテーション第一回　概論・音韻** 授業内容：各地域の方言について、概論と音韻についてプレゼンテーションを行う（1） 事前学修 2.0hr：プレゼンの練習を行う 事後学修 2.0hr：プレゼン資料についてふりかえりを行う
9 回	**授業テーマ：各地の方言のプレゼンテーション第二回　文法・その他** 授業内容：各地域の方言について、文法とその他の項目についてプレゼンテーションを行う（2） 事前学修 2.0hr：プレゼン資料についてふりかえりを行う 事後学修 2.0hr：授業の復習を行う
10 回	**授業テーマ：各地の音韻のまとめとフィードバック** 授業内容：プレゼン資料に基づき、日本の方言としての観点から、日本語の音韻的特徴を理解する 事前学修 2.0hr：クラスの別の地域のプレゼン資料から自己の担当の地域と共通している現象をチェックしてくる 事後学修 2.0hr：授業の復習を行う
11 回	**授業テーマ：各地の文法のまとめとフィードバック** 授業内容：プレゼン資料に基づき、日本の方言としての観点から、日本語の文法的特徴を理解する 事前学修 2.0hr：クラスの別の地域のプレゼン資料から自己の担当の地域と共通している現象をチェックしてくる 事後学修 2.0hr：授業の復習を行う

12回	**授業テーマ：東京方言と標準語** 授業内容：標準語の概念の形成と展開を江戸語・東京語の形成と関連づけて理解する 事前学修 2.0hr：配布資料を読む 事後学修 2.0hr：授業の復習を行う
13回	**授業テーマ：共通語と現代の方言** 授業内容：共通語の概念と標準語との概念の相違、方言の共通語化を理解する。 事前学修 3.0hr：共通語についてノートに調べてくる。 事後学修 3.0hr：授業の復習を行う。
14回	**授業テーマ：方言と標準語についての小論文を仕上げる** 授業内容：標準語の形成についての論文を教育と文学とマスコミの観点から論文の形式を使ってまとめる。 事前学修 2.0hr：配布資料を読み、メモを作成する 事後学修 2.0hr：授業の復習を行う。
15回	**授業テーマ：現代の方言の社会的様相** 授業内容：役割語について理解した上で、方言ステレオタイプとヴァーチャル方言による方言のツール化について理解する。メディア、娯楽の中でのさまざまな方言利用およびステレオタイプの形成を、方言コンプレックスの消滅と関連づけて理解する。 事前学修 2.0hr：配布資料を読む 事後学修 4.0hr：レポートを提出する

日本語学演習 I

開講学科等：日　｜　3 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前

佐々木　文彦（ささき　ふみひこ）

▌授業の概要

日本語の諸問題を研究する能力を身につける。
日本語の「文字」「表記」「語彙」「文法」「敬語」「方言」「言語変化」等、さまざまな分野から課題を発見し、解決するための方法を検討する。
1)各自課題を一つ設定し、問題点を整理する 2)問題を解決するための方法を検討し、それについて調べたり考えたことを全員の前で発表する 3)発表の段階で明らかになった課題について再調査し、レポートにまとめて提出する

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ③、GSM J ①/J ②/J ③）

一般目標：日本語の諸問題について課題を発見し、解決する能力を身につける
個別目標：①日本語について問題提起し、課題を明確に説明することができる
②自分が選んだ問題を解決するための方法を整理して説明することができる
③課題解決のための調査をし、分析した結果を口頭で発表し、レポートとしてまとめることができる

▌履修条件

①原則として毎回 PC を使用するので、PC 持参で出席すること。
②インターネットを利用して用例検索をするので、インターネット検索、エクセル・ワードの基本的技能が必要である。苦手な学生は開講時に相談すること。

▌評価基準・方法

発表：40 %　レポート：40 %　質疑応答への参加：20 %
５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （発表とディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （PC を利用したデータ収集と分析、プレゼンテーション）

▌教科書

なし

▌参考書

授業時に指示する

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス 1：日本語の諸問題** 授業内容：日本語について疑問に思うことを書き出し、各自が取り組む課題を選ぶ。 事前学修 2.0hr：シラバスを熟読して言葉の意味記述について知識を整理し、ノートにまとめる 事後学修 2.0hr：どの分野について問題提起するかまとめ、manaba で提出する
2回	**授業テーマ：ガイダンス 2：発表の仕方** 授業内容：発表の方法について確認し、各自の研究のゴール設定をする。 事前学修 2.0hr：問題提起の準備をする 事後学修 2.0hr：自分の選んだ問題について、問題点を整理し、manaba で提出する
3回	**授業テーマ：ガイダンス 3：問題解決の方法・調べ方** 授業内容：各自の課題をどのように解決したら良いか、調査方法を検討する。 事前学修 2.0hr：インターネット検索で下調べをし、ノートにまとめる 事後学修 2.0hr：インターネット検索で用例や諸説を検索してまとめ、manaba で提出する
4回	**授業テーマ：発表準備１　各自の問題について課題を設定し、調査し、整理する** 授業内容：各自の問題提起について具体的な課題を設定し、絞り込んだ課題に基づいてデータを収集し、整理する。 事前学修 2.0hr：自分の選んだ問題について考察し、ノートにまとめる 事後学修 2.0hr：調査結果を整理し、manaba で提出する
5回	**授業テーマ：発表準備２　各自の問題について調査を進め、発表のための資料を作成する** 授業内容：前回整理した調査をまとめ、発表するためにスライド等の資料を作成する。 事前学修 2.0hr：問題とする語について辞書および用例を元に考察し、ノートにまとめる 事後学修 2.0hr：発表内容の振り返りと追加の調査をし、ノートにまとめる
6回	**授業テーマ：発表・討議１ 例：日本語の語彙について** 授業内容：各自の研究成果を発表し、ディスカッションする。 事前学修 2.0hr：問題とする語について辞書および用例を元に考察し、ノートにまとめる 事後学修 2.0hr：発表内容の振り返りと追加の調査をし、ノートにまとめる
7回	**授業テーマ：発表・討議２ 例：日本語の語順について** 授業内容：各自の研究成果を発表し、ディスカッションする。 事前学修 2.0hr：問題とする語について辞書および用例を元に考察し、ノートにまとめる 事後学修 2.0hr：発表内容の振り返りと追加の調査をし、ノートにまとめる
8回	**授業テーマ：発表・討議３　例：日本語の敬語について** 授業内容：各自の研究成果を発表し、ディスカッションする。 事前学修 2.0hr：問題とする語について辞書および用例を元に考察し、ノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：発表内容の振り返りと追加の調査をし、ノートにまとめる
9回	**授業テーマ：発表・討議４　例：日本語の方言について** 授業内容：各自の研究成果を発表し、ディスカッションする。 事前学修 2.0hr：問題とする語について辞書および用例を元に考察し、ノートにまとめる 事後学修 2.0hr：発表内容の振り返りと追加の調査をし、ノートにまとめる
10回	**授業テーマ：発表・討議５　例：「は」と「が」について** 授業内容：各自の研究成果を発表し、ディスカッションする。 事前学修 2.0hr：問題とする語について辞書および用例を元に考察する 事後学修 2.0hr：発表内容の振り返りと追加の調査をする

11回	**授業テーマ：発表・討議6　例：日本語の主語について** 授業内容：各自の研究成果を発表し、ディスカッションする。 事前学修 2.0hr：問題とする語について辞書および用例を元に考察し、ノートにまとめる 事後学修 2.0hr：発表内容の振り返りと追加の調査をし、ノートにまとめる
12回	**授業テーマ：発表・討議7　例：二重敬語について** 授業内容：各自の研究成果を発表し、ディスカッションする。 事前学修 2.0hr：問題とする語について辞書および用例を元に考察し、ノートにまとめる 事後学修 2.0hr：発表内容の振り返りと追加の調査をし、ノートにまとめる
13回	**授業テーマ：レポートの作成について** 授業内容：前回までの発表とディスカッションをもとにレポート作成を開始する。 事前学修 2.0hr：問題について考察し、ノートにまとめる 事後学修 2.0hr：レポート作成
14回	**授業テーマ：まとめ　レポート提出** 授業内容：レポートを完成させ、提出する。 事前学修 2.0hr：レポート作成 事後学修 2.0hr：レポートのフィードバックを元に修正する
15回	**授業テーマ：レポート内容についての振り返り** 授業内容：提出したレポートへのフィードバックを参考に修正し、この授業で学んだことをまとめ、ディスカッションする。 事前学修 2.0hr：レポート修正。 事後学修 2.0hr：授業の成果についてまとめ、manaba で提出する

日本語学演習Ⅱ

開講学科等：日　｜　3 年次　｜　2 単位　｜　開講期：後

佐々木　文彦（ささき　ふみひこ）

▌授業の概要

「現代日本語の意味・用法」をテーマに、日本語を研究する能力を身につける。
辞書の記述では説明しきれない言葉の細かい意味や用法について考える作業を通して、言葉をあつかう際の基礎的な考え方を身につけていく。 具体的には、
1)各自言葉を一つ選び、その辞書記述を吟味する 2)問題点を発見し、それについて調べたり考えたことを全員の前で発表する 3)発表の段階で明らかになった課題について再調査し、レポートにまとめて提出するという課題を課す。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ③、GSM J ①/J ②/J ③）

一般目標：現代日本語の意味・用法について問題を発見し、課題を解決することができる
個別目標：自分が選んだ言葉の用例を採集し、用法を的確に分析し、分析結果を明確に説明できる
　　授業の発表時における質疑応答を参考にして調査を追加し、レポートとしてまとめることができる

▌履修条件

①原則として毎回 PC を使用するので、PC 持参で出席すること。
②インターネットを利用して用例検索をするので、インターネット検索、エクセル・ワードの基本的技能が必要である。苦手な学生は開講時に相談すること。

▌評価基準・方法

発表：40 % レポート：40 % 質疑応答への参加：20 %
５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （発表とディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （PC を利用したデータ収集と分析、プレゼンテーション）

▌教科書

なし

▌参考書

授業時に指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス 1：言葉の意味・辞書の記述について** 授業内容：言葉の意味記述について考察し、用例を観察することによって辞書の記述の妥当性を検討する。 事前学修 2.0hr：シラバスを熟読して言葉の意味記述について知識を整理し、ノートにまとめる 事後学修 2.0hr：言葉の意味について実例を元に考察し、ノートにまとめる
2回	**授業テーマ：ガイダンス 2：発表の仕方** 授業内容：発表の方法を確認し、各自の研究のゴール設定をする。 事前学修 2.0hr：発表する言葉を選ぶ。 事後学修 2.0hr：自分の選んだ言葉について、問題点を整理し、ノートにまとめる
3回	**授業テーマ：ガイダンス 3：言葉の選び方・調べ方** 授業内容：言葉を具体的に選び、用例を観察してみることによって、調べ方を確認する。 事前学修 2.0hr：インターネット検索で言葉について下調べをし、ノートにまとめる 事後学修 2.0hr：インターネット検索で用例を採集して分析し、ノートにまとめる
4回	**授業テーマ：発表・討議 1 例：「せっかく」の意味・用法** 授業内容：各自が調べてわかったたことを報告し、ディスカッションする。 事前学修 2.0hr：問題とする語について辞書および用例を元に考察し、ノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：発表内容の振り返りと追加の調査をし、ノートにまとめる。
5回	**授業テーマ：発表・討議 2 例：「よほど」の意味・用法** 授業内容：各自が調べてわかったたことを報告し、ディスカッションする。 事前学修 2.0hr：問題とする語について辞書および用例を元に考察し、ノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：発表内容の振り返りと追加の調査をし、ノートにまとめる。
6回	**授業テーマ：発表・討議 3 例：「強いて」の意味・用法** 授業内容：各自が調べてわかったたことを報告し、ディスカッションする。 事前学修 2.0hr：問題とする語について辞書および用例を元に考察し、ノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：発表内容の振り返りと追加の調査をし、ノートにまとめる。
7回	**授業テーマ：発表・討議 4 例：「わざと」の意味** 授業内容：各自が調べてわかったたことを報告し、ディスカッションする。 事前学修 2.0hr：問題とする語について辞書および用例を元に考察し、ノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：発表内容の振り返りと追加の調査をし、ノートにまとめる。
8回	**授業テーマ：発表・討議 5 例：「全然」の意味・用法** 授業内容：各自が調べてわかったたことを報告し、ディスカッションする。 事前学修 2.0hr：問題とする語について辞書および用例を元に考察し、ノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：発表内容の振り返りと追加の調査をし、ノートにまとめる。
9回	**授業テーマ：発表・討議 6 例：「あえて」の意味・用法** 授業内容：各自が調べてわかったたことを報告し、ディスカッションする。 事前学修 2.0hr：問題とする語について辞書および用例を元に考察し、ノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：発表内容の振り返りと追加の調査をし、ノートにまとめる。
10回	**授業テーマ：発表・討議 7 例：「動じる」の意味・用法** 授業内容：各自が調べてわかったたことを報告し、ディスカッションする。 事前学修 2.0hr：問題とする語について辞書および用例を元に考察する。 事後学修 2.0hr：発表内容の振り返りと追加の調査をする。

11回	**授業テーマ：発表・討議 8 例：「痛い」の意味・用法** 授業内容：各自が調べてわかったたことを報告し、ディスカッションする。 事前学修 2.0hr：問題とする語について辞書および用例を元に考察し、ノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：発表内容の振り返りと追加の調査をし、ノートにまとめる。
12回	**授業テーマ：発表・討議 9 例：「普通」の意味・用法** 授業内容：各自が調べてわかったたことを報告し、ディスカッションする。 事前学修 2.0hr：問題とする語について辞書および用例を元に考察し、ノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：発表内容の振り返りと追加の調査をし、ノートにまとめる。
13回	**授業テーマ：レポートの作成について** 授業内容：発表とディスカッションを通じてわかったことをレポートとしてまとめる準備を始める。 事前学修 2.0hr：問題とする語について辞書および用例を元に考察し、ノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：レポート作成
14回	**授業テーマ：まとめ　レポート提出** 授業内容：レポートを完成させて提出する。 事前学修 2.0hr：レポート作成 事後学修 2.0hr：レポートのフィードバックを元に修正。
15回	**授業テーマ：レポート内容についての振り返り** 授業内容：レポートへのフィードバックをもとに修正し、この授業を通じて学んだこと、考えたことについてディスカッションする。 事前学修 2.0hr：レポート修正。 事後学修 2.0hr：授業の成果についてノートにまとめる。

日本語講読Ⅰ

開講学科等：日　｜　3 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前

菊地　明範（きくち　あきのり）

▌授業の概要

日本の新聞を用いて日本語・日本文化について理解を深める。
新聞記事に扱われた内容について日本語で考察し、日本語で意見を開陳する。
語彙カードの作成、確認ドリルの作成。
日本語のアクセントに留意して本文を朗読する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ②、GSM J ①/J ②/J ③）

一般目標：新聞記事を正しく音読し、正確に内容を把握できる。
　　記事内容に関わる語彙を正しく認識できる。
　　日本文化について理解を深め諸外国との差異について考察できる。
　　記事内容について日本語で説明を加え、感想・意見を開陳できる。
　　日本語のアクセントに留意して音読することができる。
個別目標：新聞記事内の日本語の語彙を適切に用いることができる。
　　トピックについて説明をすることができる。
　　自己の意見を述べることができる。

▌履修条件

日本語教育・日本語に興味があること。
自己の文章が添削例として授業中に取り上げられることを諒とすること。
授業内に指名されたら必ず自分の意見を述べること。

▌評価基準・方法

提出物 60 %(1)毎週提出されるコメント(ふりかえり)シート(2)課題として提示された新聞記事に対するレポート(3)その他のレポート
平常点 40 %(授業中に発言を求めることがあるので積極的に発言すること)
課題等のフィードバックは、基本的に学修支援システム manaba を通して行う。

▌フィードバック方法

manaba を通して、それぞれの成果について確認し、改善点などを指摘する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループディスカッションを行うことがあります。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

定めない。

▌参考書

授業内にその都度指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：言語を学ぶことについて考える。日本の新聞について解説する。** 授業内容：「言語を学ぶこと」の意味についてそれぞれで考えてみましょう。 事前学修 2.0hr：日本の新聞記事を一つ取り上げ、どのような内容か紹介できるようにしてくる。 事後学修 2.0hr：語彙カードの作成。コメントシートの作成。
2回	**授業テーマ：日本の伝統的な文化について理解を深める。自国の文化との比較を試みる。** 授業内容：日本の伝統文化についてのイメージを開陳してもらいます。 そのうえで現在まで続く伝統文化について解説します。 事前学修 2.0hr：日本の新聞記事を一つ取り上げ、どのような内容か紹介できるようにしてくる。 事後学修 2.0hr：語彙カードの作成。コメントシートの作成。
3回	**授業テーマ：日本の伝統的な文化について、それぞれの発表を参考に考察する。** 授業内容：伝統文化について解説し、質疑応答を試みます。 事前学修 2.0hr：日本の新聞から伝統文化に関する記事を一つ取り上げ、自国の文化と比較しながら説明できるようにしてくる。 事後学修 2.0hr：語彙カードの作成。コメントシートの作成。
4回	**授業テーマ：同一事件がどのような記事として報道されているか、各紙を比較する。** 授業内容：新聞を比較しながら、指摘できることを確認しあいましょう。 事前学修 2.0hr：語彙カードの確認。 事後学修 2.0hr：語彙カードの作成。コメントシートの作成。
5回	**授業テーマ：同一事件がどのような記事として報道されているか、各紙を比較する。** 授業内容：前回と同様に新聞記事を比較し、自己の考えを述べあいましょう。 事前学修 2.0hr：新聞によって伝え方が異なる点について説明できるようにしてくる。 事後学修 2.0hr：語彙カードの作成。コメントシートの作成。
6回	**授業テーマ：受講者の母国の記事を取り上げ、質疑応答を交え、その国と日本との関係、そして日本語の理解を深める。** 授業内容：留学生の母国がどのように新聞で取り上げられているか眺めてみましょう。 事前学修 2.0hr：自国のことを扱った新聞記事を取り上げ、コメントできるように準備する。 事後学修 2.0hr：語彙カードの作成。コメントシートの作成。
7回	**授業テーマ：受講者の母国の記事を取り上げ、質疑応答を交え、その国と日本との関係、そして日本語の理解を深める。** 授業内容：留学生の母国がどのように新聞で取り上げられているか眺めてみましょう。 事前学修 2.0hr：自国のことを扱った新聞記事を取り上げ、コメントできるように準備する。 事後学修 2.0hr：語彙カードの作成。コメントシートの作成。
8回	**授業テーマ：受講者の母国の記事を取り上げ、質疑応答を交え、その国と日本との関係、そして日本語の理解を深める。** 授業内容：留学生の母国がどのように新聞で取り上げられているか眺めてみましょう。 事前学修 2.0hr：自国のことを扱った新聞記事を取り上げ、コメントできるように準備する。 事後学修 2.0hr：語彙カードの作成。コメントシートの作成。

9回	**授業テーマ：日本の教育に関する新聞記事を取り上げ、日本の教育の在り方について考察する。** 授業内容：現在の日本の「教育」に関する問題点を共有しましょう。 事前学修 2.0hr：日本の教育事情について理解してくる。 事後学修 2.0hr：語彙カードの作成。コメントシートの作成。
10回	**授業テーマ：日本の教育について自国の教育と比較し、質疑応答を交え、日本の教育についての理解を深める。** 授業内容：留学生に母国の教育について説明してもらい、日本の教育と比較しつつ「教育」について考えてみましょう。 事前学修 2.0hr：自国の教育と日本の教育との差異について説明できるようにしておく。 事後学修 2.0hr：語彙カードの作成。コメントシートの作成。
11回	**授業テーマ：現代の「若者文化」について報道されている記事を取り上げ、日本事情について理解を深める。** 授業内容：若者文化について新聞ではどのように紹介されているか眺めてみましょう。 事前学修 2.0hr：興味のある「若者文化」について理解し、発言できるように準備する。 事後学修 2.0hr：語彙カードの作成。コメントシートの作成。
12回	**授業テーマ：現代の「若者文化」について報道されている記事を取り上げ、日本事情について理解を深める。** 授業内容：若者文化について新聞ではどのように紹介されているか眺めてみましょう。 事前学修 2.0hr：興味のある「若者文化」について理解し、発言できるように準備する。 事後学修 2.0hr：語彙カードの作成。コメントシートの作成。
13回	**授業テーマ：日本の詩歌について学ぶ。日本語の韻律について意識しながら音読する。** 授業内容：日本の代表的な詩歌について理解を深めます。 事前学修 2.0hr：任意の新聞記事を取り上げ、レポートしてくる。 事後学修 2.0hr：授業で取り上げたしいかについて韻律を意識しながら音読する。
14回	**授業テーマ：提出されたレポートを用い、日本事情・日本文化・日本語についての理解を深める。** 授業内容：それぞれが持つ問題意識を確認し合う予定です。 事前学修 2.0hr：語彙カードの確認 事後学修 2.0hr：レポート作成の準備。
15回	**授業テーマ：授業内容の総括。** 授業内容：授業内容をまとめてみます。 事前学修 2.0hr：語彙カードの確認。レポートの見直し。 事後学修 3.0hr：レポート作成。

日本語講読Ⅱ

開講学科等：日　｜　3 年次　｜　2 単位　｜　開講期：後

菊地　明範（きくち　あきのり）

▌授業の概要

言語を学ぶことの意義について考察する。
日本の新聞などを用いて、日本語の種種相をながめ、日本語の理解を深める。
日本語で自分の意見を開陳しあう。
日本語のアクセントに留意して本文を朗読する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ②、GSM J ①/J ②/J ③）

一般目標：現在日本で起こっているできごとについて、日本語で説明し、自分の意見を日本語で開陳できる。
　　和文脈と漢文脈について理解し、使い分けることができる。
　　日本文化に対しての理解を深め、日本語で説明し、自分の意見を日本語で開陳できる。
　　日本語のアクセントに留意し本文を朗読することができる。
個別目標：トピック内の語彙を適切に用いることができる。
　　トピックについて説明をすることができる。
　　口語体と文語体を使い分け、自己の意見を開陳することができる。

▌履修条件

日本語教育・日本語に強い興味があること。
自己の文章が添削例として授業中に取り上げられることを諒とすること。
自己の意見をはっきり開陳すること。

▌評価基準・方法

提出物 60 %(1)毎週提出されるコメントシート(2)課題として提示された新聞記事に対するレポート・音読課題(3)その他のレポート（4）語彙カード
平常点 40 %(授業中に発言を求めることがある、積極的に発言すること)
課題等のフィードバックは、基本的に学修支援システム manaba を通して行う。

▌フィードバック方法

manaba を利用し学習内容を確認し、改善点の指摘などを行う予定。レポートのみならず、音読データなどの提出についてもどうように扱う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループディスカッションをしてもらうことがあります。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

定めない。

▌参考書

授業内でその都度指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：言語学習と自己。授業展開についての説明。** 授業内容：母語以外の言語を習得する意義について考えてみましょう。 事前学修 2.0hr：日本語を学ぶ理由を発表できるようにしておく。 事後学修 2.0hr：語彙カードの作成。コメントシートの作成。
2回	**授業テーマ：和文脈と漢文脈。** 授業内容：和文脈と漢文脈について、歴史をたどりながら解説します。 事前学修 2.0hr：提示された資料を何度も音読してくる。 事後学修 2.0hr：語彙カードの作成。コメントシートの作成。
3回	**授業テーマ：和漢混淆文。漢字仮名交じり文。** 授業内容：漢字仮名交じり文の成立について理解を深めます。 事前学修 2.0hr：文体について理解してくる。 事後学修 2.0hr：語彙カードの作成。コメントシートの作成。課題文の作成。
4回	**授業テーマ：環境問題に関する記事を取り上げ考察する。** 授業内容：新聞記事を読んで、自分の意見を述べてもらいます。 事前学修 2.0hr：環境問題について考察し、意見をまとめておく。 事後学修 2.0hr：語彙カードの作成。コメントシートの作成。
5回	**授業テーマ：自然災害に関する記事を取り上げ考察する。** 授業内容：新聞記事を読んで、自分の意見を述べてもらいます。 事前学修 2.0hr：自然災害について理解を深めておく。課題文の読解。 事後学修 2.0hr：語彙カードの作成。コメントシートの作成。
6回	**授業テーマ：東日本大震災に関する記事を取り上げ考察する。** 授業内容：新聞記事を読んで、自分の意見を述べてもらいます。 防災について考えてみましょう。 事前学修 2.0hr：東日本大震災について調べ、コメントシートを作成する。 事後学修 2.0hr：語彙カードの作成。コメントシートの作成。
7回	**授業テーマ：防災・減災・復興について考察する。** 授業内容：新聞記事を読んで、自分の意見を述べてもらいます。 防災について考えてみましょう。 事前学修 2.0hr：防災について理解を深めておく。課題文の読解。 事後学修 2.0hr：語彙カードの作成。コメントシートの作成。
8回	**授業テーマ：家電製品にみる日本的な思考について考察する。** 授業内容：家電製品に注目し、日本的なるものについて考察します。 事前学修 2.0hr：日本独特の家電製品について理解し、コメントシートにまとめる。 事後学修 2.0hr：語彙カードの作成。コメントシートの作成。

9回	**授業テーマ：交通事情にみられる日本的な部分について考察する。** 授業内容：交通事情にみる日本的な部分について考察します。 事前学修 2.0hr：交通事情について理解し、コメントシートにまとめる。 事後学修 2.0hr：語彙カードの作成。コメントシートの作成。
10回	**授業テーマ：鉄道と日本。** 授業内容：鉄道について日本的な部分を考察します。 事前学修 2.0hr：鉄道について理解を深め、コメントシートにまとめる。 事後学修 2.0hr：語彙カードの作成。コメントシートの作成。
11回	**授業テーマ：擬態語・擬音語** 授業内容：日本語の表現から擬態語・擬音語について収取し、意見を交わします。 事前学修 2.0hr：新聞記事の中から擬態語・擬音語をみつけ、報告する。 事後学修 2.0hr：語彙カードの作成。コメントシートの作成。
12回	**授業テーマ：ひらがなの変遷。** 授業内容：文字について考えてみましょう。 事前学修 2.0hr：日本の文字について疑問点をコメントシートにまとめる。 事後学修 2.0hr：語彙カードの作成。コメントシートの作成。
13回	**授業テーマ：美意識の変遷** 授業内容：美意識について歴史をたどり考察します。 事前学修 2.0hr：日本的なるものを一つあげ、コメントシートにまとめる。 事後学修 2.0hr：語彙カードの作成。コメントシートの作成。
14回	**授業テーマ：提出されたシートをもとに日本的なるものについて考察する。** 授業内容：それぞれの意見を交えて日本的なるものについて考察します。 事前学修 2.0hr：レポート作成準備 事後学修 2.0hr：レポート作成準備
15回	**授業テーマ：授業の総括。言葉と自己。** 授業内容：まとめ 事前学修 2.0hr：レポート作成準備 事後学修 2.0hr：レポート作成

日本語史Ⅰ

開講学科等：日　｜　3 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前

田鍋　桂子（たなべ　けいこ）

▌授業の概要

現在私たちが使用している日本語の歴史的変遷に関する知識と分析方法を身につける３年次以上の専門科目である。現代語は近代語と密接な関係があり、歴史的変遷を理解することは日本語そのものの理解のほか、現代の日本語の構造を理解・分析する上でも重要である。この講義では、主に中古末から近代までの日本語を対象とし、現代語の成立と展開について考える。それぞれの時代について、音韻、文字、文法、語彙、文体等の面から解説する。また、基本的な方法論や対象となる資料についても概観する。なお総合的でよりよい理解のために、必要に応じて中古以前の言語変化、現代語にも触れる。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ②、GSM J ①/J ②/J ③）

一般目標：現代日本語の成立までのみちすじを学び、現代日本語に見られる特徴について、歴史的に理解し、分析することができる。

個別目標：１共時的・通史的な日本語研究の方法論を区別し通史的な日本語の研究を身につける。
２音韻変化と仮名遣いについての知識と二つの関係性を理解する。
３語法の変遷を巨視的な観点から分析的に説明できる。
４日本語そのものに関する知識を学習者に正確に伝えるために、日本語を分析的に捉える方法を理解している。

▌履修条件

特になし。提出物について、根拠が薄いインターネット記事、生成 AI を明示なくそのまま使用した場合はその時点で評価対象外とする。

▌評価基準・方法

授業時の課題への取り組み(10%)、小テスト及びレポート(40%)、期末試験の成績(50%)で評価する。なお、5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とし、欠席は減点とする。

▌フィードバック方法

対面の授業およびマナバで行う

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション、グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （文献検索・レポート作成）

▌教科書

山口明穂『日本語の歴史』東京大学出版会

▌参考書

授業時にプリントにて紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：通時的研究と共時的研究の違いについて学んだあと、この授業で行うことを理解する 事前学修 2.0hr：教科書の目次を読む 事後学修 2.0hr：まとめシート記入
2回	**授業テーマ：日本語史の時代区分** 授業内容：日本語の歴史の資料性と時代区分について、日本語の歴史の始まりと、現代語の萌芽をどうみるかを学ぶ。また歴史的事柄と相関させながら理解する。 事前学修 2.0hr：課題作成 事後学修 2.0hr：まとめシート記入
3回	**授業テーマ：現代までの日本語の母音の変化** 授業内容：上代、中古を参考として押さえながら、現代までの日本語の音韻変化について、母音を対象として理解する 事前学修 2.0hr：課題作成 事後学修 2.0hr：まとめシート記入
4回	**授業テーマ：現代までの日本語の子音の変化** 授業内容：上代、中古を参考として押さえながら、現代までの日本語の音韻変化について、子音を対象として理解する 事前学修 2.0hr：課題作成 事後学修 2.0hr：まとめシート記入
5回	**授業テーマ：近世までの日本語の音韻変化(その他の変化)** 授業内容：四つ仮名、開合を中心に近代語への音韻の変化を仮名遣いと関連させながら理解する 事前学修 2.0hr：課題作成 事後学修 2.0hr：まとめシート記入
6回	**授業テーマ：中世までの日本語の音韻変化(資料読解)** 授業内容：中古の『源氏物語』の音読資料と、文字資料の『醒睡笑』をそれぞれとりあげ、音韻の変遷がどのように反映しているかについて理解する 事前学修 2.0hr：課題作成 事後学修 2.0hr：まとめシート記入
7回	**授業テーマ：現代までの日本語の音韻変化(資料読解)** 授業内容：明治期の教科書資料を取り上げ、音韻の変遷の仮名遣いへの反映を読み取り、仮名遣いの変遷を学ぶ 事前学修 2.0hr：課題作成 事後学修 2.0hr：まとめシート記入
8回	**授業テーマ：日本語の文法変化　動詞の活用体系** 授業内容：動詞の活用の変遷について、中古までの活用の体系と現代の活用の体系を復習し、その相違点をおさえたあと、変遷の流れを理解する 事前学修 2.0hr：課題作成 事後学修 2.0hr：まとめシート記入
9回	**授業テーマ：中世までの日本語の文法変化の背景　係り結びの消滅と連体形終止の出現** 授業内容：係り結びの消滅と、連体形終止がどのように出現して定着していったかを理解する 事前学修 2.0hr：課題作成 事後学修 2.0hr：まとめシート記入
10回	**授業テーマ：中世以降の日本語の文法変化の背景　二段活用の一段化** 授業内容：連体形終止の定着のあとの二段活用の一段化の現象を、近代語から現代語にいたる明晰化の現象と関連づけて学習する。 事前学修 2.0hr：課題作成 事後学修 2.0hr：まとめシート記入

11回	**授業テーマ：現代までの日本語の文法変化について　レポート制作（1）** 授業内容：それぞれの観点から、日本語の動詞の変遷とその背景にある日本語の変化について授業内で論文作成の雛形に沿ってフローシートをまとめる。 事前学修 2.0hr：課題作成準備 事後学修 2.0hr：フローシート提出
12回	**授業テーマ：現代までの日本語の文法変化について　レポート制作（2）** 授業内容：作成したフローシートに沿って、全体をまとめる。 事前学修 2.0hr：課題作成準備 事後学修 2.0hr：レポート提出
13回	**授業テーマ：現代までの日本語の文法変化について　講評** 授業内容：レポートについて講評を行い、近代語について接続表現等をとりあげ、近代語の明晰化についてさらに理解する 事前学修 2.0hr：課題作成 事後学修 2.0hr：レポートについてコメントシート提出
14回	**授業テーマ：近世から現代の日本語について** 授業内容：語彙の変遷について、特に漢語について学ぶ 事前学修 2.0hr：課題作成 事後学修 2.0hr：まとめシート記入
15回	**授業テーマ：現代語の成立** 授業内容：これまでの授業から現代語の成立を日本語の歴史の中で文法、語彙、音韻の観点からどのように捉えるかを学ぶ。 事前学修 2.0hr：課題作成 事後学修 2.0hr：まとめシート記入

日本語史Ⅱ

開講学科等：日　｜　3 年次　｜　2 単位　｜　開講期：後

田鍋　桂子（たなべ　けいこ）

▌授業の概要

現代私たちが使っている日本語は、どのような歴史的変遷を経てきたのだろうか。現代語の中にはこれらの言葉遣いの跡が多く残っている。また、いわゆる「文語」と呼ばれる語法は、平安時代の語法をベースとしている。これらの語法はどのように成立したのか。この講義では、主に平安時代から中世までの資料を用いて、歴史的文化的背景・文学的観点をふまえた物語の全体の内容をおさえつつ読解をした上で、音韻、文字、文法、語彙、文体の面から、日本語の歴史を解き明かそうとするものである。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ②、GSM J ①/J ②/J ③）

一般目標：古典語の成立までのみちすじを理解し、古典語を現代語から見て理解できるようになる。主に近世までの各時代の資料を読み、内容を理解し、特徴的な語法について説明できる。

個別目標：その歴史的文化的文学的背景をふまえた上で、各資料の内容と言語的特徴を自分で説明できる。
係り結びと五十音図について、巨視的通史的な観点からまとめることができる。

▌履修条件

特になし。

▌評価基準・方法

授業の課題 (60%)、小テスト及びレポート (40%) で評価する。なお、5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とし、欠席時の授業点および課題点は減点とする。

▌フィードバック方法

課題、テストのフィードバックはマナバおよび対面授業時に行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （レポート作成、資料検索）

▌教科書

山口明穂『日本語の歴史』東京大学出版会

▌参考書

授業時にプリントにて紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：日本語史とは** 授業内容：日本語の歴史を学ぶということと、この授業でどのようなことを行うかについて理解する 事前学修 2.0hr：シラバスの内容を把握する。教科書の目次を読んでくる。 事後学修 2.0hr：まとめシート記入
2回	**授業テーマ：いろは歌** 授業内容：いろは歌の起源とその研究について学ぶ 事前学修 2.0hr：課題作成 事後学修 2.0hr：まとめシート記入
3回	**授業テーマ：五十音図** 授業内容：五十音図の起源とその研究および現代の日本語の研究にあたえた影響について学ぶ 事前学修 2.0hr：課題作成 事後学修 2.0hr：まとめシート記入
4回	**授業テーマ：近世の作品とことば** 授業内容：近松門左衛門の『冥土の飛脚』をとりあげ、時代背景をふまえながら読解する。 事前学修 2.0hr：課題作成 事後学修 2.0hr：まとめシート記入
5回	**授業テーマ：近世の作品とことば** 授業内容：近松門左衛門の『冥土の飛脚』の語法をとりあげる。特に口語と文語との違いに着目する。 事前学修 2.0hr：課題作成 事後学修 2.0hr：まとめシート記入
6回	**授業テーマ：近世の作品とことば** 授業内容：近松門左衛門の『冥土の飛脚』の文体をとりあげる。 事前学修 2.0hr：課題作成 事後学修 2.0hr：まとめシート記入
7回	**授業テーマ：中世から近世のことば　平家物語（1）** 授業内容：平家物語について、時代背景と軍記物に関する前提知識を学ぶ。 事前学修 2.0hr：課題作成 事後学修 2.0hr：まとめシート記入
8回	**授業テーマ：中世から近世のことば　平家物語（2）** 授業内容：平家物語について覚一本を用いて、読解する。 事前学修 2.0hr：課題作成 事後学修 2.0hr：まとめシート記入
9回	**授業テーマ：中世から近世のことば　平家物語（3）** 授業内容：平家物語について覚一本を用いて、読解する。文学史的位置付けおよび諸本研究もとりあげる。 事前学修 2.0hr：課題作成 事後学修 2.0hr：まとめシート記入
10回	**授業テーマ：中世から近世のことば　平家物語（4）** 授業内容：キリシタン版の平家物語を対象に、音韻に着目して百二十句本と比較しながら理解する。 事前学修 2.0hr：課題作成 事後学修 2.0hr：まとめシート記入
11回	**授業テーマ：中世から近世のことば　平家物語（5）** 授業内容：キリシタン版の平家物語を対象に、語法、語彙に着目して百二十句本と比較しながら理解する。 事前学修 2.0hr：課題作成 事後学修 2.0hr：まとめシート記入

12回	**授業テーマ：中古から中世のことば　とりかへばや物語（１）** 授業内容：「古とりかへばや」と「今とりかへばや」での物語の成立と時代背景を理解する 事前学修 2.0hr：課題作成 事後学修 2.0hr：まとめシート記入
13回	**授業テーマ：中古から中世のことば　とりかへばや物語（２）** 授業内容：語りの語法に注目しながら物語の読解をおこなう 事前学修 2.0hr：課題作成 事後学修 2.0hr：まとめシート記入
14回	**授業テーマ：中古から中世のことば　とりかへばや物語（３）人物描写の語彙と「とりかへばや」** 授業内容：美的感覚をあらわす語彙と人物描写に注目しながら物語の読解をおこなう 事前学修 2.0hr：課題作成 事後学修 2.0hr：まとめシート記入
15回	**授業テーマ：中古から中世のことば　とりかへばや物語（4）源氏物語と「とりかへばや」** 授業内容：中古文学である『源氏物語』の影響と、物語における中古の語法を学ぶ 事前学修 2.0hr：課題作成 事後学修 2.0hr：まとめシート記入

音声学概論

開講学科等：日　｜　2 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前

片桐　史尚（かたぎり　ふみたか）

▌授業の概要
日本語の音声現象について通時的・共時的に学ぶ。
さらに、日本語教育能力検定試験における音声に関する出題について、適宜考察を行う。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ②、GSM J ①/J ②/J ③）
一般目標：さまざまな日本語の音声の特質と矛盾について明示的な説明ができる。
個別目標：日本語音に敏感になることで、諸外国語の音についての理解も深める。

▌履修条件
音声とその周辺事項に関心があること。

▌評価基準・方法
毎回の授業時における課題（授業内容の振り返り及び課題への取り組み）を 60 %とし、テストを 40 %とする。出席は 5 分の 4 以上とする。（欠席については事前に連絡をする。）

▌フィードバック方法
対面、manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）
あり （ピア・ラーニングを行う。各自の音声特徴を把握する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）
あり （口腔断面図の確認等において使用する。）

▌教科書
毎回プリントを配布する。

▌参考書
適宜指示する。
松崎寛・河野俊之（1998）『よくわかる音声』アルク

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：導入** 授業内容：導入として、日本語母語話者と日本語非母語話者の誤用を取り上げ、その原因を探る。 日本語教育能力検定試験の音声に関する出題を紹介する。 事前学修 2.0hr：講義要綱を読む。 事後学修 2.0hr：音声とその周辺事項についてまとめる。
2 回	**授業テーマ：音声言語の特質** 授業内容：話しことばの語形、母語の干渉について論じる。第 2 回 事前学修 2.0hr：ガ行鼻濁音について調べる。 事後学修 2.0hr：美しい日本語の発音とは何かについてまとめる。
3 回	**授業テーマ：清音 濁音 半濁音** 授業内容：対照言語学的視点に立ち、その音に違いを考察する。 事前学修 2.0hr：擬声語、擬音語、擬態語について調べる。 事後学修 2.0hr：オノマトペについてまとめる。
4 回	**授業テーマ：音声と音韻** 授業内容：日本語学と日本語教育学の立場の違いについて論じる。 尚、第 2 回で扱った事項の復習となる。 事前学修 2.0hr：日本語非母語話者が習得しにくい音声について調べる。 事後学修 2.0hr：日本語非母語話者への音声指導法をまとめる。
5 回	**授業テーマ：現代日本語音韻体系** 授業内容：五十音図とその拡大表を使い、行と段、清濁、現代的仮名遣い、特殊拍について論じる。 事前学修 2.0hr：五十音図表を分析する。 事後学修 2.0hr：五十音図表を音声と音韻の両面からまとめる。
6 回	**授業テーマ：外来語の表記と発音** 授業内容：日本語母語話者が接する外来語について整理し、その指導法について論じる。 事前学修 2.0hr：ベートーベンとベートーヴェン、バイオリンとヴァイオリンの表記の違いについて調べる。 事後学修 2.0hr：外来語表記の法則についいてまとめる。
7 回	**授業テーマ：キリシタン資料のローマ字** 授業内容：歴史的原因により、音と表記が合わない現状を考察する。 事前学修 2.0hr：キリシタン宣教師たちが聞いた日本語の音を調べる。 事後学修 2.0hr：キリシタン資料の歴史的価値についてまとめる。
8 回	**授業テーマ：漢字の読みと中国語・日本音・訓** 授業内容：呉音、唐音、漢音について論じ、日本語学習者が漢字を学習する際の問題点を論じる。 事前学修 2.0hr：さまざまな「明」の読み方を調べてくる。 事後学修 2.0hr：なぜさまざまな読みが併存しているのかをまとめる。
9 回	**授業テーマ：万葉仮名と古代日本語の母音、ハ行音の歴史的変遷** 授業内容：第 8 回で学んだ知識をもとに、ハ行音の変遷を論じる。 事前学修 2.0hr：古代日本語における文字とその音について調べる。 事後学修 2.0hr：ハ行音にまとめる。
10 回	**授業テーマ：アクセントの弁別機能** 授業内容：ハ行音の変遷のほかに、音声教育の現状、学習者の誤りの傾向、拍の指導について論じる。 事前学修 2.0hr：意味の区別におけるアクセントの機能について調べる。 事後学修 2.0hr：アクセントの弁別機能についてまとめる。
11 回	**授業テーマ：特殊拍と音節** 授業内容：聴解力を高めるための指導方法を論じる。 「ケタキ」とは何か。 事前学修 2.0hr：「コーシ」「コウシ」「コオシ」の発音の違いを調べる。 事後学修 2.0hr：「ケタキ」の表記上の誤りについてまとめる

12回	**授業テーマ：アクセントの統語機能** 授業内容：音素と異音、対立、声帯振動、気息の有無について論じる。 尚、 事前学修 2.0hr：複雑な文章の読みの種類を考える。 事後学修 2.0hr：「ニワニハニワトリガイル」の複数の読み方をまとめる。
13回	**授業テーマ：プロソディ(韻律)** 授業内容：総復習１ 事前学修 2.0hr：日本語の「文末」について調べる。 事後学修 2.0hr：「文末」が省略される原因について、文化的側面からまとめる。
14回	**授業テーマ：音響音声学** 授業内容：総復習２ 事前学修 2.0hr：機械による音声の分析について調べる。 事後学修 2.0hr：機械音と実際の音声についてまとめる。
15回	**授業テーマ：総復習、試験** 授業内容：総復習及び筆記試験を行う。 事前学修 2.0hr：質問事項を１０点準備する。 事後学修 2.0hr：質問事項の答えをまとめる。

日本語音声学

開講学科等：日　｜　2 年次　｜　2 単位　｜　開講期：後

片桐　史尚（かたぎり　ふみたか）

▌授業の概要
対照言語学の視点で日本語の音声を考察する。その上で各自が学ぶ外国語の音声との違いを明確にし、それを言語化する能力を身に付ける。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ②、GSM J ①/J ②/J ③）
一般目標：客観的な音声分析能力を身に付ける。
個別目標：自らの外国語学習の音声と母語の音声を比較することにより、音声上の明示的な説明能力を可能にする。

▌履修条件
内容は非常に専門的で覚えることも多い点を考慮すること。

▌評価基準・方法
毎回の授業時における課題（授業内容の振り返り及び課題への取り組み）を 60 %とし、テストを 40 %とする。出席は 5 分の 4 以上とする。（欠席については事前に連絡をする。）

▌フィードバック方法
対面、manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）
あり （各自の話し方を客観的に捉えるためにピア・ラーニングを行う。）

▌授業での PC の利用（利用内容）
あり （NHK 放送文化研究所等の資料閲覧時に使用する。）

▌教科書
添付資料を教材とする。
NHK 放送文化研究所が公表した資料。

▌参考書
適宜指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：導入** 授業内容：日頃から日本語の音をどの程度意識しているかを明らかにする。 事前学修 2.0hr：講義概要を読む。 事後学修 2.0hr：対照言語学の視点で日本語を考察しまとめる。
2 回	**授業テーマ：発声、調音器官の名称、調音点** 授業内容：日本語母語話者の誤用から日本語の曖昧性を論じる。 事前学修 2.0hr：調音器官の名称を覚える。 事後学修 2.0hr：発声と調音の関係を把握する。
3 回	**授業テーマ：調音法、摩擦音、破擦音** 授業内容：省略語の認識を問う。 事前学修 2.0hr：摩擦音と破擦音にはどのようなものがあるか調べる。 事後学修 2.0hr：摩擦音と破擦音の微妙な違いについて明らかにする。
4 回	**授業テーマ：弾き音、震え音、側面音、半母音** 授業内容：日本語非母語話者が戸惑う省略語について 事前学修 2.0hr：各用語とその特徴についてまとめる。 事後学修 2.0hr：各音声用語の特徴と問題点についてまとめる。
5 回	**授業テーマ：鼻音、破裂音** 授業内容：日本語母語話者が無意識に発話する音について論じる。 事前学修 2.0hr：現代語における鼻音の状況について調べる。 事後学修 2.0hr：社会言語学としての見地から鼻音を考察する。
6 回	**授業テーマ：摩擦音** 授業内容：日本語音声の特殊性についてまとめる。 事前学修 2.0hr：摩擦音の指導方法について考える。 事後学修 2.0hr：摩擦音についてまとめる。
7 回	**授業テーマ：破擦音、流音、側面音** 授業内容：6 回までに学んだ項目をもとに、各自の疑問をまとめる。 事前学修 2.0hr：各用語の意味を調べる。 事後学修 2.0hr：各音の特徴と発声上の問題点についてまとめる。
8 回	**授業テーマ：半母音、母音の調音、基本母音** 授業内容：NHK 放送文化研究所の見解をもとに「考える基準」を考察する。 事前学修 2.0hr：各用語と日本語教育上の問題点について考える。 事後学修 2.0hr：日本語における母音の特徴をまとめる。
9 回	**授業テーマ：日本語の母音、音声記号表** 授業内容：開音節、閉音節についてその特徴についてまとめる。 事前学修 2.0hr：日本語の母音の特徴について考える。 事後学修 2.0hr：日本語の母音の特徴をまとめ説明できるようにする。
10 回	**授業テーマ：音素・異音、相補分布、日本語の音素** 授業内容：日本語教科書をもとに日本語音を考察する。 事前学修 2.0hr：各用語の特徴をまとめる。 事後学修 2.0hr：各用語について説明できるようにする。
11 回	**授業テーマ：五十音図とその発音　ア行からナ行** 授業内容：初級日本語教科書をもとに五十音表の重要性について論じる 1 五十音図表と日本語学習者の関わりについて論じる。 事前学修 2.0hr：なぜ音声記号が必要なのかを考えてくる。 事後学修 2.0hr：ローマ字学習と音声記号の違いについて理解する。

12回	**授業テーマ：五十音図とその発音　ハ行からワ行** 授業内容：初級日本語教科書をもとに五十音表の重要性について論じる２ 五十音図表の歴史についての知識を明確にする。 事前学修 2.0hr：各行の特徴を学んでくる。 事後学修 2.0hr：音声記号を書けるようにする。
13回	**授業テーマ：環境による音声変化　無声化　鼻濁音　中舌化** 授業内容：社会言語学的知識を用い音声教育を考察する。 部分的に「方言学」の領域も扱う。 事前学修 2.0hr：各用語の意味を調べてくる。 事後学修 2.0hr：各用語を具体的に説明できるようにする。
14回	**授業テーマ：音節・拍** 授業内容：総復習１ 各自の疑問点を求める。 事前学修 2.0hr：日本語の音節と拍の特徴を考える。 事後学修 2.0hr：日本語教育における音節と拍の重要性をまとめる。
15回	**授業テーマ：アクセント** 授業内容：総復習２ 各自の疑問点について検討する。 事前学修 2.0hr：4 つのアクセントの特徴をまとめる。 事後学修 2.0hr：初級日本語教科書におけるアクセント指導を考える。

日本語文法論 I

開講学科等：日 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

田鍋　桂子（たなべ　けいこ）

▌授業の概要

文法とは本来、与えられたものを受動的に覚えるだけのものではなく、自らが能動的に考え生み出していくものである。私たちが日常話したり書いたりしている身近な言葉づかいの中から、ふだん気づかないような法則性を探り出すという創造的な作業を通して、文法は暗記するものという固定観念の変革を図り、自己の言葉に対する内省を深め、日本語に対する感性を養うことを目的とする。

国語教育の観点から、語論、品詞論、活用を中心に授業を進めるが、日本語教育の観点からも、文型論的な視点も取り入れ、こそあど、ヴォイス、テンス、アスペクト、モダリティ、「は」と「が」などの格の問題を適宜取り上げることとする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ②、GSM J ①/J ②/J ③）

一般目標：現代語文法を習得・再確認し、具体的な日本語文に接した際の文法的解釈などができる。
個別目標：学校文法の品詞論の概要と問題点を文法学説と比較しながら、説明することができる。
　　日本語教育的視点から、文法的問題を取り上げ、説明することができる。

▌履修条件

なし。ただし、提出物について、根拠が薄いインターネット記事、生成 AI を明示なくそのまま使用した場合はその時点で評価対象外とする。

▌評価基準・方法

授業時の小テスト・小レポート 50 %。最終テスト 50 %。なお、5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とし、欠席時の授業点及び課題点はカウントしない。

▌フィードバック方法

対面授業時かマナバにて行う

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （反転授業、グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

プリントを配布する。

▌参考書

『日本語文法練習帳』(山田敏弘著、くろしお出版)
『日本人のための日本語文法入門』 (原沢伊都夫著、講談社現代新書)

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：文法と文法論の違いを理解し、この授業での学ぶ見通しをたてる 事前学修 2.0hr：シラバスと教科書の内容把握を進めておくこと。 事後学修 2.0hr：授業中の内容を踏まえて、日本語生活の中で類例を挙げ、まとめる。
2 回	**授業テーマ：語論** 授業内容：語の単位について学ぶ。語以下の単位も取り上げる。 事前学修 2.0hr：事前プリントの内容把握を進めておくこと。 事後学修 2.0hr：授業中の内容を踏まえて、日本語生活の中で類例を挙げ、まとめる。
3 回	**授業テーマ：品詞論** 授業内容：橋本、時枝を中心に山田、松下の品詞論を概観する。 事前学修 2.0hr：事前プリントの内容把握を進めておくこと。 事後学修 2.0hr：授業中の内容を踏まえて、日本語生活の中で類例を挙げ、まとめる。
4 回	**授業テーマ：文の成分** 授業内容：橋本文法の文節論をとりあげ、それに基づいた文の成分とその問題点を理解する 事前学修 2.0hr：事前プリントの内容把握を進めておくこと。 事後学修 2.0hr：授業中の内容を踏まえて、日本語生活の中で類例を挙げ、まとめる。
5 回	**授業テーマ：名詞・代名詞** 授業内容：こそあど体系について学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前プリントの内容把握を進めておくこと。 事後学修 2.0hr：授業中の内容を踏まえて、日本語生活の中で類例を挙げ、まとめる。
6 回	**授業テーマ：動詞　活用論** 授業内容：国語教育での動詞の活用論を復習したのち、日本語教育での動詞の活用形の捉え方と比較して、それぞれの目的とメリットデメリットを理解する。 事前学修 2.0hr：事前プリントの内容把握を進めておくこと。 事後学修 2.0hr：授業中の内容を踏まえて、日本語生活の中で類例を挙げ、まとめる。
7 回	**授業テーマ：形容詞・形容動詞** 授業内容：形容詞と形容動詞をとりあげ、英語との違いや、人称との関係、時代による変化、新語と形容詞などの現象を学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前プリントの内容把握を進めておくこと。 事後学修 2.0hr：授業中の内容を踏まえて、日本語生活の中で類例を挙げ、まとめる。
8 回	**授業テーマ：副詞** 授業内容：副詞の種類と文の中での役割、および、文法的観点からの意味記述の方法等を学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前プリントの内容把握を進めておくこと。 事後学修 2.0hr：授業中の内容を踏まえて、日本語生活の中で類例を挙げ、まとめる。
9 回	**授業テーマ：接続詞** 授業内容：接続詞の種類と文の中での役割を学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前プリントの内容把握を進めておくこと。 事後学修 2.0hr：授業中の内容を踏まえて、日本語生活の中で類例を挙げ、まとめる。
10 回	**授業テーマ：自動詞・他動詞** 授業内容：動詞の形態論的な違いをふまえて、自動詞他動詞の分類と、その意味用法の違いを学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前プリントの内容把握を進めておくこと。 事後学修 2.0hr：授業中の内容を踏まえて、日本語生活の中で類例を挙げ、まとめる。

11回	**授業テーマ：ヴォイス** 授業内容：主に受身を取り上げ、形態論、助詞との関係、直接受身文・間接受身文、持ち主の受身文を学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前プリントの内容把握を進めておくこと。 事後学修 2.0hr：授業中の内容を踏まえて、日本語生活の中で類例を挙げ、まとめる。
12回	**授業テーマ：アスペクト** 授業内容：テイル・テアルを特にとりあげ、動詞との関連、意味用法を理解する。 事前学修 2.0hr：事前プリントの内容把握を進めておくこと。 事後学修 2.0hr：授業中の内容を踏まえて、日本語生活の中で類例を挙げ、まとめる。
13回	**授業テーマ：モダリティ** 授業内容：日本語の階層構造を特に助動詞に着目して理解する。 事前学修 2.0hr：事前プリントの内容把握を進めておくこと。 事後学修 2.0hr：授業中の内容を踏まえて、日本語生活の中で類例を挙げ、まとめる。
14回	**授業テーマ：再　品詞論** 授業内容：これまでの議論を踏まえて、日本語の品詞という概念を再度整理する。 事前学修 2.0hr：事前プリントの内容把握を進めておくこと。 事後学修 2.0hr：授業中の内容を踏まえて、日本語生活の中で類例を挙げ、まとめる。
15回	**授業テーマ：文型** 授業内容：日本語教育での文型の概念と、その意味用法について学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前プリントの内容把握を進めておくこと。 事後学修 2.0hr：授業中の内容を踏まえて、日本語生活の中で類例を挙げ、まとめる。

日本語文法論Ⅱ

開講学科等：日　｜　2 年次　｜　2 単位　｜　開講期：後

田鍋　桂子（たなべ　けいこ）

▌授業の概要

日本の古典資料に内在する文法規則について講義を行う。本講義ではいわゆる学校文法と称される橋本文法の枠組みで進めるが、近年の日本語学の成果も適宜紹介していく。講義の中の基礎的な事項については、最低条件として毎週の小テストで到達度を確認する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ②、GSM J ①/J ②/J ③）

一般目標：古典文法を再確認し、現代語文法との違いを理解し、説明できる。
個別目標：具体的な古典の原文について文法上留意する点を指摘、解説でき、適切な現代語で意味が説明できる。

▌履修条件

・初回の文法テストを受講しないものは履修を認めない。理由があって受講できなかった場合はその旨 2 回目の授業の最初に申し出ること。再度の機会を一度のみもうける。
・受講に際して、受講当初に古典文法の基本が身についていることは求めないが、予習、復習を毎回課す。
・レベルによって授業の進度に支障がでる場合は対象者には補習も行うことがある。
積み上げ式の知識が特に必要な内容のため、授業外、授業内で細かく筆記、口頭のテストを行い定着をはかる。テストをきちんと継続的に受験し、復習を繰り返す根気がない場合、習得は難しい。

▌評価基準・方法

課題への取り組みと提出物 50%、小テスト及び期末テスト 50 %。欠席時の授業点および課題点は減点とする。

▌フィードバック方法

課題、テストのフィードバックはマナバおよび対面授業時に行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

『標準古典文法』(監修　市川孝、第一学習社)。
古語辞典(電子辞書でもかまわない)を用意すること。スマホ辞書は許可しない。

▌参考書

授業時に指示するが、『日本語の歴史』(山口明穂ほか著、東京大学出版会)、『日本語文法』(岩淵匡、白帝社)、『日本語文法練習帳』(山田敏弘、くろしお出版)など概説書を参照して、関連知識をいつでも確認が出来るようにしておくこと。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、古典文法と現代語文法** 授業内容：この授業で行うことを理解した上で、現代語文法との違いを概観する。古典文法の実力テストを行う。 事前学修 2.0hr：シラバスと教科書の内容把握を進めておくこと。 事後学修 2.0hr：まとめプリントの作成と問題の実施
2回	**授業テーマ：文法上の単位、文節(補　古典仮名遣い)** 授業内容：古典仮名遣いについて簡単に復習した上で、自立語と付属語・用言と体言について理解する 事前学修 2.0hr：予備知識及び既習内容の google form テストで満点を取っておくこと。 事後学修 2.0hr：まとめプリントの作成と問題の実施
3回	**授業テーマ：文法上の分類、品詞および活用と活用形の概念** 授業内容：古典文法における品詞と活用および活用形について理解する 事前学修 2.0hr：予備知識及び既習内容の google form テストで満点を取っておくこと。 事後学修 2.0hr：まとめプリントの作成と問題の実施
4回	**授業テーマ：動詞 1** 授業内容：古典動詞の活用を理解する 事前学修 2.0hr：予備知識及び既習内容の google form テストで満点を取っておくこと。 事後学修 2.0hr：まとめプリントの作成と問題の実施
5回	**授業テーマ：動詞 2** 授業内容：古典動詞の活用形を理解する 事前学修 2.0hr：予備知識及び既習内容の google form テストで満点を取っておくこと。 事後学修 2.0hr：まとめプリントの作成と問題の実施
6回	**授業テーマ：動詞 3** 授業内容：古典動詞の活用の種類を理解する 事前学修 2.0hr：予備知識及び既習内容の google form テストで満点を取っておくこと。 事後学修 2.0hr：まとめプリントの作成と問題の実施
7回	**授業テーマ：動詞４** 授業内容：音便の種類と時代、作品によるあらわれかた、および自動詞と他動詞、活用の種類による動詞の意味の違いがある一部の留意すべき語について理解する 事前学修 2.0hr：予備知識及び既習内容の google form テストで満点を取っておくこと。 事後学修 2.0hr：まとめプリントの作成と問題の実施
8回	**授業テーマ：形容詞** 授業内容：形容詞の活用と活用形、その用法を理解する 事前学修 2.0hr：予備知識及び既習内容の google form テストで満点を取っておくこと。 事後学修 2.0hr：まとめプリントの作成と問題の実施
9回	**授業テーマ：形容動詞** 授業内容：形容動詞の形態と用法を理解する。学校文法の捉え方について再度、確認する。 事前学修 2.0hr：予備知識及び既習内容の google form テストで満点を取っておくこと。 事後学修 2.0hr：まとめプリントの作成と問題の実施
10回	**授業テーマ：助動詞 1** 授業内容：助動詞の文における役割と、助動詞の分類について理解する 事前学修 2.0hr：予備知識及び既習内容の google form テストで満点を取っておくこと。 事後学修 2.0hr：まとめプリントの作成と問題の実施

11回	**授業テーマ：助動詞2** 授業内容：助動詞の接続について理解する 事前学修 2.0hr：予備知識及び既習内容の google form テストで満点を取っておくこと。 事後学修 2.0hr：まとめプリントの作成と問題の実施
12回	**授業テーマ：助動詞3** 授業内容：助動詞の活用と活用形について理解する 事前学修 2.0hr：予備知識及び既習内容の google form テストで満点を取っておくこと。 事後学修 2.0hr：まとめプリントの作成と問題の実施
13回	**授業テーマ：助動詞4** 授業内容：否定の助動詞・時の助動詞について理解する 事前学修 2.0hr：予備知識及び既習内容の google form テストで満点を取っておくこと。 事後学修 2.0hr：まとめプリントの作成と問題の実施
14回	**授業テーマ：助動詞5** 授業内容：受身・尊敬・可能・自発／使役の助動詞について理解する 事前学修 2.0hr：予備知識及び既習内容の google form テストで満点を取っておくこと。 事後学修 2.0hr：まとめプリントの作成と問題の実施
15回	**授業テーマ：助動詞6** 授業内容：推量の助動詞について理解する 事前学修 2.0hr：予備知識及び既習内容の google form テストで満点を取っておくこと。 事後学修 2.0hr：まとめプリントの作成と問題の実施

敬語表現法

開講学科等：日　｜　2 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前

髙橋　眞人（たかはし　まさと）

▌授業の概要

【待遇表現とコミュニケーション・ストラテジーを学習する】

・日本語教師養成における「言語と社会」区分のうち、⑤言語使用と社会の< 10 >コミュニケーションストラテジーと< 11 >待遇・敬意表現を中心に習得させる。

・言語学・社会言語学の理論的枠組みを利用して、待遇表現の使い方についての知識を学習させる。

・コミュニケーション・ストラテジーの理論と知見を習得させる。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ②、GSM J ①/J ②/J ③）

一般目標：・多様な人々との相互尊重を大切にし、場面や相手に応じて適切な表現の選択ができることを目指す。

・日本語の特徴の一つである場面や相手に応じた豊かな言語表現について知識を深める。

・現代日本の敬語を含めた待遇表現とその適切な使用法について理解する。

個別目標：・様々な社会的状況において社会や集団において求められる待遇表現について理解する。

・社会生活における言語活動を達成するための言語的な方略（ストラテジー）や会話を成立させるための仕組み、意義、効果について理解する。

▌履修条件

授業ではペアワークやグループでロールプレイを行うなどの活動を通して実践力を養う。そのため、事前配布する資料を読んだ上で臨むことが求められる。

▌評価基準・方法

毎回の授業内で指定する提出物・課題・小テスト 40 %、振り返りレポート 20 %、学期試験 40 %で評価する。90 %以上の成績が S 評価、89 %から 80 %が A 評価、79 %から 70 %が B 評価、69 %から 60 %が C 評価で単位習得とする。59 %以下は D 評価、出席不良 (5 分の 1 に満たない場合）は評価対象外とし、単位習得不可とする。

▌フィードバック方法

フィードバックは、教室および manaba において行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク、ロールプレイ）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （電子メールの書き方について学ぶ際に使用する。）

▌教科書

なし。

▌参考書

『敬語は怖くない』井上史雄著、講談社

『ポライトネス入門』滝浦真人著、研究社

『日本語教育能力検定試験完全攻略ガイド第 5 版』ヒューマンアカデミー著、翔泳社

『敬語力がつく！ 文章＆文書の超・基本』杉本祐子著、主婦の友社

「敬語の指針」文化庁（インターネットでダウンロード可）

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス、待遇表現、敬語の種類　【日本語教員試験< 11 >】** 授業内容：授業の目的、到達目標、成績評価の方法を説明する。自分自身を含め場面や相手に応じた言葉遣いをしている現状を確認し、その必要性について考え、待遇表現を学ぶことの意義を学習する。また、待遇表現と敬語の種類について学習する。 事前学修 2.0hr：講義概要を読む。 事後学修 2.0hr：授業の内容をノートに整理する。そのうえで授業を振り返り、考えたことを記述する。
2 回	**授業テーマ：尊敬語【日本語教員試験< 11 >】** 授業内容：待遇表現の中に「尊敬語」があることを認識し、待遇表現の働きや効果について学習する。 事前学修 2.0hr：授業内容にかかわる専門用語の意味を調べてノートに記述する。 事後学修 2.0hr：授業の内容をノートに整理する。そのうえで授業を振り返り、考えたことを記述する。
3 回	**授業テーマ：謙譲語Ⅰ【日本語教員試験< 11 >】** 授業内容：待遇表現の中の「謙譲語Ⅰ」についてその働きを学習する。尊敬語はどのようなとき、どのような場所で、どのような目的で使われるかを確認する。また、ロールプレイを行って実践に備える。 事前学修 2.0hr：授業内容にかかわる専門用語の意味を調べてノートに記述する。 事後学修 2.0hr：授業の内容をノートに整理する。そのうえで授業を振り返り、考えたことを記述する。
4 回	**授業テーマ：謙譲語Ⅱ【日本語教員試験< 11 >】** 授業内容：謙譲語Ⅱについて学習し、謙譲語Ⅰとの違いについて理解する。また、ロールプレイを行って実践に備える。 事前学修 2.0hr：授業内容にかかわる専門用語の意味を調べてノートに記述する。 事後学修 2.0hr：授業の内容をノートに整理する。そのうえで授業を振り返り、考えたことを記述する。
5 回	**授業テーマ：美化語、丁寧語、敬語以外の待遇表現【日本語教員試験< 11 >】** 授業内容：敬語を用いる際の基本的な考え方について学習する。美化語、丁寧語、敬語以外の待遇表現についても学習する。さらに、尊敬語、謙譲語Ⅰ、Ⅱを使う場面を押さえた上で、ロールプレイを行って実践に備える。 事前学修 2.0hr：授業内容にかかわる専門用語の意味を調べてノートに記述する。 事後学修 2.0hr：授業の内容をノートに整理する。そのうえで授業を振り返り、考えたことを記述する。
6 回	**授業テーマ：敬語の基本的な考え方、外国語の待遇表現【日本語教員試験< 11 >】** 授業内容：敬語を用いる時の基本的な考え方について理解し、敬語の効果や使用の意義を学習する。外国語の待遇表現についても学習する。また、ロールプレイを行って実践に備える。 事前学修 2.0hr：授業内容にかかわる専門用語の意味を調べてノートに記述する。 事後学修 2.0hr：授業の内容をノートに整理する。そのうえで授業を振り返り、考えたことを記述する。
7 回	**授業テーマ：敬語の適切な選び方、「内」と「外」の考え方【日本語教員試験< 11 >】** 授業内容：敬語の適切な選び方について学習するほか、「内」と「外」に対する待遇表現についても学習する。また、ロールプレイを行って実践に備える。 事前学修 2.0hr：授業内容にかかわる専門用語の意味を調べてノートに記述する。 事後学修 2.0hr：授業の内容をノートに整理する。そのうえで授業を振り返り、考えたことを記述する。

8回	**授業テーマ：具体的な場面での敬語の使い方【日本語教員試験< 11 >】** 授業内容：敬語の具体的な場面での使い方や、誤りやすい敬語表現について学習する。また、実例を示し、グループワークを行う。 事前学修 2.0hr：授業内容にかかわる専門用語の意味を調べてノートに記述する。 事後学修 2.0hr：授業の内容をノートに整理する。そのうえで授業を振り返り、考えたことを記述する。
9回	**授業テーマ：敬語とポライトネス【日本語教員試験< 11 >】** 授業内容：敬語とポライトネスについて学習することで、スムーズなコミュニケーションを図る仕組みを押さえる。 事前学修 2.0hr：授業内容にかかわる専門用語の意味を調べてノートに記述する。 事後学修 2.0hr：授業の内容をノートに整理する。そのうえで授業を振り返り、考えたことを記述する。
10回	**授業テーマ：書き言葉の待遇表現【日本語教員試験< 8・11 >】** 授業内容：ビジネス文書など書かれた文章上の敬語の使い方について学習する。 事前学修 2.0hr：授業内容にかかわる専門用語の意味を調べてノートに記述する。 事後学修 2.0hr：授業の内容をノートに整理する。そのうえで授業を振り返り、考えたことを記述する。
11回	**授業テーマ：電子メールの待遇コミュニケーション(実践)【日本語教員試験< 11 >】** 授業内容：就職活動を想定した電子メールのやり取りを行って、実践に備えたスキルを学習する。 事前学修 2.0hr：授業内容にかかわる専門用語の意味を調べてノートに記述する。 事後学修 2.0hr：課題(電子メールの作成と送信)に取り組む。授業の内容をノートに整理する。そのうえで授業を振り返り、考えたことを記述する。
12回	**授業テーマ：面接時の待遇コミュニケーション(実践)【日本語教員試験< 11 >】** 授業内容：就職活動を想定した面接のロールプレイをして、実践に備えたスキルを学習する。 事前学修 2.0hr：授業内容にかかわる専門用語の意味を調べてノートに記述する。 事後学修 2.0hr：課題に取り組む。授業の内容をノートに整理する。そのうえで授業を振り返り、考えたことを記述する。
13回	**授業テーマ：コミュニケーションストラテジー【日本語教員試験< 10 >】** 授業内容：コミュニケーションがうまく取れない場合に使用するコミュニケーションストラテジーを学習し、スムーズなコミュニケーションを図る仕組みを理解する。 事前学修 2.0hr：授業内容にかかわる専門用語の意味を調べてノートに記述する。 事後学修 2.0hr：授業の内容をノートに整理する。そのうえで授業・フィードバックを振り返り、考えたことを記述する。
14回	**授業テーマ：依頼、謝罪、断り、感謝のストラテジー【日本語教員試験< 10 >】** 授業内容：コミュニケーション・ストラテジーの一種である依頼、謝罪、断り、感謝のストラテジーについて学習する。また、これまでの授業のまとめを行う。 事前学修 2.0hr：授業内容にかかわる専門用語の意味を調べてノートに記述する。 事後学修 2.0hr：これまでの学修内容の総復習と最終試験の準備。授業の内容をノートに整理する。
15回	**授業テーマ：最終試験とフィードバック** 授業内容：最終試験及びフィードバックとしての解説を行い、授業全体の振り返りを行う。 事前学修 2.0hr：総復習と最終試験の準備 事後学修 2.0hr：最終試験及び解説を振り返り、整理したうえで、考えたことを記述する。

表記法概論

開講学科等：日　｜　3 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前

田鍋　桂子（たなべ　けいこ）

▌授業の概要

日本語は漢字・ひらがな・カタカナ・ローマ字という複雑な表記方法がみられる。本講義では、それぞれの文字が成立した歴史をひもときながら、日本語の表記・文字のもつ特徴を講義するとともに、現代の表記の規範と、その規範の生まれるにあたった国語・国字問題を解説する。
授業の中では、講義の中で適宜、表記の歴史や使用法を調査する個人活動、およびそれぞれの表記の資料及び国語・国字問題の資料を読み解くことをグループ活動を取り入れて行う。なお、この科目は日本語教師【養成】における教育内容の 14 日本語の構造の(41)日本語教育のための文字と表記に該当する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ②、GSM J ①/J ②/J ③）

一般目標：日本語表記の歴史的変遷と、日本語表記の規則・特徴・問題点に関する知識、及び国語国字問題の歴史を理解する。
個別目標：「漢字」「平仮名」「片仮名」「ローマ字」「振り仮名」について基本的な特徴を理解し、現行の規則とその範囲と拠り所を説明でき、日本語の表記法の問題点を客観的に論じることができる。また、特に日本語の漢字表記の用い方について、仮説をたて適切な資料を用いて調べることができる。

▌履修条件

提出物について、根拠が薄いインターネット記事、生成 AI を明示なくそのまま使用した場合はその時点で評価対象外とする。

▌評価基準・方法

授業時の課題 40 %、 小テスト、レポートを 60 %の割合で評価する。
欠席時の授業点および課題点は減点とする。

▌フィードバック方法

課題、テストのフィードバックはマナバおよび対面授業時に行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク　小さなプレゼンテーション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （資料検索）

▌教科書

特に定めない。プリントを配布する。

▌参考書

沖森卓也他 2011『図解　日本の文字』三省堂
北原保雄監修 2005『朝倉日本語講座２　文字・書記』朝倉書店

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：授業の見通し、および文字の機能と特徴の概略を理解する 事前学修 2.0hr：講義概要を読んで本講義の目的と内容を理解する。 事後学修 2.0hr：参考資料を探し、目を通しておく。
2回	**授業テーマ：日本語の文字と表記** 授業内容：世界の文字の種類と起源と歴史を理解した上で、日本語の文字と表記についてまなぶ。 事前学修 2.0hr：プリント「日本語における文字」に目を通し、質問事項をノートに整理しておく。 事後学修 2.0hr：学修内容振り返りシートを記入の上、ピックアップされた質問に答える
3回	**授業テーマ：ローマ字** 授業内容：日本語のローマ字の発生とその変遷について学ぶ 事前学修 2.0hr：ローマ字について指定された辞書で調べておく 事後学修 2.0hr：学修内容振り返りシートを記入の上、ピックアップされた質問に答える
4回	**授業テーマ：ローマ字資料を読む** 授業内容：キリシタン資料でのローマ字の日本語表記と、ヘボンの辞書のローマ字表記法を読解する。 事前学修 2.0hr：キリシタン資料について指定された資料で調べておく 事後学修 2.0hr：学修内容振り返りシートを記入の上、ピックアップされた質問に答える
5回	**授業テーマ：万葉仮名の発生** 授業内容：古典漢文から日本語化された漢文へ、そして万葉仮名への流れを理解する。 事前学修 2.0hr：プリント「万葉仮名」に目を通し、質問事項をノートに整理しておく。 事後学修 2.0hr：学修内容振り返りシートを記入の上、ピックアップされた質問に答える
6回	**授業テーマ：万葉仮名から仮名へ** 授業内容：かな文字の発生について理解する。 事前学修 2.0hr：平仮名・片仮名について資料に目を通しておく 事後学修 2.0hr：学修内容振り返りシートを記入の上、ピックアップされた質問に答える
7回	**授業テーマ：かな資料** 授業内容：かな資料の読解を行い、日本語表現の中のかなのもつ役割について歴史的に理解する 事前学修 2.0hr：平仮名についての資料に目を通しておく 事後学修 2.0hr：学修内容振り返りシートを記入の上、ピックアップされた質問に答える
8回	**授業テーマ：片仮名について** 授業内容：片仮名の発生を漢文との関わりから学び、平仮名との相違と現代語での役割について学ぶ 事前学修 2.0hr：片仮名についての資料に目を通しておく 事後学修 2.0hr：学修内容振り返りシートを記入の上、ピックアップされた質問に答える
9回	**授業テーマ：漢字** 授業内容：漢字の起源と展開、漢字文化圏について学ぶ 事前学修 2.0hr：漢字についての資料に目を通しておく。 事後学修 2.0hr：学修内容振り返りシートを記入の上、ピックアップされた質問に答える
10回	**授業テーマ：漢字と辞書** 授業内容：漢字の辞書の歴史と、漢和辞書における漢字の字源、意味用法の捉え方のさまざまな説の違いを理解する。 事前学修 2.0hr：漢字の辞書についての資料に目を通しておく 事後学修 2.0hr：調べ方の資料を見て、調査候補を決めおく

11回	**授業テーマ：漢字と漢和辞書２** 授業内容：漢和辞書を実際に複数利用し、意味用法をまとめる 事前学修 2.0hr：辞書の引き方について確認しておく 事後学修 2.0hr：学修内容振り返りシートを記入の上、ピックアップされた質問に答える
12回	**授業テーマ：漢字と漢和辞書３** 授業内容：漢和辞書の意味用法の違いに留意しながらレポートをまとめる 事前学修 3.0hr：授業で指示された辞書について、授業内で調べきれなかった辞書を調べる 事後学修 3.0hr：授業内のフィードバックをもとに修正しレポートを提出する
13回	**授業テーマ：日本の国字問題** 授業内容：明治以降、および第二次世界大戦後の日本語の漢字政策について理解し、現代の漢字表記施策とその問題点を理解する。 事前学修 2.0hr：漢字政策について資料に目を通しておく。 事後学修 2.0hr：学修内容振り返りシートを記入の上、調査をまとめておく
14回	**授業テーマ：表記の探求（１）** 授業内容：近代の資料を用いて、漢字表記とふりがなの関係を理解する。 事前学修 2.0hr：クラウド上のクラスの調査結果について目をとおしておく。 事後学修 2.0hr：授業のフィードバックおよび動画をみて、調査方法について考えたこと、反省点、今後の課題についてまとめる
15回	**授業テーマ：表記の探求（２）** 授業内容：近代の漢字表記とその振り仮名についてルーツを、辞書及びコーパス等の資料から探り、近代日本語において漢字表記が果たした役割を理解する 事前学修 2.0hr：前回授業で配布されたプリントに目を通し、質問事項を考えておく。 事後学修 2.0hr：まとめレポートを作成する

言語学概論

開講学科等：日　｜　2 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前

中川　仁 (なかがわ　ひとし)

▌授業の概要

この講義では、言語学の基本をわかり易く学んでいくものである。言語をただ単に、「ことば」＝言葉という概念だけで捉えるのではなく、その周辺にある、歴史的な背景や社会的要因、そして民族やイデオロギーをも考え、言語が生成されていく諸要因をも認識していく。一般言語学(言語の本質)としての音声学・音韻論、形態論、統語論という基礎的なことがらを把握し、先人たちの言語理論とその研究方法(学説)にも触れ、言語の構造を理解していく。そして世界の諸言語についても触れ、言語の特殊性を理解していく。(必須の教育内容の⑬言語の構造一般、⑮言語研究、(37) 一般言語学を網羅する内容と科目である)

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ②、GSM J ①/J ②/J ③）

一般目標：言語と人間社会の生成を理解し、その周辺にある言語環境をも理解することができるようになる。また言葉本来の構造である音声、音韻、語彙、文法(文法の活用なども含める)などについても理解を深め、言語を体系的に考えていくことができるようになる。

個別目標：一般言語学(言語の本質)としての音声学、音韻論、形態論、統語論の各分野について説明ができる。また世界の諸言語についても、言葉は音のレベル、形のレベル、表現のレベルであり、その特殊性と特徴的な視点をもって理解を深め説明できる。

▌履修条件

言語学は、日本語学や日本語教育を学ぶものにとって、主軸となる専門科目であるため、言語の知識はもちろんのこと、周辺にある諸要因である学問的な分野にも興味をもち、それらについても、きちんと考えられる思考能力をもちあわせることを望む。

▌評価基準・方法

毎回の授業時における課題(授業内容の振り返り及び課題への取り組み)を 60 %とし、テストを 40 %とする。出席は 5 分の 4 以上とする。(欠席については事前に連絡をする。)

▌フィードバック方法

課題及び小テスト、定期試験に関わるフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行うこととする。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク及びプレゼンテーション等を行う。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （事前事後における学修においてパソコンを使用する。）

▌教科書

とくに教科書は指定しない。毎回プリントを配布する。

▌参考書

参考書などは、その都度紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：人間社会と言語との解明を理解する.** 授業内容：人間にとっての言葉の存在と社会における言葉の存在などを考えていく。ここでは人間社会における言葉の存在意義の外観を提示していく。そして神話にも触れながら、言葉を理解していく。 事前学修 2.0hr：人間社会における言語の存在を、神話などからの引用を通して考える。 事後学修 2.0hr：人間社会と言語の存在を通時的にみていき、言葉の意味と生成についてまとめる。
2回	**授業テーマ：言語とその周辺にある環境(歴史的な経緯、社会的な要因、民族、イデオロギーから理解する)** 授業内容：言葉とその周辺にある相関的な関連性のある分野を考えていく。とくに歴史、社会、民族、イデオロギーの関連性などを概観し、その周辺的な分野を理解する。 事前学修 2.0hr：言語とその周辺にあることがらについて、目を通しておく。 事後学修 2.0hr：言語の周辺にある環境を図解してまとめる。
3回	**授業テーマ：言語の構造一般(記号としての言葉を理解する)** 授業内容：言葉の第一次的なことがらと第二次的なことがらを提示し、音声言語、表記形態など理解していく。言葉の記号性の概念を理解していく。 事前学修 2.0hr：言葉の能記と所記、恣意性について目を通しておく。 事後学修 2.0hr：言葉の能記と所記、恣意性を理解し、言葉の線条性と文節についてまとめる。
4回	**授業テーマ：ソシュールによる理論の展開(ラングとパロールについての概念を理解する)** 授業内容：ソシュールによるラング、パロールの概念及びランガージュの概念、そして言葉の恣意性などを理解していく、言葉の本質的な部分を理解し、言葉の構造を捉えていく。 事前学修 2.0hr：言葉の抽象的な概念を理解し、先人たちの研究について目を通しておく。 事後学修 2.0hr：とくにソシュールの理論展開について図解してノートにまとめる。
5回	**授業テーマ：言語の類型(言語の祖語、比較言語学、対照言語学、言語類型論の分析方法を理解する)** 授業内容：言葉の類型論を理解していく。それぞれの個別言語(日本語、英語、中国語、朝鮮語など)における音声・音韻、形態論、統語論の特徴を理解していく。 事前学修 2.0hr：言語の類型について、祖語とそれ以外の言語研究について、目を通しておく。 事後学修 2.0hr：言語の分類と言語研究の方法論について、詳しく図解してまとめる。
6回	**授業テーマ：言語の系統(語族と語派を理解する)** 授業内容：言葉における語族及び語派を理解していく。とくに音韻対応の法則による言葉の姻戚関係にあたる部分の理解を深めていく。(具体的にはグリムの法則なども含め、説明を加えていく。) 事前学修 2.0hr：言語の系統について、音韻研究から明らかにされたことを調べておく。 事後学修 2.0hr：音韻研究から祖語が明らかにされたことと、音声、音韻の関係についてもまとめる。
7回	**授業テーマ：対照言語学(日本語、英語、朝鮮語、中国語からの分析を理解する)** 授業内容：言語を共時的にみていき、それぞれの個別言語(日本語、英語、朝鮮語、中国語)を音声学、形態論、統語論のレベルで分析し、言葉の異なり方を理解していく。 事前学修 2.0hr：個々の言語について、言語学的なレベルでの研究方法に目を通しておく。 事後学修 2.0hr：個々の言語を言語学的なレベルで分析し、その研究方法をまとめる。
8回	**授業テーマ：構造主義言語学(その成り立ちと研究方法を理解する)** 授業内容：ソシュールのいうところの構造主義の考え方とアメリカの構造主義について、言葉の研究方法の異なりを見出していく。それぞれ文献研究とフィールド研究の方法論を理解していく。 事前学修 2.0hr：構造主義言語学がどのような理論過程を経ているのかについて調べる。 事後学修 2.0hr：記述理論の構築と、その理論が言語教育にどのような影響を与えたかをまとめる。

9回	**授業テーマ：生成文法理論(その成り立ちと研究方法)** 授業内容：チョムスキーのいうところの言葉の研究方法を理解し、人間が言葉をどのように習得していくのかを考え、音、単語、文構造など頭に浮かぶメカニズムをも同時に理解していく。 事前学修 2.0hr：生成文法理論がどのような構築過程を経ているのかについて、考えてみる。 事後学修 2.0hr：生成文法理論の具体的理論を例文を通して分析し、まとめてみる。
10回	**授業テーマ：認知言語学(プロトタイプ的なカテゴリー観と新たな意味の捉え方を理解する)** 授業内容：言葉と脳の関係性を説明し、言葉の根幹的意味の認識とそれに伴う言葉の意味拡張などの概要を理解し、その言葉の意味の捉え方を理解していく。 事前学修 2.0hr：言語研究の一部分として、意味の生成を調べる。 事後学修 2.0hr：言語研究としての意味生成の分析を細かくまとめる。
11回	**授業テーマ：音韻と形態体系(音韻論と形態素、異形態の捉え方を理解する)** 授業内容：言葉の音素及び形態素などを言葉の基礎として捉え、音のレベルと形の形成を理解していく。そしてこれらの仕組みが構造的システムの構築であることを概観する。 事前学修 2.0hr：音韻の生成と形態素について調べる。 事後学修 2.0hr：音韻体系と形態体系について、それぞれの特徴をまとめる。
12回	**授業テーマ：言語音を作る仕組み(音声の概念と音声の調べ方を理解する)** 授業内容：言葉を作る音節構造、アクセント、プロミネンスを捉え、音のレベルの形成を理解していく。これらの仕組みが構造的システムの構築であることを捉えていく。 事前学修 2.0hr：音声の概念を理解し、音の作られ方について目を通しておく。 事後学修 2.0hr：音声の概念を理解し、その音の調音法と調音点を図解してまとめる。
13回	**授業テーマ：語彙・意味・語用(それぞれの分類と分析方法を理解する)** 授業内容：単語を形態論の基礎として理解し、単語における意味素と意義素とに分け、その単語の成り立ちと意味の変遷を捉えていく。 事前学修 2.0hr：語彙、意味、語用のそれぞれの概念と分析について調べておく。 事後学修 2.0hr：それぞれのカテゴリーを分類し、その意味解釈を分析してまとめる。
14回	**授業テーマ：文字と表記(記号から文字への変遷を理解する)** 授業内容：表記形態としての文字の成り立ちを概観し、記号論としての捉え方を理解していく。そこには人間と文字、そして表記形態がどのように生成されてきたのかを捉えていく。 事前学修 2.0hr：記号が文字となっていく、その生成過程について調べておく。 事後学修 2.0hr：それぞれの言語の文字について分類し、表にしてまとめる。
15回	**授業テーマ：言語史の観点から(日本語、英語、朝鮮語、中国語の生成を理解する)** 授業内容：言葉の生成過程を、それぞれの個別言語の様相として理解していく。またそれぞれの個別言語が、どのように成り立っていったのか、その内容を理解していく。 事前学修 2.0hr：日本語、英語、朝鮮語、中国語の生成過程を調べる。 事後学修 2.0hr：それぞれの言語的な立場を理解し、史的要素についてまとめる。

応用言語学

開講学科等：日　｜　3 年次　｜　2 単位　｜　開講期：後

中川　仁 (なかがわ　ひとし)

▌授業の概要

この講義では基礎言語学(音声学、音韻論、形態論、統語論等)を主軸として、言葉という概念だけに捉われるのではなく、その周辺にある関連諸分野(歴史、文学、社会、風俗史、民俗誌)といった視点においても理解を深めていく。言語と歴史、言語と文学、言語と社会、言語と風俗史、言語と民俗誌などの文献や論文をみていくことによって、その関係をひも解いていく。そしてその研究方法がどのように理論展開され、発展したのか、またそのことがらが、どのような形で論理的な思考を構築させたのかを考え、言語及び関連諸分野の理解を深めていく。またポストコロニアルという視点から、言語政策や日本語教育史、近代化と植民地主義など、あらゆる観点を包摂し、言語学との関係を理解していく。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ②、GSM J ①/J ②/J ③）

一般目標：言語学的な知識が習得できることは、もちろんのことではあるが、それに関係のある諸分野(歴史、文学、社会、風俗史、民俗誌)といった部分においても同時に理解することができる。そして言語とその諸分野がなぜ関わっているのかを思考していく能力をも身につけることができる。

個別目標：基礎言語学という視点を理解し説明ができる。また言語学の周辺にある言語と歴史、言語と文学、言語と社会、言語と風俗史、言語と民俗誌、戦前の言語政策と日本語教育史、近代化と植民地主義などについて説明ができる。

▌履修条件

2 年次の「言語学概論」の授業を履修していた学生であることが望ましい。日本語学や日本語教育を専門とするものにとって、主軸となる言語学的な知識とその周辺にある関連諸分野に興味をもち、そのことがらについて、きちんと考えられる思考能力をもちあわせることを望む。

▌評価基準・方法

毎回の授業時での課題(授業内容の振り返り及び課題への取り組み)を 60 %とし、テストを 40 %とする。出席は 5 分の 4 以上とする。(欠席については事前に連絡をする。)

▌フィードバック方法

課題及び小テスト、定期試験に関わるフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行うこととする。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク及びプレゼンテーション等を行う。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （事前事後における学修、課題作成などにおいてパソコンを使用する。）

▌教科書

とくに教科書は指定しない。毎回プリントなどを配布する。

▌参考書

参考書などは、その都度、授業において紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：言葉と周辺の学問分野、その関連性を知る。** 授業内容：言葉の周辺にある学問的な分野である歴史、文学、社会、風俗史、民俗誌といった関連分野に対して説明し、言葉との接点と関連性を考えていく。またこれらの分野が平行線上にあることを理解し、その概観を把握する。 事前学修 2.0hr：言語学と関係性のある諸分野について調べる。(関連の諸分野を整理する) 事後学修 2.0hr：言語学と関係性のある諸分野について学んだことをまとめる。
2 回	**授業テーマ：基礎言語学という考え方Ⅰ(音声学及び音韻論・第一次言語としての音)** 授業内容：言葉の第一次的な現象である「声の文化」を把握し、「音」に対する成立状況と言葉の恣意的な状況、ランガージュ、ラング、パロールなどの概念を捉えていき、その概観を説明していく。(音素、音節構造を説明する。) 事前学修 2.0hr：基礎言語学とはどのようなものかを考える。(音声学・音韻論) 事後学修 2.0hr：基礎言語学としての音声学・音韻論の部分をまとめる。
3 回	**授業テーマ：基礎言語学という考え方Ⅱ(形態論・語彙と接辞の関係)** 授業内容：「形」としての言葉の成り立ちを把握し、「単語」に対する成立状況と言葉の意義素的な要素と意味的な要素の概念を捉えていき、その概観を説明していく。(単語の構造を説明する。) 事前学修 2.0hr：基礎言語学はどのようなものかを考える。(形態論) 事後学修 2.0hr：基礎言語学としての形態論の部分をまとめる。
4 回	**授業テーマ：基礎言語学という考え方Ⅲ(統語論・文の構造としくみ)** 授業内容：「表現」としての文の成り立ちを把握し、「文」に対する構造と類型的な視点の概念を捉えていき、その概観的な要素を説明していく。(文構造を説明する。) 事前学修 2.0hr：基礎言語学はどのようなものかを考える。(統語論) 事後学修 2.0hr：基礎言語学としての統語論の部分をまとめる。
5 回	**授業テーマ：基礎言語学という考え方Ⅳ(文字・表記について考える)** 授業内容：言葉の第二次的な現象である「文字・表記」を把握し、「文字・表記」に対する成立状況と表記形態の概念を捉えていき、その概観を説明していく。(表現形態と記号の関係性を説明する。) 事前学修 2.0hr：基礎言語学がどのようなものかを考える(文字・表記) 事後学修 2.0hr：基礎言語学としての文字・表記の部分をまとめる。
6 回	**授業テーマ：言語学と文学との関連性Ⅰ(ことばの書写方法と文学との関連性)** 授業内容：言葉と文学作品との関連性を概観し、その作品に表れている文体、表現形態に着目し、時代的な変遷を考慮に入れた表現について説明していく。(ここでは文学史的視点と文章解釈も同時に理解していく。) 事前学修 2.0hr：文学作品に出てくる言葉について調べる。 事後学修 2.0hr：文学作品に出てきた言葉を調べて、それについてまとめる。
7 回	**授業テーマ：言語学と文学との関連性Ⅱ(時代変遷と語彙との関連性)** 授業内容：時代的な区分と言葉の変遷に着目し、とくに表記形態と表現に対する言い回しの変化、単語の使い方の変化などを説明していく。(ここでは近世の言葉遊びと文化についても理解していく。) 事前学修 2.0hr：時代区分と言葉の変遷について調べる。 事後学修 2.0hr：時代区分と言葉の変遷について、どのようなものであるのかをまとめる。
8 回	**授業テーマ：言語学と歴史との関連性Ⅰ(通時的研究の方法と歴史との関連性)** 授業内容：言葉と歴史との関係性がどのように関わっているのか、また言葉の変容がどのようにおこなわれていくのか、その様相を概要的に説明していく。(ここでは時代の流動的な流れから言葉の変遷を理解していく。) 事前学修 2.0hr：言葉と歴史的影響について考える。(言語変化という立場での整理) 事後学修 2.0hr：言葉と歴史的影響についてまとめる。(言語変化という立場で出てきた言葉についてまとめる)

9回	**授業テーマ：言語学と歴史との関連性Ⅱ（ことばの変化と時代との関連性）** 授業内容：時代的な特徴として、言葉を捉えていくために日本語の単語、言い回しを理解していく。その時代に関わる言語生活の実態とその背景などを含め変遷状況をみていく。そして現状の言葉の成り立ちを理解していく。 事前学修 2.0hr：歴史的影響をうけた言葉の変遷を考える。（言語の段階的な変遷を考える） 事後学修 2.0hr：歴史的影響をうけた言葉の変遷をまとめる。（言語の段階的な変遷を整理する）
10回	**授業テーマ：言語学と社会との関連性Ⅰ（ことばと位相との関連性）** 授業内容：言葉と社会との関わりのなかで、とくに位相の部分に着目し、その言葉がどのような形で、表現形態を変えていくのか、その実態を理解していく。そして方言との接点も理解していく。 事前学修 2.0hr：地域と社会階層における言葉のバリエーションを考える。（社会言語学の実践という立場でみていく） 事後学修 2.0hr：地域と社会階層における言葉のバリエーションをまとめる。（社会言語学の地域と位相についてまとめる）
11回	**授業テーマ：言語学と社会との関連性Ⅱ（民族と言葉、アイデンティティとの関連性）** 授業内容：言葉と民族的な視点との関わりを含め、アイデンティティ及び少数派言語への言語権などを包括して、その概観を説明し、理解をしていく。 事前学修 2.0hr：民族と言葉について考える。（植民地主義と言語の関係を考える） 事後学修 2.0hr：民族と言葉についてまとめる。（植民地主義と言語の関係について理解する）
12回	**授業テーマ：言語学と風俗史Ⅰ（時代的なことばの特徴と表記との関連性）** 授業内容：各地域社会における「言葉遊び」の視点に着眼点をおき、言葉と人々の言語生活との接点を概観し、その様相を理解していく。 事前学修 2.0hr：言葉と風俗史との関係を考える。（明治期の風刺絵や書写方法をみていく） 事後学修 2.0hr：言葉と風俗史との関係をまとめる。（明治期の風刺絵と書写方法との関連性をまとめる）
13回	**授業テーマ：言語学と風俗史Ⅱ（ことばの特徴とことばの流動性との関連性）** 授業内容：その地域性としての言葉の特徴、そしてその地域社会における言葉の特徴などを理解していく。とくに「サンカ」の人々の固有の文字、固有の考えなどにも触れ、その言語生活の実態を理解していく。 事前学修 2.0hr：社会における言葉の風俗史を考える。（明治期の風刺絵及びはがき、広告宣伝などの書写方法をみていく） 事後学修 2.0hr：社会における言葉の風俗史をまとめる。（明治期の書写方法を言語接触の状況から整理する）
14回	**授業テーマ：言語学と民俗誌Ⅰ（三郷巷談などの文献から言葉と民俗史的概念を理解する）** 授業内容：民俗学及び文化人類学的な研究分野に視点をおき、その概要を説明し、言葉との接点を見出していく。とくに『三郷巷談』を例として、生活と言葉の実態を理解していく。 事前学修 2.0hr：民俗誌のなかの言葉について考える。（言葉と民俗学という視点との関連性をみていく） 事後学修 2.0hr：民俗誌のなかの言葉についてまとめる。（言葉と民俗誌という視点からその関連性をまとめてみる）
15回	**授業テーマ：言語学と民俗誌Ⅱ（文献からそのことばの原形＝プロトタイプを考える）** 授業内容：民俗学の視点による言葉の研究が、どのようにおこなわれてきたのかを概観し、とくに折口信夫の考えにも触れながら、言葉への理解を深めていく。（人間と言葉との関係を紐解いていく。） 事前学修 2.0hr：民俗誌の書写方法を考える。（具体的な例を挙げて説明する） 事後学修 2.0hr：民俗誌の書写方法をまとめる。（具体的な例について、その関連性をまとめる）

社会言語学

開講学科等：日 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 ｜ 備考：2021 年度以降入学生のみ履修可能

片桐　史尚（かたぎり　ふみたか）

▌授業の概要

「社会」「文化」「政策」と言語との関係について学ぶ。同時に社会的な行動を支えるために必要な社会的・文化的習慣について考察する。

特に言語行動では「基本的な考え方、コミュニケーションとの関係、言語行動を成立させる物事」について学ぶ。そして、「あいさつ、お礼、年齢、性、場面と多様性との関係」を考え、これらの知識を基に、対人関係と言語行動（言葉以外のもの、対人的な気配り、規範、日本人特有の言語行動）についての知識を獲得し、レポートを書けるようにする。

尚、日本語教師【養成】における教育内容では、④言語と社会の関係、（8）社会言語学、言語政策とことば、に対応する科目である。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ②、GSM J ①/J ②/J ③）

一般目標：さまざまな話者、さまざまな言語上の政策について把握することができる。

個別目標：社会におけるさまざまな言語上の諸問題について自らの意見が言える。

▌履修条件

社会と言語の関係に深く関心のある者。

▌評価基準・方法

毎回の授業時における課題（授業内容の振り返り及び課題への取り組み）を 60 %とし、テストを 40 %とする。出席は 5 分の 4 以上とする。（欠席については事前に連絡をする。）

▌フィードバック方法

manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ピアリーディングを行う。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （統計資料等の閲覧時に使用する。）

▌教科書

毎回プリントを配布する。

▌参考書

岩田祐子、重光由加、村田泰美『概説 社会言語学』（ひつじ書房）

井出祥子『社会言語学』（アルク）

東照二『社会言語学入門』（研究社）

杉戸清樹 水谷信子『日本人の言語行動』（アルク）

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：社会言語学とは、言語政策とことばとは** 授業内容：社会言語学という分野は言語研究の中では新しい分野で、20 世紀も半ばを過ぎてのアメリカに端を発する。簡単に言えば、社会言語学とは、データを拠り所として、それまでの狭義の言語学とは異なる分析的パラダイムを用いて人間集団と言語の使用を探る学問分野である。収集されたデータを使うという点と、ある集団においてことばがどのように使われるかという言語使用を解明しようとする 2 つに特徴がある。授業では社会言語学が台頭した背景を考えながら論じていく。 事前学修 2.0hr：社会言語学と聞いてイメージするものを 5 つ挙げて来る。 事後学修 2.0hr：自らが考えていた社会言語学と授業で紹介された社会言語学の違いについてまとめる。
2回	**授業テーマ：言語と地域　言語政策と絡めて考える** 授業内容：世界にはいくつの言語があるかを考えたことはあるだろうか。国の数がおよそ 200 であるとすると、言語の数はおよそいくつだろうか。毎年この問いをすると、200 より少ない数をあげる学生が少なくない。英語のようにいろいろな地域で使われる言語もあるというのがその理由である。また、一国で複数の言語が使用されている場合もあることから、300、500 などと答える学生もいる。授業では、このような素朴な疑問から生じる問題を取り上げ、言語と地域についての関わりを論じていく。 事前学修 2.0hr：日本とそれ以外の国、地域における言語の状況について調べて来る。 事後学修 2.0hr：教員が示す国、地域の言語状況についてまとめる。
3回	**授業テーマ：言語と社会階層　言語政策と絡めて考える** 授業内容：社会階層と言語はどのような関係にあるのかについて考察していく。一口に社会階層と言っても多くの学生にとってその概念ははっきりしないのではないだろうか。現在の日本社会には格差があると言われて久しいが、実際に日本に社会に階層があるのかどうか、また社会階層が日本語に影響を及ぼしているかどうかについてはあまり考えられてこなかったのではないだろうか。授業では、言語と社会階層についての研究が数多くなされている英米の例を見ながら論じていく。 事前学修 2.0hr：日本における社会階層について調べて来る。 事後学修 2.0hr：授業で示された言語と社会階層の特徴についてまとめる。
4回	**授業テーマ：言語と民族　言語政策と絡めて考える** 授業内容：日本で暮らしているとあまり意識されないが、同じ言語を話す人たちの中に、地域、社会階層とは関係なく、同一民族固有の特徴が見られ、その特徴が何世代にもわたって続いていることがある。授業では民族の違いによる言語変種とはどのようなものであり、なぜそのような現象が起きるのかを英語圏の例を挙げながら論じていく。尚、具体的には、民俗の違いによる「変種」がどのようなものかをホームズ（2008）の研究を取り上げ説明する。 事前学修 2.0hr：民族という用語が日本社会でどのように捉えられているか、自分の意見をまとめて来る。 事後学修 2.0hr：授業で行った英語圏の例をまとめる。
5回	**授業テーマ：言語とジェンダー** 授業内容：言語とジェンダーと聞いて、何を思い起こすであるだろうか。「男らしい話し方」「女らしい話し方」であろうか。また「看護婦、保母」と言わず、「看護師、保育士」という表現を思い浮かべるだろうか。ジェンダーが、私たちの思考や価値観形成に影響を与えているかを理解するのは難しいが、普段無意識にあることに敢えて意味を与え研究していくことは重要である。授業では、言語とジェンダーがどのように関わりを持っているかを論じていく。 事前学修 2.0hr：日本語におけるジェンダーについて調べてくる。 事後学修 2.0hr：日本における言語とジェンダーの問題についてまとめる。
6回	**授業テーマ：言語と年齢** 授業内容：「言語と年齢」という主題のもと、年齢による言語差を扱う。履修者の多くが「今どきの若者の日本語はなっていない」、「敬語さえろくに使えない」などと年長者の批判をよく聞くことだろう。日本語の乱れを懸念する年長者は多く、「言語観」の違いが話題に挙げられることは少なくない。それでは、若者と年長者の日本語の違いは何であろうか。またその違いにはどのような特徴があるのだろうか。授業では「若者ことば」を取り上げ論じていく。 事前学修 2.0hr：自分でも感心しない若者言葉を 10 挙げて来る。 事後学修 2.0hr：授業で指摘された世代間の言語の問題をまとめる。

7回	**授業テーマ：言語の選択　言語政策と絡めて考える** 授業内容：多言語社会に住む人々が日常の生活で複数の言語を使っている現象を例に、多様な世界の言語状況を学ぶ。具体的には、シンガポール在住の中国系女性(大学生／ 20 歳)の例から多言語社会に住む人々が日常生活で複数の言語を操る状況を考察する。特にこの状況で起こるコード・スイッチングを場面や話題が変わるごとにより起こる機能であると捉えるか、または話し手が談話の意味を選び取ろうとするから起こると考えるかという 2 つのアプローチも見ていく。 事前学修 2.0hr：シンガポールにおける言語状況を調べて来る。 事後学修 2.0hr：授業中に示された多言語社会における言語の状況をまとめる。
8回	**授業テーマ：言語の状況差、適切さ(スタイルとレジスター)　言語政策と絡めて考える** 授業内容：人は言語を使用するとき、状況や相手やトピックによって最もふさわしい言語を選択する。この場合の状況とは、フォーマルかインフォーマルか、オフィシャルかプライベートか、シリアスかユーモラスか、丁寧度が高いか親しさが強いかなどの区別である。またこの場合の相手とは、自分より地位が高いか低いか、親しいか親しくないか、年齢が上か下か、同姓か異性かなどの区別である。我々はこれらの状況・相手の特性・トピックなどを素早く的確に把握し言語を使用している。このような現象を数多くの例を通して見ていく。 事前学修 2.0hr：スタイルとレジスターについて調べて来る。 事後学修 2.0hr：提出用復習プリントの課題を行う。
9回	**授業テーマ：ポライトネス** 授業内容：一般に、ポライトネスはポライト(丁寧な、礼儀正しい)の名詞形であると理解されている。しかし、現在の社会言語学ではカタカナで「ポライトネス」としている。ポライトネスは人の言語行動を説明するためのさらに大きい理論的枠組みを指している。人はどのように会話をするのかという「会話の仕組み」を理解し、聞き手に対して我々が行っている「配慮」というポライトネスの観点からコミュニケーションを考えていく。それまでの「敬語」における待遇表現だけでは扱えなかった事項も、この新たな概念で可能となる。 事前学修 2.0hr：待遇表現とは何かを調べて来る。 事後学修 2.0hr：提出用復習プリントの課題を行う。
10回	**授業テーマ：会話の仕組み** 授業内容：ことばのやりとりで繰り返し見られるパターンから構造を考えていく。その際、会話はどのように行われているだろうか。「流れで行われている」「自然にやっている」「普通に行っている」などと普段はあまり気に留めていないのではないだろうか。しかしながら、人々が交替しながら一度に一人しか話さないということは、よく考えると不思議な現象である。ここでは、どのように交替するのか、前の人が話し終わることはどのようにして「予測」できるのか、次に話す人はどのように決まるのかといった「当然と思われる」行動の秩序を考察する。 事前学修 2.0hr：予習シートを読んでくる。 事後学修 2.0hr：提出用復習プリントの課題を行う。
11回	**授業テーマ：コミュニケーションの民族誌** 授業内容：言語共同体でのコミュニケーションを対象とした「言語と文化の関わり」の研究を学ぶ。この研究分野は、言語人類学の流れを汲み、言語行動は文化・社会などの幅広いコンテクストで見る必要があるという立場を取りながら、社会言語学の枠組みの中の一つの柱となっていった。授業では、アメリカのハイムズが示したコミュニケーションを捉えるための枠組みを基に、分析に必要な要素を紹介していく。この場合の要素はコンポーネントである。 事前学修 2.0hr：ハイムズの研究論文にはどのようなものがあるのかを調べて来る。 事後学修 2.0hr：提出用復習プリントの課題を行う。
12回	**授業テーマ：社会言語学と異文化コミュニケーション** 授業内容：異文化コミュニケーションは、異文化コミュニケーション・異文化心理学をはじめとするさまざまな分野で研究がなされている。そこでこの授業では、社会言語学の立場から言語に焦点を当てることにより、異文化コミュニケーションの問題を考察する。同じ言語を話していてもコミュニケーションがうまくいかないことはめずらしいことではない。このような事例を挙げながら、言語を分析することでコミュニケーションの問題を考えていく。 事前学修 2.0hr：母語におけるコミュニケーションギャップを考えて来る。 事後学修 2.0hr：提出用復習プリントの課題を行う。
13回	**授業テーマ：さまざまな会話のスタイル** 授業内容：会話のスタイルにはターン・テイキングの方法、談話の組み立ての方法、同意・不同意の方法、各文化・社会の価値観などが反映されている。この授業では、エスノメソドロジーで業績のあるサックス、シェグロフ、ジェファーソンが、彼らの母語であるアメリカ英語の会話を分析して得た会話の基本的な仕組みを基に学んでいく。実際の会話はうまくいく場合もうまくいかない場合もある。このようなことを踏まえた上で、様々な会話のスタイルを概観していく。 事前学修 2.0hr：予習シートを読んでくる。 事後学修 2.0hr：提出用復習プリントの課題を行う。
14回	**授業テーマ：総復習** 授業内容：第 1 回から 13 回までのテーマのうち、各自が関心を持った事項を 1 つ選び、レポートにまとめる。そして授業の後半では各自がまとめたものを、「ピアリーディング」の手法を用いてペアの相手に読み聞かせ、論拠の甘さなどを指摘し合い、再度レポートを「修正」し提出する。「書く」という行為と「読む」という行為、また人を意識した「持論の展開の仕方」を経験することにより、緊張感のある受講態度を認識することを第一の目的とする。 事前学修 2.0hr：予習シートを読んでくる。 事後学修 2.0hr：提出用復習プリントの課題を行う。
15回	**授業テーマ：総復習** 授業内容：第 1 回から第 13 回までの授業内容で論じられなかった事項を整理して講義する。具体的には「世界の共通語としての英語」「過剰矯正」「キング牧師の演説」「性差別的言語」「古風なことば」「マルティリンガル」「ダイバージェンス」「コンバージェンス」「投射と共話」「ナラティブ研究」「各言語における英語の影響」「文化モデル」「女ことばの CDA」「裁判の場における社会言語学からの貢献」のうち、履修者から希望を募り、3 点の解説を行う。 事前学修 2.0hr：予習シートを読んでくる。 事後学修 2.0hr：提出用復習プリントの課題を行う。

対照言語学

開講学科等：日 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：2021 年度以降入学生のみ履修可能

土屋　真一（つちや　しんいち）

▌授業の概要

対照言語学とは、言語と他の言語を比較する言語学の一分野で目標言語を基本言語と対照すること、すなわち対照分析（contrastive analysis）によって、その目標言語（target language）の特徴を捉えようとする学問である。本授業では、対照言語学を理解するために必要な周縁の言語学知識を学修したうえで、日本語を中国語と対照を行い、相違点・共通点を分析する力を養う。なお当該科目は、日本語教師養成における必須の教育内容（38）対照言語学を含む。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ②、GSM J ①/J ②/J ③）

一般目標：日本語を他の言語（中国語）の比較対照をおこない、相違点・共通点を分析する力を培うことを目標とする。

個別目標：(1) 専門用語を正しく理解することができる。

(2) 語彙、語順、文構造等より比較対照を行い、分析することができる。

▌履修条件

・毎回出席すること。（欠席の場合は、事前に manaba で担当講師へ連絡をすること）

・期限までに課題の提出を行うこと。

・授業内の活動に積極的に参加すること。

▌評価基準・方法

課題（通常週の課題提出による評価）45%、期末レポート 35%、授業への貢献度 20%に基づき総合的に評価する。

5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

課題等へのフィードバックは、授業内或いは学習支援システム manaba にて行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション、グループワーク、授業内発表、コメントシート）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （授業内課題を学修支援システム manaba にアクセスし掲示資料を参照する。Word ファイルにて授業内課題を作成する。）

▌教科書

特に指定はしない。授業毎にプリント等を配布する。

▌参考書

高見沢孟他『新・はじめての日本語教育 基本用語事典』アスク出版、この他の参考書については、授業時に適宜紹介を行う。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：授業の概要、授業の進め方、履修上の注意点、課題提出の方法、評価基準などについての説明をおこなう。 事前学修 2.0hr：シラバスに目を通し、講義概要を把握する。 事後学修 2.0hr：リーディングタスクより、わかったこと、調べたことなど自身でノートにまとめる。
2回	**授業テーマ：言語記号の特徴について** 授業内容：ソシュールの考えを中心に、言語の二面性、能記と書記、恣意性、共時態と通時態、ラングとパロールについて概観していく。 事前学修 2.0hr：リーディングタスクより、わかったこと、調べたことなどをまとめておく。 事後学修 2.0hr：授業を通して、学んだことを整理しておく。
3回	**授業テーマ：対照言語学とは何か** 授業内容：「比較」と「対照」の2語に着目し、「歴史的に同系であることが前提」、「歴史的に同系であるかを問わない」の違いについて明らかにしていく。 事前学修 2.0hr：リーディングタスクより、わかったこと、調べたことなどをまとめておく。 事後学修 2.0hr：授業を通して、学んだことを整理しておく。
4回	**授業テーマ：中国語とはどのような言語であるか** 授業内容：本科目で、目標言語として取り扱う中国語（北京官話）の概要を把握していく。 事前学修 2.0hr：リーディングタスクより、わかったこと、調べたことなどをまとめておく。 事後学修 2.0hr：授業を通して、学んだことを整理しておく。
5回	**授業テーマ：日本語と中国語の品詞について（1）** 授業内容：代名詞、動詞、形容詞の基本的な性質を捉えたうえで、日中両言語にどのような違いがあるか、いくつかの側面から理解していく。 事前学修 2.0hr：リーディングタスクより、わかったこと、調べたことなどをまとめておく。 事後学修 2.0hr：授業を通して、学んだことを整理しておく。
6回	**授業テーマ：日本語と中国語の品詞について（2）** 授業内容：副詞、数量詞について、それぞれいくつかの項目に分類し、概観していく。 事前学修 2.0hr：リーディングタスクより、わかったこと、調べたことなどをまとめておく。 事後学修 2.0hr：授業を通して、学んだことを整理しておく。
7回	**授業テーマ：試験対策** 授業内容：登録日本語教員試験および、日本語教育能力検定試験における対照言語学分野の範囲を理解し、問題演習をおこなう。 事前学修 2.0hr：試験関連問題集を検索し、目を通しておく。 事後学修 2.0hr：授業でおこなった問題を見直し、どのような準備が必要か考えておく。
8回	**授業テーマ：日中両言語の主語と述語** 授業内容：中国語における主語と述語を文法成分とみなし概観したうえで、日本語との違いを説明していく。 事前学修 2.0hr：リーディングタスクより、わかったこと、調べたことなどをまとめておく。 事後学修 2.0hr：授業を通して、学んだことを整理しておく。
9回	**授業テーマ：テンスとアスペクト** 授業内容：日本語のテンスとアスペクトに関する理解を確認したうえで、中国語のテンスとアスペクトをいくつかの側面から概観し特徴を把握していく。 事前学修 2.0hr：リーディングタスクより、わかったこと、調べたことなどをまとめておく。 事後学修 2.0hr：授業を通して、学んだことを整理しておく。
10回	**授業テーマ：態＜ヴォイス＞** 授業内容：受動表現、使役表現、授受表現から日本語と中国語のヴォイス（態）を概観していく。 事前学修 2.0hr：リーディングタスクより、わかったこと、調べたことなどをまとめておく。 事後学修 2.0hr：授業を通して、学んだことを整理しておく。

11回	**授業テーマ：モダリティ** 授業内容：中国語のモダリティを対事的モダリティと対人的モダリティーに分類し、その特徴を説明していく。 事前学修 2.0hr：リーディングタスクより、わかったこと、調べたことなどをまとめておく。 事後学修 2.0hr：授業を通して、学んだことを整理しておく。
12回	**授業テーマ：漢字と日中同形語について** 授業内容：新字体と簡体字をそれぞれ類型化し、日中の漢字の特徴を捉えていく。別途、新体字、簡体字の違いはあるものの、日中両言語ともに同じ漢字で表記する語彙に焦点をあて、類型化し概観していく。 事前学修 2.0hr：リーディングタスクより、わかったこと、調べたことなどをまとめておく。 事後学修 2.0hr：授業を通して、学んだことを整理しておく。
13回	**授業テーマ：敬語表現と親族語彙について** 授業内容：日本語の敬語表現の理解を確認したうえで、中国語の敬語表現の特徴を把握し、両者の違いを理解していく。あわせて、親族表現について、日中両言語が対応していないことについても、文化的側面、社会的側面などから説明していく。 事前学修 2.0hr：リーディングタスクより、わかったこと、調べたことなどをまとめておく。 事後学修 2.0hr：授業を通して、学んだことを整理しておく。
14回	**授業テーマ：共起について** 授業内容：共起(collocation) を語彙的・文法的な側面から概観し、日中両言語の違いを説明していく。 事前学修 2.0hr：リーディングタスクより、わかったこと、調べたことなどをまとめておく。 事後学修 2.0hr：授業を通して、学んだことを整理しておく。
15回	**授業テーマ：本科目のまとめ** 授業内容：設定されたテーマをもとに、レポートを書き、これまで授業の振り返りをおこなう。 事前学修 2.0hr：今まで配布した資料や、自身で整理したノートを読み返し、整理しておく。 事後学修 2.0hr：本科目を通して、どのような学びを得たか、今後どのような場面で生かせるか、考えをまとめる。

言語研究法／コンピュータ言語学 I

開講学科等：日　｜　3 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前

田川　麻央（たがわ　まお）

▌授業の概要

言語研究とはどのような研究分野なのかを経験的に学んでいく。倫理的配慮を行ったうえで簡単なデータ収集・分析を行なうなどいくつかの調査方法を身に付ける。本コースでは学んだ調査方法を使ってプレゼンテーションを行なったり他者と意見交換を行ったりする。またレポートにまとめて報告もする。調査対象言語は日本語とする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ②、GSM J ①/J ②/J ③）

一般目標：言葉を扱った定量的な研究の論文を作成する手順を理解し、調査方法の選択、データの収集と分析、論理的な構成、文章の書き方を身に付ける。

個別目標：(1) 論文作成の手順を説明できる。
(2) 論理的かつ筋の通った調査報告レポートが書ける。
(3) 収集したいデータに合った調査方法を選択できる。
(4) 倫理的配慮を行ったうえでデータを収集できる。

▌履修条件

課題提出の期限を守る。
積極的に授業に参加する。
PC ルームの収容人数を超えて履修希望者がいた場合は抽選とするので必ず第 1 回は出席する。

▌評価基準・方法

課題 40%、レポート 40%、学習のふりかえり 20%で評価する。

▌フィードバック方法

フィードバックは対面授業、および manaba で行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク、発表や相互点検など他者と協働する機会がある。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （ほぼ毎回 Microsoft Excel、Microsoft Word を利用する。manaba も使用する。）

▌教科書

資料を配布する。

▌参考書

随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス　言語研究とは** 授業内容：授業の概要と目標、進め方、評価方法、履修者に期待されることを理解する。そのうえで、研究と勉強の違い、学術研究の位置づけ、言語研究とはどのような分野なのか学習 する。 事前学修 2.0hr：Microsoft Word と Excel の基本操作を確認する。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
2回	**授業テーマ：研究論文の構成** 授業内容：実証研究を一例として研究論文を読んで、どのような構成で成り立っているのかを分析する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
3回	**授業テーマ：先行研究の収集** 授業内容：図書館の検索サイトを使って研究論文の調べ方、先行研究の活用方法を学ぶ。関心のあるテーマにもとづいて先行研究を集めたリストを作成する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
4回	**授業テーマ：倫理的配慮** 授業内容：研究に携わる人間としてモラルと責任を自覚したうえで、研究協力者に対して対象者になることについて確認すべき事項を学習する。文書で同意を得る場合を想定し、研究同意書を作成する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
5回	**授業テーマ：アンケート調査の方法** 授業内容：アンケート調査の目的と方法等を学習し、クラス内で調査を実施する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
6回	**授業テーマ：アンケート調査データの分析** 授業内容：収集したデータを整理し、Microsoft Excel を使って集計する。グラフを読み取り、結果を解釈する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
7回	**授業テーマ：インタビュー調査の目的と方法** 授業内容：インタビュー調査の目的、種類、方法を学習し、サンプリングの仕方を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
8回	**授業テーマ：会話分析の目的と方法** 授業内容：会話分析の目的、方法、種類を学習し、サンプリングの仕方を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
9回	**授業テーマ：会話分析** 授業内容：第８回で収集したサンプルをもとに、分析方法を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

10回	**授業テーマ：会話データの収集** 授業内容：先行研究を集め、研究計画を立案する。自分の研究に必要な調査を準備する。クラスメートに研究の同意を得て、調査を実施する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
11回	**授業テーマ：収集したデータの整理と分析** 授業内容：収集したデータを Microsoft Excel を使って整理し、分析する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
12回	**授業テーマ：レポートの作成１：目的と方法** 授業内容：調査報告を目的とするレポートの作成方法を学習し、執筆する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
13回	**授業テーマ：レポートの作成２：結果と考察、形式面** 授業内容：第 12 回のつづきとして、結果と考察を執筆し、形式を整える。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
14回	**授業テーマ：レポートの共有と相互点検** 授業内容：作成したレポートを共有して相互に点検を行なう。互いにレポートを評価し、改善点をみつける。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
15回	**授業テーマ：まとめとふり返り** 授業内容：このコースで学習したことをふりかえり、身に付けたスキルを確認する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

コンピュータ言語学

開講学科等：日 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 ｜ 備考：2021 年度以降入学生のみ履修可能

田川　麻央 (たがわ　まお)

▌授業の概要

コンピュータの既存ツール、オンライン上のコーパスを使って言語データの収集、整理、分析を行ない、まとめていく過程を経験的に学ぶ科目である。本コースを通じて学んだスキルを使って、発表および調査レポートをまとめる。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ②、GSM J ①/J ②/J ③）

一般目標：言語データを収集、整理、分析し、わかりやすくまとめることで、客観的に情報を分析する力を身につける。

個別目標：(1) 言語データの収集、整理、まとめていく手順が説明できる。
(2) コンピュータの既存ツールを用いた基本的なデータ処理ができる。
(3) 言語データを根拠資料として自分の意見を文章でわかりやすく伝えることができる。

▌履修条件

(1)「言語研究法(旧：コンピュータ言語学Ⅰ)」を履修済みか、同等の知識を持っている。
(2) 課題提出の締め切りを守る。
(3) 毎回、積極的に参加する。
(4)PC ルームの収容人数を超えて履修希望者がいた場合は抽選とするので必ず第 1 回は出席する。

▌評価基準・方法

課題提出 50%、発表 30%、テスト 20%で評価する。

▌フィードバック方法

フィードバックは学修支援システム manaba および対面授業を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （数回、発表がある。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （毎回の授業で PC を利用する。manaba も使用する。）

▌教科書

毎回、資料を配布する。

▌参考書

授業の際に随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、事前テスト** 授業内容：コースの概要と目的、学習の進め方、評価、最終到達点を理解する。そのうえで、パソコンスキルのテストに取り組み、不足している基礎知識に気づく。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
2回	**授業テーマ：Excel の基本操作** 授業内容：Excel の基本操作を復習する。ワークシートやブック、セルのデータ、テーブル、グラフなどの管理を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
3回	**授業テーマ：テキスト関数** 授業内容：文字列を結合したり特定の文字列を切り取ったりするなど文字データを処理するために用意されているテキスト関数を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
4回	**授業テーマ：言語コーパス** 授業内容：言語コーパスとはどのようなものか、どのように作られているのか、日本語研究や日本語教育研究等で使われるコーパスのタイプと特徴を学習する。また、インターネットの検索エンジンとの違いを確認する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
5回	**授業テーマ：頻度調査①類義語の分析** 授業内容：現代書き言葉均衡コーパス(BCCWJ)で類義語の頻度調査の方法を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
6回	**授業テーマ：頻度調査②表記の使い分け** 授業内容：現代書き言葉均衡コーパス(BCCWJ)で表記の使い分けについて頻度調査、メディアジャンル別、期間別の調査方法を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
7回	**授業テーマ：頻度調査③コロケーション** 授業内容：NINJAL-LWP for BCCWJ を使ってコロケーション調査の方法を学習する。動詞、名詞、形容詞、副詞のコロケーション、文法的振る舞いを調査し、特徴を探る。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
8回	**授業テーマ：データ収集** 授業内容：第 5 回、第 6 回、第 7 回で学習した調査方法を使って、データを収集し整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
9回	**授業テーマ：発表資料作り** 授業内容：クラスメートに向けてわかりやすく発表できるよう、発表資料を作成する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
10回	**授業テーマ：発表と他者評価** 授業内容：クラスメートの前で発表して、互いに評価を行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

11回	**授業テーマ：形態素解析** 授業内容：オンラインツールを使って形態素解析の方法を学習し、表計算ソフトを使ってデータを整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
12回	**授業テーマ：形態素解析データの整理と分析** 授業内容：第 10 回で学習した形態素解析を使って、データを収集し整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
13回	**授業テーマ：レポート作成** 授業内容：第 12 回で整理した形態素解析データをレポートにまとめる。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
14回	**授業テーマ：レポートの他者評価** 授業内容：第 13 回で作成したレポートをクラスメートに読んでもらい他者評価を行う。その後、よりわかりやすいレポートに修正する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
15回	**授業テーマ：まとめとフィードバック** 授業内容：これまで学習してきたことを振り返り、知識やスキルが身に付いているかどうか確認する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

日本文学概論

開講学科等：日　｜　2 年次　｜　2 単位　｜　開講期：後

柳井　まどか（やない　まどか）

▌授業の概要

日本の上古から近代まで、それぞれの時代を代表する文学作品を取り上げ、読解していく。
各時代の諸相に目を配りつつ、そこから生み出された文学作品の特徴を理解し、日本文学の大きな流れについて考察する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ①、GSM J ①/J ②/J ③）

一般目標：1 上古から近代に至る日本文学の基本的な流れを理解する。
　　2 各時代の主要作品の特徴を把握し、時代や社会との関わりを理解する。
個別目標：(1) 上古から近代まで、基本的な日本文学の流れや、主要作品と作家について説明できる。
　　(2) 主要作品の内容を正確に読み取り、表現の特徴を説明できる。
　　(3) 文学作品を通して、時代や社会に関わるテーマを主体的に発見し、意見を形成することができる。

▌履修条件

この授業では日本の古典文学から近代文学までを広く扱うため、毎回指示された古文のテキスト（現代語訳付き）や、明治の漢文訓読体、擬古文体テキスト（現代語訳なし）を読む必要がある。また記述課題も多い。それらの文章を積極的に読み、課題を提出する意欲があることを履修条件とする。

▌評価基準・方法

提出課題 60 %、レポート 20 %、授業への参加姿勢等 20 %により、総合的に評価する。
なお、5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （各回の授業内容に関して予め課題に取り組み、主体的に日本文学に関する興味関心の幅を広げていく。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （必要に応じて PC を利用し、参考資料の確認や記述を行う。）

▌教科書

使用しない。必要に応じてプリントを配布し、「青空文庫」のテキストを指示する。

▌参考書

必要に応じて、授業中に紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス・日本文学入門：日本の歴史と文学** 授業内容：8 世紀から 20 世紀までの日本史と日本文学の大まかな流れを確認する。資料を参照しながら、日本の文化が近隣諸国からどのような影響を受けながら展開していったのかを把握し、各時代の大まかな特徴と主要作品を確認する。また『古事記』と『日本書紀』の二つの歴史書の特徴を理解する。 事前学修 2.0hr：講義概要を読み、日本文学の大まかな流れを確認しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容をまとめ、配布資料を読む。
2 回	**授業テーマ：上古の日本文学：『万葉集』の歌人と表現** 授業内容：口承文学の誕生から平安京遷都までの、上代の日本文学について学ぶ。漢字の伝来と万葉仮名という表記法、上代の日本語の特徴について理解し、日本最古の和歌集である『万葉集』の歌人と表現について学修する。 事前学修 2.0hr：配布プリントを読み、上古の日本文学の概略を確認しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、『万葉集』や当時の日本語の特徴についてまとめる。
3 回	**授業テーマ：中古の日本文学(1)：仮名文字の登場と平安時代の日記文学** 授業内容：平安時代の社会と文化の特徴と、平安文学の流れを確認する。仮名文字の普及から和歌が発達し、仮名散文が多様な形で展開するようになった流れを理解し、特に日記文学の特徴について学修する。 事前学修 2.0hr：配布プリントを読み、平安時代の日記や随筆の概略を確認しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、仮名文字の史的意義や平安時代の日記の特徴についてまとめる。
4 回	**授業テーマ：中古の日本文学(2)：平安時代の随筆―『枕草子』の表現と美意識―** 授業内容：仮名散文の展開について復習した後、「日記」の枠を越え、自身の鋭利で繊細な感覚を自由に発揮し、文章として綴った清少納言の随筆『枕草子』を学修する。作品の時代背景や、内容と構成を確認した後、特徴的な章段を読解する。 事前学修 2.0hr：配布プリントを読み、平安時代の随筆について、概略を確認しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、随筆『枕草子』の美意識・史的意義についてまとめる。
5 回	**授業テーマ：中古の日本文学(3)：平安時代の物語文学①－『竹取物語』の女性像－** 授業内容：平安時代の物語文学の流れを確認した後、現存最古の物語である『竹取物語』を読解する。空想的な世界の中に人間世界の実相を鮮やかに捉えて描いた物語を楽しむとともに、「かぐや姫」の女性像について考察する。 事前学修 2.0hr：配布プリントを読み、平安時代の物語文学の流れについて、概略を確認しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、平安時代の物語文学の流れを復習するとともに、『竹取物語』の特徴・史的意義についてまとめる。
6 回	**授業テーマ：中古の日本文学(4)：平安時代の物語文学②―王朝文化と『源氏物語』―** 授業内容：日本古典文学の最高峰に位置づけられる名作『源氏物語』の概略を学修し、一部分を読解する。雄大な構想と変化に富む内容を確認し、個性豊かな登場人物の描かれ方を味わうとともに、この作品が後世に与えた影響についても考察する。 事前学修 2.0hr：配布プリントを読み、『源氏物語』の大まかな内容と構成を確認しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、『源氏物語』の内容を確認するとともに、その背景や史的意義についてまとめる。
7 回	**授業テーマ：中世の日本文学(1)：軍記物語と歴史物語―『平家物語』の表現と人間群像①―** 授業内容：日本中世の社会と文学の流れを確認した後、軍記物語と歴史物語について学修する。軍記物語の最高傑作である『平家物語』の内容や構成、表現の特徴を確認し、物語冒頭と「木曾の最期」の一部分を読解する。 事前学修 2.0hr：配布プリントを読み、中世軍記物語と歴史物語の流れについて、概略を確認しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、軍記物語・歴史物語の流れを復習するとともに、『平家物語』の表現の特徴についてまとめる。
8 回	**授業テーマ：中世の日本文学(2)：軍記物語と歴史物語－『平家物語』の表現と人間群像②－** 授業内容：前回授業に続き、『平家物語』の特徴的な章段を読解する。「壇ノ浦の戦い」を通読し、躍動感に満ちたか合戦場面や、滅亡を前に繰り広げられる人々のドラマを味わうとともに、平安文学の表現とは異なる文章のリズムや特徴を再確認する。 事前学修 2.0hr：配布プリントを読み、『平家物語』の表現と描写に関する課題について考えておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、『平家物語』で表現された印象的な人間像について考える。

9回	**授業テーマ：中世の日本文学(3)：『徒然草』と隠者文学** 授業内容：中世の隠者文学について、時代背景や特徴を確認した後、隠者文学を代表する『徒然草』の一部分を読解する。「和漢混淆文」の特徴を理解し、作者の教養と多面的な観察眼、深い人間理解に支えられた各章段の文章を味わう。 事前学修 2.0hr：配布プリントを読み、『徒然草』の文体の特徴について考えておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、『徒然草』の内容を確認し、その特徴や史的意義についてまとめる。
10回	**授業テーマ：近世の日本文学：江戸時代の社会と文学―井原西鶴の浮世草子―** 授業内容：日本江戸期の社会と文化の概略を理解した上で、井原西鶴の『好色五人女』「八百屋お七」を読解する。前期・後期それぞれの江戸文学の特徴を確認し、文学の大衆化が進む中で展開された作品の文体的特徴や、内容について考察する。 事前学修 2.0hr：配布プリントを読み、江戸時代の前期と後期の文化の特徴について、大まかに把握しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、取り上げた作品の文章の特徴についてまとめる。
11回	**授業テーマ：近代の日本文学(1)：近代文学の出発－移行期の文学と『小説神髄』の意義－** 授業内容：日本の近世から近代への移行期について確認し、近代文学の大まかな流れを理解する。その上で、近代小説の向かうべき方向を明らかにした最初の小説論である坪内逍遥の『小説神髄』の一部分を読解し、その主張と意義について考察する。 事前学修 2.0hr：配布したプリントを通読し、分からない漢字や語句を調べる。また、近代文学の大まかな流れを確認しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、近代文学の流れを再確認し、『小説神髄』の史的意義をまとめる。
12回	**授業テーマ：近代の日本文学(2)：二葉亭四迷と言文一致** 授業内容：日本近代小説の最初の作品とされる二葉亭四迷の『浮雲』の一部分を読解する。その画期的な口語文体を確認し、登場人物の心情と行動の緻密な描写を行うことで、新しい明治の小説を目指そうとした作品の特徴について考える。 事前学修 2.0hr：配布したテキストを通読し、分からない漢字や語句を調べる。また、言文一致について大まかに把握しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、『浮雲』の文体的特徴と史的意義についてまとめる。
13回	**授業テーマ：近代の日本文学(3)：明治 20 年代と樋口一葉** 授業内容：明治 20 年代から 30 年代の日本文学の状況を確認し、尾崎紅葉・幸田露伴の作品の特徴、雑誌「文学界」と浪漫主義について学修する。その上で、日本で最初の女性職業作家といえる樋口一葉とその作品について理解を深める。 事前学修 2.0hr：配布したテキストを通読し、分からない漢字や語句を調べる。また、明治 20 年代の文化・文学状況を再確認しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、明治 20 年～30 年代の文学作品の表現の特徴を整理するとともに、樋口一葉の『たけくらべ』に関する課題に取り組む。
14回	**授業テーマ：近代の日本文学(5)：樋口一葉『たけくらべ』の世界** 授業内容：樋口一葉の文学活動について振り返った後、代表作『たけくらべ』を読解する。作品の精読を通して、登場人物像を把握した後、明治社会における女性について考える。 事前学修 2.0hr：配布したテキストを通読し、分からない漢字や語句を調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、樋口一葉作品の史的意義や、『たけくらべ』の表現の特徴、人物像やテーマについて考える。
15回	**授業テーマ：近代の日本文学(5)：自然主義文学と、森鷗外・夏目漱石** 授業内容：日露戦争後に登場した、自然主義文学の特徴と意義について確認し、島崎藤村と田山花袋の作品の一部分を読解する。また、同時期に独自の文学活動を展開し、近代文学史上大きな役割を果たした森鷗外・夏目漱石という二人の文豪の文学活動についても確認し、その意義を学修する。 事前学修 2.0hr：配布プリントを読み、明治末期の文学状況の概略を把握しておく。また、テキストについて、分からない漢字や語句を調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、自然主義文学の表現の特徴や意義についてまとめる。

日本文学史

開講学科等：日　｜　3 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前/後

長谷川　哲夫 (はせがわ　てつお)

▌授業の概要

『万葉集』や『源氏物語』『徒然草』など日本の代表的な古典文学作品を読むことにより、古代(奈良時代以前)から近世(江戸時代)までの文学の歴史を概観する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ①、GSM J ①/J ②/J ③）

一般目標：日本文学の大まかな流れを理解する。作者名や作品名をただ暗記するというのではなく、実際に作品を読むことで、その作品の実態を具体的に知り、作者の世界観や表現力、さらにはその作品が生まれた社会背景などにまで理解を広げていく。

個別目標：代表的な日本の古典文学作品について基本的な知識を身につけることができる。また、それぞれの作品の特徴が理解でき、自分の言葉でそれを説明できる。授業で取り扱わなかった作品にも興味を持ち、学ぶ力を養うことができる。時代によって変わるものと変わらないものがあることを知り、過去の人々と現在の自分とのつながりを知ることができる。

▌履修条件

特になし。

▌評価基準・方法

小テストと課題 50 %、期末試験 50 %の割合で評価する。なお、原則 5 分の 4 以上の出席を前提とする。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。小テストについては、答案の返還によって行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

秋山虔・桑名靖治・鈴木日出男編『日本古典読本』(筑摩書房)

▌参考書

適宜紹介していく。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：授業の概要を知る。日本の歴史区分と文学史を重ねて、それらがどのように対応するかを理解する。 事前学修 2.0hr：教科書を入手して目を通す。 事後学修 2.0hr：授業で解説した内容を教科書を読んで確認する。
2回	**授業テーマ：古代前期の文学(１)万葉集** 授業内容：『万葉集』の成立時期、規模、内容、表記、修辞表現、歌風などを知る。 事前学修 2.0hr：教科書の万葉集の解説を読み、わからない箇所をチェックする。また、歌を一通り読んで、わからない語句をチェックする。 事後学修 2.0hr：授業の内容を復習するとともに、事前にチェックした不明な点が解決したかを確認する。
3回	**授業テーマ：古代前期の文学(２)古事記** 授業内容：『古事記』の成立時期や、特にその神話が作られた背景などを知る。 事前学修 2.0hr：教科書の古事記の解説を読み、わからない箇所をチェックする。また、本文を一通り読んで、わからない語句をチェックする。 事後学修 2.0hr：授業の内容を復習するとともに、事前にチェックした不明な点が解決したかを確認する。
4回	**授業テーマ：古代後期の文学(１)古今和歌集** 授業内容：『古今和歌集』の成立時期や背景を知る。そして、その文学史的意義を理解する。和歌の内容、修辞表現、歌風などを理解する。 事前学修 2.0hr：教科書の古今和歌集の解説を読み、わからない箇所をチェックする。また、歌を一通り読んで、わからない語句をチェックする。 事後学修 2.0hr：授業の内容を復習するとともに、事前にチェックした不明な点が解決したかを確認する。
5回	**授業テーマ：古代後期の文学(２)竹取物語** 授業内容：『竹取物語』の成立時期や内容を理解する。『竹取物語』の後世への影響を知る。 事前学修 2.0hr：教科書の竹取物語の解説を読み、わからない箇所をチェックする。また、本文を一通り読んで、わからない語句をチェックする。 事後学修 2.0hr：授業の内容を復習するとともに、事前にチェックした不明な点が解決したかを確認する。
6回	**授業テーマ：古代後期の文学(３)伊勢物語** 授業内容：『伊勢物語』を通じて、和歌と物語の関係を理解し、文学史的意義を理解する。 事前学修 2.0hr：教科書の伊勢物語の解説を読み、わからない箇所をチェックする。また、本文を一通り読んで、わからない語句をチェックする。 事後学修 2.0hr：授業の内容を復習するとともに、事前にチェックした不明な点が解決したかを確認する。
7回	**授業テーマ：古代後期の文学(４)源氏物語** 授業内容：『源氏物語』の成立や社会的背景について理解する。物語の内容を概観する。作者の紫式部について知る。後世に及ぼした影響についても考えてみる。 事前学修 2.0hr：教科書の源氏物語の解説を読み、わからない箇所をチェックする。また、本文を一通り読んで、わからない語句をチェックする。 事後学修 2.0hr：授業の内容を復習するとともに、事前にチェックした不明な点が解決したかを確認する。
8回	**授業テーマ：古代後期の文学(５)枕草子** 授業内容：『枕草子』の成立や社会的背景について理解する。作者の清少納言についても知る。 事前学修 2.0hr：教科書の枕草子の解説を読み、わからない箇所をチェックする。また、本文を一通り読んで、わからない語句をチェックする。 事後学修 2.0hr：授業の内容を復習するとともに、事前にチェックした不明な点が解決したかを確認する。
9回	**授業テーマ：中世の文学(１)新古今和歌集** 授業内容：『新古今和歌集』の成立時期について、社会的背景も含めて知る。表現技法や歌風についても理解する。 事前学修 2.0hr：教科書の新古今和歌集の解説を読み、わからない箇所をチェックする。また、歌を一通り読んで、わからない語句をチェックする。 事後学修 2.0hr：授業の内容を復習するとともに、事前にチェックした不明な点が解決したかを確認する。
10回	**授業テーマ：中世の文学(２)宇治拾遺物語・十訓抄** 授業内容：説話文学の中から、『宇治拾遺物語』と『十訓抄』を取り上げ、説話文学の魅力に触れる。 事前学修 2.0hr：教科書の宇治拾遺物語・十訓抄の解説を読み、わからない箇所をチェックする。本文を読んで、わからない語句をチェックする。 事後学修 2.0hr：授業の内容を復習するとともに、事前にチェックした不明な点が解決したかを確認する。
11回	**授業テーマ：中世の文学(３)平家物語** 授業内容：『平家物語』を取り上げ、中世文学の中心をなす思想である「無常」の概念を理解する。 事前学修 2.0hr：教科書の平家物語の解説を読み、わからない箇所をチェックする。また、本文を一通り読んで、わからない語句をチェックする。 事後学修 2.0hr：授業の内容を復習するとともに、事前にチェックした不明な点が解決したかを確認する。

12回	**授業テーマ：中世の文学(４)徒然草** 授業内容：『徒然草』を取り上げ、作者兼好の考え方、価値観、美意識などを理解する。 事前学修 2.0hr：教科書の徒然草の解説を読み、わからない箇所をチェックする。また、本文を一通り読んで、わからない語句をチェックする。 事後学修 2.0hr：授業の内容を復習するとともに、事前にチェックした不明な点が解決したかを確認する。
13回	**授業テーマ：近世の文学(１)俳諧(芭蕉・蕪村・一茶)・奥の細道** 授業内容：中世の連歌から近世の俳諧へという流れを理解し、俳諧のもつ魅力を理解する。 事前学修 2.0hr：教科書の俳諧の解説を読み、わからない箇所をチェックする。また、本文を一通り読んで、わからない語句をチェックする。 事後学修 2.0hr：授業の内容を復習するとともに、事前にチェックした不明な点が解決したかを確認する。
14回	**授業テーマ：近世の文学(２)雨月物語** 授業内容：近世の小説を知る。西鶴・近松・秋成・馬琴を取り上げる。作品としては、秋成の『雨月物語』を読み、その文章に親しむ。 事前学修 2.0hr：教科書の雨月物語の解説を読み、わからない箇所をチェックする。また、本文を一通り読んで、わからない語句をチェックする。 事後学修 2.0hr：授業の内容を復習するとともに、事前にチェックした不明な点が解決したかを確認する。
15回	**授業テーマ：日本文学史のまとめ** 授業内容：授業で取り上げた文学作品を振り返り、それらを文学史の大きな流れの中に位置づける。 事前学修 2.0hr：教科書の巻末の年表を見て、授業でこれまで取り上げてきた作品がいつごろ書かれたのかをあらためて確認する。 事後学修 2.0hr：授業で取り上げた作品の周辺には、どのような作品があるのか、などの確認をする。

近現代文学

開講学科等：日　｜　3 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前

柳井　まどか（やない　まどか）

▌授業の概要

日本の近代・現代文学を代表する、様々な小説家の短編小説を、読解・鑑賞する。
それぞれの作品の構成や言葉の働きが見えてくるような精読を目指し、小説の面白さを発見すると同時に、教室での意見交換を通して、主体的な読みを確立していく姿勢を身につける。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ①、GSM J ①/J ②/J ③）

一般目標：1 基本的な近現代文学の流れを理解する。
　　2 小説を主体的に読解する力を身につけ、近代日本の社会や文化、思想との関係を理解する。
個別目標：(1) 基本的な近現代文学の流れや、主要な作家とその作品について説明できる。
　　(2) 小説の構成を理解し、内容を正確に読み取ることができる。
　　(3) 小説を主体的に読解し、人間の心のあり方や社会との関わりについて考察することができる。

▌履修条件

授業では、明治期以降の短編～中編小説を読解する。予習として毎回指示された小説作品を読む必要があり、記述課題も多い。したがって、積極的に小説作品を読み、課題に取り組む意欲があることを履修条件とする。

▌評価基準・方法

授業課題 60 %、レポート 20 %、授業内における参加姿勢及び発言等 20 %により総合的に評価する。
なお、5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （授業で取り上げる作品について、予め各自の考えを記述し意見交換を行う。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

使用しない。毎回、翌週扱う作品のプリントを配布するか、「青空文庫」のテキストを指示する。

▌参考書

必要に応じて、授業中に紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス・近代文学入門　里見弴『椿』：小説を読むということ** 授業内容：「近現代文学」の授業概要を説明し、日本の近代文学の大まかな流れについて確認する。その後、里見弴の『椿』や参考資料を読解し、小説作品の文体について考えていく。 事前学修 2.0hr：講義概要を読み、近代文学の大まかな流れを確認しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容をまとめ、配布資料を読む。
2 回	**授業テーマ：夏目漱石『夢十夜』(1)：「第一夜」読解　漱石の初期作品における表現①** 授業内容：夏目漱石の文学活動について確認した上で、『夢十夜』の第一夜を読解する。漱石の初期作品の表現の特徴を確認するとともに、作品のテーマについて考える。 事前学修 2.0hr：テキストを通読し、分からない漢字や語句を調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、漱石の表現の特徴やテーマについてまとめる。
3 回	**授業テーマ：夏目漱石『夢十夜』(2)：「第三夜」読解　漱石の初期作品における表現②** 授業内容：『夢十夜』の「第三夜」を読解する。「第一夜」や他の作品とも比較検討しながら、表現の特徴を再確認するとともに、漱石の文学活動の意義についてまとめる。 事前学修 2.0hr：テキストを通読し、分からない漢字や語句を調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、「第一夜」「第三夜」をはじめとする『夢十夜』の表現の特徴やテーマについて考えをまとめる。
4 回	**授業テーマ：田山花袋『少女病』：明治末の時代状況と自然主義文学** 授業内容：明治 40 年代の文学状況を確認し、自然主義文学について理解する。その上で田山花袋の『少女病』を読解し、表現の特徴と登場人物像やテーマについて考える。 事前学修 2.0hr：テキストを通読し、分からない漢字や語句を調べる。文章表現の特徴について、気づいた点をまとめておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、自然主義文学の表現の特徴とその意義についてまとめる。
5 回	**授業テーマ：谷崎潤一郎『刺青』：耽美派の特色** 授業内容：自然主義文学とは対照的な、耽美派について確認し、谷崎潤一郎の『刺青』を読解する。写実より虚構の美的世界を追求した谷崎作品を味わい、その表現の特徴とテーマについて考える。 事前学修 2.0hr：テキストを通読し、分からない漢字や語句を調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、谷崎作品の表現の特徴についてまとめるとともに、自然主義文学との関連を考察する。
6 回	**授業テーマ：志賀直哉『范の犯罪』：大正期の文学と白樺派の特色** 授業内容：大正期の文学状況と白樺派の特色を理解した上で、志賀直哉の『范の犯罪』を読解する。志賀直哉の文体的特徴を確認し、登場人物像やテーマについて考える。 事前学修 2.0hr：テキストを通読し、分からない漢字や語句を調べる。大正時代の文学状況について大まかな流れを確認しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、大正文学の展開と、白樺派の意義や志賀作品の特徴についてまとめる。
7 回	**授業テーマ：芥川龍之介『藪の中』(1)：新思潮派と芥川龍之介の文学** 授業内容：新思潮派と芥川龍之介の主要作品や古典文学との関連について理解した上で、『藪の中』前半を読解する。文体的特徴や緻密な構成を確認する。 事前学修 2.0hr：テキストを通読し、分からない漢字や語句を調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、芥川龍之介の文学活動についてまとめる。また『藪の中』に関する授業課題に取り組む。
8 回	**授業テーマ：芥川龍之介『藪の中』(2)：芥川の作品構成と表現** 授業内容：芥川龍之介『藪の中』を再読し、作品構成と表現について確認した上で、登場人物像やテーマについて考える。また、志賀直哉の作品との比較検討を行う。 事前学修 2.0hr：テキストを通読し、分からない漢字や語句を調べる。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、芥川作品の構成と表現の特徴についてまとめる。

9回	**授業テーマ：江戸川乱歩『押絵と旅する男』(1)：幻想文学入門** 授業内容：幻想文学の特徴を理解し、大正末から昭和期にかけて活躍した江戸川乱歩の文学活動について確認する。その後、『押絵と旅する男』の前半を読解する。 事前学修 2.0hr：テキストを再読し、分からない漢字や語句を調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、幻想文学の特徴と乱歩作品の関連性についてまとめる。
10回	**授業テーマ：江戸川乱歩『押絵と旅する男』(2)：大正末～昭和初期の社会と乱歩の世界** 授業内容：『押絵と旅する男』全体を通読し、作品の構造と色彩表現や登場人物像について確認する。大正末から昭和にかけての社会や文学状況を理解した上で、作品との関連を考える。 事前学修 2.0hr：テキストを通読し、文章表現の特徴について気付いた点をまとめておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、大正末から昭和にかけての社会が反映された乱歩作品の特徴についてまとめる。
11回	**授業テーマ：宮澤賢治『注文の多い料理店』：童話の多様な読解の可能性と表現** 授業内容：日本を代表する童話作家・詩人の一人である宮澤賢治の『注文の多い料理店』を読解する。宮澤賢治の文学活動や世界観について確認した後、言葉の謎を組み込んだ作品を精読し、テーマについて考える。 事前学修 2.0hr：テキストを通読し、分からない漢字や語句を調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、自分なりの作品解釈に取り組むとともに、宮澤賢治の他作品を読んで比較してみる。
12回	**授業テーマ：中島敦『悟浄歎異』：昭和十年代の文学と「自意識」について** 授業内容：第二次大戦期に登場し、短い活動期間で去った中島敦の「悟浄歎異」を読解する。昭和十年代の閉塞的な文学状況の中で掘り下げられた作品のテーマについて考え、特徴的な文章表現について確認する。 事前学修 2.0hr：テキストを通読し、分からない漢字や語句を調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、文章表現の特徴についてまとめる。作品のテーマについて自分なりの考えをまとめる。
13回	**授業テーマ：三島由紀夫『海と夕焼』：三島と昭和という時代** 授業内容：第二次大戦後に活躍した三島由紀夫の文学活動を確認した上で、『海と夕焼』を読解する。作品のテーマについて考え、時代と作家の関わりについて学修する。 事前学修 2.0hr：テキストを通読し、分からない漢字や語句を調べる。また、昭和の歴史について確認しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、作品のテーマと「戦後」という時代の関連性について、自分なりの考えをまとめる。
14回	**授業テーマ：安部公房『赤い繭』：安部公房の思想と特徴的な作品世界** 授業内容：第二次大戦後、前衛的・実験的な力作を次々に発表した安部公房の文学活動を確認し、『赤い繭』を読解する。文章表現と特徴的な作品世界を味わい、作品のテーマについて考える。 事前学修 2.0hr：テキストを通読し、分からない漢字や語句を調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、作品の文章表現や世界観の特徴をまとめる。
15回	**授業テーマ：大江健三郎『不意の唖』：大江作品の特色と新たな時代** 授業内容：昭和 30 年代後半から新しい文学世代の旗手として登場した大江健三郎の文学活動を確認し、『不意の唖』を読解する。他作家の文体と比較しながら大江作品の文章の特徴を理解し、作品のテーマについて考える。 事前学修 2.0hr：テキストを通読し、分からない漢字や語句を調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、大江作品の文章表現やテーマについてまとめる。

古典概説

開講学科等：日　｜　3 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前

長谷川　哲夫（はせがわ　てつお）

▌授業の概要

もっとも親しまれている古典の一つである『百人一首』を取り上げて読んでいく。古典についての理解を深めることを目的とする。正月のカルタ取りでなじみ深い『百人一首』ではあるが、この作品を取り上げる理由は、単になじみ深いということだけではない。和歌という形式の文学が、日本の古典文学の核をなしており、その和歌の粋を集めたものが『百人一首』だからである。すなわち、『百人一首』を読めば古典文学の一番重要なところが見えてくるということである。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ①）

一般目標：『百人一首』の和歌の内容を知る。作者のエピソードから当時の社会や人々の生活を知り、その中で人々がどのように感じ、また考えていたのかを知る。そして、現代に生きる我々との相違点や共通点を認識し、昔の人々とのつながりを認識する。和歌の解釈を通じて、様々な視点から物を考えることの重要性を知る。

個別目標：『百人一首』および日本の古典文学の基礎的な知識を得ることができる。昔の人々の言葉による表現の豊かさを知ることができる。現在の自分の考え方や物の見方が絶対的なものではないことが理解できる。

▌履修条件

特になし。

▌評価基準・方法

小テストと課題 50 %と期末試験 50 %の結果により評価する。なお、5 分の 4 以上の出席を前提とする。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。小テストは、答案の返還によって行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

有吉保ほか『百人一首（兼載筆）』新典社 影印校注古典叢書 2

▌参考書

長谷川哲夫『百人一首私注』（風間書房）。その他、適宜紹介していく。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：授業内容の概要。『百人一首』についての概説。 事前学修 2.0hr：講義概要とテキストの解題をよく読む。自分で分からない点をチェックし、テキストに傍線を引く。 事後学修 2.0hr：各自で課題を考え、調査を進め、ノートにまとめる。
2 回	**授業テーマ：奈良時代以前の和歌（1）** 授業内容：天智天皇・持統天皇の歌を取り上げ、作者や歌の内容について解説する。 事前学修 2.0hr：1 番・2 番の歌の作者・出典・参考の項を読み、分からない点をチェックし、その箇所に傍線を引く。 事後学修 2.0hr：板書ノートやプリントをもう一度読みなおして、重要な箇所に印を付ける。各自の課題の調査とノート整理。
3 回	**授業テーマ：奈良時代以前の和歌（2）** 授業内容：人麿・赤人・猿丸大夫の歌を取り上げ、作者や歌の内容について解説する。 事前学修 2.0hr：3 番・4 番・5 番の歌の作者・出典・参考の項を読み、分からない点をチェックし、その箇所に傍線を引く。 事後学修 2.0hr：板書ノートやプリントをもう一度読みなおして、重要な箇所に印を付ける。各自の課題の調査とノート整理。
4 回	**授業テーマ：奈良時代の和歌** 授業内容：家持・仲麿の歌を取り上げ、作者や歌の内容について解説する。 事前学修 2.0hr：6 番・7 番の歌の作者・出典・参考の項を読み、分からない点をチェックし、その箇所に傍線を引く。 事後学修 2.0hr：板書ノートやプリントをもう一度読みなおして、重要な箇所に印を付ける。各自の課題の調査とノート整理。
5 回	**授業テーマ：平安時代の和歌（1）** 授業内容：喜撰・小野小町・蝉丸の歌を取り上げ、作者や歌の内容について解説する。 事前学修 2.0hr：8 番・9 番・10 番の歌の作者・出典・参考の項を読み、分からない点をチェック、その箇所に傍線を引く。 事後学修 2.0hr：板書ノートやプリントをもう一度読みなおして、重要な箇所に印を付ける。各自の課題の調査とノート整理。
6 回	**授業テーマ：平安時代の和歌（2）** 授業内容：篁・遍昭の歌を取り上げ、作者や歌の内容について解説する。 事前学修 2.0hr：11 番・12 番の歌の作者・出典・参考の項を読み、分からない点をチェックし、その箇所に傍線を引く。 事後学修 2.0hr：板書ノートやプリントをもう一度読みなおして、重要な箇所に印を付ける。各自の課題の調査とノート整理。
7 回	**授業テーマ：平安時代の和歌（3）** 授業内容：陽成院・河原左大臣・光孝天皇の歌を取り上げ、作者や歌の内容について解説する。 事前学修 2.0hr：13 番・14 番・15 番の歌の作者・出典・参考の項を読み、分からない点をチェックし、その箇所に傍線を引く。 事後学修 2.0hr：板書ノートやプリントをもう一度読みなおして、重要な箇所に印を付ける。各自の課題の調査とノート整理。
8 回	**授業テーマ：平安時代の和歌（4）** 授業内容：行平・業平・敏行の歌を取り上げ、作者や歌の内容について解説する。 事前学修 2.0hr：16 番・17 番・18 番の歌の作者・出典・参考の項を読み、分からない点をチェックし、その箇所に傍線を引く。 事後学修 2.0hr：板書ノートやプリントをもう一度読みなおして、重要な箇所に印を付ける。各自の課題の調査とノート整理。
9 回	**授業テーマ：平安時代の和歌（5）** 授業内容：伊勢・元良親王・素性の歌を取り上げ、作者や歌の内容について解説する。 事前学修 2.0hr：19 番・20 番・21 番の歌の作者・出典・参考の項を読み、分からない点をチェックし、その箇所に傍線を引く。 事後学修 2.0hr：板書ノートやプリントをもう一度読みなおして、重要な箇所に印を付ける。各自の課題の調査とノート整理。
10 回	**授業テーマ：平安時代の和歌（6）** 授業内容：康秀・千里・菅家の歌を取り上げ、作者や歌の内容について解説する。 事前学修 2.0hr：22 番・23 番・24 番の歌の作者・出典・参考の項を読み、分からない点をチェックし、その箇所に傍線を引く。 事後学修 2.0hr：板書ノートやプリントをもう一度読みなおして、重要な箇所に印を付ける。各自の課題の調査とノート整理。
11 回	**授業テーマ：平安時代の和歌（7）** 授業内容：三条右大臣・貞信公・兼輔の歌を取り上げ、作者や歌の内容について解説する。 事前学修 2.0hr：25 番・26 番・27 番の歌の作者・出典・参考の項を読み、分からない点をチェックし、その箇所に傍線を引く。 事後学修 2.0hr：板書ノートやプリントをもう一度読みなおして、重要な箇所に印を付ける。各自の課題の調査とノート整理。

12回	**授業テーマ：平安時代の和歌(8)** 授業内容：宗于・躬恒・忠岑の歌を取り上げ、作者や歌の内容について解説する。 事前学修 2.0hr：28 番・29 番・30 番の歌の作者・出典・参考の項を読み、分からない点をチェックし、その箇所に傍線を引く。 事後学修 2.0hr：板書ノートやプリントをもう一度読みなおして、重要な箇所に印を付ける。各自の課題の調査とノート整理。
13回	**授業テーマ：平安時代の和歌(9)** 授業内容：是則・列樹・友則の歌を取り上げ、作者や歌の内容について解説する。 事前学修 2.0hr：31 番・32 番・33 番の歌の作者・出典・参考の項を読み、分からない点をチェックし、その箇所に傍線を引く。 事後学修 2.0hr：板書ノートやプリントをもう一度読みなおして、重要な箇所に印を付ける。各自の課題の調査とノート整理。
14回	**授業テーマ：平安時代の和歌(10)** 授業内容：興風・貫之・深養父の歌を取り上げ、作者や歌の内容について解説する。 事前学修 2.0hr：34 番・35 番・36 番の歌の作者・出典・参考の項を読み、分からない点をチェックし、その箇所に傍線を引く。 事後学修 2.0hr：板書ノートやプリントをもう一度読みなおして、重要な箇所に印を付ける。各自の課題の調査とノート整理。
15回	**授業テーマ：『百人一首』についてのまとめ** 授業内容：これまで取り上げてきた和歌の特徴をまとめ、撰者の藤原定家の美意識を探る。それと同時に、長い年月を経てもその魅力を失わない理由を掘り下げて考えてみる。 事前学修 2.0hr：これまでの授業内容の不明な点をまとめ、ノートに箇条書きに書き出しておく。 事後学修 3.0hr：板書内容をノートにまとめる。各自の課題内容をノートに書いてまとめる。

古典演習

開講学科等：日 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

長谷川　哲夫 (はせがわ　てつお)

▌授業の概要

日本の古典に関する知識を、自分の力で調べ、またさらに考えることで、深め、確実なものとすることを目的とする。作品は『百人一首』を取り上げる。本授業では、受講者に『百人一首』の歌や作者について詳しく調べてもらい、それを発表してもらう。自分で調査することにより、また質疑応答を通じて、作品についての理解も深まり、問題点や不明な点も見えてくる。その問題点や不明な点について、どのように対処していくかが肝腎だと考える。それを本授業で学んでほしいと思う。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ③）

一般目標：『百人一首』の和歌の内容や作者について、自分の力で調査し、整理した上で、調査結果を資料としてまとめ、それを人に伝える。

個別目標：書籍やインターネットを使いながら、課題を調査することができる。調査内容を整理してまとめることができる。その過程で問題点を見つけ、解決方法を考え、解決できる。発表資料を作成し、自分の考えを発表という形で人に伝えることができる。質問や意見に的確に対応できる。

▌履修条件

特になし。

▌評価基準・方法

発表内容（資料のまとめ方、問題点の見つけ方やそれへの対処の仕方、人に自分の考えをうまく伝えられているか、質問にうまく対応できているか等）80 %。レポート（発表後の取り組み方を中心に見る）10 %。その他、自分の発表以外での授業への取り組み方 10 %。5 分の 4 以上の出席を前提とする。

▌フィードバック方法

発表については、必ず発表後に重要なポイントを指摘する。再調査してもらう場合もある。課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （『百人一首』の和歌について調査し、まとめ、発表する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

有吉保ほか『百人一首（兼載筆）』新典社 影印校注古典叢書 2

▌参考書

長谷川哲夫『百人一首私注』（風間書房）。その他、適宜紹介していく。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

授業テーマ

『百人一首』の和歌について理解を深め、その魅力を人に伝える。

授業内容

最初に、授業の説明（評価方法・受講上の注意等）。次に、発表の分担の決定。以下、順番に発表。一回の授業で、3 人から 4 人の発表になるかと思う。活発な質疑応答を期待している。そして、その発表を踏まえた上で、最後に自分の分担箇所をレポートとしてまとめ、提出してもらう。

事前学修

調査や資料の作成は、発表時までに準備してくる。また、自分の発表以外でも積極的に授業に参加できるように、テキストや授業時に紹介する参考書をよく読んで予習する。

事後学修

授業で配布されたプリントをもう一度読み、不明な点はないかチェックする。不明な点があれば、遠慮なく、教員に質問する。一つでも分かることを増やしていくことが、内容への興味に結びつく。

漢文学概論

開講学科等：日　｜　2 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前

橘　和久（たちばな　かずひさ）

▌授業の概要

国語科教員を目指す学生を対象に、教員採用試験で出題される漢文の問題を解いたり、実際に教壇に立って漢文を教えたりするのに必要な知識を身につけることを目的とする。近年、漢文を専門とする国語科教員の数が減少傾向にあり、高校時代に漢文の授業をほとんど受けられなかった者も多くいることが予想される都合上、本講座では漢文訓読法の復習から始め、その後に漢文を読むにあたって必要な重要句法を学んでいく。

毎回の講義では、重要句法の解説をするとともに、その句法についての問題演習や読解演習を行う。更に、復習の為の小テストを課すことで、学習事項の定着を図っていく。本講義を受講する学生諸君には、講義内容の復習に十分な時間をかけてもらいたい。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ①）

一般目標：漢文の読解に必要な基礎知識を身につけるとともに、短めの漢文の文章を読解できるようになる。

個別目標：①漢文を読解する上で必要な重要句法についての知識を身につける。
②句法の知識を用いて、訓点の付された文を正確に書き下せるようになる。
③句法の知識を用いて、訓点の付された文を正確に口語訳できるようになる。
④辞書や口語訳などを参照しつつ、自力で短めの漢文の文章を読解できるようになる。

▌履修条件

特になし。

▌評価基準・方法

期末試験 70%、小テスト 20%、授業態度・参加姿勢 10%の割合で判断する。なお、5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とし、それに満たない場合は減点とする。

▌フィードバック方法

小テストのフィードバックは、manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

授業内でプリントを配布する。

▌参考書

毎回漢和辞典を持参のこと。紙の辞書であることが望ましいが、電子辞書やアプリ版のものでも構わない。インターネット上で見られる無料の辞書については、信頼性に欠ける面があるので推奨しない。また、高校時代に使っていた漢文句法の解説書がまだ家にあれば、持ってくることをお勧めする。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス（漢文訓読の方法の確認）** 授業内容：訓点に従って漢文を読み、書き下す方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業の概要を押さえておく。 事後学修 2.0hr：ガイダンスの内容を確認しておく。
2 回	**授業テーマ：再読文字** 授業内容：再読文字は特殊な読み方をするので、まずはどう読めばよいかを確認する。その上で、再読文字の書き下し及び口語訳の仕方を学び、再読文字を含む文章を読んでみる。 事前学修 2.0hr：小テストに向けた学習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習をする。
3 回	**授業テーマ：否定** 授業内容：否定を表す字や特殊な否定の表現について確認し、書き下し及び口語訳の仕方を学ぶ。その上で、否定表現を含む文章を読んでみる。 事前学修 2.0hr：小テストに向けた学習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習をする。
4 回	**授業テーマ：使役** 授業内容：使役について、その概要と書き下し及び口語訳の仕方を学ぶ。さらに、使役表現を含む文章を読んでみる。 事前学修 2.0hr：小テストに向けた学習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習をする。
5 回	**授業テーマ：受身** 授業内容：受身について、その概要と書き下し及び口語訳の仕方を学ぶ。さらに、受身表現を含む文章を読んでみる。 事前学修 2.0hr：小テストに向けた学習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習をする。
6 回	**授業テーマ：疑問①** 授業内容：疑問について、その概要と書き下し及び口語訳の仕方を学ぶ。さらに、疑問表現を含む文章を読んでみる。 事前学修 2.0hr：小テストに向けた学習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習をする。
7 回	**授業テーマ：疑問②** 授業内容：6 回では扱いきれなかった疑問の表現について、その概要と書き下し及び口語訳の仕方を学ぶ。さらに、文章を読んでみる。 事前学修 2.0hr：小テストに向けた学習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習をする。
8 回	**授業テーマ：反語①** 授業内容：反語について、その概要と書き下し及び口語訳の仕方を学ぶ。さらに、反語表現を含む文章を読んでみる。 事前学修 2.0hr：小テストに向けた学習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習をする。
9 回	**授業テーマ：反語②** 授業内容：8 回では扱いきれなかった反語の表現について、その概要と書き下し及び口語訳の仕方を学ぶ。さらに、文章を読んでみる。 事前学修 2.0hr：小テストに向けた学習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習をする。

10回	**授業テーマ：詠嘆(疑問・反語まとめ)** 授業内容：反語について、その概要と書き下し及び口語訳の仕方を学ぶ。また、疑問と反語についてもあわせて確認する。さらに、文章を読んでみる。 事前学修 2.0hr：小テストに向けた学習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習をする。
11回	**授業テーマ：その他の句法①** 授業内容：10 回までに扱いきれなかった句法について、その概要と書き下し及び口語訳の仕方を学ぶ。さらに、それらの句法を含む文章を読んでみる。 事前学修 2.0hr：小テストに向けた学習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習をする。
12回	**授業テーマ：その他の句法②** 授業内容：11 回の続き。 事前学修 2.0hr：小テストに向けた学習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習をする。
13回	**授業テーマ：句法のまとめ①** 授業内容：今まで習ってきた句法について再確認する。 事前学修 2.0hr：小テストに向けた学習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習をする。
14回	**授業テーマ：句法のまとめ②** 授業内容：今まで習ってきた句法について再確認する。 事前学修 2.0hr：小テストに向けた学習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習をする。
15回	**授業テーマ：句法のまとめ③** 授業内容：句法の総まとめを行う。 事前学修 2.0hr：小テストに向けた学習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容を総復習する。

漢文学講義

開講学科等：日　｜　2 年次　｜　2 単位　｜　開講期：後

橘　和久（たちばな　かずひさ）

▌授業の概要

国語科教員を目指す学生を対象に、教員採用試験で出題される漢文の問題を解いたり、実際に教壇に立って漢文を教えたりするのに必要な知識を身につけることを目的とする。本講座では、「漢文学概論」で扱った重要句法のより一層の定着を図るとともに、将来漢文を教える際に覚えておくと便利な知識についても適宜紹介していく。

毎回の講義では、重要句法の確認をするとともに、その句法が用いられた文章の読解を行う。更に、復習の為の小テストを課すことで、学習事項の定着を図っていく。本講義を受講する学生諸君には、講義内容の復習に十分な時間をかけてもらいたい。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ①）

一般目標：漢文の読解に必要な基礎知識を身につけるとともに、短めの漢文の文章を読解できるようになる。

個別目標：①漢文を読解する上で必要な重要句法やその他の知識を身につける。
②句法の知識を用いて、訓点の付された文を正確に書き下せるようになる。
③句法の知識を用いて、訓点の付された文を正確に口語訳できるようになる。
④辞書などを参照しつつ、自力で短めの漢文の文章を読解できるようになる。

▌履修条件

重要な句法はある程度理解していることを前提に講義をする都合上、「漢文学概論」を履修していることが望ましい。

▌評価基準・方法

期末試験 70%、小テスト 20%、授業態度・参加姿勢 10%の割合で判断する。なお、5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とし、それに満たない場合は減点とする。

▌フィードバック方法

小テストのフィードバックは、manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

授業内でプリントを配布する。

▌参考書

毎回漢和辞典を持参のこと。紙の辞書であることが望ましいが、電子辞書やアプリ版のものでも構わない。インターネット上で見られる無料の辞書については、信頼性に欠ける面があるので推奨しない。また、高校時代に使っていた漢文句法の解説書がまだ家にあれば、持ってくることをお勧めする。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：重要句法の確認①（置き字）** 授業内容：置き字の概要について確認する。また、置き字を含む文章を読む。 事前学修 2.0hr：授業の概要を押さえておく。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習をする。
2 回	**授業テーマ：重要句法の確認②（再読文字）** 授業内容：再読文字の概要について確認する。また、再読文字を含む文章を読む。 事前学修 2.0hr：小テストに向けた学習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習をする。
3 回	**授業テーマ：重要句法の確認③（部分否定）** 授業内容：部分否定の概要について確認する。また、部分否定を含む文章を読む。 事前学修 2.0hr：小テストに向けた学習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習をする。
4 回	**授業テーマ：重要句法の確認④（二重否定）** 授業内容：二重否定の概要について確認する。また、二重否定を含む文章を読む。 事前学修 2.0hr：小テストに向けた学習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習をする。
5 回	**授業テーマ：重要句法の確認⑤（疑問その 1）** 授業内容：疑問の概要について確認する。また、疑問表現を含む文章を読む。 事前学修 2.0hr：小テストに向けた学習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習をする。
6 回	**授業テーマ：重要句法の確認⑥（疑問その 2）** 授業内容：6 回で扱いきれなかった疑問表現について確認し、さらに文章を読む。 事前学修 2.0hr：小テストに向けた学習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習をする。
7 回	**授業テーマ：重要句法の確認⑦（反語その 1）** 授業内容：反語の概要について確認する。また、反語表現を含む文章を読む。 事前学修 2.0hr：小テストに向けた学習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習をする。
8 回	**授業テーマ：重要句法の確認⑧（反語その 2）** 授業内容：7 回で扱いきれなかった反語表現について確認し、さらに文章を読む。 事前学修 2.0hr：小テストに向けた学習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習をする。
9 回	**授業テーマ：重要句法の確認⑨（使役）** 授業内容：使役の概要について確認する。また、使役表現を含む文章を読む。 事前学修 2.0hr：小テストに向けた学習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習をする。
10 回	**授業テーマ：重要句法の確認⑩（受身）** 授業内容：受身の概要について確認する。また、受身表現を含む文章を読む。 事前学修 2.0hr：小テストに向けた学習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習をする。

11回	**授業テーマ：重要句法の確認⑪(仮定・比較・比況)** 授業内容：仮定・比較・比況の概要について確認する。また、それらの表現を含む文章を読む。 事前学修 2.0hr：小テストに向けた学習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習をする。
12回	**授業テーマ：重要句法の確認⑫(限定・累加・抑揚)** 授業内容：限定・累加・抑揚の概要について確認する。また、それらの表現を含む文章を読む。 事前学修 2.0hr：小テストに向けた学習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習をする。
13回	**授業テーマ：句法の知識を活かして文章を読む①** 授業内容：今まで習った句法の知識を生かして文章を読んでいく。 事前学修 2.0hr：小テストに向けた学習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習をする。
14回	**授業テーマ：句法の知識を活かして文章を読む②** 授業内容：14 回と同様、今まで習った句法の知識を生かして文章を読んでいく 事前学修 2.0hr：小テストに向けた学習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習をする。
15回	**授業テーマ：総まとめ** 授業内容：今までの学修の総復習を行う。 事前学修 2.0hr：小テストに向けた学習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容を総復習する。

漢文学演習Ⅰ

開講学科等：日　｜　3 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前

橘　和久（たちばな　かずひさ）

▌授業の概要

国語科教員を目指す学生を対象に、教員採用試験で出題される漢文の問題を解いたり、実際に教壇に立って漢文を教えたりするのに必要な知識や読解力を身につけることを目的とする。本講座では、「漢文学概論」や「漢文学講義」で扱った句法の知識を復習するとともに、教科書などによく出てくる文章や詩を読み解いていく。また、漢文を教える上で役に立つ知識についても適宜紹介する。

毎回の講義では、句法の確認をしつつ、教科書によく出てくる文章を分野ごとに読み進めていく。更に、復習の為の小テストを課すことで、学習事項の定着を図る。学生諸君には復習に十分な時間をかけてもらいたい。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ③）

一般目標：今までに学んだ句法の知識を用いて、教科書に掲載されることの多い有名な文章や詩を読み解けるようになる。

個別目標：①漢文を読解する上で必要な重要句法を復習するとともに、漢文を教える上で必要な知識を身につける。
②訓点の付された文を素早くかつ正確に書き下せるようになる。
③訓点の付された文を素早くかつ正確に口語訳できるようになる。
④辞書などを用いつつ、習った知識を活かして文章を読解することができるようになる。

▌履修条件

「漢文学概論」及び「漢文学講義」を履修済みであることが望ましい。

▌評価基準・方法

期末試験 70%、小テスト 20%、授業態度・参加姿勢 10%の割合で判断する。なお、5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とし、それに満たない場合は減点とする。

▌フィードバック方法

小テストのフィードバックは、manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

授業内でプリントを配布する。

▌参考書

毎回漢和辞典を持参のこと。紙の辞書であることが望ましいが、電子辞書やアプリ版のものでも構わない。インターネット上で見られる無料の辞書については、信頼性に欠ける面があるので推奨しない。また、高校時代に使っていた漢文句法の解説書がまだ家にあれば、持ってくることをお勧めする。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：故事成語①** 授業内容：「先ず隗より始めよ」を読解し、そこで使われている句法を確認する。 事前学修 2.0hr：授業の概要を把握しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習をする。
2回	**授業テーマ：故事成語②** 授業内容：「塞翁が馬」を読解し、そこで使われている句法を確認する。 事前学修 2.0hr：小テストに向けた学習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習をする。
3回	**授業テーマ：故事成語③** 授業内容：「鶏鳴狗盗」を読解し、そこで使われている句法を確認する。 事前学修 2.0hr：小テストに向けた学習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習をする。
4回	**授業テーマ：思想(儒家)①** 授業内容：『論語』のいくつかの箇所を読解し、そこで使われている句法を確認する。 事前学修 2.0hr：小テストに向けた学習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習をする。
5回	**授業テーマ：思想(儒家)②** 授業内容：前回同様、『論語』のいくつかの箇所を読解し、そこで使われている句法を確認する。 事前学修 2.0hr：小テストに向けた学習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習をする。
6回	**授業テーマ：思想(道家)** 授業内容：『荘子』の「尾を塗中に曳く」を読解し、そこで使われている句法を確認する。 事前学修 2.0hr：小テストに向けた学習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習をする。
7回	**授業テーマ：思想(法家)** 授業内容：『韓非子』の「侵官の害」を読解し、そこで使われている句法を確認する。 事前学修 2.0hr：小テストに向けた学習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習をする。
8回	**授業テーマ：史話・逸話①** 授業内容：『春秋左氏伝』の「病膏肓に入る」を読解し、そこで使われている句法を確認する。 事前学修 2.0hr：小テストに向けた学習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習をする。
9回	**授業テーマ：史話・逸話②** 授業内容：『先哲叢談』の一節を読解し、そこで使われている句法を確認する。 事前学修 2.0hr：小テストに向けた学習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習をする。
10回	**授業テーマ：史話・逸話③** 授業内容：『十八史略』の「死せる孔明生ける仲達を走らす」を読解し、そこで使われている句法を確認する。 事前学修 2.0hr：小テストに向けた学習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習をする。

11回	**授業テーマ：史話・逸話④** 授業内容：『後漢書』の「糟糠の妻」を読解し、そこで使われている句法を確認する。 事前学修 2.0hr：小テストに向けた学習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習をする。
12回	**授業テーマ：漢詩①** 授業内容：漢詩の概要と読み方について確認し、実際に読解する。 事前学修 2.0hr：小テストに向けた学習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習をする。
13回	**授業テーマ：漢詩②** 授業内容：12 回と同様、漢詩の概要と読み方について確認し、実際に読解する。 事前学修 2.0hr：小テストに向けた学習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習をする。
14回	**授業テーマ：中国史の概要(三国時代まで)** 授業内容：中国史の大まかな流れについて確認する。 事前学修 2.0hr：小テストに向けた学習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習をする。
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：総まとめを行う。 事前学修 2.0hr：小テストに向けた復習をする。 事後学修 2.5hr：授業内容の総復習をする。

漢文学演習Ⅱ

開講学科等：日 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

橘　和久（たちばな　かずひさ）

▌授業の概要

漢文をただ正確に訳すだけであれば、句法や漢字についての知識があれば何とかなる。しかし、国語科教員を目指す者は、より深い読解ができるようになる必要があるだろう。そして、そうなる為には、漢文についての背景知識が必要不可欠である。

本講義では漢文をより深く正確に読み解くことができるようになることを目標に、問題演習及び解説を行う。それと並行して、背景知識の確認をしていく。教材については、「漢文学演習Ⅰ」と同じように、高校の教科書などによく採用される文章を中心に扱う。最終的には、易しめのセンター試験過去問も教材にする予定である。また、適宜句法の復習を行うとともに、小テストなども課していく。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ③）

一般目標：国語科教員としてふさわしい力量をつけるために、漢文の内容を深くかつ正確に読み解くことができるようになる。

個別目標：①漢文を読解する上で必要な背景知識を身につける。
②訓点の付された文を素早くかつ正確に書き下せるようになる。 また、ヒントをもとに白文を書き下せるようになる。
③訓点の付された文を素早くかつ正確に口語訳できるようになる。 また、ヒントをもとに白文を口語訳できるようになる。
④習った知識を活かして、難しめの文章を深くかつ正確に読み解くことができるようになる。

▌履修条件

「漢文学演習Ⅰ」を履修済みであることが望ましい。

▌評価基準・方法

期末試験 70%、小テスト・授業態度・参加姿勢など 30%の割合で判断する。なお、5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とし、それに満たない場合は減点とする。

▌フィードバック方法

小テストのフィードバックは、manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

授業内でプリントを配布する。

▌参考書

毎回漢和辞典を持参のこと。紙の辞書であることが望ましいが、電子辞書やアプリ版のものでも構わない。インターネット上で見られる無料の辞書については、信頼性に欠ける面があるので推奨しない。また、高校時代に使っていた漢文句法の解説書がまだ家にあれば、持ってくることをお勧めする。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス（教員採用試験の問題を解いてみよう）** 授業内容：東京都の教員採用試験で出題された文章を読み、問題を解いてみる（なお、問題については実際の試験で出たものを一部更してある）。 事前学修 2.0hr：授業の概要を把握しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習をする。
2回	**授業テーマ：漢文読解演習①（「完璧」）** 授業内容：「完璧」という言葉のもとになった文章を読解し、そこで使われている句法を確認する。 事前学修 2.0hr：小テストに向けた学習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習をする。
3回	**授業テーマ：漢文読解演習②（「渾池之会」）** 授業内容：「渾池之会」という文章を読解し、そこで使われている句法を確認する。 事前学修 2.0hr：小テストに向けた学習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習をする。
4回	**授業テーマ：漢文読解演習③（「刎頸之交」その 1）** 授業内容：「刎頸の交わり」という言葉のもとになった文章を読解し、そこで使われている句法を確認する。 事前学修 2.0hr：小テストに向けた学習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習をする。
5回	**授業テーマ：漢文読解演習④（「刎頸之交」その 2）** 授業内容：第 4 回の続きを読み、そこで使われている句法を確認する。 事前学修 2.0hr：小テストに向けた学習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習をする。
6回	**授業テーマ：漢文読解演習⑤（「三横」その 1）** 授業内容：『世説新語』の中の「三横」という文章を読解し、そこで使われている句法を確認する。 事前学修 2.0hr：小テストに向けた学習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習をする。
7回	**授業テーマ：漢文読解演習⑥（「三横」その 2）** 授業内容：第 6 回の続きを読み、そこで使われている句法を確認する。 事前学修 2.0hr：小テストに向けた学習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習をする。
8回	**授業テーマ：漢文読解演習⑦（「不顧後患」）** 授業内容：『説苑』の中の「不顧後患」という文章を読解し、そこで使われている句法を確認する。 事前学修 2.0hr：小テストに向けた学習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習をする。
9回	**授業テーマ：漢文読解演習⑧（「賢母辞拾遺」その 1）** 授業内容：陶宗儀の「賢母辞拾遺」という文章を読解し、そこで使われている句法を確認する。 事前学修 2.0hr：小テストに向けた学習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習をする。
10回	**授業テーマ：漢文読解演習⑨（「賢母辞拾遺」その 2）** 授業内容：第 9 回の続きを読み、そこで使われている句法を確認する。 事前学修 2.0hr：小テストに向けた学習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習をする。

11回	**授業テーマ：漢文問題演習①** 授業内容：今まで学修した知識を生かして、漢文の問題を解いてみる。 事前学修 2.0hr：小テストに向けた学習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習をする。
12回	**授業テーマ：漢文問題演習②** 授業内容：今まで学修した知識を生かして、漢文の問題を解いてみる。 事前学修 2.0hr：小テストに向けた学習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習をする。
13回	**授業テーマ：漢文問題演習③** 授業内容：今まで学修した知識を生かして、漢文の問題を解いてみる。 事前学修 2.0hr：小テストに向けた学習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習をする。
14回	**授業テーマ：漢文問題演習④** 授業内容：今まで学修した知識を生かして、漢文の問題を解いてみる。 事前学修 2.0hr：小テストに向けた学習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習をする。
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：総まとめを行う。 事前学修 2.0hr：テストに向けた学習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容を総復習する。

日本語教育概論

開講学科等：日　｜　1 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前

木山　三佳（きやま　みか）

▌授業の概要

本科目は平成 31 年 3 月の日本語教育人材の養成・研修の在り方について（報告）改訂版における日本語教師【養成】における教育内容のうち、言語と教育に関わる領域の⑩言語教育法・実習の下位区分、必須の教育内容（20）日本語教師の資質・能力、（21）日本語教育プログラムの理解と実践、を含む。日本語教育の参照枠における言語教育観に基づく日本語教育の方法、日本語教師に求められる役割の理解を目指す。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ②、GSM J ①/J ②/J ③）

一般目標：国際的な活動を行う教育者としての日本語教員に求められる知識、技能、態度を理解する。学習者の日本語能力と目的に合った日本語教育プログラムとは何かを説明することが出来る。具体的には、日本語教育人材の役割、段階、活動分野等キャリアパスおよび求められる資質能力を理解し、日本語教育プログラムの構成要素を理解している。また、コースデザイン、教授法、評価法、および授業計画の観点と方法を目的・対象別に選ぶことができる。日本語教育の問題解決に寄与できる。

個別目標：(1) 国内外の日本語教育の現状を踏まえたうえで、日本語教育の言語教育観を説明できる。
(2) 日本語教育人材に求められる資質・能力、役割、活動分野、専門性について説明できる。
(3) 目的・対象によって必要となるもの日本語教育プログラムの構成要素を選択できる。
(4) 他者と協働してタスクを達成することができる。
(5) 必要な学修の計画実行、自己の学びの振り返りを繰り返すことで自律的に学習することが出来る。

▌履修条件

毎回出席すること。
欠席時には必ず Manaba で事前に理由等を連絡すること。
母語話者と非母語話者のそれぞれの強みを活かして協力しあい授業内活動に取り組むこと。
提出物の期限を厳守すること。

▌評価基準・方法

毎回の授業内で指定する提出物・課題 50 %、レポート 1 回（10%）、期末テスト 40 %で評価する。

▌フィードバック方法

毎回、コメントシートで質問等を受け付ける。
試験・課題のフィードバックは manaba で行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （コンセプトテスト・ピアインストラクション・コメントシート）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （respon や用語の検索など。スマホでも対応可能。）

▌教科書

manaba のコースコンテンツ、および、教室で印刷物としてレジュメを配布する。

▌参考書

資料・参考書は必要に応じ、指示する。
日本語教育の用語辞典は 1 冊持っていると理解に役立つ。
国際交流基金『日本語教授法シリーズ』1〜14
丸山敬介『日本語教育演習シリーズ⑤教え方の基本（改訂版）』『日本語教育演習シリーズ⑥授業の組み立て』凡人社

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション　世界と日本の社会と文化** 授業内容：シラバスの内容の確認。主な内容はコアカリキュラム（1）世界と日本の社会と文化、（2）日本の在留外国人施策、（3）多文化共生。 事前学修 2.0hr：シラバスを読む。事前アンケートに答える。 事後学修 2.0hr：事後確認タスクを行う。
2回	**授業テーマ：日本語教師の資質能力** 授業内容：日本語教師の役割をテーマとした講義。主な内容はコアカリキュラム（20）日本語教師の資質・能力 事前学修 2.0hr：レジュメを読む。確認チェックをする。 事後学修 2.0hr：事後確認タスクを行う。
3回	**授業テーマ：コースデザイン** 授業内容：コースデザインをテーマとした講義。主な内容はコアカリキュラム（23）コースデザイン。キーワードは、学習者のレディネス・学習者のニーズ・教師の教授観・学習者の言語観・学習者の学習観、シラバス、である。 事前学修 2.0hr：レジュメを読む。確認チェックをする。 事後学修 2.0hr：事後確認タスクをする。
4回	**授業テーマ：音声教育** 授業内容：音声教育をテーマとした講義。主な内容はコアカリキュラム（40）日本語教育のための文字と表記。キーワードは、母音と子音・音素と異音・有声音と無声音・母音の無声化・長音・促音・撥音・拍とリズム 事前学修 2.0hr：レジュメを読む。確認チェックをする。 事後学修 2.0hr：事後確認タスクをする。
5回	**授業テーマ：文字・語彙教育** 授業内容：文字・語彙教育をテーマとした講義。主な内容はコアカリキュラム（41）日本語教育のための文字と表記、（42）日本語教育のための形態・語彙体系。キーワードは、日本語の文字・かな（ひらがな、カタカナ）の教え方・漢字の基礎的知識・漢字の教え方・日本語の語彙の特徴・語彙の教え方である。 事前学修 2.0hr：レジュメを読む。確認チェックをする 事後学修 2.0hr：事後確認タスクをする。
6回	**授業テーマ：文法教育** 授業内容：文法教育をテーマとした講義。主な内容はコアカリキュラム (40) 日本語教育のための文法体系である。キーワードは文脈、意味、機能、誤用、インプット、アウトプット。 事前学修 2.0hr：レジュメを読む。確認チェックをする 事後学修 2.0hr：事後確認タスクをする。

7回	**授業テーマ：聴解教育** 授業内容：聴解をテーマとした講義。主な内容はコアカリキュラム(24)教授法。キーワードは、トップダウン、ボトムアップ、ディクテーションなど。 事前学修 2.0hr：レジュメを読む。確認チェックをする 事後学修 2.0hr：事後確認タスクをする。
8回	**授業テーマ：会話教育** 授業内容：会話教育をテーマとした講義。主な内容はコアカリキュラム(47)言語運用能力。キーワードは、コミュニケーション能力・ACTFL-OPI・インタビュー・スピーチ・ディスカッション・ロールプレイなど。 事前学修 2.0hr：レジュメを読む。確認チェックをする 事後学修 2.0hr：事後確認タスクをする。
9回	**授業テーマ：読解教育** 授業内容：読解教育をテーマとした講義。主なコアカリキュラムは(14)談話理解、(24)教授法。キーワードは、トップダウン、ボトムアップ、スキャニング、スキミングなど。 事前学修 2.0hr：レジュメを読む。確認チェックをする。 事後学修 2.0hr：事後確認タスクをする。
10回	**授業テーマ：作文教育** 授業内容：作文教育をテーマとした講義。主なコアカリキュラムは(47)言語運用能力。キーワードは、プロセスライティング、ピアレスポンスなど。 事前学修 2.0hr：レジュメを読む。確認チェックをする。 事後学修 2.0hr：事後確認タスクをする。
11回	**授業テーマ：初級指導** 授業内容：初級指導をテーマとした講義。主なコアカリキュラムは(24)教授法、(25)教材分析・作成・開発キーワードは、語彙と文法のコントロール、授業活動、フィードバックなど。 事前学修 2.0hr：レジュメを読む。確認チェックをする。 事後学修 2.0hr：事後確認タスクをする。
12回	**授業テーマ：日本事情** 授業内容：日本事情をテーマとした講義。主なコアカリキュラムは、＜ 7 ＞世界と日本の日本語教育事情、キーワードは、日本事情、日本文化である。 事前学修 2.0hr：レジュメを読む。確認チェックをする。 事後学修 2.0hr：事後確認タスク。コンセプトマップを作成する。出題されたレポートの条件、書き方の説明を読む。
13回	**授業テーマ：学習の評価** 授業内容：学習の評価をテーマとした講義。主なコアカリキュラムは(26)評価法。キーワードは、学習を評価する方法・テストの種類・良いテストの条件(妥当性、信頼性、真正性)、学習への波及効果・テスト得点の分析・テストによらない評価・ポートフォリオ・自己評価である。 事前学修 2.0hr：レジュメを読む。確認チェックをする。 事後学修 2.0hr：事後確認タスクをする。レポートの準備、執筆、提出をする。
14回	**授業テーマ：授業改善** 授業内容：授業改善をテーマとした講義。主なコアカリキュラムは(30)授業分析・自己点検能力。キーワードは、授業の振り返り・改善するための活動、自己研修である。 事前学修 2.0hr：レジュメを読む。確認チェックをする。 事後学修 2.0hr：事後確認タスクをする。
15回	**授業テーマ：振り返り、最終テスト、フィードバック** 授業内容：レポートの講評、事後テスト、およびフィードバックを行う。授業全体の振り返りを作成し、話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：レジュメを読む。確認チェックをする。 事後学修 2.0hr：事後確認タスクをする。

日本語教育演習

開講学科等：日　｜　2 年次　｜　2 単位　｜　開講期：後

西川　寛之 (にしかわ　ひろゆき)

▌授業の概要

日本語教育に関する基礎的な知識を身につけると共に、実際に教壇に立つことを想定した活動の練習も行う。
日本語を一言語として(外国語として)捉え、観察し、そこに見えるルールをより簡潔に学習者に提示するために、基礎的な知識を身につけ、日本語教育に求められる知識の基礎的な活動へ応用できる素養を養う。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ③）

一般目標：日本語教育を概観し、日本語教育とはどのようなものかが理解できる。
　　日本語学校で行われる授業で求められる知識が身につく。
　　日本語教育がこれから社会でどのような役割を担うことができるかについて考えられるようになる。
個別目標：①　日本語教育の学習者の多様性について具体例を挙げ説明することができる。
　　②　日本語教育における教室活動の実例を具体的に挙げることができる。
　　③　日本語教育が果たす役割を、学習者のタイプ別に説明することができる。

▌履修条件

教室活動の練習などの活動への参加も必要とする。
教材作成の活動および作成した教材の提出を必須とする。

▌評価基準・方法

教室活動、発表、理解度確認テスト(50%)
試験(50%)

▌フィードバック方法

活動については活動後に、各自の活動に関する記録として報告レポートを作成する。
レポートへのコメント、解説をもってフィードバックを行なう。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （発表時にパワーポイントなどを利用する）

▌教科書

なし。適宜最新情報を含めたプリントを用いる。

▌参考書

『言語教育プログラムを可視化する』松下達彦、札野寛子　くろしお出版　ISBN　978-4-86746-027-6
『日本語教育機関におけるコースデザイン』日本語教育学会編　凡人社
『日本語教師のためのテスト作成マニュアル』伊東祐郎　ISBN　9784757414716
『日本語教育能力検定試験に合格するための教授法 37』 小林ミナ　アルク 他、授業の進度に合わせ紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：日本語教育のいろいろ** 授業内容：日本語教育は、義務教育の科目とは異なり、学習者が多様である。年齢、母語などが異なるだけでなく、学習の目的も多様である。さらに、世界各地で教育が行われており、学習環境も条件も定まったものがない。 外国語、第二言語という言葉をキーワードにして日本語教育を概観する 事前学修 2.0hr：履修スタと考えられる科目、FPS 等で学んだ用語を用いるので必要ならば　その授業で使ったノートなどを用意すること。 事後学修 2.0hr：学習者の多様性についてレポートにまとめること。
2回	**授業テーマ：日本語を客観的に見つめる(1)品詞** 授業内容：品詞の定義に関して、名称とは異なり品詞の区分わけが正確に理解できることを目指す 活用形については、用法による分類ではなく形態による分類があることを理解する 事前学修 2.0hr：日本語能力試験が何を問うているかを分析すること。 事後学修 2.0hr：品詞と学習者の誤用について、論文等を資料として例を集め復習をすること。
3回	**授業テーマ：外国語教育の変遷** 授業内容：外国語教育は文字を中心にした読み書きの教育から音声を中心にした話す聴くを加えた四技能へと変化しているように見える部分があるが、この変化が社会の変化と密接に結びついていることを理解する 事前学修 2.0hr：「ラテン語」とはどのような使い方をされた言語か調べること。 事後学修 2.0hr：外国語教育に影響を与えたと考えられる社会変化について具体例をまとめ、書き留めておくこと。
4回	**授業テーマ：日本語を客観的に見つめる(2)活用のルール** 授業内容：活用のある語について、その活用を形態的な視点から説明する 活用のある品詞を理解し、さらに日本語教育と国語教育における説明の視点の違いを理解する 事前学修 2.0hr：英語の動詞の過去形、形容詞で過去の事実を述べる文についてルールをまとめること。 事後学修 2.0hr：日本語の動詞を活用を基に３つのグループに分け、まとめること。
5回	**授業テーマ：教室活動(1)活用の変換練習** 授業内容：教室活動として、活用の理解から実際に文を生成する際の適切な活用形の適応ができるよう促す練習として、 パターンプラクティスを紹介する 事前学修 2.0hr：学習者に示すための活用ルールを図示して持参すること。 事後学修 2.0hr：オーディオ・リンガルメソッドについてノートにまとめること。
6回	**授業テーマ：日本語を客観的に見つめる(3)肯定と否定** 授業内容：日本語の音の役割について理解する。「行かない」という表現を音声化する際に、否定としての意味を表す場合とそうでない場合の違いについて観察する 否定の射程についても考察する 事前学修 2.0hr：パターン・プラクティスについて具体例を発表できるようノート等にまとめること。 事後学修 2.0hr：国語教育と日本語教育、それぞれの用語について発表できるようノート等にまとめること。
7回	**授業テーマ：日本語を客観的に見つめる(4)テンス・アスペクト** 授業内容：テンス、アスペクトという用語の理解と、「さあ、買った買った」「あ、あったあった」「窓が開いている」「窓を開けている」などの表現があらわす意味の理解に関する分析を行う。 事前学修 2.0hr：「髪を結んでいる」が持つ複数の意味を分析し、ノート等にまとめておくこと。 事後学修 2.0hr：同一の形態素が示す異なるアスペクトを、表現ごとにまとめ分析的に図示すること。

8回	**授業テーマ：教室活動(2)会話例づくり** 授業内容：学習目的を示すための会話例、類似した表現の違いを理解するための会話例の 2 つに絞り、教材に用いられている会話例を分析する 分析結果を踏まえて、例文づくりを行う 事前学修 2.0hr：初級教材の会話例を集め、音声教材として使える形のものを作成すること。 事後学修 2.0hr：「正確さ」を求める会話例と「自然さ」を求める会話例の違いをまとめること。
9回	**授業テーマ：日本語を客観的に見つめる(5)ヴォイス** 授業内容：ヴォイスという用語の理解と、文中の視点、中国語の「流水文」などの考え方を取り上げながら、視点の統一について考える 日本語におけるヴォイスの用法について知る 事前学修 2.0hr：「受け身」が用いられているスクリプト等の例を集めること。 事後学修 2.0hr：受け身文の形態的な分類をレポートとして提出すること。
10回	**授業テーマ：教室活動(3)完成ドリル** 授業内容：パターンプラクティスの一つではあるが、「唯一の正解」以外に、自由度の高い活動となり得る完成ドリルについて紹介し、理解をしたうえで、その活用方法を考える 事前学修 2.0hr：受け身文の練習問題として教材に掲載されているものをまとめておくこと。 事後学修 2.0hr：「完成練習」の使い方についてまとめておくこと。
11回	**授業テーマ：日本語を客観的に見つめる(6)場面と機能** 授業内容：「いまから●●に行きます」が、「いまから子供を迎えに行きます」と言う場面が帰り際のあいさつの中では単なる予定を伝えただけになるのに対し、残業を頼まれた際に言えば断りの意味になることもある。このように場面と結びついた際の表現の意味機能について考える 事前学修 2.0hr：「すみません」がどのような機能を持つのかを取り上げた論文名を調べてリストを作成すること。 事後学修 2.0hr：機能シラバスをベースにした教材名のリストを作成すること。
12回	**授業テーマ：教室活動(4)ロールプレイ** 授業内容：教室活動としてロールプレイを紹介する。ロールプレイは、相手の発言が予測できないことを活用した練習であることを理解する インフォメーションギャップを活用した練習であることについて、シナリオプレイとの違いを用いて紹介する 事前学修 2.0hr：「依頼」という機能で用いられる表現の具体例をノート等にまとめておくこと。 事後学修 2.0hr：教材で「依頼」を取り上げる場面としてどのようなものが多いかまとめること。
13回	**授業テーマ：語彙コントロールの功罪** 授業内容：語彙コントロールの役割の他、フォリナートーク、ティーチャートークなどをキーワードに、そこに内包される問題点についても理解する 機能を中心とした学習での語彙コントロールの難しさを理解する 事前学修 2.0hr：「依頼」でまとめた場面の会話例を自作し持参すること。 事後学修 2.0hr：自作した会話例を、初級レベルの教材修了と設定し、語彙を書き改めること。
14回	**授業テーマ：教室活動(5)テストの必要性** 授業内容：完成練習の問題作成と、解答(正答)の可能性を考える 答えが 1 つではなく複数ある問題の作成を行う 日本語教育におけるテストの役割について考え、テストづくりの必要性について理解する 事前学修 2.0hr：語彙コントロールの功罪について考えをまとめること。 事後学修 2.0hr：テストの役割についてレポートを作成すること。
15回	**授業テーマ：日本語教育ができることについて考える。** 授業内容：日本語教育は、海外においては日本語力の向上が目的とされることが多いが、日本国内においては日本語力の向上は手段で目的ではないこともある 日本語教育が果たす役割について考える 事前学修 2.0hr：外国語教育の社会的な活用について CEF-R について調べておくこと。 事後学修 2.0hr：CEF-R の社会的役割を考えながら、今後の日本語教育の活用方法に関するレポートを作成すること。

日本語教授法

開講学科等：日　｜　1 年次　｜　2 単位　｜　開講期：後

田川　麻央 (たがわ　まお)

▌授業の概要

日本語教師の資質・能力を理解し、さまざまな教育方法と実践についての知識を身につける科目である。適切な学習環境を設定し、学習目的、対象別の日本語教育を行うための指導方法を学び、コースデザイン、マイクロティーチング、授業分析、振り返りをする。これらを通じて、日本語教育を取り巻く環境に関心をもち、洞察する力、自己点検能力、他者と協働する力を育成する。当該科目は日本語学科 1 年必須科目で「日本語教員養成課程修了証明書」の交付条件の一科目である。日本語教師【養成】における必須の教育内容 (22) 教室・言語環境の設定、(24) 教授法、(29) 中間言語分析、(30) 授業分析・自己点検能力を含む。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ②、GSM J ①/J ②/J ③）

一般目標：外国語学習としての日本語教育の現状を把握し、日本語教員が理解しておくべき基礎的な知識を獲得する。
　　身近にある日本語教育の問題に対応できるようになることを目指す。
個別目標：(1) 日本語教員が知っておくべき基礎知識をふまえて日本語学習者の特性、学習目的等を理解し、コースデザインができる。
　　(2) 日本語の授業の流れを理解し、授業計画を立ててマイクロティーチングを実施し、自己を点検することができる。
　　(3) 自分とは異なる学習背景、言語学習観をもつ履修者を認め、協力して目標実現に向かって取り組むことができる。

▌履修条件

課題の提出期限を守る。
主体的に授業に参加する。

▌評価基準・方法

提出課題 40%、テスト 40%、発表 10%、学習の振り返り 10%で評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba および対面授業を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （毎回の授業でグループワークがあり、他者と協働する。クラスメートに向かって模擬授業を行う。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （manaba、respon を使用する。教材を作成する際に Microsoft Word を使用する。）

▌教科書

資料を配布する。

▌参考書

近藤安月子・小森和子(編)『日本語教育事典』研究社

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス、日本語教育と日本語教師** 授業内容：これまで受けてきた言語教育(国語教育、英語教育)の目的と内容を比較しながら、日本語を母語としない人に対して日本語を教えるとはどのようなことなのかを考える。また、日本語教師に求められる資質や能力がどのようなものか学習する。 事前学修 2.0hr：これまでの外国語学習経験をふりかえり 400 字程度にまとめる。 事後学修 2.0hr：コース終了時に目標を実現した自分について 400 字程度で記述する。
2 回	**授業テーマ：日本語学習者** 授業内容：日本語を学習している人々がどのような目的をもって、またどういった国や機関で日本語を学んでいるのか、その多様性を学習する。学習者が求めている日本語教育とはどのようなものかを考える。 事前学修 2.0hr：事前タスクシートを完成させる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
3 回	**授業テーマ：日本語能力の測定と試験** 授業内容：日本語能力を測定するとはどういうことなのかを考え、受験者データが公開されている代表的な試験を分析することを通じて日本語が上達するとはどのようなことなのかを学習する。 事前学修 2.0hr：事前タスクシートを完成させる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
4 回	**授業テーマ：コースデザインの流れ** 授業内容：学習者のニーズやレディネスを分析する調査方法を説明したうえで、学習者に適したコース目標を立て、何をどのような順番でどのように教えるのか、またどのように評価するのかコース全体の設計の仕方を学習する。 事前学修 2.0hr：事前タスクシートを完成させる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
5 回	**授業テーマ：外国語の教授法** 授業内容：実際に日本語をどうやって教えるのかを考えていくために、これまで提唱されてきた外国語の教え方を概観する。さまざまな教授法の長所と短所を検討し、その背景にある言語学習観について学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前タスクシートを完成させる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
6 回	**授業テーマ：教材・教具** 授業内容：日本語学習の教材、教具について調べ、どのように教材を選択していくのかを学習する。 事前学修 2.0hr：事前タスクシートを完成させる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
7 回	**授業テーマ：中間言語の分析** 授業内容：学習者の中間言語を分析することで、日本語非母語話者にとって日本語の語彙、文法とはどのようなものか、学習者が間違いやすい項目を検討し、日本語の難しさを探る。 事前学修 2.0hr：事前タスクシートを完成させる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
8 回	**授業テーマ：ティーチャートークの特徴** 授業内容：日本語教師と学習者は教室内でどのようなやりとりを行っているのか教室外の談話と比較しながら、日本語教師の発話の工夫であるティーチャートークの特徴を学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前タスクシートを完成させる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。

9回	**授業テーマ：ティーチャートークの実践** 授業内容：ティーチャートークを使って初級学習者に説明したり指示したりする練習をする。 事前学修 2.0hr：事前タスクシートを完成させる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
10回	**授業テーマ：フィードバックの方法と特徴** 授業内容：効果的に日本語を習得できるように目の前にいる学習者にどう対応すればよいのかを考え、インターアクション、意味交渉など授業における教師のパフォーマンスについて学習する。 事前学修 2.0hr：事前タスクシートを完成させる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
11回	**授業テーマ：文型ベースの授業の組み立て** 授業内容：日本語の授業はどのような流れで進めればよいのか、教案の作成方法や授業の展開を考える。特に、初級の文型導入、正確に使えるようにするための練習、コミュニケーション活動といった文型ベースの授業方法について学習する。 事前学修 2.0hr：事前タスクシートを完成させる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
12回	**授業テーマ：タスクベースの授業の組み立て** 授業内容：タスクを遂行することを目的としたタスクベースの授業の流れを学習する。文型ベースの授業の目的、授業の展開と比較し、どのような学習者に適しているかを考える。また、学習者を想定してタスクを作成する。 事前学修 2.0hr：事前タスクシートを完成させる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
13回	**授業テーマ：マイクロティーチングの準備** 授業内容：実際に初級学習者に教えることを想定して授業を設計し、教案と教具を作成する。作成した教案をもとに日本語を教える授業をイメージし、マイクロティーチングの準備をする。 事前学修 2.0hr：事前タスクシートを完成させる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
14回	**授業テーマ：マイクロティーチングの実践、自己点検、他者評価** 授業内容：これまで準備してきたことをマイクロティーチングとして実践に移す。クラスメートの実践に学習者役として参加する。クラスメートとともにさまざまな角度からマイクロティーチングを分析し、よい授業とはどのようなものかを考え、自己を点検する。 事前学修 2.0hr：事前タスクシートを完成させる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
15回	**授業テーマ：学習の振り返りとこれからの日本語教育** 授業内容：これまで学習してきたことを振り返り、これからの日本語教育について考える。指導技術だけでは対応できない問題に遭遇したとき何を指針にどう対応していくのか話し合う。 事前学修 2.0hr：第 1 回目の自分と今を比較して成長を 400 字でまとめる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。

日本語教材論

開講学科等：日　｜　2 年次　｜　2 単位　｜　開講期：後

田川　麻央（たがわ　まお）

▌授業の概要

日本語教育の教材・教具にかかわる基礎知識を理解し、教材分析、作成、開発に必要な能力を習得する。実在の教材を詳細に分析して学習者の特徴に適した教材を選定する。著作権に関する知識を学んだあと、想定する学習者のための教材を開発をする。近年、ICT を使った教育も広まっていることから ICT 教材の作成にも着手する。これらを通じて情報を集約して問題を整理し対応する力、自己省察力、他者と協働する力を身につける。当該科目は「日本語教員養成課程修了証明書」の交付条件の一科目である。日本語教師【養成】における必須の教育内容㉕教材分析・作成・開発、㉟日本語教育と ICT, ㊱著作権を含む。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ②）

一般目標：日本語教員に必要な教材の知識を獲得するとともに、多様な学習者に適した教材を選択することができる。
著作権について十分に理解したうえで、自ら教材を開発することができる。
ICT 教育の知識を身に付け、学習者を取り巻く環境を考えた ICT 教材を開発することができる。

個別目標：(1) 多様な学習目的、学習効果を十分に引き出す教材を選択できる。
(2) 多様な学習者の特性、および学習目的を考え、言語運用能力を向上させるために必要な教材を開発することができる。
(3) 倫理的に配慮をした教材を作成できる。
(4) 自分とは異なる背景をもつ履修者と協力し、目標実現に向かって協働して取り組むことができる。

▌履修条件

毎回、積極的に参加する。
課題の締め切りを守る。
manaba からの連絡をきちんと確認する。
「日本語教授法」を履修済み、もしくは同等の知識を持っている。
「日本語教員養成課程修了証明書」の取得を目指している。

▌評価基準・方法

課題提出 40%、発表 30%、テスト 20%、学修の振り返りおよび授業参加度 10%で評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは学修支援システム manaba および対面授業を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ほぼ毎回グループワーク、ディスカッションがある。他にもマイクロティーチングなどで他者と協働する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （教材作成の際、PC を使う。manaba、respon も使用する。）

▌教科書

資料を配布する。

▌参考書

近藤安月子小森和子(編)『研究社日本語教育事典』研究社
鈴木克明『教材設計マニュアル』北大路書房
深澤のぞみ・本田弘之『日本語を教えるための教材研究入門』くろしお出版
宮武 久佳・大塚 大『著作権ハンドブック :先生、勝手にコピーしちゃダメ』東京書籍
山内祐平編『デジタル教材の教育学』東京大学出版会

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス、日本語の教科書** 授業内容：授業の概要と目的、学習の進め方、評価に関する説明を聞き、最終到達点を理解する。その後、日本語の教科書と他の科目の教科書の違いを学習する。 事前学修 2.0hr：これまでの外国語学習で使った教材をふりかえり 400 字程度にまとめる。 事後学修 2.0hr：本コース終了時に目標に到達した自分の姿を 400 字で記述する。
2 回	**授業テーマ：実際の会話と教科書の会話、コースデザイン** 授業内容：実際の会話と教科書に出てくる会話の違いを明らかにし、教科書に出てくる会話の特徴を学習する。コースデザインの中で教科書を位置付ける。教師と学習者のそれぞれの立場から教科書の役割を学習する。 事前学修 2.0hr：事前資料を読んで専門用語を調べる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
3 回	**授業テーマ：教科書分析** 授業内容：教科書の分析方法を学習する。 事前学修 2.0hr：事前資料を読んで専門用語を調べる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
4 回	**授業テーマ：教材分析の解釈、日本語教材の変遷と学習観** 授業内容：分析した教材について発表し、比較する。日本語教材の変遷と学習観を整理する。 事前学修 2.0hr：事前資料を読んで専門用語を調べる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
5 回	**授業テーマ：著作権の基礎知識** 授業内容：教育現場における著作権知識を学習する。 事前学修 2.0hr：事前資料を読んで専門用語を調べる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
6 回	**授業テーマ：著作物の教育的利用** 授業内容：実際に著作権違反になるケースを研究し、正しい利用について学習する。 事前学修 2.0hr：事前資料を読んで専門用語を調べる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
7 回	**授業テーマ：教材作成 1 企画** 授業内容：設定されたレベル、クラス状況に適した教材を作成するために、企画を立てる。作成した企画書を共有し、相互に点検する。 事前学修 2.0hr：事前資料を読んで専門用語を調べる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。

8回	**授業テーマ：教材作成２開発** 授業内容：企画書に沿って教材を作成する。 事前学修 2.0hr：事前資料を読んで専門用語を調べる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
9回	**授業テーマ：授業の組み立て** 授業内容：作成した教材を使った授業を組み立てる。 事前学修 2.0hr：事前資料を読んで専門用語を調べる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
10回	**授業テーマ：教材の評価** 授業内容：作成した教材(紙媒体)を使ってマイクロティーチングを行い、相互に点検する。 事前学修 2.0hr：事前資料を読んで専門用語を調べる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
11回	**授業テーマ：リライト教材** 授業内容：生教材を学習者に合わせてリライトする目的とその方法を学習する。 事前学修 2.0hr：事前資料を読んで専門用語を調べる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
12回	**授業テーマ：ICT を使った教材** 授業内容：ICT を教育的に利用してきた変遷と学習観について理解し、教材作成における ICT の利用について学習する。 事前学修 2.0hr：事前資料を読んで専門用語を調べる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
13回	**授業テーマ：ICT を使った教材の作成** 授業内容：ICT を使った教材を企画し、作成する。 事前学修 2.0hr：事前資料を読んで専門用語を調べる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
14回	**授業テーマ：ICT を使った教材の共有と相互点検** 授業内容：作成した ICT 教材を相互に点検し、改善点を検討する。 事前学修 2.0hr：事前資料を読んで専門用語を調べる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
15回	**授業テーマ：テストとフィードバック** 授業内容：これまで学習してきた教材にかかわる知識を測り、フィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：第１回目と今の自分を比較して 400 字程度で記述する。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。

検定対策Ⅰ

開講学科等：日　｜　2年次　｜　2単位　｜　開講期：前

西川　寛之（にしかわ　ひろゆき）

▌授業の概要

日本語教師【養成】における教育内容のうち、5区分の「言語」⑭日本語の構造、(40) 日本語教育のための音韻・音声体系、(41)日本語教育のための文字と表記等を含む、日本語教育に必要な言語に関する知識を学ぶ。実際の現場にて活用できる力を獲得することを目指す。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ②）

一般目標：日本語そのものに関する知識を学習者に正確に伝えるために日本語を分析的に捉える視点・方法を理解し身につける。
　　日本語の音声や文字・表記等に関する知識を学習者に正確に伝えるために、日本語教育者として必要な知識を身につける。
個別目標：専門用語や日本語教育の基礎を理解し説明することができる。
　　日本語の言語の構造、音韻的特徴、文字体系について理解し説明ができる
　　日本語と他の言語(英語、韓国語、中国語)と比較しながら言語の構造、音韻的特徴、文字体系について違いが説明できる

▌履修条件

毎週課題にしっかり取り組むこと。

▌評価基準・方法

平常評価(小スト、課題提出等による評価) 60%、学期試験 40%の割合で評価する。

▌フィードバック方法

課題および試験のフィードバックは授業または manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （振り返りシート、反転授業）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （統計資料の確認等に使用。(エクセル、ワードが操作できるもの)）

▌教科書

初回授業で指示する。
適宜レジュメを配布する。

▌参考書

『日本語教育能力検定試験完全攻略ガイド　第 5 版』ヒューマンアカデミー著　翔泳社　ISBN978 － 4 － 7981 － 6719 － 0
『日本語教育よくわかる語彙』秋元美晴・押尾和美・丸山岳彦著　アルク　ISBN コード 978-4 － 7574-3338-0
『日本語教育よくわかる文法』藤原雅憲著　アルク　ISBN コード 978-4 － 7574-3094-5
『国語教師が知っておきたい日本語文法』山田敏弘著　くろしお出版　ISBN コード 978-4-87424-310-7

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、日本語の文の構造** 授業内容：当該授業に関するガイダンスを行う。 日本語の文の構造、成り立ち、構文論等について学び、日本語を分析する視点をもつための準備を整える。 事前学修 2.0hr：シラバスを読み授業に備える　専門用語を確認する 事後学修 2.0hr：事後確認タスクを行う
2回	**授業テーマ：日本語教育のための日本語分析①** 授業内容：日本語教育における品詞の捉え方を確認したうえで、特に、用言について多角的な視点からその働きを分析する。 事前学修 2.0hr：教材の該当部分を読み授業に備える　専門用語を確認する 事後学修 2.0hr：事後確認タスクを行う
3回	**授業テーマ：日本語教育のための日本語分析②** 授業内容：副詞や格助詞等について、多角的な視点からその働きを分析する。格関係について把握し、他者に説明ができるようにする。 取り立て助詞および取り立て文に関して文の構成を理解するとともに、使用の意味・意義やコミュニケーションにおける働きについて考える。 事前学修 2.0hr：教材の該当部分を読み授業に備える　専門用語を確認する 事後学修 2.0hr：事後確認タスクを行う
4回	**授業テーマ：日本語教育のための文型** 授業内容：日本語教育において文型として扱われるものについて確認し、日本語に関する客観的な分析視点を獲得する。 自動詞文、他動詞文、授受を表す文等について分析し、他者に説明ができるようにする。 事前学修 2.0hr：教材の該当部分を読み授業に備える　専門用語を確認する 事後学修 2.0hr：事後確認タスクを行う
5回	**授業テーマ：日本語教育のための文法体系** 授業内容：テンス、アスペクト等を中心に、文の構成を理解するとともに使用の意味・意義や談話内での働きについて考える。 事前学修 2.0hr：教材の該当部分を読み授業に備える　専門用語を確認する 事後学修 2.0hr：事後確認タスクを行う
6回	**授業テーマ：日本語教育のためのコミュニケーション能力** 授業内容：情報を伝達する際の視点の置き方について分析し、コミュニケーション上の意味を考える。 例えばヴォイス(受身文、使役、使役受身文、可能構文等)に関して、文の構成を確認したうえで使用の意味・意義、その働きについて分析する。 学習者に使い方の説明ができるようになるとともに、自身の言語使用への意識も高める。 事前学修 2.0hr：教材の該当部分を読み授業に備える　専門用語を確認する 事後学修 2.0hr：事後確認タスクを行う
7回	**授業テーマ：日本語教育のための談話分析** 授業内容：コミュニケーション上大きな役割をもつ言葉自体ややりとり等について考える。 対話の中でのモダリティの働きに関して、その使用の意味・意義及び働きについて考える。 また、談話の構成や談話標識、結束性・照応・推論等について学ぶ。 事前学修 2.0hr：教材の該当部分を読み授業に備える　専門用語を確認する 事後学修 2.0hr：事後確認タスクを行う
8回	**授業テーマ：日本語教育のための統語構成** 授業内容：名詞修飾節(内の関係、外の関係、限定用法、非限定用法等)、さまざまな副詞節(条件、原因・理由、時間、目的等)や並列節等に関して、文の構成を理解するとともに使用の意味・意義について考える。また、複文における従属度について学ぶ。 事前学修 2.0hr：教材の該当部分を読み授業に備える　専門用語を確認する 事後学修 2.0hr：事後確認タスクを行う

9回	**授業テーマ：日本語教育のための音声・音韻体系** 授業内容：言語記号の特徴(能記・所記、言語の恣意性、二重分節性)について学ぶとともに、音素と異音、日本語の音声の特徴等について学ぶ。 事前学修 2.0hr：教材の該当部分を読み授業に備える　専門用語を辞典で調べる 事後学修 2.0hr：事後確認タスクを行う
10回	**授業テーマ：日本語教育のための形態・語彙体系** 授業内容：形態素、異形態、自由形態素、語基、接辞等について学ぶ。 また、語種(漢語・和語・外来語)や語構成等について、歴史的な観点から学んだうえで、成り立ち及び現在の使用状況等について観察し分析する。 事前学修 2.0hr：教材の該当部分を読み授業に備える　専門用語を確認する 事後学修 2.0hr：事後確認タスクを行う
11回	**授業テーマ：日本語教育のための意味体系** 授業内容：一般意味論(成分分析、上位語と下位語、類義語、同義語、対義語、多義語、メタファー、メトニミー、シネクドキー等)について学ぶ。 また、言葉の意味が変化する条件等についても考える。 事前学修 2.0hr：教材の該当部分を読み授業に備える　専門用語を確認する 事後学修 2.0hr：事後確認タスクを行う
12回	**授業テーマ：言語類型と世界の諸言語** 授業内容：対照言語学、言語類型論(形態的類型、統語的類型)等について学ぶ。 また、日本語、韓国語、中国語、ベトナム語、英語の対照(音声・音韻的相違、形態的相違、統語的相違、意味的相違等)、言語の系統等について学ぶ。 事前学修 2.0hr：教材の該当部分を読み授業に備える　専門用語を確認する 事後学修 2.0hr：事後確認タスクを行う
13回	**授業テーマ：日本語教育のための文字と表記** 授業内容：漢字の歴史、漢字の構成、音と訓、漢字表、仮名遣い、片仮名、外来語の表記、送り仮名、ローマ字等について学ぶ。 文化庁等から出されている指針や方針を読んだうえで、実際の使用状況等についても客観的に捉え分析する視点を得る。 事前学修 2.0hr：教材の該当部分を読み授業に備える　専門用語を確認する 事後学修 2.0hr：事後確認タスクを行う
14回	**授業テーマ：日本語教育のための日本語史、まとめ** 授業内容：日本語史、日本語研究史について学ぶ。 これまで学んだことを確認する。 事前学修 2.0hr：これまで学んだことを見直し、疑問点を明らかにしておく 事後学修 2.0hr：事後確認タスクを行う
15回	**授業テーマ：最終試験とフィードバック** 授業内容：最終試験を通して、自らの弱点を確認し、次なる学習へ向かう。 事前学修 2.0hr：総復習をし、最終試験に備える。 事後学修 2.0hr：レポート　振り返り

検定対策Ⅱ

開講学科等：日　｜　2 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前

髙橋　眞人（たかはし　まさと）

▌授業の概要

【「世界と日本」「在留外国人施策」について学ぶ】
・日本語教師養成課程における教育内容のうち、「社会・文化・地域」に関わる領域の＜ 1 ＞世界日本の社会と文化、＜ 2 ＞日本の在留外国人施策――を中心に学ぶ。
・グローバル化が進む中での他国と日本との関係や、日本社会における外国人の実態をつかみ、社会を担う者としてできることを考える。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ②）

一般目標：・国際社会の実情と日本との関係、学習者と日本との関係、日本社会や文化について理解する。
・日本語教育が行われる社会的背景を考えることの重要性を認識する。
・学習者と日本語及び日本社会との接触状況等を理解する。
個別目標：・日本の社会や文化について客観的な視野をもつことができる。
・日本語学習者の立場を考慮した日本語教育の方法を考えることができる。
・在留外国人施策に関する諸問題について認識する。

▌履修条件

毎週課題にしっかり取り組むこと。

▌評価基準・方法

毎回の授業内で指定する提出物・課題・小テスト 40 %、振り返りレポート 20 %、最終クラスディスカッション及び最終試験 40 %で評価する。90 %以上の成績が S 評価、89 %から 80 %が A 評価、79 %から 70 %が B 評価、69 %から 60 %が C 評価で単位習得とする。59 %以下は D 評価、出席不良 (5 分の 1 に満たない場合)は評価対象外とし、単位習得不可とする。

▌フィードバック方法

フィードバックは、教室および manaba において行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （振り返りシート、反転授業）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （統計資料等の確認をする。）

▌教科書

なし。適宜レジュメを配布する。

▌参考書

・ヒューマンアカデミー『日本語教育能力検定試験完全攻略ガイド　第 5 版』　翔栄社
・春原憲一郎・神吉宇一『世界と日本』アルク
・宮島喬『移民国家としての日本』岩波書店
・永吉希久子『移民と日本社会』中央公論新社
・鳥井一平『国家と移民』集英社
・辻太輔『ここまでは知っておきたい在留資格』webjapanese
・江口隆裕『移民政策と国民』神奈川大学出版会

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：世界と日本の社会と文化【日本語教員試験＜１＞】** 授業内容：人口と都市化、世界経済と人の流れ、世界の環境と食糧問題、世界の社会・文化地図 事前学修 2.0hr：講義概要を読み、専門用語の確認をしておく。また、疑問点を明らかにしておく。 事後学修 2.0hr：学んだことをまとめ、その知見を活用して課題に取り組む。
2 回	**授業テーマ：明治維新から第二次世界大戦までの日本語教育【日本語教員試験＜４＞】** 授業内容：労働力送り出しの時代、国内外の同化・植民地政策、アジアの植民地化と日本語教育、戦争と日本語教育、反植民地闘争と国内における差別問題 事前学修 2.0hr：教材の該当箇所を読み、授業に備える。専門用語の確認をする。 事後学修 2.0hr：学んだことをまとめ、その知見を活用して課題に取り組む。
3 回	**授業テーマ：東西冷戦から高度経済成長にかけての日本語教育【日本語教員試験応＜４＞】** 授業内容：東西冷戦期の日本経済と日本語教育、分断の時代の日本語教育、高度経済成長と日本の海外進出、国際社会への参加と日本語教育 事前学修 2.0hr：教材の該当箇所を読み、授業に備える。専門用語の確認をする。 事後学修 2.0hr：学んだことをまとめ、その知見を活用して課題に取り組む。
4 回	**授業テーマ：1980 年代から現在にかけての日本語教育【日本語教員試験＜４＞】** 授業内容：東アジアと東南アジアの成長、市場のグローバル化に伴う日本語教育の国際化・地域化、東西冷戦の終結と地域紛争 事前学修 2.0hr：教材の該当箇所を読み、授業に備える。専門用語の確認をする。 事後学修 2.0hr：学んだことをまとめ、その知見を活用して課題に取り組む。
5 回	**授業テーマ：日本語教育とグローバリゼーション【日本語教員試験＜１＞＜２＞】** 授業内容：グローバリゼーションとは何か、インターネット社会と消費化、戦争と難民、国境を越えた人の移動と日本における外国人受け入れ、マイノリティーのエンパワーメント、これからの社会と日本語教育 事前学修 2.0hr：教材の該当箇所を読み、授業に備える。専門用語の確認をする。 事後学修 2.0hr：学んだことをまとめ、その知見を活用して課題に取り組む。
6 回	**授業テーマ：外国人の在留資格【日本語教員試験＜２＞】** 授業内容：在留資格とは、在留資格の審査、在留資格の種類、在留資格と日本語能力、外国人との共生と日本語教師 事前学修 2.0hr：教材の該当箇所を読み、授業に備える。専門用語の確認をする。 事後学修 2.0hr：学んだことをまとめ、その知見を活用して課題に取り組む。
7 回	**授業テーマ：外国人労働者をめぐる環境【日本語教員試験＜２＞】** 授業内容：外国人労働者の受け入れ状況、技能実習生の実態、出稼ぎ就労から定住へ、移民受け入れの経済的・社会的・文化的影響 事前学修 2.0hr：教材の該当箇所を読み、授業に備える。専門用語の確認をする。 事後学修 2.0hr：学んだことをまとめ、その知見を活用して課題に取り組む。

8回	**授業テーマ：外国人労働者受け入れの歴史【日本語教員試験＜２＞】** 授業内容：移民受け入れの歴史、高度人材としての移民、単純労働者としての移民、福祉国家の担い手としての移民、難民 事前学修 2.0hr：教材の該当箇所を読み、授業に備える。専門用語の確認をする。 事後学修 2.0hr：学んだことをまとめ、その知見を活用して課題に取り組む。
9回	**授業テーマ：自文化中心主義と多文化共生主義【日本語教員試験＜３＞】** 授業内容：自文化中心と多文化共生、異文化トレーニング、多文化共生の社会への条件、あるべき統合像の模索 事前学修 2.0hr：教材の該当箇所を読み、授業に備える。専門用語の確認をする。 事後学修 2.0hr：学んだことをまとめ、その知見を活用して課題に取り組む。
10回	**授業テーマ：日本が外国人労働者を受け入れる理由【日本語教員試験＜２＞】** 授業内容：・グローバリゼーションと移民の時代、構造的ニーズと人の移動、「移民国家」日本へ ・ディスカッションに関する説明 事前学修 2.0hr：教材の該当箇所を読み、授業に備える。専門用語の確認をする。 事後学修 2.0hr：学んだことをまとめ、その知見を活用して課題に取り組む。
11回	**授業テーマ：外国人受け入れに伴う諸問題【日本語教員試験＜２＞】** 授業内容：労働条件の悪化、偏見と差別、文化摩擦と非同化の問題、外国ルーツの子どもたちの教育、社会保障への影響 事前学修 2.0hr：教材の該当箇所を読み、授業に備える。専門用語の確認をする。 事後学修 2.0hr：学んだことをまとめ、その知見を活用して課題に取り組む。
12回	**授業テーマ：移民受け入れに関する世界の動向【日本語教員試験＜２＞】** 授業内容：欧米の難民危機と移民受け入れ政策の変遷、欧米における議論 事前学修 2.0hr：教材の該当箇所を読み、授業に備える。専門用語の確認をする。 事後学修 2.0hr：ディスカッションの準備
13回	**授業テーマ：外国人への支援と日本語教育・これまでのまとめ【日本語教員試験＜２＞＜６＞】** 授業内容：・日本語教育関連機関(文化庁、国立国語研究所、日本語教育学会、国際交流基金、日本学生支援機構、日本国際教育支援協会)等の役割や活動等、日本語・日本語教育関連の試験について学ぶ。 ・これまでの学修内容のまとめ 事前学修 2.0hr：教材の該当箇所を読み、授業に備える。専門用語の確認をする。 事後学修 2.0hr：ディスカッションの準備
14回	**授業テーマ：外国人受け入れに関するディスカッション【日本語教員試験＜２＞】** 授業内容：外国人受け入れ政策に関してのグループ・ディスカッションを行うことを通じて、この問題への認識を深める。 事前学修 2.0hr：ディスカッションの準備 事後学修 2.0hr：これまでの学修内容を整理し、最終試験の準備をする。
15回	**授業テーマ：最終試験とフィードバック** 授業内容：最終試験を通して、自らの弱点を確認し、次なる学習へ向かう。 事前学修 2.0hr：総復習をし、最終試験に備える。 事後学修 2.0hr：振り返り

検定対策Ⅲ

開講学科等：日　｜　2 年次　｜　2 単位　｜　開講期：後

片桐　史尚（かたぎり　ふみたか）

▌授業の概要

本科目は平成 31 年の文化審議会国語分科会の報告「日本語教育人材の養成・研修の在り方について (報告)改定版」で示された日本語教師【養成】における必須の教育内容のうち、⑦言語理解の過程、⑧言語習得発達、⑨異文化理解と心理、⑱異文化受容・適応、⑲日本語の学習・教育の情意的側面、㉜異文化間教育、㉝異文化コミュニケーション、㉞コミュニケーション教育を扱う。日本語教育に関する基礎的な知識を得て、どのように日本語教育の現場で応用されるのかについて説明ができるレベルを目指す。日本語の運用能力及び専門的知識、日本語教育に関する知識と能力を身につける。日本語教育能力検定試験(試験Ⅰ問題 8～10、14～15、試験Ⅲ問題 9～11)対策を行う。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ②）

一般目標：日本語教育の基礎的な知識を持ち、個々の学習者に合わせた日本語教育を考えるために言語の習得過程や学習者要因又学習効果を高める方略について説明できる。
日本語教育能力検定試験の出題形式による設問に解答することができる。

個別目標：(1) 効果的な日本語教育を考えるために学習者の言語情報の処理過程や学習の仕組み、学習の方法について説明できる。
(2) 言語習得に関わる動機や不安などの心的側面の心理的プロセスについて説明できる。
(3) 自文化とは異なる環境にある学習者に配慮した指導を考えるために、異文化接触によって生じる問題やその解決を考えることができる。
(4) 学習者に適切に接する態度や学習者の背景および将来を考えるために日本語教育の歴史や現状、制度を説明できる。

▌履修条件

毎回出席すること。欠席する場合は事前に Manaba で連絡を入れること。提出物は期限遵守すること。
日本語教育能力検定試験を受験する者を想定して行う授業である。
知らない用語がある場合、必ず辞典で調べておく。

▌評価基準・方法

毎回の授業時における課題(授業内容の振り返り及び課題への取り組み)を 60 %とし、テストを 40 %とする。出席は 5 分の 4 以上とする。(欠席については事前に連絡をする。)

▌フィードバック方法

課題および試験のフィードバックは manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ピア・ラーニングを行う。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （試験内容の確認や統計資料の閲覧時に使用する。）

▌教科書

レジュメを配布する。

▌参考書

用語集を携行することが望ましい。
日本語教育能力検定試験完全攻略ガイド　第５版　著者ヒューマンアカデミー　発行所株式会社翔栄社　ISBN978-4-7981-4894-6
その他、授業で指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション・事前テスト** 授業内容：本授業の概要、目標、評価方法についての説明を行う。日本語教育能力検定試験についての説明を行う。事前テストを実施する。 事前学修 2.0hr：シラバスを読む。事前テストに備える。 事後学修 2.0hr：事後確認タスクを行う。コンセプトマップを作成する。
2回	**授業テーマ：記憶** 授業内容：コンセプトクエスチョンに答える。ピアインストラクションを行う。言語知識獲得のための記憶のメカニズムを学ぶ。二重貯蔵モデル、ワーキングメモリー、リハーサルなどを扱う。記憶に関わる過去の試験問題を解く。 事前学修 2.0hr：レジュメを読む。確認チェックをする。レジュメを読んで基本用語タスクシートを完成させる。 事後学修 2.0hr：事後確認タスクを行う。コンセプトマップを作成する。
3回	**授業テーマ：認知心理学** 授業内容：コンセプトクエスチョンに答える。ピアインストラクションを行う。言語情報処理の仕組みを理解する。スキーマ、ボトムアップ処理、トップダウン処理、カクテルパーティ効果、外国語副作用などを扱う。認知心理学に関わる過去の試験問題を解く。 事前学修 2.0hr：レジュメを読む。確認チェックをする。 事後学修 2.0hr：事後確認タスクを行う。コンセプトマップを作成する。
4回	**授業テーマ：対照分析、誤用分析、中間言語分析** 授業内容：コンセプトクエスチョンに答える。ピアインストラクションを行う。対照分析、誤用分析、中間言語分析などの習得理論について学び、学習者の習得プロセスの特徴を学ぶ。対照分析、誤用分析、中間言語分析に関わる過去の試験問題を解く。 事前学修 2.0hr：レジュメを読む。　確認チェックをする。 事後学修 2.0hr：事後確認タスクを行う。コンセプトマップを作成する。
5回	**授業テーマ：モニターモデル** 授業内容：コンセプトクエスチョンに答える。ピアインストラクションを行う。モニターモデルの 5 つの仮説、習得学習仮説、習得順序、インプット仮説、モニター仮説、情意フィルター仮説を理解する。モニターモデルに関わる過去の試験問題を解く。 事前学修 2.0hr：レジュメを読む。　確認チェックをする。 事後学修 2.0hr：事後確認タスクを行う。コンセプトマップを作成する。
6回	**授業テーマ：インターアクション仮説、アウトプット仮説** 授業内容：コンセプトクエスチョンに答える。ピアインストラクションを行う。アウトプット仮説、インターアクション仮説など、何が習得を促進するかについての仮説と指導法を理解する。インターアクション仮説、アウトプット仮説に関わる過去の試験問題を解く。 事前学修 2.0hr：レジュメを読む。　確認チェックをする。 事後学修 2.0hr：事後確認タスクを行う。コンセプトマップを作成する。
7回	**授業テーマ：フォーカス・オン・フォーム** 授業内容：コンセプトクエスチョンに答える。ピアインストラクションを行う。フォーカス・オン・フォーム、フォーカス・オン・フォームズ、フォーカス・オン・ミーニングなどの指導法について学ぶ。フォーカス・オン・フォームに関わる過去の試験問題を解く。 事前学修 2.0hr：レジュメを読む　確認チェックをする。 事後学修 2.0hr：事後確認タスクを行う。コンセプトマップを作成する。

8回	**授業テーマ：ストラテジー** 授業内容：コンセプトクエスチョンに答える。ピアインストラクションを行う。学習ストラテジー・コミュニケーションストラテジーについて学ぶ。学習ストラテジー、会話ストラテジーなどに関わる過去の試験問題を解く。 事前学修 2.0hr：レジュメを読む。　確認チェックをする。 事後学修 2.0hr：事後確認タスクを行う。コンセプトマップを作成する。
9回	**授業テーマ：話す、聞く、読む、書くの心理プロセス** 授業内容：コンセプトクエスチョンに答える。ピアインストラクションを行う。言語理解、談話理解の過程を理解し、四技能の上達を目指す指導法について理解する。4 技能の学修に関わる過去の試験問題を解く。 事前学修 2.0hr：レジュメを読む。確認チェックをする。 事後学修 2.0hr：事後確認タスクを行う。コンセプトマップを作成する。
10回	**授業テーマ：統計・評価法** 授業内容：コンセプトクエスチョンに答える。ピアインストラクションを行う。成績処理やアクションリサーチなどに使う基本的な統計手法を理解する。統計、評価法に関わる過去の試験問題を解く。 事前学修 2.0hr：レジュメを読む。　確認チェックをする。 事後学修 2.0hr：事後確認タスクを行う。コンセプトマップを作成する。
11回	**授業テーマ：個人差要因** 授業内容：コンセプトクエスチョンに答える。ピアインストラクションを行う。動機付け、年齢差、ビリーフ、言語学習適性、学習スタイル、知能、正確、性差、不安度などが習得に及ぼす影響を理解する。個人差要因に関わる過去の試験問題を解く。 事前学修 2.0hr：レジュメを読む。　確認チェックをする。 事後学修 2.0hr：事後確認タスクを行う。コンセプトマップを作成する。
12回	**授業テーマ：子どもの第二言語習得** 授業内容：コンセプトクエスチョンに答える。ピアインストラクションを行う。バイリンガリズムの理論、バイリンガル教育について学ぶ。日本語指導が必要な児童生徒に対する施策について理解する。子どもの第二言語習得に関わる過去の試験問題を解く。 事前学修 2.0hr：レジュメを読む。　確認チェックをする。 事後学修 2.0hr：事後確認タスクを行う。コンセプトマップを作成する。
13回	**授業テーマ：異文化理解** 授業内容：コンセプトクエスチョンに答える。ピアインストラクションを行う。異文化理解における人の認知の仕組みにみられる特徴について学ぶ。ステレオタイプ、カテゴリー化などを含む。異文化理解に関わる過去の試験問題を解く。 事前学修 2.0hr：レジュメを読む。　確認チェックをする。 事後学修 2.0hr：事後確認タスクを行う。コンセプトマップを作成する。
14回	**授業テーマ：異文化適応** 授業内容：コンセプトクエスチョンに答える。ピアインストラクションを行う。異文化適応プロセスについて学ぶ。カルチャーショック、ソーシャルサポート、異文化トレーニングなどを扱う。異文化適応に関わる過去の試験問題を解く。 事前学修 2.0hr：レジュメを読む。　確認チェックをする。 事後学修 2.0hr：事後確認タスクを行う。コンセプトマップを作成する。
15回	**授業テーマ：振り返り、最終テスト、フィードバック** 授業内容：最終試験を行いフィードバックを行う。コース全体の振り返りを行う。 事前学修 2.0hr：レジュメを読む。　確認チェックをする。 事後学修 2.0hr：コンセプトマップを作成する。

検定対策Ⅳ

開講学科等：日　｜　2 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前

西川　寛之 (にしかわ　ひろゆき)

▌授業の概要

日本語教師【養成】における教育内容のうち、言語に関わる領域、「言語」、⑭日本語の構造(45)日本語教育のための語用論的規範、⑯コミュニケーション能力(46)受容・理解能力(47)言語運用能力(48)社会文化能力(49)対人関係能力(50)異文化調整能力　等を中心に学ぶ。さらに、上記項目を捉えたうえで、日本語教育の実践にどう結びつけるかを考える。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ②）

一般目標：日本語教育にかかわる「言語」に関する知識を身に付ける。
　　日本語を例として、言語を分析的に捉える方法を理解する。
　　日本語教育を実践する上で必要となるコミュニケーション能力を身につける。
個別目標：日本語を語用論的視点からも説明することができる。
　　コミュニケーション能力の必要性や方法を理解することができる。
　　非日本語母語話者に、日本語のコミュニケーション力を高めるための学習項目の説明ができる。
　　日本語教育の実践において円滑にコミュニケーションができる。

▌履修条件

小テスト、課題にしっかり取り組むこと。

▌評価基準・方法

平常評価(小テストや課題提出等による評価) 60 %、総復習テスト(40 %)

▌フィードバック方法

フィードバックは、教室および manaba において行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （振り返りシート、反転授業）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （統計資料等の確認に使用する。）

▌教科書

初回授業で指示する。
適宜プリントを配布する。

▌参考書

『日本語教育能力検定試験完全攻略ガイド　第 5 版』ヒューマンアカデミー著　翔泳社　ISBN978 － 4 － 7981 － 6719 － 0

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：日本語教育とは** 授業内容：日本語教育の社会的意義、日本語教育人材、日本語教師の役割、学習観の変遷等について学ぶ。 事前学修 2.0hr：講義概要を読み、疑問点を整理しておく。 事後学修 2.0hr：配布された問題に解答する。
2回	**授業テーマ：外国語教授法①** 授業内容：文法訳読法、ナチュラル・メソッド、直接法、ASTP、オーディオ・リンガル・メソッド等について学ぶ。 事前学修 2.0hr：教材の該当箇所を読み、授業に備える。専門用語の確認をする。 事後学修 2.0hr：学んだことをまとめ、その知見を活用して課題に答える。
3回	**授業テーマ：外国語教授法②** 授業内容：サイレント・ウェイ、CLL、TPR、サジェストペディア、コミュニカティブ・アプローチ、タスク中心の教授法、ナチュラル・アプローチ等について学ぶ。 事前学修 2.0hr：教材の該当箇所を読み、授業に備える。専門用語の確認をする。。 事後学修 2.0hr：学んだことをまとめ、その知見を活用して課題に答える。
4回	**授業テーマ：コース・デザイン** 授業内容：レディネス調査／分析、ニーズ調査／分析、シラバス、シラバス・デザイン、カリキュラム・デザイン等について学ぶ。 事前学修 2.0hr：教材の該当箇所を読み、授業に備える。専門用語の確認をする。 事後学修 2.0hr：学んだことをまとめ、その知見を活用して課題に答える。
5回	**授業テーマ：教材分析・教材開発** 授業内容：教材・教具・副教材、レアリア、生教材等について学ぶ。 事前学修 2.0hr：教材の該当箇所を読み、授業に備える。専門用語の確認をする。 事後学修 2.0hr：学んだことをまとめ、その知見を活用して課題に答える。
6回	**授業テーマ：授業の実施** 授業内容：授業の計画と準備、授業の構成、教案作成とシュミレーション、授業の振り返り、教師の成長等について学ぶ。 事前学修 2.0hr：教材の該当箇所を読み、授業に備える。専門用語の確認をする。 事後学修 2.0hr：学んだことをまとめ、その知見を活用して課題に答える。
7回	**授業テーマ：指導法** 授業内容：対象・目的別の指導、初級・中級・上級の違い、各レベルの特徴、レベル別言語技能の指導、技能別言語運用の指導等について学ぶ。 事前学修 2.0hr：教材の該当箇所を読み、授業に備える。専門用語の確認をする。 事後学修 2.0hr：学んだことをまとめ、その知見を活用して課題に答える。
8回	**授業テーマ：訂正フィードバック、学習者オートノミー** 授業内容：誤用についての考え方の変遷、訂正フィードバック、フィードバック時の注意事項、学習者オートノミー、自律学習について学ぶ。 事前学修 2.0hr：教材の該当箇所を読み、授業に備える。専門用語の確認をする。 事後学修 2.0hr：学んだことをまとめ、その知見を活用して課題に答える。
9回	**授業テーマ：評価** 授業内容：評価の分類と方法、テストの種類、テストによる評価、よいテストの条件、テストによらない評価、テスト理論、テストの分析等について学ぶ。 事前学修 2.0hr：教材の該当箇所を読み、授業に備える。専門用語の確認をする。 事後学修 2.0hr：学んだことをまとめ、その知見を活用して課題に答える。
10回	**授業テーマ：異文化コミュニケーション、異文化トレーニング** 授業内容：異文化コミュニケーション、異文化受容、異文化トレーニングの方法、コミュニケーションストラテジー等について学ぶ。 事前学修 2.0hr：教材の該当箇所を読み、授業に備える。専門用語の確認をする。 事後学修 2.0hr：母語喪失、母文化保持の問題についてまとめる。

11回	**授業テーマ：日本語教育と ICT、著作権** 授業内容：ICT、教育・学習リソース、日本語コーパス、情報リテラシー、著作権等について学ぶ。 事前学修 2.0hr：教材の該当箇所を読み、授業に備える。専門用語の確認をする 事後学修 2.0hr：学んだことをまとめ、その知見を活用して課題に答える。
12回	**授業テーマ：授業の実際１　レベル別** 授業内容：初級・初中級・中級・上級授業の計画と準備、授業の構成、教案作成、授業の実施、授業の振り返り等について学ぶ。 事前学修 2.0hr：教材の該当箇所を読み、授業に備える。専門用語の確認をする。 事後学修 2.0hr：学んだことをまとめ、その知見を活用して課題に答える。
13回	**授業テーマ：授業の実際２　技能別** 授業内容：ディスカッション・プレゼンテーション・ロールプレイ・作文・漢字学習・聴解授業等の計画と準備、授業の構成、教案作成、授業の実施、授業の振り返り等について学ぶ。 事前学修 2.0hr：教材の該当箇所を読み、授業に備える。専門用語の確認をする。 事後学修 2.0hr：学んだことをまとめ、その知見を活用して課題に答える。
14回	**授業テーマ：総復習** 授業内容：総復習をして弱点を発見するとともに、弱点を克服すべく理解を深める。 事前学修 2.0hr：これまで学んだことを振り返り、疑問点を明らかにしておく。 事後学修 2.0hr：学んだことをまとめ、その知見を活用して課題に答える。
15回	**授業テーマ：最終テストとフィードバック** 授業内容：最終テストを行う。自らの弱点を認識し、次の学習へつなげる。 事前学修 2.0hr：これまでの学習内容を再度振り返り、最終テストに備える。 事後学修 2.0hr：講義を振り返り、レポートにまとめる。

音声指導法研究／音声指導法研究Ⅰ

開講学科等：日　｜　3 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前

片桐　史尚（かたぎり　ふみたか）

▌授業の概要

日本語教育のための音韻・音声体系を学ぶ。具体的には音声上の諸問題を考察しその特徴を実践を通して把握する。また、「言葉の習得、発音の問題、聴取の問題、外国語との比較、学習者中心の発音指導、教師の日本語」を取り上げ、より客観的な音声の捉え方を学んでいく。また、日本語教育能力検定試験の「試Ⅱ」に対応する能力を養う科目である。そして「指導法」を学ぶ科目でもあるため、日本語教員志望の学生向きに構成されていることを理解されたい。

尚、日本語教師【養成】における教育内容では、⑭日本語の構造、（４０）日本語教育のための音韻・音声体系、に対応する科目である。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ②）

一般目標：日本語学習者に合理的な音声指導ができる。
　　日本語教育能力検定試験における「試験Ⅱ」で 7 割の解答ができる。
個別目標：母語と目標言語の音声上の対照を明らかにすることができる。

▌履修条件

日本語音声学、または音声学概論を履修済みであること。日本語の音声記号を把握していること。日本語教員志望者であること。

▌評価基準・方法

毎回の授業時における課題（授業内容の振り返り及び課題への取り組み）を 60 %とし、テストを 40 %とする。出席は 5 分の 4 以上とする。（欠席については事前に連絡をする。）

▌フィードバック方法

課題および試験のフィードバックは manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ピア・ラーニングを行う。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （音声における図の参照時に使用する。）

▌教科書

毎回、プリントを配布するが、欠席した場合はクラスメートのプリントをコピーし授業に臨むこと。

▌参考書

高見澤孟／監修『はじめての日本語教育』（アスク）
猪塚元「演習 聴解問題」『平成２７年度合格するための本』（アルク）
窪園晴夫監修『日本語の発音教室 理論と練習』（くろしお出版）
公益財団法人日本国際教育支援協会『日本語教育能力検定試験 試験問題』（凡人社）　・過去 10 年の試Ⅱを参考

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：日本語教育能力検定試験（試Ⅱ）問題 1 対応 1** 授業内容：日本語教育能力検定試験における「試Ⅱ」の問題 1 に対応するための能力を養う。この問題 1 は問題用紙に書いてある 5 拍から 9 拍の（学習者の）発音における「アクセントを聞き取る問い 6 題」により構成されている。日本語の高低をつかめない履修者は多く、これは日本語母語話者、日本語非母語話者を問わずの問題である。「学習者が発話する日本語のアクセントの高低」を聞き、これを修正する能力を養成する。 事前学修 2.0hr：日本語の高低アクセントの特徴を調べておく。 事後学修 2.0hr：問題用紙にある日本語の高低を読んでくる。
2回	**授業テーマ：日本語教育能力検定試験（試Ⅱ）問題 1 対応２** 授業内容：日本語教育能力検定試験における「試Ⅱ」の問題 1 に対応するための能力を養う。この問題 1 は問題用紙に書いてある 5 拍から 9 拍の（学習者の）発音における「アクセントを聞き取る問い」6 題により構成されている。日本語の高低をつかめない履修者は多く、これは日本語母語話者、日本語非母語話者を問わずの問題である。学習者が発話する「日本語のアクセントの高低」を聞き、これを修正する能力を養成する。 事前学修 2.0hr：あらかじめ配布された資料を読み質問に答える。 事後学修 2.0hr：問題用紙にある日本語の高低を読んでくる。
3回	**授業テーマ：日本語教育能力検定試験（試Ⅱ）問題 1 対応３** 授業内容：日本語教育能力検定試験における「試Ⅱ」の問題 1 に対応するための能力を養う。この問題 1 は問題用紙に書いてある 5 拍から 9 拍の（学習者の）発音における「アクセントを聞き取る」問い 6 題により構成されている。日本語の高低をつかめない履修者は多く、これは日本語母語話者、日本語非母語話者を問わずの問題である。学習者が発話する「日本語のアクセントの高低」を聞き、これを修正する能力を養成する。 事前学修 2.0hr：あらかじめ配布された資料を読み質問に答える。 事後学修 2.0hr：問題用紙にある日本語の高低を読んでくる。
4回	**授業テーマ：日本語教育能力検定試験（試Ⅱ）問題２対応１** 授業内容：日本語教育能力検定試験における「試Ⅱ」の問題２に対応するための能力を養う。この問題２は日本語母語話者の発話に答える「学習者の発話」を、「文末イントネーション」「拍の長さ」「プロミネンス」「アクセントの下がり目」などの文を単位とした「読み方の問題を指摘する問い」6 題により構成されている。これらの日本語の特徴を把握できない履修者は少なくなく、これは日本語母語話者、日本語非母語話者を問わずの問題である。 事前学修 2.0hr：問題 2 のキーワードを調べてくる。 事後学修 2.0hr：特殊音節についてまとめる。
5回	**授業テーマ：日本語教育能力検定試験（試Ⅱ）問題２対応２** 授業内容：日本語教育能力検定試験における「試Ⅱ」の問題２に対応するための能力を養う。この問題２は日本語母語話者の発話に答える「学習者の発話」を、「文末イントネーション」「拍の長さ」「プロミネンス」「アクセントの下がり目」などの文を単位とした「読み方の問題を指摘する問い」6 題により構成されている。これらの日本語の特徴を把握できない履修者は少なくなく、これは日本語母語話者、日本語非母語話者を問わずの問題である。 事前学修 2.0hr：あらかじめ配布された資料を読み質問に答える。 事後学修 2.0hr：文末イントネーションに留意し復習する。
6回	**授業テーマ：日本語教育能力検定試験（試Ⅱ）問題２対応３** 授業内容：日本語教育能力検定試験における「試Ⅱ」の問題２に対応するための能力を養う。この問題２は日本語母語話者の発話に答える「学習者の発話」を、「文末イントネーション」「拍の長さ」「プロミネンス」「アクセントの下がり目」などの文を単位とした「読み方の問題を指摘する問い」6 題により構成されている。これらの日本語の特徴を把握できない履修者は少なくなく、これは日本語母語話者、日本語非母語話者を問わずの問題である。 事前学修 2.0hr：あらかじめ配布された資料を読み質問に答える。 事後学修 2.0hr：会話文を聞き、プロミネンスを聞き取れるようにする。

7回	**授業テーマ：日本語教育能力検定試験(試Ⅱ)問題３対応１** 授業内容：日本語教育能力検定試験における「試Ⅱ」の問題３に対応するための能力を養う。この問題３は、学習者の誤った発音の特徴を「口腔断面図」や「声帯振動の有無」「調音点」「調音法」などの「調音の特徴を示す選択肢で指摘する問い」8 題で構成されている。この分野を苦手とする学習者は多く、これは日本語母語話者、日本語非母語話者を問わずの問題である。 事前学修 2.0hr：口腔断面図を確認しておく。 事後学修 2.0hr：問題中の口腔断面図を復習する。
8回	**授業テーマ：日本語教育能力検定試験(試Ⅱ)問題３対応２** 授業内容：日本語教育能力検定試験における「試Ⅱ」の問題３に対応するための能力を養う。この問題３は、学習者の誤った発音の特徴を「口腔断面図」や「声帯振動の有無」「調音点」「調音法」などの「調音の特徴を示す選択肢で指摘する問い」8 題で構成されている。この分野を苦手とする学習者は多く、これは日本語母語話者、日本語非母語話者を問わずの問題である。早めの対策が必要である。 事前学修 2.0hr：声帯振動の有無について確認しておく。 事後学修 2.0hr：問題にあった声帯振動の有無について復習する。
9回	**授業テーマ：日本語教育能力検定試験(試Ⅱ)問題３対応３** 授業内容：日本語教育能力検定試験における「試Ⅱ」の問題３に対応するための能力を養う。この問題３は、学習者の誤った発音の特徴を「口腔断面図」や「声帯振動の有無」「調音点」「調音法」などの「調音の特徴を示す選択肢で指摘する問い」8 題で構成されている。この分野を苦手とする学習者は多く、これは日本語母語話者、日本語非母語話者を問わずの問題である。早めの対策が必要である。 事前学修 2.0hr：調音法について確認しておく。 事後学修 2.0hr：問題にあった調音法を復習する。
10回	**授業テーマ：日本語教育能力検定試験(試Ⅱ)問題４対応１** 授業内容：日本語教育能力検定試験における「試Ⅱ」の問題４に対応するための能力を養う。この問題４は、日本語を母語話者と日本語非母語話者」の会話などを聞き、非母語話者の会話の特徴、ディスコミュニケーションの原因、音声的特徴や文法的な問題点、教師の質問における特徴、学習者の音声的パターンを聞き取り答える問題である。この分野を苦手とする学習者は多く、これは日本語母語話者、日本語非母語話者を問わずの問題である。早めの対策が必要である。 事前学修 2.0hr：あらかじめ配布された資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：問題文にある用語を復習する。
11回	**授業テーマ：日本語教育能力検定試験(試Ⅱ)問題４対応２** 授業内容：日本語教育能力検定試験における「試Ⅱ」の問題４に対応するための能力を養う。この問題４は、日本語を母語話者と日本語非母語話者」の会話などを聞き、非母語話者の会話の特徴、ディスコミュニケーションの原因、音声的特徴や文法的な問題点、教師の質問における特徴、学習者の音声的パターンを聞き取り答える問題である。この分野を苦手とする学習者は多く、これは日本語母語話者、日本語非母語話者を問わずの問題である。早めの対策が必要である。 事前学修 2.0hr：あらかじめ配布された資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：問題文にある用語を復習する。
12回	**授業テーマ：日本語教育能力検定試験(試Ⅱ)問題４対応３** 授業内容：日本語教育能力検定試験における「試Ⅱ」の問題４に対応するための能力を養う。この問題４は、日本語を母語話者と日本語非母語話者」の会話などを聞き、非母語話者の会話の特徴、ディスコミュニケーションの原因、音声的特徴や文法的な問題点、教師の質問における特徴、学習者の音声的パターンを聞き取り答える問題である。この分野を苦手とする学習者は多く、これは日本語母語話者、日本語非母語話者を問わずの問題である。早めの対策が必要である。 事前学修 2.0hr：あらかじめ配布された資料を読んでくる。 事後学修 2.0hr：問題文にある用語を復習する。
13回	**授業テーマ：日本語教育能力検定試験(試Ⅱ)問題５対応１** 授業内容：学習者の聴解素材や問題を聞き、その特徴や問題点について答える問題が問題 5 である。聴解は言語知識を活用し、文脈や場面、背景知識を手掛かりに音声情報を頭の中で再構築し、意味を理解していく過程である。重要なことは、良い聴解教材や問題がどのようなものであるかということを理解しておくことである。聴解問題としての問題の「妥当性」や「信頼性」については特に注意すべきであり、この授業の中でその能力を身に付ける練習をしていく。 事前学修 2.0hr：あらかじめ配布された資料を読み質問に答える。 事後学修 2.0hr：問題の信頼性と妥当性について復習する。
14回	**授業テーマ：日本語教育能力検定試験(試Ⅱ)問題５対応２** 授業内容：学習者の聴解素材や問題を聞き、その特徴や問題点について答える問題が問題 5 である。聴解は言語知識を活用し、文脈や場面、背景知識を手掛かりに音声情報を頭の中で再構築し、意味を理解していく過程である。重要なことは、良い聴解教材や問題がどのようなものであるかということを理解しておくことである。聴解問題としての問題の「妥当性」や「信頼性」については特に注意すべきであり、この授業の中でその能力を身に付ける練習をしていく。 事前学修 2.0hr：あらかじめ配布された資料を読み質問に答える。 事後学修 2.0hr：自分の音声を客観的に見つめ、他者との違いを確認する。
15回	**授業テーマ：日本語教育能力検定試験(試Ⅱ)問題５対応３** 授業内容：学習者の聴解素材や問題を聞き、その特徴や問題点について答える問題が問題 5 である。聴解は言語知識を活用し、文脈や場面、背景知識を手掛かりに音声情報を頭の中で再構築し、意味を理解していく過程である。重要なことは、良い聴解教材や問題がどのようなものであるかということを理解しておくことである。聴解問題としての問題の「妥当性」や「信頼性」については特に注意すべきであり、この授業の中でその能力を身に付ける練習をしていく。 事前学修 2.0hr：あらかじめ配布された資料を読み質問に答える。 事後学修 2.0hr：自分の得意な指導、不得意な指導を認識しまとめる。

文型指導法研究／文型指導法研究Ⅰ

開講学科等：日　｜　3 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前

片桐　史尚（かたぎり　ふみたか）

▌授業の概要

日本語初・中級教材における文型指導に必要な知識と技術・方法を学び、日本語教育のための文法体系を把握する。
助詞では「複合格助詞、取り立て助詞」、文末表現では「テンス・アスペクト的なもの、複合動詞」、ムード(モダリティ)、従属節では、学習者が学びにくいとされる項目を取り上げ、その具体的な指導方法を考え、伝達能力を養った上で「模擬的な実習」を行う。これらの学びにより、養成講座などであまり取り上げられない中級指導法に自信を持てるようにする。
尚、日本語教師【養成】における教育内容では、⑩言語と教育法・実習、(２３)コースデザイン、(２４)教授法、(２５)教材分析・作成・開発、(２６)評価法、に対応する科目である。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ②）

一般目標：初・中級で学ぶ文法・文型事項の説明・指導ができる。
個別目標：日本語教育のための文法体系を把握し、初級・中級レベルの日本語の指導力をつけることができる。

▌履修条件

日本語教員志望者であることが望ましい。

▌評価基準・方法

毎回の授業時における課題(授業内容の振り返り及び課題への取り組み)を 60 %とし、テストを 40 %とする。出席は 5 分の 4 以上とする。(欠席については事前に連絡をする。)

▌フィードバック方法

課題および試験のフィードバックは manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ピア・ラーニングを行う。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （類義語、誤用分析、漢字についての説明時において使用する。）

▌教科書

添付資料を教材とする。

▌参考書

名柄迪監修 井口厚夫、井口裕子著『日本語文法整理読本』(バベルプレス)
市川保子『初級日本語文法と教え方のポイント』(スリーエーネットワーク)
市川保子『中級日本語文法と教え方のポイント』(スリーエーネットワーク)
市川保子編著『日本語誤用辞典』(スリーエーネット一ワーク)
山内博之『日本語の文法－基礎』(アルク)
小林ミナ『日本語の文法－応用』(アルク)

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：品詞１(品詞分類、動詞、イ／ナ形容詞、名詞)** 授業内容：文型指導を行う上で「知識として必要となる初級の文法」を学ぶ。ここで学ぶのは、日本語非母語話者を対象とする「文法」であり、その知識を活用した「文型」である点に留意されたい。日本語母語話者は暗示的知識から明示的知識への転換が必要であり、日本語非母語話者は自ら学ぶことから学習者への配慮を通した学びへの転換が必要である。一見、それほど難しいこととは思えないかもしれないが、学びのスタイルを変えることは時間がかかるものである。その点を考慮して、品詞分類、動詞、イ／ナ形容詞、名詞について学んでいく。 事前学修 2.0hr：講義概要を読んでわからない点をまとめる。 事後学修 2.0hr：Ｎ５とＮ４レベルの文型を確認する。
2回	**授業テーマ：品詞２(数詞・助数詞、副詞、オノマトペ、指示詞(コソアド詞、助動詞、助詞、語構成、活用)** 授業内容：文型指導を行う上で「知識として必要となる初級の文法」を学ぶ。ここで学ぶのは、日本語非母語話者を対象とする「文法」であり、その知識を活用した「文型」である点に留意されたい。日本語母語話者は暗示的知識から明示的知識への転換が必要であり、日本語非母語話者は自ら学ぶことから学習者への配慮を通した学びへの転換が必要である。一見、それほど難しいこととは思えないかもしれないが、学びのスタイルを変えることは時間がかかるものである。その点を考慮して、数詞・助数詞、副詞、オノマトペ、指示詞について学んでいく。 事前学修 2.0hr：あらかじめ配布されたプリントを読む。 事後学修 2.0hr：Ｎ５とＮ４レベルの文型を確認する。
3回	**授業テーマ：文の特徴と種類１(日本語文の特徴、文の種類)** 授業内容：文型指導を行う上で「知識として必要となる初級の文法」を学ぶ。ここで学ぶのは、日本語非母語話者を対象とする「文法」であり、その知識を活用した「文型」である点に留意されたい。日本語母語話者は暗示的知識から明示的知識への転換が必要であり、日本語非母語話者は自ら学ぶことから学習者への配慮を通した学びへの転換が必要である。一見、それほど難しいこととは思えないかもしれないが、学びのスタイルを変えることは時間がかかるものである。その点を考慮して、日本語文の特徴、文の種類について学んでいく。 事前学修 2.0hr：あらかじめ配布されたプリントを読む。 事後学修 2.0hr：Ｎ５とＮ４レベルの文型を確認する。
4回	**授業テーマ：文の特徴と種類２(特殊な構文、複文と従属節)** 授業内容：文型指導を行う上で「知識として必要となる初級の文法」を学ぶ。ここで学ぶのは、日本語非母語話者を対象とする「文法」であり、その知識を活用した「文型」である点に留意されたい。日本語母語話者は暗示的知識から明示的知識への転換が必要であり、日本語非母語話者は自ら学ぶことから学習者への配慮を通した学びへの転換が必要である。一見、それほど難しいこととは思えないかもしれないが、学びのスタイルを変えることは時間がかかるものである。その点を考慮して、特殊な構文、複文と従属節について学んでいく。 事前学修 2.0hr：あらかじめ配布されたプリントを読む。 事後学修 2.0hr：Ｎ５とＮ４レベルの文型を確認する。
5回	**授業テーマ：文の成分　語と語の関係１(述語と名詞句の関係)** 授業内容：文型指導を行う上で「知識として必要となる初級の文法」を学ぶ。ここで学ぶのは、日本語非母語話者を対象とする「文法」であり、その知識を活用した「文型」である点に留意されたい。日本語母語話者は暗示的知識から明示的知識への転換が必要であり、日本語非母語話者は自ら学ぶことから学習者への配慮を通した学びへの転換が必要である。一見、それほど難しいこととは思えないかもしれないが、学びのスタイルを変えることは時間がかかるものである。その点を考慮して、述語と名詞句の関係について学んでいく。 事前学修 2.0hr：あらかじめ配布されたプリントを読む。 事後学修 2.0hr：Ｎ５とＮ４レベルの文型を確認する。

6回	**授業テーマ：文の成分　語と語の関係２（語句と語句の関係）** 授業内容：文型指導を行う上で「知識として必要となる初級の文法」を学ぶ。ここで学ぶのは、日本語非母語話者を対象とする「文法」であり、その知識を活用した「文型」である点に留意されたい。日本語母語話者は暗示的知識から明示的知識への転換が必要であり、日本語非母語話者は自ら学ぶことから学習者への配慮を通した学びへの転換が必要である。一見、それほど難しいこととは思えないかもしれないが、学びのスタイルを変えることは時間がかかるものである。その点を考慮して、語句と語句の関係について学んでいく。 事前学修 2.0hr：あらかじめ配布されたプリントを読む。 事後学修 2.0hr：Ｎ５とＮ４レベルの文型を確認する。
7回	**授業テーマ：テンス・アスペクト(「ている」を含む)** 授業内容：文型指導を行う上で「知識として必要となる初級の文法」を学ぶ。ここで学ぶのは、日本語非母語話者を対象とする「文法」であり、その知識を活用した「文型」である点に留意されたい。日本語母語話者は暗示的知識から明示的知識への転換が必要であり、日本語非母語話者は自ら学ぶことから学習者への配慮を通した学びへの転換が必要である。一見、それほど難しいこととは思えないかもしれないが、学びのスタイルを変えることは時間がかかるものである。その点を考慮して、テンス・アスペクト(「ている」を含む)について学んでいく。 事前学修 2.0hr：あらかじめ配布されたプリントを読む。 事後学修 2.0hr：Ｎ５とＮ４レベルの文型を確認する。
8回	**授業テーマ：ムード(推量、確信、説明)** 授業内容：文型指導を行う上で「知識として必要となる初級の文法」を学ぶ。ここで学ぶのは、日本語非母語話者を対象とする「文法」であり、その知識を活用した「文型」である点に留意されたい。日本語母語話者は暗示的知識から明示的知識への転換が必要であり、日本語非母語話者は自ら学ぶことから学習者への配慮を通した学びへの転換が必要である。一見、それほど難しいこととは思えないかもしれないが、学びのスタイルを変えることは時間がかかるものである。その点を考慮して、ムード(推量、確信、説明)について学んでいく。 事前学修 2.0hr：あらかじめ配布されたプリントを読む。 事後学修 2.0hr：Ｎ５とＮ４レベルの文型を確認する。
9回	**授業テーマ：ヴォイス(受身、可能・自発、使役、使役受け身)** 授業内容：文型指導を行う上で「知識として必要となる初級の文法」を学ぶ。ここで学ぶのは、日本語非母語話者を対象とする「文法」であり、その知識を活用した「文型」である点に留意されたい。日本語母語話者は暗示的知識から明示的知識への転換が必要であり、日本語非母語話者は自ら学ぶことから学習者への配慮を通した学びへの転換が必要である。一見、それほど難しいこととは思えないかもしれないが、学びのスタイルを変えることは時間がかかるものである。その点を考慮して、ヴォイス(受身、可能・自発、使役、使役受け身)について学んでいく。 事前学修 2.0hr：あらかじめ配布されたプリントを読む。 事後学修 2.0hr：Ｎ５とＮ４レベルの文型を確認する。
10回	**授業テーマ：連体修飾節１（連体修飾節の特性、内の関係の連体修飾節）** 授業内容：文型指導を行う上で「知識として必要となる初級の文法」を学ぶ。ここで学ぶのは、日本語非母語話者を対象とする「文法」であり、その知識を活用した「文型」である点に留意されたい。日本語母語話者は暗示的知識から明示的知識への転換が必要であり、日本語非母語話者は自ら学ぶことから学習者への配慮を通した学びへの転換が必要である。一見、それほど難しいこととは思えないかもしれないが、学びのスタイルを変えることは時間がかかるものである。その点を考慮して、連体修飾節の特性、内の関係の連体修飾節について学んでいく。 事前学修 2.0hr：あらかじめ配布されたプリントを読む。 事後学修 2.0hr：Ｎ５とＮ４レベルの文型を確認する。
11回	**授業テーマ：連体修飾節２（制限用法・非制限用法、補足節）** 授業内容：文型指導を行う上で「知識として必要となる初級の文法」を学ぶ。ここで学ぶのは、日本語非母語話者を対象とする「文法」であり、その知識を活用した「文型」である点に留意されたい。日本語母語話者は暗示的知識から明示的知識への転換が必要であり、日本語非母語話者は自ら学ぶことから学習者への配慮を通した学びへの転換が必要である。一見、それほど難しいこととは思えないかもしれないが、学びのスタイルを変えることは時間がかかるものである。その点を考慮して、制限用法・非制限用法、補足節について学んでいく。 事前学修 2.0hr：あらかじめ配布されたプリントを読む。 事後学修 2.0hr：Ｎ５とＮ４レベルの文型を確認する。
12回	**授業テーマ：接続１（並列接続／テ形・連用接続など）** 授業内容：文型指導を行う上で「知識として必要となる初級の文法」を学ぶ。ここで学ぶのは、日本語非母語話者を対象とする「文法」であり、その知識を活用した「文型」である点に留意されたい。日本語母語話者は暗示的知識から明示的知識への転換が必要であり、日本語非母語話者は自ら学ぶことから学習者への配慮を通した学びへの転換が必要である。一見、それほど難しいこととは思えないかもしれないが、学びのスタイルを変えることは時間がかかるものである。その点を考慮して、並列接続／テ形・連用接続などについて学んでいく。 事前学修 2.0hr：あらかじめ配布されたプリントを読む。 事後学修 2.0hr：Ｎ５とＮ４レベルの文型を確認する。
13回	**授業テーマ：接続２（従属節の関係、従属の程度）** 授業内容：文型指導を行う上で「知識として必要となる初級の文法」を学ぶ。ここで学ぶのは、日本語非母語話者を対象とする「文法」であり、その知識を活用した「文型」である点に留意されたい。日本語母語話者は暗示的知識から明示的知識への転換が必要であり、日本語非母語話者は自ら学ぶことから学習者への配慮を通した学びへの転換が必要である。一見、それほど難しいこととは思えないかもしれないが、学びのスタイルを変えることは時間がかかるものである。その点を考慮して、従属節の関係、従属の程度について学んでいく。 事前学修 2.0hr：あらかじめ配布されたプリントを読む。 事後学修 2.0hr：Ｎ５とＮ４レベルの文型を確認する。
14回	**授業テーマ：談話１（文脈指示コソア、省略、主題）** 授業内容：文型指導を行う上で「知識として必要となる初級の文法」を学ぶ。ここで学ぶのは、日本語非母語話者を対象とする「文法」であり、その知識を活用した「文型」である点に留意されたい。日本語母語話者は暗示的知識から明示的知識への転換が必要であり、日本語非母語話者は自ら学ぶことから学習者への配慮を通した学びへの転換が必要である。一見、それほど難しいこととは思えないかもしれないが、学びのスタイルを変えることは時間がかかるものである。その点を考慮して、文脈指示コソア、省略、主題について学んでいく。 事前学修 2.0hr：あらかじめ配布されたプリントを読む。 事後学修 2.0hr：Ｎ５とＮ４レベルの文型を確認する。
15回	**授業テーマ：談話２（旧情報・新情報、「は」と「が」の使い分け、視点 行く・来る、授受動詞** 授業内容：文型指導を行う上で「知識として必要となる初級の文法」を学ぶ。ここで学ぶのは、日本語非母語話者を対象とする「文法」であり、その知識を活用した「文型」である点に留意されたい。日本語母語話者は暗示的知識から明示的知識への転換が必要であり、日本語非母語話者は自ら学ぶことから学習者への配慮を通した学びへの転換が必要である。一見、それほど難しいこととは思えないかもしれないが、学びのスタイルを変えることは時間がかかるものである。その点を考慮して、旧情報・新情報、「は」と「が」の使い分け、視点 行く・来る、授受動詞について学んでいく。 事前学修 2.0hr：あらかじめ配布されたプリントを読む。 事後学修 2.0hr：Ｎ５とＮ４レベルの文型を確認する。

評価法研究

開講学科等：日　｜　2 年次　｜　2 単位　｜　開講期：後

西川　寛之 (にしかわ　ひろゆき)

▌授業の概要

外国語教育の中で用いられる評価法を中心に、「測定」と「評価」を明確に区別しながら、様々なテスト形式の概観を行う。
授業外の学習時間にレポートを課す。また、評価を行うためのテストの作成も行う。
遠隔授業での活動も視野に入れたテスト作成を実施する予定である。本科目は日本語教師【養成】における必須の教育内容㉖評価法を扱う。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ②）

一般目標：言語テストの評価の持つ意味を理解し説明できること。
　　評価と測定の違いを理解し、得たい情報を得るためのテストづくりができること。
個別目標：「評価」と「測定」の関係について理解し、説明することができる。
　　数値化されたデータを分析し、相対的な評価を与えることができる。
　　複数の「評価」の方法を理解し、その違いについて述べることができる。
　　テストの結果を Excel 等により分析し、グラフ化することができる。

▌履修条件

特になし
Excel 等の基本的な処理作業を行う知識があることが望ましい。

▌評価基準・方法

授業内の成果物 40%、理解度確認の小テストによる評価 10 %、
期末試験による評価 50%の結果及び到達目標の達成度に基づき総合的に評価する。

▌フィードバック方法

授業内及び manaba にてフィードバックを行なう。
manaba による成果物(小テスト等)の一部については採点結果と解説を用いてフィードバックを行なう。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （課題において分析作業に用いる(エクセル、ワード)）

▌教科書

なし。
適宜授業内のスライドにて授業を進める。資料については、授業内で適宜指示を行う。

▌参考書

『言語教育プログラムを可視化する』松下達彦、札野寛子　ISBN　978-4-86746-027-6

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：日本語学習者が受ける試験について外観を学ぶ。その他、授業の進め方について。** 授業内容：日本語能力試験(JLPT)や日本留学試験(EJU)を概観する その他の言語、英語や中国語の資格試験について紹介する 事前学修 2.0hr：日本語学習者が受ける試験について調べておくこと。 事後学修 2.0hr：日本語教育以外の語学試験について調べノート等にまとめること。
2 回	**授業テーマ：試験の結果として用いられる評価について。評価と測定の違いについて。** 授業内容：「評価」「評定」「測定」などの言葉について授業内の定義を行う 生活の中にある評価、評定、測定について考える 事前学修 2.0hr：外国語以外にどのような試験があるか調べておくこと。 事後学修 2.0hr：仕事をする上で必要となる資格試験等について調べること。
3 回	**授業テーマ：テストの目的による分類(プレースメントテストなど)** 授業内容：教育機関におけるテストの目的と、 目的にそったテストの形式、結果の評価の違いについて学ぶ 事前学修 2.0hr：仕事上必要な資格とそれ以外の資格について違いをまとめておくこと。 事後学修 2.0hr：試験の結果の利用について、自身の経験からどのような形で評価を受けたかまとめること。
4 回	**授業テーマ：教室活動と問題作成について。** 授業内容：学習成果を見るための試験と、現在の能力を見極めるための試験の違いについて学び、 具体的な試験作成を体験する 事前学修 2.0hr：健康診断等を含め、自身が受けた評価が使われた場面をまとめること。 事後学修 2.0hr：語学教育を行う上で、どのような測定、評価を用いることがあるのかを考えてまとめる。
5 回	**授業テーマ：試験結果と得点、評価の目的と集計方法について。** 授業内容：各自が作成した試験を教室内で相互に解答する。 解答を採点し、結果を S-P 表にまとめる(S-P 表の作成については授業内で指示する) 事前学修 2.0hr：S-P 表について調べてノート等にまとめておく。 事後学修 2.0hr：授業中に指示する「評価」のための問題を作ること。
6 回	**授業テーマ：集計結果をもとにした評価方法。** 授業内容：S-P 表の分析方法について学ぶ 教育現場における試験の結果は、教師側の教育を測る指標でもある。 試験の結果から分かること、推測できることについて学ぶ 事前学修 2.0hr：授業中に指示する「評価」のための問題を 5 名以上に試し結果を持参すること。 事後学修 2.0hr：授業中にまとめた「問題」を分析してくること。
7 回	**授業テーマ：信頼性と妥当性について。** 授業内容：試験の結果は、試験自体の評価にも用いられる 試験としての質を確認する際に必要な視点について学ぶ 事前学修 2.0hr：授業中にまとめた問題の難易度について予想をしまとめておくこと。 事後学修 2.0hr：難易度を調べるために、授業中の指示の通り、データを集める。

8回	**授業テーマ：テストの出題形式について。** 授業内容：試験の出題形式と、妥当性、信頼性、結果の値の読み方について考える ベルカーブ、チャンスレベルといった用語の理解とともに、試験自体の評価についても学ぶ 事前学修 2.0hr：難易度を調べるために、授業中の指示の通り、データの集計をすること。 事後学修 2.0hr：予想と結果の比較をレポートとしてまとめること。
9回	**授業テーマ：読解能力を評価するテストについて。** 授業内容：読解能力を例にとり、信頼性、妥当性の観点から試験について分析を行う 読解能力の評価を目的とした出題を概観しながら、各出題の目的について考察する 事前学修 2.0hr：日本語能力試験の過去の分析報告書が読めるようにしておくこと。 事後学修 2.0hr：読解力の評価について、『報告書』を基にしたレポートを作成すること。
10回	**授業テーマ：産出能力を計るテストについて学ぶ。** 授業内容：産出能力の評価について考える 書く、話すという技能についての理解を深める 産出能力を評価する際に考えられる指標について学ぶ 事前学修 2.0hr：OPI について調べてノート等にまとめておくこと。 事後学修 2.0hr：「妥当性」を高めるためのポイントについてまとめること。
11回	**授業テーマ：テストの作成準備活動。** 授業内容：目的に応じた試験の問題作成作業を行う 各自が評価項目を設定し、プロフィシェンシーテストとして問題を作成する 作成した問題は回答を得た上で回答を分析し、問題として適切であったかどうか評価を行う資料とする 事前学修 2.0hr：授業中の指示に従い、テスト作成の準備をしておくこと。 事後学修 2.0hr：作成したテストについて、どのような工夫を施したのかレポートにまとめること。
12回	**授業テーマ：グループでのテストの作成活動。** 授業内容：各自が評価項目を設定し、プロフィシェンシーテストとして問題を作成する 問題をピアレビューし、ディスカッションの上各自で修正を行う 事前学修 2.0hr：作成したテストを見直し、清書し持参すること。 事後学修 2.0hr：作成したテストをグループで統一した書式にまとめる。
13回	**授業テーマ：作成したテストを用いた評価の実践。** 授業内容：自身が作成した試験を実施し、その解答結果を分析する 解答者の評価に加え、自身が作成した試験問題の評価も行う 事前学修 2.0hr：グループで作成したテストを授業で指示された人数に実施すること。 事後学修 2.0hr：実施したテスト結果を統合し、分析レポートを作成すること。(試験結果)
14回	**授業テーマ：自身が作成した試験とその評価の妥当性について。** 授業内容：自身が作成した試験問題に対して得た解答を集計する 集計結果を基に、試験自体が妥当なものであったか評価を行う 事前学修 2.0hr：実施したテストの結果を基に、どのような評価が可能かまとめておくこと。 事後学修 2.0hr：グループで作成したテストの強みと欠点について分析しまとめること。(試験の評価)
15回	**授業テーマ：まとめ：評価の目的と使用例等についての理解。** 授業内容：評価とその目的について、ステイクホルダーという言葉をキーワードとして分析する 具体的な試験結果の使用例(合否、級、スコア)を事例として集める 事前学修 2.0hr：「評価」を行う上で気をつける点をまとめる。 事後学修 2.0hr：「評価」の難しい点がどのようなものか、レポート作成をすること。

教案作成研究

開講学科等：日　｜　2 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前

田川　麻央 (たがわ　まお)

▌授業の概要

日本語教師【養成】における教育内容のうち、教育に関わる領域、「言語と教育」⑩言語教育法・実習分野区分のうち、特に(23)コースデザインにかかわることを学ぶ。初級のシラバスについての基礎的な知識を得、日本語教育対象者の多様化を理解した上で、基本的な初級授業の組み立て方と実施方法を身につけていく。理論を理解した上で実践(発表)を行い、理解を深める。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ③）

一般目標：初級のコースデザインにおいて気をつけるべき点を理解する。
　　教案作成の意味を理解した上で、効果的な教案を作ることができる。
　　初級レベルの授業についての全体像を理解する。
個別目標：(1) 初級のコースデザインについて重要ポイントを説明することができる。
　　(2) 初級の教案を作成することができる。
　　(3) 初級の学習者に対する授業を実施することができる。

▌履修条件

・初回授業に必ず出席すること。
・決められた日に必ず発表をすること。
・課題提出期限を守ること。
・主体的に取り組むこと。

▌評価基準・方法

平常評価(40 %)、教案作成(30%)、発表(30 %)

▌フィードバック方法

フィードバックは、教室内および manaba において行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク、発表や相互点検など他者と協働する機会が多数ある。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （毎回 manaba を使用する。）

▌教科書

資料を配布する。

▌参考書

授業内で適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス・教案とは** 授業内容：授業の進め方について説明する。授業に参加する際の注意事項、取り組み姿勢について伝える。また、「教案」とは何なのかについて考える。 事前学修 2.0hr：講義概要を読んで本講義の概要をつかむ。 事後学修 2.0hr：教科書を見てどのような文型があるかを書きだす。
2回	**授業テーマ：教案作成の前提事項** 授業内容：教案作成の意義について考え、その目的を明確にする。教案の書き方の概要をつかむ。合わせて初級クラスでの教室活動についても必要事項をおさえる。 事前学修 2.0hr：これまでに学んだ日本語教育に関する用語を復習する。 事後学修 2.0hr：教室活動に関する基礎知識を自分なりにまとめる。
3回	**授業テーマ：初級文型の確認と教案作成の注意点** 授業内容：初級ではどのような文型を学ぶのか確認する。また、初級の授業を進めるに際しての注意点を確認する。 事前学修 2.0hr：指定された課題について考える。 事後学修 2.0hr：教案作成のポイントについてまとめメモを作る。
4回	**授業テーマ：初級クラスでの評価** 授業内容：初級クラスでの教室活動をするに際し、評価についての注意点を確認する。評価の意義や目的、さまざまな評価方法があることを確認する。 事前学修 2.0hr：指定された課題について考える。 事後学修 2.0hr：教案作成のポイントについてまとめメモを作る。
5回	**授業テーマ：初級文型導入の考案と検討** 授業内容：文型導入をする際の注意点を確認する。グループで導入方法を考え、さらに検討を行う。 事前学修 2.0hr：指定された課題をする。 事後学修 2.0hr：授業で指摘された注意点について振り返り、教案を訂正する。
6回	**授業テーマ：初級文型応用練習の考案と検討** 授業内容：文型導入をした後の練習方法を確認する。グループで練習方法を考え、さらに検討を行う。 事前学修 2.0hr：指定された課題をする。 事後学修 2.0hr：授業で指摘された注意点について振り返り、教案を訂正する。
7回	**授業テーマ：初級文型導入・応用練習の教案作成** 授業内容：文型導入をする際の注意点を確認する。グループで応用練習を考え、さらに検討を行う。 事前学修 2.0hr：指定された課題をする。 事後学修 2.0hr：授業で指摘された注意点について振り返り、教案を訂正する。
8回	**授業テーマ：教案発表** 授業内容：クラスメートと教案を共有し、相互に点検する。さらに検討を行う。 事前学修 2.0hr：指定された課題をする。 事後学修 2.0hr：授業で指摘された注意点について振り返り、教案を訂正する。
9回	**授業テーマ：タスクベース授業の教案考案と検討 1 事前活動** 授業内容：タスクベースの授業の注意点を確認する。グループで事前活動を考え、さらに検討を行う。 事前学修 2.0hr：指定された課題をする。 事後学修 2.0hr：授業で指摘された注意点について振り返り、教案を訂正する。

10回	**授業テーマ：タスクベース授業の教案考案と検討２タスク** 授業内容：タスクをする際の注意点を確認する。グループでタスクを考え、さらに検討を行う。 事前学修 2.0hr：指定された課題をする。 事後学修 2.0hr：授業で指摘された注意点について振り返り、教案を訂正する。
11回	**授業テーマ：タスクベース授業の教案考案と検討３フィードバック** 授業内容：フィードバックをする際の注意点を確認する。グループでフィードバック方法を考え、さらに検討を行う。 事前学修 2.0hr：指定された課題をする。 事後学修 2.0hr：授業で指摘された注意点について振り返り、教案を訂正する。
12回	**授業テーマ：タスクベース授業の教案考案と検討１前半部分** 授業内容：タスクベース授業の注意点を確認する。個人でタスクを考え、グループ内で発表、さらに検討を行う。 事前学修 2.0hr：指定された課題をする。 事後学修 2.0hr：授業で指摘された注意点について振り返り、教案を訂正する。
13回	**授業テーマ：タスクベース授業の教案考案と検討２後半部分** 授業内容：タスクベース授業の注意点を確認する。個人でタスクを考え、グループ内で発表、さらに検討を行う。 事前学修 2.0hr：指定された課題をする。 事後学修 2.0hr：授業で指摘された注意点について振り返り、教案を訂正する。
14回	**授業テーマ：タスクベース授業の教案検討と相互点検** 授業内容：クラスメートと教案を共有し、相互に点検する。さらに検討を行う。 事前学修 2.0hr：指定された課題をする。 事後学修 2.0hr：授業で指摘された注意点について振り返り、教案を訂正する。
15回	**授業テーマ：総括と振り返り** 授業内容：初級クラスで指導する際に注意すべき点、教案作成のポイント、授業実施の留意点等を振り返り、まとめる。 事前学修 2.0hr：これまでに教案作成で指摘された注意点をまとめる。 事後学修 2.0hr：担当した教案について訂正して完成版を作成する。

日本語教育事情

開講学科等：日　｜　2 年次　｜　2 単位　｜　開講期：後

片桐　史尚（かたぎり　ふみたか）

▌授業の概要

近年、重要性が増している「日本語教育事情」について詳しく論じていく。具体的には、「地域日本語教育」「多文化共生社会」「日本語指導が必要な児童生徒」「留学生受け入れ 10 万人計画」「やさしい日本語」「CEFR」「夜間中学」「特別の教育課程による日本語指導」「日本語に関する試験」「EPA」「中国帰国者」「難民」「特定技能」について、最新の情報を提示していく。また、日本語教育史について、3 つの区分に分けて論じる。具体的にはキリシタン宣教師の来日から幕末開国期まで、明治期から第二次世界大戦の終結まで、戦後直後の区分である。

尚、日本語教師【養成】における教育内容では、③日本語教育の歴史と現状、（4）日本語教育史、（5）言語政策、（6）日本語の試験、（7）世界と日本の日本語教育事情に対応する科目である。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ②）

一般目標：語学が学ばれる事情について、歴史的考察を踏まえ説明することができる。

個別目標：語学教育事情の特徴を把握することができる。

▌履修条件

語学教員志望者であることが望ましい。

▌評価基準・方法

毎回の授業時における課題（授業内容の振り返り及び課題への取り組み）を 60 %とし、テストを 40 %とする。出席は 5 分の 4 以上とする。（欠席については事前に連絡をする。）

▌フィードバック方法

課題および試験のフィードバックは manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ピアリーディングを行う。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （時事問題などの提示において使用する。）

▌教科書

添付資料を教材とする。

▌参考書

縫部義憲監修、水島裕雅編集『講座・日本語教育学』第 1 巻 文化の理解と言語の教育（スリーエーネットワーク）

森篤嗣遍『日本語教育への応用（コーパスで学ぶ日本語学）』（朝倉書店）

田中祐輔編著『日本がわかる、日本語がわかる』（凡人社）

田中祐輔「社会・文化・地域」『2020 年合格するための本』（アルク）

宮地裕他編集『講座日本語と日本語教育 第１５巻日本語教育の歴史』（明治書院）

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：地域日本語教育** 授業内容：日本各地に在住する外国人に対し、地域住民が中心となって日本語支援や生活情報提供をボランタリーに行う活動を「地域日本語教育」という。1980 年代以降に来日し長期滞在するニューカマーが 1990 年の「出入国管理及び難民認定法」改正施行を機に急増し、全国各地でボランティアによる対応がなされてきた。在住外国人の増加・多様化に伴い地域日本語教育の役割が高まる一方で、地域日本語教育の在り方や担う人々・機関への支援などのあり方に対する議論が高まってきている。これらの状況について、具体的な例を挙げ論じる。 事前学修 2.0hr：自らの考える日本語教育をまとめてくること。 事後学修 2.0hr：自らの考えた日本語教育との相違について認識しまとめる。
2 回	**授業テーマ：多文化共生社会** 授業内容：国籍や民族などの属性にかかわらず、人々が互いの文化的な違いを認め尊重し合い、対等な関係を築き共に生きていく社会の事を「多文化共生社会」という。日本語教育の役割としては、元々日本社会を構成してきた多数派に当たる日本人と、新しく社会に入ってくる人々との仲介役を担い、相互の関係を調整し支援することが期待されているが、この状況は果たしてうまく機能していくだろうか。現代社会はグローバル化を標榜しながらも様々な問題を抱えている。現実に起きている事象を事例とし考えていく。 事前学修 2.0hr：身の回りで感じる多文化についてまとめてくる。 事後学修 2.0hr：日本語教育（日本語教師）の役割についてまとめる。
3 回	**授業テーマ：日本語指導が必要な児童生徒** 授業内容：海外からの帰国児童生徒や外国人児童生徒のうち、JSL（日本語を第二言語とする）児童生徒が「日本語指導が必要な児童生徒」である。273 万人に達する在留外国人は、年齢構成では 20 代・30 代が全体の半数を占め、日本でキャリア構築や子育てをする世代が急増している。政府も少子高齢化対策や成長戦略の一環として積極的な外国人の受け入れを進める方針で、外国人成人のみでなく、子どものための豊かな学びの環境構築が、わが国の発展に欠かすことができない要素となっている。しかし実際は取り出し授業、入り込み授業、日本語ボランティアに頼りがちである。こういった現状を見ていく。 事前学修 2.0hr：外国人児童生徒の問題を考えてくる。 事後学修 2.0hr：公立校に在籍する児童生徒の問題をまとめる。
4 回	**授業テーマ：やさしい日本語** 授業内容：通常使用されている日本語より簡易で、外国人にもわかりやすい日本語のことを「やさしい日本語」という。1995 年に発生した阪神・淡路大震災において、日本語も英語も十分に理解することのできない外国人の困難さが浮き彫りとなり、対策として提案されたことに端を発する。現在では、災害時にとどまらず平時における外国人への情報提供手段としても検討が進んでおり、行政府による情報発信や自治体による生活関連情報の配信、ニュース番組の放送などでも活用されている。授業では「やさしい日本語」のさらなる可能性を考えていく。 事前学修 2.0hr：やさしい日本語が開発された背景を調べて来る。 事後学修 2.0hr：やさしい日本語の今後の在り方をまとめる。
5 回	**授業テーマ：夜間中学** 授業内容：義務教育を十分受けられなかった人々のために中学校に設置されている夜間部のことを「夜間中学」という。現在、全生徒約 1700 人のうち 8 割を外国人が占め、日本語教育機関としての役割も担っている。2018 年に第 3 期教育振興基本計画が閣議決定され、全ての都道府県に少なくとも 1 校は夜間中学が設置されるよう教育機会確保などに関する施策を総合的に推進することになり、夜間中学の設置・充実に関する取り組みが進められている。このような状況で生じる問題点を論じる。 事前学修 2.0hr：夜間中学とはどういうものかをまとめて来る。 事後学修 2.0hr：夜間中学のさらなる役割について考え整理する。

6回	**授業テーマ：日本語に関する試験** 授業内容：日本語学習者の日本語能力を測定する試験には、日本語能力試験（N1～N5 の 5 段階）、BJT ビジネス日本語能力テスト（J5～J1 ＋の 6 段階）、そして大学で必要とされる基礎学力も含めた評価を日本語・理科、総合科目及び数学で行う日本留学試験（記述は作文式で行う）などがある。授業では各試験の問題を解き、それぞれの試験が求めているものを把握し、また日本語教育機関でどのような指導が行われているのかを紹介しながら、試験に対する理解を深める。 事前学修 2.0hr：どのような英語の試験があるかを調べてくる。 事後学修 2.0hr：日本語の試験を解いた感想をまとめる。
7回	**授業テーマ：EPA と日本語教育** 授業内容：経済連携協定（EPA）と日本語教育の関係について学ぶ。締約国間での経済取引の円滑化、経済制度の調和およびサービス・投資・電子商取引・人材移動などさまざまな領域での連携強化・協力の促進などを目的とするのが EPA である。日本語教育との関係では、日本の国家試験合格を目指すインドネシア・フィリピン・ベトナム人看護師・介護福祉士候補者への日本語教育が行われている。この分野のパイオニアである三橋麻子（日本語学科卒業生）が作成したテキストを通して、多様な日本語教育の実際を学ぶ。 事前学修 2.0hr：EPA について調べて来る。 事後学修 2.0hr：EPA と日本語教育の関わりについてまとめる。
8回	**授業テーマ：中国帰国者** 授業内容：第二次世界大戦後日本へ帰国する機会を失い中国で生活してきた日本人で「帰国を果たした人々」のことを「中国帰国者」という。1950 年代に民間団体を窓口に引き揚げが開始されたが、1972 年に日中国交正常化が実現したことを契機に大規模な引き揚げが進められた。中国での長期生活により日本語が不自由な人々も多く、1984 年に中国帰国孤児定着促進センターが開発され、来日直後の 4 カ月間に日本語教育や生活指導などの研修が行われた。その「歴史」を学ぶ。 事前学修 2.0hr：中国帰国者について調べて来る。 事後学修 2.0hr：TPR（全身反応法）という教授法が採用された理由についてまとめる。
9回	**授業テーマ：CEFR** 授業内容：欧州評議会により開発された外国語の熟達度を測る基準を CEFR という。国際的に最も普及している基準の一つで、A1～C2 の 6 つの等級で表される。日本では「セフアール」と読まれ、日本語では「ヨーロッパ言語共通参照枠」と訳される。国際交流基金が開発した JF 日本語教育スタンダードも CEFR に基づいている。CEFR は、Common Europian Framework of Reference for Languages の略である。この基準により、教育機関間の評価の異なりが少なくなるということで評価されている。この基準の概要について紹介する。 事前学修 2.0hr：CEFR について調べてくる。 事後学修 2.0hr：JF 日本語教育スタンダードについてまとめる。
10回	**授業テーマ：特定技能と日本語教育** 授業内容：2018 年の臨時国会において「出入国管理及び難民認定法及び法務省設置法の一部を改正する法律」が可決・成立し、2019 年 4 月 1 日より人手不足が深刻な介護や建設、宿泊など産業 14 分野において、一定の専門性・技能を有し即戦力となる外国人を新在留資格「特定技能」で受け入れ可能とした。「特定技能 1 号」と「特定技能 2 号」に分けられ、前者は家族帯同が基本的に認められず在留期間が上限 5 年とされている一方で、後者は要件を満たせば家族帯同が可能で在留期間の上限はなく、永住申請の可能である。この制度と日本語教育の連動について学ぶ。 事前学修 2.0hr：特定技能について調べてくる。 事後学修 2.0hr：特定技能と日本語教育はどのようにつながっているかをまとめる。
11回	**授業テーマ：難民と日本語** 授業内容：内戦などによる被害を避けるために母国を脱出し逃れてきた人々を「難民」という。1975 年にインドシナ 3 国（ベトナム・ラオス・カンボジア）が社会主義体制に移行したことで難民が大量発生し、日本にも到着した（海路で到着した人々をボートピープルと呼ぶ）。日本では当初一時的な滞在のみ認められたが、その数が増える中で定住受け入れの議論が活発化し、1978 年に閣議了解により定住を認める方針が打ち出された。受け入れ組織が設立され、日本語教育や職業訓練をはじめとする支援が行われた。この状況を説明する。 事前学修 2.0hr：難民と日本の関係 事後学修 2.0hr：難民受け入れまでにどのようなことがあったかをまとめる。
12回	**授業テーマ：日本語教育史１（16 世紀から幕末開国期までの日本語研究と日本語教育）** 授業内容：ここでは、「キリシタンの日本語教育」（初期の日本語学習、ヴァリニャーノの改革、日本語学習書、ロドリゲスの日本語教育論、帝政ロシアの日本語教育、ヨーロッパの日本語研究、幕末開国期の在日外国人による日本語研究）について説明する。また、明治期の日本に多大な影響を与えたチェンバレンについて論じる。彼は合計 2488 の漢字を挙げ、それを学習の目的は何であれ、一般の日本語学習者が基本的に学習すべきものとしている。この論拠について解説する。 事前学修 2.0hr：キリシタンの日本語教育の功績について調べてくる。 事後学修 2.0hr：チェンバレンと日本語学についてまとめる。
13回	**授業テーマ：日本語教育史２（戦前日本国内の日本語教育）** 授業内容：ここでは、「戦前の日本国内の日本語教育」について、弘文学院、大同学校、特約五校、東亜学校、日本語教育振興会、松本亀次郎、松宮弥平、長沼直兄をキーワードに論じていく。東アジアにおける近代は、西欧覇権主義という衝撃をいかに受け止めるかという過程であり、日本の場合、それはまず「近世から幕末に至る西欧との出会いの時期」に始まり、明治期という「西欧化に邁進した時期」、それに「一応の成功をみ、自らも覇権主義に陥っていく時期」の三段階からなる。この時期における日本語教育、日本語学について学ぶ。 事前学修 2.0hr：日朝修好条約と下関条約について調べてくる。 事後学修 2.0hr：戦前の日本語教育を考えるフレームについて示し、それぞれの特徴をまとめる。
14回	**授業テーマ：日本語教育史３（一般成人のための日本語教育）** 授業内容：まず授業では、「一般成人」ということばについて説明を行う。多様化した日本語教育では、「留学生」「技術研修員」「外交官」「宣教師」「小・中・高校生」「難民定住者」「帰国残留孤児」など、それぞれ特定の学習者を対象として設立された日本語教育機関がある。それに対して、対象を特定しない、だれでも入学できる日本語学校があり、このような日本語学校で学習する人々を職業、身分にかかわらず「一般成人」と呼ぶこととし、ここでの日本語教育について説明する。 事前学修 2.0hr：終戦直後の日本語教育がどのようなものであったかを調べてくる。 事後学修 2.0hr：「一般成人の日本語教育」のうち 1 つを選びまとめる。
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：第 1 回から 14 回までのテーマのうち、各自が関心を持った事項を 1 つ選び、レポートにまとめる。そして授業の後半では各自がまとめたものを、「ピアリーディング」の手法を用いてペアの相手に読み聞かせ、論拠の甘さなどを指摘し合い、再度レポートを「修正」し提出する。「書く」という行為と「読む」という行為、また人を意識した「持論の展開の仕方」を経験することにより、緊張感のある受講態度を認識することを第一の目的とする。 事前学修 2.0hr：各自が最も関心のあったテーマを 1 つ選び、まとめたものを発表する。 事後学修 2.0hr：指摘を受けた部分を修正しまとめる。

第二言語習得論

開講学科等：日　｜　2 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前

木山　三佳 (きやま　みか)

▌授業の概要

本科目は、平成 31 年文化審議会国語分科会「日本語教育人材の養成・研修の在り方について(報告)改訂版」で示された日本語教師【養成】の(14)談話理解、(15)言語学習、(16)習得過程(第一言語・第二言語)、(17)学習ストラテジーを含む。効果的な日本語教育を考えるために、学習者の言語情報の処理過程や学習の仕組み、学習の方法について理解する。個々の学習者に合わせた日本語教育を考えるために、言語の習得過程や学習者要因、また学習効果を高める方略について理解する。言語習得のメカニズムをふまえた指導方法についての知識を得る。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ②）

一般目標：言語理解、談話理解、言語学習の心理、第一言語、第二言語の習得過程、学習ストラテジー、日本語の学習・教育の情意的側面などについて説明できる。それらの知識を、実際の指導場面で応用して、よりよい授業を行うための工夫を考えることができる。日本語の運用能力及び専門的知識、日本語教育に関する知識と能力を身につける。

個別目標：(1) 第二言語習得論に関わる基本的な専門用語を正しく使用することができる。
(2) 言語習得に関わる先行研究の知見を理解して説明することができる。
(3) 言語習得の理論を活かした指導を考えることができる。
(4) 課題達成のために他者との協働作業を行うことができる。
(5) 第二言語習得のプロセスに関わる要素を適切に評価し、授業活動を考え、実践し、正しく振り返ることができる

▌履修条件

毎回出席し、コメントシートを提出する。反転授業なので教科書を読んでくること。
欠席時には必ず Manaba で事前に理由等を連絡すること。
学習者言語の分析、授業教材の作成などの活動では協力して取り組むこと。
提出物の期限を厳守すること。

▌評価基準・方法

平常評価（通常週の課題提出による評価）60%、最終試験 40%の割合で評価する。

▌フィードバック方法

毎回コメントシートで質問を受け付ける。
課題および試験のフィードバックは manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ピアインストラクション・コメントシート）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （第 2 回学習者言語の分析。スマホでも対応可能。）

▌教科書

日本語を教えるための第二言語習得論入門　著者 大関浩美　発行くろしお出版

▌参考書

研究社日本語教育辞典　著者近藤安月子、小森和子編　ISBN コード 978-4-7674-9109-7
そのほか、授業内で適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：科目の概要、目的、履修条件、評価、授業の進め方について説明を行う。第二言語習得論とは何かをテーマにした講義。主なキーワードは、対照分析仮説・行動主義心理学・誤用分析・エラー・ミステイク・言語間の誤り・言語内の誤り・グローバルエラー・ローカルエラーである。 事前学修 2.0hr：シラバスを読む。事前アンケートに回答する。 事後学修 2.0hr：授業内容・配布資料を基に自分の体験に照らし合わせて意見をまとめる。
2回	**授業テーマ：中間言語分析：学習者独自の言語体系** 授業内容：コンセプトクエスチョンに答える。ピアインストラクションを行う。中間言語分析：学習者独自の言語体系をテーマにした講義。主なキーワードは、第二言語学習者の特性・習得の不完全性の説明・誤用分析の限界・中間言語の概念の誕生・創造的構築仮説の提唱・可変性・学習者の U 字型発達曲線である。グループワークで学習者言語の分析を行う。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を読む。確認チェックをする。 事後学修 2.0hr：事後確認タスク・コンセプトマップを作成する。
3回	**授業テーマ：学習者の母語は第二言語習得にどう影響するか** 授業内容：コンセプトクエスチョンに答える。ピアインストラクションを行う。学習者の母語は第二言語習得にどう影響するかをテーマにした講義。主なキーワードは、母語習得・喃語・共同注意・母語の転移・対照分析による学習難易度階層・有標性・有標性弁別仮説・中間言語語用論・言語間の距離である。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を読む。確認チェックをする。 事後学修 2.0hr：事後確認タスク・コンセプトマップを作成する。
4回	**授業テーマ：習得には決まった順序があるのか** 授業内容：コンセプトクエスチョンに答える。ピアインストラクションを行う。習得には決まった順序があるのかをテーマにした講義。主なキーワードは、習得順序・自然な習得順序・発達順序・多次元モデル・処理可能性理論・発達段階である。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を読む。確認チェックをする。 事後学修 2.0hr：事後確認タスク・コンセプトマップを作成する。
5回	**授業テーマ：習得に必要なのはインプットか** 授業内容：コンセプトクエスチョンに答える。ピアインストラクションを行う。習得に必要なのはインプットかをテーマにした講義。主なキーワードは、モニターモデル・ナチュラルアプローチである。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を読む。確認チェックをする。 事後学修 2.0hr：事後確認タスク・コンセプトマップを作成する。
6回	**授業テーマ：習得に必要なのはアウトプットか** 授業内容：コンセプトクエスチョンに答える。ピアインストラクションを行う。習得に必要なのはアウトプットかをテーマにした講義。主なキーワードは、インターアクション仮説・アウトプット仮説・言語習得の認知プロセス・気づき・インテイク・否定証拠・肯定証拠・自動化である。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を読む。確認チェックをする。 事後学修 2.0hr：事後確認タスク・コンセプトマップを作成する。

7回	**授業テーマ：様々な教室活動１** 授業内容：コンセプトクエスチョンに答える。ピアインストラクションを行う。様々な教室活動をテーマにした講義。主なキーワードは、インプット重視の指導・スキャニング・オーラルイントロダクション・音読・コンセプトマップである。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を読む。確認チェックをする。 事後学修 2.0hr：事後確認タスク・コンセプトマップを作成する。
8回	**授業テーマ：様々な教室活動２** 授業内容：コンセプトクエスチョンに答える。ピアインストラクションを行う。様々な教室活動をテーマにした講義。主なキーワードは、指示質問・提示質問グループワーク・インフォメーションギャップタスク・ジグソーリーディングである。グループワークで教材を作成する。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を読む。確認チェックをする。 事後学修 2.0hr：事後確認タスク・コンセプトマップを作成する。
9回	**授業テーマ：言語知識の実態** 授業内容：コンセプトクエスチョンに答える。ピアインストラクションを行う。言語知識の実態をテーマにした講義。主なキーワードは、処理指導・アウトプット重視の指導法・ディクトグロス・インプット強化・意識高揚・ガーデンパスである。グループワークで教材を作成する。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を読む。確認チェックをする。 事後学修 2.0hr：事後確認タスク・コンセプトマップを作成する。
10回	**授業テーマ：形式に焦点を当てた指導** 授業内容：コンセプトクエスチョンに答える。ピアインストラクションを行う。形式に焦点を当てた指導をテーマにした講義。主なキーワードは、形式に焦点をあてた指導・FonF・FonF・FonM・フィードバック・リキャスト・プロンプトである。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を読む。確認チェックをする。 事後学修 2.0hr：事後確認タスク・コンセプトマップを作成する。
11回	**授業テーマ：外国語は早くから始めたほうがいいのか** 授業内容：コンセプトクエスチョンに答える。ピアインストラクションを行う。外国語は早くから始めたほうがいいのかをテーマにした講義。主なキーワードは、臨界期仮説・バイリンガリズム・イマージョンプログラム・BICS と CALP・二言語分離仮説・相互依存仮説・敷居理論である。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を読む。確認チェックをする。 事後学修 2.0hr：事後確認タスク・コンセプトマップを作成する。最終レポート課題の内容、条件等を確認し、準備を行う。
12回	**授業テーマ：言語適性** 授業内容：コンセプトクエスチョンに答える。ピアインストラクションを行う。言語適性をテーマにした講義。主なキーワードは、言語適性の 4 つの要素・ワーキングメモリー・外国語効果である。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を読む。確認チェックをする。 事後学修 2.0hr：事後確認タスク・コンセプトマップを作成する。最終レポートの執筆、提出を行う。
13回	**授業テーマ：学習スタイル** 授業内容：コンセプトクエスチョンに答える。ピアインストラクションを行う。学習スタイルをテーマにした講義。主なキーワードは、認知スタイル・学習スタイル・場独立・場依存である。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を読む。確認チェックをする。 事後学修 2.0hr：事後確認タスク・コンセプトマップを作成する。
14回	**授業テーマ：言語習得に及ぼす個人差の影響・学習者要因** 授業内容：コンセプトクエスチョンに答える。ピアインストラクションを行う。言語習得に及ぼす個人差の影響・学習者要因をテーマにした講義。主なキーワードは、動機づけ・統合的動機付け・道具的動機付け・内発的動機付け・外発的動機付け・性格差・曖昧さに対する寛容性・学習ストラテジー・不安である。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を読む。確認チェックをする。 事後学修 2.0hr：事後確認タスク・コンセプトマップを作成する。
15回	**授業テーマ：最終試験とフィードバック** 授業内容：最終レポートの講評。最終試験を行いフィードバックを行う。コース全体の振り返りを行う。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を読む。 事後学修 2.0hr：レポート　振り返り

日本語教育実習

開講学科等：日 ｜ 3 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通

木山　三佳（きやま　みか）

▌授業の概要

本科目は平成 31 年の文化審議会国語分科会の報告「日本語教育人材の養成・研修の在り方について (報告)改定版」で示された日本語教師【養成】における教育内容に基づく(28)教育実習である。学習者の日本語能力と求められる日本語教育プログラムの目的や目標を踏まえた日本語教育を考えるために、コースを設計する方法、学習項目に合わせた教授法や教材の選択、授業を組み立てるための準備、学習の成果を測る観点と方法、教授能力を高めるための自他の授業分析に必要となる知識および日本語教育を実践する力を身につける。①オリエンテーション、②授業見学、③授業準備(教案・教材作成等)、④模擬授業、⑤教壇実習、⑥教育実習全体の振り返り、を含む。さらに学習者に対する評価、テストや課題(宿題)等の作成、多様な実践を取り入れる。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ③）

一般目標：学習者に合わせたコースを設計することができる。具体的には、バックワードデザインで目的に合わせて、教授法や教材を選び、授業を組み立て、学習成果を測る観点と方法を選ぶことができる。形成的アセスメントを行い授業を実践できる。日本語教育の問題解決に寄与できる。

個別目標：1 実践研修全体の目的・目標を理解し、日本語教師として求められる資質・能力と実践研修がどのように関わるか説明できる。

2 授業の流れ及び学習者や教師の様子を観察し、授業を分析することができる。

3 教壇実習の場となるプログラムやコースのカリキュラムを踏まえて、授業で扱う内容を理解し、学習者の学びを計画するとともに、その実施のために必要な教材・教具等を準備することができる。

4. 授業計画や教材・指導方法などの妥当性を検討するために、模擬授業を実施し、振り返りや改善を行うことができる。

5 単独で教壇に立ってクラス指導を行うとともに、授業を客観的に分析し、改善を図ることができる。

6 日本語教師として自律的に成長していくために、実践研修全体を振り返り、内省することができる。

▌履修条件

日本語教員養成課程修了証明書取得に必要な科目を全て習得済み、もしくは習得見込みであること。1 回目のオリエンテーションを受講することが必須課題となっているため、第一回に必ず出席する。授業概要に書いた①～⑥および他の課題、を完遂し、報告書を作成できなければ単位の修得ができない。授業見学や教壇実習などで外部機関にお世話になるので、責任ある振る舞いが求められる。提出期限の遵守、速やかな報告・連絡等はもちろん、自分の授業準備では学習者のために十分な準備を行い、他者の授業を見る際には建設的なコメントを行うこと。教壇実習先に上級レベル学習者もいるので、日本語非母語話者が本科目を履修する場合、日本語能力試験 N1 を取得済みが望ましく、N1 不合格 90 点以上であることを基準とする。

▌評価基準・方法

個別目標１はレポート 10%、個別目標２はレポート 10 %、個別目標３は課題・テスト 20%、個別目標４は模擬実習ルーブリック 25 %、個別目標５は教壇実習ルーブリック 25 %、個別目標６はレポート 10 %、で評価する。

▌フィードバック方法

課題のフィードバックは、課題返却、対面、manaba などを通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （協働学習・フィールド学習）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （教案作成、教材作成、模擬授業での資料投影に使用する。）

▌教科書

レジュメを配布する。適宜、必要な情報を manaba、共有ドライブにあげる。

▌参考書

学習の本質 -研究の活用から実践へ　OECD 教育研究革新センター　明石書店　ISBN 978-4750337852

形成的アセスメントと学力 人格形成のための対話型学習をめざして OECD 教育研究革新センター 明石書店　ISBN　978-4750327402

アクティブラーニングのための学習評価法　形成的アセスメントの実践的方法　著者名シャーリー・クラーク関西大学出版部　ISBN コード 978-4-87354-629-2

教師教育学:理論と実践をつなぐリアリスティック・アプローチ、 F. コルトハーヘン著　学文社　ISBN コード　978-4762020445

他、多数。資料で紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：オリエンテーション：日本語教師の資質・能力** 授業内容：本科目の概要の説明を行う。平成 31 年 3 月文化審議会国語分科会「日本語教育人材の養成・研修の在り方について(報告)改訂版」等を読み、法務省告示日本語教育機関における日本語教員の要件、日本語教師【養成】における教育内容、いわゆる必須の 50 項目、日本語教育実習の要件、「日本語教育の参照枠」について、理解する。 事前学修 2.0hr：シラバスを読む。「日本語教育の参照枠」の 3 つの理念、5 つの言語活動、6 つの日本語能力レベルを理解する。 事後学修 2.0hr：日本語教育機関認定法に関わるについて文部科学省、文化庁などの HP を調べ、レポート作成、提出する。	16 回	**授業テーマ：授業準備　聴解の指導　初級・中上級** 授業内容：聴解の指導方法、授業の作り方について学ぶ。教科書分析から授業の目標について、意見交換をする。また、目標の達成をどのように評価するか、評価方法を考える。 事前学修 2.0hr：聴解の教科書を読む。教科書分析を行う。授業の目標を考える。 事後学修 2.0hr：聴解の授業活動を考え、授業の流れをレポートとして提出する。
2 回	**授業テーマ：日本語教育の授業見学、日本語教育のアセスメント、教案・授業のルーブリック** 授業内容：日本語教育現場の動画を見て、ルーブリックを参照して評価を行う。授業見学をする。 事前学修 2.0hr：バックワードデザイン、アセスメントについてのレジュメを読む。日本語教育現場の動画を見て、授業見学の観点を考えて来る。 事後学修 2.0hr：別科等で授業見学を行い、見学レポートを作成する。	17 回	**授業テーマ：模擬授業　初級聴解の授業** 授業内容：初級の聴解の模擬授業を行う。他の学生、TA、教員による検討およびフィードバックを行う。 事前学修 2.0hr：模擬実習担当者は最終教案・教材を２日前朝 7 時までに manaba に提出する。学習者役の学生は、教案を事前に読み、ルーブリック評価を行う。 事後学修 2.0hr：模擬実習担当者は、フィードバックを踏まえて教案を修正、自己評価のルーブリックと、振り返りシートを記入する。学習者役の学生はコメントシートを作成する。

3回	**授業テーマ：授業準備　語彙の指導　初級・中上級** 授業内容：語彙の指導方法、授業の作り方について学ぶ。教科書分析から授業の目標について、意見交換をする。また、目標の達成をどのように評価するか、評価方法を考える。 事前学修 2.0hr：語彙の教科書を読む。教科書分析を行う。授業の目標を考える。 事後学修 2.0hr：語彙の授業活動を考え、授業の流れをレポートとして提出する。	18回	**授業テーマ：模擬実習　中・上級聴解の授業** 授業内容：中・上級の聴解の模擬授業を行う。他の学生、TA、教員による検討およびフィードバックを行う。 事前学修 2.0hr：模擬実習担当者は最終教案・教材を２日前朝 7 時までに manaba に提出する。学習者役の学生は、教案を事前に読み、ルーブリック評価を行う。 事後学修 2.0hr：模擬実習担当者は、フィードバックを踏まえて教案を修正、自己評価のルーブリックと、振り返りシートを記入する。学習者役の学生はコメントシートを作成する。
4回	**授業テーマ：模擬授業　初級語彙の授業** 授業内容：初級の語彙の模擬授業を行う。他の学生、TA、教員による検討およびフィードバックを行う。 事前学修 2.0hr：模擬実習担当者は最終教案・教材を 2 日前朝 7 時までに manaba に提出する。学習者役の学生は、教案を事前に読み、ルーブリック評価を行う。 事後学修 2.0hr：模擬実習担当者は、フィードバックを踏まえて教案を修正、自己評価のルーブリックと、振り返りシートを記入する。学習者役の学生はコメントシートを作成する。	19回	**授業テーマ：授業準備　読解の指導　初級・中上級** 授業内容：読解の指導方法、授業の作り方について学ぶ。教科書分析から授業の目標について、意見交換をする。また、目標の達成をどのように評価するか、評価方法を考える。 事前学修 2.0hr：読解の教科書を読む。教科書分析を行う。授業の目標を考える。 事後学修 2.0hr：読解の授業活動を考え、授業の流れをレポートとして提出する。
5回	**授業テーマ：模擬授業　中・上級語彙の授業** 授業内容：中・上級の語彙の模擬授業を行う。他の学生、TA、教員による検討およびフィードバックを行う。 事前学修 2.0hr：模擬実習担当者は最終教案・教材を２日前朝 7 時までに manaba に提出する。学習者役の学生は、教案を事前に読み、ルーブリック評価を行う。 事後学修 2.0hr：模擬実習担当者は、フィードバックを踏まえて教案を修正、自己評価のルーブリックと、振り返りシートを記入する。学習者役の学生はコメントシートを作成する。	20回	**授業テーマ：模擬授業　初級読解の授業** 授業内容：初級の読解の模擬授業を行う。他の学生、TA、教員による検討およびフィードバックを行う。 事前学修 2.0hr：模擬実習担当者は最終教案・教材を２日前朝 7 時までに manaba に提出する。学習者役の学生は、教案を事前に読み、ルーブリック評価を行う。 事後学修 2.0hr：模擬実習担当者は、フィードバックを踏まえて教案を修正、自己評価のルーブリックと、振り返りシートを記入する。学習者役の学生はコメントシートを作成する。
6回	**授業テーマ：問題作成　JLPT 言語知識の形式での語彙・文法の多肢選択問題の作成** 授業内容：言語能力を評価する方法の一つとして JLPT 言語知識の問題を分析し、語彙・文法の各種の問題を分析する。作問の要諦を理解し、語彙・文法の多肢選択問題の作成をする。 事前学修 2.0hr：JLPT　言語知識の例題と解法の説明を JLPT の HP で読む。 事後学修 2.0hr：問題を完成し Manaba に提出する。他の人の問題を解いて気づいた点をコメントする。	21回	**授業テーマ：模擬実習　中・上級読解の授業** 授業内容：中・上級の読解の模擬授業を行う。他の学生、TA、教員による検討およびフィードバックを行う。 事前学修 2.0hr：模擬実習担当者は最終教案・教材を２日前朝 7 時までに manaba に提出する。学習者役の学生は、教案を事前に読み、ルーブリック評価を行う。 事後学修 2.0hr：模擬実習担当者は、フィードバックを踏まえて教案を修正、自己評価のルーブリックと、振り返りシートを記入する。学習者役の学生はコメントシートを作成する。
7回	**授業テーマ：授業準備　文法の指導　初級・中上級** 授業内容：文法の指導方法、授業の作り方について学ぶ。教科書分析から授業の目標について、意見交換をする。また、目標の達成をどのように評価するか、評価方法を考える。 事前学修 2.0hr：文法の教科書を読む。教科書分析を行う。授業の目標を考える。 事後学修 2.0hr：文法の授業活動を考え、授業の流れをレポートとして提出する。	22回	**授業テーマ：問題作成　読解問題** 授業内容：JLPT の読解問題を分析し、読解の各種の問題を分析する。作問の要諦を理解し、読解の多肢選択問題の作成をする。 事前学修 2.0hr：JLPT　読解問題を読み、例題と解法の説明を JLPT の HP で読む。 事後学修 2.0hr：問題を完成し Manaba に提出する。他の人の問題を解いて気づいた点をコメントする。
8回	**授業テーマ：模擬授業　初級文法の授業** 授業内容：初級の文法の模擬授業を行う。他の学生、TA、教員による検討およびフィードバックを行う。 事前学修 2.0hr：模擬実習担当者は最終教案・教材を２日前朝 7 時までに manaba に提出する。学習者役の学生は、教案を事前に読み、ルーブリック評価を行う。 事後学修 2.0hr：模擬実習担当者は、フィードバックを踏まえて教案を修正、自己評価のルーブリックと、振り返りシートを記入する。学習者役の学生はコメントシートを作成する。	23回	**授業テーマ：授業準備　作文の指導　初級・中上級** 授業内容：作文の指導方法、授業の作り方について学ぶ。教科書分析から授業の目標について、意見交換をする。また、目標の達成をどのように評価するか、評価方法を考える。 事前学修 2.0hr：作文の教科書を読む。教科書分析を行う。授業の目標を考える。 事後学修 2.0hr：作文の授業活動を考え、授業の流れをレポートとして提出する。
9回	**授業テーマ：模擬実習　中・上級文法の授業** 授業内容：中・上級の文法の模擬授業を行う。他の学生、TA、教員による検討およびフィードバックを行う。 事前学修 2.0hr：模擬実習担当者は最終教案・教材を２日前朝 7 時までに manaba に提出する。学習者役の学生は、教案を事前に読み、ルーブリック評価を行う。 事後学修 2.0hr：模擬実習担当者は、フィードバックを踏まえて教案を修正、自己評価のルーブリックと、振り返りシートを記入する。学習者役の学生はコメントシートを作成する。	24回	**授業テーマ：模擬実習　中・上級作文の授業** 授業内容：中・上級の作文の模擬授業を行う。他の学生、TA、教員による検討およびフィードバックを行う。 事前学修 2.0hr：模擬実習担当者は最終教案・教材を２日前朝 7 時までに manaba に提出する。学習者役の学生は、教案を事前に読み、ルーブリック評価を行う。 事後学修 2.0hr：実習を行ったものは、教案を修正し、自己評価のルーブリックと、振り返りシートを記入する。そのほかの学生はコメントシートを作成する。
10回	**授業テーマ：授業準備　会話(やりとり・発表)の指導　初級・中上級** 授業内容：会話(やりとり・発表)の指導方法、授業の作り方について学ぶ。教科書分析から授業の目標について、意見交換をする。また、目標の達成をどのように評価するか、評価方法を考える。 事前学修 2.0hr：会話(やりとり・発表)の教科書を読む。教科書分析を行う。授業の目標を考える。 事後学修 2.0hr：会話(やりとり・発表)の授業活動を考え、授業の流れをレポートとして提出する。	25回	**授業テーマ：模擬実習　中・上級作文の授業** 授業内容：中・上級の作文の模擬授業を行う。他の学生、TA、教員による検討およびフィードバックを行う。 事前学修 2.0hr：模擬実習担当者は最終教案・教材を２日前朝 7 時までに manaba に提出する。学習者役の学生は、教案を事前に読み、ルーブリック評価を行う。 事後学修 2.0hr：模擬実習担当者は、フィードバックを踏まえて教案を修正、自己評価のルーブリックと、振り返りシートを記入する。学習者役の学生はコメントシートを作成する。
11回	**授業テーマ：ルーブリックの作成　会話(やりとり・発表)の評価** 授業内容：パフォーマンス評価の方法について学ぶ。会話(やりとり・発表)のルーブリックを作成する。 事前学修 2.0hr：ルーブリックとは何か、ルーブリックの構成要素は何かを調べる。 事後学修 2.0hr：会話(やりとり・発表)のルーブリックを完成させ、manaba に提出する。	26回	**授業テーマ：授業準備　多様な学習者に対する指導** 授業内容：就労者、児童・生徒の日本語指導、授業の作り方について学ぶ。日本語教育の参照枠、および、参考文献をもとに、それぞれの目標を考え、目標の達成をどのように評価するか、評価方法を考える。 事前学修 2.0hr：就労者・児童・生徒の授業の様子を動画で見る。それぞれの学習者用の日本語教材を読み、教科書分析を行う。授業の目標を考える。 事後学修 2.0hr：それぞれの授業活動を考え、授業の流れをレポートとして提出する。
12回	**授業テーマ：模擬授業　初級会話の授業** 授業内容：初級の会話の模擬授業を行う。他の学生、TA、教員による検討およびフィードバックを行う。 事前学修 2.0hr：模擬実習担当者は最終教案・教材を２日前朝 7 時までに manaba に提出する。学習者役の学生は、教案を事前に読み、ルーブリック評価を行う。 事後学修 2.0hr：模擬実習担当者は、フィードバックを踏まえて教案を修正、自己評価のルーブリックと、振り返りシートを記入する。学習者役の学生はコメントシートを作成する。	27回	**授業テーマ：模擬実習　就労者の日本語指導** 授業内容：就労者に向けた日本語指導の模擬授業を行う。他の学生、TA、教員による検討およびフィードバックを行う。 事前学修 2.0hr：模擬実習担当者は最終教案・教材を２日前朝 7 時までに manaba に提出する。学習者役の学生は、教案を事前に読み、ルーブリック評価を行う。 事後学修 2.0hr：模擬実習担当者は、フィードバックを踏まえて教案を修正、自己評価のルーブリックと、振り返りシートを記入する。学習者役の学生はコメントシートを作成する。
13回	**授業テーマ：模擬実習　中・上級会話の授業** 授業内容：中・上級の会話の模擬授業を行う。他の学生、TA、教員による検討およびフィードバックを行う。 事前学修 2.0hr：模擬実習担当者は最終教案・教材を２日前朝 7 時までに manaba に提出する。学習者役の学生は、教案を事前に読み、ルーブリック評価を行う。 事後学修 2.0hr：実習を行ったものは、教案を修正し、自己評価のルーブリックと、振り返りシートを記入する。そのほかの学生はコメントシートを作成する。	28回	**授業テーマ：模擬授業　児童・生徒の日本語指導** 授業内容：児童・生徒の日本語指導の模擬授業を行う。他の学生、TA、教員による検討およびフィードバックを行う。 事前学修 2.0hr：模擬実習担当者は最終教案・教材を２日前朝 7 時までに manaba に提出する。学習者役の学生は、教案を事前に読み、ルーブリック評価を行う。 事後学修 2.0hr：実習を行ったものは、教案を修正し、自己評価のルーブリックと、振り返りシートを記入する。そのほかの学生はコメントシートを作成する。

14回	**授業テーマ：教壇実習** 授業内容：別科等で教壇実習を行う。別科指導教員・科目担当教員による検討およびフィードバックを行う。 事前学修 2.0hr：3 週前までに別科指導教員と事前打ち合わせを行う。教材研究・教案作成・教材作成を行い、科目担当教員及び別科指導教員の指導を受ける。 事後学修 2.0hr：フィードバックを踏まえて、教壇実習のルーブリック、振り返りを作成する。	29回	**授業テーマ：教壇実習** 授業内容：別科等で教壇実習を行う。別科指導教員・科目担当教員による検討およびフィードバックを行う。 事前学修 2.0hr：3 週前までに別科指導教員と事前打ち合わせを行う。教材研究・教案作成・教材作成を行い、科目担当教員及び別科指導教員の指導を受ける。 事後学修 2.0hr：フィードバックを踏まえて、教壇実習のルーブリック、振り返りを作成する。
15回	**授業テーマ：前学期振り返り** 授業内容：授業見学・模擬授業・教壇実習の振り返りの発表会を行う。 事前学修 2.0hr：前学期の振り返りに必要な書式を整える。 事後学修 2.0hr：前学期の報告書を完成させ、提出する。コメントシートを完成させて、manaba に提出する。	30回	**授業テーマ：後学期の振り返り** 授業内容：授業見学・模擬授業・教壇実習の振り返りの発表会を行う。 事前学修 2.0hr：後学期の振り返りに必要な書式を整える。 事後学修 2.0hr：後学期の報告書を完成させ、提出する。コメントシートを完成させて、manaba に提出する。

年少者日本語教育概説

開講学科等：日　｜　3 年次　｜　2 単位　｜　開講期：後　｜　備考：2021 年度以降入学生のみ履修可能

木山　三佳（きやま　みか）

▌授業の概要

本科目は、平成 31 年文化審議会国語分科会「日本語教育人材の養成・研修の在り方について（報告）改訂版」で示された日本語教師【養成】の（27）授業計画を含む。日本語を第二言語とする子どもの言語教育、学校教育の問題を考える。子どもの日本語教育の分野の中でも「言語」についてのトピックを中心に扱う。日本語の運用能力及び専門的知識、日本語教育に関する知識と能力を身につける。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ②）

一般目標：外国につながる子どもの言語力や教育方法について説明ができる。
　　日本語の運用能力及び専門的知識、日本語教育に関する知識と能力を身につける。
個別目標：バイリンガルの言語能力、教育について説明をすることができる。
　　日本にいる外国につながる子どもの教育の実態を説明することができる。
　　外国につながる子どもの背景や目的を考慮して、適切な教育方法を選択することができる。
　　外国につながる子どもに対する授業計画を考えることができる。
　　外国につながる子どもに対する教材を作成することができる。

▌履修条件

毎回出席し、欠席の際は必ず manaba で理由等を連絡すること。
反転授業なので教科書を読んでくること。
話し合い学習では協力して取り組むこと。
提出物の期限を厳守すること。

▌評価基準・方法

平常評価（通常週の課題提出による評価）50%、教材作成・授業計画　20%、学期末試験 30%の割合で評価する。

▌フィードバック方法

課題・試験のフィードバックは manaba を通して行う。
毎回コメントシートで質問等を受け付ける。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ピアインストラクション・コメントシート・話し合い学習）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （教材作成・授業計画の際にパソコンが必要。）

▌教科書

『外国につながる子どもの日本語教育』西川朋美編著　くろしお出版

▌参考書

『文化的・言語的に多様な子ども（CLD 児）支援のためのガイドブック：日本語教育と特別支援教育の統合をめざして』鈴木ゆみ著風間書房

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：シラバスに書かれている内容についての理解を確認する。事前のアンケートを行う。 事前学修 2.0hr：シラバスを読む。 事後学修 2.0hr：事後確認タスク
2回	**授業テーマ：日本語教育の対象としての子ども** 授業内容：日本語教育における年少者の位置づけについて話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：レジュメ　事前読み物を読む。　コンセプトクエスチョンに答える。 事後学修 2.0hr：事後確認タスク。コンセプトマップを作成する。
3回	**授業テーマ：子どもの第二言語習得について知る　7 章** 授業内容：成人との違いや、子どもの第二言語習得の成否を決める要因について話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：テキスト 7 章を読む。確認チェックをする 事後学修 2.0hr：事後確認タスク。コンセプトマップを作成する。
4回	**授業テーマ：バイリンガリズム** 授業内容：二言語話者の認知システムや二言語の発達過程について、話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：レジュメを読む。確認チェックをする。コンセプトクエスチョンに答える。 事後学修 2.0hr：事後確認タスク。コンセプトマップを作成する。
5回	**授業テーマ：教科学習に必要な言語能力　6 章** 授業内容：学齢期の子どもにとって必要な学習言語能力について、話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：テキストを読む。確認チェックをする。コンセプトクエスチョンに答える。 事後学修 2.0hr：事後確認タスク。コンセプトマップを作成する。
6回	**授業テーマ：海外におけるバイリンガル教育** 授業内容：バイリンガル教育を題材に、話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：レジュメを読む。確認チェックをする・中島和子「マルチリンガル教育への招待」ひつじ書房を読む。 事後学修 2.0hr：事後確認タスク。コンセプトマップを作成する。
7回	**授業テーマ：バイリンガル育成のための理論** 授業内容：バイリンガル育成のための理論について話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：レジュメを読む。確認チェックをする。コンセプトクエスチョンに答える。 事後学修 2.0hr：事後確認タスク。コンセプトマップを作成する。
8回	**授業テーマ：教科学習と日本語学習をつなぐ　5 章** 授業内容：教科学習と日本語学習をつなぐ方法についての話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：テキストを読む。確認チェックをする。コンセプトクエスチョンに答える。 事後学修 2.0hr：事後確認タスク。コンセプトマップを作成する。授業計画を立てる。
9回	**授業テーマ：日本語という言語を外から見る　8章** 授業内容：外から見る日本語、という点についての話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：テキストを読む。確認チェックをする。コンセプトクエスチョンに答える。 事後学修 2.0hr：事後確認タスク。コンセプトマップを作成する。

10回	**授業テーマ：公立小学校での子どもの日本語教育　1 章** 授業内容：公立小学校での外国につながる子どもの実態について話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：テキストを読む。確認チェックをする。コンセプトクエスチョンに答える。 事後学修 2.0hr：事後確認タスク。コンセプトマップを作成する。
11回	**授業テーマ：日本社会の中の「子どもの日本語教育」を知る　2 章** 授業内容：日本における子どもの日本語教育の実態について、話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：テキストを読む。確認チェックをする。コンセプトクエスチョンに答える。 事後学修 2.0hr：事後確認タスク。コンセプトマップを作成する。
12回	**授業テーマ：子どもの日本語力を評価する　3 章** 授業内容：子どもの日本語力を評価する難しさについて、話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：テキストを読む。確認チェックをする。コンセプトクエスチョンに答える。 事後学修 2.0hr：事後確認タスク。コンセプトマップを作成する。
13回	**授業テーマ：子どものための日本語教材を使う・作る　4 章** 授業内容：子どものための日本語教材について、話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：テキストを読む。確認チェックをする。コンセプトクエスチョンに答える。 事後学修 2.0hr：事後確認タスク。コンセプトマップを作成する。子どものための日本語教材を作る
14回	**授業テーマ：母語・継承語も育てる　9 章** 授業内容：子どもの言語能力にとっての母語の役割について話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：テキストを読む。確認チェックをする。コンセプトクエスチョンに答える。 事後学修 2.0hr：事後確認タスク。コンセプトマップを作成する。
15回	**授業テーマ：最終試験・振り返り** 授業内容：授業計画、教材のフィードバックを行う。最終試験を行う。 事前学修 2.0hr：テキストを読む。確認チェックをする。コンセプトクエスチョンに答える。 事後学修 2.0hr：コース全体を振り返り、振り返りレポートを作成する。

児童生徒のための日本語教育論

開講学科等：日　｜　3 年次　｜　2 単位　｜　開講期：後　｜　備考：2021 年度以降入学生のみ履修可能

西川　寛之 (にしかわ　ひろゆき)

▌授業の概要

授業の概要日本語教師【養成】における教育内容のうち、教育に関わる領域、「言語と教育」⑩言語教育法・実習(27)授業計画にかかわることを中心に学ぶ。授業計画をたてるために、日本語指導が必要な児童生徒の背景や現状を知り、問題点について考える。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ②）

一般目標：多文化共生社会の担い手となるべく大学生として、外国につながりのある児童生徒の背景や課題等について知る。
児童生徒に対する日本語教育の施策や制度について現状を確認したうえで、問題点を認識する。
すべての人が参加し尊重しあえる社会を作り上げるために、外国につながりのある児童生徒に対してなされるべきことを考え、各々が実践に結びつけることの重要性を認識する。

個別目標：多文化共生社会の担い手として「複言語複文化」という概念について理解し説明することができる。
外国につながりのある児童生徒をとりまく問題を認識するとともに自らのことばで他者に対して説明ができる。
言語教育において対象が成人である場合と児童生徒等年少者である場合の違いについて説明することができる。
外国につながりのある児童生徒をめぐる問題に関して、何が必要で何ができるかを考え、具体的な行動を計画することができる。。

▌履修条件

日本語支援が必要な児童生徒に対する教育施策などの情報収集を行なうこと

▌評価基準・方法

平常評価(小テスト及び課題) 60 %、
期末試験(まとめのテスト) 40 %

▌フィードバック方法

フィードバックは、教室および manaba において行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク、ディスカッション、発表）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （インターネット上にある統計資料等を読む。）

▌教科書

授業内において指示する。

▌参考書

『外国人の子どもへの学習支援』斎藤ひろみ編著　金子書房　ISBN978-4-7608-9559-5
『外国人の子ども白書―権利・貧困・教育・文化・国籍と共生の視点から―　第 2 版』明石書店　ISBN978-4-7503-5332-6
『外国人児童生徒のための支援ガイドブック―子どもたちのライフコースによりそって』凡人社

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、授業の進め方** 授業内容：当該授業の目的の確認、授業および課題への取り組み姿勢の確認 事前学修 2.0hr：講義概要を読んで本講義の概要をつかむ。 事後学修 2.0hr：授業で気づいたことや考えたことについて自分の言葉でまとめる。
2回	**授業テーマ：日本語教育の対象となる児童について** 授業内容：在留外国人の状況について確認するとともに、子どもたちの多様性についても認識する。また、外国人の子どもの学ぶ権利について考える。 事前学修 2.0hr：教科書／資料の指定箇所に関する課題に取り組み授業に備える。 事後学修 2.0hr：授業で気づいたことや考えたことについて自分の言葉でまとめる。
3回	**授業テーマ：児童生徒に向き合う姿勢** 授業内容：多文化共生社会を目指す中で、日本語支援を必要とする児童生徒に向き合う姿勢、つまり、受け入れる姿勢について考える。子どもたちにとっての「日本語」の意味を考えるとともに、子どもたちの言語的文化的な豊かさを認識し、彼らの母語母文化を尊重すること、さらに彼ら自身が母語母文化に誇りをもつことの大切さも学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書／資料の指定箇所に関する課題に取り組み授業に備える。 事後学修 2.0hr：授業で気づいたことや考えたことについて自分の言葉でまとめる。
4回	**授業テーマ：支援の実際①　就学前の子ども** 授業内容：就学前の子どもたちに対しての支援についての学びを深める。なぜ必要なのか、また、どのように行う可能性があるのか等を、実践例を知ったうえで、自ら深く考える。 事前学修 2.0hr：教科書／資料の指定箇所に関する課題に取り組む。 事後学修 2.0hr：授業で気づいたことや考えたことについて自分の言葉でまとめる。
5回	**授業テーマ：支援の実際②　小学生低学年中学年** 授業内容：小学生低学年と中学年に対しての支援について、実践例を知ることによって気をつけるべきポイントや支援の可能性等について考える。 事前学修 2.0hr：教科書／資料の指定箇所に関する課題に取り組み授業に備える。 事後学修 2.0hr：授業で気づいたことや考えたことについて自分の言葉でまとめる。
6回	**授業テーマ：支援の実際③　小学生高学年** 授業内容：小学生高学年に対しての支援について、実践例を知ることによって気をつけるべきポイントや支援の可能性等について考える。 事前学修 2.0hr：教科書／資料の指定箇所に関する課題に取り組み授業に備える。 事後学修 2.0hr：授業で気づいたことや考えたことについて自分の言葉でまとめる。
7回	**授業テーマ：教材分析①　小学生対象** 授業内容：小学生対象の教材について分析する。インターネットでアクセスできる教材、市販の教材等、複数の教材に触れる。自分が教材を使う場合の使用方法、工夫点についても考え、グループ内もしくはクラス内で発表する。 事前学修 2.0hr：教科書／資料の指定箇所に関する課題に取り組み授業に備える。 事後学修 2.0hr：授業で気づいたことや考えたことについて自分の言葉でまとめる。
8回	**授業テーマ：支援の実際④　中学生** 授業内容：中学生に対しての支援について、実践例を知ることによって気をつけるべきポイントや支援の可能性等について考える。高校受験を控えている中学生に対する支援としておさえるべき点を学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書／資料の指定箇所に関する課題に取り組み授業に備える。 事後学修 2.0hr：授業で気づいたことや考えたことについて自分の言葉でまとめる。

9回	**授業テーマ：支援の実際⑤　高校生** 授業内容：高校生に対しての支援について、実践例を知ることによって気をつけるべきポイントや支援の可能性等について考える。就職あるいは大学進学を希望する高校生に対する支援としておさえるべき点を学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書／資料の指定箇所に関する課題に取り組み授業に備える。 事後学修 2.0hr：授業で気づいたことや考えたことについて自分の言葉でまとめる。
10回	**授業テーマ：教材分析②　中学生・高校生** 授業内容：中学生・高校生対象の教材について分析する。インターネットでアクセスできる教材、市販の教材等、複数の教材に触れる。自分が教材を使う場合の使用方法、工夫点についても考え、グループ内もしくはクラス内で発表する。 事前学修 2.0hr：教科書／資料の指定箇所に関する課題に取り組み授業に備える。 事後学修 2.0hr：授業で気づいたことや考えたことについて自分の言葉でまとめる。
11回	**授業テーマ：新しい教材** 授業内容：デジタル教科書、インターネットを使った教材等、新しい時代の教材についてその実態を知る。子どもたちの学びに役立つ機能等を知り、実際に支援に当たる際のヒントを得る。 事前学修 2.0hr：教科書／資料の指定箇所に関する課題に取り組み授業に備える。 事後学修 2.0hr：授業で気づいたことや考えたことについて自分の言葉でまとめる。
12回	**授業テーマ：地域ごとの支援の実態** 授業内容：集住地域と散在地域について確認し、それぞれの特徴、問題点等を確認する。さらに、どのような支援方法が有効であるか等について考える。 事前学修 2.0hr：教科書／資料の指定箇所に関する課題に取り組み授業に備える。 事後学修 2.0hr：授業で気づいたことや考えたことについて自分の言葉でまとめる。
13回	**授業テーマ：多文化共生を目指した支援** 授業内容：連携の力について考える。大学と地域や企業等との連携の例を知ることによって、連携することによる新たな関係づくりやその意義を考える。多文化共生社会を目指す中で、子どもたちの支援にどう取り組むか、また、どのような可能性があるか等についても議論し、認識を深める。 事前学修 2.0hr：教科書／資料の指定箇所に関する課題に取り組み授業に備える。 事後学修 2.0hr：授業で気づいたことや考えたことについて自分の言葉でまとめる。
14回	**授業テーマ：ライフコース** 授業内容：進学、就職、そして 10 年後、20 年後について、目先のことだけではなく長いスパンで子どもたちを見ることの必要性について考える。未来への希望をもって現在の課題に取り組むことの大切さを議論し、考えを深める。キャリア教育についても実例を見るとともに、よりよい方法について考え、グループ内もしくはクラス内で発表する。 事前学修 2.0hr：教科書／資料の指定箇所に関する課題に取り組み授業に備える。 事後学修 2.0hr：授業で気づいたことや考えたことについて自分の言葉でまとめる。
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：児童生徒の抱える問題、児童生徒への日本語教育に関する注意事項等を確認する。さらに、自分には何ができるか、どのような取り組みの可能性があるかについて考える。 事前学修 2.0hr：教科書／資料の指定箇所に関する課題に取り組み授業に備える。 事後学修 2.0hr：授業を通して得た新たな気づき、深く考えたこと、また自らの取り組みの可能性等についてレポートを書く。

日本語学習支援・実地研究

開講学科等：日 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：2021 年度以降入学生のみ履修可能

田川　麻央（たがわ　まお）

▌授業の概要

多文化共生をめざす社会において必要な日本語教育について理解を深め、考察する力を育成する科目である。生活者、就労者の現状を学び、彼らに対してどのような日本語学習支援が求められているのか必要な支援を検討する。実際の教育現場の事例をもとに、それぞれの目的に沿った教育プログラム・活動を考案する。授業ではディスカッションや、模擬授業などクラスメートと協働する機会が多数ある。当該科目は「日本語教員養成課程修了証明書」の対象科目の一つである。また、日本語教師【養成】における必須の教育内容(31)目的・対照別日本語教育法を含む。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ②）

一般目標：学習者の目的に適した日本語学習プログラムの設計、活動を行うために必要な知識とスキルを身に付ける。

個別目標：(1) 多文化共生社会における生活者、就労者に関する背景知識を整理する。
(2) 生活者、就労者が日本で遭遇する言語活動を達成できるようにプログラムのデザインができる。
(3) 生活者、就労者が日本で遭遇する言語活動を達成できるように適切な授業を展開できる。

▌履修条件

(1)「日本語教育実習」を履修中または履修済み、もしくは同等のスキルを持っている。
(2) 毎回積極的に授業に参加し、発言する。
(3) 課題提出の期限を守る。
(4)「日本語教員養成課程修了証明書」の取得を目指している。

▌評価基準・方法

課題提出 40%、模擬授業 30%、テスト 20%、学習の振り返りと授業への参加態度 10%で評価を行う。

▌フィードバック方法

フィードバックは対面授業と manaba から行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ほぼ毎回、グループワークがある。模擬授業がある。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （資料作成時に PC を利用する。manaba を使用する。）

▌教科書

資料を配布する。

▌参考書

随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：多文化社会の日本の現状** 授業内容：グローバル化の急速な進展に伴い人々の国際移動がますます活発化している。日本社会の一員として外国人受け入れの状況を具体的なデータを見ながら把握し、日本の現状について基礎的な知識を学習する。 事前学修 2.0hr：日本語教育の知識を整理する。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
2回	**授業テーマ：地域日本語教育１全体像** 授業内容：地域日本語教育の担い手とその活動を学ぶ。地方公共団体、国際交流協会、NPO やボランティアなどの役割と業務内容について学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
3回	**授業テーマ：地域日本語教育２日本語教室** 授業内容：地域の日本語教室はどのような場なのか、どのような場であることが望ましいのか被支援者と支援者の立場から学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
4回	**授業テーマ：地域日本語教育３生活の中で必要な日本コミュニケーション** 授業内容：生活者が日常生活で直面する具体的な場面と、その行為に必要とされる言語能力について学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
5回	**授業テーマ：地域日本語教育４日本語教室における学習支援** 授業内容：実際の事例をもとに、地域の日本語教室の取り組みについて学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
6回	**授業テーマ：地域日本語教育５授業計画** 授業内容：地域の日本語教室を想定し、生活者に日本語を支援するための授業を計画する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
7回	**授業テーマ：地域日本語教育６教材作成** 授業内容：生活者に日本語を指導するための教材を作成する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
8回	**授業テーマ：地域日本語教育７模擬授業** 授業内容：地域の日本語教室を想定した模擬授業をし、クラスメートと相互に意見を交換する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
9回	**授業テーマ：外国人受け入れ政策と就労者** 授業内容：就労者とはどのような存在なのか、技能実習制度と技能実習生、特定技能と高度外国人人材等の外国人受け入れ政策、背景となる日本の社会状況について学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

10回	**授業テーマ：就労者に対する日本語教育１背景と問題** 授業内容：就労者に対して日本語指導者はどのような場づくりを目指すか、どのような日本語指導が必要なのかを考えて日本語教育関係者としての役割を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
11回	**授業テーマ：就労者に対する日本語教育２コースデザインと評価** 授業内容：就労者や利害関係者のニーズを踏まえたコースをデザインする。就労者に対する評価の目的、評価方法を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
12回	**授業テーマ：就労者に対する日本語教育３授業計画** 授業内容：就労者に対して日本語を指導する模擬授業の計画を立てる。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
13回	**授業テーマ：就労者に対する日本語教育４教材作成** 授業内容：就労者に日本語を指導するための教材を作成する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
14回	**授業テーマ：就労者に対する日本語教育５模擬授業と相互点検** 授業内容：就労者に対して日本語を指導する模擬授業を行う。クラスメートと相互に点検する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
15回	**授業テーマ：総括・テストとフィードバック** 授業内容：コース全体を振り返り、目的および対象別に必要な日本語教育を整理する。テストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

専門領域研究講座

開講学科等：日　｜　3 年次　｜　4 単位　｜　開講期：通

片桐　史尚（かたぎり　ふみたか）

▌授業の概要

日本語教育の知識を基に、日本語学、日本語教育学、社会言語学の研究領域を考察・研究する。
特に日本語学では「文法」「語彙」「音韻」「表記」を、日本語教育学では「教授法」及び「言語習得に関わる心理的・社会的要因」を、また社会言語学では言語の多様性とそれに関連する言語問題を「文化」と絡めて考えていく。
また必要に応じて「日本語教育能力決定試験」との関わりを紹介する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ③、GSM G ②）

一般目標：日本語教育を行う上での研究手法の手順・方法を知り、自らの研究を行うことができる。
　　学んだ項目がどのような文化と関わりを持つかが理解できる。
個別目標：特に言語文化化に関する基礎項目を把握することができる。

▌履修条件

人に頼らず言語研究に熱心に取り組む姿勢を保持していること。

▌評価基準・方法

毎回の授業時における課題（授業内容の振り返り及び課題への取り組み）を 60 %とし、テストを 40 %とする。出席は 5 分の 4 以上とする。（欠席については事前に連絡をする。）

▌フィードバック方法

対面及び manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ピア・ラーニングを行う。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （適宜、語彙調査などにおいて使用する。）

▌教科書

添付資料を教材とする。

▌参考書

適宜、指示する。
鈴木孝夫（1973）『ことばと文化』岩波新書
鈴木孝夫（1990）『日本語と外国語』岩波新書
金田一春彦（1988）『日本語　新版』（上）（下）岩波新書

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：社会・文化・地域 国際関係論・文化論・比較文化論な視点** 授業内容：鈴木孝夫の『ことばと文化』を読み解く１（ことばの構造、文化の構造） 共時的展開と通時的展開 事前学修 2.0hr：予習シートを読んでくる。 事後学修 2.0hr：提出用復習プリントの課題を行う。	16回	**授業テーマ：言語と心理　15 回の応用** 授業内容：授業テーマ以外に「総復習２」を行う。 事前学修 2.0hr：予習シートを読んでくる。 事後学修 2.0hr：提出用復習プリントの課題を行う。
2回	**授業テーマ：社会・文化・地域　１回の応用** 授業内容：鈴木孝夫の『ことばと文化』を読み解く２（ことばの構造、文化の構造）２ 文化の項目と普遍的価値 事前学修 2.0hr：予習シートを読んでくる。 事後学修 2.0hr：提出用復習プリントの課題を行う。	17回	**授業テーマ：言語と心理　異文化理解、異文化接触、異文化コミュニケーション** 授業内容：鈴木孝夫の『ことばと文化』を読み解く１５（ことばの意味、ことばの定義） 音と意味 事前学修 2.0hr：予習シートを読んでくる。 事後学修 2.0hr：提出用復習プリントの課題を行う。
3回	**授業テーマ：社会・文化・地域　政治的・経済的・社会的・地政学的な視点** 授業内容：鈴木孝夫の『ことばと文化』を読み解く３ ことばの構造性と辞典の記述 事前学修 2.0hr：予習シートを読んでくる。 事後学修 2.0hr：提出用復習プリントの課題を行う。	18回	**授業テーマ：言語と心理　17 回の応用** 授業内容：鈴木孝夫の『ことばと文化』を読み解く１６（ことばの意味、ことばの定義） 辞典は言葉の意味を説明しない 事前学修 2.0hr：予習シートを読んでくる。 事後学修 2.0hr：提出用復習プリントの課題を行う。
4回	**授業テーマ：社会・文化・地域　３回の応用** 授業内容：鈴木孝夫の『ことばと文化』を読み解く４ あらわな文化、かくれた文化 事前学修 2.0hr：予習シートを読んでくる。 事後学修 2.0hr：提出用復習プリントの課題を行う。	19回	**授業テーマ：言語と教育　学習者に対するミクロ的、マクロ的視点** 授業内容：鈴木孝夫の『ことばと文化』を読み解く１７（ことばの意味、ことばの定義） 音と結合した個人の知識体験の総体 事前学修 2.0hr：予習シートを読んでくる。 事後学修 2.0hr：提出用復習プリントの課題を行う。
5回	**授業テーマ：社会・文化・地域　宗教的・民族的・歴史的な視点** 授業内容：鈴木孝夫の『ことばと文化』を読み解く５（ものとことば） ものとことばの対応関係 事前学修 2.0hr：予習シートを読んでくる。 事後学修 2.0hr：提出用復習プリントの課題を行う。	20回	**授業テーマ：言語と教育　19 回の応用** 授業内容：鈴木孝夫の『ことばと文化』を読み解く１８（ことばの意味、ことばの定義） ことばの意味はことばで伝達不可能かという問題 事前学修 2.0hr：予習シートを読んでくる。 事後学修 2.0hr：提出用復習プリントの課題を行う。
6回	**授業テーマ：社会・文化・地域　５回の応用** 授業内容：鈴木孝夫の『ことばと文化』を読み解く６（ものとことば） ことばがものをあらしめる 事前学修 2.0hr：予習シートを読んでくる。 事後学修 2.0hr：提出用復習プリントの課題を行う。	21回	**授業テーマ：言語と教育　学習活動の客観的分析** 授業内容：鈴木孝夫の『ことばと文化』を読み解く１９（事実に価値を与える価値について） 日本人は残酷か、日本の犬と西洋の犬（日本と西洋の動物観から視野を広める） 事前学修 2.0hr：予習シートを読んでくる。 事後学修 2.0hr：提出用復習プリントの課題を行う。
7回	**授業テーマ：言語と社会　言語教育・言語習得と国際・地域社会の動向** 授業内容：鈴木孝夫の『ことばと文化』を読み解く７（ものとことば） ことばの文節性と虚構性 事前学修 2.0hr：予習シートを読んでくる。 事後学修 2.0hr：提出用復習プリントの課題を行う。	22回	**授業テーマ：言語と教育　21 回の応用** 授業内容：鈴木孝夫の『ことばと文化』を読み解く２０（事実に価値を与える価値について） 価値体系を無視した概念の輸入（矛盾を強制していないかの検証） 事前学修 2.0hr：予習シートを読んでくる。 事後学修 2.0hr：提出用復習プリントの課題を行う。

8回	**授業テーマ：言語と社会　7回の応用** 授業内容：鈴木孝夫の『ことばと文化』を読み解く８(ものとことば) 言語的相対主義 事前学修 2.0hr：予習シートを読んでくる。 事後学修 2.0hr：提出用復習プリントの課題を行う。	23回	**授業テーマ：言語と教育　学習者の問題と教授・評価に関する知識** 授業内容：鈴木孝夫の『ことばと文化』を読み解く２１(事実に価値を与える価値について) 日本語を測る尺度 事前学修 2.0hr：予習シートを読んでくる。 事後学修 2.0hr：提出用復習プリントの課題を行う。
9回	**授業テーマ：言語と社会　言語教育・言語習得と政治的・経済的・文化的構造との関係** 授業内容：鈴木孝夫の『ことばと文化』を読み解く９(ものとことば) 指示対象の曖昧性 事前学修 2.0hr：予習シートを読んでくる。 事後学修 2.0hr：提出用復習プリントの課題を行う。	24回	**授業テーマ：言語と教育　23 回の応用** 授業内容：鈴木孝夫の『ことばと文化』を読み解く 22 (人を表すことば) 日本語の人称代名詞の歴史的背景 事前学修 2.0hr：予習シートを読んでくる。 事後学修 2.0hr：提出用復習プリントの課題を行う。
10回	**授業テーマ：言語と社会　9回の応用** 授業内容：鈴木孝夫の『ことばと文化』を読み解く１０(ものとことば) 指示対象の領域のくいちがい 事前学修 2.0hr：予習シートを読んでくる。 事後学修 2.0hr：提出用復習プリントの課題を行う。	25回	**授業テーマ：言語一般　現代日本語の音声・音韻・語彙・文法・意味とその運用** 授業内容：鈴木孝夫の『ことばと文化』を読み解く２３(人を表すことば) 日本語の自称詞と対称詞の構造 事前学修 2.0hr：予習シートを読んでくる。 事後学修 2.0hr：提出用復習プリントの課題を行う。
11回	**授業テーマ：言語と社会　社会文化状況における個々人の言語使用** 授業内容：鈴木孝夫の『ことばと文化』を読み解く１１(かくれた基準) 形容詞の内容の相違 事前学修 2.0hr：予習シートを読んでくる。 事後学修 2.0hr：提出用復習プリントの課題を行う。	26回	**授業テーマ：言語一般　25 回の応用** 授業内容：鈴木孝夫の『ことばと文化』を読み解く２４(人を表すことば) 親族名称の虚構的用法 事前学修 2.0hr：予習シートを読んでくる。 事後学修 2.0hr：提出用復習プリントの課題を行う。
12回	**授業テーマ：言語と社会　11 回の応用** 授業内容：鈴木孝夫の『ことばと文化』を読み解く１２(かくれた基準) 相対的形容詞と絶対的形容詞 事前学修 2.0hr：予習シートを読んでくる。 事後学修 2.0hr：提出用復習プリントの課題を行う。	27回	**授業テーマ：言語一般　一般言語学・対照言語学の基礎知識** 授業内容：鈴木孝夫の『ことばと文化』を読み解く２５(人を表すことば) ことばと行動様式 事前学修 2.0hr：予習シートを読んでくる。 事後学修 2.0hr：提出用復習プリントの課題を行う。
13回	**授業テーマ：言語と心理　学習過程、スタイル** 授業内容：鈴木孝夫の『ことばと文化』を読み解く１３(かくれた基準) 潜在的比較文と明示的比較文 事前学修 2.0hr：予習シートを読んでくる。 事後学修 2.0hr：提出用復習プリントの課題を行う。	28回	**授業テーマ：言語一般　27 回の応用** 授業内容：鈴木孝夫の『ことばと文化』を読み解く２６(人を表すことば) 教育とことば、文化 事前学修 2.0hr：予習シートを読んでくる。 事後学修 2.0hr：提出用復習プリントの課題を行う。
14回	**授業テーマ：言語と心理　13 回の応用** 授業内容：鈴木孝夫の『ことばと文化』を読み解１４(かくれた基準) 種の基準、規律基準、適格基準、人形(ひとがた)の基準 事前学修 2.0hr：予習シートを読んでくる。 事後学修 2.0hr：提出用復習プリントの課題を行う。	29回	**授業テーマ：言語一般　コミュニケーションにおける知識・能力** 授業内容：鈴木孝夫の『ことばと文化』を読み解く２７ 授業テーマ以外に「総復習１」を行う。 事前学修 2.0hr：予習シートを読んでくる。 事後学修 2.0hr：提出用復習プリントの課題を行う。
15回	**授業テーマ：言語と心理　言語教育に必要な学習理論** 授業内容：授業テーマ以外に「総復習１」を行う。 事前学修 2.0hr：予習シートを読んでくる。 事後学修 2.0hr：提出用復習プリントの課題を行う。	30回	**授業テーマ：言語一般　29 回の応用** 授業内容：鈴木孝夫の『ことばと文化』を読み解く２８ 授業テーマ以外に「総復習１」を行う。 事前学修 2.0hr：予習シートを読んでくる。 事後学修 2.0hr：提出用復習プリントの課題を行う。

専門領域研究講座

開講学科等：日　｜　3 年次　｜　4 単位　｜　開講期：通

木山　三佳（きやま　みか）

▌授業の概要

学術的な文章や研究論文を書くために必要な基礎的な知識や技能を身につける。
ゼミ論を執筆し、自分の研究テーマを探し、卒業研究に向けて、論文として育てる。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ③、GSM G ②）

一般目標：日本語もしくは日本語教育に関する問いを探究し、学術的な文章で書くことができる。
個別目標：学術的な文章の書き方を説明できる。
　　問いをたて、それを明らかにする方法を考えることができる。
　　問い、方法、結果、考察に一貫性のある文章を書くことができる。
　　建設的なピアレビューを行うことができる。

▌履修条件

毎回出席する。欠席時には manaba で理由等を連絡する。提出物を期限内に提出する。

▌評価基準・方法

平常評価（通常週の課題提出による評価）70%、発表 30%の割合で評価する。

▌フィードバック方法

課題のフィードバックは manaba で行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション・話し合い学習法・コメントシート）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （文章作成、コメントシートの作成等に利用する。）

▌教科書

『これから研究を書くひとのためのガイドブック』佐渡島紗織・吉野亜矢子　著　ひつじ書房

▌参考書

授業で指示する

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：シラバスについての説明。学術的な文章を書けることの意義。事前テスト（制限時間内で意見文を書く） 事前学修 2.0hr：シラバスを読む。テキストを読む。 事後学修 2.0hr：コメントシートを作成する。	16 回	**授業テーマ：外来語と専門用語を扱う** 授業内容：外来語と専門用語をテーマに話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：テキストを読む。コンセプトクエスチョンに答える。 事後学修 2.0hr：コメントシートを作成する。課題文の修正を行う。
2 回	**授業テーマ：学術的文章とはどのような文章か** 授業内容：学術的文章の持つ特性をテーマに話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：テキストを読む。コンセプトクエスチョンに答える。 事後学修 2.0hr：コメントシートを作成する。課題文の修正をする。	17 回	**授業テーマ：推敲・構成をする** 授業内容：推敲・構成をテーマに話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：テキストを読む。コンセプトクエスチョンに答える。 事後学修 2.0hr：コメントシートを作成する。課題文の修正を行う。
3 回	**授業テーマ：一文一義で書く** 授業内容：一文一義をテーマに話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：テキストを読む。コンセプトクエスチョンに答える。 事後学修 2.0hr：コメントシートを作成する。課題文の修正をする。	18 回	**授業テーマ：学術論文とは何か** 授業内容：学術論文をテーマに話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：テキストを読む。コンセプトクエスチョンに答える。 事後学修 2.0hr：コメントシートを作成する。課題文の修正を行う。
4 回	**授業テーマ：語句を明確に使う** 授業内容：語句を明確に使うをテーマに話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：テキストを読む。コンセプトクエスチョンに答える。 事後学修 2.0hr：コメントシートを作成する。課題文の修正をする。	19 回	**授業テーマ：文献研究と実証研究の性質と選択、論文の構成** 授業内容：文献研究と実証研究をテーマに話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：テキストを読む。コンセプトクエスチョンに答える。 事後学修 2.0hr：コメントシートを作成する。課題文の修正を行う。
5 回	**授業テーマ：マップを作って書く** 授業内容：マップをテーマに話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：テキストを読む。コンセプトクエスチョンに答える。 事後学修 2.0hr：コメントシートを作成する。マップを作成する。	20 回	**授業テーマ：テーマの選択** 授業内容：テーマの選択をテーマに話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：テキストを読む。コンセプトクエスチョンに答える。 事後学修 2.0hr：コメントシートを作成する。自分のテーマを決める。
6 回	**授業テーマ：パラグラフを作る** 授業内容：パラグラフをテーマに話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：テキストを読む。コンセプトクエスチョンに答える。 事後学修 2.0hr：コメントシートを作成する。課題文の修正をする。	21 回	**授業テーマ：領域の下調べをする** 授業内容：領域の下調べをテーマに話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：テキストを読む。コンセプトクエスチョンに答える。 事後学修 2.0hr：コメントシートを作成する。領域の下調べをする。
7 回	**授業テーマ：主張を根拠で支える** 授業内容：主張を根拠で支えるをテーマに話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：テキストを読む。コンセプトクエスチョンに答える。 事後学修 2.0hr：コメントシートを作成する。課題文の修正をする。	22 回	**授業テーマ：領域の先行文献をまとめる** 授業内容：領域の先行文献のまとめをテーマに話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：テキストを読む。コンセプトクエスチョンに答える。 事後学修 2.0hr：コメントシートを作成する。領域の先行文献をまとめる。
8 回	**授業テーマ：論点を整理する** 授業内容：論点を整理するをテーマに話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：テキストを読む。コンセプトクエスチョンに答える。 事後学修 2.0hr：コメントシートを作成する。課題文の修正をする。	23 回	**授業テーマ：アウトラインを考える** 授業内容：アウトラインをテーマに話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：テキストを読む。コンセプトクエスチョンに答える。 事後学修 2.0hr：コメントシートを作成する。アウトラインを書く。
9 回	**授業テーマ：抽象度の調節をする** 授業内容：抽象度の調節をテーマに話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：テキストを読む。コンセプトクエスチョンに答える。 事後学修 2.0hr：コメントシートを作成する。課題文の修正をする。	24 回	**授業テーマ：1 回目の序論を書く** 授業内容：1 回目の序論をテーマに話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：テキストを読む。コンセプトクエスチョンに答える。 事後学修 2.0hr：コメントシートを作成する。自分の序論を書く。
10 回	**授業テーマ：参考文献を示す** 授業内容：参考文献をテーマに話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：テキストを読む。コンセプトクエスチョンに答える。 事後学修 2.0hr：コメントシートを作成する。参考文献リストを作成する。	25 回	**授業テーマ：一次資料と二次資料** 授業内容：一次資料と二次資料をテーマに話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：テキストを読む。コンセプトクエスチョンに答える。 事後学修 2.0hr：コメントシートを作成する。資料を作成する。
11 回	**授業テーマ：ブロック引用をする** 授業内容：ブロック引用をテーマに話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：テキストを読む。コンセプトクエスチョンに答える。 事後学修 2.0hr：コメントシートを作成する。参考文献のブロック引用を行う。	26 回	**授業テーマ：情報を整理する** 授業内容：情報の整理することをテーマに話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：テキストを読む。コンセプトクエスチョンに答える。 事後学修 2.0hr：コメントシートを作成する。情報を整理する。

12回	**授業テーマ：要約引用をする** 授業内容：要約引用をテーマに話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：テキストを読む。コンセプトクエスチョンに答える。 事後学修 2.0hr：コメントシートを作成する。参考文献の要約引用を行う。	27回	**授業テーマ：画像を読む** 授業内容：画像を読むことをテーマに話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：テキストを読む。コンセプトクエスチョンに答える。 事後学修 2.0hr：コメントシートを作成する。
13回	**授業テーマ：図や表を作る** 授業内容：図表をテーマに話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：テキストを読む。コンセプトクエスチョンに答える。 事後学修 2.0hr：コメントシートを作成する。図表を作成する。	28回	**授業テーマ：データを読む** 授業内容：データを読むことをテーマに話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：テキストを読む。コンセプトクエスチョンに答える。 事後学修 2.0hr：コメントシートを作成する。データを引用する。
14回	**授業テーマ：「私語り」から脱出する** 授業内容：「私語り」からの脱出をテーマに話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：テキストを読む。コンセプトクエスチョンに答える。 事後学修 2.0hr：コメントシートを作成する。課題文の修正を行う。	29回	**授業テーマ：結論を書く** 授業内容：結論を書くことをテーマに話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：テキストを読む。コンセプトクエスチョンに答える。 事後学修 2.0hr：コメントシートを作成する。最終課題の提出をする。
15回	**授業テーマ：前学期のふりかえり** 授業内容：前学期の学びを振り返る。お互いの文章を読みあう。 事前学修 2.0hr：テキストを読む。コンセプトクエスチョンに答える。 事後学修 2.0hr：前学期の振り返りを作成する。	30回	**授業テーマ：最終発表・振り返り** 授業内容：最終課題を発表する。1 年の学びを振り返る。 事前学修 2.0hr：発表の準備を行う。 事後学修 2.0hr：振り返りを作成する。

専門領域研究講座

開講学科等：日　｜　3 年次　｜　4 単位　｜　開講期：通

佐々木　文彦（ささき　ふみひこ）

▌授業の概要

日本語・日本文化を中心テーマとし、さまざまな言語事象や社会現象を注意深く観察し、比較言語の立場、日本語教育の立場からも考察し、４年次の卒業研究に向けての準備をする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ③、GSM G ②）

一般目標：卒業研究に向けて、日本語や日本文化に対する問題意識を持ち、問題解決の方策を定めることができる
個別目標：①日本語・日本文化について問題提起し、その解決方法についてわかりやすくプレゼンテーションをすることができる
②卒業研究のテーマについて研究計画書をまとめることができる

▌履修条件

特になし。

▌評価基準・方法

発表：40 % レポート：40 % 質疑応答への参加：20 %
５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （発表およびディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （PC を利用しての情報検索と課題提出）

▌教科書

なし

▌参考書

各学生のテーマに応じて紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：テーマの決定(1)興味ある語および分野の確認** 授業内容：４年次に執筆する卒業論文の準備を開始する。各自が研究する分野について確認する。 事前学修 2.0hr：調査と分析。要点をノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：調査と分析。要点をノートにまとめる。	16回	**授業テーマ：発表・討議 1 例：「わざと」の意味・用法の変化** 授業内容：各自の研究成果を発表し、ディスカッションする。 事前学修 2.0hr：問題とする語について辞書および用例を元に考察し、ノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：発表内容の振り返りと追加の調査をし、ノートにまとめる。
2回	**授業テーマ：テーマの決定(2)問題点の発見** 授業内容：各自が興味をもつ分野について、どのような問題があるのか考察する。 事前学修 2.0hr：調査と分析。要点をノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：調査と分析。要点をノートにまとめる。	17回	**授業テーマ：発表・討議2例：「をかし」の意味・用法の変化** 授業内容：各自の研究成果を発表し、ディスカッションする。 事前学修 2.0hr：問題とする語について辞書および用例を元に考察し、ノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：発表内容の振り返りと追加の調査をし、ノートにまとめる。
3回	**授業テーマ：テーマの決定(3)問題解決の方法** 授業内容：各自の問題提起をどのような方法で解決したらよいか。解決方法について考察する。 事前学修 2.0hr：調査と分析。要点をノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：調査と分析。要点をノートにまとめる。	18回	**授業テーマ：発表・討議3例：「目標」と「目的」の意味・用法の違い** 授業内容：各自の研究成果を発表し、ディスカッションする。 事前学修 2.0hr：問題とする語について辞書および用例を元に考察し、ノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：発表内容の振り返りと追加の調査をし、ノートにまとめる。
4回	**授業テーマ：研究方法の検討(1)既知のことと未知のこと** 授業内容：各自の問題について、既に知られていることと未だ知られていないことを確認し、整理する。 事前学修 2.0hr：調査と分析。要点をノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：調査と分析。要点をノートにまとめる。	19回	**授業テーマ：発表・討議4 例：「やうやう」の意味・用法の変化** 授業内容：各自の研究成果を発表し、ディスカッションする。 事前学修 2.0hr：問題とする語について辞書および用例を元に考察し、ノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：発表内容の振り返りと追加の調査をし、ノートにまとめる。
5回	**授業テーマ：研究方法の検討(2)調査方法の整理** 授業内容：各自の問題について、どのような方法で調査して情報を得るのか、整理する。 事前学修 2.0hr：調査と分析。要点をノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：調査と分析。要点をノートにまとめる。	20回	**授業テーマ：発表・討議5例：「あはれ」の意味・用法の変化** 授業内容：各自の研究成果を発表し、ディスカッションする。 事前学修 2.0hr：問題とする語について辞書および用例を元に考察し、ノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：発表内容の振り返りと追加の調査をし、ノートにまとめる。
6回	**授業テーマ：研究方法の検討(3)データ集めの方法** 授業内容：各自の問題について、どのようなデータがあるのか、どうやってアクセスするか、方法を確認する。 事前学修 2.0hr：調査と分析。要点をノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：調査と分析。要点をノートにまとめる。	21回	**授業テーマ：発表・討議6 例：「気持ち」と「気分」の意味・用法の　違い** 授業内容：各自の研究成果を発表し、ディスカッションする。 事前学修 2.0hr：問題とする語について辞書および用例を元に考察し、ノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：発表内容の振り返りと追加の調査をし、ノートにまとめる。
7回	**授業テーマ：データ集めと整理(1)データの収集** 授業内容：各自の問題について、データを集めて整理し、わかったことをまとめる。 事前学修 2.0hr：調査と分析。要点をノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：調査と分析。要点をノートにまとめる。	22回	**授業テーマ：発表・討議7 例：「最高」と「最上」の意味・用法の中国語との異同** 授業内容：各自の研究成果を発表し、ディスカッションする。 事前学修 2.0hr：問題とする語について辞書および用例を元に考察し、ノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：発表内容の振り返りと追加の調査をし、ノートにまとめる。
8回	**授業テーマ：データ集めと整理(2)データ収集結果の報告** 授業内容：データを観察してわかったことを報告し、ディスカッションする。 事前学修 2.0hr：調査と分析。データ収集結果をノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：調査と分析。要点をノートにまとめる。	23回	**授業テーマ：発表・討議8 例：「かわいい」の意味・用法とベトナム語への翻訳** 授業内容：各自の研究成果を発表し、ディスカッションする。 事前学修 2.0hr：問題とする語について辞書および用例を元に考察し、ノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：発表内容の振り返りと追加の調査をし、ノートにまとめる。
9回	**授業テーマ：データ集めと整理(3)データ分析の方法** 授業内容：集めたデータをどのように分析したら良いか、方法を考察する。 事前学修 2.0hr：調査と分析。要点をノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：調査と分析。要点をノートにまとめる。	24回	**授業テーマ：発表・討議9例：「ゴロゴロ」の意味・用法とタイ語への翻訳** 授業内容：各自の研究成果を発表し、ディスカッションする。 事前学修 2.0hr：問題とする語について辞書および用例を元に考察し、ノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：発表内容の振り返りと追加の調査をし、ノートにまとめる。

10回	**授業テーマ：データ集めと整理(4)分析結果と課題** 授業内容：データを分析した結果をまとめ、解決した課題と未解決の課題を確認する。 事前学修 2.0hr：調査と分析。分析結果と疑問点をノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：調査と分析。要点をノートにまとめる。	25回	**授業テーマ：発表・討議１０ 例：オノマトペの他言語への翻訳** 授業内容：各自の研究成果を発表し、ディスカッションする。 事前学修 2.0hr：問題とする語について辞書および用例を元に考察し、ノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：発表内容の振り返りと追加の調査をし、ノートにまとめる。
11回	**授業テーマ：データ集めと整理(5)新しい課題とその解決法** 授業内容：未解決の課題を解決するために、新たな問題提起を試みる。 事前学修 2.0hr：調査と分析。要点をノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：調査と分析。要点をノートにまとめる。	26回	**授業テーマ：まとめ(１)発表討議のまとめと課題の整理** 授業内容：前回までに行ったディスカッションを踏まえて、各自の課題について明らかになったことと未解決の課題を整理する。 事前学修 2.0hr：発表に対する討議の内容と課題を確認してノートに整理しておく。 事後学修 2.0hr：自分のテーマ・課題をより明確にしてノートにまとめる。
12回	**授業テーマ：経過報告とフィードバック(1)課題設定のチェック** 授業内容：各自の研究を進めるために「問題提起」「研究目的」が適切であるかどうかをチェックする。 事前学修 2.0hr：調査と分析。要点をノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：調査と分析。要点をノートにまとめる。	27回	**授業テーマ：まとめ(２)卒業研究の課題を設定する** 授業内容：前回までの研究成果に基づいて、卒業論文の課題を設定する。 事前学修 2.0hr：研究課題をノートにまとめておく。 事後学修 2.0hr：授業時に指摘された問題を整理し、課題を明確にする。
13回	**授業テーマ：経過報告とフィードバック(2)データ収集の方法** 授業内容：課題解決をするためにデータ収集の方法が適切であるかどうかをチェックする。 事前学修 2.0hr：調査と分析。要点をノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：調査と分析。要点をノートにまとめる。	28回	**授業テーマ：まとめ(２)卒業研究の課題設定に対してどのような方法で取り組むか検討する** 授業内容：卒業論文の研究計画書の執筆準備をする。「研究の背景」「研究目的」「先行研究」「研究方法」「参考文献」を書き出す。 事前学修 2.0hr：課題と研究方法をノートにまとめておく。 事後学修 2.0hr：課題と研究方法をノートに整理する。
14回	**授業テーマ：経過報告とフィードバック(3)データ分析の方法** 授業内容：課題解決をするためにデータ分析の方法が適切であるかどうかをチェックする。 事前学修 2.0hr：調査と分析。要点をノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：調査と分析。要点をノートにまとめる。	29回	**授業テーマ：まとめ(３)卒業研究の研究計画の確定** 授業内容：前回の作業をまとめて研究計画書を執筆し、発表し、ディスカッションする。 事前学修 2.0hr：研究計画書の草稿をまとめておく。 事後学修 2.0hr：研究計画書を整理しまとめる。
15回	**授業テーマ：経過報告とフィードバック(4)今後の課題と解決の方針** 授業内容：夏休みに向けてどのように研究を進めていくか方針を定める。 事前学修 2.0hr：調査と分析。要点をノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：調査と分析。決まった方針に基づいて研究を進める (夏期休業中)。	30回	**授業テーマ：まとめ(４)確定した研究計画に基づく予備調査報告** 授業内容：確定した研究計画に基づいて簡単な予備調査をし、報告してディスカッションする。 春休みの学修計画を立てる。 事前学修 2.0hr：予備調査を行い、気づいた点などをノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：本授業についての感想をまとめる。

専門領域研究講座

開講学科等：日　｜　3 年次　｜　4 単位　｜　開講期：通

田川　麻央（たがわ　まお）

▌授業の概要

母語、および第二言語での読み書きの認知プロセスと教育を理解したうえで、指導者の立場として、また自身の読み書き能力に対して問題を整理し、解決策を考える。具体的には「読んで理解する」ときに頭の中ではどういうことが起こっているのかという仕組みと、母語で読むときと外国語で読むときでの共通点、相違点を分析したうえで「読解」がどうやったら学べるのかについて考える。また、読むことの技術を書くことにも応用しつつ実用的な文章を書くために必要なスキルを整理し、指導と評価を検討する。論文の書き方も学習する。これらを通じて、問題を分析し対応する力、自己省察力、他者と協働する力を身に付ける。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ③、GSM G ②）

一般目標：読み書きの教育に関する知識をもとに指導者の立場として、また今の自分の読み書き能力に対して問題を分析して解決策を提案したり改善したりできる。論文の書き方を身に付ける。

個別目標：(1) 現在の認知的な読解過程、作文過程に関する理論を体系的に整理できる。
(2) 読むことと書くことの教育について具体的に分析したり、教材を作成したりできる。
(3) 自分自身が母語および外国語でどのように読んだり書いたりしているかを理論と結びつけて振り返り、熟達者の特徴を自分にも取り入れることができる。
(4) 言語学習観の異なる他者に一定の理解を示し、協働して目標を実現できる。
(5) 論文とはどのようなものか説明することができる。

▌履修条件

毎回、積極的に参加する。
課題の締め切りを守る。
日本語能力試験 N1 を持っていない留学生は合格する。

▌評価基準・方法

課題提出 50%、発表 40%、学習の振り返りと授業参加度 10%で評価する。

▌フィードバック方法

フィードバックは、学修支援システム manaba および対面授業を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ほぼ毎回グループワーク、発表等があります。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （資料作成時に PC を利用する。manaba、respon を使用する（スマートフォン対応可）。）

▌教科書

資料を配布して進める。

▌参考書

近藤安月子・小森和子編『日本語教育事典』研究社
国際交流基金『読むことを教える』ひつじ書房
国際交流基金『書くことを教える』ひつじ書房
犬塚美輪・椿本弥生『論理的読み書きの理論と実践』北大路書房

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス・「読む」テスト** 授業内容：コースの概要と目的、学習の進め方、評価について理解する。「読む」テストを受けてフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：自分の読解力、読解に対する考え方を 400 字程度にまとめる 事後学修 2.0hr：コース終了時の目標を実現した自分について 400 字程度にまとめる	16 回	**授業テーマ：課題の提示** 授業内容：論文の構成要素を学習する。そのうえで課題の提示、問題解決の必要条件の提示、研究行動の提示など序論の構成要素を学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前タスクシートを記入する 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる
2 回	**授業テーマ：「読んでわかる」とは何か** 授業内容：文章に接したときにわかりやすい、わかりにくいと感じることがある。そのような読みやすさの背景に何があるのかを学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前タスクシートを記入する 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる	17 回	**授業テーマ：目的の提示** 授業内容：研究テーマの説明の仕方、先行研究の問題点の指摘、研究目的の提示など序論の構成要素を学習する。 事前学修 2.0hr：事前タスクシートを記入する 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる
3 回	**授業テーマ：「読んでわかる」ために必要なこと** 授業内容：より理解が深まるためにどのように読めばよいか、熟達した読み手の特徴、どのような点に気を付けながら読んでいくかなどの読解への具体策を学習する。 事前学修 2.0hr：事前タスクシートを記入する 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる	18 回	**授業テーマ：定義と分類** 授業内容：定義、分類、選択など本論の構成要素を学習する。 事前学修 2.0hr：事前タスクシートを記入する 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる
4 回	**授業テーマ：「読んでわかる」ことの仕組み** 授業内容：文章を理解するとき心の中では何が起こっているのか、記憶とどう関わっているのかについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前タスクシートを記入する 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる	19 回	**授業テーマ：図表の提示** 授業内容：調査の結果を示すときの使う図表の説明の仕方を学習する。 事前学修 2.0hr：事前タスクシートを記入する 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる
5 回	**授業テーマ：母語で読むことと外国語で読むこと** 授業内容：母語で読むことと外国語で読むことの違いを明らかにする。外国語で読むときの特徴を挙げ、外国語で読むときにどのようなことに力を入れればよいをを検討する。 事前学修 2.0hr：事前タスクシートを記入する 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる	20 回	**授業テーマ：変化の形容** 授業内容：収集したデータからわかることをどう説明すればよいか学習する。 事前学修 2.0hr：事前タスクシートを記入する 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる
6 回	**授業テーマ：読解能力** 授業内容：高次リテラシーの一つとして読解能力がどのように位置づけられているのかを学習し、読解能力をいかに育てていくかを検討する。 事前学修 2.0hr：事前タスクシートを記入する 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる	21 回	**授業テーマ：対比と比較** 授業内容：調査結果の書き方、本論の考察の仕方を学習する。ここでは二つの物事を対比する書き方と比較の仕方の展開パターン、よく使われる表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前タスクシートを記入する 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる

7回	**授業テーマ：「書く」ときに考えていること** 授業内容：「書く」とはどのようなことなのか、今まで日常生活で書いた経験とテストで書く経験を振り返り、問題点を検討する。「書く」ときにどのようなことを考えているか振り返り、どのようなプロセスで書いているのか認識する。 事前学修 2.0hr：事前タスクシートを記入する 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる	22回	**授業テーマ：原因の考察** 授業内容：本論の考察の仕方を学ぶ。調査結果やさまざまな事実について、その原因を考察したり、将来を予測したりする場合の書き方を学習する。 事前学修 2.0hr：事前タスクシートを記入する 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる
8回	**授業テーマ：「書く」ことの指導** 授業内容：作文教材を一つとりあげ、どのように学習していくか分析する。教科書を応用してどのような新たな学習が実現できるかを考える。 事前学修 2.0hr：事前タスクシートを記入する 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる	23回	**授業テーマ：列挙** 授業内容：本論の考察の仕方を学ぶ。存在の指摘、列挙などの展開パターンと表現方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前タスクシートを記入する 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる
9回	**授業テーマ：「書く」ための教材** 授業内容：学習者に必要な「書く場面」とはどのような場面か、ライティング教材にはどのようなものがあるのか調査し、分析する。 事前学修 2.0hr：事前タスクシートを記入する 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる	24回	**授業テーマ：引用** 授業内容：他の人が述べたことを借りて書く方法(引用)を中心に学習する。原文をそのまま使った詳しい引用、原文を要約して述べる引用などいくつかの種類を紹介し、練習する。 事前学修 2.0hr：事前タスクシートを記入する 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる
10回	**授業テーマ：教材の開発：企画** 授業内容：開発する教材について、クラスメートと学習目標、学習内容、構成等の企画を立てる。 事前学修 2.0hr：事前タスクシートを記入する 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる	25回	**授業テーマ：同意と反論** 授業内容：本論の考察の仕方を学ぶ。引用した他者の意見に対して賛否を述べる書き方を練習する。参考文献リストの作成方法も学習する。 事前学修 2.0hr：事前タスクシートを記入する 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる
11回	**授業テーマ：教材の開発：前書きと目次** 授業内容：グループのメンバーと前書き、目次等を協力して考える。そのうえで、各自が作成する課を決定する。 事前学修 2.0hr：事前タスクシートを記入する 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる	26回	**授業テーマ：帰結** 授業内容：論文の結論部分の書き方を学習する。序論と本論で述べたことを確認したうえで、結論を簡潔に記し、今後の課題を述べる展開をパターンを学び、練習する。 事前学修 2.0hr：事前タスクシートを記入する 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる
12回	**授業テーマ：教材の開発：作成** 授業内容：企画書をもとに担当する課の教材を作成する。 事前学修 2.0hr：事前タスクシートを記入する 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる	27回	**授業テーマ：結論の提示** 授業内容：結論の構成要素を学習する。研究行動の確認、結論の提示、研究の評価、今後の課題の指摘などの展開パターンと表現方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前タスクシートを記入する 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる
13回	**授業テーマ：教材の開発：モニター調査と改善** 授業内容：モニター調査を実施し、モニターから得られたコメントをもとに教材を改善したり調整したりする。 事前学修 2.0hr：事前タスクシートを記入する 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる	28回	**授業テーマ：ブレーンストーミング** 授業内容：卒業研究でどのような論文を作成したいか、ブレーンストーミングをしてテーマを考える。 事前学修 2.0hr：事前タスクシートを記入する 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる
14回	**授業テーマ：発表と他者評価** 授業内容：作成した教材をクラスメートに披露し、学習目標、教材の特徴、作成プロセスについて発表する。クラスメートと意見交換をする。 事前学修 2.0hr：事前タスクシートを記入する 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる	29回	**授業テーマ：文献の収集** 授業内容：文献収集の方法を復習し、卒業論文のテーマの沿って先行研究を集めて読む。 事前学修 2.0hr：事前タスクシートを記入する 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる
15回	**授業テーマ：まとめとふり返り** 授業内容：これまで学習したことを整理し、どのように生かせるかを考える。 事前学修 2.0hr：事前タスクシートを記入する 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる	30回	**授業テーマ：問いの立て方、まとめとコース全体のふりかえり** 授業内容：研究課題の立て方を学習し、卒業論文のテーマに沿って研究課題を立てる。コース全体を振り返る。 事前学修 2.0hr：事前タスクシートを記入する 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる

専門領域研究講座

開講学科等：日 ｜ 3 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通

田鍋　桂子（たなべ　けいこ）

▌授業の概要

この授業では、前期においては、言語(国語)専攻の学生、及び国語教員を目指す学生に必要な論理的思考と根拠のある調査を行うための方法を学ぶ。後期においては日本語学を中心に、文学、教育学や隣接分野の基礎的知識について論文を購読し、問いを立てながら読む力と、疑問に応じて理解のための調査を行い、高度な専門的読解とそれらの内容を自分の言葉としてアウトプットできる力を養う。
教員採用試験の準備学習も時間外の課題として行う。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ③、GSM G ②）

一般目標：論理の力と主に言葉を調べるための辞書をはじめとした参考書、インターネットを適切に使いこなす力を養い、適切に問いをたて、論理の筋道を追い、専門分野のテキストについて高度な読解ができるようになった上で、それらを要約できるようになる。

個別目標：1　文を読み書くための論理を使いこなす
2　目的にあわせて根拠あるインターネット資料や辞書・事典類をみつけだし、つかう力をつける
3　問いをたてながら文章を読んでいく力をつける
4　専門分野のテキストについて自分の言葉でまとめることができる

▌履修条件

特になし

▌評価基準・方法

小テスト及びレポート 50 %、プレゼンテーション 50 %。
出席を基本とし、評価する。

▌フィードバック方法

対面授業およびマナバで行う

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （レポート作成、資料閲覧および検索）

▌教科書

プリントを使用する。

▌参考書

授業にて指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：辞書の特徴と使い方(1)** 授業内容：各種古語辞典の特徴と使い方を学ぶ 事前学修 2.0hr：課題を行う 事後学修 2.0hr：まとめシートの作成	16回	**授業テーマ：国語について** 授業内容：国語と標準語について学び、上田万年「標準語に就きて」の概略をつかむ。 事前学修 2.0hr：課題を行う 事後学修 2.0hr：論文の残りを各自が読み、要約してくる
2回	**授業テーマ：辞書の特徴と使い方(2)** 授業内容：各種国語辞典の特徴と使い方を学ぶ 事前学修 2.0hr：課題を行う 事後学修 2.0hr：まとめシートの作成	17回	**授業テーマ：国語について(2)** 授業内容：上田万年「標準語に就きて」の要約をお互い講評し、近代日本と標準語について考える 事前学修 2.0hr：課題を行う 事後学修 2.0hr：まとめシートの作成
3回	**授業テーマ：辞書の特徴と使い方(3)** 授業内容：各種漢和辞典の特徴と使い方を学ぶ 事前学修 2.0hr：課題を行う 事後学修 2.0hr：まとめシートの作成	18回	**授業テーマ：言文一致、共通語について** 授業内容：近代日本における言文一致運動について学び、森岡健二「汎共通語」の冒頭を読む 事前学修 2.0hr：課題を行う 事後学修 2.0hr：論文の残りを各自が読み、要約してくる
4回	**授業テーマ：図書館、資料館等を使った文献、資料調査** 授業内容：本学の図書館及び、各地の公共図書館、国立国会図書館、私立の特色ある図書館を知り、また、テーマに応じた資料館、文書館、博物館の特色や使い方を知る 事前学修 2.0hr：課題を行う 事後学修 2.0hr：まとめシートの作成	19回	**授業テーマ：言文一致、共通語について(2)** 授業内容：森岡健二「汎共通語」についての要約をお互い講評し、森岡の考える日本語における共通語を考える 事前学修 2.0hr：課題を行う 事後学修 2.0hr：まとめシートの作成
5回	**授業テーマ：インターネットでの調査1** 授業内容：語学・文学・教育の各分野において、提起されたトピックについてインターネットのみで根拠ある資料をグループで調査し探し出す 事前学修 2.0hr：課題を行う 事後学修 2.0hr：まとめシートの作成	20回	**授業テーマ：学校文法の独自性とその意義について** 授業内容：橋本進吉の文法論について概略を学んだ上で、橋本の文節に関する解説論文の冒頭を購読する。 事前学修 2.0hr：課題を行う 事後学修 2.0hr：まとめシートの作成
6回	**授業テーマ：インターネットでの調査1** 授業内容：第 5 回で調べた根拠資料について、その真偽と適切さ、信用性を討議する。また、インターネットでの適切な論文検索を学ぶ 事前学修 2.0hr：課題を行う 事後学修 2.0hr：まとめシートの作成	21回	**授業テーマ：学校文法の独自性とその意義について** 授業内容：論文の要約についてお互い講評を行い、橋本文法の課題と意義を理解する。 事前学修 2.0hr：課題を行う 事後学修 2.0hr：まとめシートの作成
7回	**授業テーマ：論理1** 授業内容：厳密な意味での接続詞と一部副詞によって支えられる日本語の中の論理構造について、論理学に基づいて論理の大枠を理解する。 事前学修 2.0hr：課題を行う 事後学修 2.0hr：まとめシートの作成	22回	**授業テーマ：時枝の言語過程説について** 授業内容：時枝誠記『日本文法(文語篇)』の文論について概略を学んだ上で、解説を通読する 事前学修 2.0hr：課題を行う 事後学修 2.0hr：まとめシートの作成
8回	**授業テーマ：論理2** 授業内容：第 7 回での接続の論理の大枠を用いて、論理学のワークを実施し、討議しながら理解する。 事前学修 2.0hr：課題を行う 事後学修 2.0hr：まとめシートの作成	23回	**授業テーマ：時枝の言語過程説について** 授業内容：時枝誠記『日本文法(文語篇)』の文論について概略を学んだ上で、文論(一部抜粋)を購読する 事前学修 2.0hr：課題を行う 事後学修 2.0hr：要約を完成させる

9回	**授業テーマ：論理３** 授業内容：論理的な正しさについて学び、帰納と演繹を理解する。 事前学修 2.0hr：課題を行う 事後学修 2.0hr：まとめシートの作成	24回	**授業テーマ：夏目漱石の近代批評について１** 授業内容：夏目漱石についてその文学史的意義を理解し、「現代日本の開化」の冒頭を購読する 事前学修 2.0hr：課題を行う 事後学修 2.0hr：要約を完成させる
10回	**授業テーマ：論理４** 授業内容：高校の評論文を取り上げ、論理と構造を読み解く 事前学修 2.0hr：課題を行う 事後学修 2.0hr：まとめシートの作成	25回	**授業テーマ：夏目漱石の近代批評について２** 授業内容：「現代日本の開化」の要約をお互い講評し、漱石の近代日本の捉え方について理解する 事前学修 2.0hr：課題を行う 事後学修 2.0hr：まとめシートの作成
11回	**授業テーマ：論理５** 授業内容：日本語学に関する新書の一章を取り上げ、論理と構造を読み解く 事前学修 2.0hr：課題を行う 事後学修 2.0hr：まとめシートの作成	26回	**授業テーマ：大村はまの国語教育論について１** 授業内容：大村はまの単元教育について学ぶ。『教えるということ』について、その冒頭を購読する 事前学修 2.0hr：課題を行う 事後学修 2.0hr：残りの一冊を通して読み、まとめる
12回	**授業テーマ：論理と購読１** 授業内容：『日本の言語学』から一本論文を取り上げ、論理と構造を読み解く 事前学修 2.0hr：課題を行う 事後学修 2.0hr：まとめシートの作成	27回	**授業テーマ：大村はまの国語教育論について２** 授業内容：大村はまの国語教育論についてまとめを参考にディスカッションを行う 事前学修 2.0hr：課題を行う 事後学修 2.0hr：まとめシートの作成
13回	**授業テーマ：論理と購読２** 授業内容：第 12 回の論文について、必要な知識を辞書、事典、インターネットで調べた上で、論文の内容を読み解く 事前学修 2.0hr：課題を行う 事後学修 2.0hr：まとめシートの作成	28回	**授業テーマ：論文を選び、まとめる１** 授業内容：卒業論文の作成のために、自分の興味ある分野の基礎文献である論文をピックアップする 事前学修 2.0hr：課題を行う 事後学修 2.0hr：それぞれまとめを行い、レジュメを作成する
14回	**授業テーマ：要約** 授業内容：内容について討議を重ねた上で、内容を 1000 字で要約し、お互い講評する 事前学修 2.0hr：課題を行う 事後学修 2.0hr：別の論文を選び要約する	29回	**授業テーマ：発表** 授業内容：それぞれの論文について発表を行った上で、興味を持った事柄について討議する 事前学修 2.0hr：課題を行う 事後学修 2.0hr：まとめシートの作成
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：文献での調査方法、論理、要約を振り返り、後期の内容を見通す 事前学修 2.0hr：課題を行う 事後学修 2.0hr：まとめシートの作成	30回	**授業テーマ：仮説を立てる** 授業内容：それぞれの論文から発展させてグループで討議しながら仮説を立ててみる。 事前学修 2.0hr：課題を行う 事後学修 2.0hr：まとめシートの作成

専門領域研究講座

開講学科等：日 ｜ 3 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通

中川 仁（なかがわ ひとし）

▌授業の概要

この授業では言語学及び日本語学の基礎的な知識を整理し、文章理解（平易な論文の理解も含める）と文章解釈（論文の解釈も含める）として、日本語を客観的に捉えようとする力を培養し、それに伴う関連分野においても言及するものである。また単なる暗記的な知識にとどまらず、その知識を人にどのように伝えていくのかも同時に訓練していく。そして「論理的な思考」を培養し、ものごとを細分化し、自らがその思考により、ものごとを構築していく力を養う。（言語学を主軸とする分野とその他の相関関係にある学問分野を網羅する形で知識を培養し、その力を養うことに力点をおき、学修を進めていく。）

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ③、GSM G ②）

一般目標：日本語の客観的な構造を理解し、それを人に伝えることができるようになる。また基礎的な言語運用能力の培養にも力を注ぎ、「論理的な思考」を身につける。そして素養としての教養（言語学及び文学的知識、そしてその他の関連学問分野）について身につけることができる。

個別目標：言語学的な知識と文学的な解釈について、新たな視座にたって説明ができる。またものごとを細分化し、「論理的な思考」を基に、学問的な構築とその方法論を認識し、そのことがらを説明することができる。

▌履修条件

専門的な知識の獲得に努力すること。国語の知識と国語教員養成の立場に立ったゼミであることから、言葉遣いはもちろんのこと、礼儀正しくすることに注意を注ぎ、身なりもきちんと整えること。（授業以外の勉強会や補習にも積極的に参加することを心がけていただきたい。）

▌評価基準・方法

毎回の課題を 70 %とし、テストの替わりに小論文をまとめる。その他、授業への取り組み、討論、発言などを 30 %とし、出席は 5 分の 4 以上を前提条件とする。（欠席については、事前に連絡をする。）

▌フィードバック方法

課題に関わるフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行うこととする。また個別による指導も含め、そのフィードバックを進める。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション及びプレゼンテーション等を行う。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （事前事後における学修及び小論文、課題作成においてパソコンを使用する。）

▌教科書

とくに指定はしない。毎回のプリントを配布する。

▌参考書

とくに参考書はなく、その都度、必要な文献を紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：自分が理想とする学問を目指す。（知を探究し、専門性を学ぶ）** 授業内容：研究という視点を着眼点として、研究の意義とそれが社会にとって、どのような影響を及ぼしていくのか、言語学及び文学の立場から先人たちの考えやその方策を学び、理解していく。 事前学修 2.0hr：先人たちが勉強してきたものをまとめる。（言語学の分野及び文学の分野を再構築する。） 事後学修 2.0hr：言語学の分野及び文学の分野を再構築したものをまとめる。	16 回	**授業テーマ：論理的思考がどのようなものか。（構造主義を考える。Ⅰ）** 授業内容：構造主義における論文及び解説書を読んでいく。ソシュールの考え方を理解し、ヨーロッパにおける文献研究の基本的な考え方を概観し、それを理解していく。 事前学修 2.0hr：構造主義について調べておく。 事後学修 2.0hr：構造主義についてまとめておく。
2 回	**授業テーマ：言語学としての音の構造（音声と音韻）** 授業内容：言語学の「音」の概念を通して、声の文化や音声・音韻の構造を再度理解していく。ここでは言霊の概念なども同時に触れることにより、「音」に対する概観を理解していく。 事前学修 2.0hr：基礎的な音声、音韻について調べておく。 事後学修 2.0hr：音声、音韻がどのような形で文の構造を作るのかをまとめる。	17 回	**授業テーマ：論理的思考がどのようなものか（構造主義を考える。Ⅱ）** 授業内容：構造主義における論文及び解説書を読んでいく。ガーベレンツの考え方を理解し、文献研究の基本的な考え方を概観し、それを理解していく。（継続的な文献研究の基本を捉え、理解していく。） 事前学修 2.0hr：どのような分野で学問として、機能してきたかを調べる。 事後学修 2.0hr：どのような分野で学問として、機能してきたかをまとめる。
3 回	**授業テーマ：言語学としての形の構造（形態素の特徴）** 授業内容：言語学の「形」の概念を通して、「音」の構造から単語が成り立つことを再度理解していく。ここでは型霊の概念なども同時に触れることにより、「単語」及び「文字」に対する概観に言及する。 事前学修 2.0hr：形態素の概念について、目を通しておく。 事後学修 2.0hr：拘束形態素と自由形態素をそれぞれをまとめる。	18 回	**授業テーマ：論理的思考がどのようなものか（構造主義を考える。Ⅲ）** 授業内容：構造主義における論文及び解説書を読んでいく。カールグレンの考え方を理解し、文献研究の基本的な考え方を概観し、それを理解していく。（継続的な文献研究の基本を捉え、理解していく。） 事前学修 2.0hr：どのような分野で学問として、機能してきたかを調べる。 事後学修 2.0hr：どのような分野で学問として、機能してきたかをまとめる。
4 回	**授業テーマ：言語学としての表現の構造（品詞と構文の基礎）** 授業内容：言葉における品詞や構文の構造を考えていき、品詞の分け方、構文（文）の構造を先人たちの文献から見出していく。ここでは概観を学び理解していく。 事前学修 2.0hr：日本語の品詞、構文について調べておく。 事後学修 2.0hr：それぞれの品詞、構文についての用法をまとめる。	19 回	**授業テーマ：論理的思考がどのようなものか（構造主義を考える。Ⅳ）** 授業内容：構造主義における論文及び解説書を読んでいく。レヴィ=ストロースの考え方を理解し、文献研究の基本的な考え方を概観し、それを理解していく。（継続的な文献研究の基本を捉え、理解していく。） 事前学修 2.0hr：文化人類学の分野でどのように発展したかを調べる。 事後学修 2.0hr：文化人類学の分野でどのように発展したかをまとめる。
5 回	**授業テーマ：日本語の構造（アスペクト、テンス、ムード）** 授業内容：日本語の構造という視点から文の規則性を見出し、時間、場所、その状況により、文がどのような形で成立していくのか、細かくその構造的な観点を理解していく。 事前学修 2.0hr：アスペクト、テンス、ムードについて調べておく。 事後学修 2.0hr：アスペクト、テンス、ムードのそれぞれの例文をまとめる。	20 回	**授業テーマ：論理的思考がどのようなものか（構造主義を考える。Ⅴ）** 授業内容：構造主義における論文及び解説書を読んでいく。レヴィ=ストロースの考え方を理解し、文献研究の基本的な考え方を概観し、それを理解していく。（とくにフィールド調査の実態などを理解していく。） 事前学修 2.0hr：文化人類学の分野でどのように発展したかを調べる。 事後学修 2.0hr：文化人類学の分野でどのように発展したかをまとめる。
6 回	**授業テーマ：日本語の構造（敬語について）** 授業内容：日本語の敬語については、相対敬語としてみていくものであるが、古い時代から存在する概念を理解し、その様相を同時に理解していく。（とくに古文を参考として、その語の使い方を理解していく。） 事前学修 2.0hr：敬語について調べておく。 事後学修 2.0hr：敬語についてのそれぞれの用法をまとめる。	21 回	**授業テーマ：論理的思考がどのようなものか（構造主義を考える。Ⅵ）** 授業内容：構造主義における論文及び解説書を読んでいく。レヴィ=ストロースの考え方を理解し、文献研究の基本的な考え方を概観し、それを理解していく。（とくにフィールド調査と民族誌の関係性を理解していく。） 事前学修 2.0hr：文化人類学の分野でどのように発展したかを調べる。 事後学修 2.0hr：文化人類学の分野でどのように発展したかをまとめる。

7回	**授業テーマ：文学作品の整理(上代、中古、中世の文学と言語の変遷)** 授業内容：それぞれの時代における文学作品に触れ、言葉の特徴を見出していく。品詞の扱いを中心に、言葉遣いの成り立ちと単語の意味などをそれぞれ考え、その使い方などを理解をしていく。 事前学修 2.0hr：上代、中古、中世の文学作品の理解し、言語の変遷について調べておく。 事後学修 2.0hr：上代、中古、中世の文学作品の理解し、通時的な部分をまとめる。	22回	**授業テーマ：論理的思考がどのようなものか(構造主義を考える。Ⅶ)** 授業内容：レヴィ=ストロースの考え方が歴史的な立場から、どのように理解されているのか、民俗誌とそれぞれの調査から得たことがらからの概観を理解し、歴史との接点に言及する。 事前学修 2.0hr：歴史の分野でどのように捉えられてきたかを調べる。 事後学修 2.0hr：歴史の分野でどのように捉えられてきたかをまとめる。
8回	**授業テーマ：文学作品の整理(近世の文学と日本語研究史)** 授業内容：近世における時代の文学作品に触れ、言葉の特徴を見出していく。この時代の識字率と言葉の文化としての捉え方、流通する言葉の概念の考え方を理解し、言葉の芸術性をも理解していく。 事前学修 2.0hr：近世の文学作品を理解し、日本語の研究史についても調べておく。 事後学修 2.0hr：近世の文学作品を理解し、日本語研究史の変遷についてまとめる。	23回	**授業テーマ：論理的思考がどのようなものか(構造主義を考える。Ⅷ)** 授業内容：ブルームフィールドの考え方として、言葉のフィールド調査を仕方を理解し、アメリカの構造主義言語学の基本的な概念を概観していく。(ここでは少数民族のフィールド調査の方法論を理解していく。) 事前学修 2.0hr：言語学の分野でどのように捉えられてきたかを調べる。 事後学修 2.0hr：言語学の分野でどのように捉えられてきたかをまとめる。
9回	**授業テーマ：文学作品の整理(日本の近代化と近代の言語研究)** 授業内容：近代における時代の文学作品に触れ、言葉の特徴を見出していく。この時代の言葉の概念の考え方を「言文一致」として捉え、言葉の大衆性と芸術性(近代との歴史的な経緯との関連を含む)を理解していく。 事前学修 2.0hr：日本の近代化と近代の言語研究の視点から、その周辺の諸分野について調べておく。 事後学修 2.0hr：日本の近代化と近代の言語研究の視座から、周辺の学問分野をまとめる。	24回	**授業テーマ：論理的思考がどのようなものか(構造主義を考える。Ⅸ)** 授業内容：ブルームフィールドの考え方として、アメリカの構造主義言語学の基本的な概念を概観していく。(ここではアルゴンキン語族の調査の実例などを挙げて理解していく。) 事前学修 2.0hr：言語学の分野でどのように捉えられてきたかを調べる。 事後学修 2.0hr：言語学の分野でどのように捉えられてきたかをまとめる。
10回	**授業テーマ：言葉と歴史、文学との相関性** 授業内容：近世から近代にかけての言葉遊びの芸術性を歴史的な観点から紐解いていく。とくに「言文一致」の概念は、落語からの言葉遊びからきていることなどを芸能という立場から理解していく。(表現形態の確立を理解する。) 事前学修 2.0hr：言葉の表現形態と歴史、文学との相関性を調べておく。 事後学修 2.0hr：言葉の表現形態と周辺にある諸分野をまとめる。	25回	**授業テーマ：論理的思考がどのようなものか(構造主義を考える。Ⅹ)** 授業内容：ブルームフィールドの考え方として、アメリカの構造主義言語学の基本的な概念を概観していく。(ここでは調査した内容をどのように反映してきたのかを理解していく。) 事前学修 2.0hr：言語学の分野でどのように捉えられてきたかを調べる。 事後学修 2.0hr：言語学の分野でどのように捉えられてきたかをまとめる。
11回	**授業テーマ：言葉と民俗学との相関性** 授業内容：言葉を民俗学の視点から紐解いていく。とくに折口信夫の考える言語的なことがらを理解し、人々が生活のなかで使ってきた言語観を言語生活のなかで、その習慣性や祭事とどう関わってきたのかを理解する。 事前学修 2.0hr：民俗学の基礎的な事柄を調べておく。 事後学修 2.0hr：言葉と民俗学との関係をまとめる。	26回	**授業テーマ：『悲しき熱帯』を読み、それについて解釈する。** 授業内容：レヴィ=ストロースの構造主義に関わる考え方を理解し、『悲しき熱帯』を読んでいく。(ここでは第一部及び第二部について読み、グループディスカッションを行い、理解していく。) 事前学修 2.0hr：『悲しき熱帯』について調べる。(第一部、第二部を調べる。) 事後学修 2.0hr：『悲しき熱帯』についてまとめる。(第一部、第二部をまとめる。)
12回	**授業テーマ：資料と文献Ⅰ(上代、中古、中世の資料と文献)** 授業内容：それぞれの時代の資料や文献をもとに、それを解釈し、どのような観点で、その資料と文献を読み込んでいくのか、各自、辞書や字典を使用しながら、その方法論を理解していく。 事前学修 2.0hr：資料と文献の調べ方を学んでおく。 事後学修 2.0hr：資料と文献を調べて、それをまとめる。	27回	**授業テーマ：『悲しき熱帯』を読み、それについて解釈する。** 授業内容：レヴィ=ストロースの構造主義に関わる考え方を理解し、『悲しき熱帯』を読んでいく。(ここでは第三部及び第四部について読み、グループディスカッションを行い、理解していく。) 事前学修 2.0hr：『悲しき熱帯』について調べる。(第三部、第四部を調べる。) 事後学修 2.0hr：『悲しき熱帯』についてまとめる。(第三部、第四部をまとめる。)
13回	**授業テーマ：資料と文献Ⅱ(近世の資料と文献)** 授業内容：近世における時代の資料や文献を、どのような観点で読み込んでいくのか、各自、辞書や字典を使用しながら、その方法論を理解していく。(ここでは継続的に調べ方を理解していく。) 事前学修 2.0hr：資料と文献の調べ方を学んでおく。 事後学修 2.0hr：資料と文献を調べて、それをまとめる。	28回	**授業テーマ：『悲しき熱帯』を読み、それについて解釈する。** 授業内容：レヴィ=ストロースの構造主義に関わる考え方を理解し、『悲しき熱帯』を読んでいく。(ここでは第五部及び第六部について読み、グループディスカッションを行い、理解していく。) 事前学修 2.0hr：『悲しき熱帯』について調べる。(第五部、第六部を調べる。) 事後学修 2.0hr：『悲しき熱帯』についてまとめる。(第五部、第六部をまとめる。)
14回	**授業テーマ：辞書の調べ方(古辞書の研究Ⅰ)** 授業内容：それぞれの時代の資料や文献を解釈するため、各自、辞書や字典を使用しながら、その方法論を理解していく。(辞書類の紹介も含め、ここでは継続的な調べ方の方法論を学んでいく。) 事前学修 2.0hr：さまざまな辞書の種類を調べておく。 事後学修 2.0hr：どの分野でどの辞書ガ使用されるかを調べて、それをまとめる。	29回	**授業テーマ：『悲しき熱帯』を読み、それについて解釈する。** 授業内容：レヴィ=ストロースの構造主義に関わる考え方を理解し、『悲しき熱帯』を読んでいく。(ここでは第七部及び第八部について読み、グループディスカッションを行い、理解していく。) 事前学修 2.0hr：『悲しき熱帯』について調べる。(第七部、第八部を調べる。) 事後学修 2.0hr：『悲しき熱帯』についてまとめる。(第七部、第八部をまとめる。)
15回	**授業テーマ：辞書の調べ方(古辞書の研究Ⅱ)** 授業内容：資料や文献を解釈するため、各自、辞書や字典を使用しながら、その方法論を理解していく。(辞書類の紹介も含め、ここでは継続的な調べ方の方法論を学んでいく。) 事前学修 2.0hr：さまざまな辞書の種類を調べておく。 事後学修 2.0hr：どの分野でどの辞書ガ使用されるかを調べて、それをまとめる。	30回	**授業テーマ：『悲しき熱帯』を読み、それについて解釈する。** 授業内容：レヴィ=ストロースの構造主義に関わる考え方を理解し、『悲しき熱帯』を読んでいく。(ここでは第九部について読み、グループディスカッションを行い、理解していく。) 事前学修 2.0hr：『悲しき熱帯』について調べる。(第九部を調べる。) 事後学修 2.0hr：『悲しき熱帯』についてまとめる。(第九部をまとめる。)

専門領域研究講座

開講学科等：日 ｜ 3 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通

西川　寛之 (にしかわ　ひろゆき)

▌授業の概要

日本語学科での学びと社会との接点について考える講座である。
授業の主たる活動として、卒業年度の卒業研究を見据えながら、論文講読を行う。
論文講読を通じて、各研究の成果を知るだけではなく、批判的な視点を加えながら各自が自分なりの視点を持って考える力を涵養する。さらに、読み手としてだけではなく、論文執筆をする書き手として、第三者に情報を伝える、説得力を持って説明をするという目標を立て、講読で取り上げる論文の書き方について学ぶ。
方法探求力(処理型課題解決力)と目的探求力(企画力，開発力)を身に付けるために，論文とは別に、企業研究や 面接について演習形式で指導する。
新聞やニュースで取り上げられる話題についても批判的な視点を加えて自身の見解を述べる活動も行う。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ③、GSM G ②）

一般目標：社会的な課題を理解し，さらなる課題を考えることができる。
　　社会的な問題や課題について、その原因について考え、その社会的な課題の解決策として、現状どのような策が講じられているかを理解し、そのメリットとデメリットについて考えること、さらに、その自身の考えを第三者に適切に伝えることができることを目標とする。
　　第三者に伝える際に必要な場面状況に応じた対応ができるようマナーを身に付ける。
個別目標：①　同じ話題の新聞やニュースを読み比べて、それぞれの情報発信者の視点の違いを説明することができる。
　　②　研究論文を読んで、研究テーマについて理解し、そのテーマに関連する他の論文を見つけることができる。
　　③　研究論文の構成を理解し、批判的に読むことができる。

▌履修条件

新聞やニュースの読み比べや、論文講読など、最低でも週に 2 時間程度授業時間外の活動があることを理解して履修すること。

▌評価基準・方法

評価は、それぞれ授業での小テスト及び発表が 60 %，宿題を含む教室外活動が 40 %とする。

▌フィードバック方法

発表へのフィードバックは当日もしくはよく授業内で行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション・ディベート）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （論文検索など）

▌教科書

なし。(卒業研究テーマごとに一部個別指導を行う。)
社会課題に関する情報(新聞記事など)と研究論文の講読を行なうため。

▌参考書

適宜，個別にあるいはクラス全体に指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：専門領域研究講座として、日本語学科での学び、4 年時の卒業論文執筆などに加え、各自の卒業後の進路に向けた これからのプランを確認する。就職活動に向けた希望党についても確認を行う。 事前学修 2.0hr：調査票への記入(回答) 事後学修 2.0hr：課題の提出	16 回	**授業テーマ：自身の研究について説明する(2)** 授業内容：自身が興味を持つ論文等を集め、紹介する。 先行研究をあつめ、紹介する。 事前学修 2.0hr：発表の準備 事後学修 2.0hr：他者の発表について要約したものを提出すること
2 回	**授業テーマ：資料の精査について** 授業内容：研究テーマ、企業研究など、書籍をはじめインターネットなどで情報を集めることが可能である。 自身が集めた資料の出店を確認することの重要性について、確認する。 論文の参考文献にある資料の探し方について確認する。 事前学修 2.0hr：研究テーマとしたいことについてまとめておくこと 事後学修 2.0hr：参考文献に記載された書籍、論文を検索し入手するための情報を集めること	17 回	**授業テーマ：自身の研究について説明する(3)** 授業内容：自身が興味を持つ論文等を集め、紹介する。 先行研究をあつめ、紹介する。 事前学修 2.0hr：発表の準備をしておくこと 事後学修 2.0hr：他者の発表について要約したものを提出すること
3 回	**授業テーマ：論文講読準備** 授業内容：授業で紹介する論文をよみ、その調査研究の手法について読み解く。 自身が論文の研究を再検証するためにどのような手順をとればよいのかを考える。 事前学修 2.0hr：指示された論文を読んで概要をまとめておくこと 事後学修 2.0hr：研究論文の研究手順についてまとめておくこと	18 回	**授業テーマ：先行研究の紹介(1)** 授業内容：自身の研究テーマとそれに沿った先行研究を紹介する。 各自、2 つずつ紹介すること 事前学修 2.0hr：先行研究を手元において概要をまとめておくこと 事後学修 2.0hr：先行研究の研究手法をまとめておくこと
4 回	**授業テーマ：論文講読** 授業内容：授業で紹介する論文をよみ、その調査研究の手法について読み解く。 自身が論文の研究を再検証するためにどのような手順を具体的に考える。アンケートの調査項目について推測する。 事前学修 2.0hr：指示された論文を読んで概要をまとめておくこと 事後学修 2.0hr：アンケートを作成する。	19 回	**授業テーマ：先行研究の紹介(2)** 授業内容：自身の研究テーマとそれに沿った先行研究を紹介する。 各自、2 つずつ紹介すること 事前学修 2.0hr：先行研究を手元において概要をまとめておくこと 事後学修 2.0hr：先行研究の研究手法をまとめておくこと
5 回	**授業テーマ：論文講読　再検証** 授業内容：取り上げた論文に用いられたアンケートの調査項目を考える。 具体的にアンケートを作成し、教室内でアンケートの項目について確認する。 事前学修 2.0hr：アンケートの作成(GoogleForm の利用)の方法について調べておく 事後学修 2.0hr：アンケートを GoogleForm で作成するための下書きを作成しておくこと。	20 回	**授業テーマ：論文講読　(1)** 授業内容：紹介された先行研究から選定した論文を輪読する 論文のテーマ、研究手法、結果を読み解く 事前学修 2.0hr：論文を読んでおくこと(音読の準備をしておくこと) 事後学修 2.0hr：研究手法について、その研究を再現できるようにまとめておくこと
6 回	**授業テーマ：アンケート作成ツールの使い方** 授業内容：アンケート作成ツールとして、GoogleForm の使い方を確認する。 使用方法の確認と集計方法について確認する。 事前学修 2.0hr：アンケートの回答の集計方法について考えておくこと 事後学修 2.0hr：他の人のアンケートに回答をすること	21 回	**授業テーマ：論文講読　(2)** 授業内容：紹介された先行研究から選定した論文を輪読する 論文のテーマ、研究手法、結果を読み解く 事前学修 2.0hr：論文を読んでおくこと(音読の準備をしておくこと) 事後学修 2.0hr：研究手法について、その研究を再現できるようにまとめておくこと

7回	**授業テーマ：クロス集計の方法** 授業内容：アンケートの集計方法について学びます。 集計データの処理について学びます。 事前学修 2.0hr：エクセルの使用について確認をしておくこと 事後学修 2.0hr：授業での指示を基に、データ処理の練習をしておくこと	22回	**授業テーマ：論文講読　（3）** 授業内容：紹介された先行研究から選定した論文を輪読する 論文のテーマ、研究手法、結果を読み解く 事前学修 2.0hr：論文を読んでおくこと（音読の準備をしておくこと） 事後学修 2.0hr：研究手法について、その研究を再現できるようにまとめておくこと
8回	**授業テーマ：集計結果の読み方** 授業内容：データの値が示す意味について確認する。 クロス集計の結果を中心に集計方法について学ぶ。 事前学修 2.0hr：集計及び統計の用語について調べておくこと 事後学修 2.0hr：データが持つ意味について確認しておくこと	23回	**授業テーマ：論文講読　（4）** 授業内容：紹介された先行研究から選定した論文を輪読する 論文のテーマ、研究手法、結果を読み解く 事前学修 2.0hr：論文を読んでおくこと（音読の準備をしておくこと） 事後学修 2.0hr：研究手法について、その研究を再現できるようにまとめておくこと
9回	**授業テーマ：自己 PR を考える** 授業内容：自身が大学で学んできた中でどのようなことに興味を持っているのかをまとめる。 自己 PR を考える。 事前学修 2.0hr：履歴書を作成し持参すること 事後学修 2.0hr：授業の中で考えたことを基に修正すること	24回	**授業テーマ：論文講読　（5）** 授業内容：紹介された先行研究から選定した論文を輪読する 論文のテーマ、研究手法、結果を読み解く 事前学修 2.0hr：論文を読んでおくこと（音読の準備をしておくこと） 事後学修 2.0hr：研究手法について、その研究を再現できるようにまとめておくこと
10回	**授業テーマ：企業のデータの読み方** 授業内容：企業が出している従業員数や資本金などの各値が持つ意味を理解する。 説明会やインターンシップについて日程などを調べる。 事前学修 2.0hr：学内の就職サポート、セミナーなどをリスト化しておくこと 事後学修 2.0hr：3 つ以上の企業を具体的に調べてその企業の強みについてまとめること	25回	**授業テーマ：面接・インターンシップについて　1** 授業内容：夏休みに経験したインターンシップについて振り返り、クラス内で共有する 面接に関するマナーについて学ぶ 事前学修 2.0hr：インターンシップの経験を発表できるようにまとめておくこと 事後学修 2.0hr：他者の経験を聞いて、その活動でどのような学びが得られるかを考えまとめておくこと
11回	**授業テーマ：進路について考える** 授業内容：自身の進路について明確にする。 目標設定を行う。 事前学修 2.0hr：キャリアサポートで、日本語学科の学生の進路に関する動向を調査しておくこと 事後学修 2.0hr：自身のよう見関心について振り返り、これまでの大学生活についてまとめておくこと	26回	**授業テーマ：面接・インターンシップについて　2** 授業内容：説明会、インターンシップの情報を集め、共有する 情報収集の方法について学ぶ 事前学修 2.0hr：就職に関する登録状況を確認しておく 事後学修 2.0hr：自身がこれから参加できる説明会やインターンシップがあれば模試込みをすること
12回	**授業テーマ：ディスカッション** 授業内容：資料とする企業のデータを読み、その企業の強みについて読み解く。 企業の求人から、どのような人材が求められているのかを考え、ディスカッションを行う。 事前学修 2.0hr：資料を読み込んでおくこと 事後学修 2.0hr：他者の視点を加えて、資料を読み返しておくこと	27回	**授業テーマ：論文講読　（6）** 授業内容：先行論文として取り上げた論文について、一人ずつ発表する 発表後の質疑応答のマナーを学ぶ 事前学修 2.0hr：発表の資料を作成しておくこと 事後学修 2.0hr：自身に対する質問の回答をまとめておくこと
13回	**授業テーマ：卒業論文に向けたテーマの選定** 授業内容：自身の興味関心について述べる。 他者の興味関心について聞き、自分なりのアドバイスを考える 事前学修 2.0hr：自身の興味関心について発表する準備をしておくこと 事後学修 2.0hr：他者の発表についてまとめること	28回	**授業テーマ：論文講読　（7）** 授業内容：先行論文として取り上げた論文について、一人ずつ発表する 発表後の質疑応答のマナーを学ぶ 事前学修 2.0hr：発表の資料を作成しておくこと 事後学修 2.0hr：自身に対する質問の回答をまとめておくこと
14回	**授業テーマ：卒業論文に向けたテーマの選定2** 授業内容：自身の興味関心について述べる。（前回発表できなかった者） 他者の興味関心について聞き、自分なりのアドバイスを考える 事前学修 2.0hr：論文のテーマについて考えておく・先行研究を集めておくこと 事後学修 2.0hr：他者の発表についてまとめておくこと	29回	**授業テーマ：論文講読　（8）** 授業内容：先行論文として取り上げた論文について、一人ずつ発表する 発表後の質疑応答のマナーを学ぶ 事前学修 2.0hr：発表の資料を作成しておくこと 事後学修 2.0hr：自身に対する質問の回答をまとめておくこと
15回	**授業テーマ：自身の研究について説明する（1）** 授業内容：自身が興味を持つ論文等を集め、紹介する。 先行研究をあつめ、紹介する。 事前学修 2.0hr：発表の準備 事後学修 2.0hr：他者の発表について要約したものを提出すること	30回	**授業テーマ：卒業論文執筆に向けて** 授業内容：各自の研究の手法についてプランを述べる プランに無理がないか、授業内で取り上げ検討する 事前学修 2.0hr：卒業論文のテーマと研究の手法について考えておくこと 事後学修 2.0hr：研究手法を明確にしてプランを立てておくこと

専門領域研究講座

開講学科等：日　｜　3 年次　｜　4 単位　｜　開講期：通

柳井　まどか（やない　まどか）

▌授業の概要

世界の中の日本語・日本文学という観点から、日本語の特徴を分析的に考えるとともに、言語と文化・社会の関わりについて、いくつかの視点から考察する。その上で、4 年次の卒業研究に繋がるテーマの選定や、調査・分析方法の確認等の準備を行う。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ③、GSM G ②）

一般目標：1 音韻、語彙、文法等に関する日本語の特徴を理解する。
2 日本近代文学の主要作家の問題意識や作品の特徴を把握し、社会や文化、思想との関係を理解する。
3 日本語の分析や、文学作品の読解を通して、自らテーマを発見して主体的に考察する姿勢を身につける。

個別目標：(1) 他言語と比較しながら日本語の特徴について説明できる。
(2) 日本の小説の内容を正確に読み取り、文章の特徴や主題について説明できる。
(3) 日本語の分析や、文学作品の読解を通じて、時代や社会、文化に関わるテーマを主体的に発見し、意見を形成することができる。

▌履修条件

課題に積極的に取り組み、自ら調査、分析、考察する意欲を備えていること。

▌評価基準・方法

課題提出 50 %、授業への参加姿勢等 50 %により、総合的に評価する。
なお、5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （各回の授業内容に関して課題に取り組む他、４年次の卒業研究に向け、自身の関心のあるテーマを主体的に発見し参考資料を収集していく。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （PC を利用して参考資料の確認、データ収集、記述を行う。）

▌教科書

プリントを配布する他、必要なテキスト等を授業中に指示する。

▌参考書

必要に応じて、授業中に紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：世界の中の日本語 (1)：世界の言語の状況と日本語** 授業内容：日本語の特徴とされる事項が世界の言語の中で独自なものかどうかを学修する。音韻、文字・表記、文法、語彙などの面から、英語など他の言語と比較しながら日本語の特徴について学び、日本語への理解を深める。 事前学修 2.0hr：講義概要を読み、授業の大まかな流れを確認しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容をまとめ、配布資料を読む。	16回	**授業テーマ：日本近代文学研究入門** 授業内容：日本近代文学の大まかな流れを把握し、主要作品と作家について確認する。また、近代文学研究の方法について概要を学ぶ。4 年次の卒業論文に文学研究を選択する可能性がある場合は、自身が関心を持つテーマについて考える。 事前学修 2.0hr：配布資料を読み、近代文学の大まかな流れを確認しておく。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、要点を確認しておく。
2回	**授業テーマ：世界の中の日本語 (2)：音韻から見る日本語の特徴** 授業内容：音韻について、母音と子音、音節とモーラ(拍)、アクセントを中心に学修する。用語について理解した後、他言語との比較を交えて日本語の音韻の特徴について具体例から考え、日本語への理解を深める。 事前学修 2.0hr：配布資料を読み、要点を確認しておく。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、課題についてまとめる。	17回	**授業テーマ：近代文学概論 (1)：明治期前半の文学** 授業内容：近世文学から近代文学への移行や、近代小説の出発、言文一致体への模索など、明治期前半までの日本文学の重要なトピックについて、具体的な作品例を確認しながら学ぶ。参考となる研究論文についてもふれる。 事前学修 2.0hr：配布資料を読み、明治期前半の日本文学の概略を確認しておく。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、明治期前半の日本文学の流れについてまとめる。
3回	**授業テーマ：世界の中の日本語 (3)：語彙から見る日本語の特徴** 授業内容：日本語の語彙の特徴について学修する。語彙を性別や年代別、地域別などいくつかの観点から見ていき、適宜他の言語と比較しながら日本語の特徴を確認し、日本語への理解を深める。 事前学修 2.0hr：配布資料を読み、要点を確認しておく。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、課題についてまとめる。	18回	**授業テーマ：近代文学概論 (2)：明治期後半の文学** 授業内容：言文一致の確立や、自然主義文学、鷗外・漱石の活躍など、明治期後半の日本文学について、具体的な作品例を確認しながら学ぶ。参考となる研究論文についてもふれる。 事前学修 2.0hr：配布資料を読み、明治期後半の日本文学の概略を確認しておく。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、明治期後半の日本文学の流れについてまとめる。
4回	**授業テーマ：世界の中の日本語 (4)：文法から見る日本語の特徴** 授業内容：日本語の特徴を文法面から学修する。他の言語と比較しながら、語順、助詞。受動態などいくつかのトピックを取り上げて具体的に確認していく。文法面から日本語を見直すことで日本語を深く理解し、他の言語への理解につなげる。 事前学修 2.0hr：配布資料を読み、要点を確認しておく。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、課題についてまとめる。	19回	**授業テーマ：近代文学概論 (3)：大正期の文学** 授業内容：百花繚乱と言われる大正期の日本文学について、耽美派や白樺派、新思潮派などを中心に、具体的な作品例を確認しながら学ぶ。参考となる研究論文についてもふれる。 事前学修 2.0hr：配布資料を読み、大正期の日本文学の概略を確認しておく。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、大正期の日本文学の流れについてまとめる。
5回	**授業テーマ：人称と人の呼び方** 授業内容：日本語の人称代名詞について学修し、他言語との比較を交えて、特に性別による人称の特徴を理解する。また、立場や身分によって相手の呼び方が変化することを確認し、日本語の人称の特徴の理解を深め、他の言語への理解につなげる。 事前学修 2.0hr：配布資料を読み、要点を確認しておく。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、課題についてまとめる。	20回	**授業テーマ：近代文学概論 (4)：昭和期の文学** 授業内容：大正後期から昭和初期にかけて起こった、新現実主義やプロレタリア文学、新感覚派等の文学運動について学ぶ。また、昭和 20 年以降の戦後の小説の流れについても確認する。参考となる研究論文についてもふれる。 事前学修 2.0hr：配布資料を読み、昭和期の日本文学の概略を確認しておく。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、昭和期の日本文学の流れについてまとめる。
6回	**授業テーマ：数量詞：数と数え方** 授業内容：日本語の数量詞の特徴について、他言語と比較しながら学修する。また、日本語のものの数え方(数の表し方)の特徴を具体例から確認し、日本語の表現への理解を深める。 事前学修 2.0hr：配布資料を読み、要点を確認しておく。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、課題についてまとめる。	21回	**授業テーマ：夏目漱石『坊っちゃん』読解 (1)：作品構成と登場人物** 授業内容：文学作品の研究を念頭に置きながら、夏目漱石『坊っちゃん』を読解する。小説の前半部を読み進め、登場人物像を整理し、作品の中で気になった部分をチェックする。 事前学修 2.0hr：テキストを通読し、漢字や語句を調べ、話の流れを整理しておく。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、課題について考えをまとめる。
7回	**授業テーマ：命名：日本語の名付けの特徴** 授業内容：日本における名づけ(名前)の考え方を、古代・中古を通して歴史的に見ていく。また、さまざまな名前(名づけ)の方法についての特徴を具体的に確認する。名づけを通して日本語への理解を深める。 事前学修 2.0hr：配布資料を読み、要点を確認しておく。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、課題についてまとめる。	22回	**授業テーマ：夏目漱石『坊っちゃん』読解 (2)：作品構成と表現の特徴** 授業内容：夏目漱石『坊っちゃん』の後半部を読解し、作品の構成や、表現の特徴、テーマ等について整理し、自分なりに気になった点について問題を設定しまとめる。 事前学修 2.0hr：テキストを通読し、漢字や語句を調べ、表現の特徴を整理しておく。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、表現の特徴と主題について、考えをまとめる。

8回	**授業テーマ：言葉遊びの歴史** 授業内容：古くは掛詞のレトリックなどにもみられる日本語の言葉遊びの例を分析し、音韻などの特徴が言葉遊びの発達に関わることを確認する。「古今和歌集」にもみられる折句や物の名をはじめ、回文や三段なぞ等、言葉遊びについて学ぶことで日本語への理解を深める。 事前学修 2.0hr：配布資料を読み、要点を確認しておく。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、課題についてまとめる。	23回	**授業テーマ：夏目漱石『坊っちゃん』読解(3)と研究論文** 授業内容：夏目漱石『坊っちゃん』に関する研究論文を読み、論文テーマの設定や、論証方法等について確認する。自身の注目した点や読み取り方との比較も行い、文学研究の方法について学ぶ。 事前学修 2.0hr：配布した研究論文を読み、概要を把握しておく。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、論文テーマの設定や論証方法についてまとめる。また、他の研究論文を読み、違いを確認する。
9回	**授業テーマ：オノマトペ(擬音語・擬態語) (1):古典文学にみるオノマトペ** 授業内容：オノマトペ(擬音語・擬態語)が上代の「万葉集」に見られ、平安から鎌倉・室町、安土桃山、江戸時代の古典作品にも多くのオノマトペが見られることを確認し、オノマトペが日本語の大きな特徴の一つであることを学ぶ。 事前学修 2.0hr：配布資料を読み、要点を確認しておく。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、課題についてまとめる。	24回	**授業テーマ：森鷗外『境事件』読解(1)** 授業内容：文学作品の研究を念頭に置きながら、森鷗外『堺事件』を読解する。作品の構成や、表現の特徴、テーマ等について整理し、自分なりに気になった点について問題を設定しまとめる。 事前学修 2.0hr：テキストを通読し、漢字や語句を調べ、話の流れを整理しておく。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、作品が提示する問題について、考えをまとめる。
10回	**授業テーマ：オノマトペ(擬音語・擬態語) (2):現代のオノマトペ** 授業内容：現代語のオノマトペ(擬音語・擬態語)に見られる特徴を、語形、音のイメージ、地域差などから確認し、文学作品のオノマトペの効果についても触れる。オノマトペが日本語の大きな特徴の一つであることを学ぶ。 事前学修 2.0hr：配布資料を読み、要点を確認しておく。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、課題についてまとめる。	25回	**授業テーマ：森鷗外『境事件』読解(2)と研究論文** 授業内容：森鷗外『堺事件』に関する研究論文を読み、論文テーマの設定や、論証方法等について確認する。自身の注目した点や読み取り方との比較も行い、文学研究の方法について学ぶ。 事前学修 2.0hr：配布した研究論文を読み、概要を把握しておく。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、論文テーマの設定や論証方法についてまとめる。また、他の研究論文を読み、違いを確認する。
11回	**授業テーマ：言葉と文化 (1)：地域方言** 授業内容：日本語の方言について学修する。方言区画について確認し、いくつかの具体例を観察し、日本語における方言差について理解する。また、時代による方言政策などにも触れ、日本語における方言のありかたについて広く学ぶ。 事前学修 2.0hr：配布資料を読み、要点を確認しておく。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、課題についてまとめる。	26回	**授業テーマ：卒業論文作成の準備 (1) ：論文の構成** 授業内容：論文の基本的な構成とその作り方について学ぶ。序論、本論、結論の役割と必要な要素について大まかに確認し、簡単な構成メモを作成してみる。 事前学修 2.0hr：論文構成の概要についてプリントを確認する。 事後学修 2.0hr：論文構成について復習し、まとめる。
12回	**授業テーマ：言葉と文化 (2)：若者言葉・ジェンダーと日本語** 授業内容：時代によって移り変わる若者言葉について、具体例を確認し、特徴を理解するとともに、言葉に現れる時代の変化について考える。また、日本語の表現をジェンダーの視点から観察し、言葉に現れるジェンダーの問題について考える。 事前学修 2.0hr：配布資料を読み、要点を確認しておく。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、課題についてまとめる。	27回	**授業テーマ：卒業論文作成の準備(2)：テーマ設定の仕方と先行研究の調べ方①** 授業内容：意義のあるテーマ設定の仕方について理解し、自分の関心ある分野について検索し、テーマ候補を絞る。先行研究や基本資料の情報収集の仕方を確認し、いくつかのテーマ候補について集めてみる。 事前学修 2.0hr：先行研究の調べ方について、プリントを確認する。 事後学修 2.0hr：興味のあるテーマについて、先行研究文献を探してみる。
13回	**授業テーマ：言葉と民族・国家：バイリンガリズムと社会** 授業内容：多言語社会について、インドネシアやインドなど具体的な事例を検討し、ほぼ単一言語社会である日本の在り方について考える。グローバル化した現代における多言語社会と多文化理解について考え、言語文化への理解を深める。 事前学修 2.0hr：配布資料を読み、要点を確認しておく。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、課題についてまとめる。	28回	**授業テーマ：卒業論文作成の準備(3)：テーマ設定の仕方と先行研究の調べ方②** 授業内容：前回に続き、自分の関心のあるテーマについて、情報収集を行う。有力なテーマ候補について、先行研究を複数リストアップし、これまで明らかになっている部分を確認し、自分が問題提起できる可能性について考える。 事前学修 2.0hr：先行研究文献を読み、論文の構成を確認しておく。 事後学修 2.0hr：自身の研究テーマを絞りながら、先行研究を探してみる。
14回	**授業テーマ：翻訳と日本の近代** 授業内容：明治時代に西欧文化が流入した際に多くの翻訳作品が生まれたが、他の言語と日本語の差による日本語翻訳の困難について学ぶ。近代の翻訳が言文一致を目指していた日本語に与えた影響についても確認し、近代日本語成立への理解を深める。 事前学修 2.0hr：配布資料を読み、要点を確認しておく。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、課題についてまとめる。	29回	**授業テーマ：卒業論文作成の準備(4)：テーマ設定の仕方と先行研究の調べ方③** 授業内容：自分の取り組む論文テーマを絞った後、さらに多くの情報収集を行う。自分の問題提起を念頭に置きつつ、先行研究論文や参考資料の調査範囲を広げ、自分が新たに調査分析するべき対象について確認する。 事前学修 2.0hr：先行研究文献を読み、自分が取り組むべき具体的なテーマと調査対象について考えておく。 事後学修 2.0hr：これから読むべき参考資料や、調査対象を整理する。
15回	**授業テーマ：世界の中の日本語　まとめ** 授業内容：前期で扱った日本語の特徴について、総合的に確認する。他の言語と比較することで日本語独自の特徴を確認するとともに、そこから見えてくる日本語の問題点についても考え、自身の研究テーマにつなげる。 事前学修 2.0hr：配布資料を読み、要点を確認しておく。 事後学修 2.0hr：前期授業の中で自分の関心のあるテーマについて考えをまとめる。	30回	**授業テーマ：卒業論文作成の準備(5)：研究テーマの設定と作成プラン** 授業内容：4 年次の本格的な卒業論文執筆に向け、テーマを設定し、大まかな作成プランを立てる。テーマ候補について、簡単な構成メモを作成し、論文の目的や調査対象や方法について、報告発表を行う。 事前学修 2.0hr：自身の研究テーマの大まかな概要をまとめる。 事後学修 2.0hr：自身の卒業研究作成のプランを立てる。

卒業研究

開講学科等：日　｜　4 年次　｜　4 単位　｜　開講期：通

片桐　史尚（かたぎり　ふみたか）

▌授業の概要

授業の前半では、予習してきた項目の確認と、講義形式によりその日のメインテーマを学ぶ。
後半は、各自が調べてきたものと講義で学んだ項目の比較検討を行い、それぞれの論について議論形式で意見を述べ合う。
このように、体系的に教材論の領域全体を捉えられるよう「理論」と「実践」の方法を学ぶ。
また、修士課程 1 年ということもあり、学部時代に学んだことを「総復習」する必要があり、各自において欠落している項目の整理と補強も行っていく。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ③、GSM G ②）

一般目標：さまざまな教科書の分析ができるようになる。
　　学習者のニーズに合った教科書の選定ができるようになる。
個別目標：各院生の専門に留意しつつ、講義を行う。

▌履修条件

日本語教員志望者であること。
外国語教育に強く関心のある者。

▌評価基準・方法

毎回の授業時における課題（授業内容の振り返り及び課題への取り組み）を 60 %とし、テストを 40 %とする。出席は 5 分の 4 以上とする。（欠席については事前に連絡をする。）

▌フィードバック方法

対面、manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ピア・ラーニングを行う。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （適宜、統計、歴史的事実の確認等において使用する。）

▌教科書

特になし

▌参考書

岡崎敏雄『日本語教育の教材分析・使用・作成（アルク）
日本語教育学会編『新版日本語教育事典』（大修館書店）
小林ミナ『よくわかる教授法』（アルク）
三牧陽子『日本語教授法を理解する本 実践編 解説と演習』（バベル・プレス）

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス　講義内容の説明** 授業内容：コース・デザインの基本的な流れを知ることにより、日本語教師として必要とされる知識や技術の範囲、内容を理解する。また、コース・デザインとニーズの分析の重要性を再認識する。大切なことは、まずコース・デザインについての理解を深め、その重要性について把握することである。また、「ニーズ分析」「目標言語調査」「言語資料分析」「シラバス・デザイン」「カリキュラム・デザイン」を実際の例から学び、各自の受けた授業を思い起こし比較対照する。 事前学修 2.0hr：異なるタイプの日本語の教科書を閲覧しておく。 事後学修 2.0hr：さまざまな日本語学習の動機をまとめる。	16回	**授業テーマ：読解教育 A 1　成績不振の学習者に見られる読解ストラテジーから学ぶこと。** 授業内容：1読解の種類　2読解ストラテジー　3読解指導1／授業形態 以上3点を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業内容について不明な点を調べてくる。 事後学修 2.0hr：学んだことをまとめる。
2回	**授業テーマ：教材論を体系的に把握する（1）さまざまな学習者への対応** 授業内容：コース・デザインの応用的な流れを知ることにより、日本語教師として必要な知識や技術の範囲、内容を確認する。また、コース・デザインとニーズの分析の重要性について各自発表する。具体的な項目としては、まずコース・デザインについての理解を深め、その重要性について把握した上で、「ニーズ分析」「目標言語調査」「言語資料分析」「シラバス・デザイン」「カリキュラム・デザイン」を実際の例から学び、各自の受けた授業と比較対照しまとめる。 事前学修 2.0hr：自らの外国語学習の動機をまとめてくる。 事後学修 2.0hr：教材論の体系的把握の方法を再考すること。	17回	**授業テーマ：読解教育 A 2　成績優秀者の読解ストラテジーのタイプを提示する。** 授業内容：1読解の種類　2読解ストラテジー　3読解指導1／授業形態 以上3点を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業内容について不明な点を調べてくる。 事後学修 2.0hr：学んだことをまとめる。
3回	**授業テーマ：教材論を体系的に把握する（2）コースデザインを中心に** 授業内容：日本語学習者と日本語教育の多様化について論じる。 事前学修 2.0hr：コースデザインについて調べてくる。 事後学修 2.0hr：コースデザインを中心にした場合の方法を再考すること。	18回	**授業テーマ：読解教育 B1　特に、統合的読解指導の重要性について論じる。** 授業内容：1読解の指導2／統合的アプローチ　2読解指導3／統合的読解指導のプロセス　3読解の指導4／読解スキルの指導 4タスクと評価 以上4点について学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業内容について不明な点を調べてくる。 事後学修 2.0hr：学んだことをまとめる。
4回	**授業テーマ：言語技能の扱い方** 授業内容：1総合的・統合的扱い　2総合的学習活動　3技能（スキル）別扱いと学習活動 以上3点について学ぶ。 事前学修 2.0hr：個別的教材について調べてくる。 事後学修 2.0hr：学んだことをまとめる。	19回	**授業テーマ：読解教育 B2　タスクと評価はいかにあるべきかを論じる。** 授業内容：1読解の指導2／統合的アプローチ　2読解指導3／統合的読解指導のプロセス　3読解の指導4／読解スキルの指導 4タスクと評価 以上4点について学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業内容について不明な点を調べてくる。 事後学修 2.0hr：学んだことをまとめる。
5回	**授業テーマ：授業活動1　自らの教授活動を振り返りながら考察する。** 授業内容：1授業の環境　2授業活動の流れ　3初級クラスの授業活動　4活動中のインターアクション　5教師の授業技術 以上5点について学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業内容について不明な点を調べてくる。 事後学修 2.0hr：学んだことをまとめる。	20回	**授業テーマ：作文教育1　作文の苦手な学習者の発話に注意する。** 授業内容：1目的指導法1／総合力の養成　2目的別指導法2／ライティング・スキルの養成 以上2点について学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業内容について不明な点を調べてくる。 事後学修 2.0hr：学んだことをまとめる。

6回	**授業テーマ：授業活動２　自らの教授活動で欠落しているものを見出す。** 授業内容：１授業の環境　２授業活動の流れ　３初級クラスの授業活動　４活動中のインターアクション　５教師の授業技術 以上５点について学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業内容について不明な点を調べてくる。 事後学修 2.0hr：学んだことをまとめる。	21回	**授業テーマ：作文教育２　作文が得意な学習者の発話からみえてくるものをまとめる。** 授業内容：３レベル別指導法１／初級の作文指導　４レベル別指導法２／中級の作文指導 以上７２点について学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業内容について不明な点を調べてくる。 事後学修 2.0hr：学んだことをまとめる。
7回	**授業テーマ：授業活動３　今後の教授活動に向けて「指針」を示す。** 授業内容：１授業の環境　２授業活動の流れ　３初級クラスの授業活動　４活動中のインターアクション　５教師の授業技術 以上５点について学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業内容について不明な点を調べてくる。 事後学修 2.0hr：学んだことをまとめる。	22回	**授業テーマ：作文教育３　作文が得意な学習者同士、苦手な学習者同士でピアライティングを行うとどのようなことが起きるか。** 授業内容：５レベル別指導法３／上級の作文指導　６添削と評価 以上２点について学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業内容について不明な点を調べてくる。 事後学修 2.0hr：学んだことをまとめる。
8回	**授業テーマ：教材・教具１** 授業内容：１教材・教具・教育機器の種類と特徴　２シラバス、カリキュラムと教材・教具 以上２点について学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業内容について不明な点を調べてくる。 事後学修 2.0hr：学んだことをまとめる。	23回	**授業テーマ：語彙教育１　学習者の語彙力と発話力の関係を考察する。** 授業内容：１語彙教育の目的　２指導法１／指導の前提として 以上２点を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業内容について不明な点を調べてくる。 事後学修 2.0hr：学んだことをまとめる。
9回	**授業テーマ：会話・スピーチ教育１　発話を嫌がる学習者の扱い方** 授業内容：１正確さの練習　２流暢さの練習　３スピーチ・スキルの指導　４フィードバックと評価 以上４点について学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業内容について不明な点を調べてくる。 事後学修 2.0hr：学んだことをまとめる。	24回	**授業テーマ：語彙教育２　自らの語彙力と発話力の関係を内省する。** 授業内容：３指導法２／語句の提出法　４指導法３／意味の把握と練習　５評価 以上３点を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業内容について不明な点を調べてくる。 事後学修 2.0hr：学んだことをまとめる。
10回	**授業テーマ：会話・スピーチ教育２　「話す」能力の陰になりがちが「聞く」の重要性を認識させる。** 授業内容：１正確さの練習　２流暢さの練習　３スピーチ・スキルの指導　４フィードバックと評価 以上４点について学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業内容について不明な点を調べてくる。 事後学修 2.0hr：学んだことをまとめる。	25回	**授業テーマ：評価１** 授業内容：評価のタイプについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業内容について不明な点を調べてくる。 事後学修 2.0hr：学んだことをまとめる。
11回	**授業テーマ：会話・スピーチ教育３　「発話」に終わらず、「傾聴」を学ばせる方法を加味する。** 授業内容：１正確さの練習　２流暢さの練習　３スピーチ・スキルの指導　４フィードバックと評価 以上４点について学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業内容について不明な点を調べてくる。 事後学修 2.0hr：学んだことをまとめる。	26回	**授業テーマ：評価２** 授業内容：評価の方法について学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業内容について不明な点を調べてくる。 事後学修 2.0hr：学んだことをまとめる。
12回	**授業テーマ：聴解教育１　ディクテーションをとり入れた聴解教育を考える。** 授業内容：１インプットと聴解能力　２聴解の指導　３タスクと評価 以上３点について学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業内容について不明な点を調べてくる。 事後学修 2.0hr：学んだことをまとめる。	27回	**授業テーマ：評価３** 授業内容：テストの種類について学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業内容について不明な点を調べてくる。 事後学修 2.0hr：学んだことをまとめる。
13回	**授業テーマ：聴解教育２　メモをとり入れた聴解教育を考える。** 授業内容：１インプットと聴解能力　２聴解の指導　３タスクと評価 以上３点について学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業内容について不明な点を調べてくる。 事後学修 2.0hr：学んだことをまとめる。	28回	**授業テーマ：評価４** 授業内容：学力テストの形式について学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業内容について不明な点を調べてくる。 事後学修 2.0hr：学んだことをまとめる。
14回	**授業テーマ：聴解教育３　「聞く」と「書く」の同時作業を授業内で行うための試案を提示する。** 授業内容：１インプットと聴解能力　２聴解の指導　３タスクと評価 以上３点について学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業内容について不明な点を調べてくる。 事後学修 2.0hr：学んだことをまとめる。	29回	**授業テーマ：評価５** 授業内容：学力テストの形式について学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業内容について不明な点を調べてくる。 事後学修 2.0hr：学んだことをまとめる。
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：各自がそれまで学んだ項目から2点を選び、まとめたものを発表する。発表は教師のチェックを受けた上で行う。 事前学修 2.0hr：発表原稿を準備してくる。 事後学修 2.0hr：ピア・ラーニングで指摘されたことをもとに発表原稿を修正する。	30回	**授業テーマ：評価６** 授業内容：コース・デザインの評価について学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業内容について不明な点を調べてくる。 事後学修 2.0hr：学んだことをまとめる。

卒業研究

開講学科等：日　｜　4 年次　｜　4 単位　｜　開講期：通

木山　三佳 (きやま　みか)

▌授業の概要

それまでの大学での学修を活かし、研究テーマを決める。
研究手法を学び、調査分析や考察を行う。
論理的な文章の書き方を学び、卒業論文を作成する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ③、GSM G ②）

一般目標：日本語の分析、日本語教育から、研究テーマを探求することができる。
　　研究テーマにふさわしい様々な研究手法を選択することができる。
　　論理的な文章を書くことができる。
個別目標：①研究意義のあるテーマを見出し、探究を続けることができる。
　　②研究の方法を理解したうえで、適切な方法で調査、分析を行うことができる。
　　②先行研究、目的、研究課題、方法、結果、考察、に一貫性を持たせて、論理的な論文を書くことができる。

▌履修条件

提出期限を遵守する。計画的に執筆を行う。

▌評価基準・方法

卒業論文の執筆・卒論発表会の参加は単位修得の前提となる。
卒業論文への取り組み(平常点) 20 %、卒業論文 60 %、中間発表 10 %、最終発表 10 %

▌フィードバック方法

発表の際はディスカッションを十分に行う。
毎回コメントシートで質問を受け付ける。
課題のフィードバックは manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション・話し合い学習法・コメントシート）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （文章作成、コメントシートの作成等に利用する。）

▌教科書

レジュメを使う

▌参考書

授業で適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：授業の概要等の説明を行う。テーマについて話し合う。 事前学修 2.0hr：どんなテーマにするかを考えるために参考とする本を読む。 事後学修 2.0hr：卒論作成の計画書を作成する。	16 回	**授業テーマ：進行状況の確認** 授業内容：夏季休業中の進行状況を確認する。 事前学修 2.0hr：夏季休業中の進行状況を報告する。 事後学修 2.0hr：論文の構成を考える。
2 回	**授業テーマ：文章作成の基礎 1** 授業内容：主張と根拠、論点の整理について話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：自分のテーマに沿った本や論文を探して読む。 事後学修 2.0hr：自分のテーマに沿って論点を整理し、一貫性のある主張と根拠を作る。	17 回	**授業テーマ：論文執筆：アウトラインの決定** 授業内容：アウトラインについて話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：論文のアウトラインを考える。 事後学修 2.0hr：コメントに基づき、アウトラインを決定する。
3 回	**授業テーマ：文章作成の基礎2** 授業内容：論文の構成についての話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：自分のテーマに沿った参考文献を 5 冊を選択し、まとめる。 事後学修 2.0hr：論文の構成を考え、アウトラインを作成する。	18 回	**授業テーマ：論文執筆：はじめに** 授業内容：「はじめに」について話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：研究動機、定義、テーマにおける現代的問題について考える 事後学修 2.0hr：コメントに基づき「はじめに」を執筆する。
4 回	**授業テーマ：引用** 授業内容：参考文献の引用方法についての話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：自分のテーマに沿った論文を探して読む。 事後学修 2.0hr：論文から引用を行うためのメモを作成する。	19 回	**授業テーマ：論文執筆：先行研究** 授業内容：「先行研究」について話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：参考文献として読んだ先行研究をまとめる 事後学修 2.0hr：コメントに基づき、先行研究を執筆する。
5 回	**授業テーマ：研究テーマを絞る** 授業内容：様々な切り口から、研究テーマを絞り込む方法について話し合い学修を行う。 事前学修 2.0hr：卒業論文のテーマを絞り込み、複数の案を考える。 事後学修 2.0hr：絞り込んだ範囲の先行研究のまとめを行う。	20 回	**授業テーマ：論文執筆：研究目的** 授業内容：「研究目的」について話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：研究テーマにおける意義のある研究目的を考える。 事後学修 2.0hr：コメントに基づき、研究目的を執筆する。
6 回	**授業テーマ：研究テーマを具体的に考える** 授業内容：具体的な研究テーマについての話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：自分の卒業論文の研究テーマを具体化する。 事後学修 2.0hr：まとめた先行研究を考えて自分の研究課題を絞り込む。	21 回	**授業テーマ：論文執筆：研究方法** 授業内容：「研究方法」について話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：研究方法を考える。 事後学修 2.0hr：コメントに基づき、研究方法を執筆する。
7 回	**授業テーマ：意義を考えて研究テーマを決める** 授業内容：研究テーマの意義について、話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：具体的な研究テーマとその意義についてまとめる 事後学修 2.0hr：授業でのコメントを参考に、研究テーマの修正を行う。	22 回	**授業テーマ：論文執筆：結果** 授業内容：「結果」について話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：結果をまとめる。 事後学修 2.0hr：コメントに基づき、結果を執筆する
8 回	**授業テーマ：データ収集の方法** 授業内容：研究テーマに沿ったデータ収集方法について話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：自分の研究における調査対象を考えておく。 事後学修 2.0hr：調査対象を修正し、データ収集に取り掛かる。	23 回	**授業テーマ：論文執筆：調査分析** 授業内容：「調査分析」について話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：調査分析をまとめる。 事後学修 2.0hr：コメントに基づき、調査分析を執筆する。
9 回	**授業テーマ：データを整理する** 授業内容：データの整理の仕方について話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：データを収集する。 事後学修 2.0hr：集めたデータを整理して文章にする。	24 回	**授業テーマ：論文執筆：考察** 授業内容：「考察」について話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：考察をまとめる。 事後学修 2.0hr：コメントに基づき、考察を書く。

10回	**授業テーマ：データを分析する** 授業内容：データの分析方法について話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：データを分析する。 事後学修 2.0hr：データ分析から分かったことを書く。	25回	**授業テーマ：論文執筆：終わりに** 授業内容：「おわりに」について話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：今回の調査の考察と課題を考える。 事後学修 2.0hr：コメントに基づき、終わりにを執筆する。
11回	**授業テーマ：調査結果** 授業内容：結果のまとめについて話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：調査結果をまとめる。 事後学修 2.0hr：コメントに基づいて、調査を修正したり、新たに行う。	26回	**授業テーマ：論文執筆：参考文献リスト** 授業内容：参考文献リストについての話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：論文中の引用箇所を確認し、参考文献リストを作成する。 事後学修 2.0hr：コメントに基づき、参考文献リストを執筆する。
12回	**授業テーマ：中間発表準備：テーマ・先行研究・目的・方法・結果** 授業内容：テーマ・先行研究・目的・方法結果について話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：調査で分かったことを整理する。 事後学修 2.0hr：先行研究から、目的、方法、結果までのアウトラインを考える。	27回	**授業テーマ：最終チェック：卒業論文全体のチェック** 授業内容：卒業論文全体についての話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：論文を読み直し、再確認を行う。 事後学修 2.0hr：論文発表会に向けた準備を行う
13回	**授業テーマ：中間発表準備：レジュメ作成** 授業内容：中間発表におけるレジュメについて話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：中間発表のためのレジュメを作成する。 事後学修 2.0hr：中間発表のためのレジュメを完成させる。	28回	**授業テーマ：論文発表会1** 授業内容：論文発表会を行う 事前学修 2.0hr：レジュメを作成し、発表の練習をする。 事後学修 2.0hr：レジュメを作成し、発表に向けた準備をおこなう。
14回	**授業テーマ：中間発表1** 授業内容：中間発表を行う。 事前学修 2.0hr：中間発表の練習を行う。 事後学修 2.0hr：コメントに基づき、自分の課題を考える。	29回	**授業テーマ：論文発表会2** 授業内容：論文発表会を行う。 事前学修 2.0hr：レジュメを作成し、発表の練習をする。 事後学修 2.0hr：自分の論文作成をふりかえり、問題点を書きだす。
15回	**授業テーマ：中間発表2** 授業内容：中間発表を行う。 事前学修 2.0hr：中間発表の練習を行う。 事後学修 2.0hr：コメントに基づき、自分の課題を考える。	30回	**授業テーマ：振り返り** 授業内容：振り返りを行う。 事前学修 2.0hr：研究ノートの書式を整える。 事後学修 2.0hr：全体の感想を 1000 字程度にまとめる。

卒業研究

開講学科等：日　｜　4 年次　｜　4 単位　｜　開講期：通

佐々木　文彦（ささき　ふみひこ）

▌授業の概要

大学 4 年間で学んだことの集大成として、各自の選んだテーマに基づいて研究を進め、卒業論文を作成する。テーマの選択から、研究方法の策定等、すべて自分の責任において行ってもらうが、同じゼミの学生相互の意見交換や指導教員のアドバイスを参考にしながら、よりよい研究ができるように努めてほしい。

※詳細は manaba にて連絡する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ③、GSM G ②）

一般目標：日本語日本文化について問題意識を持ち、深く考察することができる。

個別目標：卒業論文を作成し、提出する。

▌履修条件

卒業研究でこのクラスに振り分けられた学生（クラス変更を希望する場合は事前に相談すること）

▌評価基準・方法

研究テーマへの取り組み（30 %）と、提出された卒業論文（70 %）により評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （PC を利用してのデータ収集と分析）

▌教科書

なし

▌参考書

各学生のテーマに応じて紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：テーマの決定(1)興味ある分野の確認** 授業内容：３年次の専門領域研究で作成した研究計画書をもとに、今後の研究の方向性を確認する。 事前学修 2.0hr：調査と分析。要点をノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：調査と分析。要点をノートにまとめる。	16 回	**授業テーマ：データ整理と論文の執筆(1)問題提起の再点検** 授業内容：論文執筆を進めるにあたり、問題提起の妥当性を再点検する。 事前学修 2.0hr：調査と分析。研究成果を整理する。 事後学修 2.0hr：調査と分析。要点をノートにまとめる。
2 回	**授業テーマ：テーマの決定(2)研究目的の確認** 授業内容：研究計画書の研究目的が具体的であるかを確認する。 事前学修 2.0hr：調査と分析。要点をノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：調査と分析。要点をノートにまとめる。	17 回	**授業テーマ：データ整理と論文の執筆(2)要旨の確認** 授業内容：論文執筆を進めるにあたり、要旨を確認する。 事前学修 2.0hr：調査と分析。要点をノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：論文の執筆
3 回	**授業テーマ：テーマの決定(3)問題解決の方法** 授業内容：確認した研究目的を達成するために、具体的な研究方法を検討する。 事前学修 2.0hr：調査と分析。要点をノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：調査と分析。要点をノートにまとめる。	18 回	**授業テーマ：データ整理と論文の執筆(3)論旨展開について** 授業内容：論文執筆を進めるにあたり、論旨の展開の妥当性について確認する。 事前学修 2.0hr：論文の執筆 事後学修 2.0hr：論文の執筆
4 回	**授業テーマ：研究方法の検討(1)既知のことと未知のこと** 授業内容：研究課題に対して何が既知で何が未知であるかを整理し、取り組むべき課題を明確にする。 事前学修 2.0hr：調査と分析。要点をノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：調査と分析。要点をノートにまとめる。	19 回	**授業テーマ：データ整理と論文の執筆(4)データと論旨の整合性** 授業内容：論文執筆を進めるにあたり、データと論旨の整合性について確認する。 事前学修 2.0hr：論文の執筆 事後学修 2.0hr：論文の執筆
5 回	**授業テーマ：研究方法の検討(2)調査方法の整理** 授業内容：研究課題に対して調査方法が妥当であるかを検討し、整理する。 事前学修 2.0hr：調査と分析。要点をノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：調査と分析。要点をノートにまとめる。	20 回	**授業テーマ：データ整理と論文の執筆(5)論理展開のチェック** 授業内容：論文執筆を進めるにあたり、論理展開の妥当性について確認する。 事前学修 2.0hr：論文の執筆 事後学修 2.0hr：論文の執筆
6 回	**授業テーマ：研究方法の検討(3)データ集めの方法** 授業内容：具体的にどのようなデータ集めをするのか確認する。 事前学修 2.0hr：調査と分析。要点をノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：調査と分析。要点をノートにまとめる。	21 回	**授業テーマ：データ整理と論文の執筆(6)文章表現のチェック** 授業内容：論文執筆を進め、文章表現の妥当性を確認する。 事前学修 2.0hr：論文の執筆 事後学修 2.0hr：論文の執筆
7 回	**授業テーマ：データ集めと整理(1)データの収集** 授業内容：前回までに確認した方法に基づいてデータを収集する。 事前学修 2.0hr：調査と分析。要点をノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：調査と分析。要点をノートにまとめる。	22 回	**授業テーマ：データ整理と論文の執筆(7)全体の構成** 授業内容：論文執筆を進め、全体の構成を確認する。 事前学修 2.0hr：論文の執筆 事後学修 2.0hr：論文の執筆
8 回	**授業テーマ：データ集めと整理(2)データ収集結果の報告** 授業内容：集めたデータについて結果を報告し、ディスカッションする。 事前学修 2.0hr：調査と分析。データ収集結果をノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：調査と分析。要点をノートにまとめる。	23 回	**授業テーマ：データ整理と論文の執筆(8)引用について** 授業内容：論文の執筆にあたり、引用の妥当性・正確性について確認する。 事前学修 2.0hr：論文の執筆 事後学修 2.0hr：論文の執筆
9 回	**授業テーマ：データ集めと整理(3)データ分析の方法** 授業内容：集めたデータをどのように分析するか、その方法についてディスカッションする。 事前学修 2.0hr：調査と分析。要点をノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：調査と分析。要点をノートにまとめる。	24 回	**授業テーマ：データ整理と論文の執筆(9)論旨の明晰性** 授業内容：論文の執筆にあたり、論旨の明晰性について確認する。 事前学修 2.0hr：論文の執筆 事後学修 2.0hr：論文の執筆
10 回	**授業テーマ：データ集めと整理(4)分析結果と課題** 授業内容：データ分析の結果を報告してディスカッションし、解決した課題と未解決の課題を確認する。 事前学修 2.0hr：調査と分析。分析結果と疑問点をノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：調査と分析。要点をノートにまとめる。	25 回	**授業テーマ：まとめ(1)論文内容の最終チェック** 授業内容：論文内容をチェックする 事前学修 2.0hr：論文の執筆 事後学修 2.0hr：修正点のチェック。
11 回	**授業テーマ：データ集めと整理(5)新しい課題とその解決法** 授業内容：未解決の課題について、その解決方法をディスカッションする。 事前学修 2.0hr：調査と分析。要点をノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：調査と分析。要点をノートにまとめる。	26 回	**授業テーマ：まとめ(2)表記の最終チェック** 授業内容：論文の表記をチェックする。 事前学修 2.0hr：修正点のチェック 事後学修 2.0hr：修正点のチェック

12回	**授業テーマ：経過報告とフィードバック(1)問題設定のチェック** 授業内容：研究経過を報告し、ディスカッションによりフィードバックをする。問題設定が適切であるかを再検討する。 事前学修 2.0hr：調査と分析。要点をノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：調査と分析。要点をノートにまとめる。	27回	**授業テーマ：まとめ(3)形式のチェック** 授業内容：論文が形式上の要件を満たしているか確認する。 事前学修 2.0hr：修正点のチェック 事後学修 2.0hr：修正点のチェック
13回	**授業テーマ：経過報告とフィードバック(2)データ収集の方法** 授業内容：研究経過を報告し、ディスカッションによりフィードバックをする。データ収集の方法が適切であるかを再検討する。 事前学修 2.0hr：調査と分析。要点をノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：調査と分析。要点をノートにまとめる。	28回	**授業テーマ：論文の提出** 授業内容：要旨を執筆し、論文を提出する。 事前学修 2.0hr：修正点のチェック。 事後学修 2.0hr：論文内容の振り返り。必要に応じてメモを作成。
14回	**授業テーマ：経過報告とフィードバック(3)データ分析の方法** 授業内容：研究経過を報告し、ディスカッションによりフィードバックをする。データ分析の方法が適切であるかを再検討する。 事前学修 2.0hr：調査と分析。要点をノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：調査と分析。要点をノートにまとめる。	29回	**授業テーマ：卒業論文発表会の準備** 授業内容：提出した卒業論文について発表するための資料を作成する。 事前学修 2.0hr：論文についての自己評価 事後学修 2.0hr：他の学生の論文についての評価
15回	**授業テーマ：経過報告とフィードバック(4)今後の課題と解決の方針** 授業内容：研究経過を報告し、ディスカッションによりフィードバックをする。今後の課題と解決の方針を定める。 事前学修 2.0hr：調査と分析。要点をノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：調査と分析。決まった方針に基づいて研究を進める (夏期休業中)。	30回	**授業テーマ：卒業論文発表会** 授業内容：卒業論文についてスライドを用いて発表し、ディスカッションする。 事前学修 2.0hr：研究成果をまとめる。 事後学修 2.0hr：研究についての感想をまとめる。

卒業研究

開講学科等：日　｜　4 年次　｜　4 単位　｜　開講期：通

田川　麻央（たがわ　まお）

▌授業の概要

各自が研究テーマを設定し、研究計画を立案し、研究の実施、論文の執筆、発表に至るまでのスキルを習得する。これらのスキルを積み上げて、最終的に卒業論文を作成をさせる。当科目を通じて学術上の問題を発見し、問題を分析し解決する力、自己省察力を身につける。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ③、GSM G ②）

一般目標：自ら関心のある研究テーマから問いを立て、論理的な卒業論文が書ける。
　　卒業論文についてわかりやすく他者に説明できる。
個別目標：(1) 卒業研究についての知識と論文作成スキルを獲得し、説得力のある論文が書ける。
　　(2) 卒業論文の内容を要約して説明できる。
　　(3) 他者と卒業論文について議論ができる。

▌履修条件

関心のあるテーマについて追求する姿勢を必要とする。
課題の締め切りを守る。
他者の意見を真摯に受け止める姿勢を必要とする。

▌評価基準・方法

卒業論文の内容 50%、取り組む姿勢 10%、課題提出 20%、発表 20%で評価する。

▌フィードバック方法

フィードバックは学習支援システム manaba および対面授業を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク、ディスカッション、発表を実施する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （発表資料作成、調査データの整理と分析、卒業論文作成において PC を使用する。）

▌教科書

使用しない。

▌参考書

二通 信子、佐藤 勢紀子、 因 京子、山本 富美子、大島 弥生『留学生と日本人学生のためのレポート・論文表現ハンドブック』東京大学出版会
佐渡島 紗織、坂本 麻裕子、大野 真澄『レポート・論文をさらに良くする書き直しガイド』大修館書店

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス・卒業研究とは何か** 授業内容：なぜ卒業論文を書くのか、卒業研究と調べ学習は何が違うのかを考え、卒業研究で育成する能力について理解を深める。これまで受けてきた授業を振り返り最も関心のある内容を思い出す。卒業研究で扱うテーマを決定する。 事前学修 2.0hr：卒業論文で取り上げたいテーマを考える。 事後学修 2.0hr：目標に到達した自分の姿を 400 字程度で記述する。	16回	**授業テーマ：論文執筆の概要説明・進捗状況の報告をする** 授業内容：夏季休業期間中に進めた論文執筆活動についてクラスメートに報告する。 事前学修 2.0hr：進捗状況をまとめる 事後学修 2.0hr：授業でもらったコメントをまとめる。
2回	**授業テーマ：文献調査の方法を確認する** 授業内容：文献調査の方法を確認し、テーマに関連する文献を探す。集めた文献を読む順番を決定し、先行研究をレビューするための計画を立てる。 事前学修 2.0hr：卒業論文で取り上げたいテーマに関連する論文を探す。 事後学修 2.0hr：先行研究を読んで内容をまとめる。	17回	**授業テーマ：アウトラインを立てる** 授業内容：卒業論文のアウトラインを検討する。取り組む問題、取り組む理由、着眼点、データ、論理展開、結論で何を書くのかを決める。各段落で何を書くかも決めてリストにする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：先行研究のアウトラインを分析する。
3回	**授業テーマ：構想を練る** 授業内容：どのような卒業論文にするか構想を練る。取り組む問題と取り組む理由を考える。どのような事実(データ)が必要か、予想される結果はどのようなものか具体的に検討する。 事前学修 2.0hr：卒業論文で取り上げたいテーマに関連する論文を探す。 事後学修 2.0hr：先行研究を読んで内容をまとめる。	18回	**授業テーマ：問いの立て方、先行研究を見直す** 授業内容：収集したデータから言えることに合わせて、問いの立て方、集めた先行研究の論理展開を調整する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う 事後学修 2.0hr：授業で学んだことをふまえてアウトラインを立てる。
4回	**授業テーマ：論文の構成を確認する** 授業内容：序論本論結論の三段構成法を学習する。序論、本論、結論の見分け方、それぞれどのようなことを書くのかを知ったうえで、書く練習をする。 事前学修 2.0hr：卒業論文で取り上げたいテーマに関連する論文を探す。 事後学修 2.0hr：先行研究を読んで内容をまとめる	19回	**授業テーマ：タイトルを考える** 授業内容：良いタイトルと悪いタイトルの違いについて学習し、タイトルに入れるべき情報を考える。読者の興味を惹くタイトルを付けてクラスメートに発表する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：先行研究を読んで内容をまとめる
5回	**授業テーマ：先行研究をまとめる** 授業内容：先行研究を引用する意味を学習したあと、先行研究を読んでまとめる。問題点、不足を挙げる。 事前学修 2.0hr：卒業論文で取り上げたいテーマに関連する論文を探す。 事後学修 2.0hr：先行研究を読んで内容をまとめる。	20回	**授業テーマ：研究方法を書く** 授業内容：卒業論文を読めば読者が研究を再現できるようにするために、調査対象、調査方法、分析方法についての情報を漏らさず書く。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
6回	**授業テーマ：問いを立てる** 授業内容：卒業研究のアイデアから問いを立てる。 事前学修 2.0hr：卒業論文で取り上げたいテーマに関連する論文を探す。 事後学修 2.0hr：先行研究を読んで内容をまとめる。	21回	**授業テーマ：図表を説明する** 授業内容：図や表の説明のしかた、注意点を学習する。集めた資料にある図や表を説明する文章を書き、クラスメートに正しく書けているかどうかチェックしてもらう。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
7回	**授業テーマ：研究デザインを考える** 授業内容：どのような着眼点、調査方法、分析の観点から研究するのかを考える。 事前学修 2.0hr：卒業論文で取り上げたいテーマに関連する論文を探す。 事後学修 2.0hr：卒業論文の問いを立てる。	22回	**授業テーマ：研究結果を書く** 授業内容：問いに答えるために必要なデータをわかりやすい形で提示し、データが持つ情報を文章にまとめて説明する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で学んだことをふまえて研究結果を書く
8回	**授業テーマ：パラグラフライティングの作法を確認する** 授業内容：パラグラフライティングの注意点を確認し、読み手に負担を与えない文章を書く練習をする。 事前学修 2.0hr：卒業論文で取り上げたいテーマに関連する論文を探す。 事後学修 2.0hr：先行研究を読んで内容をまとめる。	23回	**授業テーマ：考察を書く** 授業内容：結果と分析で示されたデータの意味を解釈し、そのような結果が得られたのはなぜか、その理由を説明し、裏付ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で学んだことをふまえて考察を書く。

9回	**授業テーマ：先行研究をまとめて発表する** 授業内容：着眼点に沿って先行研究をまとめ、クラスメートに向けて発表する。質疑応答を行ない、研究の方向性について検討する。 事前学修 2.0hr：卒業論文で取り上げたいテーマに関連する論文を探す。 事後学修 2.0hr：先行研究を読んで内容をまとめる。	24回	**授業テーマ：序論を書く** 授業内容：序論で取り組む問題、取り組む理由(問題意識)、着眼点と着眼する理由を書く。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で学んだことをふまえて序論を書く。
10回	**授業テーマ：研究承諾書を作る** 授業内容：研究協力者に対してインフォームドコンセントを行い、プライバシー、個人情報を保護して調査が行えるよう、注意点を学習する。研究承諾のための説明文書を書く練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：先行研究を読んで内容をまとめる。	25回	**授業テーマ：結論を書く** 授業内容：序論で提起した問題に対する解答を書く。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。
11回	**授業テーマ：データ収集の準備をする** 授業内容：データを収集するために必要な調査用紙を作成したり、機器の使い方を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：先行研究を読んで内容をまとめる。	26回	**授業テーマ：論文全体をまとめる** 授業内容：部分的に書いてきた文章を一つの論文としてまとめ上げる。 事前学修 2.0hr：これまで書いた論文の各部分をまとめる 事後学修 2.0hr：卒業論文として体裁を整える
12回	**授業テーマ：パイロット調査を行う** 授業内容：準備した調査票を使って適切にデータが収集できるかどうか確かめるために、試験的に調査を行ってみる。 事前学修 2.0hr：卒業論文で取り上げたいテーマに関連する論文を探す。 事後学修 2.0hr：先行研究を読んで内容をまとめる。	27回	**授業テーマ：推敲する** 授業内容：原稿を書き上げたあと、誤字脱字、表記の統一、参考文献と引用の照合、紙面の見やすさ、通し番号、文のねじれなどの最終確認を行ない、必要があれば修正する。 事前学修 2.0hr：卒業論文の内容を自己評価する 事後学修 2.0hr：卒業論文を推敲する
13回	**授業テーマ：本調査を行う** 授業内容：倫理的配慮を行ったうえで本調査を行い、必要なデータを収集する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：データを収集する。	28回	**授業テーマ：発表用資料を作成する** 授業内容：卒業論文の内容を発表用にまとめ直して資料を作成する。 事前学修 2.0hr：卒業論文を読み直す 事後学修 2.0hr：発表の準備をする
14回	**授業テーマ：データを整理する** 授業内容：収集したデータを Microsoft Excel を使って整理する。データからどのような傾向がみられるのか分析する。 事前学修 2.0hr：卒業論文で取り上げたいテーマに関連する論文を探す。 事後学修 2.0hr：データを整理する。	29回	**授業テーマ：自己評価、他者評価をする** 授業内容：卒業論文の内容を発表し、質疑応答をしたうえで、他者から評価を受ける。 事前学修 2.0hr：発表の練習をする 事後学修 2.0hr：発表をふりかえる
15回	**授業テーマ：中間発表をする** 授業内容：クラスメートに研究の進捗状況をわかりやすく発表する。クラスメートと質疑応答を行ない、研究をより良い方向へ進めていくためのヒントとする。夏休み中の計画を立てる。 事前学修 2.0hr：中間発表の準備をする 事後学修 2.0hr：中間発表でもらったコメントをまとめる。	30回	**授業テーマ：まとめとふりかえり** 授業内容：コース全体をふりかえり、卒業論文を作成するプロセスで身に付けたこと、ここで得た学びを今後どのように生かしていくべきかを検討する。 事前学修 2.0hr：卒業論文執筆の過程をふりかえる。 事後学修 2.0hr：コース開始時と今の自分を比べて 400 字にまとめる。

卒業研究

開講学科等：日　｜　4 年次　｜　4 単位　｜　開講期：通

田鍋　桂子（たなべ　けいこ）

▌授業の概要

テーマを設定し、必要な知識を身につけるため文献を読み込み、調査を行い、論文としてまとめる。中間発表も行う。
なお、事前事後学修の時間は目安として一回あたり合計８時間としているが、個々人の卒業論文を完成させることがゴールであるため、画一的に時間は決められない。各自の努力を求める。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ③、GSM G ②）

一般目標：これまで学んだ専門の知識を活かし、さらなる思考力、論理力を身につけ、テーマにあった適切な調査と分析を行い、自分の論をまとめることができる。
個別目標：自分で仮説をたてて、適切な文献を読み込み、必要な事柄を調査し、データを分析して、卒業研究論文を完成する。

▌履修条件

自らデータを集め、自ら分析する。
提出物について、根拠が薄いインターネット記事、生成 AI を明示なくそのまま使用した場合はその時点で評価対象外とする。

▌評価基準・方法

執筆した論文によって評価を行う。

▌フィードバック方法

毎回の対面授業およびマナバで行う

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （文献調査・データ調査・レポート記述）

▌教科書

特になし。

▌参考書

研究のテーマによって個別に指導する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：レポートや小論文と卒論の違いをまなび、参考論文や論文題目などから卒論とはなにかを理解する 事前学修 4.0hr：テーマを三つ以上考えてメモする 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える	16回	**授業テーマ：夏期休暇中の成果報告** 授業内容：夏休み期間中の調査、分析結果を発表する 事前学修 4.0hr：課題提出 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える
2回	**授業テーマ：テーマ探求（１）　興味を具体化する** 授業内容：仮説をたてることと検証することについて学ぶ。自分で興味がある分野をアカデミックに落とし込むとどのようなトピックになるかを考える 事前学修 4.0hr：課題提出 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える	17回	**授業テーマ：研究指導（１）データを完成する** 授業内容：発表のフィードバックをもとにデータを整理し、完成させる。 事前学修 4.0hr：課題提出 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える
3回	**授業テーマ：テーマ探求（２）　先行研究をリストアップする** 授業内容：それぞれの分野について、基礎概念と基礎文献をリストアップする。 事前学修 4.0hr：課題提出 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える	18回	**授業テーマ：研究指導（２）目次をつくる** 授業内容：これまでの見通しをもとに目次を作成する。 事前学修 4.0hr：課題提出 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える
4回	**授業テーマ：研究方法の検討（１）先行研究を読み解く** 授業内容：先行研究を入手し、必要な事柄をまとめる 事前学修 4.0hr：課題提出 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える	19回	**授業テーマ：研究指導（３）アブストラクトをつくる** 授業内容：目的と仮説と結論を簡単に書いてみる。書けない場合は何がなくて書けないのかを再度検討する。 事前学修 4.0hr：課題提出 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える
5回	**授業テーマ：研究方法の検討（２）質的研究と量的研究** 授業内容：研究には質的研究と量的研究がある。自分の研究がどちらに属するのか、仮説を明らかにするためにはどのようなステップが必要なのかを考える。 事前学修 4.0hr：課題提出 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える	20回	**授業テーマ：研究指導（４）「はじめに」を書く** 授業内容：研究のきっかけをまとめる。 事前学修 4.0hr：課題提出 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える
6回	**授業テーマ：研究計画書を作る** 授業内容：前回の授業で考えたステップを目次として作成し、目的、方法、見通しを書いてみる。 事前学修 4.0hr：課題提出 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える	21回	**授業テーマ：研究指導（５）「先行研究」を書く** 授業内容：引用の方法を守って、必要な事柄をまとめる。 事前学修 4.0hr：課題提出 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える
7回	**授業テーマ：データ作成（１）準備** 授業内容：自分の研究に必要な調査項目をピックアップし、手順を決める。 事前学修 4.0hr：課題提出 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える	22回	**授業テーマ：研究指導（６）「研究の目的」を書く** 授業内容：仮説と研究の目的をまとめる。 事前学修 4.0hr：課題提出 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える
8回	**授業テーマ：データ作成（２）見通しをたてながらデータを採取する** 授業内容：要な調査項目について予備調査を行ってみる 事前学修 4.0hr：課題提出 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える	23回	**授業テーマ：研究指導（７）「研究の方法」を書く** 授業内容：方法についてまとめる。 事前学修 4.0hr：課題提出 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える
9回	**授業テーマ：データ作成（３）データをまとめる** 授業内容：予備調査からわかることをまとめる。 事前学修 4.0hr：課題提出 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える	24回	**授業テーマ：研究指導（８）「調査結果」を書く** 授業内容：調査の結果をまとめる 事前学修 4.0hr：課題提出 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える
10回	**授業テーマ：研究指導（１）データを分析する** 授業内容：仮説に対してどのような見解が述べられるかをまとめる。 事前学修 4.0hr：課題提出 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える	25回	**授業テーマ：研究指導（９）「分析」を書く** 授業内容：調査からわかったことをまとめる 事前学修 4.0hr：課題提出 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える

11回	**授業テーマ：研究指導(2)レジュメを作成する** 授業内容：研究計画書にしたがって、レジュメ形式でまとめる。 事前学修 4.0hr：課題提出 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える	26回	**授業テーマ：研究指導(10)「まとめ」を書く** 授業内容：仮説を検証し、今後の研究の展開を書く 事前学修 4.0hr：課題提出 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える
12回	**授業テーマ：研究指導(3)問題点を整理する** 授業内容：仮説が証明できるのか、仮説の修正が必要なのかを検討し、修正が必要な場合は修正する。 修正が必要ない場合は、さらに分析を深めるために必要なことを考える。 事前学修 4.0hr：課題提出 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える	27回	**授業テーマ：課題提出** 授業内容：卒論提出のフォーマットとチェックリストをつかって、卒論を見直す。 事前学修 4.0hr：論文提出 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える
13回	**授業テーマ：中間発表準備** 授業内容：レジュメをもとに中間発表の資料を作成する。 事前学修 4.0hr：課題提出 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える	28回	**授業テーマ：ゼミ発表会(1)** 授業内容：卒論をレジュメにして発表をおこなう 事前学修 4.0hr：ブリーフを作成する 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える
14回	**授業テーマ：中間発表** 授業内容：中間発表を行う。 事前学修 4.0hr：課題提出 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える	29回	**授業テーマ：ゼミ発表会(2)** 授業内容：発表し討議をする 事前学修 4.0hr：ブリーフを作成する 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える
15回	**授業テーマ：計画修正案の作成** 授業内容：意見をもとに計画の修正を行う。夏休み期間はそれぞれの課題にしたがって、調査、分析をすすめる 事前学修 4.0hr：課題提出 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える	30回	**授業テーマ：まとめと今後の課題** 授業内容：個々の研究の関連を討議したあと、卒論で学んだこと、今後の課題を話し合う。 事前学修 4.0hr：課題提出 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える

卒業研究

開講学科等：日　｜　4 年次　｜　4 単位　｜　開講期：通

中川　仁（なかがわ　ひとし）

▌授業の概要

卒業研究は日本語学科の必修科目であり、学生各自の研究課題にしたがって担当教員（指導教員）が直接指導をする。また個別の指導や中間発表（ゼミクラス）もおこなう。 研究課題については、言語研究を中心にその相関関係にあることがらを選定すること。また留学生については、地域社会と日本語教育との関わりや自国の言語と日本語との対照言語研究などを課題にすることが望ましい。卒業研究を通して、「論理的な思考」の培養を進めるものである。（そして卒業研究を通して、論文を執筆することにより、小さな研究課題への取り組みを同時に把握する。）

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ③、GSM G ②）

一般目標：論文作成に必要な知識を理解し、綿密な先行研究を調査し、各自の課題にあった研究を進めていけるだけの能力を養う。広い教養を身につけ、思考能力を高められるようになる。論文題目については、長期的な疑問をもち、それを研究するという姿勢を身につけられる。

個別目標：卒業論文の作成にあたり、先行研究の整理と文献調査などの説明ができる。また先行研究における論文の解釈を通して、その論文の問題点やその論文の主軸について説明できる。

▌履修条件

4 年生の必修科目として、必ず履修すること。学生は自分の論文題目にそって先行研究を調べ、それを整理すること。事前に図書館で参考文献を探しておくこと。

▌評価基準・方法

毎回の発表及び報告により、討論、発言を積極的に重視する。評価については、執筆した論文及び研究の姿勢による独創的な観点と客観的な観点を考慮し判断する。

▌フィードバック方法

課題に関わるフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行うこととする。また個別による指導も含め、そのフィードバックを進める。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループディスカッション及びプレゼンテーション等を行う。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （事前事後における学修及びレポート、課題作成においてパソコンを使用する。）

▌教科書

テキストは各学生に対して、卒業研究にそったものを準備する。またその都度指示する。

▌参考書

とくに参考書はないが、研究の論題及びテーマにより、各学生に対して、必要図書や論文などを紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：卒業論文の作成（卒業論文の意義）** 授業内容：卒業論文執筆にあたり、その準備と心構えを中心に、論文の種類なども含め説明を進めていく。 事前学修 2.0hr：講義概要を読み、研究の意味を知るための準備をする。 事後学修 2.0hr：興味のある研究について調べる。	16回	**授業テーマ：具体的に指摘を受けた部分を整理する** 授業内容：自分なりにまとめものを、まずはどのような論で、論を展開し、進めていくのか、公表で指摘を受けたところなどを含め、それを考えていく。 事前学修 2.0hr：指摘を受けた部分に手直しを入れる。 事後学修 2.0hr：手直しした部分に再度目を通していく。
2回	**授業テーマ：論文の種類（日本語学関係の論文を読む）** 授業内容：論文の種類として、語学関係の論説資料を説明していく。そしてさまざまな論文の研究分野があることを理解していく。 事前学修 2.0hr：日本語学論説資料を読み、先行研究の種類を調べる。 事後学修 2.0hr：先行研究について整理し、カードにまとめる。	17回	**授業テーマ：データの修正と整理** 授業内容：先行研究及び研究方法論の見直し、データなどを整理していく。（作業的な捉え方になってしまうが、ここでは、再度、見直しをし、理解していく。） 事前学修 2.0hr：データについてチェックし、修正の準備をする。 事後学修 2.0hr：手直ししたデータについて、再度目を通しておく。
3回	**授業テーマ：論文の種類（日本語教育関係の論文を読む）** 授業内容：論文の種類として、日本語教育関係の論説資料を説明していく。そしてさまざまな論文の研究分野があることを理解していく。 事前学修 2.0hr：学会発行の（論文集）の目録を読み、先行研究の種類を調べる。 事後学修 2.0hr：先行研究について整理し、カードにまとめる。	18回	**授業テーマ：研究テーマの最終チェック** 授業内容：研究テーマについて、最終的に選定をしていく。自分の研究分野にきちんとそったものであるのかを、再度確認し理解していく。 事前学修 2.0hr：テーマについて準備する。 事後学修 2.0hr：テーマに整合性があるかを考える。
4回	**授業テーマ：テーマの選定** 授業内容：研究分野についての理解を深めるために、他者の論文などを参考として、自分なりの研究分野と論文の題目を選定していく。 事前学修 2.0hr：それぞれのテーマの選定を準備する。 事後学修 2.0hr：テーマにそった図書と関連論文について整理する。	19回	**授業テーマ：執筆指導（序論の執筆）** 授業内容：研究についての執筆の動機、研究範囲、研究の方法及び目的などを提示し、序論の部分を考えていく。 事前学修 2.0hr：序論について、執筆の準備をはじめる。 事後学修 2.0hr：序論執筆としての動機、目的を整理する。
5回	**授業テーマ：先行研究の種類** 授業内容：研究分野についての理解を深め、他者の論文を通して、自分にそった研究の主軸を明らかにし、先行研究を理解していく。 事前学修 2.0hr：テーマにそった関連論文の種類を調べる。 事後学修 2.0hr：先行研究をしぼりこみ、それについて、種別する。	20回	**授業テーマ：執筆指導（先行研究について）** 授業内容：執筆にあたり、先行研究の重要性を提示し、論証をおこなっていくためのプロセス的なことがらを考えていく。 事前学修 2.0hr：執筆にあたり、先行研究としてある論文に目を通しておく。 事後学修 2.0hr：論文の文体と表現に気を配る。
6回	**授業テーマ：研究の方法** 授業内容：研究分野についての理解を深め、自分なりに興味がある論文を選定し、その分野の研究方法論を学んでいく。 事前学修 2.0hr：研究の種類と方法論について準備する。 事後学修 2.0hr：研究方法論を綿密にチェックする。	21回	**授業テーマ：執筆指導（研究方法・目的等の執筆）** 授業内容：執筆にあたり、研究方法とその目的を明確化し、論の展開を自分なりに考えていく。（シナリオ的な考えとオリジナリティーを見出すための方策を学んでいく。） 事前学修 2.0hr：執筆の研究方法とその目的について、事前に準備する。 事後学修 2.0hr：研究の方法論を打ち立てて、執筆する。
7回	**授業テーマ：データの集め方** 授業内容：データを扱う論文の参考書からヒントを得て、その研究方法とデータについての取り扱い方を考えていき、その蒐集の仕方を学んでいく。 事前学修 2.0hr：データの集め方を準備する。 事後学修 2.0hr：データの集め方を整理する。	22回	**授業テーマ：執筆指導（研究の展開を執筆）** 授業内容：執筆にあたり、研究方法とその展開を明確化し、論の展開に対して、オリジナリティーを見出すための方策を考えていく。 事前学修 2.0hr：研究の方法論としての展開を考えていく。 事後学修 2.0hr：研究の展開を執筆する。
8回	**授業テーマ：データ蒐集と整理の仕方** 授業内容：データを扱う論文から、その研究方法とデータについての取り扱い方を考えていき、その蒐集した整理の仕方と管理的な意義を学んでいく。 事前学修 2.0hr：データの蒐集とその整理について準備する。 事後学修 2.0hr：データの蒐集と整理の仕方をカードにまとめる。	23回	**授業テーマ：執筆指導（調査した展開を執筆）** 授業内容：執筆にあたり、調査した内容を明確化し、その論の展開に対して、オリジナリティーがあるのか、先行研究にそった論になっているのか、論証しながら進めていく。 事前学修 2.0hr：調査したことをまとめておく。 事後学修 2.0hr：調査した内容を執筆する。

9回	**授業テーマ：資料の集め方** 授業内容：論文を執筆していく過程において、関連分野の論文を蒐集していく。参考となる資料を集めるということに主軸をおき、研究分野と資料の関係性を見出していく。 事前学修 2.0hr：資料をあらかじめ探しておく。 事後学修 2.0hr：めぼしい資料について目を通しておく。	24回	**授業テーマ：執筆指導（展開と考察の執筆）** 授業内容：執筆にあたり、内容を明確化し、その論の展開に対して、オリジナリティーがあるのか、先行研究にそった論になっているのか、論証しながら進め、考察の方法論を再度、確認していく。 事前学修 2.0hr：研究の展開と客観性を持った独自の見解を考える。 事後学修 2.0hr：研究の展開と客観性を持った独自の見解について執筆する。
10回	**授業テーマ：資料の蒐集と整理** 授業内容：論文を執筆していく過程において、関連分野の論文を蒐集し、参考となる資料を先行研究として、整理していくことを理解していく。 事前学修 2.0hr：先行研究としての資料を蒐集し、準備する。 事後学修 2.0hr：資料及び重要な事柄についてまとめる。	25回	**授業テーマ：執筆指導（結論の執筆）** 授業内容：執筆にあたり、内容を明確化し、その論の展開に対して、オリジナリティーがあるのか、先行研究にそった論になっているのか、論証しながら進め、考察を進めていき、結果を導き出していく。 事前学修 2.0hr：客観的考察をした結論を考える。 事後学修 2.0hr：考察した内容について結論付けて、執筆する。
11回	**授業テーマ：アンケート調査の進め方** 授業内容：アンケート調査に必要な知識を培養し、その方法論とその研究がどのような形で反映していくのかを理解していく。 事前学修 2.0hr：アンケート調査について、その方法論を準備する。 事後学修 2.0hr：調査項目のアウトラインをたてる。	26回	**授業テーマ：執筆指導（注の付け方）** 授業内容：執筆にあたり、さまざまな資料やデータから得たものに対して、注を付けていく。その特質を学んでいく。 事前学修 2.0hr：注について、考えておく。 事後学修 2.0hr：注について、まとめて書いておく。
12回	**授業テーマ：アンケート調査と整理** 授業内容：アンケート調査に必要な知識とその方法論を学び、その研究がどのような形で行われているのか、そしてどのように反映していくのか、その分析などを含め、整理の方法を理解していく。 事前学修 2.0hr：調査項目について綿密に準備する。 事後学修 2.0hr：データについての処理を行い、カードにまとめる。	27回	**授業テーマ：執筆指導（引用の仕方）** 授業内容：執筆にあたり、さまざまな資料やデータを引用したものに対して、その引用が客観的で、尚且つ、特質すべき内容なのかを考え、その引用が適切であるのかを学んでいく。 事前学修 2.0hr：引用部分を整理する。 事後学修 2.0hr：引用部分として列挙する。
13回	**授業テーマ：中間発表のデータをまとめる** 授業内容：今までの先行研究及び研究方法論を自分なりにまとめていき、まずはどのように論を進めていくのかを、客観的な考察なども含め、中間発表のデータをして概観していく。 事前学修 2.0hr：テーマとそのアウトライン及び調査方法について準備する。 事後学修 2.0hr：テーマとアウトラインが合致しているかをチェックする。	28回	**授業テーマ：執筆指導（参考文献の列挙）** 授業内容：執筆にあたり、さまざまな文献やデータを参考としてきたものに対して、その文献とデータが客観的で、尚且つ、特質すべき文献であり、適切であるのかを学んでいく。 事前学修 2.0hr：参考文献を考える。 事後学修 2.0hr：参考文献を列挙する。
14回	**授業テーマ：中間発表のレポートの作成** 授業内容：先行研究及び研究方法論を自分なりにまとめ、まずはどのような論で、論を展開していくのかをまとめていき、その概観を提示し、内容をまとめていく。 事前学修 2.0hr：具体的に文章化し、それについて準備する。 事後学修 2.0hr：文章化したものを再度チェックする。	29回	**授業テーマ：執筆指導（各自論文の発表）** 授業内容：執筆した論文について、再度、検証していく。それぞれの論文についての着眼点とその特質を述べていき、客観的であるかを論証していく。 事前学修 2.0hr：各自論文を準備する。 事後学修 2.0hr：各自論文を執筆する。
15回	**授業テーマ：中間発表及びレポートの発表　（課題について詳細に説明することを含む。）** 授業内容：先行研究及び研究方法論を自分なりにまとめ、まずはどのような論で、論を展開していくのかを自分の発表を通して、その研究の実態などを公表してみる。 事前学修 2.0hr：レジメを準備する。 事後学修 2.0hr：指摘を受けた部分を再度チェックする。	30回	**授業テーマ：論文の完成** 授業内容：執筆した論文を完成させる。 事前学修 2.0hr：論文を執筆する。 事後学修 2.0hr：論文を完成させる。

卒業研究

開講学科等：日　｜　4 年次　｜　4 単位　｜　開講期：通

西川　寛之 (にしかわ　ひろゆき)

▌授業の概要

卒業研究として、卒業論文の作成を行います。
これまで学んだことの中から興味を持ったテーマを選び、調査・考察を行いその結果をまとめていきます。
原則として、進捗状況の報告と研究に関する相談の為に授業を行う。
卒業に向け、これまで学んだものから、各自興味を持ったテーマを深く研究することを目標とします。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ③、GSM G ②）

一般目標：大学で学んだことのうち、興味を持ったテーマに沿って論文を書き上げる。
　　仮説を第三者にも理解されるよう説明する力を身につける。
　　論証の仕方について学ぶ。
個別目標：自身が大学の学びで興味を持ったことをテーマとして、仮説を立て論文を書き上げる。
　　自身がテーマとした事柄に関してこれまでどのような研究がおこなわれてきているのかを調べ、理解する。
　　これまでの研究において検証されていない事柄を指摘し、その検証方法を考える。

▌履修条件

特になし

▌評価基準・方法

提出された論文を用いて評価を行う（１００%）
ルーブリックによる評価を行う。ルーブリックについては第二回の授業で説明する。

▌フィードバック方法

ルーブリックの説明と、各回の論文指導内でルーブリックを用いた評価に関する説明を実施する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （データ収集、検索、分析作業に用いる）

▌教科書

なし

▌参考書

適宜指示する

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：テーマの確認** 授業内容：各自が立てたテーマについて説明する 他者のテーマについて後日自身が説明を行うことになるので、必要に応じてディスカッションを行う 事前学修 2.0hr：テーマを決め、先行研究となる論文名をリスト化しておくこと 事後学修 2.0hr：個別に指示を与える。	16回	**授業テーマ：発表・個別指導** 授業内容：先行研究および現在行っている研究の進捗について発表する ディスカッションおよび質疑応答も行う 事前学修 4.0hr：夏休み中の成果を報告する準備をしておくこと 事後学修 2.0hr：個別に指示を与える。
2回	**授業テーマ：論文の構成を考える** 授業内容：ルーブリックについて説明を行う 研究の手法と構成について学ぶ 事前学修 2.0hr：ルーブリックの資料を読んでおくこと 事後学修 2.0hr：個別に指示を与える。	17回	**授業テーマ：発表・個別指導** 授業内容：先行研究および現在行っている研究の進捗について発表する ディスカッションおよび質疑応答も行う 事前学修 2.0hr：個別に指示を与える。 事後学修 2.0hr：個別に指示を与える。
3回	**授業テーマ：テーマと実験・アンケートなどについて（1）** 授業内容：研究の手法について、自身のテーマ、仮説とを照らし合わせ、適切な方法について考える 1 人ずつ順に発表し、発表後にはディスカッションを行う 事前学修 2.0hr：自身のテーマ、仮説を発表用にまとめておくこと 事後学修 2.0hr：発表後のディスカッションの結果を反映させた研究プランをたてること	18回	**授業テーマ：発表・個別指導** 授業内容：先行研究および現在行っている研究の進捗について発表する ディスカッションおよび質疑応答も行う 事前学修 2.0hr：個別に指示を与える。 事後学修 2.0hr：個別に指示を与える。
4回	**授業テーマ：テーマと実験・アンケートなどについて（2）** 授業内容：研究の手法について、自身のテーマ、仮説とを照らし合わせ、適切な方法について考える 1 人ずつ順に発表し、発表後にはディスカッションを行う 事前学修 2.0hr：自身のテーマ、仮説を発表用にまとめておくこと 事後学修 2.0hr：発表後のディスカッションの結果を反映させた研究プランをたてること	19回	**授業テーマ：発表・個別指導** 授業内容：先行研究および現在行っている研究の進捗について発表する ディスカッションおよび質疑応答も行う 事前学修 2.0hr：個別に指示を与える。 事後学修 2.0hr：個別に指示を与える。
5回	**授業テーマ：テーマと実験・アンケートなどについて（3）** 授業内容：研究の手法について、自身のテーマ、仮説とを照らし合わせ、適切な方法について考える 1 人ずつ順に発表し、発表後にはディスカッションを行う 事前学修 2.0hr：自身のテーマ、仮説を発表用にまとめておくこと 事後学修 2.0hr：発表後のディスカッションの結果を反映させた研究プランをたてること	20回	**授業テーマ：発表・個別指導** 授業内容：先行研究および現在行っている研究の進捗について発表する ディスカッションおよび質疑応答も行う 事前学修 2.0hr：個別に指示を与える。 事後学修 2.0hr：個別に指示を与える。
6回	**授業テーマ：テーマと実験・アンケートなどについて（4）** 授業内容：研究の手法について、自身のテーマ、仮説とを照らし合わせ、適切な方法について考える 1 人ずつ順に発表し、発表後にはディスカッションを行う 事前学修 2.0hr：自身のテーマ、仮説を発表用にまとめておくこと 事後学修 2.0hr：発表後のディスカッションの結果を反映させた研究プランをたてること	21回	**授業テーマ：発表会（1）** 授業内容：執筆している論文について発表する　1 人 15 分 質疑応答を行う 事前学修 2.0hr：個別に指示を与える。 事後学修 4.0hr：他の発表者へのフィードバック資料作成。

7回	**授業テーマ：テーマと実験・アンケートなどについて(5)** 授業内容：研究の手法について、自身のテーマ、仮説とを照らし合わせ、適切な方法について考える 1 人ずつ順に発表し、発表後にはディスカッションを行う 事前学修 2.0hr：自身のテーマ、仮説を発表用にまとめておくこと 事後学修 2.0hr：発表後のディスカッションの結果を反映させた研究プランをたてること	22回	**授業テーマ：発表会(2)** 授業内容：執筆している論文について発表する　1 人 15 分 質疑応答を行う 事前学修 2.0hr：個別に指示を与える。 事後学修 2.0hr：個別に指示を与える。
8回	**授業テーマ：テーマと実験・アンケートなどについて(6)** 授業内容：研究の手法について、自身のテーマ、仮説とを照らし合わせ、適切な方法について考える 1 人ずつ順に発表し、発表後にはディスカッションを行う 事前学修 2.0hr：自身のテーマ、仮説を発表用にまとめておくこと 事後学修 2.0hr：発表後のディスカッションの結果を反映させた研究プランをたてること	23回	**授業テーマ：発表会(3)** 授業内容：執筆している論文について発表する　1 人 15 分 質疑応答を行う 事前学修 2.0hr：個別に指示を与える。 事後学修 2.0hr：個別に指示を与える。
9回	**授業テーマ：テーマと実験・アンケートなどについて(7)** 授業内容：研究の手法について、自身のテーマ、仮説とを照らし合わせ、適切な方法について考える 1 人ずつ順に発表し、発表後にはディスカッションを行う 事前学修 2.0hr：自身のテーマ、仮説を発表用にまとめておくこと 事後学修 2.0hr：個別に指示を与える。	24回	**授業テーマ：個別指導** 授業内容：論文執筆の指導 提出に向けた確認 ルーブリックに照らし合わせた確認作業 事前学修 2.0hr：個別に指示を与える。 事後学修 2.0hr：個別に指示を与える。
10回	**授業テーマ：中間発表会** 授業内容：各自の研究プランおよび進捗について発表する 事前学修 2.0hr：自身のテーマ、仮説を発表用にまとめておくこと 事後学修 2.0hr：他の発表を聞いた感想、フィードバックを行う。	25回	**授業テーマ：個別指導** 授業内容：論文執筆の指導 提出に向けた確認 ルーブリックに照らし合わせた確認作業 事前学修 2.0hr：個別に指示を与える。 事後学修 2.0hr：個別に指示を与える。
11回	**授業テーマ：発表・個別指導** 授業内容：先行研究および現在行っている研究の進捗について発表する ディスカッションおよび質疑応答も行う 事前学修 2.0hr：個別に指示を与える。 事後学修 2.0hr：個別に指示を与える。	26回	**授業テーマ：個別指導** 授業内容：論文執筆の指導 提出に向けた確認 ルーブリックに照らし合わせた確認作業 事前学修 2.0hr：個別に指示を与える。 事後学修 2.0hr：個別に指示を与える。
12回	**授業テーマ：発表・個別指導** 授業内容：先行研究および現在行っている研究の進捗について発表する ディスカッションおよび質疑応答も行う 事前学修 2.0hr：個別に指示を与える。 事後学修 2.0hr：個別に指示を与える。	27回	**授業テーマ：個別指導** 授業内容：論文執筆の指導 提出に向けた確認 ルーブリックに照らし合わせた確認作業 事前学修 2.0hr：個別に指示を与える。 事後学修 2.0hr：個別に指示を与える。
13回	**授業テーマ：発表・個別指導** 授業内容：先行研究および現在行っている研究の進捗について発表する ディスカッションおよび質疑応答も行う 事前学修 2.0hr：個別に指示を与える。 事後学修 2.0hr：個別に指示を与える。	28回	**授業テーマ：研究の社会的な役割** 授業内容：言語の研究の社会への応用の事例の紹介 教育への応用について 事前学修 2.0hr：個別に指示を与える。 事後学修 2.0hr：個別に指示を与える。
14回	**授業テーマ：発表・個別指導** 授業内容：先行研究および現在行っている研究の進捗について発表する ディスカッションおよび質疑応答も行う 事前学修 2.0hr：個別に指示を与える。 事後学修 2.0hr：個別に指示を与える。	29回	**授業テーマ：研究の社会的な役割** 授業内容：言語の研究の社会への応用の事例の紹介 広告やビジネスへの応用について 事前学修 0.5hr：個別に指示を与える。 事後学修 0.5hr：個別に指示を与える。
15回	**授業テーマ：報告会** 授業内容：各自の論文の概要についてまとめ発表する 質疑応答を行う 事前学修 2.0hr：個別に指示を与える。 事後学修 4.0hr：夏期休暇中の課題を指示する。	30回	**授業テーマ：発表** 授業内容：卒業までに学んだ事柄を振り返り、時系列に沿って学びについて各自発表する 事前学修 0.5hr：発表の資料を作成しておくこと 事後学修 0.5hr：個別に指示を与える。

卒業研究

開講学科等：日　｜　4 年次　｜　4 単位　｜　開講期：通

柳井　まどか（やない　まどか）

▌授業の概要

各自の問題意識に基づき、研究テーマを設定し、データの収集や調査・分析、考察を進め、卒業論文を作成する。
その過程で、研究テーマの絞り方や、先行文献の読み方、データの集め方、分析の方法等を学び、論理的な文章を作成できるようにする。
途中で中間発表を行う他、随時、学生相互の意見交換を行い、説得力のある論文の完成を目指す。
卒業論文完成後、発表資料を作成し、卒業論文発表を行う。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ③、GSM G ②）

一般目標：1 日本語の分析や日本文学の読解を通して、自らテーマを発見して主体的に考察する姿勢を身につける。
2 課題解決に向けた資料の集め方や、データの収集、分析方法、論理的な構成の立て方、文章の書き方を習得する。
3 目標に向けた計画を立て、卒業論文を完成する。

個別目標：(1) 日本語や日本文化、日本文学に関する問題意識を持ち、具体的な研究テーマを設定することができる。
(2) 課題に沿った資料収集や調査を行い、データを分析することができる。
(3) 論理的思考の重要性を理解し、説得力のある論を展開することができる。

▌履修条件

主体的にテーマに取り組み、調査を行う意欲を持っていることを履修条件とする。

▌評価基準・方法

卒業論文の内容 70 %、研究テーマへの取り組みの姿勢 20 %、最終発表 10 %により、総合的に評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （自身の選択した研究テーマに取り組み、調査・分析・考察・記述を行う。また、卒業論文発表を行う。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （PC を利用して参考資料の確認、データ収集、記述を行う。）

▌教科書

なし

▌参考書

各自の研究テーマに応じて紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス　卒業論文作成に向けての準備と計画について** 授業内容：卒業論文がこれまでのレポートと異なる点を確認し、論文作成までの流れを詳しく説明する。研究テーマの設定、データ収集や調査の方法、分析や考察のしかたについて学び、論文作成までのスケジュールの立てる。 事前学修 2.5hr：卒業論文で取り上げたいテーマについて考える。 事後学修 2.0hr：卒業論文完成に向けた自身の計画書を作成する。	16 回	**授業テーマ：調査・分析進行状況と修正点の確認** 授業内容：中間発表での指摘をもとに、各自の論文の修正点を確認する。とくに調査の方法、分析のしかた、調査内容の整理の仕方について確認する。修正をもとに再度構成を考え、今後の論文作成スケジュールを修正する。 事前学修 2.5hr：夏季休業中の調査進行状況をまとめておく。 事後学修 4.0hr：論文執筆に向け、内容を整理し、構成を考える。
2 回	**授業テーマ：論文の書き方 (1)：論理的な思考力・表現力とは何か** 授業内容：卒業論文が、調査型レポートとは異なり、疑問点を考察したのちに結論を導くものであることを確認する。論理的な文章を書くために、根拠を示して論理的に説明すること及びその表現方法について具体的に学ぶ。 事前学修 2.5hr：関心のあるテーマについて書かれた論文を探し、読む。 事後学修 2.0hr：論文の構成要素や書き方を再確認する。	17 回	**授業テーマ：論文執筆 (1)：全体構成の確認** 授業内容：卒業論文の構成について確認する。「はじめに」「本論」「おわりに」の三部構成になっていることを理解し、それぞれの部分に書くべき内容を確認する。先行研究も参考にしながら構成のありかたについて考え、各自の論文構成を修正する。 事前学修 2.5hr：論文の全体構成を確認する。 事後学修 2.0hr：授業中のアドバイスを受け、構成を修正する。
3 回	**授業テーマ：論文の書き方 (2)：論理的文章の構成を理解する。** 授業内容：卒業論文の構成の立て方について、先行研究を参考にし、具体例を提示しながら確認する。はじめに論文の目的と対象、方法を明示し、データに基づいて分析し、考察を加え、最終的な結論を導くという手順を学ぶ。 事前学修 2.5hr：関心のあるテーマについて書かれた論文を検索し、構成について確認しておく。 事後学修 2.0hr：論文の構成と論証に必要な内容について再確認する。	18 回	**授業テーマ：論文執筆 (2)：大まかな序論の作成** 授業内容：「はじめに」の部分で書く内容を確認する。研究にいたる動機を確認し、自分が取り組むテーマが現時点でどのように研究されているのか、先行研究を確認し、自分がどのような目的と方法でこの研究に取り組むのか、どのような調査を行うのかなど、必要な事項を確認して大まかな序論を作成する。 事前学修 2.5hr：「はじめに」の内容を考える。 事後学修 2.0hr：授業中のアドバイスを受け、内容を修正する。
4 回	**授業テーマ：論文の書き方 (3)：参考文献の探し方と引用の仕方** 授業内容：自分が研究する分野の参考文献、先行研究論文を読むことの必要性を確認する。インターネットの文献検索サイトで文献を探す方法を学ぶ。さらに参考文献を引用する際の注意点について理解する。 事前学修 2.5hr：関心のあるテーマについて書かれた論文を検索し、複数の論文を読む。 事後学修 2.0hr：参考文献の探し方と引用の仕方について再確認する。	19 回	**授業テーマ：論文執筆 (3)：「先行研究」を書く** 授業内容：今までに調べた先行研究を読み直し、先行研究どうしの関連性を考慮して整理しながら文章にまとめる。また、先行研究の調査方法や結論をまとめる段階で、自分の卒業研究とどのように関連するかを考え、記述する。 事前学修 4.0hr：先行研究をまとめる。 事後学修 4.0hr：授業中のアドバイスを受け、「先行研究」を書く。
5 回	**授業テーマ：研究テーマの決定 (1)：テーマの絞り込み** 授業内容：各自が調査した先行研究の内容を確認し、そのテーマの研究概要を把握する。そのうえで、各自が取り組むべきテーマについて考え、研究の目的、対象、研究方法について、大まかな見通しと計画を考える。 事前学修 2.5hr：卒業論文で取り上げるテーマの範囲を絞り込む。 事後学修 4.0hr：先行研究を読み、明らかになっている部分を確認する。	20 回	**授業テーマ：論文執筆 (4)：「研究の目的」を書く** 授業内容：卒業研究で明らかにしたい目的を再度確認し、文章にまとめる。その目的は調査した内容と合致しているのか、目的が丁寧に説明してあるか、わかりやすい文章になっているかなど、読み手に的確に伝わることを意識してまとめる。 事前学修 4.0hr：「研究の目的」をまとめる。 事後学修 4.0hr：授業中のアドバイスを受け、「研究の目的」を書く。
6 回	**授業テーマ：研究テーマの決定 (2)：研究テーマの検討** 授業内容：各自が調査した先行研究の内容を発表し、そのテーマの研究の概要を確認する。そのうえで、各自が選んだテーマについて、研究の目的、対象、研究方法について発表を行い、卒業論文のテーマにふさわしいかどうかを、質疑応答を通じて確認する。 事前学修 2.5hr：卒業論文で取り上げる具体的なテーマを考える。 事後学修 4.0hr：先行研究を読み、これから取り組むべき具体的課題を確認する。	21 回	**授業テーマ：論文執筆 (5)：「研究の方法」を書く** 授業内容：卒業研究で明らかにしたい内容に合致した調査方法になっているかを確認する。調査の仕方が適切か、客観的な調査結果が得られる方法か、公正な視点に立っているかなどを確認し、文章化する。読み手に的確に伝わることを意識してわかりやすい文章でまとめる。 事前学修 4.0hr：「研究の方法」を確認する。 事後学修 4.0hr：授業中のアドバイスを受け、「研究の方法」を書く。

7回	**授業テーマ：研究テーマの決定 (3)：具体的な研究テーマの決定** 授業内容：各自が調査した先行研究の内容の発表・質疑応答を通じて、自分が取り組むべき研究テーマの意義を確認する。そのうえで、各自が選んだテーマについて、研究の目的、対象、研究方法について発表し、卒業論文のテーマにふさわしいかどうかを再度確認する。 事前学修 2.5hr：自身が取り組む具体的な研究テーマとその意義についてまとめる。 事後学修 2.0hr：授業中のアドバイスを受け、研究テーマの修正を行う。	22回	**授業テーマ：論文執筆 (6)：「調査の結果」を書く** 授業内容：調査した内容について整理したものを文章化する。論文で明らかにしたかったことと照らし合わせ、調査の結果がその内容に合致していることを確認する。読み手に的確に伝わることを意識してわかりやすい文章でまとめる。 事前学修 4.0hr：「調査の結果」をまとめる。 事後学修 4.0hr：授業中のアドバイスを受け、「調査の結果」を書く。
8回	**授業テーマ：調査・分析方法 (1)：データの集め方** 授業内容：論文作成に際して、どのようなデータが必要となり、そのためにどのような調査が昼用となるかを確認する。先行研究の調査方法を参考にしながら、各テーマに必要なデータを調査する方法と分析のしかたについて検討を加える。 事前学修 2.5hr：自身の研究テーマに関する調査対象について考える。 事後学修 2.0hr：調査対象を修正し、データ収集に取り掛かる。	23回	**授業テーマ：論文執筆 (7)：「調査の分析」を書く** 授業内容：調査結果を整理したものをもとに、分析した内容を文章化する。論文で明らかにしたかったことと照らし合わせ、調査の分析がその内容に合致していることを確認する。読み手に的確に伝わることを意識してわかりやすい文章でまとめる。 事前学修 4.0hr：「調査の分析」をまとめる。 事後学修 4.0hr：授業中のアドバイスを受け「調査の結果」を書く。
9回	**授業テーマ：調査・分析方法 (2)：データの整理** 授業内容：各テーマに必要なデータについて確認する。先行研究のデータ収集の方法と整理のしかたを参考にしながら、調査したデータの整理のしかたについて考える。整理の方法を決定した後、現時点で収集したデータの整理を行わせる。 事前学修 4.0hr：データを収集する。 事後学修 2.0hr：集めたデータを整理する。	24回	**授業テーマ：論文執筆 (8)：「調査結果に対する考察」を書く** 授業内容：調査の結果からどのようなことが考えられるのかを文章化する。研究で明らかにしたい目的に沿っているかを確認しながら、読み手に的確に伝わることを意識して書く。その際、先行研究で指摘されていることを読み返し、自分の論の独自性を確認する。 事前学修 4.0hr：「調査結果に対する考察」をまとめる。 事後学修 4.0hr：授業中のアドバイスを受け、「調査結果に対する考察」を書く。
10回	**授業テーマ：調査・分析方法 (3)：データの分析** 授業内容：データの整理が適切かどうかを確認したのち、データの分析を丁寧に行わせる。データからわかることを箇条書きさせ、それらを適宜関連付け、現時点での分析結果をまとめる。分析結果を参考文献と照合し、分析の信頼度を確認する。 事前学修 4.0hr：データの分析に取り掛かる。 事後学修 4.0hr：データの分析から導き出される内容を整理する。	25回	**授業テーマ：論文執筆 (9)：「おわりに」の執筆と「はじめに」の修正** 授業内容：卒業論文で明らかにできたこと、明らかにできなかったこと、論文の反省点、今後明らかにできそうなことなどについて考え、それらを文章化する。読み手に的確に伝わることを意識してわかりやすい文章でまとめる。 事前学修 4.0hr：「おわりに」をまとめ、論を見直して「はじめに」を修正する。 事後学修 4.0hr：授業中のアドバイスを受け、「おわりに」を完成させる。
11回	**授業テーマ：調査結果のまとめと考察** 授業内容：調査結果を分析したのち、現時点での調査内容をまとめ、現時点で考察したことを整理する。その際に、調査の足りない点や修正すべき点を考えて補足するべき事項を確認し、今後の調査計画に入れる。 事前学修 4.0hr：調査結果で明らかになった点を簡潔にまとめる。 事後学修 2.5hr：調査で足りない点、修正すべき点を考える。	26回	**授業テーマ：卒業論文の最終チェック (1)：参考文献をまとめる** 授業内容：卒業論文作成にあたって参考にした文献のリストを見返す。先行研究となる書籍や雑誌論文、データを得た省庁などのサイト等、参考にした文献によって書き方が異なることを理解し、正確な情報を「参考文献」としてまとめる。 事前学修 4.0hr：論文中の引用箇所を確認し、参考文献リストを作成する。 事後学修 4.0hr：参考文献リストの最終チェックを行う。
12回	**授業テーマ：中間発表準備 (1)：ポイントの整理と発表構成** 授業内容：中間発表に向けて、発表原稿のポイントを整理する。研究の目的と対象、方法の書き方、これまでの調査の示し方、これまでの分析の示し方を確認し、聞き手にとってわかりやすい発表原稿の構成を考える。 事前学修 4.0hr：これまでの調査・分析で明らかになった内容を整理する。 事後学修 4.0hr：発表の構成を考える。	27回	**授業テーマ：卒業論文の最終チェック (2)：卒業論文全体の確認** 授業内容：完成した卒業論文を見直し、正確な記述になっているかを確認する。内容については、全体の構成や、目的と結論が呼応しているかなど、論旨の流れを確認する。文章表現については、誤字・脱字、文の呼応、助詞の使い方など、表記や文法の面から確認する。 事前学修 4.0hr：論文を読み直し、字句のチェックや論旨の流れの再確認を行う。 事後学修 4.0hr：卒業論文要旨の作成に向けた準備を行う。
13回	**授業テーマ：中間発表準備 (2)：レジュメ作成** 授業内容：卒業研究のポイントを確認しながら、発表のレジュメを作成する。発表にあたって、構成のわかりやすさに加えて、文章表現のわかりやすさを考慮し、読み手・聞き手に伝わりやすいレジュメを作成する。 事前学修 4.0hr：中間発表のレジュメ作成に取り掛かる。 事後学修 4.0hr：中間発表のレジュメを完成させる。	28回	**授業テーマ：卒業論文要旨の作成** 授業内容：各自の卒業論文の要旨を作成する。論文に必要な事項(目的、対象、方法、調査の分析、結論など)を確認し、それらをバランスよく整理して文章化する。さらに、論文発表会に向けた資料作成も行う。 事前学修 4.0hr：卒業論文のポイントをまとめておく。 事後学修 2.0hr：卒業論文発表会に向けた準備を行う。
14回	**授業テーマ：卒業論文中間発表 (1)** 授業内容：レジュメに従って、卒業論文の中間発表を行う。発表に際して、わかりやすい話し方を目指すようにする。話す速度、声の大きさ、抑揚のつけ方など、レジュメを読むのではなく「話す」「説明する」意識で発表する。 事前学修 2.5hr：レジュメを確認し、発表内容を整理しておく。 事後学修 2.5hr：発表後のアドバイスを受け、今後の課題を確認する。	29回	**授業テーマ：卒業論文発表会 (1)** 授業内容：卒業論文について、資料をもとに発表する。発表に際しては、話す速度、声の大きさ、抑揚のつけ方などに留意し、わかりやすい話し方を目指すようにする。また、発表の聞き手として、内容のポイントを注意深く聞き取り、的確な質問をし、意見を述べる。 事前学修 4.0hr：発表資料を作成する。 事後学修 2.0hr：発表に対する指摘や評価をまとめる。
15回	**授業テーマ：卒業論文中間発表 (2)** 授業内容：レジュメに従って、卒業論文の中間発表を行う。発表に際して、わかりやすい話し方を目指すようにする。話す速度、声の大きさ、抑揚のつけ方など、レジュメを読むのではなく「話す」「説明する」意識で発表する。 事前学修 4.0hr：レジュメを確認し、発表内容を整理しておく。 事後学修 2.5hr：発表後のアドバイスを受け、今後の課題を確認する。	30回	**授業テーマ：卒業論文発表会(2)** 授業内容：卒業論文について、資料をもとに発表する。発表に際しては、話す速度、声の大きさ、抑揚のつけ方などに留意し、わかりやすい話し方を目指すようにする。また、発表の聞き手として、内容のポイントを注意深く聞き取り、的確な質問をし、意見を述べる。 事前学修 2.5hr：発表資料を作成する。 事後学修 4.0hr：発表に対する指摘や評価をまとめる。

卒業研究

開講学科等：日 ｜ 4 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：前 2 ｜ 備考：9 月卒業予定者のみ履修可能

田鍋　桂子（たなべ　けいこ）

▌授業の概要

テーマを設定し、必要な知識を身につけるため文献を読み込み、調査を行い、論文としてまとめる。中間発表も行う。
なお、事前事後学修の時間は目安として一回あたり合計８時間としているが、個々人の卒業論文を完成させることがゴールであるため、画一的に時間は決められない。各自の努力を求める。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ③、GSM G ②）

一般目標：これまで学んだ専門の知識を活かし、さらなる思考力、論理力を身につけ、テーマにあった適切な調査と分析を行い、自分の論をまとめることができる。
個別目標：自分で仮説をたてて、適切な文献を読み込み、必要な事柄を調査し、データを分析して、卒業研究論文を完成する。

▌履修条件

自らデータを集め、自ら分析する。
提出物について、根拠が薄いインターネット記事、生成 AI を明示なくそのまま使用した場合はその時点で評価対象外とする。

▌評価基準・方法

執筆した論文によって評価を行う。

▌フィードバック方法

毎回の対面授業およびマナバで行う

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （文献調査・データ調査・レポート記述）

▌教科書

特になし。

▌参考書

研究のテーマによって個別に指導する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：レポートや小論文と卒論の違いをまなび、参考論文や論文題目などから卒論とはなにかを理解する 事前学修 4.0hr：テーマを三つ以上考えてメモする 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える	16回	**授業テーマ：夏期休暇中の成果報告** 授業内容：夏休み期間中の調査、分析結果を発表する 事前学修 4.0hr：課題提出 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える
2回	**授業テーマ：テーマ探求（１）　興味を具体化する** 授業内容：仮説をたてることと検証することについて学ぶ。自分で興味がある分野をアカデミックに落とし込むとどのようなトピックになるかを考える 事前学修 4.0hr：課題提出 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える	17回	**授業テーマ：研究指導（１）データを完成する** 授業内容：発表のフィードバックをもとにデータを整理し、完成させる。 事前学修 4.0hr：課題提出 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える
3回	**授業テーマ：テーマ探求（２）　先行研究をリストアップする** 授業内容：それぞれの分野について、基礎概念と基礎文献をリストアップする。 事前学修 4.0hr：課題提出 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える	18回	**授業テーマ：研究指導（２）目次をつくる** 授業内容：これまでの見通しをもとに目次を作成する。 事前学修 4.0hr：課題提出 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える
4回	**授業テーマ：研究方法の検討（１）先行研究を読み解く** 授業内容：先行研究を入手し、必要な事柄をまとめる 事前学修 4.0hr：課題提出 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える	19回	**授業テーマ：研究指導（３）アブストラクトをつくる** 授業内容：目的と仮説と結論を簡単に書いてみる。書けない場合は何がなくて書けないのかを再度検討する。 事前学修 4.0hr：課題提出 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える
5回	**授業テーマ：研究方法の検討（２）質的研究と量的研究** 授業内容：研究には質的研究と量的研究がある。自分の研究がどちらに属するのか、仮説を明らかにするためにはどのようなステップが必要なのかを考える。 事前学修 4.0hr：課題提出 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える	20回	**授業テーマ：研究指導（４）「はじめに」を書く** 授業内容：研究のきっかけをまとめる。 事前学修 4.0hr：課題提出 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える
6回	**授業テーマ：研究計画書を作る** 授業内容：前回の授業で考えたステップを目次として作成し、目的、方法、見通しを書いてみる。 事前学修 4.0hr：課題提出 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える	21回	**授業テーマ：研究指導（５）「先行研究」を書く** 授業内容：引用の方法を守って、必要な事柄をまとめる。 事前学修 4.0hr：課題提出 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える
7回	**授業テーマ：データ作成（１）準備** 授業内容：自分の研究に必要な調査項目をピックアップし、手順を決める。 事前学修 4.0hr：課題提出 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える	22回	**授業テーマ：研究指導（６）「研究の目的」を書く** 授業内容：仮説と研究の目的をまとめる。 事前学修 4.0hr：課題提出 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える
8回	**授業テーマ：データ作成（２）見通しをたてながらデータを採取する** 授業内容：要な調査項目について予備調査を行ってみる 事前学修 4.0hr：課題提出 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える	23回	**授業テーマ：研究指導（７）「研究の方法」を書く** 授業内容：方法についてまとめる。 事前学修 4.0hr：課題提出 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える
9回	**授業テーマ：データ作成（３）データをまとめる** 授業内容：予備調査からわかることをまとめる。 事前学修 4.0hr：課題提出 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える	24回	**授業テーマ：研究指導（８）「調査結果」を書く** 授業内容：調査の結果をまとめる 事前学修 4.0hr：課題提出 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える
10回	**授業テーマ：研究指導（１）データを分析する** 授業内容：仮説に対してどのような見解が述べられるかをまとめる。 事前学修 4.0hr：課題提出 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える	25回	**授業テーマ：研究指導（９）「分析」を書く** 授業内容：調査からわかったことをまとめる 事前学修 4.0hr：課題提出 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える

11回	**授業テーマ：研究指導(2)レジュメを作成する** 授業内容：研究計画書にしたがって、レジュメ形式でまとめる。 事前学修 4.0hr：課題提出 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える	26回	**授業テーマ：研究指導(10)「まとめ」を書く** 授業内容：仮説を検証し、今後の研究の展開を書く 事前学修 4.0hr：課題提出 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える
12回	**授業テーマ：研究指導(3)問題点を整理する** 授業内容：仮説が証明できるのか、仮説の修正が必要なのかを検討し、修正が必要な場合は修正する。 修正が必要ない場合は、さらに分析を深めるために必要なことを考える。 事前学修 4.0hr：課題提出 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える	27回	**授業テーマ：課題提出** 授業内容：卒論提出のフォーマットとチェックリストをつかって、卒論を見直す。 事前学修 4.0hr：論文提出 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える
13回	**授業テーマ：中間発表準備** 授業内容：レジュメをもとに中間発表の資料を作成する。 事前学修 4.0hr：課題提出 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える	28回	**授業テーマ：ゼミ発表会(1)** 授業内容：卒論をレジュメにして発表をおこなう 事前学修 4.0hr：ブリーフを作成する 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える
14回	**授業テーマ：中間発表** 授業内容：中間発表を行う。 事前学修 4.0hr：課題提出 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える	29回	**授業テーマ：ゼミ発表会(2)** 授業内容：発表し討議をする 事前学修 4.0hr：ブリーフを作成する 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える
15回	**授業テーマ：計画修正案の作成** 授業内容：意見をもとに計画の修正を行う。夏休み期間はそれぞれの課題にしたがって、調査、分析をすすめる 事前学修 4.0hr：課題提出 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える	30回	**授業テーマ：まとめと今後の課題** 授業内容：個々の研究の関連を討議したあと、卒論で学んだこと、今後の課題を話し合う。 事前学修 4.0hr：課題提出 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える

［専門科目］

○英米語学科

異文化コミュニケーション概論 a

開講学科等：英 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

鍛治　広真 (かじ　ひろみ)

▌授業の概要

言語を用いたコミュニケーションに注目し、言語と社会、言語と文化の関係という観点から異文化コミュニケーションについて学び、考えます。この授業ではコミュニケーションの定義を確認した後に、コミュニケーションにおける言語の要素と非言語の要素を学びます。またカテゴリー化、状況把握、比喩などの観点から英語と日本語を対照し特徴を学びます。履修者に各言語の例を報告してもらうこともあります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：コミュニケーションについての基本的な概念を理解し、言語間の表現方法の違いを理解する。
個別目標：(1) コミュニケーションの基本的な概念を理解する
(2) 視点や捉え方、カテゴリー化の方法などが言語の表現形式に関係することを理解する
(3) 日英語における表現方法の特徴の違いを理解する

▌履修条件

履修の条件は設けない。

▌評価基準・方法

授業への取り組み 50%(小課題、発表など)、試験 50 %

▌フィードバック方法

課題等に対するフィードバックは授業および manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （問題演習、ディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

多々良 直弘/松井 真人/八木橋 宏勇『実例で学ぶ英語学入門―異文化コミュニケーションのための日英対照研究』朝倉書店

▌参考書

辻 大介/是永 論/関谷 直也『コミュニケーション論をつかむ』有斐閣

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：イントロダクション** 授業内容：受講上の注意を説明する。コミュニケーション論の導入を行う。 事前学修 2.0hr：シラバスを読む、ノートの準備 事後学修 2.0hr：理解の整理
2回	**授業テーマ：コミュニケーションとは何か** 授業内容：コミュニケーション論の基本的な概念について学び、コミュニケーションとはどのような行為かを考える。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
3回	**授業テーマ：英語学の歴史と対照研究** 授業内容：複数の言語を対照する言語研究の枠組みについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
4回	**授業テーマ：カテゴリー化(1)** 授業内容：言語によって世界の事物を分類する「カテゴリー化」についての理論を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
5回	**授業テーマ：カテゴリー化(2)** 授業内容：英語と日本語の間でのカテゴリー化の違いについて考える。 事前学修 2.0hr：日英語の例を収集する 事後学修 2.0hr：理解の整理
6回	**授業テーマ：状況の捉え方と言語表現(1)** 授業内容：対象を捉える視点の違いが言語表現の違いとして現れることについて、例を通じて学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
7回	**授業テーマ：状況の捉え方と言語表現(2)** 授業内容：言語間で視点の取り方にどのような違いがあるかを考える。 事前学修 2.0hr：日英語の例を収集する 事後学修 2.0hr：理解の整理
8回	**授業テーマ：ことばとコミュニケーション(1)** 授業内容：言語によるコミュニケーションの特徴について学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：理解の整理
9回	**授業テーマ：ことばとコミュニケーション(2)** 授業内容：言語によるコミュニケーションにおいて、言語以外の知識も必要であることの例を学ぶ。 事前学修 2.0hr：発表資料の準備 事後学修 2.0hr：理解の整理
10回	**授業テーマ：ことば以前のコミュニケーション(1)** 授業内容：動物のコミュニケーションと人間の言語の違いについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
11回	**授業テーマ：ことば以前のコミュニケーション(2)** 授業内容：人間の言葉を用いないコミュニケーションにどのようなものがあるかを学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理

12回	**授業テーマ：身体とコミュニケーション** 授業内容：発話者の距離やジェスチャーなどコミュニケーションにおける言語以外の要素について学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
13回	**授業テーマ：メタファー、メトニミー、シネクドキ(1)** 授業内容：言語コミュニケーションに含まれる比喩の種類と意味を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
14回	**授業テーマ：メタファー、メトニミー、シネクドキ(2)** 授業内容：言語間における比喩表現の共通点と相違点を考える。 事前学修 2.0hr：日英語の例を収集する 事後学修 2.0hr：理解の整理
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：今学期の内容を振り返り、補足をする。 事前学修 2.0hr：これまでの内容を復習し、疑問点と考察を整理する 事後学修 2.0hr：理解の整理

異文化コミュニケーション概論 a

開講学科等：英 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

川成　美香（かわなり　みか）

▌授業の概要

異文化の人々との円滑なコミュニケーションのためには、相互に通じ合える言語スキルの問題だけでなく、文化的・社会的な背景がいかに言語に反映され、どのような言語現象が生じているかの実態を相互に理解することが重要である。社会言語学的な諸研究の成果は、異文化コミュニケーションに実践的な知識を与えうるので、英語および諸言語を対象として言語差の要因によって生じることばのバリエーションに焦点を当てる。授業は、講義を中心に進める。諸状況が許せば受講者の発表やディスカッションなども行う。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：国際未来社会において異文化の人々とのコミュニケーションに必要な、ことばのバリエーションや文化的・社会的背景についての知識を得る。
　　世界共通語である英語コミュニケーションにその知識を実践できる。
個別目標：英語の国際化と世界の英語の諸相、言語と社会階級、人種・民族による言語差、言語の性差、言語の年齢差、言語の状況差・適切さなどについて、理論と実践の両面から捉えることができる。
　　それにより自文化中心主義に陥らない思考とコミュニケーション態度を身につけることができる。

▌履修条件

・本科目に継続して「異文化コミュニケーション概論 b」を履修することが望ましい
・履修希望者は第 1 回目の講義に必ず出席すること
・課題や発表に積極的に取り組むこと

▌評価基準・方法

・平常点（課題および小レポートや発表等）40 %、期末試験 60 %の結果に基づき総合的に評価をする
・5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とし、欠席は減点とする

▌フィードバック方法

・事前学修や事後学修、課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （プレゼンテーション、ディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Word,Excel,PowerPoint ソフトを搭載したノートパソコンを必要に応じて持参すること）

▌教科書

・『社会言語学への招待―社会・文化・コミュニケーション』田中春美・田中幸子　ミネルヴァ書房
・プリント教材

▌参考書

小池生夫編『応用言語学事典』研究社
　その他必要に応じて指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：オリエンテーション（履修上の注意、授業方針の説明など）** 授業内容：異文化コミュニケーションに必要な文化的・社会的要因と、言語との関係を扱う社会言語学を学ぶ意義を理解する。また手始めとして、受講生に異文化コミュニケーションに関する自身の体験や興味について表明してもらう。 事前学修 1.0hr：講義概要を読んで、本科目の到達目標を理解しておく 事後学修 3.0hr：各自の到達目標を具体的に設定する. テキストの範囲を全体的に目をとおしておく
2 回	**授業テーマ：序：社会言語学とは何か** 授業内容：異文化コミュニケーションに資する社会言語学について、言語の多様性、方言と言語、言語社会、研究方法、ピジンとクレオールについて学ぶ。とりわけ文法を越えて、適切に言語を使用する能力とはどのようなものかを把握する。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業内に提示された課題に取り組む
3 回	**授業テーマ：地域による言語の違い（英語の国際化、標準語と方言）** 授業内容：標準語と方言の定義と、国際化の進む英語の諸相について学ぶ。世界のリンガフランカ（共通語）となった英語の役割や、「正しい英語」とは、目的や状況に応じて適切なコミュニケーションができる英語の変種であることを理解する。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業内に提示された課題に取り組む
4 回	**授業テーマ：地域による言語の違い（イギリス英語、アメリカ英語、カナダ英語、オーストラリア英語・ニュージーランド英語など）** 授業内容：世界の英語の諸相を学ぶ。英語を母語または第 1 言語とする国々で使用されている、イギリス英語・アメリカ英語・カナダ英語・オーストラリア英語とニュージーランド英語について、歴史的背景と言語的特徴を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業内に提示された課題に取り組む
5 回	**授業テーマ：言語と社会階級（階級方言の特徴、言語使用にみられる英米の階級差）** 授業内容：現代でも社会階級が存在し、それが人々のことば遣いに反映しているイギリスについて、標準変種である容認発音（RP) とコックニー訛り等の階級方言とその社会的評価、および階級方言と地域性について把握する。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業内に提示された課題に取り組む
6 回	**授業テーマ：言語と社会階級（英米の社会階級と言語使用の態度差）** 授業内容：アメリカ英語に存在する社会階層差と発音（母音の直後の/r/）の有無にみられる相関性について、またイギリスでの階級差と言語使用能力に相関がある「精密コード」と「限定コード」、英・米での社会階級による過剰矯正的態度や仲間意識、男女の態度差から生じる発音の差異を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業内に提示された課題に取り組む
7 回	**授業テーマ：人種・民族による言語差（民族紛争と言語、複数民族国家アメリカ）** 授業内容：民族紛争と言語には密接な関係があり、昨今のロシアのウクライナ進攻と言語の問題を考察する。また、同一言語、複数民族国家であるアメリカにおいて白人と少数民族との亀裂に起因する言語の問題を把握する。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業内に提示された課題に取り組む

8回	**授業テーマ：人種・民族による言語差(黒人英語の特徴、黒人英語の過去と未来)** 授業内容：アメリカ英語の変種として重要な黒人英語の諸相をみる、植民地時代に遡る黒人奴隷のピジン英語、その起源としての奴隷貿易(大西洋三角貿易)、黒人英語の音声的・文法的特徴、黒人英語の未来について学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業内に提示された課題に取り組む
9回	**授業テーマ：言語の性差(日英語にみられる言語の性差、男女によることばの使い方の違い)** 授業内容：ことばの男女差は、日本語の終助詞や人称代名詞、英語の付加疑問文や上昇イントネーションなどに顕著にみられる。また、男女についてのことば遣いとして、女性形語彙があり英語でも日本語でも女性蔑視の社会的評価が反映されてきた。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業内に提示された課題に取り組む
10回	**授業テーマ：言語の性差(男女についてのことば遣い、ことばの性差を引き起こす原因)** 授業内容：ことばの性差を引き起こす原因を探る。日本語でもアメリカ英語でも、家庭や学校での言語社会化の過程でステレオタイプが形成され、それが社会的評価にもつながった。しかし日米ともに男女の差別語は、中立語に言い換えられ久しい 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業内に提示された課題に取り組む
11回	**授業テーマ：言語の年齢差(年齢層によることばの違い、日英語の若者ことば)** 授業内容：年代や世代が変われば、ことばも異なり、話しことばとインフォーマルな場面に顕著である。日本語の若者言葉の特徴には、新語・流行語、カタカナ語、アクセントの平板化などがあり、アメリカ英語には多重否定使用に年齢差がみられる。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業内に提示された課題に取り組む
12回	**授業テーマ：言語の年齢差(シルバーことば、ミドル・エイジことば)** 授業内容：日本語にみられるシルバーことばには、特有の発音や古風なことば遣いがみられる。ミドル・エイジことばとは、働きざかりの現役世代が使ういわゆる標準語である。しかし言語の年齢差には、人に付随する相対的な側面がある。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業内に提示された課題に取り組む
13回	**授業テーマ：言語の状況・適切さ(状況差にもとづく言語変種・レジスター、状況の違いが言語的特徴にもたらす影響)** 授業内容：状況差にもとづく言語変種をレジスターという。状況にふさわしい言語変種の選択には、コミュニケーションの目的・話題、伝達方法・手段、話者と聴者の役割関係・地位などがからむ。また状況の違いは、語彙・文法・音韻に影響する。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業内に提示された課題に取り組む
14回	**授業テーマ：言語の状況・適切さ(スタイル、コード切り替え)** 授業内容：どの社会にも話し方のスタイルとして形式言語・口語・俗語の 3 つがある。適切なスタイル選択には、会話の参加者間の親密度・年齢・社会階層などが影響する。またコードの切り替えには、状況のコード切り替え・比喩的コード切り替え・会話のコード切り替えなどがある。 事前学修 2.0hr：授業内に提示された課題に取り組む 事後学修 2.0hr：授業内に提示された課題に取り組む
15回	**授業テーマ：異文化発見プロジェクトの発表とディスカッション** 授業内容：前学期に把握してきた異文化に起因するコミュニケーションの諸現象について、受講生は、事前に提示されたインタビュー調査やアンケート調査をグループで行い、その結果を最終回授業で発表する。それをもとにディスカッションへと発展させる。 事前学修 3.0hr：学内の異文化背景をもつ学生にインタビューをし、コミュニケーション上の差異を自文化と比較考察しておく 事後学修 1.0hr：発表とディスカッションをもとにレポートにまとめる

異文化コミュニケーション概論 b

開講学科等：英 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

鍛治　広真 (かじ　ひろみ)

▌授業の概要

言語を用いたコミュニケーションに注目し、言語と社会、言語と文化の関係という観点から異文化コミュニケーションについて学び、考えます。この授業では特に、社会や文化が言語にどのように関わるかを学び、英語と日本語のコミュニケーションスタイルの違いを考えます。履修者に各言語の例を報告してもらうこともあります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：文化とコミュニケーション様式の関係ついて、言語的な特徴を手がかりに考え、異文化コミュニケーションについての基本的な概念を知る
個別目標：(1) 言語の意味と形式の結びつきや変化を理解し説明できる
(2) 社会と言語の関係について理解し説明できる。
(3) 日本語と英語のコミュニケーション特徴の違いを理解し説明できる

▌履修条件

履修条件は設けないが、前学期に同教員の異文化コミュニケーション概論 a を受講済みであることが望ましい。

▌評価基準・方法

授業への取り組み 50%(小課題、ディスカッションなど)、試験 50 %

▌フィードバック方法

課題等に対するフィードバックは授業および manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （問題演習、ディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

多々良 直弘/松井 真人/八木橋 宏勇『実例で学ぶ英語学入門―異文化コミュニケーションのための日英対照研究』朝倉書店

▌参考書

辻 大介/是永 論/関谷 直也『コミュニケーション論をつかむ』有斐閣

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：イントロダクション** 授業内容：受講上の注意を説明する。日本語と英語の言語表現の違いについて導入を行う。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
2回	**授業テーマ：文法化(1)** 授業内容：内容語が機能語に変化する「文法化」のプロセスを学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
3回	**授業テーマ：文法化(2)** 授業内容：日本語と英語の文法化の例を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
4回	**授業テーマ：構文(1)** 授業内容：言語における構成性の原理と、意味の透明性が不十分な所謂イディオムの特徴を学ぶ 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
5回	**授業テーマ：構文(2)** 授業内容：英語の構文の実例と意味を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
6回	**授業テーマ：メンタルコーパス** 授業内容：母語話者が文の正しさを判断するためにはどのような知識が必要なのか、それが社会とどう関係するのか、を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
7回	**授業テーマ：イメージスキーマと意味拡張** 授業内容：例えば英語の前置詞のような多義的な語の意味と、意味の広がり方のメカニズムを学ぶ。日英語における意味拡張の共通点、相違点を考える。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
8回	**授業テーマ：英語のバリエーション** 授業内容：イギリス英語、アメリカ英語をはじめとした世界各地の諸英語の特徴を概観する。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：理解の整理
9回	**授業テーマ：言語変種の選択** 授業内容：状況や相手に合わせて使う言語変種を選択することがある。選択の特徴や影響を受ける社会的な要素について学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
10回	**授業テーマ：談話・文章を理解するメカニズム(1)** 授業内容：コミュニケーションにおける協調原則を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
11回	**授業テーマ：談話・文章を理解するメカニズム(2)** 授業内容：談話の構造化について学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理

12回	**授業テーマ：ポライトネス** 授業内容：コミュニケーションにおける相手への配慮が、言語ではどのように表されるのかを学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
13回	**授業テーマ：文化とコミュニケーション(1)** 授業内容：文化によりコミュニケーションスタイルが異なることについて、どのような要素が関わるのかを学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
14回	**授業テーマ：文化とコミュニケーション(2)** 授業内容：日本語と英語のコミュニケーション特徴の違いと、その背景を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：今学期の内容を振り返り、補足する。 事前学修 2.0hr：これまでの内容を復習し、疑問点と考察を整理する 事後学修 2.0hr：理解の整理

異文化コミュニケーション概論 b

開講学科等：英 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

川成　美香（かわなり　みか）

▌授業の概要

異文化コミュニケーションに直接関わる言語と文化の諸相について学び、母語や自国の文化と比較・認識することで、文化的背景の異なる人々とのコミュニケーション実践力を高めることを目標とする。具体的なトピックとして、呼びかけ表現、ことばによるポライトネス、ことばのイメージ、会話スタイル、含意と文化、非言語伝達などを扱う。さらに異文化理解と英語教育についても考察する。授業は、講義を中心に進める。諸状況が許せば受講者の発表やディスカッションなども行う。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：国際未来社会において異文化の人々とのコミュニケーションの基盤となる、言語と文化に関わる諸現象についての知識を得る。
　　多文化共生時代における英語教育での異文化理解の重要性を深めることができる。
個別目標：異文化コミュニケーション上に問題となる言語と文化の諸相を、理論と実践の両面から捉えることができる。
　　それにより英語教育において異文化理解教育を実践する基礎を身につけることができる。

▌履修条件

・前学期開講の「異文化コミュニケーション概論 a」の教科書を継続使用するので、前学期に「異文化コミュニケーション概論 a」を履修していることが望ましい。後学期は当教科書の後半（Ⅱ. 言語と文化）を扱う。
・課題や調べ学習に積極的に取り組むこと

▌評価基準・方法

・平常点（課題および小レポートや発表等）40 %、期末試験 60 %の結果に基づき総合的に評価をする
・5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とし、欠席は減点とする

▌フィードバック方法

・事前学修や事後学修、課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （プレゼンテーション、ディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Word,Excel,PowerPoint ソフトを搭載したノートパソコンを必要に応じて持参すること）

▌教科書

・『社会言語学への招待―社会・文化・コミュニケーション』田中春美・田中幸子　ミネルヴァ書房
・プリント教材

▌参考書

小池生夫編『応用言語学事典』研究社
　その他必要に応じて指示する

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：呼びかけ表現(呼ばれ方の多様性)** 授業内容：呼びかけ表現(address terms) には多様性がある。同じ日本人でも、性別、年齢、職業・地位、血縁関係、親密度などにより呼び方・呼ばれ方が異なってくる。その国の社会的背景や文化・習慣によって、異なった呼び方の体系が存在する。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業内に提示された課題に取り組む
2 回	**授業テーマ：呼びかけ表現(代名詞・動詞形・名詞による呼び方の日英比較)** 授業内容：呼びかけ表現には、代名詞による呼び方・動詞形に表された呼び方・名詞による呼び方が存在する。名詞による呼び方が最も一般的で、種類として個人名・親族用語名・敬称・職業名・愛称などがあり、日本語と英語では共通点と固有のものがある。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業内に提示された課題に取り組む
3 回	**授業テーマ：ことばによる丁寧表現(ポライトネスの普遍性、Leech・Lakoff・Brown ＆ Levinson のポライトネス理論)** 授業内容：ポライトネスとは言語使用の際の一つの制約であり、世界の言語に普遍的に存在する原則である。対話相手や場面に応じて適切に相手を遇するストラテジーは言語によって異なる。ポライトネス理論には、Lakoff, Leech, Brown ＆ Levinson らの学説あり、それぞれ視点が異なる。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業内に提示された課題に取り組む
4 回	**授業テーマ：ことばによる丁寧表現(日英語の丁寧表現、日米のポライトネスストラテジー)** 授業内容：日本語には敬語という丁寧表現があり、英語には敬意を表すための別の手段がある。言語形式である文法を操作したり、表現内容によりポライトネスを醸し出す。またに日本人とアメリカ人では談話レベルにおいて異なるポライトネス・ストラテジーがあり、円滑な異文化コミュニケーションのためには、相互理解が必要となる。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業内に提示された課題に取り組む
5 回	**授業テーマ：ことばのイメージ(イメージと心象、詩歌にみられる季節のイメージの日英差)** 授業内容：語彙をめぐるイメージの日英語の相違点を、文化に関わる宗教・神話・自然・文学・慣用句・連想などを背景的要因と考えて、具体的な語彙について具体例をみていく。日英の詩歌にみられる季節のイメージには共通点と相違点がある。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業内に提示された課題に取り組む
6 回	**授業テーマ：ことばのイメージ(詩歌や語句にみられる動物・色彩のイメージの日英差)** 授業内容：詩歌や語句にみられる動物(犬・猫・白鳥・狐・豚)には、日英語のみならず他の言語にも固有のイメージが存在する。また色彩語(青と緑、赤とピンクとばら色、白と黒と灰色、黄色)の日英語比較でも、共通点と相違点がみられる。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業内に提示された課題に取り組む
7 回	**授業テーマ：会話のスタイル(会話スタイルとは何か、コミュニケーションと文化研究のさまざまなアプローチ)** 授業内容：会話スタイルの研究には、コミュニケーションと文化のさまざまなアプローチがある。Hymes による「コミュニケーションの民族誌」、エスノメソドロジストによる会話分析、Gumperz の相互作用の社会言語学などを順次みていく。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業内に提示された課題に取り組む

8回	**授業テーマ：会話のスタイル(アメリカ英語の会話分析、ビジネスマンのセールス・トークの日米比較)** 授業内容：アメリカ英語における「会話スタイル」を提唱した Tannen の「熱中スタイル」と「思いやりスタイル」について、実証的な会話分析を検討する。また、日米会話スタイルの比較として、セールス・トークやビジネス・トークの比較研究を考察する。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業内に提示された課題に取り組む
9回	**授業テーマ：含意と文化(言外の意味、Grice の会話の公理)** 授業内容：ことばの裏に隠された話者の意図を「会話の含意(conversational implicature)」と呼ぶ。分析にあたっては代表的なアプローチとして、Grace の 4 つの公理がある。量・質・関連性・様態についての公理と、それを用いた具体的な会話分析例を検討する。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業内に提示された課題に取り組む
10回	**授業テーマ：含意と文化(ものごとを行う発話、Austin の三分説、婉曲語法)** 授業内容：Austin の発話行為理論によるアプローチもあり、遂行文や適切性条件を用いた具体的な会話例を分析し考察する。さらに、Austin の「三分説」による発話行為のメカニズムを理解する。婉曲語法の日英比較についても検討する。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業内に提示された課題に取り組む
11回	**授業テーマ：非言語伝達(言語と非言語、人のコミュニケーションのしくみ、身振り言語)** 授業内容：効果的なコミュニケーションには言語と非言語をうまく使うことが重要で、非言語が占める割合が多い。非言語の伝達方法には、顔の表情、笑い、アイコンタクト、ジェスチャーなどがあり、ジェスチャーには文化差が多くみられる。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業内に提示された課題に取り組む
12回	**授業テーマ：非言語伝達(距離による人間関係、異文化理解における非言語の重要性、カルチャーショックとは)** 授業内容：コミュニケーションでは相手との距離の取り方も、非言語伝達ととらえ文化差がある。対話者との適切な距離を保つことがコミュニケーションを円滑にする。文化のコンテキストレベルの概念である「高コンテキスト」と「低コンテキスト」、カルチャーショックについても、異文化理解と外国語学習の観点から把握する。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業内に提示された課題に取り組む
13回	**授業テーマ：異文化理解と英語教育(言語理論・異文化コミュニケーション理論の変遷と英語教育)** 授業内容：英語教育には言語理論の裏付けが必要であり、異文化理解と英語教育は密接に関係する。これまでの言語理論を概観すると、社会言語学の研究成果が、英語教育とひいては異文化理解にも資することがわかる。言語と文化は表裏一体のものである。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業内に提示された課題に取り組む
14回	**授業テーマ：異文化理解と英語教育(文化コンテキスト度の視座)** 授業内容：異文化理解と英語教育に関して、文化コンテキスト度の視座の重要性について詳細を理解する。文脈に多くの暗黙の情報が含まれる「高コンテキスト」の言語・文化と、表明する言葉にこそ情報がある「低コンテキスト」の言語・文化では、その異なる規範を相互に理解することがコミュニケーションの成功の一因となる。 事前学修 2.0hr：テキストおよび配布資料の指定箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業内に提示された課題に取り組む
15回	**授業テーマ：異文化発見プロジェクトの発表とディスカッション** 授業内容：後学期に把握してきた異文化に起因するコミュニケーションの諸現象について、受講生は、事前に提示されたインタビュー調査やアンケート調査をグループで行い、その結果を最終授業回で発表する。それをもとにディスカッションへと発展させる。 事前学修 3.0hr：学内の異文化背景をもつ学生にインタビューをし、コミュニケーション上の差異を自文化と比較考察しておく 事後学修 1.0hr：発表とディスカッションをもとにレポートにまとめる

英語学概論 a

開講学科等：英 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

嶋田　珠巳（しまだ　たまみ）

▌授業の概要

全体を通して、英語学の入門講義を行う。テーマは「英語がきちんとわかる。英語をきちんと読める。そのための英語学」。

英語という個別の言語にはどのような性質があるのか。英語学の基礎を学び、英語の性質、さらに多くの学生の母語である日本語の性質を知ることによって、英文読解および言語コミュニケーションに役立てる。その基礎力養成のための授業。英文の読み物を交え、インタラクティブに講義する。英文読解に関しては授業内で個別指導も行う。

［教職科目コアカリキュラム対応：中学校及び高等学校における外国語科の授業に資する英語学的知見を身につける。］

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：4）

一般目標：英語学の素養を身につけるとともに、言語を学問的に探求するための基礎的な力を養成する。

個別目標：（1）英語の言語的性質を理解する。

（2）自分のことばについて考えることができる。

（3）授業で学んだことがらを日々の英語学習に活かすことができる。

▌履修条件

主体的に取り組むこと。

▌評価基準・方法

評価基準：到達目標の１～４ができているか、あるいはその到達度。

方法：授業への取り組み 50%（授業内小課題、質疑応答、ディスカションを含む）、試験 50%。

▌フィードバック方法

授業内で適宜行う。希望に応じて面談を行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （講義はインタラクティブに行う。学生からの質問を歓迎する。考察の共有、授業内での小レポートの作成など、発言の機会と主体的な「書く」「読む」の作業がある。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

使用しない。こちらで準備した資料を使用する。資料の中には英語で書かれたものが含まれる。

▌参考書

適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：イントロダクション** 授業内容：シラバスの内容を確認し、英語学概論の全体を見渡して導入を行う。 事前学修 2.0hr：シラバスの確認 事後学修 2.0hr：履修の決定
2回	**授業テーマ：英文、読めていますか？（1）** 授業内容：簡素な「英語読解テスト」を行い、自分の英語の読みの癖や問題点を知る。読めない英文など、つまずいているポイントを知る。 事前学修 2.0hr：ノートの準備 事後学修 2.0hr：理解の整理。自分が読めない英文を探し、授業で学んだやり方を試す。
3回	**授業テーマ：英文、読めていますか？（2）** 授業内容：英語を読むためには何が分かる必要があるかを検討する。受講生一人ひとりへの英文読解カウンセリングとアドバイス。 事前学修 2.0hr：自分が読める英文と読めない英文を準備する。 事後学修 2.0hr：理解の整理
4回	**授業テーマ：英語と日本語の対照（1）** 授業内容：小説の日本語と英語訳をくらべて、それぞれの言語の特徴を考察する。 事前学修 2.0hr：英語にしにくい日本語、日本語訳すると変になる英語の例を集めておく 事後学修 2.0hr：理解の整理
5回	**授業テーマ：英語と日本語の対照（2）** 授業内容：日本語と英語に共通する言語の性質は何か。どのような違いがあるのか。 事前学修 2.0hr：前回の資料からさらに検討を続け、日本語と英語をくらべる。 事後学修 2.0hr：理解の整理
6回	**授業テーマ：英語の個性** 授業内容：世界の言語に目を向けて、その一つとして英語を見る。英語の「個性」は一体どこにあるのか。 事前学修 2.0hr：世界の言語にはどのようなものがあるかを調べておく。指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
7回	**授業テーマ：英語の仕組み** 授業内容：英語の文・語・音について、じっくり英文を見ながら考える。まずはほんの入門編。 事前学修 2.0hr：英語の文、語、音の仕組みを考えておく 事後学修 2.0hr：理解の整理
8回	**授業テーマ：英語の音** 授業内容：英語の音に関する仕組み（子音、母音、音節、アクセント、イントネーションなど）を学ぶ。 事前学修 2.0hr：どんな英文でもいい、声に出して文章を読む 事後学修 2.0hr：理解の整理
9回	**授業テーマ：英語の語** 授業内容：英語の語形成（音と意味、語を構成する単位、語の分析など）について学ぶ。 事前学修 2.0hr：どんな英文でもいい、単語をじっくり眺める。辞書をひく。 事後学修 2.0hr：理解の整理
10回	**授業テーマ：英語の文** 授業内容：英語の文の構造（文の構成、品詞、自動詞・他動詞、句構造など）について学ぶ。 事前学修 2.0hr：どんな英文でもいい、文の作られ方を観察する。 事後学修 2.0hr：理解の整理

11回	**授業テーマ：文の意味と文脈** 授業内容：私たちは文の意味をどのように理解できているか。英文読解の練習も兼ねて、やや難しい英文を読みながら考えていく。 事前学修 2.0hr：指定された資料(英文)を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
12回	**授業テーマ：言語コミュニケーションと発話行為** 授業内容：意味の伝達がどのようになされているか。言語によるコミュニケーション、文と発話、英語の遂行文などについて、解説する。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
13回	**授業テーマ：読めない文を攻略する(ワークショップ)** 授業内容：受講生の読めない英文を分析する。どんなときに読めなくなるのか、文内の語の意味はどうやって決まるのか。疑問を解決しよう。 事前学修 2.0hr：自分では読めない英文を準備する 事後学修 2.0hr：理解の整理
14回	**授業テーマ：話者の言語知識** 授業内容：いわゆる「ネイティブ」の英語が難しいのはなぜか。私たちが日本語を話せるのにはどんな言語知識が関係しているだろうか。 事前学修 2.0hr：なにがわかれば読めるのかを分析する 事後学修 2.0hr：理解の整理
15回	**授業テーマ：前期の総括とディスカッション** 授業内容：これまでの内容をふりかえり、受講生からの質問にこたえる。 事前学修 2.0hr：これまでの内容を復習し、疑問点と考察を整理する 事後学修 2.0hr：理解の整理

英語学概論 a

開講学科等：英 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

辰己　雄太（たつみ　ゆうた）

▌授業の概要

この科目では、英語を言語学の立場から分析し、人間が持つ言語能力について理解を深める。また理論言語学が明らかにしてきた言語データを考察し、理論や仮説の科学的妥当性を検証する手法についても学んでいく。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：4）

一般目標：英語を言語学の立場から観察することで、人間言語の基本的な性質を理解する。
個別目標：・英語の言語データを、言語学の観点から分析できるようになる。
　　・理論言語学の基本概念を理解し、自分で説明できるようになる。

▌履修条件

特になし。

▌評価基準・方法

５分の４以上の出席を評価の前提とする。評点の内訳は、授業への積極的な貢献度 30 %、期末レポート 50 %、提出物・授業内課題 20 %(小テスト・グループワークなどを含む)とする。

▌フィードバック方法

課題及び定期試験のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション・ディベート、グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

特になし。必要に応じて、資料を配付する。

▌参考書

三原健一・高見健一(編著)『日英対照 英語学の基礎』くろしお出版
西光義弘(編)『日英語対照による英語学概論』くろしお出版

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：イントロダクション** 授業内容：講義の計画、受講上の注意や評価基準などを説明する。 事前学修 2.0hr：講義概要を読み、授業内容・授業方針などを把握する。 事後学修 2.0hr：授業で紹介された参考図書や文献に目を通しておく。
2回	**授業テーマ：英語から言語学へ** 授業内容：英語の言語データを取り上げながら、言語学の各分野について概観する。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
3回	**授業テーマ：英語から見る音の構造 (1)：音素の性質** 授業内容：英語の実例を使いながら、音素の性質について学習する。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
4回	**授業テーマ：英語から見る音の構造 (2)：音素の心的表象** 授業内容：英語の実例を使いながら、音素の心的表象について学習する。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
5回	**授業テーマ：英語から見る語の構造 (1)：形態素** 授業内容：英語の実例を使いながら、形態素の性質について学習する。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
6回	**授業テーマ：英語から見る語の構造 (2)：形態素分析** 授業内容：英語の実例を使いながら、形態素の分析方法を学習する。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
7回	**授業テーマ：英語から見る文の構造 (1)：構造の曖昧性** 授業内容：英語の実例を使いながら、文法の構造に関する性質を学習する。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
8回	**授業テーマ：英語から見る文の構造 (2)：文の構成素** 授業内容：英語の実例を使いながら、文の構成素の性質について学習する。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
9回	**授業テーマ：英語から見る言語と獲得 (1)：言語獲得の問題** 授業内容：英語の実例を使いながら、言語獲得の問題を学習する。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
10回	**授業テーマ：英語から見る言語と獲得 (2)：臨界期仮説** 授業内容：英語の実例を使いながら、言語獲得の研究トピックを概観し、臨界期仮説について理解を深める。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
11回	**授業テーマ：英語から見る言語と脳 (1)：言語障害** 授業内容：英語の実例を使いながら、言語障害の特徴や症状について学習する。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。

12回	**授業テーマ：英語から見る言語と脳 (2)：動物のコミュニケーション** 授業内容：ヒトの言語と比較しながら、動物のコミュニケーションについて学習する。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
13回	**授業テーマ：英語から見る言語と社会 (1)：言語消滅と言語発生** 授業内容：英語の実例を使いながら、言語と社会のつながりについて学習する。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
14回	**授業テーマ：英語から見る言語と社会 (2)：言語の多様性と言語についての偏見** 授業内容：英語の実例を使いながら、社会における言語の多様性などの問題ついて学習する。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
15回	**授業テーマ：前期授業の総復習とまとめ** 授業内容：これまで学習してきた内容を復習し、レポート作成に向けて重要な点などを説明する。 事前学修 3.0hr：前期の授業内容を振り返っておく。 事後学修 1.0hr：担当者による総復習を参考に、自分の知識を補強する。

英語学概論 b

開講学科等：英 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

嶋田　珠巳（しまだ　たまみ）

▌授業の概要

後期のテーマは、(i) 英語の社会・文化・歴史的側面を学ぶこと、さらに (ii) 英語力の向上。(i) の話題として、言語変化、英語の歴史と広がり、World Englishes、日本と英語など。(ii) は、前期に学んだ、英語の仕組みに関する英語学知識を活用して英文読解を行うことを含む。

それぞれのトピックごとに、英語ないし日本語で書かれた資料文献をあらかじめ読んでおくことが求められる。特に、英語の資料を積極的に利用する。英文読解に関しては、授業内で個別指導を行う。

講義では受講生とのインタラクションを重視する。受講生の疑問や関心をもとにしたディスカッションを行う。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：4）

一般目標：英語学を中心とした素養を身につける。

個別目標：(1)言語の性質、言語知識、言語変化に関して、考えを深めることができる。
(2)英語の歴史と広がり、World Englishes、日本と英語に関して、授業内容を理解し、考察することができる。
(3)各回の授業内容に基づいて、自らの言語体験や文の例などをあげて考察することができる。

▌履修条件

主体的に取り組む。
まとまった量の英語の文章を読むことも含まれます。

▌評価基準・方法

評価基準：到達目標の (1)˜(3) ができているか、あるいはその到達度。
方法：授業への取り組み 50%(授業内小課題、ディスカッションを含む)、 試験 50%。

▌フィードバック方法

質問などに関しては、授業内で全体にフィードバックを行う。
試験に関しては、希望する学生に対して、面談においてフィードバックを行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （積極的な発言が求められる。授業内で理解したことを書く、発表するなどの活動を含む。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

とくに指定しない。

▌参考書

適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：イントロダクション** 授業内容：シラバス内容の確認、英語学概論の導入講義。 事前学修 2.0hr：準備 事後学修 2.0hr：履修の決定
2回	**授業テーマ：英語を理解するとはどのようなことか(1)** 授業内容：英語の音、語の構成、文の構造を実際の英文で観察。 事前学修 2.0hr：前期の資料(音韻論、形態論、統語論)を見直しておく 事後学修 2.0hr：理解の整理
3回	**授業テーマ：英語を理解するとはどのようなことか(2)** 授業内容：英語の音、語の構成、文の構造を実際の英文で確認。受講生一人ひとりへの英文読解カウンセリングとアドバイス。 事前学修 2.0hr：配布された資料の英文を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
4回	**授業テーマ：言語の変化(1)** 授業内容：ことばはなぜ変化するのか。ことばが変わるとはどのようなことか。導入講義と英文資料の解説。 事前学修 2.0hr：配布された資料の英文を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
5回	**授業テーマ：言語の変化(2)** 授業内容：ことばはなぜ変化するのか。ことばが変わるとはどのようなことか。英文資料の解説と受講生による考察。 事前学修 2.0hr：配布された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
6回	**授業テーマ：言語の接触** 授業内容：異なる言語が出会ったときに何が起こるか。言語に起こること、話者に起こること、コミュニティに起こること。実際の事例からの検討。 事前学修 2.0hr：配布された資料を検討しておく 事後学修 2.0hr：理解の整理
7回	**授業テーマ：これまでのまとめとディスカッション** 授業内容：これまでの授業内容をおさらいする。疑問点の解決と理解の深化。 事前学修 2.0hr：これまでの復習をし、要点と疑問点を整理しておく 事後学修 2.0hr：理解の整理
8回	**授業テーマ：英語の歴史** 授業内容：英語はどのようにして生まれたのか。さらに古英語ー中英語ー近代英語ー現代英語への変遷の概説。 事前学修 2.0hr：配布された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
9回	**授業テーマ：古い時代の英語と現代の英語** 授業内容：英語はどのようにして現代のかたちになったのか。古い時代の英語は現代の英語とどう違っているのか。 事前学修 2.0hr：配布された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
10回	**授業テーマ：英語の広がりと World Englishes** 授業内容：英語はイギリスを出てどのように世界に広がっていったのか。世界で今、英語はどのように話されているのか。 事前学修 2.0hr：配布された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理

11回	**授業テーマ：多様な英語** 授業内容：英語は多様性をどれほどまでに許容するのか。たとえばアイルランドの英語はどんなふうで、カリブの英語はどのようにしてできたのか。 事前学修 2.0hr：配布された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
12回	**授業テーマ：英語と言語接触** 授業内容：これまでに英語のないところに英語が入ってきたことで何が起こるか。英語の広がりと土地のことばの衰退など、言語接触をめぐる諸問題の検討。 事前学修 2.0hr：配布された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
13回	**授業テーマ：日本における英語使用と英語教育** 授業内容：日常の言語使用に入り込んでいる英語、日本における英語教育について、資料をもとに考察。 事前学修 2.0hr：配布された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
14回	**授業テーマ：受講生の興味・関心からの話題提供とディスカッション** 授業内容：この授業で興味を持った内容についての、受講生による調査と考察、全体討議。 事前学修 2.0hr：これまでの復習をし、要点と疑問点を整理しておく 事後学修 2.0hr：理解の整理
15回	**授業テーマ：講義のまとめとディスカッション** 授業内容：これまでの授業内容のおさらい。疑問点の解決、理解の深化。 事前学修 2.0hr：これまでの復習をし、要点と疑問点を整理しておく 事後学修 2.0hr：理解の整理

英語学概論 b

開講学科等：英 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

辰己　雄太（たつみ　ゆうた）

▌授業の概要

この科目では、英語を言語学の立場から分析し、人間が持つ言語能力について理解を深める。また理論言語学が明らかにしてきた言語データを考察し、理論や仮説の科学的妥当性を検証する手法についても学んでいく。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：4）

一般目標：英語を言語学の立場から観察することで、人間言語の性質について理解を深める。
個別目標：・英語の言語データを、言語学の観点から分析できるようになる。
　　・理論言語学の基本概念を理解し、自分で説明できるようになる。

▌履修条件

特にないが、前学期開講の英語学概論 a を履修済みであることが望ましい。

▌評価基準・方法

５分の４以上の出席を評価の前提とする。評点の内訳は、授業への積極的な貢献度 30 %、期末レポート 50 %、提出物・授業内課題 20 %(小テスト・グループワークなどを含む)とする。

▌フィードバック方法

課題及び定期試験のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション・ディベート、グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

特になし。必要に応じて、資料を配付する。

▌参考書

三原健一・高見健一(編著)『日英対照 英語学の基礎』くろしお出版
西光義弘(編)『日英語対照による英語学概論』くろしお出版

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：イントロダクション** 授業内容：講義の計画、受講上の注意や評価基準などを説明する。 事前学修 2.0hr：講義概要を読み、授業内容・授業方針などを把握する。 事後学修 2.0hr：授業で紹介された参考図書や文献に目を通しておく。
2回	**授業テーマ：英語から言語学へ：言語研究の目的** 授業内容：英語の言語データを取り上げながら、言語学の各分野について、その研究目的を学習する。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
3回	**授業テーマ：英語から見る音の特性 (1)：弁別素性、音韻規則** 授業内容：英語の実例を使いながら、音素に関する弁別素性と音韻規則について学習する。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
4回	**授業テーマ：英語から見る音の特性 (2) ：音韻変化、音韻規則の順序** 授業内容：英語の実例を使いながら、音韻変化と音韻規則の順序について学習する。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
5回	**授業テーマ：英語から見る音の特性 (3)：同化、連濁** 授業内容：英語の実例を使いながら、同化や連濁などの音韻変化の性質について学習する。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
6回	**授業テーマ：英語から見る語の特性 (1)：屈折と派生** 授業内容：英語の実例を使いながら、形態論における屈折接辞と派生接辞について学習する。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
7回	**授業テーマ：英語から見る語の特性 (2)：様々な語形成** 授業内容：英語の実例を使いながら、様々な語形成について、その性質を学習する。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
8回	**授業テーマ：英語から見る語の特性 (3)：右側主要部の規則** 授業内容：英語の実例を使いながら、形態論における右側主要部の規則について学習する。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
9回	**授業テーマ：英語から見る文の特性 (1)：句構造規則** 授業内容：英語の実例を使いながら、統語論における句構造規則について学習する。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
10回	**授業テーマ：英語から見る文の特性 (2)：変形規則** 授業内容：英語の実例を使いながら、統語論における変形規則について学習する。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
11回	**授業テーマ：英語から見る文の特性 (3)：原理変数理論** 授業内容：英語の実例を使いながら、統語論における原理変数理論の概略を学習する。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。

12回	**授業テーマ：英語から見る意味の特性 (1)：構成性原理と集合論** 授業内容：英語の実例を使いながら、意味論における構成性原理と集合論の基礎知識を学習する。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
13回	**授業テーマ：英語から見る意味の特性 (2)：前提と含意** 授業内容：英語の実例を使いながら、前提と含意の性質を学習する。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
14回	**授業テーマ：英語から見る意味の特性 (3)：協調の原理** 授業内容：英語の実例を使いながら、会話における強調の原理について学習する。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
15回	**授業テーマ：後期授業の総復習とまとめ** 授業内容：これまで学習してきた内容を復習し、レポート作成に向けて重要な点などを説明する。 事前学修 3.0hr：後期の授業内容を振り返っておく。 事後学修 1.0hr：担当者による総復習を参考に、自分の知識を補強する。

英米文学概論 a

開講学科等：英 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

佐藤　亨（さとう　とおる）

▌授業の概要

英米文学概論 a では英米文学のうち「英文学」について学びます。授業では英文学の流れを概観します。英文学の時代的（歴史的）、社会的、文化的背景を踏まえながら、古期・中世から 20 世紀（21 世紀）までの各時代・時期の代表作を紹介します。英文学の本質に触れていきたいと思います。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：文学史というと、年代、作家、作品といった歴史事項を学ぶように思われるかもしれませんが、大事なことは、あくまで文学作品を鑑賞することです。授業では短い引用でもいいので原文に触れたいと思います。あるいは、翻訳を通して英文学を経験していきたい。各自が、研究対象とは言わないまでも、好きな作家を見つけることも大きな目標の一つです。

個別目標：授業の中で、英文学の流れに触れるうち、受動的にではなしに、自発的に読んでみたい作家、作品を見つけ、それについてテーマを設定して、まずは 3,000 字程度のエッセイを書くことを目標とする。

▌履修条件

辞書（スマホ以外）を持参すること。
予習・復習を欠かさないこと。

▌評価基準・方法

ほぼ毎回授業で書いてもらうリアクションペーパー（50 %）と期末レポート（50 %）から評価します。とくに、リアクションペーパーは各回の授業内容を踏まえ、具体的に書いてもらいます。なお、原則として、8 割の出席を評価の前提条件とします。

▌フィードバック方法

manaba を通して、また、毎回、授業で書いてもらうリアクションペーパーのフィードバックは授業中に行い、双方向の授業を目指します。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

川崎寿彦『イギリス文学史入門』研究社（9784327375010）

▌参考書

教室で随時紹介します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：オリエンテーション、英国、英語、英文学について** 授業内容：授業の内容、成績評価の説明。英文学の大前提である英国の成立、英語の普及などを英国の歴史を踏まえて学ぶ。 事前学修 2.0hr：イングランド、スコットランド、ウェールズ、アイルランドという地域について調べてくる。 事後学修 2.0hr：授業の内容を確認し、自分の考えをまとめる。
2 回	**授業テーマ：古期から中世へ** 授業内容：7 世紀から 15 世紀までの英文学について、英国の歴史、英語史などを踏まえ講義する。 『ベーオウルフ』、『カンタベリー物語』などを取り上げる。 事前学修 2.0hr：取り上げられている作品について調べ、そして読んで、自分の考えをまとめる。 事後学修 2.0hr：授業の内容を確認し、自分の考えをまとめる。
3 回	**授業テーマ：ルネッサンスが花ひらく** 授業内容：15 世紀から 16 世紀までの英文学について、英国の歴史、英語史などを踏まえ講義する。 トマス・モア、エドマンド・スペンサーらの作品を取り上げる。 事前学修 2.0hr：取り上げられている作品について調べ、そして読んで、自分の考えをまとめる。 事後学修 2.0hr：授業の内容を確認し、自分の考えをまとめる。
4 回	**授業テーマ：演劇時代の到来** 授業内容：16 世紀後半の英文学，とくに演劇について、英国の歴史、英語史などを踏まえ講義する。 奇蹟劇や道徳劇について、そしてクリスファー・マーロウなどを取り上げる。 事前学修 2.0hr：取り上げられている作品について調べ、そして読んで、自分の考えをまとめる。 事後学修 2.0hr：授業の内容を確認し、自分の考えをまとめる。
5 回	**授業テーマ：そしてシェイクスピア登場** 授業内容：1590 年から 1613 年までの文学、とくにシェイクスピアの文学について、英国の歴史、英語史などを踏まえ講義する。 『ハムレット』、『マクベス』はじめ、シェイクスピアの劇を取り上げる。 事前学修 2.0hr：取り上げられている作品について調べ、そして読んで、自分の考えをまとめる。 事後学修 2.0hr：授業の内容を確認し、自分の考えをまとめる。
6 回	**授業テーマ：時代は清教徒革命に向かう** 授業内容：清教徒革命、および、17 世紀前半の英文学について、英国の歴史、英語史などを踏まえ講義する。 ベン・ジョンソンの気質演劇、ジャコビアン・ドラマティストなどを中心に取り上げる。 事前学修 2.0hr：取り上げられている作品について調べ、そして読んで、自分の考えをまとめる。 事後学修 2.0hr：授業の内容を確認し、自分の考えをまとめる。
7 回	**授業テーマ：清教徒革命の後** 授業内容：17 世紀後半の英文学について、英国の歴史、英語史などを踏まえ講義する。 ミルトン、ドライデンの作品を中心に取り上げる。 事前学修 2.0hr：取り上げられている作品について調べ、そして読んで、自分の考えをまとめる。 事後学修 2.0hr：授業の内容を確認し、自分の考えをまとめる。
8 回	**授業テーマ：18 世紀の散文、詩、そして劇** 授業内容：1700 年から 1798 年までの英文学について、英国の歴史、英語史などを踏まえ講義する。 アディソン、スウィフト、ポープらの作品を中心に取り上げる。 事前学修 2.0hr：取り上げられている作品について調べ、そして読んで、自分の考えをまとめる。 事後学修 2.0hr：授業の内容を確認し、自分の考えをまとめる。
9 回	**授業テーマ：小説時代の到来** 授業内容：小説というジャンルについて、18 世紀の英文学について、英国の歴史、英語史などを踏まえ講義する。 デフォー、リチャードソン、オースティンらの作品を中心に取り上げる。 事前学修 2.0hr：取り上げられている作品について調べ、そして読んで、自分の考えをまとめる。 事後学修 2.0hr：授業の内容を確認し、自分の考えをまとめる。

10回	**授業テーマ：ロマン主義の光と影(1)** 授業内容：ロマン主義について、1798 年から 1838 年までの英文学について、英国の歴史、英語史などを踏まえ講義する。 ブレイク、ワーズワス、コールリッジ, バイロン、シェリー、キーツらの作品を中心に取り上げる。 事前学修 2.0hr：取り上げられている作品について調べ、そして読んで、自分の考えをまとめる。 事後学修 2.0hr：授業の内容を確認し、自分の考えをまとめる。
11回	**授業テーマ：ロマン主義の光と影(2)** 授業内容：ロマン主義について、1798 年から 1838 年までの英文学について、英国の歴史、英語史などを踏まえ講義する。 ブレイク、ワーズワス、コールリッジ, バイロン、シェリー、キーツらの作品を中心に取り上げる。 事前学修 2.0hr：取り上げられている作品について調べ、そして読んで、自分の考えをまとめる。 事後学修 2.0hr：授業の内容を確認し、自分の考えをまとめる。
12回	**授業テーマ：ヴィクトリア朝の詩と散文** 授業内容：1837 年から 1901 年までの英文学について、英国の歴史、英語史などを踏まえ講義する。 カーライル、テニスン、ブラウニング、アーノルド、ラファエル前派、ワイルドらの作品を中心に取り上げる。 事前学修 2.0hr：取り上げられている作品について調べ、そして読んで、自分の考えをまとめる。 事後学修 2.0hr：授業の内容を確認し、自分の考えをまとめる。
13回	**授業テーマ：ヴィクトリア朝の小説** 授業内容：1837 年から 1901 年までの英文学について、英国の歴史、英語史などを踏まえ講義する。 ディケンズ、ブロンテ姉妹、ハーディらの作品を中心に取り上げる。 事前学修 2.0hr：取り上げられている作品について調べ、そして読んで、自分の考えをまとめる。 事後学修 2.0hr：授業の内容を確認し、自分の考えをまとめる。
14回	**授業テーマ：20 世紀の詩と劇** 授業内容：20 世紀の詩と劇を中心とした英文学について、英国の歴史、英語史などを踏まえ講義する。 ホプキンズ、イェイツ、エリオットらの作品を中心に取り上げる。 事前学修 2.0hr：取り上げられている作品について調べ、そして読んで、自分の考えをまとめる。 事後学修 2.0hr：授業の内容を確認し、自分の考えをまとめる。
15回	**授業テーマ：20 世紀の小説** 授業内容：20 世紀の小説を中心とした英文学について、英国の歴史、英語史などを踏まえ講義する。 コンラッド、フォスター、ヴァージニア・ウルフ、ジョイスらの作品を中心に取り上げる。 事前学修 2.0hr：取り上げられている作品について調べ、そして読んで、自分の考えをまとめる。 事後学修 2.0hr：授業の内容を確認し、自分の考えをまとめる。

英米文学概論 b

開講学科等：英 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

佐藤　亨（さとう　とおる）

▌授業の概要

英米文学概論 b では英米文学のうち「米文学」について学びます。授業では米文学の流れを概観します。時代的(歴史的)、社会的、文化的背景を踏まえながら、紹介し、米文学の本質に触れていきたいと思います。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：文学史というと、年代、作家、作品といった歴史事項を学ぶように思われるかもしれませんが、大事なことは、あくまで文学作品を鑑賞することです。授業では短い引用でもいいので原文に触れたいと思います。あるいは、翻訳を通して英文学を経験していきたい。各自が、研究対象とは言わないまでも、好きな作家を見つけることも大きな目標の一つです。

個別目標：授業の中で、米文学の流れに触れるうち、受動的にではなしに、自発的に読んでみたい作家、作品を見つけ、それについてテーマを設定して、まずは 3,000 字程度のエッセイを書くことを目標とする。

▌履修条件

辞書(スマホ以外)を持参すること。
予習・復習を欠かさないこと。

▌評価基準・方法

毎回授業で書いてもらうリアクションペーパー(50 %)と期末レポート(50 %)から評価します。とくに、リアクションペーパーは各回の授業内容を踏まえ、具体的に書いてもらいます。なお、原則として、8 割の出席を評価の前提条件とします。

▌フィードバック方法

manaba を通して、また、毎回、授業で書いてもらうリアクションペーパーのフィードバックは授業中に行い、双方向の授業を目指します。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

大橋吉之輔『アメリカ文学史入門』研究社

▌参考書

教室で紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：オリエンテーション、アメリカ文学で何を学ぶか** 授業内容：授業について内容、成績評価についての説明。 アメリカ、英語、米文学について講義する。 事前学修 2.0hr：取り上げられている作品について調べ、そして読んで、自分の考えをまとめる。 事後学修 2.0hr：授業の内容を確認し、自分の考えをまとめる。
2 回	**授業テーマ：植民地時代の文学、世界史的背景から** 授業内容：英領植民地としてのアメリカの歴史、宗教などを講義する。 事前学修 2.0hr：取り上げられている作品について調べ、そして読んで、自分の考えをまとめる。 事後学修 2.0hr：授業の内容を確認し、自分の考えをまとめる。
3 回	**授業テーマ：植民地時代の文学、初期のアメリカ文学** 授業内容：植民地時代の文学を旅行記、報告、宣伝文書、説教、政治書、歴史書、日記、自伝、詩などを通して講義する。、 事前学修 2.0hr：取り上げられている作品について調べ、そして読んで、自分の考えをまとめる。 事後学修 2.0hr：授業の内容を確認し、自分の考えをまとめる。
4 回	**授業テーマ：ロマンティシズム時代の文学、独立革命前夜――ナショナリズムの抬頭(1)** 授業内容：ロマンティシズム時代の文学をアメリカの歴史的、社会的、文化的背景を踏まえて講義する。 クレヴクール、アーヴィング、クーパーらの作品を中心に取り上げる。 事前学修 2.0hr：取り上げられている作品について調べ、そして読んで、自分の考えをまとめる。 事後学修 2.0hr：授業の内容を確認し、自分の考えをまとめる。
5 回	**授業テーマ：ロマンティシズム時代の文学、独立革命前夜――ナショナリズムの抬頭(2)** 授業内容：ロマンティシズム時代の文学をアメリカの歴史的、社会的、文化的背景を踏まえて講義する。 クレヴクール、アーヴィング、クーパーらの作品を中心に取り上げる。 事前学修 2.0hr：取り上げられている作品について調べ、そして読んで、自分の考えをまとめる。 事後学修 2.0hr：授業の内容を確認し、自分の考えをまとめる。
6 回	**授業テーマ：ロマンティシズム時代の文学、アメリカン・ルネッサンスの時代背景(1)** 授業内容：ロマンティシズム時代の文学をアメリカの歴史的、社会的、文化的背景を踏まえて講義する。 ポー、エマスン、ソロー、ホイットマン、ディキンソン、メルヴィルらの作品を中心に取り上げる。 事前学修 2.0hr：取り上げられている作品について調べ、そして読んで、自分の考えをまとめる。 事後学修 2.0hr：授業の内容を確認し、自分の考えをまとめる。
7 回	**授業テーマ：ロマンティシズム時代の文学、アメリカン・ルネッサンスの時代背景(2)** 授業内容：ロマンティシズム時代の文学をアメリカの歴史的、社会的、文化的背景を踏まえて講義する。 ポー、エマスン、ソロー、ホイットマン、ディキンソン、メルヴィルらの作品を中心に取り上げる。 事前学修 2.0hr：取り上げられている作品について調べ、そして読んで、自分の考えをまとめる。 事後学修 2.0hr：授業の内容を確認し、自分の考えをまとめる。
8 回	**授業テーマ：ロマンティシズム時代の文学、アメリカン・ルネッサンスの時代背景(3)** 授業内容：ロマンティシズム時代の文学をアメリカの歴史的、社会的、文化的背景を踏まえて講義する。 ポー、エマスン、ソロー、ホイットマン、ディキンソン、メルヴィルらの作品を中心に取り上げる。 事前学修 2.0hr：取り上げられている作品について調べ、そして読んで、自分の考えをまとめる。 事後学修 2.0hr：授業の内容を確認し、自分の考えをまとめる。
9 回	**授業テーマ：ロマンティシズム時代の文学、南北戦争前後の時代状況** 授業内容：ロマンティシズム時代の文学を南北戦争前後の時代状況を踏まえながら、講義する。 ブレッド・ハート、ホアキーン・ミラー、ケイト・ショパンらの作品を中心に取り上げる。 事前学修 2.0hr：取り上げられている作品について調べ、そして読んで、自分の考えをまとめる。 事後学修 2.0hr：授業の内容を確認し、自分の考えをまとめる。

10回	**授業テーマ：リアリズム時代の文学、辺境消滅から第一次世界大戦頃まで(1)** 授業内容：リアリズム時代の文学を辺境消滅から第一次世界大戦頃までの時代状況を踏まえながら、講義する。 スティーヴン・クレイン、フランク・ノリス、ジャック・ロンドン、イーディス・ウォートン、エレン・グラスゴーらの作品を中心に取り上げる。 事前学修 2.0hr：取り上げられている作品について調べ、そして読んで、自分の考えをまとめる。 事後学修 2.0hr：授業の内容を確認し、自分の考えをまとめる。
11回	**授業テーマ：リアリズム時代の文学、辺境消滅から第一次世界大戦頃まで(2)** 授業内容：リアリズム時代の文学を辺境消滅から第一次世界大戦頃までの時代状況を踏まえながら、講義する。 スティーヴン・クレイン、フランク・ノリス、ジャック・ロンドン、イーディス・ウォートン、エレン・グラスゴーらの作品を中心に取り上げる。 事前学修 2.0hr：取り上げられている作品について調べ、そして読んで、自分の考えをまとめる。 事後学修 2.0hr：授業の内容を確認し、自分の考えをまとめる。
12回	**授業テーマ：リアリズム時代の文学、第一次世界大戦後から第二次世界大戦頃まで(1)** 授業内容：リアリズム時代の文学を第一次世界大戦後から第二次世界大戦頃までの時代状況を踏まえながら、講義する。 サンドバーグ、フロスト、パウンド、ウィリアムズ、アンダスン、ヘミングウェイ、フォークナー、コールドウェル、オニールらの作品を中心に取り上げる。、 事前学修 2.0hr：取り上げられている作品について調べ、そして読んで、自分の考えをまとめる。 事後学修 2.0hr：授業の内容を確認し、自分の考えをまとめる。
13回	**授業テーマ：リアリズム時代の文学、第一次世界大戦後から第二次世界大戦頃まで(2)** 授業内容：リアリズム時代の文学を第一次世界大戦後から第二次世界大戦頃までの時代状況を踏まえながら、講義する。 サンドバーグ、フロスト、パウンド、ウィリアムズ、アンダスン、ヘミングウェイ、フォークナー、コールドウェル、オニールらの作品を中心に取り上げる。 事前学修 2.0hr：取り上げられている作品について調べ、そして読んで、自分の考えをまとめる。 事後学修 2.0hr：授業の内容を確認し、自分の考えをまとめる。
14回	**授業テーマ：リアリズム時代の文学、第一次世界大戦後から第二次世界大戦頃まで(3)** 授業内容：リアリズム時代の文学を第一次世界大戦後から第二次世界大戦頃までの時代状況を踏まえながら、講義する。 サンドバーグ、フロスト、パウンド、ウィリアムズ、アンダスン、ヘミングウェイ、フォークナー、コールドウェル、オニールらの作品を中心に取り上げる。 事前学修 2.0hr：取り上げられている作品について調べ、そして読んで、自分の考えをまとめる。 事後学修 2.0hr：授業の内容を確認し、自分の考えをまとめる。
15回	**授業テーマ：リアリズム時代の文学、第二次世界大戦以後** 授業内容：リアリズム時代の文学を第二次世界大戦以後の時代状況を踏まえながら、講義する。 メイラー、ビート・ジェネレーション、カポーティ、マラマッドらの作品を中心に取り上げる。 事前学修 2.0hr：取り上げられている作品について調べ、そして読んで、自分の考えをまとめる。 事後学修 2.0hr：授業の内容を確認し、自分の考えをまとめる。

英語教育学概論 a

開講学科等：英 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

金子　義隆（かねこ　よしたか）

▌授業の概要

小・中・高で一貫した英語教育を行うために必要な理論を学び、それを授業活動に反映させた実践事例映像資料を通して、さらに深く理解する。授業前に提示された課題について考え、用語を調べて授業に参加し、授業後に省察するという反転学習を採り入れる。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：4）

一般目標：小・中・高で一貫した英語教育を行うために必要な理論を理解する。
　　学んだ理論を実践と結びつけて、さらに深く理解する。
個別目標：小・中・高の学習指導要領の目標および内容の要点を理解する。
　　第二言語習得論の基礎的な知識を理解する。
　　受容技能の指導理論を理解する。

▌履修条件

英語教育に興味があること。
本科目を修得したのち、続けて英語教育学概論 b を履修することが望ましい。

▌評価基準・方法

毎週の課題 50%, 期末テスト 50% の結果に基づき総合的に評価する。なお、4/5 以上の出席を評価の前提条件とし、遅刻・欠席は減点する。

▌フィードバック方法

学生の提出物および発表に対してフィードバックをする。また、毎回ではないが授業後にリフレクションシートを記入してもらい、それに対してフィードバックを行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ほぼ毎時間のグループディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

パッツィ・M. ライトバウン　ニーナ・スパーダ　白井恭弘/岡田雅子訳(2014)『言語はどのように学ばれるのか』岩波書店

▌参考書

Shawn Loewen 著　佐野富士子・斎藤英敏ら訳(2022)『学びの場での第二言語習得論』
白井恭弘 (2012)『英語教師のための第二言語習得論入門』大修館
Johnson, K. & Johnson, H. (1998). Encyclopedic dictionary of applied linguistics. Blackwell Publishing.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：小・中・高の英語教育の現状と課題** 授業内容：小・中・高の英語教育の現状と課題について自分の体験を通して学んだことをグループディスカッションを通して分かち合い考察する。 事前学修 2.0hr：シラバス、教科書のはしがき、目次を読む。 事後学修 2.0hr：Pre-Learning に提示された用語を調べる。
2回	**授業テーマ：幼児期の言語学習** 授業内容：第一言語習得について考察する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：Pre-Learning に提示された課題について考えたことをノートに書く。 事後学修 2.0hr：配布資料を読む。
3回	**授業テーマ：主要な第一言語習得理論** 授業内容：行動主義の見方と生得主義の見方について考察する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：教科書巻末の小学校学習指導要領を読む。 事後学修 2.0hr：教科書巻末の小学校学習指導要領英語版を読む。
4回	**授業テーマ：臨界期説** 授業内容：第一言語習得の臨界期説について考察する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：教科書巻末の中学校学習指導要領を読む。 事後学修 2.0hr：教科書巻末の中学校学習指導要領英語版を読む。
5回	**授業テーマ：第二言語習得における臨界期説** 授業内容：第二言語習得における臨界期説について考察する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：教科書巻末の高等学校学習指導要領を読む。 事後学修 2.0hr：教科書巻末の高等学校学習指導要領英語版を読む。
6回	**授業テーマ：言語転移** 授業内容：第一言語の第二言語習得における働きについて考察する。 事前学修 2.0hr：Pre-Learning に提示された用語を調べ、課題について考えたことをノートに書く。 事後学修 2.0hr：Post-Learning に提示された課題について考えたことをノートに書き、次の授業でディスカッションできるよう準備する。
7回	**授業テーマ：第二言語習得における行動主義の見方** 授業内容：第二言語習得における行動主義の見方について考察する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：Post-Learning に提示された課題について考えたことをノートに書き、次の授業でディスカッションできるよう準備する。 事後学修 2.0hr：ディスカッションから学んだことをノートに整理する。
8回	**授業テーマ：第二言語習得における生得主義の見方** 授業内容：第二言語習得における生得主義の見方について考察する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：Pre-Learning に提示された用語を調べ、課題について考えたことをノートに書く。 事後学修 2.0hr：Post-Learning に提示された課題について考えたことをノートに書き、次の授業でディスカッションできるよう準備する。
9回	**授業テーマ：第二言語習得における認知主義の見方** 授業内容：第二言語習得における認知主義の見方について考察する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：Post-Learning に提示された課題について考えたことをノートに書き、次の授業でディスカッションできるよう準備する。 事後学修 2.0hr：ディスカッションから学んだことをノートに整理する。
10回	**授業テーマ：第二言語習得における認知プロセス** 授業内容：第二言語習得における認知プロセスについて考察する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：Pre-Learning に提示された用語を調べ、課題について考えたことをノートに書く。 事後学修 2.0hr：Post-Learning に提示された課題について考えたことをノートに書き、次の授業でディスカッションできるよう準備する。

11回	**授業テーマ：第二言語習得理論に基づいたさまざまな教授法①** 授業内容：第二言語習得理論に基づいた様々な教授法について担当グループが発表する。 事前学修 2.0hr：Post-Learning に提示された課題について考えたことをノートに書き、次の授業でディスカッションできるよう準備する。 事後学修 2.0hr：ディスカッションから学んだことをノートに整理する。
12回	**授業テーマ：第二言語習得理論に基づいたさまざまな教授法②** 授業内容：第二言語習得理論に基づいた様々な教授法について担当グループが発表する。 事前学修 2.0hr：Pre-Learning に提示された用語を調べ、課題について考えたことをノートに書く。 事後学修 2.0hr：Post-Learning に提示された課題について考えたことをノートに書き、次の授業でディスカッションできるよう準備する。
13回	**授業テーマ：第二言語習得理論に基づいたさまざまな教授法③** 授業内容：第二言語習得理論に基づいた様々な教授法について担当グループが発表する。 事前学修 2.0hr：Post-Learning に提示された課題について考えたことをノートに書き、次の授業でディスカッションできるよう準備する。 事後学修 2.0hr：ディスカッションから学んだことをノートに整理する。
14回	**授業テーマ：第二言語習得理論に基づいた文法指導** 授業内容：フォーカス・オン・フォームやフォーカス・オン・フォームズ、フォーカス・オン・ミーニングについて考察する。 事前学修 2.0hr：Pre-Learning に提示された用語を調べ、課題について考えたことをノートに書く。 事後学修 2.0hr：Post-Learning に提示された課題について考えたことをノートに書き、次の授業でディスカッションできるよう準備する。
15回	**授業テーマ：総括** 授業内容：前期の授業内容について改めて全体をレビューして、重要ポイントについて振り返る。 事前学修 2.0hr：Post-Learning に提示された課題について考えたことをノートに書き、次の授業でディスカッションできるよう準備する。 事後学修 2.0hr：ディスカッションから学んだことをノートに整理する。

英語教育学概論 b

開講学科等：英 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

金子　義隆（かねこ　よしたか）

▌授業の概要

小・中・高で一貫した行う英語教育のために必要な指導理論を学び、授業実践映像資料を通して指導の実際を理解する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：4）

一般目標：小・中・高で一貫した英語教育を行うために必要な理論を理解する。
　　小・中・高の英語の授業展開を学び、指導技術を理解する。
個別目標：発表技能の指導理論を理解する。
　　小・中・高の英語の授業展開および指導技術を理解する。

▌履修条件

英語教育に興味があること。
英語教育学概論 a を習得していることが望ましい。

▌評価基準・方法

毎週の課題 50%, 期末テスト 50% の結果に基づき総合的に評価する。なお、4/5 以上の出席を評価の前提条件とし、遅刻・欠席は減点する。

▌フィードバック方法

学生の提出物および発表（模擬授業）に対してフィードバックをする。また、毎回ではないが授業後にリフレクションシートを記入してもらい、それに対してフィードバックを行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ほぼ毎時間のグループディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

パッツィ・M. ライトバウン　ニーナ・スパーダ　白井恭弘/岡田雅子訳（2014）『言語はどのように学ばれるのか』岩波書店

▌参考書

Shawn Loewen 著　佐野富士子・斎藤英敏ら訳（2022）『学びの場での第二言語習得論』
高等学校学習指導要領解説　外国語編（平成 30 年 7 月　文部科学省）
中学校学習指導要領解説　外国語編（平成 29 年 7 月　文部科学省）
小学校学習指導要領　外国語（平成 29 年 3 月　文部科学省）
白畑知彦　他 (2009)『英語教育用語辞典』大修館

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：タスクベース指導法①** 授業内容：タスクの特徴やさまざまなタスクについて考察する。特に、インフォメーション・ギャップを利用した絵描写タスクをペアになって体験する。 事前学修 2.0hr：教員の提示資料を読んでタスクベース指導法について理解を深める。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み、CEFR の教育理念を理解する。
2 回	**授業テーマ：タスクベース指導法②** 授業内容：問題解決タスクと意思決定タスクをペア及びグループで体験する。 事前学修 2.0hr：Pre-Learning に提示された用語を調べ、課題について考えたことをノートに書く。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ内容をまとめる。
3 回	**授業テーマ：タスクベース指導法③** 授業内容：さらに、問題解決タスクと意思決定タスクをペア及びグループで体験し、タスクを教室に導入する際の利点と注意点についてグループで発表する。 事前学修 2.0hr：先回の授業を復習する。 事後学修 2.0hr：Post-Learning に提示された課題について考えたことをノートに書く。
4 回	**授業テーマ：訂正フィードバック①** 授業内容：訂正フィードバックの特徴と種類、それらの用途について考察する。 事前学修 2.0hr：Pre-Learning に提示された用語を調べ、課題について考えたことをノートに書く。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ内容をまとめる。
5 回	**授業テーマ：訂正フィードバック②** 授業内容：前回に引き続き、訂正フィードバックの特徴と種類、それらの用途について考察する。 事前学修 2.0hr：先回の授業を復習する。 事後学修 2.0hr：Post-Learning に提示された課題について考えたことをノートに書く。
6 回	**授業テーマ：第二言語習得における動機づけ①** 授業内容：社会心理学的視点から第二言語習得における動機づけについて考察する。特に、統合的動機付けと道具的動機付け、国際的志向性について考察する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：Pre-Learning に提示された用語を調べ、課題について考えたことをノートに書く。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ内容をまとめる。
7 回	**授業テーマ：第二言語習得における動機づけ②** 授業内容：教育心理学的視点から第二言語習得における動機づけについて考察する。特に、自己決定理論について考察する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：先回の授業を復習する。 事後学修 2.0hr：Post-Learning に提示された課題について考えたことをノートに書く。
8 回	**授業テーマ：第二言語習得における動機づけ③** 授業内容：第二言語動機づけセルフシステムや未来の自己ガイドについて考察する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：Pre-Learning に提示された用語を調べ、課題について考えたことをノートに書く。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ内容をまとめる。
9 回	**授業テーマ：第二言語習得における動機づけ④** 授業内容：自己効力感理論や期待価値理論、達成動機理論について考察する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：先回の授業を復習する。 事後学修 2.0hr：Post-Learning に提示された課題について考えたことをノートに書く。

10回	**授業テーマ：内容言語統合型学習(CLIL)①** 授業内容：新しい教授法としての内容言語統合型学習について考察する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：Pre-Learning に提示された用語を調べ、課題について考えたことをノートに書く。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ内容をまとめる。。
11回	**授業テーマ：内容言語統合型学習(CLIL)②** 授業内容：CLIL の具体的な事例について考察する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：先回の授業を復習する。 事後学修 2.0hr：Post-Learning に提示された課題について考えたことをノートに書く。
12回	**授業テーマ：児童の関心・意欲を高めるプロジェクト型指導法** 授業内容：絵本や ICT を活用したプロジェクトの実例について考察する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：Pre-Learning に提示された用語を調べ、課題について考えたことをノートに書く。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ内容をまとめる。
13回	**授業テーマ：中学校における課題解決型言語活動** 授業内容：中学校における課題解決型言語活動の実例について考察する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：先回の授業を復習する。 事後学修 2.0hr：Post-Learning に提示された課題について考えたことをノートに書く。
14回	**授業テーマ：高等学校における課題解決型プロジェクト** 授業内容：高等学校における課題解決型プロジェクトの実例について考察する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：Pre-Learning に提示された用語を調べ、課題について考えたことをノートに書く。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ内容をまとめる。
15回	**授業テーマ：総括** 授業内容：後期の授業内容についてレビューして、特に重要ポイントについて振り返る。 事前学修 2.0hr：先回の授業を復習する。 事後学修 2.0hr：Post-Learning に提示された課題について考えたことをノートに書く。

TOEFL 対策講座

開講学科等：英 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

バルブド　プルメル　エスティオコ

▌授業の概要

This course prepares students for the TOEFL iBT by developing essential academic reading, listening, speaking, and writing skills. Students will engage in practice tests, strategy-based exercises, and integrated tasks designed to improve their test performance. The course is conducted entirely in English, and students will participate actively in discussions, presentations, and collaborative tasks.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：Students will develop a deeper understanding of the TOEFL iBT test format and improve their ability to comprehend academic texts and lectures. Emphasis will be placed on vocabulary acquisition, note-taking, and time management skills.

個別目標：By the end of the semester, students will:

- Improve their ability to read and analyze academic texts efficiently.
- Enhance listening comprehension skills by recognizing main ideas, details, and inferences.
- Develop clear and structured responses in both independent and integrated speaking tasks.
- Strengthen academic writing skills, focusing on organization, coherence, and argumentation.
- Apply effective test-taking strategies to maximize their TOEFL scores.

▌履修条件

No prerequisites are required.

▌評価基準・方法

Students will be evaluated based on the following criteria:

- Coursework (30%)
- Tests & Quizzes (30%)
- Active participation (15%)
- Final Exam (25%)

▌フィードバック方法

Students will receive ongoing feedback through instructor evaluations, peer reviews, and self-assessments. Mid-term and final mock tests will help track progress and identify areas for improvement.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Pair work, group discussions, mock tests）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Online practice tests and modules, research, essay writing）

▌教科書

TOEFL Skills 2. Abax Publishers. ISBN: 978-1-78547-038-7.

▌参考書

Supplementary materials will be provided by the instructor and available online.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：Course Introduction and Needs Analysis** 授業内容：Students learn about the syllabus, course objectives, and TOEFL iBT test structure. 事前学修 2.0hr：Read syllabus, explore LMS 事後学修 2.0hr：Complete self-assessment survey
2 回	**授業テーマ：Unit 1 - Education (Reading & Listening)** 授業内容：Students develop reading and listening strategies such as skimming, scanning, and note-taking. 事前学修 2.0hr：Preview unit, check key vocabulary 事後学修 2.0hr：Complete assigned exercises
3 回	**授業テーマ：Unit 1 - Education (Speaking & Writing)** 授業内容：Students practice independent and integrated speaking tasks and structure TOEFL essays effectively. 事前学修 2.0hr：Review sample responses 事後学修 2.0hr：Write a practice essay
4 回	**授業テーマ：Unit 2 - Technology (Reading & Listening)** 授業内容：Students analyze texts to identify author’s purpose and listen to lectures to recognize tone and key points. 事前学修 2.0hr：Preview unit 事後学修 2.0hr：Complete comprehension tasks
5 回	**授業テーマ：Unit 2 - Technology (Speaking & Writing)** 授業内容：Students develop clear and structured spoken and written responses related to technology topics. 事前学修 2.0hr：Review question types 事後学修 2.0hr：Practice speaking responses
6 回	**授業テーマ：Unit 3 - Environment (Reading & Listening)** 授業内容：Students examine cause-effect relationships in texts and practice summarizing lecture content. 事前学修 2.0hr：Review unit vocabulary 事後学修 2.0hr：Complete note-taking exercises
7 回	**授業テーマ：Unit 3 - Environment (Speaking & Writing)** 授業内容：Students enhance argumentation skills and refine TOEFL essay structures. 事前学修 2.0hr：Review model essay responses 事後学修 2.0hr：Write a practice essay and prepare for Mock Exam
8 回	**授業テーマ：Mid-term Mock Test** 授業内容：Students take an abridged TOEFL practice test to assess their progress. 事前学修 2.0hr：Review for Mock Test 事後学修 2.0hr：Reflect on test performance
9 回	**授業テーマ：Unit 4 - Culture (Reading & Listening)** 授業内容：Students analyze cultural themes in reading passages and academic lectures. 事前学修 2.0hr：Preview unit 事後学修 2.0hr：Complete exercises

10回	**授業テーマ：Unit 4 - Culture (Speaking & Writing)** 授業内容：Students practice organizing structured spoken and written responses. 事前学修 2.0hr：Review sample essays 事後学修 2.0hr：Write a draft essay
11回	**授業テーマ：Unit 5 - Business (Reading & Listening)** 授業内容：Students interpret argument structures and key ideas in business-related texts. 事前学修 2.0hr：Check key terms 事後学修 2.0hr：Complete practice questions
12回	**授業テーマ：Unit 5 - Business (Speaking & Writing)** 授業内容：Students improve clarity and fluency in discussing business topics. 事前学修 2.0hr：Review past speaking tasks 事後学修 2.0hr：Practice speaking with a partner
13回	**授業テーマ：Integrated Skills Review** 授業内容：Students review key test-taking strategies and complete integrated practice tasks. 事前学修 2.0hr：Revise strategies 事後学修 2.0hr：Self-assessment and Preparation for Mock Exam
14回	**授業テーマ：Final Mock Exam** 授業内容：Students take a simulated TOEFL test to assess their overall performance. 事前学修 2.0hr：Review weak areas 事後学修 2.0hr：Analyze test performance
15回	**授業テーマ：Feedback & Future Study Plan** 授業内容：Students review their results, discuss progress, and develop a study plan for future TOEFL preparation. 事前学修 2.0hr：Prepare questions for consultation 事後学修 2.0hr：Engage in independent study activities

英語音声学 a

開講学科等：英 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

鍛治　広真（かじ　ひろみ）

▌授業の概要

この授業では英語の音声学的特徴を学ぶ。英語の単音(子音と母音)を意図したように「正しく」発音・聞き取りができるようになることはもちろん目標に含まれるが、どのように音声が生み出されるかを説明できるようになることも同様に重要である。そのために、音声学の基本的な概念や音声器官の構造と働きを理解し発音の原理を知識として身につけることを重視する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：4）

一般目標：英語の単音の音声学的特徴を学び、発音、聞き取りを実践する。

個別目標：(1) 調音音声学の基本的な概念を理解する
(2) 英語の単音の発音原理を説明できる
(3) 英語の音声を発音記号で記述できる
(4) 英語の単音の聞き取り・発音を正確にすることができる

▌履修条件

履修の条件は設けない

▌評価基準・方法

到達目標の 1〜4 ができているか、あるいはその到達度。授業への取り組み 50%(小課題、小テスト)、試験 50 %

▌フィードバック方法

課題等に対するフィードバックは授業および manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （発音・聞き取り練習）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

竹林滋/清水あつ子/斎藤弘子『初級英語音声学 改訂新版』大修館書店

▌参考書

深澤俊昭『英語の発音パーフェクト学習事典 (新装版)』アルク

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：イントロダクション(現代英語の標準発音)** 授業内容：文献を読み、現代英語の標準発音について学ぶ。 事前学修 2.0hr：シラバスを読む、ノートの準備 事後学修 2.0hr：理解の整理
2回	**授業テーマ：綴り字と発音記号** 授業内容：文献を読み、英語の綴り字と発音の関係、発音記号と発音の対応について学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
3回	**授業テーマ：音声器官** 授業内容：文献を読み、音声器官について学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
4回	**授業テーマ：子音の分類基準** 授業内容：調音の位置、調音方法、発声について学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
5回	**授業テーマ：英語の子音：破裂音** 授業内容：破裂音の発音原理について学び、発音・聞き取り練習をする。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理、発音練習
6回	**授業テーマ：英語の子音：摩擦音** 授業内容：摩擦音の発音原理について学び、発音・聞き取り練習をする。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理、発音練習
7回	**授業テーマ：英語の子音：破擦音** 授業内容：破擦の発音原理について学び、発音・聞き取り練習をする。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理、発音練習
8回	**授業テーマ：英語の子音：鼻音** 授業内容：鼻音の発音原理について学び、発音・聞き取りをする。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：理解の整理、発音練習
9回	**授業テーマ：英語の子音：側面音、接近音** 授業内容：側面音、接近音の発音原理について学び、発音・聞き取り練習をする。 事前学修 2.0hr：発表資料の準備 事後学修 2.0hr：理解の整理、発音練習
10回	**授業テーマ：母音の分類基準** 授業内容：開口度、舌の位置、円唇性について学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理、発音練習
11回	**授業テーマ：英語の母音：短母音** 授業内容：英語の短母音の種類について学び、発音・聞き取り練習をする。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理、発音練習

12回	**授業テーマ：英語の母音：英語の長母音** 授業内容：英語の長母音の種類について学び、発音・聞き取り練習をする。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理、発音練習
13回	**授業テーマ：英語の母音：英語の二重母音** 授業内容：英語の二重母音の種類について学び、発音・聞き取り練習をする。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理、発音練習
14回	**授業テーマ：英語の母音：英語の弱母音** 授業内容：英語の弱母音について学び、発音・聞き取り練習をする。 事前学修 2.0hr：発表資料の準備 事後学修 2.0hr：理解の整理、発音練習
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：授業の内容を振り返り補足をする。 事前学修 2.0hr：これまでの内容を復習し、疑問点と考察を整理する 事後学修 2.0hr：理解の整理

英語音声学 a

開講学科等：英 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

松井　順子（まつい　じゅんこ）

▌授業の概要

English Phonetics is a systematic overview of the segments and suprasegmentals. 英語の個別音、音調を体系的に学習し、正確な発音習得をめざす。The class will cover segments such as f, v, th, and r, which do not exist in Japanese as well as English phonetic phenomena which pose a challenge for Japanese learners of English, such as reduction, deletion, and assimilation. The mechanism behind the sound changes will be considered, and practiced. 日本語にない子音(f、v、th、r 等)や母音を中心に発音や聞き取りを練習し、リスニングの障害になる音の弱化、脱落、同化などのメカニズムについて学ぶ。The course also looks at phonetic symbols, with practical exercises reading and writing the symbols. 音声記号の表記をマスターし、知らない単語の発音に挑む。Also included are practical applications to master the prosody of American English. また、文や文以上の単位の超分節現象(ピッチやポーズ、リズム等)を平叙文、疑問文、感嘆文、命令文など、実際の文を用いて解析する。旧情報、新情報の流れが文アクセントにどう影響し、文から文に情報がどのように引き継がれているのかを確認する。対面授業が実施されない場合は、オンライン授業などが行われる。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：4）

一般目標：The objective of the course is to learn about and practice listening to and pronouncing English sounds. Diligent course takers should be able to acquire basic American English phonetic skills. 英語で必要な音声について学び、実際に使用できる能力が身につく。また、英語発話と聞き取りに必要な正確な発音を習得することができる。

個別目標：難しい音声の組み合わせの発音と聞き取りを繰り返し練習し、それぞれの弱点を一人一人が把握し、より完全な発音とリスニング力を身に着けることを目標とする。

▌履修条件

Anyone who is interested in English sounds, listening, and pronunciation is welcome to join.

▌評価基準・方法

平常点と授業参加８０%、期末課題２０%、課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba や授業などで行う。

▌フィードバック方法

Feedback through Manaba and in-class assessments etc.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （音声発音練習　ペアワークなど）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （The PC will be used to access files, practice sounds, and explain phonetic phenomena ）

▌教科書

To be announced

▌参考書

授業で指示。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：Guidance** 授業内容：Overview of English sounds - segments and prosody. Goals for the year Sampling listening skills 事前学修 2.0hr：履修要綱の確認 事後学修 2.0hr：ガイダンスの復習
2 回	**授業テーマ：英語の子音１** 授業内容：ptk, bdg, fv, th, sz, sh, ”j”, h 事前学修 2.0hr：英語の子音１　予習 事後学修 2.0hr：英語の子音１　復習
3 回	**授業テーマ：英語の子音２** 授業内容：l r w j m n ŋ ts dz t ʃ　d ʒ 事前学修 2.0hr：英語の子音２　予習 事後学修 2.0hr：英語の子音２　復習
4 回	**授業テーマ：英語の母音１** 授業内容：i l e ɑ ʌ o ʊ u 事前学修 2.0hr：英語の母音１　予習 事後学修 2.0hr：英語の母音１　復習
5 回	**授業テーマ：英語の母音２** 授業内容：al and other diphthongs 事前学修 2.0hr：英語の母音２　予習 事後学修 2.0hr：英語の母音２　復習
6 回	**授業テーマ：弱化** 授業内容：schwa 3. Deletion and Weakening/Reduction　脱落と弱化　ある音がない　ない音がある 3. l　”l” 聞こえたら、will かもしれない 3-2. ｎと聞こえたら and かもしれない 例：and（アンドゥ）　→　n　（ン） 3-3. ｍと聞こえたら am him them かもしれない 3-4. ｚと聞こえたら is his has was かもしれない 「ウズ」と聞こえたら was かもしれない 3-5.「タ」と聞こえたら to かもしれない 3-6. ｒと聞こえたら are her かもしれない 3-7. ｖと聞こえたら have かもしれない 3-8. ｄと聞こえたら had did would かもしれない 3-9. ｉと聞こえたら　he かもしれない 3-10. ａと聞こえたら have か of かもしれない 3-11　thn と聞こえたら than、sm と聞こえたら some かもしれない 事前学修 2.0hr：弱化　予習 事後学修 2.0hr：弱化　復習

7回	**授業テーマ：同化** 授業内容：Assimilation 同化 t + j → ”ch” what your → wha chur that you → tha chu He’ s not fat yet → fa chet s + j → ʃ miss your → mi shur He lacks your stamina → lack shur stamina d + j → ”j” had you → ha ju did you → di ju mad your → ma jur z + j → ʒ has your → ha jur was your → wa jur 事前学修 2.0hr：同化　予習 事後学修 2.0hr：同化　復習
8回	**授業テーマ：リンキング** 授業内容：Linking リンキング = the first word ends in a consonant, and the next word starts in a vowel 音がリンク(連結)している＝最初の単語が子音で終わり、次の単語が母音で始まる。 Cat on → ca ton Dad in → da din Dog over → do gover 事前学修 2.0hr：リンキング　予習 事後学修 2.0hr：リンキング　復習
9回	**授業テーマ：脱落** 授業内容：Reduction/weakening 弱化 Got them ガダmm　ə　m 　Like him ライキmm　ə　m 事前学修 2.0hr：脱落　予習 事後学修 2.0hr：脱落　復習
10回	**授業テーマ：成節子音** 授業内容：1．フラップ化 「t」が「ら」「り」「る」「れ」「ろ」になる ”d”と聞こえたら”t”かもしれない 例： get it ゲットゥ・イットゥ　→　ゲディッ　　それを取って got it カットゥ・イットゥ　→　ガディッ　　わかった sit on スィットゥ・アーン　→　スィダーン　〜の上に座る 速く発音すると、get it の最初の” t ”がフラップ化し、 速い d のような音になる。 事前学修 2.0hr：成節子音 事後学修 2.0hr：成節子音　復習
11回	**授業テーマ：音声記号　(基礎)** 授業内容：Practice writing and reading English phonetic symbols (basic) 事前学修 2.0hr：音声記号　(基礎)　予習 事後学修 2.0hr：音声記号　(基礎)　復習
12回	**授業テーマ：音声記号　(演習)** 授業内容：Practice writing and reading English phonetic symbols (advanced) 事前学修 2.0hr：音声記号　(演習)予習 事後学修 2.0hr：音声記号　(演習)復讐
13回	**授業テーマ：超分節音　イントネーション1　下降調** 授業内容：American Intonation Rule 1: For declarative sentences (regular sentences) the pitch goes up before the main accent on the first content word, and falls after the main accent on the last content word. The pitch does not go up or down on function words. 規則1：平叙文(普通の文)はピッチが最初の内容語の主強勢の前で上がり、最後の内容語の主強勢の後で下がる。機能語はピッチが上がったり下がったりしない。 事前学修 2.0hr：超分節音　イントネーション　下降調　予習 事後学修 2.0hr：超分節音　イントネーション　下降調　復習
14回	**授業テーマ：超分節音　イントネーション　上昇調** 授業内容：The pitch rises, as a basic rule, for “Yes-No Questions” – questions that can be answered with a “Yes” or “No”. The pitch for a Yes-No Question rises after the accented syllable in the last content word. 規則3：”Yes-No”疑問文－「はい」や「いいえ」でこたえられる疑問文－は基本的にピッチが上昇する。Yes-No 疑問文は最後の内容語のアクセントのある音節の後でピッチが上昇する。 事前学修 2.0hr：超分節音　イントネーション　上昇調　予習 事後学修 2.0hr：超分節音　イントネーション　上昇調　復習
15回	**授業テーマ：超分節音　イントネーション　下降ー上昇ー下降　上昇ー下降ー上昇** 授業内容：Rule 4　Fall-Rise-Fall: The pitch falls, as a basic rule, before the accented syllable in the first content word, then rises and falls at the accented syllable of the last content word. Fall-rise-falls are frequently used when someone is surprised, incredulous, or wants to emphasize something. 規則4 下降・上昇・下降： ピッチが基本的に最初の内容語の強勢のある音節の前で下降し、最後の内容語のアクセントのある音節で上昇・下降する。 驚いたとき、信じられないとき、何かを強調したいときに下降・上昇・下降調を使用する。 事前学修 2.0hr：超分節音　イントネーション　下降ー上昇ー下降　上昇ー下降ー上昇　予習 事後学修 2.0hr：超分節音　イントネーション　下降ー上昇ー下降　上昇ー下降ー上昇　下降

英語音声学 b

開講学科等：英 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

鍛治　広真（かじ　ひろみ）

▌授業の概要

この授業では英語の音声学的特徴を学ぶ。特に英語の音声の超分節的特徴を理解し、日本語との違いを考える。主にアクセント、イントネーションの特徴についての文献購読を通じて学ぶとともに、発音・聞き取りの練習を行う。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：4）

一般目標：英語の音声の超分節的特徴を学び、発音・聞き取りの実践をする。

個別目標：(1) 英語の音節の特徴を理解し説明できる
(2) 英語のアクセントの特徴を理解し説明できる
(3) 英語のイントネーションの特徴を理解し説明できる
(4) 英語と日本語の音声的な特徴の違いを理解し説明できる

▌履修条件

履修条件は設けないが、前学期の英語音声学 a を履修済みであることが望ましい

▌評価基準・方法

到達目標の 1〜4 ができているか、あるいはその到達度。授業への取り組み 50%（発音練習など）、試験 50 %

▌フィードバック方法

課題等に対するフィードバックは授業および manaba を通して行う

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （発音・聞き取り練習）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

竹林滋/清水あつ子/斎藤弘子『初級英語音声学 改訂新版』大修館書店

▌参考書

今井邦彦『ファンダメンタル音声学』ひつじ書房
深澤 俊昭『英語の発音パーフェクト学習事典（新装版）』アルク

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：イントロダクション** 授業内容：英語の音声の超分節的特徴についての導入を行う。 事前学修 2.0hr：シラバスを読む、ノートの準備 事後学修 2.0hr：理解の整理
2 回	**授業テーマ：英語の音節構造** 授業内容：文献を読み英語の音節構造について学び、日本語との違いを考える。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
3 回	**授業テーマ：英語の音連続** 授業内容：文献を読み英語の音連続について学び、発音・聞き取り練習をする。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理、発音練習
4 回	**授業テーマ：音の脱落** 授業内容：文献を読み英語の音の脱落について学び、発音・聞き取り練習をする。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理、発音練習
5 回	**授業テーマ：音の同化** 授業内容：文献を読み英語の音の同化について学び、発音・聞き取り練習をする。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理、発音練習
6 回	**授業テーマ：英語のアクセント：日本語のアクセントとの違い** 授業内容：文献を読み英語のアクセントについて学び、日本語との違いを考える 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
7 回	**授業テーマ：英語のアクセント：第 1 強勢と第 2 強勢** 授業内容：文献を読み英語の第 1 強勢と第 2 強勢について学び、発音・聞き取り練習をする。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理、発音練習
8 回	**授業テーマ：英語のアクセント：複合語アクセント** 授業内容：文献を読み英語の複合語アクセントについて学び、発音・聞き取り練習をする。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：理解の整理、発音練習
9 回	**授業テーマ：英語のアクセント：文のアクセント** 授業内容：文献を読み英語の文のアクセントについて学び、発音・聞き取り練習をする。 事前学修 2.0hr：発表資料の準備 事後学修 2.0hr：理解の整理、発音練習
10 回	**授業テーマ：英語のアクセント：強形と弱形** 授業内容：文献を読み英語の単語の弱形と強形について学び、発音・聞き取り練習をする。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理、発音練習
11 回	**授業テーマ：英語のリズムと日本語のリズム** 授業内容：文献を読み英語のリズムについて学び、発音・聞き取り練習をする。日本語との違いを考える。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理、発音練習

12回	**授業テーマ：英語のイントネーションの構造** 授業内容：文献を読み英語のイントネーションの構造について学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
13回	**授業テーマ：イントネーションと意味** 授業内容：文献を読み英語のイントネーションと意味の関係について学び、発音・聞き取り練習をする。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理、発音練習
14回	**授業テーマ：特殊なイントネーション** 授業内容：文献を読み英特殊なイントネーションについて学び、発音・聞き取り練習をする。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理、発音練習
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：今学期の内容を振り返り、補足をする。 事前学修 2.0hr：これまでの内容を復習し、疑問点と考察を整理する 事後学修 2.0hr：理解の整理

英語音声学 b

開講学科等：英 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

松井　順子（まつい　じゅんこ）

▌授業の概要

English Phonetics is a systematic overview of the segments and suprasegmentals. 英語の個別音、音調を体系的に学習し、正確な発音習得をめざす。The class will cover segments such as f, v, th, and r, which do not exist in Japanese as well as English phonetic phenomena which pose a challenge for Japanese learners of English, such as reduction, deletion, and assimilation. The mechanism behind the sound changes will be considered, and practiced. 日本語にない子音（f、v、th、r 等）や母音を中心に発音や聞き取りを練習し、リスニングの障害になる音の弱化、脱落、同化などのメカニズムについて学ぶ。The course also looks at phonetic symbols, with practical exercises reading and writing the symbols. 音声記号の表記をマスターし、知らない単語の発音に挑む。Also included are practical applications to master the prosody of American English. また、文や文以上の単位の超分節現象（ピッチやポーズ、リズム等）を平叙文、疑問文、感嘆文、命令文など、実際の文を用いて解析する。旧情報、新情報の流れが文アクセントにどう影響し、文から文に情報がどのように引き継がれているのかを確認する。対面授業がない週は、Manaba などで授業が実施される。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：4）

一般目標：The objective of the course is to learn about and practice listening to and pronouncing English sounds. Diligent course takers should be able to acquire basic American English phonetic skills. 英語で必要な音声について学び、実際に使用できる能力が身につく。また、英語発話と聞き取りに必要な正確な発音を習得することができる。

個別目標：難しい音声の組み合わせの発音と聞き取りを繰り返し練習し、それぞれの弱点を一人一人が把握し、より完全な発音とリスニング力を身に着けることを目標とする。

▌履修条件

Anyone who is interested in learning English sounds is welcome to join.

▌評価基準・方法

平常点と授業参加８０%、期末課題２０%、課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba や授業などで行う。

▌フィードバック方法

Feedback through Manaba and in-class assessments etc.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （音声発音練習　ペアワークなど）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （課題提出、音声現象説明など）

▌教科書

開講時に指示

▌参考書

To be announced at a later date. 授業で指示。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：Overview of English sounds - segments and prosody. Goals for the year Sampling listening skills 事前学修 2.0hr：教科書購入、前学期履修者は前学期の内容を復讐 事後学修 2.0hr：ガイダンス　復習
2 回	**授業テーマ：音節と子音連結　英語の音節の構造** 授業内容：Linking リンキング = the first word ends in a consonant, and the next word starts in a vowel 音がリンク（連結）している＝最初の単語が子音で終わり、次の単語が母音で始まる。 Cat on → ca ton Dad in → da din Dog over → do gover 事前学修 2.0hr：音節と子音連結　英語の音節の構造　予習 事後学修 2.0hr：音節と子音連結　英語の音節の構造　復習
3 回	**授業テーマ：音節と子音連結　英語の音節の構造** 授業内容：Japanese has very few consonant clusters, but English has many. 日本語は子音連結が非常に少ないですが、英語は多いです。 English can have up to three consonant clusters in the onset - at the beginning of a word or syllable, and up to four in the coda - at the end. 英語は単語や音節の 始めに子音が三つまで、最後に四つまで続けて生じることがあります。 When you talk in English, do not insert vowels between the consonants in the consonant clusters. 英語で話す際は、子音連結の子音の間に母音を挟まないで発音しましょう。 For instance, when you say “strike” do not insert vowels between the s – t - r. 例えば、“ｓｔｒｉｋｅ”　であれば、ｓ　と　ｔ　と　ｒ　の間に「あいうえお」などの 母音を、はさまないようにしましょう。 英語では、5 音節「ス　ト　ラ　イ　ク」ではなく、一音節“ｓｔｒｉｋｅ”です。 事前学修 2.0hr：音節と子音連結　英語の音節の構造　予習 事後学修 2.0hr：音節と子音連結　英語の音節の構造　復習
4 回	**授業テーマ：有声音と無声音の前の母音** 授業内容：Checking the length of a vowel before a voiced/unvoiced consonant 事前学修 2.0hr：有声音と無声音の前の母音　予習 事後学修 2.0hr：有声音と無声音の前の母音　復習
5 回	**授業テーマ：平叙文のイントネーション** 授業内容：American Intonation Rule 1: For declarative sentences (regular sentences) the pitch goes up before the main accent on the first content word, and falls after the main accent on the last content word. The pitch does not go up or down on function words. 規則１：平叙文（普通の文）はピッチが最初の内容語の主強勢の前で上がり、最後の内容語の主強勢の後で下がる。機能語はピッチが上がったり下がったりしない。 事前学修 2.0hr：平叙文のイントネーション　予習 事後学修 2.0hr：平叙文のイントネーション　復習

6回	**授業テーマ：疑問文のイントネーション** 授業内容：American Intonation Rule 2: The intonation for Wh-questions (questions that begin with “Who”, “What”, “When”, “Where” and “Why” and “How”) is basically the same as the intonation for declarative sentences (regular sentences). The pitch goes up before the main accent on the first content word, and falls after the main accent on the last content word. The pitch does not go up or down on function words. 規則 2：Wh 疑問文のイントネーションは平叙文(普通の文)のイントネーションと基本的に同じである。ピッチが最初の内容語の主強勢の前で上がり、最後の内容語の主強勢の後で下がる。機能語はピッチが上がったり下がったりしない。 事前学修 2.0hr：疑問文のイントネーション　予習 事後学修 2.0hr：疑問文のイントネーション　復習
7回	**授業テーマ：感嘆文のイントネーション** 授業内容：Exclamative intonation 事前学修 2.0hr：感嘆文のイントネーション　予習 事後学修 2.0hr：感嘆文のイントネーション　復習
8回	**授業テーマ：命令文のイントネーション** 授業内容：Imperative Intonation 事前学修 2.0hr：命令文のイントネーション　予習 事後学修 2.0hr：命令文のイントネーション　復習
9回	**授業テーマ：下降調のイントネーション** 授業内容：Falling intonation 事前学修 2.0hr：下降調のイントネーション　予習 事後学修 2.0hr：下降調のイントネーション　復習
10回	**授業テーマ：上昇調のイントネーション** 授業内容：The pitch rises, as a basic rule, for “Yes-No Questions” – questions that can be answered with a “Yes” or “No”. The pitch for a Yes-No Question rises after the accented syllable in the last content word. 規則３：“Yes-No”疑問文－「はい」や「いいえ」でこたえられる疑問文－は基本的にピッチが上昇する。Yes-No 疑問文は最後の内容語のアクセントのある音節の後でピッチが上昇する。 事前学修 2.0hr：上昇調のイントネーション　予習 事後学修 2.0hr：上昇調のイントネーション　復習
11回	**授業テーマ：下降上昇下降調のイントネーション** 授業内容：Rule 4　Fall-Rise-Fall: The pitch falls, as a basic rule, before the accented syllable in the first content word, then rises and falls at the accented syllable of the last content word. Fall-rise-falls are frequently used when someone is surprised, incredulous, or wants to emphasize something. 規則４ 下降・上昇・下降： ピッチが基本的に最初の内容語の強勢のある音節の前で下降し、最後の内容語のアクセントのある音節で上昇・下降する。 驚いたとき、信じられないとき、何かを強調したいときに下降・上昇・下降調を使用する。 事前学修 2.0hr：下降上昇下降調のイントネーション　予習 事後学修 2.0hr：下降上昇下降調のイントネーション　復習
12回	**授業テーマ：上昇下降上昇調のイントネーション** 授業内容：Rule 5 Rise-fall-rise: The pitch rises and falls, as a basic rule, before the accented syllable of the first content word, then rises after the accented syllable in the last content word. The rise-fall-rise is used when someone wants to qualify a statement with additional information, or is not completely committed to the facts stated in the statement. 規則５上昇・下降・上昇：ピッチが基本的に最初の内容語のアクセントのある音節で上昇・下降し、その後、最後の内容語のアクセントのある音節の後で上昇する。 さらに情報を追加するとき、または完全に断定したくないときに上昇・下降・上昇調を用いる。 事前学修 2.0hr：上昇下降上昇調のイントネーション　予習 事後学修 2.0hr：上昇下降上昇調のイントネーション　復習
13回	**授業テーマ：リズム　等時性** 授業内容：Rule 5 Rise-fall-rise: The pitch rises and falls, as a basic rule, before the accented syllable of the first content word, then rises after the accented syllable in the last content word. The rise-fall-rise is used when someone wants to qualify a statement with additional information, or is not completely committed to the facts stated in the statement. 規則５上昇・下降・上昇：ピッチが基本的に最初の内容語のアクセントのある音節で上昇・下降し、その後、最後の内容語のアクセントのある音節の後で上昇する。 さらに情報を追加するとき、または完全に断定したくないときに上昇・下降・上昇調を用いる。 事前学修 2.0hr：リズム　等時性　予習 事後学修 2.0hr：リズム　等時性　復習
14回	**授業テーマ：自然な速さの音声の聞き取り１** 授業内容：3. l “l” 聞こえたら、will かもしれない 3-2. n と聞こえたら and かもしれない 例：and（アンドゥ） → n （ン） 3-3. m と聞こえたら am him them かもしれない 3-4. z と聞こえたら is his has was かもしれない 「ウズ」と聞こえたら was かもしれない 3-5.「タ」と聞こえたら to かもしれない 事前学修 2.0hr：自然な速さの音声の聞き取り１　予習 事後学修 2.0hr：自然な速さの音声の聞き取り１　復習
15回	**授業テーマ：自然な速さの音声の聞き取り２** 授業内容：3-6. r と聞こえたら are her かもしれない 3-7. v と聞こえたら have かもしれない 3-8. d と聞こえたら had did would かもしれない 3-9. i と聞こえたら　he かもしれない 3-10. a と聞こえたら have か of かもしれない 3-11　thn と聞こえたら than、sm と聞こえたら some かもしれない 事前学修 2.0hr：自然な速さの音声の聞き取り２　予習 事後学修 2.0hr：自然な速さの音声の聞き取り２　復習

英語史

開講学科等：英 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

横山　竜一郎（よこやま　りゅういちろう）

▌授業の概要

この授業では、英語史についての基礎的な知識を身につけることを目指す。そのために、定評のある入門書一冊を読み、そこに書かれていることを文章に即して把握することで、英語史という学問分野が主にどのような事柄を対象にして、どのような手続きによって、個々の問題にアプローチするものなのかを知る。授業の最後には、入門書から学んだ内容を特定の事例に結びつけて論じることで基礎的な知識を応用する方法にも触れる。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：4）

一般目標：英語史についての基礎的な知識を身につける。

個別目標：1. よくある英語の俗説を英語史の視点から検討できる。
2. 入門書を起点として特定の分野の学習を実施できる。
3. 英語史の論点を個別の事例に結びつけて説明できる。

▌履修条件

特になし。

▌評価基準・方法

平常点（ディスカッションなどの授業参加）50%、個別発表 50%および到達目標の達成度に基づき総合的に評価する。また、原則として 5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

主に授業内の講評を通じておこなう。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （発表やディスカッションなど）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （発表資料の作成など）

▌教科書

堀田隆一『英語史で解きほぐす英語の誤解』（中央大学出版部、2011）
上記の教科書は教科書販売期間中に購入すること。

▌参考書

適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：イントロダクション** 授業内容：授業全体のイントロダクションをおこなう。 事前学修 2.0hr：シラバスを読む。 事後学修 2.0hr：授業の内容と評価方法を確認する。
2回	**授業テーマ：何をどう読むか** 授業内容：テクストの選び方と読み方を指南する。 事前学修 2.0hr：教科書全体に目を通す。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、関心に沿って関連文献を調べる。
3回	**授業テーマ：なぜ人々は英語を学ぶのか** 授業内容：教科書の序章を検討する。 事前学修 2.0hr：教科書の序章を読む。 事後学修 2.0hr：授業内容を踏まえて序章を再読する。
4回	**授業テーマ：俗説（1）「英語は世界共通語である」** 授業内容：発表とディスカッションを通じて第一章（話者数でみる英語の実力；一枚岩でない英語；様々な英語話者；英語は誰のものか）を検討する。 事前学修 2.0hr：教科書の第一章を読む。 事後学修 2.0hr：授業内容を踏まえて第一章を再読する。
5回	**授業テーマ：俗説（2）「英語は昔から変化していない」** 授業内容：発表とディスカッションを通じて第二章（変化しない言語はない；英語史の時代区分；現代英語の特徴；古英語の特徴）を検討する。 事前学修 2.0hr：教科書の第二章を読む。 事後学修 2.0hr：授業内容を踏まえて第二章を再読する。
6回	**授業テーマ：俗説（3）「英語はラテン語から派生した」** 授業内容：発表とディスカッションを通じて第三章（英語とヨーロッパ諸言語の関係；印欧語族の解明；ゲルマン語派；系統と影響）を検討する。 事前学修 2.0hr：教科書の第三章を読む。 事後学修 2.0hr：授業内容を踏まえて第三章を再読する。
7回	**授業テーマ：俗説（4）「英語は純粋な言語である」** 授業内容：発表とディスカッションを通じて第四章（言語の純粋さ；英語の雑種性；征服の歴史；多層の語彙）を検討する。 事前学修 2.0hr：教科書の第四章を読む。 事後学修 2.0hr：授業内容を踏まえて第四章を再読する。
8回	**授業テーマ：俗説（5）「英語は易しい言語である」** 授業内容：発表とディスカッションを通じて第五章（英語の難易度；古英語の性・数・格；古英語の屈折と語順；なぜ屈折が衰退したか）を検討する。 事前学修 2.0hr：教科書の第五章を読む。 事後学修 2.0hr：授業内容を踏まえて第五章を再読する。
9回	**授業テーマ：俗説（6）「英語は日本語と比べて文字体系が単純である」** 授業内容：発表とディスカッションを通じて第六章（英語のアルファベット；綴り字と発音の乖離；古英語の文字と発音；1 対 1 がなぜ崩れてゆくか；大母音推移）を検討する。 事前学修 2.0hr：教科書の第六章を読む。 事後学修 2.0hr：授業内容を踏まえて第六章を再読する。
10回	**授業テーマ：俗説（7）「英文法は固定している」** 授業内容：発表とディスカッションを通じて第七章（現代英文法の規則；規範文法の成立；文法は変わる）を検討する。 事前学修 2.0hr：教科書の第七章を読む。 事後学修 2.0hr：授業内容を踏まえて第七章を再読する。

11回	**授業テーマ：俗説(8)「イギリス英語とアメリカ英語は大きく異なっている」** 授業内容：発表とディスカッションを通じて第八章(英語の英米差；アメリカ英語の発展；アメリカ英語の連続性；英語のアメリカ化)を検討する。 事前学修 2.0hr：教科書の第八章を読む。 事後学修 2.0hr：授業内容を踏まえて第八章を再読する。
12回	**授業テーマ：俗説(9)「英語は簡単だから世界共通語になった」** 授業内容：発表とディスカッションを通じて第九章(世界語の条件；イギリスとアメリカのバトンリレー；英語成功物語？)を検討する。 事前学修 2.0hr：教科書の第九章を読む。 事後学修 2.0hr：授業内容を踏まえて第九章を再読する。
13回	**授業テーマ：俗説(10)「英語はもはや変化しない」** 授業内容：発表とディスカッションを通じて第十章(英語の役割の変化；英語の多様性；世界標準英語の兆し；遠心力と求心力；言語交替)を検討する。 事前学修 2.0hr：教科書の第十章を読む。 事後学修 2.0hr：授業内容を踏まえて第十章を再読する。
14回	**授業テーマ：事例研究：英語史と英語詩** 授業内容：第 13 回までの授業内容を踏まえた事例研究として、英語史の知見から英語詩を読解する。 事前学修 2.0hr：指定された詩を読む。 事後学修 2.0hr：関心に沿って関連文献などを調べる。
15回	**授業テーマ：全体のまとめ** 授業内容：これまでの授業内容をまとめて、各自の関心や研究テーマに応用する方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：関心に沿って関連文献などを調べる。

対照言語研究 a

開講学科等：英 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

辰己　雄太（たつみ　ゆうた）

▌授業の概要

この科目では、主に英語と日本語を比較しながら、それぞれの言語の特徴を明らかにしていく。複数の言語を比較することで、ヒトの言語が持つ一般的な性質を理解することを目指す。また、言語の分析方法や仮説の科学的妥当性を検証する手法についても学ぶ。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：4）

一般目標：英語と日本語を比較しながら、それぞれの言語の特徴を明らかにする。言語学の立場から言語を観察することで、ヒトの言語の基本的な性質を理解する。

個別目標：・英語と日本語を、言語学的な観点から比較・分析できるようになる。
・理論言語学の基本概念を理解し、自分で説明できるようになる。

▌履修条件

特になし。

▌評価基準・方法

５分の４以上の出席を評価の前提とする。評点の内訳は、授業への積極的な貢献度 30 %、期末レポート 50 %、提出物・授業内課題 20 %(グループワーク・プレゼンテーションなどを含む)とする。

▌フィードバック方法

課題及び定期試験のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション・ディベート、グループワーク、プレゼンテーション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （必要に応じて、PowerPoint、Word などのソフトを搭載したノートパソコンを持参すること）

▌教科書

特になし。必要に応じて、資料を配付する。

▌参考書

三原健一・高見健一(編著)『日英対照 英語学の基礎』くろしお出版
西光義弘(編)『日英語対照による英語学概論』くろしお出版

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：イントロダクション** 授業内容：講義の計画、受講上の注意や評価基準などを説明する。今後の発表のためのスケジュールを決める。 事前学修 2.0hr：講義概要を読み、授業内容・授業方針などを把握する。 事後学修 2.0hr：授業で紹介された参考図書や文献に目を通しておく。
2回	**授業テーマ：対照言語研究の目的** 授業内容：対照言語研究について、その研究方法や研究目的について概観する。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
3回	**授業テーマ：英語と日本語の音韻 (1)：音韻の性質** 授業内容：英語と日本語における音韻の性質を比較しながら検討する。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
4回	**授業テーマ：英語と日本語の音韻 (2)：音韻の心的表象** 授業内容：英語と日本語における音韻の性質を言語学的な観点から比較し、さらに理解を深める。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
5回	**授業テーマ：英語と日本語の語の構造 (1)：形態素** 授業内容：英語と日本語における語の形態的な性質を、比較しながら検討する。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
6回	**授業テーマ：英語と日本語の語の構造 (2)：形態素分析** 授業内容：英語と日本語における語の性質を言語学的な観点から比較し、さらに理解を深める。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
7回	**授業テーマ：学習成果のまとめと発表 (1)** 授業内容：これまでの学習内容を踏まえて、自身で調査したことを発表する。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
8回	**授業テーマ：学習成果のまとめと発表 (2)** 授業内容：自身で調査したことを発表し、グループで意見交換をする。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
9回	**授業テーマ：英語と日本語の文の構造 (1)：文法的な共通点と相違点** 授業内容：英語と日本語の文法的の共通点と相違点について、言語学的な観点から理解を深める。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
10回	**授業テーマ：英語と日本語の文の構造 (2)：統語構造の比較** 授業内容：英語と日本語の文法的の共通点と相違点について、理論的な枠組みから、より体系的な比較を行う。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
11回	**授業テーマ：英語と日本語の獲得 (1)：言語獲得の問題** 授業内容：言語獲得に関する基本的な問題点を、英語と日本語の実例を通して学習する。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。

12回	**授業テーマ：英語と日本語の獲得 (2)：原理変数理論** 授業内容：英語と日本語の獲得に関する共通点と相違点を、原理変数理論などの理論的枠組みから考察する。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
13回	**授業テーマ：学習成果のまとめと発表 (3)** 授業内容：これまでの学習内容をまとめ、自身で調査した内容をスライドやハンドアウトなどの資料にまとめる。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
14回	**授業テーマ：学習成果のまとめと発表 (4)** 授業内容：これまでの学習内容をまとめ、自身で調査した内容について発表する。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
15回	**授業テーマ：前期授業の総復習とまとめ** 授業内容：これまで学習してきた内容、期末レポートの内容などを全体としてまとめる。 事前学修 3.0hr：前期の授業内容を振り返っておく。 事後学修 1.0hr：担当者による総復習を参考に、自分の知識を補強する。

対照言語研究 b

開講学科等：英 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

辰己　雄太（たつみ　ゆうた）

▌授業の概要

この科目では、主に英語と日本語を比較しながら、それぞれの言語の特徴を明らかにしていく。複数の言語を比較することで、ヒトの言語が持つ一般的な性質を理解することを目指す。また、言語の分析方法や仮説の科学的妥当性を検証する手法についても学ぶ。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：4）

一般目標：英語と日本語を比較しながら、それぞれの言語の特徴を明らかにする。言語学の立場から言語を観察することで、ヒトの言語の基本的な性質を理解する。

個別目標：・英語と日本語を、言語学的な観点から比較・分析できるようになる。
・理論言語学の基本概念を理解し、自分で説明できるようになる。

▌履修条件

特にないが、前学期開講の対照言語研究 a を履修済みであることが望ましい。

▌評価基準・方法

５分の４以上の出席を評価の前提とする。評点の内訳は、授業への積極的な貢献度 30 %、期末レポート 50 %、提出物・授業内課題 20 %(グループワーク・プレゼンテーションなどを含む)とする。

▌フィードバック方法

課題及び定期試験のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション・ディベート、グループワーク、プレゼンテーション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （必要に応じて、PowerPoint、Word などのソフトを搭載したノートパソコンを持参すること）

▌教科書

特になし。必要に応じて、資料を配付する。

▌参考書

三原健一・高見健一(編著)『日英対照 英語学の基礎』くろしお出版
西光義弘(編)『日英語対照による英語学概論』くろしお出版

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：イントロダクション** 授業内容：講義の計画、受講上の注意や評価基準などを説明する。今後の発表のためのスケジュールを決める。 事前学修 2.0hr：講義概要を読み、授業内容・授業方針などを把握する。 事後学修 2.0hr：授業で紹介された参考図書や文献に目を通しておく。
2回	**授業テーマ：対照言語研究の目的** 授業内容：対象言語研究の研究目的と研究方法を概観する。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
3回	**授業テーマ：英語と日本語の音の特性 (1)：弁別素性、音韻規則** 授業内容：英語と日本語における音韻素性の性質を概観し、音韻規則の具体例を学習する。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
4回	**授業テーマ：英語と日本語の音の特性 (2)：音韻変化、音韻規則の順序** 授業内容：英語と日本語における音韻規則の性質を比較し、具体的な音韻変化について理解を深める。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
5回	**授業テーマ：英語と日本語の語の構造 (1)：接辞** 授業内容：英語と日本語の実例を使いながら、それぞれの言語における屈折接辞と派生接辞の性質について学習する。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
6回	**授業テーマ：英語と日本語の語の構造 (2)：様々な語形成** 授業内容：英語と日本語の実例を使いながら、それぞれの言語における語形性の性質について理解を深める。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
7回	**授業テーマ：学習成果のまとめと発表 (1)** 授業内容：これまでの学習内容を踏まえて、自身で調査したことを発表する。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
8回	**授業テーマ：学習成果のまとめと発表 (2)** 授業内容：自身で調査したことを発表し、グループで意見交換をする。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
9回	**授業テーマ：英語と日本語の文の構造 (1)：複文構造** 授業内容：英語と日本語の複文構造を統語論の観点から分析し、その違いについて理解を深める。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
10回	**授業テーマ：英語と日本語の文の構造 (2)：束縛理論** 授業内容：英語と日本語の実例を束縛理論の観点から検討し、その違いについて理解を深める。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
11回	**授業テーマ：英語と日本語の意味 (1)：名詞と関連表現** 授業内容：英語と日本語における名詞や関連表現を意味論の立場から分析し、共通点と相違点を学習する。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。

12回	**授業テーマ：英語と日本語の意味 (2)：前提と含意** 授業内容：英語と日本語の実例を使いながら、前提や含意の性質について理解を深める。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
13回	**授業テーマ：学習成果のまとめと発表 (3)** 授業内容：これまでの学習内容をまとめ、自身で調査した内容をスライドやハンドアウトなどの資料にまとめる。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
14回	**授業テーマ：学習成果のまとめと発表 (4)** 授業内容：これまでの学習内容をまとめ、自身で調査した内容について発表する。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
15回	**授業テーマ：後期授業の総復習とまとめ** 授業内容：これまで学習してきた内容、期末レポートの内容などを全体としてまとめる。 事前学修 3.0hr：前期の授業内容を振り返っておく。 事後学修 1.0hr：担当者による総復習を参考に、自分の知識を補強する。

英文法研究 a

開講学科等：英 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

辰己　雄太（たつみ　ゆうた）

▌授業の概要

この授業では、これまでに習った英文法を言語学的に捉え直し、理解を深めることを目標とする。また、英語で書かれた文学作品など、生活の中の実例を踏まえ、英語の文法を専門的に理解することのおもしろさについて、考えられようになることを目指す。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：英文法を言語学的に捉え直し、英文法に対しての理解を深める。
個別目標：英語の文法を記述する際の様々な用語の意味を理解し、自分で使えるようになる。
　　英文法で最低限知っておくべきことを理解して、実際に使えるようになる。
　　日本語と英語の言語学的な違いに気づけるようになる。

▌履修条件

特になし。

▌評価基準・方法

５分の４以上の出席を評価の前提とする。評点の内訳は、授業への積極的な貢献度 30 %、期末レポート 50 %、提出物・授業内課題 20 %(小テスト・グループワークなどを含む)とする。

▌フィードバック方法

課題及び定期試験のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション・ディベート、グループワーク、プレゼンテーション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （必要に応じて、PowerPoint、Word などのソフトを搭載したノートパソコンを持参すること）

▌教科書

必要に応じて、資料を配付する。

▌参考書

Huddleston, R. & Pullum, G.K. 著 (高橋邦年監訳)『ケンブリッジ現代英語文法 入門』(ケンブリッジ英語文法入門)

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：イントロダクション** 授業内容：講義の計画、受講上の注意や評価基準などを説明する。今後の発表のためのスケジュールを決める。 事前学修 2.0hr：講義概要を読み、授業内容・授業方針などを把握する。 事後学修 2.0hr：授業で紹介された参考図書や文献に目を通しておく。
2回	**授業テーマ：英文法の基礎知識** 授業内容：英文法についての研究を理解するために、基礎知識を学習する。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
3回	**授業テーマ：品詞** 授業内容：英語における品詞について学習をする。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
4回	**授業テーマ：句の構造** 授業内容：英語における句の構造と性質について理解を深める。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
5回	**授業テーマ：動詞の語形変化** 授業内容：英語における動詞の語形変化のパターンを学習する。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
6回	**授業テーマ：助動詞** 授業内容：英語における助動詞の性質について学習する。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
7回	**授業テーマ：学習成果のまとめと発表 (1)** 授業内容：これまでの学習内容を踏まえて、自身で調査したことを発表する。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
8回	**授業テーマ：学習成果のまとめと発表 (2)** 授業内容：自身で調査したことを発表し、グループで意見交換をする。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
9回	**授業テーマ：時制** 授業内容：英語における時制表現の性質を学習する。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
10回	**授業テーマ：節の構造** 授業内容：英語における節の構造について理解を深める。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
11回	**授業テーマ：名詞 (1)** 授業内容：英語における名詞の性質について、単数・複数の区別に着目しながら、理解を深める。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。

12回	**授業テーマ：名詞 (2)** 授業内容：英語における名詞の性質について、冠詞や指示代名詞との関係性を踏まえて、理解を深める。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
13回	**授業テーマ：学習成果のまとめと発表 (3)** 授業内容：これまでの学習内容をまとめ、自身で調査した内容をスライドやハンドアウトなどの資料にまとめる。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
14回	**授業テーマ：学習成果のまとめと発表 (4)** 授業内容：これまでの学習内容をまとめ、自身で調査した内容について発表する。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
15回	**授業テーマ：前期授業の総復習とまとめ** 授業内容：これまで学習してきた内容、期末レポートの内容などを全体としてまとめる。 事前学修 3.0hr：前期の授業内容を振り返っておく。 事後学修 1.0hr：担当者による総復習を参考に、自分の弱点を把握、補強する。

英文法研究 b

開講学科等：英 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

辰己　雄太（たつみ　ゆうた）

▌授業の概要

この授業では、これまでに習った英文法を言語学的に捉え直し、理解を深めることを目標とする。また、英語で書かれた文学作品など、生活の中の実例を踏まえ、英語の文法を専門的に理解することのおもしろさについて、考えられようになることを目指す。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：英文法を言語学的に捉え直し、英文法に対しての理解を深める。
個別目標：英語の文法を記述する際の様々な用語の意味を理解し、自分で使えるようになる。
　　英文法について最低限知っておくべきことを理解し、実際に使えるようになる。
　　自分が表現したいことを、適切な英文法を用いて伝えられるようになる。

▌履修条件

特にないが、前学期開講の英文法研究 a を履修済みであることが望ましい。

▌評価基準・方法

５分の４以上の出席を評価の前提とする。評点の内訳は、授業への積極的な貢献度 30 %、期末レポート 50 %、提出物・授業内課題 20 %(小テスト・グループワークなどを含む)とする。

▌フィードバック方法

課題及び定期試験のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション・ディベート、グループワーク、プレゼンテーション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （必要に応じて、PowerPoint、Word などのソフトを搭載したノートパソコンを持参すること）

▌教科書

必要に応じて、資料を配付する。

▌参考書

Huddleston, R. & Pullum, G.K. 著 (高橋邦年監訳)『ケンブリッジ現代英語文法 入門』(ケンブリッジ英語文法入門)

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：イントロダクション** 授業内容：講義の計画、受講上の注意や評価基準などを説明する。今後の発表のためのスケジュールを決める。 事前学修 2.0hr：講義概要を読み、授業内容・授業方針などを把握する。 事後学修 2.0hr：授業で紹介された参考図書や文献に目を通しておく。
2回	**授業テーマ：名詞とその関連表現 (1)** 授業内容：名詞と、量化子や数量表現などの関連表現について学習する。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
3回	**授業テーマ：名詞とその関連表現 (2)** 授業内容：英文法における名詞について、冠詞や指示表現と組み合わせながら、文法的なの理解を深める。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
4回	**授業テーマ：形容詞とその関連表現 (1)** 授業内容：英語の形容詞に関して、文法的な性質を学習する。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
5回	**授業テーマ：形容詞とその関連表現 (2)** 授業内容：英語の形容詞に関して、他の品詞と比較しながら、その性質についての理解を深める。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
6回	**授業テーマ：副詞** 授業内容：英語の副詞に関して、形容詞と比較しながら、その文法的な性質の理解を深める。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
7回	**授業テーマ：学習成果のまとめと発表 (1)** 授業内容：これまでの学習内容を踏まえて、自身で調査したことを発表する。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
8回	**授業テーマ：学習成果のまとめと発表 (2)** 授業内容：自身で調査したことを発表し、グループで意見交換をする。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
9回	**授業テーマ：前置詞とその関連表現 (1)** 授業内容：英語の前置に関して、形容詞と比較しながら、その文法的な性質の理解を深める。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
10回	**授業テーマ：前置詞とその関連表現 (2)** 授業内容：英語の前置詞に関して、具体的な熟語表現などを学習しながら、その言語学的な性質についての理解を深める。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
11回	**授業テーマ：否定表現 (1)** 授業内容：英語の否定表現に関して、動詞や時制表現と組み合わせながら、文法的な性質について学習する。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。

12回	**授業テーマ：否定表現 (2)** 授業内容：英語の否定表現と、それに関連する表現の文法的な性質について学習する。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
13回	**授業テーマ：学習成果のまとめと発表 (3)** 授業内容：これまでの学習内容をまとめ、自身で調査した内容をスライドやハンドアウトなどの資料にまとめる。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
14回	**授業テーマ：学習成果のまとめと発表 (4)** 授業内容：これまでの学習内容をまとめ、自身で調査した内容について発表する。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
15回	**授業テーマ：後期授業の総復習とまとめ** 授業内容：これまで学習してきた内容、期末レポートの内容などを全体としてまとめる。 事前学修 3.0hr：後期の授業内容を振り返っておく。 事後学修 1.0hr：担当者による総復習を参考に、自分の弱点を把握、補強する。

Interpreting Skills a

開講学科等：英 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

松井　順子（まつい　じゅんこ）

▌授業の概要

The objective of this course is to learn the basic skills needed for interpretation. The course will cover the four linguistic skills（listening, speaking , reading and writing）through various interpretation training exercises such as quick response, shadowing, sight translation, lagging, simultaneous interpretation, and consecutive interpretation. Participants will be exposed to a range of topics and basic language acquisition techniques. The class will be held on Manaba if face-to-face classes are suspended.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：The course is designed to increase practical English usage over a range of topics, and will enable students to acquire basic interpreting skills and learn to express their opinions more clearly and logically.

個別目標：Learning the basics of interpreting will allow students to develop skills they need in other fields of study and work, as well as in the world of interpreting. For instance, note-taking skills can be used in the workplace after graduating, as well as in other classes. Likewise, retention skills and interpreting conversation skills will enhance overall English performance and capabilities in a range of situations.

▌履修条件

Students who would like to acquire interpreting skills.

▌評価基準・方法

Daily performance, class participation, and assignments 80%, final presentation/interpretation 20%. Assignment feedback to be provided through manaba and in class.

▌フィードバック方法

Feedback through Manaba and in-class assessments etc.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Pair and group activities such as interpreting practice）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （PC used for assignments, videos, accessing information ）

▌教科書

To be announced

▌参考書

To be announced

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction** 授業内容：Goals for the year Sample interpreting exercise 事前学修 2.0hr：Look at textbook and preview 事後学修 2.0hr：Review introduction
2回	**授業テーマ：Quick Response（basic）** 授業内容：Quick response is an exercise where the interpreter practices interpreting words or short phrases quickly. 事前学修 2.0hr：Preview Quick Response（basic） 事後学修 2.0hr：Review Quick Response（basic）
3回	**授業テーマ：Shadowing（basic）** 授業内容：This is a typical exercise where one listens and repeats simultaneously. It is useful for not only English practice, but will also improve basic speaking skills in any language, and has been proven to improve listening skills at the same time. 事前学修 2.0hr：Preview Shadowing（basic） 事後学修 2.0hr：Review Shadowing（basic）
4回	**授業テーマ：Sight Translation（basic）** 授業内容：Interpreting while reading a text from the source language. 事前学修 2.0hr：Preview Sight Translation（basic） 事後学修 2.0hr：Review Sight Translation（basic）
5回	**授業テーマ：Lagging（basic）** 授業内容：Interpreting after a lag of one word, two words, or more. 事前学修 2.0hr：Preview Lagging（basic） 事後学修 2.0hr：Review Lagging（basic）
6回	**授業テーマ：Simultaneous Interpreting（basic）** 授業内容：Interpreting and listening at the same time. 事前学修 2.0hr：Preview simultaneous interpreting（basic） 事後学修 2.0hr：Review simultaneous interpreting（basic）
7回	**授業テーマ：Consecutive Interpreting（basic）** 授業内容：Taking notes and interpreting while referring to the notes. 事前学修 2.0hr：Preivew Consecutive Interpreting（basic） 事後学修 2.0hr：Review Consecutive Interpreting（basic）
8回	**授業テーマ：Mid-term Interpreting Check** 授業内容：Mid-term interpreting quiz 事前学修 2.0hr：Review first half of term 事後学修 2.0hr：Review first half of term
9回	**授業テーマ：Quick Response（intermediate）** 授業内容：Quick response is an exercise where the interpreter practices interpreting words or short phrases quickly. 事前学修 2.0hr：Quick Response（intermediate）Preview 事後学修 2.0hr：Quick Response（intermediate）Review
10回	**授業テーマ：Shadowing（intermediate）** 授業内容：This is a typical exercise where one listens and repeats simultaneously. It is useful for not only English practice, but will also improve basic speaking skills in any language, and has been proven to improve listening skills at the same time. 事前学修 2.0hr：Shadowing（intermediate）Preview 事後学修 2.0hr：Shadowing（intermediate）Review

11回	**授業テーマ：Sight Translation（intermediate）** 授業内容：Interpreting while reading a text from the source language. 事前学修 2.0hr：Sight Translation（intermediate）Preview 事後学修 2.0hr：Sight Translation（intermediate）Review
12回	**授業テーマ：Lagging（intermediate）** 授業内容：Interpreting after a lag of one word, two words, or more. 事前学修 2.0hr：Lagging（intermediate）Preview 事後学修 2.0hr：Lagging（intermediate）Review
13回	**授業テーマ：Simultaneous Interpreting（intermediate）** 授業内容：Interpreting and listening at the same time. 事前学修 2.0hr：Simultaneous Interpreting（intermediate）Preview 事後学修 2.0hr：Simultaneous Interpreting（intermediate）Review
14回	**授業テーマ：Consecutive Interpreting（intermediate）** 授業内容：Taking notes and interpreting while referring to the notes. 事前学修 2.0hr：Consecutive Interpreting（intermediate）Preview 事後学修 2.0hr：Consecutive Interpreting（intermediate）Review
15回	**授業テーマ：End-of-term Interpreting Check** 授業内容：Interpreting final exam 事前学修 2.0hr：End-of-term Interpreting Check Preview 事後学修 2.0hr：End-of-term Interpreting Check Review

Interpreting Skills b

開講学科等：英 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

松井　順子（まつい　じゅんこ）

▌授業の概要

The objective of this course is to gain the basic skills needed for interpretation. The course will cover the four linguistic skills（listening, speaking , reading and writing）through various interpretation training exercises such as quick response, shadowing, sight translation, lagging, simultaneous interpretation, and consecutive interpretation. Participants will be exposed to a range of topics and basic language acquisition techniques.Classes will be held on Manaba if face-to-face classes are suspended.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：The course is designed to increase practical English usage over a range of situations, and will enable students to acquire basic interpreting skills and learn to express their opinions more clearly and logically.

個別目標：Learning the basics of interpreting will allow students to develop skills they need in other fields of study and work, as well as in the world of interpreting. For instance, note-taking skills can be used in the workplace after graduating, as well as in other classes. Likewise, retention skills and interpreting conversation skills will enhance overall English performance and capabilities in a range of situations.

▌履修条件

Students who would like to acquire interpreting skills.

▌評価基準・方法

Daily performance, class participation, and assignments 80%, final presentation/interpretation 20%. Assignment feedback to be provided through manaba and in class.

▌フィードバック方法

Feedback through Manaba and in-class assessments etc.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Pair and group activities such as interpreting practice）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （PC used for assignments, videos, accessing information etc.）

▌教科書

To be announced

▌参考書

To be announced

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction** 授業内容：Goals for the year Sample interpreting exercise 事前学修 2.0hr：Buy book, review first term 事後学修 2.0hr：Review Introduction
2回	**授業テーマ：Quick Response（basic-intermediate）** 授業内容：Quick response is an exercise where the interpreter practices interpreting words or short phrases quickly. 事前学修 2.0hr：Preview Quick Response（basic-intermediate） 事後学修 2.0hr：Review Quick Response（basic-intermediate）
3回	**授業テーマ：Shadowing（basic-intermediate）** 授業内容：This is a typical exercise where one listens and repeats simultaneously. It is useful for not only English practice, but will also improve basic speaking skills in any language, and has been proven to improve listening skills at the same time. 事前学修 2.0hr：Preview Shadowing（basic-intermediate） 事後学修 2.0hr：Review Shadowing（basic-intermediate）
4回	**授業テーマ：Sight Translation（basic-intermediate）** 授業内容：Interpreting while reading a text from the source language. 事前学修 2.0hr：Preview Sight Translation（basic-intermediate） 事後学修 2.0hr：Review Sight Translation（basic-intermediate）
5回	**授業テーマ：Lagging（basic-intermediate）** 授業内容：Interpreting after a lag of one word, two words, or more. 事前学修 2.0hr：Preview Lagging（basic-intermediate） 事後学修 2.0hr：Review Lagging（basic-intermediate）
6回	**授業テーマ：Simultaneous Interpreting（basic-intermediate）** 授業内容：Interpreting and listening at the same time. 事前学修 2.0hr：Preview Simultaneous Interpreting（basic-intermediate） 事後学修 2.0hr：Review Simultaneous Interpreting（basic-intermediate）
7回	**授業テーマ：Consecutive Interpreting（basic-intermediate）** 授業内容：Taking notes and interpreting while referring to the notes. 事前学修 2.0hr：Preview Consecutive Interpreting（basic-intermediate） 事後学修 2.0hr：Review Consecutive Interpreting（basic-intermediate）
8回	**授業テーマ：Mid-tem Interpreting Check** 授業内容：Mid-term interpreting quiz 事前学修 2.0hr：Preview first half of term 事後学修 2.0hr：Review first half of term
9回	**授業テーマ：Quick Response（intermediate-advanced）** 授業内容：Quick response is an exercise where the interpreter practices interpreting words or short phrases quickly. 事前学修 2.0hr：Preview Quick Response（intermediate-advanced） 事後学修 2.0hr：Review Quick Response（intermediate-advanced）
10回	**授業テーマ：Shadowing（intermediate-advanced）** 授業内容：This is a typical exercise where one listens and repeats simultaneously. It is useful for not only English practice, but will also improve basic speaking skills in any language, and has been proven to improve listening skills at the same time. 事前学修 2.0hr：Preview Shadowing（intermediate-advanced） 事後学修 2.0hr：Review Shadowing（intermediate-advanced）

11回	**授業テーマ：Sight Translation（intermediate-advanced）** 授業内容：Interpreting while reading a text from the source language. 事前学修 2.0hr：Preview Sight Translation（intermediate-advanced） 事後学修 2.0hr：Review Sight Translation（intermediate-advanced）
12回	**授業テーマ：Lagging（intermediate-advanced）** 授業内容：Interpreting after a lag of one word, two words, or more. 事前学修 2.0hr：Preview Lagging（intermediate-advanced） 事後学修 2.0hr：Review Lagging（intermediate-advanced）
13回	**授業テーマ：Simultaneous Interpreting（intermediateadvanced）** 授業内容：Interpreting after a lag of one word, two words, or more. 事前学修 2.0hr：Preview Simultaneous Interpreting（intermediateadvanced） 事後学修 2.0hr：Review Simultaneous Interpreting（intermediateadvanced）
14回	**授業テーマ：Consecutive Interpreting（intermediate-advanced）** 授業内容：Taking notes and interpreting while referring to the notes. 事前学修 2.0hr：Preview Consecutive Interpreting（intermediate-advanced） 事後学修 2.0hr：Review Consecutive Interpreting（intermediate-advanced）
15回	**授業テーマ：End-of-term Interpreting Check** 授業内容：Interpreting final exam 事前学修 2.0hr：Preview End-of-term Interpreting Check 事後学修 2.0hr：Review End-of-term Interpreting Check

Translation Skills a

開講学科等：英 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

篠塚　勝正（しのづか　かつまさ）

▌授業の概要

この授業は、主に英日翻訳技術向上を目指します。英日は、当然文法構造が異なるので、正確な英語の文法知識が翻訳には必須です。したがって、この授業では、時折、英文法の説明をしますので、文法があいまいな方にも良いと思います。テキストでは、比較的簡単な英日訳を主とし、皆の前で翻訳したものを声に出して発表して頂きます。テキスト以外に online news article の課題も課します。題材としては、政治経済、科学、医学など身近な話題を取り扱います。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：①大学卒業後、企業で英日翻訳が困難に感じないようになる。
②読者にとって脳に負荷のかからない読みやすく、直訳でない翻訳が出来るようになる。
③ email writing の日⇒英訳の練習を行い、与えられた日本文を英文に翻訳できるようになる。
個別目標：卒業後、就職先などで翻訳依頼があった際に、困難なく日⇔英の翻訳ができるようにする。

▌履修条件

レベル設定はしませんが、課題を出せない人や、予習復習をできない人は、履修を避けて下さい。なぜならば、翻訳力が向上しないからです。また、翻訳課題で出た未知語も反復して覚えて下さい。同時に準 1 級レベルの単語テストを毎回行います。週に 50 個は覚えることを条件とします。

▌評価基準・方法

期末試験 50 %、課題 30 %、授業内における参加姿勢及び発言等 20 %の結果及び到達目標の達成度に基づき総合的に評価します。なお、出席を重視するので、5 分の 4 以上の出席を評価の前提とします。また、一度でも翻訳機を使って課題を出した人は、評価対象外とします。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学習支援システム manaba を通じて行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （シャドーイング訓練を行います。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （翻訳を PC を使って行います。）

▌教科書

Kyoko Okamoto 他『English Challenger』成美堂　その他、翻訳用に online news paper などを配ります。

▌参考書

適宜、お伝えします。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：オリエンテーション：授業内容の説明** 授業内容：シラバスをよく読んでおいてください。 事前学修 2.0hr：シラバスをよく読んでおいて下さい。 事後学修 2.0hr：この授業を履修する方は、指定の翻訳範囲を予習してください。
2 回	**授業テーマ：Unit1: Literacy and Education ・文法説明・翻訳作業** 授業内容：翻訳課題を行います。 事前学修 2.0hr：指定した翻訳課題の再確認をして下さい。 事後学修 2.0hr：文法事項・翻訳確認
3 回	**授業テーマ：単語テスト・Unit 1 残り** 授業内容：翻訳課題を行います。 事前学修 2.0hr：指定した翻訳課題の再確認と指定した単語を覚えて下さい。 事後学修 2.0hr：Unit1 の翻訳英文のシャドーイング・音読・音読筆写
4 回	**授業テーマ：Unit2:Sustainable City ・文法説明・翻訳作業** 授業内容：翻訳課題を行います。 事前学修 2.0hr：指定した翻訳の再確認と指定した単語を覚えて下さい。 事後学修 2.0hr：文法事項、翻訳の確認
5 回	**授業テーマ：単語テスト・Unit 2 残り** 授業内容：翻訳課題を行います。 事前学修 2.0hr：指定した翻訳の再確認と指定した単語を覚えて下さい。 事後学修 2.0hr：Unit2 の翻訳英文のシャドーイング・音読・音読筆写
6 回	**授業テーマ：Unit 3: Friendly Robots ・文法説明・翻訳作業** 授業内容：翻訳課題を行います。 事前学修 2.0hr：指定した翻訳の再確認と指定した単語を覚えて下さい。 事後学修 2.0hr：文法事項、翻訳の確認
7 回	**授業テーマ：単語テスト・Unit 3 残り** 授業内容：翻訳課題を行います。 事前学修 2.0hr：指定した翻訳の再確認と指定した単語を覚えて下さい。 事後学修 2.0hr：Unit3 の翻訳英文のシャドーイング・音読・音読筆写
8 回	**授業テーマ：Unit 4: Understanding Your personality ・文法説明・翻訳作業** 授業内容：翻訳課題を行います。 事前学修 2.0hr：指定した翻訳の再確認と指定した単語を覚えて下さい。 事後学修 2.0hr：文法事項、翻訳の確認
9 回	**授業テーマ：単語テスト・Unit4 残り・翻訳課題発表** 授業内容：翻訳課題を行います。 事前学修 2.0hr：online news 記事の翻訳課題と指定した単語を覚えてきて下さい。 事後学修 2.0hr：Unit4 の翻訳英文のシャドーイング・音読・音読筆写・文法事項、翻訳の再確認
10 回	**授業テーマ：Unit 5:Amazing Hotels・文法説明・翻訳作業・翻訳発表** 授業内容：翻訳課題を行います。 事前学修 2.0hr：online news 記事の翻訳課題と指定した単語を覚えてきて下さい。 事後学修 2.0hr：授業の文法事項、翻訳の確認

11回	**授業テーマ：単語テスト・Unit5 残り・翻訳課題発表** 授業内容：翻訳課題を行います。 事前学修 2.0hr：online news 記事の翻訳課題と指定した単語を覚えてきて下さい。 事後学修 2.0hr：Unit5 の翻訳英文のシャドーイング・音読・音読筆写・文法事項、翻訳の再確認
12回	**授業テーマ：Unit 6: Culture and Religion・文法説明・翻訳作業・翻訳発表** 授業内容：翻訳課題を行います。 事前学修 2.0hr：online news 記事の翻訳課題と指定した単語を覚えてきて下さい。 事後学修 2.0hr：授業の文法事項、翻訳の確認
13回	**授業テーマ：単語テスト・Unit 6 残り** 授業内容：翻訳課題を行います。 事前学修 2.0hr：日本文の email を英文に訳してきてください。また、指定した単語を覚えてきて下さい。 事後学修 2.0hr：Unit6 の翻訳英文のシャドーイング・音読・音読筆写・文法事項、翻訳の確認・日英翻訳の再確認
14回	**授業テーマ：Unit 7: The ideal Workplace・文法説明** 授業内容：翻訳課題を行います。 事前学修 2.0hr：日本文の email を英文に訳してきてください。同時に、指定した単語を覚えてきて下さい。 事後学修 2.0hr：Unit7 の翻訳英文のシャドーイング・音読・音読筆写・文法事項、翻訳の確認・日英翻訳の再確認
15回	**授業テーマ：今までのまとめ及び、初見の翻訳作業** 授業内容：今までの総括を行います。 事前学修 2.0hr：今まで行ったことすべての再確認（どこが弱いか、出来ないかなど） 事後学修 3.0hr：今までの総合的なまとめと復習してください。

Translation Skills b

開講学科等：英 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

篠塚　勝正（しのづか　かつまさ）

▌授業の概要

この授業は、主に英日翻訳技術向上を目指します。英日は、当然文法構造が異なるので、正確な英語の文法知識が翻訳には必須です。したがって、この授業では、時折、英文法の説明をしますので、文法があいまいな方にも良いと思います。テキストでは、比較的簡単な英日訳を主とし、皆の前で翻訳したものを声に出して発表して頂きます。テキスト以外に online news article の課題も課します。題材としては、政治経済、科学、医学など身近な話題を取り扱います。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：①大学卒業後、企業で英日翻訳が困難に感じないようになる。
②読者にとって脳に負荷のかからない読みやすく、直訳でない翻訳が出来るようになる。
③ email writing の日⇒英訳の練習を行い、与えられた日本文を英文に翻訳できるようになる。
個別目標：卒業後、就職先などで翻訳依頼があった際に、困難なく日⇔英の翻訳ができるようにする。

▌履修条件

レベル設定はしませんが、課題を出せない人や、予習復習をできない人は、履修を避けて下さい。なぜならば、翻訳力が向上しないからです。また、翻訳課題で出た未知語も反復して覚えて下さい。同時に準 1 級レベルの単語テストを毎回行います。週に 50 個は覚えることを条件とします。

▌評価基準・方法

期末試験 50 %、課題 30 %、授業内における参加姿勢及び発言等 20 %の結果及び到達目標の達成度に基づき総合的に評価します。なお、出席を重視するので、5 分の 4 以上の出席を評価の前提とします。また、一度でも翻訳機を使って課題を出した人は、評価対象外とします。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学習支援システム manaba を通じて行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （自分の力で、翻訳を積極的に行い、英語力のみならず日本語力も浸かるようにします。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （翻訳課題を素早く、Word file に入力する訓練をします。）

▌教科書

Kyoko Okamoto 他 『English Challenger』成美堂　その他、翻訳用に online news paper などを配ります。

▌参考書

適宜、お伝えします。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：オリエンテーション：授業内容の説明** 授業内容：翻訳作業の練習を行います。 事前学修 2.0hr：シラバスをよく読んでおいて下さい。 事後学修 2.0hr：この授業を履修する方は、指定の翻訳範囲を予習してください。
2 回	**授業テーマ：Unit8: Future food ・文法説明・翻訳作業** 授業内容：翻訳作業を行います。 事前学修 2.0hr：指定した翻訳課題の再確認をして下さい。 事後学修 2.0hr：文法事項・翻訳確認
3 回	**授業テーマ：単語テスト・Unit 8 残り** 授業内容：翻訳作業を行います。 事前学修 2.0hr：指定した翻訳課題の再確認と指定した単語を覚えて下さい。 事後学修 2.0hr：Unit8 の翻訳英文のシャドーイング・音読・音読筆写
4 回	**授業テーマ：Unit9:The ideal wedding ・文法説明・翻訳作業** 授業内容：翻訳作業を行います。 事前学修 2.0hr：指定した翻訳の再確認と指定した単語を覚えて下さい。 事後学修 2.0hr：文法事項、翻訳の確認
5 回	**授業テーマ：単語テスト・Unit 9 残り** 授業内容：翻訳作業を行います。 事前学修 2.0hr：指定した翻訳の再確認と指定した単語を覚えて下さい。 事後学修 2.0hr：Unit9 の翻訳英文のシャドーイング・音読・音読筆写
6 回	**授業テーマ：Unit10: how to stay young and healthy ・文法説明・翻訳作業** 授業内容：翻訳作業を行います。 事前学修 2.0hr：指定した翻訳の再確認と指定した単語を覚えて下さい。 事後学修 2.0hr：文法事項、翻訳の確認
7 回	**授業テーマ：単語テスト・Unit 10 残り** 授業内容：翻訳作業を行います。 事前学修 2.0hr：指定した翻訳の再確認と指定した単語を覚えて下さい。 事後学修 2.0hr：Unit10 の翻訳英文のシャドーイング・音読・音読筆写
8 回	**授業テーマ：Unit11 Space age ・文法説明・翻訳作業** 授業内容：翻訳作業を行います。 事前学修 2.0hr：指定した翻訳の再確認と指定した単語を覚えて下さい。 事後学修 2.0hr：文法事項、翻訳の確認
9 回	**授業テーマ：単語テスト・Unit 11 残り・翻訳課題発表** 授業内容：翻訳作業を行います。 事前学修 2.0hr：online news 記事の翻訳課題と指定した単語を覚えてきて下さい。 事後学修 2.0hr：Unit11 の翻訳英文のシャドーイング・音読・音読筆写・文法事項、翻訳の再確認
10 回	**授業テーマ：Unit12 The future of medical science ・文法説明・翻訳作業・翻訳発表** 授業内容：翻訳作業を行います。 事前学修 2.0hr：online news 記事の翻訳課題と指定した単語を覚えてきて下さい。 事後学修 2.0hr：授業の文法事項、翻訳の確認

11回	**授業テーマ：単語テスト・Unit12 残り・翻訳課題発表** 授業内容：翻訳作業を行います。 事前学修 2.0hr：online news 記事の翻訳課題と指定した単語を覚えてきて下さい。 事後学修 2.0hr：Unit12 の翻訳英文のシャドーイング・音読・音読筆写・文法事項、翻訳の再確認
12回	**授業テーマ：Unit13: Uncontacted tribes ・文法説明・翻訳作業・翻訳発表** 授業内容：翻訳作業を行います。 事前学修 2.0hr：online news 記事の翻訳課題と指定した単語を覚えてきて下さい。 事後学修 2.0hr：授業の文法事項、翻訳の確認
13回	**授業テーマ：単語テスト・Unit 13 残り** 授業内容：翻訳作業を行います。 事前学修 2.0hr：日本文の email を英文に訳してきてください。また、指定した単語を覚えてきて下さい。 事後学修 2.0hr：Unit14 の翻訳英文のシャドーイング・音読・音読筆写・文法事項、翻訳の確認・日英翻訳の再確認
14回	**授業テーマ：Unit14 Future computer ・文法説明** 授業内容：翻訳作業を行います。 事前学修 2.0hr：日本文の email を英文に訳してきてください。同時に、指定した単語を覚えてきて下さい。 事後学修 2.0hr：Unit14 の翻訳英文のシャドーイング・音読・音読筆写・文法事項、翻訳の確認・日英翻訳の再確認
15回	**授業テーマ：今までのまとめ及び、初見の翻訳作業** 授業内容：翻訳作業を行います。 事前学修 2.0hr：今まで行ったことすべての再確認（どこが弱いか、出来ないかなど） 事後学修 3.0hr：今までの総合的なまとめと復習してください。

Advanced Writing Skills a

開講学科等：英 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

ケイコ　ナカムラ

▌授業の概要

This course is an advanced academic writing course, designed to help students improve their English academic writing ability, with the ultimate goal of producing essays and research papers. The first half of Advanced Writing Skills a will review the basics of paragraph writing and introduce different types of essays, such as process essays and cause/effect essays. In addition, we will review organization, sentence structure, and grammar throughout the course. Lastly, we will discuss the writing process and learn necessary research and documentation skills.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：4）

一般目標：The goal of this course is for students to improve their academic writing skills, with the main goal of writing essays (e.g., process essays & cause/effect essays) in their own areas of interest. Students will participate in an interactive manner in all class activities (e.g., discussions, practice exercises, collaborative writing), integrating all four English proficiency skills.

個別目標：The specific goals of the course are:

1. to review the basics of sentence & paragraph writing
2. to review grammatical points which are important in writing (e.g., noun/adjective clauses, pronouns)
3. to learn how to write a well-organized essay (e.g., process essay, cause/effect essay)
4. to become familiar with the writing process (i.e., prewriting-> writing -> revising)

▌履修条件

Students will be expected to actively participate in all activities. Students must attend the first class to be included in the class. Students should also have passed Writing I-a/I-b, as well as Writing II-a/II-b.

▌評価基準・方法

Active class participation (e.g., group work, in-class writing activities, quizzes): 40%; Writing assignments (e.g., process & cause/effect essay): 30%; Writing portfolio: 30%; 80% of classes must be attended in order to pass the course. Plagiarism and use of translation tools/generative AI will not be allowed.

▌フィードバック方法

Feedback of writing assignments and quizzes will be conducted through manaba and in class.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Collaborative writing, peer evaluations & feedback）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （We will be in a PC classroom using MS Word and Powerpoint.）

▌教科書

Alice Oshima & Alice Hogue (2020), Longman Academic Writing Series 4: Essays (Fifth Edition): New York: Pearson Education.

▌参考書

Supplementary materials will be passed out in class. Students should bring an electronic dictionary (E/J, J/E, E/E).

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Course orientation & Eiken Writing Workshop** 授業内容：Cover course syllabus; Lecture on tips for Eiken essay writing (e.g., organization, connecting words); Writing Activity: Eiken Essay Writing Workshop. 事前学修 2.0hr：Preview course syllabus 事後学修 2.0hr：Review text & do assignment
2回	**授業テーマ：Chapter 1: Paragraph Structure I (parts of a paragraph)** 授業内容：Lecture on Paragraph Structure I (parts of a paragraph); Writing Activity: Self-introductory paragraph (for Portfolio I) 事前学修 2.0hr：Read text(s) in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Review text & do assignments
3回	**授業テーマ：Chapter 1: Paragraph Structure II** 授業内容：Lecture on Paragraph Structure Part II: Topic sentences, supporting sentences, concluding sentences; Writing Activity: Paragraph Structure (Ch. 1, Part II) worksheet 事前学修 2.0hr：Read text(s) in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Review text & do assignments
4回	**授業テーマ：Chapter 2: Unity and coherence I** 授業内容：Lecture on Unity & Coherence Part I: e.g., repetition of key nouns, consistent pronouns. Writing Activity: Unity & Coherence (Ch. 2, Part I) worksheet. 事前学修 2.0hr：Read text(s) in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Review text & do assignments
5回	**授業テーマ：Chapter 2: Unity and coherence II** 授業内容：Lecture on Unit & coherence Part II: e.g., transition signals, logical order. Writing Activity: Unity & Coherence (Ch. 2, Part II) worksheet. 事前学修 2.0hr：Read text(s) in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Write a paragraph
6回	**授業テーマ：Chapter 9: Types of sentences** 授業内容：Lecture on Types of sentences: e.g., clauses, simple, compound, complex, compound-complex sentences. Writing activity: Types of Sentences worksheet. 事前学修 2.0hr：Read text(s) in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Review text & do assignments
7回	**授業テーマ：Chapter 3: Using Outside Sources I** 授業内容：Lecture on Using Outside Sources I (using & citing sources; plagiarism; direct/indirect quotations); Writing Activity: Using Outside Sources I worksheet (direct/indirect quotations) 事前学修 2.0hr：Read text(s) in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Review text & do assignments

8回	**授業テーマ：Chapter 3: Using Outside Sources II; Appendix E: Research & documentation of sources** 授業内容：Lecture on Using Outside Sources II (paraphrasing/summarizing); Appendix E: Research & documentation of sources; Writing Activity: Using Outside Sources II worksheet (paraphrasing activity) 事前学修 2.0hr：Read text(s) in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Review text & do assignments
9回	**授業テーマ：Chapter 10: Parallelism and sentence problems** 授業内容：Lecture on Parallelism & sentence problems: Parallel structures & fixing sentence problems. Writing Activity: Parallelism & sentence problems (Ch. 10) worksheet 事前学修 2.0hr：Read text(s) in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Review text & do assignments
10回	**授業テーマ：Chapter 4: From paragraph to essay** 授業内容：Lecture on From Paragraph to Essay (Ch. 4): e.g., introductory paragraph, body paragraph, concluding paragraph. Writing Activity: Paragraph Writing (Topic: Stress in College Life) 事前学修 2.0hr：Read text(s) in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Review materials & do assignments
11回	**授業テーマ：Chapter 5: Process essays** 授業内容：Lecture on writing Process Essays (Ch. 5): organization (chronological order), transition signals. Writing Activity: Process Essay (for Portfolio II) 事前学修 2.0hr：Read text(s) in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Write process essay
12回	**授業テーマ：Chapter 11: Noun clauses** 授業内容：Lecture on Noun Clauses (Ch. 11):'that' clauses, 'if/whether clauses', question clauses; Writing Activity: Noun Clauses worksheet. 事前学修 2.0hr：Read text(s) in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Review text & do assignments
13回	**授業テーマ：Chapter 6: Cause/effect essay** 授業内容：Lecture on Cause/effect essay (Ch. 6): block/chain organization; transition signals. Writing Activity: Cause/Effect essay (Portfolio III) 事前学修 2.0hr：Read text(s) in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Write cause/effect essay
14回	**授業テーマ：Writing Portfolio Workshop I** 授業内容：Students will receive feedback on their Self-introductory essay and their Process Essay; they will revise and edit their essays according to the feedback for submission to the Writing Portfolio. 事前学修 2.0hr：Prepare for Writing Portfolio Workshop I 事後学修 2.0hr：Work on writing portfolio
15回	**授業テーマ：Writing Portfolio Workshop II** 授業内容：Students will receive feedback on their Cause/Effect Essay; they will revise and edit their essays according to the feedback for submission to the Writing Portfolio. 事前学修 2.0hr：Prepare for Writing Portfolio Workshop II 事後学修 2.0hr：Work on writing portfolio

Advanced Writing Skills b

開講学科等：英 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

ケイコ　ナカムラ

▌授業の概要

This course is an advanced academic writing course, designed to help students improve their English academic writing ability, with the ultimate goal of producing essays and research papers. The second half of the course will review the topics covered in Advanced Writing Skills a, and continue with different types of essays, such as comparison essays and argumentative essays. In addition, we will review organization, sentence structure, and grammar, as well as discuss the writing process and teach necessary research & documentation skills.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：4）

一般目標：The goal of this course is for students to improve their academic writing skills, with the main goal of writing essays (e.g., comparison essays, argumentative essays) in their own areas of interest. Students will participate in an interactive manner in all class activities (e.g., discussions, practice exercises), integrating all four English proficiency skills.

個別目標：The specific goals of the course are: 1. to review the basics of paragraph & essay writing
2. to review grammatical points which are important in writing (e.g., adjective/adverb clauses）
3. to learn how to write a well-organized essay (e.g., comparison/contrast essay)
4. to learn how to write a research paper with solid referencing/documentation skills
5. to become familiar with the writing process (i.e., prewriting -> writing -> revising)

▌履修条件

Students will be expected to actively participate in all activities. Students must attend the first class to be included in the class. Students should also have passed Writing I-a/I-b, as well as Writing II-a/II-b.

▌評価基準・方法

Active class participation (e.g., writing activities, quizzes): 40%; Writing assignments (e.g., comparison essay; argumentative essay): 30%; Writing portfolio: 30%. Plagiarism and use of translation tools/generative AI will not be allowed. Students must attend 80% of the classes to pass the course.

▌フィードバック方法

Feedback of assignments and tests will be conducted through manaba and in class.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Collaborative writing, peer evaluations & feedback）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （We will be in a PC classroom using MS Word and Powerpoint.）

▌教科書

Alice Oshima & Alice Hogue (2020), Longman Academic Writing Series 4: Essays (Fifth edition). New York: Pearson.

▌参考書

Supplementary materials will be passed out in class. Students should bring a paper/electronic dictionary (J/E, E/J, E/E).

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Course orientation & Eiken Writing Workshop I** 授業内容：Course syllabus & tips for Eiken Essay Writing (e.g., organization, transition signals, using prompts); Writing Activity: Eiken Essay Writing 事前学修 2.0hr：Preview course syllabus 事後学修 2.0hr：Write an Eiken essay
2回	**授業テーマ：Chapter 7: Comparison/Contrast essay I** 授業内容：Lecture on Comparison/Contrast Essays Part I (Ch. 7): e.g., organization (point-by-point; block organization); Writing Activity: Comparison/Contrast Essays Part I worksheet 事前学修 2.0hr：Read text in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Review text & do assignment
3回	**授業テーマ：Chapter 7: Comparison/Contrast essay II** 授業内容：Lecture on Comparison/Contrast Essays Part II (Ch. 7): e.g., compare and contrast signal words; Writing Activity: Comparison/Contrast Essay (for Portfolio I) 事前学修 2.0hr：Read text in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Write comparison/contrast essay
4回	**授業テーマ：Chapter 12: Adjective clauses** 授業内容：Lecture on Adjective Clauses (Ch. 12): relative pronouns and adverbs; restricitve and nonrestrictive adjective clauses, types of adjective clauses; Writing Activity: Adjective Clause Worksheet 事前学修 2.0hr：Read text in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Review text & do assignment
5回	**授業テーマ：Chapter 8: Argumentative essay I** 授業内容：Lecture on Argumentative Essays Part I (Ch. 8): e.g., the elements of an argumentative essay, the introductory paragraph; Writing Activity: Argumentative Essay Part I worksheet 事前学修 2.0hr：Read text in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Review text & do assignment
6回	**授業テーマ：Chapter 8: Argumentative essay II** 授業内容：Lecture on Argumentative Essays Part II (Ch. 8): e.g., statistics as support, analyzing the model; Writing Activity: Argumentative Essay (for Portfolio II) 事前学修 2.0hr：Read text in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Write an argumentative essay
7回	**授業テーマ：Chapter 13: Adverb clauses** 授業内容：Lecture on Adverb Clauses (Ch. 13): that clauses/if/whether clauses; question clauses; Writing Activity: Adverb Clause worksheet 事前学修 2.0hr：Read text in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Review text & do assignment

8回	**授業テーマ：Writing a research paper I** 授業内容：Lecture: Writing a Research Paper I: e.g., analyzing the model, organization (e.g., source-by-source; point-by-point); Research paper worksheet I 事前学修 2.0hr：Read text in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Find a topic; brainstorm
9回	**授業テーマ：Writing a research paper II** 授業内容：Lecture: Writing a Research Paper II: e.g., analyzing the model, sequence of tenses; Writing Activity: Research Paper worksheet II 事前学修 2.0hr：Read text in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Start writing your research paper
10回	**授業テーマ：Writing a research paper III** 授業内容：Lecture: Writing a research paper III: e.g., narrowing your topic, developing an effective thesis statement, writing references (APA/MLA); Writing Activity: Research paper (for Portfolio III) 事前学修 2.0hr：Read text in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Write your research paper
11回	**授業テーマ：Writing a research paper IV** 授業内容：Work on gathering information & writing research paper in class; receive immediate feedback. Be ready to submit next week. 事前学修 2.0hr：Read text in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Finish your research paper
12回	**授業テーマ：Chapter 14: Participial phrases** 授業内容：Lecture on Participles and participial Phrases (Ch. 14): e.g., kinds of participles, participial phrases (e.g., reduced adjective clauses; present/past/perfect form participial phrases. 事前学修 2.0hr：Read text in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Review text & do assignments
13回	**授業テーマ：Eiken Writing Workshop II** 授業内容：Lecture on Eiken Essay Writing (e.g., organization, transition signals, using prompts); Writing Activity: Eiken Essay Writing with peer evaluations. 事前学修 2.0hr：Read text in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Write an Eiken paragraph
14回	**授業テーマ：Writing Portfolio Workshop I** 授業内容：Rewrite your Comparison/Contrast essay (Portfolio I)and your Argumentative Essay (Portfolio II) based on the feedback received in class. Revise and rewrite to put in your portfolio. 事前学修 2.0hr：Prepare for Writing Portfolio Workshop I 事後学修 2.0hr：Work on writing portfolio; Submit revised drafts
15回	**授業テーマ：Writing Portfolio Workshop II** 授業内容：Rewrite your Research paper (Portfolio III) based on the feedback received in class. Revise and rewrite to put in your portfolio. 事前学修 2.0hr：Prepare for Writing Portfolio Workshop II 事後学修 2.0hr：Work on writing portfolio; Submit revised drafts

Advanced Reading Skills a

開講学科等：英 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

梶浦　恭平（かじうら　きょうへい）

▌授業の概要

この授業では、有名なポップソングを題材に総合的に英語が学べるように作られた教科書を用いてリーディングを行います。歌詞の内容を理解するだけでなく、歌が作られた背景や歴史など文化的な側面についても理解を深め、様々なテーマについて自分でさらに調べたり考えたりすることを目標とします。

朗読音声を聞き、それと同じスピードで音読する練習をします。さらに英文を読みこなすために必要な基本的な語彙の習得と文法事項の復習を行い、大学生にふさわしい全般的な英語運用能力を養成し、強化することを狙いとしています。教科書以外に TOEIC の問題などを用いて読解力を養成します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：様々な分野の英語の文章を読みこなすための基礎力を養成し、ある程度のスピードで文章を読んで理解し、また自然なスピードで音読できるようになる。
歌の歌詞を理解し、歌を通して様々な歴史的文化的な話題に興味を持ち、理解を深める。

個別目標：① 英文を意味のまとまりごとに読めるようになる
② 自然なスピードで音読できるようになる。
③ 興味を持ったトピックに関してさらに調べて考えをまとめることができるようになる。

▌履修条件

(1) 読解力を向上させたいという気持ちがあり、積極的に授業に参加すること。
(2) 英語の歌を聞いたり歌ったりするのが好きなこと。

▌評価基準・方法

授業の参加状況・提出課題（70 %）、期末レポート（30 %）の結果に基づいて、総合的に評価する。

▌フィードバック方法

毎回の課題の提出及びフィードバックは google form を用いて行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ペアワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

『ソングス＆カルチャー　ポップソングで学ぶ初級英語』Enjoying English through Pop Songs
関戸冬彦、小林愛明、山中章子、吉田要 2017 朝日出版社

▌参考書

授業の際、適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：授業の進め方についての説明** 授業内容：読解力をつける上で必要なことを確認する 事前学修 2.0hr：テキストを用意して、学習の準備をする。 事後学修 2.0hr：配布資料を復習して、読解力をつけるために何が必要かを考える。
2回	**授業テーマ：Unit 1 Stand by Me (1)** 授業内容：Stand by Me を聴いて、歌詞を理解し、音読する。文法ポイント関係代名詞について。TOEIC の問題演習。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で扱ったことを意識しながら復習・音読練習をする。
3回	**授業テーマ：Unit 1 Stand by Me (2)** 授業内容：Stand by Me に関連する文章のリーディングと会話のリスニング、音読。TOEIC の問題演習。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で扱ったことを意識しながら復習・音読練習をする。
4回	**授業テーマ：Unit 2 Jailhouse Rock (1)** 授業内容：Jailhouse Rock を聴いて、歌詞を理解し、音読する。文法ポイント命令文について。TOEIC の問題演習。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で扱ったことを意識しながら復習・音読練習をする。
5回	**授業テーマ：Unit 2 Jailhouse Rock (2)** 授業内容：Jailhouse Rock に関連する文章のリーディングと会話のリスニング、音読。TOEIC の問題演習。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で扱ったことを意識しながら復習・音読練習をする。
6回	**授業テーマ：Unit 3 Blowin' in the Wind (1)** 授業内容：Blowin' in the Wind を聴いて、歌詞を理解し、音読する。文法ポイント進行形について。TOEIC の問題演習。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で扱ったことを意識しながら復習・音読練習をする。
7回	**授業テーマ：Unit 3 Blowin' in the Wind (2)** 授業内容：Blowin' in the Wind に関連する文章のリーディングと会話のリスニング、音読。TOEIC の問題演習。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で扱ったことを意識しながら復習・音読練習をする。
8回	**授業テーマ：Unit 4 Puff, the Magic Dragon (1)** 授業内容：Puff, the Magic Dragon を聴いて、歌詞を理解し、音読する。文法ポイント助動詞 would について。TOEIC の問題演習。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で扱ったことを意識しながら復習・音読練習をする。
9回	**授業テーマ：Unit 4 Puff, the Magic Dragon (2)** 授業内容：Puff, the Magic Dragon に関連する文章のリーディングと会話のリスニング、音読。TOEIC の問題演習。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で扱ったことを意識しながら復習・音読練習をする。

10回	**授業テーマ：Unit 5 I've Gotta Get a Message to You (1)** 授業内容：I've Gotta Get a Message to You を聴いて、歌詞を理解し、音読する。文法ポイント強調構文について。TOEIC の問題演習。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で扱ったことを意識しながら復習・音読練習をする。
11回	**授業テーマ：Unit 5 I've Gotta Get a Message to You (2)** 授業内容：I've Gotta Get a Message to You に関連する文章のリーディングと会話のリスニング、音読。TOEIC の問題演習。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で扱ったことを意識しながら復習・音読練習をする。
12回	**授業テーマ：Unit 6 Bridge Over Troubled Water (1)** 授業内容：Bridge Over Troubled Water を聴いて、歌詞を理解し、音読する。文法ポイント現在完了について。TOEIC の問題演習。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で扱ったことを意識しながら復習・音読練習をする。
13回	**授業テーマ：Unit 6 Bridge Over Troubled Water (2)** 授業内容：Bridge Over Troubled Water に関連する文章のリーディングと会話のリスニング、音読。TOEIC の問題演習。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で扱ったことを意識しながら復習・音読練習をする。
14回	**授業テーマ：Unit 7 Take Me Home, Country Roads (1)** 授業内容：Take Me Home, Country Roads を聴いて、歌詞を理解し、音読する。文法ポイント仮定法について。TOEIC の問題演習。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で扱ったことを意識しながら復習・音読練習をする。
15回	**授業テーマ：Unit 7 Take Me Home, Country Roads (2)** 授業内容：Take Me Home, Country Roads に関連する文章のリーディングと会話のリスニング、音読。TOEIC の問題演習。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で扱ったことを意識しながら復習・音読練習をする。

Advanced Reading Skills a

開講学科等：英 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

松井　順子（まつい　じゅんこ）

▌授業の概要

授業の概要：※必須入力　文字数：280 字程度

This course will make it possible for students to read research papers and convey what they have learned. Course-takers will add on their own take of the contents, including comments, discoveries, and/or their own research. Course-takers will acquire the skills needed to incorporate past findings into their own field of study. Participants are free to choose the field and topic of their choice. The process will involve library visits as well as round-table discussions nearly each week. By reading more difficult contents, course-takers will acquire a feel for the patterns, results, and significance of higher-level advanced studies. Library visits will take place to look for content. The number of library visits will increase, if the number of course-takers is low.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：The objective of this course is to learn how to read research papers and present the contents of the research papers so that others will be able to understand what findings are available in the literature. Course-takers will acquire a wide range of skills including the ability to read more difficult research papers, summarize the findings, and provide their unique input on what they have studied.

個別目標：Each course-taker will improve their reading, analyzing, and presenting skills through this course. Multiple levels of advanced skills will be used to check whether participants have acquired these advanced reading and analytical skills.

▌履修条件

Anyone who is interested in reading research papers is free to join!

▌評価基準・方法

Participants will be evaluated on the difficulty of the papers they choose, their unique input including comments on the papers, and their ability to accurately convey what the original writer intended to say in the paper.

▌フィードバック方法

Feedback will be provided on Manaba or in class.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Group Discussions）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Looking up research papers ）

▌教科書

To be announced at a later date.

▌参考書

To be announced at a later date.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：Orientation** 授業内容：Overview of the course and briefing on format of the class. How to read papers in the various fields of research. 事前学修 2.0hr：Consider what field of study interests you. 事後学修 2.0hr：Read up on areas of interest.
2 回	**授業テーマ：Library Orientation** 授業内容：Go to the library for briefing on how to look up research papers. Actually select paper to read and present. 事前学修 2.0hr：Consider and research areas of interest 事後学修 2.0hr：Read paper selected at library, make summary and place on Manaba
3 回	**授業テーマ：Presentation** 授業内容：Present paper to class. Class will read paper simultaneously, while viewing summary on Manaba. Everyone who is not presenting, will evaluate the presenter and comment on Manaba. Everyone will be able to see everyone else's comments on Manaba. Standards for assessment include: understandability, universality, data coverage, applicability, innovation, and benefits. 事前学修 2.0hr：Prepare summmary and place on Manaba 事後学修 2.0hr：Evaluate presentations and comment on Manaba
4 回	**授業テーマ：Presentation** 授業内容：Present paper to class. Class will read paper simultaneously, while viewing summary on Manaba. Everyone who is not presenting, will evaluate the presenter and comment on Manaba. Everyone will be able to see everyone else's comments on Manaba. Standards for assessment include: understandability, universality, data coverage, applicability, innovation, and benefits. 事前学修 2.0hr：Prepare summmary and place on Manaba 事後学修 2.0hr：Evaluate presentations and comment on Manaba
5 回	**授業テーマ：Presentation** 授業内容：Present paper to class. Class will read paper simultaneously, while viewing summary on Manaba. Everyone who is not presenting, will evaluate the presenter and comment on Manaba. Everyone will be able to see everyone else's comments on Manaba. Standards for assessment include: understandability, universality, data coverage, applicability, innovation, and benefits. 事前学修 2.0hr：Prepare summmary and place on Manaba 事後学修 2.0hr：Evaluate presentations and comment on Manaba
6 回	**授業テーマ：Presentation** 授業内容：Present paper to class. Class will read paper simultaneously, while viewing summary on Manaba. Everyone who is not presenting, will evaluate the presenter and comment on Manaba. Everyone will be able to see everyone else's comments on Manaba. Standards for assessment include: understandability, universality, data coverage, applicability, innovation, and benefits. 事前学修 2.0hr：Prepare summmary and place on Manaba 事後学修 2.0hr：Evaluate presentations and comment on Manaba
7 回	**授業テーマ：Presentation** 授業内容：Present paper to class. Class will read paper simultaneously, while viewing summary on Manaba. Everyone who is not presenting, will evaluate the presenter and comment on Manaba. Everyone will be able to see everyone else's comments on Manaba. Standards for assessment include: understandability, universality, data coverage, applicability, innovation, and benefits. 事前学修 2.0hr：Prepare summmary and place on Manaba 事後学修 2.0hr：Evaluate presentations and comment on Manaba

8回	**授業テーマ：Library Visit** 授業内容：Go to library to look up papers to present. Decide on paper and place on Manaba. 事前学修 2.0hr：Consider field of study to pursue. 事後学修 2.0hr：Read paper that has been selected and make summary for presentation. Place summary on Manaba.
9回	**授業テーマ：Presentation** 授業内容：Present paper to class. Class will read paper simultaneously, while viewing summary on Manaba. Everyone who is not presenting, will evaluate the presenter and comment on Manaba. Everyone will be able to see everyone else's comments on Manaba. Standards for assessment include: understandability, universality, data coverage, applicability, innovation, and benefits. 事前学修 2.0hr：Prepare summmary and place on Manaba 事後学修 2.0hr：Evaluate presentations and comment on Manaba
10回	**授業テーマ：Presentation** 授業内容：Present paper to class. Class will read paper simultaneously, while viewing summary on Manaba. Everyone who is not presenting, will evaluate the presenter and comment on Manaba. Everyone will be able to see everyone else's comments on Manaba. Standards for assessment include: understandability, universality, data coverage, applicability, innovation, and benefits. 事前学修 2.0hr：Prepare summmary and place on Manaba 事後学修 2.0hr：Evaluate presentations and comment on Manaba
11回	**授業テーマ：Presentation** 授業内容：Present paper to class. Class will read paper simultaneously, while viewing summary on Manaba. Everyone who is not presenting, will evaluate the presenter and comment on Manaba. Everyone will be able to see everyone else's comments on Manaba. Standards for assessment include: understandability, universality, data coverage, applicability, innovation, and benefits. 事前学修 2.0hr：Prepare summmary and place on Manaba 事後学修 2.0hr：Evaluate presentations and comment on Manaba
12回	**授業テーマ：Presentation** 授業内容：Present paper to class. Class will read paper simultaneously, while viewing summary on Manaba. Everyone who is not presenting, will evaluate the presenter and comment on Manaba. Everyone will be able to see everyone else's comments on Manaba. Standards for assessment include: understandability, universality, data coverage, applicability, innovation, and benefits. 事前学修 2.0hr：Prepare summmary and place on Manaba 事後学修 2.0hr：Evaluate presentations and comment on Manaba
13回	**授業テーマ：Presentation** 授業内容：Present paper to class. Class will read paper simultaneously, while viewing summary on Manaba. Everyone who is not presenting, will evaluate the presenter and comment on Manaba. Everyone will be able to see everyone else's comments on Manaba. Standards for assessment include: understandability, universality, data coverage, applicability, innovation, and benefits. 事前学修 2.0hr：Prepare summmary and place on Manaba 事後学修 2.0hr：Evaluate presentations and comment on Manaba
14回	**授業テーマ：Presentation** 授業内容：Present paper to class. Class will read paper simultaneously, while viewing summary on Manaba. Everyone who is not presenting, will evaluate the presenter and comment on Manaba. Everyone will be able to see everyone else's comments on Manaba. Standards for assessment include: understandability, universality, data coverage, applicability, innovation, and benefits. 事前学修 2.0hr：Prepare summmary and place on Manaba 事後学修 2.0hr：Evaluate presentations and comment on Manaba
15回	**授業テーマ：Presentation** 授業内容：Present paper to class. Class will read paper simultaneously, while viewing summary on Manaba. Everyone who is not presenting, will evaluate the presenter and comment on Manaba. Everyone will be able to see everyone else's comments on Manaba. Standards for assessment include: understandability, universality, data coverage, applicability, innovation, and benefits. 事前学修 2.0hr：Prepare summmary and place on Manaba 事後学修 2.0hr：Evaluate presentations and comment on Manaba

Advanced Reading Skills b

開講学科等：英 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

梶浦　恭平（かじうら　きょうへい）

▌授業の概要

この授業では、有名なポップソングを題材に総合的に英語が学べるように作られた教科書を用いてリーディングを行います。歌詞の内容を理解するだけでなく、歌が作られた背景や歴史など文化的な側面についても理解を深め、様々なテーマについて自分でさらに調べたり考えたりすることを目標とします。

朗読音声を聞き、それと同じスピードで音読する練習をします。さらに英文を読みこなすために必要な基本的な語彙の習得と文法事項の復習を行い、大学生にふさわしい全般的な英語運用能力を養成し、強化することを狙いとしています。教科書以外に TOEIC の問題などを用いて読解力を養成します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：様々な分野の英語の文章を読みこなすための基礎力を養成し、ある程度のスピードで文章を読んで理解し、また自然なスピードで音読できるようになる。
歌の歌詞を理解し、歌を通して様々な歴史的文化的な話題に興味を持ち、理解を深める。

個別目標：① 英文を意味のまとまりごとに読めるようになる
② 自然なスピードで音読できるようになる。
③ 興味を持ったトピックに関してさらに調べて考えをまとめることができるようになる。

▌履修条件

(1) 読解力を向上させたいという気持ちがあり、積極的に授業に参加すること。
(2) 英語の歌を聞いたり歌ったりするのが好きなこと。

▌評価基準・方法

授業の参加状況・提出課題（70 %）、期末レポート（30 %）の結果に基づいて、総合的に評価する。

▌フィードバック方法

毎回の課題の提出及びフィードバックは google form を用いて行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ペアワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

『ソングス＆カルチャー　ポップソングで学ぶ初級英語』Enjoying English through Pop Songs
関戸冬彦、小林愛明、山中章子、吉田要 2017 朝日出版社

▌参考書

授業の際、適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：授業の進め方についての説明** 授業内容：読解力をつける上で必要なことを確認する。 事前学修 2.0hr：テキストを用意して、学習の準備をする。 事後学修 2.0hr：配布資料を復習して、読解力をつけるために何が必要かを考える。
2 回	**授業テーマ：Unit 8 Imagine (1)** 授業内容：Imagine を聴いて、歌詞を理解し、音読する。文法ポイント wonder if について。TOEIC の問題演習。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で扱ったことを意識しながら復習・音読練習をする。
3 回	**授業テーマ：Unit 8 Imagine (2)** 授業内容：Imagine に関連する文章のリーディングと会話のリスニング、音読。TOEIC の問題演習。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で扱ったことを意識しながら復習・音読練習をする。
4 回	**授業テーマ：Unit 9 I Need to Be in Love (1)** 授業内容：I Need to Be in Love を聴いて、歌詞を理解し、音読する。文法ポイント助動詞の過去形について。TOEIC の問題演習。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で扱ったことを意識しながら復習・音読練習をする。
5 回	**授業テーマ：Unit 9 I Need to Be in Love (2)** 授業内容：I Need to Be in Love に関連する文章のリーディングと会話のリスニング、音読。TOEIC の問題演習。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で扱ったことを意識しながら復習・音読練習をする。
6 回	**授業テーマ：Unit 10 Honesty (1)** 授業内容：Honesty を聴いて、歌詞を理解し、音読する。文法ポイント不定詞の形容詞的用法について。TOEIC の問題演習。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で扱ったことを意識しながら復習・音読練習をする。
7 回	**授業テーマ：Unit 10 Honesty (2)** 授業内容：Honesty に関連する文章のリーディングと会話のリスニング、音読。TOEIC の問題演習。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で扱ったことを意識しながら復習・音読練習をする。
8 回	**授業テーマ：Unit 11 Hotel California (1)** 授業内容：Hotel California を聴いて、歌詞を理解し、音読する。文法ポイント受動態について。TOEIC の問題演習。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で扱ったことを意識しながら復習・音読練習をする。
9 回	**授業テーマ：Unit 11 Hotel California (2)** 授業内容：Hotel California に関連する文章のリーディングと会話のリスニング、音読。TOEIC の問題演習。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で扱ったことを意識しながら復習・音読練習をする。

10回	**授業テーマ：Unit 12 I Just Called to Say I Love You (1)** 授業内容：I Just Called to Say I Love You を聴いて、歌詞を理解し、音読する。文法ポイント不定詞の副詞的用法について。TOEIC の問題演習。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で扱ったことを意識しながら復習・音読練習をする。
11回	**授業テーマ：Unit 12 I Just Called to Say I Love You (2)** 授業内容：I Just Called to Say I Love You に関連する文章のリーディングと会話のリスニング、音読。TOEIC の問題演習。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で扱ったことを意識しながら復習・音読練習をする。
12回	**授業テーマ：Unit 13 Pride (In the Name of Love) (1)** 授業内容：Pride (In the Name of Love) を聴いて、歌詞を理解し、音読する。文法ポイント動詞句について。TOEIC の問題演習。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で扱ったことを意識しながら復習・音読練習をする。
13回	**授業テーマ：Unit 13 Pride (In the Name of Love) (2)** 授業内容：Pride (In the Name of Love) に関連する文章のリーディングと会話のリスニング、音読。TOEIC の問題演習。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で扱ったことを意識しながら復習・音読練習をする。
14回	**授業テーマ：Unit 14 Like a Virgin (1)** 授業内容：Like a Virgin を聴いて、歌詞を理解し、音読する。文法ポイント文型について。TOEIC の問題演習。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で扱ったことを意識しながら復習・音読練習をする。
15回	**授業テーマ：Unit 14 Like a Virgin (2)** 授業内容：Like a Virgin に関連する文章のリーディングと会話のリスニング、音読。TOEIC の問題演習。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で扱ったことを意識しながら復習・音読練習をする。

Advanced Reading Skills b

開講学科等：英 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

松井　順子（まつい　じゅんこ）

▌授業の概要

授業の概要：※必須入力　文字数：280 字程度

This course will make it possible for students to read research papers and convey what they have learned. Course-takers will add on their own take of the contents, including comments, discoveries, and/or their own research. Course-takers will acquire the skills needed to incorporate past findings into their own field of study. Participants are free to choose the field and topic of their choice. The process will involve library visits as well as round-table discussions nearly each week. By reading more difficult contents, course-takers will acquire a feel for the patterns, results, and significance of higher-level advanced studies. Library visits will take place to look for content. The number of library visits will increase, if the number of course-takers is low.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：The objective of this course is to learn how to read research papers and present the contents of the research papers so that others will be able to understand what findings are available in the literature. Course-takers will acquire a wide range of skills including the ability to read more difficult research papers, summarize the findings, and provide their unique input on what they have studied.

個別目標：Each course-taker will improve their reading, analyzing, and presenting skills through this course. Multiple levels of advanced skills will be used to check whether participants have acquired these advanced reading and analytical skills.

▌履修条件

Anyone who is interested in reading research papers is free to join!

▌評価基準・方法

Participants will be evaluated on the difficulty of the papers they choose, their unique input including comments on the papers, and their ability to accurately convey what the original writer intended to say in the paper.

▌フィードバック方法

Feedback will be provided on Manaba or in class.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Group Discussions）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Looking up research papers ）

▌教科書

To be announced at a later date.

▌参考書

To be announced at a later date.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Orientation** 授業内容：Overview of the course and briefing on format of the class. How to read papers in the various fields of research. 事前学修 2.0hr：Consider what field of study interests you. 事後学修 2.0hr：Read up on areas of interest.
2回	**授業テーマ：Library Orientation** 授業内容：Go to the library for briefing on how to look up research papers. Actually select paper to read and present. 事前学修 2.0hr：Consider and research areas of interest 事後学修 2.0hr：Read paper selected at library, make summary and place on Manaba
3回	**授業テーマ：Presentation** 授業内容：Present paper to class. Class will read paper simultaneously, while viewing summary on Manaba. Everyone who is not presenting, will evaluate the presenter and comment on Manaba. Everyone will be able to see everyone else's comments on Manaba. Standards for assessment include: understandability, universality, data coverage, applicability, innovation, and benefits. 事前学修 2.0hr：Prepare summmary and place on Manaba 事後学修 2.0hr：Evaluate presentations and comment on Manaba
4回	**授業テーマ：Presentation** 授業内容：Present paper to class. Class will read paper simultaneously, while viewing summary on Manaba. Everyone who is not presenting, will evaluate the presenter and comment on Manaba. Everyone will be able to see everyone else's comments on Manaba. Standards for assessment include: understandability, universality, data coverage, applicability, innovation, and benefits. 事前学修 2.0hr：Prepare summmary and place on Manaba 事後学修 2.0hr：Evaluate presentations and comment on Manaba
5回	**授業テーマ：Presentation** 授業内容：Present paper to class. Class will read paper simultaneously, while viewing summary on Manaba. Everyone who is not presenting, will evaluate the presenter and comment on Manaba. Everyone will be able to see everyone else's comments on Manaba. Standards for assessment include: understandability, universality, data coverage, applicability, innovation, and benefits. 事前学修 2.0hr：Prepare summmary and place on Manaba 事後学修 2.0hr：Evaluate presentations and comment on Manaba
6回	**授業テーマ：Presentation** 授業内容：Present paper to class. Class will read paper simultaneously, while viewing summary on Manaba. Everyone who is not presenting, will evaluate the presenter and comment on Manaba. Everyone will be able to see everyone else's comments on Manaba. Standards for assessment include: understandability, universality, data coverage, applicability, innovation, and benefits. 事前学修 2.0hr：Prepare summmary and place on Manaba 事後学修 2.0hr：Evaluate presentations and comment on Manaba
7回	**授業テーマ：Presentation** 授業内容：Present paper to class. Class will read paper simultaneously, while viewing summary on Manaba. Everyone who is not presenting, will evaluate the presenter and comment on Manaba. Everyone will be able to see everyone else's comments on Manaba. Standards for assessment include: understandability, universality, data coverage, applicability, innovation, and benefits. 事前学修 2.0hr：Prepare summmary and place on Manaba 事後学修 2.0hr：Evaluate presentations and comment on Manaba

8回	**授業テーマ：Library Visit** 授業内容：Go to library to look up papers to present. Decide on paper and place on Manaba. 事前学修 2.0hr：Consider field of study to pursue. 事後学修 2.0hr：Read paper that has been selected and make summary for presentation. Place summary on Manaba.
9回	**授業テーマ：Presentation** 授業内容：Present paper to class. Class will read paper simultaneously, while viewing summary on Manaba. Everyone who is not presenting, will evaluate the presenter and comment on Manaba. Everyone will be able to see everyone else's comments on Manaba. Standards for assessment include: understandability, universality, data coverage, applicability, innovation, and benefits. 事前学修 2.0hr：Prepare summmary and place on Manaba 事後学修 2.0hr：Evaluate presentations and comment on Manaba
10回	**授業テーマ：Presentation** 授業内容：Present paper to class. Class will read paper simultaneously, while viewing summary on Manaba. Everyone who is not presenting, will evaluate the presenter and comment on Manaba. Everyone will be able to see everyone else's comments on Manaba. Standards for assessment include: understandability, universality, data coverage, applicability, innovation, and benefits. 事前学修 2.0hr：Prepare summmary and place on Manaba 事後学修 2.0hr：Evaluate presentations and comment on Manaba
11回	**授業テーマ：Presentation** 授業内容：Present paper to class. Class will read paper simultaneously, while viewing summary on Manaba. Everyone who is not presenting, will evaluate the presenter and comment on Manaba. Everyone will be able to see everyone else's comments on Manaba. Standards for assessment include: understandability, universality, data coverage, applicability, innovation, and benefits. 事前学修 2.0hr：Prepare summmary and place on Manaba 事後学修 2.0hr：Evaluate presentations and comment on Manaba
12回	**授業テーマ：Presentation** 授業内容：Present paper to class. Class will read paper simultaneously, while viewing summary on Manaba. Everyone who is not presenting, will evaluate the presenter and comment on Manaba. Everyone will be able to see everyone else's comments on Manaba. Standards for assessment include: understandability, universality, data coverage, applicability, innovation, and benefits. 事前学修 2.0hr：Prepare summmary and place on Manaba 事後学修 2.0hr：Evaluate presentations and comment on Manaba
13回	**授業テーマ：Presentation** 授業内容：Present paper to class. Class will read paper simultaneously, while viewing summary on Manaba. Everyone who is not presenting, will evaluate the presenter and comment on Manaba. Everyone will be able to see everyone else's comments on Manaba. Standards for assessment include: understandability, universality, data coverage, applicability, innovation, and benefits. 事前学修 2.0hr：Prepare summmary and place on Manaba 事後学修 2.0hr：Evaluate presentations and comment on Manaba
14回	**授業テーマ：Presentation** 授業内容：Present paper to class. Class will read paper simultaneously, while viewing summary on Manaba. Everyone who is not presenting, will evaluate the presenter and comment on Manaba. Everyone will be able to see everyone else's comments on Manaba. Standards for assessment include: understandability, universality, data coverage, applicability, innovation, and benefits. 事前学修 2.0hr：Prepare summmary and place on Manaba 事後学修 2.0hr：Evaluate presentations and comment on Manaba
15回	**授業テーマ：Presentation** 授業内容：Present paper to class. Class will read paper simultaneously, while viewing summary on Manaba. Everyone who is not presenting, will evaluate the presenter and comment on Manaba. Everyone will be able to see everyone else's comments on Manaba. Standards for assessment include: understandability, universality, data coverage, applicability, innovation, and benefits. 事前学修 2.0hr：Prepare summmary and place on Manaba 事後学修 2.0hr：Evaluate presentations and comment on Manaba

Advanced Listening Skills a

開講学科等：英 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

梶浦　恭平 (かじうら　きょうへい)

▌授業の概要

この授業では、ハリウッド映画を題材にしたビデオ教材を用いてリスニング力の向上を目指します。映画を紹介する映像を繰り返し見て、自然なスピードの英語に慣れ、語彙や重要表現を学びます。授業で紹介した映画を自分で見てみると、字幕なしでもかなり聴き取れるようになっていると思います。受講者のレベルに応じて、教科書以外にニュースや歌など様々な題材を用いて、リスニングを行います。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：自然なスピードの英語に慣れ、字幕に頼らずにある程度洋画を理解できるリスニング力をつける。
個別目標：① 語彙を増やし、自然なスピードの会話でキーワードが聞き取れるようになる。
② 様々な英語に触れ、リスニングの基礎を固める。

▌履修条件

(1) リスニング力を向上させたいという気持ちがあり、積極的に授業に参加すること。
(2) 映画を見るのが好きなこと。

▌評価基準・方法

授業の参加状況・提出課題(70 %)、期末レポート(30 %)の結果に基づいて、総合的に評価する。

▌フィードバック方法

毎回の課題の提出及びフィードバックは google form を用いて行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ペアワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

John S. Lander. Hollywood English - Movie Reviews from VOA- . 2014. Asahi Press.

▌参考書

授業の際、適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：授業の進め方の説明とイントロダクション** 授業内容：リスニング力をつける上で必要なことを確認する。 事前学修 2.0hr：教科書を入手して内容を一通り見ておく。 事後学修 2.0hr：リスニング力をどのように高めていくかについて計画を立てる。
2回	**授業テーマ：Unit1 Cloud Atlas (1)** 授業内容：Cloud Atlas の映像を見て、あらすじを読んで理解し、音読する。重要語彙を理解し、使い方を学習する。 事前学修 2.0hr：Unit1 の Movie summary と vocabulary を読んでわからない単語を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、教科書を見ずに聞き取れるようになるまで繰り返し音声を聞く。
3回	**授業テーマ：Unit1 Cloud Atlas (2)** 授業内容：Cloud Atlas の映像を繰り返し見て、内容確認の問題に解答し、解説する。会話の音声を聞いて、書き取りをし、発音練習をする。 事前学修 2.0hr：Unit1 の後半部分を予習してわからない単語を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、内容が理解できるようになるまで繰り返し video を見る。
4回	**授業テーマ：Unit2 The Dark Knight Rises (1)** 授業内容：The Dark Knight Rises の映像を見て、あらすじを読んで理解し、音読する。重要語彙を理解し、使い方を学習する。 事前学修 2.0hr：Unit2 の Movie summary と vocabulary を読んでわからない単語を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、教科書を見ずに聞き取れるようになるまで繰り返し音声を聞く。
5回	**授業テーマ：Unit2 The Dark Knight Rises (2)** 授業内容：The Dark Knight Rises の映像を繰り返し見て、内容確認の問題に解答し、解説する。会話の音声を聞いて、書き取りをし、発音練習をする。 事前学修 2.0hr：Unit2 の後半部分を予習してわからない単語を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、内容が理解できるようになるまで繰り返し video を見る。
6回	**授業テーマ：Unit3 Another Earth (1)** 授業内容：Another Earth の映像を見て、あらすじを読んで理解し、音読する。重要語彙を理解し、使い方を学習する。 事前学修 2.0hr：Unit3 の Movie summary と vocabulary を読んでわからない単語を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、教科書を見ずに聞き取れるようになるまで繰り返し音声を聞く。
7回	**授業テーマ：Unit3 Another Earth (2)** 授業内容：Another Earth の映像を繰り返し見て、内容確認の問題に解答し、解説する。会話の音声を聞いて、書き取りをし、発音練習をする。 事前学修 2.0hr：Unit3 の後半部分を予習してわからない単語を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、内容が理解できるようになるまで繰り返し video を見る。
8回	**授業テーマ：Unit4 The Amazing Spider-Man (1)** 授業内容：The Amazing Spider-Man の映像を見て、あらすじを読んで理解し、音読する。重要語彙を理解し、使い方を学習する。 事前学修 2.0hr：Unit4 の Movie summary と vocabulary を読んでわからない単語を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、教科書を見ずに聞き取れるようになるまで繰り返し音声を聞く。
9回	**授業テーマ：Unit4 The Amazing Spider-Man (2)** 授業内容：The Amazing Spider-Man の映像を繰り返し見て、内容確認の問題に解答し、解説する。会話の音声を聞いて、書き取りをし、発音練習をする。 事前学修 2.0hr：Unit4 の後半部分を予習してわからない単語を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、内容が理解できるようになるまで繰り返し video を見る。
10回	**授業テーマ：Unit5 Harry Potter and the Deathly Hallows: Part 2 (1)** 授業内容：Harry Potter and the Deathly Hallows の映像を見て、あらすじを読んで理解し、音読する。重要語彙を理解し、使い方を学習する。 事前学修 2.0hr：Unit5 の Movie summary と vocabulary を読んでわからない単語を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、教科書を見ずに聞き取れるようになるまで繰り返し音声を聞く。

11回	**授業テーマ：Unit5 Harry Potter and the Deathly Hallows: Part 2 (2)** 授業内容：Harry Potter and the Deathly Hallows の映像を繰り返し見て、内容確認の問題に解答し、解説する。会話の音声を聞いて、書き取りをし、発音練習をする。 事前学修 2.0hr：Unit5 の後半部分を予習してわからない単語を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、内容が理解できるようになるまで繰り返し video を見る。
12回	**授業テーマ：Unit6 The Social Network (1)** 授業内容：The Social Network の映像を見て、あらすじを読んで理解し、音読する。重要語彙を理解し、使い方を学習する。 事前学修 2.0hr：Unit6 の Movie summary と vocabulary を読んでわからない単語を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、教科書を見ずに聞き取れるようになるまで繰り返し音声を聞く。
13回	**授業テーマ：Unit6 The Social Network (2)** 授業内容：The Social Network の映像を繰り返し見て、内容確認の問題に解答し、解説する。会話の音声を聞いて、書き取りをし、発音練習をする。 事前学修 2.0hr：Unit6 の後半部分を予習してわからない単語を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、内容が理解できるようになるまで繰り返し video を見る。
14回	**授業テーマ：Unit7 Skyfall (1)** 授業内容：Skyfall の映像を見て、あらすじを読んで理解し、音読する。重要語彙を理解し、使い方を学習する。 事前学修 2.0hr：Unit7 の Movie summary と vocabulary を読んでわからない単語を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、教科書を見ずに聞き取れるようになるまで繰り返し音声を聞く。
15回	**授業テーマ：Unit7 Skyfall (2)** 授業内容：Skyfall の映像を繰り返し見て、内容確認の問題に解答し、解説する。会話の音声を聞いて、書き取りをし、発音練習をする。 事前学修 2.0hr：Unit7 の後半部分を予習してわからない単語を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、内容が理解できるようになるまで繰り返し video を見る。

Advanced Listening Skills a

開講学科等：英 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

パトリツィア　ハヤシ

▌授業の概要

A compulsory elective first-semester course in the third and fourth year. Building on the skills learned in Listening I-a/b and II-a/b, Advanced Listening Skills a requires students to listen to and comprehend a variety of authentic listening materials. Furthermore, students will be expected to use critical thinking skills and strategies to deepen their understanding of the course content. This course will be taught entirely in English and students will be required to actively participate.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：While this course mainly focuses on listening, integrating the four skills will be a key component of each class. Students will concentrate on a number of skills; however, vocabulary acquisition and critical thinking will be particularly emphasized. Through active participation and independent study, students will draw on the lessons learned and apply them to targeted listening tasks.

個別目標：By the end of the first semester, students will be able to listen to and comprehend a variety of current topics with greater confidence through the application of listening strategies. In addition, students will demonstrate critical thinking in order to make connections to the course material.

▌履修条件

It is recommended that students take Listening I-a/b and Listening II-a/b before undertaking this course. Attendance at more than 80% of the classes is required.

▌評価基準・方法

Students are evaluated via active participation (30%), coursework (20%), mid-term project (20%) and final project (30%). Feedback and assessments will be given in class or on manaba. Please consult your instructor.

▌フィードバック方法

On-going feedback occurs in each lesson and coursework is evaluated to check students' understanding of main ideas, inference, and listening for details. A mid-term project and final project will further demonstrate students' listening and other integrated skills.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Pair work and group work）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

Yamaoka, T., Roman, R. & Toyoshima, C. (2024). CNN News English: Engaging College Students as Active Learners. Asahi Press.

▌参考書

Supplementary materials will be provided by the instructor and available online.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Course Introduction** 授業内容：Students will go over the course syllabus and course content. Introductory activities will take place to build the class atmosphere and establish expectations. 事前学修 2.0hr：Preview the course textbook and look over the manaba information 事後学修 2.0hr：Complete the assigned work.
2回	**授業テーマ：Unit 1** 授業内容：Students are introduced to the topic theme through pre-listening tasks. Students watch a news video and complete reading comprehension questions. Students discuss the topic. 事前学修 2.0hr：Preview the unit and check vocabulary 事後学修 2.0hr：Complete assigned work and reflection
3回	**授業テーマ：Unit 2** 授業内容：Students are introduced to the topic theme through pre-listening tasks. Students watch a news video and complete reading comprehension questions. Students discuss the topic. 事前学修 2.0hr：Preview the unit and check vocabulary 事後学修 2.0hr：Complete assigned work and reflection
4回	**授業テーマ：Unit 3** 授業内容：Students are introduced to the topic theme through pre-listening tasks. Students watch a news video and complete reading comprehension questions. Students discuss the topic. 事前学修 2.0hr：Preview the unit and check vocabulary 事後学修 2.0hr：Complete assigned work and reflection
5回	**授業テーマ：Unit 4** 授業内容：Students are introduced to the topic theme through pre-listening tasks. Students watch a news video and complete reading comprehension questions. Students discuss the topic. 事前学修 2.0hr：Preview the unit and check vocabulary 事後学修 2.0hr：Complete assigned work and reflection
6回	**授業テーマ：Mid-term Project (1)** 授業内容：Students work individually or in small groups to complete a mid-term listening project. Students will be introduced to the project and begin preparations and research. 事前学修 2.0hr：Preview mid-term project 事後学修 3.0hr：Complete assigned work
7回	**授業テーマ：Mid-term Project (2)** 授業内容：Students finalize their project and prepare to share their work in the class. 事前学修 2.0hr：Review project preparations 事後学修 2.0hr：Complete project reflection
8回	**授業テーマ：Unit 5** 授業内容：Students are introduced to the topic theme through pre-listening tasks. Students watch a news video and complete reading comprehension questions. Students discuss the topic. 事前学修 2.0hr：Preview the unit and check vocabulary 事後学修 2.0hr：Complete assigned work and reflection

9回	**授業テーマ：Unit 6** 授業内容：Students are introduced to the topic theme through pre-listening tasks. Students watch a news video and complete reading comprehension questions. Students discuss the topic. 事前学修 2.0hr：Preview the unit and check vocabulary 事後学修 2.0hr：Complete assigned work and reflection
10回	**授業テーマ：Unit 7** 授業内容：Students are introduced to the topic theme through pre-listening tasks. Students watch a news video and complete reading comprehension questions. Students discuss the topic. 事前学修 2.0hr：Preview the unit and check vocabulary 事後学修 2.0hr：Complete assigned work and reflection
11回	**授業テーマ：Unit 8** 授業内容：Students are introduced to the topic theme through pre-listening tasks. Students watch a news video and complete reading comprehension questions. Students discuss the topic. 事前学修 2.0hr：Preview the unit and check vocabulary 事後学修 2.0hr：Complete assigned work and reflection
12回	**授業テーマ：Final Project Introduction** 授業内容：Students work individually or in small groups to complete a final listening project. Students will be introduced to the project and begin preparations and research. 事前学修 2.0hr：Preview the final project 事後学修 3.0hr：Complete assigned work
13回	**授業テーマ：Final Project Preparation and Research** 授業内容：Students will continue to research and organize their materials for the final presentation day. 事前学修 2.0hr：Review project preparations 事後学修 3.0hr：Finalize project and practice for presentation
14回	**授業テーマ：Final Project Presentation** 授業内容：Students will present their final project to the class. Students will complete listening sheets. 事前学修 2.0hr：Finalize preparations and practice 事後学修 2.0hr：Reflect on final project. Complete course reflection worksheet.
15回	**授業テーマ：Student Consultations** 授業内容：Students will receive individual consultations with the instructor on their performance in the course and guidance for future listening study. 事前学修 2.0hr：Prepare questions and reflection for the consultation 事後学修 4.0hr：Engage in dedicated listening activities over the summer break.

Advanced Listening Skills b

開講学科等：英 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

梶浦　恭平 (かじうら　きょうへい)

▌授業の概要

この授業では、ハリウッド映画を題材にしたビデオ教材を用いてリスニング力の向上を目指します。映画を紹介する映像を繰り返し見て、自然なスピードの英語に慣れ、語彙や重要表現を学びます。授業で紹介した映画を自分で見てみると、字幕なしでもかなり聴き取れるようになっていると思います。受講者のレベルに応じて、教科書以外にニュースや歌など様々な題材を用いて、リスニングを行います。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：自然なスピードの英語に慣れ、字幕に頼らずにある程度洋画を理解できるリスニング力をつける。
個別目標：① 語彙を増やし、自然なスピードの会話でキーワードが聞き取れるようになる。
② 様々な英語に触れ、リスニングの基礎を固める。

▌履修条件

(1) リスニング力を向上させたいという気持ちがあり、積極的に授業に参加すること。
(2) 映画を見るのが好きなこと。

▌評価基準・方法

授業の参加状況・提出課題(70 %)、期末レポート(30 %)の結果に基づいて、総合的に評価する。

▌フィードバック方法

毎回の課題の提出及びフィードバックは google form を用いて行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ペアワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

John S. Lander. Hollywood English - Movie Reviews from VOA- . 2014. Asahi Press.

▌参考書

授業の際、適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：授業の進め方の説明とイントロダクション** 授業内容：リスニング力をつける上で必要なことを確認する。 事前学修 2.0hr：教科書を入手して内容を一通り見ておく。 事後学修 2.0hr：リスニング力をどのように高めていくかについて計画を立てる。
2回	**授業テーマ：Unit8 Lincoln (1)** 授業内容：Lincoln の映像を見て、あらすじを読んで理解し、音読する。重要語彙を理解し、使い方を学習する。 事前学修 2.0hr：Unit8 の Movie summary と vocabulary を読んでわからない単語を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、教科書を見ずに聞き取れるようになるまで繰り返し音声を聞く。
3回	**授業テーマ：Unit1 Lincoln (2)** 授業内容：Lincoln の映像を繰り返し見て、内容確認の問題に解答し、解説する。会話の音声を聞いて、書き取りをし、発音練習をする。 事前学修 2.0hr：Unit8 の後半部分を予習してわからない単語を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、内容が理解できるようになるまで繰り返し video を見る。
4回	**授業テーマ：Unit9 Ruby Sparks (1)** 授業内容：Ruby Sparks の映像を見て、あらすじを読んで理解し、音読する。重要語彙を理解し、使い方を学習する。 事前学修 2.0hr：Unit9 の Movie summary と vocabulary を読んでわからない単語を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、教科書を見ずに聞き取れるようになるまで繰り返し音声を聞く。
5回	**授業テーマ：Unit9 Ruby Sparks (2)** 授業内容：Ruby Sparks の映像を繰り返し見て、内容確認の問題に解答し、解説する。会話の音声を聞いて、書き取りをし、発音練習をする。 事前学修 2.0hr：Unit9 の後半部分を予習してわからない単語を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、内容が理解できるようになるまで繰り返し video を見る。
6回	**授業テーマ：Unit10 The Hobbit: An Unexpected Journey (1)** 授業内容：The Hobbit: An Unexpected Journey の映像を見て、あらすじを読んで理解し、音読する。重要語彙を理解し、使い方を学習する。 事前学修 2.0hr：Unit10 の Movie summary と vocabulary を読んでわからない単語を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、教科書を見ずに聞き取れるようになるまで繰り返し音声を聞く。
7回	**授業テーマ：Unit3 The Hobbit: An Unexpected Journey (2)** 授業内容：The Hobbit: An Unexpected Journey の映像を繰り返し見て、内容確認の問題に解答し、解説する。会話の音声を聞いて、書き取りをし、発音練習をする。 事前学修 2.0hr：Unit10 の後半部分を予習してわからない単語を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、内容が理解できるようになるまで繰り返し video を見る。
8回	**授業テーマ：Unit11 Argo (1)** 授業内容：Argo の映像を見て、あらすじを読んで理解し、音読する。重要語彙を理解し、使い方を学習する。 事前学修 2.0hr：Unit11 の Movie summary と vocabulary を読んでわからない単語を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、教科書を見ずに聞き取れるようになるまで繰り返し音声を聞く。
9回	**授業テーマ：Unit11 Argo (2)** 授業内容：Argo の映像を繰り返し見て、内容確認の問題に解答し、解説する。会話の音声を聞いて、書き取りをし、発音練習をする。 事前学修 2.0hr：Unit11 の後半部分を予習してわからない単語を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、内容が理解できるようになるまで繰り返し video を見る。
10回	**授業テーマ：Unit12 The Tree of Life (1)** 授業内容：The Tree of Life の映像を見て、あらすじを読んで理解し、音読する。重要語彙を理解し、使い方を学習する。 事前学修 2.0hr：Unit12 の Movie summary と vocabulary を読んでわからない単語を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、教科書を見ずに聞き取れるようになるまで繰り返し音声を聞く。
11回	**授業テーマ：Unit12 The Tree of Life (2)** 授業内容：The Tree of Life の映像を繰り返し見て、内容確認の問題に解答し、解説する。会話の音声を聞いて、書き取りをし、発音練習をする。 事前学修 2.0hr：Unit12 の後半部分を予習してわからない単語を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、内容が理解できるようになるまで繰り返し video を見る。

12回	**授業テーマ：Unit13 J. Edgar (1)** 授業内容：J. Edgar の映像を見て、あらすじを読んで理解し、音読する。重要語彙を理解し、使い方を学習する。 事前学修 2.0hr：Unit13 の Movie summary と vocabulary を読んでわからない単語を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、教科書を見ずに聞き取れるようになるまで繰り返し音声を聞く。
13回	**授業テーマ：Unit13 J.Edgar (2)** 授業内容：J. Edgar の映像を繰り返し見て、内容確認の問題に解答し、解説する。会話の音声を聞いて、書き取りをし、発音練習をする。 事前学修 2.0hr：Unit13 の後半部分を予習してわからない単語を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、内容が理解できるようになるまで繰り返し video を見る。
14回	**授業テーマ：Unit14 Super8 (1)** 授業内容：Super8 の映像を見て、あらすじを読んで理解し、音読する。重要語彙を理解し、使い方を学習する。 事前学修 2.0hr：Unit14 の Movie summary と vocabulary を読んでわからない単語を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、教科書を見ずに聞き取れるようになるまで繰り返し音声を聞く。
15回	**授業テーマ：Unit14 Super8 (2)** 授業内容：Super8 の映像を繰り返し見て、内容確認の問題に解答し、解説する。会話の音声を聞いて、書き取りをし、発音練習をする。 事前学修 2.0hr：Unit14 の後半部分を予習してわからない単語を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、内容が理解できるようになるまで繰り返し video を見る。

Advanced Listening Skills b

開講学科等：英 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

パトリツィア　ハヤシ

▌授業の概要

A compulsory elective second-semester course in the third and fourth year. Building on the skills learned in previous listening classes, Advanced Listening Skills b requires students to listen to and comprehend a variety of authentic listening materials. Furthermore, students will be expected to use critical thinking skills and strategies to deepen their understanding of the course content. This course will be taught entirely in English and students will be required to actively participate.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：While this course mainly focuses on listening, integrating the four skills will be a key component of each class. Students will concentrate on a number of skills; however, vocabulary acquisition and critical thinking will be particularly emphasized. Through active participation and independent study, students will draw on the lessons learned and apply them to targeted listening tasks.

個別目標：By the end of the second semester, students will be able to listen to and comprehend a variety of current topics with greater confidence through the application of listening strategies.

▌履修条件

Advanced Listening Skills b is a separate course and can be taken independently from Advanced Listening Skills a. Attendance at more than 80% of the classes is required.

▌評価基準・方法

Students are evaluated via active participation (30%), coursework (20%), mid-term project (20%) and final project (30%). Feedback and assessments will be given in class or on manaba. Please consult your instructor.

▌フィードバック方法

On-going feedback occurs in each lesson and coursework is evaluated to check students' understanding of main ideas, inference, and listening for details. A mid-term project and final project will further demonstrate students' listening and other integrated skills.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Pair work and group work）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

Yamaoka, T., Roman, R. & Toyoshima, C. (2024). CNN News English: Engaging College Students as Active Learners. Asahi Press.

▌参考書

Supplementary materials will be provided by the instructor and available online.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Course Introduction** 授業内容：Students will go over the course syllabus and course content. Introductory activities will take place to build the class atmosphere and establish expectations. 事前学修 2.0hr：Preview the course textbook and look over the manaba information 事後学修 2.0hr：Complete the assigned work.
2回	**授業テーマ：Unit 9** 授業内容：Students are introduced to the topic theme through pre-listening tasks. Students watch a news video and complete reading comprehension questions. Students discuss the topic. 事前学修 2.0hr：Preview the unit and check vocabulary 事後学修 2.0hr：Complete assigned work and reflection
3回	**授業テーマ：Unit 10** 授業内容：Students are introduced to the topic theme through pre-listening tasks. Students watch a news video and complete reading comprehension questions. Students discuss the topic. 事前学修 2.0hr：Preview the unit and check vocabulary 事後学修 2.0hr：Complete assigned work and reflection
4回	**授業テーマ：Unit 11** 授業内容：Students are introduced to the topic theme through pre-listening tasks. Students watch a news video and complete reading comprehension questions. Students discuss the topic. 事前学修 2.0hr：Preview the unit and check vocabulary 事後学修 2.0hr：Complete assigned work and reflection
5回	**授業テーマ：Unit 12** 授業内容：Students are introduced to the topic theme through pre-listening tasks. Students watch a news video and complete reading comprehension questions. Students discuss the topic. 事前学修 2.0hr：Preview the unit and check vocabulary 事後学修 2.0hr：Complete assigned work and reflection
6回	**授業テーマ：Mid-term Project (1)** 授業内容：Students work individually or in small groups to complete a mid-term listening project. Students will be introduced to the project and begin preparations and research. 事前学修 2.0hr：Preview mid-term project 事後学修 3.0hr：Complete assigned work
7回	**授業テーマ：Mid-term Project (2)** 授業内容：Students finalize their project and prepare to share their work in the class. 事前学修 2.0hr：Review project preparations 事後学修 3.0hr：Complete project reflection
8回	**授業テーマ：Unit 13** 授業内容：Students are introduced to the topic theme through pre-listening tasks. Students watch a news video and complete reading comprehension questions. Students discuss the topic. 事前学修 2.0hr：Preview the unit and check vocabulary 事後学修 2.0hr：Complete assigned work and reflection

9回	**授業テーマ：Unit 14** 授業内容：Students are introduced to the topic theme through pre-listening tasks. Students watch a news video and complete reading comprehension questions. Students discuss the topic. 事前学修 2.0hr：Preview the unit and check vocabulary 事後学修 2.0hr：Complete assigned work and reflection
10回	**授業テーマ：Unit 15** 授業内容：Students are introduced to the topic theme through pre-listening tasks. Students watch a news video and complete reading comprehension questions. Students discuss the topic. 事前学修 2.0hr：Preview the unit and check vocabulary 事後学修 2.0hr：Complete assigned work and reflection
11回	**授業テーマ：Unit 16** 授業内容：Students are introduced to the topic theme through pre-listening tasks. Students watch a news video and complete reading comprehension questions. Students discuss the topic. 事前学修 2.0hr：Preview the unit and check vocabulary 事後学修 2.0hr：Complete assigned work and reflection
12回	**授業テーマ：Final Project Introduction** 授業内容：Students work individually or in small groups to complete a final listening project. Students will be introduced to the project and begin preparations and research. 事前学修 2.0hr：Preview the final project 事後学修 3.0hr：Complete assigned work
13回	**授業テーマ：Final Project Preparation and Research** 授業内容：Students will continue to research and organize their materials for the final presentation day. 事前学修 2.0hr：Review project preparations 事後学修 3.0hr：Finalize project and practice for presentation
14回	**授業テーマ：Final Project Presentation** 授業内容：Students will present their final project to the class. Students will complete listening sheets. 事前学修 2.0hr：Finalize preparations and practice 事後学修 2.0hr：Reflect on final project. Complete course reflection worksheet.
15回	**授業テーマ：Student Consultations** 授業内容：Students will receive individual consultations with the instructor on their performance in the course and guidance for future listening study. 事前学修 2.0hr：Prepare questions and reflection for the consultation 事後学修 4.0hr：Engage in dedicated listening activities over the spring break.

Discussion & Debate a

開講学科等：英 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

タイソン　ロード

▌授業の概要

In Discussion and Debate a, students will learn advanced discussion skills in English and become confident speakers about current topics and events related to both local and global issues. Students will build upon the skills they have learned in Integrated English I-IV in the Intensive Language Program (ILP). Students will be expected to participate actively in pair, small group, and larger group discussions.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：3）

一般目標：The main objective of this course is for students to acquire and master advanced discussion skills, so that they can express opinions and ideas confidently in English. Students will receive training on how to participate actively in English discussions about various topics.

個別目標：The specific objectives of this course are outlined below. By the end of this course students will be able to:

1. Demonstrate discussion skills such as taking a position on a topic, constructing logical arguments, contributing to and expanding on ideas, asking questions, clarifying other’s positions, evaluating and defending positions, suggesting options, weighing relevant criteria etc.
2. Analyze and evaluate various sources of information and provide good sources of evidence for their opinions and interpretations.
3. Synthesize and summarize information concisely relating the main points.
4. Demonstrate media literacy skills and critical thinking skills.

▌履修条件

This course is a first-semester elective course. While cultivating similar skills, Discussion and Debate a and Discussion and Debate b are two independent half-year courses (i.e., Discussion and Debate b is available to students who have not completed Discussion and Debate a).

▌評価基準・方法

Students will be evaluated for this course via Active Participation (40%), a Debate Project (30%), and a Final Discussion Test (30%). Feedback and assessments will be given in class or on manaba. Please consult your instructor.

▌フィードバック方法

Students will receive both oral and written feedback in class and on manaba. Feedback will be given on quizzes and other assignments.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Pair work and group work）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

Clankie, S., Maekawa, Y., Nakatsugawa, M., & Endo, T. (2009). Solutions: A Topic-Based Communication and Discussion Textbook. Cengage Learning (required textbook).

▌参考書

Supplementary materials will be provided as necessary.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Course Introduction** 授業内容：Students review the syllabus and course schedule with their instructor. Students actively participate in pair and group discussions to activate prior knowledge and build confidence in communication. 事前学修 2.0hr：Preview course syllabus and course textbook 事後学修 2.0hr：Complete assigned work
2回	**授業テーマ：Unit 1 Culture: Lesson 1** 授業内容：Students are introduced to the contents of the unit, learn the vocabulary for discussion of the topic, and practice the Discussion Skills 1 target language. 事前学修 2.0hr：Prepare arguments or evidence for a position 事後学修 2.0hr：Review Discussion Skills 1 and complete assigned work
3回	**授業テーマ：Unit 1 Culture: Lesson 2** 授業内容：Students share ideas and build positions with supporting evidence for and against the topic. Students learn more vocabulary and the Discussion Skills 2 target language. 事前学修 2.0hr：Prepare arguments or evidence for a position 事後学修 2.0hr：Review Discussion Skills 2 and complete assigned work
4回	**授業テーマ：Unit 1 Culture: Lesson 3** 授業内容：Students discuss the topic as a group and complete a reflection journal stating their final opinion on the topic. Students learn more vocabulary and the Discussion Skills 3 target language. 事前学修 2.0hr：Prepare arguments or evidence for a position 事後学修 2.0hr：Review Discussion Skills 3 and complete assigned work
5回	**授業テーマ：Unit 3 Language: Lesson 1** 授業内容：Students are introduced to the contents of the unit, learn the vocabulary for discussion of the topic, and practice the Discussion Skills 4 target language. 事前学修 2.0hr：Prepare arguments or evidence for a position 事後学修 2.0hr：Review Discussion Skills 4 and complete assigned work
6回	**授業テーマ：Unit 3 Language: Lesson 2** 授業内容：Students share ideas and build positions with supporting evidence for and against the topic. Students learn more vocabulary and the Discussion Skills 5 target language. 事前学修 2.0hr：Prepare arguments or evidence for a position 事後学修 2.0hr：Review Discussion Skills 5 and complete assigned work
7回	**授業テーマ：Unit 3 Language: Lesson 3** 授業内容：Students discuss the topic as a group and complete a reflection journal stating their final opinion on the topic. Students learn more vocabulary and the Discussion Skills 6 target language. 事前学修 2.0hr：Prepare arguments or evidence for a position 事後学修 2.0hr：Review Discussion Skills 6 and complete assigned work

8回	**授業テーマ：Unit 2 Society: Lesson 1** 授業内容：Students are introduced to the contents of the unit, learn the vocabulary for discussion of the topic, and practice the Discussion Skills 7 target language. 事前学修 2.0hr：Prepare arguments or evidence for a position 事後学修 2.0hr：Review Discussion Skills 7 and complete assigned work
9回	**授業テーマ：Unit 2 Society: Lesson 2** 授業内容：Students share ideas and build positions with supporting evidence for and against the topic. Students learn more vocabulary and the Discussion Skills 8 target language. 事前学修 2.0hr：Prepare arguments or evidence for a position 事後学修 2.0hr：Review Discussion Skills 8 and complete assigned work
10回	**授業テーマ：Unit 3 Society: Lesson 3** 授業内容：Students discuss the topic as a group and complete a reflection journal stating their final opinion on the topic. Students learn more vocabulary and the Discussion Skills 9 target language. 事前学修 2.0hr：Prepare arguments or evidence for a position 事後学修 2.0hr：Review Discussion Skills 9 and complete assigned work
11回	**授業テーマ：Final Debate Preparation** 授業内容：Students in pairs or groups will prepare arguments and supporting evidence for and against a proposition. They will organize their arguments and supporting evidence logically and prepare to debate enthusiastically in the next class. 事前学修 2.0hr：Prepare arguments or evidence for a position 事後学修 2.0hr：Logically organize arguments and evidence for the final debate
12回	**授業テーマ：Final Debate** 授業内容：Students participate actively and enthusiastically in a final debate using all of the discussion language, media literacy, and critical thinking skills they have learned this semester. 事前学修 2.0hr：Make final preparations for the debate 事後学修 2.0hr：Complete final debate reflection and assigned work
13回	**授業テーマ：Final Discussion Test Review** 授業内容：Students will review Discussion Skills 1-9 and all of the vocabulary and contents covered this semester. Students prepare for the pair or group final discussion text the next week. 事前学修 2.0hr：Review Discussion Skills 1-9 and all of the vocabulary and contents covered this semester 事後学修 2.0hr：Review Discussion Skills 1-9 and all of the vocabulary and contents covered this semester
14回	**授業テーマ：Final Discussion Test** 授業内容：Students in pairs or small groups participate in a final discussion test based on Discussion Skills 1-9 and all of the vocabulary and contents covered this semester. 事前学修 2.0hr：Practice for the Final Discussion Test with your partner(s) 事後学修 2.0hr：Complete self-reflection assignment
15回	**授業テーマ：Student Consultations and Course Feedback Session** 授業内容：Students are given group and individual feedback based on their performance in the various discussion and debate activities during the course. Students complete a course survey and submit their self-reflection assignment. 事前学修 2.0hr：Submit the self-reflection assignment to the instructor of the course 事後学修 2.0hr：Complete the course survey

Discussion & Debate b

開講学科等：英 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

タイソン　ロード

▌授業の概要

In Discussion and Debate b, students will learn advanced discussion skills in English and become confident speakers about current topics and events related to both local and global issues. Students will build upon the skills they have learned in Integrated English I-IV in the Intensive Language Program (ILP). Students will be expected to participate actively in pair, small group, and larger group discussions.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：3）

一般目標：The main objective of this course is for students to acquire and master advanced discussion skills, so that they can express opinions and ideas confidently in English. Students will receive training on how to participate actively in English discussions about various topics.

個別目標：The specific objectives of this course are outlined below. By the end of this course students will be able to:

1. Demonstrate discussion skills such as taking a position on a topic, constructing logical arguments, contributing to and expanding on ideas, asking questions, clarifying other’ s positions, evaluating and defending positions, suggesting options, weighing relevant criteria etc.
2. Analyze and evaluate various sources of information and provide good sources of evidence for their opinions and interpretations.
3. Synthesize and summarize information concisely relating the main points.
4. Demonstrate media literacy skills and critical thinking skills.

▌履修条件

This course is a second-semester elective course. While cultivating similar skills, Discussion and Debate a and Discussion and Debate b are two independent half-year courses (i.e., Discussion and Debate b is available to students who have not completed Discussion and Debate a).

▌評価基準・方法

Students will be evaluated for this course via Active Participation (40%), a Debate Project (30%), and a Final Discussion Test (30%). Feedback and assessments will be given in class or on manaba. Please consult your instructor.

▌フィードバック方法

Students will receive both oral and written feedback in class and on manaba. Feedback will be given on quizzes and other assignments.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Pair work and group work）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

Clankie, S., Maekawa, Y., Nakatsugawa, M., & Endo, T. (2009). Solutions: A Topic-Based Communication and Discussion Textbook. Cengage Learning (required textbook).

▌参考書

Supplementary materials will be provided as necessary.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Course Introduction** 授業内容：Students review the syllabus and course schedule with their instructor. Students actively participate in pair and group discussions to activate prior knowledge and build confidence in communication. 事前学修 2.0hr：Preview course syllabus and course textbook 事後学修 2.0hr：Complete assigned work
2回	**授業テーマ：Unit 5 The City and the Country: Lesson 1** 授業内容：Students are introduced to the contents of the unit, learn the vocabulary for discussion of the topic, and practice the Discussion Skills 10 target language. 事前学修 2.0hr：Prepare arguments or evidence for a position 事後学修 2.0hr：Review Discussion Skills 10 and complete assigned work
3回	**授業テーマ：Unit 5 The City and the Country: Lesson 2** 授業内容：Students share ideas and build positions with supporting evidence for and against the topic. Students learn more vocabulary and the Discussion Skills 11 target language. 事前学修 2.0hr：Prepare arguments or evidence for a position 事後学修 2.0hr：Review Discussion Skills 11 and complete assigned work
4回	**授業テーマ：Unit 5 The City and the Country: Lesson 3** 授業内容：Students discuss the topic as a group and complete a reflection journal stating their final opinion on the topic. Students learn more vocabulary and the Discussion Skills 12 target language. 事前学修 2.0hr：Prepare arguments or evidence for a position 事後学修 2.0hr：Review Discussion Skills 12 and complete assigned work
5回	**授業テーマ：Unit 6 Environment: Lesson 1** 授業内容：Students are introduced to the contents of the unit, learn the vocabulary for discussion of the topic, and practice the Discussion Skills 13 target language. 事前学修 2.0hr：Prepare arguments or evidence for a position 事後学修 2.0hr：Review Discussion Skills 13 and complete assigned work
6回	**授業テーマ：Unit 6 Environment: Lesson 2** 授業内容：Students share ideas and build positions with supporting evidence for and against the topic. Students learn more vocabulary and the Discussion Skills 14 target language. 事前学修 2.0hr：Prepare arguments or evidence for a position 事後学修 2.0hr：Review Discussion Skills 14 and complete assigned work
7回	**授業テーマ：Unit 6 Environment: Lesson 3** 授業内容：Students discuss the topic as a group and complete a reflection journal stating their final opinion on the topic. Students learn more vocabulary and the Discussion Skills 15 target language. 事前学修 2.0hr：Prepare arguments or evidence for a position 事後学修 2.0hr：Review Discussion Skills 15 and complete assigned work

8回	**授業テーマ：Unit 7 Education: Lesson 1** 授業内容：Students are introduced to the contents of the unit, learn the vocabulary for discussion of the topic, and practice the Discussion Skills 16 target language. 事前学修 2.0hr：Prepare arguments or evidence for a position 事後学修 2.0hr：Review Discussion Skills 16 and complete assigned work
9回	**授業テーマ：Unit 7 Education: Lesson 2** 授業内容：Students share ideas and build positions with supporting evidence for and against the topic. Students learn more vocabulary and the Discussion Skills 17 target language. 事前学修 2.0hr：Prepare arguments or evidence for a position 事後学修 2.0hr：Review Discussion Skills 17 and complete assigned work
10回	**授業テーマ：Unit 7 Education: Lesson 3** 授業内容：Students discuss the topic as a group and complete a reflection journal stating their final opinion on the topic. Students learn more vocabulary and the Discussion Skills 18 target language. 事前学修 2.0hr：Prepare arguments or evidence for a position 事後学修 2.0hr：Review Discussion Skills 18 and complete assigned work
11回	**授業テーマ：Final Debate Preparation** 授業内容：Students in pairs or groups will prepare arguments and supporting evidence for and against a proposition. They will organize their arguments and supporting evidence logically and prepare to debate enthusiastically in the next class. 事前学修 2.0hr：Prepare arguments or evidence for a position 事後学修 2.0hr：Logically organize arguments and evidence for the final debate
12回	**授業テーマ：Final Debate** 授業内容：Students participate actively and enthusiastically in a final debate using all of the discussion language, media literacy, and critical thinking skills they have learned this semester. 事前学修 2.0hr：Make final preparations for the debate 事後学修 2.0hr：Complete final debate reflection and assigned work
13回	**授業テーマ：Final Discussion Test Review** 授業内容：Students will review Discussion Skills 10-18 and all of the vocabulary and contents covered this semester. Students prepare for the pair or group final discussion text the next week. 事前学修 2.0hr：Review Discussion Skills 10-18 and all of the vocabulary and contents covered this semester 事後学修 2.0hr：Review Discussion Skills 10-18 and all of the vocabulary and contents covered this semester
14回	**授業テーマ：Final Discussion Test** 授業内容：Students in pairs or small groups participate in a final discussion test based on Discussion Skills 10-18 and all of the vocabulary and contents covered this semester. 事前学修 2.0hr：Practice for the Final Discussion Test with your partner(s) 事後学修 2.0hr：Complete self-reflection assignment
15回	**授業テーマ：Student Consultations and Course Feedback Session** 授業内容：Students are given group and individual feedback based on their performance in the various discussion and debate activities during the course. Students complete a course survey and submit their self-reflection assignment. 事前学修 2.0hr：Submit the self-reflection assignment to the instructor of the course 事後学修 2.0hr：Complete the course survey

Advanced Research & Presentation Skills

開講学科等：英 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

ケイコ　ナカムラ

▌授業の概要

The purpose of this course is to gain advanced research and presentation skills, so that students will be able to conduct research and present their work. We will cover the basic steps of conducting research (e.g., formulating a research question, conducting a literature review, designing a methodology, collecting and analyzing data) and learn about academic research writing and oral presentations, acquiring useful and practical skills. We will also work on individual research projects throughout the course.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：4）

一般目標：The goals of this course are to learn how to conduct research & present findings in oral presentations and in writing reports.

個別目標：Students will learn to: 1. Formulate research questions, conduct a literature review, design research methodology, collect/analyze data.
2. Use different research methodologies (e.g., questionnaires, interviews, observations).
3. Learn how to express themselves in English in writing and oral presentations.
4. Engage in critical thinking and ask interesting questions.

▌履修条件

Students must actively engage in class activities (e.g., discussions & presentations). We will design different types of research projects (e.g., questionnaires, interviews, observations) and collect data. This requires critical thinking, as well as independent learning.

▌評価基準・方法

Active participation in class activities, including questionnaire/interview design (60%), written report (20%), oral presentation (20%). Plagiarism will not be tolerated. Avoid use of machine translation/generative AI. 80% of classes must be attended to pass the course.

▌フィードバック方法

Feedback of assignments will be conducted through manaba and in class.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Group discussions, group activities, peer feedback）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （We will be in a PC classroom using MS Word, Powerpoint & Excel.）

▌教科書

Reading materials will be assigned and distributed accordingly. Some of the readings will come from Wisher, G. (2009) The undergraduate research handbook. Palgrave Macmillan.

▌参考書

Supplementary materials and references will be distributed in class as necessary.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Course Introduction: Advanced Research and Presentation** 授業内容：Lecture and discussion about ”What is Research?” (e.g., definition of research, what it means to do research); Student questionnaire. 事前学修 2.0hr：Look over syllabus 事後学修 2.0hr：Reading: Starting Research (Ch. 2) & Good Research (Ch. 3)
2回	**授業テーマ：Conducting Research: Starting Research/Generating a Research Topic** 授業内容：Lecture and discussion about ”Starting Research” (e.g., planning research, gathering information, data collection, conducting fieldwork); Brainstorming activities (finding a research topic) 事前学修 2.0hr：Reading: Starting Research (Ch. 2) & Good Research, The Essentials (Ch. 3) 事後学修 2.0hr：Reading: Research for a Project (Ch. 4) & Literature Review (Ch. 7)
3回	**授業テーマ：Conducting Research: Literature Review I** 授業内容：Lecture and discussion about ”Carrying out Research for a Project/Carrying out a Literature Review”; Group activity about critical thinking. 事前学修 2.0hr：Reading: Carrying Out Research for a Project (Ch. 4) & Carrying out a Literature Review (Ch. 7) 事後学修 2.0hr：Reading: Finding Sources Ch.8) /Using the Internet(Ch.10)
4回	**授業テーマ：Conducting Research: Literature Review II** 授業内容：Lecture and discussion about conducting research, gathering references (e.g., library, internet). Class Activity: Finding Sources. 事前学修 2.0hr：Reading: Finding Sources (Ch.8)/Using the Internet (Ch.10) 事後学修 2.0hr：Reading: Research Methods (Ch.8)/Quantitative Methods(Ch.11)
5回	**授業テーマ：Conducting Research: Research Methodology I (Questionnaires)** 授業内容：Lecture and discussion about types of research methods: Questionnaires (e.g., how to design a questionnaire, how to administer a questionnaire online). Questionnaire activity. 事前学修 2.0hr：Reading:Research Methods(Ch. 8)/Quantitative Methods(Ch.11) 事後学修 2.0hr：Reading: Qualitative Methods in Action (Ch. 12)
6回	**授業テーマ：Conducting Research: Research Methodology II (Interviews)** 授業内容：Lecture and discussion about types of research methods: Interviews (e.g., how to design an interview, challenges of interviews). Interview Activity. 事前学修 2.0hr：Reading: Qualitative Methods in Action (Ch. 12) 事後学修 2.0hr：Reading: Review previous readings
7回	**授業テーマ：Conducting Research: Research Methodology III (Observations)** 授業内容：Lecture and discussion about types of research methods: Observations (e.g., how to use an observational checklist, how to do an observational study). Observation Activity. 事前学修 2.0hr：Reading: Review previous readings 事後学修 2.0hr：Reading: Writing a Research Proposal (Ch. 6)
8回	**授業テーマ：Conducting Research Writing: Writing a Research Proposal** 授業内容：Writing a research proposal: Fine-tuning and narrowing the research topic. Class activity: Research Proposal Worksheet. 事前学修 2.0hr：Reading: Writing a Research Proposal (Ch. 6) 事後学修 2.0hr：Review class material & work on Research Proposal

9回	**授業テーマ：Conducting Research Writing: Writing a Literature Review I** 授業内容：Once the research proposal has been approved, students will work on their literature review. They will conduct research in the library and on the internet, finding relevant sources. 事前学修 2.0hr：Review Chapters 4 & 7; Search for materials for lit. review 事後学修 2.0hr：Work on literature review
10回	**授業テーマ：Conducting Research Writing: Writing a Literature Review II** 授業内容：After reading the sources, students will compile their literature review in an organized manner. 事前学修 2.0hr：Review Chapters 9 & 10; Work on literature review 事後学修 2.0hr：Finish literature review
11回	**授業テーマ：Conducting Research Writing: Writing a Methodology** 授業内容：Next, students will write their methodology sections, with details about participants, materials, procedures, and data coding/analysis. 事前学修 2.0hr：Review Chapters 8, 10 & 12, Bring questions to class 事後学修 2.0hr：Work on methodology
12回	**授業テーマ：Conducting Oral Presentations I: Introduction** 授業内容：Lecture & discussion: Basic Principles of Presentations (e.g., similarities and differences between public speaking & conversation; what to do if anxious). Class Activity: One-minute speeches. 事前学修 2.0hr：Finish methodology 事後学修 2.0hr：Review class material; work on first draft of Research Paper
13回	**授業テーマ：Conducting Oral Presentations II: Delivery** 授業内容：Lecture & discussion: Delivery (e.g., 4 methods of delivery, controlling your voice: volume, pitch, speed, pasing, vocal variety, pronunciation). Class Activity: Delivery exercises 事前学修 2.0hr：Submit first draft of Research Paper 事後学修 2.0hr：Practice delivery skills
14回	**授業テーマ：Conducting Oral Presentations III: Powerpoint** 授業内容：Lecture & discussion: Delivery & Powerpoint: working on articulation and enunciation. Class Activity: Tongue Twisters; creating a powerpoint. 事前学修 2.0hr：Reading: Oral Presentations 事後学修 2.0hr：Prepare powerpoint for final presentation; Practice
15回	**授業テーマ：Final Oral Presentations** 授業内容：All oral presentations will be conducted on the last day of class. Peer feedback and questions will be encouraged. 事前学修 2.0hr：Prepare for oral presentation 事後学修 2.0hr：Submit final draft of written Research Paper

Advanced Research & Presentation Skills

開講学科等：英 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

ケイコ　ナカムラ

▌授業の概要

The purpose of this course is to gain advanced research and presentation skills, so that students will be able to conduct research and present their work. We will cover the basic steps of conducting research (e.g., formulating a research question, conducting a literature review, designing a methodology, collecting and analyzing data) and learn about academic research writing and oral presentations, acquiring useful and practical skills. We will also work on individual research projects throughout the course.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：4）

一般目標：The goals of this course are to learn how to conduct research & present findings in oral presentations and in writing.

個別目標：Students will learn to: 1. Formulate research questions, conduct a literature review, design research methodology, collect/analyze data.
2. Use different research methodologies (e.g., questionnaires, interviews, observations).
3. Learn how to express themselves in English in writing and oral presentations.
4. Engage in critical thinking and ask interesting questions.

▌履修条件

Students must actively engage in class activities (e.g., discussions & presentations). We will design different types of research projects (e.g., questionnaires, interviews, observations) and collect data. This requires critical thinking, as well as independent learning.

▌評価基準・方法

Active participation in class activities, including questionnaire/interview design (60%), written report (20%), oral presentation (20%). Plagiarism will not be tolerated. Avoid machine translation and generative AI. 80% of classes must be attended to pass the course.

▌フィードバック方法

Feedback of assignments will be conducted through manaba and in class.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Group discussions, group activities, peer feedback）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （We will be in a PC classroom using MS Word, Powerpoint & Excel.）

▌教科書

Reading materials will be assigned and distributed accordingly. Some of the readings will come from Wisher, G. (2009) The undergraduate research handbook. Palgrave Macmillan.

▌参考書

Supplementary materials and references will be distributed in class as necessary.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Course Introduction: Advanced Research and Presentation** 授業内容：Lecture and discussion about ”What is Research?” (e.g., definition of research, what it means to do research); Student questionnaire. 事前学修 2.0hr：Look over syllabus 事後学修 2.0hr：Reading: Starting Research (Ch. 2) & Good Research (Ch. 3)
2回	**授業テーマ：Conducting Research: Starting Research/Generating a Research Topic** 授業内容：Lecture and discussion about ”Starting Research” (e.g., planning research, gathering information, data collection, conducting fieldwork); Brainstorming activities (finding a research topic) 事前学修 2.0hr：Reading: Starting Research (Ch. 2) & Good Research, The Essentials (Ch. 3) 事後学修 2.0hr：Reading: Research for a Project (Ch. 4) & Literature Review (Ch. 7)
3回	**授業テーマ：Conducting Research: Literature Review I** 授業内容：Lecture and discussion about ”Carrying out Research for a Project/Carrying out a Literature Review”; Group activity about critical thinking. 事前学修 2.0hr：Reading: Carrying Out Research for a Project (Ch. 4) & Carrying out a Literature Review (Ch. 7) 事後学修 2.0hr：Reading: Finding Sources Ch.8) /Using the Internet(Ch.10)
4回	**授業テーマ：Conducting Research: Literature Review II** 授業内容：Lecture and discussion about conducting research, gathering references (e.g., library, internet). Class Activity: Finding Sources. 事前学修 2.0hr：Reading: Finding Sources (Ch.8)/Using the Internet (Ch.10) 事後学修 2.0hr：Reading: Research Methods (Ch.8)/Quantitative Methods(Ch.11)
5回	**授業テーマ：Conducting Research: Research Methodology I (Questionnaires)** 授業内容：Lecture and discussion about types of research methods: Questionnaires (e.g., how to design a questionnaire, how to administer a questionnaire online). Questionnaire activity. 事前学修 2.0hr：Reading:Research Methods(Ch. 8)/Quantitative Methods(Ch.11) 事後学修 2.0hr：Reading: Qualitative Methods in Action (Ch. 12)
6回	**授業テーマ：Conducting Research: Research Methodology II (Interviews)** 授業内容：Lecture and discussion about types of research methods: Interviews (e.g., how to design an interview, challenges of interviews). Interview Activity. 事前学修 2.0hr：Reading: Qualitative Methods in Action (Ch. 12) 事後学修 2.0hr：Reading: Review previous readings
7回	**授業テーマ：Conducting Research: Research Methodology III (Observations)** 授業内容：Lecture and discussion about types of research methods: Observations (e.g., how to use an observational checklist, how to do an observational study). Observation Activity. 事前学修 2.0hr：Reading: Review previous readings 事後学修 2.0hr：Reading: Writing a Research Proposal (Ch. 6)
8回	**授業テーマ：Conducting Research Writing: Writing a Research Proposal** 授業内容：Writing a research proposal: Fine-tuning and narrowing the research topic. Class activity: Research Proposal Worksheet. 事前学修 2.0hr：Reading: Writing a Research Proposal (Ch. 6) 事後学修 2.0hr：Review class material & work on Research Proposal

9回	**授業テーマ：Conducting Research Writing: Writing a Literature Review I** 授業内容：Once the research proposal has been approved, students will work on their literature review. They will conduct research in the library and on the internet, finding relevant sources. 事前学修 2.0hr：Review Chapters 4 & 7; Search for materials for lit. review 事後学修 2.0hr：Work on literature review
10回	**授業テーマ：Conducting Research Writing: Writing a Literature Review II** 授業内容：After reading the sources, students will compile their literature review in an organized manner. 事前学修 2.0hr：Review Chapters 9 & 10; Work on literature review 事後学修 2.0hr：Finish literature review
11回	**授業テーマ：Conducting Research Writing: Writing a Methodology** 授業内容：Next, students will write their methodology sections, with details about participants, materials, procedures, and data coding/analysis. 事前学修 2.0hr：Review Chapters 8, 10 & 12, Bring questions to class 事後学修 2.0hr：Work on methodology
12回	**授業テーマ：Conducting Oral Presentations I: Introduction** 授業内容：Lecture & discussion: Basic Principles of Presentations (e.g., similarities and differences between public speaking & conversation; what to do if anxious). Class Activity: One-minute speeches. 事前学修 2.0hr：Finish methodology 事後学修 2.0hr：Review class material; work on first draft of Research Paper
13回	**授業テーマ：Conducting Oral Presentations II: Delivery** 授業内容：Lecture & discussion: Delivery (e.g., 4 methods of delivery, controlling your voice: volume, pitch, speed, pasing, vocal variety, pronunciation). Class Activity: Delivery exercises 事前学修 2.0hr：Submit first draft of Research Paper 事後学修 2.0hr：Practice delivery skills
14回	**授業テーマ：Conducting Oral Presentations III: Powerpoint** 授業内容：Lecture & discussion: Delivery & Powerpoint: working on articulation and enunciation. Class Activity: Tongue Twisters; creating a powerpoint. 事前学修 2.0hr：Reading: Oral Presentations 事後学修 2.0hr：Prepare powerpoint for final presentation; Practice
15回	**授業テーマ：Final Oral Presentations** 授業内容：All oral presentations will be conducted on the last day of class. Peer feedback and questions will be encouraged. 事前学修 2.0hr：Prepare for oral presentation 事後学修 2.0hr：Submit final draft of written Research Paper

コミュニケーション特講Ⅰ-a

開講学科等：英 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

川成　美香（かわなり　みか）

▌授業の概要

ある社会文化的状況の中での、言語の実際の使用に着目する「語用論(Pragmatics)」を学ぶ。円滑なコミュニケーションのためには、言語スキルだけでなく、相手や場面に応じた適切なことば遣いが必要である。母語話者間ではもとより、異言語・異文化の人びととのコミュニケーションにおいては、「情報の伝達」だけでなく「社会関係の維持や管理」も重要である。本科目では、言語運用能力、発話行為、会話の含意、間接発話行為、ポライトネス、依頼や謝罪のストラテジーなどについて焦点をあて、語用論の基本概念および日英語の実際の会話例を扱う。授業は、講義を中心に進める。受講生によるプレゼンテーションやディスカッションも行う。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：語用論的なことばの諸相を理解し、母語話者および異文化の人びととのコミュニケーションに必要な実際の言語使用についての知識を身につける。とりわけ英語コミュニケーションにその知識を実践できる。

個別目標：1：文化・社会に特有な価値観や習慣に根ざした会話ルールや配慮方法について理解を深める。
2：母語話者や異文化の人びととのコミュニケーションで、社会関係の構築や維持をすることができる。

▌履修条件

・履修希望者は第 1 回目の講義に必ず出席すること
・課題や発表に積極的に取りくむ意欲があること
・本科目に継続して「コミュニケーション特講 I-b」を履修することが望ましい

▌評価基準・方法

・平常点（課題・発表・小レポート等）40 %、期末試験 60 %の結果に基づき総合的に評価をする
・5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とし、欠席は減点とする

▌フィードバック方法

・事前学修や事後学修、課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （プレゼンテーション、ディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Word,Excel,PowerPoint ソフトを搭載したノートパソコンを必要に応じて持参すること）

▌教科書

『プラグマティクス・ワークショップ』田中典子　春風社

▌参考書

『わきまえの語用論』井出祥子　大修館書店
『応用言語学事典』小池生夫編　研究社
『ポライトネス一言語使用におけるある普遍現象』田中典子監訳　研究社
その他必要に応じて指示する

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション(履修上の注意、授業方針の説明)** 授業内容：語用論とは、ある社会文化的状況の中での、言語の実際の使用に着目する言語学の分野であり、日本語や英語のコミュニケーション・スキルの向上に資する意義を理解する。授業は、講義および受講生のプレゼンテーションにより進めていく。 事前学修 1.0hr：講義概要を読んで、本科目の概要と到達目標を理解しておく 事後学修 3.0hr：各自の具体的な到達目標を設定する。テキストを全体的に目をとおしておく
2回	**授業テーマ：オリエンテーション(プレゼンのグループ作りと担当決め)、Greeting（挨拶)の語用論** 授業内容：プレゼンテーションのグループ作りと担当を決める。プレゼンテーションの進め方とレジュメの作成方法等の説明を兼ねて、 1 章：Greeting（挨拶)を講義する。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業内に提示される課題に取り組む
3回	**授業テーマ：Communicative Competence (言語運用能力)** 授業内容：どのようなコミュニケーションでも、何を・いつ・どこで・誰に対して・どのように言うか大切である。これを適切にできるかどうかの能力を「言語運用能力(communicative competence)」という(Hymes,1972)。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業内に提示される課題に取り組む
4回	**授業テーマ：Pragmatics（語用論)とは何か** 授業内容：「語用論」では、発話の意味解釈に話し手の意図やその場の状況までを射程に入れる。ある発話がどのような意味をなすかは、文字どおりではなく、状況によって決まるというアプローチをとる。 事前学修 2.0hr：テキストの指定の指定箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業内に提示される課題に取り組む
5回	**授業テーマ：Speech Acts（発話行為)** 授業内容：ことばを発することで、何らかの行為・行動を行っていることを「発話行為」という。「ありがとうございます」と言えば「感謝」という行為を行っていることになる。Austin（1962) の理論と実例をみていく。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業内に提示される課題に取り組む
6回	**授業テーマ：Speech Act-Apology (謝罪という発話行為)** 授業内容：Speech Acts には普遍性があると言われている。発話行為の「約束」は、日本語で「約束します」・英語で'I promise'。「謝罪」は「申し訳ありせん」・' I apologize' となる。ここでは日英語での「謝罪」の比較研究を検討する。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業内に提示される課題に取り組む
7回	**授業テーマ：会話のルールと Conversational Implicature (会話の含意)** 授業内容：Grice（1975)は協調によって成り立つ会話には「協調の原理 (Cooperative Principle)」が機能しており、４つの会話のルールがあると提唱した。実際の場面ではルールを満たしていなくても、会話に含まれる意味(Implicature) を読み取れれば会話は成立する。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業内に提示される課題に取り組む

8回	**授業テーマ：Indirect Speech Acts（間接発話行為）** 授業内容：日常のコミュニケーションでは、言いたいことをストレートに表現せずに、他の表現で間接的に表すことが多い。このような発話行為を、「間接発話行為(indirect speech acts)」と呼ぶ(Searl,1975)。実際の発話例を検討する。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業内に指定される箇所を読んでおく
9回	**授業テーマ：Politeness：１（ポライトネス）** 授業内容：Brown & Levinson(1987) のポライトネス理論の詳細を理解する。人間には「人に好ましく思われたい」という positve face と、「人に踏み込まれたくない」という negative face の２つの面子があり、この面子を満足させることばや行動をポライトネス・ストラテジーという。実際の発話・場面の例を検討する。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業内に提示される課題に取り組む
10回	**授業テーマ：Politeness：２（ポライトネス）** 授業内容：Leech(1983) のポライトネス理論の詳細を理解する。発話行為の種類が異なれば、配慮すべきポライトネスの度合いが異なるという気配りの原則を提唱した。実際の発話・場面の例を検討する。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業内で提示される課題に取り組む
11回	**授業テーマ：Politeness — Request（依頼の中のポライトネス）** 授業内容：依頼という発話行為は、相手にかける負担の度合いによって、さまざまな表現形式をとる。Brown & Levinson（1987）のポライトネス理論を使った依頼表現の日英語比較を検討する。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業内に提示される課題に取り組む
12回	**授業テーマ：Cross-cultural pragmatics（異文化間語用論）** 授業内容：異言語・異文化の人とはコミュニケーション上の問題が生じやすい。異文化でのコミュニケーションに焦点をあて、語用論的視点がどのように役立つのかを、日本人英語学習者の実例を検討する。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業内に指定される課題に取り組む
13回	**授業テーマ：Research Method (調査研究をする）** 授業内容：第 12 回授業までに学んだ語用論の理論と、その応用実践例などを参考にして、受講生が自身のリサーチを計画する。計画したリサーチは、実際にデータを取って調査・分析を行う。その調査の仕方のポイントを解説する。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業内に指定される課題に取り組む
14回	**授業テーマ：「わきまえ」の語用論** 授業内容：Brown & Levinson のポライトネス理論を応用した研究は、さまざまな言語で行われている。しかし西欧で発信された理論は、日本語では矛盾を生じることがある。ポライトネス理論を補完するかたちで提唱されている「わきまえの語用論」(井出,2004)を解説する。 事前学修 2.0hr：事前に配布される資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業内に提示された課題に取り組む
15回	**授業テーマ：授業内容の総復習、補足、Q & A、最終課題の提示** 授業内容：前学期に学んだ「語用論」のいくつかの理論や、理論を応用実践した研究例をふりかえる。第 13 回で計画したリサーチを実行して、その途中経過や結果を報告する。最終的にはレポートの形にまとめる。 事前学修 2.0hr：前学期の学習内容をふりかえっておく。自分のリサーチ計画を完成させておき、実行し始める 事後学修 2.0hr：自分のリサーチ計画を実行して、結果をレポートする。

コミュニケーション特講Ⅰ-b

開講学科等：英 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

川成　美香（かわなり　みか）

▌授業の概要

ある社会文化的状況の中での、言語の実際の使用に着目する「語用論(Pragmatics)」を学ぶ。円滑なコミュニケーションのためには、言語スキルだけでなく、相手や場面に応じた適切なことば遣いが必要である。母語話者間ではもとより、異言語・異文化の人びととのコミュニケーションにおいては、「情報の伝達」だけでなく「社会関係の維持や管理」も重要である。本科目では、社会語用論、ポライトネス理論、フェイス理論、語用論転移などに焦点をあて、謝罪表現やあいづちの日英比較、職場での会話スタイルの日米異文化比較や、話題展開スタイルの日英対照分析などを扱う。授業は、講義を中心に進める。受講生によるプレゼンテーションやディスカッションも行う。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：語用論的なことばの諸相を理解し、母語話者および異文化の人びととのコミュニケーションに必要な実際の言語使用についての知識を身につける。とりわけ英語コミュニケーションにその知識を実践できる。

個別目標：1：文化・社会に特有な価値観や習慣に根ざした会話ルールや配慮方法について理解を深める。
2：母語話者や異文化の人びととのコミュニケーションで、社会関係の構築や維持をすることができる。

▌履修条件

・前学期の「コミュニケーション特講 I-a」を履修していることが望ましい(内容的に連続性があるため)
・第 1 回目の講義に必ず出席すること
・課題や発表に積極的に取りくむ意欲があること

▌評価基準・方法

・平常点(課題・発表・小レポート等) 40 %、期末試験 60 %の結果に基づき総合的に評価をする
・5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とし、欠席は減点とする

▌フィードバック方法

・事前学修や事後学修、課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （プレゼンテーション、ディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Word,Excel,PowerPoint ソフトを搭載したノートパソコンを必要に応じて持参すること）

▌教科書

『異文化理解の語用論』浅羽亮一監修　研究社

▌参考書

『日・英談話スタイルの対照研究』津田早苗他　ひつじ書房
『応用言語学事典』小池生夫編　研究社
その他必要に応じて指示する

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション(履修上の注意、授業方針の説明、プレゼンのグループと担当決め)** 授業内容：語用論とは、ある社会文化的状況の中での、言語の実際の使用に着目する言語学の分野であり、日本語や英語のコミュニケーション・スキルの向上に資する意義を理解する。授業は、講義および受講生のプレゼンテーションにより進めていく。プレゼンテーションのグループ作りと担当を決める。プレゼンテーションの進め方とレジュメの作成方法等を説明する。 事前学修 1.0hr：講義概要を読んで、本科目の概要と到達目標を理解しておく 事後学修 3.0hr：各自の具体的な到達目標を設定する。テキストを全体的に目をとおしておく。プレゼンのグループと打ち合わせを行う。
2回	**授業テーマ：ラポールマネジメント：分析のための枠組み(1)** 授業内容：ポライトネス理論やフェイス理論の普遍的必要性について理解し、ラポールを脅かす行動や、フェイスおよび社会的権利のマネジメントとは何かを把握する。ラポールを維持・管理するための依頼や感謝のストラテジーの具体例を扱う。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業内に提示される課題に取り組む
3回	**授業テーマ：ラポールマネジメント：分析のための枠組み(2)** 授業内容：ストラテジーの使用に影響を与える要因：(1) ラポールへの方向性、(2) 状況的変数：　コミュニケーションにおいては、お互い(自分と相手)のフェイス欲求および社会的権利をサポートしようとする２つの方向性がある。また、ストラテジーの選択には、参加者間の関係やメッセージの内容などが関係する。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業内に提示される課題に取り組む
4回	**授業テーマ：ラポールマネジメント：分析のための枠組み(3)** 授業内容：ストラテジーの使用に影響を与える要因：(3) 語用論的慣習：ラポールマネジメント・ストラテジーの使用には語用論的慣習が重要な役割を果たす。Leech〈1983〉のポライトネスの行動指針を理解する。ラポールマネジメントには文化的差異が生じる。 事前学修 2.0hr：テキストの指定の指定箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業内に提示される課題に取り組む
5回	**授業テーマ：発話行為(非難と謝罪)の日英比較 (1)** 授業内容：日本語と英語の謝罪のステレオタイプは何か。これを探ることを目的としたアンケートによる実証的研究のデザインを理解する。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業内に提示される課題に取り組む
6回	**授業テーマ：発話行為(非難と謝罪)の日英比較 (2)** 授業内容：日本語と英語の謝罪のステレオタイプは何か。それを探ることを目的としたアンケートによる実証的研究の結果と分析、考察を理解する。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業内に提示される課題に取り組む
7回	**授業テーマ：異文化間コミュニケーションにおける語用論的転移(１)** 授業内容：語用論的転移とは、異文化コミュニケーションの場で生じる語用論領域の知識の転移である。語用論転移はミスコミュニケーションを生じることがあり、文脈や社会・文化的な慣習の視点から分析する必要がある。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業内に提示される課題に取り組む

8回	**授業テーマ：異文化間コミュニケーションにおける語用論的転移（2）** 授業内容：語用論的転移は第 2 言語習得とどのように関係するのかを探る。転移は一般に、人がすでに習得している言語（L1）と習得しようとしている言語（L2）とを関連づける過程ととらえられている。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業内に指定される箇所を読んでおく
9回	**授業テーマ：発話行為（職場での否定的評価の伝え方）の日英比較 (1)** 授業内容：異文化間コミュニケーションの主要な問題の一つに、ある文化の中で、他の文化に属する人が「ノー」というタイミングを適切に決定することの困難さがある。この点について、面接、アンケート、ロールプレイあるは DCT（discourse completion task) による数多くの調査研究がある。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業内に提示される課題に取り組む
10回	**授業テーマ：発話行為（職場での否定的評価の伝え方）の日英比較 (2)** 授業内容：実際に観察して記述した談話をもとに、日本人のアメリカ人の多文化環境の職場における実証的研究がある。否定的評価をどのように伝えるかの会話分析の詳細を検討する。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業内で提示される課題に取り組む
11回	**授業テーマ：あいづちの打ち方の異文化比較** 授業内容：英語と日本語の初対面会話で使用されたあいづち数を比較した研究では、日本語会話でのあいづち数が最多であり、次いでアメリカ英語、オーストラリア英語、イギリス英語の順という結果がある。あいづちの機能について記述された会話分析の詳細を検討する。 事前学修 2.0hr：事前に配布された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業内に提示される課題に取り組む
12回	**授業テーマ：話題展開スタイルの日英比較（1）** 授業内容：会話の中の話題展開部で、参加者が話題を進めるためにはどのように会話に参与するのか。日本語と英語では。その参与のスタイルにはどのような相違があるのかの実証的研究がある。その研究のねらいとデザインを理解する。 事前学修 2.0hr：事前に配布された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業内に指定される課題に取り組む
13回	**授業テーマ：話題展開スタイルの日英比較（2）** 授業内容：第 12 回での研究結果として、日本語と英語の会話例の質的、量的分析の結果、それぞれ特有の話題展開のスタイルがあることが示された。明示されている会話例の分析の詳細を検討する。 事前学修 2.0hr：事前に配布された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業内に指定される課題に取り組む
14回	**授業テーマ：語用論研究におけるデータ収集の方法** 授業内容：語用論研究のデータ収集方法には、自然談話、ロールプレイ、言語産出アンケート、インタビュー、発話思考法などがある。調査目的と適切なデータ収集方法について解説する。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業内に提示された課題に取り組む
15回	**授業テーマ：授業内容の総復習、補足、Q & A,** 授業内容：後学期に学んだ「語用論」のいくつかの理論や、理論を応用実践した研究例をふりかえる。また自身で計画したリサーチを行いデータを集めて分析・考察して、最終的にはレポートの形にまとめる。 事前学修 2.0hr：前学期の学習内容をふりかえっておく。自分のリサーチ計画を完成させデータ収集を行う。 事後学修 2.0hr：収集したデータを分析・考察して、結果をレポートする。

コミュニケーション特講Ⅱ-a

開講学科等：英 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

中井　延美 (なかい　のぶみ)

▌授業の概要

この授業では、「コミュニケーションとは何か」という問いの答えを、ヒトが有する「心を読む能力」を通して探していく。コミュニケーションとは、一般的に、ある人から別の人へ情報が伝達されることである。ただし、コミュニケーションは単に言葉による意味の伝え合いでは決してない。コミュニケーションの仕組みについて、表現の意味と話し手の意味の観点から考えていく。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：「コミュニケーションとは何か」という問いについて、次の１～３の点から考えてみる。１．発話で使用される表現 (語句や文) は、話し手が伝えようとしている事がらの全てを言い尽くしているわけではない。２．話し手の口にした表現の意味は、相手に伝えたいことのヒントに過ぎない。３．聞き手は、発話された表現の意味をまず解読し、それを基にコンテクストに照らして《推論する》ことによって、話し手が伝えようとした内容 (メッセージ) を読み取る。

個別目標：「コミュニケーションとは何か」そして「ヒトは他者の心をどのように読むか」という問題を考えるために、日常生活のなかで周囲の会話に注意を払い、上記「一般目標」で記されている１～３に該当する具体例を見つけ出す。

▌履修条件

“ことば”の探究に興味をもっていること以外に特になし。

▌評価基準・方法

授業への取組み（ディスカッション、グループ活動など）：30 %
課題の提出：30 %
期末試験：40%

▌フィードバック方法

manaba の個別指導コレクション等を通じて適宜フィードバックする。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループディスカッション、グループワークなど）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （スライドの提示など）

▌教科書

今井邦彦(2001)『語用論への招待』大修館書店.

▌参考書

今井邦彦・西山佑司(2012)『ことばの意味とはなんだろう―意味論と語用論の役割』岩波書店.
中井延美(2018)『必携！ 日本語ボランティアの基礎知識』大修館書店.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：授業の概要を説明する 事前学修 2.0hr：manaba アンケートに回答する 事後学修 2.0hr：課題に取り組む
2回	**授業テーマ：語用論とは何か** 授業内容：文と発話、３つの意味、語用論の目標を概観する 事前学修 2.0hr：教科書の指定範囲を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む
3回	**授業テーマ：関連性理論 (1)** 授業内容：発話・推論・コンテクストについて考える 事前学修 2.0hr：教科書の指定範囲を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む
4回	**授業テーマ：関連性理論 (2)** 授業内容：関連性の原理Ⅰついて考える 事前学修 2.0hr：教科書の指定範囲を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む
5回	**授業テーマ：関連性理論 (3)** 授業内容：関連性の原理Ⅱついて考える 事前学修 2.0hr：教科書の指定範囲を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む
6回	**授業テーマ：「伝達」とは何か(1)** 授業内容：「ことばだけによる伝達」が可能かどうかを考える 事前学修 2.0hr：教科書の指定範囲を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む
7回	**授業テーマ：ことば(言語形式)は万能ではない(1)** 授業内容：意味確定度不十分性について考える 事前学修 2.0hr：教科書の指定範囲を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む
8回	**授業テーマ：ことば(言語形式)は万能ではない(2)** 授業内容：手続き的符号化について考える 事前学修 2.0hr：教科書の指定範囲を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む
9回	**授業テーマ：ことば(言語形式)は万能ではない(3)** 授業内容：主語と述部について考える 事前学修 2.0hr：教科書の指定範囲を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む
10回	**授業テーマ：ことば(言語形式)は万能ではない(4)** 授業内容：言語の本質について考える 事前学修 2.0hr：教科書の指定範囲を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む

11回	**授業テーマ：「伝達」とは何か(2)** 授業内容：何が伝達されるのかを考える 事前学修 2.0hr：教科書の指定範囲を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む
12回	**授業テーマ：明意と暗意(1)** 授業内容：暗意の強弱について考える 事前学修 2.0hr：教科書の指定範囲を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む
13回	**授業テーマ：明意と暗意(2)** 授業内容：高次の明意について考える 事前学修 2.0hr：教科書の指定範囲を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む
14回	**授業テーマ：推論とは何か(1)** 授業内容：演繹と帰納について理解する 事前学修 2.0hr：教科書の指定範囲を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む
15回	**授業テーマ：推論とは何か(2)** 授業内容：透徹した解釈法、推論と脳について考える 事前学修 2.0hr：教科書の指定範囲を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む

コミュニケーション特講Ⅱ-b

開講学科等：英 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

中井　延美 (なかい　のぶみ)

▌授業の概要

この授業では、前期のコミュニケーション特講Ⅱ-a に続いて、「コミュニケーションとは何か」という問題について、ヒトが有する「心を読む能力」を通して、さらに詳しく検討する。コミュニケーションとは、一般的に、ある人から別の人へ情報が伝達されることである。ただし、コミュニケーションは単に言葉による意味の伝え合いでは決してない。コミュニケーションの仕組みについて、表現の意味と話し手の意味の観点から引き続き考えていく。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：「コミュニケーションとは何か」という問いについて、次の１～３の点から再び考えてみる。１．発話で使用される表現 (語句や文) は、話し手が伝えようとしている事がらの全てを言い尽くしているわけではない。２．話し手の口にした表現の意味は、相手に伝えたいことのヒントに過ぎない。３．聞き手は、発話された表現の意味をまず解読し、それを基にコンテクストに照らして《推論する》ことによって、話し手が伝えようとした内容 (メッセージ) を読み取る。

個別目標：「コミュニケーションとは何か」そして「ヒトは他者の心をどのように読むか」という問題を考えるために、日常生活のなかで周囲の会話に注意を払い、上記「一般目標」で記されている１～３に該当する具体例をさらに見つけ出す。

▌履修条件

“ことば”の探究に興味をもっていること以外に特になし。

▌評価基準・方法

授業への取組み（ディスカッション、グループ活動など）：30 %
課題の提出：30 %
期末試験：40%

▌フィードバック方法

manaba の個別指導コレクション等を通じて適宜フィードバックする。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループディスカッション、グループワークなど）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （スライドの提示など）

▌教科書

今井邦彦(2001)『語用論への招待』大修館書店.

▌参考書

今井邦彦・西山佑司(2012)『ことばの意味とはなんだろう―意味論と語用論の役割』岩波書店.
中井延美(2018)『必携！ 日本語ボランティアの基礎知識』大修館書店.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：授業の概要を説明する 事前学修 2.0hr：manaba アンケートに回答する 事後学修 2.0hr：課題に取り組む
2回	**授業テーマ：関連性理論と言語形式(1)** 授業内容：命令文、平叙文、感嘆文について考える 事前学修 2.0hr：教科書の指定範囲を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む
3回	**授業テーマ：関連性理論と言語形式(2)** 授業内容：様々な種類の疑問文について考える 事前学修 2.0hr：教科書の指定範囲を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む
4回	**授業テーマ：否定文** 授業内容：メタ言語的否定と前提末梢的否定について考える 事前学修 2.0hr：教科書の指定範囲を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む
5回	**授業テーマ：法助動詞の意味(1)** 授業内容：may と must について考える 事前学修 2.0hr：教科書の指定範囲を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む
6回	**授業テーマ：法助動詞の意味(2)** 授業内容：can、should、may と can について考える 事前学修 2.0hr：教科書の指定範囲を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む
7回	**授業テーマ：関連性理論と言語形式(3)** 授業内容：関連性理論とレトリックについて考える 事前学修 2.0hr：教科書の指定範囲を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む
8回	**授業テーマ：関連性理論と意味論(1)** 授業内容：真理条件的意味論について考える 事前学修 2.0hr：教科書の指定範囲を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む
9回	**授業テーマ：関連性理論と意味論(2)** 授業内容：非真理条件的意味論について考える 事前学修 2.0hr：教科書の指定範囲を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む
10回	**授業テーマ：発話行為理論** 授業内容：文副詞と挿入辞について考える 事前学修 2.0hr：教科書の指定範囲を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む

11回	**授業テーマ：グライスの語用論** 授業内容：連結辞、協調の原理、会話の含意について考える 事前学修 2.0hr：教科書の指定範囲を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む
12回	**授業テーマ：関連性理論と意味論(3)** 授業内容：代名詞とその他の要素について考察し、意味論が成立するかを検討する 事前学修 2.0hr：教科書の指定範囲を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む
13回	**授業テーマ：生成文法との関係(1)** 授業内容：生成文法について知る 事前学修 2.0hr：教科書の指定範囲を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む
14回	**授業テーマ：生成文法との関係(2)** 授業内容：チョムスキーの語用論観を知る 事前学修 2.0hr：教科書の指定範囲を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む
15回	**授業テーマ：生成文法との関係(3)** 授業内容：関連性理論の生成文法観を理解する 事前学修 2.0hr：教科書の指定範囲を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む

英語学特講Ⅰ-a

開講学科等：英 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

嶋田　珠巳（しまだ　たまみ）

▌授業の概要

テーマは、英語の時間表現。前期は、アイルランド英語 (Irish English) の時間表現についての講義。

アイルランド英語とはどのようなもので、その時間表現はどのようになっているのか。アイルランド語 (Irish) はアイルランド英語の形成にどのように関わっているのか。主に「be after 完了」(例：We are after missing the bus.) や「do be 習慣」(例：We do be praying for you.) など、アイルランド英語に特徴的な時間表現を糸口に、アイルランド英語のテンス・アスペクト体系とその形成を考察する。講義はインタラクティブに行う。

※ いくぶん専門に入り込んだ話になるので、必ず初回の授業に出て履修の適性を自分で確かめること。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：4）

一般目標：英語学を中心とした素養を身につける。英語の多様性を知り、文法について考察することができる。

個別目標：(1)英語の多様性に関して理解を深めることができる。

(2)言語接触とそれが生み出す文法的特性について、考察することができる。

▌履修条件

「講義を聞きながら思考すること」をやってみたいと思う、主体的に取り組む学生を歓迎する。

▌評価基準・方法

評価基準：到達目標の (1) と (2) ができているか、あるいはその到達度。

方法：授業への取り組み 50%(授業内小課題、ディスカッションを含む)、 試験 50%。

▌フィードバック方法

授業内で適宜行う。個別の対応に関しては必要に応じて面談する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （積極的な発言が求められる。授業内で理解したことや考えたことを書くなどの活動を含む。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

適宜プリント資料を配布する。

▌参考書

・嶋田珠巳 (2016)『英語という選択ーアイルランドの今』岩波書店.

その他、適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：イントロダクション：アイルランド語と英語の話** 授業内容：講義 1~15 回の流れの概説、アイルランドとそこで話されることばに関する導入などを行う。 事前学修 2.0hr：シラバスを読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理、履修の決定
2回	**授業テーマ：アイルランド英語とは何か** 授業内容：アイルランドの人々とことばの諸問題を解説し、受講生の疑問に答える。 事前学修 2.0hr：配布された資料や参考書を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
3回	**授業テーマ：アイルランド英語 be after 完了の意味** 授業内容：アイルランド英語の時の表現の考察。最初に取り上げるのは be after 完了。その形式、意味、用法。have 完了との違いなどを考察する。 事前学修 2.0hr：配布された資料や参考書を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
4回	**授業テーマ：be after 完了の文法周辺** 授業内容：be after 完了はなぜこの形で安定するのか。アイルランド英語のアスペクト体系について考察する。 事前学修 2.0hr：配布された資料や参考書を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
5回	**授業テーマ：be after 完了の形成** 授業内容：アイルランド英語の be after 完了はどのようにしてできたのか。アイルランド語がどのように関わっているのかについて考察する。 事前学修 2.0hr：配布された資料や参考書を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
6回	**授業テーマ：アイルランド英語にみる言語接触** 授業内容：アイルランドに土着のアイルランド語と後に入ってきた英語の言語接触が生み出す言語の形はどのようなものか。 事前学修 2.0hr：配布された資料や参考書を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
7回	**授業テーマ：言語接触が生み出す文法** 授業内容：言語接触が生み出す文法について考察する。 事前学修 2.0hr：配布された資料や参考書を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
8回	**授業テーマ：アイルランド英語 do be 習慣の形成** 授業内容：do be 習慣の意味、この形式の形成に関して考察する。 事前学修 2.0hr：配布された資料や参考書を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
9回	**授業テーマ：do be 習慣の意味** 授業内容：do be 習慣の意味と社会的意味について考察する。 事前学修 2.0hr：配布された資料や参考書を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
10回	**授業テーマ：アイルランド語の時の表現(1)** 授業内容：アイルランド英語の形成のベースにあるアイルランド語の時の表現について見ていく。 事前学修 2.0hr：配布された資料や参考書を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理

11回	**授業テーマ：アイルランド語の時の表現（2）** 授業内容：アイルランド英語の形成のベースにあるアイルランド語の時の表現について見ていく。 事前学修 2.0hr：配布された資料や参考書を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
12回	**授業テーマ：アイルランド語からアイルランド英語への継承** 授業内容：アイルランド英語はアイルランド語から何を引き継いだのかを詳しく考察する。 事前学修 2.0hr：配布された資料や参考書を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
13回	**授業テーマ：アイルランド英語のテンス・アスペクト体系** 授業内容：アイルランド英語の時の表現をおさらいし、文法体系における位置づけを考察する。 事前学修 2.0hr：配布された資料や参考書を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
14回	**授業テーマ：受講生の質問とディスカッション** 授業内容：受講生からの質問に答え、必要な議論と考察を行う。 事前学修 2.0hr：要点と疑問点を整理しておく 事後学修 2.0hr：理解の整理
15回	**授業テーマ：総括** 授業内容：これまでの総括を行う。 事前学修 2.0hr：要点と疑問点を整理しておく 事後学修 2.0hr：理解の整理

英語学特講Ⅰ-b

開講学科等：英 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

嶋田　珠巳（しまだ　たまみ）

▌授業の概要

テーマは、英語の時間表現。後期は、時を表す英文法について掘り下げていく（言語学キーワードとしては、テンス、アスペクト、モダリティ、ダイクシスと呼ばれる事項に関する言語表現を扱う）。

久野・高見 (2013) に沿って導入を行いながら、英語の主要な時の表現を検討する。各回ともテキストの内容にとどまらず、関連の問題を自ら考えていくことが求められる。第 12 回以降は、受講生に英作文と和文英訳に取り組んでもらい、そこからさらに日本語と英語の時の表現の相違について考察を深める。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：4）

一般目標：英語の文法について考察を深める。

個別目標：（1）特に時の表現に関する英文法の基本が理解できる。
（2）時の表現に関して、日本語と英語の相違点を検討することができる。
（3）英語と日本語の時の表現に関して、自ら問いを持ち、考察することができる。

▌履修条件

主体的に取り組む。

▌評価基準・方法

評価基準：到達目標の (1) 〜 (3) ができているか、あるいはその到達度を総合的に評価する。

方法：授業への取り組み 50%、試験 50%。

▌フィードバック方法

授業内にて適宜行う。

特に個別の対応が必要な場合には面談の機会を設ける。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （主体的な取り組みが思考、表現、討議において求められる。グループワーク、プレゼンテーションを含む。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

久野障/高見健一 著 (2013)『謎解きの英文法　時の表現』くろしお出版.

▌参考書

・嶋田珠巳・鍛治広真 編著 (2021)『時間と言語』 三省堂.

・平田聡・嶋田珠巳 著 (2022)『時間はなぜあるのか―チンパンジー学者と言語学者の探検』 ミネルヴァ書房.

※その他の文献に関しては、授業内で適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：イントロダクション** 授業内容：英語の時の表現についていくつかの文例をあげて検討する。 事前学修 2.0hr：教科書を読み始める 事後学修 2.0hr：授業内容に関する質問と相談
2回	**授業テーマ：Will は「未来時制」か** 授業内容：英語の Will の意味について考察することから始める。 事前学修 2.0hr：教科書の第１章を読んでおく 事後学修 2.0hr：考えの整理
3回	**授業テーマ：現在形は何を表わすか** 授業内容：英語の現在形と「現在、過去、未来」の関係について考察することから始める。 事前学修 2.0hr：教科書の第２章を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
4回	**授業テーマ：「歴史的現在」の表現** 授業内容：英語の現在形が用いられる文脈について考察することから始める。 事前学修 2.0hr：教科書の第３章を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
5回	**授業テーマ：過去形か現在完了形か** 授業内容：過去形と現在完了形の意味の違いについて考察することから始める。 事前学修 2.0hr：教科書の第４章を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
6回	**授業テーマ：Shakespeare [wrote /has written] a lot of plays.** 授業内容：上記文例について考察することから始める。 事前学修 2.0hr：教科書の第５章を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
7回	**授業テーマ：「バスが止まっている」は The bus is stopping. か** 授業内容：英語の進行形は日本語の「〜ている」と同じかという問題について考察する。 事前学修 2.0hr：教科書の第６章を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
8回	**授業テーマ：I’ m loving it. の意味** 授業内容：英語の進行形の意味と用法について考察する。 事前学修 2.0hr：教科書の第７章を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
9回	**授業テーマ：「絶対時制」か「相対時制」か** 授業内容：絶対時制と相対時制、時制の一致について考察する。 事前学修 2.0hr：教科書の第８章を読んでおく 事後学修 2.0hr：質問と相談

10回	**授業テーマ：「試験に合格できた」は I could pass the exam. か** 授業内容：英語 could の意味について考察することから始める。 事前学修 2.0hr：教科書の第９章を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
11回	**授業テーマ：What were you wanting? は「何を望んでいたの」という意味だけか** 授業内容：過去形が丁寧の意味合いを持つことについての考察から始める。 事前学修 2.0hr：教科書の第１０章を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
12回	**授業テーマ：英作文と和文英訳から英語の時の表現を検討する（１：講義）** 授業内容：受講生による英作文と和文英訳から、日本語と英語の時の表現の相違を考察する。このテーマの初回は講義。 事前学修 2.0hr：教科書を復習しておく 事後学修 2.0hr：理解の整理
13回	**授業テーマ：英作文と和文英訳から英語の時の表現を検討する（２：グループワーク）** 授業内容：受講生による英作文と和文英訳から、日本語と英語の時の表現の相違を考察する。このテーマの 2 回目はグループワーク。 事前学修 2.0hr：英作文と和文英訳に取り組む 事後学修 2.0hr：理解の整理
14回	**授業テーマ：文章の内容理解とディスカッション（３：受講生プレゼンテーション）** 授業内容：受講生による英作文と和文英訳から、日本語と英語の時の表現の相違を考察する。このテーマでの最終回は受講生によるプレゼンテーション。 事前学修 2.0hr：レジュメの作成に取り組む 事後学修 2.0hr：理解の整理
15回	**授業テーマ：総括** 授業内容：授業の振り返りと総括を行う。 事前学修 2.0hr：質問内容を整理する 事後学修 2.0hr：理解の整理

英語学特講Ⅱ-a

開講学科等：英 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

鍛治　広真 (かじ　ひろみ)

▌授業の概要

この授業では言語の音を体系的に分析するための音声学と音韻論の基本的な考え方を学びます。主に日本語と英語を考察の対象としますが、特に英語の音と、音を表記する文字との間の関係を考察することで、英語における音の体系の規則を学びます。言語の「音」がどのようなものであるかを、分析的に理解し説明できるようになるための考え方を身につけます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：4）

一般目標：音声学と音韻論の考え方を理解し、英語の音韻体系の特徴を考察できる。

個別目標：(1) 調音音声学の基本的な考え方を理解し、説明できるようになる。
(2) 音素と音声の関係を理解し、説明できるようになる。
(3) 英語の綴りと発音の関係を理解し、説明できるようになる。

▌履修条件

履修の条件は設けない。

▌評価基準・方法

授業への取り組み 50%(小課題など)、試験 50 %

▌フィードバック方法

課題等に対するフィードバックは授業および manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （問題演習、ディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

大名力『英語の発音と綴り―なぜ walk がウォークで、work がワークなのか』中央公論新社

▌参考書

適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：イントロダクション** 授業内容：音声学と音韻論について導入する。 事前学修 2.0hr：シラバスを読む、ノートの準備 事後学修 2.0hr：理解の整理
2回	**授業テーマ：音を作る仕組み** 授業内容：音声器官の構造と声帯の働きを学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を読む 事後学修 2.0hr：理解の整理
3回	**授業テーマ：日本語の発音** 授業内容：日本語の音声を観察しながら、音声器官の各部の働きを学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を読む 事後学修 2.0hr：理解の整理
4回	**授業テーマ：音の分類** 授業内容：調音音声学の観点から、音を分類する基準について学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を読む 事後学修 2.0hr：理解の整理
5回	**授業テーマ：音素と異音** 授業内容：日本語において区別が無視される「音」を考え、音韻論における「音素」の考え方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を読む 事後学修 2.0hr：理解の整理
6回	**授業テーマ：英語の音節** 授業内容：音のまとまりである音節という単位について、その構造と性質を学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を読む 事後学修 2.0hr：理解の整理
7回	**授業テーマ：文字の種類** 授業内容：言語を表記する文字(英語のアルファベットを含む)の種類にどのようなものがあるかを学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を読む 事後学修 2.0hr：理解の整理
8回	**授業テーマ：各文字の読み方の基本** 授業内容：英語に現れる音声にはどのようなものであるか、アルファベット各文字の音価は何かを学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を読む 事後学修 2.0hr：理解の整理
9回	**授業テーマ：単母音字と複母音字** 授業内容：英語に現れる母音の種類と文字の関係を学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を読む 事後学修 2.0hr：理解の整理
10回	**授業テーマ：弱音節の母音字の発音** 授業内容：アクセントの有無と母音の発音の関係について学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を読む 事後学修 2.0hr：理解の整理
11回	**授業テーマ：黙字 e の働き** 授業内容：発音しない e の文字を含む単語の発音について学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を読む 事後学修 2.0hr：理解の整理

12回	**授業テーマ：複数の読み方を持つ文字** 授業内容：”use”の”s”/s, z/のように複数の読みを持つ文字とその由来について学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を読む 事後学修 2.0hr：理解の整理
13回	**授業テーマ：黙字とその歴史的由来** 授業内容：綴りには含まれるが発音しない文字の由来と、英語の音声の変化について学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を読む 事後学修 2.0hr：理解の整理
14回	**授業テーマ：綴りの表音性と表形態素性** 授業内容：英語の綴りと音の結びつき、綴りと意味の結びつきについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を読む 事後学修 2.0hr：理解の整理
15回	**授業テーマ：まとめと振り返り** 授業内容：今学期の内容を振り返り、補足する。 事前学修 2.0hr：これまでの内容を復習し、疑問点と考察を整理する 事後学修 2.0hr：理解の整理

英語学特講Ⅱ-b

開講学科等：英 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

鍛治　広真（かじ　ひろみ）

▌授業の概要

この授業では個別の言語に現れる具体的な「音声」と抽象的な単位としての「音」の違いを捉えるための音韻論を学びます。例えば、英語で区別される [r][l] の違いは日本語では無視できますが、これは英語と日本語の「音韻体系」が異なるためです。言語ごとに異なる抽象的な音の体系を分析するための考え方を学びます。(発音・聞き取りの実践はこの授業ではなく「英語音声学」の授業で扱います)

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：4）

一般目標：音韻論の基本的な考え方を理解し、英語と日本語の音韻的な特徴の違いを知る。

個別目標：(1) 音声学と音韻論の考え方の違いを理解する
(2) 日英語の音韻体系の違いについて基礎的な知識を身につける
(3) 日本語または英語の現象を音韻論的観点から考察することができる

▌履修条件

履修の条件は設けないが、英語音声学を履修済み(または履修中)であると理解の助けになる。

▌評価基準・方法

授業への取り組み 50%(小課題、ディスカッションなど)、試験 50 %

▌フィードバック方法

課題等に対するフィードバックは授業および manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （問題演習、ディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

菅原真理子(編)『朝倉日英対照言語学シリーズ　音韻論』朝倉書店

▌参考書

適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：イントロダクション** 授業内容：音声学と音韻論について導入する。 事前学修 2.0hr：シラバスを読む、ノートの準備 事後学修 2.0hr：理解の整理
2回	**授業テーマ：音声器官と音声記号** 授業内容：資料を読み音声器官と IPA（国際音声字母)および音声を記述する方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
3回	**授業テーマ：英語の子音の音声学的特徴** 授業内容：資料を読み英語の子音の音声学的特徴について学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
4回	**授業テーマ：英語の母音の音声学的特徴** 授業内容：資料を読み英語の母音の音声学的特徴について学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
5回	**授業テーマ：音声学的記述と音韻論的記述** 授業内容：資料を読み音声学的記述と音韻論的記述のそれぞれの特徴と違いについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
6回	**授業テーマ：音素と異音** 授業内容：資料を読み音素と異音の関係について学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
7回	**授業テーマ：日英語の音素体系の違い** 授業内容：資料を読み日本語と英語の音声体系の違いについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
8回	**授業テーマ：日本語の音節とモーラ** 授業内容：資料を読み日本語の音節とモーラについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：理解の整理
9回	**授業テーマ：英語の音節とモーラ** 授業内容：資料を読み英語の音節とモーラについて学ぶ。日本語との違いを考える。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
10回	**授業テーマ：ピッチアクセント** 授業内容：資料を読みピッチアクセントと日本語のアクセントの特徴を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
11回	**授業テーマ：ストレスアクセント** 授業内容：資料を読みストレスアクセントと英語のアクセントの特徴を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理

12回	**授業テーマ：品詞とアクセント** 授業内容：資料を読み品詞とアクセント付与規則の関係を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
13回	**授業テーマ：派生語のアクセント** 授業内容：資料を読み接尾辞付加による語形成とアクセント付与規則の関係を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
14回	**授業テーマ：複合語のアクセント** 授業内容：資料を読み複合語とアクセント付与規則の関係を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：今学期の内容を振り返り、補足する。 事前学修 2.0hr：これまでの内容を復習し、疑問点と考察を整理する 事後学修 2.0hr：理解の整理

文学特講Ⅰ-a

開講学科等：英 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

佐藤　亨（さとう　とおる）

▌授業の概要

英文学のうち、詩を読む。「ロマン派」と呼ばれる詩人たちの作品を読み、その文学の特質と彼らが生きた時代を探る。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：4）

一般目標：とくに英語で書かれた詩を読むことを中心にする本授業では、作品の背景や内容はもちろんのこと、英語の構造を把握したうえで作品を鑑賞することを目指す。

個別目標：授業で触れた英詩に関して、各自、テーマを設定して、3,000 字程度のエッセイを書くことを目指す。

▌履修条件

積極的に授業に取り組む学生を歓迎する。

辞書は必ず持参すること。

▌評価基準・方法

リアクションペーパー（20 %）、単語小テスト（40 %）、期末試験（40 %）から評価する。

原則として、8 割の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

manaba を通して、また、毎回、授業で書いてもらうリアクションペーパーのフィードバックは授業中に行い、双方向の授業を目指す。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

Ted Hughes, Tales from Ovid, Faber and Faber,1997.

現在、入手困難なので（kindle 版は出版されている）、授業で読む部分をコピーして配布する。

▌参考書

教室で随時説明する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：英語の詩とは何か。(1)** 授業内容：英語で書かれた詩の読み方を、韻律の解説を交え、指導する。 テニスンやワーズワスの詩、フォークソング、マザーグースなどを読む。 事前学修 2.0hr：取り上げられている作家について調べてくる。 事後学修 2.0hr：授業の内容を確認する。わからない単語をチェックする。
2回	**授業テーマ：英語の詩とは何か。(2)** 授業内容：英語で書かれた詩の読み方を、韻律の解説を交え、指導する。 テニスンやワーズワスの詩、フォークソング、マザーグースなどを読む。 事前学修 2.0hr：取り上げられている作家について調べてくる。 事後学修 2.0hr：授業の内容を確認する。わからない単語をチェックする。
3回	**授業テーマ：ロマン派とはなにか？** 授業内容：ロマン派と呼ばれる詩人たちの特徴と時代背景を説明する。 事前学修 2.0hr：扱われる詩人たちについて調べてくる。 事後学修 2.0hr：授業の内容を確認する。わからない単語をチェックする。
4回	**授業テーマ：William Blake (1)** 授業内容：テキストを構文を踏まえながら、読んでいく。 単語は語源などの説明をし、一字一句、懇切丁寧に説明する。 部分的にグループワークを課すこともある。 事前学修 2.0hr：テキストを一語一語、辞書を引いて読んでくる。 事後学修 2.0hr：授業の内容を確認する。わからない単語をチェックする。
5回	**授業テーマ：William Blake（2）** 授業内容：テキストを構文を踏まえながら、読んでいく。 単語は語源などの説明をし、一字一句、懇切丁寧に説明する。 部分的にグループワークを課すこともある。 事前学修 2.0hr：テキストを一語一語、辞書を引いて読んでくる。 事後学修 2.0hr：授業の内容を確認する。わからない単語をチェックする。
6回	**授業テーマ：William Wordsworth (1)** 授業内容：テキストを構文を踏まえながら、読んでいく。 単語は語源などの説明をし、一字一句、懇切丁寧に説明する。 部分的にグループワークを課すこともある。 事前学修 2.0hr：テキストを一語一語、辞書を引いて読んでくる。 事後学修 2.0hr：授業の内容を確認する。わからない単語をチェックする。
7回	**授業テーマ：William Wordsworth（2）** 授業内容：テキストを構文を踏まえながら、読んでいく。 単語は語源などの説明をし、一字一句、懇切丁寧に説明する。 部分的にグループワークを課すこともある。 事前学修 2.0hr：テキストを一語一語、辞書を引いて読んでくる。 事後学修 2.0hr：授業の内容を確認する。わからない単語をチェックする。
8回	**授業テーマ：William Wordsworth (3)** 授業内容：テキストを構文を踏まえながら、読んでいく。 単語は語源などの説明をし、一字一句、懇切丁寧に説明する。 部分的にグループワークを課すこともある。 事前学修 2.0hr：テキストを一語一語、辞書を引いて読んでくる。単語小テスト対策をする。 事後学修 2.0hr：授業の内容を確認する。わからない単語をチェックする。

9回	**授業テーマ：William Wordsworth（4）単語小テスト** 授業内容：最初に単語の小テストを行う。 テキストを構文を踏まえながら、読んでいく。単語は語源などの説明をし、一字一句、懇切丁寧に説明する。 部分的にグループワークを課すこともある。 事前学修 2.0hr：テキストを一語一語、辞書を引いて読んでくる。 事後学修 2.0hr：授業の内容を確認する。わからない単語をチェックする。
10回	**授業テーマ：Samuel Taylor Coleridge（1）** 授業内容：テキストを構文を踏まえながら、読んでいく。 単語は語源などの説明をし、一字一句、懇切丁寧に説明する。 部分的にグループワークを課すこともある。 事前学修 2.0hr：テキストを一語一語、辞書を引いて読んでくる。 事後学修 2.0hr：授業の内容を確認する。わからない単語をチェックする。
11回	**授業テーマ：Samuel Taylor Coleridge（2）** 授業内容：テキストを構文を踏まえながら、読んでいく。 単語は語源などの説明をし、一字一句、懇切丁寧に説明する。 部分的にグループワークを課すこともある。 事前学修 2.0hr：テキストを一語一語、辞書を引いて読んでくる。 事後学修 2.0hr：授業の内容を確認する。わからない単語をチェックする。
12回	**授業テーマ：George Gordon Byron (1)** 授業内容：テキストを構文を踏まえながら、読んでいく。 単語は語源などの説明をし、一字一句、懇切丁寧に説明する。 部分的にグループワークを課すこともある。 事前学修 2.0hr：テキストを一語一語、辞書を引いて読んでくる。 事後学修 2.0hr：授業の内容を確認する。わからない単語をチェックする。
13回	**授業テーマ：George Gordon Byron (2)** 授業内容：テキストを構文を踏まえながら、読んでいく。 単語は語源などの説明をし、一字一句、懇切丁寧に説明する。 部分的にグループワークを課すこともある。 事前学修 2.0hr：テキストを一語一語、辞書を引いて読んでくる。単語小テスト対策をする。 事後学修 2.0hr：授業の内容を確認する。わからない単語をチェックする。
14回	**授業テーマ：George Gordon Byron（3）単語小テスト** 授業内容：テキストを構文を踏まえながら、読んでいく。 単語は語源などの説明をし、一字一句、懇切丁寧に説明する。 部分的にグループワークを課すこともある。 事前学修 2.0hr：テキストを一語一語、辞書を引いて読んでくる。単語小テスト対策をする。 事後学修 2.0hr：授業の内容を確認する。わからない単語をチェックする。
15回	**授業テーマ：試験（英文解釈）** 授業内容：前期に読んだ Echo and Narcissus から数か所、抜粋して英文解釈の試験を行う。試験後、解説をする。 事前学修 2.0hr：前期学習した内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業の内容を確認する。わからない単語をチェックする。

文学特講Ⅰ-b

開講学科等：英 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

佐藤　亨（さとう　とおる）

▌授業の概要

英文学のうち、詩を読む。「ロマン派」と呼ばれる詩人たちの作品を読み、その文学の特質と彼らが生きた時代を探る。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：4）

一般目標：とくに英語で書かれた詩を読むことを中心にする本授業では、作品の背景や内容はもちろんのこと、英語の構造を把握したうえで作品を鑑賞することを目指す。

個別目標：授業で触れた英詩に関して、各自、テーマを設定して、3,000 字程度のエッセイを書くことを目指す。

▌履修条件

積極的に授業に取り組む学生を歓迎する。

辞書は必ず持参すること。

▌評価基準・方法

リアクションペーパー（20 %）、単語小テスト（40 %）、期末試験（40 %）から評価する。

原則として、8 割の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

manaba を通して、また、毎回、授業で書いてもらうリアクションペーパーのフィードバックは授業中に行い、双方向の授業を目指す。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

Ted Hughes, Tales from Ovid, Faber and Faber,1997.

現在、入手困難なので（kindle 版は出版されている）、授業で読む部分をコピーして配布する。

▌参考書

教室で随時説明する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：英語の詩とは何か。(1)** 授業内容：英語で書かれた詩の読み方を、韻律の解説を交え、指導する。 テニスンやワーズワスの詩、フォークソング、マザーグースなどを読む。 事前学修 2.0hr：取り上げられている作家について調べてくる。 事後学修 2.0hr：授業の内容を確認する。わからない単語をチェックする。
2回	**授業テーマ：英語の詩とは何か。(2)** 授業内容：英語で書かれた詩の読み方を、韻律の解説を交え、指導する。 テニスンやワーズワスの詩、フォークソング、マザーグースなどを読む。 事前学修 2.0hr：取り上げられている作家について調べてくる。 事後学修 2.0hr：授業の内容を確認する。わからない単語をチェックする。
3回	**授業テーマ：ロマン派とはなにか？** 授業内容：ロマン派と呼ばれる詩人たちの特徴と時代背景を説明する。 事前学修 2.0hr：扱われる詩人たちについて調べてくる。 事後学修 2.0hr：授業の内容を確認する。わからない単語をチェックする。
4回	**授業テーマ：Percy Bysshe Shelley (1)** 授業内容：テキストを構文を踏まえながら、読んでいく。 単語は語源などの説明をし、一字一句、懇切丁寧に説明する。 部分的にグループワークを課すこともある。 事前学修 2.0hr：テキストを一語一語、辞書を引いて読んでくる。 事後学修 2.0hr：授業の内容を確認する。わからない単語をチェックする。
5回	**授業テーマ：Percy Bysshe Shelley（2）** 授業内容：テキストを構文を踏まえながら、読んでいく。 単語は語源などの説明をし、一字一句、懇切丁寧に説明する。 部分的にグループワークを課すこともある。 事前学修 2.0hr：テキストを一語一語、辞書を引いて読んでくる。 事後学修 2.0hr：授業の内容を確認する。わからない単語をチェックする。
6回	**授業テーマ：Percy Bysshe Shelley (3)** 授業内容：テキストを構文を踏まえながら、読んでいく。 単語は語源などの説明をし、一字一句、懇切丁寧に説明する。 部分的にグループワークを課すこともある。 事前学修 2.0hr：テキストを一語一語、辞書を引いて読んでくる。 事後学修 2.0hr：授業の内容を確認する。わからない単語をチェックする。
7回	**授業テーマ：Percy Bysshe Shelley（4）** 授業内容：テキストを構文を踏まえながら、読んでいく。 単語は語源などの説明をし、一字一句、懇切丁寧に説明する。 部分的にグループワークを課すこともある。 事前学修 2.0hr：テキストを一語一語、辞書を引いて読んでくる。 事後学修 2.0hr：授業の内容を確認する。わからない単語をチェックする。
8回	**授業テーマ：William Wordsworth** 授業内容：テキストを構文を踏まえながら、読んでいく。 単語は語源などの説明をし、一字一句、懇切丁寧に説明する。 部分的にグループワークを課すこともある。 事前学修 2.0hr：テキストを一語一語、辞書を引いて読んでくる。単語小テスト対策をする。 事後学修 2.0hr：授業の内容を確認する。わからない単語をチェックする。

9回	**授業テーマ：John Keats (1)単語小テスト** 授業内容：最初に単語の小テストを行う。 テキストを構文を踏まえながら、読んでいく。単語は語源などの説明をし、一字一句、懇切丁寧に説明する。 部分的にグループワークを課すこともある。 事前学修 2.0hr：テキストを一語一語、辞書を引いて読んでくる。 事後学修 2.0hr：授業の内容を確認する。わからない単語をチェックする。
10回	**授業テーマ：John Keats (2)** 授業内容：テキストを構文を踏まえながら、読んでいく。 単語は語源などの説明をし、一字一句、懇切丁寧に説明する。 部分的にグループワークを課すこともある。 事前学修 2.0hr：テキストを一語一語、辞書を引いて読んでくる。 事後学修 2.0hr：授業の内容を確認する。わからない単語をチェックする。
11回	**授業テーマ：John Keats (3)** 授業内容：テキストを構文を踏まえながら、読んでいく。 単語は語源などの説明をし、一字一句、懇切丁寧に説明する。 部分的にグループワークを課すこともある。 事前学修 2.0hr：テキストを一語一語、辞書を引いて読んでくる。 事後学修 2.0hr：授業の内容を確認する。わからない単語をチェックする。
12回	**授業テーマ：John Keats (4)** 授業内容：テキストを構文を踏まえながら、読んでいく。 単語は語源などの説明をし、一字一句、懇切丁寧に説明する。 部分的にグループワークを課すこともある。 事前学修 2.0hr：テキストを一語一語、辞書を引いて読んでくる。 事後学修 2.0hr：授業の内容を確認する。わからない単語をチェックする。
13回	**授業テーマ：ロマン派のその他の詩人たち (1)** 授業内容：テキストを構文を踏まえながら、読んでいく。 単語は語源などの説明をし、一字一句、懇切丁寧に説明する。 部分的にグループワークを課すこともある。 事前学修 2.0hr：テキストを一語一語、辞書を引いて読んでくる。単語小テスト対策をする。 事後学修 2.0hr：授業の内容を確認する。わからない単語をチェックする。
14回	**授業テーマ：ロマン派のその他の詩人たち (2)** 授業内容：テキストを構文を踏まえながら、読んでいく。 単語は語源などの説明をし、一字一句、懇切丁寧に説明する。 部分的にグループワークを課すこともある。 事前学修 2.0hr：テキストを一語一語、辞書を引いて読んでくる。単語小テスト対策をする。 事後学修 2.0hr：授業の内容を確認する。わからない単語をチェックする。
15回	**授業テーマ：試験(英文解釈)** 授業内容：前期に読んだ詩作品から数か所、抜粋して英文解釈の試験を行う。試験後、解説をする。 事前学修 2.0hr：前期学習した内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業の内容を確認する。わからない単語をチェックする。

文学特講Ⅱ-a

開講学科等：英 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

横山　竜一郎（よこやま　りゅういちろう）

▌授業の概要

この授業では、幅広い文学テクストを読み、批評するための知識と技術を身につけることを目指す。そのために、世界文学というアイディアを基に編まれたアンソロジー(選集)を読み、教員や他の学生とのディスカッションを通じて自らの読み方を他人に伝えるための方法を磨く。最終的には、アンソロジーで紹介されているテクストと自分自身で選んだテクストとの間にネットワークを作り、「世界文学」の形成を実践する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：4）

一般目標：幅広い文学テクストを読み、批評するための知識と技術を身につける。

個別目標：1. 具体的な作品を事例に世界文学の概念を説明できる。
2. テクストに即して自らの意見を論理的に主張できる。
3. テクストのネットワークの調査と形成を実施できる。

▌履修条件

特になし。

▌評価基準・方法

平常点(予習の出来やディスカッションでの授業参加) 50%、批評文 50%および到達目標の達成度に基づき総合的に評価する。また、原則として 5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

主に授業内の講評を通じておこなう。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッションなど）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （批評文の作成など）

▌教科書

秋草俊一郎ほか編『世界文学アンソロジー』(三省堂、2019)
上記の教科書は教科書販売期間中に購入すること。

▌参考書

適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：イントロダクション** 授業内容：授業全体のイントロダクションをおこなう。 事前学修 2.0hr：シラバスを読む。 事後学修 2.0hr：授業の内容と評価方法を確認する。
2回	**授業テーマ：言葉** 授業内容：ディスカッションを通じて、文学と／における言葉について考える。 事前学修 2.0hr：ディキンスン「ことば」、李『由熙』(抄)、カシューア「ヘルツル真夜中に消える」を読む。 事後学修 2.0hr：読書案内 1、コラム「翻訳」を読む。
3回	**授業テーマ：自己** 授業内容：ディスカッションを通じて、文学と／における自己について考える。 事前学修 2.0hr：ペソーア「わたしは逃亡者」、アンデルセン「影法師」、アディーチェ「なにかが首のまわりに」を読む。 事後学修 2.0hr：読書案内 2、コラム「アダプテーション」を読む。
4回	**授業テーマ：孤独** 授業内容：ディスカッションを通じて、文学と／における孤独について考える。 事前学修 2.0hr：ファッロフザード「あの日々」、ジョイス「土くれ」、魯迅「狂人日記」を読む。 事後学修 2.0hr：読書案内 3、コラム「オリエンタリズム」を読む。
5回	**授業テーマ：家族** 授業内容：ディスカッションを通じて、文学と／における家族について考える。 事前学修 2.0hr：石垣「子供」、プレームチャンド「私の兄さん」、アチェベ「終わりの始まり」を読む。 事後学修 2.0hr：読書案内 4、コラム「自伝文学」を読む。
6回	**授業テーマ：戦争** 授業内容：ディスカッションを通じて、文学と／における戦争について考える。 事前学修 2.0hr：ツェラーン「死のフーガ」、バーベリ『騎兵隊』(抄)、コルタサル「グラフィティ」を読む。 事後学修 2.0hr：読書案内 5、コラム「移民・亡命」を読む。
7回	**授業テーマ：環境** 授業内容：ディスカッションを通じて、文学と／における環境について考える。 事前学修 2.0hr：ヒメネス「わたしはよく知っている」、「鳥達は何処から来たか知っている」、石牟礼『神々の村』(抄)、ヴォルフ『故障』(抄)を読む。 事後学修 2.0hr：読書案内 6、コラム「ノーベル文学賞」を読む。
8回	**授業テーマ：愛** 授業内容：ディスカッションを通じて、文学と／における愛について考える。 事前学修 2.0hr：コレット「ジタネット」、カルヴィーノ「ある夫婦の冒険」、莫言「白い犬とブランコ」を読む。 事後学修 2.0hr：読書案内 7、コラム「魔術的リアリズム」を読む。
9回	**授業テーマ：悪** 授業内容：ディスカッションを通じて、文学と／における悪について考える。 事前学修 2.0hr：カフカ「夏の暑い日のこと……」、ネスィン「神の恵みがありますように」、宮沢「毒もみの好きな署長さん」を読む。 事後学修 2.0hr：読書案内 8、コラム「メタモルフォーゼ」を読む。
10回	**授業テーマ：生死** 授業内容：ディスカッションを通じて、文学と／における生死について考える。 事前学修 2.0hr：トマス「あのおだやかな夜におとなしく入ってはいけない」、シュペルヴィエル「沖合の少女」、ガルシア＝マルケス「世界でいちばん美しい溺れびと」を読む。 事後学修 2.0hr：読書案内 9、コラム「日本における世界文学」を読む。

11回	**授業テーマ：批評(1)テクストを読む** 授業内容：批評文を書くために文学テクストを読む。 事前学修 2.0hr：ハーン「猫を描いた少年」を読む。 事後学修 2.0hr：授業内の議論を振り返る。
12回	**授業テーマ：批評(2)比較テクストを読む** 授業内容：批評文を書くために文学テクスト(比較テクスト)を読む。 事前学修 2.0hr：ハーン「耳なし芳一」を読む。 事後学修 2.0hr：授業内の議論を振り返る。
13回	**授業テーマ：批評(3)短めの批評文を読む** 授業内容：批評文を書くために文学テクストについての短めの批評文を読む。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：授業内の議論を振り返る。
14回	**授業テーマ：批評(4)長めの批評文を読む** 授業内容：批評文を書くために文学テクストについての長めの批評文を読む。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：他の学生が紹介した作品のうち興味のあるものについて調べる。
15回	**授業テーマ：全体のまとめ** 授業内容：これまでの授業を踏まえて全体のまとめをする。 事前学修 2.0hr：これまでの授業内容をまとめる。 事後学修 2.0hr：授業全体の内容を振り返る。

文学特講Ⅱ-b

開講学科等：英 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

横山　竜一郎（よこやま　りゅういちろう）

▌授業の概要

この授業では、英語で書かれた文学テクストのなかで、特定の時代や人物やジャンルなどを調査し論じるための知識と技術を身につけることを目指す。そのために、初期近代イギリス文学で大きな潮流を形成した形而上派詩（Metaphysical poetry）を概観しながら、その特徴を知ると同時に詩の精読の訓練をする。各回では、ジョン・ダン、ジョージ・ハーバート、アンドリュー・マーヴェルなどの代表的な詩人が取り上げられ、授業は講義と学生によるコメントへのフィードバックとを組み合わせた形で進行する。最終的には、詩の批評文を作成することで、英語の文学テクストを論じるための応用的な実践に取り組む。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：4）

一般目標：英語で書かれた文学テクストのなかで、特定の時代や人物やジャンルなどを調査し論じるための知識と技術を身につける。

個別目標：1. 具体的な作品と共に形而上派詩の特徴を説明できる。
2. 英語で書かれた詩を語学的かつ批評的に精読できる。
3. 特定の作家について論じるための方法を実践できる。

▌履修条件

特になし。

▌評価基準・方法

平常点（コメントシートの提出など）50%、最終課題（批評文）50%の結果および到達目標の達成度に基づき総合的に判断する。また、原則として 5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

主に授業内の講評を通じておこなう。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッションなど）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （コメントシート、最終課題の作成など）

▌教科書

使用しない。必要なテクストは配布する。

▌参考書

適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：イントロダクション** 授業内容：授業全体のイントロダクションをおこなう。 事前学修 2.0hr：シラバスを読む。 事後学修 2.0hr：授業の内容と評価方法を確認する。
2回	**授業テーマ：ジョン・ダンの恋愛詩** 授業内容：講義とディスカッションを通じて、ジョン・ダンの恋愛詩を精読する。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：授業内の議論を振り返る。
3回	**授業テーマ：ジョン・ダンの宗教詩** 授業内容：講義とディスカッションを通じて、ジョン・ダンの宗教詩を精読する。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：授業内の議論を振り返る。
4回	**授業テーマ：エドワード・ハーバートの恋愛詩** 授業内容：講義とディスカッションを通じて、エドワード・ハーバートの恋愛詩を精読する。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：授業内の議論を振り返る。
5回	**授業テーマ：ジョージ・ハーバートの宗教詩（1）図形詩** 授業内容：講義とディスカッションを通じて、ジョージ・ハーバートの宗教詩（二篇の図形詩）を精読する。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：授業内の議論を振り返る。
6回	**授業テーマ：ジョージ・ハーバートの宗教詩（2）その他の抒情詩** 授業内容：講義とディスカッションを通じて、ジョージ・ハーバートの宗教詩（その他の抒情詩）を精読する。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：授業内の議論を振り返る。
7回	**授業テーマ：トマス・ケアリーの恋愛詩** 授業内容：講義とディスカッションを通じて、トマス・ケアリーの恋愛詩を精読する。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：授業内の議論を振り返る。
8回	**授業テーマ：リチャード・クラショーの宗教詩** 授業内容：講義とディスカッションを通じて、リチャード・クラショーの宗教詩を精読する。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：授業内の議論を振り返る。
9回	**授業テーマ：エイブラハム・カウリーの恋愛詩** 授業内容：講義とディスカッションを通じて、エイブラハム・カウリーの恋愛詩を精読する。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：授業内の議論を振り返る。
10回	**授業テーマ：アンドリュー・マーヴェルの恋愛詩** 授業内容：講義とディスカッションを通じて、アンドリュー・マーヴェルの恋愛詩を精読する。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：授業内の議論を振り返る。

11回	**授業テーマ：アンドリュー・マーヴェルの自然詩** 授業内容：講義とディスカッションを通じて、アンドリュー・マーヴェルの自然詩を精読する。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：授業内の議論を振り返る。
12回	**授業テーマ：ヘンリー・ヴォーンの宗教詩** 授業内容：講義とディスカッションを通じて、ヘンリー・ヴォーンの宗教詩を精読する。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：授業内の議論を振り返る。
13回	**授業テーマ：キャサリン・フィリップスの友情詩** 授業内容：講義とディスカッションを通じて、キャサリン・フィリップスの友情詩を精読する。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：授業内の議論を振り返る。
14回	**授業テーマ：トマス・トラハーンの宗教詩** 授業内容：講義とディスカッションを通じて、トマス・トラハーンの宗教詩を精読する。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：授業内の議論を振り返る。
15回	**授業テーマ：現代詩に響くメタフィジカルな声紋** 授業内容：講義とディスカッションを通じて、形而上派詩と現代詩の関係を考察する。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：授業内の議論を振り返る。

英語教育特講Ⅰ-a

開講学科等：英 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

金子　義隆（かねこ　よしたか）

▌授業の概要

英語コミュニケーション能力を測定するテストを開発するための理論を学び、さらにそれを開発・改良するための実践的知識を得る。コミュニケーション能力、言語テストの信頼性、妥当性という概念を理解するにあたり、外部試験や英語検定教科書等からの具体例を用いてグループ、クラスでディスカッションを行い、実践との関連性を重視して授業を展開する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：英米語専攻 4）

一般目標：コミュニケーション能力という概念を理解する。
言語テストの種類と目的を理解する。
言語テストの信頼性・妥当性・実用性・波及効果およびこれらの相互関係を理解する。
テストの開発と改良のための指針を理解する。
以上を理解し、中・高等学校の英語科担当教員として心得ておくべきテストの基礎知識を総合的に身に付ける。
個別目標：信頼性・妥当性・実用性・波及効果の観点から言語テストを分析することができる。
言語テストの開発と改良に必要な統計分析ができる。

▌履修条件

中・高校生が受けるテストの模範解答を書ける程度の英語力があること。
本科目を修得したのち、続けて英語教育特講 I-b を履修することが望ましい。

▌評価基準・方法

課題 50%、試験 50%の結果に基づき総合的に評価する。なお、4/5 以上の出席を評価の前提条件とし、遅刻・欠席は減点する。

▌フィードバック方法

学生の提出物および発表に対してフィードバックをする。また、毎回ではないが授業後にリフレクションシートを記入してもらい、それに対してフィードバックを行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ほぼ毎時間のグループディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

笠原究・佐藤臨太郎(2024)『英語テスト作成入門(改訂新板)』金星堂

▌参考書

若林俊輔・根岸雅史(1993)『無責任なテストが落ちこぼれを作る』大修館
アーサー・ヒューズ 著　静哲人 訳(2003)『英語のテストはこう作る』研究社
小泉利恵・印南洋・深澤真(2017)『実例でわかる英語テスト作成ガイド』大修館書店

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：テストが測定する力とは何か** 授業内容：測定とは何か、テストとは何か、どんな力を測定するのかなどについて考察する。 事前学修 2.0hr：シラバスを読む。 事後学修 2.0hr：TEAP リーディングテストの解答を書く。
2回	**授業テーマ：言語能力の構成要素** 授業内容：測定しようとする言語能力とは何か、どのような構成要素が考えられるかについて考察する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を読む。 事後学修 2.0hr：教科書を読み、授業内容を復習し、疑問点を書いておく。
3回	**授業テーマ：言語テストの妥当性** 授業内容：妥当性とはどういう概念か、妥当性の高いテストとはどういうものか等について考察する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を読む。 事後学修 2.0hr：教科書・参考書を読み、授業内容を復習し、疑問点を書いておく。
4回	**授業テーマ：言語テストの信頼性** 授業内容：信頼性とはどういう概念か、信頼性の高いテストとはどういうものか等について考察する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を読む。 事後学修 2.0hr：教科書・参考書を読み、授業内容を復習し、疑問点を書いておく。
5回	**授業テーマ：言語テストの種類と用途** 授業内容：様々な種類の言語テストとその用途について考察する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を読む。 事後学修 2.0hr：教科書を読み、授業内容を復習し、疑問点を書いておく。
6回	**授業テーマ：言語テストの理論的課題：テストの形式に表れる言語学習観** 授業内容：言語テストの理論的課題の一つであるテストの形式に表れる言語学習観について考察する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を読む。 事後学修 2.0hr：教科書を読み、授業内容を復習し、疑問点を書いておく。
7回	**授業テーマ：リーディング「総合問題」の妥当性** 授業内容：リーディング「総合問題」の妥当性について考察する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：リーディングテストの解答を書く。 事後学修 2.0hr：部分的測定テストを統合的測定テストに作りかえる課題を行う。
8回	**授業テーマ：部分的測定テストと総合的測定テスト** 授業内容：部分的測定テストと総合的測定テストのそれぞれの目的と活用について考察する。 事前学修 2.0hr：２種類のクローズテストを解く。 事後学修 2.0hr：部分的測定テストと総合的測定テストに関する課題を行う。

9回	**授業テーマ：公立高校入試問題の検討** 授業内容：実際の公立高校入試問題を入手して、検証する。そして、テストの内容と活用について考察する。 事前学修 2.0hr：公立高校入試問題の解答を書く。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み、授業内容を復習し、疑問点を書いておく。
10回	**授業テーマ：理解様式応答テスト項目作成の指針** 授業内容：理解様式応答テスト項目作成の指針についてさまざまな具体例を挙げながら考察する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を読む。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み、授業内容を復習し、疑問点を書いておく。
11回	**授業テーマ：表現様式応答テスト項目作成の指針** 授業内容：表現様式応答テスト項目作成の指針について様々な具体例を挙げながら考察する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を読む。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み、授業内容を復習し、疑問点を書いておく。
12回	**授業テーマ：ライティング・テストの採点：総合的方法と分析的方法** 授業内容：ライティング・テストの採点である総合的方法と分析的方法の違いについて理解を深める。具体例を挙げながら考察する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を読む。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み、授業内容を復習し、疑問点を書いておく。
13回	**授業テーマ：NRT のテスト項目の統計：難易度分析と弁別力分析** 授業内容：NRT のテスト項目の統計の一部である難易度分析と弁別力分析について考察する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を読む。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み、授業内容を復習し、疑問点を書いておく。
14回	**授業テーマ：NRT の開発と改良：錯乱肢有効度分析** 授業内容：NRT の開発と改良をするための錯乱肢有効度分析について考察する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を読む。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み、授業内容を復習し、疑問点を書いておく。
15回	**授業テーマ：総括** 授業内容：前期の学びについて改めて全体をレビューしながら、重要項目について考察する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：教科書の復習問題を解く。 事後学修 2.0hr：専門用語の理解を確認する。

英語教育特講Ⅰ-b

開講学科等：英 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

金子　義隆（かねこ　よしたか）

▌授業の概要

英語教育特講 I-a で学んだ理論を踏まえ、中・高等学校で実施する到達度テストを作成する実践力を身につける。実際にテストを作成し、グループおよびクラスで検討する演習を中心とする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：英米語専攻 4）

一般目標：テストの目的に応じて妥当性・信頼性のバランスを考慮し、学習者への望ましい波及効果が期待できる到達度テストを作成することができる。
　　テストの結果を報告するための基本的な統計知識を身につけ、活用することができる。
個別目標：中・高等学校で実施するテストを、その目的に応じて作成することができる。
　　エクセルを用いてテスト結果を統計的に処理し、記述・解釈することができる。

▌履修条件

英語教育特講 I-a を修得していることが望ましい。

▌評価基準・方法

課題 70%、小テスト 30% の結果に基づき総合的に評価する。なお、4/5 以上の出席を評価の前提条件とし、遅刻・欠席は減点する。

▌フィードバック方法

学生の提出物および発表に対してフィードバックをする。また、毎回ではないが授業後にリフレクションシートを記入してもらい、それに対してフィードバックを行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ほぼ毎時間のグループディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

笠原究・佐藤臨太郎(2024)『英語テスト作成入門(改訂新版)』金星堂(＊前期と同じ)

▌参考書

小泉利恵・印南洋・深澤真(2017)『実例でわかる英語テスト作成ガイド』大修館書店
松沢伸二(2002)『英語教師のための新しい評価法』大修館
アーサー・ヒューズ 著　静哲人 訳 (2003)『英語のテストはこう作る』研究社

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：文法テストの作成** 授業内容：中学校・高校で求められる英語の文法能力について考察する。それに基づいて適切な文法テストの作成について考察する。 事前学修 2.0hr：シラバスを読む 事後学修 2.0hr：配布資料を読み、授業内容を復習し、疑問点を書いておく。
2回	**授業テーマ：文法テストの検討** 授業内容：中学校・高校で求められる文法テスト作成について考察する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：文法テストを作成する。 事後学修 2.0hr：授業でのフィードバックに基づき、自作の文法テストを修正する。
3回	**授業テーマ：リーディング・テスト(１)必要な情報の読み取りを問うテスト** 授業内容：リーディング・テストにおいて必要な情報の読み取りを問う問題項目の作成について考察する。 事前学修 2.0hr：Cambridge ESOL Exam のリーディング問題を解く。 事後学修 2.0hr：Cambridge ESOL Exam のリーディング問題を解く。
4回	**授業テーマ：リーディング・テスト(２)概要・要点の把握を問うテスト** 授業内容：リーディング・テストにおいて概要・要点の把握を問う問題項目の作成について考察する。 事前学修 2.0hr：Cambridge ESOL Exam のリーディング問題を解く。 事後学修 2.0hr：Cambridge ESOL Exam のリーディング問題を解く。
5回	**授業テーマ：中学校における音読テスト** 授業内容：中学校における音読の意義と方法、そして、テストする際の留意点について考察する。 事前学修 2.0hr：配布資料を読む。 事後学修 2.0hr：ワークシートで授業内容を復習し、疑問点を書いておく。
6回	**授業テーマ：高校における音読テスト** 授業内容：高校における音読の意義と方法、そして、テストする際の留意点について考察する。 事前学修 2.0hr：配布資料を読む。 事後学修 2.0hr：ワークシートで授業内容を復習し、疑問点を書いておく。
7回	**授業テーマ：話すこと(発表)のテストの作成** 授業内容：スピーキング力とは何か、「発表する能力」を測定するテストとは何か等について考察する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：配布資料を読む。 事後学修 2.0hr：ワークシートで授業内容を復習し、疑問点を書いておく。
8回	**授業テーマ：話すこと(発表)のテストの検討** 授業内容：「話すこと(発表)」のテストの種類と評価について考察する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：話すこと(発表)のテストを作成する。 事後学修 2.0hr：授業でのフィードバックに基づき、自作のテストを修正する。
9回	**授業テーマ：話すこと(やりとり)のテスト** 授業内容：「話すこと(やりとり)」のテストの種類と評価について考察する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：配布資料を読む。 事後学修 2.0hr：ワークシートで授業内容を復習し、疑問点を書いておく。
10回	**授業テーマ：単語テストの作成** 授業内容：中学校・高校で求められる英語の語彙力とは何かについて理解を深める。 事前学修 2.0hr：配布資料を読む。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み、授業内容を復習し、疑問点を書いておく。

11回	**授業テーマ：単語テストの検討** 授業内容：中学校・高校における英語の語彙テストについて考察する。グループディスカッションを通して理解を深める。。 事前学修 2.0hr：単語テストを作成する。 事後学修 2.0hr：授業でのフィードバックに基づき、自作の単語テストを修正する。
12回	**授業テーマ：テスト結果の記述** 授業内容：平均値・中央値・最頻値などについて理解を深める。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を読む。 事後学修 2.0hr：教科書の復習問題を解く。
13回	**授業テーマ：エクセルを用いたテスト結果の記述** 授業内容：正答率・識別力・選択率などについて理解を深める。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を読む。 事後学修 2.0hr：教科書の復習問題を解く。
14回	**授業テーマ：テストの得点の解釈：標準化された得点の求め方** 授業内容：範囲・分散・標準偏差・偏差値などについて理解を深める。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を読む。 事後学修 2.0hr：教科書の復習問題を解く。
15回	**授業テーマ：総括** 授業内容：後期の授業内容について改めて全体をリビューして、重要ポイントについて振り返る。 事前学修 2.0hr：教科書の復習問題を解く。 事後学修 2.0hr：専門用語の理解を確認する。

特殊研究 I

開講学科等：英 ｜ 2 年次 ｜ 4 単位

単位認定科目

▌授業の概要

英米語学科の単位認定科目です。海外留学先等で履修した科目に対応する内容の科目が本学科の専門科目にないような場合、この科目により単位の認定を行うことがあります。同種の科目として、特殊研究Ⅱがあります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：英米語専攻 3）

一般目標：将来を見据え、積極的に社会とのかかわりを持ちながら、教室外での学びを奨励するために設定された科目です。
日頃のクラスメートとは違う人々とかかわりをもちながら、周囲から学び取り、自らの目標を長期的な視野に基づいて設定できるようになる。
社会の変化に柔軟に対応し、自ら考え行動していく積極的な力を身につける。

個別目標：積極的に目標を自ら定め、実行し、達成するまで努力を継続できる力をはぐくむ。
将来に対して確かな手ごたえを感じ、自己成長につなげる。

▌履修条件

特にありません。
詳細については、英米語学科主任により別途指示します。

▌評価基準・方法

単位認定方法などの詳細については、英米語学科主任より別途指示します。

▌フィードバック方法

課題フィードバックについては対面返却、manaba での模範解答掲示、manaba でのコメントを行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （海外でのアクティブラーニングの状況を考慮します）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （海外大学での授業での PC 利用状況を考慮します）

▌教科書

とくにありません

▌参考書

参考資料が必要な時は相談してください。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

授業テーマ

詳細については、英米語学科主任より別途指示します。

授業内容

詳細については、英米語学科主任より別途指示します。

事前学修

希望する研修については教員と相談をしたり、自ら資料を収集するなどして積極的に研修内容を事前把握してください。

事後学修

研修内容について、その内容を報告するなどし、単位認定が可能であるかどうか判定されます。

特殊研究Ⅱ

開講学科等：英 ｜ 2 年次 ｜ 4 単位

単位認定科目

▌授業の概要

英米語学科の単位認定科目です。海外留学先等で履修した科目に対応する内容の科目が本学科の専門科目にないような場合、この科目により単位の認定を行うことがあります。同種の科目として、特殊研究Ⅰがあります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：英米語専攻 3）

一般目標：積極的に社会とのかかわりを持ちながら、教室外での学びを奨励するために設定された科目です。
日頃のクラスメートとは違う人々とかかわりをもちながら、周囲から学び取り、自らの目標を長期的な視野に基づいて設定できるようになる。
社会の変化に柔軟に対応し、自ら考え、行動していく積極性を身につける。

個別目標：積極的に目標を自ら定め、実行し、達成するまであきらめない気持ちを継続する力を身につける。
将来に対して確かな手ごたえを感じ、積極的な就職活動にも結び付けることができる自信と実力を身につける。

▌履修条件

特にありません。
詳細については、英米語学科主任により別途指示します。

▌評価基準・方法

単位認定方法などの詳細については、英米語学科主任より別途指示します。

▌フィードバック方法

課題フィードバックについては対面返却、manaba での模範解答掲示、manaba でのコメントを行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （海外でのアクティブラーニングの状況を考慮します）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （海外大学での授業での PC 利用状況を考慮します）

▌教科書

とくにありません

▌参考書

参考資料が必要な時は相談してください。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

授業テーマ

詳細については、英米語学科主任より別途指示します。

授業内容

海外大学での学習を通して、学んだ科目について英米語学科の単位として積極的に認定します。

事前学修

希望する研修については教員と相談をしたり、自ら資料を収集するなどして積極的に研修内容を事前把握してください。

事後学修

研修内容について、その内容を報告するなどしながら、単位認定が可能であるかどうか判定がなされます。

海外実地研修

開講学科等：英 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位

単位認定科目

▌授業の概要

海外で行われた特定の分野における集中研修に対して単位の認定を行います。
集中研修の内容としては、語学中心の研修、ビジネス中心の研修等があります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：英米語専攻 3）

一般目標：将来を見据え、積極的に社会とのかかわりを持ちながら、教室外での学びを奨励するために設定された科目です。日ごろのクラスメートとは違う人々とかかわりを持ちながら、周囲から学びとり、自らの目標を長期的な視野に基づいて設定できるようになります。社会の変化に柔軟に対応できる積極性を身につけ実社会で通用する能力を涵養します。

個別目標：積極的に目標を自ら定め実行し達成感を持つことで、しっかりとした就職へ向けての意識やさらなる学習意欲を高めることができる。目標を自ら定めて実行することができるようになる。

▌履修条件

特にありません。
詳細については、英米語学科主任より別途指示します。

▌評価基準・方法

単位認定方法等の詳細については、英米語学科主任より別途指示します。

▌フィードバック方法

課題フィードバックについては対面返却、manaba での模範解答掲示、manaba でのコメントを行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （海外でのアクティブラーニングの状況を考慮します）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （海外大学での授業での PC 利用状況を考慮します）

▌教科書

特にありません。

▌参考書

参考資料が必要な方は個別に申し出てください。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

授業テーマ

詳細については、英米語学科主任より別途指示します。

授業内容

研修先での活動実施内容について取りまとめておくなど資料を示すことができるようにしておいてください。

事前学修

希望する研修については教員と相談をしたり、自ら資料を収集するなどして積極的に研修内容を事前把握してください。

事後学修

研修内容について、その内容の報告を受けたうえで、単位認定が可能であるかどうか判定致します。

専門領域研究講座

開講学科等：英 ｜ 3 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通

鍛治　広真（かじ　ひろみ）

▌授業の概要

4 年次に言語に関わるテーマの卒業論文を執筆することを目指し、そのために必要な準備をする。文献を読んで言語現象を分析する方法や、どのような領域が対象になりうるかという例を学ぶ。授業では文献の内容に関してディスカッションを行う。また、履修者は自分の関心のあるテーマについて授業内で発表を行う機会がある。学期末に書くレポートのテーマとアウトラインについても、授業内で発表し、よりよくする方法を全員で検討する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1/2/3/4）

一般目標：言語学的な研究対象や分析方法について基本的な知識を習得し、研究テーマを見つける。

個別目標：(1) 言語について興味をもち、探求するテーマを履修者自身の関心から見つけることができる
(2) テーマについて文献を読み、考察することができる
(3) 考えを口頭および文章で効果的に伝えることができる

▌履修条件

事前に担当教員と面談し、履修の合意を得ること。

▌評価基準・方法

授業への取り組み 50%（発表、ディスカッションなど）、レポート 50 %。

▌フィードバック方法

課題等に対するフィードバックは授業、個別面談および manaba を通りして行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （プレゼンテーション、ディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （資料収集および発表資料、レポート等の作成に PC を使用する。）

▌教科書

使用しない

▌参考書

新田誠吾『はじめてでも、ふたたびでも、これならできる！　レポート・論文のまとめ方』すばる舎
河野 哲也『レポート・論文の書き方入門』慶應義塾大学出版会
石井一成『ゼロからわかる大学生のためのレポート・論文の書き方』ナツメ社

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：ゼミの進め方を説明する。学生発表の日程を決定する。 事前学修 2.0hr：シラバスを読む、ノートの準備 事後学修 2.0hr：履修の決定	16回	**授業テーマ：後期レポートテーマの検討** 授業内容：学年末レポートのテーマ案を発表し、ディスカッションする。 事前学修 2.0hr：レポートテーマを考える 事後学修 2.0hr：ディスカッション内容の整理
2回	**授業テーマ：見本論文をよむ** 授業内容：見本論文を読み、言語学の論文の書き方を分析する。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理	17回	**授業テーマ：文献購読(分析方法) (1)** 授業内容：文献を読み言語データの分析方法について学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
3回	**授業テーマ：文献購読(言語学概論) (1)** 授業内容：文献を読み言語学の研究対象・研究方法について学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：自分のテーマの検討	18回	**授業テーマ：文献購読(分析方法) (2)** 授業内容：文献を読み言語データの分析方法について学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
4回	**授業テーマ：文献購読(言語学概論) (2)** 授業内容：文献を読み言語学の研究対象・研究方法について学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：自分のテーマの検討	19回	**授業テーマ：文献購読(分析方法) (3)** 授業内容：文献を読み言語データの分析方法について学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
5回	**授業テーマ：文献購読(言語学概論) (3)** 授業内容：文献を読み言語学の研究対象・研究方法について学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：自分のテーマの検討	20回	**授業テーマ：レポートテーマの発表 (1)** 授業内容：レポートのテーマを発表し、発表内容に基づいてディスカッションする。 事前学修 2.0hr：発表資料の準備 事後学修 2.0hr：ディスカッション内容の整理
6回	**授業テーマ：テーマ報告とディスカッション** 授業内容：受講者の研究テーマを発表し、発表内容に基づいてディスカッションする。 事前学修 2.0hr：テーマを考え、発表資料を作成する 事後学修 2.0hr：ディスカッション内容の整理	21回	**授業テーマ：レポートテーマの発表 (2)** 授業内容：レポートのテーマを発表し、発表内容に基づいてディスカッションする。 事前学修 2.0hr：発表資料の準備 事後学修 2.0hr：ディスカッション内容の整理
7回	**授業テーマ：レポートの構造と書き方** 授業内容：レポートの構造と書式を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理	22回	**授業テーマ：引用の技法** 授業内容：レポートにおける文献の引用の仕方と参考文献リストの書き方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：参考文献リストの作成
8回	**授業テーマ：資料の探し方と管理** 授業内容：レポート執筆のための文献資料を探し方と管理方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく。探したい資料の種類を考える 事後学修 2.0hr：資料探しを実践する	23回	**授業テーマ：論文の構造** 授業内容：論文の構造を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
9回	**授業テーマ：文献リストの作成と検討** 授業内容：レポート執筆のための文献リストを作成し、作成したリストを受講者同士で検討する。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：文献リストの改訂	24回	**授業テーマ：文献報告 (1)** 授業内容：レポートのための文献の内容を報告し、内容に基づいてディスカッションする。 事前学修 2.0hr：発表資料の準備 事後学修 2.0hr：ディスカッション内容の整理
10回	**授業テーマ：レジュメ、レポート作成のポイント** 授業内容：わかりやすい発表レジュメやレポートを作成するための、体裁および内容両面のポイントを学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：発表資料の作成を実践する	25回	**授業テーマ：文献報告 (2)** 授業内容：レポートのための文献の内容を報告し、内容に基づいてディスカッションする。 事前学修 2.0hr：発表資料の準備 事後学修 2.0hr：ディスカッション内容の整理

11回	**授業テーマ：レポートテーマの発表** 授業内容：レポートのテーマを発表し、発表内容に基づいてディスカッションする。 事前学修 2.0hr：発表資料を作成する。 事後学修 2.0hr：ディスカッション内容の整理	26回	**授業テーマ：レポートアウトラインの検討 (1)** 授業内容：レポートのアウトラインを作成し、内容に基づいてディスカッションする。 事前学修 2.0hr：発表資料の準備 事後学修 2.0hr：ディスカッション内容の整理
12回	**授業テーマ：文献収集と報告** 授業内容：レポートのための文献資料を収集し、文献内容を報告する。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：文献資料の整理	27回	**授業テーマ：レポートアウトラインの検討 (2)** 授業内容：レポートのアウトラインを作成し、内容に基づいてディスカッションする。 事前学修 2.0hr：発表資料の準備 事後学修 2.0hr：ディスカッション内容の整理
13回	**授業テーマ：文献報告 (1)** 授業内容：文献資料の内容を要約し、内容に基づいてディスカッションする。 事前学修 2.0hr：発表資料の準備 事後学修 2.0hr：ディスカッション内容の整理	28回	**授業テーマ：レポート第 1 稿の検討 (1)** 授業内容：レポートの第 1 稿の内容に基づいてディスカッションする。 事前学修 2.0hr：発表資料の準備 事後学修 2.0hr：ディスカッション内容の整理
14回	**授業テーマ：文献報告 (2)** 授業内容：文献資料の内容を要約し、内容に基づいてディスカッションする。 事前学修 2.0hr：発表資料の準備 事後学修 2.0hr：ディスカッション内容の整理	29回	**授業テーマ：レポート第 1 稿の検討 (2)** 授業内容：レポートの第 1 稿の内容に基づいてディスカッションする。 事前学修 2.0hr：発表資料の準備 事後学修 2.0hr：ディスカッション内容の整理
15回	**授業テーマ：前半のまとめ** 授業内容：前半の授業内容を振り返り、補足をする。レポートの執筆計画を報告する。 事前学修 2.0hr：これまでの内容を復習し、疑問点と考察を整理する 事後学修 2.0hr：理解の整理	30回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：授業内容を振り返り、補足をする。レポートの改訂計画を報告する。 事前学修 2.0hr：これまでの内容を復習し、疑問点と考察を整理する 事後学修 2.0hr：レポートの準備

専門領域研究講座

開講学科等：英 ｜ 3 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通

金子　義隆（かねこ　よしたか）

▌授業の概要

本講座では、教員採用試験の英語面接を念頭に置いて、社会的・教育的話題について自分の意見を英語で適切に表現できるようにする。また、言語習得にはインプットだけでなくアウトプットも必要だと考える「インプット・インタラクションモデル」を支持し、言語活動を取入れます。言語活動を通して、英語コミュニケーション力を向上させます。また、教職履修者は将来自分のクラスで言語活動を行うことができるように教員の視点からも学びます。プレゼンテーションやディスカッションなどのアウトプット活動も行います。さらに、動機づけ理論についても文献を読んだりして理論を学びながら心理的側面を分析し、最後に研究発表とレポート作成を行います。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1/2/3/4）

一般目標：教員採用試験の英語面接や英検準 1 級の 2 次試験で要求されるレベルの英語コミュニケーション能力を身につける。そして、生徒のやる気を引き出す英語授業という観点に基づきつつ、主体的・対話的で深い学びを導く教育について理解を深め、授業指導に生かすことができる。

個別目標：1．社会的・教育的な話題に関して、自分の意見を話したり書いたりしディスカッションしたりできる。
2．動機づけに関して独自におこなった研究に関して深い理解を持ち、説明することができる。
3．主体的・対話的で深い学びについて自分の意見を持ち、授業指導において工夫をすることができる。

▌履修条件

教職課程履修者のみ。
英語力向上のために常に努力すること。

▌評価基準・方法

発表５０%、レポート３０%、授業への積極的な態度や発言２０%の総合評価
５分の４以上の出席を前提条件とし、欠席は減点とする。

▌フィードバック方法

学生の提出物および発表に対してフィードバックをする。また、毎回ではないが授業後にリフレクションシートを記入してもらい、それに対してフィードバックを行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ほぼ毎時間のグループディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

最初の授業で連絡します。

▌参考書

ゾルタン・ドルニェイ動機づけを高める英語指導ストラテジー３５

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション(授業の説明、履修上の注意など)** 授業内容：授業の概要と今後のスケジュールについて理解する。ゼミ担当教員と他のゼミ生について理解を深める。 事前学修 2.0hr：教科書にざっと目を通しておく。 事後学修 2.0hr：課題に取り組む。	16回	**授業テーマ：Introduction to the second half of the course** 授業内容：後期の講義内容について確認する。夏休み期間中の研究について各自発表する。 事前学修 2.0hr：教科書のアクティビティに取り組む。 事後学修 2.0hr：各自研究と担当箇所の発表の準備を進める。
2回	**授業テーマ：Self introduction activities** 授業内容：英語による自己紹介活動を行う。ゼミ担当教員とゼミ生同士の研究や興味関心について理解を深める。 事前学修 2.0hr：教科書のアクティビティに取り組む。 事後学修 2.0hr：各自研究と担当箇所の発表の準備を進める。	17回	**授業テーマ：Paper debate 2** 授業内容：前期に一度実施した Paper debate について、再度体験しながら学校現場での活用について考察する。 事前学修 2.0hr：教科書のアクティビティに取り組む。 事後学修 2.0hr：各自研究と担当箇所の発表の準備を進める。
3回	**授業テーマ：Talks about social topics** 授業内容：さまざま社会的話題について英語で自分の意見を述べる。また、他者の意見を理解する。 事前学修 2.0hr：教科書のアクティビティに取り組む。 事後学修 2.0hr：各自研究と担当箇所の発表の準備を進める。	18回	**授業テーマ：Lecture: motivation theories 1** 授業内容：動機づけ理論について考察する。第二言語習得における動機づけ理論、特に統合的動機付けと道具的動機付け、そして国際的志向性について考察する。 事前学修 2.0hr：ハンドアウトを読む。 事後学修 2.0hr：各自研究と担当箇所の発表の準備を進める。
4回	**授業テーマ：Talks about memorable event in the past** 授業内容：過去における思い出深い出来事に関して英語で発表する。 事前学修 2.0hr：教科書のアクティビティに取り組む。 事後学修 2.0hr：各自研究と担当箇所の発表の準備を進める。	19回	**授業テーマ：Lecture: motivation theories 2** 授業内容：動機づけ理論について考察する。教育心理学における動機づけ理論、特に自己決定理論について考察する。 事前学修 2.0hr：ハンドアウトを読む。 事後学修 2.0hr：各自研究と担当箇所の発表の準備を進める。
5回	**授業テーマ：Dictogloss 1** 授業内容：Dictogloss を実際に体験し、その効果について考察する。 事前学修 2.0hr：教科書のアクティビティに取り組む。 事後学修 2.0hr：各自研究と担当箇所の発表の準備を進める。	20回	**授業テーマ：Lecture: motivation theories 3** 授業内容：動機づけ理論について考察する。第二言語習得における動機づけ理論、特に第二言語動機付けセルフシステムについて考察する。 事前学修 2.0hr：ハンドアウトを読む。 事後学修 2.0hr：各自研究と担当箇所の発表の準備を進める。
6回	**授業テーマ：Dictogloss 2** 授業内容：さらに Dictogloss を実際に体験し、その効果について考察する。 事前学修 2.0hr：教科書のアクティビティに取り組む。 事後学修 2.0hr：各自研究と担当箇所の発表の準備を進める。	21回	**授業テーマ：Short debate 1** 授業内容：Debate の簡易版を実際に体験し、学校現場での活用について考察する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：教科書のアクティビティに取り組む。 事後学修 2.0hr：各自研究と担当箇所の発表の準備を進める。
7回	**授業テーマ：Presentation about a favorite movie, song or book** 授業内容：各自用意してきた内容についてプレゼンテーションをする。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：教科書のアクティビティに取り組む。 事後学修 2.0hr：各自研究と担当箇所の発表の準備を進める。	22回	**授業テーマ：Short debate 2** 授業内容：前回に引き続き、Debate の簡易版を実際に体験し、学校現場での活用について考察する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：教科書のアクティビティに取り組む。 事後学修 2.0hr：各自研究と担当箇所の発表の準備を進める。
8回	**授業テーマ：Presentation 2** 授業内容：前時に発表できていないゼミ生はプレゼンテーションをする。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：教科書のアクティビティに取り組む。 事後学修 2.0hr：各自研究と担当箇所の発表の準備を進める。	23回	**授業テーマ：Discussion 1** 授業内容：日常的話題について実際に英語で Discussion をおこない、学校現場での活用について考察する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：教科書のアクティビティに取り組む。 事後学修 2.0hr：各自研究と担当箇所の発表の準備を進める。

9回	**授業テーマ：Jigsaw reading 1** 授業内容：Jigsaw reading を実際に体験し、その効果について考察する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：教科書のアクティビティに取り組む。 事後学修 2.0hr：各自研究と担当箇所の発表の準備を進める。	24回	**授業テーマ：Discussion 2** 授業内容：社会的話題について実際に英語で Discussion をおこない、学校現場での活用について考察する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：教科書のアクティビティに取り組む。 事後学修 2.0hr：各自研究と担当箇所の発表の準備を進める。
10回	**授業テーマ：Jigsaw reading 2** 授業内容：さらに Jigsaw reading を実際に体験し、その効果について考察する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：教科書のアクティビティに取り組む。 事後学修 2.0hr：各自研究と担当箇所の発表の準備を進める。	25回	**授業テーマ：Giving suggestions 1** 授業内容：助言や提言をする場面設定の中で実際にそれらをおこなう体験し、学校現場での活用について考察する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：教科書のアクティビティに取り組む。 事後学修 2.0hr：各自研究と担当箇所の発表の準備を進める。
11回	**授業テーマ：Talks about the summer vaction** 授業内容：小学校や中学校、高校の授業を意識した、夏休みの予定についてやり取りする言語活動について考察する。 事前学修 2.0hr：教科書のアクティビティに取り組む。 事後学修 2.0hr：各自研究と担当箇所の発表の準備を進める。	26回	**授業テーマ：Giving suggestions 2** 授業内容：前回に引き続き、助言や提言をする場面設定の中で実際にそれらをおこなう体験し、学校現場での活用について考察する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：教科書のアクティビティに取り組む。 事後学修 2.0hr：各自研究と担当箇所の発表の準備を進める。
12回	**授業テーマ：Story retelling 1** 授業内容：小学校や中学校、高校の授業を意識した、読んだ内容について相手に伝える言語活動について考察する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：教科書のアクティビティに取り組む。 事後学修 2.0hr：各自研究と担当箇所の発表の準備を進める。	27回	**授業テーマ：Presentation about a research project 1** 授業内容：講座を通して興味を持ったトピックについて、また次年度の卒業研究のスケジュールについて各自発表する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：担当者は発表の準備をする。 事後学修 2.0hr：各自研究と担当箇所の発表の準備を進める。
13回	**授業テーマ：Story retelling 2** 授業内容：さらに、小学校や中学校、高校の授業を意識した、読んだ内容について相手に伝える言語活動について考察する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：教科書のアクティビティに取り組む。 事後学修 2.0hr：各自研究と担当箇所の発表の準備を進める。	28回	**授業テーマ：Presentation about a research project 2** 授業内容：前回に引き続き、講座を通して興味を持ったトピックについて、また次年度の卒業研究のスケジュールについて各自発表する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：担当者は発表の準備をする。 事後学修 2.0hr：各自研究と担当箇所の発表の準備を進める。
14回	**授業テーマ：Paper debate** 授業内容：Paper debate を実際に体験し、小・中・高の現場で活用することを意識しながらその効果について考察する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：教科書のアクティビティに取り組む。 事後学修 2.0hr：各自研究と担当箇所の発表の準備を進める。	29回	**授業テーマ：Presentation about a research project 3** 授業内容：前回に引き続き、講座を通して興味を持ったトピックについて、また次年度の卒業研究のスケジュールについて各自発表する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：担当者は発表の準備をする。 事後学修 2.0hr：各自研究と担当箇所の発表の準備を進める。
15回	**授業テーマ：Wrapping up & making a plan of the summer camp** 授業内容：前期の講義内容をレビューして、重要ポイントについて振り返る。 事前学修 2.0hr：教科書のアクティビティに取り組む。 事後学修 2.0hr：各自研究と担当箇所の発表の準備を進める。	30回	**授業テーマ：授業の総復習、補足、QA** 授業内容：一年間の講座をレビューして、重要ポイントについて振り返る。 事前学修 2.0hr：各自研究をレポートにまとめる。 事後学修 2.0hr：各自研究をレポートにまとめる。

専門領域研究講座

開講学科等：英 ｜ 3 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通

川成　美香（かわなり　みか）

▌授業の概要

ことばの使用を社会的・文化的視点から考える「社会言語学(Sociolinguistics)」の入門ゼミである。ことばと社会、ことばと文化、ことばと性差、会話の分析、丁寧表現、バイリンガリズムやコード切り替えの仕組みなどについての理解を深めることを目的とする。発表形式で授業を進めるが、身近な英語と日本語にみられるさまざまな言語現象を考察、議論していきたい。最終的には、各自のテーマを設定し、オリジナリティーのある小論文(ゼミ論文)の作成をめざす。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1/2/3/4）

一般目標：社会言語学的なことばの諸相を理解し、ことば・社会・文化の関係性を認識し、英語と日本語の身近な言語現象についての知識を身につける。
個別目標：1：社会的・文化的視点からことばに関わる現象を、実例をあげて説明できる
　　2：英語と日本語でのことばに関わる現象をテーマに、小論文が作成できる

▌履修条件

・英米語学科の事前登録手続きを経た者に限る

▌評価基準・方法

・毎回の課題・発表 50 %とゼミ論文 50 %の結果に基づき総合的に評価する
・5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする

▌フィードバック方法

・課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （プレゼンテーション、ディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Word,Excel,PowerPoint ソフトを搭載したノートパソコンを必要に応じて持参すること）

▌教科書

『改訂版・社会言語学―基本からディスコース分析まで』岩田祐子他　ひつじ書房

▌参考書

『応用言語学事典』小池生夫他編 研究社
その他適宜指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

授業テーマ

本ゼミナールは、上述の到達目標を達成するために、英語および日本語で書かれた書籍または論文などを精読することから始めます。具体的なトピックとしては、言語理論の中での社会言語学の位置づけ、Sapir-Whorf 仮説やプロトタイプ理論などからみる言語相対性仮説、待遇表現としてのポライトネスとポライトネス行動、言語内変異としての方言や社会階層差、男女の言語行動と日英語にみられる性差、会話スタイルや非言語伝達と異文化理解、などの言語・文化・社会に関する諸問題を扱います。そのプロセスを経て、受講生は、各自のゼミ論文の研究テーマを設定し、データ収集と分析、考察を進めて論文を執筆していきます。論文作成については、文献検索やデータベースの活用方法、論文の執筆方法などのテクニカルな面の指導も行います。最終的には、ゼミ論発表会で全員が発表し、その成果をもとに「ゼミ論文集」に掲載する最終版へと完成度を高めていきます。

授業内容

本ゼミナールは、上述の到達目標を達成するために、英語および日本語で書かれた書籍または論文などを精読することから始めます。具体的なトピックとしては、言語理論の中での社会言語学の位置づけ、Sapir-Whorf 仮説やプロトタイプ理論などからみる言語相対性仮説、待遇表現としてのポライトネスとポライトネス行動、言語内変異としての方言や社会階層差、男女の言語行動と日英語にみられる性差、会話スタイルや非言語伝達と異文化理解、などの言語・文化・社会に関する諸問題を扱います。そのプロセスを経て、受講生は、各自のゼミ論文の研究テーマを設定し、データ収集と分析、考察を進めて論文を執筆していきます。論文作成については、文献検索やデータベースの活用方法、論文の執筆方法などのテクニカルな面の指導も行います。最終的には、ゼミ論発表会で全員が発表し、その成果をもとに「ゼミ論文集」に掲載する最終版へと完成度を高めていきます。

事前学修

本ゼミの基本姿勢として、英語と日本語に関する言語現象に関心をもち、指定する教科書以外にもさまざまな文献や資料を読むことを推奨します。毎回のゼミは、基本テキストや資料をゼミ生によるプレゼンテーション形式により読み進めるので、入念な準備が必要です。さらにゼミ論文作成にむけて、文献リサーチからスタートして各自のテーマ設定、および実証的な研究を行います。卒業論文のベースとなるゼミ論文をめざすので、地道な努力が必要です。事前学修の目安時間は毎回 2 時間以上です。

事後学修

毎回のゼミで得た知識にとどまることなく、広く文献を読み、問題意識を持てるまで熟考することが必要です。ゼミ論文を作成したのちは、ゼミ論発表会を行います。さらに、「ゼミ論文集」に掲載するので再考・推敲を重ねていきます。事後学修の目安時間は毎回 2 時間以上です。

専門領域研究講座

開講学科等：英 ｜ 3 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通

河原　伸一（かわはら　しんいち）

▌授業の概要

今、さまざまな要因によって第二次世界大戦後の国際秩序が大きく変わろうとしています。この授業では、国際政治経済分野において、各受講者が関心を持ったテーマについて、英語を含む文献調査と議論を通じて深く考察し、受講生自身の言葉で自分なりの考えを日本語及び英語で効果的に表現できる力を身に付け、国際未来社会で活躍できるようにします。具体的には、アクティブ・ラーニングを通じて、学生・教員間、学生・社会人間、学生間のコミュニケーションを促します。国際政治経済分野における多様な価値観に触れ、受講者自身の考え方と対比し、受講生自身が国際未来社会のために何ができるかを考える契機とすることができます。また、卒業後に役立つ企業分析ツールとして、財務会計リテラシーも身に付けます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1/2/3/4）

一般目標：受講生は、各自が設定したテーマに関する議論・論文・レポート作成に向け、担当教員の指導の下、効果的に取り組むことができます。毎日、英語を含む新聞や調査レポートなどの情報をチェックし、今、世界で起きている事象の背景について深く調査します。また、ビジネスの最前線で活躍している社会人との意見交換などを通じて、実務に関する情報と各自のキャリアパス設計に資する情報を効果的に収集することもできます。また、財務会計リテラシーを身に付けることができます。

個別目標：受講生は、指導教員による国際的事象の背景説明や文献紹介を参考にして各自の研究テーマを絞り込みます。各自が設定したテーマに関する先行研究を行い、テーマに対するアプローチ及び知見を理解することができます。また、文章添削を通じて適切な日本語文章を書くことができます。さらに、社会の第一線で活躍している社会人とのコミュニケーションを通じて、各自のテーマの理論と社会における実践との接点を理解できます。

▌履修条件

事前に履修を認められた者のみ。

▌評価基準・方法

毎回の授業参加度 60 %と財務会計などの知識定着など学修目標達成 40 %の結果に基づき、総合的に評価します。
5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とします。
授業参加度には、当日授業のテーマに関する予習・復習、授業内におけるディスカッションへの参加・貢献を含みます。
日商簿記 3 級レベル以上の知識定着を期待します。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、授業内または学修支援システム manaba で行います。
国際未来社会で活躍できる力を身に付けるため、世界で通用するロジックの展開を基準としてフィードバックを行います。ディスカッションの場合、授業内でロジックの流れや表現が適切か・効果的かどうか学生と相互確認しながらフィードバックします。レポートの場合、ロジックの流れや表現について添削を行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループ・ディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （プレゼン・レポート作成時などに Excel、Word ソフトを搭載したパソコンを使用）

▌教科書

滝澤ななみ『スッキリわかる　日商簿記３級』TAC 出版
『合格するため本試験問題集　日商簿記 3 級』TAC 出版
中沢康彦『教科書経営』日経 BP

▌参考書

開講時に指示します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：商品売買・国際情勢分析** 授業内容：「商品を買ってきたときの仕訳」「掛けで仕入れたときの仕訳」など商品売買の仕訳を学びます。また、直近の国際情勢について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：教科書「商品売買」を読む 事後学修 2.0hr：学修スケジュールの作成	16回	**授業テーマ：伝票・国際情勢分析** 授業内容：三伝票制や入金・出金伝票の起票などについて学びます。また、直近の国際情勢について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：文献講読 事後学修 2.0hr：文献講読
2回	**授業テーマ：現金・国際情勢分析** 授業内容：「他人振出小切手を受け取ったときの仕訳」など現金処理を学びます。また、直近の国際情勢について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：文献調査 事後学修 2.0hr：学修スケジュールの作成	17回	**授業テーマ：精算表・国際情勢分析** 授業内容：「現金過不足の処理」などさまざまな決算整理を学びます。また、直近の国際情勢について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：文献講読 事後学修 2.0hr：文献講読
3回	**授業テーマ：当座預金・国際情勢分析** 授業内容：「小切手を振り出したときの仕訳」「決算日において当座預金が貸方残高のときの仕訳」などを学びます。また、直近の国際情勢について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：関連情報収集 事後学修 2.0hr：レポート作成	18回	**授業テーマ：財務諸表作成・国際情勢分析** 授業内容：損益計算書や貸借対照表といった財務諸表の作成手順を学びます。また、直近の国際情勢について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：関連情報収集 事後学修 2.0hr：レポート作成
4回	**授業テーマ：小口現金・国際情勢分析** 授業内容：「小口現金を前渡ししたときの仕訳」など小口現金の処理を学びます。また、直近の国際情勢について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：文献調査 事後学修 2.0hr：文献調査	19回	**授業テーマ：帳簿の締め切り・国際情勢分析** 授業内容：「収益・費用の振り替え」や「当期純利益の振り替え」、各勘定の締め切りを学びます。また、直近の国際情勢について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：ロシア語の基礎 事後学修 2.0hr：ロシア語の基礎
5回	**授業テーマ：手形・国際情勢分析** 授業内容：「約束手形を振り出したときの仕訳」など手形処理を学びます。また、直近の国際情勢について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：発言メモの作成 事後学修 2.0hr：文献調査	20回	**授業テーマ：株式の発行・国際情勢分析（ロシア分析）** 授業内容：「会社を設立して株式を発行したときの仕訳」などを学びます。また、直近の国際情勢について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：文献講読 事後学修 2.0hr：文献講読

6回	**授業テーマ：貸付金・情勢分析** 授業内容：「お金を貸し付けたときの仕訳」など貸付金などの処理を学びます。また、直近の国際情勢について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：企業情報収集 事後学修 2.0hr：レポート作成
7回	**授業テーマ：債権債務・国際情勢分析** 授業内容：「商品以外のものを後払いで買ったときの仕訳」など債権債務の処理を学びます。また、直近の国際情勢について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：発言メモの作成 事後学修 2.0hr：文献調査
8回	**授業テーマ：費用・国際情勢分析** 授業内容：「消耗品を買ったときの仕訳」「固定資産税を支払ったときの仕訳」など費用処理を学びます。また、直近の国際情勢について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：情報収集 事後学修 2.0hr：情報収集
9回	**授業テーマ：貸倒れ・国際情勢分析** 授業内容：「売掛金が貸し倒れたときの仕訳」など貸倒れと貸倒引当金の処理を学びます。また、直近の国際情勢について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：企業情報収集 事後学修 2.0hr：レポート作成
10回	**授業テーマ：減価償却・国際情勢分析** 授業内容：「固定資産を売却したときの仕訳」など減価償却の処理を学びます。また、直近の国際情勢について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：資料収集 事後学修 2.0hr：資料収集
11回	**授業テーマ：剰余金の処分・国際情勢分析** 授業内容：「剰余金を配当、処分したときの仕訳」など剰余金処理を学びます。また、直近の国際情勢について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：文献講読 事後学修 2.0hr：文献講読
12回	**授業テーマ：消費税・国際情勢分析** 授業内容：「消費税を受け取ったときの仕訳」など消費税の処理を学びます。また、直近の国際情勢について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：文献講読 事後学修 2.0hr：文献講読
13回	**授業テーマ：前払い・国際情勢分析** 授業内容：「費用を前払いしたときの仕訳」など前払いなどの処理を学びます。また、直近の国際情勢について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：文献講読 事後学修 2.0hr：文献講読
14回	**授業テーマ：帳簿への記入・国際情勢分析** 授業内容：「商品有高帳への記入」などさまざまな元帳などへの記入を学びます。また、直近の国際情勢について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：文献講読 事後学修 2.0hr：文献講読
15回	**授業テーマ：試算表・国際情勢分析** 授業内容：合計試算表、残高試算表、合計残高試算表の作成手順を学びます。また、直近の国際情勢について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：企業情報収集 事後学修 2.0hr：レポート作成
21回	**授業テーマ：合併・国際情勢分析(ロシア分析)** 授業内容：合併したときの仕訳や無形固定資産を取得したときの仕訳などを学びます。また、直近の国際情勢について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：企業情報収集 事後学修 2.0hr：レポート作成
22回	**授業テーマ：法人税・国際情勢分析** 授業内容：「法人税等を中間申告、納税したときの仕訳」などを学びます。また、直近の国際情勢について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：企業情報収集 事後学修 2.0hr：レポート作成
23回	**授業テーマ：商品売買・国際情勢分析** 授業内容：売上原価対立法や「決算時における売上原価の決定」などを学びます。また、直近の国際情勢について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：文献講読 事後学修 2.0hr：文献講読
24回	**授業テーマ：電子記録債権債務・国際情勢分析** 授業内容：電子記録債権債務が発生したときの仕訳などを学びます。また、直近の国際情勢について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：英語文献講読 事後学修 2.0hr：英語文献講読
25回	**授業テーマ：銀行勘定調整法・国際情勢分析** 授業内容：「預金残高が一致しないときの処理」について学びます。また、直近の国際情勢について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：英語文献講読 事後学修 2.0hr：英語文献講読
26回	**授業テーマ：固定資産・国際情勢分析** 授業内容：「固定資産を割賦で購入したときの仕訳」などを学びます。また、直近の国際情勢について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：プレゼンテーションメモの作成 事後学修 2.0hr：プレゼンテーションメモの推敲
27回	**授業テーマ：リース取引・国際情勢分析** 授業内容：ファイナンス・リース取引やオペレーティング・リース取引の処理などを学びます。また、直近の国際情勢について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：プレゼンテーション原稿の作成 事後学修 2.0hr：プレゼンテーション原稿の推敲
28回	**授業テーマ：研究開発費・国際情勢分析(論文・レポートの骨子)** 授業内容：「研究開発費を支出したときの仕訳」などを学びます。また、各自の卒論・レポートの骨子について、グループ・ディスカッションを行い、さまざまな視点から仮説検証・課題設定を行います。 事前学修 2.0hr：論文・レポートの骨子 事後学修 2.0hr：論文・レポートの骨子
29回	**授業テーマ：有価証券・論文・レポートに関する議論** 授業内容：「有価証券を購入したときの仕訳」などを学びます。また、各自の卒論・レポートの仮説・課題・構成について、グループ・ディスカッションを行い、さまざまな視点から仮説検証・課題設定・構成検討を行います。 事前学修 2.0hr：論文・レポートの章立て 事後学修 2.0hr：論文・レポートの章立て
30回	**授業テーマ：論文・レポートに関する議論** 授業内容：各自の卒論・レポートについて執筆に本格的に着手し、グループ・ディスカッションを行い、さまざまな視点から仮説検証・課題設定・構成検討を行い、4年次に完成させる卒論の内容充実を目指します。 事前学修 4.0hr：論文・レポートの執筆 事後学修 4.0hr：論文・レポートの執筆(推敲)

専門領域研究講座

開講学科等：英 ｜ 3 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通

ケイコ　ナカムラ

▌授業の概要

This course will examine the psychology of language as it relates to learning, mind, and brain, as well as to society and culture. How do we learn to speak and understand language? Is language unique to humans? How do we read and write? How do we learn new words? We will explore key issues in the multidisciplinary field of psycholinguistics, such as how children learn to speak, understand and read their first language, second and foreign language acquisition, bilingualism, and the relationship between language, thought and culture.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1/2/3/4）

一般目標：In this course, we will learn about psycholinguistics, establishing an understanding of the processes underlying language and examining language as a product of the human mind, from a crosslinguistic and crosscultural perspective. In addition, we will explore a wide range of related topics in psychology, to deepen our understanding of the human mind.

個別目標：The goals of this course are for students to:

1. Learn about the psychology of language, and understand current debates and controversies in this field
2. Develop critical thinking skills and the ability to conduct research
3. Learn how to express themselves in both academic writing and oral presentations in English

▌履修条件

To actively participate in class activities (e.g., discussions, debates, group projects) and be curious about issues pertaining to language, thought, and mind. At least 80% of the classes must be attended in order to receive a passing grade.

▌評価基準・方法

Active participation in class activities, such as discussions, debates and group projects, (50%), research paper (20%), oral presentations (30%).

▌フィードバック方法

Feedback of assignments, papers, and presentations will be conducted through manaba and face-to-face in class.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Group discussions, debates, group projects）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （We will be in a PC classroom using MS Word, Powerpoint & Excel.）

▌教科書

Readings will be distributed in class. Some of the readings will come from: 1. Steinberg, D. D. & Sciarini N. V. (2006). An Introduction to Psycholinguistics (2nd edition), New York: Pearson/Longman; 2. Hock, R. R. (2015). Forty Studies that Changed Psychology, Boston: Pearson.

▌参考書

Supplementary texts/readings will be distributed accordingly.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：Course orientation & Introduction to Psycholinguistics** 授業内容：Self-introductions & student questionnaire; Lecture & discussion on "An introduction to psycholinguistics" 事前学修 2.0hr：Preview course syllabus 事後学修 2.0hr：Read text	16 回	**授業テーマ：Second/Foreign Language Acquisition I** 授業内容：Lecture & discussion on second language learning Part I: Basic psychological factors in L2 acquisition, such as memory, motivation, intellectual processing. Activity: Learning a foreign language. 事前学修 2.0hr：Read text(s) in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Read text & do assignment
2 回	**授業テーマ：Animal Communication I** 授業内容：Lecture & discussion on "Animal Communication, Part I". Watch first half of video "Animals Like Us: Animal Language." Complete video worksheet. 事前学修 2.0hr：Read text in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Review text & do assignment	17 回	**授業テーマ：Second/Foreign Language Acquisition II** 授業内容：Lecture & discussion of second language learning Part II: Basic social factors in L2 acquisition, such as home, classroom, community; comparison of L2 learning in children and adults. 事前学修 2.0hr：Read text(s) in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Read text & do assignment
3 回	**授業テーマ：Animal Communication II** 授業内容：Lecture & discussion on "Animal Communication, Part II". Watch second half of video "Animals Like Us: Animal Language." Complete video worksheet. 事前学修 2.0hr：Read text in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Review text & do assignment	18 回	**授業テーマ：Second/Foreign Language Acquisition III** 授業内容：Lecture & discussion on second-language teaching methods, such as grammar-translation, audiolingual, communicative language teaching. Activity: Second Language Teaching Methods. 事前学修 2.0hr：Read text(s) in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Read text & do assignment
4 回	**授業テーマ：Animal Communication III** 授業内容：Lecture & discussion on "Animal Communication, Part III". Watch video clips on different forms of animal communication (e.g., monkeys, apes, dolphins, whales, birds) and discuss. 事前学修 2.0hr：Read text in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Prepare for animal communication presentations	19 回	**授業テーマ：Introduction to Psychology** 授業内容：Lecture: An introduction to psychology. A discussion of the various fields of psychology: cognitive, developmental, clinical, social, personality, psychobiology, neuropsychology. 事前学修 2.0hr：Read text(s) in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Read text & do assignment
5 回	**授業テーマ：Animal Communication IV** 授業内容：Work on animal communication presentations for the following week (e.g., gather research materials, organize presentation, prepare powerpoint). 事前学修 2.0hr：Prepare for animal communication presentations 事後学修 2.0hr：Prepare for animal communication presentations	20 回	**授業テーマ：40 Studies that Changed Psychology I** 授業内容：Read the table of contents of 40 Studies that Changed Psychology. Each student will select a chapter to present in class. Instructor will do one or two model presentations showing how to present (e.g., organization, powerpoint). 事前学修 2.0hr：Read text(s) in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Read through book & find an interesting text
6 回	**授業テーマ：Animal Communication Presentations I** 授業内容：First half of class will give their animal communication presentations. Students must prepare questions to ask the class for an interactive discussion following each presentation. 事前学修 2.0hr：Prepare for animal communication presentations 事後学修 2.0hr：Prepare for animal communication presentations	21 回	**授業テーマ：40 Studies that Changed Psychology II** 授業内容：Model presentations on Human Interaction & Social Behavior: (1) The power of conformity (Asch); (2) To help or not to help (Darley & Latane). Each presentation with video clips, quiz & discussion. 事前学修 2.0hr：Select text & read 事後学修 2.0hr：Continue reading text

7回	**授業テーマ：Animal Communication Presentations II** 授業内容：Second half of class will give their animal communication presentations. Students must prepare questions to ask the class for an interactive discussion following each presentation. 事前学修 2.0hr：Prepare for animal communication presentations 事後学修 2.0hr：Review text & do assignment	22回	**授業テーマ：Psychology Workshop I** 授業内容：Student presentations on The Biological Bases of Human Behavior (Ch. 1) (e.g., twin studies, visual cliff, split brain). Each presentation will have video clips, a quiz & a discussion. 事前学修 2.0hr：Read text(s) in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Read text & do assignment
8回	**授業テーマ：Child Language Development I** 授業内容：Lecture & discussion on "Child Language Development, Part I". Discuss basic principles of language development & theories of language acquisition (e.g., behaviorist & psycholinguistic approaches) 事前学修 2.0hr：Read text(s) in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Review text & do assignment	23回	**授業テーマ：Psychology Workshop II** 授業内容：Student presentations on Consciousness and the Senses (Ch. 2) (e.g., categories, dreams, hypnosis). Each presentation will have video clips, a quiz & a discussion. 事前学修 2.0hr：Read text(s) in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Read text & do assignment
9回	**授業テーマ：Child Language Development II** 授業内容：Lecture & discussion on "Child Language Development, Part II". Discuss stages of language acquisition and watch video clips on different language stages (e.g., babbling, one-word utterances). 事前学修 2.0hr：Read text(s) in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Prepare for parentese presentations	24回	**授業テーマ：Psychology Workshop III** 授業内容：Student presentations on Conditioning & Learning (Ch. 3) (e.g., conditioning, agggression, superstition). Each presentation will have video clips, a quiz & a discussion. 事前学修 2.0hr：Read text(s) in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Read text & do assignment
10回	**授業テーマ：Parentese Presentations I** 授業内容：Lecture & discussion on "Child Language Development, Part III". Continue to discuss stages of language acquisition. Focus on child-directed speech. Worksheet & some video presentations. 事前学修 2.0hr：Prepare for presentation 事後学修 2.0hr：Review text & do assignment	25回	**授業テーマ：Psychology Workshop IV** 授業内容：Student presentations on Cognition, Memory, and Intelligence (Ch. 4) (e.g., intelligence, memory, expectations, cognitive maps). Each presentation will have video clips, a quiz & a discussion. 事前学修 2.0hr：Read text(s) in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Read text & do assignment
11回	**授業テーマ：Parentese Presentations II** 授業内容：Lecture & discussion on parentese, focusing on child-directed speech. Worksheet & video presentations showing caregiver-child interactions (e.g., caregiver input, baby/toddler communication). 事前学修 2.0hr：Read text(s) in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Review text & do assignment	26回	**授業テーマ：Psychology Workshop V** 授業内容：Student presentations on Changes over the Human Lifespan (Ch. 5) (e.g., attachment, moral development, control, object concept). Each presentation will have video clips, a quiz & a discussion. 事前学修 2.0hr：Read text(s) in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Read text & do assignment
12回	**授業テーマ：Child Language Development IV** 授業内容：Discuss milestones of early communication development in terms of different forms of language development (e.g., phonology, syntax, semantics, pragmatics). 事前学修 2.0hr：Read text(s) in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Review text & do assignment	27回	**授業テーマ：Psychology Workshop VI** 授業内容：Student presentations on Motivation & Emotion (Ch. 6) (e.g., facial expressions, emotions, motivation). Each presentation will have video clips, a quiz & a discussion. 事前学修 2.0hr：Read text(s) in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Read text & do assignment
13回	**授業テーマ：Child Language Development V** 授業内容：Discuss atypical forms of child language development (e.g., deaf children, Genie). Discuss what kinds of challenges these children face. Prepare for child language presentations. 事前学修 2.0hr：Read text(s) in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Prepare for Child Language Presentations	28回	**授業テーマ：Psychology Workshop VII** 授業内容：Student presentations on Personality (Ch. 7) (e.g., intervnal vs. external control, masculinity/femininity, relationships). Each presentation will have video clips, a quiz & a discussion. 事前学修 2.0hr：Read text(s) in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Read text & do assignment
14回	**授業テーマ：Child Language Presentations I** 授業内容：Present a video clip of a baby/toddler/child and describe the communicative context. Explain how the child communicates (e.g., through words, gestures, facial expressions). Complete worksheet. 事前学修 2.0hr：Prepare for Child Language Presentations 事後学修 2.0hr：Prepare for Child Language Presentations	29回	**授業テーマ：Psychology Workshop VIII** 授業内容：Student presentations on Psychological Disorders (Ch. 8) & Therapy (Ch. 9) (e.g., depression, defense mechanisms, social pathology) Each presentation will have video clips, a quiz & a discussion. 事前学修 2.0hr：Read text(s) in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Think of good topics for senior thesis
15回	**授業テーマ：Child Language Presentations II** 授業内容：Present a video clip of a baby/toddler/child and describe the communicative context. Explain how the child communicates (e.g., through words, gestures, facial expressions). Complete worksheet. 事前学修 2.0hr：Prepare for Child Language Presentations 事後学修 2.0hr：Read text & do assignment	30回	**授業テーマ：Research Proposals for Senior Thesis** 授業内容：Brainstorming for topics for graduation thesis. Complete proposal worksheet. Find possible readings for Spring Break. 事前学修 2.0hr：Think of good topics for senior thesis; be ready to discuss 事後学修 2.0hr：Start working on senior thesis!

専門領域研究講座

開講学科等：英 ｜ 3 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通

小谷　哲男（こたに　てつお）

▌授業の概要

この授業では、日本やアメリカなど各国の情勢やグローバル課題に関する知識を身につけ、関心のあるテーマでゼミ論文を作成する。適宜、企業や官公庁などでゼミ研修も行う。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1/2/3/4）

一般目標：国際社会に関する深い教養を身につけ、ゼミ論文の作成を通じて国際社会が抱える課題を様々な観点から考えるための知識と論理的・客観的思考を養う。

個別目標：1. 国際問題について独自の考えを持つことができる。
2. 日本語でも英語でも自らの考えを他者に伝えることができる。
3. 英検準 1 級や TOEIC750 点レベル以上に英語力を高めることができる。

▌履修条件

事前に担当者に相談すること。

▌評価基準・方法

発表・授業への参加 50 %、論文執筆 30 %、論文のプレゼン 20 %。原則として毎回出席すること。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、授業内および学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループディスカッションを行う。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （PPT を使ったプレゼンを行う。）

▌教科書

広瀬佳一他編『よくわかる国際政治』(ミネルヴァ書房、2021 年)

▌参考書

適宜指定する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：各自の関心について発表する。レポートと論文の違いを知る。 事前学修 2.0hr：国際問題に関してどのような関心を持っているか発表できるようにする。 事後学修 2.0hr：ゼミ論文のテーマについて考える。	16 回	**授業テーマ：ゼミ論文の作成計画の発表** 授業内容：ゼミ論文作成計画を発表する。 事前学修 2.0hr：プレゼンの準備 事後学修 2.0hr：コメントをふまえて計画を修正
2 回	**授業テーマ：現代の課題 1** 授業内容：欧米の動向について学ぶ。 事前学修 2.0hr：資料を読み、議論の準備をする。 事後学修 2.0hr：授業のふりかえり	17 回	**授業テーマ：先行研究の発表** 授業内容：先行研究の発表を行う。 事前学修 2.0hr：先行研究に関するプレゼンを準備 事後学修 2.0hr：議論をふまえて論文作成計画に活かす
3 回	**授業テーマ：現代の課題 2** 授業内容：アジアの動向について学ぶ。 事前学修 2.0hr：資料を読み、議論の準備をする。 事後学修 2.0hr：授業のふりかえり	18 回	**授業テーマ：先行研究の発表** 授業内容：先行研究の批判的分析を行う。 事前学修 2.0hr：先行研究に関するプレゼンを準備 事後学修 2.0hr：議論をふまえて論文作成計画に活かす
4 回	**授業テーマ：現代の課題 3** 授業内容：中東の動向について学ぶ。 事前学修 2.0hr：資料を読み、議論の準備をする。 事後学修 2.0hr：授業のふりかえり	19 回	**授業テーマ：先行研究の発表** 授業内容：先行研究の批判的分析を行う。 事前学修 2.0hr：先行研究に関するプレゼンを準備 事後学修 2.0hr：議論をふまえて論文草稿に活かす
5 回	**授業テーマ：現代の課題 4** 授業内容：グローバル課題について学ぶ。 事前学修 2.0hr：資料を読み、議論の準備をする。 事後学修 2.0hr：授業のふりかえり	20 回	**授業テーマ：先行研究の発表** 授業内容：先行研究の批判的分析を行う。 事前学修 2.0hr：先行研究に関するプレゼンを準備 事後学修 2.0hr：議論をふまえて論文草稿に活かす
6 回	**授業テーマ：現代の課題 5** 授業内容：日本の外交・安全保障について学ぶ。 事前学修 2.0hr：資料を読み、議論の準備をする。 事後学修 2.0hr：授業のふりかえり	21 回	**授業テーマ：先行研究の発表** 授業内容：先行研究の批判的分析を行う。 事前学修 2.0hr：先行研究に関するプレゼンを準備 事後学修 2.0hr：議論をふまえて論文草稿に活かす
7 回	**授業テーマ：現代の課題 6** 授業内容：ウクライナ戦争について学ぶ。 事前学修 2.0hr：資料を読み、議論の準備をする。 事後学修 2.0hr：授業のふりかえり	22 回	**授業テーマ：先行研究の発表** 授業内容：先行研究の批判的分析を行う。 事前学修 2.0hr：先行研究に関するプレゼンを準備 事後学修 2.0hr：議論をふまえて論文草稿に活かす
8 回	**授業テーマ：現代の課題 7** 授業内容：台湾情勢について学ぶ。 事前学修 2.0hr：資料を読み、議論の準備をする。 事後学修 2.0hr：授業のふりかえり	23 回	**授業テーマ：先行研究の発表** 授業内容：先行研究の批判的分析を行う。 事前学修 2.0hr：先行研究に関するプレゼンを準備 事後学修 2.0hr：議論をふまえて論文草稿に活かす
9 回	**授業テーマ：現代の課題 8** 授業内容：米中対立について学ぶ。 事前学修 2.0hr：資料を読み、議論の準備をする。 事後学修 2.0hr：授業のふりかえり	24 回	**授業テーマ：ゼミ論文の中間発表** 授業内容：ゼミ論文の中間発表を行う。 事前学修 2.0hr：プレゼンの準備 事後学修 2.0hr：プレゼンへのコメントをふまえて論文を修正
10 回	**授業テーマ：ゼミ論文テーマの検討** 授業内容：レポートのテーマを発表する。 事前学修 2.0hr：プレゼンの準備 事後学修 2.0hr：コメントをふまえてテーマを再検討	25 回	**授業テーマ：ゼミ論文の中間発表** 授業内容：ゼミ論文の中間発表を行う。 事前学修 2.0hr：プレゼンの準備 事後学修 2.0hr：プレゼンへのコメントをふまえて論文を修正
11 回	**授業テーマ：論文の作成方法 1** 授業内容：論文を書く意味を知る。 事前学修 2.0hr：指定した文献を読む 事後学修 2.0hr：授業の内容をふまえて簡単なレポートを作成	26 回	**授業テーマ：外部講師によるセミナー** 授業内容：関心あるテーマを専門とする外部講師によるセミナーを行う。 事前学修 2.0hr：指定した文献を読み、セミナーに備える 事後学修 2.0hr：セミナーの内容を論文草稿に反映させる

12回	**授業テーマ：論文の作成方法 2** 授業内容：論文の作成方法について学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定した文献を読む 事後学修 2.0hr：授業の内容をふまえて簡単なレポートを作成	27回	**授業テーマ：外部講師によるセミナー** 授業内容：関心あるテーマを専門とする外部講師によるセミナーを行う。 事前学修 2.0hr：指定した文献を読み、セミナーに備える 事後学修 2.0hr：セミナーの内容を論文草稿に反映させる
13回	**授業テーマ：プレゼン技術 1** 授業内容：プレゼンの基礎を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定した文献を読んで、簡単なプレゼンの準備 事後学修 2.0hr：プレゼンの反省点をまとめる	28回	**授業テーマ：外部講師によるセミナー** 授業内容：関心あるテーマを専門とする外部講師によるセミナーを行う。 事前学修 2.0hr：指定した文献を読み、セミナーに備える 事後学修 2.0hr：セミナーの内容を論文草稿に反映させる
14回	**授業テーマ：プレゼン技術 2** 授業内容：プレゼンの練習をする。 事前学修 2.0hr：指定した文献を読んで、簡単なプレゼンの準備 事後学修 2.0hr：プレゼンの反省点をまとめる	29回	**授業テーマ：ゼミ論文の発表** 授業内容：ゼミ論文の発表を行う。 事前学修 2.0hr：プレゼンの準備 事後学修 2.0hr：プレゼンへのコメントをふまえてゼミ論文を完成
15回	**授業テーマ：ゼミ論文作成計画の発表** 授業内容：ゼミ論文作成計画を発表する。 事前学修 2.0hr：プレゼンの準備 事後学修 2.0hr：コメントをふまえて計画を修正	30回	**授業テーマ：ゼミ論文の発表** 授業内容：ゼミ論文の発表を行う。 事前学修 2.0hr：プレゼンの準備 事後学修 2.0hr：プレゼンへのコメントをふまえてゼミ論文を完成

専門領域研究講座

開講学科等：英 ｜ 3 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通

嶋田　珠巳（しまだ　たまみ）

▌授業の概要

ひろく言語および英語に関する諸問題について、自らの関心のもとに考察を深め、探究する。
前期：ものを読み、その内容を正確に理解し、その理解を表現する。素材は言語学、社会言語学、応用言語学分野のものなど幅広く、理解と考察はできるだけ深く。英語で書かれた読みもの素材を含む。
後期：個別またはグループでプロジェクト研究を行う。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1/2/3/4）

一般目標：ひろく言語および英語に関わる諸問題について、自らの関心のもとに考察を深め、探究する力を身につける。
個別目標：（1）自らの関心を知る。
（2）その関心のもとに考察する手だてを見つけることができる。
（3）日本語および英語で書かれた文献内容を理解し、そこから考察を展開することができる。
（4）メンバーと互いの興味を共有し、ディスカッションを通して考察を深めることができる。
（5）自分の調査と考え、および研究内容を適切に表現することができる。

▌履修条件

主体的に取り組む。

▌評価基準・方法

評価基準：到達目標の１～５ができているか、あるいはその到達度を総合的に評価する。
方法：授業への取り組み 70%、プロジェクト研究 30%。

▌フィードバック方法

日頃の授業に関する事柄は、授業内、面談（アポイントメントによる）にて行う。
評価に関しては、希望者に面談を実施する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （主体的な取り組みが思考、表現、討議において求められる。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

こちらで教材を準備する。

▌参考書

授業内で適宜紹介する。下記は本ゼミ担当者の著書、編著。
・嶋田珠巳 (2016) 『英語という選択―アイルランドの今』 岩波書店.
・嶋田珠巳・斎藤兆史・大津由紀雄 編著（2019）『言語接触―英語化する日本語から考える「言語とはなにか」』 東京大学出版会.
・嶋田珠巳・鍛治広真 編著 (2021) 『時間と言語』 三省堂.
・平田聡・嶋田珠巳 著 (2022) 『時間はなぜあるのか―チンパンジー学者と言語学者の探検』 ミネルヴァ書房.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：３年次にどのような力をつけるのかを考えてみよう。ゼミ仲間との出会いを楽しんで。 事前学修 2.0hr：※全回とも授業内のアドバイスを参考に各自の工夫で行う。 事後学修 2.0hr：質問と相談	16回	**授業テーマ：後期オリエンテーション** 授業内容：後期のゼミをどう進めていくか。それぞれの目標とゼミ全体の目標について考え、話し合おう。 事前学修 2.0hr：準備 事後学修 2.0hr：質問と相談
2回	**授業テーマ：それぞれの関心：自らの興味を知る手がかり** 授業内容：自分の興味を知るにはどのような方法があるだろう。あなたが最近考えていることはどんなことですか。何に興味がありますか。 事前学修 2.0hr：興味のある事柄はなにか 事後学修 2.0hr：考えの整理	17回	**授業テーマ：それぞれの関心：研究テーマの方向性を決める** 授業内容：今関心があること、もっと学びを深めたいこと。卒業論文を意識して、考えていこう。 事前学修 2.0hr：テーマの探索 事後学修 2.0hr：質問と相談
3回	**授業テーマ：日本語で書かれた文章を読む（1）** 授業内容：文章をどう読むのか。４年次の卒業論文の基礎力にもなる、読解力養成の第一歩。 事前学修 2.0hr：文章を自分のやり方で読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理	18回	**授業テーマ：研究テーマへのアプローチ** 授業内容：研究テーマの方向性がある程度決まったら、次に何をするのだろう。動き出すにはどうしたらいい？ 事前学修 2.0hr：準備 事後学修 2.0hr：実際の作業
4回	**授業テーマ：日本語で書かれた文章を読む（2）** 授業内容：文章をどう読み、どう整理するのか。正確に読むとはどのようなことか。 事前学修 2.0hr：文章を自分のやり方で読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理	19回	**授業テーマ：プロジェクト研究の開始** 授業内容：個人またはグループでプロジェクト研究を開始する。 事前学修 2.0hr：準備 事後学修 2.0hr：実際の作業
5回	**授業テーマ：英語で書かれた文章を読む（1）** 授業内容：英文読解。ある程度専門性の高い内容の英文を読みこなすにはどのようにしたらいいのか。 事前学修 2.0hr：文章を自分のやり方で読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理	20回	**授業テーマ：他の研究を知る** 授業内容：プロジェクト研究を進めるにあたって、自分たちがしようとしていることの研究的位置づけを知ることは重要だ。図書館に出かけて、気になる本を確認してみよう。関連する文献や資料を探してみよう。 事前学修 2.0hr：準備 事後学修 2.0hr：実際の作業
6回	**授業テーマ：英語で書かれた文章を読む（2）** 授業内容：英文読解。英文をできるだけ早く正確に読み、内容をまとめてみよう。 事前学修 2.0hr：文章を自分のやり方で読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理	21回	**授業テーマ：何を考えるか、どのように考えるか** 授業内容：関連する文献・資料を探して、どんどん読んでいこう。その過程で考えたことは何か。まずは自分の読解と考察を整理してみて。 事前学修 2.0hr：準備 事後学修 2.0hr：実際の作業
7回	**授業テーマ：文章を読むこと、そこから考えること** 授業内容：文章から何を感じ、何を考えるか。ものを考えるというのはどういうことなのか。 事前学修 2.0hr：これまでの素材文章を読み直し、理解できなかった部分を書き出しておく 事後学修 2.0hr：理解の整理	22回	**授業テーマ：調査内容の充実（1）** 授業内容：プロジェクト研究にしっかり取り組もう。個別、グループ別に研究指導を行う。 事前学修 2.0hr：準備 事後学修 2.0hr：実際の作業

8回	**授業テーマ：疑問の解決、興味の共有、さまざまなアイデア** 授業内容：自分が考えたことを仲間に聞いてもらおう。仲間の発言から自分が考えたことを話してみよう。アイデアの広がり、深まりを体感してみて。 事前学修 2.0hr：これまでの素材文章を読み直し、自分の考察をまとめておく 事後学修 2.0hr：理解の整理	23回	**授業テーマ：調査内容の充実（2）** 授業内容：プロジェクト研究にしっかり取り組もう。個別、グループ別に研究指導を行う。 事前学修 2.0hr：準備 事後学修 2.0hr：理解の整理
9回	**授業テーマ：それぞれの関心：自分の関心のある素材を見つける** 授業内容：あなたはどんな人？　就活でも、生きていく上でも、自分を少し知っておくといいよね。ゼミでアプローチするのは、学術的な関心の部分。ことばのどんなことに興味がありますか。 事前学修 2.0hr：図書館などに出かけ、読みたい本を探す 事後学修 2.0hr：質問と相談	24回	**授業テーマ：調査内容の充実（3）** 授業内容：プロジェクト研究にしっかり取り組もう。個別、グループ別に研究指導を行う。 事前学修 2.0hr：準備 事後学修 2.0hr：理解の整理
10回	**授業テーマ：図書館で本を探す** 授業内容：自分の関心を知るにも、これから卒業論文を書くにも、図書館はヒントをたくさんくれる。図書館実習を通して文献検索のしかたを学び、自分の気になる本を借りてみよう。 事前学修 2.0hr：図書館などに出かけ、読みたい本を探す 事後学修 2.0hr：理解の整理	25回	**授業テーマ：ディスカッションで考えを深める（1）** 授業内容：プロジェクト研究の過程での問題点や課題について話し合おう。仲間と共に解決策を探ってみよう。 事前学修 2.0hr：トピックの準備 事後学修 2.0hr：理解の整理
11回	**授業テーマ：レジュメの作成と自分の考えの表現** 授業内容：あなたが選んだ本はどんな本ですか。その本のこと、自分がおもしろいと思ったこと、考えたことをレジュメにまとめてみよう。 事前学修 2.0hr：素材を読む、レジュメの作成 事後学修 2.0hr：理解の整理	26回	**授業テーマ：ディスカッションで考えを深める（2）** 授業内容：プロジェクト研究の過程での問題点や課題について話し合おう。仲間と共に解決策を探ってみよう。先週の解決策の提案が成功したかなど、続きの話もぜひ。 事前学修 2.0hr：準備 事後学修 2.0hr：実際の作業
12回	**授業テーマ：文章の内容理解とディスカッション（1）** 授業内容：その本のどこか１章をさらにしっかり読んでみよう。どのようなテクストから何を読み取り、何を思ったのか、表現しよう。レジュメを準備して、発表し、全体で討議する。 事前学修 2.0hr：素材を読む、レジュメの作成 事後学修 2.0hr：理解の整理	27回	**授業テーマ：プロジェクト研究発表会（1）** 授業内容：プロジェクト研究の発表と討議。 事前学修 2.0hr：発表の準備 事後学修 2.0hr：理解の整理
13回	**授業テーマ：文章の内容理解とディスカッション（2）** 授業内容：本の内容紹介、受講生発表の２週目。１週目よりも、よくなる。 事前学修 2.0hr：素材を読む、レジュメの作成 事後学修 2.0hr：理解の整理	28回	**授業テーマ：プロジェクト研究発表会（2）** 授業内容：プロジェクト研究の発表と討議。そろそろ、みんな考えが発言できるようになってきたかな。 事前学修 2.0hr：発表の準備 事後学修 2.0hr：理解の整理
14回	**授業テーマ：文章の内容理解とディスカッション（3）** 授業内容：本の内容紹介、受講生発表の３週目。仲間の関心にも興味がもてるかもしれない。互いの考えを知り、さらに考察を深めていこう。 事前学修 2.0hr：素材を読む、レジュメの作成 事後学修 2.0hr：理解の整理	29回	**授業テーマ：プロジェクト研究発表会（3）** 授業内容：プロジェクト研究の発表と討議。充実した議論はどんなときに生まれるだろう？ 事前学修 2.0hr：発表の準備 事後学修 2.0hr：理解の整理
15回	**授業テーマ：前期のまとめ** 授業内容：これまでのゼミの振り返り。勝浦ゼミ合宿に向けての準備。夏休みにやっておきたいことの確認。 事前学修 2.0hr：質問内容 事後学修 2.0hr：理解の整理	30回	**授業テーマ：３年次ゼミの総括** 授業内容：ゼミでの学びを振り返ってみよう。３年次のプロジェクト研究を４年次の卒業研究にどう繋げていこうか？ 事前学修 2.0hr：質問内容の整理 事後学修 2.0hr：まとめ

専門領域研究講座

開講学科等：英 ｜ 3 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通

辰己　雄太（たつみ　ゆうた）

▌授業の概要

ことばに関して知的好奇心を刺激されるような疑問を見つけ、その疑問に対する自分なりの分析・解決方法を考えるための支援を行う。「その疑問がなぜ興味深いのか」、「その疑問を解決すると、どのような良いことがあるか」などを自分で考え、自分の考えを人に伝えられるようになることを目指す。担当教員の講義に加え、学生による発表・意見交換を積極的に行うことで、各自が見つけた疑問と、その分析・解決方法をより良いものにする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1/2/3/4）

一般目標：ことばに関して知的好奇心を刺激されるような疑問を見つけ、その疑問に対する自分なりの分析・解決方法を考える。

個別目標：1. ことばについて、自分が興味深いと思う新しい疑問を見つけられるようになる。
2. ことばについての疑問を他の人に説明し、共有できるようになる。
3. ことばについての疑問を分析・解決できるようになる。

▌履修条件

知的好奇心を持つこと及び自分の頭で考えることを厭わない姿勢が求められる。
また学生として、積極的・主体的に講義内での議論に参加することが期待される。

▌評価基準・方法

５分の４以上の出席を評価の前提とする。評点の内訳は、授業への積極的な貢献度 50 %、発表及びゼミ論文などの提出物 50 %とする。

▌フィードバック方法

課題などのフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション・ディベート、グループワーク、プレゼンテーション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （必要に応じて、PowerPoint、Word などのソフトを搭載したノートパソコンを持参すること）

▌教科書

特になし。必要に応じて、資料を配付する。

▌参考書

必要に応じて適宜指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：講義の計画、受講上の注意や評価基準などを説明する。今後のプレゼンのためのスケジュールを決める。 事前学修 2.0hr：講義要項を参考に授業内容や方針を確認する 事後学修 2.0hr：ことばについての「なぜ」を考え始める	16回	**授業テーマ：後期オリエンテーション** 授業内容：今後の講義計画、期末レポート執筆のための重要事項などを説明する。今後の発表のためのスケジュールなども決める。 事前学修 2.0hr：夏休みの研究成果をまとめておく 事後学修 2.0hr：夏休みの研究成果をまとめておく
2回	**授業テーマ：研究トピックの見つけ方 (1)** 授業内容：ヒトのことばについて、研究トピックを考えるための準備を行う。 事前学修 2.0hr：ことばについての「なぜ」を考え始める 事後学修 2.0hr：ことばについての「なぜ」を考え始める	17回	**授業テーマ：夏休みの研究成果発表 (1)** 授業内容：これまでの研究成果をまとめて発表する。 事前学修 2.0hr：発表準備・他のゼミ生の発表について質問・コメントを考えておく 事後学修 2.0hr：コメントをもとに研究を進める
3回	**授業テーマ：研究トピックの見つけ方 (2)** 授業内容：文献などを読み、研究トピックを考える。グループ内でのディスカッションも行う。 事前学修 2.0hr：ことばについての「なぜ」を考え始める 事後学修 2.0hr：ことばについての「なぜ」を考え始める	18回	**授業テーマ：夏休みの研究成果発表 (2)** 授業内容：これまでの研究成果をスライドやハンドアウトといった資料にまとめて発表する。 事前学修 2.0hr：発表準備・他のゼミ生の発表について質問・コメントを考えておく 事後学修 2.0hr：コメントをもとに研究を進める
4回	**授業テーマ：研究トピックの見つけ方 (3)** 授業内容：研究トピックを見つけるために、複数の文献を読み、内容をまとめる。 事前学修 2.0hr：ことばについての「なぜ」を考え始める 事後学修 2.0hr：ことばについての「なぜ」を考え始める	19回	**授業テーマ：夏休みの研究成果発表 (3)** 授業内容：これまでの研究成果を資料にまとめて発表する。発表の方法についても学習する。 事前学修 2.0hr：発表準備・他のゼミ生の発表について質問・コメントを考えておく 事後学修 2.0hr：コメントをもとに研究を進める
5回	**授業テーマ：研究トピックの見つけ方 (4)** 授業内容：文献調査の内容を資料としてまとめ、発表の準備を進める。 事前学修 2.0hr：ことばについての「なぜ」を考え始める 事後学修 2.0hr：ことばについての「なぜ」を考え始める	20回	**授業テーマ：夏休みの研究成果発表 (4)** 授業内容：これまでの研究内容を資料にまとめて発表する。発表へのコメントについて考える。 事前学修 2.0hr：発表準備・他のゼミ生の発表について質問・コメントを考えておく 事後学修 2.0hr：コメントをもとに研究を進める
6回	**授業テーマ：ゼミ生の興味・関心の発表 (1)** 授業内容：自身で選んだトピックについて、現段階での調査内容を発表する。 事前学修 2.0hr：発表準備・他のゼミ生の発表について質問・コメントを考えておく 事後学修 2.0hr：コメントをもとに考えを深める	21回	**授業テーマ：ゼミ生によるお互いの研究成果に対するコメント発表 (1)** 授業内容：研究成果の発表についてグループディスカッションなどを行い、お互いの研究をより良いものにしていく。 事前学修 2.0hr：発表準備・自分の発表に対する質問・コメントについて返答を考えておく 事後学修 2.0hr：コメントをもとに研究を進める
7回	**授業テーマ：ゼミ生の興味・関心の発表 (2)** 授業内容：自身で選んだトピックについて、現段階での調査内容を発表し、コメントなどを踏まえて理解を深める。 事前学修 2.0hr：発表準備・他のゼミ生の発表について質問・コメントを考えておく 事後学修 2.0hr：コメントをもとに考えを深める	22回	**授業テーマ：ゼミ生によるお互いの研究成果に対するコメント発表 (2)** 授業内容：研究成果の発表についてグループディスカッションなどを行い、コメントなどを反映させる。 事前学修 2.0hr：発表準備・自分の発表に対する質問・コメントについて返答を考えておく 事後学修 2.0hr：コメントをもとに研究を進める
8回	**授業テーマ：研究の進め方 (1)** 授業内容：トピックについてさらに深く理解するために、研究の進め方について学ぶ。 事前学修 2.0hr：ことばについての「なぜ」を深め始める 事後学修 2.0hr：ことばについての「なぜ」を深め始める	23回	**授業テーマ：ゼミ生によるお互いの研究成果に対するコメント発表 (3)** 授業内容：研究成果の発表についてグループディスカッションなどを行い、コメントを今後の研究に活かす方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：発表準備・自分の発表に対する質問・コメントについて返答を考えておく 事後学修 2.0hr：コメントをもとに研究を進める

9回	**授業テーマ：研究の進め方 (2)** 授業内容：研究・調査を進めるために必要なツールや研究方法について学ぶ。 事前学修 2.0hr：ことばについての「なぜ」を深め始める 事後学修 2.0hr：ことばについての「なぜ」を深め始める	24回	**授業テーマ：研究のまとめ方 (1)** 授業内容：これまでに集めたデータや資料などを確認し、一つの研究としてまとめる方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：ゼミ論文をまとめ始める 事後学修 2.0hr：ゼミ論文をまとめ始める
10回	**授業テーマ：研究の進め方 (3)** 授業内容：研究・調査について具体的な方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：ことばについての「なぜ」を深め始める 事後学修 2.0hr：ことばについての「なぜ」を深め始める	25回	**授業テーマ：研究のまとめ方 (2)** 授業内容：資料やデータなどを確認し、研究トピックを再検討する。 事前学修 2.0hr：ゼミ論文をまとめ始める 事後学修 2.0hr：ゼミ論文をまとめ始める
11回	**授業テーマ：研究の進め方 (4)** 授業内容：これまで学習してきたことを踏まえて、研究のための調査を始める準備をする。 事前学修 2.0hr：ことばについての「なぜ」を深め始める 事後学修 2.0hr：ことばについての「なぜ」を深め始める	26回	**授業テーマ：研究のまとめ方 (3)** 授業内容：研究トピックについて再考し、研究成果などを文章でまとめる。 事前学修 2.0hr：ゼミ論文をまとめ始める 事後学修 2.0hr：ゼミ論文をまとめ始める
12回	**授業テーマ：研究の進め方 (5)** 授業内容：これまで学習してきたことを踏まえて、研究のための調査を行う。 事前学修 2.0hr：ことばについての「なぜ」を深め始める 事後学修 2.0hr：ことばについての「なぜ」を深め始める	27回	**授業テーマ：ゼミ生による最終発表 (1)** 授業内容：これまでの講義を通して学んだことをスライドやハンドアウトにまとめ、発表する。 事前学修 2.0hr：発表準備・他のゼミ生の発表について質問・コメントを考えておく 事後学修 2.0hr：コメントをもとにゼミ論文を修正する
13回	**授業テーマ：夏休みの研究課題発表 (1)** 授業内容：夏季休暇の期間を使って行う調査について、研究計画や内容をまとめ、発表する。 事前学修 2.0hr：発表準備・他のゼミ生の発表について質問・コメントを考えておく 事後学修 2.0hr：コメントをもとに考えをさらに深める	28回	**授業テーマ：ゼミ生による最終発表 (2)** 授業内容：これまでの講義を通して学んできたことを発表し、研究をまとめる。 事前学修 2.0hr：発表準備・他のゼミ生の発表について質問・コメントを考えておく 事後学修 2.0hr：コメントをもとにゼミ論文を修正する
14回	**授業テーマ：夏休みの研究課題発表 (2)** 授業内容：研究計画や内容をまとめ、発表する。発表を通して得られたフィードバックを参考にして、研究計画を練り直す。 事前学修 2.0hr：発表準備・他のゼミ生の発表について質問・コメントを考えておく 事後学修 2.0hr：コメントをもとに考えをさらに深める	29回	**授業テーマ：ゼミ生による最終発表 (3)** 授業内容：これまでの講義を通して学んだことの発表を行い、得られたコメントなどをきちんと理解してレポートに反映させる。 事前学修 2.0hr：発表準備・他のゼミ生の発表について質問・コメントを考えておく 事後学修 2.0hr：コメントをもとにゼミ論文を修正する
15回	**授業テーマ：前期のまとめ** 授業内容：これまで学習してきた内容をまとめる。 事前学修 2.0hr：これまでの発表・コメントをもとに研究を進める 事後学修 2.0hr：これまでの発表・コメントをもとに研究を進める	30回	**授業テーマ：総まとめ** 授業内容：これまで学習してきた内容、期末レポートの内容などを全体としてまとめる。 事前学修 2.0hr：ゼミ論文を完成させる 事後学修 2.0hr：ゼミ論文を完成させる

専門領域研究講座

開講学科等：英 ｜ 3 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通

中井　延美（なかい　のぶみ）

▌授業の概要

この授業では、言語学の意味論と語用論という分野を通して、ことばの意味と発話の解釈について検討する。意味論では、ことばの意味とはいったい何なのか、ことばを使う私たちと外界の関係はどのようなものなのかを考える。個々の語の意味だけでなく、語の意味がどのように組み合わさって、より大きな句表現・文表現の意味を生み出すのか、さらにそれらの表現間の意味関係も考察する。語用論では、人が実際の会話でどのようにことばを使うかを研究する。ある発話が適切かどうかを決めるのに文脈がどのように役立つか、また文脈の変化がどのように文の意味を変えるか、といった問題に取り組む。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1/2/3/4）

一般目標：ことばの意味と解釈について、次の1～3の問いについて考えていく。1．ことばの意味がわかれば、あらゆる発話の意味が自動的に理解できるか。2．語句や文の意味が特定できても、それが、ある発話の意味を理解するのに、ほんの一部分でしか助けにならないのはなぜか。3．人がことばを発する際に、文脈や状況はどのような役割を果たすか。

個別目標：ことばの意味と解釈に関する興味深い研究課題を見つけ、個人研究プロジェクトに取り組む。その過程で、文献調査、研究方法の設定、データの収集・分析を行い、最後に、研究成果を口頭発表と研究報告書を通してゼミ内で共有する。

▌履修条件

“ことば”の探究に興味をもっていること以外に特になし。

▌評価基準・方法

授業内活動（ディスカッション・グループ活動などへの参加姿勢）30 %
授業外活動（予習・準備、課題の提出）30 %
研究成果の発信（口頭発表、研究報告書）40 %

▌フィードバック方法

manaba の個別指導コレクション等を通じて適宜フィードバックする。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループディスカッション、グループワークなど）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （スライドの提示など）

▌教科書

必要に応じて資料を配布、書籍の購入を指示する。

▌参考書

Hope C. Dawson, Michael Phelan, eds. (2016) Semantics (Ch. 6) & Pragmatics (Ch. 7) in Language Files: Materials for an Introduction to Language and Linguistics, 12tn Ed, Ohio State UP.
今井邦彦・西山佑司 (2012)『ことばの意味とはなんだろう―意味論と語用論の役割』岩波書店.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：前期ガイダンス** 授業内容：前期授業の概要を説明する 事前学修 2.0hr：manaba アンケートに回答する 事後学修 2.0hr：課題に取り組む	16回	**授業テーマ：後期ガイダンス** 授業内容：後期授業の概要を説明する 事前学修 2.0hr：manaba アンケートに回答する 事後学修 2.0hr：課題に取り組む
2回	**授業テーマ：ことばの意味とは何か** 授業内容：同じ文にさまざまな解釈がある例を観察したのち、意味論的意味と語用論的意味について考える。 事前学修 2.0hr：配布された資料を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む	17回	**授業テーマ：前期の振り返り** 授業内容：ことばの意味と発話の解釈について、前期の授業で扱った意味論と語用論の項目を復習する。 事前学修 2.0hr：配布された資料を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む
3回	**授業テーマ：語の意味** 授業内容：個々の語の意味には、どのような種類の意味があるか具体例と共に概観する。 事前学修 2.0hr：配布された資料を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む	18回	**授業テーマ：研究テーマの共有（1）** 授業内容：各自の研究について、情報を共有し、意見交換する。 事前学修 2.0hr：配布された資料を読む 事後学修 2.0hr：中間発表の準備を進める
4回	**授業テーマ：句表現・文表現の意味** 授業内容：個々の語の意味だけでなく、語の意味がどのように組み合わさって、より大きな句表現・文表現の意味を生み出すのかを考察する。 事前学修 2.0hr：配布された資料を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む	19回	**授業テーマ：研究テーマの共有（2）** 授業内容：各自の研究について、情報を共有し、意見交換する。 事前学修 2.0hr：配布された資料を読む 事後学修 2.0hr：中間発表の準備を進める
5回	**授業テーマ：文と文の意味** 授業内容：文と文が組み合わさることで生じる意味を観察する。 事前学修 2.0hr：配布された資料を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む	20回	**授業テーマ：研究テーマの共有（3）** 授業内容：各自の研究について、情報を共有し、意見交換する。 事前学修 2.0hr：配布された資料を読む 事後学修 2.0hr：中間発表の準備を進める
6回	**授業テーマ：意味論のまとめ** 授業内容：語の意味、句表現・文表現の意味、文と文の意味について復習し、もう一度「ことばの意味とは何か」を考える。 事前学修 2.0hr：配布された資料を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む	21回	**授業テーマ：発表スライドの作り方** 授業内容：中間発表会に向け、発表スライドの作り方を確認する。 事前学修 2.0hr：配布された資料を読む 事後学修 2.0hr：中間発表の準備を進める
7回	**授業テーマ：コンテクストに左右される意味** 授業内容：語句や文の意味が特定できても、それは、ある発話の意味を理解するのに、ほんの一部分でしか助けにならないこと、そして、人がことばを発する際には、コンテクスト（文脈や状況）が非常に重要な役割を果たすことについて考える。 事前学修 2.0hr：配布された資料を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む	22回	**授業テーマ：口頭発表の行い方** 授業内容：中間発表会に向け、口頭発表の行い方を確認する。 事前学修 2.0hr：配布された資料を読む 事後学修 2.0hr：中間発表の準備を仕上げる

8回	**授業テーマ：グライスの語用論と協調の原理** 授業内容：発話の理解・解釈には言語表現の解読だけでは不十分であり、必ず聞き手による推論(inference)が必要であることを最初に主張したグライスの語用論、協調の原理を概観する。 事前学修 2.0hr：配布された資料を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む	23回	**授業テーマ：中間発表会** 授業内容：個人研究の中間発表会を行う。 事前学修 2.0hr：口頭発表の練習をする 事後学修 2.0hr：課題に取り組む
9回	**授業テーマ：オースティンと発話行為理論** 授業内容：発話(伝達のための言語形式の使用)とは、それ自体がある種の行為を遂行している、というオースティンの理論を紹介する。 事前学修 2.0hr：配布された資料を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む	24回	**授業テーマ：研究報告書の書き方(1)** 授業内容：タイトルと序文の書き方を確認する。 事前学修 2.0hr：配布された資料を読む 事後学修 2.0hr：研究報告書を書き進める
10回	**授業テーマ：関連性理論(1)** 授業内容：1980 年代にスペルベルとウィルソンが提唱した語用理論である関連性理論(Relevance Theory)を紹介する。 事前学修 2.0hr：配布された資料を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む	25回	**授業テーマ：研究報告書の書き方(2)** 授業内容：研究の動機と背景の書き方を確認する。 事前学修 2.0hr：配布された資料を読む 事後学修 2.0hr：研究報告書を書き進める
11回	**授業テーマ：関連性理論(2)** 授業内容：「何が伝達されるのか」という問題について、表意と語用論的操作(曖昧性の除去・飽和・アドホック概念構築・自由拡充)及び、推意から考える。 事前学修 2.0hr：配布された資料を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む	26回	**授業テーマ：研究報告書の書き方(3)** 授業内容：先行研究の出典および参考文献の提示方法を確認する。 事前学修 2.0hr：配布された資料を読む 事後学修 2.0hr：研究報告書を書き進める
12回	**授業テーマ：関連性理論(3)** 授業内容：解釈の手順(聞き手は発話の解釈を具体的にどのような手順で行うのか)について考える。 事前学修 2.0hr：配布された資料を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む	27回	**授業テーマ：研究報告書の書き方(4)** 授業内容：研究方法の書き方を確認する。 事前学修 2.0hr：配布された資料を読む 事後学修 2.0hr：研究報告書を書き進める
13回	**授業テーマ：個人研究テーマを考える(1)** 授業内容：自分が取り組みたい個人研究テーマを見つける。 事前学修 2.0hr：配布された資料を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む	28回	**授業テーマ：研究報告書の書き方(5)** 授業内容：結果と結論の書き方を確認する。 事前学修 2.0hr：配布された資料を読む 事後学修 2.0hr：研究報告書を書き進める
14回	**授業テーマ：個人研究テーマを考える(2)** 授業内容：自分がその研究で何を主張したいのか、どのような問いの答えを見つけたいのかを考える。 事前学修 2.0hr：配布された資料を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む	29回	**授業テーマ：研究成果の発信(口頭発表)** 授業内容：クラス内で研究成果を口頭発表する。 事前学修 2.0hr：口頭発表の準備を整える 事後学修 2.0hr：口頭発表会で得たコメントを研究報告書に反映させる
15回	**授業テーマ：夏季休暇中の研究計画** 授業内容：自分がその研究を進めていく上で、夏季休暇中にすべきこと(文献調査、データ収集など)を明確にし、研究計画書を提出する。 事前学修 2.0hr：配布された資料を読む 事後学修 2.0hr：研究計画書を提出する	30回	**授業テーマ：研究成果の発表(研究報告書)** 授業内容：研究報告書を提出する。 事前学修 2.0hr：研究報告書を完成させる 事後学修 2.0hr：研究の今後の課題を考える

専門領域研究講座

開講学科等：英 ｜ 3 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通

松井　順子（まつい　じゅんこ）

▌授業の概要

1．Acquiring the basic skills needed to interpret, and comprehensive English skills including listening and pronunciation. Topics covered in the course are basically current events. Practice using basic interpreting techniques such as Shadowing, Quick Response, Lagging, Sight Translation, Simultaneous Interpreting, and Consecutive Interpreting. 2.Acquiring Discussing/negotiating/debating skills 3.In-depth original research and analysis on a select topic through surveys, interviews, and experiments, 4. Final presentation and final interpretation of the research.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1/2/3/4）

一般目標：Acquiring basic interpreting, presentation, analysis, and research skills.

個別目標：A range of topics will be covered throughout the first half of each term. Participants are then free to choose a theme from the topics presented in class, or can choose a topic on their own. Unique data acquired from surveys, interviews, experiments, or by other means will be required. The process will enable course-takers to gain interpreting skills as well as overall English skills, research, presentation, analytic, and creative skills.

▌履修条件

All English Department students who are interested in the contents are welcome.

▌評価基準・方法

Daily performance, class participation, and assignments 80%, final presentation/interpretation 20%. Assignment feedback to be provided through manaba and in class.

▌フィードバック方法

Feedback through Manaba and in-class assessments etc.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Pair and group activities such as interpreting practice）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （PC used for assignments, videos, accessing information etc.）

▌教科書

To be announced at a later date.

▌参考書

To be announced at a later date.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction, Choose Research/Presentation Theme** 授業内容：Introduction, Choose Research/Presentation Theme Goals for the year 事前学修 2.0hr：Preview course contents 事後学修 2.0hr：Review course outline	16回	**授業テーマ：2nd Term Orientation - Prepare New Research/Presentation Theme** 授業内容：2nd Term Orientation - Prepare New Research/Presentation Theme 事前学修 2.0hr：Preview Prepare New Research/Presentation Theme 事後学修 2.0hr：Review New Research Theme
2回	**授業テーマ：Quick Response（basic）** 授業内容：Quick response is an exercise where the interpreter practices interpreting words or short phrases quickly. 事前学修 2.0hr：Preview Quick Response（basic） 事後学修 2.0hr：Review Quick Response（basic）	17回	**授業テーマ：Quick Response（intermediate）** 授業内容：Quick response is an exercise where the interpreter practices interpreting words or short phrases quickly. 事前学修 2.0hr：Quick Response（intermediate）Preview 事後学修 2.0hr：Quick Response（intermediate）Review
3回	**授業テーマ：Shadowing（basic）** 授業内容：This is a typical exercise where one listens and repeats simultaneously. It is useful for not only English practice, but will also improve basic speaking skills in any language, and has been proven to improve listening skills at the same time. 事前学修 2.0hr：Preview Shadowing（basic） 事後学修 2.0hr：Review Shadowing（basic）	18回	**授業テーマ：Shadowing（intermediate）** 授業内容：This is a typical exercise where one listens and repeats simultaneously. It is useful for not only English practice, but will also improve basic speaking skills in any language, and has been proven to improve listening skills at the same time. 事前学修 2.0hr：Shadowing（intermediate）Preview 事後学修 2.0hr：Shadowing（intermediate）Review
4回	**授業テーマ：Sight Translation（basic）** 授業内容：Sight Translation（basic） Interpreting while reading a text from the source language. 事前学修 2.0hr：Preview Sight Translation（basic） 事後学修 2.0hr：Review Sight Translation（basic）	19回	**授業テーマ：Sight Translation（intermediate）** 授業内容：Interpreting while reading a text from the source language. 事前学修 2.0hr：Sight Translation（intermediate）Preview 事後学修 2.0hr：Sight Translation（intermediate）Review
5回	**授業テーマ：Lagging（basic）** 授業内容：Interpreting after a lag of one word, two words, or more. 事前学修 2.0hr：Preview Lagging（basic） 事後学修 2.0hr：Review Lagging（basic）	20回	**授業テーマ：Lagging（intermediate）** 授業内容：Interpreting after a lag of one word, two words, or more. 事前学修 2.0hr：Lagging（intermediate）Preview 事後学修 2.0hr：Lagging（intermediate）Review
6回	**授業テーマ：Simultaneous Interpreting（basic）** 授業内容：Interpreting and listening at the same time. 事前学修 2.0hr：Preview simultaneous interpreting（basic） 事後学修 2.0hr：Review Topic 5	21回	**授業テーマ：Simultaneous Interpreting（intermediate）** 授業内容：Interpreting and listening at the same time. 事前学修 2.0hr：Simultaneous Interpreting（intermediate）Preview 事後学修 2.0hr：Simultaneous Interpreting（intermediate）Review
7回	**授業テーマ：Consecutive Interpreting（basic）** 授業内容：Taking notes and interpreting while referring to the notes. 事前学修 2.0hr：Preview Consecutive Interpreting（basic） 事後学修 2.0hr：Review Consecutive Interpreting（basic）	22回	**授業テーマ：Consecutive Interpreting（intermediate）** 授業内容：Taking notes and interpreting while referring to the notes. 事前学修 2.0hr：Consecutive Interpreting（intermediate）Preview 事後学修 2.0hr：Consecutive Interpreting（intermediate）Review
8回	**授業テーマ：Negotiations and Preparing for 1st Term Presentation** 授業内容：Simultaneous Interpreting（intermediate） Interpreting and listening at the same time. Presentations: Final presentation topic can stem from the themes covered in the seminar, or from other sources. Original content obtained from surveys, experiments, or interviews, for instance, are required. 事前学修 2.0hr：Negotiations Preview 事後学修 2.0hr：Negotiations Review	23回	**授業テーマ：Negotiations and Preparing for 2nd Term Presentation** 授業内容：Simultaneous Interpreting（intermediate） Interpreting and listening at the same time. Presentations: Final presentation topic can stem from the themes covered in the seminar, or from other sources. Original content obtained from surveys, experiments, or interviews, for instance, are required. 事前学修 2.0hr：Negotiations Preview 事後学修 2.0hr：Negotiations Review

9 回	**授業テーマ：Debate and Preparing for 1st Term Presentations** 授業内容：Write arguments both in favor of (PRO) and against (CON) the resolution in English. 命題に対する賛成の議論と反対の議論を英語で書きましょう。 This is a practice debate, so please write arguments for both the PRO and CON side, regardless of your own opinion. ディベートの練習なので、自分の意見と関係なく、賛成と反対の意見を書きましょう。 Debate Resolved: PRO arguments　賛成側の議論: 1. 2. 3. 4. 5. Questions you will ask the other side:　否定側への質問： 1. 2. 3. Speech: CON arguments　反対側の議論: 1. 2. 3. 4. 5. Questions you will ask the other side:　賛成側への質問： 1. 2. 3. Speech: ＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊ Debate ディベート Divide up into two groups. 二つのグループに分かれましょう。 Decide which side is PRO and which side is CON. どちらが賛成、どちらが反対か決めましょう。 Next, decide who plays which of the following roles:　次の役割を決めましょう： Person 1 = PRO　1　肯定1　一人目 Person 2 = PRO　2　肯定2　二人目 Person 3 = CON　1　否定1　三人目 Person 4 = CON　2　否定2　四人目 Give your arguments and ask each other questions.　それぞれの立場の主張をしてお互いに質問しましょう。 Speaker, stand up. 話し手は立ちましょう。 PRO 1: Speech　CON 2: Question　CON 1: Speech PRO 1: Question　PRO 2: Speech　CON 1: Question CON 2: Speech　PRO 2: Question Speakers: Stand up　話している際は、立ちましょう。 SPEECH　A 1　一人目 First Affirmative Constructive (1AC)　PRO 1.　1番目の賛成 Person 1 ＝ PRO 1: make your speech「肯定1の立論」 PRO 1のスピーチ QUESTION A　4 →1　4人目→1人目 Cross Examination of the 1AC (by the 2NC) Person 4 questions Person 1 CON 2 questions PRO1 CON 2が PRO 1に質問をする 「否定2の反対尋問」 SPEECH B　3　二人目 First Negative Constructive (1NC) CON 1.　1番目の反対 Person 3 ＝ CON 1: make your speech「否定1の立論」 CON 1のスピーチ QUESTION B 1→3　1人目→3人目 Cross examination of the 1NC (by the 1AC) Person 1 questions Person 3 PRO1 questions CON1 PRO1 が CON 1に質問をする 「肯定1の反対尋問」 SPEECH C　2　二人目 Second Affirmative Constructive (2AC) PRO 2.　2番目の賛成 Person 2: make your speech「肯定2の立論」 Person 2 ＝ PRO 2: make your speech PRO 2 のスピーチ QUESTION C　3→2　3人目→2人目 Person 3 questions Person 2 Cross Examination of the 2AC (by the 1NC) CON 1 questions PRO 2　CON 1が PRO 2に質問をする 「否定1の反対尋問」 SPEECH D　4　4人目 Person 4 ＝ CON 2: make your speech Second Negative Constructive (2NC) CON 2 のスピーチ 「否定2の立論」 QUESTION D　2→4　2人目→4人目 Person 2 questions Person 4 Cross Examination of the 2NC (by the 2AC) PRO 2 questions CON 2 PRO 2が CON 2に質問をする「肯定2の反対尋問」 First Negative Rebuttal (1NR)「否定1の反駁」 First Affirmative Rebuttal (1AR)「肯定1の反駁」 Second Negative Rebuttal (2NR)「否定2の最終弁論」 Second Affirmative Rebuttal (2AR)「肯定2の最終弁論」 ＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊ 事前学修 2.0hr：Preview Debate 事後学修 2.0hr：Review Debate
24 回	**授業テーマ：Debate and Preparing for 2nd Term Presentations** 授業内容：Write arguments both in favor of (PRO) and against (CON) the resolution in English. 命題に対する賛成の議論と反対の議論を英語で書きましょう。 This is a practice debate, so please write arguments for both the PRO and CON side, regardless of your own opinion. ディベートの練習なので、自分の意見と関係なく、賛成と反対の意見を書きましょう。 Debate Resolved: PRO arguments　賛成側の議論: 1. 2. 3. 4. 5. Questions you will ask the other side:　否定側への質問： 1. 2. 3. Speech: CON arguments　反対側の議論: 1. 2. 3. 4. 5. Questions you will ask the other side:　賛成側への質問： 1. 2. 3. Speech: ＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊ Debate ディベート Divide up into two groups. 二つのグループに分かれましょう。 Decide which side is PRO and which side is CON. どちらが賛成、どちらが反対か決めましょう。 Next, decide who plays which of the following roles:　次の役割を決めましょう： Person 1 = PRO　1　肯定1　一人目 Person 2 = PRO　2　肯定2　二人目 Person 3 = CON　1　否定1　三人目 Person 4 = CON　2　否定2　四人目 Give your arguments and ask each other questions.　それぞれの立場の主張をしてお互いに質問しましょう。 Speaker, stand up. 話し手は立ちましょう。 PRO 1: Speech　CON 2: Question　CON 1: Speech PRO 1: Question　PRO 2: Speech　CON 1: Question CON 2: Speech　PRO 2: Question Speakers: Stand up　話している際は、立ちましょう。 SPEECH　A 1　一人目 First Affirmative Constructive (1AC)　PRO 1.　1番目の賛成 Person 1 ＝ PRO 1: make your speech「肯定1の立論」 PRO 1のスピーチ QUESTION A　4 →1　4人目→1人目 Cross Examination of the 1AC (by the 2NC) Person 4 questions Person 1 CON 2 questions PRO1 CON 2が PRO 1に質問をする 「否定2の反対尋問」 SPEECH B　3　二人目 First Negative Constructive (1NC) CON 1.　1番目の反対 Person 3 ＝ CON 1: make your speech「否定1の立論」 CON 1のスピーチ QUESTION B 1→3　1人目→3人目 Cross examination of the 1NC (by the 1AC) Person 1 questions Person 3 PRO1 questions CON1 PRO1 が CON 1に質問をする 「肯定1の反対尋問」 SPEECH C　2　二人目 Second Affirmative Constructive (2AC) PRO 2.　2番目の賛成 Person 2: make your speech「肯定2の立論」 Person 2 ＝ PRO 2: make your speech PRO 2 のスピーチ QUESTION C　3→2　3人目→2人目 Person 3 questions Person 2 Cross Examination of the 2AC (by the 1NC) CON 1 questions PRO 2　CON 1が PRO 2に質問をする 「否定1の反対尋問」 SPEECH D　4　4人目 Person 4 ＝ CON 2: make your speech Second Negative Constructive (2NC) CON 2 のスピーチ 「否定2の立論」 QUESTION D　2→4　2人目→4人目 Person 2 questions Person 4 Cross Examination of the 2NC (by the 2AC) PRO 2 questions CON 2 PRO 2が CON 2に質問をする「肯定2の反対尋問」 First Negative Rebuttal (1NR)「否定1の反駁」 First Affirmative Rebuttal (1AR)「肯定1の反駁」 Second Negative Rebuttal (2NR)「否定2の最終弁論」 Second Affirmative Rebuttal (2AR)「肯定2の最終弁論」 ＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊ 事前学修 2.0hr：Preview Debate 事後学修 2.0hr：Review Debate

10回	**授業テーマ：Preparing for 1st Term Presentations** 授業内容：Preparing for 1st Term Presentations 事前学修 2.0hr：Preparing for 1st Term Presentations 事後学修 2.0hr：Preparing for 1st Term Presentations	25回	**授業テーマ：Preparing for 2nd Term Presentations** 授業内容：Preparing for 2nd Term Presentations 事前学修 2.0hr：Preparing for 2nd Term Presentations 事後学修 2.0hr：Preparing for 2nd Term Presentations
11回	**授業テーマ：Presentations** 授業内容：Presentations 事前学修 2.0hr：Presentations 事後学修 2.0hr：Presentations	26回	**授業テーマ：Presentations** 授業内容：Presentations 事前学修 2.0hr：Preview Presentations 事後学修 2.0hr：Review Presentations
12回	**授業テーマ：Presentations** 授業内容：Presentations 事前学修 2.0hr：Preview Presentations 事後学修 2.0hr：Review Presentations	27回	**授業テーマ：Presentations** 授業内容：Presentations 事前学修 2.0hr：Preview Presentations 事後学修 2.0hr：Review Presentations
13回	**授業テーマ：Presentations** 授業内容：Presentations 事前学修 2.0hr：Preview Presentations 事後学修 2.0hr：Review Presentations	28回	**授業テーマ：Presentations** 授業内容：Presentations 事前学修 2.0hr：Preview Presentations 事後学修 2.0hr：Review Presentations
14回	**授業テーマ：Presentations** 授業内容：Presentations 事前学修 2.0hr：Preview Presentations 事後学修 2.0hr：Review Presentations	29回	**授業テーマ：Presentations** 授業内容：Presentations 事前学修 2.0hr：Preview Presentations 事後学修 2.0hr：Review Presentations
15回	**授業テーマ：Presentations** 授業内容：Presentations 事前学修 2.0hr：Preview Presentations 事後学修 2.0hr：Review Presentations	30回	**授業テーマ：Presentataions** 授業内容：Presentations 事前学修 2.0hr：Preview Presentations 事後学修 2.0hr：Review Presentations

専門領域研究講座

開講学科等：英 ｜ 3 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通

横山　竜一郎（よこやま　りゅういちろう）

▌授業の概要

英詩(英語で書かれた詩)を研究するための基本的な知識と技術の習得を目指す。これまであまり詩を読んだことのないという初学者を想定して、前期ではさまざまなテクストを読んで詩に親しみ、後期では特定のテクストを研究して詩について論じる方法を学ぶ。全体を通じて、英語や詩について理解を深めるだけでなく、４年次に文学分野で卒業研究を執筆するための基礎が身につくように授業はデザインされる。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1/2/3/4）

一般目標：英詩(英語で書かれた詩)を研究するための基本的な知識と技術を身につける。

個別目標：1. 英詩の主な要素に基づいて詩を形式的に描写できる。
2. 自らの美的・知的判断に基づいて英詩を紹介できる。
3. 基本的な研究の手続きに基づいて英詩を批評できる。

▌履修条件

履修には教員との事前の面談が必要となる。

▌評価基準・方法

平常点(ディスカッションなどの授業参加) 50%、エッセイ(論文形式の文章)課題 50%の結果および到達目標の達成度に基づき総合的に評価する。また、原則として 5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

主に授業内の講評を通じておこなう。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （発表やディスカッションなど）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （リサーチやエッセイ課題の作成など）

▌教科書

使用しない。必要なテクストは配布する。

▌参考書

適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：イントロダクション** 授業内容：授業全体のイントロダクションをおこなう。 事前学修 2.0hr：シラバスを読む。 事後学修 2.0hr：授業の内容と評価方法を確認する。	16回	**授業テーマ：エッセイの目的を知る** 授業内容：詩についてのエッセイの目的を学ぶ。 事前学修 2.0hr：夏休みの間に読んだものをまとめる。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、関心に沿って関連文献を調べる。
2回	**授業テーマ：英詩の精読(１)英詩を読む** 授業内容：辞書などを活用して英詩を読む方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、関心に沿って関連文献を調べる。	17回	**授業テーマ：一次資料をリサーチする** 授業内容：一次資料をリサーチする方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：自身の選んだ一次資料をリサーチする。
3回	**授業テーマ：英詩の精読(２)英詩を描写する** 授業内容：英詩を描写するための基本的な手続きを学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、関心に沿って関連文献を調べる。	18回	**授業テーマ：二次資料(レファレンス類)を使う** 授業内容：二次資料(レファレンス類)をリサーチする方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：自身の選んだ二次資料をリサーチする。
4回	**授業テーマ：英詩の精読(３)単語に注目する** 授業内容：ディスカッションを通じて、単語に注目して英詩を読む方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、関心に沿って関連文献を調べる。	19回	**授業テーマ：サンプル・エッセイ(１)を読む** 授業内容：サンプル・エッセイ(１)を輪読し、リサーチの成果を文章で表現する方法を体感する。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：サンプル・エッセイ(１)を再読する。
5回	**授業テーマ：英詩の精読(４)統語に注目する** 授業内容：ディスカッションを通じて、統語に注目して英詩を読む方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、関心に沿って関連文献を調べる。	20回	**授業テーマ：社会的・歴史的コンテクストをリサーチする** 授業内容：文学テクストの社会的・歴史的コンテクストをリサーチする方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：自身の選んだ文学テクストの社会的・歴史的コンテクストをリサーチする。
6回	**授業テーマ：英詩の精読(５)詩行に注目する** 授業内容：ディスカッションを通じて、詩行に注目して英詩を読む方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、関心に沿って関連文献を調べる。	21回	**授業テーマ：サンプル・エッセイ(２)を読む** 授業内容：サンプル・エッセイ(２)を輪読し、リサーチの成果を文章で表現する方法を体感する。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：サンプル・エッセイ(２)を再読する。
7回	**授業テーマ：英詩の精読(６)構成に注目する** 授業内容：ディスカッションを通じて、構成に注目して英詩を読む方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、関心に沿って関連文献を調べる。	22回	**授業テーマ：二次資料(論文・学術書)をリサーチする** 授業内容：二次資料(論文・学術書)をリサーチする方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：自身の選んだ二次資料(論文・学術書)をリサーチする。
8回	**授業テーマ：英詩の精読(７)話者に注目する** 授業内容：ディスカッションを通じて、話者に注目して英詩を読む方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、関心に沿って関連文献を調べる。	23回	**授業テーマ：サンプル・エッセイ(３)を読む** 授業内容：サンプル・エッセイ(３)を輪読し、リサーチの成果を文章で表現する方法を体感する。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：サンプル・エッセイ(３)を再読する。
9回	**授業テーマ：英詩の精読(８)比喩に注目する** 授業内容：ディスカッションを通じて、比喩に注目して英詩を読む方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、関心に沿って関連文献を調べる。	24回	**授業テーマ：アーギュメントをつくる** 授業内容：エッセイのアーギュメントをつくる方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：自身のエッセイのアーギュメントをつくる。
10回	**授業テーマ：英詩の精読(９)音声に注目する** 授業内容：ディスカッションを通じて、音声に注目して英詩を読む方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、関心に沿って関連文献を調べる。	25回	**授業テーマ：アーギュメントを組み立てる** 授業内容：エッセイのアーギュメントを組み立てる方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：自身のエッセイのアーギュメントを組み立てる。

11回	**授業テーマ：英詩の精読(１０)韻律に注目する** 授業内容：ディスカッションを通じて、韻律に注目して英詩を読む方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、関心に沿って関連文献を調べる。	26回	**授業テーマ：エッセイの本文を書く(１)ボディ・パラグラフ** 授業内容：エッセイの本文のうち、ボディ・パラグラフを書く方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：自身のエッセイのボディ・パラグラフを書く。
12回	**授業テーマ：英詩の精読(１１)詩形に注目する** 授業内容：ディスカッションを通じて、詩形に注目して英詩を読む方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、関心に沿って関連文献を調べる。	27回	**授業テーマ：エッセイの本文を書く(２)序論と結論** 授業内容：エッセイの本文のうち、序論と結論を書く方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：自身のエッセイの序論と結論を書く。
13回	**授業テーマ：英詩の精読(１２)詩人に注目する** 授業内容：ディスカッションを通じて、詩人に注目して英詩を読む方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、関心に沿って関連文献を調べる。	28回	**授業テーマ：エッセイを編集・校正する** 授業内容：エッセイを編集・校正する方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：自身のエッセイを編集・校正する。
14回	**授業テーマ：英詩の精読(１３)英詩を批評する** 授業内容：英詩を批評するための基本的な手続きを学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、関心に沿って関連文献を調べる。	29回	**授業テーマ：エッセイの体裁を整え、提出する** 授業内容：エッセイの体裁を整え、提出する方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：自身のエッセイの体裁を整え、提出する。
15回	**授業テーマ：前期のまとめ** 授業内容：前期で学んだ内容を復習する。 事前学修 2.0hr：これまでに扱った詩を再読する。 事後学修 2.0hr：夏休みの間に各自で読むものを考える。	30回	**授業テーマ：エッセイの講評と全体のまとめ** 授業内容：各学生のエッセイを講評し、全体のまとめをする。 事前学修 2.0hr：自身のエッセイの内容を説明できるようにしておく。 事後学修 2.0hr：卒業研究に向けて、各自の関心に沿って新たなリサーチを始める。

専門領域研究講座

開講学科等：英 ｜ 3 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通

米村　珠子（よねむら　たまこ）

▌授業の概要

本講座は教職課程履修者を対象とし、コミュニケーション能力育成を重視した教授法の比較研究や学習者論の先行研究分析を通して、実践的な教科指導力を身に付けるために必要な知識及び技能を身に付ける。CLT（communicative language teaching）をはじめ、国際教育における異文化理解、国際バカロレアの教育手法（approaches to Teaching and learning, cognitive academic language proficiency）の理解を深め、実践的なコミュニケーション能力育成について演習を通して協働的・探究的に学んだ結果をアウトプットする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1/2/3/4）

一般目標：英語科教授法の比較研究や学習者論、言語学習方法、授業実践事例等から、コミュニケーション能力育成を重視した指導方法に係る知識・技能を身に付けるとともに、コミュニケーション活動の演習を通して、中学校・高等学校の英語授業で求められる英語運用能力の向上を図る。

個別目標：1. 効果的な言語学習方法を踏まえた教授法を理解し、コミュニカティブな指導力を身に付けることができる。
2. 生徒のコミュニケーション能力育成に必要な英語運用能力を身に付けることができる。
3. 自ら課題を探究し、他者と協働しながら学んだ結果を表現することができる。

▌履修条件

・教職課程履修者。
・中学校・高等学校の英語教員を目指し、主体的に学ぶ意欲がある者。

▌評価基準・方法

・授業内活動への取組 30%、レポート提出・発表 40%、授業課題の提出 30%
・授業への出席と課題の提出を重視する。

▌フィードバック方法

・授業内活動及び発表については、活動後に受講者全員による協議を含めたフィードバックを行う。
・提出課題やレポートについては、後日、口頭・添削・manaba によりフィードバックを行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション、ディベート、課題解決学習）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （プレゼンテーション、フィードバック）

▌教科書

第 1 回授業で指示する。

▌参考書

第 1 回授業で指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション、英語教育概論** 授業内容：授業概要（ねらい、スケジュール、評価等）の説明、研究領域に関するディスカッション、英語教育を概観するキーワードによる演習等を通して、各自の年間到達目標を設定する。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読む。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組む。	16回	**授業テーマ：国際教育と異文化理解の深化 (1)** 授業内容：文化及び異文化の基本概念と、文化の３つの要素である物質文化、精神文化、行動文化の特性について、異文化間能力（intercultural competence）のプロセスモデルを演習を通して学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んで要点をまとめる。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組む。
2回	**授業テーマ：外国語教育と CEFR の言語教育観 (1)** 授業内容：専門領域研究の背景知識として日本の外国語教育政策の流れや外国語教育観を俯瞰するとともに学習到達目標としての Can-do リストの役割と成果について、実践事例を取り上げながら論じる。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んで要点をまとめる。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組む。	17回	**授業テーマ：国際教育と異文化理解の深化 (2)** 授業内容：外国語学習における異文化間能力の重要性や指導のプロセス、教材の種類と選択、学習者の認知発達段階と異文化理解といった指導の観点を踏まえ、学習指導要領に示されている異文化間能力育成について考える。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んで要点をまとめる。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組む。
3回	**授業テーマ：外国語教育と CEFR の言語教育観 (2)** 授業内容：CEFR（Common European Framework of Reference for Languages、ヨーロッパ言語共通参照枠）の言語教育観として学習者中心の教育方法や行動志向アプローチ、共通参照レベル等から教科指導に役立つ情報を整理して論じる。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んで要点をまとめる。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組む。	18回	**授業テーマ：アクティブ・ラーニング型授業研究 (1)** 授業内容：グローバル社会で生きるために求められる英語力、思考力、判断力、表現力、交渉力等の資質・能力を涵養・育成するために必要な学びについて、アクティブ・ラーニング型の授業実践事例を通して考察する。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んで要点をまとめる。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組む。
4回	**授業テーマ：英語科教授法比較研究 (1)** 授業内容：英語科教授法（文法訳読法、audio-lingual method, communicative language teaching）の比較研究を通して、インプット、アウトプット、インタラクションのコミュニケーション形態を取り入れた指導方法を探究・実践する。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んで要点をまとめる。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組む。	19回	**授業テーマ：アクティブ・ラーニング型授業研究 (2)** 授業内容：主体的・対話的で深い学びであるアクティブ・ラーニングの意義や教師の役割、生徒の学習プロセス（問題発見、探究、解決）の中で行われる協働学習、振り返り等について、授業実践事例を通して学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んで要点をまとめる。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組む。
5回	**授業テーマ：英語科教授法比較研究 (2)** 授業内容：communicative language teaching の手法として、task-based, content-based, content and language integrated learning, focus on form 等を使ったコミュニケーション活動を設計・実践する。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んで要点をまとめる。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組む。	20回	**授業テーマ：アクティブ・ラーニング型授業研究 (3)** 授業内容：他者との協働や対話を通して自らの考えや学びを広げ深めることができている、そうした学習活動を振り返り次につなげることができている、などの主体的な学びの過程が実現していることを授業実践事例を通して学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んで要点をまとめる。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組む。
6回	**授業テーマ：Communicative Language Teaching 研究 (1)** 授業内容：コミュニケーション活動モデルに示される一般的能力とコミュニケーション言語能力を踏まえ、task-based language teaching を実践する。task として information gap, jigsaw, problem-solving 等を用いる。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んで要点をまとめる。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組む。	21回	**授業テーマ：英語コミュニケーション活動演習 (1) スピーチの指導①** 授業内容：スピーキング活動であるモノローグ形式の言語活動のうち、スピーチの指導を取り上げる。事前に原稿を書き、内容を暗唱したり要点を書いたメモを準備させて行わせる prepared speech の指導について実践を通して学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された事前課題に取り組む。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組む。

7回	**授業テーマ：Communicative Language Teaching 研究 (2)** 授業内容：content and language integrated learning（CLIL、内容言語統合型学習）を取り上げる。学習者の認知思考力の発達を考慮し、低次な思考力から高次な思考力を要する活動への移行を含めた協働学習を設計・実践する。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んで要点をまとめる。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組む。	22回	**授業テーマ：英語コミュニケーション活動演習 (2) スピーチの指導②** 授業内容：既習事項やそれまで身に付けた表現力を土台として即興で話す impromptu speech の指導に必要な事項や留意すべき点、評価等について実践を通して学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された事前課題に取り組む。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組む。
8回	**授業テーマ：言語習得と自律的学習能力の育成 (1)** 授業内容：学習者の視点から教科指導を考える。母語習得と外国語習得の違いや依存型・自立型学習者の特徴を踏まえ、自律的学習能力を育成するために必要な要件について教科指導実践事例と学習指導案から考える。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んで要点をまとめる。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組む。	23回	**授業テーマ：英語コミュニケーション活動演習 (3) ディスカッションの指導①** 授業内容：１つのテーマやトピックに対して意見交換や方針決定のために行われる活動であるディスカッションの適切な指導について実践を通して学ぶ。単元指導計画での位置付け、他の言語活動との関連付け等について計画を立てる。 事前学修 2.0hr：指定された課題に取り組む。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組む。
9回	**授業テーマ：言語習得と自律的学習能力の育成 (2)** 授業内容：学習者の特性や動機付けの視点、第二言語学習に重要な認知スタイル（場依存型・場独立型、曖昧性に対する寛容と非寛容、認知的熟慮性・衝動性、聴覚・視覚優先性等）を考慮した学習ストラテジーを考える。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んで要点をまとめる。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組む。	24回	**授業テーマ：英語コミュニケーション活動演習 (4) ディスカッションの指導②** 授業内容：グループ・ディスカッションにおけるリーダーやタイムキーパー等の運営役割の決定をはじめ、協働学習の場の設定に必要な事柄を考え、指導することができるように実践から学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された課題に取り組む。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組む。
10回	**授業テーマ：国際バカロレア教育における学習者像研究 (1)** 授業内容：国際バカロレア教育で示されている「10 の学習者像」（inquirers, knowledgeable, thinkers, communicators, principled, open-minded, caring, risk-takers, balanced, reflective）について学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んで要点をまとめる。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組む。	25回	**授業テーマ：英語コミュニケーション活動演習 (5) ディベートの指導①** 授業内容：表現能力・発表能力の他、分析力、論理力、批判的思考力の育成に資する言語活動である視点を踏まえ、テーマの設定や事前準備、形態等の指導ができるよう、フォーマル・ディベートの基本を実践を通して学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された課題に取り組む。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組む。
11回	**授業テーマ：国際バカロレア教育における学習者像研究 (2)** 授業内容：「10 の学習者像」を取り上げ、授業計画に位置付けて学習指導案を作成する。さらにこの人物像がなぜ個人や集団が地域社会や国、グローバルなコミュニティーの責任ある一員となることに資することについて論じる。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んで要点をまとめる。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組む。	26回	**授業テーマ：英語コミュニケーション活動演習 (6) ディベートの指導②** 授業内容：肯定側・否定側の立論、反論等の論点構成と討議の進め方に習熟するとともに、評価や勝敗の決め方を含め事例を通して学ぶことにより、ミニディベートや chalk debate 等、様々な種類のディベート指導方法を身に付ける。 事前学修 2.0hr：指定された課題に取り組む。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組む。
12回	**授業テーマ：Approaches to Teaching and Learning 研究 (1)** 授業内容：Approaches to Teaching and Learning(ATL) は、指導・学習環境に浸透する意図的な戦略や技能、態度であり、生徒の学習を強化し生徒への評価や目標達成を支援する方策・ツールであることを実例を通して学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んで要点をまとめる。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組む。	27回	**授業テーマ：Research Project(1)** 授業内容：レポートの書き方、ルール等を確認し、自身で選んだテーマについて調査研究を行い、レポートを作成する。論理的であること、根拠に基づくこと、執筆手順、アウトライン作成、全体構成、参考文献等に留意する。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んで要点をまとめる。 事後学修 2.0hr：テーマについて調査研究・情報収集する。
13回	**授業テーマ：Approaches to Teaching and Learning 研究 (2)** 授業内容：Approaches to Teaching and Learning 技能の５つのカテゴリー（thinking skills, communication skills, self-management skills, research skills, social skills）と６種類の指導方法について事例を通して学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んで要点をまとめる。 事後学修 2.0hr：授業で指定された課題に取り組む。	28回	**授業テーマ：Research Project(2)** 授業内容：調査研究の結果と収集情報を整理し、レポートのアウトラインを決める。構成を確認後、序論・結論から書き始める。教員からフィードバックを得て必要に応じた加筆・修正を行う。 事前学修 2.0hr：執筆手順・スケジュールに従い、レポート作成を進める。 事後学修 2.0hr：執筆手順・スケジュールに従い、レポート作成を進める。
14回	**授業テーマ：CALP(Cognitive Academic Language Proficiency) の活用 (1)** 授業内容：言語習得の２つのメカニズムである BICS(Basic Interpaersonal Communicative Skills) との比較を通して CALP(Cognitive Academic Language Proficiency) の特徴、意義、活用の方向性について事例を通して学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んで要点をまとめる。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組む。	29回	**授業テーマ：Rsearch Project(3)** 授業内容：推敲・教員からのフィードバックを重ねて、レポートを完成させる。次回発表に向けた要旨の作成等、発表準備を進める。 事前学修 2.0hr：レポート案を完成させる。 事後学修 2.0hr：レポートを完成させる。発表要旨を作成し、発表準備・練習を行う。
15回	**授業テーマ：CALP(Cognitive Academic Language Proficiency) の活用 (2)** 授業内容：学習者が最終的に求められるアウトプット能力に、既習事項をどのように活用させていくのかに配慮した学習ステップを踏まえながら、CALP を活用した教科指導事例（アクティビティ）を考案する。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んで要点をまとめる。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組む。	30回	**授業テーマ：授業のまとめ、Research Project 発表** 授業内容：レポートに基づく発表と質疑応答を行う。学生及び教員からのフィードバック（相互評価）を受けて、自己評価を行う。 事前学修 2.0hr：第 29 回事後学修と併せて、発表準備・練習する。 事後学修 2.0hr：レポート及び発表要旨を整理して提出する。

卒業研究

開講学科等：英 ｜ 4 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通

鍛治　広真（かじ　ひろみ）

▌授業の概要

言語現象を研究対象とし、履修者各自が研究テーマを設定して卒業論文の執筆をする。授業は演習形式で実施する。履修者は卒業研究の各段階で進捗を報告し、その内容についてディスカッションを行う。伝わりやすいプレゼンテーションの訓練をするとともに、意見交換を通じて研究内容を向上させる。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1/2/3/4）

一般目標：言語に関わる研究テーマを見つけ、調査し、考察を深め、卒業論文を執筆する。
個別目標：(1) 自分の関心に基づき研究計画を立て実行することができる
(2) 必要な資料を収集することができる
(3) 伝わりやすい表現、書式の文章を書くことができる

▌履修条件

事前に担当教員と面談し、履修の合意を得ること

▌評価基準・方法

授業への取り組み(発表、ディスカッションなど)と提出物、卒業論文により総合的に評価する。

▌フィードバック方法

課題へのフィードバックは授業または manaba または個別面談を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （プレゼンテーション、ディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （資料収集および発表資料、レポート、論文等の作成に PC を使用する。）

▌教科書

使用しない

▌参考書

新田誠吾『はじめてでも、ふたたびでも、これならできる！　レポート・論文のまとめ方』すばる舎
河野 哲也『レポート・論文の書き方入門』慶應義塾大学出版会
石井一成『ゼロからわかる大学生のためのレポート・論文の書き方』ナツメ社
田中草大『#卒論修論一口指南』文学通信

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：イントロダクション** 授業内容：ゼミの進め方を説明する。学生発表の日程を決定する。 事前学修 2.0hr：シラバスを読む、ノートの準備 事後学修 2.0hr：テーマ発表資料の準備	16回	**授業テーマ：調査結果のまとめ方** 授業内容：調査結果のまとめ方、分析方法を学ぶ 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：調査結果をまとめる
2回	**授業テーマ：テーマ構想の発表 (1)** 授業内容：研究テーマの構想を発表し、内容に基づいてディスカッションする。 事前学修 2.0hr：発表資料の準備 事後学修 2.0hr：ディスカッション内容の整理	17回	**授業テーマ：調査報告とディスカッション (1)** 授業内容：調査の結果を発表し、内容に基づいてディスカッションする。 事前学修 2.0hr：発表資料の準備 事後学修 2.0hr：ディスカッション内容の整理
3回	**授業テーマ：テーマ構想の発表 (2)** 授業内容：研究テーマの構想を発表し、内容に基づいてディスカッションする。 事前学修 2.0hr：発表資料の準備 事後学修 2.0hr：ディスカッション内容の整理	18回	**授業テーマ：調査報告とディスカッション (2)** 授業内容：調査の結果を発表し、内容に基づいてディスカッションする。 事前学修 2.0hr：発表資料の準備 事後学修 2.0hr：ディスカッション内容の整理
4回	**授業テーマ：文献リストの作成** 授業内容：論文執筆のため各自のテーマに関係する文献リストを作成する 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：文献資料の収集	19回	**授業テーマ：調査報告とディスカッション (3)** 授業内容：調査の結果を発表し、内容に基づいてディスカッションする。 事前学修 2.0hr：発表資料の準備 事後学修 2.0hr：ディスカッション内容の整理
5回	**授業テーマ：文献報告とディスカッション (1)** 授業内容：各自のテーマに関係する文献の内容を報告し、内容に基づいてディスカッションする。 事前学修 2.0hr：発表資料の準備 事後学修 2.0hr：ディスカッション内容の整理	20回	**授業テーマ：論文アウトライン** 授業内容：論文アウトラインの作成方法を学ぶ 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：論文アウトラインを作成する
6回	**授業テーマ：文献報告とディスカッション (2)** 授業内容：各自のテーマに関係する文献の内容を報告し、内容に基づいてディスカッションする。 事前学修 2.0hr：発表資料の準備 事後学修 2.0hr：ディスカッション内容の整理	21回	**授業テーマ：アウトラインの発表(1)** 授業内容：論文のアウトラインを発表し、内容に基づいてディスカッションする。 事前学修 2.0hr：発表資料の準備 事後学修 2.0hr：ディスカッション内容の整理
7回	**授業テーマ：文献報告とディスカッション (3)** 授業内容：各自のテーマに関係する文献の内容を報告し、内容に基づいてディスカッションする。 事前学修 2.0hr：発表資料の準備 事後学修 2.0hr：ディスカッション内容の整理	22回	**授業テーマ：アウトラインの発表(2)** 授業内容：論文のアウトラインを発表し、内容に基づいてディスカッションする。 事前学修 2.0hr：発表資料の準備 事後学修 2.0hr：ディスカッション内容の整理
8回	**授業テーマ：論文の構造** 授業内容：論文の構造、各部に書くべき内容を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：理解の整理	23回	**授業テーマ：アウトラインの発表(3)** 授業内容：論文のアウトラインを発表し、内容に基づいてディスカッションする。 事前学修 2.0hr：発表資料の準備 事後学修 2.0hr：ディスカッション内容の整理
9回	**授業テーマ：論文の構想の発表 (1)** 授業内容：発表資料の準備 事前学修 2.0hr：発表資料の準備 事後学修 2.0hr：ディスカッション内容の整理	24回	**授業テーマ：アウトラインの発表(4)** 授業内容：論文のアウトラインを発表し、内容に基づいてディスカッションする。 事前学修 2.0hr：発表資料の準備 事後学修 2.0hr：ディスカッション内容の整理
10回	**授業テーマ：論文の構想の発表 (2)** 授業内容：論文の構想を発表し、内容に基づいてディスカッションする。 事前学修 2.0hr：発表資料の準備 事後学修 2.0hr：ディスカッション内容の整理	25回	**授業テーマ：論文の書式** 授業内容：論文の書式・図表の掲載の仕方・目次の作成方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の実践

11回	**授業テーマ：論文の構想の発表 (3)** 授業内容：論文の構想を発表し、内容に基づいてディスカッションする。 事前学修 2.0hr：発表資料の準備 事後学修 2.0hr：ディスカッション内容の整理	26回	**授業テーマ：第 1 稿の検討(1)** 授業内容：論文の第 1 稿を発表し、内容に基づいてディスカッションする。 事前学修 2.0hr：発表資料の準備 事後学修 2.0hr：ディスカッション内容の整理
12回	**授業テーマ：調査とデータの収集** 授業内容：論文執筆のための調査の方法について学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理。調査計画の準備	27回	**授業テーマ：第 1 稿の検討(2)** 授業内容：論文の第 1 稿を発表し、内容に基づいてディスカッションする。 事前学修 2.0hr：発表資料の準備 事後学修 2.0hr：ディスカッション内容の整理
13回	**授業テーマ：調査計画の構想 (1)** 授業内容：各自の調査計画を発表し、内容に基づいてディスカッションする。 事前学修 2.0hr：発表資料の準備 事後学修 2.0hr：ディスカッション内容の整理	28回	**授業テーマ：第 1 稿の検討(3)** 授業内容：論文の第 1 稿を発表し、内容に基づいてディスカッションする。 事前学修 2.0hr：発表資料の準備 事後学修 2.0hr：ディスカッション内容の整理
14回	**授業テーマ：調査計画の構想 (2)** 授業内容：各自の調査計画を発表し、内容に基づいてディスカッションする。 事前学修 2.0hr：発表資料の準備 事後学修 2.0hr：ディスカッション内容の整理	29回	**授業テーマ：第 1 稿の検討(4)** 授業内容：論文の第 1 稿を発表し、内容に基づいてディスカッションする。 事前学修 2.0hr：発表資料の準備 事後学修 2.0hr：ディスカッション内容の整理
15回	**授業テーマ：前半のまとめ** 授業内容：ここまでの内容を振り返り、補足をする。夏休みに向けて研究計画を報告する。 事前学修 2.0hr：これまでの内容を復習し、疑問点と考察を整理する 事後学修 2.0hr：研究計画の実践	30回	**授業テーマ：まとめと改稿のポイント** 授業内容：論文を改訂する際のポイントを学ぶ。 事前学修 2.0hr：これまでの内容を復習し、疑問点と考察を整理する 事後学修 2.0hr：改訂稿の準備

卒業研究

開講学科等：英 ｜ 4 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通

金子　義隆（かねこ　よしたか）

▌授業の概要

「やる気の出る英語の授業」とはどんな特徴を持つのか、どのように実践すればよいのかについて考察します。社会心理学や教育心理学、応用言語学からの動機づけ理論を研究し、学際的な見方を養います。そして、履修生同士の討議や発表を通して、教育的実践について具体的に検討します。また、英語教育の重要なトピックについて、論文を読み、ディスカッションを通して考えを深めます。さらには、コミュニケーション中心の英語授業を行うための英語運用能力も同時に養成します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1/2/3/4）

一般目標：・「やる気」を引き出す具体的方策について広い知識を持ち、且実践できる。
・コミュニケーション活動について知識を持ち、それらを授業内で実践できる。
・教員採用試験の英語面接や英検準 1 級 2 次面接試験合格レベルの英語運用力を身に着ける。

個別目標：・社会的・教育的話題について自分の意見を英語で論理的に述べることができる。
・やる気の出る授業について、自分の考えを持ち、それを実践に移すことができる。
・主体的・対話的で深い学びを引き起こす工夫を授業指導に生かすことができる。
・英語学習の動機づけの観点から「やる気」の主要な要因について説明できる。

▌履修条件

・原則的に、3 年次に授業担当者の専門領域研究講座を履修していること。
・そうでない場合は、担当者の承諾を履修前に受けていること。

▌評価基準・方法

・授業内の活動への取り組み(40 %)、模擬授業(30 %)、英語面接テスト(20 %)、課題(10 %)を総合的に評価する。

▌フィードバック方法

学生の提出物および発表に対してフィードバックをする。また、毎回ではないが授業後にリフレクションシートを記入してもらい、それに対してフィードバックを行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ほぼ毎時間のグループディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Excel、Word、PowerPoint ソフトを搭載したノート PC を毎回持参すること）

▌教科書

・最初の授業で提示します。

▌参考書

・小池生夫編著(2013)『提言　日本の英語教育ーガラパゴスからの脱出』　光村図書
・ゾルタン・ドルニエイ著／米山朝二ら訳(2005)『動機づけを高めるため英語指導ストラテジー３５』　大修館書店

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：一年間のゼミスケジュールについて理解する。また、研究の進捗状況について各自発表する。 事前学修 2.0hr：指定個所を読む。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えを深める。	16回	**授業テーマ：後期のオリエンテーション** 授業内容：後期のゼミスケジュールを確認する。夏休み中の研究について各自進捗状況を発表する。 事前学修 2.0hr：指定個所を読む。 事後学修 2.0hr：指定個所を読む。
2回	**授業テーマ：動機づけ理論の紹介①** 授業内容：最新の動機づけ理論研究について文献研究をし、担当者が発表する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：指定個所を読む。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えを深める。	17回	**授業テーマ：適切な教師の行動** 授業内容：生徒の動機づけを高めるための適切な教師の行動について考察する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：指定個所を読む。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、発表の準備をおこなう。
3回	**授業テーマ：動機づけ理論の紹介②** 授業内容：前回に引き続き、最新の動機づけ理論研究について文献研究をし、担当者が発表する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：指定個所を読む。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えを深める。	18回	**授業テーマ：教室内の楽しい、支持的な雰囲気** 授業内容：生徒の動機づけを高めるための教室内の楽しい、支持的な雰囲気について考察する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：指定個所を読む。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、発表の準備をおこなう。
4回	**授業テーマ：動機づけ理論の紹介③** 授業内容：前回に引き続き、最新の動機づけ理論研究について文献研究をし、担当者が発表する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：指定個所を読む。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えを深める。	19回	**授業テーマ：学習者の言語関連の価値観と好ましい態度の養成** 授業内容：生徒の動機づけを高めるための学習者の言語関連の価値観と好ましい態度の養成について考察する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：指定個所を読む。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、発表の準備をおこなう。
5回	**授業テーマ：動機づけ理論の紹介④** 授業内容：前回に引き続き、最新の動機づけ理論研究について文献研究をし、担当者が発表する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：指定個所を読む。 事後学修 2.0hr：模擬授業の準備をおこなう。	20回	**授業テーマ：成功期待感** 授業内容：生徒の動機づけを高めるための成功期待感について考察する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：指定個所を読む。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、発表の準備をおこなう。
6回	**授業テーマ：第 1 回模擬授業①** 授業内容：各自が理想とする授業を実際に実演する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：模擬授業の準備をおこなう。 事後学修 2.0hr：模擬授業の準備をおこなう。	21回	**授業テーマ：目標志向性** 授業内容：生徒の動機づけを高めるための目標志向性について考察する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：指定個所を読む。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、発表の準備をおこなう。
7回	**授業テーマ：第 1 回模擬授業②** 授業内容：前回に引き続き、各自が理想とする授業を実際に実演する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：模擬授業の準備をおこなう。 事後学修 2.0hr：模擬授業の準備をおこなう。	22回	**授業テーマ：教材の適切性と現実的学習者信念** 授業内容：生徒の動機づけを高めるための教材の適切性と現実的学習者信念について考察する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：指定個所を読む。 事後学修 2.0hr：発表の準備をおこなう。

8回	**授業テーマ：第 1 回模擬授業③** 授業内容：前回に引き続き、各自が理想とする授業を実際に実演する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：模擬授業の準備をおこなう。 事後学修 2.0hr：模擬授業を振り返る。	23回	**授業テーマ：学習への興味の喚起** 授業内容：生徒の動機づけを高めるための学習への興味の喚起について考察する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：指定個所を読む。 事後学修 2.0hr：発表の準備をおこなう。
9回	**授業テーマ：英語教育 Hot Issue について①** 授業内容：英語教育の最新の話題について考察する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：指定個所を読む。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えを深める。	24回	**授業テーマ：動機づけを高めるタスクの提示と具体的学習目標** 授業内容：生徒の動機づけを高めるための動機づけを高めるタスクの提示と具体的学習目標について考察する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：指定個所を読む。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、発表の準備をおこなう。
10回	**授業テーマ：英語教育 Hot Issue について②** 授業内容：英語教育の最新の話題について考察する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：指定個所を読む。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えを深める。	25回	**授業テーマ：自尊感情と肯定的社会心象** 授業内容：生徒の動機づけを高めるための自尊感情と肯定的社会心象について考察する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：指定個所を読む。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、発表の準備をおこなう。
11回	**授業テーマ：英語ディスカッション①** 授業内容：社会的話題について実際に Discussion をおこない、学校現場での活用について考察する。 事前学修 2.0hr：課題をおこなう。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、英語を論理的に述べる練習をする。	26回	**授業テーマ：学習者の自律と協働学習** 授業内容：生徒の動機づけを高めるための学習者の自律と協働学習について考察する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：指定個所を読む。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、発表の準備をおこなう。
12回	**授業テーマ：英語ディスカッション②** 授業内容：前回に引き続き、社会的話題について実際に Discussion をおこない、学校現場での活用について考察する。 事前学修 2.0hr：課題をおこなう。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、英語を論理的に述べる練習をする。	27回	**授業テーマ：研究発表①** 授業内容：卒業研究について各自発表する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：発表の準備をおこなう。 事後学修 2.0hr：発表の準備をおこなう。
13回	**授業テーマ：英語ディスカッション③** 授業内容：前回に引き続き、社会的話題について実際に Discussion をおこない、学校現場での活用について考察する。 事前学修 2.0hr：課題をおこなう。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、英語を論理的に述べる練習をする。	28回	**授業テーマ：研究発表②** 授業内容：卒業研究について各自発表する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：発表の準備をおこなう。 事後学修 2.0hr：発表の準備をおこなう。
14回	**授業テーマ：英語ディスカッション④** 授業内容：前回に引き続き、社会的話題について実際に Discussion をおこない、学校現場での活用について考察する。 事前学修 2.0hr：課題をおこなう。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、英語を論理的に述べる練習をする。	29回	**授業テーマ：研究発表③** 授業内容：卒業研究について各自発表する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：発表の準備をおこなう。 事後学修 2.0hr：発表の準備をおこなう。
15回	**授業テーマ：前期の総括** 授業内容：前期のゼミを振り返る。各自の研究について進捗状況を発表する。 事前学修 2.0hr：課題をおこなう。 事後学修 2.0hr：課題をおこなう。	30回	**授業テーマ：1 年間の学び・研究の総括** 授業内容：卒業研究について各自発表する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えを深める。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えを深める。

卒業研究

開講学科等：英 ｜ 4 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通

川成　美香（かわなり　みか）

▌授業の概要

ことばの使用を社会的・文化的視点から考える「社会言語学(Sociolinguistics)」の卒業研究ゼミである。ことばと社会、ことばと文化、ことばと性差、会話の分析、丁寧表現、バイリンガリズムやコード切り替えの仕組みなどについての理解を深めて、自ら研究することを目的とする。発表形式で授業を進めつつ、身近な英語と日本語にみられるさまざまな言語現象を考察および議論していきたい。最終的には、各自のテーマを設定し、オリジナリティーのある卒業論文の制作をめざす。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1/2/3/4）

一般目標：3 年次授業科目「専門領域研究講座」で習得した社会言語学の知識をもとに、英語と日本語のさまざまな言語現象について、社会言語学的なことばの諸相、およびことば・社会・文化の関係性などの視点からより専門的な知識を身につける。

個別目標：1：社会的・文化的視点からことばに関わる現象を、実例をあげて議論できる

2：英語と日本語でのことばに関わる現象をテーマに、専門性のある論文が作成できる

▌履修条件

担当者の「専門領域研究講座」を履修した者に原則として限る

▌評価基準・方法

・毎回の課題・発表 30 %と卒業論文 70 %の結果に基づき総合的に評価する

・5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする

▌フィードバック方法

・課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （プレゼンテーション、ディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Word,Excel,PowerPoint ソフトを搭載したノートパソコンを必要に応じて持参すること）

▌教科書

『よくわかる卒論の書き方 第 2 版』白井利明・高橋一郎　ミネルヴァ書房

その他プリント教材など、開講時に指示する。

▌参考書

『応用言語学事典』小池生夫他編 研究社

その他適宜指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

授業テーマ

本卒業研究ゼミナールは、社会言語学のゼミナールとして、言語・文化・社会に関する諸問題がテーマとなります。具体的なには、ポライトネスとポライトネス行動、言語内変異としての方言や社会階層差、男女の言語行動と日英語にみられる性差、会話スタイルや非言語伝達と異文化理解などのトピックを扱います。ゼミでは一斉学習を通して、さらなる専門的知識を深めるとともに、各自の個別プロジェクトとして、卒業研究のテーマを設定し、データ収集と分析、考察を進めて論文を執筆していきます。論文作成方法については、3 年次「専門領域研究講座」でのゼミ論文作成を踏まえて、文献検索やデータベースの活用方法、論文の執筆方法などのテクニカルな面の指導も深めます。最終的に、卒業研究の成果は、ゼミ内での「卒論発表会」で全員が発表し、その成果をもとに『卒業論文集』に掲載または個別に「製本版」とする最終版へと完成度を高めていきます。

授業内容

上記の到達目標を達成するために、ゼミの一斉学習として、英語および日本語で書かれた書籍または論文などを受講生のプレゼンテーションにより精読します。社会言語学の理論および具体的な言語現象に関する知識を深めるために、和文や英文のプリント教材を中心に受講生による輪読会形式で読み進めます。3 年次ゼミ「専門領域研究講座」でのやり方を踏襲するので、レジュメの作成や的を得たプレゼンテーションを行うとともに、ディスカッションや教員の解説を行います。そのような過程において、受講生は各自の卒業研究テーマを絞りこんでいきます。

前学期開始から遅くも5月中には、卒業研究のテーマを確定します。確定するためには、とくに研究論文を Cinii 等を活用して検索し読み込むことが必要です。この段階からは、卒業研究は個別のプロジェクトとなるので、ゼミは個人指導の時間も設定します。ゼミ授業内では事足りず、課外の時間での指導も増えてきます。6 月上旬には、プロポーザル(テーマ、枠組みとなる先行研究の提示、データ収集と分析方法、見込まれる結果、参考文献リスト)を提出します。プロポーザルが受理されると、パイロットスタディ(サンプルデータを取っての分析)を行い、研究の方向性が妥当かどうかを見極めます。7 月はデータの本調査を開始し、夏季休暇中にデータ収集と分析・考察を進行させます。10 月には従前どおりに「中間発表会」を行い、必要があれば研究の軌道調整を行います。この時期には、論文の執筆も開始するので、書き溜まったものを毎回の個人指導で添削指導を行います。そのようにして 11 月以降は考察と執筆に専念し、12 月下旬に最後まで執筆できたもので 1 次提出となります。教員が添削を行い、そのフィードバックを基に 1 月は修正・加筆を繰り返しながら、論文の精度を高めていきます。

2 次提出を 1 月中旬として、その成果をゼミ内の「卒論発表会」で全員が発表を行います。発表会後は、さらなる推敲を重ねて最終版の 3 次提出となります。そのバージョンを基に、教員が『卒業論文集』を編纂し製本版を製作します。『卒業論文集』は従前どおりに学位記授与式の日に贈呈します。

事前学修

本卒業研究ゼミの基本姿勢として、英語と日本語に関する言語現象に関心をもち、指定する教科書以外にもさまざまな文献や資料を読むことを推奨します。ゼミでの一斉学習は、文献や資料をゼミ生によるプレゼンテーション形式により読み進めるので、入念な準備が必要です。さらに卒業論文作成にむけて、文献リサーチからスタートして各自のテーマ設定、および独自のリサーチデータにもとづく実証的な研究を行います。とりわけ前学期は就職活動と同時並行となるため、卒業研究には継続的かつ地道な努力が必要です。事前学修の目安時間は毎回 2 時間以上です。

事後学修

毎回のゼミで得た知識にとどまることなく、広く文献を読み、問題意識を持てるまで熟考することが必要です。卒業論文を作成したのちは、卒論発表会を行います。さらに、「卒業論文集」に掲載または製本版を作成するので再考・推敲を重ねていきます。4 年間の学びの集大成となる「卒業研究」には最大限の努力が求められます。事後学修の目安時間は毎回 2 時間以上です。

卒業研究

開講学科等：英 ｜ 4 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通

河原　伸一（かわはら　しんいち）

▌授業の概要

米中対立やグローバルサウスの台頭など冷戦後の国際秩序が大きく変わろうとしています。この授業では、国際政治経済金融分野において、各受講生が関心を持ったテーマについて、英語を含む文献調査及び議論などにより深く考察し、卒業論文を作成します。具体的には、先行研究によってこれまでの研究成果を理解した後、アクティブ・ラーニングを通じて、学生・教員間、学生間のコミュニケーションを促し、受講生自身の新たな気づきにつなげ、卒業論文に受講生のオリジナリティを反映させることができます。卒業論文は、4 年間の学習の集大成であり、また、卒業後、国際未来社会で活躍するための原動力になります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1/2/3/4）

一般目標：地球儀規模で世界を俯瞰し、国際的な座標軸において視野を広げ、世界平和について考え、行動できるようになります。
国際社会で見られる多様な価値観に触れ、多面的に問題について考察し、問題を解決できるようになります。
アクティブ・ラーニングを通じて、深く考えること、独創的な着想ができるようになります。
社会で今起きている事象に絶えず関心を持ち、社会に貢献できる可能性について自律的に考えるようになります。

個別目標：各自のテーマに関する文献調査や授業内におけるディスカッションを通じて、テーマに関する知見を高めます。また、新聞などの良質な日本語・英語の多読・精読を継続し、適切な日本語・英語表現ができるようにします。さらに、ビジネスの最前線で活躍している社会人とのコミュニケーションを通じて、各自のテーマと社会との接点を実践的に理解し、卒業後の仕事に活かすことができます。

▌履修条件

事前に履修許可を得た学生のみ履修を認めます。

▌評価基準・方法

授業参加度 40 %、卒業論文 60 %に基づき、総合的に評価します。なお、5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とします。
授業参加度には、授業テーマに関する課題リーディングの予習・復習、授業内におけるディスカッションへの積極的な参加・貢献が含まれます。
卒業論文の評価項目には、選考文献の網羅的な調査、オリジナリティ、適切なロジック展開などが含まれます。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、授業内または学修支援システム manaba で行います。
国際未来社会で活躍できるロジック力を身に付けられるよう、授業内ディスカッションの場合、ロジックの流れが適切かどうか、学生と相互確認しながらフィードバックを行います。レポートの場合、ロジックの流れにモレや重複がないかどうか、読み手にメッセージが明瞭に伝わるかどうかを添削指導します。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループ・ディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （卒論作成時などに Excel、Word ソフトを搭載したパソコンを使用）

▌教科書

開講時に、指示します。

▌参考書

受講生の卒業論文に関連した参考文献を随時、指示します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：各受講生の研究テーマに関する各種先行研究を購読・視聴し、十分な背景知識を得た上で、研究テーマについて１つずつグループ・ディスカッションを行い、論点を整理します。また、直近の国際情勢について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：研究テーマに関するブレーンストーミング１ 事後学修 2.0hr：一年間の研究計画策定	16回	**授業テーマ：中間発表** 授業内容：各受講生が卒論の進捗状況について中間発表を行い、クラスでさまざまな視点から論点を議論します。また、直近の国際情勢について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：発表準備 事後学修 2.0hr：後学期の研究計画策定
2回	**授業テーマ：研究テーマに関するブレーンストーミング２** 授業内容：第１回授業において検討する必要があると指摘された点について、再考結果を受講生間で共有し、他の受講生のアイデア創出に資する活動を行います。また、直近の国際情勢について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：研究テーマに関するキーワード作成 事後学修 2.0hr：研究テーマについての考察・メモ作成	17回	**授業テーマ：先行研究のレビュー 4** 授業内容：前回の先行研究調査後に発表された最新の先行研究について追加調査を行います。また、直近の国際情勢について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：先行研究のレビュー 事後学修 2.0hr：本文執筆
3回	**授業テーマ：研究テーマに関するブレーンストーミング 3** 授業内容：各自の卒論における研究概要をクラスで共有し、他の受講生の研究概要から自分で気づかなかった論点について学びます。また、直近の国際情勢について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：研究概要作成 事後学修 2.0hr：研究テーマの図式化	18回	**授業テーマ：先行研究のレビュー 5** 授業内容：各受講生が新たに収集した先行研究に重大なモレがないか確認します。また、直近の国際情勢について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：先行研究のレビュー 事後学修 2.0hr：本文執筆
4回	**授業テーマ：研究テーマに関するブレーンストーミング 4** 授業内容：各自が図式化した研究内容をクラスで共有し、他人に伝えるスキルを実践的に学びます。また、直近の国際情勢について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：研究内容の図式化 事後学修 2.0hr：アウトライン作成	19回	**授業テーマ：データの分析・解釈・議論(その１)** 授業内容：各受講生が行った分析・解釈の適切性について、クラスで議論します。また、直近の国際情勢について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：データの分析・解釈 事後学修 2.0hr：独創性の検証
5回	**授業テーマ：先行研究のレビュー　1** 授業内容：各自の先行研究レビューをクラスで共有し、卒論執筆にどの程度の基本文献が必要か共通認識を持ちます。また、直近の国際情勢について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：参考文献調査 事後学修 2.0hr：参考文献調査	20回	**授業テーマ：データの分析・解釈・議論(その２)** 授業内容：前回授業で指摘された論点について、各受講者が再考結果をクラスで発表します。また、直近の国際情勢について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：データの整理 事後学修 2.0hr：データ入力

6回	**授業テーマ：先行研究のレビュー 2** 授業内容：収集した基本文献が適切なものかどうか、不足しているものはないかクラスで調査します。また、直近の国際情勢について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：参考文献調査 事後学修 2.0hr：参考文献読み込み	21回	**授業テーマ：概要作成** 授業内容：卒論の本格的な執筆に着手する。第一段階として、卒論の概要を検討します。また、直近の国際情勢について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：概要作成 事後学修 2.0hr：本文執筆
7回	**授業テーマ：先行研究のレビュー 3** 授業内容：先行研究の論点について、クラスで共有し、理論と実践の観点からグループ・ディスカッションを行います。また、直近の国際情勢について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：参考文献読み込み 事後学修 2.0hr：参考文献読み込み	22回	**授業テーマ：各テーマに関する議論** 授業内容：各受講生の卒論テーマと我々の身近な課題との関係性についてクラスで議論し、卒論の今日的意義を確認します。また、直近の国際情勢について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：議論の準備 事後学修 2.0hr：議論ポイント整理
8回	**授業テーマ：調査方法 1** 授業内容：小林昌樹『調べる技術』を参考にして、レファレンス・スキルをマスターします。また、直近の国際情勢について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：参考文献読み込み 事後学修 2.0hr：研究テーマの独創性の検証	23回	**授業テーマ：概要の展開** 授業内容：参考文献に英語で執筆された適切な文献が含まれているか確認します。また、直近の国際情勢について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：外国語参考文献の読み込み 事後学修 2.0hr：外国語参考文献の読み込み
9回	**授業テーマ：調査方法 2** 授業内容：前回授業で学んだレファレンス・スキルを活用して新たに収集した先行研究をクラスで共有し、レファレンス・スキルの有効性を確認します。また、直近の国際情勢について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：参考文献読み込み 事後学修 2.0hr：参考文献読み込み	24回	**授業テーマ：各テーマに関する議論(その１)** 授業内容：執筆できたところから、クラスで議論・修正などを行います。また、直近の国際情勢について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：本文執筆 事後学修 2.0hr：本文執筆
10回	**授業テーマ：アウトライン作成(その１)** 授業内容：各受講生の卒論アウトラインについてクラスで議論し、整合性や独自性などについて検討します。また、直近の国際情勢について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：アウトライン作成 事後学修 2.0hr：アウトライン作成	25回	**授業テーマ：各テーマに関する議論(その２)** 授業内容：新たに執筆した部分や修正部分について、クラスで議論・修正を行います。また、直近の国際情勢について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：本文執筆 事後学修 2.0hr：本文執筆
11回	**授業テーマ：アウトライン作成(その２)** 授業内容：前回授業で指摘された改善点についてクラスで報告し、さらなる改善が可能か検討します。また、直近の国際情勢について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：参考文献読み込み 事後学修 2.0hr：概要執筆	26回	**授業テーマ：各テーマに関する議論(その３)** 授業内容：新たに執筆した部分や修正部分について、クラスで議論・修正を行います。また、直近の国際情勢について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：本文執筆 事後学修 2.0hr：本文執筆
12回	**授業テーマ：骨子作成** 授業内容：卒論アウトラインについて、一定の水準を超えたものについて、骨子の詳細を検討します。また、直近の国際情勢について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：骨子に肉付けをする 事後学修 2.0hr：概要作成	27回	**授業テーマ：初稿** 授業内容：卒論の初稿に対して、改善点などについて、教員がコメントします。また、直近の国際情勢について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：本文執筆 事後学修 2.0hr：本文執筆
13回	**授業テーマ：データ収集** 授業内容：卒論の説得力を高めるためにデータが必要かどうか検討します。必要な場合、データ照会先を検討します。また、直近の国際情勢について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：データ収集 事後学修 2.0hr：データ収集	28回	**授業テーマ：他の学生の論文のレビュー(その１)** 授業内容：各受講生の卒論をクラスで共有し、自分の卒論に不足している部分などを学びます。また、直近の国際情勢について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 3.0hr：本文執筆 事後学修 2.0hr：本文執筆
14回	**授業テーマ：データの分析・解釈(その１)** 授業内容：収集したデータの分析・解釈方法について先行研究を参考にして検討します。また、直近の国際情勢について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：データの分析・解釈 事後学修 2.0hr：データ入力	29回	**授業テーマ：他の学生の論文のレビュー(その２)** 授業内容：前回に引き続き、各受講生の卒論をクラスで共有し、さまざまな視点から最終確認を行います。また、直近の国際情勢について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：本文執筆 事後学修 2.0hr：論文完成
15回	**授業テーマ：データの分析・解釈(その２)** 授業内容：データの分析・解釈について、先行研究を参考にして客観性や完全性があるか検討します。また、直近の国際情勢について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：データの分析・解釈 事後学修 2.0hr：概要作成	30回	**授業テーマ：プレゼンテーション** 授業内容：完成した卒論をクラス内で発表し、教員や他の学生から建設的なコメントを得ます。内容や表記方法について修正する必要がある場合、適宜修正を行い、卒論の最終版を提出する。 事前学修 4.0hr：論文発表準備 事後学修 4.0hr：論文完成

卒業研究

開講学科等：英 ｜ 4 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通

ケイコ　ナカムラ

▌授業の概要

This course is designed to enable students to write a graduation thesis on a topic of their choice (e.g., related to psycholinguistics or a topic in the fields of linguistics and/or psychology). Students will learn how to conduct research by finding a research topic, writing a literature review, designing a research methodology (e.g., questionnaires, interviews), collecting and analyzing data, and presenting results in the form of a written senior thesis as well as an oral presentation.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1/2/3/4）

一般目標：The goal of this course is to write a graduation thesis on a topic related to psycholinguistics or a related field (e.g., linguistics, psychology), based on empirical (data-driven) research.

個別目標：Through this course, students will:

1. Learn how to conduct independent research (e.g., find an interesting topic, write a research proposal, conduct a literature review, design a research methodology, collect and analyze data, compile results)
2. Write a graduation report or thesis
3. Conduct presentations at several points in their research (e.g., proposal, midterm report, final presentation)

▌履修条件

This course requires that students be able to conduct independent learning, by taking initiative in the process of writing a graduation thesis. Students must be independent, critical thinkers and work consistently throughout the year on their research project, in concrete stages.

▌評価基準・方法

Evaluation will be based on: active participation in class activities (e.g., writing a research proposal, conducting a literature review, designing a methodology, collecting and analyzing data, compiling results, writing): 30%; Graduation report/thesis: 50%; Oral presentations: 20%. Students must attend 80% or more of the classes.

▌フィードバック方法

Feedback of assignments will be conducted through manaba and face-to-face in class.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Group discussions, peer evaluations & feedback）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （We will be in a PC classroom using MS Word, Powerpoint & Excel.）

▌教科書

Readings will be distributed as necessary. Some readings will come from Basic Steps to Writing Research Papers, 2nd edition (2018) by D. Kluge & M. Taylor.

▌参考書

Supplementary materials will be provided according to the research interests and senior thesis topic of the individual students.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction to Graduation Thesis Writing** 授業内容：Lecture on "What is a research paper?" (Ch. 1) Looking at types of research papers & steps of writing a research paper. Try to generate several possible topics. Give feedback. 事前学修 2.0hr：Brainstorm possible thesis topics 事後学修 2.0hr：Search for promising thesis topics	16回	**授業テーマ：Data Collection III** 授業内容：Continue data collection through the summer. Be ready to start coding and analysis at the beginning of the second semester. 事前学修 2.0hr：Continue data collection 事後学修 2.0hr：Continue data collection
2回	**授業テーマ：Starting research/Generating a research topic** 授業内容：Lecture on "Prewriting: Preparation & Research" (Ch. 2) Continue brainstorming topics. Once topic is selected, topic must be fine-tuned and narrowed. 事前学修 2.0hr：Search for promising thesis topics 事後学修 2.0hr：Narrow down thesis topic possibilities	17回	**授業テーマ：Data Collection IV** 授業内容：Continue data collection through the summer. Be ready to start coding and analysis at the beginning of the second semester. 事前学修 2.0hr：Continue data collection 事後学修 2.0hr：Continue data collection
3回	**授業テーマ：Writing a Research Proposal** 授業内容：Lecture on "The Beginning Thesis Statement" (Ch. 4) & "Revising the Thesis Statement & Working Outline" (Ch. 5). Once topic is selected, write research proposal. Topic presentations. 事前学修 2.0hr：Decide on research topic 事後学修 2.0hr：Finish research proposal	18回	**授業テーマ：Data Analysis I** 授業内容：Once data has been gathered, start data coding and analysis. For example, if using Google Forms, organize data. 事前学修 2.0hr：Report on current status of data collection 事後学修 2.0hr：Start data analysis
4回	**授業テーマ：Literature Review I: Carrying out research** 授業内容：Lecture on "Research" (Ch. 3): Possible sources and references. Conduct research: Work on gathering information on selected topic. 事前学修 2.0hr：Start literature review 事後学修 2.0hr：Continue with the literature review	19回	**授業テーマ：Data Analysis II** 授業内容：Continue data coding and analysis. For example, if doing observations, tally the results of checklist. 事前学修 2.0hr：Continue data analysis 事後学修 2.0hr：Continue data analysis
5回	**授業テーマ：Literature Review II: Finding & Using Sources** 授業内容：Lecture on "The Experimental Report" (Ch. 5). Continue to conduct research and gather information on selected topic. 事前学修 2.0hr：Continue with the literature review 事後学修 2.0hr：Continue with the literature review	20回	**授業テーマ：Data Analysis III** 授業内容：Continue data coding and analysis. For example, if doing interviews, organize data qualitatively. 事前学修 2.0hr：Continue data analysis 事後学修 2.0hr：Finish data analysis
6回	**授業テーマ：Literature Review III: Using the Internet** 授業内容：Lecture on "Avoiding Plagiarism: Citing & Quoting Sources" (Ch. 13): Learn how to reference accurately and properly. 事前学修 2.0hr：Continue with the literature review 事後学修 2.0hr：Continue with the literature review	21回	**授業テーマ：Writing up a Graduation Thesis I: Literature Review** 授業内容：Review literature review and edit it. Add new references. 事前学修 2.0hr：Start write-up 事後学修 2.0hr：Work on write up research question & literature review
7回	**授業テーマ：Literature Review IV: Organizing the literature review** 授業内容：Lecture on "Support, Accuracy, Logic & Relevance" (Ch. 10); Continue to gather materials and read/summarize materials. 事前学修 2.0hr：Continue with the literature review 事後学修 2.0hr：Continue with the literature review	22回	**授業テーマ：Writing up a Graduation Thesis II: Methodology** 授業内容：Write up methodology section; have separate sections for Participants, Materials, Procedure, Data coding & analysis 事前学修 2.0hr：Submit introduction/research question & literature review 事後学修 2.0hr：Work on methodology

8回	**授業テーマ：Literature Review Writing** 授業内容：”Writing the first draft” (Ch. 7) & ”Writing the Introduction” (Ch. 9). Start to write the introduction & literature review part of graduation thesis. 事前学修 2.0hr：Summarize references for literature review 事後学修 2.0hr：Write your literature review (2-3 pages minimum)	23回	**授業テーマ：Writing up a Graduation Thesis III: Results** 授業内容：Once data analysis is finished, organize results. 事前学修 2.0hr：Submit methodology 事後学修 2.0hr：Work on results
9回	**授業テーマ：Research Methodology I: Quantitative Research** 授業内容：Lecture on ”Setting up the Experiment” (Ch. 17), discuss how to design a questionnaire (e.g., how to make questions, how to analyze data) 事前学修 2.0hr：Read materials (e.g., on questionnaires) 事後学修 2.0hr：Design a questionnaire for your research	24回	**授業テーマ：Writing up a Graduation Thesis IV: Discussion** 授業内容：Once results section is finished, organize discussion. What is the meaning of your results? What are the strengths and weaknesses of study? Future directions of research? 事前学修 2.0hr：Submit results 事後学修 2.0hr：Work on discussion
10回	**授業テーマ：Research Methodology II: Qualitative Research** 授業内容：Discuss other research methodologies, such as how to design an interview (e.g., writing good questions, getting good answers). 事前学修 2.0hr：Read materials (e.g., on interviews) 事後学修 2.0hr：Design an interview for your research	25回	**授業テーマ：Writing up a Graduation Thesis V: Conclusion & References** 授業内容：Write conclusion (go back to introduction and make sure research questions are answered). Add a title and references. 事前学修 2.0hr：Submit discussion 事後学修 2.0hr：Work on conclusion & references
11回	**授業テーマ：Research Methodology III: Other Research Methods** 授業内容：Discuss other research methodologies, such as how to conduct observations or experiments (e.g., using a checklist, creating conditions). Find the best methodology for research question. 事前学修 2.0hr：Read materials (e.g., observations, experiments) 事後学修 2.0hr：Find the best methodology to answer your research question	26回	**授業テーマ：Submission of first draft** 授業内容：Format graduation thesis according to the format guidelines. Need to have a cover sheet, a table of contents, acknowledgments and references. Should also have tables and figures. 事前学修 2.0hr：Put everything together into a first draft; submit first draft 事後学修 2.0hr：Re-write draft based on feedback
12回	**授業テーマ：Research Methodology Design I** 授業内容：Design research methodology I: Participants, procedures, instrument (e.g., questionnaire, interview), data analysis. 事前学修 2.0hr：Design your research methodology 事後学修 2.0hr：Write up your research methodology	27回	**授業テーマ：Revision of First Draft** 授業内容：After the first draft is submitted, it will be returned with feedback. 事前学修 2.0hr：Re-write draft based on feedback 事後学修 2.0hr：Re-write draft based on feedback
13回	**授業テーマ：Research Methodology Design II** 授業内容：Design research methodology II: Participants, procedures, instrument (e.g., questionnaire, interview), data analysis. If possible, try to pilot research study. 事前学修 2.0hr：Write up your research methodology & get approval 事後学修 2.0hr：Set up your data collection	28回	**授業テーマ：Submission of second draft** 授業内容：Based on the feedback from the first draft, submit a second draft. 事前学修 2.0hr：Re-write draft based on feedback; submit second draft 事後学修 2.0hr：Re-write draft based on feedback
14回	**授業テーマ：Data Collection I** 授業内容：After piloting study, start data collection (e.g., online questionnaire, interviews, observations, experiments). 事前学修 2.0hr：Be ready to discuss plans for data collection 事後学修 2.0hr：Start data collection	29回	**授業テーマ：Revision of second draft** 授業内容：After the second draft is submitted, it will be returned with comments and feedback once more. 事前学修 2.0hr：Re-write draft based on feedback 事後学修 2.0hr：Re-write draft based on feedback
15回	**授業テーマ：Data Collection II** 授業内容：Midterm Report presentation of where you are in your research. Continue data collection through the summer. 事前学修 2.0hr：Continue data collection 事後学修 2.0hr：Continue data collection	30回	**授業テーマ：Final Research Presentations/Submission of final draft** 授業内容：Revise and rewrite graduation thesis based on the second round of feedback. Final graduation thesis presentations will be held on the last day of class. 事前学修 2.0hr：Prepare for final research presentation 事後学修 2.0hr：Submit final written draft of graduation report/thesis

卒業研究

開講学科等：英 ｜ 4 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通

小谷　哲男（こたに　てつお）

▌授業の概要

この授業では、専門領域研究講座に引き続いて、グローバル課題に関する知識を身につけ、関心のあるテーマで卒業論文を作成する。適宜、企業や官公庁などで研修も行う。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1/2/3/4）

一般目標：国際社会に関する深い教養を身につけ、卒業の作成を通じて国際社会が抱える課題を様々な観点から考えるための知識と論理的・客観的思考を養う。

個別目標：1. 国際問題について独自の考えを持つことができる。
2. 日本語でも英語でも自らの考えを他者に伝えることができる。
3. 英検準 1 級や TOEIC800 点レベル以上に英語力を高めることができる。

▌履修条件

事前に担当者に相談すること。

▌評価基準・方法

発表・授業への参加 50 %、論文執筆 30 %、論文のプレゼン 20 %。原則として、毎回出席すること。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、授業内および学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループディスカッションを行う。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （PPT を使ったプレゼンを行う。）

▌教科書

Stephen M. Walt, ”International Relations: One World, Many Theories,” Foreign Policy No. 110 (Spring, 1998)

▌参考書

適宜指定する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：各自の関心あるテーマについて発表する。 事前学修 2.0hr：国際問題に関してどのような関心を持っているか発表できるようにする。 事後学修 2.0hr：卒論のテーマについて考える。	16 回	**授業テーマ：卒論作成計画の発表** 授業内容：卒論の計画について発表する。 事前学修 2.0hr：プレゼンの準備 事後学修 2.0hr：コメントをふまえて計画を修正
2 回	**授業テーマ：国際政治の視点** 授業内容：国際政治の基礎を復習する。 事前学修 2.0hr：指定された文献を読み、議論の準備をする。 事後学修 2.0hr：授業のふりかえり	17 回	**授業テーマ：先行研究の発表** 授業内容：先行研究の批判的分析を行う。 事前学修 2.0hr：先行研究に関するプレゼンを準備 事後学修 2.0hr：議論をふまえて卒論計画をアップデート
3 回	**授業テーマ：国際政治の理論 1** 授業内容：教科書を輪読し、リアリズムについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書を読み、議論の準備をする。 事後学修 2.0hr：授業のふりかえり	18 回	**授業テーマ：先行研究の発表** 授業内容：先行研究の批判的分析を行う。 事前学修 2.0hr：先行研究に関するプレゼンを準備 事後学修 2.0hr：議論をふまえて卒論計画をアップデート
4 回	**授業テーマ：国際政治の理論 2** 授業内容：教科書を輪読し、リアリズムについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書を読み、議論の準備をする。 事後学修 2.0hr：授業のふりかえり	19 回	**授業テーマ：先行研究の発表** 授業内容：先行研究の批判的分析を行う。 事前学修 2.0hr：先行研究に関するプレゼンを準備 事後学修 2.0hr：議論をふまえて卒論草稿をアップデート
5 回	**授業テーマ：国際政治の理論 3** 授業内容：教科書を輪読し、リベラリズムについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書を読み、議論の準備をする。 事後学修 2.0hr：授業のふりかえり	20 回	**授業テーマ：先行研究の発表** 授業内容：先行研究の批判的分析を行う。 事前学修 2.0hr：先行研究に関するプレゼンを準備 事後学修 2.0hr：議論をふまえて卒論草稿をアップデート
6 回	**授業テーマ：国際政治の理論 4** 授業内容：教科書を輪読し、リベラリズムについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書を読み、議論の準備をする。 事後学修 2.0hr：授業のふりかえり	21 回	**授業テーマ：先行研究の発表** 授業内容：先行研究の批判的分析を行う。 事前学修 2.0hr：先行研究に関するプレゼンを準備 事後学修 2.0hr：議論をふまえて卒論草稿をアップデート
7 回	**授業テーマ：現代の課題 1** 授業内容：ウクライナ戦争について学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書を読み、議論の準備をする。 事後学修 2.0hr：授業のふりかえり	22 回	**授業テーマ：先行研究の発表** 授業内容：先行研究の批判的分析を行う。 事前学修 2.0hr：先行研究に関するプレゼンを準備 事後学修 2.0hr：議論をふまえて卒論草稿をアップデート
8 回	**授業テーマ：現代の課題 2** 授業内容：台湾情勢について学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書を読み、議論の準備をする。 事後学修 2.0hr：授業のふりかえり	23 回	**授業テーマ：先行研究の発表** 授業内容：先行研究の批判的分析を行う。 事前学修 2.0hr：先行研究に関するプレゼンを準備 事後学修 2.0hr：議論をふまえて卒論草稿をアップデート
9 回	**授業テーマ：現代の課題 3** 授業内容：米中対立について学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書を読み、議論の準備をする。 事後学修 2.0hr：授業のふりかえり	24 回	**授業テーマ：卒論の中間発表** 授業内容：卒論の中間発表を行う。 事前学修 2.0hr：プレゼンの準備 事後学修 2.0hr：プレゼンへのコメントをふまえて卒論をアップデート
10 回	**授業テーマ：現代の課題 4** 授業内容：中東情勢について学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書を読み、議論の準備をする。 事後学修 2.0hr：授業のふりかえり	25 回	**授業テーマ：卒論の中間発表** 授業内容：卒論の中間発表を行う。 事前学修 2.0hr：プレゼンの準備 事後学修 2.0hr：プレゼンへのコメントをふまえて卒論をアップデート
11 回	**授業テーマ：卒論の作成方法 1** 授業内容：論文とは何かについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定した文献を読む 事後学修 2.0hr：授業の内容をふまえて簡単なレポートを作成	26 回	**授業テーマ：外部講師によるセミナー** 授業内容：関心あるテーマを専門とする外部講師によるセミナーを実施する。 事前学修 2.0hr：指定した文献を読み、セミナーに備える 事後学修 2.0hr：セミナーの内容を卒論に反映させる

12回	**授業テーマ：卒論の作成方法 2** 授業内容：論文の書き方について学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定した文献を読む 事後学修 2.0hr：授業の内容をふまえて簡単なレポートを作成	27回	**授業テーマ：外部講師によるセミナー** 授業内容：関心あるテーマを専門とする外部講師によるセミナーを実施する。 事前学修 2.0hr：指定した文献を読み、セミナーに備える 事後学修 2.0hr：セミナーの内容をレ卒論に反映させる
13回	**授業テーマ：プレゼン技術 1** 授業内容：プレゼンの基礎について学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定した文献を読んで、簡単なプレゼンの準備 事後学修 2.0hr：プレゼンの反省点をまとめる	28回	**授業テーマ：外部講師によるセミナー** 授業内容：関心あるテーマを専門とする外部講師によるセミナーを実施する。 事前学修 2.0hr：指定した文献を読み、セミナーに備える 事後学修 2.0hr：セミナーの内容を卒論に反映させる
14回	**授業テーマ：プレゼン技術 2** 授業内容：プレゼンの練習を行う。 事前学修 2.0hr：指定した文献を読んで、簡単なプレゼンの準備 事後学修 2.0hr：プレゼンの反省点をまとめる	29回	**授業テーマ：卒論の発表** 授業内容：卒論の発表を行う。 事前学修 2.0hr：プレゼンの準備 事後学修 2.0hr：プレゼンへのコメントをふまえて卒論を完成
15回	**授業テーマ：卒論作成計画の発表** 授業内容：卒論の計画について発表する。 事前学修 2.0hr：プレゼンの準備 事後学修 2.0hr：コメントをふまえて計画を修正	30回	**授業テーマ：卒論の発表** 授業内容：卒論の発表を行う。 事前学修 2.0hr：プレゼンの準備 事後学修 2.0hr：プレゼンへのコメントをふまえて卒論を完成

卒業研究

開講学科等：英 ｜ 4 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通

嶋田　珠巳（しまだ　たまみ）

▌授業の概要

卒業論文執筆のための指導を行う。卒業論文のトピックは、ひろく言語に関することを条件とする。授業形態は個人面談およびグループ演習による。
※ 本卒論ゼミは全員が卒論を完成させるという目標のもとに学生どうしが互いの関心を共有する形で進める。卒業論文をしっかりと書きたい、ゼミ仲間とともにさまざまに考察を深めたい、という学生を歓迎する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1/2/3/4）

一般目標：言語に関する自らの関心のもとでテーマをさだめ、卒業論文を完成させる。
個別目標：(1)自らの興味や関心に基づいて研究テーマを決める。そのもとで必要な文献を探し、内容を理解し、自らの考察のために役立てることができる。
(2)研究テーマに関して調査をすすめ、その内容を文章にまとめることができる。
(3)研究テーマについて、独自の考察を行い、新たな知見を導くことができる。

▌履修条件

(1)卒業論文を完成させるという強い意思のあること。
その上で、(2)履修登録確定の前に卒業研究のテーマについて教員に相談していること。
※ 担当教員の専門領域研究講座または英語学特講 I-a と b の単位を既に取得していることが望ましい(希望者多数の場合、それ以外の者は履修を認めないことがある)。履修を希望する人はかならず初回の授業に出席すること。

▌評価基準・方法

到達目標の(1)～(3)ができているか。
卒業論文完成までの取り組みと完成した卒業論文を総合的に評価する。

▌フィードバック方法

必要に応じて授業内などで適宜行う。成績評価に関しても、希望により面談を行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （主体的に調査、研究を進める。ゼミメンバーと積極的に意見交換を行う。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （卒業論文の作成のために PC を利用する。）

▌教科書

指定しない。

▌参考書

それぞれのテーマに応じて、適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：研究テーマへのアプローチ(1)** 授業内容：卒業研究のテーマをどのように立てるのがいいか、１年間のタイムスケジュールをどのように立てるのか。 事前学修 2.0hr：言語に関する現時点での関心を書き留めておく。 事後学修 2.0hr：学んだことの整理とさらなる考察	16回	**授業テーマ：後期のガイダンス** 授業内容：トピック：後期の卒業研究の進め方、夏休みの進捗状況確認。それぞれの解決すべき課題について共有し、解決策を探る。 事前学修 2.0hr：疑問点や問題点の把握 事後学修 2.0hr：学んだことの整理とさらなる考察
2回	**授業テーマ：研究テーマへのアプローチ(2)** 授業内容：自らの関心をどのようにして卒業論文のテーマにしていくのか。 事前学修 2.0hr：自分の関心についてまとめたものを準備しておく 事後学修 2.0hr：学んだことの整理とさらなる考察	17回	**授業テーマ：独自の調査と考察(1)** 授業内容：自らの調査と考察についてレジュメにまとめ、発表する。 事前学修 2.0hr：疑問点や問題点の把握 事後学修 2.0hr：学んだことの整理とさらなる考察
3回	**授業テーマ：それぞれのテーマと研究計画(1)** 授業内容：個人面談を行いながら、卒業論文のテーマをおおよそ定め、完成までのロードマップを各自が描く。 事前学修 2.0hr：研究テーマを絞り、卒業論文の構想を考え始める 事後学修 2.0hr：学んだことの整理とさらなる考察	18回	**授業テーマ：独自の調査と考察(2)** 授業内容：自らの調査と考察についてレジュメにまとめ、発表する。 事前学修 2.0hr：疑問点や問題点の把握 事後学修 2.0hr：学んだことの整理とさらなる考察
4回	**授業テーマ：それぞれのテーマと研究計画(2)** 授業内容：個人面談を行いながら、卒業論文のテーマをおおよそ定め、完成までのロードマップを各自が描く。 事前学修 2.0hr：卒業論文完成までの計画を自分でいったん立ててみる 事後学修 2.0hr：学んだことの整理とさらなる考察	19回	**授業テーマ：独自の調査と考察(3)** 授業内容：自らの調査と考察についてレジュメにまとめ、発表する。 事前学修 2.0hr：疑問点や問題点の把握 事後学修 2.0hr：学んだことの整理とさらなる考察
5回	**授業テーマ：文献から情報を得る(1)** 授業内容：文献調査の方法と実際の作業。自分の関心に近い文献をいくつか見つける。 事前学修 2.0hr：文献調査への着手 事後学修 2.0hr：学んだことの整理とさらなる考察	20回	**授業テーマ：論文を書くときの作法(1)** 授業内容：参考文献の書き方、引用の仕方、調査報告の書き方、データの示し方など、執筆上の注意点を確認する。 事前学修 2.0hr：疑問点や問題点の把握 事後学修 2.0hr：学んだことの整理とさらなる考察
6回	**授業テーマ：文献から情報を得る(2)** 授業内容：文献を正確に読み、その内容をまとめる作業をそれぞれに行う。 事前学修 2.0hr：内容を整理する、疑問点や問題点の把握 事後学修 2.0hr：学んだことの整理とさらなる考察	21回	**授業テーマ：論文を書くときの作法(2)** 授業内容：執筆原稿を見ながら注意点を確認し、自ら修正を行う。 事前学修 2.0hr：原稿確認ができるように準備しておく 事後学修 2.0hr：学んだことの整理とさらなる考察
7回	**授業テーマ：文献内容の理解と考察(1)** 授業内容：興味をもった文献の内容をまとめ、レポートを作成する。 事前学修 2.0hr：レポートの作成、疑問点や問題点の把握 事後学修 2.0hr：学んだことの整理とさらなる考察	22回	**授業テーマ：執筆上の問題点の解決(1)** 授業内容：それぞれに執筆に取り組む。適宜助言を得ながら、書き進める。 事前学修 2.0hr：疑問点や問題点の把握 事後学修 2.0hr：学んだことの整理とさらなる考察
8回	**授業テーマ：文献内容の理解と考察(2)** 授業内容：文献の精読と批判的考察の演習を行う。 事前学修 2.0hr：発表の準備、疑問点や問題点の把握 事後学修 2.0hr：学んだことの整理とさらなる考察	23回	**授業テーマ：執筆上の問題点の解決(2)** 授業内容：それぞれに執筆に取り組む。適宜助言を得ながら、書き進める。 事前学修 2.0hr：疑問点や問題点の把握 事後学修 2.0hr：学んだことの整理とさらなる考察
9回	**授業テーマ：経過報告、問題点の共有と解決(1)** 授業内容：研究トピックと文献の紹介を行う。ゼミ仲間との意見交換を通して問題点を解決する。 事前学修 2.0hr：発表の準備、疑問点や問題点の把握 事後学修 2.0hr：学んだことの整理とさらなる考察	24回	**授業テーマ：卒業論文を完成させる(1)** 授業内容：それぞれの論文にコメントを入れ、改善の助言を行う。 事前学修 2.0hr：疑問点や問題点の把握 事後学修 2.0hr：学んだことの整理とさらなる考察

10回	**授業テーマ：経過報告、問題点の共有と解決（2）** 授業内容：研究トピックと文献の紹介を行う。ゼミ仲間との意見交換を通して問題点を解決する。 事前学修 2.0hr：疑問点や問題点の把握 事後学修 2.0hr：学んだことの整理とさらなる考察	25回	**授業テーマ：卒業論文を完成させる（2）** 授業内容：それぞれの論文にコメントを入れ、改善の助言を行う。 事前学修 2.0hr：疑問点や問題点の把握 事後学修 2.0hr：学んだことの整理とさらなる考察
11回	**授業テーマ：研究を進める（1）：問題の所在** 授業内容：ここまでの段階でわかってきた自分の関心のある領域の問題のありかを整理し、自らの立てた問いのもとに調査を始める。 事前学修 2.0hr：疑問点や問題点の把握 事後学修 2.0hr：学んだことの整理とさらなる考察	26回	**授業テーマ：卒業論文を完成させる（3）** 授業内容：それぞれの論文にコメントを入れ、改善の助言を行う。 事前学修 2.0hr：疑問点や問題点の把握 事後学修 2.0hr：学んだことの整理とさらなる考察
12回	**授業テーマ：研究を進める（2）：調査の目的と計画** 授業内容：調査計画を立てる。自らの問いに対して、どのような調査によって何を明らかにするのかを具体的に考える。 事前学修 2.0hr：疑問点や問題点の把握 事後学修 2.0hr：学んだことの整理とさらなる考察	27回	**授業テーマ：疑問点と問題点の解決（1）** 授業内容：改稿における疑問点の解決、ゼミ仲間との討議を行う。 事前学修 2.0hr：疑問点や問題点の把握 事後学修 2.0hr：学んだことの整理とさらなる考察
13回	**授業テーマ：研究をすすめる（3）：自らの調査の開始** 授業内容：自らデザインした調査・実験などを開始する。教員の助言をもとに改善をはかりながら調査等を進める。 事前学修 2.0hr：疑問点や問題点の把握 事後学修 2.0hr：学んだことの整理とさらなる考察	28回	**授業テーマ：疑問点や問題点の解決（2）** 授業内容：改稿における疑問点の解決、ゼミ仲間との討議を行う。 事前学修 2.0hr：疑問点や問題点の把握 事後学修 2.0hr：学んだことの整理とさらなる考察
14回	**授業テーマ：前期のまとめとディスカッション** 授業内容：調査や調査デザインの問題点や強み、仲間と話し合う。自らのテーマの面白さや奥行きに気づく。 事前学修 2.0hr：疑問点や問題点の把握 事後学修 2.0hr：学んだことの整理とさらなる考察	29回	**授業テーマ：卒業論文の発表** 授業内容：完成した卒業論文について、レジュメにまとめ、発表する。仲間と意見交換を行う。 事前学修 2.0hr：発表のためのレジュメの作成、自分の卒業研究の重要なところの確認 事後学修 2.0hr：完成までの過程と考察のまとめ
15回	**授業テーマ：卒業論文の執筆に向けて** 授業内容：夏休みを前に、これからやることを確認する。調査をまとめていく、卒業論文の構成を意識して文章を書く作業に入る。 事前学修 2.0hr：疑問点や問題点の把握 事後学修 2.0hr：学んだことの整理とさらなる考察	30回	**授業テーマ：卒業論文の発表** 授業内容：完成した卒業論文について、レジュメにまとめ、発表する。仲間と意見交換を行う。 事前学修 2.0hr：発表のためのレジュメの作成、自分の卒業研究の重要なところの確認 事後学修 2.0hr：フィードバックを書き留めておくなど

卒業研究

開講学科等：英 ｜ 4 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通

辰己　雄太（たつみ　ゆうた）

▌授業の概要

専門領域研究講座で取り組んだ、ことばに関する「なぜ」をさらに深めてより良い分析・説明を考え、卒業研究を完成させるための支援を行う。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1/2/3/4）

一般目標：ことばに関して疑問を見つけ、その疑問についてより良い分析・解決方法を提案する能力を身につける。

個別目標：1. ことばについて、自分が興味深いと思う「なぜ」をより深いものにできるようになる
2. その「なぜ」を他の人に興味深いとより強く思わせられるようになる
3. その「なぜ」により良い分析・説明を与えられるようになる

▌履修条件

知的好奇心を持つこと及び自分の頭で考えることを厭わない姿勢が求められる。
また学生として、積極的・主体的に講義内での議論に参加することが期待される。

▌評価基準・方法

５分の４以上の出席を評価の前提とする。評点の内訳は、授業への積極的な貢献度 50 %、発表及びゼミ論文などの提出物 50 %とする。

▌フィードバック方法

課題などのフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション・ディベート、グループワーク、プレゼンテーション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （必要に応じて、PowerPoint、Word などのソフトを搭載したノートパソコンを持参すること）

▌教科書

特になし。必要に応じて、資料を配付する。

▌参考書

必要に応じて適宜指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：講義の計画、受講上の注意や評価基準などを説明する。今後のプレゼンのためのスケジュールを決める。 事前学修 2.0hr：講義要項を参考に授業内容や方針を確認する 事後学修 2.0hr：ことばについての「なぜ」を考える	16回	**授業テーマ：後期オリエンテーション** 授業内容：今後の講義計画、卒業論文執筆のための重要事項などを説明する。今後の発表のためのスケジュールなども決める。 事前学修 2.0hr：夏休みの研究成果をまとめておく 事後学修 2.0hr：夏休みの研究成果をまとめておく
2回	**授業テーマ：研究テーマを探す (1)** 授業内容：ヒトのことばについて、研究テーマを考えるための準備を行う。 事前学修 2.0hr：ことばについての「なぜ」を考える 事後学修 2.0hr：ことばについての「なぜ」を考える	17回	**授業テーマ：夏休みの研究成果発表 (1)** 授業内容：これまでの研究内容をまとめて発表する。 事前学修 2.0hr：発表準備・他のゼミ生の発表について質問・コメントを考えておく 事後学修 2.0hr：コメントを踏まえて自身の考えを深める
3回	**授業テーマ：研究テーマを探す (2)** 授業内容：ヒトのことばについて、研究テーマを考え、調査のためにアイデアを考える。 事前学修 2.0hr：ことばについての「なぜ」を考える 事後学修 2.0hr：ことばについての「なぜ」を考える	18回	**授業テーマ：夏休みの研究成果発表 (2)** 授業内容：これまでの研究内容をスライドやハンドアウトといった資料にまとめて発表する。 事前学修 2.0hr：発表準備・他のゼミ生の発表について質問・コメントを考えておく 事後学修 2.0hr：コメントを踏まえて自身の考えを深める
4回	**授業テーマ：研究テーマについての調査 (1)** 授業内容：選んだ研究テーマについての調査を始める。 事前学修 2.0hr：研究テーマに関する資料などを調査する 事後学修 2.0hr：調査した結果をまとめる	19回	**授業テーマ：夏休みの研究成果発表 (3)** 授業内容：これまでの研究内容を資料にまとめて発表する。発表の方法についても学習する。 事前学修 2.0hr：発表準備・他のゼミ生の発表について質問・コメントを考えておく 事後学修 2.0hr：コメントを踏まえて自身の考えを深める
5回	**授業テーマ：研究テーマについての調査 (2)** 授業内容：選んだ研究テーマについての調査を続け、発表に向けて資料の作成などを行う。 事前学修 2.0hr：研究テーマに関する資料などを調査する 事後学修 2.0hr：調査した結果をまとめる	20回	**授業テーマ：夏休みの研究成果発表 (4)** 授業内容：これまでの研究内容を資料にまとめて発表する。発表へのコメントについて考える。 事前学修 2.0hr：発表準備・他のゼミ生の発表について質問・コメントを考えておく 事後学修 2.0hr：コメントを踏まえて自身の考えを深める
6回	**授業テーマ：研究進捗の報告 (1)** 授業内容：選んだトピックについて、調査したことをまとめ発表を行う。 事前学修 2.0hr：発表準備・他のゼミ生の発表について質問・コメントを考えておく 事後学修 2.0hr：コメントを踏まえて自身の考えを深める	21回	**授業テーマ：研究を発展させる (1)** 授業内容：発表をとして得られたフィードバックを理解し、今後の研究へどのように反映させるかを考える。 事前学修 2.0hr：これまでの研究成果をどう発展させたらよいか考える 事後学修 2.0hr：研究を発展させる
7回	**授業テーマ：研究進捗の報告 (2)** 授業内容：選んだトピックについて、調査したことをまとて発表を行い、グループで意見交換をする。 事前学修 2.0hr：発表準備・他のゼミ生の発表について質問・コメントを考えておく 事後学修 2.0hr：コメントを踏まえて自身の考えを深める	22回	**授業テーマ：研究を発展させる (2)** 授業内容：今後の研究をどのように発展させるのかを考える。 事前学修 2.0hr：これまでの研究成果をどう発展させたらよいか考える 事後学修 2.0hr：研究を発展させる
8回	**授業テーマ：研究方法 (1)** 授業内容：研究報告を踏まえて、さらにテーマを掘り下げるための研究方法を考える。 事前学修 2.0hr：どのような研究方法が良いか考える 事後学修 2.0hr：学んだことを整理する	23回	**授業テーマ：研究を発展させる (3)** 授業内容：自身の研究を卒業論文としてまとめるために、研究をどこまで発展させるのかを考える。 事前学修 2.0hr：これまでの研究成果をどう発展させたらよいか考える 事後学修 2.0hr：研究を発展させる
9回	**授業テーマ：研究方法 (2)** 授業内容：自身の研究テーマに合った研究方法について考える。 事前学修 2.0hr：どのような研究方法が良いか考える 事後学修 2.0hr：学んだことを整理する	24回	**授業テーマ：研究成果発表準備 (1)** 授業内容：卒業論文のフォーマットや重要事項を再確認する。また、発表にむけて資料の整理を始める。 事前学修 2.0hr：ゼミ論文をまとめる 事後学修 2.0hr：ゼミ論文をまとめる
10回	**授業テーマ：研究方法 (3)** 授業内容：研究方法についてグループで相談し、より具体的な研究方法を決定する。 事前学修 2.0hr：どのような研究方法が良いか考える 事後学修 2.0hr：学んだことを整理する	25回	**授業テーマ：研究成果発表準備 (2)** 授業内容：卒業論文の執筆に取り組み、論文の構成などを決定する。 事前学修 2.0hr：ゼミ論文をまとめる 事後学修 2.0hr：ゼミ論文をまとめる

11回	**授業テーマ：研究計画を立てる (1)** 授業内容：これまで学習した内容や調査した内容を踏まえて、今後の研究計画を立てる。 事前学修 2.0hr：研究に必要なことを考える 事後学修 2.0hr：研究計画を見直す	26回	**授業テーマ：研究成果発表準備 (3)** 授業内容：卒業論文の執筆を続け、集めたデータなどをまとめる。 事前学修 2.0hr：ゼミ論文をまとめる 事後学修 2.0hr：ゼミ論文をまとめる
12回	**授業テーマ：研究計画を立てる (2)** 授業内容：自身の研究計画をグループ内で共有し、実現可能で具体性のある研究計画になっているかを確認する。 事前学修 2.0hr：研究に必要なことを考える 事後学修 2.0hr：研究計画を見直す	27回	**授業テーマ：研究成果発表 (1)** 授業内容：卒業論文の内容をスライドやハンドアウトにまとめ、発表する。 事前学修 2.0hr：発表準備・他のゼミ生の発表について質問・コメントを考えておく 事後学修 2.0hr：コメントをもとに卒業研究を修正する
13回	**授業テーマ：夏休みの研究課題発表 (1)** 授業内容：夏季休暇の期間を使って行う調査について、研究計画や内容をまとめ、発表する。 事前学修 2.0hr：発表準備・他のゼミ生の発表について質問・コメントを考えておく 事後学修 2.0hr：コメントを踏まえて自身の考えを深める	28回	**授業テーマ：研究成果発表 (2)** 授業内容：卒業論文の内容を発表し、研究をまとめる。 事前学修 2.0hr：発表準備・他のゼミ生の発表について質問・コメントを考えておく 事後学修 2.0hr：コメントをもとに卒業研究を修正する
14回	**授業テーマ：夏休みの研究課題発表 (2)** 授業内容：研究計画や内容をまとめ、発表する。発表を通して得られたフィードバックを参考にして、研究計画を練り直す。 事前学修 2.0hr：発表準備・他のゼミ生の発表について質問・コメントを考えておく 事後学修 2.0hr：コメントを踏まえて自身の考えを深める	29回	**授業テーマ：研究成果発表 (3)** 授業内容：卒業論文の内容を発表し、得られたコメントなどをきちんと理解して論文に反映させる。 事前学修 2.0hr：発表準備・他のゼミ生の発表について質問・コメントを考えておく 事後学修 2.0hr：コメントをもとに卒業研究を修正する
15回	**授業テーマ：前期のまとめ** 授業内容：これまで学習してきた内容を復習する。 事前学修 2.0hr：これまでの発表・コメントを踏まえて研究を進める 事後学修 2.0hr：これまでの発表・コメントを踏まえて研究を進める	30回	**授業テーマ：総まとめ** 授業内容：これまで学習してきた内容、卒業論文の内容などを全体としてまとめる。 事前学修 2.0hr：卒業研究を完成させる 事後学修 2.0hr：卒業研究を完成させる

卒業研究

開講学科等：英 ｜ 4 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通

中井　延美（なかい　のぶみ）

▌授業の概要

この授業では、言語学の語用論という分野を通して、発話の解釈について検討する。語用論は、人が実際の会話の中でどのようにことばを使うかを研究する分野である。ある発話が適切かどうかを決めるのに文脈がどのように役立つか、また文脈の変化がどのように文の意味を変えるか、といった問題に取り組む。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1/2/3/4）

一般目標：発話解釈について、次の１～3に沿って考えていく。１．発話で使用される表現 (語句や文) は、話し手が伝えようとしている事がらの全てを言い尽くしているわけではない。２．話し手の口にした表現の意味は、相手に伝えたいことのヒントに過ぎない。３．聞き手は、発話された表現の意味をまず解読し、それを基にコンテクストに照らして《推論する》ことによって、話し手が伝えようとした内容 (メッセージ) を読み取る。

個別目標：発話解釈に関する興味深い研究課題を見つけ、卒業研究に取り組む。その過程で、文献調査、研究方法の設定、データの収集・分析を行い、最後に、研究成果を口頭発表と卒業論文を通じて発信する。ゼミでの学びを通じて、就職活動のための知的土台をかためる。

▌履修条件

“ことば”の探究に興味をもっていること以外に特になし。

▌評価基準・方法

授業内活動（ディスカッション・グループ活動などへの参加姿勢）30 %
授業外活動（予習・準備、課題の提出）30 %
研究成果の発信（口頭発表、卒業論文）40 %

▌フィードバック方法

manaba の個別指導コレクション等を通じて適宜フィードバックする。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループディスカッション、グループワークなど）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （スライドの提示など）

▌教科書

必要に応じて資料を配布、書籍の購入を指示する。

▌参考書

Hope C. Dawson, Michael Phelan, eds. (2016) Pragmatics (Ch. 7) in Language Files: Materials for an Introduction to Language and Linguistics, 12tn Ed, Ohio State UP.
加藤広重・澤田淳〔編〕(2020)『はじめての語用論―基礎から応用まで』 研究社.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：前期ガイダンス** 授業内容：前期授業の概要を説明する 事前学修 2.0hr：manaba アンケートに回答する 事後学修 2.0hr：課題に取り組む	16回	**授業テーマ：後期ガイダンス** 授業内容：後期授業の概要を説明する 事前学修 2.0hr：manaba アンケートに回答する 事後学修 2.0hr：課題に取り組む
2回	**授業テーマ：語用論とは何か** 授業内容：コンテクストを考慮して言語使用について研究する語用論という分野とその方法論について概観する。 事前学修 2.0hr：配布された論文を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む	17回	**授業テーマ：前期の振り返り** 授業内容：発話の解釈について、前期の授業で扱った語用論の項目を復習する。 事前学修 2.0hr：配布された資料を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む
3回	**授業テーマ：グライス語用論** 授業内容：ポール・グライスが確立した語用理論を紹介する。ことばの意味について「言われた意味」と「推論された事がら」という二つのレベルで捉える。 事前学修 2.0hr：配布された論文を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む	18回	**授業テーマ：研究テーマの共有（1）** 授業内容：各自の研究について、情報を共有し、意見交換する。 事前学修 2.0hr：配布された資料を読む 事後学修 2.0hr：中間発表の準備を進める
4回	**授業テーマ：情報語用論** 授業内容：文や発話に含まれる情報には、伝達される情報の新旧があり、言語形式に様々な形で反映されることを観察する。 事前学修 2.0hr：配布された論文を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む	19回	**授業テーマ：研究テーマの共有（2）** 授業内容：各自の研究について、情報を共有し、意見交換する。 事前学修 2.0hr：配布された資料を読む 事後学修 2.0hr：中間発表の準備を進める
5回	**授業テーマ：対人語用論** 授業内容：人がことばで情報を伝える場合、そこにはポライトネスのような人間関係に関するやりとりの要素が伴われることを理解する。 事前学修 2.0hr：配布された論文を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む	20回	**授業テーマ：研究テーマの共有（3）** 授業内容：各自の研究について、情報を共有し、意見交換する。 事前学修 2.0hr：配布された資料を読む 事後学修 2.0hr：中間発表の準備を進める
6回	**授業テーマ：指示語用論** 授業内容：「指示」とそれに関連する機能に注目して言語表現の使用を考察する。 事前学修 2.0hr：配布された論文を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む	21回	**授業テーマ：発表スライドの作り方** 授業内容：中間発表会に向け、発表スライドの作り方を確認する。 事前学修 2.0hr：配布された資料を読む 事後学修 2.0hr：中間発表の準備を進める
7回	**授業テーマ：関連性理論（1）** 授業内容：1980 年代にスペルベルとウィルソンが提唱した語用理論である関連性理論（Relevance Theory）を紹介する。 事前学修 2.0hr：配布された論文を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む	22回	**授業テーマ：口頭発表の行い方** 授業内容：中間発表会に向け、口頭発表の行い方を確認する。 事前学修 2.0hr：配布された資料を読む 事後学修 2.0hr：中間発表の準備を仕上げる
8回	**授業テーマ：関連性理論（2）** 授業内容：「何が伝達されるのか」という問題について、表意と語用論的操作（曖昧性の除去・飽和・アドホック概念構築・自由拡充）及び、推意から考える。 事前学修 2.0hr：配布された論文を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む	23回	**授業テーマ：中間発表会** 授業内容：卒業研究の中間発表会を行う 事前学修 2.0hr：口頭発表の練習をする 事後学修 2.0hr：課題に取り組む

9回	**授業テーマ：関連性理論（3）** 授業内容：解釈の手順（聞き手は発話の解釈を具体的にどのような手順で行うのか）について考える。 事前学修 2.0hr：配布された論文を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む	24回	**授業テーマ：卒業研究論文の書き方（1）** 授業内容：タイトルと序文の書き方を確認する。 事前学修 2.0hr：配布された資料を読む 事後学修 2.0hr：卒業論文を書き進める
10回	**授業テーマ：文法研究と語用論** 授業内容：文法現象の中に深く関わっている語用論的要素を観察する。 事前学修 2.0hr：配布された論文を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む	25回	**授業テーマ：卒業研究論文の書き方（2）** 授業内容：研究の動機と背景の書き方を確認する。 事前学修 2.0hr：配布された資料を読む 事後学修 2.0hr：卒業論文を書き進める
11回	**授業テーマ：対照語用論と文化対照** 授業内容：語用論的な現象に関する言語間の類似と相違を公平な見方で説明する研究があることを知る。 事前学修 2.0hr：配布された論文を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む	26回	**授業テーマ：卒業研究論文の書き方（3）** 授業内容：先行研究の出典および参考文献の提示方法を確認する。 事前学修 2.0hr：配布された資料を読む 事後学修 2.0hr：卒業論文を書き進める
12回	**授業テーマ：英語教育と語用論** 授業内容：英語教育では、文法や単語などのことばの正しさだけではなく、状況に応じたことばの使用の適切さについても学習者に伝える必要があることを理解する。 事前学修 2.0hr：配布された論文を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む	27回	**授業テーマ：卒業研究論文の書き方（4）** 授業内容：研究方法の書き方を確認する。 事前学修 2.0hr：配布された資料を読む 事後学修 2.0hr：卒業論文を書き進める
13回	**授業テーマ：卒業研究のテーマを考える（1）** 授業内容：自分が取り組みたい卒業研究のテーマを見つける。 事前学修 2.0hr：配布された論文を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む	28回	**授業テーマ：卒業研究論文の書き方（5）** 授業内容：結果と結論の書き方を確認する。 事前学修 2.0hr：配布された資料を読む 事後学修 2.0hr：卒業論文を書き進める
14回	**授業テーマ：卒業研究のテーマを考える（2）** 授業内容：自分がその研究で何を主張したいのか、どのような問いの答えを見つけたいのかを考える。 事前学修 2.0hr：配布された論文を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む	29回	**授業テーマ：研究成果の発信（口頭発表）** 授業内容：クラス内で研究成果を口頭発表する 事前学修 2.0hr：口頭発表の準備を整える 事後学修 2.0hr：口頭発表時に得たコメントを卒業論文に反映させる
15回	**授業テーマ：夏季休暇中の研究計画** 授業内容：自分の卒業研究を進めていく上で、夏季休暇中にすべきこと（文献調査、データ収集など）を明確にし、研究計画書を提出する。 事前学修 2.0hr：研究計画書を仕上げる 事後学修 2.0hr：研究計画書を提出する	30回	**授業テーマ：研究成果の発信（卒業論文）** 授業内容：卒業論文を提出する 事前学修 2.0hr：卒業論文を完成させる 事後学修 2.0hr：研究テーマの今後の課題を考える

卒業研究

開講学科等：英 ｜ 4 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通

松井　順子（まつい　じゅんこ）

▌授業の概要

This is a presentation, negotiation, interpreting, and debate course where we will study current issues, incorporate the data, then gain the ability to promote our views on this topic. We will first interpret and learn the background, then discuss and debate the issue, followed by mini-presentations where we will learn to talk extemporaneously on a wide variety of subjects. This exercise will culminate in a final presentation at the end of each term.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1/2/3/4）

一般目標：Participants will aim to gain the skills needed to interpret and present his or her view extemporaneously, as well as form persuasive arguments geared toward a wider audience. At the term-end presentations, participants will present/interpret on an issue of importance, either expounding a certain position, or presenting a proposal to improve upon the status quo. All presentations will be interpreted into Japanese.

個別目標：Participants in the course will review various topics from which to choose, or select their original topics to delve into, through a series of negotiation, presentation, debate, and interpreting exercises. They will then carry out either a survey, experiment, or interview, obtaining unique individual data which will be presented/interpreted at the term-end presentations. One objective of this process is to equip participants with the skills needed to negotiate, interpret, and present their views persuasively in the real world.

▌履修条件

English Departments Majors.

▌評価基準・方法

Class activities/performance (85%), Final Presentation/Interpretation (15%) Assignment feedback to be provided through manaba and in class.

▌フィードバック方法

Feedback through Manaba and in-class assessments etc.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Pair and group activities such as interpreting practice）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （PC used for assignments, videos, accessing information etc.）

▌教科書

To be announced at a later date.

▌参考書

To be announced at a later date.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction, Choose Research/Presentation Theme** 授業内容：Introduction, Choose Research/Presentation Theme Goals for the year 事前学修 2.0hr：Preview course contents 事後学修 2.0hr：Review Introduction	16回	**授業テーマ：2nd Term Orientation - Prepare New Research/Presentation Theme** 授業内容：2nd Term Orientation - Prepare New Research/Presentation Theme 事前学修 2.0hr：Preview Prepare New Research/Presentation Theme 事後学修 2.0hr：Review New Research Theme
2回	**授業テーマ：Quick Response（basic）** 授業内容：Quick response is an exercise where the interpreter practices interpreting words or short phrases quickly. 事前学修 2.0hr：Preview Quick Response（basic） 事後学修 2.0hr：Review Quick Response（basic）	17回	**授業テーマ：Quick Response（intermediate）** 授業内容：Quick response is an exercise where the interpreter practices interpreting words or short phrases quickly. 事前学修 2.0hr：Quick Response（intermediate）Preview 事後学修 2.0hr：Quick Response（intermediate）Review
3回	**授業テーマ：Shadowing（basic）** 授業内容：This is a typical exercise where one listens and repeats simultaneously. It is useful for not only English practice, but will also improve basic speaking skills in any language, and has been proven to improve listening skills at the same time. 事前学修 2.0hr：Preview Shadowing（basic） 事後学修 2.0hr：Review Shadowing（basic）	18回	**授業テーマ：Shadowing（intermediate）** 授業内容：This is a typical exercise where one listens and repeats simultaneously. It is useful for not only English practice, but will also improve basic speaking skills in any language, and has been proven to improve listening skills at the same time. 事前学修 2.0hr：Shadowing（intermediate）Preview 事後学修 2.0hr：Shadowing（intermediate）Review
4回	**授業テーマ：Sight Translation（basic）** 授業内容：Sight Translation（basic） Interpreting while reading a text from the source language. 事前学修 2.0hr：Preview Sight Translation（basic） 事後学修 2.0hr：Review Sight Translation（basic）	19回	**授業テーマ：Sight Translation（intermediate）** 授業内容：Interpreting while reading a text from the source language. 事前学修 2.0hr：Sight Translation（intermediate）Preview 事後学修 2.0hr：Sight Translation（intermediate）Review
5回	**授業テーマ：Lagging（basic）** 授業内容：Interpreting after a lag of one word, two words, or more. 事前学修 2.0hr：Preview Lagging（basic） 事後学修 2.0hr：Review Lagging（basic）	20回	**授業テーマ：Lagging（intermediate）** 授業内容：Interpreting after a lag of one word, two words, or more. 事前学修 2.0hr：Lagging（intermediate）Preview 事後学修 2.0hr：Lagging（intermediate）Review
6回	**授業テーマ：Simultaneous Interpreting（basic）** 授業内容：Interpreting and listening at the same time. 事前学修 2.0hr：Preview simultaneous interpreting（basic） 事後学修 2.0hr：Review simultaneous interpreting（basic）	21回	**授業テーマ：Simultaneous Interpreting（intermediate）** 授業内容：Interpreting and listening at the same time. 事前学修 2.0hr：Simultaneous Interpreting（intermediate）Preview 事後学修 2.0hr：Simultaneous Interpreting（intermediate）Review
7回	**授業テーマ：Consecutive Interpreting（basic）** 授業内容：Taking notes and interpreting while referring to the notes. 事前学修 2.0hr：Preview Consecutive Interpreting（basic） 事後学修 2.0hr：Review Consecutive Interpreting（basic）	22回	**授業テーマ：Consecutive Interpreting（intermediate）** 授業内容：Taking notes and interpreting while referring to the notes. 事前学修 2.0hr：Consecutive Interpreting（intermediate）Preview 事後学修 2.0hr：Consecutive Interpreting（intermediate）Review

8回	**授業テーマ：Negotiations and Preparing for 1st Term Presentation** 授業内容：Negotiations and Simultaneous Interpreting（intermediate） Interpreting and listening at the same time. Presentations: Final presentation topic can stem from the themes covered in the seminar, or from other sources. Original content obtained from surveys, experiments, or interviews, for instance, are required. 事前学修 2.0hr：Negotiations Preview 事後学修 2.0hr：Negotiations Review	23回	**授業テーマ：Negotiations and Preparing for 2nd Term Presentation** 授業内容：Negotiations and Simultaneous Interpreting（intermediate） Interpreting and listening at the same time. Presentations: Final presentation topic can stem from the themes covered in the seminar, or from other sources. Original content obtained from surveys, experiments, or interviews, for instance, are required. 事前学修 2.0hr：Negotiations Preview 事後学修 2.0hr：Negotiations Review
9回	**授業テーマ：Debate and Preparing for 1st Term Presentations** 授業内容：Write arguments both in favor of (PRO) and against (CON) the resolution in English. 命題に対する賛成の議論と反対の議論を英語で書きましょう。 This is a practice debate, so please write arguments for both the PRO and CON side, regardless of your own opinion. ディベートの練習なので、自分の意見と関係なく、賛成と反対の意見を書きましょう。 Debate Resolved: PRO arguments　賛成側の議論: Questions you will ask the other side: 否定側への質問： Speech: CON arguments　反対側の議論: Questions you will ask the other side: 賛成側への質問： Speech: ＊＊＊＊＊ Debate ディベート Divide up into two groups. 二つのグループに分かれましょう。 Decide which side is PRO and which side is CON. どちらが賛成、どちらが反対か決めましょう。 Next, decide who plays which of the following roles: 次の役割を決めましょう： Person 1 = PRO　1　肯定1　一人目 Person 2 = PRO　2　肯定2　二人目 Person 3 = CON　1　否定1　三人目 Person 4 = CON　2　否定2　四人目 Give your arguments and ask each other questions. それぞれの立場の主張をしてお互いに質問しましょう。 Speaker, stand up. 話し手は立ちましょう。 PRO 1: Speech CON 2: Question CON 1: Speech PRO 1: Question PRO 2: Speech CON 1: Question CON 2: Speech PRO 2: Question Speakers: Stand up 話している際は、立ちましょう。 SPEECH　A 1　一人目 First Affirmative Constructive (1AC)　PRO QUESTION A　4 →1　4人目→1人目 Cross Examination of the 1AC (by the 2NC) SPEECH B　3　二人目 First Negative Constructive (1NC) CON 1.　1番目の反対 QUESTION B 1→3　1人目→3人目 Cross examination of the 1NC (by the 1AC) SPEECH C　2　二人目 Second Affirmative Constructive (2AC) PRO 2.　2番目の賛成 QUESTION C　3→2　3人目→2人目 Person 3 questions Person 2 Cross Examination of the 2AC (by the 1NC) SPEECH D　4　4人目 Person 4 ＝ CON 2: make your speech Second Negative Constructive (2NC) QUESTION D　2→4　2人目→4人目 Person 2 questions Person 4 Cross Examination of the 2NC (by the 2AC) ＊＊＊＊＊ 事前学修 2.0hr：Preview Debate 事後学修 2.0hr：Review Debate	24回	**授業テーマ：Debate and Preparing for 2nd Term Presentations** 授業内容：Write arguments both in favor of (PRO) and against (CON) the resolution in English. 命題に対する賛成の議論と反対の議論を英語で書きましょう。 This is a practice debate, so please write arguments for both the PRO and CON side, regardless of your own opinion. ディベートの練習なので、自分の意見と関係なく、賛成と反対の意見を書きましょう。 Debate Resolved: PRO arguments　賛成側の議論: Questions you will ask the other side: 否定側への質問： Speech: CON arguments　反対側の議論: Questions you will ask the other side: 賛成側への質問： Speech: ＊＊＊＊＊ Debate ディベート Divide up into two groups. 二つのグループに分かれましょう。 Decide which side is PRO and which side is CON. どちらが賛成、どちらが反対か決めましょう。 Next, decide who plays which of the following roles: 次の役割を決めましょう： Person 1 = PRO　1　肯定1　一人目 Person 2 = PRO　2　肯定2　二人目 Person 3 = CON　1　否定1　三人目 Person 4 = CON　2　否定2　四人目 Give your arguments and ask each other questions. それぞれの立場の主張をしてお互いに質問しましょう。 Speaker, stand up. 話し手は立ちましょう。 PRO 1: Speech CON 2: Question CON 1: Speech PRO 1: Question PRO 2: Speech CON 1: Question CON 2: Speech PRO 2: Question Speakers: Stand up 話している際は、立ちましょう。 SPEECH　A 1　一人目 First Affirmative Constructive (1AC)　PRO QUESTION A　4 →1　4人目→1人目 Cross Examination of the 1AC (by the 2NC) SPEECH B　3　二人目 First Negative Constructive (1NC) CON 1.　1番目の反対 QUESTION B 1→3　1人目→3人目 Cross examination of the 1NC (by the 1AC) SPEECH C　2　二人目 Second Affirmative Constructive (2AC) PRO 2.　2番目の賛成 QUESTION C　3→2　3人目→2人目 Person 3 questions Person 2 Cross Examination of the 2AC (by the 1NC) SPEECH D　4　4人目 Person 4 ＝ CON 2: make your speech Second Negative Constructive (2NC) QUESTION D　2→4　2人目→4人目 Person 2 questions Person 4 Cross Examination of the 2NC (by the 2AC) ＊＊＊＊＊ 事前学修 2.0hr：Preview Debate 事後学修 2.0hr：Review Debate
10回	**授業テーマ：Preparing for 1st Term Presentations** 授業内容：Preparing for 1st Term Presentations 事前学修 2.0hr：Preparing for 1st Term Presentations 事後学修 2.0hr：Preparing for 1st Term Presentations	25回	**授業テーマ：Preparing for 2nd Term Presentations** 授業内容：Preparing for 2nd Term Presentations 事前学修 2.0hr：Preview Preparing for 2nd Term Presentations 事後学修 2.0hr：Review Preparing for 2nd Term Presentations
11回	**授業テーマ：Presentations** 授業内容：Presentations 事前学修 2.0hr：Preview Presentations 事後学修 2.0hr：Review Presentations	26回	**授業テーマ：Presentations** 授業内容：Presentations 事前学修 2.0hr：Preview Presentations 事後学修 2.0hr：Review Presentations
12回	**授業テーマ：Presentations** 授業内容：Presentations 事前学修 2.0hr：Preview Presentations 事後学修 2.0hr：Review Presentations	27回	**授業テーマ：Presentations** 授業内容：Presentations 事前学修 2.0hr：Preview Presentations 事後学修 2.0hr：Review Presentations
13回	**授業テーマ：Presentations** 授業内容：Presentations 事前学修 2.0hr：Preview Presentations 事後学修 2.0hr：Review Presentations	28回	**授業テーマ：Presentations** 授業内容：Presentations 事前学修 2.0hr：Preview Presentations 事後学修 2.0hr：Review Presentations

14回	**授業テーマ：Presentations** 授業内容：Presentations 事前学修 2.0hr：Preview Presentations 事後学修 2.0hr：Review Presentations	29回	**授業テーマ：Presentations** 授業内容：Presentations 事前学修 2.0hr：Preview Presentations 事後学修 2.0hr：Review Presentations
15回	**授業テーマ：Presentations** 授業内容：Presentations 事前学修 2.0hr：Preview Presentations 事後学修 2.0hr：Review Presentations	30回	**授業テーマ：Presentataions** 授業内容：Presentations 事前学修 2.0hr：Preview Presentations 事後学修 2.0hr：Review Presentations

卒業研究

開講学科等：英 ｜ 4 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通

横山　竜一郎（よこやま　りゅういちろう）

▌授業の概要

卒業研究として、英米文学(あるいは英語で書かれた文学テクスト)についての論文を執筆する。前期では、研究のテーマを決定し、論文の材料を揃えるために、一次資料(文学テクスト)と二次資料(レファレンス類・論文・学術書など)をリサーチする。後期では、前期のリサーチで集めた材料をアーギュメントとして洗練させ、論文として文章化する。毎回の授業は、教員による説明、学生による発表、ディスカッションによって主に進む。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1/2/3/4）

一般目標：英語で書かれた文学テクストについての論文を執筆するための知識と技術を身につける。

個別目標：1. 文学の論文における価値、内容、形式を説明できる。
2. 長期的なプロジェクトとして論文執筆を遂行できる。

▌履修条件

履修には教員との事前の面談が必要となる。

▌評価基準・方法

平常点(ディスカッションなどの授業参加) 50%、卒業論文 50%の結果および到達目標の達成度に基づき総合的に評価する。また、原則として 5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

主に授業内の講評を通じておこなう。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （発表やディスカッションなど）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （リサーチや論文の作成など）

▌教科書

使用しない。必要なテクストは配布する。

▌参考書

適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：イントロダクション** 授業内容：授業全体のイントロダクションをおこなう。 事前学修 2.0hr：シラバスを読む。 事後学修 2.0hr：授業の内容と評価方法を確認する。	16回	**授業テーマ：進捗の確認** 授業内容：卒業研究の進捗を全体で共有し、確認する。 事前学修 2.0hr：卒業研究の進捗をまとめる。 事後学修 2.0hr：改めて今後の研究計画を立てる。
2回	**授業テーマ：サンプルの論文を読む** 授業内容：卒業研究のサンプルとなる論文を読む。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、関心に沿って関連文献を調べる。	17回	**授業テーマ：論文の本文を書く(1)アウトラインを考える** 授業内容：本文のアウトラインを考える方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：本文のアウトラインを考える。
3回	**授業テーマ：一次資料をリサーチする(1)全体を読む** 授業内容：一次資料の全体を読む方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：対象とする文学テクストを決定する。 事後学修 2.0hr：自身の選んだ一次資料の全体を読む。	18回	**授業テーマ：論文の本文を書く(2)ノートからステートメントをつくる** 授業内容：ノートからステートメントをつくる方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：ノートからステートメントをつくる。
4回	**授業テーマ：一次資料をリサーチする(2)ノートをとる** 授業内容：一次資料のノートをとる方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：自身の選んだ一次資料のノートをとる。	19回	**授業テーマ：論文の本文を書く(3)ステートメントからパラグラフをつくる** 授業内容：ステートメントからパラグラフをつくる方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：ステートメントからパラグラフをつくる。
5回	**授業テーマ：一次資料をリサーチする(3)反応を記録する** 授業内容：一次資料を読んでの反応を記録する方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：自身の選んだ一次資料を読んでの反応を記録する。	20回	**授業テーマ：論文の本文を書く(4)強いパラグラフを書く** 授業内容：強いパラグラフを書く方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：強いパラグラフを書く。
6回	**授業テーマ：一次資料をリサーチする(4)反応を分析する** 授業内容：一次資料を読んでの反応を分析する方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：自身の選んだ一次資料を読んでの反応を分析する。	21回	**授業テーマ：論文の本文を書く(5)パラグラフを連結させる** 授業内容：パラグラフを連結させる方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：パラグラフを連結させる。
7回	**授業テーマ：二次資料(レファレンス類)を使う(1)辞典と事典を調べる** 授業内容：二次資料としての辞典と事典を調べる方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：自身の選んだ二次資料としての辞典と事典を調べる。	22回	**授業テーマ：論文の本文を書く(6)パラグラフからセクションをつくる** 授業内容：パラグラフからセクションをつくる方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：パラグラフからセクションをつくる。
8回	**授業テーマ：二次資料(レファレンス類)を使う(2)校訂版・学術版を読む** 授業内容：二次資料としてのテクストの校訂版・学術版を読む方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：自身の選んだ二次資料としての校訂版・学術版を読む。	23回	**授業テーマ：論文の本文を書く(7)セクションを連結させる** 授業内容：セクションを連結させる方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：セクションを連結させる。
9回	**授業テーマ：社会的・歴史的コンテクストをリサーチする(1)社会現象と文学潮流を調べる** 授業内容：一次資料が置かれていた社会的・歴史的コンテクストとしての社会現象や文学潮流を調べる方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：自身の選んだ一次資料を取り巻いていた社会現象や文学現象を調べる。	24回	**授業テーマ：論文の本文を書く(8)結論を書く** 授業内容：結論を書く方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：結論を書く。
10回	**授業テーマ：社会的・歴史的コンテクストをリサーチする(2)リソースを使う** 授業内容：一次資料が置かれていた社会的・歴史的コンテクストを調べるためのリソースを使う方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：自身の選んだ一次資料が置かれていた社会的・歴史的コンテクストを調べるためのリソースを使う。	25回	**授業テーマ：論文の本文を書く(9)序論を修正する** 授業内容：序論を修正する方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：序論を修正する。

11回	**授業テーマ：社会的・歴史的コンテクストをリサーチする（3）調査内容を活用する** 授業内容：一次資料が置かれていた社会的・歴史的コンテクストの調査内容を議論に活用する方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：自身の選んだ一次資料が置かれていた社会的・歴史的コンテクストの調査内容を議論に活用する。	26回	**授業テーマ：論文を編集・校正する（1）表記、文法、句読法のエラーをなくす** 授業内容：論文の編集・校正として、特に表記、文法、句読法のエラーをなくす方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：論文の編集・校正として、特に表記、文法、句読法のエラーをなくす。
12回	**授業テーマ：二次資料(論文・学術書)をリサーチする（1）先行研究を調べる** 授業内容：二次資料としての先行研究を調べる方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：自身の選んだ二次資料としての先行研究を調べる。	27回	**授業テーマ：論文を編集・校正する（2）引用のスタイルを揃える** 授業内容：論文の編集・校正として、特に引用のスタイルを揃える方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：論文の編集・校正として、特に引用のスタイルを揃える。
13回	**授業テーマ：二次資料(論文・学術書)をリサーチする（2）先行研究を読む** 授業内容：二次資料としての先行研究を読む方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：自身の選んだ二次資料としての先行研究を読む。	28回	**授業テーマ：論文を編集・校正する（3）文書の様式を確認する** 授業内容：論文の編集・校正として、特に文書の様式を確認する方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：論文の編集・校正として、特に文書の様式を確認する。
14回	**授業テーマ：二次資料(論文・学術書)をリサーチする（3）先行研究からノートをとる** 授業内容：二次資料としての先行研究からノートをとる方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：自身の選んだ二次資料としての先行研究からノートをとる。	29回	**授業テーマ：論文の体裁を整え、提出する** 授業内容：論文の体裁を整え、提出する方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：卒業研究としての論文の体裁を整え、提出する。
15回	**授業テーマ：前期のまとめ** 授業内容：前期で学んだ内容を復習する。 事前学修 2.0hr：これまでのリサーチで集めた材料を整理する。 事後学修 2.0hr：今後の研究計画を立てる。	30回	**授業テーマ：論文の講評と全体のまとめ** 授業内容：各学生の論文を講評し、全体のまとめをする。 事前学修 2.0hr：自身の論文の内容を説明できるようにしておく。 事後学修 2.0hr：講評をまとめる。

卒業研究

開講学科等：英 ｜ 4 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通

米村　珠子（よねむら　たまこ）

▌授業の概要

本講座は教職課程履修者を対象とし、コミュニケーション能力育成を重視した教授法の比較研究や学習者論の先行研究分析を通して、実践的な教科指導力に必要な知識及び技能を身に付ける。専門領域研究講座でも扱った CLT（communicative language teaching）をはじめ、国際教育における異文化理解、国際バカロレアの教育手法（Approaches to Teaching and Learning, Cognitive Academic Language Proficiency）や言語科目の指導方法の理解を深め、実践的なコミュニケーション能力育成について演習を通して協働的・探究的に学んだ結果を踏まえ、卒業研究論文を作成する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1/2/3/4）

一般目標：英語科教育の基礎知識と国際バカロレア教育の教育手法や指導方法を踏まえ、コミュニケーション能力育成を重視した指導方法に係る知識・技能や中学校・高等学校の英語授業で求められる英語運用能力の向上を目指すとともに、英語教育実践研究に係るテーマを設定し、調査研究の成果をまとめる。

個別目標：1. 効果的な言語学習方法を踏まえた教授法を理解し、コミュニカティブな指導力を身に付けることができる。
2. 生徒のコミュニケーション能力育成に必要な英語運用能力を身に付けることができる。
3. 自ら課題を探究してテーマを設定し、調査研究した結果をアウトプットすることができる。

▌履修条件

・教職課程履修者。
・中学校・高等学校の英語教員を目指し、主体的に学ぶ意欲がある者。

▌評価基準・方法

・授業内活動への取組 30%、課題の提出・発表 20%、研究論文の提出 50%
・授業への出席と課題・論文の提出を重視する。

▌フィードバック方法

・授業内活動及び発表については、活動後に受講者全員による協議を含めたフィードバックを行う。
・提出課題や研究論文については、後日、口頭・添削・manaba によりフィードバックを行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション、ディベート、課題解決学習）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （プレゼンテーション、フィードバック、アウトプットの共有）

▌教科書

第 1 回授業で指示する。

▌参考書

第 1 回授業で指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション、英語教育概論** 授業内容：授業概要（ねらい、スケジュール、評価等）の説明、研究領域に関するディスカッション、英語教育を概観するキーワードによる演習等を通して、各自の年間到達目標を設定する。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読む。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組む。	16回	**授業テーマ：授業研究 (4) 授業動画の視聴①（中堅教員による授業）** 授業内容：都立高校の英語授業の動画を視聴し、指導の工夫、インタラクティブな進行、生徒の言語活動、ねらいの達成と評価等について、分析批評を行う。（国際学科、高校２年生、中堅教員）併せて、研究論文の中間報告を行う。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んで要点をまとめる。中間報告を完成する。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組む。
2回	**授業テーマ：外国語教育と CEFR の言語教育観** 授業内容：日本の外国語教育政策の流れや外国語教育観、Can-do リストの役割と成果、CEFR の言語教育観、学習者中心の教育方法や行動志向アプローチ等を整理・概観し、実践事例を取り上げながら論じる。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んで要点をまとめる。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組む。	17回	**授業テーマ：授業研究 (5) 授業動画の視聴②（若手教員による授業）** 授業内容：都立高校の英語授業の動画を視聴し、指導の工夫、インタラクティブな進行、生徒の言語活動、ねらいの達成と評価等について、分析批評を行う。（国際学科、高校２年生、若手教員） 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んで要点をまとめる。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組む。
3回	**授業テーマ：英語科教授法比較実践研究** 授業内容：英語科教授法の比較研究を踏まえ、communicative language teaching の手法（task-based, content-based, content and language integrated learning, focus on form 等）を用いたコミュニケーション活動を設計・実践する。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んで要点をまとめる。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組む。	18回	**授業テーマ：授業研究 (6) 授業動画の視聴③（中堅教員による模範授業）** 授業内容：都立高校の英語授業の動画を視聴し、指導の工夫、インタラクティブな進行、生徒の言語活動、ねらいの達成と評価等について、分析批評を行う。（普通科進学校、高校２年生、中堅教員） 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んで要点をまとめる。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組む。
4回	**授業テーマ：Communicative Language Teaching 研究 (1) task-based language teaching** 授業内容：コミュニケーション活動モデルに示される一般的能力とコミュニケーション言語能力を踏まえ、task-based language teaching を実践する。task として information gap, jigsaw, problem-solving 等を用いる。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んで要点をまとめる。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組む。	19回	**授業テーマ：IB Dipoloma Programme(English B)研究 (1)** 授業内容：IB Dipoloma Programme の英語授業を模擬体験することにより、第 18 回までに分析批評を通して研究した授業と比較し、指導実践に活かすことができるポイントや工夫、指導方針等について学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んで要点をまとめる。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組む。
5回	**授業テーマ：Communicative Language Teaching 研究 (2) Content and language integrated learning** 授業内容：CLIL（内容言語統合型学習）を取り上げ、学習者の認知思考力の発達を考慮し、低次な思考力から高次な思考力を要する活動への移行を含めた協働学習を設計・実践する。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んで要点をまとめる。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組む。	20回	**授業テーマ：IB Dipoloma Programme(English B)研究 (2)** 授業内容：IB Dipoloma Programme の英語授業を模擬体験することにより、第 18 回までに分析批評を通して研究した授業と比較し、指導実践に活かすことができるポイントや工夫、指導方針等について学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んで要点をまとめる。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組む。
6回	**授業テーマ：授業研究 (1) Welcome to Tokyo（中学校用）の活用** 授業内容：東京都独自英語教材である Welcome to Tokyo を使用した授業モデルを視聴し、指導の工夫について論じるとともに、教材（教科書と動画素材）を活用した言語活動を考える。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んで要点をまとめる。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組む。	21回	**授業テーマ：IB Dipoloma Programme(English B)研究 (3)** 授業内容：IB Dipoloma Programme の英語授業を模擬体験することにより、第 18 回までに分析批評を通して研究した授業と比較し、指導実践に活かすことができるポイントや工夫、指導方針等について学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された事前課題に取り組む。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組む。

7回	**授業テーマ：授業研究 (2) Welcome to Tokyo（高等学校用）の活用** 授業内容：東京都独自英語教材である Welcome to Tokyo を使用した授業モデルを視聴し、指導の工夫について論じるとともに、教材（教科書と動画素材）を活用した言語活動を考える。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んで要点をまとめる。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組む。	22回	**授業テーマ：IB Dipoloma Programme(English B)研究 (4)** 授業内容：IB Dipoloma Programme の English B のテキストを活用して、英語科教育法で使用している教科書の素材を、どのような言語活動に設計できるかを考える。 事前学修 2.0hr：指定された事前課題に取り組む。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組む。
8回	**授業テーマ：授業研究 (3) Oral Introduction 実践研究** 授業内容：Oral Introduction の授業モデルを視聴し、導入部分の組み立てやインタラクティブな活動について論じるとともに、英語科教育法で使用している教科書（高等学校用）を基に、Oral Introduction を設計する。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んで要点をまとめる。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組む。	23回	**授業テーマ：IB Dipoloma Programme(English B)研究 (5)** 授業内容：IB Dipoloma Programme の English B のテキストを活用して設計した言語活動を実践し、教員及び他の受講生からのフィードバックを得て、改善を図る。 事前学修 2.0hr：指定された課題に取り組む。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組む。
9回	**授業テーマ：国際バカロレア教育研究 (1) 教育理念と学習者像** 授業内容：国際バカロレア教育の教育理念やプログラム実施要綱、学習者像等について資料購読を通じて理解を深めるとともに、現行の学習指導要領に合致する学力の要素や学習方法について学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んで要点をまとめる。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組む。	24回	**授業テーマ：IB Dipoloma Programme(English B)研究 (6)** 授業内容：第 23 回の授業で改善した IB Dipoloma Programme の English B のテキストを活用して設計した言語活動を再度実践し、英語授業の学習指導案の作成にどのように活用できるかについて整理する。 事前学修 2.0hr：指定された課題に取り組む。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組む。
10回	**授業テーマ：国際バカロレア教育研究 (2)Approaches to Teaching and Learning の概論** 授業内容：専門領域研究講座で取り上げた Approaches to Teaching and Learning(ATL) について概観し、生徒の学習強化や生徒への評価、目標達成支援方策・ツールという視点から、ATL の実例を取り上げて考える。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んで要点をまとめる。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組む。	25回	**授業テーマ：IB Dipoloma Programme(English B)研究 (7)** 授業内容：IB Dipoloma Programme の英語授業を模擬体験や、English B の教材を活用した言語活動の設計・実演を通して学んだことを、ATL や CALP の視点から振り返る。 事前学修 2.0hr：指定された課題に取り組む。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組む。
11回	**授業テーマ：国際バカロレア教育研究 (3)Approaches to Teaching and Learning の５技能と６種類の指導方法** 授業内容：専門領域研究講座で取り上げた ATL の５つ技能のカテゴリーと６種類の指導方法について、学習指導案例の分析により理解を深める。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んで要点をまとめる。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組む。	26回	**授業テーマ：研究論文の検討 (1)** 授業内容：テーマ設定や中間報告、これまでのフィードバックを踏まえ、研究論文執筆にとりかかる。論文の書き方やルール等を再確認するとともに、根拠資料の再確認を行う。 事前学修 2.0hr：指定された課題に取り組む。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組む。
12回	**授業テーマ：国際バカロレア教育研究 (4)CALP(Cognitive Academic Language Proficiency) の活用** 授業内容：言語習得のメカニズムである BICS との比較を通して、CALP の特徴・意義・活用の方向性を概観するとともに、CALP を活用した教科指導事例（言語活動）を考案する。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んで要点をまとめる。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組む。	27回	**授業テーマ：研究論文の検討 (2)** 授業内容：研究論文執筆に当たり参考となる追加資料を検討するとともに、他の受講者とともに論理構成等の確認を行うことにより、研究論文の内容の精度・確度を上げる。 事前学修 2.0hr：執筆手順・スケジュールに従い、研究論文執筆を進める。 事後学修 2.0hr：執筆手順・スケジュールに従い、研究論文執筆を進める。
13回	**授業テーマ：卒業研究論文執筆準備 (1) 手順** 授業内容：研究論文執筆で確認すべき基本的な事項について、演習を通して理解する。①主張、理由、根拠の明確化、②アウトラインまでのステップ、③イメージ図の作成、④テーマ決定のポイント、⑤アウトライン作成 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んで要点をまとめる。 事後学修 2.0hr：授業で指定された課題に取り組む。	28回	**授業テーマ：研究論文の検討 (3)** 授業内容：研究論文の完成に向けて途中経過報告を行い、教員や他の受講者からのフィードバックを受けて改善点について検討を重ねる。 事前学修 2.0hr：執筆手順・スケジュールに従い、研究論文執筆を進める。 事後学修 2.0hr：執筆手順・スケジュールに従い、研究論文執筆を進める。
14回	**授業テーマ：卒業研究論文執筆準備 (2) テーマの設定** 授業内容：第 13 回授業で学んだテーマ決定のポイント及び主張を決める際の留意点を踏まえ、資料の調査研究や講座内での協議を通じて、研究テーマを設定する。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んで要点をまとめる。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組む。	29回	**授業テーマ：研究論文の検討 (4)** 授業内容：推敲・教員からのフィードバックを重ねて、研究論文を完成させる。次回発表に向けた要旨の作成等、発表準備を進める。 事前学修 2.0hr：研究論文案を完成させる。 事後学修 2.0hr：研究論文を完成させる。発表要旨を作成し、発表準備・練習を行う。
15回	**授業テーマ：卒業研究論文執筆準備 (3) 構想の検討** 授業内容：第 13 回、第 14 回の授業の成果を基に、講座内で研究構想を共有するとともに、新たな視点や根拠資料の開拓のヒント等のフィードバックを得て、第 16 回授業での中間報告までの行程を確認する。 事前学修 1.0hr：指定された資料を読んで要点をまとめる。 事後学修 3.0hr：調査研究の中間報告を作成し、第 16 回授業で発表する。	30回	**授業テーマ：授業のまとめ、研究論文発表** 授業内容：研究論文に基づく発表と質疑応答を行う。学生及び教員からのフィードバック（相互評価）を受けて、自己評価を行う。 事前学修 2.0hr：第 29 回事後学修と併せて、発表準備・練習する。 事後学修 2.0hr：研究論文を推敲し直し再提出する。

［専門科目］

○ 中国語学科

中国語検定対策講座Ⅰ

開講学科等：中 ｜ 2年次 ｜ 2単位 ｜ 開講期：前

中島　祝（なかじま　はじめ）・**南　勇**（なん　ゆう）

▌授業の概要
中国語の検定試験に合格することを目指す。併せて中国語や関連領域について広く深く理解する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）
一般目標：目標とする中国語の検定試験に合格する。検定の勉強を通じて中国語および関連領域について考察する。
個別目標：1. 中国語検定に合格する。
2. 中国語の基礎的事項を定着させる。
3. 諸領域と中国語の連関を理解する。

▌履修条件
積極的に努力するとともに、弱点を直視する勇気を持つこと。

▌評価基準・方法
学期末試験もしくはそれに代わる課題を主とする。必要に応じて中間試験や追加課題等を課し、授業成果と併せて成績を評価する。

▌フィードバック方法
課題等のフィードバックは教場またはオンラインで行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）
なし

▌授業での PC の利用（利用内容）
あり （情報教室で PC を利用して授業を行うことがある。中国語学習アプリを利用することがある。）

▌教科書
授業中に指示する。

▌参考書
授業中に指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：演習と解説** 授業内容：過去問題を解き、解説を通して解法を習得する。 事前学修 2.0hr：既習の教材を読み直し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：当該授業の内容を復習し、辞書等を活用して理解を深める。
2回	**授業テーマ：演習と解説** 授業内容：過去問題を解き、解説を通して解法を習得する。 事前学修 2.0hr：前回の内容を今一度復習し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：当該授業の内容を復習し、辞書等を活用して理解を深める。
3回	**授業テーマ：演習と解説** 授業内容：過去問題を解き、解説を通して解法を習得する。 事前学修 2.0hr：前回の内容を今一度復習し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：当該授業の内容を復習し、辞書等を活用して理解を深める。
4回	**授業テーマ：演習と解説** 授業内容：過去問題を解き、解説を通して解法を習得する。 事前学修 2.0hr：前回の内容を今一度復習し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：当該授業の内容を復習し、辞書等を活用して理解を深める。
5回	**授業テーマ：演習と解説** 授業内容：過去問題を解き、解説を通して解法を習得する。 事前学修 2.0hr：前回の内容を今一度復習し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：当該授業の内容を復習し、辞書等を活用して理解を深める。
6回	**授業テーマ：演習と解説** 授業内容：過去問題を解き、解説を通して解法を習得する。 事前学修 2.0hr：前回の内容を今一度復習し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：当該授業の内容を復習し、辞書等を活用して理解を深める。
7回	**授業テーマ：演習と解説** 授業内容：過去問題を解き、解説を通して解法を習得する。 事前学修 2.0hr：前回の内容を今一度復習し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：当該授業の内容を復習し、辞書等を活用して理解を深める。
8回	**授業テーマ：演習と解説** 授業内容：過去問題を解き、解説を通して解法を習得する。 事前学修 2.0hr：前回の内容を今一度復習し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：当該授業の内容を復習し、辞書等を活用して理解を深める。
9回	**授業テーマ：語彙学習／問題集／解説** 授業内容：過去問題を解き、解説を通して解法を習得する。 事前学修 2.0hr：前回の内容を今一度復習し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：当該授業の内容を復習し、辞書等を活用して理解を深める。
10回	**授業テーマ：演習と解説** 授業内容：過去問題を解き、解説を通して解法を習得する。 事前学修 2.0hr：前回の内容を今一度復習し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：当該授業の内容を復習し、辞書等を活用して理解を深める。
11回	**授業テーマ：演習と解説** 授業内容：過去問題を解き、解説を通して解法を習得する。 事前学修 2.0hr：前回の内容を今一度復習し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：当該授業の内容を復習し、辞書等を活用して理解を深める。
12回	**授業テーマ：演習と解説** 授業内容：過去問題を解き、解説を通して解法を習得する。 事前学修 2.0hr：前回の内容を今一度復習し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：当該授業の内容を復習し、辞書等を活用して理解を深める。

13回	**授業テーマ：演習と解説** 授業内容：過去問題を解き、解説を通して解法を習得する。 事前学修 2.0hr：前回の内容を今一度復習し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：当該授業の内容を復習し、辞書等を活用して理解を深める。
14回	**授業テーマ：演習と解説** 授業内容：過去問題を解き、解説を通して解法を習得する。 事前学修 2.0hr：前回の内容を今一度復習し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：当該授業の内容を復習し、辞書等を活用して理解を深める。
15回	**授業テーマ：演習と解説** 授業内容：過去問題を解き、解説を通して解法を習得する。 事前学修 2.0hr：前回の内容を今一度復習し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：当該授業の内容を復習し、辞書等を活用して理解を深める。

中国語検定対策講座Ⅱ

開講学科等：中　｜　2 年次　｜　2 単位　｜　開講期：後

中島　祝（なかじま　はじめ）・**南　勇**（なん　ゆう）

▌授業の概要
中国語の検定試験に合格することを目指す。併せて中国語や関連領域について広く深く理解する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）
一般目標：目標とする中国語の検定試験に合格する。検定の勉強を通じて中国語および関連領域について考察する。
個別目標：1. 中国語検定に合格する。
2. 中国語の基礎的事項を定着させる。
3. 諸領域と中国語の連関を理解する。

▌履修条件
積極的に努力するとともに、弱点を直視する勇気を持つこと。

▌評価基準・方法
学期末試験もしくはそれに代わる課題を主とする。必要に応じて中間試験や追加課題等を課し、授業成果と併せて成績を評価する。

▌フィードバック方法
課題等のフィードバックは教場またはオンラインで行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）
なし

▌授業での PC の利用（利用内容）
あり （情報教室で PC を利用して授業を行うことがある。中国語学習アプリを利用することがある。）

▌教科書
授業中に指示する。

▌参考書
授業中に指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：演習と解説** 授業内容：過去問題を解き、解説を通して解法を習得する。 事前学修 2.0hr：既習の教材を読み直し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：当該授業の内容を復習し、辞書等を活用して理解を深める。
2回	**授業テーマ：演習と解説** 授業内容：過去問題を解き、解説を通して解法を習得する。 事前学修 2.0hr：前回の内容を今一度復習し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：当該授業の内容を復習し、辞書等を活用して理解を深める。
3回	**授業テーマ：演習と解説** 授業内容：過去問題を解き、解説を通して解法を習得する。 事前学修 2.0hr：前回の内容を今一度復習し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：当該授業の内容を復習し、辞書等を活用して理解を深める。
4回	**授業テーマ：演習と解説** 授業内容：過去問題を解き、解説を通して解法を習得する。 事前学修 2.0hr：前回の内容を今一度復習し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：当該授業の内容を復習し、辞書等を活用して理解を深める。
5回	**授業テーマ：演習と解説** 授業内容：過去問題を解き、解説を通して解法を習得する。 事前学修 2.0hr：前回の内容を今一度復習し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：当該授業の内容を復習し、辞書等を活用して理解を深める。
6回	**授業テーマ：演習と解説** 授業内容：過去問題を解き、解説を通して解法を習得する。 事前学修 2.0hr：前回の内容を今一度復習し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：当該授業の内容を復習し、辞書等を活用して理解を深める。
7回	**授業テーマ：演習と解説** 授業内容：過去問題を解き、解説を通して解法を習得する。 事前学修 2.0hr：前回の内容を今一度復習し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：当該授業の内容を復習し、辞書等を活用して理解を深める。
8回	**授業テーマ：演習と解説** 授業内容：過去問題を解き、解説を通して解法を習得する。 事前学修 2.0hr：前回の内容を今一度復習し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：当該授業の内容を復習し、辞書等を活用して理解を深める。
9回	**授業テーマ：語彙学習／問題集／解説** 授業内容：過去問題を解き、解説を通して解法を習得する。 事前学修 2.0hr：前回の内容を今一度復習し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：当該授業の内容を復習し、辞書等を活用して理解を深める。
10回	**授業テーマ：演習と解説** 授業内容：過去問題を解き、解説を通して解法を習得する。 事前学修 2.0hr：前回の内容を今一度復習し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：当該授業の内容を復習し、辞書等を活用して理解を深める。
11回	**授業テーマ：演習と解説** 授業内容：過去問題を解き、解説を通して解法を習得する。 事前学修 2.0hr：前回の内容を今一度復習し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：当該授業の内容を復習し、辞書等を活用して理解を深める。
12回	**授業テーマ：演習と解説** 授業内容：過去問題を解き、解説を通して解法を習得する。 事前学修 2.0hr：前回の内容を今一度復習し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：当該授業の内容を復習し、辞書等を活用して理解を深める。

13回	**授業テーマ：演習と解説** 授業内容：過去問題を解き、解説を通して解法を習得する。 事前学修 2.0hr：前回の内容を今一度復習し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：当該授業の内容を復習し、辞書等を活用して理解を深める。
14回	**授業テーマ：演習と解説** 授業内容：過去問題を解き、解説を通して解法を習得する。 事前学修 2.0hr：前回の内容を今一度復習し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：当該授業の内容を復習し、辞書等を活用して理解を深める。
15回	**授業テーマ：演習と解説** 授業内容：過去問題を解き、解説を通して解法を習得する。 事前学修 2.0hr：前回の内容を今一度復習し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：当該授業の内容を復習し、辞書等を活用して理解を深める。

文章表現演習 I

開講学科等：中 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

段　威（だん　い）

▌授業の概要

本演習は、中国語の作文能力を身につけ、さらに文章力を高めることを目標とする。
「語彙を適切に組み合わせる」、「正しい応用文法」、「美しい表現」を重点的に学び、典型的な誤りの実例・分析・訂正文および正解文を参考にして、さらに語彙の正しい組み合わせや文法の実践応用を身につける。
中国語で書かれた文章の背景と内容を理解するための知識を解説し、作文練習と「応用文」のトレーニングをこなすことで、「応用文」の文章力を高める。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：実用的な「語彙を適切に組み合わせる」、「正しい応用文法」、「美しい表現」を習得し、中国語の作文能力さらに文章力を身につける。
個別目標：①「語彙を適切に組み合わせる」、「正しい応用文法」、「美しい表現」を理解できる。
②語句の誤りを分析・判断することができる。
③手紙・メールや SNS のメッセージを正確に書くことができる。

▌履修条件

中検 3 級以上の中国語能力を持っていること。

▌評価基準・方法

試験 60 %、課題 20 %、学修内容振り返りシート 10%、授業内における参加姿勢及び発言等 10 %の結果及び到達目標の達成度に基づき総合的に評価する。
また、原則として５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

課題及び試験フィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （PBL）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

開講時に指示する。

▌参考書

授業中適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス・中国語の文章表現について** 授業内容：文章文の基礎と表現について 事前学修 2.0hr：講義概要を読んで、基礎中国語の単語と文法を復習する。 事後学修 2.0hr：文章表現に関する知識をまとめておく。
2回	**授業テーマ：名詞・代名詞の関連表現** 授業内容：名詞・代名詞の特徴と表現文型 事前学修 2.0hr：関連単語を繰り返して音読しながら暗記する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を確認し、基本文例と表現文型を理解する。
3回	**授業テーマ：名詞述語文の関連表現** 授業内容：名詞述語文の表現文型と重要な文法特徴 事前学修 2.0hr：関連単語を繰り返して音読しながら暗記する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を確認し、基本文例と表現文型を理解する。
4回	**授業テーマ：形容詞の関連表現** 授業内容：形容詞の特徴と表現文型 事前学修 2.0hr：関連単語を繰り返して音読しながら暗記する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を確認し、基本文例と表現文型を理解する。
5回	**授業テーマ：形容詞述語文の関連表現** 授業内容：形容詞述語文の表現文型と重要な文法特徴 事前学修 2.0hr：関連単語を繰り返して音読しながら暗記する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を確認し、基本文例と表現文型を理解する。
6回	**授業テーマ：動詞の関連表現** 授業内容：動詞の特徴と表現文型 事前学修 2.0hr：関連単語を繰り返して音読しながら暗記する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を確認し、基本文例と表現文型を理解する。
7回	**授業テーマ：動詞述語文の関連表現** 授業内容：動詞述語文の表現文型と重要な文法特徴 事前学修 2.0hr：関連単語を繰り返して音読しながら暗記する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を確認し、基本文例と表現文型を理解する。
8回	**授業テーマ：前半で学んだ内容の確認** 授業内容：学習した内容を確認し、文法的特徴を理解する。 事前学修 2.0hr：前半で学んだ内容を復習する。 事後学修 2.0hr：学修内容振り返りシートを記入する。
9回	**授業テーマ：数字・量詞の関連表現** 授業内容：数字・数量の表現文型 事前学修 2.0hr：関連単語を繰り返して音読しながら暗記する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を確認し、基本文例と表現文型を理解する。
10回	**授業テーマ：前置詞の関連表現** 授業内容：前置詞の表現文型 事前学修 2.0hr：関連単語を繰り返して音読しながら暗記する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を確認し、基本文例と表現文型を理解する。

11回	**授業テーマ：副詞の関連表現** 授業内容：副詞の表現文型 事前学修 2.0hr：関連単語を繰り返して音読しながら暗記する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を確認し、基本文例と表現文型を理解する。
12回	**授業テーマ：助詞の関連表現** 授業内容：助詞の表現文型 事前学修 2.0hr：関連単語を繰り返して音読しながら暗記する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を確認し、基本文例と表現文型を理解する。
13回	**授業テーマ：擬声語の関連表現** 授業内容：擬声語の表現文型 事前学修 2.0hr：関連単語を繰り返して音読しながら暗記する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を確認し、基本文例と表現文型を理解する。
14回	**授業テーマ：語彙の重ね型の関連表現** 授業内容：語彙の重ね型の表現文型 事前学修 2.0hr：関連単語を繰り返して音読しながら暗記する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を確認し、基本文例と表現文型を理解する。
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：前期の振り返り、重要な文法と表現を確認する。 事前学修 2.0hr：今までの授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：学修内容総括シートを記し、学修ポートフォリオを整理する。

文章表現演習Ⅱ

開講学科等：中 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

段　威（だん　い）

▌授業の概要

前期に引き続き、中国語の作文能力を身につけ、さらに文章力を高めることを目標とする。
「語彙を適切に組み合わせる」、「正しい応用文法」、「美しい表現」を重点的に学び、典型的な誤りの実例・分析・訂正文および正解文を参考にして、さらに語彙の正しい組み合わせや文法の実践応用を身につける。
中国語で書かれた文章の背景と内容を理解するための知識を解説し、作文練習と「応用文」のトレーニングをこなすことで、「応用文」の文章力を高める。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：実用的な「語彙を適切に組み合わせる」、「正しい応用文法」、「美しい表現」を習得し、中国語の作文能力さらに文章力を身につける。
個別目標：①「語彙を適切に組み合わせる」、「正しい応用文法」、「美しい表現」を理解できる。
②語句の誤りを分析・判断することができる。
③手紙・メールや SNS のメッセージを正確に書くことができる。

▌履修条件

中検 3 級以上の中国語能力を持っていること。

▌評価基準・方法

試験 60 %、課題 20 %、学修内容振り返りシート 10%、授業内における参加姿勢及び発言等 10 %の結果及び到達目標の達成度に基づき総合的に評価する。
また、原則として５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

課題及び試験フィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （PBL）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

開講時に指示する。

▌参考書

授業中適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：単文について** 授業内容：単文の構成と語順 事前学修 2.0hr：講義概要を読んで、基礎中国語の単語と文法を復習する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を確認し、基本文例と表現文型を理解する。
2回	**授業テーマ：「主謂賓」構文について** 授業内容：「主謂賓」構文および関連表現 事前学修 2.0hr：事前に配布した資料について、目を通して関連単語を暗記する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を確認し、基本文例と表現文型を理解する。
3回	**授業テーマ：謂語および関連表現** 授業内容：動作・状態の「態」の表現と特別な動詞述語文 事前学修 2.0hr：関連単語を繰り返して音読しながら暗記する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を確認し、基本文例と表現文型を理解する。
4回	**授業テーマ：賓語および関連表現** 授業内容：賓語の位置と「把」構文 事前学修 2.0hr：関連単語を繰り返して音読しながら暗記する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を確認し、基本文例と表現文型を理解する。
5回	**授業テーマ：状語および関連表現** 授業内容：状語の分類と位置 事前学修 2.0hr：関連単語を繰り返して音読しながら暗記する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を確認し、基本文例と表現文型を理解する。
6回	**授業テーマ：補語の関連表現①結果・程度・数量** 授業内容：結果・程度・数量補語の表現文型 事前学修 2.0hr：関連単語を繰り返して音読しながら暗記する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を確認し、基本文例と表現文型を理解する。
7回	**授業テーマ：補語の関連表現②方向・可能** 授業内容：方向・可能補語の表現文型 事前学修 2.0hr：関連単語を繰り返して音読しながら暗記する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を確認し、基本文例と表現文型を理解する。
8回	**授業テーマ：前半で学んだ内容の確認** 授業内容：学習した内容を確認し、基本文例と表現文型を理解する。 事前学修 2.0hr：前半で学んだ内容を復習する。 事後学修 2.0hr：学修内容振り返りシートを記入する。
9回	**授業テーマ：比較と強調の関連表現** 授業内容：比較と強調の表現文型 事前学修 2.0hr：関連単語を繰り返して音読しながら暗記する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を確認し、基本文例と表現文型を理解する。
10回	**授業テーマ：疑問文と反語の関連表現** 授業内容：疑問文と反語の表現文型 事前学修 2.0hr：関連単語を繰り返して音読しながら暗記する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を確認し、基本文例と表現文型を理解する。

11回	**授業テーマ：修飾語の関連表現** 授業内容：修飾語の語順及び表現文型 事前学修 2.0hr：関連単語を繰り返して音読しながら暗記する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を確認し、基本文例と表現文型を理解する。
12回	**授業テーマ：複文の関連表現** 授業内容：選択・逆接・仮定・因果 事前学修 2.0hr：関連単語を繰り返して音読しながら暗記する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を確認し、基本文例と表現文型を理解する。
13回	**授業テーマ：応用文の関連表現①メッセージ** 授業内容：手紙・メール・SNS のメッセージの関連表現 事前学修 2.0hr：関連単語を繰り返して音読しながら暗記する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を確認し、基本文例と表現文型を理解する。
14回	**授業テーマ：応用文の関連表現②説明** 授業内容：紹介・説明・スピーチの関連表現 事前学修 2.0hr：関連単語を繰り返して音読しながら暗記する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を確認し、基本文例と表現文型を理解する。
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：後期の振り返り、重要な文法と表現を確認する。 事前学修 2.0hr：今までの授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：学修内容総括シートを記し、学修ポートフォリオを整理する。

口頭表現演習 I

開講学科等：中 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

劉　智顗（りゅう　ちえい）

▌授業の概要

中国で外国人留学生向けの授業で使用されている中国語中級教科書に沿って、中国語による講読、会話練習、発表を行う。
授業は中国語のみで行われる。
学期末には試験を行う。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：オール中国語の授業を通して、中国語の語彙力およびコミュニケーション力を向上させるとともに、現代中国社会に対する理解を深める。
個別目標：①現代中国社会の様々な話題について理解する。
②中国語で質疑応答ができ、意見や感想を述べられるようになる。

▌履修条件

中国語での練習や発表に積極的に参加すること。

▌評価基準・方法

平常点 60%、期末試験 40%で評価する。平常点は、出席状況、受講の積極性、小テストにより評価する。

▌フィードバック方法

授業中の解説や評価によりフィードバックを行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （中国語会話）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

『実践中国語―中級聴説』北京師範大学出版社

▌参考書

特になし

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：授業ガイダンス** 授業内容：授業の目的、進め方、評価方法などについて説明する。自己紹介を行う。 事前学修 2.0hr：自己紹介の準備をする。 事後学修 2.0hr：教科書全体に目を通し、使い方を確認する
2回	**授業テーマ：第一課 早睡早起身体好** 授業内容：交際活動：談談自己的生活習慣 自分の日ごろの仕事や休憩の状況について紹介し、それぞれの違いについて評価し合う。 事前学修 2.0hr：辞書を引いて本文の意味を調べておく 事後学修 2.0hr：本文の内容を復習する
3回	**授業テーマ：第二課 点菜** 授業内容：交際活動：選択合適的飯館，点愛吃的菜 料理注文の方法や技について理解し、料理に対する評価を述べる。中国各地の料理の特徴を説明できるようになる。 事前学修 2.0hr：辞書を引いて本文の意味を調べておく 事後学修 2.0hr：本文の内容を復習する
4回	**授業テーマ：第三課 講価** 授業内容：交際活動：討論什麽時候可以講价以及講価的好辦法 商品の質や価格について比較や評価を行い、値段交渉ができるようになる。また、値引き交渉について話し合う。 事前学修 2.0hr：辞書を引いて本文の意味を調べておく 事後学修 2.0hr：本文の内容を復習する
5回	**授業テーマ：第四課 一位出租汽車司机** 授業内容：交際活動：討論出行経験和対司机的印象 様々な交通機関の特徴を述べ、比較し、評価する。 事前学修 2.0hr：辞書を引いて本文の意味を調べておく 事後学修 2.0hr：本文の内容を復習する
6回	**授業テーマ：第五課 運動的故事** 授業内容：交際活動：討論運動習慣以及喜歓的運動 運動に関する趣味や得意なことを説明し、試合の過程を紹介したり描写したりできる。また、健康と体力作りについて討論する。 事前学修 2.0hr：辞書を引いて本文の意味を調べておく 事後学修 2.0hr：本文の内容を復習する
7回	**授業テーマ：第六課 夜生活** 授業内容：交際活動：討論一下夜生活的方式及異同 様々な余暇の過ごし方、娯楽を比較したり、活動に人を誘ったり、1 つの娯楽について説明や評価を行ったりする。 事前学修 2.0hr：辞書を引いて本文の意味を調べておく 事後学修 2.0hr：本文の内容を復習する
8回	**授業テーマ：知識総結与復習** 授業内容：第 1 課～第 6 課の語彙と文法のポイントを総括する。 事前学修 2.0hr：課題の準備を行う 事後学修 2.0hr：第 1 課～第 6 課の授業内容を復習する
9回	**授業テーマ：第九課 難忘的経歴** 授業内容：交際活動：説説自己最難忘的事情 忘れられない経験やその理由について述べる。 事前学修 2.0hr：辞書を引いて本文の意味を調べておく 事後学修 2.0hr：本文の内容を復習する
10回	**授業テーマ：第十課 上当** 授業内容：交際活動：討論一下什麽人最容易上当以及為什麽 だまされた経験を述べ、だまされた後どうするようになったかを説明する。 事前学修 2.0hr：辞書を引いて本文の意味を調べておく 事後学修 2.0hr：本文の内容を復習する

11回	**授業テーマ：第十一課 在国外的経歴** 授業内容：交際活動：討論在国外生活的優缺点 外国の風土や人情、海外にいる時に感じたことについて紹介する。 事前学修 2.0hr：辞書を引いて本文の意味を調べておく 事後学修 2.0hr：本文の内容を復習する
12回	**授業テーマ：第十二課 出洋相** 授業内容：交際活動：講講自己出洋相的一件事情 恥ずかしい失敗をした経験を話し、「恥をかく」ことに対する自分の考えを説明する。 事前学修 2.0hr：辞書を引いて本文の意味を調べておく 事後学修 2.0hr：本文の内容を復習する
13回	**授業テーマ：第十三課 網絡与隠私** 授業内容：交際活動：討論大家対隠私的看法以及網絡道徳問題 プライバシーについての考え方を説明し、新しいテクノロジーがプライバシーに与える影響、インターネットが生活に及ぼす影響について話す。 事前学修 2.0hr：辞書を引いて本文の意味を調べておく 事後学修 2.0hr：本文の内容を復習する
14回	**授業テーマ：知識総結与復習** 授業内容：第 9 課～第 13 課の語彙と文法のポイントを総括する。 事前学修 2.0hr：課題の準備をする 事後学修 2.0hr：第 9 課～第 13 課の授業内容を復習する
15回	**授業テーマ：授業の総括、授業内テスト** 授業内容：期末考試 事前学修 2.0hr：授業全体の内容を復習する 事後学修 2.0hr：授業全体における自身のパフォーマンスや課題をふりかえる

口頭表現演習Ⅱ

開講学科等：中 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

劉　智顕（りゅう　ちえい）

▌授業の概要

中国で外国人留学生向けの授業で使用されている中国語中級教科書に沿って、中国語による講読、会話練習、発表を行う。
授業は中国語のみで行われる。
学期末には試験を行う。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：オール中国語の授業を通して、中国語の語彙力およびコミュニケーション力を向上させるとともに、現代中国社会に対する理解を深める。
個別目標：①現代中国社会の様々な話題について理解する。
②中国語で質疑応答ができ、意見や感想を述べられるようになる。

▌履修条件

中国語での練習や発表に積極的に参加すること。

▌評価基準・方法

平常点 60%、期末試験 40%で評価する。平常点は、出席状況、受講の積極性、小テストにより評価する。

▌フィードバック方法

授業中の解説や評価によりフィードバックを行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （中国語会話）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

『実践中国語―中級聴説』北京師範大学出版社

▌参考書

特になし

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：第十四課 礼尚往来** 授業内容：交際活動：談談送礼物与收礼物 社会でのコミュニケーションにおける基本的な礼儀や、どのようにしてプレゼントを選び、贈ればよいかを説明する。「礼尚往来(礼には礼で返す)」の考え方を説明する。 事前学修 2.0hr：辞書を引いて本文の意味を調べておく 事後学修 2.0hr：本文の内容を復習する
2回	**授業テーマ：第十五課 入郷随俗** 授業内容：交際活動：談談自己家郷特別的風俗習慣 風習や習慣について説明や評価を行い、「入郷随俗(郷に入っては郷に従う)」の考え方について説明する。 事前学修 2.0hr：辞書を引いて本文の意味を調べておく 事後学修 2.0hr：本文の内容を復習する
3回	**授業テーマ：第十六課 中西文化習俗** 授業内容：交際活動：討論中日文化習俗的不同 様々な地域や様々な民俗的風習を比較し、説明する。 事前学修 2.0hr：辞書を引いて本文の意味を調べておく 事後学修 2.0hr：本文の内容を復習する
4回	**授業テーマ：第十七課 一個関于愛情的心理測試** 授業内容：交際活動：討論“日久生情”和“一見鍾情” 恋愛スタイルを紹介し、恋愛のプロセスについて述べる。また、様々な恋愛スタイルに対する自分の考えを説明する。 事前学修 2.0hr：辞書を引いて本文の意味を調べておく 事後学修 2.0hr：本文の内容を復習する
5回	**授業テーマ：第十八課 理想的妻子** 授業内容：交際活動：討論自己心目中理想的男朋友或女朋友 理想の相手を選ぶ基準を説明し、様々な理想の基準に対して評価を行う。 事前学修 2.0hr：辞書を引いて本文の意味を調べておく 事後学修 2.0hr：本文の内容を復習する
6回	**授業テーマ：第二十一課 差不多与太認真** 授業内容：交際活動：討論生活中自己的性格特征 いろいろな人の性格の特徴を描写し、簡単な評価を行う。 事前学修 2.0hr：辞書を引いて本文の意味を調べておく 事後学修 2.0hr：本文の内容を復習する
7回	**授業テーマ：第二十二課 小気鬼** 授業内容：交際活動：編一個“小気”主題的短劇并表演 ケチ、おおらか等の性格の特徴を描写し、簡単な評価を行う。 事前学修 2.0hr：辞書を引いて本文の意味を調べておく 事後学修 2.0hr：本文の内容を復習する
8回	**授業テーマ：知識総結与復習** 授業内容：第 14 課～第 18 課、第 21 課～第 22 課の語彙と文法のポイントを総括する。 事前学修 2.0hr：課題の準備を行う 事後学修 2.0hr：第 14 課～第 18 課、第 21 課～第 22 課の授業内容を復習する
9回	**授業テーマ：第二十三課 口頭禅** 授業内容：交際活動：説説自己或朋友的口頭禅并進行分析 自分の「座右の銘」を紹介する。「座右の銘」を通じて、その人の性格の特徴を描写する。 事前学修 2.0hr：辞書を引いて本文の意味を調べておく 事後学修 2.0hr：本文の内容を復習する

10回	**授業テーマ：第二十四課 怎様才是男子漢** 授業内容：交際活動：討論一下男女平等問題 「男の中の男」「いい女」はどのような特徴を備えているかを説明し、男女に対する人々の要求について簡単に評価を行う。また、男女平等の考え方について説明する。 事前学修 2.0hr：辞書を引いて本文の意味を調べておく 事後学修 2.0hr：本文の内容を復習する
11回	**授業テーマ：第二十六課 母親和女児的信** 授業内容：交際活動：討論自己和父母的関係，説説心目中理想的父母 家庭内でのジェネレーション・ギャップ現象について描写し、世代の違いに対する考え方を簡単に説明する。 事前学修 2.0hr：辞書を引いて本文の意味を調べておく 事後学修 2.0hr：本文の内容を復習する
12回	**授業テーマ：第二十八課 丁克与丁寵** 授業内容：交際活動：討論一下要孩子還是養寵物 自分の子育て観を説明し、その理由を簡単に説明する。DINKS に対する考え方を述べる。ペットを飼うという考え方に対して評価を行う。 事前学修 2.0hr：辞書を引いて本文の意味を調べておく 事後学修 2.0hr：本文の内容を復習する
13回	**授業テーマ：第三十二課 広告与媒体** 授業内容：交際活動：討論喜歓的広告以及広告対生活的影響 広告が日常生活に与える作用や影響を分析し、説明する。 事前学修 2.0hr：辞書を引いて本文の意味を調べておく 事後学修 2.0hr：本文の内容を復習する
14回	**授業テーマ：知識総結与復習** 授業内容：第 23 課、第 24 課、第 26 課、第 28 課、第 32 課の語彙と文法のポイントを総括する。 事前学修 2.0hr：課題の準備をする 事後学修 2.0hr：第 23 課、第 24 課、第 26 課、第 28 課、第 32 課の授業内容を復習する
15回	**授業テーマ：授業の総括、授業内テスト** 授業内容：期末考試 事前学修 2.0hr：授業全体の内容を復習する 事後学修 2.0hr：授業全体における自身のパフォーマンスや課題をふりかえる

日中通訳基礎演習Ⅰ

開講学科等：中 ｜ 3年次 ｜ 2単位 ｜ 開講期：前

神崎　龍志（かんざき　たつし）

▌授業の概要

本講義は、1、2年次に学んだ中国語の総合力を基礎とし、ビジネスシーンで役立つ通訳の基礎的技能を訓練することを目的とする。通訳に必要な反応の速さ、スムーズな言語転換と訳出に必要な基礎的技術を養う。
なお、授業においては、学生同士が中国語ならびに日本語の発音・用語・表現・訳文について検討しあうなど、アクティブラーニングの手法を積極的に用いるものとする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：中国語専攻 4、GSM 2）

一般目標：通訳の基礎的技能を修得する。
個別目標：①通訳者に必要な日中両言語の豊富な語彙力と表現力を身につけること。
②日中ビジネス用語を修得しながら、初歩的な通訳パフォーマンスができるようにすること。

▌履修条件

1、2年次に中国語の基礎力・応用力を十分に習得できた者で、通訳技術の修得に強い興味と意欲のある者を対象とする。
毎日30分以上の課外訓練が可能な者で、短期長期を問わず留学経験のある者が望ましい。
疾病以外の理由による 3 回以上の公欠前提の履修は認めないものとする。

▌評価基準・方法

①平常授業での日中翻訳の品質、逐次通訳能力、総合パフォーマンス（70%）
②期末実技考課（30%）
なお、原則として5分の4以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ペアワーク、グループディスカッション、グループ発表）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

プリント教材を適宜、提供または利用する。

▌参考書

『通訳者のしごと (岩波ジュニア新書 623)』(近藤正臣著、岩波書店、2009年)

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：通訳基礎理論概説および訓練方法** 授業内容：通訳に関する基礎的理論、通訳訓練法を説明する。 事前学修 2.0hr：本講義の概要について目を通してくる。 事後学修 2.0hr：学習目標と訓練方法の確認。
2回	**授業テーマ：通訳基礎Ⅰ(1)－シャドウイング訓練導入。シャドウイングの効果と訓練方法について** 授業内容：シャドウングについて説明する。日本語、中国語の原稿を使ってシャドウイング訓練をおこなう。 事前学修 2.0hr：配布資料に目を通してくる。 事後学修 2.0hr：通訳訓練方法について説明できるようにする。
3回	**授業テーマ：通訳基礎Ⅰ(2)－教材に基づくシャドウイング練習** 授業内容：シャドウイングの訓練を行う。 事前学修 2.0hr：シャドウイング発表のための準備学習 事後学修 2.0hr：指定された教材のシャドウイング訓練を行う。
4回	**授業テーマ：通訳基礎Ⅰ(3)－速読導入。速読とは。その効果と訓練方法** 授業内容：速読の方法と効果について説明し、課題文の速読訓練を行う。 事前学修 2.0hr：配布資料に目を通してくる。 事後学修 2.0hr：速読についての講義内容を把握する。
5回	**授業テーマ：通訳基礎Ⅰ(4)－教材に基づく速読練習** 授業内容：課題文に沿って速読訓練を行なう。 事前学修 2.0hr：速読発表のための準備学習。 事後学修 2.0hr：速読について説明できるようにする。
6回	**授業テーマ：通訳基礎Ⅰ(5)－逐次通訳導入。逐次通訳とは。その訓練方法** 授業内容：逐次通訳のポイントを説明する。 事前学修 2.0hr：配布資料に目を通してくる。 事後学修 2.0hr：逐次通訳についての講義概要を把握する。
7回	**授業テーマ：通訳基礎Ⅰ(6)－教材に基づく逐次通訳練習** 授業内容：教材を用いて逐次通訳訓練を行う。 事前学修 2.0hr：反応訓練のための事前学習。 事後学修 2.0hr：逐次通訳について説明できるようにする。
8回	**授業テーマ：通訳基礎Ⅰ(7)－通訳基礎訓練Ⅰにおける各自の課題確認と目標設定(グループ討論中間総括発表)** 授業内容：逐次通訳における各自の課題および改善点を明確化する。 事前学修 2.0hr：配布資料に目を通してくる。 事後学修 2.0hr：自分の課題と目標を確認する。
9回	**授業テーマ：通訳基礎技術訓練Ⅰ(1)速読課題文発表、シャドウイング訓練、逐次通訳練習** 授業内容：これまでの授業で学んできた通訳技術を用いて発表を行う。 事前学修 2.0hr：指定教材の反応訓練。 事後学修 2.0hr：指定教材の反応訓練。
10回	**授業テーマ：通訳基礎技術訓練Ⅰ(2)速読課題文発表、シャドウイング訓練、逐次通訳練習** 授業内容：これまでの授業で学んできた通訳技術を用いて発表を行う。 事前学修 2.0hr：指定教材の反応訓練。 事後学修 2.0hr：指定教材の反応訓練。

11回	**授業テーマ：通訳基礎技術訓練Ⅰ(3)速読課題文発表、シャドウイング訓練、同時通訳練習** 授業内容：これまでの授業で学んできた通訳技術を用いて発表を行う。 事前学修 2.0hr：指定教材の反応訓練。 事後学修 2.0hr：指定教材の反応訓練。
12回	**授業テーマ：通訳基礎技術訓練Ⅰ(4)速読課題文発表、シャドウイング訓練、逐次通訳練習** 授業内容：これまでの授業で学んできた通訳技術を用いて発表を行う。 事前学修 2.0hr：指定教材の反応訓練。 事後学修 2.0hr：指定教材の反応訓練。
13回	**授業テーマ：通訳基礎技術訓練Ⅰ(5)速読課題文発表、シャドウイング訓練、逐次通訳練習** 授業内容：これまでの授業で学んできた通訳技術を用いて発表を行う。 事前学修 2.0hr：指定教材の反応訓練。 事後学修 2.0hr：指定教材の反応訓練。
14回	**授業テーマ：通訳基礎技術訓練Ⅰ(6)－基礎技術訓練Ⅰにおける課題認識と目標設定(グループ討論総括発表)** 授業内容：これまでの授業で学んできた通訳技術を用いて発表を行う。 事前学修 2.0hr：指定教材の反応訓練。 事後学修 2.0hr：指定教材の反応訓練。
15回	**授業テーマ：まとめ。この学期の技術練習を俯瞰し、進歩の度合と今後取り組むべき技術課題を明確にする** 授業内容：これまで学んできたことを振り返り、成果と課題について発表する。 事前学修 2.0hr：試験の準備。 事後学修 2.0hr：試験内容の復習。

日中通訳基礎演習Ⅱ

開講学科等：中 ｜ 3年次 ｜ 2単位 ｜ 開講期：後

神崎　龍志（かんざき　たつし）

▌授業の概要

本講義は1、2年次および3年生前期までに学んだ中国語の総合力をもとに、ビジネスシーンで役立つ通訳の基礎的な技能を訓練することを目的とする。通訳に必要な適確な訳出、スムーズな言語転換に必要な基礎的技術を養う。
なお、授業では学生同士が中国語ならびに日本語の発音や用語・表現・訳文について検討しあうなど、アクティブラーニングの手法を積極的に用いるものとする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：中国語専攻 4、GSM 2）

一般目標：通訳の基礎的技能の修得。
個別目標：①日中通訳に必要な基本的スキルとその難点について説明できる。
②基礎的な日中ビジネス通訳に必要な語彙力、表現力を身につける。

▌履修条件

すでに中国語の基礎力・応用力を十分に有する者で、通訳技術を学び、向上させることに興味と意欲のある者を対象とする。
毎日30分以上の課外訓練が可能な者で、短期・長期を問わず留学経験のある者が望ましい。
疾病以外の理由による3回以上の公欠前提の履修は認めないものとする。

▌評価基準・方法

①平常授業での日中翻訳の品質、逐次通訳能力、総合パフォーマンス（70%）
②期末実技考課（30%）
なお、原則として5分の4以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ペアワーク、グループディスカッション、グループ発表）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

プリント教材を適宜、提供または利用する。

▌参考書

『通訳者のしごと (岩波ジュニア新書 623)』(近藤正臣著、岩波書店、2009年)

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：通訳基礎理論概説および訓練方法** 授業内容：通訳に関する基礎的な理論と通訳訓練法について説明する。 事前学修 2.0hr：本講義の概要について目を通してくる。 事後学修 2.0hr：学習目標と訓練方法の確認。
2回	**授業テーマ：通訳基礎Ⅱ(1)－シャドウイング訓練導入。シャドウイングの効果と訓練方法について** 授業内容：シャドウイングの訓練法と効果について説明する。 事前学修 2.0hr：配布資料に目を通してくる。 事後学修 2.0hr：通訳訓練方法について説明できるようにする。
3回	**授業テーマ：通訳基礎Ⅱ(2)－教材に基づくシャドウイング練習** 授業内容：教材を用いてシャドウイングの訓練を行なう。 事前学修 2.0hr：シャドウイング発表のための準備学習 事後学修 2.0hr：指定された教材のシャドウイング訓練を行う。
4回	**授業テーマ：通訳基礎Ⅱ(3)－速読導入。速読とは。その効果と訓練方法** 授業内容：速読の訓練法と効果について説明する。 事前学修 2.0hr：配布資料に目を通してくる。 事後学修 2.0hr：速読についての講義内容を把握する。
5回	**授業テーマ：通訳基礎Ⅱ(4)－教材に基づく速読練習** 授業内容：教材を用いて速読の訓練を行う。 事前学修 2.0hr：速読発表のための準備学習。 事後学修 2.0hr：速読について説明できるようにする。
6回	**授業テーマ：通訳基礎Ⅱ(5)－逐次通訳と同時通訳とはなにか。その訓練方法と効果** 授業内容：逐次通訳と同時通訳の違いを知り、訓練方法と効果についても説明する。 事前学修 2.0hr：配布資料に目を通してくる。 事後学修 2.0hr：同時通訳についての講義概要を把握する。
7回	**授業テーマ：通訳基礎Ⅱ(6)－教材に基づく逐次・同時通訳練習** 授業内容：教材を用いて逐次・同時通訳の基礎訓練を行なう。 事前学修 2.0hr：反応訓練のための事前学習。 事後学修 2.0hr：同時通訳について説明できるようにする。
8回	**授業テーマ：通訳基礎Ⅱ(7)－通訳基礎訓練Ⅰにおける各自の課題確認と目標設定(グループ討論中間総括発表)** 授業内容：ここまでの授業で得られた成果と課題について確認し、改善点を中心に目標を設定する。 事前学修 2.0hr：配布資料に目を通してくる。 事後学修 2.0hr：自分の課題と目標を確認する。
9回	**授業テーマ：通訳基礎技術訓練Ⅱ(1)速読課題文発表、シャドウイング訓練、逐次・同時通訳練習** 授業内容：教材を用いて逐次・同時通訳の基礎訓練を行なう。 事前学修 2.0hr：指定教材の反応訓練。 事後学修 2.0hr：指定教材の反応訓練。
10回	**授業テーマ：通訳基礎技術訓練Ⅱ(2)速読課題文発表、シャドウイング訓練、逐次・同時通訳練習** 授業内容：教材を用いて逐次・同時通訳の基礎訓練を行なう。 事前学修 2.0hr：指定教材の反応訓練。 事後学修 2.0hr：指定教材の反応訓練。

11回	**授業テーマ：通訳基礎技術訓練Ⅱ（3）速読課題文発表、シャドウイング訓練、逐次・同時通訳練習** 授業内容：教材を用いて逐次・同時通訳の基礎訓練を行なう。 事前学修 2.0hr：指定教材の反応訓練。 事後学修 2.0hr：指定教材の反応訓練。
12回	**授業テーマ：通訳基礎技術訓練Ⅱ（4）速読課題文発表、シャドウイング訓練、逐次・同時通訳練習** 授業内容：教材を用いて逐次・同時通訳の基礎訓練を行なう。 事前学修 2.0hr：指定教材の反応訓練。 事後学修 2.0hr：指定教材の反応訓練。
13回	**授業テーマ：通訳基礎技術訓練Ⅱ（5）速読課題文発表、シャドウイング訓練、逐次・同時通訳練習** 授業内容：教材を用いて逐次・同時通訳の基礎訓練を行なう。 事前学修 2.0hr：指定教材の反応訓練。 事後学修 2.0hr：指定教材の反応訓練。
14回	**授業テーマ：通訳基礎技術訓練Ⅱ（6）－基礎技術訓練Ⅰにおける課題認識と目標設定（グループ討論総括発表）** 授業内容：これまでの授業で学んできた通訳技術に関する発表を行う。 事前学修 2.0hr：指定教材の反応訓練。 事後学修 2.0hr：指定教材の反応訓練。
15回	**授業テーマ：まとめ。この学期の技術練習を俯瞰し、進歩の度合と今後取り組むべき技術課題を明確にする** 授業内容：これまでの授業を振り返り、成果と課題をまとめ、発表する。 事前学修 2.0hr：試験の準備。 事後学修 2.0hr：試験内容の復習。

日中翻訳基礎演習 I

開講学科等：中 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

中桐　典子 (なかぎり　のりこ)

▌授業の概要

中国の社会で起きている様々な現象について書かれた文章を読み、中国社会に対する理解を深めるとともに、中国語を文法構造に即して正確に日本語に翻訳する力を養う。文章の大まかな意味や要旨をとらえることは固より重要だが、この授業では主語-述語-目的語の構造に、定語や状語、補語がどのようにかかわっているかに重点を置いて学習を進めていく。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：中国語専攻 4、GSM 2）

一般目標：翻訳に通じる比較的高度な中文日訳能力を身につけるとともに、多様な文章に触れることにより、中国の文化・社会に対する知識を深める。
個別目標：①中国語で書かれた文章の文法構造が説明できる。
②中国語で書かれた文章を的確な日本語に訳すことができる。
③中国語でよく使われる単語、熟語、成語などを覚え、状況に応じて使用することができる。

▌履修条件

特になし。

▌評価基準・方法

定期考査 70 %、小テストおよび課題提出 20 %、受講態度および発表 10 %を基準に。総合的に評価する。なお、5 分の 4 以上の出席を評価の前提とする。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （割り当てられた文章を和訳、解説する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

『変化する中国』孟広学・本間史著　白水社

▌参考書

授業で適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンスおよび初級文法ポイントの復習** 授業内容：主述文、アスペクト、2つの“了”、補語について復習する。 事前学修 2.0hr：教科書 6-7 ページの「初級文法のポイント」を読んで理解しておく。 事後学修 2.0hr：プリントの練習問題をやる
2 回	**授業テーマ：第 1 課「教育の公平」文法ポイント、重要語句を解説する** 授業内容：文法ポイントの例文を文構造に即して訳し、関連する練習問題に取り組む。 事前学修 2.0hr：第 1 課「教育の公平」文法ポイントを読んで理解しておく。 事後学修 2.0hr：指示された練習問題をやる。
3 回	**授業テーマ：第 1 課「教育の公平」本文の構造を解説する** 授業内容：まず、構造の複雑な文を取り出し、その文構造を考える。その後、文章全体を順に訳していく。 事前学修 2.0hr：第 1 課「教育の公平」を読んで、文構造を考えておく。 事後学修 2.0hr：第 1 課「教育の公平」中の重要単語、成語、熟語を復習する。
4 回	**授業テーマ：第 2 課「就職難」の文法ポイント、重要語句を解説する** 授業内容：文法ポイントの例文を文構造に即して訳し、関連する練習問題に取り組む。 事前学修 2.0hr：第 2 課「就職難」文法ポイントを読んで理解しておく。 事後学修 2.0hr：指示された練習問題をやる。
5 回	**授業テーマ：第 2 課「就職難」本文の構造を解説する** 授業内容：まず、構造の複雑な文を取り出し、その文構造を考える。その後、文章全体を順に訳していく。 事前学修 2.0hr：第 2 課「就職難」を読んで、文構造を考えておく。 事後学修 2.0hr：第 2 課「就職難」中の重要単語、成語、熟語を復習する。
6 回	**授業テーマ：第 3 課「若者の結婚恋愛観の変化」の文法ポイント、重要語句を解説する** 授業内容：文法ポイントの例文を文構造に即して訳し、関連する練習問題に取り組む。 事前学修 2.0hr：第 3 課「若者の結婚恋愛観の変化」文法ポイントを読んで理解しておく。 事後学修 2.0hr：指示された練習問題をやる。
7 回	**授業テーマ：第 3 課「若者の結婚恋愛観の変化」本文の構造を解説する** 授業内容：まず、構造の複雑な文を取り出し、その文構造を考える。その後、文章全体を順に訳していく。 事前学修 2.0hr：第 3 課「若者の結婚恋愛観の変化」」を読んで、文構造を考えておく。 事後学修 2.0hr：第 3 課「若者の結婚恋愛観の変化」中の重要単語、成語、熟語を復習する。
8 回	**授業テーマ：第 4 課「ローン奴隷」の文法ポイント、重要語句を解説する** 授業内容：文法ポイントの例文を文構造に即して訳し、関連する練習問題に取り組む。 事前学修 2.0hr：第 4 課「ローン奴隷」文法ポイントを読んで理解しておく。 事後学修 2.0hr：指示された練習問題をやる。
9 回	**授業テーマ：第 4 課「ローン奴隷」本文の構造を解説する** 授業内容：まず、構造の複雑な文を取り出し、その文構造を考える。その後、文章全体を順に訳していく。 事前学修 2.0hr：第 4 課「ローン奴隷」を読んで、文構造を考えておく。 事後学修 2.0hr：第 4 課「ローン奴隷」中の重要単語、成語、熟語を復習する。
10 回	**授業テーマ：第 5 課「多くの個人投資家」の文法ポイント、重要語句を解説する** 授業内容：文法ポイントの例文を文構造に即して訳し、関連する練習問題に取り組む。 事前学修 2.0hr：第 5 課「多くの個人投資家」文法ポイントを読んで理解しておく。 事後学修 2.0hr：指示された練習問題をやる。
11 回	**授業テーマ：第 5 課「多くの個人投資家」本文の構造を解説する** 授業内容：まず、構造の複雑な文を取り出し、その文構造を考える。その後、文章全体を順に訳していく。 事前学修 2.0hr：第 5 課「多くの個人投資家」を読んで、文構造を考えておく。 事後学修 2.0hr：第 5 課「多くの個人投資家」中の重要単語、成語、熟語を復習する。

12回	**授業テーマ：第 6 課「都市の消費ブーム」の文法ポイント、重要語句を解説する** 授業内容：文法ポイントの例文を文構造に即して訳し、関連する練習問題に取り組む。 事前学修 2.0hr：第 6 課「都市の消費ブーム」文法ポイントを読んで理解しておく。 事後学修 2.0hr：指示された練習問題をやる。
13回	**授業テーマ：第 6 課「都市の消費ブーム」本文の構造を解説する** 授業内容：まず、構造の複雑な文を取り出し、その文構造を考える。その後、文章全体を順に訳していく。 事前学修 2.0hr：第 6 課「都市の消費ブーム」を読んで、文構造を考えておく。 事後学修 2.0hr：第 6 課「都市の消費ブーム」中の重要単語、成語、熟語を復習する。
14回	**授業テーマ：HSK ４級の長文を読み、構造に従って日本語に訳す** 授業内容：まず、構造の複雑な文を取り出し、その文構造を考える。その後、文章全体を順に訳していく。 事前学修 2.0hr：与えられた文章を訳しておく。 事後学修 2.0hr：自分で訳したものと授業中に行った訳文との違いについて考察する。
15回	**授業テーマ：半期で扱った文章の訳について総まとめをする** 授業内容：訳しにくかった文、誤訳の多かった文を再度解説したのち、構造に即して正確に訳す。 事前学修 2.0hr：訳しにくかった文、誤訳の多かった文を確認しておく。 事後学修 2.0hr：半期で学んだ和訳法、語句、成語、熟語について総復習を行う。

日中翻訳基礎演習Ⅱ

開講学科等：中 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

中桐　典子（なかぎり　のりこ）

▌授業の概要

中国の社会で起きている様々な現象について書かれた文章を読み、中国社会に対する理解を深めるとともに、中国語を文法構造に即して正確に日本語に翻訳する力を養う。文章の大まかな意味や要旨をとらえることは固より重要だが、この授業では主語-述語-目的語の構造に、定語や状語、補語がどのようにかかわっているかに重点を置いて学習を進めていく。前期の『日中翻訳基礎演習Ⅰ』より、難度を少し上げる。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：中国語専攻 4、GSM 2）

一般目標：翻訳に通じる比較的高度な中文日訳能力を身につけるとともに、多様な文章に触れることにより、中国の文化・社会に対する知識を深める。
個別目標：①中国語で書かれた文章の文法構造が説明できる。
②中国語で書かれた文章を的確な日本語に訳すことができる。
③中国語でよく使われる単語、熟語、成語などを覚え、状況に応じて使用することができる。

▌履修条件

特になし。

▌評価基準・方法

定期考査 70 %、小テストおよび課題提出 20 %、受講態度および発表 10 %を基準に。総合的に評価する。なお、5 分の 4 以上の出席を評価の前提とする。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （割り当てられた文章を和訳、解説する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

『変化する中国』孟広学・本間史著　白水社

▌参考書

授業で適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンスおよび前期に学習した文法ポイントなどについて復習** 授業内容：複文(因果、添加、転折、条件など)、方向補語の派生義、兼語文、処置文などについて復習する。 事前学修 2.0hr：教科書第 1 課～第 6 課の「練習問題」をやっておく。 事後学修 2.0hr：間違えた練習問題について、しっかり復習しておく。
2回	**授業テーマ：第 7 課「考碗族」文法ポイント、重要語句を解説する** 授業内容：文法ポイントの例文を文構造に即して訳し、関連する練習問題に取り組む。 事前学修 2.0hr：第 7 課「考碗族」文法ポイントを読んで理解しておく。 事後学修 2.0hr：指示された練習問題をやる。
3回	**授業テーマ：第 7 課「考碗族」本文の構造を解説する** 授業内容：まず、構造の複雑な文を取り出し、その文構造を考える。その後、文章全体を順に訳していく。 事前学修 2.0hr：第 7 課「考碗族」を読んで、文構造を考えておく。 事後学修 2.0hr：第 7 課「考碗族」中の重要単語、成語、熟語を復習する。
4回	**授業テーマ：第 8 課「家政婦」の文法ポイント、重要語句を解説する** 授業内容：文法ポイントの例文を文構造に即して訳し、関連する練習問題に取り組む。 事前学修 2.0hr：第 8 課「家政婦」文法ポイントを読んで理解しておく。 事後学修 2.0hr：指示された練習問題をやる。
5回	**授業テーマ：第 8 課「家政婦」本文の構造を解説する** 授業内容：まず、構造の複雑な文を取り出し、その文構造を考える。その後、文章全体を順に訳していく。 事前学修 2.0hr：第 8 課「家政婦」を読んで、文構造を考えておく。 事後学修 2.0hr：第 8 課「家政婦」中の重要単語、成語、熟語を復習する。
6回	**授業テーマ：第 9 課「民は食をもって天となす」の文法ポイント、重要語句を解説する** 授業内容：文法ポイントの例文を文構造に即して訳し、関連する練習問題に取り組む。 事前学修 2.0hr：第 9 課「民は食をもって天となす」文法ポイントを読んで理解しておく。 事後学修 2.0hr：指示された練習問題をやる。
7回	**授業テーマ：第 9 課「民は食をもって天となす」本文の構造を解説する** 授業内容：まず、構造の複雑な文を取り出し、その文構造を考える。その後、文章全体を順に訳していく。 事前学修 2.0hr：第 9 課「民は食をもって天となす」を読んで、文構造を考えておく。 事後学修 2.0hr：第 9 課「民は食をもって天となす」中の重要単語、成語、熟語を復習する。
8回	**授業テーマ：第 10 課「「80 後」と「子供を育てて老後に備える」」の文法ポイント、重要語句を解説する** 授業内容：文法ポイントの例文を文構造に即して訳し、関連する練習問題に取り組む。 事前学修 2.0hr：第 10 課「「80 後」と「子供を育てて老後に備える」」文法ポイントを読んで理解しておく。 事後学修 2.0hr：指示された練習問題をやる。
9回	**授業テーマ：第 10 課「「80 後」と「子供を育てて老後に備える」」本文の構造を解説する** 授業内容：まず、構造の複雑な文を取り出し、その文構造を考える。その後、文章全体を順に訳していく。 事前学修 2.0hr：第 10 課「「80 後」と「子供を育てて老後に備える」」を読んで、文構造を考えておく。 事後学修 2.0hr：第 10 課「「80 後」と「子供を育てて老後に備える」」中の重要単語、成語、熟語を復習する。
10回	**授業テーマ：第 11 課「老後の危機」の文法ポイント、重要語句を解説する** 授業内容：文法ポイントの例文を文構造に即して訳し、関連する練習問題に取り組む。 事前学修 2.0hr：第 11 課「老後の危機」文法ポイントを読んで理解しておく。 事後学修 2.0hr：指示された練習問題をやる。
11回	**授業テーマ：第 11 課「老後の危機」本文の構造を解説する** 授業内容：まず、構造の複雑な文を取り出し、その文構造を考える。その後、文章全体を順に訳していく。 事前学修 2.0hr：第 11 課「老後の危機」を読んで、文構造を考えておく。 事後学修 2.0hr：第 11 課「老後の危機」中の重要単語、成語、熟語を復習する。

12回	**授業テーマ：第 12 課「中国におけるボランティア活動」の文法ポイント、重要語句を解説する** 授業内容：文法ポイントの例文を文構造に即して訳し、関連する練習問題に取り組む。 事前学修 2.0hr：第 12 課「中国におけるボランティア活動」文法ポイントを読んで理解しておく。 事後学修 2.0hr：指示された練習問題をやる。
13回	**授業テーマ：第 12 課「中国におけるボランティア活動」本文の構造を解説する** 授業内容：まず、構造の複雑な文を取り出し、その文構造を考える。その後、文章全体を順に訳していく。 事前学修 2.0hr：第 12 課「中国におけるボランティア活動」を読んで、文構造を考えておく。 事後学修 2.0hr：第 12 課「中国におけるボランティア活動」中の重要単語、成語、熟語を復習する。
14回	**授業テーマ：HSK5 級の長文を読み、構造に従って日本語に訳す** 授業内容：まず、構造の複雑な文を取り出し、その文構造を考える。その後、文章全体を順に訳していく。 事前学修 2.0hr：与えられた文章を訳しておく。 事後学修 2.0hr：自分で訳したものと授業中に行った訳文との違いについて考察する。
15回	**授業テーマ：半期で扱った文章の訳について総まとめをする** 授業内容：訳しにくかった文、誤訳の多かった文を再度解説したのち、構造に即して正確に訳す。 事前学修 2.0hr：訳しにくかった文、誤訳の多かった文を確認しておく。 事後学修 2.0hr：半期で学んだ和訳法、語句、成語、熟語について総復習を行う。

中国方言基礎演習 I

開講学科等：中 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

郭　文ホー（かく　まーほー）

▌授業の概要
会話中心の授業を通して、広東語の運用能力及び広東語に関する基礎知識を習得します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：中国語専攻 4、GSM 2）
一般目標：挨拶、簡単な自己紹介、数字、動詞述語文の作り方が理解できます。
個別目標：広東語のピンインを習得するのは今学期の第 1 目標です。また広東語と中国語の間の相違を理解することも大事です。

▌履修条件
①広東語に興味があるなら、誰でも履修できます。
②広東語母語話者の履修は認めません。

▌評価基準・方法
アクティブラーニング 1（20 %）、アクティブラーニング 2（20 %）と期末試験（60 %）に基づいて評価します。
なお、80%以上の出席を評価の前提条件とします。

▌フィードバック方法
アクティブラーニング 1：授業中発音してもらって、その場でフィードバックします。
アクティブラーニング 2：自己紹介を発表してもらって、その場でフィードバックします。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）
あり （発音強化と自己紹介を書くこと（内容の変更あり））

▌授業での PC の利用（利用内容）
なし

▌教科書
飯田真紀（2019）『ニューエクスプレスプラス　広東語』東京：白水社

▌参考書
特になし

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：オリエンテーション・発音(1)** 授業内容：広東語についての紹介、発音の仕組み(1)（声調） 事前学修 2.0hr：教科書 p.8-9 を読む 事後学修 2.0hr：復習（特に声調）
2 回	**授業テーマ：発音(2)** 授業内容：発音の仕組み(2)（声調以外） 事前学修 2.0hr：教科書 p.12-21 を読む 事後学修 2.0hr：復習
3 回	**授業テーマ：第 1 課** 授業内容：文の仕組み、動詞「係」 事前学修 2.0hr：前回の復習 事後学修 2.0hr：復習（特にピンインの読み方）
4 回	**授業テーマ：第 2 課** 授業内容：動詞述語文、疑問詞「mat1 ye5」 事前学修 2.0hr：前回の復習 事後学修 2.0hr：復習（特にピンインの読み方）
5 回	**授業テーマ：第 3 課** 授業内容：数字、所有を表わす「有」 事前学修 2.0hr：前回の復習 事後学修 2.0hr：復習
6 回	**授業テーマ：第 4 課** 授業内容：量詞、修飾語マーカー「ge3」 事前学修 2.0hr：前回の復習 事後学修 2.0hr：復習
7 回	**授業テーマ：アクティブラーニング 1 発音強化** 授業内容：苦手な発音を知り、それを注意しながら練習する 事前学修 2.0hr：第 1 ～ 4 課の会話を音読する 事後学修 2.0hr：発音の弱点に注意しながら、もう一度第 1 ～ 4 課の会話を音読する
8 回	**授業テーマ：第 5 課** 授業内容：指示詞、形容詞述語文 事前学修 2.0hr：前回の復習 事後学修 2.0hr：復習
9 回	**授業テーマ：第 6 課** 授業内容：存在を表わす「有」、所在場所を表わす「hai2」 事前学修 2.0hr：前回の復習 事後学修 2.0hr：復習
10 回	**授業テーマ：第 7 課** 授業内容：疑問詞「點」、前置詞「hai2」 事前学修 2.0hr：前回の復習 事後学修 2.0hr：復習
11 回	**授業テーマ：第 8 課** 授業内容：助動詞「想」、時刻の表し方 事前学修 2.0hr：前回の復習 事後学修 2.0hr：復習

12回	**授業テーマ：アクティブラーニング 2 自己紹介** 授業内容：簡単な表現で自分のことを紹介する 事前学修 2.0hr：第 1 ～ 8 課の内容を確認し、簡単な自己紹介を用意する 事後学修 2.0hr：自己紹介の文章を読みなおす
13回	**授業テーマ：第 9 課** 授業内容：動詞「鍾意」、依頼・提案を表わす「a1」 事前学修 2.0hr：前回の復習 事後学修 2.0hr：復習
14回	**授業テーマ：第 10 課** 授業内容：表現：形容詞＋「di1」、助動詞「可以」 事前学修 2.0hr：前回の復習 事後学修 2.0hr：復習
15回	**授業テーマ：まとめ：第 1 課から第 10 課まで** 授業内容：第 1 課～第 10 課の内容を復習する 事前学修 2.0hr：第 1 課から第 10 課までの復習 事後学修 2.0hr：復習

中国方言基礎演習Ⅱ

開講学科等：中 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

郭　文ホー（かく　まーほー）

▌授業の概要

会話中心の授業を通して、広東語の運用能力及び広東語に関する基礎知識を習得します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：中国語専攻 4、GSM 2）

一般目標：好き嫌い、経験、依頼、使役の表現の作り方を理解できます。

個別目標：発音を強化しながら、広東語で自分のことをより詳しく表現できるのは今学期の第 1 目標です。また広東語と中国語の間の相違を理解することも大事です。

▌履修条件

①広東語に興味があるなら、誰でも履修できます。ただし、中国方言基礎演習 I（広東語）を履修したことが必要です。

②広東語母語話者の履修は認めません。

▌評価基準・方法

アクティブラーニング 1（20 %）、アクティブラーニング 2（20 %）と期末試験（60 %）に基づいて評価します。

なお、80%以上の出席を評価の前提条件とします。

▌フィードバック方法

アクティブラーニング１：授業中発音してもらって、その場でフィードバックします。

アクティブラーニング２：日記を発表してもらって、その場でフィードバックします。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （発音強化と日記を書くこと（内容の変更あり））

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

飯田真紀（2019）『ニューエクスプレスプラス　広東語』東京：白水社

▌参考書

特になし

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション・前期の復習** 授業内容：前期の内容（テキスト第 1 課～第 10 課）を簡単に復習する 事前学修 2.0hr：第 1 課～第 10 課の内容を確認する 事後学修 2.0hr：復習
2回	**授業テーマ：第 11 課** 授業内容：完了を表わす「zho2」、動詞「請」 事前学修 2.0hr：前回の復習 事後学修 2.0hr：復習
3回	**授業テーマ：第 12 課** 授業内容：実現の否定と疑問、選択疑問文「定係」 事前学修 2.0hr：前回の復習 事後学修 2.0hr：復習
4回	**授業テーマ：第 13 課** 授業内容：経験を表わす「過」、助動詞「識」 事前学修 2.0hr：前回の復習 事後学修 2.0hr：復習
5回	**授業テーマ：第 14 課** 授業内容：進行を表わす「緊」、助動詞「要」 事前学修 2.0hr：前回の復習 事後学修 2.0hr：復習
6回	**授業テーマ：第 15 課** 授業内容：比較表現、動詞「俾」 事前学修 2.0hr：前回の復習 事後学修 2.0hr：復習
7回	**授業テーマ：アクティブラーニング 1 発音強化** 授業内容：苦手な発音を知り、それを注意しながら練習する 事前学修 2.0hr：第 11 ～ 15 課の会話を音読する 事後学修 2.0hr：発音の弱点に注意しながら、もう一度第 11 ～ 15 課の会話を音読する
8回	**授業テーマ：第 16 課** 授業内容：結果補語、時間の長さを表わす語句 事前学修 2.0hr：前回の復習 事後学修 2.0hr：復習
9回	**授業テーマ：第 17 課** 授業内容：方向補語、動詞の重ね型 事前学修 2.0hr：前回の復習 事後学修 2.0hr：復習
10回	**授業テーマ：第 18 課** 授業内容：文型：動詞＋「俾」＋人、文型：動詞＋「hai2」＋場所 事前学修 2.0hr：前回の復習 事後学修 2.0hr：復習
11回	**授業テーマ：第 19 課** 授業内容：様態補語、文型：「俾」＋人＋動詞 事前学修 2.0hr：前回の復習 事後学修 2.0hr：復習

12回	**授業テーマ：アクティブラーニング 2 日記を書く** 授業内容：広東語である日のことを書く 事前学修 2.0hr：第 1 ～ 19 課の内容を確認し、簡単な日記を書く 事後学修 2.0hr：日記の文章を読みなおす
13回	**授業テーマ：第 20 課** 授業内容：「有」の連動文、動詞＋「晒」 事前学修 2.0hr：前回の復習 事後学修 2.0hr：復習
14回	**授業テーマ：まとめ：第 11 課から第 15 課まで** 授業内容：第 11 課～第 15 課の内容を簡単に復習する 事前学修 2.0hr：第 11 課から第 15 課までの内容を確認する 事後学修 2.0hr：復習
15回	**授業テーマ：まとめ：第 16 課から第 20 課まで** 授業内容：第 16 課～第 20 課の内容を簡単に復習する 事前学修 2.0hr：第 16 課から第 20 課までの復習 事後学修 2.0hr：復習

中国語文法Ⅰ

開講学科等：中 ｜ 3年次 ｜ 2単位 ｜ 開講期：前

曹　泰和（そう　たいわ）

▌授業の概要

中国語文法の構造、体系に関わる基本的な知識を学ぶ。
Ⅰでは中国語の疑問文、“是…的”構文等の知識を学習する。
文法研究に必要な基礎力を養成する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：中国語専攻 4、GSM 2）

一般目標：授業内容の項目で挙げている文法項目を充分に理解し、自分の言葉で説明できる。
　　複雑な文の意味を文法知識を踏まえた上正確に理解できるようになる。
　　問題点を見つけ、考えを述べることができるようになる。
個別目標：能動的に問題を見つける方法を身につけ、自分の分析と考えを整理して述べることができるようになる。

▌履修条件

２年次までに習得した知識を前提とする。

▌評価基準・方法

課題、小テスト、期末テスト(60%)、授業態度、授業の理解度、出席状況 (40%) を総合的に評価する。
なお、５分の４以上の授業の出席を評価の前提条件とし、欠席する場合は減点とする。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、授業内時間及び学習支援システム manaba を通して行う。
授業の時間内でドリルの答え合わせをし、解説を行う時間を設ける。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

『Why？ にこたえる　はじめての中国語の文法書』相原　茂　石田知子　戸沼市子著　同学社

▌参考書

朱徳熙 1995『文法講義ー朱徳熙教授の中国語文法要説ー』　杉村博文/木村英樹訳　白帝社

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：講義の概要** 授業内容：指示代詞と人称代詞、形容詞と区別詞を中心に、第１課から第 10 課までの文法項目を確認する。 1 年次に習った文法項目の復習。 事前学修 2.0hr：講義概要を読み、流れを把握しておく。 事後学修 2.0hr：１年次の中国語科目および「中国語研究入門」の学習内容を復習する。
2回	**授業テーマ：第 11 課　疑問文について** 授業内容：諾否疑問文、疑問詞疑問文について学習する。 事前学修 2.0hr：第 11 課の内容に目を通し、質問を用意する。 事後学修 2.0hr：ノートの整理をする。
3回	**授業テーマ：ドリル 11** 授業内容：練習問題を通して、第 11 課の文法項目をより深く理解する。 事前学修 2.0hr：ドリル 11 の問題をやっておく。 事後学修 2.0hr：返却されたドリルを確認し、間違えた箇所のやり直しをする。
4回	**授業テーマ：第 12 課　再び，疑問文について** 授業内容：様々な疑問形式を学ぶ。 事前学修 2.0hr：第 12 課の内容に目を通し、質問を用意する。 事後学修 2.0hr：ノートの整理をする。
5回	**授業テーマ：ドリル 12** 授業内容：練習問題を通して、第 12 課の文法項目をより深く理解する。 事前学修 2.0hr：ドリル 12 の問題をやっておく。 事後学修 2.0hr：返却されたドリルを確認し、間違えた箇所のやり直しをする。
6回	**授業テーマ：第 13 課　介詞(前置詞)** 授業内容：介詞の構造と役割、介詞と動詞、主な介詞と用法について学習する。 事前学修 2.0hr：第 13 課の内容に目を通し、質問を用意する。 事後学修 2.0hr：ノートの整理をする。
7回	**授業テーマ：ドリル 13** 授業内容：練習問題を通して、第 13 課の文法項目をより深く理解する。 事前学修 2.0hr：ドリル 13 をやっておく。 事後学修 2.0hr：返却されたドリルを確認し、間違えた箇所のやり直しをする。
8回	**授業テーマ：第 11 課～第 13 課の復習** 授業内容：疑問文、介詞、“是・・・的”構文について復習し理解を深める。 事前学修 2.0hr：第 11 課～第 13 課の内容に目を通し、質問を用意する。 事後学修 2.0hr：間違えた箇所を再確認する。
9回	**授業テーマ：第 14 課　介詞，“是…的”構文** 授業内容：介詞フレーズを含んだ文、“是…的”構文について学習する。 事前学修 2.0hr：第 14 課の内容に目を通し、質問を用意する。 事後学修 2.0hr：ノートの整理をする。
10回	**授業テーマ：ドリル 14** 授業内容：練習問題を通して、第 14 課の文法項目をより深く理解する。 事前学修 2.0hr：ドリル 14 をやっておく。 事後学修 2.0hr：返却されたドリルを確認し、間違えた箇所のやり直しをする。

11回	**授業テーマ：第 15 課　常用される副詞** 授業内容：副詞の種類、副詞の働きと特徴、常用される副詞について解説する。 事前学修 2.0hr：第 15 課の内容に目を通し、質問を用意する。 事後学修 2.0hr：ノートの整理をする。
12回	**授業テーマ：ドリル 15** 授業内容：練習問題を通して、第 15 課の文法項目をより深く理解する。 事前学修 2.0hr：ドリル 15 をやっておく。 事後学修 2.0hr：返却されたドリルを確認し、間違えた箇所のやり直しをする。
13回	**授業テーマ：第 16 課　文成分のまとめ** 授業内容：文成分の基本的順序について学習する。 事前学修 2.0hr：第 16 課の内容に目を通し、質問を用意する。 事後学修 2.0hr：ノートの整理をする。
14回	**授業テーマ：ドリル 16** 授業内容：練習問題を通して、第 16 課の文法項目をより深く理解する。 事前学修 2.0hr：ドリル 16 をやっておく。 事後学修 2.0hr：返却されたドリルを確認し、間違えた箇所のやり直しをする。
15回	**授業テーマ：前期の総まとめ** 授業内容：これまでの文法項目の復習と到達度の確認を行う。 事前学修 2.0hr：全体の復習をし、質問を用意する。 事後学修 2.0hr：返却されたドリルを確認し、間違えた箇所を再確認する。

中国語文法Ⅱ

開講学科等：中 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

曹　泰和 (そう　たいわ)

▌授業の概要

中国語文法の構造、体系に関わる基本的な知識を学ぶ。
Ⅱでは中国語の助動詞、アスペクト等の知識を学習する。
文法研究に必要な基礎力を養成する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：中国語専攻 4、GSM 2）

一般目標：授業内容の項目で挙げている文法項目を充分に理解し、自分の言葉で説明できる。
　　複雑な文の意味を文法知識を踏まえた上正確に理解できるようになる。
　　問題点を見つけ、考えを述べることができるようになる。
個別目標：能動的に問題を見つける方法を身につけ、自分の分析と考えを整理して述べることができるようになる。

▌履修条件

２年次までに習得した知識を前提とする。

▌評価基準・方法

期末テスト(60%)、課題、小テスト、授業の理解度、出席状況 (40%) を総合的に評価する。
なお、５分の４以上の授業の出席を評価の前提条件とし、欠席する場合は減点とする。

▌フィードバック方法

ドリルの答え合わせをし、解説を行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

『Why？ にこたえる　はじめての中国語の文法書』相原　茂　石田知子　戸沼市子著　同学社

▌参考書

朱徳熙 1995『文法講義ー朱徳熙教授の中国語文法要説ー』　杉村博文/木村英樹訳　白帝社

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：後期授業ガイダンス・復習** 授業内容：文成分のまとめを中心に、前期に習った文法項目の復習をする。 事前学修 2.0hr：講義概要を読み、流れを把握しておく。 事後学修 2.0hr：１年次の中国語科目およびこれまでに履修した中国語文法に関する授業の内容を復習する。
2回	**授業テーマ：第 17 課　存在・出現・消失の文・非主述文・命令文** 授業内容：存現文、非主述文、命令文について学習する。 事前学修 2.0hr：第 17 課の内容に目を通し、質問を用意する。 事後学修 2.0hr：ノートの整理をする。
3回	**授業テーマ：ドリル 17** 授業内容：練習問題を通して、第 17 課の文法項目をより深く理解する。 事前学修 2.0hr：ドリル 17 の問題をやっておく。 事後学修 2.0hr：返却されたドリルを確認し、間違えた個所のやり直しをする。
4回	**授業テーマ：第 18 課　能願動詞(助動詞)** 授業内容：主な能願動詞、能願動詞の性質、能願動詞の意味と用法、能願動詞の否定について学習する。 事前学修 2.0hr：第 18 課の内容に目を通し、質問を用意する。 事後学修 2.0hr：ノートの整理をする。
5回	**授業テーマ：ドリル 18** 授業内容：練習問題を通して、第 18 課の文法項目をより深く理解する。 事前学修 2.0hr：ドリル 18 の問題をやっておく。 事後学修 2.0hr：返却されたドリルを確認し、間違えた個所のやり直しをする。
6回	**授業テーマ：第 19 課　中国語ってどんなことば？** 授業内容：語順、補語、副詞、類義語などから中国語の特徴について学習する。 事前学修 2.0hr：第 19 課の内容に目を通し、質問を用意する。 事後学修 2.0hr：ノートの整理をする。
7回	**授業テーマ：ドリル 19** 授業内容：練習問題を通して、第 19 課の文法項目をより深く理解する。 事前学修 2.0hr：ドリル 19 の問題をやっておく。 事後学修 2.0hr：返却されたドリルを確認し、間違えた個所のやり直しをする。
8回	**授業テーマ：第 17 課～第 19 課の復習** 授業内容：存現文、能願動詞を中心に復習する。 事前学修 2.0hr：第 17 課～第 19 課の質問を用意する。 事後学修 2.0hr：第 17 課～第 19 課のドリルの見直しをする。
9回	**授業テーマ：第 20 課　進行のアスペクト** 授業内容：中国語のアスペクト、進行相について学習する。 事前学修 2.0hr：20 課の内容に目を通し、質問を用意する。 事後学修 2.0hr：ノートの整理をする。
10回	**授業テーマ：ドリル 20** 授業内容：練習問題を通して、第 20 課の文法項目をより深く理解する。 事前学修 2.0hr：ドリル 20 の問題をやっておく。 事後学修 2.0hr：返却されたドリルを確認し、間違えた個所のやり直しをする。
11回	**授業テーマ：第 21 課　持続のアスペクト** 授業内容：持続相、進行相と持続相の違いについて学習する。 事前学修 2.0hr：第 21 課の内容に目を通し、質問を用意する。 事後学修 2.0hr：ノートの整理をする。

12回	**授業テーマ：ドリル 21** 授業内容：練習問題を通して、第 21 課の文法項目をより深く理解する。 事前学修 2.0hr：ドリル 21 の問題をやっておく。 事後学修 2.0hr：返却されたドリルを確認し、間違えた個所のやり直しをする。
13回	**授業テーマ：第 22 課　完了・実現のアスペクト** 授業内容：完了・実現相、了について学習する。 事前学修 2.0hr：第 22 課の内容に目を通し、質問を用意する。 事後学修 2.0hr：ノートの整理をする。
14回	**授業テーマ：ドリル 22** 授業内容：練習問題を通して、第 22 課の文法項目をより深く理解する。 事前学修 2.0hr：ドリル 22 の問題をやっておく。 事後学修 2.0hr：返却されたドリルを確認し、間違えた個所のやり直しをする。
15回	**授業テーマ：後期の全体復習** 授業内容：後期の復習と到達度を確認する。 事前学修 2.0hr：学習した内容に目を通し、質問を準備する。 事後学修 2.0hr：返却されたすべてのドリルを再確認し、間違えた箇所を再確認する。

中国語史Ⅰ

開講学科等：中　｜　3 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前

曹　泰和（そう　たいわ）

▌授業の概要

1. 漢字を中心にその起源と発達史を学ぶ。
2. 主な言語現象のプロセス及び重大な事件、人物、書物を理解する。
3. 重点内容を暗唱する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：中国語専攻 4、GSM 2）

一般目標：中国語を歴史的にとらえることができる。
個別目標：1. 中国語に関する専門的内容が理解できる。
　　2. 語史研究の基礎をマスターできる。
　　3. 歴史的な考え方を養成する。

▌履修条件

中国語の基礎知識を持つこと。
予習復習すること。

▌評価基準・方法

レポート、小テスト、期末テスト(60%)及び出席状況、授業の理解度(40%)により評価する。
欠席は減点とする。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、授業時間内及び学習支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

1.『中国語の歴史』大島正二著　大修館書店
2.　プリント使用

▌参考書

1.「漢字の書法の歴史」劉勲寧　『国際未来社会を中国から考える』 東方書店
2.『漢字と中国人』 大島正二著 岩波新書
3.『漢字の字形』落合淳思著　中公新書
4.『漢字のいい話』阿辻哲次著　新潮文庫

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：授業内容の説明** 授業内容：前期の授業ガイダンス 中国語と漢字を概説する 事前学修 0.5hr：中国語の特徴を整理しておく。 事後学修 2.0hr：授業に対する準備
2回	**授業テーマ：中国語の誕生と中国語の特質** 授業内容：中国語の誕生地、誕生までの受難、中国語とはどんな言葉かーその特質 事前学修 4.0hr：教科書を予習し、関連する項目を調べておく。 事後学修 2.0hr：ノートを整理、要点を摘出
3回	**授業テーマ：中国語の発音** 授業内容：中国語の四声、ピンインの誕生、中国語の音節の仕組み 事前学修 4.0hr：教科書を予習し、関連する項目を調べておく。 事後学修 2.0hr：ノートを整理、要点を摘出
4回	**授業テーマ：甲骨文** 授業内容：甲骨文の発見、漢字の誕生をめぐる伝説、文字のなかった時代の伝達方法 事前学修 4.0hr：教科書を予習し、関連する項目を調べておく。 事後学修 2.0hr：ノートを整理、要点を摘出
5回	**授業テーマ：漢字の変遷** 授業内容：金文、小篆、隷書、漢字の習得、識字テキストの登場 事前学修 4.0hr：教科書を予習し、関連する項目を調べておく。 事後学修 2.0hr：ノートを整理、要点を摘出
6回	**授業テーマ：漢字文化圏その①** 授業内容：漢字の字形変化 事前学修 4.0hr：教科書、補充資料を復習し、関連する項目を調べておく。 事後学修 2.0hr：ノートを整理、要点を摘出
7回	**授業テーマ：漢字文化圏その２** 授業内容：中国語の漢字と日本最古の漢字 事前学修 4.0hr：教科書の予習をし、関連する項目を調べておく。 事後学修 2.0hr：ノートを整理、要点を摘出
8回	**授業テーマ：『説文解字』** 授業内容：字書の誕生、部首法、『説文解字』の継承、部首法の変革 事前学修 4.0hr：教科書を予習し、関連する項目を調べておく。 事後学修 2.0hr：ノートを整理、要点を摘出
9回	**授業テーマ：六書その①** 授業内容：六書とは何か、象形文字、指事文字 事前学修 4.0hr：教科書を予習し、関連する項目を調べておく。 事後学修 2.0hr：ノートを整理、要点を摘出

10回	**授業テーマ：六書その②** 授業内容：形声文字、会意文字 事前学修 4.0hr：教科書を予習し、関連する項目を調べておく。 事後学修 2.0hr：ノートを整理、要点を摘出
11回	**授業テーマ：様々な字体** 授業内容：商王朝から清朝までのさまざまな字体 事前学修 4.0hr：教科書を予習し、関連する項目を調べておく。 事後学修 2.0hr：ノートを整理、要点を摘出
12回	**授業テーマ：偉大な書法家たち** 授業内容：王羲之、欧陽詢、顔真卿、柳公権、蘇軾、黄庭堅、趙孟頫、文徴明、王鐸、董其昌、鄭燮 事前学修 4.0hr：教科書、プリント資料を予習し、関連する項目を調べておく。 事後学修 2.0hr：ノートを整理、要点を摘出
13回	**授業テーマ：現代中国語の概況(文字の改革とローマ字表記)** 授業内容：繁体字から簡体字へ 事前学修 4.0hr：教科書を予習し、関連する項目を調べておく。 事後学修 2.0hr：ノートを整理、要点を摘出
14回	**授業テーマ：文字と現代社会** 授業内容：文字と社会のつながり 事前学修 4.0hr：教科書を予習し、関連する項目を調べておく。 事後学修 2.0hr：ノートを整理、要点を摘出
15回	**授業テーマ：結び** 授業内容：復習および到達度の確認 事前学修 0.5hr：14 回目までの復習をする。 事後学修 2.0hr：学期全体の振り返り

中国語史Ⅱ

開講学科等：中 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

曹　泰和 (そう　たいわ)

▌授業の概要

1. 語彙の変遷、文法研究の歴史、表現法の変遷を学ぶ。
2. 主な言語現象のプロセス及び重大な事件、人物、書物を理解する。
3. 重点内容を暗唱する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：中国語専攻 4、GSM 2）

一般目標：中国語を歴史的にとらえることができる。
個別目標：1. 中国語に関する専門的内容が理解できる。
　　2. 語史研究の基礎をマスターできる。
　　3. 歴史的な考え方を養成する。

▌履修条件

中国語の基礎知識を持つこと。
予習復習すること。

▌評価基準・方法

期末テスト(60%)及びレポート、小テスト、出席状況、授業の理解度(40%)により評価する。
欠席は減点とする。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、授業時間内及び学習支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （事前に学習する項目について調べてもらうことがある。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （教科書の補充資料として PPT を参照するために使用する場合がある。）

▌教科書

1.『中国語の歴史』大島正二著　大修館書店
2. プリント使用。

▌参考書

1.『中国語歴史文法』 太田辰夫著 朋友書店。
2.『中国語概論』藤堂明保著　大修館書店。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：後期授業内容の説明と前期の復習** 授業内容：後期授業ガイダンス・漢字の話 事前学修 0.5hr：前期の内容を復習しておく。 事後学修 2.0hr：次回の授業に対する準備
2回	**授業テーマ：義書と訓詁学** 授業内容：義書とは何か。『爾雅』一義書の誕生 事前学修 4.0hr：教科書を予習し、関連する項目を調べておく。 事後学修 2.0hr：ノートを整理、要点を摘出
3回	**授業テーマ：地域方言の調査と収集** 授業内容：『方言』の内容と体裁、資料としての価値 事前学修 4.0hr：教科書を予習し、関連する項目を調べておく。 事後学修 2.0hr：ノートを整理、要点を摘出
4回	**授業テーマ：語源** 授業内容：語源探求のはじまり一『釈名』 事前学修 4.0hr：教科書を予習し、関連する項目を調べておく。 事後学修 2.0hr：ノートを整理、要点を摘出
5回	**授業テーマ：老師という語彙の語源探求その①** 授業内容：老師という語彙の歴史的変遷 事前学修 4.0hr：教科書を予習し、関連する項目を調べておく。 事後学修 2.0hr：ノートを整理、要点を摘出
6回	**授業テーマ：老師という語彙の語源探求その②** 授業内容：老師という語彙をめぐる呼称の変化とその理由 事前学修 4.0hr：教科書を予習し、関連する項目を調べておく。 事後学修 2.0hr：ノートを整理、要点を摘出
7回	**授業テーマ：語彙研究へのアプローチその①** 授業内容：単音節語から多音節語へ 事前学修 4.0hr：教科書を予習し、関連する項目を調べておく。 事後学修 2.0hr：ノートを整理、要点を摘出
8回	**授業テーマ：語彙研究へのアプローチその②** 授業内容：音の形の類似性、意味表示の転用、同義語 事前学修 4.0hr：教科書を予習し、関連する項目を調べておく。 事後学修 2.0hr：ノートを整理、要点を摘出
9回	**授業テーマ：語彙研究へのアプローチその③** 授業内容：類義語、語の多義性、外来語の導入 事前学修 4.0hr：教科書を予習し、関連する項目を調べておく。 事後学修 2.0hr：ノートを整理、要点を摘出
10回	**授業テーマ：中国語文法の話その①** 授業内容：中国語の文法は変化したか。基本的な文構造 事前学修 4.0hr：教科書を予習し、関連する項目を調べておく。 事後学修 2.0hr：ノートを整理、要点を摘出

11回	**授業テーマ：文法研究の前史** 授業内容：虚詞の探求、虚詞とは何か、虚詞についての最初の書 事前学修 4.0hr：教科書を予習し、関連する項目を調べておく。 事後学修 2.0hr：ノートを整理、要点を摘出
12回	**授業テーマ：文法研究の始まり** 授業内容：『馬氏文通』、文語文法、口語文法、記述文法の概観 事前学修 4.0hr：教科書を予習し、関連する項目を調べておく。 事後学修 2.0hr：ノートを整理、要点を摘出
13回	**授業テーマ：早期文法家の紹介** 授業内容：王力、呂叔湘、高名凱など 事前学修 4.0hr：教科書を予習し、関連する項目を調べておく。 事後学修 2.0hr：ノートを整理、要点を摘出
14回	**授業テーマ：文法研究の新時代** 授業内容：文法と語法 事前学修 4.0hr：教科書を予習し、関連する項目を調べておく。 事後学修 2.0hr：ノートを整理、要点を摘出
15回	**授業テーマ：学習したことの総括** 授業内容：総合復習と到達度の確認 事前学修 0.5hr：第 14 回目までの復習をする。 事後学修 2.0hr：学期全体の振り返り

現当代文学Ⅰ

開講学科等：中 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

河村　昌子（かわむら　しょうこ）

▌授業の概要

近現代中国の文学を、作家と作品に焦点をあてながら解説します。
時代背景や文学史の流れを確認しながら、日本語訳で、作品をじっくり味わいます。
この授業では、五四時期から 1940 年代までの作家・作品を取り上げます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：中国語専攻 4、GSM 2）

一般目標：中国近現代文学史の概要を理解し、代表的な作家・作品について知識を深める。
　　文学作品を鑑賞する力を身につける。
個別目標：①五四時期から 1940 年代までの中国文学史を説明することができる。
　　②五四時期から 1940 年代までの代表的な作家・作品について、説明することができる。
　　③近現代中国の文学作品について、①②の知識を活用して、自分の考えを述べることができる。

▌履修条件

特にありません。

▌評価基準・方法

授業への取り組み 60 %、課題レポート 40 %で、総合的に評価します。

▌フィードバック方法

課題等へのフィードバックは授業時に行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

授業時にプリント教材を配付します。

▌参考書

丸山昇・伊藤虎丸・新村徹編『中国現代文学事典』東京堂出版 1985
中国文芸研究会編『原典で読む 図説中国 20 世紀文学―解説と資料』白帝社 1995

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：文学革命** 授業内容：1910 年代後半から 20 年代初頭に展開された文学、文化の改革運動について解説します。 事前学修 2.0hr：授業の概要を読み、到達目標を理解しましょう。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返って確認してください。
2回	**授業テーマ：魯迅－近代文学の誕生** 授業内容：魯迅「狂人日記」を読み、解説します。 事前学修 2.0hr：講義で取り上げる作品に目を通してください。 事後学修 2.0hr：第 1 回、第 2 回の講義を踏まえて、作品を理解しましょう。
3回	**授業テーマ：中国の新詩と徐志摩について** 授業内容：20 世紀中国のいわゆる新詩を牽引した聞一多（ぶんいった、Wen Yiduo、1899-1946）、徐志摩（じょしま、Xu Zhimo、1896-1931）等について解説し、作品を紹介します。 事前学修 2.0hr：第 1 回、第 2 回の授業内容を復習してください。 事後学修 2.0hr：第 1 回～第 3 回の講義を踏まえて、作品を理解しましょう。
4回	**授業テーマ：創造社と文学研究会** 授業内容：1921 年に成立した 2 つの文学団体「創造社」「文学研究会」について解説します。 事前学修 2.0hr：中国の近代文学が何を目指していたか、考えてみましょう。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返って確認してください。
5回	**授業テーマ：茅盾について** 授業内容：茅盾（ぼうじゅん、Mao Dun、1986-1981）について解説します。 事前学修 2.0hr：第一次国共合作について調べてみましょう。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返って確認してください。
6回	**授業テーマ：茅盾の作品** 授業内容：茅盾「林商店」を読み、解説します。 事前学修 2.0hr：講義で取り上げる作品に目を通してください。 事後学修 2.0hr：第 4 回～第 6 回の講義を踏まえて、作品を理解しましょう。
7回	**授業テーマ：中国アナキズム** 授業内容：20 世紀初頭から 1920 年代に中国で一定の勢力を持っていた政治思潮アナキズムについて解説します。 事前学修 2.0hr：中国文学と外国文学の関わりについて、考えてみましょう。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返って確認してください。
8回	**授業テーマ：巴金の作品** 授業内容：巴金「バラライカの思い出」を読み、解説します。 事前学修 2.0hr：講義で取り上げる作品に目を通してください。 事後学修 2.0hr：第 7 回、第 8 回の講義を踏まえて、作品を理解しましょう。
9回	**授業テーマ：左翼作家連盟** 授業内容：1930 年に上海で成立した文学運動組織左翼作家連盟について解説します。 事前学修 2.0hr：時代背景を調べましょう。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返って確認してください。
10回	**授業テーマ：東北作家** 授業内容：東北地方出身で、満州国建国後に故郷を離れた作家について解説します。 事前学修 2.0hr：満洲国について調べてみましょう。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返って確認してください。

11回	**授業テーマ：蕭紅の作品** 授業内容：蕭紅「手」を読み、解説します。 事前学修 2.0hr：講義で取り上げる作品に目を通してください。 事後学修 2.0hr：第 9 回～第 11 回の講義を踏まえて、作品を理解しましょう。
12回	**授業テーマ：沈従文について** 授業内容：沈従文（しんじゅうぶん、Shen Conewen、1902-1988）について解説します。 事前学修 2.0hr：中国の少数民族について調べてみましょう。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返って確認してください。
13回	**授業テーマ：沈従文の作品** 授業内容：沈従文「蕭蕭」を読み、解説します。 事前学修 2.0hr：講義で取り上げる作品に目を通してください。 事後学修 2.0hr：第 12 回、第 13 回の講義を踏まえて、作品を理解しましょう。
14回	**授業テーマ：現代派** 授業内容：国際都市上海で発展したモダニズム文学について解説します。 事前学修 2.0hr：モダニズムについて調べてみましょう。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返って確認してください。。
15回	**授業テーマ：穆時英の作品** 授業内容：穆時英「上海のフォックストロット」を読み、解説します。 事前学修 2.0hr：講義で取り上げる作品に目を通してください。 事後学修 2.0hr：第 14 回、第 15 回の講義を踏まえて、作品を理解しましょう。

現当代文学Ⅱ

開講学科等：中 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

河村　昌子（かわむら　しょうこ）

▌授業の概要

近現代中国の文学を、作家と作品に焦点をあてながら解説します。
時代背景や文学史の流れを確認しながら、日本語訳で、作品をじっくり味わいます。
この授業では、1940 年代から現在までの作家・作品を取り上げます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：中国語専攻 4、GSM 2）

一般目標：中国近現代文学史の概要を理解し、代表的な作家・作品について知識を深める。
　　文学作品を鑑賞する力を身につける。
個別目標：① 1940 年代から現在までの中国文学史を説明することができる。
　　② 1940 年代から現在までの代表的な作家・作品について、説明することができる。
　　③近現代中国の文学作品について、①②の知識を活用して、自分の考えを述べることができる。

▌履修条件

特にありません。

▌評価基準・方法

授業への取り組み 60 %、課題レポート 40 %で、総合的に評価します。

▌フィードバック方法

課題等へのフィードバックは授業時に行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

プリント教材を送付します。

▌参考書

丸山昇・伊藤虎丸・新村徹編『中国現代文学事典』東京堂出版 1985
中国文芸研究会編『原典で読む 図説中国 20 世紀文学―解説と資料』白帝社 1995

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：張愛玲について** 授業内容：張愛玲（ちょうあいれい、Zhang Ailing、1920-1995）について解説します。 事前学修 2.0hr：シラバスを読んで、今後の学修の見通しをたてましょう。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返って確認してください。
2回	**授業テーマ：張愛玲の作品** 授業内容：張愛玲「封鎖」を読み、解説します。 事前学修 2.0hr：講義で取り上げる作品に目を通してください。 事後学修 2.0hr：第 1 回、第 2 回の講義を踏まえて、作品を理解しましょう。
3回	**授業テーマ：毛沢東「文芸講話」** 授業内容：中国共産党の指導者毛沢東の文芸政策について解説します。 事前学修 2.0hr：中華人民共和国建国について調べましょう。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返って確認してください。
4回	**授業テーマ：丁玲について** 授業内容：丁玲（ていれい、Ding Ling、1904-1986）について解説します。 事前学修 2.0hr：時代背景を調べましょう。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返って確認してください。
5回	**授業テーマ：丁玲の作品** 授業内容：丁玲「霞村にいた時」を読み、解説します。 事前学修 2.0hr：講義で取り上げる作品に目を通してください。 事後学修 2.0hr：第 3 回、第 4 回、第 5 回の講義を踏まえて、作品を理解しましょう。
6回	**授業テーマ：文化大革命** 授業内容：1966 年から 1976 年まで続いた政治運動文化大革命について解説します。 事前学修 2.0hr：時代背景を調べましょう。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返って確認してください。
7回	**授業テーマ：巴金について** 授業内容：巴金（はきん、Ba Jin、1904-2005）について解説します。 事前学修 2.0hr：第 3 回、第 6 回の授業内容を復習してください。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返って確認してください。
8回	**授業テーマ：巴金『随想録』** 授業内容：巴金「懐念蕭珊」を読み、解説します。 事前学修 2.0hr：講義で取り上げる作品に目を通してください。 事後学修 2.0hr：第 6 回、第 7 回、第 8 回の講義を踏まえて、作品を理解しましょう。授業内容を振り返って確認してください。
9回	**授業テーマ：モダニズム文学** 授業内容：改革開放政策とともに流行したモダニズム文学について解説します。 事前学修 2.0hr：文学の実験とは何か、考えてみましょう。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返って確認してください。
10回	**授業テーマ：余華の作品** 授業内容：余華「十八歳の旅立ち」を読み、解説します。 事前学修 2.0hr：講義で取り上げる作品に目を通してください。 事後学修 2.0hr：第 9 回、第 10 回の講義を踏まえて、作品を理解しましょう。
11回	**授業テーマ：高行健について** 授業内容：高行健（こうこうけん、Gao Xingjian、1940-）について解説します。 事前学修 2.0hr：文体の実験とは何か、考えてみましょう。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返って確認してください。

12回	**授業テーマ：高行健の作品** 授業内容：高行健「おじいさんに買った釣り竿」を読み、解説します。 事前学修 2.0hr：講義で取り上げる作品に目を通してください。 事後学修 2.0hr：第 11 回、第 12 回の講義を踏まえて、作品を理解しましょう。
13回	**授業テーマ：莫言について** 授業内容：莫言(ばくげん、Mo Yan、1955 －)について解説します。 事前学修 2.0hr：ノーベル文学賞について調べてみましょう。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返って確認してください。
14回	**授業テーマ：莫言の作品** 授業内容：莫言「洪水」を読んで、解説します。 事前学修 2.0hr：講義で取り上げる作品に目を通してください。 事後学修 2.0hr：第 13 回、第 14 回の講義を踏まえて、作品を理解しましょう。
15回	**授業テーマ：史鉄生の作品** 授業内容：史鉄生「私と地壇」を読んで、解説します。 事前学修 2.0hr：講義で取り上げる作品に目を通してください。 事後学修 2.0hr：第 1 回から第 15 回までの講義を踏まえて、作品を理解し、現代中国の文学を振り返りましょう。

古典文学Ⅱ

開講学科等：中 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

宇賀神　秀一（うがじん　しゅういち）

▌授業の概要

中国古典文学の韻文・散文を中心に、その書き下し文や現代日本語訳などを踏まえて、深く解釈します。
古典の歴史的背景や言葉の来歴を確認し、翻訳者の意図を汲み取りながら精読します。
六朝期から清朝の作品を取り上げます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：中国語専攻 4、GSM 2）

一般目標：中国の古典文学についての体系的知識を身につけ、作品やその翻訳に対して自分の意見を持ち、鑑賞する力を修得する。
個別目標：①中国古典文学の歴史及び展開について理解できる。
②翻訳者の意図を汲み取ることができる。
③辞書を引きながら中国古典作品を自分で読解することができる。
④代表的な中国古典作品について、説明することができる。

▌履修条件

特にありません。

▌評価基準・方法

授業への取り組み 60 %、課題レポート 40 %で、総合的に評価します。

▌フィードバック方法

フィードバックは授業時のコメントと manaba を併用して行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （感想文の提出などで用いることがある。）

▌教科書

定めない。

▌参考書

『文選』(集英社、全釈漢文大系)、魯迅『中国小説史略』(ちくま学芸文庫、今村与志雄訳)、『中国古典小説選』(明治書院)、『杜甫全詩訳注』(講談社学術文庫)、『白氏文集』(明治書院、新釈漢文大系)、その他の参考書については授業中に適宜紹介します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：授業内容の概説と、資料の調査方法を説明します。 事前学修 2.0hr：授業の概要を読んで、到達目標を理解しましょう。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。
2回	**授業テーマ：『文選』を読む** 授業内容：『文選』について、解説します。 事前学修 2.0hr：『文選』について調べて下さい。また、『文選』の目次に目を通して、古典文学のジャンルを概観して下さい。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。
3回	**授業テーマ：謝眺を読む** 授業内容：謝眺「遊東田」を読み、解説します。 事前学修 2.0hr：授業で取り上げる作品に目を通して下さい。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。
4回	**授業テーマ：杜甫を読むⅠ** 授業内容：杜甫「月夜」を読み、解説します。 事前学修 2.0hr：授業で取り上げる作品に目を通して下さい。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。
5回	**授業テーマ：杜甫を読むⅡ** 授業内容：杜甫「春日憶李白」を読み、解説します。 事前学修 2.0hr：授業で取り上げる作品に目を通して下さい。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。
6回	**授業テーマ：李白を読むⅠ** 授業内容：李白「魯郡東石門送杜二甫」を読み、解説します。 事前学修 2.0hr：授業で取り上げる作品に目を通して下さい。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。
7回	**授業テーマ：李白を読むⅡ** 授業内容：李白「望廬山瀑布」を読み、解説します。 事前学修 2.0hr：授業で取り上げる作品に目を通して下さい。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。
8回	**授業テーマ：白居易を読むⅠ** 授業内容：白居易「長恨歌」を読み、解説します。 事前学修 2.0hr：授業で取り上げる作品に目を通して下さい。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。
9回	**授業テーマ：白居易を読むⅡ** 授業内容：白居易「長恨歌」を読み、解説します。 事前学修 2.0hr：授業で取り上げる作品に目を通して下さい。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。
10回	**授業テーマ：蘇軾を読むⅠ** 授業内容：蘇軾「赤壁賦」を読み、解説します。 事前学修 2.0hr：授業で取り上げる作品に目を通して下さい。 事後学修 2.0hr：講義で配付した資料を確認して下さい。
11回	**授業テーマ：蘇軾を読むⅡ** 授業内容：蘇軾「赤壁賦」を読み、解説します。 事前学修 2.0hr：授業で取り上げる作品に目を通して下さい。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。

12回	**授業テーマ：『三国志演義』を読むⅠ** 授業内容：『三国志演義』「水魚之交」を読み、解説します。 事前学修 2.0hr：授業で取り上げる作品に目を通して下さい。また、明代と四大奇書について調べて下さい。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。
13回	**授業テーマ：『三国志演義』を読むⅡ** 授業内容：『三国志演義』「死諸葛走生仲達」を読み、解説します。 事前学修 2.0hr：授業で取り上げる作品に目を通して下さい。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。
14回	**授業テーマ：紀昀『閱微草堂筆記』を読むⅠ** 授業内容：紀昀『閱微草堂筆記』巻二「屠者許方」(前半箇所)を読み、解説します。 事前学修 2.0hr：授業で取り上げる作品に目を通して下さい。また、清代と清朝考証学について調べて下さい。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。
15回	**授業テーマ：紀昀『閱微草堂筆記』を読むⅡ** 授業内容：紀昀『閱微草堂筆記』巻二「屠者許方」(後半箇所)を読み、解説します。 事前学修 2.0hr：授業で取り上げる作品に目を通して下さい。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。

東アジア比較思想論 I

開講学科等：中 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

南　勇（なん　ゆう）

▌授業の概要

「中国人」に焦点を照らして、中国人の思考様式・行動パターンおよび価値観・歴史観を解明することによって、中国人に対する理解を深め、中国人と付き合う予備知識を身につけるのが本講義のねらいです。そのため、中国人に関する世間一般の見方から、その深層の原因を文化・歴史の重大事件を通じて掘り下げて解答します。また、東アジアという視点から、日・中・韓三国それぞれ交錯された認識を比較しながら問題意識を広げます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：3）

一般目標：文化比較の方法論で独自の問題意識をもって中国文化現象を分析できることを目指します。
個別目標：中国文化に関して自分の見解を持つこと。

▌履修条件

特になし。

▌評価基準・方法

期末試験６０%。レポート (発表) と中間試験３０%、
授業内における学習態度、参加姿勢、発言など１０%。
課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌フィードバック方法

主に授業内で討論を展開します。それぞれの考え、見解を自由に発表し、お互いに議論を盛り上げます。最後に先生がまとめて、認識を共有します。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （翻訳、グループワーク、プレゼンテーションなど活用する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

毎回レジュメを配布する。

▌参考書

授業中指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション：内容と方法論。体験授業：囚人ゲーム** 授業内容：この授業の内容と進み方を簡略に紹介、全体像を把握する。「囚人ゲーム」で実際授業を体験する。 事前学修 2.0hr：本講義になにを期待するか、考えてみる。 事後学修 2.0hr：自分の問題意識を整理する。
2回	**授業テーマ：「朋友」から人間関係を考える。** 授業内容：グループに分けて短文「朋友」を翻訳、内容を議論する。 事前学修 2.0hr：日本人にとっての「友達」を考えてみる。 事後学修 2.0hr：講義を聞き、日中「友達」に対する考え方の違いを考える。
3回	**授業テーマ：人間関係の原点：「nin 貴姓？」** 授業内容：中国文化における「姓」が持つ意味と重みを解説、そこから中国人の人間関係の原点を理解する。 事前学修 2.0hr：関連資料を調べる。 事後学修 2.0hr：日本人の初対面の場面を想定してみて、報告する。
4回	**授業テーマ：中国語の「外人」はどういう意味なのか** 授業内容：グループに分けて短文「外人」を翻訳し、中国語の「外人」の意味を理解する。 事前学修 2.0hr：事前に配布した資料を読む 事後学修 2.0hr：中国語の「外人」に近い表現を調べてみる。
5回	**授業テーマ：中国社会の人間関係の変遷：「熟人社会」から「生人社会」へ** 授業内容：「熟人社会」と「生人社会」というキーワードを理解し、中国はどう変化していくかを解説する。 事前学修 2.0hr：日本も「熟人社会」なのか、考えてみる。 事後学修 2.0hr：日中社会を比較してみる。
6回	**授業テーマ：「隠私」：中国では「友情」をどう維持するのか** 授業内容：日本人は友達との絆をどう維持するか、それと比較して中国人の行動パターンを解説する。 事前学修 2.0hr：日本人としての「経験談」を用意する。 事後学修 2.0hr：友情の在り方について考えてみる。
7回	**授業テーマ：日中「メンツ」のキャップ** 授業内容：日本人と中国人の経験談から「メンツ」を議論する。 事前学修 2.0hr：日本語の「メンツ」を調べてみる。 事後学修 2.0hr：「メンツ」、プライト、自尊心等の相違をまとめてみる。
8回	**授業テーマ：NHK スペシャル：中国の親代行お見合い** 授業内容：NHK の番組を視聴し、中国の親と一人っ子との考えの乖離を考える。 事前学修 2.0hr：比較のために、日本の親子関係を考えてみる 事後学修 2.0hr：番組を視聴し、その感想をまとめておく。
9回	**授業テーマ：Z 世代のお見合い** 授業内容：tiktok の映像からみる中国若者のお見合い事情・考え方を紹介、解説する 事前学修 2.0hr：tiktok はどういうアプリか、実際見てみる。 事後学修 2.0hr：自分が LINE をどう使うか、顧みる。
10回	**授業テーマ：競争社会：犬・狼・戦狼外交** 授業内容：犬、オオカミから中国の競争社会の深層に潜入、解説する。 事前学修 2.0hr：日本人の犬、オオカミのイメージを調べる。 事後学修 2.0hr：日本も競争社会なのなのか、考えてみる。
11回	**授業テーマ：安心社会と信頼社会** 授業内容：「安心」と「信頼」はどう違うか、これをキーワードで違う二つの社会・人間関係の構築パターンを解説する。 事前学修 2.0hr：日本語の「安心」と「信頼」の語義を調べてまとめる。 事後学修 2.0hr：これから「安心社会」それとも「信頼社会に」に向かうべきか、考えてみる。

12回	**授業テーマ：日・中・米社会比較：利己主義と利他主義** 授業内容：具体的に、日本、中国、アメリカを比較しながら、「安心社会」と「信頼社会」の理解を深める。 事前学修 2.0hr：日本の「近所(町内会)」と比較する。 事後学修 2.0hr：「利己」行為をより深く考えてみる。
13回	**授業テーマ：討論：私の中国文化の「発見」１** 授業内容：プレゼンテーション：今まで勉強してきた内容に基づき、自分の独自の視点から日中文化を比較してみる。 事前学修 2.0hr：発表準備をする。 事後学修 2.0hr：他の学生の発表から得られた点をまとめてみる。
14回	**授業テーマ：討論：私の中国文化の「発見」２** 授業内容：プレゼンテーション：今まで勉強してきた内容に基づき、自分の独自の視点から日中文化を比較してみる。 事前学修 2.0hr：すべてのレジュメを整理する。 事後学修 2.0hr：他の学生の発表から得られた点をまとめてみる。
15回	**授業テーマ：学習理解度確認テスト** 授業内容：前期に勉強してきた様々な内容に基づいて質問する。 事前学修 3.0hr：今学期配布したすべてのレジュメを整理する。 事後学修 2.0hr：総括する。

東アジア比較思想論Ⅱ

開講学科等：中 ｜ 3年次 ｜ 2単位 ｜ 開講期：後

南　勇（なん　ゆう）

▌授業の概要

「中国人」に焦点を照らして、中国人の思考様式・行動パターンおよび価値観・歴史観を解明することによって、中国人に対する理解を深め、中国人と付き合う予備知識を身につけるのが本講義のねらいです。そのため、中国人に関する世間一般の見方にとどまらず、その深層の原因を文化・歴史の重大事件から掘り下げて解答します。また、東アジアという視点から、日・中・韓三国それぞれ交錯された認識を比較しながら問題意識を広げます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：3）

一般目標：文化比較の方法論で独自の問題意識から中国文化現象を分析できることを目指します。
個別目標：中国文化に対して自分の見解を持つこと。

▌履修条件

特になし。

▌評価基準・方法

期末試験６０%。レポート (発表) ３０%、
授業内における学習態度、参加姿勢、発言など１０%。
課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌フィードバック方法

主に授業内で討論を展開します。それぞれの考え、見解を自由に発表し、お互いに議論を盛り上げます。最後に先生がまとめて、認識を共有します。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （翻訳、グループワーク、プレゼンテーションなど活用する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

毎回レジュメを配る。

▌参考書

授業中指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：地図からみる中国と西洋の視点** 授業内容：昔、西洋人が描かれた上海地図と中国人が描かれた上海地図を比べて、視点・視野・世界観の違いを解説する。 事前学修 2.0hr：世界地図と日本地図をみる。 事後学修 2.0hr：学習計画を作成してみる。
2回	**授業テーマ：王朝地理：中華思想の原点** 授業内容：「中華思想」とは、「中国」が世界の中心である考え方。古代中国人はなぜこのような世界観ができたか、掘り下げる。 事前学修 2.0hr：自分がイメージした「中華」を考える。 事後学修 2.0hr：自分のイメージと照合してその差異を整理する。
3回	**授業テーマ：「中華」と周辺：中国の方角文化** 授業内容：「中国」は世界の中心であれば、当時の中国は近隣周辺をどのように見て、位置づけたのか、解明する。 事前学修 2.0hr：日本人にとって東、南、北、西は方角以外、何を連想させられるのか、調べてみる。 事後学修 2.0hr：『西遊記』の関連内容をまとめてみる。
4回	**授業テーマ：「文化 DNA」：上野の鹿はなぜライオンのフンから危険を嗅げるか。** 授業内容：文化論の基本視点を紹介する。歴史を時間軸で整理するか、それとも「決定的瞬間」に着眼して整理するか。 事前学修 2.0hr：フロイトの『夢の解析』を調べる。 事後学修 2.0hr：日本の歴史における「決定的瞬間」を考えてみる。
5回	**授業テーマ：「脱亜入欧」：日本の視点からみる中国と韓国。** 授業内容：明治日本は東亜 (中国と韓国) をどのように眺めてきたか、それが今の日本とどのような関連性を持っているか、解明する。 事前学修 2.0hr：福沢諭吉のアジア論を読む。 事後学修 2.0hr：福沢諭吉のアジア論をまとめてみる。
6回	**授業テーマ：「ネーション」：「他者」化される中国** 授業内容：「日本人」のアイデンティティの形成過程において、「中国 (清国)」はどう関わっていたか解明する。 事前学修 2.0hr：「アイデンティティ」を調べる。 事後学修 2.0hr：当時の新聞を読んでみる。
7回	**授業テーマ：「日清戦争」と近代中国人の論理** 授業内容：「中国」のアイデンティティの形成過程において、「日本」はどう関わっていたか解明する。 事前学修 2.0hr：「日清戦争」の資料を調べる。 事後学修 2.0hr：「進化論」をどう思うか、考えてみる。
8回	**授業テーマ：中間発表：私の中国文化の「発見」** 授業内容：プレゼンテーション：今まで勉強してきた内容に基づき、自分の独自の視点から日中文化を比較してみる。 事前学修 2.0hr：配布したレジュメを整理して、質問表を作成する。 事後学修 2.0hr：課題を完成する。
9回	**授業テーマ：「劉邦と項羽」：天下取りが中国人の性格に与えた影響** 授業内容：「勝者」と「敗者」は中国人の性格、考え方、行動様式にどのような影響を与えたか解明する。 事前学修 2.0hr：劉邦と項羽に関する資料を調べる。 事後学修 2.0hr：映画「劉邦と項羽」(あるいは「覇王別姫」) を観て考える。
10回	**授業テーマ：中国語・韓国語の中の「和語」とその流れ。** 授業内容：明治維新から和製漢語が「逆流入」の形で大量に中国と韓国に流れ込んだ。今の中国語でも同じ現象がみられる。今はどのような日本語が、どのように入って、使われているか、解明する。 事前学修 2.0hr：今はどんな日本語が中国で使われるのかを調べる。 事後学修 2.0hr：「和製漢語」を調べてリストアップする。
11回	**授業テーマ：愛国教育に秘める「愛」と「讐」** 授業内容：中国の愛国教育に常に「日本」の影がみられる。それはなぜなのか、解明する。 事前学修 2.0hr：「郷土愛」をどう思うか、考えてみる。 事後学修 2.0hr：愛国主義をどう思うか、まとめてみる。

12回	**授業テーマ：「漢服」：中国文化の高揚のシンプル** 授業内容：「旗袍」の代わりに、いまは漢服が徐々に広がっている。その流行の底に潜んでいる思惑を解明する。 事前学修 2.0hr：ネットから漢服の写真を探し、授業で共有する。 事後学修 2.0hr：「漢服」と和服を比較してみる。
13回	**授業テーマ：中国の海洋戦略と「中国夢」** 授業内容：万里の長城から海洋、これは中国の世界観の飛躍的変化。その変化の軌道を整理して解明する。 事前学修 2.0hr：中国にとって、「海」は何を意味するか。 事後学修 2.0hr：日中領土紛争に関して考えてみる。
14回	**授業テーマ：復習** 授業内容：後期に配布した全レジュメを整理して、ポイントをまとめる。 事前学修 2.0hr：すべてのレジュメを整理する。 事後学修 2.0hr：レジュメを整理して、自分なりのポイントをまとめる。
15回	**授業テーマ：学習理解度確認テスト** 授業内容：前期に勉強してきた様々な内容に基づいて質問する。 事前学修 3.0hr：テストのの準備をする。 事後学修 2.0hr：テストの結果を検証する。

中国宗教・文化論Ⅰ

開講学科等：中 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

中嶋　諒（なかじま　りょう）

▌授業の概要

中国近世の大儒、朱熹(朱子、1130～1200)の生涯と思想について考察する。朱熹の思想(朱子学)は、その死後、中国のみならず、日本も含めた東アジア全域に広がり、現在その地域に生きる人々の考え方の骨格になっている。したがって朱子学を学ぶことは、そのまま東アジアの文化を学ぶことにもなるであろう。また古来、朱子学を含めた儒学(儒教)思想は宗教か否かという問いがある。この問いについては、いまだ結論は出ていないように思われるが、これについても考えていくこととしたい。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：中国語専攻 4、GSM 2）

一般目標：朱熹の思想(朱子学)の背景にある中国の歴史や文化についての知識を身につけるとともに、これらの分野にかんする自分の考えをまとめ、適切に議論する能力を修得する。

個別目標：①朱熹の思想(朱子学)、およびその文化的、歴史的背景について理解することができる。②現代中国における朱子学の影響について説明することができる。③朱子学を含めた儒学(儒教)思想は宗教か否かという問いに答えることができる。

▌履修条件

特になし。

▌評価基準・方法

コメントシート(40 %)、受講時の積極性(20 %)、期末試験(40 %)

▌フィードバック方法

フィードバックは授業時のコメントと manaba を併用して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

授業時に教材プリントを配布する。

▌参考書

適宜指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、授業計画** 授業内容：今後の授業の進め方について説明する。 事前学修 2.0hr：講義概要をよく読み、この授業の目標を理解しておく 事後学修 2.0hr：授業計画を見直し、自分なりの朱子学についてのイメージを考えておく
2回	**授業テーマ：朱熹の生きた時代** 授業内容：これから取り上げる朱熹という思想家の生きた時代について概説する。 事前学修 2.0hr：朱熹の生きた時代について、自分なりに調べておく 事後学修 2.0hr：ノート、プリントを見直し、授業内容を確認する
3回	**授業テーマ：早年の朱熹** 授業内容：早年の朱熹の思想について、建安の三先生とのかかわりを踏まえて概説する。 事前学修 2.0hr：早年の朱熹について、自分なりに調べておく 事後学修 2.0hr：ノート、プリントを見直し、授業内容を確認する
4回	**授業テーマ：朱熹と李侗の生涯** 授業内容：朱熹が二十代の頃に出会った李侗の生涯について概説する。 事前学修 2.0hr：朱熹と李侗について、自分なりに調べておく 事後学修 2.0hr：ノート、プリントを見直し、授業内容を確認する
5回	**授業テーマ：朱熹と李侗の思想** 授業内容：朱熹二十代の頃の思想について、李侗の説いた「未発の工夫」とのかかわりを踏まえて概説する。 事前学修 2.0hr：朱熹と李侗について、さらに調べておく 事後学修 2.0hr：ノート、プリントを見直し、授業内容を確認する
6回	**授業テーマ：朱熹と張栻の生涯** 授業内容：朱熹が三十代の頃に出会った張栻の生涯について概説する。 事前学修 2.0hr：朱熹と張栻について、自分なりに調べておく 事後学修 2.0hr：ノート、プリントを見直し、授業内容を確認する
7回	**授業テーマ：朱熹と張栻の思想** 授業内容：朱熹三十代の頃の思想について、張栻の説いた「已発の工夫」とのかかわりを踏まえて概説する。 事前学修 2.0hr：朱熹と張栻について、さらに調べておく 事後学修 2.0hr：ノート、プリントを見直し、授業内容を確認する
8回	**授業テーマ：朱熹と陸九淵の生涯** 授業内容：朱熹が四、五十代の頃に出会った陸九淵の生涯について概説する。 事前学修 2.0hr：朱熹と陸九淵について、自分なりに調べておく 事後学修 2.0hr：ノート、プリントを見直し、授業内容を確認する
9回	**授業テーマ：朱熹と陸九淵の思想** 授業内容：朱熹が四、五十代の頃に出会った陸九淵の思想について概説する。 事前学修 2.0hr：朱熹と陸九淵について、さらに調べておく 事後学修 2.0hr：ノート、プリントを見直し、授業内容を確認する
10回	**授業テーマ：朱熹と陸九淵の論争とその後** 授業内容：朱熹四、五十代の頃の思想について、陸九淵の思想とのかかわりを踏まえて概説する。 事前学修 2.0hr：朱熹と陸九淵の同時代人についても調べておく 事後学修 2.0hr：ノート、プリントを見直し、授業内容を確認する
11回	**授業テーマ：朱熹と陳亮の生涯** 授業内容：朱熹が四、五十代の頃に出会った陳亮の生涯について概説する。 事前学修 2.0hr：朱熹と陳亮について、自分なりに調べておく 事後学修 2.0hr：ノート、プリントを見直し、授業内容を確認する

12回	**授業テーマ：朱熹と陳亮の思想** 授業内容：朱熹が四、五十代の頃に出会った陳亮の思想について概説する。 事前学修 2.0hr：朱熹と陳亮について、さらに調べておく 事後学修 2.0hr：ノート、プリントを見直し、授業内容を確認する
13回	**授業テーマ：朱熹と陳亮の論争とその後** 授業内容：朱熹四、五十代の頃の思想について、陳亮の思想とのかかわりを踏まえて概説する。 事前学修 2.0hr：朱熹と陳亮の同時代人についても調べておく 事後学修 2.0hr：ノート、プリントを見直し、授業内容を確認する
14回	**授業テーマ：晩年の朱熹** 授業内容：朱熹六十代の頃の思想について、当時の政治情勢なども踏まえて概説する。 事前学修 2.0hr：晩年の朱熹について、自分なりに調べておく 事後学修 2.0hr：ノート、プリントを見直し、授業内容を確認する
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：朱熹やその同時代人らの生涯、思想をまとめて、整理する。 事前学修 2.0hr：これまで学んだことを整理しておく 事後学修 2.0hr：朱熹と同時代人とのかかわりを説明できるようにする

中国宗教・文化論Ⅱ

開講学科等：中 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

中嶋　諒（なかじま　りょう）

▌授業の概要

中国近世の大儒、朱熹(朱子、1130～1200)以後の中国思想の展開について考察する。朱熹の思想(朱子学)は、その死後、中国全土に広がったが、その一方で、王守仁(陽明、1472～1529)がひらいた陽明学をはじめ、朱子学に反対するものや、それに独自の見解を加えるものもあらわれた。これらの思想を知ることは、東アジアの文化をより深く学ぶことにもなるであろう。また古来、陽明学を含めた儒学(儒教)思想は宗教か否かという問いがある。この問いについては、いまだ結論は出ていないように思われるが、これについても考えていくこととしたい。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：中国語専攻 4、GSM 2）

一般目標：朱熹以後の思想の背景にある中国の歴史や文化についての知識を身につけるとともに、これらの分野にかんする自分の考えをまとめ、適切に議論する能力を修得する。

個別目標：①陽明学をはじめとする思想、およびその文化的、歴史的背景について理解することができる。②現代中国における陽明学などの影響について説明することができる。③陽明学を含めた儒学(儒教)思想は宗教か否かという問いに答えることができる。

▌履修条件

特になし。

▌評価基準・方法

コメントシート(40 %)、受講時の積極性(20 %)、期末試験(40 %)

▌フィードバック方法

フィードバックは授業時のコメントと manaba を併用して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

授業時に教材プリントを配布する。

▌参考書

適宜指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、授業計画** 授業内容：今後の授業の進め方について説明する。 事前学修 2.0hr：講義概要をよく読み、この授業の目標を理解しておく 事後学修 2.0hr：授業計画を見直し、朱子学以後の中国思想についてのイメージを考えておく
2回	**授業テーマ：朱熹の門弟たち** 授業内容：朱熹の死後、その門弟たちの活躍について概説する。 事前学修 2.0hr：朱熹の門弟たちについて、自分なりに調べておく 事後学修 2.0hr：ノート、プリントを見直し、授業内容を確認する
3回	**授業テーマ：元代の思想** 授業内容：元代に流行した思想、とりわけ医学思想などについて概説する。 事前学修 2.0hr：元代の思想について、自分なりに調べておく 事後学修 2.0hr：ノート、プリントを見直し、授業内容を確認する
4回	**授業テーマ：三大全の編纂と刊行** 授業内容：明代初期に刊行された三大全(四書大全、五経大全、性理大全)について概説する。 事前学修 2.0hr：三大全(四書大全、五経大全、性理大全)について、自分なりに調べておく 事後学修 2.0hr：ノート、プリントを見直し、授業内容を確認する
5回	**授業テーマ：王守仁(陽明)の生涯** 授業内容：明代中期に生まれた王守仁(陽明)の生涯と、当時の時代状況について概説する。 事前学修 2.0hr：王守仁(陽明)の生涯について、自分なりに調べておく 事後学修 2.0hr：ノート、プリントを見直し、授業内容を確認する
6回	**授業テーマ：王守仁(陽明)の思想** 授業内容：王守仁(陽明)の思想(心即理、致良知など)について概説する。 事前学修 2.0hr：王守仁(陽明)の思想について、自分なりに調べておく 事後学修 2.0hr：ノート、プリントを見直し、授業内容を確認する
7回	**授業テーマ：王守仁(陽明)の門弟たち** 授業内容：王守仁(陽明)とその門弟たちとの交流を、『伝習録』などを手がかりに概説する。 事前学修 2.0hr：王守仁(陽明)の門弟たちについて、自分なりに調べておく 事後学修 2.0hr：ノート、プリントを見直し、授業内容を確認する
8回	**授業テーマ：王学左派と李贄の思想** 授業内容：王守仁(陽明)の死後に活躍した王学左派(王艮、王畿など)や李贄の思想について概説する。 事前学修 2.0hr：王学左派と李贄の思想について、自分なりに調べておく 事後学修 2.0hr：ノート、プリントを見直し、授業内容を確認する
9回	**授業テーマ：明の遺臣たち** 授業内容：明末清初、明の遺臣として活躍した黄宗羲、顧炎武、王夫之らの思想について概説する。 事前学修 2.0hr：明の遺臣たちの思想について、自分なりに調べておく 事後学修 2.0hr：ノート、プリントを見直し、授業内容を確認する
10回	**授業テーマ：清朝考証学の登場** 授業内容：清朝考証学という学問手法と、その背景について概説する。 事前学修 2.0hr：清朝考証学について、自分なりに調べておく 事後学修 2.0hr：ノート、プリントを見直し、授業内容を確認する
11回	**授業テーマ：顔李学派の思想** 授業内容：顔李学派と称される顔元、李きょうらの思想について概説する。 事前学修 2.0hr：顔李学派の思想について、自分なりに調べておく 事後学修 2.0hr：ノート、プリントを見直し、授業内容を確認する

12回	**授業テーマ：洪秀全と太平天国** 授業内容：太平天国が建てられた経緯などについて説明し、さらに洪秀全の思想を概説する。 事前学修 2.0hr：洪秀全と太平天国について、自分なりに調べておく 事後学修 2.0hr：ノート、プリントを見直し、授業内容を確認する
13回	**授業テーマ：公羊学の思想** 授業内容：清代末期に流行した公羊学の思想について概説する。 事前学修 2.0hr：公羊学の思想について、自分なりに調べておく 事後学修 2.0hr：ノート、プリントを見直し、授業内容を確認する
14回	**授業テーマ：清朝の滅亡と西洋思想** 授業内容：中国に伝わり広まっていた西洋思想と、当時の時代背景について概説する。 事前学修 2.0hr：清朝の滅亡と西洋思想について、自分なりに調べておく 事後学修 2.0hr：ノート、プリントを見直し、授業内容を確認する
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：これまで取り上げてきた王守仁(陽明)や李贄の生涯、思想をまとめて、整理する。 事前学修 2.0hr：これまで学んだことを整理しておく 事後学修 2.0hr：朱熹の死後に生まれた様々な思想をまとめて、整理する。

中国語圏実地研修

開講学科等：中 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位

単位認定科目

▌授業の概要

夏季休暇中の約 1 ヶ月を利用して、派遣合意書を取り交わしている中国の大学にて中国語を学び、現地の実際に触れて見聞を広めます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：中国語専攻 3）

一般目標：より高度な中国語コミュニケーション能力を身につけ、中国社会の現状を認識する。
個別目標：①中国語の日常会話を聞いて理解できる。
②自分の意見を中国語を用いて説明できる。
③中国社会の現状について、実例をあげて説明できる。

▌履修条件

5 月から 6 月にかけて募集を行い、選考試験を実施します。その結果によっては参加できないことがあります。

▌評価基準・方法

研修先における修了証書をもって評価します。

▌フィードバック方法

研修中のミーティングおよび研修報告会を実施し、対面でのフィードバックを行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （海外研修）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

特になし

▌参考書

特になし

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

授業テーマ

中国の大学にて中国語を学び、現地の実際に触れて見聞を広めます。

授業内容

研修先における中国語の授業が主となりますが、これに加えて、現地で生活し、商業、交通、観光などの実際を体験することで、中国社会の現状を学びます。また、研修のための事前研修、研修後の報告会を行います。

事前学修

事前研修への参加を必須とします。
また、研修先での学修や生活について、情報を収集してください。

事後学修

研修報告を必須とします。
また、積極的に中国語を使用するようにしてください。

中国現代史Ⅰ

開講学科等：中 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

中島　祝（なかじま　はじめ）

▌授業の概要

中国史の中で特にアヘン戦争から辛亥革命までの時期を深く理解する。
この時期は中国の王朝体制が崩壊し、革命を経て共和国の成立を見る時期であり、中国史上の一大転換点である。換言すれば中国が近代化を開始する時期にほかならない。世界が一体のものとして動くようになるこの時期、中国もまたその中で新たな体制を模索するのである。
このような時期を探究の対象とする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：3）

一般目標：国際的人材の求められる教養のひとつとして、中国における近現代の意味を理解する。
個別目標：1. 世界史と中国史を統一的に説明できる。
2. 歴史と現在を関連付けて説明できる。
3. 国際社会の時間的空間的全体像を把握できる。

▌履修条件

特になし

▌評価基準・方法

学期末試験もしくはそれに代わる課題を主とする。必要に応じて中間試験や追加課題等を課し、授業成果と併せて成績を評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは教場またはオンラインで行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

『中国史 下』 尾形勇・岸本美緒編集、山川出版社、2019 年。

▌参考書

『中国の歴史　増補改訂版』山本英史著、河出書房新社、2016 年。
『中国史 上』 尾形勇・岸本美緒編集、山川出版社、2019 年。
その他必要に応じて授業中に指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：中国現代史の意義** 授業内容：アヘン戦争がひとつの転換点になっていることについて、世界史的視点から説明する。 事前学修 2.0hr：教科書巻末の年表を読み、中国史の概略を理解する。 事後学修 2.0hr：近代化の意味を確認する。
2回	**授業テーマ：時代区分** 授業内容：中国では歴史を大きく五つの時代に区分していることを紹介し、半植民地半封建社会とよばれる時代の特徴を説明する。 事前学修 2.0hr：教科書巻末の年表を読み、中国史の歴史区分を理解する。 事後学修 2.0hr：時代区分と近代化の関連を再確認する。
3回	**授業テーマ：アヘン戦争** 授業内容：アヘン戦争の経緯を概観し、そこに半植民地半封建社会が始まる事情を説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を熟読し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：教科書の該当部分を改めて熟読し、理解を深める。
4回	**授業テーマ：南京条約と虎門寨追加条約** 授業内容：不平等条約に言及し、アヘン戦争を経て中国の国際的地位が一変することを説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を熟読し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：教科書の該当部分を改めて熟読し、理解を深める。
5回	**授業テーマ：太平天国** 授業内容：太平天国がどのようなものであり、清朝がいかに影響を受けたか説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を熟読し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：教科書の該当部分を改めて熟読し、理解を深める。
6回	**授業テーマ：湘軍** 授業内容：太平天国の滅亡に際して湘軍や英仏軍の果たした役割を説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を熟読し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：教科書の該当部分を改めて熟読し、理解を深める。
7回	**授業テーマ：洋務運動** 授業内容：洋務運動について説明するとともに、日本を含めた国際社会との関連を考察する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を熟読し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：教科書の該当部分を改めて熟読し、理解を深める。
8回	**授業テーマ：義和団** 授業内容：義和団の展開を概観し、西太后の判断とその結果について説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を熟読し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：教科書の該当部分を改めて熟読し、理解を深める。
9回	**授業テーマ：下関条約** 授業内容：日清戦争について概観し、当時の国際社会における中国の地位を考察する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を熟読し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：教科書の該当部分を改めて熟読し、理解を深める。
10回	**授業テーマ：三民主義** 授業内容：孫文が革命の準備を進めるなかで特に民族主義についてどう考えていたか説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を熟読し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：教科書の該当部分を改めて熟読し、理解を深める。

11回	**授業テーマ：辛亥革命** 授業内容：清朝が滅亡し、中華民国が成立したことで、長く続いた王朝体制も終焉を迎えたことを説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を熟読し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：教科書の該当部分を改めて熟読し、理解を深める。
12回	**授業テーマ：中華民国** 授業内容：中華民国が成立しても、半植民地半封建社会がさらに続く事情を説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を熟読し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：教科書の該当部分を改めて熟読し、理解を深める。
13回	**授業テーマ：五・四運動** 授業内容：ベルサイユ条約において明らかになった中国の国際的地位を説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を熟読し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：教科書の該当部分を改めて熟読し、理解を深める。
14回	**授業テーマ：軍閥** 授業内容：孫文が最期に残した言葉を紹介し、その歴史的意義を検討する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を熟読し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：教科書の該当部分を改めて熟読し、理解を深める。
15回	**授業テーマ：近代化** 授業内容：アヘン戦争以降、中国は否応なく近代化を進めることになるが、近代化とは何を意味するのか、改めて考察する。 事前学修 2.0hr：教科書巻末の年表のうち授業で扱った箇所を読み、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：教科書、参考書、ノート等を改めて熟読し、理解を深める。

中国現代史Ⅱ

開講学科等：中 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

中島　祝（なかじま　はじめ）

▌授業の概要

中国史の中で共産党政権に関わる時期を広く講義する。
辛亥革命を経て共和国を成立させたものの、孫文の言葉にあるように、その革命は不完全なままに終わった。辛亥革命で達成されたことと未完のまま残されたことを確認し、両党が未完成の課題にどのように対処し、またその結果が現代にどう影響しているのか、深く探究する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：3）

一般目標：国際的人材の求められる教養のひとつとして、中国における近現代の意味を理解する。
個別目標：1. 世界史と中国史を統一的に説明できる。
2. 歴史と現在を関連付けて説明できる。
3. 国際社会の時間的空間的全体像を把握できる。

▌履修条件

特になし

▌評価基準・方法

学期末試験もしくはそれに代わる課題を主とする。必要に応じて中間試験や追加課題等を課し、授業成果と併せて成績を評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは教場またはオンラインで行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

『中国史 下』尾形勇、岸本美緒編、山川出版社、2019 年。

▌参考書

『中国の歴史　増補改訂版』山本英史著、河出書房新社、2016 年。
『中国史 上』尾形勇、岸本美緒編、山川出版社、2019 年。
その他必要に応じて授業中に指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：清末の中国と世界** 授業内容：アヘン戦争を以って半植民地半封建社会の始まりとされることの意味を改めて考察する。 事前学修 2.0hr：教科書巻末の年表を熟読し、世界史と中国史の関連を確認する。 事後学修 2.0hr：教科書の該当部分を改めて熟読し、理解を深める。
2回	**授業テーマ：辛亥革命の意義** 授業内容：辛亥革命に清朝のみならず王朝体制が終焉し、新たに共和国が成立したが、それでも半植民地半封建社会は続くことの意味を改めて考える。 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を熟読し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：教科書の該当部分を改めて熟読し、理解を深める。
3回	**授業テーマ：国民党** 授業内容：孫文の遺志を継承すべく、新たに蒋介石が率いることになる事情を概観する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を熟読し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：教科書の該当部分を改めて熟読し、理解を深める。
4回	**授業テーマ：第一次国共合作** 授業内容：軍閥が抜港する状況を終わらせるべく、国民党と共産党が「合作」の体制をとったことを説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を熟読し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：教科書の該当部分を改めて熟読し、理解を深める。
5回	**授業テーマ：北伐** 授業内容：第一次国共合作は北伐のための体制であるが、国民党のなかで右派が主導し、目的を達する前に合作が崩壊したことを説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を熟読し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：教科書の該当部分を改めて熟読し、理解を深める。
6回	**授業テーマ：盧溝橋事件** 授業内容：日中戦争の発端を概観するとともに、第二次世界大戦との関連を説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を熟読し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：教科書の該当部分を改めて熟読し、理解を深める。
7回	**授業テーマ：第二次国共合作** 授業内容：日中戦争のために再び国民党と共産党が合作体制をとるが、両者それぞれに戦後構想を持っていたことを説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を熟読し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：教科書の該当部分を改めて熟読し、理解を深める。
8回	**授業テーマ：国共内戦** 授業内容：日中戦争が終わると国共両党はそれぞれの思惑を実現すべく内戦に至ったことを説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を熟読し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：教科書の該当部分を改めて熟読し、理解を深める。
9回	**授業テーマ：1949 年 10 月 1 日** 授業内容：国共内戦に共産党が勝利し、中華人民共和国が成立したことを説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を熟読し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：教科書の該当部分を改めて熟読し、理解を深める。
10回	**授業テーマ：向ソ一辺倒** 授業内容：第二次世界大戦後の世界は冷戦の世界であり、中国はソ連の陣営に参加したことを説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を熟読し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：教科書の該当部分を改めて熟読し、理解を深める。

11回	**授業テーマ：大躍進** 授業内容：中国とソ連が対立を激化していくなかで、中国が成果を挙げんとした様子を説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を熟読し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：教科書の該当部分を改めて熟読し、理解を深める。
12回	**授業テーマ：文化大革命** 授業内容：紅と専の対立とされる文化大革命がどのように展開されたか説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を熟読し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：教科書の該当部分を改めて熟読し、理解を深める。
13回	**授業テーマ：改革開放** 授業内容：文化大革命の後の政策転換が、中国がこんにち見せる経済発展の出発点であることを説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を熟読し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：教科書の該当部分を改めて熟読し、理解を深める。
14回	**授業テーマ：南巡講話** 授業内容：改革開放は当初限られた範囲で実施され、その成果をみて次第に拡大されていったことを説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を熟読し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：教科書の該当部分を改めて熟読し、理解を深める。
15回	**授業テーマ：現代の中国と国際関係** 授業内容：中国が台頭することにより、東アジアや世界の国際関係は大きく様相を変えつつある。その現状を確認し、課題を検討する。 事前学修 2.0hr：教科書巻末の年表のうち授業で扱った箇所を読み、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：教科書、参考書、ノート等を改めて熟読し、理解を深める。

中国社会研究入門

開講学科等：中 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

高田　誠（たかだ　まこと）

▌授業の概要

中国語学科カリキュラム・ポリシーの 1 に鑑み、中国の政治・経済・社会について，わかりやすく丁寧に講義します。中国社会のもつ多様性や、経済、社会のもつ特異性など、幅広いテーマについて検討する予定です。一方的な講義とならないよう、適宜ディスカッションの時間を持ちながら進めていきます。講義の進め方についての詳細は、第 1 回目の講義の際に指示します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2）

一般目標：中国の政治システムがどのようになっているのか。中国経済はどのようなプロセスで発展してきたのか。中国社会のもつ特徴は何か。これらの問題に対して、ひととおりの知識を有し、まとまった説明ができるようになることを到達目標とします。

個別目標：中国の政治体制がどのような構造なのか、立法・行政・司法の三権はどのように配置されているのか、経済の市場化はどのように進められたのか、格差や環境汚染などの問題点はどこまで進み、どこまで改善されたのか、インターネットの普及は中国社会にどのような変化をもたらしたのか、などの具体的なテーマについて考え、自分の考えを述べることができることを目標にします。

▌履修条件

特にありません。

▌評価基準・方法

試験 70 %、レポート 30 %、また授業内における参加姿勢及び発言等に基づき総合的に評価します。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （調べた内容を教室で発表。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （データのまとめなど。）

▌教科書

テキストは使用しません。

▌参考書

授業内で適宜指示します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：中国社会の現在** 授業内容：中国社会を学ぶ際のさまざまなアプローチについて。 事前学修 2.0hr：現代中国の社会変化について新聞などをチェックすること。 事後学修 2.0hr：中国ビジネスの現状を考え、講義の内容を復習する。
2 回	**授業テーマ：中国社会の変容（改革開放の意味）** 授業内容：中国における改革開放の意味について。 事前学修 2.0hr：前回の講義の復習をしておく。 事後学修 2.0hr：改革開放について講義内容を復習する。
3 回	**授業テーマ：社会主義市場経済の意味** 授業内容：社会主義市場経済の内容とその変容について。 事前学修 2.0hr：前回の内容の要点と疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義内容を復習し、プリント等を確認する。
4 回	**授業テーマ：政治（国家制度）** 授業内容：中国の国家制度について解説。 事前学修 2.0hr：前回の内容の要点と疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：中国の政治制度について、講義内容を復習する。
5 回	**授業テーマ：政治（共産党）** 授業内容：共産党機構に関する説明。 事前学修 2.0hr：前回の内容の要点と疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：共産党が果たしている役割を復習し整理する。
6 回	**授業テーマ：政治（地方分権）** 授業内容：中央と地方の分権制度について解説。 事前学修 2.0hr：前回の内容の要点と疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：中央と地方との関係について講義内容を復習し確認する。
7 回	**授業テーマ：経済（改革開放以前）** 授業内容：計画経済時代の経済構造について解説。 事前学修 2.0hr：前回の内容の要点と疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：改革開放以前の中国について、講義内容と照らし合わせながら整理する。
8 回	**授業テーマ：経済（改革開放以後）** 授業内容：改革開放以後の経済状況の変遷について解説。 事前学修 2.0hr：前回の内容の要点と疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：改革開放前後の変化を中心に講義内容をまとめる。
9 回	**授業テーマ：経済（農村政策）** 授業内容：農村政策の変遷について解説。 事前学修 2.0hr：前回の内容の要点と疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：改革開放以後の農村政策の変容をまとめる。
10 回	**授業テーマ：経済（対外開放政策）** 授業内容：対外経済関係の移り変わりについて。 事前学修 2.0hr：前回の内容の要点と疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：対外経済政策の変化について、講義内容を復習し確認する。
11 回	**授業テーマ：社会（人口政策）** 授業内容：人口政策の移り変わりについて解説。 事前学修 2.0hr：前回の内容の要点と疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：中国の人口変動について講義内容を復習する。

12回	**授業テーマ：社会(所得格差)** 授業内容：所得格差の実情について説明。 事前学修 2.0hr：前回の内容の要点と疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：所得格差がどのように変容していったのか、講義内容を復習し確認する。
13回	**授業テーマ：社会(環境政策)** 授業内容：中国における環境問題への取り組みについて解説。 事前学修 2.0hr：前回の内容の要点と疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：環境汚染は経済発展とどのような関係にあるのか、中国を事例に講義内容を復習する。
14回	**授業テーマ：外交(外交政策)** 授業内容：対外関係、特に米中関係について論じる。 事前学修 2.0hr：前回の内容の要点と疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：中国の外交政策の大きな変動を整理する。
15回	**授業テーマ：外交(日中関係)** 授業内容：日中関係の今後について解説する。 事前学修 2.0hr：前回の内容の要点と疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：日中関係はどこに向かうのか、講義内容と照らし合わせながら整理する。

中国現代史研究入門

開講学科等：中 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

中島　祝（なかじま　はじめ）

▌授業の概要

中国史の中で「社会主義社会」とされる時期について講義する。
第二次世界大戦において連合国側にあった中国は、「惨勝」といわれる結末をむかえた。これはまた次の段階の始まりでもあった。共産党が政権を樹立し、大躍進や文化大革命などの混乱を経験しながら、改革開放政策が奏功して経済規模の拡大に成功するに至った。それと並行して「華人」と呼ばれる人々も新たな道を歩んだ。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2）

一般目標：国際的人材に求められる素養のひとつとして、いまの中国の姿を現代史的意味において理解する。
個別目標：1. 世界のなかに位置付けて中国を説明できる。
2. 歴史と現在を関連付けて説明できる。
3. 国際社会の時間的空間的全体像を把握できる。

▌履修条件

特になし

▌評価基準・方法

学期末試験もしくはそれに代わる課題を主とする。必要に応じて中間試験や追加課題等を課し、授業成果と併せて成績を評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは教場またはオンラインで行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

『中国史 下』尾形勇、岸本美緒編、山川出版社、2019 年。

▌参考書

『中国の歴史　増補改訂版』山本英史著、河出書房新社、2016 年。
『中国史 上』尾形勇、岸本美緒編、山川出版社、2019 年。
その他必要に応じて授業中に指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：中国史の時代区分** 授業内容：中国の歴史は大きく 5 つの時代に区分される。それらの中で特に「社会主義社会」とされる時代について詳しく見るのがこの授業である。全体のいわば見取り図を示す。 事前学修 2.0hr：各種資料をみて中国史の時代区分について調べる。時代を画する契機たる事件が何か、なぜそのような事件が時代を画するのか等、考察してみる。 事後学修 2.0hr：資料や教科書を改めて読み、中国史の時代が現在なぜそのように区分されるのか考えてみる。中華人民共和国と共産党の関係に注目する。
2回	**授業テーマ：惨勝** 授業内容：第二次世界大戦において連合国の側にあった中国は、「惨勝」ともいわれる状況で 1945 年 8 月をむかえた。国共合作が崩壊し、新たな中国の支配権をめぐって内戦が勃発した。 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を熟読し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：教科書の該当部分を改めて熟読し、理解を深める。
3回	**授業テーマ：遷台** 授業内容：国共内戦において敗色を濃くした国民党は、事実上の本拠地を台湾に遷し、台湾のみを支配下におさめた。台湾のひとびとは外省人に対して警戒心をいだきつつ、支配者の交代をみた。 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を熟読し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：教科書の該当部分を改めて熟読し、理解を深める。
4回	**授業テーマ：建国** 授業内容：中国共産党は国共内戦に勝利し、指導者である毛沢東は天安門のステージで高らかに建国を宣言した。ここに中華人民共和国の歴史が始まる。彼らは第二次世界大戦後の冷戦下にある世界のなかで新国家を築く重責を担うことになった。 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を熟読し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：教科書の該当部分を改めて熟読し、理解を深める。
5回	**授業テーマ：向ソ一辺倒** 授業内容：冷戦の世界に新興共産国として船出した中国は東側の一員となった。ソ連の政策にならい重工業を重視する政策を進めたが、ソ連のスターリン批判が中ソの対立をもたらし、反右派闘争につながった。 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を熟読し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：教科書の該当部分を改めて熟読し、理解を深める。
6回	**授業テーマ：大躍進** 授業内容：東西冷戦と中ソ対立に直面した中国は、毛沢東が強い指導力を発揮しつつ大躍進運動を進めた。成果を急ぎすぎたのか歪が拡大し、所期の結果とは大きく異なる事態を引き起こした。 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を熟読し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：教科書の該当部分を改めて熟読し、理解を深める。
7回	**授業テーマ：調整** 授業内容：大躍進にひとびとは疑問を禁じえず、経済調整が行われることになった。毛沢東はこの調整に納得していなかったのか、国家運営の主導権をさらに求めたのか、文化大革命に至る準備がここで進行したとも考えられる。 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を熟読し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：教科書の該当部分を改めて熟読し、理解を深める。
8回	**授業テーマ：文化大革命** 授業内容：一片の歴史戯曲が火種になり、中国全体を巻き込む大火が起こった。学生は語録を手にシュプレヒコールをあげ、教員は下放されて農村に赴いた。革命指導者と国家官僚の対立はあまりに激しかった。 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を熟読し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：教科書の該当部分を改めて熟読し、理解を深める。

9回	**授業テーマ：歴史決議** 授業内容：毛沢東が亡くなり、四人組が逮捕され、文化大革命は終わった。華国鋒に続いて鄧小平が実権を掌握し、激烈な時代を清算して全人する決意を示した。 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を熟読し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：教科書の該当部分を改めて熟読し、理解を深める。
10回	**授業テーマ：改革開放** 授業内容：鄧小平は計画経済を軌道修正して改革開放政策を開始した。社会主義市場経済を創始するとともに外資を呼び込み、経済発展をめざす国家運営に転換した。こんにちの中国の姿はここに始まるともいえる。 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を熟読し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：教科書の該当部分を改めて熟読し、理解を深める。
11回	**授業テーマ：南巡講話** 授業内容：改革開放政策は全国一斉ではなく限定的に開始された。鄧小平は南方の各地で政策の進展をみて、政策が成果をあげていることを確信したのか、豊かになるための社会主義を力説した。 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を熟読し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：教科書の該当部分を改めて熟読し、理解を深める。
12回	**授業テーマ：和諧社会** 授業内容：経済発展が進み、先富論が示すままに富を蓄えるひとびとが現れる一方、格差が無視できないこともまた事実であった。そこで協調されるようになったのが「和諧社会」である。ここにこんにちまで続く大きな課題がある。 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を熟読し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：教科書の該当部分を改めて熟読し、理解を深める。
13回	**授業テーマ：「大国」化** 授業内容：中国の経済規模は著しく拡大し、今では世界第二位となっている。他方、政治的には中国共産党が独裁を続けている。このような国が「大国」として世界に立ち現れるとき、中国はいかに振る舞い、世界はいかに向かうのか、新たな事態に直面している。 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を熟読し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：教科書の該当部分を改めて熟読し、理解を深める。
14回	**授業テーマ：マレーシアの華人** 授業内容：マレーシアでは人口の約 4 分の 1 を華人が占める。同国はマレー系が国王をつとめるイスラム教国であるが、華人は同国の経済に大規模にかかわっている。中国で共産党の独裁政権ができたとき、マラヤの華人は積極的に政治参加して立場を示した。 事前学修 2.0hr：外務省が公開する資料をみてマレーシアとシンガポールの現状を知る。人口の構成、宗教、言語などに注目する。 事後学修 2.0hr：外務省および授業の資料を再読し、マレーシアの華人について理解を深める。
15回	**授業テーマ：シンガポールの独立** 授業内容：シンガポールは人口 k の約 4 分の 3 を華人が占める。英国保護領だったシンガポールはマラヤの呼びかけに応じてマレーシアに加わるが、長くは続かず、分離独立する。「大国」中国と ASEAN 諸国の関係において、華人の立場もまた単純ではない。 事前学修 2.0hr：シンガポールのリー・クアンユーについて調べる。マレーシアとシンガポールの歴史と中国の歴史を結びつける。 事後学修 2.0hr：外務省および授業の資料を再読し、中国史における中華人民共和国成立、文化大革命、「大国」化などと対照して理解を深める。

中国思想研究入門

開講学科等：中 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

中嶋　諒（なかじま　りょう）

▌授業の概要
中国の思想についての概説を行う。中国には古来すぐれた思想が存在したが、このような思想は現代中国の文化、社会にも生き続けている。したがって中国語を学び、中国について深く理解しようと思うならば、中国の思想を知ることを避けては通れない。このような視点に立って、本年度は中国古代の諸子百家の思想を中心に、仏教や道教などについても取り上げていく。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2）
一般目標：中国前近代の思想の概要を知り、中国の文化、社会に対する理解を深める。
個別目標：中国前近代の思想が、現代中国の文化、社会にいかに影響を与えているかを説明できる。

▌履修条件
特になし。

▌評価基準・方法
コメントシート（30 %）、受講時の積極性（20 %）、期末試験（50 %）

▌フィードバック方法
フィードバックは授業時のコメントと manaba を併用して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）
なし

▌授業での PC の利用（利用内容）
なし

▌教科書
特にありません。必要に応じて、プリントを配布する。

▌参考書
適宜指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、授業計画** 授業内容：今後の授業の進め方について説明する。 事前学修 2.0hr：講義概要をよく読み、この授業の目標を理解しておく 事後学修 2.0hr：授業計画を見直し、自分なりの中国思想についてのイメージをまとめておく
2回	**授業テーマ：諸子百家の時代** 授業内容：次回から取り上げる諸子百家の時代について、歴史背景などを踏まえて概説する。 事前学修 2.0hr：諸子百家の時代について、自分なりに調べておく 事後学修 2.0hr：ノート、プリントを見直し、授業内容を確認する
3回	**授業テーマ：儒家（1）：孔子の思想** 授業内容：孔子の思想について、「礼」を中心に概説する。 事前学修 2.0hr：孔子の思想について、自分なりに調べておく 事後学修 2.0hr：ノート、プリントを見直し、授業内容を確認する
4回	**授業テーマ：儒家（2）：孟子の思想** 授業内容：孟子の思想について、「性善」を中心に概説する。 事前学修 2.0hr：孟子の思想について、自分なりに調べておく 事後学修 2.0hr：ノート、プリントを見直し、授業内容を確認する
5回	**授業テーマ：儒家（3）：荀子の思想** 授業内容：荀子の思想について、「性悪」を中心に概説する。 事前学修 2.0hr：荀子の思想について、自分なりに調べておく 事後学修 2.0hr：ノート、プリントを見直し、授業内容を確認する
6回	**授業テーマ：道家（1）：老子の思想** 授業内容：老子の思想について、「道」を中心に概説する。 事前学修 2.0hr：老子の思想について、自分なりに調べておく 事後学修 2.0hr：ノート、プリントを見直し、授業内容を確認する
7回	**授業テーマ：道家（2）：荘子の思想** 授業内容：荘子の思想について、「無」を中心に概説する。 事前学修 2.0hr：荘子の思想について、自分なりに調べておく 事後学修 2.0hr：ノート、プリントを見直し、授業内容を確認する
8回	**授業テーマ：墨家：墨子の思想** 授業内容：墨子の思想について、「兼愛」を中心に概説する。 事前学修 2.0hr：墨子の思想について、自分なりに調べておく 事後学修 2.0hr：ノート、プリントを見直し、授業内容を確認する
9回	**授業テーマ：名家：公孫龍子の思想** 授業内容：公孫龍子の思想について、「白馬非馬」を中心に概説する。 事前学修 2.0hr：公孫龍子の思想について、自分なりに調べておく 事後学修 2.0hr：ノート、プリントを見直し、授業内容を確認する
10回	**授業テーマ：兵家：孫子の思想** 授業内容：孫子の思想について、その軍事思想を中心に概説する。 事前学修 2.0hr：孫子の思想について、自分なりに調べておく 事後学修 2.0hr：ノート、プリントを見直し、授業内容を確認する
11回	**授業テーマ：法家：韓非子の思想** 授業内容：韓非子の思想について、その法の思想を中心に概説する。 事前学修 2.0hr：韓非子の思想について、自分なりに調べておく 事後学修 2.0hr：ノート、プリントを見直し、授業内容を確認する
12回	**授業テーマ：焚書坑儒と儒教の国教化** 授業内容：諸子百家の時代以後における思想史の流れを概説する。 事前学修 2.0hr：秦代から漢代にかけての思想史の流れについて、自分なりに調べておく 事後学修 2.0hr：ノート、プリントを見直し、授業内容を確認する

13回	**授業テーマ：仏教思想の展開** 授業内容：仏教思想について、「無常」や「輪廻」を中心に概説する。 事前学修 2.0hr：仏教の思想について、自分なりに調べておく 事後学修 2.0hr：ノート、プリントを見直し、授業内容を確認する
14回	**授業テーマ：道教思想の展開** 授業内容：道教の思想や、それに関連する外丹や内丹などについて概説する。 事前学修 2.0hr：道教の思想について、自分なりに調べておく 事後学修 2.0hr：ノート、プリントを見直し、授業内容を確認する
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：中国の思想史の大きな流れを概説し、確認する。 事前学修 2.0hr：これまで学んだことを整理しておく 事後学修 2.0hr：中国思想の概要を説明できるようにする

中国文学研究入門

開講学科等：中 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

宇賀神　秀一（うがじん　しゅういち）

▌授業の概要

中国古典文学のうち、詩というジャンルの精華として、唐代に成立した近体詩という形式が挙げられます。この授業では、その到達点ともいうべき近体詩を学んだ上で、そこに至るまでの詩の展開について、特に事実性の強い作品（詠史詩）と、虚構性豊かな作品（遊仙詩等）を中心に解説します。
作品の元となる文献や作者の生きた当時の時代背景の流れを確認しながら、読み解いていきます。
先秦から唐代の文章を中心に取り上げます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2）

一般目標：中国古典文学の近体詩の形式を理解する。
　　中国古典文学の伝統性豊かな詩風と創造性豊かな詩風を理解する。
　　文学を鑑賞する力を高める。
個別目標：1. 近体詩の形式を理解し、説明することができる。
　　2. 代表的な詩文を知り、説明することができる。
　　3. 中国古典文学の研究資料を調査することができる。

▌履修条件

特にありません。

▌評価基準・方法

授業への取り組み 30 %、コメントシート 40 %、期末テスト 30%で総合的に評価します。

▌フィードバック方法

フィードバックは授業時のコメントと manaba を併用して行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （感想文の提出などで用いることがある。）

▌教科書

定めない。

▌参考書

小川環樹『唐詩概説』(岩波文庫)、『詩経国風 書経』(筑摩書房、世界古典文学全集)、市川桃子・斉藤茂『中国古典詩聚花－詠史と詠物－』(小学館)、『文選』(集英社、全釈漢文大系)、『陶淵明全集』上・下 (岩波文庫)、その他の参考書については授業中に適宜紹介します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：授業の概要を読んで、到達目標を理解しましょう。 事前学修 2.0hr：授業の概要を読んで、到達目標を理解しましょう。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。
2回	**授業テーマ：王維を読む** 授業内容：王維「送元二使安西」を読み、解説します。 事前学修 2.0hr：授業で取り上げる作品に目を通して下さい。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。
3回	**授業テーマ：杜甫を読む** 授業内容：杜甫「春望」を読み、解説します。 事前学修 2.0hr：授業で取り上げる作品に目を通して下さい。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。
4回	**授業テーマ：李白を読む** 授業内容：李白「静夜思」を読み、解説します。 事前学修 2.0hr：授業で取り上げる作品に目を通して下さい。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。
5回	**授業テーマ：韓愈を読む** 授業内容：韓愈「雑説」を読み、解説します。 事前学修 2.0hr：授業で取り上げる作品に目を通して下さい。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。
6回	**授業テーマ：『詩経』を読むⅠ** 授業内容：『毛詩』「大序」を読み、解説します。 事前学修 2.0hr：授業で取り上げる作品に目を通して下さい。また、『毛詩』『春秋左氏伝』について調べて下さい。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。
7回	**授業テーマ：『詩経』を読むⅡ** 授業内容：『詩経』秦風「黄鳥」を読み、解説します。また、三家詩について調べて下さい。 事前学修 2.0hr：授業で取り上げる作品に目を通して下さい。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。
8回	**授業テーマ：曹植「詠三良」を読む** 授業内容：曹植「詠三良」を読み、解説します。 事前学修 2.0hr：授業で取り上げる作品に目を通して下さい。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。
9回	**授業テーマ：史書を読む** 授業内容：「先従隗始」を読み、解説します。 事前学修 2.0hr：授業で取り上げる作品に目を通して下さい。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。
10回	**授業テーマ：左思を読むⅠ** 授業内容：左思「詠史詩」其二を中心に、詠史詩の文体的変化を解説します。 事前学修 2.0hr：授業で取り上げる作品に目を通して下さい。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。

11回	**授業テーマ：陶淵明を読むⅠ** 授業内容：陶淵明「詠貧士」其三を中心に、詠史詩的文体への道家思想の流入を解説します。 事前学修 2.0hr：授業で取り上げる作品に目を通して下さい。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。
12回	**授業テーマ：左思を読むⅡ** 授業内容：左思「招隠詩」を読み、解説します。 事前学修 2.0hr：授業で取り上げる作品に目を通して下さい。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。
13回	**授業テーマ：郭璞を読む** 授業内容：郭璞「遊仙詩」其一を中心に解説します。 事前学修 2.0hr：授業で取り上げる作品に目を通して下さい。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。
14回	**授業テーマ：陶淵明を読むⅡ** 授業内容：陶淵明「連雨読飲詩」を中心に解説します。 事前学修 2.0hr：授業で取り上げる作品に目を通して下さい。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：学修内容の到達度テストを実施します。 事前学修 2.0hr：これまでの学修内容を復習してください。 事後学修 2.0hr：テスト問題を活用しながら、学習内容を整理してください。

中国歴史研究入門

開講学科等：中 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

中嶋　諒（なかじま　りょう）

▌授業の概要

中国の歴史についての概説を行う。中国は古来文化の先進国として、すぐれた思想や文学が生み出されてきたが、それらを学ぶためには、まずは中国の歴史を知ることを避けては通れない。このような視点に立って、この講義では、はるか古代から中世、近世に至るまでの中国の歴史を概観していく。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2）

一般目標：中国の歴史の概要を知り、中国の文化、社会に対する理解を深める。
個別目標：各王朝の興亡の歴史と、その前後の王朝とのつながりを理解して、中国史の流れを説明できる。

▌履修条件

特になし。

▌評価基準・方法

コメントシート（30 %）、受講時の積極性（20 %）、期末試験（50 %）

▌フィードバック方法

フィードバックは授業時のコメントと manaba を併用して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

特にありません。必要に応じて、プリントを配布する。

▌参考書

適宜指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス、授業計画** 授業内容：今後の授業の進め方について説明する。 事前学修 2.0hr：講義概要をよく読み、この授業の目標を理解しておく 事後学修 2.0hr：授業計画を見直し、自分なりの中国思想についてのイメージをまとめておく
2 回	**授業テーマ：夏殷周三代の歴史** 授業内容：夏殷周三代の盛衰について、その理由も含めて概説する。 事前学修 2.0hr：夏殷周三代の歴史について、自分なりに調べておく 事後学修 2.0hr：ノート、プリントを見直し、授業内容を確認する
3 回	**授業テーマ：春秋・戦国時代の歴史** 授業内容：春秋・戦国時代における各国の盛衰について、その理由も含めて概説する。 事前学修 2.0hr：春秋・戦国時代の歴史について、自分なりに調べておく 事後学修 2.0hr：ノート、プリントを見直し、授業内容を確認する
4 回	**授業テーマ：秦王朝の歴史** 授業内容：秦王朝の盛衰について、その理由も含めて概説する。 事前学修 2.0hr：秦王朝の歴史について、自分なりに調べておく 事後学修 2.0hr：ノート、プリントを見直し、授業内容を確認する
5 回	**授業テーマ：漢王朝の歴史** 授業内容：漢王朝の盛衰について、その理由も含めて概説する。 事前学修 2.0hr：漢王朝の歴史について、自分なりに調べておく 事後学修 2.0hr：ノート、プリントを見直し、授業内容を確認する
6 回	**授業テーマ：三国時代の歴史** 授業内容：三国時代における各国の盛衰について、その理由も含めて概説する。 事前学修 2.0hr：三国時代の歴史について、自分なりに調べておく 事後学修 2.0hr：ノート、プリントを見直し、授業内容を確認する
7 回	**授業テーマ：南北朝時代の歴史** 授業内容：南北朝時代における各国の盛衰について、その理由も含めて概説する。 事前学修 2.0hr：南北朝時代の歴史について、自分なりに調べておく 事後学修 2.0hr：ノート、プリントを見直し、授業内容を確認する
8 回	**授業テーマ：隋王朝の歴史** 授業内容：隋王朝の盛衰について、その理由も含めて概説する。 事前学修 2.0hr：隋王朝の歴史について、自分なりに調べておく 事後学修 2.0hr：ノート、プリントを見直し、授業内容を確認する
9 回	**授業テーマ：唐王朝と五代十国の歴史** 授業内容：唐王朝、および五代十国時代における各国の盛衰について、その理由も含めて概説する。 事前学修 2.0hr：唐王朝と五代十国の歴史について、自分なりに調べておく 事後学修 2.0hr：ノート、プリントを見直し、授業内容を確認する
10 回	**授業テーマ：宋王朝の歴史** 授業内容：宋王朝の盛衰について、その理由も含めて概説する。 事前学修 2.0hr：宋王朝の歴史について、自分なりに調べておく 事後学修 2.0hr：ノート、プリントを見直し、授業内容を確認する
11 回	**授業テーマ：元王朝の歴史** 授業内容：元王朝の盛衰について、その理由も含めて概説する。 事前学修 2.0hr：元王朝の歴史について、自分なりに調べておく 事後学修 2.0hr：ノート、プリントを見直し、授業内容を確認する
12 回	**授業テーマ：明王朝の歴史** 授業内容：明王朝の盛衰について、その理由も含めて概説する。 事前学修 2.0hr：明王朝の歴史について、自分なりに調べておく 事後学修 2.0hr：ノート、プリントを見直し、授業内容を確認する

13回	**授業テーマ：清王朝の歴史について** 授業内容：清王朝の盛衰について、その理由も含めて概説する。 事前学修 2.0hr：清王朝の歴史について、自分なりに調べておく 事後学修 2.0hr：ノート、プリントを見直し、授業内容を確認する
14回	**授業テーマ：清王朝の滅亡と近代への歩み** 授業内容：清王朝以後の中国史の流れについて概説する。 事前学修 2.0hr：清王朝の滅亡とその後について、自分なりに調べておく 事後学修 2.0hr：ノート、プリントを見直し、授業内容を確認する
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：中国の歴史の大きな流れを概説し、確認する。 事前学修 2.0hr：これまで学んだことを整理しておく 事後学修 2.0hr：中国史の概要を説明できるようにする

中国語学研究入門

開講学科等：中 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

中桐　典子（なかぎり　のりこ）

▌授業の概要

主に次の 3 点について、学習していく。
①文の成分について。
② 6 つの補語について。
③「存現文」などの中国語に特徴的な文について。
さまざまな問題を解きながら、なぜそのような答えになるのかを文法的な観点から考え、自ら説明できるようにする。学生の習熟度によっては、学習内容および学習順序を調整することもある。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2）

一般目標：　中国語を効率的に身につけるために、その構造や語法を理解する。また、文法の体系的知識を身につけることにより、中国語で自分の考えをまとめ、適切に議論する力を修得する一助とする。

個別目標：①中国語の文成分について説明できる。
②中国語の 6 つの補語について説明できる。
③中国語に特徴的な構文について説明できる。

▌履修条件

特になし。

▌評価基準・方法

定期試験 70 %、レポートおよび小テスト 20 %、授業内における参加姿勢及び発言等 10 %を基準とし、総合的に評価する。 また、原則として５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （割り当てられた練習問題を解き、なぜそのような答えになったのかについて解説を加える。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

『中国語中級作文　改訂版』程美珍・高橋海生著　白帝社

▌参考書

『why？ にこたえるはじめての中国語の文法書』相原茂他著　同学社
『やさしく　くわしい　中国語文法の基礎』守屋宏則著　東方書店

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス・中国語の文成分について解説する** 授業内容：次回からの学習に必要な文成分の知識を確認する。複数の中国語の文について、その構造を考え、６つの文成分に分解する練習を行う。 事前学修 2.0hr：教科書の「中国語の基本構造」の説明を読んで理解しておく。 事後学修 2.0hr：中国語の文成分に関する練習問題をやり、文成分に関する知識を定着させる。
2回	**授業テーマ：中国語の結果補語について解説する** 授業内容：文法項目の説明を行った後、学生に練習問題の解答・解説をしてもらう。 事前学修 2.0hr：教科書の結果補語に関する説明を読んで理解しておく。 事後学修 2.0hr：中国語の結果補語に関する練習問題をやり、結果補語に関する知識を定着させる。
3回	**授業テーマ：中国語の程度補語・様態補語について解説する** 授業内容：文法項目の説明を行った後、学生に練習問題の解答・解説をしてもらう。 事前学修 2.0hr：教科書の程度補語・様態補語に関する説明を読んで理解しておく。 事後学修 2.0hr：中国語の程度補語・様態補語に関する練習問題をやり、程度補語・様態補語に関する知識を定着させる。
4回	**授業テーマ：中国語の方向補語について解説する** 授業内容：文法項目の説明を行った後、学生に練習問題の解答・解説をしてもらう。 事前学修 2.0hr：教科書の方向補語に関する説明を読んで理解しておく。 事後学修 2.0hr：中国語の方向補語に関する練習問題をやり、方向補語に関する知識を定着させる。
5回	**授業テーマ：中国語の方向補語の派生義について解説する** 授業内容：文法項目の説明を行った後、学生に練習問題の解答・解説をしてもらう。 事前学修 2.0hr：教科書の方向補語の派生義に関する説明を読んで理解しておく。 事後学修 2.0hr：中国語の方向補語の派生義に関する練習問題をやり、方向補語の派生義に関する知識を定着させる。
6回	**授業テーマ：中国語の可能補語について解説する** 授業内容：文法項目の説明を行った後、学生に練習問題の解答・解説をしてもらう。 事前学修 2.0hr：教科書の可能補語に関する説明を読んで理解しておく。 事後学修 2.0hr：中国語の可能補語に関する練習問題をやり、可能補語に関する知識を定着させる。
7回	**授業テーマ：中国語の数量補語について解説する** 授業内容：文法項目の説明を行った後、学生に練習問題の解答・解説をしてもらう。 事前学修 2.0hr：教科書の数量補語に関する説明を読んで理解しておく。 事後学修 2.0hr：中国語の数量補語に関する練習問題をやり、数量補語に関する知識を定着させる。
8回	**授業テーマ：中国語の連動文について解説する** 授業内容：文法項目の説明を行った後、学生に練習問題の解答・解説をしてもらう。 事前学修 2.0hr：教科書の連動文に関する説明を読んで理解しておく。 事後学修 2.0hr：中国語の連動文に関する練習問題をやり、連動文に関する知識を定着させる。
9回	**授業テーマ：中国語の“是～的”構文について解説する** 授業内容：文法項目の説明を行った後、学生に練習問題の解答・解説をしてもらう。 事前学修 2.0hr：教科書の“是～的”構文に関する説明を読んで理解しておく。 事後学修 2.0hr：中国語の“是～的”構文に関する練習問題をやり、“是～的”構文に関する知識を定着させる。

10回	**授業テーマ：中国語の存現文について解説する** 授業内容：文法項目の説明を行った後、学生に練習問題の解答・解説をしてもらう。 事前学修 2.0hr：教科書の存現文に関する説明を読んで理解しておく。 事後学修 2.0hr：中国語の存現文に関する練習問題をやり、存現文に関する知識を定着させる。
11回	**授業テーマ：中国語のアスペクトについて解説する** 授業内容：文法項目の説明を行った後、学生に練習問題の解答・解説をしてもらう。 事前学修 2.0hr：教科書のアスペクトに関する説明を読んで理解しておく。 事後学修 2.0hr：中国語のアスペクトに関する練習問題をやり、アスペクトに関する知識を定着させる。
12回	**授業テーマ：中国語の処置文について解説する** 授業内容：文法項目の説明を行った後、学生に練習問題の解答・解説をしてもらう。 事前学修 2.0hr：教科書の処置文に関する説明を読んで理解しておく。 事後学修 2.0hr：中国語の処置文に関する練習問題をやり、処置文に関する知識を定着させる。
13回	**授業テーマ：中国語の受け身文について解説する** 授業内容：文法項目の説明を行った後、学生に練習問題の解答・解説をしてもらう。 事前学修 2.0hr：教科書の受け身文に関する説明を読んで理解しておく。 事後学修 2.0hr：中国語の受け身文に関する練習問題をやり、受け身文に関する知識を定着させる。
14回	**授業テーマ：中国語の兼語文について解説する** 授業内容：文法項目の説明を行った後、学生に練習問題の解答・解説をしてもらう。 事前学修 2.0hr：教科書の兼語文に関する説明を読んで理解しておく。 事後学修 2.0hr：中国語の兼語文に関する練習問題をやり、兼語文に関する知識を定着させる。
15回	**授業テーマ：半期で学んだ文法事項の総まとめを行う** 授業内容：半期を通じて誤答の多かった問題について再度解説を行い、練習問題をやって知識の定着を図る。 事前学修 2.0hr：半期の学習内容を復習しておく。 事後学修 2.0hr：総まとめのプリントで半期の復習をし、manaba に提出する。

専門領域研究講座

開講学科等：中 ｜ 3 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通

宇賀神　秀一（うがじん　しゅういち）

▌授業の概要

動乱期である中国の六朝という時代、当時の士大夫たちは厳しい現実と向き合いながら、様々な詩文を生み出してきました。その集大成ともいえるのが、梁の昭明太子蕭統らが編纂した『文選』です。『文選』には、各時代の様々な文人の代表作がジャンルごとに分類され、さらに時代順に収録されていることから、その伝統性や継承関係も把握することができます。
この授業では、中国の六朝期の詩歌集である『文選』に即して、古典詩の代表的なジャンルを理解し、個々の作品を精読しながら、その研究方法の習得を目指します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2）

一般目標：中国古典詩文の伝統性を理解し、作品の精読や比較を通じて、自分の考えを持つことができる。
　　中国古典詩文を適切な日本語に訳せるようになる。
個別目標：①作品の精読を通して、自分の考えを文章化することができる。
　　②中国古典文学の研究資料を調査することができる。
　　③辞書を用いて中国古典詩文を適切に現代語訳することができる。

▌履修条件

特にありません。

▌評価基準・方法

授業への取り組み 60 %、課題レポート 40 %で、総合的に評価します。

▌フィードバック方法

フィードバックは授業時のコメントと manaba を併用して行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （教員と学生が話し合いながら、資料を読解していきます。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （適宜、ワード等を用いて発表レジュメを作成します。）

▌教科書

定めない。

▌参考書

中国刊行の李善注や六家注『文選』諸本。日本刊行の『文選』の諸訳注本。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：授業内容の概説と、資料の調査方法を説明します。 事前学修 2.0hr：授業の概要を読んで、到達目標を理解しましょう。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。	16回	**授業テーマ：『文選』贈答を読むⅢ** 授業内容：『文選』巻二十三・贈答に収録される作品を精読します。 事前学修 2.0hr：配付資料に目を通して下さい。適宜、指定した箇所を調べて下さい。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。
2回	**授業テーマ：『文選』公讌を読むⅠ** 授業内容：『文選』巻二十・公讌に収録される作品を精読します。 事前学修 2.0hr：配付資料に目を通して下さい。適宜、指定した箇所を調べて下さい。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。	17回	**授業テーマ：『文選』贈答を読むⅣ** 授業内容：『文選』巻二十三・贈答に収録される作品を精読します。 事前学修 2.0hr：配付資料に目を通して下さい。適宜、指定した箇所を調べて下さい。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。
3回	**授業テーマ：『文選』公讌を読むⅡ** 授業内容：『文選』巻二十・公讌に収録される作品を精読します。 事前学修 2.0hr：配付資料に目を通して下さい。適宜、指定した箇所を調べて下さい。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。	18回	**授業テーマ：『文選』楽府を読むⅠ** 授業内容：『文選』巻二十七・楽府に収録される作品を精読します。 事前学修 2.0hr：配付資料に目を通して下さい。適宜、指定した箇所を調べて下さい。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。
4回	**授業テーマ：『文選』公讌を読むⅣ** 授業内容：『文選』巻二十・公讌に収録される作品を精読します。 事前学修 2.0hr：配付資料に目を通して下さい。適宜、指定した箇所を調べて下さい。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。	19回	**授業テーマ：『文選』楽府を読むⅡ** 授業内容：『文選』巻二十七・楽府に収録される作品を精読します。 事前学修 2.0hr：配付資料に目を通して下さい。適宜、指定した箇所を調べて下さい。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。
5回	**授業テーマ：『文選』公讌を読むⅣ** 授業内容：『文選』巻二十・公讌に収録される作品を精読します。 事前学修 2.0hr：配付資料に目を通して下さい。適宜、指定した箇所を調べて下さい。 事後学修 2.0hr：授業の内容を復習して下さい。	20回	**授業テーマ：『文選』楽府を読むⅢ** 授業内容：『文選』巻二十七・楽府に収録される作品を精読します。 事前学修 2.0hr：配付資料に目を通して下さい。適宜、指定した箇所を調べて下さい。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。
6回	**授業テーマ：『文選』詠史を読むⅠ** 授業内容：『文選』巻二十一・詠史に収録される作品を精読します。 事前学修 2.0hr：配付資料に目を通して下さい。適宜、指定した箇所を調べて下さい。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。	21回	**授業テーマ：『文選』楽府を読むⅣ** 授業内容：『文選』巻二十七・楽府に収録される作品を精読します。 事前学修 2.0hr：配付資料に目を通して下さい。適宜、指定した箇所を調べて下さい。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。
7回	**授業テーマ：『文選』詠史を読むⅡ** 授業内容：『文選』巻二十一・詠史に収録される作品を精読します。 事前学修 2.0hr：配付資料に目を通して下さい。適宜、指定した箇所を調べて下さい。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。	22回	**授業テーマ：『文選』雑詩を読むⅠ** 授業内容：『文選』巻二十九・雑詩に収録される作品を精読します。 事前学修 2.0hr：配付資料に目を通して下さい。適宜、指定した箇所を調べて下さい。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。
8回	**授業テーマ：『文選』詠史を読むⅢ** 授業内容：『文選』巻二十一・詠史に収録される作品を精読します。 事前学修 2.0hr：配付資料に目を通して下さい。適宜、指定した箇所を調べて下さい。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。	23回	**授業テーマ：『文選』雑詩を読むⅡ** 授業内容：『文選』巻二十九・雑詩に収録される作品を精読します。 事前学修 2.0hr：配付資料に目を通して下さい。適宜、指定した箇所を調べて下さい。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。
9回	**授業テーマ：『文選』詠史を読むⅣ** 授業内容：『文選』巻二十一・詠史に収録される作品を精読します。 事前学修 2.0hr：配付資料に目を通して下さい。適宜、指定した箇所を調べて下さい。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。	24回	**授業テーマ：『文選』雑詩を読むⅢ** 授業内容：『文選』巻二十九・雑詩に収録される作品を精読します。 事前学修 2.0hr：配付資料に目を通して下さい。適宜、指定した箇所を調べて下さい。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。
10回	**授業テーマ：『文選』遊仙を読むⅠ** 授業内容：『文選』巻二十一・遊仙に収録される作品を精読します。 事前学修 2.0hr：配付資料に目を通して下さい。適宜、指定した箇所を調べて下さい。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。	25回	**授業テーマ：『文選』雑詩を読むⅣ** 授業内容：『文選』巻二十九・雑詩に収録される作品を精読します。 事前学修 2.0hr：配付資料に目を通して下さい。適宜、指定した箇所を調べて下さい。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。

11回	**授業テーマ：『文選』遊仙を読むⅡ** 授業内容：『文選』巻二十一・遊仙に収録される作品を精読します。 事前学修 2.0hr：配付資料に目を通して下さい。適宜、指定した箇所を調べて下さい。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。	26回	**授業テーマ：『文選』雑擬を読むⅠ** 授業内容：『文選』巻三十・雑擬に収録される作品を精読します。 事前学修 2.0hr：配付資料に目を通して下さい。適宜、指定した箇所を調べて下さい。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。
12回	**授業テーマ：『文選』遊仙を読むⅢ** 授業内容：『文選』巻二十一・遊仙に収録される作品を精読します。 事前学修 2.0hr：配付資料に目を通して下さい。適宜、指定した箇所を調べて下さい。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。	27回	**授業テーマ：『文選』雑擬を読むⅡ** 授業内容：『文選』巻三十・雑擬に収録される作品を精読します。 事前学修 2.0hr：配付資料に目を通して下さい。適宜、指定した箇所を調べて下さい。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。
13回	**授業テーマ：『文選』遊仙を読むⅣ** 授業内容：『文選』巻二十一・遊仙に収録される作品を精読します。 事前学修 2.0hr：配付資料に目を通して下さい。適宜、指定した箇所を調べて下さい。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。	28回	**授業テーマ：『文選』雑擬を読むⅢ** 授業内容：『文選』巻三十・雑擬に収録される作品を精読します。 事前学修 2.0hr：配付資料に目を通して下さい。適宜、指定した箇所を調べて下さい。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。
14回	**授業テーマ：『文選』贈答を読むⅠ** 授業内容：『文選』巻二十三・贈答に収録される作品を精読します。 事前学修 2.0hr：配付資料に目を通して下さい。適宜、指定した箇所を調べて下さい。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。	29回	**授業テーマ：『文選』雑擬を読むⅣ** 授業内容：『文選』巻三十・雑擬に収録される作品を精読します。 事前学修 2.0hr：配付資料に目を通して下さい。適宜、指定した箇所を調べて下さい。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。
15回	**授業テーマ：『文選』贈答を読むⅡ** 授業内容：『文選』巻二十三・贈答に収録される作品を精読します。 事前学修 2.0hr：配付資料に目を通して下さい。適宜、指定した箇所を調べて下さい。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。	30回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：1 年間学習してきたことを振り返ります。 事前学修 2.0hr：学習してきた内容を整理して下さい。 事後学修 2.0hr：学習してきた内容を説明できるようにして下さい。

専門領域研究講座

開講学科等：中 ｜ 3 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通

河村　昌子（かわむら　しょうこ）

▌授業の概要

中国近現代文学の作品を、背景となる社会状況や、中国の人々のものの考え方を学びながら、購読します。翻訳作品の精読と、中国語原文の翻訳を行います。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2）

一般目標：社会的、文化的背景を踏まえて、中国近現代文学の作品を理解し、自分の考えを述べることができるようになる。
　　中国語の文章を適切な日本語に訳せるようになる。
個別目標：①社会的、文化的背景を踏まえて、個々の作品について説明することができる。
　　②作品を通して考えたことを自分のことばで表現することができる。
　　③辞書を使って中国語の文章を適切な日本語に翻訳することができる。

▌履修条件

特にありません。

▌評価基準・方法

以下の項目で評価する。
①社会的、文化的背景を踏まえて、作品について説明できるか（知識・思考力）30%
②作品を通して考えたことを自分のことばで適切に表現できるか（技能・表現力）20%
③中国語の文章を適切な日本語に翻訳できるか（技能・表現力）20%
④ゼミの運営に主体的に関わり、学修を確実に実行したか（意欲・関心・姿勢）30%

▌フィードバック方法

課題等へのフィードバックは授業時に行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （討論）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （PowerPoint や Word を用いての資料作成）

▌教科書

授業時に教材プリントを配布します。

▌参考書

適宜指示します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

授業テーマ

中国近現代文学に親しむ。

授業内容

講読演習では、主に 20 世紀末から 21 世紀の中国の短編小説を翻訳で読み、作品の精読を行い、討論を行います。
翻訳演習では、現代中国の物語文や小説を、原文で読み、日本語に翻訳します。

事前学修

講読演習中は、現代中国のトピックに日頃から目を向け、情報を集めるようにしてください。
翻訳演習では、事前に辞書を引いてきてください。

事後学修

講読演習では、授業で取り上げた作品をよく読んでください。
翻訳演習では、訳文の最終チェックを行って、翻訳を完成させてください。

専門領域研究講座

開講学科等：中 ｜ 3 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通

神崎　龍志（かんざき　たつし）

▌授業の概要

本科目は、日本語と中国語両言語間の通訳に必要な基本的スキルの修得を主な目的とする。通訳理論を理解し、通訳に必要な基礎能力と知識を学び、通訳現場で通用する技能と知識、理解力と即戦力を高めるための訓練をおこなう。時事問題やニュースなど様々なトピックを丁寧に下訳した上で、通訳パフォーマンスをおこなう。アクティブラーニングの手法も適宜、導入しながら通訳スキルの向上を図る。就職後、社内通訳として活躍することを目指す学生も歓迎である。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2）

一般目標：通訳に必要な基礎的技能の習得と応用力の向上。
個別目標：①日中通訳に必要な基本的ノウハウの修得。
　　②日本語と中国語両言語のバランスの取れた通訳パフォーマンス。

▌履修条件

すでに中国語の基礎力・応用力を十分に有する者で、通訳術の習得と向上に興味と意欲がある学生。
短期・長期を問わず、留学経験のある者が望ましいが、その限りではない。

▌評価基準・方法

１．知識・思考力（２０%）、２．技能・表現力（５０%）、３．意欲・関心・姿勢（３０%）で評価する。
１と２については、以下の３点を評価の根拠とする。
①中国語から日本語へ訳す能力
②日本語から中国語へ訳す能力
③その他、通訳パフォーマンス全般
なお、原則として５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ペアワーク、グループディスカッション、グループ発表）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （授業内の発表回で使用することあり。）

▌教科書

担当教員が、オリジナル教材を適宜、用意する。

▌参考書

『新装版　中国語通訳トレーニング講座 (音声ダウンロード方式)　逐次通訳から同時通訳まで』（神崎多實子・待場裕子編著、東方書店、２０１９年）

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：通訳技法概説** 授業内容：基礎的な通訳理論をふまえて、通訳訓練法について説明する。 事前学修 2.0hr：本講座の講義概要に目を通してくる。 事後学修 2.0hr：当日指示された訓練内容を勉強する。	16回	**授業テーマ：日本社会（１）日本の概況** 授業内容：課題文を用いて逐次・同時通訳の訓練を行う。 事前学修 2.0hr：発表のための練習。 事後学修 2.0hr：当日指示された訓練内容を勉強する。
2回	**授業テーマ：速読訓練の導入** 授業内容：課題文を用いて速読訓練を行う。 事前学修 2.0hr：発表のための練習。 事後学修 2.0hr：当日指示された訓練内容を勉強する。	17回	**授業テーマ：日本社会（２）日本の文化** 授業内容：課題文を用いて逐次・同時通訳の訓練を行う。 事前学修 2.0hr：発表のための練習。 事後学修 2.0hr：当日指示された訓練内容を勉強する。
3回	**授業テーマ：速読課題発表** 授業内容：速読課題の発表を行う。 事前学修 2.0hr：発表のための練習。 事後学修 2.0hr：当日指示された訓練内容を勉強する。	18回	**授業テーマ：日本社会（３）日本の経済** 授業内容：課題文を用いて逐次・同時通訳の訓練を行う。 事前学修 2.0hr：発表のための練習。 事後学修 2.0hr：当日指示された訓練内容を勉強する。
4回	**授業テーマ：逐次・同時通訳の導入** 授業内容：逐次通訳と同時通訳の概要と訓練法について説明する。 事前学修 2.0hr：発表のための練習。 事後学修 2.0hr：当日指示された訓練内容を勉強する。	19回	**授業テーマ：日本社会（４）日本の政治** 授業内容：課題文を用いて逐次・同時通訳の訓練を行う。 事前学修 2.0hr：発表のための練習。 事後学修 2.0hr：当日指示された訓練内容を勉強する。
5回	**授業テーマ：初級会話の逐次・同時通訳** 授業内容：教材を用いて逐次・同時通訳の基礎訓練を行う。 事前学修 2.0hr：発表のための練習。 事後学修 2.0hr：当日指示された訓練内容を勉強する。	20回	**授業テーマ：企業見学（１）** 授業内容：課題文を用いて逐次・同時通訳の訓練を行う。 事前学修 2.0hr：発表のための練習。 事後学修 2.0hr：当日指示された訓練内容を勉強する。
6回	**授業テーマ：式辞挨拶（１）あいさつ文の基礎** 授業内容：課題文を用いて逐次・同時通訳の訓練を行う。 事前学修 2.0hr：発表のための練習。 事後学修 2.0hr：当日指示された訓練内容を勉強する。	21回	**授業テーマ：企業見学（２）** 授業内容：課題文を用いて逐次・同時通訳の訓練を行う。 事前学修 2.0hr：発表のための練習。 事後学修 2.0hr：当日指示された訓練内容を勉強する。
7回	**授業テーマ：式辞挨拶（２）あいさつ文のパターン** 授業内容：課題文を用いて逐次・同時通訳の訓練を行う。 事前学修 2.0hr：発表のための練習。 事後学修 2.0hr：当日指示された訓練内容を勉強する。	22回	**授業テーマ：図書館見学ツアー模擬通訳（１）通訳準備** 授業内容：図書館見学ツアーの台本について事前準備作業をおこなう。 事前学修 2.0hr：発表のための練習。 事後学修 2.0hr：当日指示された訓練内容を勉強する。
8回	**授業テーマ：式辞挨拶（３）式辞挨拶通訳の基礎** 授業内容：課題文を用いて逐次・同時通訳の訓練を行う。 事前学修 2.0hr：発表のための練習。 事後学修 2.0hr：当日指示された訓練内容を勉強する。	23回	**授業テーマ：図書館見学ツアー模擬通訳（２）通訳実践** 授業内容：説明者の説明を聞き、見学ツアーのシナリオ原稿を見ながら、逐次通訳パフォーマンスを行う。 事前学修 2.0hr：発表のための練習。 事後学修 2.0hr：当日指示された訓練内容を勉強する。
9回	**授業テーマ：式辞挨拶（４）式辞挨拶の通訳** 授業内容：課題文を用いて逐次・同時通訳の訓練を行う。 事前学修 2.0hr：発表のための練習。 事後学修 2.0hr：当日指示された訓練内容を勉強する。	24回	**授業テーマ：レクチャー　戦後の日本経済** 授業内容：課題文を用いて逐次・同時通訳の訓練を行う。 事前学修 2.0hr：発表のための練習。 事後学修 2.0hr：当日指示された訓練内容を勉強する。

10回	**授業テーマ：式辞挨拶(5)セレモニーの通訳** 授業内容：課題文を用いて逐次・同時通訳の訓練を行う。 事前学修 2.0hr：発表のための練習。 事後学修 2.0hr：当日指示された訓練内容を勉強する。	25回	**授業テーマ：代表団随行　打ち合わせと連絡事項** 授業内容：課題文を用いて逐次・同時通訳の訓練を行う。 事前学修 2.0hr：発表のための練習。 事後学修 2.0hr：当日指示された訓練内容を勉強する。
11回	**授業テーマ：観光ガイド(1)東京** 授業内容：課題文を用いて逐次・同時通訳の訓練を行う。 事前学修 2.0hr：発表のための練習。 事後学修 2.0hr：当日指示された訓練内容を勉強する。	26回	**授業テーマ：宴会(1)歓迎宴会** 授業内容：課題文を用いて逐次・同時通訳の訓練を行う。 事前学修 2.0hr：発表のための練習。 事後学修 2.0hr：当日指示された訓練内容を勉強する。
12回	**授業テーマ：観光ガイド(2)大阪** 授業内容：課題文を用いて逐次・同時通訳の訓練を行う。 事前学修 2.0hr：発表のための練習。 事後学修 2.0hr：当日指示された訓練内容を勉強する。	27回	**授業テーマ：宴会(2)答礼宴会** 授業内容：課題文を用いて逐次・同時通訳の訓練を行う。 事前学修 2.0hr：発表のための練習。 事後学修 2.0hr：当日指示された訓練内容を勉強する。
13回	**授業テーマ：観光ガイド(3)京都** 授業内容：課題文を用いて逐次・同時通訳の訓練を行う。 事前学修 2.0hr：発表のための練習。 事後学修 2.0hr：当日指示された訓練内容を勉強する。	28回	**授業テーマ：実技発表と自己評価　その1** 授業内容：通訳実技の発表を行い、自己評価を行う。 事前学修 2.0hr：発表のための練習。 事後学修 2.0hr：当日指示された訓練内容を勉強する。
14回	**授業テーマ：実技発表と自己評価** 授業内容：これまでに身に付けた通訳技術に基づいて実技発表を行い、自己評価を加える。 事前学修 2.0hr：発表のための練習。 事後学修 2.0hr：当日指示された訓練内容を勉強する。	29回	**授業テーマ：実技発表と自己評価　その2** 授業内容：通訳実技の発表を行い、自己評価を行う。 事前学修 2.0hr：発表のための練習。 事後学修 2.0hr：当日指示された訓練内容を勉強する。
15回	**授業テーマ：通訳技法の自己チェック** 授業内容：実技発表と自己評価を通して見つかった改善点をまとめる。 事前学修 2.0hr：発表のための練習。 事後学修 2.0hr：当日指示された訓練内容を勉強する。	30回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：これまでの授業で得られた成果と課題についてまとめ、発表する。 事前学修 2.0hr：自分のまとめ発表のための練習。 事後学修 2.0hr：実技の自己総括。

専門領域研究講座

開講学科等：中 ｜ 3 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通

曹　泰和（そう　たいわ）

▌授業の概要
中国語の類義語を学びながら、文法知識を深める。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2）
一般目標：より高度な中国語能力を養成し、卒業研究に向けて基礎作りをする。
個別目標：似たようなことばの使い分けができるようになり、会話能力、作文能力、プレゼン能力を向上させる。

▌履修条件
積極的に勉強する意欲を持つこと。

▌評価基準・方法
平常点(授業内の参加や授業貢献度等)及び課題により総合的に評価する。

▌フィードバック方法
課題等のフィードバックは、授業時間内及び学習支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）
あり （事前に学習する項目について調べてもらうことがある。）

▌授業での PC の利用（利用内容）
あり （PPT を使い、プレゼンテーションを行う場合がある。）

▌教科書
プリント使用。

▌参考書
1．『中国語類義語辞典』相原茂主編　朝日出版社
2．《跟我学同義詞》蔡少薇主編 外研社
3．《新華同義詞詞典》商務印書館

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：学生の水準を調査する。** 授業内容：授業ガイダンスを行う。 事前学修 2.0hr：前年度までの中国語学習を振り返り、問題点を整理する。 事後学修 2.0hr：授業に対する準備	16回	**授業テーマ：類義語⑧“十分”“非常”等の学習** 授業内容：類義語“十分”“非常”について学習する。 事前学修 2.0hr：予習用プリントに目を通し、読めない字と意味を調べておく。 事後学修 2.0hr：ノートを整理し、課題を完成する。
2回	**授業テーマ：類義語①“缺点”“毛病”等の学習** 授業内容：類義語“缺点”“毛病”について学習する。 事前学修 2.0hr：予習用プリントに目を通し、読めない字と意味を調べておく。 事後学修 2.0hr：ノートを整理し、課題を完成する。	17回	**授業テーマ：類義語⑧の実践演習―会話、作文、プレゼンの発表** 授業内容：各自で“十分”“非常”の共通点と相違点をまとめ、発表する。 事前学修 2.0hr：学習したテーマについてのプレゼンテーションができるように準備しておく。 事後学修 2.0hr：発表内容を見直し、問題点を整理する。
3回	**授業テーマ：類義語①の実践演習―会話、作文、プレゼンの発表** 授業内容：各自で“缺点”“毛病”の共通点と相違点をまとめ、発表する。 事前学修 2.0hr：学習したテーマについてのプレゼンテーションができるように準備しておく。 事後学修 2.0hr：発表内容を見直し、問題点を整理する。	18回	**授業テーマ：類義語⑨“風光”“風景”等の学習** 授業内容：類義語“風光”“風景”について学習する。 事前学修 2.0hr：予習用プリントに目を通し、読めない字と意味を調べておく。 事後学修 2.0hr：ノートを整理し、課題を完成する。
4回	**授業テーマ：類義語②“認為”“以為”等の学習** 授業内容：類義語“認為”“以為”について学習する。 事前学修 2.0hr：予習用プリントに目を通し、読めない字と意味を調べておく。 事後学修 2.0hr：ノートを整理し、課題を完成する。	19回	**授業テーマ：類義語⑨の実践演習―会話、作文、プレゼンの発表** 授業内容：各自で“風光”“風景”の共通点と相違点をまとめ、発表する。 事前学修 2.0hr：学習したテーマについてのプレゼンテーションができるように準備しておく。 事後学修 2.0hr：発表内容を見直し、問題点を整理する。
5回	**授業テーマ：類義語②の実践演習―会話、作文、プレゼンの発表** 授業内容：各自で“認為”“以為”の共通点と相違点をまとめ、発表する。 事前学修 2.0hr：学習したテーマについてのプレゼンテーションができるように準備しておく。 事後学修 2.0hr：発表内容を見直し、問題点を整理する。	20回	**授業テーマ：類義語⑩“怎么”“為什么”等の学習** 授業内容：類義語“怎么”“為什么”について学習する。 事前学修 2.0hr：予習用プリントに目を通し、読めない字と意味を調べておく。 事後学修 2.0hr：ノートを整理し、課題を完成する。
6回	**授業テーマ：類義語③“商量”“商榷”等の学習** 授業内容：類義語“商量”“商榷”について学習する。 事前学修 2.0hr：予習用プリントに目を通し、読めない字と意味を調べておく。 事後学修 2.0hr：ノートを整理し、課題を完成する。	21回	**授業テーマ：類義語⑩の実践演習―会話、作文、プレゼンの発表** 授業内容：各自で“怎么”“為什么”の共通点と相違点をまとめ、発表する。 事前学修 2.0hr：学習したテーマについてのプレゼンテーションができるように準備しておく。 事後学修 2.0hr：発表内容を見直し、問題点を整理する。
7回	**授業テーマ：類義語③の実践演習―会話、作文、プレゼンの発表** 授業内容：各自で“商量”“商榷”の共通点と相違点をまとめ、発表する。 事前学修 2.0hr：学習したテーマについてのプレゼンテーションができるように準備しておく。 事後学修 2.0hr：発表内容を見直し、問題点を整理する。	22回	**授業テーマ：類義語⑪“赶緊”“赶忙”等の学習** 授業内容：類義語“赶緊”“赶忙”について学習する。 事前学修 2.0hr：予習用プリントに目を通し、読めない字と意味を調べておく。 事後学修 2.0hr：ノートを整理し、課題を完成する。
8回	**授業テーマ：類義語④“時尚”“時髦”等の学習** 授業内容：類義語“時尚”“時髦”について学習する。 事前学修 2.0hr：予習用プリントに目を通し、読めない字と意味を調べておく。 事後学修 2.0hr：ノートを整理し、課題を完成する。	23回	**授業テーマ：類義語⑪の実践演習―会話、作文、プレゼンの発表** 授業内容：各自で“怎么”“為什么”の共通点と相違点をまとめ、発表する。 事前学修 2.0hr：学習したテーマについてのプレゼンテーションができるように準備しておく。 事後学修 2.0hr：発表内容を見直し、問題点を整理する。
9回	**授業テーマ：類義語④の実践演習―会話、作文、プレゼンの発表** 授業内容：各自で“時尚”“時髦”の共通点と相違点をまとめ、発表する。 事前学修 2.0hr：学習したテーマについてのプレゼンテーションができるように準備しておく。 事後学修 2.0hr：発表内容を見直し、問題点を整理する。	24回	**授業テーマ：類義語⑫“到底”“終于”等の学習** 授業内容：類義語“到底”“終于”について学習する。 事前学修 2.0hr：予習用プリントに目を通し、読めない字と意味を調べておく。 事後学修 2.0hr：ノートを整理し、課題を完成する。
10回	**授業テーマ：類義語⑤“実行”“執行”等の学習** 授業内容：類義語“実行”“執行”について学習する。 事前学修 2.0hr：予習用プリントに目を通し、読めない字と意味を調べておく。 事後学修 2.0hr：ノートを整理し、課題を完成する。	25回	**授業テーマ：類義語⑫の実践演習―会話、作文、プレゼンの発表** 授業内容：各自で“到底”“終于”の共通点と相違点をまとめ、発表する。 事前学修 2.0hr：学習したテーマについてのプレゼンテーションができるように準備しておく。 事後学修 2.0hr：発表内容を見直し、問題点を整理する。

11回	**授業テーマ：類義語⑤の実践演習―会話、作文、プレゼンの発表** 授業内容：各自で“実行”“執行”の共通点と相違点をまとめ、発表する。 事前学修 2.0hr：学習したテーマについてのプレゼンテーションができるように準備しておく。 事後学修 2.0hr：発表内容を見直し、問題点を整理する。	26回	**授業テーマ：類義語⑬“買売”“生意”等の学習** 授業内容：類義語“買売”“生意”について学習する。 事前学修 2.0hr：予習用プリントに目を通し、読めない字と意味を調べておく。 事後学修 2.0hr：ノートを整理し、課題を完成する。
12回	**授業テーマ：類義語⑥“在意”“介意”等の学習** 授業内容：類義語“在意”“介意”について学習する。 事前学修 2.0hr：予習用プリントに目を通し、読めない字と意味を調べておく。 事後学修 2.0hr：ノートを整理し、課題を完成する。	27回	**授業テーマ：類義語⑬の実践演習―会話、作文、プレゼンの発表** 授業内容：各自で“買売”“生意”の共通点と相違点をまとめ、発表する。 事前学修 2.0hr：学習したテーマについてのプレゼンテーションができるように準備しておく。 事後学修 2.0hr：発表内容を見直し、問題点を整理する。
13回	**授業テーマ：類義語⑥の実践演習―会話、作文、プレゼンの発表** 授業内容：各自で“在意”“介意”の共通点と相違点をまとめ、発表する。 事前学修 2.0hr：学習したテーマについてのプレゼンテーションができるように準備しておく。 事後学修 2.0hr：発表内容を見直し、問題点を整理する。	28回	**授業テーマ：類義語⑭“有意思”“有趣”等の学習** 授業内容：類義語“有意思”“有趣”について学習する。 事前学修 2.0hr：予習用プリントに目を通し、読めない字と意味を調べておく。 事後学修 2.0hr：ノートを整理し、課題を完成する。
14回	**授業テーマ：類義語⑦“方法”“辦法”等の学習** 授業内容：類義語“方法”“辦法”について学習する。 事前学修 2.0hr：予習用プリントに目を通し、読めない字と意味を調べておく。 事後学修 2.0hr：ノートを整理し、課題を完成する。	29回	**授業テーマ：類義語⑭の実践演習―会話、作文、プレゼンの発表** 授業内容：各自で“有意思”“有趣”の共通点と相違点をまとめ、発表する。 事前学修 2.0hr：学習したテーマについてのプレゼンテーションができるように準備しておく。 事後学修 2.0hr：発表内容を見直し、問題点を整理する。
15回	**授業テーマ：類義語⑦の実践演習―会話、作文、プレゼンの発表** 授業内容：各自で“方法”“辦法”の共通点と相違点をまとめ、発表する。 事前学修 2.0hr：学習したテーマについてのプレゼンテーションができるように準備しておく。 事後学修 2.0hr：発表内容を見直し、問題点を整理する。	30回	**授業テーマ：最終発表** 授業内容：各自で興味のあるテーマを選び、発表する。 事前学修 2.0hr：発表の準備をする。 事後学修 2.0hr：発表内容を見直し、問題点を整理する。

専門領域研究講座

開講学科等：中 ｜ 3 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通

高田　誠（たかだ　まこと）

▌授業の概要

中国語学科のディプロマ・ポリシーの2に基づき、中国・台湾をはじめ、世界経済の専門的な文献をテーマを決めて読み進め、知識を深めると同時に課題解決に向けたディスカッションを進めていきます。履修者は担当箇所を要約し、プレゼンテーションを行います。その内容に関して、全員でディスカッションをしていきます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2）

一般目標：中国経済の抱えるさまざま問題群に関して、自分なりの論理的で客観的な判断が行えるようになることが目標です。

個別目標：中国の高い経済成長ななぜ可能なのか、中国の成長はどこまで進むのか、習近平主席が進める「中国の夢」とは何か、成長の歪はどこに生じているのか、など中国経済・社会・文化にかかわる具体的事象について、自分の意見を持ち、積極的に他者と意見交換ができることを目標とします。

▌履修条件

特にありません。

▌評価基準・方法

報告内容および授業への積極性などにより評価します。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （調べた内容を教室で発表。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （データのまとめなど。）

▌教科書

開講時に指示します。

▌参考書

授業内で適宜指示します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ゼミナールの概要説明** 授業内容：ゼミの進行に関する説明。 事前学修 2.0hr：ゼミへの抱負を考えておく。 事後学修 2.0hr：ゼミのスケジュールをまとめておく。	16回	**授業テーマ：中国経済に関する専門文献講読** 授業内容：中国の社会・経済・外交・政治に関する文献を読み、授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：関連文献を事前に読み、疑問点をまとめておく。 事後学修 2.0hr：課題文献を再読し、ゼミを参考に要点をまとめる。
2回	**授業テーマ：中国経済に関する専門文献講読** 授業内容：中国の社会・経済・外交・政治に関する文献を読み、授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：関連文献を事前に読み、疑問点をまとめておく。 事後学修 2.0hr：課題文献を再読し、ゼミを参考に要点をまとめる。	17回	**授業テーマ：中国経済に関する専門文献講読** 授業内容：中国の社会・経済・外交・政治に関する文献を読み、授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：関連文献を事前に読み、疑問点をまとめておく。 事後学修 2.0hr：課題文献を再読し、ゼミを参考に要点をまとめる。
3回	**授業テーマ：中国経済に関する専門文献講読** 授業内容：中国の社会・経済・外交・政治に関する文献を読み、授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：関連文献を事前に読み、疑問点をまとめておく。 事後学修 2.0hr：課題文献を再読し、ゼミを参考に要点をまとめる。	18回	**授業テーマ：中国経済に関する専門文献講読** 授業内容：中国の社会・経済・外交・政治に関する文献を読み、授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：関連文献を事前に読み、疑問点をまとめておく。 事後学修 2.0hr：課題文献を再読し、ゼミを参考に要点をまとめる。
4回	**授業テーマ：中国経済に関する専門文献講読** 授業内容：中国の社会・経済・外交・政治に関する文献を読み、授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：関連文献を事前に読み、疑問点をまとめておく。 事後学修 2.0hr：課題文献を再読し、ゼミを参考に要点をまとめる。	19回	**授業テーマ：中国経済に関する専門文献講読** 授業内容：中国の社会・経済・外交・政治に関する文献を読み、授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：関連文献を事前に読み、疑問点をまとめておく。 事後学修 2.0hr：課題文献を再読し、ゼミを参考に要点をまとめる。
5回	**授業テーマ：中国経済に関する専門文献講読** 授業内容：中国の社会・経済・外交・政治に関する文献を読み、授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：関連文献を事前に読み、疑問点をまとめておく。 事後学修 2.0hr：課題文献を再読し、ゼミを参考に要点をまとめる。	20回	**授業テーマ：中国経済に関する専門文献講読** 授業内容：中国の社会・経済・外交・政治に関する文献を読み、授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：関連文献を事前に読み、疑問点をまとめておく。 事後学修 2.0hr：課題文献を再読し、ゼミを参考に要点をまとめる。
6回	**授業テーマ：中国経済に関する専門文献講読** 授業内容：中国の社会・経済・外交・政治に関する文献を読み、授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：関連文献を事前に読み、疑問点をまとめておく。 事後学修 2.0hr：課題文献を再読し、ゼミを参考に要点をまとめる。	21回	**授業テーマ：中国経済に関する専門文献講読** 授業内容：中国の社会・経済・外交・政治に関する文献を読み、授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：関連文献を事前に読み、疑問点をまとめておく。 事後学修 2.0hr：課題文献を再読し、ゼミを参考に要点をまとめる。
7回	**授業テーマ：中国経済に関する専門文献講読** 授業内容：中国の社会・経済・外交・政治に関する文献を読み、授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：関連文献を事前に読み、疑問点をまとめておく。 事後学修 2.0hr：課題文献を再読し、ゼミを参考に要点をまとめる。	22回	**授業テーマ：中国経済に関する専門文献講読** 授業内容：中国の社会・経済・外交・政治に関する文献を読み、授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：関連文献を事前に読み、疑問点をまとめておく。 事後学修 2.0hr：課題文献を再読し、ゼミを参考に要点をまとめる。
8回	**授業テーマ：中国経済に関する専門文献講読** 授業内容：中国の社会・経済・外交・政治に関する文献を読み、授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：関連文献を事前に読み、疑問点をまとめておく。 事後学修 2.0hr：課題文献を再読し、ゼミを参考に要点をまとめる。	23回	**授業テーマ：中国経済に関する専門文献講読** 授業内容：中国の社会・経済・外交・政治に関する文献を読み、授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：関連文献を事前に読み、疑問点をまとめておく。 事後学修 2.0hr：課題文献を再読し、ゼミを参考に要点をまとめる。
9回	**授業テーマ：中国経済に関する専門文献講読** 授業内容：中国の社会・経済・外交・政治に関する文献を読み、授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：関連文献を事前に読み、疑問点をまとめておく。 事後学修 2.0hr：課題文献を再読し、ゼミを参考に要点をまとめる。	24回	**授業テーマ：中国経済に関する専門文献講読** 授業内容：中国の社会・経済・外交・政治に関する文献を読み、授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：関連文献を事前に読み、疑問点をまとめておく。 事後学修 2.0hr：課題文献を再読し、ゼミを参考に要点をまとめる。
10回	**授業テーマ：中国経済に関する専門文献講読** 授業内容：中国の社会・経済・外交・政治に関する文献を読み、授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：関連文献を事前に読み、疑問点をまとめておく。 事後学修 2.0hr：課題文献を再読し、ゼミを参考に要点をまとめる。	25回	**授業テーマ：中国経済に関する専門文献講読** 授業内容：中国の社会・経済・外交・政治に関する文献を読み、授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：関連文献を事前に読み、疑問点をまとめておく。 事後学修 2.0hr：課題文献を再読し、ゼミを参考に要点をまとめる。
11回	**授業テーマ：中国経済に関する専門文献講読** 授業内容：中国の社会・経済・外交・政治に関する文献を読み、授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：関連文献を事前に読み、疑問点をまとめておく。 事後学修 2.0hr：課題文献を再読し、ゼミを参考に要点をまとめる。	26回	**授業テーマ：中国経済に関する専門文献講読** 授業内容：中国の社会・経済・外交・政治に関する文献を読み、授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：関連文献を事前に読み、疑問点をまとめておく。 事後学修 2.0hr：課題文献を再読し、ゼミを参考に要点をまとめる。

12回	**授業テーマ：中国経済に関する専門文献講読** 授業内容：中国の社会・経済・外交・政治に関する文献を読み、授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：関連文献を事前に読み、疑問点をまとめておく。 事後学修 2.0hr：課題文献を再読し、ゼミを参考に要点をまとめる。	27回	**授業テーマ：中国経済に関する専門文献講読** 授業内容：中国の社会・経済・外交・政治に関する文献を読み、授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：関連文献を事前に読み、疑問点をまとめておく。 事後学修 2.0hr：課題文献を再読し、ゼミを参考に要点をまとめる。
13回	**授業テーマ：中国経済に関する専門文献講読** 授業内容：中国の社会・経済・外交・政治に関する文献を読み、授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：関連文献を事前に読み、疑問点をまとめておく。 事後学修 2.0hr：課題文献を再読し、ゼミを参考に要点をまとめる。	28回	**授業テーマ：中国経済に関する専門文献講読** 授業内容：中国の社会・経済・外交・政治に関する文献を読み、授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：関連文献を事前に読み、疑問点をまとめておく。 事後学修 2.0hr：課題文献を再読し、ゼミを参考に要点をまとめる。
14回	**授業テーマ：中国経済に関する専門文献講読** 授業内容：中国の社会・経済・外交・政治に関する文献を読み、授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：関連文献を事前に読み、疑問点をまとめておく。 事後学修 2.0hr：課題文献を再読し、ゼミを参考に要点をまとめる。	29回	**授業テーマ：中国経済に関する専門文献講読** 授業内容：中国の社会・経済・外交・政治に関する文献を読み、授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：関連文献を事前に読み、疑問点をまとめておく。 事後学修 2.0hr：課題文献を再読し、ゼミを参考に要点をまとめる。
15回	**授業テーマ：中国経済に関する専門文献講読** 授業内容：中国の社会・経済・外交・政治に関する文献を読み、授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：関連文献を事前に読み、疑問点をまとめておく。 事後学修 2.0hr：課題文献を再読し、ゼミを参考に要点をまとめる。	30回	**授業テーマ：中国経済に関する専門文献講読** 授業内容：中国の社会・経済・外交・政治に関する文献を読み、授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：関連文献を事前に読み、疑問点をまとめておく。 事後学修 2.0hr：課題文献を再読し、ゼミを参考に要点をまとめる。

専門領域研究講座

開講学科等：中 ｜ 3 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通

中嶋　諒（なかじま　りょう）

▌授業の概要

古来中国では、『四書』(論語、孟子、大学、中庸)や『五経』(易、書、詩、春秋、礼記)といった儒教の経典、『老子』や『荘子』など諸子百家とよばれる中国古代の思想書が尊ばれ、数多くの注釈書が著されてきました。そしてこれらの書物に記された名言名句は、中国語の会話や文章の端々にあらわれており、中国文化の根底にあるものの一つといえるでしょう。この授業では、これら中国古代の注釈書を読むことで、古代から現代にいたるまで、中国人がいかに古典を理解していたかを考えていきます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2）

一般目標：中国古典の背景にある歴史・文化・社会についての体系的な知識を身につけるとともに、これらの分野にかんする自分の考えをまとめ、適切に議論する能力を修得する。

個別目標：①中国古典およびその文化的、歴史的背景について理解することができる。②現代中国における中国古典の影響について説明することができる。③中国古典の読解のための基礎的知識を身につけることができる。

▌履修条件

特になし。

▌評価基準・方法

発表 40 %、発表資料 40 %、受講時の積極性 20 %で、総合的に判断する。

▌フィードバック方法

フィードバックは授業時のコメントと manaba を併用して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （教員と学生が相互に話し合いながら、文献を読み解いていく。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

授業時に『論語集注』、『孟子集注』、『老子』王弼注、『荘子』郭象注などのテキストを配布する(学生の興味関心にあわせて、その他のテキストを配布する場合もあります)。

▌参考書

適宜指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、授業計画** 授業内容：テキストを配布し、今後の授業の進め方について説明する。 事前学修 2.0hr：講義概要をよく読み、この授業の目標を理解しておく 事後学修 2.0hr：授業計画を見直し、自分なりの中国古典についてのイメージを考えておく	16回	**授業テーマ：『老子』と『老子』王弼注について** 授業内容：次回から読み始める『老子』と『老子』王弼注について説明をする。 事前学修 2.0hr：『老子』と『老子』王弼注について、自分なりに調べておく。 事後学修 2.0hr：再度プリントの指定した箇所を読んで、その内容を完全に理解する。
2回	**授業テーマ：『論語』と『論語集注』について** 授業内容：次回から読み始める『論語』と『論語集注』について説明をする。 事前学修 2.0hr：『論語』と『論語集注』について、自分なりに調べておく。 事後学修 2.0hr：ノート、プリントを見直し、授業内容を確認する。	17回	**授業テーマ：『老子』王弼注・第一章を読む** 授業内容：『老子』王弼注の第一章を読み解き、その内容について議論し検討する。 事前学修 2.0hr：プリントの指定した箇所に目を通し、分からない用語は調べておく。 事後学修 2.0hr：再度プリントの指定した箇所を読んで、その内容を完全に理解する。
3回	**授業テーマ：『論語集注』学而篇・第一章を読む** 授業内容：『論語集注』学而篇の第一章を読み解き、その内容について議論し検討する。 事前学修 2.0hr：プリントの指定した箇所に目を通し、分からない用語は調べておく。 事後学修 2.0hr：再度プリントの指定した箇所を読んで、その内容を完全に理解する。	18回	**授業テーマ：『老子』王弼注・第二章を読む** 授業内容：『老子』王弼注の第二章を読み解き、その内容について議論し検討する。 事前学修 2.0hr：プリントの指定した箇所に目を通し、分からない用語は調べておく。 事後学修 2.0hr：再度プリントの指定した箇所を読んで、その内容を完全に理解する。
4回	**授業テーマ：『論語集注』学而篇・第二章を読む** 授業内容：『論語集注』学而篇の第二章を読み解き、その内容について議論し検討する。 事前学修 2.0hr：プリントの指定した箇所に目を通し、分からない用語は調べておく。 事後学修 2.0hr：再度プリントの指定した箇所を読んで、その内容を完全に理解する。	19回	**授業テーマ：『老子』王弼注・第三章を読む** 授業内容：『老子』王弼注の第三章を読み解き、その内容について議論し検討する。 事前学修 2.0hr：プリントの指定した箇所に目を通し、分からない用語は調べておく。 事後学修 2.0hr：再度プリントの指定した箇所を読んで、その内容を完全に理解する。
5回	**授業テーマ：『論語集注』学而篇・第三章を読む** 授業内容：『論語集注』学而篇の第三章を読み解き、その内容について議論し検討する。 事前学修 2.0hr：プリントの指定した箇所に目を通し、分からない用語は調べておく。 事後学修 2.0hr：再度プリントの指定した箇所を読んで、その内容を完全に理解する。	20回	**授業テーマ：『老子』王弼注・第四章を読む** 授業内容：『老子』王弼注の第四章を読み解き、その内容について議論し検討する。 事前学修 2.0hr：プリントの指定した箇所に目を通し、分からない用語は調べておく。 事後学修 2.0hr：再度プリントの指定した箇所を読んで、その内容を完全に理解する。
6回	**授業テーマ：『論語集注』学而篇・第四章を読む** 授業内容：『論語集注』学而篇の第四章を読み解き、その内容について議論し検討する。 事前学修 2.0hr：プリントの指定した箇所に目を通し、分からない用語は調べておく。 事後学修 2.0hr：再度プリントの指定した箇所を読んで、その内容を完全に理解する。	21回	**授業テーマ：『老子』王弼注・第五章を読む** 授業内容：『老子』王弼注の第五章を読み解き、その内容について議論し検討する。 事前学修 2.0hr：プリントの指定した箇所に目を通し、分からない用語は調べておく。 事後学修 2.0hr：再度プリントの指定した箇所を読んで、その内容を完全に理解する。
7回	**授業テーマ：『論語集注』学而篇・第五章を読む** 授業内容：『論語集注』学而篇の第五章を読み解き、その内容について議論し検討する。 事前学修 2.0hr：プリントの指定した箇所に目を通し、分からない用語は調べておく。 事後学修 2.0hr：再度プリントの指定した箇所を読んで、その内容を完全に理解する。	22回	**授業テーマ：『老子』王弼注・第六章を読む** 授業内容：『老子』王弼注の第六章を読み解き、その内容について議論し検討する。 事前学修 2.0hr：プリントの指定した箇所に目を通し、分からない用語は調べておく。 事後学修 2.0hr：再度プリントの指定した箇所を読んで、その内容を完全に理解する。
8回	**授業テーマ：『論語集注』学而篇・第六章を読む** 授業内容：『論語集注』学而篇の第六章を読み解き、その内容について議論し検討する。 事前学修 2.0hr：プリントの指定した箇所に目を通し、分からない用語は調べておく。 事後学修 2.0hr：再度プリントの指定した箇所を読んで、その内容を完全に理解する。	23回	**授業テーマ：『荘子』と『荘子』郭象注について** 授業内容：次回から読み始める『荘子』と『荘子』郭象注について説明をする。 事前学修 2.0hr：『荘子』と『荘子』郭象注について、自分なりに調べておく。 事後学修 2.0hr：再度プリントの指定した箇所を読んで、その内容を完全に理解する。
9回	**授業テーマ：『孟子』と『孟子集注』について** 授業内容：次回から読み始める『孟子』と『孟子集注』について説明をする。 事前学修 2.0hr：『孟子』と『孟子集注』について、自分なりに調べておく。 事後学修 2.0hr：ノート、プリントを見直し、授業内容を確認する。	24回	**授業テーマ：『荘子』郭象注、逍遥遊篇・第一章を読む** 授業内容：『荘子』郭象注の逍遥遊篇・第一章を読み解き、その内容について議論し検討する。 事前学修 2.0hr：プリントの指定した箇所に目を通し、分からない用語は調べておく。 事後学修 2.0hr：再度プリントの指定した箇所を読んで、その内容を完全に理解する。
10回	**授業テーマ：『孟子集注』梁恵王篇・第一章を読む** 授業内容：『孟子集注』梁恵王篇の第一章を読み解き、その内容について議論し検討する。 事前学修 2.0hr：プリントの指定した箇所に目を通し、分からない用語は調べておく。 事後学修 2.0hr：再度プリントの指定した箇所を読んで、その内容を完全に理解する。	25回	**授業テーマ：『荘子』郭象注、逍遥遊篇・第二章を読む** 授業内容：『荘子』郭象注の逍遥遊篇・第二章を読み解き、その内容について議論し検討する。 事前学修 2.0hr：プリントの指定した箇所に目を通し、分からない用語は調べておく。 事後学修 2.0hr：再度プリントの指定した箇所を読んで、その内容を完全に理解する。

11回	**授業テーマ：『孟子集注』梁恵王篇・第二章を読む** 授業内容：『孟子集注』梁恵王篇の第二章を読み解き、その内容について議論し検討する。 事前学修 2.0hr：プリントの指定した箇所に目を通し、分からない用語は調べておく。 事後学修 2.0hr：再度プリントの指定した箇所を読んで、その内容を完全に理解する。	26回	**授業テーマ：『荘子』郭象注、逍遥遊篇・第三章を読む** 授業内容：『荘子』郭象注の逍遥遊篇・第三章を読み解き、その内容について議論し検討する。 事前学修 2.0hr：プリントの指定した箇所に目を通し、分からない用語は調べておく。 事後学修 2.0hr：再度プリントの指定した箇所を読んで、その内容を完全に理解する。
12回	**授業テーマ：『孟子集注』梁恵王篇・第三章を読む** 授業内容：『孟子集注』梁恵王篇の第三章を読み解き、その内容について議論し検討する。 事前学修 2.0hr：プリントの指定した箇所に目を通し、分からない用語は調べておく。 事後学修 2.0hr：再度プリントの指定した箇所を読んで、その内容を完全に理解する。	27回	**授業テーマ：『荘子』郭象注、逍遥遊篇・第四章を読む** 授業内容：『荘子』郭象注の逍遥遊篇・第四章を読み解き、その内容について議論し検討する。 事前学修 2.0hr：プリントの指定した箇所に目を通し、分からない用語は調べておく。 事後学修 2.0hr：再度プリントの指定した箇所を読んで、その内容を完全に理解する。
13回	**授業テーマ：『孟子集注』梁恵王篇・第四章を読む** 授業内容：『孟子集注』梁恵王篇の第四章を読み解き、その内容について議論し検討する。 事前学修 2.0hr：プリントの指定した箇所に目を通し、分からない用語は調べておく。 事後学修 2.0hr：再度プリントの指定した箇所を読んで、その内容を完全に理解する。	28回	**授業テーマ：『荘子』郭象注、逍遥遊篇・第五章を読む** 授業内容：『荘子』郭象注の逍遥遊篇・第五章を読み解き、その内容について議論し検討する。 事前学修 2.0hr：プリントの指定した箇所に目を通し、分からない用語は調べておく。 事後学修 2.0hr：再度プリントの指定した箇所を読んで、その内容を完全に理解する。
14回	**授業テーマ：『孟子集注』梁恵王篇・第五章を読む** 授業内容：『孟子集注』梁恵王篇の第五章を読み解き、その内容について議論し検討する。 事前学修 2.0hr：プリントの指定した箇所に目を通し、分からない用語は調べておく。 事後学修 2.0hr：再度プリントの指定した箇所を読んで、その内容を完全に理解する。	29回	**授業テーマ：『荘子』郭象注、逍遥遊篇・第六章を読む** 授業内容：『荘子』郭象注の逍遥遊篇・第六章を読み解き、その内容について議論し検討する。 事前学修 2.0hr：プリントの指定した箇所に目を通し、分からない用語は調べておく。 事後学修 2.0hr：再度プリントの指定した箇所を読んで、その内容を完全に理解する。
15回	**授業テーマ：『孟子集注』梁恵王篇・第六章を読む** 授業内容：『孟子集注』梁恵王篇の第六章を読み解き、その内容について議論し検討する。 事前学修 2.0hr：プリントの指定した箇所に目を通し、分からない用語は調べておく。 事後学修 2.0hr：再度プリントの指定した箇所を読んで、その内容を完全に理解する。	30回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：これまで講読したテキストの内容を整理する。 事前学修 2.0hr：これまで学んできたことを整理する。 事後学修 2.0hr：これまで学んできたことを理解し、中国古典について自分なりに説明できるようにする。

卒業研究

開講学科等：中 ｜ 4 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通

宇賀神　秀一（うがじん　しゅういち）

▌授業の概要

中国古典文学に関するテーマの卒業研究を指導します。研究対象となる文学作品や先行研究への疑問点に対して、教員と学生の間で相互に意見を交換しながら、研究を進め、その成果をプレゼンテーションします。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1・2・3・4）

一般目標：研究テーマを設定し、調査能力を高め、簡潔なプレゼンテーションができる。

個別目標：①研究テーマを設定することができる。
②関連資料を調査し、エクセル等を用いて整理することができる。
③先行研究を理解し、分析して課題を見出すことができる。
④自身の研究意義を、パワーポイント等でプレゼンテーションすることができる。

▌履修条件

特にありません。

▌評価基準・方法

研究への主体的な姿勢 60 %、プレゼンテーション 40 %で評価します。

▌フィードバック方法

フィードバックは授業時のコメントと manaba を併用して行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （教員と学生の話し合い。研究発表の準備等。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （パワーポイント等を使用し、研究発表を行う。）

▌教科書

定めない。

▌参考書

授業時に適宜、指示します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：卒業研究の完成に向けて、その手順や方法について概説します。 事前学修 2.0hr：興味関心のある作者や作品を列挙して下さい。 事後学修 2.0hr：教員の指導を受けて、精読する対象作品を絞り込んで下さい。	16回	**授業テーマ：研究経過の報告** 授業内容：夏季休暇中における研究の進捗状況の報告を行います。 事前学修 2.0hr：夏季休暇を利用して、再度、参考文献の収集・整理を行い、自身の研究テーマについて検討して下さい。 事後学修 2.0hr：教員の指導を受けて、卒業研究の制作を進めて下さい。
2回	**授業テーマ：作品の精読Ⅰ** 授業内容：実際に作品を精読しながら、研究対象、及びテーマを考えます。 事前学修 2.0hr：作品の原典、注釈書や訳注などを収集し、精読して下さい。 事後学修 2.0hr：先行研究をよく理解して下さい。	17回	**授業テーマ：卒業研究の制作Ⅰ** 授業内容：教員の指導のもと、卒業研究の制作を進めます。 事前学修 2.0hr：研究テーマに関する自身の見解をまとめて下さい。 事後学修 2.0hr：教員の指導を受けて、卒業研究の制作を進めて下さい。
3回	**授業テーマ：作品の精読Ⅱ** 授業内容：作品を精読しながら、研究対象、及びテーマを絞り込んでいきます。 事前学修 2.0hr：作品の原典、注釈書や訳注などを収集し、さらに精読して下さい。 事後学修 2.0hr：先行研究を踏まえ、自分なりの解釈や疑問点を持って下さい。	18回	**授業テーマ：卒業研究の制作Ⅱ** 授業内容：教員の指導のもと、卒業研究の制作を進めます。 事前学修 2.0hr：研究テーマに関する自身の見解をまとめて下さい。 事後学修 2.0hr：教員の指導を受けて、卒業研究の制作を進めて下さい。
4回	**授業テーマ：作品の精読Ⅲ** 授業内容：作品を精読しながら、研究対象、及びテーマを定めます。 事前学修 2.0hr：作品の原典、注釈書や訳注などを収集し、さらに精読して下さい。 事後学修 2.0hr：教員の指導を受けて、研究対象となる作者・作品を決定して下さい。	19回	**授業テーマ：卒業研究の制作Ⅲ** 授業内容：教員の指導のもと、卒業研究の制作を進めます。 事前学修 2.0hr：研究テーマに関する自身の見解をまとめて下さい。 事後学修 2.0hr：教員の指導を受けて、卒業研究の制作を進めて下さい。
5回	**授業テーマ：参考文献の収集・整理Ⅰ** 授業内容：インターネットを活用した参考文献の収集方法、及びエクセルでの資料の整理方法を伝えます。 事前学修 2.0hr：研究対象をインターネットで調査して下さい。また、エクセルの使用準備をして下さい。 事後学修 2.0hr：教員の指導を受けて、先行研究を収集・整理して下さい。	20回	**授業テーマ：卒業研究の制作Ⅳ** 授業内容：教員の指導のもと、研究発表の読み原稿をまとめます。 事前学修 2.0hr：研究発表に向けて、その構成(序論・本論・結論)を整理して下さい。 事後学修 2.0hr：教員の指導を受けて、卒業研究の制作を進めて下さい。
6回	**授業テーマ：参考文献の収集・整理Ⅱ** 授業内容：大学図書館の活用方法を伝えます。 事前学修 2.0hr：研究対象に関する原典・訳注・先行研究などを収集・整理して下さい。 事後学修 2.0hr：教員の指導を受けて、さらに先行研究を収集・整理して下さい。	21回	**授業テーマ：卒業研究の制作Ⅴ** 授業内容：教員の指導のもと、研究発表の読み原稿をまとめます。 事前学修 2.0hr：研究発表に向けて、その構成(序論・本論・結論)を整理して下さい。 事後学修 2.0hr：教員の指導を受けて、卒業研究の制作を進めて下さい。
7回	**授業テーマ：参考文献の収集・整理Ⅲ** 授業内容：先行研究を網羅的に収集・整理した上で、自身の研究テーマの方向性を定めます。 事前学修 2.0hr：研究対象に関する原典・訳注・先行研究などを収集・整理して下さい。 事後学修 2.0hr：教員の指導を受けて、先行研究を分析して下さい。	22回	**授業テーマ：卒業研究の制作Ⅵ** 授業内容：教員の指導のもと、研究発表の読み原稿をまとめます。 事前学修 2.0hr：研究発表に向けて、その構成(序論・本論・結論)を整理して下さい。 事後学修 2.0hr：教員の指導を受けて、卒業研究の制作を進めて下さい。
8回	**授業テーマ：先行研究の報告Ⅰ** 授業内容：先行研究の概要の報告を行います。 事前学修 2.0hr：興味関心のある複数の先行研究を精読して下さい。 事後学修 2.0hr：教員の指導を受けて、研究対象や先行研究の疑問点を見出して下さい。	23回	**授業テーマ：卒業研究の制作Ⅶ** 授業内容：教員の指導のもと、研究発表の読み原稿をまとめます。 事前学修 2.0hr：研究発表に向けて、その構成(序論・本論・結論)を整理して下さい。 事後学修 2.0hr：教員の指導を受けて、卒業研究の制作を進めて下さい。
9回	**授業テーマ：先行研究の報告Ⅱ** 授業内容：先行研究の概要の報告を行います。 事前学修 2.0hr：引き続き興味関心のある複数の先行研究を精読して下さい。 事後学修 2.0hr：教員の指導を受けて、研究対象や先行研究の課題を見出して下さい。	24回	**授業テーマ：研究発表の準備Ⅰ** 授業内容：教員の指導のもと、研究発表に向けて、その成果をパワーポイントにまとめます。 事前学修 2.0hr：パワーポイントに、序論部分(伝記・先行研究の紹介、自身の研究の目的等)をまとめて下さい。 事後学修 2.0hr：教員の指導を受けて、卒業研究の制作を進めて下さい。

10回	**授業テーマ：先行研究の報告Ⅲ** 授業内容：先行研究を分類・整理して、自身の研究テーマを定めます。 事前学修 2.0hr：興味関心のある複数の先行研究を整理・分類して下さい。 事後学修 2.0hr：教員の指導を受けて、自身の研究テーマを決定して下さい。	25回	**授業テーマ：研究発表の準備Ⅱ** 授業内容：教員の指導のもと、研究発表に向けて、その成果をパワーポイントにまとめます。 事前学修 2.0hr：パワーポイントに、本論部分をまとめて下さい。 事後学修 2.0hr：教員の指導を受けて、卒業研究の制作を進めて下さい。
11回	**授業テーマ：作者の伝記Ⅰ** 授業内容：作者の伝記資料を確認しながら、伝記をまとます。 事前学修 2.0hr：作者の伝記に関する参考文献を整理して下さい。 事後学修 2.0hr：教員の指導を受けて、作者の伝記をまとめて下さい。	26回	**授業テーマ：研究発表の準備Ⅲ** 授業内容：教員の指導のもと、研究発表に向けて、その成果をパワーポイントにまとめます。 事前学修 2.0hr：パワーポイントに、本論部分をまとめて下さい。 事後学修 2.0hr：教員の指導を受けて、卒業研究の制作を進めて下さい。
12回	**授業テーマ：作者の伝記Ⅱ** 授業内容：作者の伝記について報告を行います。 事前学修 2.0hr：研究対象の作者の人生をまとめて下さい。 事後学修 2.0hr：教員の指導を受けて、さらに作者の伝記をまとめて下さい。	27回	**授業テーマ：研究発表の準備Ⅳ** 授業内容：教員の指導のもと、研究発表に向けて、その成果をパワーポイントにまとめます。 事前学修 2.0hr：パワーポイントに、結論部分(先行研究との比較や研究意義等)をまとめて下さい。 事後学修 2.0hr：教員の指導を受けて、卒業研究の制作を進めて下さい。
13回	**授業テーマ：中間発表の準備Ⅰ** 授業内容：作者の伝記と先行研究の紹介を中心に、中間発表の準備を行います。 事前学修 2.0hr：作者の伝記と先行研究を整理して下さい。また、パワーポイントの使用準備をして下さい。 事後学修 2.0hr：教員の指導を受けて、プレゼンテーションに向けて、要点を集約して下さい。	28回	**授業テーマ：研究発表の準備Ⅴ** 授業内容：予備予備発表を行います。 事前学修 2.0hr：発表用の読み原稿とパワーポイントで、練習して下さい。 事後学修 2.0hr：教員の指導を受けて、発表の反省点を改善し、再度、準備をして下さい。
14回	**授業テーマ：中間発表の準備Ⅱ** 授業内容：作者の伝記と先行研究の課題を中心に、中間発表の準備を行います。 事前学修 2.0hr：作者の伝記と先行研究の概要、及びその課題を、パワーポイントにまとめて下さい。 事後学修 2.0hr：教員の指導を受けて、プレゼンテーションに向けて、発表原稿をまとめて下さい。	29回	**授業テーマ：研究発表の準備Ⅵ** 授業内容：予備発表を行います。 事前学修 2.0hr：前回の反省点を改善して、再度、発表の準備をして下さい。 事後学修 2.0hr：教員の指導を受けて、発表の反省点を改善し、再度、準備をして下さい。
15回	**授業テーマ：中間発表** 授業内容：作者の伝記と先行研究の課題を中心に、パワーポイントを使用して発表を行います。 事前学修 2.0hr：発表原稿をよく読み、分かりやすく発表できるように準備をして下さい。 事後学修 2.0hr：教員の指導を受けて、研究テーマについて整理して下さい。	30回	**授業テーマ：研究発表** 授業内容：読み原稿とパワーポイントを使用して、研究発表を行います。 事前学修 2.0hr：研究発表の本番に向けて、繰り返し練習して下さい。 事後学修 2.0hr：完成した発表資料等を提出して下さい。

卒業研究

開講学科等：中 ｜ 4 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通

河村　昌子（かわむら　しょうこ）

▌授業の概要

広く中国文化全般、もしくは中国近現代文学に関わるテーマの卒業研究を指導します。
教員のアドバイスを受けながら、研究計画を立て、資料を調査・収集して研究を進め、最終的にプレゼンテーションを行います。希望者には論文指導も行います。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1・2・3・4）

一般目標：設定したテーマのもと、自分で調査研究を行い、その成果を、わかりやすくプレゼンテーションできるようにする。
個別目標：①研究テーマを設定することができる。
②研究に必要な情報を調査・収集し、適切に処理することができる。
③調査研究の結果に基づいて、プレゼンテーションの構成を決めることができる。
④わかりやすい発表資料を作ることができる。
⑤聞きやすいプレゼンテーションができる。

▌履修条件

特にありません。

▌評価基準・方法

調査研究のプロセスと最終プレゼンテーションを対象に、下記の 3 項目について評価します。
①論理的に思考して自分の考えをまとめられているか（知識・思考力）20%
②必要な情報を調査・収集して適切に処理し、わかりやすくプレゼンテーションできているか（技能・表現力）40%
③ゼミの運営に主体的に関わり、学修・研究を確実に実行したか（意欲・関心・姿勢）40%

▌フィードバック方法

課題等へのフィードバックは授業時に行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （討論）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （PowerPoint や Word を用いての資料作成）

▌教科書

使用しません。

▌参考書

適宜指示します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

授業テーマ

中国文化全般、もしくは中国近現代文学に関わるテーマを定め、研究します。

授業内容

各自の研究テーマに沿って収集した資料を、読解し、分析します。資料の要点を整理し、プレゼンテーションに向けて、枠組みを構築してゆきます。プレゼンテーションは、互いに論評しあい、改善を重ねて、完成させます。

事前学修

指導を受ける前に、自分の研究の進み具合をチェックし、取り組み方がわからない点を整理しておいてください。

事後学修

プレゼンテーションに向けて必要な作業を、指導に沿って、進めていってください。

卒業研究

開講学科等：中 ｜ 4 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通

神崎　龍志（かんざき　たつし）

▌授業の概要

本科目は、基本的に専門領域研究講座（通訳ゼミ）を履修した学生を対象とする。講義内容は主に以下の２点に集約される。
①卒業研究レポートのテーマを決定する。そのテーマに基づき、日本語原稿を作成し、その後、中国語の訳稿を作成する。②当ゼミの学生は、卒業研究発表会において、日本語と中国語両言語で発表するため、それに向けた通訳パフォーマンスの基礎訓練を実施する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1・2・3・4）

一般目標：通訳に必要とされる知識と技能の向上を目指しながら、自分の関心ある分野について卒業研究レポートを作成し、卒業研究発表会において優れたパフォーマンスをすること。
個別目標：①通訳のノウハウについて説明ができる。
②指示した課題について、安定した逐次通訳のパフォーマンスができる。
③中国に関連するテーマで研究レポートを作成し、それを使って実践的な通訳ができるようにする。

▌履修条件

すでに中国語の基礎力・応用力を十分に有する者で、通訳術の習得と向上に興味と意欲がある学生。
短期・長期を問わず、留学経験のある者が望ましいが、その限りではない。

▌評価基準・方法

具体的な評価は、以下の３点に基づくものとする。
①卒業研究の実施に必要な通訳スキル修得に関する取り組み（知識・思考力）４０％
②卒業研究レポート（日本語・中国語両言語）の品質と卒業研究発表会でのパフォーマンス（技術・表現力）４０％
③授業・課題への取り組み（意欲・関心・姿勢）２０％
なお、原則として５分の４以上の出席を評価の前提条件とし、欠席は減点とする。

▌フィードバック方法

課題のフィードバックは、学習支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （それぞれの通訳課題、卒業研究内容についてクラス内で意見交換を行なう。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （卒業研究作成時に PC を使って内容を検討する。）

▌教科書

必要な課題プリントを適宜、配布する。

▌参考書

通訳関連の参考資料を教員が必要に応じて用意する。
卒業研究のテーマ確定後、関連する参考文献を学生が自ら探す。また、必要な場合は、担当教員がそれをサポートする。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：通訳概論(一)** 授業内容：通訳の基礎理論について説明する。 事前学修 2.0hr：本講義の概要について目を通してくる。 事後学修 2.0hr：通訳の概要について説明できるようにする。	16回	**授業テーマ：卒業研究テーマ選定** 授業内容：卒業研究テーマの選定について説明し、検討をおこなう。 事前学修 2.0hr：通訳概論(二)の内容を説明できるようにする。 事後学修 2.0hr：卒業研究のテーマについて確認する。
2回	**授業テーマ：レポート発表** 授業内容：通訳理論についてまとめ、発表する。 事前学修 2.0hr：課題発表のための準備学習。 事後学修 2.0hr：通訳の概要説明が十分に行えるようにする。	17回	**授業テーマ：専門用語研究（1） 時事用語** 授業内容：時事分野の専門用語を学ぶ。 事前学修 2.0hr：配布資料を読んでくる。 事後学修 2.0hr：時事用語についての講義内容を把握する。
3回	**授業テーマ：通訳訓練技術概論** 授業内容：通訳訓練法について説明する。 事前学修 2.0hr：配布資料を読んでくる。 事後学修 2.0hr：通訳訓練法についての内容を把握する。	18回	**授業テーマ：レポート発表** 授業内容：時事分野の専門用語を取り上げ、その背景について発表する。 事前学修 2.0hr：課題発表のための準備学習。 事後学修 2.0hr：時事用語についての説明できるようにする。
4回	**授業テーマ：レポート発表** 授業内容：通訳訓練法についてまとめ、発表する。 事前学修 2.0hr：課題発表のための準備学習。 事後学修 2.0hr：通訳訓練法について説明できるようにする。	19回	**授業テーマ：専門用語研究（2） 環境問題** 授業内容：環境関連分野の専門用語を学ぶ。 事前学修 2.0hr：配布資料を読んでくる。 事後学修 2.0hr：環境問題用語についての講義内容を把握する。
5回	**授業テーマ：逐次通訳概論** 授業内容：逐次通訳とはなにか、そのポイントについて概説する。 事前学修 2.0hr：配布資料を読んでくる。 事後学修 2.0hr：逐次通訳についての講義内容を把握する。	20回	**授業テーマ：レポート発表** 授業内容：環境関連分野の専門用語をまとめ、その背景について発表する。 事前学修 2.0hr：課題発表のための準備学習。 事後学修 2.0hr：環境問題の要点について説明できるようにする。
6回	**授業テーマ：レポート発表** 授業内容：逐次通訳とはなにかについてまとめ、発表する。 事前学修 2.0hr：課題発表のための準備学習。 事後学修 2.0hr：逐次通訳について説明ができるようにする。	21回	**授業テーマ：専門用語研究（3） IT 関連用語** 授業内容：IT 関連分野の専門用語を学ぶ。 事前学修 2.0hr：配布資料を読んでくる。 事後学修 2.0hr：IT 関連用語についての講義内容を把握する。
7回	**授業テーマ：同時通訳概論** 授業内容：同時通訳とはなにか、そのポイントについて概説する。 事前学修 2.0hr：配布資料を読んでくる。 事後学修 2.0hr：同時通訳についての講義内容を把握する。	22回	**授業テーマ：レポート発表** 授業内容：IT 関連用語の意味について発表する。 事前学修 2.0hr：課題発表のための準備学習。 事後学修 2.0hr：IT 関連分野の要点について説明できるようにする。
8回	**授業テーマ：レポート発表** 授業内容：同時通訳とはなにかについて、まとめ発表する。 事前学修 2.0hr：課題発表のための準備学習。 事後学修 2.0hr：同時通訳について説明ができるようにする。	23回	**授業テーマ：専門用語研究（4） 流行語** 授業内容：現在および過去の流行語について学ぶ。 事前学修 2.0hr：配布資料を読んでくる。 事後学修 2.0hr：流行語についての講義内容を把握する。
9回	**授業テーマ：企業内通訳－通訳者の役割** 授業内容：企業内通訳における通訳の役割と留意点について説明する。 事前学修 2.0hr：配布資料を読んでくる。 事後学修 2.0hr：通訳者の役割についての講義内容を把握する。	24回	**授業テーマ：レポート発表** 授業内容：流行語とその流行語が生まれた背景について発表する。 事前学修 2.0hr：課題発表のための準備学習。 事後学修 2.0hr：流行語について説明できるようにする。

10回	**授業テーマ：レポート発表** 授業内容：企業内通訳における通訳の役割と留意点についてまとめ、発表する。 事前学修 2.0hr：課題発表のための準備学習。 事後学修 2.0hr：通訳者の役割について説明できるようにする。	25回	**授業テーマ：専門用語研究（５） エネルギー関連** 授業内容：エネルギー関連分野の専門用語を学ぶ。 事前学修 2.0hr：配布資料を読んでくる。 事後学修 2.0hr：エネルギー関連用語についての講義内容を把握する。
11回	**授業テーマ：専業通訳－通訳者の地位** 授業内容：専業通訳者の置かれている状況、社会的立場について説明する。 事前学修 2.0hr：配布資料を読んでくる。 事後学修 2.0hr：通訳者の状況について説明できるようにする。	26回	**授業テーマ：レポート発表** 授業内容：エネルギー関連用語とその用語の背景について発表する。 事前学修 2.0hr：課題発表のための準備学習。 事後学修 2.0hr：エネルギー問題の要点について説明できるようにする。
12回	**授業テーマ：レポート発表** 授業内容：専業通訳者の状況および社会的立場についてまとめ、発表する。 事前学修 2.0hr：課題発表のための準備学習。 事後学修 2.0hr：通訳者の地位について説明できるようにする。	27回	**授業テーマ：専門用語研究（６） 知的財産権** 授業内容：知的財産権分野の専門用語を学ぶ。 事前学修 2.0hr：配布資料を読んでくる。 事後学修 2.0hr：知的財産権の用語と概要について把握する。
13回	**授業テーマ：通訳の実情** 授業内容：通訳者および通訳業界の実情について説明する。 事前学修 2.0hr：配布資料を読んでくる。 事後学修 2.0hr：通訳の実情について把握する。発表の準備を行なう。	28回	**授業テーマ：卒業研究レポート提出** 授業内容：卒業研究レポートを作成する。 事前学修 2.0hr：課題発表のための準備学習。 事後学修 2.0hr：卒業研究内容について説明できるようにする。
14回	**授業テーマ：前期レポート発表と提出** 授業内容：前期に学んだ授業内容についてまとめ、発表する。 事前学修 2.0hr：中間発表のための準備。 事後学修 2.0hr：前期に学んだことを簡略に説明できるようにする。	29回	**授業テーマ：卒業研究レポート提出と自己評価** 授業内容：作成中あるいは作成済みの卒業研究レポートについて評価を行う。 事前学修 2.0hr：卒研レポート作成。 事後学修 2.0hr：卒研レポート作成。
15回	**授業テーマ：通訳概論(二)** 授業内容：通訳の基礎理論について説明する。 事前学修 2.0hr：配布資料を読んでくる。 事後学修 2.0hr：通訳概論(二)についての講義内容を把握する。	30回	**授業テーマ：卒業研究発表会に向けた最終準備** 授業内容：卒業研究の内容について最終チェックを行う。 事前学修 2.0hr：卒研レポート発表準備。 事後学修 2.0hr：自分の卒研レポートについてもう一度まとめる。

卒業研究

開講学科等：中 ｜ 4 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通

曹　泰和（そう　たいわ）

▌授業の概要
中国語語法、日中言語対照に関わるテーマの卒業研究を指導します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1・2・3・4）
一般目標：設定したテーマのもと、自分で情報を収集し、収集したデータの考察、分析を行うことができる。
個別目標：①参考文献を読んで、内容を理解し、自分の言葉で分かりやすく説明できる。
②収集したデータの考察及び分析ができる。
③分かりやすく、時間内でプレゼンテーションができる。

▌履修条件
特にありません。

▌評価基準・方法
論文の内容 50%、プレゼンテーション 50%により評価します。

▌フィードバック方法
卒論研究に関するフィードバックは、授業時間内及び学習支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）
あり （卒業研究に関する進捗状況の報告発表と討論）

▌授業での PC の利用（利用内容）
あり （PPT を使ってプレゼンテーションを行う）

▌教科書
使用しません。

▌参考書
テーマに応じて指示します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

授業テーマ
中国語語法研究・日中言語対照研究

授業内容
各自の研究テーマに沿って、参考文献を閲読し研究テーマに対する考察を深め、分析の指導を行う。

事前学修
参考文献を検索しリストを作成する。各自関連する論文を読み、疑問点をまとめる。

事後学修
指摘されたことを確認し、必要な作業を進める。

卒業研究

開講学科等：中 ｜ 4 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通

高田　誠（たかだ　まこと）

▌授業の概要

中国語学科のディプロマ・ポリシー2に合わせ、中国経済・社会に対する知識を深めると同時に、関連する諸問題について自分なりの解決策を創造できるよう、学生が各自で決めたテーマに基づいて、論文を作成します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1・2・3・4）

一般目標：あるテーマに対して、さまざまな情報を入手し、それらを消化、分析し、自分の言葉で再構成していくという、社会人としての重要なスキルを身につけることが目標です。

個別目標：テーマを設定し、それに関する情報収集の方法、情報のまとめ方、執筆の方法、引用や参考文献掲載時の規範などについて具体的に活用、記述できることを目標とします。

▌履修条件

根気強くテーマを掘り下げる積極性を求めます。

▌評価基準・方法

研究テーマに対する調査、分析および研究成果のプレゼンテーションによって評価します。

①知識・思考力（資料の読解・分析）30%

②技能・表現力（プレゼンテーション）40%

③意欲・関心・姿勢（議論の参加度）30%

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （調べた内容を教室で発表。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （データのまとめなど。）

▌教科書

特にありません。

▌参考書

卒業研究に沿った文献を適宜指示します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：卒業研究の進め方について** 授業内容：研究レポートに向けた進め方について説明。 事前学修 2.0hr：課題文献の読みと疑問点のまとめ。 事後学修 2.0hr：課題文献の再読と要点のまとめ。	16回	**授業テーマ：研究テーマの設定と情報収集、分析** 授業内容：研究テーマに関する文献を読み、授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：課題文献の読みと疑問点のまとめ。 事後学修 2.0hr：課題文献の再読と要点のまとめ。
2回	**授業テーマ：研究テーマの設定と情報収集、分析** 授業内容：研究テーマに関する文献を読み、授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：課題文献の読みと疑問点のまとめ。 事後学修 2.0hr：課題文献の再読と要点のまとめ。	17回	**授業テーマ：研究テーマの設定と情報収集、分析** 授業内容：研究テーマに関する文献を読み、授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：課題文献の読みと疑問点のまとめ。 事後学修 2.0hr：課題文献の再読と要点のまとめ。
3回	**授業テーマ：研究テーマの設定と情報収集、分析** 授業内容：研究テーマに関する文献を読み、授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：課題文献の読みと疑問点のまとめ。 事後学修 2.0hr：課題文献の再読と要点のまとめ。	18回	**授業テーマ：研究テーマの設定と情報収集、分析** 授業内容：研究テーマに関する文献を読み、授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：課題文献の読みと疑問点のまとめ。 事後学修 2.0hr：課題文献の再読と要点のまとめ。
4回	**授業テーマ：研究テーマの設定と情報収集、分析** 授業内容：研究テーマに関する文献を読み、授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：課題文献の読みと疑問点のまとめ。 事後学修 2.0hr：課題文献の再読と要点のまとめ。	19回	**授業テーマ：研究テーマの設定と情報収集、分析** 授業内容：研究テーマに関する文献を読み、授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：課題文献の読みと疑問点のまとめ。 事後学修 2.0hr：課題文献の再読と要点のまとめ。
5回	**授業テーマ：研究テーマの設定と情報収集、分析** 授業内容：研究テーマに関する文献を読み、授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：課題文献の読みと疑問点のまとめ。 事後学修 2.0hr：課題文献の再読と要点のまとめ。	20回	**授業テーマ：研究テーマの設定と情報収集、分析** 授業内容：研究テーマに関する文献を読み、授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：課題文献の読みと疑問点のまとめ。 事後学修 2.0hr：課題文献の再読と要点のまとめ。
6回	**授業テーマ：研究テーマの設定と情報収集、分析** 授業内容：研究テーマに関する文献を読み、授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：課題文献の読みと疑問点のまとめ。 事後学修 2.0hr：課題文献の再読と要点のまとめ。	21回	**授業テーマ：研究テーマの設定と情報収集、分析** 授業内容：研究テーマに関する文献を読み、授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：課題文献の読みと疑問点のまとめ。 事後学修 2.0hr：課題文献の再読と要点のまとめ。
7回	**授業テーマ：研究テーマの設定と情報収集、分析** 授業内容：研究テーマに関する文献を読み、授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：課題文献の読みと疑問点のまとめ。 事後学修 2.0hr：課題文献の再読と要点のまとめ。	22回	**授業テーマ：研究テーマの設定と情報収集、分析** 授業内容：研究テーマに関する文献を読み、授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：課題文献の読みと疑問点のまとめ。 事後学修 2.0hr：課題文献の再読と要点のまとめ。
8回	**授業テーマ：研究テーマの設定と情報収集、分析** 授業内容：研究テーマに関する文献を読み、授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：課題文献の読みと疑問点のまとめ。 事後学修 2.0hr：課題文献の再読と要点のまとめ。	23回	**授業テーマ：研究テーマの設定と情報収集、分析** 授業内容：研究テーマに関する文献を読み、授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：課題文献の読みと疑問点のまとめ。 事後学修 2.0hr：課題文献の再読と要点のまとめ。
9回	**授業テーマ：研究テーマの設定と情報収集、分析** 授業内容：研究テーマに関する文献を読み、授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：課題文献の読みと疑問点のまとめ。 事後学修 2.0hr：課題文献の再読と要点のまとめ。	24回	**授業テーマ：研究テーマの設定と情報収集、分析** 授業内容：研究テーマに関する文献を読み、授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：課題文献の読みと疑問点のまとめ。 事後学修 2.0hr：課題文献の再読と要点のまとめ。
10回	**授業テーマ：研究テーマの設定と情報収集、分析** 授業内容：研究テーマに関する文献を読み、授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：課題文献の読みと疑問点のまとめ。 事後学修 2.0hr：課題文献の再読と要点のまとめ。	25回	**授業テーマ：研究テーマの設定と情報収集、分析** 授業内容：研究テーマに関する文献を読み、授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：課題文献の読みと疑問点のまとめ。 事後学修 2.0hr：課題文献の再読と要点のまとめ。
11回	**授業テーマ：研究テーマの設定と情報収集、分析** 授業内容：研究テーマに関する文献を読み、授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：課題文献の読みと疑問点のまとめ。 事後学修 2.0hr：課題文献の再読と要点のまとめ。	26回	**授業テーマ：研究テーマの設定と情報収集、分析** 授業内容：研究テーマに関する文献を読み、授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：課題文献の読みと疑問点のまとめ。 事後学修 2.0hr：課題文献の再読と要点のまとめ。

12回	**授業テーマ：研究テーマの設定と情報収集、分析** 授業内容：研究テーマに関する文献を読み、授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：課題文献の読みと疑問点のまとめ。 事後学修 2.0hr：課題文献の再読と要点のまとめ。	27回	**授業テーマ：研究テーマの設定と情報収集、分析** 授業内容：研究テーマに関する文献を読み、授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：課題文献の読みと疑問点のまとめ。 事後学修 2.0hr：課題文献の再読と要点のまとめ。
13回	**授業テーマ：研究テーマの設定と情報収集、分析** 授業内容：研究テーマに関する文献を読み、授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：課題文献の読みと疑問点のまとめ。 事後学修 2.0hr：課題文献の再読と要点のまとめ。	28回	**授業テーマ：研究テーマの設定と情報収集、分析** 授業内容：研究テーマに関する文献を読み、授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：課題文献の読みと疑問点のまとめ。 事後学修 2.0hr：課題文献の再読と要点のまとめ。
14回	**授業テーマ：研究テーマの設定と情報収集、分析** 授業内容：研究テーマに関する文献を読み、授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：課題文献の読みと疑問点のまとめ。 事後学修 2.0hr：課題文献の再読と要点のまとめ。	29回	**授業テーマ：研究テーマの設定と情報収集、分析** 授業内容：研究テーマに関する文献を読み、授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：課題文献の読みと疑問点のまとめ。 事後学修 2.0hr：課題文献の再読と要点のまとめ。
15回	**授業テーマ：研究テーマの設定と情報収集、分析** 授業内容：研究テーマに関する文献を読み、授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：課題文献の読みと疑問点のまとめ。 事後学修 2.0hr：課題文献の再読と要点のまとめ。	30回	**授業テーマ：研究テーマの設定と情報収集、分析** 授業内容：研究テーマに関する文献を読み、授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：課題文献の読みと疑問点のまとめ。 事後学修 2.0hr：課題文献の再読と要点のまとめ。

卒業研究

開講学科等：中 ｜ 4 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通

中嶋　諒（なかじま　りょう）

▌授業の概要

中国前近代思想、もしくは主に前近代の中国文化全般にかんするテーマの卒業研究を指導します。教員のアドバイスを受けながら、資料を収集・整理・分析することで研究を進め、最終的に研究発表を行うこととする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1・2・3・4）

一般目標：自身が設定したテーマについて、資料を収集・整理・分析し、それを自分の言葉でまとめ、分かりやすく人に伝えることができる。
個別目標：①自身でテーマを設定し、それについて考察することができる。②関連する資料を収集・整理・分析し、その内容を説明することができる。
③研究テーマについて、分かりやすくプレゼンテーションすることができる。

▌履修条件

特になし。

▌評価基準・方法

課題への取り組み 50 %、プレゼンテーション 50 %で評価する。

▌フィードバック方法

フィードバックは授業時のコメントと manaba を併用して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （教員と学生が相互に話し合いながら、研究発表の準備を行う。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （パワーポイント等を使用して、研究発表を行う。）

▌教科書

使用しない。

▌参考書

適宜指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：１年間の見通しを立てる。 事前学修 2.0hr：自身の興味・関心を整理しておく。 事後学修 2.0hr：卒業研究のテーマを決定する。	16回	**授業テーマ：研究経過報告（１）夏季休暇の進捗報告** 授業内容：夏期休暇中に調べたことなどの進捗状況を報告する。 事前学修 2.0hr：研究経過報告の準備をする。 事後学修 2.0hr：教員の指導を受けて、卒業研究制作を進めていく。
2回	**授業テーマ：関連資料の収集（１）インターネットの活用** 授業内容：教員と話し合いながら、興味のあるテーマの関連資料を、インターネット等で収集する。 事前学修 2.0hr：研究テーマにかんする原典・訳注・先行研究などを収集する。 事後学修 2.0hr：教員の指導のもと、さらなる資料の収集を目指す。	17回	**授業テーマ：卒業研究制作（１）方向性を定める** 授業内容：教員の指導のもと、卒業研究発表の方向性を定めていく。 事前学修 2.0hr：研究テーマにかんする原典・訳注・先行研究を踏まえて、自身の見解をまとめていく。 事後学修 2.0hr：教員の指導を受けて、さらに卒業研究制作を進めていく。
3回	**授業テーマ：関連資料の収集（２）大学図書館の活用** 授業内容：教員と話し合いながら、興味のあるテーマの関連資料を、図書館等で収集する。 事前学修 2.0hr：研究テーマにかんする原典・訳注・先行研究などを収集する。 事後学修 2.0hr：教員の指導のもと、さらなる資料の収集を目指す。	18回	**授業テーマ：卒業研究制作（２）さらに方向性を定める** 授業内容：教員の指導のもと、卒業研究発表の方向性をさらに定めていく。 事前学修 2.0hr：研究テーマにかんする原典・訳注・先行研究を踏まえて、自身の見解をまとめていく。 事後学修 2.0hr：教員の指導を受けて、さらに卒業研究制作を進めていく。
4回	**授業テーマ：関連資料の収集（３）データベース等の活用** 授業内容：教員と話し合いながら、興味のあるテーマの関連資料を、再度、インターネットや図書館、データベース等で収集する。 事前学修 2.0hr：研究テーマにかんする原典・訳注・先行研究などを収集する。 事後学修 2.0hr：教員の指導のもと、網羅的な資料の収集を目指す。	19回	**授業テーマ：卒業研究制作（３）読み原稿の序論の作成** 授業内容：教員の指導のもと、卒業研究発表の読み原稿に取り掛かる。 事前学修 2.0hr：研究テーマにかんする原典・訳注・先行研究を踏まえて、自身の見解をまとめていく。 事後学修 2.0hr：教員の指導を受けて、さらに卒業研究制作を進めていく。
5回	**授業テーマ：関連資料の整理（１）キーワードの摘出** 授業内容：教員と話し合いながら、収集した参考資料を読み解いていく。 事前学修 2.0hr：研究テーマにかんする原典・訳注・先行研究などを整理する。 事後学修 2.0hr：教員の指導のもと、さらなる資料の整理を目指す。	20回	**授業テーマ：卒業研究制作（４）読み原稿の本論前半部の作成** 授業内容：教員の指導のもと、卒業研究発表の読み原稿を三分の一程度書き上げる。 事前学修 2.0hr：研究テーマにかんする原典・訳注・先行研究を踏まえて、自身の見解をまとめていく。 事後学修 2.0hr：教員の指導を受けて、さらに卒業研究制作を進めていく。
6回	**授業テーマ：関連資料の整理（２）キーセンテンスの摘出** 授業内容：教員と話し合いながら、収集した参考資料をさらに読み解いていく。 事前学修 2.0hr：研究テーマにかんする原典・訳注・先行研究などを整理する。 事後学修 2.0hr：教員の指導のもと、さらなる資料の整理を目指す。	21回	**授業テーマ：卒業研究制作（５）読み原稿の本論後半部の作成** 授業内容：教員の指導のもと、卒業研究発表の読み原稿を三分の二程度書き上げる。 事前学修 2.0hr：研究テーマにかんする原典・訳注・先行研究を踏まえて、自身の見解をまとめていく。 事後学修 2.0hr：教員の指導を受けて、さらに卒業研究制作を進めていく。
7回	**授業テーマ：関連資料の整理（３）要約する** 授業内容：教員と話し合いながら、収集した参考資料をもういちど読み解いていく。 事前学修 2.0hr：研究テーマにかんする原典・訳注・先行研究などを整理する。 事後学修 2.0hr：教員の指導のもと、体系的な資料の整理を目指す。	22回	**授業テーマ：研究経過報告（２）読み原稿の結論の作成** 授業内容：教員の指導のもと、卒業研究発表の読み原稿を一通り書き上げる。 事前学修 2.0hr：研究経過報告の準備をする。 事後学修 2.0hr：教員の指導を受けて、さらに卒業研究制作を進めていく。
8回	**授業テーマ：関連資料の分析（１）疑問点をあげる** 授業内容：教員と話し合いながら、収集した参考資料への疑問点を書き出していく。 事前学修 2.0hr：研究テーマにかんする原典・訳注・先行研究などを分析する。 事後学修 2.0hr：教員の指導のもと、誤読の修正や疑問点の解消につとめる。	23回	**授業テーマ：卒業研究制作（６）読み原稿の推敲** 授業内容：教員の指導のもと、卒業研究発表の読み原稿を推敲し、完成させる。 事前学修 2.0hr：研究テーマにかんする原典・訳注・先行研究を踏まえて、自身の見解をまとめていく。 事後学修 2.0hr：教員の指導を受けて、さらに卒業研究制作を進めていく。
9回	**授業テーマ：関連資料の分析（２）さらに疑問点をあげる** 授業内容：教員と話し合いながら、収集した参考資料への疑問点をさらに書き出していく。 事前学修 2.0hr：研究テーマにかんする原典・訳注・先行研究などを分析する。 事後学修 2.0hr：教員の指導のもと、誤読の修正や疑問点の解消につとめる。	24回	**授業テーマ：卒業研究制作（７）パワーポイントの序論部分の作成** 授業内容：教員の指導のもと、卒業研究発表のパワーポイントを三分の一程度作成する。 事前学修 2.0hr：研究テーマにかんする原典・訳注・先行研究を踏まえて、自身の見解をまとめていく。 事後学修 2.0hr：教員の指導を受けて、さらに卒業研究制作を進めていく。

10回	**授業テーマ：関連資料の分析(３)疑問点を明らかにする** 授業内容：教員と話し合いながら、収集した参考資料への疑問点をまとめていく。 事前学修 2.0hr：研究テーマにかんする原典・訳注・先行研究などを分析する。 事後学修 2.0hr：教員の指導のもと、誤読の修正や疑問点の解消につとめる。	25回	**授業テーマ：卒業研究制作(８)パワーポイントの本論部分の作成** 授業内容：教員の指導のもと、卒業研究発表のパワーポイントを三分の二程度作成する。 事前学修 2.0hr：研究テーマにかんする原典・訳注・先行研究を踏まえて、自身の見解をまとめていく。 事後学修 2.0hr：教員の指導を受けて、さらに卒業研究制作を進めていく。
11回	**授業テーマ：関連資料の分析(４)さらに疑問点を明らかにする** 授業内容：教員と話し合いながら、収集した別の参考資料への疑問点を書き出していく。 事前学修 2.0hr：研究テーマにかんする原典・訳注・先行研究などを分析する。 事後学修 2.0hr：教員の指導のもと、誤読の修正や疑問点の解消につとめる。	26回	**授業テーマ：卒業研究制作(９)パワーポイントの結論部分の作成** 授業内容：教員の指導のもと、卒業研究発表のパワーポイントを一通り作成する。 事前学修 2.0hr：研究テーマにかんする原典・訳注・先行研究を踏まえて、自身の見解をまとめていく。 事後学修 2.0hr：教員の指導を受けて、さらに卒業研究制作を進めていく。
12回	**授業テーマ：関連資料の分析(５)あらたな疑問点をあげる** 授業内容：教員と話し合いながら、収集した別の参考資料への疑問点をさらに書き出していく。 事前学修 2.0hr：研究テーマにかんする原典・訳注・先行研究などを分析する。 事後学修 2.0hr：教員の指導のもと、誤読の修正や疑問点の解消につとめる。	27回	**授業テーマ：卒業研究制作(１０)パワーポイントの確認** 授業内容：教員の指導のもと、卒業研究発表のパワーポイントの不備を確認し、完成させる。 事前学修 2.0hr：研究テーマにかんする原典・訳注・先行研究を踏まえて、自身の見解をまとめていく。 事後学修 2.0hr：教員の指導を受けて、さらに卒業研究制作を進めていく。
13回	**授業テーマ：関連資料の分析(６)疑問点をまとめる** 授業内容：教員と話し合いながら、収集した別の参考資料への疑問点をまとめていく。 事前学修 2.0hr：研究テーマにかんする原典・訳注・先行研究などを分析する。 事後学修 2.0hr：教員の指導のもと、誤読の修正や疑問点の解消につとめる。	28回	**授業テーマ：研究予備発表(１)不備を明らかにする** 授業内容：完成した読み原稿、パワーポイントを使って、研究予備発表を行う。 事前学修 2.0hr：発表資料を作成し、研究成果を分かりやすく伝える準備をする。 事後学修 2.0hr：教員の指導を受けて、修正作業を行う。
14回	**授業テーマ：関連資料の分析(７)中間発表の準備** 授業内容：教員と話し合いながら、収集した参考資料をもとに、中間発表の準備をする。 事前学修 2.0hr：研究テーマにかんする原典・訳注・先行研究などを分析する。 事後学修 2.0hr：教員の指導のもと、誤読の修正や疑問点の解消につとめる。	29回	**授業テーマ：研究予備発表(２)不備をあらためる** 授業内容：完成した読み原稿、パワーポイントを使って、もう一度、研究予備発表を行う。 事前学修 2.0hr：発表資料を作成し、研究成果を分かりやすく伝える準備をする。 事後学修 2.0hr：教員の指導を受けて、修正作業を行う。
15回	**授業テーマ：中間発表** 授業内容：現時点での進捗状況を、パワーポイントなどを使って発表する。 事前学修 2.0hr：研究テーマの目的・意義・方法などをまとめておく。 事後学修 2.0hr：教員の指導のもと、研究テーマについて全体的に整理する。	30回	**授業テーマ：研究発表** 授業内容：完成した読み原稿、パワーポイントを使って、研究発表を行う。 事前学修 2.0hr：最終的な研究成果を発表する。 事後学修 2.0hr：完成した発表資料等を提出する。

［専門科目］

グローバル・スタディーズ関連科目

ビジネス経済学

開講学科等：日英中 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

中澤　栄一（なかざわ　えいいち）

▌授業の概要

20 年ほど前の『ビジネス・エコノミクス』の教科書には、「経済学的な見方は、ビジネスの現場で見られる現象を深く掘り下げていく上で大変重要である」(伊藤元重、2004)というような記述がありました。しかし現在は、グーグル、アマゾン、マイクロソフトなどの先端企業に所属する経済学者のチームが最先端の経済学に基づいて新たなビジネスの市場を創り出すような時代を迎えています。このようなビジネス環境の中で、最新の経済学の知識は、ビジネスパーソンにとって単に「役に立つ」ものから、「必要不可欠な」ものに変容しています。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語学科 GSM G ③、英米語学科 GSM 3、中国語学科 GSM 5）

一般目標：この授業では、TED (Technology Entertainment Design) の動画を始めとする世界標準レベルの生きた教材を用いて、現代のビジネスパーソンに必要不可欠になっている最先端の経済学の思考方法とその成果を理解することを目標とします。

個別目標：経済やビジネスの諸問題に関して、日本語や外国語で自分の意見を発言できるようになることを個別目標とします。

▌履修条件

経済やビジネスについての事前の知識は必要としませんが、授業の一部を英語で行う予定ですので、TOEIC 等のビジネス関連用語を復習しておくと、授業の理解の役に立つと思います。

パンデミックの再発等の理由により、対面授業が実施できなくなった場合には、改めてコースニュースを通じて連絡します。

▌評価基準・方法

原則として、授業中の発言内容や課題の提出に基づく、平常授業点により成績をつけます。たとえ全部の授業に出席しても、まったく授業中のディスカッションに貢献しないような受講者は不合格になる可能性が高いので、留意してください。なお、急病や就職活動によってやむを得ず欠席する場合は、理由を証明する文書を提出した場合のみ、学期中最大 2 回まで公欠扱いとします。

フィードバックは、対面授業中に行います。

▌フィードバック方法

授業中にフィードバックを行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （反転「流」授業、プレゼンテーション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

インターネットの動画やパワーポイントによる説明を用いるので、必要に応じて講義内容の理解を助けるハンドアウトを配布する予定です。

以下のサイトから関心のあるものを事前にいくつか見ておくことを勧めます。

http://www.ted.com/talks?language=ja&topics%5B%5D=economics&sort=popular

▌参考書

(1) 『2014～2015 年版　新しい経済の教科書　「経済学」をビジネスで使える武器にする』、日経 BP 社、2014 年 5 月 28 日.

(2) 一橋大学イノベーション研究センター編「市場と組織をデザインするビジネス・エコノミクスの最前線」『一橋ビジネスレビュー』61 巻 1 号(2013 年 6 月 20 日)、pp. 4-88.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：INTRODUCTION** 授業内容：授業の取り進め方や、成績評価の方法などについて、詳細に説明します。 事前学修 2.0hr：この授業で何を身につけたいのか、各自の考えを明らかにしておくこと。 事後学修 2.0hr：授業中に指示する
2 回	**授業テーマ：”Communication and Business”** 授業内容：Body language affects how others see us, but it may also change how we see ourselves. Social psychologist Amy Cuddy argues that ”power posing” – standing in a posture of confidence, even when we don’t feel confident – can boost feelings of confidence, and might have an impact on our chances for success. 事前学修 2.0hr：前回の授業で指示したインターネットのサイトを事前に見て、自分の意見をまとめておくこと。 事後学修 2.0hr：授業中に指示する
3 回	**授業テーマ：”Leadership and Business”** 授業内容：Simon Sinek has a simple but powerful model for inspirational leadership – starting with a golden circle and the question: ”Why?” His examples include Apple, Martin Luther King Jr. and the Wright brothers ... 事前学修 2.0hr：前回の授業で指示したインターネットのサイトを事前に見て、自分の意見をまとめておくこと。 事後学修 2.0hr：授業中に指示する
4 回	**授業テーマ：”Economics versus Business Administration”** 授業内容：Sheena Iyengar studies how we make choices – and how we feel about the choices we make. At TEDGlobal, she talks about both trivial choices (Coke v. Pepsi) and profound ones, and shares her groundbreaking research that has uncovered some surprising attitudes about our decisions. 事前学修 2.0hr：前回の授業で指示したインターネットのサイトを事前に見て、自分の意見をまとめておくこと。 事後学修 2.0hr：授業中に指示する
5 回	**授業テーマ：”Future of Job Market”** 授業内容：Economist Andrew McAfee suggests that, yes, probably, droids will take our jobs – or at least the kinds of jobs we know now. In this far-seeing talk, he thinks through what future jobs might look like, and how to educate coming generations to hold them. 事前学修 2.0hr：前回の授業で指示したインターネットのサイトを事前に見て、自分の意見をまとめておくこと。 事後学修 2.0hr：授業中に指示する
6 回	**授業テーマ：”Various values and costs”** 授業内容：Advertising adds value to a product by changing our perception, rather than the product itself. Rory Sutherland makes the daring assertion that a change in perceived value can be just as satisfying as what we consider “real” value – and his conclusion has interesting consequences for how we look at life. 事前学修 2.0hr：前回の授業で指示したインターネットのサイトを事前に見て、自分の意見をまとめておくこと。 事後学修 2.0hr：授業中に指示する

7回	**授業テーマ：”What is a market?”** 授業内容：With streams and rivers drying up because of over-usage, Rob Harmon talks about a clever market mechanism to bring back the water. Farmers and beer companies find their fates intertwined in the century-old tale of Prickly Pear Creek. 事前学修 2.0hr：前回の授業で指示したインターネットのサイトを事前に見て、自分の意見をまとめておくこと。 事後学修 2.0hr：プレゼンテーションの準備
8回	**授業テーマ：REVIEW PRESENTATION 1** 授業内容：Choose your favorite video material. Watch it again at least twice. Why do you like the presentation? What did you learn from it? 事前学修 2.0hr：プレゼンテーションの準備（つづき） 事後学修 2.0hr：授業中に指示する
9回	**授業テーマ：”Competition versus monopoly”** 授業内容：Technology is advancing in leaps and bounds – and so is economic inequality, says writer Chrystia Freeland. In an impassioned talk, she charts the rise of a new class of plutocrats (those who are extremely powerful because they are extremely wealthy), and suggests that globalization and new technology are actually fueling, rather than closing, the global income gap. Freeland lays out three problems with plutocracy … and one glimmer of hope. 事前学修 2.0hr：前回の授業で指示したインターネットのサイトを事前に見て、自分の意見をまとめておくこと。 事後学修 2.0hr：授業中に指示する
10回	**授業テーマ：”The role of default in our behavior”** 授業内容：Behavioral economist Dan Ariely, the author of Predictably Irrational, uses classic visual illusions and his own counterintuitive (and sometimes shocking) research findings to show how we’re not as rational as we think when we make decisions. 事前学修 2.0hr：前回の授業で指示したインターネットのサイトを事前に見て、自分の意見をまとめておくこと。 事後学修 2.0hr：授業中に指示する
11回	**授業テーマ：”How can we measure affluence?”** 授業内容：When the dotcom bubble burst, hotelier Chip Conley went in search of a business model based on happiness. In an old friendship with an employee and in the wisdom of a Buddhist king, he learned that success comes from what you count. 事前学修 2.0hr：前回の授業で指示したインターネットのサイトを事前に見て、自分の意見をまとめておくこと。 事後学修 2.0hr：授業中に指示する
12回	**授業テーマ：”How can we improve our welfare?”** 授業内容：You’ve never seen data presented like this. With the drama and urgency of a sportscaster, statistics guru Hans Rosling debunks myths about the so-called ”developing world.” 事前学修 2.0hr：前回の授業で指示したインターネットのサイトを事前に見て、自分の意見をまとめておくこと。 事後学修 2.0hr：授業中に指示する
13回	**授業テーマ：”Discounting future”** 授業内容：Every day, we make decisions that have good or bad consequences for our future selves. (Can I skip flossing just this one time?) Daniel Goldstein makes tools that help us imagine ourselves over time, so that we make smart choices for Future Us. 事前学修 2.0hr：前回の授業で指示したインターネットのサイトを事前に見て、自分の意見をまとめておくこと。 事後学修 2.0hr：授業中に指示する
14回	**授業テーマ：”Understanding Chinese Economy”** 授業内容：Economic growth is the defining challenge of our time; without it, political and social instability rises, human progress stagnates and societies grow dimmer. But, says economist Dambisa Moyo, dogmatic capitalism isn’t creating the growth we need. As she shows, in both state-sponsored and market-driven models, capitalism is failing to solve social ills, fostering corruption and creating income inequality. Moyo surveys the current economic landscape and suggests that we have to start thinking about capitalism as a spectrum so we can blend the best of different models together to foster growth. 事前学修 2.0hr：前回の授業で指示したインターネットのサイトを事前に見て、自分の意見をまとめておくこと。 事後学修 2.0hr：プレゼンテーションの準備
15回	**授業テーマ：REVIEW PRESENTATION 2** 授業内容：Choose your favorite video material. Watch it again at least twice. Why do you like the presentation? What did you learn from it? 事前学修 2.0hr：プレゼンテーションの準備（つづき） 事後学修 2.0hr：半年間の学修内容を振り返る

経営学総論

開講学科等：日英中 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

岡村　龍輝（おかむら　りょうき）

▌授業の概要

社会は、その大部分が組織の活動によって支えられています。病気・けがの治療や治安維持、火災・災害救助、道路整備、社会保障、衣類・食品・住宅・その他商品の提供など、私たちの生活に欠かせない製品やサービスは、大勢の人たちが協力しながら提供しているのです。これらの組織をうまく運営することが、よりよい社会を実現するためには欠かせません。経営学はこの問題、つまり、組織（とくに会社組織）をうまく運営する方法について考える学問です。この授業では、組織の目的（ガバナンス）・戦略・組織・管理という４つの分野から、経営学を体系的に学びます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語学科 GSM G ③、英米語学科 GSM 3、中国語学科 GSM 5）

一般目標：企業のガバナンス・戦略・組織・管理について、その具体的な内容と理論の概略を理解しているとともに、各分野の基本的なツールを用いることができる。

個別目標：１．企業のガバナンス・戦略・組織・管理の内容を、具体的な例を使って説明することができる。
２．経営学におけるガバナンス論・戦略論・組織論・管理論の概要を説明することができる。
３．企業のガバナンス・戦略・組織・管理の基本的なツールを用いることができる。

▌履修条件

新聞、ネット、アルバイト経験、実務家へのインタビューなどを通じて、組織に関する情報を日頃から集めるようにして下さい。

▌評価基準・方法

１．小テスト（30 点）：小テストを複数回課します。合計点を 30 点満点に換算して成績に反映させます。
２．中間テスト（10 点×２回＝ 20 点）：中間テストを２回課します。
３．期末試験（50 点）
※原則として５分の４以上の出席および期末試験の受験が評価の前提条件となります。

▌フィードバック方法

授業内での課題と小テストの実施およびフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行うことがあります。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （授業の回によりディスカッションやグループワークを行います。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

資料を配付して進めます。

▌参考書

一般社団法人日本経営協会編（2023）『マネジメント検定試験公式テキスト（Ⅲ級）経営学の基本』中央経済グループパブリッシング。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：授業の学修内容と授業計画、および評価基準について説明します。 事前学修 2.0hr：manaba でシラバス、講義資料・動画、評価方法・基準を確認してください。 事後学修 2.0hr：小テストを行ってください。
2回	**授業テーマ：企業の分類と会社の分類** 授業内容：公企業・私企業などの企業の分類と株式会社・合同会社などの会社の分類について学びます。 事前学修 2.0hr：manaba で講義資料・動画を確認してください。 事後学修 2.0hr：小テストを行なってください。
3回	**授業テーマ：株式会社の特徴と仕組み** 授業内容：資本の証券化などの株式会社の特徴や株主総会などの株式会社の仕組みについて学びます。 事前学修 2.0hr：manaba で講義資料・動画を確認してください。 事後学修 2.0hr：小テストを行ってください。
4回	**授業テーマ：持株比率と企業の支配形態** 授業内容：持株比率の概念と株主総会における議決権について学びます。 事前学修 2.0hr：manaba で講義資料・動画を確認してください。 事後学修 2.0hr：小テストを行ってください。
5回	**授業テーマ：経営戦略の概念と戦略策定プロセス** 授業内容：経営戦略の概念や種類、および経営戦略を策定するプロセスについて学びます。 事前学修 2.0hr：manaba で講義資料・動画を確認してください。 事後学修 2.0hr：小テストを行ってください。
6回	**授業テーマ：事業戦略（競争戦略）** 授業内容：競争構造分析や価値連鎖、および基本戦略について学びます。 事前学修 2.0hr：manaba で講義資料・動画を確認してください。 事後学修 2.0hr：小テストを行ってください。
7回	**授業テーマ：全社戦略** 授業内容：ドメインや製品－市場マトリックス、m成長ベクトルについて学びます。 事前学修 2.0hr：manaba で講義資料・動画を確認してください。 事後学修 2.0hr：小テストを行ってください。また、第１回中間テストに取り組んでください。
8回	**授業テーマ：経営組織の概念と組織デザイン** 授業内容：組織の記述方法と組織を編成するための基本原則について学びます。 事前学修 2.0hr：manaba で講義資料・動画を確認してください。 事後学修 2.0hr：小テストを行ってください。
9回	**授業テーマ：組織の類型** 授業内容：組織の基本的な類型である機能別組織と事業部制組織を中心に学びます。 事前学修 2.0hr：manaba で講義資料・動画を確認してください。 事後学修 2.0hr：小テストを行ってください。
10回	**授業テーマ：リーダーシップ** 授業内容：リーダーシップについて２要因理論や条件適合理論を中心に学びます。 事前学修 2.0hr：manaba で講義資料・動画を確認してください。 事後学修 2.0hr：小テストを行ってください。

11回	**授業テーマ：モチベーション** 授業内容：モチベーションの内容理論と過程理論について学びます。 事前学修 2.0hr：manaba で講義資料・動画を確認してください。 事後学修 2.0hr：小テストを行ってください。
12回	**授業テーマ：財務管理** 授業内容：損益計算書と貸借対照表を中心に、企業の財務諸表について学びます。 事前学修 2.0hr：manaba で講義資料・動画を確認してください。 事後学修 2.0hr：小テストを行ってください。
13回	**授業テーマ：マーケティング** 授業内容：マーケティングのＳＴＰと４Ｐｓについて学びます。 事前学修 2.0hr：manaba で講義資料・動画を確認してください。 事後学修 2.0hr：小テストを行ってください。
14回	**授業テーマ：生産管理** 授業内容：生産管理のＱＣＤＦについて学びます。 事前学修 2.0hr：manaba で講義資料・動画を確認してください。 事後学修 2.0hr：小テストを行ってください。また、第２回中間テストに取り組んでください。
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：企業の形態と戦略、組織、管理のポイントをおさらいします。 事前学修 1.0hr：manaba で講義資料を確認してください。また、これまでの授業内容を、おさらいしてきて下さい。 事後学修 3.0hr：授業全般に関するレポート課題を行ってください。また、試験の出題形式・評価基準を確認し、これまでの各種テストを復習して試験に備えてください。

会計学総論

開講学科等：日英中 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

蟹澤　啓輔（かにさわ　けいすけ）

▌授業の概要

この講義は、これから会計を初めて学ぼうと思っている人を対象とした、初心者向け授業です。会計は、社会人にとっては大変重要な科目と認められていますが、学生の人達にとってはよくわからないあるいは難しい科目というイメージを抱きがちです。本講義では、会計とはどのようなものか、会計と会計学との関係、さらにどのような領域と関わっているのか等について、その前提となる簿記一巡の流れの理解とともに、わかりやすく丁寧に説明していきます。半期の授業を通じ、会計領域全体の内容を理解できるようになります。興味がわけば、さらにそれぞれの領域の学習をより深化させることで独立した会計職業人となることも可能です。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語学科 GSM G ③、英米語学科 GSM 3、中国語学科 GSM 5）

一般目標：会計の網羅する領域全体を理解できるようになります。とりわけ、簿記、会計、会計学の関連性と必要性を学習し、社会で認められている会計の重要性を認識できるようになることが目標です。

個別目標：財務諸表を見て概要が理解でき、財務分析などに利用できるようになることが目標です。

▌履修条件

配布したレジュメをファイルに閉じ毎回持参すること。

▌評価基準・方法

平常点（授業への参加態度等）30%、期末試験 70%で評価します。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム（manaba）を通して行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

オリジナルのレジュメ形式（プリント）で授業を行います。

▌参考書

岩谷誠治著『この 1 冊ですべてわかる会計の基本』日本実業出版社
新井清光、川村義則著『現代会計学　第 2 版』中央経済社
菊谷正人、依田俊伸著『財務会計論の基礎と応用』中央経済社
斉藤静樹著『企業会計入門』有斐閣、桜井久勝著『会計学入門（第 4 版）』日経文庫

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、会計とは、財務諸表とは** 授業内容：シラバスの概要を説明するとともに、授業科目である会計の定義の解説を通して授業の全体像について説明します。 事前学修 1.5hr：参考書等の事前通読 事後学修 2.5hr：授業の復習
2回	**授業テーマ：会計と制度** 授業内容：会計と法律に基づく制度の関係について説明します。また、授業の後半で会計に関する資格についても紹介します。 事前学修 1.5hr：参考書の事前通読 事後学修 2.5hr：授業の復習
3回	**授業テーマ：会計の理論的構造と会計基準** 授業内容：会計理論は 3 階層から構成される理論的構造を持っていますので、構造の全体像と各階層について解説します。また、日本の会計基準の概要と国際的な会計基準についても解説します。 事前学修 1.5hr：参考書の事前通読 事後学修 2.5hr：授業の復習
4回	**授業テーマ：基本財務諸表と簿記一巡の手続き** 授業内容：基本財務諸表と呼ばれる貸借対照表及び損益計算書の概要と、簿記一巡の手続きと呼ばれる基本財務諸表を作成するための実務的なプロセスについて解説します。 事前学修 1.5hr：参考書の事前通読 事後学修 2.5hr：授業の復習
5回	**授業テーマ：複式簿記の概要** 授業内容：企業が取引をどのように仕訳として記録するのかに関し、複式簿記の概要について説明するとともに、営業活動や投資活動、財務活動など主要な取引別に仕訳の作成方法について解説します。 事前学修 1.5hr：参考書の事前通読 事後学修 2.5hr：授業の復習
6回	**授業テーマ：貸借対照表の概論** 授業内容：貸借対照表の全体像と、資産、負債、純資産という貸借対照表を構成する要素について説明するとともに、貸借対照表に関する主要な個別論点や表示について解説します。 事前学修 1.5hr：テキストの事前通読 事後学修 2.5hr：授業の復習
7回	**授業テーマ：棚卸資産について** 授業内容：棚卸資産の定義や産業別にどのような棚卸資産が計上されているのかについて説明するとともに、棚卸資産に関する具体的な会計手続きについて解説します。 事前学修 1.5hr：参考書の事前通読 事後学修 2.5hr：授業の復習
8回	**授業テーマ：有形無形固定資産について** 授業内容：有形無形固定資産の定義や産業別にどのような有形無形固定資産が計上されているのかについて説明するとともに、有形無形固定資産に関する具体的な会計手続きについて解説します。 事前学修 1.5hr：参考書の事前通読 事後学修 2.5hr：授業の復習

9回	**授業テーマ：金融商品会計について** 授業内容：金融商品の定義、及び、金融資産、金融負債という金融商品を構成する要素について説明するとともに、金融商品に関する具体的な会計手続きについて解説します。 事前学修 1.5hr：参考書の事前通読 事後学修 2.5hr：授業の復習
10回	**授業テーマ：負債会計と純資産会計** 授業内容：負債及び純資産の定義や構成要素について説明するとともに、負債や純資産に関する具体的な会計手続きについて解説します。 事前学修 1.5hr：参考書の事前通読 事後学修 2.5hr：授業の復習
11回	**授業テーマ：損益計算書の概論** 授業内容：損益計算書の全体像と、収益、費用、利益という損益計算書を構成する要素について説明するとともに、損益計算書に関する主要な個別論点や表示について解説します。 事前学修 1.5hr：参考書の事前通読 事後学修 2.5hr：授業の復習
12回	**授業テーマ：財務分析の基礎** 授業内容：財務分析の基本的な手法と、基本的な財務分析の指標について解説するとともに、簡単な財務分析の演習を行います。 事前学修 1.5hr：参考書の事前通読 事後学修 2.5hr：授業復習
13回	**授業テーマ：キャッシュ・フロー計算書の概論** 授業内容：キャッシュ・フロー計算書の全体像と、キャッシュ・フローの定義、キャッシュ・フロー計算書に関する主要な表示内容について説明します。 事前学修 1.5hr：参考書の事前通読 事後学修 2.5hr：授業復習
14回	**授業テーマ：連結財務諸表の概論** 授業内容：連結財務諸表の全体像と、基本的な連結財務諸表の作成方法について説明します。 事前学修 1.5hr：参考書の事前通読 事後学修 2.5hr：授業の復習
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：これまでの授業のまとめを行います。 事前学修 2.0hr：授業の復習 事後学修 3.0hr：講義の総復習（レジュメや参考書等の再読）、試験の準備

社会統計学

開講学科等：日英中 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

高田　誠（たかだ　まこと）

▌授業の概要

ビジネスにもっとも有用なスキルとして、いま統計学が大きな注目を浴びています。本学のカリキュラム・ポリシーにあるように、新たな社会への創造に向けて、合理的な精神で臨まなければなりませんが、統計学はその手段として最も重要なスキルの一つといえます。本講義では、統計学の基礎をわかりやすく解説し、さまざまなデータを整理・分析できるよう、できるだけ具体的な問題を想定しながら一歩一歩着実に理解を進めていきます。数学が苦手な学生でも、全く問題ありません。ビジネスに必要な統計学の基礎を身につけることが狙いです。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語学科 GSM G ③、英米語学科 GSM 3、中国語学科 GSM 5）

一般目標：データをまとめ、整理し、さまざまな統計手法を用いてデータの特徴を理解することができるようになることが目標です。また各種分析手法を用いて、データに潜む因果関係を統計的に明らかにすることができることを目指します。

個別目標：統計データを整理するためのデータの加工、図表の作成ができるようになること。統計データの性質を理解し、必要な分析手法について考え、それを実行する手続きが理解できることを目標とします。

▌履修条件

特にありません。

▌評価基準・方法

課題や試験で 80 %、授業への積極性等 20 %、に基づき総合的に評価します。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

使用しません。

▌参考書

講義中に適宜指示します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：統計学とはどのような学問か** 授業内容：統計学が社会で最も必要とされていることについて。 事前学修 2.0hr：身の回りの統計について考えてみる。 事後学修 2.0hr：記述統計学と推測統計学についてまとめる。
2回	**授業テーマ：データの種類（さまざまな尺度について）** 授業内容：データを分類する際の尺度について。 事前学修 2.0hr：前回の授業の復習をしておく。 事後学修 2.0hr：データの種類についてまとめる。
3回	**授業テーマ：データの整理・加工** 授業内容：度数分布表やヒストグラム作成について。 事前学修 2.0hr：データの種類に関する前回講義を復習する。 事後学修 2.0hr：データの並べ替えなどの方法をまとめる。
4回	**授業テーマ：データとグラフ** 授業内容：種々のデータおよびグラフについて。 事前学修 2.0hr：データの並べ替えの復習をしておく。 事後学修 2.0hr：データに基づいてさまざまなグラフの作成方法をまとめる。
5回	**授業テーマ：グラフ作成とその応用** 授業内容：グラフ作成の際の注意点など。 事前学修 2.0hr：前回の講義の復習をしておく。 事後学修 2.0hr：複雑なデータのグラフ化についてまとめる。
6回	**授業テーマ：データの特性値（算術平均、幾何平均、メディアン、モードなど）** 授業内容：数量的な記述統計量について。 事前学修 2.0hr：グラフ作成手法の復習。 事後学修 2.0hr：平均の求め方についてまとめておく。
7回	**授業テーマ：変化率を求める（成長率、移動平均）** 授業内容：変化率の求め方。 事前学修 2.0hr：平均の意味について復習しておく。 事後学修 2.0hr：変化率の求め方をまとめる。
8回	**授業テーマ：ちらばりの尺度（分散、標準偏差）** 授業内容：バラツキの尺度を解説。 事前学修 2.0hr：前回の講義の内容を復習しておく。 事後学修 2.0hr：ちらばりの求め方をまとめておく。
9回	**授業テーマ：標準偏差とデータの標準化** 授業内容：比較可能なデータとしての標準化を学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の講義内容を復習する。 事後学修 2.0hr：標準偏差の求め方をまとめる。
10回	**授業テーマ：偏差値と変動係数** 授業内容：偏差値と変動係数の求め方と応用例。 事前学修 2.0hr：標準偏差について前回講義を復習する。 事後学修 2.0hr：偏差値と変動係数についてまとめる。
11回	**授業テーマ：相関係数** 授業内容：２次元データの関連性について。 事前学修 2.0hr：データの標準化について前回講義を復習する。 事後学修 2.0hr：相関係数の考え方を整理する。

12回	**授業テーマ：記述統計学と推測統計学(母集団と標本分布)** 授業内容：記述統計学と推測統計学の考え方の相違。 事前学修 2.0hr：相関係数について復習しておく。 事後学修 2.0hr：推測統計学についてまとめる。
13回	**授業テーマ：確率変数と確率分布** 授業内容：確率変数の平均、分散と基本的な確率分布(二項分布、ポアソン分布、正規分布など)、中心極限定理について。 事前学修 2.0hr：母集団と標本分布の関係を復習しておく。 事後学修 2.0hr：確率分布について復習する。
14回	**授業テーマ：回帰分析の考え方(最小二乗法)** 授業内容：因果関係の分析の考え方について。 事前学修 2.0hr：確率分布の意味を復習しておく。 事後学修 2.0hr：回帰分析を復習する。
15回	**授業テーマ：重回帰分析** 授業内容：複数の説明変数による因果関係の分析手法について。 事前学修 2.0hr：最小二乗法についてもう一度復習する。 事後学修 2.0hr：重回帰分析についてまとめる。

マーケティング論

開講学科等：日英中 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

飯田　信一 (いいだ　のぶかず)

▌授業の概要

本講義ではマーケティングの基礎を学びます。マーケティングについて皆さんに興味を持って頂くことが目的となります。講義の前半は、毎回具体的な企業の事例に基づき、分かり易くマーケティングの基本的な概念や理論について講義を行います。講義の後半では、国際マーケティングも事例を中心に学びます。なお、授業の中で取り上げる企業事例については、皆さんの関心度合いや指向により適宜変更する可能性があります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語学科 GSM G ③、英米語学科 GSM 3、中国語学科 GSM 5）

一般目標：1）マーケティングを日常生活場面で、身近な問題として考える姿勢を身につける。
2）マーケティングの基礎的な用語や基本的なフレームワークの意味を理解し、活用できるようになる。
3）グループディスカッションを通じて、自分の考えを分かり易く発信し、他者と共有できるようになる。

個別目標：1）興味、関心がある企業や業界について深堀して考え、ご自身なりに分析や解釈ができるようになること。
2）マーケティングの考え方やフレームワークをご自身の就職活動や今後のキャリアの上で活用することができるようになること。

▌履修条件

マーケティングを社会に出てから必要になると考え、興味を持って授業に参加する学生や将来国際的な仕事に就きたいと考えている学生の受講を歓迎します。普段の授業で行う小テストの評価比重が高いので、継続して出席する意欲が必要です。授業は 1 回毎に完結している訳ではなく、毎回関連性があり繋がって行きます。

▌評価基準・方法

1）授業の理解度と貢献度(小テスト、課題、ディスカッションへの参加等)　60%
2）期末試験　40%
留意：原則として、授業の 5 分の 4 以上の出席および期末試験受験が評価の前提条件となります。

▌フィードバック方法

小テスト、課題は個別のフィードバックはしませんが、翌週の講義で総合的な講評をします。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （適宜グループディスカッション、グループワークを行います。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

必要に応じて資料を提示します。

▌参考書

適宜、授業の中で提示します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス、マーケティングの定義** 授業内容：本講義の概要、到達目標の説明、評価方法、マーケティングを学ぶ意義について講義します。 事前学修 2.0hr：マーケティングとはどのような学問か、ご自分で調べてみてください。 事後学修 2.0hr：講義で学習した内容、キーワードを確認すること。
2 回	**授業テーマ：マーケティングとは何か　概論** 授業内容：マーケティングの定義をスターバックスとドトールコーヒーの事例(予定)を比較しながら考える。「誰に」「何を」「どのように」という切り口で整理して、比較してみる。両者がどのような顧客価値を提供しているか、相違点を浮き彫りにし、何故そのような相違が生まれるのか、考えを深める。 事前学修 2.0hr：スターバックスやドトール等、コーヒーチェーンが顧客にどのような価値を提供しているのか考えてみる。 事後学修 2.0hr：講義で学習した内容、キーワードを確認すること。
3 回	**授業テーマ：マーケティング活動：　計画を立てる** 授業内容：市場とは何か、市場をどう決めるか。STP（セグメンテーション、ターゲティング、ポジショニング)の考え方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：市場とは何かについて、自分なりに考えてみる。 事後学修 2.0hr：講義で学習した内容、キーワードを確認すること。
4 回	**授業テーマ：マーケティング・ミックス(1)プロダクト(商品戦略)** 授業内容：マーケティング・ミックス 4P のうち、プロダクト(商品戦略)の考え方を学ぶ。 事例：日清食品(予定) 事前学修 2.0hr：講義の予習 事後学修 2.0hr：講義で学習した内容、キーワードを確認すること。
5 回	**授業テーマ：マーケティング・ミックス(2)プライス(価格戦略)** 授業内容：マーケティング・ミックス 4P のうち、プライス(価格戦略)の考え方を学ぶ。 企業はどのようにして価格を決めているのか、同じ業界内でも何故価格戦略に相違があるのか、理解を深める。 事前学修 2.0hr：講義の予習 事後学修 2.0hr：講義で学習した内容、キーワードを確認すること。
6 回	**授業テーマ：マーケティング・ミックス(3)プレイス(流通戦略)** 授業内容：マーケティング・ミックス 4P のうち、プレイス(流通戦略)の考え方を学ぶ。 事例：コンビニエンスストア(セブンイレブン等)の流通戦略について。 従来型の小売業(百貨店、スーパーマーケット等)が衰退し、コンビニエンスストアが主要な流通手段に成長した経緯、 出店戦略、商品の仕入れ、物流センターから店舗間の物流の仕組みについて理解を深める。 事前学修 2.0hr：講義の予習 事後学修 2.0hr：講義で学習した内容、キーワードを確認すること。
7 回	**授業テーマ：マーケティング・ミックス(4)プロモーション(コミュニケーション戦略)** 授業内容：マーケティング・ミックス 4P のうち、プロモーション(＝コミュニケーション戦略)の考え方を学ぶ。 各企業の広告マネジメントを消費者対応、競争対応、ブランド対応の観点から評価、理解を深める。 事前学修 2.0hr：講義の予習 事後学修 2.0hr：講義で学習した内容、キーワードを確認すること。

8回	**授業テーマ：顧客価値、顧客満足とは何か** 授業内容：顧客価値、顧客満足について学ぶ。 具体的な企業の顧客マネジメント事例を通じて、顧客価値、顧客満足についての理解を深める。 企業事例：「無印良品」の製品開発手法(予定) 事前学修 2.0hr：講義の予習 事後学修 2.0hr：講義で学習した内容、キーワードを確認すること。
9回	**授業テーマ：ブランド戦略** 授業内容：ブランドとは何か、定義を理解し、ブランドの機能や効果を考える。ブランドの優位性はどのように作り出すのかを理解する。 事例：「無印良品」(予定) ブランドの優位性、連想イメージ、企業によるコミュニケーション活動について理解を深める。 事前学修 2.0hr：講義の予習 事後学修 2.0hr：講義で学習した内容、キーワードを確認すること。
10回	**授業テーマ：4P (マーケティングミックス)まとめ** 授業内容：これまで学んだ 4P の枠組みを活用し、企業事例にあてはめ分析を行う。 事例企業：コメダ珈琲(予定) 事前学修 2.0hr：講義の予習 事後学修 2.0hr：講義で学習した内容、キーワードを確認すること。
11回	**授業テーマ：グローバルマーケティング①** 授業内容：外資系企業が日本市場で競争する事例：　クリスピークリームドーナツ・ジャパン或いはネスレ・ジャパン(予定) 事前学修 2.0hr：講義の予習 事後学修 2.0hr：講義で学習した内容、キーワードを確認すること。
12回	**授業テーマ：グローバルマーケティング②** 授業内容：国境を越えるマーケティングの勘所、成功要因について、CAGE 分析など含め、具体的企業事例を通じて学ぶ。 企業事例：　ローソンのアジア市場戦略(予定) 事前学修 2.0hr：講義の予習 事後学修 2.0hr：講義で学習した内容、キーワードを確認すること。
13回	**授業テーマ：マーケティング総合①** 授業内容：企業事例：　ドン・キホーテの経営戦略①(予定) 事前学修 2.0hr：講義の予習 事後学修 2.0hr：講義で学習した内容、キーワードを確認すること。
14回	**授業テーマ：マーケティング総合②** 授業内容：企業事例：　ドン・キホーテの経営戦略②(予定) 企業の「強み」の作り方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：講義の予習 事後学修 2.0hr：講義で学習した内容、キーワードを確認すること。
15回	**授業テーマ：マーケティング論の総括** 授業内容：これまでの講義内容の振り返り、まとめを行う。また、取り扱えなかったテーマについて補足する。 事前学修 2.0hr：これまでの講義の内容、キーワードを復習しておくこと。 事後学修 2.0hr：本講義の内容を振り返り、重要な概念について復習すること。

日本研究

開講学科等：日英中 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

西川　寛之 (にしかわ　ひろゆき)

▌授業の概要

日本は世界の中で大きい国なのか小さい国なのか，日本の言語や文化は特異なものなのかどうかなどについて考える。
ステレオタイプではなく，日本という場所に住む人がどのような活動をしているのかを考え，理解することを目指す。
日本における伝統，行動，人間関係，社会をキーワードに，国内外の日本研究の歴史と現状を知り，その成果をもとに，多角的な視点から日本を理解する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語学科 GSM G ③、英米語学科 2、中国語学科 GSM 5）

一般目標：日本を様々な角度からみつめることで，日本について再発見できること。
　　日本がどのようなところであるかを客観的な視点から説明できること。
個別目標：ステレオタイプ的な見方と客観的な見方を身につける
　　相対的な評価を基にした物事の判断をする力を身につける
　　自身が持つ文化を相対化し、さらに客観的な見方ができるようになる

▌履修条件

この授業ではグループ活動を行なう回がある。
自身の身の周りの観察とその記録をレポートとして提出する活動が含まれることを理解して履修すること。

▌評価基準・方法

レポート 10 %，小テスト 20%、期末試験 70 %

▌フィードバック方法

レポートの返却時に採点及びコメントをもってフィードバックを行なう。
授業内の各学習項目に関する質疑の時間を設け、授業内でのフィードバックを行なう。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

事前に熟読すべき資料がメールで送付されるなど，その都度指示する。

▌参考書

参考図書リストを授業開始後に指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：日本という国の単位に関して概観する 国境や領土に関する定義について学ぶ 事前学修 2.0hr：新聞閲覧 事後学修 2.0hr：配付資料の検討
2 回	**授業テーマ：世界の中の１つの国として、日本は大きいのか小さいのか。** 授業内容：日本のことを「小さな島国」と表現することもあるが、「小さな」という際の基準がどのようなものかを考える 世界に他の国と相対的に比較して分析する 事前学修 2.0hr：事前配布資料の検討 事後学修 2.0hr：次回用配布資料の検討
3 回	**授業テーマ：江戸時代までの日本人と日本社会** 授業内容：食生活や生活リズムなどについて、明治時代の変化を紹介しながら、それ以前の日本の文化や習慣について理解する 現在の日本社会の様態との比較を行う 事前学修 2.0hr：事前配布資料の検討 事後学修 2.0hr：次回用配布資料の検討
4 回	**授業テーマ：戦前戦後の日本人と日本社会　現代社会との比較** 授業内容：明治以降から高度経済成長までの日本社会を概観する 現代社会との比較を行う 事前学修 2.0hr：事前配布資料の検討 事後学修 2.0hr：次回用配布資料の検討
5 回	**授業テーマ：思想，信仰　年中行事とその歴史** 授業内容：明治以前と以降、第二次世界大戦以降の社会の変化、行動経済成長期から現代までの変化を取り上げる 人口動態、核家族化などがどのように影響してきたのかを年中凝視の在り方を中心に考察する 事前学修 3.0hr：事前配布資料の検討レポート作成 事後学修 1.0hr：次回用配布資料の検討
6 回	**授業テーマ：労働時間と働き方 （祝日・休日・祭日）** 授業内容：過去には「働きバチ」「終身雇用」などの言葉が日本における働き方、雇用形態の紹介に用いられてきた 現代の実態について、国民の休日などの在り方をキーワードとして概観する 事前学修 2.0hr：事前配布資料の検討 事後学修 2.0hr：次回用配布資料の検討
7 回	**授業テーマ：言語　あいさつ言葉などについて** 授業内容：日本社会の中で用いられるあいさつことばも時代とともに変化している 方言(社会方言含む)に注目しながら、日本のあいさつことばについて考察する 事前学修 1.0hr：事前配布資料の検討 事後学修 3.0hr：次回用配布資料の検討
8 回	**授業テーマ：日本語と世界の言語** 授業内容：日本語を「日本で話されている言葉」ではなく、１つの言語として取り上げるために、世界の諸言語と共通点、相違点を比較する そのうえで、日本語と日本の関係に立ち返り考察を行う 事前学修 2.0hr：事前配布資料の検討 事後学修 2.0hr：次回用配布資料の検討

9回	**授業テーマ：翻訳に見る日本語とその他の言語の表現** 授業内容：産業革命以降、動力の発明により人の移動が大きくなり、人の動きに変化が生じてきている。 その変化に対応して他の言語の接触場面が増え、日本語が他の言語に翻訳されること、他の言語を日本語に翻訳することも増えてきた。具体的な翻訳語を例に、直訳との違いから日本の文化的視点や価値観について考察する 事前学修 2.0hr：事前配布資料の検討 事後学修 2.0hr：次回用配布資料の検討
10回	**授業テーマ：民族，ルーツ** 授業内容：「民族」という言葉について理解した上で、諸言語との比較や語族などの視点から、改めて、民族という言葉の定義、国や政治と切り離した人類学的なルーツについて学ぶ 事前学修 3.0hr：事前配布資料の検討，レポート作成 事後学修 1.0hr：次回用配布資料の検討
11回	**授業テーマ：年中行事と宗教観** 授業内容：現在の日本における年中行事の在り方を概観する。 クリスマスやバレンタインデー、ハロウィンの背景にある宗教観について知る 事前学修 1.0hr：事前配布資料の検討 事後学修 3.0hr：次回用配布資料の検討
12回	**授業テーマ：家族に関する考え方** 授業内容：親族名称の使用範囲について、他の言語・社会との比較を行う　「姉」「兄」という言葉の意味範疇が国・地域により異なることを紹介する ちびまる子ちゃんやさざえさんなど、漫画の中において、家族内の人間関係の移り変わりがあることを紹介する 事前学修 2.0hr：事前配布資料の検討 事後学修 2.0hr：次回用配布資料の検討
13回	**授業テーマ：恋愛・結婚** 授業内容：結婚年齢の変化、離婚率の変化と社会の変容(女性の社会進出・収入)、 お見合い結婚や恋愛結婚、出会いの場の変化などを取り上げ、社会全体と個人の行動の結びつきについて考察する 事前学修 2.0hr：事前配布資料の検討 事後学修 2.0hr：次回用配布資料の検討
14回	**授業テーマ：冠婚葬祭について** 授業内容：社会が変化する一方で、冠婚葬祭をはじめとしたしきたりは形を変化させながら残っている 日本国内の地域ごとの違い、分布と地形について紹介し、文化の伝搬についても考察する 事前学修 2.0hr：事前配布資料の検討 事後学修 2.0hr：次回用配布資料の閲覧
15回	**授業テーマ：日本の言語・文化・思想・歴史・社会などのまとめ** 授業内容：日本の言語や文化、思想が、社会の変化の中でどのように変化し現在に至っているのかを考える 地理的な視点から文化の伝搬を理解し、日本という１つの社会においても文化が多様であることを再確認する 事前学修 3.0hr：レポート作成 事後学修 3.0hr：レポートの提出

北アメリカ研究

開講学科等：日英中 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

小谷　哲男（こたに　てつお）

▌授業の概要

移民の国であるアメリカの歴史は比較的短いが、広い領域の中に多人種多民族社会を形成する中で、自由と民主主義を掲げる一方、奴隷制度や人種差別という矛盾も抱えてきた。また、アメリカは外交や通商を通じて、世界にも大きな影響力を持つ。この授業では、前半でアメリカの歴史を 36 年周期で分析し、後半では政治、外交、経済、文化、人種問題という分野別に現代のアメリカを理解していきたい。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語学科 GSM G ③、英米語学科 2、中国語学科 GSM 5）

一般目標：アメリカの歴史の流れを理解する中で、アメリカの社会、文化、政治、経済など総合的な知識を身につける。

個別目標：1.　アメリカの政治と社会、経済の仕組みを説明できる
2.　アメリカの外交・通商政策を説明できる
3.　英語の原文資料でアメリカについて理解を深めることができる。

▌履修条件

アメリカの歴史、社会、文化、政治、経済に関心を持つこと。英文資料を原文で積極的に読めること。

▌評価基準・方法

（1）平常点 60 %（2）テスト 40 %

なお、原則として 3 回の欠席または課題未提出で評価対象外とする。

▌フィードバック方法

授業内および学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

毎回レジュメを事前に送付するので、印刷またはダウンロードしてくること。

▌参考書

適宜指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：オリエンテーション　アメリカ研究入門** 授業内容：アメリカ研究の意義について学ぶ。 事前学修 2.0hr：レジュメを読んで、全体の流れをつかんでおく。 事後学修 2.0hr：アメリカ研究の意義について復習をする。
2 回	**授業テーマ：アメリカ独立革命** 授業内容：アメリカ独立宣言を読む。 事前学修 2.0hr：資料を読み、授業に備える。 事後学修 2.0hr：レジュメを元に復習をする。
3 回	**授業テーマ：合衆国憲法** 授業内容：合衆国憲法を読む。 事前学修 2.0hr：資料を読み、小テストに備える。 事後学修 2.0hr：レジュメを元に復習をする。
4 回	**授業テーマ：南北戦争** 授業内容：ゲティスバーグ演説を読む。 事前学修 2.0hr：資料を読み、授業に備える。 事後学修 2.0hr：レジュメを元に復習をする。
5 回	**授業テーマ：アメリカと 2 つの世界大戦** 授業内容：ウィルソン大統領の 14 か条を読む。 事前学修 2.0hr：資料を読み、小テストに備える。 事後学修 2.0hr：レジュメを元に復習をする。
6 回	**授業テーマ：冷戦とアメリカ** 授業内容：ケネディ大統領およびレーガン大統領の就任演説を読む。 事前学修 2.0hr：資料を読み、授業に備える。 事後学修 2.0hr：レジュメを元に復習をする。
7 回	**授業テーマ：冷戦後のアメリカ** 授業内容：オバマ大統領の就任演説を読む。 事前学修 2.0hr：資料を読み、小テストに備える。 事後学修 2.0hr：レジュメを元に復習をする。
8 回	**授業テーマ：中間試験** 授業内容：中間試験を行う。 事前学修 2.0hr：中間試験に備える。 事後学修 2.0hr：試験で間違ったところを復習をする。
9 回	**授業テーマ：アメリカ政治** 授業内容：アメリカ政治の系譜を学ぶ。 事前学修 2.0hr：資料を読み、小テストに備える。 事後学修 2.0hr：レジュメを元に復習をする。
10 回	**授業テーマ：アメリカ外交** 授業内容：アメリカ外交の 4 つの系譜を学ぶ。 事前学修 2.0hr：資料を読み、授業に備える。 事後学修 2.0hr：レジュメを元に復習をする。
11 回	**授業テーマ：アメリカ経済** 授業内容：アメリカ経済の基礎を学ぶ。 事前学修 2.0hr：資料を読み、小テストに備える。 事後学修 2.0hr：レジュメを元に復習をする。

12回	**授業テーマ：アメリカ文化** 授業内容：アメリカ文化の基礎を学ぶ。 事前学修 2.0hr：資料を読み、授業に備える。 事後学修 2.0hr：レジュメを元に復習をする。
13回	**授業テーマ：移民と人種問題** 授業内容：移民社会の現状を学ぶ。 事前学修 2.0hr：資料を読み、小テストに備える。 事後学修 2.0hr：レジュメを元に復習をする。
14回	**授業テーマ：21 世紀のアメリカ** 授業内容：現代のアメリカが抱える問題を学ぶ。 事前学修 2.0hr：資料を読み、授業に備える。 事後学修 2.0hr：レジュメを元に復習をする。
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：後半の振り返りを行う。 事前学修 2.0hr：レジュメを読み返し、授業に備える。 事後学修 2.0hr：期末テストに備える。

南アメリカ研究

開講学科等：日英中 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

工藤　由美（くどう　ゆみ）

▌授業の概要

この授業では、文化人類学における知見を中心に包括的にラテンアメリカの社会・文化・歴史を学び、ラテンアメリカ諸国の状況と人々の生活の多様なあり方を理解していきます。履修生には、ラテンアメリカを理解するための基礎知識を学び、グローバルな視点でラテンアメリカ諸国の状況を考える能力と、そこで暮らす人々のミクロな視点から考える能力を養っていくことが期待されます。また、ラテンアメリカで生じる出来事から自ら課題を発見して、ラテンアメリカ社会を立体的に考察する視座の形成が求められます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語学科 GSM G ③、英米語学科 2、中国語学科 GSM 5）

一般目標：ラテンアメリカ社会に関する基礎知識を習得し、ラテンアメリカの社会事象を多角的に理解する。
個別目標：①ラテンアメリカ社会を理解するための基本用語を説明できる。
②グローバルな視点でラテンアメリカの状況を考え説明することができる。
③ラテンアメリカで暮らす人々の立場や視点から、ラテンアメリカ社会を考え、表現することができる。

▌履修条件

・海外(特にラテンアメリカ)に関する関心と問題意識をもち、積極的に学ぶ学生を歓迎します。
・第 1 回は本科目全体のガイダンスをしますので、必ず出席してください。
(・履修者の関心に応じて、内容を一部変更する場合があります。)

▌評価基準・方法

・毎回の授業後に提出するリフレクションノーツ 90%、授業参加の態度及び発言等 10 %の結果及び到達目標の達成度に基づき総合的に評価します。
・リフレクションノーツのフィードバックは、次回の授業冒頭で行います。
・出欠管理は、毎回のリフレクションノーツの提出をもって出席とみなします。
・なお、大学の規定通り 5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件としますので十分気をつけてください。

▌フィードバック方法

フィードバックは、毎回の授業冒頭で行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

特に指定しません。必要な資料は講義内で配布します。

▌参考書

後藤政子・山崎圭一編(2017)『ラテンアメリカはどこへ行く』、ミネルヴァ書房。
清水透・横山和加子・大久保教宏編(2010)『ラテンアメリカ出会いのかたち』、慶應義塾大学出版会。
その他、講義内で適宜紹介します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：イントロダクション：文化人類学的視点とラテンアメリカ社会** 授業内容：文化人類学の基本的な柱(認識論・理論・方法論)を踏まえた上で、ラテンアメリカ社会を学ぶ意義を理解していく。 事前学修 2.0hr：講義概要を読んで、本講義に期待する内容を考えておく。 事後学修 2.0hr：ラテンアメリカに関連する興味のあることを調べておく。
2 回	**授業テーマ：ラテンアメリカを旅する①：先住民文明史** 授業内容：ラテンアメリカの世界遺産を出発点として、それらの地域の先住民史を概観する。 事前学修 2.0hr：自国の文化遺産について把握しておく。 事後学修 2.0hr：ラテンアメリカの先住民文明を自国の歴史と比較してみる。
3 回	**授業テーマ：ラテンアメリカを旅する②：征服から現代まで** 授業内容：中南米世界に非対称(不公平)な形で移植されたスペイン(ヨーロッパ・キリスト教)の文化について学ぶ。 事前学修 2.0hr：ヨーロッパ人到来の現地社会への影響について調べておく。 事後学修 2.0hr：リフレクション・ノーツを記入する。
4 回	**授業テーマ：ラテンアメリカの政治・経済：概要** 授業内容：ラテンアメリカの政治・経済を歴史的に概観することにより、その共通性と個別性を理解していく。 事前学修 2.0hr：中南米諸国と米国の関係について調べておく。 事後学修 2.0hr：わからなかった用語や事柄について調べる。
5 回	**授業テーマ：ラテンアメリカの世界遺産** 授業内容：世界遺産について概観し、ラテンアメリカの世界遺産を文化遺産と自然遺産の視点から、その特徴と現代の問題について理解していく。 事前学修 2.0hr：興味のあるラテンアメリカの世界遺産について調べておく。 事後学修 2.0hr：わからなかった用語や事柄について調べる。
6 回	**授業テーマ：ラテンアメリカの暮らし：住居とファッション** 授業内容：私たちは生理的欲求を満たすことを根幹に、環境に応じてどのような知恵(多様な技術や芸術等)を生み出し、それにどのような意味を与えているかを、中南米の住居と衣服からその文化的意味を理解していく。 事前学修 2.0hr：民族衣装と文化の関係について調べておく。 事後学修 2.0hr：リフレクション・ノーツを記入する。
7 回	**授業テーマ：ラテンアメリカの社会と文化①：食** 授業内容：ラテンアメリカの食文化に関して、食材や調理法などから食の文化的混淆について学んでいく。 事前学修 2.0hr：南米原産の重要作物について調べておく。 事後学修 2.0hr：食文化について自国と共通する内容について考える。
8 回	**授業テーマ：ラテンアメリカの社会と文化②：家族とジェンダー** 授業内容：ラテンアメリカにおけるジェンダーの特徴を把握し、家族の多様性を理解していく。 事前学修 2.0hr：自国における家族に関する文化の特徴について考える。 事後学修 2.0hr：リフレクション・ノーツを記入する。
9 回	**授業テーマ：ラテンアメリカの社会と文化③：祭りと音楽** 授業内容：ラテンアメリカ音楽の多様性をその成り立ちから把握することで、音楽における文化の混淆の地域性(地域差)を理解していく。 事前学修 2.0hr：ラテンアメリカ音楽にはどのようなジャンルがあるか調べておく。 事後学修 2.0hr：文化の混淆について考察する。

10回	**授業テーマ：ラテンアメリカにおける宗教** 授業内容：ラテンアメリカにおけるキリスト教カトリック、またそれ以外の宗教の特徴がどのような背景によって普及していったのかを理解していく。 事前学修 2.0hr：キリスト教カトリックの特徴について調べておく。 事後学修 2.0hr：リフレクション・ノーツを記入する。
11回	**授業テーマ：ラテンアメリカにおける先住民①：アイデンティティ** 授業内容：「先住民」を社会・政治的構築物として理解するにあたり、先住民アイデンティティの社会・文化的背景（法的規定も含む）を学習する。 事前学修 2.0hr：自国における先住民に関して調べる。 事後学修 2.0hr：自国の先住民を「先住民の定義」を通して検討する。
12回	**授業テーマ：ラテンアメリカにおける先住民②：先住民運動と医療** 授業内容：チリにおける先住民文化復興運動の一つとして、民族医療を取り上げ、医療を通して行われる先住民の活動が、チリ社会にどのような影響があるかを考えていく。 事前学修 2.0hr：先住民と差別との関係を調べておく。 事後学修 2.0hr：リフレクション・ノーツを記入する。
13回	**授業テーマ：在米ラティーノの理解のあり方①：対メキシコ** 授業内容：米国における「ラティーノ」、中南米出身移民（主にメキシコ）およびその子孫の実態とその背景を概観し、米国を目指す移民の歴史的経緯と今日の状況から、移民の政治的・社会的・文化的側面を考える。 事前学修 2.0hr：米国で暮らす中南米の人々のことを調べてみる。 事後学修 2.0hr：リフレクション・ノーツを記入する。
14回	**授業テーマ：在米ラティーノの理解のあり方②：メキシコ以外の中米を中心に** 授業内容：米国における「ラティーノ」、中南米出身移民（メキシコ以外の中米）およびその子孫の実態とその背景を概観し、米国を目指す移民の歴史的経緯と今日の状況から、移民の政治的・社会的・文化的側面を考える。 事前学修 2.0hr：中南米諸国の一人当たりの GNP/GDP について調べておく。 事後学修 2.0hr：これまでの講義でわからなかったところをまとめておく。
15回	**授業テーマ：ラテンアメリカにおける日本：外交関係と「日系」** 授業内容：日本の明治以降の移民政策を概観し、第二次大戦後に海外移住が再開された戦後の南米移住者たちは、どのような理由で移住し、どのような状況を生きてきたのか理解していく。 事前学修 2.0hr：「日系」について調べておく。 事後学修 2.0hr：ラテンアメリカにおけるマイノリティについて考える。

ヨーロッパ研究

開講学科等：日英中 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

小谷　哲男（こたに　てつお）

▌授業の概要

古代から戦争を繰り返しながらも統合へと向かってきたヨーロッパの歴史を紐解き、その政治・経済・文化について理解を深めるとともに、現代のヨーロッパが直面する課題について理解する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語学科 GSM G ③、英米語学科 2、中国語学科 GSM 5）

一般目標：ヨーロッパ統合の歴史の流れを理解する中で、その社会、文化、政治、経済などに関する総合的な知識を身につける。
個別目標：（1）ヨーロッパ統合の過程と課題を説明できる。
（2）ヨーロッパ主要国の特徴について説明できる。
（3）ウクライナ情勢の影響について説明できる。

▌履修条件

ヨーロッパおよび国際関係について関心を持ち、すべての課題を提出できること。

▌評価基準・方法

・期末試験　60 %
・平常点　40 %
なお、原則 3 回の欠席または課題未提出で評価対象外とする。

▌フィードバック方法

授業内および manaba を通じて行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

毎回レジュメを配布する。事前にダウンロードか印刷しておくこと。

▌参考書

適宜指定する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：授業の進め方と評価方法を説明する。 事前学修 2.0hr：シラバスを確認し、授業の内容と計画を確認しておく。 事後学修 2.0hr：科目の進め方などを確認する。
2 回	**授業テーマ：古代ヨーロッパ** 授業内容：古代ギリシャ・ローマの歴史を概観する。 事前学修 2.0hr：指摘した文献を読む。 事後学修 2.0hr：ノートで復習をする。
3 回	**授業テーマ：中世ヨーロッパ** 授業内容：中世キリスト教世界の歴史を概観する。 事前学修 2.0hr：指摘した文献を読む。 事後学修 2.0hr：ノートで復習をする。
4 回	**授業テーマ：近代ヨーロッパ** 授業内容：近代国家の形成と発展の歴史を概観する。 事前学修 2.0hr：指摘した文献を読む。 事後学修 2.0hr：ノートで復習をする。
5 回	**授業テーマ：世界大戦とヨーロッパ** 授業内容：二度の世界大戦がヨーロッパにもたらした影響を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指摘した文献を読む。 事後学修 2.0hr：ノートで復習をする。
6 回	**授業テーマ：東西冷戦とヨーロッパ** 授業内容：東西冷戦がヨーロッパにもたらした影響を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指摘した文献を読む。 事後学修 2.0hr：ノートで復習をする。
7 回	**授業テーマ：ヨーロッパ統合** 授業内容：ヨーロッパ統合に向けた流れを学ぶ。 事前学修 2.0hr：指摘した文献を読む。 事後学修 2.0hr：ノートで復習をする。
8 回	**授業テーマ：EU の誕生** 授業内容：EU の形成過程と課題を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指摘した文献を読む。 事後学修 2.0hr：ノートで復習をする。
9 回	**授業テーマ：中間試験** 授業内容：古代から EU 誕生までをカバーする。 事前学修 2.0hr：これまでの復習。 事後学修 2.0hr：試験の振り返り。
10 回	**授業テーマ：EU の課題** 授業内容：EU 拡大と課題について学ぶ。 事前学修 2.0hr：指摘した文献を読む。 事後学修 2.0hr：ノートで復習をする。
11 回	**授業テーマ：イギリスの EU 離脱** 授業内容：イギリスの EU 離脱の背景と影響を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指摘した文献を読む。 事後学修 2.0hr：ノートで復習をする。

12回	**授業テーマ：ウクライナ情勢 1** 授業内容：ウクライナ戦争の背景を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指摘した文献を読む。 事後学修 2.0hr：ノートで復習をする。
13回	**授業テーマ：ウクライナ情勢 2** 授業内容：ウクライナ戦争の影響と見通しについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：指摘した文献を読む。 事後学修 2.0hr：ノートで復習をする。
14回	**授業テーマ：ヨーロッパの将来** 授業内容：今後のヨーロッパの方向性について考える。 事前学修 2.0hr：指摘した文献を読む。 事後学修 2.0hr：ノートで復習をする。
15回	**授業テーマ：現代ヨーロッパの課題** 授業内容：現代のヨーロッパの課題を振り返る。 事前学修 2.0hr：指定した文献を読む。 事後学修 2.0hr：現代ヨーロッパが抱える課題の振り返り。

オセアニア研究

開講学科等：日英中 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

大石　隆介（おおいし　りゅうすけ）

▌授業の概要

本科目は学生たちがオセアニア地域の実践的な理解を深めるためのものである。そのためオセアニア地域の国々について歴史的背景、文化、経済、日本との関係など様々な角度から分析を行っていく。オセアニアには幾多の国々が存在するが、本科目ではその中でも特にオーストラリア、ニュージーランドを中心に分析を行っていく。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語学科 GSM G ③、英米語学科 2、中国語学科 GSM 5）

一般目標：オセアニア、その中でも特にオーストラリア、ニュージーランドとはどのような国なのか。それぞれの歴史、文化、経済、日本との関係等について学ぶ。

個別目標：オセアニア特にオーストラリア、ニュージーランドについて学び、海外で活躍できる基礎力をつける。

▌履修条件

1 年次開講の各種英語科目において単位を修得し、十分な英語能力を有していることが望ましい。

▌評価基準・方法

コースワーク（宿題、クラス内テストなど）40 %、　定期試験 60 %

▌フィードバック方法

コースワーク等のフィードバックは Manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

担当教員が作成したプリントを講義にて配布する。

▌参考書

オーストラリア・ニュージーランドの教育　編著：青木　麻衣子　佐藤　博志　東信堂

「小さな大国」ニュージーランドの教えるもの　編：日本ニュージーランド学会　東北公益文化大学ニュージーランド研究所　論創社

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：第 1 回授業はガイダンスとして本科目の概要、履修上の注意点等について説明する。 事前学修 2.0hr：講義概要をよく読み、本科目でどのようなことを学びたいか考えておく。 事後学修 2.0hr：ガイダンスに従い、次の授業の準備をする。
2 回	**授業テーマ：オセアニアとは** 授業内容：第 2 回授業では、オセアニアの基礎知識（地理・気候・歴史・文化・産業）について学修する。 事前学修 2.0hr：オセアニアについて自身で調べられることを調べておく。興味や疑問があれば質問できるように準備をしておく。 事後学修 2.0hr：オセアニアのついての基礎知識（地理・気候・歴史・文化・産業）について理解する。
3 回	**授業テーマ：オーストラリア 1（オーストラリアの自然環境）** 授業内容：第 3 回授業では、オーストラリアの自然環境について学修する。オーストラリアの自然環境、そこに生息する動植物、天然資源等について理解を深める。 事前学修 2.0hr：オーストラリアの地理的な特徴など自分で調べられることを調べておく。広大なオーストラリアの特徴をイメージする。 事後学修 2.0hr：オーストラリアの自然環境・気候、動植物、天然資源等などについて理解する。
4 回	**授業テーマ：オーストラリア 2（オーストラリアの民族文化・産業）** 授業内容：第 4 回授業では、オーストラリアの民族文化・産業について学修する。オーストラリアにおける移民の歴史、先住民、多民族・多文化の共存について理解を深める。 事前学修 2.0hr：オーストラリアの民族構成や産業について調べ、分からないことは質問できるように準備しておく。 事後学修 2.0hr：オーストラリアが多民族国家になるに至った経緯等について理解する。
5 回	**授業テーマ：オーストラリア 3（オーストラリアの教育制度）** 授業内容：第 5 回授業では、オーストラリアの教育制度について学修する。オーストラリアと日本の教育制度の違い、オーストラリアにおける多文化教育等について理解を深める。 事前学修 2.0hr：オーストラリアの教育制度などについて調べ、日本の教育制度との違いを見つけておく。 事後学修 2.0hr：オーストラリアの社会の特性や教育制度について理解する。
6 回	**授業テーマ：オーストラリア 4（オーストラリアの労働市場）** 授業内容：第 6 回授業では、オーストラリアの労働市場について学修する。オーストラリアの労働市場の課題、教育による労働力の質的改善等について理解を深める。 事前学修 2.0hr：オーストラリアの就業状況・労働環境などについて調べ、分からないことは質問できるように準備する。 事後学修 2.0hr：オーストラリアの労働市場の状況と大学教育との関係性などについて理解する。
7 回	**授業テーマ：オーストラリア 5（オーストラリアへの渡航・現地での就労）** 授業内容：第 7 回授業では、オーストラリアへの渡航・現地での就労機会について学修する。主にワーキングホリデー制度について紹介する。 事前学修 2.0hr：オーストラリアに長期滞在するにはどのようなことが必要かなど自分で調べられることを調べておく。 事後学修 2.0hr：ワーキングホリデー制度や現地の様子（物価・交通・治安など）について理解する。
8 回	**授業テーマ：ニュージーランド 1（ニュージーランドの自然環境・民族文化）** 授業内容：第 8 回授業では、ニュージーランドの自然環境・民族文化について学修する。ニュージーランドの自然環境の特徴、イギリスによる植民地支配の歴史、産業等について理解を深める。 事前学修 2.0hr：ニュージーランドの自然環境などについて自分で調べ、ニュージーランドの地理的特性を理解する。 事後学修 2.0hr：ニュージーランドの自然環境、イギリスによる植民地支配、先住民マオリ族の生活などについて理解する。
9 回	**授業テーマ：ニュージーランド 2（ニュージーランドの教育制度）** 授業内容：第 9 回授業では、ニュージーランドの教育制度について学修する。ニュージーランドの社会的特質、文化形成、教育制度について理解を深める。 事前学修 2.0hr：ニュージーランドの教育制度について調べ、日本との違いを見つけておく。 事後学修 2.0hr：ニュージーランドの社会の特性や教育制度について理解する。
10 回	**授業テーマ：ニュージーランド 3（ニュージーランドの政治経済）** 授業内容：第 10 回授業では、ニュージーランドの政治経済について学修する。ニュージーランドの政治システムや特徴的な政策（非核化政策等）について理解を深める。 事前学修 2.0hr：ニュージーランドの経済の状況などについて自分で調べられることを調べておく。 事後学修 2.0hr：ニュージーランドの選挙制度や経済改革や転換について理解する。

11回	**授業テーマ：ニュージーランド4（ニュージーランドにおける産業やスポーツ）** 授業内容：第 11 回授業では、ニュージーランドの産業・スポーツについて学修する。中でもニュージーランドにおけるラグビー、映画産業に焦点をあて理解を深める。 事前学修 2.0hr：ニュージーランドの産業やスポーツについて自分で調べられることを調べておく。 事後学修 2.0hr：ニュージーランドにおける映画産業、スポーツ（ラグビー、クリケット、ヨットなど）について理解を深める。
12回	**授業テーマ：ニュージーランド5（ニュージーランドへの渡航・現地での就労）** 授業内容：第 12 回授業では、ニュージーランドへの渡航・現地での就労機会について学修する。主にワーキングホリデー制度について紹介し、ニュージーランドの 5 つの都市（オークランド、ウェリントン、クライストチャーチ、ダニーデン、ハミルトン）における生活環境等について理解を深める。 事前学修 2.0hr：ニュージーランドに長期滞在するにはどのようなことが必要なのか自分で調べられることを調べておく。 事後学修 2.0hr：ワーキングホリデー制度や現地の様子（物価・交通・治安など）について理解する。
13回	**授業テーマ：その他のオセアニア地域1（ポリネシア）** 授業内容：第 13 回授業では、ポリネシアについて学修する。ポリネシアの気候、人々の生活、産業について理解を深める。 事前学修 2.0hr：ポリネシアの自然環境、文化などについて自分で調べられることを調べておく。 事後学修 2.0hr：ポリネシアの自然環境、ポリネシアの島国（トンガ、フレンチポリネシア、ツバルなど）の現状について知識を深める。
14回	**授業テーマ：その他のオセアニア地域2（メラネシア・ミクロネシア）** 授業内容：第 14 回授業ではメラネシア・ミクロネシアについて学修する。ミクロネシアにおける外国統治の歴史、メラネシアでの人々の生活、それぞれの産業について理解を深める。 事前学修 2.0hr：メラネシアの自然環境、文化、歴史などについて自分で調べられることを調べておく。 事後学修 2.0hr：ミクロネシアの外国統治の歴史やメラネシアの国々の天然資源に支えられた産業などについて理解を深める。
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：第 15 回授業は、まとめとして本科目の内容を総括する。 事前学修 2.0hr：今学期学んだことを復習する。 事後学修 2.0hr：本科目の講義内容を十分に復習し、理解する。

東アジア研究

開講学科等：日英中 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

中川　仁 (なかがわ　ひとし)

▌授業の概要

この授業では、東アジアの地域研究という視点から、地理、歴史、政治、経済、言語(文化、人種、アイデンティティ)を学び、その地域のあらゆる状況を理解するものである。とくに日本の周辺諸国の戦前、戦後の状況をみていくことによって、東アジアの現状が理解できることを学生諸君には知っていただきたい。授業のなかでは、言語文化の視点と歴史的な状況から、その地域社会の特色を理解していく。そしてポストコロニアルと言語問題という視座からもその地域をみていき、その国の状況や特色を紐解いていく。(日本を知り、東アジアのことがらを網羅的に理解していくことを学修の目的とする。)

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語学科 GSM G ③、英米語学科 2、中国語学科〔中国語専攻 2、GSM 5〕）

一般目標：日本の周辺国家の言語文化と言語問題について理解を深め、国際関係の視点から、その地域社会の文化的価値を理解できるようになる。そして異文化理解の視点から、その地域社会の人種や風土をも理解できるようになる。(グローバルな視点での人的接触、文化的接触に柔軟に対応ができるようになる。)

個別目標：日本の近代的な思想やそのあり方も理解し、戦前、戦後の状況が説明できる。また日本の周辺諸国の地域研究をふまえ、地理、歴史、政治、経済、文化という視点を網羅し、そのことがらについて説明ができる。

▌履修条件

東アジアという地域のことに興味があり、その地域の言語文化に理解を示すこと。また履修者には、積極的に授業に参加すること。(教養という視点で知識を培養していくことを心がけていただきたい。)

▌評価基準・方法

毎回の授業時での課題(授業内容の振り返り及び課題への取り組み)を 60 %とし、テストを 40 %とする。出席は 5 分の 4 以上とする。(欠席については事前に連絡をする。)

▌フィードバック方法

課題及び小テスト、定期試験に関わるフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行うこととする。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク及びプレゼンテーション等を行う。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （事前事後における学修、課題作成などにおいてパソコンを使用する。）

▌教科書

とくに教科書は指定しない。毎回プリントを配布する。

▌参考書

参考書などは、その都度紹介する。(そのなかには、簡単な論文及び小論文なども含まれる。)

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：日本の近代化と言語問題** 授業内容：日本の時代区分と近代化における言葉の問題に焦点をあて、歴史的な経緯と言葉の連動性を提示し、近代の国語の成立状況を理解していく。ここでは国語の成り立ち、周辺諸国の言葉の成立をも説明していく。 事前学修 2.0hr：日本の近代化と言語状況について調べる。 事後学修 2.0hr：近代日本の言語状況をノートにまとめる。
2回	**授業テーマ：日本の政治と経済(戦前・戦後を中心に)** 授業内容：日本の時代区分を理解し、政治的な仕組みとして、古代の中央集権国家の成り立ち、貴族社会の成立、武家政権の政治的体制、近代の政治体制を理解し、それぞれの経済状況と戦前戦後の経済の流動性を理解していく。 事前学修 2.0hr：戦前及び戦後の政治変遷と経済の流動化について調べる。 事後学修 2.0hr：戦前及び戦後の政治と経済の要点をノートにまとめる。
3回	**授業テーマ：中国の近代化と言語問題** 授業内容：中国における近代化とその現状を理解し、アヘン戦争以降の中国の状況と諸外国との関係を理解し、同時に 1600 年代の大航海時代の説明も加えていく。とくに中国の近現代の歴史的な経緯を通史的に理解していく。 事前学修 2.0hr：中国の近代と言葉の問題について調べる。 事後学修 2.0hr：中国の近代と言葉の関係の要点をノートにまとめる。
4回	**授業テーマ：中国の政治と経済(清朝末期・民国時代・中華人民共和国の部分から)** 授業内容：清末、民初の政治的な体制と共和制国家の成り立ちを説明し、国共内戦による状況の理解と新中国樹立とその国家の政策をも含め、その実情と現状の流れを概観する。 事前学修 2.0hr：それぞれの時代背景を調べる。 事後学修 2.0hr：それぞれの時代の特色を絞って、ノートにまとめる。
5回	**授業テーマ：中国についてのまとめ** 授業内容：アヘン戦争以降の中国の歴史的な流れを再度説明していき、中国の政治的な体制、国家観、政策的なことがらも含め、中国の実情を知る。そして現状の体制及び世界の中の中国を理解する。 事前学修 2.0hr：今まで勉強したものをまとめ、理解できていない部分を調べておく。 事後学修 2.0hr：中国の時代的背景、歴史的背景、言語問題などについてまとめておく。
6回	**授業テーマ：日本の周辺諸国(韓国)** 授業内容：日本との関係という視点で、韓国から受けた影響とそれに伴う文化的なことがらを概観し、その歴史的な状況をとらえていく。また日本の近代化とそれに伴うことがらをも概観し、理解していく。 事前学修 2.0hr：日本の周辺諸国としての韓国について調べる。 事後学修 2.0hr：韓国の歴史、言語背景についてまとめる。
7回	**授業テーマ：日本の周辺諸国(日本の近代化と政治、経済、戦前、戦後の状況などの把握)** 授業内容：日本の近代化に伴う政治的な抑圧の外観を説明し、戦後の状況を把握していく。そして戦後の政治的な体制と経済の仕組みを理解していく。 事前学修 2.0hr：日本の近代化に伴う、政治、経済、戦前、戦後のことがらについて調べる。 事後学修 2.0hr：日本の近代化に伴う、政治、経済、戦前、戦後のことがらについて、その要点をノートにまとめる。
8回	**授業テーマ：日本の周辺諸国(東西冷戦のことがら)** 授業内容：東西冷戦により分断された国家を理解し、旧ロシア、中国の影響など政治的な思想を概観し、北朝鮮の国家観を理解していく。また現状の存在についても理解を深めていく。 事前学修 2.0hr：東西冷戦について調べる。 事後学修 2.0hr：東西冷戦についての要点を絞って、ノートにまとめる。

9回	**授業テーマ：日本の周辺諸国(台湾)** 授業内容：日本の近代化に巻き込まれた台湾の存在を概観し、その政策、教育、言葉の問題などを把握し、台湾との関係を理解していく。また中国との関係についても、ここでは説明していく。 事前学修 2.0hr：日本の周辺諸国としての台湾について調べる。 事後学修 2.0hr：台湾の歴史、言語背景についてまとめる。
10回	**授業テーマ：日本の周辺諸国(台湾の経済と政治)** 授業内容：台湾の戦前及び戦後の政治的な体制と経済の流動的な流れを概観し、とくに戦後の政治的なことがらと国際社会における存在を理解する。そして現状の台湾を理解していく。 事前学修 2.0hr：台湾の政治と経済(戦前・戦後)について調べる。 事後学修 2.0hr：台湾の政治と経済(戦前・戦後)について、その要点をノートにまとめる。
11回	**授業テーマ：東アジアにおける言語危機と問題点** 授業内容：ここでは中国及び台湾における言語状況とその政策を概観し、言葉がどのような形で流動的な言語として扱われるのか、また流通する言語になりにくいことがらはどのようなことなのかを説明し、理解していく。 事前学修 2.0hr：それぞれの国々の言語問題について調べる。 事後学修 2.0hr：危機言語について、要点を絞ってノートにまとめる。
12回	**授業テーマ：地域社会の言語問題(言語権)** 授業内容：言葉はどのような形で、共通の概念をもった言語になりえるのか、また少数派の言葉はどのように存在権を表していくのか、言葉にも言語権ということがらがあることを説明し、理解していく。 事前学修 2.0hr：言語権について調べる。 事後学修 2.0hr：言語権の運用や言語のあり方を要点を絞って、ノートにまとめる。
13回	**授業テーマ：言語と政治との関連性** 授業内容：言葉と政治はどのような形で関連性をもっているのか、またその関連性についての要因はどのように成立するのかを概観し、その状況を把握し、理解していく。 事前学修 2.0hr：言語と政治との関連性について調べる。 事後学修 2.0hr：言語と政治について要点を絞って、ノートにまとめる。
14回	**授業テーマ：言語と経済との関連性** 授業内容：言葉は経済的な状況により、その言葉を学修していく人々はどのように増えていくのかを理解し、経済との連動性を紐解いていく。とくに大言語と小言語に分けて、その実態を説明し、理解していく。 事前学修 2.0hr：言語と経済との関連性について調べる。 事後学修 2.0hr：言語と経済について要点を絞って、ノートにまとめる。
15回	**授業テーマ：言語接触と異文化理解(国際理解とグローバル社会の位置づけ)** 授業内容：グローバル社会における言葉の存在を勢力拡大の言語と勢力後退の言語に分け、それぞれを概観し、エスペラント語の存在をも説明していく。そして言葉と人との関係などを含め、異文化との接触を考えていく。 事前学修 2.0hr：国際社会という概念を調べる。 事後学修 2.0hr：国際社会で自分はどうあるべきかを、ノートにまとめてみる。

ASEAN 研究

開講学科等：日英中 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

高田　誠（たかだ　まこと）

▌授業の概要

ディプロマ・ポリシーにおける建学の精神としての社会性を養うため、成長著しい東南アジアについての知識を深めていきます。まず ASEAN 全体の世界経済における位置づけを確認し、そのあとで ASEAN を構成する 10 カ国の概要を講義していきます。また、日本・韓国・台湾・中国など東アジアとの関係、インド・パキスタンなど南アジアとの関係など国際関係にもできるだけ視野を広げていく予定です。全体として ASEAN の置かれた現状および課題について理解できるよう、やさしく丁寧に講義を進めていきます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語学科 GSM G ③、英米語学科 2、中国語学科〔中国語専攻 2、GSM 5〕）

一般目標：ASEAN 諸国の具体的状況や世界経済に占める位置、そしてさまざまな国内・国際上の課題などについて一通りの知識を有することを目標とします。

個別目標：ASEAN 各国が持つ特徴や課題、ASEAN 全体が持つ特殊性など、さまざまな視点から ASEAN を考察し、それを自分の言葉で整理し説明できるようにすることが目標です。

▌履修条件

特にありません。

▌評価基準・方法

試験（小テストを含む）等で 80 %、課題への積極性等 20 %によって総合的に評価します。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （調べた内容を教室で発表。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

教科書は指定しません。

▌参考書

講義内で適宜指示します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス（講義の進め方等）** 授業内容：講義の進め方に関する説明。 事前学修 2.0hr：カリキュラムを確認する 事後学修 2.0hr：講義進行スケジュールを復習しておく
2 回	**授業テーマ：ASEAN の成り立ちと世界経済に占める位置** 授業内容：ASEAN の置かれている現状および世界における相対的位置。 事前学修 2.0hr：ASEAN について概要を調べておく 事後学修 2.0hr：ASEAN の世界経済に占める大きさを復習する
3 回	**授業テーマ：タイ経済の発展と社会経済的特徴** 授業内容：ASEAN 原加盟国の現状と課題。 事前学修 2.0hr：前回講義を復習しておく 事後学修 2.0hr：タイ経済の概要をまとめておく
4 回	**授業テーマ：インドネシア経済の発展と社会経済的特徴** 授業内容：ASEAN 原加盟国の現状と課題。 事前学修 2.0hr：前回講義を復習しておく 事後学修 2.0hr：インドネシア経済の概要をまとめておく
5 回	**授業テーマ：シンガポール経済の発展と社会経済的特徴** 授業内容：ASEAN 原加盟国の現状と課題。 事前学修 2.0hr：前回講義を復習しておく 事後学修 2.0hr：シンガポール経済の概要をまとめておく
6 回	**授業テーマ：フィリピン経済の発展と社会経済的特徴** 授業内容：ASEAN 原加盟国の現状と課題。 事前学修 2.0hr：前回講義を復習しておく 事後学修 2.0hr：フィリピン経済の概要をまとめておく
7 回	**授業テーマ：マレーシア経済の発展と社会経済的特徴** 授業内容：ASEAN 原加盟国の現状と課題。 事前学修 2.0hr：前回講義を復習しておく 事後学修 2.0hr：マレーシア経済の概要をまとめておく
8 回	**授業テーマ：ブルネイ経済の発展と社会経済的特徴** 授業内容：ASEAN への参加と社会経済の現状および課題。 事前学修 2.0hr：前回講義を復習しておく 事後学修 2.0hr：ブルネイ経済の概要をまとめておく
9 回	**授業テーマ：ベトナム経済の発展と社会経済的特徴** 授業内容：ASEAN への参加と社会経済の現状および課題。 事前学修 2.0hr：前回講義を復習しておく 事後学修 2.0hr：ベトナム経済の概要をまとめておく
10 回	**授業テーマ：ミャンマー経済の発展と社会経済的特徴** 授業内容：ASEAN への参加と社会経済の現状および課題。 事前学修 2.0hr：前回講義を復習しておく 事後学修 2.0hr：ミャンマー経済の概要をまとめておく
11 回	**授業テーマ：ラオス経済の発展と社会経済的特徴** 授業内容：ASEAN への参加と社会経済の現状および課題。 事前学修 2.0hr：前回講義を復習しておく 事後学修 2.0hr：ラオス経済の概要をまとめておく

12回	**授業テーマ：カンボジア経済の発展と社会経済的特徴** 授業内容：ASEAN への参加と社会経済の現状および課題。 事前学修 2.0hr：前回講義を復習しておく 事後学修 2.0hr：カンボジア経済の概要をまとめておく
13回	**授業テーマ：ASEAN と東アジアとの関係** 授業内容：ASEAN と東アジア諸国(中国、韓国、日本)との関係について。 事前学修 2.0hr：前回講義を復習しておく 事後学修 2.0hr：ASEAN と東アジアの関係についてまとめておく
14回	**授業テーマ：ASEAN と南アジアとの関係** 授業内容：ASEAN と南アジア(インド、バングラデシュ、スリランカ)との関係について。 事前学修 2.0hr：前回講義を復習しておく 事後学修 2.0hr：ASEAN と南アジアとの関係についてまとめておく
15回	**授業テーマ：ASEAN の成果と課題** 授業内容：ASEAN が発展できた理由と今後の課題。 事前学修 2.0hr：前回講義を復習しておく 事後学修 2.0hr：ASEAN の成果と課題についてまとめる

中東研究

開講学科等：日英中 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

都甲　裕文 (とこう　ひろふみ)

▌授業の概要

今日、中東で生じている大きな変動について、わたしたちは、テレビなどのメディアを通して多くの情報を得ることができる。しかし、その情報を正しく理解するためには、中東の地域と文化に関する基本的な知識が必要とされているのも事実である。この授業では、中東がアラブ人やイスラームだけではない多様な地域であることを学んでいく。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語学科 GSM G ③、英米語学科 2、中国語学科 GSM 5）

一般目標：中東の人々の文化的多様性を理解する。
個別目標：中東の民族と国家について説明できる。

▌履修条件

特になし。

▌評価基準・方法

小テスト 40 %と期末試験 60 %の結果に基づき総合的に評価する。

▌フィードバック方法

小テストと期末試験のフィードバックは、次の授業や manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

使用しない。プリントを配付する。

▌参考書

後藤明・山内昌之編『イスラームとは何か』新書館
沼野充義『ユダヤ学のすべて』新書館
菅瀬晶子『新月の夜も十字架は輝く―中東のキリスト教徒』山川出版社

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス：「中東」とはどこか** 授業内容：１)中東に関する最近のニュース、２)中東という概念①ヨーロッパから見た世界・②近東と極東・③中東の誕生、３)中東地域の範囲①アラブ人の地域区分・②湾岸諸国・③この授業での地域区分 事前学修 2.0hr：中東に関する最近のニュースを調べて、事前学修を行う。 事後学修 2.0hr：ガイダンスのプリントを見直し、疑問点を確認する。
2回	**授業テーマ：中東の言葉** 授業内容：１)中東の挨拶…「こんにちは」と「ありがとう」、２)文字と語族①語族とは何か・②非セム系諸語、３)文字と書体①アラビア文字・②ヘブライ文字・③ローマ字 事前学修 2.0hr：プリント１を読んで、事前学修を行う。 事後学修 2.0hr：プリント１を見直し、疑問点を確認する。
3回	**授業テーマ：中東の宗教** 授業内容：１)中東の３つの一神教…神はただ一人だけ①ユダヤ教・②キリスト教・③イスラーム、２)その他の宗教…ヤジーディー教、３)３つの一神教の特色、４)３つの一神教の暦 事前学修 2.0hr：プリント２を読んで、事前学修を行う。 事後学修 2.0hr：プリント２を見直し、疑問点を確認する。
4回	**授業テーマ：北アフリカ(マグリブ)** 授業内容：１)マグリブ(西方)…先住ベルベル人がアラブ人の征服により、イスラーム化(７世紀)現在ほとんどスンナ派ムスリム、２)基礎知識…モロッコ・アルジェリア・チュニジア・リビア、２)アラブの春 事前学修 2.0hr：プリント３を読んで、事前学修を行う。 事後学修 2.0hr：プリント３を見直し、疑問点を確認する。
5回	**授業テーマ：エジプトとスーダン** 授業内容：１)世界最長のナイル川(6825km)…古代から現代までエジプトとスーダンを結びつけた、２)基礎知識…エジプト・スーダン・南スーダン、３)アラブ民族主義と軍事政権、４)スーダン内戦と南スーダンの独立 事前学修 2.0hr：プリント４を読んで、事前学修を行う。 事後学修 2.0hr：プリント４を見直し、疑問点を確認する。
6回	**授業テーマ：メディアと移民** 授業内容：１)メディア…出来事や意見を伝えるための媒体、２)通信社・テレビ局・ネット接続遮断、３)中東からの移民と難民①移民…主に経済的理由から他の国に移住・②難民…戦争や災害などで一時的に他の国に避難 事前学修 2.0hr：プリント５を読んで、事前学修を行う。 事後学修 2.0hr：プリント５を見直し、疑問点を確認する。
7回	**授業テーマ：シリア・レバノン・ヨルダン** 授業内容：１)東地中海沿岸地方、２)基礎知識…シリア・レバノン・ヨルダン、３)サイクス=ピコ条約と IS、４)シリア内戦 事前学修 2.0hr：プリント６を読んで、事前学修を行う。 事後学修 2.0hr：プリント６を見直し、疑問点を確認する。
8回	**授業テーマ：イスラエルとパレスチナ** 授業内容：１)３大宗教の聖地イェルサレム、２)基礎知識…イスラエルとパレスチナ、３)イスラエル建国と中東戦争、４)パレスチナ建国と首都問題 事前学修 2.0hr：プリント７を読んで、事前学修を行う。 事後学修 2.0hr：プリント７を見直し、疑問点を確認する。
9回	**授業テーマ：食べ物と市場** 授業内容：１)食べ物・飲み物・嗜好品、２)イスラームの「ハラール」とユダヤの「コシェル」、３)３つの一神教の断食、４)市場「スーク」・「バザール」、５)各国の通貨、６)浴場「ハンマーム」 事前学修 2.0hr：プリント８を読んで、事前学修を行う。 事後学修 2.0hr：プリント８を見直し、疑問点を確認する。

10回	**授業テーマ：アラビア半島・イラク・クウェート** 授業内容：1)アラビア半島諸国・ペルシア(アラビア)湾岸諸国・湾岸協力会議、2)基礎知識…サウジアラビア・バーレーン・カタール・アラブ首長国連邦・オマーン・イエメン・クウェート・イラク、3)アラビア半島、4)イラクとクウェート 事前学修 2.0hr：プリント9を読んで、事前学修を行う。 事後学修 2.0hr：プリント9を見直し、疑問点を確認する。
11回	**授業テーマ：家族と日常生活** 授業内容：1)名前の付け方①アラブ人ムスリム・②トルコ人・イラン人ムスリム・③ユダヤ人とアラブ人キリスト教徒、2)誕生の儀式、3)服装と身だしなみ…宗教的意味もあるが地方によって異なる民族衣装 事前学修 2.0hr：プリント 10 を読んで、事前学修を行う。 事後学修 2.0hr：プリント 10 を見直し、疑問点を確認する。
12回	**授業テーマ：トルコ・イラン・アフガニスタン** 授業内容：1)非アラブ=イスラームの世界、2)基礎知識…トルコ・イラン・アフガニスタン、3)トルコ革命から現代まで、4)パフラヴィー朝イランから現代まで、5)アフガン人部族社会 事前学修 2.0hr：プリント 11 を読んで、事前学修を行う。 事後学修 2.0hr：プリント 11 を見直し、疑問点を確認する。
13回	**授業テーマ：中東の少数民族** 授業内容：1)民族主義の光と影、2)基礎知識、3)アルメニア人…最初のキリスト教国家、4)ベルベル人…北アフリカにアラブ人進出以前から定住、5)クルド人…トルコ・イラクなどの国境地帯(クルディスタン) 事前学修 2.0hr：プリント 12 を読んで、事前学修を行う。 事後学修 2.0hr：プリント 12 を見直し、疑問点を確認する。
14回	**授業テーマ：教育と女性** 授業内容：1)結婚…法律上の婚姻と宗教上の婚姻①アラブ人ムスリム・②ユダヤ人・③アラブ人キリスト教徒、2)宗教・宗派を越えた結婚は多難、3)教育とヒジャーブ、4)スポーツとヒジャーブ 事前学修 2.0hr：プリント 13 を読んで、事前学修を行う。 事後学修 2.0hr：プリント 13 を見直し、疑問点を確認する。
15回	**授業テーマ：まとめ：中東研究総論** 授業内容：1)中東の言語・宗教・生活様式の多様性、2)中東社会の民主化、3)内戦と難民問題、4)少数民族と難民問題、5)日本と中東との関係 事前学修 3.0hr：復習テストをするのでプリントを見直す。 事後学修 1.0hr：今後の学習について考える。

国際関係概論

開講学科等：日英中 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

小谷　哲男 (こたに　てつお)

▌授業の概要

この授業では、国際関係論の基本的な概念と理論を学ぶとともに、現代世界が直面する課題としてロシアによるウクライナ侵略と台湾情勢、中東情勢について理解を深める。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語学科 GSM G ③、英米語学科 3、中国語学科 GSM 5）

一般目標：国際関係の基礎知識を身につけ、急速に変動する国際未来社会に適応するための知識と英語力を身につける。

個別目標：1. リアリズムとリベラリズムについて理解する。
2. 国際政治の基本的構造を理解する。
3. 現代世界の抱える課題について自らの考えを持つことができる。

▌履修条件

国際関係に関心があること。課題をすべて提出できること。

▌評価基準・方法

平常点 60 %、テスト 20 %、レポート 20 %。
原則として、3 回の欠席または課題未提出で評価対象外とする。

▌フィードバック方法

授業内および manaba を通じて行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （現代の課題についてグループディスカッションを行う。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

なし。

▌参考書

適宜指定する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：授業の概要、評価基準について説明する。 事前学修 2.0hr：シラバスを読む。 事後学修 2.0hr：評価基準について確認する。
2 回	**授業テーマ：国際政治の視点** 授業内容：国際政治の性格について学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書序章を読む。 事後学修 2.0hr：国際政治の主体について理解する。
3 回	**授業テーマ：国際政治の歴史 1** 授業内容：主権国家体系について学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書第 1 部を読む。 事後学修 2.0hr：国民国家について理解する。
4 回	**授業テーマ：国際政治の歴史 2** 授業内容：帝国主義と 2 つの世界大戦について学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書第 1 部を読む。 事後学修 2.0hr：世界史の大まかな流れを理解する。
5 回	**授業テーマ：国際政治の基礎 1** 授業内容：リアリズムとリベラリズムについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書第 2 部を読む。 事後学修 2.0hr：リアリズムとリベラリズムの違いを理解する。
6 回	**授業テーマ：国際政治の基礎 2** 授業内容：国際制度について学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書第 2 部を読む。 事後学修 2.0hr：制度的リベラリズムについて理解する。
7 回	**授業テーマ：国際安全保障 1** 授業内容：戦争の理論について学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書第 3 部を読む。 事後学修 2.0hr：戦争の原因について理解する。
8 回	**授業テーマ：国際安全保障 2** 授業内容：国際秩序の理論について学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書第 3 部を読む。 事後学修 2.0hr：国際秩序を生み出す概念について理解する。
9 回	**授業テーマ：国際政治経済 1** 授業内容：国際的相互依存について学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書第 4 部を読む。 事後学修 2.0hr：経済のグローバル化について理解する。
10 回	**授業テーマ：国際政治経済 2** 授業内容：21 世紀のグローバル経済について学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書第 4 部を読む。 事後学修 2.0hr：21 世紀における自由貿易と貿易管理について理解する。
11 回	**授業テーマ：現代の課題 1** 授業内容：ウクライナ情勢について学ぶ。 事前学修 2.0hr：ウクライナ戦争に関して指定された文献を読む。 事後学修 2.0hr：ウクライナ戦争の背景について理解する。

12回	**授業テーマ：現代の課題 2** 授業内容：ウクライナ情勢について学ぶ。 事前学修 2.0hr：ウクライナ戦争に関して指定された文献を読む。 事後学修 2.0hr：ウクライナ戦争の現状について理解する。
13回	**授業テーマ：現代の課題 3** 授業内容：台湾情勢について学ぶ。 事前学修 2.0hr：台湾情勢について指定された文献を読む。 事後学修 2.0hr：中台関係の歴史を理解する。
14回	**授業テーマ：現代の課題 4** 授業内容：中東情勢について学ぶ。 事前学修 2.0hr：台湾情勢について指定された文献を読む。 事後学修 2.0hr：中東情勢の現状について理解する。
15回	**授業テーマ：ふりかえり** 授業内容：これまでの授業内容を振り返り、テストとレポートに備える。 事前学修 2.0hr：教科書およびレジュメをふりかえり。 事後学修 2.0hr：テストおよびレポートに備える。

ビジネスキャリア特講 a

開講学科等：日英中 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

河原　伸一（かわはら　しんいち）

▌授業の概要

この授業は、ビジネスに関する教科書をビジネスに実装している経営者や企業について学びます。今年度は、A 株式会社の協力を得て、同社について事例研究を行うことを最大の特長としています。各受講者は経営者が選んだビジネス教科書を読み込み、議論を通じて深く考察し、受講生自身の言葉で自分なりの考えを効果的に表現できる力を身に付け、国際未来社会で活躍できるようにします。具体的には、アクティブ・ラーニングを通じて、学生・教員間、学生・社会人間、学生間のコミュニケーションを促します。ビジネス社会における多様な価値観に触れ、受講者自身の考え方と対比し、受講生自身が国際未来社会のために何ができるかを考える契機とすることができます。また、卒業後に役立つ経営知識や英語力も身に付けます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語学科 GSM G ③、英米語学科 2、中国語学科 GSM 5）

一般目標：受講生は、A 株式会社が提示する事例研究課題に関する議論・プレゼンテーション・レポート作成に向け、担当教員および A 株式会社社員の指導の下、効果的に取り組むことができます。この授業の教科書の精読や新聞などの情報をチェックするとともに、A 株式会社の店舗や商品について深く調査します。また、ビジネスの最前線で活躍している社会人との意見交換などを通じて、実務に関する情報と各自のキャリアパス設計に資する情報を効果的に収集することもできます。また、財務会計リテラシーを身に付けることができます。

個別目標：受講生はグループに分かれ、指導教員および A 株式会社によるビジネスの背景説明や文献紹介を参考にして、提示された課題を細分化し、課題に対するソリューションを検討します。各グループのテーマに対するアプローチ及び知見を共有し、新たな気付きを発見できます。また、文章添削を通じて適切な日本語文章を書くことができます。さらに、社会の第一線で活躍している社会人とのコミュニケーションを通じて、理論と社会における実践との接点を理解できます。

▌履修条件

（1）ビジネス教科書を多く精読すること、（2）授業時間外の予習・復習としてグループワーク、店舗・商品の調査を行うことから、授業時間外活動に積極的に取り組むことができることが履修条件となります。
簿記についても学習することから、簿記特有の日本語表現を理解する努力が履修条件となります。
英語文献も読むことから、英語力を向上させる努力が履修条件となります。

▌評価基準・方法

毎回の授業参加度・授業時間外の活動 80 %と財務会計などの知識定着など学修目標達成 20 %の結果に基づき、総合的に評価します。　5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とします。
授業参加度には、当日授業のテーマに関する予習・復習、授業内におけるディスカッションへの参加・貢献を含みます。
日商簿記 3 級レベル以上の知識定着を期待します。

▌フィードバック方法

課題などのフィードバックは、授業内または学修支援システム manaba で行います。
国際未来社会で活躍できる力を身に付けるため、世界で通用するロジックの展開を基準としてフィードバックを行います。ディスカッションの場合、授業内でロジックの流れや表現が適切か・効果的かどうか学生と相互確認しながらフィードバックします。プレゼンやレポートの場合、ロジックの流れや表現について指導します。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループ・ディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （プレゼン・レポート作成時などに Excel、Word ソフトを搭載したパソコンを使用）

▌教科書

滝澤ななみ『スッキリわかる　日商簿記３級』TAC 出版
『合格するため本試験問題集　日商簿記 3 級』TAC 出版
中沢康彦『教科書経営』日経 BP

▌参考書

中沢康彦『教科書経営』のブックリスト 76 冊。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：事例研究課題の提示** 授業内容：A 株式会社の概要紹介。事例研究課題の提示。 事前学修 2.0hr：教科書（星野リゾート代表　インタビューなど）を読む 事後学修 2.0hr：タスクスケジュールの作成
2 回	**授業テーマ：商品売買・現金・事例研究** 授業内容：「商品を買ってきたときの仕訳」「掛けで仕入れたときの仕訳」など商品売買の仕訳を学びます。「他人振出小切手を受け取ったときの仕訳」など現金処理を学びます。また、事例研究課題について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：文献調査 事後学修 2.0hr：タスクスケジュールの作成
3 回	**授業テーマ：当座預金・事例研究** 授業内容：「小切手を振り出したときの仕訳」「決算日において当座預金が貸方残高のときの仕訳」などを学びます。また、事例研究課題について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：関連情報収集 事後学修 2.0hr：プレゼン資料・レポート作成
4 回	**授業テーマ：小口現金・事例研究** 授業内容：「小口現金を前渡ししたときの仕訳」など小口現金の処理を学びます。また、事例研究課題について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：文献調査 事後学修 2.0hr：文献調査
5 回	**授業テーマ：手形・事例研究** 授業内容：「約束手形を振り出したときの仕訳」など手形処理を学びます。また、事例研究について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：発言メモの作成 事後学修 2.0hr：文献調査

6回	**授業テーマ：貸付金・事例研究** 授業内容：「お金を貸し付けたときの仕訳」など貸付金などの処理を学びます。また、事例研究について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：企業情報収集 事後学修 2.0hr：プレゼン資料・レポート作成
7回	**授業テーマ：債権債務・事例研究** 授業内容：「商品以外のものを後払いで買ったときの仕訳」など債権債務の処理を学びます。また、事例研究について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：発言メモの作成 事後学修 2.0hr：文献調査
8回	**授業テーマ：費用・事例研究** 授業内容：「消耗品を買ったときの仕訳」「固定資産税を支払ったときの仕訳」など費用処理を学びます。また、事例研究について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：情報収集 事後学修 2.0hr：情報収集
9回	**授業テーマ：貸倒れ・事例研究** 授業内容：「売掛金が貸し倒れたときの仕訳」など貸倒れと貸倒引当金の処理を学びます。また、事例研究について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：企業情報収集 事後学修 2.0hr：プレゼン資料・レポート作成
10回	**授業テーマ：減価償却・事例研究** 授業内容：「固定資産を売却したときの仕訳」など減価償却の処理を学びます。また、事例研究について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：資料収集 事後学修 2.0hr：資料収集
11回	**授業テーマ：剰余金の処分・事例研究** 授業内容：「剰余金を配当、処分したときの仕訳」など剰余金処理を学びます。また、事例研究について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：文献講読 事後学修 2.0hr：文献講読
12回	**授業テーマ：消費税・事例研究** 授業内容：「消費税を受け取ったときの仕訳」など消費税の処理を学びます。また、事例研究について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：文献講読 事後学修 2.0hr：文献講読
13回	**授業テーマ：前払い・事例研究** 授業内容：「費用を前払いしたときの仕訳」など前払いなどの処理を学びます。また、事例研究について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：文献講読 事後学修 2.0hr：文献講読
14回	**授業テーマ：帳簿への記入・事例研究** 授業内容：「商品有高帳への記入」などさまざまな元帳などへの記入を学びます。また、事例研究について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：文献講読 事後学修 2.0hr：文献講読
15回	**授業テーマ：試算表・事例研究** 授業内容：合計試算表、残高試算表、合計残高試算表の作成手順を学びます。また、事例研究について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：プレゼン資料・レポート作成 事後学修 2.0hr：レポート作成

ビジネスキャリア特講 b

開講学科等：日英中 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

河原　伸一（かわはら　しんいち）

▌授業の概要

この授業は、ビジネスに関する教科書をビジネスに実装している経営者や企業について学びます。今年度は、A 株式会社の協力を得て、同社について事例研究を行うことを最大の特長としています。各受講者は経営者が選んだビジネス教科書を読み込み、議論を通じて深く考察し、受講生自身の言葉で自分なりの考えを効果的に表現できる力を身に付け、国際未来社会で活躍できるようにします。具体的には、アクティブ・ラーニングを通じて、学生・教員間、学生・社会人間、学生間のコミュニケーションを促します。国際政治経済分野における多様な価値観に触れ、受講者自身の考え方と対比し、受講生自身が国際未来社会のために何ができるかを考える契機とすることができます。また、卒業後に役立つ経営知識や英語力を身に付けます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語学科 GSM G ③、英米語学科 2、中国語学科 GSM 5）

一般目標：受講生は、A 株式会社が提示する事例研究課題に関する議論・プレゼンテーション・レポート作成に向け、担当教員および A 株式会社社員の指導の下、効果的に取り組むことができます。この授業の教科書の精読や新聞などの情報をチェックするとともに、A 株式会社の店舗や商品について深く調査します。また、ビジネスの最前線で活躍している社会人との意見交換などを通じて、実務に関する情報と各自のキャリアパス設計に資する情報を効果的に収集することもできます。また、財務会計リテラシーを身に付けることができます。

個別目標：受講生はグループに分かれ、指導教員および A 株式会社によるビジネスの背景説明や文献紹介を参考にして、提示された課題を細分化し、課題に対するソリューションを検討します。各グループのテーマに対するアプローチ及び知見を共有し、新たな気付きを発見できます。また、文章添削を通じて適切な日本語文章を書くことができます。さらに、社会の第一線で活躍している社会人とのコミュニケーションを通じて、理論と社会における実践との接点を理解できます。

▌履修条件

（1）ビジネス教科書を多く精読すること、（2）授業時間外の予習・復習としてグループワーク、店舗・商品の調査を行うことから、授業時間外活動に積極的に取り組むことができることが履修条件となります。
また、簿記についても学習することから、簿記特有の日本語表現を理解する努力が履修条件となります。
さらに、英語文献も読むことから、英語力を向上させる努力が履修条件となります。

▌評価基準・方法

毎回の授業参加度・授業時間外の活動 80 %と財務会計などの知識定着など学修目標達成 20 %の結果に基づき、総合的に評価します。　5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とします。
授業参加度には、当日授業のテーマに関する予習・復習、授業内におけるディスカッションへの参加・貢献を含みます。
日商簿記 3 級レベル以上の知識定着を期待します。

▌フィードバック方法

課題などのフィードバックは、授業内または学修支援システム manaba で行います。
国際未来社会で活躍できる力を身に付けるため、世界で通用するロジックの展開を基準としてフィードバックを行います。ディスカッションの場合、授業内でロジックの流れや表現が適切か・効果的かどうか学生と相互確認しながらフィードバックします。プレゼンやレポートの場合、ロジックの流れや表現について指導します。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループ・ディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （プレゼン・レポート作成時などに Excel、Word ソフトを搭載したパソコンを使用）

▌教科書

滝澤ななみ『スッキリわかる　日商簿記３級』TAC 出版
『合格するため本試験問題集　日商簿記 3 級』TAC 出版
中沢康彦『教科書経営』日経 BP

▌参考書

中沢康彦『教科書経営』のブックリスト 76 冊。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：事例研究課題の提示** 授業内容：A 株式会社の概要紹介。事例研究課題の提示 事前学修 2.0hr：教科書（星野リゾート代表　インタビューなど）を読む 事後学修 2.0hr：タスクスケジュールの作成
2 回	**授業テーマ：財務諸表（決算手続）・事例研究** 授業内容：損益計算書や貸借対照表といった財務諸表の作成手順（決算手順）を学びます。また、事例研究課題について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：文献調査 事後学修 2.0hr：タスクスケジュールの作成
3 回	**授業テーマ：財務諸表（現金過不足）・事例研究** 授業内容：損益計算書や貸借対照表といった財務諸表の作成手順（現金過不足の処理）を学びます。また、事例研究課題について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：関連情報収集 事後学修 2.0hr：プレゼン資料・レポート作成
4 回	**授業テーマ：財務諸表（当座借越）・事例研究** 授業内容：損益計算書や貸借対照表といった財務諸表の作成手順（当座借越の振り替え）を学びます。また、事例研究課題について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：文献調査 事後学修 2.0hr：文献調査
5 回	**授業テーマ：財務諸表（貯蔵品）・事例研究** 授業内容：損益計算書や貸借対照表といった財務諸表の作成手順（貯蔵品の振り替え）を学びます。また、事例研究について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：発言メモの作成 事後学修 2.0hr：文献調査

6回	**授業テーマ：財務諸表(貸倒引当金)・事例研究** 授業内容：損益計算書や貸借対照表といった財務諸表の作成手順(貸倒引当金の設定)を学びます。また、事例研究について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：企業情報収集 事後学修 2.0hr：プレゼン資料・レポート作成
7回	**授業テーマ：財務諸表(減価償却)・事例研究** 授業内容：損益計算書や貸借対照表といった財務諸表の作成手順(固定資産の減価償却)を学びます。また、事例研究について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：発言メモの作成 事後学修 2.0hr：文献調査
8回	**授業テーマ：財務諸表(消費税)・事例研究** 授業内容：損益計算書や貸借対照表といった財務諸表の作成手順(消費税の処理)を学びます。また、事例研究について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：情報収集 事後学修 2.0hr：情報収集
9回	**授業テーマ：財務諸表(前払い)・事例研究** 授業内容：損益計算書や貸借対照表といった財務諸表の作成手順(前払い)を学びます。また、事例研究について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：企業情報収集 事後学修 2.0hr：プレゼン資料・レポート作成
10回	**授業テーマ：財務諸表(前受け)・事例研究** 授業内容：損益計算書や貸借対照表といった財務諸表の作成手順(前受け)を学びます。また、事例研究について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：資料収集 事後学修 2.0hr：資料収集
11回	**授業テーマ：財務諸表(未払い)・事例研究** 授業内容：また、損益計算書や貸借対照表といった財務諸表の作成手順(未払い)を学びます。事例研究について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：文献講読 事後学修 2.0hr：文献講読
12回	**授業テーマ：財務諸表(未収)・事例研究** 授業内容：損益計算書や貸借対照表といった財務諸表の作成手順(未収)を学びます。また、事例研究について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：文献講読 事後学修 2.0hr：文献講読
13回	**授業テーマ：財務諸表(売上原価)・事例研究** 授業内容：損益計算書や貸借対照表といった財務諸表の作成手順(売上原価の算定)を学びます。また、事例研究について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：文献講読 事後学修 2.0hr：文献講読
14回	**授業テーマ：財務諸表(法人税等)・事例研究** 授業内容：損益計算書や貸借対照表といった財務諸表の作成手順(法人税等の計上)を学びます。また、事例研究について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：文献講読 事後学修 2.0hr：文献講読
15回	**授業テーマ：財務諸表(当期純利益)・事例研究** 授業内容：損益計算書や貸借対照表といった財務諸表の作成手順(当期純利益の計上)を学びます。また、事例研究について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：プレゼン資料・レポート作成 事後学修 2.0hr：レポート作成

中国ビジネス入門

開講学科等：日英中 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

高田　誠（たかだ　まこと）

▌授業の概要

中国ビジネスに関心のある学生あるいは将来中国ビジネスの現場で活動したいと考えている学生を対象として、中国ビジネスの基本を学習するとともに、最近の経済・ビジネスに関する論文・論説やニュースを理解するための知識を習得します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語学科 GSM G ③、英米語学科 2、中国語学科〔中国語専攻 2、GSM 5〕）

一般目標：中国経済やビジネスに関する基本的な事柄について理解できるようにする。

個別目標：1. 中国の経済構造の特徴や世界経済に占める位置、これまでの成長の過程を説明することができる。

2. ビジネスに必要な戦略や概念を、具体的な企業や産業を事例を通して説明することができる。

▌履修条件

特にありません。

▌評価基準・方法

試験(小テストを含む)や課題への取り組みなどを総合的に評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （調べた内容を教室で発表。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

教科書は使用しない。

▌参考書

授業中、適宜指示します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス・中国についての基礎的情報** 授業内容：中国の概要について。 事前学修 2.0hr：中国ビジネスについて知りたいことをまとめておく 事後学修 2.0hr：授業内容について復習する。
2回	**授業テーマ：社会主義市場経済体制** 授業内容：中国の社会経済体制としての社会主義市場経済について。 事前学修 2.0hr：中華人民共和国成立以降の中国の歴史を調べる 事後学修 2.0hr：授業内容について復習する。
3回	**授業テーマ：社会主義と資本主義** 授業内容：社会主義と資本主義の考え方の相違について。 事前学修 2.0hr：中国の社会主義について調べる 事後学修 2.0hr：授業内容について復習する。
4回	**授業テーマ：市場経済と計画経済** 授業内容：市場経済と計画経済のしくみについて。 事前学修 2.0hr：市場経済について調べる 事後学修 2.0hr：授業内容について復習する。
5回	**授業テーマ：経済発展と産業構造** 授業内容：経済発展に伴う経済構造の変容について。 事前学修 2.0hr：産業構造について調べる 事後学修 2.0hr：授業内容について復習する。
6回	**授業テーマ：中国の農業ビジネス** 授業内容：中国における農業ビジネスの経緯と課題について。 事前学修 2.0hr：中国の農業について調べる 事後学修 2.0hr：授業内容について復習する。
7回	**授業テーマ：中国の製造業** 授業内容：中国製造業の変遷と今後の課題。 事前学修 2.0hr：中国の製造業について調べる 事後学修 2.0hr：授業内容について復習する。
8回	**授業テーマ：中国の IT 産業** 授業内容：中国の IT 産業の発展と今後の課題について。 事前学修 2.0hr：中国の IT 産業について調べる 事後学修 2.0hr：授業内容について復習する。
9回	**授業テーマ：中国人の「爆買い」** 授業内容：中国人の需要構造の変化と今後の動向について。 事前学修 2.0hr：中国人の海外旅行について調べる 事後学修 2.0hr：授業内容について復習する。
10回	**授業テーマ：中国の通貨政策と仮想通貨** 授業内容：金融政策における課題と国際化の動向について。 事前学修 2.0hr：人民元について調べる 事後学修 2.0hr：授業内容について復習する。
11回	**授業テーマ：中国の不動産ビジネス** 授業内容：中国の不動産ビジネスの現状と課題について。 事前学修 2.0hr：中国のマンションについて調べる 事後学修 2.0hr：授業内容について復習する。
12回	**授業テーマ：中国の知的財産ビジネス** 授業内容：特許などの出願件数の増大と今後の動向について。 事前学修 2.0hr：特許権について調べる 事後学修 2.0hr：授業内容について復習する。

13回	**授業テーマ：中国からの企業撤退** 授業内容：中国からの企業撤退が容易ではない事情について。 事前学修 2.0hr：中国における外国企業のトラブルについて調べる 事後学修 2.0hr：授業内容について復習する。
14回	**授業テーマ：脱一人っ子政策** 授業内容：人口政策の変遷と人口動態の変化、今後の動向など。 事前学修 2.0hr：中国の人口統計について調べる 事後学修 2.0hr：授業内容について復習する。
15回	**授業テーマ：中国の指導体制** 授業内容：中国の指導体制の変容と今後の見通しについて。 事前学修 2.0hr：中国共産党の政策について調べる 事後学修 2.0hr：授業内容について復習する。

中国経済Ⅰ

開講学科等：日英中 ｜ 3年次 ｜ 2単位 ｜ 開講期：前

高田　誠（たかだ　まこと）

▌授業の概要

中国経済の特徴をさまざまな側面から詳しく検討します。中国経済Ⅰ、中国経済Ⅱを通して中国経済に関する全体の内容をカバーする予定です。まず中国経済Ⅰでは、中国経済の工業、農業、労働問題を中心に扱います。中国経済Ⅱでは貿易、金融、環境、所得格差などのトピックスを扱う予定です。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語学科 GSM G ③、英米語学科 3、中国語学科〔中国語専攻 2、GSM 5〕）

一般目標：中国経済の抱えている課題は何か、工業や農業は持続的な発展が可能か、世界経済危機は中国経済にどのような影響を与えたか、所得格差は世界的にみて大きいのか、そしてその社会的影響は、など中国にかかわる経済問題を具体的に論じることのできる力を身につけることが目標です。

個別目標：中国の経済発展の流れ、概要を正しく理解し、説明できること。また工業・農業の抱えている課題、労働移動がもたらす影響、これからの労働市場の変化について自分の言葉で表現し、積極的に意見交換のできる力を持つことを目標とします。

▌履修条件

教科書を必ず購入すること。

▌評価基準・方法

試験 70 %、レポートおよび授業への積極性などにより 30 %で評価します。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （調べた内容を教室で発表。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

南亮進・牧野文夫編 『中国経済入門(第４版)』 日本評論社。

▌参考書

講義の中で適宜指示します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：講義の目標、全体の説明** 授業内容：講義全体の進め方に関する説明。 事前学修 2.0hr：教科書の第一章を一度通読すること。 事後学修 2.0hr：教科書の第一章にもう一度目を通すこと。
2回	**授業テーマ：改革開放以前の中国経済** 授業内容：計画経済時代の中国経済の概要。 事前学修 2.0hr：教科書の第一章のⅠを精読し、要点と疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義の内容と照らし合わせながら、第一章のⅠを再読する。
3回	**授業テーマ：改革開放以後の中国経済** 授業内容：改革開放以後の中国経済の概要。 事前学修 2.0hr：教科書の第一章、ⅡとⅢを精読し、要点と疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義の内容と照らし合わせながら、第一章のⅡ、Ⅲを再読する。
4回	**授業テーマ：社会主義市場経済** 授業内容：社会主義市場経済という言葉の意味することについて。 事前学修 2.0hr：教科書の第二章のⅠを精読し、要点と疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義の内容と照らし合わせながら、第二章のⅠを再読する。
5回	**授業テーマ：移行経済と漸進型経済発展** 授業内容：中国が置かれている現状である移行経済体制と漸進型経済改革について。 事前学修 2.0hr：教科書第二章のⅡ、Ⅲを精読し、要点と疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義の内容と照らし合わせながら、第二章Ⅱ、Ⅲを再読する。
6回	**授業テーマ：ペティ＝クラークの法則** 授業内容：経済発展と産業構造の変遷について。 事前学修 2.0hr：教科書第三章のⅠ、Ⅱを精読し、要点と疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義の内容と照らし合わせながら、第三章のⅠ、Ⅱを再読する。
7回	**授業テーマ：工業成長の要因分解** 授業内容：中国経済の成長要因分解について。 事前学修 2.0hr：教科書第三章のⅢを精読し、要点と疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義の内容と照らし合わせながら、第三章Ⅲを再読する。
8回	**授業テーマ：改革以前の国有企業** 授業内容：改革開放以後の国有企業改革の成果と課題について。 事前学修 2.0hr：教科書第四章Ⅰ、Ⅱを精読し、要点と疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義の内容と照らし合わせながら、第四章Ⅰ、Ⅱを再読する。
9回	**授業テーマ：国有企業改革と所有制の多様化** 授業内容：国有企業改革における所有制の変化と今後の課題について。 事前学修 2.0hr：教科書第四章Ⅲを精読し、要点と疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義の内容と照らし合わせながら、第四章Ⅲを再読する。
10回	**授業テーマ：改革以前の農村** 授業内容：計画経済時代の農村経済について。 事前学修 2.0hr：教科書第五章Ⅰを精読し、要点と疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義の内容と照らし合わせながら、第五章Ⅰを再読する。
11回	**授業テーマ：農家経営請負制度** 授業内容：改革開放による農村経済の変化と農家経営請負制度について。 事前学修 2.0hr：教科書第五章Ⅱを精読し、要点と疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義の内容と照らし合わせながら、第五章Ⅱを再読する。

12回	**授業テーマ：「三農問題」の深刻化** 授業内容：農業、農村、農民(三農)問題の所在と今後の課題について。 事前学修 2.0hr：教科書第五章Ⅲを精読し、要点と疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義の内容と照らし合わせながら、第五章Ⅲを再読する。
13回	**授業テーマ：人口転換と一人っ子政策** 授業内容：人口転換モデルと中国の現状について。 事前学修 2.0hr：教科書第六章Ⅰを精読し、要点と疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義の内容と照らし合わせながら、第六章Ⅰを再読する。
14回	**授業テーマ：都市労働市場と失業問題** 授業内容：都市労働市場の形成と失業問題について。 事前学修 2.0hr：教科書第六章Ⅱを精読し、要点と疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義の内容と照らし合わせながら、第六章Ⅱを再読する。
15回	**授業テーマ：農村労働力の移動** 授業内容：出稼ぎ労働者による労働移動について。 事前学修 2.0hr：教科書第六章Ⅲを精読し、要点と疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義の内容と照らし合わせながら、第六章Ⅲを再読する。

中国経済Ⅱ

開講学科等：日英中 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

高田　誠（たかだ　まこと）

▌授業の概要

中国経済の特徴をさまざまな側面から詳しく検討します。中国経済Ⅰ、中国経済Ⅱを通して中国経済全体の内容をカバーする予定です。中国経済Ⅰでは中国経済の工業、農業、労働問題を中心に扱い、中国経済Ⅱでは貿易、金融、環境、所得格差などのトピックスを扱います。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語学科 GSM G ③、英米語学科 3、中国語学科〔中国語専攻 2、GSM 5〕）

一般目標：中国経済の抱えている課題は何か、工業や農業は持続的な発展が可能か、世界経済危機は中国経済にどのような影響を与えたか、所得格差は世界的にみて大きいのか、そしてその社会的影響は、など中国にかかわる経済問題を具体的に論じることのできる力を身につけることが目標です。

個別目標：中国経済の発展が、アジア全体における雁行形態的発展の中にあること、輸入代替工業化から輸出志向工業化への転換に合わせていること、比較優位の変化を利用して貿易の利益を最大化することに成功していること、環境と成長のトレードオフを考えることが中国経済の今後を左右すること、そして所得格差の拡大がもたらす社会的摩擦など、中国経済の個々のテーマについて自分の意見を述べることができることを目標とします。

▌履修条件

教科書を必ず購入すること。中国経済Ⅰを受講していることが望ましい。

▌評価基準・方法

試験(小テストを含む)等 80 %、課題への積極性 20 %に基づき総合的に評価します。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （調べた内容を教室で発表。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

南亮進・牧野文夫編 『中国経済入門(第４版)』 日本評論社。

▌参考書

講義の中で適宜指示します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：直接金融と間接金融** 授業内容：経済発展における金融仲介機能としての直接金融と間接金融について。 事前学修 2.0hr：教科書第七章のⅠを精読し、要点と疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義の内容と照らし合わせながら、第七章Ⅰを再読する。
2回	**授業テーマ：金融政策とマクロコントロール** 授業内容：金融政策を通じたマクロコントロールについて。 事前学修 2.0hr：教科書第七章のⅡを精読し、要点と疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義の内容と照らし合わせながら、第七章Ⅱを再読する。
3回	**授業テーマ：バブル経済と不良債権問題** 授業内容：不動産バブルと不良債権問題について。 事前学修 2.0hr：教科書第七章のⅢを精読し、要点と疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義の内容と照らし合わせながら、第七章Ⅲを再読する。
4回	**授業テーマ：国際貿易と経済成長** 授業内容：国際貿易を通じた経済成長の可能性について。 事前学修 2.0hr：教科書第八章のⅠを精読し、要点と疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義の内容と照らし合わせながら、第八章Ⅰを再読する。
5回	**授業テーマ：輸入代替工業化と輸出志向工業化** 授業内容：輸入代替工業化と輸出志向工業化の相違と今後の課題について。 事前学修 2.0hr：教科書第八章のⅡを精読し、要点と疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義の内容と照らし合わせながら、第八章Ⅱを再読する。
6回	**授業テーマ：雁行形態的発展と中国** 授業内容：東アジアにおける雁行形態的発展メカニズムについて。 事前学修 2.0hr：教科書第八章のⅢを精読し、要点と疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義の内容と照らし合わせながら、第八章Ⅲを再読する。
7回	**授業テーマ：人民元と為替レート** 授業内容：人民元の国際化とデジタル化について。 事前学修 2.0hr：教科書第九章のⅠを精読し、要点と疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義の内容と照らし合わせながら、第九章Ⅰを再読する。
8回	**授業テーマ：海外直接投資の役割** 授業内容：海外からの直接投資が果たす役割について。 事前学修 2.0hr：教科書第九章のⅡを精読し、要点と疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義の内容と照らし合わせながら、第九章Ⅱを再読する。
9回	**授業テーマ：技術導入と外資導入政策** 授業内容：技術導入と技術発展を加速する手段について。 事前学修 2.0hr：教科書第九章のⅢを精読し、要点と疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義の内容と照らし合わせながら、第九章Ⅲを再読する。
10回	**授業テーマ：中華経済圏と世界経済** 授業内容：中国経済と世界経済との融合と今後の課題について。 事前学修 2.0hr：教科書第十章を精読し、要点と疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義の内容と照らし合わせながら、第十章を再読する。
11回	**授業テーマ：日中経済関係の発展** 授業内容：日中経済関係の今後の課題について。 事前学修 2.0hr：教科書第十一章のⅠ、Ⅱを精読し、要点と疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義の内容と照らし合わせながら、第十一章Ⅰ、Ⅱを再読する。

12回	**授業テーマ：対中経済協力の展開** 授業内容：対中 ODA など経済協力の成果と課題について。 事前学修 2.0hr：教科書第十一章のⅢを精読し、要点と疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義の内容と照らし合わせながら、第十一章Ⅲを再読する。
13回	**授業テーマ：中国のエネルギー構造** 授業内容：中国のエネルギー消費構造とエネルギー確保について。 事前学修 2.0hr：教科書第十二章のⅠ、Ⅱを精読し、要点と疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義の内容と照らし合わせながら、第十二章Ⅰ、Ⅱを再読する。
14回	**授業テーマ：環境政策と経済発展** 授業内容：中国における環境保護と経済発展について。 事前学修 2.0hr：教科書第十二章のⅢを精読し、要点と疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義の内容と照らし合わせながら、第十二章Ⅲを再読する。
15回	**授業テーマ：所得格差と貧困問題** 授業内容：経済発展と所得格差の拡大について。 事前学修 2.0hr：教科書第十三章を精読し、要点と疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義の内容と照らし合わせながら、第十三章を再読する。

時事中国語演習 I

開講学科等：日英中 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

段　威（だん　い）

▌授業の概要

中国語の新聞・雑誌に掲載された記事、テレビに放送されたニュースなどを教材とし、文学とは異なる時事・ニュースに関する語彙・文体に重点を置き習得する。授業は中国語の時事報道常用語句を覚え、聴解・読解を繰り返し行うことにより、高度の中国語能力とグローバル社会に適応する能力を身につけることを目指す。時事・ニュースに関する中国の歴史・文化・経済・社会の知識を理解し、最新のトピックや新語を習得する。
学生の習熟度によって、進度の調整を行う。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語学科 GSM G ①、英米語学科 3、中国語学科〔中国語専攻 2、GSM 5〕）

一般目標：通訳・翻訳に通じる高度な中国語能力を持つために、時事中国語の読解力と聴解力の重要性を理解し、中国の文化・社会に対する知識を有し、中国語を必要とする仕事において活躍し得る能力とグローバル社会に適応する能力を身につける。
個別目標：①簡単な放送を聞き取れる。
②長文を読んで理解できる。
③時事・ニュースについて通訳・翻訳することができる。

▌履修条件

中検 3 級以上の中国語能力を持っていることが望ましい。

▌評価基準・方法

試験 60%、聞き取り 20%、学修内容振り返りシート 10%、授業内における参加姿勢及び発言等 10 %の結果及び到達目標の達成度に基づき総合的に評価する。なお、５分の４以上の出席を評価の前提条件とし、欠席は減点とする。
なお、課題及び定期試験のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌フィードバック方法

課題及び試験フィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループ・ディスカッション、ディベート、グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Excel 、Word ソフトを搭載したノートパソコンを毎回持参すること）

▌教科書

プリント配布。

▌参考書

授業中適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス・時事中国語とは** 授業内容：時事・ニュース中国語について 事前学修 2.0hr：講義概要を読んで、本講義に期待する内容を考えておく。 事後学修 2.0hr：基礎中国語の発音と文法を復習する。
2回	**授業テーマ：省略語および意義** 授業内容：時事・ニュースに関する省略語 事前学修 2.0hr：省略語について調べておく。 事後学修 2.0hr：省略語を繰り返して音読しながら暗記する。
3回	**授業テーマ：省略語の関連表現** 授業内容：時期によって省略語の変遷と関連表現 事前学修 2.0hr：省略語を繰り返して音読しながら書く練習をする。 事後学修 2.0hr：学修内容振り返りシートを記入する。
4回	**授業テーマ：時事報道の省略語の応用** 授業内容：時事・ニュースの中省略語の応用及び特徴 事前学修 2.0hr：省略語を繰り返して音読しながら書く練習をする。 事後学修 2.0hr：省略語についてまとめてくる。
5回	**授業テーマ：時事報道の常用数字と数量** 授業内容：中国語の「実数」と「虚数」と「概数」と「量詞」 事前学修 2.0hr：中国語の数字と量詞を復習しておく。 事後学修 2.0hr：学修内容振り返りシートを記入する。
6回	**授業テーマ：数字・数量の関連表現** 授業内容：数字・数量の表現文型と読解 事前学修 2.0hr：数字と量詞を繰り返して音読しながら書く練習をする。 事後学修 2.0hr：関連表現についてまとめてくる。
7回	**授業テーマ：数量と関連表現の聞き取り** 授業内容：時事・ニュース中の「数字・数量」の聞き取り実践 事前学修 2.0hr：数字と量詞を繰り返して音読しながら復習しておく。 事後学修 2.0hr：数字、数量、関連表現についてまとめてくる。
8回	**授業テーマ：「副詞」の関連表現** 授業内容：時事報道の常用「副詞」の読解 事前学修 2.0hr：事前に配布した資料について、目を通しておく。 事後学修 2.0hr：学修内容振り返りシートを記入する。
9回	**授業テーマ：「介詞」の関連表現** 授業内容：時事報道の常用「介詞」の応用と読解 事前学修 2.0hr：「介詞」について調べておく。 事後学修 2.0hr：学修内容振り返りシートを記入する。
10回	**授業テーマ：補語および意義** 授業内容：時事報道の補語の応用と読解 事前学修 2.0hr：事前に配布した資料について、目を通しておく。 事後学修 2.0hr：学修内容振り返りシートを記入する。

11回	**授業テーマ：時事報道の常用成語・諺語** 授業内容：時事報道の常用成語・諺語の応用と読解 事前学修 2.0hr：常用成語・諺語について調べておく。 事後学修 2.0hr：学修内容振り返りシートを記入する。
12回	**授業テーマ：時事報道の常用表現文型** 授業内容：常用表現文型の応用と読解 事前学修 2.0hr：常用表現文型を復習しておく。 事後学修 2.0hr：時事報道の常用表現文型についてまとめてくる。
13回	**授業テーマ：時事報道の長文の読解①長単文** 授業内容：「主・謂・賓」構造の確認と読解 事前学修 2.0hr：事前に配布した資料について、目を通しておく。 事後学修 2.0hr：学修内容振り返りシートを記入する。
14回	**授業テーマ：時事報道の長文の読解②複文** 授業内容：複文の確認と読解 事前学修 3.0hr：事前に配布した資料について、目を通しておく。 事後学修 1.0hr：学修内容振り返りシートを記入する。
15回	**授業テーマ：全体のまとめ** 授業内容：前期授業内容をまとめて復習する。 事前学修 2.0hr：学修内容振り返りテストを行うので、授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：学修内容総括シートを記入する。

時事中国語演習Ⅱ

開講学科等：日英中 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

段　威（だん　い）

▌授業の概要

「時事中国語演習Ⅰ」の続きの授業である。
中国語の新聞・雑誌に掲載された記事、テレビに放送されたニュースなどを教材とし、文学とは異なる時事・ニュースに関する語彙・文体に重点を置き習得する。授業は中国語の時事報道常用語句を覚え、聴解・読解を繰り返し行うことにより、高度の中国語能力とグローバル社会に適応する能力を身につけることを目指す。時事・ニュースに関する中国の歴史・文化・経済・社会の知識を理解し、最新のトピックや新語を習得する。
学生の習熟度によって、進度の調整を行う。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語学科 GSM G ①、英米語学科 3、中国語学科〔中国語専攻 2、GSM 5〕）

一般目標：通訳・翻訳に通じる高度な中国語能力を持つために、時事中国語の読解力と聴解力の重要性を理解し、中国の文化・社会に対する知識を有し、中国語を必要とする仕事において活躍し得る能力とグローバル社会に適応する能力を身につける。
個別目標：①簡単な放送を聞き取れる。
②長文を読んで理解できる。
③時事・ニュースについて通訳・翻訳することができる。

▌履修条件

中検 3 級以上の中国語能力を持っていることが望ましい。

▌評価基準・方法

試験 60%、聞き取り 20%、学修内容振り返りシート 10%、授業内における参加姿勢及び発言等 10 %の結果及び到達目標の達成度に基づき総合的に評価する。なお、５分の４以上の出席を評価の前提条件とし、欠席は減点とする。
なお、課題及び定期試験のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌フィードバック方法

課題及び試験フィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループ・ディスカッション、ディベート、グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Excel 、Word ソフトを搭載したノートパソコンを毎回持参すること）

▌教科書

プリント配布。

▌参考書

授業中適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：「時事中国語演習Ⅰ」の復習** 授業内容：文法ポイントと重要表現を復習する。 事前学修 2.0hr：「時事中国語演習Ⅰ」の文法ポイントと重要表現を目を通して確認する。 事後学修 2.0hr：学修内容振り返りシートを記入する。
2回	**授業テーマ：政治に関するトピックの読解** 授業内容：政治に関するトピックの視聴・読解する。 事前学修 2.0hr：事前に配布した資料について、目を通しておく。 事後学修 2.0hr：学修内容振り返りシートを記入する。
3回	**授業テーマ：経済に関するトピックの読解** 授業内容：経済に関するトピックの視聴・読解する。 事前学修 2.0hr：事前に配布した資料について、目を通しておく。 事後学修 2.0hr：学修内容振り返りシートを記入する。
4回	**授業テーマ：貿易に関するトピックの読解** 授業内容：貿易に関するトピックの視聴・読解する。 事前学修 2.0hr：事前に配布した資料について、目を通しておく。 事後学修 2.0hr：学修内容振り返りシートを記入する。
5回	**授業テーマ：教育に関するトピックの読解** 授業内容：教育に関するトピックの視聴・読解する。 事前学修 2.0hr：事前に配布した資料について、目を通しておく。 事後学修 2.0hr：学修内容振り返りシートを記入する。
6回	**授業テーマ：法律に関するトピックの読解** 授業内容：法律に関するトピックの視聴・読解する。 事前学修 2.0hr：事前に配布した資料について、目を通しておく。 事後学修 2.0hr：学修内容振り返りシートを記入する。
7回	**授業テーマ：環境保護に関するトピックの読解** 授業内容：環境保護に関するトピックの視聴・読解する。 事前学修 2.0hr：事前に配布した資料について、目を通しておく。 事後学修 2.0hr：学修内容振り返りシートを記入する。
8回	**授業テーマ：外交に関するトピックの読解** 授業内容：外交に関するトピックの視聴・読解する。 事前学修 2.0hr：事前に配布した資料について、目を通しておく。 事後学修 2.0hr：学修内容振り返りシートを記入する。
9回	**授業テーマ：社会に関するトピックの読解** 授業内容：社会に関するトピックの視聴・読解する。 事前学修 2.0hr：事前に配布した資料について、目を通しておく。 事後学修 2.0hr：学修内容振り返りシートを記入する。
10回	**授業テーマ：国民生活に関するトピックの読解** 授業内容：国民生活に関するトピックの視聴・読解する。 事前学修 2.0hr：事前に配布した資料について、目を通しておく。 事後学修 2.0hr：学修内容振り返りシートを記入する。

11回	**授業テーマ：IT に関するトピックの読解** 授業内容：IT に関するトピックの視聴・読解する。 事前学修 2.0hr：事前に配布した資料について、目を通しておく。 事後学修 2.0hr：学修内容振り返りシートを記入する。
12回	**授業テーマ：スポーツに関するトピックの読解** 授業内容：スポーツに関するトピックの視聴・読解する。 事前学修 2.0hr：事前に配布した資料について、目を通しておく。 事後学修 2.0hr：学修内容振り返りシートを記入する。
13回	**授業テーマ：国際時事に関するトピックの読解** 授業内容：国際時事に関するトピックの視聴・読解する。 事前学修 2.0hr：事前に配布した資料について、目を通しておく。 事後学修 2.0hr：学修内容振り返りシートを記入する。
14回	**授業テーマ：重大事件に関するトピックの読解** 授業内容：重大事件に関するトピックの視聴・読解する。 事前学修 2.0hr：事前に配布した資料について、目を通しておく。 事後学修 2.0hr：学修内容振り返りシートを記入する。
15回	**授業テーマ：全体のまとめ** 授業内容：後期授業内容をまとめて復習する。 事前学修 2.0hr：学修内容振り返りテストを行うので、授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：学修内容総括シートを記入する。

通訳の基礎 a

開講学科等：日英中 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

松井　順子（まつい　じゅんこ）

▌授業の概要

Students will be taught the basic skills required to become an interpreter. The course will cover the four linguistic skills（listening, speaking , reading and writing）through various interpretation training exercises such as quick response, shadowing, sight translation, lagging, simultaneous interpretation, and consecutive interpretation. Participants will be exposed to a range of topics and basic language acquisition techniques.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語学科 GSM G ①、英米語学科 1、中国語学科 GSM 5）

一般目標：The course is designed to increase practical English usage over a range of situations, and will enable students to acquire basic interpreting skills and learn to express their opinions more clearly and logically.

個別目標：Objectives of the course include equipping participants with a variety of skills such as interpreting, note-taking, English conversation skills, and ability to express views in English and Japanese.

▌履修条件

Geared toward English Department students, but available to other students if seats are available.

▌評価基準・方法

Daily performance, class participation, and assignments 80%, final presentation/interpretation 20%. Assignment feedback to be provided through manaba and in class.

▌フィードバック方法

Feedback through Manaba and in-class assessments etc.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Pair and group activities such as interpreting practice）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （PC used for assignments, videos, accessing information etc.）

▌教科書

To be announced at a later date.

▌参考書

To be announced at a later date.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：Orientation** 授業内容：Guidance Goals for the year Introductory interpreting exercise 事前学修 2.0hr：Check course outline 事後学修 2.0hr：Review Topic 1
2 回	**授業テーマ：Quick Response（basic）** 授業内容：Quick Response（basic） 授業内容： Quick response is an exercise where the interpreter practices interpreting words or short phrases quickly. 事前学修 2.0hr：Preview Quick Response（basic） 事後学修 2.0hr：Review Quick Response（basic）
3 回	**授業テーマ：Shadowing（basic）** 授業内容：Shadowing（basic） This is a typical exercise where one listens and repeats simultaneously. It is useful for not only English practice, but will also improve basic speaking skills in any language, and has been proven to improve listening skills at the same time. 事前学修 2.0hr：Preview Shadowing（basic） 事後学修 2.0hr：Review Shadowing（basic）
4 回	**授業テーマ：Sight Translation（basic）** 授業内容：Sight Translation（basic） Interpreting while reading a text from the source language. 事前学修 2.0hr：Preview Sight Translation（basic） 事後学修 2.0hr：Review Sight Translation（basic）
5 回	**授業テーマ：Lagging（basic）** 授業内容：Lagging（basic） Interpreting after a lag of one word, two words, or more. 事前学修 2.0hr：Preview Lagging（basic） 事後学修 2.0hr：Review Lagging（basic）
6 回	**授業テーマ：Simultaneous Interpreting（basic）** 授業内容：Interpreting and listening at the same time. 事前学修 2.0hr：Preview simultaneous interpreting（basic） 事後学修 2.0hr：Review simultaneous interpreting（basic）
7 回	**授業テーマ：Consecutive Interpreting（basic）** 授業内容：Taking notes and interpreting while referring to the notes. 事前学修 2.0hr：Preview Consecutive Interpreting（basic） 事後学修 2.0hr：Review Consecutive Interpreting（basic）
8 回	**授業テーマ：Mid-term Interpreting Check** 授業内容：Mid-term interpreting quiz 事前学修 2.0hr：Review first half of term 事後学修 2.0hr：Review first half of term
9 回	**授業テーマ：Quick Response（intermediate）** 授業内容：Quick response is an exercise where the interpreter practices interpreting words or short phrases quickly. 事前学修 2.0hr：Quick Response（intermediate）Preview 事後学修 2.0hr：Quick Response（intermediate）Review

10回	**授業テーマ：Shadowing（intermediate）** 授業内容：This is a typical exercise where one listens and repeats simultaneously. It is useful for not only English practice, but will also improve basic speaking skills in any language, and has been proven to improve listening skills at the same time. 事前学修 2.0hr：Shadowing（intermediate）Preview 事後学修 2.0hr：Shadowing（intermediate）Review
11回	**授業テーマ：Sight Translation（intermediate）** 授業内容：Interpreting while reading a text from the source language. 事前学修 2.0hr：Sight Translation（intermediate）Preview 事後学修 2.0hr：Sight Translation（intermediate）Review
12回	**授業テーマ：Lagging（intermediate）** 授業内容：Interpreting after a lag of one word, two words, or more. 事前学修 2.0hr：Lagging（intermediate）Preview 事後学修 2.0hr：Lagging（intermediate）Review
13回	**授業テーマ：Simultaneous Interpreting（intermediate）** 授業内容：Interpreting and listening at the same time. 事前学修 2.0hr：Simultaneous Interpreting（intermediate）Preview 事後学修 2.0hr：Simultaneous Interpreting（intermediate）Review
14回	**授業テーマ：Consecutive Interpreting（intermediate）** 授業内容：Taking notes and interpreting while referring to the notes. 事前学修 2.0hr：Consecutive Interpreting（intermediate）Preview 事後学修 2.0hr：Consecutive Interpreting（intermediate）Review
15回	**授業テーマ：End-of-term Interpreting Check** 授業内容：Interpreting final exam 事前学修 2.0hr：Interpreting final exam 事後学修 2.0hr：End-of-term Interpreting Check Review

通訳の基礎 b

開講学科等：日英中 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

松井　順子（まつい　じゅんこ）

▌授業の概要

Students will be taught the basic skills required to become an interpreter. The course will cover the four linguistic skills（listening, speaking , reading and writing）through various interpretation training exercises such as quick response, shadowing, sight translation, lagging, simultaneous interpretation, and consecutive interpretation. Participants will be exposed to a range of topics and basic language acquisition techniques.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語学科 GSM G ①、英米語学科 1、中国語学科 GSM 5）

一般目標：The course is designed to increase practical English usage over a range of situations, and will enable students to acquire basic interpreting skills and learn to express their opinions more clearly and logically.

個別目標：Objectives of the course include equipping participants with a variety of skills such as interpreting, note-taking, English conversation skills, and ability to express views in English and Japanese.

▌履修条件

Geared toward English Department students, but available to other students. If classes are not held on campus, they will be conducted online.

▌評価基準・方法

Daily performance, class participation, and assignments 80%, final presentation/interpretation 20%. Assignment feedback to be provided through manaba and in class.

▌フィードバック方法

Feedback through Manaba and in-class assessments etc.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Pair and group activities such as interpreting practice）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （PC used for assignments, videos, accessing information etc.）

▌教科書

To be announced at a later date.

▌参考書

To be announced at a later date.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：Orientation** 授業内容：Guidance Goals for the year Introductory interpreting exercise 事前学修 2.0hr：Preview course contents 事後学修 2.0hr：Review course outline
2 回	**授業テーマ：Quick Response（basic）** 授業内容：Quick response is an exercise where the interpreter practices interpreting words or short phrases quickly. 事前学修 2.0hr：Preview Quick Response（basic） 事後学修 2.0hr：Review Quick Response（basic）
3 回	**授業テーマ：Shadowing（basic）** 授業内容：This is a typical exercise where one listens and repeats simultaneously. It is useful for not only English practice, but will also improve basic speaking skills in any language, and has been proven to improve listening skills at the same time. 事前学修 2.0hr：Preview Shadowing（basic） 事後学修 2.0hr：Review Shadowing（basic）
4 回	**授業テーマ：Sight Translation（basic）** 授業内容：Sight Translation（basic） Interpreting while reading a text from the source language. 事前学修 2.0hr：Preview Sight Translation（basic） 事後学修 2.0hr：Review Sight Translation（basic）
5 回	**授業テーマ：Lagging（basic）** 授業内容：Lagging（basic） Interpreting after a lag of one word, two words, or more. 事前学修 2.0hr：Preview Lagging（basic） 事後学修 2.0hr：Review Lagging（basic）
6 回	**授業テーマ：Simultaneous Interpreting（basic）** 授業内容：Interpreting and listening at the same time. 事前学修 2.0hr：Preview simultaneous interpreting（basic） 事後学修 2.0hr：Review simultaneous interpreting（basic）
7 回	**授業テーマ：Consecutive Interpreting（basic）** 授業内容：Taking notes and interpreting while referring to the notes. 事前学修 2.0hr：Preview Consecutive Interpreting（basic） 事後学修 2.0hr：Review Consecutive Interpreting（basic）
8 回	**授業テーマ：Mid-term Interpreting Check** 授業内容：Mid-term interpreting quiz 事前学修 2.0hr：Review first half of term 事後学修 2.0hr：Review first half of term
9 回	**授業テーマ：Quick Response（intermediate）** 授業内容：Quick response is an exercise where the interpreter practices interpreting words or short phrases quickly. 事前学修 2.0hr：Quick Response（intermediate）Preview 事後学修 2.0hr：Quick Response（intermediate）Review

10回	**授業テーマ：Shadowing（intermediate）** 授業内容：This is a typical exercise where one listens and repeats simultaneously. It is useful for not only English practice, but will also improve basic speaking skills in any language, and has been proven to improve listening skills at the same time. 事前学修 2.0hr：Shadowing（intermediate）Preview 事後学修 2.0hr：Shadowing（intermediate）Review
11回	**授業テーマ：Sight Translation（intermediate）** 授業内容：Interpreting while reading a text from the source language. 事前学修 2.0hr：Sight Translation（intermediate）Preview 事後学修 2.0hr：Sight Translation（intermediate）Review
12回	**授業テーマ：Lagging（intermediate）** 授業内容：Interpreting after a lag of one word, two words, or more. 事前学修 2.0hr：Lagging（intermediate）Preview 事後学修 2.0hr：Lagging（intermediate）Review
13回	**授業テーマ：Simultaneous Interpreting（intermediate）** 授業内容：Interpreting and listening at the same time. 事前学修 2.0hr：Simultaneous Interpreting（intermediate）Preview 事後学修 2.0hr：Simultaneous Interpreting（intermediate）Review
14回	**授業テーマ：Consecutive Interpreting（intermediate）** 授業内容：Taking notes and interpreting while referring to the notes. 事前学修 2.0hr：Consecutive Interpreting（intermediate）Preview 事後学修 2.0hr：Consecutive Interpreting（intermediate）Review
15回	**授業テーマ：End-of-term Interpreting Check** 授業内容：Interpreting final exam 事前学修 2.0hr：Prepare for Interpreting final exam 事後学修 2.0hr：End-of-term Interpreting Check Review

時事英語 a

開講学科等：日英中 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

小谷　哲男（こたに　てつお）

▌授業の概要

この授業では国際問題、経済・科学問題、社会・文化問題に関する英字新聞の記事を輪読する。最新の記事を輪読することで、就職試験や教員採用試験、英語運用試験で求められる時事英語を身につけることを目指す。教材は、主に BBC News と Voice of America の記事を受講生の関心に合わせて選ぶ。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語学科 GSM G ①、英米語学科 3、中国語学科 GSM 5）

一般目標：英文ニュースを通じて、急速に変動する国際未来社会に適応するための知識と英語力を身につける。

個別目標：1. 英文で国際問題や経済問題、社会問題を理解できる。
2. 時事問題について自らの考えを持つことができる。
3. 英検準 1 級、TOEIC750 点レベル以上に英語力を高めることができる。

▌履修条件

国際問題や経済問題、社会問題に関心があり、授業に積極的に参加することができること。全員で構文読解をするため予習は必須。

▌評価基準・方法

（1）平常点：60 %、（2）記事要約：40 %

なお、原則として 3 回の欠席または課題未提出で評価対象外とする。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、授業内および学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （学生主体で構文読解を行う。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

毎週読む記事を事前に指定する。

▌参考書

適宜指定する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：授業の進め方、評価方法、英文記事の読み方について説明する。 事前学修 2.0hr：最近関心を持っている国際問題について紹介できるように準備する。 事後学修 2.0hr：他の受講者が関心を持っている国際問題・社会問題について調べる。
2 回	**授業テーマ：英文記事輪読** 授業内容：指定した英文記事の輪読を行う。 事前学修 2.0hr：指定された記事を読み、輪読の準備をする。 事後学修 2.0hr：記事を読み直し、内容と語彙を確認して要約を作成する。
3 回	**授業テーマ：英文記事輪読** 授業内容：指定した英文記事の輪読を行う。 事前学修 2.0hr：指定された記事を読み、輪読の準備をする。 事後学修 2.0hr：記事を読み直し、内容と語彙を確認して要約を作成する。
4 回	**授業テーマ：英文記事輪読** 授業内容：指定した英文記事の輪読を行う。 事前学修 2.0hr：指定された記事を読み、輪読の準備をする。 事後学修 2.0hr：記事を読み直し、内容と語彙を確認して要約を作成する。
5 回	**授業テーマ：英文記事輪読** 授業内容：指定した英文記事の輪読を行う。 事前学修 2.0hr：指定された記事を読み、輪読の準備をする。 事後学修 2.0hr：記事を読み直し、内容と語彙を確認して要約を作成する。
6 回	**授業テーマ：英文記事輪読** 授業内容：指定した英文記事の輪読を行う。 事前学修 2.0hr：指定された記事を読み、輪読の準備をする。 事後学修 2.0hr：記事を読み直し、内容と語彙を確認して要約を作成する。
7 回	**授業テーマ：英文記事輪読** 授業内容：指定した英文記事の輪読を行う。 事前学修 2.0hr：指定された記事を読み、輪読の準備をする。 事後学修 2.0hr：記事を読み直し、内容と語彙を確認して要約を作成する。
8 回	**授業テーマ：英文記事輪読** 授業内容：指定した英文記事の輪読を行う。 事前学修 2.0hr：指定された記事を読み、輪読の準備をする。 事後学修 2.0hr：記事を読み直し、内容と語彙を確認して要約を作成する。
9 回	**授業テーマ：英文記事輪読** 授業内容：指定した英文記事の輪読を行う。 事前学修 2.0hr：指定された記事を読み、輪読の準備をする。 事後学修 2.0hr：記事を読み直し、内容と語彙を確認して要約を作成する。
10 回	**授業テーマ：英文記事輪読** 授業内容：指定した英文記事の輪読を行う。 事前学修 2.0hr：指定された記事を読み、輪読の準備をする。 事後学修 2.0hr：記事を読み直し、内容と語彙を確認して要約を作成する。
11 回	**授業テーマ：英文記事輪読** 授業内容：指定した英文記事の輪読を行う。 事前学修 2.0hr：指定された記事を読み、輪読の準備をする。 事後学修 2.0hr：記事を読み直し、内容と語彙を確認して要約を作成する。

12回	**授業テーマ：英文記事輪読** 授業内容：指定した英文記事の輪読を行う。 事前学修 2.0hr：指定された記事を読み、輪読の準備をする。 事後学修 2.0hr：記事を読み直し、内容と語彙を確認して要約を作成する。
13回	**授業テーマ：英文記事輪読** 授業内容：指定した英文記事の輪読を行う。 事前学修 2.0hr：指定された記事を読み、輪読の準備をする。 事後学修 2.0hr：記事を読み直し、内容と語彙を確認して要約を作成する。
14回	**授業テーマ：英文記事輪読** 授業内容：指定した英文記事の輪読を行う。 事前学修 2.0hr：指定された記事を読み、輪読の準備をする。 事後学修 2.0hr：記事を読み直し、内容と語彙を確認して要約を作成する。
15回	**授業テーマ：英文記事輪読** 授業内容：指定した英文記事の輪読を行う。 事前学修 2.0hr：指定された記事を読み、輪読の準備をする。 事後学修 2.0hr：記事を読み直し、内容と語彙を確認して要約を作成する。

時事英語 a

開講学科等：日英中 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

ケイコ　ナカムラ

▌授業の概要

In this class, we will cover news from all over the world in English, by reading timely news articles and listening to news reports. We will learn how to use English as a tool to explore global news and learn how to understand news events which are unfolding around us, on a local, regional, national, and international/global level. We will read articles from newspapers and online news sites and listen to online news clips. In addition, we will discuss differences between news reporting in the U.S. and Japan (e.g., differences in language, news coverage and analysis) and examine cultural differences. The articles and video clips we will study will be taken from both domestic and international news, covering various topics (e.g., politics, economy/business, education, health. social issues). Active participation will be encouraged through the active exchange of ideas, as well as a willingness to examine problems and generate solutions.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語学科 GSM G ①、英米語学科 3、中国語学科 GSM 5）

一般目標：1. Learn how to read and understand news articles in English.
2. Learn how to listen to and understand news clips in English.
3. Learn how to discuss news in English.
4. Learn how to understand important issues which will help you in the future.

個別目標：1. Develop critical thinking skills which will help you understand global issues.
2. Develop presentation skills by presenting your opinions/analyses of news events.
3. Foster a global perspective and the ability to examine problems and generate solutions.

▌履修条件

Students with an interest in domestic/international news are welcome to this class. Also, students who hope to actively improve their English skills by listening to, reading, and discussing the news will enjoy this class.

▌評価基準・方法

Final presentation/report 40%

Active participation: short presentations, assignments/worksheets 60%

▌フィードバック方法

Feedback will be conducted face-to-face (e.g., by return of assignments), as well as via manaba.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Discussion and exchange of ideas and opinions）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Listening activities will be conducted using a PC or device）

▌教科書

Timely news articles/news clips will be selected every week.

▌参考書

Will be provided as necessary

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：Orientation & introduction** 授業内容：Orientation to the class. Ice-breaking introduction activity with classmates. Discussion of news items of interest. 事前学修 2.0hr：Be prepared with one news item to share with the class. 事後学修 2.0hr：Review materials from class; summarize what you have learned (e.g., vocabulary).
2 回	**授業テーマ：News highlights from this week** 授業内容：We will listen to this week's news and do a dictation activity. Then we will explore the meaning, examining the vocabulary. We will also read a related news article and discuss it. 事前学修 2.0hr：Be prepared with one news item to share with the class. 事後学修 2.0hr：Review materials from class (e.g., read aloud, shadowing); summarize what you have learned (e.g., vocabulary).
3 回	**授業テーマ：News highlights from this week** 授業内容：We will listen to this week's news and do a dictation activity. Then we will explore the meaning, examining the vocabulary. We will also read a related news article and discuss it. 事前学修 2.0hr：Be prepared with one news item to share with the class. 事後学修 2.0hr：Review materials from class (e.g., read aloud, shadowing); summarize what you have learned (e.g., vocabulary).
4 回	**授業テーマ：News highlights from this week** 授業内容：We will listen to this week's news and do a dictation activity. Then we will explore the meaning, examining the vocabulary. We will also read a related news article and discuss it. 事前学修 2.0hr：Be prepared with one news item to share with the class. 事後学修 2.0hr：Review materials from class (e.g., read aloud, shadowing); summarize what you have learned (e.g., vocabulary).
5 回	**授業テーマ：News highlights from this week** 授業内容：We will listen to this week's news and do a dictation activity. Then we will explore the meaning, examining the vocabulary. We will also read a related news article and discuss it. 事前学修 2.0hr：Be prepared with one news item to share with the class. 事後学修 2.0hr：Review materials from class (e.g., read aloud, shadowing); summarize what you have learned (e.g., vocabulary).
6 回	**授業テーマ：News highlights from this week** 授業内容：We will listen to this week's news and do a dictation activity. Then we will explore the meaning, examining the vocabulary. We will also read a related news article and discuss it. 事前学修 2.0hr：Be prepared with one news item to share with the class. 事後学修 2.0hr：Review materials from class (e.g., read aloud, shadowing); summarize what you have learned (e.g., vocabulary).
7 回	**授業テーマ：News highlights from this week** 授業内容：We will listen to this week's news and do a dictation activity. Then we will explore the meaning, examining the vocabulary. We will also read a related news article and discuss it. 事前学修 2.0hr：Be prepared with one news item to share with the class. 事後学修 2.0hr：Review materials from class (e.g., read aloud, shadowing); summarize what you have learned (e.g., vocabulary).

8回	**授業テーマ：News highlights from this week** 授業内容：We will listen to this week's news and do a dictation activity. Then we will explore the meaning, examining the vocabulary. We will also read a related news article and discuss it. 事前学修 2.0hr：Be prepared with one news item to share with the class. 事後学修 2.0hr：Review materials from class (e.g., read aloud, shadowing); summarize what you have learned (e.g., vocabulary).
9回	**授業テーマ：News highlights from this week** 授業内容：We will listen to this week's news and do a dictation activity. Then we will explore the meaning, examining the vocabulary. We will also read a related news article and discuss it. 事前学修 2.0hr：Be prepared with one news item to share with the class. 事後学修 2.0hr：Review materials from class (e.g., read aloud, shadowing); summarize what you have learned (e.g., vocabulary).
10回	**授業テーマ：News highlights from this week** 授業内容：We will listen to this week's news and do a dictation activity. Then we will explore the meaning, examining the vocabulary. We will also read a related news article and discuss it. 事前学修 2.0hr：Be prepared with one news item to share with the class. 事後学修 2.0hr：Review materials from class (e.g., read aloud, shadowing); summarize what you have learned (e.g., vocabulary).
11回	**授業テーマ：News highlights from this week** 授業内容：We will listen to this week's news and do a dictation activity. Then we will explore the meaning, examining the vocabulary. We will also read a related news article and discuss it. 事前学修 2.0hr：Be prepared with one news item to share with the class. 事後学修 2.0hr：Review materials from class (e.g., read aloud, shadowing); summarize what you have learned (e.g., vocabulary).
12回	**授業テーマ：News highlights from this week** 授業内容：We will listen to this week's news and do a dictation activity. Then we will explore the meaning, examining the vocabulary. We will also read a related news article and discuss it. 事前学修 2.0hr：Be prepared with one news item to share with the class. 事後学修 2.0hr：Review materials from class (e.g., read aloud, shadowing); summarize what you have learned (e.g., vocabulary).
13回	**授業テーマ：News highlights from this week** 授業内容：We will listen to this week's news and do a dictation activity. Then we will explore the meaning, examining the vocabulary. We will also read a related news article and discuss it. 事前学修 2.0hr：Be prepared with one news item to share with the class. 事後学修 2.0hr：Review materials from class (e.g., read aloud, shadowing); summarize what you have learned (e.g., vocabulary).
14回	**授業テーマ：News Presentations 1** 授業内容：Students will read a news article/listen to a news clip and give presentations. 事前学修 2.0hr：Be prepared with one news item to share with the class. 事後学修 2.0hr：Review materials from class (e.g., read aloud, shadowing); summarize what you have learned (e.g., vocabulary).
15回	**授業テーマ：News Presentations 2** 授業内容：Students will read a news article/listen to a news clip and give presentations. 事前学修 2.0hr：Be prepared with one news item to share with the class. 事後学修 2.0hr：Reflect on what you have learned this semester.

時事英語 b

開講学科等：日英中 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

小谷　哲男（こたに　てつお）

▌授業の概要

この授業では国際問題、経済・科学問題、社会・文化問題に関する英字新聞の記事を輪読する。最新の記事を輪読することで、就職試験や教員採用試験、英語運用試験で求められる時事英語を身につけることを目指す。教材は、主に BBC News と Voice of America の記事を受講生の関心に合わせて選ぶ。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語学科 GSM G ①、英米語学科 3、中国語学科 GSM 5）

一般目標：英文ニュースを通じて、急速に変動する国際未来社会に適応するための知識と英語力を身につける。

個別目標：1. 英文で国際問題や経済問題、社会問題を理解できる。
2. 時事問題について自らの考えを持つことができる。
3. 英検準 1 級、TOEIC750 点レベル以上に英語力を高めることができる。

▌履修条件

国際問題や経済問題、社会問題に関心があり、授業に積極的に参加することができること。全員で構文読解をするため予習は必須。

▌評価基準・方法

（1）平常点：60 %、（2）記事要約：40 %

なお、原則として 3 回の欠席または課題未提出で評価対象外とする。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、授業内および学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （学生主体で構文読解を行う。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

毎週読む記事を事前に指定する。

▌参考書

適宜指定する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：授業の進め方、評価方法、英文記事の読み方について説明する。 事前学修 2.0hr：最近関心を持っている国際問題について紹介できるように準備する。 事後学修 2.0hr：他の受講者が関心を持っている国際問題・社会問題について調べる。
2 回	**授業テーマ：英文記事輪読** 授業内容：指定した英文記事の輪読を行う。 事前学修 2.0hr：指定された記事を読み、輪読の準備をする。 事後学修 2.0hr：記事を読み直し、内容と語彙を確認して要約を作成する。
3 回	**授業テーマ：英文記事輪読** 授業内容：指定した英文記事の輪読を行う。 事前学修 2.0hr：指定された記事を読み、輪読の準備をする。 事後学修 2.0hr：記事を読み直し、内容と語彙を確認して要約を作成する。
4 回	**授業テーマ：英文記事輪読** 授業内容：指定した英文記事の輪読を行う。 事前学修 2.0hr：指定された記事を読み、輪読の準備をする。 事後学修 2.0hr：記事を読み直し、内容と語彙を確認して要約を作成する。
5 回	**授業テーマ：英文記事輪読** 授業内容：指定した英文記事の輪読を行う。 事前学修 2.0hr：指定された記事を読み、輪読の準備をする。 事後学修 2.0hr：記事を読み直し、内容と語彙を確認して要約を作成する。
6 回	**授業テーマ：英文記事輪読** 授業内容：指定した英文記事の輪読を行う。 事前学修 2.0hr：指定された記事を読み、輪読の準備をする。 事後学修 2.0hr：記事を読み直し、内容と語彙を確認して要約を作成する。
7 回	**授業テーマ：英文記事輪読** 授業内容：指定した英文記事の輪読を行う。 事前学修 2.0hr：指定された記事を読み、輪読の準備をする。 事後学修 2.0hr：記事を読み直し、内容と語彙を確認して要約を作成する。
8 回	**授業テーマ：英文記事輪読** 授業内容：指定した英文記事の輪読を行う。 事前学修 2.0hr：指定された記事を読み、輪読の準備をする。 事後学修 2.0hr：記事を読み直し、内容と語彙を確認して要約を作成する。
9 回	**授業テーマ：英文記事輪読** 授業内容：指定した英文記事の輪読を行う。 事前学修 2.0hr：指定された記事を読み、輪読の準備をする。 事後学修 2.0hr：記事を読み直し、内容と語彙を確認して要約を作成する。
10 回	**授業テーマ：英文記事輪読** 授業内容：指定した英文記事の輪読を行う。 事前学修 2.0hr：指定された記事を読み、輪読の準備をする。 事後学修 2.0hr：記事を読み直し、内容と語彙を確認して要約を作成する。
11 回	**授業テーマ：英文記事要約** 授業内容：指定した英文記事の輪読を行う。 事前学修 2.0hr：指定された記事を読み、輪読の準備をする。 事後学修 2.0hr：記事を読み直し、内容と語彙を確認して要約を作成する。

12回	**授業テーマ：英文記事輪読** 授業内容：指定した英文記事の輪読を行う。 事前学修 2.0hr：指定された記事を読み、輪読の準備をする。 事後学修 2.0hr：記事を読み直し、内容と語彙を確認して要約を作成する。
13回	**授業テーマ：英文記事輪読** 授業内容：指定した英文記事の輪読を行う。 事前学修 2.0hr：指定された記事を読み、輪読の準備をする。 事後学修 2.0hr：記事を読み直し、内容と語彙を確認して要約を作成する。
14回	**授業テーマ：英文記事輪読** 授業内容：指定した英文記事の輪読を行う。 事前学修 2.0hr：指定された記事を読み、輪読の準備をする。 事後学修 2.0hr：記事を読み直し、内容と語彙を確認して要約を作成する。
15回	**授業テーマ：英文記事輪読** 授業内容：指定した英文記事の輪読を行う。 事前学修 2.0hr：指定された記事を読み、輪読の準備をする。 事後学修 2.0hr：記事を読み直し、内容と語彙を確認して要約を作成する。

時事英語 b

開講学科等：日英中 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

ケイコ　ナカムラ

▌授業の概要

In this class, we will cover news from all over the world in English, by reading timely news articles and listening to news reports. We will learn how to use English as a tool to explore global news and learn how to understand news events which are unfolding around us, on a local, regional, national, and global level. We will read articles from newspapers and online news sites and listen to online news clips. In addition, we will discuss differences between news reporting in the U.S. and Japan (e.g., differences in language, news coverage and analysis) and examine cultural differences. The articles and video clips we will study will be taken from both domestic and international news, covering various topics (e.g., politics, economy/business, education, health). Active participation will be encouraged through the active exchange of ideas, as well as a willingness to examine problems and generate solutions.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語学科 GSM G ①、英米語学科 3、中国語学科 GSM 5）

一般目標：1. Learn how to read and understand news articles in English.
2. Learn how to listen to and understand news clips in English.
3. Learn how to discuss news in English.
4. Learn how to understand important issues which will help you in the future.

個別目標：1. Develop critical thinking skills which will help you understand global issues.
2. Develop presentational skills by presenting your opinions/analyses of news events.
3. Foster a global perspective and the ability to examine problems and generate solutions.

▌履修条件

Students with an interest in domestic/international news are welcome to this class. Also, students who hope to actively improve their English skills by listening to, reading, and discussing the news will enjoy this class.

▌評価基準・方法

Final presentation/report 40%
Active participation: short presentations, assignments/worksheets 60%

▌フィードバック方法

Feedback will be conducted face-to-face (e.g., by return of assignments), as well as via manaba.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Discussion and exchange of ideas and opinions）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Listening activities will be conducted using a PC/device）

▌教科書

Weekly handouts with timely news articles will be prepared every week.

▌参考書

Will be provided as necessary

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Orientation & introduction** 授業内容：Orientation to the class. Ice-breaking introduction activity with classmates. Discussion of news items of interest. 事前学修 2.0hr：Be prepared with one news item to share with the class. 事後学修 2.0hr：Review materials from class; summarize what you have learned (e.g., vocabulary).
2回	**授業テーマ：News highlights from this week** 授業内容：We will listen to this week's news and do a dictation activity. Then we will explore the meaning, examining the vocabulary. We will also read a related news article and discuss it. 事前学修 2.0hr：Be prepared with one news item to share with the class. 事後学修 2.0hr：Review materials from class (e.g., read aloud, shadowing); summarize what you have learned (e.g., vocabulary).
3回	**授業テーマ：News highlights from this week** 授業内容：We will listen to this week's news and do a dictation activity. Then we will explore the meaning, examining the vocabulary. We will also read a related news article and discuss it. 事前学修 2.0hr：Be prepared with one news item to share with the class. 事後学修 2.0hr：Review materials from class (e.g., read aloud, shadowing); summarize what you have learned (e.g., vocabulary).
4回	**授業テーマ：News highlights from this week** 授業内容：We will listen to this week's news and do a dictation activity. Then we will explore the meaning, examining the vocabulary. We will also read a related news article and discuss it. 事前学修 2.0hr：Be prepared with one news item to share with the class. 事後学修 2.0hr：Review materials from class (e.g., read aloud, shadowing); summarize what you have learned (e.g., vocabulary).
5回	**授業テーマ：News highlights from this week** 授業内容：We will listen to this week's news and do a dictation activity. Then we will explore the meaning, examining the vocabulary. We will also read a related news article and discuss it. 事前学修 2.0hr：Be prepared with one news item to share with the class. 事後学修 2.0hr：Review materials from class (e.g., read aloud, shadowing); summarize what you have learned (e.g., vocabulary).
6回	**授業テーマ：News highlights from this week** 授業内容：We will listen to this week's news and do a dictation activity. Then we will explore the meaning, examining the vocabulary. We will also read a related news article and discuss it. 事前学修 2.0hr：Be prepared with one news item to share with the class. 事後学修 2.0hr：Review materials from class (e.g., read aloud, shadowing); summarize what you have learned (e.g., vocabulary).
7回	**授業テーマ：News highlights from this week** 授業内容：We will listen to this week's news and do a dictation activity. Then we will explore the meaning, examining the vocabulary. We will also read a related news article and discuss it. 事前学修 2.0hr：Be prepared with one news item to share with the class. 事後学修 2.0hr：Review materials from class (e.g., read aloud, shadowing); summarize what you have learned (e.g., vocabulary).

8回	**授業テーマ：News highlights from this week** 授業内容：We will listen to this week's news and do a dictation activity. Then we will explore the meaning, examining the vocabulary. We will also read a related news article and discuss it. 事前学修 2.0hr：Be prepared with one news item to share with the class. 事後学修 2.0hr：Review materials from class (e.g., read aloud, shadowing); summarize what you have learned (e.g., vocabulary).
9回	**授業テーマ：News highlights from this week** 授業内容：We will listen to this week's news and do a dictation activity. Then we will explore the meaning, examining the vocabulary. We will also read a related news article and discuss it. 事前学修 2.0hr：Be prepared with one news item to share with the class. 事後学修 2.0hr：Review materials from class (e.g., read aloud, shadowing); summarize what you have learned (e.g., vocabulary).
10回	**授業テーマ：News highlights from this week** 授業内容：We will listen to this week's news and do a dictation activity. Then we will explore the meaning, examining the vocabulary. We will also read a related news article and discuss it. 事前学修 2.0hr：Be prepared with one news item to share with the class. 事後学修 2.0hr：Review materials from class (e.g., read aloud, shadowing); summarize what you have learned (e.g., vocabulary).
11回	**授業テーマ：News highlights from this week** 授業内容：We will listen to this week's news and do a dictation activity. Then we will explore the meaning, examining the vocabulary. We will also read a related news article and discuss it. 事前学修 2.0hr：Be prepared with one news item to share with the class. 事後学修 2.0hr：Review materials from class (e.g., read aloud, shadowing); summarize what you have learned (e.g., vocabulary).
12回	**授業テーマ：News highlights from this week** 授業内容：We will listen to this week's news and do a dictation activity. Then we will explore the meaning, examining the vocabulary. We will also read a related news article and discuss it. 事前学修 2.0hr：Be prepared with one news item to share with the class. 事後学修 2.0hr：Review materials from class (e.g., read aloud, shadowing); summarize what you have learned (e.g., vocabulary).
13回	**授業テーマ：News highlights from this week** 授業内容：We will listen to this week's news and do a dictation activity. Then we will explore the meaning, examining the vocabulary. We will also read a related news article and discuss it. 事前学修 2.0hr：Be prepared with one news item to share with the class. 事後学修 2.0hr：Review materials from class (e.g., read aloud, shadowing); summarize what you have learned (e.g., vocabulary).
14回	**授業テーマ：News Presentations 1** 授業内容：Students will read a news article/listen to a news clip and give presentations. 事前学修 2.0hr：Be prepared with one news item to share with the class. 事後学修 2.0hr：Review materials from class (e.g., read aloud, shadowing); summarize what you have learned (e.g., vocabulary).
15回	**授業テーマ：News Presentations 2** 授業内容：Students will read a news article/listen to a news clip and give presentations. 事前学修 2.0hr：Be prepared with one news item to share with the class. 事後学修 2.0hr：Reflect on what you have learned this semester.

Advanced Business English a

開講学科等：日英中 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

小谷　哲男（こたに　てつお）

▌授業の概要
TOEIC のリーディング用問題集を通じて、実践的ビジネス英語のスキルを学ぶ。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語学科 GSM G ①、英米語学科 2、中国語学科 GSM 5）
一般目標：グローバルなビジネスシーンで活かすことができる英語コミュニケーション能力を身につけることができる。
個別目標：TOEIC で 650 点以上を達成することができる。
　　実践的ビジネス英語のスキルを身につけることができる。

▌履修条件
TOEIC のスコアを上げるため、グループワークに積極的に取り組むこと。TOEIC の公開テスト受験は必須ではないが、推奨する。

▌評価基準・方法
授業内試験 60 %
平常点　40 %
原則、3 回の欠席または課題未提出で評価対象外とする。

▌フィードバック方法
授業内および manaba で行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）
あり （グループワークを行う。）

▌授業での PC の利用（利用内容）
あり （試験は PC・タブレットを使って行う。）

▌教科書
ETS『公式 TOEIC Listening & Reading 650 ＋』（国際ビジネスコミュニケーション協会、2023 年）
TEX 加藤『TOEIC　L&R　Test　出る単特急　金のフレーズ』（朝日新聞出版、2017 年）

▌参考書
必要に応じて、ハンドアウトを配布する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：授業の進め方、評価方法等を説明し、TOEIC の練習問題を解く。 事前学修 2.0hr：シラバスの確認 事後学修 2.0hr：練習問題の復習
2 回	**授業テーマ：教科書　1 セット** 授業内容：TOEIC の Part5~7 の問題を解き、グループワークで正解を導き出す。 事前学修 2.0hr：教科書指定箇所の自律学修 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
3 回	**授業テーマ：教科書　2 セット** 授業内容：TOEIC の Part5~7 の問題を解き、グループワークで正解を導き出す。 事前学修 2.0hr：教科書指定箇所の自律学修 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
4 回	**授業テーマ：教科書　3 セット** 授業内容：TOEIC の Part5~7 の問題を解き、グループワークで正解を導き出す。 事前学修 2.0hr：教科書指定箇所の自律学修 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
5 回	**授業テーマ：教科書　4 セット** 授業内容：TOEIC の Part5~7 の問題を解き、グループワークで正解を導き出す。 事前学修 2.0hr：教科書指定箇所の自律学修 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
6 回	**授業テーマ：教科書　5 セット** 授業内容：TOEIC の Part5~7 の問題を解き、グループワークで正解を導き出す。 事前学修 2.0hr：教科書指定箇所の自律学修 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
7 回	**授業テーマ：教科書　6 セット** 授業内容：TOEIC の Part5~7 の問題を解き、グループワークで正解を導き出す。 事前学修 2.0hr：教科書指定箇所の自律学修 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
8 回	**授業テーマ：教科書　7 セット** 授業内容：TOEIC の Part5~7 の問題を解き、グループワークで正解を導き出す。 事前学修 2.0hr：教科書指定箇所の自律学修 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
9 回	**授業テーマ：教科書　8 セット** 授業内容：TOEIC の Part5~7 の問題を解き、グループワークで正解を導き出す。 事前学修 2.0hr：教科書指定箇所の自律学修 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
10 回	**授業テーマ：教科書　9 セット** 授業内容：TOEIC の Part5~7 の問題を解き、グループワークで正解を導き出す。 事前学修 2.0hr：教科書指定箇所の自律学修 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
11 回	**授業テーマ：教科書　10 セット** 授業内容：TOEIC の Part5~7 の問題を解き、グループワークで正解を導き出す。 事前学修 2.0hr：教科書指定箇所の自律学修 事後学修 2.0hr：授業内容の復習

12回	**授業テーマ：教科書　11 セット** 授業内容：TOEIC の Part5~7 の問題を解き、グループワークで正解を導き出す。 事前学修 2.0hr：教科書指定箇所の自律学修 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
13回	**授業テーマ：教科書　12 セット** 授業内容：TOEIC の Part5~7 の問題を解き、グループワークで正解を導き出す。 事前学修 2.0hr：教科書指定箇所の自律学修 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
14回	**授業テーマ：教科書　13 セット** 授業内容：TOEIC の Part5~7 の問題を解き、グループワークで正解を導き出す。 事前学修 2.0hr：教科書指定箇所の自律学修 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
15回	**授業テーマ：総括** 授業内容：TOEIC の模試を行う。 事前学修 2.0hr：教科書の復習 事後学修 2.0hr：試験の復習

Advanced Business English a

開講学科等：日英中 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

中井　延美（なかい　のぶみ）

▌授業の概要

この授業では、ビジネス場面で求められる高度な英語コミュニケーション能力を身につけるための土台を築く。観光業を含むさまざまなビジネス場面で求められる英語を、日本語のビジネスコミュニケーションと併せて学ぶ。また、異文化理解の観点も取り入れ、言語間での文化的・表現的な違いを比較しながら学習するとともに、気遣いや配慮を英語で適切に伝えるための仕組みについても学ぶ。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語学科 GSM G ①、英米語学科 2、中国語学科 GSM 5）

一般目標：英語を使って仕事をする際に必要となるコミュニケーション能力を養い、観光業を含むさまざまなビジネスの場面で効果的に英語を活用できるようになること。また、英語と日本語の文化的・表現的な違いを理解し、異文化理解を深めることを目指す。さらに、気遣いや配慮を英語で適切に伝える仕組みを学び、英語で円滑な対人関係を築くことができるようになる。

個別目標：(1) 様々なビジネス場面で使える英語の基本的な表現を習得する。
(2) 日本語と英語の文化的・表現的な違いを理解する。
(3) 英語で気遣い・配慮を伝える方法を知る。
(4) ビジネス英語を使って簡単な会話やプレゼンテーションを行う。

▌履修条件

気遣いや配慮を英語・日本語で表現することに関心があり、指定された教科書の箇所を毎回しっかり読み込み、予習を行うことができる人。

▌評価基準・方法

授業への取組み（ディスカッション、グループ活動など）：30 %
課題の提出：30 %
期末試験：40%

▌フィードバック方法

manaba の個別指導コレクション等を通じて適宜フィードバックする。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ペアワーク、グループワークなど）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

藤田玲子編著(2025)『ホスピタリティ・コミュニケーション ― 満足を生む観光人材になるための基礎知識』晃洋書房.

▌参考書

中井延美(2018)『必携！ 日本語ボランティアの基礎知識』大修館書店.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：授業の概要を説明する 事前学修 2.0hr：manaba アンケートに回答する 事後学修 2.0hr：課題に取り組む
2回	**授業テーマ：ビジネスコミュニケーションとは** 授業内容：一般的なコミュニケーションとビジネスコミュニケーションの違いを学ぶ 事前学修 2.0hr：教科書の指定範囲を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む
3回	**授業テーマ：コンピテンシーの向上とは** 授業内容：コンピテンシーの習得とフレームワークの活用について学ぶ 事前学修 2.0hr：教科書の指定範囲を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む
4回	**授業テーマ：ビジネス場面における言語対応(1)** 授業内容：現場での言語運用について学ぶ 事前学修 2.0hr：教科書の指定範囲を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む
5回	**授業テーマ：ビジネス場面における言語対応(2)** 授業内容：Can-Do リストを支える言語力について知る 事前学修 2.0hr：教科書の指定範囲を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む
6回	**授業テーマ：異文化コミュニケーション(1)** 授業内容：高コンテクスト文化・低コンテクスト文化とコミュニケーションスタイル 事前学修 2.0hr：教科書の指定範囲を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む
7回	**授業テーマ：異文化コミュニケーション(2)** 授業内容：日本的な「察し・遠慮」を踏まえて、英語コミュニケーションを考えてみる 事前学修 2.0hr：教科書の指定範囲を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む
8回	**授業テーマ：気遣いや配慮を英語で伝える仕組み(1)** 授業内容：「英語ができる」と「英語でビジネスができる」の違いについて学ぶ 事前学修 2.0hr：教科書の指定範囲を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む
9回	**授業テーマ：気遣いや配慮を英語で伝える仕組み(2)** 授業内容：専門英語としての接客英語とビジネス英語の違いについて学ぶ 事前学修 2.0hr：教科書の指定範囲を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む
10回	**授業テーマ：気遣いや配慮を英語で伝える仕組み(3)** 授業内容：普遍的なポライトネスの仕組みを理論を通して学ぶ 事前学修 2.0hr：教科書の指定範囲を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む

11回	**授業テーマ：気遣いや配慮を英語で伝える仕組み(4)** 授業内容：気遣い・配慮が「ことば化」される仕組みについて英語と日本語を比較しながら考える 事前学修 2.0hr：教科書の指定範囲を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む
12回	**授業テーマ：気遣いや配慮を英語で伝える仕組み(5)** 授業内容：英語で気遣いや配慮を伝える方法を学ぶ 事前学修 2.0hr：教科書の指定範囲を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む
13回	**授業テーマ：やさしい日本語・やさしい英語の使い方(1)** 授業内容：「やさしい日本語」の形式と実践について学ぶ 事前学修 2.0hr：教科書の指定範囲を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む
14回	**授業テーマ：やさしい日本語・やさしい英語の使い方(2)** 授業内容：「やさしい英語」はどのような場面で活きてくるかを学ぶ 事前学修 2.0hr：教科書の指定範囲を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む
15回	**授業テーマ：総まとめ** 授業内容：様々なビジネス場面で使える基本的な英語表現、日本語との文化的・表現的な違い、気遣いや配慮を英語で伝える仕組みなどを復習する。 事前学修 2.0hr：教科書の指定範囲を復習する 事後学修 2.0hr：課題に取り組む

Advanced Business English b

開講学科等：日英中 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

小谷　哲男（こたに　てつお）

▌授業の概要
TOEIC のリーディング用問題集を通じて、実践的ビジネス英語のスキルを学ぶ。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語学科 GSM G ①、英米語学科 2、中国語学科 GSM 5）
一般目標：TOEIC 対策を通じて、グローバルなビジネスシーンで活かすことができる英語コミュニケーション能力を身につけることができる。
個別目標：TOEIC で 800 点以上を達成することができる。
　　実践的ビジネス英語のスキルを身につけることができる。

▌履修条件
TOEIC のスコアを上げるため、グループワークに積極的に取り組むこと。TOEIC の公開テスト受験は必須ではないが、推奨する。

▌評価基準・方法
授業内試験 60 %
平常点　40 %
原則、3 回の欠席または課題未提出で評価対象外とする。

▌フィードバック方法
授業内および manaba を通じて行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）
あり （グループワークを行う。）

▌授業での PC の利用（利用内容）
あり （試験は PC・タブレットを使って行う。）

▌教科書
ETS『公式 TOEIC Listening & Reading 800+』（国際ビジネスコミュニケーション協会、2021 年）
TEX 加藤『TOEIC　L&R　Test　出る単特急　金のフレーズ』（朝日新聞出版、2017 年）

▌参考書
必要に応じて、ハンドアウトを配布。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：授業の進め方、評価方法等を説明し、TOEIC の練習問題を解く。 事前学修 2.0hr：シラバスの確認 事後学修 2.0hr：練習問題の復習
2 回	**授業テーマ：教科書　1 セット** 授業内容：TOEIC の Part5~7 の問題を解き、グループワークで正解を導き出す。 事前学修 2.0hr：教科書指定箇所の自律学修 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
3 回	**授業テーマ：教科書　2 セット** 授業内容：TOEIC の Part5~7 の問題を解き、グループワークで正解を導き出す。 事前学修 2.0hr：教科書指定箇所の自律学修 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
4 回	**授業テーマ：教科書　3 セット** 授業内容：TOEIC の Part5~7 の問題を解き、グループワークで正解を導き出す。 事前学修 2.0hr：教科書指定箇所の自律学修 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
5 回	**授業テーマ：教科書　4 セット** 授業内容：TOEIC の Part5~7 の問題を解き、グループワークで正解を導き出す。 事前学修 2.0hr：教科書指定箇所の自律学修 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
6 回	**授業テーマ：教科書　5 セット** 授業内容：TOEIC の Part5~7 の問題を解き、グループワークで正解を導き出す。 事前学修 2.0hr：教科書指定箇所の自律学修 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
7 回	**授業テーマ：教科書　6 セット** 授業内容：TOEIC の Part5~7 の問題を解き、グループワークで正解を導き出す。 事前学修 2.0hr：教科書指定箇所の自律学修 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
8 回	**授業テーマ：教科書　7 セット** 授業内容：TOEIC の Part5~7 の問題を解き、グループワークで正解を導き出す。 事前学修 2.0hr：教科書指定箇所の自律学修 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
9 回	**授業テーマ：教科書　8 セット** 授業内容：TOEIC の Part5~7 の問題を解き、グループワークで正解を導き出す。 事前学修 2.0hr：教科書指定箇所の自律学修 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
10 回	**授業テーマ：教科書　9 セット** 授業内容：TOEIC の Part5~7 の問題を解き、グループワークで正解を導き出す。 事前学修 2.0hr：教科書指定箇所の自律学修 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
11 回	**授業テーマ：教科書　10 セット** 授業内容：TOEIC の Part5~7 の問題を解き、グループワークで正解を導き出す。 事前学修 2.0hr：教科書指定箇所の自律学修 事後学修 2.0hr：授業内容の復習

12回	**授業テーマ：教科書　11 セット** 授業内容：TOEIC の Part5~7 の問題を解き、グループワークで正解を導き出す。 事前学修 2.0hr：教科書指定箇所の自律学修 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
13回	**授業テーマ：教科書　12 セット** 授業内容：TOEIC の Part5~7 の問題を解き、グループワークで正解を導き出す。 事前学修 2.0hr：教科書指定箇所の自律学修 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
14回	**授業テーマ：教科書　13 セット** 授業内容：TOEIC の Part5~7 の問題を解き、グループワークで正解を導き出す。 事前学修 2.0hr：教科書指定箇所の自律学修 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
15回	**授業テーマ：総括** 授業内容：TOEIC の模試を行う。 事前学修 2.0hr：教科書の復習 事後学修 2.0hr：試験の復習

Advanced Business English b

開講学科等：日英中 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

中井　延美（なかい　のぶみ）

▌授業の概要

前学期の Advanced Business English a で学んだことをもとに、ビジネス場面で求められる高度な英語コミュニケーション能力を身につけるための土台をさらに築いていく。観光業を含むさまざまなビジネス場面で求められる英語を、日本語のビジネスコミュニケーションと併せて学ぶ。観光ガイドや観光案内所などの仕事の現場で使う英語、外国人の同僚とのコミュニケーション、英語を使ったインターンシップなどについて学ぶ。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語学科 GSM G ①、英米語学科 2、中国語学科 GSM 5）

一般目標：前学期の Advanced Business English a での学習を踏まえ、ビジネスの現場で求められる高度な英語コミュニケーション能力をさらに強化する。観光業を含む多様なビジネスシーンにおいて、英語と日本語のビジネスコミュニケーションを併せて学び、実践的な運用力を高める。特に、観光ガイドや観光案内所での対応、外国人の同僚との職場内コミュニケーション、英語を活用したインターンシップなど、実務に直結するスキルの習得を目指す。

個別目標：(1) ビジネスの現場で必要な高度な英語コミュニケーション能力の土台を強化する。
(2) 観光業を含む多様なビジネス場面における英語と日本語のビジネスコミュニケーションを学ぶ。
(3) 英語を使って仕事をする現場で顧客や同僚とのコミュニケーションを円滑に行う力を身につける。
(5) 英語を活用したインターンシップに対応できる実践的なスキルを習得する。

▌履修条件

授業内容に興味を持ち、指定された教科書の該当箇所を毎回しっかり読み込み、予習ができること。2025 年度前学期の Advanced Business English a を履修していることが望ましい。履修していない場合は、前学期に扱われた教科書の範囲を事前に読み、理解しておくこと。

▌評価基準・方法

授業への取組み（ディスカッション、グループ活動など）：30 %
課題の提出：30 %
期末試験：40%

▌フィードバック方法

manaba の個別指導コレクション等を通じて適宜フィードバックする。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ペアワーク、グループワークなど）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

藤田玲子編著(2025)『ホスピタリティ・コミュニケーション ― 満足を生む観光人材になるための基礎知識』晃洋書房.

▌参考書

中井延美(2018)『必携！ 日本語ボランティアの基礎知識』大修館書店.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：授業の概要を説明する 事前学修 2.0hr：manaba アンケートに回答する 事後学修 2.0hr：課題に取り組む
2回	**授業テーマ：異文化コミュニケーション(前学期の復習)** 授業内容：前学期に学んだ高コンテクスト文化・低コンテクスト文化とコミュニケーションスタイルについて復習する 事前学修 2.0hr：教科書の指定範囲を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む
3回	**授業テーマ：気遣いや配慮を英語で伝える仕組み(前期の復習) (1)** 授業内容：普遍的なポライトネスの仕組みを復習する 事前学修 2.0hr：教科書の指定範囲を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む
4回	**授業テーマ：気遣いや配慮を英語で伝える仕組み(前期の復習) (2)** 授業内容：英語で気遣いや配慮を伝える方法を復習する 事前学修 2.0hr：教科書の指定範囲を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む
5回	**授業テーマ：観光場面でのビジネス英語(1)** 授業内容：観光ガイドの仕事を概観する 事前学修 2.0hr：教科書の指定範囲を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む
6回	**授業テーマ：観光場面でのビジネス英語(2)** 授業内容：観光案内所の役割と仕事の実践について学ぶ 事前学修 2.0hr：教科書の指定範囲を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む
7回	**授業テーマ：学生によるプレゼンテーション(1)** 授業内容：自分が売り込みたい商品、サービス、アイデアなどを一つ決め、その魅力を伝えるプレゼンテーションを英語で行う。自身が聴衆である場合には、そのプレゼンテーションについて指定された項目によって評価する。 事前学修 2.0hr：教科書の指定範囲を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む
8回	**授業テーマ：学生によるプレゼンテーション(2)** 授業内容：自分が売り込みたい商品、サービス、アイデアなどを一つ決め、その魅力を伝えるプレゼンテーションを英語で行う。自身が聴衆である場合には、そのプレゼンテーションについて指定された項目によって評価する。 事前学修 2.0hr：教科書の指定範囲を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む

9回	**授業テーマ：学生によるプレゼンテーション(3)** 授業内容：自分が売り込みたい商品、サービス、アイデアなどを一つ決め、その魅力を伝えるプレゼンテーションを英語で行う。自身が聴衆である場合には、そのプレゼンテーションについて指定された項目によって評価する。 事前学修 2.0hr：教科書の指定範囲を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む
10回	**授業テーマ：学生によるプレゼンテーション(4)** 授業内容：自分が売り込みたい商品、サービス、アイデアなどを一つ決め、その魅力を伝えるプレゼンテーションを英語で行う。自身が聴衆である場合には、そのプレゼンテーションについて指定された項目によって評価する。 事前学修 2.0hr：教科書の指定範囲を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む
11回	**授業テーマ：学生によるプレゼンテーション(5)** 授業内容：自分が売り込みたい商品、サービス、アイデアなどを一つ決め、その魅力を伝えるプレゼンテーションを英語で行う。自身が聴衆である場合には、そのプレゼンテーションについて指定された項目によって評価する。 事前学修 2.0hr：教科書の指定範囲を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む
12回	**授業テーマ：学生によるプレゼンテーション(6)** 授業内容：自分が売り込みたい商品、サービス、アイデアなどを一つ決め、その魅力を伝えるプレゼンテーションを英語で行う。自身が聴衆である場合には、そのプレゼンテーションについて指定された項目によって評価する。 事前学修 2.0hr：教科書の指定範囲を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む
13回	**授業テーマ：学生によるプレゼンテーション(7)** 授業内容：自分が売り込みたい商品、サービス、アイデアなどを一つ決め、その魅力を伝えるプレゼンテーションを英語で行う。自身が聴衆である場合には、そのプレゼンテーションについて指定された項目によって評価する。 事前学修 2.0hr：教科書の指定範囲を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む
14回	**授業テーマ：学生によるプレゼンテーション(8)** 授業内容：自分が売り込みたい商品、サービス、アイデアなどを一つ決め、その魅力を伝えるプレゼンテーションを英語で行う。自身が聴衆である場合には、そのプレゼンテーションについて指定された項目によって評価する。 事前学修 2.0hr：教科書の指定範囲を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む
15回	**授業テーマ：総まとめ** 授業内容：様々なビジネス場面で使える基本的な英語表現、日本語との文化的・表現的な違いや異文化コミュニケーション、気遣いや配慮を英語で伝える仕組み、観光ガイドや観光案内所での英語業務などについて復習する。 事前学修 2.0hr：教科書の指定範囲を復習する 事後学修 2.0hr：課題に取り組む

文化講義Ⅰ（日本）

開講学科等：日英中 ｜ 2年次 ｜ 2単位 ｜ 開講期：後

菊地　明範（きくち　あきのり）

▌授業の概要

日本が、無文字社会から文字を獲得してゆき、現在の漢字仮名交じり文に落ち着くまでの流れを俯瞰する。文字文化の変遷を追いながら時代ごとの作品について考察を加える。
また時代ごとの美意識の変化について、和歌に軸足を置きつつ考察してゆきたい。
授業に関する連絡はその都度 manaba を通じて行う。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語学科〔日本語専攻 G ①/G ②/G ③/G ④、GSM G ③〕、英米語学科 2、中国語学科 GSM 5）

一般目標：1、日本における文字の変遷について理解する。
2，和歌を中心に「美意識」がどのように変化していったのかを時代を追って理解する。
3、それぞれの時代を代表する文学作品について理解する。
4，時代を代表する芸能について理解を深める。
個別目標：(1)無文字社会であった日本がどのように文字を獲得していったか説明できる。
(2)印刷文化について説明できる。
(3)仮名の字母を理解し、現在も残る変体仮名を判読できる。
(4)和歌史の流れの中に連歌・俳諧を位置づけ、美意識の変化を説明できる。
(5)芸能史の流れを認識できる。

▌履修条件

積極的に授業に参加する意欲を持ち合わせていること。
課題に積極的に取り組む意欲を持ち合わせていること。

▌評価基準・方法

提出物６０%(レポート・プリント・振り返りシートなど)
平常点４０%(授業での発言、質問、討議など)
※提出物に関しては基本的に manaba で課題配信し、manaba に提出することになる。

▌フィードバック方法

manaba を利用し、学習内容を確認し、改善点などを指摘する予定である。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループディスカッションをしてもらうことがあります。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

定めない。必要に応じてプリントを配布する。

▌参考書

授業内にその都度指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス・日本文化について考えてみよう** 授業内容：「文化」についてみんなで考えてみましょう。 事前学修 2.0hr：現在の自分が考える日本文化の特徴についてまとめておく 事後学修 2.0hr：日本文化について知りたいことなどを記録しておく
2回	**授業テーマ：文字について考える１** 授業内容：文字の変遷について学びます。 事前学修 2.0hr：ひらがな・カタカナについて再認識しておく 事後学修 2.0hr：現行ひらがな・カタカナの字母を確認しておく
3回	**授業テーマ：文字について考える２** 授業内容：文字の変遷について学びます。 事前学修 2.0hr：漢文訓読の方法について復習しておく 事後学修 2.0hr：日本語を記すことについて考察しておく
4回	**授業テーマ：文字について考える３** 授業内容：文字の変遷について学びます。 事前学修 2.0hr：印刷が社会にどのような影響を与えたか考察しておく 事後学修 2.0hr：印刷文字からディジタル文字へ
5回	**授業テーマ：文字について考える４** 授業内容：文字の変遷について学びます。 事前学修 2.0hr：身の回りにあるくずし字を収集する 事後学修 2.0hr：身の回りにあるくずし字を判読する
6回	**授業テーマ：美意識の変化１(平安時代)** 授業内容：平安時代の美意識について、『古今和歌集』を軸に考えます。 事前学修 2.0hr：平安時代の文学史を概観しておく 事後学修 2.0hr：『古今和歌集』が導いた美について考察する
7回	**授業テーマ：美意識の変化２(鎌倉時代)** 授業内容：鎌倉時代の美意識について『新古今和歌集』を軸に考えます。 事前学修 2.0hr：鎌倉時代の文学史を概観しておく 事後学修 2.0hr：幽玄という美意識について理解する
8回	**授業テーマ：美意識の変化３(室町・江戸時代①)** 授業内容：室町時代の美意識について『風姿花伝』を軸に考えます。 事前学修 2.0hr：室町時代から江戸時代にかけての文学史を概観しておく 事後学修 2.0hr：世阿弥が求めたものを理解する

9回	**授業テーマ：美意識の変化４（江戸時代）** 授業内容：江戸時代前期の美意識について、俳諧を通して考えます。 事前学修 2.0hr：江戸時代前半の文学史を概観しておく 事後学修 2.0hr：俳諧への道のりを理解する
10回	**授業テーマ：美意識の変化５（江戸時代）** 授業内容：江戸時代の美意識について、歌舞伎を通して考えます。 事前学修 2.0hr：歌舞伎について調べておく 事後学修 2.0hr：芸能がどのように発展していったか理解する
11回	**授業テーマ：文化史の中の文学** 授業内容：連歌・俳諧について通観してみます。 事前学修 2.0hr：これまでの授業内容を確認する 事後学修 2.0hr：文学史を概観することで見えてくるものについて考察する
12回	**授業テーマ：芸能を鑑賞する１** 授業内容：能楽について理解を深めます。 事前学修 2.0hr：芸能の歴史を確認する 事後学修 2.0hr：振り返りシートを用い、それぞれの芸能について鑑賞する
13回	**授業テーマ：芸能を鑑賞する２** 授業内容：文楽・歌舞伎について理解を深めます。 事前学修 2.0hr：芸能の歴史を確認する 事後学修 2.0hr：『風姿花伝』について考察しておく
14回	**授業テーマ：明治・大正・昭和の文字文化について** 授業内容：近代日本文化について考えます。 事前学修 2.0hr：近代文学について概観する 事後学修 2.0hr：近代文学の在り方について理解する
15回	**授業テーマ：日本語のゆくえ** 授業内容：皆で今後の日本文化がどのような形になっていくか考えてみましょう。 事前学修 2.0hr：今後の日本語の在り方について考察する 事後学修 2.0hr：レポート作成。

文化講義Ⅱ（異文化理解）

開講学科等：日英中 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

髙橋　眞人（たかはし　まさと）

▌授業の概要

【異文化コミュニケーションとコミュニケーション能力について学習する】

・日本語教師養成における「教育内容の言語と教育に関わる領域」の「異文化間教育とコミュニケーション教育」のうち異文化間教育、異文化コミュニケーション、コミュニケーション教育を、また言語に関わる領域のコミュニケーション能力のうち社会文化能力、対人関係能力、異文化調整能力を中心に育成する。

・多文化共生を目指した社会でどのような異文化コミュニケーションが行われ、どのような問題があるのかについての知識を得る。多様な人々を受け入れ、ともに社会を作るために必要な事柄を学修させる。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語学科〔日本語専攻 G ①/G ②/G ③/G ④、GSM G ③〕、英米語学科 2、中国語学科 GSM 5）

一般目標：・異文化に接する際の異文化調整能力や対人関係能力等のコミュニケーション能力を身に着けることを目指す。
・多様な背景をもつ人々を受け入れ、共に生きていくための考え方を身につける。
・異文化を受容し、適応していくための知識を身につけ、どのように適応していけばよいのかを判断できる。

個別目標：・異なる文化を持つ人々の間で生じる様々な問題を克服し、文化の多様性を尊重し、異なる文化背景を持つ者が共生に向けて円滑な関係を築くために必要となる異文化間教育に関する基礎的な知識について理解する。
・外国人受け入れの課題と異なる文化的背景を持つ人々と円滑なコミュニケーションを行うために必要な知識と技能を理解する。
・学習者の日本語によるコミュニケーション能力を育成するために、コミュニケーション教育・コミュニケーションストラテジーの理論及び手法について理解する。
・コミュニケーション能力のうち、社会文化能力と対人関係能力の理論・知識を学習する。

▌履修条件

1 回目の授業コンテンツで、授業の進め方をよく理解すること。

▌評価基準・方法

毎回の授業内で指定する提出物・課題・小テスト 40 %、振り返りレポート 20 %、最終クラスディスカッション及び学期試験 40 %で評価する。90 %以上の成績が S 評価、89 %から 80 %が A 評価、79 %から 70 %が B 評価、69 %から 60 %が C 評価で単位習得とする。59 %以下は D 評価、出席不良 (5 分の 1 に満たない場合)は E 評価とし、単位習得不可とする。

▌フィードバック方法

フィードバックについては、教室内および manaba において行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク、ディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

なし。

▌参考書

『「移民国家」としての日本』宮島喬著、岩波書店
『技能実習生』澤田晃宏著、ちくま書房
『ふたつの日本』望月優大著、講談社
『移民政策と国民』江口孝裕著、神奈川大学出版会

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：オリエンテーション、コミュニケーションと文化【日本語教員試験＜３＞】** 授業内容：授業の目的、到達目標、成績評価の方法を説明する。多文化共生社会の担い手として異文化コミュニケーションを学ぶ意義等を学習し、授業への取り組みの意義を確認する。 事前学修 2.0hr：講義概要を読んで本講義の概要をつかむ。 事後学修 2.0hr：授業の内容をノートに整理する。そのうえで授業を振り返り、考えたことを記述する。
2 回	**授業テーマ：多文化共生主義【日本語教員試験＜３＞】** 授業内容：自文化中心主義と多文化共生主義、文化についての定義やモデル、主なコミュニケーション・モデル、コミュニケーションの持つ意味、特徴等を学習する。事前学修で取り組んだ課題について、グループでディスカッションをし、多角的な視点を得つつ、概念の再構築をする。 事前学修 2.0hr：授業内容にかかわる専門用語の意味を調べてノートに記述する。 事後学修 2.0hr：授業の内容をノートに整理する。そのうえで授業を振り返り、考えたことを記述する。
3 回	**授業テーマ：異文化適応・異文化間トレランス【日本語教員試験＜３＞】** 授業内容：異文化適応のプロセス及びモデル、異文化間トレランス等について、グループでディスカッションを行い、多角的な視点を得つつ、学習する。 事前学修 2.0hr：授業内容にかかわる専門用語の意味を調べてノートに記述する。 事後学修 2.0hr：授業の内容をノートに整理する。そのうえで授業を振り返り、考えたことを記述する。
4 回	**授業テーマ：異文化調整能力【日本語教員試験＜ 50 ＞】** 授業内容：事前学修で取り組んだ課題について、グループでディスカッションをし、多角的な視点を得つつ、異文化間調整能力について学習する。 事前学修 2.0hr：授業内容にかかわる専門用語の意味を調べてノートに記述する。 事後学修 2.0hr：授業の内容をノートに整理する。そのうえで授業を振り返り、考えたことを記述する。
5 回	**授業テーマ：社会文化能力と対人関係能力【日本語教員試験＜ 48・49 ＞】** 授業内容：事前学修で取り組んだ課題について、グループでディスカッションをし、多角的な視点を得つつ、異文化間調整能力について学習する。 事前学修 2.0hr：授業内容にかかわる専門用語の意味を調べてノートに記述する。 事後学修 2.0hr：授業の内容をノートに整理する。そのうえで授業を振り返り、考えたことを記述する。
6 回	**授業テーマ：異文化間教育【日本語教員試験＜ 32 ＞】** 授業内容：異文化間教育について、グループでディスカッションを行い、多角的な視点を得つつ、学習する。 事前学修 2.0hr：授業内容にかかわる専門用語の意味を調べてノートに記述する。 事後学修 2.0hr：授業の内容をノートに整理する。そのうえで授業を振り返り、考えたことを記述する。

7回	**授業テーマ：異文化トレーニング【日本語教員試験＜３＞】** 授業内容：異文化間教育について、グループでディスカッションを行い、多角的な視点を得つつ、学習する。 事前学修 2.0hr：授業内容にかかわる専門用語の意味を調べてノートに記述する。 事後学修 2.0hr：授業の内容をノートに整理する。そのうえで授業を振り返り、考えたことを記述する。
8回	**授業テーマ：異文化コミュニケーション【日本語教員試験＜ 33 ＞】** 授業内容：異文化間教育について、グループでディスカッションを行い、多角的な視点を得つつ、学習する。 事前学修 2.0hr：授業内容にかかわる専門用語の意味を調べてノートに記述する。 事後学修 2.0hr：授業の内容をノートに整理する。そのうえで授業を振り返り、考えたことを記述する。
9回	**授業テーマ：コミュニケーションストラテジーとコミュニケーション教育【日本語教員試験＜ 10・34 ＞】** 授業内容：異文化間教育について、グループでディスカッションを行い、多角的な視点を得つつ、学習する。 事前学修 2.0hr：授業内容にかかわる専門用語の意味を調べてノートに記述する。 事後学修 2.0hr：授業の内容をノートに整理する。そのうえで授業を振り返り、考えたことを記述する。
10回	**授業テーマ：外国人の受け入れと支援【日本語教員試験＜ 13 ＞】** 授業内容：異文化間教育について、グループでディスカッションを行い、多角的な視点を得つつ、学習する。 事前学修 2.0hr：授業内容にかかわる専門用語の意味を調べてノートに記述する。 事後学修 2.0hr：授業の内容をノートに整理する。そのうえで授業を振り返り、考えたことを記述する。
11回	**授業テーマ：外国人受け入れの課題【日本語教員試験＜ 13 ＞】** 授業内容：異文化間教育について、グループでディスカッションを行い、多角的な視点を得つつ、学習する。 事前学修 2.0hr：授業内容にかかわる専門用語の意味を調べてノートに記述する。 事後学修 2.0hr：授業の内容をノートに整理する。そのうえで授業を振り返り、考えたことを記述する。
12回	**授業テーマ：日本が外国人を受け入れる理由【日本語教員試験＜ 13 ＞】** 授業内容：異文化間教育について、グループでディスカッションを行い、多角的な視点を得つつ、学習する。 事前学修 2.0hr：授業内容にかかわる専門用語の意味を調べてノートに記述する。 事後学修 2.0hr：授業の内容をノートに整理する。そのうえで授業を振り返り、考えたことを記述する。
13回	**授業テーマ：移民受け入れに関する世界の動向【日本語教員試験＜ 13 ＞】** 授業内容：異文化間教育について、グループでディスカッションを行い、多角的な視点を得つつ、学習する。 事前学修 2.0hr：授業内容にかかわる専門用語の意味を調べてノートに記述する。 事後学修 2.0hr：授業の内容をノートに整理する。そのうえで授業を振り返り、考えたことを記述する。翌週のディスカッションの準備をする。
14回	**授業テーマ：あるべき統合像、まとめ【日本語教員試験＜ 13 ＞】** 授業内容：・あるべき統合像についてのディスカッションを行い、多文化共生社会の担い手として何をすべきか、どのような力が必要か、そして何ができるかを考える。多角的な視点を得た上で、概念の再構築をする。 ・これまでの学修内容を振り返る。 事前学修 2.0hr：ディスカッションの準備。授業内容にかかわる専門用語の意味を調べてノートに記述する。 事後学修 2.0hr：授業の内容をノートに整理する。そのうえで授業・フィードバックを振り返り、考えたことを記述する。
15回	**授業テーマ：最終試験とフィードバック** 授業内容：最終試験及びフィードバックとしての解説を行い、授業全体の振り返りを行う。 事前学修 2.0hr：これまで学んできたことを整理し、最終試験に備える。 事後学修 2.0hr：最終試験と解説を振り返り、整理したうえで、考えたことを記述する。

Preparation for TOEIC Ⅰ-a

開講学科等：日　｜　1 年次　｜　1 単位　｜　開講期：前

長谷川　奈緒美（はせがわ　なおみ）

▌授業の概要

① TOEIC テストの全体像と各問題形式の把握、②問題演習、③ TOEIC のためのボキャブラリービルディングを通して、一定の英語力を身に付け、英語でのコミュニケーション能力が向上することを目指す。なお、学外で実施される TOEIC 公開テストを受験するための費用は、学生個人の負担となる。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 G ①/G ②/G ③/G ④、GSM G ①）

一般目標：英語力の中でも、特に聴解力、読解力、語彙力、文法力を総合的に向上させ、TOEIC スコアを伸ばすことができる。

個別目標：・TOEIC の演習問題を解きながら、出題形式や頻出表現に慣れることができる。
・スコアアップのための効果的な学習方法を身に付けることで、英語コミュニケーション能力を向上させることができる。
・テキストに出てくる語句の中でも特に頻出の語句を活用できるようになる。
・テキストの解説で使われている基本的な文法や品詞などを理解できるようになる。

▌履修条件

本授業では、TOEIC テストの実際の出題と同レベルのテキストを使用する。英語専攻ではない学生にとっては、基礎レベルのテキストとは難易度に開きがあるため、一定の努力を必要とする。そのため、指定範囲を事前に学修したり、授業内容を積極的に復習したりするなど、自立した学習者であることが期待される。

▌評価基準・方法

リスニング及びリーディングのテスト（60 %）、小テスト（30 %）、授業への参加姿勢及び発言等 (10 %) の結果及び到達目標の達成度に基づき総合的に評価する。また、原則として５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

授業内の演習問題や小テストなどの取り組みに対して、対面あるいは学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Pair work, Group work, Dictation, Shadowing など）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

授業内または学修支援システム manaba を通して資料を適宜配布する。

▌参考書

授業内で適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：オリエンテーション（授業の進め方、TOEIC について）** 授業内容：TOEIC の概要、成績評価、小テストに関する説明を行う。リーディングセクションおよびリスニングセクションの主な出題形式について演習問題を解きながら把握する。 事前学修 1.0hr：TOEIC の問題構成を理解する。 事後学修 1.0hr：本日の学びの復習
2 回	**授業テーマ：TOEIC Listening Section Part 1（リスニング：写真描写問題）** 授業内容：小テスト、Part1 写真描写問題の出題形式に慣れるための問題演習（音読やシャドーイング等含む）を行う。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、小テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習
3 回	**授業テーマ：TOEIC Reading Section Part 5　（リーディング：短文穴埋め問題）** 授業内容：小テスト、Part5 短文穴埋め問題の出題形式に慣れるための問題演習を行う。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、小テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習
4 回	**授業テーマ：TOEIC Listening Section Part 2（リスニング：応答問題）** 授業内容：小テスト、Part2 応答問題問題の出題形式に慣れるための問題演習（音読やシャドーイング等含む）を行う。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、小テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習
5 回	**授業テーマ：TOEIC Reading Section Part 6　（リーディング：長文穴埋め問題）** 授業内容：小テスト、Part6 長文穴埋め問題の出題形式に慣れるための問題演習を行う。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、小テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習
6 回	**授業テーマ：TOEIC Listening Section Part 3（リスニング：会話問題）(1)** 授業内容：小テスト、Part3 会話問題の出題形式に慣れるための問題演習（音読やシャドーイング等含む）を行う。 事前学修 1.0hr：C 指定箇所の予習、小テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習
7 回	**授業テーマ：TOEIC Reading Section Part 7　（リーディング：読解問題）(1)** 授業内容：小テスト、Part7 長文問題（single passages）の出題形式に慣れるための問題演習を行う。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、小テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習
8 回	**授業テーマ：TOEIC Listening Section Part 3（リスニング：会話問題）(2)** 授業内容：小テスト、Part3 会話問題の出題形式に慣れるための問題演習（音読やシャドーイング等含む）を行う。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、小テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習
9 回	**授業テーマ：TOEIC Reading Section Part 7　（リーディング：読解問題）(2)** 授業内容：小テスト、Part7 長文問題（multiple passages）の出題形式に慣れるための問題演習を行う。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、小テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習
10 回	**授業テーマ：TOEIC Listening Section Part 4（リスニング：説明文問題）(1)** 授業内容：小テスト、Part4 説明文問題の出題形式に慣れるための問題演習（音読やシャドーイング等含む）を行う。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、小テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習

11回	**授業テーマ：TOEIC Reading Section Part 7　(リーディング：読解問題) (3)** 授業内容：小テスト、Part7 長文問題(multiple passages)の出題形式に慣れるための問題演習を行う。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、小テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習
12回	**授業テーマ：TOEIC Listening Section Part 4 (リスニング：説明文問題) (2)** 授業内容：小テスト、Part4 説明文問題の出題形式に慣れるための問題演習(音読やシャドーイング等含む)を行う。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、小テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習
13回	**授業テーマ：TOEIC Reading Section Part 7　(リーディング：読解問題) (4)** 授業内容：小テスト、Part7 長文問題(multiple passages)の出題形式に慣れるための問題演習を行う。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、小テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習
14回	**授業テーマ：TOEIC Listening Section Part 4 (リスニング：説明文問題) (3)** 授業内容：小テスト、Part4 説明文問題の出題形式に慣れるための問題演習(音読やシャドーイング等含む)を行う。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、小テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習
15回	**授業テーマ：TOEIC Part 1 ～ 7 の総合問題** 授業内容：小テストの総復習、リスニングセクションおよびリーディングセクションのまとめと TOEIC 総合問題演習を行う。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、小テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習

Preparation for TOEIC Ⅰ-b

開講学科等：日　｜　1 年次　｜　1 単位　｜　開講期：後

長谷川　奈緒美（はせがわ　なおみ）

▌授業の概要

① TOEIC テストの全体像と各問題形式の把握、②問題演習、③ TOEIC のためのボキャブラリービルディングを通して、一定の英語力を身に付け、英語でのコミュニケーション能力が向上することを目指す。なお、学外で実施される TOEIC 公開テストを受験するための費用は、学生個人の負担となる。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 G ①/G ②/G ③/G ④、GSM G ①）

一般目標：英語力の中でも、特に聴解力、読解力、語彙力、文法力を総合的に向上させ、TOEIC スコアを伸ばすことができる。

個別目標：・TOEIC の演習問題を解きながら、出題形式や頻出表現に慣れることができる。
・スコアアップのための効果的な学習方法を身に付けることで、英語コミュニケーション能力を向上させることができる。
・テキストに出てくる語句の中でも特に頻出の語句を活用できるようになる。
・テキストの解説で使われている基本的な文法や品詞などを理解できるようになる。

▌履修条件

本授業では、TOEIC テストの実際の出題と同レベルのテキストを使用する。英語専攻ではない学生にとっては、基礎レベルのテキストとは難易度に開きがあるため、一定の努力を必要とする。そのため、指定範囲を事前に学修したり、授業内容を積極的に復習したりするなど、自立した学習者であることが期待される。

▌評価基準・方法

リスニング及びリーディングのテスト（60 %）、小テスト（30 %）、授業への参加姿勢及び発言等 (10 %) の結果及び到達目標の達成度に基づき総合的に評価する。また、原則として５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

授業内の演習問題や小テストなどの取り組みに対して、対面あるいは学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Pair work, Group work, Dictation, Shadowing など）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

授業内または学修支援システム manaba を通して資料を適宜配布する。

▌参考書

授業内で適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：オリエンテーション（授業の進め方、TOEIC について）** 授業内容：TOEIC の概要、成績評価、小テストに関する説明を行う。リーディングセクションおよびリスニングセクションの主な出題形式について演習問題を解きながら把握する。 事前学修 1.0hr：TOEIC の問題構成を理解する。 事後学修 1.0hr：本日の学びの復習
2 回	**授業テーマ：TOEIC Listening Section Part 1（リスニング：写真描写問題）** 授業内容：小テスト、Part1 写真描写問題の出題形式に慣れるための問題演習（音読やシャドーイング等含む）を行う。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、小テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習
3 回	**授業テーマ：TOEIC Reading Section Part 5　（リーディング：短文穴埋め問題）** 授業内容：小テスト、Part5 短文穴埋め問題の出題形式に慣れるための問題演習を行う。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、小テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習
4 回	**授業テーマ：TOEIC Listening Section Part 2（リスニング：応答問題）** 授業内容：小テスト、Part2 応答問題問題の出題形式に慣れるための問題演習（音読やシャドーイング等含む）を行う。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、小テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習
5 回	**授業テーマ：TOEIC Reading Section Part 6　（リーディング：長文穴埋め問題）** 授業内容：小テスト、Part6 長文穴埋め問題の出題形式に慣れるための問題演習を行う。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、小テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習
6 回	**授業テーマ：TOEIC Listening Section Part 3（リスニング：会話問題）(1)** 授業内容：小テスト、Part3 会話問題の出題形式に慣れるための問題演習（音読やシャドーイング等含む）を行う。 事前学修 1.0hr：C 指定箇所の予習、小テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習
7 回	**授業テーマ：TOEIC Reading Section Part 7　（リーディング：読解問題）(1)** 授業内容：小テスト、Part7 長文問題（single passages）の出題形式に慣れるための問題演習を行う。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、小テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習
8 回	**授業テーマ：TOEIC Listening Section Part 3（リスニング：会話問題）(2)** 授業内容：小テスト、Part3 会話問題の出題形式に慣れるための問題演習（音読やシャドーイング等含む）を行う。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、小テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習
9 回	**授業テーマ：TOEIC Reading Section Part 7　（リーディング：読解問題）(2)** 授業内容：小テスト、Part7 長文問題（multiple passages）の出題形式に慣れるための問題演習を行う。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、小テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習
10 回	**授業テーマ：TOEIC Listening Section Part 4（リスニング：説明文問題）(1)** 授業内容：小テスト、Part4 説明文問題の出題形式に慣れるための問題演習（音読やシャドーイング等含む）を行う。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、小テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習

11回	**授業テーマ：TOEIC Reading Section Part 7　(リーディング：読解問題) (3)** 授業内容：小テスト、Part7 長文問題(multiple passages)の出題形式に慣れるための問題演習を行う。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、小テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習
12回	**授業テーマ：TOEIC Listening Section Part 4 (リスニング：説明文問題) (2)** 授業内容：小テスト、Part4 説明文問題の出題形式に慣れるための問題演習(音読やシャドーイング等含む)を行う。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、小テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習
13回	**授業テーマ：TOEIC Reading Section Part 7　(リーディング：読解問題) (4)** 授業内容：小テスト、Part7 長文問題(multiple passages)の出題形式に慣れるための問題演習を行う。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、小テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習
14回	**授業テーマ：TOEIC Listening Section Part 4 (リスニング：説明文問題) (3)** 授業内容：小テスト、Part4 説明文問題の出題形式に慣れるための問題演習(音読やシャドーイング等含む)を行う。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、小テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習
15回	**授業テーマ：TOEIC Part 1 ～ 7 の総合問題** 授業内容：小テストの総復習、リスニングセクションおよびリーディングセクションのまとめと TOEIC 総合問題演習を行う。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、小テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習

Preparation for TOEIC Ⅰ-a

開講学科等：英 ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：前

青木　輝（あおき　ひかる）・**小山田　幸永**（おやまだ　ゆきひさ）・**川成　美香**（かわなり　みか）・**篠塚　勝正**（しのづか　かつまさ）・**松井　順子**（まつい　じゅんこ）

▌授業の概要

① TOEIC テストの全体像および各問題形式を把握し、②問題演習を行い、③ TOEIC 対策としての語彙力を強化することで、高得点の取得を目指す。学外で実施される TOEIC 公開テストにおいて、基準点を満たすことが単位取得の条件の一つとなる。なお、テスト受験の費用は学生個人の負担とする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：英語力の中でも、特に聴解力、読解力、語彙力、文法力を総合的に向上させることで、TOEIC スコアの向上を図る。
個別目標：TOEIC の演習問題を解きながら、出題形式や頻出表現に慣れる。また、スコア向上のための効果的な学習方法を身につけ、ビジネス場面での英語コミュニケーション能力の強化を図る。

▌履修条件

指定されたクラスで受講すること。

▌評価基準・方法

単位認定は、全クラス一律に定められた基準に基づき、期間中に取得した TOEIC 公開テストのスコアによって行う。各クラスの担当教員が提示する基準に準拠すること。加えて、授業への積極的な参加、予習・復習の取り組み、単語テストの実施状況を平常点として考慮する。なお、単位取得の前提条件として、全授業の 5 分の 4 以上の出席を必須とする。

▌フィードバック方法

小テストなどの取り組みに対して、対面または manaba の機能を使用してフィードバックを行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （リスニングおよびリーディングの両方の問題に対して、履修者の積極的かつ分析的な態度が求められる）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

国際ビジネスコミュニケーション協会『公式 TOEIC Listening & Reading 問題集 10』

▌参考書

朝日新聞出版『TOEIC L & R 出る単特急　金のフレーズ』

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション(授業の進め方、TOEIC について)** 授業内容：TOEIC の概要、成績評価、manaba 単語テストに関する説明を行う（前学期の成績評価に含まれる TOEIC 公開テストのスケジュール等） 事前学修 1.0hr：TOEIC の問題構成を理解する 事後学修 1.0hr：オリエンテーションで説明された内容の復習
2回	**授業テーマ：Part 1,2 のコツ(Test1 No1-6、7-11)** 授業内容：単語テスト、Part1 写真描写問題、Part2 応答問題の形式に慣れるための問題演習 事前学修 1.0hr：単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、音読
3回	**授業テーマ：Part 3,4 のコツ(Test1 No32-37、71-76)** 授業内容：単語テスト、Part3 会話問題、Part4 説明文問題の形式に慣れるための問題演習 事前学修 1.0hr：単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、音読
4回	**授業テーマ：Part5 のコツ(Test1 No101-115)** 授業内容：単語テスト、Part5 短文穴埋め問題の形式に慣れるための問題演習 事前学修 1.0hr：単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、音読
5回	**授業テーマ：Part 6 のコツ(Test1 No131-138)** 授業内容：単語テスト、Part6 長文穴埋め問題の形式に慣れるための問題演習 事前学修 1.0hr：単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、音読
6回	**授業テーマ：Part 7 のコツ(Test1 No147-152)** 授業内容：単語テスト、Part7 長文問題の形式に慣れるための問題演習 事前学修 1.0hr：単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、音読
7回	**授業テーマ：Part 7 のコツ(Test1 No176-185)** 授業内容：単語テスト、Part7 長文問題の形式に慣れるための問題演習 事前学修 1.0hr：単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、音読
8回	**授業テーマ：Test1 No38-40、No116-130 の演習** 授業内容：単語テスト、リスニングの演習と音読、リーディング問題の演習 事前学修 1.0hr：単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、音読
9回	**授業テーマ：Test1 No77-79、No139-142 の演習** 授業内容：単語テスト、リスニングの演習と音読、リーディング問題の演習 事前学修 1.0hr：単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、音読
10回	**授業テーマ：Test1 No41-43、No153-160 の演習** 授業内容：単語テスト、リスニングの演習と音読、リーディング問題の演習 事前学修 1.0hr：単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、音読
11回	**授業テーマ：Test1 No80-82、No161-167 の演習** 授業内容：単語テスト、リスニングの演習と音読、リーディング問題の演習 事前学修 1.0hr：単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、音読

12回	**授業テーマ：Test1 No44-46、No168-175 の演習** 授業内容：単語テスト、リスニングの演習と音読、リーディング問題の演習 事前学修 1.0hr：単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、音読
13回	**授業テーマ：Test1 No83-85、No176-185 の演習** 授業内容：単語テスト、リスニングの演習と音読、リーディング問題の演習 事前学修 1.0hr：単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、音読
14回	**授業テーマ：Test1 No47-49、No186-195 の演習** 授業内容：単語テスト、リスニングの演習と音読、リーディング問題の演習 事前学修 1.0hr：単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、音読
15回	**授業テーマ：Test1 No86-88、No196-200 の演習** 授業内容：リスニングの演習と音読、リーディング問題の演習 事前学修 1.0hr：単語テストの総復習 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、音読

Preparation for TOEIC Ⅰ-b

開講学科等：英 ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：後

青木　輝（あおき　ひかる）・**小山田　幸永**（おやまだ　ゆきひさ）・**川成　美香**（かわなり　みか）・**篠塚　勝正**（しのづか　かつまさ）・**松井　順子**（まつい　じゅんこ）

▌授業の概要

① TOEIC テストの全体像および各問題形式を把握し、②問題演習を行い、③ TOEIC 対策としての語彙力を強化することで、高得点の取得を目指す。学外で実施される TOEIC 公開テストにおいて、基準点を満たすことが単位取得の条件の一つとなる。なお、テスト受験の費用は学生個人の負担とする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：英語力の中でも、特に聴解力、読解力、語彙力、文法力を総合的に向上させることで、TOEIC スコアの向上を図る。
個別目標：TOEIC の演習問題を解きながら、出題形式や頻出表現に慣れる。また、スコア向上のための効果的な学習方法を身につけ、ビジネス場面での英語コミュニケーション能力の強化を図る。

▌履修条件

指定されたクラスで受講すること。

▌評価基準・方法

単位認定は、全クラス一律に定められた基準に基づき、期間中に取得した TOEIC 公開テストのスコアによって行う。各クラスの担当教員が提示する基準に準拠すること。加えて、授業への積極的な参加、予習・復習の取り組み、単語テストの実施状況を平常点として考慮する。なお、単位取得の前提条件として、全授業の 5 分の 4 以上の出席を必須とする。

▌フィードバック方法

小テストなどの取り組みに対して、対面または manaba の機能を使用してフィードバックを行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （リスニングおよびリーディングの両方の問題に対して、履修者の積極的かつ分析的な態度が求められる）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

国際ビジネスコミュニケーション協会『公式 TOEIC Listening & Reading 問題集 10』

▌参考書

朝日新聞出版『TOEIC L & R 出る単特急　金のフレーズ』

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション(授業の進め方、TOEIC について)** 授業内容：TOEIC の概要、成績評価、manaba 単語テストに関する説明を行う（前学期の成績評価に含まれる TOEIC 公開テストのスケジュール等） 事前学修 1.0hr：TOEIC の問題構成を理解する 事後学修 1.0hr：オリエンテーションで説明された内容の復習
2回	**授業テーマ：Part 1,2 のコツ(Test2 No1-6、7-11)** 授業内容：単語テスト、Part1 写真描写問題、Part2 応答問題の形式に慣れるための問題演習 事前学修 1.0hr：単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、音読
3回	**授業テーマ：Part 3,4 のコツ(Test2 No32-37、71-76)** 授業内容：単語テスト、Part3 会話問題、Part4 説明文問題の形式に慣れるための問題演習 事前学修 1.0hr：単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、音読
4回	**授業テーマ：Part5 のコツ(Test2 No101-115)** 授業内容：単語テスト、Part5 短文穴埋め問題の形式に慣れるための問題演習 事前学修 1.0hr：単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、音読
5回	**授業テーマ：Part 6 のコツ(Test2 No131-138)** 授業内容：単語テスト、Part6 長文穴埋め問題の形式に慣れるための問題演習 事前学修 1.0hr：単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、音読
6回	**授業テーマ：Part 7 のコツ(Test2 No147-153)** 授業内容：単語テスト、Part7 長文問題の形式に慣れるための問題演習 事前学修 1.0hr：単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、音読
7回	**授業テーマ：Part 7 のコツ(Test2 No176-185)** 授業内容：単語テスト、Part7 長文問題の形式に慣れるための問題演習 事前学修 1.0hr：単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、音読
8回	**授業テーマ：Test2 No38-40、No116-130 の演習** 授業内容：単語テスト、リスニングの演習と音読、リーディング問題の演習 事前学修 1.0hr：単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、音読
9回	**授業テーマ：Test2 No77-79、No139-142 の演習** 授業内容：単語テスト、リスニングの演習と音読、リーディング問題の演習 事前学修 1.0hr：単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、音読
10回	**授業テーマ：Test2 No41-43、No154-160 の演習** 授業内容：単語テスト、リスニングの演習と音読、リーディング問題の演習 事前学修 1.0hr：単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、音読
11回	**授業テーマ：Test2 No80-82、No161-168 の演習** 授業内容：単語テスト、リスニングの演習と音読、リーディング問題の演習 事前学修 1.0hr：単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、音読

12回	**授業テーマ：Test2 No44-46、No169-175 の演習** 授業内容：単語テスト、リスニングの演習と音読、リーディング問題の演習 事前学修 1.0hr：単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、音読
13回	**授業テーマ：Test2 No83-85、No176-185 の演習** 授業内容：単語テスト、リスニングの演習と音読、リーディング問題の演習 事前学修 1.0hr：単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、音読
14回	**授業テーマ：Test2 No47-49、No186-195 の演習** 授業内容：単語テスト、リスニングの演習と音読、リーディング問題の演習 事前学修 1.0hr：単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、音読
15回	**授業テーマ：Test2 No86-88、No196-200 の演習** 授業内容：リスニングの演習と音読、リーディング問題の演習 事前学修 1.0hr：単語テストの総復習 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、音読

Preparation for TOEIC Ⅱ-a

開講学科等：英 ｜ 2 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：前

青木　輝（あおき　ひかる）・**中井　延美**（なかい　のぶみ）・**長谷川　奈緒美**（はせがわ　なおみ）・**横山　竜一郎**（よこやま　りゅういちろう）

▌授業の概要

1 年次の Preparation for TOEIC I-a, I-b に引き続き、さらに高得点を目指す。学外で実施される TOEIC 公開テストにおいて、指定された基準点を満たすことが単位取得の条件の一つとなる。なお、テスト受験の費用は学生個人の負担とする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：英語力の中でも、特に聴解力、読解力、語彙力、文法力を総合的に向上させることで、TOEIC スコアの向上を図る。

個別目標：TOEIC の演習問題を解きながら、出題形式や頻出表現に慣れる。また、スコア向上のための効果的な学習方法を身につけ、ビジネス場面での英語コミュニケーション能力の強化を図る。

▌履修条件

指定されたクラスで受講すること。

▌評価基準・方法

単位認定は、全クラス一律に定められた基準に基づき、期間中に取得した TOEIC 公開テストのスコアによって行う。各クラスの担当教員が提示する基準に準拠すること。加えて、授業への積極的な参加、予習・復習の取り組み、単語テストの実施状況を平常点として考慮する。なお、単位取得の前提条件として、全授業の 5 分の 4 以上の出席を必須とする。

▌フィードバック方法

小テストなどの取り組みに対して、対面または manaba の機能を使用してフィードバックを行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ペアワーク，グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

[1] 国際ビジネスコミュニケーション協会『公式 TOEIC Listening & Reading プラクティス リーディング編』（要購入）

[2] 国際ビジネスコミュニケーション協会『公式 TOEIC Listening & Reading 問題集 10』（１年次の Preparation for TOEIC I-a, b で使用したものを２年次でも使う。持っていない人のみ要購入）

▌参考書

TEX 加藤『TOEIC L ＆ R TEST 出る単特急　金のフレーズ』朝日新聞出版（１年次に配布済み）

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：授業の進め方や TOEIC について説明する 事前学修 1.0hr：TOEIC の問題構成を理解する 事後学修 1.0hr：オリエンテーションで説明された内容の復習
2回	**授業テーマ：教科書 [1] Mini Test 1, No. 1-11; 教科書 [2] Test 2, No. 32-34** 授業内容：単語ドリル、リーディング演習、リスニング演習 事前学修 1.0hr：単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、音読
3回	**授業テーマ：[1] Mini Test 1, No. 12-17; [2] Test 2, No. 71-73** 授業内容：単語ドリル、リーディング演習、リスニング演習をします。 事前学修 1.0hr：単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、リスニング・スクリプトの暗記
4回	**授業テーマ：[1] Mini Test 1, No. 18-24; [2] Test 2, No. 35-37** 授業内容：単語ドリル、リーディング演習、リスニング演習をします。 事前学修 1.0hr：単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、音読
5回	**授業テーマ：[1] Mini Test 1, No. 25-29; [2] Test 2, No. 74-76** 授業内容：単語ドリル、リーディング演習、リスニング演習をします。 事前学修 1.0hr：単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、音読
6回	**授業テーマ：[1] Mini Test 2, No. 1-11; [2] Test 2, No. 38-40** 授業内容：単語ドリル、リーディング演習、リスニング演習をします。 事前学修 1.0hr：単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、音読
7回	**授業テーマ：[1] Mini Test 2, No. 12-17; [2] Test 2, No. 77-79** 授業内容：単語ドリル、リーディング演習、リスニング演習をします。 事前学修 1.0hr：単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、音読
8回	**授業テーマ：[1] Mini Test 2, No. 18-24; [2] Test 2, No. 41-43** 授業内容：統一単語テスト、リーディング演習、リスニング演習をします。 事前学修 1.0hr：単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、音読
9回	**授業テーマ：[1] Mini Test 2, No. 25-29; [2] Test 2, No. 80-82** 授業内容：単語ドリル、リーディング演習、リスニング演習をします。 事前学修 1.0hr：単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、音読
10回	**授業テーマ：[1] Mini Test 3, No. 1-11; [2] Test 2, No. 44-46** 授業内容：単語ドリル、リーディング演習、リスニング演習をします。 事前学修 1.0hr：単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、音読
11回	**授業テーマ：[1] Mini Test 3, No. 12-17; [2] Test 2, No. 83-85** 授業内容：単語ドリル、リーディング演習、リスニング演習をします。 事前学修 1.0hr：単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、音読

12回	**授業テーマ：[1] Mini Test 3, No. 18-24; [2] Test 2, No. 47-49** 授業内容：単語ドリル、リーディング演習、リスニング演習をします。 事前学修 1.0hr：単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、音読
13回	**授業テーマ：[1] Mini Test 3, No. 25-29; [2] Test 2, No. 86-88** 授業内容：単語ドリル、リーディング演習、リスニング演習をします。 事前学修 1.0hr：単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、音読
14回	**授業テーマ：[1] Mini Test 4, No. 1-11; [2] Test 2, No. 50-52** 授業内容：単語ドリル、リーディング演習、リスニング演習をします。 事前学修 1.0hr：単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、音読
15回	**授業テーマ：[1] Mini Test 4, No. 12-17; [2] Test 2, No. 89-91** 授業内容：統一単語テスト、リーディング演習、リスニング演習をします。 事前学修 1.0hr：単語テストの総復習 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、音読

Preparation for TOEIC Ⅱ-b

開講学科等：英 ｜ 2 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：後

青木　輝（あおき　ひかる）・**中井　延美**（なかい　のぶみ）・**長谷川　奈緒美**（はせがわ　なおみ）・**横山　竜一郎**（よこやま　りゅういちろう）

▌授業の概要

Preparation for TOEIC II-a に引き続き、さらに高い得点を目指す。学外で実施される TOEIC 公開テストにおいて、指定された基準点を満たすことが単位取得の条件の一つとなる。なお、テスト受験の費用は学生個人の負担とする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：英語力の中でも、特に聴解力、読解力、語彙力、文法力を総合的に向上させることで、TOEIC スコアの向上を図る。

個別目標：TOEIC の演習問題を解きながら、出題形式や頻出表現に慣れる。また、スコア向上のための効果的な学習方法を身につけ、ビジネス場面での英語コミュニケーション能力の強化を図る。

▌履修条件

指定されたクラスで受講すること。

▌評価基準・方法

単位認定は、全クラス一律に定められた基準に基づき、期間中に取得した TOEIC 公開テストのスコアによって行う。各クラスの担当教員が提示する基準に準拠すること。加えて、授業への積極的な参加、予習・復習の取り組み、単語テストの実施状況を平常点として考慮する。なお、単位取得の前提条件として、全授業の 5 分の 4 以上の出席を必須とする。

▌フィードバック方法

小テストなどの取り組みに対して、対面または manaba の機能を使用してフィードバックを行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ペアワーク，グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

前学期の Preparation for TOEIC II-a と同じものを使用する。

[1] 国際ビジネスコミュニケーション協会『公式 TOEIC Listening & Reading プラクティス リーディング編』（要購入）

[2] 国際ビジネスコミュニケーション協会『公式 TOEIC Listening & Reading 問題集 10』（1 年次の Preparation for TOEIC I-a, b で使用したものを 2 年次でも使う。持っていない人のみ要購入）

▌参考書

TEX 加藤『TOEIC L ＆ R TEST 出る単特急　金のフレーズ』朝日新聞出版（1 年次に配布済み）

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：教科書 [1] Mini Test 4, No. 18-24; 教科書 [2] Test 2, No. 53-55** 授業内容：リーディング演習、リスニング演習 事前学修 1.0hr：単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、音読
2 回	**授業テーマ：[1] Mini Test 4, No. 25-29; [2] Test 2, No. 92-94** 授業内容：単語ドリル、リーディング演習、リスニング演習をします。 事前学修 1.0hr：単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、音読
3 回	**授業テーマ：[1] Final Test, No. 101-110; [2] Test 2, No. 56-58** 授業内容：単語ドリル、リーディング演習、リスニング演習をします。 事前学修 1.0hr：単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、音読
4 回	**授業テーマ：[1] Final Test, No. 131-134, 147-148; [2] Test 2, No. 95-97** 授業内容：単語ドリル、リーディング演習、リスニング演習をします。 事前学修 1.0hr：単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、音読
5 回	**授業テーマ：[1] Final Test, No. 149-152; [2] Test 2, No. 59-61** 授業内容：単語ドリル、リーディング演習、リスニング演習をします。 事前学修 1.0hr：単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、音読
6 回	**授業テーマ：[1] Final Test, No. 176-180; [2] Test 2, No. 98-100** 授業内容：単語ドリル、リーディング演習、リスニング演習をします。 事前学修 1.0hr：単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、音読
7 回	**授業テーマ：[1] Final Test, No. 111-120; [2] Test 2, No. 62-64** 授業内容：単語ドリル、リーディング演習、リスニング演習をします。 事前学修 1.0hr：単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、音読
8 回	**授業テーマ：[1] Final Test, No. 135-138, 153-155; [2] Test 2, No. 65-67** 授業内容：統一単語テスト、リーディング演習、リスニング演習をします。 事前学修 1.0hr：単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、音読
9 回	**授業テーマ：[1] Final Test, No. 156-160; [2] Test 2, No. 68-70** 授業内容：単語ドリル、リーディング演習、リスニング演習をします。 事前学修 1.0hr：単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、音読
10 回	**授業テーマ：[1] Final Test, No. 181-185; [2] Test 1, No. 92-94** 授業内容：単語ドリル、リーディング演習、リスニング演習をします。 事前学修 1.0hr：単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、音読

11回	**授業テーマ：[1] Final Test, No. 121-130; [2] Test 1, No. 62-64** 授業内容：単語ドリル、リーディング演習、リスニング演習をします。 事前学修 1.0hr：単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、音読
12回	**授業テーマ：[1] Final Test, No. 139-142, 161-163; [2] Test 1, No. 95-97** 授業内容：単語ドリル、リーディング演習、リスニング演習をします。 事前学修 1.0hr：単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、音読
13回	**授業テーマ：[1] Final Test, No. 164-171; [2] Test 1, No. 65-67** 授業内容：単語ドリル、リーディング演習、リスニング演習をします。 事前学修 1.0hr：単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、音読
14回	**授業テーマ：[1] Final Test, No. 186-190; [2] Test 1, No. 98-100** 授業内容：単語ドリル、リーディング演習、リスニング演習をします。 事前学修 1.0hr：単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、音読
15回	**授業テーマ：[1] Final Test, No. 143-146, 172-175; [2] Test 1, No. 68-70** 授業内容：統一単語テスト、リーディング演習、リスニング演習をします。 事前学修 1.0hr：単語テストの総復習 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、音読

Preparation for TOEIC Ⅰ-a

開講学科等：中 ｜ 2 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：前

長谷川　奈緒美（はせがわ　なおみ）

▌授業の概要

① TOEIC テストの全体像と各問題形式の把握、②問題演習、③ TOEIC のためのボキャブラリービルディングを通して、一定の英語力を身に付け、英語でのコミュニケーション能力が向上することを目指す。なお、学外で実施される TOEIC 公開テストを受験するための費用は、学生個人の負担となる。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：3）

一般目標：英語力の中でも、特に聴解力、読解力、語彙力、文法力を総合的に向上させ、TOEIC スコアを伸ばすことができる。

個別目標：・TOEIC の演習問題を解きながら、出題形式や頻出表現に慣れることができる。
・スコアアップのための効果的な学習方法を身に付けることで、英語コミュニケーション能力を向上させることができる。
・テキストに出てくる語句の中でも特に頻出の語句を活用できるようになる。
・テキストの解説で使われている基本的な文法や品詞などを理解できるようになる。

▌履修条件

本授業では、TOEIC テストの実際の出題と同レベルのテキストを使用する。英語専攻ではない学生にとっては、基礎レベルのテキストとは難易度に開きがあるため、一定の努力を必要とする。そのため、指定範囲を事前に学修したり、授業内容を積極的に復習したりするなど、自立した学習者であることが期待される。

▌評価基準・方法

リスニング及びリーディングのテスト（60 %）、小テスト（30 %）、授業への参加姿勢及び発言等 (10 %) の結果及び到達目標の達成度に基づき総合的に評価する。また、原則として５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

授業内の演習問題や小テストなどの取り組みに対して、対面あるいは学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Pair work, Group work, Dictation, Shadowing など）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

授業内または学修支援システム manaba を通して資料を適宜配布する。

▌参考書

授業内で適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション（授業の進め方、TOEIC について）** 授業内容：TOEIC の概要、成績評価、小テストに関する説明を行う。リーディングセクションおよびリスニングセクションの主な出題形式について演習問題を解きながら把握する。 事前学修 1.0hr：TOEIC の問題構成を理解する。 事後学修 1.0hr：本日の学びの復習
2回	**授業テーマ：TOEIC Listening Section Part 1（リスニング：写真描写問題）** 授業内容：小テスト、Part1 写真描写問題の出題形式に慣れるための問題演習（音読やシャドーイング等含む）を行う。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、小テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習
3回	**授業テーマ：TOEIC Reading Section Part 5　（リーディング：短文穴埋め問題）** 授業内容：小テスト、Part5 短文穴埋め問題の出題形式に慣れるための問題演習を行う。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、小テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習
4回	**授業テーマ：TOEIC Listening Section Part 2（リスニング：応答問題）** 授業内容：小テスト、Part2 応答問題問題の出題形式に慣れるための問題演習（音読やシャドーイング等含む）を行う。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、小テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習
5回	**授業テーマ：TOEIC Reading Section Part 6　（リーディング：長文穴埋め問題）** 授業内容：小テスト、Part6 長文穴埋め問題の出題形式に慣れるための問題演習を行う。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、小テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習
6回	**授業テーマ：TOEIC Listening Section Part 3（リスニング：会話問題）(1)** 授業内容：小テスト、Part3 会話問題の出題形式に慣れるための問題演習（音読やシャドーイング等含む）を行う。 事前学修 1.0hr：C 指定箇所の予習、小テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習
7回	**授業テーマ：TOEIC Reading Section Part 7　（リーディング：読解問題）(1)** 授業内容：小テスト、Part7 長文問題（single passages）の出題形式に慣れるための問題演習を行う。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、小テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習
8回	**授業テーマ：TOEIC Listening Section Part 3（リスニング：会話問題）(2)** 授業内容：小テスト、Part3 会話問題の出題形式に慣れるための問題演習（音読やシャドーイング等含む）を行う。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、小テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習
9回	**授業テーマ：TOEIC Reading Section Part 7　（リーディング：読解問題）(2)** 授業内容：小テスト、Part7 長文問題（multiple passages）の出題形式に慣れるための問題演習を行う。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、小テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習
10回	**授業テーマ：TOEIC Listening Section Part 4（リスニング：説明文問題）(1)** 授業内容：小テスト、Part4 説明文問題の出題形式に慣れるための問題演習（音読やシャドーイング等含む）を行う。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、小テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習

11回	**授業テーマ：TOEIC Reading Section Part 7　(リーディング：読解問題) (3)** 授業内容：小テスト、Part7 長文問題(multiple passages)の出題形式に慣れるための問題演習を行う。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、小テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習
12回	**授業テーマ：TOEIC Listening Section Part 4 (リスニング：説明文問題) (2)** 授業内容：小テスト、Part4 説明文問題の出題形式に慣れるための問題演習(音読やシャドーイング等含む)を行う。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、小テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習
13回	**授業テーマ：TOEIC Reading Section Part 7　(リーディング：読解問題) (4)** 授業内容：小テスト、Part7 長文問題(multiple passages)の出題形式に慣れるための問題演習を行う。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、小テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習
14回	**授業テーマ：TOEIC Listening Section Part 4 (リスニング：説明文問題) (3)** 授業内容：小テスト、Part4 説明文問題の出題形式に慣れるための問題演習(音読やシャドーイング等含む)を行う。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、小テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習
15回	**授業テーマ：TOEIC Part 1 ～ 7 の総合問題** 授業内容：小テストの総復習、リスニングセクションおよびリーディングセクションのまとめと TOEIC 総合問題演習を行う。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、小テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習

Preparation for TOEIC Ⅰ-b

開講学科等：中 ｜ 2 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：後

長谷川　奈緒美（はせがわ　なおみ）

▌授業の概要

① TOEIC テストの全体像と各問題形式の把握、②問題演習、③ TOEIC のためのボキャブラリービルディングを通して、一定の英語力を身に付け、英語でのコミュニケーション能力が向上することを目指す。なお、学外で実施される TOEIC 公開テストを受験するための費用は、学生個人の負担となる。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：3）

一般目標：英語力の中でも、特に聴解力、読解力、語彙力、文法力を総合的に向上させ、TOEIC スコアを伸ばすことができる。

個別目標：・TOEIC の演習問題を解きながら、出題形式や頻出表現に慣れることができる。
・スコアアップのための効果的な学習方法を身に付けることで、英語コミュニケーション能力を向上させることができる。
・テキストに出てくる語句の中でも特に頻出の語句を活用できるようになる。
・テキストの解説で使われている基本的な文法や品詞などを理解できるようになる。

▌履修条件

本授業では、TOEIC テストの実際の出題と同レベルのテキストを使用する。英語専攻ではない学生にとっては、基礎レベルのテキストとは難易度に開きがあるため、一定の努力を必要とする。そのため、指定範囲を事前に学修したり、授業内容を積極的に復習したりするなど、自立した学習者であることが期待される。

▌評価基準・方法

リスニング及びリーディングのテスト（60 %）、小テスト（30 %）、授業への参加姿勢及び発言等 (10 %) の結果及び到達目標の達成度に基づき総合的に評価する。また、原則として５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

授業内の演習問題や小テストなどの取り組みに対して、対面あるいは学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Pair work, Group work, Dictation, Shadowing など）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

授業内または学修支援システム manaba を通して資料を適宜配布する。

▌参考書

授業内で適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション（授業の進め方、TOEIC について）** 授業内容：TOEIC の概要、成績評価、小テストに関する説明を行う。リーディングセクションおよびリスニングセクションの主な出題形式について演習問題を解きながら把握する。 事前学修 1.0hr：TOEIC の問題構成を理解する。 事後学修 1.0hr：本日の学びの復習
2回	**授業テーマ：TOEIC Listening Section Part 1（リスニング：写真描写問題）** 授業内容：小テスト、Part1 写真描写問題の出題形式に慣れるための問題演習（音読やシャドーイング等含む）を行う。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、小テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習
3回	**授業テーマ：TOEIC Reading Section Part 5　（リーディング：短文穴埋め問題）** 授業内容：小テスト、Part5 短文穴埋め問題の出題形式に慣れるための問題演習を行う。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、小テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習
4回	**授業テーマ：TOEIC Listening Section Part 2（リスニング：応答問題）** 授業内容：小テスト、Part2 応答問題問題の出題形式に慣れるための問題演習（音読やシャドーイング等含む）を行う。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、小テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習
5回	**授業テーマ：TOEIC Reading Section Part 6　（リーディング：長文穴埋め問題）** 授業内容：小テスト、Part6 長文穴埋め問題の出題形式に慣れるための問題演習を行う。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、小テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習
6回	**授業テーマ：TOEIC Listening Section Part 3（リスニング：会話問題）(1)** 授業内容：小テスト、Part3 会話問題の出題形式に慣れるための問題演習（音読やシャドーイング等含む）を行う。 事前学修 1.0hr：C 指定箇所の予習、小テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習
7回	**授業テーマ：TOEIC Reading Section Part 7　（リーディング：読解問題）(1)** 授業内容：小テスト、Part7 長文問題（single passages）の出題形式に慣れるための問題演習を行う。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、小テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習
8回	**授業テーマ：TOEIC Listening Section Part 3（リスニング：会話問題）(2)** 授業内容：小テスト、Part3 会話問題の出題形式に慣れるための問題演習（音読やシャドーイング等含む）を行う。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、小テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習
9回	**授業テーマ：TOEIC Reading Section Part 7　（リーディング：読解問題）(2)** 授業内容：小テスト、Part7 長文問題（multiple passages）の出題形式に慣れるための問題演習を行う。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、小テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習
10回	**授業テーマ：TOEIC Listening Section Part 4（リスニング：説明文問題）(1)** 授業内容：小テスト、Part4 説明文問題の出題形式に慣れるための問題演習（音読やシャドーイング等含む）を行う。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、小テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習

11回	**授業テーマ：TOEIC Reading Section Part 7　(リーディング：読解問題) (3)** 授業内容：小テスト、Part7 長文問題(multiple passages)の出題形式に慣れるための問題演習を行う。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、小テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習
12回	**授業テーマ：TOEIC Listening Section Part 4 (リスニング：説明文問題) (2)** 授業内容：小テスト、Part4 説明文問題の出題形式に慣れるための問題演習(音読やシャドーイング等含む)を行う。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、小テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習
13回	**授業テーマ：TOEIC Reading Section Part 7　(リーディング：読解問題) (4)** 授業内容：小テスト、Part7 長文問題(multiple passages)の出題形式に慣れるための問題演習を行う。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、小テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習
14回	**授業テーマ：TOEIC Listening Section Part 4 (リスニング：説明文問題) (3)** 授業内容：小テスト、Part4 説明文問題の出題形式に慣れるための問題演習(音読やシャドーイング等含む)を行う。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、小テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習
15回	**授業テーマ：TOEIC Part 1 ～ 7 の総合問題** 授業内容：小テストの総復習、リスニングセクションおよびリーディングセクションのまとめと TOEIC 総合問題演習を行う。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、小テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習

Preparation for TOEIC Ⅱ-a

開講学科等：日中 ｜ 2 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：前

篠塚　勝正（しのづか　かつまさ）

▌授業の概要

① TOEIC テストの全体像と各問題形式の把握、②問題演習、③ TOEIC のためのボキャブラリービルディングを通して、高得点の取得を目指します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語学科〔日本語専攻 G ①/G ②/G ③/G ④、GSM G ①〕、中国語学科 3）

一般目標：英語力の中でも、特に聴解力、読解力、語彙力、文法力を総合的に向上させて、TOEIC スコアを伸ばすことができます。
個別目標：TOEIC の演習問題を解きながら、出題形式や頻出表現に慣れることができます。また、スコアアップのための効果的な学習方法を身につけることで、ビジネスの知識と共に英語コミュニケーション能力も向上させることができます。

▌履修条件

特にありません。

▌評価基準・方法

期末試験 60%、小テスト・授業態度 40%。なお、5 分の 4 以上の出席を単位認定の前提条件とします。

▌フィードバック方法

小テストなどの取り組みに対して、対面あるいは manaba の機能を使用しフィードバックを行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ペアワーク，グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （dictation やシャドーイング訓練時に PC を使います。）

▌教科書

国際ビジネスコミュニケーション協会『公式 TOEIC Listening & Reading 問題集』初回時はまだ購入しないで結構です。

▌参考書

授業内で適宜紹介します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：授業の進め方や TOEIC について説明します。Pre-test を実施し今現在の自分のスコアを確認します。 事前学修 1.0hr：TOEIC の問題構成を理解する。 事後学修 1.0hr：本日の学びの復習
2 回	**授業テーマ：教科書 [2] Test 2, No. 32-34** 授業内容：単語ドリル、リーディング演習、リスニング演習をします。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、リスニング・スクリプトの暗記
3 回	**授業テーマ：[2] Test 2, No. 71-73** 授業内容：単語ドリル、リーディング演習、リスニング演習をします。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、リスニング・スクリプトの暗記
4 回	**授業テーマ：[2] Test 2, No. 35-37** 授業内容：単語ドリル、リーディング演習、リスニング演習をします。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、リスニング・スクリプトの暗記
5 回	**授業テーマ：[2] Test 2, No. 74-76** 授業内容：単語ドリル、リーディング演習、リスニング演習をします。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、リスニング・スクリプトの暗記
6 回	**授業テーマ：[2] Test 2, No. 38-40** 授業内容：単語ドリル、リーディング演習、リスニング演習をします。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、リスニング・スクリプトの暗記
7 回	**授業テーマ：[2] Test 2, No. 77-79** 授業内容：単語ドリル、リーディング演習、リスニング演習をします。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、リスニング・スクリプトの暗記
8 回	**授業テーマ：[2] Test 2, No. 41-43** 授業内容：統一単語テスト、リーディング演習、リスニング演習をします。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、リスニング・スクリプトの暗記
9 回	**授業テーマ：[2] Test 2, No. 80-82** 授業内容：単語ドリル、リーディング演習、リスニング演習をします。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、リスニング・スクリプトの暗記
10 回	**授業テーマ：[2] Test 2, No. 44-46** 授業内容：単語ドリル、リーディング演習、リスニング演習をします。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、リスニング・スクリプトの暗記
11 回	**授業テーマ：[2] Test 2, No. 83-85** 授業内容：単語ドリル、リーディング演習、リスニング演習をします。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、リスニング・スクリプトの暗記
12 回	**授業テーマ：[2] Test 2, No. 47-49** 授業内容：単語ドリル、リーディング演習、リスニング演習をします。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、リスニング・スクリプトの暗記

13回	**授業テーマ：[2] Test 2, No. 86-88** 授業内容：単語ドリル、リーディング演習、リスニング演習をします。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、リスニング・スクリプトの暗記
14回	**授業テーマ：[2] Test 2, No. 50-52** 授業内容：単語ドリル、リーディング演習、リスニング演習をします。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、リスニング・スクリプトの暗記
15回	**授業テーマ：[2] Test 2, No. 89-91** 授業内容：Post test を実施し、前期でどの程度 TOEIC が伸びたかを確認します。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、リスニング・スクリプトの暗記

Preparation for TOEIC Ⅱ-b

開講学科等：日中 ｜ 2 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：後

篠塚　勝正（しのづか　かつまさ）

▌授業の概要

Preparation for TOEIC II-a に引き続き、さらに高い得点を目指します。リスニング力を伸ばすために、dictation や shadowing 訓練を多く行います。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語学科〔日本語専攻 G ①/G ②/G ③/G ④、GSM G ①〕、中国語学科 3）

一般目標：英語力の中でも、特に聴解力、読解力、語彙力、文法力を総合的に向上させて、TOEIC スコアを伸ばすことができます。
個別目標：TOEIC の演習問題を解きながら、出題形式や頻出表現に慣れることができます。また、スコアアップのための効果的な学習方法を身につけることで、ビジネスの知識と共に英語コミュニケーション能力も向上させることができます。

▌履修条件

特にありません。

▌評価基準・方法

期末試験 60%、小テスト・授業態度 40%。なお、5 分の 4 以上の出席を単位認定の前提条件とします。

▌フィードバック方法

小テストなどの取り組みに対して、対面あるいは manaba の機能を使用しフィードバックを行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ペアワーク，グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （dictation やシャドーイング訓練時に PC を使います。）

▌教科書

国際ビジネスコミュニケーション協会『公式 TOEIC Listening & Reading 問題集』初回時はまだ購入しないで結構です。

▌参考書

授業内で適宜紹介します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：教科書 [2] Test 2, No. 53-55** 授業内容：リーディング演習、リスニング演習をします。学生が前期と異なる場合、Pret-test を行い現在の自分のスコアを確認します。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、リスニング・スクリプトの暗記
2回	**授業テーマ：[2] Test 2, No. 92-94** 授業内容：単語ドリル、リーディング演習、リスニング演習をします。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、リスニング・スクリプトの暗記
3回	**授業テーマ：[2] Test 2, No. 56-58** 授業内容：単語ドリル、リーディング演習、リスニング演習をします。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、リスニング・スクリプトの暗記
4回	**授業テーマ：[2] Test 2, No. 95-97** 授業内容：単語ドリル、リーディング演習、リスニング演習をします。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、リスニング・スクリプトの暗記
5回	**授業テーマ：[2] Test 2, No. 59-61** 授業内容：単語ドリル、リーディング演習、リスニング演習をします。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、リスニング・スクリプトの暗記
6回	**授業テーマ：[2] Test 2, No. 98-100** 授業内容：単語ドリル、リーディング演習、リスニング演習をします。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、リスニング・スクリプトの暗記
7回	**授業テーマ：[2] Test 2, No. 62-64** 授業内容：単語ドリル、リーディング演習、リスニング演習をします。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、リスニング・スクリプトの暗記
8回	**授業テーマ：[2] Test 2, No. 65-67** 授業内容：統一単語テスト、リーディング演習、リスニング演習をします。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、リスニング・スクリプトの暗記
9回	**授業テーマ：[2] Test 2, No. 68-70** 授業内容：単語ドリル、リーディング演習、リスニング演習をします。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、リスニング・スクリプトの暗記
10回	**授業テーマ：[2] Test 1, No. 92-94** 授業内容：単語ドリル、リーディング演習、リスニング演習をします。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、リスニング・スクリプトの暗記
11回	**授業テーマ：[2] Test 1, No. 62-64** 授業内容：単語ドリル、リーディング演習、リスニング演習をします。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、リスニング・スクリプトの暗記
12回	**授業テーマ：[2] Test 1, No. 95-97** 授業内容：単語ドリル、リーディング演習、リスニング演習をします。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、リスニング・スクリプトの暗記

13回	**授業テーマ：[2] Test 1, No. 65-67** 授業内容：単語ドリル、リーディング演習、リスニング演習をします。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、リスニング・スクリプトの暗記
14回	**授業テーマ：[2] Test 1, No. 98-100** 授業内容：単語ドリル、リーディング演習、リスニング演習をします。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、リスニング・スクリプトの暗記
15回	**授業テーマ：[2] Test 1, No. 68-70** 授業内容：Post-test を行い、後期でどの程度の TOEIC のスコアが伸びたのかを確認します。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、リスニング・スクリプトの暗記

GSM 海外留学

開講学科等：日英中 ｜ 2 年次 ｜ 4 単位

単位認定科目

▌授業の概要

カリキュラム・ポリシーに基づき、国際性を身につけ、世界的な課題に積極的に参加し発言していくため、GSM 海外留学では、半期の留学を通して海外事情に通じ、言語だけでなくビジネスに必要な教養や国際理解、異文化コミュニケーション能力を身につけることを目的としています。2021 年度については不透明な部分が大きいので、説明会等でアナウンスしていきます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語学科 GSM G ④、英米語学科 GSM 3、中国語学科 GSM 5）

一般目標：留学を通して基礎となる言語の習得を第一目標とし、さらに異文化理解、社会・経済知識の習得、コミュニケーション能力の習得を目標とします。具体的な到達レベルについては、留学説明会等で提示します。

個別目標：語学の習得については、半期の専門的な授業を通してコミュニケーションができるレベルを目標とします。同時にその国の文化や歴史について学び、自分の言葉で説明できることを目標とします。

▌履修条件

留学派遣にあたっては、留学に必要な要件を備えているかどうかを審査します。

▌評価基準・方法

留学先大学における単位取得科目の成績をもとに、単位互換を行います。詳しくは留学説明会にてお伝えします。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

留学先大学における指定の教科書。

▌参考書

留学先大学にて適宜指示します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

授業テーマ

留学先大学のカリキュラムに合わせ、必要な科目を履修していきます。

授業内容

留学先大学におけるカリキュラムの内容に合わせ、必要な知識を授業を通じて習得していきます。

事前学修

留学に必要な審査を経て留学が決定した者については、事前に複数回の研修を行い、留学生活に必要な準備を行います。

事後学修

留学を通して得たこと、学んだことを中心に、各自がレポートを仕上げて提出します。

GSM 海外研修

開講学科等：日英中 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位

単位認定科目

▌授業の概要

ディプロマ・ポリシーにおける社会性の理念を具現化するため、海外のビジネスの現場を見学し、日系企業の訪問を通して意見交換することで、グローバルビジネスの課題と魅力を探っていきます。多くの日系企業は、成長著しいアジアに進出し、グローバルサプライチェーンを構築しています。現実のビジネスは日本だけで完結せず、アジアを含めたグローバルマーケットで成立しています。GSM 海外研修では、こうした実態を直接見聞することで、ビジネスの実際を肌で感じてもらうことにしています。研修先はアジアの都市になりますが、具体的にはオリエンテーションの時に説明します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語学科 GSM G ④、英米語学科 GSM 3、中国語学科 GSM 5）

一般目標：グローバルビジネスの現場を知り、海外で仕事をすることの課題を認識すること、そして課題を克服するための自分なりの手がかりを得ることが到達目標です。

個別目標：具体的には、現地で活躍している日系企業を訪問し、直接担当者にお話しをうかがうことで、グローバリゼーションの中でどのように企業の国際展開が果たされているのか、現地マーケットへのシェア拡大のポイント、CSR に代表される現地への貢献など、さまざまな課題の実情を理解していきます。これらの問題について、自分なりの意見や課題を述べることができることを目標にしています。

▌履修条件

特にありません。

▌評価基準・方法

総計 60 時間の海外研修を要する。
ただし、この 60 時間の中には少なくとも 40 時間の海外研修を含める。
さらに 30 時間をグローバル・スタディーズ専攻生に相応しい海外研修事前学修や事後レポート提出等の海外研修に付随する学修に要する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （調べた内容を教室で発表。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

特にありません。

▌参考書

研修内にて適宜指示します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

授業テーマ

グローバルビジネスの実際を知ってもらうため、アジアの都市に行きビジネスの現場を見学するほか、そこで活躍する日系企業を訪問し、具体的にビジネスの課題や魅力を伺います。現場で働く人々の話は、個人の旅行や通常のメディアでは聞くことのできない貴重なものが多くあります。学生たちはそれらの話を聞いたうえで、グループディスカッションを通して内容を整理しまとめ、レポートの形に仕上げていきます。

授業内容

事前学習として研修先に関する知識の修得、疑問点の整理などを行います。また、研修先では事前学習の成果も踏まえ、現場の課題や今後の動向などについて注意深く観察し、帰国後にそれらの課題をまとめ、発表します。

事前学修

事前にグローバルビジネスに関する基礎知識を身につけます。為替のしくみやアジアにおけるビジネスの全体像などについて事前研修をおこないます。

事後学修

海外研修を通して見聞した貴重な情報を、グループディスカッションを行いながら内容を分類し、整理していきます。それらを土台にして、各自がレポートを仕上げて提出します。また、報告会において研修の成果を報告します。

GSM インターンシップ Ⅰ

開講学科等：日英中 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位

単位認定科目

▌授業の概要

団体・企業等における実習・研修などの就業体験を通し、その体験から得られた成果に対して単位を認定する科目です。
この、GSM インターンシップ制度は、学生が積極的に自らの専攻や将来のキャリアに関連した就業体験を行うことにより、さらに学習意欲を高め、探求心を向上させ、高いレベルの人間性を醸成する事を目的に設置されています。
学生の積極性とチャレンジ精神が大いに試される、究極のインターアクティブな授業といえます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語学科 GSM G ④、英米語学科 GSM 3、中国語学科 GSM 5）

一般目標：グローバル・スタディーズ専攻の学生として必要とされる卓越したマナーや社会常識が身に付く。
　　忍耐力や誠実さなども相手に伝わるように、自分の行動について考えることができるようになる。
　　変化に柔軟に対応する能力を身につけ、実社会で必要となる積極的な思考が養われる。
個別目標：実社会における高い問題解決能力を持った人物として就職する前段階として、様々な職種形態を研究し、実体験する。
　　自分の社会人としての将来について、具体的な目標を設定することができる。

▌履修条件

目的意識を持って就業体験に積極的に参加することができるグローバル・スタディーズ専攻の学生。
詳細については、当該年度の実施要項を参照のこと。

▌評価基準・方法

総計 60 時間のインターンシップを要する。
ただし、この 60 時間の中には少なくとも 40 時間（通常 1 日約 8 時間× 5 日間）の就業実地体験を含める。
さらに 20 時間をグローバル・スタディーズ専攻生に相応しい就業体験事前学修や事後レポート提出等のインターンシップに付随する学修に要する。
★課題フィードバックについては対面返却、manaba での模範解答掲示、manaba でのコメントを行います。

▌フィードバック方法

総計 60 時間のインターンシップを要する。
ただし、この 60 時間の中には少なくとも 40 時間（通常 1 日約 8 時間× 5 日間）の就業実地体験を含める。
さらに 20 時間をグローバル・スタディーズ専攻生に相応しい就業体験事前学修や事後レポート提出等のインターンシップに付随する学修に要する。
★課題フィードバックについては対面返却、manaba での模範解答掲示、manaba でのコメントを行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （報告会での発表について教員からのコメントや質問がある場合があります。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （派遣にあたっては様々な資料を自律的に調べて頂きます。）

▌教科書

使用しない

▌参考書

随時紹介する

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

授業テーマ

認定される単位に関しての詳細については、履修の手引などを参照すること。

授業内容

説明会に参加し、必要な書類を提出後、面接準備をしていただきます。万全な準備を整えて面接を受けてください。
インターンシップ参加が決定した場合は健康維持に万全を期し、職務を全うしてください。

事前学修

外国語学部グローバル・スタディーズ専攻が指定する事前学修が必要。
詳細については研修先との連携をとりながら指示を受けることとなる。
総合教育センターの全面的なバックアップを受けることができます。
安心して参加してください。

事後学修

研修先での当日の業務内容等を丹念に記録することが必要です。そしてインターンシップ先の業務についての反省や経験を踏まえた事後報告会に出席することが単位認定に必要です。

GSM インターンシップⅡ

開講学科等：日英中 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位

単位認定科目

▌授業の概要

海外の団体・企業等における実習・研修などの就業体験を通し、その体験から得られた成果に対して単位を認定する科目です。
この、GSM インターンシップ制度は、学生が積極的に自らの専攻や将来のキャリアに関連した就業体験を行うことにより、さらに学習意欲を高め、探求心を向上させ、高いレベルの人間性を醸成する事を目的に設置されています。
学生の積極性とチャレンジ精神が大いに試される、究極のインターアクティブな授業です。
GSM インターンシップⅡは海外で行われます。説明会に必ず出席したうえで、しっかりと事前研修も受けることになります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語学科 GSM G ④、英米語学科 GSM 3、中国語学科 GSM 5）

一般目標：グローバル・スタディーズ専攻の学生として必要とされる卓越したマナーや社会常識を身に付ける。
常に変化する社会で活躍できる幅広い教養を身につける。
実社会で必要となる、積極的に問題を解決しようとする姿勢が身につく。
個別目標：実社会における高い問題解決能力を持った人物として、就職する前段階として様々な職種形態を研究したり、体験することが目標です。
また、海外でのビジネスマナーもできるだけ念入りに下調べをし、事前学修にも必ず参加することが義務付けられています。
高い能力を持った社会人となるための、高い目標を自ら立てることができるようになります。

▌履修条件

目的意識を持って就業体験に参加できるグローバル・スタディーズ専攻の学生。
詳細については、当該年度の実施要項を参照して下さい。

▌評価基準・方法

総計 60 時間のインターンシップを要する。
ただし、この 60 時間の中には少なくとも 40 時間（通常 1 日約 8 時間× 5 日間）の就業実地体験を含める。
さらに 20 時間をグローバル・スタディーズ専攻生に相応しい就業体験事前学修や事後レポート提出等のインターンシップに付随する学修に要する。
★課題フィードバックについては対面返却、manaba での模範解答掲示、manaba でのコメントを行います。

▌フィードバック方法

報告に向けて提出されたレポートは教員の指導の下、適宜修正を行い報告発表の準備を行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （海外インターンシップに参加するには自己の意見表明が重要です。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （事前学修では特にインターンシップ先の情報収集を PC で行います）

▌教科書

使用しません。

▌参考書

随時紹介しますので積極的に自習して下さい。志望企業について丁寧に調べて下さい。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

授業テーマ

認定される単位に関しての詳細については、履修の手引などを参照して下さい。

授業内容

海外でのインターンシップに参加します。言語の修得はもとより、文化背景を異にする環境での働き方について学ぶことが目的です。
積極的に海外でのビジネス習慣やビジネス実務の修得に努めましょう。

事前学修

外国語学部グローバルスタディーズ専攻が指定する事前学修が必要です。詳細については研修先との連携をとりながら指示を受けることとなります。

事後学修

研修先での当日の業務内容等の丹念な記録、及び研修先での反省などを踏まえた事後報告会に出席してください。

GSM ボランティア Ⅰ

開講学科等：日英中 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位

単位認定科目

▌授業の概要

この授業では、国内ボランティアに参加することを目的とし、とくに浦安地域及び市川地域における活動を中心とする。地域に根ざしたボランティア活動に参加することにより、学生ひとりひとりの「奉仕の精神」と人間性、社会性を養うことに重きをおいている。学生には、身近な日々の出来事に対して、どのように対処したらよいのか、またどのような解決策があるのか、その方策や考え方を学ぶものである。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語学科 GSM G ④、英米語学科 GSM 3、中国語学科 GSM 5）

一般目標：・事務作業やイベントの企画などのプロジェクトに参加することにより、その段取りや考え方を習得する。
・国際交流のあり方や国際理解、コミュニケーションの取り方などを学ぶことができる。
・浦安地域及び市川地域の援農に関わる活動を理解し、その実態を学ぶことができる。

個別目標：ここでは事前、事後を含め、現場以外のことがらを通して、ボランティア活動の意義や本質などを理解する。(ここでは、地域社会におけるボランティア活動を通して、その意義が説明できるということである。)またそのイベントやプロジェクトの必要性をも判断できる。

▌履修条件

各学科の GSM 専攻の学生のみ履修することができる。またこの授業に参加する学生は、服装や身だしなみにも留意すること。

▌評価基準・方法

毎回、事前に学習及び計画を立て、事後については、そこで学んだことを報告書としてまとめる。毎回の授業では、よほどのことがない限り欠席は認めない。

▌フィードバック方法

課題に関わるフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行うこととする。また個別による指導を含めた、フィードバックも進める。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク及びプレゼンテーション等を行う。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （事前事後における学修においてパソコンを使用する。）

▌教科書

とくに指定はしない。

▌参考書

授業時にその都度紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

授業テーマ

・事務作業やイベントの企画などのプロジェクトに参加する。
・国際交流及び国際理解を深めるため、浦安地域に住む外国人との交流会に参加する。
・浦安及び市川地域の援農に関わる活動に参加する。

授業内容

授業では、学生諸君の受け入れ先によって、状況は異なるが、事前学修としての受け入れ先の把握とその事業内容を理解し、それぞれの分野を細かく厳密に調べる必要がある。また実際に体験することにより、その内容を理解し事後学修として、それぞれの分野で参加してきた内容とそこで学んだものについての報告書を作成する。

事前学修

毎回、事前に学習計画を立て、それについての関連したことを調べなければならない。調べることにより、その分野の処理方法や解決方法を見出していく。

事後学修

事前学修で学んだことについて、実際に体験したことに基づき、それらをまとめる。報告書としてまとめ、他の学生の前で、プレゼンテーションをすることを義務付ける。(報告会及び発表会には必ず出席すること。)

GSM ボランティアⅡ

開講学科等：日英中 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位

単位認定科目

▌授業の概要

この授業では、海外ボランティアに参加することを目的とし、とくに諸外国における活動を中心とする。ベトナム、タイ、マレーシア、その他の地域など、その地域に根ざしたボランティア活動に参加することにより、学生ひとりひとりの奉仕の精神と人間性、社会性、国際性を養うことに重きをおいている。学生には、異文化接触との学修と身近なできごとに対して、どのように対処したらよいのか、またどのような解決策があるのか、その方策や考え方を学ぶものである。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語学科 GSM G ④、英米語学科 GSM 3、中国語学科 GSM 5）

一般目標：・諸外国の事情に合わせた企画及びプロジェクトに参加することにより、その段取りや考え方が習得できる。
・諸外国における事情やそこに住む人々の異文化実地体験を習得することができる。
・国際交流及び国際理解、コミュニケーションの取り方などを学ぶことができる。(異文化接触におけるコミュニケーションスタイルを学ぶことができるということである。)

個別目標：海外におけるボランティア活動のあり方について説明できる。(その必要性や異文化理解、地域研究の特殊性や特殊事情について説明できるということである。)

▌履修条件

各学科のグローバル・スタディーズ専攻の学生のみ履修することができる。またこの授業に参加する学生は、服装や身だしなみにも留意すること。

▌評価基準・方法

毎回、事前に学習及び計画を立て、事後については、そこで学んだことを報告書としてまとめる。毎回の授業では、よほどのことがない限り欠席は認めない。

▌フィードバック方法

課題に関わるフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行うこととする。また個別による指導を含めた、フィードバックも進める。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク及びプレゼンテーション等を行う。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （事前事後における学修においてパソコンを使用する。）

▌教科書

とくに指定はしない。

▌参考書

授業時にその都度紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

授業テーマ

・諸外国の事情に合わせた企画及びプロジェクトに参加する。
・諸外国における事情やそこに住む人々の異文化実地体験に参加する。
・異文化接触及び国際交流に参加する。
・その地域社会における生活、習慣、慣習などをボランティア活動を通して実体験する。

授業内容

授業では、諸外国の状況や事情に合わせて、地域研究をも習得していかなければならない。学生諸君の受け入れ先によって、状況は異なるが、事前学修としての受け入れ先の把握とその事業内容を理解し、その国の特色も学んでいく必要性がある。(それぞれの分野を厳密に調べておく必要性があるということです。)また実際にその活動を体験することにより、その内容を理解し、事後学修として、それぞれの分野で参加してきた内容とそこで学んだことについて報告書を作成する。

事前学修

毎回、事前に学習計画を立て、それについて関連したことがらを調べておかなければならない。調べることにより、その分野の処理方法や解決方法を見出していく。(準備段階において、その地域のことがらやボランティアにおける問いを整理し、参加する意義を明確化していく。)

事後学修

事前学修で学んだことについて、実際に体験したことに基づき、それらをまとめる。報告書としてまとめ、他の学生の前で、プレゼンテーションをすることを義務付ける。(報告会もあることをつけ加えておく。)

教職課程科目

書道 I

開講学科等：日　｜　2 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前

春田　賢次朗（はるた　けんじろう）

▌授業の概要

中学校国語科書写の学習指導に必要な知識・技法・指導法などについて講義する。学校教育における書写では、文字を正しく整えて速く書くことができるようにするとともに、書写の能力を学習や生活に役立てる態度を育てることが求められている。本授業は毛筆の実習を通して、主に中学校の書写教育の全体像を把握し、楷書・行書・平仮名・片仮名の基本的な技法、書写の指導法や指導計画などの習得を目指す。実習は楷書を中心に行うが、状況により変わることがある。

▌到達目標

一般目標：中学校国語科書写の学習指導に必要な知識を身につける。
　　楷書と平仮名、片仮名の基本的な書き方を習得し、その調和について理解する。
個別目標：中学校国語科書写の概要を説明することができる。
　　楷書と平仮名、片仮名の基本的な書き方について説明し、指導することができる。
　　楷書と平仮名、片仮名の調和した書き方について説明し、指導することができる。

▌履修条件

教職課程履修者のみ履修可能。

▌評価基準・方法

提出物 (70 %)、授業中の参加姿勢 (30 %) 及び到達目標の達成度に基づき総合的に評価する。

▌フィードバック方法

課題に関するフィードバックは、机間巡視や授業内の作品添削によって行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （書写の実習）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

全国大学書写書道教育学会編『国語科書写の理論と実践』萱原書房 令和 2 年 3 月

▌参考書

特になし。
道具については初回の授業で指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：授業に必要な用具や、書写指導の目的について講義し、アンケートを行う。 事前学修 2.0hr：シラバスを通読し、本講義に期待する内容を考えておく。 事後学修 2.0hr：教科書、用具を購入する。
2 回	**授業テーマ：中学校書写の学習内容／楷書に調和する平仮名** 授業内容：平仮名の成立過程および楷書に調和する平仮名の書き方について講義し、実技を行う。 事前学修 2.0hr：教科書 18,32,33 ページを通読する。 事後学修 2.0hr：教科書 18,32,33 ページを復習する。
3 回	**授業テーマ：楷書に調和する片仮名** 授業内容：片仮名の成立過程および楷書に調和する片仮名の書き方について講義し、実技を行う。 事前学修 2.0hr：教科書 36,37 ページを通読する。 事後学修 2.0hr：教科書 36,37 ページを復習する。
4 回	**授業テーマ：楷書の基本点画とその書き方** 授業内容：楷書の特徴および基本点画の書き方について講義し、実技を行う。 事前学修 2.0hr：教科書 38,40,41 ページを通読する。 事後学修 2.0hr：教科書 38,40,41 ページを復習する。
5 回	**授業テーマ：字形の要素と全体の整え方** 授業内容：字形の要素と全体の整え方について講義し、実技を行う。 事前学修 2.0hr：教科書 42,43 ページを通読する。 事後学修 2.0hr：教科書 42,43 ページを復習する。
6 回	**授業テーマ：筆順** 授業内容：筆順指導について講義し、実技を行う。 事前学修 2.0hr：教科書 44,45 ページを通読する。 事後学修 2.0hr：教科書 44,45 ページを復習する。
7 回	**授業テーマ：点画の長短／画と画の間** 授業内容：点画の長短、画と画の間について講義し、実技を行う。 事前学修 2.0hr：教科書 46,47 ページを通読する。 事後学修 2.0hr：教科書 46,47 ページを復習する。
8 回	**授業テーマ：点画の方向** 授業内容：点画の方向について講義し、実技を行う。 事前学修 2.0hr：教科書 48,49 ページを通読する。 事後学修 2.0hr：教科書 48,49 ページを復習する。
9 回	**授業テーマ：点画の接し方** 授業内容：点画の接し方について講義し、実技を行う。 事前学修 2.0hr：教科書 50,51 ページを通読する。 事後学修 2.0hr：教科書 50,51 ページを復習する。
10 回	**授業テーマ：点画の交わり方** 授業内容：点画の交わり方について講義し、実技を行う。 事前学修 2.0hr：教科書 52,53 ページを通読する。 事後学修 2.0hr：教科書 52,53 ページを復習する。

11回	**授業テーマ：「左右」から成る文字の組立て方** 授業内容：「左右」から成る文字の組み立て方について講義し、実技を行う。 事前学修 2.0hr：教科書 54,55 ページを通読する。 事後学修 2.0hr：教科書 54,55 ページを復習する。
12回	**授業テーマ：「上下 」から成る文字の組立て方** 授業内容：「上下」から成る文字の組み立て方について講義し、実技を行う。 事前学修 2.0hr：教科書 56,57 ページを通読する。 事後学修 2.0hr：教科書 56,57 ページを復習する。
13回	**授業テーマ：「内外」から成る文字の組立て方** 授業内容：「内外」から成る文字の組み立て方について講義し、実技を行う。 事前学修 2.0hr：教科書 58,59 ページを通読する。 事後学修 2.0hr：教科書 58,59 ページを復習する。
14回	**授業テーマ：文字の大きさと配列／点画のつながり** 授業内容：文字の大きさと配列、点画のつながりについて講義し、実技を行う。 事前学修 2.0hr：教科書 60〜63 ページを通読する。 事後学修 2.0hr：教科書 60〜63 ページを復習する。
15回	**授業テーマ：硬筆** 授業内容：筆記具の特性について講義し、硬筆の実技を行う。 事前学修 2.0hr：2B 以上の鉛筆を準備する。 事後学修 2.0hr：講義の内容を復習する。

書道Ⅱ

開講学科等：日　｜　2 年次　｜　2 単位　｜　開講期：後

春田　賢次朗（はるた　けんじろう）

▌授業の概要

中学校国語科書写の学習指導に必要な知識・技法・指導法などについて講義する。学校教育における書写では、文字を正しく整えて速く書くことができるようにするとともに、書写の能力を学習や生活に役立てる態度を育てることが求められている。本授業は毛筆の実習を通して、主に中学校の書写教育の全体像を把握し、楷書・行書・平仮名・片仮名の基本的な技法、書写の指導法や指導計画などの習得を目指す。実習は行書を中心に行うが、状況により変わることがある。また、校種間の接続の視点から、高等学校芸術科書道の内容も一部取り扱う。

▌到達目標

一般目標：中学校国語科書写の学習指導に必要な知識を身につける。
　　行書と平仮名の基本的な書き方を習得し、その調和について理解する。
　　高等学校芸術科書道の学習内容について知る。
個別目標：中学校国語科書写の概要を説明することができる。
　　行書と平仮名の基本的な書き方について説明し、指導することができる。
　　行書と平仮名の調和した書き方について説明し、指導することができる。
　　高等学校芸術科書道の学習内容について説明することができる。

▌履修条件

教職課程履修者のみ履修可能。
書道Ⅰ既修者の履修が望ましい。

▌評価基準・方法

提出物 (70 %)、授業中の参加姿勢 (30 %) 及び到達目標の達成度に基づき総合的に評価する。

▌フィードバック方法

課題に関するフィードバックは、机間巡視や授業内の作品添削によって行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （書写の実習）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

全国大学書写書道教育学会編『国語科書写の理論と実践』萱原書房 令和 2 年 3 月

▌参考書

特になし。
道具については初回の授業で指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス／行書の特徴** 授業内容：授業に必要な用具や、行書の特徴について講義する。 事前学修 2.0hr：シラバスを確認する。 事後学修 2.0hr：用具・用材を準備する。
2回	**授業テーマ：点画の丸み／点画の方向や形の変化①** 授業内容：点画の丸み、点画の方向や形の変化について講義し、実技を行う。 事前学修 2.0hr：教科書 64 ページを通読する。 事後学修 2.0hr：教科書 64,65 ページを復習する。
3回	**授業テーマ：点画の丸み／点画の方向や形の変化②** 授業内容：点画の丸み、点画の方向や形の変化について、実技を行う。 事前学修 2.0hr：教科書 66,67 ページを通読する。 事後学修 2.0hr：教科書 66,67 ページを復習する。
4回	**授業テーマ：点画の連続① 筆脈の実線化** 授業内容：筆脈の実線化について講義し、実技を行う。 事前学修 2.0hr：教科書 68 ページを通読する。 事後学修 2.0hr：教科書 68,70 ページを復習する。
5回	**授業テーマ：点画の連続② 直接連続** 授業内容：直接連続について講義し、実技を行う。 事前学修 2.0hr：教科書 69,70 ページを通読する。 事後学修 2.0hr：教科書 69,70 ページを復習する。
6回	**授業テーマ：点画の省略 (1)** 授業内容：点画の省略について講義し、実技を行う。 事前学修 2.0hr：教科書 71 ページを通読する。 事後学修 2.0hr：教科書 71 ページを復習する。
7回	**授業テーマ：点画の省略 (2)** 授業内容：点画の省略について中学校の教材をもとに実技を行う。 事前学修 2.0hr：教科書 71 ページを通読する。 事後学修 2.0hr：教科書 71 ページを復習する。
8回	**授業テーマ：筆順の変化 (1)** 授業内容：筆順の変化について講義し、実技を行う。 事前学修 2.0hr：教科書 72,73 ページを通読する。 事後学修 2.0hr：教科書 72,73 ページを復習する。
9回	**授業テーマ：筆順の変化 (2)** 授業内容：筆順の変化について中学校の教材をもとに実技を行う。 事前学修 2.0hr：教科書 72,73 ページを通読する。 事後学修 2.0hr：教科書 72,73 ページを復習する。

10回	**授業テーマ：行書に調和する仮名** 授業内容：行書に調和する仮名について講義し、実技を行う。 事前学修 2.0hr：教科書 74,75 ページを通読する。 事後学修 2.0hr：教科書 74,75 ページを復習する。
11回	**授業テーマ：文字の大きさと配列(行書き)** 授業内容：文字の大きさと配列について講義し、行書きの実技を行う。 事前学修 2.0hr：教科書 76,77 ページを通読する。 事後学修 2.0hr：教科書 76,77 ページを復習する。
12回	**授業テーマ：文字の大きさと配列(散らし書き)** 授業内容：文字の大きさと配列について講義し、散らし書きの実技を行う。 事前学修 2.0hr：教科書 76,77 ページを通読する。 事後学修 2.0hr：教科書 76,77 ページを復習する。
13回	**授業テーマ：漢字の古典** 授業内容：高等学校芸術科書道の学習内容について講義し、実技を行う。 事前学修 2.0hr：プリントを通読する。 事後学修 2.0hr：プリントを復習する。
14回	**授業テーマ：実用書式／書き初め** 授業内容：書き初めの実技を行う。 事前学修 2.0hr：教科書 78～83 ページを通読する。 事後学修 2.0hr：教科書 78～83 ページを復習する
15回	**授業テーマ：硬筆** 授業内容：硬筆の実技を行う。 事前学修 2.0hr：2B 以上の鉛筆を準備する。 事後学修 2.0hr：講義の内容を復習する。

教職基礎セミナーⅠ（国語科）

開講学科等：日　｜　1 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前

山本　聖志（やまもと　せいし）

▌授業の概要

中学校・高等学校教諭一種免許状 (国語) 取得希望者のための１年次前学期の必修科目である。３年次に学修する国語科教育法における基礎知識と基本的指導技術を身に付けるための基礎科目である。授業では、国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成する。また、伝え合う力を高めるとともに、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を培う。デジタル教材やＩＣＴ機器の使用に習熟し、授業で活用できる力を育成する。更に能動的な学修の姿勢を重視し、国語の楽しさを体感できるように育成する。

▌到達目標

一般目標：１．受講者自身が、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとすることができる。
　　２．中学校教科書定番教材を通じて、生徒たちにどのような思考力・判断力・表現力を身に付けさせるかを主体的にかつ実践的に指導できる。
個別目標：１．将来国語科教員としての必要な文章読解や言語に対する知識・技能を持つことができる。
　　２．新しい時代を迎え ICT 機器の活用やプレゼンテーションソフトなどの活用によって生徒の思考能力を向上させる技術を習得することができる。

▌履修条件

将来、中学校・高等学校の国語科教員を目指し、教職課程を履修する熱意のある学生。

▌評価基準・方法

事前学修、グループ討議・発表、課題の提出及びレスポンへの回答、授業への参加度・貢献度等の受講姿勢で５０%、定期試験５０%の結果に基づき、総合的に評価する。なお、５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

フィードバックは、課題等の返却時の評価のほか、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク、プレゼンテーション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （レポートの作成や模擬授業におけるプレゼンテーションで活用）

▌教科書

中学校「現代の国語２」三省堂（国語 015-82）

▌参考書

講義の中で適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：これからの国語科に求められている「授業デザイン」を考える。 事前学修 2.0hr：これまで受けてきた国語教育や授業を振り返り、それを指導することについて理解を深める。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
2回	**授業テーマ：説明的文章の読み方１** 授業内容：「思考の方法」を読み、中学校国語科で扱う主体的で深い学びについて理解を深める。 事前学修 2.0hr：教材を音読・精読し、内容を理解しておく。また、「思考の方法」について説明できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
3回	**授業テーマ：説明的文章の読み方２** 授業内容：「人間は他(ほか)の星に住むことができるのか　渡部潤一」を読み、説明文の指導法について考える。 事前学修 2.0hr：教材を音読・精読し、内容を理解しておく。授業者であれば、どのように発問するかを考え、まとめておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。また、次回にその課題に基づいた小テストを実施する。
4回	**授業テーマ：説明的文章の読み方３** 授業内容：「学びの道しるべ」の活用を通し、教科書編集の工夫及び生徒の国語に対する興味・関心及び理解を図る指導について考える。 事前学修 2.0hr：教材を音読・精読し、内容を理解しておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
5回	**授業テーマ：短歌の読み方１** 授業内容：「短歌の世界　俵万智」を読み、短歌の指導における指導内容及び方法について理解する。 事前学修 2.0hr：教材を音読・精読し、内容を理解しておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
6回	**授業テーマ：短歌の読み方２** 授業内容：「短歌十首」を読み、定型をもった詩の表現技法について理解を深める。 事前学修 2.0hr：教材を音読・精読し、内容を理解しておく。授業者であれば、どのように発問するかを考え、まとめておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。また、次回にその課題に基づいた小テストを実施する。
7回	**授業テーマ：短歌の読み方３** 授業内容：短歌を含む定型詩やその他韻文に関する指導法について学ぶ。 事前学修 2.0hr：教材を音読・精読し、内容を理解しておく。基礎的事項についての習熟を図っておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
8回	**授業テーマ：文法事項１** 授業内容：口語文法に関する知識の整理及び指導事項について理解する。 事前学修 2.0hr：教材を音読・精読し、内容を理解しておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
9回	**授業テーマ：文法事項２** 授業内容：用言の活用について国語の指導内容としての位置付けについて理解する。 事前学修 2.0hr：言葉のきまりに関する学習内容を復習しておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。また、次回にその課題に基づいた小テストを実施する。
10回	**授業テーマ：評論文１** 授業内容：「100 年後の水を守る　橋本淳司」を読み、評論文の読み方や指導方法について考える。 事前学修 2.0hr：教材を音読・精読し、内容を理解しておく。具体的な発問等を検討し、指導案を作成しておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。

11回	**授業テーマ：評論文2** 授業内容：短い模擬授業を想定し、指導案並びに板書計画を作成する。 事前学修 2.0hr：教材を音読・精読し、内容を理解しておく。また、筆者の思考の過程を考え説明できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
12回	**授業テーマ：評論文3** 授業内容：作成した指導案並びに板書計画について相互評価を行う。 事前学修 2.0hr：自分なりの指導案・板書計画を作成しておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。また、次回にその課題に基づいた小テストを実施する
13回	**授業テーマ：プレゼンテーション1** 授業内容：国語における表現方法としてのプレゼンテーションの意義や指導上の留意事項について学ぶ。 事前学修 2.0hr：指導案をもとに具体的な発問等を検討し、プレゼンテーションの場面を想定する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
14回	**授業テーマ：プレゼンテーション2** 授業内容：授業で活用できるプレゼンテーション資料を作成する。 事前学修 2.0hr：資料を作成し、その効果について考えてくる。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：効果的な国語指導について、指導案、板書計画、プレゼンテーション等の作成や活用について考察する。 事前学修 2.0hr：生徒の理解の促進を図る指導案等の工夫について考える。 事後学修 2.0hr：講義全体を俯瞰し国語科教員として必要な基礎知識と授業技術の確認をする。

教職基礎セミナーⅡ（国語科）

開講学科等：日　｜　1 年次　｜　2 単位　｜　開講期：後

山本　聖志（やまもと　せいし）

▌授業の概要

1年次前学期「教職基礎セミナーⅠ（国語科）」に続く、中学校・高等学校教諭一種免許状 (国語) 取得希望者のための1年次後学期の必修科目であり、3年次に学修する国語科教育法における基礎知識と基本的指導技術を身に付けるための基礎科目である。授業では、国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成する。また伝え合う力を高めるとともに、言語感覚を磨き言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を培う。デジタル教材やＩＣＴ機器の使用に精通し授業で活用できる力を育成する。更に能動的な学修の姿勢を重視し、国語の楽しさを体感できるように育成する。

▌到達目標

一般目標：1．受講者自身が、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとすることができる。
　　2．中学校教科書の教材を通じて、生徒たちにどのような思考力・判断力・表現力を身に付けさせるかを主体的にかつ実践的に指導できる。
個別目標：1．将来国語科教員としての必要な言語に対する知識・技能を持つことができる。
　　2．新しい時代を迎え ICT 機器の活用やプレゼンテーションソフトなどの活用によって生徒の思考能力を向上させる技術を習得することができる。

▌履修条件

将来、中学校・高等学校の国語科教員を目指し、教職課程を履修する熱意のある学生。

▌評価基準・方法

事前学修、グループ討議・発表、課題の提出及びレスポンへの回答、授業への参加度・貢献度等の受講姿勢で５０%、定期試験５０%の結果に基づき、総合的に評価する。なお、５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

フィードバックは、課題等の返却時の評価のほか、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク、プレゼンテーション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Word、Excel、PowerPoint 等を搭載したパソコンを指示により持参）

▌教科書

中学校「現代の国語２」三省堂（国語 015-82）※前期から引き続き使用

▌参考書

講義の中で適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：後期の教職基礎セミナーで学ぶ事項について理解し、学習計画を立てる。 事前学修 2.0hr：教科書を概観しておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
2回	**授業テーマ：古典１（古文）** 授業内容：「古典に学ぶ」の単元のうち古文を学ぶ際の基礎的事項について確認する。 事前学修 2.0hr：教材を音読・精読し、内容を理解しておく。授業者であればどのように発問するかを考え、まとめておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
3回	**授業テーマ：古典２（古文）** 授業内容：「枕草子・徒然草」を読み、古文の指導上の基礎事項及び指導方法について考える。 事前学修 2.0hr：教材を音読・精読し、内容を理解しておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。また、次回にその課題に基づいた小テストを実施する。
4回	**授業テーマ：古典３（古文）** 授業内容：「平家物語」を読み、軍記物についての読み方及び指導方法を理解する。 事前学修 2.0hr：教材を音読・精読し、内容を理解しておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
5回	**授業テーマ：古典４（漢文）** 授業内容：「漢詩の世界」を読み、漢詩の形式や漢文の読み方について基礎的事項を理解する。 事前学修 2.0hr：教材を音読・精読し、内容を理解しておく。授業者であればどのように発問するかを考え、まとめておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
6回	**授業テーマ：古典５（漢文）** 授業内容：漢文に由来する言葉について考え、熟語の構成や熟字訓について理解を深めるともに指導法について考える。 事前学修 2.0hr：言語事項、特に言葉の成り立ちについて調べておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。また、次回にその課題に基づいた小テストを実施する。
7回	**授業テーマ：文法１** 授業内容：口語文法に関する指導内容について理解する。 事前学修 2.0hr：品詞分類のうち特に体言に関する事項について復習しておく 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
8回	**授業テーマ：文法２** 授業内容：現代文法について体系的な理解をするとともに指導上の課題や留意事項について理解する。 事前学修 2.0hr：品詞分類のうち特に用言に関する事項について復習しておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
9回	**授業テーマ：ICT の活用１** 授業内容：「情報を関係づける」を読み、QR コードを活用した授業の発展や情報社会における国語教育の役割について理解する。 事前学修 2.0hr：教材を音読・精読し、内容を理解しておく。テーマについて自分なりの課題意識をもつ。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。また、次回にその課題に基づいた小テストを実施する。
10回	**授業テーマ：ICT の活用２** 授業内容：「情報を関連づける」の単元を読み、ICT を活用した授業づくりについて考え、指導案を作成する際の活用について理解する。 事前学修 2.0hr：教材を音読・精読し、内容を理解しておく。思考の過程を考え説明できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。

11回	**授業テーマ：韻文** 授業内容：「大阿蘇　三好達治」や提示された詩の作品を読み、韻文の指導内容について理解する。 事前学修 2.0hr：教材を音読・精読し、内容を理解しておく。授業者であればどのように発問するかを考え、まとめておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
12回	**授業テーマ：小説１** 授業内容：「走れメロス　太宰　治」を読み、模擬授業を想定した指導案を作成する。 事前学修 2.0hr：教材を音読・精読し、内容を理解しておく。段落の構成を考え、各段の主旨をまとめて発表できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。また、次回にその課題に基づいた小テストを実施する。
13回	**授業テーマ：小説２** 授業内容：実際の授業における学習活動や発問計画の重要性について理解し、指導案作成に役立てる。 事前学修 2.0hr：教材を音読・精読し、内容を理解しておく。指導における発問について考える。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
14回	**授業テーマ：小説３** 授業内容：グループワークを通し。指導案の相互評価を行う。プレゼンテーションの効果や課題について考察する。 事前学修 2.0hr：教材を音読・精読し、内容を理解しておく。授業者であればどのように発問するかを考え、まとめておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：教科書の巻末教材「振り返って見つめる」を読み、中学校国語の学習におけるまとめの方法について理解する。 事前学修 2.0hr：学修内容を振り返り、自身の国語力向上のための課題を抽出する。 事後学修 2.0hr：国語科教員として必要な基礎知識と授業技術の確認をし、次学年の学修に備える。

教職基礎セミナーⅢ（国語科）

開講学科等：日　｜　2年次　｜　2単位　｜　開講期：前

浅田　勉（あさだ　つとむ）

▌授業の概要

中学校・高等学校教諭一種免許状（国語）取得希望者のための本学における２年次前学期の必修科目である。授業では、１年次同様、国語を適切に表現し、的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育成する。また、主体的・対話的な学びなど、能動的な姿勢を重視し、実際の授業に際して、どのように指導を展開するかなどについて学修する。

▌到達目標

一般目標：１ 受講者自身が、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする態度を身に付ける。
２ 高等学校定番教材等を通じて、生徒たちにどのような思考力・判断力・表現力を身に付けさせるかを主体的かつ実践的な指導法を習得する。
３教員として行うべき様々な指導のポインや実際に指導を展開する上での方法を理解する。

個別目標：１ 日本の言語文化に対する関心が深まり、国語を尊重することができる。
２ 国語に係る思考力・判断力・表現力を説明できる。
３ 具体的な指導のポイント等を説明できる。

▌履修条件

１ 将来、中学校・高等学校の国語科教員を目指し、教職課程を履修する熱意のある学生。
２ 原則として、「教職基礎セミナーⅠ（国語科）」及び「教職基礎セミナーⅡ（国語科）」の単位を修得している学生。
３ ただし、特別な理由が認められる場合は「教職基礎セミナーⅠ（国語科）」との併修は認める。

▌評価基準・方法

授業への参加の姿勢・貢献度、小テストの結果や課題の提出状況を７０%、定期試験の結果を３０%とし、総合的に評価する。５分の４以上の出席を評価の対象とし、欠席・遅刻は減点する。

▌フィードバック方法

フィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Microsoft office 搭載のモバイル PC を必要に応じて使用する。）

▌教科書

「精選　現代の国語」（２東書「現国 702」）
「精選　言語文化」（２東書「言文 702」）
※教科書は必ず明海ショップで購入すること。
「夢十夜」については指導者から資料として提供する。

▌参考書

講義の中で適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション（本授業の目的と概要、計画）** 授業内容：シラバスに基づいて本授業の目的と概要、学びの流れを確認し、半期の学習の見通しを持つ。 評論読解のポイントについて理解する。 事前学修 2.0hr：シラバスを読み、本授業の目的と概要、学びの流れを確認し、半期の学習の見通しを持つ。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
2回	**授業テーマ：現代の国語　評論の読み方** 授業内容：評論の特徴、構成、問題提起、筆者の主張等、評論を読み進める上での留意点について理解する。 事前学修 2.0hr：前回に出された課題に基づき、評論の読み方について自分なりの考えをまとめておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
3回	**授業テーマ：現代の国語　山崎正和「水の東西」１（全体内容読解）** 授業内容：全体を通読し、語句の意味等を確認しながら、筆者の主張の概要について協議をする。 事前学修 2.0hr：教材を音読・精読し、内容を理解しておく。また、筆者の主張を大まかに説明できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
4回	**授業テーマ：現代の国語　山崎正和「水の東西」２（各段落の内容把握）** 授業内容：段落分けの確認をする。協議を通して、想定される発問についての解答を確認しながら、段落ごとの筆者の主張をとらえる。 事前学修 2.0hr：教材を音読・精読し、内容を理解しておく。段落の構成を考え、各段の主旨をまとめて発表できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
5回	**授業テーマ：現代の国語　山崎正和「水の東西」３（評論の読解）** 授業内容：協議を通して、想定される発問についての解答を確認しながら、筆者の主張の全体を理解する。必要に応じて指導者に助言を仰いだりする。 事前学修 2.0hr：教材を音読・精読し、内容を理解しておく。授業者であれば、どのように発問するかを考え、まとめておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
6回	**授業テーマ：言語文化　文語文法の復習１（動詞）** 授業内容：動詞の文語文法について振り返り、品詞の特徴、活用形の種類、活用の種類、活用の仕方について理解する。 事前学修 2.0hr：動詞の文語文法について、高等学校での既習内容を振り返っておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
7回	**授業テーマ：言語文化　文語文法の復習２（形容詞・形容動詞）** 授業内容：形容詞・形容動詞の文語文法について振り返り、品詞の特徴、活用の種類、活用の仕方について理解する。 事前学修 2.0hr：形容詞・形容動詞の文語文法について、高等学校での既習内容を振り返っておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
8回	**授業テーマ：言語文化　古文　紀貫之『土佐日記』「馬のはなむけ」１（文法事項）** 授業内容：音読をする。品詞分解をし、文法事項について協議を通じて確認をする。 事前学修 2.0hr：教材を音読・精読し、内容を理解しておく。また、品詞分解・文法事項を明らかにしておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。

9回	**授業テーマ：言語文化　古文　紀貫之『土佐日記』「馬のはなむけ」２(口語訳)** 授業内容：文法事項や古語の意味に留意しながら、口語訳をする。必要に応じて受講者同士で意見交換をしたり、指導者に助言を仰いだりする。 事前学修 2.0hr：教材を音読・精読し、内容を理解しておく。自分なりの口語訳を考えておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
10回	**授業テーマ：言語文化　古文　紀貫之『土佐日記』「馬のはなむけ」３(日記文学の読解)** 授業内容：協議を通して、想定される発問についての解答を確認しながら、全体の内容理解を深める。 事前学修 2.0hr：教材を音読・精読し、内容を理解しておく。授業者であれば、どのように発問するかを考え、まとめておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
11回	**授業テーマ：言語文化　漢文　寓話『淮南子』「塞翁馬」１(訓読・書き下し文)** 授業内容：訓読の基本を振り返りながら、音読をする。必要に応じて受講者同士で意見交換をしたり、指導者に助言を仰いだりしながら、書き下し文を書く。 事前学修 2.0hr：教材を音読・精読し、内容を理解しておく。訓読の基本を振り返り、書き下し文を作成する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
12回	**授業テーマ：言語文化　漢文　寓話『淮南子』「塞翁馬」２(口語訳)** 授業内容：句法や漢字の意味に留意しながら、口語訳をする。必要に応じて受講者同士で意見交換をしたり、指導者に助言を仰いだりする。 事前学修 2.0hr：教材を音読・精読し、内容を理解しておく。自分なりの口語訳を考えておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
13回	**授業テーマ：言語文化　漢文　寓話『淮南子』「塞翁馬」３(漢文寓話の読解)** 授業内容：協議を通して、発問についての解答を確認しながら、寓意を読み取り、全体の内容理解を深める。必要に応じて指導者に助言を仰いだりする。 事前学修 2.0hr：教材を音読・精読し、内容を理解しておく。授業者であれば、どのように発問するかを考え、まとめておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
14回	**授業テーマ：言語文化　現代文　夏目漱石『夢十夜』「第一夜」１(語句の意味・概要把握)** 授業内容：本文を音読する。協議を通じて、必要に応じて語句の意味を確認するとともに、物語の基本的な要素である、いつ、どこで、誰が、どうした、の４点を確認する。 事前学修 2.0hr：教材を音読・精読し、内容を理解しておく。必要に応じて語句の意味調べをする。物語の概要を説明できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
15回	**授業テーマ：言語文化　現代文　夏目漱石『夢十夜』「第一夜」２(小説の読解)** 授業内容：協議を通して、想定される発問についての解答を確認しながら、全体の内容理解を深める。 事前学修 2.0hr：教材を音読・精読し、内容を理解しておく。授業者であれば、どのように発問するかを考え、まとめておく。 事後学修 2.0hr：定期考査を通して、授業全体を俯瞰し、国語科教員として必要な基礎知識と授業技術の確認をするので、それに備える。

教職基礎セミナーⅣ（国語科）

開講学科等：日　｜　2年次　｜　2単位　｜　開講期：後

浅田　勉（あさだ　つとむ）

▌授業の概要

中学校・高等学校教諭一種免許状（国語）取得希望者のための本学における2年次後学期の必修科目である。授業では、1年次同様、国語を適切に表現し、的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育成する。また、アクティブラーニングなど、能動的な学修の姿勢を重視し、実際の授業に際して、どのように指導を展開するかなどについて学修する。

▌到達目標

一般目標：1　受講者自身が、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする態度を身に付ける。
2　高等学校定番教材等を通じて、生徒たちにどのような思考力・判断力・表現力を身に付けさせるかを主体的かつ実践的な指導法を習得する。
3　教員として行うべき様々な指導のポイントを理解し、実際に指導を展開する上での方法を身に付ける。

個別目標：1　日本の言語文化に対する関心が深まり、国語を尊重することができる。
2　国語に係る思考力・判断力・表現力を説明できる。
3　具体的な指導のポイント等を説明できる。

▌履修条件

1　将来、中学校・高等学校の国語科教員を目指し、教職課程を履修する熱意のある学生。
2　原則として、「教職基礎セミナーⅠ（国語科）」「教職基礎セミナーⅡ（国語科）」及び「教職基礎セミナーⅢ（国語科）」の単位を修得している学生。
3　ただし、特別な理由が認められる場合は「教職基礎セミナー（国語科）Ⅱ」との併修は認める。

▌評価基準・方法

授業への参加の姿勢・貢献度、小テストの結果や課題の提出状況を７０%、定期試験の結果３０%に基づき、総合的に評価する。５分の４以上の出席を評価の対象とし、欠席は減点する。

▌フィードバック方法

学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Microsoft office 搭載のモバイル PC を必要に応じて使用する。）

▌教科書

「精選　現代の国語」（2東書「現国 702」）
「精選　言語文化」（2東書「言文 702」）
昨年度の「教職基礎セミナーⅠ」「教職基礎セミナーⅡ」で使用した物を引き続き使用する。

▌参考書

講義の中で適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：言語文化　現代文　太宰治「富嶽百景」1（小説の読解）** 授業内容：本文を音読する。協議を通じて、必要に応じて語句の意味を確認するとともに、物語の基本的な要素である、いつ、どこで、誰が、どうした、の4点を確認する。場面転換に注目して段落分けを考える。 事前学修 2.0hr：教材を音読・精読し、内容を理解しておく。必要に応じて語句の意味調べをする。物語の概要を説明できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
2回	**授業テーマ：言語文化　現代文　太宰治「富岳百景」2（小説の読解）** 授業内容：協議を通して、段落ごとに、発問についての解答を確認しながら、内容理解を深める。必要に応じて指導者に助言を仰いだりする。 事前学修 2.0hr：教材を音読・精読し、内容を理解しておく。発問の回答についての自分なりの考えをまとめておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
3回	**授業テーマ：言語文化　現代文　太宰治「富岳百景」3　（小説の読解）** 授業内容：協議を通して、段落ごとに、発問についての解答を確認しながら、内容理解を深める。必要に応じて指導者に助言を仰いだりする。 事前学修 2.0hr：教材を音読・精読し、内容を理解しておく。発問の回答についての自分なりの考えをまとめておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
4回	**授業テーマ：言語文化　現代文　太宰治「富岳百景」4　（小説の読解）** 授業内容：協議を通して、段落ごとに、発問についての解答を確認しながら、内容理解を深める。必要に応じて指導者に助言を仰いだりする。 事前学修 2.0hr：教材を音読・精読し、内容を理解しておく。発問の回答についての自分なりの考えをまとめておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
5回	**授業テーマ：言語文化　現代文　太宰治「富岳百景」5　（小説の読解）** 授業内容：協議を通して、段落ごとに、発問についての解答を確認しながら、内容理解を深める。必要に応じて指導者に助言を仰いだりする。 事前学修 2.0hr：教材を音読・精読し、内容を理解しておく。発問の回答についての自分なりの考えをまとめておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
6回	**授業テーマ：言語文化　現代文　太宰治「富岳百景」6　（小説の読解）** 授業内容：協議を通して、段落ごとに、発問についての解答を確認しながら、内容理解を深める。必要に応じて指導者に助言を仰いだりする。 事前学修 2.0hr：教材を音読・精読し、内容を理解しておく。発問の回答についての自分なりの考えをまとめておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
7回	**授業テーマ：言語文化　文語文法の復習1（助動詞1）** 授業内容：助動詞の文語文法について振り返り、助動詞の働き、種類、接続、意味、活用等を理解する。 事前学修 2.0hr：助動詞の文語文法について、高等学校での既習内容を振り返っておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。また、次回にその課題に基づいた小テストを実施する。
8回	**授業テーマ：言語文化　文語文法の復習2（助動詞2）** 授業内容：実際の古文を対象に、助動詞について文法的な説明ができるように、接続や意味、活用形について確認する。 事前学修 2.0hr：前回の学修内容を振り返り、助動詞の文語文法について確認する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。また、次回にその課題に基づいた小テストを実施する。
9回	**授業テーマ：言語文化　古文1　清少納言「枕草子」「五月ばかりなどに山里に歩く」1（文法事項）** 授業内容：音読をする。品詞分解をし、文法事項について協議を通じて確認をする。必要に応じて指導者に助言を仰いだりする。 事前学修 2.0hr：教材を音読・精読し、内容を理解しておく。また、品詞分解・文法事項を明らかにしておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。また、次回にその課題に基づいた小テストを実施する。

10回	**授業テーマ：言語文化　古文１　清少納言「枕草子」「五月ばかりなどに山里に歩く」２(口語訳)** 授業内容：文法事項や古語の意味に留意しながら、口語訳をする。必要に応じて受講者同士で意見交換をしたり、指導者に助言を仰いだりする。 事前学修 2.0hr：教材を音読・精読し、内容を理解しておく。自分なりの口語訳を考えておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
11回	**授業テーマ：言語文化　古文１　清少納言「枕草子」「五月ばかりなどに山里に歩く」３(中古随筆の読解)** 授業内容：協議を通して、発問についての解答を確認しながら、全体の内容理解を深める。必要に応じて指導者に助言を仰いだりする。 事前学修 2.0hr：教材を音読・精読し、内容を理解しておく。授業者であれば、どのように発問するかを考え、まとめておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。また、次回にその課題に基づいた小テストを実施する。
12回	**授業テーマ：言語文化　古文２　清少納言「枕草子」「ありがたきもの」１(文法事項)** 授業内容：音読をする。品詞分解をし、文法事項について協議を通じて確認をする。必要に応じて指導者に助言を仰いだりする。 事前学修 2.0hr：教材を音読・精読し、内容を理解しておく。また、品詞分解・文法事項を明らかにしておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。また、次回にその課題に基づいた小テストを実施する。
13回	**授業テーマ：言語文化　古文２　清少納言「枕草子」「ありがたきもの」２(口語訳・中古随筆の読解)** 授業内容：文法事項や古語の意味に留意し、必要に応じて受講者同士で意見交換をしたりしながら、口語訳をする。協議を通して、発問についての解答を確認しながら、全体の内容理解を深める。必要に応じて指導者に助言を仰いだりする。 事前学修 2.0hr：教材を音読・精読し、内容を理解しておく。自分なりの口語訳を考えておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
14回	**授業テーマ：言語文化　漢文　寓話　「列子」「朝三暮四」１(訓読と書き下し文・口語訳)** 授業内容：訓読の基本を振り返りながら、音読をする。音読を踏まえて、書き下し文を書く。句法や漢字の意味に留意し、口語訳をする。必要に応じて受講者同士で意見交換をしたり、指導者に助言を仰いだりする。 事前学修 2.0hr：教材を音読・精読し、内容を理解しておく。自分なりの口語訳を考えておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
15回	**授業テーマ：言語文化　漢文　寓話　「列子」「朝三暮四」２(口語訳・漢文史話の読解)** 授業内容：句法や漢字の意味に留意し、必要に応じて受講者同士で意見交換をしたりしながら、口語訳をする。協議を通して、発問についての解答を確認しながら、寓意を読み取り、全体の内容理解を深める。必要に応じて指導者に助言を仰いだりする。 事前学修 2.0hr：教材を音読・精読し、内容を理解しておく。自分なりの口語訳を考えておく。 事後学修 2.0hr：定期考査を通して、講義全体を俯瞰し、国語科教員として必要な基礎知識と授業技術の確認をするので、それに備える。

国語科教育法Ⅰ

開講学科等：日　｜　3 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前

浅田　勉（あさだ　つとむ）

▌授業の概要

本授業は、高等学校における国語科教育の本質・目的・構造・評価方法について、講義や演習を通して学ぶとともに理論と実践の両面から研究する。生徒の言語活用能力を向上させ、言語生活を豊かにできる双方向型の国語科指導のあり方を研究する。
教職専門科目との連携を図って、授業空間での生徒への適切な働きかけの在り方を模擬授業を通して学び合う。また、デジタル教材やＩＣＴ機器の使用に精通し、授業で活用できる力を育成する。

▌到達目標

一般目標：1　国語教育、特に高等学校国語科教育の本質・目的・構造・評価方法について理解し今日的課題に対応しようとする態度を養う。
　　2　学習指導案を作成するにあたって留意すべきことを理解する。
個別目標：1　身に付けさせたい言語運用能力を明確にしその指導方法と評価方法を身に付ける。
　　2　新しい時代を迎え、ＩＣＴ機器の活用やプレゼンテーションソフトなどの活用によって生徒の思考能力を向上させる技術を習得することができるようになる。

▌履修条件

将来、中学校・高等学校の国語科教員を目指し、教職課程を履修する熱意のある学生。

▌評価基準・方法

授業への参加の状況及び貢献度、提出物及び小テスト等を７０%、模擬授業の準備状況や内容、相互評価の取組を３０%とし、総合的に評価する。授業への参加が学修の中心となるので、欠席・遅刻については減点とするなど、厳格に対処する。定期試験は実施しない。

▌フィードバック方法

学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （模擬授業　相互評価　グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Microsoft office 搭載のモバイル PC を必要に応じて使用する。）

▌教科書

「精選　現代の国語」（２東書「現国 702」）
「精選　言語文化」（２東書「言文 702」）
昨年度の「教職基礎セミナーⅢ」「教職基礎セミナーⅣ」で使用した物をそのまま使用する。

▌参考書

文部科学省『高等学校学習指導要領（平成 30 年告示）』（東山書房）
文部科学省『高等学校学習指導要領（平成 30 年告示）解説 国語編』（東洋館出版社）

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション (本授業の目的と概要、計画)** 授業内容：本授業の目的と概要を理解し、半期の授業計画を把握し、学びの流れについて見通しを持つ。 国語の教員を目指す上での課題について個々に考えた上でグループで意見交換し、全体で共有する。 初回アンケートを実施する。 事前学修 2.0hr：シラバスを読んで半期の授業計画についての見通しを持つ。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
2回	**授業テーマ：『高等学校学習指導要領』における「国語」の科目構成** 授業内容：『高等学校学習指導要領』における「国語」の科目構成と各科目の目標と内容について理解する。 「国語」の教育課程を個々に考えた上でグループで意見交換し、全体で共有する。 事前学修 2.0hr：前時の授業内で支持された課題に基づき、自分の意見をまとめる。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
3回	**授業テーマ：評論と評論の授業づくり** 授業内容：評論の特徴を理解する。 評論を教材とする授業づくりの手順について個々に考えた上でグループで意見交換し、全体で共有する。 事前学修 2.0hr：前時の授業内で支持された課題に基づき、自分の意見をまとめる。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
4回	**授業テーマ：小説と小説の授業づくり** 授業内容：小説の読み方を理解する。 小説を教材とする授業づくりの手順について個々に考えた上でグループで意見交換し、全体で共有する。 事前学修 2.0hr：前時の授業内で支持された課題に基づき、自分の意見をまとめる。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
5回	**授業テーマ：古文・漢文の授業づくり** 授業内容：古文・漢文を教材とする授業づくりの手順について個々に考えた上でグループで意見交換し、全体で共有する。 事前学修 2.0hr：前時の授業内で支持された課題に基づき、自分の意見をまとめる。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
6回	**授業テーマ：模擬授業の準備** 授業内容：模擬授業を実施するグループを分けをする。 文学的教材、評論、古文、漢文の中から担当する教材分野をグループ間で調整する。 取り上げる教材をグループで話し合って決定する。 事前学修 2.0hr：前時の授業内で支持された課題に基づき、自分の意見をまとめる。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
7回	**授業テーマ：模擬授業と相互評価１（文学的教材とＩＣＴ機器活用）** 授業内容：模擬授業を実施し、協議を通じて相互評価を行うとともに評価の在り方について検討する。 事前学修 2.0hr：担当するグループは模擬授業の準備をし、その他の学生は教材を通読しておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
8回	**授業テーマ：模擬授業と相互評価２（文学的教材とＩＣＴ機器活用）** 授業内容：模擬授業を実施し、協議を通じて相互評価を行うとともに評価の在り方について検討する。 事前学修 2.0hr：担当するグループは模擬授業の準備をし、その他の学生は教材を通読しておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。

9回	**授業テーマ：模擬授業と相互評価３（古文教材とＩＣＴ機器活用）** 授業内容：模擬授業を実施し、協議を通じて相互評価を行うとともに評価の在り方について検討する。 事前学修 2.0hr：担当するグループは模擬授業の準備をし、その他の学生は教材を通読しておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
10回	**授業テーマ：模擬授業と相互評価４（古文教材とＩＣＴ機器活用）** 授業内容：模擬授業を実施し、協議を通じて相互評価を行うとともに評価の在り方について検討する。 事前学修 2.0hr：担当するグループは模擬授業の準備をし、その他の学生は教材を通読しておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
11回	**授業テーマ：模擬授業と相互評価５（評論教材とＩＣＴ機器活用）** 授業内容：模擬授業を実施し、協議を通じて相互評価を行うとともに評価の在り方について検討する。 事前学修 2.0hr：担当するグループは模擬授業の準備をし、その他の学生は教材を通読しておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
12回	**授業テーマ：模擬授業と相互評価６（評論教材とＩＣＴ機器活用）** 授業内容：模擬授業を実施し、協議を通じて相互評価を行うとともに評価の在り方について検討する。 事前学修 2.0hr：担当するグループは模擬授業の準備をし、その他の学生は教材を通読しておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
13回	**授業テーマ：模擬授業と相互評価７（古典漢文教材とＩＣＴ機器活用）** 授業内容：模擬授業を実施し、協議を通じて相互評価を行うとともに評価の在り方について検討する。 事前学修 2.0hr：担当するグループは模擬授業の準備をし、その他の学生は教材を通読しておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
14回	**授業テーマ：模擬授業と相互評価８（漢文教材とＩＣＴ機器活用）** 授業内容：模擬授業を実施し、協議を通じて相互評価を行うとともに評価の在り方について検討する。 事前学修 2.0hr：担当するグループは模擬授業の準備をし、その他の学生は教材を通読しておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
15回	**授業テーマ：全授業の振り返りと「国語科教育法Ⅱ」の授業に向けての準備** 授業内容：半期の全授業を振り返り、協議を通じて、課題を共有する。 「国語科教育法Ⅱ」の授業に向けての準備について協議する。 事前学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。 事後学修 2.0hr：「国語科教育法Ⅰ」の振り返りを踏まえながら、国語科教育法Ⅱの授業に向けての準備をする。

国語科教育法Ⅱ

開講学科等：日　｜　3 年次　｜　2 単位　｜　開講期：後

浅田　勉（あさだ　つとむ）

▌授業の概要

本授業は、高等学校における国語科教育の本質・目的・構造・評価方法について、講義や演習を通して学ぶとともに、理論と実践の両面から研究する。国語科指導力の完成を目指し、現場で活用・応用できる指導力を育成する。
国語教材のテーマを踏まえて自ら分析し、自らが課題を設定し、互いに討論し、自らの考えをまとめ発表できる力を指導できる教師力を模擬授業やグループ討議を通じて構築することを目指す。また、デジタル教材やＩＣＴ機器の使用に精通し、授業で活用できる力を育成する。

▌到達目標

一般目標：1　国語科教育法Ⅰで学んだ内容を活かし、国語科の授業を自力で構想し実践に移すことができる。
　　2　教材に応じて資料を探索し咀嚼し、深い学びにつながる適切な授業方法と評価方法を構想することができる。
個別目標：1　ＩＣＴ機器を活用した模擬授業を通して教育実習等で活用できるように質を向上させる。
　　2　一国語教育者として言葉の力を理解し、一指導者としての柔軟な姿勢を身につける。
　　3　新しい時代を迎え、ＩＣＴ機器の活用やプレゼンテーションソフトなどの活用によって生徒の思考能力を向上させる技術を習得することができる。

▌履修条件

将来、中学校・高等学校の国語科教員を目指し、教職課程を履修する熱意のある学生。

▌評価基準・方法

授業への参加の状況及び貢献度、提出物及び小テスト等を７０%、模擬授業の準備状況や内容、相互評価の取組を３０%とし、総合的に評価する。授業への参加が学修の中心となるので、欠席・遅刻については減点とするなど、厳格に対処する。定期試験は実施しない。

▌フィードバック方法

学習支援システム manaba を通じて行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （模擬授業　相互評価　グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Microsoft office 搭載のモバイル PC を必要に応じて使用する。）

▌教科書

「精選　現代の国語」（２東書「現国 702」）
「精選　言語文化」（２東書「言文 702」）
「国語科教育法Ⅰ」で使用した物をそのまま使用する。

▌参考書

文部科学省『高等学校学習指導要領（平成 30 年告示）解説 国語編』（東洋館出版社）
文部科学省『中学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説 国語編』（東洋館出版社）

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション (本授業の目的と概要、計画)** 授業内容：本授業の目的と概要を理解し、半期の授業計画を把握し、学びの流れについて見通しを持つ。 事前学修 2.0hr：シラバスを読んで半期の授業計画についての見通しを持つ。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
2回	**授業テーマ：模擬授業の準備１ (ペア分け・教材の決定)** 授業内容：模擬授業を実施するペア分けをする。文学的教材、評論、古文、漢文の中から担当する教材分野をペア間で調整する。取り上げる教材をペアで話し合って決定する。 事前学修 2.0hr：模擬授業のペアや担当する教材決定についての見通しを持つ。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
3回	**授業テーマ：模擬授業の準備２（学習指導案の作成・ＩＣＴ機器活用）** 授業内容：学習指導案の書き方を理解する。ペアで模擬授業の学習指導案を作成する。 事前学修 2.0hr：教材を音読・精読し、内容を理解しておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
4回	**授業テーマ：模擬授業の準備３（学習指導案の作成・授業づくり・ＩＣＴ機器活用）** 授業内容：プレゼンテーションソフトを活用したスライドやワークシート等の作成、具体的な発問の検討等、学習指導案に沿った授業づくりを行う。 事前学修 2.0hr：学習指導案の完成について見通しを持つ。教材を精読し、必要な資料等を準備する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
5回	**授業テーマ：模擬授業と相互評価１（現代文教材とＩＣＴ機器活用）** 授業内容：模擬授業を実施し、協議を通じて相互評価を行うとともに評価の在り方について検討する。 事前学修 2.0hr：担当者は模擬授業の準備をし、その他の学生は教材を通読しておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
6回	**授業テーマ：模擬授業と相互評価２（古文教材とＩＣＴ機器活用）** 授業内容：模擬授業を実施し、協議を通じて相互評価を行うとともに評価の在り方について検討する。 事前学修 2.0hr：担当者は模擬授業の準備をし、その他の学生は教材を通読しておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
7回	**授業テーマ：模擬授業と相互評価３（漢文教材とＩＣＴ機器活用）** 授業内容：模擬授業を実施し、協議を通じて相互評価を行うとともに評価の在り方について検討する。 事前学修 2.0hr：担当者は模擬授業の準備をし、その他の学生は教材を通読しておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
8回	**授業テーマ：模擬授業と相互評価４（現代文教材とＩＣＴ機器活用）** 授業内容：模擬授業を実施し、協議を通じて相互評価を行うとともに評価の在り方について検討する。 事前学修 2.0hr：担当者は模擬授業の準備をし、その他の学生は教材を通読しておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
9回	**授業テーマ：模擬授業と相互評価５（古文教材とＩＣＴ機器活用）** 授業内容：模擬授業を実施し、協議を通じて相互評価を行うとともに評価の在り方について検討する。 事前学修 2.0hr：担当者は模擬授業の準備をし、その他の学生は教材を通読しておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。

10回	**授業テーマ：模擬授業と相互評価６（漢文教材とＩＣＴ機器活用）** 授業内容：模擬授業を実施し、協議を通じて相互評価を行うとともに評価の在り方について検討する。 事前学修 2.0hr：担当者は模擬授業の準備をし、その他の学生は教材を通読しておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
11回	**授業テーマ：文語文法の復習１（動詞）** 授業内容：動詞の文語文法について振り返り、品詞の特徴、活用形の種類、活用の種類、活用の仕方等について理解する。活用の種類の識別や活用表の作成ができるようにする。必要に応じて他の学生と相談したり、指導者に助言を求めたりする。 事前学修 2.0hr：動詞の文語文法について、高等学校での既習事項を振り返っておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
12回	**授業テーマ：文語文法の復習２（形容詞・形容動詞）** 授業内容：形容詞・形容動詞の文語文法について振り返り、品詞の特徴、活用の種類、活用の仕方等について理解する。活用の種類の識別や活用表の作成ができるようにする。必要に応じて他の学生と相談したり、指導者に助言を求めたりする。 事前学修 2.0hr：形容詞・形容動詞の文語文法について、高等学校での既習事項を振り返っておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
13回	**授業テーマ：文語文法の復習３（助動詞１）** 授業内容：助動詞の文語文法について振り返り、品詞の特徴、意味、活用の仕方等について理解する。必要に応じて他の学生と相談したり、指導者に助言を求めたりする。 事前学修 2.0hr：助動詞の文語文法について、高等学校での既習事項を振り返っておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
14回	**授業テーマ：文語文法の復習４（助動詞２）** 授業内容：実際の古文に用いられている助動詞について文法的に説明ができるようにする。必要に応じて他の学生と相談したり、指導者に助言を求めたりする。 事前学修 2.0hr：前回の学修内容を踏まえて、助動詞の文語文法について、高等学校での既習事項を振り返っておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
15回	**授業テーマ：文語文法の復習５（用言と助動詞の小テスト）** 授業内容：これまでの用言と助動詞の文語文法についての学修内容を振り返る。用言と助動詞についての文語文法について小テストを実施する。 事前学修 2.0hr：これまでの用言と助動詞の文語文法についての学修内容を復習しておく。 事後学修 2.0hr：半期の全授業の振り返りを踏まえて、来年度の教育実習に向けて準備を進める。

国語科教育法Ⅲ

開講学科等：日　｜　3 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前

山本　聖志（やまもと　せいし）

▌授業の概要

本授業は、中学校における国語科教育の本質・目的・構造・評価方法について、講義や演習を通して学ぶとともに、理論と実践の両面から研究する。特に授業づくりという実践的指導力を育成し、授業をデザインする力を身につけることを目指す。国語教材のテーマを踏まえて自ら分析し、自らが課題を設定し、互いに討論し、自らの考えをまとめ発表できる力を指導できる教師力を模擬授業やグループ討議を通じて構築することを目指す。

▌到達目標

一般目標：1．国語教育、特に中学校国語科教育の本質・構造・評価方法について理解する。
2．現行の学習指導要領の内容を確認し理解するとともに、国語の今日的課題を整理する。
3．教材のもつ力を見極めながら、教材開発や教材研究をしようとする姿勢を身に付ける。
4．ICT 機器を活用した模擬授業を通して、教材研究と評価の方法を身に付け、学習指導案にまとめる。

個別目標：1．国語科に係る評価方法等を説明できる。
2．学習指導要領に示された目標や内容に則して授業設計を行うことができる。
3．教材開発や教材研究ができる。
4．ICT 機器を活用した学習指導案を作成し、模擬授業が展開できる。

▌履修条件

1．後期には「国語科教育法Ⅳ」を履修すること。
2．原則として「教職基礎セミナー(国語科)」Ⅰ～Ⅳの単位を修得している学生。
3．ただし、特別な理由が認められる場合は「教職基礎セミナーⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ(国語科)」のいずれか一科目又は複数の科目を併修することを認める。

▌評価基準・方法

模擬授業の準備状況や発表内容、相互批評における貢献度、レスポンへの回答を含む課題の提出状況、授業への参加度・貢献度を平常点として 50%の評価を行う。定期考査により 50%の評価を行う。

▌フィードバック方法

フィードバックは、課題等の返却時の評価のほか、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Word、Excel、PowerPoint 等を搭載したパソコンを指示により持参）

▌教科書

中学校「現代の国語３」三省堂(国語 015-92)

▌参考書

文部科学省「中学校学習指導要領解説　国語編(平成 29 年告示)」(東洋館)

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：本講義の目的と概要、計画について理解する。 事前学修 2.0hr：シラバスを元に半期の授業受講計画を作る。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
2回	**授業テーマ：国語科教育の課題** 授業内容：国語科教育の今日的課題を探る。 事前学修 2.0hr：教科書を概観しておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
3回	**授業テーマ：国語科教育の目標** 授業内容：国語力とは何かを考察し、教科としての目的を理解する。 事前学修 2.0hr：教科書の構成や授業に際しての工夫について考察する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
4回	**授業テーマ：国語の授業づくり** 授業内容：21 世紀型の国語科授業づくりについて検討する。 事前学修 2.0hr：「情報を活用する」ことについて事前に学修する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。また、次回にその課題に基づいた小テストを実施する。
5回	**授業テーマ：中学校学習指導要領(国語)** 授業内容：中学校学習指導要領(国語)の目標・内容・評価をめぐる考察と理解を行う。 事前学修 2.0hr：中学校学習指導要領解説(国語)の目標・内容を事前に学修する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
6回	**授業テーマ：授業デザイン１** 授業内容：「読むこと」の力をつける授業デザインについて基礎的理解をする。 事前学修 2.0hr：教科書及び学習指導要領を元に「読むこと」の指導について概観する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
7回	**授業テーマ：授業デザイン２** 授業内容：「読むこと」の力をつける授業デザインについて実践的応用を学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書及び学習指導要領を元に「読むこと」の指導について考えを深める。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
8回	**授業テーマ：授業デザイン３** 授業内容：「話すこと・聞くこと」の力をつける授業デザインについて理解する。 事前学修 2.0hr：教科書及び学習指導要領を元に「話すこと・聞くこと」について概観する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
9回	**授業テーマ：授業デザイン４** 授業内容：「書くこと」の力をつける授業デザインについて理解する。 事前学修 2.0hr：教科書及び学習指導要領を元に「書くこと」について概観する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。

10回	**授業テーマ：授業デザイン５** 授業内容：「言語事項」に関する力とは何か理解する。 事前学修 2.0hr：教科書及び学習指導要領を元に「言語事項」について概観する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。また、次回にその課題に基づいた小テストを実施する。
11回	**授業テーマ：ICT 機器の活用１** 授業内容：国語科における ICT 機器活用について理解する。また、QR コードによる発展学習など教科書の活用についてスキルを身に付ける。 事前学修 2.0hr：学習指導案を作成する単元を精読する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
12回	**授業テーマ：ICT 機器の活用２** 授業内容：ICT 機器活用を念頭においた学習指導案を作成する。 事前学修 2.0hr：学習指導案の作成について授業デザインを行う。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
13回	**授業テーマ：ICT 機器の活用３** 授業内容：グループ内検討を軸にして学習指導案の修正を図る。 事前学修 2.0hr：学習指導案を検討する際の事項を設定しておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
14回	**授業テーマ：学習指導案発表会１** 授業内容：模擬授業を想定した学習指導案を発表の準備を行う 事前学修 2.0hr：模擬授業に向けた準備を行う。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
15回	**授業テーマ：学習指導案発表会２** 授業内容：模擬授業を行い、相互評価を行う。 事前学修 2.0hr：授業内で提案された課題に取り組み指導案を完成させる。 事後学修 2.0hr：講義全体を俯瞰し国語科教員として必要な基礎知識と授業技術の確認をするので、それに備える。

国語科教育法Ⅳ

開講学科等：日　｜　3 年次　｜　2 単位　｜　開講期：後

山本　聖志（やまもと　せいし）

▌授業の概要

本授業は、中学校における国語科教育の本質・目的・構造・評価方法について、講義や演習を通して学ぶとともに、理論と実践の両面から研究する。特に授業づくりという実践的指導力を育成し、授業をデザインする力を身につけることを目指す。主体的で対話的なインタラクティブな授業の構築を目指し、模擬授業を相互評価することによって授業実践に必要な技能（評価方法も含む）を身につける。

▌到達目標

一般目標：1．国語教育、特に中学校国語科教育の本質・目的・構造・評価方法について理解し、今日的課題に対応しようとする態度を養う。
2．国語科教師として広い視野を持った教材の発掘及び指導法の開発について皆で考える。
3．生徒の興味・関心を引き出す授業の在り方と評価方法を研究する。
4．ICT 機器を活用した模擬授業を通して、主体的で対話的な授業展開を身に付ける。

個別目標：1．国語教育の今日的課題を説明できる。
2．教材の発掘及び指導法を研究できる。
3．生徒が興味・関心を持つような授業の在り方と評価方法を説明できる。
4．ICT 機器を活用した模擬授業を通して、主体的で対話的な授業ができる。

▌履修条件

1．前期には「国語科教育法Ⅲ」を履修すること。
2．原則として「教職基礎セミナー（国語科）」Ⅰ～Ⅳの単位を修得している学生。
3．ただし、特別な理由が認められる場合は「教職基礎セミナーⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ（国語科）」のいずれか一科目又は複数の科目を併修することを認める。

▌評価基準・方法

模擬授業の準備状況や発表内容、相互批評における貢献度、レスポンへの回答を含む課題の提出状況、授業への参加度・貢献度を平常点として 50%の評価を行う。定期考査により 50%の評価を行う。

▌フィードバック方法

フィードバックは、課題等の返却時の評価のほか、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク、プレゼンテーション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Word、Excel、PowerPoint を搭載した PC を指示により持参）

▌教科書

中学校「現代の国語３」三省堂（国語 015-92）※前期に引き続き使用する。

▌参考書

文部科学省「中学校学習指導要領解説（平成 29 年度告示）国語編」（東洋館）

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：本講義の目的と概要、計画について理解する。 事前学修 2.0hr：シラバスを元に半期の授業計画を作る。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
2回	**授業テーマ：学習指導案と評価１** 授業内容：学習指導案の作成方法と評価の確認を行う。 事前学修 2.0hr：シラバスを元に半期の授業計画を作る。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組み、指導案作成の準備をする。
3回	**授業テーマ：学習指導案と評価２** 授業内容：学習者の興味・関心の喚起への理解を深める。 事前学修 2.0hr：教科書「現代の国語３」を概観しておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組み、指導案作成の準備をする。
4回	**授業テーマ：「読むこと」に関する指導** 授業内容：「読むこと」について教材研究・指導法の検討と ICT 機器活用について考える。 事前学修 2.0hr：「中学校学習指導要領解説　国語編」（文部科学省）を概観しておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組み、指導案作成の準備をする。
5回	**授業テーマ：「話すこと・聞くこと」に関する指導** 授業内容：「話すこと・聞くこと」について教材研究・指導法の検討と ICT 機器活用について考える。 事前学修 2.0hr：「中学校学習指導要領解説　国語編」（文部科学省）を概観しておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組み、指導案作成の準備をする。
6回	**授業テーマ：「書くこと」に関する指導** 授業内容：「書くこと」について教材研究・指導法の検討と ICT 機器活用について考える。 事前学修 2.0hr：「中学校学習指導要領解説　国語編」（文部科学省）を概観しておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組み、指導案作成の準備をする。
7回	**授業テーマ：指導案作成１** 授業内容：模擬授業（文学的文章）について指導案を作成する 事前学修 2.0hr：担当の教材の検討と指導案の作成をする。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組み、指導案を作成する。
8回	**授業テーマ：指導案作成２** 授業内容：模擬授業に関する指導案について相互評価を行う。 事前学修 2.0hr：担当の教材の検討と指導案の作成をする。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組み、指導案を作成する。
9回	**授業テーマ：指導案作成３** 授業内容：文学的文章のうち韻文に関する指導案を考える。 事前学修 2.0hr：担当の教材の検討と指導案の作成、そして相互批評レポートを作成する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組み、指導案を作成する。

10回	**授業テーマ：模擬授業と相互批評１** 授業内容：指導案を作成しその趣旨について説明する。それに対する相互評価を行う。 事前学修 2.0hr：担当の教材の検討と指導案の作成、そして相互批評レポートを作成する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組み、指導案を作成する。
11回	**授業テーマ：模擬授業と相互批評２** 授業内容：古典を題材にした指導案を作成する。 事前学修 2.0hr：担当の教材の検討と指導案の作成、そして相互批評レポートを作成する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組み、指導案を作成する。
12回	**授業テーマ：模擬授業と相互批評３** 授業内容：古典を題材にした指導案を作成し、指導上の課題や留意事項について考察する。 事前学修 2.0hr：担当の教材の検討と指導案の作成、そして相互批評レポートを作成する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組み、指導案を作成する。
13回	**授業テーマ：模擬授業と相互批評４** 授業内容：古典に関する授業について相互批評を行う。 事前学修 2.0hr：担当の教材の検討と指導案の作成、そして相互批評レポートを作成する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組み、指導案を作成する。
14回	**授業テーマ：模擬授業** 授業内容：自分の選んだ題材に基づく模擬授業を行い、相互評価を行う。 事前学修 2.0hr：担当の教材の検討と指導案の作成、そして相互批評レポートを作成する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組み、指導案を完成させる。
15回	**授業テーマ：課題発見と総括** 授業内容：授業全体を通じ、自身の指導上の課題を発見し、今後の学修の見通しをもつ。 事前学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組み、指導案を完成させる。 事後学修 2.0hr：講義全体を俯瞰し国語科教員として必要な基礎知識と授業技術の確認をするので、それに備える。

教職基礎セミナーⅠ（英語科）

開講学科等：英　｜　1年次　｜　2単位　｜　開講期：前

遠藤　哲也（えんどう　てつや）

▌授業の概要

中学校・高等学校教諭一種免許状（英語）取得希望者のための１年次前学期の必修科目で、３年次に学修することになっている英語科教育法における基礎知識と基本的技術を身に付けるための基礎科目である。中学校・高等学校における４技能統合型の授業を英語で行うために必要な英語コミュニケーション能力を養うとともに、自分の考えを根拠とともに論理的に組み立ててプレゼンテーションを行うための基礎的なスキルを習得する。授業形態は、ペアワーク、グループワーク等による活動及び個人発表を中心とし、フィードバックとディスカッションを通して、互いにプレゼンテーション能力を高めていく。

▌到達目標

一般目標：中学校・高等学校英語科教員としての視点を養い、指導に必要な英語運用能力及び語彙・文法・音声についての知識・技術を身に付ける。
個別目標：１．中学校・高等学校英語科教員として必要な語彙・文法・音声を学び、課題に応じて活用することができる。
　　２．ペアワークやグループ協議に積極的に取り組み、他者の意見や考えを共有し、協働することができる。

▌履修条件

１．将来、中学校・高等学校の英語科教員を目指し、教職課程を履修する者
２．後学期に「教職基礎セミナーⅡ（英語科）」を履修する者

▌評価基準・方法

・事前学修、グループ討議・発表、リフレクションペーパーの提出、授業への参加度・貢献度等の受講姿勢７０%、期末試験３０%の結果に基づき、総合的に評価する。
・全授業の５分の４以上の出席者を評価対象とする。

▌フィードバック方法

・課題等のフィードバックは、授業及び学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ペアワーク、グループ協議、プレゼンテーションの実施。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （動画視聴、PC（スマートフォン可）、フィードバック。）

▌教科書

interchange FIFTH EDITION 2 Student's Book
【編著者】 Jack C. Richards
【出版社】 Cambridge U.P.

▌参考書

授業で適宜指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション、自己紹介スピーチ** 授業内容：授業概要、履修上の注意等を説明・確認する。英語力診断、自己紹介スピーチ（1 分）、グループディスカッション 事前学修 2.0hr：英語による自己紹介の作成準備 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
2回	**授業テーマ：Unit 1 Good morning ①　Speaking /Grammar /Listening** 授業内容：Introduction yourself; talking about yourself, exchanging personal information /Past tense; used to for habitual actions /Reduced form of used to 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を予習する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
3回	**授業テーマ：Unit 1 Good morning ②　Writing /Reading** 授業内容：Writing a paragraph about your childhood /"A life in Paintings: The Frida Kahlo Story": Reading about the life of this Mexican painter 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を予習する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
4回	**授業テーマ：Unit 2 Life in the city ①　Speaking /Grammar /Listening** 授業内容：Talking about transportation and transportation problems /Expressions of quantity with count and noncount nouns: too many, too much, fewer, less, more, not enough /Syllable stress 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を予習する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
5回	**授業テーマ：Unit 2 Life in the city ②　Writing /Reading** 授業内容：Writing an online post on a community message board about a local issue /"The World's Happiest Cities" : Reading about the happiest cities in the world 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を予習する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
6回	**授業テーマ：UNIT 3 Making changes ① Speaking /Grammar /Listening** 授業内容：Describing positive and negative features; making comparisons; talking about lifestyle changes; expressing wishes /Evaluations and comparisons with adjectives /Unpronounced vowels 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を予習する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
7回	**授業テーマ：UNIT 3 Making changes ②　Writing /Reading** 授業内容：Writing an email comparing two living spaces /"The man with No Money": Reading about living without money 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を予習する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
8回	**授業テーマ：Unit 4 Have you ever tried it ? ① Speaking /Grammar /Listening** 授業内容：Talking about food; expressing likes and dislikes; describing a favorite snack; giving step-by-step introductions /Simple past vs.present perfect; sequence adverbs /Consonant clusters 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を予習する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。

9回	**授業テーマ：Unit 4 Have you ever tried it ? ②　Writing /Reading** 授業内容：Writing a recipe /"Pizza: The World's Favorite Foods?": Reading about the history of pizza 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を予習する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
10回	**授業テーマ：Unit 5 Hit the road ! ① Speaking /Grammar /Listening** 授業内容：Describing vacation plans; giving travel advice /Future with be going to and will; modals for necessity and suggestion: must, need to, have to, ought to, should /Linked sounds with /w/and/y/ 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を予習する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
11回	**授業テーマ：Unit 5 Hit the road ! ② Writing /Reading** 授業内容：Writing an email with travel suggestions /"Adventure Vacations": Reading about unusual vacations 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を予習する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
12回	**授業テーマ：Unit 6 sure! I'll do it. ① Speaking /Grammar /Listening** 授業内容：Making requests; agreeing to and refusing requests; complaining; apologizing; giving excusess /Two-part verbs; will for responding to requests /Stress in two-part verbs 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を予習する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
13回	**授業テーマ：Unit 6 sure! I'll do it. ②　Writing /Reading** 授業内容：Writing a message making a request /"Hotel Madness: The Crazy Things People Say!": Reading about unusual hotel requests 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を予習する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
14回	**授業テーマ：Unit 7 What do you use this for? ① Speaking /Grammar /Listening** 授業内容：Describing technology; giving instructions; giving suggetions /Infinitives and gerunds for uses and purposes; imperatives and infinitives for giving suggestions /Syllable stress 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を予習する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
15回	**授業テーマ：Unit 7 What do you use this for? ②　Writing /Reading** 授業内容：Writing a message asking for specific favors /"The Sharing Economy - Good for Everybody?": Reading about the sharing economy 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を予習する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。

教職基礎セミナーⅡ（英語科）

開講学科等：英 ｜ 1年次 ｜ 2単位 ｜ 開講期：後

遠藤　哲也（えんどう　てつや）

▌授業の概要

中学校・高等学校教諭一種免許状（英語）取得希望者のための１年次後学期の必修科目で、３年次に学修することになっている英語科教育法における基礎知識と基本的技術を身に付けるための基礎科目である。中学校・高等学校における４技能統合型の授業を英語で行うために必要な英語コミュニケーション能力を養うとともに、自分の考えを根拠とともに論理的に組み立ててプレゼンテーションを行うための基礎的なスキルを習得する。授業形態は、ペアワーク、グループワーク等による活動及び個人発表を中心とし、フィードバックとディスカッションを通して、互いにプレゼンテーション能力を高めていく。

▌到達目標

一般目標：中学校・高等学校英語科教員としての視点を養い、指導に必要な英語運用能力及び語彙・文法・音声についての知識・技術を身に付ける。
個別目標：１．中学校・高等学校英語科教員として必要な語彙・文法・音声を学び、課題に応じて活用することができる。
　　２．ペアワークやグループ協議に積極的に取り組み、他者の意見や考えを共有し、協働することができる。

▌履修条件

１．将来、中学校・高等学校の英語科教員を目指し、教職課程を履修する者
２．前学期に「教職基礎セミナーⅠ（英語科）」を履修した者

▌評価基準・方法

・事前学修、グループ討議・発表、リフレクションペーパーの提出、授業への参加度・貢献度等の受講姿勢７０%、期末試験３０%の結果に基づき、総合的に評価する。
・全授業の５分の４以上出席した者を評価対象とする。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、授業及び学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ペアワーク、グループ協議、プレゼンテーションの実施。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （動画視聴、PC（スマートフォン可）、フィードバック。）

▌教科書

interchange FIFTH EDITION 2 Student's Book
【編著者】 Jack C. Richards
【出版社】 Cambridge U.P.

▌参考書

授業で適宜指示をする。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Unit 8 Time to celebrate! ①　Speaking /Grammar /Listening** 授業内容：Describing holidays, festivals, customs, and special events /Relative clauses of time; adverbial clauses of time: when, after, before /Stress and rhythm 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を予習する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
2回	**授業テーマ：Unit 8 Time to celebrate! ②　Writing /Reading** 授業内容：Writing an entry on a travel website about a cultural custom /"Out with the Old, In with the New": Reading about interesting New Year's customs 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を予習する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
3回	**授業テーマ：Unit 9 Only time will tell. ①　Speaking /Grammar /Listening** 授業内容：Talking about change; comparing time periods; describing possible consequences /Time contrasts; conditional sentences with if clauses /Intonation in statements with time phrases 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を予習する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
4回	**授業テーマ：Unit 9 Only time will tell. ②　Writing /Reading** 授業内容：Writing a paragraph desscribing a person's past, present, and possible future /"Aquaviva: Fighting for a Future": Reading about a town's attempt to attract new residents 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を予習する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
5回	**授業テーマ：Unit 10 I like working with people. ①　Speaking /Grammar /Listening** 授業内容：Describing abilities and skills; talking about job preferences; describing personallity traits /Gerunds; short responses; clauses with because /Unreleased and released /t/and /d/ 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を予習する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
6回	**授業テーマ：Unit 10 I like working with people. ②　Writing /Reading** 授業内容：Writing an online cover letter for a job application /" Global Work Solutions": Reading about understanding cultural differences in an international company 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を予習する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
7回	**授業テーマ：Unit 11 It's really worth seeing! ①　Speaking /Grammar /Listening** 授業内容：Talking about landmarks and monuments; describing countries; discussing facts /Passive with by (simple past); passive without by (simple present) /The letter o 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を予習する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
8回	**授業テーマ：Unit 11 It's really worth seeing! ②　Writing /Reading** 授業内容：Writing an introduction to an online city guide /Reading about unusual museums 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を予習する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。

9回	**授業テーマ：Unit 12 It's a long story. ①　Speaking /Grammar /Listening** 授業内容：Describing recent past events and experiences; discussing someone's activities lately /Past continuous vs. simple past; present perfect continuous /Contrastive stress in responses 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を予習する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
10回	**授業テーマ：Unit 12 It's a long story. ②　Writing /Reading** 授業内容：Writing a description of a recent experience /"Breaking Down the Sound of Silence": Reading about an unusual rock band 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を予習する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
11回	**授業テーマ：Unit 13 That's entertainment! ①　Speaking /Grammar /Listening** 授業内容：Describing movies and books; talking about actors and actresses; asking for and giving reactions and opinions /Participles as adjectives; relative pronouns for people and things /Emphatic stress 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を予習する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
12回	**授業テーマ：Unit 13 That's entertainment! ②　Writing /Reading** 授業内容：Writing a movie review /"The Real Art of Acting": Reading about unplesant expererinces actors put themselves through 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を予習する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
13回	**授業テーマ：Unit 14 Now I get it! ①　Speaking /Grammar /Listening** 授業内容：Interpreting body language; explaining gestures and meanings; describing acceptable and prohibited behavior in different situations /Modals and adverbs /Pitch 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を予習する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
14回	**授業テーマ：Unit 14 Now I get it! ②　Writing /Reading** 授業内容：Writing a list of rules /"Understanding Idioms": Reading about idioms and their meaning 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を予習する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
15回	**授業テーマ：Interchange activities** 授業内容：Class activities (interchange 1,8) /Group work (interchange 7, 11) /Pair work(interchange 6,10,14) 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を予習する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。

教職基礎セミナーⅢ（英語科）

開講学科等：英 ｜ 2年次 ｜ 2単位 ｜ 開講期：前

米村　珠子（よねむら　たまこ）

▌授業の概要

中学校・高等学校教諭一種免許状（英語）取得希望者のための２年次前学期の必修科目で、３年次に学修することになっている英語科教育法の基礎となる言語活動の指導方法に係る知識と４技能統合型授業を英語で行うための英語運用能力とコミュニケーション能力を身に付けることを主なねらいとする。ペアワークやグループワークでの協働的な学びを基本形態とし、言語活動の体験や授業研究、アウトプット活動等を通して、英語によるコミュニケーション活動を行うために必要な語彙・語法を身に付け、異文化理解を深化させる。

▌到達目標

一般目標：コミュニケーション活動を中心とする授業を展開するために必要な英語運用能力及び語彙・語法・背景文化についての知識を身に付けるとともに、４技能を統合した授業において、他者と協働しながらコミュニケーション能力を育成する方法や課題探究に必要な知識及び技能を身に付ける。

個別目標：1. コミュニケーション活動を行うために必要な語彙・語法を学び、あらゆる場面に応じて活用することができる。
2. ペアワークやグループワークに積極的に取り組み、他者と情報や意見、考えを共有し、協働して課題を解決したり新たな考えを構築したりすることができる。
3. 既習事項を活用して英語で論理的・分析的・批判的にアウトプットする力を身に付けることができる。

▌履修条件

1. 将来、中学校・高等学校の英語科教員を目指し、教職課程を履修する者。
2. 原則として「教職基礎セミナーⅠ（英語科）」及び「教職基礎セミナーⅡ（英語科）」を履修・習得していること。但し、特別な理由が認められる場合に限り「教職基礎セミナーⅠ（英語科）」と併修することができる。

▌評価基準・方法

・授業内パフォーマンス評価（Content/English/Delivery）40%、授業での取組課題（Worksheet）40%、小テスト・提出課題（Writing）10%、定期試験10%

▌フィードバック方法

・課題等のフィードバックは、授業及び学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク、ディスカッション、ディベート、プレゼンテーション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （プレゼンテーション、フィードバック）

▌教科書

interchange 3 fifth edition with digital pack (Cambridge)

▌参考書

・英和辞書、英英辞書
・参考書、参考資料等は授業で適宜指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション、introductory language activity, self-introduction speech** 授業内容：授業概要、履修上の注意等を説明・確認する。英語コミュニケーションに慣れるための言語活動に取り組む。スピーキング練習として自己紹介スピーチを行う。 事前学修 2.0hr：英語力向上について昨年度の取組を振り返り、今年度の目標を設定する。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組み提出する。
2回	**授業テーマ：Unit 1 That's my kind of friend! (1) 1 Snapshot - 11 Interchange** 授業内容：教科書の素材を活用したコミュニケーション活動：Descrbing personalities; expressing likes and dislikes; agreeing and disagreeing; complaining, Writing a description of a good friend 事前学修 2.0hr：授業で指示された教科書の exercise をやっておく。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組み提出する。
3回	**授業テーマ：Unit 1 That's my kind of friend! (2) 12 Reading, Communication activities** 授業内容：教科書の素材を活用したコミュニケーション活動：Reading about unusual social networking sites, Personality quiz, interviewing a classmate to find out about personality characteristics 事前学修 2.0hr：授業で指示された教科書の exercise をやっておく。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組み提出する。
4回	**授業テーマ：Unit 2 Working 9 to 5 (1) 1 Snapshot - 11 Interchange** 授業内容：教科書の素材を活用したコミュニケーション活動：Talking about possible careers; describing jobs; deciding between two jobs, Writing about two career choices, Listening to the good/bad parts of a job 事前学修 2.0hr：授業で指示された教科書の exercise をやっておく。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組み提出する。
5回	**授業テーマ：Unit 2 Working 9 to 5 (2) 12 Reading, Communication activities** 授業内容：教科書の素材を活用したコミュニケーション活動：Reading about different types of workplaces, "Networking": Comparing people's careers and personalities to make a seating chart for a dinner party 事前学修 2.0hr：授業で指示された教科書の exercise をやっておく。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組み提出する。
6回	**授業テーマ：Integrated Task 1: Speech presentation** 授業内容：授業で扱ったトピックについてのマッピングシートを活用したブレインストーミング、与えられたテーマについてのスピーチプレゼンテーションの準備・練習・発表、相互フィードバック、振り返り 事前学修 2.0hr：授業で指示された Task を準備する。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組み提出する。
7回	**授業テーマ：Unit 3 Lend a hand (1) 1 Snapshot - 11 Interchange** 授業内容：教科書の素材を活用したコミュニケーション活動：Making direct/indirect requests; accepting and declining requests, Writing a message with requests, Listening to people making and accepting requests 事前学修 2.0hr：授業で指示された教科書の exercise をやっておく。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組み提出する。

8回	**授業テーマ：Unit 3 Lend a hand (2) 12 Reading, Communication activities** 授業内容：教科書の素材を活用したコミュニケーション活動：Reading about talking to friends about difficult topics, ”Beg and borrow”: Asking classmates to borrow items; lending or refusing to lend items 事前学修 2.0hr：授業で指示された教科書の exercise をやっておく。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組み提出する。
9回	**授業テーマ：Unit 4 What happened? (1) 1 Snapshot - 11 Interchange** 授業内容：教科書の素材を活用したコミュニケーション活動：Narrating a story; describing events and experiences in the past, Writing a personal account, Listening to news stories, messages and a podcast 事前学修 2.0hr：授業で指示された教科書の exercise をやっておく。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組み提出する。
10回	**授業テーマ：Unit 4 What happened? (2) 12 Reading, Communication activities** 授業内容：教科書の素材を活用したコミュニケーション活動：”Believing More Than We Should” Reading about the reliability of online content, ”Spin a yarn”: Inventing a story from three random elements 事前学修 2.0hr：授業で指示された教科書の exercise をやっておく。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組み提出する。
11回	**授業テーマ：Unit 5 Expanding your horizons (1) 1 Snapshot - 11 Interchange** 授業内容：教科書の素材を活用したコミュニケーション活動：Talking about moving abroad; expressing emotions; describing cultural expectations; giving advice, Writing a pamphlet for tourists 事前学修 2.0hr：授業で指示された教科書の Exercise をやっておく。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組み提出する。
12回	**授業テーマ：Unit 5 Expanding your horizons (2) 12 Reading, Communication activities** 授業内容：教科書の素材を活用したコミュニケーション活動：”Culture Shock”: Reading about moving to another country, ”Culture dos and taboos”: Comparing customs in different countries 事前学修 2.0hr：授業で指示された教科書の exercise をやっておく。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組み提出する。
13回	**授業テーマ：Integrated Task 2: Chalk debate (1)** 授業内容：授業で扱ったトピックに関する演題でのチョーク・ディベートの準備：agreement side, disagreement side の主張、立論、反論、結論を考える活動 事前学修 2.0hr：授業で指示されたディベート準備を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示されたディベート課題に取り組む。
14回	**授業テーマ：Integrated Task 2: Chalk debate (2)** 授業内容：授業で扱ったトピックに関する演題でのチョーク・ディベートの練習、実践、相互評価とフィードバック、振り返り：Flow of debate sheet の振り返りと完成 事前学修 2.0hr：授業で指示されたディベート準備と練習を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示された次回の試験の準備を行う。
15回	**授業テーマ：Final Exam & Integrated language activity** 授業内容：第 14 回まで扱った語彙・語法・表現等に関する筆記試験の実施、英語授業で使える言語活動体験演習：語彙クイズ、英語の歌、Who am I?、Question and Answer Competition 等のペアやグループワーク活動 事前学修 2.0hr：学修内容の整理と試験準備を終える。 事後学修 2.0hr：言語活動演習の振り返りを書いて提出する。

教職基礎セミナーⅣ（英語科）

開講学科等：英 ｜ 2年次 ｜ 2単位 ｜ 開講期：後

米村　珠子（よねむら　たまこ）

▌授業の概要

中学校・高等学校教諭一種免許状（英語）取得希望者のための２年次後学期の必修科目で、３年次に学修することになっている英語科教育法の基礎となる言語活動の指導方法に係る知識と４技能統合型授業を英語で行うための英語運用能力とコミュニケーション能力を身に付けることを主なねらいとする。ペアワークやグループワークでの協働的な学びを基本形態とし、言語活動の体験や授業研究、アウトプット活動等を通して、英語によるコミュニケーション活動を行うために必要な語彙・語法を身に付け、異文化理解を深化させる。

▌到達目標

一般目標：コミュニケーション活動を中心とする授業を展開するために必要な英語運用能力及び語彙・語法・背景文化についての知識を身に付けるとともに、４技能を統合した授業において、他者と協働しながらコミュニケーション能力を育成する方法や課題探究に必要な知識及び技能を身に付ける。

個別目標：1. コミュニケーション活動を行うために必要な語彙・語法を学び、あらゆる場面に応じて活用することができる。
2. ペアワークやグループワークに積極的に取り組み、他者と情報や意見、考えを共有し、協働して課題を解決したり新たな考えを構築したりすることができる。
3. 既習事項を活用して英語で論理的・分析的・批判的にアウトプットする力を身に付けることができる。

▌履修条件

1. 将来、中学校・高等学校の英語科教員を目指し、教職課程を履修する者。
2. 原則として「教職基礎セミナーⅠ（英語科）」及び「教職基礎セミナーⅡ（英語科）」を履修・習得していること。但し、特別な理由が認められる場合に限り「教職基礎セミナーⅡ（英語科）」と併修することができる。

▌評価基準・方法

・授業内パフォーマンス評価（Content/English/Delivery）40%、授業での取組課題（Worksheet）40%、小テスト・提出課題（Writing）10%、定期試験10%

▌フィードバック方法

・課題等のフィードバックは、授業及び学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク、ディスカッション、ディベート、プレゼンテーション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （プレゼンテーション、フィードバック）

▌教科書

interchange 3 fifth edition with digital pack (Cambridge)

▌参考書

・英和辞書、英英辞書
・参考書、参考資料等は授業で適宜指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション、Communication Language Activity Practice, スピーチ** 授業内容：授業概要、履修上の注意等を説明・確認する。英語授業で活用できる言語活動のねらいや指導過程を確認した上で取り組む。スピーキング練習として夏休みについてスピーチし、相互フィードバック、振り返りを行う。 事前学修 2.0hr：夏季休業中の活動についてのスピーチ（1分）を準備する。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組み提出する。
2回	**授業テーマ：Unit 6 That needs fixing (1) 1 Snapshot - 11 Interchange** 授業内容：教科書の素材を活用したコミュニケーション活動：Describing problems; making complaints; explaining something that needs to be done, Writing a critical online review, Listening to complaints 事前学修 2.0hr：授業で指示された教科書の exercise をやっておく。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組み提出する。
3回	**授業テーマ：Unit 6 That needs fixing (2) 12 Reading, Communication activities** 授業内容：教科書の素材を活用したコミュニケーション活動：”Ask the Fixer!”: Reading about a problem with a ride-sharing service, ”Home makeover”: Comparing problems in two pictures of an apartment 事前学修 2.0hr：授業で指示された教科書の exercise をやっておく。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組み提出する。
4回	**授業テーマ：Unit 7 What can we do? (1) 1 Snapshot - 11 Interchange** 授業内容：教科書の素材を活用したコミュニケーション活動：Identifying and describing problems; coming up with solutions, Writing a post on a community website, Listening to environmental problems 事前学修 2.0hr：授業で指示された教科書の exercise をやっておく。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組み提出する。
5回	**授業テーマ：Unit 7 What can we do? (2) 12 Reading, Communication activities** 授業内容：教科書の素材を活用したコミュニケーション活動：Reading about a creative solution to lionfish on St. Lucia, Choosing an issue and deciding on an effective method of protest; devising a strategy 事前学修 2.0hr：授業で指示された教科書の exercise をやっておく。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組み提出する。
6回	**授業テーマ：Integrated Task 1: Making and playing a skit** 授業内容：授業で扱ったトピックに関連したスキットを作成し、実演する。ペアワーク、グループワークにより役割分担、場面設定、セリフ準備を行い、練習を経て実演し、相互フィードバックと振り返りを行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示されたスキット準備を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組み提出する。
7回	**授業テーマ：Unit 8 Never stop learning (1) 1 Snapshot - 11 Interchange** 授業内容：教科書の素材を活用したコミュニケーション活動：Asking about preferences; discussing different skills to be learned; talking about learning methods and life skills, Writing a post on a community website 事前学修 2.0hr：授業で指示された教科書の exercise をやっておく。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組み提出する。

8回	**授業テーマ：Unit 8 Never stop learning (2) 12 Reading, Communication activity** 授業内容：教科書の素材を活用したコミュニケーション活動：”Are You Studying the ’Right’ Way?”: Reading about different studying styles, ”Making choices”: Choosing between different things you want to learn 事前学修 2.0hr：授業で指示された教科書の exercise をやっておく。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組み提出する。
9回	**授業テーマ：Unit 9 Getting things done (1) 1 Snapshot - 11 Interchange** 授業内容：教科書の素材を活用したコミュニケーション活動：Talking about things you need to have done; asking for giving advice or suggestions, Writing a message of advice, Listening to New Year’s resolutions 事前学修 2.0hr：授業で指示された教科書の exercise をやっておく。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組み提出する。
10回	**授業テーマ：Unit 9 Getting things done (2) 12 Reading, Communication activities** 授業内容：教科書の素材を活用したコミュニケーション活動：”Improving the World - One Idea at a Time”: Reading about young scientist Jack Andraka, Discussing different points of view of parents and their children 事前学修 2.0hr：授業で指示された教科書の exercise をやっておく。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組み提出する。
11回	**授業テーマ：Unit 10 A matter of time (1) 1 Snapshot - 11 Interchange** 授業内容：教科書の素材を活用したコミュニケーション活動：Talking about historic events; talking about things to be accomplished in the future, Writing a biography, Listening for dates and time periods 事前学修 2.0hr：授業で指示された教科書の exercise をやっておく。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組み提出する。
12回	**授業テーマ：Unit 10 A matter of time (2) 12 Reading** 授業内容：教科書の素材を活用したコミュニケーション活動：”Looking Into the Future”: Reading about futurists and their predictions for the year 2050, ”History buff”: Talking a history quiz 事前学修 2.0hr：授業で指示された教科書の exercise をやっておく。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組み提出する。
13回	**授業テーマ：Integrated Task 2: Discussion (1)** 授業内容：授業で扱ったトピックに関するテーマでのディスカッションの準備。マッピングシート、アウトラインシートを活用したブレインストーミングと意見や主張の組立て等をグループワークで行う。 事前学修 2.0hr：授業で示されたディスカッションテーマに係る情報を収集する。 事後学修 2.0hr：授業で指示されたディスカッションの準備を完成させる。
14回	**授業テーマ：Integrated Task 2: Discussion (2)** 授業内容：授業で扱ったトピックに関するテーマでのディスカッションの実演。グループでの練習後、ディスカッションを行うとともに、討論の過程を記録し、相互フィードバックや振り返りに活用する。 事前学修 2.0hr：準備したディスカッションでの発話内容を確認する。 事後学修 2.0hr：ディスカッションの記録や振り返りを完成させ提出する。
15回	**授業テーマ：Final Exam & Integrated Task 2: Discussion** 授業内容：第 14 回まで扱った語彙・語法・表現等に関する筆記試験の実施、英語授業で使える言語活動演習：語彙クイズ、英語の歌、What’s this?等の教材化と実演に取り組み、ねらいの達成や活動の流れ等について振り返る。 事前学修 2.0hr：筆記試験に向けて教科書を復習する。 事後学修 2.0hr：言語活動の振り返りを書いて提出する。

英語科教育法Ⅰ

開講学科等：英　｜　3 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前

金子　義隆（かねこ　よしたか）

▌授業の概要

1．高等学校におけるコミュニケーション能力を育成する外国語（英語）授業の指導理念や指導技術を、講義、ディスカッション、実演を通して学ぶ。
2．指導と評価は一体であることを、単元計画、指導案作成を通して学ぶ。

▌到達目標

一般目標：1. 高等学校の英語の学習指導要領について理解している。2. 高等学校の英語の教科用図書について理解している。
3. 学習指導要領の「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力等」、「学びに向かう力等」の３つの資質・能力とともに、領域別の学習到達目標の設定、年間指導計画、単元計画、各授業時間の指導計画について理解している。4. 小学校の外国語活動・外国語の学習指導要領や教科用図書等の教材、並びに小・中・高等学校を通した英語教育の在り方の基本について理解している。

個別目標：（1）学習指導要領解説に示される「改訂の趣旨」「外国語科の目標」を十分に理解し英語教育者としての使命を自覚できる。
（2）生徒との親和関係が保てる人間性を養うため、授業においては常に他者と協力することができる。
（3）英語運用能力を磨き、模擬授業等で扱う教材を正確に理解することができる。
（4）小・中・高等学校の英語教育の接続を考えるために、小学校英語教育についての学ぶ意欲がある。

▌履修条件

1．後期には「教育法Ⅱ」を履修すること。
2．原則として、「教職基礎セミナー（英語科）」Ⅰ～Ⅳの単位を修得している学生。
3．ただし、特別な理由が認められる場合は「教職基礎セミナー（英語科）Ⅰ, Ⅱ, Ⅲ, Ⅳ」のいずれか一科目又は複数の科目を併修することを認める。

▌評価基準・方法

ディスカッションの参加　20%（主体的に学修に取り組む態度）※模擬授業観察時は 50%
授業フィードバックの評価　10%（主体的に学修に取り組む態度
事後活動で示す課題評価　20%　（授業を通して学んだことの理解及び知識）
模擬授業　準備及び指導案 20%（思考力・判断力・表現力）発表 20 % (指導技術）
授業後の振り返り 10%　　※模擬授業観察時は授業後の振り返りのみ　20%

▌フィードバック方法

学生の提出物および発表（模擬授業）に対してフィードバックをする。また、毎回ではないが授業後にリフレクションシートを記入してもらい、それに対してフィードバックを行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり　（毎時英語教育に関するディスカッションを行う。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり　（指導法研究発表は PC を使用して行う。データ収集も PC で行う。）

▌教科書

1. 英語授業デザイン・マニュアル　山岡大基・田頭憲二　大修館書店
2. 文部科学省 「高等学校学習指導要領解説―外国語編・英語編」
3. 文部科学省検定教科書　FLEX　English Communication I（増進堂）
4.「指導と評価の一体化」のための学習評価のための参考資料（高等学校　外国語）東洋館出版社

▌参考書

必要に応じて指示します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：英語教育の目的の変遷** 授業内容：教員が示す異なる指導方法を見て考え、討論する。英語教育の目的の変化について考える PC を利用して授業のフィードバックを manaba に送信する 事前学修 2.0hr：教科書第 1 章、第 2 章を読み授業中のディスカッションに備える 事後学修 2.0hr：授業中に示された課題を行い manaba に提出する
2回	**授業テーマ：学習指導要領** 授業内容：学習指導要領で示される 3 つの柱を育成する授業について、教師のモデル授業を通して考える。講義とディスカッション PC を利用して授業のフィードバックを manaba に送信する 事前学修 2.0hr：教科書第 3 章を読み授業中のディスカッションに備える 事後学修 2.0hr：授業中に示された課題を行い manaba に提出する
3回	**授業テーマ：学習者と教師** 授業内容：第 2 言語習得理論に触れながら、学習の動機づけができる指導法について考える。講義とディスカッション PC を利用して授業のフィードバックを manaba に送信する 事前学修 2.0hr：教科書第４章、第 5 章を読み授業中のディスカッションに備える 事後学修 2.0hr：授業中に示された課題を行い manaba に提出する
4回	**授業テーマ：コミュニケーション能力を育成する授業** 授業内容：英語教授法と指導法についての知識を学ぶ。コミュニケーション能力を育成する指導法について考える。講義とディスカッション。PC を利用して授業のフィードバックを manaba に送信する 事前学修 2.0hr：教科書第７章、第８章を読み授業中のディスカッションに備える 事後学修 2.0hr：授業内に課された課題に取り組む。(提出)
5回	**授業テーマ：模擬授業①** 授業内容：学生の模擬授業発表と学生同士のフィードバック　模擬授業についての教師からのフィードバックとディスカッション PC を利用して模擬授業のフィードバックを manaba に送信する 事前学修 2.0hr：教科書第 10 章、第 11 章を読み授業中のディスカッションに備える 事後学修 2.0hr：授業内に課された課題に取り組む。(manaba 提出　評価対象)
6回	**授業テーマ：模擬授業②** 授業内容：学生の模擬授業発表と学生同士のフィードバック　模擬授業についての教師からのフィードバックとディスカッション PC を利用して模擬授業のフィードバックを manaba に送信する 事前学修 2.0hr：教科書第 12 章、第 13 章を読み授業中のディスカッションに備える 事後学修 2.0hr：授業内に課された課題に取り組む。(manaba 提出　評価対象)

7回	**授業テーマ：模擬授業③** 授業内容：学生の模擬授業発表と学生同士のフィードバック　模擬授業についての教師からのフィードバックとディスカッション PC を利用して授業のフィードバックを manaba に送信する 事前学修 2.0hr：教科書第 15 章を読み授業中のディスカッションに備える 事後学修 2.0hr：授業内に課された課題に取り組む。(manaba 提出　評価対象)
8回	**授業テーマ：模擬授業④** 授業内容：学生の模擬授業発表と学生同士のフィードバック　模擬授業についての教師からのフィードバックとディスカッション PC を利用して授業のフィードバックを manaba に送信する 事前学修 2.0hr：教科書第 17 章を読み授業中のディスカッションに備える 事後学修 2.0hr：授業内に課された課題に取り組む。(manaba 提出　評価対象)
9回	**授業テーマ：模擬授業⑤** 授業内容：学生の模擬授業発表と学生同士のフィードバック　模擬授業についての教師からのフィードバックとディスカッション PC を利用して授業のフィードバックを manaba に送信する 事前学修 2.0hr：指定された MEXTCHANNEL のモデル授業を視聴し授業中のディスカッションに備える 事後学修 2.0hr：授業内に課された課題に取り組む。(manaba 提出　評価対象)
10回	**授業テーマ：模擬授業⑥** 授業内容：学生の模擬授業発表と学生同士のフィードバック　模擬授業についての教師からのフィードバックとディスカッション PC を利用して授業のフィードバックを manaba に送信する 事前学修 2.0hr：指定された MEXTCHANNEL のモデル授業を視聴し授業中のディスカッションに備える 事後学修 2.0hr：授業内に課された課題に取り組む。(manaba 提出　評価対象)
11回	**授業テーマ：模擬授業⑦** 授業内容：学生の模擬授業発表と学生同士のフィードバック　模擬授業についての教師からのフィードバックとディスカッション PC を利用して授業のフィードバックを manaba に送信する 事前学修 2.0hr：指定された MEXTCHANNEL のモデル授業を視聴し授業中のディスカッションに備える 事後学修 2.0hr：授業内に課された課題に取り組む。(manaba 提出　評価対象)
12回	**授業テーマ：模擬授業⑧** 授業内容：学生の模擬授業発表と学生同士のフィードバック　模擬授業についての教師からのフィードバックとディスカッション PC を利用して授業のフィードバックを manaba に送信する 事前学修 2.0hr：指定された MEXTCHANNEL のモデル授業を視聴し授業中のディスカッションに備える 事後学修 2.0hr：授業内に課された課題に取り組む。(manaba 提出　評価対象)
13回	**授業テーマ：模擬授業⑨** 授業内容：学生の模擬授業発表と学生同士のフィードバック　模擬授業についての教師からのフィードバックとディスカッション PC を利用して授業のフィードバックを manaba に送信する 事前学修 2.0hr：指定された MEXTCHANNEL のモデル授業を視聴し授業中のディスカッションに備える 事後学修 2.0hr：授業内に課された課題に取り組む。(manaba 提出　評価対象)
14回	**授業テーマ：模擬授業⑩** 授業内容：学生の模擬授業発表と学生同士のフィードバック　模擬授業についての教師からのフィードバックとディスカッション PC を利用して授業のフィードバックを manaba に送信する 事前学修 2.0hr：指定された MEXTCHANNEL のモデル授業を視聴し授業中のディスカッションに備える 事後学修 2.0hr：授業内に課された課題に取り組む。(manaba 提出　評価対象)
15回	**授業テーマ：模擬授業⑪** 授業内容：学生の模擬授業発表と学生同士のフィードバック　模擬授業についての教師からのフィードバックとディスカッション PC を利用して授業のフィードバックを manaba に送信する 事前学修 2.0hr：指定された MEXTCHANNEL のモデル授業を視聴し授業中のディスカッションに備える 事後学修 2.0hr：授業内に課された課題に取り組む。(manaba 提出　評価対象)

英語科教育法Ⅱ

開講学科等：英　｜　3 年次　｜　2 単位　｜　開講期：後

金子　義隆（かねこ　よしたか）

▌授業の概要

1．高等学校におけるコミュニケーション能力を育成する外国語（英語）授業の指導理念や指導技術を、講義、ディスカッション、実演を通して学ぶ。
2．指導と評価は一体であることを、単元計画、指導案作成を通して学ぶ。

▌到達目標

一般目標：1. 高等学校の英語の学習指導要領について理解している。2. 高等学校の英語の教科用図書について理解している。
3. 学習指導要領の「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力等」、「学びに向かう力等」の３つの資質・能力とともに、領域別の学習到達目標の設定、年間指導計画、単元計画、各授業時間の指導計画について理解している。4. 小学校の外国語活動・外国語の学習指導要領や教科用図書等の教材、並びに小・中・高等学校を通した英語教育の在り方の基本について理解している。

個別目標：（1）学習指導要領解説に示される「改訂の趣旨」「外国語科の目標」を十分に理解し英語教育者としての使命を自覚できる。
（2）生徒との親和関係が保てる人間性を養うため、授業においては常に他者と協力することができる。
（3）英語運用能力を磨き、模擬授業等で扱う教材を正確に理解することができる。
（4）小・中・高等学校の英語教育の接続を考えるために、小学校英語教育についての学ぶ意欲がある。

▌履修条件

1．前期には「英語科教育法Ⅰ」を履修すること。
2．原則として、「教職基礎セミナー（英語科）」Ⅰ～Ⅳの単位を修得している学生。
3．ただし、特別な理由が認められる場合は「教職基礎セミナー（英語科）Ⅰ, Ⅱ, Ⅲ, Ⅳ」のいずれか一科目又は複数の科目を併修することを認める。

▌評価基準・方法

ディスカッションの参加　20%（主体的に学修に取り組む態度）※模擬授業観察時は 50%
授業フィードバックの評価　10%（主体的に学修に取り組む態度
事後活動で示す課題評価　20%　（授業を通して学んだことの理解及び知識）
模擬授業　準備及び指導案 20%（思考力・判断力・表現力）発表 20 %（指導技術）
授業後の振り返り 10%　　※模擬授業観察時は授業後の振り返りのみ　20%

▌フィードバック方法

学生の提出物および発表（模擬授業）に対してフィードバックをする。また、毎回ではないが授業後にリフレクションシートを記入してもらい、それに対してフィードバックを行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり　（毎時英語教育に関するディスカッションを行う。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり　（指導法研究発表は PC を使用して行う。データ収集も PC で行う。）

▌教科書

1．英語授業デザイン・マニュアル　山岡大基・田頭憲二　大修館書店
2．文部科学省 「高等学校学習指導要領解説―外国語編・英語編」
3. 文部科学省検定教科書　FLEX　English Communication I（増進堂）
4.「指導と評価の一体化」のための学習評価のための参考資料（高等学校　外国語）東洋館出版社

▌参考書

必要に応じて指示します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：高次コミュニケーション活動を含む授業** 授業内容：ディベート、ディスカッションを含む授業の指導方法を教師のモデルから学び、意見交換する PC を利用して授業のフィードバックを manaba に送信する 事前学修 2.0hr：manaba に示された食品ロスに関する資料を読み、授業中の活動に備える 事後学修 2.0hr：授業中に与えられた課題を行い anaba に提出する
2回	**授業テーマ：模擬授業　⑫** 授業内容：学生の模擬授業発表と学生同士のフィードバック　模擬授業についての教師からのフィードバックとディスカッション PC を利用して授業のフィードバックを manaba に送信する 事前学修 2.0hr：模擬授業で扱う単元に関する資料を読み授業中の活動に備える 事後学修 2.0hr：授業中に示された課題を行い manaba に提出する
3回	**授業テーマ：模擬授業　⑬** 授業内容：学生の模擬授業発表と学生同士のフィードバック　模擬授業についての教師からのフィードバックとディスカッション PC を利用して授業のフィードバックを manaba に送信する 事前学修 2.0hr：模擬授業で扱う単元に関する資料を読み授業中の活動に備える 事後学修 2.0hr：授業中に示された課題を行い manaba に提出する
4回	**授業テーマ：模擬授業　⑭** 授業内容：学生の模擬授業発表と学生同士のフィードバック　模擬授業についての教師からのフィードバックとディスカッション PC を利用して授業のフィードバックを manaba に送信する 事前学修 2.0hr：模擬授業で扱う単元に関する資料を読み授業中の活動に備える 事後学修 2.0hr：授業内に課された課題に取り組む。(提出)
5回	**授業テーマ：模擬授業　⑮** 授業内容：学生の模擬授業発表と学生同士のフィードバック　模擬授業についての教師からのフィードバックとディスカッション PC を利用して授業のフィードバックを manaba に送信する 事前学修 2.0hr：模擬授業で扱う単元に関する資料を読み授業中の活動に備える 事後学修 2.0hr：授業内に課された課題に取り組む。(manaba 提出　評価対象)
6回	**授業テーマ：模擬授業　⑯** 授業内容：学生の模擬授業発表と学生同士のフィードバック　模擬授業についての教師からのフィードバックとディスカッション PC を利用して授業のフィードバックを manaba に送信する 事前学修 2.0hr：模擬授業で扱う単元に関する資料を読み授業中の活動に備える 事後学修 2.0hr：授業内に課された課題に取り組む。(manaba 提出　評価対象)

7回	**授業テーマ：模擬授業　⑰　⑱** 授業内容：学生の模擬授業発表と学生同士のフィードバック　模擬授業についての教師からのフィードバックとディスカッション PC を利用して授業のフィードバックを manaba に送信する 事前学修 2.0hr：模擬授業で扱う単元に関する資料を読み授業中の活動に備える 事後学修 2.0hr：授業内に課された課題に取り組む。(manaba 提出　評価対象)
8回	**授業テーマ：模擬授業　⑲** 授業内容：学生の模擬授業発表と学生同士のフィードバック　模擬授業についての教師からのフィードバックとディスカッション PC を利用して授業のフィードバックを manaba に送信する 事前学修 2.0hr：模擬授業で扱う単元に関する資料を読み授業中の活動に備える 事後学修 2.0hr：授業内に課された課題に取り組む。(manaba 提出　評価対象)
9回	**授業テーマ：模擬授業　⑳** 授業内容：学生の模擬授業発表と学生同士のフィードバック　模擬授業についての教師からのフィードバックとディスカッション PC を利用して授業のフィードバックを manaba に送信する 事前学修 2.0hr：模擬授業で扱う単元に関する資料を読み授業中の活動に備える 事後学修 2.0hr：授業内に課された課題に取り組む。(manaba 提出　評価対象)
10回	**授業テーマ：模擬授業　㉑** 授業内容：学生の模擬授業発表と学生同士のフィードバック　模擬授業についての教師からのフィードバックとディスカッション PC を利用して授業のフィードバックを manaba に送信する 事前学修 2.0hr：模擬授業で扱う単元に関する資料を読み授業中の活動に備える 事後学修 2.0hr：授業内に課された課題に取り組む。(manaba 提出　評価対象)
11回	**授業テーマ：模擬授業　㉒** 授業内容：学生の模擬授業発表と学生同士のフィードバック　模擬授業についての教師からのフィードバックとディスカッション PC を利用して授業のフィードバックを manaba に送信する 事前学修 2.0hr：模擬授業で扱う単元に関する資料を読み授業中の活動に備える 事後学修 2.0hr：授業内に課された課題に取り組む。(manaba 提出　評価対象)
12回	**授業テーマ：模擬授業　㉓** 授業内容：学生の模擬授業発表と学生同士のフィードバック　模擬授業についての教師からのフィードバックとディスカッション PC を利用して授業のフィードバックを manaba に送信する 事前学修 2.0hr：模擬授業で扱う単元に関する資料を読み授業中の活動に備える 事後学修 2.0hr：授業内に課された課題に取り組む。(manaba 提出　評価対象)
13回	**授業テーマ：模擬授業　㉔** 授業内容：学生の模擬授業発表と学生同士のフィードバック　模擬授業についての教師からのフィードバックとディスカッション PC を利用して授業のフィードバックを manaba に送信する 事前学修 2.0hr：模擬授業で扱う単元に関する資料を読み授業中の活動に備える 事後学修 2.0hr：授業内に課された課題に取り組む。(manaba 提出　評価対象)
14回	**授業テーマ：模擬授業のまとめ** 授業内容：模擬授業で用いられた指導法について復習する（講義とディスカッション） PC を利用して授業のフィードバックを manaba に送信する 事前学修 2.0hr：manaba に示された資料を読み授業中のディスカッションに備える 事後学修 2.0hr：授業内に課された課題に取り組む。(manaba 提出　評価対象)
15回	**授業テーマ：模擬授業のまとめ** 授業内容：模擬授業で用いられた指導法について復習する（講義とディスカッション） PC を利用して授業のフィードバックを manaba に送信する 事前学修 2.0hr：manaba に示された資料を読み授業中のディスカッションに備える 事後学修 2.0hr：授業内に課された課題に取り組む。(manaba 提出　評価対象)

英語科教育法Ⅲ

開講学科等：英　｜　3 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前

西貝　裕武 (にしがい　ひろむ)

▌授業の概要

学校英語教育の目的について考察し、中学校における外国語(英語)によるコミュニケーション能力を育成する授業実践に必須となる基本的な考え方と年間指導評価計画の作成及び指導技術、教材開発等について、講義、ディスカッション、実演を通して学ぶ。

▌到達目標

一般目標：1．中学校学習指導要領について理解している。
2．中学校英語の教科用図書の構成と内容を理解している。
3．学習到達目標と年間指導計画、単元計画、各時間の指導計画及び学習評価について理解している。
4．小学校外国語活動・外国語の学習指導要領並びに教材、教科用図書について理解している。
5．小・中・高等学校で一貫した英語教育の在り方について理解している。

個別目標：1．学習指導要領の「外国語科の目標」を理解し、英語教師として学ぶ意味を生徒に伝えることができる。
2．積極的に自分の意見や考えを発表するとともに、他者と協力して課題に取り組むことができる。
3．英語運用能力を磨き、模擬授業等の準備を十分に行うとともに、生徒に分かる英語で授業を進めることができる。
4．義務教育における英語教育の充実に向けて、小学校外国語活動及び外国語の目標や内容などを説明するとができる。
5．義務教育修了段階における学習到達目標を基づく授業の組み立てについて理解し、実際の指導に生かすことができる。

▌履修条件

1．後期には「英語科教育法Ⅳ」を履修すること。
2．原則として、「教職基礎セミナー(英語科)」Ⅰ～Ⅳの単位を修得している学生。
3．ただし、特別な理由が認められる場合は「教職基礎セミナー(英語科)Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」のいずれか一科目又は複数の科目を併修することを認める。

▌評価基準・方法

定期考査２０％　発表・グループ討議等での取組姿勢・貢献度(リフレクションペーパーを含む)２０％　課題レポート提出２０％　模擬授業等の準備(単元計画と学習指導案)２０％　模擬授業(指導技術)２０％
なお、５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、授業時または学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （毎時間グループディスカッション及び発表）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （グループワーク、模擬授業等で利用する）

▌教科書

①中学校学習指導要領解説　外国語編(平成 29 年 7 月　文部科学省)
②英語授業デザインマニュアル （大修館書店)
③中学校検定教科書　 Here We Go ！ ENGLISH COURSE 2(令和 7 年度版光村図書出版)

▌参考書

①評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料(令和２年３月　国立教育政策研究所)
他、必要に応じて指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：小・中・高等学校を通じた英語教育の目標と実践** 授業内容：小・中・高等学校で一貫した英語教育について、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的充実という視点から現状把握と問題点についての講義とディスカッションを通して、公立学校における英語教育に係る問いを立てる。 事前学修 2.0hr：各人が考える学校英語教育の目的と小中高で受けてきた英語授業の特徴と課題、改善策を考え、発表準備を行う。 事後学修 2.0hr：授業内で課せられた課題を行い manaba に提出する。
2回	**授業テーマ：学習指導要領の理解－外国語科の目標－** 授業内容：学習指導要領で示されている「外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方」を踏まえた授業の在り方について、講義・ディスカッション・発表を通して理解する。 事前学修 2.0hr：教科書①第 1 章・第 2 章第 1 節を読み、授業中のディスカッションに備える。 事後学修 2.0hr：授業内で課せられた課題を行い manaba に提出する。
3回	**授業テーマ：学習指導要領の理解－英語科の目標と言語活動－** 授業内容：学習指導要領で示されている領域ごとの目標を理解し、「知識及び技能」・「思考力、判断力、表現力等」を一体的に育成する授業の在り方について講義・ディスカッション・発表を通して理解する。 事前学修 2.0hr：教科書①第２章第２節１，２を読み、授業中のディスカッションに備える。 事後学修 2.0hr：授業内で課せられた課題を行い manaba に提出する。
4回	**授業テーマ：学習指導要領の理解－指導計画の作成と内容の取扱い―** 授業内容：指導計画の作成上の配慮事項と内容の取扱いについて理解し、教材研究及び授業準備の仕方について講義・ディスカッションを通して理解する。 事前学修 2.0hr：教科書①第 2 章第 2 節 3 及び教科書②第 1 部第 1 章・第 2 章を読み、授業中のディスカッションに備える。 事後学修 2.0hr：授業内で課せられた課題を行い manaba に提出する。
5回	**授業テーマ：学校種別の特徴と接続** 授業内容：小学校の外国語教育を正しく理解し、小・中・高の接続や連携に配慮した計画と実践について講義・ディスカッションを通して理解する。 事前学修 2.0hr：教科書②第 3 部第 7 章を読み、授業中のディスカッションに備える。 事後学修 2.0hr：授業内で課せられた課題を行い manaba に提出する。
6回	**授業テーマ：中学校で使用する教科書の分析①** 授業内容：中学校で使用する教科書の構成と内容を学習指導要領と関連づけて分析し、教科書の活用について講義・ディスカッションを通して理解する。 事前学修 2.0hr：教科書③を通読し、授業中のディスカッションに備える。 事後学修 2.0hr：講授業内で課せられた課題を行い manaba に提出する。

7回	**授業テーマ：中学校で使用する教科書の分析②** 授業内容：教科書を活用して英語力を伸ばすための授業の在り方について講義・ディスカッションを通して理解する。 事前学修 2.0hr：教科書③を精読し、授業中のディスカッションに備える。 事後学修 2.0hr：授業内で課せられた課題を行い manaba に提出する。
8回	**授業テーマ：英語授業を作る①** 授業内容：教科書を活用して英語力を伸ばすために必要な要件を列挙し、授業の基本について講義・ディスカッションを通して理解する。 事前学修 2.0hr：教科書②第 1 部第 1 章・第 2 書・第 3 章を読んで、授業中のディスカッションに備える。 事後学修 2.0hr：授業内で課せられた課題を行い manaba に提出する。
9回	**授業テーマ：英語授業を作る②** 授業内容：多様な生徒で構成される学習集団における個別最適な学びと協働的な学びについて講義・ディスカッションを通して理解する。 事前学修 2.0hr：教科書②第 8 章を読んで、授業中のディスカッションに備える。 事後学修 2.0hr：授業内で課せられた課題を行い manaba に提出する。
10回	**授業テーマ：教科書を活用した文法指導①－指導理論と教材研究―** 授業内容：学習指導要領における文法指導の位置づけを確認するとともに、基本的な文法指導の展開について講義・ディスカッションを通して理解する。 事前学修 2.0hr：教科書③の文法事項を整理する。教科書②第 1 部第 2 章を再読して、授業中のディスカッションに備える。 事後学修 2.0hr：授業内で課せられた課題を行い manaba に提出する。
11回	**授業テーマ：教科書を活用した文法指導②－模擬授業の準備－** 授業内容：教科書を活用した文法指導の詳細な計画を作成し、模擬授業に備える。 事前学修 2.0hr：教科書②第 1 部を読んで自分の言葉で説明できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業内で課せられた課題を行い manaba に提出する。
12回	**授業テーマ：模擬授業①(文法指導)** 授業内容：任意に選択した文法事項の定着を図る模擬授業を行うとともに、授業についての振り返りと改善策についてディスカッションを行う。 事前学修 2.0hr：模擬授業の準備及び指導案を作成する。 事後学修 2.0hr：授業内で課せられた課題を行い manaba に提出する。
13回	**授業テーマ：模擬授業②(文法指導)** 授業内容：任意に選択した文法事項の定着を図る模擬授業を行うとともに、授業についての振り返りと改善策についてディスカッションを行う。 事前学修 2.0hr：模擬授業の準備及び指導案を作成する。 事後学修 2.0hr：授業内で課せられた課題を行い manaba に提出する。
14回	**授業テーマ：模擬授業③(文法指導)** 授業内容：任意に選択した文法事項の定着を図る模擬授業を行うとともに、授業についての振り返りと改善策についてディスカッションを行う。 事前学修 2.0hr：これまでの授業を振り返り、授業中のディスカッションに備える。 事後学修 2.0hr：授業内で課せられた課題を行い manaba に提出する。
15回	**授業テーマ：小・中・高等学校を通じた英語教育の充実について―言語活動と英語発信力の強化に向けて―** 授業内容：これまでの授業を踏まえて、第 1 回の授業で立てた問いについてディスカッションを通して、自らの意見を再構築する。 事前学修 2.0hr：問いに対する文献や資料を読んで、授業中のディスカッションに備える。 事後学修 2.0hr：授業内で課せられた課題を行い manaba に提出する。

英語科教育法Ⅳ

開講学科等：英　｜　3 年次　｜　2 単位　｜　開講期：後

西貝　裕武 (にしがい　ひろむ)

▌授業の概要

学校英語教育の目的について考察し、中学校における外国語(英語)によるコミュニケーション能力を育成する授業実践に必須となる基本的な考え方と年間指導評価計画の作成及び指導技術、教材開発等について、講義、ディスカッション、実演を通して学ぶ。

▌到達目標

一般目標：1．中学校学習指導要領について理解している。
2．中学校英語の教科用図書の構成と内容を理解している。
3．学習到達目標と年間指導計画、単元計画、各時間の指導計画及び学習評価について理解している。
4．小学校外国語活動・外国語の学習指導要領並びに教材、教科用図書について理解している。
5．小・中・高等学校で一貫した英語教育の在り方について理解している。

個別目標：1．学習指導要領の「外国語科の目標」を理解し、英語教師として学ぶ意味を生徒に伝えることができる。
2．積極的に自分の意見や考えを発表するとともに、他者と協力して課題に取り組むことができる。
3．英語運用能力を磨き、模擬授業等の準備を十分に行うとともに、生徒に分かる英語で授業を進めることができる。
4．義務教育における英語教育の充実に向けて、小学校外国語活動及び外国語の目標や内容などを説明するとができる。
5．義務教育修了段階における学習到達目標を基づく授業の組み立てについて理解し、実際の指導に生かすことができる。

▌履修条件

1．前期には「英語科教育Ⅲ」を履修すること。
2．原則として、「教職基礎セミナー(英語科)」Ⅰ～Ⅳの単位を修得している学生。
3．ただし、特別な理由が認められる場合は「教職基礎セミナー(英語科)Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」のいずれか一科目又は複数の科目を併修することを認める。

▌評価基準・方法

定期考査２０％　発表・グループ討議等での取組姿勢・貢献度(リフレクションペーパーを含む)２０％　課題レポート提出２０％　模擬授業等の準備(単元計画と学習指導案)２０％　模擬授業(指導技術)２０％
なお、5分の4以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （毎時間グループディスカッション及び発表）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （グループワーク、事例研究棟で利用する）

▌教科書

①中学校学習指導要領解説　外国語編(平成 29 年 7 月　文部科学省)
②英語授業デザインマニュアル （大修館書店)
③中学校検定教科書　 Here We Go ！　ENGLISH COURSE 2 (令和 7 年度版光村図書出版)

▌参考書

①評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料(令和2年3月　国立教育政策研究所)
他、必要に応じて指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：主体的・対話的で深い学びを導く授業デザイン** 授業内容：主体的・対話的で深い学びを導く授業の実現に向けて、現状と課題について講義・ディスカッションを通して把握し、将来実現したい理想の授業像を描く。 事前学修 2.0hr：教科書①及び教科書②第９章を読んで授業中のディスカッションに備える。 事後学修 2.0hr：授業内で課せられた課題を行い manaba に提出する。
2回	**授業テーマ：動機づけ・振り返り(リフレクション)・評価** 授業内容：「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の各観点の趣旨を理解するとともに、各観点の指導と評価の実際について、講義・ディスカッションを通して理解する。 事前学修 2.0hr：教科書①及び教科書②第１０章を読んで授業中のディスカッションに備える。 事後学修 2.0hr：授業内で課せられた課題を行い manaba に提出する。
3回	**授業テーマ：英語授業を深める①** 授業内容：技能・領域ごとにより精緻な教材研究を行う際のポイントについて具体例を通して理解し、教科書の教材研究を行う。 事前学修 2.0hr：教科書①及び教科書②第４章を読んで授業中のディスカッションに備える。 事後学修 2.0hr：授業内で課せられた課題を行い manaba に提出する。
4回	**授業テーマ：英語授業を深める②** 授業内容：学習者の思考を深めるための教師の働きかけについて講義・ディスカッションを通して理解し、教科書の本文指導の展開を考える。 事前学修 2.0hr：教科書①及び教科書②第５章を読んで授業中のディスカッションに備える。 事後学修 2.0hr：授業内で課せられた課題を行い manaba に提出する。
5回	**授業テーマ：英語授業を深める③** 授業内容：学習者の知識・技能を定着させるための活動について講義・ディスカッションを通して理解し、教科書を使って実演する。 事前学修 2.0hr：教科書①及び教科書第６章を読んで授業中のディスカッションに備える。 事後学修 2.5hr：授業内で課せられた課題を行い manaba に提出する。
6回	**授業テーマ：教科書本文を活用して発信力を伸ばす指導－模擬授業の準備―** 授業内容：教科書本文の指導について詳細な計画を作成し、模擬授業に備える。 事前学修 2.0hr：教科書②第４章から第６章を復習して、模擬授業の準備に備える。 事後学修 2.0hr：講授業内で課せられた課題を行い manaba に提出する。
7回	**授業テーマ：模擬授業①(本文指導)** 授業内容：任意に選択した Unit の本文に係る模擬授業を行うとともに、授業についての振り返りと改善策についてディスカッションを行う。 事前学修 2.0hr：模擬授業の準備及び指導案を作成する。 事後学修 2.0hr：授業内で課せられた課題を行い manaba に提出する。

8回	**授業テーマ：模擬授業②(本文指導)** 授業内容：任意に選択した Unit の本文に係る模擬授業を行うとともに、授業についての振り返りと改善策についてディスカッションを行う。 事前学修 2.0hr：模擬授業で扱う単元について教材研究・授業準備を行う。 事後学修 2.0hr：授業内で課せられた課題を行い manaba に提出する。
9回	**授業テーマ：模擬授業③(本文指導)** 授業内容：任意に選択した Unit の本文に係る模擬授業を行うとともに、授業についての振り返りと改善策についてディスカッションを行う。 事前学修 2.0hr：模擬授業で扱う単元について教材研究・授業準備を行う。 事後学修 2.0hr：授業内で課せられた課題を行い manaba に提出する。
10回	**授業テーマ：模擬授業④(本文指導)** 授業内容：任意に選択した Unit の本文に係る模擬授業を行うとともに、授業についての振り返りと改善策についてディスカッションを行う。 事前学修 2.0hr：模擬授業で扱う単元について教材研究・授業準備を行う。 事後学修 2.0hr：授業内で課せられた課題を行い manaba に提出する。
11回	**授業テーマ：観点別テストの作成①－語い・文法－** 授業内容：小テストや定期考査の目的とテスト作成の鉄則と手順について講義・ディスカッションを通して理解し、問題を作成する。 事前学修 2.0hr：模擬授業で扱う単元について教材研究・授業準備を行う。 事後学修 2.0hr：授業内で課せられた課題を行い manaba に提出する。
12回	**授業テーマ：観点別テストの作成②－「聞くこと」・「読むこと」－** 授業内容：小テストや定期考査の目的とテスト作成の鉄則と手順について講義・ディスカッションを通して理解し、問題を作成する。 事前学修 2.0hr：模擬授業で扱う単元について教材研究・授業準備を行う。 事後学修 2.0hr：授業内で課せられた課題を行い manaba に提出する。
13回	**授業テーマ：観点別テストの作成③－「書くこと」・「話すこと」－** 授業内容：小テストや定期考査の目的とテスト作成の鉄則と手順について講義・ディスカッションを通して理解し、問題を作成する。 事前学修 2.0hr：模擬授業で扱う単元について教材研究・授業準備を行う。 事後学修 2.0hr：授業内で課せられた課題を行い manaba に提出する。
14回	**授業テーマ：分かる・できる・楽しいと実感する授業デザイン** 授業内容：「分かる・できる・楽しい授業づくり」の勘所について整理し、発表する。 事前学修 2.0hr：これまでの授業のリフレクションを整理し、発表に備える。 事後学修 2.0hr：授業内で課せられた課題を行い manaba に提出する。
15回	**授業テーマ：主体的・対話的で深い学びのさらなる充実** 授業内容：これまでの授業を踏まえて、第 1 回の授業で立てた問いについてディスカッションを通して自らの意見を再構築する。 事前学修 2.0hr：これまでの授業のリフレクションを整理し、授業中のディスカッションに備える。 事後学修 2.0hr：授業内で課せられた課題を行い manaba に提出する。

教育原理

開講学科等：日英中 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

遠藤　哲也 (えんどう　てつや)

▌授業の概要

教育の基本的な理念や理論を学び、教育実践の土台となる視点を養う。本授業では、教育の目的・意義を歴史的・哲学的・社会的観点から考察し、現代教育が直面する課題について議論を深める。また、教育思想家の主張や教育制度の変遷を学ぶことで、教育の本質を多角的に捉える力を身につける。さらに、実際の教育現場での事例を取り上げながら、理論と実践を結びつける力を育成する。授業を通して、教育者としての使命や役割を理解し自らの教育観を形成するための基盤を築くこと、教育に対する深い洞察と実践力を身につけることを目指す。

▌到達目標

一般目標：1．教育の基本的な理念や目的を理解し、教育の意義を多角的に捉えられるようになる。
　　2．歴史的・哲学的・社会的な観点から教育を考察し、現代教育の課題について批判的に考える力を養う。
　　3．教育理論と実践の関係を理解し、教育者としての基盤となる価値観を形成する。
個別目標：1．教育思想家や教育制度の歴史的背景を説明し、その意義を具体的に論じられる。
　　2．現代の教育課題に関する具体的な事例を分析し、解決策を提案できる。
　　3．自らの教育観や指導方針を明確にし、それを論理的に表現できるようになる。

▌履修条件

教職への志を持ち、熱意ある学生であること。

▌評価基準・方法

・事前学修、グループ討議・発表、リフレクションペーパーの提出、授業への参加度・貢献度等の受講姿勢７０%、期末試験３０%の結果に基づき、総合的に評価する。
・５分の４以上の出席を評価の前提条件とし、欠席は減点する。

▌フィードバック方法

フィードバックは、課題の返却時の評価のほか、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ペアワーク、グループ協議の実施。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （PC（スマートフォン可）を利用した調べ学習。）

▌教科書

「教職入門　－教育学のエッセンスから学ぶ－」住本克彦 編著　　建帛社　2023 年

▌参考書

適宜資料を配布

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：・本講義の目的と概要、授業の進め方について説明する。 ・教育の基本概念について知る。 事前学修 2.0hr：テキストを概観し、自分なりの教育観について考えをまとめておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
2回	**授業テーマ：教育の歴史的展開** 授業内容：・日本や世界の教育の歴史的背景を知る。 ・現代教育の成立とその課題について知る。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を読み、その概要をまとめる。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
3回	**授業テーマ：教育の目的と理念** 授業内容：・日本国憲法と教育基本法の理念を知る。 ・教育における個人の尊重と社会的責任について協議をする。 事前学修 2.0hr：「日本国憲法第 26 条」「教育基本法」を読み、小レポートを作成する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
4回	**授業テーマ：日本の学校教育制度** 授業内容：・学校制度の仕組みと発展の歴史を知る。 ・義務教育制度の意義と現状について解説をする。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を読み、その概要をまとめる。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
5回	**授業テーマ：教育における平等と公正** 授業内容：・教育機会均等等の概念とその課題について知る。 ・多文化共生社会における教育の役割について協議をする。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を読み、その概要をまとめる。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
6回	**授業テーマ：学習者の発達と学び** 授業内容：・発達段階に応じた教育の方法について知る。 ・学習者理解の視点から個別最適な指導方法について協議をする。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を読み、その概要をまとめる。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
7回	**授業テーマ：教師の専門性と役割** 授業内容：・教師に求められる資質と能力について知る。 ・教師のリーダーシップについて協議をする。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を読み、その概要をまとめる。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
8回	**授業テーマ：カリキュラムの構造と設計** 授業内容：・学校教育におけるカリキュラムの基本概念を知る。 ・「教科横断的な学び」の意義について知る。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を読み、その概要をまとめる。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。

9回	**授業テーマ：教育評価の方法と実践** 授業内容：・評価の種類とその活用方法を知る。 ・非認知能力(意欲、協調性、自制心、忍耐力等)の評価について協議をする。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を読み、その概要をまとめる。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
10回	**授業テーマ：教育における ICT の活用** 授業内容：・教育における ICT 活用の目的と課題について知る。 ・ICT を活用した学びの実践事例を知る。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を読み、その概要をまとめる。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
11回	**授業テーマ：特別支援教育と多様な学び** 授業内容：・特別支援教育の基本的な考え方を知る。 ・インクルーシブ教育の具体的な実践について協議をする。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を読み、その概要をまとめる。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
12回	**授業テーマ：教育とグローバル化** 授業内容：・グローバル化と日本における教育の関係について知る。 ・異文化理解を促進する具体的な活動について協議をする。 事前学修 2.0hr：グローバル化と教育の関連性について調べ、小レポートを作成する。 事後学修 2.0hr：授業での協議を受け、小レポートを修正する。
13回	**授業テーマ：教育現場の課題と解決策** 授業内容：・いじめ、不登校等の教育課題に関する現状と課題を知る。 ・教育現場の課題を解決するための方策について協議をする。 事前学修 2.0hr：今日的な教育課題について調べ、小レポートを作成する。 事後学修 2.0hr：授業での協議を受け、小レポートを修正する。
14回	**授業テーマ：教師の働き方改革** 授業内容：・「教師の働き方改革」の背景と課題を知る。 ・教師としての仕事や生きがいについて協議をする。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を読み、その概要をまとめる。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
15回	**授業テーマ：授業のまとめ** 授業内容：・学びの振り返りと重要ポイントの整理をする。 ・教職を目指すうえでの自己省察と将来への展望について協議をする。 事前学修 2.0hr：これまでの授業を振り返り、改めて学んだこと、自分が成長できたこと等について小レポートを作成する。 事後学修 2.0hr：授業での協議を受け、小レポートを修正する。

教師論

開講学科等：日英中 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

山本　聖志 (やまもと　せいし)

▌授業の概要

「教師とは何か」について、求められる教師像を多面的に考察しながら、教職の意義、教師の役割と責任などを踏まえて学ぶ。この科目では、学生に対して、教師としての使命を自覚させるとともに、教職についての基本的な知識と幅広い視野を持たせる。授業では、学修者の能動的な学修への参加を重視するため、学生は、グループにおける事前学修、それに基づいた発表を行い、教師論に関する学びを深めていく。

▌到達目標

一般目標：1．教師の仕事、役割について理解する。
　　2．求められる教師とは何かについて理解する。
個別目標：1．教師は、学校の課題を改善し、協働や研修の中で成長していくことを説明できる。
　　2．教職は、児童生徒の望ましい発達への切れ目のない援助や支援にその意義があることを説明することができる。
　　3．学校における様々な事象を考察し、求められる教師像とは何か、発表したり、小論文等で述べることができる。

▌履修条件

教職への志を持ち、熱意のある学生。

▌評価基準・方法

事前学修、発表、レスポンによる回答や課題提出、受講態度等を 50%、期末試験 50%の結果に基づき、総合的に評価する。なお、5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

フィードバックは課題等の返却時の評価のほか、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Word、Excel、PowerPoint を搭載した PC を指示により持参）

▌教科書

開講時に指示する。

▌参考書

適宜資料を配布する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：本講義の目的と概要、計画について理解する。 事前学修 1.5hr：シラバスにより、授業の目的や計画について概観する。 事後学修 2.5hr：授業内で指示された課題に取り組む。
2回	**授業テーマ：教師の役割** 授業内容：教師の役割とは何かについて、配布資料や事前学修に基づき理解する。 事前学修 2.5hr：授業テーマについて考察を行い、その概要をまとめておく。 事後学修 1.5hr：授業内で指示された課題に取り組む。
3回	**授業テーマ：教師観** 授業内容：教師観の変遷について、配布資料や事前学修に基づき理解する。 事前学修 2.5hr：授業テーマについて考察を行い、その概要をまとめておく。 事後学修 1.5hr：授業内で指示された課題に取り組む。
4回	**授業テーマ：教職課程** 授業内容：教職課程のカリキュラムについて、配布資料や事前学修に基づき理解する。 事前学修 2.5hr：授業テーマについて考察を行い、その概要をまとめておく。 事後学修 1.5hr：授業内で指示された課題に取り組む。
5回	**授業テーマ：制度・法律** 授業内容：教師をめぐる制度・法律について、配布資料や事前学修に基づき理解する。 事前学修 2.5hr：授業テーマについて考察を行い、その概要をまとめておく。 事後学修 1.5hr：授業内で指示された課題に取り組む。
6回	**授業テーマ：教員の働き方** 授業内容：学校種による教員の具体的な働き方の違いについて、配布資料や事前学修に基づき理解する。 事前学修 2.5hr：授業テーマについて考察を行い、その概要をまとめておく。 事後学修 1.5hr：授業内で指示された課題に取り組む。
7回	**授業テーマ：教師の専門性** 授業内容：教師の専門性について、配布資料や事前学修に基づき理解する。 事前学修 2.5hr：授業テーマについて考察を行い、その概要をまとめておく。 事後学修 1.5hr：授業内で指示された課題に取り組む。
8回	**授業テーマ：授業に関わる仕事** 授業内容：授業に関わる仕事について、配布資料や事前学修に基づき理解する。 事前学修 2.5hr：授業テーマについて考察を行い、その概要をまとめておく。 事後学修 1.5hr：授業内で指示された課題に取り組む。
9回	**授業テーマ：子どもと教師** 授業内容：子どもの生活を支える教師の仕事について、配布資料や事前学修に基づき理解する。 事前学修 2.5hr：授業テーマについて考察を行い、その概要をまとめておく。 事後学修 1.5hr：授業内で指示された課題に取り組む。
10回	**授業テーマ：家庭や保護者** 授業内容：子どもの家庭や保護者への対応について、配布資料や事前学修に基づき理解する。 事前学修 2.5hr：授業テーマについて考察を行い、その概要をまとめておく。 事後学修 1.5hr：授業内で指示された課題に取り組む。
11回	**授業テーマ：子ども理解** 授業内容：子ども理解や子どもに寄り添うことについて、配布資料や事前学修に基づき理解する。 事前学修 2.5hr：授業テーマについて考察を行い、その概要をまとめておく。 事後学修 1.5hr：授業内で指示された課題に取り組む。

12回	**授業テーマ：ジェンダー平等** 授業内容：学校におけるジェンダー平等について、チーム学校として課題解決を図るための方策を考える。 事前学修 2.0hr：授業テーマについて考察を行い、その概要をまとめておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
13回	**授業テーマ：ダイバーシティ** 授業内容：学校におけるダイバーシティについて、配布資料や事前学修に基づき理解する。 事前学修 2.0hr：授業テーマについて考察を行い、その概要をまとめておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
14回	**授業テーマ：組織力の向上** 授業内容：教師を取り巻く現代的な問題について、チーム学校として組織力を向上させる方策を考える。 事前学修 2.5hr：授業テーマについて考察を行い、その概要をまとめておく。 事後学修 1.5hr：授業内で指示された課題に取り組む。
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：教師論全体についてまとめ、今後の課題について理解を深める。 事前学修 2.0hr：これまでの授業を振り返り、教師論に関する必要な事項を整理するとともに、自己の課題を明確にしておく。 事後学修 2.0hr：これまでの授業を振り返り、自己の課題の解決に取り組む。

教育行政学

開講学科等：日英中 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

藤井　大輔（ふじい　だいすけ）

▌授業の概要

・「教育行政とは何か」について、国や地方公共団体が教育法規を基に行っている教育条件の整備や教育活動の規制・助成の内容を踏まえて学ぶ。
・この科目では、今日の教育制度や教育施策について、具体的な問題にも触れながら法制的な側面から考察させ、基礎的な知識と幅広い視野を持たせる。

▌到達目標

一般目標：・何のために教育行政があるのかを理解する。
・法令とな何か、学校と教育委員会との関係、教育員会と文部科学省との関係について正しく理解する。
個別目標：・地方教育行政の組織及び運営に関する法律や関連する教育法規の主だった内容を説明できる。
・学校の役割や位置づけを、国や教育委員会との関係で把握して、発表したり、小論文等で述べることができる。
・各種の法令で規定されている教育行政の内容を学校運営や教師の職務に関連付け、説明することができる。

▌履修条件

・教職への志を持ち、熱意のある学生。
・「教師論」、「教育原理」、「生徒指導」のうち、2 科目以上の単位を修得していることが望ましい。

▌評価基準・方法

・事前学修、発表、課題提出や受講態度等の 50 %と期末試験 50 %の結果に基づき、総合的に評価する。
・なお、5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とし、欠席は減点する。
・課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌フィードバック方法

基礎確認問題を配布して、課題として解答を求める。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （毎授業回、指定された学生グループがパワーポイントでテキストの内容をまとめてパソコンで発表し、他の学生との質疑応答を行う。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （指定されたグループは毎授業回にパソコンを持参すること。）

▌教科書

・古川治・今西孝蔵・五百柱満編著『教育法規・教育行政入門』ミネルヴァ書房』
・適宜資料を配布する。

▌参考書

・『教育小六法２０２３」学陽書房

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：国の法令** 授業内容：教育行政に関する法律の種類を概括的に理解するとともに、法律の下には施行令や施行規則といった法令があることを理解する。 事前学修 2.0hr：テキスト第Ⅰ章①を読む。 事後学修 2.0hr：担当教員からの詳説をノートにまとめる。
2回	**授業テーマ：教育行政と学校教育** 授業内容：学校教育というものがすべて法令で規定され運営されていることを理解するとともに、なせ、こうした法令に基づき学校教育が展開されているか理解する。 事前学修 2.0hr：テキスト第Ⅰ章②と③を読む。 事後学修 2.0hr：担当教員からの詳説をノートにまとめる。
3回	**授業テーマ：学校組織と教育活動** 授業内容：学校は組織体であり、教育個人の自由な判断で教育が行われているのではなく、校長のリーダーシップの下、様々な役割を持った分掌により多角的に運営されていることを理解する。 事前学修 2.0hr：テキスト第Ⅱ章①を読む。 事後学修 2.0hr：担当教員からの詳説をノートにまとめる。
4回	**授業テーマ：教育課程** 授業内容：小学校から高等学校まで、学校で学ぶ 教科や教科外の内容というものが、学習指導要領で規定さてた教育課程、つまり、教育の基本的事項に基づいて教えられていることを理解する。 事前学修 2.0hr：テキスト第第Ⅱ章②を読む。 事後学修 2.0hr：担当教員からの詳説をノートにまとめる。
5回	**授業テーマ：児童・生徒と生徒指導** 授業内容：児童・生徒に係る法令について多角的に理解するとともに、児童・生徒の問題行動に関する生徒指導の在り方を理解する。とりわけ、近年教育課題となっている不登校やいじめなどに関する法令を理解する。 事前学修 2.0hr：テキスト第Ⅱ章③を読む。 事後学修 2.0hr：担当教員からの詳説をノートにまとめる。
6回	**授業テーマ：教職員の職務と研修①** 授業内容：教職員に関する法令の内容を理解するとともに、なぜ、教員には、特例法があるのか、その理由について理解する。また、教員にとっては、研修が極めて重要であることを、法令を通して理解する。 事前学修 2.0hr：テキスト第Ⅲ章の「教員評価」までを読む。 事後学修 2.0hr：担当教員からの詳説をノートにまとめる。
7回	**授業テーマ：教職員の職務と研修②** 授業内容：教員に関して、地方公務員法に規定された条文にも拘束されることを理解するとともに、懲戒や分限処分という法律上の規定があることを理解する。 事前学修 2.0hr：テキスト第Ⅲ章の「教員の勤務と週休日」から「教員免許の更新制」までを読む。 事後学修 2.0hr：担当教員からの詳説をノートにまとめる。
8回	**授業テーマ：人権教育における法規①** 授業内容：日本における人権教育の変遷を理解するとともに、人権に係る様々な宣言や条約などについて理解を深めるとともに、差別の基本について理解する。 事前学修 2.0hr：テキスト第Ⅳ章「女子に関するあらゆる形態の差別の撤廃に関する条約」までを読む。 事後学修 2.0hr：担当教員からの詳説をノートにまとめる。

9回	**授業テーマ：人権教育における法規②** 授業内容：人権に関して、特に児童の権利条約の制定の理由と日本における当該条約の意味について理解を深めるとともに、人権に関する日本における法律について理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキスト第Ⅳ章「子ども(児童)の権利に関する条約」から第Ⅳ章最後までを読む。 事後学修 2.0hr：担当教員からの詳説をノートにまとめる。
10回	**授業テーマ：障害児教育・特別支援教育と法規** 授業内容：障害児教育に関する内容の変遷を見るとともに、今、なぜ、障害児教育から特別支援教育となったのか、その理由を理解するとともに、現在、日本の学校で求められている　特別支援教育の在り方について理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキスト第Ⅴ章を読む。 事後学修 2.0hr：担当教員からの詳説をノートにまとめる。
11回	**授業テーマ：学校保健・安全と法規** 授業内容：児童・生徒に関わる健康・保健に関する指導の重要性について理解するとともに、健康保健に関する法律について理解する。また、安全教育については、地震などが発生した場合の児童・生徒に対する指導内容と方法を理解する。 事前学修 2.0hr：テキスト第Ⅵ章を読む。 事後学修 2.0hr：担当教員からの詳説をノートにまとめる。
12回	**授業テーマ：世界の学校体系** 授業内容：我が国の学校体系の変遷を理解するとともに主要国の学校体系を調べその特徴を考察する。 事前学修 2.0hr：日本の学校体系について調べる。 事後学修 2.0hr：担当教員からの詳説をノートにまとめる。
13回	**授業テーマ：自分の居住地等の教育課題の理解** 授業内容：自分の居住地等の教育課題を調べ行政がどのような施策を展開しているか理解する。 事前学修 2.0hr：居住地等の教育について調べる。 事後学修 2.0hr：担当教員からの詳説をノートにまとめる。
14回	**授業テーマ：昨今の教育話題について①** 授業内容：教育行政上の課題の中で重要な、中央教育審議会の動きについて理解する。 事前学修 2.0hr：これまでの学修における教育行政の現代的課題に関する資料を読む。 事後学修 2.0hr：担当教員からの詳説をノートにまとめる。
15回	**授業テーマ：昨今の教育話題について②** 授業内容：教育行政上の課題の中で重要な、いじめ、不登校ついて未然防止、早期発見、早期対応の仕方について、グループ別協議を行うとともに、指定されたグループから発表してもらう。 事前学修 2.0hr：これまでの学修における教育行政の現代的課題に関する資料を読む。 事後学修 2.0hr：全回を通じて学修したことをレポートにまとめ、提出する。

教育心理学

開講学科等：日英中 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

樋口　倫子 (ひぐち　のりこ)

▌授業の概要

教育の対象である幼児、児童および生徒は、学校生活を中心として様々な知識を獲得し、学習への意欲を高め、社会性を身につけ、成長していく過程にある。本科目では、幼児、児童および生徒の心身の発達の段階に応じ、主体的で深い学習活動を支える基礎的な理論と具体的な実践方法を学ぶ。

▌到達目標

一般目標：幼児、児童および生徒の心身の発達の過程とその特徴を理解する。
　　幼児、児童および生徒の学習に関する基礎的な知識を身につけ、発達を踏まえた学習支援について理解する。
個別目標：1)幼児、児童および生徒の心身の発達に関する理論(内的・外的要因の相互作用、発達の概念)を理解し、教育臨床での発達理解の意義が理解できる。
　　2)各ライフサイクルにおける発達(運動・言語・認知・社会性)を理解し、具体的に説明できる。
　　3)様々な学習の形態や概念および学習理論を理解している。
　　4)主体的学習を支える動機づけ・集団づくり・学習評価の在り方について、発達の特徴と関連付けて理解している。
　　5)幼児、児童および生徒の心身の発達の段階に応じ、主体的で深い学習活動を支える指導の基礎的な理論と実践方法が理解できる。

▌履修条件

教職志望学生とする。義務教育教員を志望しない場合も、協働学習に意欲的に参加すること。
教師として必要な対話性や応答性を大切にしながら、心地よい関係と学びの場にする配慮ができること。

▌評価基準・方法

講義内での参加姿勢：発言や質問(30 %)、レポート課題(50 %)および試験(20 %)によって総合的に評価する。

▌フィードバック方法

講義終了時の質疑応答、次回講義冒頭での課題についての全体コメント、manaba 上での個別コメントによる。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Think-Pair-Share Think-Group-Share グループワーク　ダイアローグ　リフレクティング）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （レスポンの質問への回答　デジタル資料閲覧　データ共有）

▌教科書

桜井 茂男 編集：改訂版　たのしく学べる最新教育心理学 ―教職にかかわるすべての人に，図書文化社，2017

▌参考書

鎌原 雅彦，竹綱 誠一郎：やさしい教育心理学 第 4 版 (有斐閣アルマ) ，2015
ブライアン・R・リトル(著)、児島修(訳)：ハーバードの心理学講義、大和書房.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：教育心理学の概要** 授業内容：1．このコースの学習の進め方をイメージする。2．この講義では何を学ぶのかを理解する。 3．教育心理学の歴史と学校教育の教育心理学課題について理解する。 事前学修 2.0hr：現在の学校教育の課題を調べてくる。 事後学修 2.0hr：教育心理学が学校教育の課題にどう応えていくのか、そのためにどのような態度が求めれるかをまとめる。
2回	**授業テーマ：発達(1)発達の基礎概念** 授業内容：発達に関する諸理論と発達の規定要因を理解する。 発達に影響する遺伝・環境要因について理解する。 発達の各理論を理解し、ペアで説明し合う。 事前学修 2.0hr：教科書第 2 章(発達を促す)を読み、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：発達に影響する遺伝・環境要因と、発達の各理論を整理してまとめる。
3回	**授業テーマ：発達(2)発達段階と発達課題** 授業内容：発達段階について視聴覚教材をみながら、理解する。 ハーヴィガストの発達課題とエリクソンの発達課題について理解する。 確認テストを実施して、理解を定着する。 事前学修 2.0hr：教科書第 2 章(発達を促す)を再度読み、理解できない内容を明らかにする。 事後学修 2.0hr：発達課題をまとめる。
4回	**授業テーマ：学習意欲と動機づけ ―動機づけ理論と学習性無力** 授業内容：学習の動機づけ理論について理解する。 自己調整学習について理解する。 学習性無力とその克服について理解する。 事前学修 2.0hr：教科書第 3 章(やる気を高める)を読み、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：ワークシート(主体的な学びを促す動機づけの考案)を実施する。
5回	**授業テーマ：学習のメカニズム ―学習理論と記憶のメカニズム** 授業内容：学習の基礎としての条件づけを理解する。 学習における記憶の役割を理解する。 事前学修 2.0hr：教科書第 4 章(学習のメカニズム)を読み、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：ワークシート(身近な学習の例を条件付けの理論を用いて説明する)を実施する。
6回	**授業テーマ：授業づくりのための心理学** 授業内容：学習指導の理論について理解する。 協同学習の意義とその方法を理解する。 「主体的な学び(アクティブ・ラーニング)」を考える。 主体的な学びのための教師の役割について、dialogue と refrecting talk を実施する。 事前学修 2.0hr：教科書第 5 章(授業の心理学)を読み、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：主体的な学びを可能にする授業の理論と授業形態をまとめる。
7回	**授業テーマ：アクティブ・ラーニングとコラボレーティブ・ラーニングの実践** 授業内容：アクティブ・ラーニングの模擬授業のための指導案をグループで吟味する。 事前学修 2.0hr：アクティブ・ラーニングの模擬授業のための指導案を作成する。 事後学修 2.0hr：アクティブ・ラーニングの模擬授業のための指導案を修正して完成する。

8回	**授業テーマ：コース前半のまとめ** 授業内容：確認テストを実施する。 確認テスト後に、振り返りを行う。 事前学修 2.0hr：第 1〜7 回の講義内容（コース前半）を復習する。テキストの復習問題や予想問題を実施する。 事後学修 2.0hr：確認テストで理解できていない領域を復習する。前半の学習について、メタ視点で自己評価する。
9回	**授業テーマ：教育評価・知的能力の発達とその測定** 授業内容：教育評価の考え方と方法を理解する。 知的能力の発達について理解する。 知的能力の測定について理解する。 事前学修 2.0hr：教科書第６・７章（教育評価を指導に生かす・知的能力を考える）を読み、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：代表的な学習評価と新しい学習評価についてまとめる。
10回	**授業テーマ：社会性と道徳性を育てる** 授業内容：向社会的行動について理解する。 道徳性と動特性の発達について理解する。 コールバーグの道徳発達理論を、ハインツのジレンマの問題を通して理解する。 愛着理論について理解する。 事前学修 2.0hr：教科書第９章（社会性を育む）を読み、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：愛着形成と社会性の発達についてまとめる。
11回	**授業テーマ：パーソナリティ（1）　−パーソナリティの諸理論と発達** 授業内容：パーソナリティの諸理論について理解する。 パーソナリティの発達理論（フロイトの発達段階説・エリクソンの発達段階説）について理解する。 自我防衛機制の意味とその種類について理解する。 事前学修 2.0hr：教科書第８章を読む。事前配布資料でパーソナリティのチェックを実施する。 事後学修 2.0hr：自我防衛機制とエリクソンの発達段階説についてまとめる。
12回	**授業テーマ：パーソナリティ（2）　−パーソナリティの測定** 授業内容：パーソナリティの測定とその種類について理解する。 パーソナリティチェックを各自が行い、どの方法について理解を深める。 事前学修 2.0hr：教科書第 8 章（パーソナリティを理解する）を読み、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：パーソナリティチェックを行った結果を自己分析し、考察する。
13回	**授業テーマ：学級集団における仲間関係・教師生徒関係** 授業内容：学級集団の機能や特徴について理解する。 学級集団の構造を理解するための方法を理解する。 教師と児童・生徒の関係に関する諸理論を理解する。 事前学修 2.0hr：教科書第 10 章（学級の心理学）を読み、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：受容的で学び合える学級集団を形成する工夫についてレポートを作成する。
14回	**授業テーマ：ストレスと不適応** 授業内容：児童・生徒に頻発するストレス関連の心身症について理解する。 児童・生徒に頻発する行動症状としてのいじめ・不登校について理解する。 基本的な援助法を体験する。 気づきを Think-Pair-Share で深める。 事前学修 2.0hr：教科書第 11 章（不適応と臨床心理）を読み、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：児童・生徒に頻発するストレス関連の心身の不調と対応についてまとめる。
15回	**授業テーマ：フルインクルーシヴ教育・コースのまとめ** 授業内容：コースのまとめとして、今後のフルインクルーシヴ教育に教育心理学の視点から何が必要かを考える。 グループでのダイアローグを実施し、気づきを Think-Group-Share で深める。 事前学修 2.0hr：教科書第 12 章（身体障がいと発達障がい、特別支援教育）を読み、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：障がいをもつ人々と共に生きるために必要な考え方、様々な障がいの種類および支援体制についてレポートを作成する。

特別支援教育論

開講学科等：日英中 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

杉野　学（すぎの　まなぶ）

▌授業の概要

特別な支援を必要とする児童生徒の障害特性や状況等の理解、特別支援教育制度、教育課程編成、支援法について実践的な授業を行う。授業では、随時、グループディスカッションや発表を取り入れて、知的障害児や発達障害児を対象とした事例研究を行う。また、写真やビデオの視聴、学校で実践されている支援法、教材・教具の活用などを通して、障害理解と支援法の理解が深まるようにする。

▌到達目標

一般目標：・インクルーシブ教育システムを含めた特別支援教育制度の概要を説明できる。
・通常の学級にも在籍している発達障害児や軽度知的障害児等の障害特性や心身の発達及び学習・生活上の困難に対する支援を理解し事例を分析することができる。
・特別の支援を必要とする児童生徒の教育課程編成や個別の教育的ニーズに対して、他教員や関係機関と連携し組織的に対応するための知識や支援方法を理解し発表できる。
・知的障害児や発達障害児を対象とした事例研究を通して、特別の教育的ニーズのある児童生徒の障害特性や状況等の把握や支援について、概要を理解しグループディスカッションができる。

個別目標：・知的障害、発達障害等の特性や状況、特別の教育課程、教材・教具、保護者と連携した校内支援の知識を活かして、知的障害児や発達障害児の個々の事例に応じた具体的な校内支援や支援法を考えることができる。

▌履修条件

事例研究を通して、担任に求められる知的障害や発達障害の理解と支援、校内支援の方法について、実践的指導力を身に付けるため、教科書各章の事例を熟読し、障害理解、校内支援、教育課程、教材・教具の活用、指導法について理解を深めること。

▌評価基準・方法

事例研究 (70 %)、試験 (30 %)

▌フィードバック方法

事例研究の内容を、次回の授業の導入で再確認し、知的障害や発達障害の理解と支援や校内支援に関する実践的指導力を身に付ける。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループディスカッション、発表）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

エピソードでひもとく知的障害児の理解と支援　杉野学著、大学図書出版、1700 円 (税別)

▌参考書

特別支援学校学習指導要領、同解説

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：インクルーシブ教育システムを含めた特別支援教育制度の理解について** 授業内容：(1) インクルーシブ教育システム　(2) 特別支援教育の理念　(3) 事例研究 事前学修 2.0hr：インクルーシブ教育システムの概要を調べる 事後学修 2.0hr：特殊教育から特別支援教育への転換の要因とインクルーシブ教育の理念についてレポートする
2回	**授業テーマ：新教育要領、新学習指導要領、新特別支援学校学習指導要領における特別支援教育の内容** 授業内容：(1) 通常の学級、通級指導、特別支援学級の教育　(2) 小・中学部、高等部の教育　(3) 事例研究 事前学修 2.0hr：特別支援学校学習指導要領の改訂点を調べる 事後学修 2.0hr：障害のある児童生徒への多様な連続した教育の場についてレポートする
3回	**授業テーマ：障害のある児童生徒の心身の発達と心理的特性の理解** 授業内容：(1) 発達障害の特性　(2) 知的障害の特性　(3) 事例研究 事前学修 2.0hr：発達障害や軽度知的障害の概要を調べる 事後学修 2.0hr：発達障害や軽度知的障害の心身の発達と心理的特性についてレポートする
4回	**授業テーマ：発達障害や軽度知的障害のある児童生徒の学習・生活指導の理解** 授業内容：(1) 学級経営の基本的考え　(2) ＩＣＦの障害の捉えと学習・生活指導　(3) 事例研究 事前学修 2.0hr：発達障害や軽度知的障害の学習過程での困難や課題について調べる 事後学修 2.0hr：発達障害や軽度知的障害の学習過程での特徴についてレポートする
5回	**授業テーマ：視覚障害、聴覚障害、肢体不自由、病弱の学習・生活上の困難** 授業内容：(1) 各障害の障害特性　(2) 合理的配慮と基本的支援　(3) 事例研究 事前学修 2.0hr：視覚障害、聴覚障害、肢体不自由、病弱の学習・生活上の困難を調べる 事後学修 2.0hr：視覚障害、聴覚障害、肢体不自由、病弱の学習・生活上の困難についてレポートする
6回	**授業テーマ：特別の支援を必要とする児童生徒の教育課程及び支援法** 授業内容：(1) 特別支援学級　(2) 通級による指導　(3) 事例研究 事前学修 2.0hr：発達障害や軽度知的障害等に対する支援方法を調べる 事後学修 2.0hr：発達障害や軽度知的障害等に対する支援方法の事例を例示する
7回	**授業テーマ：通級による指導の教育課程上の位置づけと指導内容・方法** 授業内容：(1) 個別指導の指導事例　(2) 個別の指導計画作成・活用　(3) 事例研究 事前学修 2.0hr：通級による指導の教育課程上の位置づけの概要を調べる 事後学修 2.0hr：通級による指導の教育課程上の位置づけと指導内容・方法についてレポートする
8回	**授業テーマ：自立活動の教育課程上の位置づけと指導内容・方法** 授業内容：(1) 自立活動の内容 (6 区分 27 項目)　(2) 自立活動の指導方法　(3) 事例研究 事前学修 2.0hr：自立活動の教育課程上の位置づけと指導内容・方法の概要を調べる 事後学修 2.0hr：自立活動の 6 区分の指導内容と指導法についてレポートする
9回	**授業テーマ：個別の指導計画作成の意義と方法** 授業内容：(1) 個別の指導計画の意義　(2) 作成の手順　(3) 事例研究 事前学修 2.0hr：個別の指導計画の概要について調べる 事後学修 2.0hr：個別の指導計画の作成と活用についてレポートする

10回	**授業テーマ：個別の教育支援計画作成の意義と方法** 授業内容：(1) 個別の教育支援計画の意義　(2) 作成の手順　(3) 事例研究 事前学修 2.0hr：個別の教育支援計画の概要について調べる 事後学修 2.0hr：個別の指導計画と個別の教育支援計画の違いについてレポートする
11回	**授業テーマ：校内支援体制と特別支援教育コーディネーターの役割** 授業内容：(1) センター的機能の活用　(2) 教育相談　(3) 事例研究 事前学修 2.0hr：特別支援教育コーディネーターの役割について概要を調べる 事後学修 2.0hr：特別支援教育コーディネーターと校内支援体制についてレポートする
12回	**授業テーマ：校内委員会の設置と運営** 授業内容：(1) 校内委員会の意義　(2) 校内委員会の運営　(3) 事例研究 事前学修 2.0hr：特別支援教育に関する学校と関係機関や家庭との連携の方法について調べる 事後学修 2.0hr：校内委員会による支援体制についてレポートする
13回	**授業テーマ：障害はないが母国語や貧困の問題等のある児童生徒の学習・生活上の困難と対応** 授業内容：(1) 外国人児童生徒に対する教育の現状と課題　(2) 貧困対策と教育　(3) 事例研究 事前学修 2.0hr：特別支援学校学習指導要領上の取り扱いを調べる 事後学修 2.0hr：国や自治体の貧困対策、日本語指導の必要性についてレポートする
14回	**授業テーマ：母国語の課題のある幼児児童生徒に対する日本語指導** 授業内容：(1) 日本語指導に関する特別の教育課程編成　(2) 通級による指導　(3) 事例研究 事前学修 2.0hr：母国語の課題のある幼児児童生徒の教育の状況について調べる 事後学修 2.0hr：日本語指導に関する特別の教育課程と通級による指導についてレポートする
15回	**授業テーマ：貧困の問題のある幼児児童生徒の理解と教育的支援** 授業内容：(1) 貧困の社会的状況　(2) 社会的養護の状況　(3) 事例研究 事前学修 2.0hr：貧困と教育的ニーズとの関連について調べる 事後学修 2.0hr：貧困により社会的養護の必要な幼児児童生徒の状況についてレポートする

教育課程論

開講学科等：日英中 ｜ 2年次 ｜ 2単位 ｜ 開講期：後

遠藤　哲也（えんどう　てつや）

▌授業の概要

学校教育における教育課程（カリキュラム）の意義や構造、編成の原理を学ぶ。文部科学省の学習指導要領を基に、教育目標と内容の関連性、教育課程の編成と実施の実際を考察する。また、現代社会の教育課題やグローバル化、多様化する学びに対応した教育課程の在り方について理解する。講義では具体例や演習を通じて、教育課程を構築・運営する力を養うとともに、教育現場での実践的な視点を育成することを目的とする。

▌到達目標

一般目標：・教育課程の意義、目的、構成を理解する。
・学習指導要領を基にした教育課程編成の考え方を学ぶ。
・現代の教育課程に関する課題を分析し、教育現場での活用力を養う。

個別目標：1. 教育課程の基本構造とその背景を説明できる。
2. 学習指導要領に基づいた教育課程編成の理論と実践を理解する。
3. 教育課程の現代的課題を分析し、自分の考えを発表できる。

▌履修条件

教職への志を持ち、熱意ある学生であること。

▌評価基準・方法

・事前学修、グループ討議・発表、リフレクションペーパーの提出、授業への参加度・貢献度等の受講姿勢７０%、期末試験３０%の結果に基づき、総合的に評価する。
・５分の４以上の出席を評価の前提条件とし、欠席は減点する。

▌フィードバック方法

フィードバックは、課題の返却時の評価のほか、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ペアワーク、グループ協議の実施。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （PC（スマートフォン可）を利用した調べ学習。ICT を活用したマイクロ・ティーチングの実施。）

▌教科書

「新版　教育課程・方法論　コンピテンシーを育てる学びのデザイン」　松尾　知明　学文社

▌参考書

文部科学省「小学校学習指導要領解説　総則編」、「中学校学習指導要領解説　総則編」、「高等学校学習指導要領解説　総則編」

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション、第１章　資質・能力の育成と新しい教育課程** 授業内容：・授業の進め方と評価方法の説明 ・資質・能力の育成が課題となる背景 ・リテラシーからコンピテンシーへ 事前学修 2.0hr：テキストを概観し、教育課程について自分の考えをまとめておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
2回	**授業テーマ：第２章　学びのデザイナーとしての教師** 授業内容：１．カリキュラムのデザイナーとしての教師　２．反省的実践家としての教師　３．教えることを学ぶために 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の概要をまとめ、発表資料を作成する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
3回	**授業テーマ：第３章　カリキュラムをデザインする基礎知識** 授業内容：１．教育内容の選択　２．教育内容の組織化　３．学校の存在的機能 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の概要をまとめ、発表資料を作成する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
4回	**授業テーマ：第４章　授業をデザインする基礎知識** 授業内容：１．行動主義学習理論とカリキュラム　２．構成主義学習理論とカリキュラム　３．「何を知っているか」から知識を活用して「何ができるか」へ　４．Teaching から Learning へのパラダイム転換 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の概要をまとめ、発表資料を作成する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
5回	**授業テーマ：第５章　教育課程の意義と位置づけ** 授業内容：１．教育の目的と目標　２．教育課程の編成（各教科の編成と授業時数）　３．学習指導要領　４．学校レベルの教育課程の開発 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の概要をまとめ、発表資料を作成する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
6回	**授業テーマ：第６章　学習指導要領の変遷と資質・能力目標の展開** 授業内容：１．学習指導要領の歴史的変遷　２．指導要録の歴史的展開 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の概要をまとめ、発表資料を作成する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
7回	**授業テーマ：第７章　学習指導要領改訂のポイント** 授業内容：１．学習指導要領の方向性と枠組み　２．各学校におけるカリキュラム・マネジメントの実施　３．各学校段階、各教科における改定の具体的な方向性 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の概要をまとめ、発表資料を作成する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
8回	**授業テーマ：第８章　カリキュラム・マネジメントの意義と考え方** 授業内容：１．新学習指導要領とカリキュラム・マネジメント　２．カリキュラム・マネジメントの考え方　３．カリキュラム・マネジメントの４原則 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の概要をまとめ、発表資料を作成する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
9回	**授業テーマ：第９章　カリキュラム・マネジメントの進め方** 授業内容：１．資質・能力を育てるカリキュラムを逆向きにデザインする　２．パフォーマンスのレベルで資質・能力目標を設定し共通理解する　３．パフォーマンスを実現するための児童生徒の学びをデザインする　４．パフォーマンスをもとに PDCA サイクルを回し、指導計画を改善する 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の概要をまとめ、発表資料を作成する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。

10回	**授業テーマ：第 10 章　単元指導計画のデザインー学習活動の構想** 授業内容：1．教育の内容と学習活動　2．単元指導計画の開発　3．問題解決学習とは　4．単元指導計画の作成要領 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の概要をまとめ、発表資料を作成する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
11回	**授業テーマ：第 11 章　単元を通して育みたい資質・能力目標** 授業内容：1．教育目標の明確化と逆向きデザイン　2．単元設定の理由・単元の目標・パフォーマンス課題　3．単元指導計画の設定要領 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の概要をまとめ、発表資料を作成する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
12回	**授業テーマ：第 12 章　学力形成と評価の３観点** 授業内容：1．日本における学力論争　2．学力形成と評価の３観点　3．単元指導計画の作成要領(単元の評価規準の決定) 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の概要をまとめ、発表資料を作成する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
13回	**授業テーマ：第 13 章　アクティブ・ラーニングの考え方・進め方** 授業内容：1．アクティブ・ラーニングとは　2．授業の構成要素とアクティブ・ラーニング　3．子供の学びとアクティブ・ラーニング 4．個に応じた指導とアクティブ・ラーニング 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の概要をまとめ、発表資料を作成する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
14回	**授業テーマ：第 14 章　ICT 及び教材の活用** 授業内容：1．デジタル社会と学校教育　2．教師による ICT の効果的な活用　3．情報活用能力の育成　4．単元指導計画の作成要領(学習活動・支援の構想) 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の概要をまとめ、発表資料を作成する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
15回	**授業テーマ：第 15 章　真正の評価の考え方・進め方** 授業内容：1．真正の評価とは　2．測定中心の評価から問題解決の評価へ　3．資質・能力を育む教育評価の進め方　4．単元指導計画の作成要領(評価計画の構想、ルーブリックの書き方) 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の概要をまとめ、発表資料を作成する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。

道徳教育の理論と実践

開講学科等：日英中 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

山本　聖志 (やまもと　せいし)

▌授業の概要

「特別の教科　道徳」(道徳科)についての最新の資料と実践事例に基づき、「道徳教育の基礎的な原理」を身に付ける。また、道徳科の学習指導案を作成し、模擬授業を体験し、授業改善を図るなど、理解力と実践力をバランスよく育てる。

▌到達目標

一般目標：(1) 道徳教育の意義や原理に基づき、学校教育の目標や内容を理解する。
(2) 学校教育活動を通じて行う道徳教育及びその要となる道徳科における指導計画や指導方法を理解し、その作成ができる。
(3) 道徳科の授業の構成や展開を理解し、「考え、議論する」授業を実践できる。

個別目標：〇道徳とは何かを説明し、歴史的な流れや今日的な課題について捉えることができる。
〇子供の道徳性の発達について学び、学習指導要領に示された道徳教育及び道徳科について理解している。
〇学校における道徳教育の指導計画や教育活動全体での指導について理解している。
〇道徳科の学習指導案を様々な工夫を取り入れて作成することができる。
〇道徳科の授業を実践することができる。
〇道徳の評価の在り方について理解している。

▌履修条件

教職を目指す、熱意ある学生

▌評価基準・方法

・事前学修、グループ討議・発表、リフレクションペーパー提出、授業への参加度・貢献度、レスポンへの回答等の受講姿勢で７０%、期末試験３０%の結果に基づき、総合的に評価する。
・５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

・課題等のフィードバックは、レポートの返却及びその後の個別指導 (対面)、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ペアワーク、グループ協議の実施。模擬授業の実施。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （PC（スマートフォン可）を利用した調べ学習あり。ICT を活用した模擬授業の実施。）

▌教科書

文部科学省中学校学習指導要領解説　特別の教科道徳編 (平成 29 年 7 月告示)

▌参考書

適宜指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：学校教育における道徳及び道徳教育について** 授業内容：「道徳とは何か」、「道徳教育とは何か」について基本的な考え方を知る。 事前学修 2.0hr：中学校の道徳の時間で学んだ内容や資料についての情報を集めておく。 事後学修 2.0hr：本日の講義をまとめ、道徳教育の目指すものついての考えをまとめる。
2回	**授業テーマ：学習指導要領の変遷と道徳教育について** 授業内容：学習指導要領の変遷と道徳教育について知るとともに、改訂の趣旨及び背景を理解する。 事前学修 2.0hr：学習指導要領解説　特別の教科道徳編の第 1 章を読み、改訂の主旨をまとめておく。 事後学修 2.0hr：本日の講義をまとめ、道徳教育のこれからについての意見をもつ。
3回	**授業テーマ：道徳教育の基本的な在り方と道徳教育の目標について** 授業内容：道徳教育の基本的な在り方と道徳教育の目標及び各教科等における道徳教育について理解する。 事前学修 2.0hr：学習指導要領解説　特別の教科道徳編の第 2 章「道徳教育の目標」読み、各教科等における道徳教育について概要をつかむ。 事後学修 2.0hr：本日の講義をまとめ、各教科等で進める道徳教育への考えをまとめる。
4回	**授業テーマ：道徳科の目標について** 授業内容：「道徳科の目標」について、学習指導要領解説を読み、協議をしながら理解する。 事前学修 2.0hr：「道徳科」が新設された趣旨や背景について調べておく。 事後学修 2.0hr：本日の授業をもとに「道徳科の目標」について小レポートにまとめる。
5回	**授業テーマ：道徳科の内容について** 授業内容：道徳科の内容の捉え方、四つの視点、発達的特質に応じた内容構成の重点化について理解する。 事前学修 2.0hr：学習指導要領解説道徳編第３章「道徳科の内容」を読み概要を理解する。 事後学修 2.0hr：本日の授業をもとに「道徳科の内容」について小レポートにまとめる。
6回	**授業テーマ：指導計画の作成と内容の取り扱いについて** 授業内容：「指導計画作成の方針と推進体制の確立」「年間指導計画の意義と内容」「年間指導計画作成上の創意工夫と留意点」について理解する。 事前学修 2.0hr：学習指導要領解説道徳編第４章第１節「指導計画作成上の配慮事項」を読み、年間指導計画作成について概要を理解する。 事後学修 2.0hr：本日の授業をもとに道徳科の年間指導計画の内容について小レポートにまとめる。
7回	**授業テーマ：道徳科の指導 (1) 道徳科の指導の基本方針** 授業内容：「道徳科の指導の基本方針」「道徳科の特質を生かした学習指導の展開」「学習指導の多様な展開」について理解する。 事前学修 2.0hr：学習指導要領解説道徳編第４章第２節「道徳科の指導」を読み、指導の基本方針等の概要を理解する。 事後学修 2.0hr：本日の授業をもとに学習指導案についての知識を得る。
8回	**授業テーマ：道徳の授業指導 (2) 道徳の内容の理解と指導方法① (考え議論する道徳の授業を目指して)** 授業内容：「考え、議論する道徳」の授業の在り方を理解する。 事前学修 2.0hr：課題として示した、道徳の内容について分析し、自分の考えをまとめておく。 事後学修 2.0hr：本日の講義をまとめ、道徳の授業の進め方についてまとめる。
9回	**授業テーマ：道徳の授業指導 (3) 道徳の内容の理解と指導方法②** 授業内容：「考え、議論する道徳」の授業の指導方法等について理解するとともに、協議を通して深める。 事前学修 2.0hr：課題として示した道徳の内容について分析し、自分の考えをまとめておく。 事後学修 2.0hr：本日の講義をまとめ、指導案を作成できるように必要な事項をまとめる。

10回	**授業テーマ：道徳の授業指導 (4) 学習指導案の作成①「教材のねらいと分析」** 授業内容：教材のねらいと分析を通して、学習指導案の基本的な作り方を理解する。 事前学修 2.0hr：学習指導案の基本的なつくり方ついて、情報を集めておく。 事後学修 2.0hr：本日の講義をまとめ、次回一人一人が学習指導案の基本形を書けるようにする。
11回	**授業テーマ：道徳の授業指導 (5) 学習指導案の作成②「指導案の作成 (発問の作成)」** 授業内容：道徳授業における発問について考えるとともに、個人で学習指導案を作成する。 事前学修 2.0hr：前時に配布された資料から、指導案の流れ (発問の場面、発問の内容等を考えておく) 事後学修 2.0hr：本日の講義をまとめ、班ごとに授業内容の改善を考えておく。
12回	**授業テーマ：道徳の授業指導 (6) 模擬授業①「班を作り、模擬授業で使う学習指導案を完成させる」** 授業内容：各班で個人が作成した学習指導案を読み合い、模擬授業で使う学習指導案を完成させる。 事前学修 2.0hr：模擬授業の準備をしておく。 事後学修 2.0hr：班ごとに、模擬授業の学習指導案に沿って、準備・練習をする。
13回	**授業テーマ：道徳の授業指導 (7) 模擬授業②** 授業内容：模擬授業の実施(第 1 回)。 事前学修 2.0hr：班で授業時の役割分担に沿って、授業準備をしておく。 事後学修 2.0hr：本日の模擬授業を振り返り、改善点をまとめる。
14回	**授業テーマ：道徳の授業指導 (8) 模擬授業③** 授業内容：模擬授業の実施(第 2 回)。 事前学修 2.0hr：班で授業時の役割分担に沿って、授業準備をしておく。 事後学修 2.0hr：本日の模擬授業を振り返り、改善点をまとめる。
15回	**授業テーマ：道徳教育の評価、道徳の授業の評価と改善 (道徳科の評価)** 授業内容：「道徳科の授業に対する評価」について確認し、模擬授業における評価について協議する。 事前学修 1.0hr：学習指導要領解説第５章、第３節「道徳科の授業に対する評価」を読んでおく。 事後学修 4.0hr：道徳の授業の評価についてまとめておく。試験に対する学習をする。

「総合的な学習の時間」の指導法

開講学科等：日英中 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

遠藤　哲也 (えんどう　てつや)

▌授業の概要

・学習指導要領における「総合的な学習(探求)の時間」の位置づけや目的・内容を理解し、「総合的な学習(探求)の時間」における教師の指導的な役割を学ぶ。
・「総合的な学習(探求)の時間」において、具体的な実践を展開できる力を育成する。
・グループ協議や発表等を多く取り入れたアクティブ・ラーニングを通して、教師として備えるべき基礎的な実践力を身に付ける。

▌到達目標

一般目標：・「総合的な学習(探求)の時間」の意義や目標を理解する。
・学習指導要領を基にした「総合的な学習(探求)の時間」における指導計画や評価方法を学ぶ。
・教科等を越えて必要となる資質・能力の育成について理解する。
・生徒の主体的な学びを促す探求的学習のあり方を検討する。
個別目標：・「総合的な学習(探求)の時間」の意義や目標を説明することができる。
・主体的・対話的で深い学びを実現する「総合的な学習(探求)の時間」の単元指導計画を作成できる。
・探求的な学習を実現するための具体的な指導方法を活用できる。
・学習活動の評価及び適切なフィードバックができる。

▌履修条件

教職を目指す、熱意ある学生であること。

▌評価基準・方法

・事前学修、グループ討議・発表、リフレクションペーパーの提出、授業への参加度・貢献度等の受講姿勢７０%、期末試験３０%の結果に基づき、総合的に評価する。
・５分の４以上の出席を評価の前提条件とし、欠席は減点する。

▌フィードバック方法

・課題等のフィードバックは、レポート返却後の個別指導(対面)や学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ペアワーク、グループ協議の実施。グループによる単元指導計画の作成及び発表。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （PC（スマートフォン可)を利用した調べ学習。）

▌教科書

文部科学省「中学校学習指導要領」及び「中学校学習指導要領解説総合的な学習の時間編」
「実践　総合的な学習の時間の指導法」　代表著者　美谷島 正義　和田　孝 開隆堂　2020 年

▌参考書

文部科学省「高等学校学習指導要領」及び「高等学校学習指導要領解説総合的な探求の時間編」
※適宜資料等を配布する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーションと総合的な学習の時間の概要** 授業内容：・授業の目標と進め方の説明 ・「総合的な学習(探求)の時間」の背景・意義・役割の解説 事前学修 2.0hr：「総合的な学習(探求)の時間」について調べ、小レポートを作成する。 事後学修 2.0hr：「総合的な学習(探求)の時間」の意義・目標等について調べる。
2回	**授業テーマ：学習指導要領における「総合的な学習(探求)の時間」の位置づけ** 授業内容：・中学校学習指導要領の解説 ・「総合的な学習(探求)の時間」と他教科との違い 事前学修 2.0hr：中学校学習指導要領について調べ、小レポートを作成する。 事後学修 2.0hr：授業内容を受け、小レポートを修正する。
3回	**授業テーマ：「総合的な学習(探求)の時間」の歴史と背景** 授業内容：・「総合的な学習(探求)の時間」の創設から今日までを知る。 ・「総合的な学習(探求)の時間」の目標について協議する。 事前学修 2.0hr：「総合的な学習(探求)の時間」の変遷について調べ、小レポートを作成する。 事後学修 2.0hr：授業内容を受け、小レポートを修正する。
4回	**授業テーマ：「総合的な学習(探求)の時間」におけるテーマ設定の方法** 授業内容：・目標を実現するために適した探求課題はどのようなものか、について協議する。 ・「総合的な学習(探求)の時間」における環境、福祉、国際理解、キャリア教育等について知る。 事前学修 2.0hr：「目標を実現するために適した探求課題」について調べ、小レポートを作成する。 事後学修 2.0hr：授業内容を受け、小レポートを修正する。
5回	**授業テーマ：「総合的な学習(探求)の時間」の指導計画** 授業内容：・「総合的な学習(探求)の時間」の全体計画、年間指導計画、単元指導計画の作成について知る。 ・「総合的な学習(探求)の時間」の単元指導計画の意義と作成の仕方について知る。 事前学修 2.0hr：「総合的な学習(探求)の時間」の全体計画、年間指導計画について調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容を受け、全体計画、年間指導計画について小レポートにまとめる。
6回	**授業テーマ：「総合的な学習(探求)の時間」の単元指導計画の作成に向けて** 授業内容：・「総合的な学習(探求)の時間」における単元指導計画の留意点を整理する。 ・「総合的な学習(探求)の時間」における単元指導計画の実践事例を知る。 事前学修 2.0hr：総合的な学習(探求)の時間」における単元指導計画の留意点について調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容を受け、単元指導計画の留意点について小レポートにまとめる。
7回	**授業テーマ：「総合的な学習(探求)の時間」の単元指導計画の作成に係る情報リテラシー** 授業内容：・調査、情報収集、発信(発表)における情報リテラシーの重要性について知る。 ・調査、情報収集、発信の方法について協議する。 事前学修 2.0hr：情報リテラシーについて調べ、小レポートを作成する。 事後学修 2.0hr：授業内容を受け、小レポートを修正する。

8回	**授業テーマ：「総合的な学習(探求)の時間」の単元指導計画の作成１** 授業内容：・「探求課題」「単元のねらい」「単元のめあて」「全体課題」についてグループ協議をする。 ・「小単元」についてグループ協議をする。 事前学修 2.0hr：「探求課題」「単元のねらい」「単元のめあて」「全体課題」を作成する。 事後学修 2.0hr：授業での協議を受け、単元指導計画案をグループで作成する。
9回	**授業テーマ：「総合的な学習(探求)の時間」の単元指導計画の作成２** 授業内容：・単元指導計画案について協議する。 ・発表方法や発表における役割分担について協議する。 事前学修 2.0hr：単元指導計画案をグループで作成する。 事後学修 2.0hr：授業で作成した単元指導計画について、グループで発表準備をする。
10回	**授業テーマ：「総合的な学習(探求)の時間」の単元指導計画の発表１** 授業内容：・グループごとに作成した単元指導計画を発表する。 ・発表活動や成果についての質疑応答を基に、協議を深める。 事前学修 2.0hr：発表後における質問を想定し、その回答を考える。 事後学修 2.0hr：発表と質疑応答から学んだことを小レポートにまとめる。
11回	**授業テーマ：「総合的な学習(探求)の時間」の単元指導計画の発表２** 授業内容：・グループごとに作成した単元指導計画を発表する。 ・発表活動や成果についての質疑応答を基に、協議を深める。 事前学修 2.0hr：発表後における質問を想定し、その回答を考える。 事後学修 2.0hr：発表と質疑応答から学んだことを小レポートにまとめる。
12回	**授業テーマ：発表の振り返りと改善点の整理** 授業内容：・単元指導計画の発表を通して改善点を整理し、単元指導計画や発表方法を修正する。 事前学修 2.0hr：単元指導計画の発表を通して新たに気づいた「改善点」について、自分の考えを小レポートにまとめる。 事後学修 2.0hr：授業での協議を受け、小レポートを修正する。
13回	**授業テーマ：「総合的な学習(探求)の時間」と他教科・領域の連携** 授業内容：・他教科との関連性を活かした「総合的な学習(探求)の時間」の事例を知る。 ・他教科との関連性を活かした「総合的な学習(探求)の時間」についてグループで授業事例を考察する。 事前学修 2.0hr：他教科との関連性を活かした「総合的な学習(探求)の時間」の事例を調べ、小レポートにまとめる。 事後学修 2.0hr：授業での協議を受け、小レポートを修正する。
14回	**授業テーマ：「総合的な学習(探求)の時間」についての配慮事項** 授業内容：・「総合的な学習(探求)の時間」における望ましい「学習活動」「体験(的)活動」「学習評価」について協議する。 事前学修 2.0hr：「総合的な学習(探求)の時間」における望ましい学習活動について、自分を考えを小レポートにまとめる。 事後学修 2.0hr：授業での協議を受け、小レポートを修正する。
15回	**授業テーマ：授業の総括と「総合的な学習(探求)の時間」のおける指導力向上への課題** 授業内容：・「総合的な学習(探求)の時間」の指導法についての総まとめを行う。 ・「総合的な学習(探求)の時間」の指導力向上に向けて、自身の課題について考え、全体に共有する。 事前学修 2.0hr：今までの学修内容を振り返る。 事後学修 2.0hr：「総合的な学習(探求)の時間」について学んだことや今後の課題についてまとめ、レポートを作成する。

特別活動論

開講学科等：日英中 ｜ 2年次 ｜ 2単位 ｜ 開講期：後

西貝　裕武 (にしがい　ひろむ)

▌授業の概要

・学習指導要領を踏まえ、教育課程における特別活動の意義・目的・内容を理解し、特別活動における教師の指導的役割について学ぶ。
・ホームルーム・学級指導、生徒会活動、学校行事についてその意義を理解するとともに、学校教育での具体的実践を展開できる力を育成する。
・能動的な学修形態をとり、グループ討議・発表を取り入れて、教師として備えるべき基礎的な実践力を身につける。

▌到達目標

一般目標：・特別活動の目標や内容を理解し、豊かな人間関係づくりを行うホームルーム・学級経営の重要性を理解する。
・豊かな人間関係づくりを構築するホームルーム・学級活動の指導計画を作成するために必要な視点を身に付ける。
・未来社会の形成者となる児童・生徒の資質・能力を育むという認識のもと、自らが理想とする教師像を描く。
個別目標：・「生きる力」を育むためには、学級経営の充実が不可欠であることを自分の言葉で説明できる。
・生徒会活動や学校行事の意義や目的を理解し、教師の役割を理解し、実践できるようになる。
・自分の考えや意見を根拠をもって発表したり、小論文等で論述できるようになる。

▌履修条件

・教職を目指す、熱意ある学生。

▌評価基準・方法

・事前学修、グループ討議・発表、リフレクションペーパー等による授業への参加度・貢献度７０%、期末試験３０%の結果に基づき、到達目標の達成度を総合的に評価する。
・５分の４以上の出席を評価の前提条件とし、欠席は減点する。

▌フィードバック方法

・課題等のフィードバックは、返却後の個別指導 (対面)や学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ペアワーク、グループ協議の実施。マイクロ・ティーチングの実施。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （PC（スマートフォン可)を利用した作業あり。）

▌教科書

・文部科学省『中学校学習指導要領』及び『中学校学習指導要領解説特別活動編』(必ず購入すること)
・文部科学省『高等学校学習指導要領』及び『高等学校学習指導要領解説特別活動編』(文部科学省のサイトからダウンロード可)

▌参考書

・国立教育政策研究所教育課程研究センター『特別活動　指導資料　学校文化を創る特別活動【中学校・高等学校編】』
(文部科学省のサイトからダウンロード)

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション及び特別活動とは何かを考える** 授業内容：アイスブレイク・自己紹介をする。 「授業の概要」「目標」「学修計画」「授業の進め方及び確認事項」を知る。 特別活動の目標について小中高の経験に基づき考える。 事前学修 2.0hr：受講生の特別活動の経験について簡潔に発表できるようにまとめる。 事後学修 2.0hr：講義内容や配布された資料についてまとめる。
2回	**授業テーマ：特別活動の中学校・高等学校学習指導要領における位置づけ** 授業内容：学習指導要領の変遷を振り返り、教育課程における特別活動の位置づけについて知る。 特別活動の概要について知る。 事前学修 2.0hr：学習指導要領解説・特別活動「特別活動の目標」を読み、特別活動の概要について小レポートにまとめる。 事後学修 2.0hr：授業の内容を受け、小レポートの内容を修正する。
3回	**授業テーマ：学級活動・ホームルーム活動１ー目的と自主性・自発性の育成ー** 授業内容：学習指導要領解説の該当箇所を読み取り、その後、グループで協議する。 グループ協議の結果を発表する。 事前学修 2.0hr：学習指導要領解説特別活動編「学級活動・ホームルーム活動」を読み、その重要性について小レポートにまとめる。 事後学修 2.0hr：授業内容を受け、小レポートを修正する。
4回	**授業テーマ：学級活動・ホームルーム活動２ー学級・学校文化を創るー** 授業内容：1 年後の学級の姿を見据え、第１回のホームルーム活動・学級活動の時間において教師としての自己紹介を含め、どのように展開するか個人で考える。その後、グループで協議しまとめる。 事前学修 2.0hr：第１回目の学級活動・ホームルーム活動(生徒が自己紹介し、学級の仲間として活動する際の目標など) について考えてくる。 事後学修 2.0hr：授業内容を受け、第 1 回目の学級活動・ホームルーム活動の時間をどのように展開するかを小レポートにまとめる。
5回	**授業テーマ：学級活動・ホームルーム活動３ー学級経営の具体１(具体的な学級開きの方法を考え、グループ発表) ー** 授業内容：前時のグループ協議に基づき、第１回目の学級活動・ホームルーム活動(の一部分)を教師になったつもりで実際に行う。 事前学修 2.0hr：第１回目の学級活動・ホームルーム活動での教師の指導の仕方を考えてくる。 事後学修 2.0hr：授業で行った内容について、気付きや新たなアイデアを小レポートにまとめる。
6回	**授業テーマ：学級活動・ホームルーム活動４－学級経営の具体２(よりよい学級づくりをスタートする)** 授業内容：学級がうまくいくとはどのようなことかを協議し、学級目標の決め方や学級組織の在り方等について考える。 新学期のよりよい学級づくりのスタートについて具体的な方策を考える。 事前学修 2.0hr：中学・高校時代の経験を思い起こして、生徒にとってよい学級とはどのようなものか考えてくる。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、学級がうまくいくとはどのような状態なのか？ について小レポートにまとめる。
7回	**授業テーマ：学級活動・ホームルーム活動５ー学級活動の内容ー** 授業内容：学級活動・ホームルーム活動における「育成を目指す資質・能力の例」「課題・活動・取組の例」「配慮点・留意点」について考え、協議する。 事前学修 2.0hr：学習指導要領の「学級活動の内容」について読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を受け、「育成を目指す資質・能力の例」「課題・活動・取組の例」「配慮点・留意点」について、小レポートにまとめる。
8回	**授業テーマ：学級活動・ホームルーム活動６ー話し合い活動の充実・発展ー** 授業内容：学級活動・ホームルーム活動における話合い活動の在り方を「事前指導」「本時の活動」「事後指導」の視点から考える。題材例「いじめや暴力のない学級・学校づくり」 事前学修 2.0hr：題材例について、どのような話合い活動を行うかを理由とともに考え、小レポートにまとめる。 事後学修 2.0hr：授業内容を受け、話合い活動の在り方を「事前指導」「本時の活動」「事後指導」の視点でまとめ直す。

9回	**授業テーマ：生徒会活動１ー生徒会活動の目標ー** 授業内容：学習指導要領の「生徒会活動の目標」を読み、「生徒会活動とは何か」「生徒会活動の重要性」について考える。 事前学修 2.0hr：学習指導要領の「生徒会活動の目標」を読み、概要をつかんでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を受け、「生徒会活動とは何か」「生徒会活動の重要性」について、小レポートにまとめる。
10回	**授業テーマ：生徒会活動２ー生徒会活動の実際ー** 授業内容：生徒会担当教員となったと仮定し、どのような活動を実践するかについて協議する。 事前学修 2.0hr：中学校・高校時代の生徒会活動について思い出し、その活動の意味について、自分なりに考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：授業の協議で出された生徒会活動によって育成する資質や能力について、小レポートにまとめる。
11回	**授業テーマ：学校行事１ー学校行事の目標ー** 授業内容：学校行事の目標について知る。 学校行事においてどのような資質・能力を育成するかを考える。 事前学修 2.0hr：学習指導要領の「学校行事の目標」を読み、概要をつかんでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を受け、「学校行事の重要性」について、小レポートにまとめる。
12回	**授業テーマ：学校行事２ー学校行事の内容ー** 授業内容：学校行事の内容「儀式的行事」「文化的行事」「健康安全・体育的行事」「旅行・集団宿泊的行事」「勤労生産・奉仕的行事」について知る。 事前学修 2.0hr：学習指導要領の「学校行事の内容」を読み、概要をつかんでおく。 事後学修 2.0hr：「学校行事の内容」から一つを選び、育成する資質や能力について、小レポートにまとめる。
13回	**授業テーマ：学校行事３ー学校行事における教師の役割ー** 授業内容：学校行事を一つ選定し、その行事において教師はどのように動くべきかについて、グループで協議する。 事前学修 2.0hr：中高時代の学校行事における教師の動きを思い出し、その意味について考えてくる。 事後学修 2.0hr：授業で協議した学校行事における教師の動きについて、その意味を含めて小レポートにまとめる。
14回	**授業テーマ：パネル・ディスカッション** 授業内容：学校現場で行われているパネル・ディスカッションを経験する。 テーマ例「私たちにできるいじめ防止」 事前学修 2.0hr：パネル・ディスカッションのテーマ(例：私たちにできるいじめ防止)について、自分の考えを小レポートにまとめる。 事後学修 2.0hr：パネル・ディスカッションから学んだことについて、小レポートにまとめる。
15回	**授業テーマ：特別活動論の総まとめ** 授業内容：特別活動論の総まとめを行う。 ・本講座受講前と受講後での認識の違い。 ・育成すべき資質・能力とその理由を再確認する。 事前学修 2.0hr：今までの学修内容を見直す。 事後学修 3.0hr：特別活動論のまとめのレポートを作成する。

教育方法論

開講学科等：日英中 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

遠藤　信一（えんどう　しんいち）

▌授業の概要

教育方法に関する教育学や教育工学で用いられる基礎的な理論を学び，授業設計や教授スキル，生成 AI を含む多種の教材開発・利活用などについて，具体的な実践から学ぶ。その際，見方・考え方の指導，問題解決能力の指導・育成方法，主体的・対話的で深い学びを実現できるような授業を設計出来ることを目標とする。なお，総合的な探究の時間を念頭に置き，教育用カードゲーム・ICT 教材，これらを用いた指導方法などについて設計・実践する。本授業では，授業担当教員が高校教員として携わった経験，研究開発など先進的な教育研究を申請してきた経験を適宜取り扱う。

▌到達目標

一般目標：教育の方法や技術に関する理論を学び，教材の利活用についての理論と実践に対する認識を深め，それらを実際に利活用するための「授業設計能力」「実践的指導力」の基盤を培うことを目的とする。
生成 AI，ICT 教材，教育用カードゲームの設計や指導方法を習得する。

個別目標：1)これからの社会を担う生徒に求められる資質・能力を理解し，教育方法のあり方を理解している
2)学習指導案の基本的な要素，各視点と作成の流れを理解し，実際に設計できる
3)教授スキルなど基本的な指導技術を身につけている
4)様々な教材(教育用カードゲームやＩＣＴ教材など)の活用方法を理解する
5) ICT を活用する意義や理論を理解し，教材等を作成・提示することができる
6)情報活用能力(情報モラル・生成 AI を含む)を育成する指導法を理解する

▌履修条件

教職課程履修者とする

▌評価基準・方法

授業中に指示する Worksheet（5 点× 6 回＝ 30 点），プレゼンテーションスライドの作成(35 点），発表・模擬授業(35 点)とする。(なお，合理的配慮申請がされている場合には相談の上決める。)
プレゼンテーションスライドのファイル提出をもって，レポート提出とする。

▌フィードバック方法

各授業中に，適宜フィードバックを行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （プレゼンテーション作成・発表をグループワークで実施する）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （グループでの話合い，発表等で利用する）

▌教科書

特に使用しない
必要な場合には授業内で指示する

▌参考書

中学校学習指導要領(平成 29 年告示 文部科学省)，高等学校学習指導要領(平成 30 年告示 文部科学省) (文部科学省のホームページで入手出来る)
稲垣忠編著(2022)教育の方法と技術 Ver.2: ID と ICT でつくる主体的・対話的で深い学び、北大路書房　ISBN-13:978-4762832123（購入は必須ではない）

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション，これからの子どもたちに育みたい資質・能力** 授業内容：学校現場において必要とされるものは何か，求められる「学力」について，これからの社会を生きていくために求められる力について考える。教育の方法として何を学ぶ必要があるのかを学ぶ。 事前学修 2.0hr：シラバスに目を通してくる 事後学修 2.0hr：これからの子どもたちに何を身につけたいのか，各自の学習活動のアイデアを整理する
2回	**授業テーマ：教師に求められる授業力，教育評価の理論** 授業内容：これからの教師に求められる資質・能力とは何か，教師の役割とは何かを考える。また，教育方法に関して，教育の過程(教育の目的・内容・評価，指導の方法・条件等)について学ぶ。また，教育方法に関して，教育の過程(教育の目的・内容・評価，指導の方法・条件等)について学ぶ。 事前学修 2.0hr：理想の教師像について自分の考えをもつ 事後学修 2.0hr：教育の目的・内容・評価、指導の方法・条件に関してまとめる
3回	**授業テーマ：教育方法の基礎的理論・授業づくり(学習指導)のプロセス，指導するためのプレゼンテーションスキル(1)** 授業内容：教員として「主体的・対話的で深い学び」を実現する教育方法と授業づくりについて考える。その際，プレゼンテーション技法をどのように生徒に指導するのか，明海大学ならではのメソッドを習得する。 事前学修 2.0hr：学修の基礎ⅠやⅢ b での学びを復習する 事後学修 2.0hr：グループをつくり，制作する授業テーマと学習目標を考える
4回	**授業テーマ：学習評価をデザインする・目標・指導・評価の一体化，指導するためのプレゼンテーションスキル(2)** 授業内容：学習の成果を測る方法＝評価に対する考え方を学び，目標に合わせた評価方法について学ぶ。また，明海大学ならではの問題解決メソッドにより，ポスター発表を指導するためのスキルを学び，実際に具体的なテーマでの指導をシミュレーションする。 事前学修 2.0hr：与えられた課題について，グループを作り構想を始める。 事後学修 2.0hr：ポスターの作成
5回	**授業テーマ：生徒を指導するためのプレゼンテーションスキル(3)，学習環境のデザインとデジタル化** 授業内容：ポスター発表を行い，教員としての指導方法をグループで発表する。 社会全体のＤＸ化が進む中で，学習環境にはどのような影響があり，目的に応じて，どのようにデザインすれば良いのかを考える。 事前学修 2.0hr：授業企画書を作成する 事後学修 2.0hr：Worksheet を完成させ，送信する。
6回	**授業テーマ：授業を支える指導技術(教師による ICT 活用を含む)** 授業内容：授業の際に教師は何に気をつけているのか，設計した授業を現実の授業に反映するための方策について考える。また，情報機器(PC，実物投影機，電子黒板等)が授業でどのように活用されているかを知る。 事前学修 2.0hr：高校時代の授業を 1 つ選び，教師のふるまいについて気づいたことをまとめる 事後学修 2.0hr：チーム内で 3 分スピーチを相互に行い，話し方の癖を検討する

7回	**授業テーマ：学習者の多様性・学びを引き出す指導技術(ICT 教材の活用)(1)** 授業内容：「主体的・対話的で深い学び」を実現する指導技術について，ICT 教材を活用した指導のポイントを先行研究を踏まえながら具体的な事例をもとに学ぶ。 事前学修 2.0hr：高校時代の授業を振り返り，担当教師の学生との関わり方について気づいたことをまとめる 事後学修 2.0hr：チーム内で ICT 教材案を提案する
8回	**授業テーマ：学習者の多様性・学びを引き出す指導技術(教育用カードゲームの活用)(2)** 授業内容：「主体的・対話的で深い学び」を実現する指導技術について，教育用カードゲーム教材を活用した指導のポイントを先行研究を踏まえながら具体的な事例をもとに学ぶ。 事前学修 2.0hr：カードゲームによって何が得られるのか考える 事後学修 2.0hr：カードゲームの案について考える
9回	**授業テーマ：学習者の多様性・学びを引き出す指導技術(ゲーム型教材の設計)(3)** 授業内容：ICT 教材，またはアナログゲーム(ボードゲームやカードゲーム)を情意的な学習場面で用いる場合の授業設計を行い，プレゼンテーションスライドを作成し，発表する。 事前学修 2.0hr：グループを作っておく。提案内容について考えてくる。 事後学修 3.0hr：発表時の質問や指導事項をまとめる。Worksheet を完成させ，送信する。
10回	**授業テーマ：学習指導案をつくる (1)「主体的・対話的で深い学び」を実現する学習過程** 授業内容：「主体的・対話的で深い学び」を実現するためのグループ学習を充実させるためのポイント，協働学習のデザインや対話を支える教育方法について学ぶ。簡単な協働学習を模擬的に実施する。また，「主体的・対話的で深い学び」を実現するインストラクショナルデザインについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：簡単なグループ学習の事例と目標を書き出す 事後学修 2.0hr：テーマについて 1 時間の学習指導案を作成する
11回	**授業テーマ：学習指導案をつくる (2) 学びが見える評価方法と学習履歴データの活用** 授業内容：目標がどれだけ実現出来たのか，目標が設定出来ていれば評価は明確である。教育評価のもつ意味を再確認し，学習過程における評価場面、評価者の役割，ルーブリック等，インフォームドな対応と客観的な評価方法について学ぶ。 事前学修 2.0hr：テスト問題の実例を吟味し，どのような学習目標の評価なのか考えてくる 事後学修 2.0hr：評価計画を作成する
12回	**授業テーマ：授業の魅力を高める各教科における ICT・デジタルコンテンツの活用** 授業内容：生徒の興味・関心を高めるために ICT やデジタル教材を活用することは有効である。研究開発学校の先進的な事例を示しながら，ICT の特徴を理解し，学びのスタイルに応じた適切な活用方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：講義者が実践していた ICT 教材を体験し，メリットと課題についてメモする 事後学修 2.0hr：実際に ICT 機器を操作体験し，活用の可能性を検討する
13回	**授業テーマ：教科を横断して情報活用能力(情報モラルを含む)を育てる，AI 利活用事例紹介** 授業内容：情報社会を生きる力である「情報活用能力」は、すべての教科・領域の学習に関わる資質・能力である。情報モラルの配慮しながら，教科横断的で汎用的な情報活用能力を育てるにはどのような授業・学習活動をデザインすればよいのかを学ぶ。また「生成 AI100 校プロジェクト」など AI 利活用事例を紹介する。 事前学修 2.0hr：情報活用能力についてまとめる 事後学修 2.0hr：学習者が意識すべき情報活用能力について検討する
14回	**授業テーマ：これからの学習環境・校務の効率化を支えるテクノロジーの役割** 授業内容：SDGs の取組に積極的な企業を取材する高校生の具体的な事例を通して，「授業」の枠を越えた学び，ＩＣＴを活用する意義について考える。また，逆向き設計理論など，新たな学びと教育のＤＸ化，生成 AI の利活用について考える。 事前学修 2.0hr：逆向き設計の事例について考える 事後学修 2.0hr：今後の学校の ICT 環境における教師の役割について自分の考えをまとめる
15回	**授業テーマ：本授業のまとめ　ICT，教育用カードゲームを活用した授業設計，授業の改善・授業のまとめ** 授業内容：これまでに学んできた教育方法について，具体的にどのように実施するのか考える。模擬授業を行い，振り返ることでより良い授業へと改善を促す。 事前学修 2.5hr：模擬授業の準備をする 事後学修 2.0hr：授業内容をふりかえり，提出する

生徒指導・進路指導論

開講学科等：日英中 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

浅田　勉（あさだ　つとむ）

▌授業の概要

「生徒指導とは何か」「進路指導(キャリア教育)とは何か」について、「生徒指導提要」や「高等学校キャリア教育の手引き」を踏まえて学校における生徒指導及び進路指導の意義・目的・課題・指導方法などを学ぶ。この科目では、学生に対して、喫緊の生徒指導・進路指導(キャリア教育)上の課題を事例を通しながら理解させるとともに、担任として、学校組織として、生徒の健全育成や進路実現を図るための基本的な知識と幅広い視野を持たせる。授業では、学修者の能動的な学修への参加を重視するため、学生は、グループにおける事前学修、それに基づいた発表を行い、生徒指導・進路指導に関する学びを深めていく。

▌到達目標

一般目標：1　生徒指導及び進路指導(キャリア教育)の基礎的、基本的な事項を理解することができる。
2　生徒の在り方生き方について、助言、援助、指導するといった、生徒指導の役割を理解することができる。
3　生徒を理解する上での基本的な知識や考え方を身に付け、そのことを発表したり、小論文等で述べることができる。

個別目標：1　教師の使命感をもち、生徒指導・進路指導(キャリア教育)だけではなく、教育の歴史的推移、国内外の教育改革の動向を理解することができる。
2　教育の在り方に関することや学校教育についての基礎的な知識と幅広い視野を持つことができる。
3　授業を通して学友の話を聞きながら、自分の考えを適宜修正し自らの考えを主張できる。

▌履修条件

将来、教員になることを志し、教職課程を履修する熱意のある学生。
「教師論」「教育原理」のうち、Ｉ科目以上の単位を修得していることが望ましい。

▌評価基準・方法

授業への参加姿勢及び貢献度、グループ討議や発表、提出物等を７０%、定期試験の結果を３０%とし、総合的に評価する。５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。欠席・遅刻等については減点とするなど、厳格に対応する。

▌フィードバック方法

学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク　プレゼンテーション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Microsoft office 搭載のモバイル PC を必要に応じて使用する。）

▌教科書

1　文部科学省『生徒指導提要』(令和４年１２月)
2　文部科学省『高等学校キャリア教育の手引き』(平成２３年１１月)
※2については文部科学省のＨＰから必要な部分をダウンロードする。

▌参考書

授業の中で適宜配付する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション（本授業の目的と概要、計画）** 授業内容：本授業の目的と概要を理解し、半期の学びの流れを知り、見通しを持つ。 生徒指導と生活指導の違い、進路指導とキャリア教育の違いについて考察、協議し、共有する。 事前学修 2.0hr：シラバスに基づいて、本授業の目的と概要、計画についてあらかじめ確認しておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
2回	**授業テーマ：生徒指導１(生徒指導の基礎)** 授業内容：「生徒指導の意義」「生徒指導の方法」等、「生徒指導の基礎」について理解し、疑問点等について協議する。 事前学修 2.0hr：『生徒指導提要』第 1 章を読んで、その概要を理解しておく。各自疑問点をまとめておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
3回	**授業テーマ：生徒指導２(生徒指導と教育課程)** 授業内容：「教科の指導と生徒指導」「特別活動における生徒指導」等、「生徒指導と教育課程」について理解し、疑問点等について協議する。 事前学修 2.0hr：『生徒指導提要』第２章を読んで、その概要を理解しておく。各自疑問点をまとめておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
4回	**授業テーマ：生徒指導３(いじめ)** 授業内容：「いじめ防止対策推進法等」「いじめ防止等の対策のための組織と計画」等、「いじめ」対応について理解し、疑問点等について協議する。 事前学修 2.0hr：『生徒指導提要』第４章を読んで、その概要を理解しておく。各自疑問点をまとめておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
5回	**授業テーマ：生徒指導４(児童虐待)** 授業内容：「児童福祉法・児童虐待の防止等に関する法律等」「児童虐待の発見」「児童虐待の通告」等、「児童虐待」対応について理解し、疑問点等について協議する。 事前学修 2.0hr：『生徒指導提要』第７章を読んで、その概要を理解しておく。各自疑問点をまとめておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
6回	**授業テーマ：生徒指導５(自殺)** 授業内容：「自殺対策基本法等」「自殺予防のための学校の組織体制と計画」等、「自殺」」防止への対応について理解し、疑問点等について協議する。 事前学修 2.0hr：『生徒指導提要』第８章を読んで、その概要を理解しておく。各自疑問点をまとめておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
7回	**授業テーマ：生徒指導６(中途退学)** 授業内容：「中途退学の関連法規と基本方針」「中途退学に至る予兆の早期発見・対応」等、「中途退学」防止への対応について理解し、疑問点等について協議する。 事前学修 2.0hr：『生徒指導提要』第９章を読んで、その概要を理解しておく。各自疑問点をまとめておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
8回	**授業テーマ：生徒指導７(不登校)** 授業内容：「不登校に関する関連法規・基本指針」「不登校対応に求められる学校の組織体制と計画」等、「不登校」対応について理解し、疑問点等について協議する。 事前学修 2.0hr：『生徒指導提要』第１０章を読んで、その概要を理解しておく。各自疑問点をまとめておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。

9回	**授業テーマ：生徒指導８(インターネット・携帯電話に関わる問題)** 授業内容：「関連法規・基本方針等」「インターネット問題への組織的取組」等、「インターネット・携帯電話に関わる問題」への対応について理解し、疑問点等について協議する。 事前学修 2.0hr：『生徒指導提要』第１１章を読んで、その概要を理解しておく。各自疑問点をまとめておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
10回	**授業テーマ：生徒指導９(多様な背景を持つ児童生徒への生徒指導)** 授業内容：「発達障害に関する理解と対応」「支援を要する家庭状況」等、「多様な背景を持つ児童生徒への生徒指導」について理解し、疑問点等について協議する。 事前学修 2.0hr：『生徒指導提要』第１３章を読んで、その概要を理解しておく。各自疑問点をまとめておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
11回	**授業テーマ：進路指導(キャリア教育)１(キャリア教育とは何か)** 授業内容：「キャリア教育の必要性と意義」「小学校や中学校におけるキャリア教育」等、「キャリア教育とは何か」について理解し、疑問点等について協議する。 事前学修 2.0hr：『高等学校キャリア教育の手引き』第１章を読んで、その概要を理解しておく。各自疑問点をまとめておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
12回	**授業テーマ：進路指導(キャリア教育)２(高等学校におけるキャリア教育の推進のために１)** 授業内容：「校内組織の整備の推進」「年間指導計画の作成」等、「高等学校におけるキャリア教育の推進のために」何が求められているかについて理解し、疑問点等について協議する。 事前学修 2.0hr：『高等学校キャリア教育の手引き』第２章第１章から第４章を読んで、その概要を理解しておく。各自疑問点をまとめておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
13回	**授業テーマ：進路指導(キャリア教育)３(高等学校におけるキャリア教育の推進のために２)** 授業内容：「連携の推進」「効果的なインターンシップの在り方」等、「高等学校におけるキャリア教育の推進のために」何が求められているかについて理解し、疑問点等について協議する。 事前学修 2.0hr：『高等学校キャリア教育の手引き』第２章第５章から第７章を読んで、その概要を理解しておく。各自疑問点をまとめておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
14回	**授業テーマ：進路指導(キャリア教育)４(高等学校におけるキャリア教育の実践)** 授業内容：「高等学校におけるキャリア発達」「入学から卒業までを見通した系統的なキャリア教育の取組」等、「高等学校におけるキャリア教育の推進の実践」について理解し、疑問点等について協議する。 事前学修 2.0hr：『高等学校キャリア教育の手引き』第３章を読んで、その概要を理解しておく。各自疑問点をまとめておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
15回	**授業テーマ：生徒指導・進路指導(キャリア教育)全体のまとめ** 授業内容：生徒指導・進路指導(キャリア教育)を実践するに当たった自己の課題を発表し、協議を通じて解決策を見出す。 事前学修 2.0hr：授業を振り返り生徒指導・進路指導(キャリア教育)に関する基礎的事項を整理するとともに、自己の課題を明確にする。 事後学修 2.0hr：これまでの授業を振り返り、定期考査に向けて準備を進める。

教育相談

開講学科等：日英中 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

樋口　倫子 (ひぐち　のりこ)

▌授業の概要

児童や生徒は、様々な問題に直面しながら、成長していく存在である。教育相談は、児童や生徒が自己理解を深め、周囲とあるがままの良さを理解し尊重し合える関係を構築していく過程を支援する教育活動である。そのため、本科目では児童や生徒の発達課題や心理的特性を踏まえ、「問題とは、意味を問い直す機会」と捉えた支援の思想と実践を学ぶ。

▌到達目標

一般目標：本科目では、教育相談やカウンセリングの基本的な理論(目的、方法、学内外の連携など)を理解し、実践的な対話力と援助力を身につけることを目的とする。また、援助者は児童や生徒とのかかわりの中で自分自身の持つ課題と直面することになる。そのため、支援者としての課題に気づき、その意味を見つめ自己成長を図ることにも挑戦する。

個別目標：１)教育相談に必要な臨床心理学の理論と概念および教育相談の意義や課題が理解できる。
２)教育相談を進める際に必要な基礎的知識、基本姿勢を理解する。
３)教育相談の具体的な進め方と対応の要点、学内外の組織的な連携が理解できる。
４)幼児、児童および生徒の不適応行動や症状に対し、発達課題や教育的課題に応じた教育相談の展開法を選択できる。

▌履修条件

教職志望学生とする。義務教育教員を志望しない場合にも、協働学習に対して意欲的に参加することを希望します。
対話的な関係をつくるために、相手の話を聞く姿勢を求めます。

▌評価基準・方法

質問や発言などによる講義への参加度(20 %)とレポート課題(50%)および試験(30 %)によって総合的に評価します。

▌フィードバック方法

講義終了時の質疑応答、次回講義冒頭での課題についての全体コメント、manaba 上での個別コメントによる。
理解が不十分な場合には、補習を実施する。
個別指導は、ワークブックへのコメントを以って行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Think-Pair-Share Think-Group-Share　Dialogue　Reflecting-Talk　ロールプレー　問題解決型プロジェクト学習）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （レスポンの質問への回答　デジタル資料閲覧　データ共有）

▌教科書

森田健宏・吉田佐治子　編著：教育相談、ミネルヴァ書房、2020

▌参考書

小林 正幸 ・ 橋本 創一 ・ 松尾 直博 (編集)：教師のための学校カウンセリング、有斐閣アルマ

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：学校現場における教育相談** 授業内容：このコースの学習内容・学習方法について、イメージする。 学校教育相談の概要を理解する。 現在、教育臨床では、児童・生徒がどのような問題を抱えているのかを理解する。 生徒はどのような支援を求めており、教師はどのように対応する必要があるかを話し合う。 事前学修 2.0hr：テキスト第 1 講「教育相談とは」を読み、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：児童・生徒の抱える問題の解決支援のための教育相談の意義をまとめる。
2回	**授業テーマ：カウンセリングの理論と技法** 授業内容：カウンセリングの理論とその方法について理解する。 カウンセリングの基本姿勢を体験する。 事前学修 2.0hr：教科書第 2 講「カウンセリングの理論」・3 講「カウンセリングの技法」を読み、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：カウンセリングの理論と技法についてまとめる。カウンセリング体験の気づきをまとめる。
3回	**授業テーマ：学校における不適応行動の理解と対応(1)反社会的問題行動 (不登校・ひきこもり) の理解と支援** 授業内容：不登校・ひきこもりの現状について理解する。 不登校・ひきこもりの背景や原因について理解する。 不登校・ひきこもりの支援について理解する。 事前学修 2.0hr：教科書第 4 講「不登校といじめへの対応」を読み、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：不登校の促進要因や心理的特性、解決の支援についてまとめる。
4回	**授業テーマ：学校における不適応行動の理解と対応(2)－反社会的問題行動 (いじめ・非行・ドラッグ使用)の理解と支援** 授業内容：いじめ・非行・ドラッグ使用の現状、社会的背景、個人的要因について理解する。 いじめ・非行・ドラッグ使用への支援に関する理論を理解する。 いじめ・非行・ドラッグ使用への支援の実践について、ロールプレーを通じた気づきを話し合う。 事前学修 2.0hr：事前配布資料(ドラッグの使用)と教科書第 7 講「非行、学校不適応への対応」を読み、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：いじめ・非行・ドラッグ使用の社会的背景と個人要因、その解決支援についてまとめる。
5回	**授業テーマ：学校における不適応症状の理解と対応(1)－ストレスとストレスレジリエンス** 授業内容：児童生徒に頻発する心と身体の病の種類とその特徴、原因について理解する。 不適応症状の意味を理解し、その対応について考える。 ストレスレジリエンス促進する支援を体験する。 事前学修 2.0hr：事前配布資料(ストレスレジリエンス)と教科書第 9 講「心の病への対応」を読み、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：自分自身のストレスとストレスレジリエンス型の対処行動を考えまとめる。
6回	**授業テーマ：学校における不適応症状の理解と対応(2)－心身症・抑うつ** 授業内容：主な心身症の発生機序、症状、治療、教員としての対応について理解する。 不適応への対応に関する動画教材をグループ毎に制作する。 事前学修 2.0hr：事前配布資料(抑うつ)と教科書第 12 講「心理検査法の利用」を読み、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：主な心身症の発生機序、症状、治療、教員としての対応をまとめた動画教材を完成する。

7回	**授業テーマ：発達障がいの理解と対応** 授業内容：発達障害の特性とその対応について理解する。 合理的配慮について理解する。 対応事例を通し、実際の学内での対応について考える。 事前学修 2.0hr：事前配布資料（発達障がい）と教科書第 8 講「発達障害への対応」を読み、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：発達障がいごとの特徴と修学上に遭遇する困難な状況と、その支援法についてレポートを作成する。
8回	**授業テーマ：前半のまとめと確認テスト** 授業内容：確認テストを実施する。 確認テスト後の振り返りを行う。 事前学修 1.5hr：第 1〜7 回の講義内容（コース前半）を復習する。テキストの復習問題や予想問題を実施する。 事後学修 2.5hr：確認テストで理解できていない領域を復習する。小テストに向けた準備や学習について、メタ視点で自己評価する。
9回	**授業テーマ：教育相談におけるアセスメントと危機介入** 授業内容：児童・生徒の心の状況を適切に把握し支援につなげるための情報収集について理解する。 行動観察の方法と面接の方法について理解する。 面接時の、児童生徒の観察ポイントについて理解する。 事前学修 1.5hr：教科書第 11 講「教育相談におけるアセスメント①行動観察法・面接法」を読み、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.5hr：危機介入（自殺企図への対応）のポイントを整理する。
10回	**授業テーマ：相談技法　内在化の質問と外在化の質問** 授業内容：内省を促す内的対話について理解する。 問題を当事者の性格から切り離して考える外在化の哲学を理解する。 外在化の会話を体験する。 体験で得た気づきを Think-Pair-Share で深める。 事前学修 2.0hr：内在化の質問と外在化の質問，カウンセリングに関する事前配布資料を読む。 事後学修 2.0hr：外在化する会話を用いたカウンセリングについて、
11回	**授業テーマ：相談技法（3）−ネットワーク型支援** 授業内容：ネットワーク型支援について理解する。 ダイアローグとリフレクティングの理論を理解する。 リフレクティングを体験し、体験で得た気づきを Think-Group-Share で深める。 事前学修 1.5hr：事前配布（集団へのカウンセリング、ダイアローグ）を読む。 事後学修 2.5hr：ネットワーク型支援を体験した気づきをまとめる。
12回	**授業テーマ：保護者への援助　−家族の発達課題と良好な親子関係への支援** 授業内容：家族の発達課題と、その家族の中での児童・生徒を理解する。 保護者との関係づくりや保護者への支援について理解する。 保護者対応について、ロールプレイにより体験学習する。 体験で得た気づきを、Reflecting-Talk で深める。 事前学修 2.0hr：教科書第 6 講「虐待、いのち教育への対応」・13 講「家庭の理解と保護者への支援」を読み、ライフサイクル毎の発達課題を理解しておく。 事後学修 2.0hr：保護者との面談での基本姿勢、信頼関係を築くために欠かせない対応の基本姿勢をまとめる。
13回	**授業テーマ：教育相談と校内連携・学外連携** 授業内容：校内の連携の原則を理解する。 専門機関および他機関の種類を理解する。 コンサルテーションについて理解する。 事前学修 2.0hr：教科書第 10 講「専門機関との連携・校内や他機関との連携」を読み、校内連携と専門機関について調べておく。 事後学修 2.0hr：不登校への対応事例に対する連携を考え、レポート作成する。
14回	**授業テーマ：教育相談における多職種連携** 授業内容：学外連携の原則を理解する。 多職種連携のためのダイアローグを体験する。 ダイアローグの体験で得た気づきを、Think-Group-Share で深める。 事前学修 2.0hr：事前配布資料（オープンダイアローグ）に目を通し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：いじめへの対応事例に対するネットワーク型支援についてレポート作成する。
15回	**授業テーマ：これからの教育相談（まとめ）** 授業内容：コース全体を振り返り、これからの教育相談に何が求められるかを考える。 日本語支援，教育ボランティア活動を通じて経験した身近な問題について対話する。 事前学修 2.0hr：教科書第 15 講「これからの教育相談」を読み、教師のおかれている現状を調べる。 事後学修 2.0hr：このコースでの学びの活用に関する最終課題に取り組む。

教育実習Ⅰ

開講学科等：日　｜　4 年次　｜　3 単位　｜　開講期：通

浅田　勉（あさだ　つとむ）

▌授業の概要

中学校・高等学校教諭一種免許状の取得を目指す者は必修である。事前指導では、教職課程における教育実習の意義や位置づけ、実習にあたっての心得を徹底し、模擬授業を通して再度指導案の作り方を確認し、十分な自覚と準備をもって実習に臨めるようにする。後期事後指導では、各自の実習校での教育実習を振り返り、学びや反省点などについて討議する他、研究発表を通してより専門的な教養を深める。

▌到達目標

一般目標：１　事前指導・事後指導を通して教育活動に参画する意義と意識を形成し、課題を明確にする。
　　２　教育実習校の生徒・学習環境の事態を踏まえ学校経営及び教育活動の特色を理解する。
　　３　大学で学修した知識・理論・技術等を指導場面で実践するための基礎を修得する。
個別目標：１　実習生としての自覚を持ち、十分な準備をして実習に臨むことができる。
　　２　教育実習での体験をもとに、問題意識を持って成果をまとめることができる。
　　３　調査・研究を通して、実習の経験を自省するとともに、教育及び国語教育とは何かを考え、説明することができる。

▌履修条件

１　３年次に「国語科教育法Ⅰ」及び「国語科教育法Ⅱ」を履修・修得していること。
２　勉強会や補習、担当教員が推奨する教育現場の見学やボランティアに積極的に参加すること。

▌評価基準・方法

授業への参画姿勢及び貢献度、発表、模擬授業を６０%、実習校での実習内容及び教育実習報告書を４０%とし、総合的に評価する。５分の４以上の出席者のみを評価対象とする。欠席・遅刻については減点にするなど、厳格に対応する。

▌フィードバック方法

学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （模擬授業　相互評価　グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Microsoft office 搭載のモバイル PC を必要に応じて使用する。）

▌教科書

『よくわかる教職シリーズ教育実習安心ハンドブック』学事出版

▌参考書

『高等学校学習指導要領解説 国語編』教育出版
『中学校学習指導要領解説 国語編』東洋館出版社
国立教育政策研究所教育課程研究センター『評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料 高等学校国語』教育出版
国立教育政策研究所教育課程研究センター『評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料 中学校 国語』教育出版

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：教育実習の授業をはじめとする教育課程履修の流れを確認し、教育実習実施期間、教員採用選考の日程等を含めた年間のスケジュールについて見通しを持つ。 事前学修 2.0hr：実習校と教職課程履修における年間スケジュールの確認をする。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。	16回	**授業テーマ：模擬授業と相互評価３** 授業内容：代表者による模擬授業を実施し、協議を行い、相互評価を行う。 事前学修 4.0hr：担当者は模擬授業の学習指導案の準備をする。その他の学生は教材を通読する。 事後学修 4.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
2回	**授業テーマ：教師の資質と教育実習の役割** 授業内容：教師の資質と教育実習の役割について理解し、考察と協議により学修を深め、成果を全体で共有する。 事前学修 2.0hr：教科書の「第１章　教師の資質と教育実習の役割」を通読する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。	17回	**授業テーマ：模擬授業と相互評価４** 授業内容：代表者による模擬授業を実施し、協議を行い、相互評価を行う。 事前学修 4.0hr：担当者は模擬授業の学習指導案の準備をする。その他の学生は教材を通読する。 事後学修 4.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
3回	**授業テーマ：教育実習ガイダンス** 授業内容：教育実習実施から実施後の対応までの一連の流れについて理解し、考察と協議により学修を深め、成果を全体で共有する。 事前学修 2.0hr：教科書の「第２章　教育実習ガイダンス」を通読する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。	18回	**授業テーマ：模擬授業と相互評価５** 授業内容：代表者による模擬授業を実施し、協議を行い、相互評価を行う。 事前学修 4.0hr：担当者は模擬授業の学習指導案の準備をする。その他の学生は教材を通読する。 事後学修 4.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
4回	**授業テーマ：教育実習の実際１** 授業内容：観察実習(授業参観)のポイント、教育実習における授業設計について理解し、考察と協議により学修を深め、成果を全体で共有する。 事前学修 2.0hr：教科書の「第３章　教育実習の実際」を通読する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。	19回	**授業テーマ：模擬授業と相互評価６** 授業内容：代表者による模擬授業を実施し、協議を行い、相互評価を行う。 事前学修 4.0hr：担当者は模擬授業の学習指導案の準備をする。その他の学生は教材を通読する。 事後学修 4.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
5回	**授業テーマ：教育実習の実際２** 授業内容：学習指導案の作り方を中心に学習指導の実際について理解し、考察と協議により学修を深め、成果を全体で共有する。 与えられた教材について学習指導案を作成する。 事前学修 2.0hr：教科書の「第３章　教育実習の実際」を通読する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。	20回	**授業テーマ：模擬授業と相互評価７** 授業内容：代表者による模擬授業を実施し、協議を行い、相互評価を行う。 事前学修 4.0hr：担当者は模擬授業の学習指導案の準備をする。その他の学生は教材を通読する。 事後学修 4.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
6回	**授業テーマ：教育実習の実施に向けての課題解決** 授業内容：教育実習の実施に向けての疑問点、不安な点について考察し、協議により学修を深め、成果を全体で共有する。 事前学修 2.0hr：教育実習の実施に向けての疑問点、不安な点について洗い出しておく。 事後学修 3.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。	21回	**授業テーマ：模擬授業と相互評価８** 授業内容：代表者による模擬授業を実施し、協議を行い、相互評価を行う。 事前学修 4.0hr：担当者は模擬授業の学習指導案の準備をする。その他の学生は教材を通読する。 事後学修 4.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
7回	**授業テーマ：実習校での教育実習の準備１** 授業内容：担当する授業の指導案作り等、実習校での教育実習の準備をする。 事前学修 3.0hr：担当する授業の指導案作り等、教育実習の準備をする。 事後学修 3.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。	22回	**授業テーマ：模擬授業と相互評価９** 授業内容：代表者による模擬授業を実施し、協議を行い、相互評価を行う。 事前学修 4.0hr：担当者は模擬授業の学習指導案の準備をする。その他の学生は教材を通読する。 事後学修 4.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。

8回	**授業テーマ：実習校での教育実習の準備２** 授業内容：担当する授業の指導案作り等、実習校での教育実習の準備をする。 事前学修 3.0hr：担当する授業の指導案作り等、教育実習の準備をする。 事後学修 3.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。	23回	**授業テーマ：模擬授業と相互評価１０** 授業内容：代表者による模擬授業を実施し、協議を行い、相互評価を行う。 事前学修 4.0hr：担当者は模擬授業の学習指導案の準備をする。その他の学生は教材を通読する。 事後学修 4.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
9回	**授業テーマ：実習校での教育実習の準備３** 授業内容：担当する授業の指導案作り等、実習校での教育実習の準備をする。 事前学修 3.0hr：担当する授業の指導案作り等、教育実習の準備をする。 事後学修 3.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。	24回	**授業テーマ：模擬授業と相互評価１１** 授業内容：代表者による模擬授業を実施し、協議を行い、相互評価を行う。 事前学修 4.0hr：担当者は模擬授業の学習指導案の準備をする。その他の学生は教材を通読する。 事後学修 4.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
10回	**授業テーマ：実習校での教育実習の準備４** 授業内容：担当する授業の指導案作り等、実習校での教育実習の準備をする。 事前学修 3.0hr：担当する授業の指導案作り等、教育実習の準備をする。 事後学修 3.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。	25回	**授業テーマ：模擬授業と相互評価１２** 授業内容：代表者による模擬授業を実施し、協議を行い、相互評価を行う。 事前学修 4.0hr：担当者は模擬授業の学習指導案の準備をする。その他の学生は教材を通読する。 事後学修 4.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
11回	**授業テーマ：実習校での教育実習の準備５・教育実習報告書の作成１** 授業内容：実習校での教員実習を控えている者は担当する授業の指導案作り等、教育実習の準備をする。 実習校での教員実習を終えた者は教育実習報告書の作成に取り組む。 事前学修 3.0hr：担当する授業の指導案作り等、教育実習の準備をする。教育実習報告書作成の準備をする。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。	26回	**授業テーマ：模擬授業と相互評価１３** 授業内容：代表者による模擬授業を実施し、協議を行い、相互評価を行う。 事前学修 4.0hr：担当者は模擬授業の学習指導案の準備をする。その他の学生は教材を通読する。 事後学修 4.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
12回	**授業テーマ：教育実習報告書の作成２** 授業内容：教育実習報告書の作成に取り組む。 事前学修 2.0hr：教育実習報告書の作成の準備をする。 事後学修 2.0hr：教育実習報告書を manaba を通じて提出する。授業内で指示された課題に取り組む。	27回	**授業テーマ：模擬授業と相互評価１４** 授業内容：代表者による模擬授業を実施し、協議を行い、相互評価を行う。 事前学修 4.0hr：担当者は模擬授業の学習指導案の準備をする。その他の学生は教材を通読する。 事後学修 4.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
13回	**授業テーマ：模擬授業の準備** 授業内容：協議に基づいて模擬授業を実施する順番を決定する。 教育実習での研究授業の反省を踏まえて、模擬授業の学習指導案を作成する。 事前学修 2.0hr：教育実習での研究授業の反省を踏まえて、模擬授業の学習指導案作成の準備をする。 事後学修 4.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。	28回	**授業テーマ：模擬授業と相互評価１５** 授業内容：代表者による模擬授業を実施し、協議を行い、相互評価を行う。 事前学修 4.0hr：担当者は模擬授業の学習指導案の準備をする。その他の学生は教材を通読する。 事後学修 4.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
14回	**授業テーマ：模擬授業と相互評価１** 授業内容：代表者による模擬授業を実施し、協議を行い、相互評価を行う。 事前学修 4.0hr：担当者は模擬授業の学習指導案の準備をする。その他の学生は教材を通読する。 事後学修 4.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。	29回	**授業テーマ：模擬授業と相互評価１６** 授業内容：代表者による模擬授業を実施し、協議を行い、相互評価を行う。 事前学修 4.0hr：担当者は模擬授業の学習指導案の準備をする。その他の学生は教材を通読する。 事後学修 4.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
15回	**授業テーマ：模擬授業と相互評価２** 授業内容：代表者による模擬授業を実施し、協議を行い、相互評価を行う。 事前学修 4.0hr：担当者は模擬授業の学習指導案の準備をする。その他の学生は教材を通読する。 事後学修 4.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。	30回	**授業テーマ：模擬授業と相互評価１７・まとめ** 授業内容：代表者による模擬授業を実施し、協議を行い、相互評価を行う。 １年間のまとめとして振り返りを行う。 事前学修 4.0hr：担当者は模擬授業の学習指導案の準備をする。その他の学生は教材を通読する。 事後学修 2.0hr：１年間を振り返り、学修を深め、教員、社会人となる準備を進める。

教育実習Ⅱ

開講学科等：日　｜　4 年次　｜　2 単位　｜　開講期：通

浅田　勉（あさだ　つとむ）

▌授業の概要

中学校・高等学校教諭一種免許状の取得を目指す者は必修である。事前指導では、教職課程における教育実習の意義や位置づけ、実習にあたっての心得を徹底し、模擬授業を通して再度指導案の作り方を確認し、十分な自覚と準備をもって実習に臨めるようにする。後期事後指導では、各自の実習校での教育実習を振り返り、学びや反省点などについて討議する他、研究発表を通してより専門的な教養を深める。

▌到達目標

一般目標：１　事前指導・事後指導を通して教育活動に参画する意義と意識を形成し、課題を明確にする。
　　２　教育実習校の生徒・学習環境の事態を踏まえ学校経営及び教育活動の特色を理解する。
　　３　大学で学修した知識・理論・技術等を指導場面で実践するための基礎を修得する。
個別目標：１　実習生としての自覚を持ち、十分な準備をして実習に臨むことができる。
　　２　教育実習での体験をもとに、問題意識を持って成果をまとめることができる。
　　３　調査・研究を通して、実習の経験を自省するとともに、教育及び国語教育とは何かを考え、説明することができる。

▌履修条件

１　３年次に「国語科教育法Ⅰ」及び「国語科教育法Ⅱ」を履修・修得していること。
２　勉強会や補習、担当教員が推奨する教育現場の見学やボランティアに積極的に参加すること。

▌評価基準・方法

授業への参画姿勢及び貢献度、発表、模擬授業を６０%、実習校での実習内容及び教育実習報告書を４０%とし、総合的に評価する。５分の４以上の出席者のみを評価対象とする。欠席・遅刻については減点にするなど、厳格に対応する。

▌フィードバック方法

学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （模擬授業　相互評価　グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Microsoft office 搭載のモバイル PC を必要に応じて使用する。）

▌教科書

『よくわかる教職シリーズ教育実習安心ハンドブック』学事出版

▌参考書

『高等学校学習指導要領解説 国語編』教育出版
『中学校学習指導要領解説 国語編』東洋館出版社
国立教育政策研究所教育課程研究センター『評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料 高等学校国語』教育出版
国立教育政策研究所教育課程研究センター『評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料 中学校 国語』教育出版

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：教育実習の授業をはじめとする教育課程履修の流れを確認し、教育実習実施期間、教員採用選考の日程等を含めた年間のスケジュールについて見通しを持つ。 事前学修 2.0hr：実習校と教職課程履修における年間スケジュールの確認をする。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。	16回	**授業テーマ：模擬授業と相互評価３** 授業内容：代表者による模擬授業を実施し、協議を行い、相互評価を行う。 事前学修 4.0hr：担当者は模擬授業の学習指導案の準備をする。その他の学生は教材を通読する。 事後学修 4.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
2回	**授業テーマ：教師の資質と教育実習の役割** 授業内容：教師の資質と教育実習の役割について理解し、考察と協議により学修を深め、成果を全体で共有する。 事前学修 2.0hr：教科書の「第１章　教師の資質と教育実習の役割」を通読する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。	17回	**授業テーマ：模擬授業と相互評価４** 授業内容：代表者による模擬授業を実施し、協議を行い、相互評価を行う。 事前学修 4.0hr：担当者は模擬授業の学習指導案の準備をする。その他の学生は教材を通読する。 事後学修 4.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
3回	**授業テーマ：教育実習ガイダンス** 授業内容：教育実習実施から実施後の対応までの一連の流れについて理解し、考察と協議により学修を深め、成果を全体で共有する。 事前学修 2.0hr：教科書の「第２章　教育実習ガイダンス」を通読する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。	18回	**授業テーマ：模擬授業と相互評価５** 授業内容：代表者による模擬授業を実施し、協議を行い、相互評価を行う。 事前学修 4.0hr：担当者は模擬授業の学習指導案の準備をする。その他の学生は教材を通読する。 事後学修 4.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
4回	**授業テーマ：教育実習の実際１** 授業内容：観察実習(授業参観)のポイント、教育実習における授業設計について理解し、考察と協議により学修を深め、成果を全体で共有する。 事前学修 2.0hr：教科書の「第３章　教育実習の実際」を通読する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。	19回	**授業テーマ：模擬授業と相互評価６** 授業内容：代表者による模擬授業を実施し、協議を行い、相互評価を行う。 事前学修 4.0hr：担当者は模擬授業の学習指導案の準備をする。その他の学生は教材を通読する。 事後学修 4.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
5回	**授業テーマ：教育実習の実際２** 授業内容：学習指導案の作り方を中心に学習指導の実際について理解し、考察と協議により学修を深め、成果を全体で共有する。 与えられた教材について学習指導案を作成する。 事前学修 2.0hr：教科書の「第３章　教育実習の実際」を通読する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。	20回	**授業テーマ：模擬授業と相互評価７** 授業内容：代表者による模擬授業を実施し、協議を行い、相互評価を行う。 事前学修 4.0hr：担当者は模擬授業の学習指導案の準備をする。その他の学生は教材を通読する。 事後学修 4.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
6回	**授業テーマ：教育実習の実施に向けての課題解決** 授業内容：教育実習の実施に向けての疑問点、不安な点について考察し、協議により学修を深め、成果を全体で共有する。 事前学修 2.0hr：教育実習の実施に向けての疑問点、不安な点について洗い出しておく。 事後学修 3.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。	21回	**授業テーマ：模擬授業と相互評価８** 授業内容：代表者による模擬授業を実施し、協議を行い、相互評価を行う。 事前学修 4.0hr：担当者は模擬授業の学習指導案の準備をする。その他の学生は教材を通読する。 事後学修 4.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
7回	**授業テーマ：実習校での教育実習の準備１** 授業内容：担当する授業の指導案作り等、実習校での教育実習の準備をする。 事前学修 3.0hr：担当する授業の指導案作り等、教育実習の準備をする。 事後学修 3.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。	22回	**授業テーマ：模擬授業と相互評価９** 授業内容：代表者による模擬授業を実施し、協議を行い、相互評価を行う。 事前学修 4.0hr：担当者は模擬授業の学習指導案の準備をする。その他の学生は教材を通読する。 事後学修 4.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。

8回	**授業テーマ：実習校での教育実習の準備２** 授業内容：担当する授業の指導案作り等、実習校での教育実習の準備をする。 事前学修 3.0hr：担当する授業の指導案作り等、教育実習の準備をする。 事後学修 3.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。	23回	**授業テーマ：模擬授業と相互評価１０** 授業内容：代表者による模擬授業を実施し、協議を行い、相互評価を行う。 事前学修 4.0hr：担当者は模擬授業の学習指導案の準備をする。その他の学生は教材を通読する。 事後学修 4.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
9回	**授業テーマ：実習校での教育実習の準備３** 授業内容：担当する授業の指導案作り等、実習校での教育実習の準備をする。 事前学修 3.0hr：担当する授業の指導案作り等、教育実習の準備をする。 事後学修 3.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。	24回	**授業テーマ：模擬授業と相互評価１１** 授業内容：代表者による模擬授業を実施し、協議を行い、相互評価を行う。 事前学修 4.0hr：担当者は模擬授業の学習指導案の準備をする。その他の学生は教材を通読する。 事後学修 4.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
10回	**授業テーマ：実習校での教育実習の準備４** 授業内容：担当する授業の指導案作り等、実習校での教育実習の準備をする。 事前学修 3.0hr：担当する授業の指導案作り等、教育実習の準備をする。 事後学修 3.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。	25回	**授業テーマ：模擬授業と相互評価１２** 授業内容：代表者による模擬授業を実施し、協議を行い、相互評価を行う。 事前学修 4.0hr：担当者は模擬授業の学習指導案の準備をする。その他の学生は教材を通読する。 事後学修 4.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
11回	**授業テーマ：実習校での教育実習の準備５・教育実習報告書の作成１** 授業内容：実習校での教員実習を控えている者は担当する授業の指導案作り等、教育実習の準備をする。 実習校での教員実習を終えた者は教育実習報告書の作成に取り組む。 事前学修 3.0hr：担当する授業の指導案作り等、教育実習の準備をする。教育実習報告書作成の準備をする。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。	26回	**授業テーマ：模擬授業と相互評価１３** 授業内容：代表者による模擬授業を実施し、協議を行い、相互評価を行う。 事前学修 4.0hr：担当者は模擬授業の学習指導案の準備をする。その他の学生は教材を通読する。 事後学修 4.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
12回	**授業テーマ：教育実習報告書の作成２** 授業内容：教育実習報告書の作成に取り組む。 事前学修 2.0hr：教育実習報告書の作成の準備をする。 事後学修 2.0hr：教育実習報告書を manaba を通じて提出する。授業内で指示された課題に取り組む。	27回	**授業テーマ：模擬授業と相互評価１４** 授業内容：代表者による模擬授業を実施し、協議を行い、相互評価を行う。 事前学修 4.0hr：担当者は模擬授業の学習指導案の準備をする。その他の学生は教材を通読する。 事後学修 4.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
13回	**授業テーマ：模擬授業の準備** 授業内容：協議に基づいて模擬授業を実施する順番を決定する。 教育実習での研究授業の反省を踏まえて、模擬授業の学習指導案を作成する。 事前学修 2.0hr：教育実習での研究授業の反省を踏まえて、模擬授業の学習指導案作成の準備をする。 事後学修 4.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。	28回	**授業テーマ：模擬授業と相互評価１５** 授業内容：代表者による模擬授業を実施し、協議を行い、相互評価を行う。 事前学修 4.0hr：担当者は模擬授業の学習指導案の準備をする。その他の学生は教材を通読する。 事後学修 4.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
14回	**授業テーマ：模擬授業と相互評価１** 授業内容：代表者による模擬授業を実施し、協議を行い、相互評価を行う。 事前学修 4.0hr：担当者は模擬授業の学習指導案の準備をする。その他の学生は教材を通読する。 事後学修 4.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。	29回	**授業テーマ：模擬授業と相互評価１６** 授業内容：代表者による模擬授業を実施し、協議を行い、相互評価を行う。 事前学修 4.0hr：担当者は模擬授業の学習指導案の準備をする。その他の学生は教材を通読する。 事後学修 4.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
15回	**授業テーマ：模擬授業と相互評価２** 授業内容：代表者による模擬授業を実施し、協議を行い、相互評価を行う。 事前学修 4.0hr：担当者は模擬授業の学習指導案の準備をする。その他の学生は教材を通読する。 事後学修 4.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。	30回	**授業テーマ：模擬授業と相互評価１７・まとめ** 授業内容：代表者による模擬授業を実施し、協議を行い、相互評価を行う。 １年間のまとめとして振り返りを行う。 事前学修 4.0hr：担当者は模擬授業の学習指導案の準備をする。その他の学生は教材を通読する。 事後学修 2.0hr：１年間を振り返り、学修を深め、教員、社会人となる準備を進める。

教育実習 I

開講学科等：英 ｜ 4 年次 ｜ 3 単位 ｜ 開講期：通

米村　珠子（よねむら　たまこ）

▌授業の概要

中学校・高等学校教諭一種免許状（英語）取得希望者のための４年次通年必修科目である。教職課程及び教科に関する専門科目の学修で身に付けた知識や理解を基に、中学校や高等学校における教育実習の事前・事後指導を行う。事前指導では、教育実習のねらいや意義、実習にあたっての心得等を正しく理解するとともに、教材研究や指導案作成、模擬授業、授業評価等を再確認し、教育実習前の準備を徹底する。事後指導では、各自の教育実習を振り返り、学生間で共有することで新たな学びの機会とする他、教育課題研究発表やコミュニケーション活動の演習を通して、専門的な知識・技能を高める。

▌到達目標

一般目標：１　教育実習事前指導・事後指導を通して、教育実習のねらいや意義、心得を理解するとともに、教育実習に臨む態度を身に付ける。
　　２　教育実習校の生徒や学習環境の実態を踏まえ、学校経営及び教育活動の特色を理解する。
　　３　３年次までに習得した知識や技能、指導技術を指導実践に生かすことができるよう、専門性の向上を図る。
個別目標：１　教職に関する科目について十分理解し、実習生としての自覚をもって実習に臨むことができる。
　　２　学習指導要領（外国語・英語）に基づく学習指導案を作成し、原則として授業を英語で行うことができる。
　　３　授業改善についての相互評価を行い、教科指導方法や指導技術を改善することができる。
　　４　調査研究及び教育実習での実践を通して、学校経営や教育活動の現状・課題・成果について考え、表現することができる。

▌履修条件

・３年次に「英語科教育法 I」及び「英語科教育法 II」を履修・修得していること。

▌評価基準・方法

・教育実習の実績及び振り返り 40 %、授業での取組課題及びワークシートの提出 30 %、 研究レポート・発表 30 %で総合的に評価する。

▌フィードバック方法

・課題や提出物等のフィードバックは、授業及び学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク、ディスカッション、課題解決学習）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （プレゼンテーション、フィードバック）

▌教科書

英語科教育実習ハンドブック　第４版 加藤茂夫 杉山敏 荒木美恵子 著

▌参考書

・『中学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説　外国語編』文部科学省
・『高等学校学習指導要領（平成 30 年告示）解説　外国語編　英語編』文部科学省
・『評価基準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料』（中学校・高等学校　外国語）国立教育政策研究所
・『教育小六法　2023 年版』学陽書房

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション、教育実習の領域** 授業内容：授業概要、スケジュール、評価等について確認する。教育実習で習得すべき領域と実習前に確認すべき事項（実習の目的、実習前の準備、学校現場の現状、教育実習先で気を付けるべきこと、授業観察等）についてまとめる。 事前学修 2.0hr：教科書の第１部を通読する。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組み提出する。	16回	**授業テーマ：実践的な指導力：マイクロ・ティーチングの実践 (1)** 授業内容：教育実習で学んだ語彙指導について、生徒の学習活動の teaching procedure を再構成してグループワークで共有し、指導方法や生徒の学習成果等について実演を通して学ぶ。その結果を分析・評価して改善の方策を検討する。 事前学修 2.0hr：教育実習中に学んだ語彙指導についてまとめる。 事後学修 2.0hr：実演した結果を自己分析・自己評価して提出する。
2回	**授業テーマ：教育実習の心構えと留意点のまとめ** 授業内容：第１回でまとめた教育実習前に確認すべき事項についてグループ発表及び質疑応答を行い理解を深めるとともに、実習校の情報を共有し、予め想定される課題や留意点について話し合うことにより具体的な対応策を考える。 事前学修 2.0hr：実習校の情報を収集し、学校としての課題や成果、取組、実習前に確認すべきことなどについてまとめる。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組み提出する。	17回	**授業テーマ：実践的な指導力：マイクロ・ティーチングの実践 (2)** 授業内容：教育実習で学んだ文法指導について、生徒の学習活動の teaching procedure を再構成してグループワークで共有し、指導方法や生徒の学習成果等について実演を通して学ぶ。その結果を分析・評価して改善の方策を検討する。 事前学修 2.0hr：教育実習中に学んだ文法指導についてまとめる。 事後学修 2.0hr：実演した結果を自己分析・自己評価して提出する。
3回	**授業テーマ：教科指導力の向上 (1) コミュニケーション活動、classroom English の活用** 授業内容：授業で活用できるコミュニケーション活動の種類・内容や、classroom English を使った教科指導の流れを確認した上で、コミュニケーション活動を取り上げ、マイクロ・ティーチングの実践演習に向けた準備を行う。 事前学修 2.0hr：教科教育法で学んだ内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組み提出する。	18回	**授業テーマ：実践的な指導力：マイクロ・ティーチングの実践 (3)** 授業内容：教育実習で学んだ「話すこと」の指導について、生徒の学習活動の teaching procedure を再構成してグループワークで共有し、指導方法や生徒の学習成果等について実演を通して学ぶ。その結果を分析・評価して改善の方策を検討する。 事前学修 2.0hr：教育実習中に学んだ「話すこと」の指導についてまとめる。 事後学修 2.0hr：実演した結果を自己分析・自己評価して提出する。
4回	**授業テーマ：教科指導力の向上 (2) マイクロ・ティーチング実践演習** 授業内容：コミュニケーション活動のねらい、指導の流れと構成、時間配分、生徒の活動状況、評価の観点とタイミング等について、マイクロ・ティーチングの実践と観察を通して考察を深め、改善策について検討しまとめる。 事前学修 2.0hr：マイクロ・ティーチングを準備・練習する。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組み提出する。	19回	**授業テーマ：実践的な指導力：マイクロ・ティーチングの実践 (4)** 授業内容：教育実習で学んだ「書くこと」の指導について、生徒の学習活動の teaching procedure を再構成してグループワークで共有し、指導方法や生徒の学習成果等について実演を通して学ぶ。その結果を分析・評価して改善の方策を検討する。 事前学修 2.0hr：教育実習中に学んだ「書くこと」の指導についてまとめる。 事後学修 2.0hr：実演した結果を自己分析・自己評価して提出する。
5回	**授業テーマ：授業計画の立て方と学習指導案の作成 (1)** 授業内容：授業計画作成の流れや時間配分、４技能統合的な学習活動、異文化理解、文法指導や語彙学習とコミュニケーション活動との統合、学習者の英語力や既習事項、興味関心等に応じた活動の設定等に配慮し指導案を作成する。 事前学修 2.0hr：実習校で使用する教科書から題材を選び、単元計画を立てる。 事後学修 2.0hr：単元計画に基づき学習指導案を検討する。	20回	**授業テーマ：教育課題研究 (1)** 授業内容：８つの教育課題の中からグループで選択した１つの課題についてリサーチし、①現状と課題、②学校での取組、③今後の課題と改善策について、スライド等の vidual aids を作成した上で、リサーチ結果を発表する。 事前学修 2.0hr：教育課題についての知識を整理する。 事後学修 2.0hr：リサーチによる情報収集とまとめを行う。
6回	**授業テーマ：学習指導案の作成 (2)、模擬授業 (1)** 授業内容：作成した学習指導案に従い、模擬授業を実践する。授業者以外の観察・評価の観点として①指導の流れ、②教具・ICT の活用、③学習活動、④学習評価等を示し、個別具体的にフィードバックし改善策を検討する。 事前学修 2.0hr：学習指導案に基づき模擬授業の練習を行う。 事後学修 2.0hr：模擬授業後の振り返りと改善事項をまとめて提出する。	21回	**授業テーマ：教育課題研究 (2)** 授業内容：８つの教育課題の中からグループで選択した１つの課題についてリサーチし、①現状と課題、②学校での取組、③今後の課題と改善策について、スライド等の vidual aids を作成した上で、リサーチ結果を発表する。 事前学修 2.0hr：第 20 回の事後学修と併せて、リサーチによる情報収集とまとめを行う。 事後学修 2.0hr：発表者は発表後の振り返りを、聞き手はフィードバックを提出する。

7回	**授業テーマ：学習指導案の作成 (3)、模擬授業 (2)** 授業内容：作成した学習指導案に従い、模擬授業を実践する。授業者以外の観察・評価の観点として①指導の流れ、②教具・ICT の活用、③学習活動、④学習評価等を示し、個別具体的にフィードバックし改善策を検討する。 事前学修 2.0hr：学習指導案に基づき模擬授業の練習を行う。 事後学修 2.0hr：模擬授業後の振り返りと改善事項をまとめて提出する。	22回	**授業テーマ：教育課題研究 (3)** 授業内容：８つの教育課題の中からグループで選択した１つの課題についてリサーチし、①現状と課題、②学校での取組、③今後の課題と改善策について、スライド等の vidual aids を作成した上で、リサーチ結果を発表する。 事前学修 2.0hr：リサーチによる情報収集とまとめを行う。 事後学修 2.0hr：発表者は発表後の振り返りを、聞き手はフィードバックを提出する。
8回	**授業テーマ：学習指導案の作成 (4)、模擬授業 (3)** 授業内容：作成した学習指導案に従い、模擬授業を実践する。授業者以外の観察・評価の観点として①指導の流れ、②教具・ICT の活用、③学習活動、④学習評価等を示し、個別具体的にフィードバックし改善策を検討する。 事前学修 2.0hr：学習指導案に基づき模擬授業の練習を行う。 事後学修 2.0hr：模擬授業後の振り返りと改善事項をまとめて提出する。	23回	**授業テーマ：教育課題研究 (4)** 授業内容：８つの教育課題の中からグループで選択した１つの課題についてリサーチし、①現状と課題、②学校での取組、③今後の課題と改善策について、スライド等の vidual aids を作成した上で、リサーチ結果を発表する。 事前学修 2.0hr：リサーチによる情報収集とまとめを行う。 事後学修 2.0hr：発表者は発表後の振り返りを、聞き手はフィードバックを書いて提出する。
9回	**授業テーマ：単元指導計画、学習指導案の検討及び指導実践練習 (1)** 授業内容：実習校の使用教材の研究を進めるとともに、予定されている単元の指導計画及び学習指導案を精査し、指導実践練習を行う。 事前学修 1.0hr：実習で使用予定の教材研究を行う。 事後学修 1.0hr：学習指導案を改善する。	24回	**授業テーマ：教材作成演習 (1)（準備）** 授業内容：動画を教材の素材として取り上げ、個人ワークで学習指導案(学習活動計画)を検討した後、グループディスカッションにより、グループの学習指導案(学習活動計画)を作成する。 事前学修 2.0hr：素材となる動画を視聴する。 事後学修 2.0hr：学習指導案を作成する。
10回	**授業テーマ：単元指導計画、学習指導案の検討及び指導実践練習 (2)** 授業内容：実習校の使用教材研究を進めるとともに、予定されている単元の指導計画及び学習指導案を精査し、指導実践練習を行う。 事前学修 1.0hr：実習で使用予定の教材研究を行う。 事後学修 1.0hr：学習指導案を改善する。	25回	**授業テーマ：教材作成演習 (2) 中学校レベル** 授業内容：動画を教材の素材として取り上げ、個人ワークで学習指導案(学習活動計画)を検討した後、グループディスカッションにより、グループの学習指導案(学習活動計画)を作成し、実演した結果を分析・評価する。 事前学修 2.0hr：素材となる動画を視聴する。 事後学修 2.0hr：学習指導案を提出する。
11回	**授業テーマ：前学期教育実習の振り返りと報告 (1)** 授業内容：教育実習後のまとめと振り返りを行い、報告する。教科指導においては言語教育や言語習得に係る知識や理論を踏まえて自身の実践を批判的に考え、それぞれの教育観、言語観、言語学習観を再考する機会とする。 事前学修 2.0hr：教育実習の成果と課題について自己評価を行い報告する内容をまとめる。 事後学修 2.0hr：教育実習の振り返りと記録を書いて提出する。	26回	**授業テーマ：教材作成演習 (3) 高等学校レベル** 授業内容：動画を教材の素材として取り上げ、個人ワークで学習指導案(学習活動計画)を検討した後、グループディスカッションにより、グループの学習指導案(学習活動計画)を作成し、実演した結果を分析・評価する。 事前学修 2.0hr：素材となる動画を視聴する。 事後学修 2.0hr：学習指導案を提出する。
12回	**授業テーマ：前学期教育実習の振り返りと報告 (2)** 授業内容：教育実習後のまとめと振り返りを行い、報告する。教科指導においては言語教育や言語習得に係る知識や理論を踏まえて自身の実践を批判的に考え、それぞれの教育観、言語観、言語学習観を再考する機会とする。 事前学修 2.0hr：教育実習の成果と課題について自己評価を行い報告する内容をまとめる。 事後学修 2.0hr：教育実習の振り返りと記録を書いて提出する。	27回	**授業テーマ：コミュニケーション能力・対人関係力の向上 (1)** 授業内容：前学期に引き続き、同僚の教員をはじめ児童・生徒や保護者、地域住民と信頼関係を築くために必要なコミュニケーションスキルの向上をねらいとした演習に取り組み、実施後の振り返りを通して自身のスキルアップにつなげる。 事前学修 2.0hr：示されたコミュニケーション能力診断に取り組む。 事後学修 2.0hr：演習後の振り返りを書いて提出する。
13回	**授業テーマ：教職課程学修内容のまとめ** 授業内容：これまで教職課程科目で学修した内容のまとめとして、教育法規や教育課題、学習指導要領、教育施策等に関するキーワードの定義・内容を説明できるように確認しながら、正しい知識の定着を図る。 事前学修 2.0hr：教職課程科目の学修内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組み提出する。	28回	**授業テーマ：コミュニケーション能力・対人関係力の向上 (2)** 授業内容：同僚の教員をはじめ児童・生徒や保護者、地域住民と信頼関係を築くために必要なコミュニケーションスキルの向上をねらいとした演習に取り組み、実施後の振り返りを通して自身のスキルアップにつなげる。 事前学修 2.0hr：前回の演習を振り返る。 事後学修 2.0hr：演習後の振り返りを書いて提出する。
14回	**授業テーマ：教育実習のまとめ (1)：教員の在り方に係る資質・能力の伸長** 授業内容：教育実習の省察を通して学んだ教員として求められる資質・能力について、グループワークを通して分析・考察を行い発表するとともに、コミュニケーション能力・対人関係力を向上させる演習に取り組む。 事前学修 2.0hr：教育実習の振り返りと記録を確認する。 事後学修 2.0hr：グループワークの成果をまとめ、演習の振り返りとともに提出する。	29回	**授業テーマ：最終プレゼンテーション (1)** 授業内容：年間を通して学修した教員に求められる英語力・教材作成力、教科指導力、探究力・プレゼンテーション力、コミュニケーション能力の総まとめとして、スピーチ原稿(及びスライド)を作成した上でプレゼンテーションを行う。 事前学修 2.0hr：スピーチ原稿を作成・練習する。 事後学修 1.0hr：スピーチ原稿及びフィードバックシートを提出する。
15回	**授業テーマ：教育実習のまとめ (2)：学級経営に係る生活指導等** 授業内容：教育実習の省察を通して学んだ学級経営や生活指導、生徒理解と教育相談、保護者との連携について、グループワークを通して分析・考察を行い発表するとともに、教育相談や保護者対応のロールプレイに取り組む。 事前学修 2.0hr：教育実習の振り返りと記録を確認する。 事後学修 2.0hr：グループワークの成果をまとめ、演習の振り返りとともに提出する。	30回	**授業テーマ：最終プレゼンテーション (2)** 授業内容：年間を通して学修した教員に求められる英語力・教材作成力、教科指導力、探究力・プレゼンテーション力、コミュニケーション能力の総まとめとして、スピーチ原稿とスライドを作成した上でプレゼンテーションを行う。 事前学修 2.0hr：スピーチ原稿を作成・練習する。 事後学修 1.0hr：スピーチ原稿及びフィードバックシートを提出する。

教育実習Ⅱ

開講学科等：英 ｜ 4 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：通

米村　珠子（よねむら　たまこ）

▌授業の概要

中学校・高等学校教諭一種免許状（英語）取得希望者のための４年次通年必修科目である。教職課程及び教科に関する専門科目の学修で身に付けた知識や理解を基に、中学校や高等学校における教育実習の事前・事後指導を行う。事前指導では、教育実習のねらいや意義、実習にあたっての心得等を正しく理解するとともに、教材研究や指導案作成、模擬授業、授業評価等を再確認し、教育実習前の準備を徹底する。事後指導では、各自の教育実習を振り返り、学生間で共有することで新たな学びの機会とする他、教育課題研究発表やコミュニケーション活動の演習を通して、専門的な知識・技能を高める。

▌到達目標

一般目標：１　教育実習事前指導・事後指導を通して、教育実習のねらいや意義、心得を理解するとともに、教育実習に臨む態度を身に付ける。
　　２　教育実習校の生徒や学習環境の実態を踏まえ、学校経営及び教育活動の特色を理解する。
　　３　３年次までに習得した知識や技能、指導技術を指導実践に生かすことができるよう、専門性の向上を図る。
個別目標：１　教職に関する科目について十分理解し、実習生としての自覚をもって実習に臨むことができる。
　　２　学習指導要領（外国語・英語）に基づく学習指導案を作成し、原則として授業を英語で行うことができる。
　　３　授業改善についての相互評価を行い、教科指導方法や指導技術を改善することができる。
　　４　調査研究及び教育実習での実践を通して、学校経営や教育活動の現状・課題・成果について考え、表現することができる。

▌履修条件

・３年次に「英語科教育法 I」及び「英語科教育法 II」を履修・修得していること。

▌評価基準・方法

・教育実習の実績 40 %、授業での取組課題 30 %、 研究レポート・発表 30 %で総合的に評価する。

▌フィードバック方法

・課題や提出物等のフィードバックは、授業及び学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク、ディスカッション、課題解決学習）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （プレゼンテーション、フィードバック）

▌教科書

英語科教育実習ハンドブック　第４版 加藤茂夫 杉山敏 荒木美恵子 著

▌参考書

・『中学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説　外国語編』文部科学省
・『高等学校学習指導要領（平成 30 年告示）解説　外国語編　英語編』文部科学省
・『評価基準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料』（中学校・高等学校　外国語）国立教育政策研究所
・『教育小六法　2023 年版』学陽書房

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション、教育実習の領域** 授業内容：授業内容：授業概要、スケジュール、評価等について確認する。教育実習で習得すべき領域と実習前に確認すべき事項（実習の目的、実習前の準備、学校現場の現状、教育実習先で気を付けるべきこと、授業観察等）についてまとめる。 事前学修 2.0hr：教科書の第１部を通読する。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組み提出する。	16回	**授業テーマ：実践的な指導力：マイクロ・ティーチングの実践 (1)** 授業内容：教育実習で学んだ語彙指導について、生徒の学習活動の teaching procedure を再構成してグループワークで共有し、指導方法や生徒の学習成果等について実演を通して学ぶ。その結果を分析・評価して改善の方策を検討する。 事前学修 2.0hr：教育実習中に学んだ語彙指導についてまとめる。 事後学修 2.0hr：実演した結果を自己分析・自己評価して提出する。
2回	**授業テーマ：教育実習の心構えと留意点のまとめ** 授業内容：第１回でまとめた教育実習前に確認すべき事項についてグループ発表及び質疑応答を行い理解を深めるとともに、実習校の情報を共有し、予め想定される課題や留意点について話し合うことにより具体的な対応策を考える。 事前学修 2.0hr：実習校の情報を収集し、学校としての課題や成果、取組、実習前に確認すべきことなどについてまとめる。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組み提出する。	17回	**授業テーマ：実践的な指導力：マイクロ・ティーチングの実践 (2)** 授業内容：教育実習で学んだ文法指導について、生徒の学習活動の teaching procedure を再構成してグループワークで共有し、指導方法や生徒の学習成果等について実演を通して学ぶ。その結果を分析・評価して改善の方策を検討する。 事前学修 2.0hr：教育実習中に学んだ文法指導についてまとめる。 事後学修 2.0hr：実演した結果を自己分析・自己評価して提出する。
3回	**授業テーマ：教科指導力の向上 (1) コミュニケーション活動、classroom English の活用** 授業内容：授業で活用できるコミュニケーション活動の種類・内容や、classroom English を使った教科指導の流れを確認した上で、コミュニケーション活動を取り上げ、マイクロ・ティーチングの実践演習に向けた準備を行う。 事前学修 2.0hr：教科教育法で学んだ内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組み提出する。	18回	**授業テーマ：実践的な指導力：マイクロ・ティーチングの実践 (3)** 授業内容：教育実習で学んだ「話すこと」の指導について、生徒の学習活動の teaching procedure を再構成してグループワークで共有し、指導方法や生徒の学習成果等について実演を通して学ぶ。その結果を分析・評価して改善の方策を検討する。 事前学修 2.0hr：教育実習中に学んだ「話すこと」の指導についてまとめる。 事後学修 2.0hr：実演した結果を自己分析・自己評価して提出する。
4回	**授業テーマ：教科指導力の向上 (2) マイクロ・ティーチング実践演習** 授業内容：コミュニケーション活動のねらい、指導の流れと構成、時間配分、生徒の活動状況、評価の観点とタイミング等について、マイクロ・ティーチングの実践と観察を通して考察を深め、改善策について検討しまとめる。 事前学修 2.0hr：マイクロ・ティーチングを準備・練習する。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組み提出する。	19回	**授業テーマ：実践的な指導力：マイクロ・ティーチングの実践 (4)** 授業内容：教育実習で学んだ「書くこと」の指導について、生徒の学習活動の teaching procedure を再構成してグループワークで共有し、指導方法や生徒の学習成果等について実演を通して学ぶ。その結果を分析・評価して改善の方策を検討する。 事前学修 2.0hr：教育実習中に学んだ「書くこと」の指導についてまとめる。 事後学修 2.0hr：実演した結果を自己分析・自己評価して提出する。
5回	**授業テーマ：授業計画の立て方と学習指導案の作成 (1)** 授業内容：授業計画作成の流れや時間配分、４技能統合的な学習活動、異文化理解、文法指導や語彙学習とコミュニケーション活動との統合、学習者の英語力や既習事項、興味関心等に応じた活動の設定等に配慮し指導案を作成する。 事前学修 2.0hr：実習校で使用する教科書から題材を選び、単元計画を立てる。 事後学修 2.0hr：単元計画に基づき学習指導案を検討する。	20回	**授業テーマ：教育課題研究 (1)** 授業内容：８つの教育課題の中からグループで選択した１つの課題についてリサーチし、①現状と課題、②学校での取組、③今後の課題と改善策について、スライド等の vidual aids を作成した上で、リサーチ結果を発表する。 事前学修 2.0hr：教育課題についての知識を整理する。 事後学修 2.0hr：リサーチによる情報収集とまとめを行う。
6回	**授業テーマ：学習指導案の作成 (2)、模擬授業 (1)** 授業内容：作成した学習指導案に従い、模擬授業を実践する。授業者以外の観察・評価の観点として①指導の流れ、②教具・ICT の活用、③学習活動、④学習評価等を示し、個別具体的にフィードバックし改善策を検討する。 事前学修 2.0hr：学習指導案に基づき模擬授業の練習を行う。 事後学修 2.0hr：模擬授業後の振り返りと改善事項をまとめて提出する。	21回	**授業テーマ：教育課題研究 (2)** 授業内容：８つの教育課題の中からグループで選択した１つの課題についてリサーチし、①現状と課題、②学校での取組、③今後の課題と改善策について、スライド等の vidual aids を作成した上で、リサーチ結果を発表する。 事前学修 2.0hr：第 20 回の事後学修と併せて、リサーチによる情報収集とまとめを行う。 事後学修 2.0hr：発表者は発表後の振り返りを、聞き手はフィードバックを提出する。

7回	**授業テーマ：学習指導案の作成 (3)、模擬授業 (2)** 授業内容：作成した学習指導案に従い、模擬授業を実践する。授業者以外の観察・評価の観点として①指導の流れ、②教具・ICT の活用、③学習活動、④学習評価等を示し、個別具体的にフィードバックし改善策を検討する。 事前学修 2.0hr：学習指導案に基づき模擬授業の練習を行う。 事後学修 2.0hr：模擬授業後の振り返りと改善事項をまとめて提出する。	22回	**授業テーマ：教育課題研究 (3)** 授業内容：８つの教育課題の中からグループで選択した１つの課題についてリサーチし、①現状と課題、②学校での取組、③今後の課題と改善策について、スライド等の vidual aids を作成した上で、リサーチ結果を発表する。 事前学修 2.0hr：リサーチによる情報収集とまとめを行う。 事後学修 2.0hr：発表者は発表後の振り返りを、聞き手はフィードバックを提出する。
8回	**授業テーマ：学習指導案の作成 (4)、模擬授業 (3)** 授業内容：作成した学習指導案に従い、模擬授業を実践する。授業者以外の観察・評価の観点として①指導の流れ、②教具・ICT の活用、③学習活動、④学習評価等を示し、個別具体的にフィードバックし改善策を検討する。 事前学修 2.0hr：学習指導案に基づき模擬授業の練習を行う。 事後学修 2.0hr：模擬授業後の振り返りと改善事項をまとめて提出する。	23回	**授業テーマ：教育課題研究 (4)** 授業内容：８つの教育課題の中からグループで選択した１つの課題についてリサーチし、①現状と課題、②学校での取組、③今後の課題と改善策について、スライド等の vidual aids を作成した上で、リサーチ結果を発表する。 事前学修 2.0hr：リサーチによる情報収集とまとめを行う。 事後学修 2.0hr：発表者は発表後の振り返りを、聞き手はフィードバックを書いて提出する。
9回	**授業テーマ：単元指導計画、学習指導案の検討及び指導実践練習 (1)** 授業内容：実習校の使用教材の研究を進めるとともに、予定されている単元の指導計画及び学習指導案を精査し、指導実践練習を行う。 事前学修 1.0hr：実習で使用予定の教材研究を行う。 事後学修 1.0hr：学習指導案を改善する。	24回	**授業テーマ：教材作成演習 (1)（準備）** 授業内容：動画を教材の素材として取り上げ、個人ワークで学習指導案(学習活動計画)を検討した後、グループディスカッションにより、グループの学習指導案(学習活動計画)を作成する。 事前学修 2.0hr：素材となる動画を視聴する。 事後学修 2.0hr：学習指導案を作成する。
10回	**授業テーマ：単元指導計画、学習指導案の検討及び指導実践練習 (2)** 授業内容：実習校の使用教材研究を進めるとともに、予定されている単元の指導計画及び学習指導案を精査し、指導実践練習を行う。 事前学修 1.0hr：実習で使用予定の教材研究を行う。 事後学修 1.0hr：学習指導案を改善する。	25回	**授業テーマ：教材作成演習 (2) 中学校レベル** 授業内容：動画を教材の素材として取り上げ、個人ワークで学習指導案(学習活動計画)を検討した後、グループディスカッションにより、グループの学習指導案(学習活動計画)を作成し、実演した結果を分析・評価する。 事前学修 2.0hr：素材となる動画を視聴する。 事後学修 2.0hr：学習指導案を提出する。
11回	**授業テーマ：前学期教育実習の振り返りと報告 (1)** 授業内容：教育実習後のまとめと振り返りを行い、報告する。教科指導においては言語教育や言語習得に係る知識や理論を踏まえて自身の実践を批判的に考え、それぞれの教育観、言語観、言語学習観を再考する機会とする。 事前学修 2.0hr：教育実習の成果と課題について自己評価を行い報告する内容をまとめる。 事後学修 2.0hr：教育実習の振り返りと記録を書いて提出する。	26回	**授業テーマ：教材作成演習 (3) 高等学校レベル** 授業内容：動画を教材の素材として取り上げ、個人ワークで学習指導案(学習活動計画)を検討した後、グループディスカッションにより、グループの学習指導案(学習活動計画)を作成し、実演した結果を分析・評価する。 事前学修 2.0hr：素材となる動画を視聴する。 事後学修 2.0hr：学習指導案を提出する。
12回	**授業テーマ：前学期教育実習の振り返りと報告 (2)** 授業内容：教育実習後のまとめと振り返りを行い、報告する。教科指導においては言語教育や言語習得に係る知識や理論を踏まえて自身の実践を批判的に考え、それぞれの教育観、言語観、言語学習観を再考する機会とする。 事前学修 2.0hr：教育実習の成果と課題について自己評価を行い報告する内容をまとめる。 事後学修 2.0hr：教育実習の振り返りと記録を書いて提出する。	27回	**授業テーマ：コミュニケーション能力・対人関係力の向上 (1)** 授業内容：前学期に引き続き、同僚の教員をはじめ児童・生徒や保護者、地域住民と信頼関係を築くために必要なコミュニケーションスキルの向上をねらいとした演習に取り組み、実施後の振り返りを通して自身のスキルアップにつなげる。 事前学修 2.0hr：示されたコミュニケーション能力診断に取り組む。 事後学修 2.0hr：演習後の振り返りを書いて提出する。
13回	**授業テーマ：教職課程学修内容のまとめ** 授業内容：これまで教職課程科目で学修した内容のまとめとして、教育法規や教育課題、学習指導要領、教育施策等に関するキーワードの定義・内容を説明できるように確認しながら、正しい知識の定着を図る。 事前学修 2.0hr：教職課程科目の学修内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組み提出する。	28回	**授業テーマ：コミュニケーション能力・対人関係力の向上 (2)** 授業内容：前学期に引き続き、同僚の教員をはじめ児童・生徒や保護者、地域住民と信頼関係を築くために必要なコミュニケーションスキルの向上をねらいとした演習に取り組み、実施後の振り返りを通して自身のスキルアップにつなげる。 事前学修 2.0hr：前回の演習を振り返る。 事後学修 2.0hr：演習後の振り返りを書いて提出する。
14回	**授業テーマ：教育実習のまとめ (1)：教員の在り方に係る資質・能力の伸長** 授業内容：教育実習の省察を通して学んだ教員として求められる資質・能力について、グループワークを通して分析・考察を行い発表するとともに、コミュニケーション能力・対人関係力を向上させる演習に取り組む。 事前学修 2.0hr：教育実習の振り返りと記録を確認する。 事後学修 2.0hr：グループワークの成果をまとめ、演習の振り返りとともに提出する。	29回	**授業テーマ：最終プレゼンテーション (1)** 授業内容：年間を通して学修した教員に求められる英語力・教材作成力、教科指導力、探究力・プレゼンテーション力、コミュニケーション能力の総まとめとして、スピーチ原稿(及びスライド)を作成した上でプレゼンテーションを行う。 事前学修 2.0hr：スピーチ原稿を作成・練習する。 事後学修 1.0hr：スピーチ原稿及びフィードバックシートを提出する。
15回	**授業テーマ：教育実習のまとめ (2)：学級経営に係る生活指導等** 授業内容：教育実習の省察を通して学んだ学級経営や生活指導、生徒理解と教育相談、保護者との連携について、グループワークを通して分析・考察を行い発表するとともに、教育相談や保護者対応のロールプレイに取り組む。 事前学修 2.0hr：教育実習の振り返りと記録を確認する。 事後学修 2.0hr：グループワークの成果をまとめ、演習の振り返りとともに提出する。	30回	**授業テーマ：最終プレゼンテーション (2)** 授業内容：年間を通して学修した教員に求められる英語力・教材作成力、教科指導力、探究力・プレゼンテーション力、コミュニケーション能力の総まとめとして、スピーチ原稿(及びスライド)を作成した上でプレゼンテーションを行う。 事前学修 2.0hr：スピーチ原稿を作成・練習する。 事後学修 1.0hr：スピーチ原稿及びフィードバックシートを提出する。

教職実践演習(中・高)

開講学科等：日英中 ｜ 4 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

西貝　裕武（にしがい　ひろむ）**・藤井　大輔**（ふじい　だいすけ）

▌授業の概要

・教科教育などの知識と教育実習等で得られた教科指導・生徒指導の実践力との統合を図る。また、教師としての使命感や責任感に基づく確かな実践的指導力を養うことを目的とする。
・教育行政機関の職員、小学校・中学校・高等学校等の校長や教員を招聘して教育現場の視点を踏まえた課題を取り扱うことで、教師としての総合的な資質能力を養う。
・主な授業形態は、能動的な学修を基本にし、講義や演習、プレゼンテーション、グループ討論、事例研究、模擬授業、ロールプレイ等を組み合わせて実施する。

▌到達目標

一般目標：・教育に対する使命感や情熱を持ち、常に生徒から学び、共に成長しようとする姿勢を習得する。
　　・また、教師としての実践的指導力や総合力を高めることができる。
個別目標：・教師としての使命感をもち、生徒指導だけではなく、教育の歴史的推移、国内外の教育改革の動向を理解することができる。
　　・教育の在り方に関することや学校教育についての基礎的な知識と人間的な幅広い視野をもつことができる。
　　・授業を通して学友の話を聞きながら、自分の考えを適宜修正し自らの考えを主張できるようになる。

▌履修条件

教職を目指す学生

▌評価基準・方法

授業への積極的な参加姿勢と授業内での発表内容、レポート、最終課題等を総合的に評価する。５分の４以上の出席を評価の対象とし、欠席は減点する。

▌フィードバック方法

・課題等のフィードバックは、レポートの返却後の個別指導 (対面)や学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ペアワーク、グループ協議の実施。マイクロ・ティーチング、ロールプレイの実施。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （PC（スマートフォン可)を利用した作業あり。ICT を活用したマイクロ・ティーチングの実施。）

▌教科書

「中学校学習指導要領(平成 29 年告示)」「高等学校学習指導要領(平成 30 年告示)」
「改訂　生徒指導提要(適宜インターネットからダウンロードする)」

▌参考書

必要に応じ、適宜参考書等を紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：授業の目的、内容、進め方等のガイダンス及びこれまでの学修に関する振り返り** 授業内容：授業の概要を知る(目標、学修計画、授業の進め方及び確認事項)。 事前学修 3.0hr：大学の授業や教育実習を通して見えてきた自分の課題をまとめる。 事後学修 2.0hr：各自が本学の教職課程で学んだ中で得たことをまとめて提出する。
2回	**授業テーマ：教科等の指導①：教育実習の振り返り** 授業内容：学習指導案やリフレクションシートを用いて教育実習をふり返る。 事前学修 2.0hr：「教育実習記録」や実践した学習指導案を見直し、課題を整理する。 事後学修 2.0hr：グループ討論での共通の課題や改善方向を整理する。
3回	**授業テーマ：教科等の指導②：模擬授業(国語、英語、中国語)の構想と準備** 授業内容：教科ごとにグループになって、主体的・対話的で深い学びを実現する個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実を重視した模擬授業の構想を練り、指導略案を作成する。 事前学修 2.0hr：教育実習時の教科の学習指導案を見直し、模擬授業を構想する。 事後学修 2.0hr：指導略案の修正及び模擬授業のための練習をする。
4回	**授業テーマ：教科等の指導③：模擬授業(国語、英語、中国語)の実施と振り返り** 授業内容：個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実を重視した模擬授業を実施する。 生徒役の学生は、次の点について考えながら授業を受ける。 ・ねらい(めあて)の明示　・的確な発問　・明確な指示　・板書　・ノート指導　・個別指導　・目線・姿勢・声・身だしなみ　等 事前学修 3.0hr：指導略案の完成及び模擬授業のための練習をする。 事後学修 2.0hr：模擬授業に対する振り返りをワークシートに記入する。
5回	**授業テーマ：生徒理解①：生徒指導と教育相談－ SC・SSW との連携を踏まえて－** 授業内容：生徒指導における SC・SSW との連携の重要性について、具体的な事例に基づき再確認する。 事前学修 2.0hr：事前配布の事例を読んで、対応に関する自分の考えをまとめる。 事後学修 2.0hr：本事例を考察し、特に必要とされる SC・SSW との連携の在り方をまとめる。
6回	**授業テーマ：生徒理解②：生徒の問題行動に関する事例研究－いじめ・不登校・虐待を中心に－** 授業内容：いじめ、不登校、虐待に関する事例研究を通して、生徒理解及び生徒指導の具体的な在り方について再確認する。 事前学修 2.0hr：事前配布の事例を読んで、自分の考えをまとめ、対応を考える。 事後学修 2.0hr：グループでの対話や講義内容をふまえ、問題行動の背景を考慮した対応をまとめる。
7回	**授業テーマ：生徒理解③：教師と生徒のコミュニケーション－教師の対応力の向上－** 授業内容：教師と生徒のコミュニケーションに関する事例研究を通して、教師の対応力について再確認する。 事前学修 2.0hr：生徒とのより良い人間関係を築くための事前資料を読んで、事例対応を考えてくる。 事後学修 2.0hr：グループでの対話や講義内容をふまえ、教師のコミュニケーション力を豊かにする方策をまとめる。
8回	**授業テーマ：教科等の指導④：道徳教育と特別活動の課題と具体的な展開** 授業内容：特別の教科道徳や特別活動(学級活動)の授業の実際と育成を目指す資質・能力を再確認する。 事前学修 2.0hr：中学校学習指導要領解説「特別の教科　道徳編」と「特別活動編」を読んでくる。 事後学修 2.0hr：学習指導の重点を考察し、授業を想定して学習活動の概略を作成する。
9回	**授業テーマ：教科等の指導⑤：「総合的な学習(探究)の時間」と地域連携の在り方(現職教員等による講義・演習)** 授業内容：「総合的な学習(探究)の時間」の授業の実際と育成を目指す資質・能力を再確認する。併せて、地域連携の重要性を再確認する。 事前学修 3.0hr：学習指導要領解説　「総合的な学習(探究)の時間編」を読んでくる。 事後学修 2.0hr：学習指導の重点を考察し、連携をテーマに具体的な活動案を作成する。

10回	**授業テーマ：学級経営①：小学校教育の実際(現職教員等による講義・演習)** 授業内容：小学校長(または教員)による小学校における教育活動についての講義を聞く。また、小学校における課題とその解決方法等について演習を通して学ぶ。 事前学修 2.0hr：小学校における教育活動の概要と教育課題について調べる。 事後学修 2.0hr：講義と演習で学んだことを小レポートにまとめる。
11回	**授業テーマ：学級経営②：中学校教育の実際(現職教員等による講義・演習)** 授業内容：中学校長(または教員)による中学校における教育活動についての講義を聞く。また、中学校における課題とその解決方法等について演習を通して学ぶ。 事前学修 2.0hr：中学校における教育活動の概要と教育課題について調べる。 事後学修 2.0hr：講義と演習で学んだことを小レポートにまとめる。
12回	**授業テーマ：学校経営③：高等学校教育の実際(現職教員等による講義・演習)** 授業内容：高等学校長(または教員)による高等学校における教育活動についての講義を聞く。また、高等学校における課題とその解決方法等について演習を通して学ぶ。 事前学修 2.0hr：高等学校における教育活動の概要と教育課題について調べる。 事後学修 2.0hr：講義と演習で学んだことを小レポートにまとめる。
13回	**授業テーマ：学校経営⑤：特別支援教育の実際(現職教員等による講義・演習)** 授業内容：特別支援学校長(または教員)による特別支援学校における教育活動についての講義を聞く。また、特別支援学校における課題とその解決方法等について演習を通して学ぶ。 事前学修 2.0hr：特別支援学校における教育活動の概要と教育課題について調べる。 事後学修 2.0hr：事例を通し災害などの際の学校の在り方・対応を考察し、まとめる
14回	**授業テーマ：学校経営④：学校の危機管理―学校事故・自然災害への適正な対応―(現職教員等による講義・演習)** 授業内容：学校事故・自然災害への実例を知るとともに、適正な対応について考える。 事前学修 2.0hr：学校における危機管理の必要な幾つかの事例を元に対応を考えてくる。 事後学修 2.0hr：講義と演習で学んだことを小レポートにまとめる。
15回	**授業テーマ：まとめ　2年次から学んできた教職課程全科目を通した総括―最終レポート―** 授業内容：教職課程で学んだこと、今後に生かしていくことについて、各自が発表しクラス全体で協議する。 事前学修 2.0hr：教職課程全科目を通して学んだことを振り返りレポートとしてまとめる。 事後学修 2.0hr：これまでの授業を振り返り、自己の課題の解決と次社会での活用に取り組む。

教職インターンシップ

開講学科等：日英中 ｜ 3 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通

浅田　勉（あさだ　つとむ）

▌授業の概要

教職課程に関する基礎的な知識・技能・態度を学び、教員としての自覚を形成する前の段階で、地域小中学校での現場体験を通じて学修し、教職に就く意識を形成する。現場の体験を通して、校内の教職員や多様な専門性を持つ人材と効果的に連携・分担し、チームとして組織的に諸課題に対応することの重要性を学修する。

▌到達目標

一般目標：1　学習指導要領の理解を通して教育に求められる今日的課題を理解する。
　　2　他の職業との比較を通して、教職の職業的特徴を理解する。
　　3　生徒児童への指導及び指導以外の校務を含めた教員の職務の全体像を理解する。
個別目標：1　体験を通して自己の資質を再確認し、学校の実情、教師の使命を知り教職への動機づけとする。
　　2　実際の現場の厳しさを体感することで教育者としての自覚を促し、資質を高める。

▌履修条件

1　将来、小学校・中学校・高等学校の教員を目指し、教職課程を履修している学生。
2　地域小中学校での現場体験について能動的に参加する意欲をもち、将来、教職に就く意識の形成を図ろうとする意欲のある学生。

▌評価基準・方法

千葉県「ちば！ 教職たまごプロジェクト」に年間を通して２０日以上参加する。インターンシップ中に提出する課題3本３０%、インターンシップ終了後に提出するレポート７０%の割合で総合評価する。

▌フィードバック方法

学修支援システム manaba を通して行う

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク、プレゼンテーション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Word、Excel、PowerPoint を搭載した PC を指示により持参）

▌教科書

授業担当教員が作成したレジュメをテキストとして使用する。

▌参考書

適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：教職インターンシップの教育活動における目的と意義** 授業内容：教職インターンシップを実施する上での教育活動における目的と意義について学ぶ。 事前学修 2.0hr：インターンシップに臨む意義と目的等をまとめる。 事後学修 2.0hr：インターンシップの目的と意義を理解する。	16回	**授業テーマ：教育現場でのインターンシップ体験(10)** 授業内容：前期の内容を受け、後期に向けた自己の課題を明確にする。 事前学修 2.0hr：研修校での職務の確認と自らの課題を検討してまとめる。 事後学修 2.0hr：インターンシップ後半の改善点を各自整理しまとめる。
2回	**授業テーマ：職業としての教員－教員の使命・職務内容の理解－** 授業内容：教員の使命・職務内容の理解を通して職業としての教員について学ぶ。 事前学修 2.0hr：教員に求められる資質を自身で検討する。 事後学修 2.0hr：教員に必要な義務・倫理観・常識をまとめる。	17回	**授業テーマ：教育現場でのインターンシップ体験(11)** 授業内容：活動内容を PC により端的にまとめたレポートを提出することで、活動内容を振り返り、次回への参考とする。 事前学修 2.0hr：研修校での職務の確認と自らの課題を検討してまとめる。 事後学修 2.0hr：研修を振り返り次研修への課題・改善方法などを記録にまとめる。
3回	**授業テーマ：小学校・中学校・高等学校学習指導要領と教育活動** 授業内容：小学校・中学校・高等学校学習指導要領と教育活動について理解を深める。 事前学修 2.0hr：学校種を調べ、想定される教育課題をまとめる。 事後学修 2.0hr：学校種による教育活動の特質を整理する。	18回	**授業テーマ：教育現場でのインターンシップ体験(12)** 授業内容：活動内容を PC により端的にまとめたレポートを提出することで、活動内容を振り返り、次回への参考とする。 事前学修 2.0hr：研修校での職務の確認と自らの課題を検討してまとめる。 事後学修 2.0hr：今時の研修内容を振り返り、次の研修への課題・改善方法などを記録にまとめる。
4回	**授業テーマ：事前指導―研修生としての自覚と実際の活動―** 授業内容：事前指導として、研修生としての自覚と実際の活動について学び、相互理解する。 事前学修 2.0hr：研修校の概要と事前ガイダンス等の確認 事後学修 2.0hr：研修生としての心構えと課題を整理する。	19回	**授業テーマ：教育現場でのインターンシップ体験(13)** 授業内容：活動内容を PC により端的にまとめたレポートを提出することで、活動内容を振り返り、次回への参考とする。 事前学修 2.0hr：研修校での職務の確認と自らの課題を検討してまとめる。 事後学修 2.0hr：研修を振り返り次研修への課題・改善方法などを記録にまとめる。
5回	**授業テーマ：教育現場でのインターンシップ体験(1)** 授業内容：教育現場でのインターンシップ体験を行う。各回ごとに活動内容を PC により端的にまとめたレポートを提出する。 事前学修 2.0hr：研修校での職務の確認と自らの課題を検討してまとめる。 事後学修 2.0hr：研修を振り返り次研修への課題・改善方法などを記録にまとめる。	20回	**授業テーマ：教育現場でのインターンシップ体験(14)** 授業内容：活動内容を PC により端的にまとめたレポートを提出することで、活動内容を振り返り、次回への参考とする。 事前学修 2.0hr：研修校での職務の確認と自らの課題を検討してまとめる。 事後学修 2.0hr：研修を振り返り次研修への課題・改善方法などを記録にまとめる。
6回	**授業テーマ：教育現場でのインターンシップ体験(2)** 授業内容：活動内容を PC により端的にまとめたレポートを提出することで、活動内容を振り返り、次回への参考とする。 事前学修 2.0hr：研修校での職務の確認と自らの課題を検討してまとめる。 事後学修 2.0hr：研修を振り返り次研修への課題・改善方法などを記録にまとめる。	21回	**授業テーマ：教育現場でのインターンシップ体験(15)** 授業内容：活動内容を PC により端的にまとめたレポートを提出することで、活動内容を振り返り、次回への参考とする。 事前学修 2.0hr：研修校での職務の確認と自らの課題を検討してまとめる。 事後学修 2.0hr：研修を振り返り次研修への課題・改善方法などを記録にまとめる。
7回	**授業テーマ：教育現場でのインターンシップ体験(3)** 授業内容：活動内容を PC により端的にまとめたレポートを提出することで、活動内容を振り返り、次回への参考とする。 事前学修 2.0hr：研修校での職務の確認と自らの課題を検討してまとめる。 事後学修 2.0hr：研修を振り返り次研修への課題・改善方法などを記録にまとめる。	22回	**授業テーマ：教育現場でのインターンシップ体験(16)** 授業内容：活動内容を PC により端的にまとめたレポートを提出することで、活動内容を振り返り、次回への参考とする。 事前学修 2.0hr：研修校での職務の確認と自らの課題を検討してまとめる。 事後学修 2.0hr：研修を振り返り次研修への課題・改善方法などを記録にまとめる。
8回	**授業テーマ：教育現場でのインターンシップ体験(4)** 授業内容：活動内容を PC により端的にまとめたレポートを提出することで、活動内容を振り返り、次回への参考とする。 事前学修 2.0hr：研修校での職務の確認と自らの課題を検討してまとめる。 事後学修 2.0hr：研修を振り返り次研修への課題・改善方法などを記録にまとめる。	23回	**授業テーマ：教育現場でのインターンシップ体験(17)** 授業内容：活動内容を PC により端的にまとめたレポートを提出することで、活動内容を振り返り、次回への参考とする。 事前学修 2.0hr：研修校での職務の確認と自らの課題を検討してまとめる。 事後学修 2.0hr：研修を振り返り次研修への課題・改善方法などを記録にまとめる。

9回	**授業テーマ：教育現場でのインターンシップ体験(5)** 授業内容：活動内容を PC により端的にまとめたレポートを提出することで、活動内容を振り返り、次回への参考とする。 事前学修 2.0hr：研修校での職務の確認と自らの課題を検討してまとめる。 事後学修 2.0hr：研修を振り返り次研修への課題・改善方法などを記録にまとめる。	24回	**授業テーマ：教育現場でのインターンシップ体験(18)** 授業内容：活動内容を PC により端的にまとめたレポートを提出することで、活動内容を振り返り、次回への参考とする。 事前学修 2.0hr：研修校での職務の確認と自らの課題を検討してまとめる。 事後学修 2.0hr：研修を振り返り次研修への課題・改善方法などを記録にまとめる。
10回	**授業テーマ：教育現場でのインターンシップ体験(6)** 授業内容：活動内容を PC により端的にまとめたレポートを提出することで、活動内容を振り返り、次回への参考とする。 事前学修 2.0hr：研修校での職務の確認と自らの課題を検討してまとめる。 事後学修 2.0hr：研修を振り返り次研修への課題・改善方法などを記録にまとめる。	25回	**授業テーマ：教育現場でのインターンシップ体験(19)** 授業内容：活動内容を PC により端的にまとめたレポートを提出することで、活動内容を振り返り、次回への参考とする。 事前学修 2.0hr：研修校での職務の確認と自らの課題を検討してまとめる。 事後学修 2.0hr：研修を振り返り次研修への課題・改善方法などを記録にまとめる。
11回	**授業テーマ：教育現場でのインターンシップ体験(7)** 授業内容：活動内容を PC により端的にまとめたレポートを提出することで、活動内容を振り返り、次回への参考とする。 事前学修 2.0hr：研修校での職務の確認と自らの課題を検討してまとめる。 事後学修 2.0hr：研修を振り返り次研修への課題・改善方法などを記録にまとめる。	26回	**授業テーマ：教育現場でのインターンシップ体験(20)** 授業内容：活動内容を PC により端的にまとめたレポートを提出することで、活動内容を振り返り、次回への参考とする。 事前学修 2.0hr：研修校での職務の確認と自らの課題を検討してまとめる。 事後学修 2.0hr：研修を振り返り次研修への課題・改善方法などを記録にまとめる。
12回	**授業テーマ：教育現場でのインターンシップ体験(8)** 授業内容：活動内容を PC により端的にまとめたレポートを提出することで、活動内容を振り返り、次回への参考とする。 事前学修 2.0hr：研修校での職務の確認と自らの課題を検討してまとめる。 事後学修 2.0hr：研修を振り返り次研修への課題・改善方法などを記録にまとめる。	27回	**授業テーマ：インターンシップ体験のまとめ１(体験終了後の事後指導)** 授業内容：体験を通し学んだことや課題と感じたことについて、まとめ報告会の準備を行う。 事前学修 2.0hr：前期後期を通じて研修校での職務の確認と自らの課題を検討してまとめる。 事後学修 2.0hr：指導内容に基づき礼状を清書し送付する。
13回	**授業テーマ：教育現場でのインターンシップ体験(9)** 授業内容：活動内容を PC により端的にまとめたレポートを提出することで、活動内容を振り返り、次回への参考とする。 事前学修 2.0hr：研修校での職務の確認と自らの課題を検討してまとめる。 事後学修 2.0hr：研修を振り返り次研修への課題・改善方法などを記録にまとめる。	28回	**授業テーマ：インターンシップ体験のまとめ２(課題の整理と省察１)** 授業内容：まとめ報告会のプレゼンテーションを作成する。 事前学修 2.0hr：体験で得た成果や課題を整理する。 事後学修 2.0hr：成果や課題を教職にどう活かすのか検討する。
14回	**授業テーマ：中間報告会準備－インターンシップ時の課題と改善点－** 授業内容：活動内容をまとめたレポートに基づき、中間報告会に向けた準備を行う。 事前学修 2.0hr：中間報告会の準備としてまとめ発表できるようにする。 事後学修 2.0hr：今時の研修内容を振り返り、次の研修への課題・改善方法などを記録にまとめる。	29回	**授業テーマ：インターンシップ体験のまとめ３(課題の整理と省察２)** 授業内容：プレゼンテーションを用いて、インターンシップ体験の成果や課題について発表する。 事前学修 2.0hr：グループ討議用のレジュメを作成する。 事後学修 2.0hr：討議を踏まえた新たな課題や視点を整理する。
15回	**授業テーマ：前期中間報告会** 授業内容：前期の活動内容に関する中間報告会を行い、相互評価する。 事前学修 2.0hr：インターンシップ前半の課題を明らかにする。 事後学修 2.0hr：後期に向けての課題と改善点をまとめる。	30回	**授業テーマ：インターンシップ報告会** 授業内容：インターンシップを通して学んだことについてグループワークを通して、相互評価を行い、今後の教職に関わる姿勢や方向性について考察する。 事前学修 2.0hr：終了報告会での発表用レジュメを作成し、発表の準備を進める。 事後学修 2.0hr：研修の成果を教職に活かす方策をまとめる。

Four Skills for Teaching a

開講学科等：英 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

タイソン　ロード・パトリツィア　ハヤシ・米村　珠子（よねむら　たまこ）

▌授業の概要

中学校・高等学校教諭一種免許状(英語)取得希望者のための３・４年次前学期の必修科目で、中学校・高等学校における４技能統合型の授業を英語で行うために必要な英語運用能力の向上を目指すとともに、生徒のコミュニケーション能力や論理的・批判的・分析的思考力、課題解決力等を伸ばすための指導技術を、ディベート・ディスカッションにより学ぶ。授業は英語で行い、ペアやグループでのコミュニケーション活動を中心とする。

▌到達目標

一般目標：１．中学校・高等学校で育成すべき資質・能力を踏まえた５領域の技能を統合した言語活動の指導力を身に付ける。
２．生徒がコミュニケーション活動を通じて主体的・協働的な学習者となるための有効な援助を与えることができる。
３．論理的・批判的・分析的な思考力に基づく英語コミュニケーション活動を段階的に指導することができる。

個別目標：(1) インプットされた内容や表現を用いて、発表ややり取り、書くことにより自分の考えや意見をアウトプットすることができる。
(2) 自ら考え、他者と考えを共有する活動を積極的に行い、他の受講生や教師との良好なラポールを築くことができる。
(3) 他者と協働するコミュニケーション活動を通して、グローバルな視点で新たな価値を創造し行動することができる。

▌履修条件

1. 将来、中学校・高等学校の英語科教員を目指し、教職課程を履修する者。
2. 後学期に「Four Skills for Teaching b」を履修すること。
3. 原則として、「教職基礎セミナー(英語科)」Ⅰ～Ⅳの単位を修得していること。但し、特別な理由が認められる場合は「教職基礎セミナー(英語科)Ⅰ, Ⅱ, Ⅲ, Ⅳ」のいずれか一科目又は複数の科目と併修することを認める。

▌評価基準・方法

課題への取組(2 tasks) 45 %、授業内活動の振り返り(3 reflections)15 %、最終課題 30%、授業への取組 10%

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、授業及び学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション、ディベート、課題解決学習）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （プレゼンテーション、フィードバック、アウトプットの共有）

▌教科書

World Link 3A 4th edition: James R. Morgan and Nancy Douglas, National Geographic Learning

▌参考書

必要に応じて授業で指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Course Introduction** 授業内容：To make sure of the syllabus and course schedule, to know the students are expected to take part in group and pair activities to build a positive class atmosphere and set the tone for the course 事前学修 2.0hr：Unit 1A の内容を読む。講座スケジュールを確認する。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組む。
2回	**授業テーマ：Unit 1A Your Space** 授業内容：To practice speaking and listening activities based on the materials of the textbook, to review the use of vocabulary and key expressions, to discuss how they communicate 事前学修 2.0hr：Unit 1B の内容を読む。 事後学修 2.0hr：教科書の exercise をやる。
3回	**授業テーマ：Unit 1B Our Space** 授業内容：To practice speaking and listening activities based on the materials of the textbook, to expand the discussion of the topic, to write your own opinions and ideas 事前学修 2.0hr：Unit 1A で扱った語彙を復習する。 事後学修 2.0hr：教科書の exercise をやる。
4回	**授業テーマ：Integrated Task 1 Part A** 授業内容：To work in pairs or groups to prepare for an integrated task, to collaborate and cooperate to complete the worksheet of the task 事前学修 2.0hr：授業で指示された Integrated Task 1 の準備を行う。 事後学修 2.0hr：次回発表に向けて Integrated Task 1 を完成させる。
5回	**授業テーマ：Integrated Task 1 Part B** 授業内容：To complete your integrated task for assessment, to perform the task, demonstrating your ability to use the language such as vocabulary and key expression 事前学修 2.0hr：Task notes の準備と振り返りを行う。 事後学修 2.0hr：Task の振り返りを書いて提出する。
6回	**授業テーマ：Unit 2A Explain it to me** 授業内容：To practice speaking and listening activities based on the materials of the textbook, to review the use of vocabulary and key expressions, to discuss how they communicate 事前学修 2.0hr：Unit 2A の内容を読む。 事後学修 2.0hr：教科書の exercise をやる。
7回	**授業テーマ：Unit 2B Have you heard the news?** 授業内容：To practice speaking and listening activities based on the materials of the textbook, to expand the discussion of the topic, to write your own opinions and ideas 事前学修 2.0hr：Unit 2A で扱った語彙を復習する。 事後学修 2.0hr：教科書の exercise をやる。
8回	**授業テーマ：Integrated Task 2 Part A** 授業内容：To work in pairs or groups to prepare for an integrated task, to collaborate and cooperate to complete the worksheet of the task 事前学修 2.0hr：授業で指示された Integrated Task 2 の準備を行う。 事後学修 2.0hr：次回発表に向けて Integrated Task 2 を完成させる。

9回	**授業テーマ：Integrated Task 2 Part B** 授業内容：To complete your integrated task for assessment, to perform the task, demonstrating your ability to use the language such as vocabulary and key expression 事前学修 2.0hr：Task notes の準備と振り返りを行う 事後学修 2.0hr：Task の振り返りを書いて提出する。
10回	**授業テーマ：Unit 3A Milestones** 授業内容：To practice speaking and listening activities based on the materials of the textbook, to review the use of vocabulary and key expressions, to discuss how they communicate 事前学修 2.0hr：Unit 3A の内容を読む。 事後学修 2.0hr：教科書の exercise をやる。
11回	**授業テーマ：Unit 3B Big Changes** 授業内容：To practice speaking and listening activities based on the materials of the textbook, to expand the discussion of the topic, to write your own opinions and ideas 事前学修 2.0hr：Unit 3A で扱った語彙を復習する。 事後学修 2.0hr：教科書の exercise をやる。
12回	**授業テーマ：Units 1 - 3 Review** 授業内容：To review the vocabulary, key expressions, language use and structures from Unit 1A to Unit 3B, to review all the topics and discussions you did 事前学修 2.0hr：Unit 1A - 3B を復習する。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題を完成する。
13回	**授業テーマ：Debate Discussion 1** 授業内容：To learn about the language of debates that are common at the junior high school level, to participate in communicative activities, to do research on the topics 事前学修 2.0hr：グループ・プレゼンテーションの素材を確認する。 事後学修 2.0hr：debate skill worksheet を確認する。
14回	**授業テーマ：Debate Discussion 2** 授業内容：To prepare for the final debate discussion based on the outcomes of Integrated Task 2, to review your arguments from Integrated Task 2 and improve it 事前学修 2.0hr：Integrated Task 2 の議論を振り返る。 事後学修 2.0hr：Final Debate Discussion の準備を行う。
15回	**授業テーマ：Debate Discussion 3** 授業内容：To have debate in teams using the language of debates you learned in the previous lessons, to judge the performances of the other teams and give feedback 事前学修 2.0hr：Task notes を振り返る。debate を準備する。 事後学修 2.0hr：Debate Discussion の振り返りを書いて提出する。

Four Skills for Teaching b

開講学科等：英 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

タイソン　ロード・パトリツィア　ハヤシ・米村　珠子（よねむら　たまこ）

▌授業の概要

中学校・高等学校教諭一種免許状(英語)取得希望者のための３・４年次後学期の必修科目で、中学校・高等学校における４技能統合型の授業を英語で行うために必要な英語運用能力の向上を目指すとともに、生徒のコミュニケーション能力や論理的・批判的・分析的思考力、課題解決力等を伸ばすための指導技術を、ディベート・ディスカッションにより学ぶ。授業は英語で行い、ペアやグループでのコミュニケーション活動を中心とする。

▌到達目標

一般目標：１．中学校・高等学校で育成すべき資質・能力を踏まえた５領域の技能を統合した言語活動の指導力を身に付ける。
２．生徒がコミュニケーション活動を通じて主体的・協働的な学習者となるための有効な援助を与えることができる。
３．論理的・批判的・分析的な思考力に基づく英語コミュニケーション活動を段階的に指導することができる。

個別目標：(1) インプットされた内容や表現を用いて、発表ややり取り、書くことにより自分の考えや意見をアウトプットすることができる。
(2) 自ら考え、他者と考えを共有する活動を積極的に行い、他の受講生や教師との良好なラポールを築くことができる。
(3) 他者と協働するコミュニケーション活動を通して、グローバルな視点で新たな価値を創造し行動することができる。

▌履修条件

1. 将来、中学校・高等学校の英語科教員を目指し、教職課程を履修する者。
2. 前学期に「Four Skills for Teaching a」を履修すること。
3. 原則として、「教職基礎セミナー(英語科)」Ⅰ～Ⅳの単位を修得していること。但し、特別な理由が認められる場合は「教職基礎セミナー(英語科)Ⅰ, Ⅱ, Ⅲ, Ⅳ」のいずれか一科目又は複数の科目と併修することを認める。

▌評価基準・方法

課題への取組(2 tasks) 45 %、授業内活動の振り返り(3 reflections)15 %、最終課題 30%、授業への取組 10%

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、授業及び学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション、ディベート、課題解決学習）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （プレゼンテーション、フィードバック、アウトプットの共有）

▌教科書

World Link 3A 4th edition: James R. Morgan and Nancy Douglas, National Geographic Learning

▌参考書

必要に応じて授業で指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Course Introduction** 授業内容：To make sure of the syllabus and course schedule, to know the students are expected to take part in group and pair activities to build a positive class atmosphere and set the tone for the course 事前学修 2.0hr：Unit 4A の内容を読む。講座スケジュールを確認する。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組む。
2回	**授業テーマ：Unit 4A Appearance** 授業内容：To practice speaking and listening activities based on the materials of the textbook, to review the use of vocabulary and key expressions, to discuss how they communicate 事前学修 2.0hr：Unit 4B の内容を読む。 事後学修 2.0hr：教科書の exercise をやる。
3回	**授業テーマ：Unit 4B Dating** 授業内容：To practice speaking and listening activities based on the materials of the textbook, to expand the discussion of the topic, to write your own opinions and ideas 事前学修 2.0hr：Unit 4A で扱った語彙を復習する。 事後学修 2.0hr：教科書の exercise をやる。
4回	**授業テーマ：Integrated Task 1 Part A** 授業内容：To work in pairs or groups to prepare for an integrated task, to collaborate and cooperate to complete the worksheet of the task 事前学修 2.0hr：授業で指示された Integrated Task 1 の準備を行う。 事後学修 2.0hr：次回発表に向けて Integrated Task 1 を完成させる。
5回	**授業テーマ：Integrated Task 1 Part B** 授業内容：To complete your integrated task for assessment, to perform the task, demonstrating your ability to use the language such as vocabulary and key expression 事前学修 2.0hr：Task notes の準備と振り返りを行う。 事後学修 2.0hr：Task の振り返りを書いて提出する。
6回	**授業テーマ：Unit 5A Across Cultures** 授業内容：To practice speaking and listening activities based on the materials of the textbook, to review the use of vocabulary and key expressions, to discuss how they communicate 事前学修 2.0hr：Unit 5A の内容を読む。 事後学修 2.0hr：教科書の exercise をやる。
7回	**授業テーマ：Unit 5B Adjusting to a New Place** 授業内容：To practice speaking and listening activities based on the materials of the textbook, to expand the discussion of the topic, to write your own opinions and ideas 事前学修 2.0hr：Unit 5A で扱った語彙を復習する。 事後学修 2.0hr：教科書の exercise をやる。
8回	**授業テーマ：Integrated Task 2 Part A** 授業内容：To work in pairs or groups to prepare for an integrated task, to collaborate and cooperate to complete the worksheet of the task 事前学修 2.0hr：授業で指示された Integrated Task 2 の準備を行う。 事後学修 2.0hr：次回発表に向けて Integrated Task 2 を完成させる。

9回	**授業テーマ：Integrated Task 2 Part B** 授業内容：To complete your integrated task for assessment, to perform the task, demonstrating your ability to use the language such as vocabulary and key expression 事前学修 2.0hr：Task notes の準備と振り返りを行う 事後学修 2.0hr：Task の振り返りを書いて提出する。
10回	**授業テーマ：Unit 6A Success Stories** 授業内容：To practice speaking and listening activities based on the materials of the textbook, to review the use of vocabulary and key expressions, to discuss how they communicate 事前学修 2.0hr：Unit 6A の内容を読む。 事後学修 2.0hr：教科書の exercise をやる。
11回	**授業テーマ：Unit 6B Advertising** 授業内容：To practice speaking and listening activities based on the materials of the textbook, to expand the discussion of the topic, to write your own opinions and ideas 事前学修 2.0hr：Unit 6A で扱った語彙を復習する。 事後学修 2.0hr：教科書の exercise をやる。
12回	**授業テーマ：Units 4 - 6 Review** 授業内容：To review the vocabulary, key expressions, language use and structures from Unit 4A to Unit 6B, to review all the topics and discussions you did 事前学修 2.0hr：Unit 4A - 6B を復習する。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題を完成する。
13回	**授業テーマ：Debate Discussion 1** 授業内容：To learn about the language of debates that are common at the junior high school level, to participate in communicative activities, to do research on the topics 事前学修 2.0hr：グループ・プレゼンテーションの素材を確認する。 事後学修 2.0hr：debate skill worksheet を確認する。
14回	**授業テーマ：Debate Discussion 2** 授業内容：To prepare for the final debate discussion based on the outcomes of Integrated Task 2, to review your arguments from Integrated Task 2 and improve it 事前学修 2.0hr：Integrated Task 2 の議論を振り返る。 事後学修 2.0hr：Final Debate Discussion の準備を行う。
15回	**授業テーマ：Debate Discussion 3** 授業内容：To have debate in teams using the language of debates you learned in the previous lessons, to judge the performances of the other teams and give feedback 事前学修 2.0hr：Task notes を振り返る。debate を準備する。 事後学修 2.0hr：Debate Discussion の振り返りを書いて提出する。

小学校英語基礎概論Ⅰ

開講学科等：英　｜　1年次　｜　2単位　｜　開講期：前

遠藤　哲也（えんどう　てつや）

▌授業の概要

・本学においては、中学校や高等学校における英語科教員になるための教職課程は設置しているが、小学校における教職課程は設置していない。本授業では、２０２０年度から全面実施された小学校における外国語（英語）に関する基礎的な概要を理解するために、小学校外国語活動及び外国語（英語）に関する専門的な事項や指導法の基礎を学修する。
・本授業は、小学校英語指導者認定協議会（J-SHINE）の指導者育成共通カリキュラムに基づいて実施する。

▌到達目標

一般目標：・小学校における外国語（英語）活動や外国語（英語）に関する専門的な知識を身に付ける
　　・小学校における外国語（英語）活動や外国語（英語）の基礎的な指導技術を身に付ける。
個別目標：・小学校における外国語（英語）活動や外国語（英語）に関する専門的知識を活用できる。
　　・小学校における外国語（英語）活動や外国語（英語）の基礎的な授業実践ができる。

▌履修条件

１．小学校英語に関する基礎的な知識をもった中学校・高等学校の英語科教員を目指し、教職課程を履修する熱意ある学生。
２．後学期において「小学校英語基礎概論Ⅱ」を履修する学生。
３．J-SHINE の「認定指導者」資格を取得希望の学生は、本講座の他、別途定める集中講座を受講しなければならない。

▌評価基準・方法

・授業におけるプレゼンテーション４０%、小レポート３０%、定期試験３０%による総合評価とする。
・なお、５分の４以上の出席を評価の前提条件とし、欠席は減点する。

▌フィードバック方法

・課題等のフィードバックは、レポート返却後の個別指導（対面）や学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ペアワーク、グループ協議の実施。小学校英語における言語活動の練習。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （PC（スマートフォン可）を利用した調べ学習。）

▌教科書

「小学校英語　はじめる教科書　改定３版 外国語科・外国語活動指導者養成のためにーコア・カリキュラムに沿ってー」
　吉田研作（監修）　小川 隆夫・東　仁美（著）：２０２４年　mpi 松香フォニックス

▌参考書

・「小学校学習指導要領（平成 29 年告示）」・「小学校学習指導要領解説外国語活動・外国語編（平成 29 年告示）」
・「小学校外国語活動・外国語研修ガイドブック（文部科学省）」　・文部科学省教材「Let's Try!」
・教科用図書

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：・授業概要の説明 ・学習指導要領における外国語活動と外国語の位置づけを知る。 事前学修 2.0hr：教科書を概観しておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
2回	**授業テーマ：小学校英語教育の変遷** 授業内容：テキスト第二部　Unit 1「小学校英語教育の変遷」の内容をまとめたものを発表し、協議する。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の概要をまとめ、発表資料を作成する。 事後学修 2.0hr：授業内容を受け、小レポートを作成する。
3回	**授業テーマ：英語の音声、発音と綴りの関係、文構造・文法** 授業内容：テキスト第二部　Unit 2「英語の音声」、Unit 3「発音と綴りの関係」、Unit 4「英語の文構造・文法」の内容をまとめたものを発表し、協議する。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の概要をまとめ、発表資料を作成する。 事後学修 2.0hr：授業内容を受け、小レポートを作成する。
4回	**授業テーマ：第二言語習得に関する基本的な知識** 授業内容：テキスト第二部 Unit 6「第二言語習得に関する基本的な知識」の内容をまとめたものを発表し、協議する。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の概要をまとめ、発表資料を作成する。 事後学修 2.0hr：授業内容を受け、小レポートを作成する。
5回	**授業テーマ：児童文学（絵本、子ども向けの歌や詩）** 授業内容：テキスト第二部 Unit 7「児童文学（絵本）」、Unit 8「児童文学（子ども向けの歌や詩）」の内容をまとめたものを発表し、協議する。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の概要をまとめ、発表資料を作成する。 事後学修 2.0hr：授業内容を受け、小レポートを作成する。
6回	**授業テーマ：異文化理解、英語の書き方** 授業内容：テキスト第二部 Unit 9 「異文化理解」、Unit 10「英語の書き方」の内容をまとめたものを発表し、協議する。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の概要をまとめ、発表資料を作成する。 事後学修 2.0hr：授業内容を受け、小レポートを作成する。
7回	**授業テーマ：英語コミュニケーション（領域統合型の言語活動）** 授業内容：テキスト第二部 Unit 15 「英語コミュニケーション（領域統合型の言語活動）」及び Unit 11 から Unit 14 の内容をまとめたものを発表し、協議する。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の概要をまとめ、発表資料を作成する。 事後学修 2.0hr：授業内容を受け、小レポートを作成する。
8回	**授業テーマ：小学校英語の理念と現状の理解、中学年外国語活動から高学年外国語科への接続** 授業内容：テキスト第三部　Unit 1 「小学校英語の理念と現状の理解」、Unit 2 「中学年外国語活動から高学年外国語科への接続」の内容をまとめたものを発表し、協議する。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の概要をまとめ、発表資料を作成する。 事後学修 2.0hr：授業内容を受け、小レポートを作成する。

9回	**授業テーマ：外国語活動と外国語科の目標、小・中の接続と小学校の役割** 授業内容：テキスト第一部 Unit 1「外国語活動と外国語科の目標」、Unit 2「小・中の接続と小学校の役割」の内容をまとめたものを発表し、協議する。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の概要をまとめ、発表資料を作成する。 事後学修 2.0hr：授業内容を受け、小レポートを作成する。
10回	**授業テーマ：児童や学校の多様性への対応** 授業内容：テキスト第一部　Unit 3「児童や学校の多様性への対応」の内容をまとめたものを発表し、協議する。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の概要をまとめ、発表資料を作成する。 事後学修 2.0hr：授業内容を受け、小レポートを作成する。
11回	**授業テーマ：発達心理学の基礎、児童の認知・情緒発達に即した指導法** 授業内容：テキスト　第三部 Unit3「発達心理学の基礎」、Unit 5「児童の認知・情緒発達に即した指導法」の内容をまとめたものを発表し、協議する。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の概要をまとめ、発表資料を作成する。 事後学修 2.0hr：授業内容を受け、小レポートを作成する。
12回	**授業テーマ：国語教育との連携、学級担任と JET とのティーム・ティーチング** 授業内容：テキスト第一部 Unit 7「国語教育との連携」、テキスト第三部 Unit 6「学級担任と JET とのティーム・ティーチング」の内容をまとめたものを発表し、協議する。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の概要をまとめ、発表資料を作成する。 事後学修 2.0hr：授業内容を受け、小レポートを作成する。
13回	**授業テーマ：ことばへの気づきをもたらす指導、外国語活動の学習評価** 授業内容：テキスト第三部 Unit 7「ことばへの気づきをもたらす指導」、Unit 8「外国語活動の学習評価」の内容をまとめたものを発表し、協議する。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の概要をまとめ、発表資料を作成する。 事後学修 2.0hr：授業内容を受け、小レポートを作成する。
14回	**授業テーマ：中学年に適したさまざまな活動、中学年に適した教材** 授業内容：テキスト第三部 Unit 9「中学年に適したさまざまな活動」、Unit 10「中学年に適した教材」の内容をまとめたものを発表し、協議する。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の概要をまとめ、発表資料を作成する。 事後学修 2.0hr：授業内容を受け、小レポートを作成する。
15回	**授業テーマ：英語によるやり取りの仕方、児童の発話の引き出し方・児童とのやり取りの進め方** 授業内容：テキスト第三部 Unit 11「英語によるやり取りの仕方」、Unit 12「児童の発話の引き出し方・児童とのやり取りの進め方」の内容をまとめたものを発表し、協議する。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の概要をまとめ、発表資料を作成する。 事後学修 2.0hr：授業内容を受け、小レポートを作成する。

小学校英語基礎概論Ⅱ

開講学科等：英　｜　1 年次　｜　2 単位　｜　開講期：後

遠藤　哲也 (えんどう　てつや)

▌授業の概要

・本学においては、中学校や高等学校における英語科教員になるための教職課程は設置しているが、小学校における教職課程は設置していない。本授業では、前学期に引き続き、小学校における外国語(英語)に関する基礎的な概要を理解するために、小学校外国語活動及び外国語(英語)に関する専門的な事項や指導法の基礎を学修する。
・本授業は、小学校英語指導者認定協議会(J-SHINE) の指導者育成共通カリキュラムに基づいて実施する。

▌到達目標

一般目標：・小学校における外国語(英語)活動や外国語(英語)に関する専門的な知識を身に付ける
　　・小学校における外国語(英語)活動や外国語(英語)の基礎的な指導技術を身に付ける。
個別目標：・小学校における外国語(英語)活動や外国語(英語)に関する専門的知識を活用できる。
　　・小学校における外国語(英語)活動や外国語(英語)の基礎的な授業実践ができる。

▌履修条件

・原則として、「小学校英語基礎概論Ⅰ」の単位を修得した者。
・なお、５分の４以上の出席を評価の対象とし、欠席は減点する。

▌評価基準・方法

・授業におけるプレゼンテーション４０%、小レポート３０%、定期試験３０%による総合評価とする。
・なお、５分の４以上の出席を評価の前提条件とし、欠席は減点する。

▌フィードバック方法

・課題等のフィードバックは、レポート返却後の個別指導(対面)や学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ペアワーク、グループ協議の実施。マイクロ・ティーチングの実施。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （PC（スマートフォン可)を利用した調べ学習。ICT を活用したマイクロ・ティーチングの実施。）

▌教科書

「小学校英語　はじめる教科書　改定3版 外国語科・外国語活動指導者養成のためにーコア・カリキュラムに沿ってー」
　吉田研作(監修)　小川 隆夫・東　仁美(著)：２０２４年　mpi 松香フォニックス

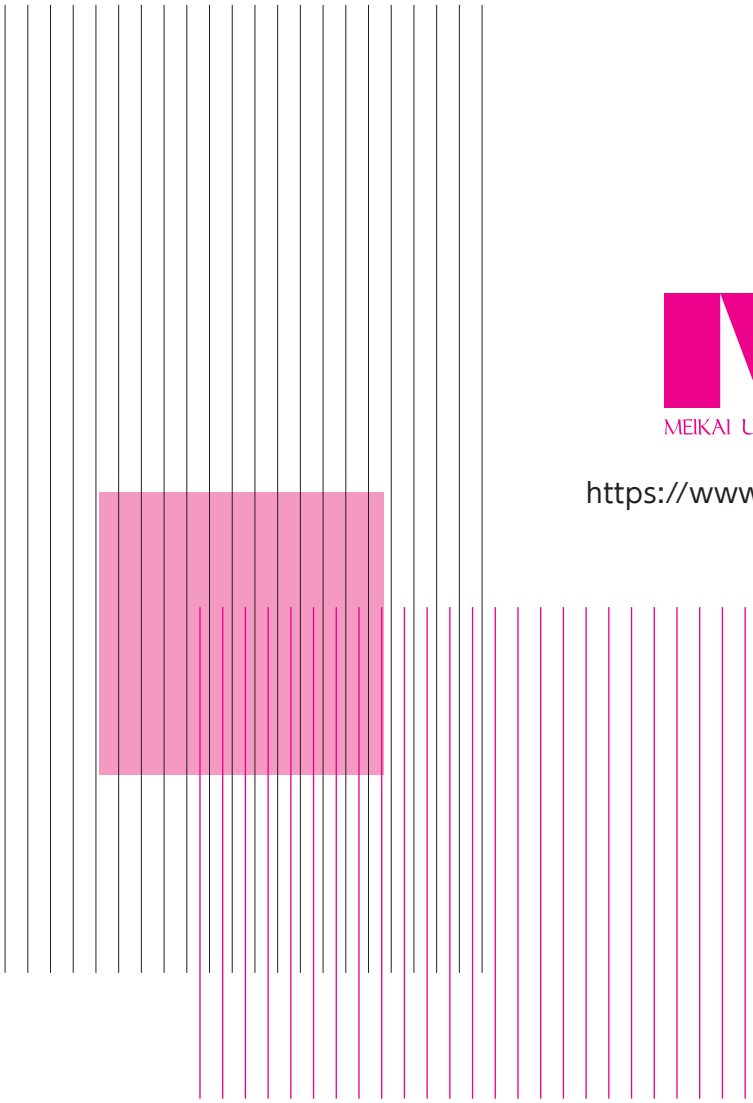
▌参考書

・「小学校学習指導要領(平成 29 年告示)」・「小学校学習指導要領解説外国語活動・外国語編(平成 29 年告示)」
・「小学校外国語活動・外国語研修ガイドブック(文部科学省)」　・文部科学省教材「Let's Try!」
・教科用図書

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：語彙や表現に慣れ親しませる方法** 授業内容：テキスト第三部 Unit 13 「語彙や表現に慣れ親しませる方法」の内容をまとめたものを発表し、協議する。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の概要をまとめ、発表資料を作成する。 事後学修 2.0hr：授業内容を受け、小レポートを作成する。
2回	**授業テーマ：読み聞かせ指導** 授業内容：テキスト第三部 Unit 14 「読み聞かせ指導」の内容をまとめたものを発表し、協議する。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の概要をまとめ、発表資料を作成する。 事後学修 2.0hr：授業内容を受け、小レポートを作成する。
3回	**授業テーマ：発表活動の指導** 授業内容：テキスト第三部 Unit 15 「発表活動の指導」の内容をまとめたものを発表し、協議する。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の概要をまとめ、発表資料を作成する。 事後学修 2.0hr：授業内容を受け、小レポートを作成する。
4回	**授業テーマ：言語使用を通した言語習得・音声によるインプット** 授業内容：テキスト第一部 Unit 4 「言語使用を通した言語習得・音声によるインプット」の内容をまとめたものを発表し、協議する。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の概要をまとめ、発表資料を作成する。 事後学修 2.0hr：授業内容を受け、小レポートを作成する。
5回	**授業テーマ：コミュニケーションの目的や場面、状況等を明確にした言語活動** 授業内容：テキスト第一部 Unit 5 「コミュニケーションの目的や場面、状況等を明確にした言語活動」の内容をまとめたものを発表し、協議する。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の概要をまとめ、発表資料を作成する。 事後学修 2.0hr：授業内容を受け、小レポートを作成する。
6回	**授業テーマ：音声から文字へ** 授業内容：テキスト第一部 Unit 6 「音声から文字へ」の内容をまとめたものを発表し、協議する。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の概要をまとめ、発表資料を作成する。 事後学修 2.0hr：授業内容を受け、小レポートを作成する。
7回	**授業テーマ：Classroom English, Small Talk, Teacher Talk** 授業内容：テキスト第一部 Unit 8 「Classroom English, Small Talk, Teacher Talk」の内容をまとめたものを発表し、協議する。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の概要をまとめ、発表資料を作成する。 事後学修 2.0hr：授業内容を受け、小レポートを作成する。
8回	**授業テーマ：「読むこと」と「書くこと」への導き方** 授業内容：テキスト第一部 Unit 9 「『読むこと』と『書くこと』への導き方」の内容をまとめたものを発表し、協議する。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の概要をまとめ、発表資料を作成する。 事後学修 2.0hr：授業内容を受け、指導例を作成する。
9回	**授業テーマ：題材の選定と教材** 授業内容：テキスト第一部 Unit 10 「題材の選定と教材」の内容をまとめたものを発表し、協議する。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の概要をまとめ、発表資料を作成する。 事後学修 2.0hr：授業内容を受け、小レポートを作成する。

10回	**授業テーマ：学習到達目標、指導計画(カリキュラム・マネジメント)** 授業内容：テキスト第一部 Unit 11 「学習到達目標、指導計画(カリキュラム・マネジメント)」の内容をまとめたものを発表し、協議する。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の概要をまとめ、発表資料を作成する。 事後学修 2.0hr：授業内容を受け、小レポートを作成する。
11回	**授業テーマ：学習指導案の作り方** 授業内容：テキスト第一部 Unit 12 「学習指導案の作り方」の内容をまとめたものを発表し、協議する。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の概要をまとめ、発表資料を作成する。 事後学修 2.0hr：授業内容を受け、学習指導案を作成する。
12回	**授業テーマ：ＡＬＴ等とのティーム・ティーチングによる指導の在り方** 授業内容：テキスト第一部 Unit 13 「ＡＬＴ等とのティーム・ティーチングによる指導の在り方」の内容をまとめたものを発表し、協議する。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の概要をまとめ、発表資料を作成する。 事後学修 2.0hr：授業内容を受け、ALT とのティームティーチングによる学習指導案を作成する。
13回	**授業テーマ：デジタル教科書の活用** 授業内容：テキスト第一部 Unit 14 「デジタル教科書の活用」の内容をまとめたものを発表し、協議する。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の概要をまとめ、発表資料を作成する。 事後学修 2.0hr：授業内容を受け、デジタル教材を活用した学習指導案を作成する。
14回	**授業テーマ：外国語科の学習評価** 授業内容：テキスト第一部 Unit 15 「外国語科の学習評価」の内容をまとめたものを発表し、協議する。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の概要をまとめ、発表資料を作成する。 事後学修 2.0hr：授業内容を受け、小レポートを作成する。
15回	**授業テーマ：小学校外国語(英語)活動と外国語(英語)の模擬授業の実演** 授業内容：模擬授業(マイクロ・ティーチング)を実施する。 事前学修 2.0hr：模擬授業の学習指導案を作成する。 事後学修 2.0hr：授業内容を受け、学習指導案を修正する。



https://www.meikai.ac.jp